
本気禁止制限決闘

阿音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

本気禁止制限決闘

【Nコード】

N5045N

【作者名】

阿音

【あらすじ】

気付いた時には遊戯王の世界へ……

何が起こった？　そして何故俺はここに？

とりあえず社会に出るならデュエルモンスターズをした方が有利になるそうだな。

よし、将来の為にデュエル・アカデミアに通おう！

（主人公はこんな好青年ではありません）

1話【デュエル・アカデミア入学まで】（前書き）

この小説は同作者の書いている小説「逆偽鏡の世界」の気分転換に書いた小説です

優先度は当然ながら「逆偽鏡の世界」が上なのでこちらは定期投稿をする予定はありません

しかし投稿時間0時を変えるつもりは無いので0時になって投稿されていなければその日の投稿はありません。

この小説では多少自重しません

ネタ発言なども少なからず存在します。

1話【デュエル・アカデミア入学まで】

視点　　????

目を開けた俺の目の前には知らない天井
……知らない天井？　エヴァかよ？

「つて、はぁ！？
どこよここは！？」

俺、こんな部屋に見覚えが無いんだけど！？
何がどうなってるんだ！？

「つか俺の体小さくないか！？
てか鏡、鏡は……有った！　ってか若！
まさに意味☆不明、時の魔術師でも降臨したのか！？」

しかも顔が昔の俺のままだし、一体全体どうなってるんだ！？
えっと……元々の歳は20歳だったんだが、この顔は確か……10
代中半だったか？

若くなっただのは嬉しい事だけど、本当に何が起こったんだか……

見た目は相変わらず平凡

眠そうな目とやる気の無い表情

中途半端に長い髪を5D'sの龍亞みたいな感じで括っている
まああんなに長くないし多くないし、髪が妙に上がってたりしない、
ちなみに髪色は黒だ

少し高めの場所で括った小さなポニーテールのようなものだ

ちなみに眠そうな目なのは常に寝不足で毎日夜更かしをしているからである。

さて、とりあえずテレビをつけてみると……

『現在、海馬ランドでは新しいアトラクションが……』

テレビを消す

……海馬ランドって遊戯王だよな？

もう一度テレビをつけてみる。

『海馬社長が海馬ランドの視察に来てくださったようなのでインタビューをしてみたいと思います
海馬社長、この新アトラクションはどういった話から造る事になったのですか？』

そしてカメラが写しだした人間

それはどう見ても海馬瀬人、何故エネコンで有名な社長が現実！？
コスプレだとしてもテレビには出ないだろう。

『ふうん、あれは子供達からアイデアを募集した結果だ
その中から同じような意見が多かったアトラクションを設立した
これにより……』

再度テレビを消す

あの声、あの態度、あの性格、あの……以下略

どう見ても本物の海馬瀬人です、本当にありがとうございました。

とりあえずあれだな、うん……

誰か俺の事を教えてくれない？

.....
.....
.....

と、いう訳で数ヶ月の時間が過ぎて冬

俺がデュエル・アカデミアを受験する日がやってきた

何？ それまでどうしていたかって？

決まってるだろ、デッキ調整やデッキ作成だよ

この世界ではデュエルモンスターズができるだけでアドバンテージになるんだ

デュエル・アカデミアに通っても損は無いだろう？

何故か俺が元の世界で使われていたカードが殆どあった

シンクロカードは一枚も無かったが、俺は元々シンクロは嫌いだし使わないので問題無い

今時で珍しいアンチシンクロ派という奴だ。

いや、本当に嫌いだから超古代生物の墓場でアンチしまくったんだよね

だからシンクロを得意としていた奴らから嫌われてたんだけど……破壊されそうになったらカウンター罠や宮廷のしきたりで守ったりなLV5以下のは奈落の落とし穴や昇天のブラックホールで退場してもらった。

こちらではあまり関係無い話したが、俺お得意の超古代生物の墓場はこちらでも強い

融合や上級モンスターの特殊召喚は誰でも得意なのだからな。

一応チューナーモンスターは使っていたがシンクロする気はないので無問題

そしてチューナーモンスターは効果・チューナーという名の効果モンスターとしてシリーズ化

殆ど変わっていない気もするが、通常モンスターのチューナーも存在するので変わったシリーズとなるだろう

チューナーが存在する時（略）というモンスターの効果は変わらなかった。

なお、このモンスターがシンクロ召喚の素材として使用された時という墓地効果

シンクロモンスターに効果が発動する起動効果など

これらは生け贄にした場合という効果に変更されていた

微妙に使い難くなったような使い易くなったような……悩む所だ。

ちなみに、シンクロカードが無いだけであり、シンクロモンスターは存在していた

基本は効果モンスターとして存在しているが、一部は融合モンスターだったり通常モンスターだった

PCで検索したが、当然ながらこれらのカードは存在していなかった各カード5枚……いや、こんなにいらねえよ。

ついでにサイキック族は無かった

殆ど興味の無い種族だからどうでもいいがな

しかしハイパーサイコガンナーやマジカル・アンドロイドなど

元シンクロモンスターだけは存在しており、種族が変わっていた

例えばハイパーサイコガンナーは戦士族、マジカル・アンドロイドは魔法使い族という感じだ。

サイキック族専用のカードは完全に無くなっていた

緊急レポートとか使えそうなカードが無いのは少々惜しかったな
使う気は無いが持っていたら便利だっただろう。

ただ……殆どのカードを持つているという事で問題は少なく無い
原作で4枚しか無い青眼の白龍を俺は10枚ぐらい持つてるんだよ
ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン
ね……

ドラゴンデッキや青眼専用デッキ、バニラデッキとか作ってる内に
増えててな

何気に社長よりも嫁を使いまくってたからなあ。

他にも原作で枚数が決まっているカードを使うのは危険だ

D－HEROとか、宝石獣とかは本人専用カードだった……と思う
原作を観たのはもう5年以上前、さすがに内容は大半忘れた
覚えているのは誰がどんなデッキを使っていたかぐらい
使っていたカードの内容までは殆ど覚えてないよ。

そうそう、OCG化していないカードも何故か多数持っていた
なんだか個人でしか持つて無さそうなものも少なく無かったが……
最大の問題はやっぱり青眼の白龍だろうか？

原作キャラ専用カードってのも問題だ

古代竜ーエンシェント・ドラゴンとか、ワルキューレとか扱いの面
倒そうなのもあれば

マテリアルとかアルカナフォースとか使えそうなのまで
……漫画もアニメもごちゃ混ぜな上、ゲームオリジナルまで存在し
ているとかどうなってんだよ？

知ってるか？

ゲームオリジナルカードってバランスを全く考えられてないんだぜ
例えばビッグ・フットというモンスターー

LV4のくせに攻撃力が2200で守備力まで2200

このカードは、このカードよりも攻撃力が低いモンスターとの戦いで破壊されるが、それ以外の戦いで破壊されない

こんな効果とか……壊れすぎじゃね？

OCG化したら即制限か禁止行き決定じゃねえか。

他にも究極竜の儀式とかゲートガーディアンの儀式とか

原作を完全に無視したようなカードまである

これはGB版遊戯王ゲームのカードだな

GB版のルールは意味不明だったけど原作と効果が違ってそれなりに楽しかったのは覚えている。

つうか三幻神とか三邪神とか三幻魔は問題がありすぎるだろ

地縛神とかオレイカルコスとかトゥーンとかは困るなんてもんじゃない。困る。

地縛神はまだ登場していないからいいとして

三幻神は王様専用カード、三邪神は漫画の三幻神の対のカード、三幻魔なんて最悪のカードじゃん

オレイカルコスは一時期世界を騒がせたカードだし

トゥーンなんてペガサスしか持っていない事で有名だ

こんなカードは使いたいと思わないでもないが使おうとは思えないぞ。

ちなみに原作効果とOCG効果が違うカードは何故か両方持っていたつまり、天よりの宝札が原作の6枚になるようにドロート

OCGの手札と場の全部を除外して2枚ドロートの両方持っている事になる。

正直、これはかなりややこしくて厄介だ

同名異効果として4枚目としてデッキに入れられなくもないかもしれないが却下だろう

ハーピーレディを例に出せばわかるだろうか？

ハーピーレディ1、2、3はハーピーレディとして扱う
なのでデッキには各1枚しか入れられない事になるのだ。

とまあそんな訳なんだけど……

俺、ビートデッキって苦手なんだよね

俺が得意としているのはロックやバーンにデッキ破壊
つまり、大抵の人が嫌うようなデッキだ。

ビートデッキを組もうと思っても

デッキを組んでいる途中で何故かロックデッキに変わっている
バーンやデッキ破壊は意識して組んでいるけど、ロックはマジで無
意識

だからビートデッキなんて作った事が無い

精々ロックビートだろうか？ それでもかなり微妙なんだがな。

次の問題はこっちでは大半がビートデッキの使い手

俺の得意としている戦法は大半の者から嫌われるという事だ

おかげで俺は苦手なビートデッキを作るハメになった

負けないとは思うが勝てる自信も無い。

そもそも俺がデッキを作ると絶対に普通のデッキにならない

例えばドラゴンを中心とするならお触れホルスとかになってパワー
デッキにはならず

魔法使いを中心とするなら里お触れを使い出す

まともなデッキなんて組んだことが無いほどなんだ。

……はあ

今はそんな事を考えている時じゃなかった
受験だ受験、なんでこんな世界に俺が現れたのかはわからない
でも未来に絶望しない為、人生を頑張るかな。

ちなみにカードの枚数がとんでもない事になっている
俺の部屋には原作で社長が使っていたトランクが数十個置いてある
これらのトランク全てに金庫のようなロックをしている
カードの大半は持っている事自体が危険なカードも多いからな
カードを見れるのは俺だけでいい。

ちなみに、当然だけど整理しないと訳が解らなかった
だから頑張って整理したんだ……1ヶ月掛けてな。

モンスター、魔法、罫は当然として

通常モンスターだけでも、LV、属性、種族で順番を分けた
効果モンスターも同じだが、こっちでは先にシリーズで分けてから
通常モンスターと同じようにした

魔法は当然通常魔法、速攻魔法、永続魔法、儀式魔法、フィールド
魔法で分け、更に効果でも軽く分けた
罫は通常罫、永続罫、カウンター罫で分け、魔法と同じく効果で軽
く分ける

この作業だけで1ヶ月も掛け、それからデッキを作り始めたんだ。

通常モンスターだけでもトランク数個

効果、魔法、罫も考えたらとんでもない数になったのは前述した
その上、全てのカードが最低3枚から最高10枚までで結構ランダ
ムの数ずつ

何が言いたいのかと言うとだ……とにかくカードが多すぎるんだよ
!!!!

……
……
……

で、受験場に来たんだが……人が多すぎないか？
さすがデュエル・モンスターの世界、異常にしか思えん。

とりあえず受験票を受け取って席に座る

最初は筆記試験で次が実技試験

この筆記試験で受からないと実技試験を受けれないから真面目にしないとな。

そして筆記試験の開始合図

俺は渡されたプリントを表にして問題を確認したんだが……なにこれ？

問1

攻撃力の低いモンスターで攻撃力の高いモンスターに攻撃した場合
どうなりますか

……これは酷い

こんな事、この世界では小学生でも知ってる常識だろうに
次々と答えを書き続け、ある問題で手が止まった。

問20

青眼の白龍の攻撃力、守備力、属性、種族を答えなさい

社長……………!!!

嫁の事を問題に出すのは問題だと思うぞ……………!!!
とりあえず答えるが……簡単すぎないか？

問50

融合呪印生物一光の起動効果を使用し、青眼の究極竜を特殊召喚しました

ブルーアイズ・アルティメットドラゴン

青眼の究極竜が墓地に送られた時、融合呪印生物一光の効果で特殊召喚された青眼の究極竜を死者蘇生で蘇生できますか

どんだけ嫁が好きなんだ社長ーーーーー！！！！

しかも究極嫁の名前を出すとか、お前はどこまでぶっ飛んでるんだ！？

まあとりあえず蘇生はできないと……蘇生条件を満たしてないしね。

というか問題多すぎ

確認してみたら問150まであった

面倒だけど、頑張りますか。

……………

……………

……

試験、受かりました

ま、あの程度なら余裕だね

受験番号は4番だけ……どれを間違えたんだろうか？

時々ルールがよくわからなくなるからデュエルモンスターズは困る。

そして俺は実技試験の日

余裕の時間に行って余裕を持って到着

それなりに人は居たがまだ試験は始まっていないので大丈夫だった。

でもまた新たな問題が発生した

そう、何故お前等がここに居るんだ……天上院明日香に丸藤亮、ついでに万丈目……なんとか

現実逃避なのはわかってる、わかっているが逃げたい

しかし現実には俺の目を誤魔化してくれなかった……やっぱりGXの時代かよおおおお！！！！

デュエル・アカデミアの時点で予想できたさ！

筆記試験の時だって水色のでかい髪の毛とか、影の薄そうな男とか、茶髪の元氣な奴とか見つけたよ

それはきつと見間違いだって、そう信じてたさ！

でもさすがにここまで来ては無理だったらしい……諦めて現実を受け入れよう。

さて、そろそろ一桁の開始時間だな

原作ではいまいち順番がわからなかったが、どうやらブロック毎に決められているらしい

俺みたいな一桁は最後の方でやらされるみたいで暇だった。

こっちの禁止、制限はかなり緩かったから色んなデッキを作れた

受験なんて基本事項、適当に勝って早々に帰らせてもらおう

目立つのも原作に関わるのも俺はご免だね、二次小説みたいなオリア主なんてやってられっか。

『受験番号4番、堅守瑞貴さん

3番の決闘場に移動してください』

やれやれ、やっと呼ばれたか

今更ながら自己紹介、俺の名前は堅守瑞貴^{かたもりみずき}

元20歳のフリーターだった男で現在は15歳の受験生だ。

俺が決闘場に着くと試験官がいた
サングラスを掛けているけど、これは海馬コーポレーションではデ
フォなのか？
それともそういう趣味か？

「君が受験番号4番だね」

「はい、受験番号4番の堅守瑞貴です」

「ではさっそく始めようか」

「「決闘！」」^{デュエル}

「先攻は私が貰う、ドロー！」

先手必勝の先攻後攻ってさ……どう思う？

とっても……酷いと思います

という訳で正直面倒、俺の性格からして押せ押せじゃないから強引
に奪おうとは思わないし

そりゃ先攻は欲しいけどね。

それにしても初期ライフ4000って少なすぎると思わないか
こんなのバーンデッキの前では無いも同然だぞ？

「私は手札から永続魔法、凡骨の意地を発動！

そしてミノタウルスを攻撃表示で召喚！

カードを1枚セットし、ターンエンドだ」

試験官のフィールドに牛が鎧を着た男……と思われる巨人が出現した

そういえばソリッドビジョンで決闘するの^{デュエル}は初めてだったな
思ったより綺麗じゃないか、さすが社長だ、良い仕事をしている。

そして試験官のは凡骨ビートかな？

ま、今回の俺のデッキには関係無い

なんてったて俺の得意デッキなんだからな

デュエル・アカデミアに行ったら普通のデッキを使わざるをえない
んだ

こういう時ぐらい使わせてくれ。

それにしても……凡骨ビートってなあ

このデッキには好都合で相性の良い相手じゃないか？

「俺のターン、ドロロー……はあ

俺は氷弾使いのレイスを守備表示で召喚、カードを5枚伏せてター
ンエンドです」

俺の場には青やら黄色やら白やらと派手な服を着た小柄の女性が出
てきたんだが……

派手過ぎてキモイ……つうか顔も微妙で可愛くもなければ綺麗でも
ない

なんというか青い線を刺青している普通の顔の女性？

派手な衣装と顔が合わなすぎるな。

それにしても表側守備表示って便利だよな
おかげで色々とできて助かるよ。

「最初から5枚も伏せるだど！？
事故でも起こしたか、受験生4番
私のターン、ドロロー！

私が引いたのはケンタウロス！ 更にドロー、ネオバグ！
ドロー、インセクトナイト！ ドロー、アクア・マドール！」

勝手に言ってな

あんたじゃ俺には勝てないよ、絶対にね。

「更にドロー……この瞬間罠カード発動、強欲な瓶！
私はデッキからカードを1枚ドローする！」

今度は赤い瓶が現れた

が、すぐに消えた

演出だけに登場したのか、あの瓶は？

そしてドローフェイズだから効果の続行ね

あんた、何枚カードを引く気だ？

「ドロー、ブラッドヴォルス！ ドロー、幻獣王ガゼル！
ドロー、デーモンソルジャー！ ドロー……終わりだな」

さて、試験官の手札は11枚

下手すれば最終戦争とか使ってきそうで怖いが……大した問題じゃないな

何故ならあんたの手札はすぐに無くなるんだから……ね？

つうか試験官、あんたなんでそんなLV4ばかりデッキに入れてるんだ？

凡骨ビートだったら上級とか最上級ぐらい入れておけよ
それとも試験用デッキだから加減してるのか？

「スタンバイフェイズに入った瞬間、罠カードを発動します」

「何？ このタイミングで罠だと？」

周りの受験生とかも変だと思っているらしい
俺には関係無い、どうせこの戦い方は誰もが嫌がるんだろうしな。

「永続罠、グリードを発動

相手がカード効果でドロートしたターンのエンドフェイズ時
引いた枚数×500ダメージを与えます」

グリードはフィールド場に影響が出そうな絵柄だったが変わらなかった

どうやらフィールドカードでなければ瓶のような物が出てこないらしい。

「何が目的かと思えば……私の凡骨の意地の効果は既に終わっている
そのカードは発動後にドロートしたカードでなければ効果が無い事ぐらい知っているだろう？」

当然知っているがそんな事は関係無い

何度も言おうか、あんたじゃ俺には絶対に勝てない
相性が悪かったな。

後周りの生徒

俺の事を馬鹿にして笑っているお前らも無能だ
これだけで終わると思ったら勘違いも酷いもんだな。

「更に罠カード、攪乱作戦

このカードの効果により、相手プレイヤーは今の手札を全てデッキ
に戻します

その後、デッキに戻した枚数デッキからカードを引いてください」

「なんだと!？」

試験官は余裕の無い表情になり、手札をデッキに戻してシャッフルする

そしてカードを11枚引き、それなりに嬉しそうな顔になる
大嵐でも引いたか？ それならばあの顔も肯ける

しかもこの時点でグリードを破壊しない限りダメージ5500は確定
負ける可能性は低いだろうが万全を期す為にこれぐらいはしておく
かな。

「更に罠カード発動、大暴落

相手の手札が8枚以上の時に発動可能

相手は手札を全てデッキに戻し、2枚ドローします」

試験官はもう完全に諦めたようで無言になりながらも手札をデッキ
に戻す

そして2枚ドローしたが、そう簡単に手札をくれてやらん。

「カウンター罠発動、強烈なはたき落とし

このカードの効果は、相手がカードを手札に加えた時に発動
加えたカードを1枚墓地に送ります

更に罠カード発動、水霊術―「葵」を発動

俺の場に存在する水弾使いのレイスを生け贄に捧げる

葵の効果により、相手の手札を一枚確認して墓地に送る

さ、手札を見せてもらえますか？」

葵が発動された瞬間、水霊使いのエリアが姿を現した
レイスに比べて可愛い事だ

今度エリアを使う為の水属性デッキでも作ろうかな？

試験官は何も言わずに手札を見せる

手札のカードはデーモンの召喚、どうやら上級モンスターも入っていたらしい。

「ではデーモンの召喚を墓地に送ってください
それではスタンバイフェイズの続行ですね
何も無ければメインフェイズに入ってください」

試験官はもう何もできない

できる事はミノタウルスで攻撃するだけ

そして俺のライフは4000のまま、完全に詰んだな

試験官はもう諦め、デッキの上に手を置いた

サレンダー……降参の合図だ。

「ありがとうございました」

俺の礼を聞いて微妙そうな顔になる

それぐらい予想済み、その後に言う事だって予想しているさ。

「……お疲れ様、君の勝ちだ

結果は後日連絡される

私としてはあのような戦い方は非常に不本意だが負けは負けだ」

ほら、要は負けを認めたく無いんだよ

それに、これでも一応手加減して下位デッキを使ったんだぞ？

妙に回ったから驚いたけどさ

無いと思いきど……もしかして俺に主人公補正が掛かっているとか？

いやだなあ……本気で嫌だなあ。

それにこの程度で怒らないでほしい所だ
あれだけして、更にマシユマロンまで使っても与えられるダメージ
は7500

8000に届かない時点であのコンボはお粗末な存在なんだよ。

今回使ったのは手札破壊十バーンを中心としたハンデスパーマイミッシ
ョン風バーンデッキだ

残念ながら初手があまりにも良すぎて終わったが

正直相性が良くない限り勝てるとは思えないデッキだ。

なら何故俺はそんなデッキを使ったか

試験官は試験用デッキを使ってるんだ

俺も加減して弱いデッキを使ってやる方がいいだろう？

それに1キルをしてしまうとは思わなかった

1キルは自分がするのも相手がするもの大嫌いなんだけどな

今回は勝った方が良いので諦めはしたが……もう1キルができない
デッキを作ろう。

ともかく、俺は試験官の言う事をほぼ無視して決闘場から去る

一応観客席には留まっておく

理由は主人公の活躍ぐらい見ておいて損は無いと思うからだ。

遅刻して遅れてきた主人公、遊城十代の決闘を見た感想
デュエル

なんだ……主人公としてこの程度か、クロノスも高が知れてるな
という、自分でも驚きの冷め具合だった。

先ず十代の行動が遅すぎる

もっと効率良くデッキを回すカードが全く足りていない

更に最後に来たカードがスカイスクレイパー……原作だと強化されているが怖くないな
俺からすれば微妙過ぎるカード、俺はHEROも嫌いだから使わないけどね。

でも十代を苛める為にHEROデッキでも作ってみようかな……
完成度がより高いHEROデッキを見た十代がどんな思いをするのか……くくく

原作に関わる気は無かったが、そう考えるとかなり楽しくなってきた
自分の性格が悪いのは自覚していたが、ここまでとは思わなかった
どうせだ、メタカードも大量に突っ込んでアンチ十代デッキでも作るか。

……試験に受かったらだけどな
落ちると思っていけないけど一応まだ考えるだけにしておこう。

そんな事を思い、俺は試験場を後にした
俺に対して嫌な視線を送ってくる奴も少なくなかったが完全に無視する。

そして数日後、俺の元にデュエル・アカデミア合格の通知が来た
さて、積極的に原作に関わる気は無いが楽しみに行くか
原作キャラを潰して俺が楽しむ為にも……な。

1話【デュエル・アカデミア入学まで】（後書き）

現実との違い

シンクロが無い

シンクロモンスターは効果モンスターや融合モンスター、通常モンスターとして持っている

基本的に普通の上級モンスターだが、召喚制限が存在するカードも少なく無い

サイキック族は存在しないが、サイキック族のシンクロモンスターだけは種族を変更されて持っている

サイキック族のサポートカードは存在していない

GB版遊戯王のゲームオリジナルカードを持っている

GB版遊戯王のゲームオリジナルカードは明らかに壊れているので使う回数はかなり少ない

原作効果は基本的に原作効果、しかしOCG効果のカードも持っているのでどっちも使うかも

他に質問などがあればお願いします

それにルールで間違っている効果もあるかもしれないので間違っていたら教えてもらえると助かります。

2話【十代対万丈目（1戦目）】（前書き）

気分転換と言いながら、実は書き貯めをしてあったのさ！
ちなみに次話も書き終えています

『逆偽鏡の世界』と違って定期更新をする予定が無いので気が向いたら書く

そんな感じなので適当に時間が空けば書こうという感じです。

今回は決闘^{デュエル}を見るだけです

介入は最後の少しするだけで殆どしません

今話は決闘^{デュエル}をどういう感じに書くのかというのを表現する為に近い感じですよ

ちなみに、作者はそこまでカードを多く持っていないので見た目表現に関しては一部妥協します

絵を調べるぐらいは頑張ろうと思いますが、それでも見つけれない場合は妥協して書きません（というか書けません）

この辺りはご了承を……

ついでに主人公が干渉していない部分はほぼ原作台詞の流用です
作者には発想という物が欠落しているのでご了承ください。

2話【十代対万丈目（1戦目）】

視点 瑞貴

先日、合格通知が来たのはいい
しかし筆記試験4位であり、実技試験で試験官を1キルした俺が……
何故オシリスレッドなんだ!?

まあ予想できるがな

大方、俺の戦い方が気に入らなかったって試験官が大半だったんだ
ろう

戦い方でレッドにするなんて、小さい奴らが考えそうなことだ。

まったく、原作に関わりたくないから態々ライイエローになろうと
思ったのによ

オシリスレッドじゃ原作に関わりそう……というか、関わらせられ
そうで嫌だったんだ

狭い部屋とか、素朴な食事はどちらかといえば好きだからレッドも
悪くないんだがな

それとこれとは別問題って事だ。

船に揺られてデュエル・アカデミアに向かう

途中で酔って吐きそうになった……俺は乗り物に弱いんだよ。

やってきましたデュエル・アカデミア……超帰りてえ

原作に干渉なんてしたくないぞ、面倒だからな。

入学式……鮫島校長の話は完全無視

俺はデッキ構成を考えながら暇を潰していた
つうか入学生少なすぎないか？

受験生はもっと居ただけど……思ったより狭き門だったんだな。

ここがレッド寮か……言われている程悪くないな
面倒事の無いようにさっさと部屋に入って寝よう
無駄な事はしない主義だ。

「ここは眺めも良いし、風情もあるぞー」

……何故居る主人公

十代に見つからないように階段の影に隠れる。

「ここだここだ、ここが俺達の部屋だ」

「一緒に部屋だね」

そう言って二人は部屋に入って行った
水色髪の名前ってなんだったかな？
目立たないし覚えてないな……弱虫だって事は覚えてるが。

さて、あいつらも部屋に戻ったし

俺はまたデッキを作るか

今から作るデッキは特殊勝利デッキ

俺が最も好んで使うデッキだ。

今日は何を作ろうかなーっと

エクゾディアでも作るか

勿論、1キルなんてできない回りくどい完成のさせかたでな。

ロック系にしようか……それとも墓地回収にしようか
もしくは攻めていると思わせて実はエクゾディアを揃えていたとい
うパターンにしようか

色々悩むなあ……

でも決める方法はエクゾディアだけ、それ以外の方法は絶対に使わ
ないで勝つ。

大抵の人はエクゾディアを速攻で揃える事を目的にしたデッキだろう
だけど俺はそんなつまらない方法は使わない
戦うのなら楽しまないと勿体ないじゃないか。

敵がどんな方法で潰してくるのか
悩んでいる姿を見るのも楽しい。

……よし、決めた！

戦いながらのんびりと揃えていく方向にしよう
これならこっちでもそれなりに悪く思われないはずだ。

しかし……この部屋は2人部屋なのに誰も来ないな
まだ来ていないのか、それとも入るのは俺だけなのか
後者なら色々助かるんだけど都合主義だ
後々どんな面倒が降りかかってくるのやら……怖いなあ。

そんな事を考えながらデッキを作っていく
歓迎会の時間はまだそれなりに先だし、完成させられるかな？

そして夜の歓迎会直前

なんとかデッキは完成した。

食堂に入ってみるとなんだか嘆いている男達が……

嘆くのはいいんだけど声がでかい、少し声の音量を下げてくれないか？

「他の寮の料理は凄いご馳走だったぞー」

いや、何故お前がそれを知っている
覗いてきたのか？ 犯罪だぞ、それは。

「おまけに、寮長は人間ですらない……猫なのか？」

もう少し冷静になれよお前
普通に考えてペットだろう？

そして暖簾の向こうから痩せ形の男が現れた
名前は覚えてないけど……寮長だったな
確か見せ場で敵方にいた気がするけど……いつだっけ？

「ふっふーん

寮長の大徳寺だニャー

授業では錬金術を担当している、よろしくニャ」

「んーんまい！」

先生の挨拶が終わる直前の声に、全員が振り返る
ちなみに俺が座っていた席は声の主と逆位置でかなり近い。

「拙いっすよ兄貴」

「そうか？

むちゃくちゃ美味いぜこれ！」

「いや、そういう意味じゃなくて……
まだ先生が挨拶中だし」

漫才でもしてるのか、主人公と舎弟

ぶっちゃけ単純に馬鹿なだけな気もするけどさ。

そう言っている内に先生が十代に近づいていた
見下ろすような格好でちよっと迫力が出ている
でも表情のせいでかなり台無しだな。

「細かい事は気にしないのニャー
それでは皆さん、これからよろしくニャ」

そんな感じで歓迎会という名だけど単なる夕食
味はそれなりに美味かったとだけ言っておこう
先生の料理の腕は悪くなかったが……もう少しおかずを増やせない
かな？

食後、特にする事もなくのんびりしていた
そんな時、俺にビデオメールが送られてきた
嫌な予感を感じながらも、送り主を確認してみると……案の定万丈
目だった
別に俺に送ってくるのはいいけど何故俺に？
もしかして実技試験で気に入らない戦い方だったから潰そうとか思
ったのかね。

『やあ、ドロップアウトボーイ
デュエルフィールド
午前0時、決闘場で待っている
互いのベストカードを賭けた、アンティルールで決闘だ
デュエル』

『勇気が有るなら……来るんだな』

……さて、確かアンティールは校則で禁止されていたのなら行く価値は無い、無いのだが……少し興味が有る。

興味が有るのは万丈目や十代じゃない

ましてや両方の取り巻きでもない、あの金髪の女生徒だ
勿論恋愛とか、ミーハーとかそういう意味の興味じゃない

ああいう真面目そうなのをからかうと楽しそうだ……という意味で
な。

俺は今できたばかりのデッキを持って部屋を後にする

今回は決闘^{デュエル}する気は無いが念のためだ

取り巻きに絡まれたら面倒だしな

それに確かあの時の決闘はガードマンが来て途中で終わったはず。
^{デュエル}

俺のデッキだとしても長期戦になってしまうからな

どの道戦ったって不完全燃焼になって終わるんだ

だったら最初からしないで観戦でもしてるさ。

ガードマンに見つからないように気をつけて、足音を出さないように
してっと

お、やってるみたいだな、今は……始まってすぐかな？

万丈目にヘル・ポリマーが使われて十代はE・HEROフレイムウ
イングマンが奪われたか。

馬鹿め……自分のデッキ内容が相手に知られているのにな

それなのに安易に行動するからいかんだ

俺ならデッキを何種類も使って戦うか、デッキ内容を少しずつ変えて
おく

そうやって相手にデッキを知られないようにするんだ。

俺は入り口の影に隠れて決闘の様子を窺う

まだ出て行く必要は無い、もう少し観察させてもらおうかな。

「E・HEROクレイマンを守備表示で召喚！
ターンエンドだ」

赤い頭をした石の男……と思われる巨人……というほど大きくない
モンスターが出てきた
それにしても……頭が小さいな、そんな微妙な見た目でよくヒーロ
ーなんてできるもんだ。

「カード、ドロー！
俺は地獄戦士を召喚！」

黒い仮面と鎧を着た背の低い男性モンスター

しかし何故こんな微妙なモンスターを入れてるんだ？

自爆特攻できるアマゾネスの剣士と違って攻撃を受けないと効果を
使えない。

使うのなら攻撃力の低さを利用して明鏡止水の心を使って壁にする
ぐらいだけど

そんな事をするぐらいもつと便利なモンスターを使えばいいのに
なんとも言えないな……この万丈目のデッキはあまりコンボを考え
られていない

地獄とかヘルとかに拘りでも有るのか？

「いけ！ フレイムウィングマン！
フレイムシュート！」

飛び上がったフレイムウイングマンが炎を纏い、クレイマンに突進していく

クレイマンは無抵抗のまま破壊されて消え去る

そしてフレイムウイングマンは十代の前に現れ……

「フレイムウイングマンの効果により

破壊したモンスターの攻撃力分のダメージを、相手プレイヤーに与える」

フレイムウイングマンの嘴のような腕から炎が現れ、十代に向かって放たれた

十代は苦しそうにしているが……いや、それってソリッドビジョンだろ？

ただ……フレイムウイングマンって風属性なんだぞ？

名前にフレイムとか付いてるし、炎ってイメージが強いけどさ

それでも風属性なんだぞ？ その所分かってるのかね？

「お前場にはお前を守るモンスターは1体も居ない！

ヘルソルジャー
地獄戦士！ ヘルアタック！」

攻撃名が安直すぎないか！？

それって地獄関係のモンスターなら誰でもその攻撃名でいいよね！

十代はヘルソルジャーの剣により更にダメージを受ける

十代のライフは残り2000、主人公だし大丈夫だろ。

「融合モンスターを封じられてもう打つ手無しだな
スモールタウンではどうだったか知らないが

お前はデュエル・アカデミアでやっていけるレベルではない、思い知ったか!?

俺は場にカードを伏せて、ターンエンドだ!」

あの程度で融合を封じた?

高が攻撃力2100のモンスターを奪った程度で何を好い気になってるんだ?

戦闘破壊をした時、墓地から破壊したモンスターを特殊召喚をして奪うゴヨウ・ガーディアンで奪える

そんな元世界の環境に比べたら……あの程度で勝った気になれるなんて信じられないな。

それに融合のカードが1枚しか入っていないはずがない

E・HEROデッキに融合3枚積みは基本だ

1枚潰したぐらいで好い気になってるとは哀れな奴だ。

そして十代は笑いだし、喜んでいる事を万丈目に伝える

強い奴がゴロゴロしている……ねえ?

俺としては万丈目程度の実力でオベリスクブルーに残れる理由がわからん。

「俺のターン、ドロー!」

E・HEROスパークマンを召喚!」

良い声を出して黄色と青の戦士が現れる

それにしてもソリッドビジョンで声が出るってのはどういう仕様なんだ?

あと、攻撃力1600で格好つけてもあまり格好良くないから格好付けなくてもいいぞ

シャイニング・フレイムウィングマンはそれなりだから格好つける

べきだと思うが。

「いけえスパークマン！
スパークフラッシュ！」

十代よ、攻撃対象の名前は言うべきだと思うぞ
そしてそれで理解できるスパークマンがすげえ
というか音声認識なのか？ それでも何故スパークマンが分かる？

それはともかく、スパークマンの電撃が地獄戦士に当たる
ヘルソルジャー

地獄戦士は呻き声を上げながら破壊された……

しかしヘル地獄戦士の剣が高く舞い上がり、十代に向かって放たれた。
ヘルソルジャー

「モンスター効果の発動だ！」

地獄戦士は破壊された時、ダメージを相手にも与える効果があるのだ！
ヘルソルジャー

放たれた剣は十代を切り裂き、十代にダメージを与える
でも400程度のダメージでそれは大袈裟じゃないか？

「アニキ！」

「貴方のお兄さん、ちょっと迂闊ね
モンスター効果を無視するなんて」

「十代君は本当のアニキじゃなくて……
なんというか、僕の心のアニキなんだ」

明日香、お前はカイザーの弟って事を本人から聞いてないのか？

受験場に居たんだからそれぐらい聞いていたと思うんだけど。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「次の攻撃で俺の勝ちが決まりだ！ カード、ドロ―！
行けえフレイムウィングマン、スパークマンにフレイムシュートだ
！」

「罠カード、異次元トンネルミラーゲート発動！」

「なに！？」

確かE・HEROが戦闘する時、相手モンスターとコントロールと
入れ替えて戦闘するカード

E・HERO専用の戦闘時に発動する強制転移みたいな感じだな
俺はあまり攻撃しないが、戦う時は注意しておいた方がよさそうだ。

コントローラーを入れ替えられ、ヘル・ポリマーの効果から抜け出
したフレイムウィングマン

そのせいか、黒かった羽が白の戻っていた
同時に相手にコントロールが移ったスパークマンには黒いオーラが
……ヒーローとしてそれはどうなんだ？

ついでにフレイムウィングマンの癖に何故攻撃に電撃を使う
効果ダメージの時に万丈目に攻撃したのだって電撃になってるぞ？
十代に攻撃した時には炎の攻撃だったのにな。

「アニキ格好いい！」

その声に十代は水色に見えるように小さくVサイン

明日香にお調子者の称号を頂きながら万丈目から目を離さない。

「くっ、ドロップアウトのオシリスレッドが調子に乗るなよ
俺は手札からヘル・ブラストを発動！

自分のコントロールするモンスターが破壊された時、破壊したモンスターを破壊し

その攻撃力の半分のダメージを与える！」

微妙なカードだ……自爆特攻か反撃されて負けないと使えない通常魔法

持っていて損は無いが、それよりも他のカードの方が使い易い
純粹にモンスターを破壊できる地割れとか地碎きの方が対象選択は
できないが楽だ
それにどんなデッキに差してもいいしな。

「更に罨カード、リビングデットの呼び声発動！」

自分の墓地から攻撃表示でモンスターを特殊召喚する永続罨
便利だが発動直後にサイクロンなんてザラだし、時々使えるのか考
えさせられる

当然ながら使えるんだがな

初動が遅い事、魔法・罨ゾーンを圧迫する事以外に欠点はほぼ無い
しな。

「ヘルソルジャー地獄戦士を特殊召喚！」

そしてヘルソルジャー地獄戦士を生け贄にして、ヘルジェネラル地獄將軍・メフェストを召喚！」

鎧を纏い、漆黒の馬に跨った大男が姿を現した

持っているのは戦斧かハルバートか……武器に詳しくないからよく
わからないな

でも將軍の名を持っておきながら攻撃力1800は酷いよな。

貫通効果と戦闘ダメージを与えた時にハンデスする効果

しかし攻撃力は高攻撃力下級にも劣る1800

サポートカードを無くして使えるようなモンスターじゃないな
それなのに単体で出して勝った気になってる
なんとも難儀な性格をしている奴だな。

「決闘は^{デュエル}99%の知性が勝敗を決する
運が働くのはたった1%に過ぎない」

半分同意するが半分否定してやろう
シャッフルを計算していない限り、運の要素は大きく関わる
ギャンブルデッキで勝ってきた城之内が良い証拠だ。

「その1%に全てを賭ける！
俺のターン、ドロー！」

十代の顔に笑みが浮かぶ
しかし……

「ガードマンが来るわ！
アンテイルールは校則で禁止されてるし、時間外に施設を使ってるし
校則違反で退学かもよ！」

それはいいんだが……どんな感覚をしてるんだ？
いくら何でも無理があるだろ……
それに、黙って見ていたお前も同罪じゃないのか？

そして案の定十代は校則の事を知らなかった

アホが、生徒手帳を読むのは基本だろ？
不真面目だと自覚の有る俺だって読んでるんだ、お前も読むだけ読んでおけよ。

万丈目は十代の実力に呆れて取り巻きを連れて帰り
駄々を捏ねる十代を明日香と水色が強引に連れ出す
そして施設の電源を落として少し過ぎた時、ガードマンが来た
しかしそこには誰も居ない……俺はギリギリ見えない場所で最後を
見届け、俺も出て行った。

学校前で話している十代達
さて……いい加減に介入するかな。

「あのまま続けていたら、アンティルールで大事なカードを取られていたんじゃないの？」

「いや、あの決闘^{デュエル}は俺の勝ちだぜ」

そう言っで見せるのは死者蘇生
自分、または相手の墓地からモンスターを特殊召喚するカード
だがそれは……

「いや十代、あの決闘^{デュエル}はお前の負けだ」

「誰だ!？」 「誰!？」

「…………俺はオシリスレッドの堅守瑞貴
俺にも万丈目から誘いが来てたんだ」

そう、俺がするのは馬鹿な勘違いをしている十代に嫌がらせをする為

そして明日香に正論を言って苛める為だ。

「貴方も万丈目君から決闘の誘いを受けていたの？
デユエル
ならなんでもあの場で姿を現さなかったのかしら？」

「アンティールは校則違反だ
いくら何でもホイホイと行くわけが無いだろう
俺が隠れていたのは俺が来なくて苛々している万丈目を見る事が目的だ

だと思ったらアンティールを受けている馬鹿が出てきてな
良い余興だと思って眺めてたんだよ」

「う……」

十代が呻くがそんな事は無視
馬鹿は死んでも治らん。

「それで、堅守君はどうしてアニキが負けだと思うの？」

「そうだ！

俺はあのターン、死者蘇生でフレイムウイングマンを復活させるつもりだったんだ
万丈目のフィールドには伏せカードは無かったし、フレイムウイングマンで攻撃していたら俺の勝ちだっただろ？」

やっぱり誰も気付いていない
特に十代、お前は自分のカードだろうが
ちゃんと召喚ルールぐらい把握しておけ。

「フレイムウイングマンには召喚制限が掛けられている

フレイムウィングマンは融合召喚でしか特殊召喚できない特殊なモンスターだ

お前がクレイマンとスパークマンを融合させてサンダージャイアントを召喚していたら可能だったが……

少なくとも、あの瞬間でお前にできた事は死者蘇生でクレイマンを守備表示で特殊召喚するぐらいだったな」

俺の説明に十代は慌ててフレイムウィングマンのカードを確認する
明日香は自分が十代のカードを見て納得してしまった事を恥じていた
水色はよくわかっていない……さすが筆記試験で十代以下、本当に受かった事が謎でしかない。

「……本当だ

テキストには融合召喚でしか特殊召喚できないって書いてある
と、いう事はあの決闘^{デュエル}……俺の負けか？」

「さあ？

もしかしたらクレイマンで耐えていたら勝てたかもしれないな
万丈目が攻撃力2000以上のモンスターを出さず、モンスター破壊カードを引かなかったらの話しだがな」

「うう……くそう！」

十代が悔しがって地面を蹴っている
八つ当たりはみっともないぞ？

「それに……ブルー女子のあんた」

「私が何か？」

「校則違反だと分かっている決闘^{デュエル}を止めなかったな理由を訊いていいかな？」

「え……ええつと……」

目が泳いでる……という事はあの可能性かな？

「まさかとは思うけど、十代の実力を判断する為にか？
万丈目は噛ませ犬って事か……可哀想にな」

「そ、そんなつもりは無いわよ！
ただ……もう決闘^{デュエル}は始まってたし、邪魔するのは決闘者^{デュエリスト}としてどうかと思って」

「言い訳だな」

「う……なら貴方^{デュエル}は何なの？
貴方^{デュエル}だって、決闘を黙って見ていたじゃない」

「だから言っただろ？
俺の目的は万丈目が苛々している所を見る為だって
見れなくなったからには十代に負けて悔しがっている姿を見てやろうと思ったのにこの様だ
呆れてものも言えん、だから少し口出しして敗者に嫌がらせをしてやろうと思ってここにいるんだろう」

「性格悪いっすね」

「黙れ雑魚」

扱いが悪いとか言っている水色は無視
そして敗者とか嫌がらせとかと言われた十代は悔しそうな顔を見せ
ている

明日香は何とも言えなさそうだ。

「俺は帰って寝るぞ

これ以上ここに居ても無駄だからな」

「ちょっと待てよ

あそこまで言われて黙ってらんねえ

俺と決闘しろ！」
デュエル

「嫌だね

お前とするだけ時間の無駄だ

お前では俺に勝てん……例えお前ら全員で俺に掛かってきてもな」

俺の自信に十代だけでなく明日香や水色も絶句している

しかし俺は前言を撤回する気は全く無い

このデッキ程度でも勝てる自信は……有る。

「オシリスレッドなのに凄い自信ね

そこまで言える根拠を教えてもらいたいわ」

「俺は元々ラィイエローだ

試験官が俺の実技試験での戦い方が気に入らなかったんだろうよ

筆記試験で4位、実技試験で1ターンキルをしたってのにレッドさ
それに……いや、これは言う必要が無いな」

言葉を濁す俺に気になっている十代達を置いて俺は寮に向けて歩き
出す

さて、挑発は終わった

これで仲良くなろうって奴は居ないだろう

ゆっくりとのんびりとしたデュエル・アカデミア生活を送ろうかな
と。

2話【十代対万丈目（1戦目）】（後書き）

いくつか遊戯王GXの小説を読んだんですが受験番号110番の十代で、オリ主が111番や112番が多いような気がします

しかも112番だった場合、111番がオリキャラとか……翔は119番なんだよ？

最下位は十代じゃなくて翔なんだよ……アニメを見直したけどそうだったはず。

主人公はロックは好きですが完全ロックが嫌いです

少しだけ抜け道を作っておき、そこから脱出しようと頑張っている相手を見る事が好きなんです

しかし現環境上、ブラック・ローズ・ドラゴンや裁きの龍にデミスジャッジメント・ドラグーンで全て焼き払われ

ブリューナクやダーク・アームド・ドラゴンなどに簡単に消されるこういう事が多いので遊戯王を止めてしまいました

しかしこちらではそういうカードが無かったり少なかったりなので存分に発揮できる……と、思っていた時期がありました

こちらではとんでもなく嫌われる系のデッキだから使うに使い難いのです

ですのだから妥協して弱いデッキしか作れないので悲しがっています。

そんなD主人公ですがよろしくお願いします。

3話【生徒と初決闘】（前書き）

貯めていた分なので翌日ですが投稿

次回は不明、早くて明日で遅くて……来週？

気が向いたら早く書いて早く投稿するかもしれません。

どうでもいいけど、このシーンを明日香視点で書いた人っているのかな？

といっても原作と然程違いはありませんが……

3話【生徒と初決闘】

視点 明日香

十代が万丈目君と決闘デュエルをしてから数日

私はあの男の事が気になって仕方がない。

堅守瑞貴……彼の目的は嫌がらせと言っていた

そんな事の為にあの場に来たのか、そして知識もそれなりらしい
授業で当てられた時でもどんな問題でも簡単に解いている
筆記試験4位というのも伊達ではないという事だろう。

十代も変わった人でもおもしろいと思う

けど気になるという意味では彼には及ばない。

彼にはやる気が無い

それは授業中でも窺える

今日の授業、あんな回答が得られるとは思わなかったわ。

クロノス教諭の問題

フィールド魔法について説明しなさい。

「フィールド魔法は魔法・罨ゾーンに存在しない特殊な魔法カード
フィールド魔法はお互いの場に1枚しか存在できず、新たなフイ
ールド魔法が出た場合破壊される

フィールド魔法の効果はお互いのモンスターに適用され、使用者は
相手の動きにも注意を張らなければならない

例えば自分のデッキを闇属性を中心とし、ダークゾーンを発動した

場合

相手が同じく闇属性を中心としたデッキで戦えば自分の手札を1枚無駄にした事と同じ事

それならばコストで捨てるなりした方が遙かに効率が良い

そしてフィールド魔法をサポートするカードとして永続魔法のフィールドバリアが存在する

このカードが存在している限り、相手は新たにフィールド魔法を使えず、破壊もできない

例えば自分が天使族デッキを中心とし、天空の聖域を使っていた場合このカードも一緒に出す事で自分への戦闘ダメージを気にしなくて済むようになる

更にこの場合は天使族の効果でライフに関係のあるカードが多いので回復すれば負けにくくなる

後、終焉の地という速攻魔法が存在している

このカードは相手が特殊召喚をした時に発動でき、フィールド魔法をデッキから発動する

相手が強力なカードを特殊召喚しても、場合に寄ってはフィールド魔法で逆転できるかもしれない

例えるなら自分モンスターの攻撃力が1600で相手が攻撃力2000のモンスターを出した時

自分に有利なダークゾーンやガイアパワーを使用して攻撃力を上回るという手段が取れる

この場合、相手が自分モンスターと同じ属性でないといけないので注意が必要

手札にフィールド魔法をサーチする場合はテラ・フォーミングを使うのが最も効率的

終焉の地のように制限が無く、デッキから手札に加えるので使いやすさで勝る」

ここでクロノス教諭がストップを出して止めさせられた

おそらく、思った以上に知識が有ったので驚いて止めるタイミングを失ったのだろう

他の生徒も啞然としていたし、私も驚いた。

ここまでの回答をできる生徒はそう多くないだろう

しかも突然当てられて、前準備も無しの状態で答えたつまり、簡単な問題すぎるという意味だと予想できる。

その授業はその後、丸藤君が当てられて答える事ができず十代がクロノス教諭を馬鹿にして終わった。

.....

.....

.....

その後もそれとなく観察していたけど、あれから特に変わった点は無かった

そのまま時は過ぎ、その日の夜

ジュンコとももと一緒にお風呂に入っていた時の事……

「それにしても今年入学の男子ってロクなのいないですわね
特にあの遊城十代といったら、煩くて下品で生意気で……ねー明日
香さん？」

「ふう……どーでもいいわ、あんな奴」

それに、私が気になっているのは十代よりも瑞貴
彼の事が全くわからない……それが一番の気がかりかしら？

あら……今視線を感じたような……いえ、誰かいる！

外で騒ぎが起こったと思ったら……丸藤君？

覗きをするなんて度胸があるとは思わなかったわ

でも許す事はできない、きっちり話は聞かせてもらうわよ？

そう思って話を聞いてたんだけど……私からのラブレターですって？

「うん、そうだよ、ねー？」

そう言っってウインクする丸藤君

少なくともその仕草は貴方には似合わないわ。

言い訳を聞いている途中でそのラブレターを見せられたけど

この字は汚すぎる……私はこんな汚い字を書いた事が無いわ！

「あ……これ、宛名が遊城十代になってるわ」

「え？　嘘お？」

私もジュンコの手紙を横から少しだけ見てみる

確かに宛名が十代になっていた

という事はこれは十代に送られた手紙で丸藤君は勘違いしてただけ？

なんと間抜けな……

なんだか色々と駄目な気がしてきたわ。

ジュンコやもえが学校に報告する事を薦めてくるけど……どうしようかしら？

私としては一応知り合いだから少し気が進まないけど

だからといってお咎め無しというのも何だか気に入らないわね。

「皆さんおそろいで何の騒ぎ？」

っ！ 鮎川先生！？」

拙い、まだ何も決まっていないう時に来られても困る！

私はジュンコともえに目配せをする

丸藤君を隠せという意味を込めて。

2人は私の視線を正確に受け取って丸藤君の上に座る

少し悪く思わなくてもいいけど、一応守ってあげてるんだから許して頂戴。

「何か有ったの？」

「いえ、何でもありませんわ
お騒がせしてすみません」

こんな口調はお手の物

ブルー女子生徒はお嬢様のように扱われたり、そんな指導をされる時もある

長らくデュエル・アカデミア生活をしていたので教師相手にはあの
ような口調になる

特に鮎川先生は良い先生なので余計になってしまう。

それと丸藤君、例え2人に乗られているとはいえ、女の子に向き合
って重いという言葉は禁句よ？

相手に失礼だし、もし無理なダイエットとか始めたらどうするのよ
2人とも痩せてるんだからダイエットなんて不必要なのよ。

「そう、じゃあ皆さん
早くお部屋に戻ってお休みなさい」

鮎川先生は部屋に戻ったのでこの場が落ち着く
そして、この時良い考えが浮かんだ
この状況……利用できるよね。

視点 瑞貴

今日も暇潰しにデッキ作成

次はどんな特殊勝利デッキにしようかなーっと。

そんな事を考えているとビデオメールが来た

誰からかと思って再生してみると音声オンリーで声が潰れていた
何の悪戯だ？

『丸藤翔は預かった

返して欲しくば女子寮まで来られたし』

丸藤翔？ 誰だっけ？

……あ、あの水色か、やっとな前を思い出せた
このビデオメールの相手には感謝しないとな。

ま、行かないけどな

だってあいつがどうなろうとも、俺には関係無いし
というかあいつ、何をしたんだ？

翔が何をしたのか思い出せないのは気持ち悪い
アニメで見たと思うんだが……何だったかな？

確かこの時に十代と明日香が決闘デュエルをしたと思うんだけど
原因である翔が何をしたんだっけ？

あー！思い出せないのが苛々する！

こんな事なら原作知識なんて知らないっての！

もういい、行く

気になるこの気分をどうにかしないと気が収まらない！

そう思って部屋から出た瞬間、同時に隣の部屋の扉が開いた
そこに居たのは十代、やっぱりお前にもビデオメールが行ってたの
か……

「お、何だ瑞貴じゃないか
お前にもビデオメールが来たのか？」

「一応な

関わる気は無かったんだが、気になった事があったな」

「気になった事？」

「お前に言う必要は無い」

俺は十代の事を無視して歩き出す

十代は俺の気になった事というのが気になるみたいだが
翔の事が有るので俺の隣を歩く。

暫く無言で歩いているとボート置き場に着いた

ボートを漕ぐのが面倒になり、帰ろうと思ったけど十代に止められた
だったらお前が漕げと言ったらマジで俺も乗せて漕ぎ出した。

そして女子寮に着くと

案の定、明日香と取り巻き2人がおり、一緒に翔もいた。

それにしても万丈目の事を嫌ってたけど

お前も取り巻き居るよな？

確か名前の出た完全なモブキャラじゃなかった気がするけど……
でも所詮サブキャラだからどうでもいいか。

「アニキー」

翔の弱々しい声が癪に障る

お前の下らない事で呼ばれた俺は怒っても良いと思う。

理由を聞いているともっと下らなかった

思い出した、クロノスの陰謀で女子寮を覗いたと勘違いされたんだ
った

そしてこの流れで明日香と十代が決闘を……

「ねえ瑞貴、私と決闘しない？^{デュエル}

もし私に勝ったら風呂場覗きの件は多めに見てあげるわ」

「はあ？」

何故俺？

つうかお前の前で決闘したのって試験の時だけだったはずだよな？^{デュエル}
ここは十代に言えよ、という訳で俺の答えは決まっている。

「断る」

「「「「ええ!？」」「」」」」

「全く……こんな下らない事で俺を呼び出したのか？」

馬鹿馬鹿しい……俺は帰らせてもらおう
じゃあな、退学しても元気で暮らせよ」

俺はそう言って再びボートに乗る

自分で漕ぐのは面倒だけど態々決闘デュエルをするよりはマシだ
こんな事で俺のデッキ内容を教える必要は無い。

「ちょ、ちよつと待ちなさい!

貴方、本気で帰るつもりなの!？」

丸藤君が心配じゃないの!？」

「はぁ……どう考えてもそいつの自業自得だろ？」

何故俺がそんな馬鹿の尻ぬぐいをしないといけないんだ
そんな事なら兄貴分である十代とでも戦えよ
そして何より、俺を巻き込むな」

原作に嫌がらせ以外の目的で関わりたくない

この件が切欠で明日香が十代に強く興味を持つはずだ
原作カップルのフラグを潰すのも楽しそうだけど
なんとなくそれは駄目な気がする。

「駄目よ、帰る事は許さないわ」

「別に許してくれなくても構わん
俺が勝手に帰るだけだ」

「ちょっと待ってくれよ瑞貴！」

なんだかよくわからないけど翔が退学になっちまうかもしれないだぞ！

それでもいいってのかよ！」

「別にいいじゃん

あんな美人達の入浴姿を覗いたんだ
それで退学になるなら本望だろ？」

「だーかーらー覗いてないってばー！」

あ、美人とか言ったら駄目じゃん
俺にフラグが立ったら目も当てられん。

しかしその心配は不要そうだ

明日香の目には闘氣しか映っていない

つまりそんな事はどうでもいい、だから私と戦えという意味だろう。

本気で俺を逃がす気が無いらしいので俺は諦める
この場に來た時点で俺の負けだったようだ。

「わかったよ、やれば良いんだろやればさ
全く面倒な……今度飯を奢って貰っても割に合わん」

「わかればいいのよ

さあ、ここは狭いわ

ボートに乗って湖の中央辺りまで行きましょう」

俺達はボートに乗って湖を移動する

ボートを漕いだのは面倒事の切欠になった翔にやらせた
これぐらい言っても俺は悪く無いと断言する。

そして湖の中央

そこである程度の距離を取って止まる

お互いに見つめ合う状況になっている。

「貴方が来てくれてよかったわ

この前みたいな事も考えて十代を呼んだんだけど……杞憂だったみたいね」

「……つまり俺が来なかったら十代と戦っていたという訳か
俺が来た理由は何が起こったのか気になったただけなんだけどな」

「どんな理由でもいいわ
来てくれて、今この場で決闘デュエルをしてくれるんだからね！」

明日香の気合に満ちた声が響く
後ろで十代が俺っておまけなのかと疑問を抱いていたが無視
翔に慰められているけどやっぱり無視する。

「行くわよ！」

「来なくていいよ」

「決闘デュエル！」 「決闘デュエル……」

俺と明日香の声が同時に響くが
声の大きさもやる気もほぼ全て明日香の方が上だ
俺が上なのはやる気の無さかな？

「私のターン、ドロー！
エトワール・サイバー召喚！」

茶髪のともでもなく長い髪の女性が現れた
腕には白いリボンを巻き、上半身は水色で下半身は赤を中心とした
色合い

どう見ても全身タイツにしか見えないが……うーん。

「更にリバースカードを1枚セットし、ターンエンドよ」

「元気だねえ……疲れない？
俺のターン、ドロー」

手札は普通
悪くはないが良いとも言えないな。

「俺はダーク・リゾネーターを攻撃表示で召喚
ダーク・リゾネーターでエトワール・サイバーを攻撃」

二股の槍のような物と先に丸い水晶のような物を付けている杖を持
った

幽霊のようにボロ布を来た悪魔が姿を現した。

誰もこんなモンスターを知らないのだろう
全員が疑わしい目でダーク・リゾネーターを見ていた
だが俺はそんな事を無視し、攻撃宣言を行う。

どうせ罠でも伏せてるんだろ？
構わないから使っちゃえよ

残されて後々使われるよりは速く除去したいからな。

「罠カード発動！」

ドゥーブルパッセ、発動！」

突進していたダーク・リゾネーターの攻撃が明日香に直接当たる
あの罠は確か直接攻撃をさせる代わりに自分のモンスターも相手に
直接攻撃するカード
また微妙なカードを……でもそれなりに強いかな？

そしてエトワール・サイバーは直接攻撃時、攻撃力を500上昇さ
せる効果
原作効果では変わってる気もしないでもないが、どうせ修正値の差
程度だろ

それぐらい構わん。

明日香の残りライフは2700

少なくとも無いが多いとは言えんな。

「カード説明は不要

さっさと効果进行处理してくれないか？

エトワール・サイバーの効果も知っているから説明は要らない」

「……なら遠慮無く行かせてもらおうわ
でも一応説明しておく、エトワール・サイバーは直接攻撃時に攻撃
力を600上昇する効果がある！」

ふむ、差は100か……小さすぎるだろ

これならOCG化した時も効果を変えなくてよかったんじゃないか？

そして俺に向かってエトワール・サイバーが近づいてくる
だけどそう簡単に触れさせてやらないさ。

「手札から速攻のかかしを捨て、効果を発動！」

「速攻のかかし？」

「速攻のかかしは相手の直接攻撃時に墓地に送る事で効果を発動する
その直接攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了する」

俺の目の前に珍妙なかかしが現れ、エトワール・サイバーの蹴りを
防ぐ

かかしは俺の目の前で破壊されてバラバラに碎け散った……恐ろし
い威力の蹴りだな。

「さっきから妙なカードばかり使うわね
どこで手に入れたの？」

「さあな

俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

さあ明日香、俺の伏せカードを突破できるか？

俺の守りは……堅いぞ？

「チッ、私のターン、ドロー！

ブレード・スケーター、召喚！」

今度は灰色と紫のフィギュアスケートの選手か
綺麗な姿だとは思うけど頭まで隠れているのはマイナスだと思うな。

「そして魔法カード、融合
エトワール・サイバーとブレード・スケーターを融合し
サイバー・ブレイダーを召喚する！」

次は赤と灰色のスケート選手
青くて長い髪と赤いバイザーが格好いいな
……攻撃力が高々2100ってのは惜しいけど。

「行くわよ、サイバー・ブレイダーでダーク・リゾネーターを攻撃
！」

回転しながら近づいてくるのは結構怖いぞ
例え美人でもそういう相手はお断りだ。

「罠カード発動、くず鉄のかかし
相手モンスター1体の攻撃を無効にする」

俺の目の前に先ほどとは違う種類のかかしが現れる
かかしはサイバー・ブレイダーの攻撃を防ぎ、壊れない
サイバー・ブレイダーはそのまま後ろに下がったが、明日香は不本
意な表情をしていた。

「更にくず鉄かかしの効果は続く
発動後、このカードは墓地には送られず
再び場にセットされる」

「複数回使用できる通常罠ですって!?!」

「そんなカードが有ったのか……」

「便利そうなカードだなあ」

明日香が驚き、十代の感心した声、羨むような翔お前等にはやらんぞ？

「くっ……ターンエンドよ

さっきから守ってばかり、もう少し攻めてきたらどうなの？」

「俺がそのモンスターの効果を知らないとしても？

そいつは俺のモンスターの数だけ効果が変わる特殊なモンスター

俺の場のモンスターが1体の時は戦闘耐性

場のモンスターが2体の時は攻撃力倍加

そしてモンスターが3体の時は相手の魔法、罠、効果モンスターの効果を受けない」

俺の効果説明に明日香の顔が歪む

どうやら戦闘耐性や攻撃力の倍加を企んでいたらしい。

「よく知ってるわね

でも、貴方にこのモンスターが倒せるかしら？」

「どうだろうな、俺のターン、ドロー

俺は魔法カード、ワン・フォー・ワンを発動

手札のモンスターを捨て、デッキからLV1のモンスターを特殊召喚する

俺は手札のボルト・ヘッジホッグを墓地に送り、デッキからダークシー・レスキューを特殊召喚」

ゾンビの様な男達が項垂れているボートが場に現れたのだが……これってどう見ても機械族じゃないよな

それに相変わらずイラスト面では微妙なカードだ
ちなみにこのモンスター効果はシンクロ召喚に使った時から生け贄
に捧げた時に変更されている

これはチューニング・サポーターも同じだ。

「貴方のモンスターが2体になった事により、サイバー・ブレイダ
ーの攻撃力が倍の4200になるわ！」

「どうでもいいよ、俺は墓地のボルト・ヘッジホッグの効果を発動
チューナーモンスターが場に存在する時、墓地から特殊召喚する事
ができる

ただし、この方法で特殊召喚し、フィールドから離れた時に除外さ
れてしまう効果も持っているがな」

「チューナーモンスター？」

案の定、チューナーを気にしているらしい
しかし教えるわけにはいかないんでな。

「俺はダークシー・レスキューとボルト・ヘッジホッグを生け贄に
捧げ……すー

集いし希望が新たな地平へいざなう！ 光さす道となれ！ 駆け抜
けろ、ロード・ウォリアー！」

俺の場に白銀の鎧を纏った戦士が現れる

うーん……何故かシンクロモンスターを召喚する時の台詞を書いた
紙がカードの中に混じってたから覚えてみたけど
気持ちいいな……でもやっぱり恥ずかしい。

「ロード・ウォリアー

また私の知らないカード……か」

「ロード・ウォリアーは機械族、または戦士族を生け贄に捧げなければ召喚できない

ダークシー・レスキュー、ボルト・ヘッジホッグ共に機械族だから召喚可能だ

そしてダークシー・レスキューは生け贄召喚の生け贄に捧げた時、デッキからカードをドローする効果を持っている

俺はカードをドロー、更にロード・ウォリアーの効果を発動

デッキからLV2以下の戦士族、または機械族を特殊召喚できる

俺はデッキからLV2の戦士族、ジュツテ・ナイトを攻撃表示で特殊召喚」

十手を持った昔の警察（呼び方を知らない）のような小さい男が現れる

気のせいかサイバー・ブレイダーが怯んだ気がする……警察だからか？

「更に場でチューナーモンスターが存在する時、手札からブースト・ウォリアーを守備表示で特殊召喚

このモンスターは表側表示で存在する時、自分の場の戦士族の攻撃力を300上昇させる効果を持つ

更にモンスターが4体になったのでサイバー・ブレイダーの効果が全て無くなる」

青い鎧のような男が姿を現した

だがこいつ……どう見てもLV1の見た目じゃないだろ。

「そしてジュツテ・ナイトの効果を発動

相手の攻撃表示のモンスターを守備表示に変える」

ジュツテ・ナイトが持っている十手をサイバー・ブレイダーに向かって振り下ろす

サイバー・ブレイダーは怯えて守備体制に変わる
やっぱり警察はモンスターでも怖いのか？

「あ……」

「サイバー・ブレイダーの守備力は僅か800

ダーク・リゾネーターで攻撃」

ダーク・リゾネーターは持っている槍のような物をサイバー・ブレイダーに突き刺した

槍に突き刺されたサイバー・ブレイダーは呆気なく破壊される。

「サイバー・ブレイダー！？」

「残りライフは2700、ロード・ウォリアーでプレイヤーに直接攻撃」

ロード・ウォリアーは高速で動き出し、走り出す

その速度はまさに俺の道、明日香に向かってとんでもない勢いで向かう

って、いくらソリッドビジョンでもそれは怖すぎるだろ！？

当たっただけで済んだけど、もし轢かれている姿を見たら人身事故じゃねえか！

「きゃあああああ！！！！」

ロード・ウォリアーの攻撃法はともかくライフ0で勝利つと

元シンクロモンスターを出してみたけど大丈夫みたいだな
効果も問題無く使えるし、これならシンクロモンスターも使っ
てもいいな。

ただどこのデッキの特殊勝利カード、終焉のカウントダウンが使え
なかったのは惜しいな
その為に戦闘耐性を持っているモンスターを大量に入れているデッ
キなんだからな。

ロード・ウォリアーは耐性持ちモンスターとかを出す為にも入れて
いる

普通に戦っても勝てるようにという意味でもあるしな
その証拠がブースト・ウォリアーなんてそれなりに攻撃を目的とし
たカードも入っている
これなら文句も言われないだろうとも思っているぞ。

「やったー！」

瑞貴君の勝ちだー！」

「やったな瑞貴！」

そういえばこいつらの存在を忘れてたな
とりあえずそろそろ眠いから速く帰りたい。

「さて、瑞貴が勝ったんだし、約束通り翔は連れて帰るぜ」

「どうぞ、約束は守るわ

今日の事は黙っていてあげる」

俺は話されてもいいんだけどね

だけど空気を読んで言わないでやろう。

「ふん、まぐれで勝ったからといって、好い気にならない事ね」

「そりゃご忠告どうも」

しかし残念ながら好い気になれるような性格じゃないんでね
1回勝ったからって好い気になってたら切りが無いさ」

そもそもこんなデッキをリアルで使っても勝てるはずが無い
ライトニング・ボルテックスやブラック・ローズ・ドラゴンで簡単に
消し飛ばされて直接攻撃
見事に1ターンキルを決められるからな。

「ジュンコも止めて、負けは負けなのよ
見苦しい事はしたくないわ」

ふむ……気持ちの良い性格をしているな
彼女にだったら少しぐらい干渉してもいいか？
性格からして嫌いじゃないしな。

「明日香、このカードをやるよ
サイバー・ブレイダーと一緒に使えば役に立つかもよ？」

「え、いいのかしら？」

「まだ持ってるし余ってるしな
1枚ぐらい構わないさ」

「ならありがたく頂くわ
ギブ&テイク？」

「自分の墓地のモンスターを相手の場に送る罠カードだ
サイバー・ブレイダーならギブに見合うテイクを得られるかもな
最も、使用したターン、自分モンスターのLVが上がるおまけ付き
LVが変化するカードは少ないが、LVに関係するカードを使う場
合は気をつけろよ」

彼女がこのカードを使いこなせるかどうか……
それを観察するのもおもしろそうだ。

「扱いが難しそうなカードね
でも、きっと使いこなしてみせるわ」

「頑張れよ、あー眠い
水色、さっさと帰るからボートを出せ」

「水色って僕の事!?
わかったよ……せめて名前で呼んでくれないかな?」

翔の発言を無視して明日香に向かって軽く手を振る
明日香はそれを見て小さく手を振ってくれた。

……うん、フラグだろうな
今後早めに倒しておこう、回収しないように注意だな。

3話【生徒と初決闘】（後書き）

今回のデッキは終焉のカウントダウンを使用し、戦闘耐性を持った多数のモンスターで守りながら待とうというデッキです

少しは戦闘をしないと企みがばれるのでロード・ウォリアーや一部最上級モンスターを入れてます

他にもレイスや翻弄エルフ、ホワイト・ポータンやマシユマロンに死霊等々

それにしても遊星のカードっていいですね

戦闘ダメージを0にできるモンスターや2回破壊されないシールド・ウィングなど

別に遊星をモデルにしたデッキでも無いんですがかなり似たデッキになってしまいました。

なお、明日香との決闘は^{デュエル}十代と全く同じ流れです

決着が1ターン早かっただけで

オリジナル展開にしても良かったのですが、同じ流れなのに内容が変わるのは変だと思い、そのままにしました。

シンクロモンスターについては1話参照

大半のシンクロモンスターは召喚制限が掛かっていると思ってください

種族や属性縛りの生け贄や特定の名前での生け贄など

ついでに同じく大半のシンクロモンスターは蘇生条件さえ満たせば蘇生できます

蘇生できないモンスターも多少用意する予定ですが……

速攻のカカシについてですが、正直自分でもかなり微妙だと思っています

ドゥーブルパッセの効果自体がややこしいですし、攻撃宣言したのかも微妙です

これが成功するのならアストラルバリアでも成功しそうですが……どうなんでしょうか？

しかし1ターン目でダメージを無効にするのは難しいので……無理ならクリボーに変えようと思います。

フィールド魔法への回答について

正直この程度は現実で遊戯王をやっている人からすれば当然とも言える知識

ですのでこっちでも当然だと思っています

が、こっちはまだ学生なのでそこまでの知識を持っている者は多くありません

瑞貴は無意識に更なる注目を集めていた事になります。

「おい、決闘しろよ」^{デュエル}「だが断る」

これってかなり珍しい気が……前話で十代ともこんな感じでしたけど
しかも翔の退学の可能性まで係っていてなお断る主人公
そこに痺れる、懂れる……とは当然なりません。

ギブ&テイクで今後原作にどんな変化が起こるか……まだ未定ですね
この作品にプロットは存在しません

行き当たりばったりで書いているので思いつきでかなり色々起こったりします

使用デッキも書いている時に全部考えています。

フラグはある程度は立てる予定です

全て倒すなり折るつもり満々ですけどね。

明日香が瑞貴に興味を持ったのは受験決闘^{デュエル}が最初です

まさかバーンやハンデスを使う受験生が居るとは思わなかったらしいので

嫌がらせをされたのもかなり強い印象を残しました

やはり自分の方が強い宣言は強力だったようです

更に今回は負けたので十代以上に興味をそそられる対象になったみたいですね

しかし十代にも十分に興味が向いているので今後、明日香はかなり原作から離れた行動をするかもしれません……未定ですが。

4話【月1テストと準備】（前書き）

今回は決闘デュエルしません

そして色々と魔改造を施します

どうしてこうなった……

そして何故か決闘デュエルをしてもいないのにとんでもなく長い

どうでもいいけど書き終えたのが投稿40分前

終わらなかったら今回の投稿は見送ろうと思っていたので間に合っ
てよかったです。

4話【月1テストと準備】

視点 瑞貴

眠い……ふああああ、デッキ作りに夢中になって深夜4時まで起きてたから寝坊した

今は午前7時半……授業には遅れるが……まあいいか

それに寝不足は前の俺からも、こっちの俺になってからも毎日のようにしてるしな

それに寝不足程度で頭が働かないなんて言い訳はしないさ

実際問題、3時間も寝れば何の問題も無く動くしな、それ以下の時間だと少し厳しいけど。

着替えをし、寮を出る

なんとなく嫌な予感がするが慌てる必要は無い

別に遅れた所でデメリットは殆ど無いんだ

成績が良いからな。

そんな事を思いながら歩いていると小型トラックを押して坂を登ろうとしているおばさん

エンジンの故障か？ それともパンクでもしたのか？

まあどっちでもいい、力は無いが手伝いぐらいならしてやるか。

「手伝おうか、おばさん」

「でも遅刻しちゃうよ

今日はテストなんですよ？」

テスト？

今日はテストだったのか……まあ問題無いか別に遅刻しても赤点なんて取るわけないしな。

デュエル・アカデミアの授業はレベルが低すぎる

正直言って、入学テストの筆記テストでもLV2程度

授業を聞いてても、どれもLV3の難しさを越えないからな。

なお、ここで言うLVとは俺が勝手に考えた問題の難しさである

例えばチェーンの事とかになるとLVが高いがかなり物に左右される大嵐に対して和睦の使者を使ったらという問題ならこちらではLV2ぐらいだな。

難しいのでは召喚制限や蘇生制限問題だろうか？

こういう問題はミスをする者が多いのでLV5を±2ぐらいだろう
なお、最高LVは12なのは当然とも言える。

LV12の問題は調整中の問題

これはいくら何でも決まるまで誰も答えられないからだ。

優先順位とかの問題もなかなか高い

ジャッジメント・ドラグーン
裁きの龍に奈落の落とし穴なら裁きの龍の効果を先に使える

こういう問題はそれなりにややこしい事も多いのでLV6±3ぐらいだと思う

要は一部一部覚える必要のある問題が難しいのである。

つまり何が言いたいのかと言うとだ

うん、簡単過ぎて余裕、だから遅刻してテスト時間が減っても高得点を取る自信が有るという事だ。

「別に遅刻しても俺は頭が良いから大丈夫
でもこういうのを無視するのは気分が悪いから手伝う」

そう言っただけ俺はトラックを後ろから押し出す
しかし俺は非力なので大きな効果は望めない
それでも少しは動くのだから無駄では無いのだと思いたい。

「ありがとうね坊や」

「気にする前に早く終わらせたい
疲れる事は嫌いなんだ」

「そうだね、早く行こうか！」

と、そこへ後ろから誰かが走って来た
だが俺にはそんな余裕は無い
無視してトラックを押し続ける。

そこへ坂の上から足音が聞こえた
こいつ……遅刻してるのに手伝う気か？
人の事を言える立場じゃないけど、大丈夫なのかこいつは？

「手伝うぜおばさん！
って、何で瑞貴まで？」

「お前……十代か？
ぐ、重いんだから話しかけるな！
手伝ってくれるなら手伝え！ じゃなかったらさっさと行け！
というか、お前は先に行ってテストを受けてこい！
この脳筋決闘馬鹿が！」

「だったら手伝うぜ！」

テストなんか後でもいい

困っている人を見過ごせないぜ！」

そう言って十代も後ろからトラックを押す

筆記テスト110番の癖に……本当の意味でも馬鹿だったか
ま、こういう人に親切な奴は嫌いじゃない。

……原作キャラじゃなかったら友人に選んでたかもな
面倒事の多そうな原作キャラだから友人なんて絶対にご免だけど。

「すまないねえ坊や達……」

「乗りかかった船だ

力はこの馬鹿より劣るけど、手伝いぐらいさせてくれ」

「そういう事だって！

でも瑞貴、馬鹿は酷くないか？」

「黙れ、お前の脳天気な声を聞くだけで気が抜けるわ」

「ひでえ……」

「あんたら仲良いね」

「こんな馬鹿とだなんて絶対にお断りだ」

こんな感じでデュエル・アカデミアに向かう
しかしこんなイベントなんて有ったっけな？

やっぱり殆ど忘れてるみたいだ。

.....

.....

.....

「ありがとうね2人共
おかげで助かったよ」

「気にしなくてもいい
ただの自己満足だ」

「そうそう」

十代と同列に扱われるのに非常に腹が立つ

俺はこんな馬鹿じゃない

訂正か前言撤回を要求したいが、これ以上時間をロスするとテストに間に合わない

遅れるのは良いけど受けれないのはさすがに問題だろう。

「本当に良い子達だねえ

でもほら、いい加減にテストを受けに行かないとやばいんじゃないの？」

「そうだった！

じゃあなおばさん！」

「.....はあ、それじゃ」

十代は走って、だが俺は歩きながら教室に向かう

俺が遅れている事に気付かない十代
俺としてはその方が気楽で助かるよ。

俺が教室に着いた頃にはそろそろ本格的にテスト時間が危なくなっていた

それでも気にせず教室に入る。

「すみません、遅れました

というかテストという事自体完全に忘れてました」

「……早くテスト用紙を取りに来るにゃー

遊城十代君もかなり危なかったけど、君はもっと危ないにゃよ?」

「大丈夫です、余裕なんで」

そうやって俺はテスト用紙を受け取る

周りからの視線が鬱陶しかったがどうでもいい

別にお前等にどう思われようとも俺には関係無いからな。

テスト内容を見ても……やっぱりLV2程度か

こんな問題、俺は36分で解いてやるよ……それじゃ間に合わない
社長風に言ってみただけだ

実際はこんな問題、10分も必要無い

残り時間も10分、まあ大丈夫だろう。

……

……

……

『これで筆記テストは終了

なお、実技テストは午後2時から体育館で行います」

ふむ……時間は少し危なかったが間に合ったな
そして放送と同時に駆け出す生徒達
煩い奴らだ……何か有ったっけな？」

しかし眠い……短い時間しかテストを受けてないのに妙に眠い
テストはどうしてこう……集中するのに眠くなるのかね？
実技テストまで昼寝でもしようかな？

「随分余裕ね

50分テストなのに40分も遅れて来るなんて
筆記テストなんて眼中に無いとでも言いたいのかしら？」

「んあ？　なんだ明日香か

別に眼中に無いわけじゃないさ

今回は元々寝坊したし、一応他にも遅刻した理由があるけどな」

「他の理由？」

「別に何でもいいだろ？

気になるんだったら十代にでも訊いてくれ

あいつもこの件の関係者だ」

難しそうな顔をする明日香

しかしこいつは何で俺の所に来たんだ？

ついでに取り巻きが居ないのも気になる……

「そうだ、貴方はカードを買いに行かないの？」

「カード？」

「知らないの？」

購買部で新しいカードが入荷したみたいなの

私は今のデッキでも十分だと思ってるから良いんだけどね」

新しいカード……おお、怖い怖い

あのカード整理をしなくちゃなんだと？

絶対にお断りだ！　　つうか新カードだって俺は多分全部持ってる。

「いらん、むしろ俺がカードを売ろうかと考えるぐらいだぶっちゃけ多すぎて時々困ってる」

「多すぎるって……貴方何枚カードを持ってるのよ？」

「さあな、お前に言う必要は無い」

この言葉に明日香はかなり不機嫌そうな顔になる

いやいや、美人のこういう顔を見るとつい苛めたくなるね
次はどんな顔にしてやろうかな……困惑にするかな？

「そういえば明日香、実技テストって何をするんだ？」

「呆れた……テストを忘れてたって本当だったのね」

「いや、忘れてたんじゃない

ここに来る途中で初めて今日がテストだって教えてもらった
だからテスト内容も何も知らない」

明日香の本気で呆れた目

うーん……微妙、別に俺はMじゃないからこういう目をされても嬉しくない

どうやって困惑顔にしてやろうか……

「はぁ……実技テストは同じ寮同士での決闘デュエルよ

勝敗もだけど、内容もちゃんと見られてるから注意しなさい」

「ならどうでもいいか

デッキ調整をする必要も無いし、昼寝でもして待つかなあ明日香、どこかに良い昼寝場所は無いか？」

これで困惑顔になると思ったんだけど……どうやら怒らせたらしい険しい表情で俺を睨んでくるが……なんかゾクゾク来るな
こういう顔をした奴を叩きのめすのって……どんな気分になるんだろうか？

元の世界ではこんな気分を味わえなかった

こちらではこのデュエルモンスターズを命がけでしたり、プロになる者もいる

つまり7割から9割の人間が本気で真剣に取り組んでいる。

そんな奴を俺みたいなやる気の無い奴が叩き潰す……なんというシチュエーション！

こんな気分になれるのなら決闘デュエルも悪く無いかもしれないな。

だが今の俺の目的はこの女の困惑顔を見る事

……よし、どうせ余ってるんだし、手伝ってやるか。

「そんなに怖い顔をするなよ、悪気は無いんだぞ？

怒らせた詫びにデッキ調整を手伝ってやるから気を悪くするな」

「ブルー生徒の私にレッドの貴方が？」

別に見下すなんて意味は込めてないけど……立場が分かってるの？」

「別に断っても構わないぞ？」

俺は困る事はない……いや、せつかくの暇潰しが無くなるかという訳でデッキ調整するぞ、どこでする？」

「暇潰しで人のデッキ調整を手伝う気！？

そんなのお断りよ！」

「まあまあ……悪かったな、言い方が悪くて
もう一つ詫びとしてカードやるからさ、付き合ってくれよ」

俺の最も嫌う事、それは暇な時間

暇な時間ができるぐらいだったら嫌な事でもする

原作キャラだが十代よりは印象が良いしな

彼女だったら多少付き合ってもいい。

「……………はあ、わかったわよ

とりあえず移動しましょう、どこにする？」

「いや、俺は先に訊いたんだが……

なら俺の部屋でいいか？」

カードを渡すんだから部屋に行かないと無いしな」

……何故顔を赤くする明日香

もしかしてキャッキャウフフな展開を想像してるのか？

そんな事は100%無いから安心していいぞ。

でもそんな顔を見てるのも楽しいから言わないがな
逆に勘違いしそうな言い回しでもしようか……いや、止めておこう
せっかくの暇潰し相手だ、帰られるのは俺が困る。

「い、いいわよ

移動時間もあるし、早く向かいましょう」

「そうだな、時間を無駄にするのは嫌いだ」

そう言っただけ俺達は教室から出て行く
暇潰しの相手を拾えてよかったよかった。

……でも赤顔は見れたけど困惑顔は見れなかった
今で見れると思ったのになあ、残念だ。

視点 明日香

何なのよ……こいつは

テストにギリギリに現れたと思ったら大徳寺先生にはテストなんて
余裕だなんて言う

でもそれも当然らしいわね、遠目だったけど手の動きが速かった
本当に簡単に解いている事から虚勢じゃなくて本気で余裕だったん
でしょうね。

そもそもテストの事を知らなかった事自体が信じられない
確かに授業中はやる気の欠片も見えないし、寝ているのも見かけた
それでもホームルームぐらい起きてなさいよ！

カードが多すぎるという発言といい、私相手にデツキ調整を付き合うという発言といい

何度も思うけど、本気でこいつは何者なのよ？

しかも暇潰しだなんて理由、誰が納得すると思ってるのかしら？

私がこの提案を受けたのは瑞貴のカードが気になるから

女子寮で決闘した時に知らないカードばかりだった

そして瑞貴から貰ったギブ&テイク、こんなカードも私は知らない。

殆どデメリットのような効果、誰がこんなカードを使うのかしら？

私には一応使い道があったけど、それでも大半の人は使わない

大体LVを上げて何の意味が有るっていうの？

部屋に誘われた時は柄にもなく顔を赤らめてしまった

だって男の人に部屋へ誘われたのなんて初めてだし……ねえ？

何も言われなかったのが唯一の救いね、もし何か言われていたら断ってたかもしれない。

瑞貴を知れるこのチャンス、絶対に生かしてみせるわ

そして彼の正体を……

……

……

……

オシリスレッドの寮って相変わらず酷いわね……

これでよく平気ね、大丈夫なのかしら？

部屋に案内されて、部屋に入ると……意外と綺麗？

でも部屋の隅に詰まれている何十個ものトランクは何？

「さて、じゃあ早速始めよう
デッキを貸してくれ」

「え、ええ、はい」

驚いていたのでつい反射的にデッキを渡してしまう
って、ちよつと待ちなさい！ 勝手に見ないで！

「……………」

そんなに真剣な顔で自分のデッキを見られているとなんだか恥ずかしいわね

そしてそこまで真剣に自分の為にしてくれると嬉しいし……

「……………話にならん、基礎から出直せ
というか、小学生からやり直せ」

「はぁ！？」

「バランスが悪すぎる
一応サイバー・ブレイダーを中心にしているみたいだが使い物にならん

今までよくこんな酷いデッキでやっていったな」

「な……な……な……」

言葉が出てこない、彼は一体何を言っているの？
私のデッキを全否定……ですって!？

「サポートカードが少ない、専用カードが多すぎる
万が一を考えられていない、保険が無い
そもそもパワー不足だし、趣味も結構入っているな
これじゃあファンデッキと大差無いな」

そう言って瑞貴は自分のトランクを選び始める
ここまで自分の信頼しているデッキを馬鹿にされた私は動く事がで
きなかった
そんな私を完全に無視し、瑞貴はトランクを開き、カードを見ている。

「このデッキなら……これにこれ、後はこのカードを加えれば……
いや、重いかな？
となるとこっちの……これなら……微妙だ、でもこのデッキの趣向
なら……
やっぱりこのカードとこのカードは必要かな？ でもそうするとこれ
が邪魔だし……」

私が何も言わない事を良いことに、どんどん勝手にデッキを弄って
いる瑞貴
一応私のカードと自分のカードは分けているみたいだけど……

「ちょっと待ちなさい瑞貴！」

「あん？
今一生懸命考えてるんだよ、邪魔するな」

「じゃ、邪魔って……それは私のデッキよ！
それなら私も一緒に考えるのが当然じゃない！

じゃなくって、私が言いたいのとはそうじゃなくって！
ああもう！ 頭がこんがらがってきたわ！」

「……はあ
ちよっと待ってろ」

落ち着こうと、そして自分の言いたい事を整理しようとしていたけど無理みたい
怒りと混乱と悲しみで頭の中がぐちゃぐちゃよ！

「ほら、ハーブティーだ
これでも飲んで落ち着け」

瑞貴に渡された紅茶を奪い取るように取り上げて飲む
あら、意外と美味しい？

「落ち着いたな
で、何が言いたかったんだ？」

「何がつてね！
……いや、ちよっと待って、落ち着くから」

落ち着かないと話しが進められない
普段冷静な自分を思い出さないと……こんなの、私じゃないわ。

「ふう……先ずはよくもまあ、私のデッキを散々批判してくれたわね」

「事実だ、こんなデッキじゃ勝てる戦いも勝てん
まずこの前使っていたドゥーブルパッセ、自分が直接攻撃を受ける

ダイレクトアタック

というのに……なのにだ！

何故ライフ回復カードが1枚も入っていない！

もう少し後の事を考えたらどうだ！？」

う……それは時々思うんだけど

回復カードを入れるぐらいだったら攻めようと思って……

「ま、どうせ回復カードを入れるぐらいだったら攻めるとでも思ってたんじゃないのか？

せめて攻撃の無力化やドレインシールドぐらい入れようぜ？

それか罠が少ない事を利用して王宮のお触れとかか？

そうすれば相手の行動を少し狭め、自分が攻め易くなる」

私の考えを当てられた上、更にアドバイスまで貰った

しかもその内容はご尤も、私のデッキに足りない攻撃を防ぐカードや回復カード

そして私のデッキの内容を考えてのロックカード。

もしかして私……瑞貴よりも知識が少ないのかしら？

「他にも色々足りない

サイバー・ガールモンスターは攻撃力が低いな

そして地属性で戦士族、なら荒野の女戦士や大鼠、コマンド・ナイトがお勧めかな？

連合軍を使って全体強化をするか、それとも種族を縛って一族の結束でも……」

なんだか凄く私のデッキに必要なカードを言われている気がする
でも一族の結束って何かしら？ 種族に関係するカードみたいだけ
ど……

「これでリクルーターと強化はある程度良いとしてだ
次は融合の補助と場を整える方法、消費の激しい手札の増強だな
もし破壊された事も考えて再融合に融合回収に戦士の生還
やっぱりドロースースが少ないのが痛いかな？」

「あの……瑞貴？」

「うーん……事故に繋がるかもしれないが打出の小槌とか入れるかな？
しかしこれはあくまで手札交換でドロースースじゃないし……」

は……話を聞いてない？

しかも打出の小槌はかなりのレアカードなんだけど？

「しかしこのデッキに似合うカードを考えると……
ドロースースは流転の宝札や運命の宝札かな？
扱いは難しいだろうが使えるそうだし」

なんだかとてもない事になっている気がするわ
運命の宝札ってかなりレアカードじゃなかったかしら？
流転の宝札も滅多に見ないカードよ？
なんでそんなカードばかり持つてるのよ!？

「最後は上級モンスターか……やっぱり女性型モンスターがいいの
かね？」

だとすれば……いや、いつそこのデッキを別方向に特化させるか？
だがそれだと他にも問題が出そうだし、となると一部のカードを単
体使用？

いや、これだとシナジーしないから問題だ」

私のデッキが魔改造されていく……でも良い方に向かってる？

どうでもいいけど、貴方の言っているカードって私は半分以上持っていないんだけど？

それなのにどうすればいいってのよ！？

「ここはあのカードを……いや、だが……それでも……だが使いこなせるか？

難しいだろうが……これは悩むな……俺個人では渡してもいいんだけどな

だがこのカードでの被害が万が一俺に向いたらと思うと難しいよなあ」

あのロード・ウォリアーみたいな私の知らないカードの事かしら？
それを見せてくれたら何か分かるかもしれないんだけど……

「よし、決めた

地属性戦士族の女性モンスターを中心としたデッキにする

確か融合モンスターで女性型モンスターで地属性戦士族が有ったよ
うな……

あったあった、裁きを下す女帝っと、素材モンスターは……女王の
影武者に響女ねえ

確か両方女性型モンスターの地属性戦士族だったし、力は弱いが問
題無いな

荒野の女戦士でリクルートできるし、増援や戦士の生還でも回収で
きる」

「わ……私のサイバー・ガールデッキが……」

「後は……正統なる血統に、補充要員に、闇の量産工場だろ
こうなるとコマンド・ナイトが少し邪魔か？

しかし戦士族だから……でも炎属性が邪魔なんだよなあ
フィールド魔法にガイアパワーを入れるか？

だがそれだと相手に地属性が来たら怖いだろうし……
モンスター除去カードが少ないのが痛いな
しかもあまり好かれてないから使い難いし……」

凄く完成度が高くなりそうなのは気のせいかしら？

でも殆どファンデッキになってるわよね？

私のデッキもファンデッキって言われたけど……

「よし、これならXXーセイバー ヒュンレイを入れてもいいな
こいつは名前制限かと思ったら種族属性制限だったからな
運が良かった、他のXXも種族属性制限だけじゃなくて名前もいる
一部他のXーセイバーも入れておくか、どういつもこいつも地属性戦
士族だし」

知らないシリーズ名が出てきた……もうどうにでもして頂戴
突っ込む気力も失せてきたわ。

「でも地属性戦士族の女性モンスターならアマゾネスがあるじゃない
アマゾネスシリーズは使わないの？」

私の言葉に瑞貴の動きが止まる
私……何か拙い事を言ったかしら？

「アマゾネスを使ったらこのデッキはアマゾネスデッキになる
それでもいいのか？」

「へ？」

えっと……私のデッキはサイバー・ガールデッキだからそれは遠慮

したいわ」

「なら黙ってろ

一応サイバー・ガールを中心に使えるようなデッキにしてるから」

一応なの？ 一応なの！？

確かに専用カードとかは少なく無いけど、それでもそれはサイバー・ガールデッキなのよ！

「ふう……大体終わったな

最後はこのデッキの切り札だ」

「切り札？」

「そうだ、このデッキはハッキリ言ってパワー不足
攻撃が得意な明日香には少し物足りないだろうな」

確かに、話を聞いていた限りでは攻撃力は低そうね
それぐらいはテクニクでどうにかできる自信はあるけど……ちょ
っと微妙ね。

「ガイアナイトは……通常モンスターになってるんだったな
だとすれば使用するには十分だがこいつは男だし……保留
とりあえずガイアパワーと一族の結束を入れておくか
これで地属性戦士族の攻撃力は1300上昇するな」

たった2枚で全モンスターが1300上昇ですって！？
一族の結束の効果って一体何なの！？

「切り札は……属性は違うけどギガンテック・ファイターにするかな

闇属性なのは惜しいが最強クラスの戦士族だし
召喚制限は戦士族だけを2体生け贄だから簡単に召喚できる
効果も強力だし、使い道は十分だな」

また知らないモンスター……いい加減にして欲しいわね
それにどれだけカードを持ってるのよ？

「真の切り札はギガンテック・ファイター／バスターにするかな
バスター・モードが必要だけど、それに見合うだけの効果は得られ
るだろう

／バスターのサポートカードは……不要かな？
これだけ揃っていれば勝つには十分だろうし」

……全部勝手に決められてしまったわ
それにしても考えるのが早いわね、部屋に入ってから1時間も経っ
てないわよ？

実技テストは午後2時からで今は11時だからまだ時間にもかなり
余裕が残ってるわね。

「最後に万が一の事を考えてカウンター罠を……
トラップ・ジャマーでいいか、それ以上は邪魔になりそうだし
じゃあ本当の最後に整理するからそこら辺に座って待っててくれ
ただし、絶対に俺のカードを勝手に見ない事」

「え、ええ、わかったわ
適当に待たせてもらうわね」

そうは言ってもこの部屋……カードを入れているトランクぐらいし
か無いわね
でもその数は凄い……あれだけのカード、一体どれ程のお金をつぎ

込んだのかしら？

もしかして瑞貴って大金持ち？

「ねえ瑞貴、このトランクにカードは何枚ぐらい入ってるの？」

「知らん、多分1000から5000枚ぐらいじゃないか？
数えてないからわからん

一応全部整理したけど、数までは数えてないからな」

これ全部整理したの！？

どれだけ時間を掛けたのよ！？

「整理……どれぐらい掛かったの？」

「1ヶ月」

「1ヶ月！？」

「受験前に整理が終わったんだ
終わってすぐに受験だったから少し危なかった
（最初にあまり整理してなかったツケだな）」

デュエル・アカデミアの受験前までですって！？

もしかして貴方、受験勉強してないんじゃないでしょうね！？

そんな感じに瑞貴と時々雑談をしながら待つ
かなり有意義な会話になった。

そしてそのまま1時間経ち、正午になった
思ったより時間が進んでいて驚いたわ。

「よし、できたできた

デッキよりもカードを探す方が時間が掛かったとはな」

「お、お疲れ様

でもいいの?」

「何が?」

「何がって……私のデッキを強化してよ

デュエル・アカデミアに通う学生なんだから私達はライバルなんじゃないの?」

そう訊くと瑞貴はあまりにも不思議そうな顔をされた

私……何か変な事言ったかしら?

「友人を手伝って何か問題が有るのか?」

……私達って友人だったかしら?

まあ悪い気はしないからいいわね。

「ほら、デッキだ

テスト前によくデッキを確認しておけよ」

「それは当然でしょ?

テストはこのデッキを使わせてもらおうわ」

「それは助かる

感想と問題点を後で教えてくれ
その後にまた修正と調整をする」

ここまで面倒を見てくれるなんて……本当に何を考えてるのかしらね
友人だからって理由でここまでしてくれるとは思えないんだけど？
でも瑞貴の事をあまり知らないから何とも言えないわね。

それから瑞貴と別れ、昼食を食べてデッキ確認
効果の分らないカードがあるのは困るしね。

さてさて、どんなカードがあるのや……何これ？
な……何よこのとんでもないカード群は！？

これならそう簡単に負けないわね
とてもじゃないけどファンデッキなんてレベルじゃないわ。

さて、ちょっと鮎川先生にお願いしに行こうかしら
瑞貴からすれば恩を仇で返すように感じるかもしれないけど
それでもこれはしておきたい。

さあ……覚悟しておきなさいよ！

4話【月1テストと準備】（後書き）

『逆偽鏡の世界』でもお馴染み、後書きQ&A;基本的に言いたい事やお知らせ、自分で突っ込みなどは前書きで言います

ネタバレになりますが……まあそこまでのネタバレはしないつもりです。

以下、Q&A;Aです

瑞貴の言う問題のLVの基準って？

話している通り、難しい問題ほどLVが上昇します

基本に近ければ近いほどLVが低く

応用が難しかったり、ルール上ややこしい程LVが上昇します。

瑞貴のテスト結果は？

無論高得点です

まだ1年の初期なので問題のLVが低いのも大きな理由です。

社長風って？

バトル・シティ編でダイヤモンド・ドラゴンのカードを破った時の台詞です

「こんなカード、俺は36枚持ってるよ」

そう言ってカードを破ります

社長ってカードを破るの好きなんですかね？

何故テスト後、明日香が残ったの？

遅れてきて余裕にしている事が気になったからです
少し話したくなったのかと思われます。

シンクロモンスターを2枚も渡してよかったの？
悪いに決まっています

ですが理由は次話にて……

瑞貴が明日香の事を友人って？

本気で思っているわけではありません

何故手伝ったかは次話にて……

どう見てもフラグです、本当に（以下略）
そうですね、壊したいですね。

明日香は何を企んでいるの？

次話にて……

5話【十代対万丈目（2戦目）】（前書き）

今回も見てるだけです

頑張っデュエルて色々突っ込もうね！

主に決闘内容をだけど。

どうでもいいけど万丈目ってプレイングミスが多い気がします。

5話【十代対万丈目（2戦目）】

視点 瑞貴

実技テストの時間になった

俺はレッド寮の最後の方か……相手は誰でも構わんな。

今日はどのデッキを使おうかなー……っと

あ、そういえば俺が大々的に戦うのって初めてだったな

テストでは見ている奴は多くなかったし、明日香戦を見てたのは4人だけ。

うーん……よし、決めた

俺はエクゾディア使いとしておこう

ウィジャ盤や終焉のカウントダウンも良いんだけど

それよりもエクゾディアの方が特殊勝利で受け入れられてるしな。

そういう訳だから今後、こういう場ではエクゾディア使いとして戦

うつもりだ

非公式の決闘デュエルや野良決闘デュエルではまた別のデッキを使う事になる。

俺のデッキはかなり多い

今の俺の趣味がデッキ作成だからだ

そうでもしなければ暇が潰せないんだよ……マジで。

さて、どのエクゾディアデッキにしようかなー

1キルエクゾじゃないからそれなりに楽しまないといけないし遊ぶにしても……アレだよねえ。

ふむ……どうやら十代と万丈目が戦うらしいな
クロノスも暇だねえ……態々こんな馬鹿な事をするなんてさ。

それよりも気になるのは……

「始まるわね、十代と万丈目君の決闘が」デュエル

お前だよお前、何で俺の横で見てるんだ？
質問とかされそうだからどっかに行って欲しいんだけど。

「瑞貴はどっちが勝つと思う？」

やっぱり質問するんだ！？

しかも俺に予想しろと！？

原作なんて殆ど覚えてないし、メモもってないから記憶にも記録
にも無いぞ。

「知るか、また十代が馬鹿をしなければ可能性は無くは無いんじゃないか？

もっとも、万丈目だって前回と同じデツキとは限らない
また融合対策を練るか、それとも力でねじ伏せるか……」

そんな話をしている間にも決闘は始まる。デュエル

「「決闘！！」」デュエル

「行くぞ、万丈目！」

「万丈目さんだ！」

「……なあ明日香、万丈目は自分の呼ばれ方に拘りでも持ってるのか？」

「さあ？」

格下の十代に呼び捨てにされるのが気に入らないんじゃない？」

短気な奴だ

たしかあの訂正の仕方でサンダーの異名を手に入れたんだっけな？

『さんだ！』から『サンダー！』へか……格好悪いな。

「俺の先攻！ ドロー！」

E・HEROクレイマンを、守備表示で召喚！

ターンエンドだぜ」

ドローした瞬間に十代の気配が変わった……何かキーカードでも引いたか？

それにしても早い、という事はラッキーカードかな？

しかし伏せカード無しとは不用心だな。

「雑魚揃いの駄目ヒーローデッキめ

お前の脆さを見せてやる

俺のターン、ドロー！

俺は魔法カード、打出の小槌を発動！」

打ち出の小槌の発動に体育館に声が広がった

そういえばこっちではかなりのレアカードだったな

向こうでは普通のカードだから忘れてた。

「このカードと、手札の要らないカードをデッキに戻しシャッフルし

新たにその枚数分ドロする、そして俺は……」

デッキに戻すカードは4枚か……事故ったか？
それともキーカードを引く為の準備か？

「しかも打出の小槌は使い捨てのカードではない
何度もデッキに戻る事により、何度も俺の手中に入る！

再び、打出の小槌を発動
打出の小槌と2枚のカードをデッキに戻し、再び2枚をカードをドロする！

出でよ！ Vータイガー・ジェット、攻撃表示で召喚！」

ふむ……使い捨てじゃないのは便利だな
だがそれはそれで困るぞ？

手札が無い時に来られても邪魔なだけだからな。

そして万丈目の場に黄色のボディをした

虎型のロボットが姿を現す

背中にジェットを背負っているのがとてもシュールだ。

「更に手札から永続魔法、前線基地を発動！

ターン毎に手札からLV4以下のモンスターを1体特殊召喚できる
出でよ！ Wーウィング・カタパルト！

そして、Vータイガー・ジェットと融合！

VWータイガー・カタパルト！」

新たに青いボディの鎧のようなモンスターが現れる

そしてVータイガー・ジェットが飛び上がりWーウィング・カタパルトと連結する。

しかしその見た目は……ただ乗っただけで格好悪い
しかもどう考えても能力値が納得できない攻撃力2000
効果は悪くないけどボードアドバンテージとしては悪いな。

「驚いたか十代、だが俺のターンはまだ終わっちゃいない
更に俺はVW－タイガー・カタパルトの特殊効果を発動！
手札を1枚捨て、相手モンスターを攻撃表示に変える！」

「何!？」

「ずるいぞ、攻撃力800のクレイマンが攻撃に回ったら……」

手札を1枚捨ててまでして表示形式の変更ってこういう壁モンスター
を倒す為ぐらいにしか役に立たない
しかも攻撃力だってたった2000、弱すぎるだろそいつ
それでも元気な万丈目が凄いな。

後、誰が言ったか知らんがずるいって言った馬鹿
これは立派な戦術だし、戦いに卑怯も糞も有るか
勝てばいいんだよ、勝てばな。

俺はそこまで勝利に興味は無いがな。

そうしている間にもクレイマンは立ち上がり、攻撃態勢を整える
だが所詮攻撃力800、全く威厳を感じられん。

「ふふふふふ、ふははははは
行くぞ十代！」

VW－タイガー・ミサイル発射！ クレイマンを粉碎せよ！」

打ち出されるミサイルに破壊されるクレイマン
あまりにも弱々しい最後だったな。

「カードを1枚伏せて、ターン終了!」

「なんの、決闘はまだ始まったばかりだぜ
行くぞ、俺のターン、ドロー!

E・HEROスパークマンを、守備表示で召喚!」

また格好良く出てきて……でもすぐに守備の体勢に入って格好悪い
ったらありやしない

相変わらず微妙だなE・HEROは。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだ!」

「瑞貴、この先……どう見る?」

「そうだな……十代の手は悪くない
VWの効果は手札を捨てないと効果を発動できないからな
手札を消費させる事もできる守備表示は選択肢としては悪くない
相手がそれで終わればの話しだがな」

もつとも、新しいモンスターを出されて攻撃されれば負けるかもしれんが……

「俺のターン、ドロー!

X-ヘッド・キャノンを攻撃表示で召喚
更に永続魔法、前線基地の効果によりZ-メタル・キャタピラーを
特殊召喚!」

「な、まさか！」

「リバーズカードオープン！」

俺はこのリビングゲットの呼び声の効果により

自分の墓地からモンスターを1体復活させる事ができる

そのモンスターは……！」

万丈目の場に青いボディのキャノンを背負ったロボット

黄色のボディにキャタピラで動くロボットが現れ

墓地から蘇生されたのは赤い龍のような頭をしたロボット、Yード
ラゴン・ヘッド

XYZが揃ったという事はだ……

「行くぞ十代！ 俺はXYZを融合させ……XYZードラゴン・キャノン」

これは悪手かな？

相手はクレイマンみたいに硬いモンスターじゃないスパークマン

Zでスパークマンを破壊し、残りモンスターで直接攻撃をすれば勝
ダイレクトアタック

てたんじゃないか？
もし罠で攻撃を止められてもメインフェイズ2で融合させてもいい
だろうし……

「まだだ！ まだ終わっちゃいない！」

俺はこのVWータイガー・カタパルトと、XYZードラゴン・キャ
ノンを更に合体召喚する！」

「また？」

十代が呆れるのも無理は無い

この場合、VWで攻撃し、XYZで直接攻撃ダイレクトアタックをしていたら勝ったかもしれない。

そしてモンスター達が合体していく

どこに何が連結したとか、面倒だから言わないが……つかでかいって、大きすぎるだろ

見た目はどこぞの戦隊ヒーローアニメに出てきそうな感じだな。

「これが！ VXYZードラゴン・カタパルトキャノンだ！」

合計攻撃力が5800から3000に下がるのって酷い話しだよな
まあ青眼の究極竜よりはマシか、向こうは合計9000から4500だし。

「ん？ 明日香、何をそんなに苦々しそうな顔をしてるんだ？」

「何って……万丈目君の場には攻撃力3000のモンスターが居るのよ！」

「攻撃力3000程度でそんなに驚くなよ」

「攻撃力3000程度……ですって？」

元環境じゃあ攻撃力5000とか10000とか別に普通だしな
俺だって最高攻撃力が20000以上程度なら出した事はある
さすがに6桁は無理だったけど……

明日香が恐ろしい物を見るような目で俺を見てくるが……どうかしたのか？

別にそんなに変な事は言っていないだろ？

「更にVWXYZZの効果を発動！」

万丈目の言葉に合わせ、スパークマンが消えていく
十代が驚いていた事から、どうやら効果を知らなかったようだな。

「残念だったな十代

VWXYZZは1ターンに1度だけ、相手カードを除外する事ができる
ふふ、たつぷりと味わうんだな……持たざる者の悲しさを……」

これは少し危ないか？

伏せカードが攻撃反応型じゃないと負けるかもしれんな。

「いけえVWXYZZ、プレイヤーへ直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「待った、リバーズ罠オープン
ヒーロー見参！」

「ヒーロー見参！」

ふむ、いい手だな

相手があのモンスターじゃなければの話したが……

VWXYZZは攻撃する時、表示形式を入れ替えさせる事ができる効
果を持っている

十代のデッキの召喚できるモンスターでこの攻撃力、守備力を上回
るモンスターは存在しない！

「このカードにより、相手に選ばせたカードがモンスターカードだ
ったなら

それをこの場に召喚する事ができる！ さあ選べ、万丈目！」

「万丈目さんだ！ 一番右だ！」

万丈目が選んだカード

十代の顔からして答えは決まっているな。

「俺はこのカード、バーストレディを守備表示で召喚！」

「守備表示にはさせん！」

VWXYZが攻撃する時、モンスターの表示形式は俺の自由だ

VWXYZーアルティメット・ディスラクション！ バーストレディを粉碎せよ！」

VWXYZの腰辺りから青いビームが発射され、バーストレディを粉碎する

しかも、バーストレディは攻撃を受ける直前、立ち上がって攻撃態勢になっている

おかげで十代のライフは減り、残りは1000
下手すればアッサリと終わるライフだな。

「ターンエンドだ

これでまた丸裸、1体のモンスターもお前の場にはいやしないぜ」

こっちではそうかもしれないが、向こうではそんなに甘くない

例えば場にカードが1枚も無かったとしても

それでもそのターン中にシンクロする事だってできる環境なんだ。

手札の無い万丈目には少し難しいかな？

それに十代の主人公補正、超ドロ―力ならこの程度なら余裕だろう。

そして十代が何か熱い事を言ってるけど聞く気になれん
まあ主人公だし、勝てるだろ。

「ドロー！ 俺はハネクリボーを守備表示で召喚！
そしてカードを1枚伏せて、ターンを終了する！」

ハネクリボーを姿を現せた瞬間に女子から歓声が起こる
それはいいんだが明日香まで声を上げるせいで煩い
この女……本当にどこか行ってくれないかな？

「俺のターン、ドロー」

無駄だぜ、戦闘ダメージを0にするその毛玉野郎がいた所で
VWXYZの特殊効果が除外する」

「だったらやってみな！」

「ハネクリボーを蹴散らして、十代へ直接攻撃だ！
アルティメット・ディストラクション！」
ダイレクトアタック

万丈目がハネクリボーを除外しようとするが、そう簡単にはいかな
いみたいだな

十代の伏せたカード、原作は覚えていないが予想はできる
あのカードは高確率で……進化する翼！

「俺は手札2枚をコストに、進化する翼を発動！」

「何い？」

これは……中等技術であるサクリファイス・エスケープだな
モンスターの破壊などに速攻魔法や罠をチェーンしてモンスターを

生け贄、回収などをして相手の行動を空振りにさせる

ハネクリボーを対象に効果を発動したが、進化する翼でハネクリボーLV10になり回避か。

そしてハネクリボーLV10の効果

相手のバトルフェイズ時にこのカードを生け贄にして効果を発動
相手フィールド上の攻撃表示モンスターを全滅させ、破壊したモンスターの元々の攻撃力分ダメージを与える。

強化したミラーフォースなんだが……手札2枚に進化する翼、そして専用モンスターであるハネクリボーの存在
全て揃って初めて使えるモンスター
条件が厳しすぎる上、相手がバトルフェイズに入らなければ効果を
使え無い欠陥モンスターだ。

そもそも十代のデッキに入ってる事自体が間違っている

十代のデッキは手札消費の激しいE・HEROデッキ

それなのに手札が2枚もコストに使うこのカードは致命的
ダメージは与えられないが表側表示で存在するカードを全滅させられるライボルに比べると……

コストは1枚、使うのはライボルだけ、最低でも2…1交換で最高2…5交換ができる。

それに比べるとこっちは最低4…1交換の最高4…5交換

ダメージは美味しいがこれなら素直にバーンを使った方が圧倒的に
効率が良い

どうしても使うのならファンデッキかな？

それはそうと、ハネクリボーLV10の効果によりVWXYZが破壊され、万丈目に3000ものダメージ

これが今回のプレイングミスだな

あの場で攻撃を選択しなければ次のターンで除外、そして直接攻撃ダイレクトアタックができたのに

例えば十代がモンスターを召喚したとしても、VWXYZの効果で攻撃表示に変えられる

攻撃力の低い十代のデッキじゃ勝てない……はずだった。

「ぐううう、ターンエンド！」

「万丈目！ これでお互いライフは1000ポイントづつ

でもここで俺が攻撃力1000以上のモンスターを引いたらおもしろいよなあ？」

「何を戯言を！」

そう簡単に……」

ふむ……まだ出ていない攻撃力1000以上で通常召喚できるE・

HEROは……

フェザーマン、ワイルドマン、エアーマン、オーシャン……って、

アニメでは後の2体は使っていないんだっけな？

となると他にはEーエマーゲンシーコール、Oーオーバーソウル、増援、戦士の生還、ミラクルフュージョン、摩天楼2ーヒーローシテイ、死者蘇生、闇の量産工場かな？

十代なら強欲な壺とか天使の施しとかでも引けそうだな

貪欲な壺やホープ・オブ・フィフスは墓地のカードが足りなくて使えないけど。

「でも引いたらおもしろいよな！」

俺のターン、ドロー！

俺はこのカード、フェザーマンを召喚し、プレイヤーに直接攻撃！ダイレクトアタック」

「う、うあああああ！」

羽を生やした緑の男が万丈目に向かって爪を振り落とす
どう見てもヒーローの攻撃方法じゃないな。

「十代の勝ちね」

「そうだな

だが万丈目も不甲斐ない、十代程度に負けるとはな」

それにこの戦い、周りはテンションとか、レッドがブルーにだとか
で気付いていないようだが

ミスが無ければ万丈目の勝ちだった、だから十代もやっぱり大した
事無い。

「……万丈目君は強かったと思うわ、それにその万丈目君に勝った
十代も

その彼らに向かってその言いぐさは無いんじゃない？」

「やけに突っかかってくるな
それにこの戦い、ミスが無ければ勝っていたのは万丈目だ」

「ミスですって？」

ふん、所詮は原作のテンションとノリで戦う馬鹿共か
もう少し冷静に考えたらどうだ？

「先ずはVWXYZ達の合体
最初のVWは仕方無いとして、XYZまで合体させる必要は無かった

もし合体させずにXーヘッドキャノン、Yードラゴンヘッド、Zーメタルキャタピラーのまま残り
スパークマンに攻撃していれば例えヒーロー見参を使っても防ぎきれなかった」

ハッとした顔になる明日香
だが甘い、俺は更にその上に行く。

「更に十代がハネクリボーLV10を召喚した時、攻撃するのを止めていればよかったんだ
あのモンスターはバトルフェイズ時にのみ効果を発揮できる
次の十代のドローを許し、自分のターンになった時、効果でハネクリボーLV10を除外
そしてフェザーマンを攻撃して表示形式を入れ替えれば勝っていた」

「でもあのモンスターは新カードよ
万丈目君が効果を知らなくても無理は無いわ」

「それが甘いと言っているんだ
前回の決闘で本人が言っていたじゃないか
決闘とは99%の知性と1%の運で勝敗が決まるとな」

愕然とした明日香の顔
俺の言う事は間違っておらず、事実知っていたら勝っていたのだからな。

「今回の戦い、万丈目は知性の準備を怠った
そして十代が1%の運を引き当てた
この戦いの結末はその結果という訳だ」

明日香は何も言えない

実際、俺の言っている事に間違いは無いのだからな

自分の敗北の原因がプレイングミスと教えてやったら……万丈目は
どう思うだろうか？

自分で自分を馬鹿にするか？ 俺の言葉を否定するか？ それとも

悔しさで泣き叫ぶか？

楽しみだが今は先にテストだな。

十代がラーイエローに昇格

だがあの熱血漢が赤から離れるはずが無い

俺としては俺から離れて欲しいんだけどな

そうすれば俺は無理にイエローに昇格する必要はなくなるし。

ついでにこの雰囲気はどうにかならないのか？

まだ俺の実技テストは終わってないんだぞ？

それにこの後する奴らにプレッシャーになるだろうが

このお祭り騒ぎ好き共め……俺は煩いのが大嫌いなんだよ！

静かな場所で何かに集中していたい……それだけで気楽になれる。

そして暫く経ち、そろそろ自分の出番になりそうだ

翔はなんとか勝っていたがギリギリで昇格は有り得ない

モブ以下の連中に負けそうになるなんて、お前はどれだけ弱いんだ？

他にメインキャラって誰かいたっけか？

つうか明日香、お前も出番まだなの？

「明日香、お前もまだテストが始まらないのか？」

「ええ、私は最後の方よ」

ふーん、早くあのデッキを使ってくれよ？
その為にフラグが立ちそうで嫌だったけど友人だなんて言ったんだからな。

俺の目的は自分以外の奴が元シンクロモンスターを使う事ができるか
そして俺以外の人間がどう扱うのかを知りたい。

さすがにギガンテック・ファイターは渡せないがXX－セイバー
ヒュンレイなら構わない

何回か明日香の決闘を見て、まともに扱えそうなら数枚ぐらいなら
渡す

あまりに扱えなかったり、負け越していたら全て没収、デッキも戻
してもらおう。

さあ明日香、俺の実験鼠になってくれよ
もしまた何か気になる事とかできれば使ってやるからさ。

無いと思うが何度も勝ち越したり、万が一本気で扱えたらギガンテ
ック・ファイターもあげてもいい
それも俺の気が向いた上で、俺の前で、俺が勝つことが難しいと思
える相手にして勝ったらだけだな！

ま、そうなっても俺の気が変わるなんてそうそう無い事だし、可能
性はかなり低いがな。

それに明日香には言っていないがカードをあげた覚えは無い
あげても既存カードや精々XX－セイバー ヒュンレイぐらいしか
渡す気は無い

一族の結束やドロー系カードを渡してやる気なんて無いんだ。

「ん、どうやら私の出番みたいね

瑞貴も準備したら？」

「明日香の出番なのに準備？」

……あ、俺の出番でもあるのか

フィールド番号は3番だから真ん中か」

各生徒には番号札が渡されている

その前の番号の回の全ての決闘デュエルが終わった時スクリーンで次の番号が表示される

どうやら俺と明日香の番号は同じだったようだ。

デュエルフィールド
決闘場まで下りて指定されたフィールドに立つ
相手を待っているのだが……現れないな。

それに俺と同じ番号である明日香がどのフィールドにも居ない
嫌な予感がする……まさかとは思うけど俺の相手って……

「待たせたわね、瑞貴」

「……やっぱりお前か、明日香
どんな小細工をして寮対抗のこのテストで俺と戦う事ができたんだ
？」

嫌な予感的中

何でこいつは……こう俺の周りをちよろちよろしてるんだ？

実験鼠でもなく本当に鼠か？ 巨大鼠をプレゼントしてやろうかこの女……

ちなみに明日香に渡したデッキに巨大鼠は入っていない
荒野の女戦士で十分だし、一族の結束の効果を発揮する為にも巨大

鼠は邪魔だったのだ。

「担任の先生にお願いしたわ
入学テストで1ターンキルをした生徒と戦わせてほしいってね
私は中学の頃から成績は良かったし、真面目だったから
珍しい人物からの我が儘だし、これぐらい構わないって言ってもら
ったわ」

「チッ、余計な真似を
恩を仇で返すとはこの事だな」

「同じ事を私も考えたわ
それでも私は瑞貴、貴方に勝ちたい！」

女子寮の時よりも遙かに強い闘志
その瞳からは絶対に勝つという気迫が感じられる。

俺を相手にそんなのを持っても勿体ないだけに……
俺はそんなのを渡されても受け流すか投げ捨てるんだぞ？
相手のやる気は投げ捨てる物だ！

「……はあ、棄権は……許してくれないんだろ？」

「当然よ、開始早々のサレンダーも……
いえ、サレンダー自体だって絶対に許さないわ！」

「全く面倒な……」

しかし口元がにやけるのを押さえられない
そのやる気も情熱も、俺が全て叩き折ってやるよ！

この……特殊勝利デッキ、エクゾディアでな！

5話【十代対万丈目（2戦目）】（後書き）

瑞貴は何個デッキを持つてるの？

特殊勝利のデッキを各条件3個づつ程

エクゾディアは5個ぐらいでしようか

他にもロックバーン、キュアバーン、フルバーン、スキドレ、お触れホルスなど

ビートデッキはほぼ存在しません

一応作ってはいるけど使う気にならないそうです。

今後もエクゾディアを使っていくの？

はい、表ではエクゾディア使いとして名を馳せる予定です
裏では全く別タイプのデッキを多用しますが……

明日香とのフラグ美味しいです

そんな物はゴミ箱にでも捨てましょう

なお、これは不燃ゴミだそうです

どうせまたフラグが立ちそうという理由で燃やす事ができないんでしょう。

さすが十代、そのチートドローに痺れる憧れる！

だなんて全く思っていません

ドローだけで勝たせない方法などいくらでも存在するからでしょう。

明日香フラグビンビン！ これやばくない？

思いついたのは明日香を瑞貴のライバルキャラにする事でしょう
か遊戯に対しての海馬や十代に対しての万丈目や遊星に対してのジャックのように

でも何故主人公のライバルってみんな傲慢だったりプライドが高か

ったりなんでしょうね？

どんなエクゾディアデッキを使うの？
それは次話でのお楽しみです。

6話【再戦、瑞貴対明日香】（前書き）

最後の方はやってしまった感が……
今回は全明日香視点でお送りします。

やっぱりオリ展開は時間が掛かります
どこかミスしてるような気が……見つけたら教えてくれると嬉しい
です。

後右腕って不遇ですよ？
漫画では遊戯がレア・ハンターのを破壊
アニメでは剛三郎の右腕を海馬が撃破
そして今回は……やっぱり不遇ですね。

6話【再戦、瑞貴対明日香】

視点 明日香

「デッキはちゃんと確認したか？」

「ええ、当然でしょ？」

でもこのデッキは貴方が作ったデッキ、確認ついでに自分でも少し調整したけどね」

悪いとは思ったけどあのままだとこれは私のデッキじゃなくて瑞貴のデッキ

私のデッキにするには私が自分で考えなければならなかった。

「構わん、その程度は誤差の範囲だ

それにあのままだと俺は自分のデッキで戦う事になっていたしな
それだと楽しみも何も無い、むしろ好都合だ」

凄い……私は瑞貴の作ったデッキを見て勝てる自信が無かった
そのデッキを相手に、多少改造したとはいえ余裕を見せるとは……
知らないカードといい、とんでもない数のカードといい、瑞貴は恐ろしい人だわ。

「行くぞ、俺に勝ったらそのデッキに与えたカードの半分ぐらい景品にしてやる

だが負けたら後々返してもらうからな！」

「くれるんじゃないの!？」

だって部屋に誘う時にカードをくれるって……

「誰が全部プレゼントするって言ったよ？」

欲しかったら俺から買いな、それならやるよ」

う……これだけのカード、一体どれ程の価値が有るのか
まだ使っていないけど、効果を見ただけで高値になるのは想像できる
もし瑞貴から買ったとして、お小遣い……大丈夫かしら？

「^{デュエル}決闘！」

「先攻は俺は貰う

ドロー、俺はシャインエンジェルを守備表示で召喚
更にリバーズカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

場に少々筋肉質の天使、シャインエンジェルが姿を見せた
戦闘で破壊された時にデッキから攻撃力1500以下の光属性のモ
ンスターを特殊召喚するリクルーターモンスター
厄介ね、まだ私の手札には戦闘以外の方法でシャインエンジェルを
破壊する方法は無い

ならば今は戦闘で破壊し、先手を奪う！

「私のターン、ドロー！」

私はエトワール・サイバーを攻撃表示で召喚！
バトルよ、エトワール・サイバーでシャインエンジェルに攻撃！」

エトワール・サイバーがシャインエンジェルに向かって走り出す
さあ、罠を使うのなら使いなさい！

リバーズカードは……発動しないですって！？

エトワール・サイバーはそのままシャインエンジェルを蹴りで破壊
そしてモンスター効果が発動される……

「シャインエンジェルの効果発動

このモンスターが戦闘で破壊され、墓地に送られた時

自分のデッキから攻撃力1500以下の光属性モンスターを攻撃表
示で特殊召喚する

俺はデッキから……シャインエンジェルを特殊召喚する」

再びシャインエンジェルが場に姿を現す

この効果で召喚したいモンスターがあるんじゃないの？

「私もカードを2伏せ、ターンエンドよ」

今はまだお互いに様子見

問題は私のデッキ内容を瑞貴は殆ど知っていて、私は瑞貴のデッキ
が全く分からない事

あれだけのデッキ作成能力とカードを持っている事から考え、彼の
デッキは複数存在すると思われる

まさか私を相手に同じデッキで戦うとは思えない。

「俺のターン、ドロー

……巨大ネズミを攻撃表示で召喚」

今度は青い髑髏を持った鼠が現れた

おかしい、シャインエンジェルと巨大ネズミでは同じデッキには合
わないわ

てっきり光属性中心のデッキかと思ったんだけど……どういう事？

「バトルだ、シャインエンジェルでエトワール・サイバーに攻撃」

「罠カード発動！ ドゥーブルバツセ！」

その攻撃は私が受け、私のモンスターはダイレクトアタック直接攻撃ができる！

更に罠カード、ダメージ・コンデンサーを発動！

私が戦闘ダメージを受けた時、その数値以下の攻撃力のモンスターをデッキから攻撃表示で特殊召喚できるわ！」

私に向かって飛んでくるシャインエンジェルは拳を突き出してきたそれを受け止め、戦闘ダメージの1400を受ける。

「くっ、そしてダメージを受けた瞬間、ダメージ・コンデンサーの効果発動！

デッキから、荒野の女戦士を特殊召喚！」

荒野というイメージを具現化したような女性が姿を現せるしかしその攻撃力は1100、それでも効果は十分に強い！

「そしてドゥーブルバツセの効果により、エトワール・サイバーがダイレクトアタック直接攻撃をする！

行きなさい、エトワール・サイバー！ 瑞貴にダイレクトアタック直接攻撃！」

瑞貴に向かって駆け出すエトワール・サイバー

しかし前回の守りの堅かった瑞貴に前と同じ攻撃が通るか！？

「ふん、甘い！

永続罠発動、スピリットバリア

自分の場にモンスターが存在している限り、俺に戦闘ダメージは無い」

エトワール・サイバーの蹴りが瑞貴に当たる直前に薄い膜のような光が現れた

チッ、やっぱりそう簡単には行かないか。

「バトルを続行する

俺は巨大ネズミでエトワール・サイバーを攻撃だ」

巨大ネズミはエトワール・サイバーに持っていた髑髏を投げつけるその髑髏に当たったエトワール・サイバーは破壊され、200のダメージを受ける。

やはり荒野の女戦士は選ばないか

分かってはいたけど、これは少し予想外ね

まさかリクルーターモンスターを違う種類で2体も出すとはね。

瑞貴の目的が掴めない……一体どんなデッキを使ってるのかしら？

「俺はカードを1枚セット、ターンエンドだ」

また伏せカード……瑞貴は伏せカードを多用する癖でもあるのかしら？

少なくとも守りが堅いのは事実

前回ではダメージを与える事もできなかった

今回はダメージを与えるだけでは済まらず、勝ってみせるわ。

「私のターン、ドロー！」

Xーセイバー アナペレラを攻撃表示で召喚！

更に永続魔法、一族の結束を発動！

この効果により墓地に存在するモンスターと同じ種族の攻撃力が800ポイント上昇する

ただし、墓地に存在するモンスターの種族が複数存在している場合はこの効果は適用されない

私の墓地にはエトワール・サイバーが存在していて戦士族、そしてフィールド上のモンスターも戦士族

よってX－セイバー アナペレラの攻撃力は2600、荒野の女戦士の攻撃力は1900となる！」

種族が縛られるけどこの効果は強力

例え下級モンスターでも攻撃力が2600なんて……

自分でした事だけどここまでとは思わなかったわ。

「バトルよ！」

荒野の女戦士でシャインエンジェルに攻撃！」

荒野の女戦士は持っていた剣でシャインエンジェルに斬りかかる
シャインエンジェルは反撃しようとするも、簡単に切り裂かれてしまふ

そして破壊されて新たに現れたモンスターは……コーリング・ノヴァ
見た目の説明がとんでもなく面倒なモンスターね
どう言えば伝わるのかしら？

「更にアナペレラでコーリング・ノヴァに攻撃！」

アナペレラも荒野の女戦士と同じように攻撃し、コーリング・ノヴァを破壊する

再び現れるコーリング・ノヴァ、何回リクルートする気なのよ！
しかも伏せカードを使う気配さえ見せないなんて、どうすればいいのよ！

「く……ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー」

巨大ネズミで荒野の女戦士に攻撃」

荒野の女戦士は自身に向かって来る巨大ネズミを切り捨てる

巨大ネズミは苦しみながら絶命したわ。

「巨大ネズミの効果を発動

デッキから素早いモモンガを特殊召喚

素早いモモンガで荒野の女戦士に攻撃」

巨大ネズミのいた場所にオレンジの毛を持ったモモンガが姿を現す
素早いモモンガの攻撃力は1000、当然攻撃力は荒野の女戦士には及ばない

アッサリと返り討ちにされて切り倒される。

「素早いモモンガの効果発動

戦闘で破壊された時ライフを1000回復し、デッキから素早いモモンガを裏守備表示で特殊召喚できる

俺はデッキから2体の素早いモモンガを裏守備表示で特殊召喚」

そして現れる伏せモンスター

これでまた瑞貴に壁モンスターが増えた上、ライフまで回復された！

「更にコーリング・ノヴァで荒野の女戦士に攻撃」

再び瑞貴の自爆特攻

一体何を考えてるの？

「効果により再びコーリング・ノヴァを特殊召喚

最後のコーリング・ノヴァで攻撃し、そしてリクルート、シャイン
エンジェルを特殊召喚

最後のシャインエンジェルで攻撃、ユーフォロイドを特殊召喚、攻
撃、再びユーフォロイド、そして攻撃

最後のユーフォロイドで攻撃、今度はUFOタートルを特殊召喚し、
攻撃して同じくUFOタートルをリクルートし、また攻撃

最後のUFOタートルからは仮面竜、更に攻撃して同じく仮面竜を
リクルートして攻撃

最後の仮面竜の効果で軍隊竜を特殊召喚、そして攻撃、軍隊竜をリ
クルート、攻撃して再び軍隊竜をリクルート
最後の軍隊竜は守備表示だ」

瑞貴の場にモンスターが現れては消えていく

このターンで瑞貴のデッキからモンスターは……17枚!?!?
こんなにモンスターを墓地に送ってどうするつもりなの!?!?

「ふむ……こんなもんかな?」

俺はリバースカードを2枚セットしてターンエンドだ」

観客達も瑞貴の行動が理解できていない

1度戦った事のある私でさえ理解できないんですもの
観客が理解できるはずが無い。

「瑞貴、そんなにモンスターを墓地に送って何がしたいの?」

「自分で考えな

だがヒントぐらいあげようじゃないか

デッキの圧縮、墓地肥やし、これって場合に寄っては凄く便利なん
だぜ?」

デッキ圧縮？ 墓地肥やし？

そんな事をする理由なんて……それでどうやって勝つつもりなの？

「わ、私のターン、ドロー

よし、これで……私は手札から大嵐を発動！

これで貴方の伏せカードは全滅よ！」

自分の一族の結束も消えるけど、あの大量の伏せカードは危険すぎる
それぐらい押してでも全て破壊しないと！

「そうはいかない、伏せカード一斉オープン

ゴブリンのやりくり上手を3枚発動し、最後に非常食を発動する」

「どれもフリーチェーンですって!？」

そんな、これじゃ破壊できるのはスピリットバリアだけ
しかも非常食で大きな回復までされてしまう！

「まず最初に非常食の効果が適用される

非常食はこのカード以外の魔法・罠カードを墓地に送る事で1枚に
つきライフを1000ポイント回復する

俺は魔法・罠カードを全て墓地に送り、ライフを4000回復する」

「ライフポイントが9000ですって!？」

くっ、手札のサイバー・チュチュは攻撃力がこのカード以下じゃな
いと直接攻撃ができない
ダイレクトアタック
アーミー・ドラゴン

でも軍隊竜の攻撃力はサイバー・チュチュ以下の700だから効果
は使えない

それに攻撃力1000程度で攻撃しても大した効果は得られない！

「そして次にゴブリンのやりくり上手の効果が発動する
このカードは効果が発動した時に墓地に存在する同名カードの枚数
＋1枚ドロースる
その後、手札から1枚デッキの一番下にカードを戻す」

また知らないカード……
しかし発動した時には墓地には送られていなかった
でもどうしてさっさと発動しなかったのかしら？

「効果は今発動した
非常食の効果によって現在墓地にゴブリンのやりくり上手は3枚
よって俺は4枚ドロース、デッキの下に1枚戻す」

「よ、4枚ドロース!?
どういう事なの！ 発動した時にはまだ墓地に無かったはずよ！」

瑞貴の説明に会場も大きくざわめいている
誰もが瑞貴に説明を要求しているわ。

「はぁ……なら順番に説明するぞ？
まず知っていると思うがチェーンで発動した物は最後のカードから
順番に処理される

ゴブリンのやりくり上手を非常食の効果で墓地に送った
チェーンで発動したのでやりくり上手の効果が適用されるのは非常
食の後

非常食の後という事は既にやりくり上手は墓地に送られている
やりくり上手は効果の適用時に墓地に存在する同名カードの数＋1
枚ドロースる

そして効果適用時、つまり今は墓地に3枚のやりくり上手が存在し

ている

だからドローできるのは3枚＋1枚で4枚ドローするんだ」

なるほど……でもこんなコンボは見た事無いわ

そもそもこのカード自体を知らないんだから当然なんだけど
恐ろしいコンボね、大量ドローと手札交換だなんて。

「俺はデッキからカードを4枚ドロー

そしてデッキの一番下に1枚戻す

更に俺は2枚目のゴブリンのやりくり上手の効果を発動
再びデッキから4枚ドローし、デッキの一番下に戻す」

「2回目ですって!？」

「墓地に送ったのは3枚だ

つまり俺は3回同じ効果を使用できるんだよ」

そんな……つまり12枚ドローするって事？

デッキに3枚戻すとはいえ、9枚も手札が増えるだなんて……

「ふむ……俺の運はとんでもなく悪いみたいだな

逆に明日香は凄い幸運みたいだが」

何を言ってるのかしら？

「俺の残りデッキは今戻したカードも含めて4枚

そして俺が戻した3枚を除いた残り1枚の最後のカードをドローし
た瞬間、俺の勝ちが確定する」

「カードをドローするだけで勝ち？

……まさか、エクゾディア!？」

そんな、エクゾディアのパーツカードを揃って持つてゐるだなんて！
確かにあれだけカードを持っていれば持つてゐるかもしれないけど
それでも、こんなに簡単に揃えられるなんて！

「はい、よくできました

正解したご褒美に後でいいこいこしてやろう」

「い、いらないわよ!」

とは言う物の、私の手札にこの状況を打開できる方法なんて……
いや、もしかしたら防げるかもしれない！
なら少しでも可能性を追求しないと！

「私はサイバー・チュチュを攻撃表示で召喚！

バトルよ！ アナペレラと荒野の女戦士でセットされている素早い
モモンガを

サイバー・チュチュで軍隊竜へ攻撃!」
アーミー・ドラゴン

モモンガ達は剣で切り刻まれ、軍隊竜は蹴りで粉碎される
これで瑞貴の場にカードは1枚も存在しない。

しかしモモンガの効果でライフを2000回復され、今の瑞貴のラ
イフは11000

元々硬い瑞貴の守りをどうやって抜くか！

更に彼の手札は3枚から9枚増えて12枚
あれだけ手札が有れば何が起こってもおかしくない
いつ逆転されても不思議じゃないわ。

「最後にカードを1枚セットして、ターンエンドよ！」

瑞貴が何故このカードをこのデッキに入れたのかは分からないでも、今この瞬間の為になるなら……

問題は発動タイミング、万が一タイミングをミスしたら私の負け！

「俺のターン……」

「この瞬間、罠カード発動！

マインド・クラッシュ！

カード名を1枚宣言し、そのカードが相手の手札に存在していれば墓地に送る！」

もし持っていない1枚を言ってしまったら私の負け！

最後で一か八かの大勝負、行くわよ瑞貴！

「私は……封印されし者の右腕を選択するわ！」

瑞貴は手札を私に見せるように腕を動かす

今の私にはその動きがとても遅く感じられた

もし間違えていたら私の負けが確定してしまう！

「俺の手札に封印されし者の右腕は……有る

よって、このカードは墓地に送られるな」

「や……やった！

やったわ！ これで私の勝ちよ！」

思わずはしゃいでしまう

でもそれぐらい嬉しいのよ
だって私の勘が当たり、エクゾディアを手札から落とす事に成功したんだもの！

私の歓喜の言葉に会場も一緒に燃え上がる
みんな緊張して見ていたんでしょうね
歓声が凄い声になってるわ。

「ドロー……さて明日香、束の間の喜びは得られたかな？」

「え？」

瑞貴の言葉に私だけでなく、会場中からも声が止まる
束の間の喜びって……どういう意味？

「甘い……甘いなあ明日香

その程度で俺に勝とうだなんて……虫唾が走るわ！

俺はカオス・ネクロマンサーを攻撃表示で召喚！」

私の目の前に紫色のボロ布を来た悪魔が現れる

攻撃力0のモンスターだけど……この状況で一体何を？

「カオス・ネクロマンサーの効果は

このモンスターの攻撃力は自分の墓地に存在するモンスターの数×
300となる」

「墓地に存在するモンスターの数ですって！？」

じゃあ今までリクルーターを数多く墓地に送っていたのって！」

「そう、エクゾディアを揃える為にデッキの圧縮

そして万が一揃えられなくなった時の為の……こいつだ」

「そんな……そんな事って……」

瑞貴の墓地にはモンスターが24体

という事は攻撃力は……7200!?

「墓地のモンスターは24体、よって攻撃力は7200

カオス・ネクロマンサーで荒野の女戦士に攻撃!」

カオス・ネクロマンサーが荒野の女戦士に向かって来る……
荒野の女戦士はカオス・ネクロマンサーの攻撃で破壊される
そして攻撃力差は6100……私の負け……

「明日香」

「……何?」

「トドメに少しだけ教えてやるよ」

何を言うつもりかしら?

「俺の手札には闇の量産工場が有った

つまり、エクゾディアパーツを召喚して自爆特攻

その後、闇の量産工場を使えばエクゾディアは揃えられた」

瑞貴の言葉に私は打ちのめされた

つまり、私はどう足掻いても勝てなかった事になる。

「つまり……最後の賭けかと思ったらいカサマされてたのね

ふふ、それなら勝てなくて当然ね」

「イカサマ？ 違うな、アレは保険だ
捨てさせられたりした時の為に保険を掛けておくのは当然だろ？」

言っている事は理解できる

でも一番悔しいのはエクゾディアで勝てたのに態々別の方法で勝たれた事

そしてまたライフを1ポイントも削る事ができなかった事よ！

悔しい、悔しい、悔しい！

悔しい！ 悔しい！ 悔しい！

悔しい悔しい悔しい悔しい悔しい！

瑞貴、私は次こそ貴方に勝つ！

その為には……屈辱だけど瑞貴の力を借りなくちゃいけない
彼のカードは強力で魅力的なカードが多すぎる

少なくとも今私が持っているカードじゃ……勝てない！

もう悔しくて不甲斐なくて……

そして例え自分の敵だったとはいえ、このデッキを作ってくれた瑞貴に申し訳なくて……

そう考えると悲しさも溢れてくる

瑞貴は態々私の為に一生懸命、テスト前の時間を削ってデッキを組んでくれた

目的は本当にただの暇潰しだったかもしれない
それでも……あんなに頑張ってくれたデッキ。

私から見ても強く、負けるとは思えないぐらい強いデッキだった

瑞貴は最後に結局はファンデッキになったって言ってたけど、このデッキは既にファンデッキなんて軽さじゃない
真正銘、強力な戦士デッキよ。

攻めを中心とし、守りは多少薄くなるけどサポートカードが多い
強化、回収、ドロートとバランスもかなり良かった
下級モンスターのパワー不足なのが欠点って言ってたけど
それでも強化カードで十分補える程度。

私が増やしたのは最初に使ったダメージ・コンデンサー
他には少し自分の持っているカードを入れただけ
実質殆ど違いは無かった。

何が悪かったのか

どれだけ考えても自分が負けた理由が分からない
安易に攻撃する事を選んだ私が悪いのかしら？
それとも単純に瑞貴が上手かっただけ？

どんな理由にしろ、負けた私が何を言っても負け犬の遠吠え
これ以上は頑張ってくれたデッキに対する裏切り
言い訳は過ぎると悪意にしかない……

それでも言い訳をしそうになってしまう私がいる
ふふふ、負けた上に言い訳をし、デッキを裏切っていると自覚して
も今だに言い訳を考える
デッキを裏切るという事は瑞貴の苦勞と頑張りさえも裏切った事になる

私は……最低ね。

ごめんなさい私のデッキ

ごめんなさい瑞貴

ごめんなさい……ごめん……なさい……

涙が溢れて止まらない

必死に手で拭ってるけど止まらない

座り込んで子供のように泣いてしまう。

そんな私にハンカチが渡された

どこから？ 誰から？

そう思っで見上げると瑞貴が違う方を向きながらハンカチを差し出していた。

「……………」

瑞貴は何も言わずにハンカチを私に向けるだけ

私はハンカチを受け取り、涙を拭く

瑞貴はずっと違う方を向いていてくれた……

ようやく泣き止んだ時

タイミングを見計らっていたのか、校長先生からの放送が掛かった。

『オシリスレッド、堅守瑞貴君

君の素晴らしい決闘技術

デュエル・タクティクス

そしてあらゆる事を考えた柔軟な思考

更にあのエクゾディアを揃えられるようなテクニク

成績も優秀だし、決闘の实力も高い

文句なしで君もラーイエローに昇格です』

観客からの大歓声

それはそうでしょうね

だって1日に2人もレッドからイエローに昇格ですもの。

更にオベリスクブルーの私を相手にダメージを受けず
しかもエクゾディアを揃えられる技術にテクニク
昇格はきつと誰もが受け入れる事でしようね。

瑞貴は何も言わずに私に手を差し伸べる

自分で立とうかとも思ったけど……結局瑞貴の手を借りた

瑞貴は私が立ったらすぐに手を離して決闘場から出て行った。
デュエルフィールド

私は少し動けなかったけどすぐに自分も決闘場から離れた

うっかりしていたけど今まで私は泣いていた、注目を浴びて当然じやない！

………

………

………

数日後

瑞貴の服は赤から黄色に変わっていた

どうやら十代みたいに赤がいいと我が儘を言ったわけではないみたい。
い。

授業終了後、瑞貴に話しかける

瑞貴は寝てるみたいだけど……これで何で成績が良いのかしらね？

「ほら瑞貴、授業が終わったわよ
もう放課後だし、起きなさい！」

それでも瑞貴は起きない

もう、何で私がこんな事を……
そう思っていたけど小さな呻き声が聞こえた
どうやら瑞貴が起きたみたい。

「……眠い」

「眠いじゃないわよ
ほら、もう放課後だからいい加減起きなさい」

瑞貴は欠伸をしながら帰る準備をする
勉強道具やカードを一通りだけと、どうやら余計な物は殆ど持って
こないみたいね。

「で、何でお前は俺を起こしたんだ？
寝てたからだけじゃないんだろ？」

「気付いちかった？
デッキについてまた教えて欲しい事が有るのよ
手伝ってもらえないかしら？」

「断る」

……即答は酷くない？

「あれだけ手伝ってやれば十分だろ？
あのデッキで基盤は大方できてるんだ
後は自分でアレンジするなり考えるなりしろ」

何というか……予想はしてたけど淡泊な反応ね
他人に関わる事を嫌ってるのかしら？

だからといって諦める気は無い
私は彼に訊きたい事が山ほどある。

「でも確かギガンテック・ファイター／バスターのサポートカード
があるみたいだけど？
それが有ればもっと色々と考えられるわ」

「……………高いぞ」

「お金取るつもり！？
な、ならくれなくてもいいから教えてちょうだい！」

「うーん…………でもなあ」

「ど…………どうすれば教えてくれるの？」

私にできる事なんてあんまり無いわ
ちなみにあの時のカードは半分ぐらい買わせてもらった
これで当分はお金を自由に使えない
ううう…………ドローパンも買えない。

「別に何もしなくても見せるぐらいいいぞ」

「なら何で態々焦らすのよ！」

「焦ってる明日香を見て楽しんでるから」

「このひねくれ者！」

「ありがとう」

「褒めてないわよ！」

最近話す事が多くなってきたんだけど……

瑞貴は思った以上に性格が悪い

暇潰しに嫌がらせは最高の時間潰しになるって言われた
更生させられないかしら？

そして来たのはレッド寮……あれ？

「ねえ瑞貴、貴方今ラーイエローよね？」

「ああ」

「なら何でレッド寮にカードがあるの？」

「中途半端な広さで気持ち悪い

半端に小綺麗でなんか嫌

そもそも実は黄色は割と嫌いな色だから住む気にならん

そして俺が嫌いな暇を体現してそうな場所だから絶対に嫌だ」

酷すぎる……そんなにイエローが嫌いなのか？

あと、いくらなんでも最後のはイエローに喧嘩を売っているように
しか思えないわよ？

「ついでに俺は狭い場所の方が好きだし質素な感じが好きだ

食事も豪華なのは嫌いだし、それなりが良い

俺は小市民だからな、変に派手なのとかも嫌いなんだ」

本当に根っからの小市民というか……貧乏性？
それとも変な部分が真面目なのかしら？
もしくは今時古い考えの人間？

「とりあえずそういう訳で俺はイエローにはなったがレッド寮に居座る予定だ

ブルーになったら寮を移動するかも考えるが……ブルーはブルーで派手そうだから嫌だな

ま、そういう訳だから俺に用が有る時はレッドに出来ないでくれると俺はとっても嬉しい」

「どうして最後にそういう事を言うの！？」

「明日香が怒るから

その反応を見る為なら俺はいくらでも言う場合に寄っては行動に移してでも嫌がらせをする」

「嫌がらせ自体を止めなさい！」

「ナイス反応

さ、もっと怒れ」

「~~~~~！！！」

落ち着け……落ち着け明日香

瑞貴の調子に乗ったら負けよ

何に負けるのかよくわかんないけど負けなのよ。

「何をしている明日香

部屋に入るならさっさと入れ」

「人が落ち着こうしてるのに……瑞貴！」

「見ないのか？」

「う……わかったわよ」

瑞貴相手に口喧嘩はしないようにしましょう
勝てる自信が無いんだもの。

それより、今日はどんなカードを見せてくれるのかしらね？
例えからかわれても、これはもっと続けたい
次の機会も見せてくれるかしら？
楽しみだわ。

「あ、明日香
感情が落ち着いたら茶を淹れてくれ
それから始めよう」

……でも瑞貴の性格は好きになれなさそうね。

6話【再戦、瑞貴対明日香】（後書き）

明日香はどれぐらいデッキを自分で調整したの？
そう多くありません

瑞貴と話してコンボが無いと言われたのでそういうカードを入れました

瑞貴はコンボカードを殆ど入れなかったので……

明日香のお小遣い？

彼女もまだ15歳か16歳です

学生ですしあんな島じゃバイトとかもできません

お金は親からお小遣いを貰っている立場なので当然でしょう。

今回の瑞貴のデッキは？

リクルーターの自爆特攻でデッキ圧縮し、エクゾディアのドロ率を上げるデッキです

もし揃えるのが遅くなりそうになった時の為にカオス・ネクロマンサーを使います

リクルーターモンスターはそれなりに多く墓地に送られているので便利なモンスターです、お手軽ですしね。

巨大ネズミからのリクルートって何がいの？

素早いモモンガ、ハウリング・インセクト共鳴虫です

そこからドラゴン・フライに繋げて軍隊竜に繋ぐ事もします。アーミー・ドラゴン

瑞貴の3ターン目にモンスターを召喚しなかった理由は？

これ以上リクルートモンスターを出すと伏せカードのやりくり上手でデッキ切れになるかもしれないと思ったからです

効果を使わなくても良かったのですが、出す意味が無かったので出

しませんでした。

リクルートモンスターの種類は？

シャインエンジェル、コーリング・ノヴァ、ユーフォロイド、UF

マスクド・ドラゴナー・ミミ・ドラゴン

ハウリング・インセクト

Oタートル、仮面竜、軍隊竜、巨大ネズミ、共鳴虫、ドラゴン・フ

ライ、素早いモモンガです

ハウリング・インセクト

総勢10種類で巨大ネズミと共鳴虫とドラゴン・フライは1枚で総計24枚になります

ハウリング・インセクト

巨大ネズミと共鳴虫とドラゴン・フライが少ないのはシャインエンジェルから繋いだ方が多い為、他に入れるカードも少なかった事もあり適当に突っ込んだだけです

素早いモモンガは回復と壁用ですね。

残りのカードは？

エクゾディアパーツ各1枚の系5枚、カオス・ネクロマンサー1枚、ゴブリンのやりくり上手3枚、非常食1枚、スピリットバリア3枚、死者転生2枚、闇の量産工場1枚です

これらとリクルートモンスターを含めて40枚デッキとなっています
カオス・ネクロマンサーはあくまで保険なので1枚しか入っていません。

打出の小槌は使わないの？

そんなカードを使ったら簡単に勝てそうなので楽しくないので使いません

同じく普通にドローできる強欲な壺も使っていません

天使の施し、天よりの宝札（原作効果）も単純なので使いません
それにやりくり上手の効果でリクルートモンスターをデッキに戻す意味もあるのでこちらの方が便利だと思いました。

瑞貴の運が悪すぎない？

基本ドロ―運はかなり低いです

十代の幸運をEXとした場合、瑞貴の幸運はD程度です

それでも勝ちを拾えるのはアニメキャラ達はどう考えてもバランスが悪いからです

事実、例えばハネクリボーLV10なんてE・HEROデッキなのに入れている十代のデッキ構造がカオスでしかないと思います
素直に一族の結束や連合軍を入れれば強いのに……前者は無いんですけどね。

虫唾が走るって……

思わず社長の言葉が出てしまったようです。

明日香が勝つ方法は？

守備を堅め、魔法・罠除去カードが来るまで粘り、貫通モンスターでダメージを与えれば勝っていたかもしれないかもしれません
瑞貴のエクゾディアは最後のカードだったのでそれまでにライフは削れるでしょう。

何故瑞貴はマインド・クラッシュを？

原作で妙に手札のカードを教えなければならぬ時は少なからず有ったからです

1枚入れていれば成功する可能性も低くないだろうと思って入れました。

明日香って実験鼠じゃなかったっけ？

実験前に倒してしまったので仕方がないでしょう

今回はテストミスと割り切って潰したそうです。

瑞貴って優しい？

性格は悪くとも基本は善人でフェミニストなので……でも気に入ら

ない事には誰が相手でもとことん反抗します。

ラーイエローに昇格するような事？

元々イエローになれるはずだったのですので当然でしょう
嫌がらせてレッドにされたようなものですし……

具体的には2話の最初を参照。

明日香は瑞貴の事をどう思ってるの？

倒すべきライバル、強敵、大量のカードを持っている謎の生徒など
です

それと同時に自分の為に色々としてくれる恩人
最後にだらしないう友人といった感じですね。

明日香の金銭状況は大丈夫なの？

超ギリギリです、暫く学食もともに食べられません
寮で出る食事だけで我慢しています

ですので現在は1日に1食から2食で耐えています

これはダイエットだとか言い訳をしています、元々痩せている明
日香です

回りからは何か有ったのかと心配されています

なお、時々ジュンコやももえからお裾分けをしてもらっているとか
……それほど困っているようです。

瑞貴はイエローがそんなに嫌いなの？

明日香の予想は大方当たっており、貧乏性で変に真面目な部分が存
在しており、古い考えを持つタイプです

ブルーは元より、イエローも半端に豪華なので嫌っています

ちなみに好みの女性は黒髪ロングだとか……明日香は（多分）無理
ですね！

レッド寮だと面倒事に巻き込まれるんじゃないの？

それでも暇するよりはマシだと思っています

それにイエロー寮は言っていた通り気に入らないのでそれは諦めています

もう原作に関して大半忘れてるのでどうでも良くなっているというのも大きいです。

瑞貴は明日香に対してどう思ってる？

気に入ったし一緒に居ると楽しいので原作キャラというのをほぼ忘れていきます

後は自分のカードをこっちの人間が扱えるのかという実験の実験台です

少なくとも明日香を嫌ってはいませんが、特に好いてもいません。

7話【八つ当たり戦】（前書き）

今回は久々に瑞貴は自分の好きなデッキを使います
しかしこのデッキは本気ではありません
デス・メテオなどの純粋なバーンカードが使えないので本気のデッキを組めないからです。

この作品のタイトルにはそういう意味も込めてあります
瑞貴はどんなに本気を出したくても、禁止カードなので出せない
それでも頑張ればこれぐらいできるみたいです。

ちなみに、ももえの私はわたくしと読み、私わたくしとなります
面倒なのでふりがなは振りませんが……確かももえの一人称ってそうでしたよね？

ついでに彼女の口調がよくわかりません
アニメを見てもサッパリです。

以下、おまけになんとかなくポケモン風に……

瑞貴はLVが上がった

瑞貴は脇役志望から主役級に進化した（ドロー力的な意味で）

瑞貴はチートドローを覚えた

やる気が50下がった

テンションが150下がった

逃げ出したい気持ち_が500上がった

諦めが100上がった

八つ当たりの気持ち_が80上がった

……なんとなくごめんなさい。

7話【八つ当たり戦】

視点 瑞貴

なんだ……こいつら？

俺の目の前には明日香の取り巻きその1とその2
ちなみに名前は覚えてない。

こいつらが俺の前でちよろちよろとして色々と叫んでいるのだが…
…邪魔すぎる。

「ちょっと、無視しないで話を聞きなさいよ！」

「そうですわ！」

私達の話を目に聞いてくださいますし！」

「……………」

そう、邪魔で煩いし声もでかい
ここは食堂だぞ、お前等は人の食事を邪魔して楽しいのか？

「人の話を聞きなさいって言ってるでしょ！！！！」

強くテーブルを叩く取り巻きその1
テーブルを叩かれる直前に食っていた牛丼は持ち上げて避けておいた
代わりに横に置いておいた水が溢れてる
仕方無い、淹れに行くか。

席を立ち、水を入れに行こうとする
しかしそれは取り巻きその2に邪魔された
目の前に立たれ、進路を塞がれた。

ならば違う場所の水を淹れに行こうとするも

今度は取り巻きその1に邪魔される

仕方無いので座って飯を食い始めようとするが、取り上げられた
また取り巻きその1に邪魔された。

水はともかく飯を取られるのは困る

が、相手をするとな面倒なので無視して再び券売機に向かう
半分も食えなかったがもう牛丼はいいや、軽いうどんでも食おう。

そう思っていたがまた邪魔された

面倒になってきたので取り巻きその1に足払いをしてやる。

「きゃあ、つつつつ熱うい!!!」

「大丈夫ですのジュンコさん!」

持っていた牛丼を頭から引っ被った

煩いので無視して券売機に向かう

金を払い、購買の人に券を渡す。

小声であんな事されたら困ると言われるが無視
水を淹れて取り巻き達と離れた場所に座る。

暫く待ち、うどんができたと言われて取りに行く
今度は何も言われなかった。

先程の席に座って何事もなかったかのようにうどんを食う
……やっぱり牛丼の方がよかった
でも1杯半も食えないから諦める。

向こうで小さな騒ぎが起こっているが完全に無視
食い終わり、食器を返して食堂を出る。

……

……

……

放課後、また明日香に話しかけられた
お前も大概暇なんだな？

「ところで瑞貴、ジュンコともえを知らない？
なんかお昼から姿を見せないんだけど」

「知らん、つか誰だよそれ」

「……私とよく一緒に居るブルー女子よ
元気で赤茶色の髪のジュンコとおしとやかで黒髪のももえ
女子寮の事件の時にも会ったでしょ？」

……そういえば居たな

完全に記憶から抹消されていたよ

そういえばあいつらにも名前が有ったんだな。

「そもそも自己紹介もされてなかったと思うが？
そんな俺があいつらを知っているはずないだろ？」

昼飯時に会った……というか勝手に来られたが嘘は言っていない
先程まで俺はあいつらの事を知らなかったのだからな。

「そう？」

どこに行っただのかしら……」

さて、悩んでる明日香は無視して帰ろうかなって
そう思っていたが人生そう甘くなかった。

「みーつーけーたー！

堅守瑞貴！ さっきはよくもやってくれたわね……！」

「ジュンコさん、淑やかさに欠けますわよ？

でも私もジュンコさんと同じ意見ですわ」

出たよこの煩い蠅共

お前等は昆虫族でも使ってバーサーカーされてりゃいいんだよ
それなら俺が面倒を被らなくて済むからな。

どうでもいいが、取り巻きその1の髪が濡れていた
牛井引っ被って風呂にでも入ってきたのか？

「……瑞貴、彼女達に何かした？」

「逆だ

俺がこいつらに付きまとわれてる

非常に迷惑で困るし邪魔だし煩いし鬱陶しい

こいつらのおかげで昼飯の牛丼を半分も食えなかった」

牛丼代かうどん代を返して欲しいぐらいだ。

「牛井……（今日もお昼抜きだし、お腹空いたわ……）じゃなくて彼女達に付きまとわれるって、貴方何したの？
それにさっきは彼女達の事を知らないって言ってたじゃない」

「嘘は言っていない
名前を言われてもわからなかったからな」

「……それは屁理屈って言うのよ？」

「だろうな」

そんな呆れた目で見るな
止めないともっと呆れさせるぞ。

「私達を無視、するな—————！！！」

「煩い」

一言で切り捨て、再び足払いをしてやる
また見事に倒れ、スカートが捲れたかもしれないのですぐに別方向を向く

中身は見ない、こんな事でフラグを立てて堪るか！

「だ、大丈夫ジュンコ？
後、声が大きいから下げてほしいんだけど」

「明日香さんまでそんな事言うんですか！？」

「いえ、私も少し声が大きいですわよ？」

「ももえまで!？」

こいつら漫才に來たのか？

何だかやっぱり面倒になったので無視して帰ろうとする。

「い かせ な い わ よ ー ー ー」

「ジュンコさん!？」

声、声が怖いですわ!」

別に怖く無いと思うぞ？

サブキャラとは思えないそれなりに良い声だ

声優って誰だろ？

それはともかく、邪魔してきた取り巻きその1改めジュンコ

そのジュンコを押さえる取り巻きその2改めももえ

ついでにこの2人を呆れた目で見ている親玉……もとい、明日香。

「瑞貴……この2人の相手をしてあげてくれない？

私からもお願いするから……ね？」

「……明日香、格安でカードを売ってやるからこいつらをどうにかしろ

場合に寄ってはプレゼントぐらいしてやる」

「ほら、ジュンコもももえも瑞貴の邪魔をしたら駄目よ

彼は面倒事を嫌ってるから、そんな態度だと絶対に聞きもしないわだから後日、落ち着いてから改めて言いに来なさい」

「明日香さんの裏切り!？」 「明日香様が裏切りましたわ!？」

まあまあだな、1枚プレゼントして他は格安にしてやろう
それにしても反転が早かったな……何故だ？

「う………もういいわ!

堅守瑞貴! あんた、私達と決闘デュエルしなさい!」

「断る」

「即答!？」

どうしてそうなる……また面倒になるな

ついでにどうして女子に囲まれてるんだ？

そして周りで俺達の事を見ている男子生徒共、羨ましそうな顔をす
るな

俺は嬉しくないどころか困ってるんだよ!

「私達と決闘デュエルしてくださいませんか？

この通りです、お願いですわ」

「だが断る」

「頭まで下げたのに即答しますか!？」

頭を下げられたが安心と安全のお断り

切り捨てられて涙目になっているから止められない

もっと怒ってくれたら楽しいのに……

「えっと……今度普通値に1割増しでカードを買わせてもらおうわ

だからこの子達の願いを叶えてくれない？」

「それでも断りたい

が、カードを10枚買い、全て5割増しでこいつらがその金額の4割5分ずつ持つのなら構わん

明日香は1割でいい事になるし、勿論俺が使う事を許可するのは明日香だけな」

「ジュンコ、ももえ

お小遣いがピンチになりたくないなら止めておきなさい

瑞貴の売るカードはぼったくりとも思えるぐらいかなり高いわよ」

失礼な

こっちじゃ数万もするようなカードでも向こうじゃ数百円なんだぞ？
その間を取って数千で売ってるんだから安いもんだろ？

おかげで明日香からかなり搾り取れた

特に使う予定は無かったらしいが一気に使いすぎたって嘆いてたな
買うと決めたのは明日香だから同情なんてしないが。

レッドアイズ・ブラックドラゴン

確か真紅眼の黒竜ってこっちは数十万ものプレミアカードだったよ
な？

向こうじゃ数百円で買えるのに……今度売ろうかな？

「……いいわ、買ってやろうじゃないの！

明日香さんにしか使わせないってのは気になるけど……」

「ええ、買って差し上げようじゃないですか

私達だって沢山お小遣い貰ってるんですもの、大丈夫ですわ！」

「私はどうなっても知らないわよ……どうせ私は得するだけだしね」

気のせいかな明日香、俺に染まってないか？

別にいいんだけどさ……苛められなくなるからあんまり耐性付けたらいかんぞ？

「わかった、なら移動しよう

教室でも狭いし注目も浴びている

もっと面倒事になる前に移動しよう」

「そうね、叩きのめしてあげるわ！」

「そうですわ！」

私達が絶対に勝ちます！」

「（そう簡単に勝てるなら苦労しないわ

それに瑞貴は注目の浴びない場所でするって言っていた

という事は使うのはエクゾディアじゃないわね）」

さて、場所は屋上にしようかな？

それなら目立たないし、他の生徒もあんまり来ないだろう。

視点 明日香

場所は屋上、どうやら1対2で戦うみたいね
ルールはどうするのかしら？

「ルールは俺が決める
フィールド、ライフは共通
つまり、2人でも最大モンスターは5体だし、魔法・罠も5枚まで
だ」

「いいわよ」「構いませんわ」

「ライフはお前らは……」

そうだな、10000やろう、俺は100でいい」

「「「なあ!?!?!」」」

ライフ差が100倍ですって!?!?

いくら何でもそれはあの子達を嘗めすぎよ!

確かに私じゃダメージを1ポイントも与えられなかったけど……

「ふ……ふざけるな!」

そんなの認めるわけないじゃない!」

「そうですわ!」

それに、私のデッキをわかってますの!?!」

そう、ももえのデッキは滅多に居ないロックバーンデッキ

たった100ポイントなら最初のターンで無くなってしまいかもし
れないのよ。

「お前らのデッキなんぞ興味無い

このルールで戦うのか? 戦らないのか?

ま、どう足掻いても俺には勝てないけどな」

「~~~~~いいわよ、やってやろうじゃない！
その言葉、絶対に後悔させてやるんだからね！」

「まったくですわ！」

その余裕、ぶち壊してさしあげますわよ！」

ジュンコが怒るのは珍しくないけどもえがあそこまで怒るのは珍しいわね

瑞貴の弄り方が上手いのかしら？

「「^{デュエル}決闘！」」

「先攻は俺が貰う

ドロー……えー？

これは酷い、なんという手札だ」

随分手札が悪そうだけど……本当にライフ100からで大丈夫なのかしら？

「俺はクリッターを守備表示で召喚

更にカードを2枚セットして、ターンエンドだ」

丸い姿に3つ目の悪魔が姿を現した

見た目は微妙だけど、あのモンスターのサーチ効果は強い
種族が戦士族だったら入れたかったわ。

「はん、あんな事言いながら結局守るだけ？

私のターン、ドロー！」

私は手札からフィールド魔法、伝説の都 アトランティスを発動よ！
この効果で手札の水属性のモンスターのLVは1下がるわ！

私はギガ・ガガギゴを召喚！ ターンエンドよ！」

ジュンコの十八番、海を使って強化した速攻

場には鎧を着た緑の爬虫類のようなモンスターが現れた

LV5だけどアトランティスの効果でLVは4、更に攻撃力は2650

序盤にこの高攻撃力は辛いわね。

「私のターンですわ、ドロー！」

手札から永続魔法、黒蛇病を発動！

私のスタンバイフェイズ時、お互いに200ダメージを受けます

更にターンが経過する毎に与えるダメージは倍になりますわ！

更にデス・ウォンバットを攻撃表示で召喚しますわ！

このモンスターが存在する限り、私は効果ダメージを受けませんわ！

これでターンエンドですわ！」

ももえも早くも十八番を使ってきた

これでダメージを受けるのは瑞貴だけ

ジュンコとももえはフィールド共通だからどちらもダメージは無い。

この布陣……どうやって突破するのかしら？

「俺のターン、ドロー」

俺はクリッターを生け贄に捧げ、マテリアルドラゴンを攻撃表示で召喚

そしてクリッターの効果を発動、このカードがフィールドから墓地に送られた時、攻撃力1500以下のモンスターを手札に加える

俺は墮天使ナースーレフィキュルを手札に加える

バトルだ、マテリアルドラゴンでデス・ウォンバットに攻撃」

瑞貴の場にオレンジ色のドラゴン……よね？

あんまりドラゴンに見えないモンスターが場に姿を現せる

あのモンスターの効果は……あれ？

もしかしてももえ達って凄く拙くないかしら？

マテリアルドラゴンは口から出した光線でももえのデス・ウォンバットを破壊する。

「あうう……ウォンバットちゃんが破壊されたので800ダメージですわ」

「俺のライフが少ないし場にはギガ・ガガギゴが存在するからと思っ
って油断したな？」

ブラフでもカードを伏せていればこうならなかったかもしれんのにな
更に魔法カード、ソウルテイカーを発動する

このカードの効果により、相手モンスター1体を破壊後、ライフを
1000回復させる

俺が破壊するのはギガ・ガガギゴだ」

「ちよっ！

モンスターを破壊するなんて卑怯よ！」

ライフ100相手に1ターン目から攻撃力2650を出した貴女が
言う？

そんな事に関係無く、ジュンコのギガ・ガガギゴが破壊される
そしてジュンコ達のライフが1000回復する。

「更に俺はカードを1枚セットし永続魔法、黒蛇病を発動してター
ンエンドだ」

「「ええ!？」」

やっぱりそういうデッキか

それならライフ100から開始でも不思議では無いわね

マテリアルドラゴンの効果を使えば……恐ろしい事になるわ。

ジュンコともえはマテリアルドラゴンの効果を知らないから驚いてるのね?

知っているなら納得するはずだし

となると伏せカードは……あのカードかしら?

これは拙いわね……瑞貴の場には伏せカードが3枚と黒蛇病どちらか大嵐を引かない限り、瑞貴に勝てないわよ!

「わ、私のターン、ドロー!

……クッ、私は弓を引くマーメイドを守備表示カードを1枚伏せてターンエンドよ」

ジュンコは高攻撃力のモンスターを引けなかったみたいね
マテリアルドラゴンさえ破壊できればなんとか……

「私のターンですわ、ドロー!

この瞬間、黒蛇病の効果によりお互いのプレイヤーは200ダメージを受けますわ

さあ、200ダメージを受けてくださいまし!」

ももえはそう言うが瑞貴のライフは……回復して300に増える
そしてジュンコともえのライフは……ダメージを受けて10000に戻った。

「回復したですって!？」

あんた、一体何をしたのよ!」

そしていつの間にか発動されている永続罨

やはりあの伏せカードの1枚はそのカードだったのね。

「永続罨、シモツチによる副作用を発動させた

このカードは相手が回復した時、ダメージに変換させる効果が有る」

「でも私達は黒蛇病の効果で元々ダメージを受けていましたわ!

それなのに貴方だけ回復するなんて……それに効果とこの現象が一致しませんわよ!」

「いえ、瑞貴の行動に何一つ間違いは無いわ」

「え、明日香さん、それってどういう意味ですか?」

「マテリアルドラゴンの効果は効果ダメージが発生した時に回復効果に変換させる効果よ

だから瑞貴のライフは回復した

そしてライフ変換能力は相手にも適用され、ジュンコ達も回復する

……はずだったわ

しかしシモツチによる副作用の効果が発生し、回復効果がダメージに変換される

だから貴女達はダメージを受け、瑞貴は回復したのよ」

私の説明に頭を痛めている2人

実は私も瑞貴に教えてもらっただけで詳しくは説明できないのよね

……

「でもその場合、ダメージを受けるならマテリアルドラゴンの効果で回復するんじゃないやありませんの？」

そうなのよね……でも私にもそこはよく分からないのだから視線を瑞貴に向ける

瑞貴は視線を受け、溜め息を吐きながら説明を始める。

「無限ループしない為の処置だ

ライフが回復する効果が発生した場合、シモツチによる副作用でダメージに変わるが、マテリアルドラゴンの効果で回復

ダメージを受ける効果が発生した場合、マテリアルドラゴンの効果で回復するが、シモツチによる副作用でダメージに変わる

これ以上ループしない為に元に戻ると決まったらしいぞ

つまり、俺は回復するがお前らはダメージを受けるとなるんだ」

なるほど、こういう時の事も考えられているのね

裁定者は大変ね、色んなカードの効果を把握しないといけないんだから。

「そんな……じゃあももえの黒蛇病って」

「そう、悪手だ

早々に消し去る事をお勧めする」

「くう……わ、私はボーガニアンを守備表示で召喚しますわこれでターンエンドです」

ももえが出したモンスターは1つ目の機械でできた弓兵
毎ターン600ダメージを与える効果だけど、今は600回復させる効果になってしまいわね。

「俺のターン、ドロ―……（これはチートドロ―への第一歩なのか？ 何か嫌だなあ……）」

この瞬間、黒蛇病の効果によりお互い200ダメージを受ける俺は200回復し500へ、お前らは200ダメージを受けて9800だ

俺は強欲な壺を発動、デッキから2枚ドロ―する」

ここでドロ―カード……前回のエクゾディアではかなり悲惨だったらしいけど

今回は逆に絶好調ね。

「俺はビッグバンガールを守備表示で召喚する

そして命削りの宝札を発動、手札が5枚になるようにドロ―し、5ターン後に全て捨てる

更にビッグバンガールにミスト・ボディを装備させる

ミスト・ボディを装備したモンスター戦闘では破壊されなくなる」

2度目のドロ―カードまで引くとはね

それに、ビッグバンガールの効果はライフが回復した時に500ダメージを与える効果

このままだとライフが削り落とされてしまう！

「更に伏せカードをオープン、永続罨、女神の加護

この効果で俺はライフを3000回復する

このカードが破壊された時、3000ダメージを受けるがな

そしてこの瞬間、ビッグバンガールの効果を発動

自分がライフを回復した時、相手に500ダメージを与える」

ビッグバンガールの持つ杖の先から炎が灯る

そしてジュンコ達に炎が襲いかかった。

「きゃあああ」

「更に手札から速攻魔法サイクロンを発動

フィールド上の魔法・罠を破壊できる

この効果により、俺は女神の加護を破壊する

当然、ダメージはマテリアルドラゴンの効果で回復する

そして再びビッグバンガールの効果で500ダメージを与える」

瑞貴の罠が風により破壊されて回復する

これで瑞貴のライフは6500

ビッグバンガールの効果で500ダメージを受け、ジュンコ達のラ

イフは8800

これが本当に100対10000で始まった決闘なの？
デュエル

「最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「まだ……まだよ！

私のターン、ドロ……やった！

さっき攻撃しなかったのはミスだったわね！

私は弓を引くマーメイドを生け贄に捧げ、リバイアドラゴン海竜一ダイダロスを召喚！

このモンスターはフィールドカード海を墓地に送る事で効果を発動
できるわ！

フィールド上のこのカード以外を全て破壊する！」

残念ねジュンコ、それは無理よ。

「マテリアルドラゴンの効果を発動

手札を1枚捨て、フィールド上のモンスターを破壊する効果は無効

し、破壊する」

「え？」

マテリアルドラゴンが光ったと思ったらダイダロスが苦しみ、消滅した

瑞貴はこの事を考えて手札を温存していたのね
相変わらず守りが堅いわ。

「そんな……そんな……わ、私はこのままターンエンドよ」

「落ち込まないでくださいまし、ジュンコさん
私のターン、ドロー

黒蛇病の効果で400ダメージがお互いに、そしてボーガニアンの
効果で相手に600ダメージを与えますわ」

「しかし俺は合計1000回復、お前達は400ダメージだな
そしてビッグバンガールの効果で500ダメージを2回だ」

ももえの手札にバーン効果を持っていないモンスターが無いんでし
ようね

守りを固める為にもデメリットは多くともモンスターは出す必要が
有った

でもこのままだと……

「私は……私も何もせずにターンエンドですわ！」

悔しそうにするももえ

自分の十八番を奪われた気分なんでしょうね……

「おっと、お前のエンドフェイズ時に俺は神の恵みを発動するこの効果により、俺はドローする度にライフを500回復する」

「「そんな!?!」」

これで瑞貴のライフ回復コンボは更に速度を上げる
2人とも、早く大嵐を引き当てなさい!

「俺のターン、ドロー」

この瞬間、神の恵みによりライフを回復し、ビッグバンガールの効果で500ダメージを与える

そして黒蛇病の効果によりお互いに400ダメージ

俺は回復するのでビッグバンガールの効果で500ダメージを与える
更に先ほどマテリアルドラゴンの効果で捨てた墮天使マリーの効果
発動

スタンバイフェイズ時にこのカードが墓地に存在している場合、
ライフを200回復する

よって回復し、ビッグバンガールの効果で更にダメージを与える」

なんというえげつないコンボなの……

まだメインフェイズにも入っていないのに1900もダメージを与えるなんて

嫌らし過ぎるわ!

「これで俺のライフは8600、お前らのライフは5500
いつの間に逆転したんだろうな?」

嫌味過ぎるわ! 性格が悪すぎる!
でも強いのが悔しいわ!

「墮天使ナースーレフィキュルを守備表示で召喚
このモンスターはシモツチによる副作用と同じ効果を持ったモンス
ターだ

大嵐だけじゃあこのコンボは止められないぞ？」

でもそのモンスターの守備力はたった600

倒すのは難しくないわ。

「俺はこのままターンエンドだ」

ジュンコのリバーズカードを警戒してるのかしら？
それともこのまま待つだけで勝てると思ってる？

「私のターン……良いカード、お願いだから来て、ドロー！
……やった！ 私ってば天才！？」

魔法カード、大嵐を発動！

場の魔法・罠を全て破壊するわ！」

「やりましたわジュンコさん、これで勝てますわ！」

確かにジュンコのドローは素晴らしいわ

でも、それが瑞貴に通用するかしら？

何重にも保険を掛けるような慎重な相手に……通用する？

「甘過ぎるわ！ カウンター罠発動、アヌビスの裁き！

手札を1枚捨て、魔法・罠を破壊する効果を持つ魔法カードを無効
化、更に相手の場のモンスターを1体破壊しその攻撃力分のダメー
ジを与える

そちらの場にはボーガニアンしか存在しないからな、ボーガニアン
を選択する

ボーガニアンの攻撃力、1300ダメージを受けてもらおうか？」

ボーガニアンが爆発し、爆風がジュンコともえを襲う
やっぱりあんな効果のカードを忍ばせていたか……

当然といえば当然だけど、いざ見てみると恐ろしすぎるわ。

「更に俺が捨てたのはドクロがん レディバグ髑髏顔天道虫

どんな方法でもいいので墓地に送られた瞬間、1000回復する効果だ

よって俺のライフが回復し、ビッグバンガールの効果で500ダメージだ」

これで瑞貴のライフは9600、ジュンコ・ももえチームは3700
ライフ差がどんどん広がっていく！

「私は……ターンエンドよ」

今度こそ勝てると思った矢先にこれ……ジュンコは闘気を完全に失っている

その気持ち、よく分かるわ

私もあの時のエクゾディアの時……泣きたくなったもの
理由は違うけど本当に泣いちゃったし。

「私の……ターン、ドロー！」

黒蛇病の効果が発動されますわ

貴方は800回復、私達は800ダメージとビッグバンガールの効果で500ダメージですわ」

これで瑞貴のライフは10400、ジュンコ・ももえチームは3400

とうとう瑞貴のライフが10000を越えてしまったわ
しかもジュンコ達は今だに瑞貴のライフを1ポイントも削っていない
彼女達はそれに気付いてるかしら？

「私はプロミネンス・ドラゴンを守備表示で召喚しますわ
そのままエンドフェイズ、プロミネンス・ドラゴンの効果で相手に
500ダメージを与えますわ
しかしマテリアルドラゴンの効果で回復、私達に500ダメージ：
…ターンエンド」

ももえの心も折れた
彼女達はこれ以上続けられないわね。

「俺のターン、ドロー
神の恵みで500回復、そして500ダメージを与える
黒蛇病の効果で800回復、そして計1300ダメージ
墮天使マリーの効果で200回復、そして500ダメージだな」

瑞貴のライフは12400、ジュンコ・ももえチームは残り600
もしこのターン中に2回回復が行われたら負けが決まるわ
手札1枚じゃ無理でしょうけどね。

「……俺は大嵐を発動、お互いの場の魔法・罠カードを全て破壊す
る」

ジュンコの伏せたカードは聖なるバリア・ミラーフォース
呆気なく破壊され、彼女達の間にはプロミネンス・ドラゴンのみ。

瑞貴……貴方、最低ね
ここまでバーンダメージを与えておいて、最後は戦闘で勝つだなん

て。

「レフィキュルを攻撃表示に変更

そしてプロミネンス・ドラゴンに攻撃し、破壊

最後にマテリアルドラゴンで直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「「きゃあああああ！！！」」

レフィキュルがプロミネンス・ドラゴンをかぎ爪で切り裂く
あんな見た目だけど、あのモンスターって天使族なのよね……

最後にマテリアルドラゴンが口から光線を出し、それはジュンコ達
に直撃した

彼女達のライフは0、瑞貴の言う通り彼女達は瑞貴に勝つ事はでき
なかった

それも……ライフを1ポイントも削る事もできずに。

……………

……………

……

「いや、危なかった

かなり運が良かったよ」

「「……」」

「瑞貴、嫌味にしか聞こえないわよ」

あの状態でどうやってジュンコ達が勝てたのよ
皆目検討も付かないわ。

「いや、今回は本当に運が良かった

最初のターンにマテリアルドラゴンが来た事

ソウルテイカーを持っていた事

最初のターンにミラーフォースを伏せられなかった事

ギガ・ガガギゴとかのマテリアルドラゴンを越えるモンスターが来
なかった事

デス・ウォンバットがまた出なかった事

ダイダロスで戦闘されなかった事

ドロー系カードを2回も引けた事

ビッグバンガールを破壊されなかった事

そもそもシモツチによる副作用が早く来てくれた事
本当に運が良かった」

確かにそう聞くとかなり運が良かったように聞こえる
もし何か1つでも違えば負けていたのは瑞貴だったかもしれないわ
ね。

「さて、話しが有るんだろ？
聞いてやるから話すがいいさ」

そういえば元々はそれが切欠だったわね
どんな話だったのかしら？

「あ……な……あ……よ」

「「ん？」」

声が小さくて聞こえなかったわ
瑞貴も同じらしく、少しジュンコの声に耳を傾ける。

「あんたが、あんたが明日香さんを泣かせたから謝らせようと思ったのよ！」

「断る」

「私が驚く前に断らないで！」

ジュンコも、どうしてそんな事しようとしたのよ!？」

瑞貴に謝られる理由にならないし……

むしろあの時は私が謝ってたのよね

……あんな大勢の前で泣くなんて、恥ずかしかったわ。

「だって、あんな風に泣く明日香さんなんて初めて見たんですよ! そんな明日香さんを泣かせたこいつを許せるはず無いじゃないですか!」

「そうですね！」

女性の涙はとっても重いんですよ!

だから堅守さんは謝る必要がありますのよ!」

私としては謝られても困るんだけどね

こっちから謝りたいぐらいだし。

「ふむ、どうでもいいがももえ……だったか？」

「なんですかの？」

今ここでももえが出てくる理由が分からないわ
でも瑞貴の事だし、全く関係の無い上、ももえを怒らせるような事

を言うんでしょね。

「お前、話し方が鬱陶しい、だから黙れ」

「全く関係無いじゃないですか――！」

……やっぱり怒るような事だったわ

しかも本当に全く関係無い話だし

でも少しだけ同意しちゃうのは内緒よ？

「それでいい、それなら許す

もっと碎けた話し方をしろよ」

「だから、どうして、貴方は、そんなに、偉そう、なん、ですの！
？」

「最後が余計だな

もっとその半端に丁寧な口調は止めたら？

多分2人ともそう思ってるぞ？」

ももえがジュンコを見る

ジュンコは目を逸らした。

ももえが私を見る

私もつい目を逸らしてしまった……って、目を逸らしたら駄目じゃない！

最後にももえは瑞貴を見る

瑞貴は凄く良い笑顔で頷いた。

「う……ふえええーん」

「あ、ももえ！」

えっと……それじゃあ明日香さん、また！
ももえ待ってー！」

「あ、うん、またねジュンコ
今更だけでもももえも元気出してね？」

泣いて走り出すももえ
そのももえを追いかけるジュンコ
私は唾然としてしまっただけで送ってしまった。

「トドメを刺したのお前じゃん
しかも追いかけないとか……ひでえ奴だな」

「貴方があんな事を言わなければ済んだ事でしょ！？」

何を他人事のように……
実際他人事だけど、もう少しこう……何か無いの？

「別にいいだろ？
負けて落ち込んだのを元気にしてやったんだ
感謝されども責められはしないだろ」

「え？」

今……なんて？

「……………何でもない

それで、カード見るのか？

あいつらが気になるなら止めてもいいぞ？」

「えっと……どうしようかしら

今回は止めておくわ、あの子達が気になるしね」

それにさっき言っていた事も気になるしね

もし本当なら本人達には言わない方がよさそうね

余計な事をされたとか思われるもの不本意でしょうし。

瑞貴から背を向けて歩き出す

ジュンコ達に意識が向いていたせいか、最後の瑞貴の言葉を聞き逃した事に気付かないまま……

「クソッ、段々素に戻ってきた

早めにどうにかしないと……本気で誰か潰すか？」

7話【八つ当たり戦】（後書き）

女の子にあんな事をするなんて……
どうでもいい相手なんで気にしない
本気でそう思っているみたいです。

明日香……お小遣い……大丈夫？

大丈夫じゃありません

明日香も頑張っているんです、誰か助けてあげて！

……誰も助けてくれませんがね。

カードの値段がぼったくり過ぎる！

それでも買う馬鹿が居るので売ります

余ってるからいいんです、実験鼠ですしね。

明日香が瑞貴の使用デッキがエクゾディアじゃない事を何故知っているの？

瑞貴が直接話しました

ちなみに、最初に明日香と戦ったデッキの事も教えてます

明日香は引き攣った顔をしたそうです。

何で瑞貴はハンデ戦を？

ビートデッキならそれでも勝てる可能性は高いと思ったからです

キュアバーンの強さにそれなりに自信も持っていました

勝敗に興味が無いので負けても別に痛くも痒くも無いので全く問題になりませんし。

最初の瑞貴のえー？　って何？

何故こんなに運が良いのかと思っています

俺ってかなり運が悪い方だよな？
そう自問自答していました。

ジュンコともえのデッキは？

色んなGXの小説を読んでジュンコは海デッキ、ももえはロックバ
ーンをアニメで使っていたそうです

作者はアニメを最後まで見ていないので知らないのです……

更にタッグフォースもした事ありません

買おうと思っているんですが、クリアまで時間が掛かるだろうとい
う理由で止めておきました

でもタッグフォース5は買おうと思っています（というか予約しま
した）

初タッグフォースです、きっとクリアできません。

明日香が瑞貴のデッキを当ててたけど、そんな知識を持ってるかな？
瑞貴との話で明日香の視野はかなり広がっています

コンボについても色々と話しているので数枚のカードでデッキ内容
を予想できるようになりました

無論、予想だけなので油断して予想外の展開にならないようにして
います。

なんというご都合ドロカード連打！

キュアバーンが難しすぎるんです！

カード消費が半端無いです！

それに向こうじゃいくらでもドロ強化カードを使えるので問題無
いかと思いました

じゃなきゃアニメの困った時のご都合ドロ無しで勝てるはずがあ
りません。

瑞貴の素って？

前話でも有りましたが、瑞貴は根はかなり優しい人物です
嫌いな相手でもつい手を差し伸べてしまうようなお人好しです
が、普段が普段なだけに誰も気付きません

今回は少し漏らしてしまいましたが……

更に瑞貴自身もその優しさを表に出す事を嫌っています

普段から細心の注意を払って優しさを隠します

そうでなければ原作キャラに懷かれてしまいますので。

最後の潰すって……

そうする事で自分の優しさを隠そうとしています

誰かを本気で潰せば瑞貴が優しいだなんて誰も思いません

それに嫌われている方が色々動きやすいという計算も含まれています。

8話【VS十代&翔&隼人 前編】（前書き）

超難産でした……まさかここまで長くなるとは……前編後編合わせ
て予想よりも倍近く時間が掛かりました

今回は長くなってしまったので前編後編と分けさせていただきました
前置きが長い？ 明日香を苛める為には仕方無いと思います

反省もしなければ後悔もしません、苦情は受け付けますが多分変わ
りませんし変えません。

前編後編の両方を一気に投稿しようかと思いましたが

それだと皆さんが内容を予想したとして、裏切られた！

と、そう思うかもしれない楽しみが無くなってしまいうので明日の0
時に投稿します。

作者はSですか？

はい、Sだと専らの噂です（家族友人から本当に言われました）

今回はゲームオリジナルカードが出ます

他にもアニメオリジナルカード、原作効果などです

ですのでこの作品の真似は絶対にできませんのでご注意ください。

8話【VS十代&翔&隼人 前編】

視点 瑞貴

今日は久しぶりに普通のデッキを組んだのよー
結果……なにこえ？

さすがゲームオリジナルカード、効果がぶっ飛んでるな。

それでも使う俺に誰もが呆れるだろう

しかし問題無い、何故ならゲームオリジナルカードは存在しないからな

持っているのは俺だけ……だと思う。

もし俺と同じようにこっちに来てる人間が居た場合はその限りじゃないな

少なくとも会った事無いし、可能性としては無いとは思わないが低いだろう。

さて、最後に調整して……と、思ったら扉が叩かれた
こんな夜中に誰だ？

もう既に消灯時間も過ぎて0時近くなんだが……

扉を開けると……また明日香か

お前な、こんな夜中に何の用なんだ？

とりあえずからかっておくか。

「夜這いは受け付けてないぞ」

「よばっ!？」

……んん、そんなのじゃないわ」

「チッ、叫んだら本気で追い出してやろうと思ったのに
で、本当は何の用だ？」

言い難そうにしてるが、それなら最初から来るなよ
面倒事に巻き込まれそうで嫌なんだ
だから帰ってこないかね？」

「その……私の用事に付き合ってくれないかしら？」

「寝言は寝て言え

丁度夜だし、寝不足は体に悪いぞ」

「その台詞、そっくりそのまま返すわ
毎日隈を作って学校に来てる貴方に言われたくない」

そりゃそうだ

俺は毎日睡眠時間が短いからな
3時間寝ればそれなりに動けるから十分だと思うけど。

「ちなみに用事って何だ？」

「この島の裏に特待生の寮が有るの
今は潰れてるみたいだけど……そこに行きたいのよ」

「論外、本当の事を言え」

苦そうな顔になるがその顔が見たい

しかしそんなに言いたくない事か？

というか、そんなイベントって存在したっけか？

「私の兄が……そこで行方不明になったの

兄の手掛かりが少しでも欲しくて……

1人で行ってもいいんだけど、心細くってね」

「怖いし寂しいから付き合ってほしいってか？」

「……もうそれでいいわ

で、付き合ってくれるの？」

縋るように見られるが、俺としては何のメリットも無いな
行って途中で引き返してやろうか？

夢中で何かを探している明日香を無視して帰るとか？
それは楽しそうだな、決まりだ。

「いいぞ」

「え？」

瑞貴、貴方熱は無いわよね？」

気持ち分かるが失礼じゃないか？

途中で帰る気満々とはいえ、せっかく行くって言ってやったのに。

「行く気が失せた、俺は寝るから勝手にしな」

「ご、ごめんなさい……謝るから一緒に来てくれない？」

「最初からそう言えばいいんだよ

まったく、だからお前はアホなのだ」

悔しそうな顔がいいよね

これだから明日香弄りは止められないな。

軽く準備して部屋を出る

念のためにデッキは持って行くぞ

今できたばかりのゲームオリジナルカード入りデッキだ
凶悪な効果だからいざという時に使おう。

勿論普段のエクゾディアデッキも持って行く

他のバーン系、ロック系なども当然な

俺は常にデッキを5個から10個は持っているからな。

この世界じゃいつ何処で決闘デュエルさせられるかわからん
怖い怖い、万が一や念の為ってのは重要だと思う。

.....

.....

.....

やってきました、廃寮

ボロいけど……これって数年のボロさじゃないよな？

絶対かなりの年月を掃除もしてないはずだぞ

つうか壊れすぎ、誰かが意図して壊したとは思えん。

花を添えてる明日香

感傷に浸るのはいいけどさ

俺がここにいる事忘れてないか？

立ち上がり、寮を睨む

それはいいんだけどさ、俺がここに（以下略）

なんというかさ、感傷に浸ってる自分に酔ってないか？

悲しいとは思うけど、俺としては理解できん

まあ知り合いの誰も行方不明になってないから当然んだけどさ。

「入るのか？」

「……いいえ、まだ見回り程度のつもりよ

何回か調べて、無害そうなら入ってみようかと考えてるわ
ごめんなさいね、こんな事に付き合わせて」

「構わん、着いていってやると決めたのは俺だ
悪いと思うのなら別の事で返せ」

「ふふ、そうさせてもらうわ」

懐中電灯を片手に歩き出す

ちなみに俺は懐中電灯を持ってない

夜中に起きてる事が多いせいか夜目が利くんだ

少し時間があれば真っ暗の部屋でも殆ど見えるぞ

……これって普通か？

そう思ってるのと十代達が来た

お前ら何しに来たの！？

そう思って話を聞いていると探検だそうだ

探検なんてしてる暇があるならもっと勉強したらどうだ？

お前ら全員成績悪いだろ？

明日香が兄の事を出しても十代達は止まらない
表に出してないがかなり心配してるんだぞ？

お前らが聞かないと分かった時の苦い顔
それに気付かないなんて、お前らもガキだな。

俺は嫌がらせの為に顔色を窺ってるからよくわかる
おかげで楽しい思いをさせてもらってるぞ。

「そういや瑞貴は何で明日香と一緒に居るんだ？」

「今更か？」

明日香が1人じゃ寂しいからって俺を強引に……」

「ちよっ！ 勝手な事言わないで！」

少し鬱陶しそうに言ってやる

明日香は慌ててたけど、一応お前も認めただろ？
結局、俺を誘った理由はイマイチわからんがな。

「はぁ、もういいわ、勝手にしなさい」

踵を返して歩き出す

俺はそんな明日香の後を追いかける

別にもう帰ってもいいと思ったが、もう少し付き合ってもいいだろ
うとなった

暇潰しにもなるしな。

十代達から離れ、廃寮の周りを歩く
特に何も無さそうだが……

それと明日香、あんまり近づくな
もしかして怖いのか？ 女の子かよ……女の子だけどさ。

原作だと俺は居ないからな、その場合1人で来たんじゃないのか？
気を張ってたとかやせ我慢だったのかね？

こうなると明日香も可愛いもんだな
それでも苛めるのは絶対に止めないが。

だがこのままだと邪魔だし鬱陶しい
別行動でもするか？

そして隠れて様子を伺ってやる。

「明日香、このままだと何も進展しない
一端別行動をしないか？」

「そ、そうね

せっかく2人なんだし、その方が効率的よね」

ドモってるのが良い感じだ

簡単に時間を決めて早速離れる

明日香が少し挙動不審なのが最高。

……ん？

影が明日香の後ろに……無視するか。

影になっていた大男は明日香を気絶させ、背負って連れて行く

どうしようか……無視して帰ってもいいんだよね？

覚えてないけどイベント的に十代が助けと思うし

俺が手を出さなくても結果は同じだろう。

だがそれだと俺が楽しくないな
せつかくからかえそうなチャンスなんだ
これを逃すのは少し惜しい。

そうと決まれば急いで廃寮に入る

明日香を気絶させた大男は歩いていたので簡単に見つけられた
気付かれないように静かに着いていき、大部屋に着いた。

しかしこの大部屋の意味はなんだ？

何かの実験場とか？ デュエルフィールド それとも決闘場？

つうか棺桶とか髑髏とかあるんだけど……マジで何の部屋だよ。

部屋に着き、明日香の腕を縛る大男

棺桶の中に入れた瞬間、明日香が目を覚ました。

「ん……ん？

な、何よこれ！？」

「ふっふっふ、貴様には遊城十代を誘き出す餌になってもらおう」

そう言って持っていた……千年パズル！？

しかし確かアレは既に廃村となった元クル・エルナ村の地下に埋ま
っているはずだ

となると……偽物かな？

いい加減邪魔するべきだな

大男の背後に静かに近づき、足払いを食らわせる。

「むおお！？」

倒れる大男

そして俺に気付く明日香。

「み、瑞貴!？」

「さて大男、死にたくなかったら全て話してもらおうか？」

黙秘は認めない、その偽千年パズルの事、明日香の事、十代の事、そして目的

全て話したら解放してやろう」

俺は隠し持っていた折り畳みのナイフを倒れた大男の首筋に添える
こっちでは何故か危ない事が多いけど、使う機会は無いと思っていたが……

勿論これで誰かを殺すつもりは無い

しかし……殺しはしないが必要ならば手足を切るぐらいはする
ま、殺人は俺だって絶対に遠慮するけどな。

「な、何者だ貴様!」

「そんな事を言う許可はしてない

言う気が無いのなら俺から質問してやろう

最初はお前の名前から教えてもらおうか？」

「ぐううう……」

体格の割に臆病だったらしい

案外素直に話してくれた。

名前はタイタン、千年パズルを持って闇のゲームをする決闘者とし
デュエリスト

て裏で通ってるらしい

無論千年パズルは偽物、軽い暗示を掛けて錯覚を起こし、相手にプレッシャーを与えるらしい

内容は体が消えていくタイプで人に依って消え方が変わるのが欠点だそうだ。

明日香を誘拐した目的は依頼だった十代と戦う為の餌

依頼主は絶対に言えないと言われ、軽く頬を切っても言わないので諦めた

雇われ者が雇い主を教えるのは裏世界では最低の事だから仕方無いか。

どうやら他に聞き出せる事は無さそうだな

そう思った俺は素直にタイタンを解放する

俺の事をかなり警戒してるが……そうだ、おもしろそうな事を思いついた！

「なあタイタン、お前の目的は十代を倒す事なんだろう？」

「そうだ、私はそう、依頼を受けた」

「ならおもしろい事を思いついたんだ

一口噛まないか？

噛むんだったらお前の事……誰にも話さないと誓おう」

「何？」「ちょ、瑞貴！？ 貴方を考えて……」

このリアクションの違いが楽しい

これは良い余興になりそうだ……あー楽しい！

「明日香にも手伝ってもらうからな
もし手伝わないのなら俺はこのままお前を置いて帰る
そして二度とお前の用事に付き合わん！」

「ぐ、それは困るわ
念の為に訊くけど、それは安全なんでしょうね？」

「安全だ、俺達に罪は無い
悪い事も十代達の悪意も全部タイタンに被って貰う」

「貴様、さすがにそれは聞き捨てならんぞ！」

慌ててるけど特に問題無いだろ？
だってお前、この回だけの特別ゲストじゃん
声が元世界で聞いた事が有るから有名声優か？
それだったらこんな単発回に登場するなんて特別だし勿体な過ぎる
よな。

「どうせデュエル・アカデミアに来るのって今回だけだろ？
だったらいくら悪意を被ったって恨みを向けられないんだからいい
じゃん」

「それはそうだが……私とて、怨まれたくてこんな仕事をしている
のでは無いんだぞ？」

「金の為だろうが
その代わり、色々と黙っててやるし手伝ってやるんだから依頼料を
一部寄せ
俺と明日香に3割ずつの計6割な
勿論先払いで」

「貴様、恨み辛みだけでは飽きたらず、金まで取るつもりか!？」

「俺に会った不幸を怨め

ついでに俺と一緒にだった明日香を狙ったのが悪かったな」

「ぐうう、いいだろう

その代わり、キチンと手伝ってもらうからな」

「交渉成立

じゃあ俺の考えを話すぞ

明日香も真面目に聞けよ?」

あー楽しい

これだから人弄りは止められん

まさか大の大人まで苛められるとは思わなかったよ。

俺の話を聞いて呆れる2人

一緒に呆れるなんて仲が良いなお前ら

そしてお前らで顔を合わせて同時に溜め息を吐くな、寂しいじゃないか。

それはともかく、どちらに乗ってくれた

タイタンは俺との契約も有ったし、ノリも有ったと思う

明日香としては金だろうか? やっぱりちよつと搾り取り過ぎたかな?

どうせ自分は怨まれないんだしいいか、そう開き直ったような気もする。

では計画開始

まずは誘き寄せる餌の1つとしてカードを途中の道に落としておく
内容は当然明日香のカード、十代の前で使ったエトワール・サイバ
ーだ。

次に明日香に叫び声を出してもらう

目的は十代達の呼び出し

主人公だし、絶対来るはずだ。

明日香には棺桶で寝た振りをしてもらう

俺はその棺桶の後ろで身を潜める。

タイタンのトリックの1つ、白い煙

この煙ってなんだろう？ 少し肌寒いからドライアイスか？

準備が完全に整い、そして……十代達が来た

さあタイタン、お前の演技力を見せて貰おうか？

「あ、明日香!!!!!!」

「ふふふ、この者の魂は深き闇に沈んでいる」

「誰だ!?!」

十代の言葉に煙の中から姿を現せるタイタン

うん、なかなか威厳が出て格好いいぞ

話し方がちょっと硬いのは俺のせいかな？

「ようこそ遊城十代」

「誰だ貴様は!」

威勢が良いのはいいけどな十代
もう少し考えたらどうだ？

下手に相手の機嫌を損ねて明日香に危害を加えられたらどうする？

「我が名はタイタン、闇の決闘者」
デュエリスト

「貴様、何者だ！ 明日香に何をしたんだ！？」

「私は闇のゲームを愛する闇の決闘者」
デュエリスト

「ふざけんな！ 闇のゲームなんて、有るわけないだろ！」

他の奴もちよくちよくと何か言っていたが置いて、十代とタイ
タンの台詞だけ
だが残念だな十代、闇のゲームは実在する
信じないのはお前の勝手だけだな。

「ふふん、試してみればわかるだろうよ小僧
ここは何人も踏み入ってはならぬ禁断の領域
我はその誓いを破る者に、制裁を下す」

「ここで居なくなった人達はお前のせいだな！
明日香は、返して貰うぜ！」

いやいや、勝手に話しを進めたら駄目だと思うぞ十代
それと後ろのでかいの、何鞆の中を漁ってる？
シリ阿斯が台無しじゃないか。

「私に闇のゲームで勝てるならな……遊城十代」

デュエルディスク
そしてでかいのから決闘盤を受け取る十代
それを探してたのはわかったけど、やっぱりシリアスが少しだけ壊
れたぞ？

「望むところだ！」

「ふふふ、だが少し待つがいい
お前の相手は、私だけではない！」

「何い？」

タイタンの言葉に明日香が目を覚まし、棺桶から出てくる
そして俺も棺桶の後ろから姿を現す。

「明日香！ 瑞貴まで！？」

動き出した俺達に驚く十代達
だが、これでは終わらないぞ？

「この者達の魂は私が握っている
つまり、この者達を動かす事も可能なのだあ」

「そんな……」

デュエルディスク
タイタンの両隣に立ち、黙って決闘盤を構える俺と明日香
タイタンも決闘盤の準備を整える。

「さあ始めよう

我らは3人、貴様らも3人

3対3の変則マッチだ!」

「何だって!?!」 「そんな、僕達まで!?!」 「お、俺も入ってるのか?」

そうそう、そうやって驚いて不安になる所を見たかったんだ
頑張って俺達を助けてくれよ?

『瑞貴……やっぱり私、彼らを苦しめるような事をしたくないわ』

タイタンに気付かれないように明日香に渡した盗聴器から声が聞こえる

イヤホンから聞こえてくる明日香の声に、俺も自分の襟に付けた盗聴器に話しかける

それは明日香に耳に付いているイヤホンへと声が流れる。

『今更止めるのは許さない』

それにこれはインチキ決闘者^{デュエリスト}の偽闇のゲームだ

実際には全く被害は無い

あいつらが勝てば良し、負けてもタイタンに俺達を解放させるから
敗北に落ち込むぐらいだ』

『……………今回だけにしてよ?』

私も今回だけは我慢してあげるから』

その為に今回はかなり弱いデッキを選んでる

明日香が使うのも俺が調整する前の駄目デッキだ（一部手を加えているが）

これなら負けてもそう不思議じゃない。

しかし十代達は俺達の決闘^{デュエル}を見てる
油断できるとは微塵も思っちゃいないだろう。

「さあ、この女のカードを返してやるがいい
お前達を誘き寄せる為に置いたカードなのだからな」

十代が怒りの感情を滲ませながら明日香にカードを投げ飛ばす
いやいやいやいや、なんでそんなに真っ直ぐ飛ぶんだよ！？
しかも普通に受け取る明日香がすげえ！？

そういや社長にもカードを投げるシーンが数回あったな
その時も真っ直ぐ飛んだし、しかも人に刺さらなかったか？
うろ覚えだから微妙だけどさ。

そして向こうの水色、でかいのも準備が終わったらしい
でかいのをでかいので統一してるけどさ、あのでかいのって何て名
前だ？

全く持ってどうでもいいけどさ。

「ライフポイントは全員共通で8000ポイント
フィールドも全て共通でモンスターは全部で5体まで
魔法・罠も全て5枚までだ

カードを出す時には注意するんだな
順番は貴様らが決めるといい、私はいつでも構わん」

「……なら翔、瑞貴、俺、お前、隼人、明日香の順番だ」

「いいだろう、さあ、闇のゲームを始めよう！」

「「決闘^{デュエル}！」」

威勢が良いのは十代だけ

水色は怖じ気腰だしでかいのは挙動不審

それで大丈夫……じゃないだろうな！

あー見てて楽しい！

「ぼ、僕のターン……ドロー！

僕はジャイロイドを守備表示で召喚！

カード1枚を場に伏せて、ターンエンド！」

出だしとしては悪くないな

怖いし、最初だし、とりあえず守ったってところか？

「俺のターン、ドロー

手札から永続魔法、コスモクイーンの祈りを発動

この効果により、手札からコスモクイーンを特殊召喚する」

俺の場に攻撃力2900の魔法使いの女王が姿を現せる

美人なんだけど顔に影が入ってるのが惜しいな

もう少し明るい格好をしたら使い手も増えるかもしれないのに

主に見た目のアイドルカードとして。

コスモクイーンの祈りはゲームオリジナルの壊れカードの1枚だ

ゲームでは儀式モンスターだったが、こちらでは通常モンスターだから簡単に出せる

さあ、弱いデツキとは言うがまだまだ行くぞ！

「更に手札を1枚捨てる事で手札か墓地から守備力2000以下の魔法使い族を特殊召喚できる

マジカル・マリオネット

手札を1枚捨て、手札から魔法の操り人形を攻撃表示で特殊召喚

このモンスターの上級モンスターで攻撃力は2000だが守備力は1000だ

更に1ターンに1度、墓地から魔法使い族でLV4以下の通常モンスターを特殊召喚できる

先ほど捨てたデュエミナイ・エルフを攻撃表示で特殊召喚」

「そんな！ 最初のターンから攻撃力の高いモンスターが3体も並ぶなんて!？」

『瑞貴、やり過ぎよ!』

だが断る、まだ俺のターンは終了してないぜ！

「更に手札から古のルールを発動

手札からLV5以上の通常モンスターを特殊召喚できる

手札からLV7魔法使い、ブラック・マジシャンを特殊召喚」

「「『ブラック・マジシャン!?!』」」

俺の場に、武藤遊戯と同じブラック・マジシャンが姿を現す

うん、格好いいぞマハード、古代エジプト編での散りっぷりには感動すら覚えた

でも俺にはそんな事は関係無い、このブラック・マジシャンは俺のカードだ。

「そんな……伝説の決闘者^{デュエリスト}、武藤遊戯と同じブラック・マジシャンだなんて」

「何で瑞貴が、ブラック・マジシャンを持ってるんだなあ？」

『まったくよ！』

それに本気を出しすぎじゃないの！？』

明日香……小さい声で叫ぶなんて器用な事できるんだな
それに本気じゃないぞ？ 俺の苦手なビート系デッキだからな
さて……潰すか！

「デエミナイ・エルフでジャイロイドに攻撃」

双子のエルフがジャイロイドに殴り掛かる

ジャイロイドはその身……身か？ 丸めて耐える
破壊できないのでエルフ達が諦めた、ご苦労さん。

「だ、だけどジャイロイドは1ターンに1度だけ戦闘では破壊されない！」

「知ってる、魔法の操り人形でジャイロイドに追撃」
マジカル・マリオネット

人形師の持つ人形が剣を振りかぶり、ジャイロイドに叩き下ろす
ジャイロイドは避けようとするも間に合わずに破壊された。

「そんな……僕のジャイロイドが」

「続けて攻撃」

ブラック・マジシャンで水色ダイレクトアタックに直接攻撃」

ブラック・マジシャンの杖の先に黒い光が灯る
黒い光がプレイヤーに向けて打ち出される。

「操られてても僕って水色のままなの！？」

うわわ、手札からカイトロイドを墓地に送って効果発動！
1度だけ戦闘ダメージを0にできる！」

「追撃のコスモクイーンで直接攻撃」
ダイレクトアタック

コスモクイーンは両手を前で止め、他の魔法使い達と同じく黒い光を貯める

お前ら魔法使いってのは光を放つのが趣味なのか？

「もう1回カイトロイドの効果発動！
このカードが墓地に存在する時、1度だけ戦闘ダメージを0にできる！」

あのカードOCG化しないかな？

俺は持ってるけど、あれってクリボーの上位相関だよな？
機械族だし、色々と悪用できそうだ。

さて、もう1つぐらいしたかったが手札が無い
初っぱなから使いすぎたな
それに場が多すぎてタイタンが迷惑そうだ。

「ターンエンド」

さて、次はお前のターンだぞ十代
このモンスター軍、主人公はどうやって突破する？

8話【VS十代&翔&隼人 前編】（後書き）

実際に瑞貴以外の方がリアルから来てるの？
とりあえず出す予定はありません。

そんなにデッキをどこに隠し持ってるの？
三沢と同じように上着の内側に入れてます
他にも遊戯みたいに腰にもデッキケースを付けてたりしてます。

瑞貴がクレイジー……
狂ってる

本気で切る気はありませんよ？
ですが万が一を考えるのを当然としており
この世界には闇のゲームが実在しているのを知っているので尚のこ
と念を込めてます

結果、ナイフを持ち歩くという危ない事になってしまいました
要は怖いから殺られるぐらい殺られる前に殺れ！

……本気で殺す気なんて全くありませんよ？ そんな度胸有りませ
んし。

負ける前提で戦うつもりなの？
その通りです

しかし簡単に負けるつもりも無ければ加減もするつもりもありません
勝てるチャンスが有れば容赦無く潰しに行きます
ただただやる気が無いだけです、楽しむつもりは有るみたいです。

コスモクイーンの祈りの効果は？
コスモクイーンを手札から特殊召喚可能
コスモクイーンが場に存在している時、手札を1枚捨て、手札か墓
地から守備力2000以下の魔法使い族を特殊召喚可能

1ターンに1度、墓地からLV4以下の通常モンスターの魔法使い族を特殊召喚可能

カイトロイドの効果は？

手札から捨てて戦闘ダメージを0にできる

墓地に存在する時、この決闘で1度だけ戦闘ダメージを0にできる

9 話【VS 十代&翔&隼人 後編】（前書き）

最終鬼畜全部決闘^{デュエル}

原作十代とタイタンの手札は完全無視です

そうじゃないと色々と無理なんで……

以下、お詫び

色々調べたのですが、ゲームオリジナルカードなどを出しましたがその調べた場所ではどうやら強化された効果らしいですしかし今更変える訳にもいきませんのでそのままです。

ほぼオリカになってしまってますが元々ゲームオリジナルカードで一応原作、ゲームオリジナルカードにかなり近い効果だからいいんですが……

調べられる場所がかなり限られているのでそのままその場所の効果を使います

それでもゲームオリジナルカード、原作オリジナルカードです決してオリカではありません……なんかややこしいですが理解してください。

それでも今後も使っていきます

頭が痛くなりそうですが、盛り上がりそうだからです。

9話【VS十代&翔&隼人 後編】

視点 瑞貴

十代のターン

十代は凄く楽しそうに笑っている
さすが主人公、超うぜえ。

「なんて強力なモンスター達なんだ……これが瑞貴の実力

瑞貴と決闘するの初めてだが、こんなカードを使うなんてな
俺のターン、ドロー！」

俺は手札から融合を発動！ 手札のクレイマンと、スパークマンを
融合し、サンダー・ジャイアントを融合召喚する」

こんな遊びデツキ相手に必死になってな
それにしてもサンダー・ジャイアントか……魔法の操り人形は破壊さ
れるな。

「サンダー・ジャイアントの効果を発動！

このモンスターよりも攻撃力の低いモンスターを破壊する！

俺はこの効果で魔法の操り人形を破壊だ！」

サンダー・ジャイアントの雷撃によって破壊される魔法の操り人形
つかOCGみたく手札を消費しないの？ 召喚時限定だけどそれ
って結構酷くね？

でもこれぐらい想定内さ、さっさとゲームを続けてくれよ。

「更に融合回収を発動！」

墓地に存在するスパークマンと融合を手札に加える

そして融合を再び発動！

手札のスパークマンと、E・HEROエッジマンを融合し
出でよ、E・HEROプラズマヴァイスマン！」

こんな時期にこのカードって出たっけ？

まあエッジマンはそれなりに初期から使ってたと思うからいいけどさ
しかし……攻撃力がOCGより上がってるぞ？

攻撃力2600なはずなのに2800……アニメ効果か？

「手札を1枚捨て、効果発動！

相手の攻撃表示モンスター1体を破壊する！

俺はこの効果によってコスモクイーンを破壊する！」

プラズマヴァイスマンもサンダー・ジャイアントのように電撃を放つ
コスモクイーンが悲鳴を上げて爆散、お……俺の大好きなモンスター
ーがあああ！

コスモクイーンは現代では滅多に手に入らないんだぞ！

こっちで使えると思って感動までしたんだぞ！

そのコスモクイーンを破壊するなんて……許せん！

とまあ、そんな熱血キャラは置いといてだ

これは……少々拙いか？

俺はカードを伏せてないし、ダメージを受けるな
しかも全滅じゃん……さすが主人公、そこに痺れず憧れない。

「行くぞ瑞貴！

プラズマヴァイスマンでブラック・マジシャンに攻撃だ！」

プラズマヴァイスマンの攻撃でブラック・マジシャンが破壊される

攻撃力の差分、300ダメージを受けた
明日香が驚いた顔をしていたのが印象的だな
でもあんまり表情を出すのは困るんだけど？

「更にサンダー・ジャイアントでデミナイ・エルフに攻撃！」

デミナイ・エルフが破壊され、500ダメージを受ける

ふーん……さすが主人公、この強力なモンスター軍を1ターンで全滅させるとはな

やっぱり十代と決闘する時はあのデッキを使うか……
デュエル

「俺に手札は無い、これでターンエンドだ」

次はタイタンのターン

タイタン自身も十代がここまでできるとは思わなかったらしい
少し顔が引き攣ってるぞ？

「私のターン……の前にだ

これが闇のゲームだという証拠を見せてやろう」

タイタンが偽千年パズルを掲げる

そして光を放ち、十代達の目を眩ませる

それと同時に黒い煙も出して……なんとも芸達者な事で。

この煙には痺れ薬が混ぜられている

吸った者は足が動かなくなるらしい

手は動くみたいだが、これで闇のゲームからは逃げられないと印象付けるらしいな。

「瑞貴の体が消えてる！？」

十代達には消えて見えるらしいが俺の目には何の変化も無い
俺と明日香は術の効果も方法も知ってるので効果が無い
更に薬も解毒剤を元々服用してるのでこっちも効かない
死にはしないから安心しろよお前ら。

ちなみにタイタンにはこう言っておいてる
こちらのライフが減ったら俺の、相手のライフが減ったら明日香の
体を消すように見せろとな
こうする事で俺達が苦しむ振りをすればあいつらは更に騙されるっ
てな。

俺は痛みに耐えるように呻き声を上げて躊躇めく
リハーサルでは明日香に俳優になっただら？

と、お褒めの言葉を頂いたりしてなかったり……貰っておいたぞ？

「お前……卑怯だぞ！」

「ふふん、私達のライフが減ればこの男が
そしてお前達のライフが減ればこの女が消えるのだ
お前達はどちらか1人しか助けられんのだよ！」

「何だと!?!」「そんな!?!」「酷いんだな!！」

なお、もし仕掛けに気付かれても決闘は続けるように言っている
俺達には催眠暗示を掛けてたって事にすればどうにでもなるさ。

「ふははははは、私のターン、ドロー！」

私は、コスモクイーンの祈りの効果を発動！

この効果により、墓地からデミナイ・エルフを攻撃表示で特殊召

喚！

こちらの効果は、コスモクイーンが存在していなくても使えるのでな
そして、デエミナイ・エルフを生け贄に、迅雷の魔王―スカル・デ
ーモンを召喚！」

出たな、デーモンの召喚のリメイクモンスター

ライフコストが存在するが、生け贄1体で高攻撃力と確立1／2で
の効果を受けない耐性を持つ

しかしデーモンの召喚の名前から大分かけ離れてると思わないか？

「デーモンデッキか……」

確かにデーモンデッキは強力なデッキ

だが場のモンスターを維持する為にスタンバイフェイズ毎にライフ
コストを払い続けるでつかい代償が付くぜ！」

「んっふっふ、代償だと？

そんな物は必要無いのだよ、このカードの前ではな
更にフィールド魔法発動」

タイタンのカードにより、フィールドが書き替えられた

赤いステージに悪魔の石像

なかなか良い趣味してるじゃないの。

「さしずめ……地獄の一丁目とでも言っておこうか？

バンデイモニウム

私はフィールド魔法、万魔殿―悪魔の巣窟を発動させた

このカードにより、デーモンデッキを維持するコストは発生せず

デーモンと名の付くモンスターは戦闘以外で破壊された時、転生す
る能力を得るのだ」

強力なカードなんだけど効果耐性を持っているチェスデーモンには

微妙にシナジーしない気がする

まあ対象を取らない効果で破壊された時には強力っちゃ強力かな？

「更に、手札から装備魔法、デーモンの枷をプラズマヴァイスマンに装備する

このカードの効果は、攻撃力を700とLVを1下げる効果を持っている」

「何だって！？」

このカードは俺がタイタンに売ってやったカード

LVまで効果に入っている事からこの時代のカードでは無いのは分かるよな？

効果はそれなりに強力だが1枚ぐらい構わんと思って売った
どうも気に入ったらしく、まさかの2500円という高値で買ってくれた

俺としては1000円でも十分だったんだけどな。

「そのモンスターの効果を次のプレイヤーにまで使われては困るの
でな

スカル・デーモンで、攻撃力の下がったプラズマヴァイスマンに攻撃！ 怒髪天昇撃い！」

スカル・デーモンの頭から電撃が飛ばされる

どうでもいいけどさっきから電撃モンスターが多くないか？

プラズマヴァイスマンは破壊され、相手プレイヤーに400ダメージが発生する。

そしてタイタンが偽千年パズルを取り出し、光を放つ

明日香の体の一部が消えていく………ように見えてるはずだ。

「あ、明日香！」

「う……うう……」

明日香も少し棒読みながらも苦しんでくれる

うんうん、やっぱり頑張ったらカードをあげると言ったのは強かったな。

「私はこれでターンエンドだ」

次はでかいののターン

あいつのデッキは何だったかな？

存在自体が記憶に無いんだけど。

「俺の……ターン、ドロー！」

俺は手札から、愚かな埋葬を発動するんだな！

このカードの効果は、自分のデッキからモンスターを1体、墓地に送る効果なんだな！

俺は、デッキからビッグ・コアラを墓地に送るんだな！」

ほう？ この世界に愚かな埋葬を使う奴がいるとは思わなかったな
何をする気だ？

「更に俺は魔法カード、コアラの進行を発動するんだな！

このカードの効果により、墓地のコアラと名の付くモンスターを1体特殊召喚！

更に手札からこの効果で特殊召喚したモンスターと同名モンスターを特殊召喚できるんだな！

墓地よりビッグ・コアラと、手札からビッグ・コアラ1体と特殊召

喚なんだな！」

おいおい、マジかよ？

ビッグ・コアラの攻撃力は2700

それが2体並んだ上にまだサンダー・ジャイアントが残ってるんだぞ？

まあ手札に2枚持って無くて助かった所かな

あの効果だったら手札に2枚有った場合、2枚共特殊召喚できるし。

「更にラッコアラを攻撃表示で召喚なんだな！」

うおーい……これはさすがに怖いって

合計ダメージっていくつよ？

しかもこっちには伏せカードが無いのよ？

大ダメージは必至だね。

「バトルなんだな！」

ビッグ・コアラでスカル・デーモンに攻撃なんだな！」

ビッグ・コアラがスカル・デーモンを踏みつける

慌ててたのが凄くシニールだったな。

ダメージは200

更にでかいのの攻撃は続く！

「これでお前の場はがら空きなんだな！」

ビッグ・コアラ、ラッコアラ、サンダー・ジャイアントで攻撃なんだな！」

「ぬ、ぐあああああああ」

おうおう、タイタンに集中攻撃ですな

ダメージは2700+1200+2400

十代の攻撃ダメージを含め、総計ダメージは7300だから残り700

……マジか？ さすが主人公サイドのキャラだな。

もし百獣大行進を使われていたらダメージが+600で更に危なかった

野生解放なんて使われてたら終わってたぐらいだ

「俺は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドなんだな」

ふむ、怯えてる顔の中に怒りの感情が見え隠れするな

やっぱり主人公サイドを怒らせるとんでもない事になる
なかなか良い実験結果を得られたもんだ。

「くう……これを見ろ！」

そう言ってタイタンは偽千年パズルを見せる

更に俺が苦しそうな行動を起こしてやる

俺の体はどれぐらい消えてるように見えるんだ？

「（中学の頃に演技部でも所属してたのかしら？）私のターン、ドロ

手札から魔法カード、強欲な壺を発動、このカードの効果によりデ
ッキからカードを2枚ドロ！

更にカップ・オブ・エースを発動！ コイントスを行い、表なら私
が、裏なら相手が2枚ドロする！」

俺はポケットからコインと取り出し、明日香に向かって投げる
明日香はそれを受け取り、コイントスを行う。

『表だったらそのコインやるよ』

『え、本当に!?!』

『ああ、本当と書いてマジだ』

赤貧の明日香からすればかなり嬉しいだろうな
ちなみに500円玉だ。

そして結果は……表

よって正位置の効果を得る。

「表、よって私はデッキからカードを2枚ドローする!

そして魔法カード、ソウルテイカーを発動

相手モンスターを1体破壊し、ライフを1000ポイント回復させる
私はビッグ・コアラを破壊!」

ビッグ・コアラは破壊され、相手ライフが回復する

それぐらいくれてやれ、モンスターを消す事の方が大事だしな。

「更に手札から融合を発動

手札のエトワール・サイバーと、ブレード・スケーターを融合
サイバー・ブレイダーを融合召喚!」

明日香のデッキは殆ど前のに戻してる

さっきのソウルテイカーはその殆ど以外の俺のカードだ
しかも俺のカードはそこそ入ってるぞ。

「そしてコスモクイーンの祈りの効果により、墓地からデミナイ・エルフを攻撃表示で特殊召喚

更に手札からサイバー・チュチュを攻撃表示で召喚！ そして速攻魔法発動、アレグロ・トゥール

モンスターの召喚に成功した時、フィールド上のカードを1枚破壊する

この効果により、ビッグ・コアラを破壊！」

「ぐう……ビッグ・コアラ！？」

ビッグ・コアラも悲惨だな

ソウルテイカーに破壊され、アレグロ・トゥールにも破壊される
戦闘で破壊してやろうぜ？

「更に速攻魔法サイクロン、隼人君の伏せたカードを破壊するわ！」

でかいのの伏せカードは攻撃の無力化

当たりのカードを破壊できたな

しかし……水色の伏せたあのカードは何なんだ？

「バトル、まずはサイバー・チュチュで直接攻撃ダイレクトアタックよ！」

サイバー・チュチュは相手の場にこのカードよりも攻撃力の高いモンスターしか存在しない場合、直接攻撃ダイレクトアタックできる！」

「何だって！？　ぐあ！」

サイバー・チュチュの直接攻撃ダイレクトアタックが十代に直撃

サイバー・ガールってみんな蹴りが得意なのか？

「そして、サイバー・ブレイダーでサンダー・ジャイアントに攻撃よ！」

「何！？ 攻撃力の低いサイバー・ブレイダーでサンダー・ジャイアントに攻撃だって！？

迎え撃て、サンダー・ジャイアント！」

十代は馬鹿だな

俺が目の前で説明した事を忘れたのか？

「サイバー・ブレイダーの効果、それは相手モンスターが2体の場合、攻撃力が倍になる！」

「しまった、忘れてた！」

攻撃力は4200、サンダー・ジャイアントは2400
その差1800ダメージを与えた。

「更にデエミナイ・エルフでラッコアラに攻撃！」

ラッコアラの攻撃力は1200だから700ダメージだ
現在の十代達の総計ダメージは4200で残り3800
しかしソウルテイカーで回復したから残りライフは4800だな。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「僕のターン……ドロー！」

よし、手札から死者蘇生を発動！

墓地のジャイロイドを蘇生させる！

更に手札からスチームロイドを召喚！」

ふむ……悪くないがこれからどうするつもりだ？

サイバー・ブレイダーの攻撃力は4200だから倒せないぞ？

「バトルだ！

スチームロイドでサイバー・ブレイダーに攻撃！

そして攻撃時、スチームロイドの攻撃力が上昇した瞬間

リバーズカードオープン、リミッター解除！」

ほう？

これでスチームロイドの攻撃力は4600

サイバー・ブレイダーを破壊できるようになったな。

スチームロイドが凄い速度でサイバー・ブレイダーに突進する

サイバー・ブレイダーは轢かれ、破壊される

ダメージは400、少し拙いか？

「ジャイロイドでデミナイ・エルフに攻撃！」

攻撃力が倍加してるから倒される

100ダメージを受け、残りライフは200

何で生き残るんだろうな？

やっぱりアレかな？

主人公が倒さないと意味が無いのか？

「僕は最後に融合を発動

場のスチームロイドとジャイロイドを融合し、スチームジャイロイドを融合召喚！」

これでリミッター解除のデメリットを回避したわけか
悪くないが、まだまだ甘い所だな。

「そうはいかないわ、リバースカードオープン！
罠カード、電闇石火！

特殊召喚されたモンスターの召喚を無効にし、破壊するわ！」

「そんな！？ 僕のフェイバリットカードが！？
ぼ、僕はカードを1枚伏せて、ターンエンド……」

俺が明日香のデッキに加えたカードは融合を得意とするこいつらの
アンチカードだ
ソウルテイカーも単純に破壊するカードだから普通に召喚できない
あのモンスター達には強い
電闇石火はチェーンに乗る特殊召喚も無効にできるカード、融合デ
ッキ相手には強力なアンチカードさ。

「俺のターン、ドロー
魔法カード、天よりの宝札を発動する
全てのプレイヤーはデッキから手札が6枚になるようにドローする」

ここで困った時のご都合カードか
十代が手札補充をした事で俺達の負けは確定したな。

「召喚師のスキルを発動、デッキからLV5以上の通常モンスター
を手札に加える
俺はこの効果でコスモクイーンを手札に加える
そしてコスモクイーンの祈りの効果によりコスモクイーンを特殊召喚
更に手札を1枚捨て、墓地から今捨てたカオス・マジシャンを攻撃
表示で特殊召喚

そして墓地からデミナイ・エルフを攻撃表示で特殊召喚だ」

「また瑞貴の場にモンスターが揃っちゃった！」

なお、手札を捨ててモンスターを特殊召喚する効果に回数制限は無い
だからもっと召喚できるんだが……無駄な事は止めておこう。

「バトルフェイズだ

カオス・マジシャンで水色にダイレクトアタック直接攻撃」

「また僕！？

罠カード発動！ 聖なるバリア・ミラーフォース！
これで攻撃表示のモンスターは全滅だ！」

俺の場のモンスターが全滅する……が、甘い！

「メインフェイズ2だ

コスモクイーンの祈りの効果により、3枚目のコスモクイーンを手
札から攻撃表示で特殊召喚

更に手札を1枚捨て、墓地から再びカオス・マジシャンを特殊召喚
そしてカオス・マジシャンを生け贄に、ネオ・アクアマドルを守
備表示で通常召喚

最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

ネオ・アクアマドルの守備力は3000

突破するのは少し難しいかもな？

それにしてもまた手札0枚か……消費が激しすぎるな。

「また強力なモンスターが2体も並んだ！？」

「さすが瑞貴、すげえ強さだぜ！」

「何であんなに上級モンスターを出せるんだろうなあ？」

『さっきも言ったけどやり過ぎじゃない？』

確かに私達のライフはギリギリだけど』

これぐらいしても足りない気がするけどな
こっちは200なんだぞ？

少しでも固めないとすぐに負ける。

ましてや次は手札6枚の十代

絶対に速攻を仕掛けてくるはずだ！

この伏せカード1枚で耐えられるか？

……無理だな！

「俺のターン、ドロー！」

俺はE・HEROバブルマンを特殊召喚！

このカードは自分の場にカードが無い時、特殊召喚ができる

そして特殊召喚に成功した時、デッキからカードを2枚ドロー！」

現れたなバブルマン、別名強欲なヒーローとか強欲なバブルマンとか最悪の名前で壺マン！

アニメ十代の最低ドローモンスターめ！

その効果でOCGに出やがれ！ 絶対に禁止カード入りになるけどな！

「俺は魔法カード、魔法石の採掘を発動！

このカードの効果により、手札を2枚捨て、墓地から魔法カードを

手札に加える！

フュージョン・リカバリ

俺は融合回収を手札に加え、発動！

墓地からクレイマンと融合を手札に加える！」

ここまでして手札が今だ7枚ってどういう事だ？

十代の手札は化け物か！？

「俺は手札から融合を発動！

手札のフェザーマン、バースト・レディ、クレイマンと場のバブルマンを融合！

現れる、究極のE・HERO、E・HEROエリクシーラー！」

お前……その手札でよくもまあ出せた物だな？

一気に手札を4枚消費じゃないか

残り手札は3枚、どうするつもりだ？

そいつには自分と同じ属性のモンスターが相手の場に存在している
数×300攻撃力が上昇する

しかしアニメ効果ではこの上昇効果は無い

このままではコスモクイーンと相打ちが精一杯だぞ！

「更に死者転生を発動

手札を1枚捨て、墓地からサンダー・ジャイアントを手札に加える
しかしサンダージャイアントは融合モンスターだから融合デッキに
戻るぜ！

そして、ミラクル・フュージョンを発動！

墓地に存在するクレイマンとスパークマンをゲームから除外し、融
合！

再び現れる、E・HEROサンダー・ジャイアント！」

終わったな

これでネオ・アクアマドールは破壊される
エリクシーラーでコスモクイーンと相打ち、そしてサンダー・ジャ
イアントで直接攻撃ダイレクトアタック
こちらのライフは200だからもう無理だ。

「サンダー・ジャイアントの効果発動！
このカードよりも攻撃力の低いネオ・アクアマドールを破壊する！
行くぞ！ ヴエイパー・スパーク！」

ネオ・アクアマドールが破壊され、俺の場にはコスモクイーンと伏
せが1枚。

「エリクシーラーでコスモクイーンに攻撃だ！
フュージョニスト・マジスタリー！」

技名叫ぶの好きだね十代！
って、うおあ！？ 爆発した！？
またコスモクイーンが……なんか悲しいぞ！

「これで終わりだ！
サンダー・ジャイアントでタイタンに直接攻撃！ダイレクトアタック
ボルテック・サンダー！」

だが十代、俺は賭けに勝ったぞ！

「リバースカードオープン、正統なる血統！
墓地に存在する通常モンスターを攻撃表示で特殊召喚する！
4度現れよ、コスモクイーン！」
たび

本日4回目の登場、コスモクイーンさんです
なんか疲れてるように見えるけど……ごめんねコスモクイーン。

「またそいつかよ！」

サンダー・ジャイアントの攻撃を中断！

俺はこれでターンエンドだ！」

なんとか凌いだ……クソッ、何でこんな苦手なデッキで主人公と戦わねばならんだ！

まあ集団戦だから遊びの気分も多分に含んでいたがな。

「私のターン、ドロー

コスモクイーンの祈りの効果でデエミナイ・エルフを攻撃表示で特殊召喚

更に私はデーモン・ソルジャーを攻撃表示で召喚する

さあバトルだ！ コスモクイーンで、サンダー・ジャイアントに攻撃！」

コスモクイーンの攻撃にサンダー・ジャイアントは耐えきれず爆発ダメージを600与える

更に攻撃力1900で追撃が行くぞ！

「更にデエミナイ・エルフと、デーモン・ソルジャーでプレイヤーダイレクトアタックに直接攻撃だ！」

エルフ達の連携での蹴りとデーモン・ソルジャーの剣撃が十代を襲う十代は耐えるも、それでもダメージは大きい
残りライフは400、お互いすぐに終わってしまうライフだ。

「私は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ

そして貴様らのライフが減った事により、この女の体が消えていく……」

「明日香!」「明日香さん!」

どうでもいいけどお前ら俺の事よりも明日香の心配が大きくないか? 一応どちらか1人って設定のはずだが……

別に好かれないとは思わないけどちょっと酷くない?

「俺のターン、ドロー!」

俺はレスキューキャットを召喚するんだな!

このカードは墓地に送る事で、デッキからLV3以下の獣族を2体特殊召喚できるんだな!

俺はこの効果を発動! レスキューキャットを墓地に送り、デッキからコアラッコとラッコアラを特殊召喚するんだな!」

で……出たなレスキューシンクロの元凶、レスキューキャット!

こいつの存在でエアベルンがどれほど鬱陶しかったか!

マジで消えてくれ! 禁止カードになったからいいけどさ。

「更に融合を発動するんだな!

場のコアラッコとラッコアラを融合し、コアラッコアラを融合召喚!」

うーわー……なんという超マイナーモンスター

でも攻撃力2800でLV6という超攻撃力モンスターなんだよなしかもフュージョン・ウェポンに対応してるとか鬼畜モンスター。

「手札の獣族モンスターを墓地に送り、効果を発動! 相手モンスターを1体破壊できるんだな!

俺は手札の獣族を3体墓地に送り、コスモクイーン、デエミナイ・エルフ、デーモン・ソルジャーを破壊するんだな！」

しかもこの攻撃力でこれだよ

獣族って制約は存在するけど回数制限が無い
それで攻撃力2800は本当に外道じゃね？

しかも融合素材のコアラッコの効果を使えば攻撃力0ができる
その場合は手札を捨てなくても実質直接攻撃と同じ威力になる
こいつの場合は戦闘破壊よりも効果破壊を選んだってわけだ。

「ぐ、この瞬間、バンディモニウム万魔殿の効果を発動
デッキからデスルークデーモンを手札に加える！」

「行けえ、コアラッコアラ！
ダイレクトアタックプレイヤーに直接攻撃なんだな！」

「まだだ、まだ終わらんぞ！
カウンター罠、攻撃の無力化！」

まさか攻撃の無力化を伏せてるとはな
次は明日香のターン、どうするんだ明日香？

「俺は……カードを1枚伏せターンエンドなんだな」

どうやらこれで決められなかった事で意気消沈しているみたいだな
だけどそれじゃ終わらんよ？

「私のターン、ドロー！
私はコスモクイーンの祈りの効果を発動！」

墓地からデエミナイ・エルフを攻撃表示で特殊召喚！」

デエミナイ・エルフがたった1回の決闘でなんと6回も出現
デユエル
顔色が悪くなってるのは見ていて気のせいじゃないと思う
なんかごめんな。

「更にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

明日香は殆ど動かなかったな
手札は多いはずなんだが……

「僕のターン、ドロー！
コアラツコアラでデエミナイ・エルフに攻撃！」

あの馬鹿、何も考えずに特攻しやがった！
調子に乗ってると……痛い目を見るぜ？

「永続罨発動、カオス・フォーム！
このカードは発動後、装備カードとなる！
そしてこのカードを装備したモンスターが攻撃対象になった時
自分の墓地からランダムにモンスターを選択
そして装備モンスターはそのモンスター同じ攻撃力、守備力になる
わ！」

墓地から多くのモンスターが姿を現す
自分の墓地と言ってるが、それは場も共通している事から俺やタイ
タンの墓地にも適用される
最高攻撃力はコスモクイーンの2900、これならコアラツコアラ
を戦闘で破壊できる！

そして選ばれたのは……コスモクイーン！

「選択されたモンスターはコスモクイーン！

よってデエミナイ・エルフの攻撃力は2900となる
デエミナイ・エルフ、コアラッコアラに迎撃よ！」

「そんな！？

これじゃあコアラッコアラが負けちゃう！」

「まだなんだな！

速攻魔法発動！ 百獣大行進！

この効果により、場の獣族モンスターの数×200ポイント、攻撃
力が上昇するんだな！

よってコアラッコアラの攻撃力は3000、反撃だ！ コアラッコ
アラ！」

まさかの反撃！？

これによりコスモクイーンの力を得たデエミナイ・エルフは迎撃さ
えた

戦闘ダメージは100、そして残りライフも100
まだ終わってないぞ！

「ごめん隼人君、僕……焦っちゃって」

「気にする事無いんだな

それよりも先の事を考えるんだな！」

「うん！ 僕はカードを1枚伏せて、ターンエンド！」

嫌だねえ、ああいう慰め合いは

つうかうざい、水色がとにかくうざい
調子に乗るあの性格が最低クラスに気に食わない！

「俺のターン、ドロー」

魔法カード、強欲な壺を発動

デッキからカードを2枚ドローする

そして手札から装備魔法、リビング・フォッシルを発動

墓地のモンスターを復活させ、このカードを装備する

俺はコスモクイーンを特殊召喚！

更にコスモクイーンの祈りの効果で手札を1枚捨て、カオス・マジシャンを攻撃表示で特殊召喚

そしてデミナイ・エルフを守備表示で特殊召喚する」

「何回その布陣をするつもりだよ……いい加減飽きてきたぜ？」

残念ながらこのデッキではこれが基本だ

そして本当にすまないコスモクイーン（5回目）、カオス・マジシャン（3回目）、デミナイ・エルフ（7回目）

下手すればブラック・マジシャンやネオス、スピード・ウォリアーより過労死しそうだ

特にデミナイ・エルフが……いや、本当に悪い。

「コスモクイーンでコアラッコアラに攻撃！」

今度こそコアラッコアラを破壊できた

これでトドメだ、水色！

「カオス・マジシャンで水色に直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「最後まで僕だけを狙うんだね！？」

罨カード発動！ パワー・ウォール！

戦闘ダメージを受ける時、デッキから任意の枚数墓地に送って効果を発動する！

墓地に送った枚数×100ダメージを減らす！

僕はデッキから22枚墓地に送って2200ダメージを軽減する！」

チツ、コスモクイーンの攻撃で100、カオス・マジシャンの攻撃で200

残り100残りやがった……水色のデッキは残り5枚だがこれを削れるような手札じゃない

万が一を考えてデュミナイ・エルフを守備で出したのが仇になったか！

「ターンエンド」

十代のターン、これで終わったな。

「俺のターン……ドロー！」

よっしゃ！ 俺は手札から戦士の生還を発動！

墓地よりエッジマンを手札に加える！

そして墓地のE・HEROネクロダークマンの効果発動！

このカードが墓地に存在している時、手札のE・HEROは生け贄無しで通常召喚できる！

現れろ、E・HEROエッジマン！」

黄金の戦士が姿を現す

終わったな……エッジマンは貫通能力持ちのモンスター

デュミナイ・エルフの守備力を大きく上回る2600の攻撃力正直、カオス・マジシャンでも勝てないからもうお手上げた。

さすが主人公、さっさと死ね
チートドロ―なんてこの世には不要なんだよ！

とりあえず楽しかったぞ主人公

例え俺が苦手で嫌いなデッキだったとはいえな
次は俺の大好きで得意なデッキでお相手しよう
それまで……勝ち譲ってやるさ。

「いくぞ！

エッジマンでカオス・マジシャンに攻撃！
パワー・エッジ・アタック！」

声を上げながら突進してくるエッジマン
そして破壊されるカオス・マジシャン……ライフ0だ。

たださ……忘れてると思うんだけど
設定上、助けられるのは俺か明日香のどっちかなんだぞ？
実際は被害無いけどさ。

「これでお前のライフは0だ！
明日香と瑞貴は返してもらうぜ！」

「ちい、勝手にしろおい！」

そう言ってタイタンは煙玉を出して逃げ出した
俺は明日香に倒れる指示を出し、明日香が倒れたのを確認してから
俺も倒れる
心配そうに俺達を起こそうとする馬鹿共
運ばれるのは嫌だし、さっさと起きるか。

「おい、目を覚ませよ!」

「煩い、そんなに声を出さなくても聞こえる」

「大丈夫か瑞貴!？」

「問題無い

明日香も起こすか」

そう思って明日香を揺するが……こいつ、マジで気絶してないか？

自然に倒れるように演出したな、こいつ

多分その時、受け身に失敗して頭を打ったな
間抜けめ……面倒な奴だな。

「倒れた時に頭でも打ったらしいな
面倒だけど運ぶか……あー面倒」

そう言って明日香を背負う

問題はスカートが短すぎる事だ

俺は見えないから大丈夫だけどこいつらがねえ？

「お前ら前を歩け、後ろを歩いたら潰す」

「な、何でなんだな？」

「俺が背負ってる明日香の格好を見て言え」

おんぶだから体重を背中に預けさせ、両足を持って背負ってる
後ろから見たらどうなるか……言わずもがな。

「よくわかんないけど……わかった」「わ、わわ、わかった!」「わかったんだな」

廃寮から出て、近くの切り株に明日香を下ろす

その時にこいつらにはこちらを見ないように言っておいた

無論、座らせてるがスカートの中身は見えてないし、見えないようにしてる

万が一これでフラグが立ったらと思うと……はあ。

明日香が目を覚まし、十代が明日香の兄の写真を明日香に渡して朝だ夜明けになって十代達が走って帰る

お前ら……女の子の明日香を置いて帰るか？

「明日香、さすがに遅くなりすぎた

一応女子寮近くまで送ってやる」

「それは嬉しいけど……貴方が帰る時間がもっと遅くなるじゃない私が連れ出したのに、何だか悪いわ」

「気にするな

あの決闘^{デュエル}を決めたのは俺だ

それが無ければもっと早く帰れた」

一応これでも悪いとは思ってるんだぞ？

「ならお願いするわね」

「そうしろ、暇だしな」

「それが本音!？」

明日香を普段通りからかいながら女子寮に向かう
明日香を送ったら寝るかな。

それにしても疲れた……慣れないデッキなんて使うんじゃないか
次は好きなデッキを使おう、じゃないと疲労が溜まりそうだ。

9話【VS十代&翔&隼人 後編】（後書き）

明日香が驚いてたのは何故？

瑞貴がダメージを受けたのが初めてだからです

しかしデッキの性質上、ビート系デッキなのでそれは当然でしょう
伏せも無ければ守りもしていませんし。

パンデモニウム
万魔殿一悪魔の巣窟が無意味すぎる！

すぐに消えましたしね

それに次に出したのはデーモン・ソルジャーでしたし
一応デスルークデーモンは手札に加えましたが無意味でしたね。

明日香がカップ・オブ・エース？

ドロー系カードは瑞貴から多めに買ったそうです

後、都合合わせの為ですのでご勘弁を……強欲な壺を2回使うわけ
にはいけないのです。

融合が過労死……

6回使用ですね

十代が3回、翔が1回、明日香が1回、隼人が1回
ミラクル・フュージョンも含めて計7回融合しました。

十代達って勝ったら瑞貴の体がヤバイ事忘れてない？

忘れてます、明日香より接点が少ないのが原因かと思われます
それにすぐに起きたので完全に記憶から抹消されました。

送りフラグ立ちました？

残念な事に立ちました

瑞貴本人はそんなつもりが全く無いのが……

スカートでのフラグに気付いて何故こちらに気付かないんだ？

以下、原作効果やアニメオリジナルカードなどの解説

プラズマヴァイスマンの攻撃力が高い？

アニメでは攻撃力が2800だそうです

効果を使う前に破壊されてしまったそうですが……

デーモンの枷の効果は？

装備魔法、攻撃力を700下げ、LVも1下げる効果です

アニメオリジナルだそうです。

コアラの進行の効果は？

墓地のコアラと名の付くモンスターを1体墓地から特殊召喚し、同名モンスターを手札からも特殊召喚します

アニメではLV4以下だそうでしたが前書きの通り、強化されていたらしく無制限と書かれていました

これを弄ると色々都合が悪くなるので修正できません。

アレグロ・トゥールの効果は？

モンスターを召喚時、場のカードを破壊します

特に指定は無いそうです。

電闇石火の効果は？

チェーンに乗る特殊召喚を無効にするらしいです

細かい事は知りません

漫画オリジナルカードだそうです。

カオス・フォームの効果は？

永続罾で装備効果を持ちます

墓地のモンスターをランダムに選択、装備モンスターの攻撃力、守備力がその選択されたモンスターと同じになります。

リビング・フォッシルの効果は？

ライフを払わない早すぎた埋葬です。

パワー・ウォールの効果は？

戦闘ダメージを受ける時、デッキから任意の枚数墓地に送ります
墓地に送った枚数×100ポイントダメージを軽減します

ヘルカイザー亮がカードを投げ捨てるシーンで有名……だっけ？

以下、アニメっぽいプレイミス

十代

融合の時、エリクシーラーを召喚せず、ランパートガンナーを召喚
していた場合勝っていた

アニメでは相手の場にモンスターが存在していてもダイレクトアタック直接攻撃できた
からです。

隼人

コアラッコの効果で獣族の攻撃力を1000上げていれば勝っていた
修正前に攻撃力を上げていましたが、ダメージ合計が8300にな
ってしまった事に気づき修正

効果を使わなかったとさせてください。

タイタン

場にコスモクイーンが残っているのだから手札を捨て、墓地から魔法使い族を特殊召喚していれば勝っていた。

瑞貴

最後のデェミナイ・エルフを攻撃表示で召喚し、攻撃していれば勝っていた

性格と普段のデツキ上、守りを固めるのは仕方無いかもしれませんが……

10話【特に気に入らない奴】（前書き）

今回は決闘デュエルしません、見るだけですネ。

人をからかうだけで半分近く消費、しかも名もないモブ相手に……
頑張りすぎだろ瑞貴！

しかもこんな事でかなりの長さになってしまふ謎……何故でしょう
か？

何気にクロノス初台詞

ここまで遅いのも珍しい？

口調ってこんな感じですかね？

10話【特に気に入らない奴】

視点 瑞貴

今日も今日とて暇潰しにデッキ作成
昨日の件で寝不足じゃないかって？
基本睡眠時間が3時間の俺にとって夜中まで起きてるぐらい余裕なのさ。

明け方近くだったけど、それでも2時間睡眠だ
それだけ寝れば多少眠いが1日頑張る事ぐらいできる。

しかし隣の部屋が煩いな……また十代が何かしたか？
ま、俺には関係の無い話した。

そう思っていた時期が俺にもありました……今だけど
突然扉を叩く音が部屋に鳴り響く
何かと思ったが、どうやら俺も関係していたらしい
俺……何かしたか？

「おい、今すぐドアを開けろ
さもなくば扉を爆破するぞ」

爆破ね……弁償してくれるのかね？
まあさすがにそれは少々困る
仕方無しに扉を開くと制服に似た軍服っぽい服を着た女性？
ついでにおっさんが10人ぐらい……コスプレ大会でもするのか？

「堅守瑞貴だな」

「違います」

まさかの切り返しに焦る女性
しかしすぐに気を取り直して再び問いかける。

「……堅守瑞貴だな？」

「違います

今デッキを作ってるんです、邪魔しないでください」

あ、眉がヒクヒクしてる

なんか怖いイメージが強そうな人だけど可愛く見えるな。

「…………お前を査問委員会まで連行する」

「帰れ、妄想女

コスプレなら他所でしろ」

「コスプレでは無い！

お前達、こいつをさっさと連れて行け！」

取り囲まれた……悪ふざけが過ぎたかな？

「行く前に片付けぐらいさせろ

ただでさえボロいレッド寮なんだ

盗難が起きたらどうするよ？

そしたらお前らの責任だからな

全額弁償してもらうぞ？」

さすがにそれは嫌らしく、少し戸惑ってくれた
その間に俺は部屋に戻り、カードを片付ける
おとなしく見ている奴らを見無視し、作りかけのデッキも片付ける。

もう暫くすれば完成してたのに……邪魔したこいつら、どうしてくれようか？

とりあえず移動中ずっと苛めてやろうと決めた。

片付けが終わり、女性の前まで来る

かなりきつい目で俺を睨むが当の本人は何処吹く風
空回りしている姿が何とも哀れだな。

「一緒に来てもらおうぞ」

「寝言は寝て言え」

「貴様……さっきから数々の暴言
私達を侮辱しているのか？」

「名乗りもせずに勝手に人の部屋に入ろうとし
更に扉を爆破しようとするテロ紛いの行為をすると脅す
おまけに本人が嫌がっているのに強引に連れて行くと拉致発言
それについてく馬鹿がどこにいるよ？」

全くの正論

コスプレ軍団もさすがに怯む

それでも女性は引かない負けない諦めない
さっさと帰れよお前ら。

「……我々はアカデミア倫理委員会の者だ」

「それが？」

その倫理委員会という奴は強制連行できる権利でも持ってるのか？

その為なら部屋を爆破してもいいと？

もし爆破した時に俺が爆発に巻き込まれたらどうするんだ？

大怪我をしたら？ もし死んだら？

お前らそこら辺考えてる？」

全員の顔色が変わる

非情になりきれない時点でお前らの負けは決まってるんだよ

一部の奴らは顔を青くしているぐらいだ

やはり爆発に巻き込まれたらというのが効いたらしいな。

「き、君を学園に連れてこいという命令が下っている
素直についてきてくれると助かる」

「お前らが助かろうと俺には関係無い
もっと言い方を考えたらどうだ？ この犯罪者集団」

さすがに犯罪者扱いには傷ついたかか？

女性の目にはとうとう涙まで見えた

あー……さすがにこれ以上は拙いか？

「我々と……一緒に来てください」

「だが断る

二度と来るな」

そう言って部屋に戻る俺

とうとう本格的に泣き出す女性

それを見て回りの奴らがオロオロしてる。

そんな奴らを見無視し、俺はお茶を淹れる
湯飲みが足りないな……野郎共には我慢してもらうか。

茶を持って女性に近づく

あの凛々しい姿がなんとも情けない……

でも泣いている女性って何か可愛く見えるから不思議。

「飲むか？」

女性はこっちを見上げ、俺の持つ湯飲みを凝視し続ける女性
怖ず怖ずと受け取り、飲んだ瞬間に一言。

「下剤入りだけど」

「ぶおううう！！！！」

恥ずかしがって俺から顔を逸らしていたのが仇となったな
周りの野郎共が思いっきり茶を引っ被った
熱い熱いと連呼する野郎共と咳き込む女性
良い具合にカオスってるな、はっはっはー……飽きた。

「冗談だ

ほら、行くんだろ？

さっさと行かないと怒られるぞ？」

「貴様……何をヌケヌケと……」

まるで地獄からの使者と思わせるような低く、おどろおどろしい声よくそんな声を出せるな、声優ガンバ！

「行かないのか？」

せっかく行く気になってやったのに……行くの止めようかなー」

「ぐっ、行くぞお前達！」

何とも苦々しそうな表情だろうか

そんな顔を見るのが楽しくてもっと苛めたくなった。

「あ、着替えるから暫く待っててくれよ？」

「お ま え は 〴〵 ！」

怒り狂う女性

だが俺はからかう事を止めない、絶対にな！

「何？ 年下の着替えを見たいの？」

うわ……ちよつとそこの人達助けてー！

この女の人に着替えを覗かれるー！」

「誰が覗くか！！！！」

女性が否定するも、それでも野郎共の動揺は消えないだが甘い、俺は更にその上に行く！

「もしかしたら年下趣味？」

やばい、俺って襲われる！？

怖っ！ マジで怖っ！

ちょ、その人達マジで助けて！」

「年下趣味でも無いし襲わん！」

それに私には恋人が……あ」

ふ、弄り情報GET

まだまだ続けるぞ！

「酷い！ 恋人がいるのに年下の高校生を手込めにしようだなんて！ 恋人を裏切るなんて最低だ！」

「だから手込めになんぞしようとも思っていない！ それに恋人だって裏切ってないぞ！」

「そんな、手込めを否定する方が先だなんて！ 裏切っていないと本当にそう思ってるなら真っ先に裏切っていないと
言うはず！

という事は本当は裏切ってるんだ！」

「話しの順番で否定しただけだろうが！

どうしてそうなるんだ、このひねくれ者が！」

「ありがとう、最高の褒め言葉だ」

「褒めてない……！」

女性はそう言って部屋から出て行って扉を閉めた
かなり勢いよく閉めたのでちょっと寮が震えた気がした
どんだけ力有るんだよあの女……ちょっと怖いぞ。

俺はいい加減素直に着替え、表に出る
思いつき睨まれるが無視。

「行くぞ」

「はいはい」

もう何も言われなかった
諦めたかな？

それでも俺はまだ終わらない
少し寮から離れた時に一言。

「あ、鍵閉め忘れた
ちよっと閉めてくる」

「さっきからお前は何がしたいんだ！」

やっぱり怒る女性を無視して部屋に駆け足で戻る
もう追いかける気力も無い女性なんか暗いオーラを纏ってるよう
に見える

これ以上は本当に拙いか？
だがこれで終わるのはつまらないし……

「俺と付き合ってください！」

「なに！？」

おうおう、周りの奴らも驚いたり動揺してやがる
女性なんて顔を真っ赤にしてあわあわと言ってる
ふははは、可愛い奴だなあ。

「わ、私には付き合っている彼がいてだな
だからそういうのはその、困るんだが……」

真面目に否定してるけどさ

次の瞬間、自分の勘違いで固まるんじゃない？

「漫才で」

空気が凍ったのは気のせいじゃないだろう

女性は自分が勘違いさせられたと気付いてショックで動かなくなった
周りの野郎共は女性を動かそうと必死だ
しかし女性は動かないので途方に暮れている。

「やれやれ、貴方達も大変ですね？」

「その原因の大半は君だと自覚してくれないか？」

適当に近くにいた野郎に話しかける

返答は全く持ってご尤も、だけど自重しないから安心してくれ。

女性が再起動するも、黙って俯いたままだった

そんなにショックだったか？

まあどうせ今後は出ないモブだろうし、どうでもいいか。

ネタも無くなって来たし、素直についていく事にした

なんかブツブツと呟いていて怖かったが無視しておいた

でも周りの野郎共が怯えてたが、それでも無視してやった。

……………

………

「「ええー！ 退学！？」」

あー……思い出した

確かこんな事も有ったなあ

まさか俺までその立場に立たされるとは思わなかった。

『本日未明、遊城十代以下3名は

閉鎖され、立ち入り禁止になっている特別寮に入り込み
内部を荒らした、調べはついている』

「ふーん……それで、どうやって調べたんだ？

後から入って調べても人物の特定は難しいはずだ
それなのに当日中に調べ上げる……無理だな」

『……………』 『ふむ……確かにそうですね』 『(マンマミーア……
ちょこつと拙いかもしれないノーね)』

女性は沈黙、校長は今更気付いたという感じ、クロノスは顔に出て
る……馬鹿か？

「とりあえず俺達があそこに行つたと仮定し、証拠は？

荒らしたと言っていたが具体的にどう荒らされていたんだ？

調べた方法は？ 情報元は？

それに例え行っていたとしても動機も訊かずに問答無用で退学？

それならそうと入学時や生徒手帳にも書いておいたらどうだ？

生徒手帳にあの寮の事が書かれていないのは覚えてるぞ」

苦そうな顔になる女性とクロノス

校長は俺の言葉に反論する言葉を見つけられない

校長本人もあまり納得してなさそうな感じだし、いけるか？

「考えられる可能性は2つ

1つ目はただの偽情報を書き込まれた

誰かが嘘の報告を倫理委員会にし、俺達を陥れるためにした

2つ目は俺達が行ったと仮定し、それを誰かが行くように操作した
例えば何か新しいカードが有るとか、そんな噂を流したとかな

この場合、不特定多数を狙ったのか俺達を狙ったのが気になる所
だ」

誰もが、難しい顔になる

1人愉快的な顔になっているが……言ってやりたいなあ。

『で、ですが既に貴方達が退学になるという話しは決まっていますノ
ーね

査問委員会で貴方達は強く疑われていルーの、それを今から覆すノ
ーは、とってもとっても、難しいノーね』

『そういう事です

どちらの仮定だとしても、疑われた不幸を嘆きなさい』

ふむ、クロノスは思いつきで言ったかもしれないが女性が邪魔だな
もしかしてさっきの事を怨んでるのか？

俺としては満足でき……なかったけど楽しかったんだがな。

「ならお互いに納得できる妥協案を出してくれ
こちらとら有りもしない事で疑われてるんだ
それぐらいしないと誰も納得できん」

『ならば、制裁タッグ決闘をしてもらうノーねデュエル
遊城十代と丸藤翔でタッグを組み、決闘デュエルしてもらうノーね』

多分原作通りかな？

でも俺がここに理由がわからんぞ。

「相手は？ 場所は？ 時間は？

勝った時のメリットは？ 負けた時のデメリットは？
そして俺はどうなる？」

『う、相手は追って連絡するノーね

勝った時は無罪放免、負けたら退学……は無理ソーう？
だったら停学か謹慎にすルーの

堅守瑞貴には別の誰かとタッグを組んでもらうノーね

その相手は自由に決めていいのでスーが、最低限、貴方の知り合い
じゃなイーと駄目なノーね

勝っても負けてもパートナーは何もありませんーが、貴方は負けた
ら遊城十代達と同じなノーね』

「妥当かな？

俺はそれで納得しておく」

これ以上は難しいだろうしな

交渉は下手に高望みすれば自滅する、ある程度に押さえるのが丁度
いいのさ。

『無理ですね』

無理だと？

女性の言葉に全員の視線がそちらに向く
女性は何も無いように話を続ける。

『上から退学は最低限確定しろと言われています
制裁タッグ決闘デュエルはいいですが、負ければ退学は変えられません
堅守瑞貴のパートナーですが、敗北時共に一切の干渉しないので安心してください』

つまり俺が誰と組んでもパートナーは問題無いと

例え俺が負けてもパートナーは何一つお咎め無しだから安心しろと
でも言いたいのか？

それはそれで安心だが、負ける事を望んでいる言い方が気に食わない
確かに負けた時の事を教える必要が有るから仕方無いが……

だがそこで終われば俺じゃない

狙いは勿論……あの女だ！

「……徹底的に個人情報を調べて破局させてやる」

全員がギョツとした顔で俺を見る

それに対し、とっても良い笑顔を見せてやる
すると全員顔が青くなってるぞ？ どうしたんだろうな？

『わ、私を脅しても無駄です

これを決めたのは私よりも上なんですから
例え私に何をしてでも不利になるだけですよ』

「は？ 個人情報調べなんてできるわけないじゃん
俺みたいな小僧がそんな技術持つてるはずないだろ？
本気と冗談の区別もできないのか？」

『ぐ、ぐううゝゝゝ』

話しは以上です！ 解散！』

悔しそうに歯軋りをしながら涙目で俺を睨みながら消える女性
可哀想に……俺に狙われた不幸を嘆くんだな。

俺の事を恐ろしいものを見る目で見ている全員
そんな事は当然無視して部屋から出て行く。

ただ……グラスン付きの髭先生もあの画面にいたんだが
結局最後まで一言も言わなかったな、ただのカカシか？

………

………

………

寮に帰り、俺は誰と組むか考えていた

十代は……絶対に却下、仲良くなったら面倒になりそうだ

水色……問題外

でかいの……同上

明日香……保留

取り巻きその1……却下

取り巻きその2……微妙

……ん？ これだけか？

まあ特に問題無いか。

さて、誰と組むか

取り巻きその2だったらデッキを合わせるのは楽なんだけどね
だが明日香だったら俺がデッキを組んだし、同じく合わせやすい。

でもなあ……できる事なら1人2役がしたい

それなら色々と楽なんだけど無理だろう

あの女性をからかい過ぎたし、俺から提案しても却下されるのは目に見えてる。

となるとやっぱり誰かと組むしか無いな

うーん……悩む

いつその事辞めるか？

それはそれで良さそうだが学校中退って就職先が減るような仕方無いから辞めるのは諦めるか。

転校に話を変えて貰うか？

それは悪くないな、原作に関わらなくて済みそうだし

外国に行くのは遠慮したいけど、国内なら転校でも構わんか。

よし、校長にそう話を付けるか

そうと決まれば善(?)は急げとばかりに部屋から出る

どうでもいいけど、タッグパートナーを決めるのが面倒だからという理由はどうなんだろうな？

それでも俺は探さないけど。

そう思って部屋から出ると、目の前に明日香

しかもお互いに顔がかなり近づいてしまい、当たり前そうになる

俺はすぐに頭を引き、明日香に当たらないように避ける。

明日香もかなり驚いたらしく、思わず後ろに下がってた

しかし、一瞬見せた不満そうな顔はなんだ？

「こ、こんにちは瑞貴

今時間有るかしら？」

「無い、よってどけ」

「はいはい、有るのね
外で十代と翔君が決闘するみたいなの
貴方も見に行かない？」

「手強くなったな、明日香

それはそうと、何故お前がそれを知ってる？

更に何故俺を誘うか？

ついでに俺は今から行こうと思ってる場所があるんだが？」

「つかあいっら何で決闘するんだ？」

「タグ決闘前だからお互いのデッキ調整の為にか？」

「今まで一緒に部屋だったんだからお互いのデッキぐらい見せ合っておけよ。」

「十代が翔君を連れて出て行ったのを見たわ

隼人君……十代達と一緒にの部屋に住んでいる人ね

彼が教えてくれたのよ、今から十代と翔君が決闘するってね

瑞貴を誘うのは貴方から見て彼らがどう映るか気になるから
後、今から行こうとしてる場所なんてどうせ下らない理由なんでし
よ？」

「下らない理由って……否定できないから腹が立つ
言ったらどんな反応するのか気になるが面倒になりそうだから言わ
ないでおくか。」

「ほら、行くわよ！」

「ちよっ、引っ張るな！」

それに俺は行くなんて一言も言っていない！」

俺を無視して強引に連れ出す明日香

引っ張るなって！ 後せめて鍵を閉めさせてくれ！

結局強引に連れ出され、断崖絶壁に……その下では十代と水色が向かい合ってる。

「制裁決闘で落ち込んできたら、なんだか楽しそうね、あいつ十代に関わった人間は元気になる……きっと翔君も」

明日香が何か言ってるが俺はそんな余裕は無い

お前ら、こんな断崖絶壁に立って怖くないのか！？

「……瑞貴、なんで貴方は座ってるの？」

「俺は高所恐怖症なんだよ！」

つか落ちそうでかなり怖いって……もういい、帰る！」

そう思って反転、逃げ出す

しかし明日香に先回りされてしまった

お前はどこまで俺の邪魔をすれば気が済むんだ！？

「へっへっ？」

高所恐怖症なんだ？」

何？ 珍しく俺の弱点を見つけたから良い気になってるのか？
残念ながら俺は別に恥ずかしくも何ともないぞ

人間が死に直面する事に恐怖を覚えるのは本能だからな
言い訳がましいが事実だから仕方がない、そう仕方がないんだ。

……いや、本当に怖いんだよね

高い場所って苦手、無印での飛行船での決闘とかやっつけられないって

あの場に居た全員、高所恐怖症じゃないだな

それとも決闘者の本能で恐怖を押さえてたとかか？
デュエリスト

なんだか有り得そうで怖いんだけど。

「それはともかく、今は彼らの決闘に集中しましょう」
デュエル

明日香は俺を引き摺りながら崖の端に立つ

俺は明日香に掴まれながらもおとなしくしている

下手に暴れて明日香を突き落としたら洒落にならんからな。

仕方無いので重心を後ろにして座る

俺が素直に見る気になった事に気付いた明日香は手を離す

しかし簡単に逃げられないように俺の斜め後ろに移動する。

俺ってそんなに信用無いのか？

無いと思うけどさ。

海に面していて波の音が聞こえるせいであまり会話声は聞こえない
まあ声が無くとも内容は分かるからいいかな。

最初に出てきたのは十代のフェザーマン、今更説明も不要だろう
攻撃表示で伏せが1枚、最初だから普通の出だしだな
惜しむ事はやはりフェザーマンの攻撃力の低さだろう。

水色はパトロイド、パトカーだからだろうけど

デフォルメされすぎて威厳を全く感じられん
これなら攻撃力が更に低いジュツテ・ナイトの方が威厳が有りそう
だ。

そして攻撃……って、はあ!?

ちょっと待て、お前パトロイドの効果を使わないのか!?

十代が伏せていたのは攻撃の無力化ね

それなら調べてもあまり意味が無かったな。

「ああ、いきなりやられちゃったんだなあ」

そして大徳寺先生の猫がでかいのの足に懐く
何か匂いでも発してるのか?

「やっぱり心配してた通りね

翔君では、十代のタッグパートナーは重荷なのかも」

今更だけど、あのド素人がよくもまあ入学できたな

多分アニメ上、必要な人材だったんだろう

駄目な奴から頑張って成長していく姿を見るのは燃える展開って奴
だからかな?

そう考えると落ちた奴らが報われないな

可哀想に……アニメの都合に振り回される名も無きモブキャラ達
段々苛々してきたな。

しかも攻撃が失敗して落ち込んでる?

ふざけてるのか? あの糞ガキ……

しかも何か言い合ってるし、本当にガキだな。

昨日の決闘はどうかやら俺と明日香の事が有ったし
かなり強引に始まったから夢中になれたんだろう
だが今はどうだ？ 一度冷静になったらもうガタガタ
こいつはどう考えても終わってるな。

次に十代が出したのはスパークマン
やっぱり格好つけても攻撃力が（以下略）
うん、何度も言うけど微妙。

次にスパークマンの攻撃
電撃で槍を作り出して投げ槍のように投げる
パトロイドの腹……腹？
まあ腹部と思われる場所辺りに刺さり爆散。

そしてフェザーマンの直接攻撃
ダイレクトアタック
飛び上がって急降下から殴る
何度見てもフェザーマンの攻撃はヒーローらしくないな。

つうか水色、ダメージを受けたからってお前飛びすぎ
ソリッドビジョンで映像なんだからもう少し落ち着いたらどうだ？

十代は最後にカードを伏せて終了
水色からやる気が消えていくのが見て取れるな。

「早くも戦意喪失、頑張って翔君」

明日香が応援するが声が小さい
応戦するなら声を張り上げたらどうだ？

そう思っているとでかいのが大声で水色を励まし始めた

つか煩い！ 声がでかい！ やっぱり声下げろでかいの！

そして立ち上がる水色

しかしアレだな、応援されないと動けない奴って駄目駄目だね
最低限最後までやるぐらいじゃないと合格とは言えないな。

「隼人君の声援でやる気を取り戻したみたいね」

「え……俺、自分が駄目だから

駄目になっちゃう人間の気持ちちが、わかるような気がするんだな」

どうでもいいけどこいつの訛った話し方が表現できん
とりあえずこいつの知ったかぶりは何とも言えんな
色んな意味で駄目な俺の気持ちちが分かってないんだし。

「人の気持ちちが分かるのは

きつと貴方が自分で思っているような駄目な人間じゃないからよ」

そうかね？

人間の屑でも心理学を囁けば悪用できるんだぞ？

今の時代、鬱患者とかも多いし、金稼ぎにカウンセリングって悪く
ないんだぜ

それまでコネだとか色々大変だけどさ。

でかいのが照れてるがキモイ

男の赤面を見たところで何一つ楽しくないぞ
見るんだったら女性の怒りで赤面が見たい
その方が俺が楽しいからな。

水色のターン、最初は強欲な壺か

この前も使ったが、便利なカードだよな
原作の辻褃合わせの為に使われる困った時カード
原作じゃ手札消費がとんでもないからな。

ドローして水色の動きが止まる
何を引いた？

回想でもしてるのか動かないな
石でも投げてやろうか？

そして動き出したと思ったら融合か
という事はパワー・ボンドでも引いたか？

そしてスチームロイドとジャイロイドを融合してスチームジャイロ
イド……って、馬鹿かこいつは？

この場合はスチームロイドを召喚し、攻撃時に攻撃力が500上昇
する効果を使って相手モンスターを破壊
スチームロイドは攻撃された時に攻撃力が500下がる、そのデメ
リットを消す為に攻撃後に融合だろうが。

それにスチームジャイロイドの攻撃力はスチームロイドの攻撃時よ
りも攻撃力が低い
カードの使い方、ご利用は計画的にだぞ。

昨日に比べたらなんという駄目っぷり！
こいつはテンションで普通と駄目が行き来してるから安定しないし
これは期待するだけ無駄にしか思えんな
退学になっても元気で潰れてろよ？

しかも攻撃対象はフェザーマンか
馬鹿め、与えるダメージに目が眩んだな？

スパークマンを融合素材にするモンスターのほうが厄介なんだぞ
もし十代がクレイマンと融合を持ったらサンダー・ジャイアント
になってお前の負けだ。

そして十代のターン

案の定、サンダー・ジャイアントが出てきた。

「これで勝負は決まったわ」

「どして!？ まだ翔、頑張ってるじゃないか!」

お前効果を知らないのか？

いい加減こっちの奴らの無知具合に呆れてきたぞ。

「サンダー・ジャイアントは元々の攻撃力がこのカードより低いモ
ンスター1体を……破壊する

そうよね、瑞貴」

「そうだな

俺はさっきの攻撃時に攻撃する相手はスパークマンだと思ったよ
ま、例えそうでも十代が手札に戦士の生還を握っていたら結果は同
じだっただろうな」

「なあ!？ それじゃあ!」

昨日も十代が使ってただろ？

夢中になってて忘れたかでかいの

まあ俺はお前の頭の中なんてどうでもいいけどさ。

そして現れる黄色の巨人

胸元に電気が貯まってるのか光ってるぞ
つうかそれって体内に溜まってるのか？
それともそのでかい黄色いのは鎧みたいなのでそこに貯まってるの
か？

そして効果が発動される

サンダー・ジャイアントが電撃を空に放ち、細かい雨のようになっ
て降り注ぐ

スチームジャイロイドはそれを受けて爆発した

なんか普通の電撃じゃないせいか微妙に納得できんな。

更にバーストレディが現れる

相変わらずちよつとケバイな

気も強そうだし、俺とは合わない気がする。

そして2体のモンスターでダイレクトアタック直接攻撃

水色は駄目駄目っぷりを思いっきり出しながら敗北した。

下で何か十代と水色が話してる

そして突然水色が逃げ出した！？

でかいのが追いかけて行っただが……俺はどうするかな？

「ほら、行くわよ瑞貴」

「あん？ どこにだよ」

「十代の元によ」

俺に主人公に関わってたのか？

嫌に決まってるだろうが。

「嫌だね、俺は十代が気に食わないんだ
それなのにあいつの前に行くと、何を言い出すかわからんぞ？」

そんな事を言う俺に呆れる明日香

俺の考えてる事は大方読まれているらしい
きっと勘違いしているはずだ、うん、そうに違い無い。

明日香は十代の元に向かう

俺はどうするかな……なんとなく校長の所に行く気にならない。

とりあえずはアレだな

あの水色は絶対に潰す事にしよう

ウザ過ぎる……もう存在自体を否定したいぐらい腹が立つ
二度と会いたくないぐらい気に食わない。

次に俺の気分を害したら徹底的に潰す

それまで首を洗って待ってるんだ……

俺はアンチロイドデッキでも作っておいてやるよ

それとも、嫌いだけど1キルしてやろうかな？

今から楽しみだよ……

10話【特に気に入らない奴】（後書き）

瑞貴っていつ寝たの？

明日香を送った後すぐに寝ました

しかしやっぱり眠いそうです

どうでもいいけど作者も寝不足でかなり眠いです……最近毎日睡眠時間が3時間から5時間じゃ少し辛いですね、自業自得ですが。

恋人って？

とりあえず捏造

その方が楽しそうなので……つい

明日香が不満そうな顔になったのは何故？

一応彼女も女の子です

顔が近づいたのは事故だとしても、引かれるのは複雑な気分なんでしょう。

瑞貴は翔が嫌い？

大嫌いです、大嫌いです、大っっっっ嫌いです

大事な事なので3回言いました

性格がどう頑張っても受け入れられないそうです

弱虫、お調子者、知識の無さ、というかも全部が気に入りません
最初に気に入らないと思った切欠は女子寮での件です

巻き込まれた上、明日香との大きな繋がりを持つ切欠になってしまった事が気に入りません

原因が風呂場覗きというのもあまりに酷い話なので更に気に入りません

タイタン戦時も調子に乗ったり落ち込んだりと、性格に難があります
ぎるのも気に入りません

励まされて簡単に調子に乗り、小さなミスでもミスをするとな簡単に落ち込むのが気に入りません

今回の件でただ気に入らないが大嫌い、受け入れられない、潰したい相手No. 1に輝きました

今後も翔の名前が呼ばれる事は無いでしょう

あまり本人に干渉はしませんが内心でアンチしまくると思います

その辺りご了承を……なお、翔に救いという名の汚名返上の機会を与える予定は全くありません。

11話【制裁タッグ決闘 十代&翔編】（前書き）

みんなの期待を裏切る男、阿音！（某蜘蛛男風に）

V S カイザー戦を期待された人は申し訳ありません

カイザーを苛める為にはまだ戦う訳にはいかないのです。

今回は繋ぎ話しなのでかなり短いですね

あ、明日香が犯罪を！？

兄が泣いているぞ！ 早く自首するんだ！（不法侵入は犯罪です、

絶対に真似をしないでください）

11話【制裁タッグ決闘 十代&翔編】

視点 瑞貴

水色が十代との決闘後^{デュエル}に逃げ出してから数日

明日香からちよくちよくと話しは聞いた

何でもカイザーと十代が決闘^{デュエル}して水色が何かを決心したとか
でかいのが親に連れ戻されそうになったとか。

しかしカイザーってGXの豆腐メンタルだったよな？

確か1回負けた事がショックで連戦連敗

その後地下にまで堕ちて、逆ギレして地獄の豆腐カイザーになった
とか。

勝つ事だけを目的として戦うんだっけ？

オレイカルコス編の王様みたいな状態だっけ？

とりあえず豆腐メンタルなのは事実か……

そうだ、今度メンタル・カウンセラーリリーのカードをプレゼント
してやろう

きつと泣いて喜ぶんじゃないね？ 怒りの感情を滲ませながら

こいつも効果変更カードだしな、しかも豆腐に有利になるような効
果だ。

融合でこのカードも一緒に融合する事で効果を発動

500ライフを払い、エンドフェイズまで元々の攻撃力を1000
上昇するという効果だ

確かサイバー・エンドとかツイン・サイバーとか使ったよな？

融合させて効果を使えば攻撃力5000の貫通か3800の連続攻撃モンスターになる

パワー・ボンドを使用すれば攻撃力10000と7600という異常攻撃力になるだろう

ま、向こうではそれなりに普通の攻撃力だけだな。

とりあえず豆腐の事はこれでいいや
特に介入しようとは思わないしな。

カイザーは豆腐で固定かだって？
だって豆腐だし、当然だろ？

それよりも問題なのは俺のタッグパートナーが決まってる事だ
あれから何度か校長室に向かおうと思ったんだが明日香に邪魔されてる

しかも明日が制裁決闘デュエル……どうしよう？

そういえば俺の相手って誰だ？
十代達の相手とまた戦うのか？
それとも別の……無いとは思うけど十代達とだったら絶対にお断りだ！

オリキャラかな？ それとも原作キャラか？

ま、誰でもいいか
それにこのままタッグパートナー無しのまま行って退学するもよし
転校を言い出すもよし、そのまま1対2をするもよし。

うん、そうと決まれば昼寝でもするか
もう正直どうでも良くなったしな。

.....
.....
.....

目が覚める

今何時かと思って目覚まし時計を見つけた

ふむ……午後11時？

少し寝過ぎたな、晩飯が食えん。

それは良いんだが……またお前か、明日香！

「こんな夜中にまた来やがって……しかも不法侵入かよ
呼び鈴ぐらい鳴らせよ、付いてないけどさ」

「付いてないのなら最初から言わないの
それに、何度も何度も声を掛けたし扉だって叩いたのよ
夕方から何度も来てね」

「それは悪かった
悪かったついでに帰ってくれと俺は嬉しい」

「最初から帰るのなら来ないわよ
話しが有ったから来たんでしょう？」

チッ、明日香弄りも相手に慣れられたら終わりも同然だな
実験鼠扱いだけにして距離を取るか？

最低限だけの付き合いで、そうすればおとなしくなるんじゃない？

「明日のタッグ決闘^{デュエル}、私に貴方のパートナーをさせて」

「断る、話は終わったし帰れ」

「ッ！ でも、貴方まだタッグパートナーを決めてないんでしょ！？」

「別に問題無い

1人で戦えばいいし、もし駄目なら素直に退学するさ
その方が楽だしな」

そう言った瞬間、明日香が平手を向けて来た
俺は頭を後ろに下げ、明日香のビンタを躲す。

「で、突然殴るなんて……どういうつもりだ？」

涙目だな

感情は悲しみと怒りと不甲斐なさかな？

「私のせいで……私のせいで貴方に退学になられたくないのよ！
元々の原因は私だし、それなのに私はお咎め無しだし……
成績やブルー生徒だからって理由だと思っただけど
そんなの、悔しいじゃない！」

「知るか、帰れ」

別にお前が悲しんでも俺には関係無い

それに切欠がお前だけで俺は元々この学校は嫌々だったんだ
こんな主人公やらが鬱陶しい世界なんてご免なんだよ
正直疲れるんだ、十代達を避けているってのがさ。

「~~~~~！」

もういいわ！ 勝手にしなさい！」

そう言っと思いつきり部屋から出て行く明日香

……はあ、ああやって責任を感じてるからこそ余計にパートナーになっ
てほしく無いんだよね

あのまま戦ったら絶対にミスを連発するに決まってる。

俺が色々と教えてるから組みやすいといや組みやすいんだけどな
明日香の戦士デッキをサポートする形で俺がデッキを組めばいいだ
けだし。

……ん？ 組む？ 戦士？ そして退学の制裁タッグ決闘？
デュエル

思い出した！ 今回の敵って確か迷宮兄弟！

という事はあの召喚方法がどう考えても難しい上、更に攻撃力もた
ったの3750のモンスター

絶対にバランスの悪い生け贄で、合体しない方が明らかに強い、ゲ
ート・ガーディアン！

よし決まった！

嫌がらせに最適の相手だ！

今から作るぞ、今すぐ作るぞ！

対迷宮兄弟専用の最高の嫌がらせデッキをな！

明日香は……ま、どうにでもなるか

今から作るデッキはタッグパートナーは逆に邪魔にしかならないデ
ッキになりそうだしな

勝手な事をされるぐらいなら最初から1人で戦うさ。

よし、苦手だが嫌がらせの為にビート系デッキを作るぞ！

目的はそう、全ては嫌がらせの為に！

視点 明日香

いよいよ十代と翔君のタッグ決闘が始まる^{デュエル}

瑞貴は……まだ現れていない

彼の事だからきつとこの決闘が終わったら来るんでしょね。^{デュエル}

多分、この決闘を見るだけ無駄だとか思っているんじゃないかしら？^{デュエル}
十代達の決闘は気になるけど、瑞貴がどうするのかも気になる

私は席に座らず、亮の近くで立つ事にした

この場所は広く見渡す事ができ、更に入り口が見える
こちらの入り口は瑞貴が入ってくる方の入り口
だからこの場所が丁度いいの。

昨夜、瑞貴の事が心配と言ったのに切り捨てられ、私は怒って帰って行った

色んな感情が入り乱れたけど、冷静になって気付いたわ。

私は焦っていたんじゃないか……ってね

瑞貴はめんどくさがりで疲れる事を嫌ってる

でも真剣な事には完璧主義者だと、私はそう思う。

この前の廃寮の事件での決闘^{デュエル}

瑞貴のライフが削られ、負けてしまった

彼はあの決闘の時は守りよりも攻めを考えた苦手なデッキだと言った
つまり、あの時の瑞貴は全く本気じゃない。

瑞貴の使うデッキは基本が守りのデッキ
今までそのデッキを使った瑞貴が受けたダメージは……0よ。

そんな瑞貴と焦ってる私が組む？

無理に決まってるじゃない

最悪、失敗を連続してしまいそうで怖い

瑞貴の足を引っ張るんじゃないかって思ってしまう。

それはそうと、十代達の決闘^{デュエル}が始める

最初は翔君から……ジャイロイドと攻撃表示

次に迷宮兄弟兄は地雷蜘蛛を攻撃表示、十代はバーストレディを守備表示

弟はカイザーシーホースを攻撃表示ね

出だしとしては普通というか、ここまで何も無いとは思わなかったわ。

276

そう思っていたら弟が生け贅人形^{ドール}で兄の地雷蜘蛛を生け贅に、風魔神一ヒューガを特殊召喚した

LV7で攻撃力は2400とあまり効率の良いモンスターじゃないわね

瑞貴と話しすぎたかしら？ 全く普通のカードにしか思えないわ。

更に弟は闇の指名者で兄のデッキから雷魔神一サンガを手札に加えるでもこのカードって相手のデッキよね？ 味方も相手だけどいいのかしら？

まあ誰も言わないからいいのかもしれないわ。

翔君は融合を使ってスチームロイドとジャイロイドを融合、スチームジャイロイドを融合召喚

そして場ががら空きの兄に攻撃するんだけど風魔神に防がれる

風魔神の効果は自身に対する相手モンスターの攻撃力を0にする効果
しかし瑞貴の持っているカードは効果の変わっているエラッタされたカードと言っていた

エラッタ前の効果は戦闘ダメージを0にする効果、弟はこの効果で
戦闘ダメージを0にした

相変わらず迂闊ね、でも1度しか使えない効果を発動させただけマシかしら？

最後にカードを1枚伏せて終了ね。

兄のターン、死者蘇生で地雷蜘蛛を蘇生

そして弟と同じく生け贄人形ドールを発動、地雷蜘蛛から水魔神一スーガを特殊召喚

更に弟の場のカイザーシーホースを生け贄に、雷魔神一サンガを通
常召喚した

悪くないと思うけど、攻撃力2400、2500、2600の為に消費が激しいわね。

そして兄は3体の魔神を生け贄に捧げ、ゲート・ガーディアンを特殊召喚

……あの3体も生け贄にして攻撃力3750程度のモンスター？

瑞貴が詰め決闘デュエルで教えてくれた時には攻撃力8000ぐらい出たから驚けないわ

それにこの前だって亮がサイバー・エンド・ドラゴンのパワー・ボンドの効果で8000にまでなった

だから攻撃力3750は私に取っては程度でしかないわ。

でも、あの場に居る十代と翔君は違う

彼らには攻撃力3750はかなり強力なモンスター

あのモンスター……彼らはどうやって倒す？

でも……あのモンスター

強いけど見た目がかなり微妙じゃないかしら？

だってただ上に乗って重なっただけなのよ？

兄はカードを伏せ、ターンを終了させた。

十代のターン

クレイマンを出して融合を発動

バーストレディとクレイマンを融合し、E・HEROランパートガンナーを融合召喚をする

そして効果により、守備表示のまま相手プレイヤーにダイレクトアタック直接攻撃
攻撃力の半分でも、それなりに強力な攻撃ね。

弟のターン、メテオストライクをゲート・ガーディアンに装備する
貫通効果を付属する効果は強力だからちよつと危険ね。

そう思っていると翔君がサイクロンで破壊しようとする

これなら行けるかもって思ったけど、アヌビスの裁きで無効化、更にランパートガンナーを破壊される。

アヌビスの裁きはジュンコ・ももえ戦で瑞貴がジュンコの大嵐を無効化したカード

魔法・罫を破壊する魔法カードを無効化し、更に相手モンスターを破壊

しかもその攻撃力分のダメージを与えるというかなり強力なカード
その代わり魔法カード以外で破壊される事には無力という使いづらさが目立つわ。

それなのによくデッキに入れたわね

瑞貴の場合は自分のカードを破壊されない為だけど
迷宮兄弟の場合はそこまで魔法・罠を多用してない
入れるのはかなり無理の有るカードだと思うわよ？

そして弟がディフェンス・ウォールを守備表示で召喚する

確かこのモンスター効果は守備表示で存在している限り、このモンスター以外に攻撃できなくなる効果

守備力は2100と結構普通、だけどその2100を超えるのが難しい。

翔君のターン、意気消沈でのドロ

このままだと負けてしまうわ！

しかも出したのはサイクロイド！？

兄のターンでゲート・ガーディアンの攻撃、サイクロイドは簡単に破壊され、貫通ダメージが通る

ダメージは2750、このダメージは……辛いわね。

十代のターン

スパークマンを召喚し、スパークガンをスパークマンに装備

スパークマン専用の装備魔法、3回までモンスターの表示形式を変更できる。

瑞貴は使うのならシールドクラッシュを使ったり、断頭台の惨劇を使うように言っていた

それか攻撃後、守備表示に変更させるなどね

前者なら守備モンスター専用に破壊するし、特に断頭台の惨劇なら3体も破壊できる

後者なら直接攻撃モンスターダイレクトアタックなどを守る為にもなる。

他にもドリーム・ピエロ、マーダーサーカスやブレードラビットの表示形式の変更が効果の発動になるモンスター表示変更で破壊される雲魔物の破壊など、応用できる範囲が広いしかし最大の欠点はスパークマン専用という点ねそれだけでこのカードの価値はE・HERO使いで無ければ全く無いわ。

スパークガンの効果でゲート・ガーディアンを守備に変更し、カードを1枚伏せて終了
弟のターンはカードを伏せるだけで終了
やはり壁に頼ってるだけみたいね。

そして翔君のターン、十代に励まされて元気になりドロロ先ずはドリルロイドを召喚した
なるほど、ダメージを受けるとはいえ相性は良いわね。

だけど翔君は攻撃をした!?!
どういうつもり? ディフェンス・ウォールに邪魔される事ぐらい分かってるでしょ?

案の定、ディフェンス・ウォールに邪魔される
反射ダメージ500を受けるものの、破壊はできた
しかし問題のゲート・ガーディアンは依然と立っている。

このままだと何の意味も無い行動になってしまうけど……まさか!?!
そう思ったけど、私の予想は大当たり、翔君はシールドクラッシュを発動した
タッグ用に調整してないみたいだけど、それでもお互いに使えるカードの情報交換ぐらいしたみたいね

そうでなければこんな事はできないでしょう。

最後にカードを伏せて終了
でも迷宮兄弟だってこれで終わると思えないわ。

兄のターン、最初に発動したのは魔法カード、ダーク・エレメント
ライフを半分払い、闇の守護神ダーク・ガーディアンをデッキから
特殊召喚した

戦闘では破壊されないみたいだけど、そこまで怖くないのは何故か
しら？

強いのは理解できるんだけど……私なら簡単に破壊できるからかし
らね？

そしてドリルロイドに攻撃

この攻撃が通れば十代達の負けよ！

しかしそう簡単には終わらない、十代のヒーローバリアで攻撃を無
効化

まだスパークマンは残ってるから可能ね。

だけど強力なモンスターを呼ぶ切欠を作ってしまった翔君は戦意喪失
それでも十代の励ましにより力を振り絞る

頑張っ、翔君！

十代のターン

フュージョングートを発動し、場のスパークマン、手札のバブルマ
ン、フェザーマンを融合

E・HEROテンペスターを融合召喚する

でも攻撃力は2800、ダーク・ガーディアンには敵わないし、戦
闘では破壊できない

超過ダメージは通るけど、それもできない。

摩天楼一スカイスクレイパーを発動

これで攻撃力は同じだけど戦闘破壊もできないし相打ちにもなれない
どうするつもりなのかしら？

それでも攻撃を仕掛ける十代

場のカードを墓地に送って戦闘破壊を免れる……なるほど、そういう事ね

これは翔君に向けるメッセージ、伝えたい事は倒せなくてもいいという事

多分次に戦闘した時に再び効果を発動、スカイスクレイパーを墓地に送って戦闘破壊を免れる

ダメージを受けて戦闘で破壊できなくてもダメージを与えられる。

そしてそれができるカードは翔君のデッキに入ってる

だけど、次のドローで引けるかしら？

弟のターン、伏せカードは一騎打ち

攻撃力の高いモンスター同士での戦闘を行う罫
後は私の予想通りね。

翔君のターン……引けるかしら？

覚悟を決め、力強くドローする翔君

引いたみたいね……パワー・ボンドを。

ドリルロイドを生け贄にユーフォロイドを召喚

そしてパワーボンドを発動する

ユーフォロイドと、場の戦士族……テンペスターを融合
ユーフォロイド・ファイターを召喚する。

その攻撃力は素材にしたモンスターの合計値
攻撃力は4000、そしてパワー・ボンドの効果で攻撃力が倍にな
る。

ダーク・ガーディアンとの攻撃力差は4200
戦闘で破壊できなくても十分過ぎる攻撃力よ。

ユーフロイド・ファイターでダーク・ガーディアンに攻撃
ダメージは通り、迷宮兄弟のライフは0……よくやったわね、十代、
翔君。

喜んで調子に乗った十代が決め台詞
それだけ元気ならと言って校長先生がレポートを30枚も……
さすがにちょっと可哀想だし、手伝ってあげようかしら？

それにしても瑞貴はまだかしら？
これには校長先生達も疑問に思ってるみたい。

「すみません、遅れました
俺の相手は誰ですか？」

タイミングが良すぎないかしら、瑞貴？
少し校長先生と話し、瑞貴は決闘場^{デュエルフィールド}に上る
タッグパートナーはどうするつもりなのかしら？

「シニョール堅守、タッグパートナーは、どうなってるんですノー
ね？」

「不要、あの兄弟の相手は俺が1人でします」

「「なんだと？　我ら兄弟を嘗めているのか！？」」

迷宮兄弟が怒るのも無理は無いわ

瑞貴の言葉は明らかに挑発、多分それで相手を乗り気にさせ、個人での出場を認めさせるつもりね？

渋る校長先生とクロノス教諭

だけどそんな事にお構いなしで瑞貴は迷宮兄弟を挑発し続ける。

案の定、迷宮兄弟はそこまで言うのならと、瑞貴の個人参加を認めた
これで1対2、先ほどの決闘デュエルを見ていた者達は瑞貴の負けだと思っ
てるでしょうね。

でも私からすれば迷宮兄弟が哀れに思えるわ

だって散々挑発されたあげく、嫌がらせ満点のデッキで戦われるんですもの

しかも瑞貴の事だからきつと勝つんでしょうね……はあ。

嫌がらせというのは予想だけど既に確信してるわ

瑞貴がこんなシチュエーションで嫌がらせをしないはずが無い！
もうこれは確定よ、絶対よ、決定よ。

さて、瑞貴がどんな嫌がらせデッキを組んだのか

見せて頂戴？　貴方お得意の嫌がらせ兼凶悪デッキをね。

11話【制裁タッグ決闘 十代&翔編】（後書き）

メンタル・カウンセラーリリーの変更効果は？

融合時に融合に記されていなくてもこのカードも融合する事ができる
融合モンスター召喚時、ライフを500払う事で元々の攻撃力を
エンドフェイズ時まで1000アップする

この効果は手札からでも使用できる。

リリーの効果が強引過ぎない？

カイザーの為です

今後、カイザーに会った時にプレゼントする予定です

その為、カイザーが使う為に使える効果にする必要がありました
え？ アイドルカードになるのかって？

はい、メンタル・カウンセラーリリーはカイザーのアイドルカード
になります……いえ、します！

285

明日香が不法侵入！？

完全スルーされてますが犯罪です

瑞貴は驚きから苛め忘れていました。

瑞貴に断られてから試験までの明日香はどうしてたの？

泣きながら怒ってました

そのまま疲れて眠り、起きて冷静に色々と考えて試験場に向かいま
した

結果は本編の通りです。

明日香の知識が凄い事に！？

今後も瑞貴の居ないシーンでは明日香の視点が多くなっています
性格を瑞貴に毒されてしまい、知識も増えたので瑞貴に代わりに悪

評してもらいましょう

明日香、君の未来に乾杯！（終わってるね、という意味で）

でも擦れてないよね？

少々酷評が目立つようになったぐらいでしょうか？

残念ながらみんな大嫌い、翔を批判するような事を言えるほど性格は悪くありません

明日香は善人なので仕方有りません。

瑞貴はどんな嫌がらせデッキを使うの？

秘密です、まあ簡単に予想できますのであまり言わないでください
予想が当たった時は「予想通り（ニヤリ）」と、笑えばいいと思う
よ？

12話【制裁タッグ決闘？ 瑞貴編】（前書き）

凄まじいまでの難産でした

タイタン戦以上にここまで悩むとは思いませんでした。

それと、多分9割近くの人の予想と期待を裏切りました

あ、謝りませんよ？

これでも2日も掛けて書いたんです

だから例え期待外れと言われようと、何と言われようと書き直しませんし謝りませんよ！

え？ 昨日投稿したのに2日も掛けたってどういう意味かって？

そんなの書き貯めができるぐらい前のが早く書き終えたからに決まってるじゃないですか

タイタンの時の3対3は1日で書きましたし、その次の話は安価の日に書き終えてましたしね

だからこんなに時間を掛けられたんです。

まあ……おかげさまで疲れました

次話は0時に間に合わないので明日の投稿は確実にありません
投稿するとしたら早くて明後日でしょう。

十代視点むずい……多分当分はしません

あの熱血キャラは無理です。

12話【制裁タッグ決闘？ 瑞貴編】

視点 瑞貴

うんうん、良い感じに怒ってくれているな
頑張って挑発した甲斐が有ったというもの
それにしても記憶が間違っなくてよかったよ。

迷宮兄弟と俺、お互いに決闘場^{デュエルフィールド}に立ち、今まさに始めようとした時
大声でそれを遮られた。

「その決闘^{デュエル}、ちょっと待ってください！」

全員がその声の主の方を振り返る

俺は声で誰かが分かったので頭を抱えてしまった

明日香だけでは終わらず、お前らまで俺の邪魔をする気なのか!?

「突然なんなんでスーの、ペペロンチーノ」

「すみません、この決闘^{デュエル}、私達にあの堅守瑞貴の相手をさせてもら
えませんか！」

「お願いします！」

そう言って現れたのは明日香の取り巻きその1とその2
名前はまた忘れた。

「おやおや、君達、名前は？」

「あ、はい校長先生」

私はオベリスクブルー1年の枕田ジュンコです」

「同じく浜口ももえです」

ふむ、わかった、忘れておこう

記憶抹消の速攻魔法を使いたいと思うんだけど、どう思う？

「それで、君達は何故彼と決闘デュエルを？」

それは俺も思うし、多分この場の誰もが思ってるはずだ
俺からすれば答えなんてどうでもいいからこの茶番を早く終わらせてほしいね

俺は早く迷宮兄弟に嫌がらせがしたいんだよ！

そう思って楽しみにしており、全く話を聞いてなかった
普段からどうでも良い事と思っている事はすぐに意識の外に行ってしまう

集中している時はそれでもいいが、今回に限っては大きな過ちだった。

「ふむ、そうですか……堅守君」

「……ん？」

ああ、何ですか？」

「今回の決闘デュエルは彼女達が担当になりました
後はお願いますね」

「……………はあ？」

俺が理解できていない間にその1、その2が決闘場デュエルフィールドに上がって準備している

迷宮兄弟は口惜しそうにしていたが雇い主という理由で我慢しているのだろう

クロノスはオベリスクブルーだし大丈夫とでも思ってるのかそれなりに余裕そうだ。

「お前ら、校長に何て言って説得した？」

「聞いてなかったの？」

この前負けたからリベンジがしたいって言っただけよ

校長先生も迷宮兄弟の決闘デュエルには満足したみたいだし

そういう訳で私達が相手をしてもらって許可をくれたのよ」

「そういう訳ですわ

さあ、お覚悟を！」

構え始めるその1とその2

以前の俺よ、何故こいつらと関わってしまったんだ？

金は搾り取れたからよかったけど、これじゃ割に合わんな。

「お金は返してもらわよ！」 「あの時のお洋服が買えなくなってしまったんですよ！」

それを一番怨んでるのかよ！

お前も同意しただろうが！

今更それは無いだろ！

しかしこのデッキどうしよう？

せっかく嫌がらせの為に頑張って作ったデッキなのに

こいつらじゃ嫌がらせも半減程度にかなりそうにない

デッキを変えるか？ でもせっかくここに迷宮兄弟が居るんだしなあ

どうせだ、苦手なタイプデッキだが構わん、嫌がらせの為になるんだからな！

「まあいい、とりあえず受けてやる

だけどやる気が失せていくなあ……校長、俺転校でもいいからこれ棄権してもいい？」

「はっはっは、駄目です」

「ですよー……はあ、めんどい」

仕方無しに俺も構える

油断はしてやるし、手加減もしてやるよ！

「行くぞ、明日香の取り巻きその1とその2！」

「ジュンコよ！」 「ももえですわ！」

「「^{デュエル}決闘！」」

あー……やっぱやる気でねえ。

視点 十代

俺達は迷宮兄弟との決闘後、少し離れた場所で瑞貴デュエルの決闘を見ていた
対戦相手は明日香と一緒に居る事の多かったオベリスクブルーの女
子2人

確かに瑞貴は明日香戦の時も、タイタン戦の時も強かった
だけどオベリスクブルー生徒2人相手に……勝てるか？

「翔、隼人、お前らはどっちが勝つと思う？」

「僕はわかんない

明日香さんと戦った時は強かったけど2回ともデッキが違ったし
タイタンの時もデッキが変わってんだもん」

「俺はまだ1回しか見てないからわかんないんだな
でも、オベリスクブルーに勝てるとはあんまり思えないんだな」

確かに、瑞貴の戦いは3回見た

最初は女子寮での明日香戦、その時は戦士族を中心にしてたと思う
次も明日香戦、その時はまさかのエクゾディアデッキだった

3回目はタイタンの時のデッキ、あの時はコスモクイーンを中心に
した魔法使い族デッキ

1戦目は守りを中心としていたがパワーデッキ、2戦目はテクニッ
ク、3戦目は純粹に力押しだった。

どれもデッキタイプが違ってどれが瑞貴の本当のデッキなのか
わからない

性格から予想するに1戦目か2戦目だと思うんだが……悩むな。

「お疲れ様十代、翔君
よくあのゲート・ガーディアンを倒せたわね」

「あ、明日香さん」

「お、明日香じゃん

でも意外だったぜ、瑞貴だったらお前をタッグパートナーにすると
思っただけだな」

なんだかんだいってもこいつら仲が良いし

きつと瑞貴は明日香と組むとばかり思ってたんだけど……

「むしろ私からタッグパートナーにしてくれて頼みに行ってたぐら
いよ

断られちゃったけどね」

「ええ！？ 瑞貴君自分から断っちゃったんスカ！？」

「あいつ……一体何を考えてるんだな？」

明日香が瑞貴に負けたから足手まといに思ったのかな？
だけど瑞貴はそんな奴じゃないと思うし、何でなんだ？

「あれは私が悪いの、だからあまり気にしないで

それよりもジュンコともえが相手か……今回はどうなるかしらね
？」

「あん？ それってどういう意味だ？」

「実は瑞貴ね、以前もあのタッグチーム相手に戦った事が有るのよ
今回みたいに1対2でね、勝ったのは瑞貴だったわ」

「じゃああの人達にとって今回はリベンジマッチって事ッスか？」

「そうなるわ」

もう1回勝ってるなら楽勝かと思ったけど明日香の顔が険しいな
どうかしたのか？

「どうしたんだよ明日香、顔が怖いぜ？」

「……あの時の事を思い出してただけよ

あの時、ジュンコともめえは瑞貴に1ポイントもダメージを与えられなかった

私だって1対1だけど1ポイントもダメージを与えてないし……瑞貴は守りがとんでもなく上手いのよ」

「マジか!？」 「ええ!？」

「マジよ、少しだけ教えてあげるけど

1回目の私の戦い、タイタン戦、どちらも瑞貴は苦手なデッキだったのよ？

(1回目は終焉のカウントダウンを使わなかったただけだったけど)」

「に、苦手なデッキってどういう意味だ!？」

あんなに強かったのに苦手なデッキを使ってたってのか!？
そんなの反則じゃねえか！

「……瑞貴は攻めを中心にするデッキが苦手なの

守りつつ、相手の隙を窺う戦いを得意としているわ

(本当は特殊勝利条件デッキが一番得意らしいんだけどね

自分の好みにも合うし、終焉のカウントダウンとかウィジャ盤とか大好きみたいだし」

「じゃああの時僕達が勝てたのって……」

「どうかしらね？」

もし瑞貴の本気デッキだったら勝てなかったかもしれないわ
(負ける気満々だったらしいけど)」

翔と隼人が悪寒に震える

俺だってかなり驚いた、あの強さで苦手なデッキだなんて……

「そろそろ始まるわね、どっちか勝つ事やら……」

明日香の声に心配の感情を感じる
どっちを心配してるんだ？

「「^{デュエル}決闘！」」

初期ライフは俺達の時と同じ共通で8000
瑞貴は1人だけどそれは変わらないみたいだな。

「先攻は俺が貰う、ドロー

俺は手札から魔法カード、苦渋の選択を発動

このカードはデッキからカードを5枚選択し、相手に公開する
相手はそのカードの中から1枚だけ選択

俺はその選択されたカードを手札に加え、残りは全て墓地に送る」

なんだあ？ 4枚は必ず墓地に落ちるなんて使えねえカードだな
増援とかの方が絶対便利だって！

でも明日香が陰しい顔をしていた、どうかしたのか？

「明日香、どうしてそんなに怖い顔してるんだよ？」

「貴方にはわからないんでしょうね

あの苦渋の選択の怖さが……」

「そんなに怖いカードッスか？

4枚も墓地に落っこちて、しかも1枚は相手に選ばせるんでしょ？」

「分からないの？

苦渋の選択の怖さ、それは墓地に存在するからこそ意味のあるカードを墓地に送れる事よ

例えるなら十代の使ってたネクロダークマン、他にもネクロガードナーや墮天使マリーとかね」

なるほど、そういう意味を持ったカードなのか

全部墓地に送って効果を発揮するカードなら有利にしかならないという訳か。

「俺の選択するカード……それは

雷魔神ーサンガ、風魔神ーヒューガ、水魔神ースーガ、ゾンビキヤリア、馬頭鬼」

「「「3魔神!?!」」」

「（やっぱり嫌がらせのデッキだったのね……しかも迷宮兄弟用のでもどうやって相手が迷宮兄弟だって知ったのかしら？

まあ瑞貴の事だからクロノス教諭辺りでも脅したんでしょ）」

瑞貴が選んだモンスターは先ほど迷宮兄弟が使っていた3魔神だった！

しかし何故こいつらを墓地に送ったんだ？

「どうせ何を選んでも同じようにしてるんでしょ？

だったら何でもいいわ！ サンガを手札に加えないさ！」

「わかった、俺はサンガを手札に加え、残りのカードを墓地に送る
モンスターをセットしてカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

苦渋の選択を使った事以外は普通だ

あの伏せカードが気になるが……大丈夫か？

「私のターン、ドロー！

魔法カード、テラ・フォーミングを発動！

デッキからフィールド魔法を手札に加えるわ！

私はデッキから伝説の都 アトランティスを手札に加え、発動！

このカードの効果で手札の水属性のモンスターはLVが1下がるわ！

私はLVが下がり、LV4になったジェノサイドキングサーモンを
召喚するわ！

最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

さすがオベリスクブルー、最初のターンから攻撃力2600のモンスターを出してくるなんてな

アトランティスという事は水属性デッキを使うのか？

「私のターン、ドロー！

私は魔法カード、デビルズ・サンクチュアリを発動！

この効果でメタルデビル・トークンを特殊召喚しますわ！

トークンが受ける戦闘ダメージを相手に与える効果ですが関係有りません！

私はこのメタルデビル・トークンを生け贄に、マテリアルドラゴンを召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドですわ！」

すげえ……こっちも1ターンで上級モンスターを召喚した

こっちも攻撃力2400と高い

瑞貴は既に上級モンスターは墓地に行ってるし、大丈夫なのか？

「俺のターン、ドロー

俺はフィールド魔法、アンデットワールドを発動！

このカードの効果でフィールド、墓地のモンスターは全てアンデット族として扱われる

そして新たなフィールド魔法が発動された事によってアトランティスは破壊される」

「なあ！？ きゃあ！」

ジュンコのアトランティスが破壊され、ジェノサイドキングサーモンの攻撃力が2400にダウンする
それでも十分強力なモンスターだ。

それにしてもあんなフィールドカードが有るなんてな
全部アンデット族って凄いけど役に立つのか？

「次に、手札を1枚デッキの一番上に戻し、ゾンビキャリアの効果
を発動

墓地からこのモンスターを特殊召喚する
更に魔法カード、モンスターゲートを発動

モンスター1体を生け贄に、デッキからモンスターが出るまでカードを引く

それが通常召喚可能なモンスターだった場合、特殊召喚できる」

あれ？ それってさっきゾンビキャリアで戻したカードだよな？
という事はあのカードって……まさか！

「ゾンビキャリアを生け贄に……ゾンビキャリアは自身の効果で特殊召喚した場合除外される

俺のデッキの一番上のカード、それはさっき、ゾンビキャリアの効果でデッキの上に置いたカード

そのカードは……雷魔神ーサンガだ」

瑞貴の場にさっき迷宮兄弟が見せた雷魔神の姿が

こんな簡単に……しかも迷宮兄弟よりも更に速く出すなんて！

「そして俺は永続魔法、生還の宝札を発動する

自分か相手の墓地からモンスターが特殊召喚された時、デッキからカードを3枚ドローする」

「「3枚も!?!」」

さ、3枚ドローかよ……めっちゃ鬼畜なカードだな
でも墓地蘇生のカードなんてそんなに無いぞ？

「欠点はこのドロー効果は強制効果、もしデッキが無い状態で蘇生が発生したら俺の負けだ」

それは弱点じゃないんじゃ……

というか、そんなに蘇生できるのか？

「更に墓地の馬頭鬼の効果を発動
墓地のこのカードを除外する事で、墓地のアンデット族を特殊召喚
できる

俺はこの効果で馬頭鬼を除外、現れろ！ 水魔神ースーガ！」

次に現れる水魔神

だが風魔神はまだ現れてないぞ！

「生還の宝札で3枚ドロ、速攻魔法発動、異次元からの埋葬
除外されているカードを3枚まで墓地に戻す

俺はこの効果でゾンビキャリアと馬頭鬼を墓地に戻す
馬頭鬼の効果を使用し、ゲームから除外、風魔神ーヒューガを特殊
召喚！

そして生還の宝札で3枚ドロ」

すっげえ……まだ2ターン目なのに最上級モンスターが3体
しかも手札がまだ6枚も持つてる
更に、まだ通常召喚もしてないんだぜ。

「3体の魔神を生け贄に、ゲート・ガーディアンを特殊召喚！」

マジか……動きが速すぎる！

ジュンコ達のフィールドには伏せカードが2枚

大丈夫だとは思うけど。

「まだ終わらないぞ？

魔法カード、魂の解放を発動、お互いの墓地から計5枚まで除外す
る事ができる

この効果により、雷魔神、風魔神、水魔神、アトランティス、デビ

ルズ・サンクチュアリを除外

そして魔法カード、次元融合を発動、ライフを2000払い、お互いに除外されているモンスターを特殊召喚する

そちらには除外されているカードが無いので関係無いがな

俺は3体の魔神を特殊召喚！」

再び現れる魔神達……こんなに簡単に出せるモンスターだったっけ？

「セットモンスターを反転召喚、魂を削る死霊

バトルフェイズだ！」

サンガでマテリアドラゴンに攻撃！

スーガでジェノサイドキングサーモンに攻撃だ！」

サンガの雷撃がももえのドラゴンに

スーガの水流がジュンコの骨のような魚に当たる

両方破壊され、ダメージは合計300だな。

「ヒューガ、魂を削る死霊で直接攻撃ダイレクトアタック

更に魂を削る死霊の効果を発動、このモンスターが直接攻撃によりダイレクトアタックダメージを与えた時

相手の手札を1枚ランダムに捨てさせる効果を持つ」

攻撃力はたったの300しか無いけど効果が強い！

瑞貴はこの効果でももえの手札を捨てさせた。

合計ダメージは3000だから残りライフは5000

それに対し、瑞貴はライフを払ってもまだ6000残ってる

そしてまだ、場にはゲート・ガーディアンが残ってる！

「ゲート・ガーディアンで直接攻撃だ！」ダイレクトアタック

「いい加減にしなさい！」

罨カード発動！ ドレインシールド！

攻撃を無効にし、相手モンスターの攻撃力分だけライフを回復する！」

「そうはさせせん、手札から速攻魔法発動、神秘の中華鍋！

自分のモンスターを生け贄にし、その攻撃力か守備力分ライフを回復する

俺はその効果によりゲート・ガーディアンを生け贄にして攻撃力分回復する！」

「回復はさせませんわ！」

永続罨、シモツチによる副作用を発動！

この効果により相手がライフを回復する時、ダメージに変化させますわ！」

「まだまだ甘い！ リバースカードオープン！」

速攻魔法発動、サイクロン！ この効果によりシモツチによる副作用を破壊する！」

めまぐるしくお互いのカードが動きまくる

順番に説明する。

最初にジュンコのドレインシールドでゲート・ガーディアンの攻撃を防ぎ、ライフを回復しようとする

しかし瑞貴が神秘の中華鍋でゲート・ガーディアンを生け贄にし、逆に自分のライフを回復しようとした

だがもえがシモツチによる副作用で回復をダメージと入れ替えようとする

最後に瑞貴がサイクロンでシモツチによる副作用を破壊して無力化、最終的に瑞貴のライフが回復した。

結局ジュンコ・ももえチームのライフは5000
瑞貴のライフは9750になった。

「バトルフェイズの終了

俺は墓地のゾンビキャリアの効果を発動

手札1枚をデッキの上に戻し、ゾンビキャリアを特殊召喚！

そして墓地から特殊召喚に成功したので生還の宝札で3枚ドロ

魂を削る死霊、ゾンビキャリアを生け贄に……

心の闇より生まれし者、今、魂と引き換えに降臨するがいい！ 脈
動せよ、ブラッド・メフィスト！」

瑞貴の場に紳士のような男が現れる

手にはステッキを持ち、足は無くして幽霊のような奴だった。

そういえばロード・ウォリアーってモンスターの時も思ったんだが
瑞貴って一部のモンスターの召喚の時に口上を述べるのか？

「このモンスターは闇属性を除外してのみ特殊召喚できる

通常召喚も可能だがそれでも闇属性が必要だ

こいつは1ターンに1度、相手フィールド上に存在するカードの枚
数×300ポイントのダメージを与える

更にこのカードが自分フィールド上に表側表示で存在する限り

相手が魔法・罠カードをセットした瞬間、相手に300ポイントの
ダメージを与える」

攻撃力2800で守備力が1300のモンスター……

しかもバーン効果を備えているのは強いな

戦う時は注意した方がよさそうだ。

「残念ながら今はお前らの場にカードが無いな
俺は死者転生を発動、手札を1枚捨ててゲート・ガーディアンを手
札に加える

そして3体の魔神を生け贄にし、ゲート・ガーディアンを特殊召喚！
俺はこれでターンエンドだ」

また現れるゲート・ガーディアン

あの召喚の難しいゲート・ガーディアンを1ターンに2回も出すつ
てめちやくちや凄いぜ！

「ジュンコともえが以前の瑞貴との戦いでしつかり成長してるわね
だけど、それでも瑞貴にはまだ届いてない……しかもあの召喚の難
しいゲート・ガーディアン

あのモンスターを何度も出すなんて普通じゃないわ

ゲート・ガーディアンだけの、ゲート・ガーディアンによる、ゲー
ト・ガーディアンの為だけのデッキね
凄まじいまでのファンデッキだわ」

「あれをファンデッキで済ませたら駄目な気がするッス」

「同感なんだな」

ファンデッキでも強かったら何でもいいぜ！

クゝゝゝ、早く瑞貴と普通に戦ってみてえなあ！

「わ、私のターン、ドロー！

私は海神の巫女を守備表示で召喚！

このモンスターが存在している限り、フィールドは海として扱われ

るわ！」

「無理だアホ

そいつはフィールド魔法の発動中には効果は適用されんだから海の効果は全く無いし、アンデットワールドにも影響は皆無だ」

「う……か、カードを2枚伏せてターンエンドよ！」

ありやりや、プレイミスか
時々有るし、ドンマイ！

「この瞬間、ブラッド・メフィストの効果発動
魔法・罠がセットされた瞬間に300ダメージを与える
2枚セットされたから600ダメージだ」

伏せカードは同時にセットしたみたいに思えるけど
実は1枚ずつセットされているから300×2だな。

「私のターン、ドロー！」

永続魔法、黒蛇病を発動しますわ！

更にデス・ウォンバットを守備表示で召喚ですわ！

更に装備魔法、ミスト・ボディをデス・ウォンバットに装備！

このカードの効果でデス・ウォンバットは戦闘では破壊されません
わ！

これでターンエンドですわ！」

黒蛇病の効果でお互いに200ダメージから倍になっていく
それをデス・ウォンバットで無効化するのか
しかも破壊されないようにミスト・ボディを使う

考えられてるな！

「この前、ももえは最初にデス・ウォンバットを破壊されたしねだから今度は真面目に守りを固めたんでしょ
これなら瑞貴は貫通モンスターを使わない限り時間差で負けるわ」

前の時も使ったのか

でもさっきから効果ダメージのカードが多いな
あいつってバーンデッキの使い手なのか？

「俺のターン、ドロー」

魔法カード、死者蘇生を発動

墓地より死者転生で捨てたファントム・オブ・カオスを特殊召喚
墓地からモンスターが蘇生されたのでカードを3枚ドロー

だがその前にチェーンして速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動
自分の場に攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚された時に
のみ発動可能

相手は自分のモンスター1体を選択し、俺は特殊召喚したモンスター
1が選択される

選択されたモンスターをデッキ、手札、墓地から特殊召喚するんだ
さあ、お前らの場のモンスターを1体選択しな

そしてそいつを特殊召喚しろ、俺もファントム・オブ・カオスを2
体特殊召喚する」

地獄の暴走召喚の効果で瑞貴は黒い渦のようなモンスターをデッキ
から2体

ももえもデッキからデス・ウォンバット1体を守備表示で特殊召喚
した。

「次に生還の宝札の効果で3枚ドロー」

そしてファントム・オブ・カオスの効果を発動する

墓地のモンスターを除外してそのモンスターの名前、攻撃力、効果をコピーする

俺は墓地のサンガ、ヒューガ、スーガを除外してそれぞれの名前を持たせる」

ちょっと待て！

それってまさかとは思うけど！

「そして3体のファントム・オブ・カオスを生け贄に、現れろ、ゲート・ガーディアン！」

2、2体目のゲート・ガーディアンだってえ！？

どんだけ重いデッキなんだよ！ 何で事故を起こさないんだ！？

「更にブラッド・メフィストを生け贄に捧げ

地に堕ちし竜よ、今、屍と化そうとも姿を現せ！ 甦れ、デスカイ

ザー・ドラゴン！」

死体となり、朽ち果てた姿のヘルカイザー・ドラゴン……

そのおぞましい姿には吐き気すら催しそうだぜ。

「デスカイザー・ドラゴンはアンデット族を生け贄にしなければ召喚できない

そしてデスカイザー・ドラゴンの効果発動！

あらゆる召喚に成功した時、相手の墓地からアンデット族を一体自分フィールド上に特殊召喚できる

来い、マテリアルドラゴン！」

「「そんな！？」」

瑞貴の場にマテリアルドラゴンが姿を現した

マテリアルドラゴンの効果は効果ダメージを反転させる効果
黒蛇病の効果は逆に瑞貴に対して有利に働く事になってしまう！

「蘇生に成功したので生還の宝札の効果で3枚ドロ
速攻魔法、魔法効果の矢を発動！

相手の場の魔法カードを全て破壊する
そしてその枚数×500ダメージだが、デス・ウォンバットの効果
で無効になる

とりあえずミスト・ボディと黒蛇病を破壊する」

これで戦闘耐性が無くなった

ジュンコ・ももえの場にはモンスターが3体

これで耐えきれるか？

「バトルだ、デスカイザー・ドラゴンで海神の巫女を攻撃
マテリアルドラゴンとゲート・ガーディアン1体で守備表示のデス・
ウォンバットに攻撃する」

瑞貴のモンスターの総攻撃で場のモンスターは0
残ってるのは伏せカードが2枚だけだ。

「ゲート・ガーディアンでプレイヤーに直接攻撃だ」
ダイレクトアタック

「そうはさせないわ！

永続罠、忘却の海底神殿を発動！

そして更に永続罠、トルネードウォール竜巻海流壁を発動！

忘却の海底神殿は海として扱う、これならさっきの海神の巫女のみ
たいにはならないわ！

そして竜巻海流壁の効果は海が存在している時、攻撃モンスターからの自分へのダメージを0にする！」

おお！ これならダメージを受けずに耐えられるな！

しかも永続罠だから破壊しない限りずっと効果が続くぜ！

「予想はしてたがやっぱりか……

チッ、明日香にはお仕置きが必要だな」

「明日香、お前瑞貴に何かしたのか？」

なんか明日香に怒ってるぞ
しかもかなり。

「実は……瑞貴から何度かカードを買わせてもらってるのよ
忘却の海底神殿はジュンコが使えるそうだからって思ってたね
私以外には使わせるなって言われてたから多分その事を怒ってるんだと思うわ」

「でも買ったカードはもう明日香さんのカードなんだから
別にどう使ったって文句は言えないはずじゃないんスか？」

「そうなんだけど、一応そういう約束で買ってるから
1枚ぐらいいいかなー……って思っちゃってつい渡しちゃったの
約束を破った私が悪いんだけど、まさか瑞貴の前で使うなんて思わなかったわ

瑞貴に怒られる、そう考えたら頭が痛いわ」

頭を抱えて凹む明日香

怒った瑞貴ってそんなに怖いのか？

というか、面倒とかって言ってるのは何度か聞いてるけど怒ってるのってあんまり見てない気がするな。

「だがそう簡単に事を運ばせるわけにはいかないな
罠カード発動、罠移し

このカードの効果により、お前の発動した罠を1枚俺の場で発動させ直す

俺が奪うのはトルネードウォール竜巻海流壁だ！」

「嘘お！？ そんなカード反則よ！」

「さて、トルネードウォール竜巻海流壁が俺の場に存在している
よってゲート・ガーディアンダイレクトアタックの攻撃を遮る物はない
ゲート・ガーディアンダイレクトアタックの直接攻撃は通る！」

「「きゃあああ！」」

うわっちゃあ、あんなカード確かに反則だぜ
残りライフは4400だったから850だな、かなりやべえな。

「俺は最後にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「うう、まだよ、まだ負けないわ！」

私のターン、ドロー！ 魔法カード、強欲な壺！

デッキからカードを2枚ドロー！

前回もだけど、いつまでも良い気になってんじゃないわよ！

弓を引くマーメイドを召喚！ 更に生け贄人形ドールを発動！

この効果により、リバイアドラゴン海竜一ダイダロスを特殊召喚！

更に海として扱われる忘却の海底神殿を墓地に送り、ダイダロスの効果を発動！

このカードを除いた場のカードを全て破壊するわ!」

「だがマテリアルドラゴンの効果を忘れたわけじゃないんだろ? 手札を1枚捨て、その効果が無効化し、破壊」

「でも海は消えるわ!

これであんたが奪ったトルネードウォール竜巻海流壁は破壊される!

私はこれでターンエンドよ!」

なるほど、これで戦闘ダメージを与えられるようになったな
だけど手札0じゃこの先きつくはないか?

「私のターン、ドロー!

私も強欲な壺を発動し、デッキからカードを2枚ドローしますわ!
モンスターをセットし、カードを1枚セットしてターンエンドです
わ!」

これでこっちも手札0

瑞貴も今は1枚だけど生還の宝札が有るからどうなるか……

「俺のターン、ドロー

魔法カード、生者の書ー禁断の呪術ーを発動

この効果で墓地からアンデット族を特殊召喚し、相手の墓地からモ
ンスターを除外する

先ほどマテリアルドラゴンの効果で捨てた2枚目のゾンビキャリア
を蘇生させ、相手のダイダロスを除外

生還の宝札で3枚ドローし、ゾンビキャリアを生け贄に……

命腐りし悪魔、地獄すら超える闇すら取り込みて、今黄泉還りし悪
夢と成れ! 咆吼せよ、アンデット・スカル・デーモン!」

今度はアンデットになったデーモンの召喚？
でもこれはまた別のデーモンだな。

「アンデット・スカル・デーモンはゾンビキャリアを生け贄にしなければ召喚できない

かなり制限された召喚方法だが、その効果は強力だぞ？

このカードが存在する限り、自分のアンデット族モンスターはカードの効果では破壊されない

つまり、例えばミラーフォースを使っても破壊できないという事だ」

「アンデット族専用の耐性付属効果モンスター！？」 「アンデット族を破壊できない！？」

ここまでやるか？

どう頑張っても勝てないだろ。

「マテリアルドラゴンで守備モンスターに攻撃！」

「まだですわ！

守備モンスターはマシュマロン、戦闘では破壊されません！」

「セット状態で攻撃された時に1000ダメージだが

俺の場にはマテリアルドラゴンが存在している

よって俺のライフは1000回復する

しかしまた面倒なモンスターを……俺はカードを1枚伏せてターンエンドだ」

さすがの瑞貴も戦闘耐性を持つてる奴は厄介そうだな
このまま耐えればあいつらにも勝機が？

「私のターン、ドロー！」

私は墓地の弓を引くマーメイドを除外し、水の精霊・アクエリアを
守備表示特殊召喚

これでターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

魂を削る死霊を守備表示でターンエンドですわ！」

守備モンスターが多い

瑞貴はこれを突破できるか？

「俺のターン、ドロー」

強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロー……チッ

天使の施しを発動、デッキから3枚ドローし、2枚捨てる

大嵐を発動、場の魔法・罠を全て破壊する」

「自分のカードも巻き込むわよ、それでもいいのかしら？」

「構わん、逆に邪魔だ

が、それでは終わらない、大嵐にチェーンして罠カード、メテオレ
インを発動

自分の場のモンスターは全て貫通効果を得る」

「「そんな!?!」」

瑞貴は自らのカードも一緒に全ての魔法・罠を破壊した
ももえの伏せていたカードは攻撃の無力化
これでジュンコとももえは終わりだ。

「ま、メテオレインなんて無駄なカードさ

俺はフィールド上の闇属性モンスター、アンデット・スカル・デーモンを生け贄に

現れる！ 堕天使ゼラート！」

現れる漆黒の翼を持った大天使

瑞貴の奴、こんなカードまで使うのか！

「このモンスターは墓地に闇属性モンスターが4種類以上存在している時

生け贄を1体で召喚できる

俺の墓地にはゾンビキャリア、ファントム・オブ・カオス、ブラッド・メフィスト

最後にさっきの天使の施しで捨てた3枚目のゲート・ガーディアン
の4種類だ

更にこのモンスターは手札の闇属性モンスターを1枚捨てる事で効果を発動

相手の場のモンスターを全て破壊する」

「闇属性限定とはいえ、手札1枚でモンスター全滅効果ですって！？」

「しかもその効果を持って攻撃力2800ってなんなんですよ！？」

まったく同意だ！

めっちゃくちゃなカードじゃねえか！

「……これでもまだマシなモンスターなんだけどな

ま、こいつは効果を使用したターンのエンドフェイズ時に自壊してしまう

十分に勝てるけどね」

「「あ」」

「ゲート・ガーディアン2体、デスカイザー・ドラゴン、マテリア
ルドラゴン、堕天使ゼラート

全てのモンスターでプレイヤーに直接攻撃！」
ダイレクトアタック

ゲート・ガーディアン of 魔神衝撃波が2連続

デスカイザー・ドラゴンのはき出す爆炎

マテリアルドラゴンのはき出す光線

堕天使ゼラートの持つ剣から出す暗黒

その全てがジュンコとももえに直撃した。

「「きゃああああああああ！！！！」」

しかしアレだな、うん。

「オーバーキル過ぎるだろ

与えたダメージの合計が15100とか反則だろ、絶対」

「多分、あの子達の突然の乱入で瑞貴が不機嫌になったんじゃない？
迷宮兄弟の為に考えてきた嫌がらせのデッキを違う相手に披露する
事になったんだし

ついでにデッキ枚数も残り1枚だったからこれで遊んだら自分が負
けちゃうわ」

「ええ！？ 残りデッキ枚数が1枚！？」

「ドローしすぎなんだな」

アンデット族って凶悪なんだな、展開力がすげえでも純粹なアンデットってあんまり無かったよな？アンデットワールド頼りか？

それってあんまり安定しない気がするが……

「それにしても相変わらず瑞貴のデッキ構成は怖いわねあんなファンデッキを使って、しかも苦手な戦法で戦うそれでもコスト以外でライフが減ってないんですもの」

「あんな攻撃力の高いモンスターを並べられたら誰だって攻撃を戸惑うと思うッス」

「それに、例え倒してもすぐに復活されそうで気が滅入るんだな」

「その復活ってのがアンデットの怖さだろ戦ってみたいけど慎重に動かないとすぐに負けそうだぜ」

「あら、十代はあのデッキと戦ってみたいの？」

「そりゃそうさ、強い奴と戦うそれを楽しみにしないで決闘者デュエリストを名乗れるかって！」

あー、楽しみだ！
そうだ！ この後で時間が空いてるなら決闘デュエルしよう！
当然相手は瑞貴だ！

「盛り上がってる所を悪いけど十代あのデッキと戦うのは止めた方がいいわよ？」

「なんでだよ、楽しそうじゃん」

俺の言葉に明日香は困った顔をする
そんなに変な事言ったっけな？

「残念だけどあのデッキは瑞貴のお遊び用のデッキよ
迷宮兄弟に対しての嫌がらせ以上の意味は無いわ」

「「……は？」」

え？ あれでお遊び？

しかも嫌がらせ用？ どういう意味だ？

「瑞貴は迷宮兄弟に自分の方がゲート・ガーディアンを上手く扱う
事ができると言いたかったのよ

それを見せつける為にあのデッキを使用した、あのデッキにそれ以
上の理由は無いわ

多分この後、適当に崩すかまた別の形のゲート・ガーディアンデッ
キにするんじゃない？」

「見せつける為だけにあのデッキを作ったんスか！？」

「退学が懸かってる決闘^{デュエル}にお遊びのデッキを使うなんて信じられな
いんだな」

「俺と翔が真面目に頑張って倒したゲート・ガーディアンがお遊び
かよ……」

は、ははは、逆に燃えてきたぜ！！！！」

「「十代？」」「「アニキ？」」

だってそうだろ！

あんなに強いデッキを遊びで組めるぐらい強いんだぜ！

本気になったらどれだけ強いか見当も付かない！

絶対に瑞貴と決闘^{デュエル}してやるぜ！

で、当の瑞貴なんだが……

「校長、殆ど徹夜でデッキ組んだんで帰って寝ます構いませんよね？」

「構いませんよ

ゆっくりと休みなさい」

「へーい、ほら、明日香の取り巻きその1とその2俺に負けたのが悲しいからって座っていると蹴るぞ」

「ジュンコよ……」 「ももえですわ……」

「ジュもえでいいだろ

動けないなら抱っこしてやろうか？ ん？」

「い、いらないわよ！

1人で動ける！ 余計なお世話よ！」

「そ、そうですわ！

それに殿方が女性の肌を無闇矢鱈に触れるのは感心しませんわよ！」

「はいはい、じゃあ行こうか

ちなみに、お前らが負けたから金は返さない

そもそも明日香が警告したのに無視したお前らが悪い

自業自得だろう」

「あんなに高いとは思わなかったのよ！
おかげで私達までここ最近何日も1食抜きよ！　どうしてくれるのよ！？」

「お腹空いたままの午後の授業がどれだけ辛いかわ方には分かりますか！？」

「俺は元々普段から2食が多いからあまり気にならん色んな事をしてると時間が無くなって食い忘れるんだよね……」

「なんか腹立つ！　腹立つわ！」
「決闘^{デュエル}には負けるし、この怒りをどこにぶつけろって言うんですの！！」

……荒れてるなあ
怖いから近づかないでさっさと帰った方がよさそうだ。

「はあ、相変わらず仲が悪いわね
私はちよっと仲裁してくるわ
貴方達は先に帰りなさい、レポート30枚も有るんでしょ？」

うぐう！　忘れてた！
急いで帰らないと！

俺は翔と隼人を連れて急いでレッド寮に帰った
レポート？　徹夜でも終わらなかったぜ……

12話【制裁タッグ決闘？ 瑞貴編】（後書き）

まさかのジュンコ&ももえ！

実はとんでもなく悩みました

瑞貴と組む相手も実はかなり悩んでいました

瑞貴と組む相手は本命が明日香、対抗でジュンコかももえ、大穴で万丈目でした

万丈目はネタではなくマジで考えていましたが、無理でした

最終的に誰とも組まないとになりました、話の流れだったので仕方ありません

敵は迷宮兄弟と戦わせないと最初から決めてました
でも相手を誰にしようとなると悩みます

虫野郎！ と恐竜マニアの癖に何故かドラゴンが切り札の関西弁のタッグも考えましたが却下しました

昆虫はさておき、恐竜は後々剣山が出るのでそっちにお願いしよう
と思いました

光と闇の仮面も考えましたが、犯罪者を連れてくるほど馬鹿じゃないだろうと却下

他のタッグが思い浮かばず、最悪十代&翔タッグと戦わせようかとまで思いました

最終的にジュンコ&ももえチームになりましたが、この件だけで3日以上悩んだぐらい悩みました。

お金って何？

8話参照。

明日香の内心が、本音が！

そこら辺は瑞貴に口止めされているので

最初は言わせようかと思いましたが、瑞貴が怒ると思って止めまし

た。

最初から禁止カード！？

こっちにはあまり禁止カードがありません

9割以上の人がビート使いなので直接ダメージを与えるカードが禁止です

更にスタンダートビートが多すぎるので墓地アドとか知らない人が多いんです

よって別に禁止でもなんでもありません。

瑞貴の使用デッキは？

アンデット族に変えて馬頭鬼や生者の書、そして除外を使用して3魔神を揃える事です

最大の目的は勝つ事ではなく、ゲート・ガーディアン祭りをする事です

本音を言えばゲート・ガーディアンを何度破壊されても復活させたかったですね。

ももえがマテリアルドラゴン？

デュエル

瑞貴との決闘でマテリアルドラゴンとシモツチによる副作用のコンボを覚えました

しかも採用し、着々とロックバーンからキュアバーンに変化していったり……

今回はまだ未完成らしいのであまりできませんでした。

デスカイザー・ドラゴンとアンデット・スカル・デーモンの口上は？
考えた時間30秒ほど、自分で直感で考えました。

残りデッキ枚数が1枚！？

実際に40枚のカードを並べて実験しながら書きました

そしたら残り枚数が1枚に……

明日香は瑞貴にお仕置きされたの？

一部のカード整理をさせられました

トランク3個ほど……1週間ほど掛かったそうです。

明日香はどうやってあの場を鎮めたの？

とりあえず瑞貴を帰してジュンコ達と話しました

最終的に怒りで悲しみを忘れたは前回と同じだったり……

迷宮兄弟は！？

瑞貴のゲート・ガーディアンの使い方に落ち込んで帰りました
後に、彼らは更に強力のタッグチームになったとかならなかったと
か……

以下、原作効果やアニメオリジナルカードなどの解説

生還の宝札の効果は？

言わずと知れたマリクの無限ループ！

原作効果では3枚ドロース。

ブラッド・メフィストの効果は？

最近アニメで登場したシンクロモンスター、口上はアニメの物を採用
1ターンに1度、相手の場に存在するカードの枚数×300ダメージ
ジを与える

このカードが表側表示で存在する限り、相手が魔法・罠をセットし
た瞬間、相手に300ダメージを与える。

罠移しの効果は？

相手が発動した罠を自分の場で発動し直す効果です。

13話【体育って必要無いよな】（前書き）

全く無関係ですがタッグフォース5買いました！（5D、Sを最初の1話しか見てないくせにね！）

……起動に失敗だと？　どういう事だ！？

と、いう訳でまだプレイしていません

友人に頼んで……どうにかなるかな？

機械音痴なので自分ではどうにもできなさそうです。

今回は決闘デュエルしますが文字数が多いだけでかなり短いです

そういえば皆さん、ソリティアって好きですか？

ソリティアは相手の事を無視して自分だけ事を進めていく酷いプレイの事です

なお、瑞貴はソリティアが大嫌いと言っておきます。

理由ですか？

相手が苦悩している顔を見るのが好きなのに

ソリティアなんてしたら淡々と進むだけで楽しくないじゃないですか。

13話【体育って必要無いよな】

視点 瑞貴

野球の授業……何故このデュエルモンスターズの世界
その専門の学校で野球なんぞせにやならんのだ！

「ストライク！ バッターアウト！」

……打つ気なんて無いぞ

野球は打ったら走らないといかんからな
疲れるじゃん？ 運動なんてしたくない。

早々にベンチに戻る

しかしアレだな、イエローとレッド対抗試合か
ブルーは体育の授業で何をしてるんだ？

出る気もやる気も全く無いのでベンチに座ってる間にデッキ構築で
も考える

色んなデッキができたしな……そろそろ完全にビートタイプのも作
ってみるか

いつの間にかロックにならないように注意しないとな。

そんな事を考えてるといつの間にか熱気を感じた

何かと思えば十代とイエロー男が暑苦しそうに燃えている
はて、燃えるような相手だったか？

結局十代はイエローの男子に負けた

次の十代がピッチャーの時、3人も走らせ、先ほどのイエロー男子と勝負

結果敗北、しかもボールはクロノスに……あーあ、俺は知らんぞ。

試合終了、結局イエロー寮の勝ちで終わった

早く帰ろう……疲れた

でもまだ授業は続く、帰りたいなあ。

授業の教室に着く

すると何故か万丈目が馬鹿にされていた

……どうでもいいな、俺は騒ぎを無視して席に座る

万丈目は逃げ出すように出て行ったが、俺には関係無い。

放課後、デッキを作成中

うーん……ビート系はやっぱり難しい

下手すればガチデッキになるから困る。

ガチデッキなんか使っても楽しくないしな

アンチデッキは楽しいから使うけど。

それから数日、水色が叫びながら教室に駆け込んできた

なんでも万丈目が荷物を纏めて出て行ったとかなんとか……

俺が暇潰しをしてる間に何か有ったのか？

そのまま特に何も無く、夏休みに突入した

……暇すぎる！　これだから長期休暇は嫌いなんだよ！

それでも何か変わる事も無いまま時間だけが過ぎていく

冬休み……また暇な時間になったな。

食堂が騒がしい……サイコシヨッカーとか聞こえたけど無視
サイコシヨッカーがどうかしたのかね？

元々原作の記憶なんて曖昧な上、細かい事なんて殆ど覚えてないぞ。

さて、暇過ぎる冬休みも終わる

長かった……相変わらず暇だった

ちなみに夏休みも冬休みもずっと寮に籠もってた

帰るとなると乗り物酔いで酷くなるからな……絶対遠慮したい。

また時間は過ぎ、体育の時間

授業内容はテニス……疲れるから超適当にする

ちなみに俺の相手は名も知らなければ顔も知らない生徒だ。

どうでもいいけど

野球では男子だけのレッドとイエローの対抗戦だった

なのに何故テニスは男女混合の全寮でなんだろうか？

話しの流れ上仕方無い事だからか？

十代の打ったボールが明日香に……

誰かが明日香に当たらないように打ち返してそれはクロノスへ

お前らクロノスに怨みでもあるのか？

で、なんとなく見てたんだが十代のボールを打ち返した爽やか系の
男が明日香に言い寄っていた

鬱陶しい奴だな、スポーツの楽しみが分からない俺とは絶対に合わ
ないタイプだ

多分話しているだけで疲れそうだ、話しかけないようにしましょう。

そう思ってたんだが……

「何故俺は……ここに居るんだ？」

「わりい瑞貴、色々と話しが拗れちゃってよ
明日香の為に頑張ってくれ」

十代、お前は後で物理的に絞める
素人だから力加減を間違えて殺すかもしれんが許せ。

「はっはっは！」

いくぞ堅守君！ 明日香君とのフィアンセの座を賭けて！」

「誰が受けるって言ったよ

話を聞けよ熱血漢、疲れるからマジで帰らせろ」

「いざ、決闘！」
デュエル

「聞けよ熱血漢」

もう何が何だか……頼むから誰か助けてくれ！

事の次第を話すと短い

放課後、寮でカードを弄っていると突然十代が乱入

何でもいいからデッキを持って来いと連れ出された。

持っていたデッキは……使うのも使われるのも気分の悪いデッキだ
ったが仕方がない

とりあえず力で十代に勝つ事ができないので引き摺られるまま移動
着いた場所はテニス部、そして現在に至ると。

ここに居たのは十代と水色、明日香と取り巻きその1とその2

最後に昼の授業に居た暑苦しい男
こいつ、テニス部の部長で3年だとか何とか、どうでもいいな。

明日香達に会うのは久しぶりだ
取り巻きその1に勝手にカードを渡していたので、お仕置きと言っ
てカードの整理をさせた
それから1度も話してない。

正確には俺が今までもあまり関心に向けていなかったのに更に見向
きもしなくなっただからだ
俺の怒りがまだ収まってないと思った明日香は何度も謝ったが俺は
許していない
取り巻きその1とその2も明日香を許すようにと頼みに来たがそれ
でも許してない。

次第に明日香達も諦め、向こうから俺を避けるようになった
許せば早かっただろうが、それよりも気になる事があった。

それは原作カップリング……だったっけ？ 十代と明日香ってどう
なってるんだ？

という疑問、俺と明日香の関係がそれなりに多かったせいかな、十代
と明日香の接点が少ない
そんな気がしたので距離を置きたかった。

遠くから十代と明日香を眺めていたが特に何もなさそう
イベントで一緒にならなかったからだろうか？

明日香が十代を意識しているようにはあまり見えない。

何か動かしの方がいいか？
そう思っていたのだが勝手に向こうから来た

それがこのイベントだ。

このイベントなら明日香も十代を意識するだろうと思った矢先に俺がやらされるのかよ！

しかしフィアンセの座とはな……

俺じゃなくて十代に突っかかれよ暑苦しいの
だがその期待は十代本人によって潰れたらしい。

暑苦しいのは明日香が十代に話しかけた事から嫉妬
そして十代と明日香が付き合っていると勝手に妄想
だが十代は自分よりも俺の方が明日香と仲が良いと口を滑らせる
結果、俺を連れてこいという話になり、俺は十代に強引に連れられた。

頼む十代、俺が自分から引っかき回すのはいい
だがトラブルをお前から持ってこないでくれ！
お前の行動で主に俺が面倒になるだろうが！

しかもフィアンセの座なんて、恐ろしいまでのフラグの塊じゃねえ
か！

頼む、本気で、心から、真面目に、心底誰か助けてくれ！

が、どれだけ断ってもこの暑苦しいのは俺を逃がそうとしない
というか話を全く聞かない、聞こうともしない
無視して帰ろうとすると先回りしやがる

お前何なんだよ？ ニュータイプか？

そういえばニュータイプってどんな存在だったけ？
元の世界の事も忘れてきた、これは拙い……のか？

元の世界に戻る保証が無い時点で特に問題は無いな。

明日香を見してみる

困った顔をしているのでこいつも巻き込まれたのだろう

取り巻きその1とその2を見る

男子2人が1の女子を取り合うというシチュエーションに酔ってる、うぜえ

十代は頑張れと、水色は少し楽しみっぽくしてる。

最後に熱血漢……駄目だ、直視したくないぐらい暑苦しい
もうこいつから逃げるのは無理そう、諦めよう。

という訳で俺が構えると取り巻き達がキャーキャーと騒ぎ出す
お願い、もう俺の事は放っておいてくれ！

「決闘！」
「決闘……はあ」

視点 明日香

授業で当てられた時以外で瑞貴の声を久しぶりに聞いた
制裁タッグ決闘デュエルの後のお仕置きの片付けから1度も話してくれなかつた。

約束を破った私が一番悪いんだけど、それでもあそこまで怒る理由が分からない
理不尽とも思った、だけど私が悪い
何度謝っても無視され、許してくれなかった

ジュンコ達も頑張ってくれたけど、相手にされなかったらしい。

今回の件、十代が強引にした事だけど感謝したいぐらいね
あの部長も、瑞貴を連れてくるように言ってくれた事だけには礼を
言いたいわ。

始まる瑞貴と部長の決闘^{デュエル}

そういえば部長の名前は何だったかしら？

瑞貴に関心が行ってたせいで名前を忘れてしまったわ。

「僕のターン、ドロー！」

先手必勝、僕はサービスエースを発動

僕が選んだカードを相手はそのカードの種類を当てる
モンスターか、魔法か、罠かだ」

「モンスターで」

「即答!？」

も、もう少し考えてもいいんだよ？」

「モンスターで」

「ほ、本当にいいのかい？」

説明の途中だったけど、間違えたら1500のダメージを受けるんだよ？」

「モンスターで」

「……僕が選んだのはモンスター、メガ・サンダーボールだ
当てられたこのカードは墓地に送られる

僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

口で瑞貴と戦うのは無謀だと思うわよ？

最初に確認を取った時点で正解だと確信したみたいだし

それにあの部長、ボールの名前が付いているから入ってるだけなのかしら？

亮に勝るとも劣らない実力って言われてるみたいだけど、ただのファンデッキじゃないの？

「俺のターン、ドロー

マジカル・コンダクターを召喚、このモンスターは自分、または相手が魔法カードを使用した時に魔力カウンターが2つ乗る

更にフィールド魔法、魔法族の里を発動

自分フィールド上にのみ魔法使い族モンスターが存在する場合、相手は魔法カードを発動する事ができない

そして自分フィールド上に魔法使い族モンスターが存在しない場合、自分は魔法カードを発動することができない

要は俺の場合から魔法使い族を消すか、お前が魔法使い族を召喚しない限り、お前は魔法カードが使えないって事さ」

「な、なんだってー！」

あらら、瑞貴お得意の嫌がらせデッキだったのね

今回はどんな嫌がらせのデッキなのかしら？

魔法族の里を使用したロックかしら？

「マジカル・コンダクターの効果により、魔力カウンターを2つ乗せる

打出の小槌を発動、このカードと任意の枚数の手札をデッキに戻してシャッフル

そして同枚数だけドロースする

俺は手札とこのカードを含めた4枚をデッキに戻す

シャッフルし、4枚ドロース

更にマジカル・コンダクターに魔力カウンターが2つ乗る

天使の施しを発動、デッキから3枚ドロースし、2枚を捨てる

コンダクターに魔力カウンターが2つ乗る

そしてマジカル・コンダクターの効果を発動

1ターンに1度、このカードに乗っている魔力カウンターを任意の数取り除き

取り除いた数と同じLVの魔法使い族のモンスターを手札か墓地から特殊召喚できる

俺は魔力カウンターを4つ取り除き、天使の施しで墓地に送った召喚僧サモンプリーストを守備表示で特殊召喚

更にサモンプリーストの効果を発動

1ターンに1度、デッキからLV4のモンスターを特殊召喚できる

俺はこの効果により、王立魔法図書館を守備表示で特殊召喚

このモンスターは魔法カードが発動される度に魔力カウンターを1つ乗せる

最大3つ乗り、魔力カウンターを3つ取り除く事でデッキからカードを1枚ドロースできる」

また凄い展開力ね

最初のターンで3体もモンスターを並べるなんて

コスモクイーンの時も思ったけど、魔法使い族って並べやすい種族だったかしら？

アンデットの時もかなり酷かったけど、それに比べたらマシ……なの？

「テラ・フォーミングを発動し、デッキから魔法族の里を手札に加える

コンダクターに魔力カウンターが2つ、図書館に1つ乗る
最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

相手の場にモンスターは存在しないのに攻撃しない？
警戒してるのか、それともあの伏せカードに何か秘密が？

「僕のターン、クソッ！」

僕はメガ・サンダーボールを守備表示で召喚し、ターンエンドだ」

どうも部長はサービスイースのようなバーン魔法を得意としている
みたいね

でも、魔法族の里の影響下では効果を発揮できないわ。

「俺のターン、ドロー」

最初にサモンプリーストの効果を発動

デッキからLV4のモンスター、熟練の黒魔術師を特殊召喚

このモンスターは魔力カウンターが3つ貯まった時、このモンス
ターを生け贄に

手札、デッキ、墓地からブラック・マジシャンを特殊召喚できる
打出の小槌を発動し、このカードと手札3枚をデッキに戻してシャ
ッフル

そして4枚ドローし、各モンスターにカウンター乗せる

精神統一を発動、デッキから精神統一を手札に加える

再びカウンターを乗せる

図書館の効果により、カウンターを3つ取り除き、カードドロー
強欲な壺を発動し、デッキからカードを2枚ドロー

再びカウンターが乗る

魔力カウンターが3つ乗った熟練の黒魔術師を生け贄に、ブラック・
マジシャンを特殊召喚

光と闇の洗礼を発動、ブラック・マジシャンを生け贄に、手札、墓

地、デッキから混沌の黒魔術師を特殊召喚できる

混沌の黒魔術師をデッキから特殊召喚、こいつは召喚、特殊召喚に成功した時、墓地から魔法カードを手札に加える

この効果で天使の施しを手札に戻し、発動、デッキから3枚ドロし、2枚捨てる

またカウンターが乗り、図書館のカウンターを3個取り除いて1枚ドロ

コンダクターの効果を発動、魔力カウンターを3個取り除き、天使の施しで捨てたお注射天使リリーを特殊召喚

王立魔法図書館を生け贄に、ブリザード・プリンセスを通常召喚

このモンスターは魔法使い族を生け贄にした場合、生け贄は1体で済む

ついでに、このモンスターが召喚されたターン、相手は魔法、罠を使う事はできない

そして月の書を発動、サモンプリーストを裏側守備表示に変更するこのモンスターは本来、生け贄に使えないがセット状態なら生け贄にする事は可能だ

おまけとしてディメンション・マジックを発動、サモンプリーストを生け贄にし、氷の女王を特殊召喚

ディメンション・マジックの効果でメガ・サンダーボールを破壊する」

……瑞貴の場にはマジカル・コンダクター

氷の女王、ブリザード・プリンセス

混沌の黒魔術師、お注射天使リリー

更に伏せカードが1枚。

対して部長の場にはブリザード・プリンセスの効果で発動できない伏せカードが1枚だけ

これを防ぐには私との決闘デュエルの時に使った速攻のかかしぐらいしか無

いんじゃないかしら？

「あ……ああ……」

「全てのモンスターでダイレクトアタック直接攻撃

ちなみに、お注射天使リリーの効果を使用する

ライフを2000払い、攻撃力を3000上昇して攻撃」

「ぐわあああああ」

オーバーキル、合計ダメージは13600ね

今回持って来たデッキから考えて、強引に連れられて相当頭に来たのかしら？

それにしても殆ど瑞貴しか行動してないわね

手札もまだ2枚も残ってるし、次のターンがあればもっと動いてたんでしょうね。

「はあ……だからこのデッキじゃ嫌だったんだ

ソリティアにしかないから何の楽しみも無い

伏せてた王宮のお触れだって使わないし、魔力カウンターじゃない里お触れを作るか

魔力カウンターは魔力カウンターで別にしておこう

混ぜたらただの魔法使いデッキだ、これは即崩す、二度と使わん」

ひ、独り言のように呟いてるけど聞こえてるわよ？

不機嫌だった理由はそれもあったのね

デッキ作成ミスだし、使ってて楽しくないのが原因か

あのデッキ、下手すればもっと凶悪なデッキに生まれ変わりそうね。

「そんな……僕が、この僕が負けるなんて！

うああああああん!!!!」

「……強引に戦わせておいて負けたら泣いて逃げるのかよ
やっぱりあいつとは二度と関わりたくないな」

私としても同感よ、二度と近づいてほしくないわ
本当に亮と互角と言われてる生徒なのかしら？
噂は所詮噂って事だったのかしらね。

瑞貴は溜め息を吐き、さっさと帰ろうとする
ちょ、私達を無視する気!？

「ちょっと待ちなさいよ堅守瑞貴!
せっかく決闘に勝って明日香さんのファイアンセになれるチャンスな
のに

何も言わないで帰るつもりなの!？」

「ジュンコ!？」

貴女突然何を……」

「そうですわ!

殿方ならこういう事はハッキリと言うべきですわ!」

「ももえまで!？」

突然何を言い出すのよ!

そんな事を言っただって瑞貴は無視するに決まってるじゃない!
例え返事をしても絶対に嫌だとか、却下とか、失せろとか……黙れ
とか……下手すれば死ね……とか
どれも可能性が高いわよ……自信無くしそう。

「はあ……勝手に決めたフィアンセなんて貰っても明日香は嬉しくも無いだろうが

そもそも、明日香の自由意志が存在してないのに俺が騒ぎ立てたって無駄だろ

騒ぎたいのなら先に明日香の意志を聞いてから行動しろ
俺も明日香も、勝手に騒がれたら迷惑だ」

そのまま瑞貴は去って行った

あれ？ 意外とまともな返事じゃなかったかしら？

というか、フィアンセになるのが嫌だなんて否定の言葉は言われてないわよ！

もし私が瑞貴がフィアンセでも構わないって言ったらどうなるのよ！？

特に言うつもりは無いけど……なんか複雑な気分ね。

十代は十代で翔君にフィアンセの意味を訊いてるし
ジュンコともめえは瑞貴の発言を聞いて憤怒してるし
私自身は混乱してるし……どうしようかしら。

そもそも瑞貴との仲は修復できてないわ

さっきの返事の内容から察するに私を嫌ったわけじゃなさそうね
怒りも大分収まってるみたいだし、切欠が欲しいわ
そうすればきっと仲も戻るはず。

二度と約束を破らない

だからこれ以上私を無視するのは止めて！

仲良くなった人に無視されるのは……想像以上に辛いわ。

13話【体育って必要無いよな】（後書き）

瑞貴の完全ビート？

使用するかは未定です

フラグだけでもとりあえず立てておこうと思いました。

三沢……

瑞貴はネタではなく本気で忘れてます。

万丈目と三沢戦は？

知らない間に終わってました。

サイコシヨッカー戦は？

存在自体記憶にありません。

瑞貴は本当に十代を絞めたの？

もう色々とやる気が失せて忘れてます。

瑞貴はもやし？

もやしです。

部長の名前は？

綾小路……忘れました。

今回の瑞貴のデッキは？

里お触れに魔力カウンターを付属しました

なので非常に中途半端なデッキです。

何故精神統一？ 魔力掌握の方が強いよね？

今回は魔力掌握が来なかったみたいです
精神統一はデッキ圧縮とカウンター増加の為、2種類目の魔力掌握
としています。

またオーバーキル!?

ごめんなさい。

なんで瑞貴はこんなデッキを作ったの?

魔力カウンターを作っていたら気付けば里お触れになっていたそう
です

瑞貴お得意の気付けばロック状態ですね。

あ……明日香がネガティブに……

一応友人とまで言われたのにずっと無視されるのは精神的に辛いん
だと思われます

作品内では半年以上経ってるでしょうしね

ネガティブになってもおかしくは無いでしょう。

瑞貴は何を言いたかったの?

さあ? とりあえず勝手に騒がれたくないと言いたいんでしょう
聞き方に依ってはフォローにも聞こえますし、お断りにも聞こえま
す。

ジュンコともえは何を怒ってるの?

曖昧に濁されただけでちゃんとした返事をしてないからです。

以下、原作効果

打ち出の小槌の効果は?

このカードを含む、手札の任意の枚数をデッキに戻し、シャッフルする

その後、この効果でデッキに戻した枚数だけドローする。

召喚僧・サモンプリーストの効果のコストは？

原作の漫画では手札コストを払う必要は無いそうです。

14話【卵パンとドロー】（前書き）

今回は短いですね

瑞貴がサブキャラ化している気がします……

ドローパンって怖くないですか？

アレルギーに当たったりしたら病院ものですよ？

怖い怖い、神頼み神頼み……

投稿時にトラブルが起こってしまい、投稿するのが5分ほど遅れました

投稿するの止めようかなあ……とも考えましたがそれでも投稿しました

しかも後書きはともかく前書きが消滅……内容を忘れたので書き変えます。

14話【卵パンとドロー】

視点 瑞貴

昼休み、何を食おうか……

食堂じゃなくて今回は購買部に来てみた
ジャンクフードも時々食うと美味しいよな。

さてはて、来ました購買部

ドローパンねえ……俺は買わないぞ？

卵パン？ 俺はジャムパンの方が好きだ。

それに俺はゲテモノ系がわりと好きでな

こういう外れ商品を食べるのが楽しみなんだ

何が出るかなと……クッキーを挟むのはどうかと思うぞ？

正直微妙……不味くはないんだけど美味しいと思えんな。

ん？ 買って食ってるって？

いや、なんとなく。

唸っていると十代が来てドローパンを食った

甘栗パンだそうだが、俺はそっちの方が良かったな

クッキーパンよか普通に食えそうだし。

「十代まで外しちゃうとはね」

「あ、明日香さん」

こんな所に来てまでお前かよ

お前はどこにでも現れるな、ストーカーか？

時々俺の事を見ているのに気がついてないとも思ってるのか？
この尾行初心者め。

俺？ 俺は尾行なんてしたことなんて無いぞ？

うん、無いぞ、多分無いぞ

覚えてないから断言できないのが悲しい。

「あ、瑞貴も来てたの？

目的は卵パンかしら？」

「……………甘いパンが食いたい」

「「……………」」

俺は子供舌なんだよ、悪いか！

昔女の子が甘くて飲めないって言ってた大量（確か5本か6本ぐらい）の砂糖が入った紅茶を飲んで

「……砂糖もう2本ぐらい欲しい」

って、マジで言っただけの子を引かせたぐらいだぞ！

「というか明日香、お前2個も買って大丈夫なのか？
主に金銭面が」

「え？ えっと……少し微妙だけどまだ大丈夫よ
前の報酬を貰った時のお金が残ってるし」

タイタンの時のか

まさか15万近くも貰えるとは思わなかったな

依頼主はあの時の様子を見る限りクロノスだよな？
という事はだ、あの時の為だけに50万近く払ったのか？
給料何ヶ月分だよ？

明日香が凄く意外そうな顔で俺を見てる？

……あ、忘れてた

俺、明日香の事を無視してたんだった

この前の熱血漢の件で気が緩んだのかな？

閉めないと拙そうだ。

気まずい……俺から話しかけるのはもうしたくない
だが明日香も俺から突然話しかけられて戸惑っている
ジャンクフードを食いに来ただけなのに何でこんな状況になってる
んだ？

「そーいや明日香、お前も卵パン好きなのか？」

「え？ あ、ちが、違うわよ！

私はただ、ドローの練習を……」

「へえ、どうだか」

「ほ、ホントよ！」

さすが十代、空気の読めなさは天下一品だな
お前のそんな駄目駄目な部分が大嫌いだ！
主に主人公らしいという意味で。

「ごめんなさいねえ

卵パン、この中には無いのよ」

「「ええ!？」」

別に問題無いんじゃない?

俺は食べたいとは思わないし……それよりも甘い菓子パンが食いたい
クリームパンとかアンパンは無いかな?

だがチョコパン、お前は駄目だ。

一時期甘いのを食うのに嵌ってチョコを食い過ぎた

だからチョコは少し食っただけでも飽き飽きするようになった
出たらその辺の生徒にでもやろう。

「一週間前から、どうも卵パンだけが盗まれてるのよ」

「卵パンだけを?」

「凄い……卵パンだけを盗むなんて、なんて引きの強さ」

引きの強さは主人公の特権だろうが

どうせ似否チートドローだろ

そろそろ俺もチートドローの体質を受け入れないと駄目かなあ。

「みんな楽しみにしてくれてるのにねえ

本当に申し訳ない」

頭を下げるおばさん……トメさんって呼んだ方がいいのか?
でも悪いのは盗む奴であんた悪くないよね?

「トメさんが謝る事無いぜ

悪いのはその泥棒野郎だ、こうなりゃ俺が捕まえてやる!」

「よ、いいぞーアニキ」

どうやって捕まえる気だよ
水色も水色で煽るんじゃない
面倒事になるだろうが。

「翔、今日から張り込みだ！」

「うん！」

……………え！？

やっぱり面倒事になったか……………今の内に逃げよう。

……………

……………

……………

夜、また十代に引き摺られてここに居る

おい十代、お前な、俺の事をどう思ってるんだ？

強引に連れてこればこっちのもんだとか、そんな事思ってるのか？
半分正解かもしれないがそれは体だけだ、心は屈しないぞ！

と、熱い事を言ってみるが萎えるな

それに、問題はまたもや居る明日香だ！

十代、お前は俺が嫌いなんだな？ 嫌いなんだよな！？

本を読んでも明日香だが、どうもさつきからこっちを見てる
チラチラと鬱陶しいんだけど……………こっちみんな！

更に十代は俺達を見てニヤニヤとしてる
クッ、お前、確信犯だな！

明日香と俺を仲直りさせたいんだろ！
だが甘い、俺は断るんだ！

お互いに行動を起こさないまま時間が過ぎる

このままどうなるかと思っていいたらトメさんがおにぎりを持って来てくれた

夜食だそうだ。

具は梅、おかか、シヤケか……うーん。

「なあトメさん」

「なんだい？」

「……塩じゃなくて砂糖でにぎったのは無いのか？」

「「「「え？」」」」

なんだよ、何か変な事でも言ったか？

「あの……瑞貴ちゃん？」

砂糖でおにぎりで作るなんて聞いた事無いよ？」

「マジか！？」

「そこ驚く事ッスか！？」

砂糖で握ったおにぎりって悪くないんだぞ？

米は噛めば噛むほど甘みが増す物だし、それに砂糖を混ぜれば更に甘みが増すんだぞ

最初は微妙な感じだったけど、慣れたらかなり美味いんだが？

「……今夜はあたしも一緒に泊まるから頑張って！」

「あ、ありがとうトメさん！」

俺は無視かよ

本当に慣れれば美味いんだぞ？

今度誰か試してみろよ。

「シャケはどれかなあ？」

「その……」

「待った！」

引きおにぎりだ、俺もシャケが好きだぜ

順番で引こう」

引きの強さを持ってる主人公だから言える台詞だな

俺はごめんだ、素直にトメさんに聞いて食いたいだけ食う。

「ええーみんなで分ければいいんだな」

「でもおもしろそう」

「下らなそう」

明日香、下らないとは言ってるがやりたそうにしてるぞ

負けず嫌いだからか？

「俺のターン、ドロー
……シヤケ召喚」

十代は無視して俺は中身の場所をトメさんに訊く
一応教えてくれたがノリが悪いと言われた
別にいいだろ？ 俺は梅が苦手なんだ。

トメさんに言われたのを取ろうとして、明日香に邪魔された
お前……何のつもりだよ。

「1人だけ逃げようだなんて、卑怯じゃない？」

そう言って渡されるおにぎり
俺にそれを食えと？

しかしなんだか楽しそうなので邪魔する気分にもなれず
仕方無くおにぎりを受け取って食った。

「……………すっぱい」

梅だった、泣きたい……というか半泣き
マジで梅のすっぱさは無理、水！ 水をくれ！

が、水は無い
このすっぱいのをどうしろと！？

とりあえず慌てて別のを取って食う
少しでもすっぱさがマシになるようにと

そう思って食ったら……また梅!?

やばい、吐きそう……

しかしそれは色んな意味で拙いので我慢

もう何が何やら、梅の種ごと丸ごと飲み込む。

本気で涙目……というか涙が出てる

それから俺はもう食わなかった、また梅が出たら嫌だし。

明日香の申し訳なさそうな顔が印象的だった

そんな顔するぐらいだったら最初からしないでくれよお……ううう。

視点 明日香

瑞貴……梅が駄目だったのね

というかそんなに甘いのが好きなのかしら?

少なくとも、おにぎりで砂糖を使うという発想は初耳だわ。

そろそろ深夜の1時

犯人が行動を起こすのなら今ぐらいでしょうね。

十代達レッド組はテーブルの下

トメさんは机の下

私と瑞貴はロッカーの中に隠れて犯人を待つ。

瑞貴は最後の最後まで文句を言っていたが付き合ってくれている
本当は瑞貴って付き合いが良いのかしら?

今回だってこの前だって、十代に強引に連れられてきた
それでも着いてから逃げられたはず。

考えられる理由は2つほど

先ほど考えた本当は付き合いが良い
もしくは完全に諦めたかね。

前者ならまだしも、後者だったら拙いわ

私は無関係だから大丈夫だと思うけど

十代が瑞貴に嫌われてしまう。

瑞貴の性格を考えるに、嫌いならとことん嫌いそうなタイプ
諦めてるからこの場には居る

だけど終わったらどうなるのかしら？

前者でも怒られると思うけどマシでしょうね

少なくとも、私みたいに無視はされないでしょう。

隣のロッカーだけど近くに瑞貴が居る

これはチャンスかしら？

少しでも話してくれるといいんだけど……

タイタン戦の時、瑞貴から預かってまだ返してなかった盗聴器

その音声を拾うイヤホンを瑞貴の居るロッカーに投げる

少し待ち、耳にセットしたと思って話しかけようとする。

だけどその前に瑞貴から同じイヤホンを投げられた

これは……私が投げた物と違う？

耳にセットし、少し待つ。

『こんな物まで持って来やがって……何の用だ?』

瑞貴から話しかけてくれた

よかった……どうやら怒りは殆ど収まってるみたいね。

『少し話したい事があってね

こんな事にならないと話してくれないでしょ?』

返事は無かった

どうやら本当に話す気が無かったらしい。

『内容は?』

『既に貴方は私の事を許してるはずよ

怒りも収まってるし、もう話してもいいと思ってるわ
なのに何故、貴方は私を避けるの?』

『……………』

『教えて、瑞貴』

返事は無い

話していいのかと考えているのか
それとも単純に言う気が無いのか……

『何故……俺との会話を求める?』

『え?』

『俺と会話してて疲れるだろ?』

苛々するだろ？ 嫌な気分になるだろ？

半分以上意図的だが、そんな相手と話したいのか？』

自分を避けさせようとしてる？

近づかせたくないのかしら？

瑞貴は何を考えてるの？

『カードが欲しいのか？

知識を増やしたいのか？

単なる暇潰しか？』

何故こうも否定的なの？

そんなに私と話すのが嫌なの？

『私は……瑞貴の事、友達だと思ってるわ

カードが欲しいのも、知識を増やしたいのも否定しない

けど、友達と話したいと思うのは悪い事なの？』

また……瑞貴から返事は無かった

それがどういう意味を持っているのかは分からない

だけど少しでも今の関係が修繕されると嬉しいわ。

もう少し何か話そうと思ったが、その前に物音が聞こえた

どうやら泥棒が来たみたいね

私達に緊張が走る。

『明日香、話すのはまた次の機会だ

今は泥棒をどうにかしろ』

『……ええ！』

瑞貴が自分から話すと言った
内容はともかく、許してくれたんだと思う
何が瑞貴の心を動かしたのかは分からない
でもそんな事どうでもいいわ。

物音はシャッターの外から聞こえてきた
どうやらシャッターに何かするつもりみたいね。

全員ガラス扉の前に立ち、シャッターを見る
犯人はシャッターを強引に開けた！？
凄い力ね、あのシャッターは機械で動くはずなんだけど
無いと思うけど、壊れてないわよね？

十代の合図と共に明かりを付け、犯人の前に飛び出す
犯人は逃げ出したのでそれを追いかけようとする。

けど瑞貴が居ない？
少し後ろを振り返ってみると……パンを漁ってる！？
しかも食べた！？

あ、嬉しそうな顔……菓子パンを取れたのかしら？

しかもそのまま帰った！？
追いかけてようもしないの！？

ま、まあ今は瑞貴の事はいいわ
それより犯人を追いかけないと……
もし行方不明者なら兄の消息を知ってるかも。

追いつき、話を聞いている限りは廃寮の行方不明者とは無関係み

たい

それにしても山に籠もってドローの修行って……瑞貴が聞いたらどう思うかしら？

絶対に馬鹿にした上でボロクソに言い負かすんじゃないかしら？

そして十代と大山という生徒が決闘^{デュエル}

だけどその前にトメさんに言っておかないといけない事が……

「あの、トメさん

先ほど瑞貴がパンを食べてたんですが、知ってますか？」

「瑞貴ちゃん？

ああ、お金は貰ってるからいいんだよ

強引に付き合わされたんだし、先に1個ぐらい許してくれて言われてね

私としても、ここには居ないけど一応手伝ってくれたから許可したんだよ」

まあ瑞貴なら先にお金を払ってるわよね

盗みをするような人じゃないし

でも勝手に帰らないでほしかったわ。

それはそうと、今は決闘^{デュエル}だったわね

十代のターン、フェザーマンを召喚して終了。

大山さんはカードを伏せ、ドロローラーを召喚した
攻撃力は0、それでどうするつもり？

「ドロローラーの攻撃力と守備力は

手札からデッキに戻した枚数×500の数値になる」

なるほど、ドローに自信が有ると言うだけはあるわね
毎回のドローに全てを賭けるか……恐ろしいわ。

大山さんは手札を全てデッキに戻す
攻撃力は2000、フェザーマンを破壊し、ライフを削る。

そしてドロラーに破壊された攻撃表示モンスターはデッキの一番下
墓地からの再利用ができないのは辛いわね
リクルーターの天敵ってわけね。

十代のターン、融合を使用して手札のバーストレディとクレイマン
を融合

ランパートガンナーを融合召喚する
どうでもいいけど、迷宮兄弟戦からランパートガンナーの出番が多
くないかしら？

そして効果によりプレイヤーに直接攻撃
大山さんに1000ダメージを与えた。

十代のターンを終了

だけどその前に大山さんは永続罠、奇跡のドローを発動する
ドローフイズ前に次のドローカードを宣言し、当たったら相手に
1000、外したら自分が1000ダメージを受ける
凄まじいまでの無茶苦茶なカードね。

これを使うのなら天変地異かしら？
それなら毎ターン1000ダメージは確定、凶悪なカードになる。

大山さんのターン、ドローカードの宣言

宣言したカードは……カードローン

そして引いたカードも、カードローン！？

まさかデッキ枚数38枚から1枚を当てるなんて……

各カードが3枚入っても確立は約13%

それを当てるなんて……本物の馬鹿ね。

そしてカードローンを発動

相手は1000回復、自分は1000ダメージ

デッキからカードをドロし、エンドフェイズ時にデッキに戻す。

引いたカードはドロボウ

相手はカードを1枚引き、自分はそのカードを当てるか……

当たったら相手の場と手札を全てデッキに戻してシャッフルされる。

古代の遠眼鏡と一緒に使えば強烈なカードになりそうね

古代の遠眼鏡は相手のデッキの上から5枚までを確認できるカード

ドロボウの効果でシャッフルされるけど、的中率が100%になる
だけどそんなカードも使わずに当てる大山さんは恐ろしい人ね。

そしてドロラーでプレイヤーに直接攻撃
ダイレクトアタック

2000ダメージは大きいわね。

十代のターン、フレンドックを守備表示で召喚

フレンドックは戦闘で破壊された時、墓地からE・HEROと融合
を手札に加える

フュージョンリカバリー

モンスター版でE・HERO専用の融合回収に近いわね

違いは融合をしなくても回収できる点ね。

大山さんのターン

奇跡のドローで宣言したのは……シールドクラッシュ
しかし実際にドローしたのは……ドローン
勝ちに急いだ結果がこれね。

ダメージを1000受け、ドロラーでフレンドックを破壊
ドローンで直接攻撃ダイレクトアタックをするも、十代のライフは100残る。

フレンドックで回収したカードは融合とバーストレディ
更に十代が次にドローしたカードは……フェザーマン！

そして融合し、フレイムウィングマンを召喚

ドロラーに攻撃して破壊し、効果によりライフが0
これで十代の勝ちね。

なんか十代が良い事を言ってるような……だけどやったのは結局泥
棒よね？

良かったわね、この場に瑞貴が居なくて
居たら絶対に凄く長々と言われてたわよ？

お説教は確定ね、多分数時間。

………

………

……

翌日、ドロパンを食べようと思ってまた購買部に来た
瑞貴がまた落ち込んで……どうしたのかしら？

「瑞貴、落ち込んでるみたいだけど、どうかした？」

「外れを食っただけだ

俺は卵パンよりもジャムパンの方がいい」

「外れ!？」

羨ましい……でもなんか悔しい!

「食いたいのか？」

一口食ってるが、それでもいいならやるぞ」

「え!？ いいの!？」

1日1個しか無いのよ？

普通例えそれがこの卵パンじゃなくても自分で食べたいと思わない？

「いいのいいの、俺は卵パンはそんなに好きじゃないしな
どっちかと言うと甘いのか変わり種の方が……」

駄目ねこいつの味覚、早くなんとかしないと!

とりあえず甘党な部分をどうにかするべきかしら？

……無理そうね、諦めましょう。

「次は……め、明太子

む、無理! 水! 水はどこだ!!!!」

そう言って逃げ出す瑞貴

すっぱいのだけじゃなくて辛いのも駄目だったの!？

どれだけ子供舌なのよ!？

でもよかった、落ち込んでる状態だけど話せて
これからも話せるといいな……友達だしね。

……あ、そうだ、卵パン！

あむ……美味しいけど普通の卵っぽい？

正直騒ぐ程とは思えなかった……

だ、騙された気分よ。

……あれ？ 間接キス？

14話【卵パンとドロ】（後書き）

クッキーパン！？

思いつきです。

瑞貴も犯罪者予備軍？

やってそうで怖いですがしてません。

よくそんな甘いのが飲めるね？

作者
実話

タイタン金を払いすぎだろ！？

給料3ヶ月分なのでそれぐらいかと。

チョコって……

作者
実話

砂糖のおにぎり！？

作者
実話

盗聴器返してなかったの？

瑞貴本人も忘れてました

明日香が気絶したからでしょう。

大山……さん？

相手の学年は出ていなかったの

1年山に籠もってたそうなので年上なのは確実ですが……

最後の明日香の一言が！？

スルーしてください。

質問の答えの実話って？

作者の体験談です、ごめんなさい

ネタです、見逃してください

話しとか内容が浮かばなかったんです、ごめんなさい。

15話【恋する乙女……達？ 前編】（前書き）

おかしい……何故こんなに長くなったんだろう？
しかもタイタン戦みたたく決闘デュエルをしてるわけじゃない
なのに何故こんなに長くなったんだ？

という訳で完全に、9割以上日常の状態ですね
デュエル決闘？　しませんよ？　観戦もしません。

最後の方が少しヤバイ……調子に乗りました、ごめんなさい
でも好評だったらまた似たような事するかも
割とここの書くのは好きなので、うん、可愛いは正義！　かも？

まあ原作の方でも恋愛の話しなのでそっちに進んじやいました
あんまり恋愛要素を混ぜる予定は無かったんですが、まあ楽しけれ
ばいいや！

という感じで暴走しました、ごめんなさい
でも好評なら（以下略）

という訳で前編です、後編は多分明日？
遅くても明明後日に投稿したいと思います
恋愛って難しいなあ。

15話【恋する乙女……達？ 前編】

視点 瑞貴

この前の卵パンの事件は散々だった……

明太子を食ってからは一度もドローパンを食ってない

二度と明太子入りは食いたくない！

そういえば武藤遊戯……アテムのデッキが公開されるとかなんとかでも別に興味は無いな、俺だって同じデッキを作れるんだし。

というか、一応メインキャラのデッキは全部コピーしたしな

使う気は特に無いけど、嫌がらせになるだろうと思ってる

例えば……水色に対して豆腐カイザーのデッキを使うとかな。

なんか騒ぎが起こつたらしいがどうでもいい

何故かって？ 興味無いからな

だって旧主人公は関係しないしな。

数日後の夕食中、大徳寺先生から紹介したい人がと言われ、誰もが注目する

編入テストで編入した早乙女レイ……か

頭に何か引っかかるんだけどなんだったかな？

小柄で、帽子を被ってて……んー？

で、相変わらず空気を読まずに騒ぐ十代

どう見てもそいつ、迷惑そうにしてるだろうが。

編入テストの最初はレッドだからレッドに来ただけで成績が悪いわけじゃないとか
すぐにイエローに上げれる成績とも言ってるし、馬鹿じゃないのだろう。

十代の部屋を使う事になったんだが……それは少し難しくないか？
あまり原作に関わりたいとは思わないが、3人部屋に4人はなあ……
どうも思い出せない事も気になるし、ここは少し動くか。

「大徳寺先生、俺の部屋は2人部屋です
俺1人しか住んでませんし、そいつは俺の部屋に入れませんか？
大体……3人部屋を4人で使うのは無理が有るでしょ」

「うーん……でも君はいいのかにゃ？
十代君達が良いって言ってくれてるのに」

「構いません、それにお前だって狭い4人部屋になるよりも
まだ広く使える2人部屋の方がいいだろ？」

「う、うん……」

「じゃあお願いするにゃ」

さて、呼んだはいいがどうするかな……

部屋に戻り帽子を脱ぐように言うも脱がない
ふむ……脱げない理由が？

ハゲという訳じゃないし……やべえ、思い出した！

こいつ、十代にベツタリだった女生徒！

登場時とか切欠は完璧に忘れたが、こいつが女子なのを思い出したぞ！

あー……そりゃ脱げんな

髪が長かっただろうし、そうなる……困るな、マジで。

「少し待ってろ

ただし、カードには絶対に触れるな
触れたら追い出して海に沈めてやる」

「ひっ！」

ちよつと脅しすぎたか？

まあいい、部屋を出て明日香明日香と……

『こんな時間に何か用？』

「今すぐお前が使ってるシャンプーとトリートメント、リンス、ボ
ディソープを……

そうだな、1週間分ぐらい何か容器にでも入れて持って来い」

『意味わかんないんだけど！

大体、そんなのどうする気よ！』

「借金」

『う……』

こいつ、俺と普通に話せるようになってからカードをまとめ買いし
やがった

馬鹿な事に、本気で金欠になり、元々食う量が減ってる状態で更に減らした
少し危なくなり、授業中に倒れるなんて事もしたので俺が金を貸したんだ。

金を返すのは難しいので無茶じゃない限り、俺の命令には従うように言っておいた
今回はそれを使うというわけだ。

命令内容に依って借金の額が減る
要は明日香は俺に頭が全く上がらないという訳だ。

「命令、今すぐ
1000円分にしてやるから急げよ？」

『わかったわよ！
くう……私の馬鹿あ！』

自分に呪いの言葉を吐いて通信が切れる
さて、部屋に戻るか。

部屋に入るとちびっ子は正座して待ってた
どうやら思った以上に脅しが効いたようだな。

「さて」

「ひっ！」

「……脅したのは悪いと思うが
そこまで怯えられると……やばい、もっとやりたくなる」

「ひう！」

お前は最初に ひ が付かないと話せないのか？
いや、脅してる俺が一番悪いんだけどさ。

「まあいいや、デッキを貸せ」

「は、はい！」

やばい、なんか怯えてる姿が可愛い
明日香以上に苛めたくなる！

デッキ内容は……ふうむ

恋する乙女を中心としたコントロール奪取デッキか。

恋する乙女は攻撃表示の時、戦闘では破壊されない
そして攻撃したモンスターに乙女カウンターを乗せる。

恋する乙女の攻撃力が400しか無いのにこれは辛い
これで勝つにはライフ回復コンボが理想的だな。

問題はキューピット・キスの効果を発動するには攻撃し、自分がダメージを受ける必要が有る
ダメージを無効にするスピリットバリアや天空の聖域は使えない
ダメージを回復に変換するレインボー・ライフなどのカードとかも無理

別の回復方法が必要だな。

とりあえず光属性だしオネストを3積みは必須だろ？

攻撃表示じゃないと効果を使えないんだし
天使族だからサポートカードもそれなりだな
このデッキには殆ど入ってないが。

問題は恋する乙女のLVが2という点だな

これじゃあコート・オブ・ジャスティスライトニングギアが使えない

使えるんだったら聖女ジャンヌとか、光神機一轟龍とか出せるんだが
勝利の導き手フレイヤを入れればまだマシかな？

ライフを回復してコントロールを使うデッキならそうだな……
ガーディアンエンジェル
守護天使ジャンヌでも使うか？

これなら神の居城一ヴァルハラも一緒に使えるだろう。

恋する乙女デッキはまだ考えて無かったからな

これで参考にはなった

しかし……シャインエンジェルぐらいは入れようぜ？

「ほら、返す」

「は、はい、どうも……」

怯えるのはいいけどその態度だと苛めたくなるだけだぞ？

段々思い出してきたんだがこいつ、確か小学生じゃなかったっけ？

これ以上はさすがに拙いかなあ？

と、明日香が来たみたいだ

ノック音が聞こえたので素直に出る

苛めたい気持ちがあるのは否定しないが、今回は自重する。

さすがに子供の前でこれ以上は……ねえ？

「はぁ、はぁ、持って来たわよ
でもこういう目的で使うのかぐらい教えなさい」

「そうだな……説明するからちよつと入れ
話さないとならん事も有るしな」

明日香を招き入れる

どうするか？ 決まってるだろう？

小娘の正体を話して目的を言わせる！

明日香を座らせ、俺は1人椅子に座る
小娘も明日香と一緒に床だ。

「さて、そろそろお話しようか？
なぁ……小娘？」

「な……あ……」 「小娘？」

「見れば分かるだろ？
その、レッドの制服を着た奴だよ」

小娘の瞳が限界まで見開かれる
何故気付いたという顔になっていた。

というか、原作知らなくても十分に気付けるぞ？
声も高いし、デッキがあんなのだし、それに……あまり言いたくな
いが胸も少しな？

俺は立ち上がって啞然としている小娘の帽子を奪う

小娘が気付いた時には遅く、既に帽子は俺が持っていた。

現れる長い髪、帽子を奪われた拍子に落ちた髪飾り、顔もよく見えるようになった

ふむ……なかなか綺麗な髪だな、髪の柔らかさでは明日香よりも上か？

これが子供の髪か、潤いを感じる印象だな

子供特有の小さな顔で少し丸い、顔立ちも悪くない。

明日香は美人系で高嶺の花という印象が強い

だが小娘は可愛い系で親しくなりやすそうという印象だな
友達も多そうだし、良い子なんだろう。

ま、俺には関係無いが。

「あ、あ……ちょ、帽子を返して！」

「黙れ小娘、話を聞け、そして帽子を返すのは却下だ」

「が、ぐううう……」

その悔しそうな顔がそえられるんだけどね

だが明日香よ、お前まで可愛いと言っているような顔になるな
なんとなく腹が立つだろう。

「さて、事情を話してくれるな？

話さないのなら……俺にも考えがあるぞ？」

「ひっ！ 話す、話すから何もしないで！」

「瑞貴……彼女に何をしたの？」

「勝手に動いたら海に沈めるって言った」

「怯えて当たり前よ！」

やっぱり最初に脅すと後が楽になるな
嫌われるし怯えられるけど、それぐらい大した問題じゃないし。

で、小娘の事情を聞く

カイザー

豆腐に惚れたから難易度の高い編入試験を受けてまで来た

実は本当に小娘の小学5年生

恋する乙女は強いよ、だそうだ。

「呆れて物も言えん」

「うう……ごめんなさい」

「まあまあ、あんまり悪く言わないの

彼女だって亮の為に頑張って来たんだから」

「それが呆れる原因だろうが

恋する乙女は強いだのなんだのと……単純に馬鹿なだけだろうが

家族はどう思ってると思う？

お前が勝手な事をしたから大騒ぎなんじゃないか？

友達はどう思ってると思う？

お前が行方不明になったと聞いて探してるんじゃないか？

他にもお前の事を知ってる奴がどれだけ心配してると思う？

どれだけの人に迷惑を掛けたか分かってるか？」

「それは……」

「恋する乙女だから？」

理由になるはずが無いだろうが

どんな理由だろうと、人を心配させてまで自分勝手に動くのは関心しないな

それが例え恋愛だろうが何だろうがな」

「……………」

さて、脅しもしたし鞭も与えた

次は飴を与えてのし上げないとな

もしこれが原因で潰れてもらっちゃ困る……のか？

別に潰れても問題無いような気もするが、一応のし上げておくか。

「まあ今回は初犯だし、騒ぎも起こってないから大丈夫だろう

家族に謝り、友達に謝り、知り合いに謝る

もう二度とこんな事をしないと約束し、中学生になってから来るといい

難易度の高い編入試験で入る程の行動力だ

こんな事の為に使わないでもっと別の方向に向けるといい
それなら誰も怒らないだろうし、俺だって何も言わない」

「……………」

飴としては厳しいな

もっと甘いんじゃないと拙いか？

真剣に聞いてくれてるみたいだし……優しくしてやるべきか？

「俺としてはその行動力に関心するよ

正直尊敬もできるぐらいだと思う、使い方を間違えなければな
中学生になったらまたデュエル・アカデミアに來い
他は知らんが、少なくとも俺は歓迎してやろう」

「は……はい！」

やべえ……甘い飴にし過ぎたか！

なんか凄くキラキラした目で見られてるんだが！

そして明日香、お前も本気で信じてるような顔をするな！
なに？ この気恥ずかしさ！？

そうか！ これがクサイ台詞という奴か！

くああああああ！ なんとという恥ずかしさ！

俺にもこんな一面が有ったとは！

死にたい……鬱になりそう……

「さて、俺は少し外に出てる

お前はその間に洗面所だが体を拭くなり頭を洗うなりしておけ
女の子は清潔にしておくべきだぞ」

顔を赤くする小娘

風呂とかの事は考えて無かったんだろう

体は拭きたいだろうし、清潔にしておきたい気持ちも強いだろうな。

「明日香は部屋の玄関前で待機

覗いたりする気は皆無だが、小娘が落ち着かないだろう？

見張りとして立っつけ、ついでに小娘が俺のカードに触ったりしな
いようにもな」

「わかったわ」

明日香も了承してくれたし、俺はさっさと出て行くかな。

「あの……」

「ん？」

「どうしてそこまでしてくれるの？
ボクは……悪い事したんでしょ？」

どうしてって言われてもなあ……

原作キャラで後半も出た気がするからのし上げる為にした
なんて言えるわけないし、適当に濁すか。

「女の子に優しくするのが何かおかしいか？

それが（怯えてる表情とか）可愛い子なら尚更だし」

「か、かわ！？」

「じゃあ明日香、後は頼むぞ」

「え、ええ……わかったわ」

俺は部屋を出て行く

……ん？ フラグが立つような事を言わなかったか？

視点 レイ

な……なんなのよ、あいつ
脅してきたと思ったらお説教するし
そうかと思えば優しくしてくれるし
しかも最後はか、可愛いだなんて……

「色々と瑞貴の事で悩んでるみたいだけど諦めた方がいいわよ？
彼の事で悩んだって答えは出ないんだから」

「どういう意味？」

瑞貴……さんに呼ばれて来たらしい明日香さん
ボクの為にシャンプーとか持つてくるように言われたらしい
でも実は弱みを握られてるとか……何したんですか？

「瑞貴は本来面倒事を嫌うのよ

知り合いが退学させられそうって時に黙ってるから決闘デュエルしろって言
ったら

彼、なんて言ったと思う？

断る！ ですって、理由は面倒事に巻き込まれて機嫌が悪くなった
からよ」

「なにそれ……酷い」

「他にも瑞貴がした悪行は多いわ
機嫌が悪いと相手に対して凄く酷くなるのよ

総ダメージ15100や13600なんてオーバーキルしたのよ？」

「15100のオーバーキル!？」

なにそれ怖い

ボ、ボク怒らせるような事……してる!!!!
そんな事するような人と今夜一緒に寝るの!?

って、男の人と一緒にの部屋で寝る!?
しかもボクの正体を知ってる人と!?

「でも気分が良い時は優しい人よ?
最後だって優しい事を言ってくれたでしょ?
あのお説教だって貴女の事を心配して言った事だしね」

思わず明日香さんを見る
そういえばお説教の内容って……

ボクが勝手な事をした事を咎めるような内容だけど
でも、ボクの周りの人を考えてくれてた
それに行動力は褒めてくれたし、歓迎するとまで……
瑞貴さんってどういう人なのかな?

「でも今回は何が気分を良くしたのかしら?
話しの内容から考えても面倒事の塊である貴女じゃない?
普段だったら追い出すなり泣くまで責め立てるなりしそうなんだけ
ど」

「お、追い出す!?
泣くまで責める!？」

機嫌が良い時と悪い時の差が大きすぎない!?

「あ、物の例えだから安心して頂戴

いくら瑞貴でも年下の女の子にそんな事は……しない……わ……よね？」

「そこは断言してよ！」

怖いよう……なんであんな人がボクに？

『おい明日香、小娘』

「ひっ！

どこ！？ どこから声が聞こえるの！？」

「あら瑞貴、何か用？」

明日香さんが懐からイヤホンを取り出して耳に当てる
小さい音だったけど聞こえたから怖かったわ……

『いつまでも話してないでさっさとしろ！

何度か言ったと思うが、俺は暇が大嫌いなんだ！』

「ああ、ごめんなさい

でも瑞貴、なんで話してたって知ってるの？」

そういえば……確かに大きな声は出したけど

それでも外まで聞こえるかな？

『決まってるだろ？

自分の部屋に盗聴器を仕掛けてるからだ

さすがに監視カメラは仕掛けてないが……高いんだよな、監視カメラ』

「「……………」」

盗聴器って自分の部屋に仕掛ける物じゃないよね？
しかも監視カメラって……必要な物なの？

『話しの内容までは聞いてないが

話し声しか聞こえず、水音が聞こえなかった

まあそんな事はどうでもいい、早くしろ小娘え!!!!』

「ひい！ は、はい！」

明日香さんがボクが見えない場所に移動し、ボクは急いで服を脱いで体を洗う

うう……こんなに怖い水浴びは初めてだ
急がないとまた怒鳴られる！

『なお、別に水浴びを急げと言ったわけじゃないので安心しろ
俺が言いたかったのは水浴びをするなら早くしろ、しないのなら部屋に戻っていいかという意味だ』

それを先に言ってほしかった！

ボクの恐怖は一体なんだったのさ！

「……レイちゃんは水浴びをするって

始めたばかりだし、暫く散歩でもしてきたら？」

『チッ、わかったよ

少しする事も有るしな、終わったらそっちから連絡しろ』

「はいはい、もう盗聴しないでね」

『お前らの会話なんて興味無い』

それを最後に終わる会話

怖い、怖いよ……

でも興味無いって酷くない？

あ、面倒事が嫌いってそういう意味か

興味が出ない事は面倒事になるから嫌なんだね。

つまりボクの事は眼中に無いと？

いや、明日香さんが気分が良さそうって言ってたし、違うと思う。

は！ ボクに体を洗えって……まさかボクの体が目的！？

瑞貴さんって……なんていったっけ？

ろ、ろ、ろ？ ろろろん？

忘れたけどボクってピンチ！？

どうしよう！ どうしよう！？

でも体は洗いたいし、とりあえず今は体を洗おう

後で話を訊けばいいんだし。

視点 明日香

完全に瑞貴に怯えてるわね

どうしてあんなに脅すような、怖がらせるような事を言うのかしら？
だから友達が少ないんじゃないの？
自分から作るようなタイプじゃないと思うけど。

まあ今回は優しい方で良かったわ
下手すればトラウマ物よ？

瑞貴の言う事は正論だけど厳しいものね。

それにしても、問題はレイちゃんね
あの子をどうするつもりなのかしら？

追い出す？

否定できないけど、だったらこんなに優しくしないわね。

泊める？

微妙……そこまでするかしら？

それにカードを勝手に触られるかもしれない可能性が有るし
そう考えると低い？

一緒に寝る？

……ロリコン？

無いとは思うけど、大丈夫よね？

もしそうなら私は……って、何を考えてるのよ！

私の部屋で寝かせる？

それなら私を呼んだのも分かるけど

一応、部屋にもお風呂はあるのよ？

そう考えると態々シャンプーとかを私に持って来させた意味が無い
わ。

まさか……さ、《放送できません》？

駄目駄目、駄目に決まってるじゃない！

私ったら何を考えてるのよ！？

もう、きつと顔が赤くなってるわ。

色々考えたけど答えは出ない

これも全部瑞貴が悪い！

普段から行動がよく分からないし、機嫌が良くなる原因も悪くなる原因も分からないもの

おかげでこっちは気を張って話さないと何を言われるか……

ん？ どうやらレイちゃんが体を拭き終えたみたいね

服を着てるけど髪がまだ少し濡れている

もう、ちゃんと拭かないと風邪引くわよ？

レイちゃんの持っていたタオルを取って頭を拭いてあげる
ちよつと呻き声を上げてたけどされるがままだった。

「ところでこのタオルって貴女の？」

「ううん、なんか準備されてた

体を拭く用のタオルとバスタオル
なんか返すのに抵抗が有るけど」

そりゃ……ねえ？

女の子が体を拭いたタオルと男性に渡すのは抵抗が有って当然でしょ？

「貰っちゃえば？」

そうすれば返さずに済むわよ？」

「でも勝手に貰うのは……」

「帰ってきたら許可を貰えばいいじゃない
変に真面目な部分が有るし、大丈夫でしょ
駄目って言うなら私が洗濯しておいてあげるわ」

女の子の悩みを予想され、更に当てられると凄く恥ずかしいと思うけどね

それでも良いのなら私からは何も言わないわ
気付けないと思うけど、気付いても私は知らないわ。

「さて、瑞貴に連絡するけどいいかしら？
怖いのなら話さなくてもいいわよ？」

「う、うん……お願いします」

やっぱり瑞貴が怖いよね
無理もないと思うけど、この後どうするのかしら？

とりあえず瑞貴に連絡を入れる
暫くして相変わらず不機嫌そうな声が聞こえた。

『終わったか？』

「終わったわよ
これからどうするの？」

『小娘に寝てろと言っておけ
ついでにお前も泊まれ、別に問題無いだろ？』

「は？」

ま……まさか本当に《放送できません》するつもり！？

駄目よ！ 私達まだ高校生だし、レイちゃんなんて小学生なのよ！

『俺はイエローの自室で寝る

レッド寮の鍵は持って来てないから鍵を掛ければ俺も入れん
パジャマが欲しいのなら俺のでもいいなら使っていいぞ
後で洗濯して返して貰うが』

……………私の馬鹿！！！！

「それはいいけど、本当にいいの？

ほら、カードとか荷物とか……」

『無論勝手に触れれば許さん

まあ一応防犯処置ぐらいしているから言える事だ』

「防犯処置？」

何をしてるのかしら？

『貴重品の入っている棚には鍵を掛けてる上に8桁のダイヤルキー
付きだ

カードに触れるなどと言ってるが、ケースのにも8桁のダイヤルキ
ーを全てに2つ

更に鍵を3つも掛けてるから開けるのは困難だろ』

………嚴重過ぎるわよ！

何度も瑞貴の部屋に行ってるけど、普段からケースは開いてるからそんな鍵なんて知らないわ！

これが瑞貴の決闘^{デュエル}での用心深さの秘密か！

念には念を、万が一、可能性を考えろ

瑞貴がデッキ作成の時にも口癖のように何度も言う言葉

こんな所でその秘密を見つけられるとは！！！！

『勿論全ての鍵は常に身に付けているぞ

無くさないように何重にもチェーンで巻いてる

体育の時だってロッカーの鍵を別のロッカーに入れて、更にその鍵を別のロッカーに入れてる

これぐらい当然だろ？』

絶対に当然じゃないわ！

そこまで用心深くカードを守るのは貴方ぐらいよ！

『が、万が一強引に開けられた時の為に警報が鳴るように取り付け
てる

かなり高かったし、取り付けにも苦勞したがこれで多少は安心できる
それだけ払った価値は有るだろうさ』

そこまでしても多少なの！？ 多少なの！？

どれだけすれば本当に安心できるのよ！？

『まあできれば監視カメラも取り付けたいんだけど……これがまた
高くてな

だから今回はお前らを泊める事ができるんだが
でも持ち出された時の為に発信器も付けてるし盗まれても多分大丈夫だ』

それでも多分なの!?

というか、貴方はこの部屋を危険物取り扱いの部屋にでもするつもり!?

ここまで嚴重な一般の寮なんて絶対にここにしか無いわよ!

『つと、部屋の掃除も終わったし、俺は寝るぞ

カード弄りができないから今日は早く寝る

お前らも早く寝ろよ?

鍵が掛けられている所以外は好きに使ってもいい

朝になったらまた連絡する

じゃ、おやすみ』

「ちょっと待ちなさい!

私は泊まるなんて一言も……って、切れてる!?’」

ど……どうしよう

泊まるのは構わないけど、できれば自分の部屋がいいし
だけどレイちゃんを放って帰るのも……

まあ二段ベッドだから寝る場所は大丈夫ね

なんだか瑞貴に思い通りに動かされた気がするけど

仕方無い、素直に泊まらせてもらいましょう。

二段ベッドのどちらが良いかとレイちゃんに訊いてみた

レイちゃんは上段が良いと言うので私は下で寝る事になった。

さすがに制服のまま寝る気にはならなかったので瑞貴の服を借りる
事にした

男性用だけあってぶかぶか……寝苦しくないからいいか、制服で寝

たら皺になるし

レイちゃんは一応パジャマを持って来てたみたい
ピンクの可愛いのね、瑞貴の服は黒だったけど……私には似合わないわ。

電気を消し、布団に潜る

暫くするとレイちゃんの寝てる上から寝息が聞こえてきた
男装したり緊張したり怯えたりで疲れてたんでしょね。

こうやって誰かと同じ部屋で寝るのも、偶にはいいかも
レイちゃんが入学したら時々一緒の部屋で寝ないか誘おうかしら？

眠る前は無駄な事を色々と考えてしまう

そういえば瑞貴って下の段で寝てたわよね？

高所恐怖症だからかしら？

………ん？

下の段で寝てる？

という事は……今私が寝てる布団で普段寝てるって事！？

つまり瑞貴は明日、私が寝た布団で寝るの！？

ちょ！それは凄く恥ずかしいんだけど！

起きたらすぐに洗濯しないと！

そうじゃなきゃ恥ずかしくて顔なんて合わせられないわよ！

そうだ！服、服も洗濯しないと！

ああああ……早起きしないと間に合わない！

学校もあるし、洗濯でしょ？

それに朝食の為には女子寮まで行かないといけないし

でも行ったら洗濯に間に合わない

という事は……5時には起きないと駄目!?

め、目覚まし……無い!?

夜中まで起きてるって言ってるのに毎朝どうやって起きてるのよ!?
睡眠時間が3時間で生活習慣が固定されてるとでも言うつもり!?

……もういいわ、持って帰ってから洗いましょう
寝るまでに返せば文句は言われないでしょうし
起きたら布団カバーと服を持って女子寮に行って
洗濯している間に朝食、食べ終わったら干して
乾かしてる間に学校、終わったら回収して返す。

うん、これで大丈夫のはずよ
そうと決まれば早く寝ましょう
寝坊したら洒落にならないわ。

……眠れない、緊張してるのかしら?
理由はわかってるけどね。

男性の部屋で、男友達の布団で寝る
それで緊張しない方がおかしいわよ。

大体、うう……瑞貴の汗の臭いとか付いてるから駄目なのよ
恥ずかしくて眠れない……絶対に顔が赤くなってる。

瑞貴に会ったら文句を言ってやるわ
汗臭くて寝苦しかったって。

すー……………はぁ

……………は！！！！

何でもないわ！ 何でもないわよ！

15話【恋する乙女……達？ 前編】（後書き）

瑞貴の言うメインキャラって？

D M編の基本人物からサブキャラ他、覚えている限り

G X編も覚えている限り、実際に戦っているのも見て研究したりもする

5 D・S編は殆ど見てないのが覚えている限りはする。

何故レイを部屋に入れる気に？

翔の時と同じで気になったからです

思い出せないのが気持ち悪くなったので動きました。

明日香の借金はどれぐらい？

万単位とだけ言っておきます

後で払うから先に欲しいと何度も言った結果

金が無くなる所か足りなくなっていた

だが返すのも……そう思っていたら栄養失調で倒れました

それから瑞貴から金を借り、瑞貴の指示をこなして返済しています。

恋する乙女の種族は魔法使い族じゃ……

タッグフォースを持ってないので別の場所で調べたのですが天使族と……

これを変更するとこの『恋する乙女……達？』編を大きく変更する必要になります

考え出すと頭が痛くなり、ちょっと諦めました

違和感を感じるかもしれませんが、この作品では天使族で通させてください。

瑞貴がまともな説教を！？

レイの印象から好かれていると思ったのでそこから
瑞貴には友人が殆ど居ないので実は羨ましかったり……

（裏話ですが誰かレイを叱れよ！ と、思ったのでしました
本当に誰かあの自分勝手を叱れよな、原作もなあなあで済ませてま
したし）

瑞貴……鬱になったの？

この程度でなるような可愛い性格をしてません。

レイが瑞貴を気にしてる！？

悪い意味ですがね

明日香の言葉からも良い感情は生まれませんでした
まああんなにハッキリと可愛いと言われたのは効果が有ったよう
ですが。

最初からイエロー寮で寝るつもりだったの？

レイの正体に気付いてからそうするつもりでした

明日香に関してはおまけ程度の考えですが。

なら何故レイを急かしたの？

女の話は長くて遅くまで起きてそうだからです

自分の言いたい事が言えなくなるかもしれないと思ったのでしょう。

《放送できません》の中身は何を言ってるの？

知りたい人はメールでも送ってください

教えるかもしれませんが、あくまで かも ですが。

瑞貴が用心深すぎる！？

誰にも盗まれてはいけないので必死なんです。

その金はどこから？

カードを売りました

レッドアイズの何十万は美味しかったです。

色々明日香はどうしたの？

次話のお楽しみ。

最後の明日香が！？

……………つい。

16話【恋する乙女……達？ 中編】（前書き）

どうも長くなりそうだったので更に分けました
時間ギリギリに書き終え……間に合いそうになかったら明日になつてましたね

間に合ってよかったよかった。

色々と暴走しました

瑞貴の暴言降臨、みんな頑張れ！

そしてあんな事言われて辛いだろう……うん、ごめんみんなでも作者は反省しても後悔しても続けるし止めないんだ。

やっぱり恋愛って難しいですね

女の子の感情ってよくわかりません。

そして明日香に瑞貴の毒舌が感染しました

吹雪さんが現れたらきつと毒舌が炸裂するでしょう

……うん、ごめんね吹雪さん、頑張ってください。

16話【恋する乙女……達？ 中編】

視点 明日香

ふあ……ねむ……どこよここ？

……………思い出した！

ここって瑞貴の部屋じゃない！

時間、時間は！？

ほ、よかった、まだ6時半か

これなら軽く準備しても朝食に間に合う。

レイちゃんを起こして、それから瑞貴に連絡しないと

あんまり遅くなったら怒られるわ

この部屋は瑞貴の部屋だし。

上段のレイちゃんをしてみる

ふふ、可愛い寝顔

ただどこの後、瑞貴に恐怖の感情を向けるんでしょうね

……頑張って！

とにかくレイちゃんを起こす

眠そうにしてたけど瑞貴に指示を仰がないといけないから諦めて

部屋の主に黙って出かけちゃ駄目でしょ？

丁度レイちゃんが起きて着替えようとした時に瑞貴からの連絡が来た
音声だけどタイミングを計ってない？

気のせいよね？ 瑞貴だから気のせいと言い切れないけど。

『起きてるな？』

「ええ、少し前に起きたわ
そういう瑞貴こそ早起きね」

普段なら学校に遅刻直後に来る

つまり普段からかなりギリギリに起きている

おかげで瑞貴は毎日最初の授業に遅刻していて先生方が困ってるわ。

更に授業中は昼寝をするし授業で間違っていたら指摘して嫌味を言
い続ける

でも成績が良く、間違いの指摘は実際助かっている教師もいるぐらい
まあ……それでもやっぱり嫌われている生徒ね。

『久しぶりにかなり寝た……』

それで、学校前に一度部屋に戻りたいんだが構わないか？
というか既にレッド寮の前だが』

「え？」

何を言っているのかと思ったら扉が叩かれた

思わず私もレイちゃんも小さく悲鳴を上げてしまった

まだ着替えてもいないので開けるのは少し待ってもらわないと！

「えっと、私もレイちゃんもまだ準備が終わってないの
だからもう少し待っててくれない？」

『だが断る』

別に着替えてないぐらいだったらいいだろ
荷物を持ったらすぐに出て行く』

「……レイちゃん、着替えるならすぐにして
着替えないならすぐに止めなさい
早くしないと瑞貴の機嫌が悪くなるわ」

「え、でもそんなにすぐに着替えは……」

「ならパジャマのまままで我慢して
瑞貴、今開けるわ」

レイちゃんが慌てて上着を着る
パジャマだけで男の人の前に出るのはやっぱり抵抗が有るわよね。

すぐに扉を開けて瑞貴を部屋に入れる
正確には瑞貴は自分の部屋に戻っただけけどね。

「……勝手に服は着られているが他は特に荒らされてないと
服は自分で言ったんだし、ならいいか」

「荒らさないわよ
馬鹿な事をして貴方に怒られるのはご免よ」

何度も長々と同じ事を言われ続けるのは嫌よ
疲れるし、わかったって言っても許してくれないんだもの。

瑞貴は棚を開き、中の物を漁って鞆に詰める
何を入れてるのは分らないけど、少し多いみたいね。

「じゃあ俺は出てくる

お前らが出る時は鍵は閉めて、鍵は学校で俺に渡せ」

そのまま瑞貴は部屋を出て行った

これは私達を信用してるから？

それとも何もできないと思ってるから？

まさかとは思うけど何も考えて無いだけ？

どれにしても瑞貴の考えは理解できないわ

それよりも早く着替えて私も準備しないとね。

レイちゃんは先に準備を終わらせて食堂で朝食

私はベッドのシーツや瑞貴に借りた服の洗濯の為に女子寮に向かう

そういえば瑞貴は朝食どうしたのかしら？

さて……ここから気をつけないと

女子寮でこんな男性の服やシーツなんて持ってたらどんな勘違いされるか

いや、半分ぐらい正解するとは思うけど。

朝食の時間まで時間はまだ残ってる

だからそれまでに急いで部屋に行かないと！

洗濯機は部屋に有るし、部屋にさえ戻れば……

「あら、明日香様

こんな時間にそんな荷物を持ってどこに行くんですの？」

……終わった、ももえに見られるとは
ど、どう言い訳をすればいいのよ！？

「それってベッドのシーツに男性の服……ですの？
いったい誰のでしょうか？」

「さ、さあ？」

「ごめんねもえ、私急いでるから！」

「あ、明日香様！？」

さすがにこれ以上の人に見られるのは拙い
駆け足で部屋に向かう
ううう……恥ずかしい。

なんとかもえ以外の人に見つからずに部屋に戻れた
もえに見つかった時点で失敗な気もするけどまだマシよ
急いで服とシーツを洗濯機に放り込む。

でもその前に少しだけ………じゃなくて！
早く洗わないと時間が無くなるわ！

洗濯機を回して軽くシャワーを浴びる
朝食の時間だし、そろそろ行こうかしら
食べ終わった頃には洗濯も終わってるはずよ。

朝食の時、席が近いもえから視線を感じたけど無視
私だって何を言えいいのかわからないもの。

朝食が終わり、部屋に戻って洗濯機を見てみれば終わっていた
さて、後は干して学校に向かうだけね
乾けば問題無いはずよ。

なんか男性の服とかを洗濯していると主婦みたいね
………はっ！ 私は今一体何を考えてたの！？
そもそも主婦って………相手は誰なのよ！
って、流れから考えて瑞貴しかいないじゃない！
何を考えてるのよ私は！？

ちょっと待って、落ち着かないと
深呼吸しましょう、吸って………吐いて………吸って………

『明日香、随分遅いがまだ寮に居るのか？
早くしないと遅刻するぞ』

「すっ！ げほっごほっごほ！
何よ瑞貴、突然連絡してきて！？」

体育の授業とか、体を動かす時以外はイヤホンを肌身離さず持つて
いる

瑞貴からの命令が突然来る時もあるからよ
まあ、瑞貴本人からもそうしろと言われたんだけど。

だから今みたいに突然の声に驚くのは普通
でも今回はちょっとタイミングが悪すぎない？
絶対に狙ったわよね？ 絶対に狙ったわよね！？

『何ってな………人がせっかく遅刻しそうだと連絡してやったのにその
態度は何だ？
今回は俺がお前を巻き込んだんだし、これぐらいはと思ったたらそれ
か？』

「い、ごめんなさい！

急いで行くわ、連絡ありがと！」

『まったく、小娘はお前がブルー寮に帰ったって言ってたから気にな
ってみたら

遅刻になるかもしれない上に態度が悪いときた

まあいい、早く来いよ？』

それから瑞貴からの連絡が切れた

確かに時間も危ないし、急いで洗濯物を干さないと。

ちなみになんとか遅刻寸前で間に合ったわ

瑞貴を見てみたら舌打ちをしていた

私の態度が悪くて気分を悪くしたらしい。

レイちゃんは瑞貴が怒っていて近くに居て怖かったって
あんまり怒らせないで欲しいってお願いされたわ。

私だって態とじゃないのよ？

あまりにタイミングが悪かったただけなのよ？

そう言い訳したかったけど涙目で言われたので断念
うう……ごめんね？

校長先生の話しが有るらしい

全員が大部屋に集まり、校長先生の話を聞く。

毎年恒例、北のノース高との流向決闘デュエルが近づいているとか
去年は亮が勝ったらしい。

レイちゃんが亮を眺めているのを見つけ、微笑ましく思う

でもそのレイちゃんの隣に立っていた瑞貴が軽くレイちゃんを突いて前を向くように指示を出す

怒られては堪らないと、レイちゃんも素直に前を向く
昨日もだけど少し厳しくないかしら？

今年の流向決闘デュエルの生徒はまだ決まっていなかったか

まあ順当に行けば今年も亮が出るでしょうね

順当に行けば……ね？

凄く引っかき回しそうな人が居るからわからないけど。

校長先生の通信が終わり、十代が頑張っ出て出ると意気込む

瑞貴はどうでもいいとばかりに欠伸をして眠そうに目を擦ってる
レイちゃんはまた亮を見てる

恋する乙女は強いよね……だから怒られたんだけど。

視点 レイ

授業……ちょっと難しかったな

やっぱりまだ小学生のボクに高校の授業は厳しかった

次の定期便で帰らされるんだし、将来の為の見学だと思って我慢しよう。

授業後、瑞貴さんが色々手回しをしたらしい

校長先生に内密で話し、ボクの事で動いてくれたとか

本当かどうかはわからないけど、妙に満足そうにしてたのは何故？

定期便は週1ぐらいで来るから来週まで帰れない

それまでに誰かがボクに気付かれる可能性も否定できない
現に、瑞貴さんはボクに気付いたんだし。

そんな瑞貴さんの命令でボクが外に居る間は瑞貴さんか明日香さん
と一緒に居る事だって

あんまり自由が無いけど、それでも少しでも危ない事の無いようにだ
って

ボク……そんなに間抜けじゃないよ！

授業後、ボクはちよつと2人から離れてブルー寮に向かう
亮様の居るブルー寮、まだ帰ってないから会えないと思うけど……

亮様の部屋は……確かここ！
木に登って部屋に侵入する。

誰も見ていないはずだし、大丈夫！
そう……思ってたんだけど。

「何やってんだお前！
そんなんじゃないノースのスパイと勘違いされるぜ！」

っ！ 誰！？

そう思って振り向いたら最初にボクに絡んできた男子生徒！
でもボクはスパイじゃない事は否定しておかないと！

「そんなんじゃない！」

このままだと言い合いになりそうになる
でも扉の外から声が聞こえた！？

「話しは後だ、とにかく行こうぜ！」

逃げる為に男子生徒が無理矢理私の手を勢いよく引く
その反動で帽子が脱げてしまった！

「……レイ、お前！」

「クッ！」

急いで帽子を拾って逃げ出す
こんな事なら瑞貴さんの言う事を聞いていればよかった！

………

………

……

急いで部屋に戻ると部屋の前に瑞貴さんが立っていた
あれ？ 何で部屋の外に立ってるの？

「随分遅かったなあ？」

しかも俺は確か、俺か明日香と一緒に行動しろって言ったよな？」

「う……それは」

「しかも俺はお前が鍵を返さなかったせいで部屋に入れなかったんだが？」

放課後になってお前を捜しても見当たらないからずっと待ってたんだぞ？」

鍵？ そういえばボクが持ってるんだっけ？

……あ、ポケットに入ってた。

あれ？　ボクって指示を破った上に鍵も返さなかったの？
という事は……凄く怒ってる！？

思わず後ずさってしまうが腕を掴まれる
もしかして帰ってきたのって大失敗？

「ほう？　俺が怒っていると気付いたか？
だが逃がさん、とりあえず部屋の鍵を返してもらおうか？」

「は、はい
わかりました……」

腕を掴まれたままなんとか部屋の鍵を取り出して瑞貴さんに渡す
瑞貴さんは溜め息を吐きながら部屋の鍵を開け、部屋に入る
当然ボクの腕を掴みながらだからボクも強引に部屋に入れられる事
になった。

「正座」

「はい？」

「正座だ、正座

床で正座して、背筋を伸ばして座れ」

「あの……なんで？」

「黙れ、そして正座」

「……はい」

それから3時間ほどずっとお説教された

同じ内容をクドクドクドクドと……内容は同じだけど違う事を同じ意味で長々と

よくそんなにネタが持つと思ったけど言い出せない。

30分ぐらいして少しだけ言い訳をしたら最初からやり直された
それから更に30分ぐらいして反論したら論破された上にまた最初から繰り返し返された。

ねちっこい……きつと決闘デュエルでもねちねちと嫌らしい戦い方をするんだ
しかも用心深く2重3重にも罠を張って相手の頑張りを全否定するんだ、きつとそうだ。

ようやく説教が終わった

しかも止めてくれた理由がそろそろ晩ご飯の時間だからだって
許してくれてはいないみたいだけど、この説教地獄から抜け出せただけマシよ。

晩ご飯の時、さっき亮様の部屋で会った生徒もいた

今の所は何も言われてないけど、いつ行動されるかわからない
急いで瑞貴さんに相談しないと……

話しかけられたら困るから怖いけど瑞貴さんと一緒に部屋に戻る
さっそく瑞貴さんに相談しないと。

「あの、瑞貴さん

少し相談したい事があるんですけど」

ボクがそう言ったら凄く意外そうな顔をされた
そんなにボクが相談したら変!?

「俺の事を怖がってるのによく俺に相談する気になれたな
相談なら明日香にした方がいいんじゃないか？」

自分が怖がらせてた自覚有ったんだ……
なら最初からしないでほしかったな。

「まあいい、少し待ってろ」

瑞貴さんはそう言って小型の通信機を取り出す
学校で配布されてるのじゃなくて自前のを使う理由は何？

「おい明日香、命令
今すぐに来い、拒否は許さん」

『突然なにを言うのよ！
行くのはいい』

へ、返事の途中で切るなんて酷い
本当に全く拒否させる気が無いんだ。

「さて、明日香が来るまでに話しを進めておこう
あいつには整理してから話せばいいだろう」

あ、ちゃんと話しは聞いてくれるんだ
よかった……無視されたり断られなくて。

「実は……」

ボクは瑞貴さんにさっき……といっても結構前になっちゃったけどとにかく説明した。

「……………」

説明が終わってから瑞貴さんはずっと無言
せめて怒ってくれない！
すつごく不安になるんだけど！

気まずい雰囲気がつつと続く
すると突然扉が叩かれた、明日香さんが来たのかな？
瑞貴さんが覗き穴を見て凄く気に食わなそうな顔をしたけど……違
う人？

「……チツ、十代か、また面倒な奴が来たな
おい小娘、お前の正体を知った生徒が来た
靴を持ってトイレにでも隠れとけ
声は出すなよ？」

「で、でも……」

「珍しく人が庇ってやろうってんだからさっさとしろ
あんまり遅いと怪しまれるだろうが」

「うん……わかった」

ボクは靴を持って急いでトイレに入る
トイレに入った瞬間に扉が開いた音が聞こえた
そんな直後に開けて大丈夫なの！？

「十代か、何か用か？」

「ちょっとレイに用があつてな
部屋に居るか？」

「居ない、だから帰れ
そして二度と来るな、更に俺の休憩時間の邪魔をするな
おまけにそのまま実家に帰れ」

酷っ！ もの凄く酷い！
別にその人何も悪い事してないよね！？
というか最後のはあまりにも理不尽過ぎる！

「あ、相変わらず機嫌が悪いとひでえな
じゃあどこに行ってるか知らないか？」

「知らん、寝言は寝て言え
口を開くな、リアルで口をマジ縫いでもしやがれ
今後俺にその声を聞かせるな」

質問しただけでそれだけの暴言ってどういう頭してるの！？
どうしてそんな言葉があんな僅かな時間で思いつくの！？
それに機嫌が悪いと普段から暴言だらけなの！？

「……悪かった、じゃあな」

「そのまま海に沈んでろ
深海に沈んで水圧で破裂しろ」

何気に死ねって言うてるよね!?

少しでも優しいと思ったボクが馬鹿だった!

瑞貴さんは悪魔だ!

えっと、十代……さん? は帰ったのかな?

でも瑞貴さんは何も言わないし、まだかな?

そう思っていたらまた別の声が聞こえてきた。

「あら十代、こんな時間に瑞貴に何か用かしら?」

「お、明日香じゃないか

お前こそこんな時間にどうしたんだ?

それにそんなに荷物を持って……」

「えっと……ちょっと瑞貴に借りた物があったね?

瑞貴に呼ばれたのもあるけど、これも返さないと駄目だしね」

ああ、朝に言ってたっけ

自分達女が眠った後の布団で男性が寝ると思うと恥ずかしいってその気持ちは分かるなあ。

「で、十代は何の用で瑞貴の部屋に?

どうせ悪口を言われて追い出されようとしてるんでしょうけど」

大正解、さすが瑞貴さんとの付き合いが長いだけある

なんでも入学してから結構話してるとか何とか

だから瑞貴さんも簡単に泊めようと思ったのかな?

「ああ、そうなんだよ

明日香からも言ってくれないか？
レイがどこに居るか知りたいんだ」

「レイちゃんがどうかしたの？」

あ……今、明日香さんボクの事をちゃん付けをしちゃった
さり気なかったから気付かなかったよね？
気付いてももう知られている相手だけだ。

「今レイの事をちゃん付けで……お前もレイが女の子だって事知ってたのか？」

「……………あ

ど、どうしよう瑞貴!？」

「そこで俺に振るか？」

つまり俺も知っているって白状しているのと同じ意味だぞ
テンパってるのは分かる

が、もっと冷静になった方がいいな

ほら、十代が俺の事を疑わしい目で見てるじゃないか
余計な真似を……今回の命令での借金返済は無しだ」

「そ……そんなあ」

確かに白状しているのと同じかもしれないけど……

少しは誤魔化そうとしない？

諦めるのが早いなあ。

「なら話しは早い

瑞貴、レイは何でこの学園に？」

「言う必要は無い、話す必要は無い、語る必要は無い、言葉にする必要は無い、教える必要は無い
知らせる必要は無い、聞かせる必要は無い、書く必要は無い、見せる必要は無い、お前には全て必要無い」

一言で済ませればいいのに何で10通りの言い方をするの!？
しかも全部結果的に同じ意味だよね!？

「どうせ瑞貴が素直に話すなんて思ってねえよ!
瑞貴、俺と決闘しろ!」
デュエル

「断る、帰れ、来るな、消えろ、去れ、失せろ、ついでに死ね」

どうしてこの人はこう……無駄な事を言うのかな?
一言にすれば楽じゃないの?

「決闘者なら挑まれた決闘から逃げんな!」
デュエリスト

「逃げてない、断っているだけだ
逃げるとは逃亡という意味である
俺は嫌だから断っているであり、逃げているのは少々意味が異なる
断る＝逃げるという図はちょっと頭の回路が弱いんじゃないか?」

無駄に無駄な言い方をして無駄に怒らせてるだけだよね!？
よかった……あんな暴言だらけを自分に向けられなくて
これからは瑞貴さんの機嫌を絶対に損ねないように気をつけないと。

「んな事はどうでもいい!」

俺と決闘しろ、瑞貴！」

「しつこい、断ると言ってるだろうが、いい加減にしろ
煩い、喧しい、騒々しい、叫ぶな、叫くな、声を出すな、黙れ、静
まれ、落ち着け、そして帰れ」

「こうなったらレイは関係ねえ！
意地でも瑞貴と決闘してやる！」

「……このやり取りに飽きた
明日香、俺の代わりに十代の相手をしてやれ
勝ったら借金は半分取り消してやる」

「本当！？
行くわよ十代！」

「だああああ！俺は明日香じゃなくて瑞貴としたいんだよお！
でも、挑まれた決闘は必ず受けてやるぜ！
どっちにしろ明日香とも戦りたかったしな！」

あるえー？
何か話しは変な方向に向かってない？

「決まりだな、とりあえず先に行ってる
俺も後から行ってやる」

「おう！」「わかったわ」

扉が閉まる音が聞こえた
えっと……どうなるの？

「さて小娘」

「はひい！」

「お前のせいでひじょーーーーーに面倒な事になった
とりあえず諦めて十代の前に行くぞ
さっさと出てこい」

ボクは無言でトイレから出る
瑞貴さんの顔には凄い怒りの感情が出ていた
うう……怖いよお。

「……行くぞ、着いてこい
遅れたら裸にひん剥いてレッド寮の屋根から吊してやる」

「ひっ！」

わ、わかわ、わかりました！ 絶対に遅れません！」

瑞貴さんはボクの返事を聞いてさっさと出て行った
ボクも急いで靴を履いて追いかける。

ど……どうしてこうなったのーーーーー！

16話【恋する乙女……達？ 中編】（後書き）

瑞貴って問題生徒？

問題生徒です

成績が良いだけに更に問題です

態度が悪くても成績のせいでレッドに降格という脅しできませんので。

瑞貴はどう思って明日香達に部屋を明け渡したの？

明日香は付き合いが長くなっているので性格上問題無いと思いました
レイは子供だし、馬鹿な事は起こさないだろうと思っています

まあ……両方原作キャラだから腐ってないだろうという考えが少々強いですが。

何故ここでももえを出したの？

ちょっとしたフラグ……といった感じででしょうか？

ジュンコの方には少々思惑が有るので……

内容？ 秘密です、まだ先なので現時点では殆ど無関係ですね

しかしある程度これで行こうと思っっていますのでこの考えを変更しないと思います

原作に影響出るよなあ……まあいいか。

明日香、少しだけってなんだ！？

前話最後参照……つい。

明日香が瑞貴のように無視……だと？

瑞貴の無視癖が移ったようです

今後の明日香の性格に大きな問題が出ました。

明日香の妄想が……

調子に乗りました

どうもこんな明日香が好評のようなので……
しかし、不評でも続けそうな自分が怖い！

瑞貴が明日香に親切を！？

強引に泊ませたので少しぐらい悪いと思ってます
表にそれを出す気はありませんが。

明日香の言う引っかけ回しそうな人って？

瑞貴と十代ですね

明日香だって十代に無関心なわけじゃないので。

定期便が週1？

定期便が原作みたく帰るとしたら2日に1回になり、多いと思った
のでこうしました

原作通りにしろと？

したいとは思いますがどう考えても変でしょう

もしかしてたった1人の為に定期便が寄ってくれたとでも？

そう思ったのでこうしました

他の乗客？ 違う場所から乗ったんじゃないですか？

あんな島にそんなに行く必要が有るか疑問ですし……

食料の関係なら可能性も高いと思いますがそれでも3日に1回ぐら
いじゃないかと。

瑞貴は校長と何を話したの？

レイの事を話してました

何故女生徒をレッド寮にという話から何故気付かなかったという
話しまで

KC社に報告するかなどと脅しました

そして校長を強引におとなしくさせ、レイの事をどうにかすると約束させました

面倒は自分が見てやる、だから今後はこんな事をしないように言い更に脅迫の材料を集められて瑞貴はそれなりに満足しました
レイの面倒を見ると言った理由は他で面倒を起こされるより色々知っている自分で処理した方が楽だと思ったからです。

瑞貴が自前の通信機を使う理由は？

盗聴を警戒しています

万が一されたら困る話しをするかもしれませんので。

明日香は通信でなんて言おうとしてたの？

「突然何を言うのよ！

行くのはいいけど何故!？」

と、言おうとしてました。

十代に対して酷すぎる！

苛ついてるんです。

最後のは……本気？

嘘です、脅迫で脅しなだけではありません

……一応脅迫罪ってありますけどね。

17話【恋する乙女……達？ 後編】（前書き）

はい、阿音は全ての人の予想を裏切ります

これを予想できた人、その人は作者の事をよく分かってます

……でもそう思うと恥ずかしいので申し出ないでくださいませ。

今回で「恋する乙女……達？」は終了ですね。

……嘘です、終わってません

レイが帰るまでこの作品では1週間、まだ2日目なので後5日分残ってます

書きますよ？ 書いちゃいますよ？ 書いていいですか？

はい、なんと言われようとも書きます。

次回は何てサブタイトルにしよう……考えておきます。

少し忙しくなるので次回の投稿は多少遅くなります

早くても多分3日後、遅ければ1週間ぐらいいは投稿できないかも……

できるだけ早くしたいとは思いますが、それも問屋は落とさない

楽しみにしてくださいさる読者様方々には申し訳ありませんがご了承ください。

17話【恋する乙女……達？ 後編】

視点 レイ

瑞貴さんに連れられて着いた場所は……寮の後ろにある断崖絶壁
その下で明日香さんと十代さんが決闘デュエルをしようとしてる。

でも瑞貴さん、少し怯えてない？

もしかして高所恐怖症？

そう思っていると小声で独り言が聞こえた。

「明日香の奴……俺が高所恐怖症だと知ってここを選んだのか？
もし狙ったのなら許さん、偶然でも忘れてたので許さん、覚えてて
も失念したのなら許さん」

……ご愁傷様、明日香さん

頑張って瑞貴さんの機嫌を取ってね。

高い場所から見下ろして決闘デュエルを観るなんて初めて
どっちが勝つのかな？

「おい明日香！ あのデッキを使いえ！」

突然大声を出さないでよ！

それに、あのデッキって何？

「あのデッキですって！？

でもあのデッキを使うのならできるだけ人気の無い場所ですって言っ

てたじゃない！

それでも使っていいの！？」

明日香さんも大声を出すけどあんまり聞こえない
やっぱり遠いのかな？

大声を出さないと聞こえないなんて。

「構わん！ それぐらいしないと俺の気が済まない！
とりあえず俺の苛々を鎮める為、あのデッキを使い！」

「あの……瑞貴さん
それってあまりにも強引過ぎませんか？」

「明日香は納得して使うみたいだが？」

下を見てみると明日香さんは溜め息を吐きながらデッキを変えていた
明日香さんって他種類デッキの使い手なんだ……でも何で瑞貴さん
の指示で変えるの？

「あのデッキは基本型は俺が考えた
それを明日香は自分で細かい点を調整して自分用のデッキに作り替
えたんだ

更に言うなら明日香の使うカードの8割から9割は元俺のカードだ
時々カードを売ってやってるんでな」

あのカードの山なら売るぐらいしてても当然かも
だから明日香さんは借金を……

「おい小娘、決闘を観るのは構わんが座るなりした方がいいぞ
ここは風が強い、帽子も飛んでいくからしっかりと押さえておけ」

「あ、はい」

素直に帽子を押さえて体が落ちないように座り込む
どんな戦いになるのかな……楽しみだなあ。

先に動いたのは明日香さん

肩に扇風機みたいなのを付けたモンスターを守備表示で出した
そしてカードを2枚伏せてターン終了。

あんなモンスターいたかな？

十代さんが凄く驚いて興奮してるけど……

瑞貴さんに聞いてみるとモンスターの名前と効果を教えてくれた
だけど……教えてもらってもあんなカードは知らない
ボクが無知なだけかな？

効果は全部瑞貴さんが説明してくれるから楽だけど
やっぱり知らないって凄く不利なんだ
もっと色々勉強した方がいいかな？

視点 明日香

まったく……瑞貴の嫌がらせ癖は問題ね
十代を相手にこのデッキを使えだなんて。

「瑞貴の言っていたあのデッキってのはそれか？」

「ええ、このデッキの基本は瑞貴が考えたのよ
それを私は自分で使い易いように改造したの
改良って言えないのが悔しいわ」

自分では使い易くなったけど強くなったかは微妙
だから改良とは言えないわ
改悪になってない事を祈るばかりよ。

「さて、始めましょうか
喜びなさい十代、このデッキの実験相手にしてあげるわ！」

「いいぜ、わくわくしてきた！
行くぞ明日香！」

「^{デュエル}決闘！」

「先攻は私が貰うわ、ドロー！」

手札は悪くないわね……
それなりに動けるし、大丈夫でしょ。

「私はE・HEROエアーマンを守備表示で召喚！」

「E・HERO!？」
そのモンスターもE・HEROなのか!？」

「ええ、このモンスターもE・HEROよ」

やっぱり十代の知らないE・HEROだったのね

このカードは絶対に十代の知らないE・HEROだから十代には見せるな

そう最初に言ったのは瑞貴、貴方でしょ？

理由はどうせその方が楽しそうだからでしょうけど。

「エアーマンの効果を発動！

このモンスターが召喚された時、デッキからHEROを手札に加えられる

私はこの効果により、E・HEROフォレストマンを手札に加えるわ
カードを2枚伏せ、ターンエンドよ」

守備力が300しか無いこのエアーマンを守備表示にした理由はすぐに分かるわ

だって十代が相手なんだから、必ず攻撃してくる。

「俺のターンだ、ドロー！

俺はスパークマンを攻撃表示で召喚！

バトルだ、スパークマンでエアーマンに攻撃！」

スパークマンの雷撃で簡単に破壊されるエアーマン

馬鹿ね十代……少しは警戒するべきよ？

「モンスターが破壊された瞬間、リバースカードオープン！

罠カード、ヒーロー・シグナル、知ってるでしょうが一応説明するわ
自分のモンスターが戦闘で破壊された時、手札、またはデッキから

LV4以下のE・HEROを特殊召喚できる

私はデッキからフォレストマンを守備表示で特殊召喚」

木でできているような体の大男が現れる

燃やしたらどうなるのかしら？

というか人体の中で水分や血は流れてるの？

それとも体内まで木でできてるのかしら？

「ちえ、自分で使ってるから厄介さがよくわかるぜ

俺はカードを1枚伏せてターンエンドだ」

半分ぐらいミラーマッチだものね

なんで瑞貴は自分で十代にこのデッキを使わないのかしら？
燃える展開だからかしらね。

「私のターン、ドロー！

スタンバイフェイズ時、フォレストマンの効果により

デッキか墓地から融合を手札に加える

私はこの効果によってデッキから融合を手札に加えるわ」

「そんな効果を持つてるのか！？」

「驚くのはまだ早いんじゃない？

魔法カード、E－エージェンシーコールを発動

デッキからE・HEROを手札に加える

私はこの効果により、2枚目のエアーマンを手札に加えるわ

そしてそのままエアーマンを攻撃表示で召喚

効果により、デッキからE・HEROオーシャンを手札に加える」

「また新しいE・HERO……」

そんなにショックかしら？

でも加減はしないわよ。

「更に融合を発動！」

手札のスパークマンとオーシャンを融合！

現れなさい、E・HEROアブソルートZero！」

氷の中から現れる白銀のE・HERO

自分で出しておきながらだけど、厄介なモンスターを出したもんだわ
このE・HERO……早く倒しなさいよ？

「このアブソルートZeroはHEROと名の付くモンスターを水属性モンスターで融合できるわ

今回はHEROとしてスパークマン、水属性としてオーシャンを融合したの」

「名前と属性の融合だど！？」

そんなE・HEROが存在していたのか！？」

私も初めて見た時は同じ事を思ったわ

融合の範囲が緩すぎる……恐るべきはE・HEROといった所かしら？

「更に魔法カード、オーオーバーソウルを発動

墓地に存在するE・HEROと名の付く通常モンスターを特殊召喚する

この効果によりスパークマンを召喚するわ」

これで場のモンスターは4体で1体が守備表示

総攻撃をすれば勝てるけど……あの伏せカード、何だか嫌な予感があるわ

でも構わない、そのまま行くわよ！

「バトル！ エアーマンでスパークマンに攻撃よ！」

「なんの、罠カード発動！ 異次元トンネルミラーゲートー
E・HEROが戦闘する時、自分と相手のモンスターを入れ替えて
戦闘を行う！」

これでエアーマンは俺の物だ！」

ふう、ミラーフォースじゃなかったただけマシよ
むしろこれは好都合ね。

「甘いわよ十代！」

永続罠発動！ 死力のタッグ・チェンジ！
表側攻撃表示モンスターが戦闘で破壊された時の戦闘ダメージを0
にするわ！

更にその後、手札からLV4以下の戦士族を特殊召喚する！
私はこの効果で戦闘ダメージを0にする！」

十代のスパークマンが私の場に現れ、エアーマンが十代の場に移動
する

そして戦闘が行われる

エアーマンの攻撃で元十代のスパークマンが破壊された。

死力のタッグ・チェンジは私が入れたカード

結構手札にLV4以下のモンスターが溜まる事が多いから入れたわ
それに力尽くが多いから反撃も結構受けると思ってる

万が一、力で負けた時の為の保険でもあるわ、ダメージも無くなる
しね。

「死力のタッグ・チェンジの効果により戦闘ダメージは無いわ
そして手札からLV4以下の戦士族……2体目のフォレストマンを

守備表示で特殊召喚するわ

さて、バトルを続けましょうか？

アブソルートZeroでエアーマンに攻撃よ！

瞬間氷結！」

アブソルートZeroが一瞬で辺りを凍らせた

さすが絶対零度の名を冠するモンスターね

その名に相応しい攻撃方法だわ。

エアーマンを破壊し、700ダメージを与える

私の場に水属性モンスターは存在しないしね

存在していたら攻撃力が500上昇していたけど、それは高望みかしら？

「（元々私の）スパークマンで、ダイレクトアタック直接攻撃！」

「うあああああああ」

総計ダメージは2300

残りライフは1700だけど、油断はできないわ。

「私は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「おっしや、新しいE・HERO、新しい融合モンスター
くーー、燃えてきた！

俺のターン、ドロー！」

その暑苦しさが瑞貴が十代を嫌う理由なのかしらね？
いつかのテニス部長の時も機嫌が悪かったし。

「俺はバブルマンを特殊召喚！」

自分の場にモンスターが存在していない時、特殊召喚できる！
更に自分の場にカードがバブルマン以外に存在しない時、デッキからカードを2枚ドロー！」

現れたわね、瑞貴曰く壺男！

このドロー効果って強力なのよね……困るわ、本当に。

「俺は手札から魔法カード、戦士の生還を発動！

この効果で墓地のスパークマンを手札に加える！

更に魔法カード、融合を発動！

場のバブルマン、手札のフェザーマンとスパークマンを融合！

現れる、E・HEROテンペスター！」

攻撃力2800のモンスター……

こんなに早くこのモンスターが出るとは思わなかったわ

先に死力のタッグ・チェンジを使うんじゃないかった

もう手札にLV4以下の戦士族は無いわよ。

「行け！ テンペスター！

アブソルートZeroを攻撃しろ！

カオス・テンペスト！」

強いから先に攻撃したのかしら？

馬鹿ね、先に効果を訊かない貴方が悪いのよ？

知らないカードなら相手に尋ねた方が身の為よ？

それを今から教えてあげるわ。

テンペスターは飛び上がり、急降下をしてアブソルートZeroに突撃してくる

そしてアブソルートZeroは破壊され、辺りを凍らせた
アブソルートZeroに最も近かったテンペスターは氷柱になり、
砕け散る。

「て、テンペスターが破壊されただど!?!」

「アブソルートZeroのモンスター効果よ

このモンスターが場から離れた時、相手のモンスターを全て破壊する
せっかく高攻撃力モンスターを出したのに残念だったわね

私は300ダメージを受けただけで貴方は大損、この後はどうする
のかしらね?」

十代の手札は3枚

でも油断はできないわ。

「くそ! 俺はカードを2枚セットし、クレイマンを守備表示で出
してターンエンドだ」

まだクレイマンを隠し持っていたか
守備力2000は面倒ね。

「私のターン、ドロー!

この瞬間、場に存在するフォレストマン2体の効果を発動!
墓地から1枚、デッキから1枚融合を手札に加えるわ!

カードを3枚セットし、天よりの宝札を発動!

お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドローする!」

このカード……高かったわ

おかげで1枚しか買えなかった

何個もデッキを持っている私は使い回しでデッキに入れないと駄目

なのよね

毎画面倒……無いよりはマシだから我慢するけど。

手札は……良くないわね

入れ替えるか。

「手札から魔法カード、打ち出の小槌を発動！

このカードと手札を任意の枚数デッキに戻しシャッフル
そしてデッキに戻した枚数だけドロウする！

私は手札を4枚デッキに戻してシャッフル、5枚ドロウ！」

び、微妙……

でもこれならある程度動けるからいいかな？

巧くすれば……決まりね。

「速攻魔法、手札断殺を発動！

お互いの手札を4枚墓地に送り、同枚数ドロウする！」

よし、墓地も肥やせたしこの手札なら十分ね

伏せカードが怖いけど……すぐに消せるわ。

「魔法カード、戦士の生還を発動！

墓地に存在するエアーマンを手札に加えるわ！

そしてエアーマンを召喚し、デッキからクレイマンを手札に加えるわ
更に伏せカードの融合を発動！

場のエアーマンと、手札のクレイマンを融合！

現れなさい、E・HERO Great TORNADO！」

場にマントを着け、腕に扇風機みたいなのを付けた派手な男が現れる
見た目は微妙な気もするけど、効果は凶悪よ？

「このモンスターはE・HEROと風属性の融合よ
E・HEROのクレイマン、風属性のエアーマンの融合
そしてこのモンスターが融合召喚に成功した時
相手の場の表側表示で存在するモンスター全ての攻撃力、守備力を
半減させる」

「な……に？」

て、事は俺のクレイマンの守備力は……1000!？」

これならスパークマンでも倒せる
でも、少しでも瑞貴の機嫌を良くする為、レイちゃんの為、最後に
私の為
追い打ちを掛けさせてもらおうわよ!

「更に伏せカード、融合を発動!

場のフォレストマンとスパークマンを融合!

降臨せよ! E・HERO The シャイニング!」

背中に……デフォルトされた太陽のような形をした何かを背負った
戦士

見た目は強そうなんだけど……やっぱり微妙よね。

「シャイニングはE・HEROと光属性

E・HEROとしてフォレストマン、光属性でスパークマンを融合
したわ

更に除外されていE・HEROの数×300攻撃力が上がるけど……
……まだ除外されてないから関係無いわ」

「おお、クレイマンだけじゃなくてスパークマンまで融合

つええ、つええよこいつら！」

……普通ここで元気を出す？

バトルマニアって奴ね、ちょっと引くわ。

「まだ終わらないけどね

更に手札の沼地の魔神王を墓地に捨て、デッキから融合を手札に加える

そして融合を発動するわ！

場のフォレストマンと手札のオーシャンを融合！

E・HEROジ・アースを融合召喚！」

真っ白な体で口しか見えない能面な顔……ちょっと怖いわ強いけど今は効果を使う必要が無いわね。

十代の顔に余裕が無くなってくる

もし伏せカードを破壊されたら終わりだものね？

まだ大丈夫って顔から攻撃反応型罠、ミラーフォースか攻撃の無力化ね

クレイマンだからクレイ・チャージの可能性も否定できない。

でもごめんね十代、伏せカードを破壊できるカード……もう持つてるのよ。

「最後の伏せカード、天よりの宝札を発動する前に伏せたカードよ魔法カード、Rーライトジャスティス、自分の場のE・HEROの数だけ相手の魔法、罠を破壊するわ」

「なん……だと？

明日香の場にはE・HEROが3体……つまり俺の伏せカードは！

「？」

「ええ、全滅ね」

私の場にはGreat TORNADO、The シャイニング、ジ・アースの3体
つまり3枚破壊するという事になる。

破壊されたのは案の定、攻撃の無力化とクレイ・チャージ
十代の行動パターンはもう簡単に予想できるわ
何回貴方^{デュエル}の決闘を見たと思ってるの？

場のE・HEROの数だけだから私の死力のタッグ・チェンジも破壊される
だけでもう使わないからどうでもいいわ。

「続けてミラクル・フュージョンを発動！
墓地に存在する沼地の魔神王とスパークマンを融合！
出でよ、E・HEROシャイニング・フレア・ウィングマン！」

今回は沼地の魔神王をフレイム・ウィングマンとし、スパークマンと融合させた
これで高火力モンスターが出たわ。

「最後の手札……魔法カード、命削りの宝札
デッキから5枚ドロし、5ターン後に全て捨てる」

この手札なら十分ね
入れ替えも必要無いし、終わるわ。

フュージョン・リカバリ

「融合回収を発動

墓地の融合とオーシャンを手札に加え、融合を発動
手札のHERO、エアーマンと水属性、オーシャンを融合するわ
再び現れなさい、E・HEROアブソルートZero！」

現れる2体目の氷の戦士

十代の顔に少しでも怯えが見え始める
だけど、これだけで済ませられないのよ。

「ミラクル・フュージョンを発動

フィールド上のアブソルートZeroと墓地のオーシャンを融合
3度現れよ！ E・HEROアブソルートZero！
そして2体目のアブソルートZeroの効果を発動！
場から離れた事により、相手の場のカードを全て破壊する！」

「なんだって！？

ぐう……クレイマン！」

破壊されるクレイマン

最後のカードを見たらどう思うかしら？
きつと更なる絶望へ進むでしょうね。

「そして魔法カード、Hーヒートハートを使用してアブソルートZeroの攻撃力を500上昇する

最後の手札……永続魔法、一族の結束
墓地に存在するモンスターの元々の種族が同じ場合

自分の場に存在するその種族と同じ種族のモンスターの攻撃力を800上昇させるわ

私の墓地のモンスターは全て戦士族、更に場のモンスターも全て……戦士族よ」

沼地の魔神王は除外されてるしね
終わりよ……十代。

「全てのモンスターで十代に直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「う、うわあああああああ！！！」

私のモンスター……それは

E・HEROアブソルートZero 攻撃力2500+800+500
||3800

E・HERO Great TORNADO 攻撃力2800+800
||3600

E・HERO The シャイニング 攻撃力2600+800+900
||4300

E・HEROジ・アース 攻撃力2500+800
||3300

E・HEROシャイニング・フレア・ウィングマン 攻撃力 2500+800+2700
||6000

最初は攻撃力、2番目の800は全て一族の結束

3番目、アブソルートZeroはHーヒートハートの効果で500

The シャイニングは除外されたE・HEROの数×300上昇
でE・HEROは3体だから900

シャイニング・フレア・ウィングマンは墓地のE・HEROの数×300、
墓地のE・HEROは9体だから2700上昇したわ。

墓地のE・HEROは8体ですって？

手札断殺でバブルマンを捨てたのよ

残りは魔法、罠カードよ、不要だったし。

さて、総攻撃力を計算すると……21000ね
瑞貴以上のオーバーキルをしてしまったわ、これも瑞貴の影響かしら？

十代の顔が絶望という感じに染まってるわ
ここまでの大敗が凄くショックだったのね
亮の時以上の大敗だし、仕方無いか。

でもこのデッキはできるだけ封印した方がいいわね
凄く回るし、強力だけどソリティアみたいで困るわ
魔力カウンターの時の瑞貴の気持ちがあった……これはなんだか嫌ね。

でも……瑞貴が言うにはこれは完全に未完成
超融合というカードが入っていないからだそうよ。

でもそれは入れたら駄目って
何か理由があるのかしら？

十代ったら自信喪失かしら？
気のせいか目が死んでない？
どうしようかしら……このままだと拙いわよね？

「十代、お前の負けだな
敗者には全てを知る権利は無い
小娘の件は他言無用、小娘が帰るまでこちらに干渉するなよ」

あら、いつの間に来たの？ 何か機嫌も良さそうだし
レイちゃんも居るし……でも何で手を繋いでるの？

でも十代は俯いたまま動かない
話を聞いているのかさえわからないわ。

「……はあ、大敗でショックだったらしいな

明日香も小娘も、十代の事は放っておけ

後は同室の奴らにでも任せて、俺達は俺達でする事をするぞ」

「あ、待ってください瑞貴さん！

突然歩かれると危ないじゃないですか！」

言いたい事だけ言って瑞貴は帰る

その瑞貴の手を掴んでたせいで引っ張られるレイちゃん。

私は……後で翔君や隼人君に言っておきましょう

ここで私が何を言っても十代には聞こえないでしょうしね

瑞貴の言う通り、同室の人達に任せた方がいいわ。

私も十代に背を向けて歩き出す

十代、例えやり過ぎだと自覚していても私は謝らないわ

私は全力を出したんですもの、謝罪は今の決闘^{デュエル}を侮辱する物よ。

視点 レイ

明日香さんが十代さんに勝った

凄い戦いだっただけ……

効果とかモンスターの名前は全部瑞貴さんが教えてくれた

攻撃力から守備力まで全部ね。

ボクは何も知らなかったけど……

瑞貴さんは全部知ってたんだ、凄いなあ。

「さて、少し十代に言う事も有るし、下に行くぞ」

「あ、はい」

瑞貴さんは絶壁から少し離れた場所まで移動してしゃがみ込む
何をしてるんだろ？

「早く乗れ

お前の足だと遅くなりそうだ

それに足元は岩だらけだから少し危ない」

「え？ で、でも……」

振り落とされそうとか、投げ捨てられそうとか
そう思った事は言わない

言ったら絶対に実行しそうなんだもん。

「はぁ……怪我をしたいんだったら構わんぞ」

「……うん、乗る」

せっかく優しくしてくれてるんだし、ここは甘えておこう
怪我もしたくないしね。

「捕まっておけよ

落ちても責任は取らん」

「はい」

瑞貴さんは身長が高いから体格も良いように見える
だけと思ったより頼りないな……本当に大丈夫？

でも危なげなく下りていくから大丈夫みたい
こんな暗い中で見えてるって凄い
目が良いのか夜目が利くのかな？

明日香さん達の近くに着いたら瑞貴さんはボクを下ろして手を掴ん
できた

何かと思ったけど、足元を見るとあんまり見えない上にガタガタ……
これは危ないな。

そのまま明日香さん達の前に着く
瑞貴さんが十代さんにボクの事で言ってるけど十代さんは全く聞い
てない
あんなに酷く負けたらやっぱりショックだよな。

その後、レッド寮に帰ってきたボク達

瑞貴さんは明日香さんと少し話してまた出て行った
何でも、明日香さんはボクがこの寮に住んでいる間、ずっとここに
泊まるんだって。

瑞貴さんも同じくボクがレッド寮に泊まっている間はイエロー寮で
寝泊まりするみたい
なんだか迷惑掛けっぱなしだなあ。

瑞貴さんはカードを弄れないってちょっと落ち込んだ
それでもボクの為に我慢してくれるからやっぱり良い人？
でも十代さんに対しての態度は凄く怖かった……もしかして二重人
格？

明日香さんにそう尋ねてみたけど違うみたい
瑞貴さんは機嫌と相手で態度が凄まじいぐらい変わるらしい
ボクは面倒事の塊だけど嫌いではないからまだ優しいんだって。

明日香さんは？

そう尋ねてみたら自分は瑞貴さんの遊ばれ相手だっ
とりあえず嫌われてないだけマシだと思っておくって言っ
てたんだか可哀想……どうにかできないかな？

明日……明日は瑞貴さんの言う事はちゃんと聞こう
十代さんの時みたいになったら困るもん
約束は守らないと駄目だよ……ごめんなさい。

何か何回謝っても謝り足りないなあ

ボクの存在自体という面倒事を押し付けたでしょ？
約束を破ったし、決められた事を守らなかったし
校長先生と話しまでさせちゃって……しかも嫌っているらしい十代
さんとのいざこざ

さっきだって怪我をしないようにしてくれたし。

………ど、どうしよう！

ボク悪い事とか迷惑しか掛けてない！

うわ……ごめんなさ……い……い……！！

今後は真面目に良い子にしてるから怒らないで……！！

ちょっとパニックになっちゃったけど明日香さんが宥めてくれた
うう……明日香さんにも迷惑掛けっぱなしだよお……

結局、今夜は明日香さんと一緒にベッドで寝た
抱き枕にされたけど……こんな風に寝るのも悪くないかも。

視点 亮

明日香に相談が有ると連絡してから1時間

明日香は来ない……後2時間待つか
それでも来なかったら今日は諦めよう。

17話【恋する乙女……達？ 後編】（後書き）

高所恐怖症の件、明日香……大丈夫だったの？

十代を予想以上にフルボッコにしたので機嫌がかなり良くなったので水に流しました

明日香も忘れていたので一安心だそうです。

レイが瑞貴に全部敬語？

恐怖の対象なので仕方無いでしょう

今後他の人はともかく、瑞貴に対してはずっと敬語……かも？

あ……明日香がE・HEROだと！？

デュエル

この決闘を決めた瞬間からこのデッキを使用すると決めていました十代に対してE・HEROデッキを使ってという声が多かったのも理由の一つですが

瑞貴がこんな熱いデッキを使うはずが無いので明日香に使ってもらいました

半分以上は瑞貴が考えたデッキなので使用者が違うぐらいで殆ど瑞貴が戦ったような物です。

何故エアーマンを守備表示で？

下手に攻撃力の高いエアーマンだとさっさと融合される可能性も高いからです

十代はアニメでも最初に融合を持っていたても融合を使わずに様子見が有ります

今回、明日香はその癖を利用しました。

どっちもスパークマンを使ってややこしい！

ごめんなさい、作者もかなり混乱しました

ですので元十代のと、括弧で元々明日香のと書きました
それでもややこしいですね、ごめんなさい。

何故明日香はスパークマン、クレイマン、バブルマンを？

サンダージャイアント、マッドボールマンが強力であり

光属性、地属性、水属性という理由だからですね

風属性のフェザーマンは入っていません

セイラーマンが弱いからであり、更に他のスパークマンとクレイマンと融合ができない

更にテンペスターにするには3体必要なので邪魔だったからですね。

H、E、R、Oの全部使ってるけどヒーロー・フラッシュー！は入ってるの？

入っていません

このデッキにはネオスは入っていませんし……

2体だけです蘇生させるのは十分使えると判断してOも入っていません

正直、死者蘇生入れろって話しですがね

瑞貴がこのデッキに仕込んだネタです、フラッシュが入っていないのもネタです

でも明日香はそれに気付かず、対象モンスターは少ないけど使えると思いました

純粹なんだかアホなんだか……ちよつと悩みます。

合計ダメージ21000！？

なんか頑張って計算したらそうになりました

今回は基地の移動が激しかったのでシャイニング・フレア・ウィングマンの計算が大変でした……5回は確認しましたよ

それでも間違っている気がしてならないので間違っていたら報告してくれると助かります。

超融合を入れない理由は？

アニメの終盤のキーになる事を覚えていたからです
それを使うのは少々拙いかと思ひ、自重しました。

じゅ……十代が……あの十代が……

あ、謝りませんよ？

こうしたのにも考えがあるんですから！

でもここまで自信喪失になるか微妙な気がします

まあエドの時だってこんな感じ……だったはずだしいいかなー……？
なんて考えだったり。

この後、十代はどうなったの？

明日香が翔達に知らせて翔達が十代を迎えに行きました

そして強引に運ばれて自室で凹んでます

十代ファンの皆さん、次回かその次でなんとかするので暫く我慢してください。

瑞貴がレイに親切過ぎる！？

機嫌が凄く良かったんです

あの面倒事の最強の塊であり、今回の不機嫌の原因の大敗で気楽になっ
てました

それがレイへの優しい態度に変わりました

まあ……元々あの辺りは危険だったというのがありますが。

瑞貴の背中って頼りないんだ！？ そこは頼もしいって言わない！？

力が十代に劣る瑞貴の背中が頼もしいわけないでしょう？

みんな何を期待してるんだい？

まあ男の意地で平氣そうに降りましたが、少し大変だったそうです。

明日香は遊ばれ相手って自覚あるんだ？
瑞貴からもそう聞いた事がありますので
明日香自身もこの扱いは既にかなり諦めているようです。

レイと明日香が一緒の布団で……
妄想しないように、純粹に眠っているだけなんですから。

カイザーーーーーー！
アニメ、十代VSレイの前に明日香と話していた時の件です
明日香は瑞貴に呼び出されて急いで来たので気付きませんでした
翌日、朝になって気付いて亮に平謝りを通したとかなんとか……

以下、原作効果

手札断殺

原作では4枚入れ替えです
しかもお互いに4枚以下でも使用できるとか……今回は関係ありませんでした。

18話【恋する乙女……達？ 上編】（前書き）

魔法カード発動、タイムカプセル！

この効果により更新を除外！ 数日後、更新を手札に加える！
そして今日、その封印が解かれた！

と、思いつきのネタで開始しました

お久しぶりです、なんだか凄く久しぶりに更新しました

【逆偽鏡の世界】の方で常に定期更新しており、更にこっちも早く更新していました

しかし、今回は6日も開いた事で妙に不安になりました

早期更新で保っているのでは？ という疑問も少なからず持っている
ので読者様が減るのではと……何とも小心者な事ですね。

えー……まあ愚痴も程々にします

今回は決闘はありませデュエルん……が、何故か凄く長いです

ですが予想外の展開は保証したいと思います

予想できた人は教えてください、作者が悔しくて泣きます。

次話は結構できているので明日には投稿できると思います（多分です）

もうできれば3日以上空けたくありません……短くても強引にでも投稿しようかな？

でも納得できない作品を投稿するのは嫌なんですよね

その場合はまた数日空くかもしれません、できれば空けたくないです
すね……はあ。

18話【恋する乙女……達？ 上編】

視点 レイ

ボクがデュエル・アカデミアに来て3日目

部屋は同じだけど寮が違うから明日香さんとは朝ご飯が別々

瑞貴さんは昨日はイエロー寮で食べたみたいだけど口に合わないって言って戻ってきた

ちなみに十代さんは来てなかった。

でもこっちのご飯って貧相だし量も少ないよ？

なのこっちよりずっと豪華なイエローよりもレッドの方がいいの？
食後の部屋でそう瑞貴さんに訊いてみた。

「豪華な料理は嫌いだ

普通に気楽に食える飯の方が俺は好きだ

それに俺は元々小食だし、量にも文句は無い」

だから貧弱そうなんだね

力も無いみたいだし。

「イエロー寮の飯が食いたいのか？

だったら持って来てもいいぞ、別に労力にもならない」

そう言ってくれたのでお願いしておいた

明日のご飯が楽しみ！

ボクはちよっと足りないんだよね……ご飯の量。

今日は平日だから学校に行く

瑞貴さんと一緒に行くんだけど、すっごくやる気が無さそう歩きも遅いし、眠そうだし、覇気が全く感じられない。

それなのに頭が良いから世の中不思議

ちよっと不公平な気がする……ボクなんて凄く頑張って入ったんだよ？

忘れてたけどボクの髪は長いから髪留めを使ってるんだ、だけどどっかいっちゃった

それを瑞貴さんに話したらゴムをくれた

瑞貴さんは後ろで髪を括ってポニーテールみたいにしてるもんね。

しかも授業中も不真面目

居眠りもするしノートは書かないし、やる気が全く見えないでも当てられたら簡単に答えられるから見ている方は凄く悔しく感じる。

お昼、明日香さんと一緒にドロパンを買いに来た

瑞貴さんが以前散々な目に遭った二度と買わないんだって嫌いなものでも入ってたのかな？

ちなみにボクはウニパン、明日香さんはトマトパン

ウニは高級みたいだけどボクにはあんまり美味しく感じられなかったなあ

でもなんでそんな物が入ってるんだろう？ 安物のウニなのかな？

午後の授業、体育は見学させてもらった

瑞貴さんが前もって鮎川先生にボクの体は弱いという設定でゴリ押ししたとか

付き添いという名のサボりで瑞貴さんも一緒に見学、やっぱり不真面目だね。

なお、十代さんは授業中は上の空
体育もなんか凄く雑で酷い動きだった。

放課後、瑞貴さんと一緒に部屋に戻る

明日香さんは今後も暫く泊まるんだからと、荷物を取りに行った。

瑞貴さんは部屋に入るとカードを漁り始めた

何をするつもりなんだろうかと思って横から覗いてみる
だけど見る前にデコピンされた、ちよつと痛い。

「無断で見るな、見たいのなら先に見てもいいか訊くべきだ
お前はそんな事もわからん無礼者か？」

「ご、ごめんなさい

えっと……カードを見せて貰ってもいいですか？」

「だが断る

自分のデッキ調整でもしてな」

見てもいいって言いきんな雰囲気なのにそれは酷くない！？
仕方無いので自分のデッキを確認しておく

これ以上強化ってできるのかなぁ……難しいと思うんだけど。

「おい、小娘」

「は、はい！」

吃驚した……いきなり呼ぶんだもん
カードに集中してただけに更に驚いた。

「1時間後、決闘するぞ^{デュエル}

お前じゃ確実に勝てないデッキを組んでやるから喜べ」

ボクじゃ絶対に勝てないデッキ？

何それ……気分悪い、それに今から組むなんて即席のデッキに負けるわけないじゃない

いくら初日にボクのデッキを見たからって、そう簡単にアンチデッキを組めるはずが……

「恋する乙女の弱点は3つ

全ての弱点を補えないお前のデッキ攻略なんぞナンプレにも劣るわせめてもっと頭を使わせろ、頭を使わないと馬鹿になるぞ」

言い方が一々気に入らない！

どうしてこの人はこう、酷い事ばかり言うの！？

「貴方には……絶対に負けてやらないんだから！」

そうやってボクはデッキ調整を始める

絶対に勝ってやる！ 恋する乙女は絶対に負けない！

恋をしている女の子は無敵なのよ！

そうやってデッキを調整していると段々と不安になってくる

この3日間、結構一緒に居た瑞貴さん

瑞貴さんの頭の良さも、性格も多少理解したつもりよ。

瑞貴さんが無駄な事をするとは思えない

嘘を言う必要も無いし、ボクに勝っても何も無い
ならどうしてボクと決闘する^{デュエル}って言ったんだろう？

そして1時間後、瑞貴さんのデッキが完成した
外に出ようと思った時、明日香さんが入って来た。

「ただいま

あら、瑞貴来てたの？」

何か凄い事を聞いた気がする！

確かに暫く明日香さんはこの部屋に泊まるけど

それでもいきなりただいまって……

更に瑞貴さんが他の部屋の人みたいな対応、どうかしたの？

「元々俺の部屋に戻ってきて何が悪い

何か？ お前このまま部屋に住み着く気か？」

明日香さんと同じく凄い事言ってる！

つつつ、つまり一緒に住むかって訊いてるの！？

これって告白！？

「……レイちゃんが混乱してるから冗談は止めましょ

それより相談したい事が有るから少し来てくれない？」

「その混乱している姿を見るのが楽しいんだがな、それに先に始め
たのはお前だ

相談？ 構わんど、すぐに出るから少し待ってろ」

「はいはい」

明日香さんは部屋から出て行った

えっと……今の話を聞く限り、さっきのは冗談って事だよね？
しかも2人とも前もって話してたわけじゃないみたいだし。

つまり……からかわれた！？

瑞貴さんとはともかく明日香さんにまで！

しかも始めたのが明日香さんって事にショック！
ついでに何故か息もピッタリって凄いんだけど！

驚いてると瑞貴さんも出て行った

ボクは……どうしよう？

あ、瑞貴さんがさっきまで作ってたデッキだ

……今は誰も見てないよね？

ちょっとだけ見せてくださいねー……っと。

えっと、どれどれ？

最初のカードは……いたずら好きな双子悪魔？

2枚目、マインド・クラッシュ、3枚目はセレモニーベル

マインド・オン・エア、マインド・ハック、千里眼、サイバー・エ

スパー、ゴブリンの偵察部隊

ダスト・シュート、強引な番兵、押収、真実の眼、正々堂々、ピケ

ルの読心術、大王目玉

パトロイド、ウジャト眼を持つ男、パトロールロボ、半蛇人サクズ

イー、厳格な老魔術師

……何これ、どれもピーピング系カードばかりじゃない！

本当にこのデッキが恋する乙女の弱点だって言いたいわけ！？

怒りでカードを持つ手が震える

こんなデツキで……こんなデツキなんか絶対に負けないんだから！

「で、怒るのはいいけど勝手にカードを見るなど言ったはずだよな？
この場合、俺が怒るべきだよな？」

「ふえ？」

後ろから声が聞こえた

そこには仁王立ちをして怒りで頬がヒクヒクしている瑞貴さん
更にその後ろには苦笑いをしている明日香さんが立っていた。

うん、ボクオワタ（＾Ｏ＾）／

………

………

………

はい、ごめんなさい、もう二度と勝手な事はしません、反省しています。

そんな感じで5時間も説教された

既に夜の10時、ちなみに明日香さんは始まってすぐに逃げ出した
裏切り者お……しくしく。

晩ご飯は食べ損ねるし、お説教はされるし散々だった
しかもボクが覗いたカードは全部この時の為の仕込みだったとか
ボクが覗く事も計算に入れて全部ピーピング系カードにしたらしい
好奇心は猫をも殺す……身をもって味わったよ。

あの時、デツキなんて全く作っていなかったらしい

さっきのカードを探したり、明日香さんに来るようにメールしたり
だとか

ボクが覗く事を計算しての回りくどい嫌がらせ、く……下らない。

でもその下らない罠に引っかったボクが悪い

実際、覗くなって言われてたのに覗いたんだし

うう……本当にもう二度と瑞貴さんの指示には逆らわないようにし
よう

何度も何度も説教されたら敵わないよ。

ついでに最初のカード、いたずら好きな双子悪魔のカード

あれはボクの行動をいたずらと表現する為だったらしい

悪魔だと思った瑞貴さんに悪魔呼ばわりされるのは思いの外嫌だっ
た。

瑞貴さんはイエロー寮に戻った

ボクは明日香さんが来るまで待っている状態

まだかなまだかな……お腹空いた。

扉が叩かれた、でも確認してから開けろと言われてるから誰か確認

……黒髪の女生徒？ 誰だろう？

知らない人が来たら絶対に開けるな、出るな、完全に無視しろ

そう言われてるんだよね……どうしよう？

でも無視したら悪いよね……怒られるかな？

夜遅くに来るような人だし、親しいんだよね？

だったら大丈夫だよな？

というわけでソーツと扉を開ける

勿論、帽子をかぶって髪の毛は隠している。

「ど、どなたですか？」

「あら、ここは堅守さんのお部屋じゃありませんこと？」

変な話し方、お嬢様ってやつかな？

正直に言って鬱陶しい。

「はい、ここは瑞貴さんの部屋です

ボクは同じ部屋に住んでる早乙女レイっています」

「レイさんですね、初めまして

私は浜口ももえですわ、よろしく」

「はあ……それで、瑞貴さんに何の用ですか？

今は出かけてるんですけど」

正確にはイエロー寮に行ってるんだけど帰ってこないし
もし帰ってくるまで待つって言われたらメールしないと。

「いえ、私が出が有るのは明日香様ですわ

少し訊きたい事が有りましたね」

「明日香さんにですか？」

どんな話だろう

そして話し方が鬱陶しい。

「実は明日香様が昨日、男性用の服を自室に持って帰りましてね
どういう訳なのか知りたいんですわ

そして先ほど、明日香様の部屋にお伺いしたのですが留守でした
です。でよく明日香様が来ている堅守さんのお部屋に来てみたんで
すの」

「明日香さんは来てませんよ?」

それにしても明日香……様って何?
後、話し方がウザい。

「そうですの? 今夜は来ると思います?」

「さあ?

ボクがこの部屋に住んでからまだ3日目だから分からないよ
それに今は瑞貴さんも居ないしね」

「そうですか……ふふ」

今小さく笑った!?

悪寒が走ったのは絶対に気のせいじゃないはず!
この人なんか怖い! 瑞貴さんとは別の意味で怖い!
でも理由がわからない、だけどやっぱりなんか怖いよお!

「あの……レイ君?」

「なん、なんででしょう?」

何で躊躇り寄って来るの!?
どうして目が爛々と輝いてるの!?
何故息が荒れてるの!?!?!

「ちよ……ちよつと私とお話しませんか？」
放送できません

お話って言葉の裏で何か知らない言葉が聞こえたー！！！！
お願いだから誰か助けに来てー！！！！

「レイちゃん、そろそろ寝る準備でき……何でもえがここに？」

突然扉を開けて入って来た明日香さん
ボクは明日香さんの顔を見た瞬間にダッシュ、明日香さんの後ろに
隠れた。

「な、何？」

どうしたのレイちゃ……じゃなてレイ君」

あ、昨日みたいに間違えなかった
でも少し言いかけたよね？

「明日香様！ どうして私とレイ君とのお話を邪魔するんですの！
？」
放送できません

「今お話って言ってたけど気のせいかな別の言葉が聞こえたわよ！？
それにどうしてそんなに興奮してるのよ！？」

「だって明日香様、男の子ですよ！
こんな小さな男の子ですよ！！！！
小さくて華奢で可愛い男の子なんですよ！！！！！！！！」

「何を言ってるのよ！？
意味が分からないわよ！？」

この人やっぱり怖いー！

誰でもいいから、瑞貴さんでもいいから助けてー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！

そ、そうだ！ メール、メールをすればいいんだ！

明日香さんがもえさんの相手をしている間に急いでメール！

手、手が震えて文字が打てない！

それでも何とかできた！

えっと、内容は

『怖い人が突然来たから助けて！』

と、書いておいた。

用件は助けてほしいだから書いた！

もうどんな理由になってもいいから早く助けてほしい！

それからなんとか明日香さんが時間を稼いでくれた

暫く経ち、瑞貴さんが帰宅する。

「おい、人の部屋で何を騒がしてくしてるんだ！

明日香はどうでもいいが取り巻きその2は何の用で来た！？」

あ、何かちよっと怒ってる？

いきなり呼び出したからかな？

でも……どうして片手を懐に入れてるの？

「ももえですわ！

じゃなくて、ちよっとレイ君をお借りしてもよろしいのですの？」

「小僧を？ 駄目だ変態

何？ お前シヨタコン？」

シヨタコンって何？

後瑞貴さん、最初の勢いが何でもう沈下してるの？
既に冷静になって普段通りになってるし。

「シヨ！？ シヨタコンとは失礼な！

私は可愛い男の子が好きなのですわ！」

なんか全く嬉しくない可愛い発言！？

「……なあ明日香、俺の記憶違いかね？

そういうのをシヨタコンって言うと思うんだが」

「ノーコメントで

あえて言うのならそう思うとだけ言っておくわ」

明日香さん、それはノーコメントじゃないよ
ちゃんと返事してるから、しかも同意してるし。

「堅守さんの毒舌は普段の事です、明日香さんまで酷いですわ！
私のどこがシヨタコンとでも言うんですの！？」

「「全部」」

「ハモった！？

しかもどっちも即答ですの！？」

瑞貴さんも明日香さんも仲良いもんね
そんな相手が居るって羨ましいな

でもボクは瑞貴さんと組みたくない。

「更に言うのなら……」

シヨタコンとは正式でシヨウタロー・コンプレックスと言う
始まりは少女が好きな男性をロリコンと呼ぶが少年が好きな女性を
何と呼ぶかという質問から始まった

詳しくは覚えてないが、とある漫画で半ズボンが似合う少年のキャ
ラの名前が正太郎という名前だったからシヨウタロー・コンプレッ
クスと呼ばれるようになったとか

シヨタコンと呼ばれるのは主に半ズボンと白い靴下を履いた童顔の
少年に愛情を持つ者に対して呼ばれる呼称だな

現在では服装とかではなく、少年や男の子などの年下に対して愛情
を向ける者全てに近い

少年の初々しさや純粋さを好む人形的愛情を持つ者などの女性に多
く見られるらしい

………はあ、俺は何でこんな説明してるんだろ？」

言いたい事は分かった、でも何でそんな知識を持つてるの？

そして話しの流れからもえさんからその変な愛情を向けられてる
のは……ボク！？」

「でだ、ここで小僧の格好を振り返ってみよう

大きめの帽子、半ズボン、長くて白い靴下、童顔、更にこの怯えた
表情

明日香、お前はその2の性癖をどう思う？」

「その2じゃなくてもまあ……人の趣味はそれぞれじゃない？
私は受け入れられないし、同感できないし、正直ちょっと引くけど
シヨタコンでもいいんじゃない？ レイ君に向けなければ私は気に
しないわよ」

「気のせいかな明日香様、堅守さんの毒舌が移っていませんこと？
後引かないでくださいまし！ 私はシヨタコンなんかじゃありませんわ！」

全く説得力無いよね、誰がどう見ても
でもそれを向けられるボクは堪ったもんじゃないんだけど……
ぶっちゃけ逃げたい、というか逃がして！

「……て……け」

「「へ？」」

瑞貴さんが小さな声で何か呟いたような……

「出て行けっつってんだよ浜口！！！！！」

「な……なあ！？」「あー……瑞貴、切れた？」「ヒッ！」

怖い怖い怖い怖い……瑞貴さんがすっごく怒ってて怖すぎる！
もの凄く大声だし、睨んでるし
な……何で怒ってるの！？

「いいか浜口、俺はな……面倒事が大嫌いなんだよ！」

自分から動いた結果なら構わん、この小僧の事は俺が自分で動いた
結果だ

だがな、全く無関係のお前の存在が原因で思わず小僧に八つ当たり
しちまうだろうが！

昨日もこの小僧の件で苛々してたのに、また俺を苛々させたいのか
お前らは！！！！

そんなに俺を怒らせたのか？ あ？ どうなんだよ？ 答える浜
口い！！！」

「そ、そんな事ありませんわよ？
私はただレイ君とお話したかっただけで……」

なんで火に油を注ぐような事を言うの！？
ボクにも怒りが向くかもしれないからお願いだから止めて！！！」

「よしわかった、喧嘩を売ってるんだな？ 売ってるんだよなあ！？
潰すぞ駄目女が！ 捻ひねって捻ねじって磨り潰して粉々にして砕くぞ！
ただでさえ苛々している俺に喧嘩を売った事を後悔しろ！
表に出ろお！ 出ないと体中縄で縛って猿轡えんじをして裏社会に売るぞ
！」

「あ……う……」

ももえさんは怯えて声も出せないまま慌てて頷く
瑞貴さんはももえさんの首根っこを掴んで引き摺る
痛がっているけど全く無視してる。

そして部屋から出て行った
後に残るのはボクと明日香さんだけ。

「瑞貴……切れたわね
多分本人の言う通り、十代の件で苛々してたのにももえが更に怒ら
せたからでしょう
レイちゃんをこの部屋で引き受けたのは自分の責任って言ってたわね
だからレイちゃんに怒りを向けない為にももえで怒りを発散する気
だと思わ」

ぼ……ボクのせいかな？
でも一部自業自得な気も……

「それで、訊きたいんだけど
何でもえが部屋に居たの？
確か瑞貴から私達以外誰も入るなって言われてなかった？」

……………あ

もしかしてボクもピンチ？

「あの……こんな夜中に来るぐらいだから親しい仲だと思って
それなら出ないのは悪いかなって……ね」

ボクが言い終わると明日香さんは額に手を当てて溜め息を吐く
や、やっぱり拙かったかな？

「レイちゃん、後で瑞貴の説教を覚悟しておきなさい
ももえに怒りを発散しきれれば明日に回してくれるかもしれないわ
だけでもし怒りが収まらなかったら徹夜かもね」

「て、徹夜！？」

無理！ 絶対に無理！

徹夜なんてした事無いよ！

「とりあえず瑞貴達の様子でも見に行きましょう
どうなってるか気になるし」

「うう……怖いよお」

「貴女も自業自得なんだから諦めなさい
瑞貴の指示を破った罰よ」

こんな事になるなんて思わなかったんだもん
十代さんの時だってそうだもん、でも言い訳……やっぱり怒られる
よお。

外に出てみると寮の前の土の上でももえさんが正座させられて怒ら
れてた

ももえさん……泣いてない？

「……話しかけたらとぼっちりを食うわね
すぐに避難よ、部屋に戻って寝ましよう」

「む、無視するんですか!？」

「話しかけた瞬間、怒りと話しがこっちに向くわ
あそこで正座したいのなら私は構わないわよ？
今回、私は悪くないもの」

そんな他人事だと思って……
でも怒られるのは嫌だし、ももえさんには生け贄になってもらお。

瑞貴さんの怒りがボクに向きませんように……
ボクが祈り終えた瞬間に流れ星が流れた
……これはボクの願いが叶わないって言われてるのかな？

明日香さんと一緒に部屋に戻る
そして鍵を閉めようとした瞬間、扉が開かれた。

立っていたのは当然瑞貴さん
怒りを全く感じさせない綺麗な笑顔だった。

「逃げるのは許さないぞ？

さあ、お説教の時間だ」

そのまま腕を掴まれて瑞貴さんに引き摺られる
でも瑞貴さんは力が無いから引っ張られる形になった
転けないように手加減もしてくれているみたいだし。

外で正座をさせられてももえさんも一緒にお説教
片方ずつお説教をしていき、寝かけたらそっちに矛先が向く
頑張って起きていれば何も言われないけど起きてるのが辛い。

お説教中に寝かけた場合、デコピンをされて起こされる
それでも起きなかった場合はビンタされた……ももえさんはね
ボクが起きなかった時は拳骨だった。

そのままお説教されたまま、朝日が昇った
だけどお説教は終わらない、レッドの生徒が起きて来だした
ボク達を見て凄く驚いてたけど瑞貴さんに睨まれて逃げ出す。

明日香さんが瑞貴さんの部屋から出てきた
ボク達の事を完全に無視して寝てたらしい
恨めしそうな目で見てたら瑞貴さんに拳骨を貰った、結構痛い。

朝食の為に何人もの生徒が出てくる
それでもお説教は終わらない。

瑞貴さんは明日香さんに水を寄せと一言だけ言ってお説教に戻る
明日香さんは水を3杯持って来てくれた。

飲ませてくれるかと思って期待した目で瑞貴さんを見るボクともも
えさん

でも瑞貴さんは自分で1杯飲み、残りの2杯はボク達の目の前で捨
てる

……………あ、悪魔だ！

次は明日香さんにレッド寮の食事から適当に持って来いと命令した
明日香さんが両手に1人前ずつ、合わせて2人前持って来た
瑞貴さんはもう1人前は不要だって言っておこれ以上持って来させな
かった。

瑞貴さんはボク達の目の前で1人でご飯を食べる
勿論その間もお説教は続いている

ちゃんと飲み込んでから話すから行儀が良いんだろうけど、外で食
べるのは行儀が悪いよ？

残り1人前、また捨てるのかと思ったら捨てないって言われる
ならどうするのかと思って見ていると……

「食いたかったら這いつくばって土下座して誠心誠意謝れ
チャンスは1回、俺が納得したら食わせてやる
勿論食えるのは片方だけ、相手より上手く謝るんだな」

ようやくわかった、この人は悪魔じゃない……魔王か閻魔だ！

ももえさんが先に謝った
凄く丁寧に頭を下げる……

ボクも謝った

本当に反省していると想いを込めて本気で謝った。

「ふむ……小僧の方が真面目だな

浜口は何だか邪な考えが見える、飯を食いたいからとか考えてそうだという訳で小僧の勝ち、褒美に朝食を食わせてやろう」

そう言ってトレーを渡される

ボクが受け取ろうとした、その瞬間。

「おっと」

瑞貴さんが手を滑らせてひっくり返した……

「手が滑ってしまった

いやいや、失敗した、悪かったな」

全く反省したようには見えない上、どう見ても態とだ！

この人の性根は絶対に腐ってるかどす黒いかに決まってる！

瑞貴さんは落ちた朝ご飯を拾ってトレーに乗せる

そしてそれをボクに渡して一言。

「さ、食え」

「無理に決まってるじゃないですか！……！」

口答えしたと拳骨された

勿論本気で食べさせようとしたわけじゃないらしく

トレーは明日香さんに渡して寮に持ち帰らせてた。

そのまま授業開始時間ギリギリまでお説教された
とりあえずももえさんは二度とボクに近づくなつて約束させられて
いた

もし破ったらももえさん本人を釣り糸で吊し、それで魚を釣るつて
つまり溺れたくなければ、釣られたくなければボクが帰るまで来る
なつて事だね。

ボクは次に瑞貴さんの指示を破れば本気で追い出すだつて
住む部屋と事情を知る協力者を失いたくないのなら指示を守れつて事
十代さんの部屋にも入れないように暗躍もするつてさ。

ボク達はそう約束をさせられて解放された

でも授業はすぐだから学校に向かう

瑞貴さんが一緒だから気まずくて……明日香さんはブルー寮に帰つ
てるし。

授業中、寝そうになつたら瑞貴さんに起こされる

自分は昨日居眠りしてたのにどうして今日は平気なの!?

別の場所を見てみれば明日香さんがももえさんを起こしてる
瑞貴さんに命令されたのかな?

体育の時間、相変わらず見学なんだけど眠い……

何もしない時間がここまで辛いとは思わなかった

今日の授業はテニス……そして寝そうになると瑞貴さんがすぐ近く
にボールを飛ばしてくる

瑞貴さん、確か体育は嫌いって言ってなかったっけ!?

後で話を訊くと嫌い!!苦手じゃないだつて、得意でもないみたい

だけど

何度も向けられたから怖くて寝るなんて到底無理だった。

お昼休み、瑞貴さんから罰だからと言われてお昼ご飯は抜きだってその代わり寝そうになって頭に入っていない授業の復習
違う場所で明日香さんがもえさんに同じ事をしているらしい
4人ともお昼ご飯抜き？

お腹が空いたまま午後の授業

空腹からあまり眠くない、だけど徹夜明けで眠い

瑞貴さんも徹夜なのに平気そうな顔がちょっと怖かった。

放課後、もう眠いしお腹空いたし……

というか、ボクもう昨日の晩ご飯と今日の朝ご飯、お昼ご飯抜きな
んだけど？

さすがに晩ご飯ぐらい食べてもいいよね？

そう思っていると瑞貴さんが購買部に行くって

一緒に居ろって言われてるからボクも行くんだよね？

勝手に先に行く瑞貴さんを追いかけないと！

遅れたら怒られる！

購買部には明日香さんも居た

でも放課後の購買部に何か用？

筆記用具でも買うのかな？

明日香さんと一緒に置いて行かれて瑞貴さんは買い物をする
何を買ってるのか明日香さんに訊くけど知らないってさ。

少し待ち、瑞貴さんが帰ってきた

手に持ってるのは……おにぎり？
それをボクと明日香さんに渡された。

「明日香は報酬、小娘は保険としてだ」

明日香さんの報酬は分かるけど保険って何？
そう訊くとちゃんと理由を教えてくれた。

胃が空の状態で沢山胃に食べ物を入れると胃が驚いて吐く可能性が
有るんだって

そうならない為にも軽い食べ物を胃に入れて、胃が驚かないように
するらしい

だからよく噛んでゆっくりと食べろって言われた。

そう言っただけで瑞貴さんもおにぎりを食べる
でも全く気遣って食べてないよね？

そう訊いたら食べない事に慣れてるんだって。

ボクは慣れてないから素直にゆっくりと食べる
よく噛んで食べると脳が沢山食べたと勘違いして勝手に満腹感を得
られるらしい

晩ご飯までそれで持たせておけって言われた。

何で瑞貴さんはこう……時々優しいというか、気遣ってくれるのか
な？

やっぱり二重人格じゃないの？

何度もそう思うが、当然ながらそんな訳が無いみたい
言い辛かったけど瑞貴さん本人にも訊いてみたけど違うってさ
機嫌と気分って言われた。

それで振り回されるボクの身にもなってほしいなあ……
ボクは明日香さんみたいに慣れてないんだし。

夜、晩ご飯の時間になった

瑞貴さんと一緒に食べて部屋に戻る

お腹が一杯になった上、寝不足だから凄く眠い……

でも寝るなって言われた

食後すぐに寝ると健康に悪いって

胃は食べ物消化しようと胃液が分泌されているから、寝転んだら胃液が食道に流れる可能性が有るらしい

回数が少ないのなら大丈夫だけど長い事すれば食道が溶けるって…

…こわっ！

最低1時間は寝転ばない、できれば3時間は寝ない方が良いつて言われた

でも3時間も起きっぱなしなんて辛いよ！

そう言ったら暇潰しに詰め決闘デュエルをしてくれるって

なんか更に眠くなりそうな気もするけど……暇潰しにはなるかな。

問1

相手の場には攻撃力2500のブラック・マジシャン

自分の場にはキューピッド・キスを装備した恋する乙女とセットカードが1枚

ブラック・マジシャンには乙女カウンターが乗っている状態で自分

のライフは100で相手は2500

この状況でブラック・マジシャンを奪って勝て……だって。

……これってボクの戦い方を使った詰め決闘だよね？
でもこのセットカードはなんだろう？

確認してみると体力増強剤スーパージ、これってボクのデッキと相性良いんだ……

なら攻撃して、戦闘ダメージを受けた時に体力増強剤スーパージを発動

ライフを先に4000回復し、その後に2100のダメージを受ける
ライフは2000になり、ブラック・マジシャンのコントロールを得るって

そしてブラック・マジシャンで直接攻撃して勝ち！
ダイレクトアタック

問2

相手の場には攻撃力3500の究極完全態・グレート・モス
自分の場にはキュピッド・キスを装備した恋する乙女とセットカードが1枚

今度は相手に乙女カウンターが乗ってない状態で残りライフは100、相手は3500だね

この状況で乙女カウンターを乗せ、相手のコントロールを奪えだつて。

手札にはアルカナフォースXIV—TEMPERANCE、ダブル・アタック、シャインエンジェル

伏せカードはまた体力増強剤スーパージ

この状況で奪うのはちょっと難しくないかな？

えっと……ダブル・アタックの効果は

自分の場のモンスター1体を選択、そのモンスターよりもLVの高いモンスターを捨てて発動

選択したモンスターは2回攻撃ができるって。

これで捨てるのはシャインエンジェルだとして、恋する乙女で2回攻撃して相手のモンスターを奪う

それはいいんだけど、体力増強剤スーパージを使っても難しい……回復しきれないよ。

アルカナフォースはよく知らないけど、XIV^{フォーティーン}って事は他にも有るんだよね？

えっと……^{テンバランス}TEMPERANCEの効果は召喚時にコイントスをして表なら自分のダメージを半分、裏なら相手のダメージを半分にする……か

後はクリボーみたいに手札から捨てて戦闘ダメージを0にできるでもこの効果って自分のターンでも使えるんだよね？

あ、その為の^{テンバランス}TEMPERANCEか
よし、これのできるかな？

最初にダブル・アタックを発動、シャインエンジェルを捨てて恋する乙女を2回攻撃できるようにする

そして恋する乙女で攻撃して、戦闘ダメージを受ける時に^{テン}TEMPERANCE^{バランス}の効果で戦闘ダメージは0で乙女カウンターを乗せる
続けてもう1度攻撃、戦闘ダメージを受ける時に体力増強剤スーパージを発動して回復して戦闘ダメージを受ける

乙女カウンターを乗せたモンスターとの戦闘でダメージを受けたからキューピッド・キスでコントロールを奪える^{ダイレクトアタック}
そして究極完全態・グレート・モスで直接攻撃で勝利！

ダブル・アタックにこんな使い方が有るなんて……知らなかった
それにアルカナフォースも、今度調べてみようかな？

問3

相手の場にはキューピッド・キスを装備した恋する乙女が2体と奪われたシャインエンジェルが2体

自分の場にはシャインエンジェルと伏せカードが2枚と拷問車輪が2枚

拷問車輪で捕らわれてるのは2枚とも相手のシャインエンジェル自分のライフは100で相手のライフは10000、しかも天空の聖域が有るから天使族には戦闘ダメージを与えられない。

これはボクが敵だった場合のパターンかな？

手札には溶岩魔神ラヴァ・ゴーレム、伏せカードが洗脳解除と火霊術―「紅」

デッキ内容も確認していいみたいだし、確認させて貰おつと

デッキ内のモンスターはエレメント・ヴァルキリーが3枚か……気のせいか凄く難しくない？

えーと……ラヴァ・ゴーレムがキーカードかな？

全部のカードの効果をちゃんと読まない……

洗脳解除は永続罠で相手の場に自分のモンスターが存在する時、そのモンスターを自分の場に戻す

ラヴァ・ゴーレムは相手の場のモンスター2体を生け贄にして相手の場に特殊召喚する効果

これは悩むなあ……

洗脳解除を使ってもシャインエンジェルは攻撃できないし

シャインエンジェルをラヴァ・ゴーレムの生け贄にしても恋する乙女は天使族だから天空の聖域ではダメージを与えられない

難しい……わかんないや。

「洗脳解除は罠カードという点を利用しろ

発動タイミングを考えてみな
間違えても最初からやり直してもいい
ゆっくりと考えるがいいさ」

そう言われたので色々と考えてみる
罫カードという点を利用……か
という事はバトルフェイズでも使えるんだよね？

あ、わかった！
きつとこうすればいいんだ！

最初に恋する乙女2体を生け贄にしてラヴァ・ゴーレムを特殊召喚
バトルフェイズに入って、シャインエンジェルでシャインエンジェ
ルに攻撃して相打ち

どっちも自分のモンスターだからデッキからエレメント・ヴァルキ
リーを2体特殊召喚

エレメント・ヴァルキリーはフィールド上に炎属性モンスターが存
在している時、攻撃力が500上昇する

ラヴァ・ゴーレムは炎属性だから効果により、エレメント・ヴァル
キリーの攻撃力が2000に上昇

エレメント・ヴァルキリーでシャインエンジェルに攻撃して最後の
エレメント・ヴァルキリーを特殊召喚

ここで洗脳解除を発動、ラヴァ・ゴーレムを自分の場に持つてくる
エレメント・ヴァルキリー2体とラヴァ・ゴーレムで直接攻撃して
ダイレクトアタック

合計7000ダメージ
最後に火霊術「紅」を発動してラヴァ・ゴーレムを生け贄にし、
3000ダメージを与えて勝ちっ！

どうでもいいけど、恋する乙女を使ってよくライフを10000に
まで増やせたね

実際するとしたらライフ回復カードを大量に使わないと無理だよね？

恋する乙女も生け贄にされたり、奪ったモンスターのコントロールを取り返されたら終わりかぁ

この辺りの対策も考えないと駄目かな？

どんなカードをデッキに入ればいいんだろ？

問4

相手の場には攻撃力5000のF・G・Dと攻撃力1200のネオ
ファイフ・ゴッド・ドラゴン
アクア・マードル

自分の場にはキューピッド・キスを装備した恋する乙女とカタパ
ルト・タートル
ファイフ・ゴッド・ドラゴン
F・G・Dとネオアクア・マードルには乙女カウンターが乗ってい
る状態

こっちのライフは2500で相手のライフは9200……伏せカー
ド無しは難しくない？

手札には神秘の中華鍋、ダブル・アタック、シャインエンジェル
これもまた悩むなあ……それにまた手札にダブル・アタックが入っ
てる

確かに2体も奪えるのは魅力的だけど、ライフが厳しい。

カタパルト・タートルの効果は自分のモンスターを生け贄に捧げ、
その攻撃力の半分のダメージを与える

これも順番が大切だね

えっと……今回はどうすればいいのかな？

最初はダブル・アタックでシャインエンジェルを捨て、恋する乙女
を2回攻撃できるようにする
次にネオアクア・マードルへ恋する乙女で攻撃、ダメージを受ける

けどコントロールを奪う

残りライフは1700、ここで神秘の中華鍋の出番かな？

神秘の中華鍋を発動、ネオアクア・マドールを生け贄にして守備力分ライフを回復

ライフが4700になったから恋する乙女でF・G・Dに攻撃

4600ダメージを受けて残りライフが100に……でもコントロ

ールは奪えた

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

F・G・Dとカタパルト・タートルで直接攻撃

ダイレクトアタック

合計ダメージは6000、次にカタパルト・タートルの効果を発動するつと

恋する乙女を生け贄に相手に200ダメージ、F・G・Dを生け贄に2500ダメージ

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

最後にカタパルト・タートル自身を生け贄にして500ダメージで合計ダメージは3200でクリア！

コントロールを奪った後も攻撃だけが脳じゃないんだね
生け贄にしたりするのも戦法の1つか……凄いなあ。

あれ？

これってボクに恋する乙女の使い方をレクチャーしてくれたのかな？
必ず恋する乙女は出てきてたし、対処方とかも教えてくれたし
弱点も分かったし……どうなってるの？

どういう事か瑞貴さんに訊こうとしたら明日香さんが来た
それと同時に瑞貴さんはさっさとカードを片付け始めた。

そして片付け終わるとすぐに出て行こうとする

ちょ、ちょっと待って！

ボクには訊きたい事が……

「あ、あの！」

「何か用か？」

心底面倒そうな声

さっさと帰りたいって声からも分かる
それでも訊かせてほしい、教えてほしい！

「どうしてボクに恋する乙女の使い方を教えてくれたんですか？」

「……………」

瑞貴さんは返事をしないで出て行った
何で返事してくれなかったんだろう？

「……私が来るまで何してたの？」

明日香さんの質問も殆ど頭に入らないでボクは瑞貴さんの事を考
えてた

あの人が何をしたいのか、何が目的なのか、どんな事を考えてい
るのか

他にも訳が解らなくて混乱している。

教えてくれたのは素直に嬉しい、だけど目的がわからない
瑞貴さんは善人じゃない事は色々と有ったから理解しているつもり
だけど悪人かと言われたらわからない。

優しくかったり、酷かったり、親切だったり、怖かったり
こんがらがってきた……もういい、疲れたから寝る。

明日香さんが気になっていたみたいだけど、悩んでいるボクは気付かず、
かずに体を洗ってさっさと寝る
そういえば寝不足だった……眠い……くう……

18話【恋する乙女……達？ 上編】（後書き）

瑞貴の髪型って？

1話参照

髪はあまり切らずにそれなりの長さを保っています
これ以上長いと鬱陶しいと言われるのでその寸前で止めています。

十代……

次話できつと……きつと復活！ かも？

恋する乙女の弱点って？

ライフの減りが早い

除去は難しくない

ダメージを受けないとコントロールを奪えないですね
スピリットバリア等が使えない上に攻撃力400は酷すぎるでしょう。

明日香が乗りすぎじゃない！？

実は明日香がレイをからかったのはアドリブです

瑞貴は全く指示していませんでした

明日香も黒くなったものです。

＼（＾Ｏ＾）／

人生初顔文字です、マジで

言い台詞が浮かばなかったから顔文字で誤魔化しただけです
なんとなくごめんなさい。

レイは懲りないの？

懲りてますが、素直で純粋で良い子なんでしょう

正直者は馬鹿を見ると言いますし、良い子は損するんですよ、きつと。

ももえに対してレイが辛口過ぎる！

いや、何となく……だって鬱陶しくくないですか？

正直、書いてても面倒なキャラなんですけど。

お……お話って？

《放送できません》をしたいんだと思います

《放送できません》の内容ですか？

……想像にお任せします。

……ももえがシヨタコンだと？

何でこうなったんでしょか？

最初の予定ではももえは瑞貴に惚れさせる予定だったのに……
まあもう修正しませんのでその裏設定は消滅しましたが
よって今後、瑞貴とももえのCPは絶対にありません。

瑞貴は何故懐に手を？

レイの怖い人という内容で警戒し、折り畳みナイフを持っていました
万が一を考えていたのにあの騒ぎなので逆に怒りが増しました。

えっと……瑞貴の言うシヨタコン豆知識は？

シヨタコンで調べてみたら出てきました

もっと細かく知りたい人は調べてみてはどうでしょうか？

瑞貴が切れた！？

とうとう切れました、結果はあれです。

切れるタイミングが突然過ぎない？

余計な事とは思いますが、理由を白状すると別の日に書いたからです
自分でもどうかと思いますが、思い浮かばなかったものでちよつと諦
めました

これ以上もえに話させると更なるカオスになるので更なるキャラ
崩壊は……

というちよつとした言い訳、でもやっぱり思い浮かばなかっただけ
の自分が悪いですね、ごめんなさい。

怒っててもレイに気は遣うんだね？

根本の原因ですが怒りの理由は別なので怒りを向けるのは筋違いだ
と理解しているのです

更に子供にこの怒りを向けるのも大人げないですし。

その割には結局レイを怒ったよね？

勝手にももえを部屋に入れたからです
ももえへの怒りのももえにしか言ってます。

ビンタは酷すぎる！

女性にビンタって凄く屈辱なんですよ？
です。でそれを実行しました。

げ……外道め！

ありがとうございます。

最後の拳骨は理不尽過ぎる！
外道です。

本当に指示を破ったらレイを追い出すの？
追い出しません、自分の責任でもあるので
でも怒りますし説教はします。

胃の話して？

昔そんな話をテレビで観た記憶があるので……
無関係ですが、何気に作者は本気で睡眠時間などの話しを守っています。

アルカナフォースを出してもいいの？

別に専用カードでもないもので有りかと……多分。

最後のレイの質問に何故瑞貴は答えなかったの？

レイに自分の無知を自覚させて嫌味を言おうとしたのに失敗し、更に感謝されていたからです

予想外の感情なので下手な事を言って懷かれるのを避けましたが、どう考えてもフラグです、本当にありがとうございます。

19話【恋する乙女……達？ 横編】（前書き）

今回は多少予想できたと思います

主に前半は可能性として十分考えられたと思います

後半は……ちよつとアニメの方でどうも納得できなかったので暴走結果、作者は暴走し、暴走し、最終的にああなりました。

次の投稿はちよつとまた2、3日無理だと思います
うーん……やっぱ早期更新＋同時更新は大変です。

19話【恋する乙女……達？ 横編】

視点 明日香

レイちゃんが来て5日目

昨日徹夜だったレイちゃんはまだ起きないわね
そろそろ起きないと朝ご飯が食べられないわよ？

仕方無いので起こす事にした

だけど眠りが深いのか、何回起こしても起きない
どうしようかしら……このままだと私も遅刻しちゃうわ。

そう思っていると扉が叩かれた

誰かと思って確認してみると瑞貴だった。

確か貴方も徹夜だったわよね？

随分平気そうだけど……何故？

「おはよう瑞貴

徹夜したのによく起きられるわね」

「ああ、慣れてるからな

それに6時間も寝たら十分だ」

いや、6時間は普通の睡眠時間だから

どう考えても徹夜後の睡眠時間じゃないわよ？
それを教えた方がいいかしら？

「小娘はまだ寝てるのか？」

「ええ、そろそろ睡眠時間が9時間になるわね
できるだけギリギリまでと考えてただけど
そろそろ起こさないと私まで遅刻しそうだからどうしようかと思っ
てたの」

「ふーん」

あ、また何か企んでる、絶対に企んでるわ
瑞貴はレイちゃんの寝ているベッドに向かう
女の子の寝顔を覗くのは関心しないわよ？
……止めないけど。

「……………ふ！」

「ふえあ？」

一瞬、瑞貴が声を上げたと思えば布団を一気に捲る
その勢いと突然の肌寒さでレイちゃんが目を覚ました
座って辺りを見回し、寝ぼけた目で瑞貴を見ている。

暫く頭が働かず、何が起こってるのか理解できていない
そんなレイちゃんの目の前で手を叩いて音を立てる
音に驚いたレイちゃんの体が軽く撥ねる、どうやらかなり驚いたみ
たいね。

「ふああ……ああんう………んえ？」

……………瑞貴さん！？」

大きな欠伸をしてもう一度瑞貴を眺める
少し待ち、覚醒したのか目の前の瑞貴に吃驚している。

顔を赤くして慌てて体を隠したり頭を隠したり、布団を探したり
そりゃ寝起きを男性に見られたらそうなるわよね……
止めなかった私も悪いかもしれないけど、止めても瑞貴なら必ず
するでしょうし

だから私は悪くない……はずよ！

「えう？ あう？ ふえ？

な、何で瑞貴さんがここに！？」

あーあ……顔を真っ赤にして凄く恥ずかしがってる
色々な意味で気になる相手な上、異性なんだから仕方無いわよね
私は既に着替え終わった後だし、身嗜みも整えた後だから気になら
ないけど。

「だから、ここは俺の部屋だって一昨日似たような事を言わなかつ
たか？

ちなみに俺がお前を起こしたのは明日香がお前を起こそうとしたが
起きなかったからだ

俺はそれを聞いてお前を起こしただけだ

なお、明日香が止めていれば俺はさっさと出て行ってたんだが止め
られなかった

寝顔や寝起き姿を見られたのが嫌だったのなら明日香を怨むんだな」

「その言い方は酷くない！？

貴方だったら言われてても止めなかったでしょ！？」

「何を言うか、言いもしなかったくせに

勝手に無駄だと思って行動しない時点でお前の負けなんだよ」

「なにそれ怖い」

「明日香さん……」

「レイちゃんもそんな恨めしい顔で私を見ないで！」

クッ、今回は確かに動かなかった私が悪かったわ

瑞貴もこの場合はレイちゃんをからかうと思ったのに
まさか私に向かうとは……相変わらず瑞貴は手強い！

瑞貴は少し棚を漁ってすぐに出て行く

私も寮に戻って朝食を食べないと……急がないと間に合わないわ。

レイちゃんと別れて寮に向かう

後は瑞貴がレイちゃんの面倒を見てくれるし、大丈夫よ。

急いで寮に戻って準備をする

この時間なら少し余裕は有るわね。

朝ご飯、ももえは昨日の瑞貴の説教後からずっと落ち込んだまま

レイちゃんに会えないのが堪えたらしい

昨日から何度もレイちゃんの名前を呼んでいる

もしかして本気で惚れた？ 知らないとはいえ、女の子に惚れるなんてちょっと引くわよ。

ジュンコの方は何か気になる事でもあるのか、落ち着かない様子
ももえを見ているわけじゃないからももえが落ち込んでいる件じゃ
なさそう

気になるけど、私にできる事が有るなら自分から言い出すでしょ。

朝食を食べ、そのまま学校に向かう

特に筆記する事も無い、普通の学校生活だったわ

強いて言うなら相変わらず十代は落ち込んだままって事ね。

放課後、レイちゃんと話そうかと思ってレッド寮に向かう

途中でジュンコもレッド寮に向かっているのを見つけた

何か深刻な顔をしてるけど……どうかしたのかしら？

気になったので隠れて様子を見る事にした

ジュンコは崖下を下り、誰かを待つようになっている

しかも腕には決闘盤……誰かと決闘するつもり？

眺めていると十代が来た

十代も決闘盤を持っている

ジュンコ、今の十代と決闘するつもり？

腑抜けている十代と戦っても無駄な気もするけど……

十代自身も乗り気じゃないみたいだし

そんな十代に対して怒るジュンコ、それでも十代は変わらない

決闘盤を構えるジュンコ、それを見て溜め息を吐きながら相手をす

る十代。

そして何故が始まる決闘

なんというか……グダグダね。

先手を取ったのはジュンコ

アクア・マドールを守備表示で出し、カードを伏せて終了

攻撃的なジュンコらしくない戦い方ね。

十代のターン、最初から融合を使ってフェザーマンとバーストレディを融合

フレイムウイングマンを融合召喚する

攻撃力はアクア・マドールの守備力2000を超えているわね。

しかしジュンコは速攻魔法、終焉の地を発動する

相手が特殊召喚に成功した時、フィールド魔法を発動できるカード
ジュンコはこの効果によりアトランティスを発動する

それにより、アクア・マドールの守備力は2200となり、フレイムウイングマンを超えた

これで十代はアクア・マドールを倒す事ができなくなった。

十代は攻撃を諦め、伏せカードを出して終了する

ジュンコも段々と強くなってるわね。

ジュンコのターン、召喚師のスキルを発動する

L V 5以上の通常モンスターを手札に加えるカード、これでギガ・ガガギゴを手札に加える

アトランティスの効果でL Vが1下がって4になったギガ・ガガギゴを召喚

アクア・マドールは攻撃表示に変更せず、ギガ・ガガギゴでフレイムウイングマンを攻撃し、撃破。

ギガ・ガガギゴの攻撃力は2650、攻撃力2100のフレイムウイングマンを破壊して550のダメージ

しかし十代はヒーロー・シグナルを使用、効果により、バブルマンを特殊召喚する

十代の場にカードは無いので効果によりデッキから2枚ドロ、更に水属性なので攻撃力が1000に上昇している。

ジュンコはカードを1枚セットして終了

厄介なのはやはり2枚ドロだったのだろう

少し警戒しているが、十代のやる気の無さからちよつと気が抜ける。

十代のターン、やる気の無い態度でドロ宣言をする

しかし、それを見てジュンコがドロする前に十代に怒りを向ける
何を言っているのか、そこまでは聞こえない

だけど真剣になっているのは分かる。

何を言われたのか、十代にやる気が満ちてくるのが分かる

そして普段のように元気になり、力強くドロする

最初に魔法カード、融合回収を発動する

フェザーマンと融合を回収し、融合を発動。

フェザーマンとバブルマンを融合し、E・HEROセイラーマンを
融合召喚

セイラーマンは水属性、よってアトランティスの効果で攻撃力が上
昇する

十代は更にカードを1枚伏せる

セイラーマンは自分の場に伏せカードが存在している時は直接攻撃
できる効果を持つ。

そして直接攻撃、しかしジュンコも甘くない

永続罫、竜巻海流壁を発動する

海が場に存在する限り、戦闘ダメージを受けない事から直接攻撃に
も対応している。

これにより、ジュンコはダメージを回避する

十代はそれを見て悔しそうな仕草をするが態度が楽しそうだ

ふふ、これが十代よね。

十代は最後に再びカードを1枚伏せて終了する
次のジュンコの攻撃に対してどう対応する気かしら？

ジュンコのターン

アビス・ソルジャーを攻撃表示で召喚し、効果を発動する
手札のキラー・スネークを捨て、場のカードを手札に戻す効果を使用する。

だが十代も簡単に許さない
融合解除により、フェザーマンを守備表示で、バブルマンを攻撃表示で特殊召喚した

これによりアビス・ソルジャーの効果を回避、この効果は1ターンに1度しか使えないから上手いわね。

効果を回避されるも、ジュンコには攻撃が残っている

アトランティスの効果で攻撃力が上昇しているギガ・ガガギゴとアビス・ソルジャー

追撃すれば大きなダメージを与えられる、しかしジュンコはアクアマドールを攻撃表示に変更しない

何か考えが有るのか、それとも何かを警戒している？

ジュンコは攻撃力が2000になったアビス・ソルジャーでフェザーマンを攻撃、撃破する

次にギガ・ガガギゴでバブルマンを攻撃、だが十代の速攻魔法、バブルシャッフルが発動される

相手モンスター1体とバブルマンを守備表示に変更、その後、守備表示のバブルマンを生け贄にE・HEROを特殊召喚する

十代はこの効果で貫通効果を持つ攻撃力2600のエッジマンを特

殊召喚した。

攻撃表示ならギガ・ガガギゴで倒せるが、生憎とギガ・ガガギゴは守備表示

当然ながら守備力はエッジマンに勝てない。

だけどジュンコのあの余裕そうな顔は何？

ジュンコはカードを1枚セットしてターンを終了させる

残り手札は1枚、場には守備表示のアクア・マドールとギガ・ガガギゴ、攻撃表示でアビス・ソルジャー

まあ確かに余裕の顔になってもおかしくない場ね。

ギガ・ガガギゴを先に倒さないとエッジマンが戦闘で破壊されるアビス・ソルジャーを倒さないと次のターンに手札に戻される

この状況、十代はどうやって突破するのかしら？

十代のターン、ドロートした強欲な壺を発動する

そして増援を使用し、E・HEROワイルドマンを手札に加える更に融合、場のエッジマンと手札のワイルドマンを融合した

E・HEROワイルドジャギーマンを融合召喚する。

ワイルドジャギーマンは相手の場全てのモンスターに攻撃できる効果を持つ

トルネードウォール

竜巻海流壁の効果でダメージは与えられないが、それでもモンスターは全滅できる。

バトルフェイズに入り、攻撃を仕掛けるワイルドジャギーマン

だがこの瞬間、ジュンコの伏せカードが発動される

発動されたのは……ディメンション・マジック!?

生け贄にされたのはアクア・マドール、そして召喚されたのはアイ

ス・ブリザード・マスターですって!?

思い出した!

初めてジュンコともえが瑞貴と戦った後のカードの買い物

その時、1枚だけ使ってもいいと許可を貰って買ったカードがあった
ジュンコはあの時、アイス・ブリザード・マスターを貰ってたのね

……

アイス・ブリザード・マスターは限定カードで、本来入手するには
十数万も掛かる

ジュンコと瑞貴の話聞いていたけど、10万で買うという話し
をしていたわ

残り数万の分はいいのかしら?

まあ……私にも数万もしそうなカードを1万で売ってくれた時もあるし、構わないでしょ。

でも数少ない水属性で魔法使い族の為にディメンション・マジック
を入れるなんてね

だけどディメンション・マジックは場に魔法使い族さえ存在してい
れば魔法使い族以外でも生け贄にできる

そう考えると守備力の高いアクア・マドールやネオアクア・マドール
なら使い易いんでしょうね。

そしてディメンション・マジックの効果により、ワイルドジャギーマン
を破壊する

これで十代の場はがら空き、しかもジュンコの場合にはモンスターが
3体も存在している

攻撃力2700に上昇しているアイス・ブリザード・マスター

攻撃力2650に上昇しているギガ・ガガギゴ

攻撃力2000に上昇しているアビス・ソルジャー

手札2枚でどうやってこれを防ぐつもり？

十代は戦士の生還を発動、バブルマンを手札に加える
そしてバブルマンを守備表示で召喚、2枚ドロースる
最後にカードを2枚セットしてターンエンド。

ジュンコのターン、ドローしてキラー・スネーク自身の効果を発動する

キラー・スネークは墓地に存在している時、スタンバイフェイズ時に手札に戻る効果を持つ

この効果を使ってジュンコはアビス・ソルジャーのコストを無くしている。

そしてアビス・ソルジャーの効果を使用し、バブルマンを手札に戻したが……ミスペレイね

アビス・ソルジャーの効果では全ての場のカードを手札に戻せる
この場合、伏せカードを手札に戻すべきだったわね。

ジュンコの総攻撃、しかし十代は攻撃の無力化を発動した
はぁ、案の定ね……ジュンコの猪突猛進癖が今回最大のミスね
もう1枚の伏せカードも有るけど、両方攻撃反応型じゃないでしょう
となるとアビス・ソルジャーの効果を考えてのブラフだったのかも
しれないわね。

ジュンコは悔しそうな顔をしながらターンエンド
だけど彼女は十代が普段通りに戻って嬉しそうな顔をしていた。

十代のターン

リバーズカード、サイクロンを発動する……やはりブラフか
効果により、アトランティスを破壊し、福次効果で竜巻海流壁も破

トルネードウォール

壊された。

再び場にカードが無くなった十代はバブルマンを守備表示で召喚する
そして2枚ドロロー……3回もバブルマンの効果を使うって凄いわね。

そして融合、手札のクレイマンとスパークマンを融合し、サンダー
ジャイアントを出す

効果によってアビス・ソルジャーを破壊する。

十代は続いてミラクル・フュージョンを発動する

墓地に存在しているフレイムウイングマンとスパークマンを融合させ、シャイニング・フレア・ウイングマンを攻撃表示で召喚
墓地に存在しているE・HEROの数は5枚、よって攻撃力は2500+1500で4000、普通ね。

だけどこれで終わり、シャイニング・フレア・ウイングマンはフレイムウイングマンと同じ効果を持つ

つまり、戦闘で破壊したモンスターの攻撃力分のダメージを与えられる効果を持つわ

攻撃表示のモンスターを倒せばその攻撃力分のダメージを与えられる……つまり与えるダメージは確実に4000

ジュンコも頑張ったけど終わったわね、ついでに1撃でライフを全部持ってかれるわ。

シャイニング・フレア・ウイングマンの攻撃でアイス・ブリザード・マスターが破壊される

戦闘ダメージ1500と効果ダメージで2500のダメージ

十代の勝利とジュンコの敗北ね。

十代はいつもの決めポーズと決め台詞

そしてジュンコは倒れて清々しそうに笑ってる
十代はジュンコの横に行き、お礼を言っているみたいね。

ジュンコは起き上がって背中やお尻に付いた砂を払う
少し話してるわね……どんな話してるのかしら？

これ以上見てるのも忍びない

そう思ってレッド寮に向かおうと思った瞬間

ジュンコが……ジュンコが十代の頬にキスをした。

……ジュンコは顔を赤くして逃げ出す

十代も顔を赤くし、キスされた方の頬を手で押さえて唾然としている
そして十代は混乱したようにあちらこちらを見て帰った。

えっと……ももえはレイちゃんに、ジュンコは十代に惚れた？
ももえの方の切欠は単に性癖だったから置いといて、ジュンコは何
故？

可能性としては決闘者猿の時かしら？
デュエリスト

ジュンコと助ける為に十代が決闘者猿と決闘をして勝った
デュエリスト

自分を助けてくれた十代が気になるのは自然の流れかしらね
デュエル

そして今回、落ち込んでる十代が嫌になったから決闘をする

調子の戻った十代を見て自分は十代が好きだと自覚、最後の一撃で
完全に惚れた……かしらね？

……見なかった事にしましょう

私にはどうしようも無いし、多分関係無いはず……よね？

あの2人、この先どうなるのかしら？

とりあえずまだ付き合わないでしょうし、友達以上恋人未満という

関係でも続くのかしらね

この先のあの2人の発展に期待ね。

そういえばこの2人がこうなる切欠って私？

私が十代を叩きのめしたから？

で、でもあれは瑞貴の指示だから私は悪くない……のかしら？

はあ、もういいわ

ジュンコにも春が来たんだし、素直に祝福してあげましょう

ああ、花の高校時代の青春、私には来るのかしら？

なんだかんだでようやくレッド寮に着く

部屋に入ると瑞貴とレイちゃんが話していた。

「だから、このデッキを強化する為のカードを分けてくださいって
言ってるじゃないですか！」

「だから、何度も言うが嫌だと言っているじゃないか？」

なるほど、レイちゃんも瑞貴の大量のカードの一部が欲しいのね
でもそこはやっぱり瑞貴、当然ながらお断りしてるわ

しかも言い方をレイちゃんに似せて嫌味っぽい、絶対に狙ってるわ
ね。

「なら、どうすればいいんですか！

ボクにできる事ならできるだけです！」

「なら、何ができるんだ？

お前にできる事なんてそう無いだろ？」

「似たような言い方をしないでください!」

「似たような言い方をして悪いか?」

「ぐう……止めてください!」

「ふう……止めない」

酷い嫌がらせね、楽しそうだけど止めた方がいいかしら?
でも少しレイちゃんが涙目になってるし、止めた方がいいわね。

「はい、ストップ

あんまりレイちゃんを苛めないの」

「そういう明日香だって止めるのが遅かったな
実は見てて楽しかったんじゃないのか?」

「……………少しだけ」

「明日香さんまで……!」

ごめんねレイちゃん、でも楽しかったんだから仕方無いじゃない
私は参加してないんだし、それで許してちょうだい。

「それで、どうしてこんな事になってるの?」

「小娘が俺のカードを欲しがってるんだ」

「いや、それは分かってるから

私が知りたいのはそうなった原因よ」

「昨日、瑞貴さんがボクに詰め決闘^{デュエル}をしてくれたの
その問題が全部恋する乙女の使い方とかだったんだ
だから瑞貴さんにボクのデッキ強化の為にカードをを分けてっ
てお願いしてるんだけど……」

瑞貴は全く分けてくれる気配が無い
その上嫌がらせまでされて本筋が変わってたりすると
瑞貴も凄く楽しそうね、態と話しを逸らして渡す気が無いと暗に言
っているような感じね
伝わってないけど。

「まあいいや、なら俺の言う事を1つ実行すればお前のカードと交
換してやろう

ちなみに、最低でもお前のカード2枚と俺のカード1枚だ
カードに依っては10枚以上と交換だからな」

「1…1交換じゃないの!？」

そうは言うけど……瑞貴にしてはかなり妥協してるのよ?

レイちゃんはまだ子供だからお金持ってないし

それにしても、瑞貴は何故かレイちゃんに凄く優しくないかしら?

やっぱり子供だから? それとも本当にロリコン?

でもその割に酷い事もしてるから……やっぱり気紛れかしらね。

「ちなみにボクは何をすればいいの?」

「ああ、そうだな……なら」

瑞貴の出した条件

相変わらず貴方の考える事はよくわからないわ
でも……結果も予想できてるんじゃないかしら？

……
……
……

夜、港に私と瑞貴、レイちゃんが立っていた

私は楽しそうだけどちよつと不謹慎かなって思ってた苦笑い

レイちゃんは緊張して固まっている、ちなみに帽子は脱いでるわよ？

瑞貴は無表情、なんだか違和感しか感じないわよ？

瑞貴の出した条件、それは亮への告白

レイちゃんは拒否してたけど瑞貴に言いくるめられた

曰く、このままだと切欠も無いまま帰る事になるって。

確かにそれは間違っていないと思う

亮が目的で来たのに亮と会話もできていないし会えてもいない
できたのは離れた場所から見ているだけ。

何か、どんな事でも、切欠が無ければ何もできなかったかもしれない

そう言われて否定できないレイちゃんはその条件を受けた

不安だし怖い、だけど何もできないまま帰るのは嫌

きつとそんな想いからじゃないかしら？

ちなみに亮は私が呼び出した

この前の相談を改めて受けると言っておいたわ

そういえばどんな相談だったのかしら？

気付かなかった事は謝ったけど内容は知らないのよね。

暫く待ち、海に面しているので少し肌寒くなってきた
瑞貴は上着を脱いでレイちゃんに貸してあげていた
私には無いの？ 無いに決まってるわね……はあ。

それから少し経ち、亮が来た
手に何か持ってるけど、アレってレイちゃんの髪留めじゃなかった
かしら？

亮は私だけでなくレイちゃんも居るので驚いていた
瑞貴の顔を見てまた驚く、私達との関係が全く分からないからでし
ょうね。

「明日香、これはいい……」

「ごめんね亮、相談を改めて受けてもいいんだけど
私の前に少し話したいっていう子がいるから先にお願ひね」

困惑しているみたいだけど、そんな暇は無いわよ？
だってレイちゃんがジッと貴方を見てるんだから。

ちなみに瑞貴は変わらず無表情を貫いてる
言い出したのは自分とはいえ、別に告白なんて見てもつまらないか
らかしら？

でもその割には……ちょっと怒りの感情が見える気がする
その怒りは誰に向けているのかしら？

「あ、あの……亮様！」

「う……うむ、何だ？」

あのカイザーも女の子に対してはタジタジね
顔を真っ赤にしてるレイちゃんも可愛いわよ
これで亮が下手な事を言わなかったら良いんだけど……

「わ、わ……私、亮様の事が好きです！
えっと、その……わ、私の想いを受け取ってください！」

下を向いて目を閉じて手を出すレイちゃん
その伸ばした手は小さく震えている。

しかし亮は……

「……レイ、お前の気持ちは嬉しい
だが、今の俺には決闘が^{デュエル}全てなんだ」

やっぱり断った……か

一応予想はしてたけど、まさか言い方まで予想通りになるとは思わ
なかったわ。

告白を断られて泣きそうになるレイちゃん
そんなレイちゃんに髪留めを渡して去ろうとする亮
だけど……それを止めるのが、やっぱり貴方よね。

「お前を呼び出した理由は小娘の件だけじゃないぞ豆腐……もとい
カイザー」

「「豆腐？」」

豆腐って……食材の豆腐よね？
今、亮と豆腐って何か関係あるの？

「気にするなカイザー」

お前にはこのメンタル・カウンセラー リリーのカードをプレゼントしよう

お前が女性の告白を無下に断った記念品とでも思え」

メンタル・カウンセラー リリーって確か……融合強化カードよね？
融合時に融合に記されていなくてもこのカードも融合する事ができる
融合モンスターの召喚時、ライフを500払う事で元々の攻撃力を
エンドフェイズ時まで1000アップする
この効果は手札からの融合でも使用できる。

融合主体の亮に渡すのはいいけど……何故亮に？
というか、何で最初から用意してあったの？
更に言うとな何故そのモンスターを？

瑞貴はカードを亮に投げ渡す

亮は複雑そうな顔をしてカードを受け取って効果を見る
少し使えそうだって顔になってるわね。

「さて、お前にちよつと言いたい事が有る
それと小娘、泣きたいのなら胸ぐらい貸してやるからこっちに来い」

レイちゃんは素直に瑞貴の元に行き、抱きついて泣き出す
そんなレイちゃんの頭を撫でながら、瑞貴は話し始める。

「でだカイザー、ちよつと今のは腹が立った

真剣に告白してきた小娘デュエルに対してその返事は何だ？

気持ち嬉しいだあ？ 決闘が全てだあ？

巫山戯るなと思えんな」

「……何が言いたい」

私も亮と同意見よ

何が巫山戯てるのかしら？

「はぁ……気付かないぐらい愚鈍か

気持ちは嬉しい？ その割には随分淡々としていたな

嬉しいという気持ち所か、迷惑という感じにしか感じられなかったぞ？」

迷惑という言葉にレイちゃんが反応する

瑞貴、貴方レイちゃんに追い打ちを掛ける気！？

「そんな事は無い」

「どうだか、まあ子供に言い寄られるのが嫌なら仕方無いか

子供は思い込みが激しいし、勢いで何でもし出す可能性が有る

そもそも……10歳に告白されて嬉しい18歳ってのも世間的に問題か

相手の真剣さはともかくな」

瑞貴の言う事は間違っではない

確かに、10歳に告白されてもそれは愛情ではなく好きだから好きと言った

そんな子供は多いと思う。

しかし、今回のレイちゃんの告白は真剣な告白

好きだから好きと言ったでは納得できないぐらい行動を見せた

難しい編入試験を突破し、遠い場所からこのデュエル・アカデミア

まで来た

本当に好きだからこそ、頑張っていた。

それをあの一言で振った亮にも問題が有るかもしれないでも、決闘デュエルが全てという言葉に対してはどう思ってるの？

「更デュエルに決闘が全て？ 尚のこと問題だらけだろうがお前になんぞ興味が無いと言っているに等しいんだぞ？」

あ、確かに聞きように依ってはそう取れなくもないわね
レイちゃんが更に泣き出したけど……

あんまり本人の前で話す事じゃないわね。

「そんなつもりで言ったのではない！」

「なら決闘デュエルが全てなんて言葉は出ないよなあ？

そこは俺にはまだやりたい事が有る、だからお前とは付き合う事はできない

とか言わないか？ ついでに断る事に対して謝罪も無し？

随分酷い奴だな、カイザーとか言われて傲慢にでもなったか？」

「クッ……」

間違っではないけど……間違っではないけど最後はあまり関係無いわよね？

というか、私としてはそんな返事が簡単に浮かぶ貴方が凄いと思うわそんな返事でもしたことが有るの？

「更に返事をしてさっさと帰るとはどういう事だ？

小娘が泣きそうになってるのに無視して帰ろうとするわ、慰めもし

ないわ、謝りもしないわ

聞いた話しだとリスペクト決闘とかいうのをするらしいじゃないか？
デュエル

決闘以外ではリスペクトする必要は無いと？

それとも、小娘に対してそれをする価値が無いと？」

瑞貴の言葉に亮は何も言えず、レイちゃんは涙が止まらない
それでも瑞貴は言葉を止めない。

「子供だからそんな対応でも構わないとでも？
小学生だから謝る必要無いとでも？
慰めなくても勝手に泣き止むとでも？」

止まらない、止めない、瑞貴は亮を追い詰める
例え亮がどう言おうとも、瑞貴は噛みつくだろう
だから亮は何も言わない
しかし、瑞貴はそんな逃げを許さない。

「黙ってれば勝手に終わるとでも思ってるのか？
確かに、説教は少々慣れてるし、年上にするのは初めてだが
それでも加減するつもりは無いぞ」

絶対に許す気の無さそうな瑞貴
だけどそれを止める者も居る。

「……………」

「ん？　どうかしたか小娘」

瑞貴の服を引っ張って何か合図をするレイちゃん
まだ涙は止まってないが、言いたい事が有るらしい。

「……………はあ、わかったよ

カイザー……………いや、丸藤亮

小娘に免じて今回はこれで終わりにしてやるよ」

「ああ……………すまない」

亮は頭を下げて謝罪する

それはレイちゃんに対してなのか、それとも瑞貴に対してなのか
だけど、本当に申し訳ないという感情は伝わってくる。

「謝るぐらいなら次からはもっと真剣に考えるんだな
ほら、行くぞ小娘、歩きたくないのなら抱っこぐらいしてやるぞ？」

「うん……………」

瑞貴は亮の謝罪を切り捨て、レイちゃんを抱き上げる

瑞貴は振り返らずに去って行くが、レイちゃんは一度振り向いて頭
を下げる

自分のせいでこんな事になってごめんなさい……………そう言った気がし
た。

残された私達は何も言わずに立ったまま数分を過ごす

けどこのままでは何もならないので私は歩き出し、瑞貴の後を追う

亮は何も言わず、立ち去る私から目を背けたまま立っていた……………

……………

……………

……………

気まずいながらもレッド寮の瑞貴の部屋まで来た
ど……どうすればいいのかしら？
悩んだまま扉の前で数分立ち尽くす。

しかし、そのままでは何もできないので諦めて部屋に入る事にした
鍵を開け、ゆっくりと扉を開いて部屋の中を見してみる。

部屋は暗く、電気は消されていた
どうなっているのか分からず、部屋に入ってみる。

誰も居ない？
そう思って部屋を見るとベッドの中に人影が見える
誰かと思えば瑞貴？

今日は自分の部屋で寝るのかと思い、レイちゃんが気になった
上のベッドを見てみると……あれ？ 居ない？

どうなっているのか、追い出したという事は無いと思うけど
再び瑞貴のベッドの中を見してみる
よく見てみると瑞貴の腕の中で眠っているレイちゃんが……

多分、泣き疲れて瑞貴に抱きついたまま寝ちゃったのね
起こすのも忍びないし、今離れたら可哀想だったからかしら？
寝ててもしっかりと服を掴んでいる事から考えるに
離させようとするも、離れなかったから諦めたって所かしらね。

邪魔するのも何だし、今日は女子寮で寝る事にしましょう
おやすみなさい、瑞貴、レイちゃん。

19話【恋する乙女……達？ 横編】（後書き）

何故ジュンコに十代を？

このCPは割と序盤から考えてました。

十代はこれで元気にする予定だったの？

一応……なお、他にも2通り考えてました

外道Nチーム早期入手、しかし後の決闘でややこしくなると思い却下
ヘルガツチャ化（霸王ではない）、ヘルカイザーみたく勝利への異常な執着心を持つというのですが、ジュンコとのCPができない、翔と隼人の存在から難しいと判断し却下しました。

前半予想できるって、何で？

前話の後書き参照

ももえは瑞貴に（以下略）

ももえ……は、『は』なんです、ジュンコはどうなる？

という考えから予想できるかと思いました。

結局、ジュンコが十代に惚れた理由って？

明日香の予想通りです

あの決闘猿のシーンではフラグになれそうだと思いました。

どうして明日香視点にしてジュンコか十代視点になかったの？

会話と心理描写が思いつきませんでした

ついでにツンデレや熱血は難しいです……

更に言うとな代を元気にする言葉が思いつきませんでした。

で、ももえはマジでレイに惚れてるの？

はい、本気だそうです。

ジュンコは10万も払ったの!?

払いました、お小遣いの大半を使いました

明日香の分の含めて何ヶ月か先のお小遣いを前借りです。

ももえは何を買ったの?

秘密です、でもジュンコと同じぐらい使いました。

どうして瑞貴はレイにあんな条件を?

明日香の予想通り、十代との決闘^{デュエル}が無いので切欠がありませんでした
ですので切欠を与える事にしましたのです。

レイの台詞がアニメより少ないんだけど……

アニメと違い、決闘^{デュエル}での勢いなどが無いからです

覚悟はしていましたが緊張していたので言葉が少なくなりました。

瑞貴がレイに優しい……

カイザーの言葉にどうしても納得できませんでしたので

それに傷心の女の子に厳しくするような事は……更に子供ですしね。

最後のが……一緒に寝る?

この部分は非常に悩みました

しかし、明日香が変わってするのは変だと思い、結局瑞貴に慰めて
もらいました。

20話【恋する乙女……達？ 下編】（前書き）

【逆偽鏡の世界】の方が更新停止となったのでこちらの更新も停止する

そんな心配をした人が居れば謝ります、ごめんなさい、すみませんでした

こちらはアニメのおかげでネタが豊富であり、書きやすいので更新停止の予定はありません

ご心配をおかけして、本当に申し訳ありません。

謝罪はそこそこにします、切りが無さそうなので……

はい、今回にて『恋する乙女……達？』編は終わりです

本当に長くなって申し訳ありません

今回は学園対抗決闘デュエルですね……と、言いたい所ですが。

実は『恋する乙女……達？』編、終わってません

次回で本当に終わります、今回では終わりません

え？ なら次回は何編になるって？ 終編ですね

長々グダグダと全部で7話構成という馬鹿みたいな長さになりました
しかも肝心の決闘デュエルが今回も無いという……次回は必ず有りますが。

しかし何という日常……平和ですねえ

所で皆さん、可愛い女の子は好きですか？

男のツンデレって、どう思います？

……久しぶりに本気で外道の瑞貴を出しました

こんな遊戯王の主人公、他に居ますかね？

少し前のツンデレが嘘のようです。

20話【恋する乙女……達？ 下編】

視点 レイ

……んあ？

ボク……いつ寝たっけ？

目を開いてみると……あれ？ 真っ暗？

って、体も動かないんだけど！？

何で！？ 金縛り！？

混乱してたけど何か違和感を感じた

自分の手は何かを掴んでおり、頭や背中に何かがかくつついてる？

押さえられてる頭を強引に動かして上を見える

そこには目の前に顔？

………瑞貴さん！？

ちょっ、近い！ 顔が近すぎ！！！

少し近づいたら当たっちゃうってば！

慌てて頭を下げて顔が当たるのを防ぐ

何で！？ どうしてこうなってるの！？

何でボク、瑞貴さんに抱きしめられながら寝てたの！？

考え始めると段々と思い出してきた

確か亮様に振られて、瑞貴さんの胸の中で泣いて

抱っこして連れて帰られて……そこまでしか覚えてない

もしかして抱っこされている間に寝ちゃった？

一緒に寝てるって事は……それに今も瑞貴さんの服を掴んでる手
ボクが手を離さなかったからかな？

無理矢理離させる事ぐらいできたと思うんだけど……

それにしても珍しくない？

ボクが来てからだけど、瑞貴さんって毎日ボクより早起してたはず
なのに今日はボクの方が先に起きるなんて……どうかしたのかな？

それにしても……はあ、なんか安心する

何でかな？ もっとこのまま抱きしめてられたい
どうしてそう思うのかなあ？

よくわかんないや、でも……落ち着く。

今何時かな？ でも今日は休みだし……いっか

このまま二度寝しよう、瑞貴さんも寝てるんだしいいよね？

うん、おやすみなさい……

視点 瑞貴

……………違和感を感じる

眠くて重い目蓋を上げて見てみると……ああ、そういえば居たな小娘
抱き上げて帰っている途中で寝やがって、しかも服をずっと掴んで
るからどうしようもできなかっただろうが

なんとか貸した上着を脱がせはしたが、離す気配も無いわ、起きる
気配も無いわとな。

しかしあれだな、子供の体温って高くてなんというか……和む
こういう抱き枕っていいよなあ、欲しいけど明日には帰るんだっけ
？ 惜しいなあ

今度明日香辺りでも抱いて寝るか？ 抱き心地は微妙そうだが悪く
はないだろう

女の子だし、体温とかも高そうだし、体が大きいのは年齢的に仕方
無いが……やっぱりそれがネックかな。

他はその1とその2か？ 却下だろ

その1は気が強いから面倒そうだし、その2はアレだしな

男子生徒は当然論外、男を抱いて寝る趣味は無い。

まあ何はともあれ、小娘ぐらいの体格だと抱きやすい

捨てたくないなあ、欲しいなあ、校長脅してこのまま残させようか
なあ……可能だがさすがにそれは拙いか

今度抱き枕買うか？ でも通販とかだと触り心地や抱き心地がな…

…さすがに購買部でも売ってないし

酔うのは嫌だが、春休み辺りに諦めて帰るのも一つの手か？

だけどこの人肌ぐらいの暖かさが良いんだ……だからやっぱりいらね
え。

これぐらい良い抱き枕なら数万ぐらい出しても惜しくないだけに勿
体ない

仕方無い、諦めて今を堪能するしかなさそうだ。

丁度良い具合に寝てるんだし、学校は休みだし、二度寝でもするか
そろそろ長期睡眠を取らないと平日に寝坊するかもしれんしな
せっかくの機会だし存分に堪能させてもらおう。

ふぁ……ねむ……おやすみ………
和むし落ち着く……やっぱり本気で惜しいよなあ。

視点 レイ

あふぁあぁ……起きたぁ……

寝過ぎたかな？ 寝起きなのに殆ど眠くないや。

……って、まだ抱かれてるの！？

瑞貴さん、いつまで寝てるの！？

何で！？ 絶対に起きてるはずだよね！？

って、パニックになっても仕方無いか

どうしよう……なんか妙に強く抱きしめられてるから抜け出せない
んだけど

いや、抜けだそうと思えば抜けられるかもしれないけど、なんとなく嫌なんだよね

暖かいし、落ち着くし、なんか気持ちいい……抜けだそうって気持ちが無くなっていく。

なんか変な気分、どうしてこんな気持ちになるのかな？

もっと抱いてて欲しいって思うのは……やっぱり変なのかな？

ボク、昨日まで亮様の事が好きだったのに……今でも好きだけどでも……どうして瑞貴さんの事が気になるのかな？

やっぱり変だよな？ 昨日振られたばかりなのに……気持ちが軽いなんて思われるよね。

でも、嬉しいって気持ちが抑えられない
ずっとこのままがいい、抱きしめていてほしい
どうしてかわからない、だけどこの想いは止まらない。

だけど何か物足りない、どうしてだろう？
自分からも抱きついてみる……はあ、暖かい
でも……何か足りない、何が足りないんだろう？

瑞貴さんが寝ぼけてるのか、寝相なのか
更に強く抱きしめてきた、ちょっとだけ苦しい
苦しいけど……なんか嬉しいのは何で？

ちよつと落ち着こう、頭の中がこんがらがってきた
落ち着くにはやっぱり深呼吸だね。

すう……はあ……すう……はふう、瑞貴さんの臭いだあ……って、
違う！

臭いを嗅いで落ち着くってどうなってるの！？
あ、でも何か安心する臭い……だから違うってば！ いや、安心する
のは本当だけど。

……ああ！ 昨日はあんな急だったからお風呂に入ってない！
お風呂は無いけど……体を洗ってないよ！
瑞貴さんだってボクがこんな状態だったから入れなかっただろうし！

うわあ！ は、恥ずかしすぎる！
女の子としてこれは恥ずかしいよ！

というか、瑞貴さんの顔がボクの頭というか、髪に当たってるし！
洗ってない髪の毛の所で呼吸しないで！ すっごく恥ずかしい！

何で気にならないの！？ 臭くないの！？ 洗ってないんだよ！？

恥ずかし過ぎるから強引に体を持ち上げるように動かす

ふう、これで大丈夫、瑞貴さんの顔は横に来たし、髪も反対に寄せたから臭いも嗅がれない

なんとなくやりきった感で一杯になったが……

「ふひゃあ！」

ちよっ、耳に息が当たる！ くすぐったいよ！

しまったあ！ 顔を横にするんじゃないくて抜け出せばよかったんじゃない！

で、でもこの暖かさを自分から手放すのは……って、だからくすぐったいってば！

腕はなんとか自由なので瑞貴さんの頭を持ってちよっと横に動かすふう、これでよし、臭いも嗅がれないし息も吹きかけられないよでもよかった、今で目を覚まされなくて

今ので起きられたら恥ずかしくて死んじゃうよ。

ずっとこのまましていたいな……無理だけど

瑞貴さんも起きるだろうし、それよりもボク自身が持たなそうなんだよね、恥ずかしくて

寝ているからできる事だね、うん、起きられてたら絶対に無理。

また自分から瑞貴さんにくつつく

やっぱり落ち着くなあ……

「……………起きてたのか？」

「はい？」

今声が聞こえたような……気のせいかな？
そう思って瑞貴さんの方を向いてみると眼が合った
しつかりと開いてるよね？ 眠そうだけど。

「……まあいいや

俺はもう少し寝るからこのまま抱き枕になつてろ」

「ええ！？」

抱き枕扱い！？

それにまだ寝るつもりなの！？

「耳元で大声を出すな

頭に響くし眠気が覚める、というかかなり覚めただろうが」

「ご、ごめんなさい……」

「もういい、起きる

だから服から手を離せ」

「うん……」

ちょっと寂しい、けど起きるんだから離れるのは当然だよな
瑞貴さんの服から手を離す

瑞貴さんはボクごと一緒に起き上がる……あれ？

何でボクまで一緒に起こされてるの？

そのままボクから手を離して座ったままベッドから下りて軽く伸び

少し体を動かし、1分ぐらいボーっと座っていたな、何をしてるの？

「……よし、起きた

おはよう小娘」

「えっと……おはようございます
起きたってなんですか？」

起きてたよね？　なのに起きたってどういう意味？

「寝起きで頭が寝てたからな
強引に頭を使って意識を覚醒させたんだよ
頭の中も平時に戻ったし、これで当分は寝ないな」

ボクはパニックになって覚醒したからなあ……
それに当分って事は昼寝でもするつもりなの？
あんなに寝たのに？　別にいいけどさ。

「あの……ボクってあの後どうなったんですか？
途中から記憶が無いんですけど」

「帰ってる途中で泣き疲れたのか寝たな
服をずっと掴んでる上、離そうとしなかったからどうしようもでき
なかった

お前に貸した上着は何とか脱がせたんだが……
それでも全く手を離さないから諦めて一緒に寝た
おかげさまで服が皺だらけだ、まったく」

「ごめんなさい……」

はあ、何してるんだろうボク
毎日迷惑しか掛けないで……そしてこれは同じ事を何回悩んだかな？
情けないし、自分が馬鹿みたい。

「別にこれぐらい大した問題でも無いだろう
別に皺になろうが気にしないしな」

本音なのか、気を遣ってくれているだけなのか
どっちかという和本音な気がする
なんとなく適当っぽい気がするもん。

「調子はどうだ？」

「え？」

「だから、あー……なんというか
振られたばっかで言い難いが調子はどうだと訊いている」

この人は本当にどっちなの？
優しいのか怖いのか、本気でわかんないよ
でも優しくされている方が多い気がするよう……

「んと、そこまで悪くないですよ
多分、思いつきり泣いたからだと思います」

「そうか」

ここで会話が途切れる
なんとなく気まずいなあ、どうしよう？

「小娘」

「は、はい！」

吃驚した、悩んでた時にいきなりなんだもって、前も同じ驚き方したよね？

「朝飯を食いに行くぞ

俺は少し出てるから身嗜みを整えて出てこい
お前が出てきたら食いに行く」

そう言つて瑞貴さんはさっさと出て行つた

待たせるのも悪いので急いで身嗜みを整える

鏡鏡つと、ちょっと適當かな？

でも待たせるのも……いいや、どうせ瑞貴さんなら気にしないし！

さっさと準備を終わらせて部屋から出る

もしかして先に行つてたり、なんて思ったけどそんな事も無く待つていてくれた

出てきたボクを見て、瑞貴さんは一言。

「馬鹿、帽子を忘れてるぞ

ほら、さっさと戻つて被つてこい」

そう言われて慌てて頭を触るが髪の毛の感触しか感じられなかった
瑞貴さんが言葉や声とは裏腹に強引にボクを部屋に押し込む
ボクは急いで部屋に入って帽子を探す。

あつた！ 帽子を被り、再び部屋を出て行く

瑞貴さんは安心したような顔になったけど、今度はボクの顔をジッと見始めた

こ、今度は何？

そう思ってる目元を拭い、目尻を軽く擦って何かを払うような事をされた

何をされたのか、決まってる、目脂を落としてくれたんだそれは分かるんだけど……分かるだけに恥ずかしい！

鏡まで見たのに気付かなかったボクの馬鹿あ！

「行くぞ」

恥ずかしがってるボクを無視して行かないで！

食堂はすぐ近くだけど瑞貴さんは置いていく時は本当に置いていく人だ

絶対に遅れられない！

で、入ってみるともう朝食の時間は終わってたって事はボク達朝ご飯抜き？

ガッカリしていると瑞貴さんが勝手に厨房に入ってしまった
ちょ、勝手に何してるの！？

「座って待ってろ

俺でも簡単なのぐらいなら作れるからな

お前の分も作るが適当で構わんか？」

「あ、はい、お願いします」

瑞貴さんに言われた通り、黙って座ってる
適当って……何作る気なんだろ？　というか、勝手に使っているの？

まあ簡単なのって言ってたし、普通の朝ご飯みたいなのかな？

どんなのが出てくるのかと想像しながら少し待つ

料理の音が途切れて食器の音が鳴る

瑞貴さんがトレーを片手で持って2人前持って来てくれた

今度は落とさないよね？

そんな心配は杞憂であり、普通にボクの目の前にトレーが置かれた何かと思って見てみれば……焼きおにぎりにスライスチーズをハムで挟んで焼いた物？

後はお吸物とサラダが凄い山盛り、何故に？

えっと……焼きおにぎりとお吸物はまだ普通だね

だけどここのスライスチーズをハムで挟んで焼いたのは何？

後、サラダは良いとして何でこんなに山盛りなの？

「あの……」

「ハムとチーズのは昔適当に作って見たら美味かったからだ

割とお手軽で時間も掛からない、それを焼くついでにおにぎりも焼いてみた

お吸物に入ってるのは卵とワカメ、豆腐ぐらいだ、薄味なのは仕様だから文句は言うなよ

サラダは単純に俺は肉よりも野菜が好きなだけ

俺は胡麻ドレッシング派だ、他のを使いたければ自分で取ってこい野菜はレタスと水菜、コーンとプチトマト、ついでにツナ缶が有ったから入れてみた

嫌いなのが有れば言え、強引に食わせるから」

「うー丁寧にどうも……ちなみに嫌いなのは無いです

ドレッシングはボクも胡麻で良いです」

「いただきます」

試しにハムチーズを食べてみる……意外と普通に食べられた
少なくとも不味くなかったのでよかった

お吸物は言われた通り味が薄い、けど美味しかったよ
他も割と普通に美味しかった。

なんというか、普通に美味しかった
ちなみに、あんまり関係無いけどボクの方がおかずの量が多かった
相変わらず小食なんだね、でも半分以上がサラダって凄いような気が
する

それに男の人が肉より野菜が好きってのも珍しい
だから弱そうに見えるのかな？ 本当にあまり力無いし。

「ところで、今更ですけど勝手に使ってよかったんですか？」

「悪いだろうな」

「ええ！？」

だったらなんで！？

というか、この場合ボクも共犯者！？

「別に大した問題にはならんさ

偶に小腹が空いたからって適当に作って食う奴もいる

レッド寮はこんな感じに適当だからな、それぐらい分かってて多少
多めに入荷されてるのさ

元の食事量が少ないんだ、つまみ食いも計算の内だ

丸一食分使っても余裕はかなりあるし、後で報告しておくから問題無い」

そういう問題なの？

というか、つまみ食い前提なら最初から量を増やせばいいんじゃない？……

「ちなみに、例えば量を増やしても高校生は食い盛りだ、俺はそんなに食わんが

数は減るかもしれんがつまみ食いは必ず出てくる

だから殆ど変わらん、量を増やしても労力の増加にしかない」

ボクの考えてる事を読んでるの？ 絶対に読んでるよね！？
ちよつと怖いんだけど！

「ほら、おしゃべりしてないでさっさと食うぞ
今日は特に予定は無いが無駄な時間はお免だ」

瑞貴さんはそう言うのと黙って食べ始めた
もし遅くなったら置いて行かれる気がする
そう思ったボクは急いで食べ始めた。

「遅くなっても待っててやるから自分のペースで食え
慌てて食っても体に悪いだけだ」

見てみると瑞貴さんの食べる速度は遅い
よく噛んでるし格好も行儀良い

適当って印象が強い人だけにこういう行動は予想外だった。

ボクも焦らないで自分の食べたいように食べる
何回か瑞貴さんに行儀が悪いって注意された……お父さんですか？

先に食べ終わったのはやっぱり瑞貴さん
量もボクより少ない上、体が大きいんだから当然だった
瑞貴さんは食べ終わった食器を台所に持っていて洗いで洗った
ボクも自分で洗った方がいいかな？

でもボクが食べ終わると同時にお皿を持って行かれた
動こうとした前に全部されたから何もしてない

……………実は真面目な人？

あ、そういえば自分で始めた事は責任を持つって言ってたっけ？
ボクの事は自分で面倒見るって決めたからとも言ってたし
朝ご飯も自分で作ったから自分で片付けたって事かな？

思い出してみれば自分で蒔いた種は自分でちゃんと回収してるよね
徹夜した日だってボクが昼間に寝ないようにしてたし
その次の朝も起こしに来てくれたし。

亮様の時も自分が切欠だからボクに優しくしてくれたのかな？
そうだったらちょっと悲しい、ボクの為じゃなくて自分でしたから
って理由だもん
嬉しかったけど、理由が理由だけになんか嫌。

「片付けも終わったし部屋に戻るか
……………って、何泣いてるんだ？」

そう言われて自分が泣いてる事に気付いた
慌てて涙を拭う、何で泣いてたんだろう？

「とにかく部屋に戻るぞ

何が悲しいか知らんが後にしろ」

瑞貴さんはボクの頭を軽く叩いて食堂から出て行こうとする
やっぱりボクが行かないと置いていくのかな？

そう思っていると瑞貴さんは扉の前で止まって振り返る。

「おい、さっさとしないと置いてくぞ

それとも食い足りないのか？

だったら作ってやるから待ってろ」

瑞貴さんは戻ってきて厨房に入ろうとする

ボクはもうお腹いっぱいだったので慌てて止める

止められた瑞貴さんは溜め息を吐いてまた出て行こうとする。

また置いて行かれたら堪らないので急いで追いかける

瑞貴さんは今度は止まらずに出て行った。

部屋に戻ると瑞貴さんは早速カードを弄り始めた

何をしているのか気になったけど、前に怒られたから何もしない
ボクも自分カードを少し弄ってみる。

一昨日、瑞貴さんがしてくれた詰め決闘^{デュエル}

それから考えて、ボクのデッキに何が必要なのか考えてみる。

ライフ回復カード、上級モンスター、強化カード

ダメージを減らせるカード、戦闘を止めるカード

攻撃を強制させるカード、攻撃対象を強制決定するカード

……多すぎてどんなカードを入れればいいのかわかんないよ！

「小娘、ロックデッキに興味は無いか？」

「え？ ロック？」

あんまり得意じゃないんだけど……」

「恋する乙女を使った凶悪なコントロール奪取型ロックデッキ
それか同じく恋する乙女を使ったコントロール奪取特化型デッキ
以下略、コントロール奪取型パワーデッキ
略、天使族型コントロール奪取デッキ

お前はどれを使いたい？ 俺のお薦めはロックか特化型だな」

コントロール奪取型ロックってどんなのだろう？

特化型も気になるし、パワーデッキになるの？

天使族を使っただってデッキも気になるし……

「1回だけ手伝ってやる、レシピは見せない
チャンスは本当に1度だけ、お前のデッキを強化してやるよ
さっきの奴から1つ選びな」

「いいんですか!？」

「1回だけだ、それ以降は自分でどうにかしろ」

1回だけでも十分！

明日香さんのE・HEROデッキで構築の凄さは思い知ったし
詰め決闘^{デュエル}も有るからカードの効果とか詳しいはず
そう考えたらどれも強いデッキになると思うし！

「まあさすがにさっきのだけだと情報が少ないだろ？

一応方針と使い方程度なら少しだけ教えてやるよ」

「はい、お願いします!」

「コントロール奪取型ロックデッキ

ロックで無駄なダメージを押さえ、恋する乙女の効果で相手モンスターを奪い、減らしていく

そして奪ったモンスターをカタパルト・タートルやキャノン・ソルジャーみたいなモンスターで除去

除去次いでにダメージを与えていくタイプだ

欠点はロックカードが来るまで耐えられるかどうかという点

利点はロックカードが破壊されても相手のモンスターは除去済みなので蘇生以外で取り返される心配は無い点」

え、えげつない……

どう考えても本当に屈辱だよ、それって。

「コントロール奪取特化型デッキ

とにかく奪う事に特化したデッキになるな

ダメージがどうしても大きくなるから回復系カードが大量に入る

恋する乙女以外にも相手のカードを奪う事だけを考えたモンスターが少し入るな

欠点は奪う事に特化し過ぎているせいで相手のデッキに大きく作用される点

利点は相手がモンスター依存デッキだった場合、勝つのは容易という点」

安定しないって事かな?

ボクに扱える? 難しそう……

「コントロール奪取型パワーデッキ

相手のモンスターを奪い、そのモンスターを生け贄にして上級モン

スターを召喚して相手を潰していく
こっちのライフの減りが早いが相手も早い、難しいが嵌れば凶悪だろうな

欠点は手札事故の可能性が高いので運が悪いと何もできないまま負けるという点

利点は奪う相手モンスターがなんであれ、基本的に関係無い点」

手札事故かあ……これも難しそう

あんまり上級モンスターって使ってないもんなー
うーん……ちよつと悩む。

「天使族型コントロール奪取デッキ

天使族を主軸とし、コントロール奪取はおまけ程度に考える

上級モンスターが多く、パワーデッキに近いが天使族を主体として
いるので召喚は難しくない

その代わり、殆ど普通の天使族デッキになるから恋する乙女が逆に
邪魔になるかもしれん

欠点はコントロール奪取がおまけ過ぎてただの天使族デッキになる点
利点はバランスが良くて扱いやすいという点」

恋する乙女がおまけ所か邪魔になるかもしれないのか……ちよつと
やだな

扱いやすいんだったらボクでも使えそうなんだけど、これもまた悩
む。

「まあじっくりと考えな

俺は自分のデッキを組んで待ってる」

そう言って瑞貴さんはまたカードをやり始めた
でも情報が少ないのにそんなに時間が掛かるはずもない

ボクが選ぶデッキは……

……

……

……

瑞貴さんと相談しながらデッキが完成した

自分の選んだカードをゴリ押しして押し付けず、ボクが嫌だと言ったカードはすぐに諦めて代用カードを選んでくれた

そして一緒に見せてくれて比較、最終的にボクが選ぶ事になった

ボクもこんなカードは無いのかと意見を出したけど否定的な事は全く言われなかった

テーマとカードを選んだのは瑞貴さん、だけどこのデッキを作ったのはボクだ

だからこれは瑞貴さんは考えただけで瑞貴さんの作ったデッキじゃなく、ボクの作ったデッキになる。

デュエル

誰かテスト決闘をしてくれる相手はいないかと考えてみる

だけどボクが戦える相手は少ない

恋する乙女を使えば元々知られやすい容姿らしいので更に気付かれる可能性が上がるって言われた

知られやすい容姿って……女の子らしいって言うてくれているのかな？

瑞貴さんに相手を頼んでみたが断られた

デッキ内容を知ってるので簡単にアンチできるからだって

さすがにアンチされるのは嫌だったからボクも簡単に諦めた。

相手は後で探しておいてやるって言われたので楽しみに待つ事にするでも対戦は明日になるって、帰る前に最後の一戦という事だと思いうる意味、このデッキは瑞貴さんからの餞別かな？

なお、ボクの知らないカードはくれなかった

明日の決闘で勝てばくれるって言われた

負けたら瑞貴さんが渡してくれたカードは全部没収

このデッキは絶対に手放したくない、だから絶対に負けない！

そんな感じで気付けば夕方になってた

夢中になってお昼ご飯忘れてた……お腹空いたなあ。

晩ご飯までまだ時間があるのでこのデッキの使い方、コンボを教え
てもらった

このカードが出た時はこうすればいい、相手がこんな行動をした場
合はこうしろ

1枚1枚全部細かく、詳しく教えてくれた。

晩ご飯を食べた後はまた瑞貴さんのデッキ講座

今更だけど、どこでそんなにカードの知識を蓄えたの？

寝るまでシミュレートとして詰め決闘をまたしてくれた

相手の出方とかも教えてくれたので凄く助かった

そのせいでまたデッキ調整としてカードの入れ替えもした。

夜、瑞貴さんは部屋から出て行った、お風呂だって、いいなあ

ボクも体を洗う、昨日は入ってないんだし、ちゃんと洗おうっと。

ボクが体を拭き終え、パジャマを着たぐらいに瑞貴さんも戻ってきた
ちゃんとした服だったのは何でかな？

そう思っていると瑞貴さんは棚を漁って荷物を持ち始める

あ、そっか、イエロー寮で寝るんだっけ？

明日香さんもまた来るのかな？

「……………おい」

「はい？」

「手を離せ、出られないだろうが」

そう言われて気付く

いつの間にかボクは瑞貴さんの服の裾を掴んでた
あれ？ いつの間に？

離そうと思ったけどなんだか嫌な気持ちになって離せなかった
ボク自身も混乱してるけど、瑞貴さんも困ってそうだった。

瑞貴さんは溜め息を吐き、出ようと立ち上がったけどまた座った
荷物も適当に置いてまた溜め息、どうしたのかな？
って、ボクのせいかな。

「話しても有るのか？」

それとも何かして欲しい事でも有るのか？」

そんな事を言われてもボク自身も分からない

でも……………行ってほしくなかった

だからかな？ 思わずこんな事を言っちゃったのは……………

「あの……………瑞貴さん」

「ん？」

「また……一緒に寝てください」

返事は無言だった

言う時、思わず目を瞑ってたからどんな顔をされたのか分からない子供だなんて呆れてるのか、自分に怯えていたボクがそんな事を言ってるのか。

「……………はあ」

溜め息を吐かれて体が撥ねるようにビクッてした断られるって思っ、怖かった。

瑞貴さんが何かしている気がするでも目を閉じているボクにはわからない。

「……明日香、今日は来なくていいそうだ理由は言わん、だから今夜は来なくていいぞ」

『レイちゃんを1人にするつもり？私としては心配だから一緒に居てあげたいんだけど……』

「理由は明日にでも本人に訊け俺からは言わん、という訳だから切る」

『……わかったわよ』

レイちゃん、そこに居るなら聞こえてるわよね？ 明日、理由を訊かせてもらうからね？

瑞貴も、レイちゃんがそこに居ないならそう伝えておいて』

「はいはい、じゃあな」

『ええ、おやすみ』

今の会話にどういう意味が……

そう思っていると瑞貴さんが部屋から出て行こうとしてるって、何で！？ 断るならちゃんと断ってから出て行ってよ！

そう思って出て行こうとしている瑞貴さんにしがみつく

瑞貴さんは歩みを止め、溜め息を吐きながらボクを引き剥がすそしてやっぱり部屋から出て行った。

何で何も言ってくれないの？ どうして？

訳が解らなくなってまた涙が溢れてくる

ボク……本当は嫌われてるのかな？

……やだ、嫌だよお……嫌われたくないお

でも嫌われちゃうような事ばかりした自分が悪い分かってるけど、それでもやっぱり嫌！

我慢できなくて声を上げて泣きそうになる

けど、その前に扉が開けられ、瑞貴さんが戻ってきた服がパジャマになってる？

「何を泣いているんだ？

ほら、また貸してやるから来い」

誰のせいだと思ってるの！

そんな怒りも出てくるけど素直に瑞貴さんの胸で泣くボク……こんな弱虫だったっけ？

わかんないや、昨日から泣きっぱなしだし。

暫くそのまま泣いてたけど、少ししたら落ち着いた
ボクが泣き止んだのを見て瑞貴さんが声を掛けてくる。

「泣き止んだな？」

涙の後が付いてるから顔を洗ってこい
そのついでに歯磨きもしてこい」

そうやって瑞貴さんはボクから離れようとする
だけどボクは手を離さないで裾を掴んだまま
瑞貴さんの顔を見上げてみると困った顔をしていた。

「……一緒に居てやるからそんな泣きそうな顔をするな」

ボクの背中を押して動くように促す
少し進むと瑞貴さんも一緒に進んでくれた
洗面所に行って顔を洗い、一緒に歯磨きをする
その間、ボクは一度も瑞貴さんの服から手を離さなかった。

暫く何もしない時間を過ごす

いつまでも手を離さないボクにいい加減瑞貴さんが言ってきた。

「小娘、別に構わんのだが……いつまで掴んでるつもりだ？」

そんな事を言われてもボクだって分かんないもん
でも手を離したら駄目だって思う
理由なんてそれしか思いつかない。

「なんとなくだけど……手を離したら駄目だって思うの」

瑞貴さんを見てみると目元に手を当てて落ち込んだ

困ってるような……何か失敗したって感じがする

困ってるのはボクの事だと思うけど、何を失敗したのかな？

何かを諦めたような顔をしながら開き直った顔になった

あの……何を開き直ったの？

「ひゃあ！」

瑞貴さんが突然ボクを抱き上げてきた！

何？ いったいどうしたの！？

「寝るぞ」

「はい？」

「だから、寝るんだよ

手を離す気が無いんだっいたらこうするしか無いだろうが」

そう言ってボクをベッドに下ろし、自分もベッドに入る

そして朝みたいにもボクを抱きしめてきた……

「文句が有るなら出て上のベッドを使い

別にそこまで強く抱きしめてないから出るのは簡単なはずだ」

少し身動きをしてみると簡単に動けた

本当に全然力が入ってない……形だけ抱きしめたって感じ。

でもボクは抜け出す気が全く無い

逆に自分から抱きつきにいった

瑞貴さんは少し驚いてたけど、今度は強く抱きしめてくれた。

「おやすみなさい、瑞貴さん」

「おやすみ」

その一言でも嬉しかった

ボクは安心感と嬉しさから、すぐに眠ってしまふ

明日……帰るんだよね……嫌だなあ……

視点 瑞貴

しくじったな……まさかこんなに懷かれるとは
やっぱり振られた時に慰めたのが失敗だったか？

というか、下手すれば俺の事が好きになってたり……

いや、落ち着け俺、自惚れるな、最初に嫌悪感と恐怖を植え付けた
んだからそうはならないはずだ

好かれない為にせっかく恐怖を植え付けたんだ、これで好かれたら
水の泡だ。

大体、俺が好かれるなんて事は大問題だ

好かれれば縛りが増える、そうなれば動きにくくなる

ただでさえ僅かながらに原作を覚えてるから動きにくいってのに
更に自分で鎖を増やしてどうする。

まあ例え好かれても大丈夫だろう

小娘がデュエル・アカデミアに来るのは2年後……まあ今は冬だから
来年だな、時間的に

どうでもいいが、冬でもこの島は割と暖かい、だから女子の制服も
変わらないという……

衣替えが不要ってのは楽だな。

話しが逸れた

例え好かれても来るのは再来年度の春、来年度は今年の春だから再来年度だ

それだけ時間が空き、会わなければ好意も散るだろう
最後の別れの時にでも恐怖や悪意でも刷り込むのもいいな。

どっちにしろ、当分小娘は出てこないんだ

万が一、次に来た時に何故か好意を持たれていたらその時にでも考えるさ

どうせその時にだって1年しか付き合わんのだ、適当にあしらっておけばいい

好意さえ受け取らなければいいのだからな。

無いとは思うが、もしも告白されたら速攻で断る

卒業後ならまだしも、学園内に居る間は誰からの告白も受け取らない
卒業まで残り2年と少し、それだけ耐えればいいんだ。

俺が誰かを好きになるなんてならないだろうしな

割と悪意を感じるように接してるから好意も持たれないはず
時々優しくしていると思うからそれがやっぱりネックかな。

はあ……やっぱりこの性格って嫌いだ

どうして自分の思い通りにならないんだろうか？

そもそも自分で言うのもなんだが、男のツンデレなんてキモイだけだ
いや、だから好意もそう持たれないんだろうけど。

小娘が帰ったらもう少し厳しくなるようにしておかないと

小娘に向けたような優しさを他のにも向けたら面倒になる、絶対
さじ加減が難しいよな……人間の心の動きを考えるのって疲れる。

ま、態々嫌われるように動いてるんだ

頑張ってもっと嫌われよう
それだけ動きやすくなる。

特に十代に嫌われないとな
どうやって嫌われるか……あいつに使うデッキは決まってるが変え
ようかな？

禁止カード満載の極悪デッキを使えば嫌われるだろうし、嫌ってい
るという意志も伝わるだろう

本人に直接、目の前で思いつきお前が嫌いと言うのも良いな。

明日香はどうするか……あいつにも懷かれてる気がするんだよな、
小娘ほどじゃないだろうが

まああいつは友達と言ってやれば踏み込んで来ないだろう

ドロパンの事件の時だって友達って言ってたしな

そこを強調していれば俺からの好意は友情しか持ってないって思う
はずだ

賢い明日香の事だ、俺が恋愛として自分を見ていなければ告白なん
ぞしないはず

こいつとは付き合いがどうしても長くなるし、上手く調整しないとな
大変だがミスをしたら洒落にならん、油断はしないようにしよう。

さて、難しい事を考えるのはもういい
今はこの極上の抱き枕を堪能しよう
はあ……やっぱり落ち着くし便利だ。

何度も言うが惜しい

精神崩壊でも起こしてくれないかな？

それなら世話をして抱き枕だけに利用できて他の事を気にしないで済むんだが……好意とかな。

まあしかし、嫌いな性格でもないから勿体ない
捨て子とかでも買って使うのも悪くないかな？

それなら性格とかもある程度操作できるし、扱いやすいだろう。

金はそれなりに貯まってる

貯金は現在××××××××××ぐらいたし、余裕かな

オークションはいいねえ、元の世界では100円程度のが数万、数十万、下手すれば数百万にまで膨れ上がるんだ
くくく、こんなカードなんかで馬鹿が釣れるってのも、見てて楽しいもんだ。

春休みになったら一度KC社にも行くべきかな

顔を隠し、名前を隠し、全てを隠して海馬瀬人に青眼の白龍を売る
まあどうせ後々ばれるだろうが、何もしないよりはマシだろう

そしてあいつの事だ、俺が怪しくとも買う、必ず買う、自分の金の
大半を払ってでもな

これで俺の貯金は更に増えるってもんだ。

トゥーンはI2のペガサスにでも売ろう

あんまり覚えてないが、確かデュエル・アカデミアに顔を出したはず
まあ別に顔を出さなくても俺から出せばいい
ペガサスはデュエルモンスターの生みの親

金払いも良いだろうなあ、思いっきり吹っかけてやるさ。

オレイカルコスのカードを見せて脅すのも有りかな？

このカードを買わないと使って一般人の魂を奪うぞって……

さぞ高値で買ってくれるだろう、危険なカードなんだからな。

なんとなくだが、城之内にかつて孔雀舞を苦しめたモンスター
ホールディング・アームズとホールディング・レッグスを送るのも
いい

城之内本人も苦しんだアニメオリジナルモンスターだ
漫画版の万力魔神バイバー・デスやバイサー・ショックを送るもの
いいなあ。

思い出してきたら楽しくなってきた

今度拷問デッキを作ろう、相手プレイヤーのモンスターを拷問で苦
しめる

なんという楽しそうな事だ！ 絶対に作る！

その拷問デッキを十代に使ってやるのもいいなあ……ヒーローの絆
をズタボロにしてやるんだ

フェザーマンを拷問車輪で縛り上げ、バーストレディを攻撃力を上
げたバイサー・ショックで動きを封じて破壊

クレイマンは原作効果の万力魔神バイバー・デスで苦しみの声を上
げさせ、スパークマンは振り子刃の拷問機械で真っ二つ

ああ……十代の潰し方を考えるだけで楽しみだ。

しかし……これで十代を潰す為のデッキが3つになってしまった

最初に考えたデッキに禁止デッキ、そして拷問デッキ

どれを使おうか……初志貫徹って事で最初に考えたのにしておこう
後々また戦う場合は残りのデッキを使えばいい。

……話しが逸れたな

うん、いい加減に寝よう

明日の船の出航に間に合わなくなったら大問題だ。

完全に眠っている小娘を強く抱きしめて寝る

抱きしめた瞬間、小娘の顔が少しだけ嬉しそうな気がしたが
気のせいだろう

苦しくて口元が歪んだだけだろうし。

時間的にそんなに眠くないが抱き枕効果で寝れそうだ
さて……おやすみ……

20話【恋する乙女……達？ 下編】（後書き）

なんという〇〇禁ゲー……

細かい事は気にしない

可愛く表現できていれば満足です。

で、なんでこうなってるの？

元々レイは瑞貴に恐怖を感じていましたが、それが逆効果でした
恐怖から逃れる為、恐怖の無い部分である優しさを無意識に探して
しまい、明日香以上に瑞貴の優しさを見るのが上手くなりました
それにより、自覚無しに好感度が一気に上がっていき、前話で慰め
られた事で爆発しました

現在もまだ好意は自覚していませんが、どう考えても瑞貴の事を…
…（以下略）

瑞貴って……

人の温もりに飢えています、理由は後の質問にて。

寝てる時、どんな格好だったんだよ……

横抱きですね

レイが動いた時、瑞貴の横顔に顔を乗せたような形になります
なお、レイが瑞貴の顔を動かした時、瑞貴の顔は布団に埋もれまし
た。

瑞貴の起きた時のって？

起きた直後、ボーっと頭で色んな事を考えると頭が平時状態になり
ません？ しない？

……え？ マジですか？ 作者は1分も掛からずで頭が平時状態に
なります

睡眠時間が3時間程度でも余裕です、皆さんは違うんですか？

ハムにスライスチーズ？

美味しいですよ？

おかずとして普通に食べられます。

瑞貴、食堂の件をいつ報告したの？

風呂の前です。

レイはどのデッキを使うの！？

次話にて

なお、残念ながら安価は取りません

読んで楽しみにしてください。くださった人は申し訳ありません

その代わり、次話で使わなかったデッキは恋する乙女を抜いた形で似たようなデッキになり、後々登場させる予定です。

何……この瑞貴の優しさ？

レイは女の子で、子供ですから

どうしても甘くなってしまうでしょう。

どうして瑞貴は嫌われようとしてるの？

巻き込まれるからです

厄介ごととは自分から入るのは好きですが、勝手に巻き込まれるのが大嫌いです

特に強引に入れられるのを嫌います

ですので誘われない為にはどうすればいいか、嫌われればいいんです。しかし、嫌われるとなると人との接触や触れ合いに飢えるようになります

なのでレイを抱き枕にしている時、あんなに落ち着いたのです。本当は嫌われたくないので更に飢えているんですが

デュエル・アカデミアに居る間はそれを誰にも見せないでしょう。

でもレイには……

寝てますし、抱き枕宣言をしているのでレイ自身は抱き枕程度の扱いだと思っています

レイはそれでも良さそうですが……

一応その程度の認識なのでまだ誰にも知られていないと言えるでしょう。

告白を受ける気が無いって？

巻き込まれそうなので、色々と

まあ、だからと言って瑞貴とのCPが無いとは言いません
ええ、無いとは言いません、ですのでご安心を。

十代に対して結局どのデッキを使うの？

瑞貴の言う通り、初志貫徹

最初から決めているデッキを使います

内容は秘密です、まだまだ登場する気配が有りませんが、楽しみに
しててください。

明日香は瑞貴の事をどう思ってるの？

ご想像にお任せします

作者からは言えませんが

今後明日香の瑞貴に対しての質問は一切お答えしません
読者様方のご想像に……お任せしますよ？

レイの精神崩壊！？

絶対にしないのでご安心を。

え？ 瑞貴って捨て子を買うの？

そんな予定はありません

……要望が多数有れば考えますが、考えるだけで終わる可能性が高いです

ややこしくなるので……なのであまり期待しないでください。

……大金持ち？

それなりにですが……でももっと増えます

正直、明日香の払う金は端金と言えるぐらい少ないです。

KC社……行くの？

未定です、社長との絡みを期待する人が多ければ考えます
行かせてもそこまで問題にならないので
良いフラグにもなりそうですし。

I2社……行くの？

未定です、ペガサスとの（以下同上）

城之内にカード、送るの？

無駄な事なのでしません

単純に損するだけです、反応も見れませんし。

え、E・HERO達が……

想像して楽しくなっちゃったのでつい……

実現するかどうかは今後の流れ次第ですね。

最後のレイの顔って？

嬉しい夢でも観てるのでしょうか

微笑ましい事ですね

最後の最後で安心を持って来ました。

21話【恋する乙女……達？ 終編】（前書き）

これにて、本当に【恋する乙女……達？】編は終了です
長々と本当にすみませんでした。

次回こそは学園対抗戦です
……どうでしょう？

今回は何故かもの凄く長くなりました
どうしてこうなった……

でもこれでも自重した方です
視点が違えば更にもっと長くなってました
……でもその方が自分では良かったんですが……視点主が悪すぎま
した。

どうでもいいですが、書いている途中で寝てしまいました
おかげで時間ギリギリ……まさか18時から22時までという4時
間も寝るとは

投稿を見送る事も考えましたがどうにかかりました
……いや、申し訳無い、おかげでちょっと雑かもしれません
そうはなっていないと思いますが……心配です。

次話投稿は少し遅れます
書き始めてもいいないので。

21話【恋する乙女……達？ 終編】

視点 レイ

んう……んあ？ 何かちよつと寒い……

暖かいのが欲しい……でも無い

真っ暗……あ、目を閉じてるからか。

目を開けると……誰も居ない？

確か昨日は瑞貴さんと一緒に寝たはず

瑞貴さんはどこに行ったのかな？

「ん？ 起きたか小娘

顔を洗ってスッキリしてこい

もう朝飯の時間は過ぎてたからお前の分の朝食は持って来ておいたぞ」

んと……あ、いた

瑞貴さんはベッドから下りて床に座ってカードを弄ってた。

ボクはベッドから下りて瑞貴さんの組んでいた足に頭を乗せる

瑞貴さんは驚いた声を上げたけど頭を撫でてくれた

ふにゃあ……気持ちいいよお。

そのまままた寝そうになるけど勿体ないような気がする

凄く寝たいけど寝ないように我慢我慢……あれ？

……………えっと、あれ？

「はうえ!？」

「うぐお!」「あだあ!」

勢いよく頭を上げたら何かにぶつかって痛かった
いたあ……頭打ったあ……ボクったら何してるんだろ
寝ぼけてたのかな?

突然頭を掴まれた

何事かと思って後ろを振り返ってみたら瑞貴さんが……片手を顎を
押さえて下を向いてる
あの……ボク、何かしました?

「ね、寝ぼけて俺の膝で寝てたのはいとしよう
俺が頭を撫でてやったらまた寝そうになったのもまあ構わん
しかしその礼が顎への頭突きか?」

「ごごご、ごめんなさい!
意識が覚醒したら吃驚しちゃってたんです!
あだだだだだ! 頭が潰れちゃう!!!」

「謝って済むかあ! かなり効いたぞ!
ついでに脳が揺れて体がフラフラしてるわ!
更にこっちも頭まで響いたから物理的に痛いんだよ!
貴様も、頭痛を感じやがれえ!」

「いだだだだだだ、ごめんなさいごめんなさいごめんなさい!
本当に謝りますから離してください……だだだだだだ!
ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい……だ……
……だだだだだだだ!」

暫くアイアンクローを決められた
すっごく痛かったので完全に目が覚めました、もう二度とされたく
ない

力が無いのに何気に握力は強いんだね……本当に何で？

なんとか謝り倒して許して貰った

不機嫌になられてちよつと空気が悪かった……ごめんなさい
顔を洗って持って来てくれてた朝ご飯を食べる

瑞貴さんが怖くて味なんてわかんないよお……

瑞貴さんはずっと座ったままだったので訊いてみると……

「さっきので頭が痛い

脳も揺れたらしくて立ち上がったら倒れそう
危険だからこうやって座ったまま」

淡々と言われたので相当怒っていると思った
うう……ごめんなさい。

「嘘だ、別に立つ必要も無いから立たないだけ
別にもうそこまで怒ってない、不可抗力だからな」

「へ？」

「何？ 態とだったのか？」

思いつきり首を横に振る
おかげで目が回ったけど信じてくれた。

「船の時間は昼過ぎだったな
後……4時間って所か？」

後4時間……それでお別れか
はぁ、寂しいなぁ。

「今日の相手は1時間後ぐらいに来るらしい
最終デッキ調整をしておけ」

そうだった！ 新しいデッキで絶対に勝たないと駄目！
負けたらカードを返さないといけないもん！
せっかく思い出になるんだもん、絶対に持って帰らないと！

瑞貴さんと相談しながらデッキを調整する

相談とは言うけどボクが気になった事を言っているだけ

瑞貴さんは受け答えをしてくれている

自分でもカードを弄ってるのにボクの相手までして的確に教えてく
れるって……

この人、脳が2つあるんじゃないの？

デッキを調整しながらも、当然時間は過ぎていく
約1時間後……扉が叩かれた。

「誰かなって、来たか」

どうやらボクの対戦相手が来たみたい
誰だろう？

って、大体予想はできてるけどね。

「おはよう瑞貴、レイちゃんもね」

やっぱり貴女だよね、明日香さん
というか、瑞貴さんが事情も知らない人を呼ぶはずが無かったね
それでいて十代さんを嫌ってるみたいだから呼ぶとしたら明日香さんしかない。

「それで、私に何の用？
どっちにしてもレイちゃんが帰る日だから後で来ようと思ってたけどね」

「小娘と決闘^{デュエル}、命令
勝ったら借金1割減、負けたら1割増しな」

「今日も貴方は突然よね！？
でも変わるの1割か……十代に勝ったから半分帳消しになってるしいいわ、受けてあげる！」

相変わらず明日香さんって扱き使われてるなあ
ボクもあんな感じにならないように注意しないと。

「表に出る、場所は誰にも見られないように森の中だが、その前に小娘は帰る仕度と身嗜みを整えてからだな
俺は出て行く、明日香も手伝ってやれ」

「あ、はい」「はいはい、もう諦めたわよ」

瑞貴さんはカードをさっさと片付け、適当に荷物を持って出ていった
えっと……ああ！ボク、着替えもしてなかった！
パジャマのままずっと！？　うわあ、恥ずかしい……

明日香さんもそれに気付く
なんとなく空気が悪い……どうしよう？

「えっと……じゃあ私は後ろを向いとくから先に着替えてね」

後ろを向く明日香さん

今更気を遣われてもあんまり嬉しくない……

着替えて、急いで仕度する

あんまり瑞貴さんを待たせるのも悪いしね。

なんとか30分ぐらいで終わった

部屋から出ると瑞貴さんが扉の横でもたれて座ってた
何も考えないでボーっとしてたみたい。

「んあ？ 早かったな

俺としては後30分ぐらい掛かると思ったんだが」

「まあ2人でしたからね」

「そうか、荷物は持ってやる
さっさと森に入るぞ」

瑞貴さんに荷物を預けて決闘盤^{デュエルディスク}を嵌める

明日香さんもボクと同じく決闘盤^{デュエルディスク}を嵌める
どちらも戦意は十分、後は勝つだけだ！

昼寝後の体操でもしようと思つて外に出てみると
瑞貴と明日香、それにレイが森に向かつてるのを見つけた
腕には決闘盤デュエルディスクを付けてるし、決闘するのか？

明日香のあのE・HEROには驚いた
欲しいけど翔も隼人も知らないカードらしい
ジュンコにも訊いてみたが知らないって言われた
どうやら瑞貴が隠し持っているみたいだ。

隠れて3人に付いていく
時々瑞貴が振り返つて警戒してたけど何とかやり過ごせた
めっちゃ危なかったぜ、危うく見つかる所だった。

森の深くまで、大原との決闘デュエルをした辺りまで来た
大原？ 闇夜の巨人決闘者デュエリストだよ、ブルー生徒からレアカードを奪つ
ていた

実は小原が隠れて指示を出してただけっていうな、まあそれは今
はいいだろう
あそこで決闘デュエルするのか？ 態々何でこんな遠くまで？
理由はすぐにわかった、レイが帽子を脱いだからだ。

できればもう少し近づきたいがこれ以上近づくと気付かれるかもし
れない
声が小さいと聞こえないが、それなりに大声を出してくれればわかる
小声の声を諦めればこの距離なら大丈夫だろう。

なんかちよつと話してるが聞こえない
決闘デュエルさえ見ればいいから気にしないが。

「^{デュエル}決闘！」

始まった始まった！

わくわくしてきたぞ！

「先攻は私が貰うわ、ドロー！

私は増援を発動！ エトワール・サイバーを手札に加える

更に融合、手札のエトワール・サイバーとブレード・スケーターを融合し、サイバー・ブレイダーを召喚！

そして一族の結束を発動するわ

一族の結束は墓地に存在するモンスターの元々の種族と、場のモンスターが同じ場合、攻撃力が800アップ

違う種族が混ざった場合は攻撃力は元に戻るけど、私のデッキには戦士族しか無いわ

カードを2枚伏せ、ターンエンドよ」

初っぱなからサイバー・ブレイダーか

しかも一族の結束で攻撃力が800アップして攻撃力2900

1ターン目からこんな強いモンスターを出すなんて、明日香はやっぱり強い

だけど今回はE・HEROデッキじゃないのか、ちょっと残念だ。

「そんな上級モンスターなんて怖くないもんねー！

ボクのターン、ドロー！

ボクは恋する乙女を攻撃表示で召喚！」

こ、攻撃力400を攻撃表示！？

何考えてんだよ！？ 大ダメージを受けちまうぜ！

「更に永続魔法、つまりきを発動！」

召喚したモンスターは全て守備表示で召喚される！
そしてカードを1枚伏せて、ターンエンド！」

新しいモンスターは守備表示にできるけど、サイバー・ブレイダーは攻撃表示のままだ

このままだと大ダメージを受けないか？

「私のターン、ドロー！」

……………そうね、私は異次元の女戦士を召喚するわ」

「異次元の女戦士……厄介だけど、そのモンスターは守備表示になる」

「邪魔なカードね、次のターンにしないと攻撃できないなんてサイバー・ブレイダーで恋する乙女に攻撃！」

「罠カード発動！ 体力増強剤スーパージ！」

2000以上の戦闘ダメージを受ける時、そのダメージを受ける前にライフを4000回復する

その後、戦闘ダメージを計算する！

一族の結束のおかげで効果を使える、感謝するよ！

更に恋する乙女の効果、攻撃表示のこのモンスターは戦闘では破壊されない

そして、戦闘を行ったモンスターに乙女カウンターを乗せる！」

サイバー・ブレイダーが恋する乙女を蹴り飛ばし、レイに2500のダメージ

だが体力増強剤スーパージの効果でライフが8000になった後にダメージだから

残りライフは5500だ。

そしてサイバー・ブレイダーに乙女カウンターが……うええええ！

『痛い、痛いわ』

『ご、ごめんなさい、大丈夫？』

『謝らないで、私と貴女は敵同士
戦う宿命にあるのよ……』

『か……可愛い……』

女同士で何やってんだお前らー！
しかも明日香もレイも瑞貴も気付いてないし、何が起こってるんだ
ああああ！？

「面倒ね、このままターンエンドよ」

「ボクのターン、ドロー！」

ボクは強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドロー！
魔法カード、アースクエイクを発動！

相手のモンスターを全て守備表示に変更するね！

更に装備カード、キューピッド・キスを恋する乙女に装備！

このカードは恋する乙女専用の装備カード

乙女カウンターの乗っているモンスターと戦闘し、ダメージを受けた時

そのモンスターのコントロールを得る！」

そうか、サイバー・ブレイダーの攻撃力は2900と高い

だが一族の結束では守備力は上がらずにたったの800
これでダメージを大きく抑えるのか！

「恋する乙女でサイバー・ブレイダーを攻撃！」

『サイバー・ブレイダー様、私の想いを受け取って』

また何か変なのが……疲れてるのかな？

しかもサイバー・ブレイダーの奴、守備表示だからか一度受け止めて押し返したぞ

そして恋する乙女が転けてしまう。

『酷い、酷いわーん』

『ご、ごめんね？

痛かった？ 私にできる事ならしてあげるからね？』

『ほんとに？』

『ええ、本当よ』

『なら……私と一緒に戦ってくれる？』

『え？ でも……』

『嘘だったの？』

『う……わ、わかったわ！』

……なんだ、これ？

「ライフは減ったけど、サイバー・ブレイダーが奪えたなら安いも
んさ！」

まあ、このコンボの弱点は追撃ができない点なんだよね

ボクは更に、恋する乙女に重力の斧ーグラールを装備する！

このカードが場に存在する限り、相手はモンスターの表示形式を入
れ替えられない！」

「何ですって！？　つまり私の攻撃は……」

「そう、ずっと守備表示で攻撃ができなくなる

そのデッキに絶対防御將軍が入っていれば話しは別だけど……入っ
てるとは思えない

明日香さん、貴女の攻撃は封じさせてもらったわ！」

攻撃できないって……レイの場のカードを除去しないと明日香は絶
対に勝てないんじゃないか？

女性型モンスターの多い明日香のデッキに絶対防御將軍が入るのは
難しいだろう

そもそも、明日香のデッキは確か攻撃主体だったはずだしな。

「ボクはモンスターをセット、カードを1枚伏せてターンエンドだ
よ」

「私のターン、ドロー！」

カップ・オブ・エースを発動！　コイントスを行い、表なら私が、
裏なら相手が2枚ドローするわ！

コイントス……表、よって私は2枚ドロー！

クッ（ドゥーブルバツセは私のモンスターが攻撃可能じゃなと発動
できない

しかも、もう1枚の伏せカードは収縮、殆ど無意味じゃない）
私は荒野の女戦士を守備表示で召喚、カードを1枚伏せてターンエンドよ」

「ボクのターン、ドロー！」

セットモンスターを反転召喚、ワーム・リンクス！

このモンスターがリバーズした場合、毎ターン、お互いのエンドフェイズ時にドローする

見た目は……ちよつとアレだけど、効果は強力よ！

反転召喚に成功したからつまずきの効果で守備表示に変更される」

2つ頭の赤い変なモンスターだな

それにしてもドロー効果か、厄介だな

普通のデッキだったら簡単に倒せそうなんだが、あのデッキだったら凄く邪魔だ

倒したいけど倒せない、うわーめんどくせえ！

「サイバー・ブレイダーを攻撃表示に変更

そして……いくよ！ こいつがこのデッキ最強のキラーモンスター！

相手モンスター2体を生け贄に、溶岩魔神ラヴァ・ゴーレムを特殊召喚！」

マグマのような体をした悪魔が姿を現した

攻撃力3000を相手の場に特殊召喚だと！？

「異次元の女戦士は戦闘を行ったモンスターを除外するモンスター
荒野の女戦士は戦闘破壊された時、攻撃力1500以下の地属性戦士族を特殊召喚するリクルーターモンスター

どっちも生け贄にすれば全く怖くない！

更に、ラヴァ・ゴーレムが存在している限り、そのコントローラー

はスタンバイフェイズ時に1000のダメージを受ける！
早く除去しないと大変な事になるよ？」

確かに早く除去しないと大ダメージを受けてしまう
どうするんだ明日香！

「ボクはこれでターンエンド
エンドフェイズ時にワーム・リンクスの効果でデッキからカードを
ドローする」

「なら私もエンドフェイズに伏せカードを発動するわ
速攻魔法、神秘の中華鍋を発動！
ラヴァ・ゴーレムを生け贄に捧げ、その攻撃力か守備力分のライフ
を回復する！

私は攻撃力を選択、攻撃力3000分回復して私のライフは700
0となるわ！」

「うわずっこい！
せっかく出したのにー！
まあモンスターを3体も減らしただけマシかあ」

「はぁ……ずっこいって思ったのはこっちょ
恋する乙女を見てコントロール奪取型デッキかと思ったらロックデ
ッキ
かと思ったら回復やバーンまで持ってるのよ？
よくそんなに詰め込んだわね」

まったくもって明日香に同意だ
めっちゃくちゃなデッキだな、あんなんで回るのか？

「えへへ、頑張ったからね
手伝ってもらったし」

「……瑞貴が手を出したのね、この嫌らしい戦法に納得したわ
納得した所で私のターン、ドロ―！
魔法カード、命削りの宝札を発動！

デッキから手札が5枚になるようにドロ―し、5ターン後に全て捨
てる！

私の手札は0枚、よって5枚ドロ―するわ！」

「また手札増強カード！？

しかも命削りの宝札ってすごく高いしレア度も高いのに！？」

「……………おかげで借金よ」

「……………ご愁傷様です」

「ごほん、手札から速攻魔法サイクロンを発動！

相手の魔法、罨を1枚破壊するわ！

私はつまずきを破壊する！」

「そうはさせない！ カウンター罨、魔宮の賄賂を発動！

相手の魔法、罨を無効にして破壊！

相手はその後、デッキからカードをドロ―する！」

「また邪魔を……でもどうして命削りの宝札を無効にしなかったの？
そうすれば私はサイクロンも使えなかったし、貴女が勝ってたかも
しれないのよ？」

「このデッキにカウンター罨は少ないんだ

もしそのドロローでサイクロンや大嵐を引かれてたらと思うとね
だったら手札ぐらい渡してでも除去カードを防ぐ！」

「(例え除去カードを引いても私の場には伏せカード1枚と一族の
結束しか無かったんだけど……

ちよっと考えが固く、甘かったわね、それは完全にプレイミスよ!)
私はコマンド・ナイトを召喚するわ

つまずきの効果で守備表示に変更ね

カードを1枚セットしてターンエンドよ」

「エンドフェイズ、ワーム・リンクスの効果で1枚ドロロー

そしてボクのターン、ドロロー!

……よし、ボクはブレードラビットを攻撃表示で召喚!

つまずきの効果で守備表示に変更される」

妙にでかい歯を持った兎が現れたんだけど……目付きが悪くないか?
すっげえ睨んでるぞ?

「ブレードラビットの効果発動

このモンスターが攻撃表示から守備表示に変わった時

相手の場のモンスターを破壊する!

この効果によりコマンド・ナイトを破壊!」

「そうはさせないわ!

速攻魔法、エフェクト・シャット!

相手モンスターの効果を無効にし、破壊する!」

コマンド・ナイトに噛みつこうとしたブレードラビットは破壊された

安心したって溜め息を吐くコマンド・ナイト

何気に芸が細かいな。

「チッ、サイバー・ブレイダーでコマンド・ナイトに攻撃！」

「速攻魔法、収縮を発動！」

サイバー・ブレイダーの攻撃力を半分にするわ！」

サイバー・ブレイダーの攻撃力は1050に下がる

コマンド・ナイトの守備力は1900だからコマンド・ナイトの勝ちだ！

レイのライフは850減って残り4250

明日香のライフは7000だからそれなりにライフ差は大きいな。

「明日香さんだって邪魔ばかりじゃない！」

恋する乙女でコマンド・ナイトに攻撃！」

恋する乙女の攻撃力はグラールで500上がってるから900ダメージは1000と少し大きめだ……って、またか！？

『コマンド・ナイト様』

『おっと……ほら』

『あん』

サイバー・ブレイダーと同じように押し返すコマンド・ナイト
そのまままた倒れる恋する乙女
こいつら、本気で何してるんだ？

『酷い、痛いわ……』

『す、すまない、大丈夫か？』

『大丈夫よ、でも私の心配なんてしないで私達、敵なのよ？』

『う……し、しかし子供を助けるのも指揮官の役目だ気にするな』

『コマンド・ナイト様……』

『うううう……そんな純粋な目で見ないでくれえ……』

……俺って確か決闘^{デュエル}を見てるんだよな？
ドラマとか見てるんじゃないんだよな？

「コマンド・ナイトに乙女カウンターが乗るよ！
ボクはカードを2枚伏せてターンエンド
ワーム・リンクスの効果でカードドロー」

「私のターン、ドロー！
ふふ、表示形式を入れ替えて効果を発動する
そのカードを使うのは貴女だけじゃないわよ！」

「ど、どういう意味？」

「こういう事よ！
ドリーム・ピエロを攻撃表示で召喚！
このモンスターの効果は貴女がさっき使ったブレードラビットと同じよ」

「ブレードラビットと同じって事は……表示形式によるモンスター破壊効果!？」

「その通りよ!

つまりきの効果が発動され、ドリーム・ピエロが守備表示になる
そして効果発動! 私は恋する乙女を破壊するわ!」

「ただで破壊されてなるもんか!

相手モンスターが守備表示に変更された事により罠カード発動!
断頭台の惨劇!

相手モンスターが守備表示に変更された時、相手の場の守備表示モ
ンスターを全て破壊する!

更に速攻魔法、非常食を発動!

断頭台の惨劇、キューピッド・キス、グラールを墓地に送って30
00ポイントライフを回復する!」

一進一退って感じだな、でもサイバー・ブレイダーが奪われている
分明日香が不利か?

それに召喚も終了してるし、ちょっと不味いよな?

「私だって破壊されるだけで終わるもんですか!

速攻魔法、サモンチェーン!

このカードはチェーン3以降に発動可能!

私はこのターン、3回通常召喚できるわ!」

召喚回数増加のカードだって!?

明日香は既にモンスターを召喚してるが、更に後2回も召喚できる
のか!

だが明日香の手札は2枚、両方モンスターの可能性は高くないから
1回しかできそうにないが……

「私はX－セイバーアナペレラを召喚し、更にアナペレラを生け贄に捧げ……」

剣の交差、剣音を交えし戦場に立つは一閃の閃き、切り伏せなさい！
X X－セイバーヒュンレイ！」

おお！ 瑞貴が時々する召喚口上じゃねえか！

という事は瑞貴から譲って貰ったのか！？

いいなー、俺も欲しいなあ……

「このモンスターは戦士族を生け贄にした時、召喚可能よ

このモンスターが生け贄召喚に成功した時、場の魔法、罠を3枚まで破壊する

レイちゃんをつまずきを破壊するわ！」

「ぐう、破壊されるけど効果の発動前につまずきの効果で守備表示になる！」

「つまずき自体を破壊できただけマシよ

これで次から普通に攻撃できるわ」

「手札も無い上、守備力1300のモンスターと伏せカードだけで守りきれん？」

エンドフェイズ、ワーム・リンクスの効果でドロー！

そしてボクのターン、ドロー！

きたあ！ このモンスターでボクは勝つ！

元々相手のコントロールしていたモンスター、サイバー・ブレイダーを生け贄に捧げ……

見やがれい、これが権力だあ！ であえ、ゴヨウ・ガーディアン！」

け、権力？

「け、権力？」

あ、ハモった

権力ってどういう意味だ？

「このモンスターは元々相手がコントロールしていたモンスターを生け贄にした時のみ召喚できるモンスターなんだ

召喚条件は厳しいけど、ボクのデッキなら相性抜群！

そして効果はこのモンスターが相手モンスターを戦闘で破壊した時そのモンスターを守備表示で自分の場に特殊召喚できる効果を持つんだ！」

「LV6で生け贄が1体の上、攻撃力2800、更に相手モンスターを奪う効果ですって！？」

何よ、その巫山戯たモンスターは！？ しかも戦士族？ 戦士族ですって！？

どういう事よ瑞貴！ 私にもあのモンスターを売って頂戴！」

「お前のデッキには刺さらんだろうが

それに、コントロール奪取型デッキじゃないと手札で腐る可能性が高い

コントロールを奪うカードが来ないと召喚できないからな

（しかし、元の世界ではエクストラデッキに必ずと言っていいぐらい入るカードなんだがな

どうしてこんなに扱いにくい召喚条件になった事やら……凶悪効果で制限だからだろうな、うん）」

それでレイのデッキに入ってるのか

しかし、LV6で攻撃力2800って本当に巫山戯てるとしか思えないな

一応、俺も死者蘇生やミラーゲートのカードを使えば召喚できるけどそれしか無いのにデッキに入れても邪魔だよなあ……

「ちなみに、権力って？」

「ゴヨウ・ガーディアンは御用、つまり昔の言葉で逮捕って意味なのこのゴヨウ・ガーディアンは警察のモンスターで、警察の権力によってモンスターを奪う効果なんだ

だからこのモンスターが権力、だからこれが権力、権力って怖いね」

「警察って何故か怖いよな」

「それは貴方が悪さをしてるからじゃない？」

「……気にするな、さあ、決闘デュエルを続けろ」

「あ、逃げた」「逃げたわね」

……逃げたな。

「まあそれはともかく

ゴヨウ・ガーディアンでヒュンレイに攻撃！

ゴヨウ・ラリアットオ！」

ゴヨウ・ガーディアンが紐を投げつけ、ヒュンレイの首を締めて破壊する

そしてヒュンレイは輪になった紐の中に再び現れたこれがコントロールを奪う効果か！

「これでヒュンレイはボクのモンスターだ！
ヒュンレイは召喚条件が付いてるけど、それさえ満たせば蘇生条件も満たされてる

だから奪うのも可能なのだあ！

ボクはカードを2枚セットしてターンエンド
ワーム・リンクスの効果でドロー！」

でもE・HEROは召喚制限が有るから無理だよな
俺なら……勝てるか？ 難しいな……悔しいな、くそっ！

「私のターン、ドロー！
天よりの宝札を発動！ お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドローするわ」

「最強のドローカード！？
そんなカードまで持ってるの！？」

「……………おかげで借金地獄よ」

「……………ごめんなさい、そしてご愁傷様です」

「「……………」」

なんか急に声が小さくなって聞こえないな
どうかしたのか？

「えっと、私は装備魔法、再融合を発動
ライフを800払い、墓地の融合モンスターを復活させるわ
現れなさい、サイバー・ブレイダー！」

おお、無理矢理テンションを上げてまたサイバー・ブレイダーを出すとは！

だが、ゴヨウ・ガーディアンは攻撃力2800、サイバー・ブレイダーでは勝てない！

……ああ！ 確か一族の結束が有った！

ならこれで攻撃力は2900、ゴヨウ・ガーディアンに勝てる！

「更に私は融合回収を発動！
フュージョン・リカバリ

墓地のエトワール・サイバーと融合を手札に加えるわ！

そして戦士の生還を発動！ 墓地のブレードスケーターを手札に加え、融合！

エトワール・サイバーとブレードスケーターを融合し、サイバー・ブレイダーを召喚！」

「同じ融合モンスター！？

しかも同じモンスターを使ってよくできたね」

「この程度で褒められても嬉しくないわ

次よ、場の戦士族、再融合で召喚されたサイバー・ブレイダーと再融合を生け贄に捧げ……

高速より生まれし肉体よ、革命の時は来たり、勝利を我が手に！

きらめけ、フルール・ド・シュヴァリエ！」

花のような頭をした女の戦士……というよりも聖騎士という感じのモンスターが姿を現した

これも口上……また瑞貴のモンスターか

それにしても、モンスターと魔法カードを生け贄ってどうなってるんだ？

「シュヴァリエは戦士族、または機械族1体と自分の場の魔法、または罠1枚を生け贄にして召喚できる
このモンスターが存在している限り、私のターンに1度だけ魔法、罠の発動を無効にして破壊できるわ」

「で、デメリットは!？」

その効果にデメリットは無いの!？」

「残念だけど無いわ

伏せカードは2枚、必ずどちらかは無効にさせてもらおうよ!

バトル、シュヴァリエでヒュンレイに攻撃!

フルール・ド・オラージュ!」

花の騎士が高速でヒュンレイを剣で突く、突く突く突く突く突く
最後の一撃を決め、ヒュンレイは破壊された。

「相手の場のモンスターが2体に減った事により、サイバー・ブレイダーの攻撃力は倍になる!

攻撃力2900のサイバー・ブレイダーの攻撃力は5800よ!
サイバー・ブレイダーで、ゴヨウ・ガーディアンに攻撃!」

「そんな攻撃、素直に受けるわけないでしょ?

罠カード、ドレインシールド!

戦闘を無効にし、その攻撃力分ライフを回復するわ!」

「でもシュヴァリエの効果で無効よ!」

「そんなの、わかってるよ!

カウンター罠、天罰を発動!

手札を1枚捨て、モンスター効果を無効にして破壊する!」

これでフルール・ド・シュヴァリエは破壊され、ドレインシールドは使用された

攻撃力5800分ライフを回復したレイのライフは……13050
！？

明日香は再融合を使ったから残りライフは6200
初期ライフより多いのに明日香のライフがレイの半分以下！？

「クッ、相変わらず……まあいいわ

私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「エンドフェイズだからワーム・リンクスの効果でドロ

ーとしてボクのターンになり、ドロ

ー！
手札が悪い……くそっ！

いや、そういえばサイバー・ブレイダーって相手のモンスターの数
だけ効果が変わるんだっけ？

という事は今の攻撃力はまだ5800？」

「そうね、ゴヨウ・ガーディアンじゃ勝てないわよ？」

「う……でも、実はあんまり関係無かったりして

ボクは手札から魔法カード、洗脳ーブレイン・コントロールを発動！
相手モンスターのコントロールを得る！」

「ちょ、またコントロールを！

貴女、何回私のモンスターを奪えば気が済むの！？」

「何回奪っても気が済まない

サイバー・ブレイダーとゴヨウ・ガーディアンで直接攻撃！
ダイレクトアタック」

これを受けたら明日香は4900の大ダメージだ！
そうなれば残りライフは1300、十倍以上のライフ差になる！
明日香はサイバー・ブレイダーの攻撃で残りライフは4100
でも初期より多いんだな。

「片方は通したけど、もう片方はさせない！
罠カード、ガード・ブロック！ このカードでゴヨウ・ガーディア
ンの攻撃を防ぐわ！
戦闘ダメージを0にし、デッキからカードを1枚ドローできる！」

「あらら、防がれちゃった
ならボクは最後にサイバー・ブレイダーを生け贄にしてカタパルト・
タートルを守備表示で召喚
カードを2枚伏せて、ターンエンド、ワーム・リンクスの効果でド
ロー！」

「私のターン、ドロー！
手札から強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドローするわ
！」

「どうでもいいけど、明日香さん」

「何？」

「さっきからドロー系カード引きすぎじゃないですか？」

「……………おかげで借金塗れよ」

「……………愚痴を言って本当にごめんなさい」

「……まあいいわ、私は死者蘇生を発動、この効果でフルール・ド・シュヴァリエを特殊召喚するわ

更に私は浅すぎた墓穴を発動、お互いのプレイヤーは墓地のモンスターを裏守備表示で特殊召喚する

私はエトワール・サイバーをセットするわ」

「ならボクはさっき天罰で墓地に送ったブレイン・ジャッカーをセットするね」

「……それって確かりバース効果のコントロール奪取モンスターよね？」

「うん、装備カードになって相手のモンスターのコントロールを奪うんだ

相手のスタンバイフェイズ時に500回復させちゃうけど

見た目は悪いけど、強いでしょ？」

見た目が悪いって……そういう問題か？

「あの、貴女のデッキって恋する乙女をメインにしたデッキじゃないの？」

「そうだけど、色々としてたらごっちゃごちゃになっちゃった

あはは、コントロール奪取特化した上、上級モンスターも出せるパワーも持って

更にバーンやロックまで使うようになったんだ」

「それでよく回るわね、普通無理よ？」

「大丈夫、攻撃を防ぐカードやロックカードはそれなりに入ってる

から

ドロークカードはあんまり無いけど、ワーム・リンクスが上手く動いてくれてるしね

攻撃を防ぐカードとロックで簡単にドロークできるって強いよ

見た目は悪いけど」

見た目の悪いモンスターが多くないか？

瑞貴の趣味か？ それとも強さや効果重視か？

「さて、続けましょうか

私はフルール・ド・シュヴァリエとセットされているエトワール・サイバーを生け贄に捧げ……

力を司る巨人、破壊を魅せよ！ 立ち上がれ、ギガンテック・ファイター！」

上級モンスターを生け贄にしてまでの召喚だと！？

そこまでして出すモンスターなのか！？

「ギガンテック・ファイターは場の戦士族を生け贄にしたとき召喚可能よ

このモンスターの攻撃力は墓地に存在する戦士族の数×100上昇する

墓地の戦士族は10枚、よって攻撃力は1000上昇して3800更に一族の結束の効果により800上昇してるから4600よ！」

「4600！？

でもサイバー・ブレイダーより弱いよね」

「言わないで頂戴、私だってそう思うわ

けど、サイバー・ブレイダーは相手の場によって効果が左右される

から安定しないのよ

私のデッキは戦士族統一デッキだからギガンテック・ファイターの方が安定するわ

ギガンテック・ファイターで先ほどセットされたブレイン・ジャッカードを攻撃！」

ブレイン・ジャッカードは生き残らないと効果を発動できない

戦闘破壊すれば問題無く倒せる！

「うーん……そこまで頑張って出したモンスターなのにごめんね？ 罠カード、和睦の使者！ 戦闘ダメージを受けなくなり、戦闘ではモンスターは破壊されない
そして攻撃された事でリバースされる、ブレイン・ジャッカードの効果が発動！

このモンスターは装備カードとなり、相手モンスター1体のコントロールを得る！」

えげつねえ！ 戦い方が酷すぎる！

相手のプライドがズタズタに引き裂かれるんじゃないか！？

「……………カードを1枚セットしてターンエンドよ」

残りライフ4100で耐えられるのか？

「エンドフェイズ、ワーム・リンクスの効果で1枚ドロー

ボクのターンになってドロー

恋する乙女を召喚するよ、そして装備魔法、ハッピー・マリッジを恋する乙女に装備

このカードは相手からコントロールを奪ったモンスターの攻撃力分、恋する乙女の攻撃力に足すんだ

ギガンテック・ファイターの攻撃力3800分上昇して攻撃力4200だね」

レイの場には攻撃力4200の恋する乙女

3800のギガンテック・ファイター

2800のゴヨウ・ガーディアン

守備表示のカタパルト・タートルとワーム・リンクスカ

……オーバーキルだな。

「一応サイクロンを発動しておくね
ボクが破壊するのはさっき伏せられたカード」

サイクロンで破壊されたのは聖なるバリア・ミラーフォース

明日香はこれで防御手段を失った

最初から伏せてあるカードを使わないという事は攻撃反応型じゃないんだろ。

「行くよ？」

カタパルト・タートルの効果発動！」

「へ？」

え？

「ギガンテック・ファイターも生け贄に捧げ、攻撃力の半分である1900ダメージを与える！」

そしてゴヨウ・ガーディアンを生け贄に捧げ、攻撃力の半分、1400のダメージを与える！

最後にカタパルト・タートル自身を生け贄に捧げ、攻撃力の半分の500ダメージを与える！

これで合計ダメージは3800、残りライフは300
恋する乙女で直接攻撃だあ！
ダイレクトアタック

恋する乙女が明日香に向かって走っていき、転けた
ハッピー・マリッジで持っていたブーケが飛んでいき……明日香の
手の中に収まる
そして……爆発したあ！？

明日香は黒こげ、そしてライフは0
……なんか屈辱そうだな、明日香。

「最後の最後で……これはアレかしら？
私はお嫁に行けないって言われてるの？
いや、落ち着きなさい明日香、相手は子供よ、怒ったら駄目よ」

「瑞貴さん！ ボク勝ったよ！
言われた通り、恋する乙女の元々の攻撃力で、
ダイレクトアタック直接攻撃をして勝っ
たよ！」

レイが瑞貴に勝った勝ったと嬉しそうに抱きついてる
瑞貴はよかったなって言って頭を撫でてやってるな
レイはなんだか嬉しそうだ。

「瑞貴い！ 貴方ね、私を馬鹿にしたいの！？
そうなんですよ？ 絶対にそうよね！？」

「その通りだ、何か問題でも？
負けたお前が、何か言い訳でもする・つ・も・り・か・な？」

うわ！ 平然と言い返しやがった！

しかも最後のが超嫌味っぽい！

「ぐううううう……お、覚えてなさいよおおお！！！」

明日香は逃げ出した

なんというか、小物っぽい逃げ方だったな。

「えっと……やっぱりあの勝ち方は拙かったかな？」

「ほっとけ、別にオーバーキルしても結果は変わらん

どっちにしろ、お前の勝ちが決まってたんだし構わんだろう

俺の指示ってのも明日香だって分かってるだろうし、そこまで気にせんよ」

よし、ここは俺も逃げた方がよさそうだな

一応レイに近づくなって言われてるし、会ったら何を言われるか……

「ところで、俺の後ろで覗き見している馬鹿
とりあえず出てこい」

ギクッ！ 気付かれてたのか！？

俺は素直に瑞貴の前に行く

レイが瑞貴の後ろに隠れて俺を警戒してる

別にもう何もしないんだけどな……

「確か俺は、小娘の件で干渉するなと言ったはずだな

随分熱心に決闘^{デュエル}を見てたが……これは干渉してると言わないか？」

「そ、それはそうだけだよ……」

「まあいい、さっさと帰れ

俺は今からこいつの見送りだ」

そう言って瑞貴は後ろに隠れているレイの頭を撫でるくすぐったそうにしてるけど嬉しそうだ

邪魔するのも何だし、素直に帰った方が良さそうだ。

「わかった、俺は帰る

一応、レイの事は誰にも言わない方がいいか？」

「言わない方がいいな

最悪、監督責任を取らされてこの学校の教師の半分以上が首だな」

「マジか!？」 「そんな大事なの!？」

レイの件ってそんなにやばかったのか……そりゃ干渉するなって言うか

俺が下手な事したら教師の半分以上が首、想像しただけでも恐ろしいな。

「わかった、絶対に言わない

じゃあ俺は帰るな、また会おうぜ、レイ！」

「あ、うん、またね十代さん

……瑞貴さん、十代さんにボクが中学生になったらここを受験するって言ったっけ？」

「あの馬鹿に教えるわけ無いだろうが

単に言ったただけだろ、決闘者^{デュエリスト}は絆で繋がっているとかいそくな奴だ
その内会ったら、俺と決闘^{デュエル}しようぜって言いたいんだよ」

「そっか……でも煩そうでやだ」

「俺も嫌だ」

視点 レイ

船着き場、瑞貴さんと明日香さんが見送りに来てくれた
明日香さんは亮様にも声を掛けたいんだけど……

「振ったばかりの俺が行っても気まずいだろう、だって
はあ、来た方が良いに決まってるじゃない」

「思い知らせた方がいいんじゃないか？」

「ボクの為にしてくれるのは嬉しいけど……あんまり酷い事しないで
くださいね？」

物騒な話しになっちゃった

怒ったりしてくれるのは嬉しいんだけど、やっぱり酷い事はしてほ
しくないな

喧嘩なんかしてほしくないもん。

「あの……」

「どうかした？」 「ん？」

「もう少し……残ってるのは駄目なんですよね？」

「駄目だ、諦めろ」

切り捨てられた、やっぱり瑞貴さんならそうするよね
ちよっと落ち込みそうになるけど、いつも通りでなんか安心した
瑞貴さんが緊張してたりするのって見てて変な感じなんだもん。

それに、ボクは瑞貴さんが見送りに来てくれるだけでも嬉しいもん
……あれ？ いや、明日香さんが来てくれるのも嬉しいよ？
でも、なんで瑞貴さんしか名前が出なかったのかな？

「ちよっと瑞貴、もう少し気を遣ってあげたらどうなの？」

「無駄な事はしない主義だ
まあ……可能か不可能と言えば可能だが」

「できるの！？」「できるんですか！？」

「校長を脅せばなんとか
だが後で色々都合が悪くなるし、小娘を隠し通すのも面倒
素直に中学で入って来てくれた方が助かる」

「「脅す！？」」

校長先生を脅す為の脅迫材料持ってるんだ！？
どうやって手に入れたんだろう……ちよっと怖い。

「一応、小娘を残した場合の事も考えたんだがな
不都合とか、面倒とか、厄介事とか」

考え出すと増える一方で難しいと判断したんだ

俺が付きつきりで調整すれば後1週間ぐらいは残せそうだが、疲労が半端無い

悪いが諦めてくれ（はぁ、せつかくの極上の抱き枕が……）」

「ぼ、ボクの為にそこまで考えてくれただけでも嬉しいですよ！」

本当……嬉しい、あんなに迷惑を掛けてばかりだったボクの為にまた大変になるかもしれないのに残す方向にも考えてくれたんだもん嬉しくないはずが無いよ。

「（なんとなくだけど……ちよつと擦れ違ってる気がするわ、気のせいかしら？」

でも言ったらレイちゃんが可哀想な予感がするから黙ってましよう」

」

船の汽笛の音が聞こえる

もうすぐ出向か……寂しいなあ。

「そんなに悲しそうな顔をするな

お前がミスをしない限り、また会える

悲しみは次の楽しみの為に取っておけ」

そう言って頭を撫でてくれる

やっぱり怖いけど、優しい人だ。

でも、自分で言って恥ずかしかったのか目を逸らしてる

ボクの頭を撫でるのは止めない

恥ずかしくても言ってくれるのが嬉しいな。

「（ここで何か言ったら空気を壊すわよね……黙って見てた方が良さそう」

それに……恥ずかしがってる瑞貴を見てるのも楽しい
瑞貴ったら可愛い……珍しい物を見たし、来てよかった」

「瑞貴さん瑞貴さん」

「なんだ？」

嬉しくなったからちよつとだけ悪戯

だって瑞貴さんが悪いんだよ？

あのカードをボクに見立てたって言ったから

悪戯好きになっちゃったんだよ？

瑞貴さんと呼んで手招き

身長が違うから膝を曲げて頭を下ろす瑞貴さん

そうやって顔が近くになったから……

「そんな不意打ちは残念ながら俺には通用しない
大事な唇だ、俺なんかには使わずにもっと大事に取っておけ」

突然抱きついてキスしようとしたけど

その前に手のひらで口を押さえられて止められた
暫く頑張ったんだけど離してくれないから諦める
諦めた事に気付いた瑞貴さんは手を離してくれた。

「むう……どうして邪魔するんですか？」

「ファーストキスはもっと大きくなってからにしろ
後で後悔するかもしれない、もっと好きな人ができた時

それまでその可愛らしい唇は大事にしておけ」

「好きな人……」

「（どう見てもレイちゃんは瑞貴の事が好きにしか見えないんだけど？

というか、瑞貴もそれを分かってて言ってるわよね？

多分、長い時間を会えないんだから早まるなって言いたいんじゃないかな
いかしら？

レイちゃんの事を考えているのか、想いを無下にしてるのか判断に
困るわ）」

好きな人かあ……瑞貴さんが言うのと違和感を感じるなあ

そう言ってくれるのは嬉しいんだけど、ちょっと悔しい

多分、ボクの事を考えてくれている

だけど今はまだ想いを受け取ってくれないみたい。

長い事離ればなれだからよく考えて行動しろって言いたいんだと思う
きっと離れている間に、また別の好きな人ができるかもしれない
そう考えてるのかな？

だったらボクは何も言わない

次、また会っても好きだったら言おう

ボクは……瑞貴さんの事が好きだって！

「そろそろ時間だ、行ってこい」

「うん、迷惑をかけてごめんなさい瑞貴さん、明日香さん
でもボクの為に色々としてくれてありがとう！」

「したくてした事だ、気にするな」「気にしないでレイちゃん」

そう言ってくれてると嬉しいな
ボク、絶対にまた来るからね！

「ボク、絶対にまた来るからね！
だから待っててね！」

「あー……まあ待っててやるから失敗するな
適当に頑張れよ」

「（もっと素直になればいいのに……）
私も待ってるわ、だから頑張ってる？」

「ありがとう、またね！」

ボクはそのまま走って船に乗り込む
振り返ったら足を止めちゃいそうだもん。

船に乗り、瑞貴さん達を見れる場所まで行く
ちゃんと待っててくれた……凄く嬉しい！

そして出向する船

段々と船着き場から離れていき、遠くなっていく2人の顔
泣きそうになる、悲しくなる、だけど……絶対に泣かないんだ！
その為に大声で宣言しておく！

「絶対にまた来るからー！
だから、それまで待っててねー！ー！ー！ー！」

瑞貴さんは明日香さんに何かを言っていた
そしてこっちを向いて、大声を出してくれたんだ。

「待っててやるから必ず来いよ！」

あの瑞貴さんが大声を出してくれた
面倒事とか嫌うし、静かな方が好きだって言ってたのに
声を出すとかも嫌とかも言ってたのに大声を出してくれた
ボクの為に出してくれた……もう、瑞貴さんは酷いよ、すっごく嬉
しいじゃんか。

2人が見えなくなり、船室まで戻る
そしてポケットから写真を取り出した
即席のだけど……明日香さんが撮ってくれたんだ。

ボクが前に立ち、瑞貴さんは後ろに立ってボクの頭を撫でてくれて
いる写真
ボクは嬉しそうに、瑞貴さんは困ったような顔になってた
これだけで……ボクは想いを忘れないはずだよ。

明日香さんに勝ったから貰ったカード
このデッキはずっと使い続ける
大好きな人と一緒に作ったデッキ、絶対に崩さない。

また会おうね、瑞貴さん！

21話【恋する乙女……達？ 終編】（後書き）

頭突きって……大丈夫なの？

そうとう効いたらしいです、お互いに。

何故十代視点！？

あの恋する乙女の戦闘シーン、精霊の馬鹿を思い出したので
もの凄く楽しかったです

……内容が凄まじく薄くなってしまったのは非常に残念ですが
十代は本当に無理です

単純だから書き難くて書き難くて仕方有りません、もう嫌です。

レイのデッキ構造が意味☆不明！

コントロール奪取を主軸とし、恋する乙女はメイン

しかしサブカードが充実し過ぎたのでちょっとサブメインに降格
作中でも言ってますがかなりごちゃ混ぜですね

基本は回復ロックです、ドロー加速とバーンも使ってライフ差とボ
ードアドバンテージを奪います

弱点は除去カードへの耐性が少ない事

大嵐やサイクロンで半分ぐらい崩壊する可能性有りです

なお、実はアルカナフォースザ・フルO-THE FOLとアルカナフォ
ースフォーティーンテンパランス？-TEMPERANCEも入っています、登場してません
が。

サイバー・ブレイダーにコマンド・ナイトー……！！！！

これがしたかったんです、この為だけにこの決闘デュエルを組みました
できればもっと恋する乙女を活躍させたかった……

ワームとか……

似合わないのは十分承知の上です
しかし、ロックに丁度良い上、ドロー加速として使えるモンスター
が少なかったんです。

魔宮の賄賂……

明日香の言う通り、考えが固かった結果です
というのはい訳、忘れてた作者のミスです
作者のミスによってレイはちょっとお馬鹿に……申し訳無い。

明日香がドリーム・ピエロ？

戦士族でそう多くないモンスター破壊効果です

明日香のデッキには重力解除も入っているので使えるかと思いまし
た（登場してませんが）

……正直、明日香には似合わないと思ってますので今後登場するか
は不明。

レイのデッキが拷問系のカードで……

ラヴァ・ゴーレム、断頭台の惨劇などですね

瑞貴の趣味です、効果が強いので勧めたらレイは自分から入れました
特にラヴァ・ゴーレムは詰め決闘デュエルでも出たので更に入れようと思っ
たそうです。

何故サモンチェーンを？

明日香のデッキには除去カードや罠カード、速攻魔法が多いので
よってサモンチェーンはそこまで難易度が高いカードではありませ
ん。

ヒュンレイとギガンテック・ファイターの口上は？

思いつきで書きました、今回は難しかったのでそれなりに悩みました
明日香とレイが口上を言ったのは瑞貴からの指示です

言わないと返せと言われていたので言う他ありませんでした。

何故瑞貴はそんな指示を？

自分が最初のロード・ウォリアーの時にしてしまってから吹っ切れました

良いストレス発散になったらしいです

でも自分だけなのは気に入らないので言わせる事にしたそうで。

ゴヨウ・ガーディアンの召喚方法が……

この凶悪モンスターを戦士族の生け贄なんて楽な方法は危険と判断しました

コントロールと奪わなければ召喚できないようにしました

更に相手モンスターを蘇生させた場合は召喚できません

召喚方法が相手のコントロールしていたカードを生け贄に捧げるので墓地に送られた時点でプレイヤーとコントロールの関係が切れてるので無理なんです

ついでに召喚制限が掛けられ、正規召喚しても蘇生できません

なお、ヒュンレイとギガンテック・ファイター、シュヴァリエには召喚条件はありますが制限はありません
ですので蘇生は可能です。

明日香のチートドロに俺が泣いた……

戦士族は手札の消費が激しいのでドロ系カードは大量に入ってます
6枚か7枚ほどです、普通のデッキにはそんなに入りません
値段とレア度が原因です。

フルール・ド・シュヴァリエは何故そんな召喚条件に？

魔法、罠破壊カードなので

あの場では他の召喚条件が思いつきませんでした。

レイが毒されて……
気にしたら負けです。

明日香まで……

今更でしょう

でも明日香は空気を読める子。

原作オリジナル、アニメオリジナルカード効果について

エフェクト・シャットの効果は？

手札を捨てない速攻魔法の天罰です

OCG化したら高確率で即制限か禁止入りですね。

洗脳ーブレイン・コントロールのコストは？

OCGは洗脳ーブレインコントロールなのでカード名から違います、
微妙ですが

原作ではコスト無しなので問題有りません
払っても問題ありませんが。

22話【二度あることは三度ある】（前書き）

夜中起きて朝まで書いてました

寝たのは午前7時です……よって連日投稿

出かける予定が有って1時間しか寝てません……よく保ったと思います

とりあえず前話の前言撤回、遅くなりませんでした。

今回は学園対抗試合の出場者決定戦となります

この対戦を予想できた人は多いのでは？

だがデッキは予想できまい！

次回はどうか……ちょっと微妙です

書いている途中ですがどこまで行けるか……うーん。

22話【二度あることは三度ある】

視点 瑞貴

「え、俺？」

「そうなのニャー
三沢君と決闘^{デュエル}して、勝った方がノース校との決闘^{デュエル}に出場権利を得られるのニャー」

眠い眠い……そんなどうでもいい話なんか本当にどうでもいいから早く終われ
帰ったらボンバーデッキを作るんだから……はあ。

「そうそう、そこで寝ている堅守君」

「んあ？ 何か？」

「君も推薦されたニャー」

また別に誰か推薦されると思うから、その人と決闘^{デュエル}して
勝った方は遊城君か三沢君と戦い、それに勝ったらノース校との決闘^{デュエル}に出る
闘^{エル}に出て貰う事になるニャー
言うなればトーナメント戦みたいな物だニャー」

ふーん……

「お断りします

寝言は寝てから言ってください

推薦した人を教えてもらえますか？
報復しに行くんで」

「で、出てくれないのニャ？
後、報復するのは止めておいてほしいニャー」

「めんどい、そんな下らない話しの為に残されたんですか？
ならお先に失礼しますよ」

そう言って立ち上がって帰ろうとする
はぁ、本当に下らなかったな。

「ちよちよちよ、ちよつと待つニャ！
これは丸藤君の推薦だニャ、だから出て欲しいのニャ！」

またお前か、カイザー豆腐！

お前は俺に怨みでも有るのか！？

大徳寺先生を無視して教室から出て行く
教室ではざわめきが聞こえたがどうでもいい
公の舞台に立つなんて絶対にご免だ。

移動中、レッド制服を着た中年の男性を見つけた
こいつ……生徒じゃないな。

「おいおっさん、制服なんて盗んで何してるんだ？」

中年は驚いた顔をしてこっちを見た
ふん、何を考えているのやらな。

「おっさんって……それに制服は盗んでなんて……」

「へえ……ちなみに名前は？」

「えっと……」

言い淀むか、半分ぐらい出任せで言っただが本当に盗んだらしいな。

「名前は？」

「俺は……国崎耕介だ

（やべ、妙な迫力に押されて本名を言っちゃまった）」

「国崎さんね、なら名札を見せろよ
制服の裏側には名札が張ってあるんだ
ちゃんと名前……書いてるよなあ？」

俺の言葉に慌て出す中年
嘘だ馬鹿、名札なんてあるはずが無いだろうが
小学生じゃないんだぞ？

「えっと……今日は忘れちゃって」

「名札なんて嘘だおっさん
さ、職員室に行こうか？」

追い出してやるから二度と来るなよ」

俺を睨んで突き飛ばし、逃げ出す中年
へえ……そういう態度を取るんだ

なら、俺にも考えがあるぞ？

.....

.....

.....

仕込みは終了、中年が何を考えているのか知らんが俺には関係無い
さっさと帰って反省するんだな。

部屋でまたカードを弄る

ボンバーデッキ……爆弾系カードを大量に突っ込んだバーン系デッ
キだな

ま、爆弾をテーマにしてるだけのファンデッキだ
でも、ダーク・ダイブ・ボンバーも入ってるから死ねるかもな。

デッキ構築中、扉が叩かれる

はぁ、今日もかよ。

扉を開けると明日香の手には花

何度も付き合わされている廃寮

あれから何か起きないものかと付き合っているものの、何も起きない
タイタンに会えたのは運がよかったのかねえ。

用件は分かっているので何も言わずに部屋を片付けて準備をする

今日こそは何か起こるといいなぁ、楽しい事が。

寮を出て明日香と共に廃寮に向かう

途中、明日香から質問された。

「ねえ瑞貴、どうして学園対抗試合に出ようと思わなかったの？」

「豆腐の推薦だから」
カイザー

「亮の推薦だから？」

（気のせいかしら、カイザーって聞こえたんだけど何か違うような……）」

「俺はあいつが嫌いだ

嫌いな奴の推薦なんて受けるわけないだろう？」

納得できていなさそうな明日香

そりゃそうだろう、嫌いだからなんて子供の我が儘みたいな理由
加えて俺が言ったのだから裏も探っているんじゃないか？

「大体、俺はそんなのに出て悪目立ちする気は無い
俺のデッキだってそう好かれるような戦いじゃないしな
何よりも面倒だ」

「はあ……そういえば貴方はそんな人だったわね
無駄に考えた私が馬鹿みたいじゃない」

そのまま歩き出す俺達

どうでもいい話だったな。

暫く歩き、廃寮の前まで来る

明日香は花を置き、また想いに耽る。

しかし、後ろから足音が聞こえた
誰か来たのか？

「誰!？」

「やーやー、お嬢さんって、あんたは昼間の!？」

おーおー、そう言うあんたは昼間の中年
悪さでもしに來たのか？

「瑞貴、知り合い？」

「不法侵入、空き巣、泥棒、傷害罪に問われるべき悪人

学園には既に報告済み、見つければ即逮捕確定

しかもちよつと誇張して言っておいたから割と警備員が歩いてる
さあ、隠れきれるかなあ？」

「な、なんだとお!？」

良いリアクションだ

その為に態々動いた甲斐が有ったってもんだ
ちなみに嘘じゃない、本当に全部事実だ。

「相変わらず仕事が早いわね
何か苛つく事でもされた？」

「怪しいから探りを入れたら押されて倒された
気に入らなかったから潰そうと思って行動した
反省はしないし後悔もしない、俺としては帰らずに捕まってほしい
所だ」

「じよ、冗談じゃないぜ! あばよ!」

また逃げ出す中年

そうそう、その悔しそうな顔が見たかったんだ
ちなみに俺の本音はどうでもいい

さっきの顔を見る為に言っただけだしな。

「瑞貴、凄く嬉しそうな顔になってるわよ？
その性格どうにかしたら？」

「無理だ
さて、帰るぞ」

「……はあ」

更に言うとう直す気なんて欠片も無い
俺は自分の性格が気に入ってるのでな
……時々優しくしてしまう時以外だけど。

途中まで明日香を送り、寮に戻る
ボンバーデッキをまた作り始めた。

暫くしたら完成、そして寝る
おやすみ。

視点 明日香

「おい明日香」

「何かしら？」

「何故俺は……ここに立っているんだ？」

私がおもえに頼んで強引に連れてきたからなのよね
悪いとは思ったけど、何だか悔しくってね。

ちなみにジュンコは手伝わせなかった

十代の決闘デュエルを見たいだろうと思ったからよ
あの2人、どうなってるのかしら？

「では、遊城十代VS三沢大地戦の次はー
オベリススクブルーから天上院明日香、ラーイエローから堅守瑞貴
この2人の決闘デュエルを始めマース！」

そう、瑞貴が断った学園代表決定戦

部屋に籠もってたのを強引に連れ出してこの場に立たせた
空気の読める瑞貴の事、ここまで来たら諦めて受けるわ。

私は十代と三沢君の決闘デュエルを見てたけど……なんとも言えなかったわ
どっちも安定性の無いデツキ、よくもまあ……お互いあそこまで戦
えた物ね。

昨日の夜に会った男

瑞貴に脅されてたけど懲りずに色々したみたいだけど改心したみたい
私としては助かるけど……警備強化されてるのにあんなに堂々と歩
いて大丈夫かしら？

「もういい、どうせ俺はこういうのに巻き込まれる運命なんだ
俺にはきつと逆転する運命が逆位置で憑いてるんだ……くそう」

「えっと……どういう意味？」

逆転する運命ってアルカナフォース専用の罠カードよね？

正位置と逆位置を入れ替える効果を持った、どういう意味かしら？

「逆転する運命はタロットカードで運命の輪に位置するカード

逆位置の意味は情勢の急激な悪化、アクシデントの到来

今の俺にはピッタリ過ぎるカードだと思わないか？」

「あ、あはははは

ごめんなさい」

相変わらず変な事に詳しいわね

どう考えても私が原因だけ……

デュエルディスク

「しかもデッキだって強引に決闘盤に差されたからどのデッキか分からん

なんだってこんなランダム性に賭けなきゃならんのだ」

ももえの馬鹿！ 勝手な事しないでよ！

せっかく瑞貴と戦えるチャンスなんだから！

「ちなみに、何でお前が俺の相手なんだ？」

「貴方が代表の1人と知ったからにはね

自分から立候補したの、こういう時オベリスクブルーの立場は便利よ」

普段はそんなに好きじゃないけどね

傲慢な人が多いのが、最大の不満よね。

「ま、今はそんな話しをしている場合じゃないでしょ？

さあ、覚悟なさい瑞貴、今日こそ貴方に勝つわ！」

「相変わらず決闘者^{デュエリスト}ってのは面倒な奴ばかりだ
あーもう！ 二度とこんな事するなよ！」

「^{デュエル}決闘！」

「先攻は私が貰うわ、ドロー！」

私は永続魔法、未来融合ーフューチャー・フュージョンを発動！

デッキから融合素材を墓地に送り、発動後、2ターン後のスタンバイフェイズ時に融合召喚する！

私が選択するのはエトワール・サイバーとブレードスケーター、この2枚を墓地に送りサイバー・ブレイダーを召喚するわ！」

融合補助のカード、これでこのカードさえ破壊されなければ問題無いわ

そしてこれで墓地にモンスターが増える。

「更に戦士の生還を発動！ エトワール・サイバーを手札に加える！
エトワール・サイバーを攻撃表示で召喚し、カードを2枚伏せてターンエンドよ！」

さあ、私の戦法はワンパターン状態
でもそれは見かけだけ、それをすぐに見せてあげるわ
瑞貴のデッキはお互いに未知の状態、どう出る？

「さて、俺のターンだ、ドロー

………明日香、帰ってもいいか？」

最初から諦めモード！？」

勝つ気が無いの！？」

「駄目に決まってるでしょ！

そんなに悪いデッキだったの？」

「まあ……その、なんだ？」

別に悪いわけじゃないんだが……場所が悪いとか何というか……遊び心を入れすぎた結果とでも言うべきだろうか？」

遊び心？　　どういう意味かしら？」

「まあとにかく続けよう

俺はE・HEROバブルマンを守備表示で召喚する」

E・HERO！？　　瑞貴がE・HEROデッキを使うですって！？

「バブルマンの効果発動

自分の場にこのカード以外にカードが無い時、デッキからカードを2枚ドロースる

そして融合を発動、場のバブルマンと手札のクレイマンを融合

E・HEROマッドボールマンを融合召喚を守備表示で召喚」

どう見ても泥でできたモンスター

守備力3000か……厄介ね。

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

攻撃してこないか、攻撃力1900だから勝てると思うんだけど？
攻撃されないんだったら何もできないじゃない！

「私のターン、ドロー！」

墓地の戦士の生還を除外し、マジック・ストライカーを手札から特殊召喚

更に装備魔法、明鏡止水の心を装備させるわ

このカードの効果により、マジック・ストライカーは戦闘では破壊されず、対象を指定する効果でも破壊されない

そしてマジック・ストライカーは相手プレイヤーに直接攻撃できる更にサイバー・チュチュを攻撃表示で召喚するわ

相手の場にこのモンスターよりも攻撃力の高いモンスターしか存在しない時

このモンスターは^{ダイレクトアタック}直接攻撃ができる」

私の場のモンスターは全て攻撃力が低い

だけど、全員^{ダイレクトアタック}直接攻撃に対応するモンスターよ！

「マジック・ストライカーとサイバー・チュチュで相手プレイヤー^{ダイレクトアタック}に直接攻撃！」

そして攻撃と同時に永続罠発動、追い剥ぎゴブリン！

自分の場のモンスターが相手に戦闘ダメージを与えた時、相手は手札をランダムに1枚捨てる」

今度こそ瑞貴にダメージが通るか！

「……………」

何もしない！？

そして私のモンスター達が^{ダイレクトアタック}直接攻撃を決めた！

やった、これで瑞貴の1VS1の無傷記録を破ったわ！

「戦闘ダメージを与えた事により、追い剥ぎゴブリンの効果発動！
相手は手札をランダムに1枚捨てる、さあ瑞貴、貴方は2回ダメージを受けたわ

よって2枚のカードを捨ててもらおう、一番左にカードと右から2番目のカードを捨てなさい」

無言で手札を捨てる瑞貴

喜んだのはいいものの、何を考えているのか……発動しなかったあの伏せカードも気になる
一応1600のダメージを与えただけマシと思っておきましょう。

「私はこれでターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー」

永続罠、リビングデッドの呼び声を発動

墓地に存在するモンスターを1体特殊召喚する

俺が呼び出すのは……現れよ、プロト・サイバー・ドラゴン！」

「サイバー・ドラゴンですって！？

いえ、でもプロト・サイバー・ドラゴン？

ちよつと違うわね……」

それにいつ墓地に……追い剥ぎゴブリンか！

クッ、自分の戦法がこうも早く裏目に出るなんて！

「プロト・サイバー・ドラゴンは場に存在している限り、サイバー・ドラゴンとして扱う

そして速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動！

攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚された時、同名モンスターをデッキ、手札、墓地から特殊召喚する
相手も自分の場のモンスター1体を攻撃力問わず選択し、同じように同名モンスターを特殊召喚できる
俺は、この効果によってサイバー・ドラゴンをデッキから3体特殊召喚する！」

サイバー・ドラゴンを！？

そうか、プロト・サイバー・ドラゴンはサイバー・ドラゴンとして扱う

だからサイバー・ドラゴンを呼べたのね！

私はデッキからマジック・ストライカーを2体特殊召喚する

マジック・ストライカーは戦闘ダメージを受けない効果を持っている
これならまだ大丈夫のはずよ。

「そして場、墓地から光属性、機械族モンスターを全て除外し、サイバー・エルタニンを特殊召喚！」

そんなサイバーモンスターが存在していたの！？

しかもサイバー・ドラゴン3体を除外してまでの召喚ですって！？

「サイバー・エルタニン除外したモンスターの数×500の攻撃力と守備力を得る
よって攻撃力、守備力は今除外した場のモンスターだけだから2000となる」

たった攻撃力2000の為にサイバー・ドラゴンを除外するかしら？
何か裏が有るわね……絶対。

「サイバー・エルタニンが特殊召喚された時
場の表側表示のモンスターは全て墓地に送られる」

「なんですって!？」

「という事は私のモンスターは……全滅!？」

「これを狙ってたのね！」

自分のマッドボールマンも墓地に送られたけど、私の5体のモンスターを消すには安い代償だわ

これで私の場はがら空き、来るわね！」

「サイバー・エルタニンで明日香に直接攻撃！」
ダイレクトアタック

これは辛い……攻撃力2000はそこまで高くない
だけど場のモンスターを一掃されたのは痛いわ！」

「手札から魔法カード、マジック・プランターを発動
場の永続罫を墓地に送り、デッキから2枚ドロースる」

除外されて場に残ってたりビングデッドの呼び声をコストにしたか
それでいてドロースもできる、このドロースは……拙い。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロース！」

この瞬間、未来融合の効果発動！

サイバー・ブレイダーを召喚するわ！」

サイバー・ブレイダーでサイバー・エルタニンに攻撃！」

サイバー・エルタニンを破壊し、戦闘ダメージを与えたので瑞貴は

自ら手札を捨てる
手札が1枚だから当然ね。

「罠カード、ヒーロー・シグナルを発動する
デッキからLV4以下のE・HEROを特殊召喚する
俺はこの効果で2枚目のバブルマンを特殊召喚
そして場にカードが無いので2枚ドロースる」

また手札が！

どうして手札を削るデッキを使ってるのに無くならないのよ！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー」

強欲な壺を発動、デッキからカードを2枚ドロースる
フュージョン・リカバリー
融合回収を発動、この効果でバブルマンと融合を手札に戻す」

え？ クレイマンじゃない？

何を考えているのかしら？

「更に融合を発動、場のバブルマンと手札のバブルマンを融合
現れる、E・HEROアブソルートZero！」

そうだった！ 瑞貴がこのモンスターを持っていないはずが無かったわ！

段々見えてきた、瑞貴がどんなデッキを組んだのか。

「続けよう、2枚目の融合回収を発動
フュージョン・リカバリー

融合とバブルマンを手札に加える

そして融合を発動、手札のユーフォロイドと、アブソルートZero

0を融合する

出る、ユーフォロイドファイター！」

これは十代と翔君の出した融合モンスター！
どんなデッキ構造をしてるのよ！

「更にアブソルートZeroが場から離れた事によって効果を発動
相手のモンスターを全て破壊する！」

忘れてた！ サイバー・ブレイダーが！？

また私の場ががら空きに……そしてユーフォロイドファイターの攻
撃力は1200+2500で3700
私の残りライフは2000、でもまだ負けないわよ！

「ユーフォロイドファイターで直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「まだよ！

罠カード、ガード・ブロック！

戦闘ダメージを0にし、デッキからカードを1枚ドロースる！」

よし、これならまだ耐えられる！

「バブルマンを守備表示で出し、カードを1枚伏せてターンエンド
だ」

「私のターン、ドロー！」

カードを1枚伏せ、天よりの宝札を発動するわ！
お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドロースる！」

手札は……特に問題無いわね

今の瑞貴のデッキはどんなカードが飛び出すか分からない可能性を考えると切りが無いわ。

唯一の救いは構造がかなり逝かれている事ね

バランスが悪く、統一も無いからあまり怖くない

不安だけど、まだ……行ける！

「私は装備魔法、再融合を発動

ライフを800払い、墓地のサイバー・ブレイダーを蘇生させる！

更に死者蘇生を発動、墓地のサイバー・チュチュを特殊召喚するわ！

サイバー・ブレイダーでユーフォロイドファイターに攻撃！」

「罠カード、ヒーロー・バリアを発動

E・HEROが存在している時、相手の攻撃を1度だけ無効にする」

「なら、サイバー・チュチュで瑞貴に直接攻撃！
ダイレクトアタック

戦闘ダメージを与えた事により、左から3番目のカードを墓地に送りなさい！」

これで瑞貴は更に1000のダメージと手札を1枚墓地に送れた問題はまたサイバー・エルタニンが現れる事

墓地でも除外して特殊召喚できるのだからサイバー・エルタニン自身だって除外できるはず

攻撃力は低いものの、出されたらアウトよ！

「更に私は戦士族2体と生け贄に捧げ……

力を司る巨人、破壊を魅せよ！ 立ち上がれ、ギガンテック・ファイター！」

墓地の戦士族は相手の墓地も含めて数える

墓地の戦士族は11体だから3900……あら？
攻撃力4000？ 追い剥ぎゴブリンの効果で戦士族が1体墓地に
落ちてたみたいね。

瑞貴の残りライフは1300、私は1200
お互いにライフの差は無いに等しいわ。

攻撃力4000のギガンテック・ファイター、貴方はどう倒すつもり？

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー」

俺は手札から突然変異を^{メタモルフォーゼ}発動

場のモンスター1体を生け贄に捧げ、同LVの融合モンスターを特殊召喚する

俺はLV10、ユーフォロイドファイターを生け贄に捧げ、同じくLV10のモンスターを出す」

LV10の融合モンスター？

そんなモンスターがそうそう存在するとは思えないけど……

「現れろ、サイバー・エンド・ドラゴン！」

「サイバー・エンド・ドラゴンまで使うの！？
そのデッキは混ぜすぎよ！」

「んお？ このデッキの趣旨が分かったか？」

「分かって当然でしょ？」

そのデッキは十代、亮、翔君のデッキが混ざってる混合デッキ
他にも何人かのカードが混ざってるんじゃないかしら？」

「ご名答、このデッキは十代、豆腐、カイザー水色、後1人のカードが混ざ
ってる

だから最初に言っただろ？ 遊び心をふんだんに盛り込んだってさ」
遊び心を詰め込みすぎよ……それでよく戦えるわね
全員使ってるカードがバラバラなのよ？

「サイバー・エンド・ドラゴンの攻撃力は4000
私のギガンテック・ファイターの攻撃力も4000
このままだと相打ちになるわよ？」

しかもギガンティック・ファイターは戦闘で破壊された時
墓地の戦士族を蘇生させる効果を持つ
例え自分自身でも蘇生させるから破壊してもまた同じモンスターが
現れるだけよ？

「続けて行くぞ、E・HEROプリズマーを召喚、効果発動
相手に融合モンスターを見せる事により、そのモンスターをデッキ
から墓地に送る

そしてプリズマーはエンドフェイズ時までそのモンスターの名前を
得て、そのモンスターとして扱う

能力は変わらないがな

俺が選択する融合モンスターは、アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム古代の機械究極巨人！

アンティーク・ギア・ゴーレムこのモンスターに記されている古代の機械巨人をデッキから墓地に
送る」

「あ、あ、アンティーク・ギア・ゴーレム古代の機械究極巨人まで入ってるの！？」

「どれだけ事故率が高いデツキなのよ!?!」

ただでさえ難易度の高いデツキなのに、更にLV8モンスターを入れるなんて!

「俺は手札から融合を発動する

アンティーク・ギア・ゴーレム

手札の沼地の魔神王、古代の機械巨人、場のプリズマーを融合する

アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム

出でよ……古代の機械究極巨人」

攻撃力4400なんて反則よ!

プリズマーが墓地に行ったから攻撃力が100上がって4100になったけど

それでも勝てないじゃない!

しかも攻撃されても魔法、罠カードが使えないから防げないわよ!

「さて、古代の機械究極巨人でギガンテック・ファイターに攻撃!

アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム

ギガンテック・ファイターは破壊され、私は300ダメージを受ける
ここでギガンテック・ファイター以外を召喚する必要は無い!

「ギガンテック・ファイターの効果発動!

このモンスターが戦闘で破壊された時、墓地から戦士族を1体、特殊召喚できる!

私が蘇生させるのはギガントニック・ファイター自身よ!」

攻撃表示なのは当然、サイバー・エンド・ドラゴンは貫通効果を持っている

守備力の低いギガンテック・ファイターを守備表示にしたら良い的
にしかないわ。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動！ デッキから2枚ドローする！

装備魔法、早すぎた埋葬を発動！

ライフを800払い、墓地のモンスターを復活させるわ！

私が蘇生させるのはサイバー・ブレイダーよ！

更にX-セイバーアナペレラを召喚するわ！

そして一族の結束を発動！

この効果により、私の場の戦士族の攻撃力は800アップ！」

アナペレラの攻撃力は2600

サイバー・ブレイダーの攻撃力は2900

ギガンテック・ファイターの攻撃力は4900

瑞貴の残りライフは1300、アナペレラでバブルマンを倒し、サ

イバー・ブレイダーの攻撃力を倍にする

そしてサイバー・エンド・ドラゴンと古代の機械究極巨人を倒せば

……勝てる！

早すぎた埋葬の効果により私の残りライフは100、だけど今度こ

そは私の勝ちよ！

「アナペレラでバブルマンを攻撃し、撃破！

相手のモンスターが2体になった事により、サイバー・ブレイダーの攻撃力が5800に上昇するわ！

これで私の勝ちよ、サイバー・ブレイダーでサイバー・エンド・ドラゴンに攻撃！」

サイバー・ブレイダーがサイバー・エンド・ドラゴンに向かう
勝った！ そう思ったけど、やはり甘かったらしい。

「速攻魔法発動、リミッター解除

エンドフェイズに破壊されるが、機械族の攻撃力を倍にする
よってサイバー・エンド・ドラゴンの攻撃力は8000……
迎撃しろ、サイバー・エンド・ドラゴン！」

「ちよっ！ 罠カード発動、和睦の使者！」

この効果で戦闘ダメージを0にし、モンスターは戦闘で破壊されな
い！」

あ、危なかった……さつきギガンテック・ファイターがやられた時
に使わなくてよかったわ
今のダメージは2200、確実に負けていたもの。

「ふう……私はこれでターンエンドよ

さあ、リミッター解除の効果を受けたモンスターを破壊してもらお
うかしら？」

「構わんさ、罠カード、連鎖旋風を発動

場のカードが効果により破壊された時、魔法、罠を2枚破壊する
俺が選択するのは追い剥ぎゴブリンと伏せカードだ」

クッ、アフターフォローも十分って事ね

でも何故早すぎた埋葬や一族の結束を破壊しなかったのかしら？

そうすれば次のターン、攻撃するモンスターが減り、攻撃力も下が
るのに……

アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム
「更に古代の機械究極巨人の効果発動

このカードが破壊された場合、墓地に存在する古代の機械巨人を召
喚条件を無視して特殊召喚する
アンティーク・ギア・ゴーレム

出てこい、古代の機械巨人！」

……嘘

ここまで来て……ここまで来てまた負けるの？

ライフを1300まで削ったのよ？

場も圧倒的に私が有利なのよ？

なのに……それなのにまた瑞貴に負けるって言うの？

「俺のターン、ドロー

……ミラクル・フュージョンを発動する

墓地のバブルマン2体を除外融合し、アブソルートZeroを召喚」

は……はははは、瑞貴ったら容赦無いわね
徹底的に私を潰すつもりなのね？

アブソルートZeroの自爆特攻で私の場のモンスターを全滅

最後に古代の機械巨人の直接攻撃で最後なんですよ？
アンティーク・ギア・ゴーレム ダイレクトアタック

そうでなくとも古代の機械巨人の攻撃力は3000
アンティーク・ギア・ゴーレム

サイバー・ブレイダーの攻撃力は2900

私のライフは100で攻撃力差も100

その為に一族の結束と早すぎた埋葬を残したのよね？

ミラクル・フュージョンが手札に来なくても十分勝てた

その上でそのカードを引き、圧倒的差を見せて勝つ……か

ふふ、完敗ね……私にもう勝ち目は無いわ。

「アブソルートZeroでアナペレラを攻撃する」

案の定自爆特攻

瑞貴は100のダメージを受ける

しかし、アブソルートZeroが場から離れたので私のモンスター

は全滅

がら空きの場、唯一残ってるのは一族の結束のみ

手札も0、ライフも100、相手の攻撃力は3000

もう笑うしか無いわ。

「終わりだ明日香

アンティーク・ギア・ゴーレム

古代の機械巨人の攻撃！

アルティメット・パウンド！」

アンティーク・ギア・ゴーレム

古代の機械巨人の拳が私を貫く

瑞貴が攻撃名を叫ぶなんてね……珍しいわ

どうも瑞貴のテンションも飛んでたみたい。

「勝者、ラーイエロー堅守瑞貴

では、明日の同時刻、遊城十代と堅守瑞貴の試合をするノーね！

アンティーク・ギア・ゴーレム

あ、でもシニョール堅守、何故貴方が古代の機械巨人を？」

「俺が持ってたらか何か問題でも？」

「気になっただけなノーね

私としては、最後に使ってくれてちょっと嬉しかったノーね」

ふう、なんだかスッキリしたわ

瑞貴の容赦無い攻撃で逆に晴々とした気分

もしミラクル・フュージョンが無ければ落ち込んだでしょうね。

瑞貴はさっさと舞台を下りてももえの元に向かう

あ、やっぱり怒ってるのね。

「その2！ お前のせいであんなお遊びデッキを晒しちまっただろ

うが！

強引に連れて行くのはわかったが、せめてデッキぐらい自分で決めさせろ！」

やっぱりお遊びデッキよね……あんまり言わないでほしいわ
負けた私が惨めになるじゃない。

「そ、そんな事言われても、私だってあんなカードが入ってるとは思わなかったんですよ！」

何でサイバー・ドラゴンや古代の機械巨人なんて持ってるんですよー！
アンティーク・ギア・ゴレム

あのE・HEROも知らないですし、それに私の名前はももえですわ！

この前は名字で呼んでくれたのに、何でまたその2に戻ってますの！？」

本当よね、どこでサイバー・ドラゴンとかを手に入れたのかしら？
あのカードはそんなに出回っているカードじゃないはずだし……

「お前の事なんぞ知ったことでは無いわ！

使い手達の前で使ったら睨まれるから使わなかったデッキなのにどうしてくれる！

おかげで俺の注目度満点じゃねえか！ 犯すぞこの糞女！」

さ、最後のはいくら何でも聞き捨てならないわよ？

それに瑞貴は目立つのを嫌ってるしね……何でかしら？

「私の体はレイ君の物ですわ！

それに目立つぐらい良いじゃありませんの！

あんなデッキを作った堅守さんが悪いんですから！」

レイちゃんは女の子よ、教えてないけど
それにデッキを作るぐらい自由だと思うわよ？
あんなデッキを作ってるとは思わなかったけど。

「死ねシヨタコン！」

後、どこをどう見たら俺が悪くなるよ！

お前が強引に連れてきたからこうなったんだ！

俺はこの試合に出るつもりは全く無いって言ったはずだよな！？
連れてこられている途中でも何十回も言ったよな！？」

どう考えても私が悪いわね、ごめんなさい
でもまた貴方と戦いたかったんだからしょうがないじゃない。

「私はシヨタコンなんかじゃありませんわ！」

堅守さんを連れてこいって言ったのは明日香様ですし、文句なら明日香様に言ってくださいまし！

私は頑張っただけです。で文句を言われる筋合いは有りませんわよ
！」

貴女の性癖はどう見てもシヨタコンでしょ？

今は貴女が怒られてるんだから私まで巻き込まないでくれない？
頑張ってくれたのは嬉しいけど。

「お前がシヨタコン以外なんだってんだ！」

後で明日香に文句を言うのは当然だが、明日香の命令だろうが何だろうが、連れてきたのはお前だろうが！

お前は明日香の命令だったら何でも言う通りにするつもりか！？」

あ、やっぱり私にも後で怒る？

今は先にももえに怒っておこうと思ったのかしら？
それとも本命は後に取って置いくとか？

「私は可愛い男の子が好きだけですわ！
別に堅守さんならいいじゃないですか！ 明日香様の為なんですし、
気にしないでしょ！？」

明日香様の彼氏ならそれぐらい動いたらどうなんですか！？」

ちょ、ももえ！？」

私は瑞貴と付き合ってたんだ……

「せ……正座しろ貴様——！！！」

あ、やっぱり切れた

ももえは瑞貴を怒らせるのが上手いわよね
でも、こんな公の場でそんな事を言われれば怒るわよ
勿論私もだけど……

「も、もう正座していますわよ？
あれ？ 明日香様までどうしたんですの？」

「決まってるじゃない、勝手な事を言う貴女に怒ってるのよ」

「わ、私何か変な事言いました？」

「私は瑞貴と付き合ってた無いわよ！

ただの友達、なのにこんな目立つ場所で馬鹿な事言わないで頂戴！」

「そ、そうだったんですの！？」

普段からよく一緒に居るからてっきりそうとばかり……」

「女の子が恋愛の話を好んでるのは知ってる
だが勝手に早とちりして捏造するのはどうかと思うぞ？
更に目立っただろうが、どうしてくれるんだ浜口い！！！」

「紛らわしいお2人が悪いんですわ！」

後、やっと名字で呼んでくださりましたわね
次は名前をお願いしますわ」

「黙れ」

「いったあ！」

ビ……ビンタは酷くない？

「口答えは許さん

いいか、言っておくが俺は……」

こんな感じで長々と延々に瑞貴のお説教が始められた
何人もの生徒が瑞貴を恐怖の目で見ながら逃げていったのが印象的ね
先生方も顔が引き攣ってたわ。

途中で私もお説教される側に加わえられた
ちなみに私はももえと違ってビンタではなく拳骨
私とももえが解放されたのは5時間過ぎた後だった。

その時残っていたのは当然誰も居ない
はあ……疲れたわ。

できれば瑞貴相手に強引に事を進めるのは止めましょう

また説教されたら大変なもの。

疲れ切った私とは裏腹にももえは少し余裕そうだった
レイちゃんの時のお説教で慣れた？
そんな感じで終わった日だったわ。

明日は瑞貴と十代の試合
どうなるか……楽しみね。

22話【二度あることは三度ある】（後書き）

何故カイザーは瑞貴を推薦したの？

明日香から何度も話しを聞かされており、何度か見たからです
誰に推薦してもらおうかと思いましたが、カイザー以外思いつきま
せんでした

本音の半分ぐらいはレイの件で申し訳ないと思つての推薦
しかし、当の本人は非常に迷惑しています
小さな親切、大きな世話という状態です。

ボンバーデッキ！？

使う予定ですが、場面をどうしようか考え中

瑞貴の使用デッキは書いているその時に決めてるので……悩みます。

国崎さん……どうなったの？

警備員に見つかりましたが逃げ切りました

その後、急いで脱出して逃げました。

瑞貴のデッキはどうなってるの？

E・HERO、サイバー・ドラゴン、ロイド、アンティーク・ギア古代の機械

これらが入り交じってます

E・HEROからはバブルマン、スパークマン、クレイマン、プリ
ズマー

サイバーからはサイバー・ドラゴン、プロト・サイバー・ドラゴン、
サイバー・エルタニン、サイバー・ツイン・ドラゴン、サイバー・
エンド・ドラゴン、キメラテック・フォートレス・ドラゴン

ロイドからはユーフォロイド、スチームロイド、サブマリンロイド、
ドリルロイド、スーパードラゴンロイドージャンボドリル

アンティーク・ギア古代の機械からアンティーク・ギア・ゴーレム古代の機械究極巨人

後は沼地の魔神王、E・HEROの補助カード、機械族の補助カードを多数
バランス無視の使えそうなカードを詰め込んだ遊び心満載の超事故
デッキです。

明日香のデッキで今回なんか違う？

追い剥ぎハンデスを使いました

パワーデッキなので戦闘ダメージを与える機会はそれなりに多く
ダイレクトアタック
直接攻撃モンスターも多めなのでチョイスしてみました

マジック・ストライカーの他にも女王の影武者も入っていますが、
未登場です

響女と融合して裁きを下す女帝となるので一応……

瑞貴が素直にダメージを受けた！？

いや、このデッキじゃ防御は難しいでしょう

瑞貴自身も無傷は最初から諦めてました

まあ苦手な上、遊びデッキじゃ仕方無いでしょう。

プリズマーってアニメではLV5……

OCG効果ですので問題ありません

もし、かなり先ですが十代が使う時が有ればまた考えておきます。

何故連鎖旋風を？

リミッター解除の他にも効果破壊される可能性が低くないからです
サイクロン対策にも考えていました

利用法が数種類入っているので使う事にしました
他に似たような効果でもっと利用できるカードがあれば採用したか
ったです。

最後の言い合いが……

話し方がどうも気に入らないせいか、ももえは怒られ役です
どうしてこうなったんでしょうか？

23話【最大の屈辱】（前書き）

今回は短めですね

次の投稿も明日にはできそうです。

今回、まさかの連続になるかと思えます

どうしてこうなった……特に中盤以降

ま、まあいいでしょう、多分。

詳しい内容は読んでからのお楽しみで

瑞貴もいい加減諦めればいいのに……往生際の悪い奴です。

23話【最大の屈辱】

視点 明日香

学園対抗試合の出場者決定戦

瑞貴対十代の試合ね

試合なんだけど……

「ドロップアウトボーイ、シニョール堅守はどうカしましたか？」

「さ、さあ？」

俺だって瑞貴との決闘デュエルを楽しみにしてたんだけど……」

「むむむ、シニョーラ天上院、シニョール堅守はどこに居るか知ってマスか？」

「私も知りません

友達に部屋を見に行ってもらったんですけど見当たらないそうで……」

どうやら瑞貴……逃げたらしいわ

昨日の戦いと悪目立ちがよっぽど嫌だったんでしょね
でもまさか逃げるとは……どこに隠れた事やら。

「現れない事には仕方ありません

学園対抗試合には遊城十代君に出てもらいましょう」

「ちよちよちよ、ちよつと待つノーね校長！」

あんなドロップアウトボーイを出すなんて……
そうだ、シニョーラ天上院、貴女がドロップアウトボーイと戦うんでスーの！」

「いえ、私は瑞貴に負けた立場なのでちよつと……」

本当は瑞貴と戦いたくて出ただけだしね

十代とはこの前戦ったばかりだし、疲れるから遠慮しておくわ。

「えー、いいじゃんか明日香

この前の借りも返したいし、俺と決闘デュエルしようぜ！」

はぁ……そのノリが無理なのよ

それに1度受けたら際限なく言い寄りそうだし

疲れそうだからできれば十代とは戦いたくないわ。

十代に返事をしないで出て行く

どうしようかしら……瑞貴を探すにしてももう遅いし
適当に時間でも潰してましよう。

視点 瑞貴

学園対抗試合の出場者決定戦から逃げ切ったぞ……疲れた
絶対に出たくないから誰も予想できない場所に隠れてたんだ……校
長室にな

ふ、誰が気付くだろうか、校長室の鍵ぐらい簡単に開けられるさ
鍵や電子ロックを解除する為に必要な物は全て複製したからな

このマスターキーがあればこの学園のどこにでも行けるのさ、金も時間も掛かったがな。

それにしても間に合ってよかった

このマスターキーが手に入っただのは学園対抗試合の出場者決定戦の明日香と戦う前日だったからな

いや、おかげで当時の貯金の半分ぐらい消えちゃったよ

気付かれないように複数の場所に依頼したからな

今後役に立つんだし、持っておいて損は無いだろう。

まあ、今は更に金は増えていてとくに消費分を取り返してるけどな
しかし……プチモスを5万も出して買った馬鹿は誰だろうか？

こっちでは完全に絶版になってて手に入らないとはいえ、プチモスだぞ？

余程の昆虫族マニアか金持ちの道楽だろうか……

同じく絶版になっているトモザウルスに4万も出す馬鹿も居るし

こっちのカード状況は軽く意味不明だな

本来なら手に入らないモンスターだから余計に欲しいのか？

馬鹿の考える事はよくわからん。

試しに絶版カードとなったかなり初期のカードをオークションに出してみた

勿論、セットなんかじゃなく全部別で

……各カード最低3万で売れた、攻撃力1000以下の通常モンスターに何故そこまで金を掛けるんだ？

しかもコンボも難しい上、種族統一にしても役に立つかどうか……

ファンデッキにしか使えん

ちなみに最高は20万で禁止カードのブラックホール、使えないのに何故買ったのだろうか？

禁止カードじゃファンデッキさえ組めないのにな。

今度は同じく絶版になっている弱い、しかし何故かレア度の高いカードを出してみた

同じくセットじゃなくて全て別々でだ

……………各カード最低10万で売れた、どこの馬鹿だろうか？

最高は50万、試しに買った馬鹿を調べてみると……………万丈目グループ！？

で、買ったのは……………ドラゴンの秘宝！？

攻守300しか上昇しないドラゴン族の装備魔法かよ！

お前ら、レア度しか見ないで効果を知らずに買っただろ！ 絶対にそうだろ！？

そういえば万丈目グループっていや世界でそれなりに有数のグループだっけ？

まあ中堅クラスの実力だろう、KC社やI2社に比べたらな他にも大手でもっと強いグループは有るしねえ。

金に物を言わせてそれなりにやんちゃしてるらしいし今回のドラゴンの秘宝もその一部だろうか？

じゃなきゃ持っても無駄になる可能性の高いカードを買うわけが無いな。

よし帰るか

そろそろ帰らないと校長が帰ってくるだろうしな。

帰っている途中で何人もの生徒と擦れ違った

睨んだり、何を考えているという顔を向ける奴が多かった

別にお前らにどう思われたって出たくないものは出たくないんだ。

特に知り合いにも会わずに帰れた
はあ、まったく面倒な……
そう思いながら部屋に入る。

……………お前らな、殴ってもいいよな？

「おかえりなさい瑞貴
ちよっとお茶を飲ませてもらってるわよ」

「何で今日の決闘デュエルに来なかったのよ！
十代なんて凄く楽しみにして待ってたのよ！」

「この人に何を言っても無駄ですわジュンコさん
怒りたい気持ちはよく分かりますが」

こいつらは……

「明日香、とりあえず俺の部屋のスペアキーを返せ
そして二度と俺の部屋に来るな」

「鍵は今すぐ返すわ
だから部屋に来るなっていうのは取り消して」

別に取り消さなくてもいいんだけどな
まあ使える時も来るだろうし、これぐらいはいいだろう
後で面倒事を押し付ければいいし。

「で、何の用だ？」

「学園対抗試合の出場者決定戦」

何で十代と戦わなかったの？」

「そうよ！」

十代はね、昨日から凄く楽しんでいたのよ！

あんたに勝つ為にデッキの調整を遅くまでして

あんたと戦った私やももえに質問までしてきたのよ！」

「そうですわね、絶対に勝とうって気持ちが溢れてましたわ
楽しそうにもしかったですし、それを無下に扱うなんて酷くありませんこと？」

1の質問に3で答えるな！
鬱陶しいっての！

「はぁ……面倒」

「「一言で切り捨て!?!」」

「って、それで納得できるわけじゃない！」

「瑞貴なら私は納得したわ
よかった……昨日は強引にしておいて」

「明日香様、そんな事を言うともた怒られますわよ？」

「もういい、お前らちょっと黙れ」

その1はともかく、明日香は納得し、その2は何か変じゃないか？
こいつら……本当に何がしたいんだ？
俺に文句を言いに来たのか？ それとも遊びに来たのか？

「とりあえず俺は出る気は無い
また強引に連れ出される可能性を考えて逃げさせてもらった
例え出て十代に勝ったとしても対抗戦に出る気も無い
出場権は十代に譲ってやるよ」

「譲る譲らないは置いといて
それなら出てもよかったんじゃないの？」

「明日香さんの言う通りよ！
十代と戦うぐらいいいじゃない！」

「というか、最初から勝つ気満々なんですのね
どこからそんな自信が出てくるんですの？」

だから俺の1に対して3の返事をするな
邪魔くさいし、面倒だろうが。

「はぁ……何を言っても無駄なんだろう？
お前らは俺に何をさせたいんだ？」

「あら、瑞貴にしては諦めが早いわね」

「これ以上の問答は無駄だと判断しただけだ
疲れるし、時間も無駄に過ぎていくだけだろうしな」

「私達も同じ事を考えてたわ
瑞貴に何を言っても多分無駄だろうってね」

一応試しに言ってみたって所か？

こいつらの目的は何だ？

嫌な予感がする……逃げた方がいいような気がする。

「（ん？ 瑞貴が逃げ腰に……何か気付いた？）

ジュンコ、ももえ、先手必勝よ！」

「「はい！」」

やっぱり何か企んでやがった！

急いで逃げ出すがその前にその2が俺の腰に抱きついて来やがった！
重い！ 離せ！ 邪魔だし暑苦しい！

そのまま押し倒され、見上げるとその1が……とりあえずそこに立つのは止めた方がいいぞ？

何故かって？ あー……白とだけ言っておこう、不可抗力だから怒られる云われは無いよな？

「ぐあ！ 背中に座るな両手を押さえるなその1！

その2も！ 腰に座って足を押さえつけるな！

明日香！ これはどういいうつもりだ！？

そして何よりも貴様ら重い！ ブルーの豪華な食事で太ったんじゃないか！？」

「重いつて言うなあ！」 「太ってなんかいませんわ！」

チッ、重いつて言えば反射的に退くかと思ったのに……

もつとたたみ掛けるべきか？ 何度も言われればさすがに退くだろう。

「どう考えても重ぐうむ！？」

「女の子にあんまりそういう事は言わないの
悪いけど口を塞がせてもらおうわよ？」

明日香め……俺が更に言う気付いて先手を打ちやがったな！
後、お前も目の前にしゃがむのは止めた方がいいぞ
理由？ だからその……なあ？ 青で派手なのはちょっと似合わないぞ？

というか、それはその1でお前は何となく白じゃね？
その1は海系カードの使い手だし、お前は後々白くなるだろう？
あんまり覚えてないけど……何が起こったんだっけ？

で、俺を押さえつけるのはともかく縛るのはどういう事だ？
足を縛られ、手は後ろで縛られ、腕も縛られて芋虫状態なんだが
猿轡をされてないだけマシなのだろうか？

ちなみに、縛っている物は縄が見つからなかったのか布だ。

「おい」

「だって逃げるでしょ？」

「だからって」

「縄が無かったし、布ならそんなに痛くないわよね？」

「しかし」

「ちゃんと説明するから焦らないで」

……先手先手を取って返事するなよ
最初は何故縛るか、次は何故布なのか、最後は縛る意味は

それを訊こうとしたのに先に返事された。

うーん……こいつには色々と見せすぎたか？
行動原理や思考がけっこう読まれてるな
次から別の奴と知り合った時には注意しないと
今回の事は反省するべきだな、付き合いが長くなるとこうなるって
な。

「はあ……とりあえず落ち着いた
だから話せ、そして放せ」

「最後のは却下よ
説明すると簡単、対抗戦の決闘^{デュエル}だけどね
無理を言って明日に延期してもらったわ」

お前ら何しやがる！ 何という余計な事を！
もしかしてそれまで俺はこのままなのか！？

「予想はできてると思うけどそれまでこのままよ
瑞貴の事だから何もしないとまた逃げ出しそうだしね」

泣いていいよな？ 俺は泣いてもいいよな？
怒っていいよな？ 俺は怒ってもいいよな？
切れていいよな？ 俺は切れてもいいよな？
殴っていいよな？ 俺は殴ってもいいよな？
潰していいよな？ 俺は潰してもいいよな？
結論、そんな気力も出ないぐらいテンションが低い。

「諦めた……もう疲れた……俺は寝たい」

「寝るのはいいけど、先にデッキを決めておきなさいよ
またもえに適当なデッキを使われたらどうするのよ？」

「うっさい、余程酷いお遊びデッキじゃない限りどのデッキでも十代ぐらい潰せる

が、もし俺があいつと戦う時には使うと決めているデッキが有るか
らそれを使う

足は解かなくていいから腕ぐらい解放しろ、できんだろうが」

「凄い自信ね、でも駄目よ

デッキは私達が取るところを教えて」

「絶対に嫌だ、自分の事ぐらい自分でする

させないと言うのなら決闘した瞬間にサレンダーしてやる
デュエル

どんな文句を言われようとも絶対に戦わん
退学させられようが何されようが絶対にしない」

本気で俺が実行すると気付いた明日香は溜め息を吐きながら腕を解
放する

まったく、肩が凝るだろうが。

俺は棚を開け、デッキを取り出す

十代と戦う気が全く無かったから使うとは思わなかったが……まあ
いいだろう

このデッキを使えば大半の奴はやる気を失うか気力を無くすだろうし
十代のチートドローが逆に仇となるデッキだからな。

棚を閉めてロックを掛ける

早く金庫届かないかなあ……高かったんだから早く来いっての
8重ロック式の金庫に6重の鍵を掛けておくからな

開けるのが毎回面倒そうだが……それでももう少し強固にしたいなあ
赤外線探知機でも入れるか？　かなり高そうだけど別にいいかな。

デッキを決闘盤に差し込む
デュエルディスク

勿論、デッキ内容はいいつらに見せたりしない

今回に限ってはこいつらは十代側、言いくはくとは思われないが念の
為にな。

再び腕を縛られる

俺は縛られて喜ぶような趣味は無い
むしろ縛って楽しむ側だ。

「で、まだ夕方なんだが……」

俺は明日までこのままなのか？」

「そのつもりよ

見張りは私がするわ」

だからその1とその2はもう帰ったのか

しかしお前な、縛られているとはいえ男を相手によく見張りなんか
するな

誰か代理を頼まないか？

「……食事は？」

「食べさせてあげる」

「トイレ」

「う、腕さえ解けば大丈夫でしょ？」

「……………○○」

「な、何を言うのよ!? 我慢して頂戴!」

「チッ」

「舌打ちしないの!」

これは逃げるのは無理そうだな
明日香は小娘の時に泊まったし、また泊まる事にそう抵抗は感じないだろう
俺も縛られてて動けないからな。

「完全に解放しないともっと言うぞ」

「セクハラで訴えるわよ!」?

それに貴方の見張りなんて私にしかできないわよ!
他の人が貴方の見張りをできるはず無いじゃない!」

「そうか?」

見張りぐらい別にできると言うが……
何か問題でも有るのか?

「貴方の毒舌に耐えられる人材が居ないのよ
本当だったら誰か男子に頼もうと思ったんだけど……
ブルー生徒に頼んだら暴力を振るいそうだし
イエロー生徒は貴方の事を怖がっている人が多いし
レッド生徒にそんな度胸の有る人は居ないわ」

なんか微妙な事を言われた気がする

悪い気はしないんだが、嬉しくもない

俺ってそんなに毒舌かねえ？

弱みに付け込んで苛めるのは得意だけど。

「そういえば、俺をこうすると言い出したのは誰だ？」

「ジュンコよ

十代と戦わずに待たせたのが余程気に入らなかったんでしょね

私ともえにどうかして貴方と十代を戦わせたいって相談されたわ

私は反対したんだけどともえは賛成

最終的には押し切られて私まで手伝う嵌めになったの」

「わかった、とりあえずその1にはお灸を据えねばならないらしい

その2も、あれだけ説教したのに反省してないらしいな

お前は長時間説教か借金1割増しのどちらがいい？」

「借金1割増しで

もうあのお説教は二度とされたくないわ」

チツ、せっかくまた拳骨できると思ったのに逃げられた

しかしその2はどうするかな……あいつは何度言っても無駄らしい

あいつは俺を怒らせてそんなに楽しいのか？

でもいつまでも説教してると嫌な予感がする

気のせいかな昨日の説教が終わった後、俺を見る目が何か変だった気がする

負の感情を何故か感じなかった、ちょっと怖いぞ。

夕食の時間、足だけ自由にされて腕は縛られたまま食堂に
無論、逃がさないように布の先は犬を牽くように繋がれている
その先を持つのは当然ながら明日香、この屈辱は絶対に忘れん。

「ほら、口を開けなさい」

「あのな……人前で食べさせられるってどう考えても公開処刑だろ
お前は俺を社会的に殺す気か？」

「仕方無いじゃない、こうしないと逃げるんでしょ？
分かったら口を開けて、ね？」

「……………あー」

周りで何故か羨ましそうに見ている奴ら
もっと考えろ、正直かなりの屈辱だぞ！

唯一の救いはメインキャラが明日香しか居ない事
十代とか水色とかでかいのが来たら明日香を突き飛ばしてでも逃げ
てやる。

が、そんな都合良くいくはずも無く
最後まで明日香に食べさせられた

気分的には親鳥に餌を食べさせられている雛鳥の気分
明日香はレッドの食事だがあまり気にしないで食べていた。

なんとも恥ずかしく、屈辱な時間を終えて部屋に戻る
羨ましく思う奴はよくよく想像してみるがいい
特に好いてない奴に体を縛られ、何人も人が居る前で子供に食べさ
せるかのように食わされる

これが屈辱以外なんだと言うんだ！ 現時点で人生最大の恥だ！

風呂……は無理か、今日は諦める
着替え……も無理か、服のままでも寝慣れてるからいいけど
しかし寝る時まで縛られたままか？ 肩が凝りそうだ。

風呂に入ってくると出ていった明日香

しかし俺は絶対に逃げないようにと体中縛られている
更に色んな場所に繋ぎ止められているから殆ど動けない
俺はどれだけ警戒されるべき存在なんだ！？

帰ってきた明日香の手にはパジャマが……どこで着替える気だ？
そう思っていると一部解かれてベッドの上に転がされ、また縛られた
明日香は上のベッドに上がって着替えるらしい
んな事しなくてもお前の着替えなんぞに興味無いわ！

その後、顔をタオルで拭かれ、歯磨きもされた
何でもしてくれて楽なのは否定しない
だが俺は自分の事は自分でしたい
つまりやっぱり嫌だという事だ。

またベッドに寝かされた

明日香は上のベッドに上って寝始める

俺は……縛られた上にまた繋ぎ止められるのかよ！
軽く身動きするぐらいしかできねえ！

やっぱり借金1割増し程度じゃ気が済まん！

約束なので説教はできんが、絶対に違う事で報復してやる！
逆恨みに近い気がするが豆腐にも必ず仕返しをしてやる！
カイザー豆腐じゃないのかって？ あいつはもう豆腐だけで固定だ！

明日香、十代、豆腐、その1、その2
全員楽しみにしておけよ……絶対に仕返ししてやるからな！

ついでに昼間ので思い出したが

学園対抗試合の相手って万丈目じゃなかったっけ？

あいつが1年代表になったから悪いんだ……完全に逆恨みだと理解しているが報復決定。

今度怨み手帳でも書こうかな？

今後、何かされた時に書いておく

絶対にその分の仕返しをすると誓う為にも

なんかのゲームのキャラがしてた気もするが……思い出せんな。

言い掛かりだと理解しているが明日香の兄も怨みに追加しておくか
明日香の性格の一端だしな、怨んでもいいよな？ 多分。

校長も怨むべきか？

明日に延期しないで今日で終わらせておけばよかったのに延期を許可しやがって

考え出したら止まらないじゃないか！

もう止めよう……切りが無い

寝よう、おやすみ。

……寝苦しいなあ。

23話【最大の屈辱】（後書き）

明日香が黒い、黒いぞ！？

瑞貴に染まっているんでしょう

なんとなく可愛いと思いませんか？

マスターキーだとお！？

余程特別な場所じゃない限り、入れない場所はありません
後、金庫など、扉とかじゃない物は開けられません
なので微妙に役不足です。

プチモスを5万！？

買ったのは某元日本大会優勝者だそうで
堕ちたとはいえ、貯金は貯まっていたのでしょうか。

トモザウルスに4万だって！？

買ったのは某元日本大会準優勝者だそうで
同じく堕ちたとはいえ、貯金は貯まっていたのでしょうか。

ブラックホールに20万とか……
誰でしょうね？

万丈目グループがドラゴンの秘宝！？

絶版、レアだけの理由で買ったそうです

後々万丈目と一緒に登場した時、万丈目に渡した鞆に入るでしょうか？
……役に立つんでしょうか？

結局瑞貴の部屋のスペアキーは？
瑞貴に返しました。

瑞貴よ、何を見た？

……ノーコメントで

登場してないもえは黒とだけ言っておきます。

瑞貴が枯れてない？

彼女達に興味が無いので

そうでなくともあまり積極的に考えていません。

本当に十代と潰せるデッキばかりなの？

さあ？ 戦ってないので何とも……

随分物騒な事を考えてるけど、瑞貴はどんなデッキを使うの？
次話でのお楽しみです。

金庫に赤外線探知機！？

貯金をそれなりに使えば買えるそうです。

瑞貴は明日香に何を言った！？

ご想像にお任せします

明日香がセクハラと言った事からご自分でご想像ください。

毒舌の自覚が無いの！？

楽しんでるのではありません……どうやってこんな性格になったのやら。

砂糖を吐けそうだ……

瑞貴の思考で台無しですがね。

現時点でって？

この先の将来、これよりも屈辱的な事があるかもしれません

なので現時点でと言いました

瑞貴は言い回しに変な拘りがあるのでこういう事は細かいのです。

某ゲームのキャラって？

とある格ゲーの大きな鍵を武器に使う女性の事です。

24話【凶悪の十代封殺デッキ】（前書き）

どうも長い話を書けません

うーん……やっぱりレイが居なくなっただのは痛かったですね
来年度に校長を脅してでも入学させたいなあ……無理ですけど。

社長に青眼の白龍をプレゼント（という名の賄賂）で可能かな？

いや、やりませんよ？ 凄くやりたいですけど……レイよ、帰ってきてくれ！

今回、序盤の甘ったるい感じと中盤からの決闘の温度差が激しいです

前半は自分で書いたとは思えないくらい甘くて寒気が……

でもこういうの書くのって凄く楽しいので多分止めません

恋愛を書くのってここまで楽しいとは思いませんでした、本人達には自覚は無さそうですが。

決闘の方ですが、十代のカードをよく覚えておいてください

もしもの事を考えると……詳しくは後書きで書きます。

24話【凶悪の十代封殺デッキ】

視点 明日香

……自分でした事だけど、よく寝られたわね
体中縛られ、動けない状態だったんだけど
どうして寝られたのかしら？ 私には無理な気がするわ。

瑞貴が起きる前に着替える
見えないって分かっているけど、男の人が居る部屋で着替えるのって
ドキドキするわ。

でもそろそろ起こさないと朝ご飯の時間になるわね
とりあえず腕と足だけ縛っている状態にするまで解く。

はぁ……もつとよく考えて引き受ければよかったわ
これは絶対に借金1割増し程度じゃ済まない
説教はしないって言ってたから他の方法で怨みを晴らされるでしょうね。

ううう、怖いわ、何をされるか考えたくもない
唯一の救いは私が最大の原因じゃないって点でしょうね
瑞貴が出る切欠になった亮と今回の言い出しっぺのジュンコには同情するわ。

「瑞貴、もうすぐ朝ご飯の時間よ
起きないと朝ご飯抜きになるから起きなさい」

「んあ？ 朝飯？

………またあんな屈辱を受けるぐらいだったら食わん時間ギリギリまで寝るから起こすな」

女の子に食べさせてもらうのって屈辱なの？

時々読む恋愛小説だったら嬉しそうに食べさせてもらってたんだけど瑞貴の感性が時々よく分からないわ。

でも私は朝ご飯ぐらい食べたいし……

あ、公開処刑って言ってたんだし、人前じゃないのなら大丈夫って事よね。

そうと決まれば食堂に向かい、朝ご飯を貰ってくる

何だか微妙そうな顔をされたけど……何か変かしら？

周りの生徒からは悔しそうな顔をされるし

朝ご飯を取りに来ただけでどうしてそんな顔されるの？

部屋に戻ると瑞貴は両手両足が動かない状態で靴下を替えていたよく足だけで靴下なんか替えられたわね……変な所で妙に器用昨日から着替えてないし、せめて靴下だけでもって事かしら？

「ただいま瑞貴

朝ご飯、持って来たわよ」

「……いらないうって言ったよな？」

「そう言わないの

ほら、食べさせてあげるからおとなしく座って頂戴」

「それが嫌だと言ってるんだろうが！」

「はあ、いい加減に諦めなさいよ
はい、あーんして」

「お前な……………」

何度も説得した結果、瑞貴も諦めて食べ始める
こうなると瑞貴が可愛く思えるから楽しいわ
別に割と普通の顔なんだけどね。

特に格好いいという顔でもないし、イケメンとか言われる顔でもない
身長は高いけど細くて頼りない印象で弱々しく見える
性格だって決して良くない所か非常に悪い上、悪趣味。

…………どこに可愛いという印象が？
アレかしら？ 普段性格が悪い人がおとなしくされるがままになっ
ている
ギャップってやつかしら？

えっと…………まあ何でもいいわ
この考えは捨てましょう、変な気持ちになりそうだし
でもなんか可愛い…………

「…………何微笑ましいって顔してやがる
泣かすぞ貴様」

…………やっぱり可愛くないわ。

「それは嫌ね
はい、あーんして」

「チッ、あー」

瑞貴も素直になってきたし、慣れたかしら？
私もやりやすくなったし、何でもいいわ。

少し時間が経つ

ある程度余裕を持って着くにはそろそろ行かないとね
必要な荷物を持って瑞貴の足を解く。

瑞貴は素直に立ち上がって玄関に向かって歩く
怪しい……何か隠してるんじゃないでしょうね？

………

………

……

何か隠してるかと思っただけど、杞憂だったみたい

デュエルフィールド

瑞貴は決闘場に立って素直に十代を待つ

まあ、まだ縛られているままだしね

おかげで他の生徒が凄く不思議そうな顔をしてるわ。

一部の生徒と教師の顔が引き攣っていたのは何でかしら？

なんか私の事を変な物を見るような顔になってるけど

後、一部の生徒は恍惚そうな顔で私を見てる……気持ち悪いから止
めてくれないかしら？

時間になった、十代は時間ギリギリに到着
瑞貴の姿を見て引き攣った顔をしていた。

「ではこれより、学園対抗試合の出場者決定戦を始めるノーねでもその前に、シニョーラ天上院、シニョール堅守を放してあげろの」

「はい」

瑞貴を縛っている布を取り除いていく
それでも黙っている瑞貴
いい加減に観念したのかしら？

解き終わった瞬間、足払いされた！？
いったあ……って、瑞貴は！？

「ぐはあ！

だから重いつて言っただろうが！」

「だったらいい加減、逃げるのを止めなさい！」

「おとなしく決闘デュエルしなさったらどうですか！」

どうやらジュンコともえが待機していたらしい
あいたた……お尻打ちちゃったわ。

「ぐうう……俺は何度も嫌だと言っているのに邪魔するなあ！」

「あー……堅守君

何故君はそこまで遊城君との決闘デュエルを嫌がるのかね？」

ここまで拒否する瑞貴が気になったのか校長先生まで出てくる
そりゃ気になるわよね。

「学園代表になったって何一つ嬉しくないんです！

ストレスで俺の胃が一気に悪化します！

ただでさえ胃薬を使うぐらいストレスが溜まってるのに更に貯めさせたいんですか！？

あ、やばい……腹が痛い……がああー！苛々する！

お前ら全員、俺の邪魔をするなあああ！！！」

ストレスの原因の1つは確実に私達ね

やっぱり今回ののはかなり拙かったわ、どれだけストレスになったかしら？

「もういい！ この苛々を解消する為に戦ってやる！

覚悟しろ熱血馬鹿！ 貴様の炎、俺が鎮火し、それ所か凍結させてくれるわ！

この前のようにならないように精々頑張るんだな！」

あの、瑞貴……それじゃあ本末転倒なんじゃ？

ストレスを貯めない為に逃げてたんじゃ？

なのに受けるって……

「あ、校長

俺は勝っても負けても絶対に代表戦に出ませんからね

強引に出されたら開始直後にサレンダーします

文句は受け付けますが聞く気は全く、僅かも、欠片も、一部もありません

それが今回の決闘デュエルを受ける条件で」

「うーむ……そこまで嫌がる生徒を出してもしょうがないでしょうわかりました、その条件を受けます

ですのでこの試合は真面目にお願いしますよ？」

「はーいっと

という訳だ熱血馬鹿、とりあえずお前の今後の呼び方は似非^{えせ}で固定な
似非ヒーローデッキの使い手だし、構わんだろう

拒否しても嫌がっても泣いても怒ってもこの呼び方は変えない！

それと、いつまで俺の上に乗ってやがるその1、その2！

いい加減重いからさっさとどきやがれ！」

「似非って言うな！ 俺は十代だ！」 「私はジュンコよ！」 「私は
ももえですわ！」

これ以上瑞貴を怒らせないように注意しましょう

私まで変な呼び方されたら嫌なもの

金髪とか、親玉とか……あら？

十代まで名前呼びを止めたという事は……瑞貴が名前で呼んでるのは私だけ？

レイちゃんは小娘、翔君は水色、隼人君はでかいの、亮はカイザー
とか豆腐

十代は似非、ジュンコはその1、ももえはその2
万丈目君は確か名字で呼んでたわね。

嬉しいんだけど……もうちょっと何人か名前で呼んであげたら？
友達が減るんじゃない？

ジュンコとももえは瑞貴から降り立つ

瑞貴は服を払って軽く服装を整える

私が持っていた瑞貴の決闘盤^{デュエルディスク}を強引に取って嵌め、構える。

それを見た十代はニヤリと嬉しそうに顔を歪め、同じく構える
瑞貴は十代の表情が余程気に入らないのか随分苛ついている
あんな調子で大丈夫かしら？ 冷静さを欠いてミスしなければいい
けど。

「デュエル決闘！」

「先攻は俺だ、ドロー！」

俺はクレイマンを守備表示で召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

守備力2000のクレイマンと伏せカードが1枚

平凡な出だしだけど守備力2000の壁をどうやって超えるのかしら？

「俺のターン、ドロー」

マジック・ストライカーを攻撃表示で召喚

更に装備魔法、ミスト・ボディをマジック・ストライカーに装備する
装備モンスターは戦闘では破壊されなくなる」

私も使ったコンボね

戦闘ダメージを受ける事の無いマジック・ストライカーには最高の
装備カードよ。

それにしても瑞貴……一気に冷静になったわね
感情の切り替えが上手い、これなら心配無さそう。

「マジック・ストライカーで似非にダイレクト直接攻撃」

マジック・ストライカーの攻撃は何の抵抗も無く十代に当たった

先手を取ったのは瑞貴、この先どうなるかしら？
それにしても、本当に似非で固定したわね。

「カードを4枚伏せ、ターンエンドだ」

「4枚も一気に伏せるだど！？」
手札事故か？」

いえ、あれは入学試験でもしてたわ
あの時はグリードを使ったバーンデッキ
瑞貴は今まで同じデッキを使った事が無いから違うはず
なら、どんなデッキを使ってるの？

「何だか知らないけど、俺のターンだ、ドロー！」

「罠カード発動、はたき落とし
ドローしたカードを墓地に送ってもらおうか？」

「手札破壊カードだって！？」
くそっ、せつかくの融合が……」

「続けて罠カード、ダスト・シュート
相手の手札が4枚以上の時に発動可能
相手の手札を確認し、モンスターカード1枚を選択してデッキに戻
してシャッフルする
さあ似非、手札を見せて貰おうか？」

「クッ……」

十代の手札はスパークマン、フュージョン・リカバリー融合回収、ハネクリボー、進化する翼

随分厄介な手札を抱え込んでるわね。

「ハネクリボーをデッキに戻してもらおう
面倒になりそうなんぞな」

十代はハネクリボーをデッキに戻してシャッフルする
これで残りの手札は3枚、しかも状況を打破するカードは手札に無い。

「俺はスパークマンを攻撃表示で召喚し、ターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー」

罨カード、マインド・クラッシュを発動

カード名を1つ宣言する、相手は手札にそのカードが入っていれば
墓地に捨てる

外した場合は自分の手札をランダムに1枚捨てる

だからさっき発動できなかったが……まあいい、俺が宣言するのは
進化する翼だ」

「クッ、進化する翼は俺の手札に有る

よって進化する翼は墓地に送られる……」

上手い、これで十代はハネクリボーと進化する翼のコンボができな
くなった

これでハネクリボーが現れても、進化する翼を警戒する必要がなくな
る。

「永続罨、追い剥ぎゴブリンを発動

相手に戦闘ダメージを与えた時、相手は手札をランダムに1枚捨てる
マジック・ストライカーで似非に直接攻撃

戦闘ダメージを与えた事により、手札を1枚捨てろ」

十代の残っていた手札、融合回収が捨てられる
フュージョン・リカバリー

そうか！ 瑞貴の今回のデッキは相手の手札を破壊するデッキ！

手札が無ければ何もできない事を利用して直接攻撃を叩き込む
ダイレクトアタック
相変わらず嫌らしいデッキね……でも、十代の異常なドロー力に勝てるかしら？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺の……ターン、ドロー……！！」

手札から、強欲な壺を発動！

デッキからカードを2枚ドローする！」

「ドローは許さん、罠カード発動、精霊の鏡

プレイヤーを対象にした魔法効果の対象は俺が決める

俺が選ぶ対象は無論自分、よって強欲な壺の効果は俺が貰う

デッキから2枚ドロー！」

つ、使い所が難しすぎるでしょ！

そんなカード、禁止になっているプレイヤーへの直接ダメージ系カードぐらいにしか使えないじゃない！

だけど、そんなカードにも使い道が……よくカードの效果を知っている証拠だわ

これは完全に強欲な壺対策のカードね。

「……ターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー

永続罠、押し売りゴブリンを発動

戦闘ダメージを与えた時、相手の場の魔法、罠を1枚手札に戻す
マジック・ストライカーで似非に直接攻撃ダイレクトアタック

押し売りゴブリンの効果でその伏せカードを手札へ戻せ
そして追い剥ぎゴブリンの効果により、手札を1枚捨てろ」

十代が捨てさせられたのは異次元トンネルミラーゲート
モンスターと戦闘しないと全くの無意味ね。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

瑞貴のデッキには罠カードが多いのかしら？

モンスターはマジック・ストライカーだけだし、今もモンスターを
出さなかった

という事は残りの1枚の手札、あれは魔法カード？

「俺のターン、ドロー！」

……クッ、カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

何もしない？ 絶対に何かすると思っただけど……
という事はまた何か企んでるわね。

「俺のターン、ドロー」

強欲な壺を発動、デッキから2枚ドローする

さて、このモンスターを出すには場に表側表示で存在する手札に戻
すという効果のカードを生け贄にする必要がある

俺は押し売りゴブリンを生け贄に捧げ……

稲妻の閃光、神の導きし氷へと姿を変え、敵を砕く槍となれ！ 凍
てつくがいい……氷結界の龍 ブリューナク！」

現れる氷結の龍……また出鱈目な召喚方法をしてるわね

しかも手札に戻すカード自体がそう多くないのにそれを生け贄につて……しかも永続罠なのがいいの？

まあ召喚できてるんだし、良いんでしょうね

フルール・ド・シュヴァリエも魔法か罠を生け贄にする必要があるし。

いや、確かフルール・ド・シュヴァリエも、ゴヨウ・ガーディアンもそれにギガンテック・ファイター、ロード・ウォリアー、そして今回のブリューナク

全て生け贄に必要なカードはその効果に関係しているわよね？という事は……ブリューナクの効果は手札に戻す効果！？

「ブリューナクの効果発動

自分の手札を捨てる事に、捨てた枚数分、場からカードを手札に戻す事ができる

俺は手札を1枚捨てる、クレイマンを手札に戻して貰おうか？」

「ク、クレイマンが……」

変ね……どうしてここで伏せカードを手札に戻さなかったのかしら？その方が確実に安全に攻撃できるのに可能性としては、瑞貴はそれでも勝てる自信が有るから……か。

「更に永続魔法、名称抹消

カード名を1つ宣言する、相手の手札にそのカードが存在していた場合、そのカードを墓地に送る

外した場合、俺は1000ダメージを受ける

俺が宣言するカード名はE・HEROクレイマンだ」

十代の手札には先ほど戻ったクレイマン

よって瑞貴の宣言は正解、十代はクレイマンを墓地に送った
また厄介なカードね……しかも1ターンに何度も使える効果みたい
だし。

「ブリューナクでスパークマンに攻撃」

ブリューナクの口から氷塊が飛ばされる

それはスパークマンに当たり、スパークマンは破壊された
ブリューナクの攻撃力は2300、スパークマンは1600
その差700のダメージね。

「罠カード発動、ヒーロー・シグナル！

戦闘でモンスターが破壊された時、手札、デッキからE・HERO
を特殊召喚する！

俺はこの効果により、バブルマンを守備表示で特殊召喚！
更に場にカードが無いのでバブルマンの効果を発動！
デッキからカードを2枚ドロウする！」

「甘い！ 罠カード、無効を発動！

カード効果でドロウしたカードをお互いに確認し、全て捨てる！」

「って事は今ドロウしたカードを捨てるのか！？」

「その通りだ、確認させてもらおうか？」

十代の見せたカードは戦士の生還とネクロダークマン
この2枚は墓地に送られた……

「続けてマジック・ストライカーで似非に直接攻撃」
ダイレクトアタック

十代はマジック・ストライカーによって4回ダメージを受けた更にブリューナクの攻撃でもダメージ
十代の残りライフは……900
どうするの、十代！

「俺はこれでターンエンドだ」

「俺の……俺のターン、ドロー！
よっしゃあ！」

「喜んでいゝ所を悪いがカウンター罠発動、強烈なはたき落とし
相手が手札にカードを加えた時に発動
相手は手札に加えたカードをそのまま墓地に捨てる」

「な、なんだって……
という事は俺のエッジマンは……」

「お前のカードが何でアレ関係無い
さあ、捨てて貰おうか？」

十代は顔を真っ青にして手札を墓地に捨てる
ここまで何もできないと見ている方もいっそ清々しいわ
十代の神懸かったドローも、今回に限っては完全に仇となっている。

「俺は……何もせずにターンエンドだ」

「俺のターンだな、ドロー
罠カード、強制脱出装置を発動
場のモンスターを手札に戻す
バブルマンを手札に戻して貰う」

十代は何も言わずにバブルマンを手札に戻す
完全に意気消沈してるわね、大丈夫かしら？

「魔法カード、強引な番兵

相手の手札を確認し、1枚選択してデッキに戻してシャッフルする
何のカード知ってるが、確認は必須効果だ

手札を見せ、バブルマンをデッキに戻して貰おうか」

終わりね……最後の2枚を使わなくても瑞貴の勝ちだった
ブリューナクの効果でバブルマンを手札に戻し、ダイレクトアタック直接攻撃すればね
なのに最後の最後まで潰すとは……容赦が全く感じられないわ。

「ブリューナク、ダイレクトアタック似非に直接攻撃
雷槍・ブリューナク！」

ブリューナクの口から出された冷気が氷となり、雷を纏う

その雷は槍の形となり、打ち出されて十代を貫いた。

でも何故雷を纏うのかしら？

あのモンスターは見た目と名前から水族関係かドラゴン族だと思う
んだけど

うーん……あ、思い出した！

確か神話にブリューナクという槍が有ったわね

確か投げると稲妻になって敵と貫くとか……あんまり細かい事は覚えてないわ

それで口上や攻撃で雷を使ったのね。

「しょ、勝者ラーイエローの堅守瑞貴なノーね！」

会場の大半の生徒がクロノス教諭と似たような心境でしょうね
相手の手札を荒らして回ったんだからどうしようもできない
普通のプレイヤーならどう足掻いても勝つ事はほぼ不可能なデッキ
だもの。

そして瑞貴の宣言通り、十代の炎を鎮火し、凍結させた
水属性のモンスター、氷結と名の付くモンスターでトドメを刺した
のもその一環かしら？

十代は落ち込んで……うーん、微妙ね
少なくともまだ完全には潰れてないみたい。

「喜べ似非、このデッキはお前の為だけに作った、対十代専用のア
ンチデッキだ

お前のドロローの強さは知っている、そのドロローを封じるにはどうす
ればいいのか考えた
結論、ドロローと手札を奪えばいい」

「瑞貴は……俺を警戒していたのか？」

「警戒？」

微妙な所だな、それなりに名前の売れた奴全員にアンチデッキは作
ったし

お前はその中の1人だっただけの話だ」

少しだけ十代の気力が戻った

自分を少しでも警戒して作られたデッキ

つまり瑞貴は十代の事を少しでも意識していたという事になるわ。

それが僅かながら十代の気力を消さずに済んだ

瑞貴は十代を完全に潰すつもりだったんでしょね
でも、自分の発言でそれはできなくなってしまった
完全に自爆したわね。

「明日香」

「な、何かしら？」

拙い……瑞貴の機嫌が悪い
分かってはいたけどやっぱりまだ機嫌が悪かったわ。

「その1とその2の確保

俺が部屋に戻る前に捕まえて部屋の前に居ろ
少しでも遅れた場合、借金が増える事になるぞ」

「ジュンコ！ ももえ……って居ない！？
いつの間にか逃げられてる！？」

どこに行ったの！？
急いで探さないと！

デュエルワールド

私は決闘場から離れて駆け出す
これ以上借金を増やされて堪えるもんですか！！！！

視点 瑞貴

邪魔者は去った

これでこの後の事は邪魔されないだろう。

目線を動かし、ある2人を見つける
そいつらに一言言おうじゃないか。

「水色、でかいの

似非の復讐なら受け付けてるぞ？

俺と……戦うか？」

怒りに満ちた顔で俺の前に立つ2人

俺は隠し持っていたデッキを替えて構える

水色もでかいのも、同じく構えて立つ。

このデッキは似非用のデッキをデュエルディスク決闘盤にセットした時

気付かれないように注意して懐に入れたデツキだ
何故かって？　こうなる事は想定していたからな。

「ちょちょ、何をしてるノーね！
勝手な行動は許さないノーね！」

「黙ってて貰えますかクロノス教諭
俺は今回気に入らないという理由で似非を潰そうとした
なら仕返しされる事ぐらい考えていますよ
だよな？　俺の後ろで睨んでるその1」

後ろを振り向くとその1が立っていた
こいつは俺が明日香にその1を探させるように言った直後に隠れた
俺の事を許せない、だから明日香に捕まるわけには行かなかったん
だ。

その1が似非に好意を持っているのはこの決闘中デュエルに気付いた
何度か似非を心配するような声を上げ、応援しているのが見えたか
らな
ならば俺が許せないのは必然、少々計算外だが相手になるぞ。

「上がれその1、お前ら3人纏めて相手してやるよ
お前ら3人は似非の為の報復戦、俺はストレスの発散
楽しもうか……なあ？」

俺を睨む目が強くなる
分かっていたが、戦い方がかなり気に入らなかったらしい
似非が落ち込んでる分、更に怒りが増しているらしいな。

よし、これでこいつら3人には特に嫌われた

例え似非が俺を何かに誘おうとしてもこいつらが拒否するだろう
よって、俺は似非に近づく機会が減る。

問題はここで俺が勝たなければならないという点だ
それも、圧倒的にな
そうでなければこいつらが俺を許す可能性が高くなる
怨みは残してもらわないとならない。

ま、このデッキの性質なら大丈夫だろう
圧倒的な力の暴力というのを見せてやるさ。

できればこの流れで似非も俺を嫌うといいんだが……さっき大きな
ミスをした

俺が似非を庇うような言葉を言ってしまったので少し立ち直ってる
放っておけば完全に立ち直るだろうな、多分数日も不要だろう
何も言わずに帰っていればよかった。

嬉しい事に、校長は止める気が無いらしい
楽しみにしてるのか、どうにかなると思っているのか
それが失敗だと後で後悔するんだな。

「ルールは全員ライフ4000のバトルロイヤル方式
他のプレイヤーを庇う事は有り、しかしモンスターで庇うのは無しだ
モンスター、魔法、罠は各5枚ずつ使用可能だ
異存はないか？」

誰も返事をせずに俺を睨むだけ
どうやら異存は無さそうだ。

「行くぞ、決闘！」
デュエル

「「^{デュエル}決闘！！！」」

さあ……お楽しみの時間だ！

少しでも俺を楽しませてくれよなあ！

主にストレス発散の為に、胃が痛いなあ……はあ。

24話【凶悪の十代封殺デッキ】（後書き）

甘い！　どうにかしろ！

無理です、諦めてください。

明日香は自分が何をしているのか自覚していないのか！？

していません、鈍いですね

さすが原作で鈍い十代とCP（？）になるメインヒロイン
鈍い同士でお似合い……かなあ？

恍惚そうな顔で見ている生徒って……

このDM共め！

胃薬常備なの？

必須アイテムで結構な頻度で摂取しています

保険の鮎川先生とはそれなりに話すような関係だったりします。

胃……弱いんだね？

ストレスで胃がマッハでヤバイです

胃に穴が開く前に卒業できる事を祈りましょう
まだまだ先は長いのですがね。

その内、万丈目も変な名前で呼ばれるの？

その通りです、予想してみてはいかがでしょうか？

ブリューナクの口上は？

かなり悩みました

口上の意味はWikiに書いてある氷結界の龍　ブリューナクのペ
ージにて

ある程度は分かると思いますが詳しい事はご自分で調べてください。

何故伏せカードじゃなくてクレイマンを手札に？

このまま終わったら楽しくないからですね

それに十代の事、必ず何かしらタイミングの良いカードを使用する
と思っていました

事実、ヒーロー・シグナルでバブルマンを呼び、無効に引っかかり
ました

それに、例えミラーフォースだとしても強制脱出装置で回避できま
した。

想定していたって？

十代を潰せばこうなると予想していました

というか、そうなるように仕向けました

戦いの内容と十代がどうなるか予想し、考えた結果はこうなるだろ
うと……

翔と隼人は予想の範囲内、別に現れる可能性として明日香

ジュンコとももえは無いと思っていました

明日香を追い出し、ももえも逃げていたので2人が相手かと思いま
したが

ジュンコの登場で計算が狂いました、半分ぐらい自分で煽りました
が……

校長は何故止めなかったの？

1対3で戦えるのか興味が湧いたからです

ここまで陰悪になるとはあまり思っていなかったらしいですが。

次回での圧倒的なデッキリって？

秘密で

しかし圧倒的という言葉で簡単に予想できるでしょう

今回は簡単に予想が当たるので少々物足りないかもしれませんね。

原作、アニメオリジナルカード

名称抹殺の効果は？

カード名を1つ宣言する、宣言したカードが相手の手札に存在している場合、そのカードを墓地に捨てる
外した場合は自分に1000ダメージ
自分のターン、メインフェイズ時にのみ、効果の使用が可能
使用回数に制限は無いアニメオリジナルカードだそうです。

もし瑞貴がハンデスしなかった場合の十代

初期手札

クレイマン、スパークマン、フュージョン・リカバリー融合回収、ハネクリボー、進化する翼

1ターン目ドロー、異次元トンネルーミラーゲート

2ターン目ドロー、融合

これにより、サンダー・ジャイアントを召喚
フュージョン・リカバリー

融合回収を使用してスパークマンと融合を手札に

そしてスパークマンorハネクリボーを召喚

場合に寄っては進化する翼を使用した

3ターン目ドロー、強欲な壺

効果により2枚ドローした場合、手札に来るのはヒーロー・シグナルともう1枚

（バブルマンの特殊召喚にてデッキがシャッフルされているので2枚目は不明）

バブルマンの効果でのドロカード、戦士の生還、ネクロダークマン
スパークマンを手札に加え、ネクロダークマンと融合、ダークブラ
イトマンを召喚

4ターン目ドロ、エッジマン

ネクロダークマンの効果により、生け贄無しで召喚される

以降、敗北により不明

25話【バトルロイヤルとは名だけの1対3】（前書き）

作者の暴走、怒号の6日連続投稿

ちなみに、次話も執筆中なので7日連続も可能かもしれませんがあまり期待しないで待っていてください。

今回、常に平均攻撃力が異常です

ギガ・ガガギゴが凄く弱く見えます

元々の攻撃力1000のとあるモンスターが恐ろしく強く見えます
……何これ怖い。

翔がそれなりに強く見えます

隼人が凄く強く見えます

ジュンコが超強く見えます

瑞貴は異常に見えます

十代？ 下手すれば翔に劣るぐらい弱いですね

クロノス？ 下手すれば隼人に劣るぐらい弱いですね

カイザー？ 下手すればジュンコに劣るぐらい弱いですね

明日香？ は、やっぱり瑞貴には勝てません

一応この決闘ではルール上、全てのプレイヤーに攻撃可能でデュエル

DMのバトルシティの準決勝トーナメント決定戦のバトルロイヤル
みたいです

モンスターで補助ができないだけで。

すぐに決闘が始まるので下が見えるとネタバレに……よって少し開
けます

ゆっくりしていいね！

これぐらいでいいですかね？

25話【バトルロイヤルとは名だけの1対3】

視点 瑞貴

「僕のターン、ドロー！ 僕は融合を発動！

手札のスチームロイド、ドリルロイド、サブマリンロイドを融合！
スーパービークロイドージャンボドリルを融合召喚！

更にカードを2枚伏せる！

バトルロイヤル方式では最初のターン、誰も攻撃できない、ターン
エンドだ！」

「俺のターン、ドロー！ 召喚師のスキルを発動するんだな！

このカードの効果により、LV5以上の通常モンスターを手札に加
える！

俺はビッグ・コアラを手札に加え、融合を発動するんだな！

手札のビッグ・コアラとデス・カンガルーを融合し、マスター・オ
ブ・OZを融合召喚！

更にレスキューキャットを召喚、そして効果を発動するんだな！

デッキからコアラツコと、ラツコアラを召喚、そしてもう一度融合
を発動！

コアラツコとラツコアラを融合してコアラツコアラを融合召喚！

俺はこれでターンエンドなんだな！」

「私のターン、ドロー！ 手札のアトランティスの戦士の効果発動！
このカードを墓地に捨て、デッキから伝説の都 アトランティスを
手札に加えるわ！

そしてアトランティス発動！ 更に永続魔法、ウォーターハザード
を発動！

自分の場にモンスターが存在しない時、手札からLV4以下のモンスターを特殊召喚できる！

この効果により、マーメイド・ナイトを特殊召喚し、生け贄人形ドールを発動！

マーメイド・ナイトを生け贄にし、アトランティスの効果でLV7となったアイス・ブリザード・マスターを特殊召喚！

更に同じくLVが下がり、LV4となったギガ・ガガギゴを通常召喚するわ！ これでターンエンドよ！」

いやはや……やっぱり主人公サイドは怒らせるもんじやないな
でかいのは残り手札が1枚、水色とその1なんて手札が無い。

それに平均攻撃力もなかなか怖い

平均攻撃力は3070、モンスターが5体で3070はそれなりに高いぞ

俺が更にのし上げるんだけど……ね？

「俺のターン、ドロロー！ 強欲な壺を発動し、2枚ドロロー！ 手札から未来融合ーフューチャー・フュージョンを発動！

デッキから決められた融合に決められたモンスターを墓地に送り、

2ターン後のスタンバイフェイズ時に特殊召喚する！

俺はデッキから5体のドラゴン族を墓地に送り、ファイブ・ゴッド・ドラゴンF・G・Dを召喚する！

更に融合素材として使用したミンゲイドラゴンの効果発動！

自分の場にモンスターが存在せず、墓地にドラゴン族しか存在しない時、墓地から特殊召喚できる！

ミンゲイドラゴン^{ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン}を特殊召喚！ この効果で特殊召喚されたミンゲイドラゴンは墓地に送られる場合除外されるがな

そしてミンゲイドラゴンを生け贄に捧げ、青氷の白夜龍を召喚！

永続魔法、一族の結束を発動！ 自分の墓地の種族が1つだけの時、

同じ属性の場のモンスターの攻撃力が800上昇！

もう1枚永続魔法、生還の宝札を発動！ モンスターが蘇生された時、デッキから3枚ドロースする！

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

現時点で厄介なのはでかいのとその1、水色はどうにでもなるマスター・オブ・OZは攻撃力4200だから戦闘で勝てない更にコアラッコアラとアイス・ブリザード・マスターには効果で除去されるかもしれない

攻撃力3000程度の水色は大した事が無いのが最大の救いだろう。

しかし……俺も大概チートドロローだな

これは完全にメインキャラ級の悪運だし

メイン級になったのは諦めよう……メイン核にはなりたくないができればサブメイン級の場所に居座りたいものだ。

「僕のターン、ドロロー！ 僕は罠カード発動、チェーン・マテリアル！」

このカードは融合で決められたモンスターを手札、墓地、デッキから除外する事で融合させる事ができる！

僕は更にパワー・ボンドを発動！ これは機械族専用の融合カードだ！

僕は墓地からドリルロイド、デッキからトラックロイド、エクスプレスロイド、ステルスロイドを除外！

スーパービークロイド・ステルス・ユニオンを融合召喚！」

「頑張って厄介で面倒なモンスターを出したのは褒めてやる！

だがそう簡単に事を運ばせるわけにはいかないな

罠カード発動、バーストブレス！

自分の場のドラゴン族を捧げる、そのモンスターの攻撃力以下の守

備力を持つモンスターを全て破壊する！

ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン

俺が生け贄にするのは勿論、青氷の白夜龍、一族の結束とアトランティスの効果により攻撃力4000だ！」

「「「そんな!?!」」」

ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン

この効果により、青氷の白夜龍のはき出したブレスによって

守備力2000のスーパービークロイドージャンボドリル、守備力

3000のスーパービークロイドーステルス・ユニオン

守備力3700のマスター・オブ・OZ、守備力200のコアラツ
コアラ

守備力が上昇して2200のアイス・ブリザード・マスター、同じ
く上昇して1700のギガ・ガガギゴ

要は全てのモンスターが破壊される事となった。

攻撃力以下と書かれているが、元々の攻撃力とは書かれてない

一部のカードは同じようなコストで攻撃力としか書かれていない

しかし、それでも場に存在する現時点での攻撃力で効果が発動する
これは判定がややこしいカードの一部だろう、マスター・オブ・O
Zが破壊されてるし。

「う、ぐう……ぼ、僕のターンは終了だ！」

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、コアラの行進を発動するんだな！

墓地のコアラと名の付くモンスターを、特殊召喚、更に手札から同
名モンスターを特殊召喚するんだな！

墓地と手札から、ビッグコアラを特殊召喚！

ダイレクトアタック

瑞貴に、直接攻撃なんだな！」

「永続罨、リビングデッドの呼び声を発動！

墓地のモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！

俺が選択するのは……デコイドラゴンだ！

蘇生に成功したのでデッキから3枚ドロロー！」

「くそう、ビッグコアラでデコイドラゴンに攻撃なんだな！」

効果を知らないからこそその攻撃だな

そう簡単に攻撃を通すわけないだろう！

「デコイドラゴンの効果発動！

攻撃対象になった時、墓地からLV7以上のモンスターを特殊召喚する！

ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン
俺は青氷の白夜龍を特殊召喚！

更に効果は続き、攻撃対象はこの効果で特殊召喚されたモンスターに変更される！

よって、ビッグコアラの攻撃は青氷の白夜龍に強制変更！」
ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン

ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン
青氷の白夜龍の反撃によってビッグコアラは破壊される

攻撃力差は1100、それなりのダメージだな。

「生還の宝札で3枚ドロロー！

デコイドラゴンの効果で蘇生されても、生還の宝札は効果を発動できさる！」

「な、ならもう1体のビッグコアラでデコイドラゴンに攻撃なんだな！

もう、LV7以上のドラゴン族は墓地に存在しない
だったら攻撃は通るんだな！」

「俺が未来融合を発動した事と忘れたか！

未来融合によって墓地に送られたタイラントドラゴン等特殊召喚！
タイラントドラゴンが墓地から特殊召喚される時、場のドラゴン族
を生け贄にする必要が有る

俺はこの効果により青氷の白夜龍を生け贄に捧げる！

そしてビッグゴアラを迎撃しろ、タイラントドラゴン！」

これにより、ブルーフェイス・ホワイトナイト・ドラゴン青氷の白夜龍を再び特殊召喚できる状態になった

こいつらは攻撃を戸惑う事になるだろう、それが目的なんだがな
それに俺の墓地には、まだダーク・ホルス・ドラゴンが残ってる
まだまだ終わりは遠いぞ？

タイラントドラゴンの反撃により、ビッグゴアラは再び破壊

反射ダメージとして1000のダメージを与える

でかいの手札は0、場にもカードは無い、ライフも残り1900
誰も庇わなければ一撃で決まるな。

「生還の宝札の効果で3枚ドローするぞ」

手札は10枚、多すぎる手札をどうやって処理するかな

この手札と場だと……割とどうにかできるがどうやって荒らそうかな？

「俺は……ターンエンドなんだな！」

「私のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動！ デッキから2枚ドローする！

ジェノサイドキングサーモンをウォーターハザードで特殊召喚！

更にこいつを生け贄に捧げ、海竜ーダイダロスを召喚！

効果発動！ 海扱いになっているアトランティスを墓地に送り、ダ

イダロス以外の場のカードを全て破壊する！」

お仲間のカードまで粉碎するか

まあこの状況なら当然だな、最大の問題は俺以外全員手札が0って事俺の手札は10枚、桁が違うって事だ。

「ダイダロスで堅守瑞貴に直接攻撃！」
ダイレクトアタック

ダイダロスの起こした大津波が俺に当たる
チイツ、このダメージは大きいぞ！

何よりもダイダロスが場に残っているのが最大の邪魔だ！

「これでターンエンドよ！

ざまあみなさい！」

OK、この女……潰す

調子に乗っていると痛い目を見るって事を教えてやるよ！

「俺のターン、ドロー！」

ロード・オブ・ドラゴンードラゴンの支配者一を攻撃表示で召喚！
魔法カード、ドラゴン・目覚めの旋律を発動する！

ロード・オブ・ドラゴンが場に存在している時、デッキからドラゴン族を2体手札に加える！

俺はこの効果によってスピリット・ドラゴンと青氷の白夜龍を手札に加える！
ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン

次に魔法カード、ドラゴンを呼ぶ笛を発動！ スピリット・ドラゴンと青氷の白夜龍を特殊召喚！
ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン

更に魔法カード、ドラゴン・ユニットの儀式を発動する！

自分の場に融合に必要な素材が1体存在している時、そのモンスターとデッキのモンスターを融合させる事ができる！

俺が融合させるのはロード・オブ・ドラゴン！ デッキから神竜ラグナロクを融合させ、竜魔人キングドラグーンを召喚！

キングドラグーンの効果により、手札からドラゴン族を特殊召喚できる、俺はこの効果で真紅眼の黒竜を特殊召喚する！

更にその真紅眼の黒竜を生け贄に捧げ、真紅眼の闇竜を特殊召喚！
レッドアイズ・ブラックドラゴン
そして墓地に闇属性モンスターが3体となった、ダーク・アームド・ドラゴンを特殊召喚！

ダーク・アームド・ドラゴンの効果発動！ 墓地の闇属性モンスターを除外し、場のカードを1枚破壊する！

俺はロード・オブ・ドラゴンを除外してダイダロスを破壊する！」

「ちょ、そこまでする！？

って、きゃああああ！」

ダイダロスが破壊されてその1が悲鳴を上げるが……まだストレス発散の途中だ！

まだまだ終わらんぞ！ 圧倒的な差というのを見せてくれるわ！

「魔法再生を発動！ 墓地の魔法カードを手札に加える！

一族の結束を手札に加え、一族の結束を2枚発動！

速攻魔法、飛龍天舞を発動する！ デッキからドラゴン族を4体まで墓地に送る事ができる！

モンスター1体の攻撃力はこの効果で墓地に送った枚数×300上昇する！

俺は4体のドラゴン族を墓地に送ってスピリット・ドラゴンの攻撃力を1200上昇させる！

魔法カード、命削りの宝札を発動！ デッキから5枚ドロし、5ターン後に全ての手札を捨てる！」

「「「ここで手札増強カード！？」」」

うん、その驚きが見たかったんだ
でもこれだけで終わるほど、俺も甘くないんだぞ？

「3枚目の一族の結束を発動！

2枚目の飛龍天舞を発動！ デッキから……3体のドラゴン族を墓地に送り、スピリット・ドラゴンの攻撃力を900上昇！

死者蘇生を発動！ 場には5体のモンスターが存在しているが、俺はタイラントドラゴンを蘇生させる！

タイラントドラゴンは蘇生の時にドラゴン族モンスターを1体生け贄にする必要が有る！

俺はキングドラグーンを生け贄にし、タイラントドラゴンを特殊召喚！」

これで俺は終わり、俺の場を見てみようか

タイラントドラゴン 攻撃力2900+2400≡5300

ブルーフェイス・ホワイトナイト・ドラゴン

青氷の白夜龍 攻撃力3000+2400≡5400

ダーク・アームド・ドラゴン 攻撃力2800+2400≡5200

スピリット・ドラゴン 攻撃力1000+2400+1200+9

00(+2000)≡5500(7500)

レッドフェイス・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜 攻撃力2400+2400+4500(+600)

≡9300(9900)

最初の数値は元々の攻撃力、次は一族の結束×3での2400上昇
スピリット・ドラゴンは飛龍天舞で1200と900上昇しており
攻撃時に手札の2枚のドラゴン族を墓地に送るので2000上昇
レッドフェイス・ダークネスドラゴン
真紅眼の闇竜は墓地に存在するドラゴン族1体につき300攻撃力
が上昇

墓地のドラゴン族は15体なので4500上昇、スピリット・ドラ
ゴンの効果で捨てればさらに600上昇する。

うーん……残念ながら攻撃力10000突破はできなかったな
ちなみに平均攻撃力はスピリット・ドラゴンと真紅眼の闇竜の上昇
値を除けば6140、上昇値込みで6660になる
最低攻撃力が5200って……F・G・Dを超えてるぜ？
ファイブ・ゴッド・ドラゴン

なお、総計攻撃力は上昇値を除いて30700、上昇値込みで33
300となる
我ながら恐ろしいオーバーキルだな、F・G・Dが出ていれば更に
上昇していただろう。

ドラゴンズ・ミラー
ちなみに龍の鏡は残り2枚のデッキの内の1枚、最後の1枚は大嵐
だったりする

罠カードがバーストブレスとリビングデッドの呼び声だけな理由は
簡単

蘇生が簡単なデッキなので上級モンスターが落ちても何の問題も無
いから

蘇生しなくてもあまり問題無いし、場を吹き飛ばせるのでそれなり
に重宝している

更に速攻を基本としているので罠カード自体下手すれば邪魔にしか
ならない

貫通効果を得る竜の逆鱗と悩んだが、サクリファイス・エスケープ
ができる上、場を一掃できるバーストブレスを選択したのだ。

このデッキの最大の弱点は蘇生や特殊召喚を封じられる事、天敵は
ロック系カードだな

ロード・オブ・ドラゴンを除外する為の龍の鏡やダーク・アームド・
ドラゴンが使えなくなる

そうなれば一族の結束も使えなくなるので弱体化するのだ、まあ落
とさなければいいんだがな。

ロック系カードを崩すカードは大嵐ぐらいしか入っていないのが最大の問題

最悪の手段として破壊竜ガンドラを使用するが……除外するので真レッド紅眼の闇竜の攻撃力上昇に献上できない

更に特殊召喚できないから通常召喚する必要が有る

やや扱い難いが、これぐらいしかロックを崩せないのだから仕方がない

フィニッシャーになれる可能性を持っているだけマシだろう。

巨竜の羽ばたきを採用していないのはかなり悩んだ

必要だと思うが邪魔になる可能性が高い気がする、しかし除去カードは魅力

最終的に力でゴリ押しにする事に決まり、スタンプング・クラッシュも抜いて大嵐一本に絞った。

相手の罠カードはそこまで怖くない

マテリアルドラゴンも入ってるし、キングドラグリーンも入っているからだ

魔法、罠を伏せられても生け贄にしなければならぬがタイガードラゴンで破壊できる

壁モンスターだってストロング・ウィンド・ドラゴンで貫通ダメージを与えられるのであまり問題無い。

元シンクロモンスターは入れるのを止めておいた

確実に凶悪なモンスターになるだろうが、おもしろく無いと思ったからだ

元シンクロドラゴン達には、専用のドラゴンデッキを組む予定だ
今回はシンクロ登場前によく流行っていたドラゴン族デッキだ。

このデッキ……できれば青眼の白龍系のカードを入れたかった

ブルーアイズ・アルティメット・ドラゴン・シャイニングドラゴン　ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン
青眼の究極竜や青眼の光龍、Sin青眼の白龍も……

って、ここまでしたら素直に青眼の白龍デッキを作った方が早いな
よし、完全に専用デッキを作ろう、どうせ社長に会う予定もできた
事だしな

ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン
青眼の白龍を高値で売りつけるっていう……ねえ？

考え過ぎだな、その1達はドラゴン群団に怯えてる事だし、一気に
終わらせようじゃないか！

「ダーク・アームド・ドラゴンでその1を！」

タイラントドラゴンででかいのを！

ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン　レッドアイズ・ダークネスドラゴン　ダイレク
青氷の白夜龍、スピリット・ドラゴン、真紅眼の闇竜で水色に直接
トアタック
攻撃する！」

「僕だけ3体のモンスターって酷くない！？」

水色が叫ぶが無視。

「ダーク・アームド・ドラゴンでその1に攻撃！」

ダーク・ヴァニッシャー！」

ダーク・アームド・ドラゴンは爪を黒く光らせ、その豪腕をその1
に向かって振り下ろす
目の前で見たらトラウマ物になりそうぐらい恐ろしい攻撃だな。

「きやあああああああ！」

ちなみにアームド・ドラゴンLV7の攻撃名がアームド・ヴァニッ
シャーである

技名を考えるのが面倒になったからダークでいいやと思っただけ
自分で考えるのって楽しいな、まあストレスの発散にはなるが恥ず
かしいものは恥ずかしい。

「続いてタイラントドラゴンででかいのに攻撃！
タイラントブレイズ！」

技名が無かったので適当
でもタイラントドラゴンはキッチリ仕事をしてくれた
巨大な炎をでかいのに向かつてはき出す
パツと見かなりの熱量だろうな、ソリッドビジョンじゃなければ。

「うあああああ！」

うーん……男の叫び声を聞いても何も楽しくない
叫ばせるならやっぱり女性だよな

悲鳴を聞くのって楽しいし、その1は最後の楽しみにすれば良かったか？

良い声で鳴いてくれただけに勿体ない。

「攻撃1、ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン
バーストブリザード青氷の白夜龍で水色に直接攻撃！
凍結の爆裂氷結弾！」

自分で考えたけどどう聞いても青眼の白龍のパクリです、本当にあ
りがとうございました
思いつかなかったんだから仕方がない、さっきまで青眼の白龍の事
を考えてたんだしな。ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン

「攻撃2、スピリット・ドラゴンで水色に直接攻撃！
更に攻撃時、手札のドラゴン族モンスターを2枚墓地に送り、攻撃ダイレクトアタック

力を2000上昇させる！
スピリットソニック！」

これは一応正規技名

このデッキだと墓地に送れば色々と楽ができるので採用している
でもそこまで捨てたり生け贄にするカードが無いので超再生能力は
不採用

結構悩んだんだけどねえ……いや、強いんだよ？ 使い所が難しい
だけで。

「ラスト！ レッドアイズ・ダークネスドラゴン 真紅眼の闇竜で水色に直接攻撃だ！
ダイレクトアタック ダークネス・ギガ・フレイム！」

こっちも正規の技名

このカードって誰が使ったっけな？
確か誰かがアニメで使ってたと思うんだけど………忘れた。

「うわあああああああああ……！！！！！！」

あー、スッキリしたあ

ようやく水色に思いっきり攻撃できた

タイタンの時には防がれ、長々と戦う機会が無く、かなり時間を過ぎた今日。

なんだか気が晴れた感じがするな

これが嫌いな奴を圧倒的な差で叩き潰す快感というものだろうか？
癖になりそう………また何かと理由を付けて潰そうかなあ。

「あわわわわわわ………しょ、勝者、ラーイエローの堅守瑞貴なノ
ーね！」

およ？ 態々勝利宣言してくれるの？
別に正式な試合じゃないからしなくても良かったのに
テンションが振り切ってるから嬉しく感じてしまうな。

「か、堅守君、君はそこまで強いのに学園対抗試合に出てくれない
のかね？」

この惨劇を見てまだ出す気になれる校長がすげえ！
校長の感覚が意味不明、度胸が据わってるのか、ただの馬鹿なのか
多分前者だと、なんとなくそう思う。

「出ません、そろそろ帰ってもいいですか？」

「ああ、好きにしてくれて構わんよ
嫌なのに態々来て貰って悪かったね」

そう思うのなら最初から再試合の許可なんか出すなよ
俺は敗者達に何も言わずに決闘場から去って行った
後に残るは敗北者達だけ、今後こいつらはどうなるのかな？
デュエルフィールド

25話【バトルロイヤルとは名だけの1対3】（後書き）

ウォーターハザードって……最近のカードじゃ？

気のせいです、気のせいに決まっています

……ごめんなさい、特殊召喚できるカードが思い浮かびませんでした。

瑞貴のテンションが……

色々あったのでテンションを上げないとやっつけられない状態です
ぶっちゃけテンパってます

もう色々とやっつけられないと自棄になっています。

ミンゲイドラゴンはスタンバイフェイズ時の効果じゃ……

指摘されて気付きました

しかし、どう考えても変更できない状態な上、強欲な壺も使っている
ので修正できませんでした

申し訳ありませんが見逃してください。

翔はパワー・ボンドを使って大丈夫だったの？

伏せカードの1枚はピケルの魔法陣でしたのでダメージを無効にできませんでした。

あれ？ パワー・ボンドのダメージは？

原作効果ではモンスターが場に存在しなければダメージを受けません。

バーストブレスの効果って墓地での攻撃力じゃないの？

不明、多分そうだと思います

Wikiの方で詳しく書かれていないので曖昧だったのですが、分

かっててこうしました

原作キャラが攻撃力を上げて使っていれば細かい書かれただろうに
……

ちなみに、この判定が無理となるとマスター・オブ・OZの存在が邪魔となり、この決闘自体が無理となるので修正できません
教えてくれる人募集中。

コアラの進行って前使ってたけど、本当はLV4以下なんでしょ？
もうこれで通す事にしました
これでLV4以下にした場合、反撃ダメージで隼人が自爆敗北となります。

ジュンコつええ！

愛と怒りのパワーでしょう

十代も愛されてますね……リア充爆発しろ！

ダーク・アームド・ドラゴンが出た時の墓地の闇属性は？

ロード・オブ・ドラゴン、ダーク・ホルス・ドラゴン、レッドアイズ・ブラックド真紅眼の黒
ラゴン竜の3体です。

じゃあ未来融合で何を墓地に送ったの？

ダーク・ホルス・ドラゴン

ミンゲイドラゴン

タイラントドラゴン

デコイドラゴン

ボマードラゴンです

魔法再生の手札コストは？

原作効果でコストは不要です。

場が埋まってるけど……タイラントドラゴンとはいえ死者蘇生ってできるの？

不明、デコイドラゴンの効果で可能らしいのでできるのかなあ……って

多分本来は不発となるかと思います

これはかなり悩みましたが、攻撃力を500上げる為だけに使いました

もし諦めた場合、手札のドラゴン族が1体増えており、スピリット・ドラゴンの攻撃力は更に1000上昇したでしょう

……あれ？　その方が総計ダメージが大きいような……まあいいでしょう。

忘れてたけど、明日香は間に合ったの？

ジュンコがこの場に居たので当然ながら間に合いませんでした
ももえだけ捕まえ、確保して瑞貴の部屋の前で待っていました
瑞貴は仕方無かったので許しましたがとりあえず明日香への仕返し
は後日にして解放

ももえには説教+ビンタ+空腹状態+目の前で食事をしました
最終的にそのまま徹夜、朝食も同じように目の前で食事、ももえは
約24時間、何も口に入れる事は叶いませんでした。

十代はどうなったの？

十代は負けて落ち込んだ翔、隼人、ジュンコを逆に励ますという何とも奇妙な状況になりました

おかげで自分の落ち込みが曖昧になり、調子を取り戻す事になります
次の登場時には普段通りに戻っている事でしよう。

翔は？

十代に励まされて感激、更に懐きました。

隼人は？

友情を深めました。

ジュンコは？

惚れ直しました。

原作、アニメオリジナルカード

ドラゴン・目覚めの旋律

ロード・オブ・ドラゴン―ドラゴンの支配者―が場に存在している時、発動可能

デッキからドラゴン族モンスターを2枚手札に加える
漫画オリジナルだそうで。

ドラゴン・ユニットの儀式

自分の場に融合素材が存在している時、デッキのもう1体の融合素材を融合させる

どうも原作だと別モンスターへの進化だったらしいですが知りません調べた場所ではそう書いてあったのでそれを採用しただけです本来の効果を知ったのはこれを書き終えた後なので修正できませんでした。

飛龍天舞

場のドラゴン族モンスターを1体選択

デッキからドラゴン族を4枚まで墓地に送る

この効果で墓地に送ったモンスターの数×300攻撃力を上げる
アニメオリジナルだそうで、OCG化したら制限か準制限になるでしょう

墓地肥やしの上に攻撃力上昇なのでドラゴン族デッキなら恐ろしい

までのアドバンテージです。

実は瑞貴、何気にジュンコには最低攻撃力のモンスターで攻撃しています

やっぱり怒っていてもなんだかんだで甘いという事です。

更に、そのジュンコですが……アトランティスの使用法がかなり多才になりました

瑞貴1戦目 普通に手札から発動

瑞貴2戦目 テラ・フォーミングを使用

十代戦 終焉の地を使用

瑞貴3戦目（今回） アトランティスの戦士の効果を使用

……ジュンコが強いだろ!? どうしてこうなった!?

他の使用法が思いつきません、今後も彼女は出てくるのでアイディア募集中です。

26話【電池部屋交換】（前書き）

色々とすっ飛ばしました

もけもけ？ 万丈目？ 何の話でしょうか？

今日は電池部屋を交換する日ですよ

意味が分からない？ 読めばすぐに分かります。

今回もミスが有ります

気付いたのが少し前なので修正できず、諦めてそのまま
詳しくは後書きにて……ミスに定評が有ると言われそうですね。

後書きにちょっとしたお願いが有ります

最後まで読んでくださると助かります。

26話【電池部屋交換】

視点 瑞貴

学園対抗試合？ 見てないよ、どうでもいいし
それよりも俺が問題にしているのは……

「何故俺の部屋に居る、万丈目」

「煩い！ 俺だって入りたくて入ったのではない！
後、俺の事は万丈目さんか、サンダーと呼べ！」

この男の存在だ

邪魔過ぎて非常に困る

頼むから出て行ってくれないかな……切実に思う。

「では電池、お前は確かブルーじゃなかったか？」

「で、電池！？ サンダーと呼べと言っただろうが！

出席日数が足りないって言われたんだよ、おかげで俺はレッドからのし上がらなければならん」

まあ長々と行方不明だったしな

しかし気のせいか性格が丸くなってないか？

もっとエリート意識が強かった気がするんだが……どうでもいいか。

「それより……なんだこの部屋は！？」

「何だとは何だ？」

そんなに変な部屋か？

「何だも何も、何でこの部屋はこんなに嚴重な金庫が置いてあったり、監視カメラが付いてたりしてるんだ！？」

金庫なんて5個も置いてるじゃないか！ 何をそんなに嚴重に仕舞ってるというのだ！？」

「カード」

「カード！？」

それにしても嚴重過ぎるだろうが！」

いや、三幻神とかも入ってるしな

これでもまだ物足りないぐらいなんだぞ？

もういっそ、レッド寮の外に倉庫でも作るか？

トラップを作ったり、警報を鳴らすようにしたり。

それでも足りない気がするんだよな……社長や片眼にでも預かってもらうか？

あ、片眼ってのはペガサスの事ね、確か千年眼ミレニアムアイを入れる時に片眼を挟まれてたはずだし

なら片眼でいいじゃん、という流れで片眼と呼ぶ事に決めた。

とりあえずこの電池が邪魔

明日香はそれなりに付き合いが長いので多少信用してるがこいつは無理だ、信用できない

どうにかして出ていってもらわないと……

「電池、とりあえずこの部屋から出て行け
お前は信用できん、邪魔だし鬱陶しいから実家に帰れ」

「サンダーだ！

何故そこまで嫌われねばならんのだ！？

それに、実家に帰ったらまた兄さん達に……」

「じゃあどうすれば出て行ってくれる？」

「俺が出て行く事は決定事項なのかぁ！？」

何を当たり前な事を、俺がそんな冗談を言うはずが無いだろう？
なんというか、存在自体を否定したいぐらい邪魔。

「ま、まあいい

デュエル

なら俺と決闘しろ、俺が負けたら出て行ってやろう

だが、もし俺が勝ったら住ませてもらうからな！ 後、サンダーと
呼ばせてやる！」

「面倒な……出て行くのならいいか

わかった、表に出よう

ついでに言うが電池の呼び方は変えないからな」

「サンダーと呼べ！」

なんだかなあ……面倒になってきた

適当に遊びながらするか

どうせ原作キャラだ、バランスの悪いデッキだろう。

デッキを決め、寮の前で決闘デュエルの準備

と言っても、特に何かするわけでもない
無いんだが……またお前か？

「で、何でお前まで来てるんだ、明日香？」

「またカードを見せてもらいに来ただけよ
でも、何やら楽しそうになってるからね
私も混ぜて貰おうと……ね？」

つまり1対1対1をしようって事か？
また面倒な……ややこしくなるな。

「明日香、電池に勝ったら借金3割減にしてやる
だから今回は諦めろ」

「行くわよ万丈目君、絶対に負けないわ！」

「変わり身が早くないかい天上院君！？
それに借金って何なんだあ！？
後、俺の事はサンダーと呼べ！」

負けてもデメリットは言っていないしな
やる気も十分だろう
勝っても負けても損は絶対に無いんだからな。

「電池、明日香に勝ったら俺が戦ってやるよ
けど負けたら出て行けよ？」

「サンダーだ！
それは明らかに俺が不利だろう！」

お前や天上院君は1回勝てばいいのに、俺は2連勝する必要が有るんだぞ！」

「なら2連勝したらカードをやるよ

お前のデッキにピッタリのカードを送ろう

それなら構わないだろう？」

「それはいいが、俺のデッキを知ってて言ってるのか？
結局持ってませんでしただってのは無しだぞ！」

「大丈夫だ、問題無い

それよりも今は目の前の敵に注意を向けたらどうだ？」

俺の言葉に電池は明日香の方を見る

……顔がだらけたな、明日香に好意でも持ってるのか？
それで油断してくれたら儲け物だな。

「さあ、始めろ

主に俺を楽しませる為に」

「私が戦うのは借金返済の為よ！」 「俺は宿の確保の為だ！」

「^{デュエル}決闘！」

「俺の先攻、ドロー！」

俺はアームド・ドラゴンLV3を攻撃表示で召喚！

更に、リバースカードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

悪く無い手だ、攻撃表示じゃなければな

相手の攻撃を誘うつもりなんだろうが、どう見ても罠だと言ってい

るようなものだ
戦闘以外で除去されるぞ？

「私のターン、ドロー！
モンスターをセット、更にカードを2枚伏せてターンエンドよ」

あのデッキにはリバース効果モンスターはそんなに無い
戦士族でリバース効果持ち自体が少ないからな
となるとあのカードは……

「攻撃しないか……チィ、俺のターン、ドロー！ ならば俺はアームド・ドラゴンLV3の効果発動！
スタンバイフェイズ時にこのモンスターを生け贄に捧げ、デッキより出でよ、アームド・ドラゴンLV5！」

しかしアームド・ドラゴンLV5の効果は表側表示の相手モンスターでなければ無意味
となると普通に攻撃してくるだろう。

「アームド・ドラゴンLV5で守備モンスターを攻撃！
アームド・バスター！」

体に生えてる棘をミサイルみたいに飛ばして攻撃してるが……どう見てもバスターじゃないよな？
いや、これでもバスターか？ なんか微妙な感じだ。

「罠カード発動！ ドレインシールド！
相手の攻撃を1回無効にし、その攻撃したモンスターの攻撃力分ライフを回復する！
よって、私は2400ポイントのライフを得るわ！」

ま、その手のカードは伏せてるだろうな
攻撃型のデッキだが防御系カードもそれなりに入れてるし
あの程度で終わるような事は無いだろう。

電池がこのターンで対策を練らない限り、明日香の勝ちが決まりだな
セットされたモンスターが俺の予想が当たっていればだけど
可能性は高いだけ十分だ。

「やるな！ 天上院君！

俺はカードをもう1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！ 強欲な壺により、デッキから2枚ドロー！
反転召喚、王座の侵略者！ 王座の侵略者の効果発動！

このモンスターがリバスした時、相手モンスター1体と、このモ
ンスターのコントロールを入れ替える！

私が入れ替えるモンスターはアームド・ドラゴンLV5！」

「そうはいかない！ 速攻魔法、レベルダウン！？を発動！

LVを持つモンスターをデッキに戻し、そのモンスターと同名のL
Vの低いモンスターを墓地から特殊召喚する！

出でよ！ アームド・ドラゴンLV3！」

回避したか、だが王座の侵略者の攻撃力は1350、アームド・ド
ラゴンLV3の攻撃力1200じゃ勝てない
しかし電池は罨を張っている、明日香はどうするかな？

「ならば私は増援を発動！

デッキから戦士族を1体手札に加える、私が手札に加えるのはマジ
ック・ストライカー！

そして墓地に存在する魔法カード、増援をゲームから除外し、マジック・ストライカーを手札から特殊召喚！

速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動！ 攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚された時、同名モンスターを手札、デッキ、墓地から特殊召喚する！

相手は自分の場の好きなモンスターを特殊召喚できるわ！

私はこの効果により、マジック・ストライカーをデッキから2体特殊召喚！」

「ならば、俺はアームド・ドラゴンLV3をもう1体特殊召喚する！」

アームド・ドラゴンLV3が2体か……次のターンには2体のアームド・ドラゴンLV5が現れるな

どうやってそれを回避するつもりだ？

「そしてサイバー・チュチュを攻撃表示で召喚！」

マジック・ストライカーはプレイヤーに直接攻撃できる効果を持つ！

マジック・ストライカー達で万丈目君に直接攻撃！

更に永続罠、追い剥ぎゴブリンを発動！ 相手に戦闘ダメージを与えた時、相手の手札を1枚捨てさせる！」

「ちよ、ちよと待てえ！」

ダイレクトアタック
直接攻撃って事は俺の手札は確実に……」

そうだな、電池の手札は3枚

丁度無くなるし、その上サイバー・チュチュも直接攻撃できる

一気に手札が4枚無くなるな。

更に王座の守護者の攻撃力はアームド・ドラゴンLV3を超えている

なんと1ターンで5枚もの手札破壊だ

この前の俺と似非戦の時で何か感じたのか？

マジック・ストライカーの攻撃が電池に直撃する
手札が無くなり、ライフを1800削られた。

「サイバー・チュチュは、相手の場にこのモンスター以上の攻撃力
を持つモンスターしか存在しない時
相手プレイヤーに直接攻撃できる効果を持つ！
サイバー・チュチュで万丈目君に直接攻撃！」
ダイレクトアタック

これで更に1000のダメージ
明日香の攻撃は続く。

「王座の守護者でアームド・ドラゴンLV3に攻撃！」

電池は何もしないで150のダメージ

総計ダメージは2950で残りライフは1050だな。

しかし罠を発動しなかったな
となると攻撃反応型じゃなく、攻撃補助か召喚系のカードか？

「カードを2枚伏せ、ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー！」

場のアームド・ドラゴンLV3をLV5にLVアップ！

更に罠カード、レベルの絆を発動する！

相手は2枚ドローし、俺の墓地に存在するLVを持つモンスターを
ゲームから除外

除外したモンスターに記されたモンスターを召喚条件を無視してデ

ツキから特殊召喚！

出でよ、アームド・ドラゴンLV5！」

これはアニメオリジナルカードだったな

レベル調整に似ているが少し違う

レベル調整の場合は墓地からの蘇生だが、こちらはデッキから特殊召喚だ

似ているが大きく異なるので両方入れても問題無いだろう。

「しかし、この効果で召喚されたモンスターは攻撃できず、効果も使えない

だが、LVアップは可能だ！ 魔法カード、レベルアップ！

俺はレベルの絆で召喚されたアームド・ドラゴンLV5を墓地へ送る！

召喚条件を無視し、デッキより現れる！ アームド・ドラゴンLV7！」

よくあの手札が0の状態からレベルアップ！を引けたな

効果を発動できないが、それでも攻撃力は2800だし十分だろう。

だがこの時点で電池の敗北は決まっている

マジック・ストライカーが3体にサイバー・チュチュ

攻撃力600以上のダイレクトアタッカーが4体、戦闘破壊じゃ足りない

手札も0、効果も使う事ができない。

「アームド・ドラゴンLV7でサイバー・チュチュに攻撃！

アームド・ヴァニッシャー！」

サイバー・チュチュはアームド・ドラゴンの爪に切り裂かれ、破壊

される

攻撃力差は1800、それなりに大きなダメージだな。

それにもう勝てないと分かっても戦い続けるか
デュエリスト
相変わらず決闘者ってのはよくわからんな。

「罨カード、ダメージ・コンデンサーを発動！

戦闘ダメージを受けた時、そのダメージ以下の攻撃力を持つモンスターをデッキから特殊召喚するわ！

私はこの効果により攻撃力1800以下のモンスター……マッシュ・ウォリアーを特殊召喚！」

岩でできているようなモンスターが現れる

でも戦士族なんだよな、あれ

戦闘耐性とダメージ0の効果はこういう時に有効だよな。

「アームド・ドラゴンLV5で王座の侵略者に攻撃！」

攻撃力差は1050

明日香のライフも残り1150になる

ライフは並んだが、それだけだ

場は圧倒的に明日香が有利、それどころかすぐに終わるな。

「俺のターンは……終了だ」

「私のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動し、デッキからカードを2枚ドロー！

永続魔法、一族の結束を発動！

墓地に1種族しか存在していない時、同じ種族の場のモンスターは
攻撃力が800アップする！

ダイレクトアタック

直接攻撃ができるモンスターともう1体を生け贄に捧げる！

私はマジック・ストライカーとマッシュ・ウォリアーを生け贄に捧げ……

集いし力が大地を貫く槍となる、光さす道となれ！ 砕け、ドリル・ウォリアー！」

よしよし、さすが明日香だ

どうやら随分俺に染まっているらしいな、全く容赦しない。

まあ……あわよくば俺の機嫌を良くして借金返済量を増やそうって魂胆か？

もっと頑張れば考えておこう。

ダイレクトアタック

「ドリル・ウォリアーは直接攻撃が可能なモンスターを生け贄にして召喚できる

でも、余分に1体のモンスターを生け贄にすれば特殊召喚扱いできる！

カードを1枚伏せ、天よりの宝札を発動！ お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドローする！」

「て、天上院君？

ダイレクトアタック

最初に直接攻撃すれば終わってたんじゃないか？」

「ああ……瑞貴のご機嫌稼ぎの為に死んで？」

「な、なんだってー！？」

機嫌は良くなるけど、それは言ったら駄目じゃないか？

でもいいか、俺の為に頑張ってくれているんだ

借金は1%ぐらい減らしてやろう

電池は嫌いとか以前にどうでもいい存在だから特に何とも思わないからな。

「魔法再生を発動！ 墓地から魔法カード、地獄の暴走召喚を手札に加える！」

戦士族、マジック・ストライカー2体を生け贄に捧げ……

集いし思いがここに新たな力となる、光さす道となれ！ 燃え上がれ、ニトロ・ウォリアー！」

ニトロ・ウォリアーを召喚するには戦士族か機械族を2体生け贄にするだけでなく

このターン中に魔法カードを発動している必要が有る

最悪、3枚ものデイスアドバンテージになってしまいうモンスターだ更に攻撃時に攻撃力を上げるにはまた魔法カードが必要だ

つまり強化するには4枚ものデイスアドバンテージとなる重量級モンスターだな。

「死者蘇生を発動！ マジック・ストライカーを墓地から特殊召喚！更に地獄の暴走召喚発動！ 効果はさっき言ったわよね？」

という訳でマジック・ストライカーを2体、墓地から特殊召喚！」

「お、俺は墓地からアームド・ドラゴンLV5を1体特殊召喚する」

魔法カードを使ったな……これでニトロ・ウォリアーの攻撃力上昇効果を使用できる

それにまだ明日香の手札は3枚残ってるし、まだ何かできるよな？

「罠カード、ギブ&テイクを発動するわ！」

自分の墓地のモンスターを相手の場に守備表示で特殊召喚する

私が召喚するのはサイバー・チュチュ、電……万丈目君の場に特殊

召喚するわ」

「今何か言い間違えそうにならなかったかあ！？
って、俺の場にモンスターを出す意味なんてあるのか？」

当然だろう、ニトロ・ウォリアーの連続攻撃の条件を満たせるんだからな

しかし……初めて渡したギブ&テイクをここで使うとはね
サイバー・ブレイダーの為だったんだが、まあいいだろう。

「更に永続魔法、連合軍を発動！

場の戦士族、魔法使い族の数×200、戦士族の攻撃力を上昇させるわ！

更に装備魔法、アサルト・アーマーをドリル・ウォリアーに装備！
攻撃力を300上昇させる！」

これにより……全モンスターの攻撃力を記すとだ

マジック・ストライカー×3 600+800+1000=2400
ドリル・ウォリアー 2400+800+1000+300=4500

ニトロ・ウォリアー 2800+800+1000=4600

ニトロ・ウォリアーは魔法カードを使用したので攻撃力1000上昇
残り手札は1枚だが、もし手札に速攻魔法が入っていれば2回目の
攻撃も1000上昇できる。

「いくわよ電池君……じゃなくて万丈目君！」

「君まで電池って言うな……！」

総攻撃力は16300

攻撃力上昇効果を2回、アサルト・アーマーの効果を使用して連続攻撃分を含めると総攻撃力22500だな

しかし……まさか攻撃回数7回になる

内5回も直接攻撃が可能という……
ダイレクトアタック

直接攻撃ダメージだけで総攻撃力が10425にまで昇る。

マジック・ストライカーの攻撃で2400が3回

ドリル・ウォリアーの効果で攻撃力半減して2250

アサルト・アーマーの効果で攻撃力を300下げて再攻撃で975……
……なんという半端な数値だ

ニトロ・ウォリアーの攻撃で5600、2回目も可能ならもう一度5600

これだけすれば相手のライフが10000オーバーでも即死だな。

「ニトロ・ウォリアーでアームド・ドラゴンLV7に攻撃！

ニトロ・ウォリアーは魔法カードを発動していた場合、戦闘時に攻撃力が1000上昇する！

攻撃力5600でダイナマイト・ナックル！」

攻撃力差は2800、これでライフは0だがこれで終わらない
それは確実なんだよ！

「ニトロ・ウォリアーの効果発動！

戦闘で相手モンスターを破壊した時、守備表示モンスターを攻撃表示に変更し、そのモンスターに攻撃できる！

サイバー・チュチュを攻撃表示に変更！ サイバー・チュチュに攻撃！

更に速攻魔法、収縮を発動！ サイバー・チュチュの攻撃力を半分に
にする！

更に魔法カードが発動されたのでニトロ・ウォリアーは攻撃時に攻撃力を1000上昇！

ニトロ・ウォリアーの追撃！ ダイナマイト・ナックル・第2打あ
「！！！」

攻撃力差は5100

本来なら1撃で終わる攻撃とダメージだな。

それにしても自分のモンスターなのに全く戸惑わなかったな
明日香も随分怖い女になったものだ
いいぞ、もっとやれ！

「ドリル・ウォリアーでアームド・ドラゴンLV5に攻撃！
ドリル・ランサー！」

攻撃力差は2100、また攻撃力差が大きいなあ

もう1体のアームド・ドラゴンLV5に攻撃した場合、アサルト・

アーマーが無くなるから攻撃力差は1800となるな
ダイレクトアタック

直接攻撃した場合のダメージは2100、これなら直接攻撃の方が
ダイレクトアタック
強い。

「アサルト・アーマーの効果発動！

バトルフェイズ中に装備されているこのカードを墓地に送り、装備
していたモンスターはバトルフェイズに2回攻撃が可能！

ドリル・ウォリアーの効果発動！

攻撃力を半分にし、相手プレイヤーに直接攻撃できる！
ダイレクトアタック

ドリル・ウォリアーで直接攻撃！
ダイレクトアタック
ドリル・シュート！」

地面に潜ったドリル・ウォリアーが電池の目の前に現れ、ドリルで
貫く

これにより、2100のダメージを与えた。

「これで最後！ マジック・ストライカー3体で直接攻撃よ！」
ダイレクトアタック

「ああ……ぐあああああ！」

攻撃力2400が3回飛んでくるのは悪夢だろう

電池へのダメージは今ので19300、合計22250ダメージ

明日香もオーバーキルが好きになったか？

結構快感になれるし、その気持ちは分かるぞ。

オーバーキルは何よりもストレスの発散になるのが嬉しすぎる

それにしても、最近マジック・ストライカー無双してる気がする

今回、マジック・ストライカーが召喚された回数は6回

地獄の暴走召喚を2回も発動するという恐ろしい事になった。

ちなみにダメージを与えた回数は7回

電池は天よりの宝札で手札が6枚になったのに追い剥ぎゴブリンの効果で7枚捨てさせられた

数がおかしいのは仕様である。

明日香は勝った事を小さく喜んでおり、電池は何故負けたのかと落ち込んでいる

明日香は借金が減るので嬉しいだろうな

電池は負けた理由をどれだけ考えても答えは決まっている

お前は俺を怒らせた、から明日香のやる気を出す事を言われたのだ。

それにしても……明日香のデッキも随分変わったな

俺と2回目に戦った時から随分女性型モンスターが減っている

戦士族サポートカードも多いし、能力や効果重視になっているな

拘りを捨てて力を求めたのかな？

「明日香の勝ちだな

約束通り3割引きしよう

圧倒的に勝ってたし、サービスして3割3分3厘引きにしてやる
つまり33.3%引きだな」

「……素直に1／3って言えば？」

「口答えするなら3割引に戻すぞ」

「黙るから止めて」

こいつ、強いのか弱いのかよく分からん
デュエル

決闘は強いけど精神的には大した事無いんじゃないか？

「とりあえず電池、お前は初戦で負けた上にオーバーキルされた
文句は全く言えないよな？ さあ出て行け」

「うう……くそ！

わかった、約束だし出て行ってる

だがこれだけは言わせろ、俺の名は万丈目サンダーだ！」

そう言い捨てて逃げ出す電池

何を言っただって俺が名前で呼ぶわけじゃないじゃん

呆れた目で見てやるとそれに気付いたらしく走る速度が上がった。

部屋に駆け込み、少し待つと荷物を持って出てきた

本当に出て行くとは……律儀な奴だな

いや、本気で追い出すつもりだったからいいんだけどさ。

とりあえず電池が出て行ったので明日香を部屋に入れて話す

お題は今回の決闘デュエルでの事だ

どうすればもっと威力を上げられたとかの話になった。

まああれ以上は難しいだろうが……どうにかなるだろう

数時間話し合った結果、明日香は帰った

やっと自由だ……晩飯食って暇潰して寝るか。

それにしても……結局電池の下の名前を知らんなんだっただっけな？

寝ようとしたが……通信？

ああ、あいつか。

「何か用か？」

『……………』

「わかってるっての、仕事はちゃんとする
別に心配しなくても裏切ったりしない」

『……………』

「はぁ……監視までしてるくせに何を言うか
時々監視者が鬱陶しいんだけど、もう少し監視を緩めてくれないか
？」

『……………』

「チッ、信用が無いのは分かってるからな、諦めてやるよそれより、あいつらは本当に使えるのか？」

『……………』

「なら……役立たずだったら俺にくれ」

『……………』

「何に使うって、扱き使うに決まってるだろ？
役立たずは役立たずなりに使ってやる方が親切じゃないか？」

『……………』

「はいはい、別に奴隷にしたりするわけでも無いんだからそこまで心配するな
で、俺はいつ動けばいい？」

『……………』

「それは早くないか？
いや、信用の無さと裏切られたりする危険性から考えれば妥当だな
こっちでも独自に動くが、文句は無いよな？」

『……………』

「わかったわかった、裏切ったりしない安心してくれ
じゃあな」

通信が切れる

狸め……自分の思い通りになると思うなよ？

それに問題は俺の動く時が思ったよりも早かった事だな

下手すれば俺がヤバイ……どうにかして調整せねばならんな

そうだな、誰かに犠牲になって貰うか

俺への疑いを消す為にも……さて、誰を潰すかな？

26話【電池部屋交換】（後書き）

もけもけ戦も十代対万丈目戦もすっ飛ばし!?

瑞貴が関わる必要が皆無なので

もけもけは関わる切欠さえ有りません

万丈目兄弟に何かするのも考えましたが、万丈目に興味がほぼ皆無なので関わる必要がありません

騙せば金蔓になりそうですが、後で面倒になる可能性も有るので止めました。

サンダーから何故電池で!?

最初は電撃と言わせてました

しかし、瑞貴の万丈目への印象を考えるとそんな上等な物じゃないなど

なので一気にランクダウンして電池です

万丈目電池、1本30円なり、誰が買うんだか……万丈目グループが作るんでしょうか?

有り得ませんね。

金庫に監視カメラまで!?

先日届きました

大まかには業者が、細かな作業の労働力は明日香とももえにさせました

……勿論、瑞貴も働きましたよ?

倉庫……作るの?

工事がまた面倒なので未定

今後、大金を得れば考えておきます。

万丈目にピッタリのカードって？

特に何も考えていませんでした

明日香が負けるとは最初から殆ど考えていないので
自覚の無い信頼ですね。

王座の侵略者とか……

偶然見つけたので採用

他には特に理由は有りません。

で、明日香は瑞貴対十代戦で何か感じたの？

恐ろしさと戦慄を……それに瑞貴が使っていたのは明日香も使っているカードです

なので自分もできるかと思い、自分でアレンジして実行
何気に実験戦ですね。

瑞貴は明日香を染めた自覚が有るの？

全く有りません、気付けば染まっていました

今では染まった明日香を見るのをそれなりに楽しんでるそうです。

アサルト・アーマーって……

本来は自分の場に1体の時にか装備できないらしいのですが、その
効果を見逃したまま書き終えてしまいました

計算が色々ややこしくなり、途中から全て書き直しになってしま
うので諦めました

ちなみに、バトルフェイズ中に墓地に送る効果は原作効果ですので
ミスではありません。

最後の通信相手って？

その内のお楽しみに

予想しても感想などに書かないでくださると助かります

そういやそいつが居たなあ……と、そうなってしまうので後々の楽しみが少しだけ薄れるかもしれません
何かと気に食わないかと思いますが、ご了承ください。

原作、アニメオリジナルカード

レベルの絆

相手は2枚ドロースる

自分の墓地に存在するLVを持つモンスターをゲームから除外
除外したモンスターに記されているモンスターを召喚条件を無視してデッキから特殊召喚する

この効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃ができず、効果を使用する事ができない

本来はレベル調整とほぼ同じ効果らしいのですが、調べた場所ではこの効果でした

本来の效果を知ったのは書き終える寸前、ややこしくなったのでそのまま続行しました

現実と同じ効果で出ればホルスが恐ろしい事になります……多分。

瑞貴は何を企んでいるの？

お楽しみなので秘密です

悪い事を考えているのは確実なので……可哀想に潰される人が。

27話【初めての闇のゲーム】（前書き）

……………工場の臭いのせいで頭が痛い

機械の臭いが大弱点な作者です……頭が痛い……吐きそう

こんな体調なので次話が明日に投稿できるか心配です

まだ次話を書き始めてもいけませんので……はあ

怒号の連続更新、今日の8日目でストップでしょうか？

今回は予想外と最低でも3回は思わせたいと思います

できれば5回は……難しいかな？

誰がこんな事予想するんだか……原作ブレイクも大概にしる自分。

えー……そんなこんなです

色々と突っ込みたい所が出てくるでしょうが

お楽しみいただければ幸いです。

ちなみに今回は何故かかなり長いので時間に注意

時々長いのは何ででしょうか？

今回はそんなに長くないかと思ってたのに……あるえー？

27話【初めての闇のゲーム】

視点 明日香

大徳寺先生が企画した課外授業

古い遺跡であり、入る事を禁止されている場所

曰く付きの遺跡、闇の決闘デュエルにも関係しているという話も聞く

私は兄の居なくなった事に僅かでも関係しているかもしれない思
って参加する事に決めた。

答えは絶対に断るだと思うけど、一応瑞貴も誘ってみた

返事は当然ながら拒否、理由は体力が無い自分が言っても足手ま
といになるだけだって

まともな事を言ってる気がするけど、単に面倒なだけでしょ？

私以外の参加者は大徳寺先生に中半強引に連れてこられた十代、翔
君、隼人君

それに十代が行くと言う話を聞き、どこからか湧いてきたジュ
ンの5人ね

瑞貴も誘ったって言ったら十代以外が嫌そうな顔をした……瑞貴、
彼らに何かしたの？

移動中、崖を登ったり、丸太橋を渡ったり、森林を歩き回ったり
かなり辛かったわ……言い訳だったけど、瑞貴じゃこれは無理ね
多分最初の崖でギブアップしてたんじゃないかしら？

隼人君はバテて十代と翔君に背負ってもらっている状態
ジュンコは私よりも体力が有るから少しは余裕そう

そうは言っているけど、私自身もう疲れたわ……

休憩時間も兼ねてのお弁当

ジュンコは自分で作ってきたお弁当を十代に渡してる
微笑ましいわね……翔君が悔しそうに嫉妬心丸出しにしてなければ。

十代は気恥ずかしそうにしてるけど嬉しそう

元々十代が持って来ていたお弁当も食べるみたいだけど、ジュンコ
と分けるみたい

どう見てもラブラブなのに、まだカップルになってないのよね
ちょっと後押しすればくつつきそうなんだけど。

そういう私は自作のお弁当

あんまり時間が無かったからちょっと簡単だけどあまり問題じゃないわ

余った分は来る途中で瑞貴に渡してきた、微妙そうな顔をされたけど、少しは自信有るのよ？

帰ったら感想でも聞かしてもらおうかしら。

大徳寺先生のお弁当はトメさんに作って貰ったらしい

でもそのお弁当、飼い猫のフアラオが勝手に食べちゃったの
分けて欲しいって言われたけど、自分の分を渡す気にはなれないわ。

最初は拒否していた十代だけど、ジュンコの分も含めればやっぱり
ちょっと多い

十代は自分の分を先生に渡す事にした

先生は感謝してたけど、ジュンコが来なかったらお弁当抜きだった
のよね。

暫く食べていると、突然緑の光の柱がいくつも空に向かって伸びた

!?

辺りが緑に輝き、光に包まれる……いったい何が？

「どうしたのニャ……太陽が3つに……」

大徳寺先生の言う通り、何が起こったのか……太陽が3つに分かれた分裂したのか、それともただの錯覚なのか……可能性としては後者ねその理由は現れ始めたオーロラのような虹色の光が辺りを包み込んだ。

「こんな自然現象……見た事無いんだな」

いえ、これは絶対に自然現象じゃない！

何か原因が有り、それが起こした半人為的な現象のはず！

少なくともこの場に怪しい人は居ないけど……そうでもないかこれを企画した大徳寺先生……最も怪しい人はこの人ね。

でも自分まで巻き込まれている時点でちょっと微妙

怪しい事は怪しいけど、決めつけは駄目よね。

「綺麗だなあ」

何を暢気な……嫌な予感がするわ

普通じゃ絶対に起こらない事が起こっているのよ

ここは馬鹿みたいに眺めるんじゃないかとどうするかを考えるべきよ！

って、今度は雷！？ でも音だけ……雷じゃない？

光ってるけど、音と光だけで雷が落ちているわけじゃなさそうね。

「みんな、逃げるのニャ！」

大徳寺先生の言葉にみんなが一斉に走り出す
でもそっちは遺跡の方じゃ……この場合、遺跡から離れた方が良い
んじゃない？

だからといって、自分だけ別行動するのは拙い
1人だけはぐれたらどうやって帰るのかと、そういう意味でも困る
連絡手段もそんなに無いんだし、ここは一緒に行くべきね。

「遺跡の中へ逃げるのニャ！」

怪しい……何故態々遺跡に？

誰も疑問に思っていないのは突発的な事で混乱しているからね
冷静になっている自分が少し気になるけど、今は逆に感謝するべきね
色々別の視点から見れるのは助かる。

みんなが遺跡に入るが十代だけ止まる

邪魔ね、遺跡に押し込もうかしら？

「十代、貴方も早く遺跡に入りなさい！」

「俺は大丈夫だ、明日香も早く隠れろ！」

「ジュンコが心配してるからさっさと隠れなさい！」

十代の背中を強引に押して遺跡の中に押し込む

その時、大徳寺先生の顔が一瞬歪んだ……これは黒に決まりね。

でも今手出しをしては駄目、何をしでかすか分かったもんじゃないわ
行動に移すのは安全になってから、そして自分の身の安全も確保し

てからね。

今度は別行動に移る

大徳寺先生が何を考えているのか、少しでも知る為にね。

「気になる事が有るから少し別行動するわ
貴方達はこのまま隠れてて」

「明日香さん!？」 「明日香!？」

驚かれても関係無い

気付かれない程度に睨んでくる大徳寺先生、本当に何を考えているの!？

オーロラから逃げるように走る

しかし、動きは速く、追いつかれてしまった

そして……私の意識はそこで落ちた。

……
……
……

目が覚め、辺りを見回す

ここは……遺跡だけど遺跡じゃない？

ふーん、タイムスリップしたか……それともこれも幻覚か
慌ててる場合じゃないわね、今はどうするか考えないと。

目の前には遺跡、後ろにはアーチ型の門

ここは確実に、私達がさっきまで立っていた場所ね

となると……タイムスリップ説の可能性が高いわ。

しかし考えると色々変ね

タイムスリップしたと仮定しても、あんなオーロラ程度でするはずが無いわ

そもそも、オーロラが発生する条件を満たしてないわ。

詳しい事まで覚えてないけど、基本的に寒い場所でしか発生しないこの暖かいデュエル・アカデミア本校では先ず有り得ないわ私、一応冬なのに袖無しなのよ？

……冬にここまで足を出して、更に生足でも平気って凄いわよね。

そこら辺を見回してみる……やっぱりおかしいわここは本当にどこなの？

「その貴女」

声が聞こえた方を見してみる

褐色の肌の女性……デュエル・アカデミアの人間じゃないのは確実ねそして足元には隼人君の靴！？

何故彼女が隼人君の靴を？

「ここは貴女が来るような場所ではないここから早く立ち去りなさい」

立ち去れるのなら立ち去るわよ

どうやって立ち去れば良いのかも分からないのに、無茶言わないで何よりも、みんなを見捨てて帰るなんて選択肢も無いわ。

何かに気付いた女性は私を壁まで追いやる

少なくとも害意を感じなかったので素直にされるがままにされておく
誰か来たのかしら？

「貴女もあの者達のように墓守の衛兵に捕まりたいのか？」

「捕まった……ですって？」

「シー……」

足音……複数の人間ね

なんとか見つからずに済んだけど、あの見た目って……確かどこか
で見たような気がするわね
一体どこで……思い出せないわ。

「捕まったってどういう事かしら？」

その鞆の持ち主の事も知りたい、教えてくれないかしら？」

「……ここは神聖な王家の墓
墓を曝かんとして足を踏み入れし者は皆、生きたまま墓に埋葬され
る」

「つまり、みんな殺されるって訳ね

さっきの兵達も殺気立ってたし、処刑されるのは私の友達達ね」

彼女は返事をしなかった

無言、つまりそれは肯定しているのと同じ事。

「彼らを助けたいわ、どうすればいいの？」

女性は暫く黙り込む

何を考えているのかしら？

「……貴女も埋葬されますよ」

そう言って歩き出す女性

手伝ってやる、しかし責任は自分で取れって事ね。

案内された場所は小部屋

こんな場所に案内して、どうするつもり？

「この墓は広い、闇雲に歩き回っても衛兵に捕まるだけ待つのです……」

黙って頷く

実際、私にできる事は少ない

できる事なら手伝いたいけど、私はまだ現状を完全に理解できていない

頭の整理もできるし、少し休ませてもらおう。

みんな無事かしら……心配だわ

もしここに居るのが他の人だったらどうなってたかしら？

十代、勝手に動き回りそうね

翔君、怯えて泣き叫ぶか逃げ出すかしら？

隼人君、頑張るけど……うーん

ジュンコ、逆ギレ決定ね

大徳寺先生、怪しくて信用できないので分からないわ

ついでにももえ、ちょっと予想できないわ

万丈目君、怒るけど最終的に助けようとしそう

三沢君、彼の頭脳なら何か思いついたかもしれない
瑞貴、ストレスが溜まって面倒になって勝手に帰りそう

……………私なんてまだマシよね？
素直におとなしく待っているんだから。

「助けてくれニャー」

っ！ 大徳寺先生！？

外から？ でも……高くて届かないわ
どうやって外を見ようかしら……無理ね。

「痛！ な、何！？」

何かで背中を軽く刺された！？

後ろを振り返ってみると……いつの間にこんな大勢の兵士が！？

槍兵達に首もとに槍を突き出される

これじゃあ身動きが取れないじゃない！

でも……やっぱりどこかで見た事があるわね

服装、顔、武器……もう少し何かヒントが有れば思い出せそうなん
だけど。

とりあえず、黙ったままでは話が進まないわね

向こうからすれば私は墓荒らしらしいし、下手な事を言えば問答無
用で殺されるかもしれない

どうしてこうなったのやら……はあ。

「私の名前は天上院明日香、友達や知り合いを返してくれないかし

ら？」

私の言葉の後、暫く音が消える

聞こえているはずだし……何を考えているの？

「無いと思うけど、言葉が通じていないとか？」

「お前の言葉は分かる

今までにも、お前達と同じ世界からやって来た人間がいた……」

私の予想は外れね

タイムスリップじゃなくて異世界への移動だったのね
って、それもまた変でしょ！　どうなってるのよ！？

「言葉が通じるなら何でもいいわ、私はみんなを連れて元の世界に
戻りたい

できれば助けてくれると嬉しいんだけど……そう簡単にはいかなそ
うね」

「理解が早くて助かる

お前達は墓荒らしとして処刑されるのだ
生きたまま石棺の中、葬り去られる

それがここの掟だ」

やっぱり……パツと見ピラミッドだったけど、本当にピラミッドだ
ったなんてね

ここはエジプトをモデルにした世界かしら？

太陽が多いのは蜃気楼や目の錯覚をイメージしているとか？

そもそも、太陽が3つも有れば地上への熱も半端無いわよ

熱中症になって死んでしまうわ

紫外線はお肌にも悪いし……こっちの太陽はどうなってるのかしら？

そして、この手の人達には何を言っても無駄ね
手っ取り早く話を進めましょう。

「その処刑から逃げる方法は？
掟なら、1つぐらい妥協案が有るんじゃないの？」

「ふふ、本当に話が早いな
その通りだ、この掟から逃れる手段は存在する
かつて1人だけ、この掟から逃れた者がいるのだ」

言ってみるものね、半分ぐらい適当に言ったのに有ったなんて
でも……何をすればいいのかしら？
厭らしい事ならお断りよ！

「この掟から逃れる方法
それはわしと試練の儀式を行い、勝たねばならない」

そして男が取りだした物……それはカード！？
まさかとは思うけど、決闘しろって事かしら？

「決闘すればいいのね？」
私が勝ったら、私を含めてみんな元の世界に戻るのね？」

「約束しよう」

決まりね……確か以前、タイタンの時に隼人君の鞆の中に決闘盤が
……有ったわ！

でもなんで持ち歩いてるのかしら？ それなりに大きいのよ？
今回は助かったけど、今度理由を訊いてみようかしら？

「お前が負けたら、生きたまま肝を抜かれミイラにされるのだぞ？」

「脅しても無駄よ

受けなければ殺されるんだもの、受けた方が生き残れる可能性が高いわ

最初から受けないで諦めるなんて、そんな馬鹿な真似はしない！」

「……ふはは、勇気ある若者だな」

これは馬鹿にされてるのかしら？

誰でも受けるでしょ？ 勇気なんて別に必要無いと思うし
というか、若者って言うけど貴方は何歳なの？

………

………

……

槍兵に槍を突きつけられたまま移動し、決闘^{デュエル}できる場所まで来た
段々と思い出してきたわ……この人達、墓守のモンスター達ね。

槍兵は墓守の長槍兵、禿の大柄の男は墓守の番兵

先ほどの中年は墓守の長かしら？

異世界って、デュエルモンスターのモンスターの世界だったのね
まあ……コスプレって可能性も否定できないけど。

墓守と名の付くモンスターは魔法使い族で統一されている

墓守を相手にする時に注意しなければならぬカード、王家の眠る

谷一ネクロバレー

墓地に干渉するカードを無効にされ、除外する事もできない。

私のデッキにはあまり刺さらない効果だけど……邪魔なものには変わらない

でも、相手はテーマデッキに近い

なら私も、ちよつと完成したばかりのデッキで悪いけど相手してもらうわ。

それに、このデッキなら墓守に勝てるはず

ちよつと相性は悪いけど、負けるほどでは無いわ

万丈目君に使ったデッキでも勝てそうだけど……あんまり使うと怒らせてしまいそうなのよね

卑怯だって言われそうで……堅苦しい人相手には使えないわ。

おっと、少し下がっておかないとね

スカートだし、下には男子生徒が居るんだもの

遠目だから見えないとは思うけど、やっぱり気になるものよ。

後……どうでもいいけどジュンコ、その狭い石棺の中でよく十代と一緒にの石棺の中に入ったわね

しかもよくよく見てみると嬉しそうだし……しかも十代も満更じゃないって感じ

狭くないの？　　というか、下手すれば死んでしまうのに暢気ね。

「行くわ……決闘^{デュエル}！」

「儀式、開始！」

わしのターン、カードドロー」

普通にターンとか、カードとか、ドローって言ってるわね
何度か外の人間が来てるせいかしら？
横文字も覚えられたのね。

「強欲な壺を発動！ カードを2枚ドロースる！
そして裏守備表示で召喚！
更に2枚伏せ、ターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！」

ふふ、最近妙に調子が良いわ
欲しい時に欲しいカードが来てくれるみたい
今回の手札もなかなかの物ね。

「私は永続魔法、六武の門を発動！
このカードは、六武衆と名の付くモンスターが召喚、特殊召喚される度、武士道カウンターを2つ乗せるわ
武士道カウンターを任意の数取り除く度に、必要に応じて効果が発動される！」

そして私は六武衆の御霊代を攻撃表示で召喚するわ、これにより、
六武の門に武士道カウンターが2つ乗る
更に場に六武衆が存在しているので六武衆の師範を特殊召喚するわ、
六武の門に武士道カウンターが2つ乗る

武士道カウンターを4つ取り除き、墓地かデッキから六武衆と名の付くモンスターを手札に加えるわ

私は真六武衆一キザンを手札に加え、特殊召喚！ このモンスターは六武衆の師範と同じ召喚方法を持ってるわ

六武の門に武士道カウンターを2つ乗せる、そして場には六武衆が2体以上存在している

大將軍 紫炎を特殊召喚するわ！」

「最初から4体ものモンスターだと!？」

自分でもこの展開力には驚いたわ、手札が良すぎる……何でかしら？
でも、できれば御霊代じゃなくて裏守備表示モンスターをそのまま
破壊できる六武衆一イロウ

伏せカードを破壊できる六武衆一ヤイチ、連続攻撃のできる六武衆
一二サシ

それか生け贄にする事でモンスターを破壊できる六武衆の露払いが
良かったわ。

「真六武衆一キザンで守備モンスターに攻撃!

キザンは自分の場にこのカード以外の六武衆と名の付くモンスター
が2体以上存在している時

攻撃力と守備力が300上がる!」

本当は御霊代を師範に装備させたかったが、この攻撃力上昇効果を
選んだ

キザンの攻撃力は2100、これなら余程固いモンスターじゃない
限り勝てる!

表となり、破壊されたのは墓守の番兵!?

しまった! リバーズ効果が発動され、モンスターを手札に戻され
る!

「墓守の番兵の効果発動!

このカードが表となった時、場のモンスターを手札に戻す!

わしが選ぶのは……大將軍 紫炎だ!」

チッ、紫炎はすぐに特殊召喚できるけど攻撃モンスターが減った

キザンの攻撃力の為、御霊代を装備しなくて良かったわ
もし装備していたら装備モンスターを手札に戻されて御霊代は消滅
していた。

「なら、六武衆の師範で直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「罠カード、降霊の儀式を発動！
墓地の墓守を特殊召喚できる！
わしは墓守の番兵を守備表示で特殊召喚する！」

蘇生カードを使ってきたか！
仕方無い、一気に潰す！

「師範で墓守の番兵に攻撃！」

墓守の番兵はリバーズ効果モンスター
特殊召喚されたから効果は発動しないわ！

「続いて御霊代で直接攻撃！」
ダイレクトアタック

どんな攻撃方法かと思えば、周りに纏っている怨念みたいなので攻
撃って……

貴方守護霊の一種じゃないの？ 随分怖い攻撃するのね。

「紫炎をもう一度特殊召喚！
そして御霊代の効果発動！ このモンスターは1ターンに1度、自
分の場に存在する六武衆の装備カードとなる！
御霊代を師範に装備し、攻撃力、守備力を500アップ！
最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

私の場にはキザン、御霊代を装備した師範、それに大將軍 紫炎
そう簡単に崩せる陣形じゃないわ。

「ぬう……わしのターン、ドロー！」

墓守アサシンの暗殺者を召喚！

そして墓守の司令官の効果発動！

このカードを手札から捨て、王家の眠る谷ーネクロバレーを手札に
加え、発動！」

来たか……思ったより早い登場だったわね

でも、私には通用しないんだけどね

だって私の手札には……

「ゆくぞ！ 墓守アサシンの暗殺者で、六武衆の師範に攻撃！」

墓守アサシンの暗殺者の攻撃宣言時、相手モンスター表示形式を入れ替える、
よって師範を守備表示に変更！

更に罠カード、マジシャンズ・サークルを発動する！

魔法使い族が攻撃した時、お互いのプレイヤーはデッキから攻撃力
2000以下の魔法使い族を特殊召喚できる！

………発動されないだど？」

「大將軍 紫炎の効果よ

このカードが場に存在している限り、相手は魔法、罠カードを1タ
ーンに1度しか発動できないわ

貴方は既にネクロバレーを使用している、このターンの使用は不可
能よ」

「なんだと！？」

墓守アサシンの暗殺者は止まらずに攻撃を続行

しかし、師範には御霊代が憑いているわ！

「御霊代の効果発動！

装備モンスターが破壊される時、装備カードとなっているこのカードを代わりに破壊する事で装備モンスターは破壊されない！」

御霊代は破壊されるが、師範は無傷

どうやってこの状況を打破するかしら？

「わしはカードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

伏せカード……1ターンに1度しか発動できないと分かっている2枚伏せた

という事はブラフ？ それとも用途が違うのか……

「私のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動！ デッキから2枚ドローするわ！

永続魔法、六武衆の結束を発動！

六武衆が召喚、特殊召喚される度に武士道カウンターが1つ乗るわ！
私は六武衆ーニサシを召喚！ 六武の門と六武衆の結束に武士道カウンターを乗せるわ！

更に六武の門の効果を発動！ 武士道カウンターを4つ取り除き、デッキから真六武衆のキザンを手札に加える！

そしてそのままキザンを特殊召喚！ 六武の門と六武衆の結束に武士道カウンターを乗せる！

六武衆の結束の効果発動！ このカードを墓地に送り、デッキからこのカードに乗っている武士道カウンターの数だけドローする！

私はデッキから2枚ドロー！

装備魔法、漆黒の名馬を師範に装備！ 攻撃力を200上げるわ！
そして……フィールド魔法、紫炎の霞城を発動するわ！」

「なんだと!? 新たなフィールド魔法という事はネクロバレーが
!」

そう、新たなフィールド魔法が発動され、ネクロバレーは破壊される
ふう……ネクロバレーを警戒して最初に使わなくて良かったわ
やっぱり後の事を考えておくべきね、これで墓守の攻撃力は500
も下がったし。

紫炎が場に存在しているから相手は魔法、罠を1回しか使えない
これで終わらせてやるわ!

私の場にはキザンが2体、ニサシ、師範、紫炎の5体
総攻撃力はニサシの連続攻撃も含めて11800ね

そこまで高くないけど、それでも勝つには十分な攻撃力よ!

でも……できれば連続攻撃よりも伏せカード除去のヤイチが良かつ
たわ

って、これはさっきも言ってたわね。

「師範を攻撃表示に変更!
師範で墓守の暗殺者^{アサン}に攻撃するわ!」

「そうはいかん! 罠カード、聖なるバリアーミラーフォース!
この効果により、相手攻撃表示モンスターを全て破壊する!」

ここでミラーフォース!?

でも、今回は私の運が圧倒的に勝っていたわね!

「リバーズカードオープン! 速攻魔法、六武衆の理!

更に手札から速攻魔法、六武ノ書を発動！

先に六武ノ書の効果、場の六武衆2体を生け贄に捧げ、デッキから大將軍 紫炎を守備表示で特殊召喚するわ！

私は2体のキザンを生け贄に捧げ、現れろ、紫炎！」

キザン達が居た場所へのミラーフォースは消えたキザン達の場所を通り過ぎる

そしてその場所に現れたのは紫炎、回避成功よ。

「そして六武衆の理の効果！

場の六武衆を墓地に送り、墓地から六武衆を1体特殊召喚する！

私はニサシを墓地に送り、ニサシを守備表示で特殊召喚！」

ニサシが消え、ミラーフォースが通り過ぎる

ミラーフォースが通り過ぎた後、ニサシが再び場に現れた。

「漆黒の名馬の効果発動！

装備モンスターが破壊される時、代わりにこのカードを破壊して破壊から逃れる事ができる！」

ミラーフォースの光を受け、師範の身代わりに破壊される真っ黒な馬もし漆黒の名馬が無ければもっと被害が大きかったでしょうね。

最終的に破壊されたのは紫炎だけ

新たな紫炎が現れたので1ターンに1度の制限がリセットされ、相手はもう一度魔法、罠を使う事ができるのが失敗ね

でも、攻撃反応型罠を2枚も伏せているとは思えない

先に伏せていたのは宣言していたマジシャンズ・サークル、残りの1枚は多分ブラフ

攻撃を心配する必要はあまり無いわ！

「師範で墓守の暗殺者^{アサシン}に攻撃！」

「そう簡単に行くと思うなよ！」

速攻魔法、ディメンション・マジックを発動！

場の魔法使い族を生け贄に捧げ、手札から魔法使い族を特殊召喚する！

わしは墓守の大神官を、特殊召喚！」

そっちで来たか！？

なるほど、ミラーフォースで紫炎を破壊した後で大神官を特殊召喚しようって事ね

紫炎は破壊できるから伏せても全く問題無い、厄介ね。

「ディメンション・マジックのもう1つの効果！

相手モンスターを1体、破壊する！

わしは大將軍 紫炎を破壊する！」

「大將軍 紫炎の効果発動！

場の六武衆を紫炎の代わりに破壊する事ができる！

ニサシを破壊し、紫炎を守るわ！

この効果は対象を取る効果とは関係無く、破壊される時に発動する！
よって破壊を免れる事ができるわ！」

これで紫炎は生き残る

後は紫炎で攻撃したい所だけど、紫炎は守備表示……

墓守の大神官を攻撃し、師範で攻撃すれば大きなダメージを……それも無理か

墓守の大神官の攻撃力は墓地の墓守の数×200上昇する

相手の墓地には墓守が3体、攻撃力は2600となり、攻撃力25

00の紫炎では勝てない

六武の門の効果はバトルフェイズ中は使えないし……このターンは見送りになるわね。

「私はこのままターンエンドよ」

状況はあまり良くない

私の場には師範と紫炎、六武の門だけ

更に手札が無い状態……負けるとは思わないけど勝つのは少し難しいか。

「わしのターン、ドロー！」

わしは墓守の大神官で紫炎に攻撃！

そして罨カード、マジシャンズ・サークルを今度こそ発動！

わしはデッキより魔法使い族……もう1体の墓守の大神官を特殊召喚！

貴様も魔法使い族を出すがいい！」

「私のデッキは六武衆のデッキ、魔法使い族は入ってないわ」

戦士族しか入ってないんだもの、魔法使い族を入れる余裕なんて無いわ

それよりも問題は2体目の墓守の大神官……このままでは師範まで倒されるかもしれない！

「墓守の大神官の攻撃を続行！

大將軍 紫炎を粉碎せよ！」

クッ、紫炎は紫炎の霞城の効果を受けないから相手の攻撃力が変わらない！

師範を身代わりにする意味も無いし、素直に破壊されるしかない！

紫炎が破壊され、状況は悪化する！

墓守の長……彼は強い！

「もう1体の墓守の大神官で師範に攻撃！」

「紫炎の霞城の効果により、六武衆を攻撃したモンスターの攻撃力を500下げるわ！

これで師範と攻撃力は並んだ……相打ちよ！」

「甘いわぁ！ 墓守の大神官は手札の墓守を墓地に送り、破壊を免れる事ができる！

わしは手札の墓守の呪術師を墓地に送り、墓守の大神官は破壊されない！」

拙い！ 捨てるのは戦闘後だけど、これで更に墓守の大神官の攻撃力が上昇した！

攻撃力2800……このモンスターに勝てるカードは、デッキには殆ど居ないわ

私の場には六武の門だけ、手札は無い！

「もう貴様の負けだ……諦めるがいい
ターンエンドだ！」

「私が諦めたら……誰がみんなを助けるのよ！

私はまだ諦めない、絶対に逆転のカードをドローしてやるわ！

私のターン……ドロー！」

よし、逆転こそできないけど、まだ耐えられるわ

私の残りライフは無傷で4000も残ってる
ここは耐えて、次のターンこそ、絶対に逆転のカードをドローする
わ！

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「諦めの悪い小娘め

わしのターン、ドロー！」

墓守の大神官でプレイヤーに直接攻撃！」

「罠カード発動！ 六武衆推参！」

このカードの効果は墓地の六武衆を特殊召喚できるわ！

私は六武衆の師範を守備表示で特殊召喚！」

「小賢しい真似を……

墓守の大神官で、六武衆の師範に攻撃！ 王家の裁き！」

墓守の大神官の持つ杖から青い光が迸る

その光は師範に直撃し、師範は破壊された……

「もう1体の墓守の大神官で、プレイヤーに直接攻撃！」

先ほど大神官を葬った光が私に向けられる

さ、さすがに攻撃力2800の攻撃ね、威圧感タップリよ。

そんな余裕も攻撃された瞬間に胡散した

い……痛い？ ソリッドビジョンじゃないの！？

まさか……これが噂に聞く闇のゲーム！？

「ふふふ、痛かろう？ 苦しかろう？」

これが闇のゲームの恐ろしさよ
ターンエンドだ！」

本当に闇のゲームだったなんて……これは少し拙いかしら？
残りライフは1200、墓守の長のライフは3500も……
このターンの救いは新たなモンスターを出されなかった事
もし出されていたら、私は負けていたかもしれないわ。

「私の、ターン……必ず逆転するわ
だからお願い……来て！ ドロー！」

状況を打破できるかもしれないけど拙いカードが来た！
このカードを使えば墓守の大神官は更に強化されてしまう！
けど……何もしないよりはマシよ！

「魔法カード、天よりの宝札！
お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドローする！」

「ほう、良いのかな？
例えば貴様が逆転のカードを引こうとも
わしが更なる逆転のカードを引くかもしれないのだぞ？
わしは手札が1枚なので5枚ドローだ！」

「そんな事、言っている余裕なんて無いわよ！
私の手札は0、よって6枚ドロー！」

目を閉じたままドローする
何のカードが来たのか怖くて見れない！
恐る恐る手札を確認してみると……まだ戦えるわ！

「六武の門の効果で武士道カウンターを4つ取り除き、真六武衆一
キザンを墓地から手札に加える！

2枚目の六武衆の結束を発動！

六武衆一ザンジを召喚！ 更にキザンを特殊召喚！

六武衆の結束を墓地に送り、デッキから2枚ドロー！

魔法再生を発動！ 墓地の魔法カード、六武衆を結束を手札に加え、
発動！

六武の門の武士道カウンターを4つ取り除き、デッキから3枚目の
キザンを手札に加え、特殊召喚！

2枚目の師範を特殊召喚！ 六武衆の結束を墓地に送り、デッキか
ら2枚ドロー！

更に六武の門の武士道カウンターを6つ取り除き、墓地から大將軍
紫炎を特殊召喚！」

「む……むう、手札1枚からよくそこまでできるものだな」

ちょっと冷や汗を掻いてる墓守の長

でも、我ながらかなり凄い事になっているのは自覚してるわ

実はこれだけして手札がまだ5枚も残ってるのよね……凄まじいわ。

「しかし墓守の大神官の攻撃力は2800

貴様のモンスターでは到底勝つ事は不可能だ！」

「なら勝てるようにすればいいだけの事よ！

永続魔法、連合軍を発動！

連合軍は場の戦士族、魔法使い族の数かけ、戦士族の攻撃力を20
0上昇させる！

私の場には戦士族が5体、よって攻撃力は1000アップ！

更に永続魔法、一族の結束発動！

一族の結束は墓地の種族が1種族の時、場の同じ種族の攻撃力を8

00上昇させる!」

「なんと! 合計1800もの攻撃力上昇だと!?」

「そう、勝てないなら勝てばいい

倒せないのならダメージを与え続ければいいわ

連合軍と一族の結束により、私のモンスターの攻撃力は墓守の大神官を大きく越えた」

六武衆ーザンジ 攻撃力1800+1000+800=3600

真六武衆ーキザン 攻撃力1800+1000+800+300=3900

六武衆の師範 攻撃力2100+1000+800=3900

大將軍 紫炎 攻撃力2500+1000+800=4300

合計攻撃力は19600、だけど与えられるダメージは半分にも満たないわ。

墓守の大神官 攻撃力2000+200×4=2800

墓守の長のライフは残り3500、これだけのモンスターで攻撃すれば破壊から逃れてもライフが先になくなるわ!

でもザンジで攻撃はできない

何故ならザンジで戦闘すると戦闘破壊からの回避に1枚、効果破壊の回避にもう1枚墓守が墓地に送られるから

ライフは削りきれれると思うけど、それでもより安全にダメージを与えるならザンジは最後ね。

「キザンで墓守の大神官に攻撃!」

無抵抗で大神官がそのまま破壊された!?

……そうか！ 手札を温存し、更に墓地に送られるので残り1体の墓守の大神官の攻撃力を上げるのね！

墓守の長の残りライフは2400、削りきってみせる！

「2体目のキザンでもう1体の墓守の大神官に攻撃！」

「墓守の大神官の効果発動！

破壊される時、手札の墓守を墓地に送る事で破壊を免れる！」

残りライフは1500、倒せるか？

「師範で攻撃！」

「墓守の大神官はやられぬ！」

墓守の長の残りライフは800

墓守の大神官の攻撃力は3400

もしここでザンジで攻撃したら200ダメージだけど墓守の大神官の攻撃力が3800になる

そうなると紫炎で攻撃しても与えられるダメージは500、ライフが100残ってしまう

私は順番を間違えるような馬鹿な真似はしないわ！

「大將軍 紫炎で墓守の大神官に攻撃！」

「ぬぐううう……がは！」

攻撃力差は900で勝ちよ……あ、危なかった

こんな時に少しでも試運転デッキを使おうと思った自分を殴りたくなかったわ

もつと安全に普段のデッキかE・HEROデッキを使えば良かったでも、勝ったんだから今回は良いわ。

って、墓守の長が大分苦しんでるわね

墓守の暗殺者アサシンや他の墓守達が駆け寄ってるわ

大丈夫かしら？

今していたのは闇のゲーム……辛い戦い

心配だわ、少し近づいて様子を見た方が良いかしら？

「あの、大丈夫っ!？」

近づいて声を掛けた瞬間、長槍兵と番兵に槍を突きつけられた呪術師には杖を向けられるし、ちよつと怖すぎるわよ!

「止めよ!

少女よ……見事な決闘デュエルだった」

今度は少女なのね

小娘って言われたり貴様って言われたりだったけど。

「いえ、長も強かったわ……何度冷や汗を掻いた事やら
良い決闘デュエルだったわ……試練とかを抜きにまた戦いたいものね」

「なんと、あの闇のゲームを体感して
また戦いと申すか？」

「さすがに闇の決闘デュエルは嫌だけどね
でも異世界での決闘デュエルよ? 少しは楽しかったわ
最近圧倒的に勝つか負けるかばかりだったし、久しぶりに良い勝

負ができて嬉しかったわよ」

勝ったのは十代の時と万丈目君の時
負けたのは瑞貴ね、レイちゃんとはそれなりに良い勝負だったけど
最後は一気に……ね
本当、久しぶりにお互いギリギリの戦いをしたわ。

「闇のゲームを少しとはいえ楽しむとはな
以前試練を乗り越えた者は楽しむ余裕など無かったのに……」

そう言って長は首に掛けていた金細工を取りだした
でも欠けてる？ 半分ぐらいに割れてるわね。

「受け取るが良い」

渡された金の飾りを受け取る
これ……どう表現すればいいのかしら？
面倒だし、首飾りでいいわ。

「残りの半分は試練を乗り越えたもう1人の男が持っている
お主がまた闇の決闘デュエルを受ける事になった時
そのアイテムがきつと……助けになってくれるだろう」

呼び方がお主になったわね
それにアイテムって……また横文字？
でももう闇の決闘デュエルは懲り懲りよ……はあ。

「ふう、できれば闇の決闘デュエルはもうしたくないけどね
もしものの為に、ありがたく受け取っておくわ」

長は石棺に指先を向ける

すると石棺の蓋が開いていった……

あら？ 最初より何で閉じてたのかしら？

それにジュンコ、すっごく幸せそうな顔してるわよ

十代も顔が真っ赤だし……体が縛られていたのに密室空間で何してたのよ？

私は体を張って助けたっていうのに。

……………

……………

……

長と暗殺者^{アサシン}に案内されてピラミッドを下りる

するとそこでは十代達が待っていた

ちなみに、ジュンコは十代の腕を取って恋人のように寄り添っているで、くっついてるの？ それともジュンコが想いと体を寄せてるだけ？

「さあ、仲間達と共に元の世界に戻るが良い」

「そうは言うけど、どうやって戻るの？」

長は空を見上げる

釣られて私達も同じように空を見上げる

でもジュンコだけは十代の顔をジッと見てる……はあ。

「天の3つの光、1つに重なりし時

光の幕が現れる前に、王家の墓の門より出でよ」

あの太陽って交わる物なの？

とりあえず光の幕は来る時に見えたオーロラの事よね
オーロラじゃないって事は確かだけど。

突然複数の足音

何かと思っ
て見てみると墓守の長槍兵と墓守の番兵が構えている！？

「お前達、何をしている！」

「王家の墓を荒らす者には裁きを！」

「「「「「裁きを！ 裁きを！」「」「」「」

裁きと連呼しながら近づいてくる衛兵達

怖いんだけど滑稽に見え、更に暑苦しいわよ？

「止めろ！ この者は掟に従い儀式を行い、それを乗り越えたのだ
！」

「裁きを！」 「裁きを！」

頭の固い人はこれだから嫌いよ！

ああもう！ どうしろって言うのよ！

危うく槍が当たりそうになった時、墓守の暗殺者アサシンが助けてくれた
しかしフードが脱げ、素顔が露わになる

その顔は私が最初に出会ったあの女性だった。

「ごめんなさい、私は墓守の暗殺者アサシン

墓守の長の言う事に逆らう事はできなかった」

逆らう事ができればそれはもう暗殺者アサシンじゃないわよ？
いや、弁護するのも変なんだけど……何か変な気がするわ。

「貴方達の世界に帰ったら、その半身のアイテムを持っている人に伝えて

サラは例え異世界に居ても、貴方の事を忘れません
またいつかお会いできる日を信じています……と」

二度と会えないだろうと、分かってて言ってるのね？
ならばその願い……絶対に受け取らないわ！

「お断りよ、本当に信じていない人の言う事なんて聞かないわ」

「…………ふ、そうか」

自分でも分かってるのにね
でも私はお願いされたら断れない性格なの
だから強引にでも……

「動くな、この少女は儀式を勝ち抜いたのだ
神聖なる墓守としての誇りを忘れたか
この者達に手を出す者は、私が容赦しない！」

近づいてきた衛兵達の前にサラは一喝

衛兵達は下がっていき、道を開ける

なんというか……女性1人に情けないわね
番兵は攻撃力1000だから仕方無いけど、長槍兵は暗殺者アサシンと同じ
攻撃力1500なのよ？

もう少しその……何か無いの？　されたら困るけど。

「さあ、今の内に」

「どうすればいいのか分からないわ
貴女が案内して頂戴」

「いや、それは後ろの精霊が知っているさ」

後ろを見てみるとハネクリボー

なるほど、ようやく彼女達の事が分かったわ

彼女達も精霊って事なのね……この異世界は精霊の世界か。

「悪いけど、念の為に着いてきてくれないかしら？

無いとは思うわ、でももしハネクリボーが道を間違えたらと思うと
心配なの」

後ろで十代とハネクリボーが怒ってるけど無視

私は少しでも可能性を上げ、心配を減らしたい。

「でも……」

「行くが良い

それぐらい構わぬ」

「はっ！」

こうして中半強引にサラを連れ出す事となった

ハネクリボーも飛び立ち、その後を追う私達

空を見上げると空の光がもうすぐ交わる、急がないとならないわね！

そう思った矢先、隼人君が転けた
しかもその倒れた拍子に伸びた手に押されたジュンコも巻き込まれる
だ、大丈夫？

隼人君は膝を強打、ジュンコは足を挫いた
どちらも走れる状態じゃない！

そう思っていると太陽が交わり、光の幕が現れる
どうすれば……このままだと2人が！

すると隼人君の鞆が光り、その中からデス・コアラが！？
隼人君を背負うけど、ジュンコがまだ……

「彼女は私が運ぼう」

サラはジュンコを抱き上げ、走り出す
私達はサラを先頭に、デス・コアラ、私、大徳寺先生、翔君、十代
と並んで走る

太陽が殆ど重なり終える時、なんとか私達は門まで来れた。

しかしその瞬間、下から緑の光が現れる
ジュンコを置き、この場から離れようとするサラ。

「っっ！ な、何をする！」

「駄目よ、逃がさないわ」

「な！？ はな、放せ！
私は墓守としての……」

「私には関係無いわ
さあ、異世界に渡りましょう！」

私が言い終えた瞬間、緑の光が一面に広がる
でも、サラは逃がしてあげない。

.....

.....

.....

目が覚める

辺りを見回してみると……元の世界に帰れたみたいね
門が古く、苔が生えている。

夢みたいだった、でも私の首には長に貫った首飾りが残ってる
更に私の横には……

『.....』

私を睨んでいる半透明の墓守の暗殺者^{アサシン}、その名をサラ
ふふふ、予想は大当たりね。

十代がハネクリボーを見ても全く反応が無かった
つまり、それまでもハネクリボーが見えていたという事になる
こちらにも精霊はある程度干渉できる、その予想は当たった。

更に私の手には墓守の暗殺者^{アサシン}のカード
十代はハネクリボー、隼人君はデス・コアラ、私には墓守の暗殺者^{アサシン}
が精霊になったわ。

『……………』

「そんなに睨まないで
少しは悪かったって思ってるんだから」

『……目的は？』

「決まってるでしょ

あの伝言、自分で伝えなさい

私は瑞貴以外の使いつ走りになりたくないわ」

借金でだしね

もうその件以外で使いつ走りになりたくないの
別に命令とかじゃなかったけどね。

『余計な真似を！』

「そうは言うけど、少しだけ顔が緩んでるわよ？
本当は嬉しいんじゃないの？
その男の人に会える事が」

サラは顔を隠す

でも実は緩んで何て無かったわよ
カマを掛けただけ、引っかかるとは思わなかったわ。

『はあ、来てしまったものは仕方無い
もうこんな事はしないでくれ』

「分かってるわよ
嫌われたくないしね」

サラは再び溜め息を吐き、消える
どうやったのかは知らないけど、部屋に戻ったら色々試してみま
しょう。

再び辺りを見回してみる

大の字で寝ている隼人君と、その隼人君にもたれ掛けている

大徳寺先生は仰向きに倒れており、その顔の上には猫のファラオが
……呼吸できるの？

十代は門の柱に背中を預けており、隣には十代の肩に頭を乗せ、も
たれ掛かっているジュンコ
ちなみに私は十代達と反対の柱にもたれてたわ。

『クリクリー』

「あら、ハネクリボーじゃない」

『クリ？』

「こんにちは、さっき振りね」

『クリ！ クリクリー！』

「あはは……」

何言ってるのかサッパリ分からないわ」

『クリー……』

十代は分かっていたんだけどね
クリ語でも覚えてるのかしら？

全員を起こし、学園に帰る

ちなみに、隼人君とジュンコの足は治っていた理由をよくわからないわ。

帰って色々試さない

サラと話してたら変な人だと思われちゃう

どうにかして声を出さないで話す方法が無いかな試さないかね。

27話【初めての闇のゲーム】（後書き）

瑞貴が明日香の誘いを断った理由は？

面倒だからです。

実際に瑞貴が参加してたら？

挫折していました。

明日香と瑞貴はどう見てもカップルです、本当にありがとうございました？

でもお互いにそう思われている自覚がありません
鈍いのか馬鹿なのか……

明日香が鋭い！？

瑞貴に付き合っていると自然と……可哀想に
本人にもあまり自覚が無いようですしね。

げ……原作ブレイクも大概にしろ！！！！

しかし十代だと書く事が無く、薄っぺらい内容に……
内容も短くなるでしょうし、楽しみも減るかと思いました。

で、それで大丈夫なの？

さあ？　どうにかしようとは思いますが……

しかし原作の主人公って誰でしたっけ？

明日香ですよ？　あれ、十代でしたっけ？

明日香が冷静だ……

どうしてこうなった……どうしてこうなった……

明日香はどこから墓守の知識を？
瑞貴からです。

ジュンコは余裕だな！？

十代と一緒にすから

吊り橋効果で更に好きになったんじゃないでしょうか？

六武衆！？

いや、戦士族で探したら見つかったのになんとなく……
ちなみに、作者は六武衆を1枚も使った事ありません。

展開力すげえ！

BFやライトロードを越えている気がします

本当にリアルでできるんでしょうか？

できそうな気がしてなりません。

墓守の長の手札が違う……

原作だと弱すぎて話しになりません

なので強化、更に墓守の大神官という最近のカードまでちょっと加えました

ちなみに、墓守の巫女も入っていますが未登場ですね。

連続でサクリファイス・エスケープってできるの？

ちよっと自信が無かったり……できますかね？

できないと大幅修正の必要が出るんですが……

割と序盤なので修正するには凄く大きな変更になるので変えられず……どうしましょう？

石棺が閉まっていった事に気付いてなかったの！？
そんな余裕は有りませんでした

十代とは違うんです。

ジュンコーーーーーー！

もう溺愛……どうしてこうなったんでしょか

あ、やっぱりキスさせたからですかね？

もう十代とジュンコくっつけよ！

まだくっつきません

何か切欠が有れば……今回は切欠じゃないかって？

だって、閉じ込められただけですよ？ シチュエーションとして微妙じゃないですか。

明日香さん！ な、何をなさってるんですか！？

サラを捕まえました

どうしてかって？ なんとなく……いや、冗談ですよ？

主な理由は原作ブレイクしたかったのと、サラが何だか可哀想だったからです。

実験結果は？

不明、まだあまり考えていません。

28話【襲来 セブンスターズ】（前書き）

サブタイトルは襲来と書いてますが、まだ戦いません。

前半の最初の部分はアニメと全く同じ事を言ってます

内心は全くの別ですが……随分変わりました、最近の明日香は微黒です。

サラが何気に邪魔……瑞貴が凄く書き難くなりました、自分でも瑞貴に少し違和感を感じます

うーん……今後は登場するタイミングは考えておくべきですね

自分で決めた事なので今後登場機会が凄く減るなんてしないのでそこはご安心を……

心配してないですよ、そうですね。

28話【襲来 セブンスターズ】

視点 明日香

定期的にしている亮との夜の会話
今日も進展は無い……か。

「明日香、この頃お前……表情が優しくなったな」

何それ？ 口説き文句？

全く似合わないんだけど……

「そう？ 変わらないと思うけど」

「良い事だよ」

すっごく似合わないわ

そんな事を言ってるからレイちゃんみたいに貴方に夢中になる人が
出るのよ

馬鹿な事を言うのは抑えた方がいいわよ？

そんな事を考えていると雨が降ってきた
しかも強い……夕立かしら？

この調子ならすぐ収まりそうだけど、その前にびしょ濡れになるわ
ね。

「帰りましょ」

2人で引き返す

亮はブルー寮へ、私は……ん？

今視線の端に何か映った気が……

そちらをしてみるが何も見えない

しかし、雷の光で少し見えた……何かしら？

侵入者か……それともただの見間違いか

どちらにせよ、警戒した方が良さそうね。

亮もそう思ったらしく頷く

私も頷き、寮へと帰る……

でもその前にちよつと移動して……

「ちよつと雨宿りさせて？」

「そんな濡れている状態で部屋に入って来るな！

とりあえずさっさと体を拭け！　せめて頭だけでもいい！」

そう言ってバスタオルを投げ渡してくれる瑞貴

突然の訪問だけど、ちゃんとこれぐらいはしてくれるみたいね。

一応体は拭くけど、服まではどうしようも……

風邪をひいたらどうしよう？

「はあ……ほら、俺の服を貸してやるから、トイレでも着替えろ
狭いとは思うがそれぐらいは我慢しろ」

そう言って投げ渡されるレッド制服とズボン

なんか瑞貴が親切で違和感が……

「着替えないならさっさと出て行け
部屋が濡れたら掃除が大変になるだろうが
だから出て行くか着替えるかさっさと選べ」

……前言撤回した方がいいかしら？
前も似たような事を言った気がするわ。

でもせっかく貸してくれるって言ってるんだし、素直に借りる事に
した

うーん……やっぱり胸がキついわ。

「瑞貴、上着は持ってないの？
ちよっと胸辺りがキつくて……」

「……………冬用の私服でいいか？
ちよっと暑くなると思うが、まあ雨だしいいだろう」

不機嫌そうな声が聞こえたのでほんの僅かに扉を開けて手だけを出
して待っておく

手に何かを持たされたのですぐに引っ込める
無いと思うけど突然開けられたら嫌なもの
……でも少しは意識してくれてもいいんじゃない？
女の子が自分の部屋で着替えてるのよ？

普通の冬用の私服ね……でもかなり地味
目立つ事を嫌っている瑞貴からすればそれも当然か
着てみると材質が柔らかいので割と余裕だった。

『あの男は誰？』

『変人で別名、堅守瑞貴よ

そういえばサラと一緒にってから初めて会ったのよね
でもサラ、突然現れないでよ、驚いたじゃない』

『悪かったな』

そう言ってサラはすぐに消えた
別に怒ってたんじゃないんだけどね。

あの課外授業の後、色々と実験した結果
私が見ようと思えば見える、しかし見たくないと思えば見えない事
が判明
別に見たくないという事は無いと思うけどね。

見えなくても声は聞こえる
でも精霊は出てくるのに僅かに力を使うので長時間出ていられない
基本的に見えない状態で過ごす事となる。

姿を現すには時間を置くか、決闘で使うのが効果的らしい
これからはサラ用のデッキも作らないと駄目ね、瑞貴に協力しても
らおうかしら？

魔法使い系のカードは殆ど買ってないから……はあ、借金が増えて
いくわ

後で値段だけでも聞いておかないと。

他にも、精霊が見えない人には全く見えないし声も聞こえない
試しにジュンコとももえで実験してみた

サラにジュンコ達の目の前に現れてもらったけど無反応
声を掛けてもらったけど、やっぱり無反応だったわ。

逆に精霊からは人間の声とかは聞こえるらしい
それに、人間の感情にも割と敏感なので相手がどんな状態なのかあ
る程度分かるらしい。

実験相手は同じくジュンコとももえ

相手が怒るかなー……と、微妙な事を言ってみた

表面上はあまり変化が無かったが、サラは少し機嫌が悪くなってい
ると教えてくれた

逆に喜ぶような事も言ってみたが、サラはこれにも気付き、少し喜
んでいると知らせてくれた。

これは……凄く助かる！

瑞貴相手だと時々神経を削られるので少しでも感情が分かるのは凄
く助かるわ！

あんまり多用できないけど、それでも助かる事には変わり無い。

話を戻して実験結果だったわね

会話は声を出さなくてもできる事が判明したわ

話しているつもりで口パクすれば良いみたい

でも、これってサラが暗殺者^{アサシン}だからじゃないかしら？

まあどっちでもいいわ、変人扱いされないんだったらね。

『で、サラ

質問なんだけど、瑞貴の機嫌はどう？』

『あの男の機嫌？

少し悪い程度か？　そこまで怒っているとは思えない

口程明日香の事を嫌っているわけでもないし……』

怒ってない？ 突然来て部屋を濡らしたのに？
瑞貴ならかなり怒るかと思ったんだけど……

とりあえず着替えにそこまで時間を掛けるわけにもいかなないのでト
イレから出る

瑞貴は濡れた床の上にタオルを置いて水を吸収させていた
私には見向きもしないの？ 少し屈辱なんだけど……

「で、いつになったら出て行くんだ？
邪魔だからとっとと帰ってほしいんだが」

「この雨の中で帰るのは大変なんだけど……」

「知るか、雨宿りなんだったら帰れ
泊まるとか言ったら怒るぞ」

「やっぱりそうよね……はあ」

泊まるのは最初から期待してないわよ
それに、前みたいに瑞貴を縛っている訳でもないのに泊まるのはち
よっと……ねえ？

やっぱり心配だし、別になにかされるなんて思っていないけど……で
もやっぱり心配だし。

『明日香、この男殆ど怒ってない
どちらかと言うと心配してる』

『心配！？ 瑞貴が！？』

『あ、ああ、全く表には出てないがな

それより私は明日香がそんなに驚いた事に驚いた』

だってあの瑞貴が私の事を心配してるのよ！

人の事を借金の弱みに付け込んで使いつ走りにしたり、お説教したり嫌がらせもするし性格も悪いし何を考えているのか分からないし

そんな瑞貴が私の事を心配してるのよ！

『サラ、それはきっと勘違いよ

瑞貴が私の事を心配するはずが無いわ』

『断言！？

そこまで思われるこの男は何だ！？

今までどんな関係を築いてきたんだ！？』

『瑞貴と話していればいざれ分かるわ

だから少しでも私を安心させるような事は言わないで……油断したら辛いから』

『……………頑張れ』

精霊に励まされる私って何？

精霊に励まされる私って何なの？

精霊に励まされる私って何なのよ？

気付けば瑞貴が少し引いていた

どうやら体で落ち込んでいる事を表現していたらしい
いつの間にか床を叩いていた。

「……悩みでもあるのか？」

「そんな哀れむような顔をしてそんな悲しい事言わないで！」

「……………」

「だからそんなに可哀想な人を見るような顔をしないで！」

『明日香、本当にそう思ってそんな顔をしてない
だから落ち着け！』

サラがそう言うので瑞貴を睨んでみる
暫く眼が合い……溜め息を吐かれた！？
しかも呆れ果てたって感じの溜め息だった！

「もういい、傘なら貸してやる、服も貸してやる
だから早く出て行け、どうも今日のお前は変だ
凄まじく鬱陶しいから苛々するし邪魔
出て行かないなら力尽くで追い出すぞ」

私に心から呆れ果てたという感情をぶつけてくる
本当に邪魔だっと思われているみたい
傘も貸してくれるって言ってるし、早く帰りましょう。

『あの男……優しいんじゃないか？』

『気紛れなのよ、気分が良い時には優しいわ
今回は気分が良いとか悪いとか以前に、邪魔だから帰れって言っ
てるのよ

夜も遅いし、寝ないと駄目でしょ？』

『そうだけど……何か違和感を感じる

でもよく分からない、行動と感情、思考が全部バラバラ
変な人間ね』

行動も感情も思考もバラバラ？

どういう事かしら……でも今は考えてる時間は無さそうね
瑞貴が苛々した様子で足踏みしている
さっさと出て行けって事でしようね。

「わかったわ、出て行くから少しだけ休ませて
体が冷えてるのよ」

瑞貴は苛々とした様子で立ち上がり、ポットに水を淹れてお湯を沸
かし始めた

暫く経ち、沸騰した所でお茶を淹れて渡してくれた
暖かい所か熱いんだけど……目が飲めの言っている。

これ以上睨まれるのは嫌なので少しだけ飲む
……熱い！　そして凄く苦い！　更に渋い！
何よこれ！？　とてもじゃないけど飲めないわよ！

『サラ！　やっぱり瑞貴は絶対に優しくないわ！
気に入らないとすぐにこんな事するもの！』

『そうだけど……やっぱり違和感を感じる』

違和感は全く感じないぐらいの悪意だと思うわよ？
結局、体が冷えていたので苦さと渋さを押して飲み干した
熱いし苦いし渋いしと……ちょっとした悪夢のような時間だったわ。

『飲み干さなくてもよかったんじゃない……』

『瑞貴相手にその選択肢は無いわ
飲み干さないと何を言われるか、分かったものじゃないもの!』

サラは微妙そうな顔をしてるけど、それは瑞貴を知らないからこそ
できる顔よ!

私も甘かったわ、慣れてきたと思ったら別方向から攻撃されるとは
例えるならビッグ・シールド・ガードナーを出して安心してゐるのに、
マジック・ストライカーを出された気分よ

ダイレクトアタック
直接攻撃されても困るし、ビッグ・シールド・ガードナーを攻撃さ
れても困る

他にモンスターが居れば攻撃表示になったビッグ・シールド・ガ
ードナーがやられて大ダメージだもの!

……あら?

何か少し話しがずれたような……まあいいわ。

お茶は酷い味だったけど体は温まった
傘を借り、服はビニール袋を貰ったのでそこに入れておいた。

「じゃあ傘は借りておくわね
明日には返すわ」

「二度と濡れて来るな
次に濡れてきたら即刻で追い出す」

本気でしそうだから怖いわ
良くて傘を貸してくれるかどうかね
それ以外は全部諦めた方が良さそう。

……
……
……

翌日の授業終了後の事

大徳寺先生の授業が終わった時の事よ。

「ああ、遊城十代君

お昼はちよつと待つのだニヤー

私と校長室に行くのだニヤ」

お弁当を食べようとしていた十代

しかし、大徳寺先生はそれを止める

そもそも十代、教室で食事は駄目よ。

それにしても校長室？

また何かしでかしたのかしら？

十代なら有り得るから困るわ。

そして退学かと言う翔君の話に乗る万丈目君

でも、その万丈目君も校長室に呼ばれる。

「それから三沢君、明日香さん、堅守君も」

何かと思うけど校長室なら仕方ない

どうしようかしら……あんまり遅いと数少ないお昼を食べるチャンスが減る

今日は月に1度、瑞貴に食費を借りられる日だったから楽しみにしてたんだけど……

10日ぶりのお昼ご飯……校長先生もタイミングが悪すぎるわ
まあ瑞貴も本当にギリギリしか貸してくれないからね
少しでも余計な事に使うとすぐに無くなってしまいわ、足りなくな
ったのは自業自得だけ。

おかげで体重が……女の子としては嬉しいんだけど
別に太ってもいないのに強制ダイエットは辛いわ。

教室を出て校長室に向かおうとするんだけど……
やっぱり寝てるのね、瑞貴。

「瑞貴、ほら、起きなさい！」

「……んあ？ 昼休みか？」

あー……そうだったな、今日は食費を貸す日だったっけ
ちよっと待ってろ、財布財布……寮に忘れた」

「ちょ！ それは洒落にならないわよ！

私のお昼ご飯はどうなるのよ！？」

校長室の件もだけど、どうして今日はこんなにタイミングの悪い日
なの！？

財布を忘れたら自分も食べれないじゃない！

瑞貴は平気って言うけど……私はあんまり平気じゃないのよ！

「冗談だ」

そう言って私に財布を見せる瑞貴

……そうだったわね、瑞貴はこういう奴だったわね
思いつき相手の気持ちを叩き折るような奴だものね

うう……また引っかったわ。

「天上院君、瑞貴、今はそんな事をしている場合か？
校長室に呼ばれてるんだから早く行くぞ！」

そんな事……ですって？

今の私にとって凄く大事なお昼ご飯をそんな事？
また戦う機会が有ったら絶対に前よりもオーバーキルするわ！

「校長室？」

面倒、お前らだけで行ってこい」

「そう言わないで一緒に来てほしいのニャー」

「大徳寺先生がその鬱陶しい話し方を止めたら行きます
少なくとも俺の前でしないのなら行きます」

「これは私の癖なのニャー！

止めるのは難しいし、勘弁してほしいのニャー！」

「……うぜえ」

相変わらず敵を作るような事を言うのね
大徳寺先生、ちょっと涙目になってるわよ？

溜め息を吐き、立ち上がる瑞貴

そして1人で勝手に先に出て行ってしまふ
止めようとするも、向かっている方向は校長室なので文句を言えない
後を追いかける私達、もう少し集団行動というものをしなさい！

校長室の前、そこに現れたのはクロノス教諭と亮

瑞貴は先に着いていたらしく、壁にもたれ掛かっていた
私達も早足で来たのはどうやってそんなに早く来たのよ！

……欠伸までしてる！？

相変わらずクロノス教諭のレッド嫌いは変わらないわね

十代を馬鹿にする、だけど当の十代は万丈目君が馬鹿にされている
と軽く流す

楽しそうだけど、暇そうな瑞貴が立ったまま寝そうよ？

なんだかんだで校長室

入って私達が並ぶと校長先生が一言。

「三幻魔のカード……」

「三幻魔の……カード？」

「そうです、古よりこの島に伝わる3枚のカード」

デュエル・アカデミアは設立されてから10年も経ってないと思うん
だけど……

それなのに古って……なんか変な感じね

「あれ？ この学園ってそんな昔から有ったのか？」

「煩い、黙って聞け！」

十代と万丈目君、貴方達って仲が悪いんじゃないの？
随分仲が良さそうだけど……まあ万丈目君が一方的に嫌っているだ
けだけだね。

「そもそもこの学園は

そのカードが封印された場所の上に、建っているです」

「「「ええー！」「」」

KC社が考える事はよくわからないわ

凄い事をしているのは分かるんだけど、それでよく経営できるわね
海馬社長の考える事は凡人の私には理解できないのかしら？

「学園の地下深くに、その三幻魔のカードは封印されています

島の伝説に依ると、そのカードが地上に放たれる時、世界は魔の世
界に包まれ

混沌が全てを覆い、人々に潜む闇が解放される

やがて世界は破滅し、無絵と帰す

それほどの力を持つカードだと、伝えられています」

なんともまあ……大袈裟な話しよね

神のカードでも似たような話が有ったり無かったりだけど
こっちの三幻魔のカードも大概ね。

「なんだかよくわかんないけど、凄そうなカードだな」

「黙って聞いてるノーね」

十代、貴方は暫く口を開かない方が良いわよ？

話しが進まないし、邪魔だから。

「そのカードの封印を解こうと、挑戦してきた者が現れたのです」

「いったい……誰が？」

「七星門……セブンスターズと呼ばれる決闘者^{デュエリスト}です
全くの謎に包まれた7人ですが、もう既に1人がこの島に……」

やっぱり昨日のは見間違いじゃなかったか

あれがセブンスターズ……雨の中ご苦労様ね

大丈夫かしら？ 風邪をひいてたら笑い話なんだけど。

「だが、どうやって封印を解くんだ？」

鍵か何かでも有るのか？」

どうでもいいけど万丈目君、さっきから口が悪いわよ？
瑞貴でさえ、教師にはある程度敬語を使ってるんだから
もう少し丁寧にしたらどうなの？

「三幻魔のカードは、この学園の地下の遺跡に封印され
七星門と呼ばれる7つの巨大な石柱がそのカードを守っています
その7つの石柱は7つの鍵によって破られる」

そう言って校長先生は小箱を取り出した
小箱の中に鍵が入っているんでしょけど……小さくない？
だって7つも鍵が入ってるんでしょ？

「じゃあ、セブンスターズ達はこの鍵を奪いに……」

「そこで、貴方達にこの7つの鍵を守ってもらいたい」

「守る……と、言っても

一体どうやって？」

「勿論、決闘です」
デュエル

いや、当然じゃない
だって相手は決闘者なのよ？
デュエリスト

どうしてそこに気付かないのよ……って、瑞貴以外全員驚いた顔をしてる！？

何でみんなそんなに鈍いのよ！？

「七星門の鍵を奪うには、決闘によって勝たねばならない
これも古より、この島に伝わる約束事……」
デュエル

だからこそ、学園内でも屈指の決闘者でもある貴方方に集まっても
らったのです」
デュエリスト

屈指の決闘者？
デュエリスト

………少なくとも三沢君と万丈目君、十代、クロノス教諭は違う
ような気がするんだけど

大徳寺先生の実力は知らない、瑞貴は私より強い、亮は学園1と呼ば
れるから分かる

私自身は……微妙かしらね？

「ごほん、まあ……2名ほど数合わせと予備に呼んだのですが……」

そう言って大徳寺先生とクロノス教諭を見る校長先生
でも、予備ってどういう意味？

ちなみにクロノス教諭は十代がその2名だと言っている
十代は無視するけど、でもその十代に負けてますよね、クロノス教
諭？

「この7つの鍵を持つ決闘者に、彼らは決闘を挑んできます
貴方方に、セブンスターズと戦う覚悟を持っていただけののなら……
どうか、この鍵を受け取ってほしい」

そう良いながら小箱を開ける

中には7つの平面パズルのような物が入っていた
とてもじゃないけど……鍵には見えないわ。

真っ先に鍵を取ったのは十代
すぐに鍵を首に掛ける。

「おもしれえ、やってやるぜ！」

それに触発されて亮、三沢君、万丈目君が鍵を取る
私は……どうしようかしら？
瑞貴はもう当然のように取らないし、少し悩むわ。

……って、最近何でも瑞貴を基準にしてる気がするわ
自分で言うのも悲しいけど、使いつ走りさせられ過ぎて奴隷根性で
も身に付いた？

飼い主に言われるまで行動できない犬？

現状、無いと言い切れないのが辛い！
でも瑞貴の用心深さは知ってるし、何か気になる事でも有るのかし
ら？

「ふふふのひー、校長、脅かしはいけませんノーね
要すルーに、学園の看板シーを、道場破リーが、奪いに来ると考え
ればいいノーね」

「まあ、今はそう考えてもらっても結構ですが……」

そう言って鍵を取るクロノス教諭

それにしても、今は……ね

という事はまだ何か隠してる事でも有るのかしら？

「堅守君、天上院さん

貴方達はどうするのですか？」

「決めるのは話しが最後まで終わってからですね
話しの途中で受け取り、嫌な事を聞かされては堪らないので」

「私は受け取ってもいいんですが……少しだけ考えさせてください」

「そうですか、考えてくれるだけでもありがたい
よく考えて決めてください」

瑞貴はやはり用心深かった

私も勢いで決めるのは良くないと思うので保留
校長先生は私達の意志を酌んでくれた。

「道場破りか……俺だったら一番強い奴から行くだろうなあ……俺
ってか？」

「それは違いますノーね！」

そりゃそうでしょ、貴方は私にも亮にも瑞貴にも負けてるじゃない
しかも私と瑞貴に負けた時なんて落ち込んでたし
ノリと勢いだとしてもよく言えたわね。

「実力で言えば私か、カイザーこと、シニョール丸藤亮なノーね」

ま、そう考えるのが妥当かしら？

亮とは戦った事が無いし、瑞貴はデッキが変わりすぎるのでどちらが強いかわからない

クロノス教諭とも戦ってないから何とも言えないわ。

「遊城十代、私が密カーに調査した所に依ると

貴方はカイザー亮オーに、こてんぱんに、負けているノーね
そうデーしょ？」

そういうクロノス教諭はその十代に負けてるじゃない

大体、どうやって調べたのよ？

あの場には私と翔君、隼人君、亮、十代しか居なかったはずよ？

誰か隠れて見てたのかしら？

「ありがとう皆さん

この瞬間から戦いは始まっています

どうかいつでも決闘のスタンバイをしておいてください
デュエル

そして必ずや、三幻魔のカードを……七星門の鍵を、守りきってください」

そこで私と瑞貴、大徳寺先生の3人以外は解散

この3人が残されたのはまだ鍵を受け取っていないから

返事もしていないので当然とも言えるわ。

「では堅守君、天上院さん

お返事をいただけないでしょうか？」

「返事の前に質問はいいですか？」

「どうぞ、私に答えられる事なら全てお答えしましょう」

校長先生相手にも遠慮しないわね
言葉遣い以外は全く変わらないって凄いわ。

「三幻魔の伝説は誰に訊いたんですか？」

「この学園の理事長です」

お年を召していらっしゃるし、オカルトにも詳しいお人です
おそらく、何か知る切欠が有ったのだと思います」

「セブンスターズがこの学園に来るといいう情報はどこからですか？」

「同じく理事長です」

あの人は様々な事に関わっているのです
そういう話しを聞く事も多いのだと思います」

「……謎に包まれてないじゃないですか」

それもそうね、それにしても理事長って何者なのかしら？
三幻魔の事も知っている、セブンスターズの事も知っている
何か……何か裏が有りそうな気がしてならないわ。

「なら最初の1人がここに来たという証拠は？」

「昨夜、この学園に進入しているのを見つけました」

「なら警備員か何かに補導させればいいじゃないですか
侵入者なんですよ？ 相手が何であれ、捕まえても問題無いでしょ

う？」

「む、むう……」

言ってる事は間違ってるけど……
面倒って言ってるのが丸分かりよ？

手っ取り早く片付けられるのに何故しないって言いたいんでしょ？

「大体、そんなに奪われたら困る物なら最初から決闘デュエルをしなければ
いい

鍵を壊すのも1つの手でしよう？

なのに何を体面か何かに拘って態々相手が奪いやすくするような事
をするんですか？」

「しかし、そういう約束事なので
これを変えるわけにはいきません」

考えを変えない校長先生

いい加減、瑞貴も苛立ってきている。

「あー……もう、苛々する！

そんな下らない事の為に面倒をしろと？ 絶対にお断りします！

他にも鍵を守る手段はいくらでも有るのにしないなんて言語道断！
馬鹿馬鹿しい、俺は帰らせてもらいます！」

強い足音を立てて帰る瑞貴

やっぱりこうなったか……今の会話なら当然か

そうでなくとも、面倒事になると分かっている事
嫌がって当然、むしろよくここまで我慢した方よ。

「やはり……彼に協力を頼むのは無理でしたか
天上院さんはどうしますか？」

私は……どうしよう？

確かに色々と厄介な事になっている
でも、無視できる事じゃない！

「私は……私は受けます」

私は鍵を小箱から取り出す
でも、取り出すのは2つ。

「何故、2つ取ったのですか？」

「瑞貴に渡します」

負けられない戦いなのなら、必ず彼が必要になると思います
何とか説得してみせるので、私に預からせてください」

万が一の事は考えておくべき
そう言ったのは瑞貴、貴方よ
だから私は少しでも可能性を上げる為、貴方を強引にでも巻き込む
わ！

後が凄く怖いし、何をされるか分かったものじゃないけどね
うう……あんまり逆らいたくないわ。

「では、お願いします」

私も、できれば彼に手伝ってほしかったので」

やはり惜しかったんでしょね

瑞貴は強いから……はあ、どうやって説得しようかしら？
最悪、また無視されそうで怖いわ。

「では、私も失礼します」

「うむ、頼みますよ」

校長室から出る

出た瞬間、サラが話しかけてきた。

『本当に戦う気か？』

『ええ、少しでも可能性が有るのならね』

『そうか……お前が決めたのなら私は何も言わない
明日香、絶対に負けるな』

『ありがとうサラ、絶対に負けないわ』

瑞貴以外になら勝つ自信は有る、亮は微妙だけど
はあ……瑞貴にいい加減に勝ちたいわ。

28話【襲来 セブンスターズ】（後書き）

本当に瑞貴は明日香を意識してないの？ 主に女の子が自分の部屋で着替えているのに……

特に意識していません

興味がありませんでした

しかし、雨の中何をしてるんだと呆れていました。

精霊での実験の結果って？

特に理由はありません、捏造ですね

アニメの方ではどうなのかは知りません

全部見てないので……作者は光の結社の帝達の辺りまでしか見ていません

全部見てからにしろって？

時間が足りないので……全部見ていたら投稿が10日ぐらい遅くなりそうです

現在は少し先まで見ながら同じ部分を何回か再生しながら書いている状態です。

瑞貴はあまり怒ってないのに随分明日香への態度が……何で？

反応を楽しむ為に態と態度を変えている事も多いので。

瑞貴は明日香の心配してるのに表になんで出さないの？

下手に優しい態度を見せると調子に乗られるかもしれないと思っているからです

見せてもすぐに悪い態度で覆い隠します

なので誰も気付けません。

行動と感情と思考がバラバラって？

行動は相手への悪意、感情は心配、考えている事はどうやって追いつ出すか

今回はこの違いにサラは違和感を感じました。

例えば軽く意味不明……

自分でも意味不明です、何が書きたかったんでしょうか？

明日香の体重……どうなってるの？

軽くなっています

そして空腹に慣れて最近では空腹状態が割と普通に……哀れな。

校長の話での明日香の思考が……
染まっている証拠です。

瑞貴の質問って……

アニメを見ていて違和感しか感じなかったのが代弁して貰いました
特に鍵を守る方法が意味不明でした

鍵を碎けば守れるんじゃないかって思うのは普通じゃないですか？
え？ 普通じゃない？ そうですか……まあいいか。

瑞貴……断っても良かったの？

特に問題は無いかと、まあどちらにせよ後々巻き込まれるでしょう
が。

29話【VSダークネス】（前書き）

何連続更新でしょうか……もう、曜日感覚も日数感覚も無くなってきました

暇があれば執筆してるので時間感覚さえ……末期でしょうか？最近、キーボードを打ってないと落ち着きません
僅かにでも余裕があれば書く内容を考えています
本格的に末期症状が出てそうで少し怖いです……止めませんが。

今回は皆さんの予想通りの展開だと思います
まあフラグを立てまくってたので当然でしょうが
それでも決闘^{デュエル}の構成を考えるのも一苦勞です。

ダークネスを強化しました
明日香は相変わらずです
瑞貴は変わりません……多分。

29話【VSダークネス】

視点 瑞貴

「で、昨日に引き続き何故俺の部屋に来た」

「ちょっと相談が有るのよ

相談に乗ってくれたら助かるんだけど……」

どうも昨日の様子が変だったな……悩みでも有るのか？

違う何かに意識を奪われていたような……

しかしあの時、俺の部屋には俺と明日香しか居なかったし、何だったんだ？

しかも、今も俺だけじゃない何かを見ている

まさかとは思うが……精霊を手に入れたとか？

って、明日香が精霊を手に入れるなんて聞いた事も無いし違うか。

「まあいい、それで相談とは？」

「2つほどね

先にこの七星門の鍵の件よ」

そうやって俺に鍵を見せる明日香

1つは首に掛けているが、もう1つはポケットから取りだして俺に見せる

なるほど、俺に押し付けようって事か……だが断る！

「お断りだ、馬鹿馬鹿しい」

「ええ、そう言うと思って最初から期待してないわ
一応でも言っておいただけよ
とりあえず今はそれでいいわ」

つまり何度もまた言いに来るって事だな
あんまりしつこいと追い出そう。

「もう1つはこのカードの件よ」

そう言って俺に見せるのは墓守の暗殺者^{アサシン}のカード
魔法使い族の墓守を何故持っているんだ？
お前に売った記憶も無いし……拾ったか？

「つまり墓守デッキを作りたいからまたカードを売ってくれと？」

「そうなんだけど……私、お金が無いでしょ？
とりあえず墓守に関するカードを見せてほしいの
後、値段も教えてくれると助かるわ」

墓守……墓守ねえ？

何かの切欠が有って墓守のデッキを作ると？
とりあえず中心が墓守の暗殺者^{アサシン}だとして……それなりに値段は張るな
全部渡したら……かなりの値段だ。

それだけじゃなく、魔法使い族のサポートカードも含めると相当の
値段になる

王様が魔法使い族の使い手だから魔法使い族のサポートカードの相
場が高いんだ

まったく……魔法使い族の使用者に迷惑を掛ける王様だ。

ちなみに社長が使用する事が多い十元々レア度が高いドラゴン族モンスター、更にサポートカードは相当高い

サポートカード1枚で数千から数万ぐらい、高ければ数十万が割と普通だったという恐ろしい相場

それならドラゴンの秘宝が50万でも割と普通な気が……

まあ大して力の無いドラゴンの秘宝に50万はどちらにせよ馬鹿だろうが。

なお、戦士族もそれなりに高い

凡骨も王様や社長には及ばないが知名度が高い

凡骨だけでなく、時々王様も使っていたしな

彼らが使用していたカードや戦士族サポートカードはそれなりの値段だが、ギャンブル系カードは少々安い

効果が不安定だからだろうな。

とりあえず電卓つと

後PCの起動で……電卓で各カードの値段を計算してPCにカード名と値段を書き込む

墓守で、レア度も考えて、効果と有用性……そこから導き出すところのカードはこの値段で、こっちはこの値段辺りかな？

後はサポートカードも別の場所に書き加えて、簡単なデッキレシピつと

必要枚数も考えると……こんな感じかな？

「ほら、これぐらいだ」

「ちょっと見せてね……高っ！

墓守のデッキを作るのにこんなに掛かるの!？」

『……………私ってこんなに高いの?』

「墓守はそれなりに珍しいカードだからな

お前が使いたって言うていた墓守アサシンの暗殺者の表示形式変更効果も強いし

ネクロバレー使用中は暗殺者アサシンは攻守が2000以上のモンスターじゃないと守りきれないんだぞ?

攻守が2000以上ってそんなに多くないし、下級モンスターが相手なら滅多に負けないからな」

『サラ……そんなに強かったのね』

『いや、私としてもここまで考えた事は無かったんだが……』

「しかも上級モンスターでも攻守が2000を越えているモンスターはそんなに多くない

例え攻守2000を越えていても装備魔法1枚で簡単に勝てる
秘術の書の攻守300程度の上昇でも恐ろしい強さを感じるだろうさ
メテオストライクを装備すれば更に凶悪なモンスターになるな」

元の世界で帝を相手にしても余裕で勝てるからな
返しのターンに潰されるだろうが。

『私はそこまで評価される強さだったのか……』

「ま、攻撃する必要があるのが最大の弱点だな
ミラーフォースとかで簡単に除去されてしまうし
特に耐性も持っていないから相手のターンに攻撃力2000以上の
モンスターで攻撃すればいい

ネクロバレーを破壊すれば効果の発動もできないし、倒そうと思えば簡単に倒せるさ」

『一気に気落ちさせられた……』

『それが瑞貴よ、慣れなさい』

黙って聞いている明日香

どうするか色々悩んでいるのか？

「各カード1枚でもそれなりに高いのね」

「そんなに数が出回ってないしな

このカードは海外、特にエジプト辺りで人気が高い
そっちの人間が買い占める事が多いからこっちはあまり流れてこないんだよ」

墓守、つまり王家の墓であるピラミッドの地だからな
どうしてもエジプトの方で人気が出るモンスター達だ
エジプト以外では地味だとか、暗いイメージだとかで売れない
買おうにも、エジプトの奴らが高値で買うからこっちでも高く売られている

だからこっちの方で墓守を使うプレイヤーはかなりコアだったりマニアしか居ない。

で、そのカードを使おうとしている明日香が謎だ
本当にどこで墓守の暗殺者アサシンを手に入れたんだ？

墓守の暗殺者アサシンはその効果からかなりの値段だぞ？
下手すれば数万で取引されるぐらいだ。

俺も墓守を売ったんだが、エジプトの奴しか買っていない
いやいや、懐が良い具合に暖まったよ
墓守のカード、各種万単位で買ってくれたからな。

『明日香、ちょっと怖気が……
何故かこの男が怖い』

『貴女暗殺者アサシンでしょ!？』

「他にも強いモンスターは墓守の番兵だ
リバーズ効果だから即効性がないんだが、その代わり守備力が19
00と高い

例え攻撃されても生き残れる事が有るし、相手のモンスターも手札
に戻せる

更に生け贄とかにもしやすいし、そのまま壁にするのも便利だ
ネクロバレーの発動中は守備力2400とかかなりの硬さだしな」

墓守の偵察者に次ぐ強力な壁だな
普通の決闘デュエルではそれなりに強い
ガチデッキには雑魚にしかないのが惜しい。

「他にも貫通効果持ちの墓守の長槍兵
墓守をリクルートできる墓守の偵察者
他にも厄介なモンスターが何げに多い
そういう意味も込められているから値段が高いんだ」

墓守統一のガチデッキだと凄まじく強い
が、所詮は墓守、攻撃力が3000を越える事は滅多に無い
パワー戦だと役不足になってしまるのが最大の弱点かもな
まあそれは墓守の暗殺者アサシンで消せるんだが……

「とりあえず相当高い、買うのなら覚悟した方がいいぞ？」

「うう……どうしよう、これじゃあ買えないじゃない
少しだけくれたりは……」

「却下」

「やっぱり？」

……はあ、当分は我慢ね」

まあ頑張れ、一応それなりの数は残して置いてやるよ
この様子だと必ず作りそうだしな。

戦士族のサポートカードと共有できないのが惜しいんだろうな
使えるのは一族の結束ぐらい、魔法使い族専用のカードがやっぱり
なあ……

それに、魔法使い族専用のサポートカードはまだ見せてない
これを見せたらどんな反応をするだろうか？

落ち込んでる明日香を楽しく見ている

すると突然窓から強い光が差し込んできた！？

何事！？　って、面倒事に決まってるか。

「明日香、俺の死体はこの全てのカードと一緒に燃やしておいてくれ」

「これだけのカードを燃やしたら大火事になるわよ！」

『明日香、少しずれてない？』

突っ込み所はそこか？

俺が死ぬという点には突っ込みは無し？

別にいいけどさ。

その時、明日香の首飾りから光が放たれた！？

昨日から気になっていたんだけど、その悪趣味な首飾りは何だ？

凄く欲しいんだけど……気のせいか大事にしてるから言わないでお願い。

そして、この部屋は大きな光に包まれた

やっぱり俺は巻き込まれるのか……諦めた方がいいのかな？

胃薬胃薬……後水筒、これで大丈夫だ

よし、面倒事来い！ 胃薬の貯蔵は多十分だ！

あー……もう既に胃が痛い、頼むから誰か助けてくれ……

視点 明日香

瑞貴の部屋が強い光に包まれた

光が収まり、目を開けると……どこよここ！？

えっと……火山よね？ この足元の膜が破れたら死ぬじゃない。

そういえば瑞貴はどこに？

辺りを見回した瞬間、火山の炎が竜となり、膜の上に落ちる

炎の中から現れたのは男……パッと見18から20歳ぐらいかしら？

「貴方は誰？」

「我が名はダークネス、セブンスターズの1人」

セブンスターズ……か

最初に私を狙ってきたか……でも何で？

「女、貴様は俺の最初の相手だ」

「……最初の相手って事は勝つ気満々って事ね
大した自信じゃない」

ダークネスは軽く笑うと首飾りを手に取る

あの首飾りは墓守の！？

『あの人は！？』

『ええ、多分墓守の試練を乗り越えたもう1人の男
サラの思い人ね』

『い、言うな！』

あの墓守の長に勝った、つまり実力は私と同等か、時間が過ぎてい
るだけに更に上かも

相手の強さが分かるって厄介ね……

「何故かは知らないが、このペンダントに導かれた
だが欲しいのは、その胸に揺れる七星門の鍵」

「胸って言わないで、セクハラよ」

せめて胸元で揺れる七星門の鍵って言うてちようだい」

「……すまん」

仮面を付けた男が謝る……シュールね。

「ごほん、貴様からその鍵を奪ってみせよう
……闇の決闘で」

「闇の……決闘」

もしかしたらって考えていたけど、本当に闇の決闘だとはね
三幻魔の名前からして、その可能性は当然だったか。

「そう、闇の決闘は既に始まっている
あれを見るがいい」

そう言ってダークネスは指を差す
見てみると瑞貴が光の膜の中に閉じ込められている！？
でも、何となく余裕そうなのはなんで？

「光の檻に守られてはいるが
あの檻は時間と共に消滅する
この決闘が長引けば、彼はマグマの中だ」

「人質に脅し……やり方が汚いわよ」

「生半可な事は言うなよ女
七星門の鍵を賭けたこの戦い、貴様には全能力を出し切って戦って
もらう」

これは、その為に用意した舞台」

そんな事しなくても全力ぐらい出すわよ
今回はどのデッキを使おうかしら？
良い勝負なんて期待したら駄目よね？

なら、とりあえず六武衆は却下ね
展開力は優れるけど、攻撃力が足りない。

普段のデッキか、E・HEROデッキか……
使いやすさなら普段のデッキが圧倒的に高い
だけど、E・HEROデッキのモンスターは強力
どっちが良いかしら？

『随分余裕じゃない？』

『気のせいよ』

瑞貴ならマグマに落ちても死ななそうだななんて考えてないわよ？』

『……あの男はどれだけ理不尽な存在なんだ？』

存在が理不尽よ

身体能力とか以外はかなり謎だわ。

「更に、貴様と私……どちらか負けた方は
その魂をこのカードに封印される
お互いの魂……いや、命をも賭けて
我々はこの決闘に挑まねばならん
それが、この私の闇の決闘！」

この私の闇の決闘……つまり、他のセブンスターズはまた違う闇の決闘か

魂を吸い取られるのもカードだけとは限らないわね
人形とかなら形的にも魂の封印ができそう。

「闇の時間は刻々と過ぎているぞ、女」

「さっきから気になってたんだけど

私の名前は天上院明日香、女なんて呼び方しないで！
勝負よ、ダークネス！」

「明日香……いや、今は考えている場合じゃないな」

私の名前に反応した？

でも、今はそんな事を考えている暇は無い！
瑞貴……巻き込んでごめんなさい、必ず助けるわ！

「明日香ー、負けてもいいけどカードの処分は任せたぞー」

「私が負ける前提！？」

少しは私が勝つって信じてくれてもいいんじゃない！？」

「別にどっちでもいいよ

ふぁ……俺は寝る、おやすみ……」

「その状況で寝ようとする貴方の神経を疑うわ！

しかも本当に寝始めるし！ 熱くないの！？ 火山の溶岩なのよ！
どうして寝ようと思えるのよ！？」

……全く聞いてない！？」

本気で寝る気！？ しかもよく見てみれば決闘盤を枕にしてる！
固くないの！？ 環境もだけど、その枕で寝られるの！？

「……あの男を人質にしたのは間違いだったか？」

「えっと……多分間違いだと思うわ
こんな時でも態度が変わらないし……」

「「……………」」

お互いに黙る

言葉が見当たらないわ……

「……決闘！」
デュエル

「へ？」

あ、そうね、決闘！」
デュエル

ダークネス、強引に始めたわね
気分が削がれてるのに、よく頑張ったわ！

「私のターン、ドロー」

アーミー・ドラゴン
私は軍隊竜を準備表示で召喚
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

アーミー・ドラゴン
軍隊竜……同名モンスターを呼びクルーターモンスター
となると目的は生け贄ね

戦闘破壊しなければいいんだけど……手札があまりにも酷すぎる！

拙い、この手札で本当に大丈夫かしら？

でもどうにかするしかない！

「私のターン、ドロー！」

E・HEROスパークマンを守備表示で召喚、カードを1枚伏せて、
ターンエンドよ」

この手札は酷すぎるわ

モンスターがスパークマンだけって……しかも融合も手札に無い
どうしろって言うのよ！

「私のターン、ドロー」

マस्कド・ドラゴン
私は仮面竜を召喚し、ターンエンドだ」

またリクルーターモンスターか

となると彼が出そうとしているのはきっと最上級モンスター
ドラゴン族から考えるにそんなに種類は存在しないわね。

場所、黒い仮面にその形、そこから導き出すに……レッドアイズ・ブラックドラゴン
真紅眼の黒竜か
しら？

L V 7で攻撃力2400と高いような低いような……いや、低いわね
サポートカードが豊富だけど、単体で使うには弱い。

レッドアイズ・ブラックドラゴン
となると真紅眼の黒竜軸のドラゴン族デッキ
レッドアイズ・ダークネスドラゴン
出てくる可能性の高い真紅眼の闇竜が現れる前に勝てるかしら？

でも手札があまりにも悪い

フュージョン・リカバリー
今の手札は融合回収、融合回収、Oーオーバーソウル、ヒーロー見参
融合が無い、墓地に通常モンスターのE・HEROが無い、手札に
モンスターが無い

更に伏せカードはブラフ……何よこの手札！

もしスパークマンが破壊されてもオーバーソウルで蘇生させられるけど、それだけでは状況は良くならない早く使えるカードを引かないと！

「私のターン、ドロー！」

……チッ、私はこのままターンエンドよ」

「随分手札が悪いようだな

私のターン、ドロー！」

アーミー・ドラゴマスクド・ドラゴン

私は軍隊竜と仮面竜を生け贄に捧げ、現れる！ レッドアイズ・ブラックドラゴン 真紅眼の黒竜！」

やはり来たか！

って、本当に来てどうするのよ……簡単に予想されるって事はある程度手の内を読まれるという事よ？

これから来る可能性の高いカードは……レッドアイズ・ブラックドラゴン 真紅眼の黒竜専用カード系かしら？

「更に魔法カード、黒炎弾を発動

レッドアイズ・ブラックドラゴン

場の真紅眼の黒竜の攻撃力分のダメージを相手に与える！」

本当に使ってきた！？

どれだけ予想が簡単なのよ！

「罠カード発動！ 精霊の鏡！

プレイヤーを対象にする魔法カードの効果の対象は私が決める！

黒炎弾の効果対象は私が決めるわ！

当然、私が選ぶのは貴方よ！」

「なに！？

ぐううううあああああああ！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜が放った火炎弾は精霊の鏡によって受け止められた。そして精霊は鏡の角度を変え、ダークネスに向かって跳ね返した。

ん？ 傷ついてる？

まさかとは思うけど、痛みを本当に受けたりするとか？

本当に辛そうだし……これはダメージを受けるわけにはいかないわ！

精霊の鏡は十代戦の瑞貴の戦い方を見て使う事を決めた

相手の強欲な壺など、ドロ系カードなどを奪えるのは魅力だった
デッキが重くなる事を覚悟で入れておいた

でもバーン効果で使う事になるとは思わなかったわ。

先に強欲な壺を発動したらただのブラフカードにしかない
ブラフになるだけマシだけどね、それで今回は守れたんだし
ブラフに引っかかるってなんだか間抜けに思えるわ。

レッドアイズ・ブラックドラゴン

「はあ、はあ……チイツ、黒炎弾を使用したターン、真紅眼の黒竜
は攻撃できない

私はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロ！」

また来ないか……私はE・HEROアイス・エッジを守備表示で召喚！

これでターンエンドよ」

アイス・エッジはLV4以上のモンスターとの戦闘では破壊されず、
効果も受けない

例えばパークマンが破壊されても、アイス・エッジが生き残ればま

だ勝機は残る！

とりあえず融合が欲しいわ
融合が来ないと何もできないし。

「私のターン、ドロー！」

私はスピア・ドラゴンを召喚！

更に魔法カード、早すぎた埋葬を発動する

ライフを800払い、マスクド・ドラゴン仮面竜を蘇生させる！」

拙い！ 貫通効果のスピア・ドラゴンに、LV3のマスクド・ドラゴン仮面竜！

効果を言っていないからスピア・ドラゴンから攻撃すると思うし、戦
闘破壊は免れるけど

マスクド・ドラゴン次に仮面竜で攻撃されたら終わりよ！

レッドアイズ・ブラックドラゴン「真紅眼の黒竜で、スパークマンに攻撃！

ダーク・メガ・フレア！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜の真っ赤なブレスでスパークマンが破壊された！
このままだと……このままだと拙い！

「更に、スピア・ドラゴンでアイス・エッジに攻撃！
ドラゴン・スクリュー！」

どうでもいいけど、スピアの名を冠するのにブレス攻撃なのね
ぐっ……いったあ！ 馬鹿な事を考えるんじゃない！

痛みに対する警戒を忘れてたわ！

結構効いた、体が蹠踉めく……でも、倒れたりしない！

「うん？ どうやらそのモンスターは戦闘耐性を持っているようだな

だが、スピア・ドラゴン^{マस्कド・ドラゴン}は相手の守備力を、その攻撃力が上回っていた時

その差だけダメージを与える……攻守の差は1000、よって貴様には1000ポイントのダメージとなるのだ！」

「この痛みで1000ポイントのダメージですって？」

く……アイス・エッジはLV4以上のモンスターとの戦闘では破壊されず、効果も受けない！」

「なるほど、だがその前に、スピア・ドラゴンが攻撃した時、バトル終了後に守備表示になる

そして、仮面竜よ、アイス・エッジに攻撃しろ！」

^{マस्कド・ドラゴン}仮面竜の攻撃でアイス・エッジは破壊された

これで私の場はがら空き、手札も酷いし、このままだと負けてしま
う！

「私はこれでターンエンドだ」

「私のターン……ドロー！」

バブルマンを召喚！ バブルマンの召喚に成功した時

自分の場に他のカードが無い場合、デッキから2枚ドローできる！
デッキから2枚ドロー！」

引いたカードは……よし、やっと融合を引いたわ！

まったく、今回は大事故よ！

墓守の長と戦った時に運を使いすぎたかしら？

「私は手札から魔法カード、オーオーバーソウルを発動！

墓地のE・HEROと名の付く通常モンスターを特殊召喚するわ

スパークマンを復活！ 更に融合を発動！

HEROとしてスパークマン、水属性としてバブルマンを融合！

現れなさい、絶対零度の名の下に！ E・HEROアブソルートZERO！」

氷の中から現れる氷結のE・HERO

フュージョン・リカバリ
この馬鹿みたいに多い融合回収が役に立つわ！

フュージョン・リカバリ
「融合回収を発動！

墓地よりバブルマンと融合を手札に加える！

そして融合！ HEROバブルマンとアブソルートZEROを融合！
再び現れよ、アブソルートZERO！

そして融合に使用されたアブソルートZEROの効果発動！

このカードが場から離れた時、相手の場のモンスターを全て破壊する！」

「なんだと！？

ならば、私の場は全滅！？」

これでダークネスの場はがら空きよ！

ダークネスのライフは早すぎた埋葬を使ったので残り800
これで終わりよ！

「アブソルートZEROでダークネスにダイレクトアタック直接攻撃！」

「そうはせん！

永続罠発動！ リビングデッドの呼び声！

墓地のモンスターを攻撃表示で蘇生させる！
レッドアイズ・ブラックドラゴン
私が蘇生させるのは勿論、真紅眼の黒竜！」

防がれたか！

でも、攻撃力はアブソルートZEROの方が上！

「アブソルートZEROの攻撃を続行！

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜に攻撃するわ！

瞬間凍結！」

アブソルートZEROの攻撃で真紅眼の黒竜は氷付けになる

レッドアイズ・ブラックドラゴン

この火山の灼熱の中で氷像って凄く違和感を感じるわ。

「まだだ、罠カード発動！ レッドアイズ・スピリッツ！

レッドアイズ・ブラックドラゴン

破壊された真紅眼の黒竜を特殊召喚する！

レッドアイズ・ブラックドラゴン

甦れ、真紅眼の黒竜！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜専用の蘇生カード！？

そんなカードまで持っているとは……おかげで与えられたダメージは100だけ

モンスターは減らせたけど、それでもそんなに嬉しくない。

まあ相手もアブソルートZEROの効果を知ったし対策を練られるでしょうね

先にレッドアイズ・スピリッツを使われていたらもう一度融合して完全に場を荒らせたのに！

でも私の手札にはもう1枚、融合回収が残っている

フュージョン・リカバリー

私はこれでスパークマン、バブルマン、アブソルートZEROを回収できる

これでまだなんとかなる……かしら？

でも念には念を込めて……

「私はカードを2枚伏せ、ターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動！」

この効果により、デッキから2枚ドローする！

随分厄介なモンスターだが、倒さなければ私のターンに脅威を向けられない

私は手札から魔法再生を発動！ 墓地から魔法カードを手札に加える

この効果により、黒炎弾を手札に加え、発動！ 真紅眼の黒竜の攻撃力だけ相手にダメージを与える！」

拙い！ 私のライフは残り3000、これで2400のダメージを受けたら残りライフは600

まだ生き残るけど、危険な事には違い無い！

しかもこれは闇のゲーム、ダークネスの様子から考えるにかなりの痛みを感じるはず！

スピア・ドラゴンの攻撃でもかなり辛かったのに、更に上回るダメージなんて考えられないわよ！

それでも無情にも放たれる黒炎弾

近づいてくる火炎の砲弾……こ、怖い！

「きゃあああああ！！！」

痛い、思ったよりもずっと痛い！

何よこれ！ ここまで痛いだなんて思わなかったわよ！

同じ攻撃を受けたダークネスは何でそんなに平気そうなのよ！？

息が苦しい……墓守の長と戦った時よりも遙かに辛い
何度もこの痛みを受けるなんて……考えたくないわ！

目が霞む……体に力が入らない……
でも、まだ私は負けていない……負けてないわ！

「私は更にこの真紅眼の黒竜を生け贄に捧げる

紅き瞳の黒き竜よ、死したドラゴンの怨念を受け継ぎ、その力を得て進化せよ！

現れる……真紅眼の闇竜！」
レッドアイズ・ブラックドラゴン

言い回しは格好いいけど、そのモンスターが現れるのは予想済みよ！
墓地のドラゴンは3体、元々の攻撃力は2400で攻撃力は900
アップして3300！

アブソルートZEROの攻撃力は2500だから負けている
残りライフが600の私では耐えられない！

「…………ふん、今は攻撃しない

私は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

チッ、攻撃してくれば助かったんだけど
用心深い奴ね、勝機を逃したじゃない。

「私のターン、ドロー！」

フュージョン・リカバリ
融合回収を発動！更に速攻魔法、非常食を発動するわ！

フュージョン・リカバリ
融合回収と伏せカード1枚を墓地に送り、ライフを2000回復する！

フュージョン・リカバリ
そして融合回収の効果で墓地の融合とスパークマンを手札に加える！
アブソルートZEROを守備表示に変更、更にE・HEROフラッシュ
シュを守備表示で召喚し、ターンエンドよ！」

これで私のライフは有利になったわ
さっきのターンで攻撃されていれば非常食で回復

ライフは残るのでアブソルートZEROの効果で真紅眼の闇竜を破壊
フュージョン・リカバリ
融合回収を使ってスパークマンやバブルマンを手札に戻して攻撃すれば勝ってたのに！

用心深い敵は厄介ね

十代みたいに馬鹿正直に攻撃してくれば楽なのに

あの伏せカードは……蘇生系罠カードかしら？

そうでなければ攻撃しない意味は無かったはず。

「私のターン、ドロー！」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

……チッ、真紅眼の闇竜でE・HEROフラッシュに攻撃！

ダークネス・ギガ・フレイム！」

強烈な攻撃に、フラッシュは当然耐えられずに破壊されるでも、これで効果を発動できるわ！

「フラッシュの効果発動！」

このカードと、墓地のE・HEROを3種類を除外し、墓地の通常魔法カードを1枚手札に加えるわ！

私が除外するのはバブルマン、アブソルートZERO、アイス・エツジよ！

フュージョン・リカバリ

そして私は融合回収を手札に加えるわ！」

「ふん、しかし貴様の手札のカードは融合とスパークマン

墓地に融合は無く、更に融合に使用したモンスターも除外されている確かに他の通常魔法カードはオーバーソウルだけ、それならばそれらを選ぶのは納得できるがな」

まったくもってその通りよ

でもね、私の目的は魔法カードの回収じゃないわ！

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

遅いわよ……E・HEROエアーマンを召喚！

このカードが召喚に成功した時、2つの効果の内の1つを選んで発動する！

私は場のエアーマンを除くHEROの数だけ魔法、罠を破壊する効果を選ぶわ！

私の場にはアブソルートZEROが1体、右の伏せカードを破壊する！」

破壊したのは正統なる血統！？

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

レッドアイズ・ブラックドラゴン

もし真紅眼の闇竜を破壊しても真紅眼の黒竜に繋ぐつもりだったのね

レッドアイズ・ブラックドラゴン

まったく、厄介な相手……でも、真紅眼の黒竜を使いこなす技術は凄い！

それにしても……エアーマンを引くタイミングが凄いわ

名前の通り、私からすれば空気の読める男であり、相手からすれば空気の読めない男ね

今回は空気を読んで最後の最後に来るとは……効果が強いだけにどっちにもなるモンスターね。

「融合を発動！」

場のE・HEROであるアブソルートZEROと、手札の光属性であるスパークマンを融合！

現れなさい、光の戦士！ E・HERO The シャイニング！」

やっぱり見た目は微妙ね

だけど、今回はこのモンスターの存在が居なければ負けていたかも

しないわ。

「The シャイニングは除外されているE・HEROの数×30
0攻撃力が上昇する

私の除外したE・HEROは4体、攻撃力は1200アップして3
800よ！

更にアブソルートZEROの効果発動！ 相手の場のモンスターを
全て破壊する！」

「そう簡単に終わると思うなよ！

罠カード、2枚目のレッドアイズ・スピリッツを発動！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン
この効果により、真紅眼の闇竜を特殊召喚！」

「なんですって！？

レッドアイズ・ダークネスドラゴン
真紅眼の闇竜には召喚制限が掛けられている

蘇生は不可能のはずよ！」

「生憎、レッドアイズ・スピリッツはその効果により、召喚条件を
無視できるのでな

レッドアイズ・ダークネスドラゴン
よって、真紅眼の闇竜の特殊召喚は可能なのだ！」

なんて出鱈目なカードなの！

召喚条件を無視できる蘇生カードまで存在するとは……

レッドアイズ・ブラックドラゴン
真紅眼の黒竜軸デッキを侮ったわ。

でも、私の勝ち確定している

The シャイニングの攻撃力は3800、レッドアイズ・ダークネスドラゴン
真紅眼の闇竜の攻撃力
は3300

戦闘で勝てるし、更に私の場にはエアーマンが残っている
ダークネスのライフは残り800、このままでも勝てるわ。

でも……悪いけど徹底的に叩きのめす！

「私は融合回収を発動！
フュージョン・リカバリー

墓地の融合と、スパークマンを手札に加え、融合を発動する！

E・HEROとしてエアーマンを、光属性としてスパークマンを融合！

もう1体、E・HERO The シャイニング！」

「……………来い！」

「潔が良いのね……行くわよ！」

1体目のThe シャイニングで真紅眼の闇竜に攻撃！
レッドアイズ・ダークネスドラゴン
オプティカル・ストーム！」

The シャイニングの攻撃で真紅眼の闇竜は破壊された
レッドアイズ・ダークネスドラゴン
その攻撃の余波がダークネスにも届く
これで……終わりよ！

「E・HERO The シャイニングで、ダークネスに直接攻撃
ダイレクトアタック
！」

「ぐうあ！」

The シャイニングの攻撃に苦しむダークネス
辛い攻撃だとは思う、許してとは言わない……怨んでくれても構わない
でも、私だけの為の戦いじゃなかった……だから絶対に負けられなかったのよ。

「ぐううう……おあああああああ！！！！」

ダークネスが火柱に包まれた！？
どうなってるの！？

って、ダークネスに構っている余裕は無い
思っていたよりもダメージは大きい……い、意識が……

視点 瑞貴

明日香が勝った……か

明日香が気絶し、火柱に包まれた後、俺も火柱に包まれた
そして気付けば火山の麓……どうやって転送されたんだ？

決闘の内容は最初から見ていた
デュエル

俺が見てると気が散るだろうから寝たふりをしていたが、どうやら
正解だったらしい
寝ているからと意識が殆ど俺に向かず、ダークネス相手に集中でき
ていた。

どうも随分手札が悪かったみたいだが、まあ勝てたのだから良いだ
ろう

それよりも問題は……

俺の目の前で気絶している明日香
それと、少し離れた場所で倒れているダークネスだ。

とりあえず、ダークネスに近づいてみる

そしてその横にはカード……魂の牢獄のカードか？

カードの絵にはダークネスの仮面、そしてダークネスの素顔も見えた。

魂が封印されているカードに仮面が映っている

つまり、これは王様や盗賊のように2つの魂が入っていた？

だが、この男の正体は……面倒な事だな。

「あ……すか……」

「何？　今、何て言った？」

ダークネスの意識が戻って一言言ったかと思えば即気絶

はあ……参ったなあ、この男をどうするかねえ？

下手に公になったら騒ぎになるだろうし、隠すか

海に突き落としてもいいんだけど、なんとなく目覚めが悪い

それに、俺は人殺しをする趣味は無い。

とりあえずダークネスを背負う

やっぱり成人男性ぐらいの体重か……力の無い俺にはかなり辛いぞ！

更に明日香を抱き上げる、無視しても良いが、一応助けられたのでこれぐらいはなっと！

……さすがに2人の人間を持ち上げるのは重すぎる！

夜が明ける前にはなんとかして運ばないと騒ぎになる、凄まじく辛いが急がねばな。

だが無理だ！

もう抱えて歩くのは諦める！

ダークネスを下ろし、代わりに明日香を背負う

そしてダークネスの服を掴んで引き摺る

これなら少しはマシだ！ 俺にはこれが精一杯だ！

結論から言うと、夜明け直前に俺の部屋に着いた

道中は言わん、思い出したただけで涙が出そうになるぐらい辛かったからな！

うわぁ……ダークネスの服がボロボロ

悪いとは思うけど、助けてやったんだから文句は言うなよ？

明日香とダークネスを部屋に入れる

明日香の靴を脱がし、疲れた体に鞭を打って上の段のベッドに放り込む

ダークネスは靴と服を全部脱がして下着姿にする

そして適当に服を着せて下の段のベッドで寝かせる。

後でダークネスの服を洗わないとな

泥だらけだしボロボロ……今後も使えるかどうか心配だな

誰かに縫ってもらうか？ 鮎川先生辺りにでも頼む……無理か

あの人はこの事件の事を知らないんだし、明日香にさせるか。

少し上のベッドを覗く

明日香が少し辛そうな顔で寝ていた

……顔ぐらい拭いてやるか。

適当に濡らしタオルで顔を拭っておく

黒炎弾の時の傷だな……絆創膏ぐらい貼っておくか？

跡が残ったら可哀想だしな。

一応、ダークネスの方も軽く手当しておく
呼吸は弱いけど死にはしないだろう
最悪、人工呼吸でもすればいいだろうしな。

ファーストキスは人工呼吸で男か……別に拘りは無いが少し嫌だ
ま、別に大した事じゃないしいいか、人命救助の為、我慢ぐらいする。

俺はどうするかなあ……
金庫にでも体を預けて寝るか
できれば布団は欲しいが……奪うのもアレだし我慢しよう。

もう早朝の時間、学校は遅刻前提で行くか
校長に話しもできたしな。

校長にダークネスの扱いを訊く
明日香とダークネスの看病
他にもする事が多そうだ……明日、時間的に今日は忙しくなるな。

とりあえず寝よう
寝心地はかなり悪いが諦める
明日は筋肉痛確定だし、はあ……胃が痛いなあ。

29話【VSダークネス】（後書き）

墓守って高いの？

とりあえず捏造、でも間違っていないとは思いますが
好みとか、使用者とかを考えると妥当かと。

サラが怖気を感じた理由は？

瑞貴が自分のカードを売った事を考えたからです。

サラがダークネスの正体を言わない？

事が事だけに言える雰囲気ではありません
言ったら言ったで明日香が危険なので言えなかったのもあります。

何で瑞貴は余裕そうなの？

自分の事を軽く見ているからです

死んでもあまり問題は無いと、そんな事を考えてるので……

そもそも自分が死んだ後の事は全く興味が無いので、カード群をど
うされてもどうでも良いと思っています。

でも普段の行動と矛盾してない？

していません

生きているからこそ警戒するのであり、死んだらどうでもいいんです
死後なら本当に燃やすなり、荒らし回るなりされても興味は有りま
せん

好きにしろと思っています。

明日香の瑞貴への評価が……

そう思っているらしいので仕方有りません。

明日香の読みが神懸かっている!?

知識と関連性、使い方を瑞貴に叩き込まれているので

基本的に明日香が使うカードしか瑞貴は教えていません

明日香は敵が使った場合の事を考え、自分で様々なカードを調べました

ちなみに、明日香の成績は上位級になっています

三沢や瑞貴よりは下ですが……

E・HEROアイズ・エッジ?

原作漫画でのE・HEROアイズ・エッジです

OCGのE・HEROアイズエッジとは名前も違います

これは名前の書き間違いや誤字では無いので注意。

フラッシュは原作効果じゃないの?

本当は原作効果にしようと思ったんですが……

墓地に送られた瞬間、魔法か罫を手札に加えるという効果でした
あまりにも強力なので自重しました。

原作、アニメオリジナルカード

レッドアイズ・スピリッツ

このターンに破壊されたレッドアイズと名の付くモンスターを召喚
条件を無視して特殊召喚する

この効果はレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンなども蘇生可能
という鬼畜カード

OCG効果のレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンが更にヤバ
くなります。

……瑞貴は気付いていませんが、サラが一部始終を見ていました
後日、明日香に報告するでしょう
瑞貴はどうなるのか！？ 作者も知りません！ というか考えてい
ません！

30話【交渉と看病】（前書き）

今回は4つに分けられています

1と3は瑞貴の暗躍？

2と4は……まあ見てからのお楽しみで
まあサブタイトルの通りです。

この内容は……色々な意味で拙い気がします
糖尿病には注意しましょう。

まさかの次話の書き終えに成功しました
23時から更にその次の話を書き始めました
とりあえず明日の投稿は確実ですね。

30話【交渉と看病】

視点 瑞貴

翌日、起きたが……早朝に寝たのに7時に起きた習慣って怖いな
寝苦しかったのも有ると思うけど。

2人の様子を見てみるが、とりあえず大丈夫のようだがークネスは知らんが、明日香は数日中には回復するだろう。

食堂に下りて食事を貰う
数は3人分、自分の分は今から食うので2人分はラップしておいた部屋に置いておき、書き置きを置いておく。

内容だが……
とりあえず、俺が帰ってくるまで部屋から出るな
1度でも出たと思ったら二度と部屋に入れない
と、書いておいた。

さて、眠いが学校に行くかな
目的地は……校長室。

……
……
……

「失礼します」

「おお、堅守君

何か有ったのかね？」

「ええまあ、セブンスターズの1人を確保したので処分法を知りたくなりました」

「しょ、処分法！？」

何を驚いてるんだ？

処分するのは当然だろ？

侵入者だし、殺人未遂だし、敵だし、面倒だし、何より邪魔だしな。

「刑務所行きですか？ それとも殺しておきます？

奴隷のように飼って殺しという手もありますし、海外に売るのも良いんじゃないありません？」

「ま、待ちたまえ！

君は何を言っているんだ！」

「何って、処分方法ですけど？」

絶句したという表情になってる

俺、そんなに変な事言ったか？

「……どうやら反対みたいですわね」

「当たり前でしょう！」

ふむ……どうするかな？

確かカードに闇の魂が封印されたんだっけ？

って事は今の人格は魂が入れられる前の人格なんだろう
よし、処分はその人格を見てからだな。

なら次の話に移ろう

どっちかと言うと、こっちが本命だし。

「そうですね……校長先生、俺を雇いませんか？」

「雇う？」

「はい、契約内容はセブンスターズを1人撃破する事

依頼料は昨夜のセブンスターズの身柄……成功報酬は現金です

雇い主は校長先生、雇われるのは俺

どうします？ 受けますか？」

厄介事に巻き込まれるぐらいだったら自分から行く

せめて自分の意志で動かないと胃が耐えられそうにない！

が、俺はただで動くような善人でもない

よって他の奴とは違って報酬を要求する

これぐらいしないと割に合わんわ！

「むう……1つ訊かせて頂きたい

その昨夜のセブンスターズの1人をどうするつもりですか？」

あ、そっち？

俺が殺すとか言ったから心配にでもなったか？

別に本気じゃなかったんだがな……殺す事だけは。

「男だったので執事やら召使いやら、そこら辺で雇いますよ

ちゃんと面倒も見ますし、給金だって払うつもりです
まあ……今は衰弱していて寝たきりですけどね
回復してきたらそのように言うつもりです」

雑用係、欲しかったんだよね

家事とかできないんだったら捨てるかもしれないけど
まあ勉強させるのもいいか、長い目で見れば悪く無いかもしれん。

「……成功報酬はどれぐらいになるでしょうか？」

「そのセブンスターズの實力と命の危険度に応じて……ですね
デュエル決闘が終わった後になりますが、応相談という形にしようと思って
います

証人を連れてくるので嘘偽りは一切しません

校長先生が判断し、それに応じて金額を決める

俺と証人でその額が妥当だと思ったら、その金額とする

どうでしょう？ 弱ければ弱いほど、命の危機が無ければ無いほど
安くなりますよ？」

「ふむ……」

どうやら契約する気は有るらしい

昨日の様子からして、俺の事を随分買っているようだったしな

水色達の時の暴走がここで有利に働くとは思わなかった

精々高く買ってくれよ？

「わかりました、雇いましょう

しかし、セブンスターズの扱いが決まったら私に報告してください
ね」

「まあいいでしょう、契約成立ですね

一応、細かい事を書いた紙を渡しておきます

これで書類を作り、お互いに確認してサインをしましょう
放課後にもう一度来るので、その時でいいですか？」

「ええ、ではお願いしますよ

鍵は天上院さんが持っているので、彼女から受け取ってください」

「わかりました

では、俺は授業なので失礼します」

そう言って俺は校長室から出て行く
おっと、忘れてた。

「校長先生、その明日香なんです
昨日、セブンスターの1人と戦って体調を崩しています
これは校長先生の責任でもあるので公休にしておいてやってくださ
いね」

「む、彼女が戦ったのですか

わかりました、天上院さんが回復するまで公休扱いにしておきます」

「お願いします、では」

今度こそ本当に出て行く

さあて、寝る為の授業に行きますかっつと。

.....

.....

.....

ねむう……って、昼休みじゃん！
購買部購買部って、部屋から出るなって言っておいてるから昼飯が
食えないからな

明日香やダークネスの分を買って、一回帰らないと。

まあダークネスは起きてないとは思うけど一応な
そうだな……ドローパンを5個で良いかな？

自分用と、ドローパンを食わなかった時の事も考えておにぎりを3
種類2個ずつぐらい
サンドイッチも3個ぐらい買っておくか。

……ちよつと買いすぎたかな？

そう思うけど仕方無い

俺はあいつらの好みを知らんのだ。

部屋に帰ると……

「み、瑞貴！？

えっと、これは……その……ねえ？」

「……欲求不満だったのか？」

「変な誤解しないで！

私別に欲求不満とか、そういうのじゃないわよ！」

明日香がダークネスに抱きついてた

何が何やら……一目惚れか？

それとも絞め殺す気だったのか？

「で、一目惚れか？」

それとも怨みを晴らす為に絞め殺す気だったのか？」

「そんなんじゃないわよ！」

この人は私の兄、天上院吹雪よ！」

「ふーん……近○相○？」

絶対に違うとは分かっているが言ってみる

吹雪の顔は良いし、妹でも惚れる時は惚れるだろう
だからこんな言葉が生まれたんだと思うし。

「よりにもよってそれを言う！？」

普通は感動の再会とか、奇跡の出会いとか言わない！？」

「意味が分からん」

「……瑞貴に普通の感性を求めた私が間違ってたわ
とりあえずそんな変な事じゃない事だけは理解してちょうだい」

悪かったな、変な感性をしてて

もうその言葉は聞き飽きてるから怒る言葉にはならないぞ
そもそも、悪口では到底怒れないぐらい冷めてると思うし。

「実は理解してて言ってた

文句が有るなら昼飯は食わさん」

「文句なんて言わないからお昼ご飯を頂戴」

『明日香……それは餌付けされてるんじゃないか？』

『プライドよりも食事が大事よ
プライドなんかではお腹は膨れないの』

『……………そうか』

ま、大抵空腹状態でいる明日香なら飯を話題に出せば終わる
扱いやすい奴だな。

袋から適当に出して明日香に渡す
どうもまだ体が回復していないらしく、目眩がしたり体が痛そうだ
大丈夫なのか？

そこまで考え、ちょっとした事を思いついた
前にされた仕返しでもしてやろう。

そう思ったら吉日、買ってきた物は全て片付ける
明日香の批難の目なんて完全に無視。

「少しする事ができた
おとなしく寝て待ってろ」

「でもお昼ご飯…………」

「後でやる、だから待ってろ」

「……………生殺しよお」

『が、頑張れ明日香！』

落ち込んでる明日香を置いて部屋から出る
そして俺が向かう先は……

ククク……俺と同じ気持ちを味わうと良い
それなら二度とあんな真似をしなくなるだろうしな！
さて、何にしようかなあ……面倒だし、簡単なアレでいいか。

視点 明日香

うう……瑞貴ったら何を考えてるのよ
おにぎりに、サンドイッチに、ドローパン……お腹空いたわ。

瑞貴が入って来る少しだけ前に起きたんだけど……
起きたら突然瑞貴の部屋なのよ？ かなり驚いたわ
辺りを見回してみるけど、昨夜の事が夢みたいに感じるわ。

だけど、体に走る痛みや苦しみは現実
はあ……まだ体中がガタガタ言ってる気がするわ
兄さんに抱きついて泣いたけど、痛くてなんか変な感じだった
瑞貴もすぐに入って来たからあまり泣けなかったけど……

か、体が痛くて上のベッドに上がれないわ
どうやって上がろうかしら……休みたいのに休めない
仕方無い、後で瑞貴に上げて貰おう

本当、昨夜といい、今といい……瑞貴には迷惑しか掛けてないわ。

……ん？ そういえば私……何で瑞貴の部屋に？

瑞貴の部屋からワープさせられたから瑞貴の部屋に戻ってきたとか？でも兄さんは違う場所から来たんでしようし……

『ねえサラ、どうして私は瑞貴の部屋で寝てたの？』

『瑞貴が貴女を背負い、吹雪さんを引き摺った火山の麓から、凄く頑張ってたわ』

「え？ 瑞貴が？ 私達を？」

サラ、瑞貴を庇うような嘘は言わないで良いのよ？だから本当の事を言って？

部屋に出てきた私達を、瑞貴は凄く嫌そうにしながら傷ついた私達を仕方無くベッドに放り込んだ、そうよね？」

『明日香、何を驚いてるのは知らないけど……声、出てる』

『おっと、失敗したわ』

でも、それだけ衝撃的な事だったのよ？

きっとサラの記憶違いよ、瑞貴がそんな事をするはずが無いもの。

だって瑞貴よ？

体力も力も無い瑞貴が私を背負って兄さんを引き摺ってまで火山の麓から部屋に連れてきた？

信じられるはずが無いじゃない！ 性格からも無理が有るわよ！

『何をそこまで否定したいのかは知らない

でも、瑞貴は火山の麓から貴方達を部屋まで運び、手当もしてくれた顔や体の汚れも拭い、自分は金庫に背を預けて寒そうに寝ていた寝苦しかったのか、1時間も寝られずにすぐに起きたが……』

『瑞貴が私達を運ぶ？ 瑞貴が私達の手当？

嘘よねサラ？ 全部嘘よね？

だって瑞貴は利益と自分を優先するような人よ？

そんな瑞貴が面倒を運んできた私達に優しくするはずが無いじゃない……

だから嘘って言って、サラ』

『普段の彼はどんな事を明日香にしているのか激しく気になるんだが……嘘じゃない

朝食だって……ほら、あそこに置いてある、態々包んで持って来てくれた

布団をかけ直したり、脈が乱れていないかを測ったりと、凄く世話を焼いてくれていた

何故信じられないのかは分からない、だが……そこまでしてくれた彼の優しさを否定するのは失礼じゃない？』

そんな事を言われても……今までの事を考えたらとてもじゃないけど信じられないわ

もう少し、瑞貴をよく見てみるのもいいかしら？

今まで少し優しくなったらすぐに落とされたけど、次からはもっとよく観察するべきね。

もしかしたら今まで見落としていた事も分かるかもしれない

そういえばレイちゃんには優しかったわね……普段が普段だけに忘れてたわ

私が忘れてたり気付かなかっただけで、私にも優しくされていたとか？

ここで有り得ないってすぐに否定してたけど、次からはよく考えてみましょう。

そう思っていると部屋の扉が開けられた
瑞貴がお盆を持っていたけど……何を持って来たの？

「いつまで下で座ってるんだ？
ベッドで寝ておけ、邪魔だ」

うん、やっぱり相変わらず瑞貴は酷いわ
絶対に体があまり動かないって理解してて言ってるでしょ？

「体が動かないのよ
無理して下りてきたけど、上がれるほどの力が出ないの」

「だろうな
そこまで傷つけばそうだろう」

やっぱり分かってて言ってたのね！

サラの言ってる事はやっぱり嘘よ、瑞貴が優しいとは思えないわよ！

瑞貴はお盆を机の上に置き、兄さんを背負った？

力の無い瑞貴は辛そうにしながらも兄さんを上のベッドに上げた
な、何をしてるの？

後、あまり兄さんを手荒に扱わないでちょうだい。

「はぁ、はぁ……筋肉痛の体でこれは辛い……
ほら、邪魔なのはどけたから寝とけ、お前も邪魔だ」

び……微妙ね

私の為に兄さんをどけたようにも思えるし、本当に邪魔だからどけたようにも見える

これだと判断できないわよ！

とりあえず動きにくい体に鞭を打ってベッドに上がる
うう……体が重いし痛い、闇のゲームのダメージは想像を超えてい
るわ

私が受けたのはスピア・ドラゴンの貫通攻撃と黒炎弾だけなのに……

なんとかベッドの上で寝転がる

まるで重病人ね……似たようなものか。

しかし瑞貴に体を起こされた

え？ 何する気なの？

私の体を起こした後、瑞貴はお盆を持って来た
お盆の上には小さい土鍋とレンゲ……食べ物？

「ほら、お粥

鮭のおにぎりを使って、余っていたご飯も一緒に入れたからそれな
りの量だな」

それを作りに行ってくれたの？
なんか凄く嬉しいんだけど……

「ほれ、口を開けろ」

「え？ 自分で食べられるわよ？」

「体が動かないんだろ？」

ほれ、あーんだ、あーん」

え？ 何？

何がしたいの？

というか、そんな事されると恥ずかしいんだけど……

「恥ずかしいって逃げるのは無しだぞ

俺は同じ恥ずかしさを味わったんだからな」

「今更あの時の仕返し！？

私の体は少しは動くわよ！」

「俺も布を解かれていたらそれぐらいできた

が、お前はそうしないで無理矢理食わせたよな？

よって、お前も同じ目に遭って貰う」

その為だけに態々お粥を作ってきたの！？

なんという嫌がらせ根性！ 私にはとてもじゃないけど真似できないわ！

「……って、このままだと熱いか」

そう言って瑞貴は息を吹きかけて冷ましてくれる

あの……そんな事されると更に恥ずかしいんだけど……

「ほれ、口を開けろ……あーんだ」

「う……あ、あー……ん」

うう……恥ずかし過ぎて味なんて分からないわよ

さすが瑞貴、嫌がらせが上手いわ

仕込みも十分だし、効果的で威力も申し分無い

相変わらず瑞貴は強敵ね。

『（どう見ても恋人同士なんだけど……
言わない方がいいか？ それとも教えた方が親切？
私はどうすればいいのだろうか？）』

結局最後まで残さず食べさせられた、何気に美味しかったのが悔しい
恥ずかしい……瑞貴が嫌がった理由がやっと分かったわ
もうしない事にしよう、またされたら恥ずかしくて暫く瑞貴の顔を
見れそうにない。

瑞貴は買ってきたご飯を適当に食べてまた学校に行った
余った分は置いておくから食べたくなったら適当に食べろって言わ
れたわ
でも暫く食べたくない……お腹もだけど恥ずかしさで胸がいっぱい
よ。

眠いし、今は寝よう
体も怠い……おやすみなさい。

『……………（こいつらは馬鹿か？）』

視点 瑞貴

あー楽しかった
恥ずかしがってる明日香を見るのも楽しいものだ
癖になりそうだ、またしよう。

午後の授業が終わり、校長室に向かう
その途中で目の前から歩いてくるのはその1
偶然とはいえ、面倒な奴に会ったもんだ。

睨んでくるその1

しかし無視する俺

その1と擦れ違うが、肩を掴まれてその1の方に振り向かされた。

「何の用だその1」

「ジュンコよ、誰があんた何かと好き好んで話すものですか
明日香さんが行方不明なのよ、あんたは何か知らない？」

「知らん、俺は今から行く所が有るんだ、邪魔するな」

「チッ、さっさと行きなさいよ」

「お前が呼び止めたんだろうが……はあ」

「この……ふん！」

態々神経を逆撫でするように溜め息を吐いてやる

その1の感情が高ぶる、しかし俺を相手にしても苛つくだけだと理解している

俺を視界から消したいのかすぐにこの場から去る。

嫌われたもんだ、狙ってしたんだがな

これで俺に好意は少しでも現れないだろう

水色やでかいのはどうなってるのかな？

同じような感じだと助かるんだが……その内分かるか。

その1はともかく、校長室に入る
今俺の用は校長だ、身柄と金は欲しいしな
何で誰も何も要求しないんだろうか？
金ぐらい要求してもいいだろうに。

「しつれいします、堅守瑞貴です
契約書類はできてますか？」

「来ましたか堅守君
書類の方はできていますよ」

書類を良く確認する
裏も含めて最初から最後まで5回確認する
万が一不正が無いかの確認は必須だからな
信用していないわけじゃないが、ミスも考えられるからな。

特に問題は無いな
俺はボールペンでサインし、印鑑も押す
校長も受け取り、サインし、同じく印鑑を押す
これにて契約は成った。

「じゃあ俺はこれで失礼します」

「ちょっと待ってください
天上院さんとセブンスターズの1人はどこに居るのですか？」

「どちらも俺の部屋で寝てます
2人とも体は弱ってますが命に別状は無いと思います

保健室の方が良いとは思いますが、騒ぎになると面倒だと思ったので……」

「いえ、ありがとうございます

私としてもあまり事を大きくしたくありませんので

2人の看病、お願いします」

それはいいけど……頼んだ校長が悪いんだぞ？

馬鹿な事を言うから付け込まれるんだ。

「看病はしますが、俺の部屋を貸しているので部屋代と食費ぐらいください

2人が俺の部屋のベッドを占領してて寝る場所が無いんです」

「む、わかりました……これぐらいでいいですか？」

そう言って渡される万札……半分冗談だったんだけどな

まあ、確かに入院（？）費と食費、他にも看護費用とかも入ってるんだろう

もしかしたら迷惑費とかも入ってそうだ。

「十分です、では失礼しました」

「ちょっと待ってください」

「まだ何か？」

「吸血鬼の噂……ご存じですか？」

「吸血鬼？

セブンスターズの1人ですか？」

セブンスターズ編って殆ど記憶に無いんだよね……出落ちばかりだったし

吸血鬼……まあどうにかなるだろう。

「はい、今学園ではその噂で持ちきりです
どうか、お気を付けて……」

校長室を出て部屋に戻る

ふむ……起きたら吹雪にでも訊いてみるか
とりあえず情報を得るまでは俺は動かない
何も情報が無い時に挑んでも馬鹿馬鹿しいだろ？

部屋に戻ってみると明日香も吹雪もまだ寝ていた
ご苦労様とでも言うておくか？
体力を回復させるにはやはり寝るのが一番だな。

……ん？

視線を感じる……見回してみると蝙蝠が居た
吸血鬼に蝙蝠か、なるほど、悪趣味な覗きか
まあ構わん、どうせ俺はデッキを弄る必要は無いからな。

吸血鬼から考えるに、使用デッキはアンデット族か悪魔族
種族は闇属性か地属性か……これだけでも十分な情報だ。

吸血鬼の噂に関しては多分、誘き出す為に自分で蒔いた種
良い戦い方だ、俺も見習うべきだな

しかし、俺には蝙蝠を操る力も無いし、噂を流す程の事もできん
羨ましい……その力、欲しいな。

……ふふふ、決まりだ
その吸血鬼も吹雪みたく手に入れられたら手に入れよう
他のセブンスターズ達も買えるなら買おう
校長の弱みは持っているが、それは奥の手
まだ使う時期じゃない。

さて、晩飯も食堂から2人分貰ってくるか
俺の分と明日香の分だ
まだ明日香は寝てるが、暫くしたら起こす
食器が邪魔だからな。

少し待っても起きなかったので起こす事に決定
耳元に口を寄せて……

「……フウーーー」

「ひゃん！
な、何！？」

なんだこの反応……超楽しい！
これを暫く楽しめると思うと……毎日でもするな。

「起こした

晩飯の時間だ」

「な、何したの！？」

どうやら混乱しているらしい
良いだろう、素直に教えてあげようじゃないか！

「耳に息を吹きかけた
しかもかなり弱くてくすぐったくなるぐらいの強さで」

「くすぐりたいというよりも吃驚したわよ！」

「そんな事はどうでもいい、晩飯の時間だ
ほれ、あーん」

「だ、だから……自分で食べれるって……」

許さない、だからゴリ押す
無限ループって怖くね？

「ほれ、あーん」

「いや、あのね？」

「あーん」

「あの……」

「あーん」

「あ……ううう……」

「あーん」

「あう……あー」

俺の勝ち

うんうん、そうやって恥ずかしがっているのを見たかったんだよ
それだけで俺は満足だ。

『（見ている方が恥ずかしくなりそう……
もう無理、消えていよう）』

顔が真っ赤な明日香

まさか明日香で癒されるとは思わなかったな
なんというか……子供に食べさせているみたいで微笑ましい。

うーん……頭を撫でたい、抱っこしてやりたい
こうなれば明日香も可愛いものだ
さすがに人前でする気は無いぞ？

俺が恥ずかしいし、この明日香を見せるのは勿体ない。

俺は自分の楽しみを周りに見せびらかすタイプじゃない
自分だけで楽しみ、自分だけの物にしておくタイプだ
人に見せるなんて勿体ない事は絶対にしないぞ。

明日香に食べさせ終えた後は俺も食う
明日の朝飯も食わせるか、楽しみだ。

余談だが、翌日クロノス教諭が行方不明という話を聞いた
もしかして俺、吸血鬼戦を見逃したか？

30話【交渉と看病】（後書き）

瑞貴が黒い……

いつもの事です

まだマシな方だとは思いますが。

瑞貴は吹雪をどう扱うつもりなの？

交渉中に言った通りです

多分、雑用係になるでしょう。

さり気ない瑞貴の優しさに……

小さいですけどね。

近○相○って……

想像したら思わず出てきました。

サラの言葉を信じない明日香……

基本中の基本です。

あ……あ……甘い！

ニヤニヤが止まりません。

なんというバカップル……

お互いに全く自覚はありません

サラだけは気付きましたが空気を読みました。

相変わらずジュンコに嫌われてるんだね

そうですね、嫌われてます

あの後、何一つフォローしてないので。

デッキを弄らないの？

完成してますし、弄るほど変える必要が無いので。

カミューラをどうするつもりだ！？

どうするんでしょうか……

甘い！ マジでどうにかしろ！

瑞貴は単なる嫌がらせ感覚ですので……

明日香も嫌がらせをされてるという感覚ですし
どっちもそんな感覚が全くありません。

カミューラVSクロノス戦は？

無視です

自覚無くイチチャイチヤしていました。

31話【知られた本音】（前書き）

注意、今回は瑞貴が犯罪道を思いっきり走り抜けます
外道過ぎて本当に瑞貴は主人公なんでしょうか？

これが主人公とは……世も末です。

注意、瑞貴が外道過ぎてかなり危険です

一応、今回は読まなくても次話の話しだけでも事足ります
今話を読むと外道過ぎて引きますので注意。

外道過ぎる瑞貴を見たくない人はすぐに読まずに帰る事をお勧めします

……念には念を押しておきますが、多分引くような内容です
犯罪が大量に入っていますので絶対に、絶対に真似しないでください。

それでも良いという人は下へどうぞ
暫く空けておきますので……

これぐらいでいいですよね？

読むですよね？ 知りませんよ？

本当に読みますか？

↓YES

NO

ではどうぞ……

31話【知られた本音】

視点 瑞貴

さて……夜になったな

今日も昨日と同じく明日香に朝昼晩と食べさせた
少しずつ慣れてきたのか赤面が減っていたのが惜しい
何か別の手段を考えるべきかな？

日の昇っている間、明日香達が寝ている間に仕込みはしておいた
夜になって、蝙蝠が動き出す前に全ての準備をしたからな
今夜が楽しみだ……くくく。

蝙蝠が俺の部屋の前を飛び回っている
どうやら明日香と俺を誘っているらしい
だが明日香は連れて行かない、運ぶのが面倒だからな。

「じゃあ明日香、俺は行く
お前はそのまま寝てろよ」

「私も行きたいんだけど……駄目かしら？」

「駄目だ、面倒だし
とりあえず話したとおり、七星門の鍵は持っていくがな」

「（瑞貴が自分から鍵を受け取るなんて……
何か自分に利益が無い限り絶対にしないわよね
まさかとは思うけど、校長先生に何かした？）」

『（昼間からずっと様子を見ていたが……本当に何者？
何故、あんな物を持っているんだ？）』

何を考え込んでるんだ？

まあ俺が何故自分から鍵を受け取ったのかという辺りだろうが。

「じゃあな

部屋から出たら許さん」

「わかってるわよ
気をつけてね？」

「別に戦う気は無いがな」

部屋から出る

しかし、俺が向かうのは噂の湖じゃない

俺が向かう場所は……無い！

とりあえず暫く時間潰しだな。

………

………

……

よしよし、吸血鬼の城の扉は開いている

既に奴らが入った良い証拠だ

城の裏口裏口は……発見、侵入開始。

ふむ……一般的に言うならば悪趣味な城だな

俺からすればかなり好みだが、装飾品とか貰って帰りたいものだ

裏口だけあって埃臭い……この建物って昨日建ったんだよね？
転送でもしてきたのか？

お、大部屋に出れた

今は……吸血鬼と豆腐が戦っている所だな

サイバー・ドラゴンが3体に伏せカードが1枚の豆腐

ヴァンパイア・レディだけで今は吸血鬼のターン……今から2ターン目辺りか？

可能性としては融合して融合解除した所だろうか？

そうでなければサイバー・ドラゴンが3体も並ぶのは少々おかしい。

そして吸血鬼のターン

ヴァンパイア・レディを生け贄にし、ヴァンパイア・ロードを召喚する

そしてヴァンパイア・ロードを除外し、ヴァンパイアジェネシスを特殊召喚する。

……出たな、明らかに条件と効果が噛み合わないモンスター！

出た当時はともかく、現環境上ではファンデッキぐらいにしか使われていないであろうモンスター

しかも、ファンデッキでも使えるかどうかとも分らないぐらい面倒な奴だったな。

とりあえず生け贄召喚から特殊召喚に繋がられるのは強い

でもそれだけ、もっと便利で使い易いモンスターはもっと沢山存在している。

まあこっちじゃ攻撃力3000は魅力的だろう

越えるのは簡単だが、それでも強い事には変わり無い。

そのままヴァンパイアジェネシスで攻撃

だが豆腐もそう簡単にはやられない

アタック・リフレクター・ユニットの効果でサイバー・ドラゴンを生け贄にする

そして、デッキからサイバー・バリア・ドラゴンを特殊召喚する。

なんというチートドロ

パツと見、サイバー・ドラゴンの融合、融合解除で手札を5枚消費している

なのにこのカードを残して置くとは……サイバー流、侮れんな。

サイバー・バリア・ドラゴンは攻撃表示の時、1ターンに1度相手の攻撃を無効にできる

この効果により、ヴァンパイアジェネシスの攻撃を防ぐ

効果は強いが、攻撃力800をずっと場に残して置くのは大変だな
守備力は2800も有るから効果を使用しないで壁にするのも1つの手か。

豆腐のターン、強欲な壺を使用

デッキから2枚ドロし、速攻魔法のフォトン・ジェネレーター・ユニットを発動する

サイバー・ドラゴンを2体生け贄にし、サイバー・レーザー・ドラゴンを特殊召喚する。

サイバー・レーザー・ドラゴンはこのカードの攻撃力以上の攻撃力、守備力を持つモンスターを1ターンに1度破壊できる

厄介な効果だが、そこまで強くない

そもそも攻撃力2400の時点でそこそこの強さだから効果の発動が難しい

下級の戦闘耐性持ちを破壊できないし、そう考えると素直にモンスター破壊カードを使用した方が早いし安い
とりあえずサイバー・ドラゴンを2体も生け贄にする必要は有るのか？

そんな疑問が出てくるモンスター、生け贄が1体なら強かったんだけどねえ……惜しいなあ。

だが、今の状況ではかなり強い

ヴァンパイアジェネシスを効果により破壊、そして2体のモンスターダイレクトアタックで直接攻撃

吸血鬼の残りライフは800、かなり拙い状況だな。

最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドなんだが……

強欲な壺でドローしたカードがフォトン・ジェネレーター・ユニット？

更に伏せカードだと？ どこまでチートドロー持ちなんだよ。

スパロボで言うときつとチートドローLV9だ

ちなみに十代はLV8、明日香はLV6、俺はLV4ぐらいかな？
その他大勢はLV0からLV3ぐらいだと思う。

で、吸血鬼を見てみると口が裂けていた

おお、なかなか良い表情じゃないか、そっちの方が印象良いぞ！

見た目はアレだが、感情で顔を変えられるってのは凄いな。

そして吸血鬼のターン

魔法カード、幻魔の扉を発動……か

幻魔の扉の効果は相手の場のモンスターを全て破壊

そして、この決闘で1度でも使用したモンスターを召喚条件を無視して自分の場に特殊召喚する。

ただし、このカードの使用には使用者の魂を賭けなければならぬ
使用者が負けた場合、使用者の魂は幻魔に捧げられるが……効果が
鬼畜なのですぐに決まる
使ってもあまり問題にはならぬ。

俺の持っているカードにも含まれているのだが、とてもじゃないが
使う気にはなれない

当然ながら売る事もできないので金庫の最奥、取り出し禁止の最も
強固に隠しているトランクの中に入っている

そのトランクの中には他にもオレイカルコス of 結界、魂の牢獄、邪
神ゲー、地縛神など

使用しただけでも危ないカードが大量に入っている。

が、実はデメリット無しでも使える同名カードも入ってるんだよね
幻魔の扉の発動条件は無しに変えられているし、オレイカルコスの
結界も敗者の魂を捧げる必要は無い

地縛神だってOCGと同じく普通に使えるカードだ

こんな危険な同名カードを持っているのも問題なんだが……まあ使
わなければいい。

吸血鬼が2人になったんだが……これはどういう現象だ？

肉体と魂が分けられたとか？

いや、しかし魂の無い肉体は活動できない。

うーん……オカルトはこっちに来て闇のゲームの存在から結構調べ
たんだが……

どうもよくわからぬ、元の世界でもそこそこ知識は持っていたのに
全滅か

少しだけ自信を無くしそうだ。

そして吸血鬼は水色を自分の代わりに生け贄にしようとする
分裂吸血鬼が水色を掴み、首筋に噛みつく

力の入らない様子から見て、どうも神経毒か何かかな？

牙に毒が染みこんでいるのか、それとも吸血鬼の血は人間には有害
なのか

どちらにせよ、危険な行動には違い無い……か。

そして現れるサイバー・エンド・ドラゴン

豆腐に脅迫と挑発をする吸血鬼、お前……良いキャラしてるな

そのしたたかさ、俺の好みだぞ？ 是非相棒になってくれ……決闘
限定で。デュエル

似非が正々堂々と戦えと言うが、吸血鬼……カミューラは否定する
正々堂々なんて言葉は虫唾が走る……同感だよ、馬鹿正直に戦う必
要なんて無い

基本的に勝てば良いんだよ、勝てばな。

それにしても、似非が呼んでようやく名前が分かった
お前ら、もう少し名前を呼んでやれ、可哀想だろ？

そしてなにやら突然始まる兄弟の涙溢れる会話
さて、終わる前に準備準備……

準備は終わった、後はタイミングだ

豆腐がまだ闘気を残している内に行動しなければならぬ。

会話が終わった……このタイミングだ！

視点 カミューラ

デュエルディスク
カイザーが決闘盤から腕を下ろそうとした瞬間、大きな音が広間に響いた。

「いっつ！」

カイザーの弟の頬から血が……一体何が!?

「チッ、外したか」

少し離れた場所に男が立っていた
そして持っているのは……銃ですって!?

「悪いな豆腐……別名カイザー
もう少し待っててくれ

今からお前の弟を殺してやるからさ」

「な、何だと!?

堅守瑞貴、お前……何を考えている!?’

「あん? 見て分らないのか?

お前のオテツダイだよ……それが邪魔なんだろう?

それが死ねばお前は行動できるし、勝つ事だってできるはずだ
だから……その障害を今から排除してやろうとしてるんだよ」

まさか……カイザーの弟を殺してカイザーに勝たせようと言う気!?
あいつは仲間を殺してでも勝利を得ようと言うの!?

「巫山戯るな!!!!」

そんな事、俺が許すはずが無いだろ!!!!」

「別に許してくれなくてもいいさ

その代わり、お前の命は助かる……今の会話から考えるに、水色は死を覚悟しているだろ？」

殺される相手が兄から他人に移るだけ、別に大差無いじゃないか」

あ……あの男は何を考えているの!？」

本当にこの甘ちゃんの人間達の仲間だと言うの!？」

とてもそうだとは思えない……私達の味方と言われた方がまだ納得できるわ!

「瑞貴、お前何考えてるんだ!

本気で翔を殺す気かよ!？」

「黙れ似非、お前は今は無関係だ

俺は効率の良いやり方を持ちかけているだけだろ?

これに勝てばセブンスターズの1人を倒せ、更に鍵も守れる

犠牲になるのは水色だけ……もしここで負ければ豆腐という戦力が減り、鍵も奪われる

更に余るのは水色という雑魚が1人……この差は大きすぎる程の差だ
メリットが9でデメリットが1なら9を取るのが自然だ」

「瑞貴……お前!」

その考えに間違いは無い、どう考えても勝った方が明らかに得
負ければ戦力の低下と鍵の損失、得るのは弟の命だけ
チッ、せっかく勝てそうだったのに邪魔をしてくれて!

「お前、人の命を何だと思っているんだ！」

「……その質問に答える前に、お前は誰だ？」

「そういえば話した事が無かったな

俺は三沢大地、ラーイエローの主席だ」

「あつそ、ならお前の呼び方は今後、地底な質問に答えると……別に何とも思っていないな」

「地底！？ 今はそれどころじゃないか何とも思っていないとはどういう事だ！？」

こいつら……本当に仲間か？

随分意見が分かれてるし、明らかに乱してるのはあの新しく来た男私にも何が何やら……

「人の命なんぞ知らん、どうでもいい

俺は自分さえ良ければ基本的に他なんてどうでも良いんだ人生で生き残るには他人を蹴落とすのが一番効率的だろ？つまりそういう事、不要なモノを消した方が後が楽なんだよ」

「翔の命が、不要だとお！？」

「煩いぞでかいの、お前も役立たずなんだ

役立たずは役立たずなりにどっかに引っ込んでろ！

水色だってここに来る必要は無かったはずだ

むしろ、お前達ギャラリーの存在がこの状況を作り出したんだよ！」

まあ、それはそうね

この子が居なければ、私は自分の命を捧げなければならなかった
仲間意識が強いのも大きな問題よねえ？

「それはそうかもしれん

だが、気になるだろうが！」

「気になるだけなら野次馬にしかならんだろうが電池

実際、今は邪魔にしかなくてないんだ

デュエル

この決闘、お前らの存在で最初から負けは決まっていたに等しい！

だから俺がその負けを勝ちに変えてやろうとしてるんだろうが

幸い……生け贄は1人で良さそうだしな、水色を殺せば新たに生け
贄を選ばれる事も無い」

チツ、さっきから言っている事が合理的ね

間違っていない事しか言っていないわ、人間性を除けばね

あの人間……まともな頭をしてない、逝かれてるわ。

「さて……では改めて……怨んでもいいぞ水色、だから死ぬ」

「っ！ カミューラ、俺を攻撃しろ！

俺は負ける、だから急げ！」

言う事を聞く必要は無いけど、本当に殺されて私が不利になるのも
拙いか

なら攻撃するべきね！

「まったく……サイバー・エンド・ドラゴンでプレイヤーに直接攻
撃！タック」
ダイレクトア

サイバー・エンド・ドラゴンの攻撃は直撃
カイザーのライフが0になった。

「まったく……せつかく勝てるようにしてやったのに邪魔しやがって
もうここに用は無い、俺は帰らせてもらおう」

「待て瑞貴！
せめて謝っていけ！」

「い・や・だ・ね
これに懲りたら二度と闇のゲームにギャラリーを連れてこない事だ
また人質にされても、俺は知らんぞ」

そう言い残し、瑞貴と呼ばれた男は去って行った
あいっ……これは次に戦う為の布石だったか
これで次の相手は別の人間を連れて戦いに来る事は無いだろう。

奴は大分嫌われただろうが、目的は達成できた
もしかしたら奴が一番の強敵かもしれないわね。

まあいいわ、今は新しいお人形が入った事を喜びましょう
人形を持ち、消えるようにこの場を去る……

次のお人形はどんなのになるかしらね？

視点 瑞貴

目的達成つと

良い具合にカミューラが命を賭けたりするカードを使ったり
生け贄の身代わりを使ったりと、色々と助かった。

これで俺は似非、電池、地底、豆腐にも嫌われた
水色とでかいのは俺を更に嫌っただろうし、効果は上々
大徳寺先生はどうでもいいや。

銃を持っていた理由？

買って密輸させた、かなり高かったが一応手に入った
ちなみに持っている銃弾はそんなに多くないので無駄遣いはできない
今回は無駄遣いになりそうだが、まあ大した問題じゃない。

ちなみに銃の携帯許可書も使用許可書も持っている
金の力って凄いよな……金さえ払えば犯罪だって容認するんだぜ？
ちなみに賄賂を送ったのは警察のお偉いさん、上層部って真っ黒だな
貯金が金庫とかの分も相まって無くなりそうになったが……またカ
ードを売ればいいさ。

それに……あの女は俺の獲物に決めた
証人は誰でも良い、明日香辺りでも連れ出すか？
とりあえず危険度が高いし実力もそこそこ、かなりの金になるな。

カミューラの身柄も貰えるように交渉するか
やっぱりあの吸血鬼の力は欲しい
色々と悪用もできそうだから嬉しいなつと。

……はあ、自分で決めた事とはいえ、嫌われるのはやはり少々辛い
銃と殺人を持ち出すのは今後は止めよう
元々殺す気なんて全く無かったが、それを知ってるのは俺だけだ

誰にも理解してほしいとは思わないし、言っても誰も信用しない。

とりあえず俺の手駒は現在半未定の吹雪だけ

明日香は手駒とは言えないが、まあ使おうと思えば使える
カミューラも手に入れられれば万々歳だ。

さて、問題は俺の頑張りを無視してカミューラに何人も引き連れて
戦おうとする馬鹿だ

あの女は俺が倒す、報酬の為に……だから奴らに餌を奪われるのは
困る

単体で行っても勝たれたら俺の報酬が減るので却下。

脅しても加えておくかな？

俺が戦っている間は入城禁止、人質を取られたとしても絶対に俺は
助けないってな

事実、俺は助ける気なんて全く無い
人の忠告を聞かない奴が悪いんだからな。

さて、今日はもう門を開かないだろう

明日の夜一番に……カミューラに戦いを挑む！
主に、金の為にな。

視点 明日香

瑞貴に連れられ、湖に来ただけ……これは何事？

「貴様……何しに来た!？」

「お前は来る必要は無い！」

「そうだそうだ！」

「今度は何を考えてるんだな！」

「瑞貴、もう翔に手出しはさせねえ！」

順番に言うとう丈目君、三沢君、翔君、隼人君、十代
みんな瑞貴の事を凄く嫌っているし、十代は一体何を言ってるの？

「黙れ、あの女は俺の獲物だ

昨日のミスは俺の勝利で補う

別に構わんだろう？ 俺が負けても気に入らない奴が消えるだけだ
勝っても特に問題は無い、昨日みたく無駄に鍵を渡すだけだ」

「カイザーの行動は、無駄じゃない！」

本当に何が起こってるのよ……

昨日、瑞貴は出て行ってから何をしたの？

「はぁ……まさかこんな誤算が出るとは思わなかった」

「瑞貴、昨日貴方は何をしたの？」

「瑞貴の奴、翔を殺そうとしやがったんだ！」

「殺そうとって……」

瑞貴が翔君を嫌ってるのは知ってるけど
殺すほど嫌っていたの!?

「簡単に説明すると、水色が人質に取られて豆腐が負けそうになった
俺が介入して水色を殺してやるから豆腐に勝てと言った
で、結局負けたから俺は自分の失敗を取り戻そうとここに来たわけ
だ」

「どう考えても貴方が悪いじゃない
嫌われて当然だわ」

どうしよう……離れた方がいいかしら？
でも瑞貴の支えが無いと立てないから離れられない
まったく、瑞貴は何を考えてるのよ!?

『明日香、瑞貴の言っている事は半分嘘だ
彼は嫌われている事を悲しんでいる』

『悲しんでいる？
でもそうは見えないわ、今も挑発し続けてるし……』

『それは表面上だけ
心は傷ついてるわ、本当はしたくてしたんじゃないと思う』

どういう事かしら……とてもじゃないけど傷ついてるようには見え
ない
カマを掛けてみるか……引っかかると良いんだけど。

「瑞貴、1つ教えて
貴方は翔君を本気で殺す気だったの?」

私の質問に場が静まる……

『サラ、瑞貴の心の動き
絶対に見逃さないで』

『わかった』

瑞貴の答えは……

「本気だ」

『嘘、辛そうに言った

殺す気なんて全く無かったに決まっている

何よりも殺意を感じなかった……何を考えてるんだ？』

そう……私も見えたわ

瑞貴の口を開く瞬間、口が少しだけ震えていた

小さすぎて見逃しそうだったけど、絶対に震えてたわ。

この言葉は嘘に決まりね

目的は分らない、でも翔君を本気で殺す気は無かった事だけは確認できたわ。

「お前……天上院君を放せ！

天上院君、そんな奴からすぐに離れるんだ！」

「そうだ明日香！ そんな奴からすぐに離れた方が良い！」

万丈目君も十代も、瑞貴から私を放そうとする

けど彼らが来る前に瑞貴がそれを止めた。

「悪いが明日香は連れて行く
お前達は来るな」

「なんだと……昨日あれだけ1人で戦えと言ったのにそれはどうい
う意味だ！

幻魔の扉でカミューラにそのカイザーの弟が捕まったのは見てい
ただろ！」

なるほど、瑞貴の目的はこれね

人質に取られないようにできるだけ1人で戦えと言いたかった
それを強く思い知らせる為に翔君を殺そうとした……か。

やり方は最低だけど効果的ね

彼らはまた大人数で挑みそうだったけど……

瑞貴が私を連れて行こうとする理由はこのペンダントの存在
この場に来る前、兄さんが目を覚ました時の事よ。

……

……

……

「明日香、今日はお前を連れて行く」

「え？ 珍しいわね

私を連れて行くと大変じゃない？」

「いや、お前が必要だからな」

「必要って……」

なんか勘違いしそうな言葉だけど
絶対に瑞貴の事だから違う意味に決まってるわ。

ベッドから下り、瑞貴の肩を借りて立ち上がる
そして立ち上がった時、上のベッド……兄さんの所から光が発生した。

「う……うあ……」

声が聞こえた！

兄さんの意識が戻ったのね！

「兄さん、大丈夫！？」

いた……大声を出すと体に痛みが
やっぱりまだ無理はできないわね。

「ああ……よく聞くんだ……」

カミューラは卑怯な術を使うだろう

闇のアイテムを使った闇の決闘^{デュエル}を破る為には……
闇のアイテムが必要なのだ」

闇のアイテム……このペンダントが必要なのね？
でも私はまだ回復してない、戦えるような体じゃ……

「そのペンダント、貸してくれないか？
明日香を守る為に必要になると思う」

「構わない、僕にできる事はそれしか無いからな」

瑞貴は兄さんのペンダントを取り、私に持たせた
そして私はそのペンダントを付ける。

「勝つかから安心して寝てろ
勝利報告ぐらいするさ」

「ああ……楽しみにしている」

………

………

………

そんな会話が有ったの

私が闇のアイテムを持っていれば、同じく闇のアイテムの効果を受
けない

その為に瑞貴は私を連れて行くのよ。

「問題無い、明日香は闇のアイテムを持っているからな
それを持っている明日香は同じく闇のアイテムの効果を受けない
幻魔の扉の人質にされる心配は無い」

「クッ、だからって貴様が戦う必要はあるまい！
俺が戦う、だから天上院君をこっちに渡せ！」

「その言い方は止めろ、明日香は道具じゃない
俺のどうでも良い奴は道具扱いでも構わんが明日香は許さん
（明日香は俺の大事な玩具だ！ 貴様らには勿体ない！）」

あの……それは告白にしか聞こえないんだけど
違うとは思うけど顔が赤くなる……

他の人も勘違いしたのか顔が赤くなってる人が何人か。

「そんなに俺に戦わせたくないのなら明日香に決めさせればいいじゃないか

ちなみに、明日香はもうセブンスターズの1人と戦った後で体が弱っている

選ばれたのなら、城の中で1人で明日香の手助けをする必要が有る俺はもう何日もしているから問題無いが……お前らにできるか？」

私の手助けという点で何人かが目を逸らした

まあ、私に選べって言われたら瑞貴を選ぶんだけど

だって私より強いし……

三沢君と万丈目君は十代に負け、万丈目君と十代は私に負け、私は瑞貴に負けている

ピラミッド形式にするとこの場で瑞貴が頂点なのよね

性格はともかく、実力では最も信用できるのが大きいわね。

「で、明日香は誰を選ぶんだ？」

「瑞貴で」

「「「「即答!？」」」」」

「何でそんなに驚くのよ？」

そんなに変な事は言っていないと思うけど？

「俺が水色を殺そうとした事を知っても俺を選ぶのが信じられないんだろ

俺としても何故お前が俺を選んだのかわからんが……」

「決まってるじゃない

瑞貴が翔君を殺すはずが無いでしょ？」

周りの人達が黙る

信じられないという顔ね。

「明日香、俺は水色の事が嫌いだ嫌っている相手を殺すのはそこまで変じゃないと思うぞ？」

「瑞貴が殺人なんて現時点よりも厄介事になるような事をするはずが無いじゃない

それに……さっきの言葉も嘘、瑞貴は翔君を本気で殺す気なんて全く無かった

何故なら、瑞貴がさっき本気だって言った時、口が震えていた貴方が嘘をつく時にする癖よ」

思わず口元を抑える瑞貴、引っかかったわね……

口元に手をやってすぐに瑞貴は私に騙された事に気付いた。

「嘘よ、そんな癖なんて知らないわ

これが証拠よ、瑞貴は本気で翔君を殺そうとなんてしてないわ」

「黙れ明日香、これ以上言うな

せっかく巻いた種が無駄になるだろうが！」

「「「「種？」「」」」」

種？ 私も気になった

瑞貴は失言だったと口元を抑えてる
でもこれ以上黙るのは無理よ！

「瑞貴、このままだと誰も納得できないわ
いい加減にちゃんと話したら？」

「明日香……お前俺の苦労をよくもまあ無駄にしてくれたな
もういい、諦めた……」

「苦労？」

どうも話が見えないな

お前、隠れて何をしようとしてたんだ？」

顔を押さえて落ち込む瑞貴

目的は分かっただけど、何を考えてこんな嫌われる方法を？

「はぁ……どうも危険性や危機感が薄い奴らに喝を入れたんだよ
恐怖の中、脅された中で言われた言葉は自分で思っている以上に効
果が有るんだよ

解決法を言っても、お前らみたいなのはそれでも一緒に行きそうだ
ったからな

あそこまですれば誰かが強引にでも止めるだろうと思った
……態々嫌われ役になってまで苦労してやった事が水の泡だ」

「なら翔を殺そうとしたのは本気じゃなかったんだな？」

「当然だ

証人も多いし、敵に押し付けるのは無理

何よりも殺人なんてしても俺には何一つ得する事が無い
気に入らないが、特に興味も無い奴を殺しても無駄だ」

言い方や言葉は酷いけど、嘘だって事は白状した

これで少しは嫌悪感が拭われると良いんだけど……

「なら、どうして銃なんて持ってたんだ？」

「携帯許可書も使用許可書も持っていると言っておく

万が一何か起こるかと考えてだ

事実、本当に起こるとは思わなかったがな」

ナイフを常時装備してるものね

常に用心深いから私としては持っけていても今更って感じかも。

「それで瑞貴、種って何？」

「種に関しては絶対に言えん

これはカミューラの件には無関係だ」

この様子だとどんなに言っても絶対に言わないわね

瑞貴がこうなったら何を言っても無駄なもの。

「話しはこれで終わりだ

いい加減、カミューラも待ちくたびれただろう

さっきの話しは覚えてるな？

お前らは来るなよ」

「チッ、勝手にしろ！」

万丈目君が最初に諦めた
1人が諦めれば全員諦める。

ふう……少しは瑞貴への嫌悪感も拭われたかしら？
不器用な瑞貴のフォローも大変だわ。

『あの……明日香
瑞貴ね、嬉しいとは思ってるけど迷惑とも思ってる』

『何で！？』

『さ、さあ？』

多分さっきの種に関係する事だと思う
もしかしたら嫌われる必要が有ったんじゃない？』

嫌われて得する事ってあるのかしら？
後で怒られないといいけど……無理かしら？

でも、少しは嬉しいと思ってくれてるんでしょ？
それなら怒られるぐらい構わないわ
瑞貴が嫌われたままなんて嫌なもの。

溜め息を吐く瑞貴に思わず苦笑
ごめんなさいね、勝手な事して。

瑞貴は何かを紛らわすかのように私を……ちよ、この持ち方は止めて！

ひひ、人前でおおおお姫様抱っこは恥ずかし過ぎるわよ！
ほほほ、ほら、みんな見てるから止めて走らないでー！ー！ー！！！！

『明日香、照れ隠しみたい
多分彼の性格から考えるに、嬉しかった事が気恥ずかしかったんじゃない？』

『それはいいけど、走るのもいいから、お姫様抱っこだけは止めて
ーーーー！！！！』

実際に声には出していないから瑞貴は止めてくれなかったわ
そしてそのまま城の中へ……

て……敵にまで見られるのは本気で嫌ーーーー！！！！

31話【知られた本音】（後書き）

瑞貴は明日香に鍵の権をどう伝えたの？

訳ありで鍵は俺が持つ

そんな感じに言って終わりです。

瑞貴がチートドロールV4って……そうかな？

自分ではそれが理想だと思っています

現実にはLV7ぐらい持っていそうですが……

銃って……

これはセブンスターズ編開始前辺りから考えていました

色々和好都合の状況だけど、どうにかできないかと考えていました

その結果、脅して結果的に失敗、そして嫌われるという事でした

所々無理が有ると思いますが、あまり深く突っ込まないでください。

銃の種類は？

考えていません、そんな知識は全く持っていないので。

瑞貴は銃の訓練はしたの？

ある程度は……サイレンサーを付けて誰にも見られないように注意しながら自力で訓練していました

ちなみに、今回は本当は外す予定だったのですが頬に擦ってしまいました

内心かなり焦っていた、瑞貴なのでした。

そういえば三沢と瑞貴って話した事が無かったね

忘れていたのではなく、知らなかったのです

なのであんまり三沢を苛めないであげてください。

瑞貴の人の命の話、どこまで本音なの？

基本的にほぼ全て本音です

自分本位であり、他は所詮他人という考えの持ち主ですので。

カミューラに逝かれていると言われる瑞貴って……

吸血鬼も吃驚の外道に作者が自分でも驚きました。

瑞貴の誤算って？

早めの時間に来たつもりなのに全員が居たからです
本来だったら誰も居ない内に城に入る予定でした。

サラが……サラがー！ー！！！！

彼女が存在が瑞貴最大の誤算ですね

何気に大活躍のサラでした。

瑞貴は嫌われる事に傷ついてるの？

嫌われるのは目的の為です

それはそれ、これはこれという奴ですね

思考はともかく、感情は悲しんでいます。

瑞貴は翔を殺そうとする事を本気と言うのが辛いって？

本当は殺人をしてしまう事が怖いのです

なのでそういう意味で辛いのでしょうか。

瑞貴の行動が矛盾してるような……

今後、自分に面倒が回ってこない為の布石のつもりなので矛盾して
いない……と思います。

瑞貴の言う種って？

嫌われる為に蒔いた種です

それが怒りや怨みなどによって本気で嫌うという花になるのを待つつもりでした。

瑞貴って結果的にどう思われてるの？

十代、万丈目、三沢の3人には

非道、外道などとは思われていますが嫌いとはまでは……

特に三沢は明日香に近い考えで不器用な奴だと思っています
翔と隼人は嫌っていますが、よくわからない奴になりました。

瑞貴……嬉しかったんだ

本心では嫌われたくないので当然でしょう

目的と思考では絶対に否定しますが、本心では……

お姫様抱っこだと！？

八つ当たりですね

なのでまたバカップルをしている自覚がありません

明日香もそれを分かっているのと同じく自覚がありません。

32話【VSカミューラ】（前書き）

頑張れカミューラ！

勝って瑞貴の魔の手から逃げ出すんだ！

……電波ですかね？　なんとなくこれを言えと誰かに言われた気がしました。

瑞貴が相変わらず酷いデツキです、しかも今回は特に酷い……

あそこまで揃えば現代のデツキでもそう簡単には勝てないでしょう

（多分）

今回は色んな意味で負けられないのでこんなデツキに……

原作キャラでこれを越えられる人っていますかね？

32話【VSカミューラ】

視点 明日香

結局、敵の前までお姫様抱っこのまま連れてこられたわ
うう……恥ずかしい。

「……イチャつくなら他所でしてくれない？」

「どこをどう見ればそうなる
こいつは体が弱ってるからこうやって運んだだけだ」

『「（どう見てもバカップル）」』

「あの瑞貴……下ろしてくれない？」

瑞貴は素直に下ろしてくれた
そのまま瑞貴の肩に捕まって立つ
確りと立てないって情けないわ。

『「（だから恋人にしか見えないって……）」』

「さて、始めようかカミューラ
俺と遊ぼうじゃないか」

遊ぶって……闇の決闘で遊ぶって言葉は合わないわよ
別にいいけど……ちよっと闇のゲームを甘く見てるんじゃないかし
ら？

「ふん、良くってよ！」

ルールは簡単、貴方が負けたら人形に魂を封じ込まれるわ
貴方が勝ったら鍵を見事に守りきれる」

「却下だ、俺が勝ったらお前には俺が死ぬまで俺の下で働いて貰う
一応給料ぐらい払ってやるから精々頑張って働きな！」

「構わないわ、私に負けは無いもの！」

「じゃあ契約しよう

吸血鬼は悪魔だろ？」

「え？ まあそうね」

何？ 何をする気？

「悪魔は契約を絶対に破る事はできない

誓えカミューラ、俺が負けたら俺の魂をくれてやる

だが、お前が負けたら俺が生きている限り、俺に逆らう事は絶対に
許さん

絶対服従を誓ってもらう」

それって奴隷に近いんじゃない……

「……いいわ、誓ってあげる

私が負けたら貴方には絶対に逆らわない

これにて契約は成った、お互いの一生を賭ける戦いを始めましょう！
まあ、勝つのはどうせ私だから関係無いわ！」

敵に言うのはどうかと思うけど……万が一の事は考えた方が良いでしょう？

それで後悔する人は多いわ、どうなっても私は知らないからね。

「^{デュエル}決闘！」

「先攻は俺が貰う、ドロー

神の居城ーヴァルハラを発動する

1ターンに1度、自分の場にモンスターが存在していない時、天使族を特殊召喚できる

俺はこの効果により、The splendid VENUSを特殊召喚する」

最初のターンから最上級モンスターを出した！？

攻撃力2800のモンスター……そしてこんなモンスターは知らないわ。

「更に手札から速攻魔法、クリボーを呼ぶ笛を発動

デッキよりクリボーかハネクリボーを、手札に加えるか特殊召喚する俺はハネクリボーを特殊召喚、そしてハネクリボーを生け贄に捧げ、

天魔神インヴィシルを召喚

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

天魔神インヴィシル……これも知らないカードね

まだ見せて貰ってないカード

どんな効果を持っているのかしら？

「（蝙蝠の情報とデッキが違う！？

戦士族デッキだったのに天使族デッキですって？）

私のターン、ドロー！

永続魔法、ミイラの呼び声を発動するわ

1ターンに1度、自分の場にモンスターが存在しない時、手札からアンデット族を特殊召喚できる

私はこの効果により、龍骨鬼を召喚するわ!」

……出てこないわね

効果の内容から考えて、上級モンスターでも出せるはずなんだけど……なんで?

「な……何故龍骨鬼が現れない!?!」

「俺の場に存在するインヴェシルの効果だ
インヴェシルを光属性の天使族を生け贄にして召喚した場合
全ての魔法カードの効果を無効化する」

「な、なんですって!?!」

つまり魔法カードの発動は許す、だけど効果は使えないって事ね
でも自分の魔法カードも使えないけど……大丈夫なの?

「クッ、私は不死のワーウルフを守備表示で召喚するわ」

現れた不死のワーウルフの攻撃力と守備力が下がった!?!
どうなってるの?

「The splendid VENUSの効果だ
このカードが存在している限り、天使族以外のモンスターの攻撃力、
守備力を500下げる」

どうやらカミューラのデッキはアンデット族が中心のデッキ

天使族は入っていないでしょうね。

「ぐうう……カードを1枚伏せ、ターンエンドよ!」

「俺のターン、ドロー
強欲な壺を発動する」

「あっはははは、馬鹿ねえ
自分のモンスター効果を忘れたの!?
インヴェシルが存在する限り、魔法カードの効果が無効になるって
言ったのは自分よ!」

そう、確かに瑞貴はそう言った
事実、ミイラの呼び声の効果を無効化している
なのに何故使ったの?

「The splendid VENUSの効果
このカードが自分の場に存在する限り、自分の魔法、罫は無効化さ
れない
よってインヴェシルの効果は俺には及ばない……デッキから2枚ド
ロー」

「なんですって!?!」

これは……酷いわね
もしこれで伏せカードが王宮のお触れだった場合
相手は魔法、罫が使えなくなってしまうわ。

「速攻魔法、光神化を発動する
手札の天使族を攻撃力を半分にし、特殊召喚する

俺はジェルエンデュオを召喚し、ジェルエンデュオを生け贄に捧げ、エンジェル〇7を召喚する」

こ、今度はLV7のモンスターを生け贄1体で召喚！？
天使族ってどうなってるのよ！？

「ジェルエンデュオは光属性の天使族を召喚する時、2体分の生け贄となる

インヴィシルで不死のワーウルフに攻撃」

「そうはさせないわ！

罠カード発動！ 妖かしの紅月！
レッドムーン

手札のアンデット族を墓地に送り、攻撃モンスターの攻撃を無効
そしてその攻撃力分のライフを回復し、バトルフェイズを終了させる」

インヴィシルの攻撃力は2200、その攻撃力分のライフが回復
カミュラのライフは6200となった

伏せカードは王宮のお触れじゃなかったのね。

それにしても妖かしの紅月レッドムーンの効果はそれなりに強力ね

アンデット族という縛られたコストが必要だけど、ドレインシールドと攻撃の無力化の効果を併せ持つ

それにアンデット族は墓地に行けば蘇生が容易、メリットしか無い
カードって酷いわよ。

「ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！

ヴァンパイア・バッツを守備表示で召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドよ!」

ヴァンパイア・バッツはデッキから同名モンスターを墓地に送る事で破壊を免れる

不死のワーウルフは戦闘で破壊された時、デッキから同名モンスターを攻撃力を500上げて特殊召喚する
不死系のモンスターを2体も出すとは……

「俺のターン、ドロ」

天使の施しを発動、デッキから3枚ドロし、2枚を捨てる
さて、天使の施しの効果で俺は天使族モンスターを2枚墓地に送った
そして俺の墓地に天使族が4体になった……大天使クリスティアを
特殊召喚する」

こ……攻撃力2800!?

The splendid VENUSの攻撃力も2800

エンジェル07の攻撃力は2500

インヴィシルの攻撃力は2200

天使族とは思えないぐらいのパワーモンスター

更にロック効果も持っているとは……厄介なデッキね
戦いたくないデッキよ。

「この攻撃を防ぎきれるかな?

インヴィシルで不死のワーウルフを攻撃する」

「不死のワーウルフの効果を発動!

戦闘で破壊された時、デッキから同名カードを攻撃力を500上げて
特殊召喚されるわ!」

インヴィシルの攻撃でワーウルフは破壊される
だけど復活してくる！

……………って、復活しない？

「な、何故不死のワーウルフが現れないの！？」

「エンジェル〇七の効果、このモンスターが生け贄召喚に成功した時
モンスター効果を発動できなくなる効果を得る
そしてクリスティアの効果、このモンスターが場に存在する限り、
お互いに特殊召喚ができない」

「な……なら何故クリスティアの特殊召喚ができた！
エンジェル〇七の効果でモンスター効果を無効にされているはず！」

「効果を発動できないだけだ
永続効果、召喚ルール効果は無効にできない
更にインヴィシルも、The splendid VENUSも、
クリスティアの効果も永続効果
よってエンジェル〇七の効果で無効化されない」

これは酷い……これが瑞貴が本来得意としているロックデッキ
瑞貴が使うのを控える気持ちがかかるわ
普通の相手に使った場合、これは嫌われるものね。

「エンジェル〇七でヴァンパイア・バツツを攻撃し、撃破
そのモンスターは永続効果じゃない
よって不死性の効果は発動できない」

「わ……私の不死のモンスター達が……
(それに私が伏せているのはリビングデッドの呼び声

クリスティアが存在する限り、特殊召喚は封じられているから発動できない!」

「The splendid VENUSとクリスティアで直接攻^{ダイレクトア}撃^{タック}」

「くあああああああ!」

攻撃力の合計は5600

カミューラの残りライフは1000

更に手札は1枚……逆転する方法は無いわ!

「ターンエンド」

「わ……私のターン! ドロー!

(攻撃の無力化……これでまだ耐えられる!)

カードを1枚伏せ、ターンエンド!」

「俺のターン、ドロー

^{ライトニングギア}

光神機―桜火を召喚」

LV6のモンスターを生け贄無しで召喚ですって!?

「桜火は生け贄無しで召喚できる

ただし、この効果で召喚した場合、エンドフェイズ時に墓地に送られる

だが……エンジェル07の効果により、その自壊効果は発生しない」

「それじゃあデメリットの無いモンスター!?!」

「そうでもない」

この効果で召喚された後、エンジェル〇7が除去されたターンのエンドフェイズ時に墓地に送られる
どっちにしろ、エンジェル〇7効果に頼った使用方法だ」

それでも状況を考えたなら明らかに反則効果よ！

油断してたら突然攻撃力2400が現れるのよ！

「桜火で直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動！

攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる！」

「ターンエンドだ」

瑞貴らしくないわね……瑞貴だったら徹底的に潰すのに
何か別の考えが？

「私のターン、ドロー！

カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！

（今度はミラーフォースを伏せた……次の攻撃で貴方は終わりよ！）
」

「俺のターン、ドロー

一族の結束を発動する

自分の墓地と場の種族が同じ場合、場のモンスターの攻撃力を80
0上昇させる」

これで瑞貴のモンスターを計算すると……

ライトニングギア

光神機－桜火 攻撃力2400+800=3200

天魔神インヴィシル 攻撃力2200+800=3000
エンジェル07 攻撃力2500+800=3300
The splendid VENUS 攻撃力2800+800
=3600
大天使クリスティア 攻撃力2800+800=3600
総攻撃力は16700になるわ。

「（ふん、攻撃したければいいわ）」

「面倒だし、飽きたし、そろそろ終わらせるか」

面倒はともかく……飽きた？

「永続罠、王宮のお触れを発動

このカード以外の罠カードの効果を無効にする」

「な、なんですって!？」

しかもそれは最初から伏せていたカード、何故今まで発動しなかった!？」

「今言ったじゃないか
飽きたって」

「飽きたですって……まさかお前!」

「このロックを崩せないとは……はあ
まあお前のデッキじゃ、このデッキの攻略は不可能だな」

普通のデッキでも不可能よ!
そんなデッキ、どうやって攻略しろって言うのよ!？」

「はい、総攻撃で終わり」

なんという投げ槍な態度、完全に相手を嘗めてるわ
というか、嘗めていても余裕で勝てるのね……カミューラが哀れよ。

『瑞貴、強いけどゲスね』

『否定はしないわ

でも、瑞貴は態とだったり、ハンデが無い限り負けた事が無い
それだけの実力は持っているのよ』

『世の間違ってる』

『同感ね』

サラもようやく瑞貴の正体に気付いたらしい
さよなら普通、ようこそサラ……瑞貴に苛められる組へ、歓迎するわ
だから私と一緒に耐えてちょうだい……お願いだから。

「さて、お前の負けだ

契約に従い、お前は俺の命令に逆らえない
最初に言っておく、俺の指示が無い限り、人に危害を与える事は許
さん」

「く……わかったわよ」

悪魔の契約の力って凄い！

悪魔との契約がここまでの強制力を持っているとは……

「さて、とりあえず出るぞ

この城の趣味は好きだが、ここに居ても無駄だ
最低限の荷物を持って出る」

「……チッ」

カミューラはどこかに行った……

これからどうするつもりなのかしら？

そう思っていると瑞貴にまたお姫様抱っこされた！？
だから恥ずかしいってば！

そのまま城を出る

城の前にはみんなが居た。

ううう……見られてる、見られてるわ
羞恥心で死にそうよ！

「お前が出てきたという事は……勝ったのか！？」

「勝った

後は少し待つだけだ」

「待つ？」

ああ、カミューラを待つのね
出てくるまで少し掛かるでしょうし。

そう思っているとカミューラが出てきた
気落ちしているようにも見えるわね

瑞貴に弄ばれたんだから仕方無いわ
その気持ち、私には分かる。

「カミューラ……」

「そういえばお前、随分こいつらに怨まれてるな
何かしたか怨まれるような事でもしたのか？」

「……彼らの仲間を人形にしたわ」

「じゃあ適当に戻しておけ
戻さなくても大差無いとは思うが、一応な」

カミューラは無言で何かをした
何をしたかって？ よく分からないわ。

でも、カミューラの持っていた人形が亮に
万丈目君のポケットに入っていた人形がクロノス教諭になった
もしかして……私が予想した通り、人形に魂を封印されてたの？

「さっきから気になっていたんだが、どうして瑞貴はカミューラに
命令してるんだ？」

しかも、カミューラは瑞貴の言う事を素直に聞いている
どういう事か教えてくれ」

「契約しただけだ地底

俺が勝ったら、俺が死ぬまで俺の言う事を聞けとな

俺が負けたら魂をくれてやるんだ、それぐらい構わんだろ？」

「なんと……なるほど、それは悪魔の契約という奴か

悪魔は契約には絶対に逆らう事はできない
その種族としての特性を利用したのか」

「そういう事

俺の許可無く、人に危害も加えるなとも言っておいた
とりあえず大丈夫だろう

随分不機嫌で八つ当たりしたいという空気を出していなければな」

「……………ふん」

だから万が一の事も考えておいた方が良いつて……

言わない私が悪かったのかしら？

でも酷い事をしていたらしいし、まあいいか

むしろ哀れに思うわ、瑞貴に苦勞を掛けられる仲間が増えた事にね。

「俺は帰る、行くぞカミューラ」

「……………」

私はまだ回復してないから瑞貴に抱っこされたまま帰る事になった
あの……私、帰るまでこのままなの？

「つて、天上院君をどこに連れて行く気だ!？」

「俺の部屋で看病するんだよ

この3日間、毎日明日香の看病をしてたんだ、今更だろ」

「な、なにい!？」

な……何をそんなに驚いてるの？

別にそんなに変な事じゃないでしょ？

「という事は貴様、天上院君とずっと同じ部屋に……」

「別に嬉しくない、看病は思ったよりも大変だし
ベッドは占領されて俺は床で寝てるし
他にも面倒事は山ほど……」

「申し訳ないわ……」

本当、迷惑ばかり
何か恩返しとかしないと駄目よね
どうにかできないかしら？

「もういいだろ？
いい加減に俺は帰らせてもらおう」

そう言って彼らから離れ、寮に戻る
勿論、カミューラも一緒よ。

………

………

……

瑞貴の部屋に戻ってきた私達
カミューラも一緒なんだけど、彼女はとうするつもりなのかしら？
どう考えても厄介事よね。

ちなみに私はベッドに座らされた
カミューラは床に座り、瑞貴は椅子に座ってる。

「とりあえずカミューラ

その鬱陶しい化粧を落として服ももう少し露出の少ない服に着替えろ
俺は派手な女が大嫌いなんだ、見ているだけで苛々する」

「あんたの好みの問題!？」

何で私がそんな事を……それぐらい自由にさせなさいよ!」

「化粧も軽いのなら平気だ

露出も多少なら我慢できる

だがお前のは無理、頼むからどうにかしてくれ……」

言い方や言ってる事はアレだけど、凄く嫌そう

特に最後の言葉、そこまで嫌いなのか?

カミューラもこんな事を言われると思わなかったらしく困惑してる。

「でも私はこんな服しか持っていないわよ?」

「……ちよつと待ってろ」

瑞貴はPCを起動させる

何をする気かしら?

……少し待ち、私達に手招きをする

私達は顔を見合わせ、瑞貴の横に移動する
画面に映っていたのは……服?

「カミューラ、身長とサイズは?」

「い、言わないわよ!」

「なら身長だけでいい
言え、命令」

カミューラは渋々と身長を瑞貴に教える
私とそんなに変わらないわね。

「ここら辺かな……ほら、ここから5着ぐらい選べ
金額の上限は1着10万までなら許す
働かせるからには給料が必要だからな、前金でくれてやる」

最高50万!?

ちよ、貴方そんなに一気に簡単に出せるってどれだけお金を持ってるのよ!?

50万……それだけ有れば借金がかなり返せる……羨ましい!

「……使い方が分からないわ」

「お前……いつの時代の吸血鬼だよ」

「何百年も前よ
最近まで寝てたのよ」

「つまり真祖じゃないと」

「私はそんな上等なものじゃないわ
吸血鬼としては下級だったもの」

「日の光は駄目か、となると活動可能時間は屋内か夜だけ
まあそれぐらいはどうにでもなるな」

話しについて行けない……
別次元の会話に思えるわ。

『サラは意味が分かる?』

『少しなら……簡単に言うと』

彼女は真祖、つまり吸血鬼の最上級じゃないって事

真祖は日の光でも行動できるらしいけど、下級の吸血鬼は無理だから彼女を動かせるのは日の当たらない屋内か夜だけになる』

殆どそのままじゃない

真祖がどんな存在か分かっただけでもいいか。

「とりあえず操作は明日香にさせてくれ

……そうだな、明日香も吹雪と闘った時の報酬をやっておいた方が
いいか

(時々、こういう餌をやらないと逃げられるからな

使いつ走りとしても弄り相手としても逃がすのは惜しいし

俺の考えを多少理解されてるのは注意すればいいだけだしな

上手く操れば言わなくても俺の思った通りに動いてくれるだろう
不安定な駒だが、無いよりはずっと良い)」

私に報酬?

助けたお礼って事かしら?

「最高金額10万までの服を1着

借金2割引、前に話した墓守のカード各1枚セット

どれが良い? 選ばせてやる」

将来10万もの服を買えるかしら……現実味が無いから何とも言えないわ

借金2割引は魅力的よね……何気にこの中では最も金額が大きく動く墓守を各1枚セット……10万から15万ぐらいはなるかしら？

……報酬って言ってたわよね？

ならもしかすると……こう言えばもしかしたら？

「瑞貴、私がもう1人セブンスターズを倒すとするわ
すると報酬がその中から2つ選べるとか……有り？」

瑞貴は暫く考える仕草をし……

「許可する

同じのを2回選ぶのも有りだ」

「ならとりあえず借金の2割引きでお願い
次回からはこの2割引後の金額の2割引？」

「そうだな、今回は割引前の金額が減る
どれにするかはお前が自分で考えな

（これだけ飴をやってれば次はそう逆らわんだろう

俺も今回は明日香の前で行動したのが失敗だった

次から種を蒔く時は明日香の居ない時にしよう

はあ……まさか俺を庇うとは思わなかった

庇われて嬉しかったのは否定できんし、庇われたのは事実だから怒るに怒れん

別方向から嫌がらせでもしてストレスの発散をするか」

なら次回からは墓守ね

金額的にそっちの方が上になるもの……多分
もしそれに足りなかったらまた2割引ね。

「……あんたも大変ねえ」

「同情するならお金をちょうだい」

「持っていないわよ」

やっぱりそうよね……はあ

……ならどうやって生活するのかしら？

「じゃあ俺は先に寝るぞ

明日香はカミューラの服選びをしとけ、決まった服は買わずに画面
を保存しておけ

それが終わったら寝たらいいさ、かなり寝てたからそんなに眠くな
いだろうし、できるだろ？

カミューラも服が決まったら棺桶か何かを部屋に適当に入れておけ
汚さねば部屋の真ん中に置いておいても構わん

朝になったら日の当たらないように気をつけろよ
詳しい事は明日また話そう……俺は眠い」

「わかったわ、おやすみ瑞貴」「……わかったよ」

瑞貴は金庫にもたれ掛かって寝始めた
本当にそれで寝られるの？

なんだか寝苦しそうだけど大丈夫？

「何よ……あの人間」

「変人よ」

「……そうね」

沈黙が場に流れる

とりあえず服を見ようと思い、PCを操作する

高そうな服ね……7万とか8万の服がこんなにゴロゴロと

でも、この服1着分でカードを1枚買えない時も有るのよね。

いいなあ……こんなのが貰えるんだったら私も瑞貴の下で働こうかしら？

色々と怖いと思うけど、悪くない気がするのよね

何よりもお給料……借金返済……頭が痛いわ。

今はそんな事を考えている時じゃないわね

カミューラの服を決めないかね。

「一応、瑞貴の指示だからできるだけ地味なのを選ばないかね
どんな服なら認めるかしら？」

「私は派手で露出が多い方が好みなんだけど」

「文句を言わないの」

禄に考えずに瑞貴の挑発に乗った貴女の自業自得よ

瑞貴の命令に絶対服従を誓ったんだから諦めなさい

あ、これなんてどう？ これなら大丈夫だと思うわ」

「二度と安易な返事をしないと魂にまで刻んでおくわ
ちよっと地味すぎない？ もっと派手な色は駄目なの？」

「瑞貴相手にこれだけの事で魂にまで刻んだら切りが無いわよ？
瑞貴の言う派手の基準が判らないから……

下手に半端なのを選ぶと強引に決められるわよ？

自分で妥協でき、更に瑞貴が認めるぐらいまだ地味なのじゃないと」

「どこまで厄介な奴なのよ？」

派手じゃなくて私でも妥協できる服……黒なら大丈夫かしら？」

「変人だからと思って諦めなさい

黒なら大丈夫だと思うわ

後は露出ね、どこまでなら許してくれるかしら？」

「それで納得できるほど単純な頭をしてないわよ

手足はともかく、胸元の露出を嫌ってるみたいなのよね

色気の有る服とか好きなのに……色気が落ちちゃうじゃない」

「納得しないと後が辛いわよ？」

瑞貴はその色気が嫌なんじゃない？

スカートもスリットが凄いのは嫌がりそうだし、普通のロングスカ
ートね

袖はノースリーブでも良いと思うわ」

「恋人にまでそう言われる奴が可哀想だわ

あ、これならどうかしら？」

「私達は恋人じゃないわよ、それを瑞貴に言ったら怒られるわよ？
そうね……これなら瑞貴も妥協してくれるんじゃないかしら？」

「（どう見ても恋人だったんだけど……自覚が無いのかしら？）
とりあえず1着目はこれにするわ」

「じゃあこのページを保存してっと

次はどうする？ 同じ色だと嫌でしょ？

髪の色に合わせて緑の服なんてどうかしら？」

「悪く無いわね、どれが良いかしら？」

『（確かついさっきまで敵同士だったと思うんだけど……

どうしてこんなに仲が良いんだろうか？

でもいいなあ……私もこんな服を着てみたい）』

結局、カミューラの服が決まったのは頃には深夜になっていた
カミューラは棺桶を強引に部屋に持ち込み、その中に入った
私もそろそろ眠いので寝るわ。

おやすみなさい……

どうでもいいけど私、久しぶりに女の子みたいな事をした気がするわ
うう……これも全部借金が悪いのよ、お金が無いとお買い物ができ
ない！

32話【VSカミューラ】（後書き）

悪魔の契約って？

そういう伝説や言い伝え、他にも色々とあります
調べてみてはどうでしょうか？

しかし……カミューラに通用するものでしょうか？
いや、通用すると通しますけど。

瑞貴はいつの間にデッキを入れ替えたの？

デッキにセットする時に違うデッキを入れました
分かりやすく言えば、服の中にデッキを2つ入れている
そして右胸に戦士族、左胸に天使族デッキを入れる
この小さな違いに気付く事は難しいでしょう。

なんという天使ロック……

作者の理想のデッキです

本気でこのデッキを作りたい……でもカードが高い！

The splendid VENUSや大天使クリスティアが高
すぎる！

他にもテュアラインとかも欲しいなあ……堕天使も良い
作者の大好きな種族は天使族です、でも最屑はしません
どの種族でもどんなデッキでも嫌いなカードでも必要なら使います。

The splendid VENUSのフリガナは？

小文字のLで何故かフリガナが止められるので消しました
読み方は自分で調べてください。

瑞貴は何故突然飽きたと？

ミラーフォースを伏せた時、カミューラの雰囲気が変わったので危

険な罠だと気付きました

こういう時、人間観察は役に立ちます
半分ぐらい反則に近いですけど。

このロックを崩せるカードは？

ロックを崩す方法が思いつきません
知っている人は教えてください。

サラにまでゲス扱い……

事実です。

そういえば明日香^{デュエル}って決闘中どうしてたの？

瑞貴の肩にずっと捕まっていました

自力で立つ程の回復をしていないので……だからカミューラやサラ
に恋人扱いされるんです。

十代他は瑞貴帰宅後どうしたの？

落ち込む万丈目を慰めながら帰りました

気絶していたカイザーは起きていたクロノスが連れて帰りました。

瑞貴の好みって……

派手な女、化粧臭い女、ギャル、ケバイ女、色気を振りまいている
女などを嫌っています

本当に普通の女が好みですので……滅多に見当たらないと思います
瑞貴好みの女性ってGXに登場しますかね？

しなくても問題有りませんが。

真祖って？

遊戯王Wikiのヴァンパイアジェネシスの項で調べれば簡単には
知れます

普通に真祖で調べても有りですが。

相変わらず瑞貴の内心が黒い……
じゃなければ瑞貴じゃありません。

瑞貴の内心が……

状況上、明日香を怒ると拙いので怒れません
瑞貴が明日香を無視したり本気で怒ると予想した人、残念ながら外
れです

この回は前話の投稿前には書き終えていました
なので感想の内容で書き変えはしていないのでそこだけは勘違いし
ないでください。

仲いいお前ら！

女の子同士の買い物ってこんな感じじゃないですか？
見た事は有りませんけど……

カミューラは敵だったのに、明日香はどうして平気そうなの？
実際に人形にされている部分を見ていませんし、実害は全く被って
いません

明日香から見たカミューラは瑞貴に苛められた可哀想な人です
変な仲間意識でもできたんだと思われます。

サラ……

彼女も女の子ですから。

33話【隠れ潜む欠片】（前書き）

皆さんお待ちかね、あの人が登場します！
作者も大好きな……って、関係無いですね。

序盤と最後が……これって色んな意味でいいのか？
明日香、お前はそれでいいのか？
更に瑞貴、お前には羞恥心というものが無いのか？
いや、まあ良いんでしょうけど……

今回もまた、恐ろしいまでの難産でした
難しすぎる……自分の思い通りに動いてくれないキャラは困りますね
アニメオリジナルカードがそれなりに登場します
そして今回、（多分）初のドロ―系魔法カードが無し……高い金で
買ったのに明日香は涙目ですね。

次話は……正直難しいですね
今回の話しに時間を掛けすぎました
こんなに濃いキャラを考えた原作者が怖い！

33話【隠れ潜む欠片】

視点 明日香

確かに、まだ体は怠いし、節々と痛いわ
お風呂に入りたいって我が儘を言ったのも私
だけど……だけどね？

「ほら、目を閉じないと目に入るぞ」

「……………わかったわ」

お湯を頭からかけられる
確かに私の我が儘だったけど、本当に叶えてくれるとは……

ここは寮から少し離れた巨大お風呂
既に温泉と言っても差し支えない場所よ
何故私達がここに居るかと言うと、凄く簡単。

私は瑞貴の世話になってる
住んでるのはレッド寮、寮内にお風呂は無いわ
少し離れた場所の湖で水浴びをするか、ここに来るしか無いの。

そして私は……体が痛くてお風呂に入れないまま既に5日
女の子として、とてもじゃないけど我慢できないわ
本当はもっと早く入りたかったんだけど、瑞貴が忙しそうだったか
ら言えなかった。

カミューラの件が終わり、全部片づいたのが昨日

それまでは色々とする事が多くて時間が足りなくて言えなかった
まったく……まさか校長先生と契約していたなんて思わなかったわ。

結局、私と瑞貴の証言から、瑞貴は報酬として〇〇〇〇万を校長先生から受け取った

本当は〇〇万だったんだけど、幻魔の扉ってカードの事を話したら
桁を2つ上げてくれたわ

これを分かってたから、カミューラの服で50万も奮発したのね……

ちなみに、私もダークネス戦の時の報酬を貰った

不公平だと瑞貴が言ったのが原因よ

契約外だけど、ここまで動けなかったんだからせめて慰謝料を払う
ぐらいしろって言ったの

結果、私にも〇〇万も……全部瑞貴への借金返済に充てたわ
これで残り借金の桁が1つ減った、この調子で全額返済を目指すわ！

それはともかく、今何をしているかと言うとね

瑞貴とお風呂に入ってるわ……勿論、水着は着てるわよ？

当然だけど瑞貴も水着、当たり前でしょ？

ここは混浴のお風呂

減多に人が来ず、来るとすれば混んでいて入れない時ぐらい

その原因は狭いせいなのか、それとも単に混浴を好む人が少ないの
かは不明

広さは大体レッド寮の倍ぐらいの広さかしら？

水着を着ても恥ずかしいわ……しかも頭を洗って貰うなんて子供
扱い

お風呂に入れたのは嬉しいけど、何も貴方が一緒じゃなくても……

そう抗議をした事にはしたわ
でもね、あんな事を言われたらどうしようも無いわよ。

「理由1

事を大きくしたくない

それは校長も同意してるし、俺だって荒げるのは拒否したい
例え原因を隠しておいたとして、動くのが辛い事をどう説明する気
だ？

理由2

本来ならカミューラが適任なんだろうが、吸血鬼というのは流水に
弱い

流水じゃない湯船に入るのは大丈夫だろうが、辛い事は辛いはずだ
精神的に苛めるのは好きだけど、肉体的に苛めるのは嫌いだからな
体が辛くなるような事は命令したくない

理由3

本当ならお前の我が儘を聞いてやる必要は無い
だが1人で風呂に入っても体が不自由の状態だから溺れないか危な
っかしい

そんな奴だけを入れて溺れ死ぬなんて事になったら拙すぎる
だから1人で入らせるといいう選択肢は最初から存在しない」

だって言われたわ、理由1だけはどうかかなりそうだったんだけどね
でも実際に面倒事が多いし、また誰かを巻き込むなんて事になった
らと思うとできなかった

だから恥ずかしいのを我慢して瑞貴にお願いしたわ。

まさか本当に叶えてくれるとは思わなかったけどね
だってお風呂なのよ？ 恥ずかしくないの？

私は恥ずかしくて顔から火が出そうよ！

『そんなに恥ずかしいのなら止めればよかったんじゃない？』

『サラ、想像してみなさい』

5日もお風呂に入ってないのよ？

男の人の部屋、自分の体臭が気にならないの！？』

『それは嫌だが……』

『恥ずかしいのを押してでもお風呂に入りたかったのよ！
堪え性の無い女だって馬鹿にしたければ馬鹿にきなさい！
でも……でもお……ううう』

『な、泣くな』

瑞貴が気付いてしまうぞ？』

『もう気付かれても良いわよ……恥ずかしくて死にたい
反省も後悔もしている、だけど我慢できなかったのよ』

『どうした？ 熱かったか？』

「いえ、そうじゃないの

そうじゃないから何も言わないで……」

瑞貴が不思議そうな顔をするけど構わないわ
お願いだからこれ以上恥ずかしい想いをさせないで！

とりあえず洗われ終わったわ

洗って貰ったのは頭だけよ！

他は大変だから軽く洗うだけにしたわ。

ふう……これで少しはマシになった
臭いとかも取れたと思うしね

後2、3日で1人で部屋に戻るぐらいには回復してきてる。

その2、3日を我慢すれば良かったんだけど
やっぱりどうしても我慢できなかったわ

女の子としては、やっぱり清潔にしておきたいのよ
体を軽く拭く程度では満足できないわ。

結果、この状況よ

誰か助けて……自業自得だけど。

『ん?』

『どうかしたの、サラ?』

『いや……しかし……でも……』

サラの様子がおかしい

何かを見つけた、けど行く事を戸惑っているみたい。

『サラ、何を見つけたの?』

『あ……ああ、精霊界への道だ

だけど何か違う……どうも変な道へと繋がっているらしい
精霊界に近い、精霊界じゃない場所という感じだ

あそこは危険……絶対に近づかない方がいい』

でもあそこって……出入り口なんだけど?

出られないわよ？

『大丈夫、不安定になっているだけ
少し待てば勝手に閉じるはず』

近づかなければ良いのよね、うん
私には見えないけど、サラがそう言うのなら信じるわ。

「熱い……もう少し冷めた風呂は無いのか？」

湯船に入ってた瑞貴が愚痴ってる

熱いのはお風呂なんだから当たり前でしょ？

瑞貴は熱いのも駄目みたいね、割と弱点が多くない？

「ちょっと飲み物を買ってくる
お前はココア辺りでいいか？」

「え？ ええ、それで良いわ」

瑞貴は湯船から上がり、出て行こうとする
……って、そっちに行ったら駄目！

『駄目だ！ 今近づいたら！』

瑞貴が出入り口に近づいた瞬間、頭を振り始める
どうかしたの！ 大丈夫！？

「うーん……立ち眩みか？」

寝不足だったのが悪かったか？

しかし……意識を失いそうになるのは……初めてだ」

「瑞貴、瑞貴大丈夫！？」

『駄目明日香！近づかないで！』

サラに止められるけど遅い

痛みの走る体を見出し、瑞貴に近づく

そして近づいた瞬間……一気に意識が遠のいた。

ああ……少し離れた場所から引つ張ればよかったわ……
駄目、落ちる……

.....

•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•
•

•
•
•
•
•
•

目が覚める

ここは……お風呂場じゃない？

辺りは暗闇……漆黒の空間。

瑞貴は？
瑞貴はどこ！？

見当たらない……はぐれたか、それとも別の場所に出たのか
単に見えないだけの可能性も否定できない。

そして私は何故か服を着ている

デュエルディスク
腕には決闘盤、ここはいつたい……

[illegible]

「誰！？」

闇の中から笑い声が聞こえた
声の主は2人、嫌な気分になりそうね。

「おやおや、まさかこんな場所にお客様が来るとはねえ」

「まったくだ、俺達みたいに闇に食われたのかあ？」

「こんな場所？　闇に食われる？
貴方達、何を言ってるの？」

怖い……何故か分からないけど凄く怖い！
元々動きにくい体が震えてくる、この恐怖はいったい何！？

そして声の主の方から何かが投げられる
私の足元に転がったのは……瑞貴！？

慌てて揺すってみたけど、気絶しているだけみたい……よかった
でも、何で瑞貴まで服を着てるのかしら？　彼らが着せたのならシ
ュールね。

「待っててやるからさっさとその男を起こしな
さっさとしないと、俺様達が起こしてやるぜ？」

「とびっきりの暴力でなあ！」

「瑞貴、起きて！　お願いだから早く起きて！」

瑞貴を起こす為に揺する
少し呻き声を上げ、瑞貴は目を覚ました。

「んあ？ 明日香か？」

ここは……漆黒の空間、闇か？」

「ご名答、ここは闇の世界だ

貴様らは不運にも、精霊界と闇の世界が繋がった瞬間にここに来ちゃったのさ

時間的タイミングもバッチリだ」

「精霊界と闇の世界……」

それに、貴方達は誰なの？」

「ほおう？ 俺達の事を知らないと

遊戯は有名なのに、俺達は随分無名らしいな」

「お前らは……なるほど、それでここは闇の世界なのか

白髪の男、あいつはバトルシティトーナメントで1回戦で武藤遊戯デュエリストと戦った決闘者……バクラ

褐色の肌の男、同じくバトルシティトーナメント決勝戦で武藤遊戯デュエリストと戦った決闘者……マリク

俺の記憶が正しければ、こいつらは闇のゲームに敗北し、闇に食われたはずだが……どうも生き残っていたらしいな」

「へえ……随分俺様達に詳しいじゃないか

それに、闇のゲームの内容まで知ってるとはな

お前、何者だ？」

瑞貴は闇のゲームの知識を持っている？

どこからそんな情報を……

「色々と気になる事が多いな

特にバクラ、お前の魂は何年も前に冥界に還ったはずだ
マリクにしたって、宿主が居ないのによく存在を確立できてるな」

魂が冥界？ それに還った？

宿主に存在の確立？

「ケッ、本当に色々詳しい奴だ
どこで知った事やら……」

「ま、俺は別に主人格様が居なくても生きていられるからなあ
俺は痛みと怨みから産まれた人格、憎しみを持つ限り俺は不滅なの
さあ！」

主人格？ 産まれた人格？

という事は彼は多重人格者？

「俺様は魂の欠片さ、闇に食われる前に魂の大半は千年パズルに送
り込んだ

だが、送りきれずに余った魂は闇に食われてたからな
今、この場に居る俺様はその残りカスの魂よ」

「残りカスでもお前らが生き残っている時点でおかしいだろ
よく死ななかったな」

「ふん、俺達を甘く見るなよ？
俺達は闇の存在なんだからなあ」

話を半分も理解できないわ
彼らは何を言ってるの？ 瑞貴は理解できてるのよね？
何で瑞貴は彼らの話が分かるのよ！？

「さて……そこまで俺様達の事を知っている貴様になら分かるよな？
今から何をしようとしているのか」

「わかっている……肉体と魂を賭けた闇のゲームだろう？

俺達の敗北はお前達の復活……それは色々と問題になりそうなので
未然に防がせてもらう

絶対に負けんぞ、盗賊！ 顔芸！」

「盗賊って俺様の事か？」 「なら俺が顔芸か？」

「気にするな盗賊、顔芸」

「「名前で呼べ！！！」」

こんな時でも嫌がらせを止めない瑞貴は有る意味彼らよりも怖いわ
いつでも普段通りな瑞貴を見てみると緊張している自分が馬鹿みた
い。

「あの……やっぱり私も参加するのよね？」

「「何を今更？」」

「ハモらないで！」

瑞貴はバクラと呼ばれる男を見る

バクラは頷き、言葉を発さないで返事をする。

同じくマリクにも同じように見る
マリクもバクラと同じように頷く。

瑞貴と彼らは敵同士よね？

なんでそんなに意思疎通ができるのよ！？

「ルールはタッグマッチだ

お互いのモンスターと場は共有

ライフポイントも共通で8000だ」

「いぞ盗賊！

俺達の見事な負けっぷりを拝ませてやる！」

「負けるのが前提！？」

そこは勝ちっぷりって言いなさいよ！」

「お前ら……緊張感が無いな」

「褒めるな顔芸」

「どう考えても褒められてないわよ！」

緊張感が抜けていく……なんか一気に落ち着いたわ
体の震えもある程度収まったし、これなら大丈夫そうね。

「（ふう……固くなっている奴を使っても邪魔なだけだからな
これで多少は緊張は解れたかな？

世話の焼ける……道化も楽じゃないな）」

「「「^{デュエル}決闘！」「」」

「俺のターン、ドロ……へえ

速攻の吸血蛆を召喚、あの女に攻撃しろお！」

最初から攻撃ですって!?

蛆が私に向かって飛びかかってくる

怖いし気持ち悪い!

思わず目を閉じ、闇のゲーム特有の本当の痛みに耐えようとするけど何も来ない……どうして?

目を開けると瑞貴が目の前に立って蛆の攻撃を左腕で受けていた瑞貴が私を庇った? 何で?

「いっつうう……この女は一応怪我人だ

俺が面倒見てるのに、更に怪我を長引かせられると迷惑だ攻撃するなら俺にしろ

(闇のゲームだから痛みは覚悟していたが……肉体まで傷つくとは思わなかったな

さすがに女の子にこれは酷だろうか? 傷跡が残ったら問題だ

それに、明日香には早く部屋から出てほしいのも事実……邪魔だしこれで更に伸ばされると本当に迷惑だ

我慢するだけで早く出てってくれるなら我慢するさ)」

なんかとてつもない違和感を感じるけど……凄く嬉しい私の事、心配してくれてるのかしら?

「ふん、弱い者同士の庇い合いか

速攻の吸血蛆は最初のターンから攻撃できる

更に手札を1枚捨てる事により、守備表示に変更できる」

速攻攻撃の上、更に表示形式変更効果ですって!?

そんなの反則よ！

「だが手札を捨てるメリットは無いだろう？

そのデッキにはもうラーの翼神竜が入っていない

吸血蛆を使った死者蘇生コンボはできないはずだ」

「チッ、知ってやがったか

まあ構わんさ、俺は効果を発動して手札を1枚捨てる

これで吸血蛆は守備表示に変更された

俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

吸血蛆でのダメージは500

そしてあのモンスターの守備力は1200

大して強くないのに、凄く厄介なモンスターね。

「私のターン、ドロー！

E・HEROプリズマーを召喚し、効果を発動するわ！

私は融合モンスター、E・HEROダーク・ブライトマンを相手に

見せ、E・HEROネクロダークマンを墓地に送る

そしてプリズマーはこのターンのみ、ネクロダークマンとして扱われるわ！

更に融合を発動！ 手札のE・HEROプリズマーと光属性のスパ

ークマンを融合し、E・HERO The シャイニングを召喚！

The シャイニングで吸血蛆に攻撃！」

特に何もされずに攻撃が通った？

あの武藤遊戯が苦戦するほどの相手、何かしらしてくると思ったんだけど……

考え過ぎても疲れるだけ、ある程度用心しておくぐらいにしておくわ。

「カードを1枚伏せ、ターンエンド」

「俺様のターン、ドロー！」

ネクロソルジャー
兵隊人形を守備表示で召喚！

更にカードを1枚伏せ……ターンエンドだ」

ネクロソルジャー
兵隊人形？ 知らないカードね

彼らの話から察するに、彼らが闇に食べられたのは何年も前
そんなに前のカードなんだけど……

「俺のターン、ドロー」

「この瞬間、ネクロソルジャー兵隊人形の効果発動！

相手のスタンバイフェイズ時、ネクロソルジャー兵隊人形が召喚される！

ネクロソルジャー俺様は兵隊人形を守備表示で特殊召喚！

ネクロソルジャーなお、この召喚された兵隊人形はトークン扱いだが、本体と同じ効果を持っている

早く全滅させないと……大変な事になっちまうぜえ？」

なんて厄介なモンスターなの！

このモンスターは早くどうにかしないと……

「……お前らは危険過ぎる

よって甘い事はしない、絶対に叩きのめす
お前らに取って大嫌いなデッキを使ってな

（体から力が抜ける……吸血蛆に本当に血を吸われたか？

目の焦点が合わん……嫌いだけど気合と根気で乗り切るしかないか）

」

彼らに取って大嫌いなデッキ？
どんなデッキが嫌いなのかしら？

「俺様達の嫌いなデッキ？
そんなデッキが有るなら見せてほしいねえ」

「すぐに見せてやるよ

フュージョン・リカバリ

俺は融合回収を発動し、プリズマーと融合を手札に加える
プリズマーを召喚し、効果を発動する

超魔道剣士ーブラック・パラディンを相手に見せ、ブラック・マジ
シヤンを墓地に送る

そしてこのターン、プリズマーはブラック・マジシヤンとして扱う
魔法カード、師弟の絆を発動

ブラック・マジシヤンが場に存在している時、手札かデッキからブ
ラック・マジシヤン・ガールを特殊召喚する

俺はデッキからブラック・マジシヤン・ガールを特殊召喚」

「「ブラック・マジシヤンにブラック・マジシヤン・ガールだと！
？」」

ブラック・マジシヤン・ガールは武藤遊戯のデッキにしか入ってい
ないはず！

なのに何故瑞貴が持っているの！？

「更に高等儀式術を発動する

手札の儀式モンスターと同じLVになるよう、デッキから通常モン
スターを墓地に送る

マグネット・ウォリアー

マグネット・ウォリアー

俺はこの効果によって磁石の戦士Yと磁石の戦士αを墓地に送る
そして現れる、マジシヤン・オブ・ブラックカオス」

1体はプリズマーとはいえ、魔法使いの三銃士を1ターンで揃えるですって!?

まさか、今回の貴方のデッキって……

「貴様……そのデッキはまさか、遊戯のデッキか!」

「コピーの上、自分で使い易く改造したけどな
敗者のお前からすれば気に入らない事この上無いだろ?」

「ケッ」「フン」

かなり機嫌を悪くしている……怒らせていいの?
強敵が相手なのよ? 本当に大丈夫?

「魔法カード、賢者の宝石を発動する
自分の場にブラック・マジシャン・ガールが存在している時、デッ
キか手札からブラック・マジシャンを特殊召喚できる
俺はデッキからブラック・マジシャンを特殊召喚する」

武藤遊戯のデッキにはブラック・マジシャンは1枚だったはず
まあ自分で使い易くしているって言ってたしね。

「そして融合を発動する
ブラック・マジシャンとなっているプリズマーと手札のバスター・
ブレイダーを融合
超魔導剣士―ブラック・パラデインを召喚」

……ちょっと動きがおかしくない?
私がプリズマーを使うと分かったの?
そうじゃなきゃ色々と無理が有るわ。

これは私達の息が合っていると考えるべき？
それとも単なる運と考えるべきかしら？

どっちにしても、瑞貴は相変わらずって事ね。

「ブラック・マジシャン・ガールでネクロソウルジャヤー兵隊人形に攻撃」

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動する！

これにより、その小娘の攻撃は無効、そしてバトルフェイズの終了だ
残念だったなあ？」

吸血蛆で使わなかったのは当然ね
あんなモンスターを守る為に使うカードじゃないもの。

「ターンエンド」

「俺のターン、ドロー！

ネクロソウルジャヤー兵隊人形1体を生け贄に、地獄詩人ヘルポエマーを召喚！
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

ヘルポエマーの効果は戦闘で破壊された時

相手バトルフェイズ終了時に相手の手札を1枚墓地に送らせるカード
厄介な……攻撃できないじゃない！

「私のターン、ドロー！」

ネクロソウルジャヤー「兵隊人形の効果発動！

ネクロソウルジャヤー兵隊人形を特殊召喚する！」

また増えた！

でも、そんなモンスター一掃してやるわ！

フュージョン・リカバリ

「融合回収を発動！ 墓地のプリズマーと融合を手札に加えるわ！

そして融合！ HEROとしてThe シャイニングと手札の水属性バブルマンを融合！

E・HEROアブソルートZEROを召喚するわ！

ネクロソルジャー

そして兵隊人形に攻撃！」

「そう簡単に通すかよ！ 罠カード、聖なるバリアーミラーフォース！

相手の攻撃時、攻撃を無効にして相手の攻撃表示モンスターを全て破壊する！」

「そうはさせないわ！

カウンター罠、パラドックス・フュージョン！

融合モンスターを除外し、魔法、罠、モンスター効果のどれかを無効にして破壊するわ！

アブソルートZEROを除外し、聖なるバリアーミラーフォースを無効にして破壊！

そしてアブソルートZEROの効果を発動！

このカードが場から離れた時、相手の場のモンスターを全て破壊する！」

ネクロソルジャー

「チィ、兵隊人形が全滅したか」「ヘルポエマーもやられたな」

よし、これで相手の場は伏せカードが1枚だけ
総攻撃をすれば勝てる！

ダイレクトアタック

「全モンスターで直接攻撃！」

「ふん、速攻魔法、闇の護封壁を発動する！
このターン、ダイレクトアタック直接攻撃によるダメージを0にする！」

マリクの周りに闇が集う！？

そして魔法使い達の攻撃を弾いたですって！？

これじゃあダメージを与えられない！

「ターンエンドよ！」

強い……私達は少しとはいえダメージを受けているのに、彼らはダメージ無し

本当に私達で彼らに勝てるの？

「俺様のターン、ドロー！」

……くくく、ひやはははははははははは！

このカードでてめえらは終わりだよ！」

な、何を引いたの！？

「俺様は永続魔法、呪いの双子人形ネクロツインズを発動！」

場に不気味な人形が2体現れる

1体は黒い箱を持ち、もう1体は赤い箱を持っている
その名の通り、呪われそうな人形ね。

「相手プレイヤーはこの赤い箱か、黒い箱を選択する
俺様は選ばれなかった方の箱を頂く

選んだ箱によって効果が変わるが……貴様らはどっちを選ぶ？」

赤い箱か黒い箱か……赤の方が縁起が良いわよね？

だったら赤い箱にしようかしら。

「黒だ、俺達は黒い箱を選ぶ
お前に黒い箱を選ばせるわけにはいかない」

「ど、どういう事なの？」

黒い箱ってそんなにヤバイの？
だったら選んだら駄目なんじゃ……

「呪いの双子人形の効果
ネクロツインズ

赤い箱を選んだプレイヤーは墓地にカードが送られる度にライフを
200回復する」

「だったら尚のこと赤い箱を選ぶべきじゃない？」

「黒い箱の効果、それは墓地の消滅

墓地の消滅により、墓地のカードを使用する事はできない
墓地に送る、捨てる、戻す効果は使えないし、墓地に送る事で融合
召喚をする融合も使えない

生け贄、破壊されたカードは墓地には行かない

それらのカードは消滅した墓地のカードと共に浮遊霊として場に漂
う事になる

浮遊霊となったカードは攻撃、守備はできないし生け贄にもできない
融合なども全てできないが、効果の使用はだけ是可以る」

な……何よその意味不明なカード
効果が明らかに逝かれてるわよ！

「って、それだと私達が不利じゃない！

融合が封じられたら私のデッキは終わりよ！
墓地回収のカードも多いし、墓地で発動するカードも有るのよ！」

「盗賊の墓地には兵隊人形ネクロソルジャーが存在する
毎ターン兵隊人形が場に埋め尽くされる事になるんだぞ？

それに比べたら遙かにマシだ
他にも色々と厄介なんだよ……あのカードはな」

本当にどういう事なのよ……

「チッ、効果を知ってやがったか」

「当然だ、俺も使いたかったカードだ
使い道を考えて色んなデッキを組んだんだが……

このカードほど扱いに困るカードもそう多くないな」

「まあな、玄人向けのカードには違い無い
俺様なら使いこなせるんだけどな」

「本当に厄介なカードだ」

そんなに難しい効果のカードなの？
うーん……私にはよくわからないわ。

あ、ネクロダークマンの効果が発動できない！
エッジマンが……まだ手札には無いけど、先に墓地に送っておいた
のに無駄になったわ。

それに……瑞貴は自覚していないみたいだけど
どうも焦っているように見えるわ

私の思っている以上に深刻な問題なのかもしれない。

「仕方無い、俺様はモンスターをセット
更に永続魔法、暗黒の扉を発動し、お互いにモンスター1体でしか
攻撃ができない

カードを1枚伏せてターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー、強欲な壺を発動してデッキから2枚ドロー
……………（嫌な予感がするが……………まあいい）ブラック・マジシャン
で攻撃」

ブラック・マジシャンが破壊したモンスターは……………メタモルポット
！？

お互いの手札を全て捨て、その後デッキから5枚ドローする効果を
持つ

でも私達は手札を捨てられない……………この場合はどうなるの？

「この場合は捨てる必要が無く、5枚ドローするんだろ？
捨てる処理とドロー処理は別だからな」

「ああ、俺達は捨てる必要が有るがな
マリクは手札を2枚捨てた事により、ライフを合計400回復
メタモルポットも墓地に送られたのでライフが更に200回復する」

私の手札は元々1枚だったから5枚ドローして6枚

瑞貴は手札が元々2枚だったので7枚になった

手札は増えたけど……………これからどうすればいいのかしら？

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、死者蘇生を発動

俺は兵隊人形ネクロソルジャーを蘇生させ、守備表示で召喚するぜ！

更にボーガニアンを守備表示で召喚

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

死者蘇生が墓地へ送られ、赤い箱の効果でライフが200回復した
これで彼らのライフは8800となった、拙いわね……

「私のターン、ドロー！」

「この瞬間、兵隊人形ネクロソルジャーが特殊召喚されるぜ！

出でよ、兵隊人形！」

1回しか攻撃できないのに更に更に邪魔しないでほしいわ！
本当に困った人達ね！

しかも大嵐もサイクロンも引けない

これじゃあ呪いの双子人形ネクロスインズを破壊できないわ！

「ブラック・マジシャンで兵隊人形ネクロソルジャーに攻撃し、破壊！

カードを1枚伏せ、エンドフェイズ時

パラドックス・フュージョンの効果で除外されていたアブソルート

ZEROが場に戻ってくるわ！

これでターンエンドよ！」

兵隊人形ネクロソルジャーが墓地に送られ、また200回復

これで残りライフが9000、合計で1000回復されたか……

「なら、俺はその戻ってきた奴に拷問車輪を発動！

自分のスタンバイフェイズ時に相手に500のダメージを与える!」

アブソルートZEROが拷問車輪に捕らわれた!

効果の存在から破壊する気が無いわね……

ジワジワと嬲り殺しにする気ね!

「俺様のターン、ドロー!

この瞬間、ボーガニアンと拷問車輪の効果が発動される

まず、拷問車輪の効果で500のダメージを与える

そしてボーガニアンよ、あの女に地獄送りのボーガンだ!」

また私を!?

矢に当たる事を覚悟して腕を交差して防御する

けどまた来ない……まさか!

「お前……これを直接体に受けたら死ぬぞ

ぐううう……殺す気かよ……顔芸の拷問デッキを甘く見たか」

拷問デッキ!? って、そんな場合じゃない!

瑞貴は吸血蛆に噛まれた場所で矢を受けていた

矢は手のひらを貫通し、瑞貴の手には穴が……

あんなの、痛いでは済まないわよ!

血が……そして瑞貴の左手が血で真っ赤に……

「くそ……左手の感覚が無い

神経が麻痺してるのか痛みも殆ど感じないな……これが唯一の救いか

これは完治するまでかなり掛かるな

(嘘だけどな……本当は痛みで倒れたいぐらいだ

だが、今倒れたらこのまま死ぬだけ……

俺だけならともかく、明日香まで居るなら死なすのは拙い

俺が死んでもイレギュラーが消えるだけ、特に問題は無い
だが、メインキャラが死んだら修正不可能な大問題だ！
これだから原作知識は邪魔なんだよ、無ければさっさと負けてもよ
かったのに！」

「そ、そんな事を言っている場合じゃないでしょ！
放置したら危険よ！ 早く病院に……」

「馬鹿言うな！ この状況で病院なんて悠長な事が言えるか！
今は生きるか死ぬかの戦いの最中だ……この程度でグダグダ言うな！
死なないんだったらこんな怪我、どうにでもなるわ！

（嘘だけどな、この怪我は治らんだろう
矢が貫通して穴が空き、先が見通せる

傷が塞がっても神経は完治しない……最悪、一生動かない邪魔な左
手になるな
いっそ切り落として移植手術にでも役立ててもらおうか？
一応、金にはなるし）」

「勇ましいねえ

俺様はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「俺のターン……ドロー！」

瑞貴は激痛に耐えるように顔を歪めながらもドローする
本当に神経が麻痺してるの？
もしかしたら全く痛みは薄れてないんじゃないや……

「兵隊人形が召喚される
ネクロソルジャー

どうする？ このままだと増え続けるぜ？」

そうだった！ 瑞貴も心配だけど、この状況も拙い！
早く暗黒の扉を破壊しないと……ドローしたカードの中に除去カードは入ってた？

「魔法カード、ブラック・マジック黒・魔・導を発動する
相手の魔法、罠を全て破壊する」

やった！ これで相手の全てのカードを破壊できるわ！
一斉攻撃もできるし、私達で勝てるかもしれない！

「そう簡単にやらせるかよ、速攻魔法発動！ 魔法効果の矢！
魔法カードを相手プレイヤーへと発動させ直す！
ネクロツインズ呪いの双子人形をてめえらの場で発動させ直すぜ！」

魔法効果の矢の効果が違う！？
以前、瑞貴がジュンコとももと戦った時
その効果は相手の魔法を全て破壊し、その枚数×500のダメージ
だったはず
どうなってるの！？

「なら俺は速攻魔法、非常食を発動する
伏せカード1枚と拷問車輪、魔法効果の矢を墓地に送り、ライフを
3000回復だ」

「そして呪いネクロツインズの双子人形の効果が発動される
俺様は黒い箱を選ばず、てめえらは赤い箱だ」

なんてコンボなの……コンビネーションも完璧、テクニックも恐ろ
しい
カードの扱いだって上手いし……何よりも彼らは凄く強い！

呪いの双子人形ネクロツインズの赤い箱の効果は適用中だった
だから墓地には4枚送られており、私がさっき兵隊人形ネクロソルジャーを破壊した
これでライフは1000回復しており、相手のライフは……130
00!?

「ふむ……そう来たか
これで俺は勝てる、助かったよ」

「なにい?」「勝てるだど?」

瑞貴、それはどういう……

「マジック・ジャマーや魔宮の賄賂みたいなカードに止められるか
と思ったが、杞憂だったらしい
魔法カード、魔法再生を発動し、高等儀式術を手札に加える
次に罠カード、強制脱出装置を発動

この効果によりアブソルートZEROを手札……この場合は融合デ
ッキに戻し、効果を発動して相手のモンスターを全滅させる

続いて速攻魔法、非常食を発動ネクロツインズ
魔法再生、強制脱出装置、呪いの双子人形ネクロツインズを墓地に送り、ライフを
3000回復する」

「な、呪いの双子人形ネクロツインズが!
しかも兵隊人形ネクロソルジャーやボーガニアンまでも……」

「手札から高等儀式術を発動し、デッキから磁石の戦士βと幻獣王
ガゼルを墓地に送る
そしてカオス・ソルジャーを儀式召喚
更に手札から融合を発動、手札の沼地の魔神王とカオス・ソルジャ

1を融合
マスター・オブ・ドラゴンナイト
究極竜騎士を融合召喚！」

「ちょっと待て！ 何でてめえがそんなカードを持ってやがるんだ！
そいつは海馬と遊戯しか召喚できないモンスターのはずだ！」

確かに、融合素材はカオス・ソルジャーと青眼の究極竜
フルーアイズ・アルティメット・ドラゴン
本来なら絶対に持っていないカードのはずよ！

「武藤遊戯の再現デッキって言ったろ？

これぐらい持ってて当然だ

お前のメタモルポットが俺をここまでできるようにしたんだ
感謝してるぜ？ おかげで勝てるんだからな！」

そう、彼らの場には1枚のカードも無い
全モンスターで攻撃すれば私達の勝ちよ！

マスター・オブ・ドラゴンナイト
究極竜騎士 攻撃力5000

ブラック・マジシャン 攻撃力2500

ブラック・マジシャン・ガール 攻撃力2000

マジシャン・オブ・ブラックカオス 攻撃力2800

超魔導剣士—ブラック・パラディン 攻撃力2900+500=3400

ブラック・パラディンは場のドラゴン族、
マスター・オブ・ドラゴンナイト
究極竜騎士が存在するの
で攻撃力が上がっている

総攻撃力は15700、なんとか彼らのライフを越えたわ！

「行くぞ盗賊！ 先ずはブラック・マジシャン・ガールの攻撃！
ブラック・
バーニング
黒・魔・導・爆・裂・破！」

「ぐううう！」

俺様はバクラだ！」

「次、顔芸！ ブラック・マジシャンで攻撃！
ブラック・マジック
黒・魔・導！」

「があああああ！」

ぐううう……俺はマリクだ！」

どっちも一々訂正するのね、なんだか凄くシニールだわ
やっぱり名前って大切よね。

「もう1度盗賊に攻撃！ マジシャン・オブ・ブラックカオス！
滅びの呪文ーデス・アルテマ！」

「俺様はバクラだ！」

って、うああおおおおお！」

「また来たぞ顔芸！ 超魔導剣士ーブラック・パライディンで攻撃！
超 魔 導 無 影 斬！」

「俺はマリクだって言ってるだろうが！」

ぐああああああああ

「いや、もう諦めて訂正するの止めたらどうなの？
なんというか、緊張感が無くなるわよ？」

「「黙れ！」」

睨まれてもあんまり怖くないわ
やっぱり雰囲気って大事よね。

「……もういいか？」

マスター・オブ・ドラゴンナイト

究極竜騎士で盗賊と顔芸に攻撃！

ギョラクシー・クラッシャー！」

「ぐおあああああ！！！」

彼らは消し飛び、消え去った

どうなったのかしら？

それに私達は帰れるの？

もし帰れないのなら……そう思うと怖い

ここには瑞貴だけ、1人だけじゃないからまだマシだけど……
でも帰れないなんて嫌！

「勝ちか……目眩が酷いな……」

「瑞貴、大丈夫？」

「一応な……あまり血が回らないようにテンションでできるだけ低く
してたんだが

あいつらに勝てると思って最後にテンションを上げてしまったのは
失敗だった

蛆に吸われた血、それに矢で貫通した手からの出血のせいで貧血だな
体が揺れる……悪いが俺は落ちる……後は頼んだ……」

瑞貴はそのまま倒れる

ダイレクトアタック

そんな……受けたのは直接攻撃が1回と効果を1度だけなのに

もしかしたら、闇のゲームの危険度はこっちの方が遙かに上だったとかかしら？

って、そんな暢気な事を言っている場合じゃない！
早くここから抜け出さないと！

瑞貴を背負う……軽い！？　ちょ、絶対平均体重よりも軽いわよ！
色んな意味で本当に大丈夫なの！？

当てもなくも無く歩き続ける

ここがどこかも分からないし、どうしようも無い
更に私の体も動きにくい、体が重い……

『明日香、何してるの？』

『何してるって……出口を探してるのよ！』

『そんな事をしなくても……本気で願えば最初から出られる

ここは段々と闇の世界から遠のいていて、精霊界に近づいているし』

『どういう意味？』

『元々、闇の世界と精霊界が擦れ違う少しの時間に引っかかったの
闇の世界と精霊界は少しずつ離れていったる

何もしなくても勝手に精霊界に押し出される

そして精霊界からは帰りたいという強い想いで元の世界に戻る事が
できる

ここは闇が深いだけで、精霊界の方が近い場所
だから願えば帰れるわ』

『……………それを先に言いなさいよ！』

今までの苦勞は何だったのよ！？

この疲れとか、明らかに損じゃない！

『す、すまない……私を呼ばなかったから自力で何とかしようとしてるのかと……』

どの道、このまま歩いていても精霊界には出られたしな』

『とりあえず、強く願えばいいのね？』

『ああ、それで出られる』

願う、帰りたいと

私は帰りたい……早く闇から抜け出し、瑞貴を助きたい
ここから……出して！

………

………

……

浮遊感を感じ、目を開けてみると……

えっと、ここはお風呂よね？

帰ってこれたか……よかった

っ！ 瑞貴は！？

少し探して見れば横で倒れていた
とりあえず無事みたいね。

瑞貴を揺すり、起こす

暫く起きなかったが、数分頑張って起こし続けていたら目を覚ましたよかった……大丈夫みたいね。

「……夢か？」

俺は確か……そう、盗賊と顔芸と決闘デュエルを……」

どうしよう……肯定した方がいいかしら？

それとも夢だった事にしておいた方がいい？

『サラはどう思う？』

瑞貴に夢と伝えるか、現実と伝えるか』

『私としては夢だと思わせた方が良いと思う』

変な部分で鋭いからな、私の事に気付くかもしれない』

それは拙い！

もし瑞貴にそれを知れたら……想像したくないわ！

「盗賊や顔芸って何？」

貴方はのぼせて倒れたのよ？」

「……そういえば立ち眩みがしたんだったな

悪い、迷惑を掛けた」

「気にしないで」

瑞貴は自覚していないけど、体が弱っているみたい
寝不足とのぼせたという事で多分かたづけれると思うわ
少しは気が楽になれば良いと思うけど……

「ん……どうも体が重いし頭が働かない
貧血かな？ 悪いが風呂はここまでだ
俺はこのまま入ってられる自信が無い」

「構わないわ、早く出ましょう」

少し蹣跚めく瑞貴をなんとか支えて風呂場から出る
更衣室で分かれたけど……大丈夫かしら？

着替え終わり、更衣室から出ると瑞貴がベンチに座っていた
思った以上に参ってるみたいね。

「大丈夫？」

「一応……しかしどうも気になる事が有る」

どうかしたのかしら？

「着替える時に気付いたんだが……腕に何かに噛まれたような跡が
残ってたんだ

それに、左の手のひらには穴が空いたような傷跡が……

血を吸われたような、そして穴が空いたそんな感じがしてな

あれは本当に夢だったのか？

（それに……どうも左手の神経が鈍い気がする

元々不器用な方だが、思考と動きはここまでタイムラグが有るもの
か？

それに、手のひらの中心が疼く……古傷のような感じだ
とてもじゃないが夢だったとは思えない……俺は闇のゲームをした
のか？

しかし明日香は平気そうだし、知らないと言っていた

覚えていないだけなのか、それとも単なる夢だったのか……
くそ、何か情報が欲しい！」

速攻の吸血蛆の攻撃とボーガニアンの矢！？

攻撃力500程度の攻撃と効果ダメージ600でここまで後に残るなんて

あの闇のゲームは、私が体験した全ての闇のゲームを越える危なさだったのね

もし他のモンスターに攻撃されていたらと思うと……

そして、また瑞貴が私を庇っていたら更に大怪我をしていた。

でも、あの決闘……私はあまり手伝えていない

瑞貴は殆ど自分だけで戦った、私はアブソルートZEROで2回ほど場を一掃

そしてプリズマーを献上しただけ……

悔しい……もっと強くなりたい！

瑞貴と互角に戦えるぐらい、もっと強く！

そして……彼らを私1人で勝てるぐらいに強くなってみせる！

その後、瑞貴と一緒に部屋に帰る

カムミューラが瑞貴の腕の後を見たら蛭か何かに吸血された可能性が高いと判断

手のひらについては分からないって

瑞貴は心当たりが無いので疑問に思い、私に尋ねる
だけど私は知らないと思え、事実を隠した。

瑞貴もカムミューラも混乱している
でも話すのは拙い……

サラの事を知られる可能性もだけど
あの精神的に辛い戦いを思い出す必要は無いわ
知らない方が良いに決まってる！

瑞貴はまた金庫を背に寝ようとしたが、私が止めた
体が辛いのならベッドで寝た方が良く
だけどベッドは私と兄さんで使っている……

「そうだ、なら私と一緒に寝ましょう
少し狭いけど、2人なら寝れるでしょ？」

「馬鹿か貴様は……女ならそんな事を言うな
何が起こつても知らんぞ」

「（いい加減くつつきなさいよ
毎日あんたらのいちゃつきを見ている身にもなってほしいわ
……まだ3日目だけだ）」

「そんな事を言うって事は何もする気は無いんでしょ？
私は構わないから……体が辛いんでしょ？
だったらちゃんとベッドで寝ましょう？」

「しかしだな……」

もう、強情ね

強引に瑞貴をベッドに引きずり込む
瑞貴は慌てるけど、弱っている体では私に勝てない
私も弱っているけど、今の瑞貴ほどじゃないわ。

「おい、明日香……」

「弱ってるみたいだし、抵抗しない
私も眠いから寝るわ……おやすみ」

「……………（俺は明日香を殴っていいよな？）

そして体を掴んだまま寝るな！ 動けんだろうが！
くそっ！ 何故こんな時に体が弱ってるんだ！

元々力が無いのに、更に弱って抵抗もできん！」

思ったよりも瑞貴は抵抗しない

腕を掴んだまま寝る……何か落ち着くわ

人肌の温もりを感じながら寝るのって凄く落ち着くのね
レイちゃんの時はあんまり考えなかったけど……

「（お願い……誰か助けて

このバカップルを見ていると胸焼けを起こしそうだわ
起きてからそんなに時間は経ってないけど、私も寝ようかしら？）」

『（明日香、お願いだから正氣に戻って

きつと決闘デュエルの時に感じていた恐怖で感覚が麻痺してる
まあ……朝になれば正氣に戻るでしょ

その時に慌て出すと思うし、後でからかおう）』

疲れてたし、アッサリと眠りに落ちる

翌朝、悲鳴を上げて起きたのは言うまでも無いわ。

うう……私ったら何をしてたのかしら？

悲鳴で起こされた瑞貴に拳骨をされた、そんな朝だったわ。

33話【隠れ潜む欠片】（後書き）

お前ら、いい加減にくっつけよ！

そう思いますが、お互いにどれだけ凄い事をしているか自覚がありません

いや、自覚を持てよ！

報酬の桁がやばい！

慰謝料とかも考えたらこれぐらいは余裕でしょう

瑞貴戦では使われていませんが、命を失うかもしれない戦いだったのです

もう1桁上げる事もできたかもしれません。

明日香の借金が……やっと桁が1つ減ったんだね

どうせ無くなったらまた、調子に乗って墓守を買い漁るでしょう

明日香の借金地獄はどこまで続くのやら……

精霊界との道が不安定になっている原因は何？

さあ？　そこまで考えていません

可能性としては幻魔の復活が一部の切欠かもしれませんね。

何故バクラとマリク！？

今回は2パターン考えていました

1つは原作通り、カイバーマン

もう1つは今回、闇バクラ&闇マリクです。

何故カイバーマンじゃないの？

別に明日香は十代みたく、落ち込んでいません

というか、瑞貴にからかわれる毎日なので落ち込む事は無いでしょう

十代を励ます役として登場したカイバーマンではどうする事もできません

正直、何をすればいいのかも分からないという事になったので却下しました。

では、何故その2人を？

闇といえば都合の良い感じに見つかりました、予想できるものなら予想してみろ！

元々はバクラだけだったのですが、気付けばマリクも……

作者はバクラは好きですがマリクは苦手なんですよね……なのに何故出したんでしょうか？

今回の闇のゲーム、瑞貴と明日香が負けていた場合は？

肉体から魂を抜き取られ、体を奪われていました

乃亜編のBIG5みたいな感じでしょうか？

しかし……明日香の肉体にはどちらが入るつもりだったのでしょうか？

肉体まで傷つくってどうなってるの？

プレイヤーへの攻撃は体も傷つきます

モンスターとの戦闘ダメージは余波だけです……

今回の闇のゲームはダークネス戦、コミュニケーション戦よりも更に命の危険性が有ります

更に体への負担はダークネス戦以上です、肉体が物理的に傷ついているので。

最近、明日香はE・HERO率が高いね

使い易いんです……それに、王様のデッキとE・HEROデッキで組むのを見たかったのもあります

結果、想像以上の難易度とややこしさを残す事となりました。

何故に遊戯デッキ!?

以前のフラグ回収ですね

有名所のデッキはコピーしたという

今回はそれを使用しました、改造済みですがね。

どうして瑞貴はそこまで明日香を庇うの?

思考上には書かれていませんが、瑞貴の中で明日香の存在はそれなりに大きいのです

恋愛感情は置いておき、好意は有るので思わずといった感じに近いですね

恋愛感情? それは教えられません。

瑞貴の思考に負けても良かったってあるんだけど!?

獺良とバクラの関係に近くなると思っています

基本は自分、だがバクラが好きな時に出れる

特に大した問題でも無いと思っています

まあ……本当は負けたら魂を抜かれて捨てられるんですがね。

バクラとマリクってその後、どうなったの?

闇に帰りました

また誰かが闇に來た時……現れるでしょう。

瑞貴って軽いの?

元々の体重が軽く、現在は血が抜けています
致死量では無いのが唯一の救いです。

瑞貴……相当参ってるみたいだね

瑞貴がまともに闇のゲームをしたのは今回が初めてですので
カムイラ戦は幻魔の扉を封じていましたし、ロックもしてダメー

ジを受けていません

そして曖昧な記憶が更に不安をかき立てるので仕方無いでしょう。

砂糖を吐きたい……

作者の頭には何か謎の思考が存在しているようです

これを書いている時、何かテンションでも上がっていたのでしょうか？

原作、アニメオリジナルカード

速効の吸血蛆

最初のターンに攻撃が可能

手札を1枚捨てる事で、このカードを守備表示に変更できる

OCG化しても現環境上で使用できるカードでしょう

墓地にカードを送れますし、攻撃力が500なのでデブリ・ドラゴンで回収可能

手札を捨てる効果も、現状ではコストになりそうに無いので。

ネクロソルジャー
兵隊人形

相手のスタンバイフェイズ時、同じ攻撃力、守備力、効果を持つ兵隊人形トークンを自分の場に1体特殊召喚する

OCG化した際の説明文にするとこんな感じだと思います

表遊戯VSバクラ戦は殆ど記憶に無いのですが……多分これで合っているはず！

師弟の絆

場にブラック・マジシャンが存在している時、手札、またはデッキからブラック・マジシャン・ガールを特殊召喚する

劇場版オリジナルカード……らしいですね

作者は見えていません、見たかったのですが……情報を知った時には終わってました
お前は馬鹿だろ！ はい、作者は馬鹿です……アニメを見ていないのが原因ですね。

闇の護封壁

ダイレクトアタック

このターンの直接攻撃によるダメージを0にする
原作の城之内戦の時に使用したカードですね
魔法カードだったので速攻魔法に修正
説明分はこれでいいと思います。

呪いの双子人形

ネクロツインズ

相手プレイヤーは赤い箱か黒い箱を選択する
自分は相手プレイヤーが選択しなかった箱を選択する
赤い箱・墓地にカードが送られる度、1枚につきライフを200回復する

黒い箱・墓地は消滅し、墓地に送られるカードを使用する事はできない
墓地に存在するカードは場に置かれ、そのカードは攻撃、守備、生

け贅にできない

モンスターの効果を発動させる事は可能

これらのカードは場の枚数を数える効果で数えられる

黒い箱の効果が意味不明、でも使いたかったので使いました

最後の一文ですが、これは例えば相手の場のカードを2枚除外する効果のカードを使用します

この場に出ているカードも対象に選択する事ができます

例えば、相手の場のカードの数だけ攻撃が可能のモンスターが存在するとします

そのモンスターはこの場に出ているカードの枚数も含めて攻撃ができます

最高攻撃数が5回ではなく、相手の場に出ている全てのカードの枚数になるので

攻撃回数が20回や30回になる可能性を秘めています
長々と長文、失礼いたしました。

魔法効果の矢

自分の場の魔法カードを相手の場に移す

原作漫画、遊戯VSペガサス戦の時に遊戯が発動しました

OCG効果も使ったのに何故これなのかですか？

いや……他に回避と再発動のカードが思いつきませんでした。

34話【虎と海】（前書き）

前回書き忘れたのですが、前話のタッグマッチ

執筆中に決闘内容デュエルを5回は書き直しています

凄まじい難易度でした……もうあの2人は書きたくありません。

大方の人が予想したと思いますが……多分大正解です

色々とすっ飛ばしていきます、どうでも良い内容ばかりだったので。

皆さん、お金持ちってどう思います？

作者はよく分からないと思っています

とりあえず色々と高級な物にして何が嬉しいのか理解できません

キラキラと光る物は苦手です……眩しいので。

今回は大半がお金の話です

明日香が可哀想に思えてくるので明日香にチップを恵んであげてください。

34話【虎と海】

視点 瑞貴

カミューラ戦から数日、明日香はほぼ全快して部屋に戻った
まったく……世話の焼ける奴だ
ちなみに吹雪はまだこの部屋で預かっている
邪魔だから引き取ってくれないかな？

俺も風呂の時から怠さは2、3日で回復した
本当に何だったんだか……結局、左手の違和感が残ったまま
傷跡も残ってるし、俺がどうなったのか誰か教えてくれないかねえ？

カミューラは隣の部屋を、その部屋の奴から買って突っ込んでおいた
思ったよりも棺桶もカミューラ自身の存在も邪魔だ
とりあえずこれで俺の部屋の邪魔者は吹雪だけ
いつになったら出て行くんだろうか？

吹雪は何度か目を覚まし、すぐに意識を落とすを繰り返している
目を覚ましている間に食事とかをどうにかするが……どうも意識が
ハッキリとしないな

尚のこと邪魔でしかない……はあ。

そういえば噂で聞いたのだが……電池グループがこの学園を買収する
という話し

買収されても全く問題は無いのだが、電池グループなんて半端者に
支配されるのは気に入らない
買収されたら俺が買収しなおしてやろうか……それもまた一興か。

可能性として考えておくか

なら実現の為、カードを売る……大盤振る舞いだ！

……翌日、カードは売れたのだが思った以上に高く売れた

絶版のカードを多く売ってみたのだが、マニアが買うわ買うわ

とあるマニアは運命の蠟燭を20万で買っている

とあるマニアはコピックスを12万で買っている

とあるマニアはプチテンシを25万で買っている

しかし、こんな奴らは可愛いもの。

とあるマニアは社長マニアなのか、社長が実際に使っていたサイクロプスを80万という馬鹿みたいな大金で買ってくれた
何処の金持ちだよ……そう3時間ぐらい問い詰めたい。

社長のカードでここまで高いのだったら王様は？

そんな疑問から、王様が実際に使用したカードを売ってみたのだが、
シルバーフォングを120万

カース・オブ・ドラゴンを500万、ホーリーエルフに関しては1000万という馬鹿みたいな金額になった

ルイズは140万、岩石の巨兵は350万、砦を守る翼竜は230万、グレムリンは190万、インプは100万

他にも色々と王様が昔使用した事の有るカードを売りまくった。

結果を言っておこう……王様のカードだけで総額、約1億ほどにまで膨れ上がった

やはり入手困難なマジシャン・オブ・ブラックカオスが強かったか
……5000万だしな

でも儀式魔法は売ってない、使い道は高等儀式術か奈落との契約が無ければ使えないカード

暫くしたら売ってやるか、きっとこの馬鹿は同じく数千万ぐらい出しそうだしな。

更に、絶版だけでなく限定カードも多数売り出した

その中で特に高かったのはモイスチャー星人……超限定のLV9の天使族だ

ギルフォード・ザ・ライトニングみたく、モンスター3体を生け贄にして効果を発動

ぶっちゃけハーピーの羽箒だが、自分の場には攻撃力2800が残る難しい事には難しいが、実際に敵にするとかなり強く感じるから厄介なモンスターだ。

そしてこのモイスチャー星人、謎に何故か凄まじい値段で売れ、1枚で6000万

確かに、マジシャン・オブ・ブラックカオスと比べたら更に入手困難なカードだ

それでもこれはおかしくないか？　ギルフォード・ザ・ライトニングに似てる効果だからか？

まあ凡骨もそれなりに有名だし、そこから関連性と限定という点を考えればまだ納得……できん！

俺としては、それでも2500万ぐらいが精一杯だと思うんだが！？それを6000万……金持ちの考える事はマジで意味不明だ。

とりあえず、これで総額億の桁稼げたな

最高目的は京桁、兆の1つ上の呼び方だ

……って、これは難しいか

ここは素直に兆の桁で我慢しよう。

現在、俺の貯金を全額使えばデュエル・アカデミアの買収ぐらいは可能……か？

どれぐらいするのだろうか？ うーん……もう2桁ぐらい無いと厳しいかな？

頑張って売っていくか。

そのまま学園買収の話しを完全に忘れ、思い出した時には終わっていた

前の時も、そしてドラゴンの秘宝の時も思ったんだが、電池グループは何がしたかったんだろうか？

まあ、半端者グループなんてどうでもいいか。

そういえば校長と契約してなかったな

鍵の件は1回だけの契約だし、また契約し直さないで。

………

………

………

契約過程は省略

依頼料は無しだが、報酬は俺が勝った相手の身柄と現金にしたこれで手駒が増える、色々考えると楽しいなあ。

そのまま数日が過ぎた

とある日の授業、生徒が凄まじく少ない……何か有ったのか？

どうも全員が無断欠席らしい

何が起こったんだ？

そして入って来た女性が鞆を持ってきた

どうも誰かの鞆らしいが……また巻き込まれるかな？

逃げてもいいよな？ よし、逃げよう。

そう思っていた時期が、俺にもありました
逃げようとしたんだが、電池と地底に捕まり、似非に引き摺られて
付き合わされた

明日香！ 見てないで助けろ！

結局、引き摺られるのが嫌になったので自力で歩く事にした
逃げたいんだが、前後を電池と地底に挟まれている
横には明日香が居り、俺の服を掴んで逃がさないようにしている
鬱陶しいから放せ！

森を抜けると……闘技場？ いや、コロシウムか？
どっちも大した違いは無いがな。

入ってみると、多くの生徒が肉体労働を強いられていた
よかった……俺は呼ばれなくて
呼ばれていたなら即死していた自信が有るぞ。

って、クロノス教諭？ あんたまで来てたのかよ！
授業は……って、俺の教室での授業では今日はクロノス教諭の授業
は無かったな
だからクロノス教諭の不在に気付かなかったのか。

辺りを見回してみると、どこも生徒ばかり……一部が違うが
ふーむ、どうも変わったモノは無さそうだな、虎以外………虎？
何故虎？

虎なんて珍しいな、恐怖とかよりも珍しさと好奇心が勝っていてあ
まり怖くない
さ、触りたいな……無理かな？ でも……やはり試す！

近づいて触ろうとした時、似非が驚きの声を上げ、逃げ出した
そして追いかけられた似非達は柱にしがみついて虎の届かない場所
に上がっている

なお、明日香は俺の後ろに居たので追いかけられる側には加わって
いない。

そしてクロノス教諭の言う事には、この虎にここまで追い込まれた
らしい

なんでみんな触ろうと思わないんだ？ 虎なんて珍しいのに
こんな機会、滅多に無いかもしれないんだぞ？

ふと、笑い声が聞こえた

そちらを見ると、褐色の肌をした屈強の女性が立っていた

うーん……野生児は好きじゃないねえ

気も強そうだし、俺とは合わないだろう。

なんだかんだで女性は協力させた生徒達に礼を渡しているが……

強引に来させたのにそれはちょっと馬鹿みたいに映るぞ？

というか、こんな巨大なコロシウムをこれだけの人数で作るのは無
理が有るわ！

どんな事をさせれば、こんなに早く作れるんだよ！ 意味が分から
ん！

そしてクロノス教諭！ お前もいい大人なんだから褒美を強請るな！
しかも最終的に虎に怯えて逃げ出すとは……馬鹿馬鹿しいなあ。

「こらー！ 何者だお前！」

「私はタニヤ、偉大なるアマゾネス一族の末裔にして長

そしてセブンスターズの1人」

アマゾネスと言えば……女性だけで構成されている部族だったな
また面倒なのが来たな……とりあえず気が合わないとか、そういう
意味でもこいつは要らん

きっと邪魔だし、暑苦しいし、鬱陶しいし、面倒そうだし、生理的
に受け付けられない

こいつはパス、俺は戦わん。

「このコロシアムで七星門の鍵を賭けた聖なる戦いを行う
でもねー、私と戦う事ができるのは、男の中の男だけ

我こそは男という者……出てこーい！」

なんという濃い奴……マジで無理、俺はこいつと関わり合いになり
たくない

ちなみに明日香は不機嫌そうな顔をしていた
戦う条件が気に入らなかったのか？

「俺が！」「いや、俺だろう」「いや、俺だ！」

お前ら……よくもまああんな濃そうな奴に付き合う気になれるな
精々頑張ってくれよ。

「瑞貴は立候補しないの？」

「興味無いね

というか、何を不機嫌になってるんだ？」

「知らない」

そっぽを向く明日香、よく分らん奴だ

1人の女を3人の男が取り合う図……なるほど、これは呆れるな。

結果的にタニヤが選んだのは地底
さて、俺は帰るかなつと。

「あら瑞貴、どこに行くの？」

「帰る、暑苦しい奴は嫌いだ
原因も分かったし、もう俺の出番は無いだろう」

「それもそうね
じゃあまた明日ね」

「ああ、じゃあな
……つと、その前に
おいタニヤ……だっけ？」

「んう？ 何か用かな？」

この返事だけでも暑苦しい……
やっぱり止めたくなるが、こんな機会は滅多に無いので我慢する。

「虎に触りたい、おとなしくさせられるか？」

「は？ いや、まあ可能だが……珍しい奴だな」

「うっさい、虎の存在の方が珍しい
数少ない機会なんだ、勿体ないだろ？」

普通は動物園に行っても不可能だ
そう考えるとこれは凄い機会のはずだ。

タニヤは少し考える仕草をし、虎に指示を出した
虎は俺に近づき、体を屈めた
これは触ってもいいという合図だろうか？

恐る恐る触ってみる

虎は特に反応もしないでされるがまま
これは……思った以上に楽しい！

もう遠慮はしないとばかりに抱きついてみる
これはなかなか……それに体温も高いな
虎か……扱いは大変そうだが、これはこれで良い。

「じゃあ堪能させてもらったし、帰る」

「……ああ

（なんだったんだ……あの男は？）」

視点 明日香

三沢君がタニヤに負け、翌日十代がタニヤを倒した
それにしても暑苦しい戦いだったわ……瑞貴が逃げるのも納得ね
見ている方も疲れたわ。

それはそうと、近くに潜水艦が来ているという話を聞いた

あまりにも目立つのでセブンスターズの1人じゃないと思うけど万が一という可能性も否定できない。

頑張って瑞貴を連れだし、潜水艦の前まで来た
そこには濃いおじさんが……何、あの男？

そしてマイクで何やら言っているけど……声が大きい！
しかもそのせいかマイクのキーーーーーーンって音で悪寒が走るわ！

名前はアナシス、海を駆け巡る大商人……らしいけど
見た目はただの成金親父ね。

「おいアナシス！
てめえ何しに来やがった！」

瑞貴がアナシスに話しかける
知り合いなの？ あんまり接点がないんだけど。

『ああん？ なんだお前は？』

「オークションでお前にカードを売ってやってる奴だよ！
覚えてるぞ！ お前はアトランティスならともかく、海のカードを
1000万で買った馬鹿だ！」

「「「「「「「1000万!?」」」」」」」

海のカードで1000万!?
確かに今は絶版状態で滅多に無いけど、それでも1000万で買う
なんて何を考えているのよ!?

そんなに持っているなら私にちょうだい！

『んおお？ おおーお前があのカードを売っていた奴か！
海のカードは俺様にこそ相応しいカードだかな！
もう1枚売ってくれっちゅうの！』

もう1枚買うつもり！？

1000万なのよ！ それでも余裕で買うなんてどこまでお金持ちなのよ！？

「あーもう……煩いんだよ！
商談なら一度こっちに来やがれ！
俺だって大声を出すのが辛いんだ！
どっちでもいいからこっちに来い！」

『わかったちゅーの！』

濃いわ……凄まじく濃い男ね
瑞貴があんなに濃い人と知り合いだっていうのは違和感を感じるわ
商談相手っていうのが納得できそうだけどね。

「あの……瑞貴？
さっきの男は何者なの？」

「海の浮浪者だ、大商人の大富豪らしいがぶっちゃけ見た目は成金
親父
欲しい物は何でも金で買い、買えないモノは何一つ無いと豪語して
いる馬鹿だ
少なくともセブンスターズの1人じゃないのは確実だな」

「何故そう思える

もしかしたらセブンスターズの1人かもしれندらうが」

「あの糞爺がそんな一箇所に留まるような事をするはずが無い
あいつは根っからの冒険家であり、商人だからな」

まあ商人がセブンスターズっていうのも変な話よね
でも本当に何をしに来たのかしら？

アナシスは小舟でこちらに来た
なんだか凄く似合わないわ、変な男ね。

「来たっちゅうの
で、商談というじゃないか」

「商談はいいが、何が目的で来たんだ？
そもそも、こんな騒ぎを起こしやがって……迷惑だ
迷惑料として100万寄せ」

「さすがにそれは無理が有るんじゃ……」

これで100万とか……そんなに嫌だったの？
もし私が払うとしたら億単位になりそうならい迷惑を掛けてるん
だけど……
言われなくてよかったわ。

「なんだ、100万程度でいいのか？
お前だったら2000万ぐらい言われると覚悟したんだが」

「2000万ですって!？」

瑞貴、この男に毎回どれだけ吹っ掛けてるのよ!？」

瑞貴がこの男と凄いお金のやり取りをしているのは分かったわ!
今までどんな交渉をしてきたのよ!？」

「なら、俺には100万でいい

この場に居る奴らに各1万は迷惑料を払っておけ
後、学園にも大きな迷惑だったんだ、500万ぐらい入れておけ」

「まあ、それぐらいなら構わん

その程度の金なら端金だからな!」

この……この惨めさは何かしら？

私の苦勞が……努力が……我慢が全部否定された気分だわ

お金持ちの感性が理解できない、これが持たざる者の苦しみなのね!

そして話の中のお金の桁は絶対に間違ってるわよ!

2桁ぐらい下げるべきだと思うわ!

「とりあえず移動しよう、ここでは目立ちすぎる

お前だってこんな目立つ場所での交渉は遠慮したいだろ?」

「そうだな、商談ってのはあんまり知られるものじゃねえし
ならどこに行くっちゅうの?」

話し方に違和感が……顔に似合わない

思わず笑いが出そう、堪えるのが大変だわ。

「そうだな……学園の適当な部屋でも借りるか

ついでだから騒ぎを起こした事を学園に謝っておけ」

「あー……興奮してたからな
後でどうにかしておくっちゃうの」

「なら行くぞアナシス

お前が欲しがりそうなカードはまだまだ残ってる
絶版になった魚族や水族、海竜族なんてどうだ？」

「なんと！ 絶版のカードをまだそんなに持っているのか！
よし、全部見せてもらおうかな！」

瑞貴……貴方は何でそんな絶版のカードを沢山持ってるのよ？
最新のカードとか、知らないカードとかも多いし
貴方のカードの入手経路が凄まじく気になるわ。

「明日香、お前も来い」

「え？ 何で私まで？」

私が行く必要は無いと思うんだけど……
むしろ邪魔じゃない？

「文句は受け付けるが拒否は許さん
ほら、行くぞ」

「ちょ！ 引っ張らないで！
言う通り行くから！」

腕を引かれて転けそうになるけどそんなミスはしなかった
それにしても……何が目的なのよ？

.....
.....
.....

「次はこのチェンジ・スライム
デュエルモンスターズで最も最初に発売されたスライムだ
現在絶版のカード」

「買ったあああああ！
300だあ！」

「却下だ、500」

「む、なら間を取って400でどうだっちゅうの！」

「売った、次はウェザー・レポート、リバーズ効果モンスターだ
なんと光の護封剣を破壊し、更に次の自分のバトルフェイズを2回
行えるという効果を持つ
ピンポイントにしか効果が無いが、2回のバトルフェイズという恐
ろしい効果だ
現在絶版のカード」

「買うぞ！」

「そうだな……800だ！」

「1000だ」

「なら900でどうだっちゅうの？」

「売った、次は……」

なるほど、瑞貴が私を誘った理由がよく分かったわ
借金をしている私の前で大金の話をする……怒りを堪えるのが大変
よ！

しかもこの2人、省略してるけど全て万単位の話
つまりチェンジ・スライムは400円ではなく400万円、桁が4
つ違うのよ。

というかこのアナシスっておじさん、どれだけお金持ちなのよ？
既に30枚ぐらい買ってるけど、最低金額でも100万で買ってる
のよ？

瑞貴にはもう1億は払っているはずなのに……まだ余裕が有るみたい。
い。

「次、ウォーター・ガール
水属性水族の絶版女性型モンスターだ」

「買ったあ！ 700！」

「数少ない水族の女性型モンスターだぞ？
1200だ」

「た、高いっちゅうの！
な……なら1000！」

「1100なら許してやる」

「ぐうううわかったっちゅうの」

「まいど、次はそうだな……」

女性型モンスターという理由だけで500万も値上げし、最終的に400万も値上げ

確かに女性型モンスターは少ないけど……それだけの理由でそれは凄いわね

そして買うアナシスは別の意味でもっと凄いわ。

「次は凄いぞ？ 超限定で世界にも100枚も存在しないカード
ディープ・ダイバーだ

戦闘で破壊され、墓地に送られたバトルフェイズ終了時
デッキからモンスターカードを選択し、デッキの1番上に置く
強力なサーチ効果モンスターだ

当然ながら限定カードであり、絶版のカードだ」

「1だ！」

「1・5だ」

「高すぎるっちゅうの！
だが買ったあああああああああ！」

「瑞貴、1とか1・5って？」

「1億と1億5000万の事だ」

「……………私って小さい存在よね

最大でも10万のカードまでしか買ったことないわよ
なのに私の目の前ではその1500倍の値段で売買している。

というか、私が瑞貴に払った金額……借金分も含めてそのカード1枚以下よ？

私って瑞貴に相当優しくされていたのね
本当だったら今までのカードは全部これぐらいしたのかしら？

…………二度と瑞貴に逆らったりしないようにしましょう
元の金額で払えって言われたら払えないもの
ううう……瑞貴が怖いわ。

「さてアナシス、そろそろ商談は終わりにしよう
お前は何か目的でデュエル・アカデミアに来たんだ？」

「なんだ、もう終わりか？
まあいい、俺の目的は三幻魔のカードだ」

「三幻魔のカードですって！？」

何故この男が三幻魔のカードを？
まさかとは思うけど、金で買えなかったからという理由じゃないで
しょうね！

「黙っている明日香
ふむ……何に使う気だ？」

「俺の夢はな、このデュエル・アカデミアを金に物を言わせて買収し
海底に真のデュエル・アカデミアを作る事！
その為のシンボルとして三幻魔のカードと遊城十代を使おうと思っ
てるんだっちゅうの！」

し、真のデュエル・アカデミア？

それにそのシンボルに三幻魔のカードはともかく、何故十代を？

「あいつはノース高との対抗試合に出れる程の実力者だ
ならシンボルには丁度良いって思ったんだっちゅうの」

「となると……お前の目的は三幻魔のカードを手に入れる事
そして十代を金で買うって事か」

十代を買うって……なんだか凄い事になってない？
どれぐらい払うのかしら？

「まあそういう事だっちゅうの
1ぐらいなら出しても構わんと思ってる
まあさすがにそれ以上は悩むがな」

1って事は……1億！？

十代は私にも瑞貴にも負けてるんだけど……
ついでに対抗試合は本来瑞貴が出るはずだったんだし
実際に出たのは十代だけど。

そのせいか、十代の知名度がどうも高いのよね
なんだか釈然としないわ。

「多分無理だ

あいつは金の価値が分かってない
十中八九、断るだろうな」

「言ってみなけりゃわかんないっちゅうの！」

「それに、三幻魔のカードは手には入らん
金で買える物じゃないし、そもそもこの学園で三幻魔のカードを持
っている奴は居ない

（嘘では無いぞ？ 俺は今、手に持っていないからな）」

封印されているから誰の持ち主でもないしね

瑞貴が色んなカードを持っても、三幻魔までは持っていないでしょ
持ってたら……止めよう、想像したくないわ。

「そんなんか？」

「色々と事情が有るんだよ

それに、例え誰かが持っていたても

この学園から持ち出しを許可するほど校長も馬鹿じゃない
オーナーだって絶対に許さないだろうな」

オーナーとはKC社の社長、海馬瀬人の事ね

瑞貴はオーナーって呼んでるの？

間違っていないけど……なんか瑞貴が従っているみたいで似合わない
わ。

「むうううう……」

「金では解決できんぞ？

オーナーは100を1年で1にする程の才能を持っている
例え潰しても、確実にのし上がってくる男だ

更に、確実に報復される……諦めろ」

「ぐぐぐぐぐぐぐぐ……わかったちゅうの」

瑞貴……何で海馬社長の事をそんなに知ってるの？

海馬社長が公開しているはずが無いし……

まさかとは思うけど、海馬社長まで脅せる材料を持ってるんじゃないでしょうね？

「後始末はこっちでしておくからもう帰れ

またネットオークションでカードを売り出す

次も珍しいカードもまた売り出すから、それで我慢しておけ」

「くっそお！ わかったっちゅうの！ 俺は帰る！」

そう言っただけでアナシスは部屋から出て行った

後から聞いた話だけど、さっさと帰って行ったらしい

機嫌はあまり良くなかったらしいわ。

結局、彼が何をしたかったのか全く分からなかった

そんな事よりも精神的に辛い……瑞貴の鬼！

瑞貴が今日アナシスから総額は……話したくもないわ

借金を抱えている私からは到底想像できない金額である事には変わり無いもの

もういい、寝るわ……おやすみなさい。

『（カードを売る姿を見ているのは辛かった

身が刻まれる気分だった……墓守のカード達もあのように売られるのか？

……私も二度と見たくないな

もう瑞貴の内心を探るような真似はしない事にしよう）』

34話【虎と海】（後書き）

瑞貴はデュエル・アカデミアを買収できるぐらい金を持っているのか！？

どれぐらいで買えるのかが分からないので殆ど思いつきです
実際、どれぐらい掛かるんでしょうね？

カード高けえ！

マニアの考える事は意味不明です

でも、あの世界なら考えられる事態だと思います。

モイスチャー星人が高すぎる！

実際強いですよ？

ちなみに、作者も昔使っていました……盗まりましたが
ついでに言うと、その時に他にも沢山のカードが奪われたので遊戯
王を止めてしまいました

2年前ほど前に友人がやっていたので再び始めるといいう経緯が有つ
たり……

明日香が瑞貴の服を掴んでいるだと……どんな風に掴んでるんだ！？
上着の裾の先を掴むだけという感じです

電池君が羨ましがっていました、誰も気付きませんでした。

瑞貴の虎への考えがちよっと凄……

何気に好奇心旺盛です、普段は隠していますが……今回は滅多に無い
機会なので発揮

そこそこ堪能したようです。

アナシスは瑞貴他生徒達、学園に迷惑料を払ったの？

全員に払いました

明日香はそれをすぐに瑞貴に渡して借金返済に充てました。

アナシスの金払いが……本当に商人？

商人だからこそ、絶版の価値が分かるのでしょうか

絶版のカードは普通ではどんなに頑張っても手に入りません
持っているだけで驚かれるようなカードです

それぐらい払う価値が有るのでしょうか……あの世界では。

実際、明日香に売ったカードの値段ってこれぐらいなの？

そうでもありません、絶版カードばかりなので高いのです

明日香に売ったカードは通常よりも少しだけ安い程度でそう変わり
はありません

それでも何千何万もしますが……

サラが……

凄く複雑な気分でしょうね

瑞貴は気付かない内にサラに復讐をしていたという事になります
が、頑張れサラ！ 明日香を助けられるのは君だけだぞ！

35話【盗掘団 王様 そして6人目……】（前書き）

誰か今回の内容を予想してくれ！

まあフラグは立てていたので予想はできたと思いますけど……

今回は長いですね

ですが1つにすると短いし、2つだと長い

もう諦めて2つ突っ込む事にしました

おかげで時間ギリギリに書き終えました……間に合ってよかったです。

明日の投稿は間に合うだろうか……

期待しないで待っててください。

35話【盗掘団 王様 そして6人目……】

視点 瑞貴

吹雪の容体はかなり良くなっている

問題は記憶が中途半端に戻っている事だ。

明日香の事は覚えている

だが明日香との過去の記憶が無い

何だこれ？ 半端過ぎるだろ。

いつその事記憶が抹消されていたら楽だったのに

そうすれば都合の良い記憶を持たせて操りやすかったんだけどねえ
ま、明日香を覚えているなら覚えているでいいか。

それに、このまま吹雪の面倒を見ていれば勝手に明日香が感謝する
これで明日香は余計に俺から逃げられない
駒は最後まで使い潰すのが一番効率的だ。

言うなれば将棋だな

俺はプレイヤーとなる

明日香は勝手に動き回るし、扱いが難しいが持っていれば役に立つ

……桂馬辺りかな？

カミューラは完全に忠実な駒、限定的にしか力を使えないが便利、
銀将辺りだろうか？

吹雪は未定、相手の駒を奪っただけで使い渋っている状態かな？
どの駒になるかは今後次第……か。

せめて飛車角、金将も欲しいな

歩兵も壁として必要だが……俺が扱える駒では無いが、これは似非達メインキャラに任せるか

小娘は駒にはできないな、俺に好意を持っているのは利用できるが……あいつは勝手に動きそうな上、突進しそうだ、使えても香車程度だろう。

もっと扱える駒が欲しい

一番効率が良い方法は敵から奪う事、だから将棋と言った事実、吹雪とカミューラは敵から奪ったのだからな。

一般生徒も考えられるが、下手すれば歩兵以下にしかならん利用価値の高い駒が欲しい、忠実に動く便利な駒……原作をそんなに覚えてないのに思いつくわけ無いだろうが！
全く……面倒だが自分で育てるか？

前に考えた捨て子を買う、それを実現させるのも悪くない別にどこかの施設から買い取っても良い、金は有るんだとなるとやはり子供だな……5、6歳ぐらいが扱いやすいか？育てるとなると骨が折れる、将来忠臣にはできそうだが……育てている間が大変だ

どちらにせよ、実行するなら卒業後だな、学生中には育てられん。

それはそうとして、アナシスの馬鹿が来てから数日後の事だ

七星門の鍵を持った者達が集められた

俺、明日香、似非、電池の4人だな

集められた場所にはどう見ても首領・ザルグの姿が……何故に？

説明されると、こいつは警部だとか

校長と大徳寺先生が話し合い、プロの警部を呼ぶことに決めたとか

警部の癖に盗賊の格好……ファンか偶然か？

とりあえず盗賊の格好をする警部ってのも珍しいというか馬鹿というか……

そこまでするんだったら何故吹雪の時も、カミューラの時も、タニヤの時も動かなかったんだ？

そもそも、俺だって言っておいたはずなんだが……まあいいけどさ。

「明日香と瑞貴は鍵をどうしてるんだ？

俺と万丈目は首から掛ける」

「さんだ」

……訂正するのかよ
相変わらずだな。

「私はどうして……あいた！」

明日香が首のボタンを外して脱ぐような仕草を見せたので殴って止める

お前は馬鹿だろ？ ほら、電池が赤くなってる

男の赤面なんて見ても楽しくないし、お前が恥ずかしがらないんじや無視する価値も無い。

「別に首ボタンを外して見せんでも、言うだけでいいだろうが俺はベルトと鎖で5重に固定して、更にポケットに突っ込んである」

「そこまで嚴重に身に付けているのは貴方だけよ？
大変で手間にならない？

ちなみに私も十代達と同じく、首に掛けてるわ

（止めてくれたのは嬉しいけど、何も殴らなくても……）」

大変なものも手間なものも否定はしないがな
まあこれぐらいしてようやく一応安心して感じだし
できればもっと嚴重に持ち運びたいものだ。

「確かに、大事な物を身に付けているのは一見安全に思える
しかし、それは同時に大事な物の場所を教えている事にもなるので
す」

いや、俺はポケットの中だから見えんぞ？
スリでもこれを奪うのは至難の業だろうし。

「で、彼の提案で
みんなの鍵をキッチンと保管しようとなったのニャー」

との事らしい
それぞれの部屋に移動する事となった。

電池は流し台の下
似非は引き出しの中
明日香は小箱の中

……宝石類は買い取ってもいいぞ？ 転売するから。

「最後に堅守君の鍵だけど……どうするのニャ？」

「俺は……自分の部屋の金庫にでも隠すかな
20重ロックを抜くのは難しいだろう」

「に、20重ロックだと？」

「おんやあ？

警部さん、何か問題でも？」

「い、いや

確かに金庫なら安全ですな」

さっきから出てくる奴ら

管理人のゴング、レッド生徒のチック、女医のミーネ

更に途中で擦れ違った警備員のクリフ

どう考えてもこいつらは黒蠍盗掘団だな。

俺が今まで気付かなかった理由

ぶっちゃけこんな奴ら、視界と記憶に入れる価値が無いからだ

管理人なんていたっけ？ レッド生徒にあんな奴いたか？

女医って鮎川先生だけじゃね？ 警備員の顔なんか覚えるわけない

じゃん

とまあ、こんな理由で記憶に残るはずが無い。

お前らにこの20重ロックの金庫を開けられるかな？

ちなみに中のカードは全て黒蠍盗掘団のモンスターカードに入れ替えておいた

鍵を奪えても、お前らの正体は知っているぞという意味を込めた嫌がらせだ。

それだけじゃない、俺の部屋にカミューラを入れておく

俺はカミューラの部屋で寝る……カミューラは夜型だからな、部屋に侵入した瞬間に気付かれて終わりだ

可哀想な奴らだな、くくくくく……

というか、例え鍵を奪っても無駄なんだよな
鍵を開けるには何故か、こういう理屈かは知らんが決闘デュエルをする必要
が有る

鍵だけ奪っても、何の効果も無い。

アホが踊る姿を想像するだけで楽しいもんだ
さて、寝るかな……って、部屋が悪趣味過ぎるわ！

なんという俺好みの選択！ 恐るべしカミューラ……この髑髏の水
晶を譲ってくれ！

寝ようとしていた時、扉が叩かれた

誰かと思って出てみると、カミューラか

そして彼女の腕にはクリフ……しかも気絶中。

「侵入者よ、殺すの？」

「いや、事情聴取をする

明日香を持って来い

ちょっとした暴露話をして遊ぼうと思うんだ」

「……………こいつは？」

「気絶しているんだろ？」

適当に縛って転がしておけ」

「（哀れな……）じゃあ貴方の部屋に置いとくわよ」

「そうしてくれ」

カミューラは出て行き、飛んでいった

お前飛べたんだな……吸血鬼だし、別段おかしい事でも無いか。

そして電池の部屋でちょっとした騒ぎが聞こえる
どうも鍵を奪われた事に気付いたらしい

俺の部屋にまで突貫される前に自分から行くか。

部屋から出てみると似非が俺の部屋を開けようとしていた
無断侵入する気か？ 不法侵入で訴えるぞ？

「勝手に部屋に入ろうとするな似非
鍵でも奪われたか？」

「十代だ！ って、何でそれを！？
まさか瑞貴の鍵も奪われたんじゃない！」

「んなわけ無いだろうが
俺の鍵は無事だ、良いセキュリティアイテムを部屋に置いたんでな」

「セキュリティアイテム？」

疑問に思っているみたいだが、カムィーラに繋げるのは無理だろう
アイテムと吸血鬼は滅多な事では繋がらんだろうしな。

するとカムィーラが帰ってきた
明日香がパジャマだったが……少しぐらい待ってもよかったんだぞ？

「連れてきたわよ」

「瑞貴！　せめて着替える時間ぐらいちょうだい！
さすがにパジャマで人前に出る趣味は無いわ！」

「別に俺は急いで連れてこいとは言ってなかったんだがな……
俺の部屋に着替えは置きっぱなしだろ？　それに着替えてこい」

「うう……何で私ばかりこんな目に……」

明日香は俺の部屋に入って行った
俺に責任を押し付けるとは……後で何かさせるか？

「（何気に私に責任を押し付けたわね
というか、何故この子の服をいつまでも置きっぱなしなの？
しかもこの子も疑問に思ってないし……

あの子に取って瑞貴の部屋に居る事が自然になってるんじゃないか
しら？）」

「ちよちよちよちよつと瑞貴！

なななな何か知らない人が部屋に居たわよ！」

「あ、忘れてた

悪いな、運び出すから着替えるのは少し待ってろ
という訳でカミューラ、とりあえず侵入者ここに置いておけ」

「人使いの荒い事……」

「こんな時以外は割と自由にさせてるだろうが
役立つ時ぐらい役に立て」

カミューラは溜め息を吐いて部屋に入る

似非は一気に色んな事が有って理解しきれてない別に理解しなくても問題無いぞ？

カミューラはクリフを持って出てきた

それに似非は驚くが、煩いと言って殴っておく恨めしげに見てくるが無視。

とりあえず電池の部屋に入る事となった

クリフはまだ気絶している。

「おい瑞貴、カミューラがここに居るのは構わんだが、どうしてこの男がここに居るんだ？」

「こいつは俺の部屋に侵入したんだよ

カミューラを俺の部屋に待機させていたから簡単な簡単に捕まって、この様だ」

「って事は、こいつは泥棒なのか？」

「その通りだ

こいつは黒蠍団の一員、黒蠍一貫外しのクリフそしてこの……モンスターカードと同じだ」

「「「「「「モンスターカード!？」」「」「」「」」

全員驚いているな

ちなみに、この場には明日香、電池、似非、水色、でかいの、大徳寺先生、カミューラが居る

他はともかく、水色とでかいのが乗ってきたのにはちょっと驚いていたり……

とりあえずクリフをの腹を踏みつけて起こす
全員が驚いていたが、事態を理解していないので黙っている
クリフは苦しみながらも目を覚ました。

「さて、さっきぶりだな……黒蠍一罖外しのクリフ」

「ギクッ！ な、何の事かな？」

「いや、その反応で十分だと思うわよ？
ギクって言ってるし……」

「そこまでしてもらおう！」

「誰だ！」

俺を止めたのはザルグ
他の構成員達も居るな。

「お、お頭……」

「お、ザルグの登場か」

「どうやら、私達の正体はばれているようだな」

どうせだし、全員の事を教えてやるか
きつと構成員が全員驚く。

「全員教えると、警部は首領・ザルグ
女医は黒蠍一茨のミーネ、レッド生徒は黒蠍一逃げ足のチック、管

理人は黒蠍一強力のゴーグだ

全員能力は低いが、効果はなかなか強力だ
敵にするなら邪魔くさいので、注意するようにな」

「「「な、何故我々の名前まで!?!?!」」」

「さあな

じゃあ後はお前らに任せる

俺は帰って寝る」

「帰るって……彼らはどうするの?」

「お前らの内誰かが潰しておけ

俺はこんな馬鹿を相手にするぐらいだったら寝る
じゃあな」

部屋に戻って寝る

翌日、聞いた話では電池がザルーグ達を倒したとか
明日香は倒せば良かったと後悔してたとか何とか……俺からの褒美
が出るんだしな。

……………

……………

……

数日後の夜

部屋に籠もってデッキ構成を考えていた時

外が賑やかになってきたので気になったから出てみた。

すると外には大量の……ミイラ?

えーつと……疲れてるのか？

しかし、呻き声から単語が聞こえた
曰く、鍵を持つ者……七星門の鍵か
となると、これはセブンスターズの仕業か。

で、空を見てみると船？

空飛ぶ船……ノアの方舟か七福神の宝船辺りが思い浮かぶな
実際は違うだろうが、なんだろうか？

突然船は光を放つ

思わず目を覆い隠し、意識が落ちる
何でまた巻き込まれたんだろうか？

視点 十代

「うう……は！」

ここは何処だ！？

俺は……気絶していた？

「気がついたか」

声は聞こえた方向を見るとみんながいた
けど……なんで瑞貴は明日香に抱きついてるんだ？

「あれ、先生も……」

「これから夕飯だって時に……
ミイラが出てきたから慌てて逃げ出したんだニャア」

「た、多分それは、俺が寮に、居たからだ、と思います」

なんか瑞貴がむちゃくちゃ震えてるけど……どうしたんだ？
しかも万丈目がかなり睨んでるし。

「なあ、瑞貴は何でそんなに震えてるんだ？」

「瑞貴は高所恐怖症なのよ

何で浮いているか分からない船の上でしょ？

不安で怖くて堪らないらしいの

（あの瑞貴が子供みたいに怖がって私に抱きついている、本当に高い所が駄目なのね
でも……みんなの前で抱きつかれるのは恥ずかしいわ）」

そういや、ここってあの船の上だったのか
かなり高い場所に有ったしなあ……

「う、煩い！

俺だって、苦手な物の、1つや2つ、有って当然だ！

何で俺まで、こんな事に、巻き込まれなければ、ならんだ！

（なんでみんな怖くないんだよ！

飛び方の原理が分からない船の上なんだぞ！

もし何かの拍子で落ちたら死ぬんだぞ！

お前ら全員頭がおかしいんじゃないか！？）」

鍵を持ってるからじゃねえか

本当に変な奴だな……

口が悪けりゃ性格も悪い

やってる事もめっちゃくちなのに、高いところが苦手
あいつは本当に性格とかもだけどよくわかんねえ。

「……それはともかく

これで鍵を持つ者は揃ったな」

「豆腐自身と、大徳寺先生と、水色は、違うがな」

何気に余裕を持ってないか？

ほら、翔が睨んでるぞ？

突然銅鑼の音が鳴り響いた

何事かと思って段差の方に近づき見てみる

全員近づいた……と、思ったら瑞貴に抱きつかれてる明日香と瑞貴

自身はその場に居た

それじゃあ動けないもんな。

見てみると、大きな椅子に座っている……男だよな？

まあそいつがこっちを見た

それに驚いた大徳寺先生が倒れた!？

「大徳寺先生!？」

「放ってけ、どうせ役に立たん」

「本人の前で、言う事じゃ、無いと思うがな」

「貴様の方が役に立たんわ！」

そりゃ言えてるかも

瑞貴は強いが、こんな状態だと本当に役立たずだな。

男が立ち上がってこっちを向く

同じ目線に立つ為、俺も段差の上にかかる。

「お前は何者だ!？」

「どう考えても、セブンスターズの、1人だろうが
それぐらい、考えれば、分かるだろう

これだから、貴様は、似非のまま、なのだ！」

「どうしてそんなに怯えてるくせにそう口が回るんだ？
少し黙ってろ！」

「ははは、貴様も黙れ電池

とりあえず、あいつの相手は俺に、させろ
テンションを、上げないと、倒れそう、なんだよ」

そう言っつて瑞貴はフラフラのまま立ち上がる

明日香が支えてるけど、いつ倒れてもおかしくない
無理しなくてもいいんじゃないか？

「そんな状態じゃ無理だろ

俺が相手をする！

で、お前の名前を訊いてる途中だったな」

男は少し呆れた様子を見せながらこちらに歩いてくる

その姿はかなり強そうだ。

「……余の名はアビドス三世、セブンスターズの1人だ」

「アビドス三世？」

「あの、生涯1度も負けなかったという……」

「伝説の……」

「1戦1勝0敗でも、生涯無敗、だがなあ」

どうして瑞貴はこう……酷い事ばかり言うんだ？

そんなんじゃない、ただでさえ嫌われてるのに、更に嫌われるんだぞ？

「そなた達の持つ、4つの鍵を貰い受ける」

「神と呼ばれた決闘者^{デュエリスト}と、戦えって言うの？」

「自画自賛、かも、しれんがな」

いや、それは難しいんじゃないか？

「……残り4つの鍵を一気に手に入れようという気か」

「実際は、1対1を、4回するから、一気には、無理だけどな」

それはそうだけど、物の例えだろ？

「敵さんも焦ってきたというわけだ」

「生徒程度に、負ける決闘者を、送り込む敵も、どうかと思うけどな」
デュエリスト

「……なんでお前はそんなに敵を貶すんだ？」

それはめっちゃ思う

本気で敵を怒らせる気かよ？

「鍵を置いて逃げるのなら今の内だ
さて……どうする？」

「鍵を置けば、すぐに地上に、帰してくれるのなら、俺は鍵を置いて、逃げる！」

だが無理、だろう？

俺が相手をしてやる、一気に叩きのめして、やるから覚悟、しろ！」

「瑞貴、そんな状態じゃ無理よ
ほら……一緒に居てあげるから我慢して」

「く……」

（何だって明日香に子供扱いをされにゃならんだ！

恥ずかしく堪らん！ 早く帰りたい！

何とかこの状況を打破する方法は……

くそ、俺が辛いがそうも言ってられん！」

明日香が瑞貴を抱きしめて瑞貴を落ち着かせようとする
瑞貴は顔が赤くなってる、なんか珍しい光景だな。

「ええい！ 放せ明日香！」

お前が、戦いに行け、明日香！」

「わ、私!？」

私は良いんだけど……瑞貴が大丈夫じゃないでしょ？」

「お前だったらさっさと、終わらせる事が、できるだろうが！
似非や、電池が、戦うよりは、まだ信じられる！」

「う……」

俺も万丈目も明日香に負けてるんだったな
万丈目と明日香が戦ったのは本人から聞いた
俺みたいに思いつき負けたらしい。

「本当に大丈夫なの？」

（あの瑞貴が信じるって……

あの瑞貴が私を信じてるって言った……）」

「少しぐらいなら、大丈夫だ

だからできるだけ、早く勝ってこい！

（じゃないと俺がヤバイんだよ!）」

「……強敵だから早く勝てるか分からないけど
分かった、必ず勝つわ

（だって瑞貴が信じてくれてるんだもの
勝つのは当然、早く終わらせるわ!）」

なんだか勝手に話が進んでってる……
俺だって王様と戦いたいんだってば！

明日香は瑞貴をできるだけ段差の中央に寄せる
そして上に上がってきた。

「どいて十代、聞いての通りよ
私があんの王様と戦うわ」

「ちょっと待てよ明日香
俺だってあんの王様と戦いたいんだ！
ここは譲ってくれよ！」

「駄目よ
あの瑞貴が、あの瑞貴が私を信じてるって言うてくれたのよ
その想いに応える為、私が戦うわ
十代、邪魔をするなら貴方でも許さないわよ？」

な、なんか明日香が怖いぞ？
どうかしたのか？

ちょっと腰が引けてしまい、俺は逃げた
明日香って何であんなに怒ってるんだ？

「なあ瑞貴、どうして明日香はあんなにやる気を出してるんだ？」

「色々と、事情が有るんだ
こんな場所、じゃなければ、俺が戦った
俺にも、都合ってのが、あるもんでね

（というか、俺だって明日香がやる気を出してる理由が分からん
報酬目当てか？ それなら納得できるが……
あんなに鬼気迫るような状態にまでなるだろうか？）

瑞貴の言う事情って何だ？

都合とかも言ってるし、どうも言う気は無さそうだけど。

「（天上院君のやる気を出している理由は気に食わんが……）
では天上院君、決闘盤だ、受け取れ！」

「ええ、使わせてもらうわ」

「ああ！ 僕の決闘盤！」

明日香と王様はデッキをセットした
今回の明日香のデッキは……E・HEROだといいなあ！
またあのE・HERO達を見たいし！

「決闘！」

「余のターン、ドロー」

余は王家の守護者を守備表示で召喚」

出てきたのは守備力0のモンスター！？
壁にもならねえよ……

「更にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！

E・HEROプリズマーを召喚し、効果を発動！

融合モンスターを相手に見せ、融合素材モンスターをデッキから墓地に送る

私はサイバー・ブレイダーを見せるわ、融合素材であるブレード・スクーターを墓地に送る

そしてE・HEROプリズマーはブレード・スケーターとして扱うわ！」

あれ？

明日香のデッキって確かE・HEROとサイバー・ブレイダーは別のデッキじゃなかったか？

まさかとは思うけど……

「明日香さんがE・HERO？」

そういえば前にアニキが知らないE・HEROがって言ってたっけ」

「天上院君がE・HEROとはどういう事だ？

だが、あれは十代が使っているE・HEROじゃない」

「あれ？ 万丈目は明日香に負けたって言ってたじゃん

E・HEROデッキに負けたんじゃないのか？」

「万丈目さんだ

いや、俺は戦士族のデッキに負けた

天上院君は一度もE・HEROを使わなかったな

E・HEROも戦士族だな……」

という事は、明日香がE・HEROデッキを使ってる事は俺ぐらいしか知らなかったのか

いや、瑞貴が知ってるか……原案を出したらしいし。

「更に融合を発動！

ブレード・スケーターとして扱われているプリズマーと手札のエトワール・サイバーを融合！

サイバー・ブレイダーを融合召喚するわ！

サイバー・ブレイダーで王家の守護者に攻撃！」

守備力0ではサイバー・ブレイダーの攻撃は防げない
王家の守護者は簡単に破壊された。

「カードを3枚伏せ、ターンエンドよ」

明日香の手札が一気に0枚に……大丈夫か？

「エンドフェイズ時に永続罠、第一の棺を発動する
このカードは相手ターンのエンドフェイズ時に第二の棺を出す
更にその次の相手のターンのエンドフェイズ時、第三の棺を出す
3つの棺の揃いし時、貴様は絶望を見るだろう……」

「好きにきなさい

さあ、貴方のターンよ」

なんか明日香がめっちゃ強気だな
俺は何が出てくるのかワクワクしてるぜ！

「余のターン、ドロー

魔法カード、魔の試着部屋を発動する
ライフを800払い、デッキの上から4枚をめくる
その中にLV3以下の通常モンスターが入っていた場合、全て特殊
召喚できる

それ以外のカードはデッキに戻るがな」

あれは万丈目が万丈目の兄貴と戦った時に使っていたカード
どれだけのカードが出てくるんだ……

「……余のめくったカード

それは王家の守護者、マードーサーカス・ゾンビ、ファラオのしもべが2枚だ

全てLV3以下の通常モンスター、よって全てのモンスターを召喚する！」

全部のモンスターを出すなんてすげえ……さすが神と呼ばれた決闘者^{デュエリスト}でも、明日香のサイバー・ブレイダーには勝てない！

「更に余は魔法カード、死者への手向けを発動する
手札を1枚捨て、場のモンスターを破壊する

余はサイバー・ブレイダーを破壊！」

「拙い！ 天上院君の場合はこれでリバースカード3枚
そして相手モンスターの総攻撃力は……4050だ！」

そうか！

王家の守護者、ファラオのしもべの攻撃力は900
マードーサーカス・ゾンビの攻撃力は1350
900×3＝2700、2700＋1350＝4050だ！

だけど明日香は涼しそうな顔をしている
この状況で何とも思っていないのか！？

「神と聞いて、いたのだが随分、浅いな
何がしたいのか、簡単に読める

これでよく、神とまで呼ばれた、もんだ
どうせ作られた、神とかだろうな」

「何言ってるんだ！？」

明日香がピンチなんだぞ！」

「この程度で？」

ならお前らは、明日香に勝つ事は、不可能だ
あいつを、強くしたのは、誰だと思っている」

明日香を強くした人物……瑞貴か！

って、めっちゃ信じてんじゃん……普段とかけ離れてないか？

「（瑞貴……

それはそれで嬉しいんだけど、それはもしかして恐怖からの言葉じゃないでしょうね？

間違っって無さそうな気がして怖いわ

きつと後で訊いてみてもはぐらかすか嘘だっって言うんでしょうね」

「ふ……ゆけえい！

ダイレクトアタック
直接攻撃！」

明日香は何もしないマードーサーカス・ゾンビの攻撃を受けた！？
何かするんじゃないかったのか！？

「罨カード発動、ダメージ・コンデンサー！

今受けたダメージ以下の攻撃力を持つモンスターをデッキから特殊
召喚するわ！

私はこの効果で攻撃力1350以下のモンスター……大盤振舞侍を
特殊召喚！」

よし、攻撃力は1000だ！

これで残りのモンスターの攻撃は防げる！

「……王家の守護者で大盤振舞侍に攻撃！」

「なに！？」

「どうして攻撃力の低いモンスターで攻撃を！？」

「大盤振舞侍の、効果は、戦闘ダメージを与えた時相手の手札が、7枚になるように、ドローする効果を持つ」

「な、何で明日香はそんなカードをデッキに！？」

「相手が得するだけのカードなんて役に立たんだろう！」

「……罠カード発動！」

「追い剥ぎゴブリン！ 相手に戦闘ダメージを与えた時相手はランダムに手札を1枚捨てる！」

「そして大盤振舞侍が王家の守護者を破壊する」

「相手にダメージを与えたので追い剥ぎゴブリンと王家の守護者の効果が発動……」

「戦闘ダメージを与えたわ」

「追い剥ぎゴブリンの効果でその1枚の手札を捨てなさい」

「そして大盤振舞侍の効果、手札が7枚になるようにドローしなさい」

「王様は手札が7枚にまで増えた」

「だが明日香の手札は0……大丈夫なのか！？」

「更に罠カード、無効を発動！」

「相手が効果によってドローした時、そのドローカードをお互いに確認し、全て捨てる！」

あのカードは瑞貴が俺に使ったカード！
しかも王様が捨てるカードは……

「っ、余が今ドローしたカードは7枚
これらのカードを全て捨てろと言うのか？」

「そうよ

更にお互いに確認するから見せて貰うわよ」

「クッ、貴様……」

王様が見せたカード
スピリット・オブ・ファラオ、マーダーサーカス・ゾンビ、魔の試
着部屋

ヘルバウンド、トライアングルパワー、凡骨の意地、第三の棺
……って、最後のは墓地に送られたら駄目だろ……！！

「くそ！

ファラオのしもべで大盤振舞侍に攻撃！」

反撃で大盤振舞侍はファラオのしもべを破壊した
けどまだ王様には手札が無いから追い剥ぎゴブリンの効果を使え
ないな。

「さあ、大盤振舞侍の効果でドローしなさい
そして、追い剥ぎゴブリンの効果で手札を1枚捨ててもらおうわ
一番右のカードを捨てなさい」

「あれ？ 何でさっきと順番が逆なの？」

「だから貴様は、馬鹿なのだ
スペルスピードという、ものを知らんのか
大盤振舞侍と、追い剥ぎゴブリンの効果は、同時に発動する
そういう時は、プレイヤーが、任意に決められる
明日香はそれを、利用し、先ほどは1枚、捨てさせてからドロ
今回は、ドロさせてから、捨てさせている
もっと勉強、した方が、いいんじゃないか？
無知は罪、という言葉を、知らないのかよ、水色」

翔は不機嫌になってるけど、何気に丁寧に説明してるな
それにしても厄介なコンボだ
一気にデッキが破壊されたな。

「余は魔法カード、魔法石の採掘を発動
手札を2枚捨て、墓地の魔法カードを手札に加える
余は第三の棺を手札に加え、死者転生を発動
手札を1枚捨て、墓地のスピリット・オブ・ファラオを手札に加える
余はこれでターンエンドだ」

必要なカードを簡単に手札へ……やはり強いな
だけどモンスターが弱いのか？

「私のターン、ドロ！
命削りの宝札を発動！ 手札が5枚になるようにドロするわ！
そして5ターン後、全ての手札を捨てる！
更に手札断殺を発動、お互いのプレイヤーは手札を4枚捨てる
そして捨てた枚数だけドロするわ
足りない場合、その枚数分でも構わない
さ、手札を捨ててもらおうわよ？」

「ぬぐぐぐぐ……」

王様は手札を3枚捨て、再び3枚ドロする

明日香は4枚捨て、4枚ドロ

これでさっき手札に加えたカードはまた墓地に行った！

それにしても……明日香の戦い方がなんというか……

俺と戦った時の瑞貴のデッキに似てるな

あれを参考にしたのか？

「忍者義賊ゴエゴエを召喚するわ

更に魔法カード、盗賊の極意を発動

自分のモンスターを1体選択するわ、そのモンスターが相手に戦闘ダメージを与えた時

相手プレイヤーの手札を1枚捨てるわ

私は大盤振舞侍を選択する」

明日香のデッキは戦士手札破壊デッキになったのか

サイバー・ブレイダーも使っているが、多分ドゥーブルバツセの直^{ダイ}レック^{アタック}攻撃もかな？

そういうダメージを与えた時の効果が多いし。

「大盤振舞侍でファラオのしもべに攻撃し、破壊！

そして戦闘ダメージを与えたので手札が7枚になるようにドロしなさい

更に追い剥ぎゴブリンの効果、右から2番目のカードを捨てなさい最後に盗賊の極意の効果、左から3番目のカードを捨てなさい」

「余の手札が……デッキが……」

王様の残りデッキ枚数って……7枚！？
これはかなり拙くないか！？

「そしてゴエゴエでマーダーサーカス・ゾンビに攻撃！ 撃破！
そしてゴエゴエの効果を発動！

相手の手札が5枚以上の時に戦闘ダメージを与えた時
相手の手札を2枚ランダムに捨てさせる

両端のカードを捨てなさい

そして追い剥ぎゴブリンの効果、真ん中のカードを捨てなさい」

……手札が1回7枚になったよな？

なのになんで王様の手札は2枚になってるんだ？

「最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「なら余はリバースカード、転生の予言を発動する

墓地のカードを2枚までデッキに戻す

余は第三の棺と、スピリット・オブ・ファラオをデッキに戻し、シ
ヤッフル！

更に第一の棺の効果を発動！

第三の棺をデッキより場に出し、これら全てを捨てる！

そして、デッキよりスピリット・オブ・ファラオを特殊召喚！」

攻撃力2500？

手間暇掛けた割には大した事無いな。

「スピリット・オブ・ファラオ、特殊召喚に、成功した時
墓地の、LV2以下の、アンデット族、通常モンスターを、4体ま
で、特殊召喚可能

アドビス三世の、墓地には、マーダーサーカス・ゾンビが、確実に2枚

これだけ墓地に、送ったんだ、最後の、1枚も入って、いるかもな」

「解説はありがたいが、お前はもうしゃべるな
何度も言葉を句切っていて鬱陶しい」

「その通り、余はマーダーサーカス・ゾンビを3体
更にファラオのしもべを特殊召喚！」

拙い！ 明日香のモンスターの攻撃力は1500と1000！
明日香の残りライフは2650、全モンスターの攻撃には耐えられない！
ちなみに、王様のライフは2750だ。

「余のターン、ドロー
これでも勝てるが……念には念を込め、魔法カード、サウザンドエナジーを発動
フィールド上のLV2の通常モンスターの攻撃力を1000ポイントアップする」

「なにぃ、という事は……マーダーサーカス・ゾンビの攻撃力は2350！

そしてファラオのしもべの攻撃力は1900！
明らかにオーバーキルじゃないか！」

このままだと明日香は！

「ゆけい！ マーダーサーカス・ゾンビ！
忍者義賊ゴエゴエに攻撃だ！」

「罌カード発動、和睦の使者

戦闘でモンスターは破壊されず、戦闘ダメージも0にする」

「上手い！ これでアドバイス三世の攻撃は無駄に終わる！」

「チィ、ならば余はマーダーサーカス・ゾンビを生け贄に捧げ、魂を導く物を発動

生け贄にしたモンスターの攻撃力分だけ、自分のライフを回復するこれで余のライフは5100だ

そしてエンドフェイズ時、サウザンドエナジীর効果を受けたモンスターは全て破壊される！

ターンエンド！」

ライフが5100！？

この状況でそれだけのライフを削るのは難しいぞ！

明日香の手札は現在1枚、これでどこまでできるか……

更に王様の場には攻撃力2500のモンスター

これをどうやって越えるか……

「私のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動、デッキからカードを2枚ドロー！」

フュージョン・リカバリー

融合回収を発動し、墓地からプリズマーと融合を手札に加える！

そして融合！ 手札のE・HERO、プリズマーと場の風属性、ゴエゴエを融合！

現れなさい、E・HERO Great TORNADO！

E・HERO Great TORNADOの効果発動！

このモンスターが融合召喚に成功した時、相手の場の全てのモンスターの攻撃力、守備力を半分にする！」

現れたか！ E・HERO Great TORNADO！
こいつの攻撃力は2800とかなり高かった。

「なんだと！

余のスピリット・オブ・ファラオの攻撃力が1250に……」

「まだ終わらないわ！

ミラクル・フュージョンを発動！

墓地のHEROとしてプリズマー、水属性の沼地の魔神王を除外して融合！

E・HEROアブソルートZEROを融合召喚！」

あ、アブソルートZERO……こいつには苦戦させられた
場から離れただけで相手のモンスターを全滅させられる
破壊もしても、どっかに飛ばしても勝手に発動される
こいつほど厄介なモンスターもそう居ないな。

「だ、だが！

そのモンスター達で総攻撃しても余の総ダメージは5050！
余のライフはまだ50残る！」

「いいえ、終わりよ……」

ドラゴニック・フォース

装備魔法、竜魂の力を大盤振舞侍に装備するわ
このカードは戦士族にしか装備できない
装備後、ドラゴン族として扱われる」

あれ？

明日香のデッキにドラゴン族を入れる必要は無い気がするんだけど
……

戦士族デッキだからドラゴン族は合わないだろ？

「（ふん、今回は使わないか

それに戦士E・HERO混合デッキは巧くいったらしいな

最後はあのカードを混ぜ、最強の戦士融合デッキに……

最大の問題は竜魂ドラゴニック・フォースの力しか手段が無いという点か

DNA改造手術では大きいから邪魔だし、自己破壊したくてもできない時が有るしな

もつとカードを漁ってみるか？）」

「行くわよ！

大盤振舞侍でスピリット・オブ・ファラオに攻撃！

破壊し、戦闘ダメージを与えたわ

さあ、デッキから手札が7枚になるようにドローしなさい

そして、追い剥ぎゴブリンの効果で真ん中のカードを捨てる事」

これで王様のデッキは0枚

明日香はやはり強い、二重の意味で勝利した

1つはライフ、もう1つはデッキ破壊だ。

「E・HERO Great TORNADO、E・HEROアブ
ソルートZEROで直接攻撃！」
ダイレクトアタック

「ぬううあああああ！」

「私の勝ちよ……」

これで明日香の勝ちだ！

「……余の負けか

ふふ、楽しかったぞ」

「私は色んな意味で楽しさを感じる余裕は無かったわでも、貴方も強かったわもしまた機会があれば、闇のゲームなんかじゃなくて普通に戦いましょう？」

王様は明日香をジッと見つめてる
仮面で分かんないけど、なにか凄く嬉しそうだ。

すると王様は仮面を外した
けっこう格好いい顔してんじゃん
俺の方が格好いいけどな！

「そなた、名は？」

「……天上院明日香よ」

「そうか……」

では明日香よ、余の后にならんか？」

「「「「「は？」」「」「」「」」

え？ 今なんて言ったんだ？

「余の后となり、共に冥界に行こうではないか！
余はお主ともっと一緒に居たい
こんな楽しかった時間は初めてなのだ！」

「冥界って……私に死ねって言うてるの！？」

「あんな楽しかった時間、1度だけでは勿体ない
余はもっともっとそなたと一緒に居たい
だから、な？」

「な？」

って言われても……」

えっと……何が何やら……

「却下だ貴様！」

俺は明日香の借金をまだ全額返して貰ってない！
更に、それとは別に明日香を連れて行かれると色々と困る！
よってそれは絶対に許さん！

（まだまだ明日香は利用価値が存在するんだ！
それに原作キャラを持って行かれるとまた面倒になる！
あ、でも明日香が居なければ吹雪を完全に操れるようになるか？
それはそれで美味しいような……いや、でも………だけど利用も………
悩むな）」

明日香……まだ借金返し終えてないのか
どれぐらい借りてるんだろう？

「う……」

（借金はともかく、別の理由？
それはそれで気になるけど、絶対に駄目って言われてる………うううう
大事にされてるのか、それとも借金だけの理由なのか、はたまたそ
の別の理由なのか
どれにしても、瑞貴は私の為に怒ってるから………あうあうあう）
わ、悪いけどお断りさせてもらうわ

私はまだ死ぬ気は無いし、貴方と婚姻を結ぶ気も無いわ」

「ならば死後ならどうだ？

100年ぐらい待てばお前を後にできるか？」

「し、知らないわよ

私だって愛する人ができてるかもしれないわ
その時は貴方の后になる事はできないもの」

「そうか……でも、決闘はしてくれるか？」
デュエル

「貴方もしつこいわね……
そんなに相手が欲しいのなら、あそこに居る十代に頼んでちょうだい」

「お、俺!？」

俺が王様と決闘!？」
デュエル

「しかし余はそなたと……」

「あの男なら楽しい楽しいって言って

死後永遠に相手してくれるかもしれないわよ？」
デュエル

決闘は凄く楽しいって毎日のように言ってるもの

貴方の相手もずつつつつつとしてくれるわよ

私には及ばないけど、けっこう強いしね」

ま、毎日と言ってないぞ！
しょっちゅう言ってるけど！

「ではそなた、お主の死後を楽しみにしてるぞ！」

「あ、ああ……俺も楽しみだ」

なんか、俺の死んだ後の事が決められちゃった
まあ楽しそうだからいいけどさ。

「話は済んだだろ？」

だったら早く下ろしてくれ！」

「ちょ！ 泣きそうじゃない！

大丈夫なの瑞貴！」

「な、泣いてなんか無い！

もうそろそろ我慢の限界だ！

いい加減に下ろさないと殴るぞ！」

いや、本当に涙目になってるし

明日香が瑞貴を支えたと思ったら瑞貴はすぐに明日香に抱きついた

「あーはいはい……えっと、王様？

私達を下ろしてください

このままだと瑞貴が本当に泣き出しそうなので

（だ、だから瑞貴、そんなに強く抱きしめないでよ……

恥ずかしい……ああああああううう

お願いだから早く下りて！）」

「ふむ……わかった

すぐに下ろそう」

高い場所に上がっていった船から王様の声が聞こえた
なんでも、待ってるって……

なんとか瑞貴は回復して歩けるようになった

明日香は何故か腰を抜かしたらしく、瑞貴とは逆に歩けなく……

結局、瑞貴が明日香の肩を担いで明日香をレッド寮に連れて帰った
カミューラの部屋に明日香を預けて瑞貴は部屋に戻った
俺達は晩飯を食いに食堂に行った。

翌日、聞いた話では明日香はカミューラの部屋から出てきたらしい
どうやらそのままカミューラの部屋で寝たと思われる
明日香は大丈夫だったのか？

そんな疑問から明日香本人に訊いてみた
とりあえず大丈夫だってさ
よかったよかった。

視点 瑞貴

し……死ぬかと思った
やっぱり高い所は怖すぎる！
あんな船、二度と乗って堪るか！

俺は飛行機には生涯絶対に乗らん！
船も色んな意味で怖いからあまり乗りたくない！

……って、通信？
やばい……出遅れてる事を怒ってるか？

「何か用か？」

『……………』

「分かってる分かってる、俺は仕事は真面目にする
だから少しだけ待て、必ず数日中には動く」

『……………』

「安心しろって
俺は裏切りったりしない
どの道、残りの数は少ないんだ

俺が動くタイミングは今しか無い」

『……………』

「ああ、この俺……」

セブンスターズの1人、月桂樹として奴らに戦いを挑む裏切りの名を持つ者としてな」

さあ、俺が6人目のセブンスターズだ
お前らはどう動く？

主人公達よ……楽しそうだ！

あ、駄目だ……胃が痛い

早く負けて自由になろつと、板挟みは結構辛い

鍵を奪えば報酬をくれるんだし……それさえ貰えばさっさと負けよう
どの道、奴との契約内容は鍵を奪う事だしな
1個でも奪えば報酬は入る、そうなればすぐに離反するだけだ。

鍵を1個でも奪えば契約は果たした事になるんだ、ならばもう裏切りじゃないしねえ

金さえ貰えればもうお前に用は無いよ、糞爺
影としてカムフラ使用、戦って勝つ

それで月桂樹を倒したと学園に報告、これでまた報酬。

いやあ、学園も爺も騙すのは大変だったが
これで俺の貯金が増えるねえ

学園は内容に関わらず、〇〇〇万はくれるらしいし
爺なんて、鍵1個につき〇億だって言うんだもんね
ボロい儲けだ。

あっはははははははは
吹っ掛けてみるもんだ！

最終的に俺の一人勝ち、これほど楽しい事はそう無いさ！

しかし……原作の6人目って誰だったんだろうか？

俺が選ばれたのは、どうも俺の圧倒的な戦い方と性格が爺に伝わっ

たかららしい

報告したのはアムナエルだろうけどな。

切欠は簡単、謎のメールが来たからだ
俺を雇いたいとな……正体は教えられなかったが
俺は契約内容を全て確認し、了承した。

最初に俺が狙う相手は……やっぱりお前だよ
楽しみにしておきな……ふふふふ。

あ、当然ながら変装するぞ？

変装用の服は何着も持ってるしな。

そもそも、負けても問題無いし

理由1、俺は闇のアイテムは持っているが身に付けてない
これでは闇のゲームは起こすに起こせないからな

理由2、操られていたと言い訳できる

実際、吹雪は操られていたしな

理由3、俺が負けても俺も七星門の鍵を持つ者

俺が負けても勝手に鍵は送られる、だから初戦で負けても鍵が1個
は開くので報酬は確実に貰える

俺が1人を倒して負ければ報酬は倍、2人を倒して負ければ報酬は
3倍だ

いやあ、本当に良い儲け話だね。

35話【盗掘団 王様 そして6人目……】（後書き）

吹雪の記憶が中途半端ってどういう事？

明日香がダークネスと戦ったからです

明日香が良い切欠となり、原作よりも記憶が戻っている状態ですが、しかし、完全に戻すと問題が出るので止めました

結果、明日香の事だけは覚えており、過去の話までは覚えていない覚えているのはそれぐらいなので酷く中途半端です。

将棋の例え……

ルールを知らない人はご自分で調べてください
作者はチェスよりも将棋の方が得意です。

瑞貴の考えている事が相変わらず酷い……

基本です、今更でしょう。

20重ロックって……

更に何度もセキュリティは進化しています
今後は更に増えるでしょう。

カムフラを道具扱い……

その為に捕まえたのです。

明日香の服って……

体が動かなかった時の件で置いていた服です

明日香は忘れていましたし、何日も住んでいたので違和感が……

瑞貴が超弱い！

超弱いですね

高い所が苦手という設定がここで生きてくるとは思いませんでした。

瑞貴の顔が赤くなった理由は？

怒りと恥ずかしさからです

明日香に抱きついていて意識している

そんな事は全く有りません

……お前は女に興味が無いのか！？

で、実際に無いの？

微妙ですね……あまり無さそうですが。

びみよーに、擦れ違ってない？

微妙にですが擦れ違っています

瑞貴は明日香の実力の方が高いと思っているからの発言

明日香からすれば瑞貴が本当に信じてくれていると思う

少し何かが違います。

明日香がやる気を出した理由は？

信じていると言われて嬉しくないはずが無いでしょう？

アドビス三世が強い！？

強化しました

原作は弱すぎますので。

今回の明日香のデッキは？

E・HEROデッキと戦士族デッキを混ぜた新しいデッキです

今回普通のE・HEROはプリズマーですが、他にも数枚入っています

このデッキの目的は手札破壊を中心としています
デッキ破壊までしてしまいましたが、それは目的に有りませんでした

今回のデッキ破壊は偶然の事故ですので勘違いしないでください。

明日香の言っていた恐怖からの言葉って？

怖いから自分のやる気を出させる為の嘘かと疑っています
なお、瑞貴の言う事は本音です。

瑞貴の説明は小さな優しさでできていま……す？

微妙ですね……馬鹿にしているのも事実ですし。

手札断殺って何か変じゃない？

原作効果です

手札抹殺に近い効果になっています
ですのでミスではありません。

ドラゴニック・フォース
竜魂の力を何故デッキに？

それは秘密です

今後、明日香が戦った時に理由を知る事ができるでしょう。

明日香を后って……

どうもアニメの十代戦の後を見ると……こんな流れになっても
おかしくないんじゃないか？

と、思いました

ぶっちゃけると作者の暴走ですね。

瑞貴と明日香の本音がお互いに……

何を言っているのか自覚していない瑞貴でした

明日香はモヤモヤと……お前ら本当は相思相愛なんじゃないか？
そう思われても仕方無い状況です。

瑞貴が子供のようにだ……

元々恐怖を感じている状態なんです

その状態で不機嫌になったので……ちよつとキャラを崩壊させすぎましたね

反省はしますが、修正する気にはなれませんでした。

あうあうあうあうあう

混乱中です。

男の人に抱きつかれてる（以下略）

大混乱中で大パニックに陥っています。

月桂樹って？

花の名前です

花言葉は勝利、名誉、そして裏切りです

お似合いの名前でしよう？

た、タイタンは！？

タイタン戦をよく思い出してください

彼は闇に堕ちていません

今も変わらずインチキ闇のゲームで裏世界を歩き回っているでしょう。

瑞貴のやっている事が……

最低ですね、はい

でも裏切ってはいません

何故なら、どちらの依頼も受けていますが依頼内容が……

学園 セブンスターズを倒す

糞爺 鍵を奪う

裏切っていないでしょう？

嘘は言っていないません、隠し事をしているだけです。

何故これを読者に晒したの？

これはもうレイ登場前からずつつつつと考えていた事です
出したくて出したくて仕方がありませんでした

もう我慢できず、暴露する事を決めました

やっと暴露できてスッキリしました

これで作者の頭痛の種が減った！

……これからどうしようという、新しい頭痛の種が産まれましたがね。

どんな変装を？

お楽しみに。

原作、アニメオリジナルカード

魂を導く物

自分の場のモンスターを生け贄に捧げて発動

そのモンスターの攻撃力分のライフを回復する

神秘の中華鍋の下位相関ですね、通常魔法ですし。

36話【悪魔の契約 神の裁き】（前書き）

今日は時間が有ると思って油断していました
おかげで時間ギリギリに完成です
特に最後は急いだので雑になってるかも……誤字が多そうで怖いで
す。

ちょっと展開が強引だと思います

あんまりしたくなかったのですが、思い浮かびませんでした
ですので今回はこれで勘弁してください……頭が痛くなりそうです。

もう1話に2戦も詰め込むのはしません

絶対にしません、疲れました

二度としません、なんだかんだと伸ばして次話に回す事にします。

次話……そう、次話です

全く何も考えていません

こっちの意味で頭が非常に痛い事です。

36話【悪魔の契約 神の裁き】

視点 明日香

私達、七星門の鍵を持った者全員が校長室に集められた
何か有ったのかしら？

「皆さん、よく集まってくれました
実は……セブンスターズから挑戦状と思われる手紙が来ました」

「「挑戦状？」」「随分丁寧な奴だな、敵なのに（俺が出した
んだけど）」

いや瑞貴、それは関係無いんじゃないの？

「手紙もそうですが……」

問題は、手紙が校長室に置かれていたという事です」

「校長室について……セブンスターズがここに侵入したって事か！？」

「だろうな

という事は、敵さんはこちらの事を知っていると見た方がいいだろう」

「そうね、セキュリティも起動しているはずだし
なのに侵入できるという事は機械の操作に慣れているかもしれないわ
情報も、知ろうと思えば知れるでしょうね」

「（マスターキーを使っただけなんだけどね）」

相手はかなり厄介そうね

そういえば手紙の内容は何かしら？

「手紙の内容ですが、敵は相手を指名してきています

指名相手が特定の時間に特定の場所に現れた時、その相手とだけ戦うそうです」

「で、その指名者は？」

厄介な敵といえば瑞貴ね

でも一番倒しているのは私

十代は狙いやすく、万丈目君は誘き寄せ易い……駄目じゃない！

「敵が指名してきた相手

それは……万丈目君、君です」

「万丈目が指名された!？」

潰しやすい者から狙ってきたか

となると次は十代、私、瑞貴の順かしら？

実力から考えてもね。

「万丈目さんだ

ふふ、敵さんも俺の実力が分かっているみたいじゃないか」

「なお、指名した理由ですが……

髪型が気に入らないだそうです」

「「か、髪型!？」」「アホらしい……(良い理由が思い浮かばなかったんだ)」

………凄く個人的な理由ね

単に理由が思い浮かばなかっただけじゃないのかしら？

「俺は指名されてないんですよ？」

(自分で出したんだから分かってるけど)」

「まあそうですね」

「なら俺は帰らせてもらう

精々頑張れよ、電池」

「サンダーと呼べ!」

瑞貴はそのまま出て行った

関係無いんだったら関わりたくないものね。

「……瑞貴の事はともかく、校長
時間と場所は？」

「時間は今から1時間後、場所は裏の森の中です」

「へっ、腕が鳴るぜ」

万丈目君は気合を入れてるけど……大丈夫かしら？
油断しないといいんだけど。

一時解散

私は瑞貴の部屋に行こうかしら……

そう思い、瑞貴の部屋に向かった
部屋を叩くも、返事が無い
帰るって言ってたのに？

仕方無く、瑞貴が帰るまで話し相手になってもらおうと思い
カミューラの部屋に行くも、彼女も不在
こんな昼間に？ 寝ていても起きてくるはずなのに。

時間ギリギリまで待つけど、瑞貴は帰ってこなかった
どこに行ったのかしら？

そして万丈目君、十代と合流して森に向かう
他の人は来ていないわ。

カミューラ戦の時の瑞貴の事を思い出したからよ
だから翔君と隼人君には来る事を遠慮して貰った
亮や三沢君も邪魔だろうと諦めたわ。

暫く探し歩く

そして巨大な木に辿り着いた
木の下には兄さんとカミューラが縛られている！？
どうなってるの！？

「兄さん！ カミューラ！」

「どうなってるんだ！？

吹雪さんは瑞貴の部屋、カミューラはその隣の部屋に居るはずじゃあ……」

カミューラはなんとか木陰に隠されているから大丈夫だけど辛そう
やっぱり日の出ている時に外へ出るのは辛いよね。

「ようこそ、鍵を持つ者達よ」

「「誰だ!？」」

木の後ろから目元だけ穴が空いており、頭から被るような形の真っ
黒な仮面を付けた者が現れた

仮面の額には闇のアイテムの証とも思える、目玉のような模様が……
声は機械か何かで変えられているような変な声、変声機かしら？
服は白いスーツを着ており、胸元のポケットには花が添えられている
更に服の上には真っ白なマントを羽織っており、仮面さえ無ければ
立派な紳士ね。

「初めまして、紳士淑女の皆様方

私の名は月桂樹、6人目のセブンスターズでございます

本日は、貴方方から七星門の鍵を頂きに参上いたしました……」

仮面の者……月桂樹は丁寧に頭を下げて挨拶をする

本当に紳士ね、ちょっと格好いいわよ？ 仮面さえ無ければ。

「随分礼儀正しい奴だな

その仮面さえ無ければな……」

「いやはや、これは手厳しい

それはそうと、私の相手をお願いします

ダンスは1人では踊る事ができません故……」

「待って！ 戦う前に兄さんとカミューラを返さない！」

「申し訳ありませんが、それは無理というものです
彼らは敗者なのです……敗者には罰が必要でしょう？
後で連れて帰り、罰として拷問し、売り飛ばします」

言葉だけ礼儀正しけど、言ってる事は滅茶苦茶よ！
兄さん達を売り飛ばすなんて、絶対にさせない！

「待ってくれ天上院君、君の怒りは最もだ
だが、指名されたのは俺……俺が戦う」

「そうですか、では共に踊りましょう
まあ、私と踊れるとは……思えませんがね」

「ほざいてろ！
行くぞ！」

「いえいえ、少し待ってください
私のデッキは2つ有ります

1つは神の裁き

1つは悪魔の契約

貴方はどちらを選びますか？」

神の裁き、悪魔の契約

名前から考えれば天使族のデッキと悪魔族のデッキ
方向性も使い方も全く違うでしょうね。

「なら俺は悪魔の契約を選択する
今度こそ行くぞ！」

「「決闘！」」^{デュエル}

私が止める間もなく、決闘が始まった
こうなれば私が止める事はできない……

「おっと、言い忘れていましたよ
この決闘は闇のゲームではありません」^{デュエル}

「なんだと？」

「私は拷問は好きですが殺すのは嫌いでしてね
代わりと言っては何ですが、私の最高の……悪魔達がお出迎えしま
しょう

私のターン、ドロー！

私は何もせず、ターンエンドです」

「何もしないだって！？
貴様、何を考えている！」

「なに、ハンデですよ
私と貴方では実力の差が激すぎる
ならば先手を貴方に譲ってあげたんです
どうぞ、この1ターンで思いっきり攻撃してください」

明らかに馬鹿にしてるわ
それとも……この行動に何か目的が？

「ちい、俺のターン、ドロー！
俺はアームド・ドラゴンLV3を召喚！

更に魔法カード、レベルアップ！

この効果により、アームド・ドラゴンLV3を墓地に送り、デッキからアームド・ドラゴンLV5を特殊召喚！

何を考えているのかは知らんが、後悔させてやる！

ダイレクトアタック

直接攻撃だ、行け！ アームド・パニッシャー！」

月桂樹は何一つ抵抗せずに攻撃を受ける

ダメージは2400、これは大きいわ

でも、あの余裕そうな態度は一体……

「ありがとうございます

貴方のおかげで、私の勝ちが決まりました」

「何!？」

勝ちが決まった？

どういう意味かしら……態と攻撃を受けただけなの？

まさかとは思うけど、ダメージを受ける事で効果を発動するカードとかかしら？

でも、月桂樹の場にはカードが無い！

「自分の場にカードが無く、更に相手からダメージを受けた時

冥府の使者が姿を現します……特殊召喚、冥府の使者ゴーズ！」

冥府の使者……

攻撃力は2700……それなりに強いわね。

「冥府の使者ゴーズの特殊能力を発動します

相手からのダメージを受けた時、その種類によって効果を発動
戦闘ダメージだった場合、受けたダメージと同じ攻撃力、守備力を

持つモンスター

冥府の使者カイエントークンを特殊召喚します！」

受けたダメージという事は……あのトークンの攻撃力2400！
この為に態と攻撃を受けたのね。

「更に、私が戦闘ダメージを受けた事によって

トラゴエディアを特殊召喚します

更にもう1体、トラゴエディアを特殊召喚しますよ」

「月桂樹の場に……一気にモンスターが4体も並んだ」

「トラゴエディアの攻撃力は、自分の手札の枚数×600となります
私の手札は3枚、よって攻撃力は1800です」

何がハンデよ！

明らかにこの為の布石じゃない！

やはり忠告しておくべきだったわ！

「くそ、俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー」

この瞬間、手札が4枚になり、トラゴエディアの攻撃力は2400
となります」

「相手の場に攻撃力2700のモンスターに、2400が3体
万丈目の奴、大丈夫かよ……」

だけど、トラゴエディアの攻撃力の維持の為にはカードを使用でき
ない

攻撃を防ぎきれれば、月桂樹の場にはモンスターだけ反撃でなんとかなるわ！

「私は手札から魔法カード、強欲な壺を発動します
これにより、デッキからカードを2枚ドロ―！
そして手札は5枚、攻撃力は3000です」

攻撃力3000は拙い！

万丈目君、伏せカード1枚で耐えきれる！？

「なら俺は、罠カード発動！ 威嚇する咆吼！
相手は攻撃宣言する事ができない！」

巧い！ これで総攻撃は防げる！

でも、状況は悪くなるばかりね……

「おやおや、やはりそう簡単にはいきませんでしたか

ならば私は永続魔法、冥界の宝札を発動します

このカードの効果は、自身がモンスターの2体以上生け贄に捧げた時
デッキからカードを2枚ドロ―します

更に手札抹殺を発動、お互いの手札を全て捨て、同じ枚数だけドロ―
します」

月桂樹は手札がどんどん減っている

今の手札枚数は3枚、よってトラゴエディアの攻撃力は1800
攻撃力を下げてまで手札交換を？

「そして墓地に存在するレベルスティーラーの効果を発動します
場のモンスターのLV5以上のモンスターのLVを1つ下げ、墓地
から特殊召喚します

私がLVを下げるのはカイエントークン、LVを1つ下げて墓地からレベルスティーラーを特殊召喚しますよ」

現れたのは攻撃力たった600の虫……凄く場にそぐわないわねでも……冥界の宝札を発動させた
という事は生け贄の為！

「そしてカイエントークンとレベルスティーラーを生け贄に捧げます
闇の侯爵ベリアルを召喚、そして冥界の宝札の効果により、デッキから2枚ドロ―
そしてベリアルの効果、ベリアル以外のモンスターを攻撃する事は
できず、魔法、罠の効果も受けません」

という事は攻撃力2800のモンスターだけしか狙えない！
攻撃力が下がったトラゴエディアを倒す事ができないじゃない！

「私はもう一度、レベルスティーラーの効果を発動します
ゴーズのLVを7から6に下げ、特殊召喚
カードを1枚伏せ、ターンエンドです」

手札は再び3枚、トラゴエディアの攻撃力は再び1800に下がった
でも攻撃できないんじゃない……

「俺のターン、ドロ―！」

（レベル調整……今奴に手札を渡すのは自殺行為だ！）

俺は魔法石の採掘を発動、手札を2枚捨て、墓地から魔法カードを
手札に加える

俺が手札に加えるのは……レベルアップ！

そして発動、これによりアームド・ドラゴンLV5はLV7へとパ
ワーアップする！

更に、アームド・ドラゴンLV7を生け贄に捧げ、現れろ！
アームド・ドラゴンLV10！」

攻撃力3000のモンスター！
これでベリアルを倒す事ができる！

「アームド・ドラゴンLV10でベリアルに攻撃だ！
アームド・ビッグ・バニッシャー！」

ベリアルは破壊され、月桂樹には200のダメージが通る
無抵抗で破壊されたけど……絶対に何か狙ってるわね。

「（よし、これで次のターンを待てば俺の勝ちだ

アームド・ドラゴンLV10は手札を1枚捨てる事で相手の表側表
示のモンスターを全て破壊できる

ドロートした瞬間に効果を使い、攻撃力3000のアームド・ドラゴ
ンLV10の直接攻撃！
ダイレクトアタック

これで俺の勝ちだ！）

俺はこれでターンエンド！」

「私のターン、ドロート

墓地に存在するもう1体のレベルステイラーの効果を発動します
ゴーズのLVを5に下げ、特殊召喚

2体のレベルステイラーを生け贄に……再びベリアルを召喚しま
す」

また最上級モンスターが……あのデッキはどんな動きをしているの
よ！？

上級モンスターが見当たらないし、下級モンスターだってレベルス
テイラーだけ

まさか、それだけで回しているんじゃないでしょうね!?

「冥界の宝札の効果で2枚ドロ
2枚目の冥界の宝札を発動します

そして永続罠、血の代償を発動、ライフを500払い、もう一度召喚権を得る……

レベルスティーラーの効果により、ゴーズのLVを4に下げて特殊召喚

私はライフを払い、ゴーズとレベルスティーラーを生け贄に捧げます
暗黒の侵略者を……召喚!」

現れたのは悪魔……月桂樹の場には悪魔族の最上級モンスターが4体
これに勝つ手段は……

「冥界の宝札が2枚発動しているので4枚ドロします
これで私の手札は7枚、よってトラゴエディアの攻撃力は……42
00!」

「こ、攻撃力4200!?
万丈目のアームド・ドラゴンLV10の攻撃力は3000
万丈目に勝ち目は無い!」

「その通りです……
行きなさい、トラゴエディアでアームド・ドラゴンLV10を攻撃
します!」

アームド・ドラゴンLV10は簡単に破壊された
そして万丈目君の場には何もカードが無い
手札も0……終わったわね。

「モンスターで総攻撃します
行きなさい、私のモンスター達よ」

「うっぐうう、うわあああああ！！！！」

これで万丈目君のライフは0
セブンスターズに負けた……か。

「私の勝ちです
貴方の鍵は頂いていきますよ」

「く……くそう！」

万丈君は悔しがり、地面を叩いている
圧倒的な敗北だったものね……

「次です、どちらが戦いますか？
ちなみに私が彼を選んだ理由ですが……簡単に勝てそうだからですよ
最も弱い者から狙うのは定石ですのでね」

「俺が……俺が弱いだと……」

「事実でしょう？
この中で最も敗北した回数が多いのは貴方です
彼らに敗れている、そうですね……負け犬とは貴方の事を言うので
すよ」

万丈目君は月桂樹の言葉に打ちのめされた……
暫く、立ち上がる気力も出ないでしょうね。

「……………次は私が相手をするわ」

「いや、俺が相手をする！」

「別々に相手をするのは面倒ですね
同時に相手になって差し上げますよ
デッキを選択してください
神の裁きか、悪魔の契約か」

「神の裁きよ！」

「わかりました、私は神の裁きを使用します
全員ライフポイントは4000、では始めましょうか？」

私と十代はデッキをセットし、構える
私達が負けたら、一気に鍵を2個奪われる
そんな事……断じて許すわけにはいかない！

「「^{デュエル}決闘！」」

「私の先攻です、ドロー」

私は魔法カード、儀式の準備を発動します
デッキからLV7以下の儀式モンスターを手札に加えます

更に墓地から儀式カードも手札に加える事ができますが、私の墓地
にはまだカードは落ちていません

私は儀式モンスター、^{パーフェクト・デクレアラ}神光の宣告者を手札に加えます
更にマジュ・ゴッドを召喚しますよ

このモンスターが召喚に成功した時、デッキから儀式モンスターか
儀式魔法を手札に加えます

私はこの効果により儀式魔法、^{デクレアラ・プロフェシー}宣告者の預言を手札に加えます」

最初のターンから儀式モンスターと儀式魔法を手札に加えるですって!?

という事は……来るわね!

「私は手札から儀式魔法、デクレアララー・プロフェシー宣告者の預言を発動します

手札か場より、LV合計が6になるように生け贄に捧げなければなりません」

「LV6? LV6以上じゃないの?」

「はい、この儀式モンスターを出すには必ずLV合計が6でなければなりません

私は手札の緑光グリーン・デクレアララーの宣告者と場のマンジュ・ゴッドを生け贄にします

現れなさい……儀式召喚、パーフェクト・デクレアララー神光の宣告者!」

現れる巨大な天使……守備力2800

強い相手ではないけど、厄介には変わり無いわ。

デクレアララー・プロフェシー「宣告者の預言の効果により、儀式の生け贄となったモンスターを

1枚手札に戻します

私は緑光グリーン・デクレアララーの宣告者を手札に加えますよ

更に、閃光の宝札を2枚発動します

このカードは自分の魔法、罠ゾーンを1箇所使用不可能にしてしまう厄介な永続魔法だね

しかし、2枚発動している限り、私はドローフェイズに2枚カードをドローする事ができます」

自分の魔法、罠を犠牲にしてまでのドロー加速か!

つまり、月桂樹は永続魔法と永続罠を使う気が無いという事ね

そうでなければ、場が圧迫されてしまい、邪魔にしかないもの。

「私はこれでターンエンドです
貴方達のターンですよ？」

「なら俺のターン、ドロー！」

俺は手札から融合を発動！

手札のスパークマンとクレイマンを融合させ、サンダージャイアントを融合召喚！

更に、融合召喚に成功したサンダージャイアントの効果を発動

このモンスターよりも元々の攻撃力が低いモンスターを、破壊する
！」

よし、これであの神光パーフェクト・デクレアラの宣告者を破壊できる！

神光の宣告者の守備力は2800と高い、でも攻撃力はたったの1800よ！

「そうはさせません

神光の宣告者の効果を発動しますパーフェクト・デクレアラ

手札の天使族モンスター、緑光の宣告者を墓地に送りますグリーン・デクレアラ

相手のモンスター効果を無効にし、破壊します！」

「なんだと!?!」「なんですって!?!」

サンダージャイアントが破壊された！

でも、月桂樹の残り手札は1枚、そう簡単に手札に天使族は無いわ
ならば次の私のターンで……

「なら俺はカードを2枚伏せ、永続魔法、悪夢の蜃気楼を発動する
相手のスタンバイフェイズ時、デッキから手札が4枚になるように

ドローする

そして自分のスタンバイフェイズ時、ドローしたカードと同じ枚数だけ捨てる

俺はこれでターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！」

私はE・HEROプリズマーを召喚し、効果発動！

私はE・HEROマッドボールマンを見せ、デッキからバブルマンを墓地に送る

そして、プリズマーはこのターンの間、バブルマンとして扱うわ！
更に魔法カード、突然変異^{メタモルフォーゼ}を発動！

場のモンスターを生け贄に捧げ、同じLVの融合モンスターを特殊召喚するわ！

私はバブルマンを生け贄に捧げ、バブルマン・ネオを特殊召喚する！」

「許しません、^{パーフェクト・デクレアラ}神光の宣告者の効果を発動します

手札を天使族、センジュ・ゴッドを墓地に送る事で相手の魔法カードの効果を無効にします」

「「そんな！」」

どういう事なの……天使族を捨てて無効にできるのはモンスター効果じゃ……

まさかあのモンスター、魔法、罠、モンスター効果を全て封じられるんじゃない！

^{パーフェクト・デクレアラ}「神光の宣告者は天使族を捨てる事で

魔法、罠、モンスター効果……これらの発動を無効にし、破壊します
このモンスターはその名の通り、パーフェクトなのです」

拙い、突然変異の効果でモンスターを生け贄にするのはコストだからプリズマーは戻ってこない……更に私は既に通常召喚を行っている

そして手札に融合が無い……

「私はカードを2枚伏せ、ターンエンドよ！」

「私のターン、閃光の宝札の効果により、2枚ドローします」

「だが、この瞬間に悪夢の蜃気楼の効果発動

デッキから手札が4枚になるようにドローする

俺達の場合は共有しているから、明日香も4枚になるようにドローだ
！」

そう、私はその為に手札を2枚伏せたのよ

これで私も2枚ドローできる！

「そう簡単に手札補充をさせるとでも？

手札から天使族、スケルエンジェルを墓地に送ります

悪夢の蜃気楼の効果が無効、残念ながら破壊です」

そうか、あの効果は発動を無効にする効果

ならばこうなるのも当然とも言える！

なんて厄介なモンスターなの……

「私のターンはまだ終わっていません

魔法カード、強欲な壺を発動します

デッキからカードを2枚ドロー！

ふむ……モンスターをセットし、ターンエンドです」

態々モンスターをセットした？

無効効果よりも重要な事をしてくるつもりなのね

悪魔族ほどの力はないけど、代わりに厄介さが圧倒的に増したわ！

「俺のターン、ドロー！」

俺は強欲な壺を発動！ デッキから2枚ドロー！

そしてバーストレディを召喚し、守備モンスターに攻撃だ！」

月桂樹の守備モンスターは……マシユマロン！？

戦闘破壊耐性を持った上、裏守備表示で攻撃された時

相手に1000ポイントのダメージを与えるモンスター！

「マシユマロンの効果発動

裏守備表示のこのモンスターを攻撃した場合

相手に1000ポイントのダメージを与えます」

これで十代のライフは残り3000になった

厄介なモンスターしか持ってないのかしら？

「くそ……俺はこれでターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！」

私はE・HEROエアーマンを召喚するわ！

デッキからHEROと名の付くモンスターを手札に加える

私が手札に加えるのは……E・HEROオーシャンよ！

私はこれでターンエンド！」

「では私のターン、2枚ドロー

マシユマロンを生け贄に捧げ、光神テテウスを召喚します

更に魔法カード、打ち出の小槌を発動

このカードと手札のカードを合わせ、デッキに戻します
そしてデッキに戻したカードの枚数分だけドローします

2枚ドロー……私は今ドローしたカード、バイオレット・デクレアラ紫光の宣告者を相手に見
せます

この瞬間、テテュスの効果が発動、ドローしたカードが天使族だっ
た場合

相手に見せる事で更にカードを1枚ドローできます！」

「ちょっと待てよ

って、事は天使族を引いたらもっと引けるって事か？」

「いえ、それだけじゃなわ

天使族が手札に増えるという事は、パーフェクト・デクレアラ神光の宣告者のコストが増える
という事よ

つまり、私達のカードは大半封じられるようなもの……
なんとかして早く神光の宣告者を倒さないと！」

「頑張ってくださいね

ドローします、ドローしたカードはアテナ、更にドローします
ジェルエンデュオを見せてドロー、勝利の導き手フレイヤを見せて
ドロー

残念ながら終わりですね……しかし、私の手札には天使族は最低4
枚入っています

頑張って突破するんですね」

つまり、最低4回、最高5回止められるのね

打ち出の小槌の効果でドローしたのは2枚

見せなかったとは言っても、もう1枚が天使族じゃないと勝手に思
い込むのは拙い！

本当に信用できるのは手札が0枚になった時だけよ。

「私は既に通常召喚を終えています

私はこのまま、ターンエンドです

攻撃はしません」

攻撃されないのは助かるけど、全く解決になってないわ！

攻撃力2400のテテュスト、守備力2800の神光パーフェクト・デクレアラの宣告者

魔法、罠、モンスター効果を無しでこのモンスター達に勝てるの？

「俺のターン、ドロー！

フュージョン・リカバリ
俺は融合回収を発動する

融合に使用したモンスターと融合のカードを手札に加えるぜ！」

パーフェクト・デクレアラ
「神光の宣告者の効果を発動します

手札のジェルエンデュオを墓地に送り、無効にして破壊します！」

「やっぱりそうか……クソッ！

ターンエンドだ！

（俺の伏せカードは非常食とヒーロー・シグナル

攻撃されないと発動できないし、墓地に送るカードも無い）」

「私のターン、ドロー！

（この手札なら動いてみるか！）

私は融合を発動するわ！

場のE・HEROバーストレディと風属性エアーマンを融合し、E・

HERO Great TORNADOを召喚！

（融合を効果で防がない？ 何故？）

E・HERO Great TORNADOの効果を発動！」

「それは無効にします

手札のジェルエンデュオを墓地に送り、無効して破壊します!」

「まだよ、魔法カード、融合回収!」
フュージョン・リカバリー

今融合した、エアーマンと融合を手札に戻すわ!」

「無効にします

手札のアテナを墓地へ」

「なら、オーシャンを召喚し、テテュスに攻撃!」

「おい明日香!

さっきから何を……!」

オーシャンは破壊され、ライフが900減る
でも、これで行ける!

「罠カード、ヒーロー逆襲を発動!

戦闘でモンスターが破壊された時に発動!

相手は私の手札をランダムに選択し、それがモンスターカードだった場合

相手のモンスターを1体破壊して、そのモンスターを特殊召喚する
わ!

更に罠カード、ヒーロー・シグナルを発動!

戦闘で自分のモンスターが破壊された時、デッキか手札からLV4
以下のE・HEROを特殊召喚できる!」

「ふむ……戦闘破壊への効果では効果が間に合いませんね
いいでしょう、許可します!」

「よし、なら俺は非常食を発動する！」

この効果により、明日香が今発動した罠カード2枚を墓地に送り俺のライフを2000回復する！」

「そして私はデッキからフォレストマンを守備表示で特殊召喚するわ！」

そしてヒーロー逆襲の効果により、私の手札は1枚よってエツジマンを特殊召喚する！

さあ、パーフエクト・デクレアラの神光の宣告者を破壊してもらおうわよ！」

よし、これで邪魔なモンスターは葬った！
後はテテュスを倒すだけ！

「エツジマンでテテュスに攻撃するわ！」

テテュスは難なく破壊され、200のダメージを与えた
これでなんとか勝ちが見えてきたわ！

「ターンエンドよ！」

「……私のターン、2枚ドロー

我が神を葬った事を後悔させてあげましょう

私は儀式魔法、高等儀式術を発動します

デッキよりキーメイスを3枚、パーフエクト・デクレアラゴーゴン・エッグを墓地に送ります
現れなさい！ 神光の宣告者！」

また現れた！？

でも、今使ったモンスター……ゴーゴン・エッグは悪魔族のはずよ
何故そんなカードをデッキに……

「更に、墓地の光属性の天使族であるキーメイスを3枚
そして闇属性の悪魔族であるゴーゴン・エッグをゲームから除外
現れなさい、天魔神エンライズ！」

また厄介そうなモンスターが……

天魔神と言えば瑞貴が前に使用していた、天魔神インヴィシルが思
い浮かぶ

だけど、召喚条件が随分違うわね。

「エンライズの効果ですが、1ターンに1度、場の表側表示のモン
スターを1体除外する事ができます

残念な事に、その場合は攻撃できませんけどね

エンライズの効果発動、エッジマンをゲームから除外します！」

エッジマンが除外！？

拙い拙い拙い拙い、私の手札は0、十代だって1枚しか無い

それに比べて、月桂樹の場は攻撃力2400のエンライズと守備力
2800の神光パーフェクト・デクレアラの宣告者

しかも魔法、罠、モンスター効果を無効にされ、なんとか出しても
エンライズに除外される。

更に、このターン、まだ通常召喚されていない
もしもされたら……

「私は勝利の導き手フレイヤを召喚します

フレイヤは自分の場に、このカード以外の天使族が存在している時、
このカードは攻撃されません

そして、自分の場の天使族は全て攻撃力、守備力が400ポイント
上昇します！」

また厄介なモンスターを！

パーフェクト・デクレアラ

これで神光の宣告者の守備力は……3200！

手札の関係上、無効化は無理だとは思うけど

それでも状況は確実に悪化している！

「私はこれでターンエンドです」

十代のライフは5000、私のライフは3100

月桂樹のライフは3800

十代のライフは高いけど、それだけね

このままだと負ける、早くどうにかしないと！

「俺のターン……ドロー！」

フォレストマンの効果を発動！

俺は墓地から融合を手札に加えるぜ！

（無効にされてない、なら行ける！）

更に俺は融合を発動！ 明日香、お前のカードを借りるぜ！

俺は手札のHEROとしてフェザーマンを、水属性としてバブルマンを融合する！

来い！ E・HEROアブソルートZERO！」

よし、月桂樹の手札は1枚！

パーフェクト・デクレアラ

この状態で神光の宣告者の効果を発動させるのは無理よ！

「更にフォレストマンを攻撃表示に変更し、アブソルートZEROでエンライズに攻撃だ！」

アブソルートZEROはエンライズに自爆特攻をしたわ

アブソルートZEROは反撃で破壊され、十代は300のダメージを受ける

だけど……

「アブソルートZEROの効果発動！
このカードが場から離れた時、相手の場のモンスターを全て破壊する！」

「くっ……やりますね

また私の神を滅するとは……」

「まだだ！

罨カード、ヒーロー・シグナルを発動！

デッキからクレイマンを召喚！

クレイマンとフォレストマンで直接攻撃だ！」
ダイレクトアタック

「ぐうう！」

よし、これで月桂樹の残りライフは2000よ！

「これでターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！

フォレストマンの効果を発動するわ！

墓地から融合を手札に加え、融合を発動！

場のクレイマンとフォレストマンを融合し、E・HEROガイアを
召喚！

ガイアでプレイヤーに直接攻撃！」
ダイレクトアタック

これが通れば、私達の勝ちよ！

「手札からクリボーを捨て、効果を発動します！

私が受ける戦闘ダメージは0になる!」

クリボーを手札に握っていたか!
これで今回は倒せなかった……

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ!」

「私のターン、2枚ドロロー!

私は儀式の準備を発動します!

パーフェクト・デクレアラー
デッキから神光の宣告者を手札へ

そして墓地から高等儀式術を手札に加えます!」

また!?

パーフェクト・デクレアラー
何回神光の宣告者を出す気なのよ!?

「高等儀式術を発動します!

デッキからコザツキーを3枚と、
パーフェクト・デクレアラー
バイオ僧侶を墓地に送りますよ
現れなさい、神光の宣告者!」

「くそ!

何回出るつもりなんだよ!」

「いえ、今回の目的は神光の宣告者の召喚ではありません」
パーフェクト・デクレアラー

パーフェクト・デクレアラー
神光の宣告者の召喚が目的じゃない?
どういう意味かしら?

「今回の目的は……闇属性の悪魔族であるコザツキーを3枚、光属性で天使族のバイオ僧侶を除外!
現れなさい、天魔神ノーレラス!」

また新しい天魔神!?

これで闇属性の悪魔族が何枚も入っていたのね……

「そして、ノーレラスの効果を発動します!

ライフを1000払い、お互いの場と手札のカードを全て墓地に送ります!

そして最後に、私はデッキからカードを1枚ドロウするのです」

「全部墓地へ!?!」 「リセット効果ですって!?!」

攻撃していれば勝っていたかもしれないのに……

ガイアの攻撃力は2200、ノーレラスの攻撃力は2400

十分倒せたはずよ……伏せカードを警戒したのかしら?

ヒーロー・バリアだったから正解と言えば正解ね。

「効果終了

私はドロウします……ドロウ!

……ふ、墓地の闇属性の悪魔族であるノーレラスと、光属性の天使

パーフェクト・デクレアラ

族である神光の宣告者を3枚除外

現れなさい、天魔神エンライズ!」

このドロウでそのカードを引くなんて!?!?

「エンライズで遊城十代に直接攻撃します!
ダイレクトアタック

これで十代の残りライフは2300

残りライフはエンライズの一撃で終わる

お互いに手札が無い状況で相手の場には攻撃力2400のエンライズでも、まだ諦められる状態じゃないわ!

「俺のターン、ドロ―！」

よし、バブルマンを特殊召喚！

バブルマンは自分の場にカードが無く、手札がこの1枚だけの時
特殊召喚扱いで召喚できる！

更にバブルマンの効果を発動！

自分の場にバブルマン以外のカードが無い時、デッキから2枚ドロ
―する！」

「（はあ……やっぱり主人公は嫌いだ

一部態とミスをしたとはいえ、この状況でこれだからな

まだ明日香の行動も残っている

残りライフが1000の俺には……勝ち目が無いか）」

「よし！」

俺はホープ・オブ・フィフスを発動する！

墓地のE・HEROを5枚をデッキに戻し、新たに2枚ドロ―する！

俺はクレイマン、スパークマン、フェザーマン、バーストレディ、
バブルマンをデッキに戻す！

そして、2枚ドロ―！」

相変わらず十代のドロ―は不気味ね

どうして手札0枚から3枚まで増やせるのかしら？

「……俺は手札から融合を発動！

場のバブルマンと手札のフェザーマンを融合！

E・HEROセイラーマンを召喚！

そして、摩天楼―スカイスクレイパーを発動！」

よし、これでセイラーマンの攻撃力は2400！

エンライズと攻撃力が並んだわ！

「セイラーマンでエンライズに攻撃！
アンカー・ナックル！」

「迎え撃ちなさい！ エンライズ！」

結果は相打ち

最後は私のターン……ここで私が攻撃力1000以上のモンスターをドローしたら勝つでも、引けるかしら？

「俺のターンは終了だ！
明日香、後は頼むぜ！」

「ええ……そうね
私のターン……」

もし引けなかったら負けるかもしれない
あのデッキには特殊召喚モンスターが多そうだし、見ている限りでは下級モンスターも多い
そしてまたエンライズを出したら……負ける！

「……………ドローしないのですか？」

「え？」

「ドローしないのですか？
それだけで貴女の勝ちですよ？」

「……………」

もし……万が一……

「（なんだ？ この弱気な明日香は

気に入らん……何故かは分からんが殴りたいぐらい気に入らん
元に戻すには……仕方無い、プランの変更とするか

敗北と同時に逃げる案から洗脳案にチェンジ

疲れそうだが、こんなのを見るよりはマシだな」

……私は勝てる？

勝てるの？

「（マイクをどけてつと

後は俺の演技力次第だな）

さ……」

え？ 今小さい声が……

「さっさと……やれよ明日香！」

「な、なんだ！？

月桂樹から瑞貴の声が……」

ど、どうなってるの！？

月桂樹から瑞貴の声が聞こえるのは何故！？

「（マイクを戻してつと）

まったく、煩い奴ですね

早くドロ―しなさい」

「待って！」

今の声は瑞貴なの！？」

「そうですよ？

思ったよりも精神力が高いみたいです

精神を押し潰してるのに耐えているのです

いい加減に精神の奥まで食い潰されればいいのに……
頑張るお人です」

瑞貴も……瑞貴も戦ってるの？

「もし……ここで私達が負けたら瑞貴はどうなるの？」

「最後の鍵を持っているのは彼ですよ？

最後のセブンスターズと戦い、態と負けるに決まってるじゃないで
すか

これで幻魔が復活します

そしてこの体は私の苗床となるのです」

苗床？

苗床って事は……

「月桂樹！

苗床ってどういう意味だ！？」

「そのままの意味ですよ？

彼の精神の奥の奥まで根を張るんです

これで彼の精神は死ぬでしょうね

精神崩壊という奴ですよ」

瑞貴が……精神崩壊？

そんなの……そんなの……許せるはずが無いじゃない！

「そんな事、絶対にさせないわ！

私のターン……ドロー！」

「（やっと戻った、はぁ……疲れた

負けたら仮面を投げ壊して気絶っ

あーあ、この仮面特注で10万はしたんだけどねえ
ま、どうせ今回しか使えないんだしいいか」

私がドローしたカード……

見なくても分かるわ、必ず勝てるカードだもの。

「……私がドローしたカード

それはE・HEROエアーマン！

エアーマン！でプレイヤーに直接攻撃！
ダイレクトアタック

「ここでモンスターを引くとは……はは、はははははははぐう！」

エアーマンの攻撃で月桂樹は倒れる

月桂樹のライフは0、私達の勝ちよ！

「ううううがあああああ！」

「「瑞貴!?!」」

月桂樹は突然暴れだし仮面を掻き耑っている
邪魔だと、そう言うかのように……

「じゃ……邪魔だあああ！
何よりも暑苦しい！」

月桂樹……いえ、瑞貴は仮面を投げ捨てた
仮面は壊れ、バラバラになる。

それにしても暑苦しいって……
なんというか、瑞貴らしいわ。

「はあ、はあ……こ、壊す！」

瑞貴は仮面を蹴り飛ばし、踏みつけて壊し出す
粉々になり、中に入っていたと思われる何かの機械も壊れてしまっ
ている

何の機械だったのかしら？ 洗脳の機械だと思うけど。

「頭が痛い……無理、後は任せた」

瑞貴は壊し終わると疲れからか倒れてしまう
大丈夫かしら……

近づいて確認してみるけど、特に問題はなさそうね。

「吹雪さん、吹雪さん！」

「（堅守君、確かに記憶は思い出せた
明日香がピンチになっているのを見ていたら思い出せたよ
だけど……だけど君はなんとなく許せない気がする
それはそうと、指示された通り気絶したふりをしておかないと
本当にこれで真紅眼の飛竜をくれるんだよね！？）」

兄さんは十代が見ているみたいね
あ、カミューラ！

「カミューラ、大丈夫！？」

「日が出ていて頭は痛いけどね……
（本当に痛いわよ、何で私がこんな目に……
それもこれも……って、自業自得だった
昔の私を殴ってやりたいわ！）」

とりあえず大丈夫みたいね。

ふと、瑞貴の持っていた鍵が気になった
確かポケットに入っていたはずだけど……無い！
まさか、瑞貴が負けたから鍵を奪われたんじゃない？

となると残りは私と十代だけ
残りの敵は1人、負けられないわ。

「（どうでもいいけどさ

この気絶したふりって疲れるんだよ
早く部屋に帰してくれ……体が痛い）」

36話【悪魔の契約 神の裁き】（後書き）

万丈目を最初の相手にした理由は？
弱い者から潰していくという奴です。

目玉のような模様って……

最後の方を見れば分かると思いますが、瑞貴が用意した演出の為の小ネタです

デュエリスト
闇の決闘者だぞ、そう教えているのです
勿論、闇のアイテムなどでは無いので全く無問題です。

胸元の花は？

月桂樹です

見た目は調べてみてください。

月桂樹の話し方が……

似合わないのは承知の上です
ですがこの方が関連性は低くなるだろうと思いました。

今回の瑞貴のデッキは？

冥界最上級生け贄＋悪魔族
儀式天魔神＋宣告者天使族
という感じでしょうか？

ゴーズとトラゴエディアって同時召喚は……

無理らしいです……もつと調べておけばと反省しています
しかし、これを書き直すと決闘を最初から全て書き直しになってしまいます

この回……疲れました、頭も痛いので時間ができた時に修正します

それまで申し訳ありませんが我慢してください。

パーフェクト・デクレアラ―
神光の宣告者の効果は発動と効果を無効じゃ……

見落としていました……効果の発動を無効にするかと思いましたが
相手が発動した（略）の発動を無効にして破壊する

効果の発動だけでも使用可能かと勘違いしました

ゴーズとトラゴエディアの件ですが、次からはもっとよく確認して使います

今回はもう勘弁してください。

瑞貴の態としたミスって？

パーフェクト・デクレアラ―
神光の宣告者の効果でアテナではなく、フレイヤを残す

そしてエンライズの効果を使用後、パーフェクト・デクレアラ―神光の宣告者とエンライズを生
け贄にしてアテナを出す

そしてフォレストマンを倒していれば話は変わっていました。

それって態とじゃなくて本当にただのミスじゃ……

あの状況でフレイヤを出すメリットはあまり有りません

攻められる状況になるであろうに、エンライズは攻撃できないので
生け贄にするべきです

あそこでフレイヤを残す人はそうは居ないでしょう。

瑞貴は弱気の明日香の何が気に入らなかったの？

教える事はできません

質問も受け付けません。

仮面に10万!?

特注ですから。

最後にエアーマンを選んだ理由は？

よく言うじゃないですか、空気を読む男エアーマンって
あ、読めないですか？ 気にしない気にしない。

壊した仮面の中に入っていた機械ってどれぐらいするの？

ほんの十数万程度です、勿体ない……

しかし、報酬で億の単位を貰えるので奮発しました。

吹雪さん！？ あんた何釣られてるの！？

レッドアイズ・ワイバーン
真紅眼の飛竜の効果ですが

通常召喚していないターンのエンドフェイズ時に効果を発動
このカードを除外し、墓地の真紅眼の黒竜を特殊召喚できる
という効果ですので、釣られました！

吹雪は瑞貴の何を許せないと？

本能的に何かに気付いたのでしょうか

何になって？ それは秘密です。

そういえば万丈目は？

落ち込みながらも決闘を見ていました
デュエル

最後の奇跡に、全万丈目が……とか何とか。

この後どうなったの？

次話で後日談を書こうと思います

はい、今決めました。

そういえばどうやって帰ったの？

明日香が瑞貴を、十代が吹雪を連れて帰りました

万丈目は日傘を持って来てカミューラを連れて帰りました

万丈目君、一言お願いします

「……何故俺がカミューラなんだー！！！！」

だ、
そうです。

37話【月桂樹戦後の夜】（前書き）

ぐはぁ！！！

~~~~~！！！！

……………バタ。

……ふう、砂糖を吐き、悶え回った後、倒れました  
今回はそんな内容です  
作者が悶えるぐらいの酷い内容です。

色々と吐きそうになりますが、生暖かい目で見てやってください  
誰か……誰かこいつらを止めてくれ！

そして作者の暴走を……暴走を止めるんだ！  
まああれです、作者はきつと疲れてるんだと思います。

それはともかく、吹雪さんの新しい呼び方が決まりました  
詳しくは本編にて……

次話は多分間に合いそうです  
そういえば今は何日連続更新なんでしょう？  
頭の中がこんがらがってきました。

ついでにお知らせ  
タグを大幅修正しました  
きつと笑えます……多分。

### 37話【月桂樹戦後の夜】

視点 明日香

月桂樹戦の後、私と十代は瑞貴と兄さんを連れて瑞貴の部屋に戻った。学園長先生への報告は十代に任せ、私は2人の看病をする事にした。

「（いや、早く帰ってくれ

これは計算外だった……どう起きればいいのか分からん）」

「（僕はいつ起きればいいんだろうか？

堅守君の指示が無い限り、起きる事は禁止されている

果てしなく暇だし、早く明日香と話したいんだけど）」

瑞貴は大丈夫かしら？

最後は正氣に戻れたみたいだけど、それまで洗脳されてたし  
もしかしたら、兄さんみたいに記憶に影響が出るかもしれない。

それはそれで借金の事を忘れてくれると思うから嬉しいけど  
でも、やっぱり記憶を失ってほしいとは思わないわ。

『あの……明日香』

『どうかしたのサラ？』

『2人とも起きてる

困ってるみたい』

「……………へ？」

「（へって何だへって!？）」「（明日香、どうかしたのかい!？）」

起きてる？

2人とも起きてる？

という事は……寝たふり？

『ちなみにいつから気付いていたの？』

『吹雪さんは最初から起きていた

瑞貴はちよつと曖昧だけど、多分明日香が運んでいる時には……』

瑞貴、最初から起きてたの？

これは……相手が瑞貴でも怒っても良いわよね？

起きていると分かったからには起こすとしましよう。

「瑞貴、起きてるんでしょ？」

兄さんも、起きてるんだったら返事して」

「（何故突然気付いた!？）

理由は分かんが確信しているみたいだし……起きるか）」

「（ぼ、僕はどうすれば良いんだい!？）」

起きようとしな……

それなら私にも考えがあるわよ？

「瑞貴、このまま起きないんだったら

学園の屋上に連れて行くわよ？」

「起きるから止めろ！  
俺を殺す気か！？」

「（弱い、弱いぞ堅守君！）」

いや、死にはしないでしょ？  
怖いかもしれないけど、そこまで怯えなくても……

「どうして気絶したふりなんてしてたのよ？」

「（気付かれると思ってなかったから言い訳を考え忘れてた  
どう言うか……これでいいか）」

意識は起きてたけど、体が巧く動かなかったんだよ  
それに明日香が運んでくれたしな、甘えさせてもらった  
（その方が楽だったし）」

あ、甘えるって……瑞貴からは想像できない言葉ね  
私を頼ってくれてるのかしら？  
そう思うとなんか嬉しい。

「（気のせいかな、何やら裏の考えが聞こえた気がしたぞ？  
堅守君、君は何を考えてそんな甘い言葉を言ったんだ！？）」

ふふ、どうせだからもっと甘えてもらおうかしら  
瑞貴も疲れてると思うし、この前のお礼も含めて看病するのも良い  
わね  
なら準備しないと……

「瑞貴、ちょっと出るわね  
できるだけ早く戻ってくるわ」

「（別に戻ってこなくても良いんだけど  
何かやる気を出してるみたいだし、水を差すのもなあ……  
ついでに、何を言っても聞き入れそうに無い、諦めておくか）  
転けるなよ」

「もう、そんなに慌てたりしないわよ  
じゃあ行ってくるわ」

「（何故だろうか……  
僕には何か全く違う事を話し合っているように聞こえる  
うーん……）」

一度部屋に帰って……  
それから……

視点 吹雪

明日香は部屋から出て行った  
どうもやる気を出していたが……何をやる気なんだろうか？

「つと白黒、もう起きていいぞ」

「……白黒<sup>モノクロ</sup>って僕の事かい？  
しかも話し方が随分とアレだね」

モノクロ  
白黒の理由を訊いてみた

吹雪↓雪↓白

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜↓黒竜↓黒

白+黒⇄白黒

白黒⇄モノクロ⇄白黒

モノクロ

間違っではないけど……年上に使う言葉じゃないよね？  
彼はこういう人物なんだろうか？

「記憶は取り戻せたか？」

「ああ、君には随分迷惑を掛けたみたいだね  
部屋まで貸してもらって、感謝してるよ」

一応忘れていた事の記憶も残っている  
ダークネスの頃の記憶は薄れているけど、元の記憶を取り戻したんだし構わない。

モノクロ  
「一応、白黒は俺に買われた身なんだし構わない  
後、話し方は留年生なんだからいいだろう？」

「留年生というのは置いておくけど  
ば、僕が買われたってどういう意味だい！？」

僕は買われた記憶なんて無いんだけど……  
というか、金も貰ってないし。

「そういえば言ってなかったな  
学園長と契約してね、前金として最初のセブンスターズの1人の身

柄を寄せと

利用法は執事やら召使い、雑用に辺りで使うって言うておいた  
そしたら構わないって許可をしてくれた

まあ元生徒という事は知らなかったけど……

（嘘は言っていない、契約時には知らなかったからな）」

学園長と契約！？

しかも前金に僕の身柄を要求だって！？

利用法はどの言い方をしても結局雑用だし！

「という事は……僕は君に逆らえないのかい！？」

「そういう事

ちなみに、個人情報には調べ済みで書き換え済み

高い買い物だったけど、大人を利用できるんだし

そう考えると安い買い物だったよ

（書き換えに渡した賄賂は高かったな……

まあ百万単位程度でよかったよ）」

今凄いい事を言われたのは気のせいじゃないと思うんだが……

個人情報には調べ済みの上、書き換え済み？

というか、人の売り買い！？

大人を利用できるって、そんな理由で僕を買ったのかい！？

高い買い物だったって、僕にどれだけの金を掛けたんだ！？

「個人情報の書き換えって、何をしたんだ！」

「ああ、留学って形になってたからな

そこを書き換えて行方不明って事にした

意識不明だったのを俺が見つけて引き取った

記憶喪失だからそのまま預かったままになっていた

細かい事は置いておき、記憶を取り戻したからこの学園に復学させた  
筋書きは以上だ、年単位で世話をしていた事になってる」

めちゃくちゃだ!!!

そんな事が認められるはずが無いだろう!!!

「ちなみに両親にはそれで通信越しでだが報告済み  
介抱していたという事を感謝されたのは置いておき、色々と話しておいた

そして世話代として暫く俺の世話係にしたいともな  
世話代とは言うが、ちゃんと給料も払うと言っておいた  
完全に納得はされなかったが……

まあ、年単位の世話代と復学費用、これからの学費は全てこっち持ち  
ここまでされたらさすがに逆らえなかったらしい  
という訳で両親公認、少なくとも卒業まではこのまま……諦めろ」

僕に味方は居ないのか……父さんと母さんも受けなくてくれよ  
確かに、内容的に受けた方が明らかに得だが……

僕だってまだ卒業してないし、中卒では就職にも影響が出る  
学園にまだ通えるのは嬉しいけど、堅守君の言いなりにならなければ  
ならない

僕に逃げ道は無いのか!?

「そうだ、明日香は？」

明日香はこの事を知ってるのかい!？」

「話してない

が、記憶も戻ったみたいだから話しておく事にした



モノクロ

（白黒には自覚は無いが、兄妹揃って俺に借金塗れ明日香の落ち込む姿が目に見えかぶな）」

よかった……僕の恥を知られる所だった

何とか明日香には言わない方向に持っていきたい！

「お願いだから明日香には言わないでほしい」

「却下、妹に思う存分怒られるがいいさ」

「いや、怒られるのは君じゃないのかい？」

だって君は僕をこうしたんだよ？

僕が怒られる謂われは無いと思うんだけど……

「いやいや、明日香は俺に逆らえないから」

「どうしてだい？」

「本人からどうぞ」

何度か訊いてみたけど教えてくれなかった

明日香……彼に何をしたら、彼は悪魔のような人だぞ！

「忘れてたけど、レッドアイズ・ワイバーン真紅眼の飛竜は明日香が帰ってから渡す

頑張ってくれたらもっとレッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜に關係するカードを渡す

だから是非とも頑張ってくれ

勿論普通の給料も払うから安心してくれ」

理解した、彼は悪魔ではなく魔人だ

そして外道の人間として色々間違っている！  
何故僕は彼に捕まってしまったのだろうか……

そんな事を考えていると明日香が帰ってきた  
両手にトレイを持っている事から食事だろうか？

「あら、兄さんも起きてたの？  
あのまま寝たふりをしてるのかと思ったわ」

「そ、それはちょっと酷くないかい？  
僕としてはもう少し妹に優しくされたいんだけど……」

「……記憶が戻ったの？」

「ああ、月桂樹と君の決闘を見ててね  
明日香が危ないと思ったら段々とね……」

「よかった……でも」

ん？

明日香が睨んでいるのは気のせいかな？  
しかもかなり怒っているような気が……

「ならどうしてすぐに教えてくれなかったの？  
私ね、ずっと心配してたのよ？」

あ……明日香が笑顔だけどころかなり怖い！  
心配掛けたのに真紅眼の飛竜に釣られたのが悪かったか！？  
って、当然か。

「いや、しかしだね……」

「言い訳無用」

兄さんの晩ご飯は抜きよ

これは私が食べるわ」

「そんな殺生な！」

「（なんとなく予想はしていたが……」

ダークネス時と大分性格が違うな、これが白黒モノクロの素か？）

晩飯云々は置いておくが……何をしに戻ったんだ？

晩飯を取りに行っただけじゃないんだろ？」

それもそうだね

明日香は何をしたかったんだ？

持って来た物は他に……鞆か。

「気にしないの

兄さんもさっきのは冗談だからね

だからそんな泣きそうな情けない顔をしないで」

明日香が厳しい……

いつの間にこんなに厳しくなったんだろう？

「はい、購買部のおにぎりとパン」

「あ、うん……ありがとう」

……やっぱり僕に厳しくないかい？

もしかして凄く怒っているとか……

「明日香、照れ隠しは止めたらどうだ？  
本当は白黒モノクロの記憶が戻ってて嬉しいんだろ？」

「そ、そうなのかい!？」

「そんなわけないでしょ！  
ちなみに瑞貴、白黒モノクロってどうしてそうなったの？」

……即答で切り捨て？

堅守君、明日香がどうなっているのか教えてくれ！

「（せっかく赤面明日香が見れると思ったのに……

お前が返事をしたから明日香が正気に戻ったじゃないか）

吹雪で雪になり白、真紅眼レッドアイズ・ブラックドラゴンの黒竜で黒  
合わせて白黒、白黒といったらモノクロだろ？ だから白黒モノクロだ」

うんうん、明日香、できれば止めさせるように言ってくれ  
さすがにその呼び方をされても嬉しくないよ。

「納得したわ  
じゃあ兄さん」

「なんだい明日香？」

「今度から私モノクロ  
兄さんの事は白黒兄さんって呼ぶわね  
止めてほしければ二度と馬鹿な真似はしないでね？」

ガーーーーー……真紅眼レッドアイズ・ワイバーンの飛竜に釣られた代償が

これか

く……ここまでされたら絶対貫かねばならない！

本当の事を言ってもあんまり信じてくれなさそうだしね、開き直ってやる！

「（……もう少しまともな態度をしてたらこんな事言わなかったんだけど

まあ、これで少しは落ち着いてくれたらいいわ）  
じゃあ瑞貴、あーんして」

え？

今なんと？　　なんと言った？

「あのな……前と違って俺は完全に体は動く  
もう頭痛も治まってるし、食べさせられなくても平気だ」

「駄目よ、心配掛けたんだから  
おとなしく食べさせられなさい」

「（やっぱり引く気は無い……よなあ  
心配掛けたのは事実だが、これは遠慮したい  
どうにか回避する方法は……駄目だ、もの凄いジツと見られてる  
何を言っても無駄なぐらい本気でする気だ）  
一応訊いておく、断っても無駄か？」

「無駄よ

はい、あーん」

「はあ……あー

（もう恥ずかしがる事じゃなくなったな

慣れたか?」

ああなるほど、これはあれかい?

あーんして、あーん

という食べさせてあげるといふ……

「つて、ちょっと待てえええええええええい!」

「どうかしたか白黒<sup>モノクロ</sup>?」 「どうかしたの、白黒<sup>モノクロ</sup>兄さん?」

明日香が本気で白黒<sup>モノクロ</sup>兄さんと!?

いや、今はそんな事を言っている場合じゃなかった!

「どうかしたつて、君達は疑問に思わないのかい!?!」

「疑問つて何が?」 「何か変かしら?」

え……もしかしてこれが当たり前なのか?

それとも自覚してるけど恥ずかしがってないだけ?

まさかとは思うけど、単に自分達がどれだけの事をしているのか自覚していないとか?

『(吹雪さん、何を言っても無駄

私は何回明日香に同じ事を言った事か……

この雰囲気慣れて、私は慣れた

少しの間だったら我慢できるようになった自分が悲しい』

「君達、自分達は何をしているのか分かってるかい?」

「看病されてる」 「看病してるわ」

君達はそれしか分かってないのか!?

端から見た自分達がどうなっているのか全く分かってないのかい!?

「瑞貴、はい」

「……あー」

「がはあ!!!」

あ……甘い!

これは甘すぎる……僕には耐えられない!

「モノクロ白黒兄さん、汚いから止めて」

「はい……」

うーん……青春なんだろうけど、何か違う気がする

見ていて恥ずかしくなるような光景だが、当たり前にも見える  
もしかしてこの2人にとって普通の事なのか?

結局、僕はおにぎりとパンを食べた

その間、明日香達はずーooooooooooooooooとこの恥ずかしい事をしていた。

だが明日香よ、口元に付いたご飯粒を取って食べるなんて……恥ずかしくないのかい?

堅守君も、当たり前前のようにされてないでもう少しリアクションを  
だね……

そもそもお互いに赤面にもなってないし、普通の顔で食べさせ食べ

させられている。

僕はお邪魔虫なのかな……どうすればいいんだろうか？  
とりあえず黙って待ってよう。

『（吹雪さん、心中……察します  
頑張って耐えて、何を言っても無駄なのです）』

暫く経ち、全員食べ終わった

ふ、耐えた……この甘すぎる地獄を耐え抜いたぞ！  
これで僕には怖い物なんて無い、何だって来てみるが良い！

「ところで瑞貴、何でセブンスターズに？  
というか、あの仮面をどこで手に入れたのよ」

「ああ、数日前に通販した仮面が来たんだ  
少し違うような気もしたが、まあ良いかと思ったんだ  
しかし……まさか操られていたとは思わなかったな」

あ、その設定でゴリ押しするんだ  
もし僕が本当の事を言ったらどうなるんだろう？

堅守君は自分から仮面を被って操られたって  
だって彼は正気の時、僕にこう言ったんだ。

………

………

………

「吹雪、俺はこれを被る



あんたの記憶を取り戻す為にな」

「それを被ったらどうなるんだい？」

「俺はセブンスターズになる

だが、自分からやったと誰にも言うなよ？」

あんたは記憶を取り戻す為に黙って待っていていればいい  
大変だろうから報酬として真紅眼レッドアイズ・ワイバーンの飛竜を渡す  
口止め料込みで演技代だ」

「……本当に記憶を取り戻せるのかい？」

「大丈夫だ、だから言う通りにしてくれ」

「わかった」

.....

.....

.....

という訳で、自分から操られる事を決めていたんだ  
でも……僕の為でも有るんだし、やっぱり言えないよな  
口止め料も貰ってるんだ、素直に黙っていよう。

「もうそんな怪しい物を買わないで  
心配するじゃない」

「趣味だ、諦めさせたかったら……そうだな  
明日香が俺の趣味に合う怪しくない物を選んでくれ」

「む……難しいわね

今度PCを借りて良い？

試しに調べてみるわ」

「好きにしな」

どう見てもカップルだね

この2人は付き合ってるのか？

だからさっきのは普通に当たり前のようしてたのかな？

試しに訊いてみるか

分かったら少しは気分がマシになる。

「ちょっと2人に訊きたいんだけどさ」

「何だ？」 「何？」

さっきから妙に息が合っていないかい？

端から見ればベストカップルだよ。

「君達2人は付き合ってるのかい？」

『（吹雪さん、その質問だけは絶対に駄目！

2人にそれを言おうと……）』

「どこをどう見たらそうなるんだ？」

「白黒兄さん……頭大丈夫？」  
モノクロ

「明日香！ 頭って酷くないかい！？」

欠片も自覚無しなのか!?

更に明日香には頭を心配された!!!

「どいつもこいつも……いい加減にしてくれないかな

何故俺が明日香と恋人なんかになるんだか

(そもそも、明日香が俺に好意を持つとは思えないし)」

「(その言い方は傷つくから止めてほしいんだけど……

それに瑞貴が私を好きになるとは思えないわ)

私としても、瑞貴と恋人同士に見られるのは変だと思うわ

どうしてみんなそんな勘違いするのかしら?」

ええ!?! どう見てもお互いに引かれてるようにしか見えないのに  
自覚無し!?!

明日香はちょっと傷ついている感じがするんだけど、堅守君は当然  
のように否定しているだって!?

というか、何回も同じ事を言われたのに全く自覚できないって凄ま  
じい鈍さじゃないか!

どうしてこの2人はこんなに鈍いんだ!?

「あ、そうだ瑞貴

モノクロ 白黒兄さんをいつまでここに置いておくの?

一応、ブルー生徒なんだけど……」

一応を強調しないでくれ!

僕はブルー生徒だよ!

「この部屋で預かる

モノクロ 白黒の学費とかは俺が払う事になってる

ぶっちゃけ、俺に買われた状態に近いんだ  
代わりに雑用とかしてもらうさ」

それは言わないでくれって頼んだじゃないか！  
アッサリ答えないでくれ！

「白黒兄さんモノクロも私と似た状況という事？」

「まあそうだな」

「どういう意味だい？」

明日香も僕と似た状況って……  
まさか明日香も堅守君に買われたのか！？

「私は瑞貴に借金している状態なのよ……  
だから瑞貴から面倒事を言われてるの  
そしてその面倒事の大きさに依って借金額を減らしてもらってるの」

「借金って……いくらぐらい？」

「……………〇〇万」

「高すぎないかい！？  
な、何を買ったんだ明日香！？」

「あの……カードを……  
限定カードとか、レアカードとか……  
瑞貴も安く売ってくれたんだけど、調子に乗っちゃって気付いた時  
には……ね？」

カードって……いや、確かに真紅眼の飛竜も数十万になるけど  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜自体が高いから真紅眼の飛竜は少しかだけ安いんだよね  
本体が無いとサポートカードなんて役立たずだし。

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
ちなみに真紅眼の黒竜は普通に買ったら数百万はするだろうね  
オークションとかで売ると高ければ億にもなるらしい……限定の時  
に手に入れられてよかった。

「ちなみに明日香の借金、ピーク時は8桁になったぞ」

8桁？ 8桁という事は……千万単位！？

明日香！ 買いすぎで頑張り過ぎだろう！？

「で、でも今は6桁だからまだマシでしょ！  
ここまでどれだけ苦労した事か……」

「自業自得だ」

まったくだ。

「ご尤も……本当に、もっと我慢すれば良かったわ」

しかし……どうやって2桁も落としたんだろう？

……まさか！ いや、それは無いとは思うけど……

「まさか明日香、え……えっぐはあ！」

「馬鹿な事言わないで！ そんな事するはず無いでしょ！  
瑞貴だって弱みに付け込んで、そんな事を絶対に言わないわよ！

だから私だって安心して命令されてるんだから！」

『吹雪さん、下品ですよ』

『本当にそうよ』

サラも、こんな兄だけど……あんまり幻滅しないでおいでね？』

『いや……その……わかった』

（元々こんな性格だって知ってたし）』

「す……すまない……」

しかし……鳩尾は反則……だ」

馬鹿な事を言うんじゃない……凄まじく苦しい  
しかし勘違いしても仕方無い気がするぞ？

「（脅してそんな事しても楽しくないだろうが

モクロ

白黒は美学に欠けるといふか……嫌々やってる奴として楽しいのか？

そもそも、俺は本気で嫌がる事は滅多に命令しないぞ

恥ずかしがってる顔を見るのは好きだが嫌がっている顔を見てもあまり楽しくない

まあ……悔しそうな顔や屈辱に思っている顔を見るのは大好きだが  
な）」

………

………

………

そんな感じで過ぎていく時間  
気付けば既に夜遅くになっていた。

「おい明日香

そろそろ帰らないと拙くないか？」

「もうそんな時間？」

「……ちよつとトイレ借りるわね」

「いや、構わんが……」

明日香は何故か鞆を持ってトイレへ……  
何故鞆を？ 見せたくない物でも入っているのか？

出てきた明日香は……何故パジャマ？  
まさかとは思うけど、泊まったり……する気か？

「泊まるのか？」

別に構わんが寝る場所はどうする？」

「白黒兄モノクロさんを追い出すから気にしないで」

はい？

え？ 明日香、どういう意味だい？

「カミューラの部屋に突っ込むのか？」

しかし、だったらお前がカミューラの部屋に行くべきだろう？」

「カミューラの部屋に泊まると話が終わらないのよ  
気付いた時には深夜の2時や3時なんて当たり前なもの」

「ま、待ちたまえ！

男女同じ部屋で寝るなんて僕は許さないぞ！」

「何を今更」

へ？

「元々明日香がこの部屋で寝る事に慣れたのは白黒モノクロが明日香に怪我をさせたからだぞ？

別に明日香に手を出す気なんて全く無いし

白黒モノクロが明日香に怪我をさせなければこうはならなかったしな  
原因が言っても……なあ？」

「（手を出して欲しいと言うつもりは無いけど、全く無いと言われるとちよつとプライドが……）」

実際、1週間近く泊まらせてもらったけど、何も無かったわよ？

あの時は瑞貴には迷惑を掛けたわ……

それにあの時泊まっていた間、ここで寝る事に慣れちゃってね

女子寮で寝ると落ち着かなくなったのよ

と言うわけで瑞貴、今後時々来てもいいかしら？」

「好きにしろ、俺はどっちでも構わん

（寝ている明日香の顔を突っついて遊ぶのは楽しいしな

突っついて身動ぎをしたら妙に和む気がする

こんな所に精神安定剤が有るとは思わなかったし、時々なら歓迎してもいい）」

……あの恋愛に全く興味の無かった明日香とは思えないな  
だが何故だろうか？ 僕のラブセンサーに全く反応しないぞ  
本当に自然な感じがする……異性なのにここまでなるのは本当に謎だ。



「（それに……この部屋で寝ると何故か落ち着くのよね  
確かバクラとマリク……彼らと戦った後ぐらいの頃からね  
その日から2、3日しか泊まってないけど、凄く落ち着いて寝れた  
女子寮で寝ても落ち着かなくなってたし……瑞貴が許可をくれて良  
かったわ）」

『（私も吹雪さんと一緒に部屋を出よう  
これ以上は胃が痛くなりそう……）』

うーん……お互いに異性と思ってない？  
いや、そうは思えない  
だとすると……異性以上に別の存在に見ている？  
あー……訳が分からない！

……  
……  
……

結局僕は追い出され、カミューラの部屋に押し込まれた  
カミューラは僕を哀れみの目で見てくれた……

「カミューラ……明日香が……明日香が……」

「あんたもあの糞甘い雰囲気を味わったのね  
なんであの2人がくっつかないのか、この事で何日も頭を痛めてる  
わ」

『本当に……私は胃まで痛くなってきた  
聞こえないのは分かってるけど、少しだけ愚痴らせてくれ』

「そうか、その気持ちはよく分かるよ  
僕もその洗礼を受けてきた、アレはいつまで続くんだい？」

「……諦めるか慣れなさい

私は諦めたわ、慣れる自信が無かったからね  
あんたも辛いのなら諦めるか慣れる事を覚えなさい  
砂糖を越えて蜂蜜を吐けるわよ」

「そうだね、頑張るよ……ごふう！」

『ああ！ 慣れてない人にアレは厳しかったか！  
吹雪さん大丈夫！？』

思わず砂糖を吐くかのように咳き込んだ  
カミューラが背中をさすってくれた……それだけで凄く楽になるよ  
うう……あのカミューラが優しくしてくれるぐらい辛かったのか  
もう君を卑怯な奴なんて言わない、だから僕を助けてくれ！

そういう視線を込めてみたが……目を晒された  
全僕が泣いた……僕は諦め、下の段のベッドで寝る事にした。

しかし……吸血鬼の彼女は棺桶で寝るんだよね？  
何故ベッドを置きっぱなしにしてるんだろうか？  
しかも2段ベッド、まあいいか……寝られるんだし。

『私も上の段のベッドを借りて寝させてもらおう  
……私の下でベッドで吹雪さんが寝てる  
私の事は見えないと思うけど……気恥ずかしいな  
さすがに私は明日香みたいと一緒に寝る度胸は無い

これで精一杯だ……明日香、君は凄い』

結局なかなか寝れず、カミューラと一緒に愚痴っていた  
僕達は親友のように仲良くなった気がする  
カミューラ、一緒に頑張ろう。

### 37話【月桂樹戦後の夜】（後書き）

……死ぬ

作者は悶え苦しんでいます

主に羞恥心で……何故こんな内容になったんでしょうか？

個人情報を書き換え！？

金の力は偉大ですね……哀れ吹雪さん。

明日香は吹雪を心配してたの？

アニメを見れば分かると思いますが、かなり心配していました  
しかし、今回ののは色々……まあ気恥ずかしくなっていました。

明日香が吹雪に厳しい！

ちょっと怒っていますから

しかし、今後はこれがデフォルトになるでしょう。

あれ？ 吹雪の真紅眼の黒竜レッドアイズ・ブラックドラゴンって……

何でも、誰かとのライバルとの絆のカードとかいう話は知っています  
しかし、吹雪は真紅眼の黒竜をアニメでも2枚所持  
ですので残り1枚はこの限定の時という事で考えました。

8桁！？ 明日香8桁も！？

という事になりました

明日香は本気でアホの子です  
もつと我慢を覚えなさい。

吹雪は明日香に何を言おうとしたの？

明日香とサラの会話から察してください。

瑞貴の精神安定剤……

お前……絶対に明日香の事が……

そう思うかもしれませんが秘密です

この件での質問には一切お答えしません。

明日香も……

以下同上、一切お答えしません。

サラは明日香から離れて行動してるけど……

まあ一部屋分ぐらいなら離れても大丈夫だと思います

隣なので、離れても5mも離れないと思いますし。

なんという吹雪×カミューラ……

気付いた時にはこうなって……って、くっついてませんよ!?

甘い雰囲気はどうにかしたい同盟になっただけです

構成員は吹雪、カミューラ、幽霊……じゃなくて精霊部員でサラです。

最後に一言、甘い!!!!!!

頑張って耐えてください

作者はこんな事を書いた自分の頭を壊したいです。

### 38話【暴走学園祭 前編】（前書き）

キャラ崩壊注意

キャラ崩壊注意

キャラ崩壊注意

はい、ちょっと暴走してしまいました（作者が）

結果、キャラが大崩壊してしまいました

特に瑞貴のキャラが……きっと疲れているんですよ、ストレスとかも溜まって

こういう時に発散しなければならいんだと思います。

所々、小さい所でアニメとずれています

大きな部分でもずれだしていたり……

もう1つ注意

新オリキャラが出ます

今回限りの可能性が高いですが、一応ちゃんとした設定付きです

多分出落ちです、番外を書くとしたらまた出るかもしれません……

…未定という事で。

### 38話【暴走学園祭 前編】

視点 明日香

明日は学園祭ね、みんな頑張ってるわ

ただ気になる事は……大徳寺先生が行方不明なのよね  
誰も居場所を知らないなんて、ちよつと変よ。

何度かセブンスターズの事件に関係してたし

十代達鍵の持ち主達に訊いてみたけど、誰も知らないって  
どこに行ったのかしら？

それはそうと、レッド寮ではコスプレ決闘デュエルなんてするらしいわね  
瑞貴や白黒兄モノクロさんはどうするのかしら？

「俺がコスプレなんてしても誰も喜ばんが……  
まあ持っている服でコスプレをするとなると」

瑞貴が取りだした服は2色の紫を妙な形の模様が入っている服  
それと灰色の仮面のような物だけど、仮面の後ろには触手のような  
のが何十本も……

瑞貴はカードを取り出し、見せてくれた。

「この、アルカナフォースO—THE FOOLぐらいだな  
他は紳士系人型モンスターのスーツとかしか持っていない  
どう見てもコスプレというのはこれしか無いのさ」

いや、それは十分に凄いわよ

邪魔にならないかしら？

というか、何でFOLなの？

「僕はコスプレする気は無いよ

でも、明日香のコスプレは見てみたいな」

「遠慮するわ、私はブルー生徒だし……

でも白黒兄さんはブルー制服を着てるけどレッド扱いでしょ？」

「うぐう！」

そうなのよね……長々と無断欠席してたんだし

扱いはレッド状態、急いでブルーに戻らないといけないのよ  
頑張ったのし上がってね。

「ああ、2人はしてもらうぞ

俺はともかく、お前らがすると見栄えは良さそうだしな  
カミューラにもさせるし」

「白黒兄さんやカミューラはともかく私まで！？」

「僕はちよつと遠慮したいんだけど……」

というか、カミューラは拙くないかしら？

吸血鬼なのよ？ 昼間に出たら……

「衣装なら持ってるぞ

学園祭を知った瞬間、取り寄せたからな」

「「いつの間に！？」」



「どこに仕舞ったったっけなあ……」

瑞貴はカードを仕舞っていない謎金庫と書かれた金庫を漁り始めた  
謎金庫って何！？ 中に物を入れてるのは貴方だけなのよ！

「有った有った」

明日香はこれ、サイバー・ブレイダーな  
モノクロ 白黒はこっちの……黒竜の聖騎士で」

私に渡されたのは全身タイツ、モノクロ 白黒兄さんに渡されたのは騎士のよ  
うな黒い服  
モノクロ 白黒兄さんはともかく、私の全身タイツは絶対に嫌よ！

「ぜ、全身タイツなんて絶対に嫌よ！  
というか、なんでこんなの買ったのよ！  
もっとマシなのは無いの！？」

「有るぞ、さすがにそんなのを本気で着せるわけない  
着せるとしたら……本当にスケートをする時か？  
とりあえず、その服はやるから好きに処分してくれ」

処分って言われても……どうしろって言おうのよ  
持っているだけでも恥ずかしいわ。

「明日香の本命はこっち、XX-セイバー ヒュンレイの服  
さすがに手っ甲と兜、剣は無理だったが服とマントなら準備できた  
ぞ」

……こっちはこっちで女性らしくないわね

格好いいとは思うけど、うーん……  
まあせっかく用意してくれたんだし、着ようかしら。

「ところで堅守君、黒竜の聖騎士ナイト・オブ・ダークドラゴンってどんなカードなんだい？  
見た事が無いカードなんだけど……」

「これ？ 超限定の真紅眼の黒竜専用レッドアイズ・ブラックドラゴンのサポートモンスターだ  
儀式魔法、黒竜降臨のカードを使ってLV4以上を生け贄に捧げる  
これで召喚されるのが黒竜の聖騎士だナイト・オブ・ダークドラゴン  
このモンスターを生け贄に捧げ、手札かデッキから真紅眼の黒竜を  
特殊召喚できる  
ま、この効果を使ったターンに攻撃させる事はできんがな」

「そ、そんなカードが存在していたのか!？」

また珍しいカードを……なんでそんなカードを持ってるのよ  
しかも、超限定カードなんでしょ？

「これは発行当時、KC社が真紅眼の黒竜レッドアイズ・ブラックドラゴンを持っている人に数枚送  
ったという話だ

世界に50枚も無いと思われるな

俺が知っている限り、あの城之内克也が使用した事が有るらしい

(ドーマ編で1回だけだな)

ちなみに、売った場合は……少なくとも億単位になるんじゃないか  
?」

「「億!?!」」

あ……目眩が……

そして瑞貴、そんなマイナーカードのコスプレをよくもまあ……手

に入れられたものね。

「じゃあカミューラは？」

「カミューラは当然ヴァンパイア・レディに決まってるだろう？  
外に出るんだから日傘も渡す」

彼女自身も吸血鬼だし、お似合いね。

「ところで堅守君、これらの衣装ってどれぐらい掛かったんだい？」

「F O O Lも含めて5着だろ？ 500万ぐらいかな？」

「「500万!？」」

ちょ、わ、え？

瑞貴が見せたのってF O O Lも含めて5着よね？  
という事は1着100万の計算になるの!？

「そうそう、明日香

この2着をその1とその2に渡しておけ  
似合いそうな服を選んでみた」

「……………ノリノリね瑞貴  
どうかしたの？」

そう、瑞貴にしては凄く不自然  
学園祭なんて絶対に興味が無さそうなのに  
ここまで色々と準備をするぐらい楽しみにしてる  
何を企んでいるのかしら？

「F O O Lの格好をすれば俺の事はそう簡単に気付かれないだろ？」

「まあ……確かにそうね

仮面みたいなのを被るんだし」

「だからな、俺だと知られずに思いっきり決闘するんだよ  
主に、俺のストレス発散の為に暴れまくる予定だ

あー何人潰せるかなー……楽しみだよ、くくく……」

なるほど、瑞貴はかなり疲れてるのね

それでテンションが振り切れてるみたい……かなり怖いわ  
原因の一部は明らかに私達兄妹ね、本当に申し訳無いわ。

「（僕としてはこっちの方がストレスが溜まってるとは……  
君達の甘い生活を見てると……また砂糖を吐きそうだ）」

「まあそういう訳でな、ちょっと自分でもテンションが変なんだ  
そのせいか、思わず似非と電池の分まで買ってしまった  
総額が3000万を超えたが……まあ大した出費じゃない」

「十分に大きな出費よ！」

ちなみに、彼らの服装は教えてくれなかった  
ジュンコともえの服も知らないし……

「あ、そうそう

俺からの服とは言うなよ？

特にその1は俺の事を嫌ってるし、着ないかもしれない  
俺の出費が無駄になるかもしれないから適当に言い訳して渡しとけ」

「あ、うん……何でジュンコから嫌われてるの？」

「気にするな」

あんまり酷い事しないでね？

友達の嫌われてる姿なんて見たくないんだから。

……………

……………

……

学園祭当日

私はヒュンレイの服を着て準備をしたわ

モノクロ

白黒兄さんは黒竜の聖騎士

ナイト・オフ・ダークドラゴン

カミューラはヴァンパイア・レディの格好をさせられた。

「2人とも似合ってるわよ」

「そういう明日香も似合ってるよ」

「日が出てて体が怠いわ……眠いし」

で、少し離れた所を見える

十代はフェザーマンの格好に、万丈目君はアームド・ドラゴンLV7の格好

これが瑞貴の渡した衣装……凄く似てるわ、似合ってるし。

そして十代の隣にはジュンコ、少し離れた場所にはももえ

ジュンコの服はバーストレディ、どう見ても全身タイツなんだけど

……瑞貴、絶対に十代に合わせたわね

十代が凄く喜んでるし、ジュンコは顔を思いっきり真っ赤にしてるけど十代が喜んでくれて嬉しそう

でも、多分数日ぐらい引き籠もるんじゃないかしら？ 恥ずかし過ぎて……でも着ると決めたのは貴女よ？

ももえの格好は何故かデーモン・ティマー

瑞貴に理由を訊いてみた所、ショタコンっぽいかららしいわももえ自身も妙に気に入ったらしく、嬉しそうな顔で鞭を振るっている

よって、彼女も周りには変態の男子しか存在しない。

瑞貴はまだかと思って探していると、誰かに背中を叩かれた

誰かと思って振り返ってみるけど……誰も居ない？

少し下を見ると……黒髪の恋する乙女？

「……って、レイちゃん!？」

「こんにちは、明日香さん」

「なんだい明日香、知り合いか？

初めまして可愛いレディ、僕の名前は天上院吹雪

明日香の兄だよ

隣のヴァンパイア・レディの格好をしてるのはカミューラだ」

「……ふん」

自己紹介は良いけど、ちゃんと挨拶ぐらいしなさいカミューラ  
相手が子供だからって失礼よ？

「初めまして、ボクは早乙女レイです  
ところで瑞貴さんを知りませんか？」

「堅守君？」

今日はまだ見てないけど……」

「ところでレイちゃん、何でここに？」

「今日、デュエル・アカデミアで学園祭が有る事を調べておいたんだ  
昨日の船に乗ってね、今まで隠れてたんだ  
明日も船が来る事は確認済み、だから今日1日遊びに来たんだ」

相変わらずの行動力ね

瑞貴に会いたくて来たのかしら？

「ちゃんと家の人に説明してきた？  
もししてなかったら瑞貴が怒るわよ？」

「大丈夫、今回は許可を貰ってから来たから  
証拠にこれ、お母さんからの許可書」

レイちゃんが見せた紙には大人の文字で外出許可書と書かれていた  
これなら確かに大丈夫ね、瑞貴も怒らないはずよ。

だけど肝心の瑞貴がなかなか見当たらないのよね  
どこに行ったのかしら？

「なんだ、来てたのか小娘」

「あ、瑞貴さん……じゃない？」

なんでF O O Lがここに？」

「あ、瑞貴

かなり凄いわね……誰か分からないわよ？」

「ええ！？ このF O O Lって瑞貴さんなの！？」

そりゃ驚くわよね……肌の色以外は殆どそのままだし  
頭の触手はどうやって浮かせてるのかしら？  
凄く重そうんだけど……大丈夫？

「堅守君……気合入ってるね  
そんなにストレスが溜まってるのかい？」

「……まあな  
そろそろ胃薬も尽きてきたし、明日にはまた買いに行かないと」

胃薬って……よっぽど疲れてるみたいね  
やっぱり大変だったのかしら？

「それはそうと瑞貴さん  
小娘はもう止めてくれませんか？  
ボクはレイって名前なんですから」

「小娘は小娘だ」

「ブー……」

あはは……瑞貴に呼び方を変えさせるのは難しいわよ？  
呼び方を決められてから誰も直して貰ってないからね。



「そういえば瑞貴、レイちゃんがここに居る事に疑問は無いの？」

「別に、前回あそこまで怒ったんだ

無断でまた来るほど、小娘も馬鹿じゃないだろう

もし無断だったら……拳骨じゃ済まさんがな」

「こ、今回はちゃんと許可を貰ってきたから大丈夫！」

「わかってるって」

ちよっと意地になったレイちゃんの頭を撫でて宥める

レイちゃんは落ち着けという意味だと理解し、すぐに落ち着く  
でもレイちゃん、少しだけ顔が赤いわよ？

「さて、そろそろ決闘デュエルできるかな？

やっと暴れられる……邪魔する奴は許さんぞ」

「ひっ！

み、瑞貴さんが怖い！」

「あんまり近づいちゃ駄目よレイちゃん

瑞貴は今日、ストレス発散の為に暴れるらしいから」

レイちゃんは巻き込まれる事が怖かったらしく、私の後ろに隠れた  
あの瑞貴……誰が止められるのかしら？

デュエルフィールド

決闘場に行く瑞貴

不気味な存在と恐ろしい雰囲気放つ瑞貴に会場がドン引き  
解説をしている万丈目君も困っているみたいね。

瑞貴はそのままジッと相手を待つ

だけど誰も入りがらない……

あ、翔君が十代を強引に入れようとしてるわ  
でも十代も遠慮したいらしく、珍しく嫌がつている。

このまま誰も入らないかと思ったんだけど……

「はいはーいーい！」

私も決闘したいでーす！」  
デュエル

そこに現れたのは……ブラック・マジシャン・ガール！？  
多分誰かのコスプレなんだけど……似すぎてるわね  
何者かしら？

「誰でもいい、始めようか  
構えろ、マジシャンの小娘」

「いきなり！？  
それに、その呼び方は止めてください！」

「なら名前は？」

「ブラック・マジシャン・ガールです」

ポーズを決めて可愛く言う  
だけど……

「で、名前は？」

「はい？」

「本名、本気で言ってるならメスガキと呼ぶぞ」

「酷すぎませんか!？」

瑞貴には全く通用しないのよね

というか、ああいうのって瑞貴の嫌いなタイプだし  
またしたら鬱陶しいって言いそうね。

「むう……ならマナって呼んでください」

「わかったよ魔娘<sup>まじ</sup>」

「今マナって呼ぶように言いましたよね!？」

「俺は気に入らない奴は絶対に名前で呼ばん  
気に入っても、一部の奴は呼ばんがな」

瑞貴、そんな事言わないの

レイちゃんがちょっと落ち込んでるわよ？

「もう！

いいです、こうなったら意地でも名前でもらいますからね!」

「呼ばせたかったら俺に勝つんだな」

お互いが決闘盤<sup>デュエルディスク</sup>を構える

険悪な雰囲気になってきたので、実況の翔君と解説の万丈目君も話  
せない

まあ、その方が静かで助かるけどね。

少し離れた場所には亮とクロノス教諭、残り1人は誰？  
アマゾネスペット虎にコスプレしてるから……三沢君かしら？  
気合入れすぎよ……瑞貴と同格じゃない？

「行くよ！」

「来なよ」

「ちょっと待ったーーーーー！！！！  
その決闘、ちょっと待ってーーーーー！！！！」

乱入者！？ 誰かしら？

えっと……コスプレはしていないけど、女の子よね？

「あの馬鹿……何故来たんだ」

「知り合いなの？」

「あれは……俺の妹だ」

「あ、妹さんだったんだ」

瑞貴の妹！？

の、割には普通よね……  
もっと凶悪な性格だと思ったんだけど。

「久しぶりお兄ちゃん」

「帰れ駄目妹

お前のせいでテンションが一気に落ちたわ  
貴様はその下がったテンションの更に下のマントルまで潜って圧死しろ」

「うん、嫌

そういうお兄ちゃんこそ真空の場所で窒息死したら？」

「死ね、糞ガキ」

妹相手にも手加減無しで暴言！？

妹さんも切り返しが凄い！ 慣れてるのかしら？

「で、俺の数少ないストレス発散の生け贄が待ってるんだ  
用件をさっさと言え」

「私生け贄だったの！？」

「じゃあ生け贄にして私を召喚するね  
という訳で、私の相手をして、久しぶりに戦いたいんだ」

「生け贄にされた上に出番を奪われた！？」

ブラック・マジシャン・ガールが哀れね……

堅守兄妹に思いつき弄られてるわ

でも、2人とも本気で言っているようにしか聞こえない  
やっぱり瑞貴の妹ね。

瑞貴と同じで普通の黒髪でポニーテールにしてるわね  
顔は可愛くて背が低い、レイちゃんより低くないかしら？

「はあ……魔娘の後に相手してやるよ  
だからもう少し待ってろ玲<sup>れい</sup>」

……玲？

玲とレイ……同じ名前！？

「瑞貴さんの妹って、ボクと同じ名前だったんだ  
それでボクの事を名前で呼ばなかったんだね」

「そうでしょうね

瑞貴自身もややこしいと思ったんじゃない？」

レイちゃん……ちょっと可哀想

自分にはどうしようもできない理由で名前を呼んでももらえないんだ  
もの。

「絶対に次、相手してくれる？」

「してやるしてやる

だから……あそこで集まっている集団と一緒に居な  
あそこのは俺の知り合いばかりだから」

「はーい」

玲ちゃんがこっちに来た

レイちゃんが複雑そうに……って、ややこしいわよ！

「レイちゃん、今度から貴女の事  
レイって呼ぶけどいいかしら？」

「うん、いいよ」

ボクもややこしいと思ってるから」

玲ちゃんは私達の前に来た

どう反応したらいいのか……全員困ってるわ。

「初めまして、堅守玲です」

「え、ええ初めまして

私は天上院明日香よ」

「僕は天上院吹雪、明日香の兄だ」

「……カミューラよ」

「ボクは早乙女レイ

同じ名前だよ」

「あ、同じ名前なんだ

お兄ちゃん、名前で呼んでくれないんじゃないの?」

「う……そうなんだ」

「やっぱり……」

兄の性格をよく理解してる子ね

良い子なのか変わった子なのか、判断に悩むわ。

「そういえば、君は背が低いけど何歳なんだい?」

「私は10歳です  
小学4年生」

「「4年生!?!」」

6歳も年が離れてるのね  
という事は瑞貴と一緒に学校には通えないか  
残念ね。

「あ、そうそう」

お兄ちゃんは元気になっていますか？  
さっきは随分元気が無かったんですけど……  
私の登場に関係無く」

「気付いたの？」

さすが妹ね、兄の事をよく分かってるわ」

「見れば分かりますよ」

でもかなり苛々してる……あのブラック・マジシャン・ガール大丈夫かな？

きつと思いつきり苛められると思う」

「でしようね、瑞貴お得意のロックデッキとか使ってきそう  
瑞貴のロックは強くて厄介だから困るわ」

「お兄ちゃんの得意デッキと戦ったんですか？  
お気の毒です、お兄ちゃんは凄く嫌がらせをしたと思います」

されたのは私じゃなくてカミューラだけだね



でも、見ていて恐ろしさは十分伝わったわよ。

会話が途切れた

そして、瑞貴とブラック・マジシャン・ガールの決闘デュエルが始まるわ。

「邪魔が入ったが、始めよう」

「お願いします！」

「デュエル決闘！」

「私の先攻、ドロー！  
モンスターをセットして、ターンエンドです」

「俺のターン、ドロー」

くくくくくく……俺はモンスターをセット

更にカードを3枚伏せ、永続魔法、通行税を発動する

お互いのプレイヤーは攻撃宣言する前にライフを500払わなければならない

払わなければ、当然攻撃も不可能……更に永続魔法、魔力の枷を発動する

お互いのプレイヤーは手札からカードを使用する為にはライフを500払う必要が有る

こちらも同じく、払わなければ使用できない」

「え？」

という事は私は後……7枚しか使えないの！？

それに、攻撃も考えると……2、3枚しか使えない！？」

「そうなるな

俺は手札は0枚、よってドローして場にカードを出さない限り支払いは無い

精々、限られた手札で頑張るんだね……ターンエンドだ」

酷い……この状況でできる事は凄く少ないわ

更にまだ序盤、魔力の枷の効果を回避できる墓地からの蘇生などもない

リクルーターを使用したデッキからの召喚には魔力の枷は対応してないけど

瑞貴のモンスターは守備表示……どうする事もできないわ。

「わ、私のターン、ドロー！」

「永続罨発動、生け贄封じの仮面

このカードの効果により、お互いのプレイヤーは生け贄を行う事ができない」

「こ、攻撃にカードの使用、更に生け贄まで!？」

これが瑞貴のロック、ブラック・マジシャン・ガールは上級モンスターの使用も封じられた

現在できる事は……難しいわね。

「(どうすれば……どうすればいいの?)

手札にあの魔法カードを破壊できるカードは無い

そして、速攻を仕掛けられるほどモンスターも充実していない

攻撃力も足りないし、相手は守備表示だからダメージも与えられない)

私は何もしないまま、ターンエンド！」

「お兄ちゃん……相当疲れてるんだね  
ここまで酷いのは滅多に見れないよ」

「そうなの？」

「うん、普段のお兄ちゃんだったらもっと優しいもん  
魔力の枷か通行税、どっかしか使わないはずだし、生け贄ぐらい  
は許してた

ここまですになると……どれだけ疲れてたんだろう？」

最初から思い出してみる

万丈目君の呼び出し、私の呼び出し、月一テストで私が乱入  
ジュンコとももえ、タイタンの時、制裁タッグ決闘<sup>デュエル</sup>

テニス部部长と強引に決闘<sup>デュエル</sup>、卵パン事件、レイの登場

学園対抗決闘<sup>デュエル</sup>、そして今回の三幻魔……

土下座しても絶対に足りないぐらい疲労が溜まってる気がするわ。

瑞貴、今度からもっと巻き込まないようにするわ

貴方が嫌っている十代を近づけたりもしないように努力もする<sup>モノクロ</sup>

白黒兄さんが馬鹿な事をしないように見張る

だからもっとゆっくり休んで、お願いだから！

「俺のターン、ドロー」

伏せていた魔法カード発動、女神の誘惑を発動

相手の手札を確認し、LV4以下のモンスターが存在していた場合  
その中から1枚選択して攻撃表示で特殊召喚する

さあ、手札を見せな」

「くっ……」

ブラック・マジシャン・ガールの手札

ブラック・マジシャン・ガール、魔術の呪文書

マジシャンズ・ヴァルキリア、賢者の宝石

マジシャンズ・サークル、見習い魔術師

「見習い魔術師を攻撃表示で特殊召喚しな  
勿論、ライフを500払ってからだ」

ブラック・マジシャン・ガールのライフは500減る

そして現れる攻撃力400の魔法使い、これではどうしようもできないわね。

「俺は伏せていたモンスターを反転召喚、ペンギン・ソルジャー  
ペンギン・ソルジャーのリバース効果を発動する

場のモンスターを2体、持ち主の手札に戻す

伏せモンスターと見習い魔術師を手札に戻してもらおうか？」

ブラック・マジシャン・ガールのモンスターは全て手札に戻った

瑞貴の場には攻撃力750のペンギン・ソルジャー

攻撃すれば瑞貴のライフは500減るけど、相手に750のダメージ

を与えられる

ライフの差は広がるわ。

けどそこは瑞貴

この場合はそんな事をしないで……

「俺はこのまま、ターンエンドだ」

更に相手を苦しめる為、何もしない  
このままだと瑞貴の勝ちでしょうね

「私のターン、ドロー！」

（無い！ 起死回生のカードも、状況を打破するカードも！  
しかも手札が多いからこのままだと手札を捨てる必要にもなる！  
どうしよう！ どうしよう！ どうしよう！）

私はライフを500払い、マジシャンズ・ヴァルキリアを攻撃表示で召喚！

こうなったら自棄よ！ ライフを500払い、マジシャンズ・ヴァルキリアでペンギン・ソルジャーに攻撃！」

「残念でした、罠カード発動、くず鉄のかかし  
相手モンスターの攻撃を1回無効にする  
そして、効果発動後、このカードを再び場にセットされる」

「そんな……」

これで、ブラック・マジシャン・ガールは攻撃を1度無駄にした  
残りライフは2500、それに比べて瑞貴のライフはまだ4000  
どうなるか……決まってるわね、瑞貴の勝ちよ。

「た、ターンエンドです  
手札が7枚なので手札制限により、1枚捨てます」

「俺のターン、ドロー  
ペンギン・ソルジャーを守備表示に変更して、ターンエンド」

「私のターン、ドロー！  
ライフを500払い、もう1体のマジシャンズ・ヴァルキリアを召喚！

ライフを合計1000払い、2体のマジシャンズ・ヴァルキリアで

攻撃！」

マジシャンズ・ヴァルキリアの攻撃は1回はくず鉄のかかしに防がれたものの

2回目の攻撃はペンギン・ソルジャーを無事に破壊した

これでブラック・マジシャン・ガールの残りライフは1000  
ライフを回復しない限り、彼女に勝ち目は無いわ。

「俺のターン、ドロー

ライフを500払い、カードを1枚セットして終了だ」

「私のターン……ドロー！」

やった！ 私はライフを500払って大嵐を発動させるよ！  
場の全ての魔法、罠を破壊する！」

「残念、カウンター罠、マジックジャマー  
手札を1枚捨て、相手の魔法を無効にする」

「酷い……私の残りライフは500  
何もできないわ、ターンエンド」

終わりね……瑞貴の勝ちよ  
もう彼女に勝ち目は無い。

「俺のターン、ドロー

ライフを500払い、女神の悪戯を発動する

このカードは相手の手札を1枚確認する

その中に魔法カードが入っていればセットさせる

さっき手札には賢者の石が入っていたな

それをセットしてもらおうか？

勿論、ライフを500払ってからだけど」

魔力の枷はライフが500未満だったら使用できないけど  
500だった場合、効果を発動にしてライフを払わなければならない  
ブラック・マジシャン・ガールのライフは500、強制的な支払い  
が発生し、ライフが0になってしまう  
これで瑞貴の勝ちね。

「お兄ちゃん……容赦無しだったね  
顔が満ち足りてるって表情になってる気がする」

FOOLの仮面を被ってて表情が見えないものね  
私からも確認できるわ、凄く満足したって口元だけで分かるわ。

「さて……次は玲だな  
玲！ 戦るならとっとと準備しろ！」

「はいはい」

「あ、魔娘、お前は邪魔だからさっさとどっか行ってくれないか？  
明日香、この魔娘をどこかにどけておけ」

「……わかったわよ」

なんと自分勝手な……しかも強引だし  
ほら、ブラック・マジシャン・ガールが泣いてるわよ？  
しかも本気で、思いつきり。

どれほど疲れが溜まっていたのか想像したくないわ  
今回は学園祭という切欠が有ったとはいえ、瑞貴はかなり暴走して

いるわね

多分、学園祭が終わった後には後悔するでしょうね  
目立ちすぎたとか、暴走してしまったとか、よく考えればよかった  
って。

「ぐす……ひく……あんなに酷い事しなくても……」

「今回はタイミングが悪すぎたわ  
マナだったかしら？ 運が悪かったわね、大丈夫？」

「うん……ひっく……もうあの人は絶対に決闘デュエルしない」

「それが賢明よ」

私みたいに瑞貴に勝ちたいと思わない限り、決闘は止めた方がいいわ  
でも、戦いたいのなら止めないけどね。

「でも、まだ自分で動けただけマシよ？」

私なんて4ターンでエクゾディアを揃えられそうになったんだから」

「私は魔法、罠、モンスター効果、特殊召喚を封じられたわよ  
動けるだけマシじゃない」

「そうそう、ある人は手札を全部捨てさせられたのよ  
カードをドローする度に全部墓地に送られたし  
瑞貴の怖さは私達も知ってるわ  
だから泣き止んで？」

「（堅守君、君はどれだけ恐ろしい存在なんだい？  
僕はやはり、恐ろしい人に捕まったらしい



どうやって逃げればいいのか？」

「瑞貴さん、凄く強いんだ……」

そういえばレイは瑞貴の決闘デュエルをまだ見たことが無かったわね  
初見でここまで酷いの決闘デュエルを見られるなんて凄いわよ？  
私も初めて見た時はグリードからの1ターンキルだけど。

『明日香、近くで見て確信した  
このブラック・マジシャン・ガール、精霊だ』

『精霊？』

……ちよつと連れ出して話した方が良いかしら？』

『それは明日香に任せる  
少しは慰められると思う』

「じゃあ、私はちよつと彼女を落ち着けてくるわね  
暫くしたら戻ってくるから、後はお願いなね」

「あ、うんわかった  
でも早く戻ってこないと瑞貴さんの決闘デュエルが全部終わっちゃうよ」

「分かってるわ  
ほら、ちよつと行きましょう？」

「ぐす、うん……すん……」

ここまで大泣きさせて……  
そういえば、瑞貴の嫌いなタイプというのも大きかったでしょうね

更に苛々も足されたのではなく、2乗されたものね  
瑞貴の不機嫌度は凄く溜まっているわ。

本当に、凄く運とタイミングと場所と時間が悪かったわね  
もう少し後に来ていればこうはならなかったでしょうに  
少しぐらいフォローしておこうかしら？

……フォローの言葉が思い浮かばないわ！  
どうすればいいかしら？

「えっと……次は瑞貴の不機嫌が悪くない時に来てね？  
もし不機嫌が悪くても、こんな事しないように言っておくから」

「うん……ぐす」

やっと泣き止んでくれたわ  
とりあえず、表に戻る。

すると……

「私のターン、ドロー！

可変機獣ガンナードラゴンを召喚！

リミッター解除を使って攻撃力を倍にする！

ガンナードラゴンで攻撃！」

「そうはさせん！

罨カード、ジャスティブレイク！

通常モンスターが攻撃された時、表側攻撃表示の通常モンスター以  
外のモンスターを全て破壊する！」

「なら永続罨、リビングデッドの呼び声！  
墓地の神獣王バルバロスを特殊召喚！」

……なによ、この超重量級モンスター達は  
攻撃力2800のモンスターの攻撃力が倍になり、更にすぐ直後に  
は攻撃力3000のモンスターが……  
こんなモンスター達が簡単に場に現れるって……どうなってるの？

「あ、おかえりなさい明日香さん  
玲ちゃんは凄いですよ、瑞貴さんと互角に戦ってます」

「瑞貴と互角！？」

「うむ、僕でも勝つ自信は無いな  
カミューラはどうだい？」

「無理よ、さすがあいつの妹だけあるわ  
カイザーとも互角に戦えるぐらいの实力は持ってるわね  
いえ、カイザーの方が不利かしら？」

「そこまで！？」

ど……どうなってるのよ！？  
誰か状況を教えて……！！

### 38話【暴走学園祭 前編】（後書き）

瑞貴のキャラが崩壊し過ぎじゃ……

明日香の考えている通り、疲れているんでしょう

思いっきりストレス発散ができる良い機会ですので思わず暴走させてしまいました

学園祭が終われば戻っているでしょう。

何故F O O Lを？

戦闘耐性持ち、無制限、天使族、光属性

これらの好条件を持っているので瑞貴が壁に多く使っていたモンスターです

何気に作者のアイドルカード……本当に大好きなカードです  
まあ……出番はほぼ無いのが現状ですが。

吹雪がレッド扱い？

長期無断欠席なので当然だと思います

何故アニメではブルーのままだったんでしょうか？

ナイト・オブ・ダークドラゴン  
黒竜の聖騎士って？

ナイト・オブ・ホワイトドラゴンレッドアイズ・ブラックドラゴン  
白竜の聖騎士の真紅眼の黒竜版です

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
効果が真紅眼の黒竜仕様なだけで他は全く同じだそうです。

何で超限定に？

吹雪が使ってなかったたので、数が少ないという事にしました

吹雪が持っていなかった理由が浮かばなかったんです、あまり言わないでください。

明日香はサイバー・ブレイダーの服をどうしたの？

とりあえずタンスに突っ込みました  
着る気は無さそうですが……一応だそうで。

500万って高い！

サイズとか、そういう理由からオーダーメイドですので。

何故瑞貴はジュンコとももえにも服を？

恥ずかしい想いをさせてやろうという魂胆です

ジュンコへの服は嫌がらせを多いに含んでいます  
本気で着るとは思わなかったそうですけど……

総額3000万！？

服の内容を考えればそこそこ妥当かと

金は使う物です。

何故にレイを出した！？

要望が多かった事が1つ

例え要望が無くても出すつもりでしたが……みんな喜べ！  
あんまり活躍はしないでしようがレイは出たぞ！

ブラック・マジシャン・ガールを嫌うって珍しい……

ギャルっぽいじゃないですか

見た目は置いておき、態度が気に入らない。

何故魔娘？

魔法使いの小娘、略して魔娘です。

何故妹を出した！？

こちらも元々レイと同時に出す予定でした  
かなり初期から考えていた事ですので。

何故名前を玲にした！？

レイの名前を呼ばない理由はあまりにも小さすぎる伏線でした。  
この名前もですが、妹を出すと決めた時点で決めていました。

瑞貴の妹はやっぱり妹だったか……

相手と似たような話し方をしてしまう癖を持っています  
ですので口調が安定せず、嫌われる事が多い……無意味な裏設定で  
すね。

何故10歳に？

原作に絡ませない為の処置です

中等部にも入れない時点で原作での登場は滅多に有りません。

ライフ4000制で通行税と魔力の枷は鬼だ！

ですね、不機嫌の証拠です。

精霊だったつけ？

さあ？ とりあえずそういう事をお願いします。

最後の決闘<sup>デュエル</sup>は？

瑞貴と玲の決闘<sup>デュエル</sup>です

かなり省略されていますが、細かくは次話で書きます  
しかし……なんと分かりやすいデッキでしょうかね。

アニメオリジナルカード

女神の誘惑

相手の手札を確認し、LV4以下のモンスターが存在していた時

攻撃表示で特殊召喚する

基本的にコンボ用カードですね、LV4以下が無ければただのピーピングカードです。

### 女神の悪戯

相手の手札を確認し、魔法カードがあれば伏せさせる

速攻魔法封じになるでしょうか？

それか破壊したいカードを伏せさせる事もできるでしょう  
どちらにせよ、やはりコンボ用カードには違いありません。

### 39話【暴走学園祭 中編】（前書き）

殆ど決闘デュエルしてます

内容は前回の最後で大体予想できていると思いますが……まあお楽しみに

お互いのデッキが普通のデッキで戦った場合、勝つのは難しいでしょう。

玲の口調が変？

前話の後書き参照

口調を似せてしまう癖です

違和感を感じると思いますが、こういうキャラに決めました。

瑞貴のキャラ崩壊がそれなりに収まりました  
かなり元に戻っています。

次話はちよつと難しいですね……今回もかなりギリギリでした  
なんとか間に合いました……頑張れ作者！

ちなみに今話で20話連続更新ですね

もうゴール（完結という意味ではなく休憩という意味）していいよね？

ゴールした場合、何日か投稿しないと思いますが。



### 39話【暴走学園祭 中編】

視点 レイ

明日香さんが少し離れた場所に行った直後  
瑞貴さんと妹の玲ちゃんデュエルの決闘が始まった  
でも……玲ちゃんって言うのに違和感を感じるなあ。

「デュエル決闘！」

「先攻は私が貰う、ドロー！」

私は手札のLV8以上のモンスター、神獣王バルバロスを墓地に送る！

そしてハードアームドラゴンを特殊召喚！

更にハードアームドラゴンを生け贄に捧げ、光神機－轟龍を妥協召喚！

轟龍は生け贄1体で召喚ができるけど、その場合エンドフェイズ時に破壊される！」

あれ？ なんなんで妥協召喚したんだろ？

先攻1ターン目だから攻撃もできないし……

「チッ、ハードアームドラゴンの効果

このモンスターを生け贄に捧げてLV7以上のモンスターを召喚した場合

そのモンスターはカードの効果では破壊されない

つまり、自壊効果も発動しないという事だ

やっぱりそのデッキを使うんだな」

「お兄ちゃんが一緒に作ってくれたデッキだしね  
このデッキ、お兄ちゃん以外には今まで負け無しなんだよ?」

瑞貴さんは確かこの学園に来てからもうすぐ1年  
という事は1年以上同じデッキを使い、更に負け無しの!?  
どれだけ強いデッキなんだろう……

「私はカードを2枚伏せて、ターンエンドね」

「俺のターン、ドロー  
カエルスライムを攻撃表示で召喚」

え? LV2の攻撃力700を攻撃表示?  
な……なんでそんなモンスターをデッキに!?

「げえ……お兄ちゃんも相変わらずそういうデッキ使うんだ  
そのカードだけでそのデッキの半分ぐらい分かった  
私相手だからってそういうデッキ止めてくれない?」

カエルスライム1枚でデッキを把握した!?  
それに酷いの!? このモンスターを使うデッキが!?

「お前相手にはこういうデッキじゃないと負けそうになるんだよ  
俺は更に永続魔法、スライム増殖炉を発動する  
毎ターン、自分のスタンバイフェイズ時に攻撃力、守備力500の  
スライムモンスタートクンを攻撃表示で特殊召喚する  
そしてこのカードが場に存在している限り、俺はスライムモンスター  
トクン以外の召喚、特殊召喚、反転召喚ができない」

そんな弱いモンスターの為だけにそんなにデメリットが！？  
攻撃力500が役に立つの！？

「こ……怖いなあ」

怖いの！？

スライム増殖炉が！？

「俺は更に装備魔法、下克上の首飾りをカエルスライムに装備させる  
通常モンスターにのみ装備可能、装備モンスターと戦闘する相手モ  
ンスターのとのLV差によって攻撃力が上がる

その上昇値はLV差×500、カエルスライムはLV2で轟龍はLV8

LV差は6だから、こいつらが戦闘した場合の攻撃力上昇値は3000だ！」

攻撃力が3000もアップする装備カード！？

つまり攻撃力3700になる！？

「カエルスライムで轟龍に攻撃！

この瞬間、カエルスライムの攻撃力は3000上昇し、攻撃力3700になる！」

「相変わらず攻撃力が高すぎ！

罠カード、ドレインシールド！

相手の攻撃を無効にし、その攻撃力分ライフを回復する！」

玲ちゃんのライフは7700に……凄い回復量

こんなに回復する事なんて滅多に無いんじゃないかな？

「なら俺はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロ  
ー！」

可変機獣ガンナードラゴンを妥協召喚！」

また妥協召喚！？

攻撃力が2800から1400に下がっちゃった……  
この状況で攻撃力を下げる必要は無いと思うんだけど？

「ガンナードラゴンは生け贄無しで召喚できる

その場合、攻撃力は半分になり、1400になってしまうモンスター  
でも、このカードが有れば話は別！

ライフを1000ポイント支払い、永続罫、スキルドレインを発動  
！」

スキルドレイン？

全然見ないカードなんだけど……

「スキルドレインとは厄介なカードを使うな、あの妹さん」

「吹雪さん、知ってるんですか？」

「ああ、スキルドレインは場のモンスター効果を全て無効にするんだ  
あの可変機獣ガンナードラゴンの攻撃力が半分になるのは自身での  
効果で下がっている

妥協召喚した事で下がった攻撃力低下効果は無効になり、攻撃力は  
元に戻る」

「という事は……生け贄も無し、デメリットも無しに攻撃力280

0を出したんですか!？」

「そうなるね

元々、スキルドレインは扱いの難しいカードとして有名だ  
まあ知名度が低いから有名と言えるかは分からないけど……

自分の効果も無効にされるから入れたら自分が困るって人が多かったんだ

でもなるほど……まさかデメリットの無効に使うなんて思わなかったな

更に、ガンナードラゴン自身も不人気だったカードだ

いくらLV7の最上級モンスターとはいえ、妥協召喚するとたった  
攻撃力1400の守備力1000のモンスターだ

デメリットを理解し、それを利用する形にするのはなかなかできない事だ」

そうか、玲ちゃんのデッキは瑞貴さんが作ったデッキ

だったらこの構築も納得できるかも

凄く扱いが難しそうなピーキーなデッキだもん

あ、それはボクのデッキもか。

「更に速攻魔法、リミッター解除を発動!

機械族の攻撃力は倍になる、ガンナードラゴンの攻撃力を倍にして  
攻撃力5600!

ガンナードラゴンでカエルスライムに攻撃だ!」

「そうはさせるか!

罨カード、ジャステイブレイク!

通常モンスターが攻撃された時に発動!

攻撃表示通常モンスター以外を全て破壊する!

これでハードアームドラゴンの効果を受けている轟龍は破壊できない

いがガンナードラゴンを破壊だ！」

「あれ？　なんで轟龍を破壊できないんですか？  
だってハードアームドラゴンの効果も無効にされてるんじゃない……」

「いや、ハードアームドラゴンの効果は生け贄に捧げられた時に発動する効果だ

新しい効果を持たせるんじゃないし、分かりやすく言うのならそうだね……

カード効果破壊無効というルールを持ったモンスターになったと言ったら分かりやすいかな？」

あ、なるほど

新しいルールを持ったモンスターになったんだ  
それなら分かる。

「なら永続罫、リビングデッドの呼び声を発動！

墓地の神獣王バルバロスを蘇生させる！

更に手札から突進を発動し、攻撃力を700アップ！

そしてバルバロスでカエルスライムに攻撃！」

バルバロスってモンスターの攻撃力は3000

LV8だから下克上の首飾りで強化したカエルスライムの攻撃力は  
3700

突進も使ったし、これで相打ち！

そして、これで轟龍の攻撃が届くようになる！

バルバロスはカエルスライムに攻撃し、相打ち

でも元々の攻撃力700と相打ちになる攻撃力3700って……

カエルスライムの見た目は微妙だし、凄く可哀想。

「下克上の首飾りの効果発動

このカードが墓地に送られた時、このカードをデッキのトップに戻す事ができる

俺はこの効果を使用し、デッキの一番上に下克上の首飾りを戻す」

でも、それをするのとドロローができないんじゃない？……

新しいカードが無いと轟龍にやられちゃうよ！

「これは……どういう状況？」

「あ、おかえりなさい明日香さん

玲ちゃんは凄いですよ、瑞貴さんと互角に戦ってます」

「瑞貴と互角！？」

「うむ、僕でも勝つ自信は無いな  
カミューラはどうだい？」

「無理よ、さすがあいつの妹だけあるわ  
カイザーとも互角に戦えるぐらいの実力は持ってるわね  
いえ、カイザーの方が不利かしら？」

「そこまで！？」

実際、かなり強い

お互いのデッキの相性が凄く現れるし、相性が悪いと絶対に勝てない  
ボクのデッキだと相性がかなり悪いから勝てないと思う

勝つにはスキルドレインが発動される前に速攻で倒す  
それか除去カードが来るまで待つしかないかな？

吹雪さんが明日香さんに経緯を教える  
その間にも、決闘は続く。

「轟龍でお兄ちゃんに直接攻撃！」

轟龍の攻撃で瑞貴さんも大ダメージ  
残りライフが1100に……

「私はこれでターンエンド！」

「俺のターン、ドロー！」

そしてこの瞬間、スライム増殖炉の効果発動！  
スライムモンスタートクンが攻撃表示で特殊召喚される！」

瑞貴さんがドローしたカードは下克上の首飾り  
そして場に現れたのは攻撃力たったの500のスライム  
この状況でどうやって勝つの！？

「玲、カエルスライムを倒してくれた事に感謝する」

「感謝って……あ！」

「永続魔法、一族の結束を発動！  
墓地のモンスターが1種族だけの場合、同じ種族のモンスターの攻  
撃力を800上昇させる！」

更にフィールド魔法、湿地草原を発動！  
LV2以下、水属性、水族の全ての条件を満たしているモンスター  
の攻撃力を1200上昇させる！

これでスライムの攻撃力は2500……下克上の首飾りを装備させ



る！

スライムのLVは1……よって轟龍との戦闘時、攻撃力は3500  
上昇する

合計攻撃力は6000だ！」

攻撃力6000のトークン！？

湿地草原って凄く限定されているけど、攻撃力上昇値が凄い！  
これって笑えないぐらい恐ろしい状況なんだけど！

「まさかもう湿地草原も一族の結束も持ってたなんて  
だから下克上の首飾りをデッキの上に戻したんだ」

「その通りだ

スライムで轟龍に攻撃！」

「クッ……スライムなんかには轟龍が！

分かっていた事だけど、そのデッキって絶対に変！」

「普通だ」

絶対に普通じゃない！

誰が攻撃力6000ものスライムを予想できると思うの！？

周りの人達、みんな凄く驚いてるよ！

玲ちゃんのライフは7700から3100のダメージ

残りライフは3600、だけど攻撃力6000に勝つのは難しいん  
じゃないかな？

「でもお兄ちゃん、何故先に湿地草原を使わなかったの？

使っていたらカエルスライムの攻撃力は4900になっていた

それだったら私もどうにもできなかったんだけど？」

「手加減」

「……………ありがとう」

全く嬉しくない手加減！

むしろ布石にしている時点で手加減じゃないよ！  
玲ちゃんが凄く悔しそうな顔になってるし！

「ターンエンドだ」

「私のターン……ドロー！」

天よりの宝札を発動！ お互いに手札が6枚になるようにドローする！」

最強の手札増強カード！？

まあ瑞貴さんの妹なら当然か、明日香さんも瑞貴さんから買ったって言ってたし

玲ちゃんは無料で貰ったのかな？

「私は手札を1枚捨て、THEトリッキーを守備表示で特殊召喚！  
更に手札を1枚捨て、もう1体THEトリッキーを守備表示で特殊召喚！」

これでターンエンド！」

特殊召喚をしただけ？

しかも手札を2枚捨ててまで壁を増やした……  
もしかして手札を捨てる事に意味が有ったのかな？

「俺のターン、ドロー！」

スライム増殖炉の効果により、スライムを特殊召喚！」

「この瞬間、手札のファントム・ドラゴンの効果を発動！」

相手が特殊召喚した時、このカードを手札から特殊召喚できる！」

このカードが自分の場に存在する限り、自分のモンスターゾーンを2箇所使用不可能にする

だけど、この効果はスキルドレインの効果で無効化されている！」

私はファントム・ドラゴンを守備表示で特殊召喚！」

また壁が増えた！」

それに、トリッキーの攻撃力2000、ファントム・ドラゴンの攻撃力は2300

さっきのバルバロスとかほどは高くないけど、それでも突然攻撃力2000以上のモンスター

そんなのが普通に現れるなんて……

「下克上の首飾りを装備したスライムでファントム・ドラゴンに攻撃！」

この瞬間、スライムの攻撃力は3500上昇する！」

だが、俺はこの攻撃力が上がった瞬間に罠カード、デストラクト・ポーションを発動する！」

自分の場のモンスターを破壊し、その攻撃力分だけライフを回復する

俺はこの効果により攻撃力の上だったスライムを破壊し、ライフを6000回復する！」

6000も回復！？

瑞貴さんのライフも7100という莫大な数値になった

ただでさえ攻撃力の高いスライムも存在しているのに……

「下克上の首飾りの効果はもう使わない  
もう1体のスライムでTHEトリッキーに攻撃し、撃破！」

THEトリッキーの守備力は1200

スライムの攻撃力2500には勝てない！

毎ターン攻撃力2500のモンスターが出てくるなんて怖すぎるよ！

「俺は更に永続魔法、スライム増殖炉を発動  
カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

2枚目の増殖炉！？

という事は毎ターン2体も攻撃力2500が出てくるの！？

「私のターン、ドロー！」

（来た！）私は場のモンスター2体を生け贄に捧げ、絶対服従魔人を召喚！」

こ、攻撃力3500！？

そんなモンスターまで持つてるなんて！

「絶対服従魔人は本来、手札が0枚、自分の場にカードが無いと攻撃できない

だけど私の場にはスキルドレイン、この効果は無効化され、普通の攻撃力3500のモンスターになる！

更に速攻魔法、イーजीチューニング！

墓地に存在するチューナーモンスターをゲームから除外し、その攻撃力分だけ場のモンスター1体の攻撃力を上げる！

私は墓地の地獄からの使いを除外し、絶対服従魔人の攻撃力を2600アップ！

これで絶対服従魔人の攻撃力は6100だ！

絶対服従魔人でスライムに攻撃！」

チューナーモンスターはよく分からないけど凄く強い！  
たった1枚で攻撃力を2600も上げるなんて……  
そしてスライムは破壊され、瑞貴さんは3600のダメージを受ける  
瑞貴さんのライフも3500にまで下がった  
玲ちゃんのライフも3600、凄い戦いだ。

「私はこれでターンエンド！」

「やってくれたな……俺のターン、ドロー！  
この瞬間、スライムが2体特殊召喚される！」

でも、絶対服従魔人の攻撃力は6100  
このままだと瑞貴さんが負けちゃう！

「……瑞貴が1対1で苦戦するなんて初めて見たわ  
さすが瑞貴の妹、瑞貴に鍛えられたんでしょうね」

「そういえば明日香が堅守君と一番付き合いが長かったね  
今までそんなに圧倒的だったのかい？」

「ええ、今まで瑞貴が1対1でダメージを受けたのは2回  
1回目は私が、2回目は操られていたから微妙だけど……万丈目君ね  
でも2回目はモンスターを召喚する為にした態と、カウントできないわ」

「という事は実質的に1回だけか  
凄いね……そんな彼にダメージを与えた明日香も凄いけど」

「あんまり嬉しくないわ、だってあの時のデッキは酷かったもの  
他人に勝手に選ばれたお遊び用のバランス崩壊のデッキ  
そう考えたら、瑞貴が自分から選んだデッキを使っている

この条件では私は初めて瑞貴が戦闘ダメージを受けたのを見たわ」

瑞貴さん……そこまで強かったんだ

ボクも凄い人に色々教えてもらったんだ

ボクも負けないように頑張らないと！

「速攻魔法、神秘の中華鍋を発動する！

攻撃力の上がつてるスライムを生け贄に捧げ、攻撃力分2500回  
復だ

モンスターをセットしてターンエンドだ」

「あれ？ 何でモンスターを出せたの？

召喚、反転召喚、特殊召喚はスライム増殖炉で禁止されているはず  
だよな？」

うん、ボクも分かんない

どうして出せたんだろう？

「召喚、反転召喚、特殊召喚は禁止されている

しかしセットまでは禁止されていないのさ

さあ玲、お前のターンだ」

「ややこしいな……私のターン、ドロー！

光神機―桜火を召喚！ 桜火は生け贄無しで召喚できる！

その場合、エンドフェイズ時に破壊されるけど、その自壊効果はス  
キルドレインの効果で無効化！」

玲ちゃんのデッキって攻撃力2000以下のモンスターが入ってないの!?

最低攻撃力がTHEトリッキーの2000だし、凄いパワーデッキ  
……

「絶対服従魔人でスライムに攻撃!」

「永続罠、スピリットバリア  
俺の場にモンスターが存在している限り、俺に戦闘ダメージは通らない!」

なるほど、これで低攻撃力のスライムへのダメージから守るのだからちゃんと守りも考えられているんだ、凄いなあ。

「なら桜火で守備モンスターに攻撃!」

破壊されたのはペンギン・ソルジャー  
リバーズ効果だけど、スキルドレインで無効にされていて発動されなかった。

「……ターンエンド!」

「俺のターン、ドロ!」

スライムを2体特殊召喚! 魔法カード、アームズ・ホールを発動!  
デッキの一番上を墓地に送り、デッキか墓地から装備魔法を手札に加える

俺は墓地から下克上の首飾りを手札に加え、更に魔法カード、マジック・プランターを発動!

自分の場の永続罠を墓地に送り、デッキから2枚ドロする

俺はスピリットバリアを墓地に送り、2枚ドロ!」

攻撃力6100を相手にダメージ回避カードを捨てるの!？  
それってかなり危ないんじゃない？

「そして……2枚の下克上の首飾りを2体のスライムに装備する」

……捨てても全く問題無かったね  
少しでも心配したボクが馬鹿だった。

「お兄ちゃん……絶対に狙ってたよね？」

何を？

「さあ？ どうだろうな

下克上の首飾りを装備したスライムで絶対服従魔人を攻撃！

LV差は9だから攻撃力は4500上昇し、攻撃力7000だ！」

す……スライムに攻撃力6100が倒されるって凄いなあ  
これが下克上か……怖すぎる。

それにしても、スライムに倒されるLV10って凄い違和感  
というか……シニールだった。

「桜火に攻撃！

LV差は5、攻撃力は2500上昇して5000！」

攻撃力差は2600

さっきのダメージは900だから、合わせて3500のダメージ  
残りライフは100……狙ったってもしかしてこの状態の事なの!？



「これでターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！！！！魔法再生を発動！」

墓地から魔法カードを手札に加える、強欲な壺を手札に加え、発動！  
デッキから更に2枚ドロー！

手札、墓地、場のどこから……私は墓地から機械族のガンナード  
ラゴンと獣戦士族のバルバロスを除外！

出てこい、このデッキ最強のモンスター！ 獣神機王バルバロスU  
rを特殊召喚！」

こ、攻撃力3800を特殊召喚！？

でもスライムと戦闘する場合、スライムの攻撃力は6000になっ  
て勝てない

どうするんだろう？

「更に装備魔法、巨大化をバルバロスUrに装備！

巨大化は相手よりもライフが多い場合は元々の攻撃力の半分、攻撃  
力が下がり

相手よりもライフが少ない場合、元々の攻撃力分だけ攻撃力が上が  
る！

私のライフは100、これ以下にする事は滅多に無い！

これで、バルバロスUrの攻撃力は倍になり、攻撃力7600！」

7600！？

なんでこの2人はこんなに攻撃力が高い状態でしか戦闘しないの！？  
攻撃した時の最低攻撃力が2500ってどうなってるの！？

「バルバロスUrは本来、相手に戦闘ダメージを与えられない！

でも、その効果はスキルドレインの効果で無効になっているから問  
題無し！

バルバロスU rでスライムに攻撃！」

こ、攻撃力6000が戦闘破壊されるなんて……  
瑞貴さんは1600のダメージを受け、残りライフは1900  
どうしてあんなに攻撃力の高いモンスターの攻撃を受けてこれだけ  
しか受けないんだろう？

「ターンエンド！」

「俺のターン、ドロー！」

スライムを2体特殊召喚！ カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

ああ！ このままだと瑞貴さんが負ける！

そんな事はないと思うけど、でも負けるとしか思えない！

「今日こそは……今日こそはお兄ちゃんに勝つ！」

私のターン、ドロー！

バルバロスU rでスライムに攻撃！」

「させるか！ 罠カード発動、挟み撃ち！」

自分のモンスター2体を破壊し、相手モンスター1体を破壊する！  
俺はさっきのターンに召喚されたスライム2体を破壊し、バルバロ  
スU rを破壊！」

自分は2体で相手が1体って……こんなカードを使う事は無いよね  
こういう感じにモンスターが増え続けない限り、絶対に無理。

「速攻魔法、デーモンとの駆け引きを発動！」

自分のLV8以上のモンスターが場から墓地に送られた時、手札か  
デッキからバーサーク・デッド・ドラゴンを特殊召喚！」

私はデッキからバーサーク・デッド・ドラゴンを特殊召喚する!」

今ドロ―したカードで繋いできた!?

しかも攻撃力が3500で絶対服従魔人と同じ攻撃力!?

「バーサーク・デッド・ドラゴンはデーモンとの駆け引きでのみ特殊召喚できる

全体攻撃能力、そしてエンドフェイズ時に攻撃力が下がってしまうデメリツトも持っているモンスター

でもやっぱりデメリツトは無効化される!

んだけど……バーサーク・デッド・ドラゴンじゃスライムに勝てない  
また私の負けか、ターンエンド」

そっか、スライムの攻撃力には勝てないしね

例え守備表示で出したとしても、バーサーク・デッド・ドラゴンの  
守備力は0

スライムが強化していなくても勝てない

それに瑞貴さんのターンになったらスライムが2体も出てくる。

「俺のターン、ドロ―

スライムを2体特殊召喚し、アームズ・ホールを発動する

デッキの一番上のカードを墓地に送ってデッキから下克上の首飾りを  
手札に加える

非常食を発動し、2枚のスライム増殖炉を墓地に送ってライフを2  
000回復する

魔法再生を発動し、墓地から下克上の首飾りを手札に加える  
最後に全ての下克上の首飾りを1体のスライムに装備」

そのまま攻撃してても勝てたのにそこまでする!?

え、ちょっと待って、LV差は7だから攻撃力が3500アップで

しょ？

それが3倍して……攻撃力が10500アップ！？  
しかも元々の攻撃力と湿地草原、一族の結束で2500が足される  
という事は……攻撃力13000！？

「スライムでバーサーク・デッド・ドラゴンに攻撃！」

ああ……9500のダメージ

瑞貴さん酷い……でも玲ちゃんが当然のような顔をしてる  
もしかしてこの状況は想定済みなの！？

「あー！負けた負けた！」

お兄ちゃんはやっぱ強いや！」

「お前も強くなってるな

どこでバーサーク・デッド・ドラゴンとデーモンの駆け引きを手  
入れたんだ？

俺はそのカードは渡してないはずなんだが……THEトリッキーも  
渡してないよな？」

「頑張って集めた

バーサーク・デッド・ドラゴンを手に入れるのは苦労したけど……  
まあ色々と有ったんだ」

「まあなんでもいいか

良い試合になったし、それなりにストレス発散にはなった  
お前も楽しみたいなら適当な奴を捕まえて戦ってみたらどうだ？」

「じゃあそうする

でもお兄ちゃん、もう私と戦う時にはローレベルデッキは止めて

殆ど相性が悪すぎて勝てない」

「ならお前もデッキを変えろ  
3つぐらい持つてるだろ？」

「このデッキは基本的にお兄ちゃん専用  
弱い人にはあんまり使わない、だってみんな弱いし  
強いと思った人には使うけど、弱いと思った人にはそれ相応のデッ  
キを使う」

会話内容が凄いんだけど!？

瑞貴さんはストレス発散になったんだ!

それに瑞貴さんは玲ちゃんと何種類のローレベルと戦ったの!？

玲ちゃんもデッキを3つも持つてるんだ!

それにみんな弱いって酷くない!？

相手の強さに依ってデッキを変えるって……凄く酷くない？

私だったらどのデッキなのかな？

「さて……誰か玲の相手をしてくれないか？

こいつが俺以外とどれぐらい戦えるのか見てみたい」

そうは言うけど……さっきの凄い決闘を見た後だと戦いにくいなあ  
誰も行かないんだったらボクが戦おうか考えるけど。

「なら、私が相手になるわ

XXーセイバー ヒュンレイこと、天上院明日香よ!」

明日香さんが凄く乗ってる!？

というか目が燃えてる! 絶対に勝つって顔が言ってるし!

予想だけど、多分瑞貴さんと互角に戦ってたからかな？

瑞貴さんに勝った事無いみたいだし、勝てたら瑞貴さんに追いついたって事になる……かも？

明日香さんは瑞貴さんをライバル視してるし、分かるかも。

「だによ玲、勝てるか？」

「お兄ちゃん以外には負けない  
さっきのデッキは使わない、使うのはこの……」

玲ちゃんが瑞貴さんにデッキを見せる  
瑞貴さんは少しだけ驚いた顔になってる……どんなデッキかな？

「完成したのか？」

まあ俺は基本のカードしか渡してなかったしな  
どこまで戦えるのか見せてみる」

「楽しみにしててよ

絶対に使いこなし、その姿を見せてあげるからさ」

玲ちゃんはデッキを差し替えて構える

明日香さんもデッキを差し、デュエルフィールド決闘場に立つ。

瑞貴さんはボク達の所に来た

近くまで来たから抱きつこうと思ったんだけど、その前に頭を押さえられて止められた

また先手を打たれちゃった……ボクの考えてる事が分かるの？

「小娘、俺が近くに来たからってそうソワソワするな

何を考えてるのか丸分かりだぞ？」

……納得、自分の態度が悪かったみたい  
久しぶりに会ったんだし、それぐらい許してくれても……

「……堅守君、君はレイ君の事をどう思っているんだい？」

君って……ボクは前みたいに男装してないんだけど？  
それともそう呼ぶ事が多い人なのかな？

「別に、面倒事や厄介事を運んでくるガキ  
嫌いでは無いが、好きかと言われたら返事に困る」

その好きってどういう意味なの！？

ううう……印象は悪いみたいだけど嫌われてないだけマシか  
迷惑しか掛けてないんだからそれだけで済んでよかった。

「（さっきの行動、堅守君の返事を聞いたレイ君の表情、これで大  
体分かった

レイ君は堅守君に好意を持っているらしいね  
このめちゃくちゃな彼のどこに引かれたんだろう？  
今度明日香に何があったのか教えてもらおう）」

さっきは瑞貴さんに止められたから抱きつこうとするのは止めとく  
その代わり、すぐ隣に立つ事にした  
これなら怒られないよね？

「（抜かったああああ！

まさかレイ君から甘い雰囲気を醸し出されるとは思わなかった！  
明日香が抜けたから大丈夫だと思って油断した！

堅守君に好意を持っている時点でこうなる事を覚悟していればよかったああああ！」

「(うわ……このガキともなるの?)

いい加減にしてほしいんだけど……誰か助けてくれないかしら?)」

ちよつと横を見てみると吹雪さんとカミューラさんが凹んでたどうかしたのかな? 落ち込んでるようにも見えるし、元気が無さそう。

お互いに落ち込んでる事に気付いたみたい  
カミューラさんは吹雪さんの肩に手を置いて頭を横に振る  
吹雪さんはそれを見てちよつとだけ泣き出しちゃった。

「(これが恋愛か……精霊の私にはちよつと無縁かな?  
それに、この人が相手なんて絶対に嫌)」

ブラック・マジシャン・ガールは不思議そうな顔をしながら不機嫌になつてゐる

どんな感情になつてゐるの?

そんな事をしている間に明日香さんと玲ちゃんデュエルの決闘が始まる  
どっちが勝つのかな?



### 39話【暴走学園祭 中編】（後書き）

今まで瑞貴は玲にどういうデッキを使ってきたの？

基本は通常ローレベルです

今回はスライム増殖炉でしたが、他にもLV3以下通常なども使います

スキルドレインを使うのは分かっているので、こういうデッキじゃないと勝てません。

玲のデッキに低攻撃力モンスターは？

1枚も入っていません、最低攻撃力はハードアームドラゴンの1500です

ついでにLV4以下のカードも1枚も入っていません

全て妥協召喚、半上級モンスター、最上級モンスターで構成されています。

轟龍は墓地に送られる効果だからハードアームドラゴンの効果では守れないんじゃないか……

無理でした

轟龍の効果は破壊と勘違いしていました……修正は無理そうです。

デストラクト・ポーションって使えるの？

正直難しい気がありますが……ライフが足りなくなっただけです！

無理だとは思いますが、もう強引にしました

多分このコンボは使えないので、実際にプレイする場合は注意してください。

イージーチューニングってエンドフェイズ時までじゃ……

勘違いしそうですが、何故か永続的に続きます

地獄からの使いを除外した場合、攻撃力が確実に異常です  
エンドフェイズ時までにはエラッタしろ！

チューナーを何故出した！？

即時的に攻撃力を飛躍的に上げるカードが思い浮かばなかったんです  
まあ瑞貴もチューナーを利用した戦いをしましたし良いでしょう  
詳細は3話の瑞貴対明日香戦にて。

スライムに倒される最上級モンスター達が……

実際に最上級モンスターを想像してください

そしてアニメや漫画で登場したスライムを想像してください  
戦わせてみましょう、どちらが勝ちましたか？

当然、最上級モンスターでしょう

しかし、今回は全てスライムが倒しています……恐ろしい。

瑞貴は本当に残りライフ100を狙ったの？

いえ、作者も驚きましたが完全に偶然です

計算したら謎の残りライフ100……素で声を出して驚きました。

挟み撃ちって……また古いし効率の悪いカードを……

使ってみたかったんです、ちょっととしたロマンです

そんな作者は馬鹿です、ごめんなさい。

玲の言っている色々って何！？

さあ？ 全く考えていません

前話の前書きで書いた番外を書くとしたらそのエピソードも考えて  
みます。

最後が……

なんというか、作者は元々甘過ぎるぐらいの話が大好きなので

つい入れてしまいました。

#### 40話【暴走学園祭 後編】（前書き）

ちよつと微妙な内容になってしまいました  
なんか中途半端感が拭えません

時間が足りなくなったので焦っていたのかもしれませんが……はあ  
しかもミスが多いです、時間が無かったとはいえ、もっと調べろよ  
作者。

今回、お互いのデッキが色々アレです

玲のデッキは事故率が高め、キーカードさえ来ればかなりの……

明日香は事故率を上げてまで更なる強化に勤しみました  
誰かこいつらのデッキを当ててみる！

明日は時間が有るので確実に間に合わせます  
頑張れ作者！ 目標、30日連続更新！  
きつと無理だが、諦める気分で頑張ります。

## 40話【暴走学園祭 後編】

視点 吹雪

妙に甘い雰囲気を出している堅守君とレイ君は置いておき

明日香の決闘デュエルが始まるので見ようかなっと。

明日香の実力は月桂樹となった堅守君との決闘デュエルで知ってるけど  
今回はどうなる事やら。

「先に言っておくね

お兄ちゃんと戦ったデッキも負け無しだけど

このデッキは事故を起こさない限り負けた事が無いの  
お姉ちゃんに勝てる?」

「お、お姉ちゃん!？」

(瑞貴の妹がお姉ちゃんって……お姉ちゃんって言った……  
これはもしかして妹からも恋人同士と見られているという事!?)」

ナイス赤面!

でも明日香、君は何を想像したんだい?

「ん? だってお兄ちゃんと同年ぐらいでしょ?  
だったらお姉ちゃんでも良いよわね?」

「……そうね、気にしないで好きに呼んでちょうだい  
(うん、馬鹿な事を考えたわ

まだ10歳の子供がそんな事を考えるはずないじゃない

もつと落ち着きなさい明日香」

今度は落ち込んでる

本当に何を想像したんだい？

「そう？　じゃあ始めようかお姉ちゃん！」

「ええ、行くわよ！」

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は私が貰うわ！　ドロー！」

私は占い魔女　フウちゃんを攻撃表示で召喚するわ！」

こ、攻撃力0のモンスターを攻撃表示で召喚だって！？

見た事の無いモンスターだけど、これが玲君の第2のデッキなのか！？

どうも効果も無さそうだし、何を考えているんだろうか？

「か、可愛い！」

「欲しいのか？」

余ってるから1枚ぐらいならやるぞ」

「本当！」

「ああ、玲みたいに完全専用デッキじゃない限り使えないカードだけだな」

レイ君は堅守君にカードを貰えると喜んでい

まあ、あのカードだったら無料で渡してもいい……のかな？  
普段だったら面倒事を頼むか売るかでしかくれないんだけど  
レイ君にも甘くないかい？

「更に速攻魔法、受け入れがたい結果を発動！

占い魔女と名の付くモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功  
した時

手札から占い魔女と名の付くモンスターを1体特殊召喚する！

私はこの効果により、占い魔女 チーちゃんを特殊召喚！」

LV6の攻撃力と守備力0の通常モンスター！？

そんなモンスターを出して何の役に立つんだ！？

「そして永続魔法、開運ミラクルストーンを発動するわ

このカードが存在している限り、占い魔女と名の付くモンスターは  
占い魔女と名の付くモンスターの数×1000ポイント攻撃力がア  
ップする

場の占い魔女は2体、よって攻撃力は2000となる！」

完全に専用デッキじゃないか！

というか、また攻撃力2000が当たり前のように出てきただって  
！？

あの子のデッキはどうなってるんだ！？

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「ところで堅守君

どうも先ほどから気になっていたんだが……妹君の口調がさつきと  
違わないかい？」

「ああ、玲は会話相手の口調を真似してしまう癖を持っているんだから会話する時、玲に言う事は全て自分に返ってくる  
しかも相手を読む能力に特化してしまったのか、初見で少し会話しただけでも簡単に真似てしまう  
そのせいか嫌われる事が多いんだが……どうも直す気が無いらしい俺は別に気にしないんだが、あいつの将来が心配だ」

堅守君は額に手を当てて溜め息を吐く

どうも妹には随分甘いらしい、彼の口から心配なんて言葉が出るとは思わなかったな

それに嫌われるのも分かる、自分と同じ話し方をされれば馬鹿にされていると感じるだろうね  
しかもあの子はまだ10歳、子供が相手なら尚更嫌われるだろう。

「そんなに嫌われちゃうの？」

「ああ、小娘も直接話せば嫌う気持ちが分かるだろうさ  
玲が鬱陶しいとか、気味が悪いとか、気持ち悪いとか、苛々するとかそんな感想が大半の奴から聞かされているからな」

「酷い……」

まったくだ、年頃の女の子は傷つきやすいだろうに  
嫌うのは分かるけど、本人に言う事じゃない  
もう少し女性を労るという気持ちをだね……あの子と同年代には無理だったか。

「私のターンよ、ドロー！」

（攻撃力2000が2体、次のターンには更に増えるでしょうね  
となると……速攻でモンスターを消すかあの永続魔法を破壊するか



後者の方が簡単だけど、手札には除去カードは無い)

私は永続魔法、未来融合―フューチャー・フュージョンを発動！  
デッキからエトワールサイバーとブレードスケーターを墓地に送るわ！

2ターン後のスタンバイフェイズ時、サイバー・ブレイダーが召喚される！

翻弄するエルフの剣士を守備表示で召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

翻弄するエルフの剣士か……

あのモンスターは攻撃力1900以上のモンスターとは戦闘では破壊されない

攻撃力が1000の倍数で上がっていくから他のカードが無い限り倒されないね。

玲君が随分苦そうな顔をしている

効果を知っているんだろう、確かに厄介な相手だろうし。

「私のターン、ドロ―！」

魔法カード、幸運の前借りを発動！

自分の場の占い魔女と名の付くモンスター1体のLVより1つ少ない占い魔女を手札からデッキから特殊召喚！

私はチーちゃんを選択し、LV6チーちゃんよりもLVが1低い……占い魔女 アンちゃんをデッキから特殊召喚！

場の占い魔女が3体になったので占い魔女達の攻撃力が3000になる！

更に速攻魔法、地獄の暴走召喚！ 攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚された時に発動可能！

同名モンスターをデッキ、手札、墓地から特殊召喚できる！

相手も自分のモンスターを1体選択し、同じく同名モンスターを特

殊召喚する！

私はアンちゃんをデッキから2体特殊召喚！  
これで占い魔女達の攻撃力は5000よ！」

「なら私も翻弄するエルフの剣士をもう1体特殊召喚するわ、守備表示よ」

「……邪魔なモンスターね  
ターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー！  
天使の施しを発動！ デッキから3枚ドロし、2枚を捨てる  
更に手札の沼地の魔神王を墓地に送り、デッキから融合を手札に加えるわ！」

沼地の魔神王は融合素材にもできるモンスター  
その効果は手札、墓地、場の全てから使える融合のデッキにはかなり使えるカードだね。

「E・HEROエアーマンを召喚するわ！  
そしてエアーマンの効果発動、召喚時にHEROを手札に加えるわ！  
この効果により、デッキからバブルマンを手札に加えるわ！」

「……E・HEROを入れた戦士族主軸デッキ  
そして場にはエアーマン、手札には融合とバブルマン  
狙いは私の場の全滅ね」

分かるのかい！？  
僕には検討も付かないんだけど！

「さすが瑞貴の妹、効果も狙いも目的も分かっているみたいね  
手札から融合を発動！ 私は場のHEROとしてエアーマンと手札  
の水属性のバブルマンを融合！

現れなさい、E・HEROアブソルートZERO！」

氷柱から飛び出てきた白銀の戦士

ダークネスの時、あのモンスターには苦戦したなあ……

攻撃力も高めだし、相手の場のモンスターを吹き飛ばす効果  
厄介なんてもんじゃないぐらい厄介だった。

「まだ終わらないわ！」

ドラゴニック・フォース  
私は装備魔法、竜魂の魂をアブソルートZEROに装備！

このカードは戦士族にしか装備できない！

攻撃力を500上げ、装備モンスターはドラゴン族として扱う！」

「それでも攻撃力は3000、占い魔女達に攻撃したら2000も  
のダメージを受けるわ

どうするつもり？」

そう、玲君の場には攻撃力5000の占い魔女達  
大ダメージは免れない。

「そうね、でも別に自爆しなくても場から離せばいいのよ

私は魔法カード、ドラゴンス・ミラー龍の鏡を発動するわ

場や墓地から融合に必要なモンスターを除外し、融合させる事がで  
きる」

「何がしたいの？」

アブソルートZEROは確かにドラゴン族だけど、それで融合でき  
るモンスターなんて……」

そう、そんなモンスターは存在しない  
明日香は何がしたいんだ!?

「お、明日香の奴、とうとうあのカードを使うのか  
まあ……今回は強敵だろうしな、使わざるを得ないだろう  
状況としては丁度良く来てくれただけという気もするがな」

「瑞貴さん、明日香さんが何をしようとしているのか分かるの？  
ボクにはちよつと予想できないんだけど……」

「まあな

しかし、今回はどれを使うんだ？

素材はエアーマンとバブルマン、エルフの剣士ぐらいか……」

堅守君は何を言っているんだ？

僕達の知らない事を知っているのは事実だろう

だけど、もう少し僕達にも分かるように説明してくれないかな？

「場のドラゴン族、アブソルートZEROと風属性、エアーマンを  
除外して融合！

大いなる風に導かれし、美しき翼を見よ！ 響け、スターダスト・  
ドラゴン！」

現れたのは白と緑のドラゴン

その姿は誰もが目を引かれる程の美しさを持つ龍  
こんなモンスター……僕は知らないぞ！

「す、スターダスト・ドラゴン!？  
お兄ちゃんがそのカードを渡したですって!？」

「あら、このカードの存在を知ってたの？  
なら効果も知ってるわよね？」

「……1回だけ見せて貰ったわ  
でも1回だけだから融合方法も効果も忘れちゃったわ」

「場のカードを破壊する魔法、罨、効果が発動した時に発動する事ができる

このカード自身を生け贄に捧げる事でその効果を無効にして破壊する  
エンドフェイズ時、自身の効果で生け贄にしたこのモンスターは場  
に戻ってくるわ」

それって凄く強くないかい！？

しかも融合に必要な条件がドラゴン族と風属性！？  
普通のデッキでも使えるぐらい難しく無い条件じゃないか！

「それより、忘れてないわよね？」

アブソルートZEROが場から離れた事により、相手の場のモンスターを全て破壊する！」

「っ！ なら速攻魔法、神秘の中華鍋を発動するわ！

チーちゃんと生け贄に捧げ、その攻撃力分である5000回復するわ！」

ライフは回復できたけど玲君の場には開運ミラクルストーンだけ  
それに比べて明日香の場にはスターダスト・ドラゴンと翻弄するエ  
ルフの剣士が2体

合計攻撃力は5300、回復分は全て持って行けるか。

「回避したか……翻弄するエルフの剣士を攻撃表示に変更！  
そしてスターダスト・ドラゴンで攻撃！ シューティング・ソニック！」

「ぐうう！」

「行きなさい！ エルフの剣士達よ！」

大ダメージを受ける玲君

これで残りライフは3700か

明日香は無傷、これは明日香の勝ちかな？

「私はこれでターンエンドよ！」

「随分とやりたい放題してくれたわね……私のターン、ドロー！  
天よりの宝札を発動！ お互いに手札が6枚になるようにドローする！」

占い魔女 エンちゃんを召喚し、受け入れがたい結果を発動！

手札から占い魔女 スィーちゃんを特殊召喚！

そして再び地獄の暴走召喚を発動！ デッキから2体のスィーちゃんを特殊召喚！」

「私のデッキと墓地にはもう翻弄するエルフの剣士は入っていないわ  
スターダスト・ドラゴンも融合モンスターだから特殊召喚できない」  
玲君もかなり凄いな！

手札1枚からここまで持つてくるとは……

総攻撃をされたら明日香のライフは無くなってしまおうぞ！

「言い忘れてたけど、開運ミラクルストーンの効果にもデメリット

が有ってね

占い魔女は特殊召喚されたターン、攻撃できない  
だから攻撃できるのはエンちゃんだけ」

それでも攻撃力は4000！

このモンスターに勝てるカードなんて……さっき散々出たか  
でも明日香の場には居ない、これは拙いか？

「エンちゃんですターダスト・ドラゴンに攻撃！」

「駄目よ、罨カード発動！ 重力解除！

全てのモンスターは表示形式を入れ替える！」

「占い魔女達が守備表示に！？

開運ミラクルストーンの効果では守備力が上がらない……」

なるほど、これなら占い魔女達を倒す事ができる！

明日香も強くなったなあ……借金塗れだけど。

「クッ、カードを1枚伏せてターンエンド！」

「私のターン、ドロー！」

未来融合の効果により、サイバー・ブレイダーが特殊召喚されるわ！

ミラクル・フュージョンを発動！ 墓地からE・HEROを除外し  
て融合を行う！

墓地のE・HEROとしてバブルマン、場の地属性として翻弄する  
エルフの剣士を融合！

現れなさい、E・HEROガイア！」

明日香が出したのは黒い巨人

見た目は強そうだけど、攻撃力はちょっと低めで2200かでも、またアブソルートZEROみたいに厄介な効果を持ってるのか？

「ガイアの効果発動！

このモンスターが融合召喚された時、相手の場のモンスター1体の攻撃力を半分にする！

そしてその攻撃力分、エンドフェイズ時までガイアの攻撃力が上がるわ！

エンちゃんの攻撃力を半分にし、ガイアの攻撃力を2000上げる！ガイアの攻撃力は4200よ！

更に魔法カード、Hーヒートハートを発動！

自分のモンスター1体の攻撃力をエンドフェイズ時まで500上げ、貫通能力を持たせるわ！

私はこの効果により、ガイアの攻撃力を500上げ、貫通能力を持たせる！」

こ、攻撃力4700で貫通攻撃って酷くないかい？

玲君の残りライフは3700、余裕で勝っちゃうよ

明日香も大分容赦無いよね。

「更に墓地の魔法カード、Hーヒートハートを除外し、マジック・ストライカーを特殊召喚！

更に場の2体の戦士族であるマジックストライカーと翻弄するエルフの剣士を生け贄に捧げるわ

力を司る巨人、破壊を魅せよ！ 立ち上がれ、ギガンテック・ファイター！」

「ぎ……ギガンテック・ファイターまで？

お兄ちゃん、渡しすぎよ」



「まだ終わらないわよ！」

融合を発動するわ！ 場のドラゴン族であるスターダスト・ドラゴンと闇属性であるギガンテック・ファイターを融合！

破滅の鼓動、今ここに列をなせ！ 天地鳴動の力に畏怖しなさい！

咆吼せよ、レッド・デーモンズ・ドラゴン！」

現れたのは紅と黒のドラゴン

その名の通り、紅き悪魔というイメージにピッタリの恐ろしいドラゴンだ

明日香はどうやってこのカード達を！？

「嘘……レッド・デーモンズ・ドラゴンまで」

「次で終わるわ  
ドラゴンズ・ミラー  
龍の鏡を発動！」

墓地のドラゴン族であるスターダスト・ドラゴン、天使の施しで墓地に送った炎属性、コマンド・ナイトをゲームから除外！

冷たき炎が世界の全てを覆い尽くす……漆黒の華よ咲き開け！ 現れよ、ブラック・ローズ・ドラゴン」

真っ赤な薔薇に包まれたドラゴンが現れる

炎に包まれているような外見なのに、氷のように冷たいイメージを見せられる

……明日香が使った全部のドラゴンが欲しい！

「は……ははは……ブラック・ローズ・ドラゴンまで？

お兄ちゃんの馬鹿あああ！」

キレちゃった……いや、これを見れば僕もキレるか

凄い事になってるし、色々やバイなあ……

「ブラック・ローズ・ドラゴンは融合召喚した時、場の全てのカードを破壊する効果を持つ  
任意効果だから今回は使わないけどね」

これは笑うしかないかなあ……

サイバー・ブレイダー

E・HEROガイア

レッド・デーモンズ・ドラゴン

ブラック・ローズ・ドラゴン

凄い場だな……全部融合モンスターだし。

「行くわよ！」

レッド・デーモンズ・ドラゴンでスイーちゃんに攻撃！  
灼熱のクリムゾン・ヘルフレア！」

レッド・デーモンズ・ドラゴンのはき出す炎がスイーちゃんに向かう  
それにしても……小さな女の子を襲う恐ろしいドラゴンの図にしか  
見えないな

いや、実際にそうなんだけど。

「速攻魔法発動！ 右手に盾を左手に剣を！」

エンドフェイズ時まで全てのモンスターの攻撃力と守備力を入れ替  
える！

これでエンちゃんの守備力は2000だけど、スイーちゃん達の守  
備力は4000よ！」

なんと！？

レッド・デーモンズ・ドラゴンの守備力は2000

よって2000もの反射ダメージだって!?

しかもサイバー・ブレイダーの守備力は800  
ブラック・ローズ・ドラゴンは1800

E・HEROガイアは2600

この状況ではガイアが頑張ってエンちゃんを倒すのが精一杯だ!

明日香は反射ダメージの2000を受ける  
残りライフは2000、これはかなり拙い!

「ふう……これで占い魔女達は倒せないわ  
そこまで頑張って召喚したのに、お疲れ様ね」

「そうかしら?

レッド・デーモンズ・ドラゴンの効果を発動!  
デモン・メテオ!」

レッド・デーモンズ・ドラゴンが上空に昇り、火炎弾を打ち出す  
その火炎弾に当たった占い魔女達は全滅した!?  
ど、どうなっているんだ!?

「な、なんで占い魔女達が!?  
しかも全滅!?!」

「レッド・デーモンズ・ドラゴンの効果よ  
このモンスターが守備表示モンスターを攻撃した後のダメージ計算  
終了後

相手の場に存在する守備表示モンスターを全て破壊するわ」

なんて恐ろしい効果なんだ!

壁モンスターを並べても全て無駄になるなんて！

明日香が出したモンスターは全て恐ろしい効果を持っているな……  
アブソルートZERO、ガイア、そしてドラゴン達  
今回は活躍していないが、サイバー・ブレイダーも厄介な効果を持  
っている

ダークネス状態だったとはいえ、僕が勝てないのも当然だね。

しかし……この明日香に負け無しの堅守君は更に恐ろしいな  
何故勝てたんだろうか？ イカサマ？

「場ががら空きになったわね  
ダイレクトアタック  
全てのモンスターで直接攻撃！」

「ちよっ！ 待ってって……きゃあああああ！」

合計ダメージは5200

かなりのオーバーキルだね  
さすが明日香、全く容赦しないな。

「うーん……明日香も強くなったな  
ドラゴン達を混ぜたら下手すれば全くデッキが回らないとも言っ  
たんだが  
それでもあそこまで使いこなすとは……かなり細かく微調整したん  
だろう」

「そういえば明日香さんのデッキは戦士族デッキでしたね  
瑞貴さんはどんなデッキがメインなんですか？」

「俺は基本的になんでも使うが……」

得意なデッキはお前のデッキに近いかな？ 奪う事はしないが」

「だからあんなデッキになったんですね

ボクも今の所負け無しですよ？

後で決闘デュエルしませんか？」

「そうだな……白黒モノクロとカミューラに連勝したら相手をしてやろう

という訳で白黒モノクロ、カミューラ、小娘の相手をしろ

拒否は許すが、その場合小娘に怨まれるかもしれんぞ？」

怨まれるまでなのかい！？

って、本当に睨んでる！ そこまで堅守君と決闘デュエルしたいのかい！？  
いや、僕は相手をしてもいいんだけど……カミューラがどう思うか  
な？

「そうね……最近あまり動いてないし、私は構わないわ  
でも私を甘く見ない方が良いわよ？」

「甘くなんて見ないよ！

誰が相手でも全力で勝ってみせる！」

「あー……まあいいか

僕も構わないよ、どっちからするんだい？」

「ならカミューラ、白黒モノクロの順番にしよう  
ほら小娘、決闘場デュエルフィールドを占領してこい」

「うん！」

レイ君は走り出し、決闘場デュエルフィールドに向かう

カミューラはそれを歩きながら追いかける  
日傘を持ってどうやって決闘するんだろうか？

レイ君とカミューラと入れ替えに明日香と玲君が戻ってきた  
玲君はちよつと拗ねているね、明日香が苦笑いをしながら宥めている  
さっきまで凄い決闘をしていたとは思えない仲の良さだなあ。

「お兄ちゃん、お姉ちゃんに負けたから慰めて」

「慰めてほしいなら向こうで決闘を眺めていた魔娘にしてもらえ  
殆ど声にも態度にも表してなかったが、占い魔女達を見て可愛い可  
愛いとはしゃいでたぞ  
遊んでもらってこい」

「……じゃあそうする！」

あーあ、更に拗ねちゃったよ  
でも堅守君、今のは絶対に態とだよね？

玲君はブラック・マジシャン・ガールの所まで行って一緒に話してる  
ブラック・マジシャン・ガールも占い魔女に興味があったらしいの  
で話が弾んでいるようだ  
楽しそうな雰囲気だな……これでどちらの機嫌も直るだろうね。

「瑞貴、貴方も不器用ね

自分との決闘で落ち込んだマナを慰める為に送ったんでしょ？  
玲ちゃんは拗ねていたけど、話せば機嫌も直るって計算してたんじゃない？

（内心暴れすぎたって反省してるんじゃないかしら？  
もし反省してなくても、少しは悪いと思ってそうね）」

え？　もしかして狙ってしたのか？  
しかし堅守君の性格から考えて、そんな事をするとは思えないんだ  
けど……

「玲の相手が面倒なだけだ

精神的にガキの相手に肉体的にガキを送っただけだしな  
ガキはガキ同士、勝手に遊ぶだろう

（さっきはやり過ぎたしな……ちよつと暴れすぎたか？  
うーん……まあいいか、玲に慰められるだろうし）」

うん、絶対に違うね

こんな事を言う彼がそんな優しい事をするはずが無かった  
僕も鈍ったかなあ？

「それよりも瑞貴、玲ちゃんがあのだらゴン達に驚いていたけど  
貴方が見せたのよね？」

「1度だけな、あいつには使いこなせないさ

あいつは融合系よりもパワー系が得意だからな  
融合を使える明日香の方が良いと思ったからお前に渡したのさ」

「凄く高かったんだけど？」

「あのな……これでも値下げしたんだぞ？

どれも凶悪な効果を持つてるし、融合素材を揃えるのも楽  
殆ど無いカードだし、確実に8桁から10桁、下手すれば11桁に  
なってもおかしくないんだ  
どれだけ安く売ってやったか分かってるか？」

「ごめんなさい、もう二度と値段に関して文句を言わないわだから元の値段を払えって言わないで……お願いだから本当に止めてあの値段で売ってくれて心から感謝するわ」

明日香が土下座!?

いや、話の内容を考えたらそうなるかもしれないけどあの明日香が土下座をするとは思わなかった!

それにしても、あのドラゴン達が11桁!?

いや、希少なカードならそれも当然か……本当に凄いと12桁にもなりそうだ。

「それにしても……レイとカミューラが戦うのねどっちが勝つかしら?」

「さあな、カミューラの幻魔の扉とかのかなり危険なカードは没収してるから大丈夫だが

一応強化したからな、どっちが勝ってもおかしくない

ちなみに、モノクロ白黒のデッキも少し強化している

モノクロカミューラと白黒の実力は同格、小娘も同じぐらいか?」

僕達と同格!?

いや、確かに連勝しろって言ったのは君だよ?

しかし拒否するという意味かと思つての無茶な指示かと思つたら……まさか勝機が有るとは思わなかったな。

子供と思つて油断できないかもしれないね

戦う時は手加減無しで戦つた方が良さそうだ。

「レイ並に2人のデッキを強化したの?」



レイに負けた私は……2人に勝てないという事かしら？」

負けた！？ あの日香が負けるぐらい強いのかい！？

勝つ自信が無くなってきたんだけど！

「問題無いんじゃないか？」

小娘が2人に勝ったとして、モノクロ白黒には明日香が勝ってるだろ？

小娘が2人に勝ったとして順番に並べるとだ

俺＞小娘＞明日香＞玲＞カミューラモノクロ白黒＞豆腐＞似非＞その1

その2||クロノス教諭＞電池||地底＞魔娘＞

＞

＞

＞

＞

＞

＞

＞

＞水色

ぐらいだと思うが？」

その図ってかなり凄くないかい！？

というか、僕って子供2人や妹以下だったのか！

しかし……クロノス教諭以外、誰が誰だか全く分からないな。

「……知ってたけど、本当に翔君が嫌いなね

私としてはジュンコともえの評価が思った以上に高い事が気になったわね

十代には劣るけど、クロノス教諭と同格……瑞貴にしてはちょっと意外ね」

「実際こんな感じだと思うぞ？

成績を考えるとだけどな

ちなみに小娘が負けた場合、明日香と玲は豆腐の1つ上になる  
かなり降格するな」

「レイーーーーー！！！」

絶対に勝つのよーーーーー！！！」

明日香が壊れた……

そんなに僕の下になるのが嫌なのかい？

それはそうと、いい加減にレイ君とカミューラの決闘デュエルが始まるな  
どっちが勝つ事やら……カミューラが勝ってくれたら僕は戦わない  
で済むんだよね？

だったら僕はカミューラを応援しよう、頑張れカミューラ！

#### 40話【暴走学園祭 後編】（後書き）

お姉ちゃん発言に明日香暴走！

明日香も妹ですからね

そして何を想像しているんだお前は。

レイは古い魔女のカードを貰ったの？

渡しました、見た目が見た目なので売る気にもなれなかったそうですので

主に、小さい子供を売る事の罪悪感から……

お前は買うのは良いが売るのは駄目なのか！？

その通りです、我が儘？ 知るか！

やっぱり瑞貴でも妹は心配なんだね

まあ……一応家族ですし？

甘い部分は本当に甘い瑞貴なので仕方無いでしょう。

段々玲の設定が確立してきている！？

今回限りのゲストキャラの予定だったんですがね……どうしたんでしょうか？

もし要望が多ければまた登場させるのも有りですね  
とりあえず、現在は再登場させる予定はありません。

地獄の暴走召喚って……無理だよね？

はい、無理です、完全に忘れていました

今回もミスが多くて作者は落ち込みそうです……

シンクロドラゴン達！？

あのドラゴン達は融合にしました

これは元々決めていた事です

しかし、最初に明日香が使うとは……誰か予想できたか！  
作者も半分予想していませんでした！

まあ……アドビス三世戦でフラグは立てていましたかね。

口上がアニメと微妙に違うの？

所々微妙に違います

変えた理由は特に無いのですが……

同じ事を言わせる気になれなかったという感じです

今後、全ての元シンクロモンスターの口上を微妙に変えようか少々  
悩み中です

今までに現れた元シンクロも変えようかな……考えるだけになりそ  
うですが。

玲は完全パターン……

ディメンション・マジックとかも考えたんですが……

どうも受け入れがたい結果の使い勝手が良いので頼ってしまいました  
もつとよく考えろよ作者。

右手に盾を左手に剣をが速攻魔法？

原作効果ですね、しかも元々の攻撃力と守備力ではありません

現在の攻撃力と守備力を入れ替える効果が原作効果です  
処理の順序的に考え、一番最後になるでしょう……多分  
詳しくはWikiのダメージステップで。

イカサマ？

言い掛かりですね

モノクロ  
白黒よ、癖みか？

今更だけど、ドラゴン達が入ったら一族の結束が……

デッキには魂の解放を入れています

今回は未登場ですが……実際に使うかどうかは不明です。

ブラック・マジシャン・ガール……

本当にちょっとだけしか登場しませんね

役に立つんでしょうか？

明日香が瑞貴を理解している……だと！？

ここまで付き合いが長ければ当然でしょう

学校も有るので確実に毎日のように顔を合わせますしね。

吹雪が初期から中盤の明日香みたい

仕方無いと思います、相手が瑞貴です。

……8桁や12桁？

数は瑞貴が持っている分のみです

社長が本気で欲しがれば13桁にもなりそうで怖い……

そんなのを明日香にどれぐらいで渡したの？

ご想像にお任せします

どうも瑞貴は明日香に甘い気が……気のせいじゃない気もしてきました。

カミューラと吹雪のデッキをどう強化したの？

それは秘密です

次話でのお楽しみですね。

翔が下過ぎる！

嫌っている事、実際の能力を考えただけでしょう  
実力もですが、頭も悪いのが非常にネックですね

十代は頭は悪くても実力が有るので高めの評価です。

原作、アニメオリジナルカード

占い魔女シリーズ

攻撃力、守備力共に0の通常モンスター

L V 1から6まで揃っています

フォーチュンレディ達の元の姿……だったっけ？

それぞれ順番に結ぶと……

ヒカリちゃんⅡライティ

エンちゃんⅡファイリ

フウちゃんⅡウインディ

スイーちゃんⅡウォーテリ

アンちゃんⅡダルキ

チーちゃんⅡアーシー

となっています、詳しくはW i k iなどで調べてください  
……O C G化したら絶対に集めて専用デッキを組みます。

受け入れがたい結果

占い魔女と名の付くモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功  
した時に発動可能

手札から占い魔女と名の付くモンスターを特殊召喚する

これが無ければアンちゃんやチーちゃんは先ず出ませんね  
きつと切り捨てられるでしょう。

開運ミラクルストーン

場に表側表示で存在する占い魔女と名の付いたモンスター1体につき  
占い魔女と名の付いたモンスターの攻撃力は1000アップする

占い魔女と名の付いたモンスターは特殊召喚されたターン、攻撃ができない

何気に相手の場のモンスターも数え、強化するのでミラーマッチになつたら笑うしかありません

特殊召喚したターンに攻撃できないのはかなり致命的

しかし、この攻撃力上昇はかなり凶悪なので……使いように依りますね

効果は重複するのでお互いの場に合計10体でお互いに3枚発動させた場合

攻撃力は60000になります……怖すぎる！

幸運の前借り

自分の場の占い魔女と名の付くモンスターを1体選択する

選択したモンスターよりもLVが1低い占い魔女と名の付くモンスターを手札かデッキから特殊召喚する

次の自分のターン、自分はモンスターを召喚できない

だったのですが……「次の」という部分を見落としていました

もう完成しているので修正不可能状態です、見逃してください

このターンだと思っていたのに……今回もミスが出てしまいました

……はぁ。

#### 41話【暴走学園祭 上編】（前書き）

学園祭なのに甘さが足りない！

作者はそういう理由でちよつと元気が無い……というのは嘘です

とりあえず決闘デュエルばかりで疲れてきました

もう疲れたよ○トラッ○ユ……でも天使に降臨されても困るので死にません

まだ余裕は有るのできつと大丈夫です。

構成ばかり練っていてそろそろ頭が混乱はしています

雑にならないように注意はしますが……どこまでできているか不安です

今回は前回のようにミスは多くないと思います。

レイもカミューラも瑞貴が強化したという事を忘れないでください  
つまりデッキが染まっています……なんという酷い内容！

そんな感じですね。

次話ですが……明日は逆に時間が無いのでちよつと不明です

あんまり自信が無いですね

感想に対しての返事を後回しにして執筆すればなんとか間に合うかどうか……

そんな感じなので感想の返事は今回は遅くなると思います。



## 41話【暴走学園祭 上編】

視点 明日香

もうすぐレイとカミューラの決闘デュエルが始まるわね  
でも、さっきから気になっている事がね……

後ろで玲ちゃんがマナに後ろから抱かれているわ  
この短い時間で凄く仲良くなったみたい  
カードについて話し合っているわ。

……まあ仲良くなったのならいいでしょう  
それよりもレイとカミューラの決闘デュエルを見た方が良さそうだし。

ちなみにカミューラの日傘は白黒兄さんモノクロが横に立って持つ事になった  
凄く情けないわ……カミューラの手下とか下僕にしか見えない  
実際は瑞貴の下僕に近いんだけど。

「そういえば瑞貴、決闘デュエル前にレイとカミューラにカードを渡してい  
ただけど……」

貴方の事だからお互いに嫌がらせになるカードを選んだんじゃない  
の？

例えばアンデット族に対するアンチカードや、コントロールを元に  
戻すカードとか」

「否定はしない

まあ観客を楽しませる為の演出とでも考えておけ  
きつと盛り上がるさ」

相変わらず悪趣味な……

周りは楽しいかもしれないけど、本人達からすればかなりの悪夢よ？  
でも、瑞貴からカードを渡された時点でお互いにそれは分かっているはず

どう戦うのかしら？

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は私が貰うわ、ドロー！」

ゴブリンゾンビを守備表示で召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

ゴブリンゾンビは場から墓地に送られた時、デッキから守備力1200以下のアンデット族を手札に加える

なるほど、この効果を使えば不死のワーウルフやヴァンパイア・バツツもサーチできるわね

他にも使える効果も持っているモンスターは多いし。

「ボクのターン、ドロー！」

手札から儀式魔法、高等儀式術を発動！

デッキから通常モンスターを儀式モンスターと同じLVになるように墓地に送る！

ボクはこの効果により、デッキからメルキド四面獣と仮面呪術師カーズド・ギュラを墓地に送る！

出てこい、大邪神レシェフ！」

巨大な黄金色の神……いえ、邪神

攻撃力は2500とそれなりに高いわね

でもレイが使うという事は更にコントロール奪取効果も持っている

のかしら？

「レシェフの効果を発動！

手札の魔法カードを墓地に捨てる事で相手モンスター1体のコントロールをエンドフェイズまで得る！

手札から魔法カードを墓地に捨て、ゴブリンゾンビのコントロールを奪う！」

魔法カードのコストは重いけど効果は強い！

レイはまだ通常召喚していない、生け贄にするでしょうね

ゴブリンゾンビの効果はどっちにしても召喚された時点で止められない

それでもモンスターを処理するか……やっぱりレイは厄介ね。

「元々相手がコントロールしていたモンスターであるゴブリンゾンビを生け贄に捧げ

これが警察モンスターの力！　これが権力！　であえ、ゴヨウ・ガーディアン！」

出たわね……凶悪モンスター、ゴヨウ・ガーディアン！

それにしても、1ターン目でここまでするなんて恐ろしいわ  
というか、合計攻撃力が5300じゃない、1ターンキル？

「ゴブリンゾンビの効果発動、このモンスターが場から墓地に送られた時

デッキから守備力1200以下のモンスターを手札に加えるわ

私はこの効果により、デッキからヴァンパイア・バツを手札に加える

それにしても……瑞貴の言う通り、本当に強いわね

速攻でこんな強力なモンスターを2体も並べられるとは思わなかつ

たわ」

「僕も同感だよカミューラ  
堅守君が強化したと言うだけはある  
僕達と同格と言ったけど、それ以上になってそうで怖いね」

「それって褒め言葉？  
とりあえずゴヨウ・ガーディアンで直接攻撃！  
ダイレクトアタック」

「カウンター罠カード、攻撃の無力化を発動！  
攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させるわ」

レイは悔しそうな顔をするけど、あまり影響は無さそうね  
カミューラも危なかったわ、もし受けていたら負けだったものね。

「やっぱり速攻で決めようとしたのは無理が有ったみたいだね  
カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

「生意気な小娘ね……私のターン、ドロー！  
永続魔法、ミイラの呼び声を発動するわ！  
自分の場にモンスターが存在しない時、手札からアンデット族を特殊召喚できる！

私はこの効果により、手札から精気を吸う骨の塔ポーンタワーを守備表示で特殊召喚！」

あーあ……巨大なモンスターね  
見た目の割には随分貧弱なステータスだけど  
攻撃力400で守備力1500？  
見た目からは想像できないわ、せめて守備力を2000ぐらいには  
……

「更に地獄の暴走召喚を発動！」

自分が攻撃力1500以下のモンスターの特殊召喚に成功した時に発動可能

手札、墓地、デッキから同名モンスターを攻撃表示で特殊召喚するわ！

相手も自分の場の好きなモンスターを特殊召喚するもつとも、あんたの場には召喚制限のモンスターしか無さそうだけどね」

そう、レイの場には召喚制限のゴヨウ・ガーディアンと儀式モンスター<sup>のレシェフ</sup>だけ特殊召喚ができないわ。

「さて、精気を吸う骨<sup>の塔</sup>の効果を発動  
アンデット族の特殊召喚に成功した時、相手のデッキを上から2枚墓地に送るわ

今回は同時に2体特殊召喚されたから2回発動……なんて事は無いから安心なさい  
さあ、デッキから2枚のカードを墓地に送りなさい！」

「クッ……」

レイはデッキから2枚カードを墓地に送る  
これは拙いわね……でも次のターンになればレシェフの効果で奪える  
そうすれば2体を戦闘破壊し、数を1体まで減らす事ができるわ。

「ああ、言い忘れてたわ  
<sup>ポイント</sup>  
この精気を吸う骨の塔は自分の場に他のアンデット族が存在している限り、相手はこのモンスターに攻撃ができないのよ

つまり、例えレシェフの効果で1体を奪ったとしても、残りの2体で守り合うわ

だからこのモンスターを倒す事はできないの……頑張って倒すのね」

「え……という事はそのモンスターを倒すには2体奪わないと駄目なの!？」

「……奪う事が前提なのね

でもその通りよ、その無い頭で突破法を考える事をお勧めするわ  
ターンエンドよ!」

あのカミューラが守りを主軸としたロック?  
でも、それにしてはなんだか甘いわね……何か別の考えが?

「ムツ……ボクのターン、ドロー!  
モンスターをセットし、カードを1枚伏せてターンエンド!」

「私のターン、ドロー! とりあえず精気を吸う骨の塔達ボーンタワーを守備表示に変更!

ピラミッド・タートルを召喚するわ! 大邪神レシェフに攻撃!」

ピラミッド・タートルの効果は戦闘破壊される事で効果を発動する  
デッキから守備力2000以下のアンデット族を特殊召喚する効果  
を持っている

自爆特攻で自らの効果を発動し、更に精気を吸う骨の塔ボーンタワーデッキを破壊  
しようという事!?

という事は……カミューラのデッキはデッキ破壊!

ピラミッド・タートルは自爆特攻し、カミューラは戦闘ダメージを  
1300受ける

しかし、ライフはまだ残っており、残りは2700も残っている。

「ピラミッド・タートルの効果を発動

デッキより、守備力2000以下のアンデット族を特殊召喚するわ私は2体目のピラミッド・タートルを特殊召喚！

そして更に、ボーンタワー精気を吸う骨の塔の効果を発動、アンデット族が特殊召喚された

これにより相手はデッキのカードを2枚墓地に送る

私の場には精気を吸う骨の塔が3体……よって6枚を墓地に送りなさい！」

「6枚も!？」

「更に、2体目のピラミッド・タートルで大邪神レシェフに攻撃よ！」

再び戦闘ダメージ、残りライフは1400  
効果により現れるのは……当然ながらピラミッド・タートル  
そしてデッキから6枚墓地に送られる。

「ぼ、ボクのデッキが……」

「攻撃は次で終わるから安心なさい

ピラミッド・タートルでレシェフに攻撃！」

カミュラの残りライフはたったの1000になってしまった

しかし……次に現れたのは不死のワーウルフ

戦闘破壊された時、デッキから同名カードを攻撃力を500上げて  
特殊召喚する効果を持つ

その上、ワーウルフは守備表示で召喚されたので戦闘ダメージを与

えられない。

そしてレイのデッキからまた6枚墓地に送られる  
残りデッキ枚数は11枚、特殊召喚を1回しか許してはならない！  
更に手札は0、伏せカードがなんとか2枚だけど、発動する気配が  
無い

和睦の使者辺りの戦闘ダメージ軽減カードかしら？

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「ボクの……ボクのターン、ドロー！

（強欲な壺……デッキからカードをドローしても逆効果にしかなら  
ない

だったらこんなカード、コストとして使ってやる！）

ボクは手札の魔法カードを墓地に送り、レシェフの効果を発動！

精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>1体のコントロールを得る！

更にブレイン・ジャッカードを反転召喚！　そしてリバーズ効果を発  
動！

このカードは装備カードとなり、相手モンスターの1体のコントロ  
ールを得る！

ボクはこの効果により、再び精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>を奪う！

ただしこの効果で奪っている間、相手のスタンバイフェイズ時に相  
手のライフを500回復させる」

よし、不死のワーウルフを倒さない限りは精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>に攻撃  
はできない

だけど今の内に不死のワーウルフを倒しておけばデッキ破壊の損害  
を軽くできるわ！

「レシェフで不死のワーウルフに攻撃！」



「好きになさい

不死のワーウルフの効果を発動！

戦闘で破壊され、墓地に送られた時、同名モンスターをデッキから特殊召喚！

更に特殊召喚されたワーウルフの攻撃力は500ポイントアップする！

まあ、守備表示で特殊召喚するから関係無いけどね

精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>の効果により、デッキから2枚墓地に送りなさい」

「カミューラさんも、デッキから4枚墓地に送ってね

精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>の2体はボクの場合に残っているんだから」

「構わないわ！ 私のデッキはアンデット族のデッキ

墓地にモンスターが増えれば逆に有利になるもの！」

「厄介な……ゴヨウ・ガーディアンで不死のワーウルフに攻撃！」

再びワーウルフは破壊され、同じくワーウルフが特殊召喚された

レイはデッキから2枚、カミューラは4枚墓地に送る

これでレイの残りデッキ枚数は6枚、危なすぎるわ！

「最後に伏せカードオープン、速攻魔法、神秘の中華鍋！

ボクの場合に存在するレシェフの効果で奪った精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>を生け贄に捧げる

その守備力分である1500回復し、ターンエンド！」

巧いわ、これでブレイン・ジャッカーの効果でレイの場合に精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>の1体が残る

カミューラの場合には精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>は1体、デッキ破壊も多少は

マシになるわ！

「チッ、私のターン、ドロー！

ブレイン・ジャックカーの効果により、ライフを500回復するわ  
強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロー！

そしてヴァンパイア・バッツを守備表示で召喚」

更に厄介なモンスターじゃない！

デッキから同名モンスターを墓地に送る事で破壊を免れる  
つまり、精気を吸う骨の塔ボーンタワーに攻撃が届かないという事！

「更に罠カード、転生の予言を発動するわ

墓地のモンスターを2枚までデッキに戻してシャッフルする

私はこの効果により墓地の不死のワールフを2枚をデッキに戻すわ  
シャッフルし、これでターンエンドよ」

カミューラ……やはり強いわね

これで不死のワールフがデッキに戻った

また効果を使って蘇生、デッキ破壊に繋げるなんて……

「ボクのターン……ドロー！

これがラストターン！ 命削りの宝札を発動！

手札が5枚になるようにデッキからカードをドロー！

ボクの手札は0枚、よって5枚ドローする！」

レイのデッキはこれで0枚

精気を吸う骨の塔ボーンタワーの効果は墓地に送る効果だから発動しなくなった  
けど

それでも、このターンで終わらせない限りレイに勝ち目は無いわ！

「なるほどね……デッキが無くなったとしてもドローしない限り負けにはならない

ボーンタワー

精気を吸う骨の塔の効果は墓地に送る効果だから使えないというわけ相手にドローさせるカードも入れておくべきだったわ」

「入れてくれなかったおかげでボクは勝てそうだよ……」

「なんですって？」

この状況で勝てると思っているのかしら？

一応教えておくけど、ヴァンパイア・バツツの効果は破壊される時、同名モンスターを墓地に送る事で破壊を免れる

ダイレクトアタック

私のモンスターを全滅させ、直接攻撃を入れるには8回の攻撃は必要なのよ？」

そう、不死のワーウルフを全滅させるには3回の攻撃

ヴァンパイア・バツツを全て墓地に送らせ、場のヴァンパイア・バ

ツツを破壊するにも3回

ボーンタワー

その後には精気を吸う骨の塔、最後に直接攻撃

ダイレクトアタック

8回もどうやって攻撃をすれば……

デュエル

「ううん、この決闘はボクが勝つ！」

ボクは手札から傀儡虫を墓地に捨てる！

傀儡虫の効果は相手の場の悪魔族かアンデット族のコントロールを

エンドフェイズ時まで得る！

ボーンタワー

この効果により、精気を吸う骨の塔のコントロールをボクに移す！」

ピンポイントアンチカード！？

まさかさつき瑞貴がレイに渡したカードはあれ！？

酷いアンチカードね……レイに渡したのも納得よ。

「あ、ちょっと質問なんだけどさ  
確認したいんだけど、墓地に通常モンスターは落ちてる？」

そんな事を確認してどうするのかしら？  
あのデッキに通常モンスターなんて……

「通常モンスター？」

墓地に存在している間、通常モンスターとして扱う地獄の門番イル・ブラッドなら落ちてるわよ？」

そんなカード有ったの！？

変な効果ね、特殊な効果を持ったモンスターかしら？

「ならそのモンスター頂戴！」

死者蘇生を発動！ その地獄の門番イル・ブラッドを特殊召喚！  
精気を吸う骨の塔ボーンタワーの効果で4枚墓地にカードを送って！」

カミューラは無言でデッキからカードを墓地に送る

レイは何を狙ってるのかしら？

墓地に存在する限り通常モンスターの意味が……いえ、通常モンスターである必要が有る？

「えっと……地獄の門番イル・ブラッドの効果は……

あ、場でも通常モンスターとして扱われるんだ

なら尚のこと好都合！ 装備魔法、戦線復活の代償を発動！

自分の場に存在する通常モンスターを墓地に送り、墓地からモンスターを特殊召喚する！

ボクは地獄の門番イル・ブラッドを墓地に送って、相手の墓地から精気を吸う骨の塔ボーンタワーを特殊召喚！

アンデット族が特殊召喚されたから4枚墓地に送って！」

レイは何がしたいのかしら？  
それなら攻撃力の高いイル・ブラッドのまま攻撃した方が……

「更に魔法カード、死のマジック・ボックスを発動！

相手の場のモンスター1体を破壊し、自分の場のモンスター1体のコントロールを相手に渡す！

ボクはこの効果でヴァンパイア・バツツを破壊し、レシェフのコントロールを渡す！」

「ならヴァンパイア・バツツの効果発動！

デッキから同名モンスターを墓地に送り、破壊を免れる！  
そしてレシェフは私の場に来るわ」

レイはいったい何を狙っているの？

自分のモンスターを相手に渡して……

「よし、戦線復活の代償で蘇生された精気を吸う骨の塔でレシェフに攻撃！」

「あらあら、自暴にでもなったかしら？  
レシェフで反撃！」

自爆特攻！？

精気を吸う骨の塔は破壊され、レイは2100のダメージを受ける  
ライフは一度1500回復していたから残りライフは3400でまだ余裕

本当に何を狙っているのかしら？

「次はゴヨウ・ガーディアンで不死のワーウルフに攻撃！

そしてゴヨウ・ガーディアンの効果発動！ 戦闘で破壊したモンスターを自分の場に守備表示で特殊召喚する！  
さあ、アンデット族が特殊召喚されたからデッキから4枚墓地に送って！」

カミューラの顔に焦りが見えた

それも当然、カミューラの残りデッキ枚数は3枚

もし、万が一もう一度アンデット族を特殊召喚されたらカミューラの負け！

レイはこれを狙っていたの！？

でも、レイの手札は残り1枚

どうにかできるの？

既に死者蘇生は使われているし、他にアンデット族の特殊召喚カードなんて……

「これで最後！」

装備魔法、自律行動ユニットを発動！

ライフを1500払い、相手の墓地からモンスターを1体を攻撃表示で自分の場に特殊召喚する！

なんでもいいんだけど……とりあえず精気を吸う骨の塔ポインタワを蘇生！  
これで最後だよカミューラさん、デッキから4枚墓地に送って」

「わ、私のデッキは残り3枚……クソ！」

「ボクはこれでターンエンド

カミューラさん、ドローできるのならドローしてみてよ！」

「ぐぐぐ……私のデッキは無い、私の負けよ！」

……デッキ破壊相手に逆にデッキを破壊して勝つなんてね  
使用者から見たら悪夢にしか思えないわよ……

「それで瑞貴、レイとカミューラに何のカードを渡したの？」

「レイには傀儡虫を、カミューラには使用者の刻印を渡した  
前者は手札から捨てて悪魔族かアンデット族のコントロールをエン  
ドフェイズ時まで奪う

所有者の刻印は魔法カードで全てのモンスターのコントロールを持  
ち主に戻す

カミューラは引けなかったみたいだけどな」

お互いにアンチカードを渡したのね

予想はしていたけど……やっぱり性格が悪いし悪趣味ね  
でも、だから楽しい戦いが見れたんだしいいか。

やっぱり白黒兄さん戦でもアンチカードを渡すのかしら？  
モノクロ

だとしたらどんなカードか……ドラゴン族コントロール奪取モンス  
ター？

何にしても、白黒兄さんモノクロもかなり苦戦するでしょうね。

「（お、恐ろしいな、これで本当に玲君と同年代？

いや、玲君もかなり凄かったから同格？

コントロール操作デッキが相手ならパワーデッキに近い僕は不利じ  
ゃないか？）」

それにしてもカミューラ、悔しそうね

勝てると思った相手にあそこまで反撃されたんだから仕方無いんで  
しょうけど。

カムミューラはデッキから1枚カードを取り出して白黒兄さんモノクロに渡す  
あのカードは……まさか所有者の刻印!？  
まあ瑞貴の事だから渡すように言っていたんでしょね。

レイだってデッキを少し調整しているし

こちらにもアンチカードを入れているんでしょね

お遊びの決闘デュエルだからできる事ね、普通なら滅多にアンチできないし。

お互いにデッキ調整をしているので休憩時間のようになっている  
でも今はそれより気になる事が……

私達の後ろで……その……玲ちゃんが……ね？

「それでね、お兄ちゃんは……」

「でも……やっぱりね？」

ブラック・マジシャン・ガールこと、マナを洗脳中

瑞貴の性格としていた事を延々と話し続けている

どうも瑞貴をあ程度の事で瑞貴を嫌っていた理由がよく分かっ  
ていないらしいわ。

でも玲ちゃん、あの程度って言うけど……十分に嫌われる内容だ  
と思うわよ？

少なくとも好意を持つ行動じゃないし。

「ねえ瑞貴、玲ちゃんを放っておいていいの？

あのままだと面倒事になるんじゃない？」

「安心しろ、面倒事になったら全部お前に押し付ける  
借金返済になるんだ、頑張れよ」



……そうよね、瑞貴は他人の不幸は蜜の味という奴だったわね  
しかも原因が玲ちゃんだからあんまり文句も言えないし、絶対にそ  
れは狙っているはずよ

まあ……借金返済になるだけマシね。

「そういえば瑞貴、貴方はブラック・マジシャン・ガールを持って  
いないの？」

「持っているなら玲ちゃんに渡してみたら？」

バクマリ戦で持っているのは知っているけど  
本当にどこで手に入れたのかしら？

……って、瑞貴にこれはもう考えるだけ無駄ね  
同じ事を何度考えても瑞貴が教えてくれるわけじゃないし  
例え訊いても教えてくるとは思えないもの。

「一応持つてるが……ならお前から渡しておけ  
今俺があの中に入ったら何をされるか分からん」

瑞貴は懐のデッキを弄り始めた  
どこかのデッキに入れてるの？

そう思って待っていると瑞貴の手が止まり、1枚のカードを抜き出  
した

無言で渡されたので受け取り、玲ちゃんとマナが話している中に入  
る。

「あれ、お姉ちゃんどうしたの？」

「ちょっとこのカードを見せてに……ね？」

お姉ちゃん発言は効くわ……私も妹が欲しい  
それはそうと、ブラック・マジシャン・ガールのカードを見せる  
するとマナの顔色が豹変した。

「な、何で持ってるの!？」

このカードは滅多に無いぐらい希少なカードなんですよ!  
デュエル  
決闘では使えないコピーカードならともかく本物だなんて……  
このブラック・マジシャン・ガールは誰のカード!？」

「あ、これお兄ちゃんのカードね  
何回か見せて貰ったけど……本物なの？」

玲ちゃんの口調が変わった……  
会話相手がマナじゃなくて私に移ったからかしら?  
玲ちゃんの癖は聞いたけど、これは確かに嫌われるわ。

まあ、私はこれぐらい気にならないけど  
逆に楽しいと思わない?

「うん、このカードは本物  
コピーカードじゃない……本当にどうして?」

「瑞貴だからね」「お兄ちゃんだからね」

「そんな理由で納得できるの!？」

「だって瑞貴だし……ねえ?」「お兄ちゃんだし……ねえ?」

「あの人は本当に何者なの!？」

変人よ、今更な事を訊かないでほしいわ。

つと、そろそろレイ達の決闘デュエルが始まるかしらね

ここで見てても良いんだけど……この2人は仲が良さそうだし私は瑞貴の近くで見ると事にしましょう。

「じゃあ玲ちゃん、とりあえずこのカードは渡しておくわね  
私はレイと白黒兄モノクロさんの決闘デュエルを見に行くから」

「一応ここでも見えるんだけど……まあいいわ  
じゃあまた後でね」

玲ちゃん達と別れて瑞貴の横に戻る  
瑞貴は特に何も言わずに横に立つ私を一瞬見ただけ  
すぐに視線を戻した。

「……お互いにデッキ調整を終えた  
始まるな」

「そうみたいね  
どっちが勝つかしら？」

「さあな」

私としてはレイに頑張っしてほしいわ  
白黒兄モノクロさんには勝ちなんて勿体ないしね。

そういえば完全に忘れてたんだけど……

十代とジュンコはいつの間にか消えていたわ  
多分、ジュンコが十代を連れてイエローやブルーに行っただと思  
う。

だってあの十代がおとなしく待っているだけなんてしように無いもの  
でもジュンコ、自分がどんな格好をしていたか分かってるのかしら？  
テンションが上がっていて忘れてそうね。

翔君は試合の凄さと実況できない知識の無さからか、落ち込んでし  
ゃがみ込んでいる

万丈目君は解説なんだけど、知らないカードが出てきているからか、  
完全に諦めて普通に見てるだけ  
横で落ち込んでる翔君は完全に無視してるわね。

クロノス教諭と亮、三沢君はかなり真面目に見ているらしい  
元セブンスターズの1人であるカミューラの実力に驚いていたんじ  
ゃないかしら？

レイ玲コンビの実力にも驚いたでしょうし、一番まともかしらね。

ちなみにレイに負けたカミューラは白黒兄さんの少し後ろで立って  
見ているわ

こっちには来ないみたい……どうかしたの？

まあ……どうでもいいか

レイの試合の方が大事だしね。

#### 41話【暴走学園祭 上編】（後書き）

どんな格好で玲とマナは話してるんだよ……

マナが後ろから抱きつき、玲は上を向きながら話しています？  
ちよっと自分もよくわからない構図になってしまいました。

吹雪……

まあ良いんじゃないですか？

砂糖同盟（瑞貴と明日香の甘さに砂糖を吐く仲間）ですし  
仲間なんでしょう、サラが入れないのが残念です。

不死のワーウルフとヴァンパイア・バツツってゴブリンゾンビから  
サーチできるの？

不明、守備力が出てきていないので  
一応、自分の中では不死のワーウルフは800、ヴァンパイア・バ  
ツツは600ぐらいかなあ……という事になっています。

レイは何故メルキド四面獣や仮面呪術師カースド・ギュラを？  
仮面魔獣デス・ガーディウスの生け贄の為です

メルキド達は2枚づつ入っており、生け贄や壁として使用します  
今回のように大邪神レシェフの生け贄にもします  
なお、通常モンスターはこれだけしか入れていません。

シンクロ口上が違う？

今後は全てアレンジして使用する事に決めました  
今まで出てきたのは修正しませんが、今後同じモンスターが出たら  
アレンジします

こういうのは悩めますが考えるのは結構好きです。

カミューラのデッキって……

デッキ破壊に特化させました

蘇生モンスターや壁モンスターはそれなりに豊富だと思いますし

ヴァンパイアジュネシス？ 一応入っています

性格が攻撃的なので、ライフを削るだけのパワーも組み込んでいます  
下級モンスターやサーチ手段は豊富なので事故率は低めです。

強欲な壺をコスト！？

多分前代未聞です

自分でも凄い事をしたと思います

誰がこれを予想できるか……

レイのデッキに蘇生カードが豊富……

蘇生だって立派な強奪です

原作効果の墓荒らしも入れようか……ちょっと考えておきます  
使ったら悪夢にしかありませんがね。

何故死のマジック・ボックスを？

強制転移も入っています

コントロール変更カードは色々入っています

古いカードですが、アメーバやグリグルも入っています

しかしレイよ、そんな古いカードをどうやって手に入れたんだ？

吹雪って元獣戦士族使いだけど？

その設定は完全に無視します

作者の脳内には吹雪≠獣戦士の図であり、吹雪Ⅱドラゴンなんです  
どうしても違和感を拭えず、作者は吹雪にドラゴン族以外使わせた  
くありません

我が儘？　そうですが反省はしません。

ちょっ！ 玲！？ 洗脳！？  
洗脳です、何を言ったかって？  
ご想像にお任せします。

あの程度で嫌う理由が分からないって？

玲はスキルドレインデッキ前のデッキでは瑞貴にフルボッコされて  
いました

なのであの程度は普通に起こっていた事です

よって別に怒る事でも嫌う事でもありません、慣れって怖いですね  
そして玲の設定がどんどん固まっていく……これはヒロイン格に昇  
格か？

いや、兄妹なんでできませんが。

コピーカードが普及してるの？

王様しかデッキに入れていないという事からこういう設定を捏造  
いや、コピーカードも使えるらしいですが……細かい事は突っ込ま  
ないでください

原作の都合上、嫌でも矛盾する事です。

玲はそこまで嫌われる理由がよく分からない

玲が嫌われるのは特に同年代から上下2、3歳差に嫌われます  
年齢的にプライドや自尊心が高い事が多い年齢です

大人も気が短い人や同上の理由で嫌う人はそこそこ多いでしょう  
明日香のように相手の癖などに拘らない人ぐらいしか付き合おうと  
しません

そういう人間は実際には滅多に居ないのですが……十代ならおもし  
ろい会話をしそうですね。

微妙にバカップルしてるね……

微妙にしていますね

瑞貴も当然のように明日香が横に居ても平気そうにしていますし。

カミューラはどうして戻らなかったの？

自信が有ったデッキだったので少しだけ瑞貴に合わせる顔が有りません

勝てというプレッシャーを吹雪にも与えています……

何気にお前らカップルしてないか？

いや、そういう予定は無いんですが……



## 42話【暴走学園祭 横編】（前書き）

ま……間に合った

ふふふ、頑張ってみましたよ

おかげで今回もミスが数カ所……詳しくは後書きにて  
いい加減ミス無しでやりたいものです。

どうでも良い話

作者は以前、タッグフォース5を買ったという発言をしました（1  
3話）

起動に失敗し、結局できなかったと……そして今日、気付いた事が  
有ります

「……妹のPSPを使えばできるんじゃない？」

と、ふと思って早速無断で実験、結果成功

……もっと早く気付けよ自分！

という訳で、後で妹からPSPを借りてプレイしようと思います  
嵌りすぎて更新ができなかったなんてミスをしたように気をつけ  
ないと……

やっぱり初期型だったのが悪かったんでしょうか？

自分のは1000型、妹のは3000型です

安くて頑丈という意味から態々古いのを選んだ作者でした。

今回もお互いのデッキが軽くカオスです

細かい事は（以下略）ですが……やっぱり難しいです

こうしなくてはこうなってしまう、しかしこうなると……

そんな事が多すぎて思うようにできませんでした

まあ……3時間で決闘は書き終えたんですけどね。  
デュエル

次話はどうでしょうか……

時間はそれなりに有りますし、タッグフォースに嵌りすぎなければ大丈夫でしょう

……そういえばゲームを起動する事自体が1ヶ月ぐらいぶりですね  
小説に集中し過ぎて殆ど何もしていませんでした、そんな作者は色々  
と駄目な奴です。

## 42話【暴走学園祭 横編】

視点 明日香

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

レイは相変わらずコントロール奪取デッキ  
<sup>モノクロ</sup>白黒兄さんはドラゴン族かしらね  
どっちが勝つかしら？

「先攻は僕が貰おう、ドロー！」

僕は永続魔法、未来融合ーフィーチャーフュージョンを発動する！  
デッキからドラゴン族を5体墓地に送り、2ターン後に<sup>ファイブ・ゴッド・ドラゴン</sup>F・G・D  
を召喚する！

更に僕が融合素材に選んだドラゴン族の内、閥属性が3体……ダー  
ク・アームド・ドラゴンを特殊召喚！

更に魔法カード、レベル調整を発動する！

相手はデッキから2枚のカードをドローし、僕は墓地からLVと名の  
付くモンスターを墓地から特殊召喚する！  
現れる、ホルスの黒炎竜LV8！」

1ターン目から攻撃力2800と3000のモンスターですって！？  
しかも<sup>モノクロ</sup>白黒兄さんが使っているのはLVモンスター、超レアカード  
じゃない！

……って、瑞貴が手助けしたんだから当然か。

「先に言っておこうか

ホルスの黒炎竜の効果は、魔法カードの発動を無効にし、破壊する

事ができるんだ  
しかも任意効果でね」

「え？　じゃあボクの魔法カードを無効にして自分の魔法カードを使うとか……」

「そう、それが可能なんだよ  
まあ、レベル調整の効果でこのターンの間は効果が使えないけどね  
でも今の君は魔法カードを使う事ができないから問題無い」

ロック系モンスター！？  
しかも攻撃力が3000という高さの！？  
最初から本気を出しすぎよ！

「更に僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ  
そしてエンドフェイズ時、レッドアイズ・ワイバーン真紅眼の飛竜の効果を発動する  
通常召喚を行っていないターンのエンドフェイズ時、このカードを  
ゲームから除外する  
レッドアイズ・ブラックドラゴンそして、真紅眼の黒竜を墓地から特殊召喚！」

「更に攻撃力2400のモンスター！？」

モノクロ白黒兄さん……かなり本気ね  
ロックとパワーを併用して来るなんて……  
レイは魔法カードが封じられている、かなり危険な状況か。

「ボクのターン、ドロー！  
そのモンスターは厄介だけど、もうボクの手札にはそのモンスターの  
攻略は出来ているよ！」

「もう攻略されるのかい!？」  
ちよつとぐらい活躍させてくれよ!」

いや、攻略できるならすぐに攻略するでしょ？  
何よりも魔法カードが使えないのは厄介なんだからね。

「ボクはエレクトリック・ワームを墓地に捨て、効果を発動！  
相手の機械族かドラゴン族のコントロールを得る！  
ボクはこの効果により、ダーク・アームド・ドラゴンのコントロールを奪う!」

「ああああああ！  
奪われるのは分かっていたけど、こんなに早く奪われるとはあ!」

驚きすぎよ白黒兄さん  
カミューラ戦を見て自分のアンチカードを入れられているのは分か  
ってたんでしょ？  
まあ……確かにかなり早かったけど。

「その……ごめんなさい  
気を取り直して、ダーク・アームド・ドラゴンを生け贄に捧げ、ミ  
ュータント・ハイブレインを召喚!」

攻撃力2800で攻撃できたのに？  
というか、攻撃力0を攻撃表示で召喚!？  
絶対にコントロール奪取効果を持っているに決まってるわね。

「ミュータント・ハイブレインで<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜に攻撃！  
そしてこの瞬間、ミュータント・ハイブレインの効果を発動！  
攻撃宣言時、相手のモンスター1体のコントロールを奪い、代わり

に攻撃させる！

この効果で奪ったモンスターはバトルフェイズ終了時に元のコントロールの元に戻る！

ダイレクトアタック  
直接攻撃はできないんだけどね

ボクがコントロールを奪うのはホルスの黒炎竜LV8！」

ミュータント・ハイブレインは念力のような力を出す

ホルスの黒炎竜LV8はフラフラとした動きで真紅眼の黒竜に火炎

玉を撃ちだした

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
そして破壊される真紅眼の黒竜。

モノクロ  
白黒兄さんは600のダメージを受ける

残りライフは3400、まだ余裕は有るけどドラゴン達がボロボロね。

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
「真紅眼の黒竜が……」

「更に速攻魔法、神秘の中華鍋！

ホルスの黒炎竜LV8を生け贄に捧げ、その攻撃力分ライフを回復する！」

「1ターンで僕のドラゴン達を全滅させるだって！？

ちょっと頑張り過ぎじゃないかい！？」

本当に……最低攻撃力2400のドラゴン達を3体

全てを1ターンで処理するなんて恐ろしい事だわ

しかもライフを3000回復させ、7000にまで増やすなんてね。

「カードを2枚伏せ、ターンエンド」

「ならばエンドフェイズ時、罠カード発動！ レベル調整！」

「罠カード！？」

でもさっきは魔法カードだったよね！？」

そう、さっきは魔法カードの同名カードを使った  
そんなカードが存在していたなんて……

「僕にも詳しい事は分からないんだけどね……  
とりあえずその効果により相手はデッキから2枚ドロし、ホルスの黒炎竜LV8を蘇生させる！」

また魔法カード封じのモンスターが……  
そしてミュータント・ハイブレインは攻撃表示のまま  
このままだと大ダメージは必至ね。

「そして僕のターン、ドロロー！」

……ふ、僕は2枚目の未来融合を発動！  
デッキから5枚のドラゴン族を墓地に送り、2ターン後にF・G・  
ラゴン  
Dを召喚する

ホルスの黒炎竜LV8でミュータント・ハイブレインに攻撃！」

「罠カード発動！ ドレインシールド！  
攻撃を無効にし、その攻撃力分ライフを回復する！」

レイのライフはこれで更に3000回復  
残りライフ10000……5桁になってかなりの多さね  
これを削りきるには骨が折れるわ。

「ターンエンドだ」

「ボクのターン、ドロー！」

（あのホルスの黒炎竜LV8……邪魔だなあ  
どうやって消そう）

ボクはモンスターをセットし、ミュータント・ハイブレインを守備  
表示に変更！

カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

ホルスの黒炎竜LV8がかなり邪魔そうね  
魔法カード封じは本当に厄介よ

全て捨て札かブラフにしかないんだもの。

「僕のターン、ドロー！」

未来融合の効果により、ファイフ・ゴッド・ドラゴン  
ファイフ・ゴッド・ドラゴン  
F・G・Dで伏せモンスターに攻撃！」

攻撃力5000の攻撃は普通なら防げない  
普通じゃないレイだし、攻撃を防ぐカードが多いから大丈夫だと思  
うけどね。

「罠カード発動！ 和睦の使者！」

自分の場のモンスターは戦闘で破壊されず、戦闘ダメージも受けな  
い！

そしてボクのセットしていたモンスターは幻惑のラフレシア、リバ  
ース効果発動！

相手モンスター1体のコントロールをエンドフェイズ時まで得る！  
ボクはこの効果により、ホルスの黒炎竜LV8のコントロールを奪  
う！」

「またホルスを……ボクはカードを1枚伏せ、これでターンエンド



だ！」

「ならエンドフェイズ時に速攻魔法、速攻召喚を発動！  
このカードの効果により、ボクは手札からモンスター1体を通常召喚できる！」

ボクは闇属性、ミュータント・ハイブレインとLV8、ホルスの黒炎竜LV8を生け贄に捧げ……

古き機械の底力を見よ！ 走れ、レアル・ジェネクス・クロキアン！」

……蒸気機関車？

ああ、だから古き機械なのね

でも攻撃力は2500、ファイブ・ゴッド・ドラゴンF・G・Dには勝てない

しかし使用者がレイだから……また奪う効果かしら？

「レアル・ジェネクス・クロキアンは闇属性モンスターとLV5以上のモンスターを生け贄に捧げて召喚する！」

このモンスターの生け贄召喚に成功した時、相手の場に表側表示で存在する最もLVの高いモンスターのコントロールを得る！

ファイブ・ゴッド・ドラゴンボクが奪うのはF・G・D！」

レイの強奪能力には脱帽ね……モノクロ白黒兄さんが駄目駄目じゃない

奪う事に特化し過ぎよ、カミューラ戦では墓地からも奪っていたし彼女はどこまで進化するのかしら？

「またモンスターを……何回奪えば気が済むんだい！？」

あ、それを言ったらレイの返事は……

「何回奪っても気が済まない！ ボクのターン、ドロー！」

ボクは高等儀式術を発動！ デッキからメルキド四面獣と仮面呪術師カースド・ギュラを墓地に送る！  
そして大邪神レシェフを儀式召喚！」

場が酷い事になってるわね

幻惑のラフレシアは置いておくけど

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

F・G・D、リアル・ジェネクス・クロキアン、大邪神レシェフ

総攻撃力は10000よ？ ちょっと笑えないんだけど。

ファイブ・ゴッド・ドラゴンダイレクトアタック

「F・G・Dで直接攻撃！」

「罠カード発動、ドレインシールド！」

攻撃を無効にし、その攻撃力分ライフを回復する

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

残念だったね、F・G・Dで最後に攻撃していれば君の勝ちだった」

モノクロ

そう、これで白黒兄さんのライフは5000回復し、8400

残りのモンスターで攻撃してもライフは元の3400に戻るだけ

もし先に攻撃力2500モンスター2体で攻撃していた場合

モノクロ

3400↓5900↓3400↓0となっており、白黒兄さんは負

けていた

レイの読みが甘かったわね。

「クッ……レシェフとリアル・ジェネクス・クロキアンで直接攻撃

！」

「ぐううう……だが僕のライフは元に戻っただけ  
まだまだ甘いよ」

「……カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

レイはかなり悔しそうね

勝てたのに、それを自ら放棄してしまったんだから当然か  
モノクロ  
白黒兄さんは高攻撃力モンスターを何度も召喚しているしね  
かなり厄介な相手のはずよ。

「僕のターン、ドロー

墓地に存在するミンゲイドラゴンの効果を発動する！

このカードが墓地に存在し、自分の場にモンスターが存在せず、墓地にドラゴン族だけの場合

自身を攻撃表示で特殊召喚する！

更に未来融合の効果により、ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
F・G・Dを特殊召喚！

強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロー！

そしてミンゲイドラゴンをドラゴン族の生け贄に捧げる時、2体分として扱う

僕はミンゲイドラゴンを生け贄に捧げる、そしてミンゲイドラゴンは自身の効果で特殊召喚した場合

場から離れたらゲームから除外される、それはそうと、僕が召喚するのは真紅眼の黒竜だ！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

未来融合の効果で墓地に送ってない？

元々手札に有ったのかしら？ それとも1枚ぐらい残していた？

それにこの状況で真紅眼の黒竜を出しても……」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

「更に、レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜を生け贄に捧げ、レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜を特殊召喚！  
真紅眼の闇竜は自分の墓地に存在するドラゴン族の数×300攻撃力を上げる

ここで問題、僕の墓地にドラゴン族は何体でしょうか？」

「ふえ？ えっと……墓地に5体送って、蘇生して、また墓地に行  
って

また墓地に5体送って……分かんない」

モノクロ  
白黒兄さん、レイを苛めるのはちよつと許せないわよ？

後で叱っておかないと……

ほら、瑞貴の雰囲気もごく僅かに変わったわよ、小さすぎてかなり分かり難いけど。

「正解は10体、よって攻撃力は3000上昇する！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜の攻撃力は5400だ！」

ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
「F・G・Dを上回った!？」

そしてボクの中には攻撃表示のレシェフとレアル・ジェネクス・クロキアンが……」

レイの攻撃表示モンスターが攻撃された場合  
受けるダメージは合計5400、ライフは10000だから4600残るわね

ライフには余裕が残るけど、それでも状況はかなり悪いわ。

ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
「F・G・Dでレシェフに攻撃だ！」

「ふふ、残念でした

罨カード発動、マジックアーム・シールド！

攻撃したモンスター以外の相手モンスター1体のコントロールをバトルフェイズ終了時まで得る

そしてそのモンスターがこの攻撃を代わりに受けるわ  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
ボクが奪うのは真紅眼の闇竜！」

「それぐらい想定済みさ！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
奪った真紅眼の闇竜の攻撃力を確認してみるがいい！」

「え……あ、攻撃力が2400!？  
どうなってるの!？」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
確か真紅眼の闇竜の効果は……自分の墓地のドラゴン族で攻撃力が決まっている!

そしてレイの墓地にはドラゴン族は0枚、だから攻撃力は上がらない!

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
「真紅眼の闇竜はね、自分の墓地のドラゴン族の数×300攻撃力が上がるんだ

君の墓地にはドラゴン族は0枚、よって攻撃力は2400のままさ  
ファイブ・ゴッド・ドラゴファイブ・ゴッド・ドラゴン  
F・G・D、真紅眼の闇竜に攻撃だ!」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜は破壊され、攻撃力差2600のダメージ  
レイの残りライフは7400、余裕だけどこれは精神的にショック  
だったでしょうね。

「僕は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ  
(僕が伏せたのは王宮のお触れ、罠カードを使ったら君の負けさ  
できればホルスの黒炎竜LV8と一緒に使いたかったよ)」

モノクロ  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
白黒兄さんの場にはF・G・Dと伏せカード、そして未来融合が2枚  
圧倒的に不利な状況……どうやって生き残るのかしら?

「ボクのターン、ドロロー!  
ファイブ・ゴッド・ドラゴファイブ・ゴッド・ドラゴン  
……F・G・DでF・G・Dに攻撃!」

ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
完全に忘れていたけど、F・G・Dって光属性でしか戦闘で破壊で  
きない

ファイブ・ゴッド・ドラゴファイブ・ゴッド・ドラゴン  
F・G・DでF・G・Dを倒す事はできないわよレイ。

「あ、F・G・Dは光属性でしか戦闘で倒せないよ  
相打ち狙いだっただろうけど、残念ながらそれは無理さ」

「えええ！？」

だ、だったらリアル・ジェネクス・クロキアンとレシェフを守備表  
示に変更！

ターンエンド！」

レシェフの効果を使用しなかった上、召喚もしなかったし伏せカー  
ドも出さなかった

という事は魔法カードではなく、罠カードでもない

ゴヨウ・ガーディアンの召喚条件は満たしているけど、相手の場に  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
はF・G・D

ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
自分の場のF・G・Dを生け贄にしてまで召喚する価値は無いわね。

「僕のターン、ドロー！」

よし、魔法カード、所有者の刻印を発動！

モンスターのコントロールを元の持ち主に戻す！

ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
これでF・G・Dは僕の場に戻ってくる  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
戻れ！ F・G・D！」

「ああ！ せっかく奪ったモンスターが！」

「奪ったって君ねえ……いや、何を言っても無駄かな」

何か変な事を言ったかしら？

レイのデッキはコントロール奪取をメインとしたデッキ  
あの発言は当然じゃないの？

ファイブ・ゴッド・ドラゴンノクロ

それより、F・G・Dが白黒兄さんの場に2体  
このままだとかかなり拙いわね……どうやって倒すべきか。

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

「F・G・Dでレシェフとレアル・ジェネクス・クロキアンに攻撃  
！」

これにより、レイの場のモンスターは幻惑のラフレシアだけ  
しかも守備力がたったの900、とてもじゃないけど守りきれない  
わ。

「僕のターンはこれで終了だ  
さあレイ君、君はどうやってこの状況を乗り越える！」

兄さん……ノリノリね  
コスプレからしても暗黒騎士とか弱い少女  
完全に悪役として嵌っているわ。

「ボクのターン、ドロー！  
(この手札じゃ何もできない！)  
た、ターンエンド！」

「僕のターン、ドロー！  
お、とりあえずカードをセットするよ  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
F・G・Dで幻惑のラフレシアに攻撃！」

簡単に破壊されるラフレシア  
能力差が4100じゃねえ……

モノクロ

そして白黒兄さん、何をドローしたの？  
さっきの表情から考えるに、どうもレイを更に追い詰めるカードで

しょうけど

もし……もし竜の逆鱗だったら全てのドラゴン族貫通能力を得る  
レイに勝ち目は無いわ！

ファイブ・ゴッド・ドラゴン ダイレクトアタック  
「F・G・Dでレイ君に直接攻撃だ！」

「きゃあああああ！」

攻撃力5000の攻撃でレイのライフは残り2400  
モノクロ  
白黒兄さんのライフは3700、ライフでも場でも負けてしまった  
わ！

「僕はこれでターンエンドだ！」

「ボクの……ボクのターン！ ドロー！」

墓地に存在する悪魔族であるメルキド四面獣、仮面呪術師カースド・  
ギユラ、大邪神レシェフをゲームから除外！

そしてダーク・ネクロフィアを守備表示で特殊召喚！  
ボクはこれでターンエンドだ！」

またコントロール奪取能力を持ったモンスターかしら？  
本当にレイは恐ろしいモンスターばかり使うわね。

「僕のターン、ドロー！」  
出さなくても良いんだけど……一応アックス・ドラゴニユートを召  
喚！

更に永続罨、竜の逆鱗を発動する！ この効果により、僕の場に存  
在するドラゴン族は全て貫通能力を得る！  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
F・G・Dでダーク・ネクロフィアに攻撃だ！」



破壊される人形を持った女性

しかし、破壊されている人形が突然おぞましい声を出して笑いだした。そしてそのまま消滅する人形……凄く怖かったわ。

「……明日香、怖かったのは分かった

俺は構わんのだが他の奴らに見られる  
だから俺の腕を掴んでいる手を離せ」

瑞貴に言われて気付く

私はいつの間にか瑞貴の腕を掴んでいたらしい  
なんだけど……

「その……怖いからもう少しこのままでもいい？」

まだ怖くてね……夢に出そうよ

今夜は誰かの部屋に泊めてもらおうかしら？

「好きにしろ

アレが怖かった気持ちは分からんでもないしな  
一応、どっかの盗賊のエースモンスターだし……」

最後の一言は声が小さかったけど聞こえたわよ！

バクラのエースモンスターか、それならあのおぞましさも納得ね  
バクラのデッキから考えてテーマはオカルトかしら？

オカルトと拷問……ベストコンビじゃない！

「（こ……怖かった）竜の逆鱗の効果により、貫通ダメージを与える！

よって能力差である2200のダメージだ

レイ君、これで君のライフは残り200

これで最後だ、F・G・Dで直接攻撃！」  
ファイブ・ゴッド・ドラゴダイレクトアタック

「ちょっと待って！」

ダーク・ネクロフィアの効果を忘れたら駄目だよ！

ダーク・ネクロフィアは相手によって破壊された時に効果を発動する  
相手モンスター1体の装備カードとなり、そのモンスターのコント  
ロールを得る！

ボクが奪うのは当然、F・G・D！」  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン

「しまったー！ー！ー！ 効果を確認してから動けば良かった！  
僕にはもう何もできない！ ターンエンドだ！」

馬鹿……でもまた嫌なモンスターね  
相手によって破壊された時でしょ？

戦闘だけじゃなく、効果で破壊されても効果が発動する  
厄介だし、怖いし、面倒だし、困ったモンスターね  
さすがバクラのエースモンスター。

「ボクのターン、ドロー！」  
強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドロー！  
来たあ！ ボクはメルキド四面獣を召喚！」

今更攻撃力1500の通常モンスター！？  
そんなモンスターが何の役に……

「更にメルキド四面獣を含む2体のモンスターを生け贄に捧げ、仮  
面魔獣デス・ガーディウスを特殊召喚！」

ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
「F・G・Dを生け贄にしてまで特殊召喚だって！？  
しかし、そのモンスターの攻撃力は3300、アクセス・ドラゴニ

ユートは倒せてもF・G・Dは倒せない  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
明らかにF・G・Dを生け贄にした価値は無いはずだ」

確かにそうね

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

そのままF・G・Dでアックス・ドラゴニユートに攻撃していれば  
3000のダメージ

モノクロ

白黒兄さんのライフは残り400になっていた。

ライフは削りきれなかったでしょうけど、多少は有利にはなったかもしれない

それを捨ててまでの特殊召喚、また厄介な効果を持っているでしょうね。

「更に儀式魔法、大邪神の儀式を発動！

手札か場からLV合計が8以上になるように生け贄に捧げる！

ボクはLV8の仮面魔獣デス・ガーディウスを生け贄に捧げ、大邪神レシェフを儀式召喚！」

ちょっと待って！ それも変よ！

それなら最初から手札の仮面魔獣デス・ガーディウスを生け贄にすればよかったはず！

なのにどうして態々特殊召喚してから……

「そして仮面魔獣デス・ガーディウスの効果を発動！

このモンスターが場から墓地に送られた時、デッキから遺言の仮面を場のモンスターに装備させる！

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

遺言の仮面をF・G・Dに装備する！」

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

気味の悪い仮面はF・G・Dの1つの頭に装着された  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
するとF・G・Dが苦しみ始めた、どういう事なの？

「遺言の仮面の効果発動！

仮面魔獣デス・ガーディウスの効果により、相手モンスターに装備された時

そのモンスターのコントロールを対戦相手の場に移す！

対戦相手はボク、よってF・G・Dはボクのモンスターになる！」  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン

また恐ろしい効果ね……しかも墓地に送られた時に強制発動じゃないの？

蘇生制限を満たし、蘇生させてまた墓地に送られたら再発動……恐ろしいモンスターね。

「な、なんだってー！ー！！！」

君のデッキにはコントロールを奪うカードしか入っていないのかい！？」

「違うカードはちょっとだけ、他のカードは戦闘回避やライフ回復カードしか入ってないよ

それ以外は全部コントロール奪取、蘇生カードだけ」

言い切った！？ レイが言い切ったわ！

どこまで恐ろしいデッキになってるのよ！？

誰かあのデッキに勝ちなさい！

「君もやっぱり堅守君の影響を強く受けているね！

どうして彼と付き合う者はみんなこうなるんだ！？」

なんか酷い事を言ってるけど……

白黒兄さんも瑞貴と付き合っている人間よ？  
モノクロ

きつと気付いていないだけで白黒兄さんも影響を受けてるんじゃないな  
モノクロ

い？

それに、私は瑞貴の影響を受けてないわよ  
私は前から変わってないわ、失礼な事言わないでちょうだい。

「そんな……ボクが瑞貴さん色に染まってるなんて……  
なんか嬉しいなあ」

レイが顔を真っ赤にして照れている

可愛いし微笑ましいわ、好きな人の色に染まるのがきつと嬉しいんでしょうね

それが良いかどうかは別問題だけど……だって相手が瑞貴だし。

「ぐはあ！

しまった、まさかこういう言い方でもなるとは……僕もまだまだ甘かった……か」

なんか白黒兄モノクロさんが悶えてる、どうかしたの？

言い方でも間違えたのかしら？ 私には分からないわ。

ちなみに観客は2つに分かれている

1つはレイの可愛さに燃え上がる変態達

もう1つは白黒兄モノクロさんと同じく悶えている謎の人達

その2つに属さない少数は頭を痛めている……どうかしたの？

「ハッ！ 悶えている場合じゃなかった！

って、僕には何もできないじゃないか！」

「あ、ボクも照れてる場合じゃなかった

大邪神レシェフでアックス・ドラゴニユートに攻撃！」

「正氣に戻った瞬間に即攻撃!？」  
「つてうあああああ!」

レイも切り替えが早いわね  
 そういう部分は良い所よ、大事にしろ。

「これで最後！」  
ファイブ・ゴッド・ドラゴダイレクトアタック  
F・G・Dで直接攻撃！」

「うお ああ ああ ああ！  
ぬわ ああ ああ ああ！」

[illegible]

煩いわよ白黒兄さん  
 モノクロ

それはともかくレイの勝ちね、凄い戦いだったわ。

私だと……ちよつと難しそうね

勝てるかしら？  
速攻で決めない限り無理かも

でも守りのカードが多いから……どうやって突破すればいいのよ!?

レイははしやぎながらこちらに走ってくる

かなり興奮してるわね、やっぱ嬉しかったんでしょうね。

ちなみに白黒兄さんは四つん這いになって落ち込んでる

あれだけの力と圧倒的な状況で逆転されたのが想像できなかったんだと思うわ

確かに……最後は悪夢のような光景だったでしょうね。

「瑞貴さん！  
ボク勝ったよ！」

だから次は瑞貴さんが相手してって……」

突然レイが不機嫌に……どうかした？  
視線の先には私の腕？ 何か変かしら？

「ムウー……明日香さん、どうして瑞貴さんの腕を掴んでるんですか？

むしろボクがしたい！」

そう言って瑞貴の腕に抱きつくレイ  
これぐらい、気になる事かしら？ 別に腕を掴むぐらい普通じゃないの？

抱きつく方が恥ずかしいと思うわ。

でもレイ、瑞貴が困ってるわよ？

私とレイで両手を掴んでるから動けないみたいだし  
仕方無い、私が先に放すか。

私が瑞貴の腕を放すとレイが嬉しそうな顔になって更に強く抱きついた

でも瑞貴が……レイの頭の上に手を置き、そして締め付けた  
これがアイアンクローね、痛そうには見えないんだけど、レイの反応が痛そう。

「いだだだだだだだあ！

瑞貴さん、瑞貴さん！ ちょ、そんなに強く絞めないでください！  
いいー痛い！ 痛いですって！」

「なら放せ、次は俺と決闘するんだろ？  
デュエル

このままだとデッキ調整とかもできない  
そして明日香は軽く掴む程度だったからいいが、お前は強すぎる

暑苦しいし、鬱陶しい、だからさっさと放せ」

「はい！ 放します！ というか放しました！  
だからボクの頭も放してください！」

瑞貴は素直に手を放す

レイは瑞貴を睨むが、何を言っても無駄だと分かっているのでも  
言わない

付き合いは短いのに瑞貴の事をよく理解しているわ  
それだけあの1週間の密度が濃かったのかしら？

「そういえばレイ、さっきから恋する乙女が出てこないけど  
ドローできないの？」

私の言葉にレイの顔が少し引き攣った  
どうかしたのかしら？

「その……恋する乙女はこのデッキに入っていないんだ  
ちょっと頑張り過ぎて入れなくなっちゃって……  
恋する乙女専用<sup>デュエル</sup>に別のデッキを新しく作ったんだ  
このデッキは絶対に勝つ為、恋する乙女は楽しく決闘する為  
そうやって使い分けているんだ」

要は本気用と手加減用って事ね

本当に強くなってるんだもの、そうやって使い分けるのも納得ね。

瑞貴はどのデッキにしようかデッキを幾つか見ながら決闘場<sup>デュエルフィールド</sup>に移動  
する

レイは瑞貴に追いつき、笑顔で瑞貴の横を歩く  
が、瑞貴にデッキ調整をしないかと言われたのか慌ててデッキを取



り出す

危ないからちゃんと前を向いて歩きなさい。

それはそうとし、後ろでは玲ちゃんがマナの洗脳に成功したらしいわ何をどう吹き込んだのか、マナの瑞貴を見る目から嫌悪感がほぼ皆無今は凄い人を見るような顔に……いったい何を言ったのよ？

しかし、玲ちゃんはまだ洗脳を止めていなかった  
脳の奥まで根付かせる為、更なる洗脳を続けている  
その内崇拜するまでになるんじゃないかしら？

というか、今更だけどこんな短時間に洗脳ってできるものかしら？  
これが瑞貴の妹……そう考えたら何故か納得できてしまった  
そうね、今更瑞貴関係で疑問に持つ方が変ね。

ふう、私ったら何を馬鹿な事を考えていたのかしら？  
でも……新たな疑問が生まれたわ

瑞貴の両親ってどんな人間なの？

凄く恐ろしい人物を想像してしまったわ……うう、ちょっと寒気が。

そういえば忘れていたけど、白黒兄モノクロさんはカミューラとワインを飲  
んでる

……って、未成年！ 白黒兄モノクロさんはまだ未成年よ！

ほら！ カミューラも勧めない！

止めようかと思ったけど、間に合いそうにないので諦めた  
きつと二日酔いにでもなって自分で後悔するでしょうね  
というか、瑞貴に怒られるんじゃないかしら？

勝手に酔うなんて巫山戯てるのか！

って、そんな感じに怒りそうね。

そんな事を考えている内に瑞貴とレイの試合が始まりそう  
ちなみに瑞貴はレイに頼まれたのか、それとも気分が  
邪魔になったのか、疲れたのか、気が散るからなのか  
どれでも良いけど、いつの間にかFOLの仮面を外していた。

……仮面無しだと似合わないわね

道化のような格好なのに、顔だけは普通……シウルね  
もっと顔が良いか、それとも顔も道化のようにしていたら似合うか  
もしれないのに

いえ、それはそれで不気味になりそうだから嫌ね。

「小娘、デッキはお前に選ばせてやる

お前にとって天敵のデッキ、お前にとって最高に相性の良いデッキ  
どちらが良い？」

普通なら当然ながら相性の良いデッキを選ぶわね  
でも相手は瑞貴、絶対に何かを企んでいるわ。

「……それぞれのメリットとデメリットを教えてくださいませんか？」

レイも警戒している

短い期間とはいえ、瑞貴の怖さを理解している証拠ね。

「相性の良いデッキを選んだとする

勝つのは当たり前だ、よって負ければお前の事は今後絶対に名前で  
呼ばない

勝ったらそうだな……この後何か奢ってやろう」

「なんかデメリットばかりな気が……」

まあ楽に勝てるデッキなんだから当然よね  
でも、天敵だったら？

「天敵のデッキを選んだとする  
俺のライフを1000削る事に俺にできる事で無理の無い事ならし  
てやろう  
負けたら逆に、俺の言う事を1つだけしてもらおうかな？  
勝ったら……よし、名前で呼んでやろう」

「天敵のデッキで！  
ボクは絶対に勝つ！　そして名前を呼んでもらうんだ！  
瑞貴さん！　勝負！」

ああ……瑞貴に寄せられちゃったわ  
きっと本当に天敵のデッキを使っているに違い無いわ  
下手すれば何もできないまま負けてしまうんじゃないか……  
そう思ってしまうほどにレイが哀れに見えてくる。

両者が構え、真剣な雰囲気漂い始める  
どっちが勝つのか……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

ちよっと思っただけど、瑞貴も真剣に戦うらしいわね  
今回はライフ事にデメリットを負うんだから当然かしら  
レイには頑張ってほしいわ……

## 42話【暴走学園祭 横編】（後書き）

レベル調整でホルスの黒炎竜LV8は無理だ！

しかしながら原作効果では可能なのです

万丈目が条件を満たさずにアームド・ドラゴンLV7を特殊召喚していました。

罨のレベル調整！？

原作では最初は罨カードでした

後々、OCGと同じく魔法カードで統一されました。

レアル・ジェネクス・クロキアンの召喚条件が微妙……

作者も思いつきそう思います

しかし、ジェネクスの効果と無関係＋効果にLVを含んでいる  
そういう理由からこのような召喚条件にしました

口上は浮かばなかったので短く普通に……作者の脳は非力ですね。

瑞貴の雰囲気が変わったのってどうして？

自分の苛める獲物なのにお前が苛めるな

そんな感じで独占欲に近いですね。

吹雪のデッキはまさか……

お触れホルスです、しかもかなり攻撃的な

瑞貴が強化したので当然とも言えますね。

ダーク・ネクロフィアの効果ってエンドフェイズ時じゃ……

見落としたまま進めてしまいました、見逃してください

このカードぐらいしかレイが生き残る手段が見当たらなかったんです。

……砂糖を食べますか？  
逆にはき出しましょう。

レイがー！ー！ー！！！！

……いや、どうも何か飛んできたようです  
軽くスルーしてやってください。

明日香の感覚が……

確実にずれています

原因はバクマリ戦後に一緒に寝たからでしょう  
安心できると無意識に刷り込まれたんだと思います。

恋する乙女が抜かれてる！？

デッキの構築上、確実に邪魔です  
ですので違うデッキとしてまた別の機会に現れるかもしれません。

玲！ お前は！ 何を！ しているんだ！？

洗脳ですね、玲は何者？

どうも作者は暴走していたようです  
次話になればきつと洗脳も終わっているでしょう  
ブラック・マジシャン・ガールの未来はどうなっているのか！

瑞貴と玲の両親って？

未登場、少しだけ設定は考えています  
しかし登場する機会が無いのでスルーしましょう。

何故F O O Lの仮面を外したの？

瑞貴は殆どテンションが戻っている状態です  
そんな状態で仮面付きでなんて鬱陶しくてやってられません

レイにも外してほしいと言われたので、丁度良くなって外しました。

しかし瑞貴の正体が……

今更だと瑞貴は思っています

もういい加減に色々諦めたようです

でも、今回瑞貴が戦う事になったのは自分で言い出したからです  
自業自得ですね。

原作、アニメオリジナルカード

速攻召喚

ライフを払わない使い捨ての血の代償  
といった所でしょうか？

#### 43話【暴走学園祭 下編】（前書き）

投稿間に合いましたー！ー！ー！

書き終えたのは投稿35分前！ 超ギリギリです！

ちなみに、感想で言われたTF5ですが、寝る前に4時間ぐらいしただけでそれからしていません！

作者はこれを投稿したらカーリーを倒すんだ……もう既に1回倒しましたけど

ついでに牛尾さんも

まさか初期デッキから半分も弄ってないのに勝てるとは思いませんでした

現在、ディスティニードローは未経験です、だって普通に勝てるんだもん！

とりあえずメインキャラなのにちびっ子（男）は超弱いですね、稼ぎとして利用しています

ノーダメージもできるなんて……これは酷い。

とまあ、そんな話は別にしましょう

今回はグダグダです、凄くグダグダです

何故こうなった……デッキと決闘<sup>デュエル</sup>構成、その他を考えたら謎に難しかったですね

学園祭編で多分一番悩みました

簡単に気付きそうなんです……調べる事にも手間取りました  
使えそうなカードが見当たらないんです！

次話は……多分大丈夫でしょう

とりあえずゲームは書き終えてからにします

感想の返事をしていないのは余裕が無かったからですし……  
返事が遅くなっすみませんでした、今から返事をします。

最後にあまりにもどうでも良い事

夕食に虫が入っていました（しかもスープ系）

食欲が失せた……今日はもう何も食べたくありません。



## 43話【暴走学園祭 下編】

視点 レイ

うう……報酬に釣られて天敵の方を選んじゃったけど  
でももう遅いんだし、勝つしかない！

デュエル  
「決闘！」

「お前のデッキは後攻有利だからな  
俺が先攻を貰おう、ドロー

カードを2枚伏せ、永続魔法、エレメントの泉を発動  
モンスターが手札に戻る度にライフを500回復する効果を持つ  
最後のジェスター・コンフィを攻撃表示で特殊召喚  
俺はこれでターンエンドだ」

手札に戻したらライフが回復するカード？  
もしかしてボクが奪ったモンスターを手札に戻せば大丈夫って事？  
それだと天敵じゃない気がする……確かに無駄にはなりそうだけど。

問題はあの太ったピエロ  
攻撃力0を攻撃表示で特殊召喚？  
何か嫌な効果を持ってそうな気がする……

手札に速攻でモンスターを奪えるカードはまだ無い  
戦闘で倒そうにも、あの伏せカードが怖い  
今は我慢して次に備えておいた方が良いかな？

「ボクのターン、ドロロー！」  
アルカナフォース？<sup>セブン</sup>—THE<sup>ザ・</sup>CHARIOT<sup>チャリオット</sup>を攻撃表示で召喚する！

そしてアルカナフォース？<sup>セブン</sup>—THE<sup>ザ・</sup>CHARIOT<sup>チャリオット</sup>の効果を発動！  
召喚時にコイントスを行い、その表と裏でそれぞれ別の効果を得る！

コイントスの結果は……裏！？  
うう……やっぱりそう簡単にはいかないか  
まあ裏でもそんなに問題無いからいいか。

「結果は裏だったのでアルカナフォース？<sup>セブン</sup>—THE<sup>ザ・</sup>CHARIOT<sup>チャリオット</sup>の効果  
それは戦闘で破壊された時、相手の場に特殊召喚される」

攻撃しても良いんだけど……やっぱり伏せカードが怖い  
他の人だったら普通に攻撃するんだけど、カミユラさんも吹雪さんも明日香さんも玲ちゃんも  
瑞貴さんが強化した人達はみんな防御が巧かった  
なのに本人の瑞貴さんが何もしていないわけが無い！

今の内に消しておくか、それとも次に召喚権を残したまま攻撃し、  
モンスターを途絶えさせないか  
なんか怖いし、ここは様子見をしておこつと。

「カードを1枚伏せ、ターンエンド」

「ならばこの瞬間、ジェスター・コンフィの効果が発動される  
このモンスターが特殊召喚された次の相手のエンドフェイズ時  
自身と相手の表側表示のモンスター1体を手札に戻す

よってジェスター・コンフィとアルカナフォース<sup>セブン</sup>?—THE CH<sup>チ</sup>  
ARIOTは手札に戻る」

「ふえ？」

ジェスター・コンフィが一礼したかと思うとTHE<sup>ザ・</sup>CHARIO<sup>チャリオツ</sup>  
Tにくっついた

そして真っ黒なボールみたいになったかと思うと消えてしまった……  
どう見ても除外されたようにしか見えないんだけど……THE<sup>ザ・</sup>C  
HARIOTは手札に戻ってきた  
やっぱりピエロって事なのかな？

って、ボクの中のモンスターが消えた！？  
これじゃあ攻撃しなかった意味が全く無いよ！

「エレメントの泉の効果を発動  
手札にモンスターが戻ったのでライフが500回復する  
ちなみに、ジェスター・コンフィの効果で手札に戻るのは同時扱い  
なので2回分は回復しない」

そんな事どうでもいいよ！  
500程度のライフなんて渡したって後悔無いし！  
ボクの方が空きの方が大問題！

それに瑞貴さんのライフが回復すれば……  
ライフを1000削る事をお願いできる事が増える  
逆に回復してくれて嬉しいかも！

「俺のターン、ドロー  
そうそう、言い忘れていたがな

俺のライフを1000削る事とは言ったが  
それは俺の残りライフが3000、2000、1000になった時  
だけだ

今から1000削って3500になっても無意味だからな  
更に言うと、俺のライフが5000以上になり、ダメージを与えて  
ライフが4000以下にしても駄目  
頑張って3000以下にしろよ」

「そういう事は先に言ってよ！  
期待しちゃったじゃん！」

うう……やっぱりそんなに甘くなかった  
瑞貴さんも抜け目がないなあ。

「悪かったな、なら悪かったついでに動こう  
磨破羅魏<sup>マハラギ</sup>を召喚し、効果を発動  
磨破羅魏<sup>マハラギ</sup>の召喚、リバースした時、俺の次のドローフェイズ時のド  
ロー前にデッキの一番上を確認する  
そのカードをデッキの一番上か一番下に戻す」

自分のデッキをピーピングするドロー加速系モンスター  
あまり強くないけど、キーカードを引くには役に立ちそう  
でも……召喚した時の1回しか使えないのにそんなモンスターが役  
に立つの？

「ついでだからジェスター・コンフィも特殊召喚しておこうか  
そしてエンドフェイズ、磨破羅魏<sup>マハラギ</sup>の効果が発動される  
このモンスターは召喚、リバースしたターンのエンドフェイズ時に  
強制的に手札に戻る効果を持っている  
戻れ、磨破羅魏<sup>マハラギ</sup>！」

マハラギ  
磨破羅魏は瑞貴さんの手札に戻り、エレメントの泉でライフを回復した……

なるほど、確かにボクのデッキの天敵かもしれない  
強制的に手札に戻るならいくら奪っても生け贄にしたりしない限り  
手札の損にしかない！

別に効果を無効化されたり、ロックをされたり、ダメージを与えられたわけじゃない  
だけど……厄介過ぎる！

そしてまた出てきたジェスター・コンフィ  
このターン中にどうにかして倒さないと！

「ボクのターン、ドロロー！  
ボクは再びTHE CHARIOTを攻撃表示で召喚！

そしてコイントス………表！

THE CHARIOTの表の効果、それは相手モンスターを戦闘で破壊した時

その破壊したモンスターを自分の場に特殊召喚する！」

攻撃力はゴヨウ・ガーディアンには及ばないけど、それでも攻撃力1700なら十分

今は瑞貴さんの場にモンスターは存在していないけどね。

「THE CHARIOTでジェスター・コンフィに攻撃！」

「悪いがそれは許さない

永続罠、グラヴィティバインドー超重力の網ーを発動する

このカードの効果により、お互いにLV4以上のモンスターで攻撃

「する事ができない」

「今度はロックカード!?」

THE CHARIOT ザ・チャリオットはLV4だから効果に引っかけたてしまう！  
これじゃあジェスター・コンフィを倒せない！

「クッ……なら永続魔法、カードトレーダーを発動！

スタンバイフェイズ時、手札のカードをデッキに戻し、新たにドロ  
ーする！

「ボクはこれでターンエンド！」

「ジェスター・コンフィの効果が発動される  
自身とTHE CHARIOT ザ・チャリオットを手札に戻す  
そしてエレメントの泉の効果により、ライフが500回復する」

凄く鬱陶しい！ 攻撃できないしコントロールも奪えない！

ボクのデッキには低LVモンスターで一番強いのは憑依するブラッ  
ド・ソウル

このモンスターを生け贄に捧げ、相手のLV3以下のモンスター全  
てのコントロールを永続的に得る

厄介な効果を持った下級モンスターを奪えるから入れたんだけど、  
こんな所で役に立つとは……

まだ手札に無いけどね。

「俺のターン、ドロの前に磨破羅魏 マハラギの効果を発動

デッキのトップを確認し、そのカードをデッキの一番上か一番下に  
送る

（攻撃できないようにしたし、偉大天狗 グレートテングは不要だな）……このカー

ドを一番下に送って、ドロ マハラギ  
磨破羅魏を再び召喚し、ジェスター・コンフィを特殊召喚する

エンドフェイズ、磨破羅魏<sup>マハラギ</sup>が手札に戻り、ライフを500回復だ」

「ボクのターン、ドロー！」

カードトレイダーの効果を発動！ 手札を1枚デッキに戻してドロ  
ー！

モンスターをセット！ セット状態ならジェスター・コンフィの効果で手札に戻されない！

カードを1枚セットし、ターンエンド！」

これでなんとかジェスター・コンフィは回避できた

ジェスター・コンフィは自身と相手を一緒に手札に戻す

だからボクのモンスターが戻されなければ効果も発動できない。

できれば倒しておきたかったけど……

攻撃力0のモンスターでは何もできないし、生け贄にしても自分の  
グラヴィティバインドで攻撃ができない

だったら無視しても……

「俺のターン、磨破羅魏<sup>マハラギ</sup>の効果によりカードの確認

……俺はこのままデッキの一番上に戻し、ドロー

ジェスター・コンフィを生け贄に捧げ、邪帝ガイウスを召喚する」

「よし、カウンター罠発動！ インターセプト！」

相手が1体のモンスターを生け贄にして生け贄召喚に成功した時  
そのモンスターのコントロールを得る！」

どんな効果を持ってるか知らないけど、奪ってしまえば問題無い！  
逆にボクがその効果を使ってやる！

「欲しいのならくれてやる

しかし、ガイウスの効果は発動された

ガイウスは生け贄召喚に成功した時、場のカードを1枚除外する  
例えばインターセプトで奪ったとしても、効果までは無効にされない  
俺が除外するのはお前の余った伏せカードだ」

ああ！ ドレインシールドが！

まあ……あんまり攻撃してこないみたいだから良いけど。

「俺は既に通常召喚を行っているな  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「ボクのターン、ドロー！

カードトレイダーの効果で手札交換を行い、再びドロー！

ボクはガイウスを生け贄に捧げ、アルカナフォース？？フオーティーンテン—TEMP  
バランス  
ERANCEを召喚！

そしてコイントス！」

表なら自分の受けるダメージは戦闘ダメージ半分に、裏なら相手が  
受ける戦闘ダメージは半分に  
この状況なら高確率でバーンかダイレクトアタッカーを使ってくる  
はず

少しでもダメージを減らさないと……

コイントスの結果は……表！

「表の効果、このカードのコントローラーは戦闘ダメージが半分に  
なる！

カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

「俺のターン、ドロー



因幡之白兔を召喚する、このモンスターが攻撃する時

相手プレイヤーへの直接攻撃になるダイレクトアタック

更に永続罠、ポイズンファンクを発動する

獣族モンスターが相手に戦闘ダメージを与えた時、更に500のダメージを与える」

やっぱり！ でも当たって欲しくなかった！

しかも両方使ってきたし！ どうやってこの状況を打開すれば……

「そして因幡之白兔はグラヴィティバインドの効果を受けないLV

3、因幡之白兔で直接攻撃だダイレクトアタック

戦闘ダメージを与えたので更に500のダメージを受けてもらおう」

テンパランス  
TEMPERANCEの効果で受ける戦闘ダメージは半分になって  
るけど……

それでも因幡之白兔の攻撃力の半分、350+500のダメージ  
あんまり長々と攻撃を許していたら負けてしまう！

早く因幡之白兔のコントロールを奪わないと……

「更に永続罠、スピリットの誘いを発動する

スピリットモンスターが手札に戻った時、相手のモンスターも1体  
手札に戻す

維持コストとして自分のスタンバイフェイズ時にライフを500払  
う必要が有るがな」

「スピリットモンスター？」

そんなカード知らないんだけど……

もしかして磨破羅魏マハラギや因幡之白兔の事？

「磨破羅魏や因幡之白兔の事だマハラギ

これらのモンスターはスピリットモンスターとして呼ばれている  
全てのスピリットモンスターに共通している事  
それは特殊召喚が一切できない点、そして召喚、リバースしたター  
ンのエンドフェイズ時に手札に戻るという点だ  
扱いはかなり難しいが、お前のようにコントロールを奪うデッキや  
相手の墓地を利用しようという奴には天敵さ  
なにせ、特殊召喚が全くできないんだからな」

て、天敵過ぎる!!!

ボクは何もできないじゃんか!  
どうやって勝てばいいの!?

「……言っておくがな  
このデッキを選んだのはお前だぞ?  
自業自得だ、諦めろ」

「そ、そうだったー!!!  
うわー!!! ボクの馬鹿ー!!!」

どうしよう! どうしよう! どうしよう!!!  
相手のターンにもコントロールを奪えるカードは入ってるけど  
それでもエンドフェイズには戻っちゃうし  
どうやって攻略すればいいの!?

「エンドフェイズ、因幡之白兔は自身の効果によって手札に戻る  
そしてエレメントの泉でライフが回復、更にスピリットの誘いの効  
果が発動される

テンパランス  
TEMPERANCEを手札に戻してもらおうか?」

「うう……せつかく召喚したのに」

でも、これで1回は戦闘ダメージを防ぐ事ができる  
なんとかしてこの状況を打破しないと！

テンバランス  
「TEMPERANCEが手札に戻ったのでエレメントの泉の効果  
でライフを回復  
さあ、お前のターンだぞ？」

瑞貴さんのライフは既に6500  
一応スピリットの誘いの維持コストで500減るけど……  
全然無駄、スピリットの誘いとエレメントの泉のコンボで逆にライ  
フが増えていく。

「ボクのターン、ドロー！  
カードトレーダーの効果で手札のカードをデッキに戻し、もう一度  
ドロー！」

仮面魔獣デス・ガーディウス……例え出したとしても墓地に送られ  
ないから効果が発動できない！  
ダーク・ネクロフィアだって同じ、墓地に送られないと無意味だし  
一応出して神秘の中華鍋やデストラクト・ポーションで墓地に行か  
せられるけど  
それでも、やっぱり時間稼ぎにしかない。

早く邪魔なグラヴィティバインドやスピリットの誘いを破壊しない  
と！

サイクロン……早く来て！

あ、ちなみに大嵐は入ってないよ？

自分のカードが破壊されたら困るからね。

「ボクは高等儀式術を発動！

デッキからメルキド四面獣と仮面呪術師カースド・ギュラを墓地に送り

大邪神レシェフを儀式召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

よし、これでダーク・ネクロフィアの召喚条件を満たせる

後はサイクロンを引くだけ……瑞貴さんの場合は常にモンスターが居ない

上級モンスターで連続攻撃をすれば勝てるはず！

「俺のターン、ドロー

スピリットの誘いの維持コストでライフを500払う

因幡之白兔を召喚し、永続罠、血の代償を発動する

ライフを500払う事で通常召喚を行う事ができる

この効果によりライフを500払い、もう1体……因幡之白兔を召喚」

2体の因幡之白兔！？

このままだとサイクロンを引く前にライフが削りきれちゃう！

「因幡之白兔2体で直接攻撃だ」  
ダイレクトアタック

テンパランス  
「TEMPERANCEとクリボーを手札から捨てて効果発動！  
戦闘ダメージを0にする！

これでポイズンフアングの効果も発動しない！」

でも、ボクの手札は0枚

早く何か来て！

「エンドフェイズ時に因幡之白兎達は手札に戻り、スピリットの誘いの効果が発動される

レシェフと守備モンスターを手札に戻してもらおう」

「罨カード、デストラクト・ポーションを発動！

レシェフを破壊し、その攻撃力分のライフを回復する！

これでボクのライフは2500回復し、残りライフは5650だ！」

ちなみに守備モンスターはブレイン・ジャッカー

何もできないまま手札に帰ってきた。

「合計3体のモンスターが手札に戻ったのでライフが1500回復する

俺のライフは7000だ」

瑞貴さんの場合は魔法、罨で埋まっている

エレメントの泉、血の代償、スピリットの誘い、ポイズンファンク、グラヴィティバインド

もう魔法、罨は使えないけど、厄介過ぎる！

今ほど大嵐が欲しいと思った事は無いよ！

「ボクのターン、ドロー！

カードトレーダーの効果でデッキにカードを戻し、改めてドロー！  
カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

「俺のターン、ドロー

維持コストでライフを500払う

そして因幡之白兎を召喚し、血の代償で更にライフを500払って

もう1体

ダイレクトアタック  
因幡之白兔で直接攻撃」

「和睦の使者を発動！

戦闘ダメージを0にする！」

「ならエンドフェイズ時、因幡之白兔は手札に戻り、ライフを1000回復」

このままだと、先にこっちの攻撃封じのカードがなくなっちゃう！早く、早くサイクロン！

「ボクのターン、ドロー！

カードトレイダーの効果で以下省略！

カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

なんとか守りきれているけど、それも時間の問題  
というか、同じ事の繰り返しにしかくなってない  
うう……どうしようも無い状況が辛い！

「俺のターン、ドロー

スピリットの誘いの維持コストを払う

因幡之白兔を召喚し、血の代償でもう1体……更にもう1体だ」

「さ、3体の因幡之白兔！？

わわわ、罠カード、威嚇する咆吼を発動！

相手は攻撃宣言できない！」

攻撃が全部通ったら2100削られ、更にポイズンファングの効果で1500のダメージ

合計3600もの大ダメージになる！  
そんな攻撃、絶対に受けられないよ！

「エンドフェイズ、因幡之白兔達は手札に戻る  
そしてエレメントの泉でライフを1500回復だ」

「ボクのターン、ドロー！  
カードトレーダーの効果を以下省略！  
うう……カードを1枚伏せてターンエンド」

来ない……手札も増えないし、早くどうにかしないと駄目なのに来ないよー！  
もう攻撃を防ぎきれない！

「俺のターン、ドローし、維持コストを払う  
そして因幡之白兔を召喚し、血の代償で2体の因幡之白兔を召喚  
いい加減に食らえ、ダイレクトアタック直接攻撃」

「まだ攻撃は受けない！  
罠カード、重力解除！ 場の表側表示のモンスター全ての表示形式  
を入れ替える！」

「なら後は同じだから省略するぞ  
手札が7枚だから1枚捨てる  
お前のターンだ」

いいなあ……手札が多くて  
ボクなんて1枚なんだよ？

「ボクのターン、ドロー！ カードトレーダー以下略！

よし、カードを1枚伏せ、命削りの宝札を発動！  
手札が5枚になるようにドロ―！」

これでなんとか逆転のカードを……よし！  
やっと来てくれた！

「速攻魔法サイクロンを発動！  
このカードの効果でグラヴィティバインド―超重力の網―を破壊する！

更に伏せた死者蘇生を発動！ この効果でメルキド四面獣を蘇生させる！

続いて幻惑のラフレシアを召喚し、メルキド四面獣を含む2体のモンスターを生け贄に捧げる！

出てこい！ 仮面魔獣デス・ガーディウスを特殊召喚！

墓地の悪魔族、メルキド四面獣、仮面呪術師カースド・ギュラ、大邪神レシェフをゲームから除外！

ダーク・ネクロフィアを特殊召喚！

最後の手札……ライフを1500払い、装備魔法、自律行動ユニットを発動！

相手の墓地からモンスターを選択し、蘇生させる！

そしてそのモンスターにこのカードを装備！

ボクが選ぶのは邪帝ガイウス！」

よし、これで総攻撃力は7900！

瑞貴さんのライフは残り7000！

更に伏せカードは無い、攻撃を回避する事は不可能！

「全てのモンスターで直接攻撃だ！  
ダイレクトアタック」

全てのモンスターが瑞貴さんに攻撃を放つ



辺り一面が凄い爆発した……これでボクの勝ちだ！  
瑞貴さんに名前で呼んで貰える……耐えた甲斐が有った！

煙が晴れると瑞貴さんの姿が……え？  
ら、ライフが全く減ってない！？  
どうなってるの！？

「ふう……今のは少し焦った  
俺は手札からクリボーとTEMPERANCEテンパランスを捨てて戦闘ダメージを0にした

更に墓地からネクロ・ガードナーを除外して効果を発動した  
相手の攻撃を1度だけ無効にできる」

「クリボーとTEMPERANCEテンパランスはともかく、ネクロ・ガードナーなんていつの間に！？

墓地にはジェスター・コンフィしかモンスターは無かったはず！  
しかも手札を捨てた事なんて……ああ！ まさかさっきの手札制限  
！？」

「正解だ、あと1ターン早ければ……惜しかったな  
しかもTEMPERANCEテンパランスはさっきドローしたカード  
これが1ターン早ければ俺はダーク・ネクロフィアとガイウスの攻撃で4600のダメージを受けていた」

そんな……勝てると思ったのに！  
本当に後少しの所だったのに！

「ボクは……ターンエンド」

「俺のターン、ドロー」

スピリットの誘いの維持コストを払う

そして因幡之白兔を通常召喚し、更に2体を血の代償で召喚  
3体の因幡之白兔で直接攻撃」  
ダイレクトアタック

白から勢いよく飛び出した因幡之白兔達

不規則に飛び回り、見失ったかと思ったら一斉にボクの背中を殴り  
つける

ソリッドビジョンだから痛くないけど……精神的に凄く痛い！

これでボクの残りライフは5650から自律行動ユニットのコスト  
で1500払い、4150

今の戦闘ダメージで2100のダメージを受け、2050  
更にポイズンフングの効果で500ダメージを3回……残りライ  
フは550になる。

「獣族が戦闘ダメージを与えたのでポイズンフングの効果で合計  
1500のダメージだ

更に速攻召喚を発動、手札からモンスターを通常召喚できる  
因幡之白兔を2体生け贄に捧げる」

え？ 因幡之白兔を生け贄？

どうして……というか最上級モンスター！？

「出なよ……八俣大蛇」  
ヤマタノドラゴン

現れたのは巨大な大蛇

これがドラゴン？ そんな気もするけど、そんな事を考えている余  
裕は無い！

「八俣大蛇でガイウスに攻撃する」  
ヤマタノドラゴン

ヤマタノドラゴン

八俣大蛇の効果、戦闘ダメージを与えた時に発動  
手札が5枚になるようにドロ―する」

「ええ！？　　ってきやああ！

が……ガイウスが！」

ヤマタノドラゴン

八俣大蛇の攻撃力は2600

戦闘ダメージを200受け、残りライフは350  
まだ……まだ耐えられる！

ヤマタノドラゴン

「八俣大蛇の効果発動

俺の手札は0枚、よって5枚ドロ―

……2枚目の速攻召喚を発動、場の2体のモンスターを生け贄に捧  
げる

ヒノカグツチ

そして火之迦具土を召喚」

え？　　ちよつと待って！

また最上級モンスターで更に攻撃力2800！？  
という事は……

ヒノカグツチ

「火之迦具土でダーク・ネクロフィアに攻撃！」

耐えきったと思ったのに……耐えきったと思ったのに！

こんなのって無いってあつちゃうう！

ヒノカグツチ

感傷に浸っていた所で火之迦具土がの攻撃だった炎が飛び火してき  
た！

なんかタイミング悪い！

はあ……負けちゃった

しかも1回も戦闘ダメージを与えられていないんだよね

瑞貴さんの減ったライフは全部ライフコストと維持コスト  
本当に完敗だなあ……さすが天敵のデッキだって思う。

「ボクの負けかあ

瑞貴さん、ボクが負けたから何かボクにさせるんですよね？  
ボクは何をすればいいんですか？」

酷い事しないで欲しいなあ……痛い事も嫌だし

でも、瑞貴さんがボクに命令するような事って有るっけ？

大抵は明日香さんで事足りると思うんだけど。

「後で良い

しかしアレだな、よくそこまで頑張ってカードを集めたものだ  
俺が渡していないカードも多かったし、苦労したんじゃないか？」

「あ、分かります？

色々と苦労しました……大変だったんですよ？」

まさかここまで大変だとは思わなかったなあ……

あの人に無理を言ったんだから自業自得だけだね。

「ご苦労な事だ

とりあえず頑張ったんだ、少しぐらいは褒美でも……」

え？ ご褒美！？ 瑞貴さんが！？

やった！ これだけで頑張った甲斐が出てきた！

「明日香！ 玲！ 後自棄酒をしているモノクミューラ！  
ちよっとイエローとブルーの出し物に顔を出しに行くぞ！  
お前らも付き合え！」

あらら……やっぱり2人っきりは虫が良すぎたかなあ？  
でもいっか、一緒にお祭り(?)に回れるんだし。

明日香さん、玲ちゃん、吹雪さん、カミューラさんが来た  
でも吹雪さん……酔ってるみたいで足元がおぼつかないなあ  
見ててなんか不安、危ないよ？

「……白黒は駄目だなモノクロ

カミューラ、その馬鹿を適当に部屋に押し込んで看病しておけ  
酒臭いし、見てて苛々する」

「苛々するって……あんたは相変わらず我が儘ねえ  
はあ、ほら、行くわよ白黒モノクロ」

「あみゅーああ、君までおくのごろをものうろ扱いすうのあい？  
うう、どうえおくなんて……おくなんてー！ー！」

呂律が回ってない……完全に酔っぱらってる

あ、瑞貴さんが怒って蹴っ飛ばした

吹雪さんは起き上がれないみたいでなんか産まれたばかりの子馬み  
たいにガクガク

駄目だこの人、早く何とかしないと！

そういう訳で吹雪さんとカミューラさんはリタイア  
玲ちゃんはまだここでしたい事が有るから残るんだって  
だから一緒に行くのはボクと瑞貴さんと明日香さん。

どうせだったら明日香さんも残ったらいのに……  
でも大勢の方が楽しいと思うから良っか！

明日香さんが嫌いなわけじゃないんだしね！

ボク達はレッド寮を後にする

みんなが哑然としていた事にボク達は誰も気付かなかったけどね  
特に水色の髪の毛をした背の低い人が一番情けなく思えた。

ついでに言うと、亮さんと虎の格好をした人はかなり険しい顔をしていた

多分、ボク達の決闘<sup>デュエル</sup>を見て何か思ったんだと思う。

忘れていたけど、ブラック・マジシャン・ガールはまた玲ちゃんと話している

でも気のせいかな？ 少し目が虚ろになっている気が……気のせいだよね？

#### 43話【暴走学園祭 下編】（後書き）

瑞貴のデッキは？

スピリットモンスターを中心としたデッキです

手札での効果発動、墓地での効果発動、召喚時のみ効果発動  
それらのカードが集められているデッキです

なお、このデッキはレイ対策のデッキではなく、元々こういうデッキで作られていました

なので洗脳解除などは入っていません。

アルカナフォース？セブンザ・THE チャリオットCHARIOTの裏の効果が違う？  
原作効果です

OCGではこのカードのコントロールを相手に渡すという効果なので。

憑依するブラッド・ソウル……

出てくると思いましたが？

残念ながら出ませんでした！

期待した人、貴方の予想は裏切られました！

血の代償は自分のバトルフェイズ中は無理！

はい、指摘されて気付きました……駄目な作者です  
速攻召喚に修正しました

今回は修正できる内容で助かりました……よかった。

レイの言っているあの人って？

秘密です、色々有るとい事です

しかし……まあヒントならそこそこ出ているので分かるかもしれませんね。

吹雪……何を言ってるのかサッパリ分からん！

「カミューラ、君まで僕を白黒<sup>モノクロ</sup>扱いするのかい？

うう、どうせ僕なんて……僕なんて……」

と、言っています。

亮……さん？

様付けを止めさせました

なんとなく微妙な気がしたので。

どうして険しい顔を？

2人はスピリットモンスターの価値と希少性を知っているからです  
乃亜曰く、ペガサスが自分で考案した幻のレアカード……でしたっ  
け？

2人の実力も含め、色々と考えているのでしよう。

ぶ、ブラック・マジシャン・ガール……！！！！

彼女の運命は如何に！

とりあえず秘密ですけど。



#### 44話【暴走学園祭 祭編】（前書き）

最近、決闘デュエルを書きすぎたのか全く日常が思い浮かびません  
どうしましょう……これでは甘い日々を書けない！

作者の死活問題です

うーん……とりあえず自分の作品を読み返して甘い日々を思いだそうと思います。

今回甘くなると思いましたか？

残念、殆ど甘くないですよ。

謎に長い学園祭、なんとまだ終わりませんでした

何故か？ 今回は祭が終わっただけです

なのでその後が残っています

つまりどういう事か……作者がどうしようと思悩むという事です。

今回も時間ギリギリ……執筆中に4時間も眠ってしまったのが悪かったですね

ゲームができません、早く続きをしたいものです。

次話はどうでしょう？

とりあえず大丈夫だと思いますが

次話は決闘デュエルをする気が無いので話が思い浮かぶかどうか

早く日常を思い出さないと書ける自信がありません。

## 44話【暴走学園祭 祭編】

視点 レイ

ボク、瑞貴さん、明日香さんの3人で並んで歩くとりあえずブルーの出し物から行くんだってブルーって何をしてるのかな？

「明日香さん、ブルーって何をしてるの？  
レッドみたいに決闘デュエルとか？」

「確かに決闘デュエルもしてるけど、それよりも喫茶店みたいな事をしてるわついでにイエローではお祭りの屋台みたいに出店を出してるのどちらも人数的な問題からそれなりの出し物をしてるのよ  
予算もそれなりに割り振られているしね」

寮にも凄い差が有るもんね  
それなら納得かも、みんな楽しそう。

でも、さっきから何だかジロジロと見られてる気がする  
ちょっと気分悪いなあ……ボク達が何か変なの？

「……周りの視線が鬱陶しいと思ったが完全に忘れていたな」

「なにを？」 「なにをですか？」

「俺達、コスプレしたままだ  
これなら目立って当然だったな」

「「あ……」」

ボクは恋する乙女の格好

瑞貴さんはF O O L、明日香さんはヒュンレイ

目立って当然だった。

「着替えに戻りますか？」

ボクもあんまり悪目立ちしたくないんですけど……」

「でももうブルー寮は目の前よ？」

さっきまでの決闘でかなり時間を使っ<sup>デュエル</sup>たし

今から戻って着替え、また来たら時間がギリギリになるわ

楽しむ余裕無く、急いで回らないといけなくなる、どうしようかしら？」

ボク達は悩むけど、結局どちらか片方だけ

目立つのを回避して時間に迫られるか

我慢してお祭りを楽しむか

どっちもどっち、どうしよう？

考えている最中に瑞貴さんを見てみると違う方向を見ていた

気になったのでそちらを見てみると……ボク達と同じくコスプレを

したままの2人が

しかも格好がフェザーマンとバーストレディ、2人とも恥ずかしくないの？

2人はボク達に気付かず、一緒に歩いてる

よく見たらフェザーマンは十代さんだった

改めて訊くけど、恥ずかしくないの？

バーストレディの方は知らない人だけど、顔が真っ赤  
やっぱりあんな全身タイツみたいな格好は恥ずかしいんだろぅなあ  
十代さんが喜ぶ為かな？　きつと十代さんが好きなんだね。

でも……顔が引き攣ってるよ？

それに凄くソワソワしてる、早く移動して着替えたいんじゃないかな？

だけど十代さん、全く気付いてない

いや、一緒に居るんだから気付いてあげようよ！

「なあ明日香、似非は馬鹿なのか？

どう見てもその1は恥ずかしがっているのに気付かないなんて……  
あいつは自分達がどれだけ恥ずかしい格好をしているかにも気付いて無さそうだし

奴は羞恥心というものを感じられないのか？」

「同感ね、十代には羞恥心が無いのかしら？

自分の格好だって格好いいとか言って全く恥ずかしがらなかったんだもの

あの服って着ぐるみに近いんでしょ？

確かに自分の露出部分は少ないけど、着ているものが上半身裸に近いのよ？

それでも平気なのはちょっと……」

うんうん、アレは見ている方もちよつと恥ずかしい

それが平気な十代さんって一体何者？

結局、十代さんとその1さんはそのままこちらに気付かずに去って行った

所で瑞貴さん、その1さんの名前って何？

気を取り直し、どうするか考える

結果、先ほどの2人が目立ちすぎたし、自分達はそこまで気にされないだろうとなった

さっきの2人に比べたらボク達なんて普通だもんね。

ブルーの喫茶店に入る

丁寧に挨拶してくるけど、何しに来やがったって態度で気分が悪い何か嫌な事を考えてるんじゃないかな？

同じく気に入らないという気分になっている明日香さんは顔を顰めている

瑞貴さんは……どうでも良いとばかりに態度が変わってない気にならないのかな？

とりあえずメニューを受け取る

さっきの人の態度がアレだったから予想はしてたけど予想通り、メニューも微妙……

忘れてたけど、ブルーの生徒って他の生徒を見下す事が多いらしいプライドが高いからこんな雑務なんてしようという人も少ないのかな？

納得できそう……やっぱり気分悪いや。

適当に注文を決め、さっさと帰ろうと思う

全員決まったので、瑞貴さんが店員を呼び出す

注文は瑞貴さんが全員の分を言うって。

「ご注文をどうぞ」

「オベリスクブルーブレンドティーオベリスクブルー特製ショートケーキオベリスクブルーオリジナルティーオベリスクブルー特製シヨコラケーキオベリスクブルーオレンジジュースオベリスクブルー特製チーズケーキオベリスクブルー特製アップルパイ各1つずつでミルクと砂糖を別に各3個ずつでシヨコラケーキにはパウダー系は無しにしてオレンジジュースは100%以外でアップルパイは熱すぎない程度で注文する」

「……は？」

すごい早口で言い切った！  
しかも途中に息継ぎ無しで！  
どう考えても嫌がらせだ！

明日香さんも顔を引き攣らせている  
これには明日香さんも予想外だったらしい。

「も、もう一度お願いできますか？」

「役立たず、チェンジ、違う人を寄こせ」

酷っ！ 1回聞き取れなかっただけでこれは酷い！  
店員が凄く怒ってる！ 凄く怒ってるよ！

「仕方無い、もう1度だけ言ってやるからよーーーーーく聞いておけよ？」

「お、お、お願いします」

顔を思いっきりひくつかせながらも、何とか返事をする店員でも……多分無理だろうなあ。

「オベリスクブルーブレンドティーをミルクと砂糖付きオベリスクブルー特製ショートケーキを食器はフォークじゃなくスプーンにしてオベリスクブルーオリジナルティーにはミルクと砂糖付きでそしてオベリスクブルー特製ショコラケーキにはパウダー系は一切無しのオベリスクブルーオレンジジュースは100%以外にしろよ更にオベリスクブルー特製チーズケーキは甘さ控えめで出せそして熱すぎない程度のオベリスクブルー特製アップルパイで各1つずつを注文するが忘れていたから追加でミルクと砂糖をもう1つにして最後に注文変更してオベリスクブルーオリジナルティーをオベリスクブルーブレンドティーに変更して更にミルクと砂糖を追加だと思ったがやはりオベリスクブルーオリジナルティーのまままで構わん」

……これを覚えるのも書ききるのも無理だって、絶対にやっぱり瑞貴さんも、様子は変わってなかったけど店員の態度が気に入らなかったんだね  
普通の気分だったらこんな酷い事はしないと思うし。

「……ご注文は以上でよろしいですか？」

「注文を繰り返せ、本当に覚えたのか？」

間違った注文が来たらクレームを出す、そしてこの店員の態度や接客は最悪だったと言って回るぞ？」

あーあ……可哀想に、適当に済ませようと思ったから駄目なんだよでも態度が悪かった向こうが悪いんだし、文句ぐらい言ってもいいよね

ボクはちよつと言う勇気が無いけど。

「瑞貴、いつまでこんな馬鹿に構ってるつもり？  
こんな態度の悪い店員の店なんて私もお断りよ  
さっさと違う場所に行きましょう」

「そうだな、行くぞ小娘」

「え、は、はい！」

明日香さんの一言でアッサリと出る事を決めて店から出る  
それにしても明日香さん、随分辛口だね  
あの店員、顔を真っ赤にするぐらい怒ってるよ？

「暇潰しにはなったな」

暇潰しだったの！？

確かにさっきの瑞貴さんは楽しんでるように見えたけど！

「そうね、でももう少し加減しても良かったんじゃないの？」

明日香さんも暇潰しのつもりだったの！？

それにアレで手加減していたと思うの！？

どう見ても凄く怒ってたよ！

「十分過ぎるほどしただろうが  
次はどこを潰す？」

あれでも凄く手加減してたの！？

どう見ても本気で潰すようにしか見えなかったよ！

それに潰す事が前提！？ しかも次の獲物を探してるの！？



「もういいわよ

それよりイエローに行きましょう

予想はしていたけど、やっぱりブルーは楽しくないわ

瑞貴だって態々潰して回るよりも普通に楽しみたいでしょ？」

「当たり前だ

やっぱりブルーは駄目だな……プライドが高くて困る」

「せめてブルー男子って言うてくれない？

私まで一括りにされたくないわ」

「あの……批判するのはいいですけど

周りのブルーの人達が睨んでるので早く行きませんか？」

ここはブルーの場所だからブルーの生徒が多い

声を落として話しているわけでも無い

だからどうしても周りの人達に聞こえてしまう。

睨まれても嬉しくないし、早く移動したいなあ

瑞貴さんに比べたらあんまり怖くないけど、集団で睨まれるのはさすがに……

「そうだな、こんな場所でいつまでも過ごしても時間の無駄だ  
さっさと移動しよう」

更に強く睨んできた！

なんでそんなに挑発するの！？

どうせ何となくとか、そんな理由な気もするけど。

結局最後まで睨まれたままブルーを後にした  
瑞貴さんは相変わらず性格が悪かった。

明日香さんは平気そうにしていた  
もしかして瑞貴さんの悪口とかに慣れてる？  
何度も言われてきたのかな？

それはそうと、イエローまで来た  
イエローでは明日香さんの言う通り、屋台みたいなのが幾つも出て  
いた  
ブルーに比べたら楽しそう。

そういえば殆どご飯食べてなかった……お腹空いたなあ  
食べたいけど、移動費ぐらいしか持って来てないし帰れなくなっちゃ  
う

ここは我慢かあ。

「小娘、幾ら必要だ？  
明日香も、どれぐらい使う？」

「「え？」」

どういう意味？

「せっかくの祭なんだから楽しめ  
面倒だ、えっと……1人10万で足りるか？」

じゅ、10万！？  
そんな大金を簡単に渡していいの！？

「その1割でも十分過ぎるほど多いわよ！」

うんうんって、それでも多いよ！

こういうのって親から貰えるお小遣いでも2000円から5000円ぐらいじゃないの！？

遙かに越えてると思うよ！

「知るか、祭の相場なんて知らんならとりあえず5000でいいか？余ったら返せよ」

それでも多い気がするけど……せっかくだし、受け取っておこうかな瑞貴さんの言う通り、楽しみたいし。

ボクと明日香さんはそれぞれお金を受け取った

明日香さんがちょっと複雑そうな顔をしていたけど

多分、同い年の瑞貴さんにお小遣いを渡されるのが微妙なのかな？

ちょっと想像してみる……うん、なんか凄く複雑な気分になりそう

でもあんまり深く考えない方がいいんじゃないかな？

どうせだから悩むのは後にして今は楽しめばいいのに。

適当にフラフラと歩く

買いたい物が有ったら適当に買って食べ歩く

そんな感じである程度歩き回って時間を潰していく。

特に言うような事は何も無かったけど楽しかった

でも明日香さん、そんなに食べると太るよ？

食べ過ぎには注意しないと。

食べ歩きをしながらレッド寮に戻ってくる

丁度誰かの決闘が始まろうとしていた  
誰が戦うんだろう？

あ、玲ちゃんと十代さんだ

どうせなので観客席辺りに座って見る事にした  
どっちが勝つのかな？

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「俺の先攻、ドロー！」

俺はE・HEROワイルドマンを攻撃表示で召喚！  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

E・HEROって正義の味方だね？

野生見みたいな姿でE・HEROなんてできるの？  
すっごく似合わないよ。

「私のターン、ドロー！」

私は火口に潜む者を召喚！」

なんか弱そう……攻撃力だったった1000しか無いし

玲ちゃんのパワーデッキからはちよつと想像できないモンスター  
どんなデッキなのかな？

「更に、怨念の魂 業火を特殊召喚する！」

業火は自分の場に炎属性モンスターが存在している時、特殊召喚で  
きる！

この効果で特殊召喚した場合、自分の場の炎属性モンスターを破壊  
する！」

自分のモンスターを破壊するってデメリット……  
スキルドレインが無かったのに、どうしてそんな事を？

「火口に潜む者の効果を発動！

このカードが破壊され、墓地に送られた時に効果を発動！

手札の炎族モンスターを特殊召喚する！

私はこの効果により、現れる！ プロミネンス・ドラゴン！」

バーン効果を持ったモンスター！？

今までの行動に全く無駄が無い……やっぱり玲ちゃんは強い  
さすが瑞貴さんの妹。

そういえば3つデッキを持ってるって話だったっけ

という事はこのデッキが最弱の相手に使うデッキか……つまり十代  
さんって弱いんだね

前は明日香さんに負けるていたし、玲ちゃんには最弱のデッキを使  
われるんだもん。

「更に速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動！

攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚された時、同名モンス  
ターを手札、デッキ、墓地から特殊召喚する！

私はこの効果により、デッキから2体のプロミネンス・ドラゴンを  
特殊召喚！

相手も同名モンスターを特殊召喚できるよ、どうする？」

「俺のデッキに、ワイルドマンは1枚だ！

よって特殊召喚はできない」

あれ？ もう玲ちゃんの勝ちで決まりじゃ……

業火の攻撃力は2200、ワイルドマンじゃ勝てない  
そして攻撃力1500のモンスターが3体だし。

早いなあ……もう少し玲ちゃんのデッキを見たかったのに  
もっと頑張つてよ十代さん。

「業火でワイルドマンに攻撃！」

「罨発動！ カウンター罨、攻撃の無力化！」

このカードの効果により、相手の攻撃を無効！  
そしてバトルフェイズを終了させる！」

でも玲ちゃんの場合には自分のターンのエンドフェイズ時に相手に500ダメージを与える

そんな厄介な効果を持ったプロミネンス・ドラゴンが3体も存在している

プロミネンス・ドラゴンは自分の場に炎族モンスターが存在している時、攻撃されない効果も持っている  
十代さんが勝つのは難しいと思うなあ。

「だったらエンドフェイズ、プロミネンス・ドラゴンの効果発動！  
自分のターンのエンドフェイズ時、相手に500のダメージを与える！」

私の場にプロミネンス・ドラゴンは3体、よって1500のダメージ  
更にプロミネンス・ドラゴンのもう1つの効果、それは炎族モンスターが自分の場に存在してる限り

このモンスターには攻撃できない！　そしてプロミネンス・ドラゴン自身も炎族だ！」

「な、なんだと！？」

うあああああ!」

プロミネンス・ドラゴンが出した炎で十代さんが燃やされる  
熱そう………そういえばボクもさっき八俣大蛇<sup>ヤマタノドラゴン</sup>や火之迦具土<sup>ヒノカグツチ</sup>に燃やされたっけ

炎属性は心臓に悪いなあ。

「俺のターン、ドロー! 強欲な壺を発動! デッキから更に2枚ドローする!

手札から融合を発動! 場のワイルドマンと、手札のネクロダークマンを融合!

出ろ! E・HEROネクロイド・シャーマンを融合召喚!  
更にネクロイド・シャーマンの効果を発動!

このモンスターが特殊召喚に成功した時、相手モンスターを1体破壊し

その後、相手の墓地からモンスターを相手の場に特殊召喚する!

俺はこの効果により、プロミネンス・ドラゴンを破壊し、火口に潜む者を特殊召喚する!」

うーん……十代さんは強いのか弱いのかよく分かんないや  
でも、それだけじゃプロミネンス・ドラゴンは越えられないよ  
どうするの?

「俺は更に墓地のネクロダークマンの効果を発動する

このカードが墓地に存在している時、1度だけE・HEROを生け贄無しで召喚できる

俺はE・HEROエッジマンを召喚!」

それでもプロミネンス・ドラゴンは倒せない  
というか、そもそも攻撃対象にできないんだから当然だけど。

「更に融合回収を発動！」  
フュージョン・リカバリー

墓地から融合に使用した融合とネクロダークマンを手札に加える！  
そして融合を発動！ 手札のスパークマンとネクロダークマンを融合させる！

現れろ！ E・HEROダーク・ブライトマン！」

また融合したのは凄いけど、それでも駄目  
モンスター破壊効果を持ったモンスターじゃないとプロミネンス・  
ドラゴンは倒せない！

「そして、ミラクルフュージョンを発動！

フィールド、または墓地から融合素材モンスターをゲームから除外し、融合させる事ができる！

俺は場からエッジマン、そして墓地からワイルドマンを除外させて融合！

出番だぜ、E・HEROワイルドジャギーマン！」

……1ターンに3回も融合？

十代さんって絶対におかしいよ。

「……玲の負けだな」

「「え？」」

玲ちゃんの負けて……どういう事？

だって手札も魔法も罫も無いこの状況じゃ十代さんに勝ち目なんて……

「見ていれば分かる



はあ……いくら最弱デッキとはいえ、玲相手にこの短い時間で勝つとは

今日の玲は3連敗、良い所が無いな」

なんか負けが確定しているような事を言ってるけど……でもボクにはどうして負けるのかまだ分からない。

「行くぜ！　ダーク・ブライトマンで業火に攻撃だ！」

「攻撃力の高い業火に攻撃する？  
何を考えてるんだ？　業火で反撃だ！」

ダーク・ブライトマンの攻撃は業火に簡単に止められアッサリと破壊されてしまう  
なんで態々自爆特攻を？

「ダーク・ブライトマンの効果発動！  
このモンスターが破壊された時、相手のモンスター1体を破壊する！  
俺が破壊するのは、プロミネンス・ドラゴン！」

「何だって！？

ああ！　私のプロミネンス・ドラゴンが！」

確かにこれでプロミネンス・ドラゴンに攻撃できるようになったけど……

だけど、ライフを削りきる事はできない  
そういえばワイルドジャギーマンの効果って何だろう？

「これでプロミネンス・ドラゴンの攻撃ロックは消えた！」

「ちょっと待て！ 勘違いしてるぞ！

私の場に残っている火口に潜む者も炎族だ！

だからまだプロミネンス・ドラゴンに攻撃できない！」

あ、完全に忘れてた

だって……殆どが地面に潜っている感じで存在してるんだもん  
全く目立たないし……横に炎のドラゴンであるプロミネンス・ドラ  
ゴンの存在感で更にね。

「あ、忘れてた

ならワイルドジャギーマンで火口に潜む者に攻撃だ！  
インフィニティ・エッジ・スライサー！」

火口に潜む者は破壊され、1600のダメージ  
このダメージは大きい……

「火口に潜む者の効果を発動！

手札から大木炭18を守備表示で特殊召喚！」

また炎族のモンスターが現れた！

これじゃあプロミネンス・ドラゴンに攻撃できないし  
ネクロイド・シャーマンだと攻撃力が足りない！

「まだだ！ ワイルドジャギーマンは全てのモンスターに1回ずつ  
攻撃ができる！

大木炭18に攻撃！ インフィニティ・エッジ・スライサー第二打  
！」

「ちょ！ その効果反則！」

うわあ……これは勝てない

攻撃力も考えたら瑞貴さんの言う通り、玲ちゃんでは勝てないなあ。

「続いてプロミネンス・ドラゴンにも攻撃だ！

インフィニティ・エッジ・スライサー第三打あ！」

攻撃力差1100、合計ダメージは2700のダメージ

ああ……最弱でも玲ちゃんがまた負けるなんて。

「怨念の魂 業火に攻撃！

インフィニティ・エッジ・スライサー第四打あああ！」

「うあああ……ご、業火まで！」

更に400のダメージ

そして攻撃力1900のネクロイド・シャーマンの攻撃がまだ残っている

たった1ターンでここまでされるなんて……

「最後だ！ ネクロイド・シャーマンで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ううう……負けた」

これは酷い、1ターンで全滅させ、更にライフを0にする

弱いと思ったけど、思ったより強いんだ

もしかして玲ちゃん、相手の実力を計り間違えた？

「似非ならではのデイスティニードローだな

あいつのドローはドロー自体を封じない限り常に発揮される  
どうしても潰したいのなら自分のターンで圧倒的な速攻で潰す

それかドローを封じるかだな」

「そうね、十代のドローは異常よ  
欲しいカードが欲しい時に来てくれるような

瑞貴のドロー封じ、私の速攻、亮の大嵐からのパワー攻撃以外には  
負け無しなもの」

うわぁ……この2人からそんな評価がされてるなんて  
もしかして本当は凄く強い人なのかな？

「まあ、ドロー以外はそんなに怖くないな  
モンスター自体はそこまで強くないし」

「そうね、サポートカードが時々邪魔なぐらいね  
多分、玲ちゃんが私の時に使ったデッキを使っていたら勝ってたと  
思うわ

瑞貴に使ったデッキだったらより確実に勝ってたでしょうね」

えええー……強いのか弱いのか全く分かんないよ  
つまりデッキは弱いけどドローだけ強いって事？

「まあ……かなりモンスターと魔法に依存しているデッキだ  
小娘なら十分に勝機は有るだろう

負けるとすれば……スカイスクレイパーを使われて今のようにワイ  
ルドジャギーマンに全滅させられた時ぐらいか？

似非のモンスターは貧弱なのが多いからな  
コントロールを奪ったままで放ってけば潰されてライフが0にされ  
るかもしれん」

「カミューラだったら微妙かしら？

デッキを破壊しても、最後の最後に必要なカードをドロ―しそう  
モノクロ  
白黒兄さんだと逆に簡単に倒せそうね

あのデッキは魔法に大きく依存されている

ホルスの黒炎竜LV8で封殺してパワーで押せば余裕でしょうね」

「他には融合封じエリアのカードなどと使ったアンチデッキで力押し  
カウンター罠を多く利用したパーミッションで必要カードを潰して  
いく

マジック・キャンセラー、ホルスの黒炎竜LV8、サイレントソー  
ドマンLV7、天魔神インヴィシルの効果を使い、あのデッキで重  
要な魔法カードを封殺

封じる手段は多いが、各モンスターに対処するのは色々と厄介だ  
一番楽なのはやっぱり速攻で潰す事だな」

「でも、十代のドロ―ならそれらのカードを使っても乗り越えそうね  
本当に厄介な相手……勝てない事は無いけど、それだけに戦う気には  
なれないわ」

なんだか凄い言われよう……

でも簡単に対策を取られちゃうんだ

良い意味でも、悪い意味でも凄い人なんだ。

それはそれとして、玲ちゃんはこちらに気付いた  
でも目を逸らされた……どうかしたのかな？

「速攻で負けたから俺に合わせる顔が無いんだろ  
最弱とはいえ、あのデッキにも手を加えたからな  
俺は元々ロックやバーン使い、その俺が手を加えたデッキだ  
勝率は高くないが、あそこまでアツサリ負けたら……なあ」

それは……見られていたと思うとかなりショックだね  
負けるだけならまだしも、3ターン目で負けちゃうんだもん  
顔を合わせづらいよね。

「ガッチャ、楽しい決闘デュエルだったぜ！」

「……………クッ！」

落ち込んだ玲ちゃんは凄く悔しそうな声を出した  
さっさと立ち上がり、こっちに来る。

十代さんは何が起こったのか全く分かってなかった  
さっきのは拙いと思うよ？

簡単に倒した相手に対して、楽しい決闘デュエルだったって。

馬鹿にしているようにしか聞こえない

玲ちゃんが無くても絶対に怒るよ。

玲ちゃんは無言で瑞貴さんに抱きつく

……あ、泣いてる。

瑞貴さんは無言で玲ちゃんを慰める

それを見て、明日香さんが十代さんを睨む

だけど十代さんは水色さん、その1さんから勝ったねと褒められて  
いてこちらを見ていなかった

勝って嬉しいのは分かるけど……いくら何でも酷い！

暫く泣き続けた玲ちゃんだけど、なんとか泣き止んだ

瑞貴さんは玲ちゃんが泣き止むまでずっと頭を撫でて慰めていた  
ちよっとだけ羨ましいと思ったのはボクだけの秘密。

.....

玲ちゃんデュエルの決闘を最後にレッド名物？（らしい）コスプレ決闘大会デュエルは終わった  
夜のキャンプファイアーの時間なんだけど……

「……………おい」

「ひゃい！」

「…………チッ」

「ひ！」

異常に瑞貴さんに怯えているブラック・マジシャン・ガールが……  
一体何が有ったの？  
しかも怯えてるのに全く離れようとしなくて……  
瑞貴さんにボロ負けした後、瑞貴さんと1回も話してないよね？  
どうしてそこまで怯えてるの？

「玲、説明」

「失敗した

お兄ちゃんに対する嫌悪感を拭おうとしたんだけど……  
変に拗れてお兄ちゃんに凄まじい恐怖感と依存性を感じるようになった  
った

しかも絶対に言う事を聞かなければならないという謎の思い込みま

で発生した

鬱陶しさに目を瞑れば役に立つと思うけど?」

ええ!?

なんか凄い事になってる!?

「要らん」

即答!?

「……ぐす」

しかもブラック・マジシャン・ガールは泣き出しちゃった!

何がどうなってるの!?

恐怖感を感じるなら喜ぶ所じゃないの!?

「ちなみに、言う事を聞かなければならないという原因は捨てられる事への恐怖感みたい

依存している状態だからそういう事を言うとは当然泣く

命令を聞いている限り、捨てられないし怖い事をされないという事になったのかな?

命令すれば喜んで絶対服従すると思う」

どうしてそうなったの!?

何でそんな事をしたの!?

ボクには全く意味が分からない!

「最大の欠点はカードの精霊という点

精霊状態になったら見えないようになるし、声も聞こえない精霊が見える人しか指示をこなしたかどうか確認できない



つまり、精霊の見えない人からすれば完全に役立たず」

役立たず扱いは凄く酷い！

それはそうと、ボク達で精霊が見える人なんて……

「俺達の中に精霊が見える奴はいないだろうが  
本気で役立たずだな……どうするんだよこいつ  
実体化させたままだと邪魔にしかならん」

邪魔扱いは酷いけど、でもそうだね

どう扱えばいいんだろう？

ボク達にはどうしようも無いでしょ？

「あ、精霊なら私見えるよ

というか持ってるし」

「「「は？」」」

え？ 玲ちゃんが？

見えるだけならともかく持ってるの？

「って、何で瑞貴が驚いてるのよ！

妹の事でしょ！」

「いや……知らん、初耳だ

いつの間にそんな事になったんだ？」

「ここ2週間ぐらい前かな？

よく分からないんだけど突然……」

「(七星門の鍵が開いたからか？

時期的にもクロノス教諭が負けて初めて鍵を奪われた時期だし  
まさかこんな事にまで影響するとは……いい加減にしてくれよ)」

「(道理でサラが姿を見せないわけだわ

暗殺者だし、あんまり姿を現すものじゃないものね)」

「私の精霊は……この絶対服従魔人

効果から考えて、服従するのはプレイヤーだけだね

本当に凄まじく態度が大きくて面倒だったけど……今は私は逆に服従させてる

やっぱり話し合いって大事だよ」

何を話したの！？      何を話したらそんなモンスターを服従させられたの！？

凄い話術なんだけど！      どうしてそんな事ができるの！？

確かボクよりも年下だよね！？

「(……大きいわね、絶対服従魔人

そして本当に玲ちゃんに絶対服従しているように見えるわ

というか態度が凄く低い……貴方LV10の攻撃力3500でしょ？  
大丈夫かしら？      情けなすぎて役に立たなそうね

どんな話をしたらこんな状態になるのかしら？)」

「どうする？

私が連れて帰ってもいいんだけど……」

「い、嫌！      やだ！」

ブラック・マジシャン・ガールは瑞貴さんに抱きついて首を思いつ

きり横に振ってる

本来なら嫉妬しそうな事なんだけど、可哀想にしか見えない  
どうしてこうなったのかな？

「まあ……見ての通りやり過ぎた

悪いけどお兄ちゃんの方で預かって

本当は嫌悪感を取り除く程度で終わらそうと思ったんだけど……

話すのが楽しくていつの間にか……ね？」

いつの間にかって……

それでこうなっちゃったブラック・マジシャン・ガールが可哀想だよ！

「元に戻せないのか？」

「無理

落ち着かせる為にはお兄ちゃんが存在が必要不可欠

でもここまで根付かせちゃったからには元に戻すにはかなり時間が掛かる

それだけならまだしも、時間が掛かるという事はそれだけ更にお兄ちゃんへの依存度が上がる

だから更にまた時間が掛かる

諦めて預かっておいて、下手すれば一生だけど……」

い、一生！？

「こいつが一生……俺に憑くのか？」

「その……ごめんなさい」

「……………悪夢だ」

悪夢は言い過ぎじゃ…………ほら、ブラック・マジシャン・ガールがまた涙目に

瑞貴さんは溜め息を吐いて落ち着く、どうするのかな？

「わかったわかった、もういい、とりあえず預かっておく  
おい魔娘、一応預かってやるが、俺が許可を出さない限り実体化は  
許さん

詳しい事はまた考えておく、だから暫く精霊化……………というのか？  
それをして一般人に見えないようになっておけ」

「は、はい……………わかりました……………」

ブラック・マジシャン・ガールは消えちゃった…………  
でも、まだそこに居るのかな？

「（瑞貴に見えない事を良い事に背中に抱きついてるわね  
なんだか凄く安心したって顔になってるわ  
この子……………色んな意味で本当に大丈夫かしら？）」

なんだか変な感じだなあ…………

それはそうとして、今夜はどこで寝よう？

昨日は林の中で寝たけど、やっぱり怖いし…………

誰かの部屋に泊めてもらおうかな？

#### 44話【暴走学園祭 祭編】（後書き）

コスプレしていた事を忘れてたの!?

らしいですね、決闘に集中し過ぎたんでしょ。<sup>デュエル</sup>

十代とジュンコが！ 十代とジュンコがー！

なんだこのカップル擬きは……

そしてジュンコ、お前はよく頑張った

後で羞恥心から部屋に籠もるがいい。

羞恥心に関してはお前らが言うな！

本当に……自覚が無いというのは大きな問題ですね。

瑞貴のブルー生徒苛め!?

苛めです、やっぱり気分を害していたようですね

哀れブルー生徒……でも態度が悪かったお前が悪い。

瑞貴がブルー生徒を挑発した理由は？

気に入らないからです

もし手を出してきたら学園に報告して何かしら対策を取るでしょう  
口を出されたら口で言い返して終わりますが。

瑞貴の金銭感覚が……

既にかなり壊れています

高額な取引をし過ぎたのが原因でしょうね

祭で10万も使う奴は居ないって……

なんという瑞貴のお父さん……か？

いつの間にか立場的に保護者のようになっていました

明日香には玲に勝ったご褒美的な意味も含まれていると思います。

レイの十代への印象が……

低いだけならまだしも、かなり酷くなりました

そりゃ1ターンキルをするだけならまだしも、フォロロー0ですから瑞貴はブラック・マジシャン・ガールに酷い事をしましたがフォロ1ぐらいしましたよ？

玲を使いましたが。

玲の口調が男らしい……

これが玲の癖です

ちなみに一人称は口調がいくら変わっても同じで私のままです。

第五打 あああああ……あれ？

はい、残念ながら4打まででした

グオレンダアの人みたいにはできませんでした、残念。

あんまり出なかったけど、玲のデッキは？

炎属性を中心としたロックバーンに近い構成です

しかし、超熱血球児や爆炎集合体ガイヤ・ソウルなどの攻撃的なモンスターも多く

十分パワー戦もこなせるデッキとなっています。

十代封じ説明会？

そんな感じですね、作者が思いつくのはこの程度でした

無い頭で絞り出しましたが……他に有ったら教えてください。

十代がなんだか酷いキャラに……

十代の最後の決め台詞、作者はこれが十代で最も気に入らせん  
良い勝負だったというならまだしも、楽しい決闘だデュエルだったと

敗者に向かったのその言葉は馬鹿にしているようにしか思えないと思います

それ进行いっきり前面に出してみました

十代サイドからすれば良い意味で受け取るんでしようが……

瑞貴サイドからすれば馬鹿にしていると感ずるので

原因は十代への好感度などの違いからでしょうね。

ぶ……ブラック・マジシャン・ガールが……

最初の予定と少し変わりましたが、大方予定通りです

初期の予定では依存性を持たせるつもりは無かったんですがいつの間にか付け足していました。

玲、お前って奴は……

失敗ぐらい大目に見て……あげられない内容ですね

この始末、どうしましょう？

何気に作者はブラック・マジシャン・ガールの扱いに困っています。

まさかの玲が精霊持ち！？

持たせようかとは考えていました

しかし何故絶対服従魔人にしたんだ自分

本当に服従している姿が見たかったからですね、多分それにしても……また子供に似合わないモンスターです。

どうやって服従させたんだ玲！？

……恐ろしい話術です

玲、君のその話術を作者にくれ！

レイはレイでホームレス中！？

そういう事ですね

こういう事を次話でして、レイ玲コンビには帰ってもらいます

ですので次話が必要になりました。



## 45話【暴走学園祭 終編】（前書き）

時間がなーーーーーい！

今回もギリギリです！ しかも短い！

ああ……作者は悲しいです、情けないです  
ちよつと豆腐の角に頭をぶつけて脳を活性化させてきます。

とまあ、そういう訳なんで今回は短めです

甘さ？ 微妙……看病の時間が最高値だと仮定して1から10までで表すと……4？

今回は中半繋ぎ部分なので別に良いんですけどね。

やっぱり決闘デュエルをしないと駄目なんですか？

連続での決闘デュエルは作者の脳を決闘デュエルばかりへと誘ったようです

甘い話を書きたい、しかし決闘デュエルばかり浮かんで書けない

凄まじいジレンマで苛々します……瑞貴のストレスの前に作者のストレスが溜まりそうです

忙しさが更にストレスを助長させる……30日連続更新が終わったらカラオケに行こう

そうしないとストレスが溜まりまくる……カラオケ、半年ぶりぐらいかな？

次話に関しては前から考えていた事なので大丈夫です

話はそれなりに浮かんでいます

後はそれを文章にするだけ……頑張れ作者！ ゴールまで後……何日？

計算したら今月の31日に投稿すれば30日連続投稿になりました  
今月を乗り切れば……作者はカラオケに行くんだ

そして最終鬼畜一部声を大声で歌うんだ……そして喉を潰します。

……ゲーセンに行って格ゲーにしようかな？  
音ゲーやパズルゲーも良いし、ガンゲーも良い、どうやって発散しようか……  
それでまた悩む作者は優柔不断でした。

## 45話【暴走学園祭 終編】

視点 レイ

夜、学園祭が終わった後は瑞貴さんの部屋でみんなで話していた吹雪さんもこの部屋に住んでいるらしいんだけど、カミューラさんの部屋で寝ているらしい酔ってたのが悪かったのかな？

話しているのは女3人、ボクと明日香さんと玲ちゃん  
ブラック・マジシャン・ガール改め、マナさんは消えたままどこに行ったのかな？

「（マナ、瑞貴に抱きついてソワソワしてるわね  
これが玲ちゃんの言っていた恐怖と依存……  
怖いけど依存しているから一緒に居る  
だけだよっぱり怖い、でも離れるのは嫌  
板挟みになっているわけね……きっと内心はかなり辛いんじゃないかしら？）」

ちなみに瑞貴さんはずっとPCを弄ってる  
何をしてるのかな？

『（カードを売ってる……私も売られるの？  
うう、怖いよお……）』

「そういえば玲に小娘、お前らはどこで寝るつもりだ？  
泊まるなら泊めてやっても構わんぞ

だが明日香、お前は帰れよ」

「じゃあ泊まるよお兄ちゃん  
レイちゃんはどうする？」

「ボク？」

どうしよう……泊まっても良いんでしたら泊めてください」

「私は除け者？」

あれ、何で明日香さんショックを受けてるの？

自分の部屋があるんだから瑞貴さんが泊めるわけがないのに。

瑞貴さんの部屋にお泊まりお泊まりつと

そういえばマナさんはどうするのかな？

やっぱり消えたままで過ごすの？

「お兄ちゃん、マナはどうする？」

「保留、とりあえず預かりはしておくさ

お前らが帰った後にでもゆっくり考える

まあ、酷い扱いにはしないでおくから安心しろ」

よかった……あんまり酷い事されないみたいで

やっぱり可哀想だもんね

でもちゃんと考えてあげる瑞貴さんは優しい……のかな？

よくよく考えてみたら元々の原因は瑞貴さんがマナさんをフルボツ  
コしたからだし

そう考えると……自業自得？

でも玲ちゃんが間違えてやり過ぎちゃったのも悪いし……  
結局誰が悪いんだろう？

何が原因だとしても、マナさんが不運だって事は分かった  
良い事が有るといいね……頑張ってね！

「そろそろ良い時間だな

帰れ明日香、そして玲と小娘は着替えてろ

服が無いんだったら貸してやる

俺は外に出ておくからな」

「もう少しだけ……駄目かしら？」

「却下、ほら行くぞ明日香」

我が儘を言う明日香さんを連れて瑞貴さんは出て行った  
何か残りたい理由でも有ったのかな？

怖い想いをしたとか？

それはそうと急いで着替える

服は持って来てるけどパジャマは忘れてた  
おとなしく瑞貴さんの服を借りる。

気のせいだと思うけど瑞貴さんの臭い……ハッ！

駄目駄目、玲ちゃんが居るのにこんなだらしない態度をしちゃ！

ちなみに玲ちゃんはパジャマを持って来ていた

抜け目が無いなあ……さすが瑞貴さんの妹。

暫くして瑞貴さんが帰ってきた

明日香さんは当然だけど居ない。

そういえばベッドは2段

この部屋には3人、どうやって寝るのかな？

ボクと玲ちゃんが一緒のベッドで寝るとか？

それが一番納得できるかな。

さすがにすぐに寝るといわけじゃなかったらしく

瑞貴さんは再びPCを弄ってる

ボクと玲ちゃんはまた一緒に話し始める。

内容は共通点の多い瑞貴さんの事

でも玲ちゃんの話す瑞貴さんの話は少し変

1年以上前の話を殆ど話さない……どうしてかな？

それを訊こうと思ったんだけど……

「さて、終わったか

おい玲に小娘、そろそろ寝ろ

明日は昼間に船が出るんだ

寝坊しても起こさないぞ」

「ん、わかった」「あ、はい」

瑞貴さんが丁度声を掛けてきて訊きそびれちゃった  
船に乗っている間にでも訊こうかなあ。

どうやって寝るかという話は簡単に決まったんだけど  
ボクは下のベッド、玲ちゃんは上のベッド

瑞貴さんは床で金庫を背にして寝るって……

「だ、駄目ですよ！」

金庫なんて冷たいし眠れませんよ！」

「何度かこの眠り方はしているから大丈夫だ  
冷たいとは言うが暫く我慢すれば体温で金庫も暖まる  
そんなに辛くはない」

そういう問題じゃないのに！

ボクだって気になって眠れないよ！

……そうだ！

「だ、だったら瑞貴さん！

ボクと一緒に寝ませんか！？」

凄い事を言った自覚は有るよ

でも、せっかく泊めてくれるのに悪いんだもん！

うう……自分から言うのは恥ずかしいよお。

「（レイちゃんもお兄ちゃんが好きなんだ

みんなお兄ちゃんが好きなんだね

お兄ちゃん、友達居なかったし、よかった）」

「（どうするか……抱き枕にできるのは嬉しいのだがな

だからといって、ホイホイと釣られるのも……問題無いかな？）

なら今日は小娘は俺の抱き枕な

いい加減に時間も遅い、寝るぞ」

「うん」「は、はい！」

電気を消し、ベッドに入ってくる瑞貴さん

ベッドに入ってくるなりすぐさま抱きしめてきた……は、恥ずかしいでも暖かい……心地良いってこういう事を言うんだろぅなあ。

凄く落ち着くし安心する

色々と苦勞してまで来ただけの見返りが堪能できそう見返りどころかオーバーしそうだけど、それはそれで嬉しい。

ふぁ……今日は疲れちゃったし眠い  
おやすみなさい……

……

……

……

「起きろ、起きろ小娘」

んぁ……何い？

もう少しこの暖かさを堪能してたい……

「……はぁ、起きろ小娘！！！」

声が聞こえた気がするけど……無視  
はふう……眠い……

「……玲、もう怒って良いよな？」

「さあ？ お兄ちゃんの好きにしたら？」

嫌な予感はあるけど、でも眠いから知らない



ボクはこのままもっと寝るの……

「よし、絞めよう」

「殺さない程度に加減しなよ？」

「安心しろ、俺は手加減が苦手だ」

「じゃあ覚えなよ」

「無理、どう絞めればいいと思う？」

「じゃあ鯖折りで

これなら苦しいとは思うけど死なないと思う」

「採用」

何だろう……このままだと危険な気がする  
でもこの温もりを捨てるのは嫌……

「せー……の！」

なんだか一気に暖かくなったような気が……  
でも何か、あれ？ これ何だか痛いような……って！？

「い、いたたたたたた！

くる、苦しい！？ ちょ、え！？

って体を締め付けてるのって瑞貴さん！？

抱きしめてくれるのは嬉しいけど痛いです！

せめてもっと優しく！ 優しくしてください！」

瑞貴さんは力を抜いて解放してくれた  
はぁ、はぁ、く……苦しかった……

優しくしてくれたら凄く嬉しかったのに、これはちょっと酷い。

そう思って恨めしそうな目で見てみたけど

これを見ろと言わんばかりに腕時計を見せられる

時間は……11時!? 船の出航まで2時間も無い!

急いで着替えようとしたら瑞貴さんに拳骨された  
な、何で!? 急いでるのに!

「お前な……俺の事を忘れて着替えようとするな  
俺は男、お前は女、分かるか?」

あ……恥ずかしい

顔が見れない……思わず布団を頭から被ってしまった  
でもすぐに剥がされた。

って、時間が無いんだった!

こうしている場合じゃない、早く着替えないと!

そう思っで着替えようとしたら瑞貴さんに拳骨された  
な、何でまた殴られたの!? 急いでるのに!

「お前には学習能力が無いのか?

俺は男だ、そしてお前は女だ、分かるな?」

あう……恥ずかしい……

って、恥ずかしがっている場合じゃなかった!

急いで帰る準備って、瑞貴さんが居るから着替えられない!

「はぁ……玲、小娘に付き合ってやれ  
俺は出て行くから早く終わらせろよ」

「わかった、私の準備も有るし……  
1時間後ぐらいで終わると思う」

「あぁ、何して時間を潰すかな……」

そんな事を言いながら瑞貴さんは出て行った  
うう……ごめんなさい。

着替えをして少し整理をするぐらいだったからかなり時間が余った  
やった

瑞貴さんが来るまで、そして船の時間までどうしよう？

そんな事を考えていると誰か来た

誰だろう？ 瑞貴さんが来るにはまだ早いし。

覗き穴を見てみると明日香さんだった  
何をしに来たのかな？

とりあえず扉を開けてみた。

「おはようレイ

もう時間的にこんにちははだけどね」

「おはよう明日香さん

瑞貴さんなら外に行ってるよ  
まだ暫く戻らないと思うし」

「気にしないで

貴女達には挨拶に来ただけよ

私の用事は隣の……」

隣？ 確か隣の部屋ってカミューラさんの部屋だよね？

ああ、そういえば吹雪さんが酔っぱらってたっけ

それで起こしに来たのかな？

「白黒兄モノクロさんが昨日酔ってたでしょ？

馬鹿馬鹿しくなってるね、叩き起こしに来たのよ

二日酔いになんてなってたら思いっきり頭を揺らしてやるわ」

「それは止めてあげてください！

そんな事したら吐いちゃいますよ！」

「問題無いわ、カミューラの上で吐かせるから

怒ったカミューラに折檻されている白黒兄モノクロさんの姿が想像できるわ

だからちよつと行ってくるわね」

そう言って明日香さんはカミューラさんの部屋にさっさと入って行った……あれ？

簡単に入って行ったけど、何でカミューラさんの部屋の鍵を持っているの？

哑然としたまま少し時間が過ぎる

すると突然、カミューラさんの部屋の中から大声が……

「ちょ！ 明日香！ 洒落にならな……う！」

う！？ うって何！？

吐きそうなの！？ 吐きそうなの！？

「あんなにお酒なんて飲むから悪いのよ！  
というか、未成年が飲まないの！

この馬鹿兄！ 駄目兄！ 雑魚兄！」

あ、明日香さん、それは言い過ぎじゃあ……  
確かに未成年がお酒を飲んだら駄目だけど。

「す、すまん明日香！ でも頭を揺らすのは止めてくれ！  
もう二度としないから！ だから、だから頭を揺らすのだけは！  
う！ 気分悪い……吐きそう……」

明日香さん何してるの！？

酔っている人を揺らしたら駄目だって！  
ほら、気分が悪いって言ってるし！

「汚いから私の目の前で吐かないで！  
吐くならほら、この中にしなさい！」

汚いって問題！？

そしてどこに誘導してるの！？

「あ、ああ……って、これはカミューラの寝ている棺桶じゃないか！  
こんな所に吐いたらカミューラに殺されてしまう！」

カミューラさんって棺桶で寝てるの！？

というかまだ寝てたんだ！

そしてこの騒ぎの中でも寝ていられるのが凄い！

「大丈夫よ、瑞貴からの命令が無い限りカミューラは人を傷付けられないから  
凄いい怒りは買うと思うけど、殺されたりしないから安心してぶちまけなさい！」

何で！？ 何で瑞貴さんの命令が無いと駄目なの！？  
でも怒るのは当たり前だよ！ とうか怒らない人なんて居るの！？

「あ、明日香！ そんな言葉は女の子が使う言葉じゃないぞ！  
堅守君に影響されるのはこの際目を瞑るが、それでもそんな女の子らしくない言葉は駄目だ！」

あ、やっぱり明日香さんって影響されてるんだ  
ボクもそう思うよ、だって時々息がピッタリなんだもん  
羨ましいなあ……

「別に影響されてないわよ！ 私は昔からこんな感じよ！  
白黒兄さんが昔の私を忘れたんじゃないの！？」  
モノクロ

いやいやいやいや、ボクと初めて会った時よりも染まってると思うよ！

前以上に行動とかが瑞貴さんに近くなってると思うし！

「自覚が無いのかい！？

あ……駄目だ、大声を出したら頭が痛くなってきた」

ボクも驚いた

そして吹雪さん、大丈夫？

「だったら最初からお酒なんて飲まないの！  
こうなる事ぐらい分かってたでしょ！  
何で飲んだのよ！？」

ボクに負けたからだよね？

勝って後悔は無いけど、ちょっと悪かったかな？

「あんな負け方すれば自棄にもなるさ！

僕のドラゴン達が……レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜なんて僕自身で倒したんだよ！  
これが飲まずにやってられるか！」

あー……レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜は吹雪さんのエースモンスターだったんだ  
それなら怒るかも、でもボクのデッキはそういうコンセプト  
だから怒られてもどうしようもできないかな。

「年下に負けたからってそんな事しないの！ みっともないわよ！  
あーもう！ ほら、お水！ これを飲んでさっさとシャキっとしな  
さい！」

なんだかんだで明日香さんも優しいね  
ちゃんと水を渡す所、やっぱり兄妹だもんね。

「ありがとう明日香！  
君は天使だ！」

いや、天使は言い過ぎじゃない？  
明日香さんってあんまりそういう事言われても喜ばなそうだし。

「恥ずかしい事を言わないで！  
この色呆け兄！」

い、色呆けて……

確かに恥ずかしい言葉だと思うけど、それは酷くない？

「ああ！ 何故捨てるんだい明日香！」

捨てたの！？ 捨てちゃったの！？

そしてどこに捨てたの！？

「次に馬鹿な事を言ったらコップごと投げるわよ！ 嫌だったらもう変な事言わないの！ わかった！？」

コップは危ないから止めてあげて！

割れたら本当に危ないから、だから止めて――！

「わかった、わかったから声を抑えてくれ！

そろそろ頭痛が限界なんだ！」

こっちはこっちで頭痛に苦しんでる！？

本当にあの人は大丈夫なの！？

「まったく……はい」

「ああ、ありがとう明日香」

あ、最後は普通に終わった

どうでもいいけど、カミューラもよく起きなかったね  
ここまで騒がれても起きないって凄くない？

少し経ち、明日香さんが出てきた



気のせいかスッキリした顔になってない？

あの……いったい何が起こったのか教えてくれない？

それに気のせいだと思うだけどさ

最後に小さく悲鳴が聞こえたような気がしたんだけど  
最後の最後に何か……したの？

「あの、明日香さん」

「何？ レイ」

怖っ！　なんだか凄く怖く感じた！

具体的には何の用だよてめえって言われた感じ！

「ふ、吹雪さんは大丈夫だった？」

「ええ、モノクロ白黒兄さんは大丈夫よ

あんな馬鹿な事を言えるんですもの、放っておいても平気よ」

何！？　吹雪さん最後の最後に何を言ったの！？

そして明日香さんは明日香さんで吹雪さんに何をしたの！？

吹雪さんは何で自爆するような事ばかり言うの！？

自重って言葉を覚えようよ！

このままだと明日香さんが本気で怒り出すかもしれないんだよ！

ああ！　ボクの中の吹雪さん像が何故か粉碎された！

もしかしてこのままだと明日香さんが吹雪さんを粉碎するんじゃないや！

逃げて吹雪さん！　本気で逃げてーーーーー！

「どうしたのレイ、顔が青いわよ？」

「き、気にしないで！」

それよりも瑞貴さん遅いね！

船の出航までそこまで時間が無いんだけど……」

見送りに来てくれないのかな？

いや、例えばボクの見送りに来なくても玲ちゃんの見送りが有るからそれは無いかな

瑞貴さん、玲ちゃんに優しいし。

……自分で言ってて悲しくなってきた  
ボクの見送りに来てよ？

「そうね、そろそろ移動する？  
もしかしたら埠頭で待ってるかもしれないわ」

「うん

じゃあ玲ちゃんにも知らせて移動しよう」

瑞貴さんの部屋で待ってた玲ちゃんも誘い、埠頭に向かうボク達  
ちなみに、吹雪さんは当然だけどリタイア、カミューラさんも寝て  
いるってさ。

………

………

………

埠頭に着くと瑞貴さんが待っていた  
やっぱり待たせちゃったかな？

「遅かったな

それに何故明日香が？」

「白黒兄さんモフクロを起こしに来たついでよ

あの馬鹿兄……完全に二日酔いよ  
後で改めて折檻しておくわ」

まだ怒るつもりなの！？

さっきので物足りなかったの！？

「俺の分も頼む

酒臭い酔っぱらいの相手なんてご免だ」

「任せて、徹底的に躰けておくから」

躰けるの！？ 兄妹でしょ！

兄を躰ける妹なんて知らないよ！

どうしてそういう言葉が出てくるの！？

「あ、そうだお兄ちゃん

レイちゃんに命令するんじゃないっけ？

ほら、決闘デュエルに負けたら1つだけ言ってたでしょ？」

あ、ボク自身も忘れてた

結局何も命令されてないんだっけ……

「そうだな……次に会う時まで更に強くなっておけ  
また相手をしてやるから、その時にダメージを与えられたらご褒美  
をやるう

ダメージを与えられなかったら罰ゲームな」

え？ それってボクにあんまりデメリットが無いような……

「瑞貴、それは酷いわよ？」

私の知る限り貴方が自分で決めたデッキで、1対1で、更にダメージを与えたのは玲ちゃんだけじゃない  
私もカミューラもともに戦ったら貴方にダメージを与えてないのよ？

ちよつと酷な命令じゃない？」

ああ！ そういえばそうだった！

そんな事も聞いた事を忘れてた！

まさか瑞貴さん、罰ゲームをする事が目的！？

「別に良いだろうが

俺に負けるデッキを考えてくる方が悪い

頑張って次こそは勝つんだな」

あれ……ああ、そういう事か

瑞貴さん、また会おうって言ってるんだね  
だって会わないと決闘<sup>デュエル</sup>できないもんね。

「うん、次は勝つから覚悟しておいてくださいね！」

「私もお兄ちゃんに勝つ為にまた頑張るよ  
今度は下級モンスターも考えてみようかなあ……」

玲ちゃんが頑張ると怖い事になりそうなんだけど……  
というか玲ちゃん、あのデッキって下級モンスター入ってなかった

の!?

それで今まで負け無しって……玲ちゃんも玲ちゃんて凄いなあ。

汽笛の音が鳴り響いた

もうすぐ出向みたい……時間が経つのは早いなあ  
できる事ならもっと話していたかった。

「ほら、行け、間に合わなくなるぞ  
またな玲、小娘」

「こういう時ぐらい名前で呼んであげなさいよ……  
またねレイ、玲ちゃん」

「またね瑞貴さん、明日香さん!」

「うん、またねお兄ちゃん、お姉ちゃん  
お兄ちゃんは春休みに帰ってくるの?」

「帰るぞ

少し用事が有るからな」

「待ってるね、ばいばい」

そっか、瑞貴さんは春休みに帰るんだ

……ボクにはあんまり余裕は無いから無理かな?

船に乗り込み、前みたいに手を振って別れる

……よし、ボクも頑張らないとね!

……

………

船室、ボクと玲ちゃんは同じ部屋にした  
友達になったんだし、いっぱい話したい事が有るしね。

「そういえば玲ちゃん

昔の瑞貴さんってどんな感じだったの？

昨日の夜に訊こうと思ったんだけど寝る時間になって訊きそびれちゃった」

「昔のお兄ちゃん？

昔のお兄ちゃんは……」

「やっぱり決闘デュエルでも負け無しかったんでしょ？

でも学校とかで色んな人を苛めているってイメージが強いなあ  
前からあんな性格だったの？」

「……………」

あれ？ 何だか凄く言い難そう  
どうかしたのかな？

「昔のお兄ちゃんだよね？

あの……どう言えればいいかな？」

凄く酷い事ばかりしてたとか？  
なんだか想像できそうで怖いんだけど……

「…………苛められてたの」



「い、いつから今みたいになったの？  
というか、切欠は無いの？」

「う、うーん……あまり言うと怒られそうだけど……  
レイちゃんだし、大丈夫かな？」

そして、玲ちゃんの回想話が始まった……



#### 45話【暴走学園祭 終編】（後書き）

精霊の目の前でカードを売るなんて……

さすが外道瑞貴、そこには恐ろしさしか感じられません  
哀れブラック・マジシャン・ガール……

とりあえず、今後はマナで統一しようと思います。

マナの件、結局誰が悪いの？

不幸の連続だったとも言えます

瑞貴の不機嫌、玲の存在、洗脳の失敗

そもそも学園祭に現れた事

不運が重なったんでしょう。

怖い想って……原因は君だよ？

レイに自覚は有りません

使用者なんで、あまり怖く感じないそうです。

瑞貴釣られるなよ！

しかし待望の抱き枕なんですよ？

我慢ぐらいしなくてもいいじゃないですか！

どうせ望むところだったんですし。

あ・ま・さ・が・足りない！

本当に足りません、もっと砂糖をください

作者は紅茶に砂糖を7杯入れてももっと入れたがる人間です  
そんな作者からすればまだまだ物足りません

この程度、まだ3杯分ぐらいですよ。

明日香が……

暴走しました

そしてレイのツッコミ……

さすがツッコミ担当のレイ、良いリアクションだ！

吹雪……明日香に何を言ったんだ？

ご想像にお任せします。

明日香……吹雪に何をした

ご想像にお任せします。

瑞貴はツンデレ

……………どうしてこうなった？

春休みは瑞貴は帰るんだ……

帰ります、K C社に行かないといけませんしね。

昔の瑞貴って……憑依前の事？

そうなります

憑依前の瑞貴はあまり良い人生を送っていなかったようで……  
デュエル

決闘まで弱いつて……元の瑞貴ってどれだけ駄目だったんでしょうか？

何だか作者の実話っぽい……

一部は実話なので否定はしません

思い浮かばなかったので身近である自分を使用しました

まあ、この設定が反映される事は今後無いので関係有りませんがね  
瑞貴と過去の瑞貴は無関係です、そこは間違えないでください。

これって次話に続く系？

次話では玲の回想話になります

元の瑞貴は殆ど出ませんが、現在の瑞貴が憑依してからデュエル・アカデミアまでの話です

それを玲の視点で書こうと思います

玲が出てきた理由の1つはこの回想の為だったのだ！

……いや、本当にそうだけに玲には申し訳無いですね  
時々出番を出すから許してくれ。

……どうでも良い事です

昔、といっても1年半ぐらい前の話です

その時に何故か書いた遊戯王B L小説が発掘されました

あまりに酷い内容ですけど……どうでしょう？

ここに投稿する気は無いので、活動報告に注意書きを書いて載せようかと思っています

……何故書いた作者、本当に何でしょう？

確か誰かに頼まれたような……

あの頃は知り合いに腐女子が居たのでそこら辺の人からの依頼でしょうね、多分

読むのは構いませんが、自己責任でお願いします。

## 46話【前と今】（前書き）

色々と内容がぶっ飛んでいる気がします  
まあ……きつと大丈夫です

矛盾は無い……はず！ きつと無い！ 多分無い！ 無いと思いた  
い！

できれば無いと嬉しいです、はい。

決闘？ <sup>デュエル</sup> 回想ですが何故か有りますよ

まあ短いんで2回突っ込みました

さすが瑞貴、妹相手にも鬼畜路線全開だな！  
という内容です。

どうでもいい話

今日は久しぶりに長く寝ました

6時間です、よく寝ましたよ？

というか、それ以上寝られません、体がそう覚えているので（稀に  
15時間ぐらい寝ますが）

これが体に染みこませた日常の慣れか……まあ10年近くしていた  
ら当然ですね。

次話は多分楽そうです

何故か？ アニメが見れるからですよ！

参考にして書けるのがどれだけ楽か……

今までみたいに中途半端にオリジナルは本当に大変でした  
とりあえず頑張りますかね。

## 46話【前と今】

視点 玲

お兄ちゃんが変わったのは凄く突然だったんだけど  
とりあえず、それまでのお兄ちゃんの事も話しておくね。

お兄ちゃんは昔から全く友達が居なかったんだ  
理由は分からないし、お兄ちゃん自身も分からなかったみたいだけど  
何故か同学年の人達に凄く嫌われてたみたいなんだ。

別に顔が悪いわけじゃないし、性格だって……  
ちょっと暗かったイメージは強いけど、それなりに明るかったよ  
本当に、何で嫌われてたんだろう？

まあそれで……ストレスで胃が痛いって言い始めたんだって  
それから不登校、学校に行かないで家に籠もったままの毎日。

中学からは学校を遠くにして頑張って行ってたみたい  
だけどグループに入れなくてまた行けなくなっただ  
お兄ちゃん、不器用だから余計に難しかったみたいだし。

ここまでは私がお母さんに聞いた話  
ここからは私が体験した事ね。

お兄ちゃんが中学3年生の夏休みの時  
私が小学3年生で9歳だね

突然、お兄ちゃんが高熱を出して倒れたの

凄く苦しそうだったんだけど……翌日には平気な顔をしてたんだ。

そう、それがお兄ちゃんが変わった日

お兄ちゃんが突然デュエルモンスターズを始めたの

いつの間にかどこからか、凄い量のカードを手に入れてきててね  
もの凄い勢いで始めだしたの。

その日の事を思い出してみるね……

……

……

……

「お兄ちゃん、具合はどう？」

って、何カードなんて弄ってるの！」

「ん？ 玲？」

……お前は向こうの玲か？

それともこっちの玲か？」

向こうの玲？ こっちの玲？

どういう意味？

「えっと……どういう意味？」

って、そんな事を言ってる場合じゃなかった！

お兄ちゃん！ 高熱を出して倒れたんだから休んでないと駄目！」

「（こっちの玲……か、来たのは俺だけか？）高熱？」

……どう考えても無いと思うぞ

ほら、触ってみろよ」

お兄ちゃんはそう言って自分の額を出す  
触ってみるけど、普通だった  
どうなってるの？

お兄ちゃんは何だかいつもと違う  
落ち着いてるというか……よく分からないけど違う  
お兄ちゃんだけど、お兄ちゃんじゃない気がする。

「……いつまで触ってるんだ？」

「あ、ごめん」

急いで手を放す

何でだろう？ 違和感が強い  
性格はそんなに変わらない気がするんだけど  
でも凄く違うと思う。

「ん、できた

玲、お前もデッキ持ってるだろ？  
ちよっと試しに相手してくれないか？」

「え？ いいけど……珍しいな

お兄ちゃんが自分から決闘デュエルをするって言い出すなんて」

本当に珍しい

前は私から頼んでも滅多に相手してくれなかったのに  
毎回私に負けるから嫌がってたんだよね。

「（まあそうだろうな

デッキを見たら……あまりにも酷いデッキだ

ローレベルバニラかと思ったら、単にカードを持っていなかっただけ最強モンスターが暗黒騎士ガイアだとは思わなかったな

いや、レア度は高いんだが、何故持っていたんだ？

そして通常モンスターサポートカード1枚も入っていないという……効果モンスターだって人食い虫やハネハネぐらいしか役に立たないし、これは嫌になるな」

適当に床に紙でできた簡易決闘場デュエルフィールドを置いてつと

私の家には決闘盤デュエルディスクを持つてる人が居ないから自然とこうなるカードを使うのって私とお兄ちゃんだけだし。

「じゃあ始めようか玲」

「うん、お願いします」

「デュエル決闘」

「先攻は私、ドロー

……メカ・ハンターを攻撃表示で召喚カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

私のモンスターの攻撃力は1850

お兄ちゃんだったら最強のモンスター、暗黒騎士ガイアでしか倒せないモンスターだよ

ちなみに私のデッキで最強モンスターはサイバネティック・ワイバーン

お兄ちゃんの最強モンスターと違って生け贄は1体だけそれに攻撃力だって暗黒騎士ガイアよりも200上回っている。



お兄ちゃんには悪いけど、また勝たせてもらうね  
お兄ちゃんにメカ・ハンターを倒せるカードなんて……

「俺のターンだな、ドロー  
モンスターをセットし、カードを2枚伏せる  
ターンエンドだ」

人食い虫かハネハネかな？  
倒すか、それとも攻撃する？  
どうしよう……

「私のターン、ドロー  
ブロッカーを守備表示で召喚  
これでターンエンド」

ブロッカーの守備力は1800  
片方が倒されても大丈夫  
もし破壊されて上級モンスターを出されても大丈夫  
伏せたカードは和睦の使者だから戦闘で破壊されない。

次のターン、反転召喚して来られたらサイバネティック・ワイバー  
ンを召喚  
そしてリミッター解除で攻撃力を倍にすれば勝てる。

悪いけどお兄ちゃん、また私の勝ちだよ  
何か考えがあるかもしれないけど、お兄ちゃんじゃ勝てないよ。

「俺のターン、ドロー  
モンスターをセットする  
そして永続罠、召喚制限一猛突するモンスターを発動する」

永続罫？ そんなカード知らないんだけど  
どんな効果なのかな？

「このカードの効果は特殊召喚に成功したモンスターは表側攻撃表示になるんだ

そしてそのモンスターが攻撃可能な場合、攻撃しなければならない」

「えっと……それって何か意味が有るのか？」

お兄ちゃんの目的が分からない  
何を考えてるんだろう？

「前のターンにセットしたモンスターを反転召喚させる  
伏せたモンスター、カオスポッドを反転召喚  
そしてリバース効果が発動する」

カオスポッド！？ いつの間にそんなカードを！？  
確かカオスポッドのリバース効果って……

「場の全てのモンスターをデッキに戻してシャッフルする  
お互いにデッキに戻した枚数だけモンスターが出るまでドロウする  
その内、LV4以下のモンスターが出た場合裏側守備表示で特殊召喚する

それ以外のカードは全て墓地に送る」

お兄ちゃんは無言でカオスポッドをデッキに戻してシャッフルする  
なるほど、これとさっきの永続罫で攻撃力の高めのモンスターで攻撃しようって事か

そう都合良く高攻撃力のLV4以下のモンスターが来るはずが……

「強欲な瓶、無謀な欲張り、愚かな埋葬、神の宣告

和睦の使者、ドレインシールド、魔宮の賄賂、攻撃の無力化、大嵐サイクロン、カオスポッド……カオスポッドは通常召喚可能なLV4以下のモンスターなのでセット

ホーリージャベリン、浅すぎた墓穴、天使の施し、手札抹殺

サイクロン、強欲な壺、ガード・ブロック、成金ゴブリン、天罰

転生の予言、和睦の使者、ゴブリンのやりくり上手、成金ゴブリン手札断殺、悪魔の偵察者……悪魔の偵察者は通常召喚可能なLV4以下のモンスターなのでセット」

なんだか凄いカードばかり落ちたような……

何枚か知らないカードが入ってたけど、ドロー系カードばかりそれか攻撃を止めるカードとか、何を考えてるの？

「機械複製術、リミッター解除、援護射撃

TMー1ランチャースパイダー……LV7だから墓地

メカファルコン……通常召喚可能なLV4以下のモンスターだからセット」

TMー1ランチャースパイダーが落ちちゃった

今は不要だからいいかな。

「召喚制限一猛突するモンスターの効果が発動する

全ての特殊召喚されたモンスターは表側攻撃表示になる」

特に何も問題無い

お兄ちゃんがカオスポッド以外を出すまで我慢するだけだしね。

「悪魔の偵察者のリバーズ効果発動

相手はデッキから3枚ドロし、お互いにドロカードを確認する  
その中に魔法カードが入っていた場合、墓地に捨てる」

態々ドロさせる？

魔法カードが入っていなかった場合、単に相手を強化させるだけじゃ……

ドロして引いたカードを見せる

私がドロしたカードは魔貨物車両ボコイチ、人造木人18、右手に盾を左手に剣を

右手に盾を左手に剣をは魔法カードなので墓地に送られる。

「そしてカオスポッドのリバース効果が発動する

説明はさっきしたからいいな、モンスターをデッキに戻せ」

本当に何を狙ってるの？

それより早くカオスポッド以外のカードが来てくれないかな？

サイバネティック・ワイバーンを早く出したい。

「……4枚目、カオスポッド

……9枚目、カオスポッド」

「私は3枚目、メカ・ハンター」

お互いにモンスターを出す

あれ？ これってもしかして……

「召喚制限一猛突するモンスターの効果で表示形式変更  
そしてカオスポッドのリバース効果が発動」

「む、無限ループ!?!」

「やっと気付いたか」

その通り、デッキ破壊の無限ループだ

このデッキにはカオスポッドが3枚と悪魔の偵察者が1枚だけ  
それ以外は攻撃封じの魔法、罠かドロー系カードだけだ

俺がモンスターを2体出した時点でお前の負け」

そんな!

でも、それでも私が上級モンスターを引いたら私のループは止まる!  
そうすれば……

「ちなみに、お前がモンスターを出せなくても全く問題無いぞ  
俺の場でループは続いているんだからな」

「あ……じゃあ私が何もしなくても……」

「そう、お前の負けだ」

私のデッキに、リバース効果で発動するモンスター破壊カードは無い  
伏せカードだって戦闘用のカード

私の負け……お兄ちゃんに負けるなんて……

お兄ちゃんがいつの間にか強くなってる

それにさっきから言葉遣いがちよつと違う

お兄ちゃんはこの間に自信を持って話したりしない

私の目の前に居るのは……誰?

「お兄ちゃん

お兄ちゃんはお兄ちゃんだけど、お兄ちゃんじゃないよね?」

自分でも言っている事が変だと思う  
だけど何て言えばいいのか分からない。

「どうだろうな、しかし俺は堅守瑞貴だ  
それは嘘も偽りも無い事実だ」

そう言われると何も言えない  
でもお兄ちゃんが違うつて事は分かる  
うう……どうすれば？

「そうだな……なら賭けないか？」

「賭け？」

「ああ、決闘デュエルをして、勝ったら相手に1つ質問できるんだ  
相手はその質問に必ず答えなければならぬ  
しかし、勝っても質問できるのは1つだけ……どうする？」

私が負けても何もデメリットは無い  
お兄ちゃんが勝っても私に訊く事なんて無いだろうし  
だったら受けた方が良いでしょうね。

「分かった、受ける」

「決まりだな  
デッキを変えるが、文句は無いよな？」

「うん、もうさっきのデッキは嫌だ」

だってデッキ破壊の無限ループなんだよ？  
嫌に決まってる。

お兄ちゃんデッキを選択し、シャッフルして決闘場に置く  
デュエルフィールド  
私もデッキをシャッフルし、同じく決闘場に置いた。

「デュエル決闘」

「さっきは私が負けたから先攻はもうよ、ドロー  
機械軍曹を召喚し、カードを1枚伏せてターンエンド」

リミッター解除を伏せた  
攻撃してきたら返り討ちにし、更に手札のメカ・ハンターで直接攻撃  
ダイレクトアタック  
これで大ダメージだよ。

「俺のターン、ドロー」

連弾の魔術師を召喚する

そして強欲な壺を発動、デッキから2枚カードをドロースする」

あれ？ どうして強欲な壺を後に使ったの？

このカードってドローした瞬間に使うのが普通なのに……

「連弾の魔術師の効果発動

通常魔法カードを使用した時、相手に400のダメージを与える

そして天使の施しを発動、デッキからカードを3枚ドロースし、手札  
から2枚を捨てる

連弾の魔術師の効果が発動し、相手に400のダメージを与える

次に魔法再生を発動して墓地から魔法カードを手札に加える

俺は天使の施しを墓地から手札に加える

連弾の魔術師の効果が発動し、相手に400のダメージを与える」

う、一気に1200のダメージも……  
でもまだ大丈夫、攻撃されたらすぐに反撃して巻き返す！

「天使の施しを発動し、デッキから3枚ドロー、2枚を捨てる  
連弾の魔術師の効果で400のダメージだ

魔法石の採掘を発動し、手札を2枚捨て、墓地から魔法カードを手  
札に加える

俺は手札を2枚捨て、魔法再生を手札に加える  
通常魔法カードが発動されたので400のダメージだな  
更に今捨てた深淵の暗殺者ナイト・アサシンの効果が発動される」

もう2000ものダメージを与えたのにまだ気が済まないの！  
早く攻撃してよ！ 何もできない！

「深淵の暗殺者ナイト・アサシンはリバー効果モンスターでな  
相手の場のモンスターを1体破壊する効果を持っている  
だがこいつにはもう1つ効果を持っているんだ」

珍しい、リバー効果モンスターが2つの効果を持ってるなんて  
どんな効果なんだろう？

「手札から墓地に送られた時、墓地のリバー効果モンスターを手  
札に加える効果を持っている  
俺が今魔法石の採掘で捨てたのは2枚とも深淵の暗殺者ナイト・アサシン  
同時に効果が発動し、お互いにお互いを対象に選択する  
よって俺の手札には深淵の暗殺者ナイト・アサシンが2枚とも戻ってくる」

何それずるい！

それって手札の消費無しで魔法石の採掘を魔法再生に変えたような



もの

何回でも使えるって事になるじゃん！

「そして魔法再生を発動する

墓地の魔法石の採掘を手札に加え、連弾の魔術師の効果で400のダメージ

魔法石の採掘を発動、手札を2枚捨て、魔法再生を手札に加える  
連弾の魔術師の効果で400のダメージを与える」

え……これってまさかまた……また無限ループ！？

しかも今度は通常魔法の連続コンボ！？

「無限ループだ

これでお前の負けだな」

そんな……何でお兄ちゃんが無限ループのギミックを知ってるの？  
初期カードしか持ってたお兄ちゃんが何でそんな……

「俺の勝ち

という訳で質問だ」

な、何を訊くつもり？

あんまり想像できないんだけど……

「この家の住所と電話番号」

「……は？」

「だから、この家の住所と電話番号だ」

え？ 何？ どういう事？

今更そんな事を訊いて一体何を……

「……………白状した方が良いか？」

「うん、お願い

私には何がなんだか……」

お兄ちゃんは凄く言い難そうにしてたけど……  
暫くしたら教えてくれた。

……………

……………

……

「記憶障害!？」

「あー……多分な

さっきお前が高熱を出して倒れたって言ってただろ？

それが原因なんじゃないか？

(とりあえず原因はそれにしておこう

どうせ俺だって原因は分からないんだ

高熱を出したって言ってたのは覚えているし、それでゴリ押す

中身が変わったと言っても信じられんだろう

これでも混乱してるんだし、更に混乱させるのはちょっと遠慮したい)」

記憶障害って……どうなってるの!？

何を覚えていて何を忘れてるの!？

「……私の事は覚えてる？」

「ある程度な

何故か妙に変な知識は多いんだが身近な記憶が無い  
玲の名前とか表面上の事は覚えている  
しかし性格とかまでは覚えてないな」

そんな……でも、お兄ちゃんには嫌われてたし  
また知ってもらったらどう思うかな？  
また嫌われるか、それとも気にしないでくれるかな？

「それにしても玲の話し方は変わってるな  
俺と似てないか？ 性格が似た？  
いや、前の俺と今の俺は性格が違うし……」

それも忘れてるんだ  
都合が良かったけど、また嫌われるのかな……

「私の癖、話し相手と同じような話し方をする  
前のお兄ちゃんはこれを凄く嫌ってたよ？」

「は？ 何故に？  
変わった癖だな、今は俺の真似をしてるのか？」

「そうだけど……嫌じゃないの？」

「だから何故？  
変わってるとは思うが嫌うような事か？  
俺からすれば特技に思えるぞ」

「ど、どこが特技!？」

これでみんなから嫌われてるんだ!  
嫌味のつもりなら、喧嘩を売ってるなら買うよ!」

だから私にも友達は全然居ない!  
学校じゃ寂しくて……それが特技!?  
慰めてるつもりなの!

「だって今の俺と話すのは初めてだろ?  
それで俺の話し方の真似をできるんだぞ  
相手の話し方をすぐに読み取れるのは才能だろ  
感受性も強いみたいだし、職業に依っては才能を発揮できるだろうな  
きっと将来、役に立つと思うぞ」

褒められてる!?  
この癖が!?! どうして!?!  
え、どうなってるの?

「うーん……これを役に立てるならどうというのが良いかな?  
玲、相手の感情とかは分かるか?」

「一応は……言葉を真似ていたら自然と気付く  
言葉遣い、感情、性格も少しは似るからね  
それがどうかした?」

「お前、カウンセラーとかどうだ?  
難易度は高いと思うが、きっとかなりできるようになると思うぞ?  
他にも精神科の医師とかも悪くないだろうな  
後は幼稚園とかの先生とか、介護ヘルパーとかも悪くないな」

え？ あの、お兄ちゃん？

何だか私の将来が勝手に決まっていってるような……  
というか、どうしてそんな知識を持ってるの！？

「断言はできないが、そこら辺に進路を勧めれば大成するんじゃないか？」

まあどうするかはお前の自由だがな

何が言いたいかと言うとだ、それは才能なんだし、嫌わなくても良いんじゃないか？

多少は抑えた方が良いとは思うがな」

「つまり……お兄ちゃんは嫌じゃないの？」

「何度もそう言ってるだろ？」

それを嫌う相手には抑えるとして

嫌わない相手には好きなだけすればいいさ  
俺の前だったら好きなだけ使ってもいいぞ  
少なくとも、俺は絶対に嫌がらん」

………

………

……

それが嬉しかったんだよね

っと、話が逸れちゃったかな

ともかく、お兄ちゃんが昔と違うのはそういう理由  
記憶障害なんだってさ。

病院には一応行ったよ

異常は無かったから原因も分からないんだって

通院しても無駄だからすぐに行くのは止めたけどね。

それからのお兄ちゃんは凄かったよ

結局いまいち原因が分からなかったし、説明も面倒だからって学校には行かなかったけど

何故かデュエルモンスターズへの知識を持ってた事

そしてどこからかは知らないけど、手に入れていた凄い量のカード  
これで幾つものデッキを作っていたんだ。

私が試作デッキの相手になってたんだ、毎回負けてたけどね……

色んな戦い方をされたよ、無限ループなんて基本だったし

1ターンキルなんて普通、完全ロックなんて当たり前で……ははは、  
泣きたくなった。

段々と落ち着いてきたのか、途中から優しくなったよ

無限ループする時は必ず時間をくれるようになった

1ターンキルは偶然の時以外はしないで普通に戦ってくれた

ロックはゆつくりとジワジワとで抜け出すチャンスくれた。

……うん、加減されていたただだよ

お兄ちゃんも最初は加減が分からなかったただけだって言ってたし

でも禁止カードの混沌帝龍一終焉カオス・エンペラー・ドラゴンの使者と八咫鳥のコンボには泣いた……あれは悪夢だよ。

それはそうと、自分もデッキを作りたいとも思い始めた

最初にスキルドレインデッキを作ったんだ

私はパワーデッキが得意だったしね

お兄ちゃんと一緒に頑張って作っただけに、お兄ちゃん以外に負け無し。

でもお兄ちゃんは私が使うんだったらパーミッション系が一番合うって言ってた  
パーミッションは難しそうだし、苦手な部類だと思ったから遠慮しておいた。

お兄ちゃんの学校の成績は凄く悪かったんだけどね  
デュエルモンスターズの知識が凄かったからデュエル・アカデミアに行くって言い出したんだ  
自然の流れな気もするけど、凄く驚いたよ。

だってお兄ちゃん、このまま学校行かないでプロ決闘者デュエリストになるんだ  
と思っただし  
何でかって？

テレビでよくプロ決闘者達の試合やってるでしょ？  
お兄ちゃんと一緒に色々話してたんだ  
凄く弱いし、雑だし、荒いし、やっぱり弱いし、何よりも下手  
お兄ちゃんの方が圧倒的に強いしね。

だから、さっさとプロに行っても良かったと思うんだ  
どうしてデュエル・アカデミアに行くか訊いたんだけど……

「万が一、調子とかが落ちたら危ないだろ？  
あそこは実力主義なんだ、もしランクが落ちたりしたら見向きもされん

下手すれば簡単に切り捨てられる世界だからな  
もし決闘デュエルができなくなっても他にも就職当てができる  
高卒の資格ぐらい持っておかないとな……色々とヤバイんだよ  
（元の世界ではフリーターだし、こっちでもフリーターは嫌だ！  
こっちでは職もできれば安定させたいしな

まあKC社やI2社に就職するのも有りかもしれないな  
デュエリスト  
決闘者だったら多少は融通してくれるかもしれないし  
学生には分からないだろうけど、社会人は大変なんだよ……色々と  
な)」

だってさ

自分が信用できないのか、自信が無いのか……

そこら辺は前のお兄ちゃんとあんまり変わり無いかな  
用心深いとも言えるけど、ここまでになると弱気だよ。

大学はまだ決めてないみたい、でも行く気は無いっぽいよ  
高卒さえ有れば少なくとも就職にはそこまで困らないってさ  
もし必要なら大卒資格の試験を受けるって言ってるよ。

だったら高卒資格試験も受ければって言ったんだよ  
でも……

「記憶障害と言っただろうが

ある程度常識とかも勉強しないと駄目だしな

それにプロになるにしても、こっちの方が有利だ

まだプロになるとは決めてないがな

（変に目立つのって嫌いだからあんまりなりたくないんだよな

まあ楽に金は稼げるから我慢すれば良いんだけど……

記憶障害とは言ったが、今の俺になっても育ててくれたんだしな

母さんを安心させるという意味でもプロになるのも有りだな

金も稼げるんだし、楽させたいし、何よりも恩ぐらいは返さないと  
気が済まん！

親ってというのは高校ぐらい卒業してないと安心できないみたいだしな  
前の時もそうだった、高校ぐらい卒業しろって言われてたしな……  
親不孝にはなりたくない……あの親はどうかと思うが)」



って言ってたの

変な部分で真面目というか……色々と考えてるみたいなの  
それからデュエル・アカデミアの受験をして、合格  
今に繋がると……

ちなみに、私はこの癖をどう扱うかを考えておけって言われたよ  
それで渡されたのが……精神学、心理学、倫理学、論理学などの本  
本本本本

巧く扱うにはこういう人の心を知っておけって言われたんだ。

お兄ちゃん、今でも週一ぐらいで本を送ってきてくれてるんだ  
通販で買って送ってきてるんだけど、楽しく読んでるよ

一番最近来た本は……確か人の心を掴むにはって本かな？

時々微妙に関係無い本も来るけど、真面目に読んでるんだよ？

とにかくそういう訳で私、この半年ぐらい学年で成績トップだよ  
時々勉強の本とかも送ってこられるしね……

勉強してない事がばれると本、送ってくれないんだもん。

話がまた逸れたね

とにかく、お兄ちゃんは記憶障害だったんだ  
だから今と昔の性格が違うの。

共通している所は……時々優しい所かな

前は小さい所で、今はさり気なく優しいんだ  
どっちも殆どの人に気付いて貰えないけどね……  
だからあんまり友達とかできないんだと思う。

……………

……

「私にできるお兄ちゃんの話はこれぐらいだよ  
どうだった？」

目の前に座っているレイちゃんは難しい顔をしてる  
やっぱり想像できないのかな？

「うーん……今の瑞貴さんからは想像できないかな  
記憶障害だったんだ」

「うん、でも言ったり心配したら駄目だよ

同情とかされるの、凄く嫌がるから

心配するぐらいだったら俺を楽しませろって言うんだよ  
せっかく心配してるのに、心配している自分が馬鹿みたいに思える  
んだから」

同情するぐらいなら金をくれて言葉が有るけど  
お兄ちゃんの場合は同情するぐらいなら娯楽をくれ、だからね  
あんまり気にしていると怒るし……早く受け入れた方が楽だよ。

「あはは、そこは瑞貴さんらしいのかな？  
そう言って苛めてくるの？」

「そうなんだよね……  
不機嫌になられるよりは良いけどね  
お兄ちゃんが不機嫌になると悪質だし」

「悪質？」

「昨日のマナみたいはどうしようもできない状態にされるだけマシ  
そこから更にジワジワと嬲り殺しにされる  
更に言葉でもプレッシャーを掛けて焦らされるから……怖い」

完全ロックされた上、更にジワジワとバーン攻撃してくるしね  
例えば全く身動きが取れない状態にした上でラージマウスとかレッ  
グルとかでちよつとずつ削っていく

そんな事をして酷い目に……あの時は本当に泣きそうになったなあ。

「……ボク、できるだけ瑞貴さんを怒らせないように注意するね」

「それが賢明だよ

頑張って生き残ってね」

………

………

………

話している間に埠頭に着いたみたい

私達は一度私の家、堅守の家と一緒に遊んだ

時間が遅くなったからお母さんがレイちゃんを送って帰る事になっ  
た。

「じゃあねレイちゃん、また遊ぼう」

「うん、また遊ぼうね玲ちゃん」

楽しかった時間は簡単に過ぎちゃうなあ……

……で、いつまで隠れてるの？  
いい加減に出てきたらどうなの、絶対服従魔人。

『……………』

『あのね、いい加減に態度を戻したら？』

『もう、怒らぬか？』

『お前が馬鹿な事をしなかったらな』

『ぬう……………』

呻きながら現れる絶対服従魔人

一応名前は付けてみたよ。

『我<sup>がえん</sup>炎、私はお前が嫌いだからね

仏の顔も三度までって言葉、知らないと思うけど言っておくよ  
二度と私に逆らうなよ……………消すぞ？』

『2度もあのような目に遭わされたのだ

我として学習ぐらいする、もう暴れたりせんわ』

どうか……………我炎の奴、精霊として出てきた瞬間に家の中で暴れ回  
ったんだよね

精霊だけど格が高いとからしくてね、半実体化して暴れたから部屋  
が滅茶苦茶

叩きのめしたらおとなしくなったけど……………我慢できないってまた暴  
れた

さすがに私の方が我慢できなくなったから殺す寸前まで追い詰めた

けどね。

もし、また暴れたら本気でカードを燃やそうと思ってる  
片付けにどれだけ時間が掛かった事か……お母さんへの言い訳も大  
変だったんだから

次は本気だからね、我慢してよ、本当にさ。

『デュエル・アカデミア、どう思う？』

『さあの、きな臭い雰囲気は感じられた  
おそらく一混乱起こるだろうな』

『お兄ちゃんにお姉ちゃん、大丈夫かな？』

『そういう時は素に戻るの  
まああの2人は強いし大丈夫じゃろうな』

分かってるんだけど、やっぱり心配だなあ  
怪我とかしないように気をつけてね。

……絶対にお兄ちゃんなら大丈夫だと思うけどね  
最悪、その一混乱を全部食い破りそうだし  
心配しなくてもいいか。

## 46話【前と今】（後書き）

あんまり瑞貴について書かれていないような……

玲視点です。で仕方無い部分もあるかと

見逃してください、色々ややこしいのです。

元瑞貴は何故嫌われていたの？

不明、本当に謎です。

現瑞貴の妹の名前も玲なの？

はい、殆ど同じ状態で憑依しました

分かりやすく言うのなら……平行世界の自分と言えればいいでしょうかね？

平行世界については説明がかなり長くなるので自分で調べてください  
パラレルワールドなど、他にも呼び方は有りますね。

こっちの玲と向こうの玲は違うの？

瑞貴が玲の癖を知らなかった事から違うようです

向こうの玲はどんな玲だったんでしょうか？

前瑞貴ってどんなデッキだったの！？

分かりやすく言うならば第1弾世代です

本当に初期の、王国編辺りまでのカード群まででした。

玲の前のデッキは？

機械族を中心としたパワーデッキです

切り札はリミッター解除、基本はそれと装備カードを使っています  
デーモンの斧、ドーピングなども使っていましたが、未登場です。

現瑞貴が使ったデッキって……

両方無限ループですね

妹相手にも手加減無しの瑞貴でした。

どうしてそんなデッキを使ったの？

カオスループなんて簡単に潰されます

ライコウとか、強制脱出装置とかで

連弾採掘ループは深淵の暗殺者が制限なので使えません

更に言うならばライフが尽きるまで魔法カードが足りません、手札の関係上

とりあえず作って試してみたという感じでした。

玲は変わった瑞貴をどう思ってるの？

回想の最後を読めば分かると思いますが、兄は兄だと思っているという事です

平行世界の件で気付くと思いますが、どちらの瑞貴も結局瑞貴です人生が違っていても根が同じという事、つまり所々違ってても本体は変わりません。

瑞貴は玲の癖をどう思ってるの？

凄いと思っていますが、世間的には直した方が良いと思っています将来武器になるとは思っていますが、日常では止めるべきだと

とりあえず、瑞貴としては悪い事では無いので大きく気にする事では無いと思っています。

玲は現瑞貴をどういう感情を持っているの？

兄です、それ以上もそれ以下も無いのです

恋愛ゲームとか、恋愛漫画とか、恋愛小説みたいに兄妹で恋愛感情は持ちません

作者の絶対、これは絶対に、確実に、本気で、何が何でも譲れません

リアルに妹の居る身としては良い兄以上は絶対に許せないと思っています

玲のヒロイン化という人、そんな事を言う人は作者が怒りますので注意。

どうして現瑞貴は中学に行かなかったの？

今更感が大きすぎるからです

忘れていると思いますが、瑞貴は元20歳です  
高校ならまだしも、中学生は嫌でした。

よくそれでデュエル・アカデミアに入学できたね

翔が入学できたぐらいです

元瑞貴の成績とはいえ入学できないはずがありません。

何故玲にはパーミッションが合うと？

玲の癖である相手の口調を真似てしまう事からです

その特技を生かせば相手の行動を読めると思いましたが

が、玲はパワーデッキが得意と言い、パーミッションは苦手と言っています

食わず嫌いみたいに使った事が無いという……なんとも勿体ない事です  
ですね。

瑞貴……真面目だったのか？

真面目というよりも前の人生を振り返ったんでしょう

やり直し人生万歳、作者もしたいようないような……

玲の口の上手さってまさか……

瑞貴の差し金でした

ちなみに瑞貴自身もここまで強くなっているとは予想外だったそうです  
が……



どうして瑞貴は玲に勉強をしろと？

前人生の自分みたいになりたいにはなるなというメッセージです  
どうやらあまり良い人生じゃなかったのは瑞貴も同じようですね。

絶対服従魔人の名前の由来は？

思いつきです、多分今後は数回出るかどうか……

それでもなんとなく付けました

効果が我が儘な炎属性最強のモンスターという意味で我炎と付けて  
みました

実際、炎属性で最高攻撃力を持っているモンスター……だったはず  
です。

最後の2人の会話は？

特に意味は有りません

三幻魔の覚醒に警戒しているという感じでしょう  
どうせそう掛からずに終わりますがね。

## 47話【スカーフとコイントス】（前書き）

謎に超ギリギリでした……

間に合うと思って調子に乗ってニコ動でエネコンメドレーなんて見るんじゃないかった……

作者は王様よりも凡骨、凡骨よりも社長、社長よりも盗賊が好きです。

今回はギャンブラーの登場です

なんだか可哀想……懐かしのあの女性も再登場します

誰かって？ きっとみんな忘れていますがあの人です。

急に寒くなってきましたね

今日から長袖のパジャマで寝る事にします

昨日まで？ 夏用の半袖で寝ていましたよ？

寒かったです……そんな作者はただの馬鹿。

明日は時間が有るので多分大丈夫です

多分の理由、それはアムナエルの使うカードがややこしいからですね  
おかげで頭の痛い回になりそうで……はあ。

## 47話【スカーフとコイントス】

視点 瑞貴

とある日の夜

まあ学園祭から数日後の話だな。

俺は七星門の鍵を失ったのを思い出したので学園長との契約を絶ちに学園長室に向かって  
契約では鍵をセブンスターズを倒す事だったが、俺は鍵を失ったよって、既に戦う資格が無いのだ。

という訳で学園長室の前なのだが……あの人だから何だ？  
似非に水色、でかいのだけならそこまで不思議でもないが……何故明日香まで？

ついでに顔も名前も知らないレッド生徒が数名。

「おいお前ら、校長室の前で何してる  
邪魔だからさっさと散れ」

「瑞貴……」

なんだか明日香の表情が曇っているな  
校長室に誰か居るのか？

「誰か説明をくれ  
俺は校長に用が有るんだ、入っても問題無いのか？」

全員顔を見合わせて言って良い事かと小声で話し合っている  
どいつもこいつも役立たずめ。

校長室の中が騒がしくなっていたが無視して校長室に入る  
中には倫理委員会の者達が4人とクロノス教諭、校長……は当然だな  
それとキザななんと鬱陶しそうな男が居た。

「おや、堅守君ではないですか  
こんな時間に、何か用ですか？」

「以前の契約の件です、俺は鍵を失ったので切りに来ました  
俺は既にほぼ無関係、だったら切っても構わないでしょう？」

「それもそうですが、後にしてもらっても構いませんか？」

そう言って横に居る男を見る校長  
こいつが邪魔なんだな。

「お前、邪魔だから消えてくれない？」

「……随分な口を利く奴だな

初対面の相手に失礼とは思わないのか？」

俺は男を無視して倫理委員会の女性に近づく  
女性は俺の顔を見て軽く青ざめていた  
どうやら以前のやり取りは覚えているらしい。

「暴力女」

「う……」

「というか、1対4で負けるなんて情けなくないのか？」

「ぐう……」

「どう見ても手先が少しぐらい器用なだけにしか見えない男相手にそれも男を3人も連れたあんたが負けるってどうなってるんだ？」

「うぐう……」

「ちょっと顔を上げてみろ」

女性は訳も解らずに顔を上げた

顔は良いんだけどねえ……性格は無理そう  
からかうのは楽しいんだけどね。

ふむ……右眉の上辺りに掠り傷程度かな

軽く切れてるし、血も出ているが大事にはならないと  
絆創膏は……あった。

「ちょっと動くなよ」

とりあえずハンカチで血を拭ってつと  
ちょっと我慢しろよ。

「う……いた！」

傷付近に触れた瞬間、動かれた

動くなって言ったのに……強引に頭を掴んで動きを止める  
そして固定した後、絆創膏を傷に貼ってやる。

「動くなと言っただろうが  
ほら、これでよし、あんまり触るなよ」

「あ、ああ」

何顔を赤くしてるんだ？

それよりも手当してやったんだから礼ぐらい言えよ  
別に欲しいとは思ってないけどさ。

後怪我をしてそうなのはサングラスを壊された奴かな  
そいつに近づいて顔を見てみるが、特に怪我は無さそうだ  
目に破片も入っていないようだし、大丈夫だろう。

俺は壊れたサングラスの破片を拾って壊された奴に渡してやる  
ついでに帽子も拾って女性に渡す、帽子を被ってないのってこいつ  
だけだし。

「しかし……何故負けるんだ？  
位置の関係から考えて、大方一斉に襲いかかったんじゃないか？  
こういう時はな、2人と2人に別れて2回に分けて攻撃するべきだ  
ろうが

連続で襲われれば相手が余程の使い手じゃない限り捕まえられるは  
ずだ

もっとよく考えて行動したらどうだ？」

「「「……面目ない」「」」

「校長先生も、部下はもっと教育した方が良いですよ？  
もっと護身術や格闘術に優れた人を雇ってみてはどうでしょう？」

「か、考えておきましょう」

「そもそも集団戦というものはだな……」

それから20分ほど、集団戦というものを話した  
倫理委員会の人達はちゃんと聞いてくれた

うんうん、馬鹿は嫌いだが真面目な奴は嫌いじゃないぞ。

「次にまたこういう機会があれば試してみたらどうだ？

訓練でもこういう事できるだろう？

実戦訓練とかしないのか？」

「いや、あまり……」

「駄目だろ、それは

雑務も良いが、鍛錬も練習も、普段の積み重ねで決まる事だろう  
あんた達は頭だけじゃなく、今回みたいに体も使う仕事をしてるん  
だろ？

だったら訓練は最低限でもしないと、体を鍛える事ぐらいは1人で  
もできるが連携は1人じゃ無理だ  
もつとよく考えて行動しておけよ？」

「「「はい！」「」」」

ふう、やっと一息吐けるな

……あれ？ 何で俺はこんな教師みたいな事をしてるんだ？

そもそも、俺が持っているのは知識ぐらいで経験は無い

そんな俺が言っているのによくそんなに元気な返事ができるな……  
ちよっと凄いいぞ。

忘れていたが横を見るとまだ男が居た  
何でまだそこに居るんだ？

「さっき俺が言った事、聞いてなかったのか？  
あんたは邪魔だから早く出て行けって言っただろ？  
俺は今から校長先生と話しが有るんだ」

「てめえ……散々無視したあげく、またその態度  
もう少し相手の事を考えた話し方をしたらどうだ？  
それに、俺だって校長に話しが有って来たんだ  
お前こそ出て行けよ、俺は話しが終わるまでここを動かないからな」

どうも気に入らない……お互い様だろうがな  
気のせいか、こいつは潰さなければならぬ気がする。

「お前、名前は？」

「俺の名前か？  
俺はB o yだ」

「死ね、本名を訊いてるんだ  
糞ガキって呼ぶぞ」

「そういうてめえの名前は何なんだ？」

「俺か？  
俺は堅守瑞貴だ」

俺の名前を聞いた瞬間、鼻で笑いやがった



何を考えているのか、想像は付くが……

「瑞貴？ みずきねえ

可愛い名前じゃないか

君、女の子として産まれたら良かったんじゃないか？」

ほうほう、予想は合っていたな

確かに男でみずきという名前は珍しいだろう

事実、俺は一度も男で瑞貴という名前を他に聞いたことが無い  
しかしそれはそれ、これはこれという奴だ。

俺が言葉を発する前に後ろの扉が開いた

明日香か……いや、遅いだろう。

「いい加減にしたらどうなの？

あんまり馬鹿な事をしてると怒られるわよ……光雄君」

「光雄って言うな、Boyだ

久しぶりだな、天上院明日香」

お互いに名前を知ってる？

という事は知り合いか……まあ、俺にはどうでもいい話だ。

「明日香、こいつの名前を覚えてくれた事に感謝する」

「……何をするつもり？」

「なに、社会的に殺して、一生日向に出れないようにしてやるだけさ  
こいつの罪状は不法侵入、脅迫、公務執行妨害、暴行と揃ってるし  
な」

「……………」

事実だけに何も言えないか？

ふん、だったらもつとまともに来れば良かったんだよ  
そうやって思いつきで行動するから痛い目に遭うんだ。

なによりも、こいつは禁忌を犯した

俺は他のどんな悪口でも大して気にしないが、名前だけは別だ  
名前に関しての悪口だけは、例え相手が誰であろうと許さん。

「学園長先生、電話をお借りしてもよろしいですか？」

「か、構いませんがどうするおつもりで？」

全員が俺の行動に注目している  
だが俺は動きを止める事は無い。

「警察に電話します

この学園に犯罪者が不法侵入し、校長室に立て籠もって脅迫をして  
いるとね」

嘘は言っていない、言葉が足りないかもしれないが嘘ではない  
ついでに警備員も怪我をさせられたと言っておくかな  
これで小さい事件じゃ済まないと向こうが勝手に勘違いしてくれる  
だろう。

捕まった後は個人情報の書き換えでもするかな  
見た目とハンドルネームからして、職業はギャンブラー辺りだろう  
か？

金は持っていそうだし、全部貧しい国にでも寄付しておくか  
俺が貰いたい所だが、他人の金を勝手に自分に移動させるのは色々  
と厄介になるからな  
寄付扱いの方が楽なのさ。

「瑞貴、随分不機嫌だけど……どうしたの？  
光雄君が何か言ったのかしら？」

「お前には関係無い  
さつさと奴を社会的に抹殺しないと気が済まないだけだ」

「……ご愁傷様光雄君  
もう会えないと思うけど、元気に暮らすのよ」

さすが明日香、俺の考えを大体理解している  
乗ってくれて俺は嬉しいぞ  
一部本音も混じっている気がするが……昔何か有ったのか？

「少しは止めようとしてくれても良いんじゃないか天上院！  
昔馴染みなんだから少しは優しくしてくれても……」

「貴方に渡す優しさは無いわ  
母から貰った大切なスカーフを盗んでいった貴方にはね」

窃盗、強盗も追加……時効になってないよな？  
懲役は合計で何年だろうか？

それにしても、何を考えてそんな事をしたんだ？  
子供の男子に多い好きな子に意地悪をしてしまうって奴か？  
子供の男子はプライドが無駄に高いからな、素直になれなくてって

パターンが多い

気を引く為に意地悪をする……どう考えても逆効果だって何故気付かないんだ？

……俺？

俺はそもそも好きな子なんて居なかったからな  
友達も居なかったし、だからそもそも意地悪をする女子が居なかった  
楽しみの1つも無い小学生時代だったなあ……虚しい。

「しかしどうするこいつ

警察を呼ぶのはとりあえず決まりとして、ハッキリ言って邪魔なんだよ

昔馴染みだったら何か知らないか？」

「そうね……彼の厄介な所は諦めが悪くてしつこい点なのよね  
こうなったら叩きのめさないと動く気は無いわね」

諦めが悪くてしつこいね

面倒な……こういうのは最終的に力尽くって事が多いから困る  
明日香もそれでスカーフを奪われたんじゃないのか？

「では校長先生、さっさと帰りましょう

こいつはここを動かないんでしょう？

だったらこのままここに居座らせてやりましょう

その間に警察を呼んで捕まえて貰えば良いんですよ」

「瑞貴、それは良い考えかもしれないけど無理だと思うわ  
本人が聞いてるんだし、そこまで馬鹿な事はしないでしょ  
それよりも学園に居座られる方が迷惑よ、海に捨てましょう」

「さすが明日香、それは良い考えだし、しかしスカーフは取り返さなくても良いのか？」

「あ、それは返してもらわないと

光雄君、貴方は後で海に捨ててあげるからその前にスカーフだけは返してちょうだいね

（いざという時はマナに一瞬だけ実体化して奪ってもらえばいいしねでもマナ、いくら見えないし感じないからって、瑞貴の背中から離れないのはどうかと思うわよ？）

サラも時々白黒兄モノクロさんの背中にくっついてるけど……想いを寄せるって感じで可愛らしいわ

白黒兄モノクロさんがサラを見えないという事が凄く惜しく感じるぐらいには可愛いわよ？）」

まあいざという時は魔娘に一瞬だけ実体化して奪わせるか一瞬だけなら誰も気付かないだろうしな。

「以前に比べて性格がかなり変わってないかい？」

「そう？」

5年近くも離れていたら当然じゃない？」

5年ぶりか、それなら性格を勘違いしても仕方無いだろうな記憶の中の人物はどうしても美化されてしまうしそれに記憶なんて曖昧なものだ、どうせ理想を追いつぎたんだろくな。

「でも瑞貴、さすがに問答無用……かしら？  
ちよっと強引過ぎるからチャンスを1回あげない？」

「なるほど……チャンスか

勝ったら無罪放免、負けたら追放でいいか？

何だか勝手に話が進んでますが校長先生、良いですか？」

「ま、まあ私は構いませんよ

私としても困っていましたし」

校長からの許可も出たな

しかしどういう種目にするか……

「そういえば光雄君、デュエルモンスターズができたわよね？

また、私と決闘デュエルしない？

もし、万が一、奇跡的に、神懸かってようやく勝てれば本当にそのスカーフはあげるわ

負けたら、貴方の大事な物を貰う上、ここから強制的に追い出して警察を呼ぶわ」

「負けた時のデメリットが大きすぎないか！？」

勝った時のメリットが1つに対して負けた時は3つはいくら何でも酷いだろ！」

ここからは省くが、長々と話し合いをした末

明日香が勝ったらスカーフを返し、二度とこの学園に来ないと約束  
明日香が負けたら七星門の鍵を預けてやろうという話になり、スカーフもそのまま。

………

………

………

デュエルフィールド  
決闘場に移動した俺達

何故か着いてきた似非部屋トリオ。

観客席には校長とクロノス教諭

なんだかよく分かっていないらしいが、それはそうだろうな  
勝手に話を全部俺達で決めたからな。

「なんでこうなってしまったノーね」

「私に言われても……」

うん、俺が悪かったかもしれない

まあ別に問題無いと思うし、大丈夫だろう。

そもそも、明日香に勝てるとは思わん  
精々頑張って凌ぐんだな。

「行くぜ、天上院」

「来なさい、遊んであげるわ」

苦い顔になる光雄

若いねえ……そこは軽く受け流す所だろう。

デュエル  
「決闘！」

光雄は胸元のスカーフを一撫でする

それを見て明日香は不機嫌になる

挑発しているのか、それともお呪いまじなか何かか？

「先攻は俺、ドロー！」

俺はギャンブル天使バニーを攻撃表示で召喚！」

攻撃力1200のギャンブルモンスターか

コイントス、まあギャンブラーのモンスターなら納得だな。

効果は確か暴れ牛鬼と同じ

1ターンに1度、メインフェイズに使用可能

コイントスを行い、裏表を当てる

当たった場合は相手に1000のダメージ

外れた場合は自分に1000のダメージか。

光雄は密かにセカンド・チャンスを発動させて効果を発動した

1ターンに1度、コイントスをやり直す効果だったな

何気にこの効果って強いから困る……

光雄は1度目を外すも、2度目を当てる

明日香に1000のダメージだな。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

永続魔法、六武衆の結束を発動するわ

六武衆と名の付くモンスターが召喚、特殊召喚される度に武士道カウンスターをこのカードに1つ乗るわ

更に六武衆の露払いを攻撃表示で召喚し、六武衆の結束に武士道カウンスターを1つ乗せるわ

そして場に六武衆と名の付くモンスターが存在している事で真六武衆一キザンを特殊召喚

六武衆の結束に武士道カウンスターを1つ乗せ、六武衆の結束の効果を発動



このカードを墓地に送り、このカードに乗っていた武士道カウンターの数だけドロースするわ  
武士道カウンターは2つ、よって2枚ドロ―」

今回は六武衆か

メインデッキじゃないが、それでも勝つには十分だな  
何せ相手はギャンブルデッキ、総攻撃には敵わない。

「強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロ―

六武衆の結束を発動し、更に六武の門を発動するわ

六武の門の効果は六武衆と名の付くモンスターが召喚、特殊召喚される度に武士道カウンターを2つ乗せる

私は更に六武衆の師範を特殊召喚するわ

このモンスターも場に六武衆と名の付くモンスターが存在している時、特殊召喚できる

六武の門に武士道カウンターを2つ、六武衆の結束に武士道カウンターを1つ乗せる

デュアル・サモン

魔法カード、二重召喚を発動するわ、私はもう1度通常召喚ができる  
真六武衆―シナイを召喚し、武士道カウンターを乗せる

そして六武の門の効果を発動するわ

自分の場に存在する武士道カウンターを4つ取り除き、デッキか墓地から六武衆と名の付くモンスターを手札に加える

私はデッキから真六武衆―ミズホを手札に加えるわ

更に六武衆の結束を墓地に送り、デッキからカードを2枚ドロ―」

相変わらずよく回るな

既に場には3体のモンスターが並んでいるのに手札が5枚

光雄の顔が凄く引き攣っているぞ？

「場に真六武衆―シナイが存在しているので真六武衆―ミズホを特

## 殊召喚

ミズホはシナイが場に存在している時、手札から特殊召喚できる場に真六武衆と名の付くモンスターが3体以上存在し、六武衆と名の付く師範を生け贄に捧げ……

六武衆達の結束の力、とくと見るが良い！ 揃え、真六武衆一シエン！」

出たか、紫炎の若かりし頃と思われるシエン……ややこしいな  
そして、これで終わらないのが六武衆の怖さだ  
光雄よ……耐えられるかな？

「ミズホの効果を発動、1ターンに1度、このカード以外の六武衆を生け贄に捧げる

そして場のカードから1枚を破壊するわ

私はこの効果でシナイを生け贄に捧げ、伏せカードを破壊」

「何だと！？　ぐわあ！」

破壊されたのはモンスターBOXか

もう光雄の負けは確定してるな

何せ、既に総攻撃力が7800になっている

ギャンブル天使バニーが耐えても無駄だ。

ついでに、まだ明日香の行動は終わらないしな

何せ、六武の門の効果が残っているんだし。

「シナイの効果を発動するわ

シナイは生け贄に捧げられた時、墓地のシナイ以外の六武衆と名の付くモンスターを手札に加える

私はこの効果により、シエンの生け贄にした師範を手札に加えるわ

そして六武の門の効果により武士道カウンターを4つ取り除き、墓地からシナイを手札に加える  
場にミズホが存在しているのでシナイを特殊召喚し、露払いの効果  
を発動するわ

露払いは六武衆を生け贄に捧げる事で相手のモンスターを1体破壊  
する

シナイを生け贄に捧げ、ギャンブル天使バニーを破壊よ」

「な……な……なあ!？」

シナイの効果を発動させたそうだが、残念ながら無理だな  
墓地にシナイ以外の六武衆が存在しない。

「場に六武衆が存在しているので師範を特殊召喚

六武の門の効果で武士道カウンターを4つ取り除き、デッキからシ  
エンを手札に加えるわ

そして場には真六武衆が3体以上存在している……露払いを生け贄  
に捧げ……

六武衆達の結束の力、とくと見るが良い！ 揃え、真六武衆一シエ  
ン！」

………ちよつと明日香を強化し過ぎたか？

総攻撃力が10800だな

そしてここまでしてるのにまだ明日香には手札が2枚も残っている  
多分罠カードだと思うが、もう不要だな。

「ごめんね光雄君

でも、貴方が弱すぎるのが悪いのよ？

ダイレクトアタック  
六武衆達全員で直接攻撃！」

「俺が弱いとかの問題じゃないだろ！　ぐあ！」

はい、お疲れ様

まさかの1ターンキルだったな

やっぱりスカーフが大切なのかね？

しかし静かだな、明日香が勝ったのに……

よく見てみれば似非達の顔も引き攣っているな  
まあここまで圧倒的なら当然かな？

校長達の顔も引き攣っていた

そこまで怖かったか？　あれぐらい普通だろ？  
元世界の環境を考えたら可愛いもんさ。

「ふう、やっぱり弱かったわね」

小声だったが静かだったから全員に聞こえたと思うぞ

光雄が本気で落ち込んでるし、全員が更に引いた

俺か？　まあ実際に弱かったからな、別に引く事でも無いだろう。

「……持ってけよ、俺の大事な物だ」

そう言って光雄は胸元からスカーフと取り出す

仕草が一々キザっぽくて鬱陶しいな。

「好きだった子の持ってたスカーフ、どうしても欲しくてさ」

「やり方を考えなさい

そんな事やり方で、嫌われても仕方無いわよ」

正論だな

というか、告白紛いの事をされても切り捨てる明日香が凄いちよっとは動揺するとか顔を赤らめるとか驚くぐらいしてやれよそれを見たかった俺は少々不満だ。

「はぁ、返すよ

お守り代わりだったこれを持っていればどんな勝負にも勝てると思っただけだな

これで、一か八かの勝負もできなくなっちまうがな」

そこまで言って光雄はスカーフを投げる

明日香はそれを無言で受け取り、振り返って決闘場を下りた

光雄は苦笑し、多分誰にも聞こえない声で何かを言った

それは何だったんだろうか……どうでもいいか。

光雄も振り返り、帰って行く

さて、俺はどうするかな……って、校長との契約を切りに来たんだっとな

それが終わったら光雄の個人情報を書き変えて全財産を寄付させて

……

「瑞貴」

「ん？ どうかしたか明日香」

というかいつの間にこっちに来たよ  
そして何の用だ？

「気は済んだかしら？」

「……どういう意味だ？」

真面目に分からん

しかし明日香は分かっている癖にという感じに肩を落とす  
いや、悪いけど本当に分からないんだけど……

「光雄君をあそこまで叩き潰したのよ、彼のショックも大きいと思  
うわ

だから光雄君が貴方に言った悪口……何が言ったのかは知らないけど  
自覚は無いらしいけど、貴方の結構雰囲気怖かったわよ？」

……自覚は無かったぞ、そんなに怖かったか？  
むー……分かん。

「少しは気が晴れたでしょ？  
だからこれ以上、彼に手出しはしないで」

「……………」

気付かれていたか

どうするか……まあ良いか

確かに多少はスッキリしたしな

また会わない限り、手出しはしないで置いてやろう。

「分かったよ、実際気分は晴れたしな  
礼代わりとして明日にでも昼飯を奢ってやるよ」

「そう、ありがたく奢らされてもらいうわ  
今からどうするの？」

「本来の用事を済ませて帰るさ  
既に時間も遅いし、お前もさっさと帰って寝ろよ？」

「ええ、おやすみ瑞貴」

そう言って明日香は帰った  
見てみると似非トリオも帰っていたが、どうでもいいな。

校長を呼び、校長室に行くように促す

クロノス教諭はズボンがヤバイらしいのでさっさと帰った  
そういえばずっと抑えてたけど、ベルトでも切れてずり落ちたのか？

.....

.....

.....

その後、無事に契約を切り、部屋に帰る  
あー……久しぶりに名前の件で怒ったな  
名前だけは昔からどうしても我慢できなかったんだよな……  
特に名前を女の名前とか、そういう事を言われるとどうしても我慢  
できん

今回は明日香が頑張ったから見逃したが、本当だったら殴りつけて  
やりたかったな。

暫く時間を潰し、そろそろ寝るかなって  
……そろそろ落ち着いたかな？

「おい魔娘、ちょっと出てこい」

呼んで暫くすると魔娘が姿を見せた

相変わらずブラック・マジシャン・ガールだな、当たり前だけれど見た目は悪くないんだが……はあ。

「どうかしましたか？」

声色、調子、前の性格から考えて……大分落ち着いたらしいな  
少しビクビクしているのは見て取れるが、それでもマシだ  
数日間、全く話しかけなかったから恐怖感はかなり落ち着いただろう  
そして玲が言うには俺に依存しているらしいが……それよりも気になる事がな。

「お前、俺が見えない時はどうしてるんだ？  
後ろを歩いてたり飛んでたりしてるとか？」

そこが気になるんだよな  
依存しているという事は大抵一緒に行動しているという事だ  
普段何をしてるんだ？

「えっと……はい、後ろに着いていたりしています」

「ダウト、本当の事を言え」

目を逸らし、何やら恥ずかしそうに言っている  
嘘確定だな。

「ダウトって何ですか？」

「……嘘って意味だ  
つまりさっきのは嘘だろ？  
だから本当の事を言え  
そう言った言葉になるな」



お前、西洋系モンスターなんだからダウトぐらい知っておけよ  
まあ確かにトランプゲームのダウトを知らないと分からないだろうな  
そういう意味では仕方無い……のか？

しかし西洋系モンスターで絵札の三剣士が居るだろ？

お前ら知り合いじゃないのか？

どっちも王様のデッキに入ってたんだし。

そして魔娘は顔を真っ赤にして……おい、何故顔を赤らめる  
お前、俺に何をしてるんだ！？

「い、言わないと駄目ですか？」

「何となく聞きたくないような気もするが……言え」

「うう……ずっと抱きついてます

そうしていると安心するんです」

……なるほど、それで大分落ち着いた上に恐怖感が減っていると  
その代わり、依存度が跳ね上がってそうだな

俺は精霊が見えないんだが……それってこいつが困るんじゃないか？

こいつが見えない↓話すには実体化が必要↓こいつが姿を見せる↓  
可愛いだのとコスプレだのという奴が出てきそう↓邪魔だから全員  
死ね

……いや、ちょっと待て俺、最後のは少し違わないか？

えーっと……どうなるんだ？

こいつが見えない↓話すには実体化が必要↓こいつが姿を見せる↓

可愛いだのとコスプレだのという奴が出てきそう↓必然的に会う時は2人だけ↓場所が限られる↓部屋が一番安全↓しかし白黒モノクロが住んでる↓つまり出てこれない↓よって話せない↓こいつが見えない↓話すには実体化が必要↓以下無限ループ。

無限ループになるとは思わなかった……  
ちなみに白黒モノクロは既に寝ているぞ。

後、気になる事はやっぱり登場時の顔たな  
どうしてそんなに嬉しそうに現れたんだ？  
呼ばれた事か、話せた事か……後者かな？

なるほど、寂しかったんだな  
孤独は駄目だ、孤独は人の心を荒れさせ、凍らせる  
どうにかしないと拙いな。

よし、白黒モノクロを追い出そう  
移動部屋は……カミューラか電池の部屋が丁度良いな  
決まりだ、明日か明後日にでも追い出す事にしよう。

「とりあえずまだ数日は消えておけ  
何日かしたら話し相手ぐらいにはなってやるよ」

「本当ですか！」

「馬鹿、声大きい  
白黒モノクロが起きたらどうするんだ  
説明が面倒だろ、声を落とせ」

「むぐむぐ……」

咄嗟に口を塞いだが……まあ大丈夫だろう

ふう、精霊を持つってのも大変だな

世話も面倒も大変だし、似非は確かハネクリボーを精霊に持ってたっけか？

他の精霊持ちは……玲だけか。

今度玲に精霊の扱い方を教えてもらうか

あいつの事だ、躰け方とかも考えてるだろう

細かい事は後回し、今はもう寝よう。

「じゃあ魔娘、もう暫く我慢しろよ？

我慢したら頭を撫でてやるからな」

口を塞がれながらも嬉しそうな顔になって頭を上下に動かす  
素直な所は好感を持てるぞ？ 明るすぎる性格は苦手だけど。

魔娘はそのまま消える

見えなくなったただけだが、本当に消えたような感じだな

今まで口を塞いでいたのに、その感触が無くなってしまった  
幽霊とかに近いんだろうか……精霊ってのはややこしいな。

さて、今日は寝るか

最後のセブンスターズはアムナエル……

ま、俺には関係無いな、おやすみ。

## 47話【スカーフとコイントス】（後書き）

今回は倫理委員会の女性に優しい瑞貴

なんだか瑞貴らしくないような気がします

しかし、微妙な優しさを持っている瑞貴だからこそ、瑞貴らしいのです……多分。

何故顔を赤らめた！

目の前に男の顔が有り、ちょっと優しくされたからです

前の登場時に彼氏持ちという設定が付与されているのでフラグっぽいですが……

しかしフラグにはなりません、これ以上女性を増やすと大変ですし元々そんなつもりも無いので気にしないでください。

何故集団戦の知識を瑞貴が？

瑞貴の持つ謎知識の一部です

タロットの意味を知っていたり、妙な事を知っている瑞貴ですこのぐらい謎知識に入っているでしょう。

何故B o yと書いた？ ボーイじゃなくて

名刺にB o yと書いてあったからです

深い意味は有りません。

瑞貴に女性っぽい名前を言うのは……

絶対の禁忌タブーです

現瑞貴、前瑞貴、共にこの名前で昔色々と有りました

それ故、この事を言われると表面はともかく、内心では怒りが爆発しています

今回はその怒りが社会的抹殺という形に表れました。

もしかして瑞貴って……

今回で察せたと思いますが、瑞貴に恋愛経験は無しです（元現含めて）  
相手を好きという感情さえまともに自覚できません

相手への見方が好きか嫌いよりも、気に入ったか気に入らないで  
見ているのが原因です

少しだけ見方を変えれば瑞貴も変わるでしょうに……

明日香の口が悪すぎる……

昔の怒りが再燃し、瑞貴の影響で言葉として出てきたのでしょう  
多分こんな事はそう無いと思いますが……

マナはともかくサラまで……

サラは吹雪に見えない事を何気に利用しています

格好的には背中合わせにもたれているという感じですね  
顔を真っ赤にして……微笑ましい事です。

明日香のデッキが！

超回転しています、きっと色々と思うところが有るんでしょうね。

真六武衆ーシエンの口上は？

10秒ぐらいで考えました

召喚方法は簡単なようで何気に難しいですよ？

瑞貴さえ明日香の猛攻に引いてるような……

明日香の超ソリティアには驚いているようです  
作者も書いている内に呆れてしまいました

なんだか現実でもできそうで困ります。

光雄は最後に何を言ったの？

ご想像にお任せします。

結局、瑞貴は光雄に何かしたの？

していません、約束なので

何故か妙に律儀な瑞貴でした。

瑞貴……マナの言葉に混乱してない？

混乱しているとうよりも動揺しています

本人に自覚は有りませんが、内心では嫌とは思っていません  
まあ、可愛い女の子ですし、悪い気はしないのでしよう。

まさかの無限ループ！

似非に代弁してもらおうという事を思いつかないぐらい動揺しているようです

瑞貴、お前大丈夫か？

……今回の瑞貴って妙に優しくない？

どうしてでしょう？

今回は外道成分を入れる必要が無かったからですかね？

明日香が瑞貴の暴走を阻止したのが最大の原因かもしれません。

## 48話【最後のセブンスターズ】（前書き）

サブタイトルが全てを語っています

何だか今回は強引ですが、どう繋げればいいのか悩みました結果、強引な展開と色々と違う気がするという感じですが

悪いのは強くなりすぎた明日香です、明日香が悪い！

そういう訳で、今回の瑞貴の性格に違和感を感じると思います見逃してください、作者の頭が弱いのが最大の原因です、すみません。

今回は苦戦しました

あのアニメオリジナルカード達が悪いんです

ややこしい効果ばかり持って……名前もややこしい！

そして何よりも計算が面倒でした、色々とカードが移動し過ぎて……

……もう嫌です

誰か大嵐を使うんだ！ それだけできつと勝てる！

次話ですが、まだ何も考えていません

それよりも番外編を書いています

問題は番外編をどのタイミングで投降するか……

面倒だから次話で番外編を投降します

ですので49話はそれにします。

番外編ではお遊び話を入れ、そしてデッキを紹介します

明日香、レイ、玲のデッキを公開しようと思います

カムミューラと吹雪は大体予想ができると思うので省きます

瑞貴は多いので考えると頭が痛く……という訳で瑞貴のデッキ紹介は1つもしません。

## 48話【最後のセブンスターズ】

視点 瑞貴

光雄が来てからまた数日

白黒<sup>モノクロ</sup>は電池の部屋に押し込んでおいた

両方に文句を言われたが電池にはダーク・アームド・ドラゴン、白<sup>モノ</sup>黒<sup>クロ</sup>にはレッドアイズ・バーンを渡した

これで納得させられるという……相変わらずこの世界は異常だな。

引越しはまだ完全に終わってないから魔娘はまだ出られない  
恨めしそうな顔をしているのが目に浮かぶが……もう少し我慢しろ  
やっぱり玲に押し付けければ良かったか？

電池の部屋に白黒<sup>モノクロ</sup>を送った理由だが

電池が明日香に気があるのはある程度察している、白黒<sup>モノクロ</sup>が勝手に暴  
走して玉砕するだろう

それを見る事が楽しみであり、暇潰しにもなる  
さっさと動いて俺を楽しませろよ？

大徳寺先生が行方不明なので今日の錬金術の授業はクロノス教諭が  
担当した

辿々しい授業、グダグダで酷い内容……担当じゃないから仕方無い  
かな

錬金術の授業は割と好きだからこれは嫌だな……どうにかしたい。

錬金術……というかオカルトに詳しい奴、誰かいなか？

思いつくといえば思いつくが……あいつにできるか？



後で試してみるかな。

しかしクロノス教諭……本当に嫌そうだな  
オカルトとか嫌いで信じてないらしいが、ごく稀に役に立つぞ？  
錬金術に関する言葉は心理とかを突いている部分も少なくはない  
変わり種でコアな話だが、それはそれで楽しいものだ。

で、校長室に呼ばれた

俺はもう七星門の鍵を持ってないんだから別に良いだろう？

そう思ったので逃げた

文句が有るなら勝手に言ってる、俺はもう面倒事がご免だね。

部屋に帰ると……何故お前がここに居るよ

まあ、鍵を持っている奴の1人はここに居るしな  
それに……

「ようアムナエル、元気にしてたか？」

「……………」

無言で構えてきた

ふむ……考えている事は大体理解した  
だがどうするかな、少々悩む。

「まあ落ち着けよ、餌が欲しいんだろ？」

俺や白黒<sup>モノクロ</sup>辺りを餌にして明日香や似非を呼び出す  
そして潰す……俺も使った手段だから分かる」

「……そうだ」

相変わらず一直線というか愚直というか  
そんなにあの狸が良いのかね？

「わかったわかった、俺が餌になってやるよ  
ついでに白黒と……電池<sup>モノクロ</sup>辺りも餌にするか？」

「何を……考えている？」

「お前こそ何を考えてこんな小芝居をするつもりだ？  
大方、明日香か似非に何か用事でも有るんだろ？  
それを教えてくれれば、手伝ってやらない事も無い」

俺は自分の信念を持っているこいつが結構気に入っている  
中途半端な覚悟で行動している奴らに比べたら、アムナエルの方が  
圧倒的に好意を持てるさ  
その力に向ける相手があの狸爺というのが惜しい……こいつは欲し  
かったな。

「……………遊城十代だ」

「なら明日香は邪魔だな  
少し待ってろ、明日香潰しのカードぐらい貸してやるよ  
明日香を潰せば必ず俺の部屋に返しておけ  
それが条件だ、良いな？」

無言で頷くアムナエル

こいつは俺の事を理解しているから色々と楽だ  
俺の監視を緩めなかったのは俺を理解しようとしていたというのも  
有るだろうな

本当に、何故手に入れないのか……惜しいなあ。

俺の目的、その1つは娯楽  
もう1つは辻褃合わせだ。

娯楽はそのままの意味で娯楽

アムナエルがどこまで頑張れるのか、足掻けるのかを見てみたい  
お気に入りだからな、少しぐらい応援したいという気持ちも有る。

辻褃合わせは俺が原因でかなりアムナエルの予定が狂ってしまった  
事だ

餌を捕まえようにも、俺は用心深く、一緒に居る白黒モノクロを捕まえるのは難しい

もう記憶も薄れているが、原作ではアムナエルに何人も倒されたはず  
似非が最後に勝つんだが、明日香がそれを奪ったら何かの辻褃が合わなくなってしまう……かもしれない。

アムナエルは俺の娯楽の気持ちを察している

だから俺の言葉を殆ど警戒せずにカードも受け取るし、黙って俺の行動を待っている

俺がこういう行動を取ると予想したから、お前は俺を待ってたんだ  
ろう？

そして何よりも……こいつの最後にできる事だ

最後ぐらいは目的を果たさせてやりたい

最終的に、似非には原作からして勝てないだろうけどな。

「俺は少しカードを探す

電池はまだ帰ってないからな、モノクロ白黒を今の内に確保しておけ  
餌は多い方が楽だろ？」

「……………」

無言で去るアムナエル

じゃあ明日香、無理だとは思いますが頑張ってアムナエルに勝つんだぞ  
お前の戦士族では勝てないようなカードを渡しておいてやるからさ。

俺は部屋に戻り、カードを探す

そういえば一言ぐらい言っておいた方がいいかな？

「魔娘、さっきの話を聞いていただろ？」

俺は今から奴に捕まる、お前はここでおとなしく待っている  
そして先ほどの話は絶対に口外するな、いいな？」

魔娘は姿を見せなかった

怒っているのか、悲しんでいるのか

どんな理由でもいい、理解してくれたのならな。

カードを持ち、アムナエルの元に向かう

どうやら白黒の<sup>モノクロ</sup>確保に成功したらしい

怪我はしてないよな？

「アムナエル、これが明日香を潰せるカードだ  
負けるとは思わないが、油断はするなよ？」

「……………」

無言でカードを受け取り、持っていた本を開く  
体から力が抜け落ちていく……なるほどね  
これって死ぬ感覚に似てるのか？

もし似てるなら……死ぬ時に覚悟できるようになるな  
いつかこの感覚を感じたら、その時は死ぬと覚えておこう。

アムナエルは何だかんだで甘い奴だ

殺される事はないだろう、大方意識を奪って餌にするだけ

だからこそ、俺は自分も白黒モノクロも電池も預けられる

教師として、人間としてそれなりに気に入っていた奴だからな。

そして、俺の意識はここで途絶えた

頑張って目的を果たせよ、アムナエル。

## 視点 明日香

校長室での話が終わった

大徳寺先生が行方不明……か

もしかして何か有ったのかと思うけど、手掛かりも無い。

瑞貴なら知ってそうな気もするわ、瑞貴だし

知らないと言われても信じられないわ

というか、知らないと変よ。

さっさとレッド寮に移動し、瑞貴の部屋を尋ねるも誰も出ない  
またこの展開？ 瑞貴、また月桂樹になってないでしょうね？

その時、ガラスが割れる音が聞こえた  
何事かと思って辺りを見てみると、怪しい男が走り去っていった  
どこのガラスか急いで確認すると万丈目君の部屋？

何がなんだか分からないけど、とりあえず男……なのかしら？

多分男だと思うから男だと仮定し、男と呼ぶ事にするわ

男は森に向かって走り出した、目的は……私？

どちらにせよ、このまま無視する事じゃないわね  
急いで追いかけないと！

……………

……………

……………

暫く走りつた所で男に追いついた

デュエルディスク

男は決闘盤を構えて待ってる

デュエルディスク

私も決闘盤を構え、相手をする。

この男、十中八九セブンスターズの1人

絶対に勝って、倒してみせる！

デュエル  
「決闘！」 「……………」

無言か……何を考えてるのかしら？

でも手加減はしないわ！

「私の先攻、ドロー！ 強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロー！

更に私は増援を発動！ このカードの効果により、デッキからLV

4以下の戦士族を手札に加えるわ

私はマジック・ストライカーを手札に加える……そして墓地の魔法

カードを2枚除外するわ

マジック・ストライカーを2体特殊召喚！

更に2体の戦士族、マジック・ストライカーを生け贄に捧げ……  
力を司る巨人、破壊を魅せよ！ 立ち上がれ、ギガンテック・ファイター！」

ギガンテック・ファイターの攻撃力が墓地に存在する戦士族の数×  
100上昇する

元々の攻撃力は2800、墓地には戦士族が2体だから攻撃力は3  
000よ。

「最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「……ドロー」

私は永続魔法、鍊金釜ーカオス・ディステイルを発動する

このカードが場に存在している限り、自分の墓地に送られるカード  
は全てゲームから除外される」

場に巨大な釜……かしら？ それに除外系のカードも珍しいわね  
除外は墓地に比べて再利用や蘇生が難しい場所  
それなのに態々自分から墓地を捨てるなんて……

「更に、私は永続魔法、魂吸収を発動する

このカードの効果は、自分のカードがゲームから除外される度  
そのカード1枚につき500ポイントのライフを回復する」

除外効果を利用したライフ回復コンボか！

また厄介な……一氣にたたみ込まないとライフを削りきれないかも  
しれないわ。

「そして魔法カード、鉛のコンパスを発動する

このカードは私の場に鍊金釜ーカオス・ディステイルが存在してい

る時に発動可能

デッキ、手札から鍊金獣・鉛のレオーンを特殊召喚する！  
私はデッキから鍊金獣・鉛のレオーンを特殊召喚！」

現れたのは獣……攻撃力がたったの500？  
そんなモンスターで一体何を……

「鍊金獣と名の付くモンスターは、通常召喚ができない  
その代わり、相手プレイヤーに直接攻撃ができる

そして魂吸収の効果が発動される、鉛のコンパスがゲームから除外  
されたので私のライフが500回復

更に私は魔法カード、水銀の砂時計！

このカードも鉛のコンパスと同じ効果だ

私はデッキから鍊金獣・水銀のエケネイスを特殊召喚！」

今度は銀の魚のようなモンスター

そして攻撃力はまた500、そして直接攻撃モンスターか

弱いとはいえ、厄介なモンスターね。

更に銀の鍵も除外されたのでまた500回復  
本当に厄介のカードね、早く消さないと！

「そして私は鍊金獣達で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

くっ……攻撃力は低いとはいえ、邪魔ね  
ライフの回復も厄介だし、どうにかして潰さないと……

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」



魔法カード、カップ・オブ・エースを発動するわ！

コイントスを行い、表なら自分が、裏なら相手が2枚ドロースする  
コイントス……チッ、裏か」

「ならば私は2枚カードをドロースしよう」

肝心な時に外れて……普段だったら結構表が出るだけに悔しい！  
手札は悪くないけど、やっぱり相手のドロースは痛かった！

「私はコマンド・ナイトを召喚するわ

このカードが場に存在する限り、私の場の戦士族モンスターの攻撃  
力は400上昇する

コマンド・ナイトで鉛のレオーンに攻撃！」

「そうはさせない

永続罫、エレメンタル・アブソーバーを発動する

手札からモンスターを除外する事で効果を発動

その除外したモンスターと同じ種族のモンスターは攻撃できない  
私はこのカードの効果により、炎属性モンスターである炎の精霊イ  
フリートをゲームから除外する！」

コマンド・ナイトは炎属性……攻撃を止められたか！

でもギガンテック・ファイターは闇属性、攻撃はできる！

「ならば、ギガンテック・ファイターでレオーンに攻撃！」

「それも許さない

エレメンタル・アブソーバーの効果を発動する！

手札からカオス・ソーサラーを除外し、闇属性モンスターは攻撃す  
る事ができない！」

さっきのカップ・オブ・エースの効果でドロートしたか！

ここまで酷いデメリットになるとは思わなかったわ

それに魂吸収でまたライフが1000も回復して、相手のライフは6000にまで……

「……ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

手札から魔法カード、銀の鍵を発動

他のカードと同じく、鍊金獣と呼ぶカードだ

このカードの効果により、デッキから銀のムーンフェイスを特殊召喚！

今度は銀の塊のようなモンスターが！

このままだとライフを削り取られる！

しかもまたライフが回復したですって！

「鍊金獣達で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぐうう！」

またダメージを……これで私の残りライフは1500

このままだと拙い！ 早くエレメンタル・アブソーバーや魂吸収を破壊しないと！

「そして更に私は手札から魔法カード、黒の過程－ニグレドを発動する

鍊金釜－カオス・デイスティルが存在し、更に手札が0枚の時に発動可能

自分の場の鍊金獣をゲームから除外し、除外した鍊金獣の数×2枚のカードをドローする」

嘘……ライフを2000回復した上に6枚ドローですって？  
ライフが8500、攻撃できない上にこれは辛い！

「……ふ、手札から魔法カードを発動する！

鉄のランプ、銅の天秤、錫の魔法陣！

それぞれデッキから鉄のサラマンドラ、銅のウロボロス、錫のアエトスを特殊召喚！」

また！？ それも一気に3体も！

もし次に直接攻撃を許したら私の負け！

しかもまた除外したからライフが10000にまで増えてしまった！

こんな事ならメインデッキじゃないとはいえ、多属性を持つ六武衆を使えば良かったわ！

今更後悔しても遅いけど……クッ！

「更に魔法カード、封印の黄金櫃を発動する

デッキからカードを1枚選択し、ゲームから除外、2ターン後に自分の手札に加える

私はこのカードの効果で……ネクロフェイスを除外する！」

ネクロフェイス……ネクロ？

という事は……バクラも使っていたカード！？

う！ 男が見せたカードのイラストがグロテスク……召喚しないでほしいわね。

「そしてネクロフェイスの効果が発動される

このカードが除外された時、お互いのデッキの上から5枚をゲームから除外する！」

「除外って……しかもお互いですって!?!」

デッキをめくり、除外されたカードを確認してみる  
戦士の生還、マジック・ストライカー、エトワール・サイバー、融合、E・HEROエアーマン  
どれも痛いカードを……

「私もデッキから5枚を除外……2枚目のネクロフェイスが除外された

よって、再びデッキからカードを5枚除外だ!」

クッ……切り込み隊長、E・HEROバブルマン、E・HEROアイス・エッジ、和睦の使者、サイバー・チュチュ  
敵も再び5枚除外、敵のデッキ枚数は残り8枚  
これ以上ネクロフェイスは……

「3枚目のネクロフェイスが除外された  
もう一度、デッキから5枚除外だ」

「そんな! そのデッキ枚数で更に除外するというの!?!」

相手は何を考えているのか分からないが、とにかくカードを除外する  
ギガンテック・ファイター／バスター、ネクロ・ガードナー、XX  
ーセイバーヒュンレイ、融合、融合回収  
フュージョン・リカバリー  
除外されてほしくないカードばかり!

「さて、君は今までの過程で何枚除外されたか覚えているかな?」

除外された枚数？

お互いから15枚ずつ、そして最初のネクロフェイス自身と封印の黄金櫃……

合計32枚……あ、魂吸収！

「合計枚数は32枚、そして魂吸収の効果により……

私のライフは16000回復し、26000となる！」

「26000ですって！？

で、でも貴方のデッキは残り3枚、先にデッキ切れで負けるわよ！」

「何、安心しろ……いづれ分かる

私はこれでターンエンドだ！」

でも、私のデッキも残り15枚、余裕は有るけど樂觀視はできない  
ドロー系カードの多用は控えるべきね……

「私のターン、ドロー！」

Xーセイバーアナペレラを召喚！

カードを1枚伏せ、命削りの宝札を発動！

手札が5枚になるようにドローするわ！

私の手札は0枚、よって5枚ドロー！」

ドローを自重してる場合じゃなかった！

急いでなんとかこの状況を打開しないと……

ドローしたカードは……バスター・モード！？

遅いわよ！ ギガンテック・ファイター／バスターは既に除外されてるわよ！

でも良いカードは引けたわ

これでなんとか……問題はどちらにするかね

……構わないわ、ライフなんて簡単に削られる！

「速攻魔法サイクロンを発動！

このカードの効果により、エレメンタル・アブソーバーを破壊する  
！」

エレメンタル・アブソーバーは除外されてライフが回復されたけど  
構わないわ

攻撃さえできれば簡単に覆せる！

「ギガンテック・ファイター、コマンド・ナイト、アナペレラで錬  
金獣達に攻撃！」

ギガンテック・ファイターの攻撃力は3400

コマンド・ナイトは1600、アナペレラは2200

錬金獣達の攻撃力は500だから余裕で倒せた。

それぞれ2900、1100、1700のダメージ

でもまだ20800もライフが残ってる……どうしろってのよ！  
想像よりも全く簡単じゃなかったわ！

しかも錬金獣達は除外されたからまた1500回復された  
これで相手のライフは22300！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー

魔法カード、カオス・エンドを発動する

自分がゲームから除外しているカードが7枚以上の時に発動可能

場の全てのモンスターを破壊する！」

「っ！ 罠カード、デストラクト・ポーションを発動！

私のモンスターを破壊し、その攻撃力分ライフを回復する！

私はギガンテック・ファイターを破壊し、その攻撃力分である3400回復！」

そして全てのモンスターが破壊された……

あ、危なかった……もし通していたらと思うとゾッとするわ。

私のライフは4900に回復した

相手はまた500回復し、22800

攻撃力の高いギガンテック・ファイターが破壊されたのは痛かったわね。

「ターンエンド」

「私のターン、ドロー！」

荒野の女戦士を召喚し、ダイレクトアタック直接攻撃！」

攻撃力は1100と低め

だけど少しでも削らないと負ける！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「ふふふ、その攻撃が命取りになるぞ？

私のターン、ドロー！

この瞬間、封印の黄金櫃の効果が発動される

このカードの効果で除外したネクロフェイスを手札に加える

そして魂の解放を発動、お互いの墓地から合計5枚までのカードを

除外する

君の墓地に存在しているギガンテック・ファイター、X-セイバー  
アナペレラ、コマンド・ナイト

そして2枚のマジック・ストライカー除外してもらおう」

また除外のカードを……そして魂の解放も含めて3000の回復を  
された

25800、笑えないわね。

「そして、このモンスターが君へのエンドモンスターだ  
ネクロフェイスを攻撃表示で召喚！」

現れるグロテスクな顔と触手……気持ち悪い、吐きそうになる  
怖いというよりも生理的に受け付けない！  
何で使ってくるのよ！

「ネクロフェイスのもう1つの効果発動  
このカードが召喚された時、お互いに除外されたカードを全てデッ  
キに戻す」

デッキに？

私の除外されたカードは22枚、デッキに戻せばかなりの回復にな  
るわね

そして相手の除外されていたカードは34枚、これでデッキ切れは  
無くなったわね。

「ネクロフェイス最後の効果  
先ほどの効果でデッキに戻した枚数×100ポイント、攻撃力を上  
げる」



「……は？」

「ネクロフェイスの元々の攻撃力は1200  
それに先ほどデッキに戻したお互いのカードの総数は56枚  
よってネクロフェイスの攻撃力は……6800！」

「ろ、6800!？」

LV4のモンスターの攻撃力じゃないわ！」

荒野の女戦士との攻撃力差は5700!？」

この為に大量に除外してきたのね、こんなモンスターに勝てないわ  
よ！」

「ネクロフェイスで荒野の女戦士に攻撃！」

「罠カード発動！ ミラクル・ルーカス 奇跡の軌跡！」

自分の場のモンスターは攻撃力を1000ポイント上昇させ、2回  
攻撃できる！」

そして相手はカードを1枚ドロウするわ！」

きやああああ！」

荒野の女戦士が破壊され、4700のダメージを受ける

私の残りライフは200、もしまた鍊金獣を召喚されたら……私の  
負けよ！」

「荒野の女戦士の効果を発動！」

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下の地属性、戦  
士族モンスターを攻撃表示で特殊召喚する！」

私はマッシュ・ウォリアーを特殊召喚！」

マッシュ・ウォリアーは戦闘ダメージは受けず  
更に1ターンに1度戦闘では破壊されない  
これで暫くは凌げるはず……

「ならば私はこれでターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

この手札ではネクロフェイスは倒せない……  
それに、鍊金獣を出された時点で私の負け  
凌ぐことはできるけど、状況の打開にはならないか。

「マッシュ・ウォリアーを守備表示に変更し、カードを1枚伏せて  
ターンエンドよ」

これでなんとか……  
まだ私は戦えるわ！

「私のターン、ドロー、強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロー  
そして再び封印の黄金櫃を発動する  
私が除外するのは当然、ネクロフェイスだ！」

また……ブレード・スケーター、死者蘇生、再融合、融合、沼地の  
魔神王か

融合関係ばかり除外されたわね  
本当に厄介な……そして強欲な壺、封印の黄金櫃、ネクロフェイス、  
更に除外された10枚のカード  
これでまた6500回復し、32300のライフになった。

「そしてカオス・グリードを発動

自分の墓地にカードが存在せず、4枚以上除外されている時に効果を発動

デッキから更に2枚のカードをドローする！」

また500回復……鬱陶しい上にもどかしい  
いい加減に魂吸収を破壊しないと拙いわね。

「そして……鉄のランプ、水銀の砂時計、鉛のコンパス、錫の魔法陣を発動

デッキから鉄のサラマンドラ、水銀のエケネイス、鉛のレオン、  
錫のアエトス等特殊召喚」

また鍊金獣が！？ しかも4体も！

そしてまたカードが除外されたから2000回復！  
でも私にはどうにもできない！

「行け、鍊金獣達よ！」

「カウンター罠、攻撃の無力化！  
攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させるわ！」

なんとか耐えた……でもこれ以上は危険過ぎる

そして何よりも、私のデッキには攻撃を防ぐカードがそんなに無い  
1回や2回ならともかく、ここまでの連続攻撃を防ぐのは難しいわ  
よ！

「ならば私は魔法カード、黒の過程—ニグレドを発動する  
場の鍊金獣を全て除外し、除外した枚数×2枚のドローをする  
私の場の鍊金獣は全部で4体、よって8枚のドローだ！」

もう笑うしか無いわね

これでまたライフが3000回復し、37800  
どうやって勝てて言うのよ……私のライフは200しか無いのよ？

「そして私は白の過程―アルベドを発動する

錬金釜―カオス・ディステイルが存在している時、デッキか手札から黄金のホムンクルスを特殊召喚する

私はデッキから黄金のホムンクルスを特殊召喚！

そして黄金のホムンクルスの攻撃力は自分の除外されているカード×300ポイントとなる

私の除外されているカードの枚数は先ほどのアルベドを含めて19枚  
よって黄金のホムンクルスの攻撃力は……5700だ！」

……攻撃力6800に5700を並べる？

もう驚く事にも疲れたわよ、瑞貴以外にもここまでできる人が居るとはね

本当に強いわ……

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！

カードを1枚伏せ、更にXX―セイバー フラムナイトを守備表示で召喚するわ

これでターンエンドよ」

拙い……このまま耐える事もできる

だけど、もう少しで命削りの宝札の効果が発動される

急がないと……でも打開策が無い！

「私のターン、ドロー」

銅の天秤、銀の鍵を発動する

デッキから銅のウロボロス、銀のムーンフェイスを特殊召喚」

また鍊金獣、いい加減にして欲しいわ！

もう飽きたわよ！　そして強いのよ！

「そして魔法カード、天使のサイコロを発動する

サイコロを振り、出た目の数だけ攻撃力500以下のモンスターの攻撃力を倍加させる」

て、天使のサイコロ！？

しかも鍊金獣の攻撃力は500、私のライフが200と分かってて使うつもり！？

天使が現れ、サイコロを投げる

出た目は……4、よって攻撃力は2000になる……か。

「銅のウロボロスの攻撃力を4倍にし、攻撃力2000とする！

最後にこの魔法カードを使わせてもらおう……君へのキラーカードだ」

私へのキラーカード？

どういう事？

「魔法カード、戦士抹殺を発動

表側表示で存在している戦士族モンスターを全て破壊する」

「な！　アンチカードですって！？」

何故アンチカードを！

もしかして私のデッキを知っている!?

そして……フラムナイトもマッシブ・ウォリアーも破壊された私の伏せたカードはドレインシールド……もう打つ手は無いわ。

黄金のホムンクルスも戦士族らしく、破壊されてしまった

しかし、それでも場にはネクロフェイスと2体の鍊金獣が残っている。

フラムナイトは1ターンに1度、相手の攻撃を無効にできる

鍊金獣の攻撃を防ぎ、回復すれば2体目の鍊金獣の攻撃を防げた

ネクロフェイスに攻撃されてもそれは同じ、鍊金獣以上のライフ回復を行えた

そしてマッシブ・ウォリアーで攻撃を防ぎ、耐えようと……

でも私の場にはドレインシールドとブラフのバスター・モードだけ終わりね、私の負けか……

「銀のムーンフェイスで直接攻撃!」  
ダイレクトアタック

「負けなのは分かっている、でも最後まで無駄な足掻きぐらいさせてもらうわ!

罠カード発動! ドレインシールド!

相手モンスター1体の攻撃を無効にし、その攻撃力だけライフを回復する!」

これで私のライフは600

銅のウロボロスの攻撃力は2000

ネクロフェイスの攻撃力は6800

終わり……ね。

「その心意気や良し……しかし君の負けだ  
銅のウロボロスで、ダイレクトアタック直接攻撃！」

銅のウロボロスが出した炎に当てられる……私のライフは0  
相手のライフは最終的に40300だったわ、完敗ね。

男が無言で近づき、本を広げようとする  
闇のゲームの罰ゲーム……か。

意識が落ちていく  
残るのは十代だけ、勝てるか不安ね  
瑞貴、十代の手助けぐらい……お願いね。

そして私の意識は完全に落ちた……

## 視点 アムナエル

彼女は強かった、本来の私のデッキなら負けていたかもしれない  
彼から借り受けたカード……ネクロフェイスを3枚、魂吸収、戦士  
抹殺の計5枚  
ネクロフェイスが無ければ黄金のホムンクルスの攻撃力が足りな  
った可能性が高い  
魂吸収が無ければライフが削りきられていただろう  
戦士抹殺が無ければもっと粘られていたと思う。

どれも、今回無かったと仮定した場合、私が負けていたかもしれない  
それほどまでに彼女は強かった。

借りたカードはこのまま使っていたいが、彼との約束でそれはできない

彼は色々な意味で恐ろしい、もし約束を違えた場合、何をされるか分からない

無いとは思うが、エメラルド・タブレットから抜け出されるかもしれない

そんな想像までさせられてしまう、何とも謎の人物だ。

どの道、彼と私は敵対しないという契約が結ばれていた

私も彼とは戦いたくなかったので丁度良い

デッキを見せろと言われた時は焦ったが、それで今回はこれらのカードを借りられたのだ

今回に限っては感謝せざるを得ない。

何故彼は私を手伝ってくれたのか……

確かに私の正体は彼に知られている、寿命だって予想はできているだろう

同情か、それとも哀れみか、はたまた単なる気紛れか  
何にせよ、彼が協力してくれた理由は不明だ。

それにしてもふと思ったんだが、彼はあのお方から報酬を貰っていたな

2つの鍵を送ったので10桁もの報酬にはなったはず

今回ののは彼の協力を得られたからの勝利、あのお方に言って報酬を入れてもらうべきだろうか？

一応進言ぐらいはしておこう。

それに、どの道私は勝とうが負けようが時間が無い

最後に協力してくれた彼には、私からも報酬として全財産ぐらいは



渡しておこう

あのお方の報酬からすれば端金かもしれないが、少しは喜んでくれるだろうか？

まあそれとて、十代が私に敗れば無駄な事だ

しかし……彼には礼を言いたいし、彼ぐらいは私が勝っても解放してやろう

彼は怒り、私に文句を必ず言うだろうが、その時には私は既に……

……いや、感傷に浸っている時間は無い

カードを返し、急いで次の餌である万丈目君を確保しなくては  
そして十代、君と決闘し、私の最後の目的を果たす！  
デュエル

## 48話【最後のセブンスターズ】（後書き）

買収される万丈目と吹雪が……

万丈目はアームド・ドラゴンの名前から

レッドアイズ・ブラックドラゴン

吹雪は真紅眼の黒竜関係から買収されました

万丈目の強化フラグですが、残念ながら彼の戦い描写は殆ど……

瑞貴の見方って？

気に入るか気に入らないかです

今回はアムナエルの最後の覚悟というのを見届けたいと思っています  
そして最後まで足掻く姿を見て楽しむようです。

アムナエルの応援をしてるけど、幻魔の復活は……

どうせ主人公がどうにかすると思っています

万が一負けたとしても、アムナエルが本気になるとは思っています  
アムナエルの性格を知っているからこそ、大丈夫だと思っている  
のでしょ

まあ……思いつかなかった作者が強引に話を繋げただけです

瑞貴はこんな奴ではありませんね……しかし思いつかなかった作者  
の頭が駄目でした。

明日香の瑞貴への変な信頼が……

それほど瑞貴が信用できないんでしょう

明日香の中で瑞貴はどんな存在なのか……うーん。

アムナエルの強化が……

超強化しました、瑞貴の陰謀です

そうでなくても強化されています

……いや、十代じゃ絶対に勝てないだろ！

何故カオス・ソーサラーをアムナエルが？

闇属性で除外で使えるカードが少なかったからです  
ちなみに、今回は登場していませんが光属性は神聖なる魂ホーリーシャイン・ソウルでした。

明日香がバクラって……

以前の闇のゲームが相当トラウマになっているようです  
そりゃ目の前で手を矢が貫通していたり、蛭が襲ってきたりしたの  
を見れば……

受けたのが瑞貴とはいえ、相当恐怖でしょう。

ミラクル・ルーカス  
奇跡の軌跡の綴りが微妙に違う……

原作効果です

戦闘ダメージを与えられないというデメリットがありません。

何故天使のサイコロを！？

攻撃力500以下のモンスターなので可能です

ちなみに、当然お気づきでしょうが、原作効果の天使のサイコロです  
なお、悪魔のサイコロは入っていません。

アムナエルの瑞貴への考えが……

どう思っているのかよく分かります

瑞貴、お前アムナエルに何をしたんだ？

何だか瑞貴が金の亡者のような扱いに……

えっと……まあ仕方無いでしょう

きつと環境が悪いんです、はい。

原作、アニメオリジナルカード

鍊金釜一カオス・デイスティル  
自分だけに適応するマクロ・コスモスです。

鍊金獣達

面倒だから省略、本編を読んでください。

レッドアイズ・バーン

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜を破壊し

お互いとその元々の攻撃力分のダメージを与える  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜専用の破壊輪ですね。

## 番外編【予告とデッキ紹介】（前書き）

祝？ 30日連続更新！

作者は色々と疲れました……何かしたいです。

今回は予告話を半分ぐらい

残りの半分をデッキ紹介とします。

デッキの方は明日香、レイ、玲のデッキです

明日香は戦士族

レイは学園祭使用デッキ

玲はスキルドレイン

これらの3つを紹介しようと思います。

誰かこの3人のデッキを作ってください

きっと高確率で事故を起こします、特に玲のデッキ……超自爆デッキにしか思えません。

次話は……不明

30日連続更新で疲れました

作者はこれを投降したらTF3を買うんだ

そしてレイルートをプレイするんだ……いや、その前にTF5をしろよ自分

しかし色々……ぬあああああ！

先にTF3を買ってからTF5を買えばよかったあああああああ  
ああああああ！！！！

と、カードの少なさに嘆くであろう、そんな後悔をしています  
まあ……どうせなのでTFを全部買おうかとも悩み中ですがね、時間が無いけど

そんな金も無いですけどね！

## 番外編【予告とデッキ紹介】

視点 瑞貴

……何故俺はここに居るんだ？  
というか、ここはどこだ？

「おいマナ、居るんだったら出てこい  
出てこないと二度と頭を撫でてやらん」

「はい！ はい！ 居ます！  
居ますからそんな事言わないでください！」

涙目で抗議された  
俺の持ち精霊じゃないくせにまだ憑いているらしい  
カードに宿っているからか？

「今から俺はお前に質問する  
俺の言う事が合っていた場合、お前はYESマスターと答えろ  
間違っていた場合、お前はNOマスターと答えろ、いいな？」

「は、はい！」

別にマスターと呼ばせる意味は無い  
どうやら思考は別として、感情はテンパっているらしい  
俺にはマスターと呼ばせて喜ぶ趣味は無い。

「俺はデュエル・アカデミアの卒業式に出た」

「YESマスター」

「卒業証書を受け取って適当に過ごしてた」

「YESマスター」

「船に乗って家に帰ろうとしていた」

「YESマスター」

「船で眠くなって寝てしまった」

「YESマスター」

「俺は夢遊病を持っていたか？」

「NOマスター」

「俺が見ているこの光景は夢か幻か？」

「NOマスター」

「俺はまた……誰かに憑依したのか？」

「え？ さあ……というか何の話ですか？  
見た目は変わっていませんが……」

「これが最後の質問だ  
俺は生きているな？」



「YESマスター」

OK

死んでない事、新しく憑依したわけでも無い事、夢じゃない事は分かった

微妙に見覚えが有るんだよな……この雰囲気、この光景、この場所そう、昔アニメで1回だけ観たはずだ。

まあいい、とりあえず移動しよう

このままここに居座っても何の意味も無い  
少し移動するか、何か手掛かりが掴めるかもしれん。

「マナ、今から移動する

また俺が呼ぶまで精霊化している」

「はい、気をつけてくださいね」

マナは精霊化し、見えなくなる

相変わらず俺には見えないな……別に問題は無いがな。

暫く歩いていると子供を見つけた

どうも急いでいるが……どうでもいいか。

「おい、そこのガキ

ちよつと話が有るから止まれ」

ガキは驚いたのか体を大きく震えさせ、走り出した  
……こつちを見ずに逃げた？

腹が立つな、潰すか？

いくら俺に体力が無い上、力も無い上、色々と足りないとはいえないがさすがに子供に負けるほど駄目じゃないぞ  
馬鹿にするなよ……糞ガキが！

しかし逃げ出した理由が気になる

見つからないように隠れながら進むかな

いくらガキとはいえ、逃げるにはそれ相応の理由が有るだろう。

暫く追いかけて行くと、地下鉄と思われる場所に下りていった  
さてさて、どうなる事やら……

足音を立てないように気をつけて下りる

しかし……やっぱりどこかで見た事の有るような気がするな

さっきのガキも、この場所も。

階段を下りきるとテントが張ってあった

周りの罅やらで予想はしていたが、どうやら廃駅らしい

ふうむ……やっぱりどこかで見た事が有るな。

気付かれないように影に隠れながら近づくと声が聞こえてきた

どうも盛り上がっているみたいだな

犯罪だの、盗品だのと……何が起こっているんだ？

それに走る？ 速い？

何が走るんだ？ そして何が速いんだ？

そんな事を考えていると、突然上空から光が差し込んできた！  
な、何がどうなってるんだ！ 誰か説明しろ！

「セキュリティだ！」

セキュリティ？ セキュリティって……警報装置？  
何か違うな……どうなってるんだ？

『認識番号A W X 8 6 0 0 7 ラリー・ドーン  
窃盗の疑いが有る、速やかに投降せよ！』

認識番号？ 窃盗？

セキュリティってのは警察の事か？

って、拙い！ このままだと俺まで巻き込まれる！  
無罪なのに捕まって堪るか！

急いで階段を駆け上がって逃げ出す  
しかし、もっとよく考えて行動すればよかったと後悔した。

「おい、そこのお前！

動かずに止まれ！」

見つけた！？

って、上にはヘリが飛んでたんだから張られているのは当然だろう  
が！

混乱してるのか俺は！ いや、混乱してるけどよ！

ここはマナに出てもらって蹴散らさせるか？

しかし、俺の顔は既に見られている！

逃げて追われるだけ……万事休すか、くそつたれが！

俺は警察と思われるセキュリティに補導された  
何故俺がこんな目に……確かラリー・ドーンだったな

この怨み、必ず返してやるからな……

車に乗せられ、走り出すかと思った瞬間  
バイクが走っていた……どこかで見た事の有るバイクだな  
逃げ出すバイクを追いかけるセキュリティ  
俺はどうなるんだ？

暫く走っていると前のバイクが止まった  
セキュリティの車とバイクも止まり、追い詰める  
そして逃げていたバイクの主がヘルメットを取った……

あの顔、覚えているぞ  
確か遊戯王5D's主人公、不動遊星！  
今回の事件はお前の仕業か！？

遊星とセキュリティの男が話し合っている  
何を話しているのか、車の中の俺には分からない  
結局、バイクはバイク同士で残るらしいな  
確かバイクの名前は……D・ホイールだったな。

くそ、5D'sは殆ど見てないから記憶に無いぞ！  
覚えているのは赤き龍だとか、シグナーだとかぐらい  
シグナーは確か5人だったか？  
不動遊星、ジャック・アトラス、十六夜アキ、クロウ、龍可だった  
か？

一応誰がどのカードを使うか、どういうデッキかぐらいは覚えてい  
る。

だが、肝心のストーリーを全く知らない！  
俺が知っているのは必要最低限の事だけだ

かなり拙い……これはGXの時よりも更に拙いぞ！

車は走り出し、俺は連れ去られる

おのれ不動遊星……おのれラリー・ドーソン……

この怨み、必ず、どんな手段を用いても、返してやるからな！！！！

………

………

………

警察の取り調べ室と思われる場所

俺はそこで待たされている。

クソッ！ 何で俺がこんな目に！

俺はただあそこに偶然居ただけだぞ？

苛々する……

「待たせたな

取り調べを始めよう」

あんたはさっきD・ホイールに乗っていたセキュリティじゃないか

俺に何の用だ……って、取り調べって今言ったな

自覚は無いが、俺はやはりかなり混乱しているらしい。

「てめえ、さっきのD・ホイールに乗っていた奴の知り合いだろ？」

「知らない

俺は偶然あの場に居たんだ」

「嘘言うなあ！

そんな偶然、そう有るわけ無いだろうが！」

んなでかい声を出すなよ……俺だってそう思う  
しかし本当の事なんだから仕方無いだろ  
俺だって好きであの場所に居たんじゃない！

「嘘じゃない、俺だって混乱しているんだ  
気がついたら知らない場所で倒れているわ  
偶然見つけたガキに話を訊こうと思ったら逃げられるわ  
追いかけて話を訊こうと思ったら突然ヘリが飛んでくるわ  
混乱して出て行ったらあんたらに訳も解らずに捕まるわ  
散々だ……誰かこの状況を説明してくれよ」

何気に本気で俺は落ち込んでる

それを感じ取ったらしいセキュリティも困っているようだ。

「お前、記憶喪失か何かか？」

「多分そんなものだ、つうかここってどこ？  
セキュリティって何？ つうかそもそもD・ホイールって何さ？  
もう訳が解らん……セキュリティが警察っぽい何かだと思うんだが  
警察なんだったらちよつと助けてくれよ」

「お前な……何も知らないのか？  
セキュリティもD・ホイールも常識の範囲内だぞ？  
場所だって、サテライトぐらい知らないのかよ？」

「知らん

というか、今は何年で何月何日？

その程度の事も知らないぐらいの状態だ

全く……どうしてこうなったんだ？」

セキュリティもどう反応すればいいのか分からないらしい  
それは俺がやりたいっての……はあ。

それにしても何が起こってこうなったんだ？

卒業して寝ただけなんだがな

前の憑依した原因も分からないままだし

更にこの時空転移、意味が分からん。

「とりあえず常識とかを教えてくれないか？

そして俺はどうして捕まったのかも教えてくれ

さっきのバイクに乗っていた奴と俺がどう関係しているんだ？」

「ふうむ……そうだな、少しぐらい話してやろう

さっきのD・ホイールに乗った奴の仲間が盗みを働いたんだ

てめえはその仲間という疑いから捕まったんだ

奴らとの関係が無いと証明が無ければこのまま御用だろうな」

「横暴だろ！？

俺が知っているのは本当に僅かだ！

さっき言った通り、ガキを追いかけていたらあそこに着いた

そこで話している事を少しだけ聞いていただけ

唯一お前らが欲しそうな情報ってのはラリー・ドーソンとかいうの  
が居る事

そしてあのバイクに乗っていた奴の名前が不動遊星という事ぐらい  
だ」

遊星の名前を出した瞬間、セキュリティの顔色が変わった  
執着してるねえ……話の展開的に負けたんだろうな

警察からすれば犯罪者に負けたんだし、悔しいんだろうな。

「残念だが、今の発言で奴らと関係が有ると判断できるな  
お前はこれで御用だ」

「それは無しだろ！  
強引過ぎるし、しかも名前だけで捕まるとか酷すぎるわ！」

これだから警察ってのは厄介なんだ！

大抵犯人の確保が最優先、関係が無くても捕まえさえすれば面子は確保できる

要は捕まえる理由が欲しいんだろうが！

G Xでは甘いやら雑魚いと思っていたが、こっちは優秀だな……クソが！

「……はあ、どうせ何を言っても無駄なんだろう？  
今後どうなるかぐらいは教えてくれ」

「潔い奴は嫌いじゃないぜ

犯罪者は顔にマーカーと呼ばれる物を激痛と共に焼き付けられる  
それが犯罪者の証、信号も着いているから簡単に探し出せる  
今回のラリー・ドーソンの居場所が分かったのもそれが理由さ」

顔にか……元々大した顔じゃないが、それでも顔を弄られるのは気分が悪いな

犯罪者だから文句は言えないって事だろうがな  
チッ、これなら諦めるんじゃないかな……

「そーいや、お前の名前を聞いてなかったな  
お前、名前は？」



「堅守瑞貴だ」

「か、堅守だとお！？

しかもな、名前が瑞貴！？

ほ……本物なのか？」

はあ？ 何で驚いてるんだ？

堅守や瑞貴に何か嫌な想いが有るのか？

「おい」

「うおお！

で、でかい態度を取ってすんませんでした！  
許してください！」

……え？ 何これ？

どうなってるんだ？

「俺の名前に怯えてる理由を教えろ」

「は、はい！

数十年前、世界最凶デュエリストプロ決闘者として有名な人です！

第5代決闘王として記録されています！  
デュエルキング

決闘王となった数日後に行方不明になったきり、詳細は不明です！」

「最凶……ねえ？」

しかし、そこまで怯える事か？

どうも納得できそうだができん、それに決闘王になった数日後に行  
デュエルキング

方不明？

何が何やら……

「遊城十代は知ってるか？」

「はい、第6代決闘王デュエルキングとなっていました

堅守瑞貴が行方不明になった翌年の事です

確か元同級生という話ですが……」

「あいつが決闘王になったとか……マジかよ

事実確認から始めるかな

俺は十中八九その堅守瑞貴だろうな

しかし、俺の記憶はデュエル・アカデミアを卒業した所までしか無い  
帰りの船で寝ていたんだが、気付いたらこの時代に居た

可能性としてはタイムスリップなんだろうが……原因が全く分から  
ん」

「はあ……とりあえず堅守瑞貴さんご本人だという事ですかい？」

「そうだな、その俺とこの俺は……ってややこしいな

キング瑞貴と現瑞貴と呼び分けるか

キング瑞貴と現瑞貴では生きていた時代は違うが、どちらも俺に変わ  
り無い

それにしても最凶と呼ばれているらしいが、どんな戦い方をしたら  
そう呼ばれるようになったんだ？」

「何でも、デュエル・アカデミア時代から負け無しの超実力者だっ  
たとか

プロになっても負けた経験は無し、経歴上公式試合で負けた事が無い  
そうです

何よりも戦い方が最大の理由で……ほぼ全ての決闘でオーバーキルをしていたとか」

そりゃ確かに最凶と呼ばれるな

どれだけ頑張ったんだよ、キング瑞貴

しかしオーバーキルと無敗だけでは足りないかな？

「他には？」

「いえ、情報が少ないんであまり……

公式試合も殆ど記録に残されていないんですよ

何故か消去されていたり、撮影ミスが出ていたり、画像が乱れたり他にもトラブルが多かったらしくて完全に残っている決闘は3に満たないんですよ

データ上全く情報が無いんですが、書籍などから残っている記録に依ると……これまたいい加減でしてね

使用デッキがドラゴン族だったり戦士族だったり魔法使い族だったり爬虫類族だったり悪魔族だったりと

どれもこれもバラバラでして信用できない記録ばかりなんです」

記録が残らないねえ……可能性としてはその時代に無いカードを使用したかか？

まさかとは思うが、漫画とかに出てくる世界の異物として排除されたか？

使ってはいけないカードを遠慮無く使う俺の存在を消すかのように……有り得んな。

漫画やアニメの見過ぎかね？

確かに最初の俺の時はそういうのは好きだったさ

しかし俺がそんな対象になるとは……思えんな。

「ふむ……とりあえずある程度分かった  
記録に残らない原因も少しぐらいなら予想できる  
書籍記録が曖昧なのも分かる  
情報、感謝する」

「いえ、しかし……捕まえて良いんでしょうか？」

「いや、俺に訊くなよ……  
なら俺と決闘する<sup>デュエル</sup>か？」

お前が勝ったら俺の扱いはお前に任せる  
しかし俺が勝った場合、俺の事は解放してもらおうからな」

「お、俺の権限でそこまでは……」

「明らかにお前のミス逮捕だろう  
なんとしてでも実行し、成功させろ  
もしできないというのなら……どうする？  
今の俺には何の権限も持ってなかったな、金も無いし  
まあどんな方法を使ってもお前を怨み、永遠に狙う」

「こええですよ！」

ふ、俺のしつこさと怨みの深さを思い知るが良い  
それだけ俺も怒っているという事だ  
明らかに俺は悪くないんだしな。

というか、俺ってデッキを持ってるのか？  
一応確認と……一応ポケットに入っていた  
しかしポケットに入っている感触が無かったぞ？

試しにポケットを覗いてみるも、何も無かった  
再びポケットを探ってみる……カードが出てきた  
……四次元ポケット!?    どこの猫型機械だよ!?

「そういえばお前、名前は?」

「はい、牛尾哲と申します!」

「ちよつとこのポケットに手をつ突っ込んでみる」

「はい?」

よく分かっていなかったが、一応相手キング(?)  
素直に言う事を聞いてポケットに手を入れる  
少しもぞもぞした後、手を出すが無も持っていなかった。

「俺はポケットからカードを出したよな?」

「はい」

再びポケットに手をつ突っ込む  
欲しいカードをイメージし、少し弄る  
手を出してみると、想像していたカードである八咫鳥が出てきた。

「「……………」」

何が無だか……しかも禁止カードが出てくるとは思わなかったな  
つまり、俺のカードは俺しか回収できないと  
これって色々やばくないか?

「これ、他言無用な  
記録も消しておけよ」

「そうですね、消しておきます」

なんだかグダグダになってしまったな  
さて、デッキを組むか。



遊戯王5D's

本気禁止制限決闘……嘘予告でした

こんな事をする予定は有りません

作者はライティング決闘デュエルがよく分かりません

更に色々ややこしい上に面倒なのでできる自信が有りません。

この嘘予告の為にだけに5D'sを7話ぐらいまで見ました

話が大きすぎる上、ややこしく、更に難しいので作者の頭では理解  
できませんでした

お前らもつとスタンディング決闘デュエルをしろよ！

シグナーとか面倒過ぎて覚えられないって！

そして頼むから遊星……もう少し感情を出して話してくれ、キャラ  
が掴めない！

まあとりあえず……実は凄い熱血漢というのが分かりました

作者はやっぱ熱血主人公は苦手です……十代並に難しそうで書け  
そうにありません。

瑞貴が時空移動する予定は有りません  
デュエルキング

決闘王の予定なども全くありません

これは全て今回限りの設定です  
デュエルキング

瑞貴や十代の決闘王も全て思いつきでした事です

全部嘘ですので注意、書きませんからね？

期待しても、頼まれても書かないので注意してください。



さて、お遊びもここまでにします  
次は明日香、レイ、玲のデッキ公開をします。

最初は明日香の戦士族デッキです  
ちなみにE・HEROデッキは戦士族デッキと混合されています  
なので現在明日香のデッキは戦士族デッキと六武衆デッキの2つです  
六武衆デッキは適当に探せば簡単に分かるので書きません  
では、戦士族デッキです、どうぞ。

最上級モンスター×2枚

ギガンテック・ファイター

(戦士族2体の生け贄が必要、正規召喚から蘇生可能)  
ギガンテック・ファイター／バスター

上級モンスター×1枚

XXーセイバー ヒュンレイ

(戦士族1体の生け贄が必要、正規召喚から蘇生可能)

下級モンスター×16枚

エトワール・サイバー (原作効果)

ブレード・スケーター  
マジック・ストライカー  
マジック・ストライカー  
マジック・ストライカー  
サイバー・チュチュ  
コマンド・ナイト  
E・HEROエアーマン  
E・HEROバブルマン（原作効果）  
E・HEROアイス・エッジ（原作効果）  
E・HEROオーシャン  
E・HEROフォレストマン  
E・HEROプリズマー  
荒野の女戦士  
マッシュ・ウォリアー

魔法カード×15枚

増援

戦士の生還

未来融合ーフューチャー・フュージョン

神秘の中華鍋

サイクロン

連合軍

一族の結束

融合

融合

フュージョン・リカバリー  
融合回収

ミラクル・フュージョン

強欲な壺

命削りの宝札

天よりの宝札（原作効果）

カップ・オブ・エース

罨カード×6枚

ドレインシールド

攻撃の無力化

和睦の使者

聖なるバリアーミラーフォース

追い剥ぎゴブリン

バスター・モード

2+1+16+15+6=40

合計40枚

融合デッキ×15枚

サイバー・ブレイダー

サイバー・ブレイダー

E・HERO GreTORNADO

E・HERO ガイア

E・HERO ガイア

E・HERO アブソルートZERO

E・HERO アブソルートZERO

E・HERO アブソルートZERO

E・HERO ノヴァマスター  
E・HERO マッドボールマン  
E・HERO ジ・アース  
E・HERO The シャイニング  
E・HERO ダーク・ブライトマン  
E・HERO プラズマヴァイスマン  
E・HERO シャイニング・フレア・ウィングマン

サイドデッキ×15枚

最上級モンスター×2枚

E・HERO エッジマン  
フルール・ド・シュヴァリエ  
(戦士族か機械族と魔法か罠の生け贄が必要、正規召喚からの蘇生可能)

上級モンスター×1枚

E・HERO ネクロダークマン

下級モンスター×4枚

E・HERO スパークマン  
沼地の魔神王  
X-セイバー アナペレラ

XXーセイバー フラムナイト

魔法カード×3枚

ドラゴニック・フォース

竜魂の魂

ドラゴンズ・ミラー

龍の鏡

再融合

罨カード×2枚

ドゥーブルパッセ

デストラクト・ポーション

融合モンスター×3枚

スターダスト・ドラゴン

(ドラゴン族+風属性)

レッド・デーモンズ・ドラゴン

(ドラゴン族+闇属性)

ブラック・ローズ・ドラゴン

(ドラゴン族+炎属性)

2+1+4+3+2+3=15

合計15枚

話の都合上、ここに書いていないカードも登場します  
しかし、基本的にこのような感じのデッキです。

色々とデッキが迷走しました  
ハンデス、E・HEROなど  
しかし最終的には混合デッキで統一します。

リアルで作ると色々と改変されるでしょうが不可能では無いでしょう  
ドロー系、シンクロ系がややこしい事になるぐらいで  
普通にチートドロー無くても使えるようなデッキです  
事故率も高いとは思えないでしょう……多分。

作者はE・HEROデッキを作った事ありません  
それでよく使おうと思ったな自分……これって使えるデッキですか？  
あまり自信が無いんですが……まあ大丈夫だと思っておきます。

1453

次はレイのデッキです

レイは2つのデッキという発言をしています  
しかし、恋する乙女を使用したデッキは【恋する乙女……達？】編  
で最後に使用したデッキです  
少し変わっていますが、ほぼ同じです。

今回は学園祭で使用したレイのデッキを紹介します

作者の頭の中でレイはどんな存在になっているのか……キース以上の強奪能力ですね  
誰かレイの暴走を……レイの暴走を止めるんだ！  
作者は止めるつもりがありませんがね。

最上級モンスター×4枚

レアル・ジェネクス・クロキアン

（閻属性とLV5以上のモンスターを生け贄が必要、正規召喚から蘇生可能）

大邪神レシェフ

ダーク・ネクロフィア

仮面魔獣デス・ガーディウス

上級モンスター×4枚

ゴヨウ・ガーディアン

（元々相手のモンスターの生け贄が必要、正規召喚から蘇生不可能）

ゴヨウ・ガーディアン

ミュータント・ハイブレイン

アルカナフォース？？フォーティーンテンバランス—TEMPERANCE

下級モンスター×12枚

幻惑のラフレシア

Z・E・N・O

憑依するブラッド・ソウル

ブレイン・ジャッカード

アルカナフォース？<sup>セブン</sup> — THE CHARIOT<sup>ザ・チャリオット</sup>（原作効果）

アルカナフォース0 — THE FOL<sup>ザ・フール</sup>

クリボー

クリボー

メルキド四面獣

メルキド四面獣

仮面呪術師カード・ギユラ

仮面呪術師カード・ギユラ

魔法カード×9枚

洗脳ーブレイン・コントロール（原作効果）

遺言の仮面

神秘の中華鍋

高等儀式術

カード・トレーダー

速攻召喚

サイクロン

強欲な壺

命削りの宝札

罨カード×11枚

デストラクト・ポーション

ドレインシールド

攻撃の無力化



攻撃の無力化  
攻撃の無力化  
和睦の使者  
和睦の使者  
和睦の使者  
威嚇する咆吼  
威嚇する咆吼  
威嚇する咆吼

4+4+12+9+11+40  
合計40枚

サイドデッキ×15枚

最上級モンスター×2枚

大邪神レシェフ

ダーク・ネクロフィア

下級モンスター×4枚

グリグル

エレクトリック・ワーム

傀儡虫

パペット・プラント

魔法カード×5枚

強制転移

大邪神の儀式

死者蘇生

戦線復活の代償

自律行動ユニット

罠カード×4枚

インターセプト

マジック・アームシールド

ギブ&テイク

ミス・リバイブ

2＋4＋5＋4＝15

合計15枚

強奪デッキです

基本的に守備型のデッキであり、守りながらも奪って攻めます  
攻撃用のカードは基本的に不要です

何故なら相手のモンスターがこちらに来るので勝手に場が空き  
になるからです。

事故率はそれなりに高め

しかし防御用カードが多すぎるぐらいなのであまり問題ありません  
守っている間に手札が揃います。

弱点は洗脳解除、罠封じ系です

前者が存在するだけでこのデッキの存在意義を失います

後者は守れないのでズルズルと落ちていく可能性が高いです  
思ったよりコントロール奪取カードが少なく見えます？

確かにそうですが、予想外に奪えるでしょう。

リアルで作った場合、事故率が更に上昇します

誰か試してください、きっと中堅ぐらいの実力者にも勝てません  
嵌れば強いんですが……

最後に玲のデッキです

3つのデッキを使用しますが……

1つ目のスキルドレインのデッキだけにしようと思います

2つ目の占い魔女デッキは後は魔法使い族のサポートカードぐらい  
しか入っていません

3つ目の炎族ロックバーンはそれなりに分かりやすい上、面倒にな  
ってきたのでスルーします

という訳でスキルドレイン軸のデッキです。

最上級モンスター×20枚

絶対服従魔人

獣神機王バルバロスU r

獣神機王バルバロスU r

地獄からの使い

地獄からの使い

地獄からの使い

光神機一轟龍

光神機一轟龍

光神機一轟龍

神獣王バルバロス

神獣王バルバロス

神獣王バルバロス

可変機獣ガンナードラゴン

可変機獣ガンナードラゴン

可変機獣ガンナードラゴン

墮天使ディザイア

ファントム・ドラゴン

バーサーク・デッド・ドラゴン

バーサーク・デッド・ドラゴン

バーサーク・デッド・ドラゴン

上級モンスター×5枚

光神機一桜火

光神機一桜火

光神機一桜火

THEトリッキー

THEトリッキー

下級モンスター×1枚

ハードアームドラゴン

魔法カード×17枚

イーजीチューニング

イージーチューニング

サイクロン

巨大化

愚鈍の斧

継承の印

魔法再生（原作効果）

禁じられた聖杯

禁じられた聖杯

禁じられた聖杯

デーモンとの駆け引き

デーモンとの駆け引き

デーモンとの駆け引き

神秘の中華鍋

強欲な壺

天よりの宝札（原作効果）

トラップ・ブースター

リミッター解除

罠カード×6枚

スキルドレイン

スキルドレイン

スキルドレイン

生け贄の祭壇

リビングデッドの呼び声

トラップ・トリップ

20+5+1+17+7=50

合計50枚

玲だけデッキ枚数が多い代わり、サイドデッキが有りません  
何故なら、他に使えるカードがそうそう無いからです

（時間が無くなって書く余裕が無くなった言い訳ですが……実際あまりありませんでした）

入れるとすれば威嚇する咆吼系のカードでしょう  
スキルドレインが来るまでの時間稼ぎです。

L V 4以下のモンスターが無いと思いましたが、ハードアームドラ  
ゴンの存在を忘れていました

それ以外は全て上級、最上級の妥協召喚やデメリットモンスターだ  
けで構成されています

ゴブリン突撃部隊や不屈闘志レイレイが入っていない理由は超パワ  
ーだけに拘った結果です。

リミッター解除が謎に思うでしょうが、これは玲の切り札です  
昔使用していた機械族を僅かでも残したかったという結果がこのカ  
ード

何気に凶悪なエンドカードにもなりますし、神秘の中華鍋で超回復  
もします。

生け贄の祭壇は元々の攻撃力分のライフを回復するカードです  
妥協召喚したバルバロスなどの攻撃力分を回復すれば強いカードで  
しょう

スキルドレインが来るまでの時間稼ぎに近いですが、それでも強い  
カードです

デーモンとの駆け引きのトリガーにも使う事ができるのが強力だと思  
います。

アニメオリジナルカード

トラップ・ブースターとトラップ・トリップですが

前者は速攻魔法で、手札を1枚捨てる事で手札から罠カードを発動  
できます

攻撃力が下がって安心してバルバロスなどに攻撃した瞬間に使います  
ガンナードラゴンの場合、更にリミッター解除も着いてきて反撃で  
倒す可能性も有ります。

トラップ・トリップは墓地の罠カードを手札に戻します

これにより、スキルドレインを4枚持っている事に近い状態になり  
ます

デッキから罠カードのサーチができないという恐ろしいデッキです。

スキルドレインが無くても戦う事は一応可能です

そういう時の強い味方がバーサーク・デッド・ドラゴンです

バルバロス、ファントム・ドラゴン、轟龍の自壊効果、生け贄の祭  
壇、神秘の中華鍋

これらで簡単に出す事ができます

少々危険ですが、決まれば凶悪なモンスターです。

事故率が凄まじく高いのですが、少しでも決まれば簡単に勝てるで

しょう

隠し味に堕天使が1体混じっているのが特徴です

天使族は6体入っているので出すのは少し難しい程度です

効果を使用し、攻撃力が下がったと油断させてスキルドレインなど凶悪なモンスターにもなるでしょう。

誰か作って使ってください、超確立で超事故を起こします

それで勝ち続けている玲はチートドロー持ちでしょう

このデッキで勝つ事は難しいですが、決まればきつと気持ちいいでしょう。

なお、最大の弱点は当然ながらロックです

サイクロンが1枚しか入っていない時点で色々とヤバイデッキです

そういうのを吹き飛ばすのは他にバルバロスしかできません

しかし、そういう時に限ってスキルドレインが邪魔という……

扱いがとても難しいデッキですね。

このような感じのデッキです

明日香はバランスが（多分）良いデッキ

レイは力尽くのデッキ

玲は決まれば恐ろしいデッキ

こんな感じでしょうか？

ちなみにこのデッキ作成ですが、なんと5時間近くも掛かりました



いや、他にも色々としてたんですが……考えていた時間と執筆していた時間を合わせると3時間ぐらいです  
思ったよりも悩みました。

もしまた機会があればこういう事をしようと思います  
しかし……それがいつになる事やら  
新しい瑞貴サイドのキャラが出ない限り無いでしょう  
うーん……色々と悩みます。

## 番外編【予告とデッキ紹介】（後書き）

瑞貴がマナの名前を呼んでる！？

さすがに2年近く一緒に居て名前で呼ばないのは無いでしょう。

これは……後々瑞貴がマナの名前を呼ぶフラグ？

さあ？ どうでしょうね？

何故マナと一緒に来たの？

不明、考えていません。

どう見ても逆恨みだ……

本当に不運なだけだったのでしょうか

どうしてこうなった……瑞貴のストレスは初っぱなから溜まっています。

瑞貴の名前はそこまで恐ろしい意味を？

という事にしました

子供に名乗ったらきつと泣き出します

瑞貴よ、お前は過去の未来で何をしたんだ？

デュエルキング  
決闘王になったの？

適当に書いてただけです

鵜呑みにしないでください。

記録が残らない原因は？

不明、しかしそうなった原因は未来のカード、漫画のカードを使用したからでしょう

ぶっちゃけ考えていません。

瑞貴のポケットが異次元空間に!?

瑞貴が自分のポケットに手を入れれば出てくる仕様です

瑞貴以外の人間は利用できません

何故こうしたか? 5D'sの世界であの大量のカードは持ち歩け

ません!

ついでに、GX時代で稼いだ金も全て入っているという裏設定が……

嘘予告!?

はい、嘘です、ぶっちゃけ釣りとも言えるでしょう

書きませんからね? 作者に5D'sは無理です

ただでさえ頭が痛くなるGXなのに、更にややこしいのは嫌です  
という訳で期待しても無駄ですので諦めてください。

## 49話【アムナエル戦後の夜】（前書き）

次話は不明と言いましたが投降しないとは言ってません！

時間が足りなかったのであまり良い出来とは言えませんが、今話を投稿！

最低にローって奴さ！ あー……疲れました、テンションが低いです。

今話は少々瑞貴のキャラ崩壊、瑞貴らしくないと思います

矛盾しているようなしていないような……作者の脳は今ちょっと駄目みたいです

正常な時に見直し、もう少しまともになるように修正するかもしれません。

さて、今日は友人を誘ってカラオケに行こう、まだ話してないけど……

作者は疲れました……ストレスの発散に叫び声を上げてきます  
そして喉を潰して喉飴のお世話になる事にしましょう。

次話はまた不明、カラオケに行こうと思うので時間が足りないと思います

そして座りっぱなしで腰が……作者は座椅子でキーボードを叩いています

猫背です、寒くなってきたので足には布団をかぶせています  
座椅子って良いですよ……気楽で本当に楽です。

## 49話【アムナエル戦後の夜】

視点 瑞貴

目が覚める……ここはどこだ？

少し辺りを見回してみると、レッド寮だった

元の場所に出てきたか、となると明日香か似非が勝ったんだな  
それとも両方負けて解放されたか、どっちでもいいか。

アムナエルは消えたか……惜しい奴だったな

しかしあいつ、せめて授業の後釜ぐらい用意しておけよ  
錬金術の授業は専門家じゃないとできないんだぞ？

まあいいか、それりも今は……そう、確認しないとな

電池の部屋はつと、開いている

中を覗いてみると白黒モノクロが寝ていた

白黒も解放されいるという事はアムナエルの敗北だな。

後は明日香と電池だ

あいつらはどこに居るんだ？

さすがに俺が煽った手前、確認しないと安心できない  
放っておいても勝手に出てくるだろうが……やっぱり気になる。

アムナエルの事だから人に見られないように行動していただろうな  
となると森か？ とりあえず行くか。

暫く歩いていると気絶している明日香を発見した  
キラカードを持たせたからな、負けて当然か

アムナエル相手にどこまで頑張ったか、それぐらいは明日香から聞いておこう。

……このまま寝かすのは悪いかな？

仕方無い、運ぶか。

まったく……俺がこいつを運ぶのは何回目だ？

タイタン戦後だろ？　ダークネス戦後だろ？　アムナエル戦後だろ？  
3回目かよ、お前気絶しすぎじゃないか？

問題はどうやって運ぶか……幸い今は夜だし、抱っこでいいか  
担いだ方が楽だが、肩に担ぐと腹に肩が刺さって痛くなるだろうしな  
抱えると掴む場所に困る、抱っこが一番楽だな。

やれやれ、面倒な事だ

こういう時に魔娘に力仕事をさせてもいいんだが、やっぱりなあ……  
というか、魔娘に力は有るのか？

まあ攻撃力2000だし、それぐらいはできるだろう  
出来ないなんて言ったらブラック・マジシャンを召喚して叱って貰  
おう

可能かどうかは別にするがな。

そうだ、その魔娘だ

アムナエルの本に食われる前におとなしく待っているって言うてお  
いたんだったな

あいつ……大丈夫か？　泣かれたら嫌だし、部屋で呼んでやるか  
俺に依存しているのはやはり強いか……頭を撫でてやったら落ち着  
くかな？

『……どう思う？』

『うん、感情も行動も思考もバラバラ  
この人って本当に普通の人間？』

『私もそう思うけど、現にここに居るわ  
毎日一緒に居るお前なら分かるだろ？』

『そうだけど……それでも私はこの人が怖い  
優しい所も有るのは分かるよ？  
だけどこの人は明日香さんを……』

『明日香がどうかしたの？』

『……ごめんね、口外するなって命令されてるから言えない  
でもこの人はやっぱり凄く怖くて、酷い人だよ  
それが分かっていても、私は離れられないけどね』

『災難だった……そう思うしか無いわ  
この男と関わった人間は大抵嫌な想いをする  
長く付き合えば慣れるが、暫くは我慢するしか無い』

『ううん、私はそんな事どうでもいいよ  
この人の近くに居ると安心するんだ  
そりゃあ強引に埋め込まれた気持ちぐらい分かってるよ  
でも……この安心感を手放したくないんだ』

『……甘い奴だ』

あのブラック・マジシャンの弟子とは思えないぐらいに甘い』

『分かってる、分かってるけど……』

それでもこの感情は捨てたくない  
私の本物のカードを持っている数少ない人だしね  
やっぱり偽りの気持ちでも嬉しいんだ』

『そうか、完全にのめり込まないように注意しろよ？  
私も明日香の精霊では無いが、お前もこの男の精霊では無い  
必ずどこかに一線を引いておくのよ？』

『うん、分かってるよ

これでも一流の魔術師だよ、安心して！

（多分、無理だけど……

だって少しでも離れると寂しいんだもん  
怖くて安心感を得る為に抱きつきすぎた  
さっきまで離れている間、凄く寂しかった……

この人が暫く私に何もしなかったら落ち着けるはず  
もし優しくされたら本気で離れられないかもしれない  
これ以上駄目にならない為にもし呼ばないでほしい  
凄く……寂しいけどね）』

『（不安だ……まあ大丈夫だろう

この男が態々マナに優しさを与えるはずも無い  
マナが完全に依存する前に依存させないように動きそう  
この男だったら遠ざける事を選びそうだし）』

………

………

………

明日香を部屋で寝かせておく  
誰かと鉢合わせなくてよかった……見られたらどう見ても誘拐犯だ



犯罪はしても、さすがに濡れ衣での犯罪で捕まるのはご免だね。

白黒モノクロの引っ越しも後少しだったな

残りは私物を少し持っていく事ぐらいか……

そんなに掛からずに終わるだろうな。

それにしても……何故俺だけ先に目覚めたんだ？

白黒モノクロだって明日香だって同じように本に食われただけのはず

違いは……もしかして俺は自分が食われる事を覚悟していたからか？

それで俺は少し早く目覚めた、可能性は低いが有り得るかもしれないな。

さて、それよりも先にする事が有ったな

丁度良く明日香も気絶しているままだし

それに白黒モノクロも今はこの部屋に居ない

魔娘を呼ぶ事ぐらいはできるか。

「魔娘、居るんだろ？

出てきたらどうだ？」

『あう……呼ばれてる……』

『出るのか？

しかし何をされるか分からないわよ？』

『うん、それでも逆らいたって気持ちが悪かばないんだ  
だから素直に姿を見せるね

（何よりも呼ばれて嬉しかった……本当に拙いかも）』

暫く待つと姿を見せた

浮かない顔をしてるな……やはり置いていったのは悪かったか？  
怒っているのか、それとも悲しかったか、寂しかったか？

自意識過剰みたいで嫌だが、依存されているな  
よく考えたら最悪、一生の付き合いになるんだ  
洗脳状態とはいえ嫌われるのは遠慮したい、そんな奴と長々と付き  
合うのは無理だ。

それにずっと素を隠し続けるのも無理だ  
疲れるし、そこまで演技の自信が無い

はぁ……自分で蒔いた種とはいえ、玲にも困ったものだ  
取り除くんだったら本当に嫌悪感だけにしてほしかった。

とりあえず、好かれないとは思わないが嫌われないようににはするか  
面倒な……これだから人間関係というのはな、相手は人間じゃない  
けど。

「あの……なんですか？」

む、警戒している？ やっぱりさっきの行動は気に入らなかったか？  
しかし最後だって分かっている俺からすれば目的ぐらい果たさせて  
やりたかったし……

だけどそれを言うのもまた問題だな、どうする？

……よし、誤魔化すか

その話題には触れずに話を逸らしてやれば大丈夫だろ  
単純そうだし、騙すのは難しく無いはず……だと思う。

「?? あう……」

とりあえず帽子を取って頭を撫でてみた  
髪は地毛だな、傷んでいる様子もないし、触り心地も悪くない  
小娘の髪と同格か、これは良い……癖になりそうだ。

『うう……何で頭を撫でるのー？』

『流されてる流されてる  
本当に大丈夫？』

『あ！ そうだった！  
それにさっきの事も訊かないと！』

恥ずかしがっていたのに急に正気に戻ったな  
誤魔化しきれなかったか？

「あ、あの……どうしてさっきの人の手助けを？」

『さっきの人？』

『ごめん、言えない  
話の内容から察して』

チッ、誤魔化しきれなかったか

しかしさっきの人といえ……そして手助けという言葉から考えて  
アムナエルの事だろうな

それに気付いたか、あまり言いたくないんだが、だからといってこ  
のままもな……

話したらどう思われるか、嫌われないように話を捏造するか？  
だが俺の近くで似非がアムナエルの事を話したら知られるし……困  
ったな。

『困ってるわね』

『うん、困ってるね』

そんなに言えない事なのかな?』

『私には何の事かも分からないんだけどね  
厄介事という事は分かったけど』

どうも誤魔化しも通用しないようだし、話すか  
あんまり言いたくないんだけどな……隠しながらどこまで話せるか  
できるだけ早く納得させよう。

「そうだな……あいつが死ぬ寸前だって知ってたからだな」

「死ぬ……寸前?」

『誰が?』

『だから言えないってば』

「そう、奴の事はある程度知っていてな

あいつの体はボロボロだったんだ

最後の目的の為に、どうしても明日香が邪魔だった

俺はあいつの事が気に入っている、だから手助けをした」

カードも返してくれていたし、危なかったな

ネクロフェイス3枚に魂吸収、戦士抹殺の5枚

どうして消えたんだか……はあ。

「その為に明日香さんが危ない目に遭いました  
危ない目に遭う事、分かっていましたよね？」

気に入ったなんて、何でそんな理由で敵の手助けをしたんですか！」

そんな理由？ そんな理由だと？

俺からすれば気に入ったという事は重要な事だ

俺は好きか嫌いかというよりも気に入るか気に入らないかで相手への態度を決める。

例え嫌いな相手でも気に入った態度を取れば味方をする

例え好きな相手でも気に入らない態度を取れば敵対する

俺は自分の思ったように動くんだ、誰かに決められるなんて絶対に嫌だ！

確かに褒められるような事じゃないだろう

そんな感情で動いていて、社会で生きていけるはずが無い

しかし今、俺が居るこの場所では問題無い

学生とは便利な世界って事だよ。

しかしなんだか面倒になってきたな

もう前言撤回しようか……そう思いたくなってきたな。

『怒ってない？』

『多分……私、そんなに拙い事言ったかな？』

そもそも、俺からすれば明日香もアムナエルもお気に入りで

どちらかを選べと言われてらどちらとも言おう……まあそれは置いておくが

最後の行動なんだ、それぐらいやらせてやりたかった

俺は本の中では気絶していて足掻く姿を見なかったのは惜しいがな  
それでも手助けした事は後悔していない。

ま、どの道こいつの口止めをしているから明日香に伝わりはしない  
けどな

これなら明日香が事実を知ること無いし、文句も言われない  
魔娘を納得させられなくても別に問題は無いな。

「ふう、俺が気に入った奴の手助けをした  
それで何か問題が発生したか？

結果論だが、俺も明日香も無事だ  
もう何も問題は無いだろう？」

「結果論だけじゃないですか！  
もし死んじゃっていたらどうするんですか！？」

「それは無いな

奴は甘い、口では何か言いそうだが、殺す事はしないな  
精々、事が終わるまで閉じ込めて口出しできないようにするぐらい  
今回の事件の長さ、そしてあいつの寿命を考えれば数日程度の監禁だ  
実害は無いに等しい……時間は惜しいがな」

アムナエルにできる事は本当に少なかった  
多分奴は既に死んでいる……1日じゃ何もできないさ  
そして甘いアムナエルは死ぬ前に必ず俺達を解放する  
少しアムナエルとしての奴と付き合えばそれぐらい分かる。

「そもそも、つい先日姿を見せたお前が首を突っ込む話じゃない  
相手の事も知らないくせに出しゃばるな  
あいつの事を知って、俺とあいつとの関係も知っているなら言うが

いいさ

本当に何も知らないお前が言っても、子供が叫んでいるようにしか聞こえないな」

「それは……そうですが！

だからといって、彼女を危険に晒す必要は無かったです！

そんな事をしなくても貴方だったらあの男に言い聞かせられたんじゃないですか！？」

知り合いなんですよね？ だったらそれぐらい！」

「いい加減にしろ、あいつの目的は似非との最後の戦いだ

そうでなくてはならなかった理由が有るんだ

明日香が邪魔をすれば全てが台無し、あいつの最後の頼みを否定するつもりか」

「クッ……」

最後の頼みという言葉聞いて怯む魔娘

俺は例え何を言われても反省はしても後悔はしない

さすがに俺だってあんな体験は二度とはご免だ

あの落ちる時の感覚は本当に死ぬ時にしか味わいたくないな。

「とにかく、一応悪いとは思っているさ

もう二度とはしない、だから少し落ち着け

確かに俺も甘かったのは自覚している

明日香達ももう巻き込まないようにするさ」

「へ？」

そんなに俺が反省してるのが意外か？

最後に反省したのは……いつだ？

いつでもいいか、俺も山のように反省して……ないな  
反省するような事をしていないしな、真面目に生きているからかね  
え？

……白々しいな、うん。

『反省してる？』

あの瑞貴が？』

『そんなに珍しい事なの？』

『初めて見た』

確かに瑞貴と会ってから1ヶ月も経っていない  
それでも反省するような奴じゃない事は知っている』

『本当に怖い人なんだ……知ってたけど』

うう、玲ちゃんも何て物を私に植え付けたのよお』

『……ご愁傷様』

『見捨てられた!？』

どうも魔娘の意識が逸れているような……どうしたんだ？

精霊でも近くに居るのか？

しかし似非は違う場所に居るし

他に誰か持ってたっけ？

まあいい、意識が逸れている今の内に追い込むか  
別方向から宥め丸め込み、落ち着ける。



恐怖感と依存感を俺に向けているから……  
そして普段は俺に抱きついて安心感を得るだったな  
となると魔娘の落ち着け方は……これだな。

「ひゃあ！」

抱きしめてやった

こうやってリアクションが有るのは本当に嬉しいな  
顔を真っ赤にして慌ててる、こういうのを見ると和むな。

頭を撫でてっと、そしてどう言えば丸め込めるかな？

苦手だが、甘い言葉とか効きそうだな

依存感の効果で更に効果的だろうし、その方向で試すか  
効果が高ければ使用を控え、いざという時に使おう。

「悪かったな、心配掛けて

もうあんな事はしない、お前にも寂しい想いをさせた  
……本当に悪かったな」

背中が痒い！ 自分で自分が気持ち悪い！

なんだこのキヤラは！ 俺じゃない！

『……ごめんサラ

私、もう無理かも』

『落ちるの早すぎない！？』

『だって……この人だって恥ずかしがってるんだよ？

それでも耐えてこんなに優しくしてもらったら……

例え洗脳状態とはいえ無理だよ！』

『確かに恥ずかしがってるのは分かる！  
しかし何か違う気がするわよ！』

『何でも良い……この暖かい気持ちになれるなら  
もう細かい事は気にしないでこのままでいたい  
植え付けられた感情だなんてどうでもいいや』

『駄目だこの子……早くなんとかしないと！』

はぁ、はぁ……ついシャウトしてしまったが、恥ずかしい想いをし  
た甲斐が有ったか  
魔娘のこの顔を見ただけで気持ち悪い言葉を言った元は取れた  
本当に、顔を赤くしている女の子の顔を見ると和む。

惜しい事は殆ど玲の洗脳の結果という点か

性格は無理だったが、素で懷いてくれればかなり満足だったんだがな  
無理だな、俺の性格で懷く馬鹿は……小娘が居たな、本当に何故だ？

まあ小娘は悪趣味な奴だという事で例外とするか  
魔娘はそんなに悪趣味じゃないだろうし、素では俺の事を嫌うだろ  
うな

洗脳からの懷きは……征服感は得られるが満足感は無いな。

しかし、本当にどうやって洗脳を解けばいいんだ？  
今度通販で洗脳解除を書いている本が有れば買ってみるか  
はぁ……玲がここまで強力になっているとはな  
少し頑張らせ過ぎたな、しかし何故そこまで頑張るようになったん  
だ？

今はそんな事を考えても仕方無いか

こいつも本心では俺と一緒に居るのは嫌だろうしな

本心では嫌われてるだろうし、今の内に堪能できるだけ堪能するか。

堪能したら堪能したらでさっさと洗脳を解除するように頑張ろう

春休みで玲にも協力させて解かないと

俺も勉強しないとな……面倒だが仕方無い。

『（しかし……明日香の時も思ったけど

この男は自分が何をしているのか分かってるの？

ずっと抱きしめながら頭を撫でてるけど……マナの顔が真っ赤なの分かってる？）』

『（いつまで抱きしめられてるんだろう……

暖かい気持ちになるなあ、頭を撫でてもらってるだけで落ち着くしずっとこのままがいいなあ）』

「……ん」

ん？ 明日香が目を覚ましたみたいだな

そういえば俺は魔娘を抱きしめたままだったな

本心が嫌がるだろうし、このままは拙いか。

こういうのは本心と反対の行動をしているというパターンが多そうだな

玲がどういう洗脳を施したのかも確認しないとならん俺の嫌悪感を拭うはずが、どうしてねじ曲げたんだ？

失敗の過程に依ってはかなりの難易度になりそうだな

こいつだって帰りたいだろうし、俺の精神の安静の為に頑張るか。

「あ……」

俺が魔娘を放すと寂しそうな声を出された

……いや、待つんだ俺

魔娘は洗脳状態、確かに保護欲に襲われるがこれ以上は駄目だ

正気に戻った瞬間に魔導破を撃たれたら殺されてしまう

って、既にされそうな気がするな……それでも正気に戻さないといかんが

俺が原因でもあるしな、責任ぐらい取らなくては。

「とりあえず精霊化している

明日香が帰ったらまた話すぞ」

「は、はい」

小声で話し、魔娘は消える

ふう……見られてたら何を言われたかわからん  
寝ぼけている状態だから聞こえてないはずだ。

『はふう……堪能した』

『もう駄目ね、どうやって正気に戻せばいいのかしら?』

『正気に戻っても変わらないと思うよ?』

思考がどこまで変わってるか分からないけど

それでも、今までの感情までは変えられないから

根付いている事は無いと思うけど……手放そうとしないと思う  
それだけ心地良いから、だから無駄かも』

『さつき一線を引くように言っただけなのに……』

やっぱり最後の抱きつきが効いたみたいね  
分かっててしたのか、それとも偶然か

どっちにしてもマナが落ちた事は確実ね

（私も吹雪さんに抱きしめられたら……駄目、想像しただけで恥ずかしい）

期待しても私は実体化ができないから無理なのに、それでも期待して……

ちよつとマナが羨ましい……訂正、凄く羨ましい）』

「ん……ここは？」

「起きたか明日香」

「あら、瑞貴じゃない

私は確か男に負けて……」

「負けたのか？」

珍しいな、明日香が負けるなんて」

白々しいにも程が有るな

あ、明日香が落ち込んだ、悔しいのか？

どんな内容だったかぐらいは聞き出さないと。

この世界では謎で、意志の強さや信念で実力が妙に変わる

まさに意味☆不明だが、それがこの世界の変な常識

アムナエルの強さであいつの想いの強さを知れる。

「……ごめんなさい瑞貴

貴方に強化して貰ったデッキで勝てなかったわ」

いや、俺がアンチカードを渡したからだからな  
ネクロフェイスの効果も何度か使われただろうし  
明日香は墓地依存の部分も有るからな、アムナエルに負けられても  
困るし。

「内容は？」

明日香は暫く黙っていた  
少し待ち、覚悟ができたのか話し始めた。

.....

.....

.....

なるほどね……かなりの強さだったな

いくら5枚のカードを渡したとはいえ、この明日香を倒すとは  
倒して貰わないと困るが、それでも凄い内容だ。

初手から鍊金釜ーカオス・ディステイルを使用  
そして鍊金獣達の攻撃に魂吸収での回復率  
更にネクロフェイスの使い方……確かに強いな。

相性の良いカードを渡したとはいえ、ここまでの強さを持つか  
尚のこと惜しい人材だ、本気で手に入れたかったな  
寿命が最大の天敵だったが……クソッ！

「明日香」

「何？」

「また強化してやる

次は必ず、俺以外の誰にも負けるな」

「……そうね

でも、貴方にも必ず勝ってみせるわ!」

そうそう、そうやって元気な明日香が一番似合う

落ち込んでる姿を見ても鬱陶しいだけだし似合わない  
見ても楽しくないしな。

『今の会話って……』

『うん、恋人同士みたいだよね

なんだか羨ましいなあ』

『その内そんな事が言えなくなると思うわよ?』

この2人は色々と終わってるから』

『???』

『後、この2人に向かって恋人同士みたいとか言ったら駄目  
瑞貴も明日香も怒るから』

『どうして?』

『周りから見たらそう見えるかもしれない

しかし、この2人はそんなつもりが全く無いから

特に瑞貴は明日香に恋愛感情は無いから尚のこと怒る

明日香も明日香で瑞貴に恋愛感情を持っていないと言ってる

どっちも友人だと思っているから怒るの』

『変わってるんだね

男女で友達なんて人間には珍しいんでしょ?』

『そういう話は有るらしいけど、何事にも例外は存在するって事よ  
例外の塊の瑞貴に常識を当て嵌めたら駄目よ』

『精霊にまでそこまで言われるこの人って……』

『そういえばマナ、瑞貴の事を名前で呼ばないけど  
何か理由でも有るのか?』

『え? だって恥ずかしいし……』

『……そう』

「(何だか向こうでサラとマナが内緒話をしてるわね  
どんな会話してるのかしら?  
なんとなく、私に何かを言ってる気がするわ)」

「さて、起きて意識もハッキリしてるな  
そろそろ帰れ、俺も寝る」

そう言うとき明日香が少し驚いた顔になってた  
いや待てお前、何を、そして何故驚く。

「泊めてくれないの?」

「帰れ」



「……何だか体が怠いのよ  
あの本に閉じ込められたからかしら？」

「嘘を言うな」

「……………傷心の私を慰めると思ってたね？  
だから泊めてくれない？」

明日香が負けた原因は俺だけに、そう言われると断りにくいな  
仕方無い、以前時々泊まっても構わんと許可を出したしな  
魔娘には悪いが今夜の会話はお預けか……

「好きにしろ、俺は先に寝るぞ  
おやすみ」

「ええ、おやすみなさい」

まったく……図々しくなったものだ  
朝に俺の玩具になってくれるからいいか  
また頬でも突っついて和むか。

「魔娘、今夜の話は悪いが無しだ  
明日また話そう」

『分かりました、おやすみなさい』

凄く小声で言ったが、聞こえただろうか？  
勝手に近くに居るだろうし大丈夫だろう  
ふう……今日は疲れた、さっさと寝るか。

『……明日香さんが羨ましい』

『まだ言ってるの!?!』

#### 49話【アムナエル戦後の夜】（後書き）

サラとマナっていつ知り合ったの？

これまででその描写を書き忘れていました  
とりあえず学園祭後という事にしておいてください。

マナって洗脳されている自覚が有るの！？

自覚しており、どうなっているかも分かっています

魔術師相手に感情操作はあまり通用しないという事ですね  
まあ埋め込まれたので取り除けないみたいですけど……

マナって瑞貴の事をどう思っていたの？

怖い人、よく分からない人……洗脳されていた序盤はこんな感じですよ  
怖いけど安心できる人、抱きついていけると落ち着ける人……数日中でこうなりました

怖いけど優しい人、本当は良い人？ というのが今回でしょうか？  
自分で書いていてよく分からなくなってきました……誰か具体的に説明してください。

サラは明日香の、マナは瑞貴の精霊じゃないの？  
違います、一緒に居るだけです

カードが楔に近いので離れられませんが、持ち精霊ではありません  
明日香がサラを手に入れたのは偶然に近い結果だけです

サラは明日香を友人と思っており、明日香もサラを友人に思っています

そこに主従は無く、使っているや使われているという感覚は有りません

マナはマナで遊びに来たら捕まっただけです  
持ち精霊とはとても言えません。

瑞貴が早く起きた理由は？

不明、言ってしまうえば話の都合上としか……

瑞貴の行動原理がどう考えても子供……

元20歳の瑞貴からすれば、昔もっと好き放題すれば良かったと思っています

なのでせめて学生の間は好きに生きようと思っているのでしょう  
本当に、学生って身分は便利ですね

大人では無いという理由だけで許される事が多いんですから

なお、瑞貴は卒業したら真面目に行動するつもりなので社会に出て  
も大丈夫です

元々社会人として生きていたのでそれぐらいはできます。

瑞貴は結局、マナをどうしたいの？

洗脳が解除されない内は遊ぶつもりです、嫌われない程度に  
解除されたらさっさと手放します、邪魔なので

ちなみに解除できるなら解除したいと思っています  
本心ではない相手では……やっぱりそこまで嬉しくないでしょう。

マナはどこまで本心なの？

殆ど本心に近い状態です

しかし、感情の半分ぐらいは洗脳状態です。

明日香は何故泊まろうと？

トラウマの再臨、ネクロ繋がりからバクラを思い出してしまいました  
ですので……まあそういう事です。

## 50話【恋のLOVE決闘】（前書き）

ははは、時間が足りないと言いましたが無理とは言っていないですよ！

という訳で更新です！

今回は……なんでしょうね？

説明に困ります、とりあえず意味不明回という事で  
一応、決闘はしますよ？  
デュエル

カラオケ行ってきました！

6時間ほど、よって喉がガラガラ……喉飴にはお世話になっています  
最初にテンション張り上げ過ぎたので最後はもう疲れました……と  
りあえず喉が痛いです。

次話はどうなるのか……連続更新はまだ継続中みたいですね  
今度は目標を立てていないので突然連続更新が途切れるかもしれません  
それは一応知っておいてください。

## 50話【恋のLOVE決闘】

視点 瑞貴

アムナエル戦後、翌日の学園

何故か生徒達がセブンスターズの事を知っていた

確かに派手にやらかしたが、ここまで知られているとは……

校長、もう少しどうにかならなかったのか？

似非が持ち上げられているな

確かに最後のアムナエルを倒したのは似非だ

しかし微妙に納得できないような……

最後まで鍵を守ったのも似非だ

それは事実だが、やっぱり納得できんな

似非と明日香、倒した人数は同じなんだが……

まあどうでもいいか、俺が持ち上げられないだけマシだ

あんな感じに騒がれるのも嫌だしな

そんな事をされたら俺はそいつらを黙らせるな、鬱陶しいから。

しかしアレだな、うん

その1が似非と一緒にずっと着いて歩いているのが凄い違和感だ  
似非とは水色とでかいのというイメージが強いからか？

その1は学園祭から3日ぐらい学校を休んでいたが、完全に復帰したらしい

時々周りを気にするような態度は取っているが、当然だな

しかしあの時の服はどうしたんだ？ 捨てたのか、それとも残してる？

どっちでも良いか、あの恥ずかしがっている姿を見ただけで十分だし。

夕方、白黒モノクロが部屋に尋ねてきた

……今から魔娘と話そうと思っていたんだがな  
しかも呼んで姿を見せた直後、タイミングの悪い奴め。

仕方無いので魔娘には消えるように言う

凄く不満そうな顔になっていたのはご愛敬

少し嫌がっていたが、デコピンをして精霊化するように命令  
今度は素直に消えた。

「何の用だ白黒モノクロ」

「いやあ、実は君にカードを貸してもらいたくてね……彼に」

「……………」

そう言われて見てみると電池が無言で立っていた

ふうん……何かおもしろい事をしようとしてないか？

だが厄介事の予感がする、これは悩むな。

「電池、欲しいのなら買え

そして白黒モノクロ、何が欲しいんだ？」

「さ、サンダーと呼べ！」

「次に訂正したら二度とカードは売らない

それでも良いのならまた訂正しなよ」

「クッ……卑怯な」

いや、何故卑怯？

その訂正が一々面倒だから止めたただけだぞ？

別に卑怯な事なんて全く無いはずなんだが……

「実はこのカードなんだけど……持ってるかい？」

白黒モノクロが俺に見せたカードリストだが……

さてはて、持っているには持っているな

しかしカード名と効果があまりにも使いにくいカードばかり

恋文、秘めた想い、ドレスアップ……名前だけでも寒気が走る

うう……気持ち悪い、あんまり触れたくない名前だ。

「持っている事は持っているが……」

俺はあまり好きなカードじゃないな、というか名前が嫌いだ

よって、それを思い出させてくれた札として高値で売ってやろう

それでも構わないのなら……どうする？」

「理由が滅茶苦茶だな！

しかし、だがしかし買おう！」

うざってえよ電池、お前は何が目的で……ああ、明日香か

アドバイスの求婚をはね除け、光雄の告白紛いも切り捨てた

そんなあいつに、お前が捕まえられるのか？

どうでもいいか、金になるんだし、精々利用させてもらおう。

「なら各カード10万な



5枚だから合計で50万、1円も安くならんぞ  
そして文句を言ったら1割増加だ」

「う……（さすがに50万は高い  
しかし、だから何だというのだ！  
俺は天上院君に、天上院君に！）  
良いだろう、金は後日必ず払おう！」

「毎度あり、話が終わったならさっさと出て行ってくれ  
俺は俺でする事が有るんでな  
後お前ら、事を起こすのは構わんが、あまり大事にするなよ？  
もし大事にしたらそのカード全部返してもらおう、無論金は返さない」

「チッ、分かったよ」「大丈夫さ」

本当に大丈夫なのかね？  
不安だ……もしかしてこのコンビは失敗したのだろうか？  
今からでもカミューラの部屋に引っ越させた方が良いか？  
……電池を。

とりあえず白黒モノクロと電池を追い出した  
まったく、俺に面倒事を頼むなよ。

白黒モノクロも少し賤げるべきか？

あいつは時々調子に乗るからな、水色と違う意味で調子に乗りやす  
いし

まあ白黒モノクロの調子に乗るはまだ嫌いじゃないからいいんだが……

何にしても、何度も言い聞かせれば覚えていくだろう  
賤け係には明日香かカミューラで良いかな？

明日香は妹だし、何故か明日香の方が立場が上だから大丈夫だろう  
カミューラはサディストだからな、躰けとかできそうだ。

おっと、魔娘だ魔娘

これ以上待たせたら不機嫌になりそうだな

同居というのは面倒な事だな、本当に。

「魔娘、出てきていいぞ」

「はい」

けっこう素だな、洗脳はどこまで性格に影響を与えたんだ？

性格に大きな打撃を与えない程度なのか、それともそういう洗脳だったか？

どっちでも良いか、考えるのは解く時でいい……はず。

「さて、お前は一応俺の精霊……っぽい状態だな

一応訊いておくが、離れようという気は……」

そこまで言ったら抱きつかれた、しかも涙目になってるし……

さすがに好かない性格でも、女の子にこの顔をされたらちよっと難  
しいな

厄介な……まあ利用できるだけ利用すればいいか。

「とりあえず無いのは分かった、だから少し離れろ  
抱きつかれたままだと話せん」

無言で離れる魔娘

しかし手だけ握られている……いや、放せよ  
困った、これは困った

お前は俺に触れていないと落ち着かないのか？

「とりあえず手はそのままが良い  
でだ、お前がこの部屋に住むのは構わない  
しかしいくつか約束事が有る」

「なんですか？」

小首を傾げて訊いてくるが……

こいつ、ギャルっぽいのか無邪気なだけなのかどっちなんだ？  
ギャルっぽいのは嫌いだが無邪気は嫌いじゃないし……何とも厄介  
な！

もう少し様子を見てから判断するべきかな？

「1つ、俺のデッキ作成の邪魔は絶対にするな  
デッキを覗くのも禁止、俺はそういう事をされるのが嫌いだ  
抱きつくのもくつつくのも許すが、覗くのは禁止だ」

頷く魔娘

邪魔をするなという所で少し落ち込んだが、抱きつき許可を出すと  
晴れた顔をされた

こいつは……どうしてこう保護欲に駆られるかな？

本気で困る、このまま放っておくと親馬鹿みたくなりそうで怖い  
玲にも過保護と言われた事が有るだけに……困った。

玲、小娘、そして魔娘にもだが……

どうも俺は過保護なのか親馬鹿なのか……保護欲に駆られる存在に  
弱い

女の子とか、精神年齢が低い奴とか、無邪気な奴とか  
苛めはするが傷付ける程はやり難いんだよな、この性格どうにかな

らないものか。

実は小動物は割と好きだったり……子犬とか抱くと暖かいだろう？  
兎とか、ハムスターとか、俺は結構好きだぞ  
飼わないし育てないがな、面倒だし。

何だかんだ言っても、俺も甘いんだろうな……はあ  
この甘さをできれば捨てきりたいんだが、それをするとなあ  
本当に捨てると将来的に困るよな、しかし捨てないと今が困る  
これ以上誰かに懷かれるのも困る……何で懷くんだよお前ら。

「1つ、人が来ない限りできるだけ実体化している  
見えないと落ち着かないが……ちなみにお前は精霊状態と実体化と  
どちらが良い？」

「えっと……」

（精霊化していると無遠慮で抱きつける  
実体化だと許可してくれたら抱きつける  
……やっぱり許可してくれて抱きつきたいなあ）  
できれば実体化してたいです」

「なら他人が来ない限り好きにしろ  
ちなみに飯は食うのか？」

「食べなくてもあまり問題無いです  
人間のご飯がどんなのか気になりますけど」

つまり食っても食わなくてもどっちでも良いと  
どうするか……まあ気分を決めるか。

「まあ約束事と言ってもそれぐらいだ

余程の事が無い限りお前の好きに過ごせばいいさ

何か有ればその時にこれはもうするなという感じに注意する」

「……良いんですか？」

「俺は基本的に心は広い方だぞ

嫌な事を何度もされたりしない限り気にしないでやるさ

ま、この部屋でできる事なんてそんなに無いけどな」

魔娘が凄く意外そうな顔をしている

失礼な、俺は短気じゃないぞ

毎度毎度、俺のストレスを溜められたりしているから苛々している  
事が多いだけだ

それさえ多少収まれば俺はそう怒らない。

そんな感じで会話終了

俺はP Cを弄って適当に過ごしている

魔娘は後ろから抱きついてくるが無視

別に邪魔にならないなら好きにさせるさ。

で、問題の寝る時間

魔娘をどうしようか……

「魔娘、俺はそろそろ寝ようと思うんだがお前はどうか？

ベッドなら上の段が空いているから使ってもいいぞ

というか、そもそも精霊って寝るのか？」

「一応寝ます、精霊にも体力は有りますし

寝ずに何日も過ごす事も可能ですけど

でも、使って良いのならありがたく使わせてもらいますね」

そう言って浮かんで上のベッドに上がる  
飛べるって便利だな、しかしスカートで飛ぶのは止めておけ、見えるから

これは言うべきか？　だが言い難いな……悩む。

「しかし……その服だと眠り辛くないか？

寝間着ぐらい貸してやるぞ」

「……お借りします」

少し布団に入って眠り難かったらしい  
素直に借りる事にしたようだ。

……このまま素直に寝させるのはちょっとつまらんな  
からかってやるか、どんな反応をするか楽しみだ。

「魔娘」

「はい？」

「一緒に布団で寝るか？

お前に俺の抱き枕になる許可を与えてやろう」

………なんか話せ！　せめて少しぐらい反応しろ！  
そう思っていたら魔娘の顔が一気に真っ赤になった  
どうやら俺の言った言葉の意味が暫く理解できなかったみたいだ  
理解した瞬間、この反応だ、おもしろい奴だな。

「あ……うう……」

魔娘は混乱している、これは笑ってやるのが親切ってものだな  
別に受けても断っても俺はどちらでも良いんだ  
しかしあまり混乱させっぱなしなのも悪いな

冗談と言ってやるか、拗ねるかもしれんが、その顔はそれはそれで  
……

「い……一緒に寝ます!」

おい、受けるのかよ

そんなに恥ずかしいのなら止めればいいのに……変わった奴だ  
依存だけでこうまでなるか？ まさか洗脳で好意まで刷り込まれた  
んじゃ……

玲、さすがにそれは外道の所行だぞ、好意は絶対に止めておけ。

しかし誘った手前、断るのも……

まあ本人も許可してるんだし、抱き枕は嬉しい  
やっぱり堪能できるだけ堪能するべきだな

洗脳を解いた瞬間速攻で逃げよう、正気に戻ったら羞恥で襲われそ  
うだし。

今はそんな事どうでもいいか

布団をたくし上げ、魔娘に入るように促す

ゆっくりと魔娘は布団に入ってきた、顔が真っ赤だがな  
そして俺の顔を見ない、かなり恥ずかしいようだ。

ちなみに俺は平気だ

何故ならこいつは抱き枕扱いだからな  
抱き枕に羞恥を感じるのは変だろう？

「はう！」

抱きしめた瞬間、声を上げやがった

そんなにきつく抱きしめたつもりは無かったんだが……痛かったか？  
顔を見てみると目を回していた……気絶！？ 何故に！？

まあいいか、このまま寝よう

そして朝になったらからかってやろう

顔を真っ赤にして嫌々と頭を横に振る姿を想像するだけで楽しみだ  
おやすみっとね。

………

………

……

朝、目を覚めますが手の中が寂しい……と思ったら魔娘が居なかった  
まさか目を覚まして羞恥で精霊化したんじゃないだろうな……

起きて部屋を探してみるが、行方不明  
精霊化している可能性が高いな、呼ぶか。

「魔娘、出てこい」

『無理！ 無理です！』

とてもじゃないけど顔を合わせるなんて……無理！』

……出てこないな、外にでも出かけてるのか？

自意識過剰かもしれないが、俺に依存しているのに俺から離れるもの  
のだろうか？



それとも羞恥極まって出てこれないとか？  
まさかとは思うが……精霊化したままで寝たか？

仕方無いのでさっさと諦める

さて、これから何をしようかな……学校だな。

だが勝手に行ってもいいのか？

もし出かけていたり寝ているなら俺が居ないとパニックになるかもしれない

しかしこのまま学校に行かないという選択肢は無い。

面倒な……紙紙つと……これでいいか

えーっと、魔娘へ、俺は学校に行ってくる

もし来るのなら構わないが、必ず見えなくしてから来る事  
姿を見せて来たら俺の怒りを買うと思え。

これでいいか、これを3枚書いて

1枚を机の上、1枚を床の真ん中、1枚を扉に張っておく  
3枚張っていればさすがに気付くだろう。

精霊化と書かなかったのは、万が一俺の部屋に誰が入った時の保険だ  
精霊という言葉の意味を知られても困る

言葉の意味が分からない奴からすれば全く分からないだろうから大  
丈夫だろう。

「魔娘、俺は学校に行くからな  
着いてくるなら勝手にしろ」

『うう……着いていきまーす』

一応言っておいたが……虚しい  
呼んでも姿を現さなれないのは悲しいな  
はあ、行くか。

視点 明日香

「……鍵がですか!？」 「いったい何故……」

七星門の鍵が盗まれた!？  
どういう意味なの!？

「私にもよくわからないノーね  
とにかく、浜辺に犯人が居るらしいから、貴方達に行ってほしいノ  
ーね」

どうなってるの……またセブンスターズが？  
でもセブンスターズは全員倒したし……カミューラはしないでしょ？  
いや、瑞貴が命令すればするのよね？  
瑞貴なら……命令しかねない！ 主に娯楽の理由で！

「ほら、亮！ ボーッとしてないで行くわよ！」

「あ、ああ……」

（なんだか凄くやる気になってないか？）

まったく瑞貴は……何を考えてこんな事をしたのよ!？  
娯楽でするにしても、さすがに拙い事だって事ぐらい分かるでしょ！

途中で十代、翔君、隼人君、三沢君と会ったわ  
瑞貴は当然として、万丈目君まで居ないのはどうしてかしら？  
まさか瑞貴に付いたんじゃ……もしかして買収！？  
否定できない！ 瑞貴だったらやりかねないわ！

「三沢君、瑞貴の事知らない！？」

「堅守か？ 俺と一緒にこの話を聞いたんだが……  
もう関係無い自分に行かないって言って辞退した  
まったく、あいつは何を考えているんだか」

なるほど、夜中の間にカミューラに鍵を盗ませ

自分は関係無いと言って無関係を装う

万丈目君に何かをさせて、自分は隠れて観察する気ね！

瑞貴、悪趣味にも程が有るわよ！

お願いだからもう少し我慢してちょうだい！

……………

……………

……………

浜辺に着いたけど……万丈目君しか居ないわね

瑞貴は隠れているのかしら？

見つからない、どこに？

『サラ、瑞貴が隠れている可能性が有るわ  
この辺りを探してきてくれない？』

『どうしてそうなったのかは分からないけど……分かったわ』

ちなみに精霊が見える十代も隼人君も私の前に居た  
よって私達の行動に気付いてないみたい。

「万丈目！ どうしてこんな事を！」

「万丈目君、鍵を返さない！」

「嫌だ」

いくら瑞貴に買収されたからって何もこんな事までしなくても……  
瑞貴、何で彼を買収したの！？

「万丈目、どうしてこんな真似をしたんだ！？」

「そ、それは……」

天上院君、君と決闘デュエルをする為だ」

……はあ？

瑞貴が万丈目君にこんな命令するかしら？

こんな事をさせても瑞貴には何も特は無いはずよ  
高みの見物は楽しいでしょうけど。

「そんなの普通にやればいいじゃんか」

同意よ、十代

態々こんな回りくどいやり方なんて瑞貴らしくないわ  
……そうでもないか。

「だから、普通じゃ駄目なんだ！  
これは七星門の鍵と、天上院君とのデートを賭けたLOVE決闘だ  
！」

「「「LOVE決闘？」」」  
デユエル

「……万丈目君、馬鹿な事は止めて」

どうしてそうなるのよ……瑞貴は万丈目君にどんな指示を出したの？  
そもそも、私は万丈目君とデートなんてする気は無いわ  
もしその権利を持つのが瑞貴だとしても……まあ、無いわね。

「馬鹿な事とは何だ、明日香！」

そう言って現れたのは……

「何してるの、白黒兄さん！」  
モノクロ

アロハシャツにウクレレを持ち、更にバナナボートに乗っている白  
黒兄さん  
なんとシュールな……家族として、妹として恥よ！

「万丈目君は男の純情を賭けて、お前に勝負を挑んでいるんだ！  
明日香！ お前も女の純情を賭けて、応えてあげないか！」

もしかして今回のって瑞貴じゃなくて……白黒兄さんの差し金？  
いや、油断できないわ、瑞貴の事だから白黒兄さんは囧の可能性も  
否定できない  
モノクロ

白黒兄さんも瑞貴が命令できる相手、そして乗りやすい白黒兄さん  
自分から一枚噛ませろと言う可能性も有る……厄介な！  
モノクロ

後ろで十代達がもめてるけど無視  
そして万丈目君の目……話を聞く気が全く無いわね  
瑞貴に脅されているのかしら？

「はあ……分かったわ  
デュエル  
この決闘、受けましょう」

「やったあ！」

「よく言った明日香」

……疲れる  
瑞貴もこんなのじゃなくてももう少しマシな相手を用意して欲しかったわ。

「言っておくけど、私とデートしたって何の意味も無いわよ」

異性として全く意識してないんだもの  
私からすれば時間の無駄にしか思えないわ。

「そんな事はなーーい！  
きつと楽しいはずだ、購買部で買い物して、火山でピクニック  
憧れの灯台で語らい、僕の想いを君に……」

それって楽しいの？  
というか、デートってそういうものだったかしら？

「なんだかまどろっこしいわね……  
デュエル  
言いたい事が有るなら決闘で語りなさい！」

「ああ！ 嫌って言うほど！」

お互いに構える

今回はどのデッキにしようかしら  
元より負ける気は無いけど……

戦士族デッキはこの前負けたし……  
でも改造したから……大丈夫かしら？  
六武衆にしても……うう、悩むわ。

あーもう！ 自分の方がまどろっこしいわ！  
ちゃんと強化改造したから大丈夫よ！  
戦士族デッキで行くわ！

「行くわよ、万丈目君」

「準と……呼んでくれ」

「嫌」

「……………そんなハッキリと断らなくても」

そんな勢いで言われたら誰だって断るわよ  
なんだか怖いというか……引くわ。

「「<sup>デュエル</sup>決闘！」」

「僕のターン、ドロー！  
おジャマイエローを攻撃表示で召喚！」

カードを2枚伏せ、魔法カード、恋文を発動」

こ……恋文？

瑞貴の差し金にしてはまた変わったカードを……

「自分の場にモンスターが存在し、魔法、罠ゾーンにカードをセツトされている時に発動可能

天上院君、君は選ばなければならない

僕のモンスター1体のコントロールを得るか、僕の魔法、罠を1枚君のゾーンにセツトするか」

おジャマイエローのコントロールを得ても邪魔ね  
だけどこんなカードを使うぐらいだから伏せカードはコンボ用  
となると後者は拙いでしょうね。

「なら私はおジャマイエローのコントロールを得るわ」

「ええ!？」

そこまで驚かないでも……

やっぱりコンボ用のカードだったみたいね  
凄く効率が悪いけどね。

「クッ……手札からハリケーンを発動  
場の魔法、罠を全て手札に戻す！

そして罠カード、埋蔵金の地図の効果を発動  
このカードが場から手札に戻された時  
このカードを墓地に送り、デッキからカードを2枚ドロー  
カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」



本当に何をしたいのかしら……  
なんというか、独り善がりってこういうのを言うのかしらね？  
哀れというか情けないというか。

「私のターン、ドロー！」

私はマジック・ストライカーを召喚するわ  
マジック・ストライカーでプレイヤーに直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「罠カード、破壊輪！」

モンスター1体を破壊し、そのモンスターの攻撃力分のダメージを  
お互いが受ける」

マジック・ストライカーが……まあ問題は無いわね  
ダメージも600程度、軽いものだわ。

「恋の痛み分け……万丈目君、これが恋の痛みだ！」

「分かります！ 義兄さん！」

明らかに響きがおかしかったわね  
気が早いでしょうが……怒るわよ？

「明日香はどうだい！」

「はぁ……付き合ってられないわ  
戦士の生還を発動し、墓地からマジック・ストライカーを手札に戻  
すわ

そしてマジック・ストライカーの効果を発動  
墓地の魔法カードを除外し、手札から特殊召喚するわ  
カードを2枚伏せ、おジャマイエローを守備表示に変更してターン

エンドよ」

さっさと終わらせたいけど、手札が微妙なのよね  
またあの男みたいに大敗する事は無いと思うけど……

「僕のターン、ドロー

僕は天使の施しを発動、カードを3枚ドローし、その後手札を2枚を捨てる

強欲な壺を発動、カードを2枚ドロー！

罠カードオープン、おジャマトリオ！

相手の場に、おジャマトークンを3体、守備表示で特殊召喚する！  
おジャマトークンが破壊された時、1体につき、君は300ポイントのダメージを受ける」

……本当に邪魔ね

どうやって消そうかしら？

「更に罠カード、強制脱出装置を発動！

おジャマイエローを僕の手札に戻し、融合を発動！ 出てこい屑共！  
おジャマブラック、おジャマグリーン、おジャマイエローを融合し  
おジャマキングを守備表示で融合召喚！」

また邪魔なモンスターが……

壁としての能力が高いから困るわ。

「おジャマキングのモンスター効果を発動

このカードが存在する限り、相手モンスターゾーンを3箇所まで使用不能にする」

これで、私はこれ以上モンスターを召喚できない

まだ手札には無いけどヒュンレイはマジック・ストライカーを生け贄にして召喚できる

だけど、攻撃力は2300、おジャマキングの守備力3000には及ばない

手札には一族の結束は無いし、例えばヒュンレイをドローしてもおジャマキングは……

って、実は全く問題無いんだけどね  
おジャマトークンぐらい簡単にどうにかできるわ。

「カードを1枚伏せ、ターンを終了する  
君の場合は僕のモンスターで一杯だ  
つまり、君の胸も僕への想いで満ちあふれている……だろ？」

「それは無いわね」

「そんな即答しなくても……」

というか、ここまでハッキリと断っているのにめげないのね  
少しだけ関心したわ……命令されているとはいえ、こんな事言われるのは辛いと思うけどね  
それでも、もし少しでも許可を出して勘違いされても困るわ。

「私のターン、ドロー

罠カードオープン、デストラクト・ポジションを発動  
自分の場のモンスターを破壊し、その攻撃力分だけライフを回復する  
私が破壊するのはおジャマトークン、攻撃力は無いから回復しないわ」

「しかし、おジャマトークンが破壊されたので300のダメージだ」

「構わないわ

これで私の場は空いた……永続魔法、未来融合ーフューチャーフュージョンを発動！

デッキからE・HEROとしてエアーマン、光属性としてプリズマーを墓地に送るわ

2ターン後、E・HERO The シャイニングを融合召喚する  
そして私は魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動するわ！

場か墓地に存在する融合素材を除外し、E・HEROを融合召喚する！

私は先ほど墓地に送ったエアーマンとプリズマー融合！

E・HERO The シャイニングを融合召喚！

The シャイニングでオジャマキングに攻撃！」

「な、なにに！

お、おジャマキングが破壊されただとお！？」

「残念ながら、The シャイニングには効果が有ってね

The シャイニングの効果は除外されているE・HEROの数×  
300ポイント攻撃力が上昇する効果

これにより、元々の攻撃力2600に2体のE・HEROが除外されているので600アップ

よって攻撃力は3200よ！」

「そ、そんな馬鹿な……」

「続いてマジック・ストライカーダイレクトアタックで直接攻撃！」

これで万丈目君には合計1200のダメージね  
あんまり状況はよろしくないけど、まだ大丈夫ね。

そして既にThe シャイニングを融合召喚しているから未来融合は無意味なカードになっている  
私の融合モンスターにThe シャイニングは1枚しか入っていないものね。

「まだだ！ 罠カード発動！ 運命の分かれ道 ドラマチック・クロスロード！」

このカードは戦闘でダメージを受けた時に発動できる  
もう一度君は、次の2つの効果の内1つを選ばなければならない  
手札を1枚、ランダムに捨てる……もしくは、君の手札を見せてもらい、そこから1枚僕の手札に加える」

「なら手札から速攻魔法、神秘の中華鍋を発動するわ  
モンスター1体を生け贄に捧げ、その攻撃力か守備力分のライフを回復する

私が選択するのはおジャマトークン、生け贄召喚じゃないから生け贄が可能よ

その守備力分、1000ポイントライフを回復するわ  
これで私の手札は0、どちらの効果も無駄よ」

「……厳しすぎる愛だよ、天上院君」

愛なんて無いわよ

私は今自分にできる事をしているだけ。

「さあ、貴方のターンよ、万丈目君！」

「く……くそう！」

僕のターン、ドロー！

……（何でこのタイミングでドレスアップが来たんだ！？）  
た、ターンエンドだ！」

「なら私のターンね、ドロー  
サイバー・チュチュを召喚し、全てのモンスターで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「そ、そんな馬鹿なああああああ！」

なんだか可哀想な気が……

でも瑞貴に付いたんだからこれぐらい我慢してね  
買収された貴方が悪いのよ？

「決闘にも負けた……恋にも敗れ……た？  
デュエル  
だが俺は……一、十、百、千、万丈目サンダー！」

そうやって万丈目君は落ち込んだ、もしかして本気だったのかしら？  
いや、あんなに巫山戯た態度を取っていたんだからそれは無いわね。

「明日香！ こんな格好いいサンダーに何故惚れない！？」

「無理でしょ」

「ぐはあ！！！！」「ま、万丈目く……………ん！！！！」

何、この三文芝居

私の事を馬鹿にしてるのかしら？

もしかして瑞貴……私に自信を付けさせる為？

一昨日、私は落ち込んでたし……

って、それは無いか、瑞貴だものね。

その時、突然の地震！？  
な、何が起こってるの！？

視点 瑞貴

「チェック、俺の勝ちですね校長先生」

「うーむ……強いですね堅守君  
もう1度、どうですか？」

「良いですよ  
それよりも校長先生」

「なんででしょう？」

「俺達、遊んでいて良いんですかね？  
一応鍵を盗まれたという話は聞きましたけど」

「何、彼らなら大丈夫でしょう  
万丈目君も、少ししたらすぐに返してくれるはずですよ  
私は生徒を信じていますからね」

「……まあ良いですけど  
次は賭けませんか？」

「賭けはちよつと……」

生徒とするにもあまりよく無いですからね  
止めておきましょう」

「それもそうですね  
ではもう一戦、お願いします」

「お相手しましょう  
お願いします」

そんな感じで校長とチェスをしている  
とりあえずアレだな、電池にはカードを返して貰わないとならない  
みたいだ。



## 50話【恋のLOVE決闘】（後書き）

アムナエルと幻魔の時間が短すぎない？

アムナエル戦後何も入らず、十代が凄いと言われていたからです  
そこから考えるに、殆ど日数を置かなかったと推測しました。

洗脳でのマナの性格への影響はどれぐらいなの？

あまり影響はありません

羞恥などから変わったように見えますが、特に変化は無いのです  
しかし、あの性格……難しいですね、躰けましょうか？

瑞貴が親馬鹿で過保護？

瑞貴は自分で思っている以上に甘い性格ですので

ヒール（プロレス用語で悪役）も難しいのでは？ そう思います  
が、それはかなり根の話なので表面には殆ど出しません……多少出  
てますがね。

精霊の食事って？

知りません、捏造しました、

瑞貴って短気じゃなかったんだ……

名前では短気ですが、それ以外ではかなり心が広い方です  
最近ストレスが溜まっていて苛々しているようですけどね。

精霊って寝るの？

不明、捏造しました。

実際、マナに好意は刷り込まれてるの？

全く刷り込まれていません

玲は嫌悪感を強引に取り除いただけです

洗脳終了時、マナの瑞貴に対する好意も嫌悪も0から始まりました。

瑞貴……マメだね

マメですね、親切と言えるか微妙ですが。

明日香の瑞貴に対する印象って……

かなり酷いですね、しかし間違っていない

これぐらい本当にする人物です

まあ……実行してもこんなに貴重品は絶対に奪いませんがね。

明日香の推理が……

色々と有ったんでしょう

もし瑞貴に知られたらお仕置きですね。

明日香が万丈目を切り捨てて……

演技だと思っているので。

神秘の中華鍋ってあのタイミングで使える？

ちょっと微妙……無理ですかね？

できると思いますが、無理なら修正します。

瑞貴も校長も何してるの！？

チェスですね、暇なんでしょう。

原作、アニメオリジナルカード

恋文

自分の場にモンスターが存在し、魔法、罠も存在する時のみ発動可能

相手は以下の効果から1つを選んで効果を発動する

- ・相手の場のモンスター1体のコントロールを得る

- ・相手の場の魔法、罠1枚のコントロールを得る

前者ならアメーバやグリグルが使えますが、後者は……

使うとすれば破滅へのクイックドローを押し付けたりするぐらいで  
しょうか？

……何気に使える気がするのは何故でしょうか？

秘めた想い

このカードが相手の場から自分の手札に戻ってきた時

相手に1000ポイントのダメージを与え、自分は1000ポイントライフを回復する

普通に使えないカードですね、恋文が無ければ役立たず

しかもモンスターを選ばれたら今回のように……哀れ万丈目。

運命の分かれ道 ドラマチック・クロスロード

戦闘でダメージを受けた時に発動できる、次の効果から相手が1つを選択して発動する

- ・相手は手札をランダムに1枚選んで捨てる

- ・相手の手札を確認し、その中から1枚選んで自分の手札に加える

これはまだ普通に使えますね、手札破壊には丁度良いでしょう。

ドレスアップ

装備モンスターの攻撃力が300ポイントアップする

相手の守備表示モンスター攻撃表示に変更し、装備モンスターと戦  
闘させる事ができる

立ちはだかる強敵のような効果ですね、自分のターンに使用する  
使えるんでしょうが、今回は使用しませんでした。

## 51話【VS三幻魔 初編】（前書き）

ふう……燃え尽きませんよ、真っ白にはね  
まだまだ作者は生き残っています！

まあ……ちよつと胃痛が激しいのが難点ですね、原因は分かっています。

今回から三幻魔戦ですね

そして初編です、つまり暫く続きます

理由は内容を読んで貰えればよーーーーーく分かるかと  
それなりの長さになると思います。

次話は……また厄介な事です

今回の内容から、次話を考えるのが凄く難しいのです  
よって、どこまでできるか……まあ頑張ります。

## 51話【VS三幻魔 初編】

視点 明日香

地震が起こったかと思ったら突然火山の裏に柱が……  
一体何がどうなってるの？

柱の方を見ていると突然万丈目君が声を上げた  
そちらを見てみると七星門の鍵が光ってる？  
もう何が何やら……

「お、お、お？ うわぁ！」

「ちょ、万丈目君！？」

万丈目君は光ながら浮き出した鍵に引っ張られていった  
首に掛けていたけど、大丈夫かしら？  
もし逆を向いていたら呼吸が止まって死んでない？

って、冷静に観察している暇は無かったわ！  
急いで追いかけないと！

追いかけている内に万丈目君は鍵に引っ張られるままに浮かぶ  
全体重が首に掛かっているのよ！ 首の骨が折れて死んでしまうわよ！  
だから早く首から鍵を外しなさい！

そう叫ぼうと思ったんだけど、その前に万丈目君は木にぶつかった  
七星門の鍵に繋がっていた紐が千切れ、万丈目君は落ちた

大丈夫かしら？ 頭から落ちたし、さっきも顔から木にぶつかったし……

そういえば飛んでいった鍵は？

見上げてみると鍵が柱に吸い込まれていった……

「鍵が！」

「吸い込まれた！」

「他の柱にも……」

「他の鍵も次々と！」

「もしかして七星門が……」

順番に翔君、三沢君、隼人君、白黒兄さん、モノクロ十代ね  
みんな息ピッタリね、私には無理よ。

「開くのかあああ！」

……万丈目君、鍵を持ち出した貴方が何を馬鹿な事を  
みんな呆れてるわよ？ しかも、本人に自覚が無いみたいだし。

「みなさん！」

「何事なノーね！」

一体全体、どうなってるノーね？」

そう言って来たのは校長先生とクロノス教諭

ついでという感じで後から来た瑞貴。

だけど瑞貴は無言で万丈目君を睨んでる  
もしかして私に負けた事を怒っているとか？

「それが、七星門の鍵が……」

「」「サンダーのせいで！」「」

また息ピッタリね、みんな  
私にはやっぱり無理よ。

「そうか、七星門の鍵は俺の愛の力のせいで！」

どこまでプラス思考なのよ……  
これは怒ってもいいわよね？

「おい電池！」

お前な……確かに何かをするとは思っていたが、こんな大事にする  
とは何事だ！？

とりあえず、昨日売ってやったカードを返せ！」

「ちょ、ちよつと待て！」

俺だってそんなつもりは……」

「知るか！　というかお前何をした！？

モノクロ  
白黒、お前も電池に何を吹き込んでこんな事になった！

説明し、面倒事になって態々足を運ばされた俺に土下座して謝れ！」

え？　瑞貴の指示じゃなかったの？

……疑っていた事は言わないでおきましょう  
もし言ったら……想像したくないわ！

瑞貴が万丈目君に尋問していると、また地震が起こった！

クレーターのようになった場所の中心から大がかりな機械が出てきた  
あの中に三幻魔のカードが……でも、ちょっと大がかり過ぎない？

「（いや、あれはやり過ぎだろう

地下に仕舞っていたみたいだが、普通湿気てないか？ それともか  
なりの深さだったのか？

持った瞬間にふにゃっと曲がって使い物にならなかったら笑うぞ？」  
」

「あれが！」

「三幻魔のカードか！」

走り出して取ろうとする十代に万丈目君

そして後に続く三沢君

私も行こうとしたんだけど、その前に声が響いた。

『貴様らにそのカードを渡すわけにはいかんな……』

何事かと思い、声のした方向を見てみると……飛行機？

そして飛行機から何かが落ちてきた

パラシュートで勢いを落としながら落下してくる……あれは何？

そして着地、大きな音を立てて謎の物体は落下する

砂煙を上げていたけど、それも晴れてくる

姿を現したのは……巨大な機械？ というかロボット？



「なんだ……あのロボットは」

あ、やっぱりロボットだったのね  
何者なのかしら？

『ふ、ふふふふふふ

鮫島校長、私の声を忘れたのかね？』

知り合い？

変な人と付き合いがあるのね、校長先生。

「その声は……影丸理事長！」

……あれが理事長？

この学園の人事部ってどうなってるのかしら？

あんな人が理事長だなんて、この学園大丈夫かしら？

『時は満ちた

今これより、三幻魔復活の儀式を行う……』

「三幻魔復活の儀式……」

「どういう事だ

何故七星門の鍵が勝手に開く！」

いや、貴方が持ち出したからじゃないの？

『最初からそういう仕掛けだからだ

三幻魔のカードをここに封印し、七つの鍵を鮫島に託したのは私自

身なのだ』

どうでもいいけど

そういう事って簡単に話して良い事なの？

私達は色々知れるけど、後で不利になるのは貴方なんじゃないの？

『七つの鍵はお前達とセブンスターズを戦わせ

この島に決闘者<sup>デュエリスト</sup>の闘志を蔓延させる道具に過ぎん』

自分のせいじゃないって小さく安心してるみたいだけど……

万丈目君、貴方がこんな事をしなければもっと先になってたんじゃないの？

後で叱っておいた方がいいわね。

『今から数年前、私は永遠の命と世界の覇権を手にすると言われる伝説のカード、三幻魔を手にした』

なんだか語り始めたわね……省略

要はこの学園は決闘者達<sup>デュエリスト</sup>の闘志を集める為に設立したらしいわ

見たところかなりの年齢じゃない？　よくそんな気長な事をするわね  
別に決闘者<sup>デュエリスト</sup>じゃなくてもプロ界の方が闘志も多かったんじゃない？

確かに学園の方が人数も年齢的にも闘志が集まるかもしれないけど

……

それにしても失敗する可能性も高いような気がするわ。

でも、よくあの気紛れな海馬社長を納得させられたわね

かなりのお金が動いたんじゃないかしら？

ご苦労様な事ね。

「ならば、お前の野望を打ち砕く為、俺が相手をしよう！  
オベリスクブルーのカイザー、丸藤亮が！」

瑞貴曰く、豆腐の皇帝

でも何で豆腐なのかしら？ 教えてくれなかったのよね……  
後……自分でカイザーって言って恥ずかしくないのかしら？  
そういうのって他の人が勝手に言うからこそ、二つ名なんでしょ？

「いや、この決闘<sup>デュエル</sup>だけはこの……  
一、十、百、千、万丈目サンダーが受けて立つ！」

瑞貴曰く、液漏れ電池

オベリスクブルーからオシリスレッドにこぼれ落ちたかららしいわ  
こんな時まで格好つけなくてもいいんじゃない？  
ほら、瑞貴が睨んでるわよ？

「いいや、この決闘<sup>デュエル</sup>はこの僕……  
デュエル・アカデミアの……うーん、ブリザード・プリンス、天上  
院吹雪がお相手する」

瑞貴曰く、白黒<sup>モノクロ</sup>留年生

ウクレレを鳴らしながら言っても全く格好が付かないわ  
もしかして、この人が私の人生の最大の汚点じゃないかしら？

『駄目だ！』

瑞貴曰く、地底王

イマイチ意味は分からなかったわ  
そして名乗ろうとした瞬間、影丸に邪魔をされた。

『私の相手は遊城十代、お前だ』

「俺が？」

ああ、楽に勝てそうだからかしら？

でも瑞貴の強さ表で言えば万丈目君や三沢君の方が弱いわよ？

『そう、精霊の力を強く持つ

お前でなければ意味が無い！』

そういえば十代はハネクリボーの精霊を持っていたわね

私と違って本当に自分の精霊……私とサラとは違うんだったわ。

そして柱から電気みたいなのが流れ始めた

あれは……何かしら？

『私の挑戦を断るなら

ここから出られぬまま、この島ごと海に沈むことになる』

脅迫！？

これで十代に選択肢は無くなったわ

まあ、瑞貴なら断りそうだけどね。

『しかし……最初から何も知らぬ状態で戦うのは怖かろう？

そこで、特別に生け贄を用意してやろう』

「生け贄？」

つまり噛ませ犬ね

良い趣味してるわね、吐き気がするわ。

『そうだ、そこで自分は関係が無いとそっぽを向いている  
貴様だ！ 裏切り者、月桂樹！』

月桂樹って……まさか瑞貴の事！？

それに裏切り者ってどういう意味なの！？

「……俺かよ

お断りだ、面倒だし」

さすが瑞貴、例え危なくても平気で断るのね  
でも、こんな時にしないで欲しいわ……

『受けねば……アムナエルの追加報酬は無しだ』

「アムナエルの？

どういう意味か分らんが、それはそれで惜しい気がする  
しかし……だが……うーん……」

アムナエルって誰？

というか、貴方達ってどういう関係なの？

「堅守君、君は影丸理事長とどういう関係なんだね？」

「別に、以前ちょっと契約していただけですよ  
もう契約は終わっているので関係は切れていますがね」

契約って……そして報酬って言葉から考えてお金目的？  
瑞貴、貴方は何をしたの？

『ふん、口だけは達者だな

月桂樹よ、お前は拒否が許される立場ではない  
このままでは死んでしまうぞ?』

「なら、俺が先にお前を殺す  
そのシリンダーの中に入っている溶液が無くなったら……どうなる  
んだろうな?」

そう言って影丸に銃を向ける瑞貴  
って、銃なんてどこに隠してたの!?

『……………』

「……………」

お互いに沈黙

私達も誰も、何も言わない。

『……追加報酬倍増』

「受けよう」

「「「金で解決するな!」」」

十代、万丈目君、三沢君からのツツコミ  
亮、白黒兄さん、クロノス教諭は呆れている

校長先生は納得しているような………  
鍵を守ってもらったんだったわね  
だったら納得するのもまた納得ね。

デュエルディスク  
「明日香、決闘盤を貸せ」

あの狸爺を叩き潰してやる、俺を噛ませ犬扱いした事を存分に後悔させてやるよ」

「良いけど……あんまりやり過ぎないように注意してね？」

デュエルディスク  
瑞貴は無言で私から決闘盤を受け取る

そしてデッキを選び、シャッフルしてセットする。

影丸の方も三幻魔のカードをデッキに入れた  
でもデッキをシャッフルしたの？

見落としたのかしら？

『さあ、闇のゲームの始まりだ』

「煩いよ耄碌爺」

介護をする人が大変だからさっさとくたばれ」

『口の減らないガキめが……』

普段通りの瑞貴で安心したわ  
全くと言って良いぐらい普通ね

瑞貴が緊張する事って有るのかしら？

デュエル  
「『決闘!』」

「先攻は俺が貰おうかな……ドロー」

言い忘れていたが糞爺、俺は幻魔達的能力は知っているんだ」

『なに?』

どういう意味？

幻魔は封印されていたカード

その能力を知る手段なんて……

「すぐに分かるさ

俺は魔法カード、闇の指名者を発動する

今から俺はカード名を宣言する

そのカードが相手のデッキに入っていた場合、相手は手札に加える  
俺の宣言するカードは……三幻魔のカードである降雷皇ハモンだ」

『なんだと！？』

「何を考えているんだ、あいつは！

そんな事をして、何の得が有るといふのだ！」

「分からん、だがあの堅守の事だ

何かしら考えがあるに違い無い」

私には瑞貴の目的が分かる

瑞貴……さすがと言うべきかしら？

確かに幻魔を封じるにはそれが正解かもしれないわ。

「デッキに入ってるんだろ？

さっさと手札に加えたらどうだ？」

『ふん、後悔するがいい』

影丸は降雷皇ハモンのカードを手札に加えた  
目的は分かったけど、この後どうするつもり？



そう簡単にはいかないと思うんだけど……

「そして俺はカードを3枚伏せる  
次に魔法カードを使用する

そのカードとは……手札交換だ」

あ、あら？ 予想と違ってたわね

私はてっきり手札に持たせて手札抹殺とかを使うのかと……  
でも手札交換？ 知らないカードね。

「手札交換はその名の通り、自分と相手の手札を交換するカードだ  
さあ爺、俺の手札1枚とお前の手札6枚を交換しようか」

『き、貴様……これを狙っていたのか！  
それで私に幻魔を手札に呼ばせ……』

瑞貴は影丸の言葉を無視し、影丸に近づいていく  
影丸は怯むも、カードの効果は手札交換  
よって逃げる事はできない。

瑞貴は影丸からカードを奪い、自分の手札を渡す  
瑞貴の手札のカードはなんだったのかしら？

『（クリッター……なんと無用なカードの事か  
本気でこれを狙っていたのか、奴は本当に幻魔の能力を知っている  
のか？）』

「さて、なかなか悪くない手札だな  
そして俺は魔法カードを1枚伏せる事にしようか」

態々魔法カードと宣言した？

どういうつもり……速攻魔法だと脅しているのかしら？

「お前は幻魔の姿が見たいんだろう？ だったらじっくりと見るんだな

俺はお前の悪夢の蜃気楼、俺の早すぎた埋葬とサイクロンを生け贄に捧げる

これぞ幻魔の姿、現れろ！ 降雷皇ハモン！」

瑞貴が……幻魔を召喚したですって？

しかもまだ1ターン目、ふ……ふふ、笑えないわね

これが瑞貴の相手のデッキをズタボロにする戦略

相手が使うカードが分かっているれば簡単にアンチデッキを作る事ができる

恐ろしいわ……最後の敵さえも手玉に取るなんてね。

そして降雷皇ハモンの攻撃力は4000

この攻撃力は……普通ね

雰囲気は禍々しいだけに、攻撃力が普通に感じられるからあまり怖くないわね

そこまで恐れられるようなモンスターかしら？

「最後に伏せていた魔法カードを発動しよう

魔法カード、天声の服従！

ライフを1000払って発動するカードだ

俺はLV8以上のモンスターカードを1つ宣言する

そのカードが相手のデッキに入っているれば、俺の手札にする事ができるんだ」

LV8以上のモンスターカード……という事は！

『まさか!』

「そう、俺が宣言するモンスター……それは幻魔皇ラビエル！  
お前のデッキに入っている事は知っている！  
さあ、デッキからラビエルを俺によこしな！」

『ぐ、ぐうううう！』

おのれ……噛ませ犬の分際で!』

「それは違うな

俺は噛ませ犬じゃない、例え噛ませだとしても犬なんて優しい生き物じゃないさ

俺が噛ませだとすれば……猛毒蜘蛛かねえ？」

噛ませ蜘蛛なんて聞いた事が無いわよ

蜘蛛……毒でジワジワといたぶって、そして最後に獲物を食すなるほどね、まさに瑞貴だわ。

瑞貴は影丸からカードを奪って定位置に戻る

瑞貴の手札は全て影丸から奪ったカードだけ、凄まじく酷い手札ね。

「俺はこれでターンエンドだ

お前のターンだぞ、駄目爺」

『くう……私のターン、ドロー！』

私はクリッターを守備表示で出し、ターンエンドだ!』

クリッター……瑞貴が渡したカードかしら？

でもどうして自分で召喚しなかったの？

「俺のターン、ドロー」

俺は手札から魔法カード、強欲な壺を発動する  
これでデッキから2枚ドロー

幻銃士を攻撃表示で召喚し、幻銃士の効果を発動する  
自分の場のモンスターの数だけ、銃士トークンを特殊召喚！」

瑞貴の場にはハモン、幻銃士の2体

よって現れる銃士トークンは2体ね

これで瑞貴の場には4体ものモンスターが並んだ。

「俺は魔法カード、速攻召喚を発動する  
今、俺は通常召喚権を得た

よって幻銃士と、銃士トークン2体を生け贄に捧げる

嬉しいだろう？ 三幻魔が1体、幻魔皇ラビエルを召喚！」

2体目の幻魔……幻魔皇ラビエル！

また禍々しいモンスターね、さすが幻魔

でも攻撃力はまた4000と普通、勝つのは不可能じゃないわ。

「次に俺は罠カードを3枚伏せる

俺が伏せたのは全てお前のカードである黄金の邪神像、融合失敗、  
罰ゲームだ」

今度は罠カードを3枚……という事はまさか！

「嬉しいだろう？ こんなに早く全ての幻魔を見る事ができるんだ  
からな

俺は3枚の罠カードを生け贄に捧げ、出番だ……神炎皇ウリア！」

影丸の手札には最初に幻魔が入っていたのね  
そしてまた幻魔を召喚した……なんて馬鹿みたいな場なの？

「知っていると思うが一応説明しておこう

ウリアの攻撃力は俺の墓地に存在する罠カードによって決まる  
俺の墓地にはまだ罠カードは無いからな、攻撃力は0だ」

攻撃力0を召喚しても無意味でしょ！

どうして召喚したのよ！

……嫌がらせの為ね、絶対に。

『ぼ、馬鹿な……

私が……私が負けるというのか！？』

「は……はは……」

ん？ 瑞貴の様子が変わね

頭を下げ、体を震わせている……

どうかしたのかしら？

「あはははははははははは！

なんだ、なんだこの気持ちちは！」

み、瑞貴が壊れた……

もしかして幻魔を操っているから？

「これが幻魔の力か！ これが神に匹敵すると言われる力か！

これが永遠の力か！ これが覇権を手に入れられると言われる力か  
！」

『ぐう……あんなガキに我が幻魔が……』

「黙れよ爺、せっかく気分が良いんだ  
さっさと失せるんだな

ハモン、クリッターを潰せ……失楽の霹靂」

雷が……クリッターを焼き尽くす

攻撃力4000の前に、守備力が3桁しか無いクリッターは為す術もなく破壊される。

「更にハモンの効果が発動する！

モンスターを戦闘で破壊した時、相手に1000ポイントのダメージを与える！

ハモンの効果、地獄の贖罪！」

『ぐうあああああ！』

今度は影丸に雷が落ちる

もう影丸を守るカードは無い……

「クリッターの効果……無駄だが発動しておくか

このカードが墓地に送られた時、デッキから攻撃力1500以下のモンスターを手札に加える

クリッターは元々俺のモンスター、よってこの効果は俺が使う

この効果により、2枚目の幻銃士ダイレクトアタックを手札に加える  
終わりだ……ラビエルの直接攻撃、天界蹂躞拳！」

『むうおおおお！』

ラビエルの爪が輝き、影丸を引き裂くように攻撃する

これで影丸のライフは0ね。

瑞貴の勝ちなんだけど……なんだか瑞貴の様子が変わね  
三幻魔を出したまま、三幻魔を見つめている  
どうしたのかしら？

「く……なるほどね

さて、幻魔復活の儀式の再開といこうか？」

「……瑞貴、それはどういう意味？」

「決まっているだろ、明日香

せっかく幻魔が復活できるんだ……このまま閉じ込めては可哀想だろう？

それに俺は見たい、この幻魔達が暴れる姿を！ 逃げ惑う人間の姿を！」

「な、何を言ってるんだ……奴は」

おかしい、瑞貴にこんは欲望は無かったはず  
何が瑞貴を変えたのか……決まっているわね。

「瑞貴、もしかして貴方……幻魔の力の誘惑に負けたんじゃないのかしら？」

「誘惑に負けた？ さあ……どうだろうな？

くくく……少なくとも正気とは言えないと思うがな」

可能性の1つ目、操られている

幻魔という名を持つんだもの、その程度できても不思議じゃないわ。

可能性の2つ目、瑞貴の本性

だけど、幻魔のカードを手に入れたぐらいでここまで変わるかしら？  
幻魔ぐらい、瑞貴なら越える力を持つモンスターだって何枚も持っているはず

物理的に作用を及ぼすかどうかは別にするけど。

可能性の3つ目、幻魔の力に負けて呑み込まれた

この様子だとその可能性が最も高い

それだと瑞貴のミスね、幻魔の力を侮った？

最後の可能性、何か目的が有っての行動

瑞貴なら有り得る、芝居の上手さはタイタン戦で知ってるしね  
でも目的が分からない……本当に何を考えてるのかしら？

「さあ、似非、俺と決闘だ！<sup>デュエル</sup>」

精霊の力を手にし、幻魔を復活させようではないか！」

「そんな事させて堪るか！

いいだろう、受けて立ってやる！」

「ふふふ、いや待てよ？ 良い事を思いついた

お前達全員で掛かって来るがいい」

「全員……だって？」

瑞貴は相変わらず強気ね

でも、普段よりもずっとやる気に満ちている

こんなの、瑞貴らしくないわ。



やっぱり力に負けて飲み込まれたと見た方が良さそうね  
瑞貴の性格が変わりすぎている！

「勝ち抜き戦だ、俺とお前達全員で1対2で戦う  
全員持ちライフは4000、俺のライフも4000だ  
場は全て持ち越して戦う、これでようやく互角だろう？」

私達全員の顔付きが変わった  
いくら何でも全員を相手にして互角という言葉には腹を立てたらし  
いわ  
勿論、私だって怒ってる。

「細かい説明をしようか  
俺の初期ライフは4000、お前達全員1人1人が初期ライフ40  
00だ  
ターン順は俺、お前ら？、お前ら？、俺という順番となる

戦闘ダメージはそのモンスターの持ち主が受ける、当然といえば当  
然だな

そして1人のライフが0になったら、その時点でそのプレイヤーは  
失格だ

次のプレイヤーが入り、そのまま場は一切変わらずに続行する  
俺はプレイヤーを1人撃破した時点でバトルフェイズは強制終了さ  
せよう

でなければ、連続攻撃でそのままライフを0にしかねんからな  
場もモンスターも魔法、罠も共通とし、お互い好きに使用する事が  
可能だ

例えばお前ら？が召喚し、攻撃したとする、その？はその？のモン  
スターでも攻撃が可能

つまり、俺はバトルフェイズを1回しかできないのに対してお前ら  
は2回可能というわけだ

そして墓地と除外は引く次ぐことができないので破壊された強力なモンスターの再利用は不可能だ  
ここまでで何か質問は？」

「はい！」

「明日香か、何だ？」

「どうして態々そんなに詳しく説明してくれるの？」

「……………質問は無いな」

スルーされた！

私からすれば凄い疑問だったのよ！

「順番は好きに決めるがいいさ

しかし、似非が負けた時点で精霊の力は俺の物

よってゲームオーバー、似非は最後に出す事を勧めるぞ」

私達は……

私、十代、翔君、隼人君、万丈目君、三沢君、亮、モノクロ白黒兄さん、クロノス教諭、デュエル校長先生

校長先生は決闘ができるか分からないから置いておくとして、こちら  
らは9人ね。

全員のデッキの相性を考えると……

私と十代はデッキ相性が良いわね、戦士族とE・HEROだし

翔君、亮、クロノス教諭も機械族だから相性が良い

隼人君と万丈目君は獣族、モノクロ万丈目君と白黒兄さんはドラゴン族で組める

問題は三沢君なんだけど……適当でいいか、何のデッキを使うか分からないし。

となると順番も自然と決まってくるわね

翔君はユーフォロイド・ファイターからの相性から私か十代と組むのが良いわ

そうなる機械族達は後になってくる。

隼人君と万丈目君、万丈目君と白黒兄さんモノクロのどちらかを最初に出すべきね

三沢君にはこの組と機械族との間に入って機械族と獣族かドラゴン族をサポート

順番は決まったわ。

「順番は私が決めていいかしら？」

というか、既に考え終わって決めたわ」

「さすが明日香、兄さんは鼻が高いぞ！」

「こんな時まで巫山戯ないで

順番は、最初に万丈目君と隼人君の獣族で組んでもらうわ

次に白黒兄さんモノクロが入り、万丈目君とドラゴン族を共有してもらう

次は三沢君、ドラゴン族と機械族組の間に入り、両方をサポート

機械族を使うクロノス教諭、亮、翔君の順番で入るわ

翔君が最後の理由は戦士族との融合で出せるユーフォロイド・ファイターを使用できるから

その次に私、最後に十代と組んで戦士族、E・HEROと一緒に使う……どうかしら？」

全員無言……何か悪かったかしら？

「天上院君、僕は君と組みたい」

「デツキの相性を考えなさい

私達が組んでも、お互いに長所をつぶし合うだけよ」

「そ、そんなあ……ガク」

この状況で何を馬鹿な事を……  
もつと真面目に考えてほしいわ。

「俺はそれで構わない

みんな、その順番で行こう」

亮は賛成派ね

他にも翔君、隼人君、三沢君が頷いていく。

「僕も構わないよ

できれば最後に決めたかったけど、確かに相性は重要だしね」

不満ながらも賛成の白黒兄さん  
モノクロ

大丈夫よ、白黒兄さんだったらきつと簡単に負けるから。

「私まで含まれてるな――て

でも、生徒の危機に、我が儘なんて言って、られないノーね」

いつの間にか良い人になっているっぽいクロノス教諭  
何か切欠が有ったのかしら？

「俺もいいぜ、特に俺は絶対に負けられないんだろ？

必ず生き残ってみせる！」

やる気十分な十代

そして残ったのは……

「ん？ お、俺だって構わん！

絶対に勝ってやろうじゃないか！」

全員で睨むとさすがに空気を読んだ万丈目君

彼の考えている事は時々意味が分からないわ……

そういえば完全に忘れてたけど影丸は？

探して見るとかなり離れた場所まで逃げていた

よっぽど精神的に堪えたんでしょね……トラウマになってないかしら？

……トラウマになった方が良くんじゃないかしら？

ここまで大騒ぎを起こし、更に瑞貴がこんな状態になった元凶なんだもの

むしろ軽すぎるぐらいだわ！

改めて瑞貴を見してみる

……ん？ あれは……マナ？

マナは瑞貴に向かって杖を翳している

魔術師だし、何か魔法を使っているのかしら？

『サラ、マナは何をしてるの？』

『分からない』

だけど、見たところ瑞貴の暴走を抑えているように見える  
瑞貴が冷静でいられるのは、彼女の努力の結果かもしれない  
急がないと彼女の魔力が尽きてしまうかもしれないわ』

となると……私の予想は3つ目、幻魔の力に呑み込まれたの可能性  
が上がったわね

予想外というか、瑞貴は意志が強そうだったんだけど……どうして  
呑み込まれたのかしら？

瑞貴の心が弱いとは思えないし……

できるだけ早く瑞貴を倒すわ  
だからマナ、頑張って耐えて！

「決まっただみたいだな  
デュエリスト  
決闘者はこっちに来なよ」

瑞貴に呼ばれ、彼の前に立つのは万丈目君と隼人君  
2人とも、頑張って！

「「決闘！」」  
デュエル

## 51話【VS三幻魔 初編】（後書き）

瑞貴は何故この場に來たの？

校長が頼み込みました

しかし、それが返って事態を悪化させる結果に……

何故瑞貴は銃を持ってたの？

セブンスターズ戦後に三幻魔復活というイベントを覚えていたからです

というか、影丸がこのまま終わるなんて思っていなかったから警戒していました。

月桂樹の事と裏切りの事は？

既に忘れられています、その後が色々な意味で強烈でしたので何か切欠が起これば誰か思い出すでしょう。

今回瑞貴が使ったデッキは？

手札強奪、対三幻魔用のデッキです

使わないに越した事は無いのですが、一応作っておいたそのような感じのデッキですね、ですので三幻魔用のカードも入っています。

幻魔達の召喚方法が違う！

アニメ効果です

ハモンは魔法カード全て、ウリアは罠カード全て

ラビエルは特殊召喚ではないのですが、召喚制限がありません。

瑞貴はどうしてこうなったの？

明日香の予想が大当たりです、幻魔に呑み込まれました

理由は自分で持っていた幻魔は普通のカードだったからです  
しかし、アニメ内での幻魔のカードは普通ではありません  
それにより油断していました、完全に不注意のミスですね。

影丸はどうなってるの？

自分で使おうとしていた幻魔に潰されたので幻魔に怯えています  
ようやく、自分が何をしたのか理解したようです

今後、彼は理事長を辞めて普通に暮らす事でしょう……多分。

マナは何をしているの？

魔封じの魔法……という事にしてください

幻魔から瑞貴へ送られている悪意を少しでも抑えようとしています  
なので瑞貴はまだ落ち着いています

もしマナの魔力が途切れたら……瑞貴の暴走ですね、怖い怖い  
ちなみに、精霊化状態ですからね？ 実体化はしてませんよ。

ここまで派手にしているという事は……

はい、十代と万丈目に気付かれています

隼人は完全に見えないらしいので気付いていません

2人共、ブラック・マジシャン・ガールの存在に驚いています

しかし、それよりも優先する事が有るので後回しにして決闘に集中  
デュエル  
中です。

原作、アニメオリジナルカード

手札交換

お互いの手札を交換する

超シンプルなカードです

遊戯王の豆知識ですが、効果が短ければ短いほど凶悪という定説が



……

強欲な壺然り、サンダーボルト然り、ハーピーの羽箒然り  
今回もやはり凶悪な効果でした。

天声の服従

ライフを1000ポイント払い、LV8以上のモンスター名を宣言  
する

相手のデッキにそのモンスターが入っていた場合、そのカードを自  
分の手札に加える

確実性は高くないものの、ライフ1000で切り札を奪えると考え  
れば安いですね

かなり反則級のカードです

ちなみに、幻魔はLV10です。

## 52話【VS三幻魔 ダークネス編】（前書き）

割と余裕を持って終わりました  
よかったよかった……疲れました、主に頭が。

最初から最後までずっと決闘中デュエルです  
構成で頭が痛い……よくもまあここまでできたと我ながら関心しました

とりあえず言いたい、お前ら（特に隼人）本当にレッド生徒か？

ダークネス編の理由ですか？

少し読めば分かります、そして視点主から説明もされますので  
ここからが正念場です、頑張れみんな！

次話はどこまでできるか……

ここまで頭が痛くなるような内容なので時間が掛かるかもしれません  
それに決闘デュエルだけで内容を増やすのはとても大変で……まあ頑張ります。

## 52話【VS三幻魔 ダークネス編】

視点 吹雪

<sup>デュエル</sup>決闘の合図と共にお互いにデッキからカードを5枚ドロウする  
<sup>デュエル</sup>この決闘、負けられないな。

「さて、始める前に1つ言っておく」

「何をだ？」

「俺は1人を倒す事にデッキを変える  
何故なら、お前達全員を相手にしていたらデッキ枚数が足りなくなるからな  
速攻のデッキで全て1ターンキルするのも有りだが、それだと可哀想だろ？」

嘗められている、彼らはそう思っただろうね  
しかし、僕はそれが本当だと思う

堅守君のカードと、彼のタクティクスを見れば……不可能ではないだろう。

となると、彼の使うデッキは最大で8つ  
当然、後半になればなるほど強力になっていくだろう  
できれば前半で倒しておきたいところだ。

「最初は俺のターンだ、ドロウ  
……ふん、魔法カード、召喚師のスキルを発動！」

デッキからLV5以上の通常モンスターを手札に加える！  
俺がデッキから手札に加えるのは……真紅眼の黒竜だ！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

れ、真紅眼の黒竜だって！？  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

今回の彼のデッキはドラゴン族デッキか！？

「更に黒竜の雛を召喚する」

黒竜の雛……という事はあるのか？

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜が……

「黒竜の雛の効果を発動

このカードを墓地に送り、手札から真紅眼の黒竜を特殊召喚！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

「最初のターンから攻撃力2400だと！？」

「まだだ、手札から魔法カード、黒炎弾を発動！

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜の攻撃権限を捨て、その元々の攻撃力分のダメージを  
相手に与える！

俺はこの効果により、でかいのに2400のダメージだ！」

「うわああ！」

速攻で2400のダメージか……これで前田君のライフは1600  
僕もするコンボだけど、初手から行うとはね。

「まだ最初のターンだからな、攻撃権限を捨ててもデメリットは無い  
カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

俺はユーカリ・モールを守備表示で召喚するんだな！  
更にカードを2枚伏せ、ターンエンド！」

「俺のターン、ドロー！」

手札から魔法カード、天使の施しを発動する！

デッキから3枚ドロし、その後手札を2枚捨てる

そして今捨てたおジャマジックの効果を発動！

このカードが手札、場から墓地に送られた時、デッキからおジャマ3兄弟を手札に加える！

更に魔法カード、融合を発動し、おジャマ3兄弟を融合！

おジャマ・キングを守備表示で融合召喚！」

おお、守備力3000のモンスターが存在していれば心強い！

それにここまで無駄が無いし、さすが万丈目君！

しかし……こんなに格好良いサンダーに何故明日香は惚れないのだろうか？

堅守君とは違うと言っているし……うーむ。

「そして融合解除を発動！」

おジャマ・キングの融合を解除し、おジャマ3兄弟を墓地より守備表示で特殊召喚！」

……何故融合を解除したんだい万丈目君！？

壁としてはさっきのおジャマ・キングの方が優秀だよ！

「そして魔法カードを発動！ おジャマ・デルタサンダー！！

自分の場におジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン・おジャマブラックが存在している時発動可能！

相手の場と手札の枚数×500のダメージを与える！

更にデッキ、手札からおジャマ・デルタハリケーン！！を墓地に送

る事で更に効果を続行！  
相手の場のカードを全て破壊する！」

な、なんだってー！ー！！！！

堅守君の場には3枚、そして手札は1枚、合計2000のダメージだ！

しかも場を一掃できてお得なコンボ、さすがだよ、万丈目君！

「ふん……罨カード、デストラクト・ポーションを発動！

自分の場のモンスターを破壊し、そのモンスターの攻撃力分のライフを回復する

更に罨カード、レッドアイズ・バーンを発動！

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜が破壊された時、お互いにその元々の攻撃力分のダメージを与える！」

馬鹿な！？

チェーンは逆順から行われる、よってこの場合を考えると……

最初にレッドアイズ・バーンが発動される

次にデストラクト・ポーションの効果で真紅眼の黒竜が破壊されてレッドアイズ・ブラックドラゴン  
ライフを2400回復

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜が破壊された事でレッドアイズ・バーンの効果が発動し、お互いに2400のダメージ

最後におジャマ・デルタサンダー！！の効果が発動されて2000のダメージ

これにより、堅守君のライフは6400↓4000↓2000となる……

しかし、こちらは違う

万丈目君のライフは1600まで減らされ、前田君は既に1600なので0になってしまう

まさかこんな短時間で1人倒すなんて！

ちなみに、発動時におジャマ・デルタサンダー！！で与えるダメージは決まっている

よって数が変わっても与えるダメージは変わらないので2000ダメージは変わらないよ。

「速攻魔法、非常食を発動するんだな！

俺は伏せカードを1枚墓地に送って、ライフを1000ポイント回復！

俺のライフは2600となり、2400のダメージを受けても生き残る！」

なんだかややこしくなって来たな……

しかし、これで前田君の残りライフは200となって生き残る堅守君、そう簡単には勝たせてくれないようだよ？

「チッ、生き残りやがったか」

「そんな事を考えている場合か？

俺のターンはまだ終わっちゃいないぜ？

悪いがお前のユーカリ・モールを使わせてもらうぞ！

俺は更にサンダー・クラッシュを発動！

自分の場のモンスターを全て破壊し、相手にその数×300のダメージを与える！

こちらの場にはモンスターが4体、よって1200のダメージだ！」

「ぐっ……」

よし、これで堅守君のライフは800まで減った！

これでかなり有利になる  
序盤でここまでのダメージなんだ、後半まで持たないさ！

「俺は最後に魔法カード、おジャマンダラを発動する  
自分のライフを1000ポイント払い、墓地のおジャマ3兄弟を蘇  
生させる！

出てこい雑魚共！ 俺はこの雑魚共を守備表示にしてターンエンド  
だ！」

万丈目君のライフは残り600まで減ってしまった

しかし、それでもここまでできれば十分だろう

もし負けても後続が居るという事でかなり無茶をしているみたいだ  
が、それで良い。

「……このターンで終わらせられなくて残念だな  
俺のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、デッキから更に2枚ド  
ロー！

魔法カード、思い出のブランコを発動！ 墓地から通常モンスター  
を特殊召喚！

再び現れよ……真紅眼の黒竜！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

また真紅眼の黒竜！？ しかも思い出のブランコまで！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

まさかとは思うけど、あのデッキは……

「続いてこの真紅眼の黒竜を生け贄に捧げる  
出てこい、真紅眼の闇竜！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

やはり出たか……真紅眼の闇竜  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
おそらく間違い無いだろう、あのデッキは僕の前の……ダークネス  
のコピーデッキ！



すると……彼の今後使っていくデッキも予想ができるね。

次のデッキは高確率でカミューラのデッキ  
堅守君、君はセブンスターズのデッキをコピー改造して戦うつもりだな！

ダークネスのデッキにデストラクト・ポーションは入っていなかった  
確実に自分が扱いやすいように改造しているはず！  
今後、尚のこと油断できないな。

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
「真紅眼の闇竜の攻撃力は自分の墓地に存在するドラゴン族の数だけ上がる

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
俺の墓地には黒竜の雛と真紅眼の黒竜の2体、よって攻撃力は3000！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜、おジャマ・イエローに攻撃しろ！  
ダークネス・ギガ・フレイム！」

このままでは拙いか……やはり攻撃力3000は高いね  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
どうやって真紅眼の闇竜を攻略するんだい、万丈目君、前田君。

「俺は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

よし、古のルールを発動！  
これにより、手札からLV5以上の通常モンスターを特殊召喚するんだな！

出てこい、ビッグ・コアラ！」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
しかし、ビッグ・コアラの攻撃力は2700、真紅眼の闇竜には勝てない！

それに伏せカードが怖い……何を考えているんだ堅守君！

「更に速攻魔法、百獣大行進を発動するんだな！  
場に存在する獣族の数だけ、自分の場の獣族の攻撃力が200ポイントアップ！」

場の獣族は全部で3体、これで攻撃力が600アップするんだな！」

ビッグコアラの攻撃力は2700から600上がって3300になる  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜の攻撃力を越えた！

だがしかし……なんだか凄く複雑な気分だよ。

しかし、これでおジャマ達も強化された

レッドアイズ・ダークネスドラゴン ダイレクトアタック

ビッグ・コアラで真紅眼の闇竜を倒し、直接攻撃を決めれば勝ちだ  
まあ、そんな簡単にいくとは思わないけど、期待ぐらいはしたいね。

「おジャマ・ブラックとおジャマ・グリーンを攻撃表示に変える！

バトルなんだな！ ビッグ・コアラで真紅眼の闇竜に攻撃！」  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

ビッグ・コアラは真紅眼の闇竜を掴み、投げつけた  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜は破壊され、堅守君に300のダメージ

これで彼の残りライフは500、罠も使わなかったし……勝てるか？

「おジャマ・ブラックで直接攻撃なんだな！」  
ダイレクトアタック

「却下、レッドアイズ・スピリッツを発動！

このターンに破壊されたレッドアイズと名の付くモンスターを召喚  
条件を無視して特殊召喚する  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

舞い戻れ、真紅眼の闇竜！」

「う……俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだなんだな」

拙いな……このままでは前田君は負けてしまう

残りライフは200、そして真紅眼の闇竜とビッグ・コアラの攻撃力差は300

これはちよつと拙いかもしれないね。

「俺のターン、ドロー！」

俺は全てのモンスターを守備表示に変更し、カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

なるほど、これがこのタッグ決闘デュエルの真骨頂だね

1人目が攻撃し、2人目が守備に変える……これができるのは強いね。

「俺のターン、ドロー！」

お前らにも幸せのお裾分けだ、魔法カード、天よりの宝札！

お互いに手札が6枚になるようにドローする！」

お裾分けとはまた白々しい……確実に潰す気満々じゃないか  
確かに彼らの手札も殆ど無かったけど、君だって0枚だったじゃないか！

「さて……俺は手札断殺を発動する

お互いのプレイヤーは手札を4枚捨て、そして4枚ドローする」

手札交換のカードか

だけど、何か目的が有るように見えるね  
いったい何を考えて居るんだ？

「俺は今の手札断殺の効果でドラゴン族を2体墓地に送った  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

よって真紅眼の闇竜の攻撃力が更に600上昇  
とりあえずビッグ・コアラに攻撃しよう、ダークネス・ギガ・フレ

イム！」

「くうう、罨カード発動、獣道！」

獣族のモンスターが戦闘で破壊された時、デッキからLV4以下の獣族を手札に加える！」

俺はこのカードの効果により、デッキからデス・コアラを手札に加えるんだな！」

よし！ デス・コアラの効果は相手の手札の数×400のダメージを与える効果だ

今の堅守君の手札は5枚、前田君が伏せ、万丈目君のターンに効果を発動すれば勝てる！」

「俺はフィールド魔法、ダークゾーンを発動  
闇属性モンスターの攻撃力を500上げ、守備力を400下げる  
カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

3枚も！？ そんなに魔法と罨が多かったのか！  
惜しいなあ……これでは与えられるダメージも400だ  
ライフは100残り、耐えられてしまう。

「俺のターン、ドロー！」

俺は魔法カード、コアラの進行を発動するんだな！

このカードの効果により、コアラと名の付く同名モンスターを墓地と手札から特殊召喚するんだな！

俺はビッグ・コアラを墓地と手札から特殊召喚！」

しかしビッグ・コアラでは真紅眼の闇竜に勝てない  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

今の真紅眼の闇竜の攻撃力は4100、また百獣大進行を使用して  
も勝てない

いや、デス・コアを召喚すれば勝てる、その場合のビッグ・コアの攻撃力は3700だからね。

「更に融合を発動するんだな！

手札のデス・カンガルとビッグ・コアを融合！

マスター・オブ・OZを融合召喚なんだな！」

よし、これで真紅眼の闇竜の攻撃力を1000上回った！

更にビッグ・コアで直接攻撃をすれば勝てる……が、どうだろうか？

「更に魔法カード、野生解放を発動するんだな！  
自分の場の獣族1体の攻撃力を守備力分上げる！

これでマスター・オブ・OZの攻撃力は7900、俺の勝ちなんだな！

行くぞ！ マスター・オブ・OZで真紅眼の闇竜に攻撃！」

これで終わらせるつもりか！

これが通れば、我々の勝ちだ！

「それはどうかな？

速攻魔法、飛龍天舞を発動！ デッキからドラゴン族を4枚まで墓地に送る

そして墓地に送ったドラゴン族の数×300、1体のドラゴン族の攻撃力を上げる！

俺はデッキからドラゴン族を4体墓地に送り、真紅眼の闇竜の攻撃力を1200上げる！

そして真紅眼の闇竜自身の効果で更に1200アップ！  
これで攻撃力は合計2400の上昇だ！」

「それでも攻撃力はまだ6500、俺のマスター・オブ・OZの方が強いんだな！」

「本当にそう思うか？」

更に罠カード、ライジングエナジーを発動！

手札を1枚捨て、モンスター1体の攻撃力を1500上げる

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
これで真紅眼の闇竜の攻撃力は8000だ！

残念ながら、俺が手札から捨てたのはドラゴン族モンスターじゃないけどな

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜の反撃、ダークネス・ギガ・フレイム！」

凄まじいな……これで前田君のライフは残り100  
生き残ったものの、ライフは本当に風前の灯火  
いつ無くなってもおかしくない！

「くそう……俺はモンスターをセットし、カードを1枚伏せてター  
ンエンドなんだな！」

伏せたモンスターは高確率でデス・コアラだろうな  
これでまだライフを削る事ができるかもしれない。

そして飛龍天舞とライジングエナジーの効果が切れる

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
だが、真紅眼の闇竜の攻撃力はまだ5300も有る、かなり高いな。

「俺のターンだ、ドロー！」

手札から死者蘇生を発動し、おジャマ・イエローを蘇生させる！

そして再び融合を発動！ おジャマ・キングを融合召喚！」

再び現れるおジャマ・キング

だけど、既にその守備力では役不足だ……

「そして速攻魔法、迎撃の盾を発動！

自分の場のモンスターを生け贄に捧げ、その守備力分だけ別のモンスターの攻撃力を追加する！

俺はおジャマ・キングを生け贄に捧げ、ビッグ・コアラの攻撃力を3000アップ！

これでビッグ・コアラの攻撃力は5700、レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜の攻撃力を上回った！

レッドアイズ・ダークネスドラゴンビッグ・コアラで真紅眼の闇竜に攻撃だ！」

そのまま破壊される真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴン

堅守君に400のダメージを与え、残りライフは100にまでなったが、このまま簡単に終わってくれるだろうか？

「罠カード発動、レッドアイズ・スピリッツ！

レッドアイズと名の付くモンスターが破壊されたターンに蘇生させる！

再び現れろ、レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜！」

「くそ……俺はカードを2枚伏せ、更にアームド・ドラゴンLV3を守備表示で召喚！

ターンエンドだ！」

堅守君、どうするんだい？

前田君の場には攻撃力5700のビッグ・コアラが残っているもしこのまま何もできなければ君の負けだぞ！

「俺のターン、ドロー！」

苦渋の選択を発動！俺はデッキから5枚のカードを選択する相手はそこから1枚を選択し、俺はそのカードを手札に加える

そして選ばれなかったカードは全て墓地に送られる……さあ、どれを選ぶ？」

堅守君が選んだカード

天使の施し、デコイドラゴン、スピア・ドラゴン、ブリザード・ドラゴン、ボマー・ドラゴン

なんて厄介な選択肢なんだ！ しかも、必ずドラゴン族が3体は墓地に送られるじゃないか！

デコイドラゴンはこのモンスターが攻撃された時、墓地のLV7以上のドラゴン族を蘇生させる  
そしてそのモンスターが代わりに戦闘を行う……

スピア・ドラゴンは貫通効果を持っている  
アームド・ドラゴンLV3にしても、前田君の守備モンスターにしても

攻撃されればライフが無くなってしまう。

ブリザード・ドラゴンは1ターンに1度、相手モンスターの攻撃と表示形式の変更を封じるモンスター

そしてその効果は相手のターンのエンドフェイズまで続く……  
下手すればずっと残されたまま捨てられるかもしれない。

ボマー・ドラゴンは戦闘ダメージを0にできるモンスター

そしてこのカードが戦闘後、墓地に送られた場合  
戦闘を行った相手モンスターを破壊する効果を持っている……邪魔過ぎる！

しかも残りのカードは天使の施し  
もし新しいカードをドローされた場合、またドラゴン族を捨てられ



るかもしれない  
そうなった場合、更に真紅眼の闇竜が強化されて彼らに勝ち目は無い！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

「……ならブリザード・ドラゴンを手札に加えろ  
そして他のカードを墓地に送ってもらおうか？」

「わかった、そしてこれで真紅眼の闇竜の攻撃力が900上昇した  
攻撃力は6200だ、そしてブリザード・ドラゴンを守備表示で召喚する  
ブリザード・ドラゴンの効果を発動、ビッグ・コアラの行動を封じる」  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

ブリザード・ドラゴンのはき出した冷氣によってビッグ・コアラは凍り付く  
これで身動きが取れないね  
しかし……今からビッグ・コアラを攻撃するだろうに何故ビッグ・コアラの行動を封じたんだ？

「真紅眼の闇竜でアームド・ドラゴンLV3に攻撃する  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
ダークネス・ギガ・フレイム！」

何故アームド・ドラゴンを……  
もしかしてアームド・ドラゴンLV10の存在に危惧を？  
可能性は有るけど、少し微妙だね。

「ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！  
またたびキャットを守備表示で召喚するんだな

俺はこれでターンエンドだ！」

手が尽きたか？

一気に勢いが収まってしまったぞ！

「いや、エンドフェイズ時に罠カード、レベル調整を発動する！

相手は2枚のドローをし、俺は自分の墓地からLVと名の付くモンスターを蘇生させる！

この効果で蘇生されたモンスターはターン終了時まで攻撃、効果の発動ができないが問題無い！

俺のターンだ、ドロー！

この瞬間、アームド・ドラゴンLV3の効果が発動される！

自分のスタンバイフェイズ時にこのカードが場に存在している時

このカードを生け贄にしてアームド・ドラゴンLV5をデッキから手札から特殊召喚できる！

出でよ！ アームド・ドラゴンLV5！ 守備表示で特殊召喚だ！」

守備表示なのは当然だろう、万丈目君の後には堅守君が動く

もしアームド・ドラゴンに攻撃されたら、万丈目君は終わりだ！

「俺はアームド・ドラゴンLV5の効果を発動！

アームド・ドラゴンLV7を墓地に送り、その攻撃力2800以下のモンスターを1体破壊する！

俺はブリザード・ドラゴンを破壊だ！

そしてさっきのターンでブリザード・ドラゴンの効果も切れている！  
ビッグ・コアラを守備表示に変更し、ターンエンドだ！」

これでまたドラゴン族は墓地に増えた

だけど壁モンスターを減らせただけマシだろう。

「俺のターン、ドロー！」

ふ……俺は龍の鏡ドラゴンズ・ミラーを発動する

墓地のドラゴン族、ブリザード・ドラゴンと風属性、ドル・ドラをゲームから除外融合

集いし力が破滅へ導く星となる、光滅する道となれ！ 吹き荒れろ、スターダスト・ドラゴン！」

明日香が使っていたスターダスト・ドラゴン！？ というか口上が全く違うじゃないか！

しかもかなり物騒な口上になってるし、そして効果が確かかなり恐ろしくなかったかい！？

一応、墓地のドラゴン族が減ったので真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴンの攻撃力が600下がった

それでも真紅眼の闇竜の攻撃力は5900、やはりかなり高いこれは……無理かな？

「そして魔法再生を発動する

墓地から魔法カードを手札に加える……俺が手札に加えるのは龍の鏡ドラゴンズ・ミラーだ」

まさか……まさかまたあのドラゴン達が出てくるのか！？

「龍の鏡ドラゴンズ・ミラーを発動！」

墓地からドラゴン族、ボマー・ドラゴンと闇属性、アックス・ドラゴニートを除外融合！

地獄への鼓動、今ここに実現する！ 天地鳴動の力に恐れるがいい！ 悪夢を見る……レッド・デーモンズ・ドラゴン！」

拙い！ あのモンスターは守備モンスターを全て破壊する効果を持

っている！

このままでは全滅してしまう！

「行け、レッド・デーモンズ・ドラゴン！

ビッグ・コアラに攻撃しろ！」

ビッグ・コアラの守備力は2000、レッド・デーモンズ・ドラゴンの攻撃力は3000

いや、ダークゾーンが存在で攻撃力は3500だ！

守りきれるはずも無く、破壊されてしまう……

「そしてレッド・デーモンズ・ドラゴンの効果が発動される

このモンスターが攻撃した後、相手の守備表示モンスターを全て破壊する！」

「罠カード発動！ キャトルミューテイレーション！

自分の場の獣族を手札に戻し、手札から同じLVの獣族を特殊召喚するんだな！

俺はまたたびキャットを手札に戻し、攻撃表示で特殊召喚するんだな！」

「俺も速攻魔法、神秘の中華鍋を発動する！

このカードの効果により、アームド・ドラゴンLV5を生け贄にする！

その攻撃力分、2400のライフを回復する！」

確かに、そのまま守備表示で特殊召喚していたら効果で破壊されていただろう

しかしそれでは君のライフが……

そして万丈目君は次に繋ぐ為にライフの回復  
これで彼のライフは残り3000だ。

「なるほどね、電池を守る為に自分が犠牲になると……  
では望み通り消し飛ばしてくれるわ！

が、その前に俺も速攻魔法、神秘の中華鍋を発動する！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜を生け贄に捧げ、その攻撃力分の5300を回復する」

く……これで堅守君のライフは5400にまで回復してしまった！  
あの2人が苦勞してあそこまで削ってくれたのに……くそ！

「スターダスト・ドラゴンでまたたびキャットに攻撃する  
終わりだ、でかいの……シューティング・ソニック！」

「うあああああ！」

2500のダメージ、これで前田君のライフが0になった……  
これで堅守君はデッキ変更、そして次は僕の出番だね。

しかし、場は受け継がれるという話だったね  
となると……あのドラゴン達は残ったまま  
つまり、次の僕のターンであのドラゴン達を倒さないと拙いという  
わけか！

「失せろ、でかいの  
次のプレイヤーはこちらに來い！  
俺もデッキを変える」

前田君は下がり、僕は堅守君の前に立つ  
目の前には2体の恐ろしいドラゴン達

すぐに倒さないと、僕達に勝ち目は無い！

唯一の救い、それは次は高確率でカミューラのデッキ  
つまりアンデット族という訳だ  
ドラゴン族のサポートカードが無いだけでも凄く助かるよ。

だけど問題はダークゾーンの存在  
アンデット族も闇属性が多い、つまりダークゾーンでパワーアップ  
するかもしれない  
急いで消さないと……くそ！ 厄介な！

「次は白黒<sup>モノクロ</sup>か、かかって来いよ」

「ああ、僕は君に必ず勝ってみせる！」

「おっと、その前に言っておくぞ  
スターダスト・ドラゴンとレッド・デーモンズ・ドラゴンは場から  
離れたら前のデッキに戻る

墓地や除外は合わせないからな、墓地に送るわけにはいかないんだ」

これは好都合だ！

確かスターダスト・ドラゴンは自身を生け贄にして効果を発動した  
はず

そして蘇生……しかし蘇生ができないので1回しか使えない上、消  
滅してしまう

簡単に効果の発動ができなくなるな。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

## 52話【VS三幻魔 ダークネス編】（後書き）

瑞貴のデッキは？

ダークネスの使用カードを中心として改造しました

アタッチメント・ドラゴン、アーミー・ドラゴン軍隊竜は入れていません

ミラーージュ・ドラゴンは飛龍天舞で落ちましたし、スピア・ドラゴンは苦渋の選択で……

レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜関係しか使用されていませんね。

おジャマ・デルタサンダー！！のダメージ解決時って合ってるの？  
不明、ちょっと自信が無かったり……

しかし都合上、これでなければならぬので修正しません。

レッドアイズ・バーンのタイミングって逃すんじや……

指摘され、調べてみたら無理でした（多分）

修正不可能につき、このままです

次からは注意します……相変わらずミスが多いですね。

レッドアイズ・ワイバーン真紅眼の飛竜が出なかったけど……

使用する機会がありませんでした

蘇生させても倒されるだけという状況が多かったので無意味に蘇生させませんでした

が、そのままタイミングを窺っていたら終わりました……哀れな。

デス・コアラが……

忘れていました、レベル調整の後に効果を使用すれば万丈目十隼人チームの勝ちでした

しかしライフの関係上と素で忘れていたのでそのまま残っていました。

瑞貴の次のデッキは？

セブンスターズの誰かのデッキです

まあ……ダークゾーンの存在から闇属性が多いデッキになるでしょうね。

そういえば瑞貴の手札は0枚だけど……このまま続けるの？  
次話で説明されます。

原作、アニメオリジナルカード

ユーカリ・モール

戦闘で破壊された時、デッキからコアラと名の付くモンスター1体を特殊召喚できる  
普通に獣族デッキでは使えるカードですね。

おジャマ・デルタサンダー！！

自分の場におジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン・おジャマブラックが存在している時発動可能

相手の場と手札の枚数×500のダメージを相手に与える

更にデッキ、手札からおジャマ・デルタハリケーン！！を墓地に送る事で相手の場のカードを全て破壊する

おジャマ専用デッキを組めば強力でしょう

というか、最後の効果が強すぎですね。

おジャマンダラ

ライフを1000払い、墓地に存在するにおジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン・おジャマブラックを特殊召喚する

全て揃っていないと効果を発動できなさそうですが、融合後におジ



ヤマンドラ、おジャマトリオからおジャマッスルを使用すれば攻撃力6000+相手に900のダメージです  
これが決まればかなり凶悪ですね。

#### 獣道

獣族のモンスターが戦闘で破壊された時、デッキからLV4以下の獣族モンスターを手札に加える

これも普通に使えるカードですね、OCG化しても良いでしょうに  
……

#### 迎撃の盾

自分の場のモンスター1体を生け贄に捧げる

その後、自分の場のモンスター1体の攻撃力を生け贄に捧げた守備力分上昇させる

千年の盾やネオアクア・マドールを生け贄にすれば強力ですね  
速攻魔法なので更に便利でしょう。

### 53話【VS三幻魔 カミューラ編】（前書き）

時間超ギリギリです！

執筆終了時間が投稿20分前……危なかった

もし間に合わなかったら前書き後書きを後回しにしてとりあえず投稿していましたね。

今回はかなり久しぶりにあの人の視点です、前は僅かでしたしね  
そして今回の終わりがちょっとアレかもしれませんが……  
まあ仕方無い部分もあります……なんだか微妙です  
ちなみに今回はそれなりに長いですね  
時間が無いのによくもここまで……疲れました。

とある理由から胃痛がヤバイです  
日常生活に影響するまで酷くなりました  
執筆には問題有りませんが、集中力が乱れます……  
ストレスの原因を早くどうかしないと駄目ですね。

次話はきっと大丈夫です

誰のデッキかはお楽しみに

毎回順番通りとは限りませんよ？

相性とかを考えると順番通りだと難しいですし。

## 53話【VS三幻魔 カミューラ編】

視点 亮

堅守はデッキを変え、吹雪と対峙した

先ほどは吹雪に似た真紅眼の黒竜レッドフェイス・ブラックドラゴンを使用したデッキ

セブンスターズの順番的に考え、次はアンデット族を使用したカミューラのデッキだが……

「堅守君、何故手札を補充しているんだい？」

「当たり前だろうが、新しいデッキと前のデッキの手札を合わせるわけにはいかないだろう？」

お前らだって場はともかく、手札を合体させるわけじゃないんだ  
分かりやすく言えば、俺もまた新しいプレイヤーとも言えるな」

確かに、デッキが変われば新しいプレイヤーが立った事に等しい  
ならばドローにも納得いくな。

しかしライフは変わっている

万丈目は3000、吹雪は4000

そして堅守のライフは5400となっている。

「俺のターン、バトルフェイズが終了した所だな  
そしてメインフェイズ2、このターン、まだ俺は通常召喚を行っていない

俺はゴブリンゾンビを召喚し、カードを1枚伏せる  
エンドフェイズ時、レッド・デーモンズ・ドラゴンの効果が発動さ

れる

このターン中に攻撃していないモンスターは、このモンスターを除き全て破壊される」

そんなデメリットを持っていたのか

確かに、守備モンスターを全て破壊したり、攻撃力が3000もあるモンスターだ

デメリットを持っていてもそこまで不思議では無いか。

だが、堅守はそれを利用するつもりだな

ゴブリンゾンビの効果を発動する為に。

「レッド・デーモンズ・ドラゴンの効果でゴブリンゾンビが破壊される

そしてゴブリンゾンビの効果が発動、場から墓地に送られた時デッキから守備力1200以下のアンデット族モンスターを手札に加える事ができる

俺はこの効果により、魂を削る死霊を手札に加える、ターンエンドだ」

なるほど、アンデット族……カミューラのコピーデッキか  
そしてまた厄介なモンスターを呼んだものだな。

そういえばアンデット族のデッキは以前見たな

確か……そう、制裁タッグ決闘デュエルの時だ

しかしあの時はゲート・ガーディアンをメインにしたファンデッキ  
今回はどんなアンデット族デッキだ？

「僕のターン、ドロー！」

マスクド・ドラゴン

僕は仮面竜を守備表示で召喚する！

更にカードを2枚伏せ、ターンエンドだよ」

次は万丈目のターン

しかし、あいつの手札は現在1枚だけ、そしてデッキもそう多くないここからどこまで戦えるか……

「俺のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動！ デッキから更に2枚ドローする！

（俺のデッキは残り11枚、あまり無茶はできない）

俺はデビルズ・サンクチュアリを発動し、メタルデビル・トークンを特殊召喚！

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

メタルデビル・トークンを残したまま？

自分のターンになると維持コストを払う必要があるぞ

確かに、メタルデビル・トークンの戦闘ダメージは相手が受ける

しかしそれだけでは堅守の攻撃を止める事はできないだろう。

「俺のターン、ドロー！」

手札から融合を発動し、手札の魂を削る死霊とナイトメア・ホースを融合！

ナイトメアを駆る死霊を融合召喚！」

攻撃力800の融合モンスター？

しかしダークゾーンの効果で攻撃力は1300になっているなさて、どんな効果を持っているのか……

「そして永続罠、追い剥ぎゴブリンを発動！

相手に戦闘ダメージを与えた時、相手の手札を1枚ランダムに捨てさせる！」

行け、ナイトメアを駆る死霊！ 白黒に直接攻撃！」  
モノクロ ダイレクトアタック

「な、直接攻撃モンスター！？  
ダイレクトアタック  
罠カード発動！ 永続罠、スピリットバリア！  
自分の場にモンスターが存在する限り、戦闘ダメージは0になる！  
これで追い剥ぎゴブリンの効果は適用されない！」

よし、上手いぞ吹雪  
これでダメージを受けず、手札が破壊される事は無い！

「甘い！」

ナイトメアを駆る死霊の攻撃が吹雪に直撃する  
ダメージは無いが……

「ナイトメアを駆る死霊の効果が発動される！  
ダイレクトアタック  
このモンスターが直接攻撃に成功した時、相手はランダムに手札を  
捨てる！  
ダイレクトアタック  
例え戦闘ダメージを与えなくても、直接攻撃は成功したので手札を  
捨ててもらおうか？」

「なるほど、魂を削る死霊とナイトメア・ホースを本当に合わせた  
モンスターというわけだね」

吹雪は手札を裏向け、シャッフルする  
そしてそこから1枚を選択し、墓地に送った。

これで吹雪は不利になるだろう  
しかし俺は見た、吹雪の顔が一瞬笑みを浮かべた事をな  
どうやら墓地に送って意味の有るカードを選んだらしい。

「スターダスト・ドラゴンでマスクド・ドラゴン仮面竜に攻撃！  
シューティング・ソニック！」

「く……マスクド・ドラゴン仮面竜の効果を発動！」

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下のドラゴン族  
モンスターを特殊召喚できる！

僕はこの効果により……ドレッド・ドラゴンを召喚するよ」

紫の髪の毛のようなのを生やした赤いドラゴンが現れたんだが……  
凄まじく微妙な見た目だな

見た目にそれなりに拘っている吹雪には似合わないモンスターだ  
つまり、それだけ強力な効果を持っているモンスターなのだろう。

「チッ、また面倒な奴を呼びやがったな

自爆特攻された方がバトルフェイズを潰せるし、その方が良いか  
俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「なら俺はエンドフェイズ時に罠カードを発動させる！」

罠カード、転生の予言！ 墓地のカードを2枚までデッキに戻す

俺はこのカードの効果により、自分の墓地からアームド・ドラゴン  
LV3とLV7をデッキに戻す！

更に罠カード、レベル・ソウル！ 自分の場のモンスターを生け贄  
にして効果を発動する！

俺はこの効果によりメタルデビル・トークンを生け贄に捧げる！

自分の墓地に存在するLVと名の持つモンスターをゲームから除外  
そしてそのモンスターに記されているモンスターを召喚条件を無視  
してデッキ、手札から特殊召喚する！

俺はアームド・ドラゴンLV5を除外し、アームド・ドラゴンLV  
7をデッキから特殊召喚！」

「僕も罠カード、レベル調整を発動するよ

相手はデッキから2枚のカードをドロ―し、僕は墓地からLVと名の付くモンスターを蘇生させる

僕は先ほどの効果で捨てられたホルスの黒炎竜LV8を蘇生させる！」

凄まじいな、吹雪も万丈目も

そして、その2人を相手に平気で戦うあの堅守も……

あの男は何故あそこまでの実力を持つのか、それが気になるな。

「そして僕のターンだ！ ドロ―！

ドレッド・ドラゴンでナイトメアを駆る死霊に攻撃！」

ドレッド・ドラゴンが突っ込むが、ナイトメアを駆る死霊の迎撃でやられてしまう

堅守は厄介なモンスターと言っていたが、どんな効果を持っているんだ？

「ドレッド・ドラゴンの効果を発動！

戦闘で破壊され、墓地に送られた時、デッキからLV3以下のドラゴン族を手札に加える！

僕がこの効果で手札に加えるのは……黒竜の雛だ！

更にアームド・ドラゴンLV7でスターダスト・ドラゴンに攻撃だ！」

特に何も無く、簡単に破壊されるスターダスト・ドラゴン

先ほどのデッキに比べたら当たり前のように倒されたな……

これにより、堅守に300のダメージを与えた。



「よし、スターダスト・ドラゴンを破壊できた！  
続いてホルスの黒炎竜LV8でナイトメアを駆る死霊に攻撃！」

「罠カード発動、パワー・ウォール！」

戦闘ダメージを受けた時、デッキからそのダメージ以下のカードを墓地に送る

墓地に送ったデッキのカードの枚数×100のダメージを軽減する  
攻撃力差は1700、よって俺は17枚デッキから墓地に送る」

なん……だと？

それではデッキの半分近くが墓地に送られた事になるではないか！

「更にナイトメアを駆る死霊は戦闘では破壊されない  
しかも戦闘ダメージも受けなくなると……残念でした」

「やはり守られたか……僕はラヴァ・ドラゴンを守備表示で召喚し、  
ラヴァ・ドラゴンの効果を発動する！

守備表示のこのモンスターを生け贄にして効果を発動する

手札と墓地からLV3以下のドラゴン族を特殊召喚するんだ！

僕は墓地からドレッド・ドラゴンと手札から黒竜の雛を特殊召喚！」

やるな、吹雪

これでモンスターは全部で4体、かなり有利になった

そしてドレッド・ドラゴンの効果を使用すれば再びLV3以下のドラゴン族を手札に入れられる

かなり効率が良い扱い方だ。

「更に、黒竜の雛の効果を発動！」

このカードを墓地に送る事で手札の真紅眼の黒竜を特殊召喚する！

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
出る！ 真紅眼の黒竜！」

既に手札に持っていたか

その為にドレッド・ドラゴンで自爆特攻をしたんだな  
確かに攻撃はできない、しかし高攻撃力を出す事ができた。

「まだだ、僕は<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜を生け贄に、<sup>レッドアイズ・ダークネスドラゴン</sup>真紅眼の闇竜を

特殊召喚！

僕の墓地にはドラゴン族モンスターが3体、よって攻撃力は900  
アップ！

更に、<sup>レッドアイズ・ダークネスドラゴン</sup>ダークゾーンの効果で更に500ポイントアップし、<sup>レッドアイズ・ダ</sup>真紅眼  
の闇竜の攻撃力は3800！

これでレッド・デーモンズ・ドラゴンの攻撃力を上回った！ ター  
ンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！」

（モンスターじゃない……アームド・ドラゴンの効果でナイトメア  
を駆る死霊を倒そうと思ったが無理か）

<sup>レッドアイズ・ダークネスドラゴン</sup>真紅眼の闇竜でレッド・デーモンズ・ドラゴンに攻撃！  
そして残りのモンスターでナイトメアを駆る死霊に攻撃だ！」

<sup>レッドアイズ・ダークネスドラゴン</sup>真紅眼の闇竜の攻撃でレッド・デーモンズ・ドラゴンは破壊される  
そしてアームド・ドラゴンとホルスの黒炎竜の攻撃がナイトメアを  
駆る死霊に向かう

これが通れば1500と1700のダメージ、このターンで320  
0のダメージとなる

スターダスト・ドラゴンを倒した時のダメージも含めれば合計35  
00、残りライフは1600だ！

「ネクロ・ガードナーの効果を発動

墓地に存在するこのカードを除外する事で相手の攻撃を1度だけ無効にする

俺はネクロ・ガードナーを2体除外し、アームド・ドラゴンとホルスの黒炎竜の攻撃を止める」

当然だろうな、無差別に墓地にカードを落としているんだ

この手のカードが入れるのが普通だ、堅守に与えたダメージが合計で600か

堅守の残りライフは4800、まだかなり多いな。

「防がれたか……俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー」

俺は墓地の馬頭鬼の効果を発動、このモンスターを除外する事で墓地のアンデット族モンスターを特殊召喚する！

俺は2体の馬頭鬼を除外し、墓地からヴァンパイア・ロードとヴァンパイア・バツツを守備表示で特殊召喚！

そしてヴァンパイア・ロードをゲームから除外し、ヴァンパイアジエネシスを特殊召喚！」

攻撃力3000……しかもダークゾーンの効果で攻撃力を500上げている

更にヴァンパイア・バツツの効果は自分の場のアンデット族の攻撃力を200上げる

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜は倒せないものの、ホルスの黒炎竜LV8は倒せる  
これは拙いかもしれない……

「更に手札のアンデット族、龍骨鬼を墓地に送る事でヴァンパイアジエネシスの効果を発動！

墓地に送ったモンスターよりもLVの低いアンデット族を特殊召喚

する

俺はこの効果により、2体目のヴァンパイア・バッツを守備表示で特殊召喚！

そして俺は通常召喚をしていないので通常召喚で3体目のヴァンパイア・バッツを守備表示で召喚する！」

ヴァンパイア・バッツが3体……つまりアンデット族は全て攻撃力が600上がるという事になる

ダークゾーンの効果も加わり、堅守の場のモンスターは全て攻撃力が1100上がっている

ヴァンパイア・バッツとナイトメアを駆る死霊の元々の攻撃力は800、よって1900が4体になる

そしてヴァンパイアジェネシスの攻撃力は4100……かなり高いな。

「ヴァンパイアジェネシスでホルスの黒炎竜LV8に攻撃だ！ヘルビシヤス・ブラッド！」

なに？ 何故ホルスの黒炎竜に攻撃するんだ？

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
攻撃力は真紅眼の闇竜の方が上だぞ？

「く……やっぱりホルスの黒炎竜LV8を破壊してきたか！

しかし、僕の間にはスピリットバリアが存在している、僕は戦闘ダメージを受けない！」

「ホルスの黒炎竜LV8を消しただけマシだ

ナイトメアを駆る死霊を守備表示に変更し、俺はカードを1枚伏せてターンエンドだ」

どうやら効果は発揮されていないが、厄介な効果を持っているらし

いな

もし見かけたら注意しておこう。

堅守が追撃をしなかった理由は簡単だろう

ドレッド・ドラゴンは倒しても手札にモンスターを加えられる

ナイトメアを駆る死霊で攻撃しても吹雪達の手札は0枚、無駄だな。

「僕のターン、ドロー！」

天よりの宝札を発動し、お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドローする！

全員手札が0枚だからね、全員6枚ドローだ！」

吹雪、いつの間にそんなレアカードを入手していたんだ？

最強のドローカードじゃないか、俺も手に入れられれば欲しいものだし  
しかし値段が高い上、滅多に売られていないからな。

「僕は魔法カード、レベル調整を発動する！」

相手は2枚カードをドローし、僕は墓地からLVと名の付くモンスターを蘇生させる！

僕はホルスの黒炎竜LV8を蘇生だ！

この効果で蘇生されたモンスターはこのターン中に攻撃、効果の発動ができないけどね」

相手にドローさせてまで蘇生させるか……それに魔法カードのレベル調整？

先ほどは罠カードで同名カードだったが、もしかしてエラッタ前とエラッタ後か？

そしてホルスをまた召喚するとは……それほど厄介な効果なのだろう  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
吹雪が真紅眼の黒竜以外にも拘るとはな。

「そしてアームド・ドラゴンLV7の効果を発動するよ！」

手札のホルスの黒炎竜LV6を墓地に送り、その攻撃力以下の相手モンスターを全て破壊する！

ホルスの黒炎竜LV6の攻撃力は2300、ヴァンパイアジェネシス以外のモンスターを全滅させる！」

ヴァンパイア・バッツは同名カードをデッキから墓地に送る事で破壊を免れる

しかし、場には3体のヴァンパイア・バッツ……効果の発動は不可能だ。

そして墓地にはドラゴン族モンスターが増えた

レッドアイズ・ブラックドラゴン

これで真紅眼の黒竜の攻撃力は更に300アップ

攻撃力は4100、ヴァンパイアジェネシスの攻撃力を大きく上回った。

「よし、ドレッド・ドラゴンで攻撃！」

戦闘ダメージはスピリットバリアで受けない、そしてドレッド・ドラゴンの効果を発動！

デッキからLV3以下のドラゴン族……ボマー・ドラゴンを手札に加える！」

ボマー・ドラゴン……万丈目のターンに特攻させる気だな

しかしヴァンパイアジェネシスを倒せるのだから少し遅れてでも召喚する価値は有る。

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

「そして真紅眼の闇竜でヴァンパイアジェネシスに攻撃だ！」

ダークネス・ギガ・フレイム！」

「ふん、墓地のネクロ・ガードナーの効果を発動

除外し、攻撃を無効にする」

パワー・ウォールで3枚全て墓地に送られていたがしかし、これで墓地のネクロ・ガードナーは消えた次の万丈目のターンで攻撃すれば勝てる！

「防がれたか……ならば僕は永続魔法、未来融合―フューチャー・フュージョンを発動する！

デッキから融合素材を墓地に送り、2ターン後に融合召喚させる！  
僕が融合するのはメテオ・ブラック・ドラゴン  
よってデッキからメテオ・ドラゴンと真紅眼の黒竜を墓地に送る！」

これで墓地のドラゴン族が3体増え、合計数は7体  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜の攻撃力は5000となる。

「僕はボマー・ドラゴンを召喚し、カードを2枚伏せてターンエンドだ！」

「なら俺は速攻魔法、異次元からの埋葬を発動しようか  
除外されているモンスターを全て墓地に戻す」

なんと……これではネクロ・ガードナーだけではない  
馬頭鬼も再び効果を使用されてしまうのか  
馬頭鬼2体にヴァンパイアジェネシスの効果を使用すれば先ほどの布陣にするのも簡単だろう。

「く……厄介な！」

「大丈夫です、俺が必ず逆転してみせますよ！  
俺のターン、ドロー！ 俺はアームド・ドラゴンLV7を生け贄に

捧げる！

出ろお！ アームド・ドラゴンLV10！」

なるほど、あそこまでデッキが減っているのだ  
天よりの宝札でドローしても不思議では無いな  
そしてここでアームド・ドラゴンLV10……堅守では防ぎきれない  
だろう。

「アームド・ドラゴンLV10の効果を発動！  
手札を1枚捨てる事で、相手の場の表側表示モンスターを全て破壊  
する！」

これで堅守の場には追い剥ぎゴブリンのみ  
連続攻撃でライフを大きく削る事ができるだろう！

「俺は更に、マスクド・ドラゴン仮面竜を召喚する！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴンダイレクトアタック  
行くぞ、堅守瑞貴！ 真紅眼の闇竜で直接攻撃！」

「ネクロ・ガードナーの効果で防ごう」

「続いてアームド・ドラゴンLV10だ！」

「同じく」

「更にホルスの黒炎竜LV8！」

「以下省略」

マスクド・ドラゴンダイレクトアタック  
「仮面竜で直接攻撃！」



高攻撃力の攻撃は当然全て防がれた  
しかし、それでも1400ものライフを削れたのだ  
堅守の残りライフは3400、かなり減ってきたな。

ちなみにボマー・ドラゴンで攻撃しないのは戦闘ダメージを与えられないからだ  
ダイレクトアタック  
直接攻撃でもダメージを与えられないのはこういう時に困るな。

「俺はこれでターンエンドだ」

吹雪と万丈目の場合はカードで全て埋まっている  
モンスターは5体、魔法と罠も5枚  
これ以上のカードは出せないが……どうなる？

「俺のターン、ドロー！」

馬頭鬼の効果を発動し、墓地のゾンビ・マスターを蘇生させる！  
次にゾンビ・マスターの効果を発動手札のモンスターを捨て、墓地  
のLV4以下のモンスターを蘇生させる！  
再びゾンビ・マスターを蘇生し、手札のモンスターを捨て、ゾンビ・  
マスターを蘇生する！」

一気にモンスターが3体だと！？  
魔法も罠も使用せずにここまでできるとは……アンデット族は恐ろしいな。

そして最後のゾンビ・マスターの効果はまだ使用できる  
しかも、まだ馬頭鬼が墓地に残っているのでまた召喚可能  
手札とてまだ2枚しか使っていないのにこの展開力か。

「最後のゾンビ・マスターの効果を発動、手札からモンスターを捨て

て、ボーンクラッシャーを蘇生！

そしてボーンクラッシャーの効果が発動される

アンデット族モンスターの効果で墓地から特殊召喚された時、相手の魔法か罠を1枚破壊できる

エンドフェイズに破壊されるが構わん、モノクロ白黒の伏せカードを1枚破壊！」

「な、かう！

しまったな……王宮のお触れが破壊されたか」

王宮のお触れ？ 罠カードを永続的に無効化するカードじゃないか  
何故そんなカードをデッキに入れているんだ？  
自分だって困るだろうに。

「手札1枚をデッキのトップに戻し、墓地のゾンビキャリアをを特殊召喚！

この効果で特殊召喚されたゾンビキャリアは場から離れた時に除外されるがな

そしてゾンビキャリアを生け贄に捧げ……

命腐りし悪魔、地獄すら超える闇すら取り込みて、今黄泉還りし悪夢と成れ！ 咆吼せよ、アンデット・スカル・デーモン！」

確かこのモンスターの効果は……アンデット族は効果で破壊されないつまり、アームド・ドラゴンLV10の効果も無駄という訳か  
戦闘で先に倒せばいいんだがな。

しかし手札をコストに4枚、召喚で1枚も使用するとは……  
凄まじい手札の消費速度だな、しかしそれをするだけの価値の有る展開量だ。

「ゾンビ・マスターでボマー・ドラゴンに攻撃！」

「ボマー・ドラゴンの効果発動、戦闘ダメージを0にし、戦闘を行ったモンスターを破壊する！」

ボマー・ドラゴンが巨大な爆発をし、ゾンビ・マスターを巻き込むしかし、煙が晴れた後にはゾンビ・マスターが残っていた……俺の記憶は間違っていないかったらしい。

「な、何故ゾンビ・マスターが破壊されないんだ!?!」

「アンデット・スカル・デーモンはゾンビキャリアを生け贄にしないでなければ召喚できないモンスターだ

そして、この限定条件で召喚するだけの価値がアンデット・スカル・デーモンには有る

このモンスターが存在する限り、自分のアンデット族モンスターはカードの効果で破壊されない

残念だったな、ボマー・ドラゴンは召喚損の無駄死にだ」

「何だって!?!」

という事は俺のアームド・ドラゴンの効果を使っても……」

「そう、手札を損するだけだな

ゾンビ・マスターでマスクド・ドラゴン仮面竜に攻撃！」

「くそ、マスクド・ドラゴン仮面竜の効果は発動しない!

そしてスピリットバリアの効果で戦闘ダメージも受けない!」

当然だろう、もし発動すれば少ない万丈目のデッキが更に減る  
奴の残りデッキ枚数は4枚、少しすればデッキ切れで負けてしまう。

なお、堅守のデッキは残り5枚で吹雪のデッキは21枚とかなりの差が有る

万丈目がデッキ切れで負ければ堅守はデッキを変える  
よってあまりデッキ枚数を気にしなくても良いだろう。

「そしてアンデット・スカル・デーモンでホルスの黒炎竜LV8に攻撃！」

「なに！？ 攻撃力は同じだぞ！  
まさか相打ち狙いか！」

アンデット・スカル・デーモンの攻撃力は2500  
しかしダークゾーンの効果で攻撃力が3000となっている  
そしてホルスの黒炎竜LV8の攻撃力も3000、相打ちだな。

「構わない、行け！ アンデット・スカル・デーモン！」

相打ちにより、お互いに消滅する  
しかしこれでボーンクラッシャーはエンドフェイズに破壊される効果が適用される事になる  
別に構わないだろうが、それでも壁が減るのは困るだろう。

「ついでだ、ボーンクラッシャーでアームド・ドラゴンLV10に攻撃！」

「何だと！？  
く、迎え撃て！ アームド・ドラゴンLV10！」

この行動の意味は……

自爆し、ダメージを受ける堅守  
受けたダメージは1400、残りライフは2000だな。

「墓地の馬頭鬼の効果を発動する

このカードを除外し、アンデット・スカル・デーモンを蘇生！

最後の馬頭鬼の効果を発動！ 再びボーンクラッシャーを蘇生させる、守備表示だ！

効果発動、電池の伏せカードを破壊する！」

相打ちも自爆もこれが狙いか！

万丈目の破壊されたカードはレベルダウン！？だった  
なるほど、アームド・ドラゴンの緊急回避用に伏せていたんだな。

「さて、俺は2枚目の異次元からの埋葬を発動しよう  
除外されているモンスターを全て墓地に戻す」

これで堅守は攻撃を3回防ぐ事ができる  
そして墓地のモンスターを3回蘇生させる事もできる  
攻撃が通らない上にこれでは……

「最後にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「僕のターン、ドロー！」

僕は罠カード、魔法反射装甲・メタルプラスを発動！

このカードを真紅眼の闇竜に装備する！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

そして魔法反射装甲・メタルプラスを装備した真紅眼の闇竜を生け  
贄に捧げる！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

出でよ、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン！」

出たか、真紅眼の黒竜の最終形態！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

吹雪最強のモンスター、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン！

「レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンは基地のドラゴン族の数×400ポイント攻撃力がアップする

僕の基地にドラゴン族は10体！ よって元々の攻撃力2800に4000が追加される！

更にダークゾーンの効果も加わり、攻撃力は7300だ！」

高い攻撃力だ……俺のパワー・ボンドを使用したサイバー・エンド・ドラゴンには勝てないがな

しかし、それでも堅守を倒すには十分過ぎる攻撃力、ネクロ・ガードナーに防がれるだろうが。

「更に僕は闇の量産工場を発動するよ

レッドアイズ・ブラックドラゴン

墓地の通常モンスター、真紅眼の黒竜を2枚手札に加える

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力は下がるけど、構わない

それでも攻撃力は6500だ！」

手札の補充、これでレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの効果の使用回数を増やすのか

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンは手札を1枚捨てる事で魔法カードの発動と効果を無効にして破壊する事ができる

手札を使用しなければ魔法カードを3回も防げるんだ、堅守も辛いだろう。

「レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンで攻撃！

ダークネス・メタル・フレア！」

「ふ、罠カード発動！ 妖かしの紅月！」

レッドムーン

手札からアンデット族モンスターを捨て、その攻撃力分のライフを回復

そしてバトルフェイズを終了させる！」

吹雪、焦ったか！

これで堅守のライフは一気に8500まで増えたぞ！  
しかも追撃もできない、これは拙い！

「ネクロ・ガードナーかと思っただらそっちだったか！  
くそ！ 僕はこれで終了だ！」

「俺のターン、ドロー！」

アームド・ドラゴンLV3を召喚し、レベルアップを発動！  
LVと名の付くモンスターを生け贄に捧げ、その1つ上のモンスターを呼び出す！

手札より、アームド・ドラゴンLV5を特殊召喚！

更に死者転生を発動し、手札を1枚捨て、墓地からアームド・ドラゴンLV7を手札に加える！」

アームド・ドラゴンをLV7にするつもりか？

しかし相手の墓地にはネクロ・ガードナーが存在する  
攻撃は通らないぞ！

「レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンでアンデット・スカル・デモンに攻撃！」

「ネクロ・ガードナーで防ごう」

「アームド・ドラゴンLV10でボーンクラッシャーに攻撃！」

今度は効果を発動せずに素直に破壊された？  
何を考えている……

「通った？ いや、考えるのは後だ！  
アームド・ドラゴンLV5でゾンビ・マスターに攻撃！」

これも通り、残りライフは600のダメージで残りライフは790  
0になった  
何故ネクロ・ガードナーの効果を使用しないんだ？

「……え、エンドフェイズだ！  
アームド・ドラゴンLV5は相手モンスターを戦闘で破壊したター  
ンのエンドフェイズ時  
このカードを墓地に送る事でアームド・ドラゴンLV7にレベルア  
ップする！  
俺は手札からアームド・ドラゴンLV7を特殊召喚！」

「俺のターン、ドロー！」  
このドローで手札に加えられるのは先ほどゾンビキャリアでデッキ  
に戻したカード  
何を戻したんだ？

「手札のモンスターを墓地に送り、ゾンビ・マスターの効果を発動  
する  
再びボーンクラッシャーを守備表示で蘇生させる！  
そしてスピリットバリアを破壊だ！」

最初のターンから長々と生き残っていたスピリットバリアがようやく破壊されたか



何故スピリットバリアを先に破壊しなかったんだ？  
正体の判らない伏せカードを危険視したからだろうか……

「馬頭鬼の効果を発動し、墓地のナイトメアを駆る死霊を蘇生させる！」

モノクロ ダイレクトアタック  
白黒に直接攻撃！」

吹雪に1300のダメージ

更にナイトメアを駆る死霊と追い剥ぎゴブリンの効果で手札を2枚捨てさせられる

やはり手札を持っている吹雪に攻撃を仕掛けてきたか！

「アンデット・スカル・デーモンでアームド・ドラゴンLV10に攻撃！」

再び相打ち、しかし……

「馬頭鬼の効果を発動！

アンデット・スカル・デーモンを蘇生させる！

ゾンビ・マスター達も守備表示に変更させ、ターンエンドだ！」

「僕のターン、ドロー！」

この瞬間、未来融合の効果でメテオ・ブラック・ドラゴンが融合召喚される！

（しかし拙いな……できれば手札を温存しておきたい

だがまたナイトメアを駆る死霊に攻撃されたら……

それに堅守君の手札は0枚、そうそう魔法カードなんて引けないさ）

カードを1枚伏せ、スピア・ドラゴンを召喚！

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンでアンデット・スカル・

デーモンに攻撃！」

「攻撃の無力化だ！」

残念ながら攻撃は届かない！」

また守りのカード

守りが上手い相手は本当に困るな

倒したくても倒せない。

「く……ターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！」

……これが最後の賭けだ！ 魔法再生で墓地の魔法カードを手札に加える！

俺が手札に加えるのは強欲な壺、そして発動しデッキから2枚ドロ  
ー！」

万丈目の奴、自分のデッキが切れてしまう前に最後の最後に悪足掻きをするつもりか！

万丈目のデッキはこれで0、この最後の2枚で何を引いた！？

「……カードを2枚伏せる

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンでアンデット・スカル・デーモンに攻撃！」

「ネクロ・ガードナーで無効だ！」

「メテオ・ブラック・ドラゴンでもアンデット・スカル・デーモンに攻撃！」

「ネクロ・ガードナーの効果を発動！」

「だが、これでネクロ・ガードナーは切れた！」

アームド・ドラゴンLV7でナイトメアを駆る死霊に攻撃し、ダメージは1100だ！

続いてスピア・ドラゴンでもゾンビ・マスターに攻撃する！

スピア・ドラゴンは貫通効果を持ち、ゾンビ・マスターの守備力は0よって1900のダメージが通る！

そして攻撃後、スピア・ドラゴンは守備表示になる」

ダメージを与える事を最優先したか

これで堅守に3000ものダメージを与えた

堅守の残りライフは4900、一気に減ったな。

「俺はこれでターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロー！」

吹雪の手札は0枚

これでは効果を無効にできないな

吹雪め、ナイトメアを駆る死霊に恐れたか

手札を全て使ったのは失敗だったな。

「最後の異次元からの埋葬を発動しよう

除外されているモンスターを全て墓地に戻す

馬頭鬼の効果で魂を削る死霊を守備表示で蘇生！

馬頭鬼の効果でデス・ラクーダを蘇生させる！」

堅守も次に繋ぐ為に動いているな

魂を削る死霊の壁、ナイトメアを駆る死霊と追い剥ぎゴブリンのハ

ンデス

デス・ラクーダは反転召喚に成功した時にデッキから1枚ドロークする効果を持つ。

「アンデット・スカル・デーモンでアームド・ドラゴンLV7に攻撃！」

デス・ラクーダでスピア・ドラゴンに攻撃！

ナイトメアを駆る死霊で白黒に直接攻撃！  
モノクロダイレクトアタック

アームド・ドラゴンは破壊され、万丈目に200のダメージ  
スピア・ドラゴンの守備力は0、デス・ラクーダに破壊される  
ナイトメアを駆る死霊の直接攻撃で吹雪は再び1300のダメージ  
吹雪の残りライフは1400か……

「俺はデス・ラクーダの効果を発動する  
このモンスターは1ターンに1度、裏側守備表示に変更できる！  
最後にカードを1枚伏せ、ターンエンド！」

「僕のターン、ドローク！  
レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンとメテオ・ブラック・ドラゴンで攻撃！」

「ネクロ・ガードナーを2回使用し、攻撃を無効だ」

「僕はこのまま……ターンエンドだ」

そして万丈目のターン  
しかし、万丈目のデッキは0枚  
デッキ切れで負けだな。

「俺のターン、ドローできるカードが無い  
よって……俺はここまでだ」

「いや、ありがとう万丈目君  
君のおかげでかなり戦えたよ」

「吹雪さん……」

「どうしても良いからさっさと帰れ電池  
次のプレイヤーは誰だ!？」

万丈目は堅守を一睨みし、こちらに戻ってきた  
次は三沢、堅守に対してどこまで行けるか……

「次は俺だ!」

「地底か、俺もデッキ変更だ!  
行くぞ!」

堅守のライフは4900、手札は新たに5枚ドロー  
吹雪のライフは1400、手札は現在1枚だけ  
三沢のライフは4000、手札は最初の5枚から始まる。

最初是三沢のターン

しかし、三沢は万丈目の引き継ぎ  
万丈目のドローフェイズは終了している

よって三沢は最初のドローができずに手札5枚から始まる。

堅守相手にどこまで戦えるか、見せてもらおう  
倒せれば万々歳だな。

「（気のせいかな？）

電池を倒してから電池の横に黄色い何かが見えるような見えないようない……

似非の近くにも茶色の何かが近くに有るし

あいつらの顔までは当然のようにハッキリ見えるがあれだけは見えない

目は良いんだが……気持ち悪いな、ハッキリ見えるか全く見えないかのどちらかにしろ！」

始まるな……

「「決闘<sup>デュエル</sup>！」」

### 53話【VS三幻魔 カミュラ編】（後書き）

あんまりカミュラに関係無いような……

仕方無いんです！ キーカードが微妙過ぎるのが悪いんです！

せめてもう少し普通のカードを使ってくれれば……オリジナルカードが多すぎるのも悪い！

という訳で一応カミュラのカードは使っていますが殆ど普通のアンデット族デッキです。

何故ネクロ・ガードナーを入れた？

パワー・ウォールの効果、ゾンビ・マスターの効果で捨てる為ですねしかしここまで活躍するとは思いませんでした

異次元の埋葬も含めて制限になる理由がよく分かりました

ちなみに、使用回数を数えてみれば11回でした

まさかの2桁に作者は思いました、今後は自重しよう……

異次元からの埋葬の効果が……

原作効果です、2回目の登場時にはOCG効果になったそうですが無視

選べないのは時々困りそうですが、今回は全く無問題でした。

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの効果が……

原作効果です、詳しくは下の方で。

原作、アニメオリジナルカード

レベル・ソウル

自分フィールド上のモンスター1体を生け贄にして発動する

自分の墓地に存在するLVと名の付くモンスター1体をゲームから除外し、そのカードに記されているモンスターを召喚条件を無視してデッキまたは手札から特殊召喚する  
なかなか凶悪な効果ですね、召喚条件は満たせなくても強い効果です。

#### 魔法反射装甲・メタルプラス

発動後このカードは装備カードとなり、自分フィールド上のモンスター1体に装備する

装備モンスターを対象とした魔法の効果を無効にして破壊する  
微妙……罠カードなので魔法カードで狙われた時には使えますね。

#### レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

魔法反射装甲・メタルプラスを装備した真紅眼の闇竜を生け贄に捧げた場合のみ特殊召喚する事ができる

このカードの攻撃力は自分の墓地のドラゴン族モンスター1体につき、400ポイントアップする

このカードを対象とする魔法の発動と効果を無効にして破壊する事ができる

手札を1枚捨てる事で、魔法の発動と効果を無効にして破壊する事ができる

原作効果ですね、魔法反射装甲・メタルプラスの効果を受け継いでいます

しかも攻撃力上昇効果もパワーアップしています

更に手札を1枚捨てる事でホルスの黒炎竜LV8と同じ事が可能  
お触れホルスに投入する価値の有るカードでしょう、召喚が難しいのですが……



## 54話【VS三幻魔 アドビス三世編】（前書き）

ちよつとのんびりし過ぎました、おかげでまた少し危なかった……  
まあ間に合ったので大丈夫です、勝ちました  
何に勝ったかって？ 時間にです！

サブタイトルでネタバレですね、しかし内容はどうでしょう？  
結構頑張りましたよ？ 前回以上に長くなりました……疲れた。

今回は色々な意味でとても酷い内容です  
酷い理由は……まあ読んでください、きっとこれは酷いと思います  
作者は自分が悲しく……今回の半分以上の結果が作者の結果ですの  
で。

最近寒くなってきましたね

しかし作者の環境は変わっていません

去年の真冬、暖房器具はホットカーペットだけで生き残りました  
掛け布団？ 1枚だけで毛布も使用していません！（実話）

風邪ですか？ なりませんでした！ 代わりに夏にはなりましたが！  
寒さにはかなり強いようで、低血圧の癖に何ででしょうね？

次話は……まあまだ大丈夫でしょう

幸い、終わりがアレなのでどうにかなりそうです

そういえば今回で何連続更新でしょうか？

数えるのも面倒になってきました、35日ぐらいでしょうか？

## 54話【VS三幻魔 アドビス三世編】

視点 明日香

次の瑞貴のデッキは何かしら？

このままセブンスターズの順番通りならタニヤのデッキだけど……  
デッキ相性を考えると闇属性かアンデット族  
首領・ザルークかアドビス三世のどちらかね。

とりあえず場の説明をしておきましょうか

瑞貴の場にはモンスターが5体

アンデット・スカル・デーモン

ナイトメアを駆る死霊

魂を削る死霊

デス・ラクーダ

ボーンクラッシャー

追い剥ぎゴブリンと伏せカードが1枚

かなり強固な場ね……

白黒兄さん<sup>モクロ</sup>と三沢君の場

モンスターは2体ね

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン

未来融合ーフューチャーフュージョンの効果を受けているメテオ・

ブラック・ドラゴン

更に伏せカードが3枚、内2枚は万丈目君が残したカード

この残したカードがどのような影響を与えるのかしら？

ん？ マナの様子が変ね

最初に比べてかなり辛そうな顔になっているわ  
疲れているだけじゃない、あれは魔術の効果を上げているから？

……そうか！ 隼人君も万丈目君も精霊を持っている！

十代ほどの力はないかもしれないけど、精霊の力を奪ったのね！  
それで幻魔の力が上がって……他に精霊を持っているのは私と十代  
最後だけど、負けた瞬間にマナの負担が一気に上がるわね。

できるだけ最後まで回さずに勝ってほしいわ

現在のライフは白黒兄さんモノクロが1400

瑞貴が4900、三沢君は4000

そして場はこちらがかなり不利ね。

「俺のターンだ！」

「ちなみにドローはできないぞ

電池のドローフェイズが終わった直後だからな」

「な、何い！？

なら俺はレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンでアンデット・  
スカル・デーモンに攻撃だ！」

攻撃力は6500

だけどナイトメアを駆る死霊と追い剥ぎゴブリンのコンボで墓地に  
は更に2体のドラゴン族が増えている  
よって現在の攻撃力は7300ね。

これが通れば4300のダメージで一気にライフが減ってしまうけ  
ど……

「罨カード、和睦の使者！」

残念ながら俺のモンスターは戦闘で破壊されず、戦闘ダメージも受けない」

「く、なら俺はモンスターをセットし、ターンエンドだ！」

当然のように守られているわね

あの瑞貴が大ダメージを受けるのを分かっていて対策無しは無いわね  
それにしても……いつまでも守りきれないわ。

「俺のターン、ドロー！」

デス・ラクーダを反転召喚し、効果発動！

このモンスターが反転召喚に成功した時、1枚ドローする！」

あ、戦闘で破壊できなくても攻撃すればよかったわね

三沢君、忘れてたのかしら？

「俺は強欲な壺を発動しよう

モノクロ  
白黒、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの効果で無効化するか？

しないのなら俺は2枚ドローするぞ？」

「……無効化しておこう

手札を1枚捨て、相手の魔法カードを無効化し、破壊する！

僕が捨てたのはドラゴン族モンスター、よってレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力が上昇する！」

瑞貴に手札を与えるのは自殺行為だと思っているのかしら？

でも、それは多分正解の行動、瑞貴が手札を持つと碌な事が無いわ！

「ナイトメアを駆る死霊で地底に直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

三沢君はそのままダメージを受ける  
そして、ナイトメアを駆る死霊と追い剥ぎゴブリンの効果で手札を  
2枚捨てさせられる

この2体のコンボは本当に厄介ね……

でも瑞貴、このままだとレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの  
攻撃で大ダメージは必至よ  
それでも攻撃するという事は……また何か企んでいるわね。

「更にアンデット・スカル・デーモンで地底の守備モンスターに攻  
撃！」

破壊されたのはメカ・ハンター、闇属性の機械族モンスターね  
となるとあれは闇属性のデッキかしら？

モシクロ  
白黒兄さんとは闇属性、後続の人達とは機械族が合わさっている  
となると良い具合に噛み合うわね、多分。

「デス・ラクーダの効果で自身を裏守備表示に変更  
そして永続魔法……平和の使者を発動！」

このカードが存在する限り、攻撃力1500以上のモンスターは攻  
撃できない

自分のスタンバイフェイズ時にライフを100払わなければ破壊さ  
れるがな」

攻撃力1500以上が攻撃できないって……

それじゃあ毎ターン、ナイトメアを駆る死霊で攻撃されるという事  
！？

アンデット・スカル・デーモンの効果で破壊されないから破壊しよ

うにも破壊できない

更にナイトメアを駆る死霊は戦闘で破壊されない、攻撃力1400を出しても倒せない！

どうやって攻略すればいいのよ！？

「さっき強欲な壺を使ったのはこれを狙っていたのか！？

く……まんまと引っかかってしまった、僕の手札は0枚だから効果を発動できない！」

瑞貴はこれを使う為に白黒兄モノクロさんを挑発して効果を使わせたのね  
相変わらず戦い方が上手い……そして口も巧いわね！

三沢君のデッキは知らないけど、白黒兄モノクロさんのデッキはパワーデッキダイレクトアタックこれを突破するのは難しい……そして攻撃力1300での直接攻撃に2枚のハンデス  
どうにかしないと……でもどうすればいいの！？

「俺は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「僕の……僕のターン、ドロー！」

よし、これでどうだ！ リバースカードオープン、クロス・ソウル！  
自分のモンスターと相手モンスターを生け贄にして生け贄召喚を行う！

僕はこの効果により、メテオ・ブラック・ドラゴンとアンデット・スカル・デーモンを生け贄に捧げ  
出てこい！ レッドアイズ・ブラックドラゴン 真紅眼の黒竜！」

なるほど、破壊できなくても生け贄にはできる

その小さな隙間を突いた生け贄ね、これで他のモンスターを効果で破壊できるわ！

まあ……攻撃できないんだけどね。

ちなみに未来融合―フューチャーフュージョンは場に残り続けるわけ破壊されないと未来融合は墓地に送られない  
邪魔だけど、それでもこの状況を回避するにはまだ安い代償ね。

「僕はこのままターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロ―！」

ツインバレル・ドラゴンを召喚し、効果発動！  
このモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
相手モンスター1体を選択し、コイントスを2回行う  
そしてそれが連続で表が出た時、その選択したモンスターを破壊する！

俺が選択するのは、ナイトメアを駆る死霊だ！」

上手いわ、ナイトメアを駆る死霊は効果に選択された時に破壊される効果を持っている

例えコイントスが成功しようがしまいが、確実に破壊されるわ！

「ナイトメアを駆る死霊が効果に選択された事で効果自身の自壊効果が発動！

しかしコイントスは行われる……表と表だ！

消えろ！ ナイトメアを駆る死霊！」

「チッ……しかしツインバレル・ドラゴンの攻撃力はダークゾーンの効果を得て2200  
お前の全てのモンスターは攻撃不可能だ」

「分かっている、俺はカードを1枚伏せてターンエンドだ！」

ダイレクトアタック

これで直接攻撃のハデスは無くなった  
けどまだ状況は悪いまま、平和の使者と魂を削る死霊の壁が厄介  
ね。

「俺のターン、ドロー！」

平和の使者の効果を維持し、ライフを100払う！  
そしてデス・ラクーダを反転召喚し、デッキから1枚ドロー！  
再び効果を発動し、裏側守備表示に変更！」

ライフコストがたったの100は少なすぎるわよ！  
瑞貴の残りライフだって4800とまだまだ余裕が有るわ  
当分の間はこの効果を持続されるでしょうね。

体勢を立てられるまでに倒せば良いんだけど……  
そう甘くないわよね。

「ヘルバウンドを召喚しよう、ダークゾーンの効果で攻撃力が1000になる」

……LV1の効果の無いアンデット族モンスター  
となるとあのデッキはアドビス三世<sup>デュエル</sup>のデッキね  
でもあの2人はアドビス三世の決闘を見ていない  
分からない相手にどこまで戦えるか……

「更に下克上の首飾りをヘルバウンドに装備する！  
通常モンスターにのみ装備可能、装備モンスター以上のLVを持つ  
モンスターと戦闘する時  
そのLV差×500攻撃力が上昇する！」



拙い！ 平和の使者は攻撃力1500以上のモンスターの攻撃宣言  
ができないカード！

下克上の首飾りを装備しても攻撃力は変わらず、攻撃宣言後に相手  
を決める

という事は攻撃時は攻撃力1000でも、戦闘を行う時に強くなっ  
てしまう！

「ヘルバウンドで真紅眼の黒竜に攻撃だ！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

そして戦闘を行うこの瞬間、下克上の首飾りの効果が発動し、LV  
差×500攻撃力が上がる！

よって戦闘を行う瞬間にヘルバウンドの攻撃力はLV差6なので…  
…攻撃力4000だ！」

「攻撃力4000!？」

ぐう！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン ね、真紅眼の黒竜がやられるとは……」

レッドアイズ・ブラックドラゴン 真紅眼の黒竜は幸い守備表示だったのでダメージは無い

もし攻撃表示だったら受けたダメージは1100となり  
モノクロ

白黒兄さんのライフは残り300になっていた

危なかったわ……でもライフはまだ1400と少ない、早く回復し  
ないと。

でもどうしてツインバレル・ドラゴンを攻撃しなかったのかしら？  
そうすれば三沢君のライフを削れたのに……

可能性としては黒炎弾の存在ね、まだ使っていないし使われる可能性  
を危惧したのかしら？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「僕のターン、ドロー！」

何もしないまま、ターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！」

ツインバレル・ドラゴンを生け贄に捧げ、ブローバック・ドラゴンを召喚！

そしてブローバック・ドラゴンの効果を発動する！

1ターンに1度、3回コイントスを行う！

その内2回以上表が出た場合、相手の場のカードを1枚破壊する！」

三沢君、ギャンブルデッキにでも嵌ったのかしら？

コイントスのカードが多いわね

機械竜は全部そういう効果だから仕方無いけど……

「コイントス1回目……裏

コイントス2回目……裏

既に失敗だが効果は続くので3回目……裏」

全て裏って……それって確立1／8よ？

よくアッサリと出せたわね、運が無いのかしら？

「ま、まあいい

俺はこのままターンエンドだ」

「お前……運が無いんだな

俺のターン、ドロー！ 平和の使者のライフコスト100を払う！

デス・ラクーダを反転召喚し、ドロー！

ヘルバウンドでブローバック・ドラゴンに攻撃！

この瞬間、攻撃力がLV差5で2500上がり、攻撃力3500だ！」

「まだだ！ 罨カード、援護射撃！ 相手の攻撃に攻撃された時に発動！

自分の場のモンスターの攻撃力分の攻撃力を自分のモンスターの攻撃力に追加する！

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力、8500が足される！

よってブローバック・ドラゴンの元々の攻撃力2300に足され、攻撃力10800だ！

更にダークゾーンの効果で更に攻撃力が上がっているので攻撃力11300！

反撃しろ、ブローバック・ドラゴン！」

「なに！？ と、罨カード発動！」

瑞貴の言葉が言い終わる前にブローバック・ドラゴンの反撃

ヘルバウンドはブローバック・ドラゴンに打ち抜かれ、消し飛ぶ

攻撃力差は7800……瑞貴のライフは4700だったから終わりね。

煙が晴れてくると、瑞貴のライフは……900！？

何故ライフが残っているの！？

瑞貴の場を見れば罨カードが発動されていた

体力増強剤スーパージ……リミッター解除対策に伏せていたのね！

「体力増強剤スーパージを発動した

戦闘で2000以上ダメージを受けた時、そのダメージ計算前にライフを4000回復する

リミッター解除を使われた時用に対策として伏せておいたんだが……少々危なかったぞ？」

「倒しきれなかったか……だがヘルバウンドは破壊され、下克上の首飾りも墓地行きだ」

「甘いな、下克上の首飾りの効果を発動！

このカードが墓地に送られる時、デッキの一番上に置くことができる！

デッキの一番上に置けばドローカードが制限される、これは明らかにデメリットだ

しかし今回のデッキには通常モンスターは多いのでな、これぐらい別にデメリットでもなんでもない

デス・ラクーダでもドローできるしなあ！」

悔しそうな顔をする三沢君

今ので倒しきれなかったのは確かに辛い

強力な反撃だっただけに惜しい！」

「今のはヒヤッとしたが、詰めが甘かったな

俺はカードを3枚伏せ、モンスターをセットしてターンエンドだ」

「僕のターン、ドロー！

ブローバック・ドラゴンの効果を発動する！

コイントス、表、裏、表

効果の発動ができたので平和の使者を破壊する！」

よし、これでレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン達でも攻撃できる！

ただ……瑞貴の伏せカード3枚が凄く気になるわ  
何を伏せたのかしら？

「レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンで伏せられているデス・ラクーダに攻撃！」

ダークネス・メタル・フレア！」

「甘い！ 永続罨、グラヴィティ・バインドー超重力の網ー！  
LV4以上のモンスターは攻撃する事ができない！」

「今度はLV制限！？」

く……僕はそのままターンエンドだ！」

アドビス三世のデッキは低レベルのモンスターが多い  
スピリット・オブ・ファラオは墓地の関係上まだ当分は出ないでし  
ようね

それでも時間稼ぎとレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン封じ  
には十分。

モノクロ  
白黒兄さんも手札はできるだけ温存しておきたいみたいね

魔法カードを無効化するだけでも十分助かるんだし  
もし魔法カードを何度も使われたら……怖いわよ！

「俺のターン、ドロー！」

ブローバック・ドラゴンの効果を発動！

コイントスは表、裏、裏……カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

三沢君、自分のモンスターなのに白黒兄さんモノクロは成功させて自分は失  
敗なんて……

次はきつと成功するから頑張つて！

なんとなく無理な気がするのは気のせいかしら？

「俺のターン、ドロー！」

平和の使者を破壊してくれてありがとうよ

「マードーサーカス・ゾンビを召喚し、下克上の首飾りを装備させる！」

マードーサーカス・ゾンビは闇属性のLV2で通常モンスター！

元々の攻撃力1350の上に下克上の首飾りを装備でき、更にダークゾーンに対応しているモンスター

ブローバック・ドラゴンに攻撃する場合は攻撃力3850になり

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンに攻撃する場合は585

0にまで上がってしまう！

まあ……レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力は8500だからどの道勝てないけど。

「その魔法カードは使わせない！」

手札を1枚捨て、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの効果発動！

相手の魔法カードの発動を無効にし、破壊する！」

「下克上の首飾りの効果を発動し、デッキのトップに

そしてデス・ラクーダを反転召喚してデッキからドロ！」

再びマードーサーカス・ゾンビに下克上の首飾りを装備させる！」

「再び無効にする！」

ドラゴン族を墓地に送ったのでレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンは更に上昇！」

「なら、先ほどセットしたデス・ラクーダを反転召喚！」

再びドロ！」、下克上の首飾りをマードーサーカス・ゾンビに装備する！

既に手札の無いお前には防ぎようの無い事だな」

温存していた手札を無駄に使用させられた……

これは拙いわね、ブローバック・ドラゴンが倒されてしまうわ！

「マーダーサーカス・ゾンビでブローバック・ドラゴンに攻撃！  
地獄送りの曲芸！」

「リミッター解除を発動する！

これでブローバック・ドラゴンの攻撃力は5600だ！

反撃ダメージとして1750のダメージを受けろ！」

「それはどうかな？ デストラクト・ポーションを発動！

マーダーサーカス・ゾンビを破壊し、その攻撃力3850を回復する！

更に下克上の首飾りの効果でデッキのトップに戻す！

デス・ラクーダ達を効果で裏守備表示に戻す

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

瑞貴のライフが回復し、4750にまで増える

そしてリミッター解除の効果を受けたブローバック・ドラゴンは破壊される

このままだと拙いわね……下克上の首飾りは何度でも使い回せる  
なのに攻撃力の上昇値が凄い事になる

通常モンスターは専用のデッキを組めば恐ろしい強さね

効果モンスターも何枚か入っているでしょうけど、それを考えても  
これは……

「僕のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動してデッキから更に2枚  
ドロー！」

闇の量産工場を発動し、墓地から通常モンスターである真紅眼の黒<sup>レッドアイズ・ブラックド</sup>ラゴン<sup>ラゴン</sup>を2枚手札に戻す！

貪欲な壺を発動！ 墓地のモンスター5枚をデッキに戻し、2枚ドロ<sup>ロー</sup>する！

僕がデッキに戻すモンスターは……

黒竜の雛、ミラーージュ・ドラゴン、メテオ・ドラゴン、ボマー・ドラゴン<sup>レッドアイズ・ダークネスドラゴン</sup>、真紅眼の闇竜だ！

デッキに戻し、2枚ドロ<sup>ロー</sup>！」

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力が5700まで下がってしまった

だけど代わりに手札が4枚にまで増えたわ

これで下克上の首飾りは何度も無効にできる！

それにしても……手札0枚からよくここまで頑張ったわね。

「僕はこのままターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロ<sup>ロー</sup>！」

俺も強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロ<sup>ロー</sup>！

更に天使の施しを発動し、デッキから3枚ドロ<sup>ロー</sup>し、2枚を捨てる！

……よし、魔法カード、ジャンク・ディーラーを発動！

墓地の機械族か戦士族モンスターを2体まで選択し、その攻撃力を半分に<sup>して</sup>特殊召喚する！

ただし、攻撃ができず、生け贄召喚の為の生け贄にはできない！

俺はこの効果で……ブローバック・ドラゴンとリボルバー・ドラゴンを蘇生させる！」

どちらも攻撃力が半分になっているわね

ブローバック・ドラゴンの元々の攻撃力は2300だから1150にダークゾーンの効果で1650



リボルバー・ドラゴンの元々の攻撃力は2600、1300からダークゾーンの効果で1800になる  
攻撃はできない、けど効果の使用は可能ね。

「ブローバック・ドラゴンの効果を発動！

コイントスで裏、表、裏……また失敗か！

リボルバー・ドラゴンの効果を発動！

同じくコイントスするが、ブローバック・ドラゴンと違ってモンスターしか破壊できない

俺が指定するのは魂を削る死霊、効果に選択されたので必ず破壊される

とりあえずコイントス、表、表、表で成功！ 魂を削る死霊を破壊  
！」

逆だったら良かったのにね、三沢君って運が無いのかしら？  
それでもこれで少しは場がまともになったわね。

「更に融合を発動！

ブローバック・ドラゴンとリボルバー・ドラゴンを融合させる！

出てこい！ ガトリング・ドラゴン！

そしてガトリング・ドラゴンの効果発動！

コイントスを3回行い、表の数だけ場のモンスターを破壊する！

コイントス1回目……裏

コイントス2回目……裏

こ、コイントス3回目……裏！？

「「「……………」」」

これは酷いわね、瑞貴の場のモンスターは3体  
ボーンクラッシャーとデス・ラクーダが2体

どれも倒せないなんて……

「氣を落とすな三沢君！

また次のターンに使えばいいんだから！」

「そ……そうですね

俺はこれでターンエンドだ！」

「あー……ドロー

デス・ラクーダの効果でもう1枚ドロー

ヘルバウンドを召喚し、下克上の首飾りを発動する」

「あ、勿論無効化するよ

手札を1枚捨てるよ」

なんだか一気に雰囲気が落ち着いてしまったわね

せめて1体でも破壊できていれば取り繕えたのに

どうして全部外すのよ……瑞貴まで落ち着いちゃったじゃない。

そしてマナ、そんな可哀想な人を見る目は止めてあげて

気持ちには分かるわ、だけど哀れになるから……ね？

瑞貴が一気に落ち着いてしまったのでマナは休み始める

暴走しない為に止めていたんだものね、瑞貴が落ち着いたし休憩ね

瑞貴が暴走しそうになるまでゆっくり休んでちょうだい。

でも、マナを休ませてあげる事ができたんだし

その点だけは三沢君に感謝しないとね

デュエル  
決闘内容ではあまり褒められない状況だけど。

「下克上の首飾りをデッキのトップに戻す  
そしてもう1度デス・ラクーダの効果を使用してドロ  
下克上の首飾りを再び装備させる」

「よし、もう1回無効だ」

酷いグダグダ感……三沢君は空気を壊す天才？  
いえ、むしろ天災かしら？

「今度は効果を使用しない  
デス・ラクーダ達を裏守備表示に変更する  
カードを1枚伏せてターンエンドだ」

「僕のターン、ドロ  
ガトリング・ドラゴンの効果を発動し、3回コイントスするよ  
表、裏、表……これにより、裏側守備表示のデス・ラクーダ2体を  
破壊する！」

「せっかくのドロソースが……」

これで瑞貴のドロは潰せたわ  
残りのモンスターは2体ね  
グラヴィティ・バインドと追い剥ぎゴブリン  
そして伏せカードが2枚か……

「よし、僕はこれでターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロ！  
ガトリング・ドラゴンの効果を発動し、コイントスを3回行う！」

「なら俺は速攻魔法、神秘の中華鍋を発動する！  
これでボーンクラッシャーを生け贄にし、効果の回避だ！」

「逃がして堪るか！ レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの  
効果で無効化！」

手札から捨てたのはドラゴン族なので攻撃力アップ！」

「無駄だ！ 神秘の中華鍋の生け贄はコスト  
効果を無効化しても、生け贄によるモンスター数の変動に変わり無  
い！」

さあ地底よ、コイントスをするがいい  
もし2回以上表が出れば……自滅だな」

こ、こういう時こそ裏を何度も出すべきよ三沢君！  
頑張って裏を出して！

「く……コイントス！」

表、表、表！ 3回成功したので3体のモンスターを破壊！

……って、あ」

……さすが三沢君、空気を読んでくれたわね  
とても悪い意味でだけど。

「ガトリング・ドラゴンの効果で破壊する数は表の数と決まっている  
その数以下ができない……よって味方のモンスターも破壊しなくて  
はならない

残念だったな地底、さあ地底よ、3体のモンスターを破壊してもら  
おうか？」

場には瑞貴のヘルバウンド、三沢君のガトリング・ドラゴン

そして白黒兄さんモノクロのレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの3体表の数だけ破壊する必要があるという事は……全てのモンスターが全滅!?

ガトリング・ドラゴンの打ち出した銃弾が全てのモンスターに当たり、爆散

そしてガトリング・ドラゴン自身は自爆して消滅……

全員が沈黙……あまりにも酷い事が起きたから仕方無いんだけどね確かに瑞貴のモンスターを全滅させた事は賞賛に値するわでも、味方最強のモンスターまで倒してどうするのよ!?

ドラゴン族は手札コストで何度も捨てていた

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力は7300だったのよ?

その最強のモンスターを自滅させるなんて……

そして白黒兄さんモノクロも手札温存の為にレッドアイズ・スピリッツを伏せてなかったんじゃないの?

もし伏せていれば蘇生できたんだけど……まさかの自滅に啞然としているわ。

「お……俺はツインバレル・ドラゴンを召喚する!

効果発動! 2回コイントスをして2回連続で表だった場合場のカードを1枚破壊する!

コイントス1回目、表! コイントス2回目……裏!?’」

ああ……ここまで酷いとは思わなかったわ

今後、彼にギャンブル系のカードを使わせるのは禁止ね  
しかもこんな肝心な時に限ってここまでとは……

「あ……ぐ、カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー」

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「僕のターン、ドロー！」

よし、黒竜の雛を召喚！ 黒竜の雛で直接攻撃だ！」  
ダイレクトアタック

「妖かしの紅月<sup>レッドムーン</sup>を発動！」

手札のアンデット族を墓地に送る、そして攻撃モンスターの攻撃力分のライフを回復  
更にバトルフェイズを終了させる！」

あれはカミューラの！

でもあのデッキもアンデット族のデッキだったわね  
なら入っていてもおかしくないわ。

「僕はこれでターンエンドだ！」

「エンドフェイズ時、第一の棺を発動！」

相手のエンドフェイズ時に第二の棺をデッキから発動させる！」

出てきたわね、そして瑞貴はこれを狙っていたはず  
場のモンスターが減り、墓地にモンスターが貯まる  
そして魔法、罠ゾーンが空く時を……確実に狙っていたわね。

「棺？」

よく分からないけど、僕はもうなにもできないよ」

「俺のターン、ドロー！  
ダイレクトアタック  
黒竜の雛で直接攻撃！」

これで回復された分のライフは帳消しね  
それでも瑞貴のライフは4750、まだ初期ライフより多いわ  
ちなみに白黒兄モノクロさんは1400のままで三沢君は2700よ。

「俺はこれでターンエンドだ」

「エンドフェイズ時、デッキより第三の棺が発動される  
これで3つの棺が揃った、これらを全て墓地に送る

そしてデッキからスピリッツ・オブ・ファラオを特殊召喚する！」

出たわね……厄介なモンスター！

これで墓地からLV2以下のアンデット族の通常モンスターを4体  
まで特殊召喚する

瑞貴の墓地にはヘルバウンドが2体とマーダーサーカス・ゾンビ  
それにデス・ラクーダとさっきの妖かしの紅月レッドムーンの効果で捨てたアン  
デット族

もし最後のカードがLV2以下の通常モンスターだった場合はそれ  
も蘇生されるわね。

「スピリッツ・オブ・ファラオの効果を発動

特殊召喚に成功した時、墓地からLV2以下のアンデット族通常モ  
ンスターを4体まで特殊召喚できる

俺はこの効果により、ヘルバウンド3体とマーダーサーカス・ゾン  
ビを蘇生させる！」

「そんな効果を持っていたのか！  
ならば万丈目の残した罠カードを発動！」

おジャマトリオ！ 相手の場におジャマトークンを3体、守備表示で特殊召喚する！」

「電池め……消えてからも邪魔をするか  
ならば俺はマーダーサーカス・ゾンビを蘇生させる！」

まさか万丈目君の最後の足掻きがこんな時に役立つなんて……  
そういえば使ってなかったし、これは嬉しい誤算ね  
一気にモンスターゾーンを埋められて召喚ができなくなったわ。

「俺のターン、ドロー！  
チッ……マーダーサーカス・ゾンビで黒竜の雛に攻撃！」

「ならば俺の罠カードを発動する！  
ライジングエナジー！ 手札を1枚捨て、黒竜の雛の攻撃力を1500アップさせる！

黒竜の雛で反撃！」

これで瑞貴の残りライフは3700に減った  
それにあの強力なマーダーサーカス・ゾンビを倒せたわ  
ドローしたカードも良くなかったみたいだし、これならまだ勝機も  
……

「ぐう……カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

「僕のターン、ドロー！  
黒竜の雛でおジャマトークンに攻撃！  
おジャマトークンが破壊されたので300のダメージだよ  
僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」



「俺のターン、ドロー！」

俺は再びツインバレル・ドラゴンを生け贄に捧げ、ブローバック・ドラゴンを召喚！

そしてコイントスをする！」

懲りないの！？ さっきの事が有ったのにまた使うの！？

確かに使った方が良いんでしょうけど……

それでもちよつと……ねえ？

「1回目は裏、2回目はまた裏……最後は表だ

裏が2回だからまた無理だ……黒竜の雛でおジャマトークンに攻撃  
！」

これで瑞貴のライフは3100ね

なんとか削っているけど……やっぱりグラヴィティバインドが邪魔ね  
早く除去したい所だけど……

「ターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！」

天よりの宝札を発動し、お互いのプレイヤーは手札が6枚になるよ  
うにドローする！」

瑞貴と三沢君は6枚、モノクロ白黒兄さんは3枚ドローね

モノクロ白黒兄さんのデッキ枚数は残り9枚、ちよつと拙いかしら。

ドローしたカードを見た時、瑞貴の表情が変わった

同時にマナが瑞貴に再び魔術を使用、一瞬で表情が戻った  
気分が高揚したみたいね、何をドローしたのやら……

「貪欲な壺を発動し、墓地のモンスターを5体デッキに戻し、2枚ドローする

俺はヘルバウンドを3体、マーダーサーカス・ゾンビ、デス・ラクサーダをデッキに戻す

シャッフルし、デッキから2枚ドロー！」

あのカードってかなり強いよね

墓地にモンスターが5体無いと使えないのが難点だけど  
それでも再利用には便利よ。

「ヘルバウンドを召喚し、罠カード、同姓同名同盟を発動！

自分の場に存在するLV2以下の通常モンスターと同名モンスターをデッキから全て特殊召喚する

デッキからヘルバウンドを2体特殊召喚！」

LV1の通常モンスターを3体も並べて……どうする気？

アドバイス三世が使用したサウザンドエナジーはLV2じゃないと使えない

LV1である必要は……

「魔法カード、威圧する魔眼を発動！

攻撃力2000以下のアンデット族は相手に直接攻撃ができるようになる

俺はヘルバウンド1体を選択する！

そして魔法カード、トライアングル・パワーを発動！

自分の場のLV1の通常モンスターの攻撃力を2000上げる！

エンドフェイズ時に破壊されるがな」

「なんだって！？      しかし威圧する魔眼は攻撃力2000以下じゃないと……」

「残念だが、それは指定した時の事だ  
後々攻撃力を上げてダイレクトアタックも直接攻撃は可能だ！」

攻撃力3000のヘルバウンドでダイレクトアタック直接攻撃って……  
どちらのライフも残り3000以下、これで終わるじゃない！  
それに残りのモンスターだって……これは拙い！

「俺は生還の宝札を発動しておくか  
ブローバック・ドラゴンにヘルバウンド1体で攻撃！」

ブローバック・ドラゴンの攻撃力は2300から2800に  
よって三沢君は200のダメージと追い剥ぎゴブリンの効果で手札  
を1枚捨てた。

「そして速攻魔法、神秘の中華鍋を発動する！  
これにより、先ほど攻撃したヘルバウンドを生け贄に捧げてライフ  
を3000回復！」

また瑞貴は次に繋ぐ為の布石を！  
生還の宝札も次の為の布石のカードか！  
やっぱり瑞貴が手札を持つと碌な事が無いわ！

「ヘルバウンドで黒竜の雛に攻撃！」

「速攻魔法、飛龍天舞を発動！  
僕はデッキからドラゴン族を1体墓地に送り、黒竜の雛の攻撃力を  
300アップさせる！」

これで黒竜の雛の攻撃力は合計で800アップした事になる

1700の攻撃力になり、戦闘ダメージは1300、モノクロ白黒兄さんの残りライフは100になった

追い剥ぎゴブリンの効果で手札を捨てさせられたわ……

一応生き残ったけど、すぐにライフが無くなるわね。

「やっぱり威圧する魔眼は無駄だったな

モノクロ白黒は残りライフ100だから楽に潰せるだろうし……

ヘルバウンド、ダイレクトアタック地底に直接攻撃だ！」

三沢君の残りライフは2500……

ヘルバウンドの攻撃力は3000、終わりね。

瑞貴の残りライフは6100、デッキと手札の変更

モノクロ白黒兄さんの残りライフは100、デッキは残り8枚

モノクロ白黒兄さんが飛龍天舞で墓地に送ったドラゴン族を1体にしたのはこの為？

もし自分が残っても、少しでもデッキが残るように……でもライフは100だけよ？

「俺の……負けか！」

「（俺が言うのもなんだが……自爆しかしてないか？

もしレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンが残っていたら負けていたかもしれないんだが……

単に不運なだけだろうが、今回に限ってはタイミングが悪かったな）  
」

三沢君はこちらに落ち込みながら戻ってくる

そして同時に、クロノス教諭が瑞貴に向かって行く。

そういえば忘れていたんだけど、万丈目君の残した伏せカードがまだ1枚残ってるのよね

あれは何かしら？ 次の発動権を持つのはクロノス教諭だけど。

場の確認をしておきましょう

瑞貴の場にはトライアングル・パワーでエンドフェイズ時に破壊されるヘルバウンドが2体

そしてスピリッツ・オブ・ファラオ、おジャマトークン

生還の宝札、追い剥ぎゴブリン、グラヴィティバインドー超重力の網――

モノクロ  
白黒兄さん達の間

万丈目君の謎の伏せカードと対象が居なくて無駄なカードとなっている未来融合ーフューチャーフュージョン  
……この状況でどうすればいいのかしら？

モノクロ  
「白黒、デッキが切れそうなんだろう？

さすがに3連戦だ、墓地からランダムに5枚デッキに戻す事を許すランダムにだ、選んで決めるのは許さない」

「ありがたい、僕の残りデッキは8枚だったからね  
何が戻る事やら……」

モノクロ  
白黒兄さんは墓地のカードを取り出す

そして裏側にシャッフルし、適当な所で1枚デッキに戻す

同じ事を5回繰り返し、再び墓地にカードを戻した

最後にデッキをシャッフルし、デッキをセットする。

その間に瑞貴もカードを整理し、次のデッキの準備を始めていた  
次は誰のデッキかしら？ ダークゾーンの効果を生かすなら閻属性

デッキ

自分のデッキだった悪魔の契約か首領・ザル<sup>デュエル</sup>グのデッキかしら？  
可能性的に考えて後者だけど……彼らの決闘を見てないけど、どんなデッキか知ってるのかしら？

……そういえば彼らがモンスターだと知っていたわね  
だったら黒蠍のデッキも作るか、割と簡単な推測だったわね  
さて、どんなデッキを使う事やら。

「シニョール堅守、早く正気に戻るノーね」

「先生が勝てれば戻るかもねえ  
頑張って勝つ事だね、ふふふ……あははははは！」

最後のコンボが決まってテンションが上がった？  
マナが辛そうな顔になってるわ、どうにかしてテンションを下げさせないと危ないかしら？  
でもどうやって……

「そうだ、三沢君！」

瑞貴のテンションを下げるような事をしてちょうだい！」

「な、何故だ！？」

「瑞貴が高笑いしてるからよ！  
テンションが上がったらどうも正気を失っていくみたいに見えるわだから少しでも頭を冷静にさせれば……」

考え込む三沢君

全員が見つめる中、彼が一言。

「こ、コイントスで5回連続で裏を出してみせよう！」

そう言っコイントスを始めた

瑞貴にも少しは聞こえてるはずだから……行けるかしら？

最初のコイントスは……表

この時点で既に宣言を外している

それでも続ける三沢君。

結果、表、表、表、表

……どうしてその反転運を使おうと思ったのかしら？ 全て表って  
確立1／32よ？

それならば光雄君が使ったようなデッキにすれば良いのに……  
宣言して当てるってタイプだったらきっと成功してたんじゃないか  
しら？

自分の直感と反対を言えば。

冷たい空気が流れる

瑞貴が溜め息を吐いたわ！

よし、これで少しはテンションを下げさせられた！

マナも少しは安心したような顔になってるし、大丈夫でしょう  
みんなが三沢君を白い目で見ているけど無視

剩え、クロノス教諭まで溜め息を吐いているけど無視よ！

そして冷静になったところで瑞貴とクロノス教諭が構える  
始まるわね、第4戦目が……

「「決闘！」」  
デュエル

## 54話【VS三幻魔 アドビス三世編】（後書き）

前書きの作者の結果ってまさか……

はい、コイントスを本当にしました

結果は……見ての通りです、三沢で全て外し、吹雪で全て成功させました

コイントスをしなかったのはガトリング・ドラゴンと最後の雑談（？）だけです

作者は自分の運の無さと、三沢の哀れさで一杯です。

マナが……

頑張れマナ！ 君のおかげで瑞貴はまだまともだ！

という訳です、彼女を応援してくれる人募集中

活動報告でアンケートをします、それで今後の彼女の未来が……

マナを応援してくれる人は参加してください。

三沢のデッキは？

閻属性の機械族で完成しています

理由ですが、アニメのとある回でリボルバー・ドラゴンを目覚まし代わりに使用しました

それで十代トリオを起こしたという話が有ります

どうしようか考えていた時に思い出せてよかったです、もし無ければ……

まあ思い出して考える事を放棄したので分かりません

なお、セカンド・チャンスは入っていますが最後の天よりの宝札でドローしました

三沢はチートドローを持っていないので仕方無いですね、という言い訳。



瑞貴のデッキは？

通常ローレベルアンデットですね

魂喰らいの魔刀も何気に入っていますが、今回は未使用ですね

デルタ・アタッカー、悪魔への貢ぎ物なども入っていました、未使用ですが

骨ネズミも入っていましたよ、未使用ですけど。

体力増強剤スーパージって使える？

微妙……使えないかもしれません

しかし都合上ゴリ押しします、あの状況をどうやって回避しろ！？  
という感じなので他に色々と考えたんですが無理でした。

リミッター解除の後にデストラクト・ポーションは……

攻撃宣言時に発動されたので間に合います

発動タイミングミスです、しかしアニメではそういうのは殆ど無視されています

あまり深く考えないでくれると助かります。

万丈目の置き土産が！

謎の活躍をしました……が、あまり効果はありませんでした

しかし1ターンの猶予を手に入れたので十分な活躍でしょう

なお、生き残ったのはおジャマグリーントークンです、どうしても良い話ですね。

原作、アニメオリジナルカード

ジャンク・ディーラー

墓地の戦士族か機械族を2体まで選択する

選択したモンスターの攻撃力を半分にし、特殊召喚する

この効果で特殊召喚したモンスターは攻撃できず、生け贄召喚の生け贄にする事ができない

普通にかなり凶悪なカードです、悪用方法も沢山有るでしょう

OCG化したら……まあ弱体化しているでしょうね、効果を発動できないとか、シンクロ素材にできないとかで。

## 55話【VS三幻魔 黒蠍盗掘団＋タニヤ編】（前書き）

超ギリギリに完成！ 0時まで残り3分でした！  
危なかった……少しのんびりし過ぎました  
前書きと後書きを後から書くのは今回が初めてですね  
次回からはもっと余裕を持って書きたいものです。

今回はタイトルの通り、2戦します  
おかげで時間が掛かりました……本当に間に合って良かったです  
妙に短くなったのが2戦を入れた原因ですね  
今まで通り、日常を入れられないので2戦入れるという……かなり  
無謀でした  
やっぱり1回に2戦も入れるもんじゃないですね。

普段は作業用に適当にBGMを流しています  
今回はそれを探していて遅くなりました、最終的に無音です  
音楽を聴いていると段々と眠く……無音が一番集中できますね。

次話ですか？ 知りません！  
もう今は気分的にも一杯一杯です  
疲れました……腕が、頭はまだ働くので余裕ですけどね。

## 55話【VS三幻魔 黒蠍盗掘団十タニヤ編】

視点 明日香

場のおさらいから

瑞貴の場にはトライアングル・パワーで強化されたヘルバウンドが2体

スピリッツ・オブ・ファラオとおジャマトークン

追い剥ぎゴブリン、生還の宝札、グラヴィティバインドー超重力の網ー

そしてさっきまでの手札を全て捨て、新たに5枚ドローした手札残りライフは6100とかなり厄介な状態。

モノクロ 白黒兄さんとクロノス教諭コンビ

対象が居なくて無駄に残っている未来融合ーフューチャーフュージョン

万丈目君が残してくれた最後の伏せカード

モノクロ 白黒兄さんの手札は5枚でクロノス教諭も最初だから5枚

モノクロ 白黒兄さんのライフは100とクロノス教諭は最初だから4000あまり良い状況じゃないわね。

おまけにフィールド魔法、ダークゾーンが残っているぐらいね

幸い、ヘルバウンド達はエンドフェイズに破壊される

瑞貴の場に残るモンスターはスピリッツ・オブ・ファラオとおジャマトークンだけ

通常召喚は既になっているからこれ以上モンスターは増えないわ。

「メインフェイズ2、カードを1枚伏せ、念の為にスピリッツ・オ

ブ・ファラオを守備表示に変更  
エンドフェイズ、トライアングル・パワーの効果を受けたヘルバウ  
ンド2体は破壊される」

瑞貴が守りに入ったわね

デッキが変わればグラヴィティバインドも邪魔になるでしょうに  
それでも残したのには何か理由が？

「僕のターン、ドロー！ ミンゲイドラゴンの効果を発動！

スタンバイフェイズ時に自分の場にモンスターが存在せず、墓地に  
ドラゴン族しか居ない時に効果を発動！

墓地からこのモンスターを特殊召喚する！ この効果で蘇生された  
ミンゲイドラゴンは場から離れると除外されるけどね

更に貪欲な壺を発動！

墓地からラヴァ・ドラゴン、黒竜の雛、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜、メテオ・ド  
ラゴン、ダーク・ホルス・ドラゴンをデッキに戻す！

そしてシャッフルし、カードを2枚ドロー！」

ダーク・ホルス・ドラゴン？

そういえばダーク・アームド・ドラゴンも存在していたわね  
となると今度は黒いホルスの黒炎竜LV8かしら？

「よし、ミンゲイドラゴンを生け贄にする！

ミンゲイドラゴンはドラゴン族を生け贄にする時、2体分の生け贄  
にできる！

出てこい、ダーク・ホルス・ドラゴン！」

攻撃力3000！？

また強力なモンスターを呼んできたわね

でも、グラヴィティバインドの効果で攻撃できないわよ？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！」

私はダブルサイクロンを発動するノーね！

この効果により、シニョール堅守のグラヴィティバインドと、シニョール万丈目が伏せたカードを破壊するルーの！

そしてシニョール万丈目が伏せたカードは、黄金の邪神像！

破壊された事により、邪神トークンを特殊召喚するノーね！」

「チッ、守りを壊してきたか」

万丈目君が伏せたのは黄金の邪神像だったのね

確かに味方が有利になるカードだわ

しかもグラヴィティバインドも破壊できたし、上手くいってるわ！

「更に、私は魔法カード、マグネットサークル磁力の召喚円LV2を発動するノーね！

このカードは、手札のLV2以下の、機械族モンスターを特殊召喚できるノーね！

私はこの効果により、アンティーク・ギアキャノン古代の機械砲台を特殊召喚！

そして魔法カード、機械複製術を発動！ 攻撃力500以下の機械族を1体選択する

選択した同名モンスターを、2体までデッキから特殊召喚するノーね！

私は、アンティーク・ギアキャノンデッキより古代の機械砲台を2体、特殊召喚カーン！」

アンティーク・ギアキャノン古代の機械砲台が3体

そしてまだクロノス教諭は通常召喚を行っていない  
これは来るかしらね？

「私は、場の邪神トークンと、アンティーク・ギアキャノン古代の機械砲台を生け贄に捧げ  
アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人を召カーン！」

相変わらず出てくるのが早いわね、アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人  
まさか最初のターンから出てくるとは思わなかったわ。

アンティーク・ギアゴーレムそして古代の機械巨人は貫通効果持ちのモンスター  
おジャマトークンを倒せばお互いの効果で合計2300のダメージ  
になる

ダーク・ホルス・ドラゴンでスピリッツ・オブ・ファラオを倒し  
アンティーク・ギアキャノン古代の機械砲台でも攻撃すれば更にダメージを与えられるわ。

「そして、アンティーク・ギアキャノン古代の機械砲台の効果を発動！

このモンスターを生け贄に捧げ、相手に500ポイントのダメージ  
を与える

そして、このターンのバトルフェイズ中に罠カードを発動できなく  
するノーね！」

よし、これで瑞貴の厄介な攻撃を止めるようなカードの使用を封じ  
た！

ドレインシールドとかも使えないんですもの、このターンに大ダメ  
ージを与えられるわ！

アンティーク・ギアゴーレム「古代の機械巨人でおジャマトークンに攻撃！  
アルティメット・パーウインド！」

クロノス教諭、攻撃名は伸ばさない方が格好いいわよ？  
なんだか中途半端感が……別にいいんだけど。

おジャマトークンは簡単に破壊され、瑞貴に2000の貫通ダメージ

そしておジャマトークンが破壊された事で300の効果ダメージを与えられる

アンティーク・ギアキャン先ほどの古代の機械砲台の効果も合わさり、合計で2800のダメージよ！

「更に、ダーク・ホルス・ドラゴンでスピリッツ・オブ・ファラオに攻撃するノーね！

アンティーク・ギアキャン オマケに、古代の機械砲台で直接攻撃すルーの！」ダイレクトアタック

これで更にダメージを与えられたわ！

さすがクロノス教諭、一応だけど実技最高責任者だけの事は有るわ！

というか、単に瑞貴との相性が良いだけかもしれないわね  
瑞貴のデッキは魔法、罠を中心としている守備型のデッキ  
攻撃を防いだり、止めたり、回復するカードが多い。

そしてクロノス教諭が使う古代の機械達アンティーク・ギア

攻撃中に相手は魔法、罠を使用できないという共通効果を持っている者が多い

瑞貴にとって、クロノス教諭は何気に天敵だったわけね。

アンティーク・ギアキャン「私は古代の機械砲台の効果をもう1度使ウーの  
このモンスターを生け贄にし、相手に500ポイントのダメージな  
ノーね！」

これで瑞貴が受けた合計ダメージは3800

残りライフは2300よ

先が多少楽になったけど……瑞貴がこのまま終わるかしら？

「私はこれで、ターンエンドなノーね」



「……モンスターを全滅させてくれてありがとうよ、クロノス教諭  
おかげで俺は有利になれる」

「負け惜しみは止めておくノーね」

……決まりね、あのデッキは十中八九、黒蠍盗掘団のデッキ  
あのモンスター達は全てが揃った時に強力になる  
拙いわね……攻撃したのは失敗だったかもしれないわ。

あんまり瑞貴を嘗めない方が良いわよ、クロノス教諭  
下手すれば……瑞貴は1ターンでも圧倒する事ができる実力者なん  
だから。

「俺のターン、ドロー！」

天使の施しを発動し、デッキから3枚ドロー、そして2枚を捨てる！  
強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロー！

成金ゴブリンを発動し、相手は1000ポイントのライフを回復し  
て俺は1枚ドロー！

ちなみに回復させるのはクロノス教諭だ」

相手のライフを回復させてまでドロー？

もしかして黒蠍盗掘団のデッキじゃない？

目的が分からない……何を考えているのかしら？

「魔法カード、闇の誘惑を発動する

デッキから2枚ドローし、その後手札の闇属性モンスターを除外する  
もし捨てなかった場合、手札を全て捨てる

俺は手札から……ダーク・ホルス・ドラゴンを除外！」

ドラゴン族モンスター！？  
まさかまたダークネスのデッキ！？  
いえ、でもそんな事は……

「更にトレード・インを発動！

手札のLV8のモンスター……闇より出でし絶望を墓地に送り、デッキから2枚ドロー！

そして魔法再生を発動！ 墓地の天使の施しを手札に加え、発動！  
3枚ドローし、2枚を捨てる！」

さっきから瑞貴は何をしているの？

手札交換しかしていないし……まさか何か狙っている？

「装備魔法、早すぎた埋葬を発動！

ライフを800払い、墓地からみつこぶラクーダを蘇生させ、地獄の暴走召喚！

攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚された時、そのモンスターをデッキ、手札、墓地から可能な限り特殊召喚する！

俺はデッキから2体のみつこぶラクーダを特殊召喚、相手も同名モンスター1体を可能な限り特殊召喚できるが……」

アンティーク・ギアゴーレム  
「古代の機械巨人は特殊召喚できないノーね」

「僕のデッキにダーク・ホルス・ドラゴンは1枚だ」

このタイミングは狙ったわね

でも、そんな低級モンスターを召喚してどんな意味が……

「生還の宝札の効果が発動される

自分の墓地からモンスターが蘇生された時、デッキから3枚ドロー！

そしてみつこぶラクーダの効果が発動される、同名カードが3体、場に存在する時

その内2体を生け贄に捧げる事でデッキから3枚ドロー！

神秘の中華鍋を発動！みつこぶラクーダを生け贄に捧げ、その守備力分ライフを1500回復する！

ついでに対象が存在しなくなったので早すぎた埋葬は破壊される！」

瑞貴のライフが1500回復し、先ほど800払ったので残りライフは3000

そしてここまでドローして何がしたいのかしら？

「トレード・インを発動し、手札の闇の侯爵ベリアルを墓地に送り、2枚ドロー！

闇の誘惑を発動し、デッキから2枚ドローして闇属性モンスターを除外する

俺は手札の闇属性、コスモクイーンを除外！

再びトレード・インを発動し、手札の堕天使ゼラートを墓地に送って2枚ドロー！

魔法カード、鳳凰神の羽根を発動し、手札を1枚捨て、墓地のカードを1枚デッキのトップに戻す

俺はこのカードの効果により……強欲な壺をデッキの一番上に戻す！」

だから、瑞貴はさっきから何で手札交換ばかりしているの！？

目的も分からないし、ずっと1人で回しているからみんな哑然と見ているじゃない！

「終わりの始まりを発動！

墓地の闇属性モンスターが7体以上存在する時

闇属性モンスターを5体除外し、デッキから3枚ドロー！

そして強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドロ―!」

瑞貴が落ち着いた?

さて、これから何をするつもりなの?

「手札からモンスター、首領・ザル―グを召喚!」

……は?

「更に魔法カード、黒蠍団招集を発動!

場に首領・ザル―グが存在する時に発動可能、手札の黒蠍と名の付くモンスターを可能な限り特殊召喚!

俺は黒蠍一棘のミーネ、強力のゴーグ、罠はずしのクリフ、逃げ足のチックを特殊召喚!」

まさか瑞貴……この為だけにあの強力なモンスターを捨てまくったの?

この為だけに……ドロ―カードを何枚も使用し、相手にライフを回復させてまでドロ―したの?

「天よりの宝札を発動、お互いに手札が6枚になるようにドロ―する」

まさか開始2ターン目でデッキが切れるとは……瑞貴のデッキが0枚になったわ

もしこのターン中に決められなかったら瑞貴の負け

なんて賭けなのよ……ゲート・ガーディアンの時も思ったんだけど瑞貴が使うファンデッキは壊れてるわね……目的の為だけに他を全て犠牲にするとは……

「罠カード、必殺！黒蠍コンビネーションを発動！

場に首領・ザルグ、以下黒蠍が全員揃っている時に発動可能  
全てのモンスターは直接攻撃が可能となる

しかし、与えられる戦闘ダメージが400だ」

これで白黒兄モノクロさんは終わりね

残りライフが100、1回受けたら即ライフは0

瑞貴……この為だけの超ドロ、もう二度としないで、見てて疲れるから。

「サイクロンを発動し、白黒モノクロの伏せカードを破壊する！」

破壊されたのはドレインシールド

ああ……最後の砦が破壊されたわ。

「カードを3枚伏せ、黒蠍盗掘団でクロノス教諭に直接攻撃！

最初はチック、チックが戦闘ダメージを与えた時、場のカード1枚  
を手札に戻す！

この効果により、ダーク・ホルス・ドラゴンを持ち主の手札に戻す！  
そして、追い剥ぎゴブリンの効果により、手札を1枚捨ててもらおうか？」

これが瑞貴の目的か……

クロノス教諭の手札を補充させ、追い剥ぎゴブリンの効果で手札を  
ズタズタに引き裂く

更に黒蠍盗掘団の効果で相手の場、手札、デッキを引き裂こうという事ね。

「次はゴーグの効果、戦闘ダメージを与えた時、相手のモンスター  
を1体デッキのトップに戻す

この効果により、アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人をデッキに戻してもらおう  
そして追い剥ぎゴブリンの効果で手札を1枚捨てろ」

アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人は特殊召喚できないモンスター  
デッキに戻せば召喚は難しいと踏んだみたいね。

「クリフの効果、戦闘ダメージを与えた時、相手のデッキトップから2枚を墓地に送る  
そして追い剥ぎゴブリンの効果で手札をまた1枚捨てろ」

アンティーク・ギアゴーレムこれで古代の機械巨人は墓地に行ったわね  
強引な方法だけど、これがまた凶悪ね……

「ザルグの効果、戦闘ダメージを与えた時、相手の手札を1枚ランダムに捨てる  
追い剥ぎゴブリンの効果と合わせて2枚捨ててもらおう」

これでクロノス教諭の手札は1枚  
ミーネで攻撃すれば無くなるけど……クロノス教諭のライフはまだ3400残っている  
攻撃しても、次の自分のターンに終わってしまうわ。

「最後のミーネはモノクロ白黒に攻撃しろ！  
そしてミーネの効果、デッキか墓地の黒蠍と名の付くカードを手札に加える

俺は墓地から必殺！黒蠍コンビネーションを手札に加えるが……無駄だったな」

そう、モノクロ白黒兄さんのライフはミーネの攻撃で0  
いくらライフが100だったからって、もう少し粘ってくれても良

かったんじゃないの？

あの状況じゃ不可能だって分かってるけど……

それにしても、今回も凄いソリティアだったわね

淡々とカードを揃えていく姿はかなり怖かったわよ？

もしかして次元融合や異次元からの帰還を狙っているかと思ったぐらいなもの。

なにせ、墓地に最上級モンスターが7体

正直言って、それを狙うのが基本よね

でも瑞貴は全てを捨ててネタと遊びとファンデッキの為に頑張ったのね

やっぱり瑞貴のファンデッキとは戦いたくないわ。

これが黒蠍盗掘団の為の黒蠍盗掘団による黒蠍盗掘団の為だけのデッキね

ゲート・ガーディアンの時も同じ事を言った気がするけど、それだけ拘っているという事か。

落ち込みながら帰ってきた<sup>モノクロ</sup>白黒兄さん

そりゃあんな負け方をすれば誰だって嫌よ。

「すまないみんな、負けてしまったよ」

「落ち込む事無いぜ吹雪さん！

あんなの絶対反則だって！」

いや、どう考えても反則じゃないわよ？

瑞貴は最後の事をする為だけにデッキを組んだんだから。

一緒にしていいのか悩むけど……  
十代が融合やE・HEROに拘る事に近いのよ？  
その対象が黒蠍盗掘団だっただけで。

「亮、次は任せたよ」

「ああ、任せろ吹雪」

そう言っモノクロて白黒兄さんから決闘盤デュエルディスクを受け取る亮  
デッキをセツトし、お互いに向き合って構える。

「デュエル決闘！」

改めて場のおさらい

瑞貴の場にはザルグと黒蠍のモンスター達

伏せカードは3枚に生還の宝札、追い剥ぎゴブリン

そしてダークゾーンと、場のカードが全て埋まっている状態

ライフは残り3000ね。

対して亮とクロノス教諭の場にはモノクロ白黒兄さんの置き土産である未来

融合だけ

状況はやっぱりかなり不利ね

更にクロノス教諭のライフは残り3400と減っている状態か。

「メインフェイズ2、伏せカードオープン！ 魔法カード増援！  
デッキからLV4以下の戦士族を手札に加える！

俺はこの効果により、デッキからアマゾネスの剣士を手札に加える  
！」

今度はアマゾネスデッキか……そしてドローできないデメリットを



このカードで回復

更に場を空け、黒蠍と同じ戦士族を手札に加えるカードを使う前準備が上手いわ、そしてデッキの順番も的確ね。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

相手の場にモンスターが存在し、自分の場にモンスターが存在しないよって、サイバードラゴンを特殊召喚！

更に融合を発動！ 手札のサイバードラゴン2体を融合させ、サイバー・ツイン・ドラゴンを融合召喚！

そしてサイバー・フェニックスを召喚！」

……亮も本気ね

瑞貴の場のモンスターを全滅させる勢いで一気に潰すつもりかでも、全滅させる前に瑞貴のライフが無くなるわよ？

「サイバー・ツイン・ドラゴンは1度のバトルフェイズで2回攻撃ができる！」

サイバー・ツイン・ドラゴンで首領・ザルグに攻撃！」

「罨カード発動！」

和睦の使者！ このターン、戦闘ダメージを受けず、モンスターも戦闘で破壊されない！」

当然のように守ってきたわね

しかも使った和睦の使者は前のデッキのカード

新しく伏せたカードは何かしら？

「ならば俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロ―！」

むむむ、手札から魔法カード、アンティーク・ギアファクトリー古代の機械工場を発動！

このカードの効果により、手札から古代の機械と名の付くモンスターを選択する

そして、選択したモンスターの倍になるように墓地のアンティーク・ギア古代の機械と名の付くモンスターを除外

私が選択するのは古代の機械巨人！  
アンティーク・ギアゴーレム

墓地より、アンティーク・ギアエンジン古代の機械工兵を2枚、アンティーク・ギアキャノン古代の機械砲台を3枚除外する  
ノーね！

これで合計LVは16、出でよ！  
アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人！

アンティーク・ギアエンジン古代の機械工兵はLV5のモンスター

アンティーク・ギアキャノンそして古代の機械砲台はLV2のモンスター

5+5+2+2+2+2=16ね。

アンティーク・ギアエンジン

あの古代の機械工兵は追い剥ぎゴブリンの効果で墓地に行ったのね  
相変わらず、瑞貴はこういう所の運が無いわよね

どうして落としたカードを有効活用されてしまうのかしらね？  
しかも、手札を1枚にした相手なのに……

「罠カード発動、威嚇する咆吼！」

このターン、相手は攻撃宣言を行えない  
残念ながら攻撃は無理だ」

「ぐむ……なら私はサイバー・フェニックスを守備表示に変更して  
おくノーね

ターンエンドなノーね！」

サイバー・フェニックスの攻撃力は1200だものね

もしこれで攻撃されればダメージを受けるのは亮  
攻撃できないのなら守らせるのが無難ね。

「俺のターン、ドロー！」

罨カード発動！ 必殺！黒蠍コンビネーション！  
効果はさっき使ったから知ってるよなあ？」

まさか2枚目を伏せていたなんて！

だから瑞貴は黒蠍達を守ったのね……これは拙いわ！  
また場を荒らされてしまう！

「更に俺は黒蠍一棘のミーネを生け贄に捧げる  
出る！ アマゾネス女王！<sup>クイーン</sup>」

巨大な剣を持ち、御輿に担がれた青髪の女性……その身に纏う雰囲気  
は女王の名に相応しいわね

下で御輿を担いでるアマゾネス達もやたら強気な表情だし……

って、それじゃあ必殺！黒蠍コンビネーションの効果が！  
無駄にならないわね、発動条件が全員揃っている時だし  
効果を受けた他の黒蠍達は直接攻撃できるもの。<sup>ダイレクトタック</sup>

ミーネを生け贄にしたのは効果が役に立たないからでしょ？

墓地にもデッキにも黒蠍が入っていないんだものね

確かに存在していても無駄ね。

「更に永続魔法、アマゾネスの闘志を発動！

アマゾネスと名の付くモンスターが自分よりも攻撃力の高いモンス  
ターに攻撃する時

攻撃力を1000ポイントアップさせる効果だ！

まあ分かりやすく言えば、アマゾネス専用の摩天楼―スカイスクレイパー―だな」

拙いわね……これでサイバー・ツイン・ドラゴンも古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムも倒されてしまうわ

そうでなくても黒蠍達が厄介なのに！  
更に厄介にしないで頂戴！

「バトルだ！ アマゾネス女王クイーンで古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムに攻撃！  
アマゾネス女王クイーンよ、古代の機械巨人を切り裂け！」

アマゾネス女王クイーンの剣の一撃で古代の機械巨人は真っ二つに……  
アマゾネスの闘志の効果により、攻撃力が1000アップしてアマゾネス女王クイーンの攻撃力は3400  
古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムの攻撃力は3000だから、その差400のダメージをクロノス教諭は受ける。

「更に黒蠍盗掘団で豆腐に直接攻撃だ！」  
ダイレクトアタック

黒蠍盗掘団達の攻撃が亮を襲う  
亮の手札は1枚、確実に手札を捨てさせられるわ！

「最初はチツクの効果だ！  
戦闘ダメージを与えたので、場のカード1枚を持ち主の手札に戻す！  
サイバー・ツイン・ドラゴンを融合デッキに戻せ！  
そして戦闘ダメージを受けた事により、追い剥ぎゴブリンの効果で  
手札を1枚捨てろ！」

亮の事実上、サイバー・ツイン・ドラゴンは破壊されたに等しい  
そして手札を捨てさせられ、手札は0枚になる。

「次にゴーグの効果を発動！」

サイバー・ドラゴンをデッキのトップに戻せ！

更にザルーグとクリフの効果、デッキの上から2枚を墓地に捨てろ！  
これで合計4枚のカードを捨ててもらおうぞ！」

場に残ったのは相変わらず残っている白黒兄さんモノクロの未来融合

そしてサイバー・フェニックスの2枚だけ

黒蠍盗掘団……前にセブンスターズの時の戦いも見ただけ

それでもかなり厄介な相手だった……瑞貴が使うと厄介を通り越して悪質よ！

クロノス教諭の残りライフは3200

亮の残りライフは2400になった

瑞貴は変わらずに3000、全員あまりライフに大きな差は無いわ。

「最後にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

また守りのカード？

それとも攻める為の下準備？

どっちにしてもかなり厄介な事に変わり無いわ！

「俺のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドローする！

魔法カード、パワー・ボンドを発動！ 機械族を融合する時、このカードで融合を行う！

そしてこの効果で融合召喚されたモンスターは攻撃力が倍になる！  
更に速攻魔法、サイバネティック・フュージョン・サポートを発動！  
機械族を融合する時、ライフを半分払い、このカードを融合召喚に必要なモンスターの代わりにする！

そして融合召喚されるモンスターの融合素材を場か墓地から除外する！

俺はサイバー・ドラゴン3体をゲームから除外し、サイバー・エンド・ドラゴンを融合召喚！」

攻撃力8000……亮の切り札が出たわね

そしてライフが半分になったから残りは1200

それでもこの攻撃力なら……

とはいっても、瑞貴の伏せカードが気になるわね

不安だわ……大丈夫かしら？

「サイバー・フェニックスを攻撃表示に変更し

サイバー・エンド・ドラゴンでアマゾネス女王クイーンに攻撃！

エターナル・エヴォリュション・バースト！」

「罠カード発動！ ドレインシールド！

攻撃を無効にし、その攻撃力分のライフを回復する！」

「なんだと！？」

ああ……やっぱり守られたか

しかも攻撃力分のライフ、8000も回復されてしまった

瑞貴のライフは11000にまで……亮の馬鹿……！

「く、ならばサイバー・フェニックスでクリフに攻撃！

サイバー・フェニックスは破壊された時、デッキからカードを1枚ドロウする効果を持っている！」

それで自爆特攻を狙ったのね

今度は瑞貴は何もしなかったわ  
もしかして……手が尽きたなんて事は無いわよね？  
絶対に無い気がするけど……

「クリフの効果だ、デッキから2枚を捨てろ」

クリフの元々の攻撃力は1200  
だけどダークゾーンの効果を受けていて1700  
亮は500の戦闘ダメージを受け、残りライフは700  
そしてデッキから2枚を捨てた。

「サイバー・フェニックスの効果で1枚ドロー！  
俺はサイバー・ジラフを召喚し、生け贄に捧げる！

この効果により、このターンに受ける効果ダメージは0になる  
これでパワー・ボンドのリスク、融合したモンスターの攻撃力分の  
ダメージを受ける効果ダメージは0だ！  
ターンエンド！」

たった1枚のドローでそのカードをドローするなんて！  
さすが亮ね、恐ろしいドローだわ。

「私のターン、ドロー！  
強欲な壺を発動し、デッキから更に2枚ドローするノーね！  
そして私もシニョール丸藤と同じなノーね！

私は融合を発動し、更に速攻魔法、サイバネティック・フュージョ  
ン・サポートを発つ動！

機械族を融合する時、ライフを半分払い、このカードを融合召喚に  
必要なモンスターの代わりにすルーの！

私は墓地の古代の機械巨人3体を除外し、融合！  
アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム  
アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム  
出でよ、古代の機械究極巨人！」

デュエル  
瑞貴と決闘した時に出た、クロノス教諭の切り札！

まさかこの局面で出てくるなんて！

そしてクロノス教諭のライフは1600になるわね。

「サイバー・エンド・ドラゴンでチックに攻撃するノーね！」

これが決まれば、さっきの回復の半分以上を帳消しできるわ！

「ふ……クロノス教諭、あんたは攻撃順を間違えた！

罠カード発動！ 死力のタッグ・チェンジ！

このカードの効果により自分の表側攻撃表示で存在するモンスターとの戦闘で受けるダメージを0にする

そして手札からLV4以下の戦士族モンスターを特殊召喚できる！

戦闘ダメージは0になるが破壊はされる、そして俺の場が空いた！

俺が特殊召喚するモンスターは、アマゾネスの剣士だ！」

アマゾネスの剣士……また厄介なモンスターが！

アマゾネスの剣士は戦闘ダメージを相手に与える効果を持っている  
もし自爆特攻されたら……負ける！

「くう………だったら古代の機械究極巨人でゴークに攻撃なノーね！」  
アンティーク・ギア・アルティメット・ゴレム

「死力のタッグ・チェンジの効果発動

戦闘破壊はされるが、ダメージを0にする

更に手札のLV4以下の戦士族……アマゾネスの聖戦士を特殊召喚！

そしてアマゾネスの聖戦士の効果、自分の場のアマゾネスと名の付くモンスターの数×100ポイント

攻撃力を上げる効果、俺の場にアマゾネスは3体、よって攻撃力は  
300アップし、2000！」



瑞貴の場のモンスターが減らない！　ずっと5体のまま変わらない！  
しかも全てにおいて厄介過ぎるモンスターも残っている！  
どうすればいいのよ！？

「うう……ターンエンドなノーね」

もしこの攻撃順が逆だった場合、死力のタッグ・チェンジの効果は  
発動……されたわね  
攻撃される前に発動すれば良かったただけなんだし  
でも瑞貴は攻撃順を間違えたって……

なるほど、クロノス教諭に精神的ダメージを与える為ね  
この状況を作り出したのはお前のミスが原因だ  
そういう意味を込めた言葉か、えげつないわね。

「俺のターン、ドロー！」

俺も、強欲な壺を発動しよう、デッキから2枚ドロー！  
俺はクリフを生け贄に捧げ、2体目のアマゾネス女王クイーンを召喚！  
更に神秘の中華鍋を発動し、首領・ザルグを生け贄に捧げる！  
ダークゾーンによって強化された攻撃力分、1900のライフを回  
復！」

これで瑞貴のライフは残り12900にまで増えてしまった  
もう終わりね……亮かクロノス教諭、どちらが消えるのかしら？

「パーフェクト決闘者デュエリストねえ……弱かったな

アマゾネスの剣士でサイバー・エンド・ドラゴンに攻撃！」

自爆特攻、だけどこれが正解

戦闘ダメージは相手が受けるんだからね。

そしてアマゾネスの剣士が破壊……されていない！？  
どうなってるの！？ 何故破壊されないの！？

「更にアマゾネス女王クイーンの効果が発動される

このカードが存在している限り、アマゾネスは戦闘で破壊されない  
そしてアマゾネスの剣士の効果、このモンスターが行う戦闘ダメージは相手が受ける

お前の負けだ、豆腐」

亮のライフは0……

今回亮がした事は凄く少ない所か圧倒的に悪い

瑞貴に8000ものライフを与えてしまったんだから……どうすればいいのよ？

瑞貴の場の整理をしましょう

アマゾネス女王クイーンが2体、アマゾネスの剣士、アマゾネスの聖戦士

そして死力のタッグ・チェンジ、アマゾネスの闘志、追い剥ぎゴブリン、生還の宝札

ライフは12900、そしてデッキの変更をするから手札は5枚になる。

クロノス教諭と、次のプレイヤーである翔君の場

サイバー・エンド・ドラゴン、アンティーク・ギアアンタルデイメット・ゴレム  
古代の機械究極巨人

そしてまだ残っている白黒兄さんの未来融合モノクロ

クロノス教諭のライフは1600で手札は0枚、翔君は新しく入るからライフ4000の手札が5枚からね。

亮は自分が相手にとって有利な事しかしていない事に気付いている

かなりショックを受けているみたいね……最悪、三沢君より酷い状況にしたんだもの

一応、攻撃力8000のサイバー・エンド・ドラゴンが残っているけど、それもアマゾネスの剣士に攻撃されたらと思うと、マイナスね。

一応、死力のタッグ・チェンジはもう使えないはずだからダメージは無効にされないでしょうけど、それでもライフを削るのは大変ね

翔君とクロノス教諭には頑張ってもらわないと……

翔君は落ち込んでる亮を見て怒りを滾らせる

亮から決闘盤を受け取り、デュエルディスク瑞貴に対峙する

やる気満々だけど、空回りしないかしら？

大丈夫だと思いたいわ。

そして亮は半分死んでいる目で翔君を見ている

やっと分かったわ、これが瑞貴の言う豆腐って意味ね

メンタル・カウンセラー リリーのカードを渡した理由もよく理解できた。

亮は心が弱いという事ね、どうやって気付いたかは知らないけど

それでメンタル・カウンセラー、心が豆腐並に柔らかいという事かあんまり知りたくなかった事実ね……

でも亮、今は落ち込んでいる暇は無いわよ

デュエル瑞貴と翔君の決闘が始まるわ……しっかり見なさい。

「……………」

「そう睨むなよ水色、相手はしてやる  
兄貴の敵を討ちたかったら頑張る事だな」

瑞貴の挑発に翔君の顔が更に険しくなる

相手がどんな人間か忘れてるわね……そのまま冷静にならないとい  
いけど

冷静になったら弱気になってしまいそうだしね。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

ちなみにマナはまだ頑張ってくれてるわ  
でも疲れてきているのか、片膝を着いている  
早く終わらせないと……頑張って翔君！

## 55話【VS三幻魔 黒蠍盗掘団十タニヤ編】（後書き）

万丈目の最後のカードは黄金の邪神像か……

正直、かなり悩みました

結果は生け贄にできる為にこのカードを投入

しかし、殆ど役立たずでした……せっかく残したのに哀れ万丈目。

瑞貴の最初デッキは？

黒蠍盗掘団を使う為だけに構築した超ネタファンデッキです

よって他のカードはその為だけに犠牲になりました。

まさかの1ターンキル！

ネタデッキですので仕方有りません

伸ばしていたら即死しますし、何よりも吹雪のライフが……

何故亮は最初にサイバー・エンド・ドラゴンを使わなかったの？

モンスターの数を減らす為です

それに攻撃を2回できるので1度防がれても連続攻撃ができると考えました。

瑞貴のデッキ破壊が悉く裏目に……

軽く謎です、全て利用されているという……三沢の不幸が移りましたかね？

モンスター埋まっても死力のタッグ・チェンジの効果って使えるの？

不明、Wikiでは残念ながら調整中と書かれていました  
とりあえず可能という事にします

でなければ瑞貴は大ダメージでヤバイです。

サイバー・フェニックスが居るのでドレインシールドは使えないんじゃない……

無理でした、しかし変更できる状態じゃありません

色々と悩みましたが、どちらが不在になっても展開を修正できませんでした

バグの修正はできません、すみませんでした。

最後のマナが投げ槍……

時間が足りなくなったので仕方無いんです

できればもっと書きたかったですけど……まあどの道書く事なんて無いんですけどね

マナの応援をしたい人は活動報告のアンケートにご協力ください  
マナの未来はきつと……

原作、アニメオリジナルカード

サイバネティック・フュージョン・サポート

ライフを半分払い、発動する

機械族を融合する時、このカードを代わりに融合素材として扱う事ができる

この効果で融合する場合、墓地の正規融合素材をゲームから除外する普通に凶悪なカードです、ちなみにクロノスが持っているという事実はありません

アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム  
しかし古代の機械究極巨人を使用する為に使わせてしまいました。

## 56話【VS三幻魔 アムナエル＋堅守＋影丸編】（前書き）

はい、今回は間に合いませんでした

0時1分に完成、完成後20秒ぐらいで投稿しました

ああ……詰め込みすぎるんじゃないかった……

今回はサブタイトルの通り、3戦も盛っております

よって時間アウト……自分を殴ってもいいですよね？

ちなみに、影丸編では前編後編と分かれます

これは時間が足りなかったのではなく、元々考えていた事です

決して間に合わなかったから突然そうしたというわけではありません

これは本当ですので嘘だとか、急ごしらえだとか言わないでください。

どうしても良い話しですが、火傷をしました

幸い指は無事なのでタイピングに影響はありません

火傷を負ったのは腕ですし、大丈夫です。

次話はもう必ず間に合わせます

最近遅い事が多いですからね……はあ。

## 56話【VS三幻魔 アムナエル＋堅守＋影丸編】

視点 明日香

場のおさらいと状況の説明をしておきましょうか

瑞貴の場には攻撃力2400のアマゾネス女王クイーンが2体

戦闘ダメージを相手に与える攻撃力1500のアマゾネスの剣士

自身の効果で攻撃力が400上がって攻撃力2100のアマゾネスの聖戦士

そして死力のタッグ・チェンジ、アマゾネスの闘志、追い剥ぎゴブリン、生還の宝札

ライフは現在12900、そしてデッキの変更をするから手札は5枚ね。

クロノス教諭と翔君の場

パワー・ボンドで攻撃力が倍になって8000になっているサイバ  
ー・エンド・ドラゴン

厄介な効果を持っている攻撃力4400の古代の機械究極巨人アンティーク・ギアラルティメット・ゴーレム

そして何故かまだ残っている白黒兄さんモノクロの未来融合

クロノス教諭のライフは1600で手札は0枚、翔君はライフ4000の手札が5枚からね。

瑞貴は既に召喚権を使用している

このターンで何をしてくるか……

「メインフェイズ2、カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

瑞貴はカードを伏せただけ



今度は誰のデッキかしら？

月桂樹のデッキか、それとも錬金獣を使ったあの男のデッキか  
どちらにしても厄介には変わり無いわ。

「僕のターン！ ドロー！」

サイバー・エンド・ドラゴンでアマゾネスの聖戦士に攻撃！」

ちよっ！ いくら何でも単調過ぎるわよ！

もし防がれたらどうするのよ！？

「水色、お前はやっぱり最弱だよ

罠カード発動！ デイメンション・ウォール！

相手の攻撃宣言時に発動、戦闘ダメージを相手が受ける！」

やっぱり攻撃妨害のカード！

しかも凶悪な効果を持っているじゃない！

攻撃力差は5900……一撃で終わるわよ！

サイバー・エンド・ドラゴンの出した光線がアマゾネスの聖戦士を  
貫く

でも、そのアマゾネスの聖戦士が立っていた真後ろに何やら渦巻き  
みたいなのができた

その渦巻きの中に光線が吸収され……翔君の後ろに同じ渦巻きが出  
てきた。

「うわあああ！」

背後からの一撃に何もできず、翔君のライフは0に……  
いくらなんでもこれは……酷すぎるわ。

まさか役に立たないだけならともかく、自滅だなんて  
三沢君、亮とは別の意味で酷すぎる、1ターンも持たないなんて。

瑞貴が呆れ顔になっており、凄く落ち着いてしまった  
またマナが休めるけど、それでもこれは……

ちなみに、マナも翔君の事を呆れたような冷めたような顔で見ている  
その気持ち、分かるわよマナ  
とりあえず瑞貴の気持ちを落ち着ける事に成功した事だけは……だ  
けは、褒めてあげるわ。

「……シニョール丸藤翔、今度課題をしてもらうノーね」

「そ、そんなあ……」

当然でしょうね

ここまで酷いのはクロノス教諭でも滅多に見れないわよ  
はあ……みんな怒っていたり呆れていたたりね。

十代、隼人君、クロノス教諭は呆れてる

万丈目君は怒っており、白黒兄さん、モノクロ三沢君は頭を抱えている

私は逆に関心してるわ、ここまで駄目な人が居るとは思わなかった  
もの。

亮は相変わらずまともに見ていない

いくらなんでも、弟が即死したのにその態度はどうなの？

翔君に見ていないって言ったら落ち込むんじゃない？

見られなくて良かった気もするけど……

「お前、パトロイドを持ってなかったか？

冷静だったらもう少しは善戦できたかもしれないのになあ？  
残念無念、もう二度と俺の前に立つなよ」

翔君は泣きながら戻ってきた

気持ちには分からなくもないけど……完全に自爆よ？

そして亮、あなたはここでも足を引っ張るのね

この兄弟はどうしてこんな……はあ。

翔君から決闘盤を受け取り、デッキをセットする  
デュエルディスク

瑞貴も同じくデッキを交換し、新しく装着。

それにしても……1枚しかカードを使わずに勝つとはね  
まるで悪夢ね、翔君からすればだけど

見ている私達からすればただの喜劇にしか見えなかったわ。

「残りはクロノス教諭、明日香、似非、校長か  
ここでお前が出てくるという事は、校長は無しか次だな」

「校長先生は数に入れてないわ、決闘デュエルできるか知らないし  
順番を決めた時だって名前が無かったのに何も言わなかった  
だから残りは私とクロノス教諭と十代の3人よ！」

「そうかい  
行くぞ明日香！」

「「決闘！」デュエル」」

「私のターン！」

「おっとまだバトルフェイズは続いているぞ

俺は強制終了だが、お前らにそれを架していない  
アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム  
古代の機械究極巨人で攻撃するならしな」

そういえばまだサイバー・エンド・ドラゴンで攻撃しただけだった  
わね  
でも瑞貴、その選択を後悔しなさい！

「なら、アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム  
古代の機械究極巨人でアマゾネスの聖戦士に攻撃！」

アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム  
古代の機械究極巨人の効果で攻撃時、相手は魔法と罠は発動できない  
それに、そうでなくても瑞貴の場にはもう伏せカードは無い  
使われて困るのは死力のタッグ・チェンジだけど  
それだって手札にLV4以下の戦士族が無ければ関係無いわ！

「アマゾネス女王クイーンの効果、アマゾネスは戦闘で破壊されない！」

そういえばそうだったわね  
忘れてたけど、だからさっきのサイバー・エンド・ドラゴンが攻撃  
したのに生き残ってたのね  
厄介だけど、良いサンドバッグよ！

「メインフェイズ2、翔君はまだ召喚していなかったのでモンスター  
ーを召喚できるわ  
私はXXーセイバー フラムナイトを守備表示で召喚するわ  
カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー！  
アンティーク・ギア・アルティメット・ゴーレム  
古代の機械究極巨人とサイバー・エンド・ドラゴンでアマゾネスの  
聖戦士に攻撃するノーね！」

これで瑞貴に大ダメージよ！

サイバー・エンド・ドラゴンの攻撃で5900のダメージ  
アンティーク・ギアアルティメット・ゴーレム

古代の機械究極巨人の攻撃で2300のダメージを2回

合計で10500の大ダメージよ！

瑞貴の残りライフは2400、このままパワーで押し切れるかしら？  
難しいと思うけど……不可能じゃないはず！

それに、例えば守備表示にしても無駄な事

サイバー・エンド・ドラゴンも古代の機械究極巨人も、貫通効果を  
アンティーク・ギアアルティメット・ゴーレム

持っているわ

もし攻撃されてもフラムナイトの効果、1度だけ攻撃を無効にする  
効果を発動すれば良い

何気に便利な効果なのよね……この攻撃無効効果。

「私は、カードを1枚伏せ、これでターンエンドなノーね！」

「俺のターン、ドロー！」

非常食を発動！ 死力のタッグ・チェンジ、アマゾネスの闘志を墓  
地に送り、ライフを2000回復！」

瑞貴のデッキは何かしら？

さっきのデッキがどんなデッキかも分からない

鍊金獣を使ったデッキだったなら儲け物、私はもうあのデッキと戦  
いたくないわ！

「手札を1枚捨て、THEトリッキーを特殊召喚！」

THEトリッキー？

誰かそんなモンスター使ったかしら？

そのカードを使った人なんて玲ちゃんしか……まさか！

「更にTHEトリッキー、アマゾネスの聖戦士、アマゾネス女王を  
生け贄に捧げる！  
クイーン

出でよ、神獣王バルバロス！」

ば、バルバロス！？

しかも妥協召喚しないで正規召喚してきたですって！？  
攻撃力3000……大した事無いわね。

でもどうして態々3体も生け贄にして召喚したのかしら？

LV8のモンスターだったら2体で良いでしょ？

「バルバロスの効果を発動！

このモンスターを召喚する時、3体を生け贄にして召喚する事もできる！

そして3体の生け贄で召喚した場合、相手の場のカードを全て破壊する！」

「な、なんですって！？」「そんなの反則なノーね！」

まさかそんな効果を持っていたなんて！

妥協召喚できる上にその凶悪な効果、反則級のモンスターじゃない！  
ま、拙い……これは拙い！

「そ、速攻魔法発動！ 神秘の中華鍋！

サイバー・エンド・ドラゴンを生け贄にし、その攻撃力分だけライフを回復する！」

なんとか回避はできたけど、私達の場合は全滅……このままだと拙い！

場ががら空きになってしまい、いくらライフを回復したと言っても状況が悪すぎる！

瑞貴の場にはバルバロスの他にもアマゾネス女王クイーンとアマゾネスの剣士が残っている

つまり、もし下手に強力なモンスターを出したらアマゾネス女王クイーンとアマゾネスの剣士のコンボが待っている

この状況……どうやって覆せば！

「しかし、まだ甘いノーね！

私の伏せたカードは、黄金の邪神像！

このカードが破壊された時、邪神トークンを特殊召喚するノーね！  
私は邪神トークンを、守備表示で特殊召喚するの！」

さすがクロノス教諭！ 珍しく頼もしいわ！

これでなんとか総攻撃は回避できる。

でも、私のライフが12000に増えたのにクロノス教諭のライフは残り1600

当然だけど、アマゾネス女王クイーンの攻撃でライフは無くなってしまおう。

私にはバルバロスで攻撃してくるでしょうし

そうなると残りライフは9000、余裕は有るけど追い剥ぎゴブリンの効果で手札を捨てさせられる

私の手札は捨てられても良いカード殆ど無い、追い剥ぎゴブリンは本当に厄介ね！

「更に速攻魔法カード、イージーチューニングを発動！

墓地のチューナーである地獄からの使いを除外し、その攻撃力分だけ攻撃力を上げる！

地獄からの使いの攻撃力は2600、俺はこの効果でアマゾネス女王<sup>クイーン</sup>の攻撃力を上げる！

よってアマゾネス女王<sup>クイーン</sup>の攻撃力は元々の攻撃力、2400に2600を追加され5000！」

攻撃力を上げてきた！？

なるほど、アマゾネスの剣士に攻撃するように誘導する為ね

アマゾネス女王<sup>クイーン</sup>の高すぎる攻撃力にこちらは攻撃できなくなってしまっから

つまり、実質攻撃を封じられた！？

「カードを1枚伏せる

行け、アマゾネスの剣士！ 邪神トークンに攻撃しろ！

首は無さそうだが、首狩りの剣！」

邪神像だものね、首と言えるかは微妙よね

って、そんな暢気な事を言っている場合じゃなかった！

大ダメージを与えられるじゃない！ どうすればいいのよ！？

「アマゾネス女王<sup>クイーン</sup>で明日香に直接攻撃！」  
<sup>ダイレクトアタック</sup>

御輿の上で立ち上がり、飛び上がって剣を私に向けて落下してくるそんな怖い顔で来ないでよ！ かなりのプレッシャーなのよ！

私に5000もの大ダメージが……残りライフは7000  
桁は落ちたけど、まだ多いのが唯一の救いね……

「追い剥ぎゴブリンの効果が発動される

さあ明日香、手札を1枚捨ててもらおうか？」



手札を裏返し、シャッフルする

そして1枚引き、そのカードを墓地に送る

墓地に送られたのはミラクル・フュージョンか……まだマシね。

「終わりだ、クロノス教諭

神獣王バルバロスで、プレイヤーに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

バルバロスが槍を構え、クロノス教諭に突撃した

クロノス教諭は為す術も無く、攻撃を受けてしまう

これでライフは0、クロノス教諭は退場ね。

残りは私と十代、またこのコンビか……月桂樹戦を思い出すわ  
あの時の瑞貴は正気じゃなかったけど、また正気じゃない  
ちよっと操られ過ぎじゃないかしら？

「私の負けなノーね……シニョール十代

後は、貴方に任せるノーね」

「ああ、必ず勝ってみせるぜ」

十代はクロノス教諭から決闘盤を受け取る  
デュエルディスク

デッキを差し込み、こちらに来る。

それにしても……亮も翔君もすぐに退場したけど

クロノス教諭も今回が始まってすぐに退場ね

でも、瑞貴に大ダメージを与えられたから凄く助かったわ。

何せ、12900のライフから2400まで減らす事ができたんだ  
もの

すぐにライフを4400にまで増やされたけどね。

それでもかなり優位になったわでも、場はまたも不利な状況。

瑞貴の場には正規召喚されたバルバロス、戦闘ダメージを反射するアマゾネスの剣士

アマゾネスに戦闘耐性を持たせ、更にイーजीチューニングで攻撃力が上がっているアマゾネス女王<sup>クイーン</sup>生還の宝札、追い剥ぎゴブリン、伏せカードが1枚にダークゾーン。

それにしても、今回は玲ちゃんのコピーデッキだったのね月桂樹は瑞貴のデッキ、なら使わなくても変じゃないわね。

「よう似非、ようやくお前を引っ張り出して来れたぞさっさと負けて精霊の力を俺に寄こしな！」

「俺は絶対にお前になんか負けない！そして幻魔の力からお前を解放してみせる！」

「無駄な努力を……」

瑞貴が構えるのを見て、十代も構える私も改めて構えて瑞貴と対峙する。

「「決闘<sup>デュエル</sup>！」」

「俺のターンはまだ続行している！俺は罠カードを2枚伏せる」

罠カードと宣言した！

という事はまさかもう……最初から出てくるというの!?

「俺は今伏せた2枚の罠と、追い剥ぎゴブリンを生け贄に捧げ！  
三幻魔が1体、炎を司る幻魔！ 出てこい、神炎皇ウリア！」

まさか……出てくるとは思わなかったわ

瑞貴の事だから私を倒し、十代だけになってから使うと思ったのに  
こんなに早く使ってくるなんて……

これはもしかして私も警戒されているからかしら？

それなら嬉しいけど、こんな状況では嬉しくないわ！

どうして幻魔に操られるのよ……はぁ。

「ウリアの攻撃力は墓地に存在する罠カードの数によって決定する  
俺の墓地には追い剥ぎゴブリンは残らないので2枚  
よって攻撃力は2000となる」

よ……弱すぎる！

弱すぎるけど相手は幻魔、どんな効果を持っているのか不安ね  
瑞貴は幻魔の効果を知っていて影丸から盗んで使用した  
という事はあのデッキは幻魔を効率よく使えるように組んだデッキ？  
恐ろしすぎるわよ！

「俺はこれでターンエンドだ

さぁ、お前達のターンだぞ！ あはははははははははは！」

場だけじゃなくて瑞貴も拙い！

超ハイテンションじゃない！

って、ああ！ マナがもう座り込んで魔術を使っている！

しかも顔に疲労の色が濃い！ 既にかなり危険な状態なの！？

「わ、私のターン、ドロー！

私は魔法カード、増援を発動！ デッキからLV4以下の戦士族を手札に加える！

私が選択するのはE・HEROバブルマン！ そしてバブルマンを守備表示で召喚！

バブルマンの効果を発動！ 自分の場にこのカード以外にカードが無い場合、デッキから2枚ドロー！」

ドローしたカードは悪くない

だけど、まだ使う時じゃないわ

まだまだ序盤、あんまり早く動くとおつという間に手札が尽きる

唯一の救いは追い剥ぎゴブリンが無くなったからハンデスが来なくなった事ね。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「俺のターン、ドロー！」

明日香、お前のバブルマンを使わせてもらっていいか？」

バブルマンを使った融合……セイラーマン、マッドボールマン、テンペスター

スチーム・ヒーラー、エリクシーラー、そして突然変異メタモルフォーゼからのバブルマン・ネオ  
それぐらいかしら？

「好きにきなさい

せっかくのE・HEROだもの、貴方が使った方が良さそうだしね」

「サンキュー明日香！ 俺は手札から融合を発動！  
手札のヒーロー・キッズと場のバブルマンを融合！  
出てこい！ E・HEROバブルマン・ネオ！」

そういえば融合素材はヒーロー・キッズだったわね  
メタモルフォーゼ  
いつも突然変異から出てくるから忘れてたわ。

「そしてバブルマン・ネオに装備魔法、バブル・ロッドを装備！  
このカードはバブルマンにのみ装備できる装備カードだ！  
バブルマン・ネオはバブルマンとしても扱うので装備可能だ！  
バブル・ロッドの効果で攻撃力を800アップさせる！」

ロッドって言うけど、どう見てもステッキよね  
攻撃力は800上がったけど、それだけじゃ……  
そういえばバブルマン・ネオの効果って何だったかしら？

「バブルマン・ネオでアマゾネスの剣士に攻撃だ！」

アマゾネスの剣士で反射ダメージを受けるわよ！  
たった100だけど、瑞貴相手ではそれは致命的なダメージになる  
かもしれないわ！

「チッ……アマゾネスの剣士を消しに来たか  
とりあえずアマゾネスの剣士の効果を発動！」

このモンスターで受ける戦闘ダメージは相手が代わりに受ける！」

「だが、バブルマン・ネオの効果が発動される  
このモンスターと戦闘を行ったモンスターはダメージ計算終了後に  
破壊される！」

やった！

アマゾネス女王<sup>クイーン</sup>の効果は効果破壊には対応してないわ！  
これでなんとかアマゾネスコンボを破った！

「更に、俺は装備魔法、バブル・ショットをバブルマン・ネオに装備！

このカードもバブルマンにしか装備できないが、攻撃力を更に800アップだ！

カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

もしバブル・ロッドだけじゃなく、バブル・ショットも装備していた場合

自分へのダメージも増えていた  
だから十代は装備魔法を1しか装備せずに攻撃したのね。

「ふん、邪魔なモンスターだ  
俺のターン、ドロー！

ふふふ、新たなフィールド魔法、失樂園を発動！」

失樂園？ とにかく、ダークゾーンの効果が消えた  
そして場は荒野のような場所に移された……ここが失樂園ね  
寂しい所……悲しくなるぐらいに。

「失樂園の効果発動、三幻魔の1体でも自分の場に存在している時  
1ターンに1度、デッキから更に2枚ドローできる  
俺はこの効果により、更に2枚ドロー！」

そんなの反則よ！

こちらがその効果を得るには幻魔のコントロールを奪わないといけないじゃない！

そんなカード、私のデッキには入ってないわよ！

「永続魔法、トラライアングル・フォースを発動！  
デッキより、同名カードを2枚発動する！」

え？ それだけ？

そんなカードがいったい何の役に……魔法カード？

まさかまた！？

「ふ……トラライアングル・フォース3枚を生け贄に捧げる  
震えろ、怯えろ、恐怖しろ……幻魔が1体、雷を操りし幻魔、降雷  
皇ハモン！」

まさか2ターン目で2体目の幻魔が出てくるなんて！

しかも攻撃力が4000！ 拙すぎる！

「更に、ウリアの効果を発動する！

1ターンに1度、相手の場にもし罠カードが伏せられていた場合、  
そのカードを1枚破壊する！

ウリア！ 明日香のカードを確認し、罠カードだった場合破壊しろ！  
トラップディストラクション！」

くっ！ 私の伏せていたカードは攻撃の無力化！

攻撃を止めきる事ができない！

「攻撃の無力化か、まあ予想通りだな  
さて、バルバロスよ、バブルマン・ネオに攻撃しろ！」

破壊される事を覚悟して攻撃！？  
でも確かバブル・ショットの効果は……

「バブル・ショットの効果発動！  
この戦闘で装備モンスターが破壊される時、このカードを代わりに破壊する！

そして戦闘ダメージを0にする！  
更にバブルマン・ネオの効果により、神獣王バルバロスは破壊される！」

バルバロスが破壊され、同時にバブル・ショットも破壊される  
でも、まだ攻撃は続くでしょうね、邪魔なバブルマン・ネオを破壊する為に！

「ウリア、バブルマン・ネオに攻撃しろ！  
ハイパーブレイズ！」

ウリアの火炎放射により、バブルマン・ネオは破壊された  
十代は先ほどのアマゾネスの剣士の反射ダメージで100、今の攻撃で400のダメージ  
そして同時にウリアも破壊される……分かっていて何故攻撃を？

「バブル・ロッドの効果発動！  
このカードが破壊された時、デッキからカードを1枚ドロウする！」

「ドロウした所で無駄だあ！  
アマゾネス女王よ、似非に直接攻撃だ！」  
クイーン  
ダイレクトアタック

これを受けたら十代のライフは！

「罨、発動！ ドレインシールド！  
相手の攻撃を1度だけ無効にし、その攻撃力分だけライフを回復す



る！」

「ならば、ハモンよ！ 似非に直接攻撃だ！  
失楽の霹靂！」

「ぐあああああああああ！」

でも、ライフはまだ残っている  
十代のライフは8500まで回復し、そして4500にまで下がった  
元のライフより大きいんだからまだ……とは思うけどそうでもない  
わね。

瑞貴の場には攻撃力4000のハモンと攻撃力5000のアマゾネ  
ス女王クイーンが存在する

この攻撃力を越えるモンスターは……そうそう来ないでしょうね。

「ふふふ、カードを1枚伏せ、幻銃士を守備表示で召喚する

幻銃士の効果発動、自分の場のモンスターの数だけ銃士トークンを  
特殊召喚する

俺の場にはモンスターが3体、よって銃士トークンを2体特殊召喚  
する

ターンエンドだあ」

壁モンスター……いえ、幻魔の生け贄ね

でも瑞貴の手札は現在0枚

失楽園の効果も含めて3枚ドローできるけど、それで最後の幻魔を  
ドローできるかしら？

「私のターン、ドロー！」

戦士の生還を発動！ 墓地の戦士族、バブルマンを手札に加え、召

喚！

自分の場にカードが無いので、デッキから2枚ドロ！  
更に融合を発動し、場の水属性のバブルマンと手札のHEROのプリズマーを融合！

出てきなさい！ E・HEROアブソルートZERO！」

これでそうそう攻撃できないはずよ！

もしアブソルートZEROを倒せば場はがら空き  
幻魔だってそれは例外じゃないわ！

「アブソルートZEROで幻銃士に攻撃！」

幻銃士を凍らせ、破壊するアブソルートZERO  
なんだかこう言うとかかなり怖く感じるわね。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドよ！」

ウリアで破壊できるのは罠カードだけ  
もし効果を蘇生から効果を使われても、片方はブラフの魔法カードよ  
でも過度の期待は駄目、魔法カードを選択してくれば儲け物程度  
に思っておきましょう。

「俺のターン、ドロ！」

手札から魔法カード、フュージョン・リカバリ融合回収を発動！

墓地の融合とヒーロー・キッズを手札に加える！

そして融合！ 手札のヒーロー・キッズとクレイマンを融合させる！  
現れる、E・HEROクレイ・ガードマン！」

守備力2800はかなり堅いわね

でも、その守備力では役不足よ、十代。

「クレイ・ガードマンの効果発動！

相手の場のカードの数×200ポイントのダメージを与える！

瑞貴の場にはフィールド魔法とトークンを合わせて8枚、よって1600のダメージだぜ！」

「ふん、この程度なら大した事無いな

ライフが2800も残っていれば十分だ」

「なら、アブソルートZEROで銃士トークンに攻撃だ！」

銃士トークンも幻銃士と同じように破壊される  
モンスターの数こそは減ってるけど……

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！」

失楽園の効果により、更に2枚ドロー！

そして強欲な壺を発動し、また2枚ドロー！」

一気に手札が4枚に！

拙い、何か必ず仕掛けてくる！

「俺は手札の罠カード、強欲な瓶を墓地に送る！

舞い戻れ！ 神炎皇ウリア！」

火柱から現れたのはウリア！？

どうして復活してくるの！？

「ウリアが墓地に存在している時、手札の罠カードを捨てて蘇生さ

せる事ができる

生還の宝札の効果で3枚ドロ―!」

生還の宝札の事を忘れてた!

これで瑞貴の手札は6枚にまで!

「そして、ウリア、銃士トークン、アマゾネス女王クイーンを生け贄に……  
これぞ最後の幻魔! 幻魔を統べる皇だ! 出でよ、幻魔皇ラビエル!」

最後の……幻魔が……現れた?

「更に手札の罨カードを墓地に送り、ウリアを蘇生!  
生還の宝札で3枚ドロ―!

三幻魔が揃った以上、お前達に勝ち目は無い!  
はっはははははははははは!!」

幻魔が全て揃った……私達に勝ち目は有るの!?

56話【VS三幻魔 アムナエル＋堅守＋影丸編】（後書き）

翔ーーーーー！！！！

はい、即死でした

どうやって守ろうかと考えていたらこうなりました

しかし……これは酷い。

最初の瑞貴のデッキは？

アムナエルのデッキだったんですが……何もしてませんね  
攻撃力の低い鍊金獣のサポートとして入れたカードです

異次元や除外に関係する名前（というかイラスト？）なので半分ネ  
タとしても入れました

しかしまさかこんな結果になるとは……

2戦目の瑞貴のデッキは……

玲のデッキを改造して使いました

何故玲かって？ 単に作者が思いつかなかったただけです！

ウリア、ハモン、ラビエルは原作効果？

そうですね

ウリアは罨カードなら全て対応します

ハモンは魔法カードなら全て対応します

ラビエルは特殊召喚はできませんが生け贄に制限はありません  
原作効果の詳しい説明はWikiで自分で確認をお願いします  
長いし多いので書くのが……疲れてますしちょっと休みたいです。

ま、マナは大丈夫なの！？

まだ大丈夫です、マナがどうなるかは次話で……

その為にもあのタイミングで切ったんですから

マナを応援してくれる人は活動報告のアンケートにご参加ください  
今日で最後です、次話の投稿をした瞬間にアンケートは打ち切りで  
す。

バブルマン・ネオって効果モンスターじゃ……

アニメのテキストにはE・HEROバブルマン+ヒーロー・キッズ  
と書かれています

実際には融合していませんが、テキストに書かれています  
だから可能なんです！ 可能といったら可能なんです！

ウリアの罠破壊効果がややこしい！

書き方的にこうなると思います

罠と確認する事ができないので言い方がこうなるのは仕方無いでし  
ょう。

原作、アニメオリジナルカード

バブル・ロッド

E・HEROバブルマンにのみ装備可能

攻撃力800ポイント上げ、このカードが破壊された時デッキから  
1枚ドローする

……普通に使えませんか、これなら幸運の鉄斧の方がまだ使えるで  
しょう

効果破壊にしか対応してませんが、全てのモンスターに装備できま  
すしね。

失楽園

神炎皇ウリア、降雷皇ハモン、幻魔皇ラビエルの何れかが自分の場  
に存在している時

1ターンに1度、デッキから2枚ドロウできる  
だと思えます、とりあえず凶悪過ぎる効果ですね……禁止カード決定です。

トライアングル・フォース

デッキからトライアングル・フォースを可能な限り発動する  
これだけです、ハモン用のカードですね

デッキに無ければ邪魔なカードです。

E・HEROクレイ・ガードマン

E・HEROクレイマン+ヒーロー・キッズ

融合召喚に成功した時、相手の場のカードの枚数×200のダメージを与える

と、テキストに書かれています

召喚方法は同じく突然変異メタモルフォーゼでしたけど……

テキストに書かれているんだから可能したら可能なんです！

## 57話【VS三幻魔 影丸編】（前書き）

今回は余裕で間に合いました  
まあ少し短めなので当然ですね  
もっと長くしていたら……無理でしたね。

今回で三幻魔戦も終わり……と、思ったでしょう？  
だが甘い、作者はその上を行く！  
と、いう訳で次話まで続いてしまいました  
切りが良くなったので切り、次話で本当に終わろうと思います。

なんというか……なんででしょうか？  
悪くはないんですが、やっぱり短いとなんだかなあという感じです  
内容は濃い（はず）のですが、どうも物足りないのは何故でしょうか？  
欲求不満という感じですね、中途半端ですから。

どうでも良い話し、半年ぶりぐらいになりますますが久しぶりにスポーツをしました  
体が足が痛いです……疲れました、なのに何故執筆できるんでしょうね？

明日は筋肉痛でしょう、足がガクガク……大丈夫でしょうか？

次話は多分大丈夫です

そこまでは長引かないと思いたい……そろそろゴールしたいです、  
この三幻魔戦

ゴールは……ゴールはまだなのか！？



## 57話【VS三幻魔 影丸編】

視点 明日香

まさかこんな短時間で全ての幻魔を揃えるなんて……

それになんだか瑞貴の様子が変ね

高笑いしてるんだけど、声が少し変わっているような気がする。

……いえ、顔付きも変わっているように見えるわ  
どうなってるのかしら？

あ、そうだマナ！ マナはどうなったの！？

マナが居た場所を見てみる……子供？

ぶかぶかのブラック・マジシャン・ガールの服を着た……まさかあれがマナ！？

なんで子供になってるのよ！？

まさか……幻魔が精霊の力を奪ってるの！

可能性は高い、瑞貴は十代の精霊を操る力を得ようとしているならば精霊自身の力を奪う事は難しくないかもしれない！

そういえばさっきから後ろで揉めてるわね

何か有ったのかしら？

気にしている余裕はあまり無いから無視するけど。

「ふふふ……十分に笑った所でもういいかさっさと消えろよ、お前らはよお！」

「待つて瑞貴！」

さっきからいつもと声も顔付きも違うわよ！  
どうなってるのか教えてちょうだい！」

「俺の声と顔付きが違う？」

あ、あ、あー……確かに声が少し違うな  
気のせいにしては変だし……」

うんうんと悩む瑞貴、よかった……少しは落ち着けられたわ  
でも、本当にどうして変わったのかしら？

「幻魔の力は永遠を手に入れられる力とかだったな  
という事は……永遠に相応しい体に成長か退行する？」

明日香、顔付きが変わったと言ったが俺は何歳ぐらいに見える？」

「さあ？ 20歳ぐらいかしら？」

少し老けたというか……顔付きがいつもよりも大人っぽい？  
そんな感じね」

また悩み始める瑞貴

自分でどうなってるのか分かってないの？  
なんというか……間抜けね。

「誰か手鏡とか持ってないか？」

「こんな時に持つてるはずが無いでしょ！」

後ろで全員が頷くのが分かる、亮は分からないけど  
十代だって当然頷く、そもそも所持してなさそうなものね。

「仕方無いな、ちょっと待てよ」

瑞貴は懷からカードを取り出し、何かを探し始めた  
まさかとは思うけど……

「よし、罨カード精霊の鏡を発動つと  
精霊、ちよつと俺を鏡で映してくれるか？」

カードの効果で現れた精霊が鏡を瑞貴に向ける  
予想が当たるなんて……何してるんだか。

「なるほど、この姿になったのか……」

（まさか元の20歳の体に戻る事ができるとはな、これが幻魔の力か  
この体だつて放っておけば勝手に20歳になるが……こんなに早く  
戻れるとはね  
俺の本当の姿か、懷かしいな……若い方が良いからどうでもいいけど）

鏡を見てまた悩んでいる

別にそこまで変な顔じゃないわよ？

なんというか、元々落ち着いているという顔付きが更に落ち着いた  
感じだし

普通なのは変わってないし、眠そうな垂れ目も同じ……将来の瑞貴  
の顔かしら？

「もういいか」

瑞貴はカードを抜き、精霊の鏡を懷にしまう

ずっと見ていたけど、カードの入れ替えをしていなかった

幻魔の力に負けたとはいえ、ルール程度はちゃんと守るみたいで良

かったわ……

「じゃあ続けよう

俺はウリアの効果を発動、明日香の……右のカードを撃て！  
トラップディストラクション！」

私の伏せられていた右のカード

それはブラフ用の魔法カード！

よってウリアの効果では破壊されない！

「……破壊されない所を見ると魔法カードか

チツ、ブラフとはな

まあ構わん、俺の場には三幻魔が揃っている

お前達に勝つのは不可能だよ！」

かなり落ち着いたとはいえ、まだテンションは高めね

子供状態になってもまだ頑張るマナには敬意に値するわ

なんというか抱きしめたくなるぐらいいいらしい……

瑞貴！ あんなに可愛い子に無理させたら駄目じゃない！

って、瑞貴には精霊が見えないんだったわね

だったらマナの頑張りにも気付かないか……

マナはあんなに頑張っているのに気付かれない……不憫な

どうやって教えようかしら？

って、そういえば忘れてたわ

アブソルートZEROには場から離れた時、相手の場のモンスター  
を全て破壊する効果を持っている

もし攻撃されても大丈夫な気が……しない！？

なんだか絶対に乗り越えられそうな気がする！

「俺のターンを続行！」

ハモンでクレイ・ガードマンに攻撃だ！

失楽の霹靂！」

「罠カードを発動するわ！ ヒーロー・バリア！

場にE・HEROが存在する時、相手の攻撃を1度だけ無効にする！」

「勝手にしな！

ラビエル！ クレイ・ガードマンに攻撃しろ！

天界蹂躞拳！」

「なら俺は速攻魔法、融合解除を発動！

クレイ・ガードマンの融合を解除し、融合素材モンスターを特殊召喚する！

場にクレイマンとヒーロー・キッズを守備表示で特殊召喚！

更にヒーロー・キッズの効果、ヒーロー・キッズの特殊召喚に成功した時

デッキから、ヒーロー・キッズを任意の枚数特殊召喚！

俺はヒーロー・キッズ2体を守備表示で特殊召喚だ！」

よし、これで壁モンスターが4体にアブソルートZEROで合計5体！

なんとか持ちこたえられそうね！

「鬱陶しい……だが、ラビエルの効果が発動される！

相手がモンスターを召喚、特殊召喚した時、同じ数だけ攻守1000の幻魔トークンを特殊召喚する！

俺の場に空きは2箇所、よって幻魔トークン2体を守備表示で特殊

召喚！

この幻魔トークンは攻撃できないがな」

攻撃できないなら別にそこまで厄介な効果じゃないけど邪魔ねでも、ただトークンを召喚する効果とは思えないもしかしたらそのトークンを使った効果を持っているかもしれないわ。

「バトルフェイズ続行！

ラビエルよ、クレイマンを潰せ！ 天界蹂躞拳！」

さすがに攻撃力4000のラビエルの攻撃は防げないかそれでも壁が増えただけかなり安心できるわ後はウリアの攻撃を耐えれば……

「ウリアは自身の効果で蘇生したターン、自分の場に他のモンスターが存在している時は攻撃できない

現在俺の墓地に罠カードは4枚、よってウリアの攻撃力は現在4000だ

全ての幻魔の攻撃力が並んだな……どうでもいいか、カードを2枚伏せてターンエンドだ！」

助かった……でも次のターンに確実に攻撃される

新しいモンスターを出されても困るし、早めにどうにかしないと！

「私のターン、ドロー！ ブレード・スケーターを守備表示で召喚！アブソルートZEROを守備表示に変更し、これでターンエンドよ！」

アブソルートZEROで自爆特攻を仕掛けてもいいんだけど

それで防がれたらライフを損するだけよ  
攻撃力差は1500、もし強化されたらかなりの痛手になるわ。

瑞貴のライフは2800、十代は4500

私のライフは7000とかなり多い

それでも幻魔達は攻撃力4000、しかも3体も残っている  
もしもの事を考えると、まだ攻撃できない！

「俺のターン、ドロー！」

俺はこのまま、ターンを終了する！」

「逃げの一手かよ、だらしねえな

俺のターン、ドロー！ 手札が6枚なので失樂園の効果は使用しない！

幻魔達よ、ヒーロー・キッズを蹴散らせ！」

ウリアの炎に焼き尽くされ、ハモンの雷により爆散、ラビエルの爪により引き裂かれるヒーロー・キッズ達  
なんとか持ち堪えているけど、それも時間の問題  
壁を出すだけではどうにもならないわ！

「ハモンの効果発動！」

戦闘で相手モンスターを破壊した時

相手プレイヤーに1000ポイントのダメージを与える！

受けよ似非！ 地獄の贖罪！」

「うわあああああああああ！」

十代がハモンの雷に撃たれた

これで十代のライフは残り3500

ダイレクトアタック  
三幻魔の直接攻撃を受けたら終わりよ！

「俺のターンはこれで終了だ」

さあ、足掻け足掻け！ 足掻いている姿を俺に見せろ！

そしてそのまま消えていけえ！  
ははははははははははは

!!!

……さすがにここまでになるとは思わなかったわ

本当に今までかなり落ち着いていたのね

マナ、本当に疲れ様……でももう少し頑張って！

マナの方を見ると……倒れてる！？

まだ辛うじて動いているから死んではないと思うけど

それでもかなり衰弱しているように見える

急がないと、急がないとマナが消えてしまう！

「私のターン、ドロー！」

私は戦士族であるアブソルートZEROとブレード・スケーターを生け贄に捧げ……

力を司る巨人、破壊を魅せよ！  
立ち上がれ、ギガンテック・ファ

「イター！」

攻撃力は2800、そして墓地の戦士族の数×1000アップする

全員の墓地には戦士族は全部で11体、よって攻撃力は3900！

三幻魔には勝てないけど、それでも高いわよ！

「そしてアブソルートZEROの効果を発動！」

このモンスターが場から離れた時、相手の場のモンスターを全て破壊する！」



これが決まれば……

「甘い！ 速攻魔法エフェクト・シャット！  
モンスター効果を無効にし、破壊する！

破壊はできないが、効果の無効化は可能だ！

更に速攻魔法、非常食を発動！

エフェクト・シャット、生還の宝札、伏せカード1枚を墓地に送る！  
これにより、ライフを3000回復する！」

防がれた！ しかもライフまで回復されたなんて！

これで瑞貴のライフは5800にまで増えてしまった  
それに、もしあの中に罠カードが入っていれば……

「そして伏せカードの1枚は罠カード  
よってウリアの攻撃力は5000となる！」

予想的中！？

これでハモンとラビエルはどうかできてもウリアはどうにも……  
でも続けるしかない！

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「俺のターン、ドロー！」

「この瞬間、罠カード発動！ バスター・モード！

ギガンテック・ファイターを生け贄に捧げ、デッキから同名の／バ  
スターと名の付くモンスターを特殊召喚する！

出なさい！ ギガンテック・ファイター／バスター！」

多分、これがこの戦いの切り札になる……はずよ！

初めての／バスター、思いっきり使わせてもらおうわよ！

それにしても、機械族にしか見えないわよ？

ギガンテック・ファイターなのは分かるけど、アーマーとかロケットとか付けてるし……

本当に戦士族かしら？ テキストには戦士族って書いてあるけど。

「ギガンテック・ファイター／バスターの効果発動！

このモンスターの特殊召喚に成功した時、デッキから戦士族モンスターを2体まで墓地に送る事ができる！

私はデッキからネクロ・ガードナーとマジック・ストライカーを墓地に送るわ！

更にギガンテック・ファイター／バスターの永続効果！

自分の墓地に存在する戦士族の数×100ポイント、相手モンスターの攻撃力を下げる！

私の墓地には、今の効果で墓地に送った戦士族も含めて8体

よって三幻魔達の攻撃力は800ダウンする！」

これでハモンとラビエルの攻撃力は3200、ウリアは4200となった

そしてギガンテック・ファイター／バスターの攻撃力は3300！

攻撃力がギガンテック・ファイター／バスターを下回ったハモンとラビエルを倒せる！

しかも、瑞貴の場には伏せカードが1枚、そこまで警戒しなくても多分大丈夫よ！

「さすが明日香、やってくれるぜ

俺は手札から魔法カード、強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドロースる！

フレンドッグを守備表示で召喚し、ギガンテック・ファイター／バ

スターで、ハモンに攻撃だ！」

ギガンテック・ファイター／バスターはロケットを噴射してハモンに突撃

そしてハモンの顔を思いっきり殴って破壊した……顔はちょっと酷くないかしら？

瑞貴は100のダメージを受ける

確かにダメージは小さいけど、それでも少しでもダメージを与える事に意味が有る！

「ハモンが倒されたか……しかし驚いたぞ

まさかギガンテック・ファイター／バスターを出してくるとはな更にサクリファイス・エスケープもせずに使ってくるとは思わなかった

大方、サクリファイス・エスケープをしたくてもウリアに破壊されるところだったんだろう？

だがその判断は正しいが……まだ幻魔の1体を破壊しただけだ！」

そう、まだ幻魔の1体を倒しただけ

ラビエルに、厄介な蘇生効果を持つウリアが残っている特にウリアを倒すには……骨が折れるわね。

「俺は最後にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

十代、罠カードを伏せたの？

でもそれはウリアに破壊される……大丈夫なの？

「俺のターン、ドロー！」

まずはウリアの効果を発動！ 似非の左のカードを狙え！

トラップディストラクション！」

破壊されたのは異次元トンネルーミラーゲートーだった  
これが本命だったら……もう1枚はブラフかしら？

「また面倒なカードを……俺は魔法カード、死者転生を発動！  
手札を1枚捨て、墓地のモンスターカードを手札に加える  
俺が手札に戻すのは当然、降雷皇ハモン！」

ハモン……だけどそう簡単に魔法カードを3枚も揃えられるとは思  
えないわ  
瑞貴の手札はハモンも含めて6枚、ウリアの蘇生用に罠カードは多  
いはず  
だから魔法カードはそこまで多いとは……

「失樂園の効果により、デッキから更に2枚ドロー！」

失樂園の事を忘れてた！  
これで手札を更に増やされた！  
魔法カードが3枚揃ってもおかしくない！

「俺は手札から3枚の魔法カードを伏せる  
そしてその3枚の魔法カードを生け贄に捧げ  
再び場に戻るが良い！ 降雷皇ハモン！  
が、少々念には念を入れて守備表示で召喚する！」

拙い！ またハモンが現れた！  
守備表示だからまだ大丈夫だけど、もしモンスターを破壊されたら  
1000のダメージを受ける！  
そしてそれだけじゃないわ、ウリアはギガンテック・ファイター／

バスターを倒せる

更にラビエルの攻撃で……十代のライフは！

「ウリアよ、ギガンテック・ファイター／バスターに攻撃しろ！  
ハイパーブレイズ！」

ウリアの攻撃力はギガンテック・ファイター／バスターの効果で800下がっている  
それでも攻撃力4200、攻撃力3300のギガンテック・ファイター／バスターでは勝てない！

「罠カード発動！ ヒーローズルール1 ファイブ・フリーダムス！  
このカードの効果により、自分の墓地か相手の墓地から合計5枚になるようにゲームから除外する！

俺はこの効果により、お前の墓地から罠カードを5枚除外だ！  
よって、ウリアの攻撃力は……0！  
迎撃しろ、ギガンテック・ファイター／バスター！」

「こっちが本命だったか！  
チィ、罠カード発動！」

最後に瑞貴が罠カードを発動させた  
しかし何も起こらず、ウリアは破壊されて爆発した  
これで瑞貴に3300のダメージ、これは大きいわ！

少し待つと煙も晴れてくる

瑞貴の場を見てみると……ハモンまで居なくなっている？  
何故ウリアだけじゃなくハモンまで……

そして瑞貴のライフを見てみると9700まで増えている！？

どうなってるの！？ 戦闘ダメージを受けるならまだしも、回復するなんて！

「ふ、残念だったな似非よ

俺の使ったカードはデストラクト・ポーション

これでハモンを破壊し、ハモンの効果を発動した」

ハモンの効果……ですって？

「ハモンが守備表示で破壊されたターン、エンドフェイズ時まで俺へのダメージは0になる  
そしてデストラクト・ポーションの効果でハモンの攻撃力である4000のライフを回復した  
せっかくダメージを与えるチャンスだったのに残念だったな」

まさかそんな効果を持っていたなんて……

だから念には念をと言って守備表示で召喚したのね！  
相変わらず用心深く、厄介な性格をしてるわね！

「続けよう、ラビエルではギガンテック・ファイター／バスターに勝てないな

まあ良い、ラビエルよ、フレンドッグに攻撃しろ！ 天界蹂躞拳！」

「ぐうう……この瞬間、フレンドッグの効果発動！

フレンドッグが戦闘で破壊され、墓地に送られた時  
墓地から融合とE・HEROを手札に加える！

俺は融合とクレイマンを手札に加えるぜ！」

「構わないさ、手札の罨カードを捨て、ウリアを守備表示で復活させる！

更にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ!」

ウリアの守備力は2000、まだなんとか倒せるけど  
それでも次のターンの合計3枚ドロで罠カードを引かれたら更に  
困る!

「私のターン、ドロ!」

このままギガンテック・ファイター／バスターでラビエルに攻撃!

再びロケットで飛び上がり、ラビエルの顔を殴るギガンテック・フ  
アイター／バスター

三幻魔に何か怨みでも有るのかしら?

瑞貴に100のダメージを与えられたので十分……じゃないわ!  
とりあえずラビエルを倒しただけマシね。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ!」

「俺のターン、ドロ!」

融合を発動! 手札のクレイマンとスパークマンを融合させる!  
出てこい! E・HEROサンダー・ジャイアント!  
そしてサンダー・ジャイアントの効果発動!

元々の攻撃力がこのモンスターより低いモンスターを破壊する!  
俺はこの効果でウリアを破壊だ! ヴェイパー・スパーク!」

「ぐう! 三幻魔が全滅だと……くそつたれめ!」

……このドロでスパークマンをドロするとは  
しかも手札が0枚になって、さすが十代ね。

それよりもウリアを破壊できたのは大きいわ！  
このターンでどこまで行けるか……行くしかない！

「サンダー・ジャイアントで幻魔トークンを攻撃！  
ボルテック・サンダー！」

簡単に破壊される幻魔トークン  
さて瑞貴、これからどうするのかしら？

「更にギガンテック・ファイター／バスターで幻魔トークンに攻撃  
だ！」

最後の壁モンスターも破壊される  
そして、この瞬間を私は待っていた！

「ここで罨カード発動！ デストラクト・ポーション！  
ギガンテック・ファイター／バスターを破壊し、ライフを3300  
回復する！」

「あ、明日香！  
なんでそんな事するんだよ！」

「安心しなさい、ギガンテック・ファイター／バスターの効果発動！  
このモンスターが破壊された時、墓地からギガンテック・ファイターを特殊召喚する！  
そしてギガンテック・ファイターは墓地の戦士族の数だけ攻撃力が  
上がる！  
全員の墓地の戦士族は全部で15体、よって攻撃力は1500アツ  
プして4300よ！」



そしてまだバトルフェイズ中、攻撃権限は残っているわ！

「なるほどな、ならギガンテック・ファイターで瑞貴に直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

瑞貴は伏せカードを発動する気配も無く、そのまま攻撃を受ける  
何を考えているのか怖いけど、それでも5300まで減らせたわ！

「十代、悪いけどサンダー・ジャイアントは破壊させてもらうわ！  
速攻魔法、ReeBUSTER<sup>バスター</sup>を発動！

墓地のバスター・モードを除外し、更に自分の場のモンスターを全  
て破壊する！

そして墓地から／バスターと名の付くモンスターを召喚条件を無視  
して特殊召喚するわ！

ただし、この方法で特殊召喚されたモンスターは効果を持たず、生  
け贄にも捧げられない

その上、場から離れると除外されるけど……攻撃はできるわ！」

「よっしゃあ！ 行くぜ瑞貴！」

ギガンテック・ファイター／バスターで瑞貴に直接攻撃だ！」  
ダイレクトアタック

それでも瑞貴のライフは残り2000

どうよ瑞貴……ここまで削ってみせたわよ！

「俺はこれでターンエンドだ！」

私達の間には効果を持たないギガンテック・ファイター／バスター  
のみ

瑞貴の間には伏せカードが2枚……か。

十代のライフは3500、私のライフはさっき回復して10300

瑞貴のライフは2000だから……総合では私達の方が圧倒的に上ね  
でも……瑞貴相手にそれがどこまで通用するか。

「ふふふ……あっ ははははははははははははははははは！」

まさかこんなにアツサリと三幻魔を潰されるとは思わなかったぞ！  
そしてこの大ダメージ、少々予想外だ」

アッサリって……こっちはかなり苦勞して倒したんだけど？

私達、手札が0枚なのよ？

「やっぱり偽りの幻魔じゃ勝てないか……」

「偽り？」

「やっぱりですって？」

どういう意味？

勝てないと分かっていた？

それに偽りつて……

「すぐに分かるさ、俺のターン、ドロー！」

俺は永續罌、リビングデッドの呼び声を発動！

墓地より、ファントム・オブ・カオスを特殊召喚する！」

そんなモンスターがいつの間に!?

……まさか、死者転生！？

「そして伏せカードオープン！ 速攻魔法、地獄の暴走召喚！  
何度も使ってるから効果は知ってるよなあ？」

自分の攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚された時に発動  
デッキ、手札、墓地から同名モンスターを特殊召喚する！

相手も自分のモンスターを好きなだけ特殊召喚できるが……」

「く……ギガンテック・ファイター／バスターはデッキに1枚  
そもそもその特殊召喚に対応してないわ！」

「そういう事、俺はデッキから2体のファントム・オブ・カオスを  
特殊召喚！」

更に、ファントム・オブ・カオスの効果を発動！

墓地のモンスターをゲームから除外し、そのモンスターと同名扱い  
になる

更に効果、攻撃力もコピーする……俺が除外するのは三幻魔だ！」

「なんだって！？

三幻魔を除外するだ！？」

私もかなり驚いている

ファントム・オブ・カオスは確か戦闘ダメージを与えられないはず  
ダイレクトアタック  
直接攻撃しても、私達にダメージは無い

それなのに何故……まさかさっきの偽りってこの効果に関係してい  
るの？

「墓地からウリア、ハモン、ラビエルを除外し、その名と効果を得  
る！」

そして場には三幻魔が存在している……失楽園の効果で2枚ドロ  
ー！」

しまった！ 三幻魔の不在に油断していた！

また瑞貴に手札が……今は4枚、何を仕掛けてくるの！？

「そして魔法カード、次元融合殺を発動する

自分の場に存在する神炎皇ウリア、降雷皇ハモン、幻魔皇ラビエル

を除外して効果を発動

俺が除外するのはその名を得たファントム・オブ・カオスだがな  
そして……出でよ幻魔よ、その真の姿を現せ！ 混沌幻魔アーミタ  
イル！」

現れたのは全ての幻魔が合体したような化け物……

これが幻魔の真の姿……偽りの幻魔って、こういう意味だったのね！

「これが幻魔の真の姿だ！

今までお前らと遊んできた三幻魔と一緒にしたら……死ぬぞ？」

この迫力、この威圧感、そしてこの禍々しさ……これが混沌幻魔ア  
ーミタイル！

瑞貴、貴方は何てモンスターを呼び出したのよ！

「さあ明日香、似非！ お前達の最後の時だ！

俺に力を与える準備はできたか？ はははははははははははははは

は！……！」

は、ははは……どうしましょう？

## 57話【VS三幻魔 影丸編】（後書き）

何故瑞貴が元の姿に？

影丸が自分の望みの通りに若返ったのと同じです

瑞貴は本来の姿を無意識に記憶しており、その記憶が反映された結果でしょう

なお、元とそこまで違いは無いですね、4歳の違いなので。

マナが幼女化！？

何故こんな事をしたんでしょうか？

アニメでおジャマイ・エローみたく老いるのも骨になるのも見たくなかったからです

パトロイドはスクラップになったらしいです

という訳で子供化という形にしました

なお、アンケートの受付を終了しました、マナの未来は……

ルール……守ってるか？

さあ？ 入れ替えてないのだから良いんじゃないですか？

単にカードで確かめただけです。

マナは衰弱してるみたいだけど大丈夫なの！？

あまり大丈夫じゃありません

このままだと……消滅？ いや、しませんけどね  
しかしかなり弱っているのは事実です。

アニメ効果では幻魔は罨無効じゃ……

確かにアニメ効果では三幻神と同じ耐性を持っているそうですが、影丸戦でそんな描写はありませんでした（多分）

よって無視、普通のモンスターと同じにします

でなければデストラクト・ポーションでハモンを破壊できません。

何故アーミタイルを出した？

元々出す気は無かったのですが、明日香と十代が善戦し過ぎましたよって予定変更、最後のボスとして混沌幻魔アーミタイルの登場です！

なお、召喚方法はアニメ効果ですが、効果はOCG基準で行きます。

原作、アニメオリジナルカード

次元融合殺

自分の場に存在する神炎皇ウリア、降雷皇ハモン、幻魔皇ラビエルをゲームから除外する

融合デッキから混沌幻魔アーミタイルを特殊召喚する

OCGではアーミタイルは自身の効果で出せるので普通に不要なカードですね。

## 58話【VS三幻魔 瑞貴編】（前書き）

あー……疲れました

今回でVS三幻魔の連戦が終わります

まさかの8話も使う超長期連戦でした……もう二度とこんな事はしません

次からはもっと普通の戦いにします、もう連戦は多分絶対にしません。

どうやって色々とやるかと考えた結果が最後のアレです

主人公怖い……メインヒロイン怖い……そしてアニメオリジナルチートカードも怖いです

そして頑張った2人はお疲れ様でした。

どうでも良い話し

筋肉痛が酷いです……立ち上がるだけでも足に痛みが走ります

さすが運動不足、普段から体を動かしていない証拠だ！

皆さんは体を動かしましょう！ 作者は執筆するので無理ですが！

次話は分かりません

終わったので一息つけると思うと何を書けばいいのか……

まあある程度決まっているので良いんですけど

とりあえず頑張りますかっつと。

## 58話【VS三幻魔 瑞貴編】

視点 明日香

幻魔の真の姿……混沌幻魔アーミタイル  
凄まじい威圧感を感じるわ。

「ん？」

おい明日香、あいつの攻撃力を見てみろよ」

十代にそう言われてアーミタイルの攻撃力を見ている

攻撃力……0!?

あの幻魔達を全てを捨ててまで出す価値の有るモンスターなの!?

「アーミタイルの攻撃力は0だ

しかし、こいつにはかなり恐ろしい効果を持っていたなあ」

恐ろしい効果？

「アーミタイルは自分のターン中、攻撃力が100000アップする  
効果を持っている！

相手のターンには対応してないけどな」

「「攻撃力……10000!？」」

5桁の攻撃力ですって!?

そんな効果を持ってるなんて！



幸い、ギガンテック・ファイター／バスターは私のモンスター  
十代にダメージは無いけど、それでも私は大ダメージを受けてしま  
う……

攻撃力差は6700、私のライフは10300だから3600にま  
で減るわね。

「でも瑞貴、それってつまり私達のターンには攻撃力が0なのよね？  
なら私達のターン、モンスター達で攻撃したらどうなるかしら？」

「心配無用、アーミタイルは戦闘では破壊されない  
戦闘ダメージは当然受けるが……お前達にどこまでできるかな？」

挑発か……油断はできないわね

瑞貴の手札は現在3枚、まだ必ず何かを使ってくるはず。

瑞貴の残りライフは2000、これぐらいのライフなら削ろうと思  
えば削れるけど

必ず何か狙ってきそうなのよね……翔君に使ったデイメンション・  
ウォールとか

そんなカードを使っても全く変じゃないわ。

「行くぞ……混沌幻魔アーミタイルでギガンテック・ファイター／  
バスターに攻撃だ！  
てんせいは

全土滅殺 天征波！」

アーミタイルは胸元に闇とも言えるモノを作り出す  
そしてそれを、ギガンテック・ファイター／バスターに打ち出して  
きた！

ギガンテック・ファイター／バスターは為す術も無く破壊され、私  
は6700のダメージを！

「クッ、この瞬間、ギガンテック・ファイター／バスターの効果発動！

このモンスターが破壊された時、墓地からギガンテック・ファイターを特殊召喚できる！

ギガンテック・ファイターを墓地から守備表示で特殊召喚！

この効果は場で発揮する効果じゃない、だからRe-BUSTER<sup>バスター</sup>の効果で無効化しても無意味よ

だけど、Re-BUSTER<sup>バスター</sup>のもう1つの効果でギガンテック・ファイター／バスターは除外されてしまうわ」

そして墓地には戦士族は全部で17体ね

ギガンテック・ファイターの攻撃力は4500か

全く足りないわ、攻撃力10000の半分にも満たないとは……

「ククク、好きにしろよ

俺はカードを3枚伏せ、ターンエンドだあ」

やっぱり伏せてきたか！

これだから瑞貴は厄介なのよ！

「私のターン、ドロー！ 魔法カード、天よりの宝札！

お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにカードをドロウする！」

瑞貴に手札を渡すのは危険だと分かっている

だけど、私達の手札も無い状況……我が儘を言っている場合じゃないわ！

「手札から戦士の生還を発動！

この効果により、墓地から戦士族モンスターを手札に加える！

私を手札に加えるのはブレード・スケーター！

そして融合！ ブレード・スケーターとエトワール・サイバーを融合！

サイバー・ブレイダーを守備表示で融合召喚！」

サイバー・ブレイダーは相手モンスターの数により、効果が変わるモンスター

相手モンスターが1体の時は戦闘耐性、つまり戦闘では破壊されない守備表示にしていればアーミタイルの攻撃には耐えられるわ！

「更に墓地の戦士の生還を除外し、マジック・ストライカーを特殊召喚！

さっきの仕返しよ！ 速攻魔法、地獄の暴走召喚！

攻撃力1500以下のモンスターの特殊召喚に成功した時

デッキ、手札、墓地から同名モンスターを特殊召喚する！

相手もできるけど、貴方のモンスターはアーミタイル、特殊召喚できないわ！

私はデッキと墓地からそれぞれ1体ずつマジック・ストライカーを特殊召喚！」

場は全て埋まってしまったわ

ダイレクトアタック

だけどこれで全ての直接攻撃が決まれば瑞貴の残りライフは200！十代のターンも含めればこれで勝てる！

「罠カード発動！ 威嚇する咆吼！

相手はこのターン、攻撃宣言する事ができない！」

やっぱり対処していたか！ でもこれぐらい想定済みよ！

この程度でへこたれてなるものですか！

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ!」

ちなみにギガンテック・ファイターの攻撃力は変わらず4500  
ブレード・スケーターを手札に加え、融合で戦士族を2体墓地に送  
った

だけど地獄の暴走召喚で墓地から特殊召喚したから墓地のモンスター  
1数は変わってないわ。

「俺のターン、ドロー!」

マジック・ストライカー達で瑞貴に直接攻撃だ!」  
ダイレクトアタック

今度は全ての攻撃が瑞貴に直撃した

何故何も抵抗しないのかしら?

でも、これで瑞貴の残りライフは200、最後に一撃が入りさえす  
れば……

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ!」

十代はギガンテック・ファイターやサイバー・ブレイダーで攻撃し  
なかった

何か有ると警戒しているんでしょうね

私だってかなり警戒している……何をするつもりなのかしら?

「(ふふ、攻撃しなくて良かったなあ?)

俺の伏せカードはデイメンション・ウォール

もしギガンテック・ファイターで攻撃していた場合

ライフ3500の似非も、3600の明日香も終わっていた  
もう1枚は……くくくくく)」

何か仕掛けてくるか……

でもまだ大丈夫、マジック・ストライカーは戦闘ダメージを0にする効果を持っている

それにギガンテック・ファイターもサイバー・ブレイダーも守備表示更にギガンテック・ファイターは戦闘で破壊されても墓地から自己蘇生ができる

サイバー・ブレイダーだって相手モンスターが1体の時は戦闘耐性を持っている

この布陣をそう簡単に突破は……

「俺のターン、ドロー！」

罠カード発動、異次元からの帰還！

ライフを半分払い、除外されている俺のモンスターを可能な限り特殊召喚する！

エンドフェイズ時に破壊されるがな」

除外されているモンスターって……まさか三幻魔！？

「俺が特殊召喚するのは三幻魔と1体のファントム・オブ・カオスだ！」

そんな！ このタイミングで三幻魔まで出てくるなんて！

気になるのは何故ファントム・オブ・カオスを出したのか……

ファントム・オブ・カオスは攻撃力0だし、除外するモンスターなんて墓地に居たかしら？

「ファントム・オブ・カオスの効果発動！

墓地の幻銃士を除外し、その名前と攻撃力と効果を得る！

更に、俺の墓地には罠カードは4枚、よってウリアの攻撃力は4000！

更にウリアの効果発動！ 明日香の伏せカードを確認せよ！  
トラップディストラクション！」

く……私の伏せカードはミラーフォース  
まさか破壊されるとは思わなかったわ！

「ミラーフォースか、抜け目が無いな

幻銃士はサイバー・ブレイダーを、三幻魔はマジック・ストライカーを攻撃せよ！

消えろ、雑魚共が！」

ギガンテック・ファイター以外は全滅した

そして墓地に戦士族が増えたので、ギガンテック・ファイターの攻撃力は更に上昇

現在は墓地に戦士族は21体、よって攻撃力は4900となる。

だけど、そんなの全く嬉しくないわ！

まさかこんな状況になるなんて！

「ハモンの効果発動！ 戦闘で相手モンスターを破壊した時相手に1000ポイントのダメージを与える！

ハモンが倒してのはマジック・ストライカー、明日香のモンスターだ  
よって明日香に1000ポイントのダメージが与えられる！

受けよ裁きを！ 地獄の贖罪！」

「ぎゃあああああ！」

思ったより辛い！

これはソリッドビジョンだけじゃない、本当に痛みを感じる！

唯一の救いは本当の電撃じゃないから体が痺れたりしない点

だけど、痛みは……今更だけどやっぱり幻魔が現れた事で闇のゲムになったのね！

これで私のライフは残り2600、あまり余裕は無い！  
立て直すにはどうすれば……

瑞貴の……瑞貴のたった100のライフが削られない！

「ククク……いい悲鳴だな

俺はカードを3枚伏せ、エンドフェイズを迎える

三幻魔とファントム・オブ・カオスは再び除外される」

これで安心は……まだできない

何故なら異次元からの帰還が1枚とは限らないから！

もしまた使われたら……そう思うとなかなか攻勢に出る事はできない！

「私のターン、ドロー！」

サイバー・チュチュ……良いモンスターだけど、この場では役に立たないわね

相手モンスターの攻撃力がこのモンスターを上回っていないと直接<sup>ダイレク</sup>トアタック攻撃できる効果を発動できない

アーミタイルの攻撃力は0、直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>と同じだけど

それでも態々アーミタイルに攻撃する危険を考えたらずっとマシよ！

「私はサイバー・チュチュを守備表示で召喚するわ！

これでターンエンドよ！」

「俺のターン、ドロー！」

「この瞬間、罨カード発動！ バトルマニア！  
相手モンスターを全て攻撃表示に変える！

そしてこの効果で攻撃表示になったモンスターは攻撃可能な場合、  
全て攻撃しなければならない！

つまりだ、この効果を受けたギガンテック・ファイターとサイバー・  
チュチュは攻撃を強制される！」

自滅するつもり！？

いえ、瑞貴がそんな甘い事をするはずが無い  
という事は……必ず何か仕込んでいる！」

「へ、だがその罨には弱点が有るぜ！

俺はギガンテック・ファイターとサイバー・チュチュを生け贄に捧  
げる！」

出てこい！ E・HEROエッジマン！ 守備表示で召喚だ！」

「回避したか

まあギガンテック・ファイターが消えただけ良しとしよう」

そうか、バトルマニアの効果を受けたのは私の2体のモンスター

十代が最上級モンスターを出した事で効果を回避したのね！

問題はモンスターが減ってしまった事

そしてギガンテック・ファイターが居なくなったので壁が途絶えて  
しまった事ね

攻撃しないで済んだから良かったけど……これはこれで拙い！

もし次のターン、また異次元からの帰還を発動され、総攻撃された  
ら……

私達の負けは確実！



「俺はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

一気に伏せた理由、それは本命のカードを破壊されない為でしょうね  
ウリアの効果で破壊されるのは罠カードだけ  
魔法カードも伏せておけば、確立はそれだけ下がる！

「俺のターン、ドロー！」

お前達の期待に応え、今見せてやろうじゃないか！  
罠カード発動！ 異次元からの帰還！  
再び出てくるのだ、幻魔達よ！」

現れたのは全ての幻魔とおまけの幻銃士  
ファントム・オブ・カオスでは戦闘ダメージを与えられないからで  
しょうね

そうでなくてもオーバーキルなんだけど……

「ウリアの効果！  
トラップディストラクション！」

十代の伏せカード、それは攻撃の無力化！？  
また困るカードを破壊されて！

「これでお前達の負けだあ！  
まずはラビエル！ エッジマンを粉碎せよ！  
天界蹂躞拳！」

エッジマンは何もできず、ラビエルの爪に引き裂かれて消えてしまう  
残りは幻銃士、ハモン、攻撃力が7000にもなっているウリア、  
そしてアーミタイル

十代の残したカードに、この攻撃を防ぐカードは入っているの!?

「ウリアよ、似非に見せしめだ!

幻魔の生け贄となれ明日香……直接攻撃だ!

ダイレクトアタック

放て! ハイパーブレイズ!」

ウリアの火炎が、私に向かって放たれる

終わり……か。

「いや、まだだ! 速攻魔法発動! クリボーを呼ぶ笛!

この効果により、デッキからハネクリボーを守備表示で特殊召喚する!」

ハネクリボーが壁となり、私を守ってくれた

ごめんなさいハネクリボー、言葉は分からないけど感謝してるわ。

ハネクリボーは破壊された時、十代はデッキからカードを1枚手札に加えた

何を手札に? そして何故手札にカードを?

ハネクリボーが破壊された事で手札に加える効果のカードでも有ったのかしら?

「チイツ、凌がれたか……俺は罠カード、トラップ・トリップを発動!

墓地から罠カードを1枚手札に加える、俺が手札に加えるのは当然……異次元からの帰還!

カードを3枚伏せ、ターンエンドだ!

そしてこの瞬間、幻魔達は除外される……」

瑞貴のライフこそ、異次元からの帰還で50になっている

とはいえ、それを削るには攻撃する必要がある  
つまりみすみす罠に嵌れと言っているもの……

十代の手札まだ余裕は有るけど、私の手札は0  
ここまでくれば私が犠牲になっても、罠を除去するべきね  
モンスターカード……来て！

「私のターン、ドロー！」

よし、私はE・HEROフォレストマンを召喚！  
フォレストマンでアーミタイルに攻撃よ！」

「罠と分かっけていて突撃するか……受けて立とうではないか！  
罠カード発動！ デイメンション・ウォール！」

俺が受ける戦闘ダメージを、代わりに相手が受ける！  
アーミタイルの攻撃力は0、フォレストマンの攻撃力は1000  
よって明日香、お前に1000ポイントのダメージだ！」

フォレストマンが異次元の渦に飲まれる  
そして……私の目の前に現れて突撃してきた！？

「ぐう！」

クッ……これで私の残りライフは1600  
警戒してギガンテック・ファイターで攻撃しなくて良かったわ……  
攻撃していたら私のライフは無くなっていたもの。

「わ、私はこれでターンエンドよ！  
後は任せるわ、十代」

「ああ、任せてくれ！ 俺のターン、ドロー！」

「この瞬間、フォレストマンの効果が発動するわ！  
デッキ、または墓地から融合を手札に加える事ができる！」

「よし、俺はデッキから融合を手札に加えるぜ！」

これでなんとかなる……かしら？

ふと十代を見てみると、何か光の……なにかしら？

それを見て、手札のカードを1枚取り出して見ている。

暫く見ていると、何処からともなく現れた大徳寺先生の飼い猫  
ファラオがその光の何かを咥えどこかに去って行った  
あれは何だったのかしら？

「俺の願い……俺は手札からE－エマージェンシーコールを発動！  
デッキからE・HEROを手札に加える！俺はバブルマンを手札  
に加える！」

次の願い、それは融合回収！  
フュージョン・リカバリー

墓地の融合と、スパークマンを手札に加える！」

十代が願いと言う度にライフが半減していく！？

2回願った事により、十代のライフは3500から1750に減る  
そして2回目の願いを使い、875に……なんて半端な。

「明日香、今度はお前の融合モンスターを使わせてもらっていいか  
？」

「……何を考えているのか知らないけど、好きにきなさい」

「ありがとう明日香」

俺は手札から融合を発動！

場のE・HEROであるフォレストマンと、手札の水属性であるブルマンを融合！

出てこい！ E・HEROアブソルートZERO！」

出てくるのは氷の戦士

さあ瑞貴、この超厄介モンスターをどうするのかしら？

「まだだ！ 俺は魔法カード、ダブルフュージョン二重融合を発動！

ライフを500払い、このターン、2回の融合を行う事ができる！俺は手札のフェザーマンとバーストレディを融合！ E・HEROフレイム・ウィングマンを召喚！」

ダブルフュージョン二重融合……そんなカードも有ったのね

確かに2回融合する効果は強い、でもそれをすれば手札消費が激しすぎるわ！

十代のライフは今払ったから残り375、このライフで大丈夫かしら？

「そして手札のスパークマンとフレイム・ウィングマンを融合！

E・HEROシャイニング・フレア・ウィングマンを融合召喚だ！シャイニング・フレア・ウィングマンの攻撃力は自分の墓地のE・HEROの数×300アップする！

俺の墓地にE・HEROは9体、よって攻撃力は2700アップし、5200だ！」

攻撃力を上げてどうする気、十代

そんな事をしてまたハモンを守備表示で出されたら……

「ふん……甘いわぁ！ 罠カード、融合失敗！」

お前らのデッキ特性なんて知り尽くしてるんだよ！

場の融合モンスターが特殊召喚に成功した時、場の融合モンスターを全て融合デッキに戻す！

当然、シャイニング・フレア・ウィングマンだけでなく、アーミタイルもアブソルートZEROもな」

ここに来て最強のモンスターの召喚を防がれた！

しかも、アブソルートZEROの効果だって発動しても、瑞貴の場にはモンスターが居ない！

もし十代がここでモンスターを出したとしても、伏せカードには異次元からの帰還が残っている

つまり、ダイレクトアタック直接攻撃は決められない！

アーミタイルも戻したのは多分、もう居ても居なくてもどっちでも良いからでしょうね

どうせ次のターンには異次元からの帰還を発動するから！

「残念だったな、まさかあの場でシャイニング・フレア・ウィングマンを出すとは思わなかった

しかし、俺の方が1枚上手だった……さあ、まだ何かできるのならするがいい！」

「……へ、どうやら俺の方が更に1枚上手だったらしいぜ」

「ほう？ やって見せろ」

まだ何かできるの？

でも手札に残っているカードは……

「俺は魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！

墓地からフェザーマン、バーストレディ、クレイマン、バブルマンを融合！

現れる、E・HEROエリクシーラー！そしてエリクシーラーの効果発動！

このモンスターが融合召喚された時、除外されているカードを全てデッキに戻す！」

そうか！これなら幻魔達もデッキに戻る！

「また面倒な奴を！罨カード、異次元からの帰還！

ライフを半分払い、除外されている三幻魔とファントム・オブ・カオス2体を特殊召喚する！

よって、この効果で戻されるのはヒーローズルール1の効果で除外された罨と幻銃士

最後のファントム・オブ・カオスだけ！幻魔は不滅、幻魔は必ず生き残るのだ！」

現れたのは幻魔とファントム・オブ・カオス

全てのモンスターは念の為なのか、守備表示で復活されている  
そしてウリア効果、墓地の罨カードの数は9枚、よって守備力は9000。

守備力が9000……どうすれば倒せるのよ？

この状況……はぁ、負けかしらね？

どうでもいいけど、瑞貴のライフは残り25

ここまで半端なライフも珍しいわ。

「いや、幻魔は倒される！

俺の最後の願い、それはあの伏せカードを破壊できるカード！

魔法カード、Rーライトジャスティス！

場のE・HEROの数だけ場の魔法か罠カードを破壊する！  
俺が破壊するのは当然、お前の最後の伏せカードだ！」

破壊されたのはドレインシールド！

良いカードを破壊できたけど、それでも攻撃力は勝てない！  
というか、ウリアの守備力が10000にまで増えたわよ！

ついでに十代、貴方のライフだって187よ

どっちももう少しぐらいライフに気遣いってものを……ね？  
ややこしいから、もうこんな計算は嫌よ？

「賢者の石ーサバティエルの効果発動！

3つの願いを叶えた時、自分のモンスター1体を対象にして発動する！

そのモンスターの攻撃力は、相手モンスターの数だけ倍増する！」

エリクシーラーの手に、巨大過ぎる大剣が握られた

瑞貴の場のモンスターの数は全部で5体

攻撃力2900のエリクシーラーの攻撃力は……14500！？

「だが、いくら攻撃力を上げようとも俺のモンスターは全て守備表示  
確かにドレインシールドを破壊されたのは痛かったが……それだけ  
では足りないなあ！」

「いや、これで終わりだ！

俺は永続罠カード、最終突撃命令を発動！

場のモンスターを全て攻撃表示に変更する！」

「……は、この場に来てこれかよ



「（これだから主人公ってのは……大嫌いなんだよ!）」

これで、全てのモンスターが攻撃表示になった  
瑞貴、貴方のもう伏せカードは無い  
残っているのは無意味になったリビングデッドの呼び声だけ。

「く、くくくく……はははははははははははははははは  
また俺はお前達に負けるのか！　月桂樹の時といい、今回いい！  
（主人公とメインヒロインコンビの邪魔さをよーろく理解したよ！  
二度とこいつらで組ませて堪るか、最悪引き剥がしてやる！）  
さあ来いよ似非、これで終わりだ！」

「ああ、行ってやるぜ！」

エリクシーラーでラビエルに攻撃だ！

究極剣・サバティエル！」

ラビエルは真つ二つに切り裂かれ、爆発した  
これで瑞貴のライフは0……私達の勝ちよ！

「ふう……まさかあそこまでした幻魔が敗れるとはな」

最後の高笑いからは想像もできないぐらい、瑞貴は落ち着いていた

「ぐ！  
ぐううう……あああああああ！」

突然瑞貴が苦しみ始めた！？

そう思ったなら瑞貴から何か飛び出して行き、どこかに飛んでいった……

あの光はいつたい……

あ、マナは！ マナはどうなったの！？

マナの居た場所を見てみると、先ほど瑞貴から飛び出ていった光を浴びているマナ

そして段々と元の姿に戻っていった……よかった。

という事はあの光は精霊から集めた力？

そういえば瑞貴の姿が変わったのは幻魔の力だったわね  
精霊の力を集めて幻魔を復活させる……か。

その力は敗北の形で元の場所に戻っていったのね  
良かった……

おそらく全てを解きはなった瑞貴

肩で息をしているような状態ね……大丈夫かしら？

「はぁ……はぁ……頭が痛い、眠い、気分が悪い  
もう……疲れた、俺は、俺は……寝る」

そう一言言い、瑞貴は倒れる

……心配した私が馬鹿みたいじゃない、もお。

………

………

………

結局、あ後は三幻魔のカードは校長先生によって封印された  
影丸理事長は三幻魔と瑞貴にトラウマを植え付けられ、逃げるよう  
にヘリに吊されて帰ったわ

これで反省し、二度とこんな事をしないでほしいわね……

瑞貴は白黒兄モノクロさんが運ぶ事になった

というか、他に運ぶような人が居ないと言った方が正しいわね。

十代は疲れており、三沢君と万丈目君に運ばれるような形になっている

落ち込んでいる亮の事は翔君と隼人君が連れて行くらしいわ

さすがに校長先生の手を借りるわけにも行かないし、クロノス教諭は……ねえ？

私は荷物持ちみたいな感じになってる

なお、気絶していたマナはサラに運んでもらった

ちなみにサラ、今まで隠れてただけど体が縮んできたから隠れっぱなしだったらしいわ

マナを抱え、すぐに消えるように移動しているのかもう姿が見えない。

三幻魔……人の心の闇に付け込むカード

二度と会いたくないわね。

何にしても、みんな無事で良かったわ

若干3名、気絶していたり落ち込んでいたり寝てたりするけどそれでも誰も大きな被害は無かった……かしら？

さて、気分転換にもなるし、期末試験の勉強をしないとね！

って……瑞貴の看病もしないと！

瑞貴の部屋であればいいか、拒否はさせないわよ瑞貴

さーてと、何から手を付けようかな！

## 58話【VS三幻魔 瑞貴編】（後書き）

何故融合失敗を？

どうやってシャイニング・フレア・ウィングマンとアブソルートZ EROを消そうかと

それが大きな悩みになりました

という訳でアンチカードを入れてみる事に……タイミングをミスしましたがね

もし次のエリクシーラーの時に使っていれば勝てたかもしれないのですが……残念。

何故最終突撃命令を？

色々と表示形式を入れ替えるカードを漁ったんですが、良いカードが……

という訳で総合攻撃力が高くなりやすいE・HEROに使えそうというカードで強引に

思いつかなかったんです、最後の盛り上がりが微妙になるという……

……大失敗ですね

ふう……守備表示で召喚できる異次元からの帰還が悪いんだ！

賢者の石はどうなったの？

アニメと同じく消えました

大徳寺先生と十代の会話は都合上カット

もう書き直しも書くのも面倒になったしややこしいので全部カットしました

端から見ると明日香が見たような感じなんでしょうね……シユールだ。

瑞貴大丈夫なの？

多分大丈夫でしょう、影丸はかなり自分の意志でしたが、瑞貴は違  
うので……

操られていたのはかなり疲れたんでしょうね

ちなみに、誰かが何かを言って正気に戻るとか思った人

残念ながらそんなのは有りません、シンプルに普通に戻りました。

影丸は今後どうなるの？

不明、アニメの方で何か語られていましたっけ？

前話の後書きでサラって……

忘れていましたが、初話で登場していました

なのでその部分を削除、とりあえず隠れていた事にしました  
瑞貴に見られるのも困りますしね。

原作、アニメオリジナルカード

トラップ・トリップ

墓地から罠カードを手札に加える

という超シンプルカードにして凶悪カードです

これって禁止カードになりそうなんですけど……

ダブルフュージョン  
二重融合

ライフを500払う事で発動する

このターン、2回融合を行う事ができる

普通に強いカードです、多分

とりあえず1回目でアブソルートZEROを出し

そのアブソルートZEROを融合してまたアブソルートZEROが  
できますね

そう考えたら凶悪なカードですが、E・HEROデッキでなければ

普通は使いません。

賢者の石ーサバティエル

ハネクリボーが破壊された時、デッキから手札に加加える事ができる  
ライフを半分払う事にデッキか手札の魔法カードと入れ替える  
入れ替えたカードを使用した時、墓地に有るこのカードを手札に加  
える

この効果を3回使用したターン、自分の場のモンスター1体を選択  
する

そのモンスターの攻撃力は相手のモンスターの数だけ倍増する

説明するとこんな感じでしょうか？

ややこしいです……面倒なのでこれ以上詳しくは書きません

分かった事はアレですね、やはりアニメオリジナルはチート過ぎる！  
という事でしよう。

## 59話【激闘後の夜】（前書き）

皆さんの予想を裏切る作者！　それが私です！  
という訳で、高確率で予想外の内容だと思っています  
明日香やマナとの甘い夜ですか？　何の話ですかなあ？

今回は戦いに参加した人達です

なんと大量視点変更をします

クロノス、三沢、万丈目、吹雪、隼人、翔、十代、亮、明日香  
最初にはおまけの鮫島校長に最後にサラの視点となっています  
かなり大変でしたが、結構楽しかったです。

なお、瑞貴とマナ、影丸の視点はありません

瑞貴とマナは絶賛ばたんきゅー状態、影丸はどこかに行きました。

次話は色々な意味でどうなるか……

時間的な意味でも内容的な意味でも結構頭が痛くなりそうです  
うーん……今回でちよつと一部はっちゃけ過ぎましたかね？

どうでもいいですが今回

視点変更が多いのでそうは思えないと思いますが

なんと前話と前々話よりも文字数が多いのです

謎に多い……作者は何気に驚いています、何故こうなった！？

## 59話【激闘後の夜】

視点 鮫島

うーむ……三幻魔に操られていたとはいえ  
あの実力者達を相手にあそこまで戦えるとは  
堅守君は本当に強いですね。

彼はこのままラーイエローのままでいいのでしょうか？  
何か切欠があればオベリスクブルーに昇格させても良いでしょう  
期末テストの内容で考えてみましょう。

それよりも理事長……大丈夫でしょうか？  
お年寄りには精神的ショックが大きいと、最悪心臓が止まって死んで  
しまいますし……  
春休みにでも、お見舞いに行ってみましょう。

視点 クロノス

今日は凄く、疲れたノーね  
まさか私の生徒が、あんなのに操られるなノーて、信じられないノ  
ーね  
これだからオカルトは嫌いでスーの！

こんな事が二度と起こらないよウーに、今後色々と注意しなければ！



学園の生徒は、私が守ってみせるノーね！

……でも、もう人形には、なりたくないノーね  
カミューラには、会いたく無いノーね、だから今日はもう帰るノー  
ね、寝るノーね。

### 視点 三沢

はぁ……今回の事件、全く役に立たなかったな  
タニヤには負け、堅守との戦いではあんなに酷い失態を……  
今度はコイントスの鍛錬もした方がいいだろうか？

そういえば堅守はアマゾネスのカードを使っていたな  
今度譲ってもらおう、買えと言われたら……少々悩む  
あいつは金にがめつそうだしなぁ、とりあえず頼むだけ頼んでみる  
か。

よし、今回の件の反省をして今日は寝よう！

だけどその前に、ちょっとデッキを改造しよう

あ、しかしそうなるとうどう改造するか計算しなくてはな  
となるとPCを用意して、するとコーヒーでも飲みながらにするか  
うーん、悩むな……ん？ 何か忘れているような気がする。

俺は何をしようとしていたんだったかな？  
まあいい、今はデッキだデッキ。

## 視点 万丈目

まったく、堅守には困ったもんだ！

簡単に幻魔の力になんぞ操られやがって！

こっちはいい迷惑だ……はあ。

『アニキー、今日はお疲れ様あゝん』

「煩い、俺は疲れてなんかいない！

考え事をしているだけだ、邪魔をするな！」

ま、とりあえずこいつらが死ななくてよかったな  
こんな雑魚でも死なれては目覚めも悪いし。

『それにしても、おいら達の事を心配してくれてありがとねえ  
これはお礼だよアニキ、ちゅ~~~~~~~~』

「うあああ！ こっちに寄るな気持ち悪い！」

おジャマ・イエローを払いのけてやった

おジャマ・イエローは壁にぶつかって落ちていく

グリーンとブラックが助けているが、俺は無視する。

それに、この部屋のやつらが全員消えてしまうと考えると……  
少し寂しいかもしれないな。

さて、馬鹿な事を考えるのは止めだ

さっさと寝よう、耳栓耳栓と……おやすみ。

……あ、堅守に金を払わないといけないんだっ  
すっかり忘れてたな……幻魔の事であいつも忘れてくれたら助かるが  
そう都合もよく行かないか、50万……しかも騒ぎを起こしたから  
カードも返却  
ううう、大損だ！

## 視点 吹雪

うーん……なんだか万丈目君が叫んだりしてたねえ  
僕が同じ部屋だって事、忘れてないかい？  
いや、確かに布団でボーツとしてたけどさ。

今回の根本的な原因は僕なんだよね……

堅守君には悪い事をしたな

僕が万丈目君と騒ぎを起こさなければ、こんな事にはならなかった  
だろうに

今後は自重した方が良さそうか？

自重しなくても、騒ぎになるような物を使うのは止めよう  
完全に僕のミスだ、叱られるのなら甘んじて受けよう  
迷惑代って言って借金……増やされないといいなあ。

それにしても今回の決闘は色々デュエルと酷かったな  
まさか9人でようやく倒せるとは……相変わらず強いね、彼は  
僕ももっと強くなるべきだね、しかしカードは堅守君が……

うーん……真面目に働いて返した方が早いかな？

堅守君も、働きに応じて給料は増やすと言ってってくれてるし  
そう考えると、今回の事件で減給かぁ……

早く信用を取り戻さないとね

できるだけ指示はこなさないと

そうじゃないと……一生扱き使われそうだよ。

万丈目君も寝たみたいだし、僕も寝ようかな

堅守君の事はあまり心配要らなそうだしね

なんていったって明日香が看病を……それって拙くないかい？

ちょっと待ってくれ、明日香が看病？

今夜は二人つきり？　つまり、男女で密室の部屋で！

あわわわわわ……すまない万丈目君！

明日香は、明日香はもしかしたら今夜にでも（放送できません）か  
もしれない！

……よく考えたらそれは無いね

明日香は堅守君の事を友人にしか見ていないらしいし  
堅守君だって、あまり女性に興味が無いそうだ。

うーん、堅守君は女性というよりも恋愛にかな？

どうも冷めている感じがするんだよね……昔何か有ったのかな？  
もしかして、もう恋愛経験済みだとか？　それで何かショックな事  
が有ったとか？

何にしても、僕の心配は杞憂だろう

さて、寝よう寝ようって、おやすみー。

## 視点 隼人

俺……自分があんなに戦えるとは思わなかったんだな  
あいつとは今回で3回目の戦いだった。

1回目はタイタンの時、2回目は学園対抗の十代戦の後、3回目が  
今回

よく考えたら、俺、あいつと戦っている時は凄く頑張れているんだ  
な。

きつと、俺が怒ったりしてるからなんだな  
心の震えが、俺自身に、そしてカードに宿ったんだと思う  
だからきつと、俺は強くなれたんだな。

あいつはやっぱり嫌いだけど、それには感謝している  
俺、自分にもうちよつとだけ、自信が持てそうなんだな！

## 視点 翔

はぁ……アニキも隼人君もあんなに頑張ったのに  
僕はアッサリと1撃で……何やってるんだろう。

それよりもお兄さんの事が気になる

あんなに落ち込んだお兄さんは初めて見た  
あいつに負けたのがそんなにショックだったのかな？

確かにあいつは性格悪いし、嫌味っぽいし、卑怯な奴だしね！  
僕だって凄いショックだよ！

でもお兄さんがあそこまで落ち込むなんて……  
また明日になったら様子を見に行こう  
元気になってたらいいなあ。

それにしてもアニキ、格好良かったなあ  
あいつをこてんぱんにやっちゃってさ！  
これでもう二度とあいつもアニキに似非なんて呼び方はできないだ  
ろう！

ついでに僕の事も水色と呼ぶのを止めるように言ってやらなきや！

## 視点 十代

瑞貴の奴、強かったな

今回で4回目か……何気に万丈目よりも多く戦ってるな。

最初はタイタンに操られている時だろ？

次は学園対抗の時だったな

その次は月桂樹として、セブンスターズの1人の敵だった

最後の今日は三幻魔に操られて……正気の時に戦ったのって1回だけじゃん！

瑞貴とちゃんと戦ってみたいなあ……難しいかな？

あいつ、何故かどうも俺の事を避けているみたいだし

積極的に決闘デュエルをしたいってタイプじゃないみたいだしなあ。

決闘デュエルは楽しいのに、なんで嫌がるんだろう？

そりゃ、あの時みたいな手札破壊のを使われたくないけど

瑞貴だったらそんなのを使わなくても俺とまともに戦えるだろうに。

それにしても強化コピーデッキか……誰のデッキを使っても強かったな

もしセブンスターズ達が瑞貴と同じデッキを使ってきたら……俺達は勝てたか？

分からない……だけど、そう簡単に勝てなかった事はよく分かる。

大徳寺先生に貰った賢者の石ーサバティエル

あのカードが無ければ俺達は負けていたかもしれない

結局あのカードは消えてしまったけど、凄く助かった。

よっしゃあ！ 決めた！

次は瑞貴と正々堂々と戦って、俺が必ず勝ってみせる！

待ってろよ瑞貴、俺はお前を越えてやるからな！

視点 亮

俺は弱いのか……堅守に簡単に負けてしまうほどに  
俺は傲っていたのか？ だから負けたのか？

そういえば以前、レイが来た時に堅守に言われたな  
カイザーと言われて傲慢になったんじゃないかと……  
もしかしたらそうなのかもしれない、俺は自分が負けるとは思って  
いなかった。

だが負けた、それも簡単に

パーフェクト決闘者デュエリストと言われても俺は弱かったのか？

いや、パーフェクトだからこそ弱かったのか……

そうか、俺は向上心を忘れていたのか

パーフェクト、つまりは完成されている

成長は無いと思っていたが……どうやら甘かったらしい。

もう1度、もう1度だけ堅守デュエルと決闘したい

そうすれば何か掴める気がする、例え1ターンキルされようとも、  
アンチデッキを使われようとも

どんな内容でも良い、あいつと戦う事に意味が有る。

そういえば……卒業生代表の決闘デュエルというのができたな

在校生との模範決闘……か、これを利用してもらおう  
となると期末試験、何が何でもトップにならない。

待っている堅守、俺はお前と戦う

そして……俺はパーフェクトという殻から抜け出してみせよう！

俺を二度と傲っている、弱いなんて言わせない  
負ける気は無い、必ず勝ってみせる！

……となると勉強だな

デッキ調整も大事だが、今は勉強を最優先だ

ここまで本気で勉強するのも久しぶりだ、必ずトップになってみせ



る！

視点 明日香

瑞貴とマナをベッドに寝かせ、とりあえず自分の部屋に戻ってきた  
ちなみにサラは置いてきた、もし何か有った時の為に一応ね。

それにしても……疲れたわ

万丈目君と戦ったでしょ？ 瑞貴とも戦ったでしょ？

驚く事も多かったし、そういう意味でも疲労が溜まってるわね。

はあ……とりあえず元々の原因は白黒兄さんモノクロだったわね

最初の会話からして、瑞貴はカードを売ったのは売った

だけど無関係だったみたいだし、あんなに疑った罪悪感が……

でも、よく色々と企む瑞貴が悪いのよね

だから瑞貴が悪いと勘違いした私は悪くないわ、きっと悪くない

……白黒兄さんモノクロの馬鹿行動と私の勘違いは看病をするから許して、  
お願いだから。

今日、瑞貴が使ったデッキは全部で9個か

最初と最後はともかく、他は全部コピーデッキだったわね

アムナエルのデッキは分からなかったけど、どれもかなり強化されて  
いた。

玲ちゃんのデッキが出てきた時なんて肝が冷えたわ

あのデッキの恐ろしさはよく分かっている、普通に戦ったら絶対に

勝てないものね

よくよく考えたら、アムナエルのデッキも玲ちゃんのデッキもだけど短期間しか使われずに済んで良かったわ。

もしアムナエルの強化デッキが使われていた場合

魂吸収とネクロフェイスのコンボで超回復されていた可能性が高い  
もし玲ちゃんの強化デッキが使われていた場合

スキルドレインと強力な妥協召喚モンスターの嵐で逆転どころじゃなくなっていた。

……そういえば、今回瑞貴が使った強化デッキ

あのデッキを元々セブンスターズ達が使っていたらどうなっていたかしら？

ダークネス……微妙ね、私が戦ったし……今度瑞貴にあのデッキを使ってもらおうかしら？

カミューラは瑞貴が相手したのよね、ならあまり関係無さそう

タニヤ、アマゾネス女王やアマゾネスクイーンの闘氣を使われていて、十代は勝てたかしら？

黒蠍盗掘団は……ちょっと分からないわね

アドビス三世、私が戦ったんだけど、もっと良い勝負ができたかもしれないわ

月桂樹は瑞貴だったから除外して玲ちゃんのデッキ……勝つ自信が無いわ！

アムナエルはどうかしら？ 十代は話してくれないから分からないわ、強化状態も分からないし。

三幻魔戦、影丸がもし素直に十代と戦っていた場合

あそこまで厄介な存在だったかしら？

瑞貴ほど強くはないと思うけど1対1、十代は勝てた？

分からないわ……影丸のデッキもそこまで分からないんだし。

色々と考えたけど、結局はI Fの話かぁ……もう止めましょ、無駄なものね

さて、準備も終わったし瑞貴の部屋に行こうかしら  
寝てしまいそうになったらベッドを借りればいいしね。

視点 サラ

何故私が……マナはともかく瑞貴の面倒まで

マナは同じ精霊だから面倒は見れるけど、実体化できない私は瑞貴の面倒は無理よ

明日香、それを分かっているの？

それにしても、まさか体が子供になってしまうとは思わなかったわ  
珍しい体験をした、二度とはしたくないけど……

マナは何日か寝れば起きるはず

かなり体力も魔力も使ったけど、寝ていれば回復するでしょうしね。

問題は瑞貴だけど……見た目では分からないけどかなり弱ってる  
やはり幻魔を操るのに多大の精神力を使ったのだろうか？

いや、ただ使っただけならここまではならないはず。

となると、やはり正気じゃなかったのが拙かったか

更に何度も幻魔を蘇生させ、場に出していた

最後なんて異次元からの帰還の効果を3回も使用したし

召喚、蘇生、全てを合計して16回も三幻魔を場に出した。

あの幻魔を扱き使ったんだもの、それだけ体力も精神力も使い果たしたんでしょね

マナと同じく数日は起きないかもしれない  
衰弱死はしないと思うけど……少々拙い？

しかし私にできる事は無い  
精々、様子を見るぐらいしか……無力ね。

「勝手に入るわよ  
瑞貴、起きてる？」

明日香か、暢気ね  
まあ……先ほどの話は教えていないから当然か。

『瑞貴もマナも起きてない』

『そうなの？  
割とすぐに目が覚めると思ってたんだけど……』

それはそうだろう  
瑞貴は寝ると言って倒れたんだし、すぐに起きると思っているんでしょね

ああ……言い難いわ。

『2人共、どれぐらいで起きるかしら？  
マナは疲れてるから明日までは起きないでしょうけど  
瑞貴は何時間かで起きるんじゃない？』

当たり前のように、大丈夫だと思っている明日香  
どう言えいいのかしら？  
もし下手に言えれば何を言い出すか……

『あー……明日香』

『サラはどれぐらいだと思う？』

う……なんだか嘘とか言えるような雰囲気じゃない  
だけど本当の事を言うのも躊躇われるし  
ううううう……

こうなったら言うしかないわ

吹雪さん、きつと明日香は貴方を怒るでしょう  
だけどこれも原因である貴方の自業自得……  
貴方を売るサラをお許してください。

『明日香、よく聞いてちょうだい』

『改まって……どうしたの？』

私はただ瑞貴達がどれぐらいで起きるかと訊いただけだよ？』

『その瑞貴達の話よ』

2人共、明日には起きないと思うわ』

『……え？』

『マナは精霊だし、魔術師だから……死ぬ事は無い  
瑞貴を抑える為に魔力と体力を使い果たしたけど、寝ていれば回復  
するから大丈夫』

だけど瑞貴は……』

どう言えいいかしら？

幻魔の事も絡めて最初から説明するべき？

それとも要点だけを言った方がいいかしら？

どう言ったら明日香を上手く抑えられるか……

少しでも吹雪さんに怒りを向けないようにしたいし

馬鹿正直に言うことやっぱり怒るわよね？

明日香にあんまり心配掛けたくないし

できるだけ安心しておいてほしいわ

どう言うのか、本当に悩むわね。

そうやってどう言うべきか悩んでいたのは失敗だった

明日香がフラフラと瑞貴に近寄っていく

どうかしたの？

「起きなさいよ瑞貴、ねえ……起きなさいったら！」

『あの……明日香？』

瑞貴はそんな事をして……』

「だって三幻魔のカードを手にするまでは今までと変わらなかったのよ！」

なのにどうして……さっきだって寝るって言ってたじゃない起きなさいよ！ 起きてまた私を馬鹿にしたらどうなの！？」

……どうしてこうなった？

私は何か拙い事を言ったかしら？

……さっきの発言をよく思い出してみよう  
そうすればきっと分かるはず。

マナは精霊だし、魔術師だから……死ぬ事はない  
瑞貴を抑える為に魔力と体力を使い果たしたけど、寝ていれば回復  
するから大丈夫  
だけど瑞貴は……

って言ったわね、私は  
明日香がこんなになるような事を言った覚えは無いんだけど  
うーん……分からないわ。

って、明日香泣いてるじゃない!?  
どうして! 何でこんな事になってるの!?

「うっ……ひく……」

『明日香、どうして泣いてるの?』

「どうしてって……当たり前じゃない!  
友達が……友達が死んでしまうのよ!  
それで泣かない人なんて居るはずが無いわよ!」

死ぬって何!?

私はそんな事言っていない!

よく分からないんだけど、どうなってるの!?

『死ぬって……誰が?』

「誰がって瑞貴がでしょ？」

貴女が……貴女が言ったんじゃない！」

『言っていないわ、何を勘違いしてるの？』

「……え？」

何でそんなに哑然としたような表情になるのよ

本当に、何を勘違いしたらそう瑞貴が死ぬ事になるのかしら？

『瑞貴は人間だからそう簡単に完治しないけど

数日もすれば起きるわよ？　どうして死ぬなんて思ったの？

私はそんな事、一言も言っていないわ』

どこをどう聞き間違えたらそんな結論になるの？

話は最後までちゃんと聞きなさい。

溜め息を吐くような態度を取っていたら明日香の顔に怒りが……何故？

って、掴み掛からないで！　私は精霊だから物理的に触れないわよ！

案の定、すり抜けて倒れる明日香

暫く動かなかったけど、起き上がると同時に凄い顔で睨んできた！？

ど、どうしてそんなに怒っているの！？

「ま、紛らわしい言い方しないでよ！

本当に瑞貴が死んじゃうかと思ったじゃない！」

『そ、そんな事を言われても……

だいたい、私は瑞貴が死ぬなんて一言も言っていないわよ！』



「言い方に問題が有るのよ！」

どうしてあんな中途半端に言葉を切るのよ！？

自分の発言をよく思い出してみなさい！」

そう明日香に言われたのもう一度思い出してみる  
私はそんなに紛らわしい言い方をしただろうか？

マナは精霊だし、魔術師だから……死ぬ事はない  
瑞貴を抑える為に魔力と体力を使い果たしたけど、寝ていれば回復  
するから大丈夫  
だけど瑞貴は……

マナは精霊だし、魔術師だから死ぬ事はない  
この発言は特に何も無い、別段普通の事のはず  
何かを勘違いする要素は無いと思うわ。

瑞貴を抑える為に魔力と体力を使い果たしたけど、寝ていれば回復  
するから大丈夫  
これも問題無い、瑞貴に関係無く、マナの状態を教えただけ  
どこが紛らわしいのかしら？

だけど瑞貴は……

これ？　これが紛らわしいの？

何が紛らわしいのか全く分からないんだけど……

頭を悩ませる私を見て、明日香は溜め息を吐く  
呆れられた！？　私、何か酷い失敗でもしたの！？

『分からないの？』

あ、声を戻した

今までの怒声から呆れて正氣に戻ったのかしら？

『分からない』

私は何か拙い事でも言ったの？』

『……もしかして分けて考えてない？

分かりやすく言うよね、最初にマナは死ぬ事は無いと言ったわよね？』

『ええ、そう言ったわ』

マナは死ぬような状態じゃないもの』

それが何か問題だろうか？

安心させるように言っただけだよ。

『そして最後の言葉』

だけど瑞貴は……って言ったでしょ？

それを合わせて考えてみなさい、そうすれば分かるはずよ』

合わせる？

マナは死ぬ事はない、だけど瑞貴は……あああああ！！！！

なるほど、この言い方は確かに勘違いをするわ！

この言い方だと、マナは死なないけど瑞貴は死ぬって聞こえるもの！だから紛らわしい言い方をした私に怒ったのね！

納得していると、明日香の顔に怒りが戻ってきた

あの……どうして怒りを戻しているのか教えてくれないかしら？

『サラ、貴女のせいでもの凄く取り乱してしまったわ  
もし万が一、瑞貴が少しでも目を覚まして見ていたらと思うと……  
思いつきり遊ばれるじゃない！ 凄く恥ずかしかったのよ！  
もう暫く瑞貴の顔が見れないじゃない！ どうしてくれるのよ！？』

『ご、ごめんなさい明日香！

どういう言い方をすれば良いのかと悩んでいたの！  
できるだけ心配掛けたくないし、他にも色々と……』

吹雪さんの名前は出したら駄目よね

もし出したら……確実に八つ当たりをしに行くわ！  
そうなたらちょっと吹雪さんが危ない、色々な意味で危ない！

『他にも色々？

サラ、その色々というのを教えてくれないかしら？』

藪蛇だった！？ 蛇は毒を持ってるから気をつけないといけないの  
に！

失敗して態々突いてしまった！  
ど、どうすれば……どうすればいいの！？

『サラ、教えてくれるまでずっと瑞貴の側に居る？

きつと辛いわよー？ だってカードを売っているんですものね  
それをずーずーと見せつけられる、どんな気持ちになるかしら  
？』

『言わせてもらおうわ明日香！ どうしても言いたいので！  
だから私を置いて行かないで！ お願いだから！』

ごめんなさい吹雪さん！ 私は明日香の暴力に屈しました！

後で土下座でも何でもしますから許してください！  
そして……成仏してください、サラは貴方の事を忘れません……合掌。

『サラ？』

『ヒッ！ 言う！ 言うから睨まないで！』

全部説明するから！ だからもう怒らないでちょうだい！』

明日香が凄く怖い！ というか怖すぎる！

自業自得だと分かっているけど、それでも怖い物は怖いのよ！

………

………

………

全部の説明が終わった後の明日香が怖い……雰囲気が特に怖い

私は墓守の暗殺者、<sup>アサシン</sup>そう暗殺者なのよ？

<sup>アサシン</sup>その暗殺者を怯えさせる一般人って……いや、瑞貴にも怯えさせられたけど。

ああごめんなさい吹雪さん、サラは明日香の怒りを貴方から外す事はできませんでした

今は既に夜中なので大丈夫だと思いますが、明日は覚悟しておいてください

私が言う事では無いのでしようが……すみませんすみませんすみませんすみません！

『サラ』

『な、なんでしょうか明日香』

『何敬語になってるのよ？』

どうせだし、このまま看病しようと思うんだけど  
私はどこで寝れば良いと思う？』

何がどう、どうせなのかちょっと分からないわよ？

それにしても寝る場所……ね。

『上の段にはマナが寝てるじゃない？』

別に床で寝ても良いんだけど……やっぱりちょっとね  
せめて布団ぐらい欲しいのよ』

この部屋にはソファーとか無いものね

有るのは金庫と椅子と机、タンスとかそれぐらいね  
本当に必要最低限の物しか無いわ。

普段はどう生活してるのかしら？

なんだかカードを弄っているかPCを触っているところしか思い浮  
かばないんだけど

相変わらず変な人間よね。

『ならマナを瑞貴の布団に放り込めばいいわ』

知ってると思うけど、マナは玲の洗脳で瑞貴に依存状態

抱き枕とかにさせればきつと起きた時にマナが喜ぶわよ』

瑞貴に抱きしめられて落ちたし

抱き枕にされてるなんて分かったらきつと大歓喜でしょうね  
それとも恥ずかしくて逃げるかしら？

『でもそれってちよつと……』

なんか不機嫌？

どうかしたのかしら？

『別に大丈夫だと思っわよ？

マナだって嫌がったりしないし、というか絶対に喜ぶし

それに明日香だってベッドを使えるからどっちも損は無いわよ？』

『そうなんだけど……なんだかちよつと引っかかるのよね

まあマナが喜ぶのなら私はいいけど

じゃあサラ、お願いね』

人使いの……精霊使いの荒いわね

でも言い出したのは私だし、そもそも明日香は精霊状態のマナに触れないものね

なら私がするのは当然ね。

マナを下のベッドに下ろし、瑞貴の横に抱きつかせるように寝かせる分かってる、明日香に怒りを向けられた八つ当たりだと自覚しているわ

だから……恥ずかしがって混乱してちようだい、貴女だって当事者なのよ。

それにしても明日香、さっきからどうも機嫌が悪いわね

マナを見て……何？　ちよつとよく分からないんだけど

怒っているとはちよつと違うわね、マナを見ているんだけど別の何かを見ている？

『明日香、どうかしたの？』

『……いえ、私ももう寝ておくわ  
起きてから瑞貴とマナの看病をする

丁度私も疲れてるし、本当は休みたかったの』

『そう、おやすみなさい明日香』

『ええ、おやすみなさいサラ

でもサラ……明日は覚悟しておいてね？』

そう言って明日香はベッドの上に上がり、着替える  
着替え終わったらすぐに横になって寝始めてしまった……

私、明日を乗り越えたら吹雪さんに抱きつくの  
そして、少しでも元気を分けてもらおうの……

明日香、お願いだから手加減してね？

## 59話【激闘後の夜】（後書き）

瑞貴、オベリスクブルーになるの？

現在まだ未定、一応考えてはいます

しかし、それが本当に期末テストで決まるかは別問題。

三沢は現在瑞貴の事をどう思っているの？

変わり者でしょうね

特に嫌ってはいませんが、あまり関わり合いたい相手ではありません  
必要なら会話をする、かなりドライな関係になりそうです。

万丈目は現在瑞貴の事をどう思っているの？

気に入らない相手、頭が痛くなる奴という感じでしょうか  
嫌ってはいませんが、好意的な感情は皆無ですね。

吹雪、自重するの？

不明、今後の作者の暴走次第です。

吹雪は減給？

未定、考え中です。

吹雪の想像した内容って……

ご想像にお任せします。

吹雪の想像している瑞貴の過去って？

ご想像にお任せします

とりあえず、その内容は無いと思ってください。

隼人は現在瑞貴の事をどう思っているの？



嫌いですが、一応感謝しています

何度も戦ったので以前の自分の実力と現在の実力の違いがよく分かっています

……実は彼がこの作品で一番成長したのでは？

翔は現在瑞貴の事をどう思っているの？

大嫌い、卑怯者、酷い奴、最低、性格破綻者など

ほぼ悪意しか持っていないません

亮と十代に対しての態度がとてつもなく気に入らないのでしょうか

今後もこの感情が変わる事はそう滅多に無いでしょうね

なお、翔の性格が悪いように見えますが……念の為に言っておきます  
作者は翔を嫌わせたくてこのような事を書いたものではありません  
嫌っている相手に対して、更に翔の性格を考えた結果がこの内容です  
なので作者が態々翔を嫌われるように書いたと勘違いはしないでください。

十代は現在瑞貴の事をどう思っているの？

正気で真面目に戦いたいおもしろい奴

だけど性格が悪いので話すのはちよつと嫌かも

そんな感じでしょうか、あまり好意的ではありませんが嫌っていません。

亮は現在瑞貴の事をどう思っているの？

自分を変えてくれる相手……でしょうね

やはり以前の説教と今回の敗北は大きな切欠になったようです。

亮、今後はどうなるの？

一応考えてあります

しかし、それを瑞貴が受けるかどうか……

どうも亮は精神が完全に弱すぎるようではないようです

この作品ではここで頓挫し、しかし立ち上がろうとしていますね。

マナは大丈夫なの？

サラの言う通り、数日寝ていれば回復します  
まあ何日もしないで目は覚めるでしょうけど。

瑞貴は大丈夫なの？

同上、数日で起きます。

幻魔の回数を小分けすると？

ウリアは召喚1回、蘇生6回

ハモンは召喚2回、蘇生3回

ラビエルは召喚1回、蘇生3回

……だったと思います！

まさか明日香が泣くとは……

誰がこんなしんみりした話を想像したか！

という感じの内容ですね、どうしてこうなったんでしょね？

暗殺者<sup>アサシン</sup>を怯えさせる明日香って……

瑞貴の影響でしょうか？

何故かこうなっていました。

マナの件で明日香が不機嫌になった理由は？

ご想像にお任せします。

## 60話【起きた人と起きない人】（前書き）

今回は時間が無かったのでかなり微妙です！

これは酷い……全く話が進んでいないとは思いませんでした  
しかも内容が内容でまた微妙……

投稿を諦めて明日にしてもっとマシな内容にすれば良かったでしょう  
うか？

そう思ってしまうほど微妙過ぎる内容です。

何よりも薄い！ 短い！ そしてお前ら何をしているんだ！？

という感じです、作者は疲れているのでしょうか？ 頭は痛いです  
が……

甘くしなかったのに殆ど甘くない……悲しいものです。

次話……余裕を持って書きます

こんな微妙な内容はもう書きたくありません  
デュエル  
決闘をしないのが悪いんでしょうかね？

次話は何を詰めるべきか……はあ。

ちなみにサブタイトル

あまりに何も無いので凄く悩みました

結果はこれです、これまた酷いサブタイトルですね。

## 60話【起きた人と起きない人】

視点 明日香

……起きたわ、まだ少し眠い

あ、そういえばここは瑞貴の部屋だったわね

瑞貴は起きたかしら？

下のベッドを少し覗いてみる

すると変わらずに寝ている瑞貴

そしてその瑞貴に抱きつきながら寝ている精霊状態のマナ

瑞貴はともかくマナ、貴女は起きてるんじゃないの？

そんな勘違いをしそうなくらいくっついてるわね

別に良いんだけど……精霊状態だから瑞貴も絶対に気付かないしね。

そういえば今日は平日だったわね

事情を知っている校長先生かクロノス教諭に連絡しないと

瑞貴が寝たきりで心配だから看病しているって

私の成績は良い方だし、多分許してくれるでしょ。

という訳で連絡って

時間は……もう大丈夫よね。

『はい、こちら職員室なノーね』

「あ、クロノス教諭ですか？

天上院明日香です」

『オウ、シニョーラ天上院ですか  
どうかしましターか?』

「はい、瑞貴が昨日倒れたのはご存じですよね?  
昨夜もですが、全く目を覚まさないので心配で……

1人残して何か有っても困ります、ですので一緒に居てあげたいんです

なので今日は学校を休ませてもらえませんか?」

『ムム、確かにそれは心配なノーね

保健室に連れて行ったりは、しないノーね?』

「保健室でも良いんですが、昨日の瑞貴の豹変を見ましたよね?

無いと思いますが、学園で瑞貴があの状態になったらと思うと心配なんです」

『心配な気持ちは分かりますーが……あまり休んでほしくないノーね  
しカーし、事情が事情なので、今回は仕方無いーの

分かりました、今日だけは公休扱いに、しておいてあげるノーね  
でも明日も、シニョール堅守が起きなかった場合、それでもさすが  
にもう公休扱いにしないノーね

それでもいいノーね? わかったノーね?』

「はい、ありがとうございます、クロノス教諭  
瑞貴が目を覚ましたらすぐに連絡しますね」

『それは助かるーの、私も、やっぱり心配してるノーね  
もし、目を覚まさなくTEEも、一応放課後ぐらいに、報告が欲しい  
ノーね

校長も、彼の事は、心配していターの、お願いするノーね』

「わかりました

それでは失礼します」

通信を切る

本当、あの傲慢で差別が酷かったクロノス教諭とは思えないわね  
何が切欠でこんなに変わったのかしら？

良い傾向だからなんでもいいか。

それに、1日だけだけど公休扱いしてくれるのは嬉しい

公休とは別の特別な理由で学校に行けない時に発生する事ね  
例えば部活か何かの試合で授業に出られない時とか

そういう日は授業に出ていなくても、出ていたという扱いになるの  
つまり、私は今日は学校に行かなくても出席日数に影響が無いとい  
う事よ。

あ、そういえば瑞貴はどうなるのかしら？

瑞貴も公休扱い？　じゃないと変よね

だって学校側が今回の事件の根本的な問題なのよ？

そして瑞貴は半ば自業自得とはいえ被害者、休むのは仕方無いわ。

短時間で何度も連絡するのは悪いわよね……放課後の連絡の時にで  
も確認しましょう

もし公休扱いになっていないと言われたら怒ってもいいはずよ  
校長先生に進言するぐらい構わないわよね？

瑞貴は目を覚ます気配はまだ無いわね

マナも眠りっぱなしだし、私は勉強でもしようかしら。

そういえば瑞貴のPC……どんなデータが入ってるのかしら？  
気になる……凄く気になる……瑞貴は起きないわよね？  
ちよっとだけ見せてね、少しだけ見たらすぐに終わるから。

PCを起動させて暫く待つ

パスワード……当然といえば当然ね

あの瑞貴がそれぐらいしていないわけがないし。

色々試してみるか……

k a t a m o r i m i z u k i ……駄目、m i z u k i k a t a m  
o r i ……駄目

m a n a , t e n n j o u i n a s u k a , a s u k a t e n n j  
o u i n , まあ当然無いわね

k a t a m o r i r e i ……無理ね、r e i k a t a m o r i ……  
やっぱり無理。

うーん……手掛かりが少ないのが問題よね

瑞貴といえばというのがそんなに多くないし。

そういえば瑞貴の好きなカードといえば……

a r c a n a f o r c e 0 - t h e f o o l ……通った！？  
瑞貴、貴方<sup>フル</sup>だけF O O Lが好きなのよ！？

ま、まあ開いたのなら良いわ……ヒッ！

なによこの真っ赤なデスクトップ画面！ 血の池地獄か何か！？  
しかも燃えてるし骸骨が沢山転がってるし！

こ、怖すぎるわよ！ 凄く吃驚したじゃない！

心臓に悪すぎる……とりあえずインターネットを開いて隠しましょう  
ブックマークの中には何が入ってるのかしら？

呪術、呪殺、丑の刻参り、呪い藁人形、世界オカルト話……悪趣味過ぎない？

っと、千年アイテムについて？

瑞貴が興味を示す物かしら？　　そういえばタイタンの時に言ってたわね

その偽千年パズルって、という事は瑞貴は千年アイテムについての知識を持っている？

入ってみる

千年アイテムの持ち主に関しては情報が無いわね  
代わりにどんな物なのかの情報は載っているわ。

千年パズル、千年リング、千年タウク、千年首飾り、千年秤、千年錠、千年錫杖  
千年アイテムの持ち主は闇の力を得る、闇のゲームの支配者となる……か

誰が調べ、誰がこの情報を手に入れたかは載ってないわね。

闇のゲーム……闇のゲームの敗者には絶望と死を、勝者には栄光と生を

光と闇は表裏一体、それはすなわち勝者と敗者か。

瑞貴がこんな物に興味を示すなんてね

もしかしてセブンスターズ戦で闇のゲームをしたからかしら？  
なるほど、あの瑞貴が何も考えずに闇のゲームを受けるはずが無いものね

調べてから鍵を受け取ったか……真面目というか用心深いというか。

他のブックマークは……オークション？

そういえばカードを他の所にもちよくちよく売ってるのよね



どんなカードが売られているのか……

モリンフェン、ダーク・キメラ、バロックス、グレード・ビル  
死者の腕、命の砂時計、ドロバ、森の屍、封印の鎖、鎧ネズミ  
カッター・ロボ、氷、コマンダー、サイガー、スコール、アルラウネ

……全部絶版の超古いカードばかりじゃない！  
そんなカードが売れるはずが……って売れてる！？  
しかも高いのは40万にまでなってるですって！？

滅多に見れないような古いカードだけど40万って……  
確かに希少よね、マニアかしら？  
あ、コメントが載ってる……なんて言ってるのかしら？

”ダーク・キメラは弱いけど格好いいぜ！”  
”バロックスは召喚のし難さがロマンだよな！”  
”アルラウネ可愛いよねー”  
”ネズミ好きの俺には鎧ネズミなんて最高だ！”

………なんだ、単なる物好きか  
そういう人でも3万ぐらいは軽く出すのね  
つまりそれだけ貴重なカードという事か。

瑞貴が売り出しているのは全部絶版のカードばかり  
レアカードなんて殆ど無いわね……当時レア度が高かったカードは  
入ってるけど

それでも『守備』封じや『攻撃』封じ、絶版であまり見ないとはい  
え強力なカードね  
強引に表示形式を変更するカードはそう多くないし。

効果モンスターは全く出されてないわね

魔法カードや罠カードもそう多くないし……というか殆ど無いわね。

もういいわ、他にめぼしいサイトは無さそうね

次はファイルでも見てみましょう。

これは何のテキストデータかしら？

試しに開いてみる……カードリスト？

この内容はデッキかしら？

テキストデータのタイトルを見てなかったわね

このテキストデータのタイトルは……神炎皇ウリア！？

という事はこのカードリスト！

………間違い無いわ

ウリアをどれだけ効率よく使うかだけを書いているデッキデータ！

凄い、もしこれをあの時の戦いに使われていたら……

隣のファイルにも眼を通して見る

次は降雷皇ハモン、デッキ内容はウリアと同じようにどれだけ効率

よく使うか

専用デッキにした場合の使い方もカードの名前で大体予想できる。

また隣のファイルのタイトルは幻魔皇ラビエル

専用デッキの内容は……変わらずにラビエルの為だけのデッキか

どうすれば巧く扱えるかだけを追求した、そして戦えるかのデッキ

とてもじゃないけど、どれも相手にしたくないわ。

他のリストは……三幻神？

オシリスの天空竜を使った場合、その力を最大限まで引き出すデッキ

効果はどんな効果だったのかしら？

ドロカードや手札に関するカードが多いから……手札が多ければ有利になれる？

オベリスクの巨神兵を使ったデッキは恐ろしいまでのパワーデッキね  
それでいて展開力が凄い……これらはオベリスクの為の生け贄かしら？

確か三幻神は生け贄が3体必要だったはず、それを考えればこの展開力は納得ね。

ラーの翼神竜は玲ちゃんのデッキに近いわね

こちらでもパワーデッキだけど、スキルドレインが入っていない  
だけど妥協召喚モンスターや特殊召喚パワーモンスターが多い  
どんな効果を持っているの？

ん？ 三邪神って何かしら？

邪神イレイザー、邪神アバター、邪神ドレッド・ルート

こんなモンスターは知らない……三幻神や三幻魔のようなシリーズ  
かしら？

邪神イレイザーのデッキはロックを使った感じのデッキね

ロックをすり抜けられるカードも入っているから、扱い難いモンスターなのかしら？

後は特殊召喚モンスターがそれなりの数ね。

邪神アバター……随分変わったデッキね

あまりパワーモンスターが入っていない

弱小モンスターが多いけど……どうなっているの？

代わりに魔法や罫、破壊回避系のカードがそれなりか……意味が分からないわ。

邪神ドレッド・ルート、また特殊召喚モンスターが多いわね  
やはり生け贄の確保が最重要かしら？

デッキも守備型のカードが多いし、三邪神はどうなってるの？

他にもデッキリストは多いわね

何かのテーマデッキとかも多いわ

ファンデッキとかもかなり考えられている

そういうのが楽しいのかしら？

うーん、めばしいのはこれぐらいかしら？

知らないカードの名前もそれなりに多かったわね。

それにしてもファンデッキやテーマデッキが多すぎるわ

お遊び用のデッキかしら？

勝っても負けてもどっちでも良さそうなデッキばかりだったし  
瑞貴の本命のデッキはどれなのかしらね。

このファイルは？

えっと……OCGデッキ？

OCGって何かしら？

ファイルを開くとまた似たようなテキストファイルが並んでいる

しかも内容が殆ど同じ……中身が違うのかしら？

試しにOCG神炎皇ウリアというファイルを開けてみる

内容がかなり変わっている？     もしかして別タイプのデッキって意味かしら？

あまり多くを覗くのも悪いし、疲れそうだからこれ以上は止めておくわ

それに……気になるけど瑞貴にOCGの事を訊いたら絶対に怒られる  
もしかしたら瑞貴だけが使う自分用の略語かもしれないし。

他にどんなデータが入ってるかしら

記憶……というタイトルのテキスト？

タイトルからして日記か何か？

いったいどんな内容なのかしら？

……駄目、ロックが掛けられている

さすがにもうFOLLは無いはずよね

どんな内容なのかしら？ 凄く気になるわ。

でももう止めておきましょう

これ以上見て、瑞貴の前で内容を言ってしまうなんてミスをしたら  
洒落にならない

今まで見た内容ならまだこのPCじゃなくても一応見る事はできる。

万が一の誤魔化しはそれで通せばいいわね

もう閉じておきましょう、無いと思うけど瑞貴が目覚ましたら困  
るわ

マナが起きて同じ、言われたら私は終わりよ……お仕置きをされ  
る的な意味で。

それにしても、瑞貴はまだ寝ているはずなのに振り返るのが怖いわ  
もしも瑞貴が起きてこちらを見ていたらと想像すると……

でも看病という名目なのだから見ないとならない

恐る恐る振り返ると……やはり眠ったままの瑞貴、良かった。

……

……

……

それから特に何も無いままだったわ

瑞貴の看病と言っても倒れたまま、何も変わらない  
勉強はしているけど、なんだか気になって進まない  
だけど何もしないのも落ち着かない……どうしよう？

あ、放課後の時間になってるわね

クロノス教諭に連絡しておかないと……

『はい、こちら職員室なノーね』

「天上院明日香です」

『シニョーラ天上院でスーか

シニョール堅守の調子は、どうでスーの？』

「何も変わらないままですネ

深く眠っているだけにも見えますが

呼吸をしているだけで……身動きもしません」

『寝相が良いだけなノーか、体が動かないノーか

少し、悩む所なノーね』

「そうなんです……明日は一応学校に行きますね  
期末試験も有りますし、何日も休むのも……」

『分かったノーね

でも、心配なら保険の鮎川先生に、お願いするのもいいの  
その場合、私か校長に言ってくれれば、説明しておくノーね』

「はい、その時はお願いします  
それでは失礼します」

通信を切る……それでもやっぱり心配よね  
瑞貴、お願いだから学園で起きないでね  
状態が分からないと思うと不安だから。

そして何も無いまま夜になる  
相変わらず瑞貴もマナも起きないまま  
でもマナ……本当に起きてないの？  
ずーーーーーと瑞貴に抱きついたままよね。

気のせいか、安らかな顔をしてないかしら？  
この調子なら明日には起きるんじゃないの？  
朝になったら起こしてみようかしら？

今日は殆ど動いてないけど、頭を使ったから疲れたわ  
時間も少し遅いし、今日は寝る事にしましょう。

……………

……………

……

翌朝、時間は……まだ余裕ね  
下を覗いてみるとマナが居ない？  
どこに行ったのかしら？

『サラ、マナがどこに行ったか知らない？』

『……マナだったら瑞貴の影に隠れてるわよ  
明日香の位置からは見えないと思うけど  
下に降りて瑞貴の後ろを覗いてみたら分かるわ』

何故瑞貴の後ろに？

そう思って降り、瑞貴の後ろを覗いてみる。

……恥ずかしそうに頭を振っているマナが居た  
なるほど、目を覚ましたら瑞貴が目の前に居て、精霊状態とはいえ  
瑞貴を抱き枕にしていた  
羞恥が一気に駆け上がり、思わず後ろに隠れた  
そして思い出しては恥ずかしがり……それを繰り返しているのね、  
多分。

『マナ』

『ひゃう……かんひゃ……  
にゃ、ひゃんれひよう！』

囃んだわね……何を言っているのか分からないわ  
大丈夫かしら？ それにしても驚きすぎじゃない？

『おはようマナ』

起きた時の心境を教えてくれない？』

『おひたほきっへ……』

変わらず何を言っているのか分からない  
だけどマナの顔が一気に真っ赤になり、また頭を振って恥ずかしがる  
見てて楽しいわね、瑞貴が苛めたがる気持ちが分かるわ。



暫くそんな感じでマナをからかうからかっている内になんとか舌の痛みも引いたらしく、口調が戻った。

『うう……明日香さん酷い』

『ごめんね、だけどマナの反応が良いから思わず……ねえ?』

『私に話を振らないで  
否定はしないけど明日香、ちょっと悪趣味よ?』

サラに悪趣味って言われた……少しショックよ  
昨日の瑞貴のPCの中身を見て悪趣味と思ったから思わずその内容が……

あんなのと一緒にしないでちょうだい!

『それはそうとマナ  
私は学校に行かないと駄目なのよ  
だから、瑞貴の看病……お願いね?』

『わ、私が!?  
でも……私は精霊だし……』

『大丈夫よ、サラも置いていくから』

『何故私まで!?』

私はマナと違って実体化ができないから役立たずよ!』

『白黒兄さんモノクロへのお仕置きを過激にするわよ?』

『……全力でマナのサポートをするわ

(吹雪さん、サラは頑張ります！

吹雪さんも明日香に負けないように頑張ってください！

もし耐えられたら私と……いえ、これは終わってから言おう)』

最初からそう言えば良いのよ

一昨日の事はまだ怒ってるのよ？

まあ……モノクロ白黒兄さんへのお仕置きはきつくするけどね

お灸を据えないと、あの人は懲りないんだもの。

『じゃあ後はお願いね

私が行ってくるから』

『本当に置いて行かれるの！？』

『うう……まだ覚悟できてないよお』

無視して部屋を出て行く

モノクロ白黒兄さん、覚悟してね？

視点 吹雪

なんとなくだけど、嫌な予感がする

まあそれはさておき、朝ご飯だ朝ご飯と。

ブルーの食事は豪勢で良いけど

レッドのこういう食事も悪くないねえ  
所々失敗しているのはご愛敬  
だって朝食を作ってるのが彼女だし……

「何見てるのよ

文句が有るなら食べなければいいじゃない」

「いやいや、殆ど料理ができない僕からすれば上等な料理だよ  
大徳寺先生の代わりは慣れてきたかい？」

「何で私が管理人なんて……

そもそも、吸血鬼の私は朝方に寝るのが習慣なのよ？  
なのに7時まで起きてるなんて、まったく面倒な仕事よ」

そうなのだ、大徳寺先生……つまりアムナエル失踪の日から  
カミューラは堅守君から管理人をしろと命令されている  
しかも校長先生からも許可を貰っているとか……

料理の腕はイマイチ、味は微妙……それは否定できない  
しかし、それでも何も食べないよりは遙かに助かる  
もし彼女が居なければレッド寮の朝食は抜きだからねえ。

ただ……肉類が好きな彼女の料理は肉の確立が少々高い  
そしてチーズ系や臭いの強い物が大嫌いなのでやはり多少偏る  
僕の好みとはあまり合わないらしい……僕は納豆とかチーズは好き  
なんだけどね。

彼女の仕事はこれだけではない  
管理人というからには色々仕事が多い  
料理だけでなく掃除もしている。

しかし彼女の基本行動時間は夜である  
なので掃除も夜中に行っている

あまり大きな音は立てないが、時々気になる。

彼女は他にも警備の仕事もしている

蝙蝠を使い、夜中に侵入者が入って来ないかという仕事だ  
基本的に学園の外からの侵入を確認している。

侵入者が現れた場合、学園と堅守君に連絡

学園には警備員を配備してもらおう手筈になっているらしい  
堅守君に連絡するのは立場上当然とも言えるだろう。

実は学園も彼女の警備は助かっている

夜中の警備が楽になるからというのが理由の1つ

もう1つが指示が出てくるので動きやすいからだそうだ

カミューラは何気に指揮能力が高かったらしい……蝙蝠を使役して  
いるからかな？

話を戻し、料理の腕だけど

カミューラの腕は本当に微妙な所。

そもそも吸血鬼の弱点である流水は台所では当然の物

なのにカミューラに料理をさせる堅守君はなかなかの非道だろう

しかし、最初はどうしようもなかったらしいが、現在では多少はマ  
シになったらしい

少なくとも触っても我慢できるようになったとか……当然、嫌がつ  
ているがね。

とまあ、やはり嫌なものは嫌

なので水を使う料理は滅多に出てこない  
焼き物や揚げ物を中心としている料理だね。

朝からは少々重いが、それも仕方がない  
彼女が管理人をしている以上、文句を言うとか食べさせてくれないからだ

食べないぐらいだったら我慢するだろう。

現在は料理の勉強中

家庭科の先生に教わったりしているとか……  
カミューラ、君って実は努力家かい？

そう思っただろうが、当然違う

堅守君に命令され、渋々教えを受けている状態だ  
その家庭科の先生の話では、偶に楽しそうな顔になるらしい  
やはりカミューラも女性という事なのだろう。

それとここだけの話、実はレッド生徒で彼女に惚れている生徒が居るとか

カミューラの正体は知っているけど、それでも諦められないらしい  
が、当の本人であるカミューラはその生徒に興味が無い。

幸い、そのカミューラに惚れている生徒

彼は少し料理ができるという話を聞いた

なので僕は彼にこうアドバイスをしてあげたのさ！

彼女は吸血鬼だから流水に弱い

なら君は彼女の手伝いとして一緒に料理をしてあげればいいのさ！  
2人での共同作業……うーん、良いねえ。

とね、これで彼は燃えたらしい

それから数日に1回、彼はカミューラと一緒に料理をしている  
といっても、まだカミューラが管理人になってから10日も経って  
ないけどね。

カミューラの料理は朝と夜の2回

夜は彼女が起き出す時間である19時

それから作るから夜ご飯は大体20時ぐらいになっている。

で、その彼は夜ご飯を作る手伝いをしているらしい

青春だねえ……でもカミューラには全くその気が無いんだけどね  
そもそも、彼女の考えとしては利用できるから利用する程度だし  
つまり、彼は哀れって事……これはちよつと予想外だった。

ちなみに朝は6時前に起きなければならないのであまり手伝えない  
らしい

なので食事内容が朝に重い料理、夜に食べやすい料理と明らかに逆  
転している

元の形で食べたいけど……やっぱり文句は言えないよな。

「ごちそうさまカミューラ

じゃあ僕は学校に行ってくるね」

「はいはい、それよりも私はもう寝るわ

くあ……おやすみ」

カミューラは日傘を差して食堂から出て行った

で、そのあの彼はカミューラが出て行って見えなくなるまでずーっ  
と見ている

微笑ましいねえ、応援したい気持ちは有るんだけど、彼女自身がア

レじゃあ……ねえ？

それよりもそろそろ学校に向かわないと

嫌な予感はあるけど、行かないと怒られる……主に明日香に  
堅守君が知ったら彼だって怒る、サボりは当然ながら許されない。

うう……この飼い犬のような生活から早く抜け出したいなあ

僕もカミューラみたいに早く仕事を見つけないと

まあカミューラは強引に持たされたんだけどさ。

僕にできる事って何かな？

当初は堅守君の指示をこなして彼の世話をするという話だったんだ  
けど

その堅守君自身はあまり指示を出さず、自分の事は自分でするタイプ  
部屋も何故か追い出されてしまったし、僕のする事は殆ど無い。

とりあえず最低限の指示として、学校は休まずに行こう

できるだけ無遅刻無欠席、更に成績も良くしろって言われているしね  
はあ……期末テストか、どうせ出席期日数の問題で卒業できないの  
に受けるのは嫌だなあ

とりあえず、トップ10には入ろう、じゃないと怒られそうだ。

よし、今日も頑張ろう！

明日香や堅守君に怒られない為に！

……でもこの嫌な予感、どうにかならないかな？

僕の勘が学校に行くなと絶叫しているんだけど  
うーん……でも行かないとね！ 怒られるし！

## 60話【起きた人と起きない人】（後書き）

クロノスの口調を切りすぎじゃない？

こんな感じだと思うのですが……確かに読みにくいですね

あの話し方は本当に書き難いです

なのでこんな形になりました……はあ。

瑞貴の出席ってどうなってるの？

クロノスから話を聞いた校長が瑞貴も公休扱いにしました  
自分が巻き込んだのですから当然でしょう……多分。

どんなデスクトップ画面なんだ！？

明日香の言った通り、かなりの悪趣味です。

というか、何故明日香にPCを弄らせたの？

書く事の無さに思わず……

明日香は三幻神の効果を知らないの？

あまり公になるような事では無いと思いました

なので三幻神の効果は非公開情報という扱いにしておきます。

OCGって……それは拙いだろう！

意味が分からない明日香に見られても困りません……多分

そもそも勝手に見られるという事を考えているわけがありません

一応所々にロックはしていますが、基本的にフリー状態です

瑞貴もまさか自分が寝ている間に見られるとは思わなかったでしょうね。

記憶のテキストファイルの中身は？



不明、ご想像にお任せします。

サラの死亡フラグが……

スルーしてあげましょう。

カミューラがまさかの管理人!?

これは結構考えていました

ようやく出せて良かったです。

カミューラと吹雪の好みって？

TF3のドロパンの好みを参照  
攻略ページにて確認しました。

カミューラの料理の腕って……

スルーしてください、適当です。

カミューラに惚れている男子生徒の名前は？

未定、今後は殆ど登場しません……多分。

## 61話【魂一鬱Ⅱ正気】（前書き）

……返事が無い、ただの砂糖のようだ。

という内容ですかね？

そんな内容になっていると思います

今回は色んな意味でなんなんでしょうね？

今話は前話の続きとなっています

次話も今話の続きとなると思います

まだ執筆していないので不明……

次話はまだ余裕そうです

まだまだ日常のターン！ ドロー！ 日常のカード！

ドロー！ 決闘<sup>デュエル</sup>のカード……うわあああああああ！

これの意味、分かりますよね？

多分、次話も日常でその次は決闘<sup>デュエル</sup>を書くと思います。

## 61話【魂一鬱Ⅱ正気】

視点 明日香

お昼休みの時間、さて……呼び出すか  
丁度良く、この場に1人居る事だしね。

「万丈目君、ちょっと貴方に話が有るんだけど  
モノクロ白黒兄さんにも話が有ってね、呼んでくれないかしら？」

「て、天上院君が俺に話！？  
ちよっと待っててくれ！　すぐに吹雪さんと呼んでくるから――  
！」

そう言って走り出す万丈目君  
何だか嬉しそうなんだけど……何か勘違いしてないかしら？  
まあすぐに呼んでくれるんだからいいか。

暫く待つと白黒兄さんモノクロと一緒に来る万丈目君  
2人共、何故か顔がにやけてた……見てて腹立たしいんだけど  
もしかして2人共、全く反省してないとかかしら？

「どうしたんだい明日香、僕達に話して  
もしかして、やっぱり万丈目君の事を……」

「そんな話じゃないわよ……はあ  
ちよっと2人共、そこに正座しなさい！」

「何故!？」

「黙って正座をする！」

いい、今回の事件でね……」

………

………

………

お昼休みが終わるまで説教してやった

2人は無気力になってたけど、それでもかなり加減したのよ？

瑞貴の説教に比べたら天と地ほどの差が有るぐらいなのに……貧弱  
ねえ。

怒った内容は当然ながら三幻魔の切欠の馬鹿騒ぎの事

この2人が暴走しなければ、あんな事にはならなかったかもしれない  
そう考えると怒りが出てくるのは当然とも言えるわ。

お昼ご飯は抜きだけど、私は元々食べられないから関係無いわ

2人だって別に大丈夫でしょう、男の子なんだし

1食ぐらい抜いても平気でしょ？

放課後はすぐに瑞貴の部屋に向かう予定だから今日はここまで

明日のお昼休み、また説教の時間だから楽しみに待ってなさい

勿論、そんな事を言わないし悟らせるような事も言わないけどね。

………

………

………

放課後、さっさと瑞貴の部屋に向かう  
白黒兄モノクロさんは学年が違うから分らないけど  
万丈目君の授業態度は酷かった。

集中力が無く、無気力という感じだったわ  
どうかしたのかしら？ 何かショックな事でも有ったの？  
あの説教程度ではそうなるとは思えないし。

瑞貴の部屋に入ると……修羅場？

「お願いですから落ち着いてくださーい！」

「どう見ても俺は落ち着いてるだろ？  
危ないから早く放せ」

マナが瑞貴にのし掛かり、瑞貴を押さえている  
その瑞貴は振り払おうとしているが、あまり強く抵抗していない  
手に持っている物は……ナイフ！？

「ちょっと瑞貴！  
何でナイフなんて持ってるのよ！？  
起きて早々何をするつもり！？」

「ああ明日香か  
はあ……お前まで邪魔するのか？  
分かった分かった、止めるよ  
だから魔娘も俺から離れろ」

「本当ですか？」

「本当だから……だから離れろ  
ほら、ナイフを置くし掴めないように手も上げておくよ」

瑞貴はベッドの外にナイフを捨て、両手を上げて無抵抗の意志を見せる

暫く信用しなかったマナだったけど、少しずつ瑞貴から離れる  
何が何だか……

「それで瑞貴、目が覚めて良かったとだけ言っておくわ  
だけどナイフを持って何をするつもりだったの？」

「自殺」

「サラッとした怖い事を言わないでちょうだい！  
原因は！？ 理由は！？」

なんでこう……普通のように当たり前のように言うのかしら？  
相変わらず瑞貴の思考回路は意味不明よ。

「さあ？ もう何もかもが嫌になった  
そんな感じだよ……死のう」

そう言ってナイフを拾おうとする瑞貴  
だけど体が動かないのかベッドの下に落ちているナイフまで手が届かない  
更にマナが腕を掴んで止めたのでどうしようもできない。

「はあ……いっそ殺してくれ  
気分は最底辺、自分の存在が馬鹿馬鹿しい  
生きているのが辛い……」

心が簡単に折れすぎじゃない!?

なんでそんなに弱いのかよ!?

不安定過ぎる、保健室に移動させなくて良かったわ……

もし保健室に移動させていた場合……

突然ナイフで自殺しようとする精神異常者ね

病院に搬送されるんじゃないかしら? 当然、精神科の。

いや、こっちでも変わらないけど

目撃者が事情を知っている私で良かったわ……

「瑞貴、危険物はどこに有るのか教えなさい  
刃物、銃など全部よ」

「……どうするつもりだ?」

「没収、せめて正気に戻るまでは渡せないわ」

「俺は正気だよ、気分とかは非常に悪いけど  
もう生きるのが辛い……体が動かないし力が出ない  
何もしたくない、だからせめてナイフぐらいは……」

「駄目よ!」

「……明日香のくせに生意気だ」

これは……相当弱ってるわね

まさかあの瑞貴がここまで弱気になるとは思わなかったわ  
どうしてここまで酷くなってるのかしら?

『サラ、最初から見えていたわね  
瑞貴がこうなった原因とか教えてちょうだい』

『そんな事を言われても……』

瑞貴が起きたのは明日香が戻ってくる少しだけ前よ  
起きてボーツとしていた瑞貴がのんびりとナイフを持って手首に刃  
を移動させたのよ

それをマナがすぐさま止め、ナイフを取り上げようとしたら……後  
は明日香の見たとおりよ

第三者である明日香が来てくれたから留まってくれたみたいだけど  
……』

そのマナは現在、ずっと瑞貴を見張っている  
まだ体は弱ったままなのに、大丈夫かしら？

『そういえばマナの体はどこまで回復しているの？』

『起きて動けるけどそこまで力が入らないみたい  
歩くこともまともにできなかったし……』

まだ殆ど回復していないみたいね  
当然と言えば当然なんでしょうけど……』

問題なのはマナでは瑞貴を押さえきれない所よね  
さっき押さえられたのは多分、同じベッドに居たから  
別の場所に居たら本当に瑞貴は腕を切っていたかもしれないわ。

その時、誰かのお腹が鳴った……わ、私じゃないわよ！  
となるとマナは精霊だし、瑞貴しか残らないわね。



「お腹空いてるのよね？」

「ご飯……持って来ましようか？」

「否定はしないが食欲が出ない  
もういい、俺は寝る」

そう言って布団に潜る瑞貴

「だけどもまたお腹が鳴る……やせ我慢してるだけじゃないの？  
何日も寝たきりだったのよ、お腹が空いて当然よ。」

「はあ……とりあえずナイフを遠くの場所に置いてっと  
次は瑞貴の布団を剥ぐ、そして上着を強引に脱がせる。」

「止めろ、脱げと言うなら自分で脱ぐ  
というか俺だって着替えたい……体は動かないがな」

「だから着替えさせてあげようとしてるんじゃない  
ほら、おとなしくしなさい！」

「いや、頼むから止めてくれ  
もういい、もういいから……」

「何でそこまで嫌がるのかしら？  
何か問題でも有るの？ 別に無いと思うんだけど……」

『明日香、もしかして瑞貴が嫌がっている理由が分かってないの？』

『サラは分かるの？』

『（逆に何故分らないか訊きたいぐらいなんだけど……）  
あのね明日香、貴女は女、瑞貴は男よ  
異性に裸を見られるのは嫌に決まってるでしょ？』

『……あ』

そういえばそうだったわね

横を見てみればマナが顔を赤くしていた  
もしかして想像したのかしら？

瑞貴の裸……って、私まで想像してどうするのよ！

私はそんなつもりじゃないわ！　ただ純粹に着替えさせようとした  
だけよ！

馬鹿馬鹿しい事を想像してるんじゃないわ！

とりあえず上着だけでも奪えたからいいか

それにしても……結構重くない？

何が入っているのかしら？

少し漁ってみると、カードというか……デッキが8個

ナイフが1本、影丸に向けた銃が1丁、妙に重い財布

ハンカチ、隠されていたデッキが4個、飴が大量……何故飴が？

これだけ入っていれば重いのも当然ね

というか、ナイフに銃って……これらまで持って自殺しようとかされ  
なくて良かったわ

もしこれを持っていたらと思うと……うう、想像したくない！

全部遠くの場所に置く

瑞貴はどうでもいいのか、見向きもしない

勝手に上着を漁ったのに何も言わないなんて……

まあそれは後でいいわね

今はっと……

「少しだけ出てくるわね

マナは瑞貴の見張りをお願い

瑞貴も、あんまり暴れたりしないでよ?」

「……早く戻ってくださいね」

「もう何もする気になれない

暴れるなんて考えはもう無いよ……面倒だし」

本気で駄目になってるわね、どうやったら治るのかしら?

とりあえず部屋から出て食堂に……

まだ誰も居ないわね

そういえば誰かに手料理なんて初めてかしら? 家族とか以外には前に瑞貴に渡した事は有ったけど、おまけみたいだったしね。

手料理とは言うけど、所詮卵粥だし

これを手料理と呼ぶにはちよっと……

瑞貴だってこれぐらいなら食べてくれるわよね?

で、部屋に戻る

瑞貴は相変わらずブーツとしていた

何を考えているのか、何を見ているのかも分からないわ。

「瑞貴、お粥を作ってきたから食べなさい

何も食べないと辛いわよ」

「要らない、食欲が無い」

「そんな事言っていないで食べなさい！  
ほら！」

レンゲを差しだし、食べさせようとする  
瑞貴は面倒そうに食べるけど、もう何もかもやる気が出ていなさそう  
大丈夫……じゃないわよね、はあ……

一応全部食べさせてあげたけど、相変わらずの状態  
どこを見ているのかも分からない……そもそも私を知覚しているの  
かしら？  
そう疑ってしまうぐらい酷い状態ね。

「瑞貴……瑞貴！」

「ん？」

ああ明日香か、どうかしたのか？」

呆けてる！？ 本格的に拙くないかしら！？

「な、何か欲しい物とか無い？」

私にできる事だったらしてあげるし……ね？」

「欲しい物？」

「……………何か有るか？」

「私に言われても……」

なら、何かしてあげましょうか？

私にできる事だったらしてあげるから！」

「別に……」

こ……これは酷い

ここまで無気力な瑞貴なんて初めて見たわ！

どうなってるのよ！

『サラ！ 瑞貴はどうなってるの！？』

もう落ち込んでるとか、そんな次元じゃないんだけど！」

『私に訊かれても……憂鬱状態なんじゃない？』

気分が乗らないとか、そういう時も有るでしょ？」

憂鬱……鬱！？

「瑞貴、ちょっとPC借りていいかしら？」

「PC？ 好きにしたらいいよ

パスワードは知ってるか？」

「知っ……いえ、知らないわ」

危ない危ない……もし知ってるなんて言ったら怪しまれるわ  
本来、私が知っているはずが無いんだから！

「arcanaforce0—the fool  
これが起動パスワードだ」

「ありがとね」

やっぱり変よ

瑞貴が自分からP Cのパスワードを教えるなんて……

起動させ……う！

わ……忘れてた、こんなデスクトップだったわね  
すぐさまインターネットに繋ぐ。

検索内容は『鬱』よ

鬱病……病状はそれなりに似ているわね

瑞貴はどの症状かしら……枝分かれしてちよっと判断できないわね。

原因の可能性として最も高いのはストレス

幻魔の力とかを考え、瑞貴の元の性格も考えてみる

カードに支配されて正気を失った……確実に怒るわね、自分に対して  
そんな瑞貴の性格なら多大なストレスになってもおかしくないわ。

そうでなくとも、セブンスターズ戦の時

他にも瑞貴のストレスの溜まるような事は多かった

適応障害、急性ストレス障害、心的外傷後ストレス障害

どれも可能性は否定できない……

これは私だけじゃない、三幻魔復活の切欠である白黒兄さんモノクロと万丈  
目君

瑞貴を連れてきた校長先生、そもそも事件の切欠となった三幻魔に  
セブンスターズと影丸  
全てが悪かった……か。

そして状態は高確率で精神症状、しかもこれはかなり悪いわ  
理由は自殺を考えた、死にたいという発言ね  
現状の精神は最悪……治せるかしら？

とりあえず好きな事をさせてみましょう  
そうすればどんな症状か多少は予想できるようになる  
できれば楽しんでほしいけど……

もし楽しめないのであれば更に状況は悪い  
これは好きな事をしている間だけ、気分が明るくなるという症状  
鬱患者の多くがこれらしいし、できれば瑞貴もこれで済ませてほ  
しいわ  
そうなれば対処もしやすいし……

問題は長期に渡ったの落ち込み期間ね  
治療には約6ヶ月……つまり半年も掛かってしまう可能性が高い  
早くなる可能性も否定できないけど、最悪1年も……

こんな状態で1年……見てられないわよ  
どうにか治療したいけど、そんな簡単にはいかないわよね。

ああ……頭が痛い！ どうすれば良いのよ！？  
とりあえず好きな事をさせてみましょう  
それで少し様子を見れば……

って、私は瑞貴の好きな事が何か知らないわよ！  
デュエル  
決闘で人に嫌がらせをする事！？  
それともお金が貯まるような事をすればいいの！？  
あああああ……分からないわ！

「ねえ瑞貴、貴方の好きなことって何？」

「俺の好きなこと？」

「…………抱き枕を使って寝る事かな  
落ち着くし、安心できるんだよ…………」

抱き枕って…………に、似合わないすぎる！

誰よこれ、瑞貴じゃないわよ！

これが瑞貴の隠された趣味か…………あまり知りたくなかったわ！

でも、この部屋に抱き枕なんて無いわよね？

何かを代わりにしてるとか？

「…………どこにその抱き枕が有るの？」

「ん」

瑞貴の指さす先には…………マナ？

当のマナは顔を真っ赤にして恥ずかしがっている

まさか瑞貴…………昨日の事に関係無く、既に経験済み！？

「瑞貴、まさか…………え」

「そんな事してません！！！」

マナが怒った！？

でも顔が真っ赤、否定できないんじゃないの？

そんな疑いの目を向けていると、マナの顔が険しくなってきた。

分かった、分かったわよ



本当にそんな事はしていないって分かったから  
だからそんなに睨まないで……

「わ、私はただ……その、寝る時に抱きしめてもらったただけだし……  
それにちゃんとそれで寝たのは1回だけだし……  
今日のはその……寝てたからノーカウントで……だから1回だけで  
……その」

「ええ、まだ1回しか一緒に寝てないのね  
それは分かったから落ち着きなさい  
ただ単に抱き枕にされただけなのも分かったわ」

顔を真っ赤にして俯くマナ

あー……また瑞貴の新しい一面を知ったわ  
女の子を抱き枕扱いにするなんて……

でも相手が許可してるんだから良い……のかしら？  
だけど、確か玲ちゃんんの洗脳依存状態だったわね  
なら拒否はしないか……それはそれで良いの？

「……はあ、明日香、俺は寝る  
泊まるなら好きにしろ……魔娘、今日も一緒に寝るか？」

「寝ます！」

もう反射神経のように即座に反応するマナ……本当に1回だけなの？  
瑞貴の横に座っていたマナはいそいそとベッドの中に潜り出す  
そして瑞貴が抱きしめたら抱きしめたで……

「はうあ！」

気絶……前回もそうだったの？  
なら分かってるはずだし、止めれば良いのに……

「また気絶か

抱き枕として影響は無いからどうでもいいけど  
じゃあ明日香、おやすみ」

「え、ええ……おやすみ瑞貴」

瑞貴もすぐに寝始める……やっぱり弱っているからかしら？  
それに時間だってまだ8時になってないわよ？  
別にいいけど……

頭が働いていない状態とはいえ、瑞貴からPCを使う許可は得たわ  
よね？

だったら……覗いても怒られない……わよね？

という訳でデータを漁る

デッキデータ、デッキデータ……有ったわ！

当然だけど昨日と同じ場所ね。

これは……エクゾディアのファイル？

興味有るわ、瑞貴の考えたエクゾディアのデッキ！

どんな内容かしら……って、多いわよ！

何種類考えてるの！？ 10パターン以上有るわよね！？

デビル・コック  
悪魔の調理師？ また変わったファイル名ね

内容は……うわぁ、リクローターばかりのデッキね

私に使ったデッキに似てるけど、悪魔の調理師やコントロールを送

るカードか

使い方は予想しかできないけど、大体分かる……1ターンキル用のデッキじゃない！

便乗……これも変わったタイトルね

中身は相手にドローさせるカード、お互いにドローするカードが多め魔法カードが多く、モンスターカードが戦闘耐性モンスターとエクゾディアパーツしか入っていないわ  
便乗の効果って何だったかしら？ 古いカードだから記憶に無いわね。

生還の宝札……見なくても分かるわ

凡骨の意地ね、これも大体予想できるわね

王立魔法図書館？ ちょっと気になるわ

中身は……魔法カードばかり！？ それにドロー系カードも多いし！  
明らかに1ターンで揃える事を目的にしてるわね。

どれも1ターンキルを狙うデッキばかり

瑞貴はこういうデッキは嫌いって言ってたけど、考えてはいるのね  
絶対に使われたくないわ……

エクゾディア・ネクロス？ 知らない名前ね

うわ！ デッキからカードを墓地に落とすカードばかり！

他には墓地に干渉されないように王家の眠り谷ーネクロバレーまで  
……

どんなカードなのかしら？

あ、またOCGエクゾディア・ネクロスって書いてあるわね  
だからOCGって何？ 内容を見てみると……結構似てる  
多少違いは有るけど、殆ど変わらないわね。

究極封印神エクゾディオス……また凄い名前ね  
デッキ内容は……うわぁ、また変なデッキね  
封印防壁や封印されし者の憤怒、究極封印解放儀式術  
これらのカードなんて知らないわよ？

そして次はOCG究極封印神エクゾディオスね  
今度は随分デッキが違うわね……通常モンスターデッキ？  
他にも高等儀式術とかの通常モンスターに関係したカードが多いわね。

他にもロックと書かれているテキストファイル  
ライトロード、クリッター、未来融合……D－HERO？  
D－HEROって何かしら？ 知らないカード名ね。

試しにD－HEROの中身を見てみる  
トレード・インやデステニー・ドロー、闇の誘惑といったドロー系  
カードが多いわね  
デステニー・ドローは名前で判断したんだけど、それにしてもまた  
魔法カードが多いわ。

D－HEROというのはエクゾディアのサポート用のシリーズじゃないかな  
どこかにD－HEROを使ったデッキも入ってそう  
探してみようかしら？

えっと……検索、D－HEROと  
出てきたわね、へえ……5種類ぐらい出てきたわね  
どれがどんなデッキなのかしら？

ファイルの中身はと……殆ど知らないカードね

あ、E・HEROエアーマンが入ってるわね

そういえばHEROには変わり無いわ、このモンスターも呼べるか使わない可能性が高いけど、一応知っておいて損は無いわね。

試しにHEROで検索してみしよう

他にもHEROが有るかしら……出た、って多いわね！

E・HERO、D・HERO、E・HERO、M・HERO、V・HERO

まさかの5種類……でもE・HEROとM・HEROとV・HEROって何？

それに派生のデッキも多いわね、E・HEROだけでも何種類も有るわ。

E・HEROはと……また知らないカードばかり

だと思ったらフェザーマンやバーストレディも入ってる

よく分からないデッキね……でもダーク・フュージョンなんて名前のカードも入ってる

闇融合？ 悪魔族とか闇属性用の融合かしら？

それにしてもE・HEROのカードばかり、やっぱりよく分からないわ。

M・HEROはマスクと名の付いたカードが多いわね

お面のHERO？ 特撮アニメかしら？

なんだかよく分からないわ……けどエアーマンは入っているのね。

次はV・HEROは幻影とか、幻と名の付くカードが何枚かならVはヴィジョンとかかしら？

こっちもよく分からないけど、やっぱりエアーマンは入っていると。

エアーマンはE・HEROじゃなくてHEROをサーチするカードだものね

他にも破壊効果も使えるし、相変わらず重要な役割よね。

オーシャンも一部入っているわね

オーシャンもエアーマンと同じくHEROの回収モンスターやっぱHEROというのが強力なのね。

他にもアブソルートZEROも必ず入っている

こちらもE・HEROじゃなくてHERO

なるほど、この3体はかなり特殊なモンスターなのね。

『明日香、そろそろ時間も遅くなるわよ？』

『というか晩ご飯の時間、完全に過ぎててもう無いわよ？』

「へ？」

サラに言われて時計をしてみる

時間は……10時！？

晩ご飯どころかもう寝ないと！

『サラ、どうして教えてくれないのよ！？』

『そんな事言われても……』

ずっと考え込んでるし、集中しているから邪魔しないようにって一応数回声は掛けたのよ？』

『う……なら私が悪いわ』

怒ってごめんなさい』

『別にいいけど……お風呂は？』

は！　　そういえばレッド寮にお風呂は無いんだったわ！  
だけど今からブルー寮の自室に戻るのも危ないし……

『明日の朝一に帰って入る事にするわ  
うう……お風呂ぐらい入りたい』

『自業自得よ』

ご尤も、全く反論できないわ  
諦めてさっさと寝ましょう。

『じゃあサラ、おやすみなさい』

『おやすみ明日香』

ふと、瑞貴とマナを見ている  
何だか落ち着いてる顔ね、瑞貴は  
マナの抱き枕ってそんなに良いのかしら？  
もし機会があれば試させてもらうのも……

で、そのマナは絶賛気絶中  
寝ているようにしか見えないけどね  
だけど2時間近くも顔を赤くしていられるのは凄いわね  
もしかして夢の中で何か凄い事にでもなってる？

とりあえず寝ましょう  
おやすみなさい。

.....  
.....  
.....

翌朝、目が覚めた時間は……よかった、まだ6時ね

瑞貴のデッキリストを見て少し興奮してたし

なかなか寝付けなかったから起きられるかちよっと心配してたのよ。

この数日で恒例になった下の様子は……

マナが精霊化してベッドから下りてるわね

しかもまた昨日と同じような状態に……

やっぱり恥ずかしかったのね。

気絶もして、朝もこうなるんだったら止めれば良かったのに  
どうして瑞貴の抱き枕になるって決めたのかしら？

瑞貴の性格なら、断っても怒ったりしないと思うんだけど。

『おはようマナ』

『つつっ！ お、おはよ、おはよう明日香さん』

凄く動揺しているわね

また昨日みたいにからかつちゃおうかしら？

……瑞貴みたいって言われたら落ち込みそうだから止めておきましょう。

『瑞貴の様子は？』

『えっと……うん、大分魂も落ち着いてきたみたい』



これなら今日中には元に戻ってると思うよ』

『魂が落ち着く？』

それに元に戻るって？』

魂って……魂よね？

落ち着くってどういう意味かしら？

それに元に戻るっていうのも変よね。

『魂っていうのは……どう説明すればいいかな？』

私が三幻魔戦の時、魔術を使ってたのは知ってるよね？』

『ええ、瑞貴を落ち着けていたわね』

『あれね、魂を縛る魔術なんだ』

魂を縛られる事により、三幻魔からの影響を小さくしていたのでも、あんまり長時間していたから魂の形が不安定になって……』

『不安定な形だったけど、元に戻ってきた？』

『そうそう、魂の拘束には性格とかにも影響するんだ』

だから昨日はあんな思考になってたの』

でも魂が落ち着いてきたから思考もそれなりに正常になっているよ……多分ね』

最後が余計よ、最後が

でもそんな魔術を使っていたなんて……

『それって危険性は無かったの？』

視線を逸らされた  
やっぱり普通じゃないのね。

『最悪……身体能力や体力の低下  
良くて数日間無気力……かなあ』

駄目じゃない！

まあ、今日中には治っているみたいだから良いけど  
本当に大丈夫かしら？

『あ、疑ってる目ですね  
そりゃあお師匠様であるブラック・マジシャンには及ばないですけど  
私だって一流の魔術師ですよ？』

そう、その言動が信用できないって言ってるのよ  
実力は本物なんでしょうけど……どうも信じられないというか  
帰って自分で確認した方が良いわね。

『じゃあ私は学校に行ってくるわね  
また瑞貴の看病、お願いね』

『早いですね  
いってらっしゃい』

『……私はまた置いて行かれるの？』

サラは置いていくわよ  
マナがパニックになった時に押さえられるから  
大丈夫だとは思うけど、一応……やっぱり心配だから。

学校の前に部屋に戻ってお風呂つと  
それに着替えて、身嗜みも整えて、朝ご飯も食べてつと。

……  
……  
……

省略して放課後

お昼休みは当然、白黒兄さん<sup>モックロ</sup>と万丈目君にお説教よ  
マナのおかげで瑞貴は鬱じゃないって分かったけど、それでも怒り  
は当然彼らに向く

原因はマナだけど、根本的な原因は彼らなんだから。

放課後、今日も泊まるつもりだから先に自室に戻ってお風呂に入っ  
てきた

そして瑞貴の部屋に向かったんだけど……  
部屋に入って見たのはまたも……修羅場？

「お、お願いだから落ち着いてくださーい！」

「邪魔だ！ 俺から下りろ魔娘！」

俺はあんな紙屑なんぞに操られた記憶なんて消したいんだ！  
つうか、俺が動くとき危ないからさっさと下りろ！  
ひっくり返って頭を打っても知らんぞ！」

……何をしようとしているのか分からない瑞貴  
そしてそれを瑞貴の上に乗る、頭を押さえつけてるマナ  
全く違う構図なのに妙にデジャヴを感じるのは何故かしら？

「今度は何をしようとしているの！」

落ち着きなさい瑞貴！」

「チィッ！ 明日香まで出てきたか！  
分かった！ 止める、止めるから下りろ魔娘！  
これ以上暴れないから下りろ！」

疑わしそうな目で瑞貴を見るマナ

瑞貴は溜め息を吐き、両手を上げて何もしないと意志表示をする  
昨日、似たような光景を見た気がするわ。

マナは暫くし、瑞貴から下りる

瑞貴は本当にもう暴れず、おとなしくしている  
だから、何が何だか分からないのよ！

「で、瑞貴は何をしようとしていたの？」

「記憶を消したかったので頭を思いっきり打とうかと」

「サラッと言うな！」

昨日の自殺よりもマシとはいえ、それでもまた酷い  
何度もあるわ、瑞貴の感性には付き合いきれないと……

「理由は？」

「カードなんぞの紙屑に操られた記憶なんぞ、残したくないわ！  
まったく、苛々する……あんなのに支配されるなんて二度とご免だ  
！」

荒れてるわねえ……確かにそういうのって絶対に嫌そうだしね

なまじ、洗脳とかの知識を持っているだけ余計に腹立たしいんじゃないかしら？

「くそ、いくら凶悪という話は有るとはいえ、カードだからと油断し過ぎた

三幻魔のカードめ、もしかた見たらバラバラに切り捨てて本当の紙屑にしてやる！」

三幻魔のカード達逃げて！ 瑞貴は本気で実行する気よ！  
……って、別にバラバラにされても良いんじゃないかしら？  
その方が危険性も下がると思うし。

「そもそも俺は永遠の若さも、世界の覇権も、神に匹敵する力も興味無い！

下らん、そんな物を持っていて何の役に立つってんだ！」

影丸の望みを全否定！？

「なら瑞貴、貴方の欲しい物って何なの？」

「俺の欲しい物？」

特に無いな……それなりに楽しい人生が送れば文句は無いし」

え？ そんなのが良いの？

え、偽物？ 本物はどこに居るのかしら？

「金なんぞカードを売らなくても働けば良いんだし？（利用できるから売るけど）

生活なんて割とどうにでもなるし？（一応、前の人生では1人暮らしで生活してたし）

将来だって不確定なんだから今できる事をすれば良いんだし？（マシになるようにはするけど）  
結婚とかは殆ど興味無いし？（大体、俺を好く物好きなんてまず居ないだろ……小娘を除いて）」

て、適当ね……

それで良いのかしら？

「だから、俺は幻魔の力なんか不要なんだよ  
必要だったら操られてもここまでしないとと思うけどな  
はぁ……自分が情けない」

あ、落ち込んだ

やっぱりショックだったのね……

「ああ、そういうえ言ってなかったな  
今回は面倒を掛けて悪かった、一応は謝っておこう  
詫びと言っては何だが……カードを送ろう  
それで構わないか？ 無論無料だ」

謝ってはいるけど、あまり反省しているようには見えないわね  
どんな考えで謝ったのかしら？

「瑞貴、本音は？」

「……さすがにバレるか  
自分があまりに間抜けだったのが気に入らないんだよ  
それに、これぐらいしておけば一応面目も立つしな」

ちゃんと考えているのね

本気で反省しているわけじゃないみたいだし。

「（まあ……今回の件は反省するべきだな

まさか三幻魔のカードにあそこまでの力が込められているとは……  
今後は本物の曰く付きカードの使用は控えておこう

俺の使うカードは大丈夫だろうが、一応実験ぐらいはしておくべきか？）」

「そういえば瑞貴、体は動くの？」

「体？　あまり動かないさ

松葉杖でも有れば歩けるかもしれんが……暫く学校は休みだな  
はあ……重病人かよ、俺は」

重病人とまでは言わないけど、それでも安静にしているべきよ  
マナの説明では魂にまで負担が掛かったんだからね。

「あ、もうすぐ進級テストよ

勉強とかはどうするの？」

「別に心配されなくても大丈夫だよ

この学園程度の学力なら、一夜漬けでもそれなりの点は取れる  
実技だってそこまで問題じゃないさ」

貴方だから言える事よね、それって  
これならあまり心配は要らなそうね。

「なら瑞貴、晩ご飯はどうする？  
持って来てあげましょうか？」

「体が動かないからな……なら頼もう  
ずっと寝ていたから腹が減っててな」

ずっと？

ずっとって事はもしかして……昨日の記憶が無い！？

「あの、瑞貴？

昨日の事は覚えてるかしら？」

「昨日？ 昨日はまだ寝ていただろうが  
昨日は来なかったのか？」

……覚えてないのね、そうなのね……

これは拙い！ あの状態とはいえ、勝手にP Cを見た事を知られた  
ら……

HEROとかエクゾディア、三幻魔に三幻神、三邪神の名前は出さ  
ないようにしないと！

出した瞬間、私の未来が……終わる！

「な、何でも無いわ

じゃあ持ってくるわねー」

部屋から出て、一息吐く

あ、危なすぎるわ……瑞貴と会話する時には注意しておかないと  
もし昨日の事を言ったら何をしでかすか分かったもんじゃないわ！

食堂に入るとカミューラが……何故？

「あら、何であんたがここに居るの？」



「いや、それは私の台詞

どうしてカミューラが食堂に？

しかもエプロンなんか掛けて……料理？」

ちなみにエプロンはヒヨコのプリント付きの可愛いの

なお、服はどこから手に入れたのか割烹着だった……凄まじく似合わないわね。

「私は少し前からこの寮の管理人よ

瑞貴に命令されてね、だから食事も私が作ってるのよ」

カミューラが管理人って……似合わすぎる！

でも、これで少しは性格が丸くなってくれたら嬉しいわね  
既にかなり丸くなってると思うけど……

「その瑞貴が寝込んでたのは知ってるでしょ？

目を覚ましたから食事を取りに来たのよ

ついでに私の分も貰っていくわね

代わりは白黒兄さんモノクロと万丈目君モンクロのを抜きにしておいて」

「……私は別にいいけどね

ならさっさと部屋にお帰り、私にはまだ仕事が残ってるのよ」

追い出された

まあ晩ご飯は持って来れたから良いんだけどね。

あ、両手が塞がってるわ

どうやって部屋の扉を開けようかしら？

仕方無いので足でノックをする

少し待つと、マナが開けてくれた  
でも……赤ん坊がするようにはいいと移動する  
そんなブラック・マジシャン・ガールの姿はとてもシュールだった  
わ。

部屋に入って晩ご飯を置く

瑞貴は体が動かないんだったわね  
だったら……

「はい瑞貴、あーん」

「やっぱりするのか？」

別にいいけどさ……あー」

看病する時ってこういうのが有るから良いわ  
普段態度が大きいし、立場が上の瑞貴の世話ができるんだもの  
なんだから楽しい。

横を見ると、マナが羨ましそうに私を見ていた  
……もしかして、これがしたいのかしら？

「マナ……する？」

「へ？」

えと……うん、する」

食器と晩ご飯を乗せたトレーを渡す

マナも一応体はそこまで動かないんだけどね  
でも、瑞貴よりは回復が早いみたいだから大丈夫でしょ。

「あ、あ……あーんして……ください」

「恥ずかしいのならしなくても良いぞ？」

「だ、大丈夫です！」

あ、あーん！」

「（この真っ赤になった顔を見れるから俺は良いんだけどね  
こう……健気な感じが良いとか何というか……  
これで洗脳状態じゃなければねえ……それだけが惜しい）あー……」

なんだか恋人同士みたい

微笑ましいというか、バカップルというかね

マナはともかく、瑞貴にはその自覚は無さそうだけど。

『サラ、なんだかこの2人がこうしていると恋人同士みたいね』

『え？ ええ……そうね』

（明日香がする方がよっぽどそう思うんだけど……

これは言わない方が良いわよね？

ここ数日、ちょっと怒りっぽいし……文句とか言われそうなもの）』

恋人か……私にもいつかできるのかしら？

あんまり想像できないけど、まあその時になってからね。

晩ご飯を食べ終わり、食器も食堂に返してきた

お皿洗いをしていたのはレッドの生徒

吸血鬼って確か流水とか苦手だったわね、なら当然か。

部屋に戻るとマナが悶えていた、しかも精霊状態になって

ああ、最後まで頑張れたけど……最終的に羞恥心に耐えられなくなつたのね。

「おかえり明日香、魔娘なら消えたぞ」

「そうみたいね

ねえ瑞貴、泊まってもいいかしら？」

「あー……朝食を取って来て

更に昼飯を持って来てくれるのなら構わんど

礼代わりとしてお前の昼飯代も数日分ぐらい渡す

（心配も掛けたしな……飴にもなるだろうし構わんだろう）」

「ちゃんと持ってくるわ」

それにしても、瑞貴がお礼なんてね

また少し違う瑞貴を見れたわ

ここ数日で瑞貴の色んな面を見れた気がする。

暫く瑞貴と雑談し、遅くなってきたので寝る事にした

なお、マナは瑞貴の抱き枕にならなかったとだけ言っておくわ

何故なら、晩ご飯後から寝るまで羞恥でずっと悶えていたからよ。

大丈夫かしら？ もしこれで抱き枕にされたら……羞恥死？

凄く情けないけど、可愛く思えてしまうから不思議ね。

それはそうと、もう寝るわ

おやすみなさい。

## 61話【魂一鬱Ⅱ正気】（後書き）

万丈目が無気力だった理由って……

明日香に説教されたからです

なお、吹雪も似たような状態だったとだけ……  
亮が少し心配していました。

瑞貴って、結局鬱じゃなかったんだね

鬱の症状とかは調べました、知り合いに鬱になった人も居ますし……  
作者ですか？ なった事が無いですね……いや、なったっけ？  
かなり微妙です、無気力な状態になった経験は有りますが……

何故瑞貴の上着に飴が？

飴と鞭の飴……というのは冗談です

瑞貴は甘い物が好きですので、時々甘い飴を舐めます  
苛々した時、疲れた時には当分は良いんですよ？ 多分。

前に瑞貴に手料理を渡したって……

サラと出会った時の回ですね

サブタイトルは『初めての闇のゲーム』です。

鬱に関しては？

Wikipediaで調べました

『鬱』と検索するだけで出てくる……便利ですよねえ  
瑞貴が鬱だと明日香と同じように勘違いした人、作者の狙い通りです  
嵌ってくれてありがとうございます。

瑞貴の秘密が……

暴露してしまいました

あーあ、作者は知りませんよ。

明日香が瑞貴に言おうとしてマナが否定した内容って……  
ご想像にお任せします。

M・HEROやV・HEROって？  
漫画版、遊戯王GXのカードです。

魂って……

あの世界ならアリじゃないですか？  
細かい事は捏造です。

瑞貴……正気に戻った？  
戻りました。

瑞貴の欲しい物って……  
本音です。

万丈目と吹雪の晩ご飯って……  
本当に抜かれました  
持っていたのは明日香とカムイラが教えました  
2人は涙を流したとか何とか。

## 62話【瑞貴復帰?】（前書き）

……やり過ぎました、作者の暴走再び

これは酷い……アンケート内容を覚えている人はこれは酷いと思います、多分

とりあえず全部完遂しました……?は半分ぐらいですけどね。

この作品って原作なんでしたっけ?

そう勘違いしそうな内容です、はい

次話は決闘デュエルをしますので安心してください  
なんとか軌道修正します。

作者は、これを投稿したら晩飯を食うんだ……

ちなみに本当に食べてません、執筆に夢中になって忘れてました。

次話は……まあ大丈夫でしょう

決闘デュエルでいくので、まだ書きやすいです

どんな内容にしようかなあっと!

## 62話【瑞貴復帰？】

視点 明日香

ふああ……んう、眠いわ

さて、恒例の下覗きつと……瑞貴は寝たまま  
マナはっと、部屋の真ん中でサラと話していた  
何の話をしているのかしら？

『おはようサラ、マナ』

『ん？ おはよう明日香』

『おはよう明日香さん』

『2人で何を話してたの？』

2人は顔を合わせ、視線で会話する  
さすが暗殺者<sup>アサシン</sup>と魔術師、それぐらいはお手の物って事ね。

『『何でも無いわ！』』

そう言われると気になるんだけど……  
私の話かしら？ でもそんなに楽しい話題なんて無いと思うけど  
別にいいか、話の種程度でしようしね。

『（言えない……明日香と瑞貴の恥ずかしいシーンを話していたなんて



何故明日香はもっと自覚を持ってくれないのかしら？」

『（言えない……2人の恥ずかしい話をしていたなんて羨ましいなあ、私もしたいなあ……でも恥ずかしいから無理！）』

2人から視線を感じるけど……何かしら？  
気になるけど、とりあえず瑞貴を起こした方がいいわね。

「瑞貴、もう朝だから起きなさい」

「……ん……あん？」

なんだ明日香か、おはよ」

「おはよう瑞貴

朝ご飯を持ってくるからその間に目を覚ましておいてね」

「おー……」

眠そうな瑞貴に苦笑し、部屋から出る  
朝はそんなに時間が無いから急がないとね。

食堂に入ると数名のレッド生徒とカミューラが居た  
相変わらず似合わないわよ、カミューラ。

「おはようカミューラ、今日も持っていくわね  
昨日と同じく白黒兄さんモノクロと万丈目君から抜いておいてちょうだい」

「勝手にして……ふあ……眠い  
どいつもこいつも、起きるのが遅いわよ  
私の睡眠の為にもさっさと起きて欲しいわ」

カミューラの愚痴も時々聞いてあげるわよ  
でもそれは今度にしてね

じゃあ持つてくから後はお願い。

そう思うけど言わない

カミューラの愚痴は長いから

まるで主婦ね……夫は誰かしら？

瑞貴の部屋に戻り、両手が塞がっているのでまた足でノック

やっぱりマナが出てきた

昨日とは違って立って歩いてたわ。

部屋に入ってマナに朝ご飯を渡す

不思議そうな顔をしていたけど、少し待つと私の意図に気付く  
顔を一気に真っ赤にさせて……そのパターンはもういいわよ。

で、恥ずかしがっていたけど昨日みたいに瑞貴に食べさせるマナ  
瑞貴は瑞貴で何も言わずに食べる

表情は変わってないけど、少しだけ楽しそうね。

食べ終わった後は食器を片付けてくる

相変わらず洗い物はレッド生徒にさせているみたい  
適当な生徒にお願いし、部屋に戻る。

「じゃあ瑞貴、私は学校に行くわね

体の事は校長先生やクロノス教諭に話してくるわ」

「任せる、昼は来いよ

っと、その前に俺の財布を取ってくれ

上着の中に入ってるから」

そういえば入っていたわね

財布を取り出し、瑞貴に渡す

瑞貴は財布を少し漁り……私にお金を渡してきた。

「あの……これ、かなりの量じゃない？」

「知らん、適当に買ってこい

釣り銭はやる、昨日言った礼金分だ」

ちよっ！ このお釣り全部くれるの！？

これだけ有れば……節約して使っても3ヶ月はお昼ご飯に困らない！

瑞貴の金銭感覚が狂っているのは知っていたけど、ここまで酷いとは  
でも言わない、私が得をするから。

「じゃあ後は任せた

俺はもう一眠りする

早く復帰したいからな」

「分かったわ、おやすみ」

瑞貴の部屋から静かに出て行く

うーん……嬉しいけど、後で返せって言われないかしら？

まあ言われたら言われた時でいいわ。

さて、学校に行こつと。

余談だけど、マナは食後すぐに精霊化して隠れた

貴女……どこまで恥ずかしがり屋なのよ？

視点 マナ

明日香さんが部屋を出て行った  
それからこの人はすぐに寝始めた……

この人の事、何て呼ぼう？

名前で呼ぶのは恥ずかしいし、でもどう呼べば良いのか……  
瑞貴さんで良いかな？ よし、練習！

『み……み……きさん』

無理！ やっぱり無理！

いきなり名前から何て難易度が高すぎる！

堅守、確か名字は堅守だったはず！

なら堅守さんって呼べば！

『かた……か、か……りさん』

呼べない！？ 自分で自分に驚いた！

な、何で呼べないの！？

『（マナが突然何かを言い始めたけど……

もしかして、私がここに残っている事を忘れてない？

しかも顔を真っ赤にして嫌々と頭を振って……アホの子？）』

そうだ！ あだ名！ あだ名で呼べばきっと大丈夫！

色んな人の事を色んな名前で呼んでるんだから……良いよね？ 多分。

えっと……魔娘、似非、水色、地底、電池、白黒、モノクロでかいの、豆腐碌な呼び方をしてない……嫌われないのかな？

何人にか嫌われていたように見えるけど、大丈夫？

堅守瑞貴って名前だから……○ッ○ーとか○○ーは？

駄目、絶対に怒られる、下手すれば魔娘よりも酷い名前で呼ばれそう。

思いつかないなあ……やっぱり名前で呼んだ方がいいかな？  
でも恥ずかしいし、いきなり名前で呼んだら何か言われそう  
何勝手に名前で呼んでるんだって……怒られたくないから呼べない。

もしかして手詰まり？

……だ、誰か助けてー！

『（なんだか混乱してるわね、助けた方が良いのかしら？  
でも見てて楽しいし、どうなるか興味が有るわ  
とりあえず隠れてっと……次はどうするの？）』

と、とりあえず頭の中では瑞貴さんって呼ぼう！  
声に出すのは無理でも、頭の中でぐらいいは良いよね！  
うん、それなら知られないし大丈夫……のはず！

……そういえば寝てるんだよね？  
寝てるんだったら何をしてても分からないよね？  
ちよっとだけ……ちよっとだけーね。

精霊状態を解除し、物理的に干渉できるようにする  
少しだけお楽しみタイム……怒られない程度にね？

ほっぺを突つつく、ちよんちよん……起きない  
もう一回、ちよん……なんだか楽しくなってきた  
ちよんちよんちよん、ちよん……ちよつと強くつんつん……

『(楽しそう……私は実体化できないけど  
もし寝ている吹雪さんにつんつんとできたら……  
ちよつと羨ましい、私も実体化できたら吹雪さんしてみたいわ)』

つんつん……つんつんつん、起きない  
好都合だけど、本当は起きてたりしないよね？  
でも楽しいから止められない……つんつん。

「んう……」

「!？」

瑞貴さんが身動きしたのですぐに精霊化！  
吃驚した……でも起きたわけじゃなさそう  
よかった、起こしてたら絶対に怒られてた。

でも……寝ている人が身動きする様子って……なんだか可愛い  
も、もうちよつとしたいなあ  
起きないかな？ 起きないよね？

だ……大丈夫だよねー？ ちよつと怖いけど。

『(恋人同士と見るか、それとも兄に悪戯をしている妹と見るか……  
前者なら凄く恥ずかしいけど、後者なら微笑ましいわね

どっちでも良いんだけど……私は後者として見ておきましょう  
マナの性格からは恋人同士には思えないし』

実体化ー……っと、起きてないですよー？

もう1回チャレンジ！ 今度はまた優しくから！

ちよんちよん……ちよんちよんちよんちよん……

我慢できない、つんつんつん……よし、大丈夫！

今度は別の場所に悪戯！

どこにしようかなっと……耳とか？

ちょっとだけよー、ちょっとだけー

耳朶に触ってみる、柔らかい

くりくりくりくり……

「……んう？」

「!？」

へ、変身！ 精霊化！

これで私の事が見えなくなる！

め、目が覚めちゃったあー！

目を開けて辺りを見回す瑞貴さん

耳を鬱陶しそうに払い、少しボーッとして……また寝始めた。

はあ、はあ……き、緊張したあ！

見られてないよね？ 見られてないよね!？

でも悪戯はちよっと押さえよっと、もっと寝付くまではね。

『（……寝た付いたらまた悪戯する気ね

雰囲気で分かるわ、暗殺者<sup>アサシン</sup>を舐めないでちょうだい！

楽しそうだから少し参加した気持ちは有るけど、瑞貴相手にはちょっと……

怖いし、あまり好きじゃないもの）』

おとなしく待つ事1時間

さ、触りたい……うずうずする……でも我慢我慢！

もし気付かれたら怒られるもん、だから我慢！

『（暇ね……普段だったらマナとおしゃべりでもしてるんだけど今のマナは瑞貴に集中してるし、話しかけるには気が引けるのよねまあソワソワしているマナを見ているのは楽しいけど）』

もういいかな？ もういいよね？

私我慢したよね？ だからもういいよ……ね？

実体化！ そして、突撃！

ほっぺをつんつん……起きない！

ならもう1回耳をくりくりくりくり……起きない！

もつとこしょこしょこしょ……！

身動きされて手を払われた！

でも寝たまま……だったからセーフ！

つ、次は……口に悪戯しちゃおっと

唇をつんつん……反応無し？

いや、そうじゃないと危ないんだけどね。

つんつんつん……はう！



な、な、な、な……舐められた!?  
あうあうあうあうあうあうあう……ぷしゅ

『(あらら……オーバーヒートしちゃったわ  
どうしたのかしら? 唇を突っついていたと思ったら突然……  
気絶はしていないみたいだけど、機能停止ね)』

………は!

危ない危ない、思わず止まっちゃった!  
指を舐められる事がここまでの破壊力を持つとは……恐るべし!

も、もう1回!

そーっと、そー……と……っん  
唇の上に指を置いて待つ、そして少し待つと……  
く、啜えられたー!!

や、やだ……なんだか凄く可愛い!  
だって、私の指を啜えてるんだよ?  
寝ている顔にそんな事まで……可愛く思っちゃうよ!

『(マナ……何をしてるの? 影になって見えないんだけど  
雰囲気から考えてなんだか感激しているような、感動しているよう  
な……

気になるけど、近づいたら気付かれるかもしれないから無理ね  
後で訊けばいいか、恥ずかしがって教えてくれなさそうだけど)』

………はふう、堪能したー  
あ、舐められた指だけど……どうしよう?

み、見られてないよね?

えっと……これは勇気が要るなあ。

じっと自分の指先を見て……咥える！  
ううう……間接キス……もう無理！

『（ちょ！ 何で気絶！？）

また影になって見えなかったんだけど！  
でもどうして気絶したの！？）』

は……恥ずかし過ぎる……

## 視点 明日香

授業が終わり、お昼休みの時間

万丈目君は授業が終わると同時に走り出した  
もしかして私から逃げる為かしら？

今日は元々説教はしないつもりだったからいいけど  
何日かしたらまた説教はするわよ？

油断大敵、束の間の安息を……ね。

さて、購買部に行こうと

瑞貴のお昼ご飯を買わないとね。

何を買おうかな……瑞貴の好きな物は甘い物  
嫌いな物は辛い、苦い、渋いなどと子供舌つと  
普通のでいいか、考えるのが面倒だし。

ついでにちよつとドロパンを……久しぶりね  
何個買おうかなつと、食べきれないけど5個ぐらい買ってみましよう。

少し急いで瑞貴の部屋に向かう

お昼休みは放課後と違って有限

あんまりのんびりしていると授業に遅刻しちゃうわ。

部屋に入ると……マナが部屋の真ん中で倒れてる？

しかも実体化して……どうしたのかしら？

サラも見当たらないし、隠れてるの？

「マナ、起きなさい」

「う、うーん……は！」

目を覚ましたマナは少し動かなかった

かと思つたら突然顔を真っ赤にして……また倒れた  
貴女ね、私が来るまで何をしていたの？

「マナ、気絶してないの

起きるか精霊化するかのどっちかしなさい！」

「あーうー……起きますー」

起きて瑞貴を見て、また顔を赤くする

本当に何をしていたのかしら？

「今から私達はお昼ご飯を食べるけど、貴女はどうする？

一緒に食べるか、それとも精霊化して待ってるか  
もしくは……瑞貴に食べさせてあげる？」

「た、食べさせ……」

（指先が口に当たって、そしてその指を……）ふう」

ちょっと！ だから倒れないの！

何を想像したのよ！？

「で、どうするの？」

「やります！」

「そ……そう」

勢いが凄いわね、別にそこまでの事かしら？

じゃあ次は瑞貴を起こさないと

よく寝てるけど、お腹空いてるでしょ？

「そうだ、マナが瑞貴を起こす？」

「私！？」

どうしてそこまで驚くの！？

まさか私が出ている間に起こしたんじゃないでしょうね！？

「あ……う……」

（起こすとなると名前を呼ぶ？

名前を……名前？）む、無理です！」

つ、疲れるわ、この子の相手

どうしてこんなに瑞貴相手にここまでなったのかしら？  
これが玲ちゃんの洗脳術、恐ろしいわね。

「なら私が起こすわ」

「起きてる、お前ら煩い」

「ひゅい！」

あ、起きてたんだ

それでマナ、その反応は何？

もしかして瑞貴に知られたくない事でもしたのかしら？

「ふぁ……眠う

今は昼休みか？」

「ええ、約束通り来たわよ

適当に購買部で買ってきたから選んでちょうだい」

「ふむ……これとこれに、後はこの2個かな

明日香、これってドローパンか？」

瑞貴が選んだのは普通のパンとおにぎりね

後はサンドイッチと……選択肢は平凡ね。

「そうよ、食べる？」

「冗談じゃない、絶対に食わん

……5個も有るんだったら魔娘に2個ぐらい渡すか？」

「私も食べきれないし、それも良いわね」

瑞貴の顔が何となく邪惡に見えたのは気のせいじゃないと思う  
そしてそれを見て怯えたマナは正常な反応よ。

「な、何ですか？」

「魔娘、これを食べ  
残したら……1日くつつくの無し」

「そんなぁ！

うう……わかりました、食べます  
でもこれって何ですか？」

「中身完全ランダムの運試しパンだ  
何が出てくるか分からないパン、だからドローパン  
ちなみに俺はこういうのを見ると大抵ハズレが出てくるので食わない」

瑞貴は引きおにぎりで連続梅干し  
ドローパンでは微妙、アタリ、明太子という大ハズレを引いたものね  
5回中大ハズレが3回なら嫌にもなるわ。

「瑞貴、でも1個は食べてね  
私だけで3個も食べきれないから」

「俺は食わないと……分かったよ  
その代わり、俺が最初を選んでいいか？」

「どうぞ」

だってそれなら文句を言われる事は無いもの  
何故お前がそれを取った！ とかね  
余り物には福が有る、ってね。

「俺は……これにするかな」

「じゃあ私はこれと、これにします」

「なら残りは私ね」

全員で同時に開け、食べる  
む、クリームパンね、私に取ってはアタリだったわ。

「私はジャムパンでした」

嬉しそうな所を見るとアタリだったみたいね  
瑞貴は……ふ、震えてる？

「か……辛い！ 何だこの辛さは！？  
無理！ 無理だ！ 明日香、飲み物は無いのか！？」

「い、一応水は買ってきてるけど……きゃ！」

ひったくられて一気に飲み始める  
あの……それ私が飲もうと思って買ったんだけど？

瑞貴は半分ぐらい一気に飲み干した  
息が荒いけど、大丈夫かしら？

「瑞貴、なんとなく予想はできるけど……何パン？」

「はぁ、はぁ……と、唐辛子だ！」

しかもかなり激辛の！」

かなりの激辛……幻の唐辛子パンかしら？

私もアレは駄目なのよね、嫌いじゃないんだけど

味自体は良いのよ？ 辛すぎて食べられないだけでね。

「あの……私辛いの大丈夫なんで食べましょうか？」

「よろしく

代わりに残しても罰は無しにしてやる」

「あ、ありがとうございます……」

（間接キス間接キス間接キス間接キス……あう

っと、気絶したら駄目、絶対！）」

瑞貴が罰を撤回するなんて……そこまで辛いのは嫌い？

嫌いなんでしょうね、口の中は大丈夫かしら？

「あ、代わりにジャムパン食べます？」

私の食べかけですけど……」

「食う、辛いのは駄目だが甘いのは好きだし」

「ど……どうぞ

（瑞貴さんが……自分から食べるって

ああ！ 食べた！ 私が食べた所を食べた！



うわああ！ うわああ！ 間接キスされてる！  
自分でするよりも恥ずかしい！」

瑞貴は結構一気に食べてる

甘いので辛い味を相殺するつもりね

でも瑞貴……辛い物を食べたなら舌が麻痺してるんじゃない？

案の定、瑞貴の顔はあまり優れない

予想通り、あまり甘く感じられないみたいね。

2個目はっと……葡萄パンね

これも結構好きだから良かった。

マナの2個目は何かした？

でもまだ1個目のパンを食べてるから分からないわ。

暫く経ち、マナの2個目のパンを食べる。

「あ、パインパン」

嬉しそうな顔、またアタリみたいね

でも瑞貴……この中でたった1個の辛い味を引き当てる貴方が凄いわ  
ジャムパン、クリームパン、葡萄パン、パインパン、唐辛子パン  
本当に辛いのは1個だけだったのに……

そして私自身もなかなか悪くないドローね

唐辛子パンはハズレだけど、残りは割と好きなパン

ドローの実力が上がってるのかしら？

その後は特に何も無く、普通の食事の時間

瑞貴の体も少しは回復しているみたい  
まだ立てるほどじゃないみたいだね。

「瑞貴、今はどれぐらい動けるの？」

「さあ？　とりあえず今は座るぐらいだ  
まだ立てないが……はあ、筋力が落ちるほど動けなくなると困るな  
せめて3日から5日以内には立てるようにならないと」

そういえば長期入院をすると立てなくなるとか

筋力の低下……まだ大丈夫よね

リハビリか、瑞貴みたいな面倒事を嫌う人には向かないわね。

「じゃあ瑞貴、また放課後に来るわね」

「好きに」

ぶっきらぼうで投げ槍な返事ね

だけど、私が来ないと貴方の食事は抜きなのよ？

モノクロ  
白黒兄さんは違う部屋だし、マナを出すわけにもいかないでしょ？

部屋を出て学校に向かう

もうすぐ学園内に入る所でチャイムの音が……ち、遅刻！？  
い、急がないと！

視点 マナ

「さて、俺はまた寝るかな  
……そういえば魔娘」

「何ですか？」

「俺が三幻魔に操られている間  
お前は何をしていたんだ？」

「感情が暴走しないようにしていましたよ  
最後の方は幻魔が出てきたから抑えきれませんでしたけど……」

実力不足、お師匠様だったらできるんだろうなあ  
私はLV6だし、ブラック・マジシャンには勝てないか  
マジシャン・オブ・ブラックカオスだってLV8、勝つのは難しい。

「なるほどね、それである程度冷静にいたれたのか  
まあ、後半はともかく前半は落ち着けただけマシだな  
酷い醜態を晒さずに済んだか、その点は感謝しよう」

瑞貴さんがお礼？  
ちよっと違和感を感じるけど、嬉しいなあ。

『（……瑞貴がお礼？  
凄い違和感、人間としてゲスだけどそれぐらいの礼儀は持っている  
のね  
まだまともな人間だった……よかった、最低の奴じゃなくて）』

「1つだけ何か頼みを聞いてやるよ  
何か有るか？」

「え、でもそこまでしてもらおうのも……」

「俺としてはあの忌々しい幻魔に操られていたという事実が気に入らんのだ

しかも俺のイメージが崩れてしまうハイテンション

幻魔の登場時までかなり押さえられたのはかなり助かった

確かにイメージは壊れたかもしれないがまだマシだ、そう考えたらこれぐらいは構わない

ま、それだけ助かったという事であり、感謝してるって事だよ

（扱いを変える気は全く無いがな、感謝してるだけだし）」

感謝してくれている、それだけで頑張った甲斐が有ったなあ

そして瑞貴さんをお願い事……何にしよう

うーん……うーん……そうだ！

「あの、な、な……名前で呼んでください！」

「却下」

「即答!？」

ど、どうしてですか!？」

「(どうしてと言われてもな……反応を見たかっただけだし

もうこいつの事は嫌いじゃないなあ……しかしこいつは洗脳状態洗脳状態が解けて、それでも俺に憑くというなら名前で呼んでもいいが

解けてない内に名前で呼ぶ気にはならないな)

却下と言ったら却下だ」

なんで……なんで名前で呼んでくれないの？

う、泣きそう……が、我慢我慢！

「あー……もう、泣くな

別に理由も無しに却下するか

条件次第では名前を呼ぶ、だからまだ我慢している」

「ぐす……条件って何ですかあ？」

「(言えないな、洗脳が解けたらなんて

もし何かしろって言ったら実行しそうだから何も言えん  
濁すしか無いか……)

悪いがお前にはどうしようも無い事だ  
諦めて待ってろ」

私が悪いの？ しかもどうしようも無いって何？  
ううう……不安だよお。

「(こいつは……はあ、泣くなよ  
まったく面倒な奴だな、どうやって慰めればいいんだ？  
仕方無い、またこの手段でいくか)」

突然帽子を取られ、抱きしめられた！？  
な、なんでいきなり！？ どうして抱きしめてくれるの！？

「(体が痛い……無理に動くんじゃないかなかった  
しかし泣かれると後が面倒だし、少しぐらいの痛みは我慢するか)」

瑞貴さんはそのまま頭を撫でてくれる  
段々と落ち着いてきた……はあ……至福の一時  
はっ！ 幸せで危うく飛んでしまう所だった！

「（相変わらず抱き心地はそれなりに良し  
もう少し小柄な方が抱きやすいのだけが惜しいか  
やっぱり小娘の方が抱き枕としては上等だな  
ま、それも子供の時までか）」

あう……落ち着いてきたら恥ずかしくなってきた  
あの、いつまでこのままなんですか？  
嬉しいけど、恥ずかしい……

「（ん？ 泣き止んだか  
抱き心地が良いからもう少し堪能したいが、もう止めておくか  
慣れられて赤面を見れなくなるのは惜しいからな）」

「あ……」

解放されちゃった……なんだか寂しい  
そういえばまだお願いしてなかった、何にしようかなあ。

「まだ決められないんだったら保留にしてもいいぞ  
お前が覚えている限りは有効にしてやる」

「なら保留にします  
悩んでいるんで……」

良かった、焦って適当な事を言いそうになった  
いざという時にお願いしよつと  
それまで、大事にこの権利は取っておく！

「くあ……俺はまた寝るぞ」

どうも体が睡眠を欲してるみたいなんでな」

「あ、はい

おやすみなさい」

瑞貴さん、寝るんだ

また悪戯しちゃうかな……

「……入るか？」

「入ります！」

悪戯よりも一緒に寝る方が大事！

抱き枕扱いでもいい！一緒に寝る事に意味が有る！

「お、おじゃましまーす……」

瑞貴さんの布団に潜り込む

恥ずかしいなあ、嬉しいなあ……暖かいなあ。

抱きしめられた！

だ、大丈夫……さっき抱きしめてもらったから大丈夫！  
気絶はしない、絶対にしないんだから！

……暫く経つと瑞貴さんが寝ちゃった

ね、寝息が……寝息が当たってるううう……

もう、もう無理……耐えられない……

## 視点 明日香

放課後、学園長とクロノス教諭に瑞貴の事を話した  
目は覚ましたけど、幻魔の影響か体が動かないと説明しておいた  
今はまだ立てないけど、多分1週間ぐらいで復帰できると思う  
そう伝えておいた。

学園長は心配し、復帰したら謝っておくと言っていた  
クロノス教諭も安心したらしく、ホッと一息吐いた  
やっぱり心配だったのね。

瑞貴の世話は私がすると言っておいた

異性なんだからと言われたけど、看病には慣れていると言っておいた  
モノクロ  
白黒兄さんにも手伝ってもらおうと言ったので大丈夫だと思うわ。

そして瑞貴の部屋の前

入ると……マナ、いい加減にそのパターンは止めたら？

またマナは部屋の真ん中で悶えていた

しかも精霊状態で……私には見えるだけに凄くアレよ  
見ていて恥ずかしいわ、ちょっとは落ち着きなさい！

瑞貴は……寝てるわね

よく寝る事、それだけ魂への影響は強かったのかしら？  
それとも疲れてる？

晩ご飯の時間までは放っておく事にした  
暇だったけど、その間はマナと話す事にしたわ。



内容は……女の子だけの秘密よ

ヒントをあげると……やっぱり教えられないわ。

時間も良くなったので晩ご飯を取りに行く

相変わらずの似合わないエプロンカミューラ

そんなカミューラを無視し、晩ご飯を持って部屋に向かう。

後は昨日と殆ど変わらないわ

違いは瑞貴が自分でご飯を食べた事ね

マナが少し残念そうにしていたのが印象的だったわ。

その後は昨日と同じ

また雑談をし、時間になったので寝る。

………

………

………

そんな事を繰り返す事3日

瑞貴の体が大半回復したみたい。

立つ事ができ、走るほど体力は戻ってないけど歩けるようになった

後何日かは体力回復をする為に休みたいだけだね

それでも2、3日で完全復帰できるそうよ。

進級試験までには間に合うし、大丈夫でしょうね

進級試験まで後5日、ギリギリね……

ちなみに、進級試験までにはあの面目謝罪を終わらせるつもりらしいわ

そしてそれを進級試験前に終わらせる理由が悪い  
自分を嫌っている人の動揺を誘う為だって……

人に寄っては気分を高揚させ、調子に乗らせて勉強に集中できなく  
させる

卑怯ね……精神的に攻撃するなんて  
でも、それは引っかかる方が悪いのよ。

私はそれを知っても無干渉  
自分に矛先を向けられたくないものね。

その前に私も勉強しないと……  
瑞貴も完全復帰まで勉強するみたいだし  
私も油断してられないわ。

なお、もう私の世話は要らないみたいだから瑞貴の部屋に通うのは  
止めたわ

何故かあの部屋で寝ると安心して寝られるのよね  
それを失ったのはちよつと残念……

それにマナと話すのも楽しかったし  
瑞貴の世話をするのも悪くなかったわ  
介護とかの勉強もしてみようかしら？

っと、その前に今は進級試験ね  
勉強勉強っと。

## 62話【瑞貴復帰?】（後書き）

サラとマナが話していた2人の恥ずかしいシーンって？  
記憶から掘り返してください。

もしかして万丈目と吹雪の食事って……

瑞貴が復活するまで全食朝夜抜きでした

今後は馬鹿な真似を止めようと話し合ったとか話し合っていないとか  
……

絶対に止めないでしょうね。

名前も呼べないマナって……

あー……何故かこうなりました。

○ッ○ーと○ーって？

瑞貴の名前から連想してください  
作者からは言えません。

サラってずっと何してたの？

覗きをしていました

ちなみに、マナはサラの存在を忘れていました  
何故なら……まあそういう事です。

瑞貴のドローパンの運って……

チートドロー以外ではドロー運が無いようです  
というか、瑞貴は基本的に不運な人です。

瑞貴は本気でマナに感謝してるの？

微妙……一応感謝はしていますがそこまででも

褒美は実際に助かったので妥当だと思っていますが、簡単な意見しか聞く気ありません。

最後の瑞貴の件について

さすがに合計で5日もすれば回復したそうです  
描写をしない理由ですか？

それをすれば後3話は使うので止めました  
次話の内容では進級試験前日辺りになります  
ですのでほぼ完治しています。

### 63話【進級テスト クロノスVS隼人】（前書き）

ふう……割と楽に終わりました

時間も多少余裕が残り、安心して投稿できました。

今回はタイトル通りの内容ですね

詳しい事は秘密です、だってつまらないですしね。

ちょっと色々と詰め込んだ内容になっています

フラグとか、フラグとか、フラグとか

どれがどのフラグかって？ それは秘密でしょう。

どうでもいい話

ちよつと腕が痛くなってきました

キーボードを打つ時の格好が悪いんでしょうか？

作者の腕の筋や筋肉は大丈夫なのか……

まあ拙いと思ったら更新停止でしょうね、まだ大丈夫ですが。

次話は大丈夫でしょう

決闘内容にする予定なので日常より遙かに楽です

ただ、カード効果や名前を調べるのに時間が掛かるだけで……

Wikiは夜がよく処理が遅くなるのが問題ですね、それが困ります。

## 63話【進級テスト クロノスVS隼人】

視点 瑞貴

完☆全☆復☆帰……と、言いたいがまだ完全じゃないな  
とりあえず体力は回復してきたが、体が弱っているのがネックか  
まあ大丈夫だろう、俺がするのは試験ぐらいだしな。

後は一応という感じで、面目ぐらいいは立てないとな  
似非、水色、でかいの、電池、地底、豆腐、白黒、クロノス教諭、  
一応明日香にも  
一応という感じだが、まあ良いだろう。

おっと、あそこに見えるは主人公グループか  
あまり付き合おうと面倒そうだし、適当に流すか  
俺からは話しかけないがな。

「お、瑞貴じゃん  
体はもう大丈夫なのか？」

「似非か、完治はしてないが体力は回復したからな  
今日から復帰する事にした」

「……どうせだったらもっと休んでたらよかったのに」

小声で言ったつもりだろうが、聞こえてるぞ水色  
俺を嫌ってるのは分かるが、そういう事を口に出すのは関心しないな  
気持ちは分かるが、頭で考えるまでに留めておけ。

「迷惑費だ、取っとけ」

そう言ってカードを投げつける

それぞれ受け取り、カードの内容を見る。

「俺の知らないカードだ……良いのか？」

「迷惑費って言っただろう？」

お前らが持っていないカードをやるんだ

要らないなら返せ、当然新しいカードはやらんがな」

「いや、ありがたく貰っておくぜ  
サンキューな！」

似非の礼を無視して学校に向かう

ちなみに、あの戦いの活躍相応のカードを渡している

当然、似非にはそれなりに強力なカードだが、逆に水色のカードは  
かなり酷い。

お、次に見つけたのは電池と白黒モノクロ

あいつら2人はそれなりに頑張ってくれたし、このカードぐらい渡  
すかな。

「よう電池、入金の確認はしておいたぞ」

「なんだお前か、支払いは当然だろ  
で、何の用だ？」

「やあ堅守君、体の方はどうだい？」

「それなりだな、一応無事だ

あと、これは迷惑費だ、このカードを渡しておく  
それに電池、この前売ったカードもやるよ、ついでだ」

モノクロ  
白黒と電池にカードを渡す

こいつらならそれなりに使えるだろう。

「……ふん、ありがたく貰っておいてやる」

「悪いね、僕達が馬鹿な真似をしたっていうのに」

「別にもう怒ってない、オカルトを再認識したぐらいだ  
じゃあ俺は他の奴にも渡さなければならんのでな」

そう言ってさっさと先に行く

さてはて、どう扱う事やら……っと、あれは地底か

あいつのデッキはよく分からなかったからな、かなり適当だ。

「地底」

「ん？ 堅守か……っと！」

振り返った瞬間にカードを投げてやる  
なんとか受け取り、カードを見る地底。

「幻魔の時の迷惑費だ

お前なら使えるんじゃないか？」

「……ありがたく受け取っておこう



体の方はどうだ？」

「さあな、とりあえず授業に出れるぐらいは回復した  
お先に失礼する」

少し速歩きで先に行く

残りは明日香と豆腐、クロノス教諭の3人だな  
前者2名はブルーだから遠いな……後でいいか  
クロノス教諭は教室の授業後でいいだろう。

……………

……………

……

授業中、でかいのが校長室に呼ばれていたが無視  
クロノス教諭には既にカードを渡したぞ？  
残りは明日香と豆腐だが……

昼休みになったらさっさと行方不明になりやがった  
という訳で暇だったので豆腐の居る3年の教室に来てみた  
豆腐豆腐……居ないな、食堂か？

食堂に向かう途中で豆腐を発見  
向こうも俺に気付いたのか、こちらに来る。

「堅守、頼みが有る」

「俺に頼み？ まあその前にこれを渡しておく  
この前の迷惑費だ、使うかどうかはお前の好きにしな」

「別に構わないのだが……このカードは!？」

ふ、やはり驚いたか

他の奴ならともかく、お前には特別なカードだろう？

その驚く顔の為に態々探してやったんだ、ありがたく思え。

「要らないのなら返せ」

「いや、戴こう」

「で、頼みって何だ？

受ける気は殆ど無いが、話ぐらいなら聞いてやるぞ」

豆腐は暫く黙っており、少し経ってから話し始める。

「俺の……卒業決闘デュエルの相手になってくれないか？」

「嫌」

「……即答か、何故だ？」

何故って、嫌だから嫌だと言ったんだろうが

というか、卒業決闘デュエルって何さ？

「そもそも、卒業決闘デュエルって何さ？」

「卒業決闘デュエルとは、卒業生が在校生と決闘デュエルする事だ

もし、俺が卒業試験でトップならば、俺にその決闘デュエルをする権利が与えられる

そしてその決闘デュエルの相手を決める権利もな」

「俺と……決闘をしたいと？」  
デュエル

「そうだ、お前と戦いたい  
だから俺は今、本気で勉強をしている」

「ご苦勞な事で……しかし、何故俺なんだ？」

「アニメでは似非だった気がするんだが……というか、それしか考え  
られんな

「だって主人公だし、こいつ学園最強と言われてたんだし。」

「理由を教えろ」

「理由か……そうだな

俺がパーフェクト決闘者デュエリストと呼ばれているのは知っているか？」

「一応な

「どこがパーフェクトなんだか果てしなく疑問だが」

「そうだ、俺もつい最近

パーフェクト決闘者デュエリストと呼ばれる事に疑問に持ち始めた」

「嫌味だったんだが……流されたか  
しかし自分の呼び名に疑問だと？」

「パーフェクト、つまり完成されている決闘者デュエリスト  
では訊こう堅守、完成されている決闘者が存在すると思うか？」

「居たら怖いっての、どこの完璧超人だよ  
人間なんだから完成されて堪るか、そんな奴が存在していたら引く

気持ち悪いって意味でな」

というか、こいつは何が言いたいんだ？

回りくどい奴だ、さっさと言え。

「その通り、しかし俺はそれに気付かずにはいた

パーフェクトからは成長できないと、向上するという心を忘れていた  
そして慢心していた、俺が負ける事は無いと……俺は強いと

そう心のどこかで思っていたんだ」

慢心ねえ……俺だってしないわけじゃ無いんだがな

それに、俺はこの世界では強くても元のあの世界ではそんなに強くない

戦い方に問題が有ったとしてもだけど……な。

「この前の三幻魔の事件

カミューラに負けたのはお前の差し金だったと理由が有った

しかし幻魔に操られたお前に……大敗した」

カミューラの件って……単にダシに使っただけなんだが

まあ伏せカードが気になるが、実際に勝つのは難しかっただろう  
幻魔の扉……いや、もういいか。

V S 俺の時の事か、確かに大敗だな

しかも水色が自爆するモンスターを残したのはこいつだし  
もう少し頑張っただけ良かったが、まあ最終的に勝てたんだからいい  
だろう？

「俺はあの後色々考えた

そして出た結論……それは堅守、お前と決闘する事だ」  
デュエル

「いや、意味が分からん  
ちゃんと途中を省かずに説明してくれ」

「俺はお前に負けた事で反省した  
傲っていた自分を、天狗になっていた自分を、調子に乗っていた自  
分をな

過去を振り返ってみれば、なんと傲慢な事か……胡座を掻いていた  
だけだった

それでは負けて当然だろう」

黙って聞いてやる

こいつ……実は豆腐じゃない？

「俺は変わりたい、俺はもっと強くなりたい  
しかしその切欠が思いつかなかった……たった1つを除いてな」

「なるほどね、俺が気付いた切欠  
ならば進化する為の切欠も俺になるんじゃないかと思った……か？」

「そうだ、お前の性格はある程度知っている

お前に嫌われているだろう、俺からの頼みは受けてくれないだろう  
とは思っていた

だから他に手段が無いかと何日も頭を悩ませたが、思いつかなかった  
堅守、お前が俺を嫌っている事は承知している……だが頼む、俺と  
デュエル  
決闘してくれ」

俺が嫌っている事は承知の上か  
しかし目立つのは嫌だ、となると……

「お断りだ」

「そう……か」

悪かったな、嫌な事を頼んで」

「が、別の日にだったら考えてやってもいいぞ？」

「何？」

意味が分からないという顔をしているな

あのな、俺だって馬鹿じゃない、お前がどれだけ悩んだかはある程度予想できる

正直言うと思いつき切り捨ててやりたいが、それではあまりにも哀れ

別に哀れでも良い気がするが……最近、自分が丸くなった気がするな。

「その卒業試験の結果が出た夜

港に来い、相手をしてやるよ……当然ギャラリーは無しだけだな」

「っ！ 感謝する」

そう言って帰る豆腐

もし俺を苦戦させたら豆腐から亮に昇格してやるよ

勝てたらカイザーとでも呼んでやってもいい……させないけどな。

「瑞貴」

後ろから声が聞こえた

振り返ってみると明日香……覗きか？

「何の用だ？」

「いえ、珍しいなと思っただけよ

面倒事が嫌いで、気に入らない事は容赦無く切り捨てる  
そんな貴方が何故、亮の挑戦を受けたの？」

この様子だと、全部見られていたみたいだな

別に問題は無い、他の一般生徒に見られるよりはマシだ  
明日香の場合、口止めさえしておけば話は広がらないからな。

「気紛れが理由の1つかな  
それに……はぁ」

俺は頼まれると断れないタイプなんだよな

命令や指示だったら平気で断るが、頼まれると断れない  
この半端に甘い部分はどうかして更生したいな。

完全に切り捨てられるようになるか、逆に甘くなるかで  
どっちつかずで中途半端、なんだか嫌だな。

「それに？」

「何でも無い、しかし明日香

お前が見に来るのは構わんが、他の奴には話すなよ？  
知ってると思うが俺は目立つのが嫌いだしな

噂にでもなったら面倒だ」

「はいはい」

おい、なんだその仕方無い子だなあって笑いは  
抱き枕にするぞ！ 別にしなくてもいいんだけど。

.....

.....

.....

翌日、テストも無事に終わったのだが……

「おい」

「ごめんね瑞貴

彼から頼まれたから……ね？」

ね？ じゃない！

しかもその彼ってのが……でかいのかよ！  
何故俺を呼ぶように明日香に頼んだ！

「なんでも、貴方と何度も戦って自信が付いたんだって  
自分の今の実力、見て欲しいそうよ」

「まったく……迷惑な奴め

あいつの実力なんて俺にはなんの興味も無いっての」

が、俺が渡したカードをどう扱うかは興味がある  
それにより、この2人の強さが変わる

俺が動いたのはお互いに渡したカードだけ  
でかいの、クロノス教諭、お前らはどう変わった？

似非がでかいのの応援をしているが無視



俺が見たいのは内容だけだ……元々見る気は無かったがな。

「決闘！」<sup>デュエル</sup>

「先攻は、シニョール前田に譲るノーね」

「なら俺のターン、ドロー」

俺はモンスターをセットして、ターンエンドなんだな」

おいおい、手札が5枚も残ってるのに伏せカードは無しか？

確かに古代の機械達には罠はあまり効果が無い

それでも伏せる事に意味が有るんだぞ？

せめて1枚でも伏せておこうぜ？ 魔法カードでもブラフにはなるんだし。

「私のターン、ドロー」

私は磁力の召喚円LV2を発動！

このカードの効果により、手札のLV2以下の機械族モンスターを

特殊召喚するノーね！

私は手札の古代の歯車を守備表示で特殊召喚するノーね！」

こつちも割と普通だな

問題は磁力の召喚円LV2に対応する古代の機械は古代の歯車と古代の機械砲台しか居ないって事だな

もう1種類ぐらい欲しいが……出てこなかったんだから仕方がない。

「更に古代の歯車の効果を発動するノーね」

古代の歯車が自分の場に存在する時、古代の歯車を手札から攻撃表示で特殊召喚するノーね！

そして私はフィールド魔法、歯車街を発動するノーね！」

お、早速渡したカードを使うか  
となると手札には既に……

「何だ、あのフィールド魔法は……」

「クロノス先生、あんなカード持ってたっけ？」

「（私達の知らないカード……瑞貴がクロノス教諭に渡したカードはあれかしら？  
クロノス教諭に渡したとなると、教諭に相応しい効果のカードでしょうね）」

「このフィールドカードの効果は  
アンティーク・ギア  
古代の機械を召喚する時に必要な生け贄が1体少なくなるノーね！  
よって私は、攻撃表示の古代の歯車を生け贄に捧げ、アンティーク・ギア  
レム古代の機械巨人を召喚するノーね！」

出たか、クロノス教諭のエースモンスター  
攻守共に3000という謎に堅い上、貫通効果に魔法罨封じ  
俺に取ってかなりの天敵なモンスターだ。

今後もこの人を相手にしたくないね  
魔法や罨と封じられ、貫通までされたら負けるかもしれん  
別に負ける気無いが……とりあえず勝つのは難しいんだよな。

アンチをすれば良いんだが、知らないで戦いたい相手じゃない  
ギア・タウン  
歯車街も渡したし、尚のこと戦いたくないな。

アンティーク・ギアゴーレム  
「古代の機械巨人で攻撃！」

アルティメット・パウンド！」

でかいのの伏せモンスターは……デス・コアラか  
デス・コアラのリバース効果、それは相手の手札の枚数×400の  
ダメージを与える  
クロノス教諭の手札は1枚、よって400のダメージとなる。

アンティーク・ギアゴーレム  
しかし古代の機械巨人は貫通効果を持っている

相手の守備力よりも攻撃力が上回っていれば戦闘ダメージを与える  
……

デス・コアラの守備力は1800、よって1200のダメージだな。

「俺のターン、ドロー

ユーカリ・モールの守備表示で召喚

更にカードを1枚伏せ、ターンエンド！」

「私のターン、ドロー

ギア・タウン  
歯車街の効果発動！ アンティーク・ギア 古代の機械を召喚する時、生け贄が1体少な

くなルーの！

アンティーク・ギア  
私は場の古代の歯車を生け贄に、2体目の古代の機械巨人を召喚！」

おうおう、本気だねえクロノス教諭

ギア・タウン  
いくら歯車街の補助が有るとはいえ、たった2ターンでこの状況に  
するとは

アンティーク・ギアゴーレム  
しかも古代の機械巨人は特殊召喚ができないモンスター、それを2  
体も出すとはな。

「バトル！ アンティーク・ギアゴーレム 古代の機械巨人でユーカリ・モールに攻撃！」

ユーカリ・モールの守備力は1300、よって1700のダメージ

となる

デス・コアラの時と合わせて合計ダメージは2900か  
これは拙いかな？

「ただでは終わらないんだな！

ユーカーリ・モールの効果を発動！

ユーカーリ・モールが戦闘で破壊された時、デッキからコアラと名の  
付くモンスターを特殊召喚するんだな

ビッグ・コアラを召喚！」

が、攻撃力は2700

ちよっと足りなかったな……伏せカードは何かな？

この状況だと、何か隠し持ってそうなんだが。

「ならば、アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人でビッグ・コアラに攻撃するノーね！」

破壊され、300のダメージか……どこまで頑張れるかな？

態々俺を呼び出したんだ、無様な姿を見せたらあのカードは返して  
もらうぞ。

「罨カード、獣道を発動するんだな！

獣族モンスターが戦闘で破壊された時、デッキからLV4以下の獣  
族モンスターを手札に加える！

俺はデッキからデス・カンガルーを手札に加えるんだな！」

ビッグ・コアラとの融合に必要なモンスターか

しかしまだ足りない……クロノス教諭を甘く見ない方がいいぞ？

しかし……この古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムには魔法罨封じ効果は持ってないの  
か？

OCGでは封じたんだが……もしかしてアニメ途中でエラツタされた？

よく分からん、まあアニメ内で効果が変わるのは時々有るから仕方無いんだがな。

「これで、ターンエンドなノーね」

「俺のターン、ドロー！」

手札から魔法カード、コアラの進行を発動！

墓地と手札のコアラと名の付く同名モンスターを特殊召喚するんだな！

俺は手札と墓地からビッグ・コアラを特殊召喚！」

しかし、この状況を脱するにはもう一手必要だ  
どこまで頑張れるか見せてもらおうじゃないか  
楽しい娯楽だ、飽きさせるなよ？

「更に速攻魔法、百獣大行進を発動するんだな！

このターンのエンドフェイズ時まで

場の獣族モンスターの攻撃力は自分の場の獣族モンスターの数×2  
00だけアップするんだな！

俺の場に獣族は2体、よってビッグ・コアラ達の攻撃力は400ポ  
イントアップするんだな！」

これで2体のビッグ・コアラの攻撃力は3100

アンティーク・ギアゴーレム  
古代の機械巨人の攻撃力を上回った

ちよつと拙いんじゃないの……クロノス教諭？

「ビッグ・コアラ達で、古代の機械巨人達に攻撃！  
アンティーク・ギアゴーレム

必殺、ダブルユーカー・ボム！」

アンティーク・ギアゴーレム  
2体の古代の機械巨人は破壊され、クロノス教諭には合計で200のダメージ

さあ、どう動くのかな？ 実技担当最高責任者のクロノス教諭。

「ターンエンドなんだな」

「私のターン、ドロー」

手札から強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドロースするノーね！

更に天使の施しを発動！ デッキから3枚ドロースし、2枚を捨てる

……

アンティーク・ギアファクトリー  
そして魔法カード、古代の機械工場を発動！

アンティーク・ギア  
手札から古代の機械と名の付くモンスターを選択する

アンティーク・ギア  
そしてそのモンスターの倍のLVになるように墓地の古代の機械と名の付くモンスターをゲームから除外

選択したモンスターはこのターンに限り、生け贄無しで召喚できるノーね！

アンティーク・ギアゴーレム  
ほお、この状況でドロースしたのか……最後の古代の機械巨人を

そして天使の施しの効果を使ったのはそのカードを使う為かな？

アンティーク・ギア  
なんとも厄介なモンスター達だ……やっぱり古代の機械達は嫌いだ。

アンティーク・ギアゴーレム  
「私はが選択するのは勿論、古代の機械巨人

アンティーク・ギア  
そして墓地の古代の歯車を2体、古代の機械兵士、古代の機械巨人を除外！

LVは2と4と8なノーね、さて問題、 $2+2+4+8=$ いくつなノーね？」

アンティーク・ギアゴーレム  
合計は16、よって古代の機械巨人の召喚が可能となる

あと……どうでもいいけど校長、あんた何しに来たんだ？  
鬱陶しいから消えてくれないかねえ？

「16……なんだな」

「そう、出でよ！ アンティーク・ギアゴレム 古代の機械巨人！  
アンティーク・ギアゴレム 古代の機械巨人、ビッグ・コアラに攻撃なノーね！」

破壊されるビッグ・コアラ  
さーて、どう動く？

「私は最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドなノーね！」  
動きが止まったな……どうかしたのか？

「……隼人君の残りライフは500だあ」

「状況は圧倒的ではないが、かなり不利だな」

「あいつにしては頑張ったが……ここまでだ」

水色、地底、電池がもう終わったとの宣言  
俺もそれは思わなくもないが……それはどうかな？  
あいつの手札にはデス・カンガルーが残っている  
もし融合をドローできればあるいは……

しかしそれも夢物語

クロノス教諭の伏せカードがかなり気になる  
もしあのカードが罠カードだったらでかいのは更に不利になる  
そしてもしリミッター解除だった場合……終わりだな。

「いや、隼人の目はまだ死んじやいないぜ！  
気張れ隼人ー！ 気張れー！」

煩い奴だな……お前は！

そして触発されて叫び出す校長を含む馬鹿共

俺は当然叫ばないが……明日香、小さい声で応援してるな  
微妙に鬱陶しいぞ。

「……この1年間、みんなに教わった事が有るんだな  
それはどんな決闘デュエルでも楽しいって事なんだな！

こんな楽しい決闘デュエルができるだけでも、去年落第した時、辞めなくて  
よかったんだな！」

へえ……あいつ落第してたんだ

俺はあいつの想いよりもそっちに驚いた

どうやって落第したんだ？ 俺はそっちの方が疑問だ。

「自分で、自分の限界は決めないんだな

（あいつにはそれを思い知らされた……俺の力を見てくれ！

俺は、お前との戦いで強くなったんだ！）」

ん？ 今こっちを見たか？

気のせいかな、俺の事を嫌ってるんだし

変な奴だな……やっぱり主人公勢だからか？

「俺のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動！ デッキから2枚カー  
ドをドローするんだな！

（この2枚は！）俺は手札から融合を発動！ 場のビッグ・コアラ  
と手札のデス・カンガルーを融合！



マスター・オブ・OZを融合召喚するんだな！

そして更に、エアーズロック・サンライズを発動するんだな！

自分の墓地から獣族モンスターを特殊召喚、俺はビッグ・コアラを特殊召喚するんだな！

更に自分の墓地に存在する獣族、植物族、鳥獣族モンスター1体につき、相手モンスターの攻撃力は200ポイントダウンする！」

でかいのの墓地にはデス・カンガルー、デス・コアラ、ユーカーリ・モールの3体

アンティーク・ギアゴーレム

よって古代の機械巨人の攻撃力は600ダウンし、攻撃力2400  
おいしいクロノス教諭、ちょっと拙くないかい？

例えリミッター解除でも攻撃力は4800までしか上がらない  
って、別に問題無いか、マスター・オブ・OZの攻撃力は4200  
だから余裕で勝てる。

「更にフィールド魔法発動！ クローザー・フォレスト！  
新たなフィールド魔法によって、ギア・タウン歯車街は破壊される！」

あーあ……破壊しちゃったか

これでお前の負けは決定したよ……でかいの。

そして発動の順番を間違えたな

クローザー・フォレストを先に発動し、エアーズロック・サンライズを発動していれば良かった

ギア・タウン

それなら歯車街の効果で特殊召喚されるあのモンスターの攻撃力も下がったのにな。

「このフィールド魔法の効果は、自分の墓地に存在するモンスターの数だけ

自分の場に存在する獣族モンスターの攻撃力が100ポイントアップする！

俺の墓地にモンスターは3体、よって攻撃力は300ポイントアップするんだな！」

ビッグ・コアラの攻撃力は3000、マスター・オブ・OZの攻撃力は4500

頑張ったが……やっぱり残念だったな。

「シニョール前田、確かに貴方は強くなった

(1年前、ドロップアウトボーイだった貴方が、どんな気持ちで頑張ってきたノーか  
想像するに余り有るノーね)

しカーし、ギア・タウン歯車街の効果は生け贄を減らすだけじゃないノーね！」

「え？」

そう、ギア・タウン歯車街の効果はそれだけじゃない

お前はクローザー・フォレストを発動しなければ勝てなかったとは思う

だがそれがお前の敗因にもなるんだ。

「このカードが破壊された時……デッキ、手札、墓地

アンティーク・ギアこれらあらゆる場所から古代の機械と名の付くモンスターを特殊召喚できるノーね」

「でも、クロノス教諭の最強モンスター、アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人は特殊召喚できないわよね？

アンティーク・ギア次に攻撃力の高い古代の機械獣だつて特殊召喚できない効果を持つ  
アンティーク・ギア他に出せる古代の機械は古代の機械兵士ぐらいじゃ……」

「正解だよ明日香、しかし知識が足りないな  
単体ではあまり機能を発揮できないが、それでも強力な古代の機械アンティーク・ギア  
が存在するとしたら？」

しかも、特殊召喚に制限の掛けられていない……な」

「「「強力な古代の機械！？」」「」」」

「（まさか瑞貴、そんな厄介なカードまでクロノス教諭に渡したんじゃない！）

そして隼人君のあのフィールド魔法、あれも知らないカード  
あれも貴方が与えたカードなのね！？）」

「私はデッキから特殊召喚するノーね！

出でよ！  
アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
古代の機械巨竜！」

現れる機械でできたドラゴン

そう、俺がクロノス教諭に渡した2枚目のカードだ  
ギア・タウン

歯車街だけだと2つ目の効果をまともに使えないからな……事故率  
は上がると言っておいたんだが入れたか

アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
そして古代の機械巨竜は攻撃力3000の強力なモンスターだ  
お前じゃ勝てない……かな？

「攻撃力……3000のモンスター！？」

「そうなノーね

ちなみに、エアーズロック・サンライズの効果を受けてないから攻  
撃力は元の3000のままなノーね」

「だけど、まだマスター・オブ・OZの方が強いんだな！

おれは更に魔法カード、野性解放を発動！

この効果で獣族モンスターの攻撃力を守備力分アップさせるんだな！俺はビッグ・コアラに効果を発動！ 攻撃力を2000アップさせるんだな！」

あ、馬鹿！ 考えが分かるだけに馬鹿と言わせてもらう！

こいつ、もし決められなかった時の為、マスター・オブ・OZを残す為に使いやがった！

どうせどっちも倒せると思って早まったな！

機械族を相手にする時に最も警戒しないといけないカード

リミッター解除の存在を忘れてやがる、忘れていなければマスター・オブ・OZに使用するはずだ

アンティーク・ギアガジェルドラゴン

そして古代の機械巨竜に攻撃、リミッター解除を使われても勝てる更にビッグ・コアラは攻撃しないで待つ、エンドフェイズ時にクロノス教諭のモンスターは全滅

手札が0枚のクロノス教諭が攻撃力3000のビッグ・コアラを倒す手段は殆ど無い

そのまま勝てたかもしれないのに……馬鹿が！

「マスター・オブ・OZで、アンティーク・ギアガジェルドラゴン古代の機械巨竜に攻撃！」

「(素晴らしかったノーね……できる事なら、貴方の攻撃を受け  
て、このまま負けてあげたいノーね

しカーし、進級テストに私情を挟む事は……できないノーね!)」

クロノス教諭の雰囲気が変わった、動くか！

「よし、これで決まりだ！」

「黙れ水色、逆の意味で決まりだ」

「え？」

「速攻魔法、リミッター解除を発動！  
リミッター解除は、自分の場に存在する機械族の攻撃力を、2倍にするノーね！」

「攻撃力……6000!？」

たった1つのミスだったな  
前のミスを補えるチャンス、お前はそれを捨てた  
このミスが無ければお前は勝っていたかもしれない  
しかし、お前は肝心で重大なミスを犯した……残念だったな。

これ以上見るのも忍びない  
手札0、伏せカード0枚のでかいのには勝ち目は無い  
じゃあな……隼人。

俺は立ち上がり、決闘場から出て行く  
デュエルフィールド

明日香は気付いていたが、他の奴には気付かれなかった。

……  
……  
……

「で、何でお前がここに来てるんだ？  
それと明日香、部屋の鍵を返せ」

「ちゃんと返すわよ」

でも、最後なんだから隼人君とちゃんと話してあげて？」

俺の看病の時に使っていた鍵を返された  
まったく……こいつも何しに来たんだ？

「別れる前に、1つだけ言いたかったんだな」

「……なんだよ」

「俺と何度も戦ってくれてありがとうなんだな  
お前の事は嫌いだけど、強くなれた事には感謝してるんだな」

「本人を前にして堂々と嫌いと言えるのは良い事だと思うぞ？  
だが、俺は何もしていない  
お前が勝手に強くなったんだろうが  
礼を言うなら筋違いだ、さっさと失せろ」

明日香に苦笑された……照れ隠しとかと思ったのか？  
お前まで苦笑するな！ 殴るぞ！

「あ、このカード……」

渡されるのはクローザー・フォレスト  
しかし忘れたのか？ これはお前にやったカードだぞ？

「これはもうお前のカードだ  
要らないんだったら返してもいいが……必要じゃないのか？」

「珍しいわね、貴方が気に入った人以外に希少カードを渡すなんて」

それ、自覚して言ってるのか？

気に入った人ってのに自分が入ってるって……  
いや、こいつは確実に分かってないな。

「もし昨日の決闘デュエルであまりに無様な負け様を見せられれば奪ってでも返してもらったさ

が、最後のミス以外は悪くなかった、それなら大丈夫だろうと……な  
けどあまり見せびらかすなよ？ 本当に希少なカードなんだから  
それに俺からだというのも言うな、この条件を呑むなら好きにしろ」

「わ、分かったんだな

ありがたく貰っておくんだな」

「明日の見送りはしない

ほら、さっさと出て行け隼人  
そして二度と俺の部屋に入って来るな」

「今名前で……」

「出て行けって言っただろうが！」

隼人を強引に追い出し、扉を閉める  
たく……本当に二度と来るなよ！

「クスクス……」

あ、明日香を追い出し忘れた  
何笑ってやがる……

「おい明日香」

「ごめんなさい、でも瑞貴が隼人君を名前で呼んだ事がおかしくてね  
どういう風吹き回し？ 貴方が名前で呼ぶなんて珍しいじゃない」

「別に、最後ぐらいは名前で呼んでやろうと思ったただけだ  
どうせもう会わないだろうしな」

「そう……かもね」

場が少ししんみりするが、俺は別に何とも思わない  
警戒する相手が1人減ったので嬉しいぐらいだ。

「明日香、今日は気分が良いから泊めてやってもいいぞ  
晩飯はカミューラの微妙な料理だけだな」

「あら、瑞貴から誘ってくるなんて珍しいじゃない  
なら泊まらせてもらうわ、でも確かにカミューラの料理は微妙よね  
……」

そんな雑談をしながら残りの時間を過ごす  
後は進級テストの結果、そして豆腐との約束か……  
ま、なるようになるか……どんなデッキを使ってやろうかなつと。



### 63話【進級テスト クロノスVS隼人】（後書き）

瑞貴がそれぞれに渡したカードは？

秘密です、その内登場するでしょう。

亮が……

豆腐じゃないって？

はっはっは、それは今後次第ですね。

瑞貴はそんなに古代の機械アンティーク・ギアと戦いたく無いの？

瑞貴は魔法や罠を多用して戦うタイプです

当然、攻撃封じのカードなども多く使用しています

なので攻撃時に魔法、罠を封じる古代の機械アンティーク・ギアは天敵なのです。

瑞貴が隼人に渡したカードは？

クローザー・フォレストだけです

スピリチュアル・フォレスト  
神聖なる森にするか、幻獣の角にするか迷いました

しかし、結局このカードにしました……ギア・タウン歯車街の為ですね。

瑞貴がクロノスに渡したカードは？

ギア・タウンアンティーク・ギアガゼルドラゴン  
歯車街と古代の機械巨竜です

ギア・タウン歯車街だけではちよつと足りないと思って渡したのですが……

何故瑞貴は最後に明日香を誘ったの？

1つは気紛れです、もう1つはなんとなくです、最後の1つは思いつきです

とりあえず、瑞貴が考えている警戒する相手が減ったのが大きな理由ですね。

## 64話【瑞貴VS亮 前編】（前書き）

と、いうわけでこの2人の決闘<sup>デュエル</sup>です  
前編に疑問を持つでしょうか？

色々理由が有り、今回は2回に分ける予定です  
さすがに3回の予定は……無いですね。

アニメ効果の未来融合とOCG効果の未来融合がややこしいですね  
どうにかできないんでしょうか……面倒な事です。

今回は今までで最高の数字を出します！

うーん……普通はやっぱり無理ですかね？

OCGでこの数字を出した人は凄いです。

次話は十中八九間に合います

既に半分以上は書き終えているので

このままストックができるぐらいになれば良いんですが……難しい  
ですね。

## 64話【瑞貴VS亮 前編】

視点 瑞貴

試験の結果が出たと豆腐から連絡が来た  
どうやら本当にトップになったらしい  
仕方無い、今夜は動かないとな。

夜の港……既にそこには豆腐と明日香が居た  
お前らって仲が良かったか？  
まあ明日香が名前で呼んでるんだから仲はそれなりに良いか。

……気に入らない奴とお気に入りとの仲が良いのはちよつと気に食わない  
手加減、止めようかなあ？

「来たか、堅守」

「少し遅かったわね瑞貴」

「俺はまだ完治してないんだが……  
まあいいけど」

俺達はお互いに見つめ合う  
雰囲気はあまり良くないだろうが、関係無い。

「行くぞ堅守！  
俺はお前に勝つ！」

「来いよ豆腐、相手になってやる  
泣いて逃げるなら今の内だぞ！」

お、雰囲気が悪くなったな、怒ったか？

それが目的なだけだね……こいつは嫌いだが  
本当に扱い易いぐらい馬鹿だ！

デュエル  
「「決闘！」」

視点 明日香

不安ね……瑞貴は亮の事を嫌ってるもの  
亮としても、あまり瑞貴に良い印象を持ってない  
荒れなければ良いんだけど……難しいかしら？

「先攻は俺が貰ってやるよ、ドロー  
俺はサイバー・ラーバアを攻撃表示で召喚する」

サイバーモンスター！？

まさかあのデッキは亮のコピーデッキじゃ！  
それに攻撃力400を攻撃表示って何のつもり！？

「それは俺のコピーデッキ……いや、違う  
俺はそんなサイバーモンスターを知らない  
サイバー・エルタニンと同じように特殊なサイバーモンスターか」

「さあ？　どうだろうな

俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ  
攻撃力400を出してやったんだ、さっさと倒せよ」

瑞貴は全く話す気が無さそう

そして亮を挑発する、何が目的なのかしら？

「俺のターン、ドロー

俺は……」

「おっと、罠カード発動

永続罠、サイバー・サモン・ブラスターだ

機械族モンスターが特殊召喚される度に効果が発動

相手に300ポイントのダメージを与える

お得意のサイバー・ドラゴンを特殊召喚したらどうだ？

もっとも、特殊召喚したら300のダメージを受けるがな」

また挑発、300ポイントぐらいならそこまで怖くないけど

お互いに機械族デッキ、もしかしたら一気にライフが減る可能性も  
有る。

瑞貴の挑発に亮の顔が歪む

結構不機嫌ね、この2人って相性が悪そうだし。

「俺は……サイバー・ドラゴンを特殊召喚する！

サイバー・ドラゴンは相手の場にモンスターが存在し、自分の場に  
モンスターが存在しない時、特殊召喚できる！」

やっぱり特殊召喚したわね

そもそも亮のデッキはサイバー・ドラゴンを中心としたデッキ

特殊召喚の種類は豊富であり、多い。

「サイバー・サモン・ブラスターの効果発動

機械族が特殊召喚された事により、相手に300ポイントのダメージを与える

だが、俺はその効果にチェーンし、こいつを特殊召喚する  
出てこい！ サイバー・ダイナソー！」

「な！？ 新たなサイバーモンスターだと！？」

今度は機械でできた恐竜！？

そしてこの状況で特殊召喚ですって！？

どんな効果を持つてるのよ！？

「このサイバー・ダイナソーは相手が特殊召喚した時に効果を発動する

このモンスターを特殊召喚できるという効果をな

さあ、更にサイバー・サモン・ブラスターの効果がチェーンして発動される

サイバー・ドラゴンと、サイバー・ダイナソーの2体分のダメージを受ける！」

サイバー・サモン・ブラスターの機械からレーザーが亮に向かって放たれる

これにより、亮は600ポイントのダメージを受ける。

そして瑞貴の場には攻撃力2500のモンスター  
ちよっと拙いかもしれないわね。

「クッ、サイバー・ドラゴンでサイバー・ラーバアに攻撃！」

エヴォリユーション・バースト！」

簡単に破壊されるサイバー・ラーバア  
攻撃力差は1700、瑞貴に大ダメージのはずんだけど……

「サイバー・ラーバアの効果発動

このモンスターが攻撃対象になった時、このターンに発生する自分  
への戦闘ダメージを0にする

更にこのモンスターが破壊された時、デッキからサイバー・ラーバ  
アを1体

自分のデッキから特殊召喚できる……出てこい、サイバー・ラーバ  
ア！」

そんな厄介な効果を持っていたのね！

しかもサイバー・ラーバアは特殊召喚された、つまりまた！

「サイバー・サモン・ブラスターの効果発動

機械族が特殊召喚されたので再び300ポイントのダメージを受け  
ろ」

再びサイバー・サモン・ブラスターからレーザーが放たれる  
300のダメージ、合計は900ポイントのダメージね。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー

カードを1枚伏せ、サイバー・ヴァリーを攻撃表示で召喚」

今度は攻撃力0のモンスター……何を考えているのかしら？  
それに、最初にカードを伏せた理由も気になる

サイバー・ヴァリーというモンスターに何か関係が？

「サイバー・ヴァリーの効果を発動

このカードと自分の場のカードをゲームから除外する

これにより、デッキからカードを2枚ドロウする

俺はサイバー・ヴァリーと、今の伏せカードをゲームから除外し、  
2枚ドロウ」

手札交換ね

でも通常召喚を捨ててまでドロウするかしら？

瑞貴の性格から考えて、もっと効率を……

「サイバー・ダイナソーでサイバー・ドラゴンに攻撃！」

サイバー・ダイナソーによって弾き飛ばされ、破壊されるサイバー・  
ドラゴン

サイバー・ダイナソーの攻撃力は2500、これで亮は更に400  
のダメージを受ける

そして瑞貴の場にはまだサイバー・ラーバアが残っている！

「サイバー・ラーバアでプレイヤーに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「うっく……」

また400のダメージを受ける亮

合わせて800、総計1700のダメージになる

思った以上にサイバー・サモン・ブラスターが邪魔ね。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」



「俺のターン、ドロー！」

サイバー・ドラゴンを手札から特殊召喚！

更にリバースカードオープン、永続罠カード、リビングデッドの呼び声！

墓地からサイバー・ドラゴンを特殊召喚する！」

「ならば俺も罠カード、誘発召喚を発動しよう

相手が特殊召喚した時に発動、お互いのプレイヤーは手札からLV4以下のモンスターを特殊召喚できる

俺は手札からサイバー・フェニックスを守備表示で特殊召喚だ

手札に無いなら召喚できないし、手札に有っても召喚しなくてもいいなお、この特殊召喚は同時扱いなのでサイバー・サモン・ブラスタ

ーの効果は1回しか発動しない

既に俺は特殊召喚すると宣言している、お前が特殊召喚してもしなくてもダメージは変わらない」

「俺は……俺も手札からサイバー・フェニックスを特殊召喚する！」

サイバー・ドラゴンの特殊召喚、リビングデッドの呼び声、更に誘発召喚

これでまた亮に合計900ポイントものダメージを……

「サイバー・サモン・ブラスタの効果発動！

特殊召喚は3回、よって900ポイントのダメージを受けろ！」

「ぐううう！」

これで亮の残りライフは1400

それに対して瑞貴はダメージを受けて無い！

「俺は……プロト・サイバー・ドラゴンを召喚！」

このモンスターが場に存在している時、このモンスターの名前はサイバー・ドラゴンとして扱う！

更に速攻魔法、フォトン・ジェネレーター・ユニットを発動！

自分の場のサイバー・ドラゴン2体を生け贄にして発動！

俺はサイバー・ドラゴンと、プロト・サイバー・ドラゴンを生け贄に捧げる！

デッキ、手札、墓地からサイバー・レーザー・ドラゴンを特殊召喚できる！

俺はデッキから、サイバー・レーザー・ドラゴンを特殊召喚！」

「サイバー・サモン・ブラスターの効果だ！

再び300ポイントのダメージを受けろ！」

また亮のライフが減った！

瑞貴は完全に亮のデッキを把握している！

このままだと……亮はダメージも与えられずに負けてしまう！

「くう……サイバー・レーザー・ドラゴンの効果発動！

このカードの攻撃力以上の攻撃力か守備力を持つモンスターを破壊する！

俺が破壊するのはサイバー・ダイナソーだ！」

サイバー・ダイナソーの攻撃力は2500、この効果で破壊できるわ！

だけど問題は瑞貴の場のモンスター

サイバー・フェニックスは良いとして、サイバー・ラーバアが厄介過ぎる！

どうすれば良いのかしら……ダメージは与えられないし。

「サイバー・ドラゴンでサイバー・フェニックスに攻撃！」

「守備表示なのでダメージは無い

そしてサイバー・フェニックスの効果発動

破壊された時、デッキからカードを1枚ドロースる」

「サイバー・フェニックスでサイバー・ラーバアに攻撃！」

サイバー・ラーバアは破壊される

しかしデッキからまた特殊召喚された！

「サイバー・ラーバアの効果により、戦闘ダメージは受けない  
そして破壊された事により、デッキからサイバー・ラーバアを特殊  
召喚

サイバー・サモン・ブラスターの効果発動により、再び300ポイ  
ントのダメージだ！」

これで亮の残りライフは800、本当に拙くなってきた！

亮、この状況で勝てるの！？

瑞貴ももっと手加減したらどうなの！？

「サイバー・レーザー・ドラゴンでサイバー・ラーバアに攻撃！

これでサイバー・ラーバアは最後だ、よって特殊召喚は無い！」

そうね、それに瑞貴の場もサイバー・サモン・ブラスターしか残っ  
ていない

これなら次のターンの総攻撃で勝てる……かしら？

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー  
サイバー・ヴァリーの効果により、除外された異次元からの宝札の  
効果発動

このカードが除外された次の自分のスタンバイフェイズ時、このカ  
ードは手札に戻る

そしてこの効果でこのカードが手札に戻った場合、お互いのプレイ  
ヤーはデッキからカードを2枚ドローする」

瑞貴の手札が3枚から一気に7枚まで……

瑞貴は必ず何か仕掛けてくる、亮に耐えられるかしら？

「……つまらん」

え？

「何？」

「つまらないと言ったんだ

何がパーフェクト決闘者だ、何がカイザーだ  
デュエリスト

いくら強化コピーデッキを使っているとはいえ酷い  
永続罠1枚にここまで踊らされるお前はなんだ？」

それは……否定できない

亮はサイバー・サモン・ブラスターの効果だけで2400ものダメ  
ージを受けている

いくら瑞貴が誘ったからといっても、ダメージを受けすぎよ。

「何よりも……お前、やる気が無いのか？」

「そんなはずは無い！」

俺はお前と戦う為に……その為にあの日から努力したんだ！」

「違うな、お前が頑張ったのは俺と戦う為じゃない  
自分が変わりたいから俺を利用しているだけだ  
どんなに言い繕うとも、お前は……自分の為にしか努力できない」

瑞貴、何を言いたいのか？

亮は何を知らせようとしているのか？

「そんなお前が相手をリスペクトする決闘デュエルをする？

笑わせるな、お互いに全力？ 馬鹿馬鹿しい、勝つ気が無いように  
しか聞こえんな  
つまり相手に対して手加減してやっている……そう言っているよう  
にしか思えん」

「そんな事は無い！」

俺はどんな相手にも全力で向かっている！」

「ならお互いに全力なんて言葉は出てこない  
全力を尽くすのなら、相手の全力なんて無視し、全てを掛けて敵を  
倒す

それが本当の全力を出すという事だ」

「巫山戯るな！ それはただの弱い者苛めだ！  
俺がしたいのはそんな事じゃない！」

「弱い者に勝って何が悪い、お前はそうやって相手を見下してるん  
だよ！

弱い相手だろうが、全力を持って倒す……それが戦いという物だ！  
今、俺がそれを見せてやる！ 俺のターンの続行！ カードを1枚

伏せ、手札抹殺を発動！

お互いのプレイヤーは手札を全て捨て、捨てた枚数だけドロースする！」

瑞貴の手札は6枚、亮の手札は2枚

お互いに手札交換をする……

「次は魔法カード、苦渋の選択を発動！

俺はデッキからカードを5枚選択し、相手に公開する！

相手はその5枚の中から1枚を選択し、俺はそのカードを手札に加える！

それ以外のカードは全て墓地に送られる！

俺が選ぶカードは……この5枚だ！」

瑞貴が選んだカード……

サイバー・ドラゴン、プロト・サイバー・ドラゴン、サイバー・フエニックス、サイバー・エルタニン、サイバー・ウロボロス

最後のカード以外は知っているカードね、どれもモンスターカードまさかまたカオス・ネクロマンサーを狙っている？

いえ、それは無いわね

このデッキにカオス・ネクロマンサーを入れる必要性が無いものだとしたらサイバー・エルタニン？ でも炎属性や闇属性も入っている上に自身も入っている

瑞貴の目的は……何かしら？

「ならば、サイバー・フエニックスを手札に加えろ！」

「ふ、何でもいいさ

手札から魔法再生を発動、墓地の魔法カードを手札に加える！

俺が手札に加えるのは……苦渋の選択！

再び苦渋の選択を発動！ デッキから選ぶのはこの5枚だ！」

サイバー・ドラゴン・ツヴァイが3枚、サイバー・ドラゴン、プロト・サイバー・ドラゴン

最初のサイバー・ドラゴン・ツヴァイというカードは知らないわね。

「なら……プロト・サイバー・ドラゴンだ！」

「俺は手札にプロト・サイバー・ドラゴン加える

まだだ、手札から魔法カード、天使の施しを発動！

デッキからカードを3枚ドロ―し、2枚を捨てる！」

瑞貴のデッキが一気に減っていく

これで残りのデッキ枚数はたったの6枚、大丈夫なの？

「俺はプロト・サイバー・ドラゴンを召喚！

知っているだろ？ 場に存在する限り、このモンスターはサイバー・ドラゴンとして扱う

そして……リバースカードオープン！ パワー・ボンド！

機械族専用の融合カード！ 更に速攻魔法、サイバネティック・フュージョン・サポート！

ライフを半分払い、このカードを融合素材の代わりとする事ができるこの融合に使用する融合素材モンスターは場か墓地から除外する事で融合される」

それって……凄く拙い事にならない？

ちょっと状況が把握できないんだけど……

「俺は場のサイバー・ドラゴンとなっているプロト・サイバー・ド

ラゴンを融合

他の融合素材は墓地に存在する機械族全てだ！」

「全ての機械族だと!？」

その融合モンスターとはまさか!」

な、何？

瑞貴は何を召喚しようとしているの!？

「サイバー流の使い手のお前なら当然知ってるよなあ？

俺が墓地から融合する機械族モンスター!

サイバー・ラーバアを3体、サイバー・ダイナソーを2体、サイバー・ドラゴンを3体

サイバー・フェニックスを2体、サイバー・ドラゴン・ツヴァイを3体

サイバー・エルタニンを2体、サイバー・ウロボロスを2体、プロト・サイバー・ドラゴンを2体

そして場のプロト・サイバー・ドラゴンをゲームから除外!出てこい、キメラテック・オーバー・ドラゴン!」

元のプロト・サイバー・ドラゴンも含め、融合素材は全部で20体そしてキメラテック・オーバー・ドラゴンの頭の数も……20これはどういう意味なの？

「キメラテック・オーバー・ドラゴンの元々の攻撃力と守備力それは融合素材に使用したモンスターの数×800ポイントとなる元のプロト・サイバー・ドラゴンも含めて20体よって攻撃力は16000だ!」

16000……そんなモンスターどうやって倒すのよ!？



「パワー・ボンドの効果発動

融合モンスターの元々の攻撃力が倍になる……

つまりキメラテック・オーバー・ドラゴンの攻撃力は倍になり

攻撃力32000となる！」

こ、攻撃力32000ですって！？

どうやってそんなモンスターを出すのよ！？

実際に出てるけど、それでも変よ！

「サイバー・サモン・ブラスターの効果発動！

機械族が特殊召喚されたので相手に300ポイントのダメージを与える

しかし、キメラテック・オーバー・ドラゴンが場に現れた時にまた別の効果が発動

自分の場のこのモンスター以外のカードを全て墓地に送る！

もっとも、サイバー・サモン・ブラスターの効果は残り、ダメージは通るがな」

サイバー・サモン・ブラスターは消える直前に亮にレーザーを打ち出す

これにより亮のライフは残り500、受けきれるはずが無いわ……

「次のカード……大嵐を発動！

伏せカードを破壊してもらおうか！」

「クッ！ 罠カード発動！ アタック・リフレクター・ユニット！  
サイバー・ドラゴンを生け贄に捧げ、デッキからサイバー・バリア・ドラゴンを特殊召喚！」

亮の場は伏せカードが無い

場にはサイバー・バリア・ドラゴン、サイバー・レーザー・ドラゴン、サイバー・フェニックスの3体だけ受けきるのは……不可能よ。

「なあ……お前のサイバー・ドラゴン、俺に貸せよ？」

「貸せだど？」

「速攻魔法発動！ スクラップ・フュージョン！

相手の墓地の融合素材モンスターを除外し、自分か相手の融合モンスターを特殊召喚する！

俺が選択するのはお前の墓地のサイバー・ドラゴンを3体！

そしてお前の融合デッキから、サイバー・エンド・ドラゴンを融合召喚！」

瑞貴の場に現れるサイバー・エンド・ドラゴン

相手の墓地を利用した融合なんて……かなり凶悪ね

でも相手が融合を使わなければ使えない、ちよつと欠陥カードか。

「サイバー・エンド・ドラゴンが……」

終わりね……

もう亮に勝ち目は無いわ。

「手札から魔法カード、リミッター解除を発動

自分の場の機械族モンスターの攻撃力は倍になる

そして更に天よりの宝札を発動！ お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドロー！」

瑞貴、もう止めて！

そこまでしなくても亮のライフは0になるわ！

「魔法石の採掘を発動！

手札を2枚捨て、墓地から魔法カード……リミッター解除を手札に加え、再び発動！

これ以上は残念ながら無いな」

瑞貴……これ以上なんて止めて

お願いだから、だって既にキメラテック・オーバー・ドラゴンの攻撃力は……128000よ！

6桁よ、6桁……そんなの初めて見たわよ！

「サイバー・エンド・ドラゴンで攻撃！

エターナル・エヴォリュション・バースト！」

「サイバー・バリア・ドラゴンの効果を発動！

サイバー・バリア・ドラゴンは相手モンスター1体の攻撃を無効にする事ができる！」

……何気にサイバー・エンド・ドラゴンも攻撃力16000なのよね  
5桁って凄いいんだけど、とても小さく見えるのは何故かしら？

「続いて、キメラテック・オーバー・ドラゴンでサイバー・フェニックスに攻撃！」

「ぐおああああ！」

これで亮のライフは……0

瑞貴の勝ちね。

「速攻魔法、ハーフ・シャットを発動！」

場の表側表示のモンスターを1体選択する

そのモンスターはこのターン、戦闘では破壊されない効果を得る  
ただし、そのモンスターの攻撃力はエンドフェイズ時までを半分に  
なる

俺が指定するモンスターはサイバー・バリア・ドラゴンだ！」

え……瑞貴、貴方何をするつもりなの！？

どうして更にそんな速攻魔法なんかを……

「知ってると思うが、ギャラリーの明日香の為に説明しておく

キメラテック・オーバー・ドラゴンは相手モンスターに攻撃した場  
合、ダイレクトアタック直接攻撃できない効果を持っている

そして、このモンスターは融合素材に使用したモンスターの数だけ  
相手モンスターに攻撃ができる

つまり……攻撃回数は全部で20回となる！」

な……な……20回の連続攻撃ですって！？

しかもサイバー・バリア・ドラゴンの攻撃力は半分になり、たった  
の400！

既にライフを失っている亮に追い打ちを掛けるつもり！？

これを残り19回、攻撃力400のサイバー・バリア・ドラゴンに  
攻撃した場合

総計ダメージは2551200よ！ 7桁にまでなるのよ！

「とてもつまらなかったよ、既に終わっているが……トドメだ！  
キメラテック・オーバー・ドラゴンでサイバー・バリア・ドラゴン  
に攻撃！」

エヴォリューション・レザルト・バースト！ 受けろ、20連打あ  
ああ！」

「ぐ……がああああああ！！！」

……本当に20回攻撃したわ、この男

何が瑞貴をここまでの行動に駆らせたのか……

亮が嫌いなだけか、機嫌が悪いのか、気に入らないのか

どれにしても、瑞貴が恐ろしいオーバークルをした事は確実ね。

「堅守……」

「なんだ？」

「そんなに……俺との決闘はつまらなかったか？」  
デュエル

意気消沈している亮

超オーバークルをされたら落ち込みもするわよね。

「ああ、楽しみなんて無いな

強いて言うならば、最後の攻撃でオーバークルをした事ぐらいか？

勝つ気もやる気も無い奴と戦ってもつまらん」

確かに最後はノリノリだったわね、楽しそうだったし

それまでの瑞貴は……淡々としてたわね

つまり亮と決闘デュエルをしても楽しくなかった？

「有るに決まっている……なのに何故？」

「お前のリスペクト決闘デュエルについての考えを言え」

「……………相手を尊重し、お互いに全力の戦いをする事  
例え負けても、相手に敬意を払う事だ」

良い事だと思うけど、何が悪いのかしら？

瑞貴は亮のリスクト決闘デュエルの何が気に入らないの？

「その時点で駄目だろうが

例え負けても？ 自分の発言で勝つ気が無いと証明してるだろうが  
！」

……微妙、間違っただけは無い気がするけど、それはそれでどうかしら？  
でも負けてもって言っているという事は負けてもいいという事よね？  
なら瑞貴の言う通りのような……

「なあ、負けてもって何だ？

それは負けても良いって言ってるんだよね？」

「……ああ、相手をリスクトできれば負けても構わない  
どんな戦いであっても、それがリスクトというものだ」

「はあ、駄目だこいつ

何を言っても無駄か？」

気持ちとは分からなくも無いけど……

確かにここまで言っても瑞貴の言いたい事が分からない亮も問題ね  
瑞貴の言い方が悪いのも大きいと思うけど。

「分かった、直接的に分かりやすく言ってやる  
お前には勝利への欲望が無い、薄っぺらいんだよ！

俺だって人の事を言えるほどやる気は無い、だが勝つ気は有る！  
最初から負ける事を考えて戦う時は、負けると決めている時以外に  
は1度も無い！」

思い出すのはタイタン戦ね

あの時、瑞貴は最初から負ける気で戦っていた  
そして瑞貴は正気の時ですれ以外で負けた事が無い。

「俺が……薄っぺらいだと？」

「否定したいか？」

否定したいのならもう1度相手になってやるよ  
だが、お前が本気にならない限り……お前が敵を倒す気にならない  
限り！

何度戦ってもお前は俺に負ける！」

「俺は……俺は！」

「勝ちたいのなら勝ってみろ！  
勝てない時は……お前の負けだ！」

いや、当たり前だから

勝てない時は負けしか無いでしょ  
引き分けて考えも有るけど……

「敵を倒せ！　そうでなければお前は負けだ！」

負け犬になりたくなければ立ち上がり、勝って勝って、勝ち続けて  
みろ！

こんな無様な敗北は二度と味わいたくないだろう！？」

「俺は、俺は負けない……勝つ、勝つ勝つ勝つ！」

俺はもう……こんな無様な負けは嫌だ！

俺は絶対に負けない！ 相手を叩き潰してでも絶対に勝あつ……！」

りよ……亮？

「やっとマシになったか……そうだ、その気迫だ！

さっきに比べたらずっと俺好みになったじゃないか！

もう豆腐なんて呼ばない、来いよ……ヘルカイザー亮！」

ヘルカイザー……亮？

地獄の皇帝か、瑞貴……貴方は自分の好みの為だけに亮を変えたの……！？

どうしてそんな事を！

「そうだ、俺は気付いたんだ！ 俺は勝ちたい、勝ち続けたいんだ！  
もう無様な負けはしない……全力で堅守、お前を潰す！」

「良いぞ、良いぞヘルカイザー亮！

それでこそ遊び甲斐の有る相手だ！」

まさかその遊び甲斐というだけの理由で亮を……？

うーん……でも亮も悩んでいた事を解決する切欠になったんだし、  
これはこれで良い……の？

もしかして亮、貴方……本当は常に勝ちたかったの？

それが本当なら、それが貴方の本心なら……

「ヘルカイザー亮と呼ぶと長いので地獄と呼ぶ  
で地獄、戦う前にちょっと待て」



って、瑞貴は瑞貴か

やっぱり名前で呼ばないのね

しかもやる気になった亮を止めるなんて。

「なんだ、せっかくやる気になったのに……」

「いや、来い来い」

亮は不思議そうな顔をして瑞貴に近づく  
貴方達ね、何をするつもりなの？

「……………」

「……………」

「……………」

「……………」

み、密談してるわ

しかもカードを取り出して……

さっきまでの雰囲気と今の状況、シユールね。

今度はカードを並べてる？

貴方達、本当に何をしているの？

「よし、戦るぞ地獄！

再び俺に負け、勝利への欲望を更に滾らせろ！  
お前はそれで更に強くなれる！」

「俺はもう負けない！ 絶対にお前に勝ってみせる！

潰す潰す潰す潰す叩き潰す！ 行くぞ堅守！

貴様の全てを壊し尽くしてやる！」

いきなりやる気になった！？

お互いに少し距離を置き、対峙する

そして構え始める2人……だから、さっきまで何をしていたのよ！

デュエル  
「「決闘！」」

## 64話【瑞貴VS亮 前編】（後書き）

何故明日香が？

視点用として……

それに前話で見る事を許可しているので大丈夫でしょう。

瑞貴の今回のデッキは？

アニメ漫画混合の丸藤亮デッキです。

アニメのこの頃って確か通常召喚扱いじゃ……

無視しました、でなければ難しいので

それにアニメでは通常召喚で不都合の無いようになっていたので良いでしょう

……多分。

サイバー・ヴァリーの効果で除外できるのはモンスターだけじゃ……

アニメ効果です、魔法や罠も可能でした。

攻撃力6桁！？

頑張りました、OCGでは……不可能と言えないのが怖いですが確かどこかに攻撃力を億の桁に上げた動画があったような……もし気になる人が居れば探してみてください。

総計ダメージ7桁！？

超超超超超超超オーバーキルですね

今後、これ以上のオーバーキルがは出てこないでしょう

しかしこのオーバーキルも実は更に（以下同上）

なんという瑞貴の煽り！

瑞貴は亮が嫌いだから壊してやろうと……

まあ本音を言っただけに近いですがね、悪意は少ないのです  
結果は先走ってヘル化してしまいました

しかしこのカイザー亮……ノリノリである。

亮のヘル化について

アニメよりも冷酷ではありません

しかし、勝利への欲望は更に上がっています

瑞貴の煽り言葉が思った以上に効果的だったようです。

明日香が……

空気？ まったくです

しかし彼女に出番を出す余裕がありませんでした。

原作、アニメオリジナルカード

異次元からの宝札

除外された次のスタンバイフェイズ時、このカードを手札に戻す  
この効果によって手札に加わった時、お互いのプレイヤーは2枚ドローする

現環境で出てきたら確実に禁止カードです

何この鬼畜カードは……さすがサイバー流のカード！

スクラップ・フュージョン

相手の墓地から融合素材をゲームから除外する

自分か相手の融合デッキからその融合素材を使用する融合モンスターを融合召喚する

E・HEROの天敵ですね、機械族も大打撃です

もしこれがOCG化したら……最低でも制限は掛かるでしょうね。

## 65話【瑞貴VS亮 後編】（前書き）

あれ？ かなり余裕に終わるはずだったのに何故？

結構ギリギリに終わるって……どうなってるんでしょね？

どうしてこう……時間に少しでも余裕ができると謎に長くなるんでしょいか？

殆ど決闘デュエルしているだけで日常ほぼ0なのに何故こんなに……不思議です。

という訳で、謎に長いのに殆ど決闘デュエルの回です

どうしてこうなった……余裕か？ 余裕を持ったから駄目なのか！？  
そんな感じでちよつと混乱しています。

今回は……それはもう色んな意味で酷い回です

ヘル化してもそんなに変わったように見えない亮さん

何故ならデッキが殆ど変わってないから……という事にしておいてください！

今回、プレイミスがあります

詳しくは後書きにて……ミスに定評の有る作者です

ミスが多すぎるので執筆を止めてもいいですか？

いや、冗談ですけど。

次話はちよつと不明

今回が謎に長かったので今度は余裕がありません  
油断した自分が馬鹿でした……はあ。

## 65話【瑞貴VS亮 後編】

視点 明日香

「先攻は俺だ！ ドロー！ プロト・サイバー・ドラゴンを召喚！  
プロト・サイバー・ドラゴンは場に存在している限り、サイバー・ドラゴンとして扱う  
カードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

先手は亮、性格が変わったような感じがする  
でもそれは勝ちたいが為の変化  
亮は自分でパーフェクトという殻から抜け出したのね。

だけどその結果がこれ  
瑞貴が誘導したとはいえ、これが貴方の望みだったの……亮。

「俺のターン、ドロー！  
喜べ地獄、お前の相手は再びサイバーデッキだ！  
俺はサイバー・フェニックスを攻撃表示で召喚！  
サイバー・フェニックスでプロト・サイバー・ドラゴンに攻撃だ！」

「そうはさせん！  
罠カード、アタック・リフレクター・ユニットを発動！  
自分の場に存在する、サイバー・ドラゴンとなっているプロト・サイバー・ドラゴンを生け贄に捧げる  
これにより、デッキからサイバー・バリア・ドラゴンを特殊召喚する！

出でよ、サイバー・バリア・ドラゴン！ 攻撃表示で特殊召喚だ！」

サイバー・バリア・ドラゴンは1ターンに1度、相手モンスター1体の攻撃を無効にする  
サイバー・フェニックスでは攻撃しても無駄になるわね。

「そうそう、そうやって頑張ればいいんだよ……頑張ればな当然勝たせてやる気は全く無いが……俺はカードを3枚伏せ、ターンエンドだ!」

「俺のターン、ドロ!」  
リバーカードオープン! リビングデッドの呼び声!  
墓地からプロト・サイバー・ドラゴンを特殊召喚!」

「おっと、永続罠発動!  
またこれを受けな! サイバー・サモン・ブラスター!  
機械族が特殊召喚された時、相手に300ポイントのダメージだ!  
そして機械族が特殊召喚された、放て! サイバー・サモン・ブラスター!」

またそのカード!?  
確実に亮の動きを読んで瑞貴は動いてる  
亮、このままだと同じ負け方をするわよ!

「ぐうう……だがまだ300のダメージだ!  
手札から魔法カード、エヴォリュション・バーストを発動!」  
サイバー・ドラゴンの攻撃名と同じカード!?  
そんなカードが有ったなんて!

「このカードは、自分の場にサイバー・ドラゴンが存在している時

にのみ発動できる！

俺の場にはプロト・サイバー・ドラゴン……つまりサイバー・ドラゴンだ！

相手の場のカード1枚を破壊する！ 俺が破壊するのはサイバー・サモン・ブラスター！」

「チィ……今度は初っぱなから潰すように動きやがったか……だがエヴォリューション・バーストのデメリット、このターンはサイバー・ドラゴンが攻撃できない！

サイバー・エンド・ドラゴンとかに融合されたら厄介だな」

確かに相手の場のどんなカードでも破壊できる効果は強力だけど、そんなデメリットを抱えるカードだったなんて。

「確かにお前の言う通り、攻撃できないのはサイバー・ドラゴンだ！だが俺の手札にはこのカードが有る！ 俺は手札から融合を発動！場のサイバー・ドラゴンとなっているプロト・サイバー・ドラゴンと手札のサイバー・ドラゴン2体を融合！  
出ろ！ サイバー・エンド・ドラゴン！」

手札を一気に使い、サイバー・エンド・ドラゴンを召喚した  
だけど瑞貴の場にはまだ伏せカードが2枚も残っている  
攻撃したら……必ず何か起こす！

「（攻撃すれば堅守は確実に何か起こす  
しかし何もしないと……俺の手札は0、次のターンで伏せカードを破壊できるか？  
いや、ここは動く！）サイバー・エンド・ドラゴンでサイバー・フ  
エニックスに攻撃！」



「……………」

そのまま破壊されるサイバー・フェニックス……  
戦闘ダメージで瑞貴に2800のダメージが与えられる  
な、何故瑞貴は何もしないの!?

「堅守、何故……何もしない  
まさか俺に態と負けようとしているのではないだろうな!？」

「誰がそんな事をするか、俺が態と負ける時は演技している時だけだ  
それに無駄に攻撃を受けるほど、俺は馬鹿じゃない  
これは必要な対価だ、サイバー・フェニックスの効果発動!  
このモンスターが破壊された時、デッキからカードを1枚ドロース  
る!」

「何を考えている……サイバー・バリア・ドラゴンで堅守に直接攻  
撃<sup>タック</sup>!」  
ダイレクトア

何もしないでダメージを受ける瑞貴  
これでまた800のダメージ、瑞貴の残りライフは400  
本当にこれで大丈夫なの?

「(不気味だ……何を考えている)  
俺はこれでターンエンドだ」

「俺のターン、ドロ  
サイバー・ヴァリーを召喚し、カードをセットする  
そしてサイバー・ヴァリーの効果を発動  
このモンスターと、自分の場のカードをゲームから除外し、デッキ  
から2枚ドロースする」

俺は今伏せたカードをゲームから除外し、カードを2枚ドロ―!」

通常召喚権を使ってもドロ―した  
この状況でどうやって守るつもりなの？

「更に魔法カード、天使の施しを発動  
デッキから3枚ドロ―し、2枚を捨てる！

続いて魔法カード、闇の誘惑を発動！

デッキからカードを2枚ドロ―し、手札の闇属性モンスターを除外  
する

もし除外できない場合、手札を全て捨てる

デッキから2枚ドロ―……俺が除外するのはサイバー・ウロボロス！  
そしてサイバー・ウロボロスの効果発動、このカードが除外された時  
更にデッキからカードを1枚ドロ―する」

さっきから手札交換ばかり、何を狙ってるのかしら？

確かに、この状況を打破するのは難しいけど

それでもドロ―しているだけじゃ勝てないわ！

「ふ……俺は墓地の光属性の機械族、プロト・サイバー・ドラゴン  
をゲームから除外する

それにより、現れる！ サイバー・エルタニン！」

出てきたわね……私との決闘デュエルの時に使ったサイバー・エルタニン

その効果は凶悪、特殊召喚された時に自身以外の場の表側表示モン  
スターを全て墓地に送る

更にサイバー・エルタニンの攻撃力は特殊召喚に使用した除外モン  
スターの数×500となる。

「サイバー・エルタニンの効果で、サイバー・エルタニン以外の場

のモンスターは全滅

そしてサイバー・エルタニンの攻守は除外したモンスターの数だけ上昇する

俺が除外したのは1体、よってサイバー・エルタニンの能力は500、守備表示で特殊召喚！」

ライフ400で攻撃表示で召喚するほど、瑞貴も馬鹿じゃないかでも壁は現れ、亮の場には無駄に残ったりビングデッドの呼び声だけしかも手札も無い状態……どうするの？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動し、更にデッキから2枚ドロー！

サイバー・ドラゴンを特殊召喚！」

このタイミングで強欲な壺ですって！？

しかもサイバー・ドラゴンを特殊召喚するなんて

さすが亮と言った所ね。

「さっきの決闘<sup>デュエル</sup>を忘れたか！

手札より、サイバー・ダイナソーを特殊召喚！」

サイバー・ダイナソーは相手が特殊召喚した時、特殊召喚できるモンスター

さっきも同じ事が行われたわ……何やってるのよ亮！

「だが、俺とて何も無いわけじゃない

お前が特殊召喚に成功した時、俺もサイバー・ダイナソーを特殊召喚！」

な、亮までサイバー・ダイナソーですって!？  
まさかさっきの密談の内容はそれ!？

「サイバー・ダイナソーでサイバー・ダイナソーに攻撃!」

相打ち狙い!？

いえ、そうでもしなければサイバー・ドラゴンが破壊されてしまう  
ならばこの攻撃は当然とも言えるわね。

「更に、サイバー・ドラゴンでサイバー・エルタニンに攻撃!」

これでサイバー・エルタニンは破壊できた

ただどこれでまた墓地に次のサイバー・エルタニンの餌ができてし  
まった

もしドローされたら攻撃力1000となって再び場に現れるでしょ  
うね。

「ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー!」

異次元からの宝札の効果を発動しよう

このカードが除外された次のスタンバイフェイズ時、手札に戻って  
くる

そしてこの効果で手札に加わった時、お互いのプレイヤーはデッキ  
からカードを2枚ドローする」

さっきも使ったサイバー・ヴァリーの効果を利用した連続ドローコ  
ンボね

瑞貴の手札は常に多い状態をキープしている、余裕の現れなのか……

それに対して亮の手札は常に少ない、タクティクスの問題か、それとも考え方の違いか

どちらにせよ、手札の多い瑞貴が有利なのは代わり無い。

「リバースカードオープン、異次元からの帰還

ライフを半分払い、除外されている自分のモンスターを可能な限り特殊召喚する

俺の除外されているモンスターは3体、よって全て特殊召喚可能だ！  
戻れ！ サイバー・ヴァリー！ サイバー・ウロボロス！ プロト・サイバー・ドラゴン！」

三幻魔の時も多用していた異次元からの帰還……やはり使ってきたわね

サイバー・エルタニン、サイバネティック・フュージョン・サポーターと除外カードも少なく無い

逆に言うならば、使うのが当然とも言えるカードでしょうね。

「俺はカードを1枚伏せ、サイバー・ヴァリーの効果を発動  
自身と今伏せたカードを除外し、デッキからカードを2枚ドロースる！」

今除外したカード、それは確実に異次元からの宝札

このままでは瑞貴の手札は増えるばかり！

どうするの亮……貴方の場合にはサイバー・ドラゴンしか無いわよ！

「そして俺はユニオンモンスター、アーマード・サイバーンを召喚  
効果発動、場のサイバー・ドラゴンにアーマード・サイバーンを装備する！

アーマード・サイバーンはサイバー・ドラゴン  
及びサイバー・ドラゴンを融合素材としたモンスターのみに装備可能だ

プロト・サイバー・ドラゴンは現在サイバー・ドラゴンとして扱われているので装備できる」

ユニオン……サイバーモンスター限定なんて珍しいわね

どんな効果を持っているのかしら？

ただ、能力アップの効果は持ってないみたいだけど。

「アーマード・サイバーンの効果を発動

装備モンスターの攻撃力を1000ポイントダウンさせる

それにより、相手の場のカードを1枚破壊できる

プロト・サイバー・ドラゴンの攻撃力を1000ポイントダウンさせサイバー・ドラゴンを破壊する！」

「ぐう……サイバー・ドラゴンが！」

「攻撃力は合計たったの200だが……

プロト・サイバー・ドラゴンとサイバー・ウロボロスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

2体でようやく200のダメージって……

どれだけ弱いのか？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ

そしてエンドフェイズ時、異次元からの帰還で特殊召喚されたモンスターは再び除外される！

サイバー・ウロボロスの効果発動、除外された事によりデッキからカードを1枚ドローする

そしてプロト・サイバー・ドラゴンに装備されていた装備カード扱いのアーマード・サイバーンは破壊される」

瑞貴の場にはモンスターが0、だけど伏せカードが3枚も残っている

内2枚は最初から残っているカード……あのカードはいったい何？

「俺のターン、ドロー！ 魔法カード、天使の施しを発動！

デッキから3枚ドローし、2枚を捨てる……

浅すぎた墓穴を発動！ お互いのプレイヤーは墓地からモンスターを守備表示で特殊召喚する！

俺は天使の施しで捨てたサイバー・ヴァリーを特殊召喚！」

「なら俺は……サイバー・フェニックスを選択しよう」

瑞貴の場に壁モンスターを出してまで……何を狙っているの亮  
サイバー・ヴァリーの効果を使うのなら無駄に残っているリビンググ  
デッドの呼び声を使える  
だけどそれから続けられるの？

「サイバー・ヴァリーの効果により、自身とリビンググデッドの呼び  
声を除外！

デッキからカードを2枚ドロー！ 更に貪欲な壺を発動！

墓地のサイバー・ドラゴン3体と、サイバー・エンド・ドラゴン、  
サイバー・バリア・ドラゴンをデッキに戻す！

そしてシャッフルし、デッキから更に2枚ドロー！」

凄いわ……手札が2枚の状態から手札を5枚まで増やすなんて  
しかもデッキに戻ったカードはサイバー・ドラゴン3体  
もし今、ドローしていた場合……

「相手の場にしかモンスターは存在しない  
よって、サイバー・ドラゴンを特殊召喚！」

まさか本当にドローした！？

通常召喚は残ってるけど、そう都合良くいかなかったみたいね  
瑞貴の残りライフは200、亮は3500……一見、勝てる戦いに見えるわ

だけど瑞貴はこの状況を打破できるカードを必ず持っている……  
亮がその攻撃を越えられるかどうか、それで勝負が決まるでしょうね。

「サイバー・ドラゴンでサイバー・フェニックスに攻撃！  
エヴォリュション・バースト！」

「サイバー・フェニックスが破壊された事により  
デッキからカードを1枚ドロウする」

瑞貴はサイバー・ドラゴンが出てくると読んでたわね  
でなければサイバー・ドラゴン系のカードを蘇生させ、次のターンに繋いだはず

全てのサイバー・ドラゴンが墓地に存在していたのにこの読みかさすがと云うべきか、それとも……

「俺はカードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロウ」

異次元からの宝札の効果により、このカードは手札に戻る  
そしてお互いにカードを2枚ドロウする」

瑞貴の手札は9枚、ここまで増えて動かないはずが無いわ！  
融合、パワー・ボンド、サイバネティック・フュージョンサポート  
これらを手札に持っても全く不思議じゃない！

「さっきのドロウでサイバー・エンド・ドラゴンを召喚する環境を



整えられたら厄介だな……

俺はサイバー・ラーバアを召喚し、更にカードを2枚伏せてターンエンドだ！」

……動かない？

「何のつもりだ……俺のターン、ドロー！」

手札から魔法カード、パワー・ボンドを発動！

俺は手札のサイバー・ドラゴン2体と、場のサイバー・ドラゴンを融合！

出てこい！ サイバー・エンド・ドラゴン！」

嘘……この短時間でサイバー・ドラゴンを全て揃えるなんて

しかもパワー・ボンドまで使用してまで……恐ろしいドローね

だけど亮、貴方はパワー・ボンドのデメリットを忘れてないわよね？

それに、瑞貴が使ったサイバー・ラーバアが戦闘する時、戦闘ダメージを与えられない

しかもデッキからサイバー・ラーバアを特殊召喚される

なのに何故パワー・ボンドを使ったの！？

「残念だが再びこのカードを発動しよう

永続罠、サイバー・サモン・ブラスター！」

そして機械族が特殊召喚された、よって300ポイントのダメージを与える！」

またそのカード！？

自分も機械族の特殊召喚を多用するデッキとはいえ……

本当に厄介なカードね！

「そうはさせない！」

リバースカードオープン！ 速攻魔法サイクロン！  
サイバー・サモン・ブラスターを破壊する！」

「だが……サイバー・サモン・ブラスターの効果はチェーンに乗る  
よってダメージは適応される！ 破壊される前に放て、サイバー・  
サモン・ブラスター！」

これで亮にまた300ポイントのダメージ  
でもまだ3200もライフは残っている……でも本当に大丈夫かし  
ら？

「サイバー・エンド・ドラゴンでサイバー・ラーバアに攻撃！  
エタール・エヴォリュション・バースト！」

「ふ……サイバー・ラーバアの効果を発動  
このモンスターが攻撃対象にされた時、このターンの戦闘ダメージ  
は0となる

更に破壊された時、デッキからサイバー・ラーバアを特殊召喚」

瑞貴の事、これは絶対にキメラテック・オーバー・ドラゴンの為の餌  
その為の墓地肥やしであり、更なる力で叩き潰そうとする全力  
亮に言った言葉、それを瑞貴は実行しようとしているのね。

どんな相手にも、全力を持って叩き潰せ  
勝ち負けじゃない、勝つんだと……相手の事に構うなと！

「俺は……サイバー・ジラフを召喚し、効果を発動する  
このモンスターを生け贄に捧げ、このターンに受ける俺への効果ダ  
メージを0にする

俺のターンは終了だ！」

「ターンの最初に使っていればダメージは無かったのにな  
この300ポイントが、後にどれだけ危険な支払いか……身をもつ  
て味わえ」

瑞貴の挑発に亮の顔が歪む

自分でも少しそう思っていたんでしょね

だから顔が歪んだ……小さなミスだけど、それがどう影響するか。

そして瑞貴の伏せカードは4枚

一向に発動する気配の無い最初の2枚と残りの2枚  
いったい何を考えているのかしら？

「俺のターンだ、ドロー

速攻魔法、融合解除を発動

お前の場に存在するサイバー・エンド・ドラゴンの融合を解除  
墓地からサイバー・ドラゴン3体を特殊召喚する！」

「なん……だと!？」

これで攻撃力8000のサイバー・ドラゴンは消滅したわ  
でも、まだ亮の場には攻撃力2100のサイバー・ドラゴンが3体  
も残ってる

どうやって突破する気なの、瑞貴。

「俺は……お前のサイバー・ドラゴン3体を墓地に送り  
現れる、キメラテック・フォートレス・ドラゴン！」

そんな召喚方法を持ったモンスターが存在するの!？

相手モンスターをコストにして召喚するなんて……

「なにぃ！ 俺のサイバー・ドラゴンを墓地に送るだろ！？」

どういう事だ堅守！ そのキメラテック・フォートレス・ドラゴンは俺の持つキメラテック・フォートレス・ドラゴンと効果が違う！」

効果が違うですって！？

それはどういう意味なの瑞貴！

何故効果が違う同名カードが存在しているの！？

「（そういえば目の前でここまで大きく効果の違うモンスターを出したのは初めてだったな

魔法や罠の場合はどうにかなるが、モンスターは厳しいか面倒だ、適当に言って丸め込めばいい、何よりも面倒だし）

お前は同名異効果のカードを知らないのか？」

「同名異効果……だと？」

以前見た三魔神のようにエラッタ前後じゃないの？

それとはまた別の、同名異効果のカード？

「そうだ、同名異効果のカードは世界にも殆ど無いカード

エラッタの前後という話も少なく無い

例えば破壊輪、あのカードは昔は相手だけにダメージを与えるカードだった

例えば激流葬、このカードも昔は相手モンスターだけを破壊するカードだった

エラッタされてもこの効果のまま使い続けられるバグが稀に存在する」

「それで、俺のキメラテック・フォートレス・ドラゴンとの違いは？」

「お前のキメラテック・フォートレス・ドラゴンは融合モンスター融合が必要であり、融合に使用したモンスターの数だけ攻撃が可能このモンスターが攻撃する時、ダメージ計算を行わない

そしてこのモンスターが攻撃した時、相手に400ポイントのダメージを与える

そして特殊召喚された時、自分の場のカードを全て墓地に送る」

……よく覚えてるわね

でも、瑞貴が使ったキメラテック・フォートレス・ドラゴンの効果は？

「そして俺の使っているこのキメラテック・フォートレス・ドラゴンこいつも融合モンスターだが大きく違う事が有る

それは、融合のカードが必要無く、相手の場のモンスターも素材として使用できる事だ」

「相手の場のモンスターを素材にできるだ！？」

「そう、こいつはサイバー・ドラゴンと……機械族モンスター1体以上

全ての場にこれらのカードが揃っている時のみ、融合デッキから特殊召喚可能

そして、俺はお前の場のサイバー・ドラゴンと他の機械族を1体以上を墓地に送った

これにより、キメラテック・フォートレス・ドラゴンが現れる事ができたという訳だ」

なんて出鱈目なモンスターなの！

しかもサイバー・ドラゴンは滅多に見れるモンスターじゃない  
機械族だって、相手がそう簡単に使ってくれるモンスターじゃない  
わ！

「なるほど……どこから現れたかは分からない  
だが、対サイバー・ドラゴン用カードとして同名モンスターが存在  
しているという事か！」

「そういう事だ

そしてこのキメラテック・フォートレス・ドラゴンの元々の攻撃力  
それは墓地に送ったモンスターの数×1000となる

俺が墓地に送ったモンスターの数はメイン素材であるサイバー・ド  
ラゴンを含めて3体

よって、キメラテック・フォートレス・ドラゴンの攻撃力は300  
0！」

「攻撃力3000……俺の残りライフは3200！」

「そう、お前がもし前のターンでサイバー・ジラフを最初に使って  
いれば

このダメージを受けても生き残れただろう、俺の場合にはサイバー・  
ラーバアも残っている

サイバー・ラーバアの攻撃力は400、本来なら100残ったのに  
……残念ながらお前のプレイミスだ！

（嘘だけだな、キメラテック・フォートレス・ドラゴンを出した時  
に言えば結果は同じだし

しかし単純な地獄だ、どうせ気付かないで勝手に自業自得だと落ち  
込んでくれるだろう）」

……嘘ね、瑞貴

例えばサイバー・ジラフの効果を使っても無駄だったわ  
何故ならキメラテック・フォートレス・ドラゴンが出てきた時に使  
えば結果は同じだったから  
どの道、亮のライフは今と同じよ。

瑞貴がそんな事に気付かないはずが無い

これは亮を動揺させる為の口車、これで亮の精神を揺さぶる気ね  
そして亮はそれを信じており、本当に動揺している。

このまま瑞貴の思い通りにしても良いんだけど……

切欠と結果は何であれ、亮は強くなる決心をした

だから亮には頑張っしてほしい……ごめんね瑞貴

公平のつもりだったんだけど、今回だけは亮に付けてもらおうわ。

「亮！ 瑞貴の口車に乗ったら駄目よ！」

「明日香？」 「明日香……お前まさか！」

「今のターン、瑞貴がキメラテック・フォートレス・ドラゴンの特  
殊召喚している！」

だから前のターンでのサイバー・ジラフの効果でダメージを無効に  
しても

瑞貴は発動させず、このターンでサイバー・サモン・ブラスターを  
発動させていた！

つまり、前のターンはミスだとしても結果は同じだったのよ！」

「（明日香……それは結局、俺がミスした事には代わり無いと言っ  
ているような物だぞ？」

確かにプレイングミスだったかもしれないが……結果は同じか

聞き方に依っては考えるだけ無駄だからさっさと諦めろと聞こえるな  
明日香が言いたい事は分かるんだが……な」

「（こいつ……自分の言っている意味が分かってるのか？  
結果は同じだったから気にするなと言いたいんだろうが  
地獄がミスした事を強調しているような物だぞ？  
地獄からすれば諦めてさっさと負けろと聞こえるだろうな）」

私の言葉を聞いた2人はお互いに顔を見合わせる  
そして同時に一言。

「「はあ……（もっとよく考えて発言しろ）」」

同時に溜め息！？

わ、私何か変な事言ったかしら！？

「悪いな地獄、明日香の教育方法を間違えた」

私って瑞貴に育てられた扱いなの！？

もしかして私はペットとかの扱いになってるとか！？

しかも教育方法を間違えたって、私そんなに悪い事したの！？

「気にするな、アレは明日香の個性だろう

吹雪と兄妹という事を再認識した……そう思っておこう」

亮も何気に酷い事言っていない！？

モククロ  
白黒兄さんと兄妹だと再確認したってどういう意味よ！

なんだか凄く酷い事を言われた気がするわ！

そして再び同時に私を見て、お互いに顔を合わせる。



「「はあ……（やはり兄妹か……自覚が無さそうだ）」」

ええ！？　また同時に溜め息！？

しかも凄く失礼な事を考えてないかしら！

私が何をしたのか教えて！

「あー……俺のターンを続行する

キメラテック・フォートレス・ドラゴンで、地獄に直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「そうはさせん！　カウンター罠、攻撃の無力化！

相手モンスターの攻撃を無効にし、強制的にバトルフェイズを終了させる！」

よし、これでこのターンは凌げた！

でも瑞貴の場には攻撃力3000のモンスターが残っている

サイバー・ラーバアだって倒してもまた現れる

しかも伏せカードが4枚……かなり怖いわ。

「よく耐えるが、手札が0のお前に勝ち目は有るかな？

このままだとお前の負けだ、無様な……敗北だよ

また俺が最後にキメラテック・オーバー・ドラゴンで倒してやるから安心しろよ？

俺はこのままターンエンドだ！」

「俺は負けない……負けるものかあ……！！

俺のターン、ドロー！　魔法カード、オーバーロード・フュージョンを発動！

俺は墓地の機械族モンスターを全てゲームから除外し、闇属性機械族モンスターを融合する！

俺が除外するのはサイバー・ドラゴン3体、プロト・サイバー・ドラゴン、サイバー・ダイナソー、サイバー・ジラフ  
これら6体の機械族をゲームから除外し、キメラテック・オーバー・ドラゴンを融合召喚！

俺が除外したのは6体の機械族、よって攻撃力は4800となり、  
攻撃回数は6回だ！」

よし、これで瑞貴に勝てる！

瑞貴の残りライフは200、例えばパワー・ウォールを使用してもデッキ枚数は16枚

キメラテック・フォートレス・ドラゴンとの攻撃力差は1800だから防ぎきれない！

「キメラテック・オーバー・ドラゴンでキメラテック・フォートレス・ドラゴンに攻撃！

エヴォリュション・レザルト・バースト第一打あ！」

これが決まれば亮の勝ちよ！

「よく頑張ったと褒めてやりたいところだが……甘い！

罠カード発動、ガード・ブロック！

この戦闘で受けるダメージは0となり、俺はカードを1枚ドロウする  
残念だったな、これで俺に戦闘ダメージは届かない……次の俺のターンで終わらせてやるよ」

そんな……やっぱりあの伏せカードの数の前では無理だったの？

次の瑞貴のターン……何を仕掛けてくるか。

「それはどうかな？ お前の行動ぐらい、読んでいる！

カウンター罠発動！      トラップ・ジャマー！

バトルフェイズ中の罠カードを無効にし、破壊する！」

「な、なに！？ カウンター罠だと！？」

これで瑞貴のガード・ブロックを無効にし、破壊できる！  
亮の勝ちよ、瑞貴！

「う・そ」

「何い！？」

「カウンター罠、魔宮の賄賂を発動！

相手はカードを1枚ドロウする……そして相手の魔法か罠を無効にし、破壊する！」

それは最初のターンから伏せられていたカードじゃない！  
どうして今まで使わなかったの！？

「馬鹿な！ それは最初のターンから伏せていたカード！  
何故今まで使わなかった！？」

「お前が言ったんだよ  
これが相手に全力を出させる、お前のリスペクト決闘デュエルの本当の姿だ  
相手に全力を出させ、そして相手に勝つ……手加減された気分はどうだ？」

言葉遣いや戦い方はともかく、確かにこれは亮の言う通りね  
お互いに全力を出して戦う……でも実際にこう見みると随分嫌な  
行動

何故なら、相手に自分はお前の全力を越えた力を持っていると言っ

ているに等しい

瑞貴はその行動を見せてきた……少し前の自分の姿を教える為に。

「俺は今までこんな決闘デュエルをしていたのか

俺は……俺は！ 巫山戯るなああああ！

俺は二度とそんな馬鹿な真似はしない！ 自分の全てを持って相手を殺す気で戦う！

堅守！ お前もそんな下らない真似は二度とするな……殺すぞ」

亮が怖い！ 怖すぎる！

瑞貴、亮を変えたのはいいけど……変えすぎじゃないかしら？

もう元の亮の面影なんて殆ど残ってないわよ！

この短時間でよくもここまで……

「安心しろ、もうこんな愚かな事はしないさ

実際、さっきのオーバーロード・フュージョンを無効化していたら勝てた可能性が高いしな

魔宮の賄賂の効果で相手は1枚ドロ

そしてガード・ブロックの効果は続行、戦闘ダメージを0にして俺はカードを1枚ドロする」

カメラテック・フォートレス・ドラゴン破壊される

亮はカードを1枚ドロした。

「サイバー・ラーバアに攻撃！

エヴォリューション・レザルト・バースト第二打ああ！」

「く……サイバー・ラーバアの効果発動！

このモンスターが攻撃対象になったターン、戦闘ダメージは0になる！

そして3体目のサイバー・ラーバアを特殊召喚！」

「攻撃を続行！」

エヴォリユーション・レザルト・バースト第三打あああああ！」

これでサイバー・ラーバアは全滅

キメラテック・オーバー・ドラゴン<sup>ダイレクトアタック</sup>はモンスターを攻撃したターン相手プレイヤーへの直接攻撃はできない。

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー」

さっきに比べて楽しかったぞ……だがこのターンで終わらせよう！」

瑞貴が動く、何をするつもり！

「俺は先ず、異次元からの帰還を発動！」

ライフを半分払い、除外されているモンスターを全て特殊召喚する！  
サイバー・ヴァリー、サイバー・ウロボロス、プロト・サイバー・  
ドラゴンを特殊召喚！」

これで瑞貴の残りライフは100……

だけど瑞貴は必ず大きく動く！

「カードを3枚伏せ、手札抹殺を発動  
お互いに手札を全て捨て、捨てた枚数だけドローする」

こ、このパターンはさっきの！  
つまり瑞貴はオーバーロード・フュージョンを使ってくる！

「魔法カード、苦渋の選択を発動！

俺はデッキからカードを5枚選択する

そして相手はそこから1枚を選択、そのカードを俺の手札に加える  
余ったカードは全て捨てる！ 俺が選ぶのは……このカードだ」

サイバー・エルタニン、サイバー・ヴァリー、サイバー・ドラゴン・  
ツヴァイ3枚

だから、一度も場に出てきてないけどサイバー・ドラゴン・ツヴァ  
イってどんな効果なの？

「ならばサイバー・ヴァリーを手札に加えろ」

「別にどれでも変わらないんだけどな

なら俺はサイバー・ヴァリーを手札に加えよう」

効果を使うとは思えない

これから瑞貴がする事……それは融合！

「さて、俺がさっき伏せたこのカード

このカードは何でしょう？ 地獄、当ててみなよ

もし当たったら発動しない、そしてこれは手加減じゃなく勝負！

俺とお前の勝負だ！ さあ、この伏せカードは何か当ててみろ！」

瑞貴は伏せた3枚のカードの内、1枚を指さす

そんなの分かるわけ無いじゃない！

魔法や罠カードだけでどれだけの種類が有ると思ってるのよ！

「……エヴォリユーション・バーストだ！」

それって確かさつき亮が使っていたカードよね？

サイバー・ドラゴンは攻撃できない代わりに相手の場のカードを1枚破壊する

でもそんな簡単に当たるはずが……

「正解、よってこのカードは発動しない

次はこの真ん中のカード、何のカードかな？」

当たった！？ 当たったの！？

本当にそのカードだったの！？

「それは……そのカードはパワー・ボンド！

残りのカードはオーバード・フュージョンだ！」

そんな適当に……いえ、本当に適当かしら？

前回と瑞貴が使っているデッキは同じはず、つまりそこから参考にすれば

今回だってそれなりに長く戦っている……となるとかなりのカードに絞られるという事よね。

「……お前は予知や透視の能力者か？

どっちも正解だよ、何者だよお前は」

「俺がお前と最初に戦うと言ったのはどういう場面だったかな？」

「あーそうかい、お前は学園トップになれるぐらい頭が良かったな  
つまり俺の戦い方は戦闘中に覚え、デッキに入っているカードも殆ど覚えたと

頭が良い奴にこの問題は失敗だったな」

「ふ、そういう事だ

既にそのデッキの内容は半分以上理解した！  
もう俺はお前に負けん！」

亮は元々頭脳派、戦略家の決闘者<sup>デュエリスト</sup>

ならばこれぐらいは当然でしょうね

あの状態になっても頭の中では冷静か……侮れないわ  
さすがねカイザー……いえ、ヘルカイザー亮！

「だが、俺の最初に伏せたこのカードは……なんでしょう？」

「む、それは……分からない」

「残念でした、とりあえずこのカードは後のお楽しみ  
俺は手札から融合を発動！

場のプロト・サイバー・ドラゴンをサイバー・ドラゴンして扱い、  
融合！

そして場のサイバー・ウロボロス、場と手札のサイバー・ヴァリー  
を融合させる！

出てこい、キメラテック・オーバー・ドラゴン！」

出てきたわね、キメラテック・オーバー・ドラゴン！

でも融合に使用したモンスターの数は4体、よって攻撃力は800  
×4で3200

亮のキメラテック・オーバー・ドラゴンの攻撃力は4800

瑞貴のキメラテック・オーバー・ドラゴンでは亮には勝てないわ！

「まだ終わらないぞ……俺は手札から魔法カード発動！  
フュージョン・リカバリー

融合回収を発動する！俺が手札に戻すのは融合

そしてプロト・サイバー・ドラゴンだ！プロト・サイバー・ドラ  
ゴンを召喚！」



融合を手札に加えても……それにプロト・サイバー・ドラゴンだけだし

亮の場には攻撃力4800のキメラテック・オーバー・ドラゴンが存在している

更に瑞貴は伏せている3枚のカードは使わないと宣言した。

この状況で瑞貴が勝つ方法は思いつかないわね

あ、そういえば最初に伏せていたカードって何かしら？

「プロト・サイバー・ドラゴンではキメラテック・オーバー・ドラゴンには勝てないぞ

それに、ハンデなのか遊びなのかは知らんが伏せたカードは使わないとお前は宣言した

この状態でお前に何ができる？」

「決まってるだろう？」

手札に融合のカードが有るんだ、当然融合さ」

「……なんだと？」

「手札から魔法カード、融合を発動！

そして最初に伏せたりバースカードを発動！ 速攻魔法、サイバネティック・フュージョンサポート！

ライフを半分払い、このカードを融合素材の代わりにする  
本来の融合素材モンスターは墓地よりゲームから取り除かれる」

「また……また手加減していたのかあああ！！！！」

「おお怖、だがさっきはともかく今回は違う

単純に機会が無かった事、そしてお前にプレッシャーを与える為のカードだ

お前は俺の戦いを何度か見ている、そしてあの三幻魔の時にも俺の性格、戦い方、カードの選び方、そしてそこから導き出される魔法や罠

つまり、俺の性格は受け身、戦い方は保守的、カードは守り型そこから導き出されるカードは防御や反射、無効化などの攻撃を止める罠が多い

お前が勝手に勘違いし、俺の戦い方に疑問を持ち、疑心に満ちてプレイミスを誘う

更に言葉で動揺させて動きを封じ、俺の謎の行動で更に不安になる怖かっただろう？　もしパワー・ボンドなどのリスクカードを使ったらと思うと

もし防がれ、もし反射され、もし、もし、もし、そんな考えが頭の中を占めていたはずだ

そして俺の言葉はお前にとって猛毒となり、自滅していく……分かるか？　この戦いの半分以上は俺の手の上でお前は踊らされていたんだ

……ま、途中で誰かさんが邪魔したから中途半端になったがな」

卑怯……とは言えないわね

言葉で動揺させるのはどうかと思うけど、これは亮が勝手に疑心暗鬼になっただけ

でも、どこでプレイミスを誘ったのかが分からないわ……

ところで誰かさんって私の事よね？

……ああ、あの時の事ね

そういえば何で同時に溜め息を吐いたのかしら？

「教えてやるよ、お前のプレイミスをな

1つ目、最初に出したサイバー・エンド・ドラゴンだ

もしサイバー・ツイン・ドラゴンを出していれば俺は負けていた  
2つ目、俺がサイバー・ラーバを出した次のターン

お前がサイバー・ツイン・ドラゴンを出していればキメラテック・  
フォートレス・ドラゴンは弱化していた

攻撃の無力化を使わずにライフ余るので次に残せ、更に手札にはサ  
イバー・ドラゴンが残った

3つ目、その次のターンのオーバーロード・フュージョン

それでもし……お前がキメラテック・フォートレス・ドラゴンを出  
していれば？

俺はその効果ダメージによりライフが0になっていた……」

思い出してみると確かにそうね

亮はこれだけのプレイミスをしている

でも亮らしく無いわね……こんなにプレイミスをするなんて。

「これが俺の使った戦術だ

よく思い出してみろ、お前がこれらのカードを使う前に俺が何を  
言ったかをな」

瑞貴がその前に言った言葉？

確か最初に出したサイバー・エンド・ドラゴンの前には……

チィ……今度は初っぱなから潰すように動きやがったか……

だがエヴォリュション・バーストのデメリット、このターンはサ  
イバー・ドラゴンが攻撃できない！

サイバー・エンド・ドラゴンとかに融合されたら厄介だがな

……サイバー・エンド・ドラゴンの名前を出している！？

まさか次のサイバー・エンド・ドラゴンの時は！

さっきのドローでサイバー・エンド・ドラゴンを召喚する環境を整えられたら厄介だな……

俺はサイバー・ラーバアを召喚し、更にカードを2枚伏せてターンエンドだ！

またサイバー・エンド・ドラゴンの名前が出ている！  
なら最後のキメラテック・オーバー・ドラゴンも！

よく耐えるが、手札が0のお前に勝ち目は有るかな？

このままだとお前の負けだ、無様な……敗北だよ

また俺が最後にキメラテック・オーバー・ドラゴンで倒してやるから安心しろよ？

俺はこのままターンエンドだ！

また名前が出ている……

もしかしてこの状況は瑞貴が誘導した……結果？

「思い出したか？

分かっただろ、お前は俺の手の上で踊っていたという事が  
つまりお前は……本当は単純だって事だよ！」

亮は……絶望の顔になっていた

勝利を望んだはずなのに、相手の思う通りに動いてしまっていた  
そして、その代償は敗北となり戻ってくる……

「融合の続行！ 場のプロト・サイバー・ドラゴンをサイバー・ドラゴンとして融合！

そしてサイバネティック・フュージョンサポートの効果により、墓地から融合素材を除外する！

サイバー・ヴァリー2体、サイバー・エルタニン2体、サイバー・ウロボロス  
サイバー・ドラゴン・ツヴァイ3体、サイバー・フェニックス、アーマード・サイバーン  
サイバー・ドラゴン2体、サイバー・ダイナソー、プロト・サイバー・ドラゴン  
全て合わせて15体の融合！」

「（まだ……まだだ……例え俺が遊ばれていたとしても！俺は絶対に負けない！ 来い、キメラテック・オーバー・ドラゴン！例え出てきても、俺の伏せカードの和睦の使者で攻撃を止めてみせる！」

次の俺のターン、攻撃力が低い方のキメラテック・オーバー・ドラゴンを倒せば俺の勝ちだ！）」

「俺が融合召喚するのは……キメラテック・フォートレス・ドラゴンだ！」

そしてこのモンスターが特殊召喚された時、自分の場の自身以外のカードを全て墓地に送る！」

「な、なんだと!？」

融合を使つてのキメラテック・フォートレス・ドラゴンですって!？これが亮の言っていた、亮の使うキメラテック・フォートレス・ドラゴン！

「融合を使用したキメラテック・フォートレス・ドラゴンだと!？まさか今度は俺の使っている!？」

「その通り、こちらのキメラテック・フォートレス・ドラゴンはお

前の使っているタイプだ

効果はさっき教えたよな？ 攻撃する時、ダメージ計算を行わない  
そして攻撃した時、相手に400ポイントのダメージを与える  
攻撃回数は融合素材に使用したモンスターの数だけ行える……よっ  
て15回だ！」

15回も……400ポイントのダメージを与えるですって？

また明らかにオーバーキルじゃない！

さっきよりはマシだけど、元のライフでも10回で勝てるのよ！

「まさか俺がキメラテック・オーバー・ドラゴンを召喚するとしても  
思ったのか？

そしてその予想を裏切られたという顔、となるとその伏せカードは  
和睦の使者辺りか

確かに、和睦の使者ならキメラテック・オーバー・ドラゴンではど  
うしようもできない

返しのお前のターンで攻撃力の低い方のキメラテック・オーバー・  
ドラゴンを倒されて俺の負けだ

だが、キメラテック・フォートレス・ドラゴンの攻撃で与えるダメ  
ージは効果ダメージ

和睦の使者には対応していない……攻撃の無力化は既に使っている  
し2枚も入っているとは思えない  
よって……これでお前の負けだ」

瑞貴は亮の行動を全て読んでたというの？

それでキメラテック・オーバー・ドラゴンじゃなくてキメラテック・  
フォートレス・ドラゴンを？

「今回は俺の読み勝ちじゃない  
お前の判断ミスによる自滅だ……残念だったな

キメラテック・フォートレス・ドラゴンでキメラテック・オーバー・ドラゴンに攻撃！

そしてこの瞬間、キメラテック・フォートレス・ドラゴンの効果発動！

ダメージ計算を行わず、攻撃した時に相手に400ポイントのダメージを与える！

放て！ エヴォリション・レザルト・アーティレリー！ 第一打！

キメラテック・フォートレス・ドラゴンはキメラテック・オーバー・ドラゴンに当たらないように攻撃を放つ  
そしてその攻撃の先には……亮が居た。

「ぐうううう！」

「まだ終わらないぞ？

エヴォリション・レザルト・アーティレリー！ 第二打！ 第

三打！ 第四打！ 第五打！

第六打 第七打！ 以下省略し、エヴォリション・レザルト・アーティレリー15連打、放てえい！」

「があああああああ！！！！」

省略！？ しかも本当に残りの攻撃を一気に打ち出した！？

そして亮のライフは0となる……瑞貴の勝ちね

亮は倒れたまま動かない……どうしたのかしら？

「俺は……また負けたのか……」

「そうだな、また俺の勝ちだ」

「何故……俺は負けたんだ？」

「お前の心が迷ってたからじゃないか？」

でなければ、俺の戯れ言を全て無視して勝つ為に行動できたはずだ俺の言ったプレイミスをしないでな」

「そうか……俺はまだ弱かったのか」

「どうだろうな？」

卒業までまだ暫く時間が有るだろう？  
デッキを強化する手伝いをしてやるよ」

「……頼む」

……何、これ？ え？ ハッピーエンドなの？

これで良かったの？ 本当にこれで良いの？

って、最後がアッサリし過ぎじゃない！？

2人は一緒にレッド寮に向かって歩いて行った

……あの、私はどうすればいいの？





どうすればいいのか分からなかったので追いかけてみた  
少し離れた所を付いていき、話を聞きながら歩く。

「明日になったらサイバー・ダイナソーの分の金は払えよ  
エヴォリション・バーストは幻魔戦の迷惑費代わりだからいい  
けどよ」

「う……わ、分かっているが後払いは駄目か？  
俺はプロリーグに行くつもりだ、有名になればかなりの金になる  
そしてファイトマネーから払おう……だからそれまで待ってくれな  
いか？」

「持ち逃げされたら嫌だから却下  
明日払えるだけ全額払え、もし逃げたら……どんな手段を使ってで  
も払わせる！」

「分かった！ 必ず払う！ だから落ち着け！」

「ほら、行くぞ豆腐！」

「豆腐は止めろ！ せめて地獄にしろ！」

「分かった分かった、行くぞ地獄豆腐」

「豆腐は余計だ!」

貴方達、実は凄く仲良し?

今までの仲の悪さは演技だったの?

「次に戦う時は覚悟しておけよ、殺す気で行く……」

「俺の言葉に惑わされるような馬鹿とはもう戦いたく無いね  
どうしてもまた俺と戦いたいのなら、プロになってランキング入り  
しな

そしたら考えてやるよ(考えるだけだがな)」

「その言葉、忘れるなよ!

必ず貴様に勝ち、俺は勝利を得る!」

「精々頑張りなよ、地獄」

「クッ!」

え? 実は仲が悪かったの!?

この2人は本当にどんな関係なの!?

## 65話【瑞貴VS亮 後編】（後書き）

今回瑞貴が使っているデッキは？

前話の最後で亮にカードを渡したので別のカードを入れています  
なので少しだけ前回と違います……という言い訳。

瑞貴の言った必要な対価とは？

後半で言っていた通り、亮に不安を抱かせる為です

巨大化フラグだ！ そう思った人、残念ながらハズレです。

融合解除で何故相手の場にモンスターが？

原作効果です、原作効果では場に相手のモンスターが特殊召喚されます

OCGでは相手に使った場合、自分の場に素材モンスターが揃って  
いなければ特殊召喚されません

都合が悪くなるので原作効果を使用しました

なお、GXアニメではOCGとの辻褄合わせの為に相手に融合解除  
を使うシーンが無いそうです。

瑞貴の言う破壊輪や激流葬って？

原作効果とOCG、またはアニメ後半の効果の違いの事です。

サイバー・ウロボロスの効果は手札を捨てなければドローできない  
んじゃ……

ドロー効果に目が行っていて気付きませんでした……いい加減にミ  
スが多すぎですね。

キメラテック・オーバー・ドラゴンの自分の場を一掃する効果は？  
それが今回のミスです

最後の方に気付いたのですが、もしそれをする……  
その後の会話が最初から書き直しになり、更にその後の応酬も消えます

なので今回はどうしようもできませんでした……はあ  
ミスに定評の有る作者です……泣いていいですか？

瑞貴は何故亮のデッキ強化を手伝うと？

性格の変わった亮を瑞貴が気に入ったからです

卒業まで、瑞貴は更に亮を凶化（誤字に非ず）していくでしょうね  
卒業決闘……どうなるんでしょうか？

ちなみに仲は良いの？

微妙ですね……悪くは無いのですが良いとも……  
卒業決闘までの間にどうなるかが楽しみです。

## 66話【犬猿の友人】（前書き）

今回は繋ぎ話なので短めです  
卒業決闘は次回になるでしょう  
相手は作中にて……

執筆中に寝てしまいました  
なので今回は結構危なかったです  
なんとなく思い出して長編完結小説なんて読むんじゃなかった……  
朝方に寝るという……朝も早いのに馬鹿な作者です。

次話はきつと大丈夫です  
しかし眠い……さっさと寝て朝起きてからにしようか悩みます  
とりあえずきつと大丈夫です……きつと。

## 66話【犬猿の友人】

視点 明日香

あの決闘<sup>デュエル</sup>の後、私達は瑞貴の部屋に集まった  
先に私と瑞貴が部屋に入り、亮は卒業決闘<sup>デュエル</sup>の相手をこの寮から選ぶ  
からと少しだけ別れる  
話が終わったのか、すぐに瑞貴の部屋をノックされ、亮が入って来  
た。

瑞貴が亮のデッキを強化するらしく  
その話し合いになっているんだけど……

「ここはこのモンスターを入れるべきだろうが！  
安定性が上がり、回しやすくなる！」

「安定性よりも力だ！  
こちらのモンスターを入れ、爆発力を高めるべきだ！」

……こんな感じに大喧嘩中  
安定性を入れ、確実に勝とうという考えの瑞貴  
敵を本気で潰す為にオーバーキルを狙う亮  
話は平行線になっており、全然進まない。

ちなみに私が居る理由は特に無い  
ついでと言われれば否定できないわ。

こんな喧嘩をしているけど、少し待てば変化するわ

ほら、もう変わってきた。

「なら、このカードを抜いて両方を入れるのはどうだ？  
これで、こうするだろ？　するとこのパターンを考えてだな……」

「む、確かに……」

しかしこちらがこうなるとどう思う？」

ね？　変化したでしょ？

ここから話が続いて、仲が良さそうになるのよ  
まあ……すぐにまた状況が変わるけどね。

「あー……そっちを失念していたな

だとする……このモンスターを入れてみるのはどうだ？」

「いや、ここはこっちのモンスターだろう？」

「「……………」」

「だから、何故そこでそんな攻撃的なモンスターを入れる！  
お前はもっと劣勢になった時の事を考えたらどうだ！？」

「守るだけで勝てれば苦労は無い！

お前こそ何故そこまで防御に拘る！？」

ほら変わった

仲良くなったと思ったらすぐに悪くなる  
というか2人共夢中になりすぎじゃない？

「いい加減に、サイバーモンスターだけに拘るのは止めろ！



こっちのカードも入れて、安定性を上げた方が確実に勝率が上がる！」

「巫山戯るな！ 俺はサイバー流の使い手だ！ サイバーモンスターに拘るのは当然だろう！」

そうなのよね……瑞貴は安定性と確実性からサイバーモンスター以外を入れようとしている  
だけど亮はサイバーモンスター以外を絶対に入れないって言っている  
亮の拘りは分かるわ、私も扱い難いと自覚しているサイバー・ブレ  
イダーを使ってるもの。

誰にでも拘りが有るわ

亮はそれを主張しているだけ  
でも瑞貴は亮の事を考えて色々と言っている  
だからどちらにも協力できないのよね……

「はあ、厄介な拘りだな」

「なんとも言え  
お前だって先ほどの決闘<sup>デュエル</sup>ではサイバーモンスターしか使っていなか  
った

それもお前の拘りと言えるんじゃないか？  
例え強化コピーデッキを使おうとも、できるだけ相手のデッキと同  
じにしようとしているだろ」

「しかしなあ……分かったよ、ならこのモンスターは諦めるか  
魔法や罫でこれにどうにかするとなると……」

今回は瑞貴が折れ、妥協した

瑞貴の出すサイバー以外のモンスターは全て言い負けている  
何度も負け、妥協しているのに諦めないのは何故かしら？

「よし、この魔法カードはどうだ？

これをここで、こう使うとだな……」

「だが回りくどいな

もっと直接的な……この魔法カードでどうだ！」

「直接的過ぎてそれは禁止カードだろうが！

こっちに妥協しろ、それでなんとかなるはずだ」

「だが勝つ為には……」

「ルールが存在しているから悩むんだろうが！

勝つ事に拘るのは構わんが、最低条件だけは守れ！」

「クッ……仕方無い、だがそのカードだと今度は弱すぎる  
もう少しどうにかなるカードは無いのか？」

「我が儘な奴め……そうだな

ギリギリ妥協できる範囲で使うならこれだろう  
お前なら使えるんじゃないか？」

「こ、この魔法カードは！？

だがこの魔法カードを使うと手札が……」

「お前なら絶対に大丈夫だ

俺が保証しよう、だからこの魔法カードでどうだ！」

「よし、良いだろう！  
お前の挑戦に乗ってやる！」

本当に仲が良いわね……多分  
今は良いけど、どうせまた少ししたら……

「この罠カードは必須だと言っているだろうが！  
お前は我が儘過ぎるんだ！ もっと頭を柔軟にしてだな！」

「使うのならこっちだと何度も言わせるな！  
お前の罠カードはまた防御系ではないか！  
そんなカードで勝てるか！ もっと殺意を込めろ！」

「殺意を込めるのはモンスターだけで十分だろうが！  
殺意を込める為の罠カードなんて……よし、これならどうだ！」

「おお！ さすが堅守！  
良いカードだ、だがそれを入れるとその魔法カードが邪魔じゃない  
か？」

「確かに……だがこの罠カードを入れるとだな」

喧嘩して、また話が戻って仲良くなり、再び喧嘩する  
どう見ても友達よね……

「とりあえずこんな感じか？  
言い合いで少し疲れた……休憩にしよう」

「そうだな……俺も疲れた  
飲み物を貰っていいか？」

「勝手にしろ」

どうやら話が一段落しらみたいね  
ちょっと訊いてみようかしら？

「2人に質問が有るんだけど……良いかしら？」

「なんだ明日香」「どうかしたのか？」

「お互いに相手に対してどんな認識を持っているのかなって  
そう思ったのよ、どうなの？」

「「嫌いだ……む？」」

息ピツタリね、本当に嫌い合ってるの？

「同時に言うな！ 同時に！」

俺はお前の我が儘で頑固な所が大嫌いだ！」

「それは俺の台詞だ！」

俺だってお前のその態度のでかさと言葉遣いが大嫌いだ！」

「何だ？ 戦るか！？」

「受けて立とう、潰してやる！」

「お、落ち着きなさいよ

今のは私が悪かったわ、見てて疲れるからもう喧嘩は止めて！」

「「チツ……………ふん！」」

ああああ……私の余計な一言でまた険悪な雰囲気にもどう考えても仲良しなのよね

自覚は有りそうなんだけど、認めたく無いのかしら？

「おい堅守、茶が無いぞ

多少余裕を持って買っておけ、来客時に困るだろう」

「俺の部屋に来客なんて殆ど来ないっての

そもそも俺は茶を飲まん、諦めて水でも飲んでろ」

……ちよつと待って、来客が殆ど来ないってどういう意味？

私や白黒兄モノクロさんは客じゃないの？

え？ 私ってどういう扱いになってるの！？

「ならコーヒーや紅茶は無いのか？」

「無い、水だけだ」

そうなのよね……この部屋に有る飲み物は水しか無いのよ  
偶にジュースとかが入ってるけど、それも滅多にしか無いわ  
理由は訊いたことが無いけど、どうしてなのかしらね？

「……茶ぐらい置いておけ！

何故茶を買わん！」

「俺は茶が嫌いなんだよ！

渋いし、茶葉が偶に入ってるし、何よりも不味い！」

「貴様は子供か！」

「子供舌で悪かったな！」

どうせ俺は甘い物が好きで、苦い渋い辛いすっぱい味の物は嫌いだし食えない！

「笑うなら笑いやがれ！」

……いや、それは大声で宣言する事じゃないでしょ？

お茶も嫌がるぐらいの子供舌……どんな味覚をしてるのよ  
いくら私でも、そこまで駄目じゃないわよ？

「くくく……ははははは！」

あの堅守が子供舌!？ 子供舌だと!？

は  
は  
は  
は  
は  
は  
は  
は

「！」

「本当に笑うな地獄豆腐！」

「豆腐は余計だと言っただろうが！」

「この幼児舌め！」

「幼児とまで言うか貴様は！」

「……殺すぞ！」

「止めなさい!!!」

これ以上喧嘩をするなら怒るわよ！」

ヒートアップしてきたので強引に止める

瑞貴も亮もお互いに睨み合い、威嚇している

貴方達は子供？  
それともこういう友情なのかしら？

「分かった、今回は水で我慢しておいてやる  
その代わり、次に俺が来るまでには茶の1つぐらい用意しておけ」

「それぐらい自分で用意して来い  
別に俺は飲まないんだから関係無いな」

「「……………戦るか！」」

「戦るな!!!!」

駄目ね、この2人だけにしたら何が起こるか分からないわ  
良かった……2人が仲良くなったのがこの時期で  
もしもつと早く仲良くなっていたらと思うと……

無理ね！ 会話1つでここまで険悪になれるなんて  
それを止めると思うだけで、想像しただけで疲れるわ！  
私以外に止められる人物は……白黒兄さん？

でも、白黒兄さんモノクロは少し前に戻ってきたばかり  
1ヶ月以上前だったたら私だけで対処しないと駄目だったの!？  
はあ……絶対に無理、途中で確実に投げ出すわ。

「…………堅守」

「なんだ？」

今度はどうしたのよ亮  
また何か疲れるような事は言わないでね。

「何故茶菓子の1つもこの部屋には無いんだ？」

「茶が無いのに茶菓子が置いてあるのもどうかと思うが？  
クッキーとかでも欲しいのか？」

悪いが、俺は自分が食いたくなかった時にしか買わないから買い置きは無いぞ」

私としては、お菓子なんて買える貴方が羨ましいわ  
だって私はお昼ご飯さえ……うう、ひもじいわ。

「「……………」」

「1つぐらい置いておけ！」

「なら飴でも舐めておとなしくしてろ！」

「そんな事で喧嘩するな……！！」

どちらも一気に沈静化

瑞貴が亮に飴を投げ渡し、素直に受け取りそのまま飴を舐める亮  
この2人……本当は馬鹿？

「おい地獄」

「なんだ堅守」

「お前……ちょっとブルーの豪華な部分に慣れすぎたんじゃないか？  
ちなみに白黒は凄<sup>モノクロ</sup>いぞ、3日でレッド寮に適応したからな  
ま、ブルーの食事は惜しかったらしいが……」



「ふむ、さすが吹雪と言った所か  
あいつの性格から考えても、そんな所だろう  
俺には少々難しそうだ」

私の場合、生活を考えたらレッド寮の方に移住したくなるわ  
食事豪華なブルーの食事を見ると時々引くようになったしね  
レッド寮の食事を見ると、なんとなく安心できるのは何故かしら？

「プロになっても、無名の間は少しは貧乏生活をするんじゃないか？  
まあ、お前の場合は実家がそれなりだから大丈夫そうだがな」

「いや、両親の世話になるつもりは無い  
最初は少しは世話になるだろうが、すぐに自立するつもりだ  
できればプロで一気に駆け上がりしたいしな」

「理想論だが、お前なら最初からできただろうな  
だが、今のお前は更に強くなっている  
<sup>デュエル</sup>決闘中じゃなければ落ち着いていられるようだしな  
<sup>デュエル</sup>顔良し、性格は決闘中以外はそれなりに良し、実力は高め  
5戦もしない内に有名になれるだろうな」

「そうか、そう言って貰えると励みになる  
しかし……<sup>デュエル</sup>決闘中はそんなに変わってるか？」

「違うな、なあ明日香？」

「そうね……かなり違うわね」

というか、自覚無かったの？  
瑞貴との喧嘩中もだけど、殺すなんて言葉を亮が言うのは信じられ

なかったわ

人間、たった1つの切欠でここまで変われるものなのね。

でも自覚が無いって問題じゃないかしら？

初見でその性格を見たら大抵の人は引くわよ？

私はまだ……そこまで気にならないけど  
だって瑞貴の口の悪さや説教で慣れたし。

「あまり自覚は無いんだが……」

「それは仕方無いだろう

自分の性格だ、自覚するのは難しい  
それにお前は今の自分をどう思う？」

「今の自分？」

亮は暫く考え込み……

「そうだな、悪くない

勝ちを目指す為に自分が変わるか……  
もう1度誰かと戦ったらきっと自覚できると思う」

まあ、まだ変わってから1度しか戦っていないから仕方無いわね  
となると次の決闘は卒業決闘デュエルね

誰を指名したのかは知らないけど、相手は不運でしょうね……

だって、ヘルカイザー亮の最初の犠牲者になるんだもの

あの亮を見て、戦い方を見て、実力を見て再起不能にならないとい  
いけど

心配ね……大丈夫かしら？

「そういえば卒業決闘の相手をさっき指名してきたんだったな  
誰を指名してきたんだ？ 俺の予想では似非か白黒だと思っただが」

デュエル  
モノクロ  
白黒兄さんは留年だから在校生だったわね

だったら戦っても良いんでしょけど……なんだか反則みたいね。

「俺が選んだ相手は遊城十代だ

前からもう1度戦いたいと思っていたしな

俺の実験相手には丁度良いだろう」

「ふーむ……まあ確かに実験相手には丁度良いだろうな  
実力を試したいのなら明日香や白黒が妥当だが」

「ちょ！ 私まで巻き込まないでよ！

ただでさえ強い亮が強化されたのよ！

勝つ自信は有るけど、戦いたい相手じゃないわ！

「俺もそう思ったんだが……

自分が変わるかもしれない、そんな切欠になったかもしれない1  
人だ

あいつの戦い方にも興味が有る、どこまで食いつけるか……楽しみ  
だ」

うわぁ……獲物を捕らえるような獰猛な笑みね  
まさに肉食獣という感じの亮、かなり怖いわ  
よかった、私が相手じゃなくて。

「まあ今のお前なら似非に負ける事は無いな」

「どういう意味だ？」

「前のお前だったらリスペクトだの何だのと……それで本気を出した気になって手加減していた可能性が高い良くて引き分け、最悪負けていた可能性も否定できない」

十代の力は時々未知数だものね

そう簡単に勝てない相手なのは事実

でも今の亮なら……

「なら堅守、お前から見て勝敗はどう思う？」

「そうだな……9対1でお前の勝ちだな」

「……低いな」

いやいやいやいや、十代の勝率が10%なのよ！

というか自分が90%勝ちだと言われているのに低いってどういう事よ！

「確かに低いな

できればもう7%ぐらい上げたかったんだが

この10%は似非自身が厄介だからだ

お前に非は無い、相手が悪いと言ったら分かりやすいか？」

「なるほど、十代特有のスキルという訳か

常に勝率10%を持つ……か、羨ましい奴だ！」

えええ！ 貴方って瑞貴以外に負けた事無いでしょ！？

昔は知らないけど、この学園でカイザーが負けたという話は1回も

聞いたことが無いわ！

それで勝率10%持ちの十代を羨むって……どこまで勝利に飢えてるのよ！

「そう怒るな、あいつ自身はどうにでもなる  
何気に前のお前並にメンタルが弱いからな」

十代のメンタルが弱い！？

心臓に毛が生え、しかも熱塊でできているような心の持ち主よ！  
その十代が、メンタル面で弱いですって！？

「あいつはプレッシャーに弱い

普段は楽しくと言っているが、期待されると弱いタイプだ

卒業決闘<sup>デュエル</sup>までに何度か話し、軽くプレッシャーを掛けてみれば分かる

あいつは高確率で自滅する、お前に勝たなければという期待とプレッシャーでな」

「勝ちたいではなく、勝たなくてはだど？」

「そうだ、あいつは全く自覚は無いだろうがな

あいつは今や全校生徒の注目の的なのは知っているな？

十代ならカイザーを倒せるのでは？ 十代ならもしかしたら……

そんな雰囲気になっているだろう……つまり、プレッシャーが掛かる  
自分自身も知らない内に、勝ちたいから勝たなくてはと変わっているはずだ」

私としては、嫌いな相手なのにそこまで読める貴方が怖いわ  
でも、そうかもしれないわね。

十代は三幻魔の事件だけじゃない

入学試験でクロノス教諭に勝ち、最初の月一テストでブルー生徒の  
万丈目君に勝つ

学園對抗決闘<sup>デュエル</sup>で三沢君を破り、次こそは瑞貴に負けたけど、その後  
の学園對抗決闘<sup>デュエル</sup>で万丈目君に勝った  
学園の生徒が十代に注目するのは当然とも言えるわね。

「だが似非の事だ、後半は高確率で持ち直す  
持ち直す前に潰すのがベスト、持ち直しても押し切れればベター  
少しでも躊躇ったら……アウトだ」

「……分かった、最初から全力で行こう  
アドバース、感謝するぞ堅守」

「俺としてもあいつはかなり嫌いだからな  
お前に負けて這いつくばる姿を見れるかと思うと……」

「「ふふふ……はははははははははは！」」

まさかこの2人って似た者同士？  
それは無いと思うけど……なんだか怖いわ  
自分だけ別の何か謎の場所に放り込まれたような気分よ。

「休憩はこれで終わりだ  
デッキ改造を再開するぞ」

そっちに戻すのね  
確かに話も一区切りだったし、丁度良いか。

「分かった、先ずはこの罨カードからだ」

それは休憩前に話していた罠カードだった  
だけどそれを最初にと……

「……………」

「それはさっき不要と言っただろうが！  
いい加減に諦めてこっちの罠カードを入れろ！」

「何だと！ 貴様こそその罠カードを入れようとするのは止めろ！  
相手を潰すのに必要な罠カードはこちらだ！」

やっぱり言い合いが始まった！  
もお、どうしてこの2人はこんなに仲が良いのよ！

「いい加減しつこいぞ地獄！」

「お前こそ、もっと考えたらどうだ？」

「……………戦るか！？」

「だから、戦るなって何度も言わせないで……！」

だ、誰か変わって……お願いだから！

視点 鮫島

うーむ……まさか亮が変わってしまうとは

実は亮から堅守君と決闘する<sup>デュエル</sup>と報告が入ってね

観戦は無しという話だったんだが……

気になって、つい隠れて観戦してしまったのだよ。

亮は変わりたかったのか

それに気付かずに私はこの3年間……いや、もういいだろう  
一皮剥けた、それだけで彼は喜んでいた

……結果は置いておくがね。

しかし、堅守君もサイバー流の使い手だったとは

だが彼のような生徒は知らない……どこで会得したのだろうか？

それだけでなく、彼は様々なカードを使う決闘者だ<sup>デュエリスト</sup>

堅守君は何者なのだろう……いや、あまり詮索する事じゃないか。

さて、とりあえず堅守君をオベリスクブルーに昇格させねば  
学園最強と言われたカイザー亮、彼に2連勝したのだからね  
これでラーイエローのままでは私の気が済まない。

元々、彼がラーイエローだった事は以前から疑問だったのだ  
しかし切欠が無かった、表向きにはあまり公表できないが良い切欠  
ができた

彼も将来や成績を気にしていたからな、昇格は喜んでくれるはずだ。

問題は亮が変わってしまった事か<sup>デュエル</sup>

リスペクト決闘を全否定され敗北……

そして亮は勝利に飢える獣となった。

亮は相手をリスペクトするよりも勝利を選んだ  
それが亮が変わってしまった事……そして原因  
私は気付いてやれなかった、亮が勝利を望んでいる事に。



堅守君は悪くない、彼は亮が変わりたいという願いを叶えただけ  
堅守君は悪くない、彼は亮と決闘デュエルをしただけ

堅守君は悪くない、彼は亮に更なる高みを目指すようにしただけ  
そう、彼は悪くないのだ……彼自身に悪意は無かったのだから。

これは誰も悪くない、ただ切欠だったただけだ

おそらく、亮は今回の事が無くともあのようになっていただろう  
私は亮を元に戻したい、しかしアレは亮が望んで変わったのだ  
私は……私はどうすればいいのだ……

とりあえず、卒業決闘デュエルを見よう

そして、その決闘で亮がどこまで変わったか確認せねばならん  
相手をどう扱うか、相手に何を言うか、相手をどう思うか……  
行動するのはそれを知ってからでも遅くはないはずだ。

## 66話【犬猿の友人】（後書き）

瑞貴と亮の言い合っていたカードって？

不明、会話から察してください。

瑞貴を言い負かす亮が……

それだけ拘っているという事でしよう

裏サイバーではドラゴン族も使っていますが……  
ボマー・ドラゴンとかヘル・ドラゴンとか。

亮の掲示した禁止カードって？

不明、会話から察してください。

実際、瑞貴と亮はお互いにどう思っているの？

瑞貴は亮が嫌いです、色々と面倒を運んできたので

しかし今はそこまで嫌いではありません

亮は瑞貴が嫌いです、思いつきり打ちのめされたので

しかし今はそこまで嫌いではありません

結論、お互いに嫌いと言うほど嫌っていないが好意は無いに等しい  
といった感じです。

瑞貴の言う来客が殆ど来ないって？

明日香は客扱いをしていません、吹雪は言わずもがな

カミューラは寮長として働かせているのでかなり自由にしているの  
であまり会いません

他に来る人物はほぼ皆無なのです。

瑞貴の味覚って……

完全に子供舌です

笑ってやってください。

亮が飴って……

シュールですね。

明日香ってまさか……

貧乏性になっています

節約術とかの知識も持っているぐらいになっています  
変われば変わるものですね。

亮って変わった自覚が無いの？

殆ど有りません

リスペクトという考えが丸々勝利に挿げ変わっています  
なので違和感を感じられないのです。

十代の話って？

作者からの感想という感じです

実際はどうでしょう？ どう思いますか？

校長……

性格とかを考えたらこんな感じだと思いました

他はヘルカイザー亮VSマスター鯨島戦を見てこんな感じかと。

## 67話【卒業決闘 十代VS亮】（前書き）

という訳で間に合いませんでした

最後がとても投げ槍……長くなったので次話に繋げる為です！  
と、言い訳をしますが本当に長くなるので分けます。

疲れました……もう面倒なので細かい事は書きません

後書きもちょっと投げ槍気味ですが、勘弁してください

次話はなんとかなると思います、以上！

## 67話【卒業決闘 十代VS亮】

視点 吹雪

「もうすぐ始まるね、亮と十代君の決闘が……」  
デュエル

「似非じゃ地獄には勝てないよ  
俺としてはどこまで似非が足掻くかが見たい所だ」

「（亮がどれだけ強くなったのか気になってるくせに……  
素直じゃないんだから）」

僕達3人……僕、明日香、堅守君で一箇所に集まって見ている  
万丈目君や翔君とも一緒に良かったんだけど、堅守君が嫌がったか  
らね

それに翔君も堅守君を嫌ってるし、今回は止めておいた。

できればカムイラにも見せたかったが、残念ながら今は昼だ  
彼女は寝ており、起こすのも悪かったので諦めた  
カムイラとしても、多少興味が有ったみたいだけど残念。

「しかし堅守君、地獄とは亮の事かい？  
前までは豆腐と呼んでいたのに突然呼び方の変更  
この試合までに何か有った？」

「ああ、それは痛っ！  
何するのよ瑞貴！」

明日香が教えてくれようとしたんだけど  
その前に堅守君が明日香に拳骨して止めた  
兄の目の前で妹を殴るのは止めてほしいんだけど……  
それに女の子に手を上げるのは駄目だよ？

「すぐに分かる、楽しみに待ってろ  
今の地獄は以前までの豆腐じゃない  
くくく……さっさと楽しませろよ？」

こ、これはヤバイ！  
堅守君が亮を褒めて……いるのか？  
かなり謎だ、やっぱり何か有ったのかな？

だけど2人だけの秘密って酷くないかい？  
それとも、2人だけの秘密にしたいとかあ？  
わお！ うーん、2人だけの秘密！ 良い響きだなあ！

「白黒、何を妄想してるのか知らんが  
モノクロ  
それを体で表現するのは止めろ、鬱陶しいから」

「そうよ、体一杯でくねらせるのは止めて  
気になるし、気持ち悪いわ」

「……すまない」

2人共容赦が無いなあ  
でも息がピッタリだね！

さて、それよりも……お、出てきた出てきた  
亮と十代君が出てきた！

ん？ 十代君の表情がちょっと硬くないかい？

「似非はどうやら予想通りらしいな」

「そうね、今の十代に勝ち目は無いわ」

「予想通り？」

「どういう事だい？」

「見ていれば分かるさ」

「少しだけ教えておくと、このままでは似非は自滅する  
なんとも情けない事だ」

「十代君が自滅？ 何故それが分かるのか」

「いや、確かにあの表情を見れば普段の彼とは違  
うーん……これが吉と出るか、凶と出るか。」

「まあ明日香と堅守君は凶と出ると思っているみたいだね  
それに対して亮の表情は……何を考えているんだ？  
どうもあまり感情を感じられない。」

「2人は亮の表情、どう思う？」

「僕にはあまり感情を感じられず、ちょっと気になるんだけど」

「さっきも言っただろう、見ていれば分かる」

「（とりあえずは俺の指示に従っているみたいだな  
だが……それがいつまで保つか、どうせすぐに化けの皮が剥がれる  
か）」

「（瑞貴の指示……それは最初は猫の皮を被っている」

最初から飛ばすと楽しみが無い、それだけの理由での指示  
だけど亮はそれを了承した……亮も楽しみたいから  
自滅するまで少し待ち、体勢が崩れたら一気に叩き潰す  
瑞貴と亮はこれを狙っているわ)」

亮は何かを我慢している？

僕にはそう見える、だけど何を我慢しているんだろう？  
うずうずしているようにも見えるし、早く戦いたいとかかな？

デュエルフィールド  
決闘場の真ん中に2人は立つ

そしてお互いに宣戦布告、といった感じかな？

「カイザー、今日は勝たせてもらうぜ」

「……………（腹が立つな、勝つのは俺だ！）」

む、何やら亮から不穏の気配が……

しかし表面上は変わっていない、何を考えているんだ亮！

「今の亮に勝利宣言なんて……十代、貴方は何て事を」

「これで地獄は本気になったな  
すぐに猫被りを止めそうだ」

今の亮？ 猫被り？

そんなに拙い事を十代君はしたのかい？  
というか、今のって何だ明日香

猫被りとはどういう意味だ堅守君！

クロノス教諭が開始の宣言を始める



さて、どんな戦いになる事やら。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻後攻は？」

「……どちらでも」

「なら俺は、後攻を取らせてもらおうぜ！」

「了解した

（なるほど、俺を研究してきたのか  
だが……今回に限ってはそれは大きなミスだと言わせてもらおう！）  
」

後攻か、十代君らしくないな

彼なら喜んで先攻を選ぶだろうに

となると……まさか亮を研究してきたのか？

確かに、サイバー・ドラゴンの後攻だと有利だ

相手の場にモンスターが存在し、自分の場にモンスターが存在しない  
その時、このモンスターは特殊召喚できる効果を持っている。

それならば後攻を選んだ方が有利だろう

だが、今の亮はこの2人が関係しているらしい  
十代君、気をつけないと一気に負けてしまうぞ？

「では俺の先攻、ドロー

俺はサイバー・ラーバアを召喚する」

攻撃力400を攻撃表示で召喚!?

それに、あんなサイバーモンスターは見た事が……まさか!

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

いや、まだ決めつけるには早すぎる

もしかしたら僕が見た事は無いだけかもしれない  
亮とは何年も離れていたんだ、その間に……

「(おかしい……カイザーとは思えない

何故攻撃力400のモンスターを攻撃表示で?

最初からサイバー・エンド・ドラゴンが出てくる可能性も考えたんだがな

伏せカードも気になるけど、俺の読み間違いか?)」

なんだか慎重だね、十代君

らしくないなあ……それだけ亮を警戒しているのかな?  
だとしても、どうも調子が狂うなあ。

「(いや、どんな手を使ってこようと相手はカイザー  
慎重になるに越した事は無い、いつサイバー・ドラゴンが出てくる  
か分からないしな)

俺のターン、ドロー!」

かなり考えてるね、大丈夫かな?

僕としては、普段通りに戦うのが一番だと思うよ  
もしかして2人の言う予想通りってこれの事かい?

「俺は融合を発動!

手札のE・HEROワイルドマンと、E・HEROエッジマンを融

合！

E・HEROワイルドジャギーマンを融合召喚！」

おお、相変わらず融合が早いねえ

サイバー・ラーバアの攻撃力は400、大ダメージは必至だね  
だけど、あの伏せカードが気になる所だ。

「（カイザーは俺の様子を見ている

今の内に先手を取り、ダメージを与える！）

ワイルドジャギーマンでサイバー・ラーバアに攻撃だ！」

十代君！ それはちょっと迂闊じゃないかい！？

そうは思ったけど、亮は何もせずにサイバー・ラーバアを破壊させる  
おかしい……あの伏せカードは何なんだ？

「どうだ！」

破壊されたサイバー・ラーバアが破壊された時の煙で辺りが見えない  
その時、煙の中からレーザーが飛んできた！？

それは十代君に300ポイントのダメージを与えたが何故……

「ぐっ！

な、何が起こったんだ？」

煙が晴れた時、亮の場には永続罠が発動されており

更に亮の場には先ほど破壊されたはずのサイバー・ラーバアが残っ  
ていた

いったい何が起こったんだ！？

「永続罠、サイバー・サモン・ブラスターを発動させた

このカードは、機械族モンスターが特殊召喚された時に相手に30ポイントのダメージを与える

お前の減ったライフはこのカードの効果だ」

「だが、機械族は特殊召喚されていないはずだ！

そのモンスターだって破壊されてないし、ダメージは通ってないし、どうなってるんだ！？」

「サイバー・ラーバアの効果を発動だ

このモンスターが攻撃対象になったターン、俺は戦闘ダメージを受けない

更に破壊された時、デッキからサイバー・ラーバアを特殊召喚する効果を持っている

よって、俺は戦闘ダメージを受けず、更に特殊召喚されたのでサイバー・サモン・ブラスターの効果が発動

そして今の状況だ……理解できたか？」

珍しいな、あの亮が搦め手を使ってくるなんて

だから伏せカードはあの1枚だけで良かったのか

そしてサイバー・ラーバアが倒されても全く問題無い

むしろ破壊された方が有利になる……か。

「（こんなの想定外だぜ！

あのカイザーがこんな手を使ってくるなんて

さすがカイザー、俺の一手も二手も先を行っている！

だが、俺だってこれで終わったりしない！）

ワイルドジャギーマンの効果発動！

このモンスターは相手の場の全てのモンスターに攻撃できる！

新しく現れたサイバー・ラーバアに攻撃する事は可能だ！

行け！ ワイルドジャギーマン！」

ダメージを受けると分かっている攻撃するか！  
だがそれが正解だ、でなければ生け贄にされたりするかもしれない  
それに次の攻撃も防がれる可能性も高いからね。

「サイバー・ラーバアの効果で戦闘ダメージは無い  
そしてサイバー・ラーバアを特殊召喚し、サイバー・サモン・ブラ  
スターの効果発動  
機械族モンスターが特殊召喚されたので相手に300ポイントのダ  
メージを与える」

「ぐああ！ わ、ワイルドジャギーマンで最後のサイバー・ラーバ  
アに攻撃！」

よし、これでこれ以上の特殊召喚は無い！  
厄介なモンスターだったけど、全て破壊されたら何の役にも立たな  
いだろう！

亮だってこれは計算外だったはずだ。

なにせ、サイバー・ラーバアはリクルーターモンスター  
リクルーターモンスターの主な使用法は次に繋げる為の時間稼ぎ  
それか生け贄のどちらかの可能性が高い！

既にサイバー・ラーバアは全滅、これでは何もできない！  
しかも、ワイルドジャギーマンの攻撃力は2600  
サイバー・ドラゴンでは勝てない！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「そのエンドフェイズ前に罠カードを発動させてもらおう」

「なに？」

「罨カード、リターンソウル

このターンに破壊されたモンスターを全てデッキに戻す

残念ながらサイバー・ラーバは再び現れる……攻撃を止めておくべきだったな」

なるほど、巧いな

サイバー・ラーバを1ターンで全滅させた場合、全てをデッキに戻す事ができる

という事はまた戦闘ダメージの無効化、そして特殊召喚のコンボを使えるようになる

亮は十代君が1ターンでサイバー・ラーバを全滅させる事を読んでいたか。

「功を焦ったな……似非の奴は欲張った

ま、普通は全滅させるだろうがな」

「確かにそうね、でもサイバー・ラーバの効果は攻撃対象になった時だけ発動される

最後の1体を残し、次のターンで新たなモンスターを出して最後に攻撃すればあるいは……」

「下級モンスターを召喚しなかったのは正解だな

手札に無かった可能性も高いが……ダメージを与えられないんだ  
低攻撃力モンスターを晒すよりはマシだろう」

あるえ？ この2人って凄くないかい？

たった1ターンの攻防でここまでの解説ができるって

もしかして僕って凄い場所に座ってる？

「俺のターン、ドロー」

俺はカードを1枚伏せ、サイバー・ヴァリーを召喚する

サイバー・ヴァリーの効果を発動、このカードと自分の場のカードを除外する事ができる

そして、デッキからカードを2枚ドローする」

手札交換か……しかし亮は既に通常召喚権を使用している

大丈夫なのか？ 確かにサイバー・ドラゴンは特殊召喚できるけどそれでもワイルドジャギーマンには勝てない……

「俺はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

いい！？ サイバー・ドラゴンを特殊召喚しない！？

あの亮が使っているんだ、手札に無いはずが無いんだが……

「（なんだ……この違和感は、俺はカイザーと戦っているはずなのに何故、別の誰かと戦っているような気がするんだ？

わかんねえ……なんだこの違和感は！）

俺のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、デッキから更に2枚ドロー！

よし、E・HEROスパークマンを召喚するぜ！」

「永続罠、サイバー・シャドー・ガードナーを発動する

このカードは発動後、モンスターカードとなり、場に特殊召喚されるそしてサイバー・シャドー・ガードナーは機械族……

よって、サイバー・サモン・ブラスターの効果が発動し、300ポイントのダメージだ」

「な、なんだって!?!  
うわああ!」

亮らしくない戦い方だな

こんなチマチマとライフを削る戦い方なんて予想外だ  
確かに効果的なんだけど、違和感が強いなあ。

「な、なら俺は魔法カード、Rーライトジャスティスを発動!  
自分の場のE・HEROの数だけ場の魔法、罠カードを破壊する!  
俺が破壊するのはサイバー・サモン・ブラスターとサイバー・シャ  
ドー・ガードナーだ!」

十代君の場にはE・HEROが2体だからね  
これで邪魔なカードを排除できる!

「永続罠を発動、宮廷のしきたり  
このカードが存在する限り、全ての永続罠は破壊されない  
よってライトジャスティスは無駄打ちだ」

これはまた予想外だ、本当に亮らしくない  
何故こんなに守り型で戦うのだろうか?  
亮は攻撃の方が圧倒的に得意だったはず。

「だが、サイバー・シャドー・ガードナーの攻撃力は0!  
スパークマンでサイバー・シャドー・ガードナーに攻撃だ!  
スパークフラッシュ!」

スパークマンの放つ雷撃がサイバー・シャドー・ガードナーに向か  
って飛んでいく  
しかし……サイバー・シャドー・ガードナーは姿を変え、スパーク



マンになった!?

「サイバー・シャドー・ガードナーは攻撃された時  
攻撃してきたモンスターと同じ能力になる、よって攻撃力は1600  
迎撃しろ、サイバー・シャドー・ガードナー」

サイバー・シャドー・ガードナーもスパークマンに攻撃する  
電撃が中心でぶつかり、爆発する  
十代君のスパークマンは破壊されてしまった。

しかし、亮のサイバー・シャドー・ガードナーは破壊されずに残っ  
ているだって!?  
どうなっている! 何故相打ちにならないんだ!?

「馬鹿な……何故攻撃力が同じなのに破壊されない!  
攻撃力が上がっていたわけじゃないのに何故……」

「宮廷のしきたりの効果を忘れたか?  
このカードが存在する限り、全ての永続罫は破壊されない  
それが効果だろうが、戦闘だろうがな」

それってつまり……究極の壁モンスターになるという事か!  
なんて厄介な! しかも十代君は既に魔法、罫を破壊できるライト  
ジャスティスを使用している  
これでどうやって勝てば良いんだ!

「クソッ! 俺はカードを1枚伏せてターンエンドだ!  
(なんでこんなに予想外の事が起こるんだ!  
あれだけ頭使ってカイザーの事、研究したのに!  
全部無駄だったのかよ!)」

「この瞬間、サイバー・シャドー・ガードナーは伏せカードに戻る  
このカードは相手のターンにしか発動できないからな」

つまり、再利用可能という事か

サイバー・サモン・ブラスターの効果を再び使う事ができる  
しかもどちらも宮廷のしきたりで破壊されない……なんてコンボだ！

「似非の奴、荒れてるな

あの様子だと地獄の事をかなり研究したんだろう  
だが、自分の予想した事が悉くハズレ、混乱している  
気持ちと考えだけが勝手に進んでパニックだな」

「そうね……私としても亮があんなデッキを使うのはちょっと予想外  
でも、十代を揺さぶるには効果的ね  
十代は混乱だけでなく、苛立ちも出てきてる  
これでは自分の決闘<sup>デュエル</sup>なんてできないわ」

「2人とも随分冷静だね  
もしかして亮の変わりようの原因を知っているのかい？」

2人は黙り、決闘場<sup>デュエルフィールド</sup>を見る

答える気は無いか……となると原因は堅守君かな？  
明日香は言うなと言われている可能性が高いし。

「つまらない奴だ……」

「どういう意味だ、カイザー」

「お前をこの決闘<sup>デュエル</sup>の相手にした事を、俺は後悔している

こんな事なら吹雪と決闘デュエルすればよかった……  
お前を誘った時の俺はどうかしていたらしいな」

「なんだと………！」

んー……亮の言いたい事も分かるね  
こんな状態の十代君と戦っても意味が無さそうだし  
亮の望みはちよつとまだ分からないけど、普段通りの十代君と戦いたかっただろうね。

なのに、当の本人はあの有様  
慣れない事をし、自分で自分を追い込んでいる事に気付いていない  
あんな状態では亮が怒るのも無理は無い。

「お前は自分が如何に愚かな事をしているか気付いていない  
そのままであるつもりなら、今すぐ決闘デュエルを止めろ」

「巫山戯るな！ 今日俺は戦略戦術共にパーフェクトだ！  
俺はカイザー、お前を越える！」

十代君の気持ちも分かるんだけどね  
だけど、亮はそれを全く望んでないんだよ？

「俺を越える……か  
ならば越えてみせろ、越えられるのならな  
そしてパーフェクトという言葉の馬鹿馬鹿しさを思い知れ」

パーフェクトが馬鹿馬鹿しい？  
デュエリスト  
君自身がパーフェクト決闘者と呼ばれているのにかい？  
どうしてそんな事を……

「俺のターン、ドロー」

除外された異次元からの宝札の効果を発動する

このカードは除外された次の自分のスタンバイフェイズに手札に戻ってくる

この効果で手札に戻った時、お互いにカードを2枚ドローする  
さあ十代、デッキから2枚ドローするが良い」

さすが亮だな、一気に手札を補充したか  
次は何をするかなつと……

「俺は……サイバー・ラーバアを召喚する」

「チッ、またそいつか！」

さっきデッキに3枚も戻したからね

これだけドローすれば手札に來ても不思議じゃない。

「俺はこれでターンエンドだ」

「（何故攻撃してこない……カイザーは何を考えているんだ！

こんなのカイザーじゃない、ずっと感じているこの違和感はなんだ  
！？）

俺のターン、ドロー！」

「サイバー・シャドー・ガードナーを発動し、サイバー・シャドー・ガードナーを特殊召喚

そして機械族が特殊召喚された事により、サイバー・サモン・ブラスターの効果発動

相手に300ポイントのダメージを与えられる」

また十代君がダメージを……

これで4回目か、どうするんだい十代君！

「（どうすれば……どうすればいいんだ！？

サイバー・ラーバアを攻撃してもダメージを与えられず、またダメージを受ける

だからといってサイバー・シャドー・ガードナーに攻撃しても倒せない

このままだと……このままだと！）

俺は何もせず、ターンエンドだ！」

何もしないって……どっちも様子が変だな

亮は戦い方が亮らしくなく、サイバー・ドラゴンを使わない

十代君は頭を使って戦い、慣れない戦法で亮に勝とうとしている  
見ている方も大きな違和感を感じる、変わった決闘だ。<sup>デュエル</sup>

「このまま似非が駄目になっている限り、勝ち目は皆無だな  
地獄が何もしないでも勝手に戦いは終わる」

「十代は馬鹿ね……何も考えなければ良いのに  
この場合、さっさとサイバー・ラーバアを破壊するべきだったわ  
悩んで後で困るぐらいだったらさっさと消せばいいのに」

「今の似非には無理だな

警戒し過ぎて馬鹿が駄目にまで堕ちている

このまま見てもつまらんな、帰ろうか悩む」

「確かに楽しみが無いわ

他の人達も困惑しているみたいだし

さっさと動いてくれないかしら？」

2人共辛口だねえ

だけど、十代君はともかく亮が動かないのは気になる  
そもそも亮のデッキはパワーデッキだ、何故あんな戦い方を……

「俺のターン、ドロー

プロト・サイバー・ドラゴンを召喚する

このモンスターが表側表示で存在する限り、サイバー・ドラゴンとして扱う

更に魔法カード、エヴォリュション・バーストを発動」

「サイバー・ドラゴンの必殺技と同じ名前のカード……」

「自分の場にサイバー・ドラゴンが存在している時に発動可能  
相手の場のカードを1枚破壊する  
俺が破壊するのは……伏せカードだ」

プロト・サイバー・ドラゴンの放った攻撃が十代君の伏せカードを破壊する

そして破壊されたカードはドレインシールド  
さすが亮、読みが的確だね。

「そして融合を発動、手札のサイバー・ドラゴンと場のプロト・サイバー・ドラゴンを融合  
サイバー・ツイン・ドラゴンを融合召喚する」

とうとう出たか、サイバー・ドラゴンの融合体！  
だけどサイバー・エンド・ドラゴンじゃない？  
亮だったら真っ先に召喚しそうだったんだけどなあ……

「そして、サイバー・サモン・ブラスターの効果発動相手に300ポイントのダメージを与える」

む、拙いな

十代君のライフは残り2500、このままでは負けてしまうぞ！

「サイバー・ツイン・ドラゴンでワイルドジャギーマンを攻撃」

呆気なく破壊されるワイルドジャギーマン

攻撃力差は200だから200ポイントのダメージだ  
そしてサイバー・ツイン・ドラゴンには効果が有る。

「ワイルドジャギーマンが……だが、罨カード発動！

ヒーロー・シグナル！ 自分のモンスターが戦闘で破壊された時手札、またはデッキからLV4以下のE・HEROを特殊召喚する！  
俺はデッキからバブルマンを守備表示で特殊召喚だ！

そしてバブルマンの効果、自分の場にこのカード以外のカードが無い時

デッキからカードを2枚ドローできる！」

「だが、サイバー・ツイン・ドラゴンは1ターンに2回の攻撃が許される

サイバー・ツイン・ドラゴンでバブルマンに攻撃

そして、サイバー・ラーバアでプレイヤーに直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「ぐううう……クソッ！」

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

これで十代君のライフは残り1900  
だけど亮のライフはまだ4000のまま  
ダメージを与えられないまま、ターンだけが過ぎていく！

「俺の、ターン……ドロー！」

「サイバー・シャドー・ガードナーを特殊召喚  
そしてサイバー・サモン・ブラスターの効果発動でダメージだ」

「うく……魔法カード、フュージョン・リカバリー融合回収を発動！

墓地からエッジマンと、融合を手札に加え、融合を発動！  
手札のエッジマンとスパークマンを融合し、E・HEROプラズマ・  
ヴァイスマンを融合召喚！

そして効果発動！ 手札を1枚捨て、相手の攻撃表示モンスターを  
1体破壊する！

俺はこの効果でサイバー・ツイン・ドラゴンを破壊だ！」

よし、攻撃力2800のモンスターと同時に破壊までできた！  
これでまだなんとかなるかもしれないぞ！

「そしてもう1枚手札を捨て、サイバー・ラーバアを破壊だ！」

「ふ……勘違いしてもらっては困る」

「勘違いだど？」

「サイバー・ラーバアの効果発動  
デッキからサイバー・ラーバアを特殊召喚する  
よって、サイバー・サモン・ブラスターの効果発動  
再びお前に300ポイントのダメージが与えられる」



そうか、サイバー・ラーバアは破壊された時に効果が発動する  
攻撃か効果なんて関係無いのか！

「だったら……プラズマ・ヴァイスマンでサイバー・ラーバアに攻  
撃だ！」

「無駄だ、ダメージは通らず、再びサイバー・ラーバアが現れる  
そしてサイバー・サモン・ブラスターの効果により、300ポイン  
トのダメージだ」

「だが、これでまたサイバー・ラーバアはデッキから消えたぜ  
俺はカードを3枚伏せ、ターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー  
魔法カード、貪欲な壺を発動する

このカードの効果により、墓地のモンスターを5体選択し、デッキ  
に戻る

そしてシャッフルし、カードを2枚ドローする

俺がデッキに戻るのはサイバー・ドラゴン、プロト・サイバー・ド  
ラゴン

サイバー・ツイン・ドラゴン、そして2体のサイバー・ラーバアだ」

「な……なんだって!？」

そんな！ またサイバー・ラーバアがデッキに戻っただなんて！  
このままではまたサイバー・サモン・ブラスターの効果でダメージ  
を受けてしまう！

十代君の残りライフは既に1000、簡単に負けてしまうライフだ！

「デッキからカードを2枚ドロ

強欲な壺を発動し、更に2枚ドロ

そして闇の誘惑を発動し、もう1回2枚ドロ

闇の誘惑はドロ後、手札から闇属性モンスターを除外しなければ  
ならない

除外しない場合は手札を全て捨てる」

だが、亮のデッキに闇属性モンスターなんて無かったはず  
手札を全て捨てる気か！

「俺は手札から闇属性モンスターである

サイバー・ウロボロスゲームから除外し、手札を捨てずに済む

そしてサイバー・ウロボロスの効果発動

このモンスターが除外された時、デッキからカードを1枚ドロす  
る」

馬鹿な……手札1枚の状態から既に手札が5枚だって！？

ここまで一気にドロするなんて……凄いぞ亮！

「俺はサイバー・ヴァリーを召喚する

そして、このモンスターとサイバー・ラーバアを除外する

デッキからカードを2枚ドロ」

何故サイバー・ラーバアを除外したんだ！

あのモンスターを残しておけば、後々有利になるはずなのに！

「天使の施しを発動し、デッキから3枚ドロし、2枚を捨てる」

しかも亮はさっきから手札を交換してばかり

何が目的なんだ……何を狙っているんだ？

「そしてパワー・ボンドを発動

手札のサイバー・ドラゴン3体を融合

サイバー・エンド・ドラゴンを特殊召喚する

更に、パワー・ボンドの効果で攻撃力が2倍になる」

「（ようやくとお出ましか……サイバー・エンド・ドラゴン！

だが、俺の伏せカードを見て驚くなよ！）」

「機械族の特殊召喚に成功した

よって再びサイバー・サモン・ブラスターの効果で300のダメージだ」

残りライフはたったの700……

十代君に勝ち目は無いかな？

「終わりだな、サイバー・エンド・ドラゴンでプラズマ・ヴァイスマンに攻撃」

「罠カード発動！ 魂の結束ーソウル・ユニオン！

墓地に存在するE・HEROを1体選択し、その攻撃力分だけ自分の場のモンスターの攻撃力を上げる！

俺が選択するE・HEROはエッジマン！ よって攻撃力を2600アップだ！」

これでプラズマ・ヴァイスマンの攻撃力は5400

だけどこれだけでは足りない！

攻撃力差は2600、耐えきれない！

「更に速攻魔法、非常食を発動！

自分の魔法、罨カードを墓地に送り、その枚数×1000ポイントのライフを回復する！

俺は自分の場の2枚のカードを墓地に送り、ライフを2000回復するぜ！」

プラズマ・ヴァイスマンが破壊されたが、これで十代君のライフはたったの100

いや、生き残っただけでもかなり良いじゃないかさすがだねえ十代君。

「ふん、地獄め……遊びが過ぎるな」

「そうね、本当だったらこのターンで決着が決まっていたのに余程つまらないんでしょうね……」

「ど、どういう意味だい？」

「分からないのか？」

何故、自分の場にモンスターが存在しないのにサイバー・ドラゴン等特殊召喚しなかったと思う？

もし特殊召喚したいした場合、是非は更に300のダメージを受けていた

これでライフが100残る事が無く、終わっていたんだ」

ああ！　　そういえば何故特殊召喚をしなかったんだ！？

うーん……分からないなあ。

「亮はつまらないのよ

こんな事で勝っても、何一つ嬉しくない

せめてもう少し齒ごたえが欲しいと思っているんでしょうね

十代にとって、これがラストチャンスよ」

「だろうな、地獄になっても豆腐は豆腐か  
まああの考えは捨てているから大丈夫だろうがな」

「もし、次のターンに十代が何もしなければ  
亮は確実に終わらせるわ……淡々とね」

どうも違和感を感じると思ったら……

やっぱりこの2人が関係していたんだね  
だけど、何がどう関係しているか全く分からないな。

「さあカイザー、パワー・ボンドのデメリットだ  
エンドフェイズにサイバー・エンド・ドラゴンの元々の攻撃力  
4000ポイントのダメージを受けな！」

亮は既に通常召喚をしている  
効果ダメージを無効にするサイバー・ジラフは召喚できない  
なのに何故パワー・ボンドを使ったんだ？

「リバースカードオープン、罠カード、レインボー・ライフを発動  
手札を1枚捨て、このターンに受ける全てのダメージは回復に変わる  
更に速攻魔法、非常食、俺の罠カードを全て墓地に送り、ライフを  
4000回復する  
そしてエンドフェイズ……パワー・ボンドのダメージはレインボー・  
ライフで回復

俺のライフは全部で12000だ、ターンエンド」

……嘘だろ？

ライフダメージで自滅どころか、大回復じゃないか！

「瑞貴、さっきから気になってたんだけど

亮はどうして貴方が使うようなカードばかり入れてるの？

あの夜での話では亮は攻撃系カードを沢山入れたがっていたじゃない」

あの夜？ これで確定したね

堅守君が亮に何かをしたと……だが何故亮に？

堅守君は確か亮を嫌っていたはずだ。

「ああ、あれは俺のデッキだ」

「「ええ!？」」

堅守君のデッキだって!？

何故亮が彼のデッキを使ってるんだ!？

「なるほど、でもどうして亮が瑞貴のデッキを？

貴方の使うカードはあの夜に凄く嫌がっていたじゃないあれが演技にはとてもじゃないけど見えないわよ?」

「俺が近くに居て最後の決闘デュエルだからな

俺の使うカードの使い勝手の良さを試してみろと言った嫌がっていたのは嫌がっていたが、最終的に受けたよ

あいつ自身も、俺の使うカードには興味が有ったらしいからな」

どんな会話をしたのか凄く気になるんだけど……

それに亮が凄く嫌がるなんて姿、見た事が無い気になるなあ、気になるなあ。

「自分の使う本当のデッキはプロ決闘<sup>デュエル</sup>まで隠しておく事に決めたら  
しい

というか俺がそう誘導した、その方が向こうで盛り上がるからな」

「瑞貴、悪趣味よ

でもこれでやっと胸のつかえが取れた気がするわ

良かったわね十代、瑞貴のデッキなんて優しいデッキを使ってもら  
って」

「優しい？ どういう意味だい明日香

僕から見ても、かなり酷い凶悪なデッキに見えるんだけど」

「地獄が使う本当のデッキは超パワーデッキだ

そんなのをこんな場所ですべてみる……超オーバーキルで大騒ぎだ  
非情の決闘者<sup>デュエリスト</sup>と言われ、プロ試験に影響が出るかもしれん

そういう事も言って説得したからな、今回だけは我慢してくれたよ」

堅守君も考えてるんだね……

でも、それだけじゃない気がする。

「ま、俺の本当の目的は俺のカードの使いやすさを証明する為だ

あの野郎……俺の勧めたカードを悉く拒否しやがったからな

今回ので少しでも断った事を後悔しやがれ！」

……やっぱり堅守君は堅守君か

気に入らないという理由でこんな事を……さすがだね

その強引さ、強制力は見習いたくないよ。

「本当に貴方達って仲が良いわね」

「俺は地獄が嫌いだと言ってるだろうが！」

「はいはい、そうだったわね  
分かったから落ち着きなさい」

「まったく……」

明日香、いつの間に彼の扱いに慣れたんだい？  
なんだか格好いいよ明日香！

「（もうこうなったら対策なんてどうでも良い！  
俺の手札は0、そんな事を言っている場合じゃない！）  
俺のターン、ドロー！ 魔法カード、ホープ・オブ・フィフスを発  
動！

墓地のE・HEROを5枚デッキに戻し、デッキから2枚ドロース  
る！

だが、このカードの発動時に自分の手札と場にカードが無い場合、  
デッキからドロースする枚数は3枚になる！

俺は墓地からバブルマン、スパークマン、ワイルドマン、エッジマ  
ン、ワイルドジャギーマンをデッキに戻す！

そして3枚ドロー！（これはあの時瑞貴がくれたカード……よし、  
これで！）

俺は更に魔法カード、HEROの遺産を発動！

自分の墓地にLV5以上のHEROが2体以上存在する時、デッキ  
から3枚ドローできる！

俺の墓地にはプラズマ・ヴァイスマンとネクロダークマンが居る！  
よし、バブルマンを召喚し、場にこのカードしか無いので更に2枚  
ドロー！」

変だなあ……十代君の手札は0枚だったはずなのに何故6枚になっ



てるんだ？

どうやったらこんなにドローできるんだか、怖いなあ。

「さすが似非、何を考えたのかは分からんが超ドローだな  
しかも何故か調子が戻っている……地獄はちよつと油断したみたい  
だ」

「やっぱりさつさと十代を倒すべきだったわね  
でも、これで亮を倒せると思ったら大間違いよ」

確かに、亮の場には攻撃力8000のサイバー・エンド・ドラゴン  
が残っている  
この状況で勝つのは、例え手札が6枚でも難しいだろう。

「更に魔法カード、メタモルフォーゼ突然変異！

バブルマンをバブルマン・ネオに進化させる！

そして装備カード、バブルショットをバブルマン・ネオに装備！

行け！ バブルマン・ネオ！ サイバー・エンド・ドラゴンに攻撃  
だ！」

確かバブルマン・ネオには戦闘を行った相手モンスターを破壊する  
効果を持っていたはず

そしてバブル・ショットは戦闘ダメージを0にできる効果を持つて  
いる

これなら無傷でサイバー・エンド・ドラゴンを倒せる！

「バブル・ショットの効果により、このカードを代わりに破壊する  
事で戦闘では破壊されず、ダメージも受けない！

俺はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ！

どうだカイザー！ お前のサイバー・エンド・ドラゴン、倒してや

ったぜ！」

「そうか、俺のターン、ドロー」

切り札を倒されたというのに、随分余裕だね亮

手札はこのドローカード1枚だけ、それでどうするんだい？

「……俺は魔法カード、天よりの宝札を発動

お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドローする」

この状況でそのカードをドローするか！

相変わらず、十代君に負けないぐらいの凄いドローだ！

「俺は魔法カード、魔法再生を発動する

墓地より、強欲な壺を手札に加え、発動

デッキからカードを2枚ドローする

そして魔法カード……最終戦争を発動」

「最終……戦争？」

どんなカードだったかな……覚えてない

忘れてしまったらしい。

「最終戦争は手札を5枚捨てる事で効果を発動する

場のカードを全て破壊する」

「な、なんだって!？」

そんなリセットカード有りかよ!？」

場が巨大な爆発に巻き込まれる

十代君のカードは全て破壊され、場ががら空きに……

ちなみに十代君が伏せていたカード

決闘融合ーバトル・フュージョンと決闘融合ーファイナル・フュージョンだ

決闘融合はモンスター同士の戦闘時に発動可能

相手の攻撃モンスターの攻撃力分だけ自分のモンスターの攻撃力をアップする効果だ。

そして決戦融合はお互いのプレイヤーは戦闘したモンスターの攻撃力の合計分のダメージを受ける

最強最悪の引き分けのカードだ

十代君は、決闘融合の時の保険として伏せておいたんだろうだが、全て破壊されてしまった……彼の負けだね。

「魔法カード……オーバーロード・フュージョンを発動

闇属性の機械族を融合召喚する為に必要なカードだ

俺は墓地からサイバー・ドラゴンを含む全ての機械族モンスターを除外

キメラテック・オーバー・ドラゴンを融合召喚する」

頭を15個持っている機械の竜……このモンスターは？

「キメラテック・オーバー・ドラゴンの攻撃力は除外した機械族の数で決まる

俺が除外した機械族モンスターは全部で15体、よって攻撃力は12000だ」

「攻撃力12000だと！？

そんなの有るかよ！」

「キメラテック・オーバー・ドラゴンで十代に直接攻撃だ」  
ダイレクトアタック

終わり……か。

「うわあああああああああああああ……!!」

亮の勝ちだね……オーバーキルで。

## 67話【卒業決闘 十代VS亮】（後書き）

結局亮は猫を被ったまま？

そうですね、暴走しませんでした

余裕過ぎたのが原因でしょう。

サイバー・ラーバは戦闘破壊だけじゃ……

原作効果です、効果破壊にも対応していました。

サイバー・ウロボロスの効果は……

手札を捨ててドローでしたね

ドロー効果しか見ず、気付きませんでした……もう疲れました。

何故最終戦争を！？

どうしても使わせたかったので……

ちなみに前話で禁止カードの話をしていた時

瑞貴が亮なら使えると言ったカードはこのカードです。

何で最後がこんなにアツサリなの？

時間が無かったというのが理由の1つ

もう1つは長くなり、更に長くなりそうだったからです

時間も無いし、いつその事切り捨てようという結論になりました。

原作、アニメオリジナルカード

HEROの遺産

墓地にLV5以上のHEROが存在している時

デッキからカードを3枚ドローできる

普通に禁止級のカードです。

## 68話【1年生最後の夜】（前書き）

執筆中にPCのコードが抜けて電源が落ちました

よって書き直しが……書き直しがあああああああああ！と、いう訳でギリギリになりました

小まめに保存しておいてよかった……8割終わり状態で保存されていました

しかし、1割ほど消えたので書き直し、当然内容を全部覚えていたはずも無く

その書き直した1割は半分以上変わってしまいました……疲れしました。

今回で第一部は完結ですね

次回から第二部が……始まりません！

どうなるかはとりあえずお楽しみに。

どうでも良い話

今日TF1、TF2、TF3、TF4を買いました

はい、全部一氣に買いました

おかげで諭吉さんと野口さんが全滅しました

現在作者の財布には小銭だけしか残っていません！

馬鹿ですね、そうですね……でも欲しくなったんだから仕方がない！

次話はちよっと悩み中です

休憩がてら、ゲームをする為に暫く休むか

それとも相変わらず小説を書くか……悩み中です

投稿しないと決めた場合、0時に活動報告で報告します。

## 68話【1年生最後の夜】

視点 明日香

卒業決闘<sup>デュエル</sup>が終わった夜

瑞貴の部屋に私達は集まったんだけど……

「なんだあの最後は！ 俺の言った事を理解してなかったのか！  
派手に動きすぎるとプロ試験に影響が出るかもしれないと言っただ  
ろうが！」

「理解はしていた、だがあの戦い方では倒した気分になれん！  
相手を圧倒的なパワーで潰す、それが良いのではないか！」

「どんな勝ち方でも良いと言ったのはお前だろ！  
今更勝ち方に拘るな！」

「勝利を目指すのは当然だ！  
だが、勝ち方で後味が変わるだろ！  
俺は圧倒的な力で勝った方が気分が良いと思ったんだ！  
最後の一撃、最高の気分になったよ……」

「将来を潰してまで今を本気になるな！  
もう少し先を見据えて動け！」

「あー！ 貴方達煩いわよ！  
もう少し静かにしなさい！」



「だが地獄が!」「しかし堅守が!」

「言い訳しない!」

本当にこの2人が言い合うと子供ね!  
普段の冷静さはどこに行くのかしら!

「これは夢か?

あの亮がこんなに熱くなって……」

「夢じゃないわよ白黒兄さん<sup>モノクロ</sup>

現実だからツツコミ、変わってくれない?」

「悪いが僕には無理だ

この2人を押さえられるのは君しか居ない」

役立たずね……

そして相変わらず仲が良い瑞貴と亮  
どうにかして落ち着けさせられないかしら?

「そういえば亮、瑞貴のデッキを使ったのよね?

戦い方は気に入らなかったのは分かったけど  
使ったカードの使い心地はどうだった?」

「うーむ……悔しいが確かに使い易かった

堅守、あのデッキで使われていた数枚を買いたいが構わないか?」

「構わないぞ、なら商談とデッキ編集に移ろうか」

そう亮は瑞貴にデッキを返し、自分のデッキを取り出す

話し合いになると思ったんだけど、やっぱりこうなるわよね……

「高い！ 確かに効果が強力なのは認めよう！  
だが高すぎる！ 3割は安くなるはずだろう！」

「巫山戯るな！ これでも安くしている！  
文句が有るなら元の値段で買うか！？  
それならいくらでも文句を聞いてやるよ！」

何で私……ここに居るのかしら？  
暇ね、ちょっと抜けだそうかしら？

「あー……瑞貴、亮  
私はちょっと出てくるわね  
暫くしたら戻ってくるわ」

「好きにしろ！  
ちよつとその電卓を貸せ地獄！  
効果と希少性から元の値段を算出するとだな……」

「わかった明日香  
む、元の値段が高すぎないか！？  
希少性も有るか……くそ！」

見向きもされない……寂しいわ  
でも絡まれるよりはマシよ。

「あ、明日香……僕はどうすれば？」

「じゃあ白黒兄さん、モノクロ後はお願いね？」

「僕を置いていくのかい明日香！　しかもそんな清々しそうな笑顔になって！」

とても綺麗な笑顔だけど今は悪意に満ちているようにしか見えないのが悲しいよ明日香！」

「煩いぞ白黒！」モノクロ　「少し静かにしろ吹雪！」

「……すまない」

笑顔になった自覚は無いんだけど？

うーん……ま、いっか

後は白黒兄さんモノクロに押し付けましょう。

瑞貴の部屋から出て行き、外に出る  
なおサラのカードは置いてきた  
せっかく白黒兄さんモノクロが居るんだからね。

さて、勝者の亮は瑞貴と喧嘩しっぱなし  
敗者の十代はどうなったかしらね  
ちよっと様子を見に行ってみましょう。

部屋をノックしてみる  
少し待つと翔君が迎えてくれた。

「はーい……こんな時間に誰？  
って、明日香さん！？」

「こんばんは翔君、十代はどうしてる？」

「アニキは今は1人になりたいって言って出て行ったままなんだお兄さんに一方的に負けたのが悔しかったんだと思う……」

貴方が落ち込んでどうするのよ……

それにしても十代は外か、どこに行ったのかしら？

「あ、部屋の中でアニキを待つ？」

暫くしたら帰るって言ってたからそんなに掛からずに帰ると思うよ？」

「いえ、いいわ

少し気になっただけだしね

じゃあね翔君」

「うん、ばいばい」

扉を閉め、今からどうするか考える

瑞貴の部屋に戻っても言い合いは続いていると思うしどうせだから十代を探してみようかしら？

視点 吹雪

「だから、このカードは必須だと言ってるだろうが！」

「俺には不要だと何回言わせるんだ！

それよりもこのカードが必要だというのが分からないのか！？」

「そいつを使えば下手すれば自滅だ！  
ギャンブルでもする気かお前は！」

明日香……早く帰ってきてくれ  
やっぱり僕には何もできそうにないよ。

「……戦るか！？」

「お願いだから亮も堅守君も落ち着いてくれよー！」

「だったら白黒<sup>モノクロ</sup>！」 「お前はどちらの味方だ！」

なんでそんなに息がピッタリなんだい！？  
君達さっきまで喧嘩してたのよね！？  
どうして簡単に意見が合うんだ！

「いや、どっちの味方と言われても……」

「ヘタレが」 「優柔不断め」

「ぐはぁ！」

うう……僕が何をしたって言うんだい？  
僕はただこの場を納めようとだね？

「偶には役に立つと思ったらこれかよ  
兄より役立つ妹ってのはどうなんだろうな？」

「明日香はしっかりしているからな  
吹雪がこんな性格だったのが悪いんだろう」

可哀想に……何故こんな兄と兄妹なんだろうな？」

「「だが……はぁ（だが明日香はこいつの妹だったなそれはこの前実感できた、やはり兄妹だ）」」

しかも溜め息まで!？」

2人共そんなに僕の事が嫌いかい!？」

「でだ地獄、このカードはこう使うとだな……  
こうなり、そしてこのコンボができるんだ」

「なるほど、しかし使うカードが多くないか？  
1枚少なくできる似たようなコンボは無いのか？」

「有るには有るが……お前が望むようなカードじゃないぞ？  
明らかにサイバーからかけ離れるし  
サイバーに拘るのならこのコンボじゃないと無理だ」

「悩むな……だが俺はサイバー流を貫きたい  
だが消費カード量を考えると……」

あれ？ いつの間にそんなに落ち着いてるんだい？  
もしかして僕って怒られ損？  
え？ え？ どうなってるんだ？

『吹雪さん、諦めた方がいいですよ?』

『サラ、聞こえてないから』

疲れるなあもう……はぁ。

視点 明日香

ま、白黒兄さんモノクロも偶には苦勞してもらわないとね  
私ばかり大変な事に巻き込まれる事が多いんですもの  
これぐらいは許してちょうだい。

十代はどこに……居たわ  
まさか寮の裏の物陰に隠れているとは……盲点だったわね  
適当に探すつもりだったのに。

声を掛けようとして止めた  
私の逆の位置からジュンコが出てきたから  
心配だったのかしらね？

「こんな所に居たんだ  
探したわよ、あんたと同室の奴が部屋に居ないって言うから」

「ああ、ジュンコか  
わりいな、なんか心配かけちゃったみたいで」

どうしよう……盗み聞きをするのは悪いし  
でも気になるのよね、この2人の会話。

……私は偶然ここに居ただけよ？  
だから偶然聞いてしまったの、そんな私は悪くないわよね？  
悪くないわ、だから文句を言われても偶然だったのよ

うん、私は悪くない、悪いのは言い合いをして部屋に居づらくさせた瑞貴と亮

偶然私が居ただけだから怒られる筋合いは無いわ。

さて、自己弁解終了

どんな話を話すのかなっと……

「べ、別に心配なんかしてないわよ  
ただ……カイザーに負けてどうなってるのか気になったただけなんだから

だから別にあんたの事なんて心配してないわ！」

照れ隠しね……青春してるわね、ジュンコ  
なんだか見てて楽しい、どうなるのかしら？

「いや、探してくれただけでも嬉しいぜ  
ありがとなジュンコ」

「う……ど、どういたしまして」

ジュンコは素直じゃないものね  
だから素直に純粋な言葉に弱い  
十代は常に真っ直ぐだから効果的ね。

「そ、それで十代  
どうしてこんな場所で落ち込んだのよ？  
話ぐらいだったら聞いてあげるわよ？」

「そう……だな  
ちよっと聞いてもらおうかな」



十代もけっこう参ってたのね

普段だったら気にするとか、大丈夫だとか言いそうだけど  
そんなに亮に負けたのが悔しかったのかしら？

「俺さ、カイザーに勝つ為に頑張ってカイザーの事を研究したんだよ  
どうやったら勝てるか、どうやってカイザーを倒すか  
卒業決闘<sup>デュエル</sup>までそればかり考えてたんだ」

予想はしてたけど、そんな事をしてたのね  
相手の事を研究する事はとても良い事よ  
だけど問題は十代の心だったわね。

「でもいざカイザーと決闘<sup>デュエル</sup>をしたら予想と全部違ってたさ  
どうしたら良いかわかんなくなったんだ  
何故こんなに予想と違う、何故こんなに戦い方が違うって……  
混乱している内に気付いたらライフがやばくなっててさ」

動きを何度か止めたものね  
焦っていたのがよくわかる戦いだったわ  
十代の性格を知っている人から見れば違和感だらけの決闘<sup>デュエル</sup>  
見ている方も良い気分じゃなかったわ。

「最後はもうどうにでもなれって自棄になって  
そしたら……一気にやられちゃった」

でも、十代はまだマシな方よ？  
瑞貴のオーバークイルなんて6桁の攻撃力で7桁の総ダメージなんだ  
から

受けたのが亮で良かったわ……もし普通の人が受けたら立ち直れな

いもの。

「でさ、俺はなんで負けたのか  
どうしてあんなに混乱したのか分かんないんだ  
それで考えてた所だったんだ」

「そっか……十代」

おや、ジュンコの様子が……

「なんだ？」

「この……お馬鹿……！！！！！！」

煩いわよジュンコ！

今は夜よ！ 時間を考えなさい！

「うわぁ！ な、なんだなんだ！？」

「筆記試験低位置爆走中のあんたが頭でカイザーに勝てるわけない  
でしょ！

なのにそのカイザーに頭脳戦を仕掛けた時点で勝ち目がないのは当  
たり前じゃない！

あんたのお馬鹿の頭で予想したって、そんなの簡単に越えられるの  
は当然でしょ！」

まったくの同意よ、十代が頭を使うなんて間違ってるわ！

貴方は本能で行動するような人でしょ？

なのに態々頭を使って行動するなんて……犬に箸を使えと言ってい  
るようなものよ！

……あら？　ちょっと違う気がするわ  
えっと、ん？　合ってる？　うーん……まあいいか。

「あんたはいつも楽しそうに決闘デュエルをしてるじゃない！  
なんでカイザーと戦った時も楽しそうに決闘デュエルをしないのよ！  
あんなの、あんたらしくないわ！」

その気持ち分かるわ、ジュンコ  
普段と全く違う状態になられたら違和感を感じるわよね  
私だって喧嘩している瑞貴と亮を見て凄い違和感だったもの  
……またちよつと違う気がするわ。

「……そっか、俺は自分らしくなかったから負けたのか  
そうだな！　俺は楽しく決闘デュエルできれば良いんだった！  
勝ち負けなんて後だ後！　次からは楽しく決闘デュエルするぞ！」

「そうそう、それでこそ十代よ  
そんなあんただから私は……」

私は？　私のは？  
ジュンコ、言いなさいジュンコ！

「ん？　なんだ？」

「な、何でも無いわ！  
気にしないで！」

「いいじゃんいいじゃん  
何を言おうとしたんだよー」

教えてくれよ、な？ な？」

「嫌よ！」

それよりも元気出たでしょ！

私は帰るわよ！」

言わないなんて残念、何て言おうとしたのか気になるのに……  
ジュンコは立ち上がり、早足でこちらに……って、こっちに来た！？

「ジュンコ！」

「何よ！」

止まった……ふう

十代が最後の一言を言ったら急いで離脱しないと  
もし見つかったらなんて言い訳を……偶然で良いかしら？

「ありがとな！」

「……ふふ、どういたしまして

じゃあまたね、十代」

よし、離脱！

急いでこの場から離れてジュンコに見つからないようにする  
隠れた私はジュンコが去って行くのを見送った。

よかった、気付かれてないみたいね

そろそろ瑞貴達も落ち着いたと思うし、部屋に戻ろうかしら？

……………

………

瑞貴の部屋に入った瞬間、後悔したわ  
貴方達……何を話してるのよ！

「明日香が一番に決まっている！  
君達は本当に見る目が無いな！」

「玲に決まってるだろうが！  
てめえらの脳は正常か！？」

治す為に拳骨の50発ぐらい受けるか！？」

「お前達、確かに今は翔は弱い  
だが将来はなかなかの強さになるはずだ！  
その翔を差し置いて馬鹿な事を言うな！」

兄達の妹弟自慢大会  
何故こんな事に？

「良いかい君達、明日香はとても美人だ  
性格も良いし、強気な部分も有るけど優しい子だ  
決闘だデュエルって明日香に勝てる者なんて滅多に居ない  
そんな明日香が一番じゃなくて誰が一番だと言うつもりだ！」

「ああ吹雪、お前の言う事はよく分かる  
だが翔は今は頼りないが将来はきつと強くなる  
その翔を差し置いて、一番を名乗るなど片腹痛い！」

「水色程度が強くなれるかよ

玲は努力家でな、普段から真面目にしてるんだ  
実力だったらお前らの下より確実に上に決まってる  
玲が3人の中でトップなのは誰がどう見ても明らかだろうが！」

「玲君が強いのはよく分かる  
メインデッキの恐ろしさは見ていた僕だって理解しているさ  
だが、明日香はあらゆる部分で最高なんだ！  
もっと明日香の事を理解しないか、君達は！」

「明日香があらゆる点で上位なのは俺だって分かっている  
しかし、伸びという部分では翔が勝つ！  
何故ならあいつは今、頑張って成長している最中だからだ！」

「水色が成長したって水色程度にしかなれないだろうが！  
それに伸びという点だったら玲が最高に決まってるだろ！  
まだ子供ながらにお前達にも負けないほどの実力者だ  
あいつはたったの数ヶ月で学年トップになる程の努力家だ  
明日香や水色にはとてもじゃないが無理だ！」

「うんうん、確かに玲君の才能というか……実力は本当に素晴らしい  
だがそれは未完成ゆえの美しさ、完成された美しさを持つ明日香に  
は敵わない！」

「何を言う！ 未完成だからこそその良さだろう！  
その点、翔は未完成の未熟、だからこそ先が楽しみなのだ！」

「水色はともかく、未完成だからという点には同意だ  
玲はこの先、明日香や水色の全てを越えるほどになる！  
それは絶対だ！ 俺が言うのだから間違い無い！」

「い……い……いい加減に黙れ——！！！」

「「明日香！？ いつの間に！」」

「気付いてなかったの！？」

駄目だこの兄達、早く更生させないと拙い！  
主に私達下の子が辛い目に遭うわ！

「瑞貴！ 亮！ 白黒兄さん！  
全員そこに正座しなさい！」

「「何故だ！」」

「黙って座れ！」

「「（何故明日香はこんなに怒っているんだ？  
そんなに変な話はしていないはずなんだが……）」」

渋々しながらも座る3人

瑞貴も亮も、性格が崩壊してない？  
貴方達って数少ないクールな人じゃなかったかしら？

「で、何の話をしていたの？」

「玲の良さ」「明日香の可愛さ」「翔の成長」

即答なのね……一応自分達は何を話していたかは分かっているみた  
いね  
はあ、どうすればいいのかしら？

「原因は？」

「堅守が翔の事を水色と呼ぶ事を止めないからだ  
何度言っても止めないのな、翔の良さを伝えていたんだ」

「弟弟と鬱陶しいからならばと思って玲の良さを教えてやった  
そしたら突然白黒モノクロが乱入してきた」

「2人が下の兄妹の話をしているんだよ？」

同じ兄である僕が参加しないでどうするんだい？

安心して良いよ明日香、君の良さを存分に伝えていくから！」

「安心できないわよ馬鹿兄！」

頭が痛い……白黒兄モノクロさんは鎮静剤どころか興奮剤になるなんて

これじゃあ何の為に置いていったのか分からないわ

役立たずなだけならまだしも、悪化させる原因にする

不覚、次からは注意しておかないと。

「いい？ 貴方達が下の兄妹に何を言っても、話し合っても構わな  
いわ

だけどそれは私も含めて、下の兄妹が誰も居ない時にして

そして声を落として、お願いだから声だけは下げてちょうだい、恥  
ずかしいの」

「チッ、今回は諦めてやる

だが地獄、白黒モノクロ、次は必ず玲の良さを理解させてやるからな！」

「それはこちらの台詞だ堅守



翔がどれだけ良いか、お前こそ思い知るが良い」

「駄目だよ2人共、明日香が最高という事を理解してくれないと  
だけどそれは次の機会にしようか」

「「……………なんだと!」」

「落ち着け!」

駄目、ノリの良い白黒兄モノクロさんを置いてきたのは大きすぎるミスだっ  
たわ

誰か1人だけでも抜ければ大丈夫だと思うけど、それだけに駄目だ  
ったわ

早くどうにかしないと!

「もう良いでしょ!

これで解散! 亮も白黒兄モノクロさんもさっさと出て行きなさい!」

「おい明日香! 俺はまだ……」

「さっさと出て行く!」

亮を強引に追い出す  
次は白黒兄モノクロさんっと!

「ほら、白黒兄モノクロさんもさっさと出て行く!」

「押さないでくれ明日香!」

「黙って進む!

ほら、出て行きなさい!」

モノクロ  
白黒兄さんも追い出し、ドアを閉める  
ふう……疲れた。

「……で、お前はいつまでここに居るんだ?」

「はい?」

あ、そっか

私も出て行って帰れば良かったわね  
どうして残っちゃったのかしら?

「うーん……ちょっとマナとお話したいんだけど  
構わないかしら?」

「別に構わないぞ

俺以外に話し相手が殆ど居ないからな  
偶にはいいだろう、という訳で出てきてもいいぞ魔娘」

「はーい、お久しぶりでーす」

「まだ何日かしか経ってないわよ」

なんだか最近、マナの性格が前に戻ってきてるみたい  
ようやく落ち着いてきたのかしら?

洗脳初期なんて怯えてばかりだったものね。

暫くマナと話して過ごす

ちなみにサラも一緒に話してたわよ?

瑞貴に感づかれないうように気をつけてだけど。

そして気付いた時には夜中になってた  
どうしようか悩むけど……別に悩む事じゃなかったわね。

「という訳で瑞貴

今夜も泊めてもらっていいかしら？」

「何がどう、という訳なのか……いや、分かるけどな  
お前、今月で泊まった回数は何回目だ？」

何回目だったかしら？

看病の時も泊まったし、そうでなくても泊まる事って多いのよね  
何日かに1回は泊まってるし……今月はもう14、15回ぐらい泊  
まったかしら？

……既に月末だけどね。

「着替えるなら出てやろうか？」

「トイレで着替えるからいいわよ  
着替えてどこに片付けたかしら？」

「ちょっと待て

確かこの……ほら、これだろ」

瑞貴から服を受け取り、トイレに入って着替える  
着替え終わり、トイレから出てくると……何やってるの？

「ん？　どうかしたか明日香？」

「~~~~♪」

「……いえ、何でも無いわ」

瑞貴は変わらずPCを弄っている

その瑞貴の後ろから抱きついてるマナ、しかも実体化してる状態でも抱きつかれてる瑞貴は全く無反応。

瑞貴は気にしてないから私は何も言わないわ

どうせ瑞貴の事、後で邪魔だとか言って振り払うはずだから私は何も言わない、言わない……

「瑞貴、マナが邪魔じゃないの？」

って、何で訊いてるのよ私！

気になるからよ、そう気になってるからよ

別に変な事を訊いてるんじゃないから気にしなくてもいいはずなのに、どうしてなんだか負けた気になるの!？

「別に、慣れたし

最初の内は振り払ったりしてたんだがな

それでも懲りずに抱きついてくるから諦めた

面倒になったし、好きにさせてる」

「~~~~♪」

マナ、嬉しそうにしてるけど

面倒だから無視されてるだけなのよ？

それでよく嬉しそうにできるわね？

……羨ましく思えるのは何故かしら？  
別に変な事をしているわけじゃないのに  
ちよっとよく分からないわ。

「さて、終わった

明日香、俺はもう寝るがお前は どうする？  
魔娘と話してたいなら好きにすればいいが」

「そうね……私も寝るわ  
色々有って疲れたしね」

亮が十代を苛めたり、瑞貴と亮が喧嘩したり  
ジュンコと十代の……密会？ を覗いたり  
下の兄妹自慢をする馬鹿兄達を叱ったり  
……碌な1日じゃないわね。

「おやすみ瑞貴」

「ああ、おやすみ明日香  
ほら魔娘、入るなら入れ」

「……は、はい」

最近、私が泊まる事が増えたせい  
私が泊まっても遠慮無くマナを抱き枕にするようになったわね  
マナも段々と慣れてきたのか、ようやくすぐに気絶しなくなった。

だけど瑞貴が寝付くと……

「うう……ひゃ！

ね、寝息が当たるう……  
あ……あうう」

と、こんな感じで気絶  
要は少し経ったらアツサリと気絶するという事ね  
相変わらずね、大丈夫かしら？

「はうわう……」

大丈夫そうね  
私も早く寝ましょう  
おやすみなさい。

## 68話【1年生最後の夜】（後書き）

吹雪の言った笑顔だけど悪意の有るようにしか見えないって……  
TF3の強気明日香を思い出していただければ……

作者はまだプレイしていませんが、某動画サイトで見れます

あの強気明日香の笑顔はイイ笑顔、作者はイイ笑顔は好きですよ？

ジュンコが……

最近出てこなかったので出しました

しかしこんな事になるとは……良いカップルですね

まだカップルにはなっていませんが。

ジュンコは十代に何を言いかけたの？

ご想像にお任せします。

兄馬鹿達が……

いや、いつの間にかこんな会話をしていました

しかし翔自慢は難しいと思うぞ、亮よ！

という感じで翔についてはかなりの難易度でした……褒める事が少ない！

作者にはこれが精一杯でした。

マナ……

相変わらずです。

## 69話【長期休暇トーナメント 1回戦】（前書き）

第二部？ なんですかそれは？

という訳で、今回から暫くはタイトルの通りをします

タイトルに疑問を持つと思います何がするかと言いますと……まあ本文にてですね

詳しくは後書きで書きます。

今回は時間ギリギリ……長編小説なんて読まなければよかった  
おかげで2時間も使ってしまった

もう少し長くしたかったんですが、時間の都合上カット  
というか、最終的に書く事が無くなったので仕方ありません。

次回もこんな感じで続けます

とりあえずまた明日に……投稿できるといいなあ。



## 69話【長期休暇トーナメント 1回戦】

視点 明日香

新学期までの長期休暇中の前日、瑞貴から呼び出された  
普段は私が勝手に行く事が多いから珍しいわね  
瑞貴の部屋に入ると、既にカミューラと白黒兄さんモノクロが居た。

「さて、集まったので話そう

明日の船で俺は家に帰る」

そんな事を言う為に呼び出したの？

別に通信とかでも良いじゃない。

「カミューラは俺が居ない間どうする？

余程馬鹿な事や騒ぎを起こさない限り好き勝手していいぞ？」

「別に何もしないわよ

強いて言うなら……のんびりとワインでも飲みたいわね

あんたに言われた仕事が急がしくてそこまで休んでないのよ  
それに寝不足だし……」

朝方まで起きてるものね

疲れて当然か。

「うーん……今後は朝食をどうにかしないと拙いか？

あまり疲労を溜めさせるわけにもいかん

それは休み期間中を考えておこう

暫くのんびり休んでおけ」

「そうさせてもらうわ」

「でだ、明日香に白黒<sup>モノクロ</sup>」

お前らはどうするつもりだ？」

私はまだちゃんと決めてないのよね  
一応、帰ろうかと考えてるけど。

「僕は帰るつもりだよ

行方不明になっていたのは事実だしね  
顔ぐらい出しておかないと」

「なら私もついでに帰るわ

顔出しぐらいはしておいた方が良いでしょう」

借金的事、知られてないわよね？

もし知られたらと思うと……知らないなら知られないように白黒兄<sup>モノクロ</sup>  
さんを止めないと！

思わず言いそうになったら殴ってでも！

「なら決まりだな

お前ら、顔見せが終わったら時間を空けておけよ  
俺の用事があるからな、拒否は許すが逃がさないので注意  
まあ気にするな」

「気にするわよ！」

何で私達を連れ出すのよ！

しかも拒否を許すのに強制的なの！？  
どうしてそう……貴方は強引なのよ！

「僕は顔見せさえすれば構わないけど……  
君が呼び出すという事はそれなのに理由が有るんだろ？」

「まあな、近いうちにそれなりの規模の大会が行われるんだ  
で、お前達の名前を無断でエントリーしておいた  
優勝すればそれなりに多額の賞金が出るらしい  
ぶっちゃけ勝ち抜いて借金を返せ、という意味だ」

「「うっ……」」

確かに、それは出ないとならないわね  
無断でエントリーさせられた事は怒る事だと思うけど  
だけど借金しているのは私達だから出ないわけにはいかない。

「という訳だ、諦めて出ろ  
日程は3日後だからな、会場の場所はこのチラシにて  
よく読んで理解する事」

そう言われて渡されるチラシ……  
でも瑞貴、どうやってチラシなんて手に入れたの？  
ずっとこの島に居たわよね？

チラシを受け取り、内容を見る……前に気付いた、このチラシはコ  
ピー用紙だったわ  
でもどこでコピーを？ この部屋にそんな便利な物は無いわよね？  
職員室辺りのを無断使用でもしたのかしら？

内容を詳しく見てみる

デュエル

タッグ決闘大会、参加資格は16歳以上なだけで他は特に無し  
完全ランダム性のトーナメント方式か

条件はお互いのデッキを似せるのは禁止ぐらい

大会に参加する時に決めたデッキ以外は使用不可能ね。

私は戦士族デッキ、白黒兄さんはドラゴン族

モノクロ

問題無いわね、これなら文句は言われないはずよ。

「その紙はやるからよくよく理解しろよ

お前らの戦いぐらい見ておいてやるから喜べ」

う……情けない所を晒したら絶対に怒られる

でも負けなければ良いのよ、だから大丈夫のはずよ！

「賞金は準優勝でも貰える

最低でもそこには行けよ？」

……つまり最後以外で負ける事は許さないって事ね  
別に良いわ、負ける気なんて無いんだから！

「以上、解散

じゃあ頑張れよ」

そう言って瑞貴は私達を追い出す

どうでしょう？ とりあえずデッキ調整かしらね？

………

………

………

時間は一気に飛び、大会当日  
エントリーしている組は全部で32組  
トーナメントだから5勝で優勝ね。

参加者の情報は全て非公開  
対戦相手の情報は全く得られない  
試合の観戦も当然できないわ。

相手の事が全く分からない……かなり怖い戦いね  
でもどんな人達が出てくるのか、楽しみよ。

なお、家に帰っても両親には借金の事を話さなかった  
正確には話せなかったね、心配を掛けたくないもの……  
怒られてないけど……なんとなく罪悪感を感じたわ。

モロクロ  
白黒兄さんは当然怒られた

行方不明になった原因は瑞貴の処理で記憶喪失だからまだマシだけ  
どね

それでも借金を抱えて帰ってきた息子に怒るのは当然かしら？  
でも、帰ってきて良かったと安心して……もっと早く帰らせる  
べきだったわね。

この大会までの間、家族と一緒に過ごした  
久しぶりにまともに3食も食べられた食事は久しぶりなので嬉しか  
ったわ

だって日に2食が多かったもの……最近3食全部食べてたけど。

看病の時に渡されたお金はまだ残ってる  
これは絶対に使わず、節約してお昼ご飯を食べ続けるのよ！

頑張れば2ヶ月は保つし、それでなんとか2年生の序盤を耐えてみせるわ！

「チーム名、天上院兄妹さん  
次なので準備をお願いします」

っと、係員に呼ばれたので表に出る  
試合はドームで行われるけど、観客は多いわね……緊張するわ。

対戦相手は……ええ！？

「む、お主はデュエル・アカデミアの生徒だな  
その制服で分かるぞ！」

「確かに、あの時は苦汁をなめさせられたな  
しかし、今回の我らは一味も二味も違うぞ！」

「「我ら、迷宮兄弟の名に賭けて！  
いざ、尋常に勝負！」」

ああ……何故この兄弟が相手なのかしら？  
でも、お互いにデッキを似せるのは禁止のはずよね？  
なのにどうして出場できたのかしら？

「そうか、お主は我らの戦いを見ておったな」

「ならば疑問だろう、我らが何故出場できたのか」

「「それは、我らのデッキは2つで1つ！  
だが、お互いのデッキはそれぞれ違う特性を持つのだ！」」

なるほど、お互いに補助し合うという事ね  
確かに似せたデッキじゃないから有りといえは有りね  
かなり抜け道みたいな言い訳だけど……

「明日香、知り合いかい？」

「知り合いじゃないわよ

前にデュエル・アカデミアに来たのよ  
十代と翔君に負けたんだけどね」

「否！」

我らを以前の我らと思って甘く見るなよ！」

お願いだからハモらないでよ！  
凄く鬱陶しいの！

『では、これよりトーナメント1回戦  
チーム名、迷宮兄弟VS天上院兄妹の試合を始めます！  
今回はどちらも兄妹での参戦です！』

男女の違いは有るけどね  
でも、アレと一緒にされるのは嫌よ？

「「「<sup>デュエル</sup>決闘！」」」

ルールはお互いの手札と場、墓地も共通している事  
モンスターや魔法、罫は全部で5枚までしか出せない  
お互いにアドバイスや指示などは当然無しよ。

ライフは8000ポイント制なので長引く可能性が有る  
攻撃力の低い私のデッキだとちよつと大変ね  
でも、それは高攻撃力の白黒兄さんモノクロに任せるとするわ。

「先攻は私だ、ドロー！」

私は暴風小僧を攻撃表示で召喚！

更にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

攻撃力は1500のダブルコストモンスター

暴風小僧は生け贄にする時、生け贄召喚するモンスターが風属性なら2体分になる

つまり、迷宮兄弟兄が狙っているのは風魔神ーヒューガ！

「何を狙っているかは知らないけど、僕のターン、ドロー！」

僕は永続魔法、未来融合ーフューチャーフュージョンを発動！

デッキから融合に決められたモンスターを墓地に送り、2ターン後の未来に融合召喚する！

僕はデッキから5枚のドラゴン族を墓地に送り、2ターン後にF・ファイフ・ゴッド・ドラゴンG・Dを召喚する！」

これで墓地に落としたいドラゴン族は殆ど落とせたわね

ミンゲイドラゴンとか、真紅眼レッドアイズ・ワイバインの飛竜とか。

「更にバイス・ドラゴンを特殊召喚する！」

このモンスターは相手の場にモンスターが存在しており、自分の場にモンスターが存在しない時は特殊召喚できる！

元々の攻撃力と守備力は半減するけどね

そしてバイス・ドラゴンを生け贄に捧げ、タイガードラゴンを召喚する！

更にタイガードラゴンの効果を発動！ ドラゴン族モンスターを生



け贅にして召喚した場合  
相手の魔法、罨ゾーンにセットされているカードを2枚まで破壊で  
きる！」

「なんだと！？　ぐう！」

破壊されたのはリビングデッドの呼び声と生け贅人形<sup>ドール</sup>  
となると、弟に渡す為の魔法カードだったのね  
でなければ態々伏せる必要も無いし、自分で使った方が良い。

「タイガードラゴンで暴風小僧に攻撃だ！」

攻撃力差は900、でも元のライフが8000と大きいから微妙ね  
でも先手は取れたわ！

「僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！」

私はフィールド魔法、死皇帝の陵墓を発動！  
上級モンスターを召喚する場合、生け贅に必要な数×1000ポイ  
ントのライフを払う  
それにより、生け贅無しで通常召喚できるのだ！」

これなら最上級モンスターである三魔神も即座に召喚できる  
厄介なカードね……私のデッキでは全く無意味なカードよ  
私のデッキには召喚制限の掛かっている上級モンスターしか入って  
ないわ！

「私は死皇帝の陵墓の効果を使用する！  
ライフを2000支払い、水魔神一スーガを召喚！」

タイガードラゴンに攻撃！ 流水波！」

幸い、攻撃力差はたったの100  
ダメージは軽いからまだ大丈夫よ！

そして問題はこのスーガの効果

エラッタ前か、それともエラッタ後か……

エラッタ前ならまだ良いけど、エラッタ後なら拙いわ。

エラッタ前の効果は自身の破壊を免れ、戦闘ダメージを0にする効果  
エラッタ後の効果は攻撃してきたモンスターの攻撃力を0にする効果  
もしエラッタ後の効果なら面倒になるわね……

「更に私はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

拙いわ……私のデッキでは最初から攻撃力2500は辛い  
手札は悪くないけど、勝てるような相手じゃない。

「次は私ね、ドロー！」

私は荒野の女戦士を守備表示で召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「戦士族専用のリクルーターモンスターか

ならば私のターン、ドロー！」

死皇帝の陵墓の効果を発動し、ライフを2000支払う事で風魔神  
ーヒューガを召喚！」

ライフを払いすぎじゃない！？

もう残りライフは3100なのよ！

確かに最上級モンスターを出せるし、元のライフも多いけど……

それでも乱用していたら負けるわよ？

「ヒューガで荒野の女戦士に攻撃！ 魔風波！」

「クッ……荒野の女戦士の効果を発動！」

デッキから攻撃力1500以下の地属性の戦士族を攻撃表示で特殊召喚する！

私はデッキからマッシュ・ウォリアーを特殊召喚するわ！」

「ふん、攻撃力高々600なんぞ怖くないわ！」

スーガでマッシュ・ウォリアーに攻撃する！」

水流がマッシュ・ウォリアーに直撃する

だけど、マッシュ・ウォリアーは無傷で生き残ってるわ。

「マッシュ・ウォリアーは1ターンに1度、戦闘では破壊されない  
そして戦闘ダメージを0にする効果も持っている

貴方の攻撃でこのモンスターを倒す事は不可能よ！」

「面倒な奴め……カードを1枚伏せ、私はこれでターンエンドだ！」

「ならば僕のターン、ドロー！」

未来融合の効果により、ファイブ・ゴッド・ドラゴンF・G・Dを特殊召喚する！」

「甘いわあ、速攻魔法サイクロンを発動！」

未来融合を破壊する！  
ファイブ・ゴッド・ドラゴンこれでF・G・Dは生き残れまい！」

弟のサイクロンにより、破壊される未来融合

そして特殊召喚と同時に消えてしまったF・G・D  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン

せっかくの最上級モンスターが……あまり困らないけどね。

「ならば僕は魔法カード、思い出のブランコを発動！  
この効果により、未来融合で墓地に送った真紅眼の黒竜を特殊召喚！  
更に……僕はデッキから真紅眼の黒竜をゲームから除外する！  
そして、出てこい！ 僕の新たな真紅眼の黒竜！  
現れよ、Sin真紅眼の黒竜！」

ええ！？ こんなモンスター、私は知らないわよ！  
モクロ

白黒兄さんったらいつの間にこんなモンスターを！？

しかも、真紅眼の黒竜だけど違う所々で違うわね

特に頭部と翼が白銀の鎧のような物で覆われている……とにかく違和感が強いわ。

「このSin真紅眼の黒竜は欠陥モンスターでね

フィールド魔法が存在しなければ場に生き残る事ができないんだ  
更に、Sinと名の付くモンスターは場に1体しか存在できない  
そしてこのモンスター以外で自分のモンスターは攻撃できない効果  
まで持っている

なんとも厄介なモンスターだろう？」

め、迷惑過ぎるモンスターよ！

本当に欠陥モンスターね！

確かに最上級モンスターを突然特殊召喚できるのは強いわ！  
だけど、だけどデメリットや扱いが難しすぎる！

「だが、攻撃力2400を即座に特殊召喚できるのは強い  
Sin真紅眼の黒竜でヒューガに攻撃！ 黒炎弾！」

「相打ち狙いか！ だがそうはさせん！  
ヒューガの効果を発動！ 相手の攻撃ダメージを1度だけ0にする！

風魔神、ストーム・バリケード！  
そして反撃！ 魔風波！」

破壊されるSin<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜、本来なら相打ちなのだから当然の結果でしょうね

でも効果は分かったわ、あの三魔神はエラッタ前の効果ね！  
これで倒すのが楽になったわ！

「ふふ、その効果は1回しか使えないんだよね？  
だったらこの攻撃は防げない！ 真紅眼の黒竜でヒューガに攻撃！  
<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>ダーク・メガ・フレア！」

「く！ それが狙いか！  
ヒューガよ、迎撃しろ！ 魔風波！」

お互いの攻撃で相打ちになる  
よし、これでゲート・ガーディアンは召喚できないわ！

「僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「まさか兄者のヒューガが破壊されるとは……だが私のターン、ドロー！」

再び死皇帝の陵墓を発動！ ライフを2000支払い、雷魔神一サ  
ンガを召喚！

先ずは目障りなそのモンスターを破壊してくれる！

サンガとスーガでマシツブ・ウォリアーに攻撃！ 雷衝弾！ 流水  
波！」

クツ……壁モンスターを破壊してしまったわ  
まだどうにかなるけど、やはり破壊されたのは痛い……

それにしても、また死皇帝の陵墓を使うなんて

いくら初期ライフが8000だからってそれは拙くない？

残りライフが1100よ？ いいの？ 大丈夫なの？

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

私は魔法カード、戦士の生還を発動し、墓地から戦士族であるマツシブ・ウォリアーを手札に加えるわ！

更に魔法カード、増援を発動し、デッキからLV4以下の戦士族を手札に加える！

私はデッキから戦士族、マジック・ストライカーを手札に加えるわ！

更に墓地の魔法カード、戦士の生還を除外してマジック・ストライカーを特殊召喚！

増援も除外し、2体目のマジック・ストライカーを特殊召喚するわ！」

マジック・ストライカーはダイレクトアタック直接攻撃できるモンスター

攻撃力600が2体、合計で1200となる

つまり、残りライフが1100の迷宮兄弟は終わりよ！

「マジック・ストライカーの効果、このモンスターはプレイヤーにダイレクトアタック直接攻撃ができるわ！

マジック・ストライカー2体でダイレクトアタック直接攻撃！」

「そうはさせん！ 罠カード発動、和睦の使者！

このターンの戦闘ダメージを0にする！」

兄の伏せたカードはそれか！

でもヒューガが破壊された時に使わなかったのは何故かしら？可能性としては……蘇生カードが手札に有る事ね。

「私はこのままターンエンドよ！」

「ならば私のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、デッキから更に2枚ドロー！」

死者転生を発動し、手札を1枚捨てて墓地のヒューガを手札に加える！

更に弟の伏せていた早すぎた埋葬を発動！ ライフを800払い、墓地の暴風小僧を特殊召喚する！

暴風小僧は風属性モンスターを生け贄召喚する時、生け贄を2体分として扱う事ができる！

よって私は暴風小僧を生け贄に捧げ、風魔神ーヒューガを召喚！」

あの……私達が与えたダメージはたったの900なのよ？

なのに自分でライフを払いまくって残り300って……

自滅して6800もライフを払うなんて馬鹿？

「ヒューガとスーガでマジック・ストライカーに攻撃！

魔風波！ 流水波！」

「くう……でも、マジック・ストライカーは戦闘ダメージを受けないわ！

よってこの戦闘で受けるダメージは0！」

「ならば直接攻撃だ！」

ダイレクトアタック  
サンガでプレイヤーに直接攻撃！ ダイレクトアタック 雷衝弾！」

「そうはさせない！」

永続罨カード発動、闇次元の解放！

除外されている自分の闇属性モンスターを特殊召喚する！

僕は……Sin<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜の特殊召喚で除外された真紅眼の黒竜<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>を特殊召喚！」

危なかった……受けても大丈夫だとは思うけど、受けない方が当然良いわ

しかも守備表示での特殊召喚だからダメージも受けないそれにしても……真紅眼の黒竜が何度も出てきてるわねここまで扱うのも凄いわよ？

「チィ、壁モンスターを出してきたかならばサンガで真紅眼の黒竜に攻撃！」

「ふふん、まだ甘いねえ

罨カード、レッドアイズ・スピリッツを発動！

このターンに破壊されたレッドアイズと名の付くモンスターを蘇生させる！

出てこい！<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜！」

闇次元の解放で特殊召喚されたモンスターは破壊されても墓地に送られる

闇次元の解放のカードを破壊された場合、除外されるけどねでも、これでまたモンスターが出てきたわ！

「甘いのはどちらかな？

私は3体の魔神を生け贄に捧げ、ゲート・ガーディアンは召喚する！」

ついに出てきたわね、ゲート・ガーディアン



でもまだ倒せる相手よ！

「そして装備魔法、巨大化を装備させる

このカードの効果により、自分のライフが相手より低い場合

装備モンスターの元々の攻撃力を倍にできるのだ！

よって、ゲート・ガーディアンの攻撃力は7500！

ターンエンドだ！」

攻撃力7500！？ この為に態々ライフを大量に支払ったのね！  
また厄介な……この攻撃力のモンスターを倒すのは骨が折れるわ！

「僕のターン、ドロー！」

……はは、強力なモンスターを召喚みたいんだけど無駄に終わるみたいだね！」

「「なんだと！？

我らがゲート・ガーディアンの強さが分からぬのか！」

確かにこの攻撃力は厄介よ  
どうするの、白黒兄さん。

「僕は真紅眼の黒竜を生け贄に、真紅眼の闇竜を特殊召喚！  
真紅眼の闇竜は真紅眼の黒竜を生け贄にした時のみ特殊召喚が可能

なモンスターだ！

そして墓地のドラゴン族モンスターの数×300ポイント攻撃力が  
上昇する！

僕の墓地にはドラゴン族モンスターは10体、よって攻撃力が3000ポイントアップ！」

「だが、それでも攻撃力は5400、ゲート・ガーディアンには及

ばない！」

「焦ったら駄目だよ？」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜でゲート・ガーディアンに攻撃だ！」

「返り討ちにしろ、ゲート・ガーディアン！」

魔神衝撃波！」

自滅する気！？

って、そんな馬鹿な事はしないか。

「この瞬間、速攻魔法発動！」

飛龍天舞！ デッキからドラゴン族モンスターを4体まで墓地に送る！

墓地に送ったドラゴン族の数×300ポイント攻撃力がアップする！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

更に、真紅眼の闇竜自身の効果で攻撃力が再びアップ！

合わせて2400アップし、その合計攻撃力は……7800！」

「馬鹿な！ ゲート・ガーディアンの攻撃力7500を上回っただと！？」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜はゲート・ガーディアンの攻撃を翼で弾き飛ばした  
そして口内に炎を溜め始める……

「しかも、君達のライフは残り300

丁度0になるじゃないか？

これで終わりだ！ ダークネス・ギガ・フレイム！」

「「うわあああああああ！！！」」

なるほど、会場の盛り上げの為にもあの瞬間に使ったわね  
おかげで会場は凄い盛り上がりで大歓声ね  
あの攻撃力を戦闘で破壊したんだから当然とも言えるか。

『勝者は天上院兄妹でしたー！  
まさか攻撃力7500ものモンスターは倒せるとは思いませんでした！』

とりあえず1回戦突破ね

借金返済の為、絶対に優勝しないと！  
今はまだ初戦だし……油断は禁物ね。

……でも、今回私って殆ど何もしてないわね  
ただ防御しただけだし……せつかく伏せてたバスター・モードが無駄になったわね  
ゲート・ガーディアンを召喚したらギガンテック・ファイター／バスターでも勝てないもの  
だから召喚なかったんだけど……正解だったみたいね。

もし召喚していた場合

迷宮兄弟兄は最初からゲート・ガーディアンを召喚

そして巨大化して攻撃してきたはず

だとしたら大ダメージは必至だったわね……どっちにしても勝てたけど。

ふう……2回戦は活躍しないと

瑞貴の事、活躍した方に賞金を多く渡すとか言いそう

見られてるんだもの、情けない事をすれば絶対にそうするわ！

次こそは必ず活躍し、私がトドメを刺す！

## 69話【長期休暇トーナメント 1回戦】（後書き）

トーナメントをした理由は？

前作、DMのキャラを出したくなったからです、機会がこれぐらいしかありませんし

皆さんが期待するであろう、あのキャラ達が出てきます！

今回はとりあえず迷宮兄弟です、時間が無かったので扱い易い彼らから……

ルールは？

TFのルールです、説明は面倒なので省略

明日香の説明で大方分かると思いますが……

なお、TFを買ったから影響されてこれを書いた  
と思った人、違います

これはかなり前から考えていた事です、なのでTFを買った件とは  
無関係です。

次回は誰が出てくるの？

秘密です、しかしDMのキャラでタッグとなれば自然と絞られるで  
しょう

あの人とあの人……まあお楽しみにという事で。

感想してくださる皆様にお願

い予想するのは構いませんが、それを感想に書かないでください  
楽しさが無くなってしまふので……

## 70話【長期休暇トーナメント 2回戦】（前書き）

TFをしていたら時間がギリギリに！

クッ……やはり演出は切っておくべきだったか！

レッド生徒なんかには演出は不要だった！

という訳で時間ギリギリです、とりあえず演出は切っておきました  
まさか10分ぐらいが5分ぐらいまで縮むとは……×ボタン連打も  
不要ですしね。

今回の相手はあの2人です

ん？ あいつはどこかって質問ですか？

さあ……観客なんじゃないですか？

相手の2人のデッキが半分ガチです、本気です

何故なら、元々使っていたカードと切り札の相性が悪いからです  
なので思いつきデッキを魔改造しました

元のカード？ 行方不明ですよ！

次話は大丈夫だと思います

それにしても……TFを全部揃えても時間が無いんです  
まあ外に居る時間にもしてクリアします。

## 70話【長期休暇トーナメント 2回戦】

視点 明日香

2回戦の相手……それは褐色の肌をした男性と女性  
男性の顔には何らかの傷跡が残っており、とても痛々しい  
女性は神秘的という感じで美人ね……あまり関係無いけど。

『第2回戦！ チーム天上院兄妹VSチーム墓守！  
なんとこのチーム墓守、あのバトルシティの決勝トーナメントにま  
で上り詰めた実力者だ！』

なんでそんな強敵がこんな所に居るのよ！  
そこそこ大きい大会だけど、よりにもよって私達の相手！？

「自己紹介しておきましょう  
私の名前はイシズ・イシュタール、彼はリシド  
よろしく」

「……………」

リシドと呼ばれた男は無言  
寡黙なのか話す事が苦手なのか  
単に私達なんて眼中に無いとも思える。

「初めまして、美しいお姉様！  
僕の名前は天上院吹雪、こちらは妹の明日香です  
どうぞよろしうって痛！」

「初対面でナンパするな！」

ほら、イシズさんが咄然としてるじゃない！

それに後ろでサラが羨ましがってるわよ！

見えないからどうしようもできないとは思うけど！

「……ふふ、楽しいお人ですね

ナンパなんてされたのは初めてです」

「嘘！？」

こんなに美人なのに！？

ああ、神秘的な人だから気後れするのね

なのにそのイシズさんをナンパする我が兄は……

本当に馬鹿！ 馬鹿！ 馬鹿！

「なんだって！？

つまり僕は貴女の初めての……痛い痛い！

蹴らないでくれ明日香！」

「こんな公の場で馬鹿な事を言わないの！」

また女性が出てきてそんな事をしたら次は殴るわよ！

今は蹴ってるけど、殴るからね！

『……………どうやら吹雪選手

相手であるイシズ選手にナンパし、妹の明日香選手に怒られている  
ようです

あのー、準備は良いですか？』

あああ……なんと無様な

観客から笑いが起こる、恥ずかしいわよ……

「あ、はい！

すみません、すみません！

ほら、白黒兄<sup>モノクロ</sup>さんも謝りなさい！」

この馬鹿兄！ 馬鹿兄！ 馬鹿兄！

でもこれ以上馬鹿をするのは嫌だから頭を1発殴って終わる  
恥ずかし過ぎるわよ！

「あた！ はは、ごめんなさい

僕達の準備は良いですよ？」

「私達も準備は終わっています  
では……始めましょうか？」

そう言って構えるイズさんとリシドさん

私達も構え、覚悟を決める！

相手は強敵……だけど勝つ！

「「「決闘<sup>デュエル</sup>！」「」」」

「先攻は私よ！ ドロー！

モンスターをセットし、カードを1枚伏せてターンエンド！」

「私のターンです、ドロー、私は魔法カード、天使の施しを発動し  
ます

デッキから3枚ドローし、2枚を捨てる



続いて強欲な壺を発動し、更に2枚ドロ―  
次に、マッド・リローダーを守備表示で召喚します  
カードを2枚伏せ、ターンエンドです」

手札交換と守備力0のモンスターを出しただけ  
何を狙ってるのかしら？

「僕のターン、ドロ―！  
ブリザード・ドラゴンを召喚するよ！」

「ならばこの瞬間、リバーズカードをオープン、手札断札を発動し  
ます

この効果により、お互いのプレイヤーは手札を4枚捨て、捨てた枚  
数だけドロ―します

更に罠カード、威嚇する咆吼を発動します

このカードの効果により、相手プレイヤーは攻撃宣言ができません」

この大会のルールでは手札はターンプレイヤーにしか影響しない  
だからこの効果はイズさんと白黒兄さん<sup>モノクロ</sup>だけが受ける事になるわ  
白黒兄さんの顔はそれなりに良い、捨てて効果の有るカードでも手  
札に有ったのかしら？

しかもドロ―したカードを見た時、かなり良さそうな顔になった  
という事は余程嬉しい手札なんでしょうね  
どんな手札なのかしら？

そしてこのタイミングで手札断札を使った理由は……  
可能性を考えると、パワーデッキだと判断したからかしら？  
ブリザード・ドラゴンの効果を厄介だと思ったのかもしれないわね。

「うーん……攻撃できないか  
なら僕はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

「次は私のターンだ、ドロー

私は永続魔法、王家の神殿を発動！

このカードが私達の場合に存在する限り、罠カードを伏せたターンに  
発動できるようになる」

罠カードを通常魔法のように使えるですって！？  
そんな凶悪なカードを！

「私はカードを2枚伏せ、発動！

永続罠、罠モンスターアポピスの化神！

このカードは発動後、モンスターカードとなり召喚される！」

一気にモンスターを2体特殊召喚！

しかも通常召喚権が残ってるから……生け贄か！

「私は2体のアポピスの化神を生け贄に、聖獣セルケットを召喚！」

現れたのは蠍のような化け物……なによこれ？

というか天使族？　これが天使族なの！？

謝りなさい！　フレイアとか、テテユスみたいな美人の天使族に謝  
って！

……でも、レイが使っていたアルカナフォースも化け物だったわね  
もしかして天使族ってゲテモノの集まりかしら？

うーん……天使のイメージ、変えた方が良いかしら？

「聖獣セルケットは王家の神殿が無ければ生きる事ができない

しかし……聖獣セルケットでブリザード・ドラゴンに攻撃！」

「そうはいかない！ 罨カード発動！」

シフトチェンジ！ 自分のモンスターが相手の魔法、罨、攻撃の攻撃対象になった時に発動！

その対象を別の味方モンスターに入れ替える！

僕が入れ替えるのは明日香の守備モンスターだ！」

ブリザード・ドラゴンの居た場所に私の守備モンスターが現れる  
攻撃する為にセルケットの伸ばした腕……というかハサミ？

それに掴まれるセットされたモンスター、荒野の女戦士

荒野の女戦士はセルケットの目の前まで持って行かれ……ひいい！

た、食べてる！ あ……ああ……食べられてる……

虫みたいな見た目の天使に女の子が……

き、気持ち悪い……ごめんなさい、荒野の女戦士

次は壁役じゃなくてメインで使ってあげるから許して！

「わ、私の守備モンスターは荒野の女戦士よ！」

戦闘によって破壊され、墓地に送られた時に効果を発動！

デッキから攻撃力1500以下の地属性の戦士族モンスターを特殊  
召喚できる！」

しかし効果が発動されない？

どうなってるの？

「残念ながら、リクルーターモンスターの効果はセルケットの前では  
無力だ

セルケットは破壊したモンスターを除外する効果を持つ

リクルーターモンスターは墓地に送られて初めて効果を発揮する

よって、除外されるので効果を発動できない」

まさか食べられたから除外!?

消化されたの? 消化されてるから墓地じゃないの!?

う! 想像するんじゃないかった……気持ち悪い。

「おぞましいとは思うが我慢してもらおう

そしてセルケットのもう1つの効果、戦闘でモンスターを破壊した時  
攻撃力を500ポイント上げる効果を持っている」

消化して吸収したの!?! だから攻撃力が上がったの!?!

想像したくない、想像したくない!

誰か助けてー!ー!ー!!!

「私はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

また伏せカード!?

王家の神殿の効果で予想はしてたけど

まさか罨重視のデッキ!?

という事はどちらも魔法、罨を中心としたデッキね!

「私のターン、ドロー!

E・HEROプリズマーを召喚し、効果を発動!

相手に融合モンスターを見せる事で、そのモンスターに指定されて  
いる融合素材モンスターをデッキから墓地に送る

その後、プリズマーはそのモンスターとして扱われるわ!

私が指定するのはサイバー・ブレイダー、よってデッキからブレ  
ード・スケーターを墓地へ

そして融合を発動! 手札からエトワール・サイバーと場のブレ  
ード・スケーターとなっているプリズマーを融合!

サイバー・ブレイダーを融合召喚するわ！」

相手の場にはモンスターが2体、よって得られる効果は攻撃力倍！でも、問題はあの伏せカード……4枚も伏せられていたら警戒しないわけにはいかない！早くヒュンレイが来てくれないかしら？

だからと言って、何もしないのは相手の思う壺  
ここは少しだけ動こうかしらね……  
何より、あのモンスターを見ていたくない！

「サイバー・ブレイダーで聖獣セルケットに攻撃！」

「む、自爆する気か？」

「違うわ！」

サイバー・ブレイダーは相手の場に存在するモンスターの数で効果が変わる！

相手の場のモンスターが2体の場合、攻撃力が倍になるわ！  
よって、サイバー・ブレイダーの攻撃力は4200！」

これが通ればそれなりにダメージが……

「悪いが防がせてもらおう

罨カード、和睦の使者を発動！

戦闘でモンスターは破壊されず、戦闘ダメージも0となる！」

「ならブリザード・ドラゴンの効果を発動！

セルケットの攻撃と表示形式の変更を封じるわ！

私はこれでターンエンドよ！」

「次は私のターンです、ドロー  
カードガンナーを召喚します、更に魔法カード、機械複製術を発動  
します

攻撃力500以下の機械族モンスター1体を選択し、同名モンスターをデッキから2体まで特殊召喚します  
私はこの効果で2体のカードガンナーをデッキから特殊召喚」

攻撃力400のモンスターを召喚か……目的が相変わらず分からないわね

それに、機械複製術の効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃表示で召喚される  
生け贄にするにも、既に召喚しているからできない。

「カードガンナーの効果を発動します  
デッキからカードを3枚まで墓地に捨てる事で捨てた枚数×500  
ポイント攻撃力を上げます

全てのカードガンナーの効果により、デッキから全部で9枚のカードを墓地に送ります  
これにより、カードガンナー達の攻撃力は1900です」

また墓地にカードを……嫌な予感がする  
急いで勝たないと負ける予感が……

「カードガンナーでブリザード・ドラゴンに攻撃します」

ブリザード・ドラゴンの攻撃力は1800、カードガンナーには勝てない

それよりも問題はセルケットが次のターン、動き出してしまうという事！

またあの攻撃は見たく無いわ！

「そして、残りのカードガンナーでサイバー・ブレイダーに攻撃します」

「自爆するつもり？」

「返り討ちにしないで、サイバー・ブレイダー！」

さっきの攻撃でリミッター解除を使わなかったという事は持っていないという事

なら遠慮無く受けて立つわ！

サイバー・ブレイダーはカードガンナーの攻撃を躲し、蹴りで粉碎する

ターンし、もう1体のカードガンナーも破壊

イシズさんに200ポイントのダメージを2回、よって400のダメージね。

「カードガンナーの効果を発動します

破壊され、墓地に送られた時にデッキからカードを1枚ドロ

破壊されたカードガンナーは2体なので2枚ドロしますね」

手札の補充が目的！？

確かに効果的ね……厄介なモンスターよ！

「カードを3枚伏せ、ターンエンドです

そしてエンドフェイズ時、カードガンナーの効果も切れ、攻撃力が元の400に戻ります」

「僕のターン、ドロ！」

僕は黒竜の雛を召喚するよ！　そして黒竜の雛の効果を発動！

手札の真紅眼の黒竜を特殊召喚できる！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

僕はこの効果により、真紅眼の黒竜を特殊召喚！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

更に真紅眼の黒竜を生け贄に、真紅眼の闇竜を特殊召喚！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

まだまだ！　罨カード、魔法反射装甲・メタルプラスを真紅眼の闇  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
竜に装備！

魔法反射装甲・メタルプラスは装備モンスターを対象にする魔法力  
ードを無効にし、破壊する効果を持つ

だが、僕はこの魔法反射装甲・メタルプラスを装備した真紅眼の闇  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
竜を生け贄に捧げる！

現れる！　レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン！

おい、白黒兄さん、もう少し警戒を……無駄か  
モノクロ

とうるか手札に揃いすぎじゃない？

今の流れから考えて黒竜の雛、真紅眼の黒竜、真紅眼の闇竜、レ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
ッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの全てが手札に有ったのよ？  
もしかしてシャッフルしてないの？

いえ、ちゃんとしていたわ

ならば何故？　なんだか怖いんだけど……

そしてあの伏せカードが怖いわ！

「レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力は墓地に存在  
するドラゴン族の数×400アップする！

僕の墓地には君の手札断殺の効果も含め、8体のドラゴン族が眠っ  
ている

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの元々の攻撃力は2800  
それに400×8である3200を足すと攻撃力は6000だ！」

しかも、手札を1枚捨てる事で相手の魔法の発動と効果を無効にし



て破壊する事もできる

元々このモンスターを対象にする魔法効果は無効化されるけどね。

「レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンでセルケットに攻撃！」

「ならばこの瞬間に罠を発動します、罠カードデビル・コメディアン」

こ、コメディアンって……イメージに合わないわね  
さっきからそういうカードが多くないかしら？

「私はコイントスを行い、表裏を当てます

当たった場合、相手の墓地のカードを全て除外

外した場合、相手の墓地の枚数だけデッキのカードを墓地に送る……

私はコイントスで裏を選択します」

イズズさんはコインを取り出し、場の真ん中に放る

当たって除外された場合、セルケットの攻撃力3000には勝てずに  
破壊された上に除外

外した場合、イズズさんのデッキは0枚になる……まさに生死を賭  
けたコイントスね。

コインが落ちて舞う

結果は……裏！ という事は大正解！？

「コイントスの結果は裏、私の予想は当たりました  
さあ、墓地のカードを全て除外してください」

「そんなぁ……僕のドラゴン達がぁ……」

「更に、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力は下がりました

セルケトの現在の攻撃力は3000、攻撃力2800のレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンでは勝てません  
反撃しなさい、セルケト」

セルケトはレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンを掴み、頭から食べ出した!?

ひ……酷い、とてもじゃないけど直視できないわ……

観客からも悲鳴の声が聞こえる……その気持ち、よーーーーーく分かる!

咀嚼音が聞こえなくなったので見てみると……う!

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの翼がちっとだけ残ってる!

セルケトはそれも残さず、最後まで食べた……フェイントなんて卑怯よ!

「セルケトに破壊されたモンスターは除外される  
よって、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンもまた除外だ」

「くっそお……サイバー・ブレイダーでカードガンナーに攻撃だあ  
!」

もう自棄になってるわね

ダメージを与えられるから良いか……

攻撃力差は1700、これで相手のライフは残り5900ね。

「カードガンナーの効果でデッキからカードをドローします」

「僕はこれでターンエンドだよお」

拗ねてるわね

よっぽど悔しかったのかしら？

その気持ちは分かるわ……

「この瞬間、罠カードを発動！

現世と冥界の逆転！」

現世と冥界の逆転？

そんなカード記憶に無いんだけど……珍しいカードなのかしら？

「現世と冥界の逆転、それは自分の墓地にカードが15枚以上有る時に発動できます

ライフを1000ポイント払い、お互いのプレイヤーは自分の墓地とデッキを入れ替えます

そして墓地に有ったカードはシャッフルし、デッキにセットします」

「ちょっと待ってくれ！ 僕の墓地にカードは1枚も無いよ！  
それはつまり、どういう事になるんだい？」

「墓地のカードがデッキとなるのです

墓地にカードが無いのなら、デッキの枚数は……0

次の貴方のターンになった瞬間、勝負が決まります」

そんな！

という事は次の私のターンで相手のライフを0にしなければ……終  
わり！？

まさかデッキ破壊を使ってくるなんて！

クッ！ 墓地で使うモンスターと意識し過ぎた！

「なお、デッキはともかく墓地は共有されています  
です。でリシドの墓地のカード、お嬢さんの墓地のカードもデッキ  
に戻ります  
元々の持ち主のデッキに戻るのと同じカードをもう1度使う事がで  
きますよ？」

墓地の再利用も封じられた！？

これじゃあミラクル・フュージョンが使えないじゃない！  
手札には無いけど、最後の言葉は挑発にしか思えないわ！  
こちらのデッキが墓地依存効果だと知った上で発言でしょうね。

しかも次はあのリシドさん

確実に攻撃を防ぐようなカードを使ってくるはず！

という事は私達に勝ち目は無い！？

「悪いが、続けさせてもらおう

私のターン、ドロ―

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

現在、相手の場にはモンスターが2体

よってサイバー・ブレイダーの攻撃力は4200……

だけど、それだけじゃどうしようもできない！

私達の負け……か

でも、私は最後の最後まで足掻くわ！

ドロ―1枚でどこまでできるか、試してやる！

「私のターン……ドロ―！ よし、まだ行ける！  
永続罠、リビングデッドの呼び声を発動！

自分の墓地……それはタッグパートナーの墓地でもある！

私は墓地から……なんでもいい、バイス・ドラゴンを特殊召喚！

更に魔法再生を発動！ 墓地から巨竜の羽ばたきを手札に加え、発動！

巨竜の羽ばたきの効果、それはLV5以上のドラゴン族を手札に戻す事で効果を発動する！

お互いの魔法、罠カードを全て破壊する！」

限定効果の付いた大嵐ね

それでも十分に役に立つわ！

まさかこんな時に役立つとは思わなかったけどね。

破壊されたカード、イシズさんは2枚目のデビル・コメディアン

リシドさんは3枚目のアポピスの化神と呪われた棺……呪われた棺？

とりあえず、3枚目のアポピスの化神はセルケットが破壊された時用の保険でしょうね。

「そして、王家の神殿が場から無くなったわ！

よってセルケットは破壊される！」

消えていくセルケット……怖かったわ

もう永遠にあの姿は見たく無い

うう……夢に出ないといいけど……

「くっ……セルケットは破壊されたが、呪われた棺の効果発動！

このカードが破壊された時、相手は1つの効果を選択せねばならない！

1つは自分の手札をランダムに捨てる

1つは自分の場のモンスター1体を破壊する

さあ、どちらを選ぶ？」

厄介な！ 私の場合にはサイバー・ブレイダー  
まだ相手のライフは4900も残っている、このモンスターが破壊  
されたら……  
となると手札、だけどそれも危険。

「……なら私は手札をランダムに捨てるわ」

ここは賭ける！

手札を裏返し、シャッフルする

そしてそこから1枚選択し、めくってみる。

私が選んだカードはバイス・ドラゴン

どうやらまだ私にも運が残っていたみたいね。

「私はカードを1枚伏せ、魔法カード、天よりの宝札を発動！  
お互いのプレイヤーは手札が6枚になるようにドロウするわ！」

今は私がターンプレイヤー、だから白黒兄モノクロさんがドロウする必要は  
無い！

これでなんとか特殊召喚モンスターを……ドロウ！

「……まだまだ私にも運が残っていたみたいね

私はE・HEROエアーマンを召喚！　そして効果発動！

デッキからHEROと名の付くモンスターを手札に加えるわ！

私はこの効果により……デッキからE・HEROオーシャンを手札  
に加える！

更に手札から融合を発動！　手札のオーシャンとフォレストマンを  
融合するわ！

これにより、E・HEROジ・アースを融合召喚！」

問題はリシドさんの手札に戦闘ダメージを無効にするクリボーが入っている可能性が有る事

あんなデツキだもの、入っていても全く不思議じゃないわ！  
だから少しでも勝率を上げる為、可能性を上げる為にオーバーキルをするつもりで行く！

「更に魔法カード、フュージョン・リカバリ融合回収を発動！

融合に使用したモンスター、オーシャンと融合を手札に加えるわ！  
そして融合を発動！ 手札の水属性、バブルマンとHEROのオーシャンを融合！

E・HEROアブソルートZEROを融合召喚！」

現れる氷の戦士、これでまだどうにかなるわ！  
相手の場にはまだ残っているマッド・リローダー  
邪魔過ぎて厄介な壁モンスターね……でも！

「E・HEROジ・アースの効果発動！

自分の場のE・HEROを生け贄に捧げる事でその攻撃力分だけジ・アースの攻撃力がアップする！

私が選ぶのはアブソルートZERO！」

「態々攻撃できるモンスターを減らすだと？

そんな事をしては勝てる戦いも勝てなくなるぞ？」

「いいえ、それが勝てるのよ……

アブソルートZEROの効果を発動！

このモンスターが場から離れた時、相手の場のモンスターを全て破壊する！」

「なんだと!?!」

よし、これで場は一掃された！  
後は直接攻撃を決めれば私の勝ちよ！

「サイバー・ブレイダーでダイレクトアタック直接攻撃！  
続いてエアーマンでダイレクトアタック直接攻撃！」

これで合計3900のダメージ！  
残りライフは1000、これで私の勝ちよ！

「ジ・アースでダイレクトアタック直接攻撃！  
アース・マグナ・スラッシュ地球灼熱斬！」

「甘い！ 私は手札からクリボーを捨て、効果を発動！  
相手からのダメージを1度だけ0にする事ができる！」

ジ・アースの攻撃はクリボーによって防がれた……

「残念だったな、お前達はよくやった  
しかし相手が悪かったな……運が無かったと諦めろ」

「……それはどうかしら？」

「なに？」

「速攻魔法発動！ 融合解除！  
この効果により、ジ・アースを融合前のモンスターに戻すわ！  
帰ってきなさい！ E・HEROオーシャン、E・HEROフォレストマン！」



「そんな事が!？」

最後のカードは本当に保険だった  
これを使わないで勝てるかもしれないと思ったけど……やっぱり無理だったわ

本当に強い相手だったけど、私達の勝ちよ!

「私達の勝ちよ!

ダイレクトアタック  
フォレストマンで直接攻撃!」

最後の1撃が決まり、私達の勝ちが決定した  
会場の大歓声を浴び……一息吐く。

本当に危なかった……負けるかと思ったわ  
ちなみに天よりの宝札の前に伏せたカードは戦士の生還  
使わなかったけど、融合回収が来てくれてよかったわ  
もし来なかったらと思うと……はあ。

「良い戦いでしたね

また機会があればお相手してくださいね」

「僕で良ければ喜んで!」

「私はちょっと遠慮したいわ……

強い相手と戦うのは楽しいけど、精神的に辛すぎるもの」

「ふふ、では頑張ってください

それでは……」

イシズさんは一礼をし、去って行った

リシドさんも同じように一礼をして帰って行く……

2回戦突破ね、次は3回戦

どんな相手なのかしら？

でも、もうこんな今回みたいな相手は嫌よ！

## 70話【長期休暇トーナメント 2回戦】（後書き）

イシズとリシドはどこから湧いてきた!?

童実野美術館じゃないでしょうか?

一応、イシズも居たんですし、リシドが居てもそこまで不思議……ですね

今回に限ってはご都合主義で行きます、設定? 立場? そんな物は無視します!

弟のマリクは?

さあ? 観客でしょうかね?

どうも2人とのデツキ相性が悪そうなので今回は無理でした。

吹雪って初対面からナンパするキャラだっけ?

いや、なんとなく……そんなイメージが強いので

当然ながらイシズは今回限りの登場なのでフラグにはなりません  
再登場をさせる気は無いですよ?

イシズがナンパ初体験……だと!?

そんなイメージが……閉鎖的な場所で育ってきましたしね  
それに明日香の予想も有るかと思えます。

こ、荒野の女戦士とレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンがああああ!!!!

すみません! ごめんなさい! しかし仕方無かったんです!  
特に荒野の女戦士は本気でごめん! 今度見せ場を作るから許してください!

なんというイシズのガチ仕様……

天使逆転デッキ？ 作者にそんな高等技術は有りません！

なので自分で使い易く、そしてあの時代にまだ現れているはずのカードを使用

すると謎に強くなりました……これが墓守の力か！

吹雪のチートドロローが！

連続進化しました、お前も主人公補正なのか！？

主人公じゃないですけど……

明日香のチートドロローが！

明日香は今回のメインですので、主人公補正でしょう

本来の主人公である瑞貴ですか？

……そういえばどこに行ったんでしょね？

観客でしょうか？

再度お願いします

感想で予想を書かないでください

楽しみが減ってしまいますので、お願いします。

## 71話【長期休暇トーナメント 3回戦】（前書き）

今回は凄く遅れました！

なんと3分です、これは由々しき事態！

はぁ……相手の2人が使うカードが難しいのが悪いんです！  
もう2度とこの2人は使いません！

出てこないと思いますけどね……はぁ。

今回もまた、変わった2人です

何故このタッグかって？

だってこの2人って知り合いじゃないですか

因縁も有りますし、これなら良いと思いました。

今回は間に合わせたいですね

とりあえず……昼寝をするのは止めます

今回は3時間も寝てしまったので。

## 71話【長期休暇トーナメント 3回戦】

視点 明日香

次の対戦相手が出てき……うそお!?

なんでこの2人が相手なのよ!

雰囲気が違うけど、この2人は間違い無く……

『第三回戦、チーム天上院兄妹VSチーム表裏一体!

このチーム表裏一体、この2人もまたバトルシティ決勝トーナメントまで勝ち進んだ強豪だ!

しかしチーム天上院兄妹、連続でバトルシティ決勝トーナメント参加者が相手とは……運が無いですね』

ほっというてよ! 私達だってあいつらを相手に戦いたくないわよ!

これならイシズさんと再戦する方が圧倒的にマシ! 絶対にそうよ!

「自己紹介しておくべきかな?

僕の名前はマリク・イシュタールだ  
よろしく」

「僕は摸良了、よろしくね」

あら? なんだか性格が違うような気が……というか全く違う?  
どうなってるのかしら?

それに私の事が分からないというのも変ね。

「僕は天上院吹雪、よろしく」

「……天上院明日香よ

それよりも、1つ質問しても良いかしら？」

「なんだい？」

「貴方達……本当にマリクにバクラ？」

私の知っている貴方達とは性格が全く違う

2人共残酷で残虐な性格をしていたと思うんだけど……」

私の言葉を聞いたマリクの表情が変わった

かなり真剣な顔に……

「君は……あの人格に会ったのかい？」

「あの人格？」

そういえばマリクは主人格様、バクラは宿主って言ってたわね  
という事はこの彼が本当の性格なのかしら？

「そう、貴方達が宿主に主人格様ね」

「いつ会ったのかは知らないけど、どうやら本当に会った事が有る  
らしいね

確かに僕は主人格、二重人格の本来の人格さ

君は僕達を恐れているみたいだが安心してくれ

あの人格達は既に消え去っているから二度と現れないよ」

「そうそう、僕達は本来の人格でこの大会に出てるんだ  
あの人格はもう出てこないから安心してよ

（僕の千年リングは無くなってるしね）」

そう言われても……やっぱりあの2人は苦手よ  
はあ、嫌な相手になったわね。

「明日香、僕には全く話しが分からないんだが……どういう意味だい？」

「知らない方が幸せよ

私はあるな体験、二度としたくないわ！」

闇のゲームも嫌だけど

あの時は……見ていて辛かったわ。

瑞貴の腕に巨大な蛭が吸い付いたり  
矢が手を貫通して穴が開いてたり……うう、絶対に嫌よ！

「事情は分からないけど、どうやらあの人格が何かしたみたいだね  
僕から謝っておくよ……すまない」

「僕達は何も知らないけどね  
でも、ごめんなさい」

「気にしないで、あまり思い出したくない事だから  
私から振っておいてアレだけど、決闘デュエルを始めましょうか  
今の話の罪悪感とかで手加減したら……怒るわよ？」

さっさと話を進めておく

このまま会話してもいいけど、やっぱり思い出したくない  
早く終わらせて休みたいわ。



「勿論手加減なんてしないさ  
じゃ、お願いしますか」

マリクの言葉に獏良も構える

私も覚悟を決め、構え始める

モノクロ

白黒兄さんは訳が分からないという感じ

だけどとりあえず構える。

「「「決闘！」」」  
デュエル

「最初は僕のターンからだ、ドロー

僕はギル・ガースで召喚する

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

攻撃力1800の通常モンスター

特に怖いモンスターじゃないけど……彼もまたマリク  
拷問デッキはもう嫌よ！

「僕のターンだ、ドロー！

僕は古のルールを発動するよ、手札のLV5以上の通常モンスター  
を特殊召喚するんだ

僕はこの効果により、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を特殊召喚！」

は……早いわね

でも、これぐらいじゃないとこの2人の相手は辛いかしら？  
本当に……なんでこんな強敵ばかり相手なのよ！

「行くぞ！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜でギル・ガースに攻撃だ！」

何の抵抗も無く破壊されるギル・ガース

ダメージを600与えたけど……もう少し何か有っても良いんじゃない？

白黒兄さんモククロも拍子抜けって顔になってるし。

「僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「次は僕のターンだね、ドロー」

僕はクリッターを守備表示で召喚して、カードを1枚伏せてターンエンドだよ」

なんというか普通ね

どんな凶悪な攻撃をしてくるかと思ったんだけど

……でも、油断はしないわ！

「私のターン、ドロー！

私は墓地の魔法カード、古のルールを除外してマジック・ストライカーを特殊召喚するわ

そして戦士族、マジック・ストライカーを生け贄つるぎに捧げ……

剣の交差、剣音を交えし戦場に立つは一閃の閃き、切り伏せなさい

！ XX—セイバーヒュンレイ！」

攻撃力2300のモンスターが登場よ！

高攻撃力が2体並んだけど、どうするかしら？

「更にヒュンレイの効果を発動！ 生け贄召喚に成功した時

場の魔法、罠カードを3枚まで破壊できる！ 私は貴方達の伏せカ

ード2枚を破壊するわ！」

破壊したのは冥王の咆吼と沈黙の邪悪霊ダーク・スピリット

どっちの効果も忘れたわ、なんだったかしら？

「ヒュンレイでクリッターに攻撃！」

「わわ、クリッターの効果を発動するよ

場から墓地に送られた時、デッキから攻撃力1500以下のモンスターを手札に加えるんだ

僕はデッキからハ・デスの使い魔を手札に加えるね」

攻撃力700のモンスターか

あまり問題じゃないけど、壁にされたら邪魔ね  
でもやっぱり弱いから大丈夫か。

レッドアイズ・ブラックドラゴンドレイレクトアタック  
「真紅眼の黒竜で直接攻撃！」

何の抵抗も無くダメージを受ける

本当に何を考えてるのかしら？

既に3000ものダメージを受けてるわ

これで勝つ気が有るの？

でも、相手はやっぱり主人格でもバクラとマリク

何か狙いが有るのは確実のはず！

油断はできないわね……

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「僕のターンだ、ドロー

僕は早すぎた埋葬を発動する

ライフを800払い、墓地のモンスターを特殊召喚だ

僕はクリッターを蘇生させ、更にメルキド四面獣を召喚する」

このパターンってどこかで見た気がするわね  
確か学園祭の時にレイが……メルキド四面獣？  
という事はまさか！

「僕はメルキド四面獣を含む2体のモンスターを生け贄に捧げる  
出てこい、仮面魔獣デス・ガーディウス！」

やっぱり出てきた！

仮面魔獣デス・ガーディウスが、コントロールを奪うモンスターが！  
あああ……また奪われる……レイみたいにモンスターを……

モノクロ  
白黒兄さんも同じ事を考えたのかへこんでる

効果を知っているだけに嫌ね

しかも攻撃力が負けているからもうどうしようも無いわ。

「その様子だと、このモンスターの効果は知っているみたいだね  
でもその前にクリッターの効果を発動するよ  
僕はデッキから攻撃力1500以下のモンスターであるダークジェ  
ロイドを手札に加える」

確かに場から墓地に行ったから効果は発動できる  
それにダークジェロイドの効果は確か……召喚時にモンスター1体  
の攻撃力を800下げる  
面倒なモンスターを手札に加えたわね！

「どちらを先に倒すべきか……攻撃力の高い方かな？  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
デス・ガーディウスで真紅眼の黒竜に攻撃だ！  
ダーク・デストラクション！」

「（あんまりやりたくは無いんだけど……仕方無いかな）」

リバースカードオープン！ 速攻魔法、飛龍天舞！

デッキからドラゴン族モンスターを4体まで墓地に送り、その枚数×300ポイント攻撃力がアップする！

僕はデッキからドラゴン族モンスターを3体墓地に送り、攻撃力を900アップさせる！

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
迎撃だ！ 真紅眼の黒竜、ダーク・メガ・フレア！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜の攻撃力は3300

仮面魔獣デス・ガーディウスの攻撃力は3300、攻撃力が並んだわね

結果は当然相打ち、という事は……

「……なるほど、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜のコントロールを奪われないようにしたか

でも君達の間にはもう1体、モンスターが残っている

デス・ガーディウスの効果発動！ デッキから遺言の仮面を発動させる！

デス・ガーディウスの効果で発動された遺言の仮面は装備カードとなり、モンスター1体のコントロールを相手に移す！

僕はこの効果でヒュンレイに装備させる！」

「そうはさせないわ！」

罠カード発動！ デストラクト・ポーション！

自分の場のモンスター1体を破壊し、その攻撃力分だけライフを回復する！

私はヒュンレイを破壊してライフを2300回復させるわ！」

「躲されたか……困ったな

僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

危なかったわ

もしコントロールを奪われていたらダメージは大きかったものでも、これで場にカードは今の伏せカードだけ  
モスクロ  
白黒兄さん、できるだけダメージを与えてね。

「僕のターン、ドロー！」

僕はラヴァ・ドラゴンを守備表示で召喚し、効果を発動する！  
守備表示のこのモンスターを生け贄に捧げる事で手札、墓地からL  
V3以下のドラゴン族モンスターをそれぞれ1体ずつ特殊召喚する！  
マスクド・ドラゴン  
僕は手札から仮面竜、墓地からデコイドラゴンをそれぞれ攻撃表示  
で特殊召喚！」

攻撃力合計がギリギリラヴァ・ドラゴンを越えてるわね  
合計で1700のダメージ……微妙ね！  
できればもう少し大きめなダメージを期待したんだけど。

「デコイドラゴンと仮面竜マスクド・ドラゴンで直接攻撃だ！」

マリクは伏せカードを発動せず、そのままダメージを受ける  
何故何もしないのかしら？  
可能性としては雑魚モンスターに使いたくない罠カード辺り？

「カードを1枚伏せ、僕はこれでターンエンドだ」

マリク達の残りライフは残り3300  
ちょっと拙いんじゃないの？  
このままだと終わってしまうわよ？

私としては怖いモンスターを出される前に終わりたいんだけどね

あの戦いは既にトラウマよ……はあ、もう嫌。

「僕のターン、ドロー」

僕は墓地の悪魔族モンスターを3体

ギル・ガース、メルキド四面獣、仮面魔獣デス・ガーディウスをゲームから除外

そしてダーク・ネクロフィアを特殊召喚！」

またコントロールを奪うモンスター！？

しかもやっぱりダーク・ネクロフィア使ってきた！

うわぁ……ダーク・ネクロフィアが持っている人形がカタカタと動いてる……

ひ！ わ、笑い出した！ 怖すぎるわよ！

「僕は更に死者蘇生を発動して、墓地のクリッターを蘇生させるね  
そしてクリッターを生け贄に捧げ、冥界の魔王 ハ・デスを召喚！」

しかもハ・デスの使い魔じゃなくて本体が出てきた！？

どんな効果を持ってたかしら？ 忘れたわ。

「クリッターの効果を発動するね

僕はデッキから幻銃士を手札に加えるよ」

幻銃士……トークンを生み出す効果を持つモンスター

能力は低いけど、それでも邪魔なのは代わり無い！

「じゃあまず、ダーク・ネクロフィアで仮面竜に攻撃するね」  
マスクド・ドラゴン

そんな穏やかな話し方をしてるけど怖いモンスターを使うわけね  
しかも攻撃が熱殺って……仮面竜が燃え尽きたわよ？  
マスクド・ドラゴン

「く、マスクド・ドラゴン仮面竜の効果を発動！」

戦闘で破壊された時、攻撃力1500以下のドラゴン族モンスターをデッキから特殊召喚できる！」

「あ、それ無理」

「僕はデッキから……って無理？」

戦闘で破壊されたから可能のはずよ  
なのに無理ってどういう事？

まさかまたセルケトみたいに除外する効果！？

って、それは無いわね

レイが使ってた時も効果は使わなかったし……  
敵モンスターを倒してないけど。

「冥界の魔王ハ・デスの効果

それは味方悪魔族モンスターが戦闘で相手モンスターを破壊した時に発動するんだ

僕達の悪魔族モンスターに戦闘で破壊されたモンスターの効果は無効化される

だからリクルーターモンスターの効果を発動させる事はできないんだよ」

またリクルーター潰しのモンスター！？

どうしてセルケトといい、ハ・デスといい！

私達の相手はこんなに強敵なのよ！

「更にハ・デスでデコイドラゴンに攻撃！」



「デコイドラゴンの効果発動！」

このモンスターが攻撃対象にされた時、自分の墓地のLV7以上のドラゴン族を特殊召喚する！

そして相手モンスターの攻撃をその蘇生させたドラゴン族に変更させる！

僕が蘇生させるドラゴン族モンスターは<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜だ！

守備表示で特殊召喚！」

通常モンスターだったら効果を無効化されないわね

でも、ハ・デスの攻撃力は2450、戦闘で破壊されてしまうわ。

「でも、ハ・デスの方が攻撃力が上だよ

ハ・デスで<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜に攻撃！」

強いわね……さすが宿主や主人格

これならここまで昇ってくるのも当然ね。

「僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだよ」

猥良の手札はハ・デスの使い魔と幻銃士だけになったわね

何を伏せたのか気になるけど、次は私のターンか……

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、Eーエマジエンシーコールを発動！

デッキからE・HEROを手札に加えるわ

私はこの効果により、E・HEROエッジマンを手札に加える！

更に死者転生を発動！ 手札を1枚捨て、墓地のモンスターを手札に加えるわ

私は手札を1枚捨て、墓地からマジック・ストライカーを手札に加

える！」

よし、これで墓地に送れた  
次は出すだけよ！

「墓地のE・HEROネクロ・ダークマンの効果を発動するわ！  
1度だけ、E・HEROを召喚する時に生け贄無しで召喚できる！  
私はこの効果を使い、手札のエッジマンを召喚する！」

「生け贄も無しに攻撃力2600を召喚するか  
さすが、ここまで来る実力は有るみたいだね」

褒めても何も出ないわよ？

でも、マリクに褒められるって凄い違和感なんだけど  
とりあえず、ハ・デスを倒さない事には始まらないわ！

「私は墓地のE・エマージェンシーコールをゲームから除外し、マ  
ジック・ストライカーを特殊召喚！  
マジック・ストライカーは攻撃する時、ダイレクトアタック直接攻撃ができるわ！  
バトル！ マジック・ストライカーでプレイヤーにダイレクトアタック直接攻撃！」

「お？ うわ！」

なんだか気が抜けるわね……

猥良のせいでバクラのイメージが抜けてしまうわ。

「更に、エッジマンでハ・デスに攻撃！」

「そうはさせない！」

罨カード、悪夢の魔鏡を発動！

手札を1枚捨て、相手の攻撃を無効にする！  
更に、相手に1000ポイントのダメージを与える！」

マリクのカードだけどターンプレイヤーである猊良が手札を捨てる  
すると場に鏡が現れ、そこに私の姿が映し出される？

エッジマンは鏡に映し出された私に攻撃した……そしてライフが1  
000削られる。

1000ポイントぐらいならまだ平気だけど、攻撃を無効にされた  
のは痛い！

これぐらいの対策は当然だったわね。

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「ならこの瞬間、永続罠カードを発動！」

永続罠、ウィジャ盤！」

ウィジャ盤って……確か特殊勝利カード！

「ウィジャ盤は相手のエンドフェイズ事に死のメッセージカードを  
魔法、罠ゾーンに置くんだ

で、ウィジャ盤も含めて5枚のカードが場に揃った時、僕達の勝ち  
が決定する

これでターンエンドだから死のメッセージカードEが発動されるよ」

相手の場に青い炎を纏ったDの文字とEの文字が現れた  
確に残りの文字はA、T、H……つまり3ターンね。

白黒兄さん、私、白黒兄さん<sup>モノクロ</sup>と進み  
最後の白黒兄さん<sup>モノクロ</sup>のターンで終わる

時間が……時間が足りない！

「次は僕だ、ドロー！

ダークジェロイドを守備表示で召喚し、効果を発動！  
場のモンスター1体の攻撃力を800ダウンさせる！

僕が攻撃力を下げるモンスターは当然エッジマンだ！」

エッジマンの攻撃力は2600から1800へ

ハ・デスに、ダーク・ネクロフィアにも負けてしまうわね……  
ただでさえ時間が無いのに厄介な！

「ダーク・ネクロフィアでエッジマンに攻撃！」

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動！

相手の攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させるわ！」

「ふーん……なら僕はカードを2枚伏せる

これでターンエンドだよ」

魔法、罠を使わなければメッセージカードは出せなくなるけど

そんな事は相手も分かっている

あの伏せカードはすぐに使う気でしょうね。

「僕のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、更にカードを2枚ドロー！

よし、魔法カード、思い出のブランコを発動！

墓地から通常モンスターである真紅眼の黒竜を特殊召喚！

更に魔法カード、黒炎弾を発動！ 真紅眼の黒竜の攻撃を放棄する  
代わり

真紅眼の黒竜の元々の攻撃力である2400のダメージを与える！」

「2400だって!?　ぐうああ!」

やった!　これでマリク達の残りライフは900  
これぐらいならまだなんとかなるわ!

「更に真紅眼の黒竜を生け贄に、レッドアイズ・ブラックドラゴン 真紅眼の闇竜を特殊召喚!

レッドアイズ・ダークネスドラゴン 真紅眼の闇竜は墓地のドラゴン族モンスター1体につき、攻撃力を  
300ポイントアップさせる

僕の墓地にドラゴン族は5体、元々の攻撃力2400に足して攻撃  
力は3900だ!」

「攻撃力3900だって!?!」

「この攻撃で終わりだ!

レッドアイズ・ダークネスドラゴン 真紅眼の闇竜でハ・デスに攻撃!  
ダークネス・ギガ・フレイム!」

これが決まれば私達の勝ちよ!

「そうはさせない!　罠カード、ドレインシールド!  
モンスター1体の攻撃を無効にし、その攻撃力分ライフを回復する  
!」

……やっぱりそう簡単にはいかないわよね  
ライフを3900回復され、残りライフは4800にまで  
はあ……やっぱり強いわ。

「クッ、ならマジック・ストライカーで直接攻撃!  
そしてエッジマンでダークジェロイドに攻撃だ!

エッジマンは貫通効果を持っている、ダークジェロイドの守備力は1500

エッジマンは攻撃力が下がっても1800、その差300のダメージを受けてもらおう！」

それでも、相手は3900もライフを持っている  
拙いわね……時間が無いわ！

「僕はこれでターンエンドだ」

「僕のデッキにも死のメッセージカードは入っている  
よって、デッキから死のメッセージカードAを発動するよ」

マリクのデッキにも死のメッセージカードが入っていた！？  
って、当然よね……せっかくタッグを組んでるんだから  
だとしても、入っているのはAとHだけでしょうね  
それでも厄介な事には代わり無いわ！

「僕のターン、ドロ……魔法カード、強欲な壺を発動し、デッキ  
から2枚ドロ  
マリクが伏せた罠カードを発動、異次元からの帰還を発動するよ  
ライフを半分払い、除外されているモンスターを可能な限り特殊召  
喚する」

場に現れる仮面魔獣デス・ガーディウス、ギル・ガス、メルキド  
四面獣

攻撃力3300のモンスターが帰ってくるなんて厄介な！

レッドアイズ・ダークネストドラゴン  
まだ真紅眼の闇竜が勝ってるけど

それでも邪魔な事に代わり無いわ！

「更に手札から儀式魔法、闇の支配者との契約を発動！  
場か手札からLV合計が8になるようにモンスターを生け贄に捧げ  
る！

僕は場からギル・ガスとメルキド四面獣を生け贄に捧げ……出て  
こい！

闇の支配者ーゾーク！」

しかもここに来て儀式召喚ですって！？  
更にこのモンスター効果って確かダイスで効果を使うモンスター！  
これってかなり拙いんじゃない？

「ゾークの効果発動！

ダイスを振って、出た目によって効果を発動する！

1、2の場合は相手モンスターの全滅

3、4、5の場合は相手モンスターを1体破壊

6の場合は自分のモンスターの全滅

何が出るかなと……ダイスロール！」

お願いだから1、2だけは出ないで！  
できれば6にして！

そして出た目は……5

つまり私達のモンスターを1体破壊する！

「出た目は5だからモンスター1体を破壊だね  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
という訳で真紅眼の闇竜を破壊するよ！」

「クッ！ レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜が！」

攻撃の要が！

しかも相手の場には攻撃力が2200のダーク・ネクロフィア  
2450のハ・デス、2700のゾーク、3300のデス・ガーデ  
ィウス！

全部受けたら私達のライフは！

……まあまだ残るわね

「更に、ハ・デスの使い魔を召喚して効果を発動！

自身を生け贄に捧げ、悪魔族モンスター1体の攻撃力と守備力を7  
00アップさせる！

僕はこの効果を使ってハ・デスの攻撃力と守備力を700アップさ  
せるよ」

これでハ・デスの攻撃力は3150

更に厄介になったじゃない！

「ダーク・ネクロフィアでマジック・ストライカーに攻撃！」

「だけど、マジック・ストライカーは戦闘ダメージを受けないわ！  
例え破壊された後に効果を無効化されても、ダメージ無効は変わら  
ない！」

「あらら、でもいいや

ゾークでエッジマンに攻撃！」

ゾークの出す闇の波動？

そんな感じの攻撃でエッジマンは破壊される  
900のダメージか……残り8400！

「ハ・デスでデコイドラゴンに攻撃！」



「だが効果を忘れたわけじゃないだろう？」

デコイドラゴンの効果で真紅眼の黒竜を守備表示で特殊召喚！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜が代わりの攻撃を受け、破壊される

まだ大丈夫だけど、それでも拙い事には代わり無いわ！

「デス・ガーディウスでデコイドラゴンに攻撃！」

「再び真紅眼の黒竜を守備表示で蘇生させ、攻撃を受ける！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

それにしても真紅眼の黒竜が可哀想ね

攻撃を受ける為だけに既に3回も蘇生させられてるんだから。

古のルール、思い出のブランコ、デコイドラゴン

合計で5回も特殊召喚されてるわ。

「もう無理かあ、ターンエンドだよ」

「この瞬間、罠カード発動！ レッドアイズ・スピリッツ！

レッドアイズと名の付くモンスターが破壊されたターンに発動可能！

そのモンスターの召喚条件を無視し、蘇生させる！

僕が復活させるのは当然、真紅眼の闇竜だ！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

やった！ これで攻撃力3900がまた出てきたわ！

なんとかハ・デスを破壊できる！

「あらら……」

エンドフェイズ時、異次元からの帰還で帰還したモンスター除外される

デス・ガーディウスは消えるよ」

よかった、これで攻撃力3300が消えたわ  
まだなんとかなる！

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、壺の中の魔術書を発動！

お互いのプレイヤーはカードを3枚ドローするわ！

更に魔法カード、強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドロ  
ー！」

壺の中の魔術書は天よりの宝札の弱体化版みたいな効果よ  
だけど、それでも効果は強力！

「よし、これで行ける！」

私はE・HEROエアーマンを召喚し、効果発動！

デッキからHEROを手札に加える！ 私はデッキからE・HER

Oオーシャンを手札に加えるわ！

更に手札から融合を発動！ 場のHEROエアーマンと、水属性オ  
ーシャンを融合！

E・HEROアブソルートZEROを融合召喚！」

モノクロ 白黒兄さん レッドアイズ・ダークネスドラゴン が真紅眼の闇竜を出してくれたおかげで勝てる！

ハ・デスさえ倒せばこっちのものよ！

「バトルよ！」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜でハ・デスに攻撃！

ダークネス・ギガ・フレイム！」

これで750のダメージ

残りは1200！ これでなんとか削りきる！

「更に速攻魔法、融合解除を発動！」

アブソルートZEROを融合前の姿に戻すわ！

出てきなさい！ エアーマンにオーシャン！

特殊召喚に成功したエアーマンの効果を発動！

エアーマンを除く、自分の場のE・HEROの数だけ魔法、罠を破壊できる！

これによりウィジャ盤を破壊！」

「あ！ あーあ……破壊されちゃった

ウィジャ盤は1枚でも場から離れると全部消えちゃうもんね」

こっちが必至で戦ってるのになんでそんなに暢気なのよ！

本当に頑張ってるのよ！ なのになんでそんなに！？

「そしてアブソルートZEROの効果も発動される！

このモンスターが場から離れた時、相手モンスターを全て破壊する  
！」

「なんだって！？」

あ、やっと暢気な顔が剥がれたわね

これで一矢報いたわよ！

「速攻魔法、瞬間融合を発動！

場の融合できるモンスターを融合させる事ができる！

私は場のE・HEROオーシャンと、炎属性デコイドラゴンを融合！  
出てきなさい！ E・HEROノヴァマスター！」

出てくるのは炎の戦士

攻撃力は2700！ これで私達の勝ちよ！

「E・HEROノヴァマスターで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

（そういえば攻撃名って知らないわね……適当で良いわ！）ノヴァ・  
ストライク！」

「うわああ！」

これでライフは0！

私達の勝ちよ！

はあ……疲れた

精神的にも、体力も辛い

もう表も裏もこの2人とは戦いたくないわ！

「負けたあ……楽しかったよ

また戦えたらお願いね」

絶対に遠慮するわ！

本気で嫌よ！

「……猥良、僕達は嫌われているみたいだね  
裏のせいかもしれないけど……」

「うーん……ごめんね？ じゃ！」

そう言って去って行く2人

こっちこそごめんね……でも、私は2度と会いたく無いわ！

## 71話【長期休暇トーナメント 3回戦】（後書き）

チーム表裏一体の理由は？

裏人格のカードも使うからです

表も裏も、どちらも自分で同じだった

という理由からチーム名、デッキ共にこんな感じになりました。

どうしても良いけど……この2人って決闘したっけ？  
デュエル

獺良はしていませんね、バクラが毎回していましたし

マリクの場合は人形でしょうか？

今回はオシリスが無いのであのカードは使いませんでした……

ゾークか……

ちなみに、デミスも使おうか悩みました

が、ウィジャ盤と相性が悪いので却下です。

別に瞬間融合を使わなくても勝てたよね？

最初にミスしてデス・ガーディウスが残っていたので……

遺言の仮面で真紅眼の闇竜が奪われました  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

なので倒す為に使ったのですが、気付いたので修正

エアーマンとかで殴って終わりなのも味気ないですし……

どうせなのでラストを飾ってもらいました。

原作、アニメオリジナルカード

悪夢の魔鏡

手札を1枚捨てる

相手の攻撃を無効にし、相手に1000ポイントのダメージを与える

素直にドレインシールドの方が良いですね  
手札を捨てるのも痛いですし……

壺の中の魔術書

お互いのプレイヤーはカードを3枚ドロースる  
シンプルなカードです、禁止確定ですね。

瞬間融合

場のモンスターを融合させる

今回のように融合解除からの連続攻撃ができます  
これは準制限ぐらいなってもおかしく無いと思われますが……どう  
でしょうね？

## 72話【長期休暇トーナメント 準決勝戦】（前書き）

今回は多少余裕で終わりました

2時間も昼寝してしまっただのによく終わらせられたものです。

今回は……どう説明しましょうか？

まあとりあえず少し予想外のデッキだと思えます

これでも頑張りましたが、これ以上は無理です。

何故か頭が痛いです……

風邪？ そうなるような事をしている自覚が有るだけに困ります  
作者の部屋には暖房器具は有りませんので……熱すぎる！

次話はどうでしょう……とりあえず大丈夫だと思います

どんな内容にするかちよつと悩み中ですけど。

## 72話【長期休暇トーナメント 準決勝戦】

視点 明日香

……なんで？ どうして？

もしかして私達って本気が運が無いのかしら？

「ねえ<sup>モノクロ</sup>白黒兄さん

私達って何か悪い事……したかしら？」

「さあ？ でも僕達の運が無いというのはよく分かったね  
何か不幸の巡り合わせでも有ったのかな？」

不幸の巡り合わせって何よ？

はあ、どうして私達はこう……こんなに運が無いのかしら？

『準決勝戦です！

ここまで勝ち残ってきた選手を紹介しておきましょう！

強力なパワーとテクニック、一般参加とは思えない実力の兄、天上  
院吹雪選手！

高速でモンスターを展開するコンボは必見！ 妹の天上院明日香選  
手！

チーム天上院兄妹です！』

歓声上がるけど……嬉しくないわ  
相手を考えると喜ぶ方が難しいわよ。

『そしてもう1チーム



あのバトルシティ決勝トーナメントに参加し、その美貌と実力で勝ち上がってきた孔雀舞選手！

同じく決勝トーナメントに参加しており、様々なカードを組み合わせ、強運で勝利する城之内克也選手！

チーム戦舞戦城です！』

どんなチーム名？ 戦って舞う城？

それとも戦う私達って意味かしら？

名前に舞と城が入ってるし……

それとも戦場を踊るという意味を込めてるのかしら？

だとしたら踊るのは誰？ モンスター？

「おい司会者！ 強運って何だ強運って！

俺が勝ってきたのは運じゃなくて実力だぞ！」

「あんたの場合は運も大きいじゃない

自分がどんなカードを使ってるか分かってるの？」

「う……だがよお……」

漫才コンビ？ それとも夫婦漫才？

むしろ姉さん女房？ 尻に敷かれてる夫？

……どれでも当て嵌まる気がするのは何故かしら？

『それにしてもチーム天上院兄妹、とことん不幸です！

まさかの3連続、バトルシティ決勝トーナメント参加者が相手なのですから！

この2人の不幸はどこまで続くのでしょうか！ そして今回も勝ち上がるのか！？』

「不幸って言わないで！

悲しくなるから！」

もう嫌……帰りたい！

なんで私ばかりこんな目に？

瑞貴の……瑞貴の馬鹿……！！！！

「おいおい、バトルシティ決勝トーナメント参加者って……

遊戯は旅に出てるだろ？ 海馬はこんな大会に出なれないぐらい忙

しいし

という事は獏良、マリク、リシド、イシズと戦ったのか？

しかも勝つなんてすげえな」

「しかもその次があたし達なんて……司会者の言うこととん不幸ってのも分かるわね

あんた達、何か悪い事とかしたんじゃないの？」

「してません！ してませんから！

何で私達ばかりこんな目に……」

「はは……僕達も混乱してるんですよ

どうして貴方達みたいな有名人とばかり当たるのかって

いやー、何か憑いてるんですかね？」

サラが憑いてるけどね……まさかそれが原因？

思わず睨んだら驚かれた……ごめんね、今のは明らかに八つ当たりだったわ。

「城之内さん、迷宮兄弟って知ってますか？」

「迷宮兄弟？ 知ってるぜ

デュエキングダム

決闘王国で戦ったプレイヤーキラーだったな

あの時は遊戯とタッグを組んで勝ったんだ、鬱陶しい相手だったぜで、そいつらがどうかしたのか？」

「いえ……私達の1回戦の相手です」

「……お前らって本当についてないんだな  
舞の言う通り、なんか憑いてるんじゃないか？」

「うぐう！」 「ぐはあ！」

まさか対戦相手に哀れられるとは思わなかったわ  
確かにそれぐらい不幸な気がするけど……  
何度も思う、どうして私達ばかりこんな目に遭うのかしら？

「いやわりい……まあなんだ、頑張れよ？」

しかも慰められた！

もう嫌！ 今すぐここから逃げたい！  
でも逃げたら借金が……借金がああああ……

そんな事を思いながらも構える！

目の前がぼやけてるのは気のせい、気のせいに決まってるわ！

「んな涙目になられても困るんだけどよ……

デュエル

だが、決闘となっちゃ話は別だ！ 全力で相手をしてやるぜ！」

城之内さんも構え、舞さんも構える

ついでに白黒兄さんモノクロも構え、全員の準備が終わる。

「「「決闘！」」」デュエル」

「最初は俺のターンだ、ドロー！  
漆黒の豹戦士パンサーウォリアーを攻撃表示で召喚！  
更にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

攻撃力2000のデメリットモンスター  
自分のモンスターを生け贄にしないと攻撃できない。

使い道は高い攻撃力を使った壁かしら？  
それともまさか……馬鹿正直に生け贄を使って攻撃するつもり？  
クリッターとかを使うならまだ分かるけど……

「私のターン、ドロー！  
荒野の女戦士を守備表示で召喚し、カードを2枚伏せてターンエンド！」

「あたしのターン、ドロー！  
手札からハーピー・クイーンを墓地に捨て、効果を発動！  
デッキからフィールド魔法、ハーピーの狩場を手札に加えるわ！  
そしてそのままフィールド魔法、ハーピーの狩場を発動！」

ハーピー・レディを中心としたデッキみたいね  
となると使うカードは鳥獣族、あまり相手にした事が無いわね  
どんなカードを使ってくるのか……

「ハーピー・レディ・SBを攻撃表示で召喚するわ  
ハーピー・レディ・SBはハーピー・レディとして扱うルール効果

を持ってるわ

更にハーピーの狩場の効果が発動される

ハーピー・レディ、ハーピー・レディ三姉妹が召喚、特殊召喚された時

場の魔法、罨を1枚破壊する！」

除去効果を持つフィールド魔法！

なんて厄介な……効果の使用はそんなに多くないとは思うけどそれでもノーコストで破壊を繰り返されるのは困るわ！

「そうね……右のカードを破壊してもらおうかしら？」

破壊されたのはガード・ブロック

できればドロー効果は使いたかったわ……勘の良い人ね。

「ハーピーの狩場の効果で鳥獣族モンスターの攻撃力と守備力は200ポイントアップ

ハーピー・レディ・SBで荒野の女戦士に攻撃！」

「くっ……荒野の女戦士の効果を発動！

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下の地属性の戦士族モンスターを特殊召喚できる！

私が召喚するのは……マッシュ・ウォリアー！」

マジック・ストライカーと悩んだけど、どんなカードを使うか気になるので様子見

ハーピー・レディ関係のカードは殆ど知らないから警戒しておくわ。

「なら私はカードを2枚伏せ、ターンエンドよ！」

相手はかなりの実力者、あのどんなカードを使ってきたりもかなり厄介ね

……それは誰でも同じといえど同じだけだ。

「僕のターン、ドロー！」

「この瞬間、永続罠カード発動！」

魔封じの芳香！ このカードが存在している限り手札から魔法カードは発動できず、セットしなければならない！

発動するには次の自分のターンになって、そして初めて発動できるわ！」

ロックしてきた！？

これは……そう、なるほどね

ハッピーの狩場を使って伏せカードをとことん除去しようって事ね  
行動も遅くなるし、なんて厄介な！

しかも自分だけ使う通常魔法は実質2ターン待たないと使う事ができない

例えば白黒兄さんモノクロの使う思い出のブランコと黒炎弾からの進化コンボ

私は真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴンを使わないから黒炎弾のデメリットを消す進化を行えない

だからといって伏せて放っておけばハッピーの狩場の効果で破壊される

タッグ決闘デュエルでは恐ろしく厄介なコンボね！

「厄介だな……僕は仮面竜マスクド・ドラゴンを守備表示で召喚

マッシュ・ウォリアーを守備表示に変更しておく

そしてカードを2枚伏せ、ターンエンドだよ」

次は城之内さんのターン

この人は有名だからどんなデッキか一応知ってる  
戦士、獣戦士を中心としているパワーデッキ。

つまり、魔封じの芳香で魔法を封じられてもそこまで怖くないという事

パワーで圧倒すれば良いんだから……

救いはやっぱりハーピィ・レディを使われない事ね  
もし使われたら伏せカードが除去されてしまうもの  
舞さんのターンまでにどうにかすればまだなんとか……

「俺のターン、ドロー！　へへっ、行くぜ！　

俺はハーピィ・クイーンを攻撃表示で召喚！」

ハーピィ・クイーン！？

でも、この大会ではパートナーにデッキを似せるのは禁止されているはず！

マリクと獺良コンビだって種族こそ同じだったけど、使っているカードは違った

同じモンスターを入れるのは……

そうか！　似せてない、同じモンスターを入れただけ！

お互いにデッキを調整してコンボができるようにしたという事ね！  
という事はハーピィ系のカード以外は入っていない可能性が高い！  
じゃないと大会に参加できないし。

「こいつは場か墓地に存在する限り、ハーピィ・レディとして扱うんだ

んで、ハーピィの狩場の効果が発動されるぜ！

ハーピー・レディが召喚されたから破壊するのは……さっき伏せられた左のカードだ！」

モノクロ  
白黒兄さんの破壊されたカードは強欲な壺

ドロカードが破壊されたか……本当に厄介ね！

「バトルだ！ ハーピー・レディ・SBでマシブ・ウォリアーに攻撃！」

「マシブ・ウォリアーは1ターンに1度、戦闘では破壊されないわ！」

「うえ……めんどくせえ

なら、ハーピー・クイーンで追撃だ！」

破壊されるマシブ・ウォリアー

この2人……やっぱり強い！

「俺はカードを1枚伏せて、ターンエンドだ！」

パンサーウォリアーで攻撃しないのは何故かしら？

ハーピー・レディを残す為？ それとも何か別の考えとか？

マスクド・ドラゴン  
単純に仮面竜を倒したくないだけかもしれないわね。

「私のターン、ドロ！」

マジック・ストライカーを召喚するわ！

ダイレクトアタック  
マジック・ストライカーは直接攻撃できる効果を持っている

ダイレクトアタック  
プレイヤーに直接攻撃！」

「おおう！」



でも、そんな攻撃力のモンスターで直接攻撃していいのか？  
次のターンで破壊されちゃうぞ？」

「大丈夫です、マジック・ストライカーは戦闘ダメージを0にする  
効果を持っていますから  
カードを2枚伏せ、ターンエンド」

このままだと総攻撃される……でも今はまだどうしようも無い  
早く魔法カードが使いたいわ！

「あたしのターン、ドロロー！」

バード・フェイスを召喚するわ！

バトル！ バード・フェイスでマジック・ストライカーに攻撃！

続いてハーピー・レディ・S Bで仮面竜に攻撃！」

ハーピー・レディは召喚されなかったけど、それでも不利な事には

代わり無いわ！

白黒兄さんが仮面竜で何を呼び出すかに依るわね

でも、残りのモンスターは狩場の効果で攻撃力を上げている攻撃力  
2100のハーピー・クイーン

並のモンスターだと簡単に破壊されてしまう！

「仮面竜の効果を発動！」

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下のドラゴン族  
モンスターを特殊召喚する！

僕が特殊召喚するのは……ドレッド・ドラゴンだ！」

なるほど、ダメージよりも次に繋げる為に動くという訳ね

それならまだ大丈夫、そして白黒兄さんの手札には既に真紅眼の黒  
竜が有るわね

高確率で黒竜の雛をサーチするはずだし。

「攻撃力1100か……まあいいわ  
ハーピー・クイーンでドレッド・ドラゴンに攻撃よ！」

ダメージは1000……けっこう大きいわね  
ライフが8000制ってかなり助かるけど、それでも大きい事には  
違い無い  
まだ相手のライフを削れていないのだから余計に辛いわ！

「ドレッド・ドラゴンの効果発動！

戦闘で破壊された時、デッキからLV3以下のドラゴン族モンスター  
ーを手札に加える！

僕が手札に加えるのはLV1、黒竜の雛だ！」

やっぱり、でも攻撃力2400は強力よ

この場の全ての相手モンスターに戦闘で勝てるんだもの。

「あたしのターンはこれで終了よ」

「僕のターン、ドロー！」

黒竜の雛を召喚し、効果を発動する！

自身を生け贄に捧げ、手札から真紅眼の黒竜を特殊召喚！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

「おお！ お前も真紅眼の黒竜を使うのか  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
へえ……こりやおもしろくなってきたぜ！」

そういえば城之内さんも真紅眼の黒竜を使うんだっけ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
白黒兄さんはドラゴン族を中心にしてるから出すのは簡単だけど  
モノクロ  
城之内さんはどうやって出すのかしら？ 普通に生け贄召喚？

「レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜でハーピー・クイーンに攻撃だ！  
ダーク・メガ・フレア！」

なんとかダメージを与えられたわね  
それでも合計でまだ900……先は長いわ！

「カードを1枚伏せ……」

「かかったな！ 罠カード発動！  
ストレートフラッシュ！」

ストレートフラッシュって……ポーカー？  
そんなカードが有るんだ、知らなかったわ  
どんな効果を持ってるのかしら？

「このカードは相手の魔法、罠ゾーンが全て埋まっている時に発動  
できる」

相手の魔法、罠カードを全て破壊する！」

完全にコンボ前提のカード！？

しかも相手タッグパートナーの使うカードをよく理解している！  
強すぎるわよ、この2人は！

しかも破壊されたカードもまた酷い

私は融合、増援、戦士の生還  
モクロ白黒兄さんは飛龍天舞、黒炎弾

どちらもキーカードを破壊されてしまったわ……

「……僕はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

私達の場合には真紅眼の黒竜と伏せカードが1枚だけ

しかも私達の手札は1枚……

相手の場合はモンスターが3体に伏せカードが3枚と魔封じの芳香手札も2枚と3枚と多い。

「俺のターン、ドロー！」

パンサーウォリアーを生け贄に捧げ、人造人間－サイコショックカーを召喚するぜ！」

ここで罨封じモンスター！？

でも、自分の魔封じの芳香も封じてしまうはず  
だったらまだどうにか……

「魔法カード、強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドロー！」

忘れてた！ つまり魔法カードを使い放題になるって事じゃない！  
コンビネーションが凄すぎるわよ！

「更に魔法カード、スタープラスター！」

場のモンスター1体を生け贄に捧げ、その後サイコロを振る  
その合計分のLVのモンスターを手札から特殊召喚できるんだ  
俺が生け贄に捧げるのはバード・フェイスだ！」

バード・フェイスのLVは4

最上級モンスターを出すにしても、そう簡単にそのLVが出てくる  
とは……

サイコロが振られ、転がる

出た目は3、つまりLV7のモンスターを特殊召喚する  
LV7……LV7？　そしてあの人が使うモンスターといえま  
さか！

「……大当たりだぜ、手札から真紅眼の黒竜を特殊召喚！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

やっぱり！？　何で！？　何でそんな出目が出るのよ！？  
普通は無理よ！　そんなの狙って出すなんて！

「バトルだ！　真紅眼の黒竜で真紅眼の黒竜に攻撃！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
「ダーク・メガ・フレア！」

「クソ！　迎撃しろ真紅眼の黒竜！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
「ダーク・メガ・フレア！」

結果は当然相打ち……だけど、相手の場にはまだモンスターが残  
てる！

「ハーピー・レディ・SBとサイコショッカーで直接攻撃だ！」  
ダイレクトアタック

合計ダメージは4400……痛すぎる！

しかもサイコショッカーが存在しているから罠カードも使えない！  
魔封じの芳香は封じられているからまだ良いけど……それでも拙い！

「俺は最後に装備魔法、電脳増幅器をサイコショッカーに装備させ  
るぜ

サイコショッカーのみに装備できる、このカードが装備されている  
限り

自分の罠カードは無効化されない……ターンエンドだ！」

は……はは……嘘でしょ？

もしかして私達、恐ろしい人達を相手にしてるんじゃないかしら？  
この状況で……どうやって勝って言うのよ！

魔法は伏せないと使えない、罠は封じられる

相手の場には攻撃力2400のサイコショック

ついでに伏せカードは2枚も残っているから高確率で罠カード

はぁ……強すぎるわよ。

「私のターン、ドロー

(あ、まだなんとかなる?)

E・HEROアイス・エッジを守備表示で召喚するわ  
カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「あたしのターン、ドロー！

ハッピーズペット仔竜ペビードラゴンを召喚するわ！

更に永続罠、ヒステリック・パーティを発動！

手札を1枚捨て、墓地のハッピー・レディを可能な限り特殊召喚するわ！」

でもハッピー・レディは確かまだ墓地に居なかったと思うんだけど  
……

ハッピー・レディよね？ 墓地にはバード・フェイスやハッピー・クイーン？

ハッピー・クイーンは場と墓地でハッピー・レディだった！

「墓地に存在する限り、ハッピー・クイーンはハッピー・レディとして扱うわ

よって、墓地から2体のハッピー・クイーンを特殊召喚！  
更にハッピー・レディが特殊召喚された事により、伏せカードを1

枚破壊！」

破壊されたのは白黒兄モノクロさんのカード  
思い出のブランコだった……真紅眼の黒竜の蘇生が！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

「更に、ハーピイズペット仔竜ペビードラゴンの効果発動！

自分の場にハーピィ・レディが3体以上存在している時、相手の場のカードを1枚破壊する！

あたしが破壊するのは当然、E・HEROアイス・エッジよ！」

……あれ？ 私達の負け？

だって私の伏せてるカードって命削りの宝札だもの  
モノクロ  
白黒兄さんに渡して使ってもらおうと思ったんだけど。

「終わりよ……ハーピィ達で直接攻撃！  
ダイレクトアタック  
スクラッチ・クラッシュ  
爪牙碎断！」

「ちょ、待つきゃあ！」

負けたあ……強すぎるわよ

まさかロックデッキを使ってくるなんて思わなかったわ  
展開力も早いし、ロックは強固だし、攻撃力も高いし  
何よりコンビネーションが強すぎるわよ。

『勝者は戦舞戦城チームだ！

さすがの天上院兄妹でも、この2人には勝てなかったー！』

「はあ……参りました」

「ううん、気にしない気にしない

あんた達も強かったわよ？

この大会で初めてダメージを受けたしね」

それは納得できるわ

でも、与えられたダメージはたったの900

この強さならダメージを与えただけでも良い方か……

「でも貴方達がロックデッキを使うなんて聞いた事が有りませんよ？」

「いやあ、俺も性に合わないんだけどよ

舞のデッキ構成と俺のサイコショッカーを組み合わせたらって考えたんだよ

いつの間にか気付いたら何故かこんなデッキになってたんだ」

ちなみに、城之内さんが最後に伏せたカードを教えてもらった

その伏せカードはなんと悪魔のサイコロ

もし攻撃していたら出た目の数で攻撃力が割られていた

つまり返り討ち……無理、勝てないわ！

あの状況で私にできた事

それは手札とドローしたカードがマジック・ストライカーとヒュンレイの場合だけ

墓地の魔法カードを除外してマジック・ストライカーを特殊召喚

そして生け贄にしてヒュンレイを出して魔封じの芳香と電脳増幅器ともう1枚を破壊

電脳増幅器が破壊された時にサイコショッカーは破壊されるからな  
んとかなるかも……

そこまで考えて難しいと判断したわ



舞さんのカードはヒステリック・パーティ

ハーピースペット仔竜ペビードラゴンの効果でどっちにしても破壊されていた

例えばヒステリック・パーティを破壊しても、どうにかされていたと思うわ。

結果は惨敗、順位は3位か4位

賞金は出ないから借金返済は無理

はあ……借金返済が遠のくわ……

……

……

……

会場から出てきた私達の前に現れたのは当然瑞貴

う……やっぱり怒られるのかしら？

「その……ごめんなさい、決勝に行けなかったわ」

「別に怒って無い

というか、あの2人相手によく持った方だと思っぞ？

あの2人は世界的にも最強クラスだし」

そう言われると嬉しいんだけど……

やっぱり勝ちたかったわ。

「まさかお互いにサポートするとは思わなかったな

どっちも我が強いしプライドもそれなりだから尚のこと意外だ」

知り合い……という感じじゃないわね

一方的に知っているだけって感じかしら？

「とりあえずお前ら、何日か俺の家に滞在してもらおうぞ  
玲も会いたがってるし、それぐらい構わんだろう？」

なお、お前らの親の許可は既に貰ってるから気にするな」

相変わらず手回しの早いわね……  
お願いだからもう少し休ませて。

「許可が出てるなら僕は別に文句は無いよ  
強いて言うなら少し休みたいぐらいだけど」

「私も休みたいわ  
できれば明日からにしてくれないかしら？」

「別に構わんぞ、元々このまま連行する気は無かったし  
明日、この住所に來い」

そう言って渡される地図と住所の書かれた紙  
少し遠いけど、難しい場所じゃないわね  
そんなに掛からずに行けるはず。

「お前らはこれからどうする？  
俺はもう用事が無いから帰るつもりだが」

「僕も帰るよ、疲れたからね」

「私も……精神的疲労が凄いわ」  
強敵ばかりだったし、相手が相手だし  
もう心身共に疲れ切ってるわ。

「なら解散だな

明日、昼過ぎには来いよ」

「分かったよ、じゃあまた明日ね」

「それじゃあまた」

瑞貴はさつさと帰ってしまった

私達も遅い足取りながらも家に向かう。

はぁ……借金が……

## 72話【長期休暇トーナメント 準決勝戦】（後書き）

天上院兄妹の不幸はどこまで続く？

この作品が終わるまでじゃないでしょうか？

きっとその内良い事有るさ！

……多分。

何故城之内がハーピィを？

狩場に合わせてハーピィ系モンスターだけ入っています

それ以外は殆ど変わっていないという事で。

何故アイス・エッジでなんとかなるの？

原作効果ではLV4以上のモンスターとの戦闘で破壊されませんので。

原作、アニメオリジナルカード

スタープラスター

自分のモンスター1体を生け贄に捧げる

サイコロを振り、その出た目と生け贄に捧げたモンスターのLVの合計分のモンスターを手札から特殊召喚する

もし合計したLVのモンスターが手札に無い場合、手札のモンスターを全て捨てる

扱いの難しいカードですね……運に余程自信が無ければ使えませんか。

### 73話【堅守家で】（前書き）

今回は普通に日常ですね

何もありません、普通過ぎて欠伸がでます

恋愛も殆ど無いに等しい、なんとも平凡という感じです

……中盤を除いてですが。

次話は多分大丈夫です

はぁ……余裕が有るとそれはそれでやる気が失せますね  
作者は追い込まれないと何もしないタイプなんで。

### 73話【堅守家で】

視点 明日香

瑞貴に呼ばれ、家に来たのは良いんだけど……普通の一軒家ね  
別に大きくもないどころか、逆に小さくない？  
お金持ちの瑞貴らしくない家ね。

「モノクロ白黒兄さん、この家で間違い無いわよね？」

「うん、僕も同じ事を考えてたよ  
でも地図でも住所でもここで間違い無いよ」

なんというか……地味ね

凄く予想外だし、嘘じゃないわよね？

実は書いてある住所は偽物でドッキリだったとか言わないわよね？

とりあえずインターホンを鳴らす

……出てこない？

『はい？』

「玲ちゃん？

私、天上院明日香だけど

瑞貴に呼ばれたの、開けてくれる？」

『明日香さんね

開けるから少し待っててちょうだい』

切られた……相変わらず話し方を真似てるのね  
この短い会話で即口調が変わるって凄いわよ  
相手を読み取る能力に特化してるのかしら？

ドアが開いて出迎えてくれたのは玲ちゃん  
瑞貴、妹に出迎えさせるのはどうなの？

「いらっしやい、久しぶりね  
お兄ちゃんは……まだ寝てるから入って適当に寛いでて」

「「寝てる!？」」

貴方がお昼にって言ったのよ!  
なのにまだ寝てるってどういう意味よ!

「まあ……今から起こすからちょっと待ってて  
とりあえず入って」

家の中に案内され、リビング……って狭いわね!  
そういえば何人家族？ 両親と兄妹で4人よね?  
だけど色々足りないような気が……

「ふぁ……よう

悪いな、もう少し遅いと思ってたんだ」

欠伸をしながら来た瑞貴

着替えぐらいは済ませてたみたいね。

「飯、食ってきたか？」

「いえ、食べてないわ」

「なら食いに行くか  
玲、お前も行くだろ？」

「行く」

「なら準備するから少し待ってろ  
何を食おうかなと……あ、奢ってやるから金は気にするな」

よかった……実は心配してたのよね  
もし払えって言われてたらサイドメニューだけで済ませようと思っ  
てたし

でも、何を食べるのかしら？

……

……

……

「で、何で蕎麦屋？」

「俺が寝起きだから  
あんまり重いものは食いたくない」

だ、そうよ

安上がりだから？ だとしたらケチね  
まあ単純に瑞貴の好みだと思うけど。

「瑞貴、蕎麦は好き？」



「それなりにな」

「鮪と蕎麦では？」

「蕎麦」

「最高級トリュフと普通の蕎麦では？」

「蕎麦、高級品は嫌いだ」

そういえばそうだったわね

お金持ちの癖に……

「お兄ちゃんは贅沢とか嫌いだもんね  
特に食べ物とか装飾品とかそういうの」

でもお金の使い方が荒くないかしら？  
セキュリティとか、そういうのに……

「嫌いというのも有るが、興味が無いな  
贅沢な物なんか使わなくても美味しい物は美味い  
んな事で金を使うのは勿体ない  
だったら好きな事や興味が有る事に使う」

「例えばどんな物に使うんだい？」

「嫌がらせの根回し、暇潰し  
後はセキュリティとかを強化したりだな」

それってどうなの？

というか、根回しにお金を使うな！  
私達が被害を受けるのよ！

それに暇潰しって理由に腹が立つわ！  
私がどれだけ生活に苦勞してると思ってるのよ！  
嫌がらせよね！ 嫌がらせなのよね！

「他は家族の為と将来の貯金かな  
俺自身はそこまで欲が無いし  
欲しい物って具体的に無いんだよね……  
必要最低限でも事足りるし」

「服とかは？」

「興味無い  
シンプルで良い、派手なのは嫌いだ  
着心地とかも興味が無いし、よく分からん  
服にそこまで金を掛ける理由が理解できん」

無頓着ね……  
少しぐらい気を遣ったら？

「どこかに遊びに行ったりは？」

「あの島でどこに遊びに行けと？  
それに俺はインドア派だ、外に出るより家でのもんびりしたい」  
運動不足になるわよ  
もう少し外に出たら？

既に遅い気がするけど。

「まあとりあえず金は有り余ってるんだ  
好きなだけ、食いたいだけ食え」

「お兄ちゃん、デザート頼んでいいか？」

「好きにしろ

あ、俺は餡蜜な」

「私はバニラアイスにしようかな……」

「なら私も餡蜜でお願い」

「僕は白玉ぜんざいで」

そんな感じの食事だった  
久しぶりに好きなだけというので食べ過ぎた……体重、大丈夫よね？  
なお、お会計はお蕎麦屋さんとは思えないぐらい高かったとだけ言  
っておくわ。

………

………

………

再び瑞貴の家に呼ばれた  
そういえば親は？

「瑞貴、ご両親はどうしてるの？」

「母さんなら出かけてるぞ  
俺が帰ってきたから玲の面倒を俺に任せた  
そう言っ**て**遊びに行**って**る」

「遊び**に**っ**て**……」

「別にこういう時ぐらい自由にさせてやれよ  
親なんだから色々大変なんだ  
ちなみに遊ぶ金は俺が出しておいた  
泊まりで温泉に行く**つて**よ、数日は帰**つて**こ**ない**」

子供に押し付けて遊びに行く**つて**……  
まあ確かに大変だとは思**う**けど。

「お父さんは？」

「ああ……知らん」

知らん**つて**……

「私の家**つて**母子家庭よ  
お兄ちゃんから聞いて**な**かった？」

「聞いて**ない**わよ……」

それで物が少ないし部屋が狭いのね  
3人で足りるから。

「それはさておき  
何で私達は呼ばれたの？」

「自分で言い出した癖に……」

まあ良い、お前らを呼んだ目的は暇潰しと相談だな」

「暇潰しはともかく、貴方が相談って珍しいわね」

何でも自分で解決するってイメージが強いし

自分でする事は自分でって何度か聞いてるしね

それだけに予想外。

「扱いに困ってるんだ

俺もこうなるとはかなり予想外でな

モノクロ白黒はどうしようか悩んだが、1人でも意見が欲しい」

「僕はオマケかい？

まあお昼を奢って貰っただけでも来た甲斐は有るけどさ」

モノクロ白黒兄さんも借金してる立場だものね

という事はあのお昼ご飯は報酬の前金？

なにかしら……適当に答えるわけにはいかないわ。

「あー……どう言うべきかな？

見せた方が早いかな？ それとも言ってからの方が良いかな？」

「とりあえず見せたら？

お兄ちゃんだってどうしようか迷ってるんだろ？

私だってちよと予想外だったし」

「やっぱりそうだな……はあ」

何があったのよ  
ちょっと怖いわよ？

「えー……あー……マナー」

マナの事を名前で呼んだ！？  
あの瑞貴が！？

「はーい！」

「テンション高いわね！」

なんだか初めて登場した時みたい  
違和感が強いわ。

「だってだって、名前で呼んでくれてるんですよ！  
もう嬉しくて！」

「瑞貴、説明してくれない？  
マナが少し壊れてる気がするんだけど」

「壊れてるって酷くないですか？」

だって前まで会っていた時よりもテンションが変よ？  
貴女誰？ って、そんな感じだし。

「……ぶ、ブラック・マジシャン・ガール？」

「そういえば白黒モノクロには教えてなかったな  
色々と有って俺の精霊みたいな状態になっているようなっていな

いような……

という訳でブラック・マジシャン・ガールことマナだ、お前は殆ど会わないと思うがな」

「よろしく願いしまーす！」

「よ、よろしく……」

（誰も驚いてないって……僕が変なのか？  
というか精霊って何って状態なんだけど）」

一応会ってたはずだけど……そういえば最初は酔ってたわね  
それから白黒兄さんモノクロの前で出さなかったのかしら？

「で、マナの何を相談したいの？」

「実はな……」

視点 瑞貴

どう説明するべきか……帰宅初日の事だな  
母さんが出かけた後の話だ。

玲に魔娘の洗脳を解かせようと思ってな  
呼び出して俺も洗脳解除に協力してたんだ  
だが……なあ？

「と、言う訳だ魔娘

暫く玲と話せ、一応近くに居てやるから」

「突然話せと言われても……何を話せば良いんですか？」

「知らん、女の子同士だし勝手に話は弾むだろ」

と言って放置

玲が言うには落ち着いてないと解除は難しいらしい  
俺が鎮静剤として近くに居る必要が有るとか。

話を聞く気になれなかったから何もせずに待ってたんだ  
しかし暇になってな、いつの間にか寝ていた。

起こされたから起きたんだが  
起こしたのは玲じゃなくて魔娘でな  
この後が問題なんだ。

「あ、おはようございます」

「……おはよう

玲はどうした？」

「匙を投げました」

「はあ？」

匙を投げたって……何の？

そんな感じだったんだが、予想はできるだろ？  
つまり、洗脳解除の匙を投げたんだ。



「玲、無理か？」

「お兄ちゃん……マナに何をした？」

何をしたのかと言われれば……

抱き枕にしたぐらいいしか思いつかないんだが？

そう玲に伝えたんだ。

「道理で難易度が高いはずだ……

お兄ちゃん、私だけじゃ無理だ

マナの洗脳解除、一緒に手伝ってくれ」

「手伝えと言われてもな

俺は何をすればいい？」

「とりあえず催眠術を掛ける事にした、それで記憶を学園祭前まで  
遡らせる

感情操作をする前の性格に戻して少しずつ記憶を戻す

自分がどんな事をしていたのか完全に自覚させ、そのショックで洗  
脳を解く」

「ショックって何だショックって

俺は酷い事はしていない……はずだ」

むしろ良くしてやったはずだ

そう思っていただけにショックと言われると……

俺が何をしたと言うんだか。

「というか玲、そもそも精霊に催眠術が通用するのか？  
こいつらは人間じゃないんだぞ？」

「大丈夫、絶対服従魔人の我炎に通用した  
実験台として十分に役立ったよ  
今頃心から犬になってるんじゃないかな？  
その内元に戻すから気にしないでいいよ」

お前……外道になったな、本当に9歳か？  
俺は別に構わないが、それを普通の人間にするなよ？  
普通じゃない人間にするのは許すが。

うーん、やっぱり頑張らせ過ぎたか？  
子供の内から色々と吸収させておけば身に付きやすい  
そう思っただけで勉強させたのは失敗だっただろうか？

確かこいつ……既に高校生の勉強できるんだったな  
元々のスペックが高かったのか、努力が凄かったのか  
両方だろうが、本当に俺の妹かと疑ってしまうのは許してくれ。

俺は自分の部屋で待機させていた魔娘を呼び出し、玲の前に連れて  
きた

魔娘は不安がっていたが無視  
玲が魔娘に催眠術を掛け始めた。

……のだが、一向に掛からない  
魔娘はよく分かっておらず、何をしたいのかも分かっていない  
どうなってるんだ？

「おい魔娘、お前は自分が何をされているのか分かってるか？」

「いえ、全く分かりませんけど……」

やっぱりこいつってアホの子？

そう思った俺は悪くないと断言できる

自分の状況が分からないって魔術師としてどうなんだ？

「玲、こいつにはもう最初から話して自覚させないか？」

「効果が無い……その方が良いかもな  
説明はどっちがする？」

「お前がしろ

元々お前が加減を間違えて失敗したんだからな」

「ま、仕方無いか」

玲は魔娘に自分が何をしたのかを話す

詳しく、分かりやすく、できるだけ俺が悪いように……ん？

最後はちよつと変じゃないか？

まあ別に良いけどさ……根本的な原因は俺だし。

「知ってますよ？

私が洗脳されている事ぐらい」

「何？」「へ？」

「私はこれでも一流の魔術師ですよ

それぐらい分かってます

自覚もしていましたし、何をされたのかも分かっています」

ならどうして催眠術は理解もできなかったんだ？

こいつの頭はちょっとよく分からんな。

「ならどうしてさっさと逃げたりしなかったんだ？  
俺と居れば怖い想いをするぐらい分かっていただろう？」

「分かっているけど感情はどうしようも無いですよ  
一緒に居ると安心できるのは事実ですし、本当に安心できたから離  
れたく無かったんです」

ああ……なるほどな

抱きしめたりしたのは全て逆効果だったか  
突き放すべきだった、これは完全に自業自得だな。

「それで、洗脳は自力で解けたのか？」

「まあ……殆どは解けました  
感情や思考も殆ど前に戻っています  
私はほぼ正常ですよ？」

だから、それが問題なんだろうが  
俺としては抱き枕は惜しいがさっさと居なくなっ  
てほしいんだよ  
なのに何故こいつはこう……

「もう殆ど解けてるなら良いだろ  
さっさと帰れ、そして二度と来るな」

「どうしてですか!？」

「そこは驚く所か？  
俺は自分からならともかく、他から巻き込まれるのは嫌なんだよ

精霊なんて巻き込まれるような存在は要らん  
俺の面倒事を増やすような奴が居ても困る」

さっさと消えてくれないかな……邪魔だし  
しかしこいつは全く行こうとしない、何故だ？  
俺、こいつの好感度を上げるような事をしたか？

「お兄ちゃん、精霊の何が嫌なんだ？」

「面倒事を運びそうな気がする所」

「……それって存在否定だろ？」

「別にそういう訳じゃない  
俺に迷惑が掛からないのなら好きにしろとは思う  
精霊の存在だって認めているし、オカルトの否定をするつもりも無い  
が、他はともかく俺には憑くなという事だ」

「要は邪魔と」

「そうだ」

魔娘は涙目になったが無視  
これ以上好感度を上げて堪るか！  
何より疲れるし。

「……ぐす」

泣きやがったこいつ！  
あー……もう鬱陶しい！

「だったら……ぐす……一緒に居させてください！  
三幻魔の時のお願い、使います！」

「おいおい、それを使うのかよ  
却下に決まってるだろうが」

「嫌！ 一緒に良い！」

ええい！ 駄駄っ子か貴様は！

「お兄ちゃん、まだ厄介事に巻き込まれたんじゃないだろう？  
だったら暫く置いておいたら？」

もし本当に面倒事になって、どうしても我慢できなくなったら追い  
出せばいいだろう？」

「しかしな……面倒事になってからだと言いだろ？  
だったら最初から居ない方が楽だ」

「絶対に起こしません！  
何か有っても守ってみせます！」

うーん……確かに実力は有るんだろうな  
三幻魔の時だって落ち着かせてくれたらしいし  
だからといってアッサリ許可するのも……

「お兄ちゃん……ここまで必至にお願いしてるんだからさ  
もう受け入れてあげたら？  
マナをこうした私が言う事じゃないけど」

お前までそっちの味方になるか!?

涙目で見えるな魔娘! 玲もそんなお願いだからって顔になるな!

「わかった、わかったよ……何で組むんだか  
ただし、俺の言う事は守れよ? それが条件だ」

「……はい!」

思わず許可したが……どうしようか?  
正直扱いに困るんだよな……

視点 明日香

「と、いう訳だ  
どう扱えばいいと思う?」

……自分が依存されてるのに簡単に拒否する瑞貴は何者?  
もしかして自分が好かれていた自覚が無いの?

「瑞貴はどうしたいの?」

「一度許可したからにはもう追い出さん  
しかし扱いに困っている  
何故マナは俺に憑いて来たがっているのかもよく分からないし  
こいつは俺の何が良いんだ?」

そんなの、私に分かるわけ無いじゃない

私としてはマナはよく頑張ったと褒める所よ？

恥ずかしがり屋のマナなのに……

よく瑞貴と一緒に居たいって言えたわね。

「とりあえず扱いは今までと同じにするつもりだ

どうすれば良いのかまだ決まってるじゃないしな」

なるほど、抱き枕ね

そんな事してるから尚のこと懷かれてるって分からないのかしら？

……分かってないんでしょね、教えた方が良いかしら？

でも、それで瑞貴の機嫌が悪くなってマナに何かしたらと思うと……

何をするかしら？ 嫌がらせ？

ほのぼのとしそうなのは何故かしら？

「そういえば瑞貴

何でマナの事を魔娘って呼ばないの？」

さっきからこれが気になっていたのよね

瑞貴って気に入った人とか、そういう人以外の名前を呼ばないでし  
よ？

レイみたいに事情が有るわけでも無いのに呼ばないのは少し違和感。

「洗脳を解けば離れていくと思ってたからな

しかし今後も憑いてるんだっいたらいつまでもそう呼ぶのはな……

付き合いも長くなりそうだし、ずっと名前で呼ばないのは悪いと思  
ったんだ

もっとも……何か馬鹿な事をやらかしたらまた魔娘って呼ぶがな」

名前で呼ばないってお仕置きね



マナ、凄く嫌がってるわよ？

せっかく名前で呼んでくれてるのに魔娘はもう嫌だって  
しかも涙目にまでなってるし……

「私としては現状維持で良いと思うわよ？  
下手に対応を変えたら疲れるでしょ？」

「まあ……な  
やっぱりそれが良いか」

瑞貴はマナの帽子を取り、頭を撫でる  
マナは猫みたいにごろごろと甘え始めた  
バカップル？ それとも主人と飼い猫？

「そういえばさっきから発言しない白黒<sup>モノクロ</sup>  
お前の意見は……って、何をしているんだ貴様は」

横を見てみると白黒兄さん<sup>モノクロ</sup>が何を想像しているのかニヤニヤとして  
いる

気持ち悪いんだけど……どうしたのかしら？  
しかも時々私を見るし、鬱陶しいわよ？

「いやぁ気にしないでくれ  
僕はイマイチ状況が分からないけど、今はそれで良いと思うよ？  
でも、今後も付き合っていくんだったらもう少し親密になるべきだ  
ろうね」

「親密って言われてもな……何をすれば良いのやら」

白黒兄さん<sup>モノクロ</sup>の言う親密ってどんな関係？

そしてマナ、何を想像したのかは分からないけど顔を真っ赤にしないまさかとは思うけど……いえ、言うのは止めておきましょう。

「とりあえず今のままで良いと思うよ

マナ君も、頑張って堅守君とイチヤイチャするんだっいたあ！

何故殴るんだい明日香！」

「モフクロ白黒兄さんが馬鹿な事を言うからでしょ！

ほら、マナの顔が真っ赤になってるじゃない！」

「（僕としてはむしろ望むところなんだけど……

妹に付く困った人はできれば排除したいし

でも難しいんだよね、僕達が借金をしてる立場上）」

瑞貴とマナのイチヤイチャって……というかその言い方はどうなのかしら？

マナはもっと瑞貴に甘えればって言えば良いんじゃない？

そういう言い方なら私だって怒らなかつたわよ。

「そういえば瑞貴、暇潰しに私達を呼んだのよね？

何かする事とか考えてるの？」

「全く考えてない

何だったら玲の話し相手にでもなってくれ

俺は買い物に行くが……マナ、精霊状態になるなら憑いてきても良いぞ」

「行きます！」

即答ね、当然な気もするけど

ふと思ったんだけど、瑞貴が死んだらマナはどうするのかしら？  
自殺とかしないと良いんだけど……というか精霊に寿命って有るの？  
それ以前に死ぬのかしら？

「晩飯は何にするかな……人数も多い  
カレーやシチューで良いか、面倒だし」

そんな事を言いながら出て行く瑞貴  
もしかして貴方が作るの？ 料理なんてできたっけ？  
それとも玲ちゃんかマナが作る？  
まさか……私に任せたりしないわよね？

なんて心配もしたけど、そんな事は……有った  
瑞貴は買い物で買ってきた物を私達兄妹に渡した  
瑞貴曰く、材料費は出してやるから作るぐらいはしろ  
だ、そうよ……当然だったわね。

まあ晩ご飯をご馳走になって、買い物までさせて  
しかも私達は玲ちゃんと話してただけ  
そこまで瑞貴は優しくなかったわ。

なお、できるだけ頑張ってみたけど瑞貴の感想は……

「野菜の形が悪い、不揃いだから火の通り具合がバラバラ  
味が薄い、水の分量を量らなかったな……それぐらい計れ馬鹿共  
煮込みすぎだ、火の強さも悪かったんじゃないか？  
お前ら、箱に作り方が書いてあるんだからその通りにしろ」

と、散々だった

寮では料理なんて作らないのよ？

久しぶりなんだからそれぐらい勘弁して。

洗い物は白黒兄さんモノクロがさせられていた  
失敗作を食べさせられた罰だそうよ  
私は何をさせられる事やら……

そう思っていたけど杞憂だったみたい  
特に何も無く、そのまま夜中。

私は玲ちゃんの部屋で一緒に寝る事になった  
瑞貴は当然自分の部屋、白黒兄さんモノクロは……居間で寝てるわ  
男だし容赦は要らないだろうって瑞貴が言ったのよ  
まあ……私は敷き布団を貸して貰ったから十分よ  
白黒兄さんモノクロは掛け布団しか貸して貰えなかったけど。

一応相談事であったマナの件が終わった  
なので明日は帰るなりまた泊まるなり好きにして良いらしいわ  
どうしようかしら……とりあえず明日考えましょう  
おやすみなさい。

### 73話【堅守家で】（後書き）

瑞貴の好みって？

地味な食事を好みにしており、高級品を嫌っています  
元がフリーターなので

しかし金持ちになっても好みまでは変わらないようです。

何故母子家庭に？

単に両親を同時に使うのが大変なだけです

設定にしろ、片親の方が色々と楽

それだけであり、それ以上の理由はありません

今後、この設定が生かされる時は有るのでしょうか？

その割に親を出す気無いよね

出しても良かったんですが……面倒になりました

それに、今回の場合は居ない方が都合が良いですし。

マナが……

ほぼ正気の状態に戻しました

そして今までの事からこうなり……結局変わらないと

しかし、ほぼ正気という事で瑞貴が名前で呼ぶようになりました  
それ以外に変化は有りませんね。

玲って……

色々なスキルを持っています

話術から催眠術、洗脳まで……お前本当に9歳？

我炎が……

スルーしてやってください。

天上院兄妹の料理って……

ミスだらけだそうです

いや、なんとなくイメージで。

## 74話【KC社の訪問】（前書き）

最初に言っておきます、今回はトーナメント以上にご都合主義の塊のような話です

なのであんまり「ご都合主義だな」等のツツコミは控えてもらえろと助かります

この長期休暇にどうしてもこの話を入れたかったんです  
自分の想像とかけ離れてしまいました……まあまだ誤差の範囲内でした。

疲れました……できればもうあの人は出たくありません  
はあ、長期休暇は次回で終わる予定です

今回で終わろうかと悩んでいたのですが、たった1つのネタをした  
いが為だけに1話伸ばします  
さっさと第二部に行けという人は少しだけ待っていてください。

腕が痛い……キーボードを叩く姿勢が悪いのでしょうか？

今夜はさっさと寝て痛みが引けばいいのですが……

今話を書くのに大きな影響は無いので次話も大丈夫でしょう

本格的に無理だと思ったら休みます

なお、私生活には問題無いので大丈夫です。

## 74話【KC社の訪問】

視点 瑞貴

明日香と白黒モノクロが来た翌日の昼  
特に何も無く、のんびりと過ごしていた時の事  
突然チャイムが鳴ったが……無視。

「瑞貴、出なくて良いの？」

「セールスとか鬱陶しいしな  
気が向かない限り対応しないと決めている」

金とかのやり取りとか面倒だし  
欲しい物は無いし、ああいうのに付き合っているとつい買ってしまい  
そうだしな  
下手に金があるからこういう時困る  
衝動買いという奴だな。

無視していたのだが、暫くすると再びチャイムが鳴る  
しかも数回……嫌がらせにしか思えないな  
それとも何か重要な事とか？

仕方無い、煩いし出るか  
誰だろうか？

「はい」



『失礼、堅守瑞貴さんでしょうか？』

「……まあ、そうですね」

『私、KC社の者です』

少々お時間をよろしいですか？』

何故KC社の奴が来るんだよ！

まだ何もちょっかいを出してないぞ！

それに社長にどうコンタクトを送れば良いのか分からなかったから  
何もしてない

連絡もしてないし、そもそも関わりなんてほぼ無いに等しいぞ！

海馬ランドにだって受験の時にしか行った記憶が無い！

「用件だけ先にお願ひします」

『海馬社長からお話が有るそうです  
KC社までご足労お願いいたします』

「お断りします」

『なあ！ 何故で』

切ってやった

誰が相手からの接触を受けるか！  
俺が社長に何をしたってんだ！？

「……瑞貴、良いの？」

「黙れ明日香

俺はK C社に何かした記憶は無い  
なのに呼び出されるんだ、怖くて行けるか！」

あの社長だ……殺されはしないと思うが何をしでかすか分からん  
外枠から埋められて最終的に話させられそうだが……どうする？  
生け贄として明日香や白黒<sup>モノクロ</sup>を差し出すか？

しかし下手な事をする<sup>と</sup>玲が心配だな  
人質に取られたらさすがにどうしようもできん  
さすがに水色と同じ扱いにはできないしな。

問答無用で断ったのは失敗だったか？  
少し話してからにしたら良かった……  
さすがにまだ1回目だから強攻策には出ないと思うが  
あの社長だ……やっぱり安心できん。

仕方無い、表に出てみるか  
怖いなあ……あの会社のサングラス達、銃の教育とかされてるみた  
いだし  
自己流の俺じゃ銃の腕前ではとてもじゃないが敵わない。

というか、さすがに家にまで銃を持ってきてない  
俺が今持つてるのはナイフだけだ  
銃はレッド寮に置いてきてるし。

セキュリティのランクはかなり上げてるし  
カミューラにもある程度でも良いから警護しておけと言っておいた  
しな  
不法侵入とかは大丈夫だろう。

「少し気になる事ができたから出てくる  
明日香、お前も来い」

「何で私まで!?!」

「道連れ、少しでも不幸にしてやろうと思ってな  
マナも精霊化してなら憑いてきても良いぞ」

「行きます!」

「巻き込むなら白黒兄さんにして!  
せっかくの休みまで巻き込まれるのは嫌よ!」

「ええ!?! 僕、妹に売られた!?!」

玲の名前は当然出さない  
つまらなそうな顔になられているが無視  
お前を連れて行く気は全く無いぞ。

話し合いという名の押し付け合いの結果、結局誰も連れて行かない  
事にした

どうせだったら玲の壁にでもなってもらおう  
マナは連れて行くけどな、実体化したら壁になりそうだし  
魔術とかで防御壁とか出せるよな? 出せないと言われても壁にするが。

ドアを開け、表に出てみると……お前ら何人いるんだよ!  
パッと見7、8人ぐらいの黒服サングラス達が……かなり不気味だ  
あ、あれはバトルシテイの時の司会者の……誰だったかな?

「来てくれる気になってくれましたか？」

こう期待されると……やっぱりこう言いたくなるよな？

「寝言は寝て言え

あんたら、近所迷惑だし邪魔

我が家の評判が悪くなったらどうしてくれる

黒服サングラスの男達が集まる家とか近所で有名になったら困るだろうが

この家はヤクザとかでも居るのかと勘違いされるかもしれないのが分からないか？」

まさかの毒舌に絶句する黒服達

しかし、押しかけてきたお前らが悪い

少しぐらい八つ当たりさせろ。

「というか、付いてきて当たり前という態度が気に入らない  
元々俺はそっちの事情に付き合う必要は無いだろ  
なのに断られて驚くって何？ 巫山戯てるのか？」

「そ、そういう訳では……」

「大体、何故俺を相手に海馬社長は何を話すんだよ  
別にK C社に何かした記憶は無いんだが？」

知り合いでもない、別に関係無い、そもそも興味も無い  
なのに何故俺が付き合う必要が有るんだよ」

本当は興味有るけどな

関係無いのは本当だし、知り合いでもないけど

しかし……本当に何故俺？

「そんなに話したいんだったらそっちから来い  
俺は行かないからな、あんた達の態度と対応が気に入らないから」

「わ、我々が悪いのですか!？」

「さっき言っただろ？」

近所迷惑、態度も気に入らない、態々脅すように大勢で来たのも鬱陶しい

喧嘩売ってるよな？ 俺は買わないぞ、さっさと帰ってくれ」

そう言って勢いを付けてドアを閉める

……あ、KC社に行くんだったな

まあ良いか、面倒事になりそうだったし。

となるともうKC社にカードは売れないな

I2社に売りに行くか？

しかし今回みたいな事になると考えたら……

はあ、仕方無い、この2大会社にカードを売るのは諦めるか。

部屋に戻ると全員が驚いた顔で見えてきた

そんなに俺が行かないのが意外か？

「お兄ちゃん、結局行くの止めたのか？」

「ああ、態度が気に入らなかったからな」

「（そんな理由で社長直々のご指名を断るの!？  
そしてどう言って断ってきたの!？）」

「（気に入らないって……堅守君らしいね  
だけど、巨大企業相手にそれは拙くないかい？）」

「という訳で玲、防犯ベルは常に持つておけよ  
無いとは思うが脅迫や誘拐の可能性も否定できないからな」

「おいおい……なら何で断ったんだよ  
私まで巻き込むな、危ないだろ」

「さっき言っただろうが、態度が気に入らない  
というか、さっきの連中の全てが気に入らない  
一応行く気は有ったんだがな……あいつらが気に入らなかったから  
止めた」

正確にはつい断ってしまったんだがな  
そしてお前ら、そんな呆れた目で俺を見るな  
玲はともかく、天上院兄妹は借金増やすぞ  
まあさすがに八つ当たり過ぎるからしないが。

「だが堅守君  
いくら相手がKC社だからって誘拐はさすがに無いだろ  
そんな事をすればスキャンダルだよ？」

「それはそれで会社を潰すように動けるように……  
いや、何でも無い、気にするな」

「（潰すって何！？  
いくら瑞貴でもそれはさすがに無理でしょ！  
多分……きつと……もしかしたらできそうな気がするのは何故？）」

さすがにそんな事をすれば世間が黙ってないか  
KC社は良くも悪くも子供に優しい会社だ  
潰れれば色々困るし、騒ぎも大きくなる。

というか、俺程度に潰されるような会社じゃないな  
資産的にも不可能だし、人脈も無い  
喧嘩を売ったら確実に潰されるな。

怖い怖い……触らぬ神に祟りなしってね  
既に喧嘩を売っている気がするが……まあまだ大丈夫だろう  
この程度で怒っていたら社長の器が知れるけどな。

その後、特に何も無く過ごしていたのだが  
当然そんなに甘くなかった。

再び何度かチャイムが鳴り出した  
またKC社の奴らか……面倒な。

相手するのは面倒だが出ないとまた鬱陶しそうだ  
仕方無い、諦めて出るか。

「また相手をしてくる」

「すぐ戻る？」

「分からん、今度に行くかもしれん  
玲の事は頼んだぞ」

「気をつけてね」「任せたまえ」

……明日香はともかく、モノクロ白黒は心配だ  
玲に変な事を吹き込まないだろうか？

「明日香、モノクロ白黒が玲に変な事を教えないように見張って置けよ  
もし何か馬鹿な事を吹き込もうとしたら殴ってでも止めろ」

「分かってる、だから安心して」

「僕って信用無し!？」

「当たり前だろ？」 「当然じゃない」

落ち込むモノクロ白黒を無視して玄関に向かう  
何となく嫌な予感がするが……嫌だなあ  
強引に連れて行かされそうになったら叫び声を出すか。

「どなたです……か？」

……マジ？

「遅かったな

この俺を待たせるとは良い度胸だ」

何故？ 何故に？

「まさか海馬社長直々に来るとは思いませんでした……  
確かに自分で来いと言ったのは俺ですが  
とりあえず待たせたのはすみませんね  
そちらの社員の態度が余りに気に入らなかったので」



例え相手があの社長本人でも俺は我慢しない  
言いたい事はできるだけ言ってやる！

こっちは混乱してるんだ、これぐらい許せ！

「ほお……この俺を相手にそのような口を利くとはな」

「相手が誰であれ、言いたい事は言うようにしていますので  
それで、海馬社長自らこの俺にどのようなご用で？  
来いとは言いましたが、こんなガキの為に時間を使う余裕が有るんですか？」

これは本当に謎だ

俺はあんたに何もしていないはずだぞ？

なのに……あー！ 分からん！

「少しぐらい問題無い」

問題無いんだ……まあ社長自らバトルシティに出たしな

その間の仕事はどうしてたんだろうか？

誰かに代替わりさせてた？ それとも描写外で仕事してたのか？  
どっちにしても格好が付かないなおい。

「とりあえず汚いし狭い部屋ですがどうぞ

ただし、入るのは社長とガードの1人だけでお願いします

妹や知り合いが居ますし、怖がらせるのは不本意です

それ以外の人達はお引き取り願います」

「構わん、さっさと案内しろ」

さすが社長、心が広いというか大雑把というか  
後ろの社員達が混乱してるぞ

あんたが決めてやれよ、時間が掛かるし。

しかし、俺が案内して社長も入ると1人だけさっさとこっちに来る  
あんたら、さっきのは演技か？

それとも最初から決まっていたけど諦められないだけ？

居間に案内すると……当然のように全員が固まる  
そりゃ社長が来れば驚くわな。

「な……な……堅守君、君は海馬社長と知り合いだったのかい？  
違和感を感じられないのは何故だろうか？」

「知り合いなわけ無いだろうが  
ほんの数分前に会ったばかりだ  
俺だって何故ここに居るのか驚いてる」

なのになんだ貴様ら、その疑わしそうな目は  
殴るぞ？ 殴り倒すぞ！

とりあえず椅子に掛けてもらい  
俺は社長と逆の椅子に座る。

社長と一緒に入って来た社員は立っている  
玲、明日香、白黒モノクロは少し離れた場所で静かにしている  
空気を読んでくれるお前らで助かるよ。

「さて社長、俺に何の用ですか？  
俺としては全く検討も付かないんですが」

「白々しい……貴様はネットでカードを売ってるな？」

「……確かに俺はカードを売ってます  
それがどうかしましたか？」

はて、社長に目を着けられるような事じゃないとは思うが？  
別に俺がカードを売っていてもそこまで変じゃないだろ？  
それぐらいで来るのも変だし。

「貴様は稀にかなりのレアカードを売ってるな  
しかも限定カードもだ」

確かに売ってるが……本当に稀な事だ  
まさかそれを嗅ぎつけて来たのか？  
しかも俺の家まで調べるとはな……

だが解せん、社長の事だから知ろうと思えばもつと早く知れたはずだ  
だったらデュエル・アカデミアまで来ても変じゃない  
社長だったら絶対にする！ それぐらい行動力の有る人間だからな！

「しかし変だな  
調べたのだが、貴様がその限定カードやレアカードを手に入れたと  
いう記録は無い  
どうやってあれらのカードを手に入れたんだ？」

……なるほど、それを調べる為に来たのか  
レアカードなどを売る人間は少ないからな  
気になったから調べた、その結果俺にぶち当たったと……

失敗した……もつと警戒すれば良かった  
そしてもつと自重するべきだったな  
どうする、どうすればいい！

「ふうん、黙りを決め込む気か  
だがそれで逃げられると思っているのか？」

「思っていないですよ  
しかし、言う事ができない事なんです  
申し訳ありませんが、そういう話ならお引き取り願います」

俺だって原因が分かってないんだ、言える訳が無いだろう！  
売ってる理由は金になるからだし、それ以上の理由は無いぞ！

「なに、話はそれだけじゃない  
貴様の売ってるレアカード、全て俺に売るのがいい  
それなりの値段で買ってやるぞ」

「お断りします  
公平じゃありませんので」

俺はオークションでどう金上がるかを見て楽しんでるんだ  
確かにそれはかなりの金になるだろう  
しかしつまらない、というか全部売れるはずが無いだろうが！

「更に言うならば、今はそんなにカードを持ってません  
知ってると思います、俺はデュエル・アカデミアの生徒です  
カードは向こうに殆ど置いてきてます」

今俺が持っているカードはデッキ2つだけ

それ以外のカードは全部置いてきている  
セキュリティもかなり上物にしているしカムイラも居る  
これだけ揃っていれば大丈夫だろう……断言できない不安は有るが  
な。

「ならば今持っているカードだけでも構わん  
俺は貴様が持っているカードに興味有る

確か……ロード・ウォリアー、アendet・スカル・デーモン  
他にもデスカイザー・ドラゴンやゴヨウ・ガーディアンだったか？」

何故俺の使ったカードを知ってるんだ！？

……そうだ！ デュエルディスク 決闘盤を売り出してるのはKC社だった！  
つまり、ログとか見れるという事か……反則技じゃねえか！

「どれも俺の知らないカードだ  
調べてみたのだが、これらのカードは世の中に出回ってない  
さて、どういう事が説明してもらおうか？」

「お断りします」

しかし……変だな

俺は他のモンスターならともかくゴヨウ・ガーディアンは使っていない  
なのに何故ゴヨウ・ガーディアンの名前が出てきたんだ？

可能性としては……小娘だな

あいつ、まさかKC社に行ったのか？

可能性は低いが、無いとは言えないな。

もしそうならそれが俺を調べ始めた切欠だろう  
違うのなら例えば……デュエルディスク 決闘盤に何か起こったとか？

知らないカードなのに読み込んだという事で。

それをバグやら何かで自動的にKC社に報告されるとかバグを調べていったら特に異常は無く、使い手を調べた可能性が有る後は割り出して調べるだけ、この可能性も否定できない。

「断る……という事は知っているという事だな  
そんなに時間が無い、早く話してもらおう」

「何度も言いますがお断りします  
何度言われても、話す事はできません」

話せないが正しいんだけどな  
本当に俺がこの世界に來た原因は何なんだ？  
カードも持っている理由が分からないし……  
今まであまり考えなかったが、真剣に考えた方が良いだろうか？

「どうしても話さないと？」

「はい、どうしても話しません」

プレッシャーがヤバイ……正直かなり怖い  
さすが社長であり、王様のライバル(?)  
威圧感も半端無く強い。

だが言えないのは事実  
例え何を言われようともお断りだ！

「なら質問を変えよう  
貴様は他にも見た事の無いカードを使うらしいな」

「それがどうかしましたか？」

「なに、それがどんなカードか気になるだけだ」

つまり見せろという事か

チッ、見せないと帰らないと言いたいわけだな  
場合に内容に依っては商談もと考えていそうだ。

「見せたら帰ってくれますか？」

「良いだろう、それでも来た収穫にはなる」

白々しい……最悪、強引な手段でも使う考えを持ってるだろうに  
DM時代のあんたの悪行、覚えているぞ。

グールズを嫌った社長だがな

ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン

双六じいさんの青眼の白龍をコピーと入れ替え、あげくの果てに破る  
他の所持者からも奪ったり、自殺に追い込んだらしいじやないか

まさにグールズそのものだが……はあ。

権力と財力が強すぎてどうしようもできないんだろうな

金でそんな事件は揉み消せるし、社長の象徴とまでなっている青眼  
ブルーアイズ  
・ホワイト・ドラゴン  
の白龍だ

今更そのカードはとか言った所で戯れ言と取られるだろう  
そもそも、すぐに存在を消されそうだけどな。

仕方無い、奪われる事は無いと思うが見せるか  
しかし俺が今回持って来てるのは社長が嫌いそうなロックとハンデ

スデッキだぞ？

デュエル・アカデミアまで行くと言われないと良いけど……

そんな事を考えながらもカードを見せる

社長はカードを受け取り、俺に見えるようにしながら眺める  
その動きに怪しい事は無いが……油断はしない。

最後まで見終わった社長に次のデッキを渡す

動きは最後まで普通だった

どうやら盗んだり入れ替えたりする行為はしなかったらしいな。

万が一の事も考えて少しだけデッキの中身を確認する  
しかし変わった様子は無い……ようやく安心できた。

次のデッキも返してもらい、内容を確認する  
さっき、少しだけ目を離れたからな……少し用心深く  
だが何も変わっていないかった。

ふう……疲れる奴だ

やっぱり社長にカードを売るのは止めておこう  
何を言い出すか分かったもんじゃない！

「ふん、確かに知らないカードは多かった  
だが俺の望むようなカードは無いな」

「当然だと思えます

俺は基本的に社長と違って守り型の人間です  
攻めるカードはそんなに使用しません」

持って来たカードが悪かったらしいな



だが、今回はそれが良かった  
これで俺への興味を少しでも減らせたら……

「カードも見たので帰っていただきたいのですが？」

「いいだろう、今日の所は帰ろう  
また後日、時間が出来た時に来よう」

「二度と来ないでください  
心臓に悪い上、何度来ても結果は変わりません」

返事は無かった  
おそらく社長はもう来ないだろう  
……家にはな。

はぁ、拙い奴に目を着けられたな  
とりあえず見送りぐらいはしておくべきだな。

玄関まで来て家から出て行く社長  
だが、俺はその社長に言わなければならない事が有る。

「海馬社長」

「なんだ」

「弟さんは大切ですか？」

「当然だ」

「俺にも妹が居ます」

大切な妹です……言いたい事は分かりますよね？」

「……そうか」

そのまま車に乗り、去って行く社長  
これで良し、玲は大丈夫だろうな。

今の会話は下の家族が居る人には分かるだろう  
大事な家族に手を出す事は例え相手が誰であろうと許さない  
そういう意味を込めた会話だ。

この会話で社長の使う手段は2つ

1つは弱みを握ったと思い、玲に手を出す事

もう1つは玲に手を出さない限り、俺は敵にならないという事だ。

前者はまず有り得ない、あのプライドの高い社長だしな  
ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン

青眼の白龍の時は暴走していたが、王様のおかげで落ち着いてくれ  
たんだ

もう余程の事が無い限り馬鹿な暴走はしないだろう。

後者の場合、大企業なのだから問題は無いと思うだろう

しかし俺は社長の知らないカードも持っている

俺の機嫌を損なえば力尽くで奪うしか方法が無くなるのだ

プライドの高い社長ならそんな事はもうしないだろう

それに、多少機嫌を良くしておけばまた交渉できるだろうからな。

つまり、俺は今後もまた社長の相手をしなければならぬのだ

仕方無いか……カードを売りまくったり、現代カードを不用心に使  
ったツケだ

自業自得、完全に自分が悪い。

まあ……そのおかげで今後は気兼ねなく現代のカードを使えると思えばいい

これ以上何度も突っ込まれないはずだ

何か言われれば交渉に応じて何かカードを売れば……多分大丈夫。

自分の味方以外の奴にはあんまりカードを売りたく無いんだがな  
一部には渡したが、それでもそこまで大きな影響が無いはず  
一番影響が出そうなのは似非だが、渡したのは所詮ドロカード  
カードを引く以上に力は無い。

その1、その2に売ったカードだってあまり問題は無いだろう  
あいつらはサブキャラだったし、クロノス教諭だってサブキャラだ  
隼人はI2社に行ったから出てこないだろうし、水色は論外。

明日香、白黒、モノクロ電池はメインキャラだが……

天上院兄妹は今更、電池の場合もそこまでの影響は無いカード  
地獄の場合は……まあ今のあいつならまだ信用できるから大丈夫だろう。

それにしても疲れた……まだ夕方にもなっていないが寝よう  
社長とはできるだけ会いたく無い……もう嫌だ。

居間に戻って水を飲む

緊張もしてたし、喉が渴いててな……はあ。

「あの……お兄ちゃん、大丈夫？」

「大丈夫じゃない、疲れた

もう二度と社長に会いたく無い！

俺は寝るぞ、明日香と白黒モノクロはもう好きにしろ！  
晩飯は出前でも取って食ってくれ！」

俺はそう言って5万ほど置いて自室に戻る  
後ろで何か言っていたが無視、俺は疲れたんだ！

布団に入ってだらける

ヤバイ……緊張が解けて一気に怠くなった  
動きたくないな、眠いし。

「マナー俺は寝るぞーお前は どうする？  
俺と寝るか、それとも下に行くか？」

心配そうな顔をして出てきたマナ  
しかしそんな顔を見るのも億劫になってきた  
自分の想像以上に精神的にやばかったらしいな。

「……大丈夫ですか？  
1人が良いんですしたら出て行きますけど……」

「あー……怠いな  
やっぱり1人が良い」

「分かりました、おやすみなさい」

最後まで心配そうな顔をして消えていくマナ  
精霊化という事は近くに居るのか？  
まあ見えないんだからどっちでもいいや。

とりあえず……社長は怖いという事を覚えた

慣れるまでこんな感じか……嫌だなあ

よくあの社長相手に交渉しようと思っていたな  
前の自分を殴ってやりたい。

はあ……もう駄目、落ちる……

………おやすみ。

## 74話【KC社の訪問】（後書き）

KC社員の銃の教育って？

原作漫画のペガサス城にて、海馬が裏切り者である猿渡に言っていました

貴様が銃を向けられるようになったのはKC社が教育したからだ……との事です、黒服達は殆ど銃の扱いを心得ているようです。

何故海馬を出した！

……ご都合主義ですね、ごめんなさい  
今までのツケを払わせたかったんです  
それが今回、多大なストレスとなって帰ってきました  
自業自得ですがね。

レイは関係してるの？

それはどうでしょうね？

瑞貴は大丈夫なの？

微妙ですね……かなりのストレスになったと思います。

## 75話【女三人寄れば姦し……くない事も有る】（前書き）

おかしい……どうしてこうなった？

前話で発言した書きたいネタができませんでした  
これ以上伸ばすのもアレなんで見送る事にします  
また次の機会にでも……

今回も完全日常ですね

内容は作者自身で予想外です、どうしてこんな話に？

次話から新学期です

つまり第二部が始まります

プロや運命、白が出てきますが……まあ色々ですね  
とりあえず明日に投稿できるよう、頑張りますか。

……そういえば忘れていたのですが

このデュエル・アカデミア、9月から10月から新学期という学校でした

今まで冬の表現をしていた事も有りますが、今まで夏でした

少し前に思い出し、どうしようかと……とりあえず現在は夏扱いで  
冬の表現……どこでしたか忘れしました、思い出したりしたら修正しておきます。

## 75話【女三人寄れば姦し……くない事も有る】

視点 明日香

海馬社長が瑞貴の家に訪問してから数日後

突然瑞貴から呼び出された

しかも私の服を持って来いって……どうかしたのかしら？

「突然呼び出して何の用？

しかも服を持って来いなんて……」

「マナにその服を渡して買い物に行ってこい

買うのはマナの私服、金は10万で足りるか？」

「どうしてそう突然なのよ！？」

そして10万なんて高級品を買わない限り余裕で足りるわよ！

貴方、服を何だと思ってるの！？」

だけどとりあえずマナに服を渡す

マナはさっさと下がって着替えに行った

それにしても、どうして突然私服を？

「マナが何か褒められるような事でもしたの？

そうじゃなければ貴方が人の服を買ってあげるなんて想像できないんだけど」

「毎日毎日同じ服を着られていると清潔感という意味でなんとなく不安だ



洗濯したい、着替えてほしい、そして何より目立つ  
だから普通の服を……買えるだけ頼む、下着類もな」

どうせそんな事だろうとは思ったわよ……

自分には無頓着な癖に他人には随分よね

自分勝手な……私は別に付き合うぐらい良いんだけど。

それにしても久しぶりの買い物ね

何ヶ月ぶりかしら？ 借金をしている立場だから買い物なんて行けないし

でも、自分の服は買えないのよね……はあ。

「女性物の服や下着は高いか？」

「物にも依るわよ

良い物は当然高いわ」

「ならできるだけ良いのにしておけ

またデュエル・アカデミアに滞在するんだ、丈夫なので頼む

金は……50万にするか、できるだけ良い物でな

（これだけ出してもカード1枚分という時も有るしな

100万出しても懐は痛まないし構わないか）」

50万って……余裕でそんなに軽く渡す貴方の気が知れないわ

一体何着買える事か……1着1万でも50着よ？

そんなに要らないでしように。

「昼飯はそこから勝手に好きに食え

お前も1着や2着ぐらい買っても良いぞ

俺にはどうしようもできない事だしな」

「……ありがたく使わせてもらおうわ」

豪快ねえ、私は嬉しいから良いんだけど服も買えないと諦めてたからまだマシか多くても3着までよね、ぐらいつて言ってたし。

でも高い服を着る気になれないわね

安くても丈夫な服が良いわ、見た目もできれば……まあ、それは見てから決めましょう。

「って、瑞貴

ネットとかで調べたら良いんじゃないの？」

「良いんだよ、面倒だし俺には分からん

他の奴の基準が無いと今時の女性用の服なんて知らないしな

それに普段は隠してるんだ、偶には好きに外を歩かせてやるさ

（俺自身も偶には1人になりたいしな、ずっとくつつかれるのも疲れる）」

普通の女の子みたいな扱いね

瑞貴は精霊とかに興味が無いのかしら？

……絶対に無いわね、精霊以前にマナとして見てそうマナが精霊って意識も殆ど無いんじゃないかしら？

「そうそう、玲も連れて行けよ

玲の服も見積もってくれと助かる

金はさっきの中から適当に使ってくれ」

遊びに行かせたいのかしら？

瑞貴はあまり外に出ないから？

後は……玲ちゃんに友達が少ないからかしらね。

「だけど私はここら辺の土地に詳しくないわよ？  
どこに洋服屋が有るかとか知らないんだけど」

「別に遠くに行っても構わん  
荷物持ちが欲しいのなら白黒モノクロでも使えばいいだろうが  
飯付きと言えば付いてくるだろ」

「そうなんだけど……なら少し遠くなるけど大きな街に行くわよ？」

「勝手にしな、できるだけ安全面に注意しろよ  
後、財布を無くしたりしないように

何か有れば連絡しろ、無線機を渡しておくから」

そう言って渡される無骨で大きな機械

……無線機？ 携帯電話とかじゃなくて？

これ、重いんだけど……どうしても持っていけないと駄目なの？

「無線機は携帯電話とかで電波の届かない場所からでも通信ができるからな

重いとは思うが諦めて持っていけ  
念の為、白黒モノクロにも1個渡しておけよ」

そう言われてもう1個渡される

これって何kgぐらい有るのかしら？

1kgは有りそうなんだけど……

「ちなみにその無線機、発信器も付いてるからな

マナや玲の持ち物にも付けてある

全員の位置は全てこっちで把握してあるから安心しろ  
何か有った場合はこちらから連絡する」

……私達って買い物に行くだけよね？

どうしてこんなに嚴重注意されてるの？  
ここまで用心しないと駄目なのかしら？

そんな話を話している間に、マナと玲ちゃんの仕度が終わったらしい  
モノクロ

白黒兄さんにも連絡して、合流しないと

どこに行けば良いかしら……とりあえず大きな洋服屋よね

マナには和服より洋服が似合いそうなもの。

「言い忘れていたが、俺が嫌うような服はできるだけ止めろよ  
別に良いと言えば良いんだが……あまり見たいものじゃない」

そう釘を刺されたのでただ似合うというだけでは買えなくなった  
我が儘な……まあマナなら喜んで従うでしょうけど

1着ぐらい派手な服を選ぶのも良いわね……一応構わないって言っ  
てるんだし。

………

………

………

「明日香、僕は何でここに居るんだい？」

「言ったでしょ？ お昼ご飯を食べる為よ

お金なら安心して良いわよ、瑞貴から貰ってるから」

「だけど明日香……ここはデパートだよね？  
しかも凄く大きな、態々こんな場所で？」

「ええ、買い物もするから」

「……え？」

「行くわよ、マナ、玲ちゃん！」

「「おー！」」

「え？ え？ あ、明日香？」

もしかして僕って……荷物持ちかい！？」

叫ぶ<sup>モノクロ</sup>白黒兄<sup>モノクロ</sup>さん<sup>モノクロ</sup>を無視してデパートに入る  
白黒兄<sup>モノクロ</sup>さんは落ち込みながらも付いてくる  
ふ、詳しく話を訊かないから悪いのよ。

『（……私は忘れられているの？

それとも実体化ができないから何も言わないだけ？

私も実体化できるようになりたい……どうすればいいのかしら？）』

サラが落ち込んでたけど……どうかしたの？

一緒に買い物をしたいの？

白黒兄<sup>モノクロ</sup>さん<sup>モノクロ</sup>以外は見えてるから半分参加できるんじゃない？

そういう訳で洋服屋に入ったんだけど……

「うわぁ……人、多いね」

「そうだねー、私もこれはちょっと予想外  
あ、明日香さん、吹雪さんが逃げ腰になってますよ？」

「白黒兄さん、逃げたら怒るわよ」  
モノクロ

「そ、そんな事言われてもね……  
さすがの僕でも、こんな婦人服のエリアに入りたいとは思わないんだよ？」

荷物持ちにしてもまだ買わないんだろ？  
だったら僕は少し紳士服でも見てくるよ」

そう言っモノクロて白黒兄さんは逃げ出した  
お昼抜きにしてやろうかしら……  
でも、確かに今は用無しね、後で呼び出しましょう。

とは言う物の、どんな服が良いかしら？  
マナは金髪の長髪、肌も白いでしょ？  
うーん……悩むわ。

玲ちゃんは逆に決めやすいわね  
黒髪のロングストレートだし、肌も普通の色  
少しおとなしめの服が良いかしら？

………

………

………

結局、買った服は地味だったりおとなしめだったりの服が多い  
一応帽子も買っておいたわ、あの髪型は目立つし  
そして移動中、とある服を見つけた。

「どうしたんだい明日香……突然止まって荷物が重いからできれば早く休みたいんだけど」

モノクロ  
白黒兄さんが何か言ってるけど無視する

私の目にはあの服しか映っていない  
あの服を着たマナが瑞貴に話しかけている所を想像してみる。

……楽しそうね、瑞貴がどんな反応をするのか楽しみで仕方がない  
決まりね、瑞貴の指示に逆らう服はアレしか無いわ！

「マナ、あの服を買うわよ！  
来なさい！」

「きゃ！ ひ、引っ張らないでください！」

「玲ちゃんと白黒兄さんモノクロはそこで待ってて！  
すぐに戻るから！」

「はぁ……私は別に良いけど」

「僕は良くない！ 早く終わらせてくれ！  
（それにしてもこの服屋は……明日香の趣味か？）」

すぐに終わるわよ！  
店に入り、服のサイズを確認  
そしてマナに試着させる。

「あの……どうしてこの服を？」

「それを着ればきつと瑞貴は喜ぶわ」

断言しないけどね

偶にはこういう悪戯ぐらい許してもらわないとこれぐらいでは怒らないはず……多分。

マナは少し考える仕草をして顔を緩ませる

何を想像している事やら……予想はできるけどそして試着、結果は似合うので文句は無いわ！

「買うわよマナ

あ、店員さん、この服の一番良い素材を使ってるのにしてちょうだい」

「……高いよ？」

「構わないわ」

本当に高かった、こんなにするの？

それでも払った、少しでも瑞貴に仕返しする為に！

とりあえず……予算の3割を使ったとだけ言っておくわ。

だけど良い買い物だったわ

これで瑞貴が……そう思うと楽しみね。

時計を見てみるとそろそろ良い時間ね

お昼ご飯にしようかしら？

店から出たらそうしよう。

「みんな、そろそろお昼にしようと思うんだけど」



「僕は大賛成！」

疲れてるし、休みたい！」

「私はどっちでも……精霊だし」

「お腹空いたから私はお昼にしたいわ  
少し疲れてきたもの」

マナは精霊だから食事はどちらでもね  
でも、みんな食べるんだから雰囲気だけでも参加してね。

………

………

……

省略、お昼はバイキングにしたわ  
どれだけ食べても良いってなると……ついね  
ほら、私今お金が無いから。

食べ過ぎたわ……今夜が怖い  
でも白黒兄さんモノクロよりはマシね  
食べ過ぎて苦しむなんて……馬鹿？

その後も色んな服屋を回っていき  
私や玲ちゃんの服も買っていった  
荷物は勿論、白黒兄さんモノクロが持ってるわ。

「明日香ー、もう少し兄に優しくしてくれてもいいんじゃないかい？  
もう腕が痛くなってきて……落としそうなんだけど」

落とすと言われたらさすがに仕方無い  
私達も少し荷物を持つ事にしたんだけど……

玲ちゃんは子供だから少ないのは当然ね  
でもマナ、貴女1人で半分近く持つって凄くない？  
さすが魔術師、身体強化の魔術も使えるのね。

そんな感じで夕方まで買い物を楽しんだ  
帰り道までは多いので荷物は郵送してもらおう事にしたわ  
私の分は勿論私の家に、マナと玲ちゃんの分は堅守家に  
白黒兄モノクロさんの服？ 買ってるわけないでしょ？

時間も微妙だし、そろそろ帰らないと  
あんまり遅くなると瑞貴も心配しそうね  
主に玲ちゃんをでしょうけど……

マナは精霊化できるからまだ大丈夫でしょうね  
白黒兄モノクロさんは男だし、私は……無さそうね  
はあ……少しぐらい心配してくれても良いんじゃないかしら？

瑞貴の家まで玲ちゃんを送る  
チャイムを鳴らして暫く待つと瑞貴が出てきた  
当然だけどね。

「おかえり、服は郵送か？」

「ただいま、服は明日香さんが郵送にするってさ  
明日か明後日ぐらいに届くらしい」

「わかった

お前ら、晩飯はどうする？

予定が無いんだったら食いに行くか？

無論奢ってやるが」

少し悩むけど行く事にした

せっかく奢ってくれるんだしね。

「行かせてもらうわ

モノクロ  
白黒兄さんはどうする？」

「僕も行くよ」

「なら少し待ってろ、準備する」

暫く待ち、瑞貴が出てきたので食事に行く

なお、行った場所は中華だった

また重い物を……うう、今夜が怖い。

食べ終わった後はそのまま解散

マナに貸している服は今度返してくれるらしいわ。

「じゃあまた今度な」

それだけ言って瑞貴は去って行った

玲ちゃんとマナも一緒に瑞貴に付いていく

私達も帰りましょう。

そして翌日、服が届いた

親にどこにそんなお金かと問い詰められた……

お小遣いを貯めていたと言いついたが、どこまで信じてくれたか  
だけど、借金の事は言えない！

それにしても瑞貴、どうなってるかしら？

マナもあの服を着て見せてるでしょうし……

今度感想を聞かせて貰わないとね、今から楽しみ！

## 視点 瑞貴

昨日の服が届いたな

どんな服を買ったのやら……どうでも良いか

服は好きに着て良いとマナに言っておいた

後で勝手にファッションショーでも始めそうだ。

そんな事を考えていたら誰かが部屋に入って来た

一言言ってから入れと言ったはずなんだがな

まあ、新しい服に多少興奮しているんだろう

それぐらいなら許してやるか。

「あの、この服どうですか！」

この性格と声はマナか……

俺はあまり服に興味は無いんだがな

そう思いながら振り向いて……おい！

「……どこでその服を？」

「洋服屋さんですよ？」

「誰が勧めた？」

「明日香さんです」

そうか……つまり俺を怒らせたんだな？  
単なる悪戯とも思えるが  
別の可能性としては立場からだろうか？  
余計なお世話だ！

頭が痛い……思わず顔を手で覆ってしまう  
明日香よ、俺はお前をどうするべきだろうか？  
今後は白黒用モノクロの鎮静剤扱いを止めるべきだろうか？

「それでどうですか、ご主人様！」

「その呼び方は止めろ！」

この……馬鹿が！

お前はその服がどういう服なのか知らないのか！  
そしてどこに売っていたんだ、そんな服！

「でもこう言えばきっと喜んで貰えるって……」

「俺にその手の趣味は無い！  
そもそもお前、その服がどういう服なのか知ってるのか！？」

「いえ、全く」

駄目だこいつ……無垢なのか馬鹿なのか無知なのか純粹なのか分からん

こいつには世間一般の常識を教えておくべきだろうか？

クッ、明日香が居れば白黒モノクロの余計な知識を吹き込まれないと思ったが逆に明日香の方から仕込むとは、油断した！

「あのな、それはメイド服と言ってだな

分かりやすく言えば奴隷や従者、従属者の着る服だ

部屋の中とかでは許すが、他に人が居る時や外では絶対に着るなよ」

救いはやはりロングのフレアスカートという点だろう、色も白と黒だしまだ地味だ

ミニスカートだった場合、明日香の家まで殴り込みに行っていたかもしれない

清楚な感じがするから許すが……まだ普通だし、マシかな。

これはアレだな、俺が最後に派手なのとかも許すと言ったからか？だから1着だけ混ぜたな……油断した  
次からは徹底的に許さない方向にしよう。

「従者……奴隷……」

おいマナ、何故赤くなる

そこは嫌がる所じゃないのか？

嬉しそうにやけやがって……殴ってやろうか？

しかし本当にどこで買ったんだ？

コスプレ店でも有ったのだろうか……

うーん……まあ良いか、買った物は仕方がない。

それにしても、メイド服を見ていると命令したくなるな  
やっぱりそういうイメージが強いんだろうか？

だが駄目だ、あまり命令をしていたら頼ってしまうからな  
怠け癖が付くと駄目人間になる、前の人生でそうだったし……  
それを教訓して、今回はできるだけ自分の事は自分でしているんだ  
あまり命令していたらまた駄目人間になってしまうな。

金髪の美少女がメイドねえ  
シチュエーション的には凄いし、豪華なんだろうがどうもなあ……  
確実に決まっている事は誰にも見せられない事だな。

着たいのなら止めないが、あまり嬉しくない  
できれば普通の服で過ごしてほしい所だ  
どうやってこの馬鹿女にそれを理解させるかも悩む。

つうかお前、いつまで悶えているつもりだ  
鬱陶しいからさっさと正気に戻れ。

「とりあえずマナ  
今後、その服を俺以外に見せるのは禁止だ」

「ふえ？ どうしてですか？」

「世の中にはコスプレという物が有ってだな  
そのメイド服もコスプレに入るような服だ  
コスプレとは正確にはコスチューム・プレイという言葉の省略でだな  
漫画やアニメは知っているな？ それらや職業に成りきり、その服  
を着る行為をコスプレと言うんだ」

まあ……コスチューム・プレイには2つの意味が有るが、それは置いておこう

演劇用語であり、今回の事には関係無いからな

人間にフェティシズムと呼ばれるなんというか……特別な物に異常な執着心を持つ人間が存在するんだ

よく呼ばれる言葉ではフェチと省略されているので今後はそれで統一するぞ

主に服装、格好、体、髪、臭いなどその他様々だが、それに固着する偏愛と言えるだろう

本人ではない、つまり人間本体というよりも見えない物や着飾る物に興奮する趣味と言った方が正しいな

色々と誤解されるような用語でな、大抵の人間は趣味の範囲を超えない自称フェチが多いだけの趣味だ

お前が着ているメイド服に妙に興奮するメイドフェチと呼ばれる人間も存在していてだな

普段見ることができないような服で、着ているのが人気の高いブラック・マジシャン・ガールだ

我を忘れて何かしてくる人間が居るかもしれん、後の事とも考えずにな……

あー……つまり何が言いたいかと言うとだ、危ないから他の奴に見せるな、特に男の前で」

俺はあんまりそういうのに興味が無いから問題無いけどな

そういう対象というより、本当に奴隷を相手しているみたいに命令したくなる気分になる

……少し落ち着け俺、うずうずするのは拙い、命令したくなるという意味で。

しかもこいつは世界的人気の高いブラック・マジシャン・ガールだぞ？



そんなのがメイド服のコスプレをして適当に歩いてみる  
気持ち悪い馬鹿どもが押し寄せてきて下手すれば〇〇される。

危険過ぎる……やっぱりこの服は返品するべきだな  
しかし既に着ているんだが、返品ってできるのか？  
サイズとかで言って取り替えにならでるだろうが……  
それに特に不備は無いからな、難しいか。

「あ、あの！」

「ん？ どうした？」

何を決意したような顔になってる  
というか何故まだ顔が赤いんだ？

怒りか羞恥心かだとすれば俺と同じ事を想像した？  
だとしたら悪い事をしたな……次からは言い方をもう少し考えるか。

「私、絶対に他の人には見せません！」

「……そうか」

つまり着続けるんだな、気に入ったのか？  
だが何が？ デザインとか着心地か？  
無いとは思うが、奴隷や従者というのが気に入ったとか？  
こいつの考えている事はよく分からん。

「そうだ、こんなのも買って貰いました」

そう言ってどこからか赤渕の眼鏡……  
ただし、度の入っていない伊達眼鏡らしい

何故伊達眼鏡？ 明日香、お前の考えはよく分らん。

で、掛けるマナ

普通に似合ってるが……だから何？  
という感じだ。

「あれ？ 反応無し？」

「いや、普通に似合ってるとは思うが……  
しかし何がしたいんだ？ お前は」

「な、ならこれならどうですか！」

そう言っただけスカートをたくし上げる  
が、俺は目を逸らす

何故スカートを上げるのか果てしなく疑問だ。

「どうして見てくれないんですか！？」

「何を見ると？」

お前は下着を見せて喜ぶ露出狂か？」

「露出狂って……違います！

下着じゃありません！」

仕方無いので渋々と見てやる

上げられたスカートは太腿辺りで止まっているので下着は見えない  
そこまで馬鹿じゃなくて安心したぞ？

スカートの下は生足ではなく白のニーソックスだった。

絶対領域とか言われるのを考えたのか？

しかし、絶対領域って確かミニスカートじゃないと意味が無いんじゃないかったか？

だが生足よりはマシだな、普段も穿いていてくれれば良いんだが…  
：似合わないな

普段の服装の改善を求めたい、まあそれも含めて昨日の買い物させたんだが。

「……で？」

「で！？　でって、それだけですか！？」

「生足よりは露出が控えられているからマシだな  
その服には合うが、普段の服には合わないな」

まさかとは思うが……俺を落とそうとか考えてないよな？

もしそうならば可愛い努力だとは思うが、俺には通用しないぞ

俺は外見よりも内面を見るタイプだからな、見た目程度で惚れたり  
はしない

というか……恋愛もしたことが無いのにそういうのって効果が有る  
のか？

「うー……ちょっと待っててください」

今度はゴムと取り出し、髪を括り始める

俺と同じようにポニーテール状態だな、おそろい狙い？

しかし俺の場合は頭の上じゃなくて下に纏めて括るタイプだ  
だが、これはポニーテールと言えるのだろうか？

自分の髪型に疑問を持った今日この頃だ。

「どうですか！」

「その髪型でも似合うとは思うぞ  
活発そうなイメージが出てくるし、服装から見ても悪くないな」

「……ぐす」

「ちょっと待て！ 今の発言で泣く意味が分からん！」

何か悪い事でも言ったか！？

褒めたはずだよな！？ 多分……

そういう事はしたことが無いから分からんぞ！

「だって……褒めるだけですか？」

「逆に訊きたい、お前は俺に何を求めているんだ？」

「……………」

そこで黙るのか！？

しかも何故顔を赤らめる！

まさかこいつ……

「言っておくが、俺は何もしないぞ  
もし僅かでも狙っているなら諦めろ  
寧ろ気分が萎えるし苛々するから」

「じゃ、じゃあ着替えてきますねー」

逃げやがった……本当に考えていたのか？

それとも単に手を出すという言葉から逃げた？  
俺が怒っている事に気付いたからか？

はぁ、疲れた

もういいや、昼寝でもしよう……

………

………

………

夕方、起きて最初に見たマナは黒のゴスロリ服だった  
明日香よ、俺はお前に任せた事を今ほど後悔したことは無い！  
巫山戯ているのか、それとも真面目にこうなったのか  
どちらにせよ、二度とあいつには任せない！

「あ、おはようございます

この服どうですか？ 可愛いでしょ？」

「まあ……似合ってるぞ

ちよっと他の服も見せてもらっていいか？」

「………はい！」

晴れたような顔になり、着替え始めるマナ  
しかしその場で着替えるな、当然ながら逆を向く  
こいつの教育、真面目にしないとならないな。

その後、暫くマナのファッションショーに付き合う事となった  
他の服は普通な服が多かったので安心した  
ワンピースや女性用スーツまで有ったがこれぐらいは普通だろう。

だがズボンはともかく何故タキシードや執事服まで？

明日香、本当にお前が行ったのは洋服屋だよな？

コスプレシヨップじゃないんだよな？

まあ……何故か似合っていたから良いんだけどさ。

最後に1つだけ教えてくれ明日香

どこから女性用デュエル・アカデミア制服を手に入れてきた

お前の予備か？ それとも売っていたのか？

だとしたらコスプレ用か？ 本当に何故？

ついでに制服と言えば、学園から俺のオベリスクブルーの制服が送られてきた

何故かは知らないがどうやら昇格したらしいな

三幻魔の時の事件の最後の戦いでか？

まあ良い、頑張って残り2年を過ごすか

どんなトラブルが起こる事やら……胃薬や精神安定剤を買い溜めしておかないとな

おっと、睡眠薬や下剤も買わないと……無いとは思うが必要になるかもしれないしな

他にはクロロホルムに、爆竹とかも必要かな？

こういうのはこっちに居ないと手に入れにくいからな……

もうすぐ2年生

頑張って戦わないとな、ストレスと……

## 75話【女三人寄れば姦し……くない事も有る】（後書き）

何故服を買わせようとしたの？

前話前書きのやりたいネタの為です

簡単に買い物をして短く済ませようとしたのに何故こんなに長く……  
しかも使い切るとは思いませんでした

そのネタは今後、どこかで必ず登場させます……いつになる事やら。

瑞貴が用心深過ぎる……

妹、精霊ですので当然かと……過保護ですね。

サラ……

実体化できない彼女に出番は有りません。

今夜が怖い明日香……何故？

彼女だって女の子です

女の子が苦手としているのはやっぱり体じゅ（赤い何かで見えなくなっている）でしょう。

明日香、瑞貴をからかったけど大丈夫だったの？

大丈夫でした、マナが気に入っていたらしいので

瑞貴自身としてはあまり良くないようですが、任せた手前怒るのも  
……

そういう考えから今回は見送りです、少し叱った程度ですね。

瑞貴の解説、説明が……

細かい事は自分で調べてください。

○○の中は？

教えられません。

明日香はどういう考えで服を選んだの？

似合う服が大前提です

そこからある程度瑞貴が我慢できそうな服から

ちなみに一部遊んでいます、かなり真面目かと……

まあアレです、サイバーガールみたいなモンスターを使ってますし  
派手な服に何か有るんじゃないですか？

明日香はどこから制服を？

自分の予備です。

瑞貴……昇格したんだ

やっと昇格の話を出せました

次回から瑞貴はブルー生徒となります

瑞貴はエリート扱いされる事を嫌いますが……

まあとりあえずそういう事です。

ストレスって……

瑞貴に取ってそういう場所なのでしょう

頑張れ瑞貴！ 止めたらこの作品が終わる！



## 76話【悪夢の新学期】（前書き）

いい加減に決闘<sup>デュエル</sup>を書きたくなりました

何回日常をしているのやら……今回は日常じゃない気もしますがね。

今回は皆さんお待ちかね、あの人が登場します

きつとみんなが予想してくれたと思います

作者は大勢の人を裏切るような人だと……

まあ色々と突っ込みました

ツツコミ所満載ですが、あの人の行動に突っ込んだら駄目だと思います

やっぱりあの人は困りますね、あんまり出したくないんですが出したい……

どうしましょう？

現在、マナのメイド服姿の絵を描いてくれる人を募集中

理由は感想でそんな発言が有ったからであり、作者も見たくありません

その絵は今後、マナがメイド服になった時に載せます（勿論拒否しても構いません）

自分の絵を載せたいという人は描いてくださると嬉しいですよ

理由は作者が見たいから、それ以上の理由なんて有りません

自分勝手ですね、それでも見たいのだから仕方がない

描いてくださればきつと嬉しくてテンションが上がります

それ以上は殆ど無いと思いますが……

次話は確実に決闘<sup>デュエル</sup>をします

もうそろそろ我慢できません、書きたいので書きます

腕が疲れてきてますが書きます、文句を言われようとも書きます  
ええ書きますとも……そろそろ本格的に疲れてきましたけどね。

## 76話【悪夢の新学期】

視点 瑞貴

さて、今日から新学期、新人生が来る日でもあるが……もう家に帰りた

ここに居るだけでストレスが溜まりそうだ

何故なら俺は現在……オベリスクブルーの制服を着ており、その寮に居るのだから。

派手、豪華、巨大

まさにレッド寮とは正反対の感じだな

とりあえず試しに数日前から住んでるんだが……地獄だ。

ちなみにカードは全部レッド寮に置いている

当然、鍵などは全部完璧だ

カミューラも居るから大丈夫だろう。

ブルー生徒は鬱陶しいし、成り上がりの俺が気に入らないのか随分な態度で接してくる

そんな事をしない奴でも態度は悪い、主にレッドやイエローを見下して楽しんでる奴

言いたい放題だな、気持ち分かるし理解できるし賛成だが一々言っていて疲れないか？

俺は面倒だから言わないぞ、そもそも興味が無いしな。

嫌だねえ、他人を見下さないと自分を確立できない悲しい人はそんなにエリートで居たいのか？　そういうのって疲れないか？

心休まる時間も少ないだろうに……みんな頑張るねえ、空元気  
大半は本当に元気になってるが、あいつらの思考はどうなってるん  
だ？

成績が良いに越した事はないからブルーとして残るが、俺は気楽が  
好きだよ

はぁ……やっぱりレッド寮に戻ろう、ここは疲れる  
こんな場所に住んでいたら心身共に休まる時が無いな。

……………

……………

……

という訳で校長室に入る

……おい、クロノス教諭、何でここに居るんだよ。

「何してるんですか、クロノス教諭」

「教諭！？ 私が今、どこに座っているか、分からないイーの！？」

「校長の椅子ですね

で、クロノス教諭、校長先生はどこですか？」

「ふっふーん、今は私が校長なノーね」

「臨時が付くのを忘れてもらっては困るのでアール」

何、このチビなおっさん……そういう体質なのか？

それとも病気で身長が伸びなかったとかか？

単にチビなだけなのか？ 謎だ……つうか中年太り？

「あんた誰？」

「あんた！？ 吾輩の事をあんた！？  
お前、誰にそんな口を利いているのかわかっているのでアールか！  
？」

「分からないから訊いているんでしょうが  
そっちこそ、その程度が理解できないってどうなの？  
つうかクロノス教諭もだけど、あんたの話し方が鬱陶しい  
黙るか普通に話してくれない？ 殴りたくなる」

「校内暴力反対なノーね！  
というか、私までなんで怒られてルーの！？」

「く……吾輩の名はナポレオン、この学園の教頭なのでアール」

「……マジか？」

「クロノス教諭、この学園の人事部の居場所を教えてください  
今から臨時校長の件も含めて訊きに行ってきます

臨時校長の話も自称教頭という謎の人物の事を詳しく知りたいので」

「超失礼なノーね、そんなんだから、教師陣にまで嫌われるノーね  
とりあえず、この人が教頭なのも、私が臨時校長なのも本当なノー  
ね」

「なら鮫島校長はどうしたんですか？  
俺はクロノス教諭よりも鮫島校長の方が信用できるんですけど」

つうか、この2人を信用しろという方が無謀だろう  
信用できるような事をするのか？

馬鹿みたいな騒ぎばかり起こす気がするのはいのちのせいだと思いたい  
できれば巻き込まれたくないな……

「鮫島校長はなんだかよく分からないけど、旅に出てるノーね  
後、正面から信用できないって言わないで欲しいノーね……心が痛  
いノーね」

生徒に何も言わずに旅かよ……校長失格じゃね？

つうか、権力を持たせる人間を確実に間違えてるだろ

せめてもつとマシな先生をさ……

影は薄いけどまだ……まだ！ まともな樺山先生とか

アホの人だけど信用されている鮎川先生とかさ

アムナエル……というか大徳寺先生、何故居なくなったんだ！

あんたが一番まともだったのに！

こうなったらカミューラでクロノス教諭を脅して学園を裏から動か  
すか？

しかし鮫島校長が戻ってきた後にまた面倒になる

あの人は考え無しの馬鹿だが、人間としてはマシな方だ

敵対とかそういう問題じゃなく、諭されそうで嫌だ。

「はあ、もう良い、勝手にするさ  
それでは失礼しました」

もう報告するのも嫌になってきた

こいつらと関わっているとストレス悪化の滑車が圧倒的速度で回り出す  
……おっと、盗聴器を仕掛けておかないとな

何か企んでいたら前もって分かるように。

という訳で自然を装って戻る

戻ってきた俺を疑わしそうに見る2人

どこにするか……まあ適当に数個付けておくか。

「鮫島校長と連絡が取れたら教えてくださいね  
話したい事が有るので」

「な、なんなノーね？」

「あんた達には関係無いね  
さっさと退職してくれ」

言い捨ててさっさと部屋から出て行く

扉が閉まる直前、教頭が叫んでいたが無視

あの教頭は存在の全てをまるで受け付けられない！

なんというか……俺のストレスを悪化しかさせられない人間という  
感じだ

できるだけ無視しよう、それが良い。

はあ、とりあえずブルー寮に持っていた少量の荷物を纏めてさっ  
さと出て行こう

少しでも長居すると……精神安定剤の使用まで考えねばならんな。

……

……

……

さて、帰ってきましたレッド寮

なっぱりこの広さが好みだ、無駄に広くて派手で眩しいブルー寮に比べたら良い部屋だ

俺には狭くて薄暗くて地味なこの部屋が合う……自分で言ってる少しい悲しい気もするがな。

部屋に入るのだが……鍵が開いてる？ 何故!?

不法侵入者か!?

そう思って勢いよく開けてみると……

「あ、こんにちは瑞貴さん

お久しぶりですね」

「……………おい、何故貴様がここに居る

そして何故レッド制服なんだ?

女子は全員ブルーに配属されるはずだが……」

女子は男子に比べて人数がそう多くないからな

成績に関わらずとりあえずブルー行きだ

まあ……多少格付けはされるらしいがな。

「だってボク、強引に飛び級したんですから仕方無いじゃないですか  
頑張ったんですよ? 飛び級試験に進級試験」

「だからって……お前まだ11歳か12歳だろ?

どんなコネと人脈を使って入ったんだよ小娘」

「まだそう呼ぶの!?

ボクの名前は早乙女レイ!

名前で呼んでって!」



駄目だこいつ……話を聞いてない  
誰か助けてくれ。

「まあ……その話は後々な  
詳しく説明しろ、そうじゃなければ即刻追い出して海に捨てる」

「いきなり捨てる発言!？」

ちゃんと説明するから止めて!

えっとね、デュエル・アカデミアから帰った後の話なんだ  
学園祭に行く前ね」

視点 レイ

はあ……中等部入学まで先は長いなあ

瑞貴さん、卒業しちゃう……ん?

よく考えたら中等部と高等部って違う場所だよね?  
という事は……騙された!?

入学したら歓迎してくれるって言ってくれたけど

中等部は場所が違うから歓迎も何も無いよ!

高等部に入る頃には瑞貴さんとはとくに卒業してるし!

ああああどうすればいいの!?

こうなったらまた強引に入学するしか……

って、そんな事したらまた怒られる!

どうにかして正式に入学しないと

でもどうすれば良いんだろう？

……確かデュエル・アカデミアってK C社の学園だよ？  
という事はK C社に頼み込めば入れる？

決めた！ どうにかしてK C社に頼み込もう！

………

………

………

数日後、K C本社まで来た

親には言ったよ？ 無断だとまた心配掛けるから  
それにしても海馬ランドって広いなあ……  
今はそんな場合じゃないけどね。

警備員さん発見！

どう言おうかな……いや、悩むより行動！  
当たって砕けろ！ 言いたい事を言えばいいんだ！

「すみません」

「どうかしましたか？」

「あの……ちょっとお願いが有るんですけど」

「何でしょう？」

「海馬社長に会えますか？」

「……社長ですか？」

アポイントは取っていますか？」

アポイントって何？

「取ってません」

「ならば諦めてください  
社長はお忙しいので」

追い出された……やっぱり直接的過ぎたかな？

別の言い方が良かったとか？

うーん……どうにかして海馬社長と話さないと。

……………

……………

……

という訳で会社に直接メールを送ってみる事にしました！

内容は当然、デュエル・アカデミアの件！

自分の事も書き、どうやったらデュエル・アカデミアに早期入学が  
できるかも訊いた

返事が来ると良いなあ……無理かな？

数日が経った日の事

KC社からメールが入っていた

何かと思ってワクワクして見てみると……嘘お！？

知識と実力をKC社に示せば考えても良いだって……

これってチャンスだよな？ 絶対にチャンスだよな！

試験は5日後……それまで精々足掻けって書かれている。

それにしても酷い文章……完全に相手を見下しているような書き方だなぁ

無駄な努力だとか、そこまで言うならば特別に難易度の非常に高い問題を出すとか

最後には哀れむような言葉まで……これが海馬社長か。

どんなに言われても、何を言われても関係無い！

恋する乙女はどんな障害だとしても突き進むんだ！

……でも、恋する相手の瑞貴さんに嫌われない程度にね。

さあ、時間は足りないけど猛勉強だ！

少しでも得点を稼ぐ為に、頑張らないと！

………

………

………

試験当日！ 絶対に最低点以上は取る！

そう意気込んでKC社にまで来た

数人の人が待っていた、私の為に時間を使わせてごめんなさい……

「早乙女レイ様ですね？」

「は、はい！」

様付け……さすがKC社、誰が相手でも妥協しないでも恥ずかしいから止めてほしいなぁ。

「まずは筆記試験です

こちらへどうぞ」

そう言われて案内されたのはちょっとした個室  
ちなみに中で待機する人は女性だった  
ちよつと安心した。

テスト用紙を裏側で机の上に置かれた  
当然ながら問題は見えない……  
開始と同時に開けるように言われた。

「テスト時間は40分です」

「40分!? 少し短くないですか!?  
テストって大体50分から1時間じゃ……」

「社長曰く、この程度ができて最下級だそうです」

ムカ、ちよつと怒った

最下級とまで言われたら絶対に満点を取ってやる!

「では始めてください」

そう言われてテストを用紙を捲る  
中身を見て……何この問題!?

問1、無限ループを3つ答えよ。

問2、特殊勝利条件を3つ答えよ。

問3、全属性のモンスターを3体ずつ答えよ。

問4、全種族のモンスターを3体ずつ答えよ。

問5、LV1から8までのモンスターを3体ずつ答えよ。

問6、ダイスを使用するカードを3枚答えよ。

問7、コイントスを行うカードを3枚答えよ。

問8、相手のモンスターのコントロール奪取カードを3枚答えよ。

問9、相手の手札を確認するカードを3枚答えよ。

問10、墓地の魔法カードを手札に加えるカードを3枚答えよ。

最終問題、全モンスターで元々の攻撃力と守備力が最も高いモンスターを2体答えよ。

難易度高すぎ！これを40分！？

って、驚いている時間は無い！急いで書かないと！

無限ループ……難しいけどこれぐらいなら！

便乗+便乗

フォーリン・ダウン

墮落+サイバー・ブレイダー

鉄の騎士 ギア・フリード+蝶の短剣ーエルマ  
これで大丈夫のはず！

次、特殊勝利条件！

エクゾディア、ウィジャ盤、終焉のカウントダウン！  
これはけっこう知られてる事だから簡単！

全属性のモンスターを各3体……難しなあ、思い出すだけで大変

光属性……恋する乙女、シャインエンジェル、白魔道師ピケル

闇属性……黒魔道師クラン、キラール・トマト、ブレイン・ジャッカー

炎属性……ヴォルカニック・クイーン、溶岩魔神ラヴァ・ゴーレム、

UFOタートル

水属性……水の精霊アクエリア、グリズリーマザー、X・E・N・O

地属性……巨大ネズミ、幻惑のラフレシア、サイバー・ブレイダー

風属性……ドラゴンフライ、風霊使いウイン、シルフィード

これで大丈夫のはず！

全種族のモンスターって……更に難しくない？

ドラゴン族……ブルーアイズ・ホワイト・ピラミッド・ブラックドラゴマスクド・ドラゴン青眼の白龍、真紅眼の黒竜、仮面竜

魔法使い族……ブラック・マジシャン、ブラック・マジシャン・ガール、白魔道師ピケル

アンデット族……ワイト、ピラミッド・タートル、ゴブリンゾンビ

戦士族……ドラゴン・ライダー、デーモン・ティマー、ゴヨウ・ガール

デーモン族……ドラゴン・ライダー、デーモン・ティマー、ゴヨウ・ガール

デーモン族……ドラゴン・ライダー、デーモン・ティマー、ゴヨウ・ガール

獣戦士族……不屈闘志レイレイ、漆黒の豹戦士パンサーウォリアー、

ミノタウルス

獣族……巨大ネズミ、素早いモモンガ、デス・ウォンバット

鳥獣族……ハーピー・レディ、ハーピー・レディ三姉妹、バードマン

悪魔族……X・E・N・O、大邪神レシェフ、ダーク・ネクロフィア

天使族……シャインエンジェル、シルフィード、勝利の導き手フレ

イア

昆虫族……傀儡虫、ブレイン・クラッシュヤー、ドラゴンフライ

恐竜族……俊足のガラザウルス、アルティメットティラノ究極恐獣、猛進する剣角獣

爬虫類族……エーリアン・ヒュプノ、惑星からの物体A、ワーム・

リンクス

魚族……ヒゲアンコウ、プリンセス人魚、フライング・フィッシュ

海竜族……海竜一ダイダロス、カイザー・シーホース、アクア・ドラゴン

機械族……サイバー・ドラゴン、サイバー・ツイン・ドラゴン、サイバー・エンド・ドラゴン

雷族……電池メナー単一型、電池メナー単二型、電池メナー単三型  
水族……ペンギン・ソルジャー、ペンギン・ナイト、トビペンギン  
炎族……ビッグバンガール、プロミネンス・ドラゴン、炎の精霊イフリート

岩石族……メタモル・ポット、ダミー・ゴーレム、サイバー・ポッド  
植物族……キラー・トマト、妖精王オベロン、ファイバー・ポッド  
幻神獣族……オシリスの天空竜、ラーの翼神竜、オベリスクの巨神兵  
まさか幻神獣族まで必要とは思わなかった。

LV1から8まで3体ずつ……これも多いなあ

LV1……アルカナフォース0ーTHE ザ・フール FOL、クリボー、勝利の導き手フレイア

LV2……恋する乙女、白魔道師ピケル、黒魔道師クラン

LV3……傀儡虫、デーモン・ティマー、ドラゴン・ライダー

LV4……キラー・トマト、シャインエンジェル、グリズリーマザー

LV5……サイバー・ドラゴン、ジャツカルの霊騎士、ギガ・ガガギゴ

LV6……ミュータント・ハイブレイン、ゴヨウ・ガーディアン、ブラック・マジシャン・ガール

LV7……ブラック・マジシャン、ブレイン・クラッシャー、ジャツカルの聖騎士

LV8……大邪神レシェフ、ダーク・ネクロフィア、仮面魔獣デス・ガーディウス

多いけど種族に比べたらまだマシ！

ダイスを使用するカードは



天使のサイコロ、悪魔のサイコロ、ダイス・ポット  
簡単簡単、これなら……ね。

コイントスを行うカードは  
アルカナフォースO—THE ザ・フル FOOL、アルカナフォース?—T  
H E C H A R I O T、アルカナフォース?—T E M P E R A N C E テンパランス  
アルカナフォースも使うし、これも簡単。

相手のモンスターを奪取するカード、これは得意分野！  
恋する乙女、ゴヨウ・ガーディアン、強奪  
一番簡単だったな……

相手の手札を確認するカード、瑞貴さんに悪戯されたなあ……  
セレモニー・ベル、マインド・クラッシュ、正々堂々  
あれは悔しかったなあ……うん、でもおかげでできた！

墓地の魔法カードを手札に加えるカード……思ったより少ないもんね  
魔法再生、魔法石の採掘、セイント・マジシャン聖なる魔術師  
ちよつと悩んだけど、これもまだ簡単かな？

最後の問題……元々の攻撃力が一番高いモンスターか……  
マスター・オブ・ドラゴンサバイブ・ゴッド・ドラゴン確か究極竜騎士とF・G・Dだったはず  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン F・G・Dは有名だけど、マスター・オブ・ドラゴンナイト究極竜騎士は難しすぎるよ  
だって、確か海馬社長と武藤遊戯だけが融合できる最強モンスター  
でしょ？ これは酷いよ。

ギリギリクリア！  
あー……凄く疲れた、もうこんなの二度としたくない  
焦って何問か思い出せなかったし、でも全部書ききれてよかった。

テストは回収され、今日は終わりらしい  
続きは明日、また来るように言われた  
今日はゆっくり休んで寝よう……はぁ。

………

………

………

翌日、再び海馬ランド！

遊びたいけど我慢、今回は実技テストだしね！

絶対に勝たないと！

そう思ってただけど……どうして海馬社長がここに居るの！？

「貴様か、強引にデュエル・アカデミアに入ろうとしている愚か者は」

「む……愚か者は酷いと思います」

「貴様のテストの内容に気になる事が有ってな  
それで俺が直々に確認しに来た」

何か変な事書いたっけ？

別に何も変な事は書いてないはずなんだけど……  
というか無視しないでボクの言葉に返事してくれない？

「何度か答えに書かれているゴヨウ・ガーディアン  
我が社で総力を挙げて調べたが、そんなカードは存在しない」

「ええ！？  
だってゴヨウ・ガーディアンはボクが持ってますよ！

えつと……えつと……有った！　これです！」

海馬社長にカードを渡す

海馬社長は暫く眺めていたけど……

「知らんな、偽造カードではあるまいな？」

「違います！　ちゃんと使えるカードです！

何だったら使って見せてみましょうか？」

「ほう？　それは俺を相手に喧嘩を売っているという事か？」

……あ、そういう風にも思える？

そういうつもりじゃないんだけど……って、何だか準備してる！？

「良いだろう、受けてやる

ただし、これが貴様の実技試験だ

無様な真似をすれば即失格だと思え！」

「……はい、頑張ります！」

「「決闘！」<sup>デュエル</sup>」

視点　瑞貴

「という訳です、これでデュエル・アカデミアまで来ました！」

ちょっと待て貴様！ 最後は省いたら駄目だろうが！  
つうか社長と戦ったのか！？ 結果は？ 結果はどうなった！

「ちなみに当然負けました……海馬社長は強すぎます」

「当たり前だろうが……  
内容はどうなんだ？」

「あはは……言いたくないぐらいボロ負け  
なんとかダメージは与えたけど、ちよつとだけだし  
ブルーアイズ・アルティメットドラゴン  
どうやったらあの状況で青眼の究極竜なんか……」

社長、子供相手にそれは大人げないんじゃないか？  
俺もするから人のことは言えないけどさ。

「その後はどうなったんだ？」

「えっとね、筆記テストで高得点だったでしょ？  
実技テストではギリギリ及第点、だからレッドでなら入れてくれる  
って

それにボクが使った仮面魔獣デス・ガーディウスやダーク・ネクロ  
ファイア

メルキド四面獣に仮面呪術師カースド・ギュラとかは海馬社長がく  
れたんだ」

道理で渡した記憶が無いのに強力なカードを持っているわけだ  
そこから俺が渡したカードも合わせて悪魔族主体のコントロール奪  
取デッキにしたんだな

しかしあの社長がそう簡単にカードを渡すだろうか？

「どうやってあの社長からカードを貰ったんだ？」

「ゴヨウ・ガーディアンなんて珍しいカードを見せてくれたお礼だ  
って」

なるほど、お前が原因だな

社長が俺の家に来て、俺を訪問したのは……貴様が原因か！

「お前、俺の名前を社長に言っただか？」

「い、言いました……ゴヨウ・ガーディアンをくれた人って」

「お前が俺の名前を出したから社長が直々に俺の家まで来たんだぞ！  
どれだけプレッシャーを掛けられたと思ってる！

胃が痛くなって暫く何も食えなかったんだぞ！」

「あの……駄目でした？」

「駄目なんてもんじゃないわ！

社長に目を付けられて俺はもう胃が痛い毎日だ！

機嫌を取る為に社長の知らないカードを見せて今は満足してくれて  
るが

いつカードを寄せと言い出すか……」

「……ごめんなさい」

あー……言い過ぎたか？

確かに八つ当たりだったな……

元々俺がカードを渡したとしても、言わないように釘を刺さなかったミスだ

どうせ後々見つかったいただろうし、休み中に来てくれた事が救いだな。

言ったのは最後の調整辺りだろうか？

最初に言っていたら学園祭の時に来ていたかもしれない

そう考えたらかなりタイミングが良かった

運が良かったのか？　ちよつと悩む所だ。

「はあ……過ぎた事だ、もういい

だが、次からもう俺の事は絶対に言うなよ？」

小娘は賢い子だ、言い聞かせれば大丈夫だろう

下手に成長していない分、それだけ純粹だしな

つまり、明日香みたいに余計な馬鹿な事をしない

利用しやすいな………今後はこいつを使っていくか？

「うん、気をつけるね」

純粹だなあ……疑う事を知らないのか？

何故言うなと言われているのか疑問に持たないか……

考え無しか、それともその考えが浮かばないのか

俺の言う事だから何も考えずに従っているのか

言われた通りにするだけの傀儡か……できれば2番目がまだ好ましいな。

「さて小娘、デュエルモンスターズの勉強は頑張ったらしいな」

「頑張ったよ！

だから強引にだけど入学できたんだから！」

「しかし……普通の勉強の方はどうだ？」

「普通の勉強？」

「そう……国語、数学、理科、社会などの基本学科  
そこら辺の知識はどうだ？」

目を逸らす小娘

どうやらあまり勉強していないらしい  
決まりだな……

「小娘、今からお勉強の時間だ  
今すぐ筆記用具を自分の部屋から取ってこい！」

「ええ！？ どうして！？

ちなみに言われた部屋はここなんだけど……」

……今何て言った？

「おい、今気のせいかここがお前の部屋だと言わなかったか？」

「ここがボクに割り当てられた部屋だよ

鍵だって持ってるし、海馬社長から……」

嫌がらせかコンチクショウ！

あの逆さ栗頭め！ 元キャベツの分際で巫山戯るな！

そんなにあの時カードを売らなかつた事が気に入らなかつたか！  
こっちも嫌がらせとしてブルーアイズ・トゥーン・ドラゴンを送るぞ！

……いや、しないからな？ それは色々問題になるから。

無いとは思うが、気を遣った可能性も有るな  
俺が数少ない知り合いという事も含めれば……

それに小娘は何だかんだ言ってもまだ子供  
レッドに入れたはともかく、知らない奴に預けるわけにもいかない  
……か。

どっちの可能性も否定出来ないが、前者な気がする  
しかしこいつ……どうしようか？

「よし、カミューラの部屋に行け  
管理人室だから広いし女同士だぞ？」

「……瑞貴さんと一緒の部屋がいいなあ」

ぐっ……さっき八つ当たりで怒ったから怒りにくいな  
しかし、だからといって受け入れるのも拙い  
どうにかして回避しなければ……そうだ！

「なら、後で俺と決闘しよう  
それに勝てれば考えてやる」  
デュエル

「受ける！ 今度は絶対に勝つんだから！  
KC社で頑張って勉強して、鍛えて、強くなったんだ！  
あの学園祭の時みたいにはならないからね！」

はっはっは、馬鹿が  
俺は考えるだけとしか言っていないぞ  
許可するなんて言っていない。



これが言葉の技よ！ もっとよく話を聞きましょう

よって二重丸、花丸にはまだまだ先は長い……後三重丸、四重丸が残ってるからな

ま、だからこうやって引かかってくれてるんだがな。

張り切っている小娘を見ていると微笑ましいな

騙されている事に気付かないというな……哀れな奴だ

どんなデッキを使って勝つか……厄介な相手だから少し悩むな。

はあ……それにしても、どうしてこいつは早く来たんだ？

おかげで俺の考えが丸潰れだ

後1年時間を置いておけば多少は好意が減ると思ったんだがなののに逆に1年早く来た……諦めるしか無いのか？

ブルー寮といい、校長の件といい、小娘といい

2年生最初の日は悪夢の新学期だったんだな

ああ……頭が痛い、胃薬……取り寄せるか？

## 76話【悪夢の新学期】（後書き）

瑞貴、ブルー寮に住んだんだ  
数日で挫折しましたのでレッド寮に戻りましたけどね。

盗聴器！？

これは元々仕掛ける予定でした  
この2人なので信用できません。

レイだと！？

はい、かなり……かなー……り悩んだ結果出しました  
ちなみに、レイのKC社の関係フラグは何度か立ってますよ？

実際にレイ自身もあの人という言葉や頑張らないなどの事を言っています

詳しくは学園祭編にて確認してください

そういえば言ってたな……という感じになると思います。

そこまでフラグを立てておいて出さなかったかもしれないの？

はい、混乱するので最初は出さない方向でした

しかし……レイの再登場の声も多く、ツツコミ担当が欲しかったので登場しました

悩んでいましたが、とりあえずフラグぐらいは立てておこうと思って上記の内容です

なので今回からレイはレギュラー入りです、1年早いよ！

期待していた人達、喜んでくれ！ きっと不幸な目に遭うだろうけど！

レイの回想っていつの話？

恋する乙女編終了後です

なのでまだ玲に会っていません  
学園祭前なので瑞貴や吹雪、カミューラとも戦っていません  
それでも頑張ったんです……本当に良い子だなあ。

ご都合主義……

こうでもしなければジェネックス無しで入学は無理だと思いました  
強引な展開？ これでも頑張ったんです！  
これ以上は作者の頭では無理です！

問題難し過ぎるだろ！

……調べる作者も大変でした  
もうこんな事はしません。

あの悪戯はまさかこの為のフラグ！？  
違います、買いかぶりです  
単なる偶然ですので注意。

レイと社長の決闘が<sup>デュエル</sup>気になる！  
今度書きます、今回は長くなったので諦めてください  
やっぱり見たいですか？

## 77話【新学期初決闘 瑞貴VSレイ】（前書き）

疲れましたー！

予想以上の難易度でした！

時間ギリギリ……よくできたものです。

タイトルの通り、今回は瑞貴VSレイです

部屋に住む権利を賭けた戦い……どっちも負けられません  
皆さんはどちらを応援しますか？

安息の為に瑞貴に頑張ってもらおう派？

それとも恋の力でレイよ頑張れ派？

まあ結果は決まっていますが、応援してあげてください。

次話は何をしようかという事を考えています

何も考えていません……疲れました

どうしようかなあ……

## 77話【新学期初決闘 瑞貴VSレイ】

視点 レイ

レッド寮から出て少し移動した場所に行く  
場所は森の中、理由は特に無いけど……なんとなく  
それにしても瑞貴さん、ブルーになってたんだ  
成績とかが良かったのかな？

ボクも早くブルーになって瑞貴さんとお揃いに……ブルー？  
ああ！ 明日香さんとお揃い！  
こうなったら急いでブルーにならないと！

「準備は良いか小娘  
お前が勝ったら部屋は好きに使うといい  
だが俺が勝ったらカミューラの部屋行きだ」

「絶対に勝つ！」

でも勝つよりもこっちの方が重要  
だからボクが使うデッキは……こっち！

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は俺だ、ドロー」

今回の瑞貴さんのデッキはどんなのかな……  
酷いデッキを使わないと良いんだけど

またスピリットは嫌だ。

「俺は悪シノビを召喚する  
カードを2枚伏せて、ターンエンドだ」

悪者っぽい色の服を着た忍者が出てきたけど  
攻撃力400で攻撃表示？ 馬鹿にされてるのかな？  
あんなモンスターを奪ってもあまり意味無いしなあ……

「ボクのターン、ドロー！  
恋する乙女を召喚！ そして攻撃！  
恋する乙女は攻撃表示の時、戦闘では破壊されない！」

攻撃力は同じだから相打ち！  
だけどこっちは破壊されずに残る！

「罠カード、くず鉄のかかしを発動  
相手の攻撃を1度だけ無効にする  
そしてこのカードは再びセットされる」

再セットカード！？  
という事は次のターンにまた同じ事ができるって事！？  
つまり、あのかかしを越えるには2回攻撃する必要が有るんだ。

「更に悪シノビの効果を発動  
攻撃対象になった時、デッキからカードを1枚ドローする」  
なるほど、くず鉄のかかしで攻撃を防ぐ  
そして悪シノビの効果でカードをドローする  
単純だけど分かりやすいコンボだね。

「ボクはカードを1枚伏せ、ターンエンドだよ」

「俺のターン、ドロー」

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

何もしない……このままドローを加速させる気なんだね  
攻撃を無効にされたから乙女カウンターは載せられないし  
厄介なカードだなあ……早く消さないと。

「ボクのターン、ドロー！」

溶岩魔神ラヴァ・ゴーレム……だけど相手のモンスターが2体必要  
だから出せない  
暫く待つしかないかな、ボクもあんまり動けないし。

「モンスターをセット、ターンエンドだよ」

「俺のターン、ドロー」

（さて、恋する乙女を使ってきたという事はだ  
俺と作ったあのデッキを使っているんだろうな  
女の子だねえ……俺は振り向かないというのに）  
俺はこのままターンエンドだ」

何もしない？

どうやって勝つ気なんだろう？

何もしないで勝てるデッキなんて無いと思うんだけど。

「ボクのターン、ドロー！」

永続魔法、つまずきを発動！ 召喚、反転召喚、特殊召喚されたモ

ンスターは全て守備表示になる！

更にボクはセットされていたワーム・リンクスを反転召喚！

リバーズ効果により、お互いのエンドフェイズ時にデッキからカードを1枚ドローする！

ターンエンド、そしてエンドフェイズだからワーム・リンクスの効果でドローするよ」

「俺のターン、ドロー

ふ……来たか」

何か仕掛けてくるね……何をドローしたの？

「俺はライフを2000払い、魔法カードを発動する魔法カード、終焉のカウントダウンだ」

「特殊勝利条件カード！？」

まさかそんな事を狙っていたなんて！

悪シノビはこのカードをドローする為のモンスターか！  
なんて厄介な！ どうすればいいの！？

「効果は知ってるだろう？

発動後、20ターン経過したら俺の勝ちとなるカードだ

ライフに関係無くな……頑張れ

俺はカードを1枚伏せてターンエンドだ」

残り……19ターン

まだ時間は有るけど油断はできない！

「クッ……エンドフェイズなのでカードをドロー！



そしてボクのターン、ドロー！」

「永続罨、魔封じの芳香を発動  
魔法カードを手札から発動する事ができなくなる  
更に、魔法カードを使用するには次の自分のターンにならなければ  
ならない

速攻魔法も一度伏せ、次の自分のターン以降でなければ使えないぞ」

また行動を遅くさせるような事を！

自分のつまずきがここまで邪魔になるなんて思わなかった！  
攻撃する事もできないし、攻撃できても防がれる！

「この手札じゃ……カードを2枚伏せてターンエンド！  
ワーム・リンクスの効果でドロー！」

残り18ターン

手札の処理も困るし、動いてくれない  
モンスターも出さないからどうしようもできない！

「俺のターン、ドロー」

夜叉を召喚する、そしてこのモンスターの召喚に成功した時に効果  
を発動

相手の魔法、罨カードを1枚手札に戻す

つまずきの効果で守備表示になるがな

先ほど伏せたカードの1枚を手札に戻してもらおう」

これで魔法カードを使わせない気か……厄介な！

でもこれでモンスターは2体、次のターンに生け贄にしてラヴァ・  
ゴーレムを出す！

「カードを1枚伏せ、エンドフェイズ  
スピリットモンスターの夜叉は手札に戻る  
ワーム・リンクスの効果でドローしな」

「またスピリットモンスター!？」

絶対ボクが相手の事を想定して作ったデッキだよね!」

「俺はお前が来る事を知らなかったんだが？」

このデッキは相手にとことん嫌がらせをする為に作ったデッキだ  
魔法カードをよく使う相手には嫌なカードだろうなあ?」

確かにこのデッキは魔法カードが多め

コントロールを奪うカードを考えたら自然と多くなってしまう  
どうすればいいの!？」

残り17ターン

早くモンスターを出して!

「ワーム・リンクスの効果でドロー

そしてボクのターン、ドロー!

伏せた魔法カードを発動! 洗脳・ブレイン・コントロール!  
相手モンスター1体のコントロールを得る!」

瑞貴さんは何もしないでそのまま悪シノビを渡してきた

……どうして!? 何かすると思ったのに!

これじゃあラヴァ・ゴーレムを出せない!

「ま、いっか

元々、相手がコントロールしていた悪シノビを生け贄に捧げて  
これが警察モンスターの力! これが権力! であえ、ゴヨウ・ガ

「ディアン！」

つまりきの効果で守備表示になるから次のターンにならないと攻撃できない

それでも悪シノビを除去できただけいいよ！

後はくず鉄のかかしを越える攻撃をすれば勝てる！

「カードを3枚伏せ、ターンエンドだよ

そしてワーム・リンクスの効果でドロー」

残り16ターン

まだ大丈夫、まだ大丈夫のはず！

「俺のターン、ドロー

罠カード、ストレートフラッシュを発動

相手の魔法、罠ゾーンにカードが5枚存在する時に発動可能  
それらのカードを全て破壊する」

「そんな！」

破壊されたのは魔法カードが2枚と罠カードも2枚

それにつまずき……手札の処理に困ったからって安易に伏せるんじゃない  
やなかった！

でもこれでさっきの夜叉も出てこないはず

攻撃力は1900だったからワーム・リンクスが破壊されるもんだ  
だって守備力がたったの1000……

「豊穣のアルテミスを召喚する

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

攻撃しない？

何を考えてるんだろう……

そして残り15ターンか。

「エンドフェイズだからワーム・リンクスの効果でドロー！

そしてボクのターン、ドロー！

ゴヨウ・ガーディアンを攻撃表示に変更し、そのまま豊穰のアルテミスに攻撃！」

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動

攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる」

態々攻撃の無力化を？

確かに、この後は恋する乙女で攻撃するつもりだったけど

それでも2回攻撃する必要が有るんだよ？

だったらくず鉄のかかしでもいいんじゃない？

「豊穰のアルテミスの効果が発動される

カウンター罠を発動した場合、効果終了後にカードを1枚ドロースる」

ドロー効果モンスター！？

どうしてそんなモンスターを？

可能性として高いのはやっぱり終焉のカウントダウンの為だね？

「カードを4枚伏せ、ターンエンド

更にワーム・リンクスの効果でドロースるよ」

残り14ターン

そろそろ動かないと危険かな？

「俺のターン、ドロー」

お、天空の使者　ゼラディアスを手札から墓地に捨てて効果を発動  
デッキから天空の聖域を手札に加え、そしてセットする  
魔封じの芳香の効果は俺も受けるからな」

それでも、次のターンには戦闘ダメージは通らない……邪魔だなあ  
どうやって消せば良いんだろう？

あんまり除去カードが入ってないから難しいな。

「夜叉を召喚し、効果を発動

伏せカードの1枚を手札に戻せ

そうだな……右から2番目にしよう」

また見送りになった……あの夜叉ってモンスター邪魔！

スピリットだから倒せないし、行動も遅れるし

ボクのデッキだと倒すのがすつごく難しい！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ

夜叉は手札に戻り、お前もワーム・リンクスの効果でドローしろ」

残り13ターン

このまま防御されたままだと負ける！

「ドロー、そしてボクのターンでまたドロー！」

なんだかボクの手札がずっと5枚以上なんだけど……今だって8枚  
だし

こんなの初めて……大抵の人が相手だと簡単に手札が無くなるもん

やっぱり相手のモンスターを奪うのって手間が掛かるなあ。

「伏せていた魔法カード、クロス・ソウルを発動！

相手のモンスターを生け贄に使用できる！

その代わり、このターンバトルフェイズは行えない！」

「残念でした、カウンター罠発動、ゴブリンのその場のしなぎ

ライフを500払い、魔法カードの発動を無効にして手札に戻す」

何その普通に考えて絶対に無駄で無意味なカードは！？

そんなカードが使えるの！？

って、実際に今それで苦戦してるんだった！

うああ……手札にクロス・ソウルが帰ってきた

また伏せて次のターンにならないと使えない

これが魔封じの芳香の怖さかあ。

「豊穣のアルテミスの効果で1枚ドローだ」

でも、確実にカウンター罠カードは減っているはず！

どれだけのカウンター罠が入っているか知らないけど

それでもそう何度も攻撃の無力化は入ってないはず！

「だったらボクはアメーバを召喚！」

「カウンター罠、キックバック発動

召喚を無効にし、そのモンスターを手札に戻す

そして豊穣のアルテミスの効果でドロー」

う……せっかく死のマジック・ボックスを使おうと思ったのに

相手に渡すようなモンスターがワーム・リンクスだとドローされる恋する乙女だと戦闘破壊できないし、守備表示に変えられたら破壊するしかない

ゴヨウ・ガーディアンは無理、強すぎて送ったら逆にこっちが殴り倒される。

でも瑞貴さんのライフは残り1500

ゴヨウ・ガーディアンでアルテミスに攻撃すれば残りライフは300！

ワーム・リンクスも一緒に攻撃して通りさえすれば勝てる！

けどどうせ防がれるんだから止めておく  
攻撃されたらドローが途絶える上にダメージも大きいもん。

「恋する乙女でアルテミスに攻撃！」

ダメージは受けるけど、これで乙女カウンターが乗る！

キューピッド・キスは無いけど後で手に入れる！

そして豊穣のアルテミスを奪う！

「恋する乙女は攻撃表示の時、戦闘では破壊されない！

更に罠カード、ホーリーライフバリアーを発動！

手札を1枚捨て、全てのダメージを0にする！

そして恋する乙女が戦闘を行った時、戦闘を行った相手モンスターに乙女カウンターを乗せる！」

「カウンター罠、威風堂々を発動

バトルフェイズ中にのみ発動可能

効果モンスターの効果が無効化にし、破壊する」

「へ？ ああ！  
恋する乙女が破壊されちゃった！」

なんだかアルテミスがこう言ってる気がする  
貴様のような奴に見とれるかよ……って！  
威風堂々の効果を受けているだけに更にそう思える！  
馬鹿にされた気分なんだけど！

「アルテミスの効果でドロード」

残りはず鉄のかかしと分からない伏せカード  
できれば今倒したかったけど無理かぁ……  
天空の聖域が次のターンに発動されちゃうよ。

「カードを4枚伏せてターンエンド  
そしてワーム・リンクスの効果でドロードする」

強制効果だからドロードしないと  
手札処理に困るなんて多分初めてだよ  
こんなにドロードするのも初めてだし。

残り12ターン  
でも、残り1500のライフが削れない！

「俺のターン、ドロード  
夜叉を召喚し、真ん中のカードを手札に戻せ  
カードを3枚伏せ、伏せていた天空の聖域を発動  
俺はこれでターンエンド、夜叉が手札に戻る」

残り11ターン



いつになったらラヴァ・ゴーレムを召喚できるの！  
早く召喚してダメージを与えたい！

「ワーム・リンクスの効果でドロー！

そしてボクのターンでドロー！

今度こそクロス・ソウルを発動！」

「カウンター罠、フォースフィールドを発動

自分のモンスター1体を対象にする魔法カードの効果も無効にし、  
破壊する

そしてアルテミスの効果でドロー」

今度は破壊された！？

それにしてもまた限定的なカードだなあ……

勝てるの？ それで？

「なら次は再びアメーバを召喚！

更に伏せカード、死のマジック・ボックスを発動！

相手モンスターを破壊し、自分のモンスター1体のコントロールを  
相手に移す！」

「カウンター罠、デストラクション・ジャマー

手札を1枚捨て、場のモンスターを破壊する効果を持つカードの発  
動を無効にして破壊する

アルテミスの効果でドロー」

また防がれた！ しかもいつの間にか手札が5枚まで増えてるし！  
なんで毎ターンカードを何枚も伏せてそんなに手札があるの！？  
アルテミスが強すぎる！

しかも攻撃しても絶対にくず鉄のかかしで止められる！  
もう召喚してるからどうしようもできない！

「カードを3枚伏せてターンエンド  
ワーム・リンクスの効果でドローする」

残り10ターン  
こんな調子がずっと続くの？

「俺のターン、ドロー  
智天使ハーヴェストを召喚する」

やった！ 今度は普通のモンスターだ！  
スピリットじゃないから生け贄にできる！

「ハーヴェストでゴヨウ・ガーディアンに攻撃」

「え？」

自爆特攻！？

ああ！ ハーヴェストが破壊された！  
な、何をしてるの！？

いくら天空の聖域でダメージを受けないからって！

「ハーヴェストの効果発動  
戦闘で破壊された時、墓地からカウンター罠を手札に加える  
俺が手札に加えるのはゴブリンのその場のぎだ」

うわ！ ライフを500払う必要は有るけど凄く邪魔なカード！  
また魔法カードの発動が遅くなるう……

「ゴヨウ・ガーディアンで奪っておくか？  
それとも要らないか？」

「え？ とりあえず奪っとくね」

忘れてた……危ない危ない  
でもこれで攻撃力1800のモンスターが手に入った  
アルテミスを倒せる！

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

残り9ターン

半分を切ったから急がないと！

「ワーム・リンクスの効果でドロし、ボクのターンでドロ！  
伏せカードオープン！ 魔法カード、強制転移！  
お互いの場のモンスターのコントロールを入れ替える！  
ボクが送るのは当然、アメーバ！」

「許さん、カウンター罠を発動する  
魔宮の賄賂、相手の魔法、罠の効果を無効にして破壊  
その後、相手はカードを1枚ドロする  
俺もアルテミスの効果でドロするがな」

クッ……どうやってもコントロールは送らせてくれない！  
もうコントロールを送るカードは無いし、諦めるしか無いか。

「なら次は速攻魔法、エネミーコントローラー！  
自分のモンスター1体を生け贄に捧げ、エンドフェイズまで相手モ

ンスター1体のコントロールを得る！  
ボクはアミーバを生け贄に捧げ、アルテミスのコントロールを得る  
！」

よし、今度は奪えた！

これで瑞貴さんの場はがら空きだ！

「アルテミスを生け贄に捧げ、カタパルト・タートルを守備表示で  
召喚！

ハーヴェストを攻撃表示に変更し、バトル！

ゴヨウ・ガーディアンで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「攻撃の無力化、攻撃の無効化とバトルフェイズの終了だ」

「でもこれは防げないよね！

カタパルト・タートルの効果を発動！

自分のモンスターを生け贄に捧げ、その攻撃力の半分のダメージを  
相手に与える！

ボクが生け贄に捧げるのはハーヴェスト！」

瑞貴さんのライフは残り1500

ハーヴェストの攻撃力、1800の半分の900のダメージ！

これが通れば残りライフは600、ゴヨウ・ガーディアンも生け贄  
にして勝てる！

「カタパルト・タートルの効果により、ハーヴェストを射出！」

「チッ……残り600か  
少し拙いか？」

少し拙いって……ボクの場のモンスターが分かってる？

ゴヨウ・ガーディアンを生け贄にしたらボクの勝ちなんだよ？

「ゴヨウ・ガーディアンを生け贄に捧げ、射出！  
これでボクの勝ちだ！」

「それはどうかねえ？ カウンター罠発動  
ダメージ・ポラリライザー」

またカウンター罠！？ 何枚入ってるの！？

「効果によるダメージを無効にする  
そしてお互いにカードを1枚ドロウする  
残念ながら俺のライフはまだ残っているぞ？」

悔しい！ 何で勝てないの！？

しかも終焉のカウントダウンもどんどんカウントが進んでる！  
このままだと時間切れで負けちゃう！

それにしても手札が多い……現在7枚  
もうモンスターは召喚してるし、伏せカードはまだ残ってる  
ギリギリ手札を捨てないで済むなあ。

「ボクはカードを2枚伏せ、ターンエンドだよ  
ワーム・リンクスの効果でドロウ」

でも、ここまでで瑞貴の手札も現在6枚  
アルテミスがそう簡単に手札に有るはずが無いよね？  
持ってたらまたドロウされて困るんだけど。

そして残りカウントは8ターン  
それまでになんとか……カタパルト・タートルだって残ってる  
なんとか勝てるはず！

「俺のターン、ドロー

相手モンスター2体を生け贄に、相手の場に溶岩魔神ラヴァ・ゴー  
レムを特殊召喚する  
生け贄にするのは当然、ワーム・リンクスとカタパルト・タートル  
だ」

「うそお！？

なんでそのデッキにラヴァ・ゴーレムが入るの！？」

というか、召喚しようと思ってずっと待ってるのに逆に召喚された  
！？

なんだか凄く悔しい！ 何で！？ どうして！？

「カタパルト・タートルのように邪魔なモンスターを排除する為だ  
サイコシヨツカーとか、そういうモンスターをな」

なるほど、罠カードが使えないと勝てないもんね  
でもだからって……困るなあ。

「カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

残り7ターン

モンスターが居ない今がチャンス！  
攻撃力600以上のモンスターが来ればボクの勝ちだ！

「ボクのターン、ドロー！」

「スタンバイフェイズだ  
ラヴァ・ゴーレムの効果で1000ポイントのダメージを受けても  
らおう」

う……でもまだライフは3000も残ってる！  
頑張れば耐えきれよ！

だけどボクの手札に來たモンスターは恋する乙女  
手札にハッピー・マリッジは有るけど……ボクの方は埋められている  
しかも次のターンにならないと発動できない。

ハッピー・マリッジは相手のモンスターが自分の場に存在する時に  
効果が適用される  
装備したモンスターの攻撃力にその奪ったモンスターの攻撃力を加  
算する

つまり、今はボクの場合にラヴァ・ゴーレムが存在するという事は  
装備モンスターの攻撃力が3000アップするという事になるね。

だけど、肝心のキューピッド・キスはストレートフラッシュで墓地  
に……

これじゃあ恋する乙女を出しても意味が無いよ  
だけど今の手札に他に通常召喚できるモンスターは無いし  
仕方無いけど、出すしか無いか。

「恋する乙女を召喚！」

「永続罫、リビングデッドの呼び声を発動  
俺はこの効果により、豊穡のアルテミスを特殊召喚する」

また出た！

召喚されなかったけど、代わりに墓地から復活してきた！  
という事は伏せカードは確実にカウンター罠！

「なら伏せカード、魔法再生を発動！  
墓地から魔法カードを手札に加える！  
ボクが手札に加えるのは……」

「カウンター罠、ヒーローズルール2を発動  
墓地を対象にするモンスター効果、魔法、罠の発動を無効にして破壊する  
そしてアルテミスの効果でドロ―」

ま……た……防がれたー！  
苛々する！ どうやって勝てばいいのさ！  
早くサイクロンが欲しい！ 何で来てくれないの！？

というか、一部の伏せカードが邪魔！  
瑞貴さんは攻撃してこないのに何で戦闘用カードを伏せたの！？  
罠カードなんて伏せてても無駄なのに！

「ラヴァ・ゴーレムでアルテミスに攻撃！」

「なら手札からオネストを捨てて効果を発動  
攻撃してきた相手のモンスターの攻撃力分だけ戦闘を行う光属性モンスター  
の攻撃力を上げる  
何か抵抗するなら許してやるぞ？」

「ふえ？」



えっと……という事はラヴァ・ゴーレムの攻撃力は3000でしょ？  
アルテミスの攻撃力は1600……4600になって返り討ち！？  
まさかカウンターはカウンターでも、そっちのカウンターとは思わ  
なかった！

「ああ！ ラヴァ・ゴーレムが！

わわ、罠カード発動！ 和睦の使者！

これで戦闘でモンスターは破壊されず、戦闘ダメージは0になる！」

危なかった……あんな地雷が仕掛けてあるなんて思わなかった  
うう……瑞貴さんが強いよお。

キューピッド・キスも無いから攻撃する意味も無いか  
だったら恋する乙女はこのままにしておこう。

でもこれで魔法、罠ゾーンに空きが2つできた  
これでまた伏せて……っと。

「ボクはカードを2枚伏せて、ターンエンド！」

「罠カード発動、ストレートフラッシュ

相手の魔法、罠ゾーンが全て埋まっている時に発動可能  
お前の魔法、罠カードを全て破壊する……また引っかったな」

「そんなの反則！ 2枚も入ってるなんて絶対反則！」

ああ！ 破壊されちゃった！

ハッピー・マリッジが……他にも死者蘇生が……

うう……困ったよう。

残り6ターン

凄く大ピンチ状態！

「俺のターン、ドロー

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

どうしてモンスターを出してくれないの！？

ラヴァ・ゴーレムを特殊召喚できないじゃない！

……あ、そういえば今気付いた

このデッキって瑞貴さんと一緒に作ったデッキ

つまり……ラヴァ・ゴーレムの存在はとっくに読まれてた！？

そりゃ出さないよね、生け贄にされるもん。

残り5ターン

瑞貴さんのターンって凄く短いね

伏せてるばかりだから当然かな。

「ボクのターン、ドロー！」

「ラヴァ・ゴーレムの効果で1000ポイントのダメージだ

お前のライフは残り2000、頑張れよ」

絶対に苛めだ！

でも、このカードが有れば大丈夫！

絶対になんとかしてみせる！

「モンスターをセットし、カードを2枚伏せてターンエンド！」

攻撃はしない、だってくず鉄のかかしに防がれるから

だったら攻撃するだけ無駄だもん  
そして残り4ターン……

「俺のターン、ドロー」

罠カード、強制脱出装置を発動する  
場のモンスターを1体、手札に戻す  
俺が手札に戻すのはアルテミスだ」

え？ そこはラヴァ・ゴーレムを戻してボクのモンスターを生け贄  
にしない？

何で態々アルテミスを手札に？

それに、そんな事したら無駄にリビングデッドの呼び声が場に残  
っちゃうよ？

「伏せた魔法カード、マジック・プランターを発動  
表側表示の永続罠を墓地に送り、デッキからカードを2枚ドローする  
俺はリビングデッドの呼び声を墓地に送り、2枚ドロー」

その為に態々手札に戻したんだ  
相手の場を除去するよりもドローを選んだって事だよね？  
でも、絶対に間違いだって後悔させてみせる！

「豊穡のアルテミスを再び召喚  
カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

残り3ターン  
時間が無い、急がないと！

「ボクのターン、ドロー！  
ラヴァ・ゴーレムの効果で1000ポイントのダメージを受ける」

どうする……先に使うべき？

それとも攻撃後にした方が良いかな？

万が一の事も考えておいた方がいいか

なんとなく嫌な予感がする……今の方が良い！

「伏せていた速攻魔法、神秘の中華鍋を発動！

この効果でラヴァ・ゴーレムを墓地に送り、ライフを3000ポイント回復する！」

これでボクのライフは4000、元に戻った

それにラヴァ・ゴーレムも消えたからダメージは無い！

もうあんまり意味が無いけど。

「続いて速攻魔法、サイクロンを発動！

魔封じの芳香を破壊する！」

「お前の直感は大当たりだ……カウンター罠、アヌビスの裁きを発動相手の使用した魔法、罠カードを破壊する効果を持った魔法カードの発動と効果を無効にし、破壊する

更に、相手の場の表側表示のモンスター1体を破壊し、その攻撃力分のダメージを与える

俺が破壊するのは……ラヴァ・ゴーレムが消えているから恋する乙女だな

そしてアルテミスの効果でドロー」

良かった！ 危なかった！

嫌な予感に従ってなかったら負けてた！

400のダメージは受けたけど、まだまだ余裕！

それよりも魔封じの芳香を破壊できなかった事が口惜しい……  
ボクの使える魔法カードはもう無いという事かな？

「だったら次はこれ！

モンスターを反転召喚！ ブレイン・ジャッカード！

相手モンスターの装備カードとなり、そのモンスターのコントロー  
ルを得る！」

「カウンター罠、神罰を発動

天空の聖域が存在している時にのみ発動できる

効果モンスターの効果、魔法、罠の発動を無効にし、破壊する  
よってブレイン・ジャッカードの効果は無効にされ、破壊だ  
そしてアルテミスの効果でドロースるぞ」

……うそ？

このカードを使う為に天空の聖域と天使族を？  
ボクに勝ち目は……でも、最後まで諦めない！

「ボクはカードを1枚伏せ、ターンエンド！」

残り2ターン、このカードに賭ける！

駄目だったらボクの負けだ！

「俺のターン、ドロース

カードを2枚伏せ、悪シノビを召喚  
ターンエンドだ」

終焉のカウントダウン、最後の1ターン！  
これがボクの……ラストターンだ！

「ドロー！」

伏せていたカード、強欲な壺を発動！  
デッキからカードを2枚ドローする！」

ドローしたカードは……やった！

ボクの直感の間違ってなかった！

運もだけど、瑞貴さんの気紛れのおかげだ！

「ボクは手札からパペット・プラントを捨てて効果を発動！

相手の場の戦士族、または魔法使い族モンスターのコントロールを  
エンドフェイズまで得る！」

ボクはこの効果で悪シノビのコントロールを得るよ！」

なんとかこれで……あ

くず鉄のかかしと魔法カードが使えない事を喜びで忘れてた  
もしかして……詰んだ？

ザ・チャリオット

「えっと……アルカナフォース？—THECHARIOTを召喚！  
コイントス……結果は表！ 戦闘で破壊したモンスターのコントロール  
ールを得る！」

うあ——！ 何で忘れてるんだよボク！

せっかくの自律行動ユニットが——！

これでなんとか勝てると思ったのに、ボクの馬鹿——！！！！

ザ・チャリオット

「うう……THECHARIOTでアルテミスに攻撃！」

「お疲れさん、攻撃の無力化発動

攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる  
アルテミスの効果でドロー！」

しかもくず鉄のかかしさえ使われなかった！？  
く……屈辱！

「ターン……エンドです！」

終焉のカウントダウンの効果が発動される  
ボクの負け……だあ！

「俺の勝ちだな  
ちなみに伏せていたカード、教えてやろうか？」

「……教えてください」

デュエルディスク  
瑞貴さんは決闘盤からカードを抜いて見せてくれた

魔封じの芳香、神の宣告、神罰、昇天の角笛

……何をしても無駄だったって事だよね？

「ついでに、ワーム・リンクスを破壊しなかったのはハンデ  
お前は大量ドローしないと俺に勝てないだろ？  
なのに最終的に負けるんだからなあ」

ここまでハンデを与えられて負けるボクって何？  
う、泣きそう……でも我慢！ 我慢しない……とお……無理！

「（やば……言い過ぎた  
つい明日香を相手にするような対応を……  
泣かせるつもりは無かったんだが仕方無いか  
とりあえず泣き止ますにはこれが手っ取り早いよなあ）」

本格的に泣きそうになったけど、その直前に抱きしめられた  
あ……う……嬉しいけど何で？

「言い過ぎた、それに関しては謝ろう  
まあアレだ、よく最後まで諦めずに頑張ったな  
その点に関しては褒めてやる」

褒められるのは嬉しいけど……  
いいや、何か考えるのは後でも  
今はこの抱きしめられている事が大事  
うん、今はこっちの方がずっと大事だもん。

泣き止んできた頃になると放された  
もうちょつと抱きしめられてたかったなあ……  
でも、そうなるはずとずっとって言いそうだから我慢。

「一応約束は約束だ  
お前は今後、カミューラの部屋に住む事  
分かったか？」

「うん  
でもまたチャンスをくださいね？」

「気が向いたらな」

言質は取った、絶対にチャンスを貰おう！  
カミューラさんか……アンデットデッキを使ってきた人だっけ？  
あのデッキ破壊は凄かったなあ……凄く強かった。

確か吹雪さんと明日香さんの言い合いの間も寝てたっけ？



寝坊助さんなのかな？

ボクが頑張って起こしてあげないと！

こんな感じでボクの高校生活が始まった……まだ11歳だけどね  
頑張っている！　おーー！

『抱きしめられたなんていいなあ……いいなあ……  
私も抱きしめられたいなあ、夜に抱き枕じゃなくなって普通に……  
羨ましいなあ、羨ましいなあ……私も抱きしめてよーー！』

## 77話【新学期初決闘 瑞貴VSレイ】（後書き）

何故レイは恋する乙女を使用したデッキにしたの？

レイ自身が恋する乙女だからです

ボクの気は変わっていないと、瑞貴にアピールしました

瑞貴の評価は可愛い事をするが、自分には通用しない……だそうです  
瑞貴、お前は何者？

何故エンジェルパーミッションデッキなのに悪シノビを？

くず鉄のかかしなどを利用したドロー加速の為です

終焉のカウントダウンをドローしないと何もできないので  
デス・ラクーダも入っています但未登場、手札コストで捨てました  
モンスターを出せばラヴァ・ゴーレムに食われるので。

何故夜叉を入れたの？

明らかに嫌がらせ兼、伏せカードの回転を下げる為です

こういうデッキに使うと強うカードですよ……

他のバウンスにすると使うカードが多くなるので止めました。

まさかのストレートフラッシュを2枚積み！

3枚は無いので安心してください……何を安心するんでしょうね？  
レイのデッキは魔法カードを多用するの思いっきり刺さりました  
魔封じの芳香の効果も使われるので悪夢のようなカードに思えたでしょうね。

でもこれって城之内・舞コンビでしたよね？

瑞貴も試合を見ていましたから参考に……という事で

どうやって勝つか、終焉のカウントダウンにしよう

でもどうやってロックする？ なら魔封じの芳香にしよう

伏せカードが多いな……ならストレートフラッシュで消そう  
そんな感じで決まっていきました。

まさかのゴブリンのその場のぎ!

誰が使うと予想した事か、しかし作者は使う!

こういうデッキだと本当に役に立ちますね

マルファクシオン

誤作動も使いたかったのですがライフが……

それに罠カードは殆ど不要だったので未使用です、デッキに入っています。

どうして妙に使い所の難しいカウンター罠ばかり使うの?

瑞貴は完全に相手の行動を封じる事が嫌いです

ロックは好きな理由は相手の足掻く姿を見て楽しむ為ですので

……なのに全てに引っかかるレイは凄い子です。

レイはカミューラの部屋に住むんだ……

らしいですね。

最後のは?

マナです、スルーしてあげてください。

## 78話【今後の生活】（前書き）

余計な事を書いてたら間に合いませんでした  
ややこしいのでその余計な事はカットします  
またの機会にでも取っておく事にしましょう。

今回は特に何も有りません

彼女の今までの事などを説明する回と言えるでしょう

彼女の秘密が今、明らかに！

別にそんな大層な事じゃないですがね。

次回は間に合わせます

時間が無いのに余計な事をした今回は完全に作者のミスでした  
カットしましたが、暫くは出てきそうにありません  
いつになる事やら……

## 78話【今後の生活】

視点 瑞貴

小娘との決闘後、カミューラの部屋まで行く

崖で何やら数人集まっていたが無視、何をしているんだか……

そういえばこの時間だとカミューラは寝てるな  
まあ良いか、俺が起こすのなら文句は言わせない  
言うのは構わないが許さない。

「カミューラ、どうせ寝てるだろうが勝手に入るぞ」

「勝手に入って良いの！？  
というかまだ寝てるの！？」

小娘には少し待っているように言って部屋に入る  
うーん……酒臭いな、ワインでも飲んだのか？  
どうでもいいか、さっさと起こそう。

カミューラの寝ている棺桶を殴る

暫く殴る、まだ殴る、手が痛くなってきたが殴る  
疲れてきたので止めた……起きろよてめえ。

「何よ……嫌いわね」

「ようカミューラ、お前に頼みという命令だ」

「……夜にしてよ、眠いんだから」

「却下」

嫌そうな顔をするカミューラだが関係無い  
俺の命令に逆らえないお前に逃げ場は無いんだ  
諦めて俺の指示に従うんだな。

「以前の学園祭を覚えてるな？」

あの時にお前と戦ったガキが入学してきた  
レッド寮に住む事になったからお前の部屋に住ませる  
面倒だろうが頼むぞ」

「はぁ？ 何で私が……」

「お前、女だろ？」

この寮に住んでいる女はお前だけじゃないか  
ブルー女子寮に送ってもいいんだが……制服がレッドだからな  
苛めが起こる可能性も有る、よって却下だ」

子供だし、レッドだからな

見下す事の多いブルーに送ったら何をされるか……心配だ  
何故か好意を持ってくれてるんだ、あまり危ない目に遭わせるのは  
遠慮したい

やっぱり安全な方が良いだろう。

「どうせ何を言っても無駄なんでしょ？  
だったら構わないわよ、昼間は無理だけど  
それぐらいは構わないわよね？」

「十分、できるだけ頼むぞ」

「はぁ……好きにきなさい」

許可も半強引にもぎ取った

これで大丈夫だな、顔合わせをさせておくか。

表に出て小娘を部屋に入れる  
しかし……誤算が出た。

「おじゃましまー……ひ！」

「どうかしたか？」

「あ……あ……」

指を差す方を見てみると……髑髏だな  
何か変か？ 単なる飾りだろ？

「髑髏がどうかしたか？」

「どうかしたかって……骸骨ですよ！」

「見れば分かる、どれがどうした？」

理解できないという顔をされた……何故に？  
こんなのよく見てみたら……やっぱり単なる飾りにしか見えんな  
何を怯えているんだ？

「そういえばカミューラ、これって本物か？」

「本物よ」

「ひ！ あ……うう……ぐす」

「何故泣く！？」

意味が分からん！

何が怖いんだ！？

「あー……カミューラ、とりあえずまた夜に来る  
悪いがそれまで好きにしてろ」

「何なのよ……なら寝てるわ、おやすみ」

そう言って棺桶を閉めるカミューラ

小娘を部屋から出し、頭を撫でて落ち着かせる

おっと、鍵を閉め忘れてたな。

「それで、何が怖かったんだ？」

「だって、あれ……ひくっ、本物の、骸骨なんでしょ？」

「カミューラ曰く、そうらしいな

しかしどうやって手に入れたんだ？

昔にやんちゃした時にでも殺ったのか？

まあ仲間がしたのか本人がしたのかは分からんが……」

しかしカミューラの性格から考えると自分でした物かもしれんな  
昔、吸血鬼と人間の戦争みたいな事をしたらしいし



その時に殺した人間の頭蓋骨の可能性も高いな。

本物の頭蓋骨は良いねえ……なんというか、味が有るししっかりと洗って臭いさえ取れれば俺の部屋に飾っても良いぐらいだその内見飽きると思うからしないけど。

だがあいつの持っている水晶髑髏は欲しかったなでも拒否された、さすがにこんな事で命令はしないさが、どうしても欲しい！

仕方無いので金に物を言わせて水晶職人に依頼している依頼は貯まっているので完成まで数年と言われたのが残念だこの学園に居る間は手に入らないだろう数億もしたが……まあ欲しくなったのだから仕方がない。

「あの……仲間って何ですか？  
しかも本人がしたって、殺人じゃ……」

「うーん……どう説明するか  
とりあえず部屋に入れ、教えてやるから」

そう思った時、少し離れた所にフィールド魔法、天空の聖域が発動された

辺りが青空で一杯になり、更に雲まで出てきたさっきも見たが、誰が使ったんだ？

あそこは……絶壁だな

フィールド魔法を使うと辺りが確認できなくなるから困るもし下手に移動して崖から落ちたら洒落にならんなのはどうしてあんな場所でするんだか……危険だろうが。

「足元が見えなくて危ないから暫く動けないな  
下手に移動したら崖から落ちる」

「うん、フィールド魔法って怖いですね  
それをあんな場所で使うなんて……馬鹿？」

「俺達の時は森だったからな、木に気をつけるだけで良かった  
なのに何故絶壁で、そして海に面している場所で使ったんだ？」

例えば海に溺れている奴が居たとする

気分はまるで雲に溺れている状態

しかも陸が見えないから耐えるしか無い

もし下手に移動すれば岩にぶつかるかもしれないから危険だ。

暫く待つと天空の聖域が消えた

どっちが勝ったかは知らないが、どうやら終わったらしい

誰が戦ってたんだ？ 俺の記憶では天空の聖域の使い手は居なかったはずだが。

部屋に入ろうとした時、銀髪で白のスーツを着た男が通りかかった  
あいつは確か……雑誌やネットでも出てたな  
名前は忘れた、どうでも良いし。

ん……今、俺を睨んだ？ しかしそのまま去って行く  
初対面の奴を睨むなんて変わってる奴だな  
人種に依っては喧嘩を売っているように見られるぞ？  
俺はその程度の事では何とも思わないがな。

「あら、瑞貴にレイじゃない……レイ？」

何でレイがここに居るの!？」

「あ、お久しぶりです明日香さん  
この度私、<sup>わたくし</sup>早乙女レイはこのデュエル・アカデミアに入学しました  
よろしく願いしますね、明日香先輩」

「そうなんだ、よろしくねレイ  
で、瑞貴、貴方はレイに何をしたの?  
どんな裏技を使って入学させたのかしら？」

俺はお前の中だとも原因なんだな  
確かに色々としてきたからそうなるのは分かるが  
だがもう少し遠慮という物をだな……

「今回は俺は何もしていない  
こいつが努力した結果がここに居る理由だ  
KC社に乗り込んで強引に超難易度の入学試験を受けてきたらしい  
関心するよりも呆れが先立ったが……まあよく頑張ったと褒める所  
だな」

「えへへ」

少し褒めると嬉しそうにする  
が、それで終わらせたら俺じゃないと思う  
調子に乗らないように釘を刺しておくか。

「だが、お前はまだ11歳という自覚を持っておけよ?  
親だって心配していただろうし、同い年の友達はできないんだ  
それに、お前の強引な早期入学に嫉妬するような馬鹿が現れる可能性も有る

あまり1人で行動しない事、夜の暗い時間になる前にできるだけ早く帰る事

いいな？　ちゃんと守れよ？」

「は、はい……わかりました」

よろしい、ちゃんと真面目な顔になったから良しとしよう  
ご褒美として頭を撫でてやる、気持ち良さそうな顔だな  
実際、頭を撫でられるって男がされる側だとプライドから嫌がるんだよな

俺はそれよりも鬱陶しいという感情が大きいだろうが。

「（……瑞貴、それって明らかに父親の言葉よ？」

貴方の家では片親なのは知ってるけど、父親代わりでもしてたの？  
だから子供に甘いのかしら？　父親は娘に甘い事が多いし」

明日香よ、何故生暖かい目で俺を見る

怒るぞ？　怒って良いよな？　最悪殴るぞ。

「そういえば明日香

お前はさっきの天空の聖域が出てきた決闘デュエルを見てたのか？」

「見てたわよ

十代とエド・フェニックスの決闘デュエルね

興味有るの？　ちなみに十代が勝ったわ」

「別に無い、対戦相手を思われる奴がさっき通ったからな  
それに、天空の聖域のソリッドビジョンが邪魔で……

崖から落ちたり壁にぶつかったら危ないだろう？

使用者に後で説教せねばならん」

使ったたら室内で使うか、それとも何も無いような場所で使うか  
そこら辺をもっと考えて使えってな  
まったく、困った奴だ……面倒だから次に会った時にするか。

「説教って……相手はプロよ？」

「プロ？」

確かに何かで見た記憶は有ったが……プロだったのか  
プロには興味が無いからな……雑魚ばかりだし」

「雑魚って……（相手は仮にもプロなのに？）」「」

使っているカードが時々意味不明なんだよなあ

アイドルカードでも入れてるのかねえ？

俺だってテーマデッキやファンデッキは作るけど。

実際、玲に明日香や白黒、モノクロカミューラや小娘

ここら辺の奴らの方が圧倒的に強いしな  
全員でプロになったらかなり派手だぞ？

どうせ全員俺に関わってるんだ

見た目も良いし、俺がプロデューサーとかにでもなるのも有りか？  
こいつらを5人1組でチームを組ませて大会を総なめするのも良い  
さすがにアイドルグループみたいな活動はさせる気は欠片も無いが  
な。

リーダーは玲……と、言いたい年齢から考えて却下  
唯一の男性である白黒にモノクロしてもらう事になるだろう  
サブは明日香だろうな、性格的にも。

玲には小娘のコピーでもさせて一緒に可愛く着飾って元気に動いてもらうのも良い

カミューラは……派手さと豪華さを全面に出して美人さをアピールさせるべきだろう

明日香は派手さよりも格好良さ、凛々しさを出すべきだな、強気な態度をさせても良い

白黒モノクロは……お調子者とボケ、馬鹿担当の謎リーダーか？

やばい、楽しくなってきた

将来の活動の1つとして可能性と共に考えておこう。

ちなみに俺は表に出ないぞ？

見た目が悪いからな、良くて普通じゃないか？

100点満点で言ったら悪くて20点、頑張っても30点が精一杯だろう

さすがにそれ以下は遠慮したい……自分でもそれほど酷くは無いはずだ。

「なあ、唐突に思ったんだが

俺の見た目は100満点で数値化した場合何点ぐらいだ？

深い意味は無いぞ？ ふと思ったただけだ」

「瑞貴さんの見た目？

うーん……（どう言えば良いんだろう？

あんまり酷い点数だったら悲しいよね？

でも、悪くないんだし……60点？）」

「瑞貴の見た目ね……

（こういうのって数値化にすると失礼よね

あんまり言いたくないわ……なんだか気分を害しそうなもの  
まあ、実際に悪く無いのよ、良いとは言いい切れないけど……50点  
ぐらい？」

『(100点満点です！

私からすれば絶対にそうです！

……好きな人だからって理由を抜いたら70点ぐらいですけど』

『瑞貴の見た目……ね

(普通って感じだから40点ぐらい？

吹雪さんの方が絶対に格好いいわ)』

良い辛そうだな、そんなに悪いのか？

それとも気を遣ってるのか？

なんだか40点とか良さそうな数字が出そうだな  
気を遣った、機嫌を悪くさせない、返事に困ったから  
そんな感じの理由でな。

「何でも無い、忘れてくれ

自分でも馬鹿みたいな事を言った自覚は有る」

「(う……返事が遅かったから余計に傷付けちゃった  
早く言えばよかった……ごめんなさい)」

「(もしかして返事をしなかったから怒ってる？  
いえ、怒っているというよりも自分に呆れてるわね  
何を考えてあんな発言をしたのかしら？)」

『(あんまり見た目に自信が無いのかな？

私は気にしないから大丈夫ですよ！

貴方だから良いんですから!」』

『(自分で言って自分で困ってるわね  
そんな事になるなら言わなかったら良かったの  
はあ……何で私まで付き合ったのかしら?)』

やっぱり俺は裏方が似合うな

玲はともかく、学生組が卒業したら本気で考えてみるか  
勿論拒否権は与えるし、将来の事だから自由にさせるつもりだがな。

別に他から補充しても良いんだし

地獄を使うのも良いなあ……あいつを使えたらかなり美味しい  
見た目的にも、能力的にも、猫被り限定で性格的にもな  
モノクロ白黒もだが、カリスマもかなり高いから尚のこと使い易い。

カリスマと言えば電池もそうだな

妙に人気が高かったり、サンダーの件で人気も謎に高い

しかしあいつは駄目だ、俺では扱えない

あいつは自由にさせてカリスマを得るタイプだからな

実力とノリとテンションで人の心を掴む、モノクロ白黒や地獄とはタイプが  
違う。

似非……見た目に難有り、かなり微妙だ

顔は悪くは無いが、良いとは言えない……それなりのカリスマは持  
っているだけに残念だ

水色は論外、顔と身長が足りないし性格が大問題、選択肢に上げる  
事事態間違っている

隼人も当然駄目、太っている奴はアレだからだ……

顔がコアラに似ているという事でネタにしても一発ネタだしな。



その1やその2の場合は視野に入れても良いが、その1は性格が合わないし、その2は性格がアレだ保険が精一杯かな？ 見た目は悪く無いんだがねえ……

本気で探す場合、良い獲物を見つけないとなあ

どこかに扱い易くて、見た目もそれなり以上で、実力が高くて更に性格も悪く無く、俺が弄っても耐えられるような奴は居ないだろうか？

原作メインキャラじゃない一般生徒から拾う事も視野に入れておくか

……当然だが女子を優先的に、男は地獄や白黒モノクロで事足りる

女は多くても全く困らない、男も欲しいと言えば欲しいが難易度が更に高いしな。

……と、考え過ぎだな

どうせまだ先の事だし、今はいいか何か切欠があればまた考えよう。

「それで明日香、お前はこれからどうするんだ？」

「特に用事も無いし……部屋に行っていいかしら？」

「好きに

小娘と話しが有るから暇だろうけどな」

「それぐらい構わないわよ」

おい小娘、明日香が来るからってむくれるな

それぐらい我慢しろ、こいつはしょっちゅう来るぞ1回や2回で機嫌を悪くしていたら切りが無い。

とりあえず2人を部屋に入れる  
適当に座るように言っておく  
どう説明するべきか……まあ事実を言えばいいか。

「カミューラの件だったな  
どう説明するか……まあアレだ、カミューラは吸血鬼だ」

「吸血鬼？  
そんなのが存在するんですか？」

いや、そこは疑おうぜ？  
吸血鬼という発言に疑問を持ってよ  
嘘かと思うとかさ……

これは純粹なのか、馬鹿なのか、考え無しなのか  
それとも俺の言葉だからなのか……できれば最初が良いな。

「かなり昔の存在らしいがな  
中世時代辺りに生きていたらしいが、魔女狩りならぬ吸血鬼狩りの  
犠牲者で生き残りらしい  
数ヶ月前に事件が起こってな、その時に敵として出てきたんだ」

「それを瑞貴が悪魔との契約っていうのを使って手駒にしたのよ  
詳しい事はよく分からないけどね」

「悪魔の契約？  
それに手駒って……」

余計な口を挟むな、ややこしくなる  
順番に話すから邪魔をするな。

「悪魔の契約とは悪魔が人間と交わす契約の事だ

悪魔は契約には逆らう事ができない

そして人間の方は悪魔に願いを叶えて貰う代わりに魂を捧げる  
これが一般的に多く有る悪魔の契約だろう」

「じゃあ瑞貴さんは魂を抜かれちゃうんですか!？」

「一般的にと言っただろうが

俺がカミューラとした契約は勝負をした結果での契約だ

負ければ魂を奪われていただろうが、勝ったので問題無い

勝った時の契約内容はカミューラは俺に絶対服従を誓う事だ  
よってカミューラは俺に逆らう事はできない

俺が命令で縛っているから自衛以外で相手を攻撃できないようにしているから安心しろ」

まだあまり命令はしていないがな

そもそも俺がカミューラに命令している事は永続的な事が多い。

俺の許可を無くして人に危害を加える事の禁止

例外として、自己防衛の時は許可している

そうでなければ暴行される危険性が有るからな。

基本的にこれだけ

服装に注文は付けているが命令じゃない、できるだけと言っている  
しな

寮長だって仕事をさせているだけで命令じゃない……多分  
給料は好きに使わせているんだ、寧ろ俺からも与えている。

これだけ好条件が揃っているんだ

朝が辛い事を除けば殆ど自由だし、夜中はかなり好き勝手している  
そこら中を飛び回ったり、優雅にワインを飲んだりな  
何か欲しい物が有れば俺に言えば注文してやっているぐらいだ。

俺が時々何か起こす時は巻き込むが、それだけだ  
そういう時は高めのワインぐらい買ってやっている  
昼間に事が起こる事が多いしな、迷惑料って奴だ。

「吸血鬼って事で血だってやってるぞ？」

俺のじゃないが、一部の生徒から献血して貰っている  
ちゃんと保健室の注射器で採取して、それを飲んでいる  
勿論量は少ないが、偶に血液パックを買ってやってるんだ  
自分で好き勝手に吸えないだろうが、飼いきられている奴からすれば豪華だろ」

「飼いき死して……（瑞貴さんって何者？

もしかしてボク、かなり危ない人を好きになっちゃった？）」

「（私に比べたらずっと好待遇よね

まあ瑞貴専属の奴隷みたいな存在だから当然か

私は勝手に瑞貴と一緒に居るに近いものね

扱いに差が出るのは仕方無いか……

もし、私が瑞貴に雇われている状態だったら？

好待遇だったか、それとも同じような扱いだったか

気になるけど、訊いたらいけない気がするわ

更に悪いって言われる可能性も有るから怖いもの（）」

カミューラは美人だからな、馬鹿な男子生徒が集まる集まる  
献血の報酬は色々だな

一部は寧ろ自分から噛んでくれって言ってくるし……

カミューラに惚れてるのか？ 吸血鬼だって分かってるよな？

というか、カミューラが吸血鬼だと言う事

それはこの学園の教師は当然だが、レッド生徒にも教えている  
イエローとブルーで知っているのは一部だけだ。

偶にイエローやブルー生徒から自分の寮の寮長になってくれって言  
われるらしい

当然断らせている、俺の手駒だ、近くに置いておかないでどうする  
広いから管理が面倒だとも言っているのでカミューラ自身もお断り  
らしい。

それでも強引な手段に出る馬鹿は当然現れる

そういう奴は強引に気絶させ、吸血しているらしい  
寧ろもっとやれと言いたくなるな。

なお、性格はあまり合わないらしいが鮎川先生と仲は良いらしい  
血液や体の関係から友好が深まるのは当然だろう

お互いに愚痴り合ったり、雑談する仲らしい  
……稀に美少年に関しての話題が出るといふ噂も聞くが定かでは無  
いがな

それで小柄な男子は保健室に近づかないという噂も聞くが……俺に  
は関係無いな。

「カミューラは人間嫌いだが、今ではかなり丸くなったる  
カミューラ自身に危険性はかなり低い

殺人を犯している可能性も否定できないが、それでも昔の事だ  
今はそんな事はしないだろうし、できない」

「それでも怖いんですけど……」

「というか、私は何でこんな話しをしているのかが分かってないわ」

「小娘が俺の部屋に住むって言いやがってな  
しかも上からの指示だ

なので俺は小娘をカミューラの部屋に放り込もうとした  
しかしカミューラの趣味が怖いらしくてな……

本物の頭蓋骨を見て泣き出したんだ  
それでカミューラの事を教えている」

「……怖がって当然じゃない

（しかも本物の頭蓋骨って事は……

う、思わず人の死体想像してしまったわ  
ううう……忘れよう、私も怖い）」

どうした明日香、突然身震いなんてして  
もしかして怖いのか？

俺からすればまだ優しい方だと思うぞ？

まあ……いくら俺でも内臓は駄目だけどな

実物で見たらどうなるのか気になるが、さすがに怖い

医者がどれだけ怖い物知らずかよく分かる

彼らの感性はどうなっているのだろうか？

悪い意味で言うんじゃないが、そういう意味でも職業を選ぶな  
俺は命に関わる仕事は絶対にしないように気をつけよう

骨とかは平気だが内臓や臓物は無理だ……気持ち悪い

蟲がうようよと湧いているとか、そういうのは平気だけどな。

気持ち悪いの種類が違う？

気にするな、俺が一番怖いと思うのは人間だからな  
人間の感情が一番怖い……ん？ 話がずれている気がするぞ  
とりあえず俺は頭蓋骨程度は全く怖くないという事だ。

「あの……あの人と一緒に住むなんて無理です  
部屋も怖いし、まだあまり知らない人だから……  
それに吸血鬼なんて言われたら余計に怖くて」

あまりそういう差別は好きじゃないんだけどなあ  
俺からすれば白人黒人とか程度の違いだし  
血を吸う程度で何が怖いんだか……蚊と同じだろ  
吸う血の量と力が違うだけで何が怖いんだか。

「瑞貴、レイが慣れるまで暫く部屋に置いてあげたら？  
何回かカミューラと話していたら慣れるでしょうし」

「俺の部屋に異性を住ませろと？  
お前が何度も泊まりに来るが、それでも住んでないだろうが  
お断りだ、さすがに困る」

小娘も泣きそうな顔をするな  
そして明日香を睨まない、何を怒っている  
予想はできるがな、多分嫉妬しているんだろう  
明日香が俺の部屋に何度も泊まっているから。

少しむくれる程度だったら可愛いものだ  
偶に小説とか読むが、嫉妬したからって殴るようなヒロインは駄目だ  
見ているだけで苛々する……あまりの理不尽さに俺は絶対に受け入  
れられない。

小娘をヒロインと言う気は無いが、そんな事をしたら即関係を切つてやる

自分が悪いのなら謝罪ぐらいするが殴られる言われは無い  
勝手に嫉妬されて勝手に怒って自分勝手に殴る……殺してえ  
しかもそれが当然だと思ってるから始末に悪い。

っと、話が逸れたな、そもそも俺を相手にヒロインなんて出ないだろう

というか、俺からすれば現実のこの世界、ヒロインなんて呼び方は相手に失礼か

ヒロインなんて物語の世界だけの設定だからな、現実に合わせて嵌める事は厳禁だ

今後、ヒロインなんて単語を出す事を禁止しよう。

「仕方無いな、少しだけだぞ

早く慣れてカミューラの部屋に行ってくれ」

「うん！」

あーあ……なんて嬉しそうな顔をするんだか

安心という感情よりも嬉しいって感情が大きそうだな

つまり、カミューラの部屋に住むかもしれないという恐怖よりも俺と一緒に部屋に住むという方が大事なんだな。

嫌な気分はしないが……困るよなあ

俺は部屋で色んな事をしてるし

今度ヘッドホンを買わないとな……

盗聴器の内容を聞かれると困るし。

その後は特に何も無く、1日を終える事となった



明日香は当然追い出した、ベッドは空いてないからな  
不満そうな顔をされたが無視して強引に追い出した。

なお、色々と問題の有る風呂  
毎日は無理だろうが、数日に1度はブルー女子寮の風呂を借りるよ  
うにしよう

鮎川先生を丸め込んで可能にさせてやる

それ以外は体を拭くだけで我慢してもらおう。

……あ、マナを説明し忘れた

それにカミューラに俺の部屋に住まわせるとも言い忘れた

また明日でいいや、今夜はもうさっさと寝よう

色々と疲れたし。

はあ……おやすみ。

## 78話【今後の生活】（後書き）

あの頭蓋骨の持ち主って……

当然死んでいます

どうやって手に入れたかはご想像にお任せします。

エドが瑞貴を睨んだ？

みたいです、その理由はカットしました

後々出てきますので……お楽しみに。

……みんなのプロ化だと？

可能性の話です、そんなIfを見たいですか？

しないので安心してください

考えるのが面倒ですし、疲れます。

実際、瑞貴の容姿ってどうなの？

彼女達の平均点は55点でした

つまり普通です、性格も含めたらきつと更に下降していくでしょうね。

瑞貴は自分で自分の容姿をどう思っているの？

良くて平凡、悪くて微妙だと思っています

実際にそんな見た目なので仕方無いかと。

## 79話【移りゆく運命】（前書き）

超難易度の回でした

資料を探す時間、調べる時間、理解するまで、そして執筆  
どれだけの時間が掛かった事か……おかげで寝不足になりました  
朝の6時まで執筆している作者は馬鹿です。

内容に関して深く突っ込まないでください  
かなり頭を痛めています……難し過ぎ、理解する事も多い  
とにかく疲れました、軽く流してくれると助かります  
ついでに、時間的には始業式前の話です。

それと、どのカードが誰かという事は予想するだけにしてください  
感想に書かないでくださると助かります  
今回は前書きにも書きました、感想で予想を書かないでください。

タロット占いって自分で自分もできるんですよ？  
試しに自分で自分を占ってみました。

正位置の魔術師

奇抜、才能、創意、変化、開始、好奇心、意志力、独創性、創造力、  
応用力、出会い

小説を書く上ではかなり嬉しい内容でした。

明日の事も試しに占ってみました

正位置の女教皇

直感、知性、安心、満足、期待、聡明、ゆとり、雰囲気、安らぎ、  
清らかな心

……これは嬉しいですね、休めという意味でしょうか？

いや、小説は続けますけどね。

この小説の未来も占ってみました  
出たのは逆位置の死神……

再生、回復、復縁、復活、再来、更新、転換、再出発、やり直し、  
仕切りなおし

要は初心に戻れという感じの意味ですね、仕切り直しともありますし  
第2期の始めなので丁度良いカードが出てきました  
……ちよつとだけタロットが怖いと思ったのは内緒。

ん？ 作者はタロットを持ってますよ？

玩具みたいなのですが、それでも占う事ぐらいはできます  
本格的なタロット……買ってみるのもいいなあ

そう考えている作者です、ゲームを一気に買って金が無いのに。

次回はまあ……色々ですね

ある程度考えているので大丈夫でしょう

とりあえず今夜は早く寝ます、眠いので……

## 79話【移りゆく運命】

視点　??

「どうしても関わってはならない相手？」

「そうだ、奴と関わってはならない

お前を成長させるどころか、壊してしまう

話すだけならまだしも、絶対に決闘<sup>デュエル</sup>をしてはいけない」

「そいつの……名は？」

不満そうだな、それも当然か

お前の存在を脅かすと言われて自然で居るの事は難しい  
だが、これは言っておかねばならない。

「……堅守瑞貴

彼を占って出たカード……結果は正位置の塔のカード、正位置の意味

それは困難、苦境、崩壊、破滅、破綻、破局、疎遠、革命、事故、  
離婚、争い、爆発、暴走

積み上げてきた物が行き詰まり、続けるのが困難、そして崩壊へ…

…塔はタロットの中でも最悪のカードだ

彼自身だけでなく彼の関係者にも近づく事を禁じる

彼の守りは強固だ、そして内に入った者は確実に守り抜く

もし下手に関われば彼の怒りに触れ、最悪の事態も考えられる」

「そんな奴がああ学園に？」

信じられそうにないな  
だが、事実だ……私自身も信じられなかった  
しかし信じるしか無い。

「彼は内側にあらゆる物を溜め込むだろう  
怒り、不満、悲しみ、嘆き……そしてそれらは全て敵に向かう  
彼の力は私とは別の意味で巨大だ、努々忘れるでない  
改めて言おう、彼と彼の関係者には絶対に近づくな」

「（それは八つ当たりと言わないか？）分かった  
だが、もし相手から来た場合はどうすればいい？」

「安心しろ、それは無い  
彼のカードは塔、自分からお前に関わる事は無い  
彼が自分から関わってきた時、それはお前が何かミスをした時だろう  
その場合、なんとしてでも逃げるのだ……壊されてからでは遅い  
何をするにしても、絶対にミスをしてはならない、いいな？」

「了解だ  
ではボクはデュエル・アカデミアに行く  
君に言われた通り、遊城十代を試す為に……ね」

「ああ、気をつけて行くんだエド  
絶対に堅守瑞貴と関わらないようにな」

「……………ああ  
君の運命には逆らわないよ、斎王」

部屋から出て行くエド  
その時に私の意識は既に別の方向を向いていた。

塔のカードは神の裁きも表している

神の裁きに当て嵌まる事……それは彼自身の怒りとも考えられるだが、塔のカードからすれば神の裁きは彼自身に向けられるはずならば何故、彼自身は崩壊の運命に向かわないのか……

改めて堅守瑞貴を占ってみる

すると……なんだ、この形は？

塔の付近には5枚のカードが並び、離れた場所に1枚のカードが置かれている

最後の1枚を除いた全てのカードが塔の付近に位置しており、塔を守っているかのような

しかし……塔とは様々な目的で建てられている建造物。

例えば、神の住んでいる天まで行く為に作られた神聖なる塔  
例えば、軍事的な目的や時計塔などを目的とした機能的な塔  
例えば、電線などを繋ぐ鉄塔などの為に使われる科学的な塔

神聖なる塔の場合はあまり考えられない

科学的な塔も少々難しいだろう

ならば機能的な塔を意味しているのだろうか？

タロットとしての意味での塔を考えると……やはり不幸の象徴だろう。

不幸を象徴し、最悪と言われている塔のカード

逆位置の塔の意味ならば納得もできよう

意味は再生、解放、崩壊、再開、復縁、復活、開始、事故、再出発  
今までの自分に終止符を打ち、新たな自分を始めるという事だ。

だが彼の場合は正位置、不幸しか呼ばないカードだ  
しかし彼の運命は崩壊していないのだ……剩りにも不可解  
この5枚のカードがその崩壊しない運命の理由だろうか？  
だが最後の離れた場所に置いてあるカードが謎だ。

最初の1枚目……正位置の女教皇

意味は直感、知性、安心、満足、期待、聡明、ゆとり、雰囲気、安  
らぎ、清らかな心

女性の中でも位がとても高い者を差すカード  
おそらくは彼の最も信頼する味方……そう思われる。

しかし納得ができない

塔の側に居て女教皇は安心、安らぎが得られるのだろうか？

女教皇ほどの知性の持ち主ならば有り得ない

一応、小アルカナも使用して調べてみるか……

小アルカナ、逆位置のソードの4のカード

意味は回復、活気、再開、復帰、支援、支持、協力、準備が整う  
なるほど……塔で力を溜めているという事だろうか  
かなり厄介な相手だろうが、どこまで伸びるか……

更にもう1枚、ペンタクルスの2の逆位置のカード

意味は安定、堅実、将来、希望、喜び、幸福、方針、兆し、可能性  
不安定な状況から将来に向ける意味を持つカード……この者は過去、  
将来に絶望を感じたのだろうか？

しかし、今は先の事で良い未来が見えているようだ

この者は大化けするかもしれない……既になっているかもしれないな。

それぞれのキーワードを合わせて考えてみる

女教皇は精神、ソードの4は休息、ペンタクルスの2は流動か……



この者の精神は流動するも、休息により安息も得ている事となる。

どうやらこの者にとっての塔は信頼できる相手のようだ  
流される事も多いが、それでも休息ができる……

心からの信頼、塔の恋人だろうか？

2番目のカードは正位置の節制

意味は調節、節制、安定、儉約、堅実、適応、順応、適切、恋愛、  
状況管理、恋愛の進展

バランスが良く、安定した力を使える意味も持っている  
あまり見られないカードだが……何者だろうか？

だがこちらにも納得できない

安定や堅実を考えられる節制が何故不幸の象徴である塔と共に居る  
のだろうか？

やはり調べる事が一番の近道だろう。

ワンドの8の正位置のカードか

意味は急変、展開、流れ、加速、即決、好転、拡大、期待、展望、  
チャンス到来

今までの流れや状況が大きく変わったという事だ

塔が節制と大きく変化させた？ 不幸の象徴が好転させたのか？  
信じられん……しかし、次のカードを見てみれば分かるだろう。

ソードの8の逆位置のカード

意味は自由、解放、出口、脱出、突破、救済、克服、改善、無制限  
拘束から抜け出すチャンスが訪れ、自由になったという意味を持つ  
カード

拘束の原因が塔だと仮定したとしても変だ  
何故節制は塔から逃げ出さないのだ？

キーワードの組み合わせ

節制は調節、ワンドの8は急変、ソードの8は束縛  
急変からの調整、そして束縛から逃れるという事だろうか？  
自由になってからも塔と共に居るのが気になる。

可能性としては節制の恋愛だろう

節制は塔に束縛され、急変した

しかし自らを調整して、安定させていった

最後は拘束から脱出したが、恋をした塔から離れられない。

おそらく、これで間違いは無いだろう

問題はこの者の未来が見通せないという事だ

今までの私の予想は全て過去の事

女教皇のように未来まで見通せなかった。

3番目のカードは正位置の太陽

意味は陽光、魅力、結婚、恋愛、恩恵、達成、成就、満足、信頼、  
恋愛、友情、兆し、可能性

太陽は陰陽の陽を意味し、男性を意味する事も有る  
更に神と崇められる事も有る太陽だが……何故塔に裁きを与えない  
のだろうか？

ワンドの9の正位置のカード

意味は吉兆、朗報、試練、忍耐、信念、結果、待機、報酬、待つこ  
と、良い知らせ

今までの努力や苦労が実るカードだが、同時に今は耐える必要の有  
る時期をも意味する

太陽は己の目的を達成する為、努力してきたのだろう  
しかし塔との関係が分からない。

カップの4の逆位置のカード

意味は充実、満足、援助、救済、同情、共感、再会、再婚、手助け、協力者

様々な状況で満足感や充実感を得る事ができ、積極的になれるという意味を持つカード

考えとしては再開、共感、協力者辺りが塔の事だろう

だがやはり不幸の塔と関係が結ばれる意味が分からない。

キーワードの組み合わせ

太陽は陽光、ワンドの9は待機、カップの4は不満

これらから察するに……塔の何かに不満を持っているのだろう

しかし、陽光の暖かさから待機せざるを得ず、今は耐えている……

現在は将来の為に積極的になっているのだろう。

太陽が塔に裁きを与えないのはこれが理由か

今は耐える時であり、将来の為に待つ

己の可能性を信じるも不満であるが必ず達成してみせる

そのような意志を感じられるな。

だが、この太陽の性別が分からない

太陽は主に男性を意味する事が多いのだが、女性のようにも思えるイマイチ分からないが、その内分かるだろう。

しかし謎が残るな

デュエル・アカデミアに居るのなら将来にそこまで関係する事は少ないだろう

未来の意味を持つカードが何枚も出ているのだ

太陽は子供の可能性も考えられるな。

4番目のカードは逆位置の死神……あまり良いカードとは言えないな  
意味は再生、回復、復縁、復活、再来、更新、転換、再出発、やり  
直し、仕切りなおし

どうも過去に不幸が起こったらしいが、全てを一新させているのだ  
ろう

しかし未来が見えない……私の力が及ばない相手なのだろうか？

力が及ばなかったのは節制も同じだ

この2名の未来を見通す事はできなかった

塔と共に居る節制と死神は何者なのだ？

ペンタクルスの5の正位置……これもあまり良いカードではないな  
意味は絶望、惨め、貧困、苦境、失敗、損失、失望、苦痛、憂鬱、  
自己不信

何か不幸な事が有ったのだろう、これは過去を表すカードだ  
やはり未来は見えないが、死神はどうなったのだろうか？

ソードの3の逆位置のカードか

意味は失敗、過ち、破綻、虚偽、不倫、不義、離婚、別れ、再建、  
再開

今までの関係や問題を捨て去る事で新たな状況、可能性を秘めたカ  
ード

なるほど、塔が以前の関係を捨てさせる事となったのだろう。

キーワードを組み合わせる

死神は苦境、ペンタクルスの5は絶望、ソードの3は破局

苦境と絶望を越え、以前の関係が破局してしまったと考えられる

逆位置の死神の意味、再生や復活でどこまでやり直せたのだろうか？

私としてはどうしても死神の未来が気になる

この者の過去から、将来どう進んでいくのかが……  
なかなか上手くない……が、これでどうだ！

……小アルカナ、ワンドの王の正位置のカードか

意味は独立、独歩、誠実、知識、自信、進歩、信賴、計画、友情、  
男性

死神のカードも合わせるとかなり良くなりそうだな

キーワードは独立、仕切り直しからの独立とも考えられるだろう  
今後、死神は頼られる事に喜びを感じるようになるだろう。

だが塔との関係はなんだろうか？

意味はともかく、お互いに不幸や厄災などを表しているカードだ  
傷の舐め合いをしているとも思えるが……そこに愛情は全く無いな  
逆に嫌い合う可能性も有るのだが、それならば何故死神は塔と共に  
居るのだろうか？

5番目のカードは逆位置の法王

意味は誤解、不安、反感、悩み、悲観、狭い心、自己完結、狭い視  
点、落ち着きの無い心

この法王の存在により、何か塔に悪い事が起こると思われる

逆位置の法王は不安定な状況、気持ちの乱れから悲観的になったり  
消極的になったりする

そのような意味を持つのだが……今までとは違い、塔に不幸を与え  
る者だろう。

離反するか、それとも自分勝手に暴れるかのどちらかだろうか？

何も干渉せず、無視していれば向こうから勝手に来る可能性が高い  
できればこちらからも動きたいのだが……安易に手を出すと痛い目  
に遭うだろう

今はまだ、塔の中に居る者なのだからな。

カップのAの正位置、矛盾しているな  
意味は愛、愛情、恋愛、喜び、幸福、満足、充実、明瞭、解明、始まり

前向きな気持ち、積極的な心理状況を表すカードのはずだが逆位置の法王からはとても想像できないカードだ。

しかしこのカードは愛を意味している  
塔に反感する可能性が有るのに愛？

意味が分からない、何とも厄介な法王である。

ペンタクルスの7の正位置……微妙だ  
意味は節目、懸念、不安、心配、転機、後悔、挫折、悲観的、やり直し

今までの努力や可能性に未来を見出せなくなってしまったという意味を持つ

今後、この法王はこの想いに嘆く事になるだろう。

キーワードを組み合わせる

法王は包容、カップのAは恋愛、ペンタクルスの7は節目  
何とも統一性の無い組み合わせだろうか  
どう組み合わせるべきか分からないではないか。

誤解から節目に入り、恋愛に走る？

私はこのようにしか解釈できなかった

この法王は何者なのだろうか？

節制や死神とは違う意味で謎の人物である

何か過去に大きな変化でも起こったのだろうか？

だが全てのカードが複雑に絡み合っているので読み取りにくい

私にはどうしようもできないな。

最後の離れたカード……それは正位置の皇帝

意味は父、親、男性、威厳、実行力、統率力、指導力、決断力、積極性、目的達成、願望成就

前向きな行動と思考が望み通りの未来を作り出す、そして自信を持てば成功に繋がる意味を持つ

己の信念で未来を切り開く者だろう、この者の心を折る事は並大抵の事ではできまい。

カップの5の逆位置のカードか

意味は復活、希望、期待、実現、再開、幸運、可能性、きっかけ、チャンス到来

過去の失敗故に、新しい始まりから成功や将来へと繋ぐ意味を持つカードだ

皇帝の意味も踏まえ、目的の為に過去を失敗したのだろう  
そしてそれを切欠にして新たな始まりとなる……か。

再びカップ、だが王の正位置のカードだ

意味は自己、自分、本心、義理、人情、勇気、自信、責任感、年上の男性

自分を理解し、自分に正直になる事、そして本当の気持ちを言う事が成功への道となる

塔から見て、年上の男性なのだろうか？

このカードは将来の意味も小さくだが含んでいる、未来はかなり良い方向に向かうだろう。

キーワードの組み合わせ

皇帝は統率、カップの5は失望、カップの王は自己

自己を統率させ、昔の失望を乗り越えたと考えるべきだろう

過去の失望から未来へと進む……か。

この皇帝は塔とどういう関係なのだろうか？

少々難しい課題だな、何か塔との関係で大きな変化が起こったのだろうか？

さすがの私でも、過去に誰が行ったかまでは見る事はできない  
私にできるのはあくまで占いだからだ。

最後にこれら7つのカードの起こす結末を表してみよう

何が出てくるか……なんだと！？

馬鹿な！ 逆位置の塔のカードだと！

逆位置の塔の意味……それは再生、改革、解放、再建、崩壊、再開、  
再婚、復縁、復活、開始、事故、再出発

今までの状況に終止符を打ち、新しい状況が始まる……

そして新しい始まりの先には過去を上回る幸福が待っている

塔達の未来は塔となるか……こんな結末は初めてだ。

しまった、塔の小アルカナを調べ忘れたな

一応調べておくか、これで塔の事を少しでも分かると良いのだがな  
さて……どうも気になるので2回では足りない気がする

多くなり、様々な運命が複雑に絡み合うだろうが数を増やしてみる  
か。

1枚目、ワンドのAの正位置

意味は出発、開始、誕生、創造、発見、躍進、第一歩、可能性、芽  
生え

新しい状況の始まりの迎え、可能性や期待の広がり、そして気持ち  
の変化を表している

1枚目にこのカードが出たという事は過去の事だろう



何が始まったのか、とても気になる所だがこれ以上の過去が見えないのは何故だ？

2枚目、カップの王子の正位置

意味は明確、明瞭、純粹、安定、自由、情熱、少年、少女、可愛さ、誠実さ

気持ちを伝える事ができ、真面目に答えや結論が出せて安定した状況を表すカード

不幸を象徴する塔とは思えないような純粹なカードだ……謎だなこれは今の事だろうか？　あまりそうは思えない気持ちは何故だろう？

最後はペンタクルスの王の正位置

意味は協力、収束、成功、経験、権力、調整、男性、影響力、人間関係、協力関係

良い人間関係や協力関係が現状を安定させ、安心でき、将来の可能性まで広げる意味でもある

これは未来だな……何が塔をここまで成長させるのだろうか？塔とは思えないまでの良い未来ではないか。

キーワードを合わせてみる

塔は崩壊、ワンドのAは開始、カップの王子は明確、ペンタクルスの王は関係

生活の崩壊から始まり、現状は明確になっていく  
そして将来の関係は良好……何度見ても塔とは思えない。

塔を扱う方法……何か無いだろうか？

厄災しかもたらさない塔を私の意志で動かしたい  
だが、そうなる周りの女教皇達が邪魔になる。

これらを排除すれば塔からの報復が来るであろう  
なんとも謎だ……裁きを受けるべきは自身のはず

何故塔は己は裁きを受けず、他者に裁きを与えられるのであろうか？

可能性としては太陽の存在

太陽は本来、塔に裁きを与えるべき立場の者だ

何故太陽は塔に従っている……

待てよ？

女教皇、節制、太陽はどれも安らぎや安心、信頼などを意味している  
これらは本人だけでなく、塔にも影響を与えているのだろうか？

まさかこの5枚の者達は己だけではなく、塔にまでその効果を与えているのか？

可能性は有る……この者達が塔への己自身を裁く神の怒りから逃れさせているのだろう

この者達を塔から引き剥がせば、おそらく塔は自滅していくと思われる。

だが、この者達は塔の加護を得ている者達

離れている皇帝も同じく加護を受けているだろう

そうでなければ、塔と関係をしていないからな。

塔は先ほども話したが様々な役割が有る

やはり機能的……軍事的や時計塔などのような者か

塔はその機能的な力を生かし、彼らに加護を与えているのだろう。

科学的には無いだろうが、ここまで占えば神秘的な塔を意味している可能性も否定できない

神へと案内する為、天まで届くように建設された神の塔

そう考えれば己が裁きを受けないのは当然かもしれないな。

しかし、人間は神にとって塵にも等しいとても小さな存在だ  
人間が神の居場所に辿り着こうなど、烏滸がましいにも程がある  
塔を昇っているであろう、太陽達こそ裁きを受けるかもしれない。

裁きを与える立場の太陽は神の裁きを受けるだろうか？

可能性は低いが、太陽とて人間

塔から奈落へと突き落とされる可能性も否定できない。

……いや、見方を変えて考えてみよう

例えば……この太陽達は塔に守護されているのではなく  
逆に塔を守護していると考えてみるのはどうだろうか？

しかしそうすると、相変わらず離れた場所に存在している皇帝が分  
からない

皇帝は塔を守る意味が無いとでも考えているのだろうか？

それとも何か絆などで結ばれている……か？

仮に、この仮説が正しいとしよう

となると塔に昇るのは誰だ？

守護者達は塔に昇るとは思えない。

考えられるのは塔に関わる者達

それも、太陽達とはまた別の存在

例えばこの者……正位置の愚者、遊城十代

そして塔と共に居る者とは違う正位置の法王、エド・フェニックス  
彼らが許可無く塔に昇り、不幸となるかもしれない。

可能性は高い、故にエドと塔を会わせるのは危険だ

何を捨ててでも、塔と関わらせる事は避けなくてはならない  
エドには何度でも忠告しよう、決して塔と関わってはならない……  
とな。

しかし、これはあくまで私の2つ有る仮説の1つ  
確実では無いので関わらざるを得ないとは思っている  
私自身が……会わねばならない時もあるだろう。

何度か占ってみる

私が彼に勝てるかどうか……

……

……

……

数回、いや数十回と占った

様々なパターンを予測した、考えた

周りも巻き込む事まで含めて考えてみた

しかし、出てくるのは全て……逆位置の戦車。

逆位置の戦車の意味

それは失敗、暴走、事故、困難、障害、悪戦苦闘、現状維持、精神  
的疲労、スキャンダル

不安定、混乱している状況を打破できずに前に進めなかったり、感  
情的になって暴走してしまう意味も持つ  
敗北の意味さえ持っている……

つまり、私は何をしても塔に勝つ事ができないというのだろう  
エドだけではなく、私も近づいてはならないだろう  
塔の関係者に関わる事も全て許されない

私は塔に逆らう事が……できないだろう。

下手すれば、私が何かをしたら敵対されるかもしれない  
どうにかして塔と敵対しないようにしなければ……  
敵対しない為、再び考えなければならぬ。

勝つ為ではなく、戦わない為に……

塔に関わらないようにデュエル・アカデミアに行かなければならない  
私は……どうすればいいのだろうか？

## 79話【移りゆく運命】（後書き）

所々意味が違っているような……

タロットは本、サイト、資料

それぞれ内容が少々異なるそうです

なので気になった人はこの内容だけを鵜呑みにせず  
自分でも色々と調べてみてください。

塔って守るって意味は無いよね？

説も色々と有ります

塔という建造物の意味も考えたりすると守護の意味も現れます  
調べれば調べるほど、作者の頭は痛くなっていく……

誰がどのタロットのカードなの？

秘密です、簡単でしょうが……それでも秘密です

予想するのは構いませんが、感想などに書かないでくださると助かります

何度も何度も言われて鬱陶しいと思うかもしれませんが……

最後のは……

つまり、そういう事です

斎王は塔に勝つ事が絶対にできません

ネタバレ？ 知った事じゃ無いですね

斎王がどう足掻くのか……楽しみじゃないですか？

彼には頑張ってもらいましょう

しかし……斎王って第2期のラスボスなのに主人公っぽいですね  
塔の彼がそれだけ酷いんでしょうけど。

## 80話【新1年生達】（前書き）

色々としていたら遅れました

やっぱり出すのは止めればよかったのかとちょっと後悔でも、色々するには出したかった！

今回からキャラを更に増やします！

色々と考えた結果、TFのキャラを出す事にしました

数名の候補から2名、今後はこの2名がサブキャラとして出てきます  
何故あっちにいなかった！ などは一切受け付けません  
諦めてください。

今回は1年生達の話です

TFシリーズでは同じ年でしたが、都合上1歳年下にしました  
都合の理由は単にTFを買ってキャラを知った時期ですね  
どう切りを良く出すか……もう年下にしてここで出せばいいや！  
という事になった結果が今回です。

次回はなんとかします

今回はこのTFキャラに時間を取られました

ある程度キャラは掴めたので今後は大丈夫だと思っています

まあ……サブキャラ以上にするつもりは有りませんけどね。

## 80話【新1年生達】

視点 瑞貴

さて、小娘が俺の部屋に住み始めた翌日の朝  
上のベッドで暢気に寝ている小娘を見て……どうしてやろうか？

とりあえず起こそう、もうすぐ授業が始まる時間だし  
放っておけばこのまま寝ていそうだ

小学生と高校生では学校の時間が違うんだぞ？

それに、小学生の時は家でギリギリまで寝て飯は食えた  
だがここは家じゃない、飯を食うなら規定時間までに食わなければ  
ならない

このままだと飯抜き……さすがに初日でそれは可哀想かな。

「起きろ小娘」

とりあえず声を掛けたが、当然起きない  
次は揺すってみる。

「んう……………すー」

身動きはしたものの、やはり起きない  
面倒になってきたな……  
起きなかったらどうなるのかその身に教える為  
このまま起こさないままにするのも有りか？



「んー……あ？」

「起きたか小娘」

「瑞貴さん？」

「……なんだ、夢か」

そう言って再び目を閉じる小娘

俺を夢扱い？　これは殴っても良いんだよね？  
が、最初からはどうかと思うのでチャンスやる。

「起きろ小娘！」

さっさと起きないと拳骨だ！」

「拳骨！？」

一気に覚醒し、頭を隠すように押さえる小娘  
……やっぱり馬鹿だな、こいつ。

「あれ？　拳骨は？」

「俺は起きないと拳骨と言ったはずだが？」

「えーっと……瑞貴さん？」

「他に誰が居る、寝ぼけてるのか？」

ここはデュエル・アカデミアで、オシリスレッドの寮だ  
お前は昨日からここに住む事になったんだろうが」

何故俺がこんな説明を……ゲームのオープニングかよ

まあ初日だから仕方無いかもしれないけどさ。

「お前は昨日から寮生活

飯の時間も決まってるし、学校も高校だから早い  
今までと同じような生活だと勘違いするな」

「は、はい……ごめんなさい」

「暫くしたら朝飯だ

ギリギリまで寝かせてやったんだから感謝しろ  
俺は少し部屋から出ていてやるからさっさと着替えろ」

小娘を無視し、さっさと部屋から出る

着替えを覗くなんてハプニングが起こさないぞ  
なんだ、そのギャルゲーは……絶対に嫌だ！

少し待っていると小娘が部屋から出てきた

着替えしかしてないな、もう少し身嗜みをだな……  
まったく、女の子なんだからもう少し見た目に気を遣ったらどうだ？

「少し待て、部屋に戻るぞ」

「へ？」

強引に部屋に押し込み、洗面所に立たせる  
何事かと思っているので一言。

「顔ぐらい洗え

目脂を付けたまま大勢の前に出る気か？」

顔を赤くしてさっさと顔を洗う  
あーあ、髪も寝癖ができてる  
櫛はどこに置いたっけなあ……

えーととととと……有った  
櫛を持っている理由か？

俺の髪型は後ろに垂れ下げるようにしているポニーテールだぞ  
櫛が無くてでもできるが、有った方がやりやすい。

タオルで顔を拭いている小娘の後ろに立ち、髪を解かす  
何を驚いた顔になってるんだ？

「俯くな、できないだろうが」

渋々と顔を上げて俺にされるままになる  
なお、やはり顔は赤かった  
確信犯という奴だ、半分以上はこれが目的だ。

和むねえ……これが癒しか  
この1回の為だけでもこいつを住ませた元は取れるな  
何故なら、俺には、安らぎが足りない！

学校に行くレッドからのし上がった俺に嫉妬の目を向けるレッド  
生徒とイエロー生徒  
のし上がって自分達と同じ位置に立ったのが気に入らないブルー生徒  
更に、態度が良くない俺を嫌っている大半の教師達。

それだけじゃない

明日香はあれでも何故かアイドル的存在  
見た目が良いし、性格も悪くないから当然とも言えるだろう

その明日香と一緒に居る俺が気に入らないブルー生徒達。

美人寮長、カミューラに命令できるのは俺だけ

馬鹿な考えで近づいた奴は無視される

だから俺に不満が大きいレッド生徒達。

見た目は超美形、性格……難有りながらも良し、実力も高い

去年はレッドながら、怒濤のテスト内容と真面目な態度に実力と元々はブルー

それらの理由で一気にブルーに復活した天上院吹雪こと、白黒モノクロ

で、そいつの行動の決定権を持っている俺が邪魔なブルー女子達

ちなみに白黒はまだレッド寮に居座らせているのでまだこの寮に住んでいる。

別に好かれようと行動しているつもりは無いんだが

だからといってここまで嫌われるような事もした覚えは無い

原因は予想だが、大方合っていると思う。

既にそういう視線を島に帰ってきてからずっと感じている

時には態と聞こえるように言ってくる馬鹿も居る

正面から言われた事も数回だが有る。

別に俺は悪く無いはずなんだが……

明日香は寧ろ勝手に向こうから来る事の方が多い

カミューラに関しては勝負の結果、当然の権利だ

白黒モノクロの場合は俺にどうしろという感じなんだが……

つまり、俺の気が休まる時は自室に居る時だけ

不登校になりてえ……引き籠もりになりたい

が、それをするとな成績が落とされるので仕方無く我慢。

そして小娘が来たからもつと気が休まらないと思っていた  
だと思っていたらこれだ、心から助かる  
逆に手放したく無いぐらいに思えるが、それはしない。

異性が同じ部屋に住むというのは精神上あまり良くない  
小娘の成長や性格に悪影響が出たら大問題だ  
できればブルーに送りたいんだが……そうすると女子達が煩いんだ  
よねえ。

子供が、レッドがって理由で苛めが起きそう  
危ないのでとてもじゃないが送り出せない  
今の内にブルー女子の友達を作ったり実力を示す  
そうすれば2年生になった時や3年生になった時にはブルーに行け  
るはず。

早く出て行ってもらう為にも、さっさとブルーに上がってくれよ？  
俺が色々と楽になるんだからさ。

そんな事を考えている内に髪を整え終えた  
うーん……括りたいが、ストレートでいいか  
許可を出してくれれば考えておくがな。

# 「朝飯」

それだけ言って部屋から出る  
少し経ち、意味を理解した小娘も付いてくる。

食堂に入ると数名の生徒がこっちを驚いた目で見てくる  
女の子が入って来たのだから当然だろう

恐縮している小娘を引っ張ってさっさと席に座らせる。

気にするなと言っただけ言っただけ俺はさっさと食い始める  
それでも気になってるみたいだが、少しずつ食い始める小娘  
暫く様子を見ていた生徒達も落ち着いて食い始めた。

しかしやはり気になるらしく、全員が小娘を見たり見なかったり  
小娘もどうも落ち着きがなく、ソワソワしている  
これを毎日、朝晩とするんだが……わかってるのか？

当然、俺の方が先に食い終わる  
しかし放って戻るのとはどうかと思うので仕方無く残ってやる  
あんまり遅いとさっさと部屋に戻るがな。

しかし、そんな心配は無かった  
小娘は早くここから離れたかったらしく、急いで食い始める  
あんまり掻きこむと体に悪いぞ？

「ごちそうさまでした！」

「食い終わった食器は奥に置いておけ  
今日の担当者が皿洗いをするから」

「担当者？」

「担当の日になったら教えてやる」

カミューラが寮長になってできない事  
それは食器洗いや洗濯である。

カミューラは吸血鬼なので流水が苦手だ

そして日の光にも弱いので昼間は行動できない

ならば生徒に協力させれば良いだろうという事になった。

元々、何故かカミューラを手伝っている奴が居たからな

全員揃っている時に交代制で食器洗いや洗濯を担当する者を決める事にした

今夜にでも、新入生も入れてそのスケジュールが決められるだろう。

なお、俺はレッド生徒ではなくブルー生徒という屁理屈からしていい

イエローの時も同じ理由でしてなかった

小娘には当然させる、それがレッド生徒に課せられた仕事だからだ。

とりあえず部屋に戻ったが……する事が無いな

今日する事は新入生の挨拶とか、そこら辺だけだ

授業とかも当然無いので持っていく物が殆ど無い。

「お前は何か準備する物とか有るか？」

俺は殆ど無いからもう行こうと思っているんだが」

「ちょっと待ってください

えっと……デッキは持ったし、筆記用具も持ったでしょ？

他に必要な物、必要な物は……」

いや、それだけ持てば十分じゃないか？

別にする事は殆ど無いぞ

実際、去年の入学式ではそれだけで済んだしな。

「それだけ有れば十分だろ、さっさと行くぞ」

「お、置いてかないでください！  
すぐに準備して行きますから！」

……………なんだか気に入らないな  
これだと疲れる、止めさせるか。

「そういえば昨日から思っていたんだがな」

「なんですか？」

「敬語を止めろ、普段通りに話せ  
暫くでも一緒に住むんだ、ずっとそんな話し方だとお互いに疲れる」

何よりも、子供が敬語というのに違和感が強い  
最低限の礼儀さえ弁えていれば俺は別に話し方に文句は言わない  
まあ……………その時々で指摘していけば良いだろう  
その内勝手に身に付くだろうしな。

「いいの？」

「最低限の礼儀さえ弁えていれば文句は無い  
そもそも、俺は敬語なんてされても嬉しくないぞ  
寧ろ気に入らん、自然なままで居ろ」

「……………うん！」

気に入らないって言われたのに嬉しいのか？  
別に良いけどさ…………



さて、さつさと学校に向かうか

俺達はあまりする事は無いな

ホームルーム

新人生を見たりしてHRをするぐらいだろう

昼ぐらいには終わるし、小娘の入学式が終わるまで適当に過ごすか。

飯は適当に見つけて喰えばいい

さーってつと……寝て待つか。

視点    レイ

やつと終わったー……暇だったなあ

それはそれとして、瑞貴さんに友達の1人ぐらい作れって言われたんだよね

でも、そんな簡単にできるわけ無いよ。

ボクは1人だけ子供だし、相手はみんな年上

友達なんて難しいよ、明日香先輩や吹雪先輩だけでいい

瑞貴さんは友達じゃなくて好きな人だから違う。

だけど言われたのは同学年の友達

そんな事を言われてもなあ……ん？

なんだかおどおどとしている人だなあ……どうしたんだろう？

おどおどというか弱そう

どうしよう……無視してもいいんだけど

ま、いっか！ とにかく話してみよう！

そうじゃないと友達なんてできないもん！

「あの、どうかしたの？」

「ひゃ！ ど、どなたですか？」

「初めまして、オシリスレッドの早乙女レイです」

「これはどうもご丁寧に

私は宇佐美彰子うさみしょうこです、ブルーの……」

いや、それは見れば分かるから  
というか、女子でブルーじゃないのってボクぐらいだよ？

「それで、なんでそんな態度なの？

腰が引けてるっていうか、自信が無さそうというか……」

「んと……みんな元気だから押されちゃってね  
私はみんなみたいに元気いっぱいじゃないし」

そういう問題？

元気いっぱいじゃないからって何だか変な感じ。

「ねえねえ、これから用事有る？

歓迎会とか以外で」

「え？ な、無いけど……」

「ならちよっとお話しない？

ボクも歓迎会までする事無いし  
お昼ご飯でも一緒に食べながらさ」

「……うん、いいよ」

よし、これで友達候補確保！

文句も言われないだろうしね！

でも……緊張したあ。

相手は年上だし、なれなれしく話すな！

とか言われたら怖かったんだもん

おとなしい人で助かった。

………

………

……

食堂、一緒に話ながら食べている

元々は友達を作らないとって事で選んだんだけど

思ったより良い人で普通の友達っぽい感じになった。

切欠なんてなんでも良いんだよ！

仲良くなったら関係無いもんね！

そういえば瑞貴さんは何してるのかな？

まあ、めんどくさがりで暇嫌いの瑞貴さんだったらボクなんて待つ

てないと思うし

あまり気にしなくても大丈夫かな。

「よう小娘

人が初日で緊張してないか心配してたのに

いつの間に友達なんて作って飯を食ってるんだ？」

……大丈夫、声は怒ってるように感じない  
うん、だから振り向いて……良かった、怒ってなかった。

あれ？ 彰子さん気のせいかなちょっと引いてない？  
もしかして男の人が苦手とか？

「あのレイちゃん……その人は？」

「堅守瑞貴さん  
ボクの同室の人」

「初めまして、覚えてくれなくていいぞ  
別に俺はあんたに興味は無いし」

その言い方は酷くない？  
彰子さん、涙目になってるじゃん。

「あ……う……堅守瑞貴……さん？  
あの、本物の本人さんですか？」

「随分失礼な奴だな……  
俺は堅守瑞貴、本物の本人だ」

「……………ふう」

倒れた！？ 気絶した！？  
な、何がどうなってるの！？

「おい小娘、こいつは更に失礼な奴だな

人の名前を聞いて気絶するとは……

俺はこいつとは初対面だぞ、俺の何を知っているんだか」

溜め息を吐いて瑞貴さんは彰子さんを抱き上げる

そのままどこかに……え？

「あの、どこに行くの!？」

「保健室に決まってるだろうが馬鹿

お前はさっさと食い終えてその食器類を片付けておけ」

そのまま行っちゃった……

とりあえず食べよう、残したら悪いし

残りも少しだから急いで食べれて走ったら追いつく。

………

………

……

ごちそうさま!

急いで追いかける……って、保健室ってどこ!?

えっとえっと……誰かいらないかなあ。

あ、みつけ!

とりあえずあの人から教えてもらおう!

「すみません

ちょっと教えてもらいたいんだけど

保健室ってどこか知ってます?」

「保健室ですかあ？」

さあ？ 私も新入生なんでわかりませんっ」

なんだか変な所で声を上げるような人だなあ  
変わった話し方でおもしろいかも。

「ボクも新入生、早乙女レイだよ  
じゃあボク急いでるから！」

「頑張ってねえ

ちなみに私は宮田ゆまだよっ」

ゆまさんから別れて走り回る

えっと保健室保健室っと……有った！

「瑞貴さん！ 彰子さんはどう！」

「保健室では静かにしろ、馬鹿が  
ちなみにまだ寝てる、彰子というのが俺が運んだこの子ならな」

そういえば名前、教えてなかったっけ  
とりあえずまだ寝てるんだね。

「うん、この人は宇佐美彰子さん  
なんとなく話しかけてみたら仲良くなったんだ」

「そうか……とりあえず友達確保だな  
この調子で頑張れ

（気弱そうな奴だったから心配だな  
できれば元気の良い奴と仲良くなれば良いんだが……

それはこいつの頑張り次第だな」

「うん！」

褒められちゃった

最初は自信が無かったけど

彰子さんの事を切欠にして頑張ろっと！

「う……うーん」

「あ、彰子さん大丈夫？」

「んう？ あ、レイちゃん

うん、大丈夫ですよ」

顔色は良いし、本当に大丈夫そう

でも、どうして倒れたのかな？

「で、俺の名前を知って気絶した理由を教えてくださいませんか？  
別に顔が怖いとか、男性が苦手だとかじゃなさそうだし」

「ひっ！ 堅守瑞貴！？」

「……そこまで怯えられるといっそ清々しいな  
俺がお前に何をした」

ボクもそれがさっきから気になってる  
でも瑞貴さん、清々しいってのはどうかと思うよ？  
そこはショックを受ける所じゃない？

「あの……怒りませんか？」

「俺は怯えてる理由を問うてるだけだろうが俺が怒るような事で怯えてたのか？」

「……ぐす」

「泣くな！」

分かった、怒らないから教えろ！

（何で泣き虫なんだよ……面倒だな！

つうか本当に心当たりが無いぞ！）」

「はい……あの、堅守瑞貴さんは中等部でも有名な人でしたその、あの……色んな事件の関係者だって

三幻魔の事件での功労者のような……大敵だったような噂も有りますけど

あの遊城十代に勝った数少ない人、レッドからブルーまで上がった凄い人

性格が壊滅的に悪い人、決闘が凄く怖い人、そんな噂が……」

瑞貴さん、最初の1年で何したの？

ボクが居ない間にも凄い事が有ったみたいだし凄いなあ……でも噂が悪い意味が多くない？

「……所々気になる点があるがまあいい

大半事実だし、間違っていないからな

俺が噂になった理由が軽く謎だが」

事実なんだ！ 殆ど事実なんだ！

でも殆ど以外って何が事実じゃないの！？



「それで、遊城十代はデュエル・アカデミアのカリスマって呼ばれてるんですけど

堅守瑞貴さんは……その、デュエル・アカデミアの悪夢とか、閻魔とか……」

十代さんがカリスマってのも凄いいけど

瑞貴さん、悪夢や閻魔ってまた酷いなあ

納得できるけど。

「悪夢や閻魔ねえ……別にいいけどさ

(トラウマになるような事もした自覚有るしな

閻魔と言われると俺は地獄の最高審判者か？

俺は中等部でどんな風に思われているんだろうか？)」

悪夢や閻魔でもいいんだ！

自覚有るんだ！

「一番多いのが圧倒的な実力

他にもオーバーキルをしたり1ターンキルもする

怖がっている人も多いので……その……覇王とも呼ばれます」

覇王って……瑞貴さんもどんな事をしたの？

圧倒的な実力っていうのも気になるし。

「覇王……俺が覇王？

おい、名前は忘れたがお前」

声が低い！

何！？ 今までののは平気で何で覇王で怒ったの！？

悪夢とか閻魔の方が酷いよね!?

「あ……う……な、なん……ですか?」

「それを言い出した奴の名前を知ってるか?  
知っていたら教えてほしいんだ

(霸王は似非の特権だろうが!

何故俺を霸王と呼んだ! そいつは潰す!)」

怖っ! 笑顔なのにすっごく怖い!

なんだか声が普通に明るく感じるのに怖すぎる!  
霸王の何がそんなに駄目だったの!?

「ひい! し、知りません!

私は何も、本当に何も知りません!」

「……………チツ」

「ひ! ふう……」

ああ! 彰子さんが恐怖からまた気絶を!

彰子さん! 大丈夫!?

「見つけ出して社会的に殺してやる」

ヒィィ! ボクも気絶したい!

さっさと気絶できた彰子さんが羨ましい!

というか、ボクって瑞貴さんと同室だった!  
この調子でずっと居るの!?

無理！ 絶対に無理だよ！

そう思ったら瑞貴さんはさっさと保健室から出て行こうとする  
どこに行くのかな？

「あの……」

「機嫌を直す為、落ち着く為に昼飯を食ってくる  
お前を捜してて食ってなかったからな

ちなみに保険の先生、鮎川先生は現在職員室に居る  
始業式だからな、話す事とかも多いんだろう  
何か有ったら職員室に行くなり、俺に連絡でも入れろ  
何も無いんだったら俺は後でまたここに戻る  
それまでには機嫌は直しておくから安心しろ」

瑞貴さんは保健室から出て行った

一応、悪いとは思ってるんだ……気絶させた事  
本当に、霸王の何が悪かったのかな？

暫く経ち、彰子さんが起きてきた

瑞貴さんの存在に凄く恐怖を感じてた……

これで瑞貴さんの異名が更に増えそう。

なんとか落ち着かせてまたお話する事にした  
良かった、なんとかなって

このままだったらどうすれば良いのか分かんないもん。

……

……

……

更に時間は経ち、夕方辺りの時間  
瑞貴さんはまだ戻ってこない  
そんなに機嫌が悪かったのかな？

「おい小娘、迎えに来たぞ  
帰るから話も切り上げろ」

と、思ってたら瑞貴さん登場  
後彰子さん、驚きすぎ

一気に後ろに下がらなくても……

「あー、お前か

さっきは悪かったな、余りにもアレな異名で嫌だったんだ  
アレだけは駄目だ、受け入れられない  
ちなみにお前に怒ったわけじゃないから安心しろ」

話ながら近づいて来て、最後の辺りで彰子さんの頭を撫でる  
かなり怯えてるのにするの？  
撫でられてても凄く怯えてるよ？

「（うんうん、この怯え具合が良いなあ

ここでちよつとだけ力を込めたら悲鳴を上げるんだろうなあ  
したいなあ、聞きたいなあ……でも気絶されるかもしれないから止  
めておこう

小娘が怒り出しそうだし、それにこいつ自身もいつ起きるか分から  
ないからな

夜遅くになったら拙い、ここら辺で止めておくか」

暫くすると手を放す瑞貴さん

だけど、彰子さんは相変わらず怯えたまま  
もうずっとビクビクしてる。

「さて、もう少ししたら各寮での歓迎会が始まるはずだ  
お前も女子寮に戻った方が良いぞ  
もうすぐ日も沈む、暗くなる前に帰った方が良い」

原因は瑞貴さんだけだね

瑞貴さんが舌打ちなんてしなかったらこうはならなかったんだけど  
……  
でも何か言ったら怒られそうだから止めておこう。

「ちなみに歓迎会の内容は単なる食事会だ  
我らがレッド寮ではどんな料理が出てくる事やら……  
カミューラの出すご馳走ってのは色々と気になるな」

……そういえばカミューラさんが寮長なんだっけ  
もしかして朝ご飯もあの人を作ってたの？  
なんだかイメージに合わないなあ……  
というか、吸血鬼って普通のご飯は食べられるの？

「あの……私、宇佐美彰子です  
何度も気絶したり怯えたりして……  
その、失礼な事ばかりでごめんなさい」

「気にするな、俺はもう怒ってない  
こっちこそ気絶させて悪かったな  
そういえばお前、1年生か？」

「はい、新入生です」

「そうか、小娘……まあこのレイの事を頼むぞ  
見ての通り、これはまだ子供だからな  
危なっかしいし、少しでも意識を向けてくれると助かる  
仲良くしてやってくれ」

「……………はい！」

（凄く怖い人って噂だったけど、優しい人なんだなあ  
……うん、やっぱり怖かったんだった  
レイちゃんとは仲良くしたいけど、この人が付いてくるのはやだよ  
お）

完全に子供扱い……いや、子供だけどね  
心配してくれるって、なんだか嬉しい  
何だかんだで、瑞貴さんって優しいもんね。

「（何だ、この生暖かい視線は……鬱陶しいぞ）  
もう平気だろ宇佐美、そろそろ帰れ  
歓迎会までそこまで時間が無いぞ」

「あ、はい  
それでは失礼しますね」

彰子さんは先に保健室から出て行った  
でも、ボクには気になる事が……

「瑞貴さん」

「名前では呼ばんぞ」

「……ケチ」

言いたい事を当てられた上に駄目だって  
彰子さんの事を名字とはいえ、名前で呼んだのもん  
だったらボクの事だって名前で呼んでくれたって……

「行くぞ小娘、晩飯の時間だ」

「はーい……」

瑞貴さんと一緒にレッド寮に帰る  
ちなみに歓迎会だけど……

「おいカミューラ！  
肉料理ばっかじゃねえか！  
もう少し野菜を使え！」

「歓迎会だから料理を頑張らせて命令したのはあんたでしょ！  
あたしの料理にケチを付けるんだったら食うな！」

「まあまあカミューラも落ち着いて  
僕はちゃんと全部食べるからさ  
それに、本来だったらレッド寮で肉なんて殆ど滅多に出ない物  
考えように依ってはかなり嬉しいんだよね」

「俺はエビフライの方が……」

「僕もツス……」

瑞貴さんがカミューラさんを叱り

カミューラは反論して吹雪さんは普通に食べる  
十代さんと……誰？

は、エビフライが良いって我が儘。

でも楽しい歓迎会だったよ！

またこんな楽しい食事会がしたいなあ。



## 80話【新1年生達】（後書き）

瑞貴が父親のようだ……

母子家庭なので役割は父親だったんでしょう

元の世界の家庭ですか？

当然同じ母子家庭でした

でなければ性格などに更に差があったでしょうし。

瑞貴の評判って……

かなり悪いです、本当に悪いです

原因の一部はジュンコという裏設定

勝ち気せ強気だけど明るいジュンコが嫌っているんです

話題にも出るでしょうし、話したがる事も有るでしょう

女子の話は回る速度が速いので当然ながら……結果はこれです

原因の一部ですけどね。

2336

レイの話し方を元に戻したんだね

作者の違和感が強すぎたのが原因です

凄く書き難い……普通に話させたかったのでこんな事になりました。

何故TFキャラを出した！

所々で利用するつもりです

男子生徒？ そんなのは知りませんね

やっぱり女生徒でしょう。

で、何で宇佐美彰子にしたの？

理由は幾つか有ります

1つ、単純に性格から考えて扱い易そう

2つ、レイが年上を相手に話しかけられそうなキャラに丁度良かった

3つ、これは後のお楽しみという事で秘密です  
基本的にこの3つですね。

何で宮田ゆまにしたの？

今回は殆ど出ませんでした、このゆまがTFの2人目です

それなりに彰子はレイ用のキャラならゆまは瑞貴用のキャラです  
別に恋愛させようとか、そういう意味じゃないですよ？

出した理由ですが

1つ、TFで使っているデッキ

2つ、なんとなく気に入ったような……微妙、まだマシなキャラだな

3つ、話し方が意味不明で難しいな……ならば遭えて挑戦しようで  
はないか！

この3つが出した理由ですね。

瑞貴が悪魔や閻魔……

別に否定するような事ではありませんね

レイや吹雪から似たような事は思われた事も有りますし。

霸王は拙いだろ！

いやー……やっちゃったぜ☆

という感じですが、単なるネタです

今後はあまり登場させないのでスルーしてください  
まあ……登場しないとは言いませんがね。

それでも霸王は……

気にしないでください

ちなみに瑞貴は十代の霸王の事は覚えています

主人公の変化の件ですからね

なのでとても嫌がっています。

新入生歓迎会なのに何故瑞貴達が？

歓迎会って1年生だけですかね？

そう思ったので別にいいだろうと思って登場です  
短いながらも十代と翔も登場……久しぶりだなあ。

どうでもいいけどツイッターを始めてみました  
意味☆不明ですが、適当にしていきます。

## 81話【万丈目VSルーキー1年生】（前書き）

久しぶりに決闘<sup>デュエル</sup>を書いたものの

アニメを殆ど真似ただけだから全く楽しくありませんでした  
というか、アニメってミスが多すぎてもう……

作者自身もミスが多いですけどね。

内容は万丈目が新入生、五階堂と戦うという話ですね

正直、どうでも良い話でした

しかし、今回はそれとは別の事で利用

本当に微妙な回でした……はあ。

次回はそれなりですね

ボチボチします、やる気が湧かないのが問題です

何よりも眠い、今夜は早く寝ようか考えておきます。

2339

昨日の夜中に各話題で軽く分けました

ついでにツイッターも始めました

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

暇潰しにでもどうぞ、殆ど何も話してませんが。

## 81話【万丈目VSルーキー1年生】

視点 瑞貴

とある授業中の話

授業は全く真面目に聞かずに別の事を聞いている。

『好きなノーね、嫌いなノーね、好きなノーね……』

盗聴器を仕掛けた校長室の声を聞いているんだが  
あんた、何をしてるんだ？

言葉から考えて花占いでもしてるのか？

『クロノス臨時ー！ 校長』

『臨時ー！ を、強調したら駄目なノーね！』

『何をなさっているのでアール』

いや、まったくもって同意だ

クロノス臨時校長、本当に何がしたいんだ？

『エド様が授業に出てくれないノーね

我が校が嫌いかモーね

嫌いなノーね、好きなノーね……』

『それは恋占いでアール！』

本当に花を使って占ってたのかよ！

あんた本当に馬鹿！？ 何がしたいんだよ！  
つうか、別にプロなんだから出なくても良くないか？

そもそも、何故プロが来たんだか……

ま、俺に関わってこない限り無視するつもりだがな。

だが、この馬鹿臨時校長と教頭が何を考えているのか  
不安で油断もできない  
頼むから騒ぎは起こさないでくれよ？

『嫌いなノーね……オー！  
なんたる事なノーね！』

しかも嫌いで終わったのかよ！  
って、別に嫌いでも学校に来ている、授業に出ている生徒が居るだけマシだろう

例えば俺とか、俺とか、俺とか……まあ学園から嫌われてるけどさ。

『悲しいけど、仕方無いノーね！  
エド様が駄目なら、この計画なノーね！』

計画？ 良からぬ計画じゃないだろうな……  
もしそうならぶち壊してやるぞ  
俺のストレスの捌け口として。

『シニョール万丈目を、エド様に次ぐスターにして  
我が校を、発展させるノーね！』

……微妙だな

それだったら白黒モノクロを使った方がいいぞ？  
実力的にも、性格的にも、人气的にも、容姿的にも  
別に悪いとは言わないが、それでもなあ……

『オシリスレッドの生徒が  
スターになんてなれるはずが無いのでアール！』

いや、それは偏見だろう  
似非や電池の謎カリスマを舐めたら駄目だ  
似非には舎弟が居るし、電池のサンダーは変に凄い  
使い方に依っては上手くいくと思うぞ？

『万丈目グループのお金と力を使えば  
絶対にスターになれるノーね  
しカーし、とりあえずブルーに上がらせないと、駄目なノーね』

ふむ……なるほどね  
電池グループの力を借りるのか  
それなら電池でもかなり上げるかもしれないな。

でもそれって、あまりデュエル・アカデミアは関係無くないか？  
そもそも、電池グループの力を使ったとしても  
上に上がるかどうかは電池次第だしな  
スターってのは金や力だけでどうにかなる世界じゃないと思うぞ？

カリスマ性、演技力、語学力、度胸等々……  
というか、そもそもスターにして何をさせるつもりなんだ？  
芸能界にでも入れるのか？ それとも彼は学園のスターだと言い回  
るのか？

扱いが悪そうだな……もっと考えてから行動しろよ。

「はい、堅守君  
やる気が無いのは分かるけど、もう少し真面目に授業を受けてくだ  
さいねー」

「嫌です」

鮎川先生に怒られた

この人だけは辛抱強く、毎回毎回怒るんだよねえ  
他の教師は諦めて完全に無視してくるんだけど  
カミューラと仲が良いからか？

「……真面目に授業を受けてくださいねー？」

「お断りします」

「真・面・目・に・受・け・て・く・だ・さ・い・ね？」

「……了解」

そして威圧感も出せるようになってる  
元20歳だった俺だが、それでも年上の相手だからどうもなあ……  
厄介な相手だ、怒りに身を任せるタイプじゃないから扱い難い  
どうせだったら感情的な所もカミューラに似てくれたら良かったのに  
そうすれば相手も楽だったんだがな。

……………

……………

……………



あー……終わった

鮎川先生が何度も睨んできたから休まる暇が無かった別に俺は勉強なんて今更って感じなんだけどな真面目にしなくても平均点以上は毎回取ってるんだし。

「今日も怒られてたわね」

「明日香か……鮎川先生、本当に手強くなったよ多分、カミューラの影響だろうな仲が良いらしいし、面倒な事だ」

ま、その程度はカミューラも自由だし俺が小さい事でグダグダと言うのも悪いただでさえ仕事があるんだ、好きにさせるさ。

しかしスター発掘ねえ

とりあえず俺には関係無いな、別に見に行く必要は無いな一応、日程とかも聞いたが、それでも見る価値は無い何故なら、俺には完全に無関係だからだ！

……………

……………

……

そう思っていた時期が俺にもありましたはあ……別に良いけどさ、観戦ぐらいなら我慢してやるよだから引っ張るな。

「早く早く！」

もうすぐ万丈目先輩の決闘デュエルが始まっちゃうよ！」

「だから俺は興味無いって……  
もう良いから、ちゃんと行くから手を放せ小娘」

小娘に強引に連れ出されたんだよ

はぁ、ルーキーの実力把握と考えればマシか  
中等部でトップだったらしいからな

1年生の実力把握にでも役立ててやるか。

で、連れてこられた場所には既に数名座っていた  
見た事の有る生徒が1人、知らない生徒が1人  
どっちも1年生か？

「お待たせー

瑞貴さんを連れてきたよ」

「……おい小娘

もしかしてこっちが目的か？」

「観戦したかったのも本当

こっちはついでって事で……駄目？」

「勝手にしろ」

俺を見せびらかす為に連れてきたのかよ

別に良いけど、鬱陶しいぞ……知らない生徒の視線が  
ついでに俺に怯えているこの前の奴

別に何もしないから引くな、気になるから。

「初めましてっ！

私は宮田ゆまですっ！」

イントネーションが謎だな

所々変な部分で声が上がっている

変わった奴だ、鬱陶しいとかの理由で友達とか少なそう  
1年生の友達居ないトリオの完成か？

「はいはい、知ってると思うが堅守瑞貴だ

それで、何故お前は俺の事を興奮した目で見るんだ？

鬱陶しいから止めてほしいんだが」

「ごめんなさあーい

でも、有名人に会えると思ったらなんだか嬉しくてっ！」

有名人って俺の事かよ……

まあ、有名の内容ってのは一緒に居るそいつが言ってた事だろうな。

軽く視線を向けるとまた怯えだした

だったらどうしてここに来たんだ？

怖い物を見て喜ぶ趣味でもあるのだろうか？

「有名人ってのは止めろ

俺自身は別に興味無いんだ」

「なら、堅守先輩でいいですかあ？」

「好きにしろ羽鳶<sup>はねとび</sup>」

「「は、羽鳶？」」

「話し方でだ、文句なら受け付けるが変えないぞ  
俺は気に入らない相手、興味が無い相手、親しくもない相手  
そういう奴の名前は呼ばん、ちなみにお前は最後な  
ついでにそっちの兎角とかくも最後だ」

「兎角って私の事ですか!?!」

言うまでも無く、兎角とは宇佐美彰子である

ゆまは羽鳶、レイは小娘

統一性が全く無いな……どうでもいいか。

「そういえば小娘

兎角との出会いは教えてもらったが、羽鳶はどう知り合ったんだ?  
お互いに元気だとは思うが、それだけでは弱いだろ」

「彰子さんが気絶した時に瑞貴さんが保健室に連れて行ったでしょ?  
その時に道を教えてもらおうとして話しかけたのが切欠」

「次の日に私が話しかけたんですう  
理由とか気になってたしっ!」

本当に変わった発音だなあ

話しかけたん→で←す↓

という感じの発音だな、かなり独特だ

これは……楽しいぞ。

「で、俺に何の用が有って呼んだんだ?

別に有名人だからってだけの理由じゃないだろう?」

「気付きましたあ?

私、あまり勝てなくって、弱いんですよ  
なんでえ……」

「却下

俺を利用しようとはな……失せろ、そして死ね」

小娘に近づいた理由じゃないだけマシだな  
結果的に小娘を利用して俺に会ったのだが……  
どうせ頼み事はデッキ作成の手伝いだろ  
お断りだ、素直に言えば考えていたがな。

「う……ごめんなさい……  
もう言わないんで、許してくださいあい」

「……まあいい、次からはこんな回りくどい事をしないように  
俺は利用されるのが嫌いだ、最初から素直に頼んでいれば考えてや  
ったんだがな」

考えるだけだけどな  
最終的に断ると思うが。

「兎角も気になるな  
俺に怯えていたくせに態々ここに居るんだ  
何か理由が有るんだろ？」

頷く兎角、本当に有ったのかよ……  
小娘と一緒に良いというタイプかと思ったんだがな  
こいつは怖い物が有ろうとも、友達と一緒になら大丈夫  
頑張ろう、きっと大丈夫！ という人間だと思ったんだがな。

少し、認識を改めるべきか？

まあ……まだ会って2回目だから仕方無いか  
しかし何の用なんだ？

「私は……デッキ診断だけで良いです  
感想をお願いしたくて……」

デッキ診断ねえ……別に良いけど  
渡されるデッキを受け取り、確認してみる。

内容はディノインフィニティを主軸にしたパワーデッキか  
所々除去も混ぜてるのでバランスが良い  
しかし、パワーデッキなのにパワーが足りない  
除外する為のカードが死霊の巣だけってのも……

所々惜しいが、完成度はそれなり  
それにしても恐竜族か……ジュラックはまだ登場してないんだったな  
墓地にカードを送るギミックも足して、除外系カードも入れて……  
試しにコピーして改造してみるか。

「半端」

「半端……ですか？」

「パワーが足りない、墓地送りギミックが少ない  
除外用のカードも……ディノインフィニティを主軸にしているだけに半端だな  
これなら寧ろ抜いて、純粋なパワーデッキにした方が巧く回るんじゃないか？」

愕然としているがこれは本音

融合を使うのは良いんだが、それでもなあ……

屍を食う竜と二頭を持つキング・レックスの融合体、ブラキオレイ  
ドスだけ

しかも全部3枚積みな上、フュージョン・ゲートを使うってのもな  
あ。

最大の問題は墓地送りのカードが殆ど無い事だな

これだったらディノインフィニティを抜いた方が楽だ  
完全な恐竜族にした方が絶対に強い。

「まあ頑張れ、手伝わないけどな」

「うう……」

泣きそうな顔になっても手伝わないぞ

単に小娘の友達なだけだし

別に俺には関係無いな。

「それより、そろそろ始まるな  
ルーキーVS電池戦」

「電池って……万丈目先輩の事ですかあ？」

「そうだ

どうなるか……どうでもいいか」

本当にどうでもいい  
結果に興味は無い。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「僕のターン、ドロー！」

僕は切り込み隊長を召喚！　そして、切り込み隊長の効果発動  
切り込み隊長を召喚できた時、手札からLV4以下のモンスターを  
召喚できる！」

そこは素直に特殊召喚って言おうぜ

出てきたのは荒野の女戦士か……戦士族ビートかな？  
戦士族を中心としているのは確実だろうな。

「雑魚モンスターが何体並んだところで  
どうという事は無い」

「これで終わるはずが無いだろう？  
魔法カード、宝玉の剣<sup>つるぎ</sup>を発動！  
切り込み隊長に装備する！」

攻撃力が300アップする装備カードか  
確か場から墓地に送られた時、デッキからカードをドローする効果  
を持っていたな  
それでも攻撃力300程度だったら汎用に使える悪魔のくちづけの  
方がマシだろう。

というか、装備させるモンスターの素材が悪い  
せめて元々の攻撃力が1500以上にしろよ  
装備してやっと1500だったら弱すぎる。

「更に、神剣―フェニックスブレードを発動！」



今度は荒野の女戦士かよ……

荒野の女戦士は破壊される為のモンスターだぞ

攻撃力を上げてどうするんだ？

そもそも、特殊召喚なんだから守備表示で出せばいいのに……

ついでに言うと、この2体を並べる事がアンチシナジーだ

切り込み隊長が存在する限り、他の戦士族モンスターに攻撃できない  
なに出てきたのは戦闘破壊で効果を発動する荒野の女戦士

様子見て荒野の女戦士を守備表示で出す方が手札的にも良いと思う  
んだがな。

……というか、攻撃力1500と1400を並べた程度で得意気になるって何？

この世界の攻撃力の基準はどうなってるんだ？

装備魔法で手札を2枚使ってようやくこれだ、何も凄くない所か酷すぎる。

「カードを1枚伏せて、ターン終了だ

さあ……万丈目さんのターンだ」

凄いなあ……この程度で挑発するなんて

俺にはとてもじゃないけど不可能だ。

「さすが中等部トップですな……」

「うんうん」

……おい、ちょっと待て兎角に羽鳶

この程度でさすが？ しかも同意だと？

お前らの頭は大丈夫か？

「小娘、あのルーキーの初手をどう思う？」

「うーん……ちよつと酷いかなあ

あの程度で中等部トップって凄いかも」

「「ええ!？」」

まあ、小娘からすれば当然だろうな

俺、明日香、カミューラ、白黒モノクロと戦ったんだ

あの程度の相手に凄いと評価するのは不可能だろう。

「お前が同じ手札だとどうする？」

「難しいなあ……荒野の女戦士を守備表示で出す

伏せカードは分かんないけど、それを伏せて終了かな

切り込み隊長は他のモンスターを出す為に残して置くよ

装備カードも、荒野の女戦士の効果で特殊召喚してから装備させるかな」

「よくできました

花丸をやろう」

ついでに頭を撫でてやると嬉しそうにしている

兎角に羽鳶は小娘を驚いた顔で見ている

いや、この程度は当然だろう？

「別に驚く事じゃないだろう？」

俺としては、あの程度でよくブルー生徒になれたと……

それに、あれでトップってのも恐ろしい

中等部のLVはどれだけ低いんだ？」

そして、これですすがと言っている奴もだ  
どうやったらこの程度で驚けるんだか……

「……さすが堅守先輩です

あの五階堂くんをあの程度って言えるなんて……」

「私、これからの学園生活に自信を無くしそうっ」

……何故この程度で凄いと思われるんだろうか？

中等部のLVの低さ……恐るべし！

とにかく、ルーキーの強さと頭も分かった。

別に何てことは無い、モブって事だな  
せめてもう少し強いと思ったらこれだ  
見る価値はもう殆ど皆無だ。

「俺のターン、X-ヘッド・キャノンを召喚！

続けて魔法カード、天使の施しを発動！

この効果により、カードを3枚ドロし、手札から2枚を捨てる  
俺が捨てるのは1枚目、ヘル・ポリマー！ 2枚目はおジャマジッ  
ク！」

当然の選択だな

しかし電池よ、似非と戦ってないんだからヘル・ポリマーは抜け  
融合を使わない相手には何の役にも立たんぞ。

「おジャ、おジャマジック!?」

新人生よ、何を驚いているんだ？  
別に驚くような事じゃないだろうが。

「……おジャマジックって  
あんなカードを使う人が本当に元エリートなんですか？」

「あれって確か、攻撃力0のモンスターを手札に加えるカードだったけっ？」

そんなカードで戦えるのお？」

お前らもか……本当に酷いな、中等部  
利用法ってのは思った以上に多いんだぞ？

「お前らな……おジャマを馬鹿にするつもりか？  
攻撃力0の通常モンスターだって使い方に依っては凶悪なカードなんだぞ？」

「「嘘!？」」

「……驚きすぎだろう  
まあ見てればいいさ、電池のおジャマはそれなりに強いぞ  
きつと笑える使い方をしてくれるさ」

お前らみたいに通常モンスターは弱い、融合素材程度  
そんな風に思っている奴からすれば悪夢のような笑いだろうがな  
見せろよ電池、お前が馬鹿共の目を覚まさせてやれ。

「おジャマジックが墓地に送られた時  
デッキからおジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン、おジャマ・  
ブラックを手札に加える」

「貴方が……そんな雑魚カードを使うのか？」

「ふん、見てるがいい

俺は手札から魔法カードを発動！

おジャマ・ゲットライド！」

「な、なんだそれ！？」

「このカードは、おジャマ3体を墓地に捨てる事で

デッキからLV4以下の機械族、ユニオンモンスターを3体まで  
守備表示で特殊召喚する事ができる！」

悪く無い手だが、発動条件が難しくないか？

お前ぐらいしか使いこなせないって

本当におジャマが好きなんだなあ、こいつは。

「お前が超エリートなら、俺様は超スーパーエリート！

こんな屑カードでも、俺の手に掛ければ使い道が有るんだ  
出でよ、Yードラゴン・ヘッド、Zーメタル・キャタピラー」

とりあえず、自信過剰は身を滅ぼすぞ？

それに、超とスーパーを合わせても全く格好良くない

語呂が悪くないか？

ついでに言うと、屑カードとは言うがな

おジャマ達はかなり強力なモンスター達だぞ？

おジャマデッキってのは本気で作ったら恐ろしく強いしな  
……まあ、巧く回ればな。

「行くぞ、XYZを合体させ

XYZードラゴン・キャノン等特殊召喚する！」

合体シーンって男の子のロマンって言うけど……特に何も思わないな別に格好いい姿ってわけでもないし

そもそも俺はロボットとかそんなに好きじゃないしな。

「そして、XYZードラゴン・キャノンの効果発動

俺はこの2枚を墓地に送り、荒野の女戦士と切り込み隊長を破壊！」

捨てたのは魔の試着部屋にヘル・アライアンス

魔の試着部屋はともかく、ヘル・アライアンスはもう抜いたら？

同名カードなんてそのデッキに入っているのか果てしなく疑問だ。

そして破壊されるモンスター2体

だが、破壊するカードが間違っていないか？

XYZードラゴン・キャノンの効果で破壊できるのは相手の場に存在するカードだ

別にモンスターに限定されてないんだし、ここは荒野の女戦士と伏せカードだろう

切り込み隊長なんて普通に倒せば良い。

「これで場は空だ、XYZードラゴン・キャノンで直接攻撃！」

X・Y・Z ハイパー・キャノン！」

伏せカードは使わないか……何を伏せたんだろうか

戦士族だし、陽動作戦辺りだろうか？

陽動作戦の効果は戦士族、魔法使い族を裏側守備表示にするカード種族限定の月の書みたいなカードだな。

「宝玉の剣の効果発動

これが墓地に置かれた時、カードを1枚ドロースる！」

「これでターンエンドだ」

うーん……みんな凄いつて顔になってるけど  
俺が見たらプレイミスだらけでなんとも言えんな。

「小娘、お前はこの決闘<sup>デュエル</sup>をどう思う？  
俺は余りにも酷くて呆れてるんだが」

「同感、ボクだってこんなミスはしないよ」

「この戦いが……ミスだらけですか？」

「酷いつてどう意味ですかあ？」

お前ら……本当に駄目だな  
こいつら、女子だからブルーに居るが  
本当はレッドかイエロー級なんじゃないか？

「さっきのXYZードラゴン・キャノンの効果  
あれは相手の場のカードだったら何でも破壊できるんだ  
どうせだったら伏せカードを破壊すれば良いのに……  
2枚目も破壊するんだったら荒野の女戦士だな  
あいつはリクルーターモンスターだから」

「そして捨てる手札を2枚で抑える場合  
残すのは切り込み隊長、単なる攻撃力1500のモンスターだもん  
怖い事は無いし、1300のダメージでも十分だったはず」

真面目に勉強してるんだなあ……小娘  
俺も叩き込んでるけどな  
部屋で暇になると色々教えてるし。

「行きますよ、万丈目さん  
僕のターン、魔法カード強欲な壺を発動！  
その効果でカードを2枚ドローする」

顔がにやけたな……動くか？

「伏せカードオープン！ リビングデッドの呼び声！  
墓地からモンスターを1体、復活させる！  
甦れ、荒野の女戦士！」

……酷すぎるな。

「そして魔法カード、グレード・ソードを装備！」

グレード・ソードは戦士族用の装備カード  
装備モンスターの攻撃力を300アップさせる  
そして装備モンスターは1体で2体分の生け贄にする事ができる  
つまり、ダブルコストモンスターにする事ができるって事だ。

「また装備魔法か……攻撃力を300程度アップさせた所で  
俺のXYZードラゴン・キャノンには敵わん！」

「へっ、荒野の女戦士を生け贄に  
LV8のギルフォード・ザ・レジェンドを召喚！」



確か効果は召喚時、墓地の装備魔法を可能な限り装備できるだったな  
それでもこれは……

「頭が痛くなってきた……中等部のランクの低さに呆れ果てる」

「そうだね……酷すぎるね」

「あの、そんなに酷いですか？」

「当たり前だ、荒野の女戦士はリクルーターモンスターだぞ？  
さっきの直接攻撃ダイレクトアタックの時に使っていればダメージも少なかったし  
デッキから攻撃力1500以下の戦士族モンスターを特殊召喚できた  
なのに自分のターンに使うなんて……」

「カードの効果を理解してないのかな？  
本当にブルーの人？ あれってレッド生徒が変装してるんじゃない  
の？」

「同感、まさかここまでとはな  
それとも絶対に勝てる自信を持ってるのか？  
あの程度のプレイでな」

驚いて俺達を見る兎角に羽鳶  
……これがゆとり教育か？

そして次々と装備される墓地のカード  
神剣一フェニックスブレード、宝玉の剣、更にグレード・ソード  
そしてついでに手札を1枚捨てて、破邪の大剣一バオウ  
これら4枚がギルフォード・ザ・レジェンドに装備される。

バオウは戦闘で破壊したモンスターの効果を無効化する  
冥界の魔王ハ・デスのような効果だな

手札を捨てるのは惜しいが、それでも強力なカードだ  
攻撃力が500アップというのもそれなりだしな。

合計攻撃力は4000か

高いと思うが、場が全部埋まってるぞ？

リビングデッドの呼び声は残ってるし。

「行くぞ！ ギルフオード・ザ・レジェンドで攻撃！」

真っ二つにされるXYZードラゴン・キャノン  
ダメージは1200か、まあまあ大きさだな。

「ふっふっふ、これぐらいでなくては決闘は<sup>デュエル</sup>おもしろくない！  
俺のターン、ドロー！ 強欲な壺、発動！ デッキから2枚ドロー  
する

ついに来たぜ……魔法カード、おジャマンダラ発動！」

ふむ、という事は手札におジャマ・デルタ・ハリケーン！でも持つ  
てるかな？

というか、それぐらいじゃないと使わないか。

「ライフを1000ポイント払い、こいつらを特殊召喚する」

これって何気に強いカードなんだよな

ライフを1000払う程度で特定とはいえ、モンスターを3体も蘇  
生させるんだからな。

「こいつらが3体揃った

これがどういう事か分かるか！」

「知るか！」

「ふん、青いな」

まったくだ、ガキめ

ステータスでしかモンスターを見ていない証拠だ  
サポートカードにももっと目を向けるんだな。

そして発動されるおジャマ・デルタ・ハリケーン！

さすが電池、当たり前のように普通はそこその難易度のカードを  
決める

お前は何者？ 何度も決めているのが凄いぞ。

そしてルーキーは宝玉の剣の効果でドロ

電池はカードを伏せた。

「まさかそれも……おジャマなんとかじゃないだろうな！」

「ターンエンドだ」

態々教える馬鹿がどこに居る

例え当たっていたとしても、それを言うのは馬鹿だろう

それか、嘘を言って相手を揺さぶるかだな。

「やっぱり……あんたいつからそんな最低のデッキを使うようになった！  
った！」

許せない、そんなの……僕が憧れた万丈目さんじゃない！」

何だ、その押し付けは？

別にどんなデッキを使おうが電池の勝手だろうが

お前が勝手に懂れて、勝手に妄想してただけだろう？

馬鹿馬鹿しい、こういうのは大嫌いだ。

「ふん、最低か

ならば、その最低のデッキに打ち負かされる屈辱を味わうがいい」

「貴方は、そんな決闘をする人じゃなかったはずだ

僕のターン、ドロー！ 魔法カード、早すぎた埋葬

ライフを800ポイント払い、墓地からモンスターを蘇生させてこのカードを装備する

僕が召喚するのは、重装武者ーベン・ケイだ！」

段々、この会話に呆れてきた

懂れだろうが何だろうが、人間が変わるのは当たり前だ

それを理解できないなんて……哀れだなあ。

更に改めて思う、ブルー生徒はやっぱり駄目だ

性格が子供ばかり……もっと考えられないのかねえ？

疲れる、俺もブルーだがこうはなりたくないな。

ついでとばかりに墓地の神剣ーフェニックスブレードの効果を発動する

墓地の戦士族である切り込み隊長と荒野の女戦士を除外  
手札に戻し、稲妻の剣と一緒に装備させたルーキー。

攻撃力は1600か

そしてベン・ケイは装備カードの枚数だけ攻撃回数を増やす効果を持つ

装備カードは早すぎた埋葬も含めて3枚

元々の攻撃に3を足されたので攻撃回数は4回。

電池の場には伏せカードが1枚とおジャマが3体  
ライフは残るが、どうするかな？

結果、ダイレクトアタック直接攻撃まで受ける電池

どう動くか気になる所だな。

「分かったろ？

あんたが使ってるのは壁にもならない屑なんだ！」

「くう……罨発動、おジャマ・デルタブリーフ！」

確かこのターンに戦闘破壊されたおジャマを特殊召喚するカードだったな

というか、壁にはなったぞ？

このターンで決められなかったのがその証拠だ、馬鹿ルーキー。

で、また語り始めるルーキー

レッドの酷さを言っているが、別に大した事じゃないぞ？

お前らが何も考えて無いだけだ。

だがこれだけは言っておく、レッド生徒が屑というのは訂正しろ  
似非や電池、水色に関してはどうでもいいが小娘まで一括りにする  
のはいただけないな

後で闇討ちでもしてやるか？

「あまり気にするなよ小娘

雑魚の遠吠えだ、すぐに負け犬の遠吠えになるだろうがな」

「気にしてないけど……負け犬？」

「すぐに分かる

おジャマなんて使えないと思われるようなカードを使っているが……  
逆だ、おジャマなんて恐ろしいカードを使っているんだ  
その証拠がすぐに出てくる」

「「「……………」」」

そろそろ出てくるかな？

あのカードが……

「俺のターン、ドロー！」

おジャマ達を纏めて復活させた理由はこれだ！

魔法カード、融合！」

出てくる攻撃力0のおジャマ・キング

攻撃表示で出したんだ、必ずサポートするんだろ？

「更にフィールド魔法、おジャマ・カントリーを発動！

このカードの効果、それは場におジャマと名の付くモンスターが存在する時

全てのモンスターの元々の攻撃力と守備力を入れ替える！」

やっと思ったか、三幻魔戦後に俺が渡したカード

それはおジャマ・カントリー、当然1枚だけだがな。

「攻撃力と守備力が入れ替わるだって……まさか！」

「そう、おジャマ・キングの元々の守備力は3000！つまり、攻撃力3000のモンスターとなる！」

そして重装武者ーベン・ケイの元々の守備力は800  
装備カードの効果で1100アップして1900となる  
が、ルーキーのライフは残り400、耐えきるのは不可能。

「さて、結果も分かったから俺は帰るぞ  
お前らはどうする？」

「最後まで見ないの？  
まあ、確かに分かるもんね  
ボクも帰る」

小娘は立ち上がった俺の横に来る  
兎角と羽鳶は動かないまま、こちらを見ている  
その顔は尊敬、憧れなどが混じっているが……要らん！

「じゃあな兎角、羽鳶  
次に会う時にはもっとマシな頭になっておけよ  
行くぞ小娘」

「あんまり酷い事ばかり言わないでよ……  
ばいばい彰子さん、ゆまさん  
また明日、学校でね」

小娘を連れてさっさと出て行く  
後ろでは何か巨大な物が落ちるような音がした  
おジャマ・キングの攻撃方法って確か……フライング・ボディータ  
ックだったな

今頃ベン・ケイは潰れてるだろ。

はあ、無駄な時間を過ごした気分だ  
後で小娘をからかって赤面を見て楽しもう  
俺に無駄な時間を過ごさせたんだ、それぐらい許せ。



## 81話【万丈目VSルーキー1年生】（後書き）

初っぱなから盗聴器かよ……  
それが瑞貴クオリティです。

鮎川先生が……強い!?

何故かこうなりました

瑞貴を圧倒するとは……何者?

羽鳶の由来は?

言葉遣いが飛び跳ねてるからです  
話し方が独特過ぎる……

兎角の由来は?

宇佐美↓兎↓適当でもう兎角でいいや  
最初は兎娘でしたが、まんまなので止めました。

彰子のデッキはどんなデッキ?

一応TFシリーズを基本としています  
が、所々カードを変更しています

一部のカードが有ったり無かったりと……  
理由は後々、暫くしたら出てくるでしょう。

レイの頭が凄い事に……

瑞貴の教育の成果です

勿論、レイ自身の努力の結果でもあります。

そういえば万丈目の相手の名前って?

五階堂宝山という名前だそうです

しかし宝山って……

瑞貴の万丈目への評価が妙に高くない？

別に嫌いじゃないからです

メインキャラで味方じゃないので避けていますが

それでも嫌いじゃないからです、十代や翔と違って……

あの時に渡したカードっておジャマ・カントリーだったんだ

十二分に予想できたでしょうね

面倒なのでこうしました。

## 82話【1年生達の実力】（前書き）

1年生達ってどれぐらいの実力なんでしょうね？

前話の五階堂を基本とし、どれぐらいの実力か試してみました

……これは酷い、なんとアニメらしい戦いでしょう

という、そんな内容になりました。

デッキはTFシリーズから採用

ただし、更に弱体化させていますので注意

TFシリーズと同じような動きのような期待には応えません

何故なら、アニメ世界ではこの程度でも実力が高いからです

まあ……TFシリーズのCPUでは似たような事でもしそうですけど。

どうでも良い話

昨日の昼から腹痛が全く止まりません

現在進行形で鈍痛が走ります……時々鋭い痛みも

これが最近流行っているというノロウイルス？

病院に行こうと思いますが、明日は朝から……なので無理かもしれません

あー……それでも執筆している作者は馬鹿ですね

でも動けるぐらいの痛みなので仕方がない、休憩はしてますがやはり遅いです。

次回はどうぞでしょう……明日も腹痛が治らなかつたら難しいかもしれません

とうとう更新停止でしょうか？

無理をしない程度に頑張ります。

## 82話【1年生達の実力】

視点 瑞貴

電池デュエルの決闘後、寮に戻って適当に過ごしていた  
しかし、突然の騒音が……

「な、何の音!?!」

「知らん、様子でも見に行くか……はあ」

外に出てみると電池が指揮を執ってレッド寮を工事していた  
おいおい……お前、何を考えてるんだ?

「おい電池!

工事は構わんが、煩い!」

「工事は良いの!?!」

工事って……え? 良いの!?!」

別に工事するぐらいなら文句は無い

無いのだが……そこ、カミューラの部屋も有るんだぞ?

それを分かってるのか?

しかし今は夕方直前、カミューラはまだ寝ている

あいつは殆どの音とかシャットアウトする棺桶で寝てるからな  
棺桶自体を殴ったりしないと音が聞こえないんだ

だから……まだ寝てるんだろうなあ。

「電池、その部屋にカミューラが住んでるんだが？」

「安心しろ、カミューラの棺桶なら吹雪さんの部屋に置いておいた部屋の私物も全て移動済みだ、心配は要らない」

問答無用かよ……いくらなんでもカミューラが怒るぞ？

まあ工事は完全に始まってから止められないだろうがな。

「ねえ瑞貴さん、食堂はどうなるのかな？」

「無理だろ、完全に工事の範囲内だ

おい電池！ 食堂が埋まってるんだ！

俺達の飯が食えん！ 購買部で買って食うからお前が金を出せよ！」

「何だと！？ 何故俺が！」

「お前が勝手に工事を始めたんだろうが！

住人にフォローぐらいしやがれ！

そんなんだから明日香にまで電池と呼ばれたんだろうが！」

「うぐ……仕方無い、分かったよ

全員にそれなりの金を出せば良いんだろ？」

渋々ながらも受け入れる電池

やっぱり明日香の名前を出したのは正解だったな

馬鹿で扱い易くて本当に電池は助かる。

「あの……明日香さんがなんで？」

「電池の奴、明日香に気があるらしい  
そこを利用したただだ  
馬鹿は本当に使い易くて楽だよ」

「(……さすが瑞貴さん  
誰が相手でも酷い事ばかり)」

これで飯代は確保だな  
別に俺は不要だが、それでも有って困る物じゃない  
そもそも、俺はブルーに行けば普通に食えるんだし  
……行かないけど。

………

………

………

数日後、月1テストの日

筆記試験と決闘<sup>デュエル</sup>が有る

小娘の筆記も決闘<sup>デュエル</sup>も大丈夫だろう。

しかし、小娘の相手は誰になるんだ？

寮同士での決闘<sup>デュエル</sup>だからなあ……レッドの誰かか？

そして俺の相手はブルーだろうが……誰でもいいか。

省略、筆記は余裕だった

小娘と一緒に飯を食って実技試験の会場に向かう  
なお、小娘の筆記テストは余裕だったらしい。

ちなみに、俺は実技テストで当然余裕で勝った  
相手は名も知らない生徒、かなり弱かった

これは何年生だ？ 別にどうでもいいか。

「あ、瑞貴さん  
あそこあそこ！」

小娘に言われて指を指された場所を見ってみる  
そこには兎角と羽鳶が向かい合っていた  
どうやらあの2人がお互いの相手らしいな。

さてさて、兎角のデッキは見たが羽鳶のデッキは知らなかったな  
どんなデッキを使うのやら……

「<sup>デュエル</sup>決闘」

「私のターン、ドローです  
奇跡のジュラシック・エッグを守備表示で召喚します  
これでターンエンドです」

……守備力2000だからって油断してないか？  
まあ、あの程度の奴なら当然か  
この世界で守備力2000はかなり強いからな  
けど、警戒とかした方が良いぞ？

「私のターン、ドロー！  
異次元の戦士を召喚！ そして攻撃い！」

アホだ……アホが居る  
能力が敵わない所の問題じゃない  
効果を知らないから平気で攻撃できるんだな。

「異次元の戦士の効果発動！  
このモンスターと戦闘を行ったモンスターをゲームから除外するよっ！」

「あの……ごめんなさい  
奇跡のジュラシック・エッグは場に表側表示で存在している限り  
ゲームから除外される事は無いんです」

「ええ！？」

そういう事、だから除外されるのは強制効果を持っている異次元の戦士だけ

こいつは戦闘を行ったら必ず除外されるからな  
しかも、守備力2000に攻撃したんだ……反射ダメージで800受ける。

「小娘、お前……もう少し友達を選んだ方が良いぞ？」

「……ボクが頑張って色々と教えるからそんな事言わないで  
でも、こんなに酷いとは思わなかった……これがブルーのエリート？」

「女子だから必ずブルーだがな、お前以外  
程度が低いんだろう、お前はかなり強くなってるし頭も良い  
駄目な奴らをマシな奴らにしてやれ」

「うん、頑張る  
(褒めてくれるのは嬉しいんだけど……  
やっぱり言い方が酷くない?)」



小娘が手を出せば多少はマシになるだろ

もう少しまともになったら更なるLVUPとして俺が動くのも有りかな？

確かアニメのメインキャラじゃないし、手を出しても殆ど問題無いだろう。

しかし……何故俺はあそこまでメインキャラに手を出してしまったんだ？

明日香は弄ってて楽しいかったから仕方がない

モクロ白黒はまさかメインキャラとは思わなかったからな……敵だったし小娘なんてこれだ、下手に世話を焼くんじゃなかった。

「あーうー……異次元の戦士が除外されちゃったあ  
カードを2枚伏せて、ターンエンドですっ」

LVが低いなあ……こいつら何者？

そういえば一般生徒の実力って殆ど知らないんだよなあ  
興味が無いから滅多に見ないし、殆ど戦ってないからな。

「私のターンです、ドロー  
ブラック暗黒ステゴを召喚して、ダイレクトアタック直接攻撃します」

「攻撃の無力化を発動お！  
これで大丈夫！」

ブラック暗黒ステゴは攻撃された時に守備表示になる効果を持っている  
そして攻撃力も1200とそれなり、守備力も2000だから十分  
だろう

問題は……奇跡のジュラシック・エッグと同じ守備力という点だな  
先に破壊されるのは当然、奇跡のジュラシック・エッグだな。

「ターンエンドです」

「私のターンっ、ドロロー！ 強欲な壺を発動して2枚ドロロー！

切り込み隊長を召喚っ！ そして効果発動！

切り込み隊長が召喚に成功した時、手札からLV4以下のモンスターを特殊召喚するよっ！

私はこの効果で異次元の戦士を召喚！」

攻撃力が低いのが最大の問題だな

ついでに、異次元の戦士は攻撃されてなんぼのモンスターだぞ？

なのに何故切り込み隊長と一緒に出すんだか……せめて異次元の女戦士と一緒に出せよ

それならまだアタッカーになれるのに。

「切り込み隊長で暗黒<sup>ブラック</sup>ステゴに攻撃っ！」

「暗黒<sup>ブラック</sup>ステゴの効果を発動します

暗黒ステゴが攻撃された時、このモンスターを守備表示に変更されます」

「ええ！？ 守備力2000！？

あ、あ……攻撃しちゃ駄目え！」

そうは言うが当然ながら攻撃は止まらない

再び800の反射ダメージを受ける

これで残りライフは2400になった。

「あうう……ターンエンドですう」

なんて……なんて低LVな戦いだ  
効果も知らないなんて知識も問題すぎる  
中等部で何をしてたんだ？

「私のターン、ドロー」

フィールド魔法、フュージョン・ゲートを発動します  
この効果により、融合を使わなくても融合ができるようになります  
私は手札の二頭を持つキング・レックスと屍を貪る竜を融合させて  
ブラキオレイドスを融合召喚します」

攻撃力2200の効果無しの融合モンスター

まあ、この程度があいつらの限界かな？

「暗黒ステゴを攻撃表示に変更します  
ブラック

ブラキオレイドスで切り込み隊長を攻撃します」

「ひゃあ！

っ、強いよお」

「そして暗黒ステゴで異次元の戦士に攻撃します  
ブラック  
相打ちで、お互いに除外される事になります」

これで兎角の恐竜族は3体除外された  
ディノインフィニティを出すに丁度良いぐらいだ  
攻撃力3000なら十分だろう。

それにしても……相性が凄い事になってるな  
羽鳶はモンスターから考えて除外主軸の戦士族だろうな  
兎角は自らのモンスターを除外する恐竜族デッキ  
羽鳶からすれば兎角は最悪の相性、兎角には良い餌だ。

「ターンエンドです

えっと……大丈夫ですか？」

「いやー、彰子ちゃん強いねっ

でも頑張る、私のターン、ドロー！

魔法カード、愚かな埋葬を発動！ デッキからモンスターを墓地に送るっ！

この効果で私はゼーダ・レティキュラントを墓地に送りますう」

ほう？ ゼーダ・レティキュラントとは……また変わってるな

墓地に存在している間、相手の場のモンスターが除外される度にトークンを特殊召喚する

能力は攻守共に500、数を増やして最上級モンスターを出す戦法かな？

「手札から、魔法カード、ブラック・コアを発動しますう！

手札を1枚捨てて、相手のモンスターを除外、ブラキオレイドスを除外っ！

更に、ゼーダ・レティキュラントの効果発動ですう！

相手の場のモンスターが除外された時、イーバトークンを守備表示で特殊召喚！」

あーあーあー……大丈夫かこれ？

手札は1枚だし、場にはトークンだけ

ついでに兎角だって手札は2枚に伏せカードも無し

これは無理が有るだろう。

「私はこれでターンエンドっ！」

終わりかよ！

本当にどんなデッキになってるんだよ！？

「ううう……ブラキオレイドスが除外されちゃった

私のターン、ドロー

セイバーザウルスを召喚して、攻撃します」

破壊されるイーバトークン

何も無い、単純に破壊されただけ

なんというグダグダ感……

「ターンエンドです」

「私のターン、ドロー！

もう1枚、愚かな埋葬を発動っ！

デッキから2枚目のゼーダ・レティキュラントを墓地に送って

そして異次元の女戦士を守備表示で召喚！

ターンエンドですう」

除外デッキを主軸にした戦士族なら攻撃力が低いからな

セイバーザウルスでもかなり強敵だろう

どっちもなんというか……パワーが足りない。

「私のターン、ドロー

フュージョン・ゲートの効果を発動します

手札の二頭を持つキング・レックスと屍を食る竜を除外  
ブラキオレイドスを融合召喚します」

「ええ！？ また出てきた！？」

当たり前だろうが

融合体が1体だけでフュージョン・ゲートを使う奴は殆ど居ないっての

除外目的なら使うかもしれないが、それでも難しいだろう

素直に融合の魔法カードを使った方が良い

相手にも使われる可能性も有るからな。

「セイバーザウルスで異次元の女戦士に攻撃です」

「異次元の女戦士の効果発動っ！

戦闘を行った相手と異次元の女戦士を除外っ！

そして墓地の2体のゼーダ・レティキュラントの効果発動っ

イーバトークンを2体特殊召喚ですう！」

「ブラキオレイドスでイーバトークンに攻撃します」

一応、なんとか耐えているものの、羽鳶に勝ち目は無いだろうな

既に7体もの恐竜族が除外されている

ディノインフィニティが出てきた時点で負けは決まりだな。

「ターンエンドです」

「私のターン、ドロー！」

イーバトークンを生け贄に、セイントナイト聖導騎士イシユザークを召喚！」

へえ、あのデッキに相性の良い上級モンスターが入っていたか

まあそれぐらい入れないとともに戦えないだろう

問題はやっぱり攻撃力が2300という上級モンスターの基準点が無い所か

この状況なら問題無いかな？

「イシュザークでブラキオレイドスに攻撃っ！  
イシュザークは戦闘で破壊したモンスターを除外する効果を持つて  
るよっ！

そして除外された事でイーバトクンを2体を守備表示で特殊召喚  
！」

「あう……モンスターが沢山  
攻撃力も2300だし……ううう」

いや、別に怖くないだろ？  
それに3体だったらまだ何とかなる状況だぞ  
ついでに、また除外してくれたんだから逆に助かるだろう。

「私はこれでターンエンドっ！」

「わ、私のターン、ドロー  
よし……ディノインフィニティを召喚します  
このモンスターの元々の攻撃力はゲームから除外されている  
自分の恐竜族モンスターの数×1000ポイントになります  
私の除外されている恐竜族は全部で8体  
よって、攻撃力は8000です」

「攻撃力8000！？

そんなのまともに相手できないよお  
罠カード発動！ 奈落の落とし穴っ！

攻撃力1500以上のモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚され  
た時  
そのモンスターを破壊して除外するよお！」

「ええ！？ 破壊して除外！？」

これは……珍しくガチなカードだな  
元の世界では主流の除外カード  
シンクロが邪魔過ぎたからなあ……

「そして、ゼーダ・レティキュラントの効果でイーバトークンを2  
体特殊召喚しますっ！  
ふう……ブラキオレイドスに使わなくてよかったあ」

「……ターンエンドです」

切り札の消滅、兎角に勝つ手段は残ってるのかな？

確か除外からの蘇生カードは無かったはずだ

兎角のデッキには確かデイノインフィニティはもう1枚有ったが……  
この状況でドローできるか？

「よし、私のターン、ドロー！

イーバトークンを全部攻撃表示に変更っ！

イシュザークで奇跡のジュラシック・エッグに攻撃して破壊  
そして除外するよお！」

どうでもいいが、兎角の墓地にはカードが未だに0枚

奇跡のジュラシック・エッグの効果は恐竜族モンスターが墓地に送  
られる度にカウンターを2つ乗せ

このモンスターを生け贄にする事でそのLV以下の恐竜族をデッキ  
から1体特殊召喚する

なのに1体も恐竜族モンスターが墓地に行っていないからカウンター  
を乗せる所の問題じゃないな。



「イーバトークン達4体で直接攻撃だよお！」

「きゃああ！」

ダメージは合計2000、さっき100のダメージを受けていたからな

残りライフは1900か……もしかしてこれで決まるかな？  
だが羽鳶のライフも残り1400だからな。

兎角が攻撃力1900のセイバーザウルスカディノインフィニティ  
を出せば勝ちだ

イーバトークンの攻撃力はたったの500だしな  
しかし、それ以外のモンスターだと負けだな  
イシュザークの攻撃とイーバトークンの攻撃で終わる。

「私はこれでターンエンドっ！」

なんだか嬉しそうな顔をしている羽鳶  
兎角はこのドローで何を引くかな？

「わ……私のターン、ドローです  
ううう……あ！ やった、私の勝ちです！」

「嘘お！？ この状況で!?!」

ほう？ この状況で勝利宣言か  
セイバーザウルスやディノインフィニティをドローしたか？  
それとも……

「俊足のギラザウルスを特殊召喚します

このモンスターは特殊召喚扱いにすることができます  
その代わり、相手は自分の墓地からモンスターを特殊召喚できます  
でも、場が埋まっているからできませんね」

狙ったわけじゃないだろうが確かにそうだな

俊足のギラザウルスの特殊召喚は相手の墓地にモンスターが居ない時  
それか埋まっている時に使うのが基本だ

復活させて意味が有る時は……阿修羅などの全体攻撃用とか相手の  
モンスター数が必要な時とかかな？

何気にサイバー・ブレイダーとも相性は良い。

「そして暗黒<sup>ブラック</sup>プテラを召喚します  
この2体でイーバトクンに攻撃です」

攻撃力1400と攻撃力1000  
イーバトクンの攻撃力は500  
その差900と500……合計は1400となる  
羽鳶のライフは残り1400、丁度0になるな。

「きゃあ！

あ、あれ？ 私の負け？」

「はい、私の勝ちですね」

「はうー……」

良い勝負だったな、低LVは低LV並に  
一般生徒がここまで酷いとは思わなかった  
この前のルーキーで感じた酷さは間違いじゃなかったな。

「小娘、せめてマシにしてやれ  
アレは……酷すぎる」

「ボクだけじゃ無理だよお  
瑞貴さんも手伝って」

「嫌だ、面倒だし」

「うう……頑張らないと  
友達だもん、強くなってほしいし  
でもでも、やっぱり大変過ぎるよ」

頭が痛いだろうな、俺も痛い  
メインキャラがどれだけ強いのかよく分かった  
そりゃ有名になって当然だ。

拙いな、かなり加減してもこれは目立つぞ  
小娘への悪影響が出てきそうで本当に困る  
相手が弱すぎて小娘の強さが仇になるとはな……  
どうすれば良いのやら……はあ。

「小娘、お前の対戦相手には手加減しろよ  
かなり加減して、ようやく互角だと思ってる」

「そうする、元々ボクは目立つんだもん  
これ以上目立ちたくない」

だろうなあ……はあ

普段だったら全く内容を見てなかったから知らなかったけど  
いざ見てみたらここまで酷いとは思わなかった。

毎回自分の番になる直前までボーツとしてるし  
試験の相手は適当に潰しているから記憶に残らない  
終わったらすぐに帰ってるから見ていない。

はあ……駄目だ、この学園の酷さに頭が痛い  
これじゃあ教頭が言っていたエリート教育とかの話も無理が有る  
エリート以前に、ようやく中堅になれる程度だろう  
元の世界だったら1ターンキルばかりされて嫌気が差して止めるん  
じゃないか？

そしてプロ、アレも酷いのが多いからな  
LV5の通常モンスターを馬鹿正直に生け贄召喚している奴も居る  
しな

アサシンとか、モリンフェンとか、地を這うドラゴンとか  
使うなどは言わないが、せめてサポートカードと一緒に使おうぜ？

しかも勝つならともかく、負けてるから酷い  
確かにそれで勝つのはロマンだろう、だが負けている時点でロマン  
も何も無い

しかもそのプロ、数戦しかしてないのに引退したらしい  
雑誌にとっても小さく載っていたが、印象にも残らない扱いだ。

勝つならプロとしての面目も保てるんだがな  
負けてたら何も無い、好きなカードを使ってる子供と一緒にだ  
勝ち負けよりもロマン優先、勝てるはずが無い。

っと、少し待っていたら兎角と羽鳶が来た  
負けて落ち込んだる羽鳶を兎角が慰めている  
落ち込んだるって言っても、少しへこんでる程度だがな。

「あ、堅守先輩

こんにちは、見てましたか？」

「堅守先輩？」

うう……情けない姿を見られたあ」

「見てたぞ、どっちも酷かったな」

「「え？」」

「瑞貴さん、もう少し言葉を選んで  
そんな言い方じゃ可哀想だよ」

そうは言うが、お前だって同意してるじゃないか  
否定しないのが良い証拠だ。

「酷いって……どういう意味ですか？」

「兎角、お前のデッキは魔法、罠が少なすぎる

恐竜族が基本的にパワーモンスターだからといってモンスターに頼  
りすぎだ

もっとサポートカードを考えろ、中途半端にしているから苦戦する  
んだ

そして死霊の巣を使ってるならもっと墓地にモンスターを送るギミ  
ックを増やせ

除外するにしても、今回は相手が羽鳶だったから勝手に除外してく  
れたけどな

自分だけでもっと回すぐらいしろ、100点満点中15点だ」

「15点……」

「羽鳶はもっと知識を増やせ

相手モンスターの効果も知らずに突撃し過ぎだ、お前は猪かそれに除外するのも良いけどな、全体的にパワー不足だ

サポートするようなカードも少ないし、使い方が荒い

除外に特化するぐらいの勢いで相手のカードを全て除外するつもりになれ

ゼーダ・レティキュラントの効果も微妙に使いこなせてないもつとトークンを利用する手段を考えておけ、12点だ」

「12点ですかぁ……うう」

落ち込んでるが関係無い

いっその事、叩きのめすぐらいにした方がこいつらの為だこれで潰れるようなら、その程度の存在だったって事だな。

「小娘、お前からも言ってやれ

俺が言っていないような内容でな

ついでにお勧めのカードも教えてやれ」

「ええ！？ ボクも！？

うーんと……彰子さんはデイノインフィニティを使うんだよね？

ならゆまさんが使ったブラック・コアを使うのも良いんじゃない？

自分のモンスターを除外したり、手札でモンスターを捨てたり

それから死霊の巣を使って除外して、デイノインフィニティの攻撃力を上げる

他にも、除外したモンスターを再利用する為に異次元からの帰還や次元融合を使ったり

そうすればデイノインフィニティは弱くなるけど、総攻撃で勝ちや

すくなると思うよ？」

本気で驚いている兎角だが、それも仕方無い

小娘がここまで話せるのが信じられないんだろう

子供だと甘く見ていたんじゃないのか？

だったらその考え自体が甘い、俺が勉強を教えてやってるんだぞ？  
この程度ができなかったら生徒失格だ。

「ゆまさんは……その、除外して墓地を使わせないのが目的だと思  
うんだけど

それだったらモンスターを全部除外する次元の裂け目とか使うと良  
いと思うよ？

後、カードが除外される度にライフが回復する魂吸収とかも良いかも  
他には戦闘ダメージを与えた時に相手の墓地のモンスターを2枚ま  
で除外できる霊滅術師カイクウとか

下級モンスターのイシュザークみたいな効果を持っている異次元の  
狂獣とか

戦士族をメインに使うんだったら異次元の生還者が良いと思うよ？  
ついでに彰子さんと同じく異次元からの帰還を使ったらきつと便利  
だけど次元融合は駄目、相手のモンスターも出てくるから」

同じくかなり驚いている羽鳶

そんなに驚くような事……だろうな  
こいつら程度なら実際に驚くだろう。

「小娘はこの知識だけでも高得点だな  
500ポイントやろう」

「やった！」

このポイントというのは小娘にやる気を出させる為に考えた教育方法だ

1000ポイントと引き替えに褒美としてカードを渡している  
10000ポイントと引き替えにすると1つだけ言う事を聞いてやる事にした

おかげで扱いが楽で楽でな……馬鹿な事したら減点もしてるから真面目だし

頭も良いし素直だから不満も殆ど無いそうだ。

ちなみに現在は2400点

カードよりも頼み事が狙いらしい  
何を言うつもりなんだか……

ついでに、勝手に兎角や羽鳶の点数も俺の中でしていたりする  
当然マイナス点である、兎角は-250点、羽鳶は-800点だ  
-2000点になったら完全に見限ろうかと考え中  
今暫くは助言程度ならしてやるよ。

「しかし小娘、そろそろお前の出番だろう？  
準備してこい、内容ぐらいは見ててやる」

「うん、行ってくるね！」

駆け出す小娘とそれを見ている2人  
小娘の戦いが気になるんだろうな。

「お前らも座ったらどうだ？

解説程度ならしてやるよ

小娘がお前らに言える実力だって事を教えてやる」



素直に俺の両隣に座る2人

なお、俺は嫌われているので周囲2席ぐらいいは空いている  
広々として楽だが、周りの視線が鬱陶しい。

理由の1つは気に入らないなどの嫌悪的な視線

もう1つは俺が小娘と一緒に居る事が多いから興味本位の視線  
最後にこの2人と一緒に居る嫉妬の視線だな。

俺は小娘の保護者的立場の人間だぞ？

一緒に居るのは当たり前だし、1人にすると不安だ  
この2人は別に俺に好意を持っているわけじゃない  
小娘の友達だから俺が近くに居るだけだ。

見た目微妙なのが美少女と一緒に居るのが気に入らない？

知るか、こんな馬鹿に興味なんて殆ど無い  
そんなに一緒に居たいのなら自分でどうにかしやがれ  
俺に八つ当たりするな、雑魚ガキども。

小娘の相手はっと……なぬ？

おいおい、いくら寮内戦とはいえこれは無いだろう

小娘が相手だと相性が悪くないか？

お前のデッキはモンスターを揃えたりする事に意味が有るんだろ？

まあ、代わりに小娘もモンスターを奪った所でメリットが薄いがな  
相手のモンスターを利用する方法が限られてるし  
生け贄にしたり単純に攻撃するだけならどうにかなるか。

「あれ？ レイちゃんの相手って……」

「この前五階堂くんと戦ってた人だよねっ？」

確か名前は……万丈目先輩」

どっちが勝つ事やら……

それにしても、どうしてこんな組み合わせになったんだ？

まあ、似非と当たらなかっただけマシか

似非は電池以上に有名人だし、勝ったら困るしな。

だが、これで小娘は手加減ができなくなった

電池が相手だとかかなり苦戦するだろう、相手はメインキャラだしそれにこの前のおジャマの使い方はなかなかだった。

小娘のデッキはどちらを使うか分からんが、基本的にパワーデッキに近い

相手モンスターを奪うので相手に依存するのは否定できないがなそれでも、十分にパワーデッキの範囲内だろう。

「お前ら、よく見ておけよ？

デュエル・アカデミアを若干11歳で入学した小娘の実力をなお前らとは天と地ほど実力の差が有る事を理解しろ」

「「……はい」」

半信半疑の様子だが、別に構わん

すぐに気付く、自分達の弱さと駄目さにな。

これで潰れればこいつらはもう無理だろう、成長は無いな

受け入れれば儲け物、こいつらも成長するし、小娘への変な偏見も消えるだろう

子供だからと思って良い相手じゃないとな……まあ子供なんだが。

さて、勝てればポイントを多めにやるぞ  
相手はあの電池なんだ、それぐらいの価値は有る  
どっちが勝つか楽しみだ……

## 82話【1年生達の實力】（後書き）

カミューラと万丈目ってどうなったの？

カミューラはかなり怒っていました、当然ですね

しかし……万丈目からあまり手に入らない血液を渡されたので一時的に我慢

万丈目はカミューラの事も一応考えておくと話されたので静かにしておくそうです

もし、万丈目がカミューラの事をあまり考えない部屋にした場合瑞貴が許可を出して万丈目から大量の血液を奪う事になるでしょう。

カミューラと吹雪が同室になった……なのに何故描写しない！？

面倒です、お互いに時間があまり合いませんし

カミューラは寮長なので仕事があり、吹雪はその時間には寝ていたりです

殆ど擦れ違い生活なので描写する価値がありません。

そういえば最近明日香が出てこないけど、どうしたの？

レイが瑞貴の部屋に住んでいるので泊まりに来れなくなりました

瑞貴も泊められないので夜道が危ないと言って明日香が夜に来る事を禁止

なので明日香の登場数が激減してしまいました。

まさかの月1テスト！

月に1回はしているテストなのでネタには持って来いです

しかも今回は最後にオマケ付きなので更に美味しい

1回のテストで2度ですので助かります。

この世界では愚かな埋葬って制限じゃないの？

アニメ世界ではあまり墓地アドバンテージは重要視されていないように思えました  
なので墓地にモンスターを送るという効果は無駄な効果という一般的印象  
という設定として考えていますので無制限です。

ポイント方式って……

思いつきです、今後に何か影響が出るかと思います  
これで擦れないレイが凄い……作者の美化し過ぎですかね？

レイの相手が万丈目だと!？

つい……まあそういう訳で次回はそんな内容です。

ツイッター始めました

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
これって宣伝する意味が有るんですかね？

### 83話【月1テスト 万丈目VSレイ】（前書き）

……何故こんなに長くなったんでしょうか？

ギャラリーの頭が悪いのが原因ですね

ここまでになるとは予想できませんでした。

今回は解説の回という感じですよ

色々詳しく話していきます

解説って楽しいですけど疲れますね。

ゆまの話し方を変えました

イントネーションが上がる部分をカタカナに変更

今までの修正していこうと思いますが、片言外国人みたい？

しかしこれ以外にあの独特の話し方を表現する方法が思い浮かばないんです！

一応質問、ひらがなのままが良いですか？

それとも今後も全部カタカナにしますか？

違和感を感じる人が多い場合は元に戻します。

どうでも良い話

右中指を深爪しました、そして血が出ました……痛い

キーボードを叩く時に影響が出ます

別に大した事じゃないですけどね。

どうでも良い話2

通販したタロットカードが届きました

元々興味が有り、欲しいと思っていたので嬉しい限りです

そして開けてみて一言……ふざけんな！

タロットカードってのは左右対称じゃないと駄目なんだよ！

上下も対称じゃないと駄目なんだよ！ ふざけてんのかてめえ！  
……と、久しぶりにリアルで大声を出す程に怒りました  
苛々ではなく、怒るのは本当に久しぶりです……何ヶ月振りでしょう  
うか？

次回はどうか……微妙ですね  
ちょっと時間が空くかどうか分かりません  
とりあえず、まあ頑張りますかねっと。

### 83話【月1テスト 万丈目VSレイ】

視点 瑞貴

始まるな、小娘VS電池戦が  
どっちが勝っても別に構わないが……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻はボクが貰うよ！ ドロー！  
恋する乙女を攻撃表示で召喚！」

出てきたのは女の子と……そっちのデッキを使うのか？  
恋する乙女自体がネックになっているデッキだろ？  
まあ、それをメインに組んだとはいえ、電池相手にどこまで戦える  
か。

「更にカードを2枚伏せて、ターンエンド！」

ま、何も伏せないで終わるとは思ってないけどな  
電池も小娘がどう戦うか気になってるだろうし  
学園祭で見えていたとはいえ、デッキは前回と違うからな。

「レイちゃん……攻撃力400なんかを攻撃表示？」

「あんなの、簡単に負けちゃうよお」

分かってたけどな……どうせ効果を知らないって



そしてコンボ方法も知らないってな。

「恋する乙女は攻撃表示で存在する限り、戦闘では破壊されないそれに、小娘だってそれだけの理由で攻撃表示するような馬鹿じゃない  
ステータスや単純な効果だけしか見てないお前らには分からないだろうがな」

この前の電池とルーキー戦で多少教えたんだがな  
あまり効果が無かったか？

これは更にマイナス点だな、評価が落ちる。

「俺のターン、ドロー！」

俺はアームド・ドラゴンLV3を召喚する！

更に魔法カード、LVアップ！ 場のLVと名の付くモンスターを墓地に送り

デッキか手札から墓地に送ったモンスターに書かれているモンスターを特殊召喚する！

俺が呼び出すのはアームド・ドラゴンLV5だ！」

相変わらず展開が早いな

似非は基本的に展開が遅く、状況が悪化すれば燃え、逆境に強いスロースターター

それに対し、電池は自分に有利な状況を強引に作っていく速攻パワー  
こいつらが戦った場合、電池が押し切れれば電池の勝ち  
似非が最後まで燃えられ、逆境できれば似非の勝ちという感じだろ  
うな。

「ふん、貴様には圧倒的なパワーというのを教えてやる  
そんな雑魚カード、俺の前では無力だという事をな！」

俺は手札からドラゴン・フライを墓地に送り、アームド・ドラゴンLV5の効果発動！

墓地に送ったモンスターの元々の攻撃力以下のモンスターを破壊する！」

へえ……恋する乙女の効果を知っていて使ったのか

それとも単に邪魔だから蹴散らしたのか……後者かな？

ドラゴン・フライの元々の攻撃力は1400、攻撃力400の恋する乙女ではどうにもならない。

「ああ！ レイちゃんが無防備に！」

「黙れ兎角、この程度でグダグダ言うな

受けるダメージだって高が2400、大した問題じゃない」

「大した問題じゃないって……堅守先輩、2400って元々のライフの半分以上デすよっ？

十分に危ないと思えますっ！」

「黙って見てろ羽鳶

デュエリスト

お前らのような下級決闘者には良い勉強になる

貴様らが疎かにしている雑魚モンスターや魔法、罠の使い方だな」

黙る2人、お前らそればかりだな

そんなに悔しいのか？

「アームド・ドラゴンLV5でプレイヤーに直接攻撃！

ダイレクトアタック

アームド・バスター！」

「罠カード発動！ 体力増強剤スーパージ！」

自分が2000以上のダメージを受ける時、ダメージ計算前にライフを4000回復する！

これでボクのライフは8000、さあ来い！」

この程度は当然だな

和睦の使者とも考えたが、どうやらこっちだったらしい  
相手がパワーデッキだと分かっているから恋する乙女から繋げよう  
としたんだろうな。

小娘のライフは5600、まだまだ十分だ

そもそも、あのデッキでは恋する乙女は様子見に近いカード  
破壊されても問題じゃない。

「回復してダメージを軽減所か増やしたか  
俺は最後にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「ボクのターン、ドロー！」

ボクはアメーバを攻撃表示で召喚！」

アメーバか……となると次に使うカードは確実にどちらかだな  
この状況なら当然あっちだろうが。

「攻撃力……300？」

「レイちゃんのデッキってどうなってるのお？」

「小娘のデッキは基本的に攻撃力の低いモンスターしか入っていない  
その代わり、魔法や罠でのサポートが充実している  
後はコンボ用だったり、する事も少なく無い  
下手すればこのターンで……小娘が勝つな」

「「ええ!？」」

そら、動くぞ。

「更に魔法カード、強制転移を発動!

お互いのプレイヤーは自分のモンスターを1体選択する

そして選択したモンスターのコントロールを入れ替える!

ボクが選ぶのは当然、アメーバ!」

「チッ、なら俺はアームド・ドラゴンLV5だ」

「モンスターが入れ替わった

これにより、アメーバの効果発動!

このモンスターのコントロールが相手に移った時  
相手に2000ポイントのダメージを与える!」

「な! 2000ポイントだと!？」

うおおああ……ぐはあ!」

コントロールの入れ替えにより、お互いの場のモンスターが移動する  
アームド・ドラゴンLV5は歩きながら小娘の場に移動して電池に  
敵対した

が、アメーバは電池に覆い被さって潰した……電池の悲鳴はそれだ。

そしてアメーバは何事も無かったかのように電池の場に現れる  
ほんとうに何事も無かったかのように……いっそ堂々としている  
そう見えるのは何故だろうか? 効果が成功して嬉しいのか?

「凄……一気にライフが半分になっちゃった」

「しかもこれで攻撃が通ればレイちゃんの勝ちっ  
凄いなあ、凄いなあ」

「無理だろうがな」

「どうしてですか？」

「相手が実力者だからだよ」

この程度で終わる奴ならここまで強引な手段でダメージを与えないさ  
確実に防がれる、それを承知でダメージを与えたんだ  
相手に伏せカードを使わせる為にな」

そうでなければ態々自分の場のモンスターが消される可能性も考え  
ずにアミーバを出さない

俺の戦い方は基本的に保守的であり、守備や回復をメインにしている  
保険を掛けるのは基本中の基本、小娘がその基本をしていないとは思えないな。

「アームド・ドラゴンLV5でアミーバに攻撃するよ！」

「甘い！ 速攻魔法LVダウン！？を発動！」

場のLVと名の付くモンスターを選択し、デッキに戻す

その後、墓地から同名のLVの低いモンスターを召喚条件を無視し  
て特殊召喚する！

俺はアームド・ドラゴンLV5を元々の持ち主である俺のデッキに  
戻す

そして墓地からアームド・ドラゴンLV3を特殊召喚！」

小娘のデッキ内容は知っているだろうからな、この程度は当然か

まあ、前回と違っているから内心困っていただろうがな。

「あーあ……やっぱり無理か

ボクはカードを1枚伏せて、ターンエンドだよ」

「俺を舐めるなよ？ 俺のターン、ドロー！

この瞬間、アームド・ドラゴンLV3の効果発動！

自分のスタンバイフェイズ時、このモンスターを墓地に送る

そしてデッキか手札から同名の上LVモンスターを特殊召喚できる！

俺はアームド・ドラゴンLV3を墓地に送り、アームド・ドラゴンLV5を特殊召喚！」

こうすれば殆どデメリットが無いな

コントロール奪取回避からLVアップまでの流れが完璧だ

だが電池よ、小娘を侮るなよ？

「更にアメーバを生け贄に捧げ、アームド・ドラゴンLV5を召喚！」

「そのモンスター、貰ったー！ カウンター罠、インターセプトを発動！

相手がモンスターを生け贄1体で生け贄召喚をした時その召喚されたモンスターのコントロールを得る！」

可能性は高くないと思いつながらもそれを使ったか

VWXYZデッキの可能性も有ったんだがな……

まあ、有名所のデッキでのシミュレートもしたからかな？

電池のデッキはアームド・ドラゴンも有ると教えてたし。

「あの……」

「小娘のデッキがどんなデッキか尚のこと分からなくなったか？」

「はい」

それは仕方無いだろう

電池みたいにパワーだったり、破壊だったりじゃないからな  
小娘のデッキはかなりトリッキーだ

回復、バーン、コントロール、更にはロックまで混じっている  
たったの数ターンでは小娘の攻略は不可能だ。

「小娘の基本は相手のモンスターを奪う事だ

相手のモンスターを奪い、その攻撃や効果を持ち主に与える  
屈辱的なデッキだろう……が、言う程簡単じゃない」

「どうしテですかぁ？」

「……もう少し自分で考えたらどうだ？

まあ、解説してやると言った手前、説明してやるけど  
相手のモンスターを使うという事はだ、そのモンスターの効果を知  
らなくてはならない

例えば維持コストが掛かるモンスターを奪っても、相手はそれを回  
避する手段が有る

だが、元々は相手のモンスター、自分にはそんな手段が無い  
奪ったのは良い、それで維持コストが原因で負けました  
それじゃあ単なる間抜けな馬鹿だろ？」

真剣に聞いている2人

だが俺の周りに居る生徒共、お前らまで便乗するな  
聞くのは構わんが、微妙に近づいてくるのは止める

さっきまでの視線が有ったからかなり鬱陶しいんだよ。

「他にも、相手モンスターのコントロールを得るカードは基本的にエンドフェイズ時まで

そうでなければ相手にメリットを与えるデメリット付きのカードばかりだ

例えば精神操作、あのカードはエンドフェイズ時までコントロールを得るが

その代わり、攻撃にも生け贄にもできないという制限が掛けられている

傀儡虫というモンスターは手札から捨てる事で相手モンスターのコントロールを得るが

対処は悪魔族かアンデット族と範囲が狭いので初対面の相手には使えない

さっき使ったインターセプトだって相手が下級や最上級の場合は無駄永続的にコントロールを得る代わりに発動条件が限られているという事だ

ここまで話せば分かると思うが、コントロールを奪うようなカードは使い所が難しいんだ」

「なら、どうしてレイちゃんはそんなカードを使ってるんですかあ？」

「半分は俺が勧めたからだな

初めて会ったのは半年ぐらい前だが、あの時のデッキは酷いものだった

恋する乙女を完全にメインにして、回復系カードも入れないという使いにくいデッキ

多少気に入ったし、使い方やカードの選び方を教えてやったんだカードも少し与えた結果、コントロール奪取デッキの使い手になった



俺もここまでになるとは予想してなかったがな」

学園祭の時、実はかなり驚いたからな  
仮面魔獣デス・ガーディウス、ダーク・ネクロフィアとかな  
しかも俺が居なくても勉強してたのも驚いた  
結果が……今ここに居るとい証拠だ。

「まあそれはともかくだ

コントロールを奪うという事は相手のモンスターを減らす事に繋がる  
相手がモンスター依存デッキだった場合、ズタボロにできるようになる

問題は魔法や罠カードをメインにしていたら貧弱な自分のモンスターしか居ない事だな

攻め手に欠けるから勝つのは難しいだろう

他にも兎角みたいに自分の除外モンスターを攻撃力に変換するディ  
ノインフィニティ

羽鳶みたいに戦闘を行っただけで除外される異次元の戦士なんかも  
困る

前者の場合は攻撃力0のまま役立たず

後者の場合は下手すれば相手に有利になって生け贄ぐらいにしか使えないからだ」

何気に小娘の欠点なんだよな……こいつらって

実は電池は小娘のデッキとは相性が悪いが、小娘も電池のデッキとは相性が良くない。

アームド・ドラゴンは進化させられないし、VWXYZの場合は単体じゃ使いにくい

どちらも最終形態を奪えば良いんだが……途中を奪えば中途半端となる

その上のモンスターを出す手段が電池には多いし、越えられるかもしれない  
奪われたら困るが、リカバリーできるテクニックが電池には有るからな。

「他にも、種族や属性で統一できないからサポートカードが使いにくい

装備カードを奪ったモンスターに装備しても、相手に返す事になるかもしれない

フィールド魔法なんて使っても殆ど無駄、基本能力が低いから殴り負ける

シリーズモンスターを奪っても使い道が無い、融合させるにも素材が揃わないし融合も無い

相手がモンスターを出さなかったら何もできないし、出してもそれを倒されれば終わりだ」

「凄く……難しいんですね」

この時代ではな、元の現代世界だったら酷いもんだ  
奪うだけ奪ったらさっさとシンクロして返す事が無い

相手がどんなモンスターでもシンクロできる使用率が高いゴヨウ・ガーディアン

氷結界の龍 ブリューナク、スターダスト・ドラゴン、レッド・デ  
ーモンズ・ドラゴン

ブラック・ローズ・ドラゴン、ギガンテック・ファイター、A・O・  
J カタストル

……シンクロは嫌いだ、この世界みたいに効果モンスターで出てれば良いんだ！

「ここまで言えば分かるだろ？」

小娘のカードは強いんじゃない、小娘自身が巧いんだ  
テクニクと知識、更に読みまで持って初めて使えるデッキがあ  
のデッキだ

お前らみたいに相手のモンスター効果で一々驚いているような無知  
には使いこなせんよ」

「う……もっと勉強します」

素直でよろしい、少しだけポイントを加算してやろう  
マイナス点なのは変わらないけどな  
おっと、いい加減にあいつらも動くか。

「……アームド・ドラゴンLV5でアームド・ドラゴンLV5に攻  
撃だ！

アームド・バスター！」

「迎撃して、アームド・ドラゴンLV5！  
アームド・バスター！」

当然、同時に破壊されて相打ちだな  
この状況はお互いに悪いな……

電池はモンスターを既に召喚している  
小娘は相手にモンスターが居ないと貧弱  
少々手詰まりかな？

「俺はこのままターンエンドだ」

「ボクのターン、ドロー！  
モンスターをセットして、ターンエンド！」

どちらも動けない状態だな

先にドロ系カードを引いた方が有利になる  
どちらが先にドロするか……

「俺のターン、ドロ……終了だ」

「ボクのターン、ドロ」

セットしたモンスターを反転召喚、ワーム・リンクス！  
ワーム・リンクスで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「チィ！ 鬱陶しい！

攻撃力300程度が俺に逆らうな！」

だが、これで電池の残りライフは1700  
小娘は5600と差は大きめ

……油断はできないだろうがな。

「更に永続魔法、つまりきを発動！

このカードが存在する限り召喚、反転召喚、特殊召喚したモンスターは守備表示になる！

そしてエンドフェイズ、ワーム・リンクスの効果発動！

リバースしたこのモンスターが表側表示で存在する時

エンドフェイズ時にカードを1枚ドロする！

ボクはこの効果でドロしてターンエンドだよ！」

電池にはあまり効果的な方法じゃないんだよな

アームド・ドラゴンが相手だと低攻撃力を晒しているから簡単に効果で除去される

VWXYZが相手での手札を捨てるだけでアッサリと消される

攻撃しか抑制できないからコンボとしてはお粗末だ。

しかし、それは相手が電池であり、除去カードが豊富だからだ  
それ以外の相手ではかなりの難易度を発揮するだろう。

「堅守先輩」

「つまりきを小娘が使うのは基本能力が低いからだ

簡単に戦闘破壊されるモンスターが多いからな、それを防ぐ為に防  
御手段の1として考えられた

相手はこれにより、モンスターよりもつまりきを優先して破壊しよ  
うとする

しかし、小娘にはそれが好都合、モンスターを守るからな

今回の場合、モンスターを守ればそれだけドローできる

小娘のモンスターは行動が遅いモンスターが多いから別にあまり影  
響しない

小細工だろうが、相手の行動を遅らせるには十分効果が有るんだ」

「解説ありがとうございます」

俺って解説キャラだったか？

確かに解説はしてやるとは言ったが……

まあ暇潰しにはなるか。

「俺のターン、ドロー！」

マスクド・ドラゴン  
「仮面竜を召喚！」

「でも、つまりきの効果で守備表示になるよ」

「小細工を……カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「ならエンドフェイズ、ワーム・リンクスの効果で再びドロ―！  
この効果は相手のエンドフェイズでも発動するよ」

これを知った相手はまた焦るんだよな  
早く倒したいのに邪魔されてできない  
あれだけで小娘は3枚もドロ―するような感じだしな。

「ボクのターン、ドロ―！」

手札の補充もできたし、これなら大丈夫かな？

ボクはモンスターをセットして、ワーム・リンクスも守備表示に変更  
カードを2枚伏せてターンエンドだよ  
そしてエンドフェイズ時、ワーム・リンクスの効果で更にドロ―！」

あのコンボって微妙に厄介なんだよなあ

この世界だと除去カードはあまりデッキに入っていないし  
どうしてもパワーやコンボばかり狙う奴が多いからな。

「レイちゃんの大丈夫って何ですか？」

「コントロール奪取デッキを使っているとどうしても手札の消費が  
早い

魔法や罠のサポートも必要だったり、つまずきみたいに守ったりの  
為でもな

だからワーム・リンクスなんて使いにくそうなカードでも使いこな  
すようになるんだ

手札が無いと何もできないからな

その代わり、手札さえ増えれば他のデッキよりもかなり有利になれ  
るのは間違い無い

手札の数だけ相手モンスターを奪うようなデッキになってるからな」

難しいが、相手の殆どのモンスターだって奪えるぐらいまでできる  
デッキだ

恋する乙女がその筆頭、次点はゴヨウ・ガーディアンかな？  
ライフさえどうにかすれば恋する乙女は厄介だからな。

「俺のターン、ドロー！」

マスクド・ドラゴン  
仮面竜を攻撃表示に変更！

ワーム・リンクスに攻撃しろ！」

「罠カード、ドレインシールドを発動！

相手の攻撃を1度だけ無効にし、その攻撃力分だけライフを回復する！

これでボクのライフは残り7000だよ！」

あーあ、電池の奴苛々してるな

あいつは短気だから仕方無いけど

小娘のデッキが相手だと、苛々が最大の敵かもしれんな。

「がー！ 鬱陶しい！」

ターンエンドだ！」

「ワーム・リンクスの効果でドロー

そしてボクのターンで普通にドロー

セットしたモンスターを反転召喚、ブレイン・ジャッカード！

リバー効果発動！ 相手モンスターの装備カードとなり、装備！

そして装備モンスターのコントロールを得る！」

「そうはさせん！ リバーカード発動！ おジャマトリオ！

相手の場におジャマトークン3体を特殊召喚する！」

「あ、それって意味無いよ？」

「何？」

そうなんだよな……

モンスターゾーンが埋まっている状態でコントロールを奪った場合奪ったモンスターは破壊されるというルールだ。

しかし、ブレイン・ジャッカードの効果は装備カードになってから奪うカード

つまり、モンスターゾーンにブレイン・ジャッカード自身が居た空きができる

結果は見ての通り……マスクド・ドラゴン仮面竜のコントロール奪取に成功だ。

「堅守先輩……」

「ルール効果だ、覚えておけ

モンスターゾーンが埋まっている時にコントロールを奪った場合本来なら奪われたモンスターは破壊されるというのがルールだ

しかし、ブレイン・ジャッカードの場合は少々異なっている

ブレイン・ジャッカードは装備カードとなり、装備されてからコントロールを奪う

電池がおジャマトリオを発動し、モンスターゾーンが埋まったのは良い戦術だ

だが、今回に限っては運が悪かったとしか言えないな

装備カードとなったブレイン・ジャッカードは魔法、罠ゾーンに移動する

つまり、元々ブレイン・ジャッカードが居た場所が空いてしまうんだ  
マスクド・ドラゴンよってモンスターゾーンはモンスター4体、だから仮面竜は奪える



ややこしいし、難しいからこれは知らなくても仕方がない、一応参考にしておけ」

「……何でも知ってマスね堅守先輩  
先生みたいデすっ」

元々20歳だよ、もう21歳か22歳になるけどな  
こっちに来る前と来た日が違うから境目が微妙だけど  
お前らよりも5、6歳年上なんだから当たり前だろうが。

……あれ？　もしかして俺って反則？  
これで成績優秀って言われても嬉しくないのってこれが原因か？  
まあ、当然か……年齢が違うんだし。

別に良いか、反則でも

俺が生きているのは今なんだし、将来を少しでも良くする為だ  
成績が良いに越した事は無い、結局人生に勝てば良いんだよ……勝  
てばな？

でも、引け目は感じるのは仕方無いか……こればかりは我慢するし  
か無い。

なお、小娘が電池に同じ事を説明している  
納得した電池だったが、理解した途端に驚いていた  
ナイスノリツツコミ。

そして電池の残りライフは1700  
マスクド・ドラゴン  
仮面竜の攻撃力は1400でワーム・リンクスの攻撃力は300  
合計で1700……ちょうど0になるな。

「よし、ワーム・リンクスを攻撃表示に変更！

マスクド・ドラゴダイレクトアタック  
仮面竜で直接攻撃！」

「そうはさせるか！」

罠カード、レベルの絆を発動！

相手はカードを2枚ドロし、俺は墓地からLVと名の付くモンスターを特殊召喚する！

俺が呼び出すのは勿論、アームド・ドラゴンLV5だ！」

「つまずきの効果で守備表示になるけど……それでも勝てない困ったなあ……攻撃を中断、速攻魔法を発動、神秘の中華鍋！」

この効果で仮面竜を生け贄にし、その攻撃力の1400ライフを回復するよ！」

これでライフは更に増えて8400

電池よ、かなりやばいぞ……大丈夫か？

別に勝っても負けてもどっちでもいいけど。

「どうしてレイちゃんは態々奪ったモンスターを生け贄に？

おジャマトークンを生け贄にしたら場が空くの……」

マスクド・ドラゴン  
「仮面竜はリクルーターモンスターだ

戦闘で破壊された時に効果が発動、デッキから攻撃力1500以下のドラゴン族を特殊召喚する

もし次のターン、アームド・ドラゴンLV5に攻撃され、倒された場合

小娘は1000ポイントのダメージを受ける上、電池の場には新たなモンスターが現れる

相手にリクルーターモンスターを送っても、効果が適用されるのは元々の持ち主だからな

これを利用して、リクルーターモンスターを相手に渡した上で戦闘

## 破壊

ダメージを与えて更にリクルートしたモンスターで追撃をする  
リクルーターモンスターの理想的な使い方の1つだ、一応覚えておけ  
今回は狙った訳じゃないが、結果的にそうなっていた可能性も高い  
小娘は事前にこの事に気付き、戦闘以外の方法で仮面竜マスクド・ドラゴンを除去した  
んだ

ブレイン・ジャッカーが若干惜しかったが……それでも追撃される  
よりはマシだろう」

そして神秘の中華鍋を使ったんだ、ゴヨウ・ガーディアンは手札に  
無いんだろう

握っていたら確実に出していた……か？

いや、出さないか……相手の場には攻撃力2400のアームド・ド  
ラゴンLV5

ゴヨウ・ガーディアンもつまずきの効果を受けて守備表示になり、  
守備力は2000

電池のターンで戦闘破壊されていたな。

あのデッキは攻めと守りの兼ね合いが必要だから尚のこと扱いが難  
しいんだよな

切り替えを自由にする方法も限られているのも問題か

もう少し使い易くすれば良かったな……今更だが、確実に上級者向  
けデッキだ。

「ボクは最後にモンスターをセット

そしてカードを1枚伏せてターンエンドだよ

エンドフェイズ時にワーム・リンクスの効果でドロー」

「俺のターン、ドロー！ 魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2  
枚ドロー！

魔法カード、レベルアップ！を発動！

この効果により、アームド・ドラゴンLV5をLV7にレベルアップ！」

「でも、特殊召喚されたから守備表示だよ」

「問題無い、アームド・ドラゴンLV7を生け贄にアームド・ドラゴンLV10を特殊召喚！

守備表示だろうが関係無い、アームド・ドラゴンLV10の効果発動！

手札を1枚捨てる事により、相手のモンスターを全て破壊する！」

「ええ！？ ぜ、全滅効果！？

きやあああああ！」

これまた派手にやらかしたなあ……

あのデッキ、攻撃とかからの守りは多いが効果破壊にはあまり対応してないんだよな

我が身を盾にとか、天罰とか入ってないし

入れても良いんだろうが、小娘が持ってないし俺も渡してない  
こればかりはどうしようも無いな。

「更に、おジャマトークンが破壊された事で効果発動！

おジャマトークン1体に付き300ポイントのダメージを与える  
破壊されたおジャマトークンは3体、よって合計900ポイントの  
ダメージだ！」

それでもまだ7500もライフが残ってるぞ？

大丈夫か電池よ……小娘も頑張れよ。

「そして俺が手札から捨てたのはおジャマジック  
このカードが墓地に送られた時に効果を発動する  
デッキからおジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン、おジャマ・  
ブラックを手札に加える」

アームド・ドラゴンLV10のコストの確保

それに融合をするのも有りだな

手札はおジャマ達を含めて4枚、融合がそう簡単に手札に有るとは  
……

「更に融合を発動！

手札のおジャマ達を融合し、おジャマ・キングを融合召喚！」

……有ったな、さすがメインキャラだ

ドロ―力が凄まじい……お前は強欲な壺で何をドロ―したんだよ？  
どれにしてもかなり凄いぞ。

だが……この進化と融合はミスだったんじゃないか？

もし小娘がコントロールを奪ってきたらどうする？

アームド・ドラゴンLV10の効果を使われておジャマ・キングは  
消滅

しかも直接攻撃でライフは0だぞ？  
ダイレクトアタック

まあ……どのアームド・ドラゴンでも奪われたらおジャマとは相性  
最悪だし仕方無いか

もしここでおジャマ・カントリーを発動していたら分からなかった  
けどな。

「ターンエンドだ」

「ボクのターン、ドロー！  
うーん……頑張って出したのに、ごめんね？」

「はぁ？」

「相手モンスター2体を生け贄に捧げ、溶岩魔神ラヴァ・ゴーレムを特殊召喚！」

「な、何いー！ー！！！」

そうなんだよなあ……小娘を相手に下手にモンスターを並べるところなる

しかも電池のライフは残り1700だろ？

もし次のターン中にどうにかできなかった場合は終わるぞ？

それに対して小娘のライフは7500

ダイレクトアタック  
直接攻撃を受けても余裕で耐えられる

電池が勝つには次のターン、上級モンスターをドローするか  
それとも自分のモンスターを除去するカードを使うしか無い。

「ボクはこれでターンエンドだよ

ちなみにその子の効果はね、コントローラーのスタンバイフェイズ  
時に効果を発動するんだ

ラヴァ・ゴーレムをコントロールしているプレイヤーは1000ポ  
イントのダメージを受ける

早く何とかしないとボクの勝ちだよ？」

「な……な……」

だが、残念ながら電池のアームド・ドラゴンLV5は既に2体墓地

に送られている

3体入っている可能性は低いのでドローできる確率はかなり低い  
電池よ、ここで状況を打破できるカードをドローしたら勇者だぞ！

「堅守せんば……」

「ラヴァ・ゴーレムを入れた理由はダメージを与える効率の為だ  
もし今回みたいに厄介なモンスターを揃えられた時に除去手段にも  
使える

それに攻撃手段が多くないからダメージを与える手段の1つとして  
活用した

攻撃力は3000と厄介なモンスターを与えているが、守りを固め  
ていればそこまで怖くない

六芒星の呪縛や闇の呪縛を使って動きを止めるのも良い

ラヴァ・ゴーレムを自分の場に呼び戻して効果ダメージ覚悟で殴る  
のも良い

寧ろ、相手のモンスターを消した上に攻撃力3000で攻撃できる  
んだ

1000ポイント程度のダメージぐらい許容範囲内だろ」

「最後まで言わせてくれても……」

「まあまあウサミン、あんまり気にしナイのお」

「ウサミン？」

「駄目？」

「……いいよ」

お前ら仲良いな、小娘の事もあだ名で呼んでやれ  
きつと喜ぶぞ、俺からは小娘だからな。

「お、俺のターン、ドロー！」

「ラヴァ・ゴーレムの効果で1000ポイントのダメージ！  
これで万丈目先輩のライフは残り700！」

「サンダー先輩と呼べ！」

クソ、ラヴァ・ゴーレムを攻撃表示に変更！  
プレイヤーに直接攻撃だ！  
ダイレクトアタック

「罠カード発動！ 拷問車輪！」

相手モンスターの攻撃、表示形式の変更を封じる！  
更にボクのスタンバイフェイズ時、相手に500ポイントのダメージを与える！」

「何だとおおおお！！！」

終わったな、これで電池に勝ち目はほぼ皆無だ  
ドローしたカードが何かで変わるんだが……

「ぐうう……カードをセットし、ターンエンドだ！」

このターンで決められるか見物だな  
どうせだったら派手に決めて欲しい所だ。

「かたも……」

「拷問車輪はラヴァ・ゴーレム対策の1枚だ



それで無くても、相手モンスター1体の動きを止められる

拷問車輪を受けているモンスターが存在する限り、相手に500のダメージだしな

ダメージカードとしても優秀、攻撃封じにも役に立つ

これもあのデッキに合うカードだ、見た目とかには合わないと俺も思っているがな」

「……もういいです、ぐすん」

「よしよし、泣かナいのウサミン」

友達っていいねえ……泣かせたのは俺だけど

周りのお前ら、解説してやってるんだから睨むな

先に言っただけで泣くのは俺だって驚いてるんだ。

「はぁ……悪かったよ

もう泣き止め」

「ううう……」

はぁ……なんだってこんな面倒な

この程度で泣くなよ、泣き虫め

苛める加減が難しいだろうが。

「ボクのターン、ドロー！ 拷問車輪の効果で相手に500ダメージ

シを与える！

装備魔法、自律行動ユニットを発動！

ライフを1500払い、相手の墓地からモンスターを特殊召喚する！

ボクが特殊召喚するのは仮面竜、そして生け贄に捧げてカタパルト・

タートルを召喚！

更に手札から傀儡虫を墓地に捨て、効果発動！  
相手の場の悪魔族、アンデット族のコントロールをエンドフェイズ時まで得る！」

「貴様……何回モンスターを奪ったら気が済むんだ!？」

「気が済むかって？」

何回奪っても、気が済まない！  
だから諦めて？」

「納得できるか！」

電池も頑張ったんだが無理だったか

カタパルト・タートルの効果は生け贄にしたモンスターの攻撃力の半分のダメージを与える

この状況だと、カタパルト・タートル自身を生け贄にしても勝てるんだがな。

「堅守先輩……」

「カタパルト・タートルを使っている理由は奪ったモンスターの運用方法の1つだ

エンドフェイズ時まで奪っても使い道が限られている、攻撃しただけでそのまま返すのも芸が無いだろう？

だったら攻撃後に生け贄にして召喚したり、カタパルト・タートルの弾にすれば無駄が無い

カタパルト・タートルの効果は自分の場のモンスターを生け贄にし、その攻撃力の半分のダメージを与える

今回のコンボで考えるとラヴァ・ゴーレムの効果で1000ダメージ拷問車輪の効果で500ダメージ、カタパルト・タートルでラヴァ・

ゴーレムを打ち出して1500ダメージ  
更にカタパルト・タートル自身を打ち出して500ダメージとなる  
合計ダメージは3500、もう1体攻撃力1000以上のモンスター  
が居れば1ターンキルの完成だな  
もし2体共直接攻撃ダイレクトアタックができれば合計7500のダメージにまでなる  
が……

そんなに都合良くできる可能性はそこまで高くないがな」

「……そんなコンボを実現しているレイちゃんって何者なんですか  
？」

「決まっているだろうが、普通の11歳の子供だよ  
俺が指導したり、自分でも努力して勉強したり頑張っているだけのな  
お前らだってできるぞ？ 努力さえすればな」

目を逸らす奴ら続出、分かってたけどな

どうせ、エリートになりたいとかの考えも有ったんだろう  
何となくで入った奴だって多いだろうし、そこまで真面目に勉強し  
ている奴は少ない

多分、この学園で最も努力家なのは小娘じゃないか？

「カタパルト・タートルの効果発動！

自分のモンスターを生け贄に捧げ、そのモンスターの攻撃力の半分  
のダメージを相手に与える！

ボクはラヴァ・ゴーレムを生け贄に捧げ、その攻撃力……3000  
の半分の1500のダメージだ！」

「う、うわあああああ！」

決まったか……電池が最後に伏せたカードは何だったんだろうな？

ブラフだったのか、戦闘用の罠カードだったのか  
今となっては関係無いか……

こっちに向かって手を振ってる小娘

デュエルフィールド

仕方無いから振り返してしてやると嬉しそうに決闘場から出て行った  
今回の試合で最後だからな、ここにはもう用は無い、俺もさっさと  
出て帰るか。

「さて、俺は帰るぞ

お前らもあんまり長居しないでさっさと帰るんだな

勉強して頭が良くなってる俺からの印象が僅かながらに良くなる  
かもよ」

「今はどうなんですかあ？」

「兎角が－500点と羽鳶が－1200点だ

マイナス2000点になると完全に見限るつもりなので……まあ頑

張れ

俺は別にお前らがどうなっても構わないんだがな、じゃあまたな」

小娘には今回の勝ち星として800点ぐらいやるか

電池を相手に勝利したんだ、それぐらいの価値は有る

あいつもそれなりに良い刺激になっただろうしな。

特化型じゃなくて恋する乙女を使用した混合型で勝ったのも高評価だ  
特化型に比べると明らかにパワー不足だしな

……よく考えたらどっちもそこまで強さに変わり無いんじゃないか？  
どっちも特性が違うんだし、比べる方が間違っていたか。

これからは混合型は特化型の下位互換とは思わないでおこう

それぞれの良い所が有るんだ、我ながら今まで考えが馬鹿だったな  
使いこなす小娘が凄いんだろうが……

……よし、使いこなせた褒美として更に400点ぐらい足してやろう  
何だかんだであいつは強くなってる、俺の予想以上にな。

俺が教えた結果なのか、それともあいつの努力が凄いのか  
単純に天才なのか、はたまた潜在能力か……  
どれでもいいか、決めつけるのもアレだし。

さて、迎えに行って飯でも食うか

頭ぐらい撫でてやれば喜ぶだろうしな。

### 83話【月1テスト 万丈目VSレイ】（後書き）

万丈目の最後の伏せカードは？

考えていませんでした……リビングデッドの呼び声という事で。

レベルの絆の効果が前回と違っている？

アニメ効果に修正しました

効果は罠カードなだけのレベル調整です。

……もう話す事が無いよ？

殆ど解説してますからね

よって今回の後書きに書くことが思いつきません。

とりあえずツイッター

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
まあ……どうでもいいです、はい。

## 84話【初めての……】（前書き）

注意、作者の暴走所か大爆走

かなり突っ走ってますので安心してください  
色々どぶっ飛んでいます。

……とうとうやっちゃいました

ああ、色んな意味で終わった、首を吊ってきます……  
とりあえずキャラ崩壊注意、一部がぶっ壊れてます。

再び新キャラ出しました

彰子、ゆまと同じく登場候補だったTFキャラです  
出した理由は……まあ良いタイミングだったからですね

一発キャラの予定は有りませんが、前者2名に比べて登場率は低い  
でしょう。

恋愛注意、この話には恋愛要素が含まれています

しかしこれは酷い……レイが可哀想過ぎる！

そしてお前は何をしてくれたんだ！

きっとそう思います、自信はそこそ有りますよ？

期待しないでください。

次回は余裕のはず……多分

昨日（時間的に昨日という意味）は腕を執筆以外で酷使したので……  
しかし、ちょっと疲れた程度なので大丈夫でしょう。

## 84話【初めての……】

視点 瑞貴

テスト後、寮に戻ってのんびりとしていた

小娘はマナと話している、やはり女の子同士で話させると俺は楽だ。

マナは結局、マナ自身が我慢できなくなって勝手に出てきた

何日も話してないし、実体化して抱きつけなかったから寂しかったとか……

早く抱き枕にしてくれとせがまれた時は本気で困ったな。

何故なら、小娘が目の前で思いっきり見てたからだ

教育に悪いから俺も暫くは我慢しようと思ってたが、先にマナが脱落した

仕方無いので小娘に事情を説明し、マナを実体化させて生活する事に。

仲良くなったのは良いんだが……同時に抱きつこうとするのは止めろ邪魔だし、暑苦しいし、重いんだよ……さすがに2人同時は無理だちなみに寝る時はマナを小娘と一緒に寝させている  
マナに何度か一緒に寝たいと頼まれたが却下しておいた。

現在、この2人はお手玉中

俺が教えたんだが……古臭くて悪かったな

教えた俺は3個までしかできないのにマナは既に7個できる

小娘は頑張ってもまだ2個、その内3個になるだろう。



俺は相変わらずネットでカード売り中

今日の最大値段カードはこれ、モウヤンのカレー

骨董品カードが嬉しいのか、それとも単なるカレー好きか……

謎の500万という大金で買われたのには驚いた。

おいおい、これはライフを200しか回復しない雑魚中の雑魚カードだぞ？

治療の神　ディアン・ケトの2割しか回復しないんだぞ？

しかも宅配先はこのデュエル・アカデミアのイエロー寮だよ！

買ったの誰だよ！？　　つうか、どこにそんな金が有ったんだ！？

なお、この謎のイエロー寮に買われるまでは20万だった  
こいつ……25倍もの金を出して買うとか馬鹿じゃないか？  
アナシスの海1000万より酷いぞ、アレはサポートカードが多い  
からまだ分かるが。

そんな呆れている時の事

ノックされたのでとりあえず開けてみた

誰かと思えば……

「何の用だ、その2」

「まだその呼び方なんですの！？」

ももえですわ！　　浜口ももえ！

その2扱いは止めてください！」

珍しい奴が来たもんだ

こいつと最後に会ったのはいつだ？

対抗試合の時だったかな？

「で、用は？」

「レイ君に会わせ」

無言で扉を閉めてやった

し我也想いっきり、力強く

閉まった瞬間に何かに当たった気がするが無視。

「瑞貴さん、誰が来たの？」

「気にするな

ただの馬鹿だ」

「???」

気付いてないな、なら大丈夫だ

あいつの存在は確実に悪影響だからな

小娘に友達を作らせるのは良い、がアレは駄目だ。

暫くすると痛みが引いてきたのか扉を何度も叩かれ始めた  
煩いし鬱陶しいんだが……小娘を出すのも拙いんだよねあ。

「瑞貴さん、煩いから出て  
出ないならボクが出るけど」

「それは許さん！ マナ、とりあえず小娘を隠せ！  
ついでに部屋に入るかもしれないから精霊化してろ！」

「へ？ は、はあ……分かりました」

小娘を緊急避難させる

場所は殆ど無いので、仕方無くベッドの布団の中物が少ないんだから仕方がない。

小娘の私物は思ったよりも少なかったしな  
大きめのタンスだけで済んで助かった  
それ以上だと持ち帰らせてやったがな。

小娘が隠れたのを確認し、再び扉を開ける  
開けた所には、額を赤くして少し涙目になっているその2が居た。

「その2か、どうかしたか？  
額を赤くして涙目になって、大丈夫か？」

「堅守さんが扉を閉めたからですわ！  
痛かったんですよ！」

知るか、お前が変な事を言い出そうとしたから悪いんだ  
俺は悪く無い、俺は悪く無いに決まってる！

「で、何の用だ？」

「無視！？ 私の言葉には完全に無視ですよ！？  
それに用はさっき言ったはずですよ！  
私は、レイ君に会いたいんですよ！」

こいつ……まだ性別を勘違いしてるのか？  
女だと教えた方が良いよな？  
教えなかったら小娘にどんな影響が出るか……  
学年が違えど、同じ女子だし。

「あのな……早乙女レイは男じゃなくて女だぞ？  
何を馬鹿な事を言ってるやがる」

「嘘ですわ！

だったら何でレッド寮に居るんですの！？  
女子だったら全員ブルーになっているのに！」

また面倒な……特例って言っても信じないんだろうな  
会わせたくない、会わせたくないんだが……無理か？  
どうにかして会わせない方法は無いだろうか？  
一応言っておくか。

「あいつは特例だ

まだ11歳で、知り合いは俺や明日香ぐらいしか居ない  
あいつを入学させた奴は俺の知り合いでもあるからな  
その理由からか、俺の居るこのレッド寮に押し付けてきたんだよ  
文句が有るならその俺に小娘を押し付けた奴に言ってくれ」

「むう、そんなの関係有りませんわ

私は、レイ君に会いたいと言ってますの！  
誰がとか、特例だとかどうでも良いんですよ  
そんな苦し紛れの言い訳なんて、私には通用しませんわ！」

「言い訳じゃなくてだな……」

あー、もう！ こいつ煩い！

さっさと帰ってくれ！ 邪魔だし迷惑だ！

はあ……うおあ！

溜め息を吐いた一瞬で押し倒されただど!?  
しかもさっさと部屋に入って行きやがった!

「ちょ! なにするん!?」

なあ! お前! 小娘に何をしたんだ!?  
急いで起き上がり、ベッドの方を見ると……

「~~~~~!!!!!!」

ベッドの上で押し倒され、キスされている小娘が……  
あー……これは、どうすれば良いんだ?

多分、その2はずっと会って話せなかったから不満だったんだろう  
それで、今日の月1テストで目立っている小娘を発見  
俺が連れて帰ったのを目撃し、部屋に帰ったのを見計らったの襲撃  
溜まりに溜まった不満が一気に爆発した結果、こうなったと……

って、冷静に分析している場合じゃなかった!  
大丈夫じゃないな小娘! 傷は深そうだぞ!

「貴様は!」

そう言って先ずはその2の後ろ首襟を引っ張る  
突然引っ張られて息が詰まったのか離れる。

「さっさと!」

今度は腕を掴み、その2を背中に貼り付けるように引き込む  
勢いよく引っ張られて完全に俺にくっつくその2。

「帰って！」

その2の体を持ち上げ、床に叩きつける  
当然、優しさなんて全く込めずに力強くだ！

「かはあ！ ごほ！ ごほっ！  
げほっ、げほっ……いったあ」

技あり、決めて……一本背負い  
俺の力ではこれが精一杯だけだな。

「そのまま！」

そして苦しんでいるその2の腕を取り、寝技に持ち込む  
腕を引き、首と腹に足を乗せて体を押さえつける  
最後に片腕だけを思いっきり引っ張って完成！

「死ねやあ！」

「いだだだだだだだだだだだだだだだだだ！  
痛い！ 痛いですわああああああだだだだあああああ！」

技あり、一本、決めて……腕挫十字固  
寝技というよりも関節技だけだな。

「貴様は強引に人の部屋に侵入したあげく！  
小娘相手にキスするとは何を考えているかあ！  
別に同姓を好きになるとは言わんが、相手を選べ！  
その1とか、明日香とかにしておけよこのシヨタコン！」

「いだだだだ！ ジュンコさんとはお友達ですーっ！ いったたたたたたた！

それ、それに明日香様になななっつー！ いだだだだだだだだだだ！

無理言わないでくださいましーっ！ 痛すぎますわああああ！

そもそも、私はショタコンじゃっつああああ！ 無いですううあああああ！

こいつ、このまま指の骨を折ってやろうか？

今、俺の目の前にはその2の指が……折りたいなあ。

「ふえ……ぐす、うああああん！」

「なんぞ？」

「痛い！ 堅守さん！

更に強くするのは止めてくださいまし！

いたいたいたいたいた！ 痛いですわあああ！」

やばい、小娘が泣き出した！

そりゃ泣くな、女の子はファーストキスとか大事にしてるみたいだしうん、これは普通泣く、つまりその2が悪い。

「判決、今は解放してやるが次に会った時は覚悟しておけ」

その2の腕を解放し、その2の襟を掴んで引き摺る

解放されて呼吸を荒くしているその2だが、痛みで動けないらしい好都合なのでそのまま部屋の外に捨てる。

「次はこの程度で済むと思うなよ？」

そう、その2に言ってやって扉を閉る  
泣いている小娘の下へ行くが……こいつ、どうすれば良いんだ？

「ぐすっ……うえ、ひっく……」

困った、本気で困った

どうすれば泣き止むんだ？

「あー……」

何を言えば良いんだ？

大丈夫か？ 大丈夫じゃないから泣いてるんだろうが！

気にするな？ 無理が有りすぎる！

ノーカウントだ？ そう簡単に割り切れる訳が無い

やばい、どうしよう！？

どうしようも無いので抱きしめて慰めてやる

頭を撫でて、落ち着くようにと

無理、俺にはこれぐらいしか思いつかない！

………

………

……

暫く待ち、多少落ち着いてきたように見える

やっぱりこの抱きしめは効果的だな

泣いている奴とか落ち込んでる奴には効く効く

楽で助かるけど、あまり解決してないんだよね。



結局、慰めていると言っても抱きしめてやってるだけだし頭を撫でてやっても落ち着くぐらいしかできないだろうし何も言っていないからこいつがどんな気持ちかも分からん。

ふと、小娘が顔を上げてきた

目元は赤くなってるが、一応殆ど泣き止んだみたいだな  
はぁ……その2の奴、突撃しやがって！

おかげで俺が迷惑を被っっ！？

「……………」

「……………」

「……………」

「……………んん！」

はぁ、はぁ……おま、が……お前、いきなり何しやがる！」

こいつ、俺が気を抜いた隙を突いてき……が、ぐ……キスしてきやがった！

驚いてつい、動きを止めてしまったがなんとか正気に戻り頭を振って振り払って離れたが……本当に、こいつは何を考えてやがる！

「だって………」

「だってじゃない！

おま、が……あーもう！」

小娘を下ろし、立ち上がって部屋から出て行く！  
無理だ！ 落ち着けん！

「あ……」

「頭を冷やしてくる！  
すぐに戻るから待ってろ！」

寂しそうな声を上げるな！  
クソ、何だってこんな事に……

部屋から出るとその2が放り出されたままの状態だった  
腹が立ったので……

「ぐふう！  
げほ！ げほ！」

「貴様が全部悪い！」

腹を踏みつけてやった、当然ながらかなり加減している  
精々、軽く息が詰まった程度だ  
そして引き摺り、女子寮まで持っていく  
貴様はこのまま引き晒し者の刑だ！

「ちよっ！ 堅守さん！？  
足が地面に擦られて痛いですわ！  
それに貴方に痛めつけられて体が痛いんですの！  
せめて歩かせてくださいまし！」

「黙らないと……剥いて剥いで海に捨てるぞ」

黙るその2

黙って自力で起き上がり、なんとか歩くようになった  
だが、そんな事は俺が許さん。

「きゃん！」

足払いをして倒し、再び引き摺る

こいつの足、傷だらけにしてやる！

そうは思ったが、さすがにそれはやり過ぎだと気付く  
仕方無いので次に起き上がったなら倒すのは止めてやろう。

そしてその2が立ち上がったので首もとの手を放す

次に掴んだのは2つに纏められている髪の毛の1つだ。

「へ？ いったたた！」

髪！？ 髪の毛を引っ張らないでくださいまし！

抜けちゃいます！ 痛んじゃいますわ！」

「海の中って……綺麗なんだろうか？」

黙るその2、パート2

痛いと言うが、それぐらいは許してやる。

当然、途中で何人もの生徒と擦れ違った

そいつらは怯えて俺達から離れていく

怯えるような事か？

「あら瑞貴……とももえ？」

「瑞典貴、顔が怖いけど……またもえが何かしたの？」

怖  
い  
か  
？

別に俺の顔は普通だと思うんだが。

「明日香か、これの管理はお前がしておけ  
次に俺達に被害が来た場合、お前に責任を負わせて借金を増やすぞ」

「何故!？」 私にもえの何を管理しろと言うの!？」  
 「そもそも、ももえが貴方に何をしたのよ!？」

「わ、私は堅守さんに何もしてませんわ！  
私がしたのはレイ君で……いたたたたたたたた！」

余計な事を言いそうになつたので髪を引っ張つて黙らせる  
こいつは……許せん！

「1つ、俺を押し倒して強引に部屋に入り込んだ  
少々痛かったが、これはまだ許せる範囲……でもないな  
2つ、小娘を未だ男と勘違いし……あんな事を！  
最後にその後始末として置き土産を俺がくらったんだよ！」

「あだだだだだだだだだだだだだだだだだ」

「……意味が分からないわよ  
私に分かった事はもえが余計な事をした事ぐらいよ？  
ももえ、本当に何をしたの？」

「だから、私はレイ君にいったああああい！」

「余計な事は言うなよ？」

それで変な噂が立って困るのは小娘なんだ  
もし何か有れば……沈むか？」

黙るその2、パート3

それでも髪を引っ張るのは止めてやらない。

「俺はな、半分近く本気でしても良いと思ってるんだぞ？  
それだけ怒ってるんだ、だから……黙ろうか？」

何度も頭を上下に振るその2

そして再びその2の髪を引っ張って歩き出す。

「瑞貴？」

「こいつには俺の機嫌を直す為の犠牲になってもらう  
暫く悲鳴を聞かないと落ち着けそうにない

それぐらい気が立ってるんだ、邪魔したらお前も巻き添えだ」

「ばいばいももえ

頑張って瑞貴の気を静めるような悲鳴をお願いね」

「明日香様！？ 見捨てるなんて酷いですわ！」

「ごめんなさいももえ、貴女の事……きっと忘れないから」

「私は死ぬ事が前提ですよ！？」

明日香様！ あすあだあ！」

漫才はもういい

そういう意味を込めて髪を引っ張る  
歩き出す俺達に手を振る明日香。

俺は明日香を無視して微妙にその2が追いつけないような速さで歩く  
速歩きぐらいの速度なので微妙に髪を引っ張れるんだ。

「ううう……どうしてこんないたあ！

こんな事になったんでいったああい！」

少しでも話すところなる

引くように歩いているのであまり効果が無さそうだが  
ちよっと強く引くと痛みが走るのでそうしている。

俺って優しいなあ、この程度で済ませてるんだから

これ以上の事？ 決まってるだろ、文字通り引きずり回す

そうだな……台車にでも乗せて貼り付け、縛って動きを封じる

次にそれを砂利道の上でも走らせるかな……ガタガタで頭が揺らさ  
れるだろう

最後はデュエル・アカデミア内を連れ回る、辱める為にな。

ここまでのしない俺って優しいなあ

髪を引っ張る程度に抑えてやってるって……本当に優しいよなあ  
それに女子寮までだから学園中じゃないだけ優しいよなあ？

「あの……」

「ん？ なんだ兎角か」

突然声を掛けられて驚いたが、驚くような相手じゃなかった  
しかし、こいつって俺に怯えてなかったか？

今は俺に対してどんな感情を持ってるんだか……好意じゃないと良  
いけど。

「何を……してるんですか？」

「見ての通り、愚か者に罰を与えている  
この程度で済ませてやってる俺の優しさに感謝して欲しいぐらいだ」

「優しさ！？　これが優しさなんですの！？」

「……堅守先輩

どう見ても優しく見えませんけど」

へえ、恐がりの癖によくもまあ……俺に逆らおうとするな  
つまり、こいつはそういう事なのか？

「俺に逆らうとは、お前もこれを受けたいのか？」

「ひ！　い、嫌です！」

「なら黙ってろ

剥いて海に捨てられないだけマシと思え  
引っ張って女子寮まで持っていくだけだ  
それ以上は何もせん……今日はな」

「最後にちょっとだけ聞こえましたわよ！  
今日は何ですの！？　今日はって！」

チッ、聞こえるように言ったが聞こえたか  
案外耳が良かったんだなその2め。

「堅守先輩、何をされたんですか？」

「俺じゃない、小娘だ」

いや、俺もされたが小娘よりは遙かにマシだ」

「レイちゃんが……それで」

「これ以上は言わんぞ」

それに小娘にも訊くな、多分泣く

慰めるのが大変だったんだ……

だから訊くな、分かったか？」

「は……はい」

（本当に何をしたのかな、この人……）」

話が終わったので再びその2を引き摺る

あ、言い忘れた事が有ったな。

「兎角、もし小娘を泣かせたら……」

お前も今のこいつと同じ刑だからな

だから絶対に泣かせないように気をつけろよ」

「ヒィ！ 分かりましたあ！」

これで良し、釘を刺せただけ良いか

これ以上すると、今度は兎角が泣くからな

あまり時間を無駄にするのもアレだし、これで勘弁してやろう。

「（こ、怖かったあ」



堅守先輩、やっぱり怖すぎる)」

その後、特に知り合いと会う事も無く女子寮へ最後の最後にこれぐらいはしても許されると思うそう思った俺は、髪を放された安心しているその2再び足を払って倒し、その上から背中を踏む。

「~~~~っ！ な、何するんですの！？」

「海はー……」

「う……」

「今日はこれで勘弁してやるよ  
もし次に小娘に何かしてみろ……この程度では済まさんからな？」

何度の頭を上下に振るその2  
もしこれで分からなかったらどうしてやっただろうか？  
ぐりぐりと足を捻るようにしていたかもしれない。

っと、さすがに周りの視線が痛くなってきたな  
しかもここって女子寮だった……これは拙いか？

「はあ、俺は帰るぞ

余計な事を言っても許さんからな」

「うう……分かりましたわあ

レイ君には今度謝っておきますわ」

「そうしろ、本気で泣いてたからな」

「（でも堅守さん……見た目とは思えないぐらい痛くありませんでしたわ

声だって怒ってて、派手な動作に口も酷い、私もつい声を大きく上げてしまいましたけど……

最初は本当に痛かったけど……明日香様と会った辺りからかなり手加減してくれましたわね

今回は完全に私が悪かったですわ、反省しますと……）」

さて、気分も晴れてきた事だしいいかな

早く帰って話し合いぐらいした方が良さそうだ

何を話すかは……帰りながら考えるかな。

「ちょっと貴方」

「あん？」

誰だよこいつ……つか、いつの間にか囲まれてるし

俺がお前らに何をした、俺がしたのはその2だけだぞ。

「浜口先輩にあんな事しておいて、そのまま帰るつもり？」

謝るぐらいしたらどうなの？」

リーダー格の女が言うと、周りの女子共も便乗して叫き出す

先輩という事は1年生か……徒党を組んで何がしたいんだ？

「嫌だね、寧ろあの程度で済ませてやったんだよ

本来なら海に沈めたいぐらい怒ってたからな

あいつ自身だって、アレをされるぐらいは悪いと思っているんだ  
どれだけ悪影響が出たか……はあ」

小娘の本気の泣きを見たしな

その2だってさすがに罪悪感の1つや2つは感じただろう  
俺が釘を刺さなくても黙っていたかもしれない。

それでも、許す気にはなれなかったんだ  
確かに少しやり過ぎた気もするが……

「それでも、男性が女性にあんな事をするなんて  
酷いと思わないのかしら？」

「思うぞ、それがどうかしたか？」

「なら……」

「あーもう、煩い

ただでさえ苛々してたんだ、再燃させるような事は言うな  
話があるなら後日にしてくれ、俺は早く帰りたい」

帰ろうとするが、行く先を塞がれた

こいつら……罠り殺しにしてやろうか！

「話はまだ終わってないわよ」

「……邪魔だよてめえら」

周りの女子達が怯えるも、リーダー格の女は怯まない  
度胸は据わってるらしいが、俺には関係無いな。

「失せろ、俺はする事が有るんだよ」

「あらあら、そんなに焦ってどうしたの？  
態々ここまで来たんだから、まだ時間はあるでしょ？」

「しつこいガキだな……」

「ガキとは失礼な……私の名前は藤原雪乃よ  
初めまして、堅守先輩」

へえ、俺の事を知っててこの態度を取るのか  
という事は中学生組じゃないのか？

「俺を知っててその態度  
中学生の成り上がり組は大半が怯えてたが……」

「ええ、私は高校からデュエル・アカデミアに入ったのよ  
よく噂を聞く堅守先輩、知らない1年生は居ないわ」

ふん、有名人ってか？

やっぱり1年生の時に暴れすぎたな  
気分で動く事は今後自重するか

……今がその結果だけど。

「だから堅守先輩、私と決闘してくださらない？  
もし私が勝ったら、浜口先輩に謝ってもらうわ」

面倒だな……しかし受けない事には話が進まないのは目に見えている  
周りの奴らも鬱陶しいし……どうしてやろうか  
こういう女なら、やっぱりこうするべきだな。

「なら、俺が勝ったら……そうだな  
1日、俺に付き合ってもらおうか  
朝から晩までずっと……な」

「なあ!？」

なお、当然お仕置きである  
俺を不機嫌にさせ、時間を浪費させたんだ  
何時間も、何時間も話を聞いて貰うぞ?  
そしてお前には丸1日、何も食わさせない!

勘違いさせるように言ったのは挑発の為  
この女の性格は何となく読めてきた  
プライドが高く、1度言った事は絶対に覆さない  
自分に厳しく、誇り高いタイプだ。

つまり自分から俺を誘った手前、断る事ができない  
こういう奴は自滅しやすくて助かる、相手をするのが楽だ  
勝手に空回りしてくれるからな。

「……いいわ、受けましょう  
噂には聞いてたけど、ここまで最低とは思わなかったわ」

「最低とは……褒め言葉をありがとう  
その最低の奴に負けるお前は……最低以下だな」

「クッ……勝手に言っていると良いわ!」

ふん、雑魚が粹がるんじゃない  
徹底的にいたぶり殺してやる……

どんなデッキを使うかは知らないがな。

今回は苛ついてるんだ、悪質なデッキを使用するべきかな  
ついでに、ここの取り巻きらしき女子共にも俺の恐怖を教えてやるか  
これで俺は益々孤立しそうだが……別に嫌われても問題無いな  
逆に鬱陶しいのが近くに来ない分、気楽だ。

なんだか楽しくなってきた

小娘には悪いが、こいつらの恐怖に怯える顔が見たい  
もう少しだけ待ってろ、じわじわと蝕んでやるからよ。

「ここですと目立つわ

少し離れた場所に行くから着いてきなさい

もし逃げたら……臆病者と学園中に言い触らしてやるわ」

「別にそれぐらいは構わんのだがな……

言った奴は殴ってでも訂正させてやるし」

「っ！ 本当に最低ね」

嘘だ馬鹿、俺にそこまでする気力も体力も無い

そもそもな、その2だって見た目と声で痛がっているが

俺は力が無いんだぞ？ 見た目に比べてそんなに痛くないんだよ

加減だっしてしてたし、本当に見た目だけだ。

はぁ……小娘、大丈夫か？

また泣き出してないと良いんだが……

視点 マナ

えっと……どうしよう？

「うわーっ！ん！」

なんであんな事しちゃったんだろーっ！

あーボクの馬鹿馬鹿馬鹿！」

レイちゃんが……ベッドの上でゴロゴロしてる

しかも泣いているような声を出してるけど、顔が凄く嬉しそう。

「あんな事されても瑞貴さんは喜ばないのにー！

それぐらい分かってるのにー！

でもでも、あんなファーストキスは嫌だったんだもん

だからせめてセカンドキスぐらいは好きな人にとって……きゃーっ！  
」

自分で言っ、自分で思いつきり恥ずかしがってる

落ち込むなんて欠片もしてない、嬉しさで一杯って感じ

最初に泣いたのは何だったんだろ？

「は！ どーしよ、どーしよ！

いきなり嫌われたりしないと思うけど、でも印象悪くしたらどうし  
よ！

お説教で済まされればマシ！？ それとも追い出されたり！？

うあああ！ 一時の欲望に身を任せすぎたあ！

だって顔を上げたら目の前に瑞貴さんの顔が有ったんだよ！

好きな人の顔だよ！ 絶対、思わずしちゃうって！」

喜んでると思ったら今度は困り始めた私、出てもいいのかな？  
混乱してしまいそうだけど……

「レイー、入るわよー」

「はうあ！ 明日香さん！」

あ、明日香さん登場  
なんだか久しぶりな気がする。

「明日香さん、どーすればいいの！？  
ボク、瑞貴さんにとんでもない事を！」

「ええ！？ レイ、瑞貴に何をしたの！？  
私はももえがレイと瑞貴に何かをしたって聞いて……  
レイ、ももえが何かしたの？」

「……………思い出したくない」

『マナ、何があったの？』

『あ、サラ

実は……その、ももえさんって人がいきなり来てね  
何故かレイちゃんを男だと勘違いしてキスを……』

『ええ！？』

それは確かに落ち込むわね……  
私だってされたら落ち込むかもしれない』



「（ももえ……貴女、レイに何てことを！  
それは瑞貴なら怒るわね

どうもレイを大事にしてるように見えるし  
レイに甘い瑞貴だもの、怒って当然か）」

私だって嫌、ホッペとかに友達感覚でのキスなら良いけど  
唇にはちよつと……同姓相手には嫌だなあ。

『それで、怒ったあの人がももえさんを投げて  
腕をこう……引っ張った？

それからレイちゃんが泣き出して、あの人が慰めて……』

『マナ、まだ瑞貴の名前が呼べないの？』

『あう……だって恥ずかしいもん』

名前を呼ぼうとすると噛んじゃうんだもん  
仕方無いよ、無理なものは無理。

『……続きは？』

『うん、レイちゃんがあの人にキスした』

「ええ！？」 『なあ！？』

「いきなりどうしたの明日香さん！？」

「い、いえ、何でも無いわ……気にしないで」

そういえばレイちゃんって精霊が見えないんだっけ

だから明日香さんみたいに話が聞こえない  
明日香さんが驚いた理由が分からないんだね。

『そ、それでどうなったの？』

『あの人は混乱して、レイちゃんを叱って  
頭を冷やすって言って出て行った』

『混乱するような奴かしら？  
それに、叱るって変じゃない？  
喜ぶならともかく……』

うん、私も分かんない  
なんで混乱したのかも叱ったのかも分からないんだ  
頭を冷やすのは混乱してたからだと思うけど。

『瑞貴はレイの事を大事にしてるからよ』

『明日香さん？』 『明日香？』

どういう意味かな？  
大事にしてると嬉しくならない？

『玲ちゃんじゃないけど、レイは年齢的に妹みたいな存在なのよ  
何度か見てるはずよ、瑞貴がレイに優しくしているところ  
私達に酷い分、それがよく分かると思わない？』

うん、私にも時々酷い……  
抱きつくのを我慢しろなんて……無理！

『妹が兄にキスをする、それは世間的に悪い事よ  
兄妹での恋愛っていうのは許されるような事じゃないわ』

一応知ってる、何が悪いのかよく分からないけど。

『瑞貴の感覚からして、そんな感じなのよ……断言できないけどね  
それにレイはまだ子供……恋愛をするにも早い事は否定できないわ  
瑞貴は色々と堅いから、どうしてもそういう事は許せないのよ  
特に、女の子が相手だとね』

（そうじゃなかったら最初にレイが来た時のキスを受け入れたはずよ  
唇は回避するかもしれないけど、頬ぐらいなら許してたと思うし  
レイとは瑞貴が居ない時に学校で何度か話すけど、何もできないっ  
て言ってたものね』

瑞貴が嫌がるだろうからしたくないとも言ってたし』

……私達の常識とは違うんだね

精霊では大人も子供もあんまり無いもん

黒竜の雛とかだって立派に戦うし……

子供でも戦えるなら一人前だよ？

『人間と精霊って違うんだね、サラ』

『そうね、でも私達は人型』

こちらの常識もある程度知っておいた方が良さそうね』

『私からも知っておく事を勧めるわ』

瑞貴は賢い人の方が好きだと思わよ？

モノクロ

白黒兄さんだって、常識知らずよりは常識を知っている方が良いわ  
……多分』

……うん、勉強しよう  
サラ、頑張ろうね。

「レイ、これからどうするの？」

「う……どうしよう？」

瑞貴さんに謝らないと……」

「何をしたかは知らないけど

私も手伝ってあげるから頑張ってね

（さっきのマナサラの話で知ってるけど

私が精霊に見えるのは内緒にしてるから……ごめんね？）」

「うん……はああ」

その溜め息、なんだか嬉しそうな感じがしたのは気のせい？

なんとなく満足したような感じも……

やっぱりキスして嬉しかったのかなあ？

「（何かしら……気のせい？

うーん……レイと瑞貴がキスをした

それって瑞貴的にはアレだけど、多分良い事よね？

複雑な気分になるのはどうしてかしら？

レイが子供だから？　まあ、そんな所か）」

なんだろう、羨ましい

キスってどんな感じなのかな？

私がしたらどう思うんだろう……やっぱり嫌かな？

精霊だから嫌かな……そうだったら悲しいなあ。

今度、ちゃんと許可を取ってからしよう  
強引にして出て行けとか、抱きつき厳禁なんて耐えられないもん  
駄目って言われたら素直に諦めよう  
絶対に駄目って言われると思うけど……

## 84話【初めての……】（後書き）

マナとレイの描写を！

入学とテストの時間が空いてしまったのでできませんでした  
なのでカット、書くと疲れます。

誰がモウヤンのカレーを……

アニメを知っている人は知っているでしょう

あの人です、はい、あの人です

名前？ この作品でもTFでも出てるので思い出してあげてください。  
い。

おい、ももえとレイが……

……そうですね、つい暴走してしまいました

なお、これは何日前から考えていた事なので当然の結果です

ちなみに作者、同性愛は女性同士ならまだ……まだ微妙に大丈夫です

しかしガチでは無理です、マリア様が見てる程度ならまだ大丈夫です  
すけど……

知らない？ まあ……百合系の漫画だったと思いますが……

これもこれでガチですかね？ 途中までしか見てないんで知らない  
んです

今日から魔王、好きなものは好きだからしょうがない

この2作品はBLと知らずにアニメを観ていました……アホですね、  
作者は。

瑞貴が技を！？

この程度ならできます、相手は1人ですし  
それに油断している上に女性ですからね。

ももえ……大丈夫？  
かなり痛かったようです。

そういえば瑞貴って……  
初キスです、前回の人生も含めて  
それが11歳の子供って……元の年齢で考えると10歳差  
混乱は当然でしょう。

瑞貴、逃げた？

逃げました、混乱しているんです  
凄く混乱しているんです、哀れんでやってください  
レイはもっと可哀想ですけど。

瑞貴、ももえに次に会ったらって……  
次に会いました、直後ですけど次は次です。

瑞貴、やり過ぎだろう！  
そうですね、作者もちよつとそう思います  
……しかし作者的にももえがレイへのキスは許せなかったの  
自分でしておいて何を言うかって感じですね、そうですね  
ちなみに、それでも我慢しました、自重しました  
なのでこれで許してください。

雪乃ってこんな感じだったけ？  
この作品では1年生です  
さすがに年上にTFで言っていたボウヤ扱いは無理でしょう  
他にも作者も少々違和感を感じますが……これが精一杯でした。

めげないな……レイ  
これがレイじゃないんですか？    という感じでした

子供と取るか、前向きと取るか悩み所ですね。

明日香、瑞貴がレイに甘いつて知ってるんだ  
見ていれば分かります

恋する乙女編でも十分に出ていました  
作中でも有りますが、レイとは何度も話しているので更に分かり  
ます。

精霊と人間の違いってというのは？

捏造設定、精霊の恋愛ってどうなるのかよく分かりません。

とりあえずツイッターです

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
これってする意味が有るかちょっと疑問です。



## 85話【受難は名前に】（前書き）

とりあえず一言、皆さんの期待を裏切らせてもらいます  
大半の人の期待を裏切った作者はきつと駄目人間  
でも、期待される前からこう書いていたのだから仕方がない  
という訳で……まあ、こういう内容です。

今回の決闘は短め<sup>デュエル</sup>

雪乃が勝手に自爆してくれたので楽でした  
早期決着が……すまん雪乃、もう少し頑張ってくれよ。

次回はそれなりには……という感じですね  
昨日は寝過ぎたのできつと大丈夫です  
眠くない……いや、それはそれで拙いですね。

## 85話【受難は名前に】

視点 瑞貴

藤原雪乃に連れてこられたのは女子寮から少し離れた湖  
その横で決闘デュエルをするらしい  
しかし……別に逃げないから囲むのは止めてくれないか？

「よく逃げなかったわね」

「逃げるなって言ったのはお前だろうが  
それに、こんなに囲まれたら逃げるのが難しいのは見て分かる  
俺は基本的に面倒な事はしない主義だ  
お前を潰すのが一番手っ取り早い」

「……随分な自信ね  
さすが、あの遊城十代に一方的に勝ったと噂されるだけの事は有る  
わね」

「はぁ？ 似非に勝った程度で自慢なんかできるか  
そんな事をしてるも恥だ、無駄だ、馬鹿馬鹿しい」

対策が簡単にできる相手だからな  
そういう意味では、こいつが初めてかもしれないな  
何も情報が無く戦うのは……

大抵の相手は少しでも情報を持っていた  
似非は当然として、明日香、カミューラ、でかいの、水色

小娘、影丸、玲、地獄……その1とその2の場合は僅かなりには情報是有った

いつかのテニス部長だって、テニスという事でも十分な情報だった。

それに比べて今回は完全に無情報  
本来はこれが普通なんだろうがな。

デッキを差し、お互いに構える

どれ、いたぶるつもりだが軽く揉んでやるか  
俺を敵に回したツケを自分で払うんだな。

今回のデッキは……まあ情報が無いからこのデッキにするか  
玲みたいなタイプじゃない限りそう簡単に勝てないデッキだ  
こちらの世界じゃやっぱり苛めだろうか？

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻はくれてやるよ  
レディーファーストってやつだ  
嬉しいだろう？ 女だから先攻を貰えるんだぞ」

「っ……結構よ」

先攻は譲って差し上げるわ」

プライドが高いとこういう時に困るな  
軽く流して素直に受け取れば良いのに……馬鹿な奴だ  
この手札だと……まあまあかな。

「なら遠慮無く、ドロ―  
カードを3枚セットし、俺はこれでターンエンドだ」

「伏せるだけですって？」

下級生だからって舐めないで頂戴！

私のターン、ドロー！」

熱くなると単調になるんだぞ

挑発に乗りやすい馬鹿を相手にするのは本当に楽だ

プライドが高い馬鹿は本当に扱い易い。

「魔法カード、名推理を発動！

相手はLVを宣言、私はデッキから通常召喚可能なモンスターが出るまでドローする

通常召喚が可能なモンスターをドローした時、宣言されたLVでなければ特殊召喚する！

さあ、LVを宣言しなさい」

「なら8だ」

名推理を使うんだ、最上級を大量に入れたギミックのデッキが基本  
まあ、当てられない為にLV6やLV7も入っているだろうかな  
となるとこいつのデッキは推理ゲートかな？

それとも単なるデッキ圧縮か……それは難しいか。

「1枚目……破壊輪、2枚目……アンティ勝負、3枚目……モイス  
チャー星人

モイスチャー星人は通常召喚可能なLV9、よってハズレよ、先輩」

「良かったな、LV9で

嬉しいか？ 嬉しいよなあ？

運が良い証拠だ、これで勝てると良いな」

「クッ、その余裕、すぐに消してあげるわ！」

モイスチャー星人を特殊召喚！

更にクリッターを召喚し、魔法カード、モンスターゲートを発動！

自分の場のモンスターを生け贄に捧げ、デッキからカードを捲る

そして通常召喚可能なモンスターが出た場合、特殊召喚する！

私はクリッターを生け贄に捧げるわ！」

本当、挑発に乗りやすい奴だ

そういう奴は基本的に……速攻を狙う

つまりオーバーキルや巨大モンスターを一気に出そうという習性がある

要は……畏に弱すぎる。

「1枚目……トレード・イン、2枚目……サイクロン、3枚目……

エンジェルナイト  
天空騎士パーシアス

パーシアスは通常召喚できるモンスターよ、よって特殊召喚！ 更

にクリッターの効果発動！

場から墓地に送られた事により、デッキから攻撃力1500以下の

モンスターを手札に加える！

私を手札に加えるのは……リクルーターモンスター、ドラゴン・フ

ライ！」

リクルーターモンスターに推理ゲート……何かな？

可能性としてはネフティスの鳳凰神を特殊召喚する為のサポートモ

ンスター

ネフティスの導き手の可能性が高めだが

他にもリクルーターを使ってでの生け贄の可能性もあるな。

「これで私の勝ちよ！」

「却下、罨カード、威嚇する咆吼  
相手は攻撃宣言ができない」

「ふん、運の良いこと  
ターンエンドよ」

運が良いのはどっちだか……  
このデッキを相手にどこまで戦えるか見物だな。

「俺のターン、ドロー、強欲な壺を発動し、デッキからカードを2  
枚ドロー」

モンスターをセットし、カードを1枚伏せてターンエンドだ  
せっかく直接攻撃ダイレクトアタックができる機会をやったのになあ  
どうして決められなかった事やら……」

挑発は忘れない、相手が馬鹿になるから  
というか、この程度で怒る方が悪いんだ  
口車に乗るから駄目なんだよ、お前みたいな奴はな。

「ぐぐぐ……私のターン、ドロー！  
ドラゴン・フライを召喚！ パーシアスで守備モンスターに攻撃！」

今度は攻撃を素直に通してやる  
そして俺のモンスターは当然……

「俺のモンスターはニードルワーム  
貫通効果持ちのパーシアスで守備力は600だから1300のダメ  
ージだな

よかったな、ダメージを与えられて、そしてドローできて」

「負け惜しみを……パーシアスの効果発動  
戦闘ダメージを与えた時、デッキからカードを1枚ドロースる」

「だが忘れるなよ？」

俺のモンスターはニードルワーム  
リバー効果発動、相手のデッキの上から5枚を墓地に送る  
チェーンは逆順で組まれるからニードルワームの効果が先だ  
デッキの上から5枚を墓地に送りな」

素直にデッキを捨て、ドロースる

どうせ、これで勝てるんだから構わないと思ってるんだろ？  
俺がどうして最低と呼ばれてるのか……よく思い知るんだな。

「これで終わりよ、ダイレクトアタック案外呆気なかったわね  
モイスチャー星人で直接攻撃！」

「誰が終わるかよ……カウンター罠、攻撃の無力化  
攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる」

「タイミングを見誤ったんじゃないかしら？  
せつかく自分のターンでリバー스できたのに」

「破壊される必要があったんだよ  
もっとコンボとかを勉強した方が良いんじゃないか？」

まさか貫通モンスターが出てくるとは思わなかったがな  
ノーダメージで勝つつもりだったんだが……油断した  
まあ、別に影響は無いから良いけど。

「減らず口を！ ターンエンドよ！」

若いっていいねえ、本当に素直で  
なんというか、微笑ましいな  
それでも叩き潰すけど！

「俺のターン、ドロー

永続罠、リビングデッドの呼び声を発動しよう、自分の墓地のモンスターを特殊召喚する

俺が呼び出すのは当然ニードルワーム、更に伏せカードオープン、速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動

自分の攻撃力1500以下のモンスターが特殊召喚に成功した時に発動可能

相手も自分の好きなモンスターを選択する

お互いにデッキ、手札、墓地から同名モンスターを可能な限り特殊召喚する

俺はデッキから2体のニードルワームを特殊召喚だ」

「なら私はデッキから1体のドラゴン・フライを召喚するわ」

どうせ、壁モンスターを増やしただけだと思っているんだろうな  
所詮、ここの生徒はその程度……さっさと俺の狙いに気付けよ。

「俺は更にシールド・ワームを召喚し、効果を発動する

このモンスターは召喚時に強制的に守備表示になる

更に自分の場の昆虫族モンスターの数だけ、相手のデッキの上から墓地に送る

俺の場には昆虫族は4体、よってデッキから4枚捨てろ」

「そのデッキ……まさかデッキ破壊！？」



「今更気付いたのか？」

だがもう遅い、お前の敗北は既に決まっている  
カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

どう足掻いても、お前に勝ち目は無い  
俺の伏せカードは……まあお楽しみにだ。

「早く倒さないと……ドロー！  
ふ、先輩、私の勝ちよ」

ほう？ 勝利宣言か  
この状況を打開するにはバルバロスぐらいだと思っただが？  
それ以外のカードでどうにかするには……全体攻撃や連続攻撃モン  
スター？

しかし……どう見ても推理ゲート、そんなモンスターは入っている  
ようには見えんな  
ついでにバルバロスは超級レアカードだし、だからまだ売りに出し  
てないんだよな  
持っている人間は本当に稀だった……調べたらそうだった。

「魔法カード、大嵐を発動！  
場の魔法、罠カードを全て破壊する！」

「なんだとー  
これじゃあ伏せカードが全部破壊されてしまうなー」

棒読み、挑発の為にな  
可哀想に……まあ頑張ったで賞をやろう

及第点、デッキ破壊は基本的に大半がフリーチェーンカードだ  
それをよーく覚えておくんだな。

「さあ、全て吹き飛びなさい！」

「だが、そう簡単にはいかないんだよなあ……」

罨カード、和睦の使者、砂漠の光を発動し、続いて速攻魔法、皆既  
日蝕の書を発動

チェーンの逆順により、最初に適用されるのは皆既日蝕の書だ」

ちなみに皆既日蝕の書はこの時代に無い

誰も効果が分からず、周りの奴らはお互いに聞き合っている  
なんと滑稽な絵だろうか……

「皆既日蝕の書の効果、それは場の全てのモンスターを裏側守備表  
示に変更する

そしてエンドフェイズ時、相手の裏側守備表示モンスターを全て表  
側守備表示に変更

そのモンスターの数だけ相手はドロースる」

「あら、それって私が有利になるって事じゃない？」

「俺の話を聞いてなかったのか？」

場の全てのモンスター、つまり俺のモンスターも裏側守備表示にな  
るんだよ

この意味、分かるよなあ？ ブルー生徒さん」

「……ニードルワームが再びセット状態に戻る

そして再びバース効果が……だったらこのターンで決めれば！」

決められると思っているのか？

こいつ、また俺の話を聞いてなかったな。

「まだ続きが有るぞ、話は最後まで聞くように  
お前、授業でどんな態度を取ってるんだ？

親にも話は最後まで聞くように言われただろ？  
せっかちな奴だな、もっと落ち着いたらどうだ？」

そうさせない為に、俺がずっと挑発してるんだがな  
ほおら、顔が怒りの色に染まってきた  
怖い怖い、せっかくの美人が台無しだな。

「説明を続けよう

続いて砂漠の光の効果が適用される

自分の場のモンスターを全て表側守備表示に変更する

これにより、リバーズ効果が発動される

ニードルワーム3体の効果により、デッキから合計15枚墓地に送られる」

「わ、私のデッキは残り12枚……という事は！」

「次のお前のターンになった瞬間に敗北決定だな

運が悪いなあ、偶然にもこのデッキに当たるなんて……

お前みたいな名推理とモンスターゲートをコンボで使うような奴には最悪のデッキだ

お前のデッキは自分のデッキという命を削りながら相手を速攻で潰すタイプ

デッキという肉を切らせて相手のライフという骨を断つという戦術だが……本当に運が悪かったな」

「あ……ああ……」

「しかも攻撃しようにも、俺の発動カードの1枚は和睦の使者  
戦闘ダメージは受けない、つまりどうしようも無いという事だな  
効果処理が終了、大嵐の効果で全て破壊される

最後にニードルワームの効果が発動され、処理してデッキから15  
枚墓地に送られる

さあ、お前のターンはまだ続いているぞ、さっさとカードを出せよ  
何もしないんだったら俺のターンにするぞ？」

と言っても、もう俺の声は届いてなさそうだな  
ショックで思考が停止しているみたいだ  
だが、このままだと俺のターンが来ないな……

「おい、取り巻き共  
俺のターンになって良いと思うか？」

俺が質問した瞬間、取り巻き共が逃げ出した  
失礼な……そんなに怖い顔とかしてたのか？  
本気で煽ってないだけマシだろ？  
初対面だから加減はしてるんだぞ。

はあ、どうしようか  
仕方無い、正気に戻すか。

そういえばこいつ、何て呼ぶ？  
藤原雪乃……見た目は薄紫のツインテールっぽい髪型  
ついでに目が赤いから……決まりだな。

「おい雪兎、<sup>せうと</sup>さっさとターンを進めろ」

「雪兎ですって……」

「俺は気に入らない奴とかは名前で呼ばん諦めろ、そしてターンを進めな

俺が何もできん、それともサレンダーするか？」

「誰が……全てのモンスターを攻撃表示に変更！

これでドローする必要は無いわ！

更にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

苦し紛れか……お疲れ様だな

しかし、何か使われると面倒だ

無いとは思うが……いや、可能性は有るか。

「俺のターン、ドロー

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「罠カード発動！ 転生の予言！

私は墓地のカードを2枚選択、そしてデッキに戻してシャッフルする！」

なるほど、事故回避用に入れていたか

推理ゲートだとしてもキーカードになる魔法や罠が落ちる

また落ちる可能性も有るので入れておいた……という所か？

それに、俺が言った通りデッキを削るタイプだ

保険として入れていても不思議じゃない

こいつの実力は中等部からの成り上がりと比べても高いな

やっぱり中等部の教育が緩かったから井の中の蛙という事か。

「ふふ、これで先輩の言葉は外れたわ  
私はまだ負けてない、ドローできるわ!」

「そうだな、素直に褒めよう  
雪兎、お前は確かにそれなりの実力者だ」

「私の名前は藤原雪乃よ! ドロー!」

だが、それでもお前は勝てないんだよ  
このターンでお前の敗北だ  
どう足掻いても、俺には勝てない。

「ドラゴン・フライとパーシアスを生け贄に、可変機獣ガンナード  
ラゴンを召喚!」

パーシアスはダメージを与えるとドローしてしまうからな  
貫通効果も持っているからほぼ強制的にドローしてしまう  
パーシアスのドローを邪魔と思ったのは初めてだろうな。

「ガンナードラゴン、モイスチャー星人、ドラゴン・フライ  
この3体でニードルワームに攻撃!」

俺のモンスターはシールド・ワームが一応残った  
だが……頑張っているのにごめんね?

「私はこれで……」

「速攻魔法を再び発動、皆既日蝕の書  
場の全てのモンスターは裏側守備表示になる

そしてエンドフェイズ……相手のモンスターを全て表側守備表示に変更

表示形式の変更をされたモンスターの数だけ、相手はドローする」

「な!?! 既に攻撃しているから表示形式の変更が!」

攻撃していなければ変更できたんだがな  
効果での変更だと、変更する事は可能だし  
だが、既に攻撃している場合は不可能……

「さあ、エンドフェイズの宣言をしな  
そうする事で皆既日蝕の書の効果が発動する  
お前はモンスターの数である3枚のカードをドローするんだ」

「……………エンドフェイズ  
皆既日蝕の書で表側……守備表示に変更  
そして、3枚ドロー!」

おお、最後まで勇ましいな  
だが、ドローするにも、ドローする為のカードが無いんだよな  
何せ……デッキがたった1枚なんだから。

「どうした? まだ1枚しかドローしてないぞ?  
残りの2枚をドローしたらどうだ?」

「……私のデッキはもう無いから無理よ  
私の負け、好きにきなさい」

潔し、だがつまらん!

「好きにしろ？」

へえ……本当に好きにしていんだ」

「っ……約束は守るわ

負けたら1日、貴方に付き合う

何をされても文句は言わない」

つまらん……こんなのを相手にしても何の得も無いな  
無駄な時間を過ごした気分だ、さっさと帰ろう。

おとなしく待つ雪兎を無視して帰る

雪兎は帰ろうとする俺と見て慌て出す。

「ちょ、どうして帰ろうと……」

何も言わなければ良いのに……真面目な奴だな  
こうなると邪魔だ、鬱陶しい。

「何故俺がお前なんかに関時間を使わねばならん  
お前程度の存在にくれてやる時間はさっきの決闘デュエルだけでも十分だろ  
時間の無駄だ、時間を削ぐ価値も無いのに馬鹿な事を言った……はあ  
俺は帰る、まったく……くだらない時間だったな」

最後の最後まで完全に潰しておく  
ここまで言っておけば落ち込むだろう  
見逃された上、価値が無いとまで言われたんだ  
自分に絶望するんじゃないか？

まあ、これで俺に逆らうような事は無いだろう  
よくよく考えてみたら、何かすればこいつの性格だ



悔しさから見返してやろうと動き出す可能性が高い。

付きまとわれる可能性が高くなっていたんだ  
放っておいて正解かもしれないな  
悔しそうな顔を見れたのがさっきだけというのは惜しいが  
何度も相手をするよりはマシか。

雪兎はもしかしたら泣いているかもしれない  
だが関係無い、価値の無い奴を相手をしてやる必要は無いからな  
あそこまで叩き切ったんだ、仕返しをしようという動きは起こさな  
いだろう  
精々……頑張って立ち直るんだな。

……  
……  
……

部屋の前にまで戻ってきたのは良いんだが……どうする？  
落ち着いたのは良いんだが、小娘をどうするか考えてなかった  
まあ、入ってから考えるか。

「戻ったぞ小娘  
調子はどう……」

な……なんぞ？

「……………」

「おい小娘」

「ごめんなさい」

いや、何故謝られているんだ？  
つうか土下座は止めろ。

「だから……」

「ごめんなさい」

「あなの？」

「ごめんなさい」

「話を聞け！」

いきなり何をしてるんだ貴様は！」

体が跳ね上がるぐらいに驚く小娘  
何がしたいんだ、このガキは！」

「つうかそこで見てる明日香  
お前、小娘に何を吹き込んだ」

「何も吹き込んでないわよ  
詳しい事情は知らないけど、レイが謝りたいって  
貴方が嫌がるような事をしたから嫌わないで……だって  
私は貴方と話した後、レイが気になったから見に来ただけよ」

別にお前がどういう理由で来ようがどうでも良いっての  
今更だし、来ても違和感を感じない  
寧ろ今回は助かる、小娘をどうすれば良かったのか分からなかった

からな

少しでも慰められたのなら俺も楽だ。

「はぁ……あのな小娘

別に俺は怒ってないぞ？」

「え？ そうなの？」

「お前は俺をなんだと……

不意打ちは確かに良くないし、いきなりは無いだろぅが  
まぁ……アレだ、どう言えはいいのか……」

「（瑞貴、照れてるわね）」

『（照れてる？）』

『（絶対に照れてるわ）』

どう言えば良いんだ？

本当に困る、下手な事を言いたくないし

あー、どうしよう！

「……嫌だった？」

「そういう訳じゃないが……

俺からしたらお前は……あー……」

これ、言うのは拙いか？

一応好意を寄せられているんだぞ？

しかもキスまでしてきた相手だし……

そんな小娘を相手に妹感覚とか、お前の保護者の立場とか言うのは簡単だが、言うには……ちよつとなあ  
女性として、恋愛対象として見てないだけに困る。

そういう意味で見てないから下手な事も言えないしこいつを悲しませるのは本意じゃないから余計に……  
やっぱり考えてから接すればよかった！

「……………」

「……………」

「（早く何か言いなさいよ！）」

『（何？ 何を言うの？）』

『（……………まだ？）』

ぐ……期待するような顔をするな  
縋るような顔をするな、そして見つめるな！  
あー！ どうすれば！？

「あの……」

「な、なんだ？」

って、何緊張してるんだ俺は！？  
誰だこれ！？ 俺じゃない！

「（緊張してる？）」

『（緊張してるの？）』

『（緊張してるわね）』

何か言うなら早く言ってくれ！  
こっちも動けん！

「怒ってる？」

「は？ いや、別に怒って無いが……  
もっと……いや、違う……しかし」

もっと自分を大事にしろって言いたいが  
それを言うのは駄目だろ  
前回みたいに未遂じゃなくて実行したんだから  
小娘に悪すぎる、言うような事じゃないな。

「（焦れたいわね  
もう思いつき言いたい事を言えばいいのに！）」

『（何て言うの？ 凄く気になる！  
まだ？ まだかな？）』

『（……は！ これって単なる出歯亀じゃない！  
でも見るのを止められない……何故かしら？）』

誤魔化す方向には……いや、それも悪い  
だが俺が何かを言うのもアレだ

こうなったら……勘違いさせる方向に持っていく！  
誤魔化しも多少混ぜるがな！

「あー……レイ、もうあまり気にするな  
もう二度と強引にしないように、分かったな？」

「え？ 今名前で……  
（もしかして……キスを受け入れてくれたのかな？  
ボクの事、女の子として見てくれたのかな？）」

「（瑞貴が名前で呼んだ!?!?  
という事は……受け入れたという事!?!?)」

『（わー、レイちゃんおめでとー  
今度一緒に名前で呼ばれて良かったねパーティーでもしよう!）』

『（……なんとなく引つかかるのは気のせいかしら？  
好きとか、そういうのじゃなくて微妙な感じがしたんだけど）』

後は勝手に勘違いするだろう、受け入れたとか何とかってな  
当然無いが、これで微妙な雰囲気は外れるだろう  
今後変えるのは呼び方だけ、今までと態度は絶対に変えん！  
少なくとも、学園に居る間に恋愛とかはご免だ！

恋人なんてできたら弱点を晒す事になるんだ  
今後、トラブルに巻き込まれた時にそうなると困る  
見捨てられるような相手じゃないと面倒だ  
しかし……本当にこのガキは俺を困らせてくれるな！

はあ、別に見捨てるのは簡単なんだけどな

小娘……いや、もうレイか

レイだと保護者という立場上難しくなる  
やっぱりできるだけ一緒に居る方が良いな。

「さて……そろそろ飯だ

行くぞレイ、明日香はどうする？」

「ふふ、今回は遠慮しておくわ  
じゃあね2人共」

明日香はそのまま帰っていく、何を思った事やら  
勝手に勘違いしてくれるのは助かるから何も言わないがな  
何も言わなければ良いだけの話だし。

「（名前で呼んでくれた、名前で呼んでくれた）」

肝心のレイはなんだか感激してるな

そんなに嬉しいのか？ 名前で呼んだだけだろ？

しかし本当にレイ玲でややこしいな……

同時に現れた時には小娘と呼べばいいか。

「レイ、行くぞ

来ないなら置いていく」

「あ、行く！ ボクも行く！」

はあ、やっぱりまとわりつかれるか  
鬱陶しいが……これぐらいは我慢するか  
顔が戻っただけでもマシだし。

だがレイよ、これだけは頼みたい

夜、寝ている間に襲うのは止めてくれよ？

年下の女の子に襲われたなんて……さすがに男としてアレだ  
まあ、そこまでの知識は無いだろうから大丈夫のはず

そう思わないと……本気で追い出してしまいそうなんだよ！



## 85話【受難は名前に】（後書き）

モイスチャー星人って確か……

超高額で取引されたカードですね  
どうして持ってるんでしょうか？

瑞貴がダメージを……

貫通は少々予想外だったようです  
これは素直に無理でした。

取り巻きが逃げた理由って？

最後で淡々としている瑞貴が怖かったからです  
それまでは嫌味っぽいという感じで見ていました。

何故雪兎？

色白、ツインテール、赤い眼

これらから雪兎ゆきうでしたが

兎と読むには長いので雪兎せきととしました。

転生の予言！？

いや、さすがにこれで終わるのは可哀想になったので……

一応この時代にも出ています、高価という設定にしていますけど  
なら何故持っているんでしょうね？

レイや明日香は弱点じゃないの？

どうでしょうね

瑞貴自身は弱点だと思っていないようです  
まあ……ご想像にお任せします。

ツイッター……

http://twitter.com/#!/ainkuria  
これって宣言する理由って有るんですかね？

## 86話【1年生達の勉強会】（前書き）

今回で1年生達のは終了ですね  
次回からいい加減に話を進めていきます  
ストーリーの加速化は次回から  
とりあえず今回で1年生達はちよつとストップです。

キャラ崩壊注意（特に雪乃）

今回も数名崩壊しています

文句は受け付けますが、変更をするつもりは有りません  
雪乃が出た時点でこうする事は最初から決めていたので……  
何度文句を言われても変えません、しかし今後は（多分）自重します  
やっぱり強引過ぎますかね？

章で頑張れ1年生を付け足しました  
ちよつと長いのでこういう事に……

頑張れ1年生達！

次回は大丈夫でしょう

それなりに時間もあるので

アニメを観ながら書くので本当に楽で楽で……  
という訳できつと大丈夫です。

## 86話【1年生達の勉強会】

視点 瑞貴

テストからそれなりに日数が過ぎた日の事

途中、似非の部屋が騒がしくなったがどうでもいい  
だが煩いんだよな、ドンダザウルスだ……意味が分からん。

しかしアレだ、少し言わせてくれ  
お前ら……押しかけてくるなよ！

「部屋が狭い」

「あはは、ごめんね」

「その……お邪魔します」

「こんにちはー！」

「……………どうも」

別に集まる事は良いんだけどな

態々この部屋でする事は無いんじゃないか？  
狭いんだからあんまり人数を集めるなよ。

「しかし意外だな、お前が来るなんて」

「お気になさらずに」

「いや、無理だろ雪兎<sup>せきと</sup>」

「雪乃です!」

本当、こいつは何しに来たんだ?

しかもレイの友達として来やがって

半分ぐらいは俺が目的な気もするけど。

まあ、レイとの勉強が目的なら邪険にするのも悪い

レイという繋がりがある限りは雑に扱う程度で許してやろう

そういえばまだ1日付き合えというのが残ってたな

何か有れば使って代わりにさせるか。

「一応聞いてるが、勉強会だったな

態々狭いこの部屋に来てする事は無いと思うんだが?」

「堅守先輩にもできれば教えてもらいたくて……」

「お願いしますよー」

「……お願いするわ」

最後のはお願いじゃないだろ

プライドが高い事が良く分かるな

しおらしいのは似合わんが煩くなくて良いか。

「レイが対応できない問題だけな

基本的にはレイに訊け、そいつにはかなりの知識を与えてるんだ  
お前らみたいな低脳を教えるぐらいはできる」

嫌そうな顔をされるが無視

どうして俺が教える必要が有るか  
面倒だ、さっさと終わって帰ってくれ。

そして勉強会が始まる

俺はPCでも弄って暇でも潰すか。

.....

.....

.....

最初は羽鳶

除外だからなあ……

「例えばこのタイミングで異次元の戦士を使うと

自分も除外されて場が空になるでしょ？

だったら攻撃しないで裏側守備表示にして待つとか」

「でも、除外できるんだったら効果的だと思うんだー

望んだ相手を除外できるとは限らないデしょっ？」

「フォローできるなら良いけどね

だからここでは罠を張って……除外するんだったら次元幽閉だけど  
あのカードって凄く高いんだよね……瑞貴さんは持ってる？」

「次元幽閉？ 持ってるぞ

欲しいなら買え、相場よりは安くしてやる  
1分ぐらいならな」

「1分って……殆ど変わらないじゃないですかあ」

「そう、なら諦めな」

「待ってくださいー！」

値段を言われてかなり悩んでいた

1枚でこの値段は……まあ仕方無いだろう

諦めてドレインシールドでも積んでろ

アレはそこまで高くないし。

次は兎角

恐竜族といったら何が有ったかな？

後で調べてみるか。

「やっぱりパワーがディノインフイニティだけじゃ……」

それにこの前みたいに除外されたら意味が無いよね？

リビングデッドの呼び声とかみたいに蘇生カードが必須だけど

さすがにこのモンスターまで除外されたら……」

「どうすれば良いかな？

私はやっぱりディノインフイニティをメインにしたいんだけど」

ディファアロモンスターオブバル

「だったらD・D・Rとかはどう？

除外されたモンスターを手札1枚をコストにして特殊召喚する装備  
魔法

他のモンスターも出せるし、手札の恐竜族モンスターも捨てられる  
から丁度良いと思うよ？」

「装備魔法……あんまり似合わない気がする」

「そんなの言ったら切りが無いよ？」

他にもアームズ・ホールを入れるのも有りかな？

それならもつと装備カードが欲しいんだけど恐竜族だし……」

「うう……ジュラシックワールドが欲しいな」

「俺は持ってるぞ」

「本当ですか!？」

「ああ、欲しいなら買え

次元幽閉と同じく1分ぐらい安くしてやるぞ  
それも割と希少カードだから高いけどな」

「うう……お金があ……」

こいつも悩んでいる

しかし妥協はせん、諦めて買うんだな。

最後は雪兎

というか、こいつは何しに来たんだ？

「ちょっとデッキを見せてね……うわあ凄  
いパワーデッキだけど事故率が高くない？」

「問題無いわ」

「大問題だよ！

このデッキはあまり罠とか使わないから……



うん、黄泉ガエルとか入れるのは良いかも  
生け贄とかにもできるし、伏せカードも少ないから」

「嫌よ！ 蛙なんて入れたくないわ！」

「我が儘だなあ……だったらマシユマロンとか魂を削る死霊は？  
壁モンスターとして優秀だからきつと役に立つよ？」

「……持っていないのよ」

「俺は持ってるぞ

買うなら以下省略だ」

「買うわ！」

即答かよ……別に良いけどさ

だけどこいつだったたら割高にしても良いと思う

俺に迷惑を掛けさせたんだからな。

最後にレイに対しての講習かな

俺が担当する事になっているんだが……

「最初はこのカードの名前と効果の説明から始めろ  
当然、覚えているよな？」

「亜空間物質転送装置

自分の場の表側表示のモンスターをエンドフェイズ時まで除外する  
カード

確か扱いは特殊召喚じゃなくて戻ってくるだけだから特殊召喚できない  
モンスターも戻る！」

「正解、なら使い方の説明をしてみろ  
どこまで言えるかテストだ」

「えっと……魔法や罠の効果の対象になった時に回避したり  
除外される事で意味が有るカードを除外してみたり……」

例えば、相手より攻撃力が劣るディノインフィニティに攻撃された時  
ディノインフィニティ以外の恐竜族を除外して攻撃力を一時的に1  
000アップさせるとか

自分のターンにして除外モンスターが7体になったらカオス・エン  
ドとかも良いよね

最後にはそのモンスターだけ戻ってくるんだし、せっかく出せた最  
上級モンスターとかも守れるもん

奪ったモンスターはエンドフェイズに相手の場に戻るからボクのカ  
ードとはあまり相性が良くないけど……」

「90点かな、もう少しだけ頑張ってほしかったがこれぐらいでも  
いいだろう

基本的な事だが攻撃された時に回避し、モンスターを守るというの  
も言わなければならない

少々惜しいが殆ど完璧だな、できれば攻撃させたいモンスター1体  
だけを残すという手段も有る

他にもネクロフェイスみたいに除外される事で効果を使えるモン  
スターも存在する

ネクロフェイスを使うならデッキ破壊にも使えるから便利だな  
他にも制約効果がリセットされる事を忘れたら駄目だ

例えば妥協召喚モンスターの可変機獣ガンナードラゴンや神獣王バ  
ルバロス

こいつらの攻撃力も元に戻って2800や3000になるんだ  
特定の条件で特殊召喚したモンスターも謎に残るという手段も

有る

リビングデッドの呼び声で蘇生させたモンスターは関係が断ち切られるから完全蘇生だな

リビングデッドの呼び声は場に残るからハリケーンとかで手札に戻せば再利用が可能だ」

「そっか……攻撃から守るのを忘れてた  
利用法ばかり考えて単純な事だったね  
でももっと利用する方法が有ったんだ……」

「（あれ？ これって私達にも講習してる？  
除外でもそういう方法が有るんだ……考えてみようかな？）」

「（気のせいかな？  
私達に教えてるような気がー……  
カオス・エンド、使いにくいと思ってたけど入れてみようかなあ）」

「（参考になるわね……妥協召喚モンスターも考えてみようかしら？  
もっとガンナードラゴンを入れたり、亜空間物質転送装置を入れたり……」

さすがにバルバロスは高価過ぎて難しいけど）」

「次はこれだ、分からなかったら補習授業  
寝るまで続けるぞ」

「だ、大丈夫だよ  
ディファインドモンスターー

D・D・M、モンスターで光属性

魔法使い族で、ステータスは……忘れた

効果は手札を1枚捨てて、除外されている自分のモンスターを特殊  
召喚する

1ターンに1回しか使えなくて、メインフェイズにだけ効果が發動できる」

「惜しい、捨てる手札は魔法カードという決まりが有る

ステータスは攻撃力は1700で守備力は1500のLV5のモンスターだ

生け贄が必要だから注意するように

大半は覚えているみたいだから許すがな

こいつと相性が良いカードを挙げて解説」

「うーん……モンスターだから難しいなあ

魔法使い族だし、マジックブラストかな？

墓地に有る時、ドローの代わりにこのカードを手札に加えられるから

ドローカードがD・D・Rになると思ったら安いと思う

ディファクトモンスター

できればドロー効果付きのカードと組み合わせたいけど、難しいかな？

ボクみたいにワーム・リンクスを使うのも1つの手だけど

他にはディメンション・マジックやマジシャンズ・サークルかな？

上級モンスターで攻撃力が低いし、これでサポートして召喚を早くする

だとしたらデッキは魔法使い族が多くなるから……魔法使い族で除外って何が有ったつけ？」

「カオス・ソーサラー、混沌の黒魔術師、ファイアーソーサラー

闇の道化師のペーテン、カードエクスルーダー、霊滅術師カイクウ

魔法使い族でお前らも知っていて使えるのはこの辺りだろうな

最上級モンスターで攻撃力も高く、扱い易いのは混沌の黒魔術師

汎用性が高く、召喚も条件を満たす事は割と楽なカオス・ソーサラー

下級モンスターでアタッカーにもなれる霊滅術師カイクウ

まあ魔法使い族でも使うならここら辺りだろうな

他の奴らは用途がかなり変わりそうだったり、使いにくいのでお勧めしない

魔法使い族のサポートと合わせて使うならデイメンション・マジックを使うとすれば混沌の黒魔術師

マジシャンズ・サークルと使うのなら霊滅術師カイクウ

どちらも使わずに属性を闇と光を多めに突っ込んだ除外にするならカオス・ソーサラー

他にも有るが、とりあえずこんな所だろうな

ちなみに混沌の黒魔術師は自身の効果で勝手に除外されるからな  
ディファブイメンスタター

D・D・Mの効果で特殊召喚が狙いやすい」

「(……もっと勉強しよう)」

「(戦士族と魔法使い族を混ぜてみようかなあ  
連合軍とかも入れたら良いかなあ?)」

「(そういえばデイメンション・マジックって最上級モンスターも出せるのよね?)」

「ちょっと魔法使い族も考えてみようかしら?」

こんな感じで過ぎるな

勿論、これらだけじゃなくて他にも何枚もしたぞ  
観客が観客だから除外系を中心にしたけど。

………

………

……

少し時間が遅くなってきたので強引に帰そうとする  
しかし駄々を捏ねるので……

「ポイント……減らすか？」

「「う……」」

雪兎にもポイントを教えて既に実行中

現在兎角は－750点、羽鳶は－1000点、雪兎は－1800点  
雪兎がこれ以上俺に何かした場合、確実に－2000点になるな  
そうになったら例えレイの友達でも完全に無視する。

「暗くなってきたら例えこの学園でも危ないだろ  
不審者は出ないかもしれんが、馬鹿な生徒だって居るかもしれん  
集団だって危ない時は危ないんだ、分かったら帰れ」

「分かりました」「はい」「……分かったわよ」

帰って行く2人……2人？

何故残る雪兎、お前も一緒に帰れ。

「さっさと帰れ雪兎」

1人だと危ないだろうが」

「少し、話させてくれない？  
できれば2人だけで……」

どうも真剣な話っぽいな  
うーん……チッ、面倒な奴だな。

「おい兎角に羽鳶！  
雪兎が少し遅れるからもう少し待ってろ！」

雪兎が遅れていた事に今更気付く

話し合いでもしてたか？

まあ雪兎は遅れて入ったから仕方無いか。

「レイはあいつらと適当に話してろ

俺は雪兎と話すから」

「うん、わかった」

面倒な事だ……つまらない話だったら100点減点してやろうか  
そうなると残り100点でアウトだな

あそこまで雪兎のポイントが少ない理由は凄まじく簡単

俺に突っかってきたから、それだけでも1500点のマイナスは  
当然だ

最後の態度も気に入らなかったから300点マイナスで合計－18  
00点だ。

少し離れ、寮の裏に移動する

誰も居ないし、レイ達も覗いていないな

もししていたら……まあ説教は確実か。

「で、何の用だ？

レイに近づいた目的が俺というのも分かってる

この前の仕返しでもしたんだっただら受けないぞ」

「……そういうのじゃ無いわ

レイに近づいたのは確かに貴方が目的

それは否定しない、だけどそれは切欠だけ

今は普通にお友達よ」

なら良いか

完全にそれだけと言うんだったら殴ってでも許さなかったかもしれないな

……気のせいかな最近、思考が危ない気がする  
どうしたんだ？ 別に大した問題じゃないけど。

しかし、さっきも思ったたが随分しおらしいな  
会ってそんなに経ってないがらしくない、どうしたんだ？  
まさかまだ立ち直ってないとか？

慰めて欲しいってか？ 巫山戯んな、誰がそんな事するかよ。

「……貴方に言われたわ、私に価値が無いって」

「言ったな、今も有るとは言えないけどな  
さっさと済ませろ、俺も暇じゃない」

「っ……」

嘘だけどな、十二分に暇だから付き合ってるんだろ  
うが？ 今、悔しそうに口を歪ませたな  
どうやら随分と効果的だったらしい。

「う……はあ、はあ」

今、泣きかけなかったか？

なんとか耐えたみたいだが……

泣かれると困る、後でレイ達が煩くしそうという意味で  
別にお前に泣かれる事はどうでも良い。



「あれから何日か落ち込んでたわ  
凄くショックだった……あんな事を言われたのは初めてだったから」

そりゃな、お前みたいな美人に言う奴は滅多に居ないだろう  
というかそんな事を言う奴がそうそう居るか？

俺は普通に言うがな、どうでも良い相手だし  
嫌いとか、それ以前の問題だ。

「……この前、男子生徒に告白されたわ」

「話の繋がりが意味不明だろ  
そりゃおめでどう、だから何？  
って感じだけだな」

「その時に貴方に価値が無いと言われたのを思い出してしまったのよ  
お断りしたわ、価値の無い私が誰かと付き合おうだなんて烏滸がましいもの」

あれ？ こいつの性格がぶっ壊れてないか？  
もしかして俺、こいつの人生と性格と将来と希望を根絶やしにした？  
……何か問題有るか？ いや無い、故に気にする事でも無いか。

「どうすれば……私に価値は出るの？」

「知るか、自分で考えろ」

……あ、つい切り捨ててしまったな  
別に切り捨てても問題は無いんだが、さすがに泣くか？  
そう思ったけど、そんな事は無かった。

「貴方ならそう言うと思ったわ」

こいつ……俺と数時間程度しか話してないよな？  
なのにここまで読まれる俺って何？

もしかして俺は自分で思っているよりも単純なのか？

「ねえ」

「あ？」

「私と付き合ってくれない？  
用事とかじゃなく、恋人として」

うわ、勘違いしたとして用事扱いしてやろうと思ったら逃げ道を塞がれた

って告白！？ 意味が分からん！ 俺は好かれるような事、何もしないだろ！

「悪いが断らせてもらう  
というか、どうしてそう思ったんだ？

お前が俺を好くような事は無かったと思うんだが……  
それに、俺なんかと付き合っても意味無いだろ？」

絶対に損しか出ないと思うし  
それに俺は嫌われてるんだぞ？  
見た目や性格から好かれるであろう、お前とは合わないだろ  
どんな異色コンビになるんだか。

「そんな事無いわよ」

貴方のあの相手を見下すような戦い方

あの言葉遣い、相手の全てを奪うような罵倒……ゾクゾクするのもっと聞きたい、だからもっと言って？」

こいつマゾかよ！ しかも言葉責めが大好きなタイプの！

性格から考えてサディストかと思ったら……デッキからだが

まあ確かにマゾとサドは表裏一体、紙一重とも言うが……実際に見るとは思わなかったな。

こいつはアレだ、絶対に恋人とかになるともの凄く甘えるようなタイプだ

そして怒られて喜び、もっともつとせがむ……あれ？ 俺に丁度良くないか？

敵とかには普段通りだろうし、恋人とかには駄々甘何を言っても喜んで更に謎に懷く……鬱陶しいとか言ったらもっと懷きそうだ

……言葉責めって楽しいから普段は基本的に抑えてるし、こいつだったら全部平気？

そう思ったら便利？ もしかして相性が良いのか？ 性格の。

さつき泣きそうだったのも勘違いか

喜んでいるのを我慢していた？

有り得そうだ……今のこれじゃあ泣くなんて有り得ん

厳しい言葉は効果的って事かな？

「だが断る、お前と恋人同士なんてご免だ失せろ、さっさと帰れ」

「あ……あ……」

喜んでる……やっぱり俺の予想は間違ってた  
このまま断り続けるだけでも嬉しがるんじゃないか？  
ストレスの捌け口にしたら、それはそれで喜びそうな……

「そもそも、価値の有るか無いかの話でどうして付き合うという事になる

とりあえずそれが分からんぞ」

「だって……少しでも私の価値を認めて欲しいものでも付き合いたって言ったのはそんな事の為じゃないわ  
確かにそれも含まれてるけど、好きになったんだから仕方無いじゃない」

「俺に価値を認めさせたいのなら別の方法でしろ  
少なくとも、お前と付き合う気は無い  
会って数時間しか話していない、殆ど知らない相手となんて絶対に  
ご免だ」

そういえばこいつ、暴力にはどんな反応をするんだ？  
他はともかく、俺がした場合は……気になるな  
試すべきか？ そうだな、試すべきだな。

「話は終わりだ、さっさと……帰れ！」

「いったあい」

とりあえず尻を蹴飛ばしてみたが……微妙だな  
確かに多少痛くなるようにした、痛がっているのは事実だ  
しかし声が喜んでる……駄目だこいつ。

サディスト要素が欠片も見当たらない

性根から全部、完全なマゾヒストだ……しかも好きな人だけ仕様の  
そしてその相手が俺、泣きたくなってきた。

アレか？ 自分を屈服させた人には心から従順になるって事か

あー……こういうお高く止まっているようなタイプには妙に多いな。

プライドと性格で自分を保ってるから屈服されると全部奪われた気分になるんだろ

そして心を折られたから、折った奴が主だと本能的に感じる

つまり……俺のあの態度が更にこの状態へ進ませたのか

結論、雪兎のこの状態は完全に自業自得、普通に勝てばこんな事は無かった！

またか、また自業自得か！

しかも今回は八つ当たりだっただけに尚のこと悪い！

俺はどうやって気分を発散させれば良いんだ！？

「堅守先輩」

「何だ雪兎！

今は考え事をしてるんだ！」

「……瑞貴様とお呼びしても」

「却下！！！！」

「いけず……」

駄目だこいつ！ 完全に終わってる！

こういうのは一度懷いたら簡単には剥がれないぞ！

幸い、俺は学年が1つ上だからなんとかなるが……

それまでこいつに付き合えと？ 悪夢だろ！

「お前は本当にさっさと帰れ！

部屋に帰ってベッドの上で頭をぶつけて気絶しろ！

そしてそのまま朝まで目を覚ますな！」

「……………はあい」

ゾクゾクするな！ 頼むから止めてくれ！

好きでも無い上、あまり興味が無い相手からは辛い！

本当に恋人同士とかだったら可愛く思えるだろうが、今は無理だ！

雪兎は去って行き、見えなくなる

今頃は兎角達と合流して帰ってるだろう

俺は……疲れた。

視点 レイ

瑞貴さん……何度か怒鳴ったりしてるけど、どうしたのかな？

雪乃さんとどんな話をしてるんだろう……気になるなあ。

「レイちゃん、やっぱり気になる？」

「え？ まあ……そりゃ」

「藤原雪乃の事だったら私、ある程度知ってるよお  
なんだかお金持ちっぽいし、美人だし、性格も悪くナいしい  
まだ入学して1ヶ月ぐういだけど告白は数回されたミたいだよっ?」

相変わらず独特な話し方だなあ……ゆまさん

それにしても告白かあ……ボクはまだまだ見送りかな

まだ子供のボクが告白しても迷惑だろうし

キスはしちゃったけどね、それはそれ。

はあ……少しでも気を引きたいけど難しいなあ

名前で呼んでくれたから少しは変わると思ってたんだけど  
殆ど変わらないんだもん……

ボクの考えは甘かった

瑞貴さんは口が巧い、だから誤魔化された

誤魔化されたというか、ボクが勝手に勘違いしたのかな?

どっちにしても自分が甘かったって事かあ。

「あ、雪乃ちゃんが戻ってきたよ」

彰子さんがそういうと雪乃さんが近くまで来ていた  
そのままボクの横まで来て……

「……………」

「へ?」

今の……本気?

「ふふ、じゃあねレイ  
行きましょう、彰子、ゆま」

「え？ あ、うん  
じゃあレイちゃん、また明日学校でね」

「雪乃ちゃんが待たせたのに……  
ばいばーいレイちゃんっ」

「あ……ああ、うん  
またねみんな……」

雪乃さんはそのまま2人と一緒に帰って行く  
雪乃さん……本気なの？

寮の裏から瑞貴さんも出てきた  
なんだか疲れてるような……頭が痛そう  
大丈夫かな？

「あの瑞貴さん……大丈夫？」

「……一応な

精神的に頭が痛い……どうしろってんだよ  
雪兎め、爆弾を落とすだけ落としやがって」

爆弾って事はやっぱり……  
そうなんだ、そういう事なんだね雪乃さん。

「部屋に戻るぞレイ  
今日は疲れた、早く休みたい」



「うん」

瑞貴さんと一緒に部屋に戻る

何度振り払いたくても、頭の中に残っている

雪乃さんの言葉が忘れられない。

” 堅守先輩に告白したわ、断られたけどね

でも諦める気は無い、また告白するわ

そして何度でも先輩にアタックする……私は本気よ？

貴女も頑張ってね、小さな恋のライバルさん”

そっかぁ……ライバルかぁ

うん、絶対に負けないんだから！

となるとやっぱり最初は告白かな？

でも、絶対に受けてくれないって分かってるし……

キスでアドバンテージって言っても、雪乃さんだっていきなりするかもしれないし

やっぱり、年齢ってハンデが大きすぎるかなあ。

やっぱり下手に行動するよりも

少しでも良い子にしてた方が瑞貴さんも好きになってくれるかな？

でも、瑞貴さんだったら自分らしくしろって言えそう。

ボクはボクらしくしていた方が良いはず

あんまり難しい事を考えて怒られたら意味無いもん

いつも通りにしよ、それがきつと一番！

とりあえず今夜は……抱き枕にしてもらおっと

抱き枕にされるのって気持ちいいし  
暖かいし、安心するし、寂しくない  
偶には良いよね？ 毎日でもお願いしそうだけど。

決まり！ 今夜はそうお願いしよつと！

ボクも頑張るからね雪乃さん

瑞貴さんも、あんまり子供だからって甘く見ないでよ？

「（……疲れた、眠い、早く夜にならないものか？  
心底楽になりたい……抱き枕を再開するか？）」

でも、あんまりしつこくお願いしたら怒られるから駄目  
2回か3回ぐらいで無理だったら諦めよう  
また何日かしたらお願いしよう、そうしよう。

## 86話【1年生達の勉強会】（後書き）

ドンだザウルスだ？

それなりに日数が過ぎた間に剣山がレッド寮に来ました  
登場はしませんでしたかね。

雪乃が……しおらしいだと？

色々と考えているんでしょう  
考えた結果は最後ですけど。

瑞貴とレイの会話が凄い事に……

勉強の成果ですね

レイの知識は凄まじい事になっています

きっと明日香よりも賢い、カードに関しては  
まあ……密度の差ですよ。

雪乃が……雪乃が！

雪乃を出す時点でこれは確定していました

瑞貴に惚れさせる点、マゾに転身する点

この2つと切欠である瑞貴との決闘<sup>デュエル</sup>

瑞貴の態度もこの為に最初から考えていました。

雪乃の宣戦布告！？

自分でもちよっと強引かなあ……とは思っています  
しかし、雪乃はどうしてもこうしたかったんです！

そんなに使う気は無かったんですけど、登場数が増えそうで怖い。

そういえば彰子とゆまはどういう扱いにするつもり？  
さすがにこれ以上、瑞貴にというのは作者が嫌です

やっぱりレイの友達で抑えるつもりです

それ以上に上がられると……本気で困りますね。

結局、夜のレイはどうなったの？

抱き枕にされて寝ました

そこまで描写すると、また凄く長くなりそうなのでカット

マナが羨ましがっていたという事ぐらいですね。

ツイッターって楽しいんですかね？

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

何を言えいいのか分からないのでどうしようか考え中です。

## 87話【翔の昇格試験】（前書き）

……まあ言いたい事は分かります

ツツコミ所満載だと自覚しています

しかし、どうせ出したんだから使いたかった  
それだけの理由からこの改変が始まった……

という訳で、今回で原作が大きく変わります

きっと多大な影響が出るでしょう

それでも、作者は、ぶち壊す！

次回が超ヤバイです

時間が無い……明日は夜中に家に帰るのです

なのでもしかしたら間に合わないかもしれません

今夜中に書き終えなければ……

なので多少雑になる可能性が高いですね

そうならないようにしたいんですけど……ちょっと難しいです。

## 87話【翔の昇格試験】

視点 瑞貴

雪兎<sup>せきと</sup>から告白されて数日

特に何も無いのが救いだ……本気で心から助かる  
レイの抱き枕もできたし、言う事無しだ。

何も無く平和な日だったが、この世界だ  
やはりトラブルは嫌でも勝手に起こるという事だな。

「こんにちは瑞貴、お願いが有るの」

「また突然だな明日香……で、何だ？」

「……暫く住ませて」

「却下」

「即答!？」

せめて理由ぐらい言わせて!」

いや、分かってるから

原因も、理由も簡単に予想できる

兎角とか羽鳶とか雪兎も愚痴ってきたからな。

「アイドル養成コースが気に入らないんだろ  
それで出てきて、逃げようとしている

あの馬鹿臨時校長と馬鹿教頭の暴走が我慢できない  
だから助けてくれ兼泊めてくれ  
何か違う事は有るか？」

「……無いわ」

この程度の情報はな  
俺もかなり苛々してるんだ。

「まあ、泊まるんだったら別の場所なら用意できるぞ」

「本当!？」

「まあ来い、レイもそこに居るから」

よく分からないみたいだが、まあ気にするな  
すぐに分かるんだ。

……  
……  
……

「……レッドの103号室じゃない  
ここって寮長室のカミューラの部屋でしょ？  
そういえば工事が終わったのよね？  
カミューラはどうなったの？」

「少しぐらい待ってろ  
おい電池、入るぞ」

返事を待たずに勝手に入る  
鍵が開いている理由はよく分からん。

「なんだ堅守、どうかした……って、天上院君？」

「万丈目君じゃない

カミューラはどうしたの？

というか……みんな勢揃いだし」

そう、電池の部屋には何人も居た

レイが居るのは構わない、風呂を借りたからだ  
って、まだ濡れてるぞ、ちゃんと拭け。

<sup>モノクロ</sup>白黒、似非、水色、地底と残りの1人知らない奴

イエローみたいだが……何者だ？

しかし……説明はされていたが本当に広いな

さすが1階の2部屋に2階の1部屋を丸ごと使っただけの事は有る  
ブルーの部屋より広くないか？

「カミューラは2階の1部屋だ

堅守の注文通り、暗くして落ち着けるような空間にしておいたぞ  
カミューラの部屋にはここからも入れるが、基本は204号室だ  
用が有るならそっちから行ってくれ」

「いや、気になった事は気になったが今回は違う用事だ  
それとレイ、こっちに来い」

「はい」



レイの髪を拭いてやる  
タオルは肩に掛けてあったのでそれを使った  
まったく世話の焼ける……

「……誰ドン？」

「堅守瑞貴って凄く嫌な奴だよ  
隣に居る人は天上院明日香さん  
そこに居る吹雪さんの妹さん」

「……知らんザウルス」

「つか、俺からすればお前が誰だよ  
それにドンって何だドンって……  
おまけに恐竜のバンダナが微妙だ。」

「似非、お前の新しい舎弟か？」

「あー……どうだろう？」

「こいつはティラノ剣山、イエローの1年生だ」

「記憶に無いな……こいつもメインキャラか？  
どうも思い出せない、影が薄かった？  
確かに微妙って感じがするけど。」

「それにティラノって何だよティラノって  
あだ名か？ それともそれが名字とか言わないよな？  
どっちにしても、俺は呼ぶ気は無いけど。」

「まあ、そんな1年坊なんかどうでも良い

電池、明日香がブルー女子寮から出てきた  
住む場所が無いみたいなんだが……どうすれば良いと思う？」

「ちょっ！」

「天上院君が宿無し！？

それはいけない！ 吹雪さん！

天上院君をこの部屋で預かってもいいのでしょうか？」

「うん、却下」

「ガーーーーーッ！」

いや、そこは許可だろ

宿無しで生活させる気か？

「僕としては堅守君と一緒にの方がまだ信用できるんだよねえ

というか、明日香は堅守君の部屋に何度も……何十回も泊まってる  
んだよ？

それで何も無いんだから、彼の方が信用できるのは当たり前だろ？」

何故そこで全員が疑うような視線を向ける

レイは嫉妬するな、お前は住んでるんだろうが  
泊まる以上の状態なんだからそうむくれるな。

「（天上院君と一緒にの部屋で寝泊まりだと？

それで何も無いとは……こいつ、本当に男か？）」

「（女性と同じ部屋で寝泊まりしても無反応とは……  
硬派という奴か、タニヤ……って、いかんいかん）」

「（こんな美人と一緒に部屋で寝ても平気とは……凄いザウルス  
というか、丸藤先輩が随分嫌っているのは何でだドン？）」

「（明日香さんと一緒に部屋！？  
絶対に嘘だ！　きっと何か有るに違い無い！）」

「（へー、明日香と一緒に寝てるんだ  
さすがに同じベッドじゃないよな？）」

本当に何だ、その変な視線は  
一部敵意を感じるし……誰かは分かるが。

「……何か変かしら？」

「女が男の部屋に泊まって何もしないのが不思議なんだろう」

「瑞貴なら平気よ  
何もしないって分かってるもの」

信用されてるのか、ヘタレと思われてるのか  
まあ純粹に興味が無いだけなんだがな  
さすがにそこまでは分からないだろ。

「しかし白黒モノクロ、明日香を俺の部屋に泊めるのは構わない  
だが俺の部屋のベッドは2段ベッドだぞ？  
俺とレイ、明日香の3人で寝るのは少々辛い  
まあ……可能か不可能かと言われれば可能だけだな」

「だったら明日香を頼むよ」

（堅守君は本当に無頓着だからなあ

兄としてはそういう意味では本当に信用できる人間としてはあまり信用できないけど……

まあ、絶対に安全とは言えないがまだマシだ）」

俺がレイを抱き枕にすればベッドが空くしな

となるとマナがまた拗ねる……交互にしてるからな  
少し我慢してもらうか、代わりに頭を撫でれば機嫌も治るだろ。

「そういえばみんな集まってたけど、どうしたの？  
何か有ったのかしら？」

「水色の昇格に関してだ

勝てばイエローに昇格、負ければ特に何も無いが……恥を掻くぐらいか？

それで話し合っていたんだらう」

「おい堅守、何故知っている

この情報はついさっき流れたばかりなんだぞ？」

決まっているだろうが地底、校長室を盗聴してたからだよ  
ま、お前に教える気は無いがな……

「相手はブルーの女子生徒

水色の相手がそいつになった理由は簡単  
実力はあまり高くなく、気弱だからだ」

「それってどういう意味

僕が勝つのが当たり前って相手が選ばれたって事？」

「その通りだよ水色」

そもそも、何故お前程度の奴に昇格の話が持ちかけられたと思う？」

全員がお互いを見合わせ、今更気付いたという感じになっている  
考えない馬鹿は嫌いだ、もう少し考えろ  
だからお前らは単純な馬鹿ばっかなんだよ。

「何も考えずに馬鹿正直に昇格される訳無いだろうが  
どっかの誰かさんの弟だからという理由だよ

単なる名前だけの、優秀な兄が居たという……そんな馬鹿馬鹿しい  
理由だ

良かったなあ？ お兄さんが有名人で  
だからお前程度の奴に昇格の話が持ちかけられたんだ」

「瑞貴、言い過ぎだぞ！」

「事実だ、兄が有名人だからというのが理由だ  
ネームバリューが目当て、臨時校長達は水色を傀儡にするのが目的だ  
名前で売れば注目もされ、話題にもなり、学園は発展する  
本当に良い兄を持って羨ましいなあ水色？」

全員が黙る、当然だろうな

俺が言っただけでどちらかと言えば信憑性が高い方だ  
最近の臨時校長達の動きは信用が無いからな。

「所で瑞貴

どうしてそんな事を知ってるの？」

「誰が教えるか

俺の情報網を舐めるな」

盗聴だけどな。

「(盗聴かしら?)

前も発信器とか使っていたし……

言ったら怒るわね、黙っていきましょう)」

本当、馬鹿な計画だよ

水色の性格がそんなのに全く向かない駄目な奴なのにな  
性格も悪ければ実力も低い、名前だけじゃそう簡単に事は行かない  
っての。

「で、堅守

どうせ相手の事も知ってるんだろ？」

「当然だ

1年生で名前は宇佐美彰子、友人からのあだ名はウサミン  
中学生からの成り上がりで性格は引っ込み思案の泣き虫  
しかし一応芯は通っているから案外強い方だ、後真面目  
成績は上の中、頭は良いが体は貧弱、体育とかの成績はあまり良く  
ない

使うデッキも知っているが教えない、不公平だからな」

兎角の名前を出した瞬間、レイが声を上げそうになった  
なので口を塞いで黙らせてやった  
お前が話すとややこしくなるんだよ。

「どこからそんな情報を……」

「どこでも良いだろうが地底

ちなみに実力は電池がこの前戦った中学ルーキー程度  
雑魚中の雑魚だな」

まあ、それは以前までの話だけだな  
親に頼み込んで小遣いを何ヶ月も前借りしてカードを買いやがった  
凄く苦労したと言ってたなあ……同情はしないが。

「切り札とか知ってるか？」

「知ってるが教えないぞ

まあヒントをやるとだな……

そいつが頑張れば攻撃力4000オーバーも出てくるという事か」

「「「「「攻撃力4000!」」「」「」「」」

嘘だけだな

本気を出せば20000を超えるし

ディノインフィニティだからなあ……

「っと、話しすぎたか

これ以上は秘密だ、金を取るぞ」

さて、目的だった明日香の扱いに関する相談も終わったし  
そろそろ部屋に帰るか……結局、俺の部屋なんだな。

「無駄な時間を過ごした気分だ  
俺は部屋に戻る、レイ、明日香  
お前らはどうする？」

「ボクも戻る

万丈目先輩、お風呂ありがとね」

「私も部屋に行かせてもらうわ  
万丈目君、後でお風呂を貸してね？」

「あ、ああ構わないよ天上院君」

俺達は電池の部屋を出て自分の部屋に戻る  
今更だが、白黒は電池の部屋で同室モクロとなっている  
1階は2人で使っているようだ。

部屋に戻り、この後どうするかを話している時  
誰かが来た……誰だ？

「誰だ……って、お前か」

「こんにちは、堅守先輩」

「とりあえず入れ  
一応、敵も住んでるんだ」

来たのは兎角  
相手がレッドでも先輩だから不安なのか？

「あ、彰子さんだ」

「彰子？」

彰子って確か翔君の対戦相手じゃ……」

「こんにちはレイちゃん



えっと……天上院先輩ですよ？  
初めまして、宇佐美彰子です」

「ええ、初めまして  
天上院明日香よ」

初対面の挨拶

そういえばこいつらって会った事が無かったな  
擦れ違いが多くて、どうも会わないんだよなあ。

「ちょっと瑞貴、どういう事？」

「別に、兎角はレイの友達

俺の部屋で勉強会とかもするから知り合いだ  
だから詳しく知っていた……分かったか？」

「道理で……それで、瑞貴はこの子に手を貸すの？」

「そう、それを悩んでるんだよ

手を貸すのは構わないんだが、俺のカードを貸す気にはなれない  
寧ろ水色を叩きのめすぐらいしても良いんだが……」

「本っ当に翔君が嫌いなだね

私までとばかりを受けるから何も言わないけど」

それが賢明だぞ明日香

もし向こうに付いていたら……まあいいか。

「あの……何のお話を？」

「彰子さんの対戦相手の人とさっきまで話してたの  
彰子さんの事を相手に少しだけ教えてたから  
どうしてそんなに詳しいのか疑問に思ってたんだと思うよ？」

「わ、私の事を話したんですか!？」

「簡単な情報だけだ

デッキとかまでは教えてないから安心しろ」

本当に安心して溜め息を吐く兎角  
さて、どうするかな……

「兎角、授業の時間だ

明日の決闘<sup>デュエル</sup>までに詰め込むだけ詰めるぞ」

「ええ!？ どうしてですか!？」

「俺はお前の対戦相手が嫌いだからだ!  
勝たないと許さん、敗北はポイントー1000点だと思って気を引  
き締めろ!」

「は、はい!」

急に始まる講座

俺が勝手に始めたんだけどな。

「レイ、私達は何をすれば良いかしら？」

「彰子さんのデッキを見て一緒にアドバイスしよ?  
色々とカードも足りないし、ボク達のカードを貸すのはどう?」

「あまり気は進まないけど……」

「明日香、手伝えば借金を減らしてやるぞ」

「何でも言って頂戴」

彰子だったわね？ 私に協力できる事なら言っている事なら何でもしてあげるから！」

「ど、どうも……」

（借金って何？）

という訳で3人で兎角を集中教育

詳しい内容は……兎角に可哀想なので秘密にしておこう  
言える事は1つ、兎角は泣いても許されなかったという事だ。

「そんな事も分からんのか貴様は！」

ディノインフィニティを使うんだったらこのタイミングでこのカードだろうが！」

「彰子さん！ このカードはまだ！」

次のターンの布石の為にこうして、ここはこうでしょ！」

「彰子！ カードの特性は全て覚えなさい！」

組み合わせを何通りも考える事で確実に強く、有利になれるのよ！  
あーもう！ このカードも貸してあげるから使いなさい！」

「ぐす……はい！ 分かりましたあ！」

ひく、うう……次をお願いしますう！」

……これ以上は可哀想だから話すのは止めてやろう  
本気で泣き出しても俺達は許さなかったからな  
ま、ここに來た事が運の尽きという事だ。

なお、夜遅くまで勉強していたので……

レイは俺と同じベッドで、兎角と明日香は上のベッドで一緒に寝る  
事になった

ちなみに兎角は自分の意志ではなく、泣き疲れて寝てしまったただけだ  
起きたら確実にパニックになってるだろうな……まあそれを見るの  
が楽しみなんだが。

………

………

……

翌朝、兎角を強引に起こして再び勉強開始  
試合時間ギリギリまでずっと詰め込んでやった  
これで多少はマシになっただろう。

そして試合会場……またお前らかよ  
どうして俺の近くに集まってくるんだ？

明日香とレイはさっきまで居たから良いけどよ  
羽鷲に雪兎まで……俺の解説が目的か？

ちなみに白黒モノクロは完全に似非サイドだ

兎角の事は教えてないから当然だな  
水色の応援でもしてるんだろ。

「初めまして、宇佐美彰子です  
なんだか色々大変そうですね……」

「あ、うん……」

（調子狂うなあ）

「勝たないと駄目なんですよね？」

手加減してあげますから頑張ってください」

これは言うように命令した

というか、色々と教え込みすぎたかもしれんな  
カードも買ったたり借りたりだから強くなってるし。

「むか、手加減なんて要らないッス！

全力で来るがいいッス、一年生！」

くくく……これは楽しいなあ

兎角も今の発言はちよつとイラつとしたらしい  
小さく口が引き締まった。

「なら、遠慮無く本気を出させてもらいますね？

実は……色々と教えてくれた先生が見ているんです  
できれば負けたくなかったんですよ、よろしくお願いします」

ちなみに先生というのは俺の事らしい

正直、止めてほしい……ややこしいんだよ

まあ教えている時だけと約束させたから良いけど。

「そんなの、僕には関係無いッス！

絶対に負けないぞ！」

何だか随分意気込んでるな……何か有ったか？

攻撃力4000と言ってやったから怯えてくると思ったんだが……  
どうも誰かが発破を掛けたみたいだな、余計な事をしやがって。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

できれば兎角に勝ってほしいな  
俺の機嫌を良くする為だけの理由で。

視点 吹雪

翔君、随分元気だな

何か決意を固める切欠にでもなったんだろう  
良い事だ、後は勝てれば完璧だね。

「先攻は私が貰いますね、ドロー  
ベビケラサウルスを守備表示で召喚します」

ベビケラサウルス？ 恐竜族の使い手か  
これは堅守君が言った攻撃力4000というのも、嘘じゃないかも  
しれないな  
だが、どんなモンスターを使うんだろうか？

「剣山と同じ恐竜族使いか……  
同じ恐竜族使いとしてどう思う？」

「どうって……よく分かんないザウルス  
同じ1年でも、あいつは目立たないし……」

「というか知らない奴だドン」

僕としては彼女の事よりもカードの意見が聞きたかったんだけどね  
さて、どんな事をしてくるのか楽しみだ。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドです」

うーん……攻守共に500の弱いモンスターだね  
これで大丈夫かなあ？

彼女はどんな戦い方をするんだろう？

「僕のターン、ドロー！」

僕はドリルロイドを召喚！ ベビケラサウルスに攻撃だ！

ドリルロイドは守備モンスターに攻撃した時、ダメージ計算前に守  
備モンスターを破壊する！」

別に普通のモンスターでも良かったんだろうけどね  
戦闘破壊で効果を発揮するモンスターだったら拙いし  
リクルーターモンスターって能力が低いからねえ……

「拙いドン！」

丸藤先輩、ベビケラサウルスの効果を知らないザウルス！？」

「剣山、どういう意味だ？」

どういう意味だろうか？

っと、そんな話をしている間にベビケラサウルスが破壊されたね  
守備表示だったら守備力に関係無いから当然か。

「(ほっ……ドリルロイドの効果を教わってて良かった

もし知らなかったらこのまま伏せカードを使う所だった)  
ベビケラサウルスの効果を発動します

このモンスターが戦闘ではなく、効果で破壊された時  
デッキからLV4以下の恐竜族モンスターを特殊召喚します  
私はLV3、暗黒<sup>ブラック</sup>プテラを特殊召喚しますね」

なるほど、確かに知らなかったのは問題だね  
生け贄用のモンスターを出された  
これはまた厄介な……

「ふふん、攻撃力1000程度なんて怖くないもんね  
僕はカードを1枚伏せて、これでターンエンドだ!」

「(調子に乗ってる?  
仕方無い、このまま調子に乗らせておこう  
それまでに準備を完全に終わらせて……)  
私のターンですね、ドロー  
(……そう思ったけど、必要は無さそう)」

確かに、攻撃力が1000程度じゃどうにもならないね  
だけど確実に何かしてくるだろう  
でなければもっと強いLV4以下のモンスターを出すはず  
入ってないという事は無いだろうからね。

「魔法カード、大進化薬を使います  
場の恐竜族モンスター1体を生け贄にして発動  
3ターンの間、このカードは残り続けます  
そして、その間私はLV5以上の恐竜族モンスターの召喚に生け贄  
は必要ありません  
私が生け贄に捧げるのは暗黒<sup>ブラック</sup>プテラです」



拙いな……このターンで一氣に最上級モンスターを出される危険性が有る

恐竜族モンスターは基本的に攻撃力が高い  
翔君のドリルロイドじゃ守りきれないだろう。

「そして暗黒<sup>ブラック</sup>プテラの効果が発動されます

このモンスターが戦闘以外の方法で場から墓地に送られた時  
暗黒<sup>ブラック</sup>プテラは手札に戻ってきます」

なるほど、だからそのモンスターをベビケラサウルの効果で特殊  
召喚したのか  
手札が増えるというメリットができるから当然かもしれないね。

「私は……超電動恐獣を通常召喚します」  
スーパーコンダクターティラン

「攻撃力……3300!？」

馬鹿な!？ 攻撃力3300を当たり前のように出すだって!？  
これはかなり予想外だ……翔君で勝てるのか？

「超電動恐獣でドリルロイドに攻撃」  
スーパーコンダクターティラン

何事も無く破壊されるドリルロイド  
攻撃力差は1700……これは大きいぞ！

しかし堅守君、君の情報には誤りが有ったらしいね  
どこが雑魚だ、どこが実力が無いだ！  
雑魚どころかかなりの実力者じゃないか！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドです……大丈夫ですか？」

「(う……こんな子に負けてたらなんだか格好悪いぞ)  
僕のターン、ドロー！」

「永続罠カード、化石発掘を発動します  
手札を1枚捨て、墓地の恐竜族モンスターを特殊召喚します  
特殊召喚されたモンスターの効果は無効化されますけど……  
私は墓地からベビケラサウルスを守備表示で特殊召喚です」

このタイミングで蘇生？  
目的がよく分からないけど……

「だったら僕はサブマリンロイドを召喚！」

「罠カード、激流葬を発動します  
モンスターが召喚、特殊召喚、反転召喚に成功した時  
場の全てのモンスターを破壊します」

プレイングミスか？  
全滅させたら意味が無いだろうに……  
しかも態々効果は無効化してまで特殊召喚したベビケラサウルスまで  
あーあ……みんな破壊されちゃった。

「クッ……でも、発動タイミングを間違えたね  
せっかく出したベビケラサウルスも、無駄になったよ」

本当、よく分からないなあ。

「いや……あれでいいんだドン」

「ええ？　けど剣山、自分のモンスターも消し飛ばしてるぜ？  
それで何で良いんだよ？」

「永続罠、化石発掘には隠された効果が有るんだドン  
確かに、特殊召喚したモンスター効果は無効化される  
けどそれは場に居る時だけ、墓地での効果は無効にならないザウル  
ス！」

という事は……

「ベビケラサウルスの効果が発動されます  
戦闘ではなく、効果で破壊されたので私はデッキからLV4以下の  
恐竜族を特殊召喚できます

私はデッキからLV4、ハイドロゲドン等特殊召喚しますね」

攻撃力1600のモンスターか……

そこまで強くないけど、確かあのモンスターの効果  
戦闘で相手モンスターを破壊した時にデッキからハイドロゲドン  
特殊召喚する

でも翔君はもう通常召喚できないんだけどね。

「だったら魔法カード、マグネット サークル 磁力の召喚円LV2を発動！  
手札からLV2以下の機械族モンスターを特殊召喚できる  
僕は手札からデコイロイドを守備表示で特殊召喚！」

よし、これで直接攻撃は……防げない！  
ダイレクトアタック  
ハイドロゲドンは戦闘でモンスターを破壊した時に効果を発動する  
んだった！

これじゃあ必ず攻撃されてしまう！

「これでターンエンドだ！」

「私のターンです、ドロー

手札のキラージザウルスを墓地に送り、効果を発動します  
デッキからジュラシックワールドを手札に加える事ができます」

「ジュラシックワールド！？」

確か恐竜族用のフィールド魔法だったね

サーチモンスターも居たんだ……

時々そういうモンスターが居るよね。

「そしてジュラシックワールドを発動しますね

この効果により、恐竜族モンスターの攻撃力と守備力は300ポイントアップします」

ハイドロゲドンの攻撃力が1900に……これはかなり拙いな  
下級モンスターなら大半が戦闘破壊されてしまう。

「ハイドロゲドンでデコイロイドに攻撃」

「罠カード発動！ スーパーチャージ！

相手が自分の機械族モンスターに攻撃してきた時  
デッキからカードを2枚ドロウする！」

それでも、攻撃は止まらない  
デコイロイドは破壊された。

「ハイドロゲドンの効果を発動します

戦闘で相手モンスターを破壊した時  
デッキからハイドロゲドン等特殊召喚します」

増えるハイドロゲドン

ダイレクトアタック

これで直接攻撃を受けたら危険だな  
翔君のライフは残り2300だし。

「罠カード、ギブ&テイクを発動

自分の墓地のモンスターを守備表示で相手の場に特殊召喚します  
ブラック  
私は墓地から暗黒プテラを相手の場に特殊召喚」

これはハイドロゲドンを特殊召喚する為のギミック!?

いや、それだけじゃない……激流葬を使う時の発動トリガーにもできるのか

ブラック

しかも暗黒プテラやベビケラサウルスは自分のモンスター  
よって墓地に送られる時は自分の墓地だから効果発動もできる。

「僕の場合にモンスターが……」

「ハイドロゲドンで暗黒プテラに攻撃します  
ブラック

そして戦闘破壊、これによりハイドロゲドンデッキから特殊召喚  
します

新しいハイドロゲドンで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「うわああ!」

これで翔君のライフは残り400、これはかなり拙いぞ!  
相手の場には攻撃力1900のモンスターが3体も並んでるし。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです

丸藤先輩、大丈夫ですか？」

挑発にも思えるけど微妙だな

実力は堅守君の言った通りにはならなかった  
だけど性格はその通りって感じかな。

気弱そうな彼女が挑発をするとは思えない

純粹に心配しているんだろう

それはそれで厄介なんだけど……

「うう……僕のターン、ドロー」

戦意喪失か……更に危ないな大丈夫か？

「僕はトラックロイドを守備表示で召喚

カードを1枚伏せて、これでターンエンド」

意欲が無いけど……大丈夫かな？

さて、トラックロイドの守備力は2000

ハイドロゲドン達を越えてるからまだ大丈夫だろう。

「私のターンです、ドロー

強欲な壺を発動し、デッキから更に2枚ドローします

うーん……このターンは何もできません

カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

なんとか凌げたか……危ないなあ

見ていてヒヤヒヤするよ。

「（良かった……そうか、まだチャンスは有るんだ

アニキが教えてくれた、ピンチはチャンスになるんだ  
諦めなければ、絶対に大丈夫だって!」

ん? 雰囲気が変わった?

何か決意でもしたのかな?

「僕のターン、ドロー! 魔法カード、強欲な壺を発動!

この効果により、デッキから2枚ドロー!

よし、僕はエクスペレスロイドを召喚、効果発動!

エクスペレスロイドが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
墓地からエクスペレスロイド以外のロイドを2体手札に加える!

僕は墓地からドリルロイドとサブマリンロイドを手札に加える!」

でも、それだけじゃ駄目だろう

どうするのかな?

「罠カード、進入禁止! No Entry!! を発動!

場の全てのモンスターを守備表示に変更する!」

このタイミングで?

何をするつもりなんだ?

「更に魔法カード、融合を発動!

場のエクスペレスロイド、トラックロイド

更に手札のドリルロイドにステルスロイドを融合!

スーパービークロイド・ステルス・ユニオンを融合召喚!」

4体融合か... 凄いな

しかも攻撃力が3600、かなり高い

でも守備表示にさせた理由が分からないな。

「ステルス・ユニオンは1ターンに1度、場の機械族以外のモンスターを装備カード扱いとして装備できる  
そしてモンスターを装備している時、相手の場の全てのモンスターに攻撃できる！」

僕はステルス・ユニオンの効果でハイドロゲドンを経験カード扱いとして装備する！」

これで相手モンスターを全滅させられる  
けど、やっぱり守備表示にした意味が分からないな。

「ステルス・ユニオンの効果にはまだ続きがあるんだ  
攻撃時、元々の攻撃力を半分にする効果  
そして守備表示モンスターに攻撃した時、攻撃力が越えていたら戦闘ダメージを与えられる効果をね！」

なるほど、それで守備表示にしたのか  
攻撃力が半分になるなら攻撃力はたったの1800、ハイドロゲドンには勝てない  
だから守備表示に変更させ、更に貫通効果まで使えろと……

「よし、ステルス・ユニオンでハイドロゲドンに攻撃だ！」

「くう……ハイドロゲドンはジュラシックワールドの効果で守備力が300アップしています  
なので守備力は1300、その差500ダメージですね」

「更に行くぞ！ そのままハイドロゲドンに追撃！」

これで合計1000ポイントのダメージだね



このまま行けば勝てるかもしれない！

「まだだ！ 速攻魔法、融合解除！

この効果により、融合モンスターを元のモンスターに戻す！

現れる！ ドリルロイド、ステルスロイド、トラックロイド、エク  
スプレスロイド！

エクスプレスロイドの効果は墓地にロイドが2体居ないと使えない  
僕の墓地のロイドはデコイロイドだけ……でもそんな問題無いよ  
！」

確かに問題無い、相手の場には伏せカード2枚と大進化薬だけ  
そしてライフは3000で合計攻撃力は4200！  
これで翔君の勝ちだ！

「これで終わりだ！  
ダイレクトアタック  
ドリルロイドで直接攻撃！」

「あう！」

「ステルスロイドで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「きゃあ！」

「これで最後だ！  
ダイレクトアタック  
エクスプレスロイドで直接攻撃！」

これが決まれば翔君の勝ちだ！

「罠カード発動！ 生存本能！  
墓地の恐竜族モンスターを任意の枚数除外

そしてその除外した枚数×400ポイントライフを回復します！

私は墓地のハイドロゲドン3体、ベビケラサウルス  
ブラック  
スーパーコンダクターティラノ

暗黒プテラ、超電動恐獣、キラーザウルス

これら7体のモンスターを除外し、合計で2800ライフを回復！」

そういえば装備されていたハイドロゲドンは融合解除された時に破壊されたんだっただね

でもこれで直接攻撃されてもライフは残る  
ダイレクトアタック

ドリルロイドとステルスロイドの直接攻撃で残りライフは200だった  
ダイレクトアタック

だから彼女のライフは残り200から3000へ  
エクスプレスロイドの攻撃で2600だね。

「くそう、トラックロイドで直接攻撃！  
ダイレクトアタック」

「きゃああ！」

トラックロイドの攻撃力は1000  
だからこれで彼女のライフは1600になったか。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「私のターン……ドロー！  
ベビケラサウルスを召喚します」

なんか、苦し紛れの最後の壁って感じだね  
これは翔君の勝ちかな？

「そしてエンドフェイズ……罠カードを発動します  
できれば使いたくなかったんですけど……大噴火を発動！」

大噴火？

「大噴火ザウルス！？」

「おい剣山、どういう効果なんだよ？」

「大噴火はジュラシックワールドが発動している時のエンドフェイズに発動できるドン場の全てのカードを……破壊する！」

「ちょっと待て

ベビケラサウルスの効果は確か破壊された時に発動したな  
という事は……」

「そうだドン、デッキからLV4以下の恐竜族モンスターを特殊召喚してくる

攻撃力の高いモンスターが出てきたら丸藤先輩はやバイドン」

確かに拙い

翔君の手札はエクスプレスロイドの効果で手札に加わったサブマリ  
ンロイドの1枚だけ

場のモンスターまで全滅したら！

って、うわぁ！

ジュラシックワールドの火山が噴火した！

凄い迫力だなぁ……

「効果で破壊されたベビケラサウルスの効果を発動します！  
デッキからLV4、ハイパーハンマーヘッドを守備表示で特殊召喚

「！」

ちなみに翔君の伏せカードは魔法の筒だった  
マジック・シリンドー  
ベビケラサウルスでエクスプレスロイドに攻撃されていたら使っていたかもしれないね。

「ターンエンドです  
先輩のターンですよ？」

「僕のターン、ドロー！  
デュエル  
ふふん、この決闘は僕の勝ちだ！  
僕はサブマリンロイドを召喚！  
そしてサブマリンロイドの効果は、相手に直接攻撃ができる！  
ダイレクトアタック  
サブマリンロイドで直接攻撃だ！」

地面に潜り、隠れるサブマリンロイド  
すると突然対戦相手の足元から爆発が！？

「あああああ！」

これで相手のライフは800  
次のターンになれば翔君の勝ちだ！

「サブマリンロイドの効果発動！  
攻撃後、守備表示に変更できる  
この効果でサブマリンロイドを守備表示に変更  
ターンエンドだ！」

よし、守備力1800なら十分に耐えられる！  
上級モンスターを召喚されたら危険だけどね。

「私のターン、ドロー！」

……ごめんなさい丸藤先輩」

突然謝る？

どうしたんだ？

「私の勝ちです……魔法カード、化石調査を発動

デッキからLV6以下の恐竜族モンスターを手札に加えます  
私が手札に加えるのはLV4、ディノインフィニティです」

このモンスターの攻撃力が1800を上回っていたら、翔君の負け  
か！

どうなる！？

「ディノインフィニティを召喚します

ディノインフィニティの元々の攻撃力はゲームから除外されている  
自分の恐竜族モンスターの数×1000ポイントになります」

除外されてるって……そうか！

生存本能の本当の目的はこれか！

「除外されている私の恐竜族モンスターは7体

よって攻撃力は……7000です」

「攻撃力7000だって！？」

これが彼女の切り札か

確かに堅守君の言うとおり、攻撃力4000を越えた  
アレは態と弱めに言ったんだね？

本気で頑張れば10000を越えられるのに……

「ハイパーハンマーヘッドを攻撃表示に変更します  
そしてハイパーハンマーヘッドでサブマリンロイドに攻撃！」

「っ！」

態々攻撃力の低いモンスターで攻撃するつもりなの！？

「ハイパーハンマーヘッドの効果

それは戦闘を行い、破壊されなかったモンスターを手札に戻す  
私は300のダメージを受けて残りライフが500になりますけど  
……

最後はディノインフィニティで倒せって言われてるんです  
ごめんなさい、サブマリンロイドを手札に戻してください」

無言で手札にサブマリンロイドを戻す翔君

翔君の場にはモンスターも伏せカードも無い

これで終わりか……

「ディノインフィニティで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

インフィニティ・フアング！」

「うわああああ！」

翔君の負けかあ……ん？

対戦相手の子が誰かに手を振ってるけど……ええ！？

あ、明日香？ それに堅守君にレイ君まで……

堅守君は鬱陶しそうにしてるけど、明日香とレイ君は手を振ってる  
という事は……知り合い！？

まさか彼女が試合前に言っていた先生って堅守君か！  
それとも明日香、レイ君の可能性も有るけど……それは無いか。

はぁ……彼の関係者だとはね  
そりゃ強いけど、見た所普通のカードばかりだったな  
ギブ&テイク以外はだけどね。

つまり、それ以外は殆ど彼女自身の實力  
先生って呼ばれてるぐらいだし、勉強でも教えたのかな？  
翔君対策という感じの事はしてなかったけど  
それでも講習ぐらいしたんじゃないかな？

落ち込みながら帰ってくる翔君  
堅守君の関係者だからって言った方が良いかな？  
っと、誰かから通信でメール？

内容はっと……やっぱりばれてるか  
堅守君からだね、彼女の事を伝える事を禁止だって  
はぁ……分かったよ、黙ってる。

まあ今回は相手も強かったしね  
そこまで悪い噂とかにはならないはずだ  
堅守君が言っていた、名前を売るというのもできないしね。

言い方は悪いかもしれないけど  
負けた事で平和になったと思えば良いんだ  
好き勝手に振り回される事に比べたらマシだろう  
少なくとも、僕はご免だね。

堅守君にも好き勝手に振り回されてるけど  
それでもかなり自由にされてるからまだ良いか  
傀儡という程酷い扱いもされてないし。

とりあえず翔君の昇格は無しだね

はあ、これで多少は平和になるといいなあ……無理か。



## 87話【翔の昇格試験】（後書き）

瑞貴って万丈目の部屋の内容を知らなかったの？

知りませんでした

教えられたのは工事が終わった事と内装の簡単な説明だけです  
入ったのは今回が最初です。

なら、どうして明日香に紹介しよう？

広い事は一応知っていましたが

それならそっちに任せる方が良いと思いました  
部屋のベッドが空いてないので仕方無いでしょう。

剣山が瑞貴を知らない？ 瑞貴って有名人じゃなかったっけ？

なんとなく、知らないイメージでしたので

剣山が瑞貴を知っていたというイメージが湧きませんでした。

何故対戦相手に彰子を選んだの？

対戦相手は最初から1年生組から選ぶつもりでした

ゆまの場合はパワー不足でグダグダになりそう

雪乃の場合は圧倒的になりそうで楽しくない

彰子の場合はバランスが取れそうで良いか  
という感じですね。

何故瑞貴が態々翔に色々と教えたの？

どんな反応をするか楽しむ為です

それに、相手の情報を教える

性格を教えて気分を楽にさせる

実戦で性格と実力の差で驚かす為など  
楽しむ為というのが最大の目的ですね。

彰子が……泣いてる

厳しい先生達に囲まれた結果がこれです  
よく頑張った、君は立派だよ彰子。

何故ハイドロゲドンを!?

展開力から墓地にモンスターを送る為ですね

攻撃して数を増やすも良し、アタッカーにするも良し

数が増えた所で全滅させられても墓地に恐竜族が増えて万々歳  
そういう理由で使ってみました。

ジュラシックワールドってアニメ効果? OCG効果?

アニメ効果ですが、効果を発動する機会が有りませんでした

アニメでは鳥獣族モンスターも強化されます

そして攻撃対象になった恐竜族を守備表示に変更可能という効果も  
持っている

かなり鬼畜仕様な強カードでした。

スーパーチャージってロイド専用じゃ……

アニメ効果では機械族全部が可能です。

ギブ&テイクって……

明日香が貸したカードです。

彰子の何度か言う翔への言葉って挑発なの?

違います、殆ど本音です

ただし、瑞貴に心配だったら声を掛けてやれと言われました

心配になったので、言われた通りに声を掛けただけです

なので本音には間違いありません。

a   h   ツイ  
t   ター…  
t   …相  
p   ／　変  
..／　わ  
／　ら  
t   ず  
w   よく  
i   分  
t   か  
t   り  
e   ま  
r   せ  
c   ん  
o     
m     
／　  
#     
!     
／　  
a     
i     
n     
|     
k     
u     
r     
i

## 88話【動いただけの歯車】（前書き）

多くの人の期待を裏切った自信があります  
でも、これも予想された内容でしょうね。

今回は密談と勉強会なので会話中心です

密談の内容はタイトルの通りという感じでしょうね  
凄くショボイ感じがするのは気のせいじゃないでしょう。

次回は余裕が有るので大丈夫でしょう

今回は本当に危なかった……22時頃に帰ったのでかなり危険でした  
夜中に大半を終わらせておいて良かったです。

## 88話【動いただけの歯車】

視点 斎王

「カイザー亮と戦うなだって？」

「そうだ」

「何故だ!？」

彼と戦う事で僕は!」

「何度言われようとも答えは同じ  
カイザー亮とは戦うな」

「……何故そこまで？」

「塔の関係者だからだ  
多少無理をしたが、なんとかこの事実を確認できた  
彼のプロでの戦い方を覚えているな?」

「ああ、常に淡々としているな  
それでも人気が高いのは、性格が良いからという話だ  
奢らず、相手を戦いでリスペクトしている  
淡々とした態度は、相手と正々堂々と戦う為の自己暗示だと証言していたな」

「違うな、その態度は演技だ」

「演技？」

「彼は自らの内に恐ろしい獣を秘めている」

「ふん、あの程度の実力で獣を秘めていると言われてもな」

「……あの程度？」

「そうだ、カイザーは確かに強い  
だが所詮はアマチュアとそう変わらないさ  
大した実力も無い奴らとばかり戦っている」

「なるほど」

エド、お前は大きな勘違いをしている」

「勘違いだと？」

僕が言った事は事実だ」

「獣が……凶暴な獣が兎相手に態々本気を出すと思うか？」

「何が言いたい？」

「カイザー亮が試合で使っているカードを思いだして見ろ」

「カイザーの使っているカードだと？」

サイバー・ドラゴンにサイバー・フェニックス

他にもサイバー・ラーバアやサイバー・ヴァリーだな

それがどうかしたのか？」

「カイザー亮の噂を聞いたことは無いか？」

彼の学園での切り札、それはサイバー・エンド・ドラゴンだ  
一度でも彼は、試合でサイバー・エンド・ドラゴンを使ったか？」

「……いや」

「サイバー・エンド・ドラゴンだけではない  
サイバー・エンド・ドラゴンの下級であるサイバー・ツイン・ドラ  
ゴンさえ出さない

サイバー・ドラゴンの進化形態であるサイバー・バリア・ドラゴン  
にサイバー・レーザー・ドラゴンまでもな  
彼は1度も、全く本気を出していないのだ」

「何故本気を出さないんだ？」

そうすれば早くランキングにも入れるのに……」

「そこまでは分からない

だが切り札を使う事無く、既に10連勝している  
それだけ彼の实力は高いという事だ」

「だからと言って……

カイザーが強いから戦うなだって？」

「それとこれは話が別だ

塔の関係者だからだと言っただろう  
たったそれだけの事実でも、カイザー亮との戦いを止める理由にな  
る」

「斎王、貴方が何故堅守瑞貴をそこまで警戒しているのかは分から  
ない

塔だからか？ 破壊？ 破滅？ 崩壊？

そんなの、僕が防いでみせる！」

「不可能だ」

「っ！」

「私が……塔を止める方法を何度占ったと思う？」

「……………」

「実に、100回以上だ  
塔を止められると出た結果  
それはただの1度も無い」

「なんだよそれ……そんな巫山戯た存在  
認められるはずが無いだろう！」

「事実だ

私だって信じたくないさ」

「分かった、ならどうすれば良い？」

「……あの学園の出身者から適当に選んで戦えば良からう  
それならば遊城十代の目にも止まるさ」

「はぁ、分かった

君の指示に従うよ、斎王」

部屋から出て行くエド

許せ、お前の願いを聞き届ける事もできたんだがな



それをする と 確実に塔に目を付けられる。

なんとしてでも、それは絶対に避けなければ……

視点 瑞貴

『勝ったぞ』

「順調 そうだな地獄」

『当然だ』

あの程度の相手、本気を出すまでも無い』

「まったくだ」

せめてサイバー・ツイン・ドラゴンぐらいは出させろと思うな  
お前も、毎回手札を常に3枚以上残してるしな」

『不要だからな』

「次の相手は考えているのか？」

『ああ、デュエル・アカデミアに入学したというエド・フェニックスだ  
どうもきな臭いんでな、遊んでやろうか考えている  
ランキングもトップ10入りしているから丁度良い』

「エド・フェニックスか……止めておけ」

『何故だ?』

「どうも記憶に引っかかるんだよ  
嫌な感じだ、あまり相手にするな  
どうせ何か面倒事になるだろう  
無視して順調に上がっていけば良いんだよ」

『……良いだろう』

金は振り込んでおいた  
今回で借金は全額返済できただろ?』

「確認した、全額返済完了だな  
さすがプロ、ギャラも大したものだ」

『毎回8割は振り込んでるんだ  
当然だろう?』

「新しい商談はするか?」

『いや、今は遠慮しておく  
試合後で気を落ち着けねばならん』

「相変わらず物騒な奴だ  
試合後に精神統一をしないと気が立って仕方がないんだろ?」

『ああ、弱すぎて気分が中途半端なんだ  
早く上位ランカーと戦いたい』

「だが、何度も言う通り順序よくだぞ?」

確実に上がっていった方が世間的に良い

一気に駆け上がると謂われのない事を言われるかもしれない  
お前は気にしないだろうが、それで辞めるプロだって居るんだ  
本気になれる相手が見つかるまで、その牙は隠しておけ」

『毎回毎回諄い奴だ……分かっている

俺だってできるだけ長くプロで居たいしな

お前も早くプロに來い』

「何度も言ってるだろ？」

俺は今の所、プロになる気は無いと

どうしても実力者に会いたいんだっただら……そうだな  
俺の家に行ってみたらどうだ？

妹の玲が相手をしてくれるぞ、多分」

『妹？ 学園祭の時に居たあの子か  
確かになかなかの実力者だったな』

「住所は教えてやる

だが、できるだけあまり目立たなくしろよ？  
あまり目立つと玲が困るからな」

『相変わらず味方には甘いな  
できるだけ気をつけよう

何度か定期的に戦ったりしても構わないか？』

「好きにしろ

玲だって戦いたがっている

相手が弱すぎて暇してるんだ

同格が相手だと玲も燃えるだろ」

『そうか、感謝する』

通信が途切れる

ふう……つまらなそうだな

世間的にはクールで格好いいカイザー様  
その実態は勝利と戦いに飢えた、ただの獣。

さて、もう良いかな

時間も良いぐらいだし、授業に行くか

ちなみに今は昼休みの真っ最中

突然連絡が来たから驚いたぞ。

しかし授業……面倒だな

寝て過ごすか。

………

………

……

一気に時間を飛ばして数日後

何でもプロ決闘デュエルの鑑賞会をするとか

興味無いから出ない、俺は部屋で休んでるよ。

対戦カードは確か……エド・フェニックスとこの卒業生  
どうでもいいか、俺には関係無い事だし。

俺が出ないと言うと、レイも一緒に良いと言い出したのでレイもサ  
ボリ

別に自由参加だからサボリという言葉は当て嵌まらないか

明日香は一応出てくるらしい、あまりプロの試合は見たことが無いから参考にするってさ

あの程度が参考になるか、果てしなく疑問だけだな。

今日もレイに勉強を教えるでしょう

そう思っていたんだが……またお前らか？

「こんにちはレイちゃん、堅守先輩」

「またお邪魔しますね！」

「……お邪魔するわね」

また一緒に来た兎角、羽鳶、雪兎の3人組  
レイも含めて1年生カルテットだな。

「別にここでの勉強会は許すがな  
お前ら、プロ決闘の鑑賞会はどうしたんだ？」  
デュエル

大半の生徒が見ているはずなんだがな  
ここの卒業生という理由だけでも気になる奴が多いからな。

「こっちの方が勉強になります  
またお願いしますね、先生」

「お母さんにお小遣い強請ってきましたあー  
カード買わせてくださあい」

「私は堅守先輩に会いに……」

「「え？」

今なんて？」」

「気にしないで、私も勉強が目的よ」

雪兎、あまりそういう事は言わないでくれ  
会いに来るぐらいは許すから、だから言うな。

「なら、今日の講習を始めようか  
今日は……数学だ」

「「「数学？」」」」

「毎日毎日カードばかり……  
お前らな、偶には普通の勉強もしろ！  
全員筆記用具を出せ！ 今から小テストだ！」

「「「小テスト！？」「」「」」

こいつらの成績とかは知ってる  
調べてみたら、この学園の勉強での成績は一般高校生以下  
大半の一般学園の平均点を下回っている  
お前らな、もう少し一般的な勉強も頑張れ！

そして始まる本当の勉強会  
だがお前ら……酷すぎるわ！

「レイ！ お前は年齢的に仕方無いと思う！  
だが中学1年の問題ぐらいクリアしろ！  
せめて方程式や正負の掛け算割り算ぐらいできろ！」

「ボクはまだ算数なのにー……」

「兎角！ お前は平方根の基本からやり直せ！  
終わったら二次方程式だ！」

「√なんて……分かりません」

「羽鷲！ いくら何でもお前は酷すぎる！  
連立方程式もできないのか！  
中2の問題だぞ！ 兎角も中3の問題だがお前は酷すぎるわ！」

「xにyに……わかんないよおーー！」

「雪兎は図形だ！ 他はできるのに図形だけが酷いってどういう意味だ！？」

面積さえ分からないとは、お前は今までどうやって勉強してきた！  
図形を小学生からやり直せ！」

「はぁ……もっ、じゃなくて！

図形は訳が解らないのよ」

数学だけでこれって……理科はどれだけ酷いんだ？  
国語や社会が怖すぎる、真面目に勉強させないと拙いか？

次の時間は国語

どれだけできる事やら……

「この程度の漢字は書けるよレイ！  
これは小学低学年でしただろうが！

難しい漢字問題は出してないんだぞ！」

「漢字なんて読むだけでいいじゃんかあ……」

「お前はもう少し声を出して読め兎角！」

声が小さいから何を言ってるのか分からんわ！

発声練習から出直してこい！

読み書きや古文までできるんだ、だからそれだけでいい！」

「それって音楽じゃ？」

「羽鳶は漢字を書いて何故読めん！？

意味が分からんぞ！」

「どうしてかなあ？」

「お前は古文を読めるようになれ雪兎！

もっと教科書を読め！」

「意味が分からないんだから仕方無いじゃない！」

駄目だこいつら……国語も酷い

これで学園でも中位から上位

この学園の成績がどれだけ悪いのか良く分かる

もっと一般成績も重視しろよ！

一旦休み時間

たった2科目しかしてないのに既にグロッキー状態

自分では適当にしかしてなかったから実感が無かったがな

他人に教えると学園としてのLVの低さがよーーーーーく分かった



きつと決闘者は世界的に馬鹿が多いんだな。

次は社会か……

この世界では歴史は色々と変わってるんだよなあ  
社会だけは本気で勉強しないと点数が取れなかった  
常識や歴史が違うという意味でな。

「デュエルモンスターズ関連ばかり勉強するなレイ！  
どうせ関係するならエジプトの歴史でも覚えてろ！  
ついでに、他の国の歴史もだ！」

「歴史なんてしてたら頭がこんがらがっちゃう……」

「どうしてそうジュラ紀や白亜紀ばかり知っていて他は知らないんだ！？」

兎角は人類誕生辺りの時代から時代を進めていけ！」

「だって恐竜さんが……」

「羽鳶は政治の勉強をしろ！  
他はそこそこでこれだけ酷いんだ！  
国会、法律、選挙などを覚えろ！」

「そんなの出ナイよお」

「雪兎は……平均点だな  
全体の底上げの為に自習  
分からない奴らに教えておけ」

「私だけ適当！？」

（悪い点を取っていたら怒られたかしら？  
良い所を見せようとして失敗した！）」

中途半端に偏ってたり

一部しか知らなかったり

普通に1つ駄目だったり……

頼むからもう少しマシな勉強をしてくれ  
こいつらの相手はそろそろ疲れてきた。

理科かぁ……数学が駄目なこいつらにできるのか？  
とりあえず試すか。

「レイ！　せめて支点力点作用点ぐらいは知っておけ！  
こんなの理科の最初の方で習っただろうが！」

「こんなの使わないよお」

「兎角！　気持ち悪い気持ちは分かる！  
だが生物は必要な授業だ！  
目を背けずに頑張れ！」

「ううう……内臓とか気持ち悪いです」

「羽鳶はもっと化学を勉強しろ！  
ほら、分子とかの問題はまだ簡単だろ！？」

「頭が痛いよお……」

「お前は物理か……雪兎

どうしてお前はこう図形とかに弱いんだ？  
重力なんて簡単なのから始めてやるからもっと勉強しろ！」

「実感感だけでいいじゃない  
何で態々数値化するのよ……」

あーあ……全員酷い事になってる  
駄目駄目だ、殆ど氣力を失ってやがる  
どうやったら元気になるんだ？

「あー……お前ら  
今から購買部に行く予定だがこのまま休んでるだろ？  
プリンとか好きか？」

だらけながらも頷く女共  
やっぱりスイーツには食い付くんだな。

「頑張ってたからな、買ってきてやるよ  
暫く休んでろ、誰か来ても部屋を開けないように」

部屋から出て購買部に向かう  
そろそろ夕方だけど、まだやってるよな？

………

………

………

プリンは足りなかったな  
仕方無いからゼリーにしたが、まあ許せ  
コンビニとか欲しいなあ。

部屋を開けると、何やら密談をしていた俺が帰ってきた事に気付くと慌てて解散お前らな……何を話してたんだ？

「何を話してた？」

「秘密」

「ごめんなさい」

「内緒」

「教えられないわ」

全員違う言葉で断りやがった  
白状させるには……これだな。

「このスイーツ、全部俺が食っても良いよな？」

「」「」「白状します！」「」「」

やっぱり、女は甘い物に弱い  
扱いが楽だと本当に助かるよ。

「では説明、話が終わるまでスイーツはお預け  
代表者は……面倒だ、レイで」

「ボク！？」

えっと、瑞貴さんは何でも知ってたり頭が良いけど

何か苦手な事とか、できない事とか無いかなあって話」

俺の弱点探しかよ

そんなの、訊かれれば答えても良いんだぞ？  
別に言っても困る事じゃないし。

「有るに決まってるだろうが

無いなんてどんな完璧超人だよ

つうか、そんなの既に人間じゃねえ」

「いや、そうなんだけど……

ちなみに何が苦手なの？」

「女」

「「「ええ！？」「」」

「驚くな貴様ら！」

女は苦手なんだよ！

考えてる事が時々意味が分からないし

服とかおしゃれだとか化粧だとか

何がしたいのは全く分からん、謎の生物だ！

「ボク達の事苦手なの！？」

「いや、どうだろうか？

女という存在を苦手になっているが

個性に性別を挟むつもりは無いからな」

「どういう意味ですか？」

「つまり、俺が女の何が苦手かと言うと服とか、化粧とかをして着飾って何が良いのか理解できない点だ綺麗に見られたいという気持ちは分からなくも無いんだが、金を掛けすぎだろ

特に化粧なんてほんの数時間の為だけにどれだけ使うんだ……っと、これは置いておくか

まあ、そういうのが苦手なんだ

俺は素のまま、自分らしさを出される方がずっと好印象だからな」

レイはともかく、こいつらだって程度の差は有れど化粧ぐらいしてる今の俺の言葉だけを聞けば、お前らの印象は悪いんだよ  
そう言われているようなものだ。

なので3人は自分の顔に手を置いたり

顔を撫でたり触ったりとしている

雪兎なんて何かを決意してるし……

化粧品を全部捨てたりしそうだが、少しぐらいならそこまで気にならないんだぞ？

言わないけどな、無化粧の方が印象が良いのは事実だし。

「で、個性に性別を挟むという話だったな

要は性格と性別を一緒にしないという事だ

俺は噂とか性別で相手を決めたりするのはあまり好まない

実際に会い、話して、自分の印象でどう接するか決める

そこに性別という壁は全く無いんだよ」

「つまり、気に入ったノなら男も女も関係無いトいう事ですかあ？」

「そういう事だ

どうも、性格で気に入るのは何故か女の方が多いけどな」

本当に何故か女が多い

というか、知り合いに女が多いのは何故だ？

男……白黒、モノクロ地獄、似非、水色、電池、地底、でかいのも微妙に入ってるか？

女……明日香、レイ、マナ、その1、その2、兎角、羽鳶、雪兎、カミューラ

女の方が確実に多いな……本当に何故だろうか？

「じゃあ、ボク達って気に入られてるの？」

「レイは気に入ってるが……他は微妙かな

兎角は割と気に入ってるが、泣き虫なのが玉に瑕

羽鳶は明るいのは良い、もっと賢ければなあ

雪兎は素直に嫌いじゃないが、惜しい部分がそれなりに多い」

「泣き虫……」「馬鹿って言われたあ」「何が惜しいのかしら？」

細かく教える気は無いぞ雪兎

お前にこれ以上積極的にされたら疲れそうだし  
まだそこまで疲れない範囲だから許してるけど。

「気に入られてるんだ……良かったあ

（瑞貴さんの好みになろうなんて馬鹿な事を考えなくて良かった  
もしそんな事をしていたら嫌われてたかも）」

レイ、気に入らなかったら即追い出してるぞ？

お前はそれに気付かないのか？

「はーい！」

「なんだ羽鳶」

「嫌いな食べ物って何デすか？」

いつから俺への質問大会になったんだ？  
別に良いけどよ……

「辛い、苦い、渋い、すっぱい、不味い  
これらは基本的に駄目だ」

「「「（子供舌？）」「」」」

「それよりも、スイーツは食わないのか？  
あんまり遅かったら緩くなるぞ？」

「た、食べる！」 「私も戴きます」 「私も！」 「戴くわ」

単純だなあ……

これだけで釣られ、話を中断するんだから。

適当に渡していく

好きなのを取らせ、俺は俺で食う  
俺は甘い物が好きだからな。

「「「……………」」「」」」

「なんだ、ジッと俺の事を見て」



「瑞貴さん」

「ん？」

「それ……何？」

「見て分らないか？ 砂糖だ」

どう見てもそうだろ

これってなかなか美味いんだぞ？

スプーンで掬って舐めるように食う

これが良いんだよ。

「砂糖をそのままパクパク食べるなんて  
そんな人、初めて見ました」

「私デもそんな事しナイよお」

「太らないの？」

「太らないぞ、体質からかは知らんがな  
別に運動をしている訳じゃないんだが……  
何故か太らないし、体重もあまり変わらないんだ」

多分体質なんだろうけどな  
本当、どうして甘い物をかなり食ってるのに太らないんだか  
肉類よりも野菜が好きでメインに食ってるからか？

「……ちなみに堅守先輩

現在の身長と体重は？」

「身長が176前後、体重は60kgぐらいか？」

身長は一応平均以上で体重は平均以下

健康にそこまで気を遣ってないんだがな

どうしてかこんな変な形に……

「どっちも平均より良いじゃないですかあ  
羨ましいですう」

「知るかよ」

羽鳶にそう答え、俺は砂糖を頬張る

うん、美味い。

「「「（羨ましい……）」」「」」

ん？ そんな顔をしてもらんぞ

これは俺のだからな。

その後、蜂蜜に砂糖を掛けて舐めた

すると1年生カルテットに怯えられた……何故に？

………

………

……

夕方、3人組が帰って行った

そろそろ、あいつらにもトリオ名を考えるべきか？

レイを含めてカルテット名も良いな  
どうするか……まあ後で適当に考えるか。

「ただいま」

「おかえりなさい明日香さん」

「おかえり明日香

<sup>デュエル</sup>決闘の結果は要らんぞ、興味無いからな」

「あ……そう

（今、まさに言おうとした瞬間だったんだけどね）」

今夜はどうしようか……

いい加減、マナを抱き枕にしないと拗ねる  
レイは明日香に任せるか。

「そうだ瑞貴

明日、十代があのエドと決闘するみたいよ  
<sup>デュエル</sup>一緒に観ない？」

「どうでも良い」

だがやっぱり抱き心地はレイの方が良いんだよねあ  
しかしマナは今も赤くなるからそれを見るのは楽しい  
明日香は候補以前の問題、明日香の抱き枕は要らん。

「（予想はしてたけどね……私はちょっと興味有るわ  
HEROデッキの使い手、私も一応そうだから  
なんだか切り札とかを見れそうな気がするのよね

だから私は明日も見学するつもり」

まあ、また夜にでも考えるか  
俺はどっちでも良いんだしな  
ジャンケンでもさせて負けた方が抱き枕とでも言えば良い  
勝った方じゃないのは当然だ。

「マナ、出てきて良いぞ  
レイとジャンケン、負けた方が抱き枕」

「はーい！  
勝たないよ、レイちゃん！」

「ボクだって絶対に勝たないからね！」

「……シユールね」

本当にシユールだな  
どっちも意気込んで負けようとしている所とか  
ちなみに結果はマナの勝ちだった、ジャンケンの結果がな  
つまり、レイが抱き枕の権利を得た事になる。

マナは四つん這いになって落ち込んでる  
レイは逆に嬉しさからガッツポーズ  
そこまで大袈裟にしてくても良いんじゃないか？

「愛されてるわね、瑞貴」

「愛なんて要らん  
俺は抱き枕が有れば言い」

「（いや、それはそれでどうなのかしら？）」

まあ、好意を持たれていればそれだけ抱き枕にしやすい  
レイはいつまで使えるのか分からないんだし  
堪能できる時に堪能しないと損だ。

「そういえば瑞貴」

「なんだ？」

「私には抱き枕になれって言わないわね  
何か理由でも有るの？」

「身長が高いから抱きにくそう  
理由は以上だ」

マナはギリギリ許容範囲内だ  
一応、レイを除いた1年生カルテット全員もギリギリ許容範囲内  
だが明日香、お前は駄目だ。

「……なんだか複雑な気分ね  
理由が身長っていうのが」

「抱き枕になりたいのか？」

「うーん……どうかしら？  
偶に人肌が恋しくなるのよね  
1回ぐらいはって思ってしまうのよ  
でも今夜はマナを抱き枕にして寝るわ」

「賢明な判断だ」

あー驚いた

まさかこいつにまで好かれているかと思ってしまった  
さすがにそれは無いか。

精々友人か友愛が限度

好意や恋愛、愛情は明日香の性格上無いだろう  
何度も友達だの何だのと言ってるしな。

「(……どうも屈辱的な気がするのよね  
悔しいというか、惜しいというか……

どうして身長の方が気になるのか謎ね

まさか私、瑞貴の抱き枕になってみたいの？

それは無いわね、友達の抱き枕になりたいなんて変よ」

どうした明日香、少し暗い顔になって  
考え事でもしてるのか？

その後、寝るまで何も無かったな

決まった通り、俺はレイを抱き枕にして

明日香はマナを抱き枕にして寝たぐらいだろう  
朝になったらマナの抱き心地でも訊いてみるか。

## 88話【動いただけの歯車】（後書き）

エドVS亮が無いだって!?

止めました、どっちが勝っても不都合なので

エドが勝てば亮が……

逆に亮が勝っても困ります

なので消滅という形になりました。

亮がプロで使っているモンスターが……

そういう事です

凄まじいまでの実力になっていますね

きつとこれようやく互角なんでしょう。

瑞貴と亮の密談が……

色々アレですね、アレです。

亮と玲が戦うのか……

未定ですけどね

番外で考えてみます

まあ、企画倒れになりそうな気がしますけど。

本当に普通の勉強!?

いつかしたかったネタです

最近、人数が増えたので実行しました

頭の良さなどは適当です。

砂糖をそのままとか……

子供の頃、誰かしていませんか?

砂糖をちよっと手にとって舐めるみたいな事を

それがエスカレートした形が瑞貴です。

どうして瑞貴は太らないの？

体質じゃないでしょうか？

一応高校生も成長期なので、その可能性も有りますけど。

ツイッター……毎回の説明に飽きてきました

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
どこかに載せるようにしようかと考え中です。



## 89話【アイドルにさせよう！ 明日香VS吹雪】（前書き）

すっ飛ばそうかと思いましたが実行

イベントそのものが消滅していそうでした

しかし、しかし登場させました！

十代VSエド？ 知りません。

ただし、内容は全く違います

色々ズレが激しくなっています

まあ、それぐらいは良いでしょう。

今回はどんな内容になる事やら……

次のイベントは……何だったかな？

まあ適当に思いだしてしましよう。

## 89話【アイドルにさせよう！ 明日香VS吹雪】

視点 レイ

「何？ 似非に元気が無い？」

「そうなのよね……」

昨日、エド・フェニックスに負けてから駄目駄目状態よ」

プロに負けた十代さんが落ち込む？

でも明日香さんに負けても落ち込んでたよね？

別にそれぐらい良いんじゃない？

「って、俺には好都合じゃないか？」

「好都合？」

十代さんが元気が無いのに？」

「俺、あいつは嫌いだし

静かで気楽で助かる」

瑞貴さんらしいなあ

嫌っている相手には容赦が無い所とか  
でも、少しぐらい心配してあげたら？

「ちょっと笑ってやるかな

明日香、似非はどこに居る？」

「知ってるけど言わないわ

これ以上、十代を追い詰めるのは止めてあげて

カードが真っ白の紙にしか見えなくなったらしいの

それほどのショックよ、そっとしておいてあげましょう」

カードが真っ白の紙！？

それって大丈夫なの！？

「（頭に引っかかるな……なんだったかな？

真っ白の紙にエド、似非が落ち込む

……思い出せん、何が有ったんだ？）」

「ジュンコが十代に付いてるから大丈夫だと思うけど

どうもあまり効果が無さそうなのよ

だから許してあげて？」

「……チツ、分かったよ」

瑞貴さんは諦めて溜め息を吐く

そんなに苛めたかったの？

あ、ノック？ 誰か来たのかな？

瑞貴さんが出ると……吹雪さん？

「やあ堅守君、明日香にレイ君も  
こりゃ都合が良いや」

「却下だ白黒」  
モノクロ

いきなり却下！？

まだ吹雪さんは何も言っていないよ！

「……まだ何も言っていないんだけど？」

「明日香と兄妹ユニット？ アイドルデビュー？  
俺がそんなのを許すと思うか？」

「何故それを！？」

本当、何で知ってるんだろ？

昨日も今日も学校の授業以外では殆ど一緒に居たんだよ？  
どこからそんな情報を……

それにアイドルデビューって何？  
どうしたらそんな話が出てくるの？

「瑞貴……どういう事？」

「クロノス臨時校長からの指示というか……  
明日香をアイドル養成コースに戻す為の小細工だろ  
どっちにしろ、爽やか兄妹で売りだそうとか考えているらしい」

本当に小細工だね

明日香さんのアイドルか……

明日香さん美人だし、良いんじゃないかな？

「僕としても、あまり操られるのは好きじゃないんだけどね  
それでも明日香の可愛さを世界に広めるんだったら構わない  
だって明日香は凄く可愛いんだから！」

兄馬鹿……この人、大丈夫かな？  
なんというか、色々。

「巫山戯ないでモノクロ白黒兄さん！  
私はそんなの、興味無いわ！」

「とうか、吹雪さん自身だってアイドルデビューするんでしょ？  
明日香さんが美人なのは分かるけど、自分の格好良さで明日香さん  
を喰いそうじゃない？」

吹雪さん、キャラも濃いし……」

「そういう問題じゃないわよレイ！」

う……怒られた

でも吹雪さんが濃いのは本当だと思う  
今更だけど、この人本当に19歳？

モノクロ  
「白黒」

「なんだい、堅守君」

「俺がお前らのアイドルデビューを考えなかったと思うか？」

「「は？」」

今のって……まさか！

「それで借金返済を考えた事は何度か有るぞ  
現実的じゃないから言っただけだったかな」

「絶対に嫌よ！」

「……と、明日香も言うと思ったし  
ちなみに5人グループでレイ玲とカミューラも混ぜようかと」

「ボクまで!？」

瑞貴さんがそんな事を考えてたなんて！  
凄く予想外なんだけど！

「って、瑞貴さんは？」

「お前らならともかく、俺の顔でできるか  
性格も向かないし、俺は裏方でマネージャーとかだろ  
全員、プロ決闘者デュエリストになった上でとも考えたがな」

瑞貴さんがプロデュースするアイドル……  
しかもプロとして活躍して？

……恐ろしい事になる気がするのは気のせいだと思いたい。

「瑞貴……まさか実現させるつもり？」

「未定だ、考えただけという感じ  
だが実行した場合、お前ら2人は最低でも出てもらうぞ  
借金、全額返済してもらうまではな」

「「う……」」

「そういえば2人の借金  
今はどれぐらいなの？」

「明日香は現在6桁  
モノクロ  
白黒は現在7桁だ」

6桁に7桁って……凄い事になってない？  
それって全額返済できるの？

「明日香にはしょっちゅう頼み事をしてるからな  
モノクロ  
白黒は明日香ほど、部屋に出来ない  
だから面倒を任せるにも、明日香の方が多くなるんだ  
頼み事で借金を減らしていくやり方だからな」

今更だけど、それと脅迫じゃないの？

でも本人達が納得してるんだし、良いのかな？

普通、6桁や7桁なんて学生が返せる金額じゃないし。

「僕としては、借金返済も含めての話だったんだけど  
それでも駄目なのかい？」

「当たり前だ

誰が自分の手駒を他人に渡すか  
実行するなら俺が自分で動いて事を起こす」

手駒って言い方は酷い

せめて……奴隷？ もっと悪いか

うーん、えーと……玩具？

な、何か良い言い方は無いかな？

「指示はちゃんと全部聞くわ！  
だから実行しないで！」

「との事だ白黒モノクロ  
分かったら諦めろ」

「そう言われてもねえ

僕だって殆ど無理だとは思っていたんだよ？  
しかしクロノス臨時校長に頼まれてるから  
せめて何か無いと面目が立たないんだよ」

「ええい鬱陶しい！

だったらお前ら兄妹で喧嘩でもしてろ！  
それなら文句は無いだろうが！」

喧嘩って……

「うむ、良い考えだ  
よしアスリン、僕と決闘デュエルだ！」

「望むところよ！

でもアスリンは止めて、お願いだから」

喧嘩デュエルって決闘だったの！？ しかも明日香さんも受けるんだ！  
というかアスリンって何！？ アイドル名！？  
じゃあ吹雪さんは何になるの！？

………

………

………

という訳でレッド寮の前



明日香さんと吹雪さんが決闘の準備をする  
デュエル  
デッキを差し、決闘盤を構える。

「「決闘！」」  
デュエル

「僕の先攻、ドロー！」

魔法カード、召喚師のスキルを発動

デッキからLV5以上の通常モンスターを手札に加える

僕が手札に加えるのは勿論、真紅眼の黒竜だ」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

LV7で攻撃力2400って弱いよね

でも、どうしてあんなにサポートカードが多いのかな？  
やっぱり人気が高いからかな？

「更に仮面竜マスクド・ドラゴンを守備表示で召喚  
これで僕のターンは終了だ」

確かドラゴン族専用のリクルーターモンスター  
攻撃力1500以下のドラゴン族だっけ？

ふと思ったんだけど……

攻撃力1500以下のドラゴン族って強力なモンスターが多い気がする

ボマー・ドラゴンとか、ドル・ドラとか

厄介なモンスターが多いよね。

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、天使の施しを発動！ カードを3枚ドローし、2枚を  
捨てる

更に魔法カード、融合を発動！

手札の沼地の魔神王とブレード・スケーターを融合し、サイバー・ブレイダーを融合召喚！

更にコマンド・ナイトを召喚するわ

このモンスターは自分の場に他のモンスターが存在する限り、攻撃されず

更に自分の場の戦士族の攻撃力を400アップさせる！」

一気に2体のモンスターを……

しかもサイバー・ブレイダーの攻撃力は2500にアップした  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
これじゃあ真紅眼の黒竜じゃ勝てない。

「コマンド・ナイトで仮面竜に攻撃！」  
マスクド・ドラゴン

「くっ、だが仮面竜の効果発動！」  
マスクド・ドラゴン

戦闘で破壊された時、攻撃力1500以下のドラゴン族を特殊召喚できる！

僕はこの効果により、仮面竜を守備表示で特殊召喚！」  
マスクド・ドラゴン

「なら、サイバー・ブレイダーで追撃！」

「再び仮面竜の効果発動！」  
マスクド・ドラゴン

僕はミンゲイドラゴンを特殊召喚する！」

どんな効果だっけ？

確か学園祭でも見たんだけど……

うーんと、えーっと……すぐに生け贄にされたから忘れちゃった。

「最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「僕のターン、ドロー！ 僕も天使の施しを発動する

デッキからカードを3枚ドロ―し、2枚を捨てる  
そしてミンゲイドラゴンはドラゴン族の生け贄にする場合  
このモンスター1体で2体分の生け贄にする事ができる  
僕はミンゲイドラゴンを2体分の生け贄とし……」

出てくるかな、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜  
でもサイバー・ブレイダーには勝てないよ？

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
「光と闇の竜を召喚！」

うわぁ……半分白で半分黒のドラゴンだ  
なんだか中途半端な見た目、でも攻撃力2800は強いなあ。

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
「光と闇の竜でサイバー・ブレイダーに攻撃！」

「でも、サイバー・ブレイダーは相手のモンスターが1体の場合  
戦闘で破壊される事は無いわ！」

それでも戦闘ダメージは通る  
これで300ポイントのダメージだね。

「分かってるさ  
僕はこれでターンエンドだよ」

「私のターン、ドロ―！  
クッ……私は場のコマンド・ナイトを守備表示に変更！  
ターンエンドよ！」

え？ コマンド・ナイトだけ？  
サイバー・ブレイダーは守備表示にしないの？

「瑞貴さん、どうしてサイバー・ブレイダーは守備表示にしないの？」

「サイバー・ブレイダーは相手のモンスターの数で効果が変わる  
相手モンスターが1体の場合は戦闘耐性

相手モンスターが2体の場合は攻撃力の倍加

相手モンスターが3体の場合は相手の魔法、罠、効果モンスターの  
効果を無効化

つまり、白黒がモンスターを出したら攻撃力が倍になるが戦闘耐性  
は消える

守備力800のサイバー・ブレイダーではほぼ確実に破壊されると  
いう事だ」

戦闘ダメージを受ける可能性が有る変わりに  
相手の行動を制限したのか……

もしモンスターが増えた場合

2体だから攻撃力が倍になって5000

倒す事は難しくなるから出せない。

でもモンスターを増やさなかったら戦闘で倒せない  
ダメージだって300しか与えられないもんね  
時間稼ぎはできるって事かな？

「僕のターン、ドロー

時間稼ぎは結構な事だが、それだけじゃ甘いねえ  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
光と闇の竜でサイバー・ブレイダーに攻撃！」

「く……でも戦闘では破壊されないわ！」

「構わないさ

ターンエンド」

吹雪さん、動かないね

手札は4枚も有るのにどうしてだろう？

「私のターン、ドロー！

荒野の女戦士を守備表示で召喚

ターンエンドよ」

「僕のターン、ドロー

どうしたんだい明日香？ そんな事じゃ僕には勝てないよ？

ライトアンドダークネス・ドラゴン

光と闇の竜で再びサイバー・ブレイダーに攻撃！」

ズルズルとダメージが増えていく

これで合計900のダメージ

明日香さん、大丈夫かな？

「僕はこれでターンエンドだよ」

「私のターン、ドロー！

フュージョン・リカバリー

手札から融合回収を発動！

墓地から融合と、融合に使用したモンスターを手札に加えるわ！」

「それは駄目だよアスリン

ライトアンドダークネス・ドラゴン

光と闇の竜のモンスター効果発動！」

「アスリンは止めて！

って、モンスター効果？」

どんな効果かな？

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
「光と闇の竜は攻撃力と守備力を500ポイントダウンさせ

魔法、罠、モンスター効果を無効にする

フュージョン・リカバリー  
これにより、融合回収の効果は無効となる

残念だったね、これで融合を手札に加える事はできなくなったよ？」

それって凄く厄介だよね！

攻撃力と守備力が下がると言っても

それでも無効化されるって凄く強くない！？

「でも、それって自分の効果も無効化されない？

どうも強制効果みたいだし、自分の無効化も無効化されるでしょ？」

「それがされないんだよアスリン

このモンスターが自身の効果で無効化する事ができる

それは1つのチェイン内で1回だけなんだ

だから自分の効果で自分の効果は無効にはできないんだよ」

なんだか扱いが難しそう

しかも強制効果だったら自分のカードも無効化されるんだよね？

だからただ攻撃してただけなんだ……

「だから、アスリンは止めて

なら別チェインで永続罠を発動するわ

追い剥ぎゴブリンを発動、これで攻撃力と守備力は更にダウンね」

そっか、無効化はされるけど破壊はできないのか

でも、ルールでは無効にされたら永続系のカードも墓地に行くんだ

っけ？

どうせだったら破壊も書いてくれたら分かりやすいのに。

「……そうだね

ライトアンドダークネス・ドラゴン

これで光と闇の竜の攻撃力は1800だ」

「ここまで下があれば十分でしょ

コマンド・ナイト、荒野の女戦士を攻撃表示に変更するわ  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
サイバー・ブレイダーで光と闇の竜を攻撃！」

これで吹雪さんに700のダメージ

明日香さんとのライフ差も縮まったね。

「しかし、このモンスターにはもう1つ効果が有る！

破壊され、墓地に送られた時に自分の墓地のモンスターを選択して  
発動

自分の場のカードを全て破壊し、その選択したモンスターを特殊召  
喚する」

それでずっと伏せカードを出さなかったんだ  
伏せたら全部破壊されるもんね。

吹雪さんの墓地のモンスター

マスクド・ドラゴン

確かミンゲイドラゴンに仮面竜が2体だけ？

ライトアンドダークネス・ドラゴン

それに光と闇の竜……は、無理かな？

それができるんだったらずっと出てこれるし。

「僕が特殊召喚するのは……ホルスの黒炎竜LV6だ！」

「ホルスですって!？」

いつの間にそんな……あの時の天使の施し!？」

「その通り! 僕があの方に捨てたのはこのモンスターだ!」

確か戦闘でモンスターを破壊したエンドフェイズ時にLV8を特殊召喚する効果

という事は……明日香さんはもうモンスターの表示形式を変更してる!

次の吹雪さんのターンで荒野の女戦士が破壊されてダメージしかもレベルアップまでされるって事!？」

「厄介な……ターンエンドよ」

「僕のターン、ドロー! 強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー! さて、明日香が動きを止めてくれたおかげで手札が集まったよ  
魔法カード、古のルールを発動し、手札から真紅眼の黒竜を特殊召喚!」

出てきた! 真紅眼の黒竜!

でも攻撃力はサイバー・ブレイダーの方が上!

「更に真紅眼の黒竜を生け贄に真紅眼の闇竜を特殊召喚する!

真紅眼の闇竜の攻撃力は墓地のドラゴン族の数だけ上がる

僕の墓地のドラゴン族は5体、よって攻撃力は1500アップ

真紅眼の闇竜の攻撃力は3900だ!」

「く……だけど、サイバー・ブレイダーの攻撃力は5000よ! 真紅眼の闇竜でも敵わない!」

「それが甘いんだよアスリン!



ライフを800払って装備魔法、早すぎた埋葬を発動し、墓地のモンスターを特殊召喚する！

僕が蘇生させるのは真紅眼の黒竜だ！」

ライフを払ったから吹雪さんのライフが2500まで下がった

でもモンスターが3体になったからサイバー・ブレイダーの攻撃力倍加が無くなった

サイバー・ブレイダーの攻撃力が2500にまでダウン。

真紅眼の闇竜も墓地のドラゴン族が減ったから……あれ？

どうして攻撃力が3600じゃなくて2400の、元の攻撃力になっているの？

「甘いのは白黒兄さんじゃないの？」

モンスターが3体になったからサイバー・ブレイダーの最後の効果相手の魔法、罠、モンスター効果は無効化されるのよ？

それと、アスリンは止めて」

そっか、だから真紅眼の闇竜の攻撃力が元に戻ったのか

という事はサイバー・ブレイダーは倒せないって事だね？

真紅眼の黒竜達は攻撃力が2400だし

ホルスだって攻撃力が2300だもん。

もしホルスのLVが上がってLV8になっても

次のターンになればサイバー・ブレイダーで真紅眼の闇竜を倒し攻撃力が倍になってホルスの黒炎竜でも勝てなくなる。

これなら明日香さんの勝ちだね！

「おやおや、アスリン

君が基本的な事を忘れて良いのかい？　僕はまだ、通常召喚をしていないよ！

レッドアイズ・ワイバーン  
僕は真紅眼の飛竜を召喚！」

モンスターが4体……という事は！

「アスリンは止めて

という事はサイバー・ブレイダーの効果は全て……」

「そう、無くなったという事さ

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

バトル！　真紅眼の闇竜でサイバー・ブレイダーに攻撃！

ダークネス・ギガ・フレイム！」

「くうう……」

明日香さんに1100のダメージ……

しかも、他のモンスターの総攻撃が！

「続いてホルスの黒炎竜LV6で荒野の女戦士に攻撃！

ブラック・フレイム！」

攻撃力差は800

明日香さんのライフは残り1200に！

「荒野の女戦士の効果発動！

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下の地属性戦士族を攻撃表示で特殊召喚できる！

私はデッキからマッシュ・ウォリアーを特殊召喚するわ！」

でも攻撃力がたったの600じゃ……

って、コマンド・ナイトの効果で攻撃力が上がって10000になっている  
てる

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
それでも真紅眼の黒竜の攻撃力は2400  
ライフがなくなっちゃう！

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
「真紅眼の黒竜でマツシブ・ウォリアーに攻撃！  
ダーク・メガ・フレア！」

「くっ！ マツシブ・ウォリアーは1ターンに1度戦闘では破壊されない！  
更に、戦闘ダメージも0にする！」

ほっ……なんとか耐えきれた  
レッドアイズ・ワイバーン  
でも、まだ真紅眼の飛竜が残ってる！

レッドアイズ・ワイバーン  
「なら、真紅眼の飛竜でマツシブ・ウォリアーに攻撃！  
ダーク・フレイム！」

これで明日香さんの場にはコマンド・ナイトだけ！  
更に手札も1枚だし……

「エンドフェイズ、ホルスの黒炎竜LV6の効果発動！  
戦闘でモンスターを破壊したターンのエンドフェイズ時  
このモンスターを墓地に送り、手札かデッキからホルスの黒炎竜LV8を特殊召喚できる！  
出てこい！ ホルスの黒炎竜LV8！」

ホルスの黒炎竜LV8……確か効果は魔法カードの無効化  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
しかもさっきの光と闇の竜と違って任意効果  
だから自分のカードは無効化されない！

そして墓地にドラゴン族モンスターが増えた  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
これで真紅眼の闇竜の攻撃力も3900にアップ  
明日香さん、大ピンチ！

「私のターン、ドロー！  
E・HEROアイズ・エッジを守備表示で召喚  
コマンド・ナイトを守備表示に変更しておくわ  
これでターンエンドよ」

「僕のターン、ドロー  
確かそのアイス・エッジの効果はLV4以上のモンスターでは戦闘  
破壊されず  
しかも効果まで受けないモンスターだったね  
僕の場のモンスターは全てLV4以上、そいつは倒せない  
だったら僕は何もしないでターンエンドだよ」

そんな厄介なモンスターだったんだ……  
凄く厄介そう、普通に倒すのって難しいね。

「私のターン、ドロー！  
クッ……ターンエンドよ！」

「僕のターン、ドロー  
お互いに手詰まりみたいだね  
ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー  
カードを1枚伏せてターンエンドよ」

「ドロー、同じく伏せてターンエンドだ」

お互いに何もできないままターンが進んでいく  
動く事ができない……

でも明日香さんは魔法カードが使えない  
だから更に動けない！

「ドロー……ターンエンドよ」

「ドロー」

1枚伏せてターンエンドだ」

動けないのか、動かないのか  
どっちなのかな？

「（この世界で手詰まりは珍しいな  
元の世界では有り溢れるような事だったんだが  
どっちも厄介なデッキだから当然か）」

「私のターン、ドロー」

……そろそろ動くわよ、モノクロ白黒兄さん

フュージョン・リカバリ墓地の融合回収をゲームから除外

そしてマジック・ストライカーを特殊召喚！

更にマジック・ストライカーとアイス・エッジを生け贄に捧げ  
力を司る巨人、破壊を魅せよ！ 立ち上がれ、ギガンテック・フ  
イター！」

攻撃力2800のモンスター

しかも墓地の戦士族の数だけ攻撃力が上がったはず  
墓地の戦士族は確か……6体だったっけ？

「ギガンテック・ファイターの攻撃力は基地の戦士族の数×100  
ポイントアップするわ

私の墓地には戦士族が8体、よって攻撃力は3600

しかもコマンド・ナイトの効果が残ってるから攻撃力は4000よ！  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜に攻撃！」

あれ？ 数が合わないような……  
最初の天使の施しで捨てたのかな？

それはともかく、これで吹雪さんに100のダメージ！

レッドアイズ・ワイバーン  
真紅眼の飛竜に攻撃してたら2200で大ダメージだったんだけどね  
でも、墓地にドラゴン族が増えると真紅眼の闇竜の攻撃力が420  
0になる

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
だから先に真紅眼の闇竜を倒したのかな？

「更に罠カード、バスター・モードを発動！

場のギガンテック・ファイターを生け贄に捧げ

デッキから同名の／バスターと名の付くモンスターを特殊召喚する  
！」

「そうはさせない！

永続罠、王宮のお触れを発動！

全ての罠カードの効果は無効にする！

更にチェーン発動、レッドアイズ・スピリッツ！

このターンに破壊されたレッドアイズと名の付くモンスターを  
召喚条件を無視して特殊召喚する！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
チェーンの逆順により、レッドアイズ・スピリッツの効果が適用  
真紅眼の闇竜を特殊召喚！」

「な!?!」

そんな! あの時カードの生け贄はコスト!  
だから生け贄にしたギガンテック・ファイターは戻って来れない!  
しかも真紅眼の闇竜が復活した!?!  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

「……ターンエンドよ」

「僕のターン、ドロー」

僕の勝ちだ、明日香

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜でコマンド・ナイトに攻撃!

ダーク・メガ・フレア!

「くう!」

明日香さんの場にはカードは無い  
だからもう、防げない!

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

「真紅眼の闇竜で明日香に直接攻撃!

ダイレクトアタック

ダークネス・ギガ・フレイム!」

「きゃあああああ!」

明日香さんが負けちゃった……

という事は明日香さん、アイドルになるの?

「僕の勝ちだよアスリン

一緒にアイドルを目指そう!」

「……せめてアスリンは止めて」

あ、諦めた

負けちゃったんだから仕方無いか  
という事は明日香さん、女子寮に戻るのかな？  
なんだか寂しくなるなあ。

「それで明日香、どんな衣装が良いかな？  
派手な赤とかどう？　きつと似合うよ！」

「嫌よ！　派手な赤なんてお断りよ！  
せめてもう少し地味な服にして！」

「何を言っているんだアスリン！  
アイドルは派手だから良いんじゃないか！  
地味なアイドルなんて流行らないよ！」

「アスリンは止めて！  
偶には地味なアイドルだって良いじゃない！  
だから派手な服は嫌よ！」

「ならドレス系でどうだい？  
きつと似合うよ、アスリン！」

「いい加減にアスリンは止めてってば！  
ドレスもお断りよ！」

「我が儘だなあ  
どうしてそんなに派手な衣装が嫌なんだい？」

「それは……」



今、こっちを見なかった？

正確には瑞貴さん辺りを……

「な、なんとなく嫌なのよ

動きにくそうだし、ヒラヒラした服なんて……」

「明日香の可愛さを出す為なんだ  
それぐらい我慢してくれよ」

「嫌ったら嫌よ！」

平行線だなあ、どうすれば良いんだろう？

このままじゃ終わらないよ。

モノクロ  
「白黒」

「ん？ 堅守君か  
なんだい？」

「却下だ」

「「「え？」」」

どういう意味？

「俺は兄妹喧嘩でもしろとは言った

だが、明日香をアイドルにするという許可を出した記憶は無いぞ  
天上院吹雪の雇い主としても命令、明日香のアイドル化は許さん」

「ええええええ！」

いくら何でも、それは酷すぎるよ！  
さっきの決闘<sup>デュエル</sup>は何だったんだい！？」

「そうよ！ 私の諦めは何だったのよ！」

明日香さんも同意してる

そりゃ怒るよね、ボクだってきつと怒る。

「明日香をアイドルにするんだったら俺からどうにかする  
学園でのなんて却下に決まってるだろうが！」

「「「……………」」」

それってつまり、アイドルになる事は反対じゃないんだ  
送り出す場所が気に入らないだけ？

「つまり、堅守君がその気になったら明日香をアイドルにすると？」

「絶対じゃないがな

可能性は否定しない、何度か考えてるし」

「ちょ！ 瑞貴まで何を言い出すのよ！」

瑞貴さん、どっちの味方なの？

明日香さん？ それとも吹雪さん？

「絶対に嫌だったら借金の返済をしろ、返済を  
全額返済すれば俺だって何も言わん  
金になるから言ってるんだろうが」

「それはそうだけど……」

瑞貴はどっちの味方なのよ？」

「俺がどっちの味方？」

俺は俺の味方であり、俺がしたいようにする

文句が有るなら何度も言うが、借金を全額返済しろ」

それを言ったら誰も文句が言えないんだけど

借金をしていない人は言えるけどね

少なくとも、明日香さんと吹雪さんは無理だね。

「なら、僕はクロノス臨時校長に何て言えば……」

「話し合いや言い合いで負けたとでも言えば良いだろうが

まあアレだ、試合に勝って勝負に負けたという事だ」

「微妙に違う気がするわ……」

「そんなぁ……せっかくの明日香のアイドル化計画が……！」

「白黒兄さん、嫌いだよ」  
モノクロ

「ごめんなさい」

弱っ！ 吹雪さん一言で撃沈！？

どうしてそんなに弱いのか？

「まあそう落ち込むな白黒」  
モノクロ

今はまだ考えているだけだがな

もし実行する事になったらお前にも手伝ってもらおう  
だからそれまで我慢してろ」

「本当かい!？」

「気が向いたらな」

「よーし! 僕は待つぞ!  
だから頼むよ、堅守君!」

そう言って吹雪さんは学園に向かって行った  
良いのかなあ？

「瑞貴……」

「気が向いたらだと言っただろ?  
今の所、夢物語以前に考えたただけだ  
言葉遊びに引かかる白黒モノクロが悪い」

「あの、どういう意味？」

「はあ……つまり瑞貴は白黒兄モノクロさんを騙したのよ  
まだチャンスが有ると思わせているだけ  
後々実行はしなくても、気が向いたらと言っただろ?  
そう言えば何も言えないのよ」

せこい……しかも凄い小細工だし  
でも騙される吹雪さんも吹雪さんか。

「ちなみに、もしも実行する場合

レイも入る可能性が有るというのを忘れるなよ？  
お前も見た目は良いんだから」

ほ、褒め言葉だよね？

嬉しいんだけど、素直に喜べないなあ  
あんまりアイドルとか興味無いし。

「終わったな、さっさと部屋に戻るぞ

明日香は反省文を書くこと

原稿用紙5枚分な」

「多すぎない！？」

「相手のデッキ内容を知っておきながら不用心にバスター・モード  
を使うからだろうが！

一気に決めようとして失敗した良い例だ！

十二分に反省して、今後に生かせ！」

吹雪さんのデッキは王宮のお触れとホルスの黒炎竜LV8に真紅眼  
ブラックドラゴンの黒竜

魔法と罠を封じてパワーで勝つデッキだもんね

コスト扱いのカードを使ったのが最大のミス

惜しかったね、明日香さん。

## 89話【アイドルにさせよう！ 明日香VS吹雪】（後書き）

十代を笑いに行くって……

最初は本当に行かせ、させるつもりでした

しかし明日香に止められたので断念

裏話になりますが、十代の反応を確認する為の行為で

「これでも元気にならないとは……本当にどうしたんだ？」

と、言わせるつもりでした

会話自体が消滅したので単なる嫌味な奴になりましたが。

ジュンコ……

そういえば彼女、十代とエドのどっちの味方をしたんでしょうね？

アニメでは観客でエドの応援をしていましたけど……

まあ、きつと十代の応援でしょう。

吹雪が光と闇の竜だと！？  
ライトアンドダークネス・ドラゴン

吹雪のデッキはドラゴン族の魔法、罫封じ系デッキです

具体的にはお触れホルス……同じ無効化系カードとして入れました  
しかし、なんと事故率の高そうなデッキでしょうか？

まさかの手詰まり……

手札が足りなくなりました……現実でもよく有る事です

偶には事故れ、お前らは！

という事で事故りました。

原稿用紙5枚分って……

相手がお触れホルスだと分かっている

なのに伏せカードを無視したからでしょう

王宮のお触れの可能性も高かったはずなのに。

ちなみに、もしバスター・モードを使わなかった場合は？

吹雪に勝ち目は殆ど有りませんでした

基本的に戦闘破壊を中心としているデッキですので

ギガンテック・ファイターが邪魔で突破できないと思います

最終的にホルスを倒され、魔法カードが使われたでしょう

ミラクル・フュージョンを使えばアブソルートZEROを出せましたし。

ツイッターって時々忘れるんですね……

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
どうすればちよくちよく更新できますかね？

## 90話【白と迷走】（前書き）

かなりの難易度で今回、凄く難しかったです  
何が難しかったか……ネタが無い！

強引に作り出したものの、かなりの短さになってしまいました。

あの伏線はこの為に有ったのさ！

という感じの内容が一部……

万丈目の白化にここまでした人は居るんでしょうか？

なんというか……よくここまでしたと自分でも思います。

次回は……またすっ飛ばします

次はどんな話になる事やら……

第二期は難しく困ります

書く事が、ネタが少なすぎる！



## 90話【白と迷走】

視点 瑞貴

「今さっき、遊城十代が船に乗って島を去ったわ」

「「ええ!?!」」

カミューラの報告に驚く2人  
ふーん、島を出て行ったか  
何がしたいんだ、あいつは?

「他に何か無かったか?」

「有るわよ」

その少し前に誰かが決闘デュエルをしていたわ  
確か名前は……電池だったかしら?」

「万丈目君が!?!」

「そう、その万丈目よ」

相手は知らない奴だったけど

青色の長髪、長身の男だったわ」

そんな奴、居たか?

既に原作の記憶は殆ど無いし  
そいつが誰かだなんてサッパリだ。

「ならカミューラ

似非とその青髪の男に蝙蝠を貼り付けておけ」

「もうしてるわよ

遊城十代は既にそれなりに遠くの場所  
なんだか落ち込んでるように見えるわ」

まだ落ち込んでるのか

だから出て行ったのか？

何を考えてそんな事をしたのやら……

「青髪の男の様子はどうか？」

「飛行機に乗ってタロット占いをしてるわ

さすがに言っている事までは分からないけど……」

言い淀んだ？ 何か厄介事か？

これだからこの世界は……

さっさと卒業したい。

「タロットカードに万丈目の絵が描かれてるわね  
なんだか不気味な感じ……」

いや、存在自体がファンタジーの吸血鬼の言葉じゃないぞ？  
タロットカードねえ……

「どんな絵か分かるか？」

「ええ、道化のような格好をしていて  
右足をロープで括られて吊されているわ

目は虚ろという感じだけど、絵だから仕方無いのかしら？」

「道化の格好？」

「吊された万丈目君？」

ふむ、タロットカードの大アルカナ、12番目のカード  
吊された男の正位置かな？

「犠牲、努力、忍耐、困難、障害、奉仕、慈愛、救済、成果、良い  
結果、自己犠牲」

「「「え？」」」

「タロットカード、大アルカナの12番目  
吊された男の正位置の意味だ  
他にも試練の時、身動きが取れない、中途半端な立場、友人との喧嘩  
もつと有るが、まあこんな感じの意味だ」

「どうしてそんな事、知ってるのよ？」

「趣味だ

ちなみに吊された男の別の読み方はThe <sup>ザ</sup>Hanged <sup>ハングド</sup>Man <sup>マン</sup>」

しかし、見事に当て嵌まってるな  
電池の奴も苦勞してるんだな  
今度、何かしてやろうか？

「でも、どうして万丈目先輩が吊された男なの？」

「中途半端な立場に友人との喧嘩  
似非との関係の事じゃないか？

試練の時、身動きが取れないのは現状  
何か耐えるような事でもしていたのか……」

ちなみにキーワードは献身

もしかして味方とかに甘いタイプかもしれんな

青髪が誰かは知らんが、なかなか良い趣味をしている。

しかし……カードに電池の姿か

可能性としては魂の牢獄のような物か？

となると電池の様子が気になる。

もし無気力ならば完全にアウト、放って置いたら死ぬのか？  
別に死ぬのは構わないが、できれば俺の近くは止めてほしい  
どうせ誰かが世話でもするだろうから大丈夫だとは思うけど。

「それにしても意外ね

瑞貴が占いなんて」

「忘れてるかもしれんが、以前タロットに関して少し話したと思う  
が？

大アルカナ、10番目のカードである運命の輪

その逆位置の意味をな

意味はアクシデント到来や情勢の急激な悪化など」

いつだったかな……確か学園対抗の時だったか？

対戦前にそんな事を言ったな

小さい事だったし、記憶に無くて仕方がないだろう。

「そうだったかしら？」

「まあ、そんな事はどうでも良い  
カミューラ、報告は助かった  
青髪の事で何か分ければまた頼むぞ」

「分かったわ  
それで……」

「報酬、取り寄せておくから安心しろ  
今回は長くなりそうだし、サービスしてやる」

「なら良いわ  
じゃあね」

カミューラは部屋から出て行った  
やる気を出しやがって……まあ良いか  
もし面倒事なら事前から知ってどうにかできる  
何も無いのならそれで良い。

「瑞貴さん、報酬って？」

「さっきみたいな報告の事だ  
あいつの仕事は深夜警備員に近い、しかも色んな事までできる  
何か有れば報告するように指示を出しているな  
今回はその報告、内容の重要度に寄って報酬が大きくなるというやり方だ」

青髪は厄介そうな事になりそうだし  
とりあえず輸血パック、丸々1個取り寄せるか

あれってかなり高いからあまり手を出したくないんだけどな。

サービスとまで言ったんだし、それぐらい奮発するとして後はワインで良いかな？ 輸血パック丸々渡すから質を落としてそれぐらいか……多少高いが残業料金込みという事で良いだろう。

「ほらお前ら、寝るぞ

レイとマナは恒例のジャンケン  
負けた方が抱き枕」

実体化するマナとジャンケンを始めるレイ

それを呆れた目で見ると明日香

お前の抱き枕の相手でもあるんだぞ？

呆れた目じゃなくて抱きたい方を応援したらどうだ？

ちなみに結果はレイの負け、ジャンケンのな

だから今回の権利もレイのもの

レイ、お前ジャンケン弱すぎないか？

今まで全戦全敗じゃないか。

……狙って負けてると思えんな  
本当に弱いのか試してみるか。

「レイ、俺ともジャンケンするか  
3勝先取で勝ちだ

お前が勝ったら明日はマナとのジャンケン無しで抱き枕にしてやる」

「する！

よーし、絶対に勝つぞー！」

別に勝った時の事なんてどうでも良いんだけどな  
それにマナ、そんな負けろって念を込めてレイを見るな  
勝ちフラグにしかないそうに無いぞ？

省略、レイは見事に3連勝した

しかも全部1発勝利という……

こいつ、本当に狙ってるんじゃないか？

それとも後出し？ 勝負に強いだけ？

後ろで落ち込むマナを明日香が慰めてる

明日もレイだからな、だがそんなに落ち込むな

また明後日に頑張れば良いだろう？

………

………

……

翌日の朝、食堂に入ると電池が高笑いしていた

真っ白……じゃなくて所々に水色のラインが入ってる制服を着て  
指定されている制服以外を着るのはどうかと思うぞ？

お前は元々別高校の黒の制服を着ていたけど……

そういえばこいつの居たノース校

あそこってレッド、イエロー、ブルー制度は有るのか？

他の高校でも有るのか気になるが……まあ良いか。

「万丈目君……その制服、どうしたの？」

「やあ天上院君

俺は生まれ変わったんだ

デュエル・アカデミアは光の結社に因って  
やがて白に変わるのだ!」

アウトつと

さて、連絡連絡……

『あら堅守君

朝からどうかしたの?』

「どうも、鮎川先生

精神異常者が出てきましたのでそちらに連れて行きます」

『せ、精神異常者!?

私は精神科までは担当してな』

通信を切る

会話中? 知るか。

周りの奴らは俺を変な目で見てくる

別に良いけどな、電池本人は高笑いして聞いてないし。

「おい電池、ちょっと来い」

「なんだ堅守

俺をどこに連れて行くと?」

「気にするな

後で白に関係するようなカードをやるからさっさと来い」

多少疑問を持たれたが来る気になったらしい



白が好きになったらいいので釣れるかと思ったが、見事に釣れた

白に関係するカードか……3万年の白亀、因幡の白兎、熟練の白魔

術師

ホワイト・シーフ

白い泥棒、白い忍者、白衣の天使など辺りか？

そのまま電池を連れて保健室まで……

気になるのか、明日香とレイに地底まで付いてくる

なお、水色は俺が気に入らないから来なかった

イエローの1年生は何が何だかという感じで出遅れたので無視した。

「おい堅守、何故俺を保健室まで連れてきた？」

「まあ落ち着け、少し質問させてもらうぞ

地底は俺の質問で電池の言っている事の実確認を頼む」

「あ、ああ」

さて、何から質問したら良いかな？

ちなみに鮎川先生にはあまり頼っていない

精神科は専門外って言ってたしな。

「昨日、行方不明になった遊城十代を探す為に島中を歩き回った」

「そうだな」

「夜、長髪で青い髪をした男性と決闘をした」  
デュエル

「そうだ

俺は斎王様と戦い、光の結社として目覚めたのだ！」

勝ったならこんな事にはならないか  
となると負けたな？

そして名前は斎王……後で調べるか。

しかしこの豹変振り、1日では不可能だな  
となると本当に魂の牢獄のように魂を抜かれて正気を失っているか  
それとも洗脳をされていて頭を書き変えられたか……

「仕方無い、保留だ

俺にはどうしようも無いな」

本当に魂を抜かれようが、洗脳されようが  
俺には何もできない、事後にできる事は無いからな  
しかし……対策ぐらいはしておくか、保険も必要だな。

「万丈目はどうしたんだ？」

「まだ可能性の話だが、ほぼ確実だろうな  
洗脳か、それとも……」

いや、魂の話は止めておこう  
明日香や地底は既に体験しているから構わないが  
レイはまだ闇のゲームを体験していない  
そもそも、こいつに闇のゲームをさせるつもりも無い。

故に、教えるつもりは無い  
なんとか明日香だけを引っ張って教え  
そこから情報を回させるか。

「それとも……なんだ？」

「いや、何でも無い、これは可能性が低いからな  
高確率で洗脳だ、こいつと関わるなどは言わない  
だが決闘は止めておけ、多分それで感染していくと思う」  
デュエル

この世界だ、それぐらいになっても不思議じゃない  
相変わらず物騒な世界だ……この世界のカードはどうなってるんだか  
って、カードで世界の運命とかが決められる世界だったな  
ならこの程度は普通か、本当に怖い。

「よくそんな事が分かるわね」

「俺は玲の兄だぞ？」

誰が玲にあの手の本を渡してたと思ってるんだ？」

「……そうだったわね

貴方だって多少知っていても不思議じゃないわね」

一部、趣味だけだな

洗脳が出来るか試したかった事が有ったんだよなあ

まあ元の世界でもその手の本は高かったから手出しできなかったけど。

今は既にそういうのは知識だけで事足りてるし

洗脳は既に興味が無いからな、知識だけで実行は不可能だ  
今からでも勉強すれば可能かもしれないが……

止めよう、今回が事件になって俺まで容疑者にされても困る  
容疑者になるような事はしているような気もするが……  
多分大丈夫だろ、持ってるのは知識だけだし。

「それで、万丈目はどうするんだ？」

「放っておく」

デュエル  
決闘さえしなければ基本的に無害だろう

今まで通り、適当に付き合っていればいいさ」

「放っておくって……洗脳されてるんだろ？」

「言っただろうが、俺には手出しできん

その手の知識は持っていても、俺には実行できる手段が無いんだ  
洗脳とかができるような奴じゃないと無理だ

そもそも、洗脳を解除する方法だって色々と手段が有るが

どれも実用的じゃないし、最悪記憶障害だ

記憶を失わせたいのなら……お前がしな、方法だけは教えてやるよ」

しかし……この世界だからな

デュエル  
どうせ決闘で負けたら洗脳解除だろ

それは言わない、ミスって敵が増えたら面倒だからな

俺が戦うのも良いんだが……万が一負けたらと思うと気が引ける。

明日香やレイに戦わせるのは論外

1年生カルテットに任せるのもさすがに……

誰かそれなりの実力で、洗脳されても問題無い奴は居ないか？

電池の実力ならそこらの奴らじゃ相手にならないし。

そこら辺は流れに任せるか

俺は不干渉を決める、こちらに被害が出ない限りな。

あ、白黒を引っ越しさせねば  
モノクロ

今は電池の部屋に住んでるし、さすがに拙い  
だが俺の部屋は空いてないし……似非の部屋で良いか  
今は居ないから住めるし、でかいのも居ないから大丈夫だろ。

「明日香にレイにも言っておく  
電池と決闘する事は禁止、絶対にな  
お前らが敵に回ったら面倒だ」

「それは良いけど……  
(面倒っていうのが理由なの？  
少しは心配してくれるのも良いんじゃない？……)」

「(心配してくれてるんだと思うけど  
それでも言い方に問題が有るんじゃない？  
ほら、レイが悲しそうよ？)」

「(何だかんだで、こいつも甘いんだな  
言い方は悪いが、心配しているのは態度で分かる  
本人に自覚は無さそうだが……)」

はぁ、なんだってこんな面倒事に……  
暫くは大丈夫だと思うが、今後は白が拡大していくのか？  
せめて味方だけは確保しておかないとな。

「そういえば堅守、十代の居場所は知っているか？  
万丈目の戦った斎王とかいう奴の存在は知っていたみたいだし」

「知ってるぞ、今頃は海で干からびてるじゃないか？  
カミューラの話だと夜中にボートに乗って海に出たらしい  
探すだけ無駄だ、放っておけ」

「海だとお!？」

帰ってこないのか!？」

「知るか

どうせその内、腹でも空かせて戻ってくるだろ

そんなに食料は積んでなかったらしいし

餓死をしないと良いんだがな……」

ま、最悪の場合はカミューラに連れ戻させればいい

海は辛いだろうが、移動ぐらいは何とかなるだろ

連れ戻すだけなら可能のはずだし。

何で俺が嫌いな奴の為にカミューラを動かさないとならないんだか

……

しかも働かせるから金も減るし、本当に疫病神だな!

主人公が死んだら今後のトラブルが俺に降りかかる可能性が有るから助けるけど

頼むからトラブルは全部、お前だけが受けてくれ。

「こんな所か、解散だな

電池も時間を取らせて悪かったな、カードは後で渡す

鮎川先生も迷惑掛けてすみませんでした」

「ふん、じゃあな」

「私は構わないけど……大丈夫だったの?」

「微妙ですね

俺にはどうしようもできません

暫くは放っておくしか無いでしょう  
それじゃあ、失礼します」

「はい、堅守君はもっと真面目に授業を受けてね」

「……善処します」

本当、この先生は苦手だ

いい加減に諦めてくれたら楽なんだけど……

………

………

………

放課後、部屋に帰って調べ事

調べる内容は当然ながら斎王について

いくら何でも、無名じゃないだろ。

さて……PCを起動させてっと

検索、斎王

検索結果はそこその数だな。

うーん……エド・フェニックスのマネージャー

そしてタロット占い師であり、ほぼ確実に当たる

外れる事は無く、占い師としての知名度はかなり高い……か。

そんな奴が電池に関係する？

しかも光の結社？ 何が何だか……

魂の牢獄に洗脳、目的が分からん。

プロフィールはほぼ全て隠されているか  
面倒な……仕方無い、探偵でも使って調べるか  
それなりの金を払えば動くだろう。

できれば過去、家族関係、友好範囲  
変わった事など全て調べさせて……

となると手が足りないな、3箇所ぐらいに頼み込むか  
それだけ調べれば多少は出てくるだろ。

はあ……また金が飛ぶな

有り余っているとはいえ、馬鹿みたいに使うのも……  
ったく、どうして自分の楽しみ以外で金を使わなければならんだ！  
電池が決闘に負けるから悪いんだ！  
デュエル  
八つ当たりだと自覚はしているが！

しかし、使うカードは簡単に予想できるな  
使うカードは高確率でアルカナフォース  
基本カードが大アルカナを使っているしな  
一部のカード、カップ・オブ・エースなどは小アルカナだけど。

それを使って戦うとなると厄介だな  
安定性はかなり低いが、それでも効果は強力  
違うか、不安定だからこそ強力な効果だったな  
一部のカードは逆位置効果がメリットになるし。

それはそうと、今の所はどうでも良い事か  
俺に手を出さない限り、俺もこれ以上動くつもりは無い  
下手に動いて刺激するのも拙い  
こちらに目を着けられると面倒だからな。



後は明日香とレイ、白黒モノクロをどうするかか……

洗脳の対策までできる自信は無いな

やはり相手をしないという事だけしか無い

歯痒い……これはかなり苛つくな。

もう調べても出てこないな

諦めるとするか……

……………

……………

……

更に翌日、昼間に樺山先生がカレー魔人とかいうので登場したが

殆ど無視して更にその翌日の夜

カミューラが部屋に入って来た

今度は何の用だ？

「遊城十代がデュエル・アカデミアに帰ってきてるわよ

ただ……島中を迷って迷走してるけど」

「迷ってるって……迷子？」

「みたいね

今はどこに居るの？」

「森の中を走り回ってるわ

お腹を空かせながら……あ、転けた」

「「転けたの!？」」

似非……お前、何をしてるんだ？

とりあえず元気になったらしいが、だったらさっさと帰れよ。

「今度は湖に潜って……魚でも捕るつもりかしら？

……………無理だったみたいね、諦めて上がってきたわ  
しかも疲れたみたいで寝そう……あ、寝たわね」

「「寝るの早すぎじゃない!？」」

だって似非だし

あいつの性格と特性と体質からすぐに寝そうだな  
羨ましい……俺も早く寝れるようになりたい

そうすれば寝るまでの時間が無駄にならないし。

一応、既に似非が島から出て行っている事は全員が知っている  
それでも水色は島中を走り回っているという話だが……大丈夫か？  
体を壊すのは構わないが、少しは休んだ方が良いぞ？

それにしても、似非の奴もいい加減に早く帰れ  
これだけ心配している奴が居るんだぞ？

俺は心配してないが、鬱陶しくて困る

アニキだの、アニキだドンと……かなり邪魔くさい。

「カミューラ、もういい

さっさと似非を拾って持って帰れ  
正直、水色が煩くて苛々するんだ」

「それが……そうもいかないのよ」

「何故？」

「迷ってるのは事実なんだけど  
それでも時々、目的が有るように走り出すのよ  
しかも一直線にね」

意味が分からん  
目的は寮に帰る事じゃないのか？  
だとしたら何だ？

「だけど、更に気になる事が有るわ  
遊城十代が、何も無い場所に向かって話しかけるのよ  
変わった趣味をしてるみたいね」

いや、趣味じゃないだろ。

「似非はカードの精霊が見えるらしいからな  
どうせ、精霊とでも会話してるんだ……ん？」

「どうしたの？」

「いや、確かあいつってカードが見えなくなったんだよね？  
精霊も見えないとか誰かが言ってたような……  
という事はあいつ、カードが見えるようになったのか？」

「そう……なのかしら？」

なら似非の復活だな  
これで厄介事を押し付けられる  
良かった良かった。

「話を聞く限りで予想すると……

新しい精霊でも手に入れているのか？

何カ所か回っているみたいだし、何体集まる事やら」

何体でもあまり関係無いな

精霊が見えない俺にはどうしようも無い

マナの場合、所持しているとも言えないしな。

「遊城十代は放置して良いのかしら？」

「ああ、放っておけ

その調子だったら確実に元に戻って返ってくる

アレはそういう存在だろうしな」

「（何だかんだで十代さんの事、心配だったんだ）」

「（心配してたんだろうけど……

心配していたのは十代じゃない気がするわ

もっと別の……自分の事で心配していると思う

十代に厄介事でも押し付けるつもりかしら？」

よく考えたら、主人公がそう簡単に潰れるはずが無いか

例え潰れても確実にすぐに戻る

それがお約束だ、少しでも心配して損した。

「なら、一応見張りだけは続けておくわよ

必要になったら言いなさい

蝙蝠にでも道案内させて連れてくるから

私自身が動いてもいいしね」

「必要になったら頼む

だからそれまで見張りは続けておいてくれ」

「分かったわ

なら、私は部屋に戻るわよ」

カミューラは部屋から出て行き、自分の部屋へ

さて……俺はそろそろ寝るかな

夜更かししたくても、こいつらが邪魔でできないし

夜中まで作業していると目を覚ますかもしれないからな。

「レイとマナでジャンケン

1回でもアイコになったら抱き枕は無し

負けた方が抱き枕」

以下省略、敗者は当然ながらレイ

どうやってそんなに負けられるんだ？

執念か？ 根性か？

レイがそれを使っていると想像したら似合わないぞ。

さて、おやすみ。

## 90話【白と迷走】（後書き）

レイのジャンケンの強さと弱さが……

何故か権利を必ず得ています

マナはこのジャンケン方式にして抱き枕にされた回数は0回です。

万丈目にどの白のカードを渡したの？

ホワイト・シール  
白い泥棒です

きつと喜んでくれた気がします。

何を言う為のツイッター？

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
いい加減、ここの発言のネタが切れそうです。

## 91話【レッド寮取り壊し計画】（前書き）

……疲れました

今回は決闘デュエルの最後の事がしたかっただけです。

最近、ちょっと疲れているようです

執筆に影響は有りませんが、どうもやる気が……いや、影響が有るようです

そろそろ休まないとキついかもしれませんね

しかしネタは山ほど浮かんでくる……忘れない内にとしているところ様です。

まあ……まだ大丈夫でしょう

本格的に無理だと思ったら素直に休みます

できれば100話になってから……

そう思ってしまう作者はいい加減に休むべきだと思います。

次回はどうぞでしょうか？

まあ時間は有るので大丈夫でしょう

変な事に時間を取られなければ……ですけどね。

## 91話【レッド寮取り壊し計画】

視点 瑞貴

アイドルだの件が終わって3日後、立て札が立っていた  
レッド寮代表と学園の代表が決闘<sup>デュエル</sup>をしろ？

こちらが負けた場合、問答無用でレッド寮を壊す……か。

必死だな、クロノス臨時校長にナポレオン教頭

居たいとは思わないが、一応俺にはブルー寮が有るんだよな  
だから別に壊されてもそこまで問題じゃないし……金は掛かるがな。

しかし、そうなると一部が困るな

レイとか、カミューラとかが

どうとでもできると思うが……やはり困るか。

「これ、誰が出る？」

「ボクが出ようか？」

「私が出ても良いわよ」

「僕が出るのも良いんじゃないかな？」

「私は遠慮するわ

明朝にするって書いてあるし……」

誰でも良いっての



寮さえ潰されなければな。

「なら私が出るわ  
一番安定性が高いでしょ？」

モノクロ  
白黒は最上級ドラゴン族を使うからな

事故率はそれなりに高め、それでも回すこいつも凄いが  
レイは凄まじく不安定、安定性を求めたらあんなデツキにはならん  
我ながらよくもまあ……こんなピーキーに育てたもんだ。

「じゃあ頑張れよ明日香  
俺は部屋で寝て待ってるから」

「見てくれないの!？」

見て欲しいのかよ……  
別に見ても良いんだけど。

「だってお前の実力は高いし  
そこらの雑魚が勝てるわけ無いだろ?  
勝つと分かってるのに見る価値は無いね」

何をくだらない事を……それぐらい分かるだろ?  
お前らだって同意するよな?

……おい明日香、何をそんなに喜んだ顔になってやがる  
何が嬉しいんだ? 勝って当たり前前の戦いだろ  
勝つと言われる程度で何を喜んでるんだか……子供か?

「分かったわ、絶対に勝つから安心して待ってて!」

「はいはい、待ってるよ  
所でカミューラ、似非はどうなってる？」

今頃、どこを走り回っている事やら……  
また変な場所に行ってるんじゃないだろうな？

「今は谷ね……目的やしている事は具体的に分からないわ  
まあ、その内戻ってくるでしょ」

だろうな、どうせ考えるだけ無駄だと俺も思う  
しかし一応心配しているレイと明日香、白黒ぐらいにはな  
ほら、安心したって態度になってる。

「さて、出る奴も決まったし寝るか  
カミューラは後は頼むぞ、適当にしておけ」

「ええ……あ」

あって何だあって！？  
何が見つけたのか？  
それともとうとう似非が力尽きたか？

「また来たのね、あのガキ」  
ガキ？

「ガキって？」

「ほら、銀髪でスーツを着ているキザなガキよ

名前までは覚えてないけど」

「銀髪でスーツを着て……キザなガキ？  
まさかそれって、エド・フェニックスじゃない!？」

ああ、最近何度か聞くプロか  
斎王とも関係しているみたいだし、会うのも有りかな？  
……いや、止めておくか  
下手に刺激して行動を起こされるのも拙いし。

「またってどういう意味なの？」

「前もパラシュートで来たのよ  
スカイダイビングだっけ？　それでね」

……絶対にご免だな

誰がそんな怖い事できるか！

俺は生涯、絶対にそんなスポーツはしない！

「前は何故無視したんだ？」

「パツと見、何か厄介事を起こすとは思わなかったのよ  
予想を外して、遊城十代と決闘デュエルをしてあんな結末だけどね  
今回はどうする？　邪魔して海の藻屑にするならしてあげるわよ？」

それも良い考えだな……  
例えそれで死んでも、俺達は疑われる事は無いだろ  
何せ不運にも、鳥や蝙蝠辺りがパラシュートに穴を開けたんだから  
な。

例えそれに気付かずとも、事故にしか見えない  
何故なら、スカイダイビングだからな  
事故が起こっても、それは単なる不運なだけだ。

「それも良い考えだが、今回は止めておこう  
死なれても俺は困らないが、気になる事が有るからな」

「気になる事……ね  
分かったわ、無視して放っておくわ」

気になる事とは言わずもがな、斎王だ  
電池への占い、かなりの確だった  
確かにタロットカードを使い、やり方さえ知っていれば素人でもそ  
れなりに占える

だが……殺すのは少々拙いかもしれないな。

洗脳の使い手といい、占い師の実力といい  
更にプロのマネージャーまでしてるんだ  
そう簡単に敵にするのも……

「という事はこのレッド寮の話  
対戦相手はそのプロか」

「どうしてそう思うの？」

「プロが態々こんな夜中に来る理由を考えてみる  
学園に来る船はまだ先、明日には来れない  
そしてこのタイミングでこの立て札  
関係が無いと見る方が難しいだろ」

となると敵だな

本当に落としてやろうか……

「決まりだ、明日香が戦う事は禁止  
当然レイや白黒モククロも駄目だ」

「「何故!?!」」

「電池の洗脳の話はしただろうが!

あいつはその関係者だぞ!

もしお前らまで洗脳されたらどうする!

俺が面倒だろ! だから駄目だ!」

「(本音なのか心配なのか分かんないよ!)」

「(微妙ね……半分以上本音  
残り半分は心配かしら?)」

「(こうやって自分の気持ちを隠すから堅守君は厄介だね  
自分でも気付いてないみたいだし……困ったなあ)」

「(そういえば私に洗脳って通用するのかしら?)」

何故悩む!?!

そこは悩む所なのか!?!

「分かっただろ、この件に関しては不干涉

誰かがするってんだったら、似非にでもさせれば良いだろうが」

「十代に?」「十代さん?」「十代君にか……」

「……それはつまり、私に遊城十代の案内をしろって事よね？」

「察しが良くて助かる

似非の目的が終わったと思ったら道案内しろ  
それでどうにかなるだろ」

あの決闘<sup>デュエル</sup>大好き少年主人公だ

プロと戦うとなったら喜んで釣られに来るだろ  
というか、来なかったら既に似非じゃない。

「これで本当に終わりだな

俺は寝る、後は任せるぞカミューラ」

「はいはい、人使いの荒い奴ね」

お前は人じゃなくて吸血鬼だろうが、あまり関係無いけど  
それに荒いとは言うが、そこまで使ってないだろ？  
不運にも、今回は使用率が高いだけだし。

しかし……レイが住み始めてから俺の生活も普通になったな  
前までは夜更かし上等、普通に当たり前だったのに  
やっぱり同居生活だと仕方無いのか？

………

………

……

翌日の昼、明日香から似非がプロに勝ったという話を聞いた  
E・HEROネオス、Nチームを使用したとか……

なるほど、外道過労死ネオスを手に入れたのはこの時期だったのか  
ここからネオスの過労死が始まった……哀れだな。

「宇宙からのヒーローですって  
瑞貴はどう思う？ 十代のその言葉」

「別に」

そんなに驚くような事か？

この世界だったらこの程度は当たり前の事だろ？  
一々驚いてたら身が持たん。

「別について……」

「宇宙だろうが、地下都市だろうが、地獄だろうが、天国だろうが  
はたまた別世界だろうが、俺には関係無いね  
実在しているから有るんだろ？」

どんな入手経路だろうが、使ってるんだったら何でも良いだろ  
結局はカード、そこに宇宙も地球も世界も有るか」

所詮カードはカードだ

力が宿ってようが、精霊が宿ってようがな  
破ってしまえばそれだけで終わる  
ネオスも破ればただの紙切れさ。

「瑞貴さん……夢が無いよ」

「夢でも現実でも構わん  
実際にカードは有るんだ、どうでも良いだろ  
それがどこで製造されても、俺には関係無い」

つまらなそうな顔になるレイ

俺に同意しろと？ 嫌だね、興味無いし。

時々謎なんだよな……このカードって

この世界のカードって何がどうなってるんだ？

似非のカード作成元が宇宙だとして

テキストは見てないが、何故文字が日本語？

デザイン、大きさ、規格、ルール、模様

そこら辺が全部同じというのが果てしなく謎だ。

まあ、そんなのはこの世界では基本なんだろう

どんな場所で、どんな事が有っても全部規格内になるカード

この世界のデュエルモンスターズは未知過ぎる存在だな。

………

………

……

更に数日後の昼の事

モノクロ白黒が部屋に……何事？

「大変だ！ ついにレッド寮を強行して壊そうという動きが！」

「「ええ！？」」

ふーん、俺は知ってるから驚かないけど

会議をしてたらしいが、校長室でも言い合ってたしな

デュエルこっちに來て決闘をするとか。



別にどうでも良いが、目の前でするなら見るか  
気にならないわけじゃないんだしな。

相変わらず、言い合いをしながら来るな  
本当にこいつらって仲が良い  
こんなに言い合いができる関係はそう多くないぞ？

しかし気になるのはパワーショベルに準備体操をしている工事現場  
に居そうな人達  
まさかとは思うが……

「クロノス臨時も物好きなのでアール  
こんなドロップアウト寮の為に恥を掻きたいとは」

「ふん、何を言うノーね  
恥を掻くのは教頭の方なノーね！」

恥とか、そういう問題か？  
しかしなあ……今更だが、勝手に壊して良いのか？  
校長に許可ぐらい取るのは筋だと思うんだが。

「止めるなら今の中でアール  
腐った蜜柑に情けなど無用でアール！」

ほう？ 腐った蜜柑だと？  
言ってくれるじゃないか教頭……  
ならその腐った蜜柑の味を確かめてもらおうじゃないか。

「ナポレオン教頭」

「うーん？ お前は確か堅守瑞貴  
今は大事な所なのでアール、引っ込んでるが良いでアール！」

「腐った蜜柑、訂正してもらえませんか？  
似非や水色はどうでも良いんですが、レイまでその扱いをされるのは少々不愉快ですのぞ」

レイに視線を向ける教頭  
こいつがレイに視線を向けるだけで苛つくのは何故だろうか？  
存在が容認できないからか？

「ふん、落ち溢れのレッドの小娘程度に  
訂正なんて必要無いのでアール」

オーケー、こいつ殺そう  
いや、さすがにそれは拙いから半殺しで……

「なら、元レッドで腐った蜜柑だった俺と決闘デュエルしませんか？  
元とはいえ、腐った蜜柑程度に負ける教頭じゃないでしょう？  
高々元レッドで現在はブルーですが、勝って当然ですよね？  
何せ、腐った蜜柑だったんですから」

「お前と吾輩が決闘デュエル？  
ぬふふふふ、そんな事をする必要は無いのでアール  
吾輩と決闘デュエルするのはクロノス臨時であるのでな」

「そうですか、なら仕方無いですね  
腐った蜜柑程度に時間を取らせるのも悪いですし  
万が一負けたら、恥ずかしくて外に出られませんからね

何せ負けたら、腐った蜜柑以下の存在ですから  
さしずめ……完全に腐りきった蜜柑でしょうか？」

どうもプライドが高そうだしな

挑発しておけば受けるだろ

拒否されても別に構わないしな。

ギア・タウン  
歯車街を持つてるクロノス臨時校長が負ける事はそう無いだろうし  
アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
古代の機械巨竜で事故らなかつたら……だがな。

「むむ、そこまで言うのなら受けて立つのでアール

もし吾輩が勝ったら、即刻レッド寮は潰させてもらうのでアール！」

「どうぞご自由に

その場合は当然、持ち物などの弁償はしてもらいますよ？

何せ即刻ですから、持ち運ぶ時間ありませんしね」

「ふふん、それぐらい構わないのでアール

お前達程度の持ち物にそんな金が掛けられているはずが無いのでアール」

言質は取った、万が一負けても問題無いな

弁償するって自分で言っただし。

「シニョール堅守、これは私の問題なノーね」

「住んでいる当人達を無視して事を運ぶのに？  
なのに俺達は問題外だと言うつもりですか？」

「そういう訳じゃ……」

「なら黙ってて貰えますか？」

こっちは強引過ぎる動きで苛々してるんです  
さっきの発言も含めて、叩きのめさないと気が済まん！」

俺だってそこまで強引な事はしてない……はずだ！

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

視点 明日香

「何気に瑞貴の方が酷い事言ってる気がするぜ」

「身内にだけは甘い<sup>デュエル</sup>のよ、それ以外はどうでも良いみたいだし  
私としては、瑞貴が決闘<sup>デュエル</sup>をする程怒るのも珍しいと思うわ  
普段はあまり積極的じゃないからね」

「堅守君は怒ると怖いしね  
彼のお説教はかなり辛い……」

そうよね……そういえば  
瑞貴の身内<sup>モノクロ</sup>って、私や白黒兄さんは含まれてるのかしら？  
って、無いに決まってるわね、瑞貴だもの。

それにしても、本当にレイには甘いわね  
レイの事を悪く言われたからこの展開だし  
でなければ絶対に関わらなかったはずよ。

レイはレイで、嬉しそうにしてるし  
やっぱり自分の事を庇ってくれたのは嬉しかったんでしょうね  
十代や翔君は別扱いされてたけど。

「吾輩の先攻、ドロー！」

トイ・ソルジャーを攻撃表示で召喚

更にカードを3枚伏せて、ターンエンドでアール」

トイ・ソルジャー……

効果は確かスタンバイフェイズ時にトイ・ソルジャーをデッキから  
特殊召喚できる

次のターンまで残しておいたら、数が増えるわね。

「俺のターン、ドロー」

手札の星見獣ガリスの効果を発動

デッキの一番上を墓地に送り、そのカードがモンスターだった場合

そのモンスターのLV×200のダメージを与える

俺のデッキトップのカードは……ドラゴン・アイス

このモンスターのLVは5、よって1000のダメージだな」

星見獣ガリス？

それにモンスターを墓地に送って……どんなデッキかしら？

「更に、星見獣ガリスはこの効果が成功した時

このモンスターを特殊召喚する

出てこい、ガリス」

瑞貴の場に出てきたのは攻撃力800の獣……

ダメージ効果は強いけど、能力としては低いわね

それで大丈夫なの？

「更に手札を1枚捨て、THE・トリッキーを特殊召喚  
続けてA・ジェネクス・バードマンの効果を発動

自分の場の表側表示のモンスターを手札に戻し、このモンスターを  
特殊召喚する

俺が手札に戻すのは星見獣ガリスだ」

機械でできた変な鳥ね……

それに特殊召喚する為にモンスターを手札に戻してどうするのよ？  
ガリスの効果を再使用する為なのは分かるんだけど……

何か違和感を感じるわ

瑞貴がガリスみたいなかなか不確定効果のモンスターをそう簡単に  
使うかしら？

デッキトップを操作したり、確認してからしか使わないと思うんだ  
けど。

「ガリスの効果を再び発動

デッキトップを墓地に送り、モンスターだったらLV×200のダ  
メージだ

デッキトップはLV3、ネクロ・ガードナー

よって600のダメージを与え、ガリスを特殊召喚」

これだけでナポレオン教頭に1600ものダメージを……  
しかもまだ通常召喚が残ってる、かなりの展開力ね……

ディメンション・ケミストリー  
「そして次元合成師を召喚」

「ならば罨発動、落とし穴！

攻撃力1000以上のモンスターが召喚された時、そのモンスターを破壊するのでアール！」

「しかし、優先権という物が有る  
効果発動、デッキトップを除外し、このモンスターの攻撃力を500アップさせる

この効果は1ターンに1度しか使えず、エンドフェイズ時までだけ  
どな」

ディメンション・ケミストリー  
現れた次元合成師は落とし穴に落ちて破壊された  
えっと……大丈夫かしら？

でも、除外をするモンスター？ 除外デッキにしてはちょっと変だけれど……

墓地に送ったりもしてるし、ちょっと変じゃないかしら？

それにしても……まだ最初のターンよね？

ディメンション・ケミストリー

次元合成師は破壊されて居なくなっただけ

既にガリス、 THE・トリッキー、A・ジェネクス・バードマン  
合計攻撃力が4200なんだけど……どうなってるのかしら？

ディメンション・ケミストリー

「ちなみにこの次元合成師にはまだ効果が残ってる

このモンスターが破壊されて墓地に送られた時

除外されているモンスターカード1枚を手札に戻す事ができる」

「ふん、優先権を使って除外したのは構わんでアルが  
そう簡単にモンスターが除外されるものか」

確かにそうね

そう簡単に除外されてたら凄いわ

どれだけ運が良いのよ。

「いや、残念ながらモンスターだ俺が除外したデッキトップカードそれはキラーク・スネーク、モンスターカードだよってこのモンスターは手札に戻ってくる」

「ぐぬぬぬぬ……」

やっぱり……瑞貴が出すカードに凄い違和感ね  
どうしてこんなにランダム要素の強いカードばかり使うのかしら？  
もし魔法や罠だったら大損よね？

「THE・トリッキーで攻撃」

「そうはいかないのでアール！  
カウンター罠、攻撃の無力化！  
攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させるのでアール！」

「ターンエンド」

瑞貴が何もカードを伏せない！？  
どうなってるの？ 瑞貴らしく無いわよ！

「ぬふふふ、吾輩のターン、ドロー  
トイ・ソルジャーの効果により、デッキからトイ・ソルジャーを2体特殊召喚するのでアール！」

「手札を1枚捨て、墓地のドラゴン・アイスの効果発動  
相手が特殊召喚してきた時、このモンスターを手札か墓地から特殊



召喚する」

捨てた手札はさっき手札に戻ったキラ・スネークでしょうね  
スタンバイフェイズ時に手札に戻ってくるモンスターだもの  
捨てるコストには最高よね。

「ふん、時に堅守瑞貴

戦に必要な力は何か知っているでアールか？」

戦？

今、それと何が関係するのかしら？

「金、兵士数、兵器、信念、非情、殺意、武器

他にも人脈に情報戦なども有る

それがどうかしましたか？」

「……戦に必要なのは1に戦略、2に機動力

そして最も必要なのは決断力なのでアール」

瑞貴の発言を無かった事にしたわね

そんなに瑞貴の返事が気に入らなかったのかしら？

一部はどうかと思うけど、本当の事でしょ？

「それを言うなら戦術も必要でしょうに……

機動力で先制攻撃も良いですけど、急ぎすぎると足元を掬われます  
よ？

決断力は構いませんが、それで頭を硬くして負けたら無様ですね」

相変わらず……気に入らない相手には口が悪いわね

本当に、お願いだからもう少し普通にしてくれない？

だから友達ができないのよ。

「減らず口を……吾輩がその大切さを見せてやるのでアール！  
魔法カード、強行軍を発動！ 自分の場のモンスターの攻撃力を半分にする変わり

ダイレクトアタック  
相手に直接攻撃ができるようになるのでアール！」

攻撃力400で複数回の直接攻撃ダイレクトアタック

追い剥ぎゴブリンとでもコンボをするのかしら？

「更に魔法カード、鼓笛隊を発動！

攻撃力1000以下のモンスターの攻撃力を倍にするのでアール！」

という事は攻撃力800×3で直接攻撃！？ダイレクトアタック

合計ダメージは2400！ ちょっと拙いわ！

「全隊！ 堅守瑞貴に直接攻撃なのでアール！」ダイレクトアタック

「手札から速攻のかかしを捨て、効果発動

ダイレクトアタック  
直接攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる

モンスター版の攻撃の無力化だと思ってくだされば結構です」

アレって私と初めて決闘した時に使った……デュエル

この程度の対策はしていたのね。

「ぐぬぬぬ……悪足掻きを

ダイレクトアタック

（直接攻撃が成功しなければ、不平等条約は使えないのでアール）

吾輩はカードを1枚伏せ、ターンエンドなのでアール」

「俺のターン、ドロー」

墓地の黄泉ガエルの効果を発動

自分の場に魔法、罠カードが無いターンのスタンバイフェイズ時  
墓地からこのモンスターを特殊召喚できる

俺は墓地から黄泉ガエルを特殊召喚」

いつの間に……THE・トリッキーの効果ね

でも、攻撃力100を攻撃表示ってどういう事!?

守備表示で出さないよ!

「更にキラー・スネークの効果、墓地に存在している時に手札に戻る  
俺はこのままバトルフェイズに入りますよ

ドラゴン・アイスでトイ・ソルジャーに攻撃」

トイ・ソルジャーは戦闘破壊され、1000ポイントのダメージを  
与える

ナポレオン教頭の残りライフは1400、残りの攻撃が通れば瑞貴  
の勝ちよ!

「THE・トリッキーで攻撃」

「そうはさせないのでアール! 罠発動、トイ・キャノン!

相手モンスターを守備表示にし、相手に400ポイントのダメージ  
を与える!

吾輩はこの効果により、THE・トリッキーを守備表示に変更する  
のでアール!」

「お好きにどうぞ、ライフの400程度

戦闘を続行、A・ジェネクス・バードマンで攻撃

そしてガリスでトイ・ソルジャーと相打ち」

これでナポレオン教頭のライフは残り800  
黄泉ガエルの攻撃力は100だからこのターンでは勝てないわね  
惜しかったわ……トイ・キャノンがなければ瑞貴の勝ちだったのに。

「黄泉ガエルでダイレクトアタック直接攻撃」

「ふ、ふん！」

攻撃力がたったの100程度、全く怖くないのでアール！」

そりゃそうよね……攻撃力100だし  
おジャマとかぐらいにしか勝てないわよ。

「これでお前のモンスターは全て攻撃終了！  
次の吾輩のターンで……」

「何を勘違いしてるんですか？」

「なぬ？」

「まだ、俺のバトルフェイズは終了してませんよ？」

速攻召喚？

それでも手札にはキラー・スネーク  
攻撃力はたったの300だから無理よ。

「速攻魔法発動、バーサーカー・ソウル狂戦士の魂！」

な、何？ その物騒な名前は……

「手札を全て捨て、効果発動

自分の場の直接攻撃ダイレクトアタックに成功した攻撃力1500以下のモンスターを選択する

そしてデッキからカードをドローし、そのカードがモンスターカードだった場合

ドローしたカードを墓地に送る事で選択した攻撃力1500以下のモンスターは……

ダイレクトアタック更に直接攻撃ができるようになる！」

な……な……何よ、その滅茶苦茶なカードは！

「ぬうう、確かに黄泉ガエルの攻撃力は100  
発動条件である攻撃力1500以下という条件は満たしているので  
アール

しかし、それでも吾輩のライフは700

そう簡単に7回も連続でモンスターは来ないのでアール！」

「どうでしょうね？」

さて問題です、俺はこの決闘デュエルで狂戦士バーサーカー・ソウルの魂以外  
1度でも魔法、罠カードを使ったでしょうか？」

そういえば……まさか！

「正解は使っていない

何故ならこのデッキには……魔法カードがたったの2枚しか入っていないからですよ！

先ず1枚目、ドロー！ モンスターカード、バトルフェーダーを墓地に送り

黄泉ガエル、相手プレイヤーに直接攻撃ダイレクトアタック！」

「ぬうう！」

「2枚目ドロー、モンスターカード！ 因幡の白兎を墓地に送り、  
ダイレクトアタック直接攻撃！」

3枚目、モンスターカード！ 人造人間7号を墓地に送り<sup>ダイレクトアタック</sup>直接攻撃！  
4枚目、異形の従者！ 5枚目、マッシュマロン！ 6枚目、魔導ギ  
ガサイバー！」

「ぬわあああ！」

「次のドロー、もし俺がモンスターをドローしたら……俺の勝ちで  
すね？」

このデッキに入っている残りの1枚の魔法カードが出る確率  
いったい何%なんでしょうね？」

瑞貴の残りデッキ枚数は24枚……

そしてハズレはたったの1枚

……そう簡単に外れないわね。

「ドロー……モンスターカード、星見獣ガリス

黄泉ガエルで追加攻撃！」

「わ、吾輩の辞書に敗北という言葉は……」

「巫山戯てないで、おとなしく受けてくださいね？」

「ぬわあああああああああ！」

黄泉ガエルの体当たりで倒れるナポレオン教頭  
って、瑞貴？ 何またドローしようとしてるのよ！

「ナポレオン教頭、この魔法効果はですね  
モンスター以外が出てくるまでずーっと続くんですよ  
例えライフが0になっても……ね」

「な、何だってえ!？」

「俺の怒りは、こんなもんじゃないって事です、分かります?  
狂戦士の魂の効果続行! ドロー、トラゴエディア!

ドロー、冥府の使者ゴーズ! ドロー! 魂を削る死霊!

ドロー、クリボー! ドロー、ハネワタ! ドロー、ゾンビキャリア!

ドロー、マテリアルドラゴン! ドロー、黒薔薇の魔女! ドロー、  
人造人間—サイコ・ショッカー!

ドロー、トラップ・イーター! ドロー、メタモルポット! ドロ  
ー、D・D・クロウ!

ドロー、マジック・キャンセラー! ドロー、グレイブ・スクワー  
マー!

ドロー、ドラゴン・アイス! ドロー、トラゴエディア! ドロー、  
サブマリンロイド!

ドロー、神禽王アレクトール! ドロー、THE・トリッキー!  
ドロー、因幡の白兎!

ドロー……残念、魔法カードである遺言の仮面でした」

……余分な追加攻撃回数、実に20回  
連続モンスター数はなんと27連続  
瑞貴の怒りは相当だったみたいね。

「やっぱり、堅守君が怒ると凄く怖いね」

全員が頷く、私も賛成よ

レイだけは瑞貴の事をキラキラとした目で見てるけど  
やっぱりあそこまで怒ってくれたから嬉しいのかしらね？

「ではナポレオン教頭

俺の勝ちなのでレッド寮の破壊は取りやめてくださいね？」

「くううう……分かったのでアール

今回は負けを認め、引いてやるのでアール！」

そう言い残して去って行くナポレオン教頭

……なんだか疲れたわ。

「ではクロノス臨時校長

これから頑張ってナポレオン教頭を止めてくださいね

貴方しか事前に阻止する事ができる人が居ないんですから」

「わわわ、分かったノーね

精一杯、頑張らせてもらウーの」

クロノス臨時校長も、瑞貴に怯えて逃げていった

前にも似たような事が有ったような……

確か瑞貴が十代と戦った時かしら？

あの時も瑞貴が圧倒してたから怯えてたわね。

「さて、くだらないお遊びも終わった事だし

何をして時間を潰そうかなー……っと」

瑞貴はさっさと部屋に戻っていく

レイは瑞貴を追いかけて、部屋に向かう。



私達は……何かしらね？  
どう反応するべきか困るわ。

「俺、瑞貴の事を絶対に怒らせないように注意するぜ」

「俺もだ」

堅守を敵に回したくない  
先ほどのはかなり……やばかったし」

「レイ君の悪口は絶対厳禁だね  
もし言った事を堅守君に知られたら……うう、怖い怖い」

「本当、あの堅守先輩って何者だドン？」

「性格も口も悪い人だってば  
でも、さすがに今回は怖かったかも……」

「とりあえず  
瑞貴が怒るような事だけはしないようにしましょう  
レイの悪口、トラブルに巻き込む  
そんな事を嫌ってるから、それにさえ注意していれば大丈夫  
……だと、思わせてちょうだい」

「頼む明日香  
堅守君の情報はハッキリ言ってくれ」

「無理よ、機嫌でかなり変わるもの  
最低限、さっきの事に注意していたら大丈夫のはずよ  
だからあまり面倒事に巻き込まない事  
良いわね？ 特に十代」

「俺!?!」

「貴方、何度も面倒事に巻き込まれてるでしょ? そういう時に瑞貴に会わないようにしなさい  
きっとそれだけでも瑞貴は安心するわ」

……多分ね。

そんな感じだったけど、解散  
それぞれの部屋に戻る。

私の部屋は瑞貴の部屋  
部屋入るとレイが瑞貴に思いっきり甘えていた  
瑞貴は困っているものの、好きにさせているみたい  
……無言で扉を閉める。

さて、少し散歩にでも行こうかしら  
モノクロ  
白黒兄さんでも誘って、のんびりしましょう。

## 91話【レッド寮取り壊し計画】（後書き）

瑞貴の戦の知識って……

有る意味、その通りだと思います。

バーサーカー・ソウル  
狂戦士の魂だと！？

ようやく使えました……相手が微妙ですけど  
怒った瑞貴に使わせたかったので機会を待って待ってと……  
とにかく使えて楽しかったです。

原作、アニメオリジナルカード

トイ・ソルジャー

自分のターンのスタンバイフェイズ時に自分の場に存在する時  
デッキからトイ・ソルジャーを特殊召喚できる

1体と指定されていませんので……

これって同時召喚でしょうか？ それとも2体目で特殊召喚？

強行軍

自分の場のモンスター全ての攻撃力を半分にし

相手プレイヤーに直接攻撃ができる  
ダイレクトアタック

普通に凶悪なカードですね

魂を削る死霊にも使えるので便利なカードです

黒蠍に使ったら……恐ろしい事になりますね。

鼓笛隊

自分の場の攻撃力1000以下のモンスターの攻撃力を倍にする  
これも凶悪なカードです、黒蠍に（以下略）。

## 不平等条約

ダイレクトアタック

直接攻撃に成功した時に発動可能

相手ターンスタンバイフェイズ時、相手に100ポイントのダメージを与える

自分は100ポイントライフを回復する

微妙……バーンにもライフ回復にも微妙です

発動条件も面倒ですし。

トイ・キャノン

相手モンスターを守備表示に変更し、相手に400ポイントのダメージを与える

これも微妙、まあまあ使える程度でしょうか？

## 狂戦士の魂

バーサーカー・ソウル

ダイレクトアタック

相手プレイヤーに直接攻撃が成功した時に発動可能

ダイレクトアタック

手札を全て捨て、直接攻撃に成功した攻撃力1500以下のモンスターを選択する

デッキからカードを1枚ドロース、モンスターカードだった場合、

お互いに確認して墓地に捨てる

選択したモンスターは再び攻撃する事ができる

TFでは効果ダメージらしいのですが、アニメらしく戦闘ダメージにしました

フルモンスターじゃない限り、普通に使用できるカードじゃないですね。

ツイッター……

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
もう何も言うまい……

## 92話【動き出す白】（前書き）

タイトルの通りです

白が動き出す話になっています

凄まじく悩みました、話が思いつかない！

最近、ネタが溢れると同時にネタ切れです

先のネタや話はどんどん浮かびます

しかし、今のネタが全く出てきません

今回は一部やや強引な展開に……今はこれが精一杯です。

次回は大丈夫でしょう

ややこしい事は抜くので

ああ……光の結社がやたら面倒、疲れた。

## 92話【動き出す白】

視点 瑞貴

「ブルー寮に異変？」

「はい、そうなんです」

「ちなみに男子寮の方ですよ？」

「今の所、女子寮に影響は無いわ」

来て早々、ブルー寮の異変と言われてもねえ……  
今日は勉強じゃなくてその報告に来たのか？  
お前達1年生カルテットは。

「それを俺に教えてどうなるんだ？」

「そのお……一緒に調べて欲しいなあって」

「私達だけじゃ不安デすしい……」

「なら最初から関わるな  
そう思う俺は間違ってるか？」

「「「……いえ」」」

「まったく、面倒な奴らめ」

何故俺まで巻き込まれねばならんのだ

ブルーで異変が起こってるなら、ブルーで解決しろ……いや、俺もブルーだったな。

「でも瑞貴さん、気にならないの？」

「気になる事は否定しない  
だが、面倒事に態々首を突っ込む必要も無い」

興味が出れば突っ込むがな

今回は興味よりも避ける方が良いと思う  
最近、どうもきな臭いからな……

もし何か有っても困るし

それもまた……うーん、悩むな  
どうするべきだ？

「とにかく、色々と厄介な事になっているんだ  
気になる事も有るし、動くより更に面倒になる  
今は動くな、我慢しているろ」

「「……はい」」

「分かったら勉強の時間だ  
始めるからさっさと準備しろ」

今はこれで良い

動くのは、もっと事が大きくなってからだ  
小さい内に動いても、何が何だか分からないからな。

どっちが正しいかなんて分からない  
それでも……やっぱり最後まで巻き込まれたくないな  
できればこのままこちらに無影響で終わってほしいものだ。

……………

……………

……

翌日の授業、ブルー男子生徒が殆ど居ない？  
俺を含めても数人しか……どうなってるんだ？  
昨日カルテットが言っていた異変はこの事か？  
一応、女子生徒は平気のようだがな。

授業終了後の昼休み

各学年のブルー生徒を呼び出した

1年生からはカルテット、2年生は明日香、3年生では白黒<sup>モノクロ</sup>  
1人だけレッドが混じってるが、どれはどうでも良い。

「話は飯でも食いながらで良いだろ  
集めた手前、奢ってやる」

明日香と白黒<sup>モノクロ</sup>は借金している手前、かなり喜んでる  
小遣いが殆ど無くなっているカルテットも……  
お前ら、親からどれだけ前借りしたんだ？

「さて、俺達2年生の教室の話だ  
ブルー男子生徒が俺を含めて数人しか居なかった  
お前達の教室はどうだ？」

「1年生も同じ、ブルー男子が殆ど居ないよ



吹雪さんの3年生はどう？」

「僕の所もさ、僕ぐらいしかブルー男子生徒が居ない  
いったいブルー男子寮で何が有ったのか……」

全学年駄目かよ……どうなってるんだ？  
ブルー男子寮で何が起こってる？

「やっぱり何か起こってるみたいだな」

「調べるのかい？」

「いや、調べさせる」

「「「「「調べさせる？」「」「」「」

誰にって？

決まってるだろ、面倒事吸引器にだよ。

「面倒事を任せるに最適な奴が居るからな  
そいつに全部押し付ける」

「瑞貴さん、それって酷くない？」

「お前らを行かせるよりはマシだ  
味方が危険になるぐらいだったら他を犠牲にしてやる  
何か有ってからじゃ遅いんだぞ？」

言ってる事が最低？

自覚しているさ、だが味方を捨てるよりはマシだ

敵になられても困るし、できるだけ手元に置いておきたい。

「面倒事を任せるに最適ねえ……  
それって十代達の事かしら？」

「正解だ明日香  
どうせ勝手に解決するだろ  
あいつはそういう存在だ」

その方が俺が楽だからな  
あいつらに目を向けられていたら危険性も減るし  
狙われる可能性も下がる、だったら簡単に送り出してやるよ。

「十代って、あの遊城十代さんですか？」

「確かあ……デュエル・アカデミアのカリスマとか言われてる」

「実力者って噂よね」

相変わらず謎に評価が高い奴だ  
別に謎っていう程でも無いが……  
理由なんて簡単に思いつくし。

「ちなみに、私も瑞貴も十代に勝った事が有るわよ  
今の実力はちょっと分からないけど、前は大して強くなかったもの」

「……遊城先輩が弱いんですか？」

「今は新しいデッキになってるから微妙ね  
全貌も見えてないし、どれ程の実力か……」

さすがの瑞貴でも知らないでしょうし」

「知ってるぞ、ネオスにN」  
ネオスバージョン

「「「ええ!?!」」」

何を驚く……って、そういえばお前らは似非の話を聞いてたんだっ  
たな

宇宙からだのとかって話、俺もこいつらに教えてもらったんだった  
間抜けをしたな、態々知ってる事を教えるとは……

「……まあ、どちらかと言えば強化されてるな

ネオスは通常モンスターだからサポートカードが多いし

しかもE・HEROのサポートカードも使える

蘇生も特殊召喚も簡単にできるモンスターだ」

今までのE・HEROに入れるのは完全に失敗だとは思うがな

E・HEROのサポートカードはともかく、普通の融合とコンタク  
ト融合を混ぜるのは……

しかもそれを回すとなるとかなりのプレイングが必要だぞ?

「って、今はネオスの話じゃなかったな

問題はブルー男子寮だ、似非を送り込むのは良いんだが  
誰がその話を……いや、俺が言うから気にするな」

「ボク達は何もするなって事?」

「そう言ってるだろ

お前らに行かれると困るんだよ」

「……邪魔になるから？」

「あのな……そういう問題じゃない  
お前らに何か有ると面倒なんだよ、後始末とか  
俺が動く必要も出るかもしれないし  
だったら俺が殆ど動く必要の無い似非に任せる  
面倒事や厄介事を押し付けて何が悪い  
本人が納得すれば、何も悪く無い」

無論、嫌がれば無理にさせるつもりは無い  
性格上それは可能性は低いがな  
自分でどうにかできる力も有るから大丈夫だろ。

「そんなの勝手過ぎるよ！」

「れ……レイ？」

そんなに怒らなくても……」

これは……拙ったか？  
やばい、こいつの行動力なら！

「瑞貴さんが動かないなら、ボクが動く！」

「やっぱるか！  
ちょっと待てレイ！」

って……あーあ、行っちゃったか  
どうするかな？

「堅守先輩……どうするんですか？」

「仕方無い、俺も動く  
あいつだけに行かせる訳にもいかないからな  
まったく……面倒な事になったもんだ」

半分以上は自業自得か

言葉を選ぶべきだったな

もしあいつまで洗脳されたらと思うと……

やばすぎる、絶対に阻止せねば！

「白黒は是非に動くように言ってくれ  
モノクロ

どうせ確実に動こうとするだろ

俺らが言わなくても動くかもしれないしな

明日香と1年生カルテット……今は3人だが

お前らは来ているブルー生徒を集めておけ

ブルー男子寮に巻き込まれないよう、レッドなりイエローなりに集  
めろ

時間は放課後、時間が有る奴だけでも構わん  
こちらの事を無視する奴は放っておけ、何を言っても無駄だ」

「それは良いんだけど、瑞貴はどうするの？」

「先にブルー男子寮に行く

レイだって馬鹿じゃないだろ

1人で行く可能性はあまり高くない……と思う  
先回りできれば良し、できなくても間に合えば良い」

しかし、本当に拙いな

どうする？ 強引に連れ戻せるとは思えないし  
説得するにもどうすれば……

「全員、する事は理解したな？  
なら解散、俺は先に行くぞ」

体力の無い俺に走らせるなんて  
レイの奴、終わったらどう言っ  
てやろうか？

……あ、午後の授業忘れてた  
まあいいか、どうにでもなるし。

## 視点 吹雪

やれやれ、堅守君はレイ君の事  
凄く心配してるじゃないか  
どうして素直に心配している  
って言えないのかな？

「ふう……堅守君、僕達の事を  
心配してくれてるんだろうけど  
どうして素直にそう言えない  
んだろうね？  
一言余計だし、困ったものだ」

「瑞貴が素直じゃないのはいつも  
の事でしょ？  
特にレイには甘いのに……今回  
は言い方が悪かったのかしら？」

「微妙だねえ……普段はそれでも  
ある程度納得してたんだけど  
見て見ぬふりが嫌だったのかな？  
でも、それは後で本人に確認し  
ようか  
今はあんまりのんびりして良い  
事じゃなさそうだしね

僕も動くよ、じゃあ気をつけてね」

モノクロ  
「白黒兄さんもね」

僕は明日香達と別れ、2年生の教室に向かう  
十代君達がどこに居るか分からないからね  
とりあえず可能性の高い場所に行こうって事さ。

そして2年生の教室

だけど十代君達は居ないなあ……お？  
あそこに見えるは三沢君じゃないか  
彼なら十代君の居場所を知っているかも。

「やあ三沢君、こんにちは」

「吹雪さんじゃないですか  
こんにちは、2年生の教室に何か？」

「いやね、十代君達を探してるんだけど  
今はどこに居るか知らないかい？」

「十代達ですか？」

彼らなら購買部に行きましたよ  
そこら辺をぶらぶらしながらドローパンを食べるとか」

そこら辺って……また厄介な  
仕方無い、探すか。

「十代達を探すなら、俺も手伝いましょうか？」

「おお、それは助かる  
人手が欲しかった所だし、お願いするよ」

三沢君も巻き込み、十代君を捜す  
どこに行ったのかなあ？

彼らの行動範囲はそれなりに広いし  
この学園も広いから、また厄介な事だ。

とりあえず購買部に来てみた  
もしかしたら何か知っているかもしれぬ。

「こんにちはトメさん  
今日、ここに十代君が来ませんでしたか？」

「あらあら吹雪君、こんにちは  
十代ちゃんなら屋上に行くって言ってたわよ  
何か用が有ったのかい？」

屋上か……どこの屋上だろう？  
何カ所も有るからな、また探すのに時間が掛かる。

「まあ、そんな所です  
それでは失礼しますね  
行こう、三沢君」

「はい」

購買部を出て、屋上に向かいながらも少し探してみる  
しかし居ない……まだ屋上かな？  
ブルー、イエロー、レッドの屋上が有るからね



どこに居る事やら……

今は上の階だし、試しにブルーの屋上に来たが  
やはり居なかったか……まあ十代君だしね。

「三沢君、僕はレッドの屋上に行こう  
君はイエローの屋上に、見つかったら教えてくれ」

「分かりました  
それじゃあ!」

三沢君と別れ、僕も走り出す  
やっぱり数が居ると助かるね  
人手というのがどれだけ大事か良く分かるよ。

さて……十代君達はっと、居た!

「やあ十代君に翔君、剣山君」

「あ、吹雪さん、こんにちは」

「こんにちはは吹雪さん」

「こんにちははザウルス」

ははは、相変わらず元気が有るねえ  
特に十代君は見ていて清々しくなるぐらいに。

「君達に頼みたい事が有るんだ」

「「頼みたい事？」」

「そうだ、君達の教室にブルー男子生徒が少なかっただろ？」

「うん、殆ど居なかったッス」

「1年生の教室にもだドン  
なんだか不気味で気味が悪いザウルス」

「でも、それと頼みたい事と  
どんな関係が有るんだ？」

どう言ったものか……堅守君の指示と言うのは簡単だけど  
翔君が堅守君の事を嫌ってるからなあ  
そこら辺を巧くばかして伝えるしか無いか。

「実は3年生の方でも同じ状態なんだ  
殆どのブルー生徒が居なくてね  
それで君達にその調査を頼みたいんだよ」

「俺達がブルーの調査？」

「どうして僕達なんスか？」

「僕も当然動くつもりだよ？  
だけどそれだけじゃ人手が足りないんだ  
そこで、君達にはブルー男子寮に向かってほしい」

「お、潜入調査か？  
おもしろそうだ、俺は構わないぜ！」

「アニキが行くなら、俺も行くドン！」

「む、アニキが行く場所

僕はどこにだって付いていくよ！」

「……………」

「何だドン！」 「何だよ！」

相変わらず喧嘩ばかりだね

本当に仲良しの弟分ばかり持つ十代君が羨ましいよ

……僕は要らないけどね。

というか十代君、潜入調査とはちよつと違うよ？

普通に確認して調べてくれるだけで良いんだからね？

変な事をされても困るし。

「そう言ってくれて助かるよ

じゃあ僕は先に行くね」

「おう、じゃあまた後でな、吹雪さん」

さて、仕込みは終わったよ堅守君

これで十代君達は遅くても放課後には動くと思う  
授業が有るから今は動かないと思うけどね。

……って、授業？

そうだった！ 僕は授業を受けないと！

他の指示は出されてないし、別に良いよね？

うん、きっと大丈夫のはず  
何か有るんだったら堅守君からも言ってくるだろうし  
さて、教室に向かおうかな。

## 視点 明日香

「何故俺がイエローとかレッドに行かねばならないんだ！  
俺はオベリスクブルーだぞ！」

そう言って断って去って行くブルー男子生徒  
はあ……これで3人目ね、断って行くのは  
しかもまだ1人も避難警告を受けてくれないし。

「それにしても明日香先輩  
ブルー男子生徒って殆ど同じ事ばかり言いますね  
他に言う事は無いんでしょうか？」

「その気持ちは分かるけど、あまり言わないの雪乃  
私も分からず屋だの、プライドが高いだの思っていたけど  
まさかここまで話を聞かないとは思わなかったわ」

全部話し終わってないのに拒否する人ばかり  
私にどうしろって言うのよ……話を聞かない人ばかりなのが悪いの  
よ？

だから私に怒らないで瑞貴、お願いだから。

「デもブルー女子は素直に言う事を聞いてくれますねえ  
明日香先輩が相手だからデすかぁ？」

逆に女子生徒は素直に言う事を聞いてくれる

1、2年生だけけどね

3年生はやっぱりプライド優先なのか殆ど無視されてるけど。

「そこまでは分らないわよ

あまり言いたい事じゃないけど……

一時、アカデミアクイーンとか呼ばれた事が有るわ  
その名残だと思う……あまり嬉しくないけどね」

「アカデミアクイーン……はぁあ」

雪乃、そんな羨ましそうな顔をしないで  
私自身はそんなに嬉しくないんだから  
女王なんて柄じゃないわよ……

今の私のデッキは完全に戦士族デッキだし  
前までのサイバー・ガールデッキじゃないのよ？  
もうクイーンと呼ばれるようなデッキじゃないわ。

「だから3年生の人達は嫉妬してるんデすかね？」

嫉妬って言わないで、私は悪く無いわ  
勝手にそう呼ぶ人達が悪いのよ

せめてナイトクイーンとか……それはそれで嫌ね。

次は……あの3年生の女生徒でいいか  
あんまり長くなるのも困るのよね……

「あの……少し良いですか？」

「ん？ ああ、確か天上院さん  
どうかしたの？」

「実は……」

説明省略、一応納得はしてくれたみたい  
だけど、何か考えているような……

「良いけど……ただで受けるのも何だか嫌ね  
私と決闘デュエルしない？  
そっちが勝ったら素直に言う事を聞いてあげるわ」

また時間が掛かるような事を……  
仕方無い、瑞貴の依頼をこなすには受けるしか無いわね。

「あ、なら私が受けマすう！  
明日香先輩にはする事が有るので！」

「1年生の貴女が？  
まあ……良いわよ  
デュエルフィールド  
なら決闘場に行きましょうか」

「はーい！  
じゃあ私は一旦抜けますねえ  
後で私だけでも動きますんでえ」

ここでゆまが抜けたわ

人手は減ったけど、まだ大丈夫ね  
できるだけ多くの人に……っと、再び3年生女子発見  
またお願いしないと。

「すみません、少し良いですか？」

「何よあんた……誰？」

「初めまして、天上院明日香です  
少しお願いがありまして……」

説明省略

理解はしてくれたみたい  
でも、全く納得してくれない……

「ふーん……嫌よ」

「そうですか  
では失礼します」

「ちょ、ちょっと待ちなさいよ！  
どうしても言うなら決闘デュエルしなさい！

それであんたが勝てば言う事を聞いてやるわ！」

またこの展開……私が受けても良いんだけど  
それよりもどちらかに任せた方が良いかしら？

「明日香先輩、私が受けるわ」

「雪乃？　良いの？」

「ええ、その方が堅守先輩への印象も良くなると思いますし」

……もしかして、瑞貴に好意を寄せてるの？

別に私は気にしないけど、レイはどう思うかしら？  
話し難いし、どうすれば良いの！？

「あんたが相手？」

良いわ、決闘場に向かいましょデュエルフィールドう？」

「ええ、お願いしますね……先輩」

去って行く2人

はあ……なんだか相性が悪そうね  
性格的な意味でだけど。

雪乃と離れて暫く経つ

大半は言う事を聞いてくれるけど  
やっぱり3年生はあまり素直に聞いてくれないわね。

次は……あの人にしましよ

また3年生か……気が進まないわね。

「少し良いですか？」

「私？」

別に良いわよ」

「その、実は……」



説明、そして省略

なんだか悩んでるけど……どうしたのかしら？

「別に良いけど、素直に言う事を聞くのってなんだか嫌なのよね  
私と決闘デュエルしない？」

貴女が勝ったら他の子にも伝える手伝いをしてあげるわ」

またあ？

でも彼女はまだマシね、手伝ってくれるみたいだし。

「明日香先輩、私が戦いましょうか？」

「彰子……良いの？」

「はい、大丈夫です」

「ならお願いするわ

相手がこの子でも良いですよね？」

少し悩む先輩

でも、割とすぐに受けてくれたわ。

「構わないわ

適当な場所の決闘場デュエルフィールドに行きましよう

じゃあね、天上院」

「じゃあ明日香先輩

できるだけ早く戻りますから……」

「……強気だね、1年生」

「あう……そういうつもりじゃなかったんですけど」

「気にしない気にしない  
じゃあ行きましよう」

そのまま去って行く彰子  
残りは私だけか……早くしないと。

再び暫く歩く

当然、また続けてるんだけどあまり成果は無し  
はあ……困ったわね。

こちら辺の人は殆ど……あ

あの人はまだね、3年生か……

また似たようなパターンになりそうな気もするけど。

「あの、少し良いですか？」

「あら、2年生が何か用？」

態度が大きいけど無視

そんな事はどうでも良いもの。

「実はですね……」

説明は当然省略

それにしても、どうも睨まれてる気がするのは何故？

「い・やですわ」

「……そうですか」

「ただ……吹雪様のサインをくれるのなら考えてあげてもよろしくてよ？」

モノクロ  
白黒兄さんのサイン？

ああ、ファンか

何故あの兄がもてるのか、果てしなく謎なのよね。

「妹の私が持っているはずが無いでしょう」

「む、なら私と決闘なさいデュエル

貴女が勝てば言うことを聞いてさしあげます  
しかし、私が勝ったら吹雪様のサインを！」

「分かった、分かったわよ

だからそんなに興奮しないでちょうだい」

何て厄介な人を引っかけちゃったのかしら？

不幸ね、誰か変わってほしいけど……もう私だけだし  
仕方無い、受けるしか無いわね。

「なら早速、決闘場に行きましょうデュエルフィールド

ふふ……吹雪様のサイン」

嬉しそうだけど、それって私に勝ったらよ？

勝つ気満々なのね……はあ

疲れた、さっさと終わらせて休みましょう。

視点 レイ

まったく、瑞貴さんの馬鹿！ 馬鹿！ 馬鹿！

面倒事を全部十代さんに押し付けるなんて！

どうして自分で動かないの！？

ボクがブルー寮に乗り込んで……駄目だ

見つかったら危ないし、どうやって乗り込めば良いのか……

裏から？ でもちょっと怖いし、どの部屋から入ればいいのか。

正面から行ってもなあ……危ないかな？

いや、ここは正面から行こう！

小細工するよりもずっと良いはず！

そう思って正面に来たんだけど……寮が真っ白

しかも白い制服を着た万丈目先輩と同じく白い制服を着た生徒達  
ところで万丈目先輩、何で御輿に担がれてるの？

「お前は確か早乙女レイだったな

何しに来たんだ？」

「学園の授業にブルー男子生徒が殆ど来てなかったんだ  
気になったから調べに来たの

それで何で担がれてるの？ 万丈目先輩」

「ふ、レイ

俺の名を呼ぶ時は万丈目サンダーと……いや

万丈目ホワイトサンダーと呼ぶが良い！」

その言葉に同調する御輿を担いでる生徒達  
この人達ってブルーの生徒？  
でも何で……これも瑞貴さんが言っていた洗脳の1つ？

「ふふふ、斎王様より学園を白く染めておくように命令された  
我らは光の使者なのだ！」

「斎王？」

確か……エド・フェニックスのマネージャーって  
瑞貴さんが言ってたような……」

「ふん、マネージャーとは仮の姿  
斎王様こそ、この世を治めるべきお方  
我ら光の結社の盟主様なのだ！」

光の結社？ 盟主？  
意味が分かんないんだけど。

「じゃあ、この騒動は斎王って人が原因なの？」

「原因とは何だ、原因とは！  
我らの盟主に向かって無礼だぞ！」

そんな事を言われても……  
ならどう言えば良いの？

「そんな事はさっさと止めて、正気に戻ったらどうなの！」

「正気？ ふふん、俺は正気さ

寧ろお前達の方が心配だ

何故、光の結社のすばらしさが分らないのか……とね」

「ボクはそんな不気味な組織になんて入りたくない！」

「まあいい、なら俺がそのすばらしさを教えてやろう  
この俺の決闘デュエルでな！」

う……でも瑞貴さんが万丈目先輩との決闘デュエルは禁止って  
どうしよう……受けるのは駄目だけど、断るのも嫌だし。

「いい加減にしろ電池！

レイを変な宗教に勧誘するな！

殴るぞ、貴様は！」

「瑞貴さん！？」

な、なんで……

「決闘デュエルは却下だ！

レイ、電池とは話せたな？」

「え？ う、うん……」

「なら構わん

その情報だけでも十分だ  
助かった、だから戻るぞ」

「貴様、逃げるのか！？」

ムカ、逃げるだって？

「逃げるんじゃない、戦略的撤退だ  
こっちはこっちで色々忙しいんだよ  
お前らの遊びに付き合っている時間は無いんだ  
それに……授業がまだ残ってるんだよ！」

あ、そういえばまだお昼休みだっけ？  
って、時間大丈夫なの！？

「分かったか？  
だから俺達は授業に戻る  
また相手をしてやるから寂しがるなよ？」

「寂しがるだとおく？  
巫山戯るな！ 戦え、堅守！」

「しつこい！  
行くぞ、レイ」

瑞貴さんに引っ張られながらもなんとか歩く  
が、学園に帰っちゃうの！？

「ちょ！ 万丈目先輩を放っておいていいの！？」

「言っただろうが、あいつは高確率で洗脳されてるって  
無いとは思うが、もし決闘にデュエル負けたらと思うと拙い  
あの白達デュエルは多分、電池が決闘で負かした奴らだ  
まさか決闘で洗脳範囲を広げていたとは……厄介だな、クソ！」

じゃあもしボクが負けたら……ボクも洗脳されてたの？  
良かった、決闘<sup>デュエル</sup>を即答で受けなくて  
もし受けて負けてたら瑞貴さんに大迷惑だったもん。

「まったく、また行動を考え直しかよ  
斎王の情報が集まってからにしたかったのに  
多少情報が知れたが、俺に目を付けられるか？  
面倒な、あの白共め……絶対に泣かせてやるからな」

小声だけど聞こえた  
もしかしてボク……瑞貴さんの考えを潰しちゃった？  
十代さんを送り出すのって、時間稼ぎとかだったの？

………ボクって迷惑掛けただけ！？  
またやっちゃった！ 勝手に動いた結果がこれ！？  
ああああああ……後で絶対に怒られる、絶対に怒られる！

ど、ど、ど……どうしよお！



視点 三沢

十代ー！ 翔ー！ 剣山ー！  
どこに居るんだー！ 本当に、どこに居るんだー！

はあ、見当たらないな

吹雪さんもどこかに探しにいったらしいし

俺はどうするか……もうすぐ授業だし

仕方無い、教室に戻ろう。

どうせあいつらも授業に出るんだ

その時にでも伝えれば良いか。

## 92話【動き出す白】（後書き）

1年生カルテットって十代に会ってないの？  
会っていません、必要も有りませんし。

レイはどうして怒ったの？

やっぱり放っておくのが嫌だったんでしょう  
行動的なタイプですし、おとなしくしているというのが嫌だったの  
かもしれません。

屋上が何カ所も？

デュエル・アカデミアの構造を忘れました

確か赤黄青と有ったような……間違っていたらアレですが  
あまり気にしない方向でお願いします。

ゆまの相手は誰？

秘密です

予想を言わないでくれると助かります。

雪乃の相手は誰？

秘密です

予想を言わないでくれると助かります。

彰子の相手は誰？

秘密です

予想を言わないでくれると助かります。

明日香の相手は誰？

秘密です

予想を言わないでくれると助かります。

彼女達の決闘は？  
デュエル

次回から暫くの間、全部します。

……三沢

吹雪に忘れられています

不憫な……

ツイッターで言う事を考えるという謎行動

http://twitter.com/#!/ainkuria  
割と悩めますよ？

### 93話【VS3年生 前編】（前書き）

間に合いましたー！

までもギリギリです！

調子に乗って詰め込むじゃなかったと後悔中！

そういう訳なので、短いですが2戦詰め込みました  
相手の方は予想できたでしょうか？

まあ、予想できる範囲内だと思います。

次回は……まあ大丈夫でしょう

また2戦詰め込むと思うんで、ちょっと微妙ですけど  
さて……とりあえず晩飯を食おう。

## 93話【VS3年生 前編】

視点 ゆま

適当に入った決闘場デュエルフィールドデの決闘  
勝ったら堅守先輩の言ってるポイント、増えるかなあ？

「あ、自己紹介しておきますねえ  
私、宮田ゆまっテ言いますう」

「私は田中奈津代たなか なつよよ  
じゃあ始めましょうか？」

「「決闘！」デュエル」

「先攻は私が貰います！ ドロー！  
異次元の戦士を守備表示で召喚します！  
更に永続魔法、魂吸収を発動しい、ターンエンドです！」

「ゲッ……除外かあ  
相性悪いなあ、ドロー」

「相性が悪い？  
ドんなデツキかなあ？」

「うーん……困った  
仕方無い、見習い魔術師を守備表示で召喚  
召喚時に魔力カウンターを置く効果を持ってるけど

私の場に魔力カウンターを置く事ができるモンスターが居ない  
ターンエンドよ」

えっとお……確か戦闘破壊された時  
デッキからLV2以下の魔法使い族を特殊召喚する効果ダっけえ？  
でもリクルーターって事は除外すれば大丈夫、問題無い。

「私のターン、ドロー！」

手札から魔法カード、ブラック・コアを発動！

手札を1枚捨て、場のモンスター1体をゲームから除外します！  
この効果で見習い魔術師を除外！」

「あちゃあ……しかも魂吸収の効果でライフが500回復  
本当、除外って面倒だなあ」

褒められたあ？ そんな気がする  
なんとなく嬉しい。

「更に、手札から捨てたのはゼーダ・レティキュラントデす！  
このカードが墓地に存在してる時、相手の場のモンスターが除外  
される度に  
攻守500のイーバトーンを特殊召喚します！  
イーバトーンを攻撃表示で特殊召喚！」

「うわあ……また面倒な事に  
私のデッキじゃそのデッキに勝てないわよ」

諦めた！？

そんなに相性が悪いの！？

「えっと……ご愁傷様です

D・D・アサイラントを召喚します

異次元の戦士も攻撃表示に変更

全モンスターで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「んん……さすがに拙いか」

合計ダメージは3400

残り600だから楽に勝てるかも  
相性が良い相手で良かったあ。

「ターンエンドです！」

「私のターン、ドロー

このまま負けっ放しも気分が悪いし  
どうせ除外されると分かっているけど  
切り札を見せてあげるわ」

切り札……でも場には何も無い  
そんな状況で？

「まだ出せないけどね」

……駄目じゃん。

「だからその為の準備時間よ  
モンスターをセットし、カードを1枚伏せてターンエンドよ」

さすがにもうブラック・コアは無いけど……  
大丈夫、この状況なら勝てる！



「私のターン、ドロー！」

イーバトークンを生け贄に、セイントナイト聖導騎士イシュザークを召喚っ！」

「罨カード発動！ 威嚇する咆吼！」

相手は攻撃宣言を行えない！」

「う……仕方無い、私のターンは終了デすう」

防御系のカードって鬱陶しいなあ

攻撃できないんだもん。

「私のターン、ドロー」

守備モンスターを反転召喚、執念深き老魔術師

そしてリバーズ効果発動よ

相手の場のモンスター1体を破壊する！

私が破壊するのはD・D・アサイラント！」

何故？ どうしてイシュザークじゃないのお？

攻撃力もイシュザークの方が強いのに……

「そしてネフティスの導き手を召喚するわ

ネフティスの導き手の効果発動

このモンスターと自分のモンスター1体を生け贄に捧げる

デッキか手札から……私はデッキからネフティスの鳳凰神を特殊召喚！」

攻撃力2400の最上級モンスター！？

攻撃力はそこまで高くナいけど、私からすれば厄介！

力で負けテしまう！

「ネフティスの鳳凰神でイシューザークに攻撃！」

う……さすがに勝てない

どうしよう……

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ  
相性が悪くても、どうにかする手段ぐらい有る  
それをよく教えてやるわ」

さすが3年生、やっぱり強い  
そう簡単に勝たせたくないか。

「私のターン、ドロー！  
異次元の女戦士を召喚っ！」

「甘い！ 罠カード発動！ 激流葬！  
モンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚された時  
場の全てのモンスターを破壊する！」

なあ！？ 自分の最上級モンスターまで！？  
って、きやああ！ 激流があ！

せっかくモンスターを出したのに……

デも、次のターンで確実に攻めてくるはず  
だったら……これで守る！

「カードを2枚伏せ、ターンエンドですう！」

さあ、攻撃しなくてもよお

次元幽閉でまた除外するから！

「（何を伏せたか……除外デッキよね？

因果切断、次元幽閉、奈落の落とし穴

ここら辺かしら？ まあ……どれでも同じね）

私のターン、ドロー！

この瞬間、ネフティスの鳳凰神の効果発動！

カードの効果で破壊された次の自分のスタンバイフェイズ時

自身を特殊召喚させる効果を持つてるわ！

甦れ、ネフティスの鳳凰神！」

だから激流葬を……

でも、攻撃してきたら今度は戻れないように除外してやるっ！

「（発動しない？

次元幽閉かしら？ ここまで来たらなんでも良いわね）

ネフティスの鳳凰神のもう1つの効果を発動するわ！

このモンスターがこの効果で特殊召喚された時

場の魔法、罠カードを全て破壊する！」

「ええ！？

ああ！ 次元幽閉に墓荒らしの報いがあ！

シかも魂吸収までえ……」

そんな効果まで持つてるなんテえ……

攻撃力も2400だし、反則だよお。

「（……本当に1年生？

かなり厄介なんだけど、この子）

まだ私のターンは続くわ、クリッターを召喚！

ネフティスとクリッターで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ひゃああ！」

合計で3400のダメージ！？

イシュザークが倒された時も100受けたし

残りライフが1000かあ……1回でも回復しておいて良かったあ。

「これでライフ差は400よ

カードを2枚伏せ、ターンエンド」

「あうう……私のターン、ドロー」

あれえ？ このカードなら……勝てる？

私の墓地のカードは……うん、大丈夫。

「私は墓地の闇属性、ゼーダ・レティキュラントと光属性、  
セイントナ聖導騎  
士イシュザークを除外

カオス・ソーサラーを特殊召喚！」

ふう……堅守先輩から買って良かったあ

これでクリッターに攻撃スれば私の勝ちい！

「攻撃は許さないわよ！

威嚇する咆吼！ 相手は攻撃宣言できないわ！」

「でも、カオス・ソーサラーの効果発動！

攻撃宣言を放棄する代わりに、相手のモンスター1体を除外します！  
ネフティスの鳳凰神を除外しますう！」

「私の切り札が……クッ！」

「更に異次元からの生還者を守備表示で召喚します！  
ターンエンド！」

これなら……

「私はまだ負けないわ！ 私のターン、ドロー！

永続罠、リビングデッドの呼び声を発動！

墓地からネフティスの導き手を特殊召喚！

そして2体を生け贄に、デッキからネフティスの鳳凰神を特殊召喚  
！」

「ま、また出たあ！？」

「まだよ！ クリッターの効果が発動！

このモンスターが場から墓地に送られた時

デッキから攻撃力1500以下のモンスターを手札に加える

私はデッキから執念深き老魔術師を手札に加えるわ！」

サっきも出てきたリバーズ破壊モンスター！？

このままだと拙い！

「ネフティスの鳳凰神でカオス・ソーサラーに攻撃！」

あうう……これじゃあ除外できない

しかも100のダメージまで受けたしい。

「最後にモンスターをセットしてターンエンドよ」

絶対に執念深き老魔術師だあ！  
絶対にそうだ！

「私のターン……ドロー！  
強欲な壺を発動し、デッキから更に2枚ドローします！」

……あ、このカードってアレだよね？  
うーんと、えーっと……つ、使っちゃお！

「魔法カード、天よりの宝札を発動します！  
自分の場と手札を全て除外し、手札が2枚になるようにドローします！

私の手札は0、よって2枚ドロー！」

「ちょ、ちょっと待ちなさい！  
天よりの宝札ってお互いの手札が6枚になるようにドローするカードでしょ！  
なんでそんな効果になってるのよ！」

「さあ？ 私にも分かりません  
でも、まだ終わってませんよ？  
手札から除外したネクロフェイスの効果発動！  
お互いのデッキの上からカードを5枚除外します！」

「ね、ネクロフェイスですって！？」

これで……ソウいえばドローしたカードって何かなあ？  
まだ見テなかったけど……ええ！？  
もしかして……私の勝ち？

「つ、続けマス

手札から魔法カード、カオス・エンドを発動  
自分のカードが7枚以上除外されている時  
場のモンスターを全て破壊します」

私の除外されているカードは9枚  
発動条件は満たしている。

「きゃあ！

でも、除外じゃないならネフティスはまた復活するわ！」

「その……異次元の女戦士を召喚  
ダイレクトアタック  
直接攻撃で私の勝ちで……すう」

「へ？

ちよちよ！　ちよっと待っきゃあああ！」

先輩に勝つって……なんだか悪い事をした気分  
何トなくごめんなさい。

「はぁ……私の負けか

しかもエンドフェイズに異次元からの生還者が戻ってきたし  
壁にされてたら……はぁ」

「えとお……ありがとうございました」

「んー？　気にしないで

私の負け、ちゃんと認めるわよ  
じゃあ貴女達の言う通りにするわ」

はあ、良カったあ

嫌がっテ言う事を聞かないなんテならなくて。

「放課後で良いのよね？」

だったら私は授業に出てくるわ

貴女も早く教室に戻りなさいよ？」

授業？

……ああ、今はお昼休みダっけ

忘れテた……教室に行こうつと。

視点 雪乃

「じゃあ始めましょうか、1年生？」

「私の名前は藤原雪乃よ

1年生なんて呼び方は止めてください、3年生先輩？」

「なら貴女も止めなさいよ！

私の名前は霧岡<sup>きりおか</sup>麻季<sup>まき</sup>よ！」

なんだか……少しキャラが被ってる気がするわ  
気が強い所とか。

「行くわよ、1年生！」

「自己紹介したんだから名前前で呼びなさいよ、3年生！」



「嫌よ！」

最後まで断るつもりなのね！  
時間の無駄だし、さっさと始めましょう！

「デュエル決闘！」

「先攻は私よ！ ドロー！」

ふふ、ツンドラの大蠍を守備表示で召喚するわ」

……はぁ？

通常の下級モンスターですって？

しかも昆虫族で低LVだし、何を考えてるの？

「ターンエンドよ」

どんなデッキなの？

通常モンスター軸のデッキ？

それとも昆虫族？

もしかしてまた別の……

「（ふふふ、悩みなさい

このモンスターは単なるブラフよ

みんなこれで騙されるんだから

私の本来のデッキに気付いた時には……ふふ）」

本当に何を考えてあんなカードを？  
もう、面倒ね！

「私のターン、ドロー！」

うーん……分からないのなら分かるようにすれば良いのよね？  
手札の確認、させて頂戴ね？

「魔法カード、アンティ勝負を発動するわ  
お互いのプレイヤーは手札を1枚公開する  
見せたモンスターのLVで勝負し、高い方は手札に戻る  
低い方はそのカードを捨て、1000ポイントのダメージを受ける  
モンスターじゃないカードはLV0扱いよ  
さあ、手札からカードを1枚選びなさい」

「（チツ、これじゃあせっかくの計画が台無しじゃない  
手札を捨てるのも嫌だし、それなりのカードを選ぶか）  
私のカードはLV6、デザート・ツイスターよ」

悪魔族……なるほど、混乱させる為のブラフモンスターね  
おかげさまで冷静な判断ができなかったわ  
もう平気だけど……ね？

「私のカードは可変機獣ガンナードラゴン、LV7よ  
残念ながら私の勝ち、デザート・ツイスターを捨てなさい  
そして1000ポイントのダメージを受けてもらうわ」

「別にこれぐらい平気よ」

それでも構わないわ  
手札の確認の為に使ったんですもの。

「魔法カード、名推理を発動」

相手はLVを宣言するわ

そして私は通常召喚が可能なモンスターが出るまでドロースる  
通常召喚可能なモンスターをドロースた時  
相手が宣言したLVで無ければ特殊召喚できる  
そして、それ以外のカードは全て墓地に送られるわ」

「ふん、そんなカードを使うだもの  
どうせ最上級モンスターばかりなんでしょ？  
だったらLV8よ」

「LV8で良いのね？  
本当にLV8で良いのよね？」

「う……や、やっぱり無し！  
LV7！ LV7にするわ！」

ふふ、助かるわ  
LV7のモンスターはそこまで多くないしね  
やっぱり堅守先輩の話術は為になるわ。

「1枚目、黄泉ガエル……LV1よ」

「んなぁ！」

「ふふふ、どっちもは・ず・れ  
黄泉ガエルを特殊召喚！」

本当は蛙なんて入れたく無かったんだけど  
入れた方が安定するって言われたら……ね？  
レイじゃなくて堅守先輩にだけど。

「まだ終わらないわ

モンスターゲートを発動！

自分の場のモンスター1体を生け贄に捧げ

さっきの名推理と同じ、通常召喚可能なモンスターが出るまでドロ  
ーするわ！」

さて、今度は何が出るかしらね

このゾクゾク感が堪らないのよ！

だからこのデッキは止められないわ！

「1枚目、メタル・リフレクト・スライム……罠カードだから墓地ね  
2枚目、ネフティスの鳳凰神……通常召喚可能なモンスターよ  
よって、ネフティスの鳳凰神を特殊召喚！」

「LV8のモンスター……

（伏せカードの1枚ぐらい出していけば良かったわ！

いくら大蠍で混乱を誘う為だったとはいえ……

まさか手札確認カードを使うとは思わなかったもの）」

「まだよ！

私は可変機獣ガンナードラゴンを妥協召喚！

このモンスターは生け贄無しで通常召喚ができるわ！

ただし、攻撃力と守備力は半分になってしまうけどね」

とはいえ、ツンドラの大蠍の守備力はたったの1000

攻撃力が半分になっても1400のガンナードラゴンの敵じゃない  
わ。

「ガンナードラゴンでツンドラの大蠍に攻撃！」

「クッ……やってくれるわね」

「ネフティスの鳳凰神で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

よし、これで2400ものダメージよ！  
これだけのダメージなら……

「今のは効いたわ……だけど、もっと相手の場を確認するべきだったわね」

「場を？」

貴女の場合にはカードは1枚も……1枚も無い？  
と言う事はまさか！」

「あら、知ってたの？ なら話は早いわ  
自分の場にカードが存在しない事により、冥府の使者ゴーズを特殊  
召喚！」

このモンスターは自分が相手によってダメージを受けた時、特殊召  
喚できる！

戦闘ダメージを受けた時の効果、それは自分が受けたダメージ分の  
攻撃力と守備力を持つ

冥府の使者カイエントークンを1体、特殊召喚する！」

攻撃力2700に2400……厄介な！

私の場にはネフティスの鳳凰神と攻撃力が半減したガンナードラゴ  
ンだけ

まあ、全く問題無いけどね。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

震えなさい、怯えなさい、恐怖なさい！

カイエントークンを生け贄に、冥界の魔王ハ・デスを召喚！

このモンスターの効果は……」

「罌カード、激流葬を発動」

モンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚された時

場の全てのモンスターを破壊するわ

## 更に罨カード、亜空間物質転送装置

自分の場のモンスターをエンドフェイズ時までゲームから除外する  
亜空間物質転送装置の効果により、場のガンナードラゴンを除外  
そして激流葬の効果が発動し、場の全てのモンスターを破壊するわ」

場の全てのモンスターが鉄砲水によって流され、破壊された  
しかし、ガンナードラゴンだけは破壊から免れて脱出  
破壊されたのはそれ以外のモンスター全てね。

「……え？」

え？  
な、何が起こったの！？」

くっ……無理、笑ってしまいそう

あんなに高らかに宣言して上級モンスターを召喚したのに  
効果の説明中に全滅するなんて……

駄目、笑う、でも駄目

も……もう無理！

「ふ、あつはははははははははは」

「わ、笑うなあ！  
笑うな1年生！」

「でも、だってつくつく……  
あんなに高らかに宣言した直後に破壊  
これを笑うなって……あははははは！」

「ううう……もう！」

魔法カード、死者蘇生を発動！

私の墓地からゴーズを特殊召喚するわ！

ゴーズで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

更にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

し、しかもネフティスの鳳凰神の効果知らないなんて……くつくく

確かに攻撃力はゴーズの方が高いし、強いけど……それに今のは効いたわ

これは、また笑いそう……でもこれ以上は本気で怒らせそうだから駄目よ。

「くくく……エンドフェイズ時

亜空間物質転送装置の効果によって除外されたガンナードラゴンが戻ってくるわ

ただし、攻撃力も守備力も元に戻って……ね」

「な、なんですって!？」

「このモンスターは除外される事で攻撃力が元に戻るのよ  
多分、ルール効果だけど永続効果みたいな扱いなんじゃない？  
そして私のターン、ドロロー！」

前のターンに破壊されたネフティスの鳳凰神の効果発動！

このモンスターがカード効果で破壊されたターンの次の自分のスタンバイフェイズ時

自身を墓地から特殊召喚する！

更に、この効果で特殊召喚された時、場の魔法、罠カードを全て破壊する！」

「大嵐効果！？

ああ！ 冥王の咆哮が！」

冥王の咆哮って……確か悪魔族モンスターが戦闘する時に発動する罠カード

ライフを100ポイント単位で払う事で戦闘を行うモンスターの攻撃力をダウンさせる

危なかったわ、もしネフティスの鳳凰神が居なければガンナードラゴンが返り討ちになってたふう、どうにかなって良かったわ。

「更に墓地の黄泉ガエルの効果を発動するわ  
自分の場に魔法、罠カードが無い時に墓地から特殊召喚！」

「ま、また蛙？」

「まだ終わらないわ！

魔法カード、モンスターゲートを発動！

黄泉ガエルを生け贄に捧げ、デッキから通常召喚可能なモンスターが出るまでドロー！

1枚目……大嵐、2枚目……名推理、3枚目……冥府の使者ゴーズ  
ゴーズは通常召喚可能なモンスター、よって特殊召喚！」



「そ、そこで普通ゴーズなんてドロ―する!?!?  
あんたおかしいんじゃないの!?!」

おかしいかしら?

バランスはともかく、ロマンが有って良いんじゃないか?  
って、堅守先輩も言ってくれたんだけど。

「まあ気にしないで3年生

ガンナードラゴンでゴーズに攻撃!」

「きゃあ!」

「さっき驚かせてくれたお返しよ!

冥府の使者ゴーズでプレイヤーに直接攻撃!」  
ダイレクトアタック

「べ、別に驚かせてなんてって……

ちょ! こっちに来ないでってきやー!」

女性を仮面を付けた男性が襲おうとしている図  
誤解を招きそうな言葉ね、それはそれで良いけど……

「私の勝ちよ、3年生」

「その呼び方は止めろって言ったでしょ1年生!」

「なら貴女も止めたら?」

「あんた……ねえ!」

なんだか私、この人とは相性が悪そうね

会話してて苛々してくるわ。

「それはともかく、私の勝ちだからちゃんと明日香先輩の指示に従ってちょうだい」

「クッ、分かってるわよ！

放課後に行けば良いんでしょ！

ったく……」

性格、悪いわねこの人

人の事が言えるほど、自分の性格が良いとは思ってないけど捻くれてるというか……もの凄い強気なだけには思えないのよねそれだったら扱いが簡単なんだけど……

「か、勘違いしないでよ

デュエル決闘に負けたからだからじゃないわ

あんたがどうしてもって言うから行ってあげるのよ

そこを勘違いしないでちょうだい」

なるほど、この人は負けず嫌いなのね

だから私と相性が悪いのか……

認めはする、だけど嫌だから別の理由を言う

それで相手に強引に認めさせる気ね。

「もう、授業が始まるわよ

貴女も教室に戻りなさい

私も授業だから戻るわ」

そう言って去って行く3年生……もとい、霧岡麻季  
私はどうしようかしら？

今後の指示も出されてないし、とりあえず授業に出ましょう。

彰子やゆまも戻ってるでしょうね

レイはどうかしら？

あの子……堅守先輩に怒られてるとか？

……羨ましい。

視点    レイ

「いいか！ お前の行動力は良い所だと俺は思う！

だがな、もう少し落ち着いて考える事もできるようになれ！

お前の行動力はお前の長所であり、短所でもある！

そもそもだな……」

うん、またなんだ、ごめんね

仏の顔もって言うし、許されるとは思ってなかった

でも瑞貴さんがボクの暴走を見た時

きつと言葉では言い表せられない……怒りを感じたんだと思う

疲れたり、色々と考えたりしてくれている頭でもその怒りを忘れない

そう思ってボクは……足の痺れと戦っている！

「こら小娘！ 人の話を聞け！

足が痺れようが、痛かろうが止めんぞ！」

小娘に逆戻り……泣きそう

というか、既に半分近く泣いてる

だけど瑞貴さん、全然許してくれない。

「会話中に飛び出して行くし  
俺の話を最後まで聞かないからだ  
話が終わった後に文句はいくらでも聞くがな  
妥協するかはともかく」

絶対に妥協しない、瑞貴さんは絶対にしない  
だけど、ちゃんと最後まで待ってから動けば良かった  
何回……同じ後悔をしてるのかな？

「あの、瑞貴さん」

「まだ暫くは小娘のままだ  
で、何だ？」

やっぱり小娘のままなんだ  
でも……後でちゃんと元に戻してくれるって分かっただけ良かった  
ずっと小娘かと思っちゃったし。

「授業……でなくていいの？」

「授業？」

……ああ、忘れてた  
行くぞ小娘、続きは部屋に帰ってからだ」

分かった……分かったよ？  
終わるなんて最初から期待してなかったし、思っただけ良かったよ  
は、ははは……はあ、疲れた。

って、立ち上がれない！

足が痺れて……あたたたたた。

「どうした小娘」

「あの……足が痺れて」

「ふーん……」

あ、なんか嫌な予感。

「うあうおあ！」

「なんて声出してるんだよ……」

足をちよつと突っついただけじゃないか」

そ、それが効いたんだって……

「うによえあ！」

「(……あ、これ楽しいな)」

「ひゆによえ！」

ちよ、瑞貴さん止めってちゆのえにやあ！」

「何語だ？」

そんなの知らないよ！

お願いだからもう止めてー！

……そんな願いも虚しく  
暫く、足の痺れが無くなるまでずっと突かれた  
瑞貴さんの意地悪……

### 93話【VS3年生 前編】（後書き）

ゆまが相変わらず読みにくい……  
作者も読みにくいです

視点にして更に難易度が上がりました  
もう……ゆまの視点は懲り懲りです。

田中奈津代？

TFに登場する女子生徒です

都合上、年齢が上になりました

使用デッキはネフロードです

ネフティスの鳳凰神とヴァンパイア・ロードを使うデッキだそうで

OCG効果の天よりの宝札！？

明日香は除外を使わないので

実験体2みたいな感じですね

まあ……殆ど渡す気は無いですけど。

霧岡麻季？

同じくTF女子の1人です

都合上、年齢が上がっています

使用デッキは普通の悪魔族ですね

ツンドラの大蠍はゲーム内でのツンデレだからネタらしいです  
今回はそれを利用してこんな事に……何気に策士となりました  
誰かこのカードにこんな解釈をした人が居るだろうか……

麻季の話し方が若干不自然じゃない？

ツンデレ……苦手なんです

なんという難易度……難し過ぎる！

レイの最初のもって何？

バーボンハウスとかいうネタを使ってみました

知った切欠はFE蒼炎の軌跡のしっこくハウスから知りました  
気になった人はご自分でどうぞ……

何を言うかを考える為の場所、ツイッター

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
何気に悩みます。



## 94話【VS3年生 後編】（前書き）

大体予想通りだと思います

口調が変な気もしますが……勘弁してください。

何を言おうとしていたのか忘れました

とりあえず、次回でまた白が動くでしょう

どうなる事やら……

次話は……というか、眠いのでまともに考えられません  
今日はちよつと早めに寝そうです。

## 94話【VS3年生 後編】

視点 彰子

3年生か……勝てるかな？

頑張ろう、負けても頑張ってお願ひすれば引き受けてくれるかもしれないし！

「じゃあ先輩、よろしくお願ひします

私は宇佐美彰子です」

「丁寧だね

私は吉澤由美だよ

それじゃ、始めようか」

「「決闘！」」  
デュエル

どんなデッキを使うのかな？

ゆまちゃんみたいに除外だったら楽だんだけど……

「先攻は私、ドロー！

カードを1枚伏せ、手札抹殺を発動！

お互いのプレイヤーは手札を全て捨て

捨てた枚数分だけドローする！」

っ！ いきなり手札抹殺！？

拙い……最初は不要だけど、ディノインフィニティが墓地に！

「うーん？ その顔だと、良いカードを墓地に送れたみたい  
残念でした、でもまだ私のターンは続いてるよ  
モンスターをセット、更にカードを2枚伏せてターンエンド！」

最初からかなり飛ばしてるなあ……  
なんだか強いというより、厄介って気がする  
どうやって戦おう……

「私のターン、ドロ  
ハイドロゲドンを召喚します  
そして守備モンスターに攻撃」

伏せられていたモンスターは……メタモルポット！？

「ふふふ、メタモルポットのリバーブス効果発動お！  
お互いの手札を全て捨て、手札が5枚になるようにドロする！」

手札の補充をされた上にデッキまで……  
もしかしてあの人、デッキ破壊を使うの！？

「だけど、ハイドロゲドンの効果発動！  
戦闘で相手モンスターを破壊した時  
デッキからハイドロゲドンを1体、特殊召喚します！」

「おお！ ちょっと拙い？」

「ハイドロゲドンで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

これでなんとか1600のダメージは与えられたけど……  
なんだか余裕そう、厄介な相手だなあ。

「魔法カード、化石調査を発動します

デッキからLV6以下の恐竜族モンスターを手札に加える事ができます

私が手札に加えるモンスターは暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスです」

「おっと、それはさせないよ！

カウンター罠、強烈なはたき落とし！

相手がカードを手札に加えた時、そのカード1枚をそのまま墓地に送る！」

手札破壊カード！？

もしかしてあの人のデッキ、私に手札を使わせないのが目的！？  
凄く危ない相手なんじゃ！

「おっと、そのまま続けててねえ

罠カード、ダストシュート！

相手の手札が4枚以上の時に発動可能

相手の手札を確認し、モンスターカードをデッキに戻す  
さあ、手札を見せてちょうだい」

また……

「そうだな……俊足のギラザウルスをデッキに戻して  
特殊召喚されると鬱陶しいし」

ディノインフィニティを戻さない？

もう切り札だって分かっていると思うんだけど……

「まだまだ！ 更に罠カード、マインドクラッシュ！

カード名を1つ宣言し、相手の手札にそのカードが有れば墓地に送る！

私が宣言するのは当然、ディノインフィニティ！」

手札が……手札がどんどん荒らされていく！

どうしよう、このままだと何もできなくなる！

「そのデッキのコンセプトはそのカードと恐竜族で分かったし切り札さえ墓地に送ってれば大丈夫でしょ」

「う……カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

でも、このカードだって知られている

どうしよう……もう何をするか知られてるし。

「（本当、去年の堅守君と遊城君の決闘を見ておいてよかったわ

デュエル

おかげで手札破壊にどんなカードが有るのか知れたもの

手札を破壊すれば相手を封殺できる……助かったわ）

私のターン、ドロー！

手札抹殺で墓地に送られた黄泉ガエルの効果発動！

自分の場に魔法、罠カードが0枚の時、墓地から特殊召喚できる！

黄泉ガエル、復活！」

……生け贄！？

「そして黄泉ガエルを生け贄にして  
ヘルジェネラル  
地獄將軍メフィストを召喚！」

上級モンスターで攻撃力1800？  
かなり低いけど……大丈夫なのかな？

「うーん……もしかして弱いと思ってる？」

「え？」

えっと……」

「まあ確かに攻撃力は低いけど  
ヘルジェネラル  
地獄將軍メフィストには効果が有ってね  
貫通効果、そして戦闘ダメージを与えた時に手札を1枚破壊する効果を持ってるの」

という事は……攻守1700以下のモンスターを出せば必ず手札が破壊される！？

「メフィストでハイドロゲドンに攻撃！  
戦闘ダメージを与えた事により、手札を1枚捨てなさい」

受けたダメージは200と低い  
だけど、それよりも手札が無さ過ぎる！  
もう0枚だもん、何もできない！

「カードを2枚伏せ、ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

「ドローは許さないわ！  
罠カード、はたき落とし！  
相手がドローしたカードをそのまま墓地に送る！」

「捨てられるぐらいだったら……速攻魔法、収縮を発動！」

場のモンスター1体の攻撃力を半分にする！  
メフィストの攻撃力を半分に！」

「あ……ちょ、ええ！？」

良かった、運が良かった  
速攻魔法だからタイミング的に使えるし  
それに相手のライフは……残り2400！

メフィストの攻撃力は900になってる  
そして私のデッキにはまだハイドロゲドンが残ってる！  
1600－900＝700、2400－700＝1700  
ダイレクトアタック  
直接攻撃が決まれば相手の残りライフは100！  
凄く惜しいけど、勝てそう！

「ハイドロゲドンでメフィストに攻撃！」

「きやあ！」

ちよっと、ちよっと待って！  
収縮なんて使うなんて！」

そんな事を言われても……  
その方がハイドロゲドンの効果を使えるし  
汎用性が高いから入れて損は無いって言われたから……

「えっと……ごめんなさい  
ハイドロゲドンの効果を発動します  
デッキからハイドロゲドン等特殊召喚  
ダイレクトアタック  
直接攻撃です！」

「わっわっわ、永続罨、リビングデッドの呼び声を発動！  
墓地のモンスター1体を特殊召喚する！」

「なら私も罨カード、大火葬を発動します！」

相手が墓地のカードを対象にした時、お互いの墓地のモンスターカードを全て除外します！」

これにより、対象を失ったリビングデッドの呼び声は不発です！」

「ああ！ 伏せられてると分かったのについ！  
って、来るなああっきゃああ！」

混乱してるのかな？

ハイドロゲドンの攻撃で吹っ飛んじゃったけど……大丈夫ですか？

「ターンエンドです！」

「くうう……やってくれたわね！」

私のターン、ドロー！ ううう……モンスターをセットしてターン  
エンドよ

（この守備モンスターは深淵の暗殺者<sup>ナイト・アサシン</sup>）

これで召喚されても、そのまま攻撃されても耐えられる！

……はず！」

残りライフは100、このまま押し切る！

「私のターン、ドロー！」

良かった、何も発動しない  
これで私の勝ち！



「強欲な壺を発動し、更に2枚ドロ！」

ライフを2000ポイント払い、魔法カード、次元融合を発動！

お互いに除外されているモンスターを可能な限り特殊召喚します！」

「お互い？　じゃあ私も召喚するわよ？」

黄泉ガエル、魂を削る死霊、地獄詩人ヘルポエマー、ヘルジェネラル地獄將軍メフ  
イスト

この4体を全て守備表示で特殊召喚するわ！」

もしかして……忘れてるのかな？

私の除外されているモンスター……

ディノインフィニティばかり印象に残ってると思うけど  
墓地の全てのモンスターが除外されてるんだよ？

「私が特殊召喚するのはディノインフィニティ2体と暗黒ドリケラ  
ダーク  
トプスです！」

除外されているモンスターは全部で6体

ディノインフィニティの攻撃力は6000 becoming.

「いくら攻撃力が高くても、私のモンスターは全て守備表示  
攻撃力がどんなに高くても私にダメージは無いわ！」

「いえ、私の勝ちです

ダーク暗黒ドリケラトプスはメフィストと同じく貫通効果を持っています  
だから守備表示でも関係有りません」

「……そっかあ、私の負けかあ  
よし、来なさい！」

なんだか気持ちいい人だなあ  
デッキは酷いけど。

「暗黒ドリケラトプスで<sup>ダーク</sup>地獄<sup>ヘルジェネラル</sup>將軍メフィストに攻撃！  
貫通効果により、その差700のダメージ  
これで、私の勝ちです！」

「はあ……強いね、貴女  
約束通り、手伝ってあげるけど  
その前に授業に出ないと……」

「え？ 授業ですか？」

今の時間は……ああ！  
もうすぐ授業が始まっちゃう！

「授業が終わった後に手伝ってあげるわ  
じゃ、私は先に行くから」

「あ、はい！  
ありがとうございました！」

「いいのいいの、また決闘<sup>デュエル</sup>しようね！」

絶対にご免です、もう手札が無い状況は嫌ですし  
はあ……もう手札破壊デッキとは戦いたく無い  
吉澤先輩には悪いけど、次に会ったら逃げようっと。

って、私も授業に行かないと！  
授業に関しては何も言われなかったし、行ってもいいよね？

……言われなかったって言い訳して聞いてくれるかな？

考えてても埒があかない、とりあえず授業に行こう  
だから堅守先輩、怒らないでくださいね？

視点 明日香

はあ……この先輩

さっきから白黒兄さんモノクロの事で妄想しっぱなし  
もう見てられないわ……

そんな事をしている間にも、決闘場デュエルフィールドに着いた  
これで先輩もおとなしくなってくれるわ。

「さて、始めましょうか

私は必ず勝ち、そして吹雪様のサインを……」

「いや、それはもういいから  
終わらないからさっさと始めて良いかしら？」

「生意気ね……私が相手をしてあげるんだから光栄に思いなさい！  
つと、その前に自己紹介ぐらいしておきましょうか

私の名前は海野幸子うみの ゆきこよ、覚えなくても良いわよ天上院！」

……面倒そうな性格ね

これで本当に覚えなかったら覚えなかったで絶対に文句を言うタイ  
プでしょうね

そして覚えていたら偉いとか何とか言ってた……疲れそう。

何でよりも余って、私の相手がこの人なのかしら？

不幸ね……誰かの嫌がらせかしら？

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は譲ってさしあげますわ」

ももえに近い話し方ね

どうでも良いけど、なんだか鬱陶しいわ。

「なら遠慮無く先攻は貰いますね

私のターン、ドロー！」

偶にはこっちも使いたいものね

今回は展開力よりも戦闘を重視してみたわ。

「フィールド魔法、六武院を発動するわ

六武衆と名の付くモンスターが召喚、特殊召喚される度に武士道カウンターを1つ乗せる

相手の場のモンスターは武士道カウンターの数×100ポイント、攻撃力がダウンする

私は六武衆一カモンを召喚し、カードを1枚伏せてターンエンドよ」

さあ、どんなデッキを使ってくるのかしら？

名前から予想が出来る気がするのは気のせいだと思いたい

そこまで単純じゃないでしょ。

「私のターン、ドロー」

ヒゲアンコウを守備表示で召喚するわ」

……本当に魚族だったのね  
海や魚が好きなのかしら？  
名前を繋げると海の幸だし……

「確か六武院の効果で攻撃力が下がってるのよね？」

「ええ、今は武士道カウンターが1つだから1000ポイントのダウンよ」

「なら攻撃力は負けるわね、守備表示だから関係無いけど  
カードを1枚伏せてターンエンドよ」

思ったよりも冷静ね

モノクロ  
白黒兄さんのサインを貰えると思って速攻を仕掛けてくると思った  
んだけど

ちよつと予想外よ。

「私のターン、ドロー」

真六武衆一カゲキを召喚し、効果発動

このモンスターが召喚に成功した時、手札からLV4以下の六武衆  
を特殊召喚する事ができるわ

私はこの効果により、六武衆の御霊代を特殊召喚！

続いて御霊代の効果、自身を自分の場の六武衆に装備カードとして  
装備させる事ができる！

私はこの効果により、カゲキに装備させるわ！」

これで攻撃力が500アップ

武士道カウンターは3つ、よって相手モンスターの攻撃力は300

ダウンするわ。

「カゲキの攻撃力は自分の場に自身以外の六武衆が存在する時  
攻撃力が1500アップするわ！ カゲキでヒゲアンコウに攻撃！」

攻撃力は合計で2200、余裕で撃破  
あの伏せカードは何かしら？

「装備カードとなっている御霊代の効果発動！  
装備モンスターが戦闘で相手モンスターを破壊した時  
デッキからカードを1枚ドロースする！  
ダイレクトアタック  
続いてカモンで直接攻撃！」

「クッ……やってくれるわね」

1500のダメージだからそこそこね  
ちょっと展開力を捨てたけど……失敗かしら？

「私は更に永続魔法、強者の苦痛を発動するわ  
相手モンスターの攻撃力はLV×100ポイントダウンする  
ターンエンドよ」

色々と考えたけど、展開力よりも弱体化にデッキを組んでみた  
だって……展開力が強すぎると余りにも一方的で……ね？

「また弱体化のカード……私のターン、ドロー！  
伏せていた永続罫、リビングデッドの呼び声を発動！  
墓地からヒゲアンコウを特殊召喚し、生け贄に捧げる！  
ヒゲアンコウは水属性の生け贄にする時、2体分の生け贄にできる  
わ！」

私が召喚するのは、LV7の超古深海王シーラカンスを召喚！」

攻撃力2800!?

でも、LV7だから攻撃力が700ダウンし

六武院の効果で更に300ダウン、よって攻撃力は1800ね。

「シーラカンスの効果発動！

手札を1枚捨て、デッキからLV4以下の魚族モンスターを可能な限り特殊召喚するわ！

オイスターマイスターを2体、オーシャンズ・オーパーを2体  
合計4体を守備表示で特殊召喚するわ！」

一気に壁モンスターが4体ですって!?

そんな理不尽な効果が有るなんて！

「ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃宣言ができず  
効果も無効化される、単なる木偶の坊よ  
カードを1枚伏せて、ターンエンド」

……確かに木偶の坊ね

しかも守備力が高いわけじゃないし  
ならそんなに怖くないわね。

「私のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！  
永続魔法、六武衆の結束を発動するわ！

六武衆の召喚に成功する度に武士道カウンターを1つ乗せる  
最大2つまで乗り、このカードを墓地に送る事でカウンターの数だけドローできる！」

「なら召喚させなければ良いのよ

罨カード、水霊術―「葵」を発動!

自分の場の水属性モンスターを生け贄に捧げる

相手の手札を確認し、手札を1枚捨ててもらうわ

私はオイスターマイスターを生け贄にする、さあ手札を見せなさい」

クッ……やってくれるわ

確かオイスターマイスターの効果は場から墓地に送られた時に発動する

自分の場に攻守0のトークンを出す効果

これは墓地で発動する効果だからシーラカンスの効果で無効化されない。

「そうね……そのニサシというモンスターを墓地に捨てなさい」

せっかくのモンスターを……

まあ良いわ、これぐらいならどうにでもなる

手札が減ったのは痛いけどね。

「そして、オイスターマイスターの効果発動

このモンスターが戦闘以外の方法で場から墓地に送られた時

オイスタートークンを特殊召喚するわ

この効果により、オイスタートークンを守備表示で特殊召喚!」

つまり、守備力の差以外でのコストを無視したようなものね

といっても、オイスターマイスターの守備力は200、あまり変わらないわ。

「魔法カード、戦士の生還を発動!

この効果により、今捨てられたニサシを手札に加え、召喚!

更に御霊代の装備を解除し、特殊召喚!」



これで六武院の武士道カウンターが2つ増えたわ  
シーラカンスの攻撃力は更に下がり、1600  
下級モンスターでも楽に勝てるほどに……

「更に六武衆の結束の効果を発動！

このカードを墓地に送り、乗っている武士道カウンターの数だけドロウする！

乗っている武士道カウンターは2つ、よって2枚ドロウ！」

ここでドロウしたのは……師範と書か

終わってたわね。

「六武衆の師範を特殊召喚するわ！

このモンスターは自分の場に六武衆が存在する時、特殊召喚できる！

そして永続魔法、一族の結束を発動！

この墓地のモンスターの種族が1種類だけの時

自分の場の同じ種族の攻撃力を800アップさせるわ！」

「あら、そんな事しても無駄じゃない？

貴女の墓地にモンスターは1枚も存在していないもの」

「試してみる？

御霊代でオイスタートークンに攻撃！」

「トークンを破壊されても、痛くも痒くもないわ」

随分余裕だけど……分かってるのかしら？

自分がどれだけ危険な状態なのか……

「続いてカゲキでオイスターマイスターに攻撃！  
ニサシでオーシャンズ・オーパーに攻撃するわ！」

「オーシャンズ・オーパーの効果発動！

このモンスターが戦闘で破壊された時  
デッキからサウザンド・アイズ・フィッシュか、マザー・ブレイン  
を手札に加える！

私はマザー・ブレインを手札に加えるわ！」

「まだよ！」

ニサシは自分の場に自身以外の六武衆が存在する時  
2回の攻撃ができる！」

「な！」

2回攻撃ですって！？」

「ニサシで2体目のオーシャンズ・オーパーに攻撃！」

「オーシャンズ・オーパーの効果発動！  
サウザンド・アイズ・フィッシュを手札に加えるわ！」

私の場にはまだ攻撃していない師範とカモンが残っている

シーラカンスの攻撃力は現在1600

師範で倒して500のダメージ、カモンの直接攻撃で1500

ダイレクトアタック

相手のライフは500残る……だからまだ余裕が有るんじゃない？

でも、そんな余裕はすぐに無くなるわよ！

「速攻魔法、六武ノ書を発動！」

自分の場の六武衆を2体を生け贄にして発動！

私はニサシと御霊代を生け贄に捧げるわ  
デッキから大將軍 紫炎を特殊召喚!」

「こ、攻撃力2500を特殊召喚ですって!?!」

「更に、忘れてるかもしれないから言っておくわ  
私の場には永続魔法、一族の結束が残ってる

生け贄にしたモンスターは戦士族、場のモンスターも戦士族  
つまり私のモンスターは全て、攻撃力が800アップするわ!」

「つまり……攻撃力3300、2900、2300の追撃?」

「ええ、まだ終わらないけどね

罨カード、六武衆推参!を発動!

墓地の六武衆を1体、特殊召喚するわ!

エンドフェイズ時に破壊されるけど……関係無いわね

ニサシを特殊召喚!」

しかも、六武院に武士道カウンターが乗る

これでシーラカンスの攻撃力は1500……弱すぎるわ。

「確かニサシは2回攻撃のモンスター……攻撃力が2200ですつ  
て?」

何よ……そんなに強いなんて反則じゃない!」

「反則と言われても困るわよ

実際に使えるんだもの、私は悪く無いわ

ニサシでシーラカンスに攻撃!」

「ああ! 私のシーラカンスが!」

「ニサシで追撃の直接攻撃！」  
ダイレクトアタック  
紫炎、師範、カモンも含めて直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ひ！ きゃあああああああああ」

8900のオーバーキル、多少展開力を抑えてもこれかもっと抑えるべきかしら？  
強化カードと、弱体化カードを増やして……

「反則よ……そんなの、反則よ」

だから、そんな事を言われても困るって言ったでしょ？  
そっちのシーラカンスもかなり反則だと思うけど？  
デッキからの大量召喚だもの、効果と攻撃ができなくても十分でしように。

「そう、貴女が反則をしたから私の勝ちよ！」

「意味が分からないわよ！  
どうしてそうなったの！？」

「だから、吹雪様のサインを私に寄こしなさい！」

「持っていないって言ったわよね！？  
そして話が繋がってないわ！  
更に言うとな私の声が聞こえてる！？」

そんなに負けるのが嫌だったのかしら？  
恐ろしいまでの負けず嫌い？

どうして私の相手はこんなばかり……

「私の話を聞いているのかしら？  
何度も言うわ、吹雪様のサインを」

「聞こえてるわよ！

そんなのは自分で直接本人に言ってちょうだい！  
それより、放課後の件を忘れないでよ！  
もうすぐ授業だから私は教室に戻るわ！」

「授業？

……仕方無いわね、後で覚えておきなさい」

逆恨みされてる！？

私、何も悪い事してないはずよね！  
何で私が悪い事になってるの！？

不幸よ……誰か代わって  
こんな事だったら前の3人の誰かとすれば良かったわ  
よりも余って最後の最後にこんな人を当てるなんて……

「では、ごきげんよう」

怒りながらも優雅に去って行く海野先輩  
どうやってるのよ、器用過ぎない？  
慣れてるのかしら？ それとも習慣？

はあ……モノクロ白黒兄さんも厄介な人を釣ったわね  
魚族の使い手だけに……寒いわね。

教室、戻ろつと  
疲れた……授業はもう寝るわ  
今はとにかく休みたい。

視点 レイ

「お・ま・え・は~~~~~!」  
何回言えば分かるんだ!  
この計算はこうだと言っているだろうが!

あ……ありのままに今起こった事を話すね  
瑞貴さんに教室に向かって連れられていたはずなのにいつの間にか  
寮に戻ってた  
な、何を言っているか分からないと思うけど、ボクも何でこうなっ  
てるのか分からない  
混乱した頭がどうにかなりそうで転けかけた  
勉強だとか、授業だとか、そんな可愛いものじゃ断じてない  
もっと恐ろしい……拷問のような勉強を味わっているよ。

「ほう？ 考え事か小娘  
余裕だな、なら5分以内にこの3問の問題を解け」

「ええ!? ボク、まだ11歳だよ!  
できれば数学じゃなくて算数を……」

「却下あ!  
お前の大嫌いな普通科授業をしてやってるんだ!

これも罰の1つだ！ 諦めて、おとなしく受けやがれ！」

わー！ っ！ やっぱりこんなオチー！

何度でも謝るから、だからもう普通の勉強は嫌ー！

「あ、1問解けなかったら1日抱き枕無しな  
3問全部解けなかったら3日、できない分だけ増えていくから  
安心して全問不正解で良いぞ」

「嫌！」

えっとえっと……一次方程式と二次方程式って何！？  
因数分解って何！？ これって絶対に数学だよー！」

「さっき教えただろうが！」

少しでも理解してたらできる問題なんだよ！  
分かったらさっさと解け！ 残り4分になってるぞ！」

「もうカウントされてる！？

せめてスタートの合図ぐらいしてよー！」

酷い！ これって絶対に勉強じゃなくて苛めだ！  
でも問題を解かないとー！

「その問題が終わったら次は理科な  
重力と物理計算、後は力学でもするか」

そう言われて一気に力が抜けた  
また計算……計算、意味が分かんないよ！

「……………残り2分っ」と

「もうそんなに!？」

わわわ……分かんない!」

せめて1問でも……できないってば!

「はい、時間切れ

えーっと、白紙、よって全問不正解

3日抱き枕無しっ」と

「そんなぁ……」

「次は理科だ

暫くは講習、そして今みたいに簡易テスト

次の授業な」

「理科以外にもするの!？」

というか瑞貴さん、学校に行かなくても良いの!？」

授業を受けるって万丈目先輩に言っただけで来たんじゃ!」

「徹夜と放課後までの今、どっちが良い?」

「生意気言っただけじゃない!」

今でお願いします!」

徹夜は嫌!

また拳骨で起こされるの、絶対に嫌!

正座での勉強だって辛いのに!

「……そら」



「によねらあ！」

し、痺れた足をまた突かれた！  
止めてって言ったのに！

「授業の時間を潰せると思って諦める小娘  
俺の楽しみとなって悲鳴を上げてろ、そら」

「みゆのる！」

「そら」

「にやめええ！」

って、もう止めてってぬもれらあ！」

「前回も思ってたんだが……何語だ？」

「知らなっすろお！」

……数分、そのままだった

そして再び勉強の時間……泣いて良いよね？  
もう、ゴールしていいよ……ね？

## 94話【VS3年生 後編】（後書き）

吉澤由美って？

TFキャラです、都合上3年生となります

使用デッキは地獄將軍メフィストをメインとしたハンデスデッキ  
ヘルジュネラル  
かなり鬱陶しい相手なようです。

瑞貴の影響が変な場所に！

まさかの影響でした

おかげで彰子が大ピンチに……

海野幸子って？

同じくTFキャラです、以下省略

使用デッキは魚族

カードの登場時期の関係上、かなり弱体化しています  
ぶっちゃけ……今回で最弱の人です

多分、この人が一番不憫な人。

幸子の話し方が……

作者には表現できませんでした

これは酷い……スルーしてくださいと助かります。

明日香のデッキの六武衆、どう変わってるの？

展開力よりも戦闘を重視してみました

六武衆の効果でカード除去は行えます

しかし基本能力が高くないので全体強化系、全体弱体化系

この2種類を使って一方的に殴り倒すデッキに近いです

ソリティアにならないようにした結果がこれです

……強いんだか弱いんだか、作者には分かりません。

レイの最初のって……

つい……またネタを入れてしまいました

内容はジョジョの奇妙な冒険より

ちなみに作者は「東方スィーツ！　く鬼畜姉妹と受難メイド」と

いう曲から知りました

聞く場合カオス曲にて注意、耐性の無い人は辛いかも

ちなみに作者はジョジョを殆ど知りません。

ツイッター、ツイッター

http://twitter.com/#!/ainkuria  
ツイッター？　ツイッター！

意味不明？　作者も意味不明です。

## 95話【吹雪の説得決闘】（前書き）

遅れました、しかも短いという……今回は酷いですね  
手が悴んで……動かないんです、手を温めながらもなんとか……  
作者の部屋に、暖房器具なんて無い！  
体は寒くないんですけどね……手だけが駄目です。

またTFキャラが出ます  
しかしまたも単発用です  
もう考えるのが面倒……新キャラは要りません。

次回は大丈夫だと思います  
手が動けばですけど……本当、それだけが問題です  
最大の敵は動かない手です。

## 95話【吹雪の説得決闘】

視点 瑞貴

もうすぐ放課後かな？

授業が終わる前に白黒モノクロに会わねば  
全てを押し付ける為。

「こら小娘、潰れてないで起きろ  
そろそろ出るぞ」

「あーうー……って、出る？  
どこかに行くの？」

「別に来なくても良いぞ  
困らないし」

「ううー……行く」

来るなら来るで構わんがな  
でも、お前のする事は無いぞ？

………

………

………

学校に着いた時、タイミング良く授業が終わった  
丁度良い、このまま3年生の教室に行くか

モノクロ  
白黒はどこかなつと……

「3年生の教室？  
吹雪さんに何か用なの？」

「まあな  
つと、見つけた」

どこかに行く前に捕まえられて良かった  
これで間に合わなかったら無駄足だったしな。

「ん？ 堅守君？  
どうしたんだい？」

「用が有ったから来た  
詳しくは歩きながらにしよう  
明日香も捕まえないとならないし」

「連絡すればいいだけなのに……」

良いんだよ、暇なんだから。

「そうそう、君に言われた通りにしたよ  
彼らの行動は早そうだし、十代君達は今頃ブルー寮に向かっている  
と思うよ」

なら良し  
あいつらを動かせば勝手にイベントが進むだろ  
主人公だし、面倒事を押し付ける良い生け贄だ。

「本当に十代さんに押し付けたんだ……」

「お前らに何か有るよりはマシだ  
それにあいづらなら大丈夫だろ」

根拠は無いがな。

「（それって信用してるからなのかな？  
嫌いって言うってても、やっぱり友達？）」

「（嫌っていても彼らの事を信用してる？  
堅守君の考えは本当によく分からないなあ）」

そんな会話をしている間に2年生の教室に  
明日香はまだ残ってるか……やっぱり居ないか  
仕方無い、連絡するか。

「……………ん、明日香か  
今どこに居る？」

『今は1年生の教室前よ  
雪乃達を捕まえにね  
それより瑞貴、どうして授業に出なかったの？  
心配したのよ？』

「悪かったな  
こっちも1年生の教室に向かう  
雪兎達を捕まえたらそのまま待機している」

『分かったわ』

通信を切り、1年生の教室に向かう  
近いからすぐだけどな。

「それにしても堅守君  
最初に僕を迎えに来たという事は  
僕に何か用事があるんだよね？」

「ああ、お前は人前でとか、大勢の前とかは平気か？」

「大丈夫だよ  
でなければ、アイドルになろうなんて言わないさ」

なら大丈夫か  
顔も良いし、何故かファンも居るし、目立つし  
こいつも生け贄には丁度良いな。

っと、本当に近いな  
もう1年生の教室に着いたぞ。

「早かったわね  
どこから来たの？」

「2年生の教室からだ  
この後の行動を説明しながら移動しよう  
時間の無駄だ」

そう言って歩き出す  
っと、レッドとイエロー、どっちだ？



「明日香、レッドとイエロー  
どっちの寮に集めた？」

「イエローよ

レッドだと遠いし、嫌がる人も多いから」

ならイエロー寮に向かうか  
さて、どれぐらい集まっている事やら。

.....

.....

.....

「それで最後に海野先輩がね  
逆恨みしながら帰って行くのよ  
もう、私にどうしろって言うの！」

「お前も面倒な相手と戦ったんだな  
これが終わったら休んでいいぞ」

「そうするわ、疲れた」

やっと明日香の愚痴が終わったか  
まあ決闘は勝ったみたいだから良いか  
運が悪かったな。

「そういえば全員、3年生と戦ったんだろ？  
内容の報告、嘘偽りなくな  
最初は1番に抜けた羽鳶からだ」

「私デすかあ？」

ネフティスの鳳凰神を何度も使ってくる人デしたあ  
激流葬に使われた時は焦りマしたけどお……」

ネフティスの鳳凰神か、なら相性が良かったな  
除外を主軸にしてるならそう簡単に負けないだろ。

「なんとかネクロフェイスを除外してカオス・エンドを決められマ  
したあ

最後は異次元の女戦士でトドメ、やっぱり3年生は強かったデすう」

勝ったか、相性が良いんだから当然だろ

これで負けてたら許さなかったな

上級生も倒せたんだし、200ポイントぐらい足してやるか  
相性が良かったから低めだけだな。

現在、羽鳶は100点

ようやくプラスになったな

まだまだ先は長そうだが……

「雪兎はどうだ？」

「当然、勝ったわよ

最初にツンドラの大蠍が出た時は焦ったわ  
どんな目的か全く分からなかったんだもの  
アンティ勝負で手札確認をして悪魔族って分かったけど」

予想攪乱の為のカードか

お前も厄介な相手と当たったな

そんなカードを使っても基本的にデッキが弱くなるが

相手を混乱させるには良い戦術だ。

「ゴーズやハ・デスが出た時は焦ったけど

激流葬で全滅させてやったわ

私のモンスターは逃がしたり、ネフティスの鳳凰神だったから平気だったけどね

あの瞬間の相手の顔、最高だったわよ」

ほう？ それは見たかったな

きつとエースモンスターを出したのに即死

啞然とした顔だったんだろ。

「最後は兎角だな

どうだった？」

「私の相手は凄く……強いというよりも厄介な先輩でした

手札破壊ばかりする人で……

はたき落としとか、強烈なはたき落としとか、ヘルジェネラル地獄將軍メフィストとか

ダストシュートにマインドクラッシュ、手札が5枚から2枚になった時は焦りました」

俺が似非に使ったようなデッキか

それは厄介だな……勝ったのか？ 負けたのか？

「大火葬から次元融合のコンボで勝てましたけどもう……あの人とは戦いたく無いです」

よくそのデッキ相手に勝てたな

俺が使った時は似非でもどうにもできなかったんだが

まあ、俺ほど極悪じゃなかったんだろ。

そんな事を話している内にイエロー寮付近まで来た  
既にそれなりのブルー生徒が来ている。

そこまで多くないが……大丈夫だろ  
噂や友人に話すとかでも効果は有るんだし。

「さて、いい加減に話すか  
白黒、お前の仕事だ」  
モノクロ

「なんだい？」

「あそこに居るブルー生徒全員の説得  
小娘からの情報の事は移動中に話しただろ？  
ブルー男子に関してだ」

「無茶言わないでくれ！」

……まあ普通はそう思うだろうな。

「お前なら大丈夫だ  
学園で人気が高く、性格もまあ良し、顔も良い  
存在が目立つ、声も良い、それにこの中で唯一の3年生  
更に年上で実力も高い……  
そんなお前の言う事を聞かない奴はそうは居ない」

事実だが、事実なだけだ  
それはそれ、という事で俺からの評価自体はそこまででも無い  
だから吹雪と呼ばずに白黒モノクロなんだがな。

「（吹雪さんの評価が凄く高くない！？  
え？ 吹雪さんってそんなに凄い人だったの！？）」

「（吹雪先輩、格好いいもんね  
1年生にはファンとか多いし  
私は……愉快な人って感じ  
本性を見たら……そんな印象だし）」

「（性格……良いのかなあ？  
変な人って感じだし、堅守先輩に借金してるみたいだし  
あんまり格好良くないかも）」

「（なんだか苛めたくなるって感じの人なのよね  
子供っぽいというか、そんな感じがするし  
本当に年上なのかしら？）」

「（裏の考えが読み取れるわね  
言っている事は本当だけど、それは本当なだけじゃない？  
瑞貴自身の評価は低そう……でなければ名前で呼んでるでしょうし）」

驚いたり悩んだりする女の子グループ  
ちなみに白黒自身は驚きだったらしい  
俺からの評価がそんなに驚くような事か？

「よし、分かったよ堅守君！  
君の期待に応えられるよう、頑張ろうではないか！」

「「「「（単純？）」「」「」」」

この程度の言葉で動くつてのは本当に楽だな  
純粋なんだか馬鹿なんだか単純なんだか……全部か  
俺が楽だからそのまま生きていてくれ。

「じゃ、頑張れよ」

「おうともさ！」

何語だよ、どこの言葉だ？

それはともかく、走って行く<sup>モノクロ</sup>白黒  
ここからは少し離れているが、何をしているのかぐらひは分かる  
まあ……声までは聞こえないがな。

少し勿体振りながら手を上げ、少し動きを止める  
何やら話しているみたいだが……  
女子達が少し動いたのか声を上げたように見える  
すると白黒<sup>モノクロ</sup>がポーズを取って決めた。

「おい明日香、あいつは何をしてるんだ？」

「……僕の指先に何が見える？」

女子達は揃って天と言うわ

<sup>モノクロ</sup>白黒兄さんは、んんんジョイン  
と言って天上院の名前で決めているの」

「……妹として、同じ名字を持つ者としてどう思う？」

「恥ずかしくて消えたい

天上院の家系として、最大の恥であり汚点よ汚物にしか思えないから消毒したいわ」

顔を真っ赤にしながら説明をする明日香  
白黒よ、お前は良い仕事をしたな  
明日香の赤面は久しぶりだ。

「吹雪先輩、本当に変わった人ですね」

「まるで子供ね」

「ユキノン、それはちょっと酷くない？」

「ユキノンは止めなさいって……もういいわ  
どうせ貴女に何を言っても無駄でしょうし」

雪兎は新たにユキノンの名を手に入れた  
ウサミンにユキノンねえ……羽鳶のネーミングセンスがちよつと分  
からん。

「ちなみに羽鳶  
自分自身とレイはどうなるんだ？」

「えっとね、私はユママン  
レイちゃんは……レイオン！」

「レイオン！？ それは嫌！  
そのまま名前呼びにして！」

「いいじゃん、レイオン」

「だから……」

「ね？ レイオン」

「……もういいよ、好きに呼んで」

「ありがとうー！」

レイオンにユママン……やっぱり羽鳶はよく分からん  
明日香だとアスリンで、モノクロ白黒だと……ブッキーとか？

俺は……ミズリン？ 自分で考えておいてだが、気持ち悪いぞ。

それはそうと、向こうでモノクロ白黒が説明中だな

女子はまともに聞いているように見えるが、男子が反発中だな  
どうせ、自分だったら電池達に勝てるとか言ってるんじゃないか？

あ、なんだか構え始めた

どうやら決闘で決着を付けるらしい  
女子達が騒いでるが……嬉しいのか？

まあ、憧れのモノクロ白黒の生決闘だからな  
喜ぶのも分からんでも無い

俺は当然、そこまで興味が無いがな。

「あれ、どうするの？」

「放っておけ」

勝ちさえすれば説得完了だろうし  
俺達はさっさと帰って休むでしょう



このままここに居ても、そこまで意味は無いだろ」

「ボクは見ておくね  
勉強になるかもしれないし」

「なら私も……」

「私は……うん、私も見るっ！」

「一応、私も見てようかしら  
どれぐらいの実力なのか気になるし」

まあ、1年生組には勉強になるか  
俺はさっさと帰るがな  
結果は分かってる、白黒モノクロの圧勝だ。

「明日香はどうする？  
結果が分かってるから俺は見ないが  
時間の無駄だしな」

「私も見ておくわ  
どんな状況か、彼女達にも説明しておきたいし  
これが終わったら私達はどうすればいい？」

「好きにしろ  
とりあえず、ブルー男子寮に近づかなかったら問題無いだろ  
白の制服を着た奴らは無視するぐらいだな」

「分かったわ」

俺は女子グループから離れ、部屋に戻る  
さて……似非達はどうなっただろうか？  
明日になれば分かるか。

情報は明日、学校で聞けばいいし  
似非自身は白に染まらないだろうから大丈夫だろ  
だって主人公だし。

さて、さっさと帰ってカードでも弄るか  
最近あまり弄ってないからな。

## 視点 吹雪

やっぱり素直に聞いてくれないよねえ……  
ま、これは予想してたしOK！

「さあ来るがいいさ！」

「あんたとは戦いたかったんだ！  
良い機会だし、相手になってもらうぜ！」

あ、そういう事だったんだね  
どうも反抗的な割にはあまり勢いが無かったからね  
こういう事かちょっと気になってたんだよ。

「俺の名前は瓶田武司<sup>かめた たけし</sup>！  
いくぜえ！　いくぜえ！　いくぜえ……！」

あ、暑苦しいな

こういうタイプは少し苦手なんだけど……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は俺が貰うぜ！ ドロー！

島亀を守備表示で召喚！

カードを2枚伏せて、ターンエンドだ！」

守備力2000の通常モンスターか

どんなデッキなんだろうか？

とりあえず、あの守備力の高さは厄介だね。

「僕のターン、ドロー！」

うーん……まだあの守備力は越えられないな  
仕方無い、準備をするとするか。

「僕はブリザード・ドラゴンを召喚するよ」

「おしゃー！ 引っかったな！

罨カード、落とし穴を発動！

攻撃力1000以上のモンスターが召喚された時  
そのモンスターを破壊するう！」

「い、いきなり落とし穴かい！？

いやあ……これには参った」

いや、本当に参った

どうしよう……

「仕方無い、カードを1枚伏せてターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

罠カード、強欲な瓶を発動！

デッキからカードを1枚ドローするぜ！」

強欲な瓶って……名前を掛けたギャグかい？

使っている島亀だって亀モンスターだし

それに落とし穴……亀を中心とした亀デッキか？

「<sup>ドンガメ</sup>首領亀を召喚するぜ！」

そして効果発動！ 召喚、反転召喚に成功した時

手札から<sup>ドンガメ</sup>首領亀を任意の枚数特殊召喚する！

俺は手札からもう1体、<sup>ドンガメ</sup>首領亀を出すぜ！」

うわぁ……攻撃力は低いけど、モンスターが3体  
合計攻撃力は3400、ちよつと拙いかなあ？

「島亀を攻撃表示に変更！  
<sup>ダイレクトアタック</sup>全モンスターで直接攻撃！」

「うおわぁ！」

ちよ、これは拙いぞ！

もう残りライフが600にまで減ってる！

このままだと……

「更にカードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

また落とし穴じゃないだろうね!?

なんだか面倒な相手だ、ファンデッキの強さじゃないよ  
ファンデッキでも勝てる、やっぱりブルーの生徒なんだね。

でも、僕だって負けられないよ

負けたら見ているであろう、堅守君に怒られる!

ファンの子達も見てるし、これ以上情けない姿は見せられない!

「僕のターン、ドロー!

黒竜の雛を召喚! 更に黒竜の雛の効果発動!

このモンスターを生け贄に捧げる事で手札から、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を特殊召喚できる!

出てこい、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜!」

「出てきたな、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜!

だけど、そんな事は予想済みさ!

罨カード、粘着落とし穴を発動するぜ!

相手がモンスターを召喚、反転召喚、特殊召喚した時に発動可能!  
そのモンスターが場に残っている限り、元々の攻撃力が半分になる  
!」

レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜の攻撃力が半分に……

これじゃあ島亀と相打ち程度じゃないか  
まあ、問題は無いんだけどね。

「更にレッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を生け贄にし、レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜を特殊召喚!」

「な、なに!」

更に生け贄にして特殊召喚だってえ!?

こんなの、予想外だぞ！」

いや、僕の事は多少は調べてきたんだろ？

だったらこのモンスターを使うのは知っていたはずじゃ……

もしかして、これ以上の進化は無いと思ったのかな？

まあ、確かに召喚時にしか使えない粘着落とし穴だから仕方無いんだけど。

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
「真紅眼の闇竜の攻撃力は

墓地に存在するドラゴン族の数×300ポイントアップする  
僕の墓地にはドラゴン族が3体、よって攻撃力は3300だ」

「こ、攻撃力が3300だって……さすが天上院吹雪だ」

僕ってそんなに有名なな？

まあ、目立つのような事はしてるけどね。

レッドアイズ・ダークネスドラゴンガメ  
「行くよ！ 真紅眼の闇竜で首領亀に攻撃！  
ダークネス・ギガ・フレイム！」

「うわあああ！」

2200のダメージだ

これでライフは大分縮んだね。

「僕はカードを1枚伏せ、これでターンエンドだよ」

「やるねえ、さすがだ！

俺のターン、ドロー！」

モンスター2体を守備表示に変更し、ターンエンドだ！」

僕の記憶に間違いが無ければ

亀モンスターでこの攻撃力を越えるモンスターは居ない  
落とし穴系はほぼ全て召喚時のカードだ。

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
これなら、真紅眼の闇竜がやられる心配は無いな  
遠慮無く攻めさせてもらおう！

「僕のターン、ドロー！」

永続罠、リビングデッドの呼び声を発動する！

この効果により、墓地から真紅眼の黒竜を特殊召喚！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜の攻撃力が3000にダウン  
だけど全く問題無いね。

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
「真紅眼の闇竜で島亀を

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜で首領亀を攻撃！

ダークネス・ギガ・フレイム！      ダーク・メガ・フレア！」

これで相手の場は全滅

伏せカードが1枚有るだけだ！

「僕はこれでターンエンド！」

「クッ……やっぱりつええ

だが、俺は勝てないと分かっているでも諦めないぜ！」

ブルーの生徒にしては、珍しく熱いタイプだね

本当、こんな生徒が多ければなあ……暑苦しくて辛いけど

それでも、エリート意識が強すぎる生徒が多いよりはマシだろう。

「俺のターン、ドロー！」

強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

よし、いくぞ！俺も伏せカード、リビングデッドの呼び声を発動！  
墓地から島亀を特殊召喚するぜ！

そして儀式魔法、亀の誓いを発動！

手札か場から合計LVが8以上になるように生け贄にする！

俺は場から島亀、そして手札からタートル・バードを生け贄にして  
合計LVは10！

降臨せよ、クラブ・タートル！」

……攻撃力2550の普通のモンスターだね

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

最初ならともかく、今は既に真紅眼の闇竜が居るしなあ  
これが勝てないと分かっていると云っていた理由か。

多分、このモンスターが彼のエースなんだろう

最高のファンデッキだったよ、君は強い

だけでもっと強くなれるはずだ、頑張れよ！

「クラブ・タートルで真紅眼の黒竜に攻撃！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

クッ、真紅眼の黒竜が破壊されたか  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

少し予想外だけど、これぐらいなら余裕だね

ダメージだって150、僕の残りライフは450だし。

うーん、周りの女の子達が悲鳴を上げてるなあ

あんまり心配掛けると悪いし、ここは華麗に復活してみせよう！

「罨カード、レッドアイズ・スピリッツを発動！」



このターンに破壊されたレッドアイズと名の付くモンスターを蘇生させる！

戻ってこい、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜！」

今度は嬉しい悲鳴だ、良かった良かった  
相手の彼も諦めたような顔になってるし、これで僕の負けはほぼ確  
実に無い。

「あーあ、俺の負けか  
ターンエンドだ」

「僕のターン、ドロー  
いくよ、瓶田君！レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜でクラブ・タートルに攻撃！  
ダークネス・ギガ・フレイム！」

「ぐううあああ！」

彼のライフは1800、攻撃力差は1450  
残りライフは350だね……次で終わるよ。

レッドアイズ・ブラックドラゴンダイレクトアタック  
「真紅眼の黒竜で直接攻撃！  
ダーク・メガ・フレア！」

「ぬわあああああ」

決まった……僕の勝ちだ！

そして明日香や堅守君達の方を見ると……あれえ？  
おーい！　なんでみんな、もう帰ろうとしてるんだい？  
というか、もう後ろを向いて歩き出してるし。

もしかして、僕の勝ちが決まった瞬間から帰ってた？  
しかもよく見れば堅守君が居ないし  
見てなかったなんて……そんなあ。

「いやあ……やっぱり強かった、天上院吹雪は！」

「あはは、ありがとう

君もファンデッキでよくあそこまで戦えたね」

「あ、やっぱり分かるか？

俺の名字は瓶が入ってるからさ

どうせなら亀にして、亀関係のカードを揃えたんだよ  
やっぱ、パワー不足だ！ ははははは！」

本当、気持ちいい性格だね。

観客も僕の実力を見て見直したって顔になってるし  
これなら説得は楽そうだね、頑張った甲斐が有ったよ。

さて、みんな帰っちゃったけど仕事はしないと

全員の説得、頑張ろう！

## 95話【吹雪の説得決闘】（後書き）

ゆまのポイントは分かったけど、雪乃と彰子は？

雪乃は現在－500点、彰子は800点です

やっぱり大きな差があります。

瓶田武司って？

TFのキャラです、その中で初の男子生徒

性格はちよつと適当、なんとなく熱そうに見えたので

使用デッキは亀と落とし穴シリーズ

何故かサッカーに関するカードも入っているようですが……スルーしました

サッカー部でしょうかね？

テニス部は一応存在するらしいですし、サッカー部が有っても不思議じゃないですね。

ツイッターは何故ツイッター？

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
どうでもいいですね。

## 96話【白と初決闘】（前書き）

動け動け動け動け動け、動いてくれよお！

という気分の作者です、手が痺んで動かないという……

指先が開いている手袋でも買おうか考えています。

白と初決闘デュエルです

相手は誰かって？ あいつですよあいつ

何故捨てなかったのか……後悔で一杯になってるでしょう

結果はこれです、まあまだマシですけど。

次回も指先が動かないでしょう

間に合うといいなあ……

暖房器具は嫌だし……熱いし暑いから無理です

機械に弱い作者は暖房で頭痛がします、エアコン系を使えません

ストーブは熱すぎます、微調整ができません

カーペットはほぼ無駄です、座椅子に座っているので

とまあ、我が儘一杯の作者でした。

## 96話【白と初決闘】

視点 瑞貴

ブルー生徒説得の翌日の事

俺の部屋に、馬鹿がやって来た

お前な……何がどうなってそうなたんだ？

「レイ君、私の部屋に引っ越ししません事？」

「い、い、嫌だ！

ももえさんの部屋に行くと、何をされるか分からないもん！」

「あーん、そんな事言わずにー

それに、レイ君の実力なら、必ず斎王様もお喜びになりますわ！」

「そんな人、ボク知らないよ！」

お前な……何洗脳されてんだよ！

なのに性格が変わってないこいつは何者なんだ！？

寧ろ、悪化してるし！

「ももえ……貴女、何が有って白くなったの？」

「何がって？」

万丈目さんに負けてしまいました

それで光の洗礼を浴びたのですわ！

私は目覚めたのです、光の結社として！」

「なるほど、それは凄いな  
ところでその2、光の結社の説明をしてくれないか？  
何も分らない場所に入れと言われても、レイだって納得できない  
だろ？」

「その2はいい加減に止めてほしいですわ  
名前で呼ぶつもりが無いのでしたら……白2とお呼びください  
それはそうと、確かに説明しておくべきですわね  
光の結社というのはですね……」

……アホか、こいつは  
嘘に決まってるだろ、情報を得る為に言ったただけだ  
レイを光の結社に入れるつもりなんて欠片も無い。

「斎王様の……更に光の使者で……世界を制する……」

とまあ、それなりに情報は集まった  
簡単に言えば、斎王の名の下に集まった馬鹿共か  
さすが洗脳、キツチリしてる。

光の使者……ねえ？

真っ白の世界にも興味は無いし、白だけってのもつまらないだろ  
世界は色が有るように見えるからこそ、人間は色に拘るんだ  
人間の目の構造上、色が見えない存在なんて一握り程度しか居ない  
だろ

障害者や、失明者ぐらいじゃないか？

他の生き物だって色で判断してるんだぞ  
虫はあまり見えないらしいが、動物は色でかなり判断できるとか

白だけじゃ、そいつらはどうなるんだ？

さしずめ、齋王の目的は洗濯だな

漂白剤を使って世界を白くしましようー……って  
その漂白剤が光の結社か。

しかし馬鹿だな、齋王ってのも

人間がどれだけ存在していると思ってるんだ？

この程度の小さな学園を征服して、世界が変わる訳が無いだろう。

そもそも、世の中のお偉いさんを馬鹿にしちゃいけない

戦争は終結しても、武器類は残ってるんだ

軍隊だって存在する。

面倒なのがこの島に存在して、原因と分かれれば

爆弾なりを使って、島を消滅させて、全滅させれば終わりだ

島を拠点にするだけでも不利だってのに……

島を拠点にして有利なのは攻められる数がある程度制限できる事ぐらいか？

島だから四方八方を囲まれるし、爆弾でぶっ飛ばしても被害は島だけだし

1箇所に集まってるから簡単に全滅させられるし。

例え、多少ばらけても大した問題じゃないな

本格的に狩るつもりになれば、白だの光だの言っている奴らを片っ端から殺すだけ

人間が多少減るだけで、世界が平和になるんだ

多数を取るといのが人間の基本思考

危険分子の少数派の人間なんぞ、全滅させられて終わりだ。

生き残っても、その後は良い人生を送れないだろう  
俺はどうでも良いが、洗脳されている奴は哀れだな。

「という訳ですわ

分かってくださりましたか？」

「ああ、分かった、よく分かった」

「「え？」」

「それでは堅守さん、レイ君を！」

「俺とお前は確実に敵同士だという事がな」

「……つまりレイ君は渡さない？」

「当たり前だ、誰が貴様のようなシヨタコンに渡すか  
そうでなくとも、レイを手放すつもりは無いぞ  
光の結社になんぞ、入れようとするつもりなんぞ欠片も無いわ」

俺の数少ない癒し要員だぞ、捨てるはずが無いだろ  
抱き枕にもなってるし、精神的に助かるんだ  
暴走癖が玉に瑕だが……まだ許容範囲内だ。

「（手放さないなんて……そんな  
そう言って貰えると、なんだか嬉しいな）」

「（どうせ、好きだからとかじゃないんでしょ  
抱き枕をする為の相手が減るとか、利用価値が有るとか



そんな事を考えてるんじゃないかしら？」

しかし、こいつはどうする？

どうせ帰らないそうだし、だからと言って無視しても邪魔だし  
デュエル  
決闘をしろとか言われても断るから帰す手段が少ないな  
レイを餌にしてという事も考えたが、さすがに拙いか。

「なら、私と……」

「却下だ、絶対に受けんぞ

当然ながら、この2人も駄目だ」

「む、決闘者<sup>デュエリスト</sup>だったら挑まれた決闘<sup>デュエル</sup>は受けるものですわ  
諦めて受けたらどうですか？」

「お前が光の結社じゃなければな」

「私に……光の結社を抜けろと仰るつもりですか？」

「言われないと分からないか？」

その通りだよ、お前が光の結社から抜ければいくらでも受けてやるよ  
1回でも、3回でも、5回でも……明日香がな」

「私!？」

そこは自分が受けるんじゃないの!？」

誰が受けるか、面倒そうだし

レイは負けたら何かの犠牲になりそうだからな  
お前が受ける以外、誰が受けるってんだ？

「……だったら私、光の結社を抜けますわ！」

だから明日香様、レイ君を賭けて私と決闘してくださいませ！」  
デュエル

早速抜ける宣言だと!?

レイの何がこいつをここまで熱くさせるんだ?

フェロモンでも出てるのか? ショタコンホイホイの……

それはそれで怖いぞ! 少なくとも、俺は男の娘に興味は無い!

ちなみに男の娘とは、男だけど女の子っぽいという意味だ。

「ちよっ! そこは普通、瑞貴に挑戦しない!?

大体、レイを賭けた勝負なんて、瑞貴が許可しないわよ!

レイ自身の意志も有るし、駄目に決まってるでしょ!」

うーん……そうだなあ。

「その2、本気で光の結社と縁を切るんだな?」

「ええ、愛の為に!」

うぜえ……

「しかし、お前は洗脳されている身だ

ちなみにお前の盟主は誰だ?」

「斎王様に決まってま……あ」

「そういう事だ、お前は洗脳されてるんだよ

分かっただろ? 抜けると言っても無理だ

本気で抜けたければ、洗脳を解いてから改めて来るんだな

それなら決闘デュエルを許可してやるよ」

許可するのは決闘だけだけどな  
デュエル  
賭けまで許可するつもりは無い  
勝手に勘違いでもしてろ。

「条件付きでも許可するの!?!」

「ええ!?!」

ボクって売られた!?!」

「問題無い、その2じゃ明日香には勝てない  
実力的にな……デッキ内容では運が悪いと負けそうだが」

「駄目じゃん!」

明日香さんが負けたらどうするのさ!  
ボク、ももえさんの部屋に放り込まれるの!?!」

「それは無いな

明日香が負けても、レイと俺にも勝たなければ当然駄目だ  
しかも全勝、3連勝が必要だ  
いくら何でも不可能だろ」

こいつに勝つには……そうだな

王宮のお触れ、サイコ・ショッカーで十分  
パワーは無いし、罨重視だから楽だ。

後は多少の魔法カードさえどうにかできれば……

まあ、白黒の使うお触れホルスが一番楽だろう  
モノクロ

やっぱりあのデッキはバランスが良いな……真紅眼の黒竜が無ければ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜が有るから上級モンスター率が高いんだよ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

それでも回す白黒<sup>モノクロ</sup>、やっぱりメインキャラという感じだ。

「うーん……どうすれば洗脳が解除できるのかしら？  
私、そんな知識は持ってませんわよ」

「諦めろ、その内解けるだろうし気にするな  
正気に戻ったら考えてやるからそれまで待て」

「はあ、分かりましたわ」

よし、これで先延ばしになったとはいえ安心できる  
こいつは今後、俺達と戦う事は無いだろう。

「そういえばももえ、ジュンコはどうしたの？」

「ジュンコさんなら十代さんの所に行ってますわ  
なんでも、万丈目さんから呼び出すように指示を出されたとか」

電池からの指示……つまりそういう事か。

「お前ら、揃って洗脳されたんだな  
情けない……電池は確かに強いが、それでも勝てよお前ら」

「うう、面目ございませんわ  
私達だって連戦ならさすがに勝てると思ったんですよ？  
なのに、私が負けてジュンコさんも負けて……」

光の結社のすばらしさを理解できても、愛までは救済してくれま  
せんでしたわ」

「ボク、絶対に光の結社に入らないからね」

「分かってますわ

下手な事をすれば堅守さんが怒りそうですし  
これ以上余計な事はしませんわ」

潔し、それなら良いんだ

あんまり面倒事を運んでくるなよ。

しかしこいつ、引き込めるか？

引き込められるんだったら引き込みたい

スパイになるし、助かる。

「その2、お前に質問が有る」

「何ですか？」

「光の結社から抜けて良いと考えているなら、俺に付く気は無いか？

多少なら融通してやってもいい

さっきの話に出てきた決闘<sup>デュエル</sup>、俺と戦わないという条件も付けよう」

「瑞貴さん！？ それってどういうつもりなの！？」

「……そうか、ももえをスパイとかに使うつもりね

できるだけ光の結社と接触を持たないようにする為に

相手の情報を得て、動きやすくする為に」

さすが明日香、俺の考えを理解している

本当、お前居ると楽で助かるよ。

「ま、そういう事だ

どうするその2、俺に付かないか？」

「……………条件がありますわ」

条件？　つまり考えても良いという事か  
どんな条件を言い出す事やら……

「私と決闘<sup>デュエル</sup>してくださいませ

嫌なのは承知の上、しかしせめて理由ぐらい欲しいですわ  
言い訳の1つぐらい私に言わせてくださいまし」

どうする？　受ければ確実に楽になる

しかし万が一負けた場合、洗脳されるのは明白  
断ればスパイをする為の人員が居なくなってしまう。

「……良いだろう」

「瑞貴！？」　「瑞貴さん！？」

「自分で言い出しておいて何ですけど  
本当に良いんですの？」

「ああ、確かにかなりのリスクだ、だがリターンは大きい  
修学旅行も近いし、行動ぐらい知っておきたいんだ  
もし動きが分からず、レイや明日香が攫われたとかになったら困る  
しな

情報が1と0では凄まじく大きな差だし」

まだ利用価値の有る人間を捨てる気は無い  
もっと役だってくれないと困るんだよ

レイも明日香も、大事な人員だ。

「（心配してくれてるんだよね？

嬉しいな……でも、どうして普通に心配だって言ってくれないのかな？

そう言ってくればもっと嬉しいのに）」

「（利用できるからかしら？

でも、少しぐらいは心配してくれると思うし

本音は透けて見えるのに、本心はなかなか見せてくれないわね

本心まで理解できるまでまだまだ先……か

結構付き合いは長くなってきたんだけど、なかなか見せてくれないのは悔しいわ）」

さて、さっさと準備するか

こいつを相手にして使うデッキは……何にするかな？

視点 明日香

瑞貴の嫌らしい顔を見たわ

絶対に、確実に、断言できるけどもえが嫌がるデッキね

例えばデス・ウォンバットとかでダメージを無効にしたりするようなきつとそんなデッキよ。

「瑞貴さん……大丈夫だよね？」

負けたら洗脳される危険な決闘デュエル

それでも瑞貴は使うわね、嫌がらせのデッキを  
でなければ瑞貴じゃないもの。

「大丈夫よ、きっと……」

負けたら笑ってやりましょう？  
遊んで負けたお馬鹿な瑞貴って  
きっと怒って正氣に戻るわよ」

「……うん」

そうは言うけど……心配なのは変わり無いわ  
いくら瑞貴でも、万が一の可能性は否定できない  
……大丈夫かしら？

「「決闘<sup>デュエル</sup>！」」

「先攻は私が貰いますわ、ドロー！  
素早いモモンガを守備表示で召喚しますわ  
カードを2枚伏せ、黒蛇病を発動！  
私のスタンバイフェイズ時、お互いに200ポイントのダメージを  
与えますわ

更にスタンバイフェイズ毎にそのダメージは倍になりますの！  
次のターンからは倍のダメージ、その次のターンには更に倍のダメ  
ージ……

ターンエンドですわ！」

ももえの十八番、黒蛇病ね  
でも素早いモモンガなんて珍しいわね  
あの子、バーン系やロック系ばかり使ってたし  
回復系なんて殆ど使わなかったもの。



「俺のターン、ドロー」

魔法カード、成金ゴブリンを発動する

俺はカードを1枚ドローし、相手は1000ポイントのライフを回復する」

そんな！

黒蛇病を使うももえに対して、ライフを回復させるですって！？  
どういうつもりなの！？

「更に燃える藻を召喚する

燃える藻で素早いモモンガに攻撃」

ちょ！ え！？

瑞貴が攻撃力500で攻撃するですって！？

確かに素早いモモンガの守備力は100よ  
でも、それでもそれは……

「素早いモモンガが戦闘で破壊された時

私のライフが1000回復しますわ！

更にデッキから素早いモモンガを裏側守備表示で特殊召喚します！」

ああ、しかも回復させて……何を考えてるのよ？

そんなのじゃ負けちゃうじゃない！

「俺はカードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！

この瞬間、黒蛇病の効果が発動しますわ

お互いに200ポイントのダメージを与える！」

「……………」

え？ 瑞貴が何もしないですって？  
ももえのデッキの内容を知ってるのに何もしない！？

「……何もしませんか？

え？ だ、ダメージを受けちゃいますわよ？」

「何もしない、さっさと進めろ」

「ええええ！！！」

あの堅守さんが素直にダメージを受ける！？  
どどどどどどど、こういう事なんですの！？」

わ、私も驚いたわ

あの瑞貴が素直にダメージを受けるなんて……

「えつと……こほん、つ、続けますわ

デス・ウォンバットを召喚！

更に素早いモモンガ2体を反転召喚！

バトル！ デス・ウォンバットで燃える藻に攻撃しますわ！」

瑞貴は伏せカードを発動せず、何もせずにただ攻撃された  
そして1100のダメージを受ける  
どうしたの瑞貴、貴方らしくないわよ！

「燃える藻の効果発動

このカードが墓地に送られた時  
相手はライフを1000回復する」

相手に有利になるモンスター!？  
どうしてそんなモンスターを使うの！

「……あ、あら？」

シモッチの副作用は使わないんですの？」

「ああ、必要無いからな」

「えっと……何が何やら  
態と負けるつもりなんですの？」

「馬鹿を言うな、俺は勝つ気だ  
このダメージは必要な事  
お前への回復もな」

意味が分からないわよ！  
それでどうやって勝つって言うの!？

「……何を考えてるかは知りませんが  
今は攻撃するチャンスなので攻めさせて貰いますわ！  
素早いモモンガ2体で堅守さんに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

これで瑞貴は更に2000ものダメージを受ける  
残りライフは700、本当に大丈夫なんでしょうね？  
負けるなんて許されないわよ！

「これでターンエンドですわ  
(何を考えてるか知りませんが、私には通用しませんの  
伏せている1枚は威嚇する咆哮、攻撃しようとすれば止めますわ

もう1枚はマジック・ジャマー、この2枚有れば何をしても大丈夫  
この決闘、私の勝ちですわ！<sup>デュエル</sup>」

「俺のターン、ドロー」

魔法カード、ソウルテイカーを発動

相手モンスター1体を破壊し、相手のライフを1000ポイント回復させる

俺が破壊するのは素早いモモンガだ」

な！　ここはデス・ウォンバットを破壊するべきでしょ！  
どうして素早いモモンガを破壊するの！？

「ターンエンド」

「「「な！？」」」

「ど、どういふつもりですよ！？」

モンスターを出さず、伏せカードも出さない！

した事は相手である私のライフを回復させただけ！

私を馬鹿にしてるんですの！」

誰がどう見ても、瑞貴は負けようとしているようにしか見えない  
何？　何を考えてるの？

どうして、どうしてそんなに負けようとしているの！？

「瑞貴さん、負けようとしてるのかな？

どうして……どうして動かないの？」

レイの言葉にも何も言えない

私も分からないし、レイの気持ちも分かる

どうしてよ瑞貴……どうしてなのよ！

「言ったはずだ、俺は勝つ気だと  
お前を馬鹿にしているつもりは無い  
寧ろ、このデッキはお前が相手じゃなければ殆ど機能しない  
大抵の相手はあまり……俺が求めるカードを使わないからな」

「どういう意味ですの……もう良いですわ  
そんなに負けたいのなら、本気で潰して差し上げますわ！  
私のターン、ドロー！ 黒蛇病の効果発動！

お互いに400ポイントのダメージを与えますわ！  
ただし、私の場にはデス・ウォンバットが存在する  
このモンスターが存在する限り、自分は効果ダメージを受けません  
！」

これで瑞貴のライフは300  
前のターンに伏せカードを使わなかったという事は攻撃反応型罠じ  
ゃない？  
とすれば瑞貴に勝ち目は無い！

「ふ、この瞬間を待っていたんだ」

「……どういう意味ですの？」

「ライフが2000以下、相手がダメージを与える魔法、罠、効果  
モンスターの効果を発動させた時  
この手札のモンスター1体を除いて全て捨てる……俺の手札は2枚  
なのでコストは払える

俺は手札を1枚捨て、インフェルニティ・ゼロを守備表示で特殊召  
喚！」

なんというか……青い土偶？

そんな感じのモンスターが出てきたわね

でも攻守が0、どうやって勝つつもりなのかしら？

「このモンスターは通常召喚できず、この方法でしか特殊召喚できない

態々ライフを削っていたのはこいつを出す為だ」

「で、でもそんな攻撃力も守備力も0のモンスターなんて怖くありませんわ！

デス・ウォンバットでインフェルニティ・ゼロに攻撃！」

デス・ウォンバットの体当たりが直撃した……あら？

「インフェルニティ・ゼロは手札が0枚の時、戦闘では破壊されない」

「クッ……ターンエンドですわ！」

「俺のターン、ドロー

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

手札を0にしないと破壊されてしまう

だけど、貴方のライフは残り300なのよ

ももえのターン、黒蛇病の効果で貴方のライフは……0！

「諦めましたの？

私のターン、ドロー！

黒蛇病の効果により、堅守さんに800のダメージを与えますわ！」

瑞貴のライフが……0になった

瑞貴が負けた？ 嘘でしょ？

1VS1で負けるなんて……

「……どうしたその2、早く続けろよ」

「何を言ってるんですの

もう堅守さんのライフは0、貴方の負けですわ」

「何を言っているんだその2

俺はライフが0になっても、負ける事は無い」

どういう意味？

「インフェルニティ・ゼロにはまだ効果が残っている

このモンスターが表側表示で存在する限り

俺にはライフが0になっても敗北するというルールが取り消される  
つまり、お前はこいつをどうにかして消さない限り、俺に勝つ手段  
は無いんだよ」

「な、な、な……なんですの、その反則モンスターは！

ずるですわ！ 絶対にずるですわ！

反則！ 卑怯ですわ！ ライフが0になっても負けないなんて！

そんなの酷すぎますわ！ せっかく堅守さんに1VS1で勝てたと  
思ったのに！

嫌喜びでしたわ！ さっきの喜びを返してくださいまし！」

……そうだったわね、瑞貴はこういうゲスだったわね

相手が喜ぶような事をして、最終的に叩き落とすって……

そういう屑のような人間だったわね。

改めて思うわ、瑞貴を敵に回してはならない  
絶対に敵にしたら駄目、心が折られそうになるもの。

「まあ、一応消す方法は有る  
こいつは俺がダメージを受ける度にデスカウンターを1つ乗せる  
デスカウンターが3つ以上乗った時、このモンスターは自壊する  
それでお前の勝ちだ、頑張ってダメージを3回……いや、残り2回  
与えるんだな」

「ほっ、それならそうと言ってくださいまし  
これで楽に倒せそうですわ」

「もっとも、このゲームにライフがマイナスという事はない  
俺がライフ回復をして、残りライフを1以上にすれば問題無いんだ  
がな」

でも、そのデッキではまだ瑞貴はライフ回復系カードは使っていない  
寧ろ、相手のライフを回復してばかりだし……

「とりあえず、私はモンスターをセットしてターンエンドですわ  
(私がセットしたのはポイズンマミーですわ  
リバーした時、相手に500ポイントのダメージを与えますの  
次のターンではまだ終わらないと思って油断していると……ふふ  
これで私の勝ちですわ!)」

「俺のターン、ドロー  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」



また伏せただけ

これで瑞貴の場には伏せカードが5枚にまでなってる  
どういうつもりなのかしら？

「(何もしない……掛かった!」

対策もしないなんてお馬鹿ですわ!」

私のターン、ドロー!

黒蛇病の効果により、1600ポイントのダメージですわ!」

「だが、ダメージを受けてもデスカウンターが増えるだけ  
俺のライフに影響は無い」

「だったら、そんなモンスターはさっさと退場を願います!」

まさかあのセットモンスター、リバーサイドダメージモンスター!?  
だったら瑞貴はこれで終わってしまう!

「くっくくく……ははははは!」

み、瑞貴?

「な、何がおかしいんですの?」

「これが笑わずにいられるか

お前な、俺が何ターン待ってやったと思ってるんだ?

俺はな……インフェルニティ・ゼロが出た瞬間から勝てたんだよ!」

「なんですって!?!」

どういう意味!?!

勝ってたですって!?

「お前の足掻きと余裕そうな顔を見ているのは楽しかったよだがこれで終わりだな……罠カード、ギフトカードを発動  
相手はライフを3000回復する」

って、相手を回復するですって?

それでどうやって勝つっていうのよ……

しかもアレって最初から伏せられていたカードだし。

「……大見得を切った割に、したのは私のライフを回復させたただけ  
本当にシモツチの副作用は使わないんですの?」

「ああ使わない

お前のライフを回復させ続けてきた理由はこれだからな  
罠カード発動! 自爆スイッチ!」

「「「自爆スイッチ!?!」」」

確かアレって……究極の引き分けカードじゃない!  
そんな事をしてどうするつもりなのよ!

「このカードは自分が相手よりも7000ポイント以上、低い時に  
発動可能  
お互いのライフを……0にする」

瑞貴の目の前に髑髏マークが描かれているスイッチが現れる  
瑞貴が押した瞬間に爆発するのかしら?

「……ふ、ふん

なんですか？ 勝つと言った割には引き分けのカードじゃないですか  
それじゃあ勝ちじゃありません事よ？」

確かにそうね

引き分けなんて滅多に無いし……  
珍しい事には変わり無いわ。

「お前、何か見落としてないか？」

俺の場をよー………確認してみろ」

「堅守さんの場？」

そんなの伏せカードが3枚にインフェルニティ・ゼロ……え？」

インフェルニティ・ゼロの効果って確か……まさか！

「そう、インフェルニティ・ゼロの効果을忘れてもらっては困るな  
こいつが存在している限り、俺にライフポイントでの敗北は無い！」

「でも、ダメージを受けたらデスカウンターが乗りますわ！」

それでデスカウンターは3個、自壊してやっぱり引き分けのはず！」

「違うな、自爆スイッチはライフを0にするだけの効果だ

ダメージじゃない、その証拠にお前の場に存在するデス・ウォンパ  
ット

そいつの効果でライフ0を回避できない、そいつの存在が良い証拠  
だ」

「あ……ああ……」

「それじゃあ、ポチッとな♪」

ど派手な音を立てて大爆発した……  
そしてももえのライフが0になる。

「は……はひい……耳が痛いですわあゝ  
それに頭もフラフラとおゝ……」

ももえが倒れる  
瑞貴の場にはインフェルニティ・ゼロが残っているので負けは無い  
となると……

「俺の勝ちだその2  
俺の命令、素直に従ってもらうからな」

「わあ、わあかありいまあしいたあわあゝ」

だ、大丈夫かしら？  
とりあえず洗脳はまだ解けてないように見えるけど  
勝てたから良いわね。

そういえば、これって引き分けになったらどうなるのかしら？  
白になるの？ それとも変わらない？  
気になるけど、調べる気にはなれないわね。

「じゃあその2、今後の連絡を待っているぞ  
もし何か動きが有る時は連絡を入れてくれ  
裏切ったりしたら……裸に剥いて海のだ真ん中で沈めてやる」

「わあ、わかり……ましたわ  
絶対に裏切ら……ないので止め……てくださいまし

ふう、ふう……もう、無理ですわ」

立ち上がりとしてたけど、氣力が無くなって再び倒れる  
大丈夫かしら？ 助けた方が良いわよね？

「アホが……ほら、さっさと起きろ！」

瑞貴がももえの腕を掴んで引っ張り起こす  
なんとももえは立ち上がる事ができた  
先を越されたわね。

「あ、ありがとうございますわ  
では私はこれで……」

「約束は守れよ  
じゃあな」

「転けないように気をつけなさいよももえ」

「えっと……ばいばいももえさん」

「はい！ レイ君の言葉だけで元氣になりましたわ！  
それじゃあ！」

それだけ言ってももえは去って行く……  
レイの言葉だけで元氣になるって……どういう事？

「瑞貴さん、最後のももえさんの言葉で悪寒が走ったんだけど……」

「気持ちとは分からんでも無いが……」

仕方無い、抱っこしてやるから来い」

「うん！」

瑞貴に抱きつくレイ

本当、瑞貴はレイに甘いんだから

悪寒が走ったのは気の毒だと思うけどね。

それにしても、ジュンコともえの光の結社入りか……昨日の事よね？

だとすれば十代と一緒にブルー男子寮に行ったのかしら？

それで……ジュンコの性格から考えてブルーの問題はブルーで解決するとか言った？

万丈目君に挑戦、ももえとジュンコの順番で戦って敗北か……

多分、ももえが負けて洗脳されたからジュンコが怒って挑戦したんでしょうね

でも負けてたら意味が無いわよ

相手は信者を増やそうとしてるんだから

ミイラ取りがミイラになってどうするんだか。

これからこの学園はどうなるのかしら？

まあ、瑞貴と一緒に居れば多分大丈夫でしょ

相手をどんな方法を使ってでも退却させそうだし

最悪……脅しでも使いそうなものね。

瑞貴は味方にはまだ……まだ！　優しい方だもの

あんまり頼ると嫌がりそうだけど、少しぐらいは許してちょうだい私だって友達が洗脳されて不安なのよ。

ジュンコ、ももえ

貴女達は必ず助けてみせるわ

だから少しだけ待っててちょうだい

助ける手段を絶対に見つけてみせるわ！

## 96話【白と初決闘】（後書き）

レイへの呼び方が元に戻ってるね  
罰の期間は終わったんでしょう  
抱き枕はしないと思いますが。

ももえって……まだレイを男だと思ってるの？  
微妙です、女だと言われて信じたくないだけかもしれません  
とりあえず男だと思いたいという感じでしょう。

自爆スイッチっていつから伏せられてたの？  
最初からです

残りの伏せカードは防御系の罠カード  
もしくは万が一の為のライフ回復カードでした。

原作、アニメオリジナルカード

インフェルニティ・ゼロ

このカードは通常召喚できない

自分のライフポイントが2000以下の場合

相手がダメージを与える魔法・罠・効果モンスターの効果を発動した時

このカード以外の手札をすべて捨てる事でのみ

このカードを手札から特殊召喚する事ができる

このカードが自分フィールド上に表側表示で存在する限り

自分はライフポイントが0でも敗北しない

自分の手札が0枚の場合、このカードは戦闘では破壊されない

自分がダメージを受ける度に、このカードにデスカウンターを1つ



置く

このカードにデスクカウンターが3つ以上乗っている場合、このカードを破壊する

掟破りのカードです

このカードはTF5で入っているそうです

アニメ効果はまた違うようですが……面倒なのでTF5での効果にしました。

ツイッターでも手が悴ん다고言っておく

<https://twitter.com/#!/ainkuria>

しかし、暖房器具は使わない、暑いから。

## 97話【斎王という男】（前書き）

頭が痛い……内容が思いつかないという意味で  
先を考え過ぎて今を考え忘れてました  
そして遅刻……はぁ。

殆どスルーして前書き終わり  
ちよつと眠いです。

次回はこんな事が無いと良いなあ……  
無理かな？ できるだけしますけど。

活動報告にアンケートをしたいと思います  
興味が有る人達は参加してくださいと助かります。

## 97話【斎王という男】

視点 瑞貴

ふむ……外が少し騒がしいな  
誰かがレッド寮の前で決闘デュエルでもしてるのか？  
ったく、誰が戦ってる事やら。

「外が煩いから少し様子を見てくる  
お前らはどうする？」

「私は遠慮しておくわ  
ほらマナ、あみだくじを作るのはいいけど  
もっとまともな形にきなさい、見づらいでしょ？」

「うううう……今度こそ、今度こそレイちゃんに勝つもん  
ジャンケンじゃなくて運勝負だったらいつかは勝てるはずだもん」

「あはは……ボクも残るね  
マナさんとの勝負だし」

それは良いけどさ……確かにレイの抱き枕禁止期間は終わったけど  
何度勝負してもマナはレイに勝てない  
既に何度かあみだくじで勝負をしてるが、未だ勝率0のマナだった。

我が部屋の女の子トリオは放っておき  
外に出てみると、ドンドンの1年坊に……斎王？  
確かにPCで見た顔に似てるな

という事は本当に斎王か？

「っ！」

斎王と思われる奴は俺を見たと思ったなら目を見開き、さっさと去って行く

気分の悪い奴だ、占いをするんだったが……俺の何かを覗いたのか？

「おい似非、あれは？」

「瑞貴か、あいつは斎王って奴だ  
なんか剣山と決闘したんだけどよ……」

「なるほど、1年坊が負けたか」

斎王が出てきたんだったら決闘デュエルを見ていれば良かったな  
まあ、内容はこいつらに訊けばいいか。

「1年坊って呼び方は止めるドン  
俺の名はティラノ剣山、ちゃんと名前で呼ぶザウルス  
それに、アニキの事を似非とはどういう意味だドン！」

前回会った時は殆どすっ飛ばしたからな  
ほぼ完全に無視してたし、会話に混ぜなかった  
だから今回はこんなに反発してくるのか。

「似非は似非で良いんだよ

お前は……白亜で良いだろ

恐竜だの煩そうだし、白亜紀という意味でも」

「俺の名前はティラノ剣山だって言ったザウルス！」

恐竜さんが生きていた時代の名前で呼ばれるのは嬉しいといえは嬉しいザウルスが

それでも、俺の名前は剣山だドン！」

「いやぁ……俺も名前で呼んでほしいな  
最初は名前で呼んでくれてたのによ……」

「だったら僕も……」

「煩いっての、俺は嫌いな相手の名前は呼ばん  
嫌なら会うな、来るな、近づくな、見せるな、寧ろ消滅でもしてく  
れたら助かる」

怯む似非達

そういえばそこに居るのは……

「確か……エド・フェニックスだったか？」

「あ、ああ……そうだ

僕はエド・フェニックス

お前は確か堅守瑞貴……だったな」

ほう？ 俺を知っているか

となると以前に睨んできたのは偶然とかじゃないか  
やっぱり、確実に俺を狙って睨んだんだな。

しかしアレだな、人の事を言えた義理じゃないが  
年上を相手に平気でお前と呼ぶか、しかもほぼ初対面の相手に  
いくら俺でも初対面ではさすがにお前呼ばわりは滅多にしないぞ

さすがプロのお坊ちゃま、見下すのがお上手なようで。

「決まり、お前は赤鳥あかどりと呼ぶ」

「何故だ!？」

「しかも赤だし鳥!？」

「フェニックスⅡ不死鳥Ⅱ炎を纏っているイメージ  
よって赤鳥、分かったか？」

「この程度の連想ゲームぐらいできるだろ？  
できないというなら、お前の想像力は貧弱だな」

「な……な……なあ？」

「なに？ 馬鹿にされた事が無いのか？  
まあエリート様なら当然かもしれんな。」

「まあ、それはそうと……まだ朝だったな  
そのパン、ドローパンか？  
だったら俺にもくれ、当然金は出すぞ」

「良いけどよ……何が入ってるか分からないぜ？」

「ドロー運だけが良いお前が選んだんだ、マシなのが入ってるだろ  
7個だ、金はこれで足りるはずだ」

「適当なパンを選び、持っていく  
金を渡され、困っている似非は無視する。」

「あれ？ 瑞貴、ちよっと多いぞ」

「小遣いだ、お前らの分が減ったからな  
後でまた買い直せ、1個や2個ぐらい多く買えるだろ」

「（いや、1個や2個どころか……5個は買えるぞ  
これは言った方が良いのか？ このままでも良いのか？  
どうすれば良いんだ？）」

足になってくれてありがとよ、楽できて助かる  
ご飯系の朝飯も良いが、偶にはパンも食いたい  
例え……ハズレが出る可能性が高いと分かっている。

はあ、普通のパンが食いたい  
しかし今回はどうにもならんしな、諦めるか  
ハズレが出たら嫌だから1個しか食わん  
当たると良いなあ……無理か、ハズレが出たら誰かに食わせよう。

白亜や赤鳥が正気に戻る前に部屋に入る  
部屋まではさすがに押し込んで来ないだろう  
次に会った時に煩そうだが……無視すればいいか。

「おい、女の子トリオ  
ドローパンだが食うか？」

「おかえり瑞貴、戴くわ  
だけど、外で何が有ったの？」

「おかえりなさい  
ボクも食べる」

「……おかえりなさい  
戴きますけど……うううう」

マナ、お前また負けたのか？  
その態度だと負けたみたいだが……

「外では決闘デュエルをしてたらしい、終わってたがな  
7個有る、俺は1個でお前らで2個ずつな  
今回は最後に余ったのを貰おうと思う  
お前らで先に選べ」

前回は最初だったから駄目だったんだ……多分  
今回は最後だから大丈夫のはず、余り物には福があるという事で  
甘いのが良いが……余るかなあ？

「誰からにする？」

「じゃあ最初はボクが選ぶね  
これと、これ！」

「……私はこれとこれにします」

「なら私はこれに……こっちにするわ」

お前ら選ぶの早いな  
最後に余ったのは何か……さてはて。

「私はレタスパンね、それなりに好きなので良かったわ」

「ボクはチキンパン」



普通に好きなのだったよ」

「チーズパンでした  
好きだからこれで機嫌を直します」

どうやらアタリが多いらしい  
俺はどうなる事やら……さて、何が出る！

「……ごほっ！ ごほっ！  
に、苦い！ これ、ゴーヤパンかよ！」

またハズレかよ！  
何だよこれ！ 何だよこれ！  
また俺だけハズレかよ！  
どんな運を持ってるんだよ！

「……そういえば瑞貴、苦いのも駄目だったわね  
交換する？ 私はゴーヤ大丈夫だし」

「頼む、やっぱり俺はドローパンでの運は全く無い  
くそ、どうせハズレな予感はしてたが、やっぱりハズレか！」

どうして俺はこう……ドローパンでの運は悲惨なんだ！  
意味が分からん！ 何故だ！

「（瑞貴さんと間接キス……  
自覚も無く、気付きもせずに自然にすることは  
羨ましい……）」

「（うわぁ、うわぁ……間接キスだぁ

でも明日香さん、気付いてるのかな？」

「（ゴーヤ美味しい……瑞貴はこれの何が嫌なのかしら？  
この苦みが良いのにな）」

はあ、いつまでも嘆いても仕方ないか  
あまり食いたくは無いが、次こそはマシなのが良いなあ……無理か  
な？

ちなみに、明日香の次はトマトパン  
レイは甘栗パン、マナはもりそばパン……もりそば？  
全員、好きな味だったらしい、また俺のたった1つがハズレかよ。

……………

……………

……

白亜が斎王と戦ったらしい、その翌日  
斎王がデュエル・アカデミアに転入してきた  
学年は3年、お前って17歳か18歳だったのか  
ちよっと老けて見えるが、まあまだ許容範囲内だな。

しかし、まさか転入してくると思わなかったな  
関わらなければ問題無いんだが……

「……………」

こうやって、斎王を睨んでる明日香が居るのが問題だな  
その1とその2が洗脳された事は思った以上に辛かったらしい  
この前は平然としていたが、あまり表に出さなかっただけか。

友達っていいねえ、俺はお前と友達のつもりは無いがな  
俺は雇い主、もしくは金を貸している存在

明日香は俺用の何でも屋、もしくは借金をしている存在  
俺の明日香への認識とはこの程度のものだ。

偶に、普通に女の子扱いするが……

まあその程度だ、基本的に扱き使ってもいい存在だし。

その1とその2は……やっぱり明日香の腰巾着程度だな  
しかし最近はあまりくつついてなかったな、どうしたんだ？  
その1は似非に、その2はレイに夢中なのは分かるが。

そういえば俺の友達って誰だ？

似非？ いや、アレは無い、絶対に

白黒？ モナクロ いや、アレも無い、絶対に

電池？ まだマシだが、やっぱり無い

水色？ 論外、思考に浮かんだ事自体が間違ってる

地底？ 興味も無い、論外よりはマシだが

地獄？ アレは敵だ

うーん……居ないか、問題は無いが少し寂しい。

俺が保護者になってるからレイは無い

兎角はレイの友達、俺からしてもその程度

羽鷲も同じ、兎角と同格

雪兎は……意識しそうになるが、やっぱりレイの友達扱い  
カミューラは別の意味で論外、俺の下僕だし

友達という扱いにはならないか、分かっていたけど。

ちなみにマナは完全に別扱い

アレは俺に憑いてるんだし、友達とかそういうのは無理だろ俺からすればあいつは抱き枕以上の扱いにはできそうに無い。

さて、この前はレイが暴走したが

今度は明日香が暴走するか？

もう嫌だ、簡単に暴走する奴は……

明日香には何度も言い聞かせるとして、白黒モノクロにも協力してもらうか暴走さえしなければ良い、不満や愚痴を聞くぐらいだったら安いものだ

頼むから……落ち着いておいてくれよ？

………

………

……

「何？ 修学旅行の行き先を斎王が決める？」

『そうなんですの』

斎王様が占いにより、行き場所を決めたとの事ですわどこかまではまだ宣言してなされていませんが………』

その2から連絡が来たんだが、ふむ……どこだ？

校長室を盗聴したが、クロノス臨時校長とナポレオン教頭が言い合っていた

内容は修学旅行先、イタリアかパリかだそうだ

どっちも嫌だつての……

俺は乗り物に弱いからな、できれば近い場所が良い船は辛い、まだ大丈夫……しかし飛行機は駄目だ！

何が言いたいかというと、近所にしろって事だよ！

「お前はどこだと思う？」

『見当も尽きませんわ

斎王様の崇高なお考えを、私程度では理解できませんもの』

相変わらずだな、斎王様斎王様と……

もうあいつは白板パイパンで良いよ

麻雀用語で白ハクの正式名称だ、何も書かれてない真っ白な牌運要素も大きく入るゲームだし、丁度良いだろ。

……いや、さすがに拙いか

仕方無い、白板しろいたで妥協しよう

それならまだマシだろうし。

「他に動きは？」

『この後、十代さんと我らが光の結社代表の1人が決闘デュエルしますわ  
十代さんの相手はプリンセス・ローズ、使うデッキは……知りませ  
んわ』

「おい、そこは知っておけよ」

プリンセス・ローズ……ねえ？

薔薇のお姫様か、植物族デッキの使い手か？

だが、この時代の植物族は貧弱だったはずだ。

確か5D'sのアニメでは主役の1人が植物族使いだったはず、誰かは忘れたが

ブラック・ローズ・ドラゴンが植物族に関する効果を持つてるしな  
そいつ以外で植物族を使う奴なんて居たか？

「どうしてそうなったんだ？」

『修学旅行の行き先を賭けた決闘デュエルですわ

校長室に私達が乗り込み、斎王様が占った場所を言おうとした時の事  
十代さんが乱入して、自分も行きたい場所が有るんだって  
修学旅行の行き先を決闘デュエルで決めるって言い出したんですわ』

なるほど、呆れて途中で止めたのは失敗だったかもしれないな  
多分、俺が盗聴を止めた直後辺りにでも白共が来たんだろ  
タイミングの悪い事だ。

『斎王様はまだ大きく動くつもりは無いようですわ  
なので、斎王様が直々に決闘デュエルの相手を決めましたの  
その相手というのが、先ほど話したプリンセス・ローズですわ』

いや、待て白板

お前は既に十分に大きく動いてるぞ  
もしかして自覚が無いのか？  
それとも自分の影響力が分からない馬鹿か？

それはもう良いか  
似非が戦うぐらいだ、負けはしないだろ  
観客として観る価値は無いな、時間の無駄だ。

「それが終わったら勝敗と決闘デュエルの内容を簡単に教えろ」

『観ないんですの？』

「ああ、時間の無駄だからな」

『（十代さんを信用している？

そうは見えませんが……では何故？）』

ちなみに今、部屋には俺だけだ

明日香とレイ、マナもだが電池の部屋で入浴中

……こう言うとなんだか嫌だな。

正確には、電池が居ない隙に部屋へ無断侵入したあげく

好き勝手に荒らし回り、風呂を誰にも言わずに無許可使用

その後は放置し、荒らしたまま戻ってくる

こんな感じか？

『ふう、分かりましたわ

終わったら連絡します、試合は明日ですので

それではおやすみなさい』

通信を切る

明日は暇だな、何をしようか……

そう思っていたら明日香とレイが戻ってきた

マナは部屋に入った時に実体化した。

「戻ったわよ」

「ただいまー」

「戻りましたー」

「はいはい、頭はちゃんと拭いたか？  
特にレイ、お前は拭き忘れとかが多いぞ」

「大丈夫よ、私が拭いたから」

なら良いか

暇だし、またカード販売でもしよう  
今回は何を売ろうかなあ……っと。

「そういえば瑞貴

少し前に白黒兄さんのブルー説得が有ったでしょ？  
どれぐらい効果が有ったか分かる？」

ブルー説得？ ああ、あの時のか  
効果は上々、って所かな？

「それなりに出ているぞ

どうにか情報を集めてるが、白ばかりじゃなくなってる  
所々ブルーが残ってるのは分かるだろ？

そうだな……最初に一気に持って行かれたというのが大きいが  
大体3割の男子がブルーのままという所だろう

女子の場合も多少白くされてるが、それでも白くなったのは2割程  
度だ

イエローも一部白くなってるらしいが、まだあまり食われてないら  
しくて精々1割  
レッドには手付かず、平和で助かるよ」

特に問題は無い状態だな

被害者が減ったであろう……：そう思わないとやってられん

まあ、白黒のアイドル効果は絶大だって事だ。



「彰子さん達……大丈夫かな？」

「さあな

この前3年生にも勝ってたからそう簡単に負けなと思うが  
あいつらにも、白とはできるだけ関わるなって言っておいてるし  
勝手に特攻したりはしないだろう」

絡まれたら即時、俺に連絡しろと言ってあるしな  
学園で怯えられている俺だ、関係者と知れば相手にしたくないだろう  
……少し悲しい気もするがな。

「だけど、どうして瑞貴には何もしないのかしら？  
私やレイにも、白黒兄さんモノクロにも全く動きが無いわ  
ももえは殆ど自分勝手に来たという感じだったし」

確かにそうだな

その2が少し向かってきたが、それはレイを目的にした行為  
俺達を白く染めるつもりで来たわけじゃない  
レイと一緒に居たいから、結果的に白に染めようとしたただけだ  
微妙に意味が異なっている……最終的には同じだがな。

「瑞貴さんの悪い噂が多いから警戒してるとか？」

「警戒かしら？」

単に怖いから相手にされてないだけだったりして」

「でも、彰子さんの話では中等部での瑞貴さんの評価って凄いなだよ  
酷すぎるという意味で

なんだかもう……デュエル・アカデミアの魔王みたいな感じで」

「……どれだけ酷いのよ

確かに色んな事をしてるけど、そこまで言うような事……かしら？」

「俺の方を向いて、俺に訊くな

確かに色んな事はしたが、あいつらが警戒するような事か？  
噂だけで怯えるなんて、どこまで根性無しなんだか」

しかし、来ないから楽をできるんだがな

もし来られたら……どうやって追い返そうか悩むな  
脅すか？ それとも何かを売るか？ 人質という意味でだが。

人質か……それ、良いな

もし複数人で来た場合、適当な奴を捕まえて人質にして脅すかなに、殺す気は無いが軽く皮膚を切りさえすれば血も流れる  
それを見て動揺すれば逃げるのはそこまで難しくない。

ま、する気は殆ど無いけどな  
万が一の場合はするだろうが。

さて、ん？

………そういえば今日だったな  
一時報告の日は。

「おい、お前ら

俺はまだする事が有るから先に寝てろ」

「えー、でも抱き枕あゝ」

「今回は我慢しろ

夜中にまでなるかもしれないんだ  
諦めて寝てろ」

「ぶう……はーい」

こういう所は本当に子供だな  
微笑ましい事だ、好意を向けられなければな  
さっさと見限ってくれないかねえ？  
嫌ではないが困る。

「何をするつもりなの？」

「お前には関係無い」

「……どうせそう言うと思ったわよ  
なら私達は先に寝るわね」

明日香は上のベッド、レイは俺の下のベッドで寝始める  
レイは俺が寝る時にでも抱き枕にしてやるか。

「おやすみ瑞貴」

「おやすみなさい」

「ああ」

さて……こいつらが寝付くまで待つか  
でなければ話が聞かれるからな。

視点 明日香

瑞貴が何かを企んでる

それは確実なんだけど、どうせ私達が寝るまで動かないでしょうね。

おとなしく寝るか、それとも寝たふりをして話を聞くか  
決まってるわね、後者よ

何をするのかぐらい教えてもらおうわ！

少し眠いけど、寝ずに我慢して約1時間  
ようやく瑞貴が動き出した。

「……よう、こんなに遅くなって悪かったな  
俺の部屋には他にも住んでる奴が居てな  
寝るまで待ってたんだ」

電話？ 誰と電話してるの？  
ゆっくりと起き上がり、下を覗いてみる。

瑞貴は椅子に座りながらPCと向き合っているわ  
こっちに意識を向いていないみたいね  
もし向いていたら既に気付かれていたと思う。

「はあ？ 恋人とかじゃないっての  
確かに女だが、俺はあいつらに好意なんて無い  
寧ろ時々邪魔に思ってるんだよ、くだらない事は言うな」

……え？

邪魔……私達が？

「まったく、それよりも情報は集められたんだろうな？  
つまらない情報だったら報酬は払わんぞ」

……今はいいわ

後で、後で問い質しましょう  
それよりも……情報に報酬ですって？

「ああ、ああ、そうだ

斎王琢磨で間違い無い」

斎王の情報！？

いつの間にそんな事を！？

「生まれつき、変わった能力を持っている？ その能力は？  
……予知能力だと！？」

予知能力ですって！？  
そんな能力を生まれつき持っているなんて！

「それで？ 妹が居る？  
しかもそいつも似たような能力を持ってるだと？  
となるとそいつらの過去は……やはり迫害か」

迫害……それが斎王の過去？

「それで、自分の運命を覆す為に動き出した？  
その結果で出会ったのがエド・フェニックス……か  
だが色々変な部分があるぞ、もっと詳しい過去の詳細が欲しい」

………

「過去の詳細はこれ以上は難しいだど？」

だったら更に金を積んでやる、多少強引な手段を使っても調べろ  
他に何か奴の情報は無いか？」

貴方、どれだけのお金を使ってるの？

そこまでして、斎王の何を警戒してるの？

「……ほう？ 妹の所在が分かってるだと

好都合だ、その妹の居場所を教えろ

そういえば妹の名前は何だ？ 斎王美寿知？

美寿知……美寿知ね、分かった」

斎王の妹の名前は美寿知か……

みずき瑞貴と美寿知、名前が似てるわね

どんな人なのかしら？

「年齢は……16歳？

まあ兄妹だからそんなもんか

容姿に性格はどうだ？」

ちよ、ちよっと瑞貴！

そんな所まで調べさせたの！？

プライバシーの侵害よ！ 今更だけど！

「黒髪の腰まで有りそうな長髪

切れ目の美人？ お前の評価なんて訊いてないんだよ！

身長はそれなりに高めで巫女服を好んで着る？ 祈禱師か何かか？

性格は……何？ 情報が少なすぎて調べられなかったけど？  
仕方無いか」

黒髪美人の巫女？

どんな人物なのかしら？

「居場所は……童実野町付近に有る山？

そんな場所に住んでるなんて……巫女じゃなくて仙人か？

まあそれはともかく、童実野町で間違い無いんだな？」

童実野町といえば……あの武藤遊戯が生まれ育った場所だったわね  
バトルシティ開催地であり、KC本社が有り、海馬ランドが有るわ  
……もう彼らと決闘するの嫌よ、強すぎるもの。

「ふむ……なるほどな

斎王に関して他に分かる事は有るか？

……そうか、今はまだ他に情報は無いかなら引き続き調査を頼む」

私に分かった事は少ない

斎王は未来予知の能力を持ち、過去に迫害されていた

彼には妹が居り、その名を斎王美寿知という美女……なんか腹立つわね

巫女服を着ていて、瑞貴曰く仙人や祈禱師に思える

住んでいる場所は童実野町付近の山だそうだけど……それは確かに仙人ね。

「さて……次の奴にも電話しないとな  
こいつはどれだけ調べられたかな？」

えええ！？　もしかして2箇所に依頼してたの！？  
お金は大丈夫なの！？

「……………ああ、俺だ

ほう？　過去に斎王の性格が一変した出来事が有った事が判明した？  
とある客がカードを持って来た……………だと？

……………カードだと？　ちよっと待て、それで斎王が変になったのか！  
？」

また三幻魔みたいなカードが出てきたの？  
はあ……………洗脳カードはもう懲り懲りよ。

「それで？　そのカードを持って来たのは誰か分かるか？  
……………プロ決闘者チャンピオンのDD！？」  
デュエリスト

プロのチャンプがそんなカードを！？  
どういう事なの！？

「詳しい理由とかは分かるか？  
……………そうか、さすがにそれは無理だったか  
まあ良い、これだけでも十分な情報だった  
引き続き調査を頼む、報酬は上乘せしておこう」

まだお金を出すの？  
そんなに出して大丈夫なの？

「プロのDDか……………こいつも調べておくか  
警戒する必要も有りそうだし  
さて、最後はつと……………」



ええ！ 3箇所に依頼してたの！？  
貴方、本当にどれだけのお金を使ったのよ！

「……ああ、俺ですよ

そっちの調査ではどうでした？

……さすが、やっぱり頼んで正解だったみたいです」

瑞貴が敬語を使うですって！？

どんな相手なのかしら？

「分かってます、ちゃんと渡すので安心してください

ええ、分かりました……データを送る？

それでも構いませんが……そうですか、では送信してください」

データ送信でか、なら分からないわね

どんな内容なのかしら？

「………へえ、それが光の結社と言い出した大本ですか

宇宙の光が原因……壮大過ぎますね

確かに非科学的、俺だって信じたくありませんよ

しかし、現実には洗脳されている人間が居るのですから仕方無いでしょう

もう少し詳しい資料が欲しいのですが？

……俺にそちらへ来いと？ データで送るには拙い書類が有る？

分かりました、できるだけ早く行くので少し待っていてください」

なんだか凄い事になってるみたいね

どんな人が相手なのかしら？

「ええ、ええ、ええ………分かりました

その時にでも持っていくので待っていてください  
本当に悪いとは思いますが……はあ、相変わらずですか  
ありがとうございます、海馬社長」

「かあ!？」

しまった!

驚きのせいでつい!

急いで布団に潜って隠れる。

「ん？」

「っ……」

「……………寝言か？」

あ、いえ何でもありません、気のせいだったようです  
では失礼します」

……………ばれてない？

「まったく、今のは明日香か？  
タイミングの悪い奴だな、寝てるんだったら静かにしてろ」

そう良いながら瑞貴が上がってきた!？  
ど、どうして上がってくるのよ!

「ふむ……」

顔を動かさず、呼吸を乱さず、動かないように気をつけて  
これだけすれば気付かないわよね? 大丈夫よね?

「つつつ!?!?!」

「くくく……偶にはこうやって突くのも良いな  
今日はちよつと反応が大きい気がするが……久しぶりだからそう見  
えるのか?」

ちよつ! ホッペを突くの止めてちようだい!  
反応が大きいのは当たり前よ! 起きてるんだから!

「……ふー」

うあああ……耳に息を吹きかけないでえ!  
ゾクゾクして変な気分になるからあ!

「相変わらず良い反応だ、楽しいなあ」

相変わらずって……それに今日はってさっき言ったわね  
という事は何度もこんな事してたの!?  
そりゃ貴方は楽しいでしょうね!

「うーん……」

え? ちょ!

な、何で頭を撫でるのよ!

「いやあ……こうして見ると可愛いもんだな」

か……可愛いって……

そういう事は起きている私に言ってよ

今は起きてるけど……

「和む……こういう時間は貴重だ」

……私ってどう思われてるのかしら？

「さて、明日香の寝顔も堪能したし、そろそろ寝るか」

瑞貴はそのまま下に降りる

……き、緊張したわ！

やっと一息つけたし……

もう、あんまりこんな事はしないでよね！

恥ずかしいし、緊張するし！

次したら起きてやろうかしら！

でも……また寝たふりをしてみようかしら？

## 97話【斎王という男】（後書き）

プリンセス・ローズって？

アニメの1発キャラです

何故かドレスを着て登場、ガエルデッキを使用します

妄想のお姫様という感じで……所で彼女、生徒なのかまた別の存在なのか

どっちなんでしょうね？

瑞貴、どれだけ金をつぎ込んだの？

……それなりの桁

とだけ言っておきます。

最後のって……

最近少ない気がしたので偶にはと……

完全に不意打ちですがね。

ツイッター＋ツイッター……なんだろう？

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
特に意味は無いですよ？

## 98話【修学旅行 前編】（前書き）

今回は珍しく瑞貴が頑張ります  
こんなキャラだっけ？

作者もちよつと違和感が……

長期休暇にしたかったネタがようやくできました！  
少し変わりましたが……まあ許容範囲内です。

活動報告にてアンケート実施中  
締め切りは100話投稿時です  
参加してくださいと助かります。

次回はかなりの難易度です  
どうしよう……まあどうにかします。

## 98話【修学旅行 前編】

視点 瑞貴

修学旅行先が童実野町だとは……好都合と言えば好都合だな  
美寿知の居場所は童実野町  
海馬社長にも会わねばならんな  
ご都合主義か？ なんだか嫌だなあ……

「童実野町だって、楽しみだね」

「そうね

（斎王の妹、美寿知の居る街  
となると……確実に何か起こるわね  
嫌な予感がするわ、油断しないようにしなければ）」

問題は時間が短いという点か  
修学旅行までの時間も、修学旅行の日数も  
どちらも短いので無駄な事はできない。

ただ……いくら有名な街とはいえなあ  
所詮はただの街だし？ 見る場所なんて殆ど無いだろ  
俺が行くのは精々KC社だけだし。

さて、色々とする事が多い  
すぐに終わると思うが……

根回しはそれなりに十分にしなければ

短い時間でも、少しでも動きやすくする為。

おっと、部屋の管理をカミューラに頼まないとな  
誰も入れないようにして、カミューラにも見張らせて  
長期間留守にするんだし、できるだけセキュリティを起動させて  
おくか。

.....

.....

.....

「瑞貴さん、大丈夫？」

「気持ち悪い……吐きたい気分だ  
気分だけで吐かないがな」

船に揺られる事数時間

童実野埠頭に到着したんだが

船酔いでダウンだ……これは予想範囲内だが  
それでもここまで酷くなるとは……想像以上だ。

埠頭に着き、少し休みたいが時間が無い  
仕方無い……多少無理をしてでも動くか。

「あーあーあー……」

それでは本日の予定を言うでアール」

拡張器を使って話すな教頭！

煩いんだよ！ もっと静かにしてくれ！



「すまないが教頭

私はこれから大事な用件が有る  
別行動とさせてもらおう」

ほう？ 白板しろいたは別行動か

何を企んでいるやら……

「そ、そうなのでアルか？」

「では失礼」

去って行く白達

しかし白板、お前は何故ブルーの制服なんだ？

白の総帥なんだったらお前も白の制服を着たらどうだ？

「教頭先生、俺も大事な用が有るので別行動をします」

「な、お前もでアルか？」

「え？ 瑞貴さん、別行動なの？

ボクも一緒に行って良い？」

「駄目だ、本当に大事な用なんだ

明日香や兎角達と一緒に居ろ、良いな？」

「……はあい」

素直でよろしい

駄々を捏ねたらどうしようかと悩んでいたからな  
楽で助かる……っと。

「ほら、無理しないの  
まだ船酔いが残ってるんでしょ？  
よろけてるじゃない」

「煩い、約束の時間まで時間が無いんだ  
多少無理をしても行かねばならん」

蹣跚めいた所を明日香に助けられた  
はぁ……この貧弱な体が恨めしい  
鍛える気は全く無いがな、疲れそうだし。

「もう……心配だから付きそうわよ  
このまま行かせて倒れられると困るのよ」

「要らん、タクシーでも捕まえる  
邪魔をするな」

邪魔と言った瞬間、明日香がやたら傷ついた顔になった  
俺……そんなに酷い事を言ったか？ 俺はどけと言っただけだし。

「……分かったわよ  
何か有ったら連絡してちょうだい  
できるだけ早く向かうわ」

要らねえよ、絶対に連絡してやらない  
連絡して、こっちに來られたら迷惑だ。

「じゃあな」

俺は全員から離れ、違う場所に向かう  
俺が向かう先は当然……KC社だ。

……

……

……

なんとか車を捕まえ、KC社に向かう  
今日のこの時間に行くと伝えているので問題は無い  
さて……どうしようかな？

社員さんに挨拶し、KC社に入っていく  
そしてそのまま社長室まで  
海馬社長も相変わらず物好きだな。

「来たか」

「こんにちは、海馬社長  
お約束のカードです、依頼金はこれで構いませんね？」

そう言って俺は社長にカードを渡す  
渡したカードはエクスプロード・ウィング・ドラゴン、元シンクロ  
モンスター  
必要な生け贄はドラゴン族を1体以上含む生け贄が必要、特殊召喚  
は召喚制限を満たした時だけ。

社長が喜びそうな攻撃的な効果を持つドラゴン族  
こいつにしようか悩んだが、まあ仕方無い  
知らないカードを渡すんだ、それだけでも喜ばれるだろう。

「……確かに受け取った  
ではこれが資料だ、覚えるがいい  
読み終わったら置いて帰れ」

「やはり持ち出しは許可しませんか……まあ読めるだけでも良しと  
します」

社長から資料を受け取り、中身を読む  
……これが破滅の光と呼ばれる存在の資料か  
なるほど、かなり面倒な事になりそうだな。

「覚えしました  
ご協力、感謝します」

「ふん、ならばまた新たなカードを俺に渡せ  
カードの内容により、再び協力してやろう」

「ありがとうございます」

面倒な事だ  
しかし、それでもKC社の協力を得られるのなら安い事  
光の結社や白板に比べたら遙かに楽だ。

「では、俺はこれで失礼します」

「待て」

「……まだ何か？」

呼び止められるような事をした記憶は無いんだがな

ただでさえ時間が無いんだぞ？  
早く終わらせてくれよ？

「貴様が来る直前、斎王が来た」

「斎王が……ですか？」

斎王が社長に用事だと？  
何が目的だ？

「奴は何か催し事を行うらしいな  
海馬ランドを貸し出せと言いに来た」

……なるほど

詳しい事は分らんが、それでも十分な情報だ  
どうせ社長の事だ、許可したんだろう。

ただ……どうせこの男の事だ  
目的は分かってる、巧いやり方だな。

「感謝します

それではこのカードを……」

新たな情報を売り、更にカードを強請るつもりだったんだろう？  
一応持ってきて良かった……  
持ってきてなかったらどうなっていた事やら。

俺が新たに渡したのはトライデント・ドラギオン  
ドラゴン族2体を生け贄にした時のみ、特殊召喚可能  
残りの効果は同じ、蘇生制限を満たしても蘇生できないのが特徴だ

な。

「確かに受け取った」

はぁ……相変わらずだな

やっぱりできるだけこの男と話したくない  
可能な限り、避けて通ろう。

「では、失礼します」

KC社から出て、海馬ランドに向かう

何かを起こすとすればおそらく明日

動き出すのは……十中八九美寿知だろう。

でなければ童実野町にした意味が無い

似非が選んだらしいが、どうせ白板も童実野町と言うつもりだった  
んだろう

だから似非との決闘<sup>デュエル</sup>を受け、相手になった。

勝っても似非が光の結社に入る

負けても、どうせ似非の宣言する場所ぐらい予想は付いていたんだ  
ろう

勝っても負けても損は無い……勝つに越した事は無いだろうがな。

ん？ 何か背中を突かれた？

しかし誰も居ない……となるとマナか。

俺は人気の無い場所に移動する

するとマナが現れた……どうかしたのか？

ちなみに現在、マナはワンピースを着用中  
こちらで実体化する可能性も考えてでの服装だ  
実体化する場所は限られるが、これで普通に歩けるだろ  
う。

「あの、実はこの街に結界が張られてて……」

「結界だと？」

つくづく……厄介事に巻き込まれる街だな  
何回巻き込まれたんだ？

「結界を張っているのは四帝

氷帝メビウス、地帝グランマーグ、雷帝ザボルグ、炎帝テストロス  
精霊が外に出られない結界を張ってます」

未来では邪帝ガイウス、光帝クライス、闇帝ディグル、風帝ライザ  
ーが存在するけどな

なるほど、初期の帝達の結界か  
精霊だけなら問題無いな、俺には無影響だ。

もしここで俺だけが結界の外に出て  
そしてマナを置いていった場合はどうなるんだ？  
こいつは迷子？ 憑かれるのも終わるからそれはそれで……

「（なんだか不安……精霊の事、嫌がっていたし  
もし私だけ置いて行かれて、結界に取り残されたら……）  
わ、私頑張りますから！  
力尽くで四帝を倒してでも、結界を壊しますから！」

もしかして悟られたか？  
チッ、実行しようか考えようと思った所なのに。

「しかし、お前の攻撃力じゃ四帝には勝てないだろ？  
お前の攻撃力は2000、四帝は2400  
秘術の書でも使ってやろうか？」

持ってきてないけどな  
魔法使い族に関係するようなカード  
そんなのは今回持ってきてないぞ。

「攻撃力が300上がったっても勝てませんよお……  
魔術の呪文書とか使ってくれませんか？」

専用装備カードを要求するとは……贅沢な奴め！  
どっちにしても持ってきてないけどな。

「最悪の場合は頼む事にする  
今は捨てておけ、修学旅行中はこの街から出ないしな」

修学旅行なんてどうでも良いけど  
さてっと……明日までどうしようかな。

とりあえず海馬ランドに向かっている  
近くにホテルの1つでも無いかな？  
……ん？ な、何だと！？

「あの……ちょ！  
どこに行くんですか！？」



マナが俺を止めるが無視

Wikiで見てから気になっていたんだ

この世界に來れて……まさかこの時代に有ると思わなかった。

俺は自動販売機の前に立つ

そして財布から1000円札を取り出す  
しかも3枚も。

そして購入……

俺が買ったのは3000円もする、ブルーアイズ・マウンテンとい  
うコーヒー

どんな味だ？   どんな味だ？   どんな味なんだ！

開封！   そして飲む！

………やっぱりコーヒーだったか

苦い、俺には飲めない！

「マナー、悪いけどこれ飲んでくれないか？

気になって買ったんだが、俺の口には合わなかった」

「え？   ええとお……はあ」

マナにコーヒーを渡す

そして再び同じブルーアイズ・マウンテンを買う

深い意味は無い、有るとすれば単純に欲しくなったからだ

中身は適当に処理して缶だけを保存しておこうなんて考えてないぞ！

「（苦いけど……美味しいかも

か、間接キスだから？

それとも単純にコーヒーが美味しいだけ？）」

買った買った、合計で5本も買ったな  
総計で15000だったが、安いものだ  
俺は飲まないが、問題無いな。

うーん……どこに行こうかな  
海馬ランドに居てもする事は無いし  
ホテルでも探して泊まるか。

っと、明日香達にも連絡しておくべきだな  
俺は別の場所に泊まるって  
マナは当然精霊化させる、宿泊費が安くなるからな。

「……………よう明日香」

『よう明日香……じゃないわよ！  
今どこに居るの！？  
心配してたんだから！』

「気にするな  
俺は用が有るので別の場所に泊まる  
レイの事はお前に任せる」

『ええ！？  
突然そんな事を言われても困るわよ！  
大体、レイはどこに泊まるの！？』

「レイの件は既に手回し済みだ  
女子達と同じホテルに泊められるようになってる  
部屋は強引に押し通してお前と同じ部屋だ」

『初耳よ！』

そういう事は先に言いなさい！』

「諦めろ

俺は泊まる場所が決まったらすぐに寝るぞ  
早朝からする事が有るのでな」

『もう！？』

まだお昼過ぎよ！

何をするつもりなのよ！』

「お前に言う必要は無い  
じゃあな」

通信を勝手に切り、電源も切る  
これで明日香達から連絡は来ない  
誰かと話す予定も無いので問題は無い。

なんとか近くのホテルを発見できた  
部屋はシングルの適当な部屋  
高い部屋は空いているから勧められたが、当然断る  
豪華な部屋に興味は無い。

部屋に入り、布団に潜る  
さて……寝るか！

視点 明日香

「ちょっと瑞貴！ 瑞貴！  
クッ……電源が切られてる！」

瑞貴の奴……何をするつもりなの！  
もし私達に何か有ったらどうするのよ！  
自分でどうにかするつもりだけど……

「瑞貴さん……どうしたの？」

「別の場所に泊まるらしいわよ  
まったく……自分勝手なんだから」

でも、何が目的なの？  
瑞貴の事だから相手に嫌がらせかしら？

瑞貴は自分から動く人物じゃない  
なのに何故自分からあんなに動くの？  
斎王の事も詳しく調べてたし、KC社にまで協力を頼んで……

瑞貴は斎王の洗脳を危険視しているのは分かってるわ  
だけど、瑞貴がそこまで態々動くような事？  
何を考えて居るの……

「それでボクの話が出たんだ  
ボクはどこに泊まれば良いの？」

「私の部屋らしいわ  
前もって仕込みはしていたみたいだから大丈夫よ」

「ほ……どこに泊まるか考え忘れてたから良かった  
もしレッドの人達と泊まる事になったらどうなるかと……」

レッドの扱いは悪いものね

もしかしたら野宿とかだったりして  
さすがにそれは無いか。

でも、何をしようかしら？

いくら童実野町といっても、普通の街ね

KC社や海馬ランドにでも行ってみようかしら？

って、どれも拙いわね

いくら自由行動になったとはいえ、勝手に遊園地に行くのは……  
それに、私には最大の、大きすぎる壁が有ったわ。

その壁とは……お金が無い！

遊園地に行っても、お金が無かったら遊べないわよ  
はぁ……本当、何をしようかしら？

## 視点 瑞貴

翌日の早朝

午前3時……正確には夜中だったな

時間は早いが、待ち伏せをするにはこれぐらいから動かないとな。

海馬ランドは当然ながらまだ開いておらず、誰も居ない

俺は海馬ランド開園まで時間を潰さなければならない。

.....

.....

.....

待つ事6時間、午前9時

開園の時間だが……暇だった。

何をしていたか？

マナを苛めてたぞ。

そういえば起きた時に聞いたんだが

どうやら街を覆っていた結界が無くなったらしい  
別にどっちでも良いんだがな。

まだかまだかと待っていると、白い車が来た

既に身を隠しているが、更に体を縮こまらせる

さて……誰が出てくるんだ？

海馬ランドの正面ゲートの前で車が止まる

出てきたのは黒髪の女性……そして巫女服だな  
確かに美人だ、どうしても良いけど。

そして海馬ランドに入っていく

車はそのまま去って行ったが……

さて、尾行開始っと。

と言っても、海馬ランド内を歩くだけだ

入って行ったのは……ヴァーチャルリアリティの施設か

なるほど、ヴァーチャル空間で似非達と遊ぼうってのか  
しかしどうやって誘き寄せるんだ？

美寿知が入って行き、暫くすると施設が閉まろうとしただど！？  
急いで入り、なんとか侵入に成功する。

さて、どうやら既になんか先まで進んでるみたいだな

美寿知の姿が見当たらない……となると既に施設の機械を使ってる？

そのまま進んでいくと、カプセルが数個

中に入っているのは水色に白垂じゃないか

まさかこいつら……攫われたのか？

しかし、似非の腰巾着のようにくつついてるこいつらだけをどうやって……

そんな事はどうでも良いか

問題は、俺はこれからどうするか……だな。

さすがに壊すのは拙すぎる

社長を敵に回すつもりは無いし

弁償するのは多分大丈夫だろうが……

こんな事で散財するのは遠慮したい。

こいつらに弁償できるとは思えないしな

助けてやった代わりに立て替えさせるというのも1つの手段

それで借金として明日香みたく扱うのも有りだが……

こいつらを使う気にはとてもじゃないけどならないな、扱い難そうだし。

俺は機械の専門知識を持ってない

壊さないように注意して触らないとなるべく、安全そうな物だけ触ろう。

……この画面は？

テレビのような画面だが……電源を付ける

すると、画面内に赤い車と黄色いバンダナを付けた恐竜が居た。

まさか……

『剣山君、ここどこなんだろうね？』

『分からないドン』

あの氷丸と雷丸は俺達を餌にしてアニキを呼び寄せるって言ってたしきつとその内、アニキが助けに来てくれるザウルス！』

『そうだね』

それまでの我慢だよね！』

『だけど、恐竜さんに進化できたドン  
まだ暫くはこのままが良いんだドン』

『剣山君！ 君がそんな事でどうするのさ！

もしアニキが来てもその調子だったら

剣山君なんてこのままこの世界に閉じ込められたままになってれば  
良いんだ！』

『さすがに一生は嫌だドン！』

……元気だな、お前ら  
本当に人質か？



さて、この中に美寿知は居るかな？  
えっと……お、見つけた。

しかし隠れてるな、データ上は存在しているが……  
どこからアクセスしてるんだ？  
これか？ これか？ これか？ これか？ こっちなな？

適当にボタンを押す

っと、発見！

ヴァーチャル空間の利用者の居場所だ。

反応が2つ有るのはこの部屋だろう

別の部屋に反応が1つと、更に別の部屋に4つか……

美寿知は1つの場所だろうな。

しかし4つの反応は何だ？

そんなのは後で良いか。

美寿知と思われる反応が有った部屋に向かう  
隣の部屋だけだな。

さて、ここにもカプセルは数個  
別に何個でも構わないんだがな。

中を見てみると……ビンゴだ  
美寿知を発見、しかしこいつをどうすれば良いんだ？

装置の設定……設定か

ふふふふ、良い事を思いついた

嫌がらせでもして、待たせられた怨みを晴らしてやろう  
当然、八つ当たりだと自覚しているがな。

お、使用者の名前が出てきた

kennzan、syoun……白亜と水色か

mizuti……美寿知だな

korimaru、iwamaru、ikazutimaru、  
honomaru

……こいつらの名前すげえ。

最後の4人が四帝を使ってたのか？

名前と数からして合っていると思うが……

それはそうと設定つと、へえ……こんな設定もできるのか  
さすがヴァーチャル空間ゲームだ。

って、何だこの設定は？

<sup>デュエル</sup>決闘後、プログラムの崩壊だど！？

それに、魂をプログラム化させる……

社長、お前の考えた装置は何だ？

お前ってオカルトとか信じてなかったよな？

そういえば思い出したんだが

BIG5とかいうKC社の重役がヴァーチャル空間に閉じ込められ  
たんだっとな

その応用かな？

何を考えて居るのかは知らんが……くくくく  
そんな設定、台無しにしてくれる！

お前の魂をプログラム化だと？

そんな楽しそうでつまらなそうな事、俺がしたいぐらいだ！  
魂をプログラム化し、更にネット世界を飛び回れるんだろ？  
どんな犯罪ができるのか……そう簡単にばれそうにないしな。

絶対にしないけどな、一生プログラム内でなんて暇そうだし  
それより、自殺に等しいような事なんてさせて堪るか！  
よって設定を全て書き変えてやる！

これはこの設定にして、こうして、こうして……

魂プログラム化の設定はどうするかな？

錯覚させるような形にしてやるか。

決闘後<sup>デュエル</sup>に、自動的にプログラムの崩壊が始まる設定だったな  
だったら崩壊に見せかけ、大きな地震と雷でも降らせるか  
その実態は書き変えて上書き、閃光にでも包ませて驚かせてやろう。

魂プログラム化の設定は……そうだな<sup>デュエル</sup>

決闘後の崩壊をしたら体を発光させるようにでも設定するか  
そうすれば誰も違和感を感じずに美寿知の言う通りに思えるだろう  
この発光は、魂をプログラム化させた現象だ……とな。

上書き後の設定もしなくては……

そうだな、美寿知とて女性だしな  
落ち着けると思われる美しい花畑の平原の場所に設定つと。

暫く平和に過ごさせるか

考える時間を与え、自分の身に起こった事を整理でもさせよう  
どうせ混乱してるだろうし、落ち着かせる為の時間でも有る。

落ち着き、冷静になったら俺が介入しよう  
問題は俺もヴァーチャル空間に入るか  
外からも話せるし、外から会話をするかだな。

安全面で言えば、当然ながら外からの会話だ  
しかし、それでは……

仕方無い、ヴァーチャル空間に入るか。

美寿知がこの花畑に来て、落ち着いたら入るか  
俺の目的達成の為に、こいつには生き残って貰わないと困るんで  
な。

美寿知は利用価値が高すぎる

白板の妹として、人質にもできる

いくら頭がおかしくなっている状態とはいえ  
妹を人質に取られれば多少は冷静になる……と思う。

それに、貴重な情報源でも有る

妹だから知っている事も多いはずだ

何か良い情報が得られると良いんだが……

例え知っている情報でも、確信が持てるようになるから無駄じゃない。  
いい。

未来予知の能力だって十分に役に立つ

得られて損する事は無い

俺は別に気にする事じゃないからな

迫害なんてさせないさ。

しかし……どうやって手に入れば良いんだ？

意識が無い体だけを手に入れても良いんだが……  
それでは人質にしかない  
情報や予知能力は得られない。

脅すにしても、自殺みたいなプログラムを選んだんだ  
そんな奴は基本的に死んでも目的を！  
という考えが多いので難しいだろう、厄介な事だ。

って、そういえば俺は美寿知の性格を知らないんだったな  
性格を知ってから手に入れる方法を考えよう  
今考えたところで、性格から無駄かもしれないしな。

っと、マナを忘れてた

こいつはどうすれば良いんだ？

精霊はさすがにヴァーチャル空間に入れないよな？

となると……見張りだな

俺がヴァーチャル空間に入っている間、見張らせておくか  
強制的にヴァーチャル空間から抜け出させる機能も当然有るだろうし  
先ずはそれを探して……お、発見。

これも設定して、こうして……

よし、これで簡単な操作でこの機能は使えるはずだ  
後はマナに説明して、使い方を教えてっと。

そうだ、タイミングも言わないとな  
どうしても成功しそうに無ければ、俺だけ脱出するか  
起きた瞬間、本当に自殺されても困るし。

最悪……無の世界にしてやるか

色も、音も、何も無い世界  
気が狂ってしまうような世界にな。

そこで差し伸べられる手  
誰が断るだろうか？

どんな条件であろうと、必ず受けるだろう。

しかしこれは本当に最後の最終手段だ  
それまでは頑張って説得する

どんな方法を使っても、嘘はできるだけ言わないで  
信じられなかったら俺に付かないだろうしな。

そしてマナを実体化させる

俺は暫くマナに機械の使い方を教えてやる

マナは混乱し、なかなか理解できなかったが問題無い。

要はタイミングと使い方を少しだけ覚えれば良いんだ

それに、もし誰か来た場合は問答無用で俺だけ脱出させるように言  
っておく

こいつを見られる訳にはいかないんでな。

そうこうしている内に、似非が入って来た

って、赤鳥も一緒か……何故だ？

まあそんな事はどうでも良い。

こいつらの目的は美寿知だろう

良い見せ物だ、楽しませてもらおうか。

って、何もしないのはつまらないな

どうせだ、デッキの順番とか弄ってやろう

お互いにギリギリの戦いになるようにっと。

使用カードは似非がE・HERO+ネオスデッキ

赤鳥はE・HERO+D-HERO混合デッキ……よく回せるな

美寿知が鏡を主体としたデッキか……良い趣味だ、俺もそういうのは好きだぞ。

ドロー順番に、似非だけでも性格を考慮して

赤鳥はどんな性格だろうか？

プライドが高そうだし、ここはこんな感じで良いかな？

美寿知のデッキは2つでタッグ専用に近いデッキだな

このカードはこれで、効果はこれだろ？

ギリギリの演出ってのは難しいな……

よし、設定完了！

この茶番劇を特等席で見させてもらおうかな  
踊れ踊れ、俺の手の上で踊るがいいさ！

お前らが苦戦し、奇跡を信じる

しかしそれは全て俺が仕組んだものだ

それを知らずに喜ぶ奴ら……楽しすぎる！

絶望したり、喜んだり

その姿は俺が作り出した幻想

自作自演とはいえ、楽しい劇になりそうだな。

## 98話【修学旅行 前編】（後書き）

作者のしたかったネタって？

ブルーアイズ・マウンテンです

これをしたかったんです！

海馬ランドに行って！

しかし行けなかったので今回に……まあ少しだけの小さなネタでした。

ブルーアイズ・マウンテンってこの時代に有るの？

さあ？

そもそもブルーアイズ・マウンテンって何？

5D'sでジャックが飲んでいたらしいコーヒース

詳しくはwiki内の青眼の白龍のページにて

値段は3000円、青眼の白龍並に高すぎるコーヒース

明日香達ってどうなったの？

半ば普通の修学旅行です

何にも巻き込まれてないので。

瑞貴は美寿知をどうしようとしてるの？

今回で書いた通りです

どうなるかは次回までのお楽しみ。

瑞貴が色々デッキの順番とか弄ったみたいだけどどんな内容になるの？

原作アニメの通りです。



ツイッターって何を言うべきでしょうね？

http://twitter.com/#!/ainkuria  
まあ、何も言う事は無いんですけど。

## 99話【修学旅行 後編】（前書き）

さあ来い！　今回はかなりのご都合主義だ！

まあ……思いつかなかったただけなんですけどね  
どうしてこうなった事やら

瑞貴の本音が所々ちらついてますが気のせいです、きっと気のせい  
です。

所々矛盾が有りそうで怖い……主にアニメの  
運命だの何だのと、ややこしくて困ります。

最近、毎日更新だから前書きで書くネタがなくなってきました  
まあ問題は無いんですけどね。

次回はとうとう100話

活動報告にてアンケートを実施中

本日中が締め切りです、参加してくださいさると助かります。

## 99話【修学旅行 後編】

視点 美寿知

……んう？

ここは……どこだ？

私は遊城十代、エド・フェニックスと決闘<sup>デュエル</sup>をして敗北  
そして私の魂はデジタル化し、プログラムとなったはず  
なのにここは……草原？

ここはデジタル世界の中なのか？

しかし、そうは思えない……先ほどまで居た場所とて殆ど内装を変  
えていなかった

となれば殆ど同じような場所になるはずだ

何故このような場所に……

何も分からず、私はこの世界を歩き回る

美しい花畑、広大な草原、眩しい太陽

ここは本当にヴァーチャル空間なのか？

すると、私の前に扉が現れた

入れば良いのだろうか？

分からない……しかし、何もしないという選択肢は無い。

扉を開けようと、ドアノブを回そうとした瞬間

扉は開かれ、男が入って来た

この男は何者なのだ？

「初めまして、俺の名前は堅守瑞貴  
斎王美寿知に間違いは無いな？

本人なのは分かっているが、一応な」

私を知っている？

この男はいったい……

「相違ない、私は斎王美寿知だ」

「なら話は早い

俺はお前が（持っている情報を得る為  
そして未来予知の能力も欲しいから  
そういう意味で）欲しい」

「なあ！？」

こ、これは……告白！？

そんな事を突然言われても……

「お前は俺に取って

（面倒事を回避する為に）絶対に必要な人間だ  
だから（白板を脅迫する為に）俺に付いてきてほしい」

なんと……そこまで私を必要としているのか？

しかし私には使命が有る

そう簡単にこの男に付いていくわけには……

「しかし突然言われても困るか（まだ多少混乱している時に言った  
しな）

後でまた来よう、返事はその時でも構わない（どんな返事でも必ず捕まえるがな）

嫌なら嫌と言ってくれても良い（強引に連れ出しても良いんだし）何度でも（力や情報を手に入れる為に）口説きに来よう」

私の為に待ってくれるのか？

そんなに私が必要なのか？

なのに、私の為に待ってくれるのか？

「ならまた後でな」

そう言って突然現れた男は居なくなる

堅守瑞貴だったか……何者なのだ？

占いたいのだが、さすがにヴァーチャル空間で占う事はできない  
そもそも占いの道具が無い

これでは、彼がどのような存在なのか分からない。

運命を見通す……未来を見通す能力として

このヴァーチャル空間では使う事は不可能

自分で考え続けるしか無い……か。

視点 瑞貴

さてと……美寿知への仕込みも完了

俺が考えた手段は簡単だ。

ただ、ストレートに要求を突きつける  
細かい事は何も言わず、理由も言わない  
後は勝手に向こうが何かを考えてくれるだろう。

例えば兄に携わる者なのか

それとも単純に自分の力を欲している者なのか  
情報を欲しがっているのか……という感じにな。

どんどん考えてくれよ

お前は考えた内容を俺に話せば良いんだ  
それに合わせ、話を組んでいくからよ。

兄に関係しているのかと問われれば、YESと答える  
知り合いが白板に何かをされた

妹が居ると知り、多少強引にだが会いに来た  
頼む、手伝ってくれ。

という感じの流れにするか

知り合いとはその2、治っても解放する気は無いがな  
白板の関係をどうにか言って、何とか手に入れる方向にしなければ  
ならない。

自分の力を欲していると問われた場合

YESと答える、昔の迫害の記憶から、何をされるかと思うだろう  
そこで俺は受け入れると言ってやる、どんな事が有っても……とな  
ああいう人間はそういう言葉に弱いのが定石だし。

その後は多少優しく接し

美寿知と美寿知以外の人間の対応を同じようにする  
これで俺は自分の力は欲していても、同じ人間に見てくれるとでも

思うだろう

依存される可能性も有るが、力を利用できると思えば安いものだ。

情報を欲しがっていると言われた場合も、当然YESと答えよう  
俺は既に白板が変になった理由を知っている

その情報を教え、白板を助けない

だから美寿知、お前の知っている事や力を貸してくれとでも言えば  
良い。

それで白板を正気に戻せばよし、恩を売れる

例え正気に戻せなくても問題は無いだろう

手伝いさえすれば、勝手に感謝してくれるはずだ。

どれにも当て嵌まらなくても、どうにでもなる

まあ、この3つぐらいしか無いとは思うがな

自分の情報と俺という存在だけしか考える為の材料は無いんだ  
他に何が出てくる事やら、出てこないとは思うがな。

問題は断られた場合だ

当然ながら、俺にはそんなに時間は無い

修学旅行という事を忘れてはならないんだ

別に全員と帰らず、遅れて帰っても良いんだがな。

……しまった、この世界では最大の問題が有ったな

それは決闘……それで決める場合だ。  
デュエル

俺に付いてくるかを決闘で決めると言われる可能性が有った  
それを忘れてたな……仕方無い、受けるしか無いか。  
デュエル

……素直に受けてやる気は無いがな

さあて、編集をしようかなって  
俺のデッキをデータ化し、そして設定。

ドロー順に、性格と使用方法を考えるって

結末は当然俺の勝ちだ、敗者は美寿知  
デュエル  
決闘の流れを決めておいて

そうだな……圧倒的ではつまらないし、良い勝負でもしよう。

圧倒的だと、あまり効果が響かないかもしれない

しかしギリギリからの逆転ならどうだろうか？

かなり驚き、印象が必ず変わるはずだ。

さて、細工細工って

どうしようかな？

このカードはこの順番にして……

暫く細工を続け、戦いの途中経過と結末が決まった

そろそろ三文芝居をしに行きますか

俺は嘘を言わない、隠したり言わない

それならば何か隠してると思われても、嘘だとは思われんだろう。

「マナ、俺は再び入って来る

後は任せるぞ」

「はい……」

（女の人を口説きに行く手伝いなんて……嫌だなあ）

元気が無いな、どうかしたか？

可能性としては……新しく女性が身近に増えそうだから嫉妬してる  
とか？



利用する為の事だぞ？ 嫉妬するな。

嫉妬心から少しでも何かをされると困る  
先に機嫌を直させるか  
このままだと怖くて行けん。

「俺の言った通り、上手く操作してくれよ？  
俺の指示をこなせるのはお前だけなんだからな」

「（私だけ？

私だけ……そっか、私だけなんだ）  
はい、わかりました！」

単純な……

しかし、好意を利用するのは良いんだが、馬鹿になられても困るな  
前から思っていたんだが、こいつには世間勉強をさせるべきだよな？

ヴァーチャル空間に入る準備をする  
準備が終わり、マナに動かすように手で軽く合図を送る  
マナはそれに了解し、起動させる。

意識が遠のく……気がする  
じっくりお話しようか、美寿知ちゃん？

視点 美寿知

あの男が去ってからどれぐらいの時間が経っただろうか？

殆ど花しかない草原、時間の感覚が分からない  
それでも、私は考え続ける。

冷静に考えて、さすがに初対面で告白は無いだろう  
いや、一目惚れという言葉も有るから可能性は否定できない  
もしそうだった場合、私はどうすれば良いのだ？

昔から敬遠され続けていたのだ、告白なんて初めて  
この力のせいで恋愛なんて諦めてたし、嬉しい事は嬉しいが  
それでも、私の力を知れば嫌がるだろう……

誰も受け入れてはくれないのだ、この力の前ではな  
誰かが気味悪がり、避けていく……  
私はこうなる運命だったのだろうか。

そんな私だ、受け入れる者など居ない  
十代やエドとて、私が自身の力を話した時に絶句しておった  
きっと気味悪がったに違い無い。

そんな事を考えている時、再び扉が現れた  
あの男だろうか？

私の予想は当たり、あの男……堅守瑞貴  
丁度落ち着いてきた所だ、狙ってきたのだろうか？

「返事を訊かせてほしい  
俺と共に来てくれるか？」

なんとも真っ直ぐな瞳だ……  
私が欲しいという気持ちに全く迷いが無い

何故、私をそこまで必要としてくれるのだ？

「教えてほしい……何故私が必要なんだ？」

男は黙る

私の言葉を促している？

「私は……私には人と違う力が有る

未来を見通す、予知の力だ

そんな力を持っている者など、気持ち悪いだろ？」

「アホか」

「え？」

今……私は何と言われたのだ？

アホか？　ば、馬鹿にされたのか？

「俺がそんな小さい事で敬遠するような馬鹿と同じにするな  
未来が見通せる？　予知の力？　俺が欲しいぐらいだ！」

自分が欲しい！？

いや、そんな言葉……どうせ迫害された事が無いからの言葉だ  
何も知らないから、そんな事が言えるのだ。

「まあ、持っていないものは仕方無い

その場合の人生なんて、想像もできん

だから欲しくても叶わない……くだらないIfの話だ」

それは……そうだがな

だからと言っても切り捨て過ぎではないか？  
もっと惜しむとか、そういうのは無いのか？

「それは置いといてだ  
敬遠する理由が……分かるが理解……できるが」

理由も分かるし理解できるのか  
なら何故私が欲しいと言ったのだ？

「しかしなあ……所詮は個人だろ？  
そんな力を持っていたても、未来を変えるか変えないかはお前次第だし  
未来を変える力が無ければ、お前も単なる女だ  
例え動いても、変えられるとは限らないしな」

確かにそうだが……

「未来が見える、それがどれ程大きな力なのか  
俺には分らん、持っていないのだから想像しかできない  
しかし、危険と言えば危険な能力だな」

「待て、危険と言えば危険だと？  
そなたは私の力が危険では無いと思っているのか！？」

「ああ、考えように依っては救いの力だろ？」

救い……だと？  
私の力が救いだと！？

「未来が見えるんだろ？  
例えば大地震が起こった時、避難勧告が出せる

信じない奴は仕方無いが……逃げる奴は逃げるだろう

それでどれだけの命が救われると思ってるんだ？

1人か？ 10人か？ それとも100人か？

もしかしたら更に多くの命が救われるかもしれないんだぞ？」

そんな事、考えた事も無かった

私の力を使えばそんな事も……

「俺がお偉いさんだったら寧ろ利用するがな、悪用とも言うが

未来を予知してもらい、結果がどうなるか教えてもらう

悪い結果ならば、その未来を変える為に手回しをする、取り消しても良いだろう

良い結果なら更に良くする為、努力してより良き未来へと

それが私欲か、他人の為かの違いは出てくるだろうがな」

私は今まで利用されず、避けられてきた

これも運命だと思っていたが……

なるほど、1つ掛け間違えればそうになっていたのか。

「まあ、俺からすればお前にそんな力は有っても無くても構わない有っても損は無いが、無くても困る事は無いだろう

(情報と人質だけでも助かるんだし

未来予知は多少不安定だろうと予想しているからな)」

そこまで言うておいてどちらでも良いだと？

という事はまさか……本当にこ、告白だったのか！？

し、しかし私には兄の守護をするという目的が有ってだなんて、それを言うてなかった！

断るにしても、それを言わねばならなかったか。

「その……そこまで受け入れてくれるのは嬉しいが  
私はこのまま魂をデジタル化し、兄の守護をしたい  
だからそなたの想いは……」

「斎王琢磨か……」

「知っておるのか!？」

何故この男が兄の事を!

「知っているのかって……この制服を見て分からないか?  
俺だってデュエル・アカデミアの生徒だぞ」

あ、確かに服装はデュエル・アカデミアの制服  
こんな簡単な事に気付かんとは……

「兄を守護する……か  
データ上でどうやって?」

「それは……兄を止める為に」

「……まあ良い

ならその兄が何をするかは知らん

しかし止めたいのなら手伝ってやってやる

(妹も力が強いし、手に入るんだったら多少の労力は惜しくない  
暫く白板の面倒事に巻き込まれるだろうが、先の事を考えたらな)」

「それは誠か!？」

あの兄を止める手伝いを

そんな事を言い出してくれるとは……

「俺にできる事だったらしよう

ただし、お前は自身をデジタル化しようとするのは止めてくれ

お前がそんな事をすれば、兄が正気に戻った時にどう思うだろうか  
少し想像してみるが良さ」

兄が正気に戻った時……

私が魂をデジタル化した事を知れば悲しむだろう  
自分の責任だと嘆くかもしれない。

そなたは兄を救い出そうとしてくれるのか？

更に兄だけではなく、私をも救ってくれるのか？

「初対面の相手は信じられないかな？

それでも構わないぞ

しかし、俺は何度でも言おう」

信じられない……それは否定しない

しかし縋りたいという気持ちは有る

例え可能性が低くとも、それでも！

「俺はお前（の力と情報）が欲しい

お前の心を（救えば恩を売れるだろうから）救う為なら（面倒だが）  
兄も助けよう

だから俺と共に来て（俺を楽にして）くれ、美寿知」

……ふ、ふふふふ

そうか……私をここまで必要としてくれるか

私も、兄も救ってくれると言うこの男  
最後まで足掻く事を忘れていた……そなたに感謝を。

「我が力、我が心はそなたと共に

私に大事な事を思い出させてくれたそなたに、心よりの感謝を」

「(……何を思いましたんだ？

まあ好都合だから良いけどさ)」

私は兄を守護するのでは無い

兄と止める為に足掻こう、少しでも運命に！

あの……破滅へと向かう運命を止める為！

「美寿知、ここから出よう

ここに居てもできる事は無いからな」

「そうだな

ところで、そなたの事はなんと呼べば良いのだ？」

「好きに呼べ」

「そうか、なら瑞貴と呼ぼう」

……そういえば瑞貴よ

先ほどの結局告白だったのか？

違うのか？ 私にはそれが疑問でならない。

だが、訊くのはさすがに……

このような経験が無いので恥ずかしい

どうすれば良いのだ？



そんな事を考えながらも、出口に向かう  
出口は瑞貴が入って来た扉のようだ  
そこから抜けだし、このヴァーチャル空間から抜け出した……

## 視点 瑞貴

結局、決闘はしなかったか  
デューエル  
楽できるから助かるけど、設定が無駄になったな。

マナは既に精霊化させている  
俺達が戻る時、精霊化をしておけと言っておいた  
なんだか後で嫉妬されそうだが……許せ。

しかし予想外だったな、想像以上に話がスムーズに進んだ  
俺としては後2、3回は説得し直す事は考えていたんだがな  
まさか1回で成功とは……何が決め手だったんだ？

何でも良いか、美寿知が手に入っただから  
問題は……手綱が殆ど無いという点かな。

明日香、白黒は借金で縛っている  
モノクロ  
だから命令や指示は借金返済の為に受ける  
損得の関係、金の関係とかなりドライだが  
最も簡単であり、有る意味一番堅い関係だ。

カムイューラは制約にて縛っている

契約をしているので裏切る事ができない  
しかしカミューラには昼間に動けないという欠点が存在する  
それでも最も利用しやすい存在だ。

レイには好意を、マナには依存をされている

どちらも不安定とはいえ、俺が嫌うような事をしないだろう  
利用はできるが、多少は嫌われないように気を遣う必要が有る  
扱いは面倒とはいえ、役立つ時は役立つ。

兎角、羽鳶、雪兎は……俺をどう想っているんだ？

兎角は恐怖と尊敬辺りだろう、何度か怯えさせたしな

羽鳶は尊敬と堅物とか辺りか？ こいつは分かり難くて困る  
雪兎には告白されたので好意だろう、扱いはまだ楽で助かる  
全員に命令はできるだろうが、かなり関係は薄いな。

そして今回の美寿知、関係は更に薄い

白板を助ける為という理由を付け、初めて利用できる

暫くは何も命令できないな、利用するにも注意しなければならない  
俺が預かる、つまりデュエル・アカデミアに持っていくという事だ。

デュエル・アカデミアは白板も居る

つまり、取り返される可能性も否定できない

どうすれば良いのか、考える必要が有る。

故に、美寿知も俺から逃げ出して白板の下に行く可能性も有る  
そうならない為にも、何かで縛らなくてはならない  
問題は何で縛るかだな。

金で縛る？ 無理だな

こいつを金で扱うのは難しい

逆に逃げられる切欠になるかもしれない。

契約でもするか？　しかし難しいか

契約をするとすれば白板を正気に戻す事  
そうなれば、その後は去って行くだろう  
それでは手に入れる意味が殆ど無い。

恋愛、依存で縛る？　時既に遅し

恋愛はともかく、依存は既にヴァーチャル空間から出てるので難しい  
そもそも、恋愛は俺が嫌だ

白板の妹なんて重要人物との恋愛？　絶対にご免だね。

恐怖や尊敬……不可能だろ

恐怖を与えたら確実に逃げられる

尊敬なんてされるような事はしていない  
考えるまでも無い、大却下だ。

仕方無い、美寿知相手には良い人で居るか

自分の力を受け入れてくれた良い人とか

兄を助ける手伝いをしてくれる良い人とか

これなら恩を売れるし、白板を助けても残る可能性も上がる。

あー……面倒だ

引き込んだのは失敗だったか？

しかし、未来を知れる事や白板の情報だけでも欲しかったしな  
扱い難いのはその代償か……諦めよう。

さてと、これからどうするかな

まだ昼だし、修学旅行中だし

時間が余ってるな……

「美寿知、これから何をする？」

「決めていないのか？」

「ああ、お前が欲しかったからな  
そればかり考えていて、他の事を考え忘れてた」

「（そこまで私の事を……）」

しかし、本当にどうする？

……今は昼だったな。

「暇潰しに海馬ランドで遊ぶか？  
時間はかなり有るんだ、俺の修学旅行の時間もまだ残ってる  
それが終わるまで遊んで待つか」

「（こ、これは俗に言うでで、デートというものなのか！？  
しししししかし私達はまだ会って数時間も経ってないのだぞ！  
そういうのはまだ早くてだな、そもそも付き合ってもいないし  
というか、結局告白されたのかも分かってないのだぞ！）」

……おい、返事しろよ。

「美寿知？」

「あ、ああ……私は構わないぞ  
偶には普通の女の子みたいな事もしたかったし……」

最後に何を言った？

小さくて聞き取れなかったんだが……

なかなか動かないので多少強引に連れ出すか  
どうせ迫害され、ずっと兄と一緒に居たんだろうし  
遊園地とか初めてなんじゃないか？

と言うわけで美寿知を連れ回す事にした  
しかしアレだな、女の子と2人で遊びに行くなんて初めてじゃない  
か？

デートっぽいけど、カップルとかじゃないから違うな。

俺からすればデートはカップルとかがするものだし  
特に関係の無い男女が遊びに行っても、遊びに行っただけという感じ  
僅かでも意識する必要な無いな。

それはともかく、美寿知を遊びに連れ出した  
何もする事が無いんだ、少しぐらい付き合えという意味で  
俺だって偶には息抜きという感じで遊びたい。

………

………

……

夕方、かなり遊んで疲れた  
船の出航は今夜の埠頭となっている  
一晚掛け、デュエル・アカデミアの朝に帰る事になっている  
しかし……俺は大丈夫なのか？

「そういえば瑞貴

私は今後、どうすれば良いのだ？」

「俺と共にデュエル・アカデミアに住む場所の心配は不要、預かる場所ぐらゐは確保する。帰りの船の部屋も大丈夫だ、安心してくれ」

「そうか」

（私も兄と同じ、デュエル・アカデミアに行くのか）  
しかし、私の存在を知られても良いのか？」

「構わない」

そうでなければ、人質にならないからな  
美寿知は俺の手元に存在している  
取り返そうとすれば……捕まえてやればいい。

例え白の連中に連れ帰させそうになっても構わない  
美寿知自身が断るだろう

何故なら美寿知は兄を裏切り、俺の手を取ったんだからな  
兄を正気に戻す為に行くんだ、兄の下に居ても無駄と分かっている  
だろう。

「美寿知、斎王琢磨の下には行くなよ  
お前の願いは奴を元に戻す事だ  
あいつの下に行けば、お前は利用されるだろう  
兄を助けたいのなら兄から離れてくれ  
悪いとは……思うがな」

兄の為にここまで頑張るんだ、兄妹の絆はかなり強固だろう  
近くに居るのに殆ど会えない……辛いかもしれないな。

「（私の為を想って……）」

分かってる、そなたの下から離れる事はしない  
例え光の結社の者達が来ようとも、私は付いていかない」

「頼むぞ、美寿知」

本当に、切に願う

裏切られたらどれ程危険か……

リターンは大きいとはいえ、リスクも大きい  
手放さないよう、注意して扱わないとな。

……

……

……

「そういう訳だ明日香

お前の部屋で美寿知を預かってくれ」

「何がそういう訳よ！

どうして私が！」

まあ、俺が頼めるのはこいつぐらいしか居ないんだけどな  
レイは1年生の女子と同じ部屋だし。

「いや、悪いとは思うが我慢してくれ  
じゃあな」

「ちょっと瑞貴！」

美寿知を強引に明日香に押し付け、部屋の扉を閉める

俺は自分の部屋に戻って、さっさと寝るか。

はぁ……微妙で思い出に残したくない修学旅行だったな  
今後、どうなる事やら

できるだけ、マシな生活になる事を……願う。



## 99話【修学旅行 後編】（後書き）

美寿知は瑞貴を知らないの？

知りません、斎王は瑞貴が自分から動くとは思っていなかったの  
で塔は動く建造物じゃないですしね。

お互いの考えている事が……

思いつきり違います

これを書いてて楽しかったです。

アツサリ過ぎない？

思いつかなかったんです

もう頭が痛くなります……なんだこの女は！

デート（？）シーンはカット！？

カットです、何を書けと？

観覧車？ 乗りませんよ、瑞貴は高所恐怖症ですし。

その後の明日香と美寿知はどうなったの？

明日香は諦めて泊めました、何を言っても無駄だと悟ったので  
時間の都合上カット、色々と話したでしょうが……

内容をご想像にお任せします。

暇はあまり無いのにツイッター

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

さて、何を言おうか？

## 100話【鏡の世界に映る女性】（前書き）

最近、間に合いません

色々釣られるから悪いんですけど……はあ。

それはそうと、今回で100話です

何故かここまで続きました、飽き性の作者にはかなりの驚きです……本当に、よく続きますね。

今回はアニメオリジナルカードが満載です

まあ、タイトルの通りという感じでしょうか。

次回から暫くは番外となります

アンケートの結果、5D'sをする事になりました  
内容に関しては全て秘密ですのでお楽しみに……

## 100話【鏡の世界に映る女性】

視点 瑞貴

修学旅行から帰ってきたが……また酔った  
気持ち悪い……今は埠頭に居るが、動きたくない  
最初は美寿知をどうするかだな。

白板にできるだけ知られないよう、遅く出てくるように言ってるか  
らまだ出てこない  
船は一応数時間はここに残ってるし、ギリギリに出てくるだろうな  
明日香が話し相手になってるだろうからひまは潰せるだろう。

知られてこそ意味が有る人質だが、まだ早い  
警戒される事とて、遅ければ更に効果的だ  
今まで、何をされていたのかと想像してしまうからな。

焦るだろうが、そういう奴にはこう言えば良いんだ  
今は何もしていないが、今後はお前の行動次第だ……とな  
何もするつもりは無いが、言う事に意味が有るんだ  
強硬手段に訴えてきた場合は……少し悩むな。

脅迫にも色んな方法が有るからな  
ナイフで脅すか、銃でも使うか、言葉だけで引かせるか  
美寿知の安全性を考えれば、当然言葉だけだ  
しかし、そんな事で引く可能性はそう高くない。

ナイフの場合、顔を傷付けるつもりは無いものの

首筋を切り、血を流させる可能性は有る  
切らない方向は当然だが、抵抗されると考える必要も有るか。

銃の場合は美寿知に向けるだけではない  
相手にも向け、足元辺りを撃つ必要も出るだろう  
弾数にも気を遣わないとな……弾数を数えられたら拙い  
リロードする間に反撃されるかもしれないしな。

基本は言葉、無理だった場合はナイフを使おう  
銃は最終手段だ、弾だって無料じゃないんだ  
無駄使いをしたくない。

こんな所だろうか？ 俺は酔いを醒ます為に休むぞ  
動きたくないし、気分悪いし、休みたいし……

「瑞貴さん……大丈夫？」

「あー……レイか  
酔った、俺は暫くここに居る  
お前は適当にしろ、部屋に帰るなりな」

疲れた、船内で寝るなんて二度とご免だ  
今後、船の中では絶対に寝ないようにしよう  
船の乗る時は必ず朝か昼間、夜の寝ない時間にしよう  
でなければ体が持たない……

どっちにしても、美寿知を待てるしな  
一々部屋に戻るのも面倒だが、暇になるのは嫌だ  
休むとならば暇になるのだが仕方無い。

レイは帰らず、ここに残るらしい  
別に好きにすれば良いけどな。

「瑞貴さん、修学旅行の間どこに行ってたの？  
ずっと居なかったから気になってたんだけど」

「大事な用事が有ったんだよ  
初日だけで終わらせる予定だったんだがな  
別に新しい情報が入ってな、2日目も使う必要ができた  
まあ、疲れたが損は無かった」

切り札が手に入ったようなものだしな  
効果が有るかは少し悩むが……無かったら困る。

「一緒に色んな所を回りたいかったなあ」

思い出作りか？ 悪いが俺には興味が無いな  
そんな事をするより、自分のしたい事をする  
俺は老後の楽しみよりも、今や少し先の方が大事なんだな。

そんな感じにのんびりとしていたんだが  
白も減ってきたし……というか全員帰ってるし  
この埠頭に居るのは俺とレイぐらいだ。

まだ回復していないが、迎えに行くか  
明日香も美寿知も待ちくたびれてるだろう  
これも白板に見つからない為だ、我慢しろ。

レイと共に明日香の船室の前だが……なんとなく嫌な予感がする  
俺に不利になりそうな、何か嫌な予感だ

そういう場合は人柱を立てるに限るな。

「レイ、明日香の部屋に突撃」

「ボク!？」

まあ良いけど……明日香さーん、入るよー」

俺は部屋の外で絶対に部屋が見えない場所に移動しておく  
これで俺は部屋の中が見えず、中からも俺は見えない。

「……どなた？」

「いや、そなたこそ……」

それよりも閉めてくれぬか？

女同士とはいえ、着替え中なのでな」

「あ、ごめんね」

レイは扉を閉めながら船室内へ

嫌な予感は大当たり、良かった良かった

こんなベタなハプニングに遭いそうになるとはな

レイが居て良かった、居なかったらマナを使ってたが。

レイから俺が呼びに来た事は聞くだらう

暫く待つか……そうなれば勝手に出てくるだらう。

……

……

……

1時間過ぎた、お前らな……

まあ女の子同士の会話が長いのは知ってるけどよ  
俺が居る事を忘れてないか？

昨日もだが、待つ事が多いな

暇過ぎる……部屋に入るのもなんとなく嫌だ  
似たようなハプニングは遠慮したい。

あんまり遅いと出向してしまうぞ？

お前ら、大丈夫か？

まあ出航前には何かしら合図をするだろうから大丈夫だろうけど  
勝手に出向は無いだろう。

『後30分ほどで出向します

まだ船に乗っている生徒は直ちに降りてください』

お、アナウンスが来たな

野太いおっさんの声、渋いねえ。

それはともかく、部屋の中から慌ただしい音が聞こえてきた  
少し離れよう、扉にぶつかったとか間抜けだし

明日香達が出てきた時に衝突なんて事も遠慮したいしな。

数分と経たずに駆け出てくる3人

しかも俺に気付かずにそのまま……

……別に良いけどよ

レイ、お前は何をしに来たのか忘れてないか？  
急いでいたから忘れてた事は水に流すが……

そこまで急がなくても、別に遠くないんだ  
歩いてても間に合うだろ。

という訳で歩いて降り口に向かう  
特に迷う事も無く、普通に10分以上の時間を余らせて戻った  
埠頭には明日香、レイ、美寿知が立っていたが、他には誰も居な  
かった。

申し訳なさそうなレイ  
明日香と美寿知も気まずそうな雰囲気  
別に気にしてないんだがな。

「誰も居ないみたいだし、行くぞ  
俺は部屋に戻ってさっさと休みたい」

それだけ言って俺は歩き出す  
慌てて追いかけてくる3人  
慌てなくても、そこまで早く行かないから安心しろ。

.....  
.....  
.....

なあに、これえ  
という感じのレッド寮  
何故か綺麗になってるんだが？

気になるのでカミューラの部屋へ向かう  
3人も一緒だが、殆ど話してないな。



……って、カミューラは寝てるんだったな  
夜になるまでどうするか……

仕方無い、部屋に入って時間を潰すか。

「少し待ってろ、セキュリティを切るから  
下手に部屋に入ると……危ないぞ？」

俺の言葉に引く3人

ちなみに本当に危ない

大怪我をしなければ良い方か……

セキュリティを順番に切っていく

この順番を間違えると、また面倒になるんだよな

この作業は大変だが、やっぱり少しでも心配事は減らしたい。

解除を終わらせ、3人を部屋に入れる

美寿知は辿々しかったが……どうかしたのか？

男の部屋に入るのが初めてとか？

敬遠されてたらしいし、可能性は有るか。

「……意外と綺麗にしてるのだな」

「同室に2人も住んでるからな

下手に汚くする訳にもいくまい

そもそも、汚したりする物が無い」

「2人？」

なんだ？ 聞いてなかったのか？

「本人から聞いてないか？」

俺の部屋にはこいつらが寄生してるんだよ

レイは俺の保護下、明日香は……ちょっとした理由でな」

「ちょっとしたじゃないわよ

私はアイドル養成コースなんて絶対に嫌よ

後、寄生って言い方は止めて」

あれ、まだ廃止になってないんだよな

白共が広がってきたから、授業を受ける人間も減ってるし  
そろそろ廃止になって、明日香も部屋に帰ってほしい。

「だ、男女で同じ部屋だと!？」

「期待されても、何も無いぞ

というか、良い機会だしお前らも出て行ったらどうだ？

特に明日香はもう戻ってくれ

部屋が狭いんだよ、3人だと」

「アイドル養成コースが無くなったら考えるわ」

考えるだけかよ

つまり、受けなくても文句を言うなって？

なるほどなるほど……巫山戯るなこんちくしょう。

「お前らって事は……ボクも？」

「レイはどっちでも、一応俺の保護下だからな

この部屋に居てくれると助かるが、やっぱり女子は女子でと思うんだよ

ちなみに美寿知、お前はカミューラという女と同室だ  
この寮だから部屋は近いぞ」

「あ、ああ……そうか」

あからさまに安心したという感じのレイ  
美寿知は複雑そうだが……どうかしたのか？

昨日は微妙な言い方をしたからな、何か勘違いしているはずだ。

ただ、どう勘違いしてるかまでは分らないんだよな  
何故アツサリと俺の言葉を受け入れたのかも分からないし  
読心術とか欲しいなあ……人間関係では本当に欲しい。

「カミューラは夜行性でな

起きるまでまだ時間が有る、それまでこの部屋で適当に過ごしてくれ  
明日香、お前はいい加減に出て行け」

「嫌よ」

即答かよ、仕方無い奴だな  
借金を増やすという言葉は当然駄目だし  
減らすと言っても、何となく無駄な気がする。

「はあ……条件付きで暫く許可してやる」

「だから、出て行かないって言ってるでしょ」

「受けなければ強制的にでも追い出す  
お前はいい加減に少しは自重しろ」

「……分かったわ  
条件って何？」

そうだな……レイにさせるのも良いんだが  
ここは少し、試させてもらおうか。

「美寿知と決闘<sup>デュエル</sup>で勝ったら許可してやる  
負けたら即出て行け」

「私がするのか!？」

似非と赤鳥との決闘<sup>デュエル</sup>は俺が仕組んだからな  
こいつ自身がどれ程の実力か知りたい  
弱ければ強化してやれば良いしな。

「構わないわよ  
今から？」

「そうだな……今からで良いか  
場所は崖の下で良いだろう」

そこなら白も居ないだろうし、殆ど目立たない  
少し注意していれば大丈夫だろう。

「頑張れよ美寿知  
お前が勝つ事を願う」

「う……うむ、頑張ろうではないか  
(友人よりも私を選んでくれたのか?  
そう思うと嬉しいが……彼女も気の毒に)」

俺の部屋が広くなるからな

寝ている明日香を苛める機会は減るが……あまり問題じゃない起きていても楽しめるし、寝ているのはレイやマナでもできる。

「（なんだか……腹が立つわね  
どうしてかしら？」

新しく来た人に私の居場所が奪われそうだから？

それとも、瑞貴が彼女を応援したから？」

お互いに表情が優れないな、どうかしたのか？

明日香は予想ができるけどな

俺が美寿知を応援したという事はさっさと出て行けと言われたという事

それが気に入らないんだろう。

美寿知はまだ分からん

俺が明日香を追い出そうとしているのが不思議なのか？

それとも複雑な気分なのか？

微妙だな……

視点    レイ

明日香さん、負けたら追い出されちゃうんだ  
でも明日香さんは強いし、きっと勝てるよ！  
頑張って明日香さん！

だけど……もし明日香さんが負けたら？  
瑞貴さんと2人だけの部屋……マナさんも居るけど  
でも人間は2人、それって良いかも。

美寿知さんはカミューラさんの部屋だし  
そうになったらボクが得だよな？

心情的には明日香さんを応援したいんだけど  
打算的には美寿知さんを応援したい  
ボクは……ボクはどっちを応援すれば良いんだろう？

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は私だ、ドロー  
私は銀の式神しろがね—右京を守備表示で召喚  
更にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

普通の1手だね  
守備力は600のモンスターか  
でも、右京って名前が気になるかな。

右京って右でしょ？  
なら左も居るのかな？  
一緒に出てきたら効果が発動できるとか？

「私のターン、ドロー！  
エトワール・サイバーを召喚！  
エトワール・サイバーで右京に攻撃！」

な、なんだか明日香さんが怖い

焦ってるような……どうしたんだろう？  
そんなに出て行くのが嫌なのかな？

右京は何も無く、アツサリと破壊された  
なんだか拍子抜けかも  
美寿知さんってどんなデッキを使うのかな？

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー」

銀の式神しろがね—左京を守備表示で召喚し、効果を発動  
このモンスターがあらゆる召喚に成功した時に発動  
墓地より、銀の式神しろがね—右京を特殊召喚する  
右京を守備表示で召喚！」

なんだか左右対称って感じのモンスター  
お互いがお互いを助けるような効果を持ってるんだね  
でも、召喚時だけだと使いにくいくない？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

荒野の女戦士を召喚！  
2体のモンスターで右京と左京に攻撃！」

最初の攻撃はエトワール・サイバー  
どっちのモンスターも相手の守備力を上回ってる！

「ふふふ、冷静さを欠いては勝てる勝負も勝てないぞ？  
罠カード発動！ 聖なる結界—ミラー・バインド！

自分の場に右京と左京が存在する時に発動可能、攻撃してきた相手モンスターを破壊する

その後相手の場に存在する、破壊したモンスターの攻撃力以下のモンスター1体を……破壊する」

完全に攻撃順を間違えた！

これじゃあエトワール・サイバーだけじゃない

荒野の女戦士まで破壊されちゃう！

「クッ、罠カード発動！ デストラクト・ポジション！

自分のモンスター1体を破壊し、その攻撃力分のライフを回復する！

私はエトワール・サイバーを破壊し、その攻撃力である1200のライフを回復する！

ミラー・バインドは攻撃モンスターを破壊しなければ後の効果を使えないわ

荒野の女戦士で右京に攻撃！」

よし、躲した上にライフも回復できた！

これで明日香さんのライフは5200だ！

「私はこれでターンエンドよ」

「私のターン、ドロー

魔法カード、天使の施しを発動しよう

デッキからカードを3枚ドローし、2枚を捨てる

そして左京を生け贄に捧げ、魔鏡の式神一那由多を召喚」

LV6で攻撃力2600かあ

ゴヨウ・ガーディアンほどじゃないけど、結構強いかもでも……左京みたいな効果を持つてるのかな？



なんとなくそんな気がするんだけど。

「那由多の効果を発動

このモンスターがあらゆる召喚に成功した時

墓地より、魔鏡の式神ー阿僧祇を墓地より特殊召喚する！」

さっきの天使の施しはこの為に！？

でも、那由多と同じLVなのに攻撃力は1500かあ  
守備力は2500とそこそこかも

同じLV6でも守備力3000のモンスターが居るし。

「ゆくぞ！ 那由多で荒野の女戦士に攻撃！」

明日香さんの場に伏せカードは無い！

これで明日香さんは1500のダメージを受ける  
残りライフは3700になっちゃった。

「まだよ、荒野の女戦士の効果を発動！

このモンスターが戦闘で破壊され、墓地に送られた時

デッキから攻撃力1500以下の地属性、戦士族モンスターを特殊  
召喚できるわ

私はこの効果により、マッシュ・ウォリアーを特殊召喚！」

「そんなモンスター、蹴散らしてくれる！

阿僧祇でマッシュ・ウォリアーに攻撃！」

「無駄よ、マッシュ・ウォリアーは1ターンに1度、戦闘で破壊さ  
れない

更に、このモンスターとの戦闘で受ける私の戦闘ダメージは0にな  
るわ」

これで明日香さんにダメージは無い！

「ふ、まだまだ甘いな……罫カード発動、反魂鏡！  
自分の場のカード1枚を墓地に送る事で効果を発動  
自分の墓地より、モンスターを1体特殊召喚する  
私は阿僧祇を墓地に送り、右京を特殊召喚する！  
更に右京の効果により、左京を特殊召喚！」

そんな！？

バトルフェイズ中のモンスター数の変化

これで右京と左京は攻撃できるようになってる！

しかも、右京の攻撃力は800

マッシュ・ウォリアーの攻撃力600を越えてる！

「くくっ……明日香め、美寿知を甘く見たな

美寿知は（実質2VS2だが）似非と赤鳥……エドを相手に勝利寸  
前までになった者だ

そう簡単に勝てるものか

（俺が操作したんだがな……しかし、今回はその操作は無い

俺が手を出さなくても、美寿知ならあれぐらい戦えたかもしれない  
な）」

「十代さんとプロを相手に勝利寸前まで！？」

美寿知さん、強いんだ

十代さんはネオスを手に入れてから絶好調みたいだし  
そしてエドさんのD－HEROだってそれなりに強かった  
その2人を相手にそこまで……

「右京でマッシブ・ウォリアーに攻撃！」

これで2回目の攻撃、よってマッシブ・ウォリアーは破壊される

ダイレクトアタック  
左京で直接攻撃！」

「ぐっ……」

右京の攻撃でマッシブ・ウォリアーは破壊された

左京の攻撃で明日香さんは600のダメージ

ダメージ自体は小さいけど、美寿知さんの場にはモンスターが3体だね。

しかも、攻撃力が2600の那由多が残ってる

右京は攻撃力800、左京は攻撃力が600

どっちも低いけど、何度でも出てきそう。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「わ、私のターン、ドロロー！ 強欲な壺を発動し、更に2枚ドロロー！

墓地の魔法カード、強欲な壺をゲームから除外してマジック・スト

ライカーを特殊召喚！

更にコマンド・ナイトを召喚し、一族の結束を発動！

自分の墓地に種族が1つだけの時、場の同種族モンスターの攻撃力を800アップさせるわ！

更にコマンド・ナイトは自分の場の戦士族の攻撃力を400上げる！

これでマジック・ストライカーの攻撃力は1800、コマンド・ナイトも2400よ！」

ダイレクトアタック  
うわぁ……直接攻撃ができるマジック・ストライカーの攻撃力が1800かぁ

これが決まれば大ダメージだね  
コマンド・ナイトは自分の場に他のモンスターが存在している場合、  
攻撃されない。

「更にライフを800払い、装備魔法、早すぎた埋葬を発動するわ  
墓地より、マッシュ・ウォリアーを特殊召喚し、このカードを装備  
させる」

うわぁ……コマンド・ナイトの効果も含めてかなり酷い  
1ターンに1回、戦闘耐性を持っているマッシュ・ウォリアー  
他のモンスターが居れば攻撃されないコマンド・ナイト  
戦闘ダメージを受けないマジック・ストライカー  
これだけ並べられたらどうしようも無いかなあ。

「……マッシュ・ウォリアーで右京に攻撃！」

右京の攻撃力は800、マッシュ・ウォリアーは強くなってて攻撃  
力は1800  
その差1000のダメージを美寿知さんは受ける！

「そうはさせない、永続罠を発動！ 銀幕の鏡壁！」  
ミラーウォール  
攻撃してきたモンスターの攻撃力を半分にする！」

「なあ！？」

マッシュ・ウォリアーの攻撃力は半減して900に……  
これじゃあ100しかダメージを与えられないよ！

「なら、コマンド・ナイトで左京に攻撃！」

ミラーウォール  
「鏡壁の効果により、攻撃力は半分になる」

コマンド・ナイトの攻撃力は2400だったから1200に  
左京の攻撃力は600、600のダメージになる  
美寿知さんの受けたダメージはたったの700!?

「更に罠カード、葬魂の式符を発動  
自分のモンスターが1回のバトルで2体以上破壊された時  
戦闘を行った相手モンスター1体を破壊し、手札からLV5以上の  
モンスターを特殊召喚する  
私はこの効果により、マッシュ・ウォリアーを破壊する!」

マッシュ・ウォリアーの額……額なんて有るのかな?  
まあ、そこら辺にお札が貼られ、爆発した  
戦闘耐性を持っても、効果の耐性は持っていないんだね。

「そしてLV5以上のモンスターを特殊召喚  
私が召喚するのは、闇の神―ダークゴッド!」

LV10のモンスター!?  
しかも攻撃力が3000!?  
うわぁ……凄い事になってるかも。

「(油断した!)  
まさかこんな方法で最上級モンスターを出してくるなんて!  
そこそこ難しい条件での発動カード、ならこれだけのモンスターを  
出すのも有りだけど  
だけど、これは拙い!」  
ダイレクトアタック  
マジック・ストライカーで直接攻撃!」

「しかし、鏡壁ミラーウォールの効果で攻撃力は半減  
よってマジック・ストライカーの攻撃力は900だ」

美寿知さんのライフは残り2200

明日香さんのライフは残り2300

お互いのライフは並んだんだけど……

状況は明日香さんが圧倒的に不利

このままだと……

「私は……カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー」

銀幕の鏡壁ミラーウォールの維持コスト、ライフを2000支払おう」

「ええ！？　ライフコストを支払う！？

って、2000って凄く大きいコストなんだけど！」

「鏡壁ミラーウォールは場に残ってないと攻撃力半減効果が消滅するからだな

明日香のライフは2300、ダークゴッドでマジック・ストライカーを倒し

那由多の攻撃でコマンド・ナイトを倒せば1400のダメージだ

（そしてダークゴッドの効果、戦闘でモンスターを破壊した時

相手に700ポイントのダメージを与える……これで明日香のライフは200になる

美寿知のライフも現在は200、美寿知は何をドローしたんだ？

昨日、美寿知のデッキを確認した時には強化系カードは入っていなかった

もし、万が一あのカードをドローしていた場合、明日香に勝ち目は無いな）」

な、なるほど……

でも、美寿知さんもライフが2000になってる  
もしまたマジック・ストライカーを出されたら負けちゃうよ？

「私は……フィールド魔法、無限の降魔鏡を発動！」

辺りが真っ暗な世界に閉ざされた

足元だけが白くなっている……変わった世界。

「無限の降魔鏡は自分の場にダークゴッドが存在している時  
そのコントローラーの空いているモンスターゾーン全てに  
ダークゴッド・トークンを特殊召喚する

そのダークゴッド・トークンは闇の神ーダークゴッドと全く同じ能力を持つ！」

そんな！ 攻撃力3000が一気に3体も増えるの！？

明日香さんが危ない！

「ダークゴッド・トークンでマジック・ストライカーに攻撃！」

「そうはさせないわ！

罨カード、ドレインシールド！

相手の攻撃を1度だけ無効にし、その攻撃力分だけライフを回復する！」

よし、これで明日香さんのライフは3000も回復して5300  
でもこれじゃあ負けちゃう！

「ふふ、ダークゴッドは直接攻撃ダイレクトアタックができない

それだけのライフがあれば耐えきれると思ったのだろうが……それは不可能だ」

あ、直接攻撃ダイレクトアタックができないんだ  
でも……耐えきれないの？

「今からそれを見せてやろう  
ダークゴッド・トークンでマジック・ストライカーに攻撃！」

「クッ……え？  
ど、どうして私のライフが……」

マジック・ストライカーが破壊された瞬間  
明日香さんが700ポイントのダメージを受けた！？  
ど、どうなってるの！？

「ダークゴッドは相手モンスターを戦闘で破壊した時  
相手に700ポイントのダメージを与える  
最後のダークゴッド・トークンでコマンド・ナイトに攻撃！」

「うああああ！」

明日香さんのライフが！  
コマンド・ナイトの攻撃力は1200  
だから1800のダメージに効果で700のダメージ  
さっきのダメージも含めて、受けたダメージの合計は……3200！  
明日香さんの残りライフは2100！

「ダークゴッドは直接攻撃ダイレクトアタックができない  
しかし……那由多は違う



魔鏡の式神―那由多でプレイヤーに直接攻撃！<sup>ダイレクトアタック</sup>」

「きゃあああああ！」

那由多の攻撃力は2600だから……あ、明日香さんが負けたあ！！！！

あの明日香さんが殆ど一方的に負けるなんて！

「明日香の負け……か

明日香、約束だからな

お前は自分の部屋に帰って貰うぞ」

「……分かったわよ」

「（しかし……美寿知の实力はかなり予想外だな  
ここまでの強さとは……俺が強化した明日香をほぼ一方的か  
实力的にも、良い拾い者をしたな）」

明日香さんは力の無い足取りで去って行く  
なんだか可哀想。

「さて……部屋に戻るぞ

美寿知も来い、色々と話したい事が有る」

「分かった

しかし、本当に良いのか？」

「構わない

最近、明日香の俺を見る目が変わってな  
気になったから少し離れたかったんだ

お互いに考える時間を……」

そうだったんだ……

でも、強引に追い出すのは酷いと思う。

「そう責めるような目で見るなレイ

落ち着いたらまた泊めるぐらいはさせてやるつもりだ  
どうせ、俺が断っても勝手に泊まるだろうし

元々ブルー女子寮の生徒なんだからな」

「そうだけど……」

「はぁ……とりあえず部屋に戻ろう

いつまでもここに居ても無意味だ

それに海岸だからな、少しだけ寒いだろう？

部屋に戻ろう」

瑞貴さんが先に行き、美寿知さんもその後ろを歩く  
ボクは……うん、ボクも瑞貴さんの後ろを歩く。

考えても仕方無いよ

詳しくは瑞貴さんから聞けば良いんだし

後でゆっくり考えよう。

明日香さん……落ち込んでないと良いんだけど  
大丈夫かなあ？

## 100話【鏡の世界に映る女性】（後書き）

寮が綺麗になってる？

アリスという人形の回です

まあ……瑞貴には関係無いんですけどね。

何故銀幕の鏡壁を美寿知が！？

似合いそうだったので持っているかと勝手に予想  
それがこんな事になるとは……少々予想外です。

明日香が負けた！？

いや、何故か……いつの間にか負けてました  
作者もちよつと予想外です、自分でしたんですけど。

原作、アニメオリジナルカード

銀の式神しろがね一右京

ATK800／DEF600

このカードがあらゆる召喚に成功した時

墓地にある銀の式神しろがね一左京を特殊召喚する事ができる

全ての召喚に対応できるかちよつと微妙です

通常召喚でも、特殊召喚でもできていたような……

銀の式神しろがね一左京

ATK600／DEF800

このカードがあらゆる召喚に成功した時

墓地にある銀の式神しろがね一右京を特殊召喚する事ができる  
右京と同じく、ちよつと微妙です。

魔鏡の式神－那由多

ATK2600／DEF1400

このカードがあらゆる召喚に成功した時

墓地にある魔鏡の式神－阿僧祇を特殊召喚する事ができる

右京と同じく、微妙です。

魔鏡の式神－阿僧祇

ATK???／DEF2500

このカードがあらゆる召喚に成功した時

墓地にある魔鏡の式神－那由多を特殊召喚する事ができる

以下省略

しかし、攻撃力は表示されていないので1500は予想となります

那由多の攻撃力が2600の守備力が1400

阿僧祇は攻撃力が不明で守備力が2500

対となる存在なので合計値が同じ4000になるように1500にしました。

聖なる結界－ミラー・バインド

フィールド上に銀の式神－右京、銀の式神－左京しろがねが存在する時に発

動可能

相手モンスターの攻撃時、その攻撃モンスターを破壊する

その後、破壊したモンスターの攻撃力以下の攻撃力を持つ相手モンスター1体を破壊する

発動条件が決まっているので難しいですが、それなりに強力なカードですね

リアクティブアーマー  
炸裂装甲と万能地雷グレイモヤが合体したような効果でしょうか？

反魂鏡

自分フィールド上のカード1枚を墓地へ送り発動する

自分の墓地からモンスター1体を特殊召喚する  
普通に強いカードです

しかし……モンスターを墓地に送れるかは不明  
アニメでは場にモンスターが居らず、罫カードを墓地に送っていました。

### 葬魂の式符

モンスター2体以上が戦闘で破壊され、墓地へ送られたターンに発動可能

戦闘を行った相手モンスターを破壊し

手札からレベル5以上のモンスター1体を特殊召喚する事ができる  
発動条件はそこそ厳しめ、しかしかなり強力な効果だと思います  
まあ……今時戦闘で2体以上を破壊なんてそんなに無さそうですけど。

### 闇の神－ダークゴッド

ATK3000/DEF1000

このカードは戦闘では破壊されない

このカードは相手プレイヤーを直接攻撃する事はできない

このカードが戦闘で破壊した時、700ポイントのダメージを相手に与える

強いのか弱いのか微妙なモンスターです

今回は戦闘耐性効果は不要だったみたいですけど

レイが相手になるとかなり拙い事に……奪われた瞬間に泣けますね。

### 無限の降魔鏡

フィールド上に闇の神－ダークゴッドが存在する時

そのコントロールの空いているモンスターカードゾーン全てに

闇の神－ダークゴッドと同じ属性・種族・攻撃力・守備力・レベル・  
モンスター効果を持つ

ダークゴッド・トークンを特殊召喚する

フィールド上の闇の神ーダークゴッドが破壊された時

この効果で特殊召喚したダークゴッド・トークンを全て破壊する

完全に専用のフィールド魔法です

ここまで専用なのも珍しい……のか？

アニメでは珍しくもなんとも無いですね

生け贄要員には最高のカードという感じですね。

ツイッターは何をする場所？

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

何を言えと!？

## 5D、s 1話【新たなる悪夢の始まり】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「パワー・ツール・ドラゴン、俺のカードだ！」

「デッキからランダムに装備魔法を選んで手札に加えられるわ」

という感じですよ

ある程度前回の5D、sに沿っています

違うのはセキュリティに捕まってから

詳しくは本文にて。

アニメを観ていない人にはちょっと意味不明かもしれませんが  
まあ……あまり気にしない方向でお願いします。

## 5D・s 1話【新たなる悪夢の始まり】

視点 遊星

ダークシグナー達との戦いが終わった……

鬼柳、ルドガー、そしてゴドウィン

みんな強かった……だけど、全て終わったんだ。

ゴドウィンの言葉に依ればダークシグナー達は元に戻るらしい  
鬼柳、お前もどこかで生き返って正気に戻ったのか？  
また……きつと会えるよな？

「さあ帰ろう、俺達の家！」

ジャック、クロウ、アキ、龍亞、龍可

それに牛尾に狭霧と共に壊れかけたD・ホイールを押しながら歩き出す

そんな俺達の前に、フードを被った1人の男と思われる人物が立ちふさがった……

「やっと見つけた、不動流星だな？」

「……遊星だ」

いきなり人の名前を間違えるとは……

この男は何者なんだ？

「くっくくく……やっと見つけたぞ



俺の、復讐対象！」

復讐だと……俺が？

しかし、俺はこいつを知らない。

「遊星に復讐だあ？

てめえ、何者なんだよ！」

クロウが叫ぶ

しかし男は返事をしない。

「貴様……名を名乗れ！」

ジャックも叫ぶ

だが、男は反応もしない。

「お前は、何故俺を憎んでいる

旧モーメントの、ゼロリバーズの犠牲者の家族か？」

それならば納得もできるが……

「旧モーメント？ ゼロリバーズ？

そんな物は知らんな

俺が復讐したいのはお前自身だ

そしてもう1人、ラリー・ドーソン」

「俺とラリーだと！？」

俺だけではなく、ラリーまでどうして！

「俺と決闘しろ<sup>デュエル</sup>」

お前が勝ったら全て話してやるし、復讐もしないだが、お前が負けたら………どうしてやろうか？」

「つて、考えてないのかよ！

ホント、何なんだよおめえは……」

俺はD・ホイールにセットされている決闘盤<sup>デュエルディスク</sup>を外し自分の腕<sup>デュエル</sup>に装着する  
この男と決闘<sup>デュエル</sup>をする為に。

「待ってよ遊星！

ゴドウィンとの決闘<sup>デュエル</sup>で凄く疲れてるでしょ！

だったら俺が代わりに戦ってやるよ！

あんな奴、俺がケチヨンケチヨンにしてやるからさ！」

龍亞は俺の前に立ち、あの男と向かい合う  
確かに疲れてるが、お前が戦うのは違うだろう。

「……良いぞ、お前でも

そして俺が勝った場合の事も決めた

流星、お前の仲間の1人を……俺が預かる」

「何!？」

「そりゃあどういう意味だ！」

俺の仲間を預かるだと！

まさか誘拐をするとしても言うつもりか!？

あと、俺の名前は遊星で流星じゃない  
間違えないでくれないか？

「俺はお前が憎たらしくて仕方無いんだ  
八つ当たりに近いのは自覚しているがな  
それでも、原因であるお前と、ラリー・ドーソンを黽らねば気が済  
まん！

肉体を傷付けたり、殺したりはしない……だが、精神的に傷ついて  
もらう！」

男が決闘盤デュエルディスクを構える

だがあの決闘盤……旧型じゃないか  
確か昔のデュエル・アカデミアで使われていた無色の初期型  
何故そんな物を……骨董品でしか見ないぞ。

「俺の相手はお前なんだろう、糞ガキ！

俺は流星に復讐する為、色々と調べたんだ  
お前の名前は確かルアー！」

「龍亞だ！ 伸ばすんじゃねえ！」

龍亞、そういう問題じゃないだろ

しかし……何故この男は俺をそこまで憎むんだ？  
後、俺の名前は遊星だ。

「待てよ龍亞、こんな奴の挑戦なんか受ける必要はねえ  
こちとらすっげえ疲れてるんだ  
どうしてもってんなら、明日以降にしてくれよ」

「お前の事も知ってるぞ、グロイ・ボーガン」

「クロウ・ホーガンだ！」

こいつ、人の名前を覚えられないのか？

それとも名前を覚える気が無い？

だが、ラリーは名前で呼んでる……変わった男だ。

「使用デッキはBF、そしてシグナーの1人……だったかな？」

「……何故、俺がシグナーって事を知ってやがる

俺がシグナーとして覚醒したのは、ついさっきだぞ！」

そう、クロウがシグナーとなったのはゴドウィン戦の時

俺の腕にドラゴンヘッドが来たからか、クロウの腕には竜の尾の痣  
何故この男はそれを……

「見ていたからな

まあそんな事はどうでもいい

もし断るといふのなら、俺はこいつらを召喚しよう」

あの決闘<sup>デュエル</sup>を見ていたのか！？

そして男が見せたカード、それは……地縛神だ！？

「そいつは……ボマーが使ってた地縛神<sup>チヤク</sup>Chacu<sup>チャル</sup>Challhu<sup>ア</sup>  
a！」

「んでもってアレはディマクが使っていた、地縛神<sup>クシル</sup>Cusillu  
！」

「ミステイが使っていた地縛神<sup>コカライア</sup>Ccaryhuaも有るわ……」

「地縛神<sup>アスラ</sup> Asllapiscu<sup>ビスク</sup>……カーリーの使用したカードか」

「そして……鬼柳の使った地縛神<sup>コカバク</sup> Ccapacapu<sup>アプ</sup>  
ルドガーの使った地縛神<sup>ウル</sup> Uru<sup>ウル</sup>  
ゴドウインの使った……地縛神<sup>ワイラコチャ</sup> WiraqochaRasca<sup>ラスカ</sup>」

何故この男が地縛神を持っているんだ

地縛神はダークシグナーしか持っていないはず！

「分かっただろ？」

こいつを召喚<sup>デュエル</sup>されなくなければ、今この場で決闘<sup>デュエル</sup>をしてもらう  
安心しろ、決闘<sup>デュエル</sup>を受けるのならこいつは召喚しない、決闘中<sup>デュエル</sup>でもな  
まあ、戦うのはルアーだが」

「龍亞だ！

良いぜ、受けてやるぜ！」

「待て龍亞！

そいつは地縛神を持ってるんだ！

新たなダークシグナーかもしれない！

危険過ぎる、俺が戦う！」

「残念ながら、地縛神を持っているがダークシグナーじゃない  
俺の体に、謎の痣なんて無いからな  
……違う痣なら有るが」

最後に何を言ったんだ？

「待って！

デュエル  
決闘の前に教えて！」

「お前は……思いつかな  
仕方無い、何の用だ龍可」

「さっきまでの名前は態とかよ！」

「落ち着けクロウ

今は龍可が話しているだろう」

クロウは舌打ちし、下がる

龍可に話すように促してやる

龍可は頷き、男と向き合う。

「貴方の横に居る女の人

その人は……デュエルモンスターの精霊なの？」

精霊？

この男が精霊を持っているのか？

「龍可ちゃん、まだ精霊だのなんだのと……」

「良いから黙っててよ

これだから大人は……」

龍可、あまり牛尾を馬鹿にするな

精霊を信じられないものだって居るだろう

見えないのだから仕方無いんだ。

「今は横に居るのか？」

生憎、こいつは俺の精霊じゃない  
勝手に付いてきているだけの馬鹿だ」

『馬鹿は酷いじゃないですかあ……』

「随分……懐いてるわね」

「何故かな

そこのでかい……牛の鋼！」

「牛尾哲だ！

全然違うじゃねえか！」

男のネーミングセンスに、疑問を感じる  
変わったセンスの持ち主らしい。

「精霊が信じられないんだろ？  
だったら証拠を見せてやるよ  
マナ、実体化しろ」

実体化だと？

「はい！

みなさーん、こんにちはー！」

「今は夜だ」

「そっか、ならこんばんはー！」

随分、元気の良い精霊だな

というか、どう見ても普通の女の子にしか見えない。

服装は……メイド服？

男の趣味か？

「なお、こいつの服装に関してだが  
勝手に好きな服を着ているので俺の趣味じゃない  
そこを勘違いしないように」

どうやら違うらしい

仲間の一部は疑っているようだが。

「その子、何の精霊なの？」

「教えるわけにはいかないな  
教えれば、俺の使うカードが知られてしまう  
態々自分の不利になるような情報を教えると思うか？  
甘いよ、お嬢ちゃん」

「龍可よ

そういう貴方の名前は？」

「俺か？

俺の名前は……っと、危うく言う所だった  
自然に名前を聞き出すとは……恐ろしい女の子だな」

「わ、私そんなつもりじゃ……」

……なんだ、この空気は  
普通の日常のような空気になってるぞ。



「マナ、少し精霊化している  
このままでは話が進まん」

「えー……はーい  
ばいばーい」

消えていく女性  
本当に精霊らしいな  
マジックでもしたのなら話は別だが。

「さて、俺が連れて行く対象も決めたぞ  
龍可……君だよ」

「私？」

「そう、精霊が見えるんだろ？  
と言うことはお前も持っているんじゃないか？  
精霊が見える人間は珍しいしな  
楽しませて貰えそうだよ……くく」

こいつ……

「待てえ！ 龍可を連れて行くなんて、絶対に許さないぞ！  
デュエル決闘だ！ 絶対に負けないぞ！」

「ふん、連れて行かれるのが嫌なら勝つんだな  
遊んでやるよ、全力で来ないと速攻で終わっちまうぞ？」

こうなった龍亞は止まらない

絶対に勝つんだ、龍亞……龍可の為にも。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「ルアー、俺に1000ポイント単位でダメージを与える度俺が何者なのか教えてやろう

ライディング決闘<sup>デュエル</sup>のスピードカウンターが減るタイミングと同じだ」

スピードカウンターは1000の倍数のダメージを受けた時カウンターがその倍数だけ減ってしまう……

つまり、1度に大きなダメージを与えなければ何も分からないという事か。

「俺の名前は龍亞だって言ってる！俺の先攻、ドロー！<sup>デュフォーマー</sup>

D・キャメランを守備表示で召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

よし、キャメランの守備表示の効果

<sup>デュフォーマー</sup>味方のDと名の付くモンスター全てに耐性を持たせる

魔法、罠、モンスター効果の対象にならない強力な効果だ。

<sup>デュフォーマー</sup>

「D……ステータス自体は低いが強力な効果を持っているだが、その低ステータスが最大の弱点となる」

<sup>デュフォーマー</sup>

Dの最大の弱点……確かにステータスは低い

しかし自分で言ったように強力な効果を持っている

<sup>デュフォーマー</sup>

そのDの最大の弱点とは一体……

「へん、そんなハツタリなんて怖くないもんねー！」

「ハツタリかどうか、自分で確かめるんだな  
俺のターン、ドロー

ヴェノム・サーペントを召喚」

男の場に、蛇が現れた

蛇のようなモンスター……爬虫類族の使い手か  
どんなカードを使ってくるのか。

「ヴェノム・サーペントでカメランに攻撃」

「おっと、そうはさせないぜ！

罠カード発動！ ディフオーマー ディフオーム！

Dが攻撃される時、その攻撃を無効にする！  
ディフオーマー  
更に、自分の場のDの表示形式を変更だ！」

「そうかそうか、攻撃なんてどうでも良かったから助かるよ  
倒せれば良し、倒せなくても表示形式を変更できればな」

ディフオーマー  
こいつ、Dの効果や特性をよく知っているのか？  
そうでなければ、今の言葉は少し不自然だ  
俺達を調べた……その言葉は嘘じゃなさそうだな。

「バトルフェイズを終了

ヴェノム・サーペントの効果を発動

1ターンに1度、相手のモンスターにヴェノムカウンターを1つ乗  
せる」

ヴェノム・サーペントが青い蛇をはき出した

その蛇はカメランに噛みくが……何も変わらない？

「更にフィールド魔法、ヴェノム・スワンプを発動する」

場が沼地に……

俺達の居る場所には邪魔な草木が現れる

しかし、草木は腐っている

不気味なフィールド魔法だ。

「ヴェノム・スワンプが発動している時

ヴェノムカウンターが乗っているモンスターの攻撃力は

カウンター1つにつき、500ポイントダウンする

そして、この効果で攻撃力が0になったモンスターは……破壊される」

「な、なんだって!？」

だけどカメラランにはカウンターはまだ1個だ!

攻撃力は300残ってる!」

「ふふふふ……カードを2枚伏せよう

そしてエンドフェイズ、ヴェノムと名の付くモンスター以外の

表側表示で存在する全てのモンスターにヴェノムカウンターを1つ乗せる

この意味が分かるかな?」

ヴェノム・スワンプの効果はヴェノムカウンターの数だけ攻撃力を下げる

そしてこの効果で攻撃力が0になったモンスターは破壊つまり……

「カメラランにヴェノムカウンターが乗る」

沼地から青い蛇のようなものがキャメランに噛みついた  
そしてキャメランの攻撃力は0  
攻撃力が0になった瞬間、キャメランは破壊された。

「ああ！ キャメランが！

くっそお、俺のターン、ドロー！  
ディフォーマー

D・チャッカンディフォーマーを召喚！

チャッカンでヴェノム・サーペントに攻撃だあ！」

「ふん、永続罨発動」

男が永続罨を発動させるが

そんな事を無視してチャッカンの打ち出す炎がヴェノム・サーペン  
トを焼く

ヴェノム・サーペントは叫び声を上げて燃え尽きる。

この戦闘で男に200ポイントのダメージを与えられた  
だが、次の龍亜のターンまでチャッカンが生き残れるかどうか。

すると沼地から何かが現れ始める

黄金の蛇を模った何かを被っており

体は蛇、腕は何十匹もの蛇が手となっている不気味なモンスター  
このモンスターはいったい……

「俺が発動したカード、ダメージIIレプトルだ

爬虫類族が戦闘をした時に効果が発動される

戦闘ダメージを受けた時、そのダメージ以下の攻撃力を持つモンス  
ターを特殊召喚する

この効果により、俺は毒蛇王ヴェノミノンを特殊召喚した」

「ちょっと待てよ、それっておかしいじゃん！  
そいつの攻撃力は500、俺が与えたダメージは200  
ダメージ以下じゃないじゃん！ インチキだ！」

「お前……攻撃力を上昇させる永続効果とは予想できないのか？  
こいつの攻撃力は自分の墓地に存在する爬虫類族の数×500となる  
俺の墓地には爬虫類族はまだ1体だから、攻撃力は500だ」

何故だ？ 早すぎる

このモンスターを出すならば、もっと墓地にモンスターが増えてからだろう

早く出す意味など無いはずだ。

「それに、そいつってヴェノムって名前が無いじゃん  
だったらヴェノム・スワンプの効果を受けちゃって、攻撃力が0になるから破壊される  
完全にプレイミスだ！」

本当にそうか？

自分の使うカードぐらいは把握しているはずだ  
そんなプレイミスなんて……

「まだお前のターンだぞ  
どうする？ エンドフェイズか？」

「む、カードを1枚伏せてターンエンドだ」

「エンドフェイズ、ヴェノム・スワンプの効果  
ヴェノムカウンターを全てのモンスターに乗せる  
もっとも、ヴェノミノンはヴェノム・スワンプの効果を受けないと

いう効果を持っているがな」

「げえ……そんなの反則だよ」

あの場で出すのならその耐性は当然かなるほど、なかなか厄介な事だ。

「俺のターン、ドロー」

さて問題、俺は何故攻撃力が500しか上がらない序盤にヴェノミノンを出したのでしょうか」

「そんなの簡単じゃん

他に出せるモンスターが居ないからだろ？

攻撃力200以下の爬虫類族なんてそんな居ないって」

「ハズレだ、アホが

正解はこれ、魔法カード発動、ヴェノム・ショット

自分の場にヴェノミノンやヴェノムと名の付くモンスターが存在する時に発動できる

デッキから爬虫類族モンスターを1体、墓地に送る

そして相手のモンスター1体に、ヴェノムカウンターを2つ乗せる」

「え？

ちょ！ ちょっと待ってくれ！

どどど、どうすれば！」

龍亞が慌てている間にも

ヴェノミノンが腕から蛇を撃ち出した

その蛇はチャッカンに噛みつき……攻撃力が0に

ヴェノム・スワンプの効果により、チャッカンは破壊された。

「墓地の爬虫類族が増えた事により、ヴェノミノンの攻撃力が500アップする

そして魔法カード、苦渋の選択を発動

デッキよりカードを5枚選択し、相手に公開する

相手はそこから1枚を選択する、俺はその選択されたカードを手札に加え、残りは全て捨てる

俺が選ぶのは……これらのカードだよ」

男が見せたカード

ヴェノム・ボアが3枚、ヴェノム・スネークが2枚

全てモンスターであり、更に爬虫類族

という事は……

「それって、どれを選んでも攻撃力が2000もアップするって事じゃん！

だったら追撃されない為に、LV5のヴェノム・ボアを選ぶ！」

「分かった、俺はヴェノム・ボアを手札に加えよう

そしてヴェノミノンの攻撃力はこれで3000

俺に逆らう魚を捕まえる為の道具に、ダイレクトアタック直接攻撃だ」

「なんだよその呼び方！

って、うおわあああ！」

……おそらくルアーと言いたいのだろう

あの男は何か名前に拘りでも有るのだろうか？

「そうそう、お前に俺のもう1枚の手札を教えてやろう」



「なに？」

男の手札は現在2枚

その内1枚は先ほどのヴェノム・ボア

つまり、残りの1枚を見せるという事か？

「お前、何考えてるんだよ」

「哀れみだよ、本来ならお前は負けていたからな  
嬉しいだろ？ 情けを掛けてもらって生き残ったんだからな」

男が見せたカード

それはスネーク・レイン

どんな効果のカードなんだ？

「このスネーク・レインはな

手札を1枚捨てる事で、デッキから爬虫類族モンスターを4体墓地  
に送るんだ

俺の手札にはヴェノム・ボア、そして4体の爬虫類族が墓地に送ら  
れる

さて……これを使っていた場合のヴェノミノンの攻撃力はいくつな  
んだろうな？

ターンエンドだ」

攻撃力は2500アップし、5500

1ターンキルになっていたのだが……男はしなかった。

その目的が……情けや哀れみか！  
なんて奴だ！

「あの野郎、趣味が悪いぜ  
次のターンで龍亞が何か反撃の糸口を見つけないと確実に使われる  
そうになったら龍亞に勝ち目は無いぜ」

「だが、奴は油断している  
もしヴェノミノンを破壊できれば龍亞にもチャンスが有るだろう  
このドロー次第か……」

「だけどそう簡単にいくかしら？  
あの男、油断したらいけない気がするわ  
気をつけて……龍亞」

「龍亞……頑張って、龍亞！」

頑張れ龍亞、みんな応援している  
だから龍可の為に必ず勝て！

「……おう！ 俺のターン、ドロー！  
よっしゃあ！ ディフオーマー 魔法カード、ディフオーマー D・スピードユニットを発動！  
手札のDと名の付くモンスターをデッキに戻す  
俺は手札のD・マグネンIをデッキに戻すぜ！  
そして場のカードを破壊、俺はドローする！  
俺が破壊するのは当然、ヴェノミノン！」

よし、これで高攻撃力のモンスターを破壊できる！  
これなら龍亞にもまだチャンスが！

破壊されるヴェノミノン  
そして龍亞がカードをドロー  
しかし男の態度には余裕が見られる……何故だ？

「くく……ヴェノミノンを破壊してくれてありがとうとよ  
罾カード、邪神降臨を発動

ヴェノミノンが破壊された時、手札かデッキから  
毒蛇神ヴェノミナーガを特殊召喚する  
現れよ……毒蛇神ヴェノミナーガ」

現れたのは蛇の下半身を持つ巨大な女性  
腕はヴェノミノンが複数の蛇だったのだが、このモンスターは巨大  
な1体の蛇  
なんなんだ、このモンスターは！

「ヴェノミナーガもヴェノミノンと同じく、攻撃力を上昇させる効  
果を持っている  
故に、ヴェノミナーガの攻撃力は3500だ  
さあ頑張って倒せ、こいつがこのデッキの切り札だ」

「へ、そんなモンスターちつとも怖くないもんねー！  
ディフオーマー  
俺はD・モバホンを召喚して、効果を発動！

1～6のダイヤルがランダムに選択され、出た目の数だけデッキの  
上を確認する

ディフオーマー  
その中にDが入っていたら1体だけ特殊召喚できるんだ！  
モバホンの効果、ダイヤル・オン！」

モバホンの体の数字、1～6までの数字がランダムに光り出す  
どうなる……そして光が止まった場所、その数字は！

「ダイヤルの数字は5！  
デッキの上から5枚を確認……よし、D発見！  
ディフオーマー  
俺が特殊召喚するのはD・リモコンだ！

そしてそれ以外のカードはデッキに戻してシャッフルする！」

チューナーを引けたか、やるな

だが龍亞はLV4のシンクロモンスターは居ない  
どうするんだ？

「そして魔法カード、ジャンクBOXを発動！

ディフオーマー  
墓地からDを特殊召喚する！

エンドフェイズに破壊されるけど……

ディフオーマー  
それはともかく、D・チャッカンを特殊召喚！」

よし、これでLVは7だ

龍亞のエースモンスターを出せるぞ！

「LV1D・モバホンと、LV3D・チャッカンに  
ディフオーマー

LV3D・リモコンをチューニング！

世界の平和を守るため、勇気と力をドッキング！ シンクロ召喚！

愛と正義の使者、パワー・ツール・ドラゴン！」

攻撃力は勝てないが、パワー・ツール・ドラゴンには効果が有る  
これで逆転できるかもしれない！

「……くつくくく……くはははははは！」

「な、なんだよ……突然笑い出して」

「何でって……くく、世界の平和を守るため？

勇気と力をドッキング？ 愛と正義の使者？

な、なんて臭い台詞だ……くくく、言ってて恥ずかしくないのか？  
俺だったら恥ずかし過ぎてとてもじゃないと言えないな」

「ば、馬鹿にするなあ！

パワー・ツール・ドラゴンの効果発動！

デッキから装備魔法をランダムに選択し、手札に加えられる！

いくぞ！ パワー・サーチ！」

龍亞、あまり気にするな

デュエルディスク

決闘盤にセットされたデッキがランダムにカードを1枚抜き出す

龍亞はそのカードを手札に加え、喜びの顔を見せた。

「よっしゃあ！ 俺ってばラッキー！

装備魔法、巨大化とダブルツールD&Cをパワー・ツール・ドラゴンに装備させる！

巨大化は相手よりもライフが少ない時、装備モンスターの元々の攻撃力を倍にする！

そしてダブルツールD&Cは自分のターンの間、攻撃力が1000ポイントアップし

更に、戦闘を行うモンスターの効果が無効化させちまう、すげー装備魔法なんだぜ！」

やったな龍亞！

パワー・ツール・ドラゴンの元々の攻撃力は2300

巨大化の効果で4600にアップし、更にダブルツールD&Cで5600

しかも効果が無効化にするのでヴェノミナーガの攻撃力は0となる  
これが決まれば龍亞の勝ちだ！

「パワー・ツール・ドラゴンでヴェノミナーガに攻撃！

クラフティ・ブレイク！」

「チィ！　ぐうう！」

ヴェノミナーガを破壊できた！  
これで龍亞の勝ちだ！

「よっしゃあ！　これで龍亞の勝ちだぜ！」

「うむ、よくやった」

「それに相手の正体も知れるわね」

「龍可ちゃんを誘拐しようとしてたんだ  
狭霧さん、これは誘拐未遂で逮捕ですかね？」

「そうね」

「やったね……龍亞」

「へっへーん！」

俺に掛ければこんなもんだぜ！」

うん、よくやったな龍亞

これでお前の勝ちだ。

「……お前ら、何か勘違いしてないか？」

「え？」

男の方を見ると……ライフがまだ残ってるだど！？  
しかも場には攻撃力3000のヴェノミナーガと、ヴェノミノンが

……

「ふう……今のはさすがに驚いた  
まさかあの局面で巨大化を選択されるとはな……  
だが、ヴェノミナーガの効果を知らなかったとはな」

ヴェノミナーガの効果……だと？

「ヴェノミナーガは戦闘で破壊された時  
墓地の爬虫類族を1体除外する事で蘇生される」

男は説明しているが、落ちそうになっているフードに気付いていない  
後少して男の顔が見えるようになる。

「更に、ヴェノミナーガは全てのモンスター、魔法、罠の効果を受  
けない

故に、ダブルツールD&Cの効果無効化の効果を受けなかったとい  
う訳だ

残念だったな、攻撃力は継続して3500のままだった」

男のフードが完全に落ちた

その顔には、クロウ以上のマーカー

頬はほぼ全てマーカー状態、目元も額にも有る  
どれだけの重罪を……

「ん？ フードが落ちたか

ふふ、どうだこの顔は……マーカーで一杯だろう？  
これがお前とラリーへの怨みだよ……流星」

「遊星だ

俺とラリーが何をしたというんだ

龍亞はお前のライフを2100ポイント削った  
1000のダメージ毎に説明すると言っていたな  
だったら説明しろ」

「ふん、まあ良いだろう

だが先に効果の処理説明はしておくぞ

俺はダメージを2100受けた事により、ダメージレプトルの効果を発動

元々の攻撃力が0のヴェノミノンをデッキより特殊召喚したという訳だ」

そういえば残っていたな

攻撃力3000が2体……か。

「さて……説明だったな

原因はかなり偶然だったとだけ言っておく

俺は気付いた時にはサテライトに居た、何故そこに居たかは知らない  
どうやってそこに来たのかも分からない

それで誰かに訊こうと思い、走っている子供に声を掛けた……」

「その子供が……ラリーか」

「さあな、俺が見たのは姿だけ

名前を知ったのはそれとは別だからな

俺が覚えているその子供は茶髪の髪の長い少年だった」

なら、男の言う子供はラリーだ

しかしこんな奴の話は聞いてないぞ？



「俺が声を掛けた瞬間、その子供は逃げ出した  
何か後ろめたい事でもしていたのか、それは分からないがな  
俺は何か少しでも情報が欲しかった……だからその子供を追いかけた  
行き着いた先は既に使われなくなった地下鉄、子供はそこに降りて  
いった」

地下鉄……まさか！

「俺は話が聞きたいが為、同じく地下へと向かう  
そして……そこで事件は起きた  
セキュリティのヘリが来て、ラリー・ドーソンが窃盗をしたと言  
い出した

俺は状況が分からず、上へ昇った

当然セキュリティに見つかり、容疑者として御用だ

俺が捕まり、車に乗せられた直後に……流星、お前が地下からD・  
ホイールに乗って現れた」

「あの時の事か……」

それと、俺の名前は遊星だ」

「それってよ、俺が遊星と初めて会った時の事じゃねえか？」

「ああ、そうだ

俺と牛尾が初めてライディング・決闘デュエルをした時の日だ」

「あの時に捕まったのってお前だったのか……」

それならば怨まれるのも分からなくも無いが……

「俺はそのまま連行され、取り調べを受けた

だが、俺の担当者は酷い奴でな  
俺は何も知らないと分かった上で拷問だ」

「ご、拷問だとお！？」

そんな事、余程の事件じゃない限り禁止されてるはずだぜ！」

「そうよ！

嘘言わないでちょうだい！」

「嘘……だと？

ならこれを見ろ！」

男が腕を捲る

その腕には火傷のような痕が……

「火攻め、水攻め、電気椅子まで体験した

さすがにどれも死ぬかと思ったが、精霊が少しでも回復してくれた  
おかげで命は繋いだ

俺が死なないとなると、拷問は当然エスカレートしていったさ  
五体満足といえば五体満足だが、拷問の痕はキツチリと残ってるぞ  
このマーカ―も、拷問の一種だよ」

「……その担当者の名前は？」

「知るか、名乗りもされなかったからな

俺自身もかなり精神をすり減らしていな

もう何かに縋らなければ氣力が無くなりそうだったんだ  
となれば……」

「俺とラリーを怨む事で、自身の心を守った

という事か」

「そういう事

お前があの時、D・ホイールで出てこなければ俺は簡単に解放され  
たんだ

ラリー・ドーソンが盗みをしなければ、そもそもこんな事にはなら  
なかった

あの子供が逃げなければ、俺はその辺を歩いていただけだった  
そうだ、偶然が重なり、不運が同時に来ただけ……そんな事は分か  
ってる

だがこのマーカート、拷問までされて怨まない奴はいねえ！」

「……すまなかった」

「謝られても困るんだがな

俺にはまだまだ色々と言いたい事が残ってるんだ

俺の怨みは、これだけじゃない

だが、この続きは次の機会にしようかな」

「次の機会だと？」

男は決闘盤デュエルディスクのデッキに手を当てる

まさか、決闘デュエルを続けるつもりか！

「俺のターン、ドロー！」

手札から魔法カード、スネーク・レインを発動！

手札のヴェノム・ボアを捨て、デッキから爬虫類族モンスター4体  
を墓地に送る

これにより、ヴェノミノンとヴェノミナーガの攻撃力は2500ア  
ップ！

まだまだ……再びヴェノム・ショットを発動！  
デッキから爬虫類族モンスター1体を墓地に送り、相手モンスターにヴェノムカウンターを2つ乗せる！」

拙い！

パワー・ツール・ドラゴンにはエンドフェイズ時にヴェノムカウンターを既に1つ乗っていた  
これでカウンターは3つ、攻撃力が1500ダウンして4100に！  
そしてヴェノミナーガ達の攻撃力は……6000！

「こ、攻撃力6000？」

「終わりだ……ヴェノミナーガでパワー・ツール・ドラゴンに攻撃  
アブソリュート・ヴェノム！」

「うわあああああああ！！！」

龍亞のライフが0に！

「龍亞あ！」

龍可が龍亞に近づこうと走り出す  
しかし、男が龍可を捕まえた。

「おっと、悪いがお前はこっちだ……マナ」

「はい……あんまり酷い事はしたくないんだけど  
でもごめんね？ 私はこの人に逆らうつもりは無いんだ」

「は、離して！」

マナと呼ばれた精霊が実体化する  
そして持っていた杖を振った……

すると龍可が……魔法カード、死のマジック・ボックスの中に！  
どうなってるんだ！？

『な、何これ！

ソリッドヴィジョンじゃない！？  
出られない！』

「龍可あ！

お前、龍可を離せえ！」

「邪魔をするな！」

「があ！」

マナを止めようとした龍亞  
しかし男が腹を殴って止める  
衝撃で龍亞は気絶してしまったようだ。

「ショータイムだ」

男が指を鳴らす  
すると無数の剣が箱の周りに……まさか！

「止めろ！  
その剣をすぐに消せ！」

『え？ 剣？』

遊星、剣ってどういう意味！？」

中から外が見えないのか！

「悪いがお嬢ちゃん、企業秘密だ」

男が再び指を鳴らす

無数の剣が……箱に突き刺さった！

「る、る……龍可あああ！」

「そ……そんな……龍可が……」

「くくく……その絶望の顔が見たかったんだよ  
次の戦いは3日後、猿の住んでいた塔にて待つ  
それまで精々、俺に勝てるように努力するんだな！」

「待てえ！

せめて名を名乗れ！」

ジャックが吠える

俺もそれに同調する！

「俺を怨んでいるのなら俺だけにその剣を向けろ！  
仲間達に剣を向けるなあ！」

「ふん、俺はお前の絶望した顔が見たいんだよ  
そうそう、俺の名前だったな

俺の名は……第5代決闘王<sup>デュエルキング</sup>、堅守瑞貴」

男……堅守瑞貴の体はマジカル・シルクハットに隠された  
そして……地中に潜り、消えていく……

何故仲間達を……くそ！

くそっ！ くそっ！！ くそっ！！！！

「くっ……龍可……！！！！」

## 5D's 1話【新たなる悪夢の始まり】（後書き）

時間的にいつの話？

ダークシグナー編終了直後です

D・ホイールが壊れてたり、体中がボロボロだったりの遊星達  
その帰り道という事になっています。

デュエルディスク  
瑞貴の決闘盤ってどうなってるの？

GX時代の私物です

デュエルディスク  
なのでこの世界で普通である、モーメントで動く決闘盤ではありません。

デュエルディスク  
龍亞の伏せカードが1枚残ってるけど……

D・バリアです

破壊が確定していないヴェノム・スワンプの効果なので発動できませんでした。

邪神降臨は発動できるの？

破壊とドローは同時扱いだそうです

なので可能です。

パワー・ツール・ドラゴンの効果が違う……

アニメ効果です

デュエルディスク  
あの世界の決闘盤はランダムにカードを選んでくれるので  
だからあの効果がランダムでも使えるという……進化した決闘盤です。

前回のとの大きな違いは？

瑞貴は卒業後という設定は同じです



セキュリティに捕まる切欠も同じ

しかし、担当者が牛尾とは別の人間が担当しました  
まあ……最低の拷問好きのサディストという所でしょう。

拷問って……

あの世界だったらそこまで不思議じゃないと思います  
しかし……自分の発想力の無さに嘆きます

火攻め水攻め電気椅子しか思いつかないとは……情けない。

死のマジック・ボックスが実体化!?

マナの力……という事にしておいてください  
あの世界だったらきっとこれぐらいできるはず。

龍可はどうなったの!?

次回まで秘密です。

なんだか色々超常現象が……

アニメっぽく演出したらこうなりました  
あまり気にしないでスルーしてやってください。

猿の住んでいた塔って?

ディマクが居た場所です

塔は既に沈んでいます……残っているという事にしてください  
良い場所が思いつかなかったんです

特徴的な場所という事でそこはスルーしてください。

なんというか……瑞貴が色々ヤバイ?

色々ヤバイです

詳しくは後々……

ツイッターでツイッター

http://twitter.com/#!/ainkuria  
何が言いたいんだろう？

## 5D's 2話【奴の情報】（前書き）

「なーにかな、なーにかな……今日はこれ

死のマジック・ボックスだ

相手のモンスターを破壊して自分のモンスターのコントロールを相手に渡す

……龍可、やっぱり一緒にしたいよ」

すまん龍亞、1人でしてくれ

現在龍可は行方不明なんだ。

という感じです

今回は決闘は無し、楽しみにしてた人はごめんなさい

次回はする予定です。

妙に長くなった今回

次回はまあまあ……誰と戦うかちよつと悩み中です。

## 5D's 2話【奴の情報】

視点 遊星

男……堅守瑞貴と出会った翌日  
俺達は1箇所が集まった。

龍亞には龍可の事を教えたくなかったが  
それでも言わないわけにはいかず……ジャックが話した。

話を聞いた龍亞はショックで落ち込み、部屋に閉じこもっている  
この場に居るのは龍亞と龍可を除いた者となる。

「第5代決闘王、デュエルキング堅守瑞貴に関して調べてきたぜ  
つつても、情報なんて殆ど無かったがな」

「情報が無いだど!?!」

ジャックが牛尾に堅守について調べるように指示を出した  
その結果が……少量の情報か。

「たった1夜で詳しく調べられるかよ  
それでもかなり深くまで探ったんだぜ?  
セキュリティの権限を乱用してまでな」

「それはありがたいんだが……  
権限を乱用するのは褒められる事じゃないだろう?」

「いいえ、今回の事件の原因は私達セキュリティよ  
こちらの者が拷問なんて馬鹿な事をしなければこんな事には……本  
当にごめんなさい」

狭霧は俺達に深く頭を下げる  
牛尾も狭霧に見習い、頭を下げた。

「過ぎた事だ、これから注意してくれればいい  
それより情報は？  
今は少しでも奴を知りたいんだ」

「すまねえ……  
奴の名前だが、堅守瑞貴だな  
顔はマーカーで埋め尽くされてるから断言はできないが、ほぼ同じ  
顔だった  
マーカー無しの本人の顔を想像して写真も見れば、絶対に同一人物  
だと言えるな」

「ちょっと待てよ  
第5代って何十年前も前の話だろ？  
なんでそんな奴が元と同じ姿で居るんだよ  
例え同一人物でも、今じゃよぼよぼのじいさんのはずだぜ」

確かにそうだ  
ならば何故あの男は堅守瑞貴と名乗ったんだ？  
例えば息子や孫だと考える事もできるが……  
それでもそこまで顔は似ないだろう。

「んな事、俺が知るかよ……続けるぞ  
経歴はほぼ全て消滅している、誰かが書き変えた後が残ってるが特

定はできねえ

高校時代はデュエル・アカデミアに通っていたらしい  
その頃から既に悪魔だの、魔王だのと呼ばれていたとか……」

「なんだそりゃ？」

「性格が悪いって事なのか、決闘デュエルの実力なのか……  
決闘王デュエルキングになっているという事は後者の可能性が高いな  
デュエル・アカデミアを卒業後、僅か1年足らずで決闘王デュエルキングの座に着く  
プロにならず、一気に駆け上がったらしい」

「一気って……そんな事できるの？  
だって決闘王デュエルキングよ、簡単な事じゃないはず」

「事実だ、どんな手段を使ったのかは見当もつかねえ  
最凶の決闘王デュエルキング、最低王、ゲスの堅守、悪夢の瑞貴  
そんな感じで二つ名は非常に悪い内容となっている」

本当に悪い呼び名だ  
それが通称という時点で、奴の態度などが予想できるな  
どんな事をしていたのか……

「あの野郎……拷問でおかしくなっちゃったのかと思ったら  
元々かなりぶっ壊れた性格をしてやがったのかよ  
同情する気が失せちゃうな」

「そういう訳でも無さそうだぜ  
戦いたく無い相手に過去の決闘王デュエルキングで最高だったが  
同時に戦いたい相手でも過去の決闘王デュエルキングでトップだ  
その理由はもう1つの名、千変万化の決闘者デュエリスト」

千変万化だと？

何に変身する……変身はしないか  
奴の何が変化するんだ？

「極々僅かだが、なんとか見つけれられた  
堅守瑞貴の決闘シーン、決闘の途中で切れてやがるがな  
その内容だが……使用していたのは魔法使い族だった、爬虫類族じゃない」

「千変万化……  
ねえ牛尾、もしかして堅守瑞貴の使うデッキって……決まってるの？」

「正解だ、他にも2つ見つけたんだが……使っていたのは悪魔族、  
魚族だった

それで千変万化、戦う度にデッキの顔が変わるから誰も対処できねえ  
だからそんな相手に勝つ事で名を上げたいという奴が所狭しとな  
例えるならば、初代決闘王の武藤遊戯は魔法使い族を主力としてい  
るだろ？

やろうと思えばアンチデッキだって作れる、だが堅守瑞貴は対策が  
全くできない

そういう相手だからこそ、本来の自分の实力を知る事ができる  
だから戦いたい相手でもトップに輝いたんだろうな」

つまり、性格ではなく実力で汚名を得たのか  
どんな戦い方をすればそんな名を得られるのか……

「……俺は1度だけだが、奴の戦いを見た事が有る  
記録でだが……な」

「な、なんだってえ!？」

どこで見たんだジャック!」

だが、どうやって……

「俺がキングの時の事だ……

伝統として、歴代の決闘王デュエルキングの決闘を見る義務が有る

全ての決闘王デュエルキングの決闘を見たが……奴だけは油断できん」

「どんな戦いだったんだ?」

ジャックは口を閉じ、少し考える

躊躇ったようだが……やがて話し始めた。

「最低、最悪、最凶……そんな言葉を並べられるな

その時に使用していたのは機械族のデッキだった

相手の……コピーデッキだったがな!」

「「「「コピーデッキ!?!?!」」」」

コピーデッキで戦うだと!？」

そんな事をしたのか!

「しかも自分で使い易く改造まで加えてな

機械族専用のアンチカードであるシステム・ダウンを使ったりもした  
機械族殺しの機械族コピーデッキだ、遙かに強化されているな!」

なんという悪趣味な……

そんな戦い方をすれば汚名も当然か、



「更に最初から最後までライフコストは払ったものの、戦闘ダメージも効果ダメージも受けなかった  
相手からすれば悪夢だろう、それで悪夢の瑞貴と思われる  
まさにゲスという言葉が当て嵌まるような、外道決闘王だ！」  
デュエルキング

奴はそんな奴だったのか……  
しかし、気になる事も多いな。

「何故……俺達は堅守瑞貴の事を知らなかったんだ？  
デュエルキング  
決闘王ならば名も顔も知られているはずだ  
詳しい事だって牛尾が調べたから知れた事  
どうしてあいつは、そこまで無名なんだ？」

「そういえばそうね……  
ジャック以外に堅守瑞貴で知っている事は有る？」

誰も何も言わない  
つまり、誰も知らないという事だ。

「知らなくても無理はねえよ  
堅守瑞貴のデータはセキュリティでも奥深くに有ったんだ  
表向きには、殆ど居なかった人物になってるんだよ」

「殆ど居なかった人物？」

「この男が決闘王になってから1ヶ月後、行方不明になってたんだ  
デュエルキング  
しかもその後に見つかったという話は皆無  
神隠しだの、死んだだの、駆け落ちしただの、そんな勝手な想像ばかりだ

たった1ヶ月の天下、その1ヶ月で知名度は凄まじい事になったんだ  
あの堅守瑞貴の実力はそれだけ評価されていたって事だろ」

それほどの奴だったのか……

「で、本当に同一人物なのか？」

「んなわけ有るか

ここまで調べておいてアレだが、俺は同一人物という説を信じてない」

「だが、俺達にはあの男と堅守瑞貴が同一人物かを調べる術は無い  
分かっている事、それは俺を怨んでいる事、精霊を所持している事  
そして龍亞を圧倒し、龍亞を……」

場が静まる

やはり言うべきでは無かったか……

「あの、少し気になったんだけど  
龍可ちゃん……もしかしたら生きているかも」

「深影さん、気休めはちよつと……」

「気休めかもしれないけど聞いて  
みんな、よく思い出してちょうだい  
彼が決闘前<sup>デュエル</sup>に何を言ったのかを」

<sup>デュエル</sup>決闘前に奴が言った言葉？

「彼は確かにこう言ったわ

俺が連れて行くのは……とね」

連れて行く……そういう事か

アレは殺したように見せかけた誘拐か！

「彼の目的は遊星君の精神的ショック

仲間が死んだように見せれば……遊星君のダメージも大きいでしょうね

本当にあの様子で攫ったとは断言できないんだけど……」

「いや、ありがとう狭霧

僅かだが希望は見えた……」

龍可はきつと死んでいない

必ず生きているはずだ。

「そういえばよ、死のマジック・ボックスの効果ってなんだ？

魔法使い族が使うようなカードは使わないからわかんねえんだ」

「はぁ……別に魔法使い族専用のカードじゃないわ

あのカードは相手モンスター1体を破壊するのよ

その後、自分のモンスターのコントロールを相手に移す

厄介な相手モンスターを破壊し、自分の弱小モンスターを渡して倒す  
そういう使い方が賢い方法かしら？」

自分の場のモンスターを相手の場に移すか……

使い勝手が良いとは思えないが、そういう使い方で良いのか？

「相手の場に移す……つまり奴のアジトに転移させられたという所  
か？」

「そう取る事もできるわね  
だけど、そんなに簡単な事かしら？」

「何にせよ、死んでない可能性が上がったんだぜ  
これで少しは気分がマシになった」

「マシになどなるものか

確かに死んでない可能性は有るが、奴に龍可が奪われたのは事実だ  
3日後……2日後に猿の住んでいた塔にて待つと言っていたな  
それはどこか分かるか？」

猿……猿の住んでいた塔？

猿と塔、それが関連している場所は……

「旧モーメントの制御装置、C u <sup>クシル</sup> s i l l u !」

「旧モーメントって……またあそこに戻るのかよお  
せっかくシテイに来たつてのによおー……」

赤き竜の力でだがな

そういえば狭霧と牛尾の車がサテライトに置きっぱなしだったな  
盗まれていなければいいのだが……

「そう言うなよクロウ

俺達の権限でなんとかサテライトまで連れて行ってやるからよ  
残り2日も有ればなんとかなるはずだ」

「頼む牛尾

龍可を助け出す為に……」

「おう、任せとけ！」

「もう、安請け合いして……  
でも任せておいて、必ずどうにかするから！」

牛尾と狭霧は部屋から出て行った  
残されたのは龍可を除くシグナー達。

「俺達はどうする？」

「私は龍亞の様子を見てくるわ  
大丈夫だと思うけど……その後はデッキ調整をしておく  
私達は負けられないもの」

「待ってくれアキ

これは俺と奴との問題だ  
デュエル  
次の決闘は俺が戦う」

「そう上手くいくかしら、あの男の言葉を忘れたの？  
奴は貴方の苦しむ顔を見る事が目的なのよ  
ならば次の狙いは私達……その可能性は十分に有るわ」

それはそうかもしれないが……  
だがこれは俺達の問題だ  
アキやみんなを巻き込むわけにはいかない。

「俺も行くぜ、こんなの納得いかねえ  
いくら怨んでるからって子供まで巻き込む  
そんなの、俺は絶対に許さねえ！」

そう言って出て行くクロウ

おそらく、気を紛らわしに行くのだろう  
荒れなければいいのだが……

「俺はここに居る

遊星、お前はとうするつもりだ？」

「俺は……そうだな、D・ホイールの調整でもしよう  
修理もしなければならぬしな  
特にクロウのD・ホイールは破損は大きい」

ジャックのD・ホイールもだがな  
これらの修理をするとなると……頭が痛い。

「遊星」

「どうしたジャック」

「……1人で行ったら許さんぞ  
お前のD・ホイールは無事なのだからな」

見破られたか……

「分かった」

これでは行けそうにないな  
仕方無い、諦めてジャックとクロウのD・ホイールを修理しよう  
時間は……間に合うだろうか？

視点 龍可

……ん？

ここは……ベッド？

「あ、起きた？

龍可ちゃんが起きましたよー！」

えっと……昨日の精霊だね？

って、ここどこ！？

「起きたか？」

「貴方……昨日の

ここはどこなの！」

それなりに整理されてて、どこかの部屋みたい  
普通の家みたいな感じだけど……

「ゴドウィンに与えられた俺の家だ

そういえばあいつは消えたが……このまま借りていいのか？

家賃は既に年単位で払われているとは聞いているが」

「いや、私に言われても……」

それにしても……ゴドウィンに与えられた家？

この人、セキュリティに捕まったんだよね？

どうして治安維持局のゴドウィンから家を？

「まあ、どうでも良いか

君の状況を簡単に説明すると、俺に誘拐された事になる外には出せないが、この家の中では自由にして構わん」

「誘拐って、そんな事を言われても困るわ！

私をみんなの居る所に帰して！」

「そいつは無理だ

君は剣で串刺しにされて死んだと思われているからな死人が表の世界に出ていくつもりか？

なんだったら君のデータを改竄してやろうか？

龍可、剣で串刺しにされて死亡……てか？　くくく」

私が……死人？

「でも、私は生きてる！」

「ダークシグナー達も死人だったんだっけ？

君もダークシグナーとして復活したって設定はどうだ？  
痣は無いが、付けてやっても良いんだぞ？」

そう言って男は私に地縛神のカードを見せる  
こんなの、酷すぎる！

「あ、はあ！」

男の精霊が突然……壁みたいなのを出した  
その直後、レグルスが壁に激突する。



「れ、レグルス!？」

「ほお、マナが突然声を出したからどうしたかと思えば……なるほど、隠れて精霊に指示を出していたか  
実体化していないから俺には通用しないが……  
尚のこと油断できんな、しかもレグルスとは」

そういえば精霊が見えないんだっけ  
なら、何が起こっているのか分らないの？

「確か効果は墓地のフィールド魔法をデッキに戻す効果  
となれば君のカードはエンシェント・フェアリー・ドラゴンだな  
レグルスと相性の良いシグナーのカードは確かそいつだったはずだ」

レグルスの名前と効果だけで私のカードを当てた!？  
しかもシグナーの竜を知っているの!？

「って、私はレグルスに何も指示なんて出してないわ!  
レグルスも、心配してくれるのは分かるけどいきなりは駄目よ」

『しかし……こいつは信用できない!』

「うん、私もそう思うよ  
だから龍可ちゃんも気をつけてね」

……持ち精霊から忠告された  
この人っていったい何者？

「おいマナ、大方レグルスが俺に何かを言ったんだろう」

それに同調するとはどういう事だ？  
俺の予想では、悪口だと思うのだが」

「それは……秘密であいたあ！」

仲間外れになって怒ったのかな？  
精霊の頭を殴るなんて……

「ふん

お前はそいつらの相手でもしてろ」

そう言って男は部屋から出て行った  
残ったのは私と精霊達だけ  
どうしよう……

「うーん……どうしよっか？」

「それ、今私が考えていた所だったんだけど  
とりあえず自己紹介しようか  
私の名前は龍可よ」

「私はマナ、何の精霊から教えてあげない」

『……何故あの人間と共に居るのだ  
ブラック・マジシャン・ガール』

「ぶ、ブラック・マジシャン・ガール!？」

ブラック・マジシャン・ガールって……  
伝説の初代決闘王<sup>デュエルキング</sup>、武藤遊戯のデッキにしか入っていないカード！

何であの人が持つてるの!?

「ぶー、どうして教えるの  
教えるなって言われてたのに……」

「じゃあ……貴女は本当にブラック・マジシャン・ガールの精霊なの?」

「うん、そうだよ」

「どうしてあの人と一緒に居るの?  
だってあの方は遊星に……」

酷い事をしようとしてて  
でも、悪いのはセキュリティの人で  
怨んでるのは遊星で……

「酷い人と一緒に居るのがそんなに不思議?」

「……ええ」

「あの人の1面だけしか見ないでの判断は止めて  
あんなの、感情や顔の1つだけ……  
心配しなくても、酷い事なんて絶対にされないから安心して」

そんな事を言われても信じられないよ  
実際に今、誘拐されて閉じ込められて  
みんなと離ればなれで……

『それで、貴様は何故あの男と共に居るのだ?』

「どうしてって

別にそんなに難しい理由じゃないよ  
離れたく無いから、それ以上の理由が必要？」

『しかしあの男は精霊を見る力を持っていない  
何故あの男にそこまで入れ込む

とてもではないが、ブラック・マジシャン・ガールとは思えん』

「私の事を勝手に想像して、その考えを押し付けしないで  
そういう事をされるのって気分が悪いよ

後、精霊なんて見えなくなっちゃっていいじゃない

私は簡単に実体化できるし、触れたりもできる  
精霊化していない間はちよつと力が使える人間と変わり無いんだよ  
？」

そのちよつとが……あの箱？

真っ暗で怖かったし、剣で串刺し……

ううう、想像したくないわ。

「えっと、今更だけど君の状況を改めて教えるね

君はあの人に誘拐された、したのは私だけど

それで現在は監禁状態、家から出なかったら殆ど自由だけど

何をしてても良いけど自分で責任を取る事、壊したら弁償って事ね」

なんだか凄く緩いんだけど

本当に誘拐された状態なのかな？

「あ、そういえばこれを訊いておけって言われたんだった」

「遊星達の事は何も話さないわよ」

「え？　なんでそんな話になるの？」

え？　だって情報を知りたいんじゃない？……  
なら何を訊くんだろう？

「今夜の晩ご飯、何が食べたい？」

「……晩ご飯？」

「うん、晩ご飯

難しいのは無理だけど、簡単なのだったら作れるって  
何が食べたい？」

いや、何が食べたいって言われても……

突然の日常の話でなにがなんだか

リクエストして良い立場じゃないわよね？

「なら……ハンバーグで」

「はいはい！

じゃ、言ってくるねー！」

そう言ってブラック・マジシャン・ガールは出て行った

ブラック・マジシャン・ガールってこんなに明るい性格だったんだ

……

なんだか予想外かも。

「たっだいまー！」

「早すぎない!？」

出てから1分も経ってないんだけど!

「だって言いに行くだけだよ？」

ここは家だし、近くに居るもん」

……そうだったわね

ここは家、ならすぐ近くに居るもの。

「そういえばあの人の名前は？」

「教えてあげないよ、ちゃん♪」

子供扱いされてるのかな？

それとも馬鹿にされてる？

「あんまり気にしないの! それよりもお話しよ、お話!

私ね、あの人以外の人間と話すのも、精霊と話すのも久しぶりなの」

そんなに楽しそうな顔をされたら断れない

困ったなあ……

……………

……………

……

とはいいつつも、楽しくお話ができた

マナって本当にあの人の事が好きなんだなあ

凄くそう思う。

だってあの人の話ばかり  
時々知らない名前も出てくるけど……

そうやって話していると、突然扉がノックされた  
誰かと思ったけど、あの男の人しかないか。

「昼飯だ、さっさと来い

来ないのなら捨てるぞ

飢え死んでもいいのなら構わんがな」

それだけ言って足音が離れていく

最後のは余計な言葉だと思っただけ……

『龍可、罨かもしれんぞ』

「どうしてご飯なんかで罨を仕掛けるの……

レグルスって頭が硬いんじゃない？

あの人はそんな事をするぐらいだったら

正面から正々堂々と嫌がらせをするって」

「それもどうかと思うけど……」

部屋から出てみる

そこそこ広い家みたい

4LDKぐらいかな？

あ、2階も有るんだ。

リビングに入ると既にご飯の用意がされていた

あの人は椅子に座って私を待っている。

「さっさと座れ

後、もしレグルスに何かさせた場合は覚悟しろ  
遊星達との約束である2日後まで全食飯抜きだ  
そしてお前の目の前で飯を食ってやる」

「レグルス、おとなしくしててね」

『……………むう』

「ぷっ…………犬みたいに丸くなってるう」

『笑うな!』

2人共…………2体? 2匹?

まあ、ともかく元気だね。

「食うぞ」

「あ、はい」

「「いただきます」」

簡単に作られたオムライス

料理はできるけど、難しいのはできないのかな?

…………あ、普通に美味しいかも。

「…………って、ああ!

さっき遊星達と2日後約束って!



それってどういう意味なの!？」

思わず流す所だった!

ど、どうしてそんな事に!？」

「言ってなかったか？」

とうか、マナから聞いてないのか？

遊星達を猿の居た塔に呼び出しておいた  
お前がディマクと決闘をしたあの塔だ」

あそこに遊星達が……

「でも、どうして私があそこで決闘をしたって知ってるの？  
あの時、貴方はあそこに居なかったはずよ」

「さあな、教えてやる義理は無い  
忘れそうになるだろうが、お前は人質だ  
本来だったら殺さない程度に痛めつけられても仕方無い立場だぞ？  
少しは自覚するんだな」

そう言って、あの人はナイフ持って私に向かって投げる振りをする  
迂闊な事をすれば切るって言うつもりかしら……

「レグルスに邪魔をされそうだがな  
それでも俺にはマナが居る  
止めるのはそこまで難しい事じゃない」

「余計な事をしない方が良いよレグルス  
私の実力……知ってるでしょ？」

『クッ、貴様!』

「落ち着いてレグルス  
挑発に乗ったら駄目よ」

レグルスはなんとか落ち着き、静かになる  
それでも、あの人を睨むのを止めない。

「さて、話を続けようか

俺はそこで奴らの内の誰かと決闘をする

デュエル

お前も連れて行ってやるよ、人質としてだがな」

「私を盾にして負けを強要するつもり？」

そんなの、絶対に許さない!

「誰がそんな事をするか

お前の役目はそんな事じゃない

あいつらを更なる絶望に叩き落とす為の……道具だ」

道具……私が?

「とは言うが、安心しろ

下手に逆らったりしない限り何もしない

お前がおとなしくしていれば奴らへの扱いも僅かながらでも軽くし  
てやる

間違っても出て行こうとしない事だな

マナの結界が張ってあるから出られる事も無いが……一応言っておく  
例え出られても、マナがすぐに気付くから簡単に連れ戻せるがな」

脱出は不可能

力押しのレグルスじゃマナには勝てない

エンシェント・フェアリー・ドラゴンに任せるのも有りだけど  
あの人がマナに何かサポートをしたら勝てる自信は……無いわ。

「とは言っても、何もしないのは暇だろう？」

何か欲しい物が有るなら言うが良い

少し高い程度のも物だったら買ってやるよ

俺はそこそ金持ちなんぞな」

どうやって手に入れたお金なんだか

冤罪とはいえ、これだけマーカーを付けてるんだし  
もしかしたら凄く酷い犯罪者かも。

「ちなみにこの金は汚い金じゃない

普通の売買をして手に入れた金だ

別にぼったくりをした訳じゃない、妥当な値段での取引だ

このマーカーは拷問でのみ付けられたマーカーだ  
全く犯罪は犯していないから心配はするな」

心を読まれた！？

「心を読んだわけじゃないぞ

俺みたいなマーカー持ちが金持ちというのは信じられないだろう  
かな

その為の説明だ、信じるか信じないかはお前次第だがな」

絶対に心を読んだ、そう思う

この人……何者？

「ごちそうさまっと」

お前も食い終わった食器は流しに入れておけ  
後でマナに洗わせるから」

「マナに？」

「こいつは料理ができないからな  
掃除洗濯など、そこら辺はできるようになったんだが……  
料理だけは全くできん、何故目玉焼きを焦がせるのか謎だ」

目玉焼きもできないの！？

あの人は食器を流しに入れて去って行く  
マナはちよつと落ち込んでた、大丈夫？

「どうせ私は料理なんてできませんよー  
目玉焼きもできない駄目駄目さんですよー  
ううう……」

「れ、練習をすればいつかは！」

「できないんだもん！  
何度教えてもらってもできないんだもん！  
50回以上教えてもらって、100回以上挑戦してできなかったんだもん！  
だもん！

どうせ私なんて、料理もできない駄目な女の子なんだー！」

マナは泣きながら去って行った

50回以上も教えるあの人も凄いいけど

100回以上も失敗するマナの方がもっと凄い

無駄だと思うけど、頑張れ！

オムライスを食べ終わった私は食器を流しに入れる  
……自分のは自分でした方が良いかな？

「あ、洗い物は私がするから良いよ」

「きゃあ！

ま、マナ……いつの間に？」

「今来たの

暇だったらお昼寝でもしたら？

私はこれから洗い物をして買い物に行かないと駄目なの  
暫く相手をできないから自分で暇を潰してね」

「買い物ぐらいあの人に行かせれば良いのに……」

料理をするんだったら自分で買い物をした方が良いと思う  
だってその方が分かりやすいと思うし。

「顔の大半がマーカのあの人が行けるはずが無いでしょ？  
あの人は必要外では絶対に外に出ないよ

マーカーだらけの顔を見られるのが嫌だから」

「そんなに嫌なの？

遊星やクロウは平気そうだけど」

「だって……完全に冤罪なんだよ？

何も悪い事をしてないのに捕まったんだよ？

なのに犯罪者として見られる、どれだけ辛い分かる？

外に出た瞬間に嫌そうな目で見られる、どれだけ悲しいか分かる？  
人と擦れ違っただけで避けられる、どれだけ寂しいか分かる？」

そう言われると……

確かに、何もしてないのにそれは酷い  
それでも乗り越えないと駄目だと思う。

「だから私が行くの

あの人が傷つかないようにね

ほら、部屋に戻っておとなしく待ってて  
買い物が終わったらまたお話しょ？」

「……うん」

マナに促されて部屋に向かう

私、あの人にどう接すれば良いんだろう？

分からない……

そういえばあの人がどこに居るんだろう？

欲しい物って言ってたし、試しに何か頼んでみようかな  
それが何か話す切欠になれば良いんだけど……

適当に部屋をノックする

……返事が無い、中は無人のようだ。

次の部屋をノックする。

「誰だ？」

「龍可よ

少しお願いが有るの」

「……入れ」

そう言われて部屋に入る

中は殆ど何も無く、必要最低限の物だけ。

「って、何をしてるの!？」

上半身裸で体になにかを塗ってる!？

ななな……なな、なあ!？

「見て分からないか？

拷問痕の痣を消す為の薬を塗ってるんだよ

なかなか消えてくれなくて困ってるんだ

しかも、薬を塗った後は暫く服を着れないからまた困る」

そそ、そういう問題!？

「こんな格好で悪いな

薬を塗ってる状態だから服は着れない

それで、何の用だ？」

「えっと、その……何を言うか忘れたわ」

だって、部屋に入ると男の人の裸だし

上半身だけだったけど、吃驚したわ。

「そうか

この家の中だったら好きに使って良いぞ

お前の部屋のダンスには服も入ってる  
体格に合うか微妙だがな、半ば適当に買った物だし」

服まで用意されてるって……  
用意周到な人。

「じゃあ……失礼しました」

扉を閉める

はあ……吃驚した。

でも、酷い体だった

何かで打たれたような酷い腫れとかも有った

何か焼けたような、焦げたような火傷の後も有った

皮膚の色が違う場所も有ったし、打撲のような後も沢山  
アレが……あの人の受けた拷問の痕ね。

部屋に戻ってもあまり考える気になれなかった

あの人の体の傷が気になる……酷すぎて、悲しくなる。

何もしてないのにあんなに酷い事をされたんだ

遊星を怨むのも納得してしまいそうになる

納得したら駄目なのに、駄目だけど……駄目だけど！

もうずっと考えていた

そしていつの間にか時間も過ぎていく

気がつけば夜に……

「龍可ちゃん！ 晩ご飯の時間だよー！

龍可ちゃんのリクエストの通り、ハンバーグ！



って、どうしたの？ そんな悲しそうな顔をして」

「な、何でも無い  
気にしないで」

「……言いたくないなら良いけど」

マナと一緒にリビングに向かう  
あの人はやはり先に座っていた  
何も無かったかのように……

「俺を見て悲しそうな顔をするな  
同情されても嬉しくない

あまり気にするな、お前には関係の無い事だ  
忘れた方がお前の為だ、さっさと忘れろ」

「……うん」

そう言われ、返事はした  
だけどそう簡単に納得できない  
あの酷い傷跡を忘れる事はできそうに無い。

「「いただきます」」

ハンバーグを食べる  
普通に美味しい、普通に。

お互いに何も会話は無く、食べ続ける  
美味しいけど、寂しい  
そういえば龍亞や仲間達と一緒に食べないご飯なんて久しぶりかも

だからかな？

「寂しいか？」

「え？」

「悪かったな、お前を選んで  
他にやりやすそうな奴が居なかったんだ  
事が終わったらちゃんと帰してやるから我慢してくれ」

「うん、分かったわ」

この人、どんな人なのか分からない  
怖かったり、酷かったり、でも優しいのかな？  
なんだか変な人。

食べ終わって、部屋に戻る  
ダンスを探して見ればパジャマも有った  
試しに着てみると、普通に着れた。

お風呂にも入り、もう寝るだけ  
何も無いまま……私は眠りに落ちる  
誰も居ない寂しさを感じながら……

## 5D's 2話【奴の情報】（後書き）

瑞貴の経歴が凄まじい事に……

何かのフラグでしようかね？

GXの方で何がどうなる事やら……

伝統って……

捏造です。

ゴドウィンが瑞貴に家を与えた！？

詳しくは後々。

瑞貴が遊星と呼んでる……誤字？

違います、挑発の為の呼び方です

本人が居ないのでどっちでも良いのでしょう。

マナ、お前は料理ができないのか……

かなり酷いみたいです。

瑞貴が妙に龍可に優しいような……

後々、その理由が出てきます。

ツイッターでツイッター

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
特に意味は無い。

## 5D・s 3話【断頭台の惨劇】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「オーバー・デッド・ライン、なんだか強そうだぞ！」

「墓地から蘇生されたモンスターの攻撃力を1000アップさせる  
わ」

ちなみに原作効果

詳しくは後書きにて……

という訳で今回です、難産でした……

しかも長く……時間ができると何故か長くなります

余裕を持って終わらせたかったのに……はあ。

所々ツツコミ所満載です、多分

どこがどう間違っているのか……難しいです、あの世界。

次回はどうなるか未定

どうしよう……

## 5D・s 3話【断頭台の惨劇】

視点 龍可

あれから2日、あっという間に過ぎた

そして約束の日……私とあの男は猿の塔に居る

ディマクと戦い、エンシエント・フェアリー・ドラゴンと出会った

あの場所に

だけど……

「……来ないな」

「うん

遊星達、どうしたのかしら？」

遊星達が来ない

もうすぐ夜なんだけど……

「もう5時間も経ってるんだが……

日にちを勘違いしてるのか？」

あの時に会ったのは夜中だったしな

時間が0時を過ぎてたっけ？」

その3日後って事は……明日？

「仕方無い、あと2時間待つか

それで来なかった場合、帰るぞ」

「お腹空いたなあ……」

「おにぎりなら有るが？」

「食べる」

おにぎりを渡され、食べる

……甘い！？

「な、なんで甘いの！？」

「砂糖で握ったからな」

なんで砂糖！？

しかも平気で食べてるし！

「おにぎりは塩で握るものでしょ！

どうして砂糖で握るのよ！

後、甘すぎて私には食べられないわ！」

「我が儘な奴だな……」

塩も作ってきてるから食え

それは俺が食うから」

別のおにぎりを渡され、私のおにぎりは取られる

これは塩よね？　そう言ってたんだし……

警戒しながら食べてみると、塩だったわ

よかったあ……

「甘いのが好きなの？」

「まあな

みんな、なんでこれを嫌がるんだろうか……美味しいのに」

何人に押し付けたんだろう

押し付けられた人も大変だったんだろうね

私も今後は遠慮しておくけど。

「それはそうと、私が寝ている間にどうやってここまで運んだの？  
しかも着替えさせられてるし……  
私が寝ていたのは8時間ぐらいよね？」

8時間でここまで移動できるかしら？  
しかもシティから……

「着替えさせたのはマナだ  
運び方に関しては企業秘密  
レグルスとかクリボンとかエンシエント・フェアリー・ドラゴン  
そいつらが俺の邪魔をしたらしいが、マナが止めた」

「止めた？」

「罨カード、六芒星の呪縛でクリボンを  
闇の呪縛でレグルスを、呪縛牢でエンシエント・フェアリー・ドラ  
ゴンを封じた  
お前の精霊がこの場に居ないのは、俺の家でそいつらが捕らわれて  
いるからだ」

さっきからみんなの姿が見えないと思ったら！  
なんて酷い事を……しかも、エンシエント・フェアリー・ドラゴン

を呪縛牢に封じ込めるなんて！

「邪魔をしなければとは言ったんだがな

マナが逆らってくると言うので、止めてやった

クリボンは戦闘を無効にし、手札に戻して相手のライフを回復させる効果

レグルスはフィールド魔法をデッキに戻す効果

エンシエント・フェアリー・ドラゴンは手札からモンスターを特殊召喚する

フィールド魔法を破壊してライフ回復、デッキからフィールド魔法を手札に加える効果

奴らの力ではどう足掻いても、あれらの呪縛からは逃れられん」

みんなの効果も熟知しているなんて！

なんて人なの……

「ん？ どうやら来たらしいな

時間指定してなかったのが悪かったのか？

ったく……待ちくたびれたぞ、この暇人共め」

男が言うと、前方からD・ホイールが3台と車が2台  
みんな来てくれたんだ！

特に拘束とかもされてない  
だからみんなの居る方に向かおうとしたんだけど……

「あう！」

「おっと、まだ行くなよ？

俺の後ろでおとなしく待ってろ」



服の背中を掴まれ、後ろに投げられる  
痛かったけど平気、大した事無いわ！

「あんまり暴れるようならマナに拘束させるぞ  
お前を拘束していないのは、無駄な力を使わない為だ  
余計な事をさせるようなら……遠慮無く潰すぞ」

怖い……家では優しかったのに  
遊星達が来てから怖くなった  
そんなに遊星が憎いの？

## 視点 遊星

ジャックとクロウのD・ホイールの修理に時間が掛かり  
更に牛尾達セキュリティ達の許可が出るまでもまた時間が掛かった  
夜になってしまったが……大丈夫だろうか？

猿の塔の目の前には男、堅守瑞貴と龍可が居た  
どうやら龍可は狭霧の予想通り、死んでいなかったようだ  
おそらく攫われたのだろう……無事で何よりだ。

俺達に気付いた龍可がこっちに来ようとしたらしいが  
堅守瑞貴は龍可を掴み、後ろに投げ捨てた。

龍可は大丈夫そうだが……痛そうに顔を歪めている  
怪我はしてなさそうで何よりだ。

俺達は堅守瑞貴の前に止まる

奴は楽しそうに、愉快そうに俺を見ている。

「来てやったぞ、堅守瑞貴！」

「龍可を、龍可を返せえ！」

「構わないぞ

ほら、さっさと行ったらどうだ？」

「え？」

うん……」

龍可は奴に促され、そのままこちらに来る  
ある程度離れると走り出し、龍亞に抱きつく。

「龍亞！」

「龍可！」

良かった、本当に無事で良かったあ」

ああ、無事で良かった

しかし……何故人質になる龍可を解放したんだ？

「感動の再会、おめでとう

俺には新たな人質が居るから逃がしてやるよ

自分から俺の方に来るのなら……話は別だがな」

「ふざけんなあ！」

もう龍可は絶対に放さないぞ！」

しかし龍可の顔は優れない

あの男の言った、新たな人質とは……まさか！

「お前、龍可の精霊を人質に！」

「察しが良いな、その通りだ

奴らは現在、拘束して別の場所に居る

主が居なくなつて……さぞ寂しい想いをしているだろうな  
これで俺だけが帰ったら、泣いて悲しむんじゃないか？」

なんて卑怯な！

「……ごめん、龍亞」

「龍可？」

龍可は龍亞から離れ、奴の下に向かう

龍可は精霊を見捨てられない、その気持ちを利用するとは！

「駄目だよ龍可、行っちゃ駄目だ！」

「ごめんね龍亞……」

でも、私はみんなを見捨てて帰れない  
だからごめん……ごめんね……」

龍可は泣きながら奴の居る場所で立つ  
あいつ……

「おやおや、この子は俺の方が良いらしいな  
ま、俺の方が良いのなら……こうなる事ぐらいいは覚悟していただろ  
罨カード、断頭台の惨劇」

断頭台が姿を現し、龍可を拘束した!?

「きゃあああああ!」

「龍可あ!!!!」

断頭台に拘束された龍可の上には……ギロチンが  
まさか……それも実体化している存在!  
それで龍可の首を切り落とすつもりか!

「貴様! 龍可を放せ!」

「嫌だね

解放して欲しいのなら俺と決闘デュエルをして勝つしか無い  
そして俺の相手は……五十六いそろくアリ、お前だ」

「十六夜アキよ!

良いわ、この決闘デュエル、受けてあげる!」

「待て!

お前の相手は俺がする!」

「駄目よ遊星

今回は私の戦い、邪魔をしないで!」

アキ……

「それに言ったでしょ

こうなるかもしれないって

だから大丈夫よ、私は必ず勝つわ!」

「勇ましいねえ

前回と同じく、俺のライフに1000ポイント単位のダメージを与えれば情報だ

……いくぞ!」

「<sup>デュエル</sup>決闘!」

「先攻は私、ドロ―

私はアイヴィ・ウォールを守備表示で召喚これでターンエンドよ」

「俺のターン、ドロ―……の前にする事が有る」

「する事ですって?」

何をする気だ……

「マナ、奪え」

「はーい!

これ、貰うね!」

「あ! 返して!

それは私の制御装置!」

奴の精霊がアキの髪留めになっている制御装置を奪ったと!?  
それではアキのサイコパワーが!

「ふーん……これがサイコパワーをコントロールする為の装置か  
何度かサイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>が力を発揮する姿を見たが……

ふむ、制御装置まで使ってる奴は初めてだな  
それほどまでに力が強いのか、使いこなせない愚か者なのか……」

「アキは既にサイコパワーをコントロールできる!  
愚か者なんて言うな!」

「へえ……こいつ無しでか?  
まあいい、俺の目的はサイコ決闘<sup>デュエル</sup>だからな」

「なんですって?」

何故奴は自分から危険なサイコ決闘<sup>デュエル</sup>を!  
奴の目的が全く分からない!

「くくく、お前の力を見せてくれよ?  
力を発揮し、俺を叩きのめせ  
実際に受けるのは初めてだからな  
どれ程の力か、興味が掻き立てられる!」

自らが傷ついても、その身に攻撃を受けたいというのか!?  
そんな事をして何になる!

「嫌よ!  
私はもう、この力で誰も傷付けたくない!」

「だが、そうせざるを得ない  
何故なら……」

堅守は手を上げ、肩の辺りまで振り下ろした  
その瞬間、断頭台のギロチンが勢いよく少しだけ落ちる！

「ひっ！」

「俺が再び手を上げ、完全に落とした時  
あのギロチンは龍可の細首を叩き切る  
鋭利なギロチンだ、痛みを感じる暇も無く真っ二つだろうなあ？」

「あ……あああ……  
助け……いやあ……」

「龍可！  
分かったわ、望み通りにしてあげる  
だから龍可には手を出さないで！」

「それで良いんだ……ドロー  
モンスターをセットし、カードを2枚伏せてターンエンドだ」

相手は本当にあの堅守瑞貴なのか？  
そうならばあの時のヴェノムデッキではなくなっているはず  
どんなカードを使うのか……

「（アイヴィ・ウォールは攻撃対象にされないと効果を発揮できない……）  
私のターン、ドロー  
ボタニカル・ライオを召喚するわ

このモンスターの攻撃力は自分の場の植物族の数×300ポイントアップする

私の場には植物族モンスターは2体……よって攻撃力は2200ボタニカル・ライオで守備モンスターに攻撃！」

奴のモンスターは黒衣を纏った男

守備力は2000だったが、ボタニカル・ライオの方が攻撃力が上だ。

そして……モンスターはヴェノムじゃない

デュエルキング

つまり、奴が本当に決闘王だった堅守瑞貴の可能性も出てきた  
だがどうやってこの時代に……

「くく、墓守の偵察者の効果をリバーズ発動

デッキより、攻撃力1500以下の墓守のと名の付くモンスターを  
特殊召喚する

俺はデッキより、墓守の呪術師を特殊召喚」

今度は杖を持った魔法使い……いや、呪術師

あれらのモンスターは……墓守と名の付くモンスター達か  
どんな効果を持っているんだ？

「呪術師の効果、このモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成  
功した時

相手に500ポイントのダメージを与える……衰弱の呪文だ」

「くっ……カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー

俺はフィールド魔法、王家の眠る谷―ネクロバレーを発動」



フィールドが巨大な谷となったか  
しかし……墓守に、王家の眠る谷か  
墓に眠り……墓地？

「このフィールド魔法が存在する限り  
お互いに墓地に効果の及ぶカードの効果は無効化される  
分かりやすく言うならば、死者蘇生などが使えないという事だ  
更に墓地からの除外も不可能となる……  
除外をコストに召喚されるような効果の使用は不可能だ」

「墓地封じのカードですって！」

「更に、呪術師をいけ……リリース  
墓守の長をアドバンス召喚、そして墓守の長の効果を発動  
このモンスターがアドバンス召喚に成功した時  
自分の墓地に存在する墓守のと名の付くモンスターを特殊召喚する」

「順番を間違えたんじゃないの？  
その効果は墓地のモンスターを対象にする効果  
よって、自分で使ったネクロバレーの効果で無効化されるわ」

「生憎、長が存在する限り、俺の墓地にはネクロバレーの効果は及  
ばない  
更にネクロバレーの効果により、墓守のと名の付くモンスターの  
攻撃力、守備力を500ポイントアップさせる」

更に強化効果まで有るのか！  
これで墓守の長の攻撃力は2400  
今はまだ出ていないが、ブラック・ローズ・ドラゴンと互角か。

「忘れてないだろうな？」

墓守の長の効果により、墓地から墓守の呪術師を守備表示で特殊召喚  
そして効果、相手に500ポイントのダメージだ」

「くっ……」

しかも、墓守の長の攻撃力はボタニカル・ライオより上だ。

「攻撃はしないでやるよ

俺はこれでターンエンドだ」

攻撃をしないでと？

何を考えて居る。

「攻撃しない……私を嘗めてるの？」

「いやいや、その通りだよ

早くお前のサイコパワーを見せてくれ

その為に態々攻撃できるようにしたんだからな」

「馬鹿にして！ 私のターン、ドロー！

グローアップ・バルブを召喚するわ

L V 2 アイヴィ・ウォールと、L V 4 ボタニカル・ライオに

L V 1 グローアップ・バルブをチューニング！

冷たい炎が世界の全てを包み込む……漆黒の華よ、開け！ シンク

ロ召喚！ 現れよ、ブラック・ローズ・ドラゴン！」

よし、これで場のカードを全て破壊できる！

この墓地を止めるロックはフィールド魔法が存在しなければならぬ

ブラック・ローズ・ドラゴンの効果で破壊すれば！

「うーん、こう見ると可愛いドラゴンだな  
なんというか、愛嬌が有るように思える  
もつとも……ブラック・ローズ・ドラゴンは俺の事を嫌っているよ  
うにも見えるがな」

可愛い……か？

愛嬌が有るって……奴の感性がよく分からない。

「黒薔薇の花言葉は怨み、憎しみ、貴方は私のもの……嫉妬か？  
それとも好きな人を独占宣言？ 愛と憎しみは紙一重とも言っ  
お前は自分の力でも憎しんでるのかな？  
制御できないのは悲しいからねえ」

「知ったような口を……」

「でも、そいつの効果は使わせない  
俺はその効果が大嫌いだね  
カウンター罠、ツバメ返しを発動  
相手モンスターの特殊召喚に成功した時に発動する効果を無効にし、  
破壊する」

「そんな！？」

これは……対ブラック・ローズ・ドラゴンのカード！  
しかも破壊され、墓地に送られた  
ネクロバレーを破壊しない限り、ブラック・ローズ・ドラゴンは復  
活させられない！

「そいつの効果は本当に大嫌いだね

シンクロ召喚に成功した時、場の全てのカードを破壊する

俺のロックを簡単に吹き飛ばす……全て台無しにしてくるそいつが大嫌いだ」

そこまで嫌わなくとも良いと思うのだが

奴のデッキはロックが主体なのか？

それよりも今はブラック・ローズ・ドラゴンの効果が無効化された事だ

シンクロ召喚時に発動する効果が無効化された事により、効果も発動できない

しかもアキは既に召喚権を使用している上、墓地からの蘇生もできない。

「私は……カードを3枚伏せ、ターンエンドよ」

「色々と残念でした

俺のターン、ドロー

墓守の大筒持ちを召喚し、効果を発動

自身以外の墓守のとの名の付くモンスターをリリースする

それにより、相手に700ポイントのダメージを与える」

大筒を持った男はアキに筒を向け、打ち出す

これでアキは更に700ポイントのダメージを受けた

残りライフは2300、まだ多少余裕は有る。

しかし、奴の場には攻撃力2400の墓守の長が居る  
この攻撃を受けたら……アキの負けだ！

「墓守の大筒持ちの効果により、墓守の長も射出  
これでお前には、更に700ポイントのダメージだ」

まさかあのデッキ……ロックに見せかけたバーンデッキか！  
拙い、現在のアキのライフは1600  
このままだと……

「更に罠カード、降霊の儀式を発動  
墓地の墓守のと名の付くモンスターを特殊召喚する」

「待って、既に墓守の長は居ない  
なら、もう墓地に関するカードは使えないはずよ」

「残念ながらこれは墓守専用のカード  
このカードはネクロバレーの効果で無効にされない  
俺は墓守の呪術師を特殊召喚する  
そして……効果により相手に500ポイントのダメージ」

「ぐう……ううう」

「更に墓守の大筒持ちの効果を発動  
呪術師を墓地へ送り、相手に700ポイントのダメージを与える」

拙い！ これでアキのライフは残り400！  
呪術師の効果だけで負けてしまうぞ！

「くく、ブラック・ローズ・ドラゴンの効果が無ければこんなものか  
(向こうでも普通にしてた事だけだな  
まあ、次のターン……下手すればそのターン中にもう1体ぐらい簡単に出てくるが)」

「まだ……まだ負けたわけじゃないわ」

「なら、お前には特別に1ターンの猶予を許してやろう

俺は更に魔法カード、墓守の石版を発動

自分の墓地から墓守のと名の付いたモンスターを2体、手札に加える  
この効果はネクロバレーの効果で無効にされない

俺は墓守の偵察者と墓守の長を手札に加える」

「そんな……という事は次のターンで私は……」

「そうだ

墓守の長を召喚し、墓守の大筒持ちか墓守の呪術師を蘇生されて効果を使われて負けるか

それとも再び墓守の偵察者のリバーズ効果で墓守の呪術師を特殊召喚されて負けるか

攻撃しないでやるから次のターンで足掻くだけ足掻け

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

奴は明らかにアキを馬鹿にしている

あのアキを相手にここまで戦えるとは

やはり奴は……強い。

「しかし……お前は本当に弱いな」

「私が……弱い？」

「俺にはまだダメージは無い

それに比べてお前のライフは残り400  
植物族お得意の蘇生系カードは使えない

切り札のブラック・ローズ・ドラゴンとて無力  
そして龍可の首は……真っ二つかな？」

龍可の方を見てみると……

いつの間にかギロチンが龍可の首まで少しの場所まで降りてきているだ！？

龍可の顔は恐怖の一色のみ、このままでは！

「言い忘れてたよ、あのギロチンはお前のライフとリンクしている  
お前のライフが0になった瞬間……首は転がり落ちるだろうな」

「そんな……そんな事が……  
酷い、酷すぎるわ！」

「ふん、黙れ期待外れ  
せっかく態々俺自身で攻撃を受けてやろうと思っていたのに  
1回もダメージを与えられないとはどういう事だ？  
これじゃあ制御装置を奪った意味が無いだろうが  
僅かでも期待した自分が馬鹿馬鹿しく思える」

「黙りなさい！  
アンチデッキを使っておいて、何が期待外れよ！  
元々何もさせるつもりなんて無いくせに！」

確かにそうだ  
奴はアキとの戦いを楽しみと言った  
しかし使っているのは植物族の長所、蘇生  
更に切り札のブラック・ローズ・ドラゴンまで封じた  
言っている事が矛盾している。

「俺の事、調べたんだろう？」

俺が様々なデッキを使っている事ぐらい知っていたはずだ  
なら、アンチデッキを使ってくる可能性も……考えなかったのか？」

「それは……」

「これはお前の準備不足による自滅

可哀想に、お前が殆ど何も考えなかったから殺される

龍可が哀れだと思わないのか？」

アキの顔が絶望の色に変わる

考えられなかったと言えは嘘になる

しかし……牛尾の言っていた事も意識に有ったんだろう。

堅守瑞貴は様々なデッキの使い手

そして戦いたい決闘王でトップデュエルキング

胸を借りるような気持ちも有ったのかもしれない。

「くっくくくく……なあ龍可、お前はこいつの怠慢で殺されるんだぞ？」

それについて一言、コメントをお願いしたい」

全員の視線が龍可に向かう

龍可は何を……

「……アキさんは負けない

貴方なんかに、絶対に負けない！

私はアキさんを信じてる、頑張ってアキさん！

こんな人、倒しちゃって！」



「龍可……」

龍可はどこまでいっても龍可か  
安心した、この状況でも完全に正気を失っていないらしい。

「ふーん……良かったな五十六アリ  
あの子はあんなに純粋で素直な子で」

「十六夜アキよ  
そうね、おかげで私は……まだ、戦える！  
私のターン……ドロー！」

何をドローした、アキ！

「まず最初に、デッキのカードを1枚墓地に送る  
そしてグローアップ・バルブを特殊召喚する  
この効果は自身の効果による蘇生、よってネクロバレーの効果を受  
けない  
更に永続罫、オーバー・デッド・ラインを発動  
墓地から特殊召喚されたモンスターの攻撃力を1000ポイントア  
ップさせる  
これでグローアップ・バルブの攻撃力は1100となる」

攻撃力は1100有るが……  
それでも墓守の大筒持ちの攻撃力は1900  
これでは勝てない。

「そして私は……フィールド魔法、ブラック・ガーデンを発動！  
新たなフィールド魔法が発動された事により、ネクロバレーは破壊  
される！

そして、墓守の攻撃力もダウンするわ!」

だが、墓守の大筒持ちの攻撃力は1400  
まだ足りない……

「しかし、それだけでは足りないなあ  
どうするのを楽しませてくれよ?」

「いいわ、見せてあげる  
私はブルー・ローズ・ドラゴンを召喚!」

だがブラック・ガーデンの効果により攻撃力が半減  
そして相手の場にはローズ・トークンが現れる。

「へえ……なるほど、目的は自爆特攻か  
そいつの効果は知っているぞ、破壊された時に発動する  
自分の墓地からブラック・ローズ・ドラゴンを特殊召喚する  
ただし、効果を無効化してな」

「な! どうして知ってるの!?  
このカードはブラック・ローズ・ドラゴン専用のモンスター  
シグナーでもない、貴方が知る機会は無いです!」

確かにそうだ  
シグナーの竜は1体しか存在しない  
ならばそのモンスターはアキ専用と言っても良い  
何故知っている……

「お前の考えは読みやすいなあ?  
さあ、早く続けてくれ、俺は待ちくたびれているんだ」

こいつはまだ挑発するのか！

「そんなにお望みなら、すぐに攻撃してあげるわ！

ブルー・ローズ・ドラゴンでローズ・トークンに攻撃！」

ブルー・ローズ・ドラゴンの元々の攻撃力は1600

ローズ・トークンは800、攻撃力が半減したブルー・ローズ・ドラゴンと互角

相打ちになる。

「ブルー・ローズ・ドラゴンが破壊された事により、効果を発動自分の墓地からブラック・ローズ・ドラゴンを特殊召喚する！」

「だが、オーバー・デッド・ラインの効果で攻撃力が1000アップしても

ブラック・ガーデンの効果で攻撃力が半減する

よってブラック・ローズ・ドラゴンの攻撃力は3400の半分、1700となる

更にローズ・トークンが現れる」

「グローアップ・バルブでローズ・トークンに攻撃！」

グローアップ・バルブの突進によってローズ・トークンは破壊される  
そしてそのまま相手に向かって……

「がぁぁ！」

腹部に直撃

球体が直撃すればかなり痛いだろうに……

「まだよ！」

ブラック・ローズ・ドラゴンで墓守の大筒持ちに攻撃！

ブラック・ローズ・フレア！」

ブラック・ローズ・ドラゴンのはき出す炎が墓守の大筒持ちを燃やし尽くす

炎は再び、相手プレイヤーに襲いかかる。

「ぐああうう！」

これで合計700のダメージを与えられた  
だが……

「くっくくく……足りないなあ

俺のライフはまだまだ十分に残ってるぞ」

「分かっている、罠カード発動、レベル・リチューナー

自分のモンスターのLVを2つまで下げる事ができる

私はこの効果により、ブラック・ローズ・ドラゴンのLVを2下げる  
そして罠カード、緊急同調を発動！

バトルフェイズ中のシンクロ召喚を可能にする！

私はLV5となったブラック・ローズ・ドラゴンに

LV1グローアップ・バルブをチューニング！

聖なる森に潜みし華麗なる棘の狩人よ、戒めの鞭を持ちて今こそ姿  
を現せ！ シンクロ召喚！ 現れるスプレండిッド・ローズ！」

黄緑と深緑の2色の服を着た女性が現れる

攻撃力は2200、だがブラック・ガーデンの効果により攻撃力は  
1100

更にローズ・トークンが相手の場に特殊召喚される。

「スプレンディッド・ローズでローズ・トークンに攻撃！」

スプレンディッド・ローズの放つ棘の鞭はローズ・トークンを破壊する

そして鞭はプレイヤーを襲う……

「ぐああ！」

「更にスプレンディッド・ローズの効果を発動！

このモンスターが攻撃したバトルフェイズ中

自分の墓地から植物族モンスターを除外する事ができる

そしてこのモンスターの攻撃力は半分となり、再び攻撃できる！

私はグローアップ・バルブの効果で墓地に送られたロードポイズンを除外！

スプレンディッド・ローズで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

スプレンディッド・ローズの攻撃力はこれで550  
それでも攻撃する価値は十分だ。

「ぐうう！」

だが、まだ相手のライフは2450残っている  
このターンで決着を付けねばアキの負けだ！

「罨カード、シンクロ・スピリッツを発動！

自分の墓地のシンクロモンスター……クッ、ブラック・ローズ・ドラゴンを除外！

そしてそのシンクロ召喚に使ったモンスターを墓地から蘇生させる！

グローアップ・バルブ、アイヴィ・ウォール、ボタニカル・ライオを復活！」

巧いぞ！

ブラック・ガーデンで特殊召喚されるローズ・トークンは1度に1体だけ

同時に特殊召喚されても壁が1体増えるだけだ！

「やるねえ……これはちよつとピンチかな？」

「まだ余裕が有るの？」

ボタニカル・ライオの攻撃力は自分の場の植物族の数×300アップする

私の場には植物族は合計4体、よって1200アップするわ」

「だが、それは永続効果での攻撃力上昇だ

オーバー・デッド・ラインの効果も含めると……

$(1600 + 1200 + 1000) \div 2$  の計算となり、攻撃力は1900

グローアップ・バルブは550、アイヴィ・ウォールは650だ」

これだけの総攻撃なら！

「ボタニカル・ライオでローズ・トークンに攻撃！」

「クッ……うごあ！

ごほっ！ ごほっ！」

ローズ・トークンは簡単に破壊され、ボタニカル・ライオはそのまま相手に突き進む

奴はボタニカル・ライオの突進を防御していたが、簡単には止まらない

勢いよく突撃され、軽く吹き飛ぶ

腹部辺りに直撃したのでダメージは大きいだろう。

「グローアップ・バルブ、アイヴィ・ウォールで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「くそつたれ！」

「ごはああ！」

再びダメージを受ける

少し蹠跟めいている姿を見て、アキの表情が少しだけ曇る  
相手が誰であれ、やはり傷付けるのは不本意だろう。

「く……くくくくく、まだ俺のライフは150残ってる

お前の手札は0、攻撃できるモンスターも0、伏せカードも0

次の俺のターンになったら墓守の偵察者をセット

そしてお前の攻撃でリバース効果、墓守の呪術師を特殊召喚してお前の負けだ！」

「もう……私には何もできない

だけど、一度に1000ポイント以上のダメージは与えたわ！」

貴方の事……話してもらおうわよ」

ボタニカル・ライオの攻撃力は1900

そしてローズ・トークンの攻撃力は800

よって与えたダメージは1100、1000ポイント単位のダメージだ。

「……ふん、良いだろう

お前らは俺の事を調べたんだろう？

だったら教えてやるよ、俺は正真正銘、堅守瑞貴本人だ」

やはりそうか。

「でも、貴方は過去の人

どうしてこの時代に、そのままの姿で生きているの？」

「知らん、言っただろう？

俺はいつの間にかサテライトに居た

何故そこに居たかは知らない、どうやってそこに来たのかも分からない

俺にも全く分からん」

「記憶喪失かしら？」

「違うな、順序よく説明してやろう

サテライトに来るまでの俺の最後の記憶

それは……デュエル・アカデミア卒業後の帰りの船の中だ」

デュエル・アカデミアの卒業後だと？

ならば話が矛盾している！

お前は決闘王になったのではないのか！？  
デュエルキング

「そして気がついたら先ほど言った通り、サテライトに居た  
その後は前回と同じだ」

「なら、どうして自分が第5代決闘王と断言できるの？」  
デュエルキング

「俺にも人脈ができてな



その伝手で強引に調べてもらった

結果は俺自身でもかなり予想外だったがな

まさか俺が決闘王デュエルキングになっているとは思わなかった」

「つまり……貴方と第5代決闘王デュエルキングとは別人？」

「同一人物だが、別人だ

そうだな……学の有る奴なら分かるかな？

平行世界、パラレルワールドとかだ」

……分からない

周りのみんなも不思議そうな顔をしている。

「平行世界はよく似た全く別の世界という存在だ  
例えるならば俺が今、右手を上げる

だが、少し違えば左手を上げているかもしれない  
もし、もしも、もしかしたら、かも、だったなら

そんな別の可能性の世界の事を平行世界と呼ぶ  
まあ、簡単に分かりやすく言ったからこうだが……  
かなり深く、詳しく話せば絶対に分からないので言わん」

こいつ、もしかしてかなり頭が良いのか？

「俺はその住人だ

俺は船で消え、その決闘王デュエルキングとなった俺は消えなかった  
その掛け違いで現れたのが……俺だ

99・999999……以下エンドレス、同じでも、それだけが違う  
だから俺は言える、俺は決闘王デュエルキングであり、単なる一般人だともな」

デュエル・アカデミアを卒業したからただの一般人か

その一般人のままこちらに来て……セキュリティに捕まった。

「この時代の警察……セキュリティには驚かされたよ  
最初から拷問だったんだからな  
時代の変化を感じた瞬間だ、昔はもっと平和だったのに……一部を  
除いて」

怯むセキュリティ2人

そんな事を言われても、俺達にはどうしようも……

「さて、分かったかな？  
俺のターンにしても構わないな？」

「待って、決闘王デュエルキングとなった堅守瑞貴も行方不明になってるの  
決闘王デュエルキングになって1ヶ月で……  
それはどう説明するつもり？」

「知るか、俺みたどこかの世界に紛れ込んでるんじゃないか？  
(どちらにせよ、俺は元々あの世界の住人じゃないんだ)」

自分の事なのに無責任だな。

「ターンエンドか？  
ならエンド宣言をしろ」

「……ターンエンドよ」

これで堅守のターンになる  
このターンさえ凌げば……

「なんちゃって」

「え？」

「永続罨カード発動、リミット・リバー  
自分の墓地に存在する攻撃力1000以下のモンスターを特殊召喚  
する

俺が呼び出すのは当然……墓守の呪術師だ」

馬鹿な！

何故ずっと使わなかったんだ！

「そんな！？」

何故今まで使わなかったの！？」

「忘れたのか？」

俺はお前のサイコパワーを受ける為に決闘デュエルをしたんだぞ  
態々待ってやったのはその為だ、分かるか？」

「あ……あああ」

アキは……完全に遊ばれていたという事か！

アキのターン開始時には勝てた戦いを、態と長引かせて遊んでいた  
のか！

「しかしサイコパワーと言っても大した事は無いな  
力を制御しているのか、それとも本当にこの程度なのか……前者か  
な？」

この程度なら奴に殺されかけた時の方が……いや、何でも無い  
ま、拷問の鞭叩きや首を絞められた時、腹を鈍器で殴られるよりは

痛かったか？

ちよつと微妙だな……そこそこの時間が経ってるから記憶が薄れたのか？」

どちらもかなり痛いと言想ができる

セキュリティ2人の顔も色はかなり悪い

俺もさすがに首を絞められた事が有るとは予想外だった。

「それはそうと、墓守の呪術師

効果により、五十六アリにダメージを……衰弱の呪文」

「きゃああああああ！」

アキのライフは400、ダメージは……500

アキの負けか！

「「アキ！」」「アキい！」「アキ姉ちゃん！」「アキさん！」

「くそ……俺達セキュリティのせいだ

馬鹿な事を考えるような奴なんて、全部排除しまえば……」

「私達セキュリティのせいで……

ごめんなさい、ごめんなさい……ごめ……なさ……」

セキュリティ2人を残し、全員でアキに近づく

しかし奴の精霊が立ち塞がった……俺達の邪魔をするつもりか！

「どけよてめえ！

アキに近づけねえじゃねえか！」

「だーめ  
邪魔するなら……これ、受ける？」

精霊が見せたのは火炎地獄のカード  
それを実体化させて使われたら俺達は……

「くそう！  
だったら……」

クロウはD・ホイールに乗り、精霊に突撃する  
しかし精霊の表情は変わらない。

「これなら……どうだあ！」

「危ないから止めろ  
アステカの石像を召喚」

現れる巨大な壁のモンスター  
クロウは当たる直前になんとか急ブレーキを掛けて止められた。

「お前もサイコ決闘者か？」  
デュエリスト

「違う、俺の力はまた別の力だ  
教えてやるつもりは無いがな  
さて、ショウタイムの時間だ」

堅守が指を鳴らす  
龍可の居る断頭台のギロチンが少しずつ上がっていく  
ゆっくり、ゆっくりと……まさか、まさか奴は！

「止めろ！」

龍可を殺すつもりか！？」

「仲間が死ぬ方が……辛いだろう？」

前回と違って生だ、きっと喜んでくれるだろう」

「貴様あああああ！！！！」

「ふん

装備魔法、魔界の足枷」

殴り掛かろうとしたが、足に枷が掛けられた  
これでは進めない！

「くそお！ 龍可を、仲間を離せ！  
今すぐにだ！ すぐに離せえええ！」

「ふ……嫌だね」

堅守は手を上げ、振り下ろした  
そしてギロチンが龍可の首に！

「きゃあああああ！！！！」

だが、龍可の首が落とされる直前に別の何かと入れ替わった  
……シルクハット？

「魔法カード、マジカルシルクハット

冗談だ馬鹿、子供を攫っても、殺す程腐ってないさ  
あの子にはこれからも人質として役だってもらう」

「待って！」

人質なら私に、私にして！」

「アキ！？

お前何を！」

「私は負けた

デュエル

龍可は決闘もしていない、貴方が強引に連れていったんじゃない！

なんの覚悟も無かったあの子よりも、私を連れて行って！

絶対におとなしくしている、力も使わないし暴れないと約束する  
だから、だから龍可を解放して……お願い！」

アキ……

「いいぞ」

「……え？」

「ただし、お前は自分の年齢を自覚しているか？

女が男の捕虜、人質になるという事は……

どうなるか分からない程、子供じゃないだろう？」

「なあ！？」

「てめえ……本当に最低な野郎だな！」

「ありがとう、昔からの褒め言葉だよ

ちなみに性格は拷問で多少変わったものの

大きすぎる変化は無い、やり方が更に劣悪になったぐらいだ

故に……それは俺からすれば嬉しい言葉だ」

本当にゲスの堅守か！

悪魔や魔王も、性格を含んでいたんだな！

最低王だって事実だったか！

「……構わない！」

「アキ!？」

「私はそれでも構わない  
大切な仲間が傷つくぐらいだったら……  
この身をどうされても！」

お前、そこまで龍可の事を……

「チッ、分かったよ

マナ、龍可を持って来い」

「持ってきてますよ？」

精霊が龍可を抱えてこちらに来ていた  
龍可は気絶しているらしい……

「魔法カード、記憶抹消」

「てめっ！」

「落ち着け、ギロチンで死ぬかと思ってたんだ  
最後のギロチンが落ちる瞬間で精神的ショックでショック死する可



能性も有ったからな

そうならないようにある程度余裕を持ってシルクハットと入れ替え  
た、生きているから安心しろ

断頭台とギロチンの記憶を消した、これで悪夢に魘される事も無い  
だろう」

「お前……」

「勘違いするなよ？」

お前らの為じゃない、五十六アリの勇気を讃えてだ

あれほどの覚悟の言葉を聞けたんだ、完全に無事に返さないと悪い  
だろう」

こいつにも人並みの優しさは残っていたのか

最後の、小さな優しさかもしれないが。

堅守は龍可を抱きかかえながら俺の方に向かう

そして龍可を預けられた……

俺の目の前には堅守が居る。

「俺はお前が大嫌いだ」

「……俺も、お前が大嫌いだ」

お互いに睨み合う

暫く睨み合ったまま動かない。

「ふん、なら遠慮無く俺と戦うんだな

次の相手もお前じゃない、誰かも教えない

お前の為に趣向を凝らせて考えてやるから喜べ」

「……ゲスが」

「くくくく……次の戦いも3日後

同じ時間に蜂鳥の塔で待っているぞ

この後、見た目では殺しているが本当は殺してない……と、先に言  
っておいてやるよ

じゃあな」

アキは死のマジックボックスに入れられ、剣を突き立てられた  
殺していない事は分かってるが、それでもかなり気分が悪い  
堅守は今回もマジカルシルクハットで消えていった。

アキ……無事でいてくれ

そして堅守、俺は奴を絶対に許さない！

必ず俺が倒してやる！

……あ、龍可の精霊はどうなったんだ？

まさか拘束したまま奴の下に居るのか！？

龍可に何て言えば良いんだ！

## 5D・s 3話【断頭台の惨劇】（後書き）

アキの髪飾りって制御装置なの？

微妙です……作者はそうと予想しました  
詳しく知っている人は教えてください。

今回の瑞貴のデッキは？

墓守バーンです

植物族の蘇生を封じられ、更に好みのカード  
という訳でこれを選びました。

アイヴィ・ウォールの効果が違う？

原作効果です

トークンは攻撃対象になった時に作成されます。

瑞貴がリリースとアドバンス召喚と言った！？

時代に合わせてという感じですが

ちなみに、何度か言い間違えそうになったそうです。

瑞貴の感性がよく分からない

アニメを見て思いました

ブラック・ローズ・ドラゴンってなんだか可愛い……

作者の感性も謎のようです。

瑞貴がブラック・ローズ・ドラゴンを嫌いすぎ……

瑞貴は元々ロック主体です

簡単に出せて場をリセットするブラック・ローズ・ドラゴンは天敵  
何をしててもぶっ飛ばされるので大嫌いなカードの1枚です

他にはデミスや裁きの龍が該当します。  
ジャッジメント・ドラグーン

グローアップ・バルブってOCG効果？

はい、アニメ効果はややこしすぎて止めました  
詳しくはWikiにてどうぞ。

オーバー・デッド・ラインの効果が違う……

アニメ効果です、アニメでは墓地蘇生なら全て攻撃力が上がりました  
ブラック・ローズ・ドラゴンの攻撃力が上がったのがその証拠  
何故植物族の制限を掛けたんでしょうね？

瑞貴の残った伏せカードは？

非常食です、墓守の呪術師は蘇生さえされれば用無しですから  
万が一の事を考えてライフ回復カードにしました。

瑞貴の人脈？

後々。

何故瑞貴はサイコパワーを試したかったの？

興味が湧いたからです

痛いのは当然嫌ですが、止まりませんでした

更に仲間の心が傷つく事により、遊星が悲しい想いをします

他にも、サイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>という存在は自分の役に立つかの見定め

役に立ちそうならばどこから拾ってこようと思っています

どこかの誰かさんのように……

奴に殺されかけたって？

誰でしょうね？

秘密です、フラグを立てておきます。

瑞貴の力って？

後々

これをGXに登場させるかは……まだ秘密です。

魔法カードもマジカルシルクハット？

原作アニメのカードです

詳しくはWikiにてどうぞ。

何故瑞貴はアキの言葉に舌打ちを？

瑞貴の性格を考えれば多少予想はできるかと……

まあ後々。

精霊達は？

後々。

原作、アニメオリジナルカード

呪縛牢

自分のエクストラデッキからシンクロモンスター1体を

自分フィールド上に表側守備表示で特殊召喚する

この効果で特殊召喚したモンスターは効果を発動する事はできず

効果は無効化され、表示形式を変更する事はできない

このカードがフィールド上に存在しなくなった時、そのモンスターを破壊する

そのモンスターがフィールドから離れた時、このカードを破壊する  
エンシェント・フェアリー・ドラゴンを閉じ込めた牢獄

何気に使えるカード、利用法は……面倒だから書きません。

ブルー・ローズ・ドラゴン

破壊された時、自分の墓地からブラック・ローズ・ドラゴンを特殊

召喚する

この効果で特殊召喚されたブラック・ローズ・ドラゴンの効果は無効化される

最近アニメで登場した奴です、こいつってドラゴン族？ 植物族？  
それに効果も戦闘破壊でできるか不明、破壊としかアキは言いませ  
んでした

ちなみにアニメでは効果破壊でした  
色々と悩みますが……まあスルーします。

シンクロ・スピリッツ

自分の墓地に存在するシンクロモンスター1体をゲームから除外し  
て発動する

このモンスターのシンクロ召喚に使用したモンスター1組を自分の  
墓地から特殊召喚する

別のシンクロに使われたグローアップ・バルブも蘇生できるか不明  
というか多分できません、融合解除と同じ原理で

しかしこうしなければ……という訳で見逃してください

どうせアニメオリジナルカードだから適当でいいんだよお！

と、ちよつと自棄になっています……疲れしました。

ツイッター、そして前話で更新を忘れてました

<https://twitter.com/#!/ainkuria>

あー……疲れた。

## 5D's 4話【捕虜の待遇】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「六芒星の呪縛だ！」

「これにクリボンが……モンスターへの攻撃と表示形式の変更を封じるわ」

という訳です

間に合いませんでした、手が悴んで……  
指が動かないので腹が立ちます。

今回は龍可の瑞貴暴露の回  
瑞貴と彼らに関して  
という感じですね。

次回は……とりあえず手が動かないと話になりません  
指先の冷たさは困りますね。

## 5D・s 4話【捕虜の待遇】

視点 遊星

堅守に3日後と言われたので、俺達はシティには帰らずにいた今、俺達が待機しているのはマーサハウス  
牛尾と狭霧は仕事があるのでシティに戻っている。

彼らは気になる事も有るので調べるついでに仕事をするらしい  
必ず戦いの日までには行くと言ってくれた  
何か新しい情報を掴むつもりようだ。

龍可はまだ眠ったまま、龍亞とマーサが看病をしている  
精神的ショックを受け、更に記憶操作をされたんだ  
なかなか目を覚まさないだろう。

「それで、どうするんだよ遊星  
あの野郎の強さは知った、性格も知った  
今後は動く？」

「決まっている、堅守を倒す為に動く  
奴が使うデッキは俺達のアンチデッキだ  
それをどうにかして覆せば……」

「だが、それは俺達に慣れないデッキを使えと言っているようなもの  
己の特徴を潰して戦うのは難しいだろう  
最悪の場合、慣れないデッキに翻弄されて自滅するかもしれん  
迂闊な事をすれば……更に勝率が下がる」



自分のデッキの弱点は自分がよく知っている

俺のデッキはやや攻撃力不足だな

シンクロ召喚をすればそうでもないが。

「そういやあいつ、全くシンクロ召喚しないよな？

もしかしたらシンクロ召喚もアンチしてくるかもしれないねえ

アキのブラック・ローズ・ドラゴンが良い証拠だ

それぞれのエースモンスターを潰してくる可能性が有る」

エースモンスターか……

スターダスト・ドラゴン、こいつも必ず消しにくるだろう  
それにどうやって対処するか……

「奴との戦いではシンクロ召喚は少々抑えた方が良さだろうな

俺達はアキや龍亞を嫌い、シンクロ召喚を多用する

召喚したがすぐに消されたのでは、損失が大きすぎる」

「そうだな、何か……シンクロ召喚を頼らない戦いをしなければ

例えシンクロ召喚をするにしても、必ず後に繋げられるようにしよう

次のモンスターを出せる状況にしたり、防御用のカードを使ったり

一気に攻撃されるかもしれないからな」

「そうだな」「ああ」

全員でそう決めた時、部屋に龍可が龍亞と共に入って来た  
平気そうな顔をしているが……

「みんなおはよう

なんだか心配掛けちゃったみたいで……ごめんなさい」

「気にするな、龍可  
無事で何よりだ」

「奴が突然お前を攫ったのだ  
お前が謝る必要は無いぞ」

「そおそお、あんま気にすんな」

「うん、ありがと」

気になる事は記憶  
どうなっているか……

「龍可、奴の……堅守瑞貴の事で思い出せる事は有るか？」

「あの人……堅守瑞貴って名前なの？」

「って、知らなかったのかよ!？」

「だって教えてくれなかったんだもの  
家に居る間から遊星達を待っている時も……あら？  
そういえば私、いつの間に戻ってきたの？  
アキさんも居ないし……」

なるほど、失っている記憶は俺達が来るまでか  
アキの戦いの記憶も無いようだが……  
それでも、あの恐怖を思い出すよりはずっと良い。

「アキは奴との決闘で……<sup>デュエル</sup>……」

「アキさん、あの人と決闘したの？  
私、覚えてないんだけど」

「龍可は気絶させられていたんだ  
俺達が着いた時には気絶していた  
アキは奴との決闘に負け、龍可の代わりに人質となった」

これは全員で決めた龍可への対応  
本当に記憶を失っていた時、思い出さないように……

「アキさんが私の代わりに！？  
うーん……でも、私が気絶させられてたって変じゃない？  
だってあの人、私に1回も暴力とか振るわなかったし」

「そりゃ大事な人質だからだろ  
そういや龍可、家に居る間って言ってたよな？  
お前、誘拐されてからどこに居たんだ？」

そういえば……気付かなかったな  
どこかに閉じ込められていただろう  
あまり思い出したいくないだろうが……

「あの人の家、外出禁止以外は何も制限されなかったわ  
時々怖い事とか言われたりしたけど……それだけ  
それ以外はずっと優しくしてくれたし、ご飯もちゃんと出してくれ  
たし」

龍可と戦った人と同一人物なのか疑問に思うぐらいだったわ」  
外出の制限以外無しに優しいだど？

あいつの性格から、そんな事が有るはずが……

「龍可、あんな奴の事庇う事無いって！

あいつはアキ姉ちゃんに酷い事言っただけだぜ！

なんか色々されたみたいだけども……」

「もう……龍亞、そういう風に1つの顔しか見ないのは駄目よ

確かに酷い事を言うような人だけど、私には優しくしてくれたよ

そりゃあ最初こそ脅されたけど……それしかされてないわ

晩ご飯のリクエストまで訊かれたし、しかもその通りに作ってくれたし

口は悪かったけど、精霊のマナが凄く懐く程の人よ

あれだけ精霊に愛される人って珍しいと思うわ」

俺達の印象とかなり違うな

奴に捕まっている間、龍可はどんな待遇だったんだ？

そういえば……精霊といえば龍可の精霊！

精霊はまだ戻ってないのか！？

「龍可

精霊はどうなったんだ？」

「みんな戻ってるわよ？

デュエル決闘前に捕えてるって言われたんだけど

ちゃんと解放してくれたみたい」

よかった、戻っていたか

しかし……何故龍可の人質になる精霊を解放したんだ？

「なあ龍可、奴の事で分かる事は無いか？  
俺達は少しでも奴の情報が欲しいんだよ」

「そんな事を言われても……  
私に分かるのは少しだけよ？

精霊が見えないけど所持していて  
その精霊がなんと、あのブラック・マジシャン・ガール」

「「「ぶ、ブラック・マジシャン・ガール!?」「」「」

あの伝説の決闘王<sup>デュエルキング</sup>、武藤遊戯のデッキにしか入っていないモンスター  
ー！

何故あんな奴がその伝説のモンスターの精霊を！

「さっきの1つの顔しかって言葉、その精霊に教えてもらったの  
殆どの家事はマナ……ブラック・マジシャン・ガールの名前ね？  
マナがしていて、買い物とかの外出が必要な事だってそう  
あの人がするのは料理とか、ちよつとした事とかかな？」

「精霊に家事を任せて遊んでるのかよ……  
本当に碌でもない奴だな」

「さっきからそればかり  
クロウ、どうしてそんなに毛嫌いするの？  
外出しない理由だってちゃんと有るんだから」

クロウが奴を毛嫌いするのは仕方無いだろう  
いくら俺への復讐とはいえ、仲間達にまで手を出すんだ  
そもそも、俺が復讐対象だという事も気に入らないんだろう。

「外出しない理由？」

「ええ、マナに教えてもらったんだけど、顔があんなマーカーばかりでしょ？」

外に出たら犯罪者と見られ、嫌そうな目で見られ、避けられる完全に冤罪なのによって……そう言ってたわ」

……確かに冤罪だ

しかし、それでも俺の仲間に手を出すのは許せないだが……俺はどうやって奴に償えばいいんだ？

悪いのはセキュリティだ、それは間違い無い  
巻き込んだのは俺とラリー、それも間違い無い  
俺を怨むのも納得できるといえばできるが……

俺を怨む事で心を守ったと言っていた  
だが本当にそれだけなのか？  
所々腑に落ちない所が有る。

何故セキュリティに復讐をしない？  
個人で組織に勝てない、そう言われたら終わりだが……  
しかし奴の性格から考えても、それだけで終わるとは思えない  
ならば何故俺やラリーを……

待てよ、何故奴は俺だけを狙い、ラリーに何もしないんだ？  
ラリーの方が圧倒的に狙いやすいはず  
まさか既にラリーの身に何か起こったんじゃない！

「遊星、どこに行く！」

「ラリーが心配になってきた  
もしかしたら既に奴に何かされているのかもしれない」

「落ち着け遊星

この俺がそんな事に気付かなかったとでも思うのか！

雑賀に探しに行かせてる、見つけ次第連絡を寄こすようにもな！」

雑賀が？

ジャックの奴、いつの間に……

それで雑賀が居なかったのか。

「昨日の今日だ、まだ見つかっていないだろう  
しかし落ち着いて待つんだ  
お前が抜けてどうする！」

「あ、ああ……」

ジャックに言われ、なんとか落ち着く  
ラリー……無事でいてくれ。

「遊星、私はその人は大丈夫だと思うわ  
あの人は私の知る限り、1回も外に出てないもの  
私が寝ている間とかは知らないけど……」

「……そうか

すまない、取り乱したりして」

「気にすんなよ遊星

仲間を心配するのは当たり前の事だ  
誰も責めたりしねえよ」

ありがとうクロウ。

「それで龍可よ

奴に関して他に分かる事は無いか？」

「そうね……甘い物が好きとか？」

「甘い物お？」

お菓子とかかな？」

「どうかしら？」

でも……砂糖で握ったおにぎりはもう食べたく無いわ  
あれは酷かった……思い出したくないわ」

さ、砂糖でおにぎり？

奴の味覚も拷問の影響なのか？

それとも元々、素の味覚なのか？

他の全員の顔が引き攣っている

あの性格で甘党と言われればな……

「他にはお金持ちって事かな？

そんな事も言ってたし」

「どうやって稼いだ金なんだか……」

「真っ当なお金って言ってたわよ？

正統な取引での売買をしたって  
何を売ったのかは知らないけど」



正統な取引で金持ちになるか……麻薬とかか？  
それならば納得できるが、真っ当な金じゃないな  
何を売ったんだ？

「……あ、大事な事を思いだした！  
あの家、ゴドウィンに与えられたって！」

「ゴドウィンだと！？」

奴とゴドウィンの関係者だったのか！  
もしかしたら奴は実はダークシングナーでは！？

「牛尾達に連絡した方が良いか？」

「頼む、クロウ

これで何か裏の情報を知れるかもしれない」

クロウは部屋から出て行った  
通信機器はこの部屋には無いからな。

「他には何か分かる事は無いか？」

「えっと、えっと……これって言っているのかな？」

まだ何か気になる事が有るのか？

「あの……体中に酷い拷問痕が有ったの  
私があの人にちょっとお願いが有って部屋に入ったらその……  
上半身裸で体中に薬を塗ってるって……痣とかを消す為にって言っ

てた  
なかなか消えないって言ってたから、随分前から使ってるんだと思う」

拷問の痕……か。

「龍可、その痕は酷かったか？」

「……ええ、凄く酷かった

あんなに酷い事をされたんだったら  
遊星を怨むのを納得できそうになるぐらいに酷かったわ」

「……そうか」

俺は奴を許せないのは変わらない  
だが、奴の怨みは全て俺が受け止める  
これ以上……仲間に出しさせない。

その為にも俺は……

視点 アキ

う……ここは？  
ベッドよね？

どうして私はベッドなんかで寝てるのかしら？

周りを見回してみる

だけど普通の部屋、それしか特徴が無いわね  
特徴が無いのが特徴の部屋？

あ！

そういえば私は負けて……龍可の代わりに攫われたんだったわね  
でも、誘拐されたにしては普通の部屋よね？  
牢獄にでも入れられる覚悟がしてたんだけど。

ここがどこだか分からない  
とりあえず部屋から出てみる事にしたわ。

部屋から出ると普通に広い家  
誰の家……って、あいつしか居ないわね。

「あ、起きました？  
おはようございます」

「貴女は確か精霊の……」

「はい、マナです  
確か……井戸端会議さん？」

「十六夜アキよ！  
全然違うじゃない！」

あの主有ってのこの従者ね  
ネーミングセンスの変な所は精霊にまで受け継がれてるみたい  
この子、大丈夫かしら？

「そうそう、アキさん

この家での制限を覚えておきますね」

そう、私は捕虜だったわね  
だったら制限が有って当然か……  
どれだけ架せられる事やら。

「外に出ない事、力をあの人や私に向けない事  
何かを壊したりしたら弁償する事  
分かった？」

……え？

「そ、それだけなの！？」

「そうだよ？」

家の中は好きに使ってもいいし  
何か食べたいんだったらあの人に言えば作ってくれるよ  
難しいのは無理だけど……

あ、お酒は駄目よ、未成年なんだから」

「飲まないわよ

どうしてそこまで自由にしてくれるの？」

私の力を向けられないとはいえ……  
それでも、自由にさせすぎているわ  
こんなのは捕虜や人質の扱いじゃない。

「もっと厳しくされたいの？」

「そうじゃないけど……」

私は人質、捕虜なんでしょ？  
自由にさせるのは変じゃないの？」

「自由じゃないよ、力を向けるのは禁止してるし」

「そういう意味じゃないわよ……」

なんだか調子が狂うわね  
分かっててはぐらかしてるのかしら？

「お前を自由にしてやる理由は簡単だ」

「っ！

堅守瑞貴……」

いつの間に……

「面倒」

「は？」

「だから、面倒なんだよ

ガチガチに縛ると管理とかがな

外出と力以外は好き勝手させてやるよ

外の何かが欲しかったり飯のリクエストとか有れば俺かマナに言え  
それぐらいは聞いてやる、実行してやるかは別だがな」

堅守瑞貴は私に制御装置を返し、私が居た部屋とは別の部屋に移動  
する

部屋に入る前に私に向かって一言。

「お前の部屋はお前が寝ていたあの部屋だ  
服とかも入ってる、サイズが合うか分からんが……  
まあ、それぐらいは我慢してくれ」

そして部屋に入る堅守瑞貴  
面倒という理由だけで私を自由にさせるなんて……

もし私が約束を破って勝手な事をしたらどうするつもりかしら？

「マナ……だったわね  
もし私が約束を破ったらどうするつもり？」

「怪我をさせない程度に取り押さえますよ  
私にはこんなカードも有りますからね」

そう言って見せられたのは六芒星の呪縛  
確か効果は攻撃を封じ、表示形式の変更も封じるカード  
上位相関のカードは多いけど、レア度の高いカードだったわね  
どうしてそんなカードを……

「私の力だったらそれぐらい外せる自信が有るわよ？」

「こんなカードも有ったり」

攻撃の無力化……攻撃封じのカードね  
でもそれだけで守りきれるとでも？

「ついでにこのカードとこのカードも」

悪夢の鉄檻、くず鉄のかかし  
攻撃を抑制したり防いだりするカード  
守るだけじゃ私は防げないわ。

「これらで防いでいる間にあの人に来て貰うの  
完全に拘束されると思うけど……我慢してね？  
傷付けたりだけはしないから」

信用できないわよ  
だってあの時、あいつは……

「そうだ、晩ご飯のリクエストは有る？  
有るんだったら教えて

あの人に言わないと駄目だから、買い物も有るし」

「……シチュー」

鍋で作るようなものだったら毒とかも混ぜられないはず  
私の器だけに毒を混ぜるのなら話は別だけど……  
それでも少しは気休めになるわ。

「はい、じゃあそう伝えておくね  
また後でー！」

マナはそう言って堅守瑞貴の部屋に入る  
私は自分に宛がわれた部屋に戻る。

何をしようかしら？  
サイコパワーは彼らに向けなければ良いのよね？

「……黒薔薇の魔女を召喚」

ブラック・ローズ・ウィッチ  
デュエルディスク

決闘盤は奪われていなかったなので試しに召喚してみる  
現実<sup>ブラック・ローズ・ウィッチ</sup>に干渉して現れる黒薔薇の魔女

サイコパワーを使っても、何も言われないか。

ブラック・ローズ・ウィッチ  
黒薔薇の魔女を消し、どうするか考える

私にできる事は少ない

精々時間が過ぎるのを待つぐらい……か。

自由にしてもいいと言われても、する事が無いわよ  
私に何をして時間を潰せって言うつもり？

部屋をノックされた、誰かしら？

扉を開けると……堅守瑞貴か。

「何の用？」

「暇をしてそうだと思ってな

昼飯を作る手伝いをするつもりは無いか？

別にどちらでもいいが」

「……何が目的？」

「暇潰しの手段を与えてやっただけだ

それに、お前は龍可より用心深そうだしな

毒を盛るとか、そんな事を考えてそうだ

疑われて食わない、それで餓死をされるのも困る

ま、たった2日じゃ人間は餓死しないけどな」



私の事はある程度知ってそうね  
それとも、性格を予想した？

暇が潰せ、更に見張りもできる

料理が下手だったら自分で作った方がマシだし  
ここは乗っておいた方が正解かしら。

「分かったわ」

「なら台所で待ってる、その服で来るなよ？  
タンスにエプロンが入ってるから着けてこい  
というか着替えろ、洗濯する……マナがな」

洗濯と言われて嫌な目を向けたらすぐに訂正した  
当たり前のように訂正したから、元々自分でする気は無かったみたい。  
い。

堅守瑞貴は部屋から出て行った

私はタンスを開くと……普通の服ね、地味だけど  
露出が殆ど無い、シンプルな服か……

あいつは私に何を求めているのかしら？

私に何もするつもりは無いの？

されたいとは思わないけど、女としてちよつと……

とりあえず地味な服だけを着替える

なんというか……本当に地味ね。

エプロンは……なに、これ？

こんなの、どこで売ってるのよ？

デフォルメされたブラック・ローズ・ドラゴンのアップリケ付きなんて

もしかして手作り？ 誰が？

とりあえずブラック・ローズ・ドラゴンのエプロンを着ける

これは派手ね、アップリケ以外の場所はピンクだし  
完全に私の為のエプロンみたい……何故？

部屋から出るけど……台所はどこ？

家だから少し適当に歩いたら見つけた

そしてそこに居た堅守瑞貴の格好は……

「……なに、そのエプロン？」

「見て分からないか？」

デフォルメ地縛神<sup>コカライア</sup>Carayhuaだ  
なかなか愛嬌が有るだろ？」

いや、そういう意味で訊いたんじゃないんだけど……

あの巨大な地縛神のアップリケって……しかも蜥蜴<sup>コカラ</sup>のCarayhuaだし

愛嬌が有るかしら？ ブラック・ローズ・ドラゴンの方が可愛いわよ？

「気に入らないか？」

せっかく態々<sup>コカライア</sup>ミステイの使用したCarayhuaを選んでやったのに」

「貴方、ミステイを知ってるの？」

どうもダークシグナー達と交流が有るように思える  
地縛神を持っているんだから交流が有っても不思議じゃないけど。

「知ってるぞ、あの糞女め……」

ず、随分嫌ってるのね  
何が有ったのかしら？

「あの女の話す事は弟のトビーの自慢話や思い出話ばかり  
俺の作った料理は自分の好物以外は食わないし  
食ったと思ったら不味の一言で切り捨てやがる  
最後まで食うから良いんだが……」

「……ミステイとどんな関係だったのよ」

「世話してやってたんだよ、ダークシグナーになったあいつをな  
ルドガーの奴も面倒な奴を押し付けやがって……」

こいつ、何者？

ダークシグナー達とどんな関係なの？

「女優だったのかは知らんが思った以上に我が儘で困る  
ダークシグナーの中ではマシな方だったが、それでも面倒だ  
最も酷かったのは鬼柳だが」

鬼柳とも知り合い？

何が何やら……

「っと、話が逸れたな  
さっさと作るぞ、面倒だから焼きそばでいいか？」

「どう考えても私の手伝いって不要よね？  
というか、ミステイが不味いって言った料理を食べさせるつもり？」

「あいつは好物以外はそう言うんだよ、美味かろうがな  
その証拠に、ちゃんと全部食う事は食うんだよ  
最初から最後まで文句を言いつぱなしたがな」

ミステイってそんな人だったかしら？

「まあ、俺は嫌われてたからな  
他の奴には普通に対応してる癖に……」

ミステイに何をしたのかしら？  
嫌われて当然な存在な気もするけど。

「それはともかく、確かに焼きそばでは手伝いは要らんな  
適当に座って待ってろ」

そう言われて座って待つ  
料理を作ってる所をボーッと見てるけど  
普通ね、それなりに。

手際はそこそこ、悪く無い  
だけど几帳面なのか不器用なのか、包丁の扱いが少し遅い  
見た所、最後まで怪しい動きは無かったわ。

そして出される焼きそば  
見た目と手際は普通だったけど……

「いただきます」「……いただきます」

……味も普通ね、普通に美味しいわ

ミステイが文句を言いながらも全部食べるのはそうかもしれない  
だって普通に美味しいもの、変な感じは無いし癖も無い。

とてもじゃないけど、料理ができるようには見えないけど  
どんな生活してたのかしら？

「……こっちを見てどうした？」

「いえ、どうして料理ができるのか気になっただけよ」

「どうして……ねえ？」

1人暮らしを経験してるしな

それに、ダークシグナー達の面倒を見てたのは俺だぞ？

どいつもこいつも我が儘ばかりでな、俺がどれだけ頭を悩ませたか  
……」

苦労してたのね

性格の荒そうなのも居たし。

「ダークシグナー達とはどんな関係だったの？」

「俺は世話係、あいつらは世話され係

ゴドウィンの奴め……俺をダークシグナーに売りやがって」

何だか愚痴り始めたわね

止めた方が良いかしら？

でも、何か情報が得られるかも。

「あの野郎、確かに俺は遊星に怨みを持ってるがそれを利用して拷問から抜け出させてやるなんて言いやがったんだ俺をダークシグナーにする為にな」

この男をダークシグナーに！？  
それで拷問から解き放たれたのね。

「ま、俺をダークシグナーにできなかったんだけどなその代わり、俺にはこの家を与えられたんだよダークシグナー達を世話する為にな」

「ダークシグナー達はこの家に住んでたの？」

「そうだ  
ミステイ、鬼柳、ディマク、ルドガー、カーリー  
どいつもこいつも……性格がぶっ飛んでるからなあ  
おかげで俺がどれだけ苦労したか」

それって正気の時を言ってるの？  
それとも黒目の時を言ってるの？

「ミステイはさっき言ったように  
弟の話ばかり、トビーはトビーはってな  
同じ話を何十回されたか、暇になったら俺に話しに来やがる  
お前に対しての恨み辛みも長々と聞かされたよ、いい迷惑だ」

「……その事件の犯人は私じゃないわよ」

「知ってるっての」

鬼柳は遊星、クロウ、ジャックとの昔話ばかり裏切られただのなんだのと、ずつつつつつつつと言い続けやがる

なのに同時に昔仲間の自慢話も長々長々と……お前ら本当は仲良しなんじゃないか？

そう思えるぐらいに詳しく教えてもらったよ、鬱陶しい」

……大変だったのね  
って、ちよつと待って？

「どうして……犯人が私じゃない事を知ってたの？  
それを知ってるのは私と遊星、そしてミステイだけのはずよ」

「見てたからな  
ディマクはルドガーを敬愛しているのは分かるんだが……鬱陶しい  
何よりも声がでかくて煩いし、体格もそこだから暑苦しいし  
見た目的な意味でも相手をしていてかなり疲れる、もう会いたくないな」

なんて不遇な……

「それで、どこで見っていたの？」

「言うと思うか？」

カーリーはジャックだジャックだと……もう見っていて悲痛になる  
泣き出す度に慰めるのが大変だし、黒目になるとハイテンションになるし

もうギャップが激しすぎて相手をするのが最も楽だった  
それぞれの扱い方が簡単だからな」

確かジャックが持っていたあの眼鏡の……  
泣いていたんだ……

「ルドガーはもう……昔の愚痴を熟々とな  
不動博士はだの、レクスは昔はだの、旧モーメントはだの  
全員の中で最も難しい話の上、こいつの愚痴だけで数時間も使う  
こいつの存在がもう、俺に取って最悪の奴だ、無駄な時間ばかり使  
わせやがって……」

もう何も言えない、彼も苦勞していたのね  
しかも拷問から解放されて肉体的になんとかなら精神的に疲勞。

「大變だったのね……」

「大變だったんだよ……  
で、あいつらは居なくなったので俺は現在この部屋で1人暮らしだ  
マナを含めれば2人、お前も含めて良いのか疑問だが3人暮らしか  
？」

「私は含めないで  
だから2人暮らしよ」

「そうか、まあ2人暮らしだ  
この広い家では少々寂しいが……静かでいい  
広くて落ち着かないから自分の部屋にずっと居るがな」

貧乏性かしら？  
それとも根暗な性格？

「そういえば晩飯はシチューが希望だったな



マナに買い物に行かせないと……」

「なら私も……って、外出禁止だったわね  
代わりに料理を手伝うわ」

「そうか？  
なら手伝って貰うか」

って、あら？

何でこんなに仲良くしてるのかしら？  
私ってこいつと敵同士よね？

……どうしよう

遊星の事を怨んで苦しめようとしてるのは分かる  
けどどこまで普通に話すのは仲間以外では凄く久しぶりだし。

「どうした？」

「……いえ」

「悩みか？」

聞いてやってもいいぞ、愚痴は聞き慣れてる  
あいつらのせいだな……」

そう言われて聞く体勢になってる  
言った方が良いかしら？

「私達って……敵同士よね？」

「どうだろうな」

「え？」

敵同士じゃないの？

「俺が嫌っているのは遊星

敵も遊星、とりあえず遊星

だがお前は嫌ってないし、敵だとも思って無い

単なる女の子だしな」

「単なる女の子って……私は普通の人間じゃないわ」

サイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>で、シグナーの1人

普通とは到底言えないわ。

「どこが？」

「どこがって……」

「ちょっと力を持っただけだろ

それでそこまで差別するような事か？

俺の過去の知り合いにはな、未来予知の能力者が居たんだぞ

闇の決闘者<sup>デュエリスト</sup>だって居たし、もう色々

比べる気は無いが、そいつらと一緒に居た俺からすれば普通過ぎる」

この男の過去が果てしなく気になるわ

どんな人間関係を持ってたのよ……

「力を持ってるから普通の人間じゃないという考え方は変だろ  
どう見ても普通の女の子なのにな

人間というのは残酷な生き物だと思わないか？」

「突然話を変えないで  
どうしてそう思うの？」

「人間というのは異端を嫌う  
自分と、自分達と何かが違う存在を認められないんだ  
例えるならばお前自身、分かるだろう？」

……分かるけど。

「言っておくがな、俺だって最初からあんなカード具現化ができた  
わけじゃない

元々は……性格が悪くて趣味も悪くて口も悪い普通の人間だ  
それが色んな奴らと出会ってな、さっき言ったような奴らだ」

「貴方は怖くなかったの？」

その異端の人達が……」

「俺は異端の力に恐怖を感じないんでな  
それに基本として性格を見る  
ま、その異端の力を逆に欲する時も有ったが」

「異端の力が欲しい……ですって？」

この恐ろしい力を手に入れたいなんて  
力の怖さを知らないから言えるんだわ！

「勘違いするなよ？  
仲間として引き入れたいという意味だ

実際にそれで数人集めた事も有る」

「よく集める気になったわね」

「俺は好奇心旺盛でな

気になる事や興味の有る事は進んで欲しがるんだよ  
ちなみに、お前も欲しいと思ってるぞ」

「何を言うのよ……」

でも、欲しいのは力だけ  
私自身ではないわ。

「性格も悪くないし、力も持ってるし  
実力は高めだな、それなりに気に入ったんだ  
俺に付く気は無いか？ 無いと思うが一応勧誘しておく」

「無いわ」

気に入ってくれたのは素直に喜ぶけど、仲間を裏切るつもりは無い  
何を言っても、私は貴方には付かないわ。

「だろうな……本当に惜しいが、仕方無いか  
俺は部屋に戻るぞ」

堅守瑞貴は食器を流しに入れ、部屋に戻った  
どこまで本気だったのやら……

私も食器を片付け、部屋に戻る。

その後は特に何も無かったわ

気まづくなつたから晩ご飯の料理は全部任せたけど  
ちなみに味は普通に美味しかったわ。

そして夜に寝る

この気まづいままで過ごすのかしら？

なんだか嫌ね……はあ。

## 5D's 4話【捕虜の待遇】（後書き）

牛尾と狭霧の気になる事って？  
後々。

何故瑞貴は精霊を解放したの？  
煩そうだからです  
マナが大変ですし、部屋を1つ占領されてるので邪魔です。

ジャックが優秀過ぎる……  
他に行動しそうな人が居ません  
というか、ここで遊星を止める方法が思いつきませんでした  
なので仕方無くこんな形に……通信機器なんて持ってないでしょうし。

そのエプロン、どうやって？  
瑞貴の暇潰しの作品です  
暇なんです、瑞貴は。

瑞貴とダークシグナーの関係が……  
なんだか変な関係に……  
そして拷問から脱出できた方法も公開  
ゴドウィンに家を与えられた理由も。

どうして瑞貴をダークシグナーにできなかったの？  
後々。

最後をカットし過ぎだろ  
時間が無くなりました

それに書く事も無くなって……なのでカットしました。

ツイッター……ツイスターの効果ってどう思う？

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
サイクロンの下位相関。

## 5D・s 5話【断ち切られる絆】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「何これ？ 鎖？」

「封印の鎖、絶版でかなり古い通常モンスターよ」

「なんでこんなカードが？」

「それは……ねえ？」

そんな感じです、そして大遅刻、まさかこんなに遅れるとは……  
とりあえず面倒、効果とかも多いし、疲れた、ついでに寒い  
あー……もうこいつらは使いたくないです。

数が微妙に多いのが困ります  
手は動かないし、モンスターは多いし、効果は面倒だし  
疲れました、最後はストーリー投げやり、こいつら嫌い。

次回はまだ大丈夫だと思います  
とりあえず手だけでも温まりたいです。



## 5D・s 5話【断ち切られる絆】

視点 アキ

遊星達が来る約束の時間まで、後2時間ぐらいなのに……何故家から出ないのかしら？  
ここはシティだと思っただけ……

「いい加減、出ないと間に合わないんじゃない？  
今から出ても間に合わない気もするけど……」

「大丈夫だ、問題無い  
その内行くさ

お前も準備を忘れないようにしろよ」

準備と言われてもする事が無いわよ  
強いて言うなら……本当に何も無いわね。

「ブラック・ローズ・ドラゴンのエプロンはお前にやるよ  
欲しかったんじゃないか？」

「……貰っておくわ」

実はちょっと欲しかった  
料理はそんなにしないけど。

「C c a r a y h u a コカライアも要るか？  
何だったら、他の地縛神でも構わないぞ

シグナーの竜は少し悩むが……」

「他のドラゴンも有るの？」

どれだけ暇だったのよ……

地縛神もだけど、何着作ったのかしら？

「シグナーの竜に地縛神だろ？」

各1着で全部で12着だな」

本当に暇だったのね

そんなに作ってなんの意味が……

ちよっと待って、12着？

「どうして12着なの？」

地縛神は7体、シグナーの竜は4体

合わせて11体のはず」

「……そういえばあいつは覚醒した直後だったな  
となるとまだ持っていないのか……どこに隠されている事やら」

「貴方は何を言ってるの？」

そして、何を知ってるの？」

覚醒した直後？ まだ持っていない？

しかもどこに隠されている？

意味が分からないわ。

「さて、何だろうな？」

俺としては、お前らが知らない事に驚きだ

まあ、気にする事じゃないが」

私達が知らない事に驚き？

シグナーの竜は5体？ それとも地縛神が8体？

どうなってるのかしら？

「……そろそろ時間か

準備は良いな？ エプロンは持ったな？」

「ええ、まあ……」

それだけを聞くと何をしに行くのか分からないわね  
遊星に怨みを晴らしに行くんでしようけど  
でもやっぱり違和感が……

「魔法カード、死のマジック・ボックス」

いきなり！？

また周りが真っ暗に！

『安心しろ、害は無い  
ちよっと移動するだけだ』

箱の外から声が聞こえる

害は無いと分かってても、周りを剣が囲んでると思うとかなり怖いわ！

「どうやって移動するのよ！

どこに移動させるつもりなの！？」

『約束の場所、蜂鳥の塔へ

じゃ、おやすみ』

風切り音、剣が向かってきている  
思わずサイコパワーで守るようにするも、何も変わらず  
私の意識は落ちていく……

『意識が落ちるのは眠り子を入れてるからだけだな  
こいつも気付かなかったか……間抜けだな』

……そんなカード……知らない……わよ。

## 視点 遊星

牛尾と狭霧が帰ってきた時の情報

マーカーの発信器を思い出したので探してみたという話だった  
しかし、何故か発見できなかったらしい……

龍可の言っていたゴドウィンに関する事

その情報は見つからなかったようだ

ゴドウィンの独断だったのか？ それとも隠蔽したか  
俺の予想では後者だろう。

情報を消したのか、それとも最初から作らなかったのか  
逮捕されたリストにも堅守瑞貴の名前は無かったらしい  
どうやら拷問した者は逮捕リストに載せなかったようだ。

そして俺は……1人でサテライトをD・ホイールで走っている

これは俺の問題、俺が決着を付ける為にも！  
これ以上、誰も傷付けない為にも！  
絶対に奴を倒す……俺がなんとしてでも！

……………

……………

……

奴に言われた場所、蜂鳥の塔まで来た  
しかし姿が見えない……まだ来ていないのか？  
それとも隠れているのか？

そう思った時、突然現れた死のマジック・ボックス  
これは……堅守の使う人質移動手段！  
そして隣に現れるのはマジカルシルクハット！

「さてとつと……ん？」

なんだ、もう来ていたのか流星」

「遊星だ

アキを解放しろ」

「……お前、お仲間はどうしたんだ？

普段から鬱陶しいぐらい一緒に居る仲間達は」

「今日は俺1人だ」

これなら奴は俺と戦わざるを得ない  
仲間にはもう手出しさせない！

「ふーん……ならお仲間が来るまで待とうか  
今日の相手は既に決めているしな」

「なんだと!？」

それでは俺が早く来た意味が!

「もしかして1人で来れば自分が相手をするとも思っていたのか?  
甘い、甘いなあ……俺はそんなに優しくないぞ  
本来の時間までまだ時間が残ってる、それまで戦わない」

クツ……それではみんなが来てしまう  
俺が決着を付けなければならぬのに!

「誰も来なかったら相手をしてやるよ  
そんな事は無いだろうがな」

「クソッ!」

すぐさま反転し、みんなに来ないように言いに向かう  
多少強引に言っても……

そう思って走りだそうとした瞬間、光の壁が現れた  
ぶつからないように急ブレーキを掛けたが……なんだこれは!

「魔法カード、カオス・シールド  
そこから抜け出すのは簡単な事じゃないぞ?  
カタパルト・タートルでも使うんだな」

そんなカードは持ってない!

そして何故カタパルト・タートルなんだ!?

堅守は死のマジック・ボックスからアキを出す  
どうやらアキは気絶しているようだ。

堅守は王座の侵略者を呼び出す、またマイナーなカードを……  
そして侵略者の女性を王座からどけ、アキを座らせる  
侵略者は拗ねているように見えるが……実体化した精霊か?

次に何やら手錠のような、鎖のような物を出した  
あれはモンスターなのか? それとも魔法カードか?  
その鎖でアキの手足を封じ込める。

最後に出したのはダーク・スプロケッター  
ジャックも使うチューナーモンスターか……しかし何故?  
そう思ったら下に付いている縄のような部分でアキの体を絞め始めた  
あまり強く絞めていないのか、アキの顔に苦痛は見られない。

そして奴は自分の精霊……ブラック・マジシャン・ガールを呼び出す  
何やら少し話し、堅守は俺の方に向かって来る。

「他の奴らが来るまでそこでおとなしく待ってるんだな  
なに、1時間もしない内に来るだろう  
暇だろうが、仲間を置いてきたお前が悪い」

それだけ言って奴はアキの下に……  
何やらブラック・マジシャン・ガールと話している  
何を話しているのかは不明だが、碌な話だとは思えない。

……………

………

そして約1時間が経過した時、みんなが来たジャック、クロウ、龍亞に龍可、牛尾に狭霧やはり来てしまったか……

「来たみたいだな

では、カオス・シールドを解除するか」

俺の周りに有った光の壁が消滅した  
こいつ……どうやってこの力を？

そう思った時にはみんなが俺の近くに止まる  
半分ぐらい、俺が睨まれているような……

「遊星！

貴様、勝手に1人で行くとは何事だ！」

「まったくだぜ

どこを探しても見つからないから心配したんだぜ？」

「すまない

だが、1人で行けば誰も戦わず、俺が戦えると思ったんだ  
みんなが来なければ相手をすると言われたんだが……」

全員に呆れるような顔をされた

悪いとは思っている、だがそれでも……

「はいはい、仲間割れなら後でしてくれないか？



俺は長々と暇な時間を待たされたんだからな」

「あ、そうだアキは！？」

「アキならあそこで気絶している」

全員の見る先には椅子で縛られているアキの姿  
自分の使うモンスターをアキの拘束に使われているからか、ジャツ  
クの顔に怒りが灯る。

「瑞貴さん、アキさんを放して！」

「却下だ、残念ながらな

こいつにはこのまま寝ていてもらう  
大事な景品だからな」

景品……だと？

つまり、決闘に勝ったら返してやるという意味か  
デュエル  
趣味の悪い奴だ！

「アキは景品なんかじゃねえ！

俺達の仲間なんだ、さっさと解放しろ！」

「ならさっさと俺の相手をしろ、愚鈍・ボーガニアン  
お前が勝てば返してやるさ」

「……って、俺の事かよ！

俺はクロウ・ホーガンだ！

愚鈍・ボーガニアンって何なんだよ！？」

愚鈍の斧とボーガニアンの組み合わせか？  
効果は噛み合わないはずだが……

「大体、この鉄砲玉のクロウ様に向かって愚鈍とは何だ？  
それにモンスターだって矢だしよ」

「知ってるか？」

拳銃よりも矢の方が避けるのが難しいって  
拳銃の場合は撃たれる時に銃口さえ見ていれば躲すのは難しくない  
しかし弓矢の場合は思った以上の速度で来る上に曲がる  
故に、弓矢の方が避ける難易度が高いんだ」

どこの豆知識なんだ？

「何が言いたいかと言うとだ……

お前は遅くてボーガニアンに劣ると言いたいんだ  
まあ、銃と弓矢は一長一短だけだな」

「てんめえ……ぶつつぶしてやる！」

「その言葉、そっくりそのまま返してやるよ」

始まるか。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は俺が貰う、ドロー  
モンスターをセットし、カードを1枚伏せてターンエンドだ」

堅守はモンスターとカードを伏せただけ

毎回こんな出だしだが……

「そうそう、お前のBFの売りを教えてくれ  
どんな考えを持っているのか興味が有る」

「あん？ BFの売り？」

決まってるだろうが、BF同士の絆だよ

こいつらは仲間を信じている、だから俺も仲間を信じるんだ  
BF達の絆を断ち切る事なんて不可能だぜ！」

そう、クロウの強さはBF達の絆の力だ  
この力がクロウを更に強くさせている。

「絆……ねえ？」

ならその絆をズタズタに引き裂いてやろう  
さあ、お前のターンだ」

「へ、やれるもんならやってみな！ 俺のターン、ドロー！  
俺はBF、蒼炎のシュラを召喚！  
更に場にBFが存在する時、手札からBF、黒槍のブラスト  
そしてBF、疾風のゲイルを特殊召喚するぜ！」

なかなか良い手札だったらしい  
これの総攻撃なら奴も大ダメージだろう  
伏せモンスターと伏せカードが1枚だからな。

「バトル！ BF、蒼炎のシュラで守備モンスターに攻撃！」

ブラストは貫通効果を持っている  
しかし、シュラで攻撃した理由

戦闘で相手モンスターを破壊した時、デッキからBFブラックフェザーを呼ぶからだ  
これで更なる追撃ができるようになる。

そして堅守のモンスターが表になる  
出てきたのは白い体に赤い眼をした気味の悪いモンスター  
な、なんだ？ あの名モンスターは。

「エーリアン・グレイのリバー効果を発動  
相手モンスターにAカウンターを乗せる  
俺はBFブラックフェザー、黒槍のブラストにAカウンターを乗せる  
更にリバーしたこのモンスターが戦闘で破壊された時、俺はカードを1枚ドロウする」

謎のモンスターが破壊される直前  
ブラストに紫色の謎の物体を貼り付けた  
しかし何の影響も無さそうだが……

「うえ……なんだよ、その気味の悪いモンスターは  
ブラストに変なもん付けやがって……」

「エーリアン達のどこが気味が悪いか  
微妙な見た目だが、気味は悪く無いだろう」

俺達には奴の趣味とセンスが理解できない  
どう見てもゲテモノなんだが……

「それはそうと、シュラの効果を発動だ  
シュラは戦闘で相手モンスターを破壊した時  
効果が無効化して攻撃力1500以下のモンスターをデッキから特  
殊召喚するぜ」

俺が特殊召喚するのはBF、尖鋭のボォラだ！」  
ブラックフェザー

ボォラはLV5、しかし攻撃力は1300なので特殊召喚が可能だ  
これでクロウのモンスターは4体  
ゲイルの攻撃力は1300、ブラストが1700、ボォラは1300  
合計攻撃力は4300、これが決まればクロウの勝ちだ！」

「アキを攫った怨みだ！」  
ブラスト、ゲイル、ボォラでダイレクトアタック直接攻撃！」

「攻撃順を間違えたな  
罠カード、細胞爆破ウイルスを発動  
Aカウンターが乗ったモンスターが攻撃してきた時  
相手の場に存在する攻撃表示のモンスターを全て破壊する」

「な、なんだとお！？」

確かにクロウはブラストの名前を最初に宣言した  
これでは最初に攻撃宣言をした事となる  
つまり……堅守にダメージを与えられずに全滅！

「……鉄砲玉？  
無謀玉の間違いじゃないか？  
それとも自爆玉？ 突撃玉か？」

「ぐっぐぐぐ……  
ブラックフェザー  
俺はBF、追い風のアリゼを守備表示で特殊召喚する！  
ブラックフェザー  
こいつは自分の場の表側表示のBFが2体以上破壊されたターンに  
特殊召喚できる  
俺はこれでターンエンドだ」

なんとか壁モンスターは出せたが……  
堅守はどう動くか……

「俺のターン、ドロー」

エーリアン・キッズを召喚

更にフィールド魔法、異空間・Aゾーンを発動」

辺りが宇宙のような空間に変わる

正確には惑星だろうか？

俺達の居る場所は宇宙の小惑星という感じだな  
変な感じだ、エーリアンだから宇宙という事か？

「Aゾーンが発動している間

自分のエーリアンと戦闘する相手モンスターの攻撃力と守備力は3  
00ポイントダウンする

俺のエーリアン・キッズの攻撃力は1600、アリゼの守備力は1  
800

しかしエーリアン・キッズが攻撃すると……エーリアン・キッズで  
追い風のアリゼに攻撃」

エーリアン・キッズが攻撃した瞬間、アリゼの守備力が300ポイ  
ントダウンした

アリゼの守備力は1500、エーリアン・キッズには勝てない！

「そして永続魔法、「A」細胞増殖装置を発動  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「くっそお、俺のターン、ドロー！  
ブラックフェザ」

俺はBF「暁のシロッコを召喚！

こいつは相手の場にモンスターが存在し、自分の場にモンスターが存在しない場合

リリース無しで通常召喚できるモンスターだ

更に魔法カード、ブラックフェザーアゲインスト・ウィンドを発動！

俺は墓地からBFと名の付くモンスターを手札に加える

この効果で手札に加えたモンスターの、元々の攻撃力分のダメージを受けるがな

俺はこの効果により、ブラックフェザーBF疾風のゲイルを手札に加え、特殊召喚！」

ゲイルの攻撃力は1300、よってクロウに1300のダメージだがこれでエーリアン・キッズに勝てる。

「くく……ダメージを受けたな？」

「なにい？」

どういう意味だ？

「封印の鎖、ダーク・スプロケッターよ  
アキの体を締め上げろ！」

アキの方を見てみると、気絶しながらも苦悶の表情を浮かべているアキ  
かなり苦しそうにしている……多少離れているここから見ても、きつく縛られているようだ。

あいつ、この為にあのモンスター達を！  
アキを苦しめる為にしたのか！

「止めろ！ アキを苦しめるんじゃない！」

「ダメージを受けたお前が悪い、さあ続けようか？」

エーリアン・キッズの効果発動

相手がモンスターを特殊召喚した時、特殊召喚されたモンスターにAカウンターを乗せる」

エーリアン・キッズは口から紫の物体をはき出す

その物体はゲイルに当たり、ゲイルは嫌そうにしている  
どうやら気持ち悪いらしい。

「てめえ……ゲイルの効果発動！

1ターンに1度、相手モンスターの攻撃力と守備力を半分にする！  
この効果でエーリアン・キッズの攻撃力は800にダウンだ！」

これならゲイルでも倒せる

ゲイルの攻撃力なら、攻撃力が300ダウンしても勝てるぞ！

「チッ、嫌な予感がするな

よし、暁のシロッコでエーリアン・キッズに攻撃だ！

ダークウィングスラッシュ！」

攻撃力が300ポイントダウンしても、シロッコの攻撃力は1700  
これで堅守に900のダメージが与えられた。

「罠カード、スネーク・ホイッスルを発動

爬虫類族モンスターが破壊された時、デッキからLV4以下の爬虫  
類族モンスターを特殊召喚する

エーリアン・ウォリアーを特殊召喚する」



攻撃力は1800、ゲイルでは勝てないか  
ただでさえ攻撃力を下げられるというのに。

「くそつたれめ！」

俺はカードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー」

この瞬間、「A」細胞増殖装置の効果を発動

自分のスタンバイフェイズ毎に相手の表側表示モンスター1体にA  
カウンターを乗せる

俺はこの効果でシロッコにAカウンターを乗せる」

紫の物体を乗せられるシロッコ

前に乗せられたゲイルも含めてどちらも嫌そうで払い落とそうとしている

しかし、紫の物体はなかなか離れない。

「そしてエーリアン・ウォリアーをリリース

エーリアン・リベンジャーをアドバンス召喚する

更に自分がエーリアンの召喚に成功したので、エーリアン・ドッグ  
を特殊召喚

こいつが特殊召喚に成功した時、相手モンスターにAカウンターを  
2つ乗せる

俺はシロッコにカウンターを2つ乗せよう」

巨大なエーリアン、そして不気味な犬

エーリアン・ドッグのはき出す紫色の物体を2つも被ったシロッコ  
かなり邪魔そうだ。

「更にエーリアン・リベンジャーの効果

相手の場のモンスターにAカウンターを1つ乗せる  
エーリアン・リベンジャーでゲイルに攻撃」

エーリアン・リベンジャーの攻撃力は2200  
対してゲイルの攻撃力は異空間・Aゾーンの効果で300ポイント  
ダウンする

攻撃力差は1200か……

「ちょっとまったあ！ 罠カード、ブラックフェザーブラック・ブーストを発動！  
自分の場にBFが2体以上存在する時、デッキからカードを2枚ド  
ロー！」

そしてエーリアン・リベンジャーの攻撃がゲイルに当たる  
その直前、ゲイルの攻撃力が400になっただど！？

「な、なんでゲイルの攻撃力が400に！？」

「エーリアン・リベンジャーの効果

エーリアンと名の付くモンスターが戦闘を行う時

相手に乗っているAカウンターの数×300ポイント攻撃力と守備  
力がダウンする

現在ゲイルに乗っているAカウンターは2つ、よって攻撃力は60  
0ポイントダウン

そして異空間・Aゾーンの効果で更に300ポイントダウンだ」

エーリアン・リベンジャーの攻撃は続行され、ゲイルを破壊する  
クロウは1800のダメージを受ける……  
アゲインスト・ウィンドの効果により、残りライフは900になっ  
た。

そしてクロウのライフが減った事で……

「く……あ……」

気絶したまま苦しみの声を上げるアキ  
このままだとアキは！

「止めろ……止めろっつつてんだよ！」

「ならダメージを受けなければいいだろ？  
お前とモンスターの絆とかで

エーリアン達の細胞でボロボロみただけだな」

確かにこのままだと……

しかも、エーリアン・リベンジャーの効果もある。

「ちょっと待てよ……エーリアン・ドッグの攻撃力は1500

シロッコに乗っているAカウンターは4つで、異空間・Aゾーンの  
効果も発動される

って事はエーリアン・ドッグが攻撃してきた時、シロッコの攻撃力  
は……500！」

残りライフが900のクロウでは耐えられない！  
このままだとクロウの負けだ！

「エーリアン・ドッグでシロッコに……攻撃」

クロウの負け……か。

「……まだだ、まだ負けちゃいねえ！

ブラックフェザー  
手札からBF、月影のカルートを墓地に送って効果を発動！

ブラックフェザー  
BF1体の対象に、攻撃力を1400ポイントアップさせる！

俺はシロッコの攻撃力を1400ポイントアップさせ、攻撃力1900となる！

反撃だシロッコ！ あんな気持ち悪い犬なんかぶっ飛ばせ！」

よし！ これでエーリアン・ドッグを倒せたぞ！  
ダメージも受けなかったし、アキも何とも無い！

「どうだ！ ブラックフェザーこれがBF達の力だ！  
仲間との連携、それがこいつらの強さだ！」

「ふーん……カードを1枚伏せ、ターンエンドだ  
この程度でこいつらの力？」

俺のライフはまだ2700残っているぞ  
その連携と絆の力で俺を倒してみろよ」

「馬鹿にすんなよ！ 俺のターン、ドロー！  
ブラックフェザーよし、俺はBF、極北のブリザードを召喚するぜ！  
こいつが召喚に成功した時、墓地のLV4以下のBFをブラックフェザー守備表示で  
特殊召喚できる！

俺はこいつの効果で、墓地からBF、疾風のゲイルを特殊召喚！」  
ブラックフェザー

これでゲイルの効果を再び使える

これだけカードが揃えば……勝てるかもしれない！

「ここまでされれば十分に分かっただろ？  
ブラックフェザーBF達の、絆と、結束と、連携の力を！  
ゲイルの効果、エーリアン・リベンジャールの攻撃力を半分にする！  
そして……」

「今まで黙って見ていたが、さすがにこの状況でシロッコの効果は使わせない

永続罠、洗脳光線を発動する」

シロッコに付いていた紫の物体が突然発光を始めた？  
するとシロッコが突然、堅守の場に移動しただと！？

「んなあ！？

どうしてシロッコがお前の場に！？」

「洗脳光線の効果、相手の場のAカウンターに乗ったモンスター1体を選択する

そのモンスターのコントロールを得る

自分のエンドフェイズ毎にそのモンスターのAカウンターを1つ取り除く

全てのAカウンターが無くなった時、このカードを破壊する……」

シロッコに乗っているAカウンターは4つ

つまり、戻ってくるまでに4ターンも掛かるのか！

「これでお前のブリザードの攻撃力を上げられない

もし決められていたらライフが無くなって負けていた

少々危なかったが……俺の方が1手早かったらしいな」

ブリザードの攻撃力は1200

エーリアン・リベンジャアの攻撃力は1100

異空間・Aゾーンの効果で攻撃力が300ダウンするから勝てない。

「しかも、チューナー同士ではシンクロできない

更に言うならばLV5のBFブラックフェザーのシンクロモンスターも無い  
詰んだな、お前の負けだ」

「ターン……エンドだ！」

クロウ……

「俺のターン、ドロー」

「A」細胞増殖装置の効果により、相手のモンスターに1体にAカウンターが乗る

ブリザードにAカウンターの乗せる

そしてエーリアン・リベンジャールの効果により、相手のモンスターにAカウンターを乗せる

ま、殆ど無意味だけどな」

「……さっさとやれよ」

「そうさせてもらおう」

BFブラックフェザー、

暁のシロッコの効果を発動

BFブラックフェザー、

場のBFブラックフェザーの攻撃力の合計をBFブラックフェザーに与える

この効果は相手の場にも適用されるのでな

BFブラックフェザー達の

攻撃力の合計は4500……美しい絆だなあ？」

BFブラックフェザー、

こいつ、BF達の絆をあざ笑っている！

BFブラックフェザー達の

絆をズタズタに引き裂くとは、この事か！

BFブラックフェザー、

暁のシロッコで、BFブラックフェザー、

極北のブリザードに攻撃

お前の負けだ、クロウ・ホーガン！」

シロッコの攻撃がブリザードに直撃する

ブリザードは破壊され、クロウに3300のダメージが……

「さて……アキをこれ以上苦しめる必要は無いな  
今回はこれで帰らせて貰おう、ライフも1000単位で減ってない  
し」

「クソッ……すまねえアキ！」

アキはまた奴に……

「アキは返すぞ？」

その代わり……魔法カード、死のマジック・ボックスを発動」

何！？ 今度は誰に！？

クロウ……違う、何も変化は無い！

ジャックも違う、牛尾、狭霧、龍亞も……

この場で姿が見えないのは……龍可！

「お前、また龍可を！」

「男なんて攫ってもつまらないじゃないか

捕らわれた悲劇のお姫様って、女の子の夢のようなシュチエーション  
だろ？」

次は蜥蜴の塔だ、楽しみに待ってるぞ」

「待て堅守！」

「龍可を返せえ！」

時既に遅し、奴は既にシルクハットに隠れて消えた

また龍可を……クソッ！

「そうだ、アキは！？」

アキの方を見てみると完全に解放されていた  
近づいて様子を見てみるが……体に異常は無さそうだ  
本当に絞められていたのか？

「あいつの所在は分からないんだ  
龍可の事は今はどうしようも無い  
先にアキを家に連れて行こう、休ませねばらん」

「……ああ」

奴は何を考えて居るんだ？  
龍可を攫い、アキを攫い、また龍可を攫う  
堅守の目的はいつたい……本当に俺を怨んでいるだけなのか？



## 5D・s 5話【断ち切られる絆】（後書き）

眠り子って……

超初期のモンスターです

ちなみに作者は持っていたり……何故か。

どうして発信器で瑞貴を見つけられなかったの？

マナの結界です。

ゴドウィンに関する情報が何故無かったの？

遊星の予想が正解です。

今回も瑞貴のデッキは？

エーリアン使用、相手全体弱体化＋コントロール奪取デッキです

実はレイに使わせようと思っていたという裏話が……止めましたけど。

スネーク・ホイッスルの効果が……

アニメ効果です

アニメでは戦闘破壊にも対応していました  
なお、OCGでは不可能。

ブラック・ブーストの効果が違う……

アニメ効果です

ブラックフェザー  
場にBFが2体以上存在する時、強欲な壺。

ツイッター……面倒になってきた

[http://twitter.com/#!/ain\\_kuria](http://twitter.com/#!/ain_kuria)

どうしようかなあ……

## 5D・s 6話【エプロンの情報】（前書き）

「なにかななになか……今日は……ナイトメア・スコープオン？  
通常モンスターで絶版、なんでこんなカードが？  
龍可あ……早く帰ってきてくれよお」

すまん龍亞、まだ無理だ  
という感じの今回です。

今回、何がしたかったんでしょね？  
正直ネタ切れになってきました  
人質に何をさせるかという意味で。

次回はそれなりにそこそこでそんなこんなです  
意味が分からない？ 自分でも分かりません。

## 5D・s 6話【エプロンの情報】

視点 遊星

クロウが奴と決闘デュエルをした翌日

龍亞はまた龍可が攫われて落ち込み、アキはまだ目を覚まさない奴に何かされたのか……

「すまねえ、俺が負けたばかりに……」

「もう気にするな

それよりも気になる事は……」

「ああ、奴の使うデッキがアンチデッキではなかったという事だ  
最初に全滅させられたのはクロウのミス

最後のコントロール奪取とて、奴のデッキ特徴だがアンチとまでは  
言えん

ブラックフェザー

B Fのアンチをするならば特殊召喚や展開力を封じてくるだろう」

そう、俺達の予想と全く違うデッキを使ってきた事だ

クロウはジャックの言うような事を懸念していた

ならばそうなる前に速攻で倒そうとしたんだが……

最初の全滅はともかく

奴はアンチと言えるようなカードは殆ど使っていない

最後は逆にシロッコの効果を逆利用されてしまうほどだ。

「順番から考えて、次は俺だろう

奴はどんなデッキを使ってくるか……」

「ジャックの弱点かぁ……ロックとかか？  
パワーデッキだし、攻撃を封じられたら拙いだろ」

「攻撃力を更に上げられるのも危険だ  
パワーデッキの特徴である、攻撃力を上回られたらおしまいだ」

しかし、ジャックのデッキは変わらないだろう  
相手がどのようなデッキを使うか分からないんだ  
対策を取ろうにも、どうしようもできない。

「……俺はもうこのまま闘うぞ！

奴がどんなデッキを使おうとも、この俺が粉碎してくれる！」

やはりそれが1番かもしれないな  
対策をしようとして、使い慣れないデッキを使うよりは良いだろう  
これが吉と出るか、凶と出るか……

ジャックが盛り上がっていると、扉が開いた  
誰かと思えばアキ、目を覚ましたのか。

「やっぱりここは……マーサハウスね」

「気がついたか、アキ  
体の調子はどうだ？」

「ええ、心配掛けたみたいね  
体の調子はいつも通り、何も問題は無いわ  
夢見はちよっと悪かったけど……」

問題無い？

しかしアキは封印の鎖とダーク・スプロケッターに体を絞められていた

外傷は見当たらなかったらしいが……

「体は平気なのか？」

「何とも無いけど、どうかしたの？」

「……いや、何でも無い」

アキの体には何の変化も無いのか？  
なら、あの時のアキの苦しみはいつたい……

「そういえば龍亞と龍可が見当たらないけど……  
牛尾、深影さんも」

言葉に詰まる

どう説明すれば良いか……

「龍可はまだ奴に……龍亞はそれで落ち込んで  
また龍可を守れなかったと言って……  
牛尾達は今日も調べ事をしてるらしい」

「龍可が？」

そう……今は何をしてるのかしら？」

思ったより反応が薄いな  
何か有ったのか？

「なあアキ、反応が随分薄くねえか？」

「多分、心配無いもの

彼は私達に全く手出しをしないわ

龍可はどんな扱いをされていたか知らないけど……

少なくとも、私は外に出ない事ぐらいで殆ど自由だったわ  
サイコパワーの使用も許可されていたし」

不用心だな、アキが襲ってくると思わなかったのか？

下手すれば殺されるかもしれないんだぞ

アキはそんな事をしないが。

「あいつは何も考えて無いのか？」

「そうでも無いわ

私がおかししたら即刻取り押さえるつもりは有ったみたい

何か壊したりしたら弁償って言われたけど、その程度ね

問題は暇ね、何もする事が無かったもの

寧ろ、私から何かする事が欲しいって言い出したぐらいよ」

平和というか、何も無かったなら良いんだが

アキの様子を見る限り、何か有ったようにも見えない

龍可の時も何も無かったから……心配する必要は無いのか？

「奴について、何か分かる事は有るか？」

「彼について？」

そうね……私は彼に何度も愚痴を言われたわ」

敵の人質に向かって……愚痴？

何を考えて居るんだ？

相変わらずよく分からない奴だ。

「愚痴かよ……どんな内容だったんだ？」

「どう話せばいいかしら……」

私が捕らえられたあの家、あの家にはダークシグナー達も住んでいたらしいわ」

「「「ダークシグナー！？」」「」」

どうしてダークシグナー達と！

奴とダークシグナーはどんな関係が……

「あの家に住む切欠になったのは拷問から解放された事らしいわ

ゴドウィンが遊星への怨みを持っていると知り、解放を条件に出し

たみたいなの

それでルドガーに彼の身柄を引き渡し、ダークシグナーにしようと

企んだらしいわ」

「でもよ、あいつってダークシグナーじゃないんだろ？

地縛神を持っていても痣は無いし、自分でも違うって言ってたしよ」

確かにクロウの言う通りだ

奴は自分でダークシグナーである事を否定した

上半身を見たと言っていた龍可も、地縛神の痣の事は言っていない

地縛神を持っている理由も謎だが……

「なんでも失敗したらしいわ、原因までは教えてくれなかったけど



秘密を知ったからか、仲間にできなかったからか、家に住ませたらしいわ

彼の仕事はダークシグナー達の世話係だったみたい」

世話係……あの鬼柳やミステイ、ルドガーもか？

かなり大変だったんじゃない……

「あまり詳しくは聞いてないけど、殆どの人が彼に愚痴を言っていたらしいわ

ミステイは弟のトビーと私への恨み言

鬼柳は昔の貴方達3人との昔話や恨み言

ディマクは鬱陶しくて邪魔だったとか

カーリーはジャックの事で……」

「奴はカーリーとも居たのか!？」

「え、ええ……かなり不安定だったらしいわ

正気の際は泣いたりして慰めるのが大変だったり

テンションが上がっている時は煩かったり

そんな事を言ってたわよ？」

どっちにしてもジャック関連か

本当にカーリーはジャックの事を想っていたんだろう

ダークシグナーになっても、その想いは変わらなかったみたいだ。

ジャックは複雑そうな顔をしている

敵がカーリーと一緒に居た事が複雑なんだろう

自分の事を想っていてくれた事も嬉しいと思ってるんじゃないか？

「後はルドガーの難しい内容の愚痴を延々と……

不動博士とか、レクスとか、旧モーメントとか  
専門用語も使ってかなり難しい愚痴だったらしいわ  
ルドガーが一番酷かったみたい」

父さんの事も話したのか

どんな内容だったんだ？

奴から聞けるか……無理か。

「そして……最後に気になる情報を得たわ」

「気になる情報？」

どんな情報だ？

「……地縛神とシグナーの竜  
合わせて何体か分かるかしら？」

地縛神とシグナーの竜の数？

「地縛神<sup>チャク</sup>Chacu<sup>チャルア</sup>Challhua、地縛神<sup>クシル</sup>Cusillu  
地縛神<sup>コカライア</sup>Ccaryhua、地縛神<sup>アスラ</sup>Asllapiscu  
地縛神<sup>コカパク</sup>Ccapacapu、地縛神<sup>ウル</sup>Uru  
地縛神<sup>ウイラコチャ</sup>Wiraqocha<sup>ラスカ</sup>Rasca  
これで地縛神は全て、全部で7体だ」

「シグナーの竜ってたら……」

遊星のスターダスト・ドラゴン、ジャックのレッド・デーモンズ・  
ドラゴン

アキのブラック・ローズ・ドラゴン、龍可のエンシェント・フェア  
リー・ドラゴン

この4体だな」

「全てを合わせると合計で11体か  
アキよ、それがどうかしたのか？」

「その……こんな物を貰ったのよ」

そう言ってアキが出したのはエプロン？

片方はピンクの女性用、もう片方は白だな。

「エプロンなんか貰ったのかよ

あいつ、何をしてるんだ？」

「そこじゃないわ  
これを見て」

ピンクのエプロンにはデフォルメされたブラック・ローズ・ドラゴン  
白のエプロンには同じくデフォルメされた地縛神Cコcカラaライrイaアyアhアuアa  
……何故シグナーの竜と地縛神のエプロンが？

「暇だったからって、手作りらしいわ  
それはともかく彼は各1着、合計で12着作ったと言っていたの  
つまり、数が合わないのよ」

確かに合わない……まだどちらか1体が残っているのか？  
奴のミスか、それとも何か別の理由が？

「そしてこんな事も言っていたわ  
覚醒した直後、まだ持っていない、どこかに隠されている  
私達が知らない事に驚き……ってね」

この言葉から連想されるに  
覚醒した直後、更に持っていないという言葉  
残っているのは……

「もしかして……俺か？」

「ああ、そうかもしれない  
シグナーでありながら、シグナーの竜を持っていないのはクロウだけ  
奴は既に最後のシグナーの竜を知っているのか？」

「多分そうよ、どんな見た目かも知っている可能性が高いわ  
残念ながら、そのエプロンは見せて貰えなかったけど……」

しかし、何故エプロン？

「しかし……何故エプロンなのだ？」

「暇だったからじゃない？  
適当に縫えるのってエプロンとかハンカチぐらいだし  
ハンカチは小さいからエプロンだと思うけど……」

「で、どうして貰えたんだ？  
そのブラック・ローズ・ドラゴンと地縛神Ccarrayhuaのエ  
プロン」  
コカライア

「私の暇潰しの為に料理を手伝うかって言われて……  
タンスに入ってるから適当に使うように言われたのよ  
私の対戦相手だったミステイの使った地縛神Ccarrayhuaの  
エプロンを着けてね」  
コカライア

奴がこの地縛神C c a r a y h u aのエプロンを？  
コカライア  
……なんというか、なんとさえいいのか……なあ？

「どう考えても……似合わんだろ」

「俺もそう思う」

龍可の話で料理ができるのは知ってたけどよ  
エプロンなんか着けるようなマメな奴だったんだな」

俺も同意見だが……なんと言えいいのか  
返事に困るな。

「アキ、他に何か無いか？」

「そうね……勧誘されたわ」

「勧誘う？  
アキをか？」

「ええ、私を」

奴がアキを勧誘？  
何が目的で……サイコパワーか？

「順番に話すわね  
さっきの愚痴の話で、私と彼は普通に話してたのよ  
それで、私は敵とこんなに普通に話していて良いのかしら？  
そんな疑問が浮かんのだの」

愚痴の話は自然にされたから……：そういえばそうだな  
何故敵であるアキにそんな話を？

「私の悩みに気付いた彼が言ったのよ  
悩みが有るなら言えって、聞き慣れてるからって  
私は訊いたわ、私達は敵同士よね……：って  
返事は……否定だったわ」

奴はアキを敵として見ていないのか？  
どういう意味か、全く分からない。

「彼が嫌っているのは遊星だけ  
私は嫌ってないし、敵じゃないって言ったのよ  
そして……普通の女の子って」

俺を嫌っていて、アキを嫌っていないのは良い  
だが、アキはサイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>であり、シグナーだ  
それは奴とて理解しているはず……  
何しろ、自分自身でその力を味わったのだから。

「信じられる？ 彼は元々、何の力も無かった普通の人間らしいのよ  
過去の知り合いには闇の決闘者<sup>デュエリスト</sup>や、未来予知ができる人間  
他にも何人もの私みたいな特殊能力を持った人間と平気で一緒に居  
たらしいの  
私の事、少し力を持っただけの普通の女の子って言ってくれたの……  
」

「アキ……」

「怖くないかって訊いたわ、怖くないって

性格を見ているから能力なんて関係無いって

普通の人間だったのに、寧ろ自分から能力者を集めた事も有るって好奇心で集めた……私も気に入ったから欲しいって言われたの」

自分の力を当たり前のように受け入れてくれる人間

アキの力を物ともせず、普通の女の子と言える

実際にあの痛みを受けた人間が……そんな事を言えるか？

「あ、勿論断ったわよ？

仲間を裏切るつもりは無いもの

どこまで本気だったか分からないし」

良かった、アキは仲間を大事にしてくれていた

もしアキが奴に付いたら……なるほど、それが目的か！

俺が仲間を大切にしている事を、奴は知っているだろう

アキが俺達から離れれば俺は悲しみ、傷つくかもしれない

そう思っただけの行動か……

「（でも、もし遊星達と会う前だったらどうだったかしら？

……止めましょう、今となっては無意味な事ね）」

しかし……アキを本当に欲しての言葉かもしれない

俺の自意識過剰だろうか？

どちらにせよ、アキは乗らなかったから関係無いか。

またこの部屋……

瑞貴さんに連れ出されたみたいね  
どうして私を攫ったのかしら？

『起きたか、龍可』

「うん、おはようレグルス」

『クリクリー？』

「おはようクリボン  
またあの人の家よね？」

頷くクリボン  
瑞貴さんの顔でも見たのかしら？

「精霊の声が聞こえたので来たよー！  
おはよー龍可ちゃん！」

「……朝からハイテンションね、マナ」

突然入って来たのは瑞貴さんの精霊のマナ  
そういえば持ち精霊じゃないって言ってたけど、  
どういう意味なのかな？

「暇なの！　ね、お話しよお話！  
前に精霊界に行ったって前言ってたでしょ？  
どうだったか教えて！　印象とか感想とか！」



いきなりそんな事を言われても……  
どう返事をしようか迷っていた時、扉がノックされた  
誰かと思ったけど、マナはここに居るから1人しか居ないわ。

「入るぞ、構わないか？」

「どうぞ」

入って来たのはやっぱり瑞貴さんだった。

そういえばこの人、アキさんを苦しめた  
思わず睨み付けてしまう。

「何故睨む？」

「アキさんを……苦しめたわ  
だから怒ってるのよ」

瑞貴さんは無言で私にカードを投げる  
そのカードはモンスター、ナイトメア・スコープオン？

「そいつは悪夢を見せ、魘されている間に獲物に毒を刺す  
アキに攻撃しないように王座の侵略者に動きを止めさせていたがな  
アキが苦しんでいたのはその悪夢を見ていただけだ  
体には全くの無影響だから安心しろ」

「じゃあアキさんは……」

「寝てただけだ、眠り子の力でな」

そう言われて新たにカードを投げられる  
受け取ったカードはモンスター、眠り子  
相手を長い眠りに導く力を持っている……

「それに悪夢って言っても、所詮昆虫族モンスター  
その貧弱な脳みそじゃ虫に囲まれた程度の悪夢だ  
アキに使う前に自分で実験した所、俺はそんな夢だった  
気持ち悪いとはいえ、悪夢と言えるか疑問だな」

安全管理はしてるのね  
でも、それはかなり嫌よ。

「魘されたりしていたのはそれが原因だろ  
というか、それを狙ってしていたんだし  
封印の鎖とダーク・スプロケッターは演出だ  
モンスター達共演の演技、楽しかっただろ？」

「趣味が悪いと思うわ」

「褒め言葉として受け取っておくが、加減が難しいんだよ  
本当に傷付けるつもりは無いんだから、仕方無いだろ  
俺の狙いは、あくまでも不動遊星なんだからな  
他は巻き込んでも、傷付けるような事はしない」

確かに傷つくような事はされてないし  
どっちかと言えば優しくされてるけど……

「遊星にもあんまり酷い事はしないで」

「無理だ」

それならそもそも、人質なんて真似はしない  
何せ、俺の目的はあいつが苦しんだりする顔を見る為だからな  
その顔を見る為にこんな回りくどい事をしているんだ」

やっぱりこの人は酷い人

でもあの傷跡を見たら……

駄目なんだけど、何も言えない。

あれだけの痕、怨まないわけが無いもの  
何を言っても無駄かもしれない  
優しくしてくれるから少しは聞いてくれると思ったけど、無理か。

「さて、お前はこれからどうする？

俺は部屋に戻るつもりだが……

それとも何か食うか？ 準備ぐらいならしてやるぞ」

そんな急に言われても……

起きたばかりだし、何か食べたいかも。

「なら食べるわ」

「そうか、適当に作っておくから着替えでもして下に来い  
先に言っておくが、着替えさせたのはマナだ」

言われて気付いた

そういえばパジャマ……いつの間に？

寝ている間にでも着替えさせたのかしら？

あの人は先に部屋から出て行った  
言っていた通り、先に何か作るのかな？

とりあえず着替え、部屋から出る

着替えている時にマナに言われたんだけど

私の服は洗濯中、そしてこれなんだけど……なんでこれ？

「あの……」

「来たか、できてるから食え」

……エプロン？

しかも、地縛神<sup>クシル</sup>Cu<sup>クシル</sup>silluの……何でCu<sup>クシル</sup>sillu？

「割と似合ってるな  
子供だからか？」

「それは嬉しいんだけど……  
そのエプロン、何？」

「見て分らないか？  
地縛神<sup>クシル</sup>Cu<sup>クシル</sup>silluのエプロンだ  
お前と戦ったディマクが使っていただろ？」

そうだけど……もしかして、その為だけに着たの？  
なんというか、とりあえず似合わないわ。

「私の着ているこの服は？」

<sup>ブラックローズウィッチ</sup>  
「黒薔薇の魔女じゃないか  
見て分らないか？ 似合ってるぞ」

それぐらいは分かるわよ

似合ってるって言うてくれるのも嬉しいけど  
でも、私が言いたいのは……

「何で私の部屋のダンスにこんな服が入っているのか  
そして、何でダンスの中にはモンスターの服しか入ってないのか  
しかも薔薇の妖精とか、サニー・ピクシーとか、踊る妖精とか  
そんな女の子の妖精とかの服ばかりしか入ってないのって言いたい  
のよ」

「コスプレ用、高かったんだぞ？  
お前を連れてきた翌日に発注しておいた  
特に意味は無い、着替え用だ」

「だから……何でコスプレ用なのって訊いてるのよ  
普通の服を用意してちょうだい」

「似合うのに勿体ない……  
が、金の無駄になるので新しい服は買わない  
諦めてそれらの服を着るんだな」

嬉しいけど止めて  
何で私の好きなモンスターとかの服ばかり……  
どうやって好みを知ったのよ。

「何でこんな事にお金を使うの？」

「金は有るからな  
偶には無駄な買い物はしたくなる  
これを見たら無駄とは言えそうに無いが」

どうしてそんな恥ずかしい事を当たり前のように……  
こっちが恥ずかしくなるわ。

「（正確には、そうやって恥ずかしがる姿を見る為なんだけどなあ……和む、やっぱり女の子のこういう姿は貴重だ抱き枕は無理だろうが、これで少しは満足するしか無いか）」

溜め息を吐かれた……な、何？  
私、何かした？

「さて、食うか  
服に似合わない和食の朝食だが許せ  
俺は朝は和食派だ」

作って貰う立場だから文句なんて言わないわよ  
それにしても……普通の朝ご飯って感じ。

「いただきます」

食べる……普通に美味しい  
なんだか安定している美味しさ  
変な癖とか無いし、普通に食べられるわ。

この服、凄くフリルとか付いてるからこぼせないわね  
ゆっくりとこぼさないように注意して食べる  
な、なんだか緊張するわ。

「何を緊張してるんだ？  
前だってここで食ってただろ」

「だ、だってこんな服だとこぼしたら……  
何だか悪い気がして……それで」

「別に気にしなくても良いんだが……  
気になるんだったら仕方無い、少し待ってろ」

席を立ち、どこかに行く

暫く待つと薄緑のエプロンを持ってきてくれた  
何で自分で使ってた地縛神Cクシルuクシルsクシルiクシルlクシルlクシルuじゃないのかしら？  
その方が手っ取り早いんじゃない？

「ほら、これを使え  
欲しかったらやるよ、お前が使う方が喜ぶだろ」

喜ぶ？ 疑問に思っ  
てエプロンを広げてみた  
……デフォルメされたエンシ  
ェント・フェアリー・ドラゴン？  
えっと……可愛いけど、どう  
してこんな物が？  
これもコスプレ用の……こん  
なコスプレなんて無いわね。

「暇潰しの成果  
ちなみに地縛神Cクシルuクシルsクシルiクシルlクシルlクシルuもだ」

「……そんなに暇だったの？」

「まあな、俺はダークシグナ  
ーの戦いで手出しを禁じられていたか  
らな  
他にも暇な時間が出来た時にち  
よくちよくな」

手出し禁止？

そういえば地縛神を全部持ってたっけ  
ダークシグナーの方に居たのかな？

この人が戦えば凄く苦戦したんだと思うけど……

「どうして禁止されてたの？」

「色々と有ってな

切れた俺がダークシグナー全員に1VS5で先攻1ターンキルを決めた」

「ダークシグナー全員に先攻1ターンキル！？」

ど、どうやってそんな事ができたの！？

みんな強かった……って、先攻だから何もできない！

「何、エクゾディアを使っただけだ

ドローしてドローしてドローしてドローしてドローした

それ以外に何もしていない

ソリティアになったが……まあ気にする事じゃないな  
俺を怒らせたあいつらが悪い」

こ、この人とダークシグナー達の関係ってどんなのだったんだろう？  
そこまで怒らせるって、何をしたの？

「そういえばお前には言っただけだったな

ダークシグナー達全員、一時期この家に住んでいたんだ

それで俺に対して全員が我が儘を言い出した時にちよつと……な」

だからって、全員に1ターンキルって……

どんな我が儘だったんだろう？



「ほら、話は終わり  
さっさと食うぞ」

エプロンを渡され、とりあえず着てみる  
ちよっと大きいかな……でも私でも使えそう。

『クリクリー』

「似合ってる？  
ありがとうクリボン」

そう言ってくれるのは嬉しいかも  
エンシエント・フェアリー・ドラゴンも喜んでくれるかな？  
こんなグッズ、普通は無いもん。

「サイズは微妙に合わないか  
まあ成長すれば大丈夫だろ、気にする程じゃないな  
欲しかったらやるぞ、俺には不要だし」

「いいの？  
ありがとう」

嬉しいな、今度何か作ってみようかしら？

「昼飯は一緒に何か作るか？  
あまり上手くは無いが、料理を教えてやってもいいぞ」

「本当？」

「暇だからな」

こんな所で料理の勉強ができるなんて驚き  
教えて貰えるんだったら助かるし、良かった。

朝ご飯を食べ終わった後は精霊達をお話をしたり  
マナが遊びに来てくれたりした。

お昼は言われた通り、一緒にご飯を作った  
難しくないという理由でチキンライス  
ちよつと失敗して味が濃くなったけど……  
それでも上出来って言うてくれて嬉しかった。

でも……教え方は上手なのに  
どうしてマナは料理ができないのかしら？  
これだけ丁寧に教えてくれるんだっと思ったら思うんだけど……

それをマナに訊いてみたら落ち込まれた  
ちよつと無神経だったみたい、ごめんね？

龍亞や仲間のみんなと一緒にいないのは寂しいけど  
それでも楽しい時間だった。

龍亞達と会えるのは2日後  
もう開き直っちゃった方が良いかな？  
諦めて今を楽しむって。

できれば龍亞と一緒に良かったな……  
もし、また誰かを攫うんだったら龍亞も一緒になって言おうかな？  
そうすればきつともっと楽しくなるはずだし。

「龍可、晩飯の仕度をするぞ  
また教えてやるから早く来い」

「あ、はい」

こんな生活をしてて良いのかな？

みんな心配してるかもしれないけど、心配しないで  
私は寂しいけど、楽しく過ごしてるから。

ところで私、人質よね？

お客さんとかじゃなくて……良いのかな？

「晩飯はポトフな

この料理はだな……」

まあ、考えても私には何もできないし

色々と教えてくれるのは嬉しいからいいか  
次に帰ったらみんなにお披露目しよつと  
きつとみんな驚いてくれるし、楽しみ！

## 5D・s 6話【エプロンの情報】（後書き）

遊星のは自意識過剰？

微妙です……

それも含みますが、アキ確保は本音でしたし。

ちゃんと実験はしてるんだ……

危険が無いようにですけどね

瑞貴ならある程度の精神攻撃なら大丈夫でしょうし。

何故黒薔薇の魔女？  
ブラックローズウィッチ

特に意味は無いですね

妖精系モンスターは露出が多かったのが理由でしょうか？

ゴスロリ龍可、それはそれで見てみたいです。

何故瑞貴はそんな服を買ったの？

本文中にて、殆どそれだけです

あまり意味はありません、子供用ですし。

まさかアキの服までは……

それは秘密です。

どのデッキを使ったの？

図書館エクゾです。

ダークシグナーに勝ったら問題なんじゃ……

何もしてないので闇の力とかを使う余裕も無く速攻  
地縛神も何も、何もできないので無問題です

という事にしておいてください。

気のせいかな龍可が軽いような……

子供ですから

大人っぽくても、やはり子供です

そこまで深く考えるのは無理でしょう。

ツイッター……ツイスコップ……なんだっけ？

http://twitter.com/#!/ainkuria  
忘れたし、どうでもいいや。

## 5D・s 7話【空に浮かぶ世界】（前書き）

「なーっかな、なーっかな

今日はこれ、シンクロ・バック

シンクロモンスターをエクストラデッキに戻し、次の自分のターンに特殊召喚するわ

……やっぱり龍亞と一緒にしたいわ」

残念ながらまだ無理らしい

このカード、OCG化しますかね？

蘇生制限が満たせなくなりますけど……効果回避には良さそうです。

今日も今日とて遅刻ー

カードを調べるのに時間がががががが……

つまり、時間が足りない！

はぁ……アニメオリジナルカードが多すぎて困ります

特に彼はライディング決闘デュエルばかりしていましたからね。

次回はまだ大丈夫かと

いい加減、0時0分投稿に戻りたいです

ついでに活動報告にちょっとしたバトンもしていたりします

またするかは不明。

## 5D・s 7話【空に浮かぶ世界】

視点 龍可

もうすぐ遊星達との約束の時間ね  
だけど、こんなのにんびりしてていいのかしら？

「龍可、料理中に考え事は危険だぞ？  
それに……焦げるぞ？」

「え……ああ！」

急いで火を止める  
大丈夫かな……よかった、焦げてない。

「もう暫くしたら出るんだ  
あんまりのんびりしてると置いていくぞ」

「待って！  
もう少しだけ！」

だってお弁当なんて初めてだし仕方無いじゃない！  
龍亞の分、アキさんの分、クロウとジャックの分  
遊星は駄目って言われたから4人分しか作れないけど……

それでも、初めてで4人分なんだから！  
もう少しぐらい待って！

そんな感じだったけど、なんとか終わった  
あまり自信は無いけど……

「まあ大丈夫だろ

手際の悪さは初心者だから仕方無い  
見ている限り、ミスは無かったな」

良かった……安心したわ

もし悪いって言われたらどうしようかと……

「さて、そろそろ行くか  
じゃ、おやすみ」

「え？」

瑞貴さんが指を鳴らした

その音が聞こえた瞬間、意識が遠のいて……

## 視点 遊星

今日は蜥蜴の塔……

俺だけで行っても無駄なのは前回で分かっている。

順当に考えれば、今日はジャックが対戦相手だろう

その次は……俺だろうか？

できる事なら俺が倒したいが、ジャックなら必ず勝つ。



そう思いたい……

しかし、奴の行動パターンを考えれば難しいか  
クロウの時はアンチデッキじゃなかった  
となればどんなデッキを使うのか予想もできない。

そして蜥蜴の塔に着いた

奴は1人で立っている……1人？

「来たぞ堅守

龍可はどこに居る！」

「龍可を返せ！

お前なんか、お前なんか……

ジャックにこてんぱんにされちゃえば良いんだ！」

「耳障りな声だな……

そんなに龍可に会いたいんだったら会わせてやるよ」

奴の後ろから黒いカーテンのような物が……

あれはいつたい……なんなんだ？

「こいつは黒魔族のカーテンというモンスターだ

カーテンの中には……」

カーテンが開かれた

その中に居たのは龍可だった。

しかし服があいつらが着ていたような黒く、ラインが入っており  
目元には赤いマーカールのような物が付いている  
そして白目の部分が黒く……この特徴は！

「地縛神無しでダークシグナーにしてみました  
嬉しいか？ 嬉しいだろ流星？」

「馬鹿な！ どうやって龍可をダークシグナーに！？  
そして俺の名は遊星だ！」

「それは秘密、さあ訊こう！  
俺と戦い、プライドをなぎ倒されて大敗するか！  
それとも龍可と戦って仲間同士で傷付け合うか！」

あいつは……やはり屑だ！

「そしてその決定権を持つのは……チャンス・当たらん、お前だ！」

……ジャック・アトラスだな  
なんだかそう言われるとジャックが不幸にしか聞こえない。

「ジャック・アトラスだ！  
なんだ、そのいかにも俺は不運だと言いたげな名前は！？」

「なら、チャック・全開、ちなみに社会の窓の」

社会の窓？

どうやら全員……いや、牛尾は分かっただけ。

「……ジャック、ちょっとこっちを向け」

「何故だ牛尾？」

ジャックが牛尾の方を向く  
牛尾は暫くジャックを見て……

「名前の悪口だったみたいだな  
大丈夫だ、安心しろ」

何やら意味不明な事を言われた  
どういう意味だったんだ？

「嫌なのか？」

「当たり前だ！」

「仕方無いな、チャンプ・前回で  
逆から読めば、前回チャンプ……お似合いだな」

「ぐぬぬ……き・さ・まああああ！」

「お、落ち着けジャック！  
怒ったらあいつの思う壺だぞ！」

馬鹿にされたジャックは堅守に突撃しようとした  
しかし、なんとかその前にクロウが止めた  
ジャックはなんとか止まるものの、かなり苛々している。

「で？」

「どうするんだ、キャンプ・雨の日」

「ジャック・アトラスだ！  
決まっている、俺は貴様と戦う！」

それを聞いた堅守は前に出てくる

龍可は見ているだけのようだ

龍可………いったい何が有ったんだ？

「では始めよう

お前が勝ったら龍可は解放しよう

当然、あの状態も元に戻す」

「貴様が勝ったら………あのままとでも言うつもりか？」

「さあ？

どうだろうな」

今まで人質には酷い手出しをしなかった

だが、今回は龍可をダークシグナーに染め上げた

ダークシグナーの痣は無いようだが……

「待って！

ダークシグナーになる条件は確か、死ぬ事だったわね

貴方、龍可を殺したの？」

っ！ そうだった！

ダークシグナーに成った者は全員、1度死んでいる

という事は龍可は！

「安心しろ、少なくとも死んでない

というか無傷だ、裏技を使ったとでも思っておけ」

裏技だと………いったい龍可に何を？

「さあ、無駄話もこれで終いだ  
始めようか、チェック・赤緑<sup>せきりよく</sup>」

既にジャックの名残も無い  
合っているのは語呂だけか  
しかも、その語呂もかなり微妙だ。

「既に名残の欠片も無いではないか！  
俺の名は、ジャック・アトラスだ！」

「決闘<sup>デュエル</sup>！」

「先攻は俺だ、ドロー  
俺が出すモンスターは……雲魔物<sup>クラウドイアン</sup>、アシッド・クラウドを召喚  
アシッド・クラウドが召喚に成功した時  
自分の場の雲魔物<sup>クラウドイアン</sup>の数だけこのモンスターにフォッグカウンターを  
乗せる  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

攻撃力500を攻撃表示だと？  
そしてまたカウンターか……龍亞、クロウの時も使っていたな  
どんな効果を持つカウンターなのか……

「そんな雑魚を攻撃表示で出すとは……俺を嘗めているのか？  
俺のターン、ドロー！ ツイン・ブレイカーを召喚！  
ツイン・ブレイカーでアシッド・クラウドに攻撃！」

「甘い、永続罠、スピリットバリアを発動  
俺の場にモンスターが存在する限り、俺は戦闘ダメージを受けない

これにより、ツイン・ブレイカーからの戦闘ダメージは無い」

ツイン・ブレイカーは自身の持つ剣でアシッド・クラウドを斬りつけた

ダメージは与えられなかったか……

攻撃力500を攻撃表示で出したんだ、それも当然か。

「そして……アシッド・クラウドは戦闘では破壊されない」

「な、にい？」

斬られたはずのアシッド・クラウドが元に戻っていく……

クラウド  
雲魔物……なるほど、雲か

形の無い雲を斬っても無駄という訳だな。

「チィ……カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー」

クラウド  
俺は雲魔物、キロスタスを召喚

クラウド  
俺の場には雲魔物は2体、よってフォッグカウンターが2つ乗る  
こいつも戦闘耐性を持っているぞ」

また攻撃力の低いモンスター……

クラウド  
この攻撃力の低さが雲魔物の特徴なのか？

そしてフォッグカウンターを使うか。

ヴェノムカウンターはヴェノム・スワンプで、相手に乗せるカウンターだった

Aカウンターはエーリアンと戦闘する時などに使用、同じく相手に乗せるカウンターだった

今回のフォッグカウンターは自身に乗せて使用する効果か……

「キロスタスの効果を発動

自身に乗っているフォッグカウンターを2つ取り除く

場のモンスター1体を破壊する……この効果により、ツイン・ブレイカーを破壊だ」

拙い！ これでジャックの場には伏せカードだけだ！

クラウドディアン  
雲魔物の攻撃力は低いが、それでも！

「……アシッド・クラウドで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

攻撃力はたったの500

受けるダメージは低いが、それでも……

「さて、今回のダメージ罰ゲームだが……」

またダメージを受ければ何かペナルティを与える気か！

今度は龍可に何をするつもりなんだ！？

「ジャック……！」

龍可の声？

何事かと思い、全員が龍可を見る。

「よわ………い」

「なあ！？

たった500のダメージで弱いとは何だ！？」

……なるほど、ジャックのプライドを傷付けに来たか  
ただでさえ苛々しているジャックだ、かなり効果的だろう。

「決闘続行<sup>デュエル</sup>」

キロスタスで直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>」

「クッ、そうはさせん！」

1度直接攻撃を受け、2回目の直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>が宣言された時  
手札から血涙のオーガを守備表示で特殊召喚する！」

血涙のオーガ、1回目の直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>をしてきたモンスターと同じ攻撃  
力と守備力になるモンスター  
しかしアシッド・クラウドの攻撃力は500、キロスタスの攻撃力  
900には勝てない  
ジャックはダメージを受けない為、守備表示で出したんだろう。

「仕方無いな、キロスタスで血涙のオーガに攻撃」

呆気なく破壊される血涙のオーガ  
それでもダメージは減らせた。

「永続魔法、雲魔物のスコールを發動する<sup>クラウドファン</sup>  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

永続罫、強化蘇生を發動！

この効果により、自分の墓地に存在するLV4以下のモンスターを  
特殊召喚する！

俺はツイン・ブレイカーを特殊召喚！  
そしてこのカードは装備カ  
ードとなる！



更に、この効果で特殊召喚されたモンスターの攻撃力、守備力は100ポイントアップ

そしてLVを1上昇させる！

俺は更にフレア・リゾネーターを召喚！」

フレア・リゾネーターのLVは3、そしてツイン・ブレイカーのLVは5

出るか、レッド・デーモンズ・ドラゴン！

「ゆくぞ！ LV5ツイン・ブレイカーにLV3フレア・リゾネーターをチューニング！

王者の鼓動、今ここに列をなす！ 天地鳴動の力を見るがいい！シンクロ召喚！ 我が魂、レッド・デーモンズ・ドラゴン！」

しかし、相手の場には守備表示モンスターは存在しない  
そしてダメージを与えようにも、スピリットバリアの存在で無理だ  
どうするつもりだ、ジャック！

なお、装備カードとなっていた強化蘇生は破壊されている  
リビングデッドの呼び声などとは違うからな。

「シンクロ素材に使用したフレア・リゾネーターの効果発動！  
シンクロ召喚されたモンスターの攻撃力を300ポイントアップさせる！  
レッド・デーモンズ・ドラゴンでアシッド・クラウドに攻撃い！  
アブソリュート・パワーフォース！」

拙い、ジャックは頭に血が上っている  
ダメージなんて関係無く、相手を倒す事ばかり考えている。

レッド・デーモンズ・ドラゴンの攻撃がアシッド・クラウドに直撃する

しかし……何事も無かったかのように元に戻る  
これではジャックの機嫌が悪くなるばかりだ。

「ぐぬうう……カードを2枚伏せ、ターンエンドだ！」

「怖い怖い、ドロー

クラウドイアン

この瞬間、雲魔物のスコールの効果発動

自分のスタンバイフェイズ時、全てのモンスターにフォッグカウンターを1つ乗せる」

これでキロスタスにカウンターが乗った

次のターンでキロスタスをどうにかしなければ……

レッド・デーモンズ・ドラゴンは破壊されるだろう。

「俺は雲魔物クラウドイアン、タービュランスを召喚

クラウドイアン

自分の場に存在する雲魔物の数だけ、フォッグカウンターを乗せる

クラウドイアン

俺の場に雲魔物は3体、よってフォッグカウンターは3つだ」

新しい雲魔物クラウドイアンか……

攻撃力は相変わらず低く、たったの800

また戦闘耐性を持っているのか？

「タービュランスも戦闘耐性を持っている

そしてアシッド・クラウドの効果発動

自身に乗っているフォッグカウンターを2つ取り除いて発動  
場の魔法、罠を1枚破壊する……左のカードを破壊」

破壊されたのはチューナー・キャプチャー

明らかに不要なカードだろう。

「チッ、ブラフカードか

俺はこれでターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！

俺はマッド・デーモンを召喚！

マッド・デーモンでアシッド・クラウドに攻撃！」

「しかし、破壊されない」

「分かっている！

俺はこれでターンエンドだ！」

ある程度冷静になってきたらしい

レッド・デーモンズ・ドラゴンは戦闘を行っていない自身以外のモンスターをエンドフェイズに破壊する

マッド・デーモンで攻撃する必要は有るが、レッド・デーモンズ・ドラゴンには無い

下手に攻撃するよりは良いだろう。

だが、このターンでキロスタスにカウンターが2つ乗る

攻撃力はマッド・デーモンの方が上だが、レッド・デーモンズ・ドラゴンは破壊されるだろう

どうするつもりだ、ジャック！

「俺のターン、ドロー

クラウド・デイン・

この瞬間、雲魔物のスコールの効果で全てのモンスターにフォッグカウンターを1つ乗せる

これでキロスタスにフォッグカウンターが2つ乗った……

キロスタスの効果発動、フォッグカウンターを2つ取り除き、レッド・デーモンズ・ドラゴンを破壊する」

「クツ、罠カード発動、シンクロ・バック！

シンクロモンスターをエクストラデッキに戻す

そして次の自分ターンのスタンバイフェイズ時、そのモンスターを特殊召喚する！」

よし、これで破壊は回避できた

次のターンになればレッド・デーモンズ・ドラゴンは戻ってくる！

「逃げたか……まあ良い

ラッキークラウド

俺は魔法カード、宝札雲を発動

クラウドデイン

このターンに雲魔物と名の付く同名モンスターが2体以上

召喚、反転召喚、特殊召喚できたターンのエンドフェイズ時

デッキからカードを2枚ドロウする

ラッキークラウド

そして更にもう1枚、宝札雲を発動しよう」

しかし、奴の手札はこれで1枚

同名モンスターを召喚しようにも、手札が無ければ召喚はできない

ならば何故……

「ふん、血迷ったか？

同名モンスターを出すだど？

手札が無い貴様にそれができるのか！」

「できるさ

タービュランスの効果を発動する

自身に乗っているフォッグカウンターを1つ取り除く事で

クラウドデイン

デッキ、または墓地から雲魔物、スモークボールを特殊召喚する

俺はフォッグカウンターを2つ取り除き、デッキからスモークボールを2体特殊召喚しよう」

こ、攻撃力が更に低い200？  
しかも通常モンスターとは……

「これで同名モンスターは2体揃った  
俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ  
そしてエンドフェイズ時、宝札雲<sup>ラッキークラウド</sup>の効果で合計4枚ドロ」

一気に手札補充をされたか！  
次のターン、確実に何かしてくるだろう  
このターンでどうにかできなければ……拙い！

「俺のターン、ドロ！  
この瞬間、シンクロ・バックの効果でエクストラデッキに戻っていた  
レッド・デーモンズ・ドラゴンは俺の場に特殊召喚される！  
マッド・デーモンでスモークボールに攻撃！」

レッド・デーモンズ・ドラゴンは場から離れた  
よってフレア・リゾネーターの効果は切れ、攻撃力が3000に戻る  
ってる

それでも十分に強いが……

「させん、速攻魔法、フォッグ・コントロールを発動  
自分の場に存在する雲魔物<sup>クラウドファン</sup>をリリースする  
場に表側表示で存在するモンスターにフォッグカウンターを3つ乗  
せる

俺はこの効果でスモークボールをリリース  
タービュランスにフォッグカウンターを3つ乗せる」

おかしい、何故奴はキロスタスではなく  
タービュランスにフォッグカウンターを乗せたんだ？  
そうすれば次の自分のターン、レッド・デーモンズ・ドラゴンを破  
壊できたはず  
ならば何故……

「躲されたか……だが、もう1体のスモークボールに攻撃だ！」

破壊されるスモークボール

しかし、堅守は全く興味も無さそうだ  
どういうつもりなんだ？

「俺はこれでターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー」

この瞬間、クラウドデイアン雲魔物のスコールの効果でフォッグカウンターを1つ乗  
せる

更にタービュランスのカウンターを2つ取り除き、デッキと墓地か  
らスモークボールを1体ずつ特殊召喚  
見せてやるよ、このデッキの切り札をな……」

クラウドデイアン雲魔物デッキの切り札？

最上級モンスターを出すんだろうが、どんなモンスターだろうか？

「俺はスモークボール2体をリリース  
出てこい、アルカナフォース……？—THE WORLDザ・ワールド」

な……クラウドデイアン雲魔物じゃないだ！？

それにこの巨大なモンスターは……攻撃力3100！？

レッド・デーモンズ・ドラゴンを上回っているだど!?

「アルカナフォースは召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時、コイントスをする

それぞれ表か裏で別の効果を得るという効果だ  
いくぞ、コイントス……」

出た目は……

「結果は裏、よって逆位置の効果だな

ザ・ワールド  
THE WORLD 逆位置の効果

それは相手のドローフェイズ時、相手は自分の墓地からカードを1枚手札に加える

良かったな、これでお前は墓地にカードが有る限り、毎ターン2枚手札が増えるぞ」

その効果は素直に助かるだろう

しかし……相手のモンスターは攻撃力が3100

レッド・デーモンズ・ドラゴンより強い……

「そして俺は墓地の雲魔物クラウドファンと名の付くスモークボールを除外

雲魔物、ストーム・ドラゴンを特殊召喚

そしてストーム・ドラゴンの効果を発動

1ターンに1度、表側表示モンスター1体にフォッグカウンターを1つ乗せる事ができる

俺はこの効果により……キロスタスにフォッグカウンターを1つ乗せる」

拙い!

キロスタスはこれでフォッグカウンターが2つ!

このままではレッド・デーモンズ・ドラゴンが！

「そしてクロスタスの効果発動

フォッグカウンターを2つ取り除き、マッド・デーモンを破壊」

「何！？

マッド・デーモンだと！？」

何故レッド・デーモンズ・ドラゴンを破壊しない！？

レッド・デーモンズ・ドラゴンを破壊しないメリットは無いはずだ！

「戦闘破壊の方が……屈辱だろ？

ザ・ワールド  
THE WORLDでレッド・デーモンズ・ドラゴンに攻撃  
オーバー・カストロフ」

「ぐぬううう……レッド・デーモンズ・ドラゴンがやられるとは！」

しかも、奴のモンスターの総攻撃が残っている！

このままだとジャックは！

「ダメージ罰ゲーム」

「ジャックーーーーー」

元キングのーーーーー駄目キングーーーーー」

「龍可ーーーーー！

貴様、いい加減にしろーーーーー！！！！」

ジャック、龍可は奴に操られているんだ

あまり怒っても……



「龍可と戯れるのは構わんが……忘れてないか？  
全モンスターで総攻撃、ダイレクトアタック直接攻撃だ」

クラウドデイン  
雲魔物達が一斉にジャックに襲いかかる  
ライフは残るが、大ダメージは必至だ！

「クッ、相手がダイレクトアタック直接攻撃をしてきた時  
手札のバトルフェーダーを守備表示で特殊召喚する！  
そしてこいつの効果により、このターンのバトルフェイズを強制的  
に終了させる！」

よし、これでこのターンは凌いだ！  
次のターンでなんとかできれば……

「くくく……それで防いだつもりか？  
エンドフェイズ……罠カード、逆転する運命を発動  
場のアルカナフォースと名の付くモンスターの正位置と逆位置の効  
果を入れ替える」

「何？  
効果を入れ替えるだと？」

「そう、ザ・ワールドTHE WORLDの正位置の効果  
それは自分の場のモンスター2体を墓地に送る事で発動する  
次の相手のターンを……スキップする」

「なあ！ 俺のターンをスキップするだとお！？」

なんだ、その反則級のモンスターは！

攻撃力の高さに、その効果は明らかに強すぎる！

「これがアルカナフォースだ

効果が強力な代わりに不安定……扱いが難しいカード

それをコントロールするのが逆転する運命

更に、このTHE WORLDザ・ワールドの効果を発動させるのは……」

「まさか……タービュランス！」

「正解、その為に態々時間を掛けたんだからな

俺はTHE WORLDザ・ワールドの効果により、アシッド・クラウドとキロス

タスを墓地へ送る

そして相手のターンをスキップ、俺のターンになりドロ

雲魔物のスコールの効果でフォッグカウンターを乗せる

ストーム・ドラゴンの効果でタービュランスにフォッグカウンター  
を1つ乗せる

フォッグカウンターを2つ取り除き、墓地からスモークボール2体  
を特殊召喚」

まさかこれは……無限ループ！

毎ターンフォッグカウンターがタービュランスに2つ乗る

そして2つ取り除き、スモークボールを2体特殊召喚

エンドフェイズにはTHE WORLDザ・ワールドの効果でスモークボールを墓  
地へ

そして再びフォッグカウンターが……

つまり、既にジャックには勝ち目が無い！

ジャックの場にはバトルフェーダーのみ

そしてデッキには1枚だけだったはず！

これ以上、攻撃を防ぐ手立ては無い！



大人を馬鹿にして反応を楽しむ子供だな

龍可は楽しそうだが……

ジャックはかなり怒っているな。

正氣に戻った時に怒られなければいいのだが……  
覚えていたら怒るかもしれないな。

「ザ・ワールド  
THE WORLDの効果

スモークボール2体を墓地へ、そして相手ターンのスキップ  
俺のターンでドロー、スコールとストーム・ドラゴンでタービュ  
ランスにフォッグカウンターを乗せる

そしてスモークボールを2体特殊召喚、永続魔法、2枚目の雲魔物  
のスコールを発動  
スモークボール1体で直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「ええい、鬱陶しい！  
やるならさっさとしろ！」

「嫌だね

お前の残りライフ1000ポイント、いたぶってやるよ  
エンドフェイズ、スモークボール2体を墓地に送ってターンスキ  
ップ、そしてドロー

以下省略からフォッグカウンターをタービュランスに合計3個乗せる  
スモークボールを2体特殊召喚し、直接攻撃」  
ダイレクトアタック

完全に……遊んでいる！

「スモークボール2体を墓地に送ってスキップ、ドロー  
カウンターを乗せ、スモークボールを特殊召喚、直接攻撃」  
ダイレクトアタック  
そしてフォッグ・コントロールを使用し、スモークボールをリリース

タービュランスにフォッグカウンターを3つ乗せて、墓地から再びスモークボールを特殊召喚  
エンドフェイズ、スモークボール墓地送りからスキップ、ドロー  
カウンターを同じように乗せて、スモークボールを特殊召喚  
スモークボールの直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>、ターンスキップからドロー  
フォッグカウンターからスモークボールを特殊召喚、直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>  
カードを1枚伏せ、スモークボールを墓地に送り、ターンスキップしてドロー」

これでジャックのライフは残り200

ようやく、この嫌な時間が終わる

ジャックは既に限界だ……怒りでな。

「フォッグカウンターを乗せ、スモークボールを特殊召喚

現在、ストーム・ドラゴンとTHE WORLD<sup>ザ・ワールド</sup>にはフォッグカウンターが12個

そしてタービュランスには13個のフォッグカウンターが乗っている

俺はここでスモークボール2体をリリースする」

何？

このタイミングで？

「<sup>クラウドファン</sup>雲魔物、ニンバスマンをアドバンス召喚

こいつはLV5だが、水属性モンスターを任意の枚数リリースできる  
そしてリリースした数だけ、フォッグカウンターを乗せる

俺がリリースした水属性モンスターの数は2体、よってフォッグカウンターは2つ」

こんな事をして何が……

「ニンバスマンの攻撃力

それは場のフォッグカウンターの数×500ポイントアップする  
場のフォッグカウンターは全部で39個

元々の攻撃力である1000も足し、攻撃力は……20500だ」

「攻撃力……20500だと!?!」

「そしてタービュランスの効果でスモークボールを1体特殊召喚  
ニンバスマンの攻撃力は下がったが……さっき伏せたフォッグ・コ  
ントロールを発動

スモークボールをリリース、ニンバスマンにフォッグカウンターを  
3つ乗せる

魔法石の採掘を発動、手札を2枚捨てて墓地の魔法カードを手札に  
加える

俺はフォッグ・コントロールを手札に加え、スモークボールを特殊  
召喚

スモークボールを対象にフォッグ・コントロールを発動

スモークボールをリリース、ニンバスマンにフォッグカウンターを  
3つ乗せる」

「攻撃力……21500」

「終わり、ニンバスマンで直接攻撃  
ダウンパワーシャワー」

「ぐわあああああああ!!!」

なんて惨い事を……

ジャックのプライドを完全に叩き折ったか!

そして龍可が少しジャックに近づく  
なんの……

「ジャック……弱いね」

ジャックの心は折れた  
クッ……

「次は巨人の塔だな  
ちなみに龍可は返さないままだ  
この状態を治せるのは俺だけだからな」

「元に戻せるのか!？」

「当たり前だ、でなければしない  
ただし……今度はアキも一緒にだけどな!」

その言葉と同時に、アキに死のマジック・ボックスが!  
またアキを攫うつもりか!?

「止めろ!

もうアキに手を出すな!!!」

「お断りだ

俺にダメージを1ポイントも与えられなかった罰だ  
こいつは龍可からのプレゼントだ、ありがたく食うんだな!」

そう言って投げられる袋

俺はなんとか受け取ったが……

既に奴も、龍可も、アキも居なかった。

袋を開けてみると……手紙？

遊星の分は作っちゃ駄目って言われたけど  
みんなで遊星に分けてあげてね

私の初めて作ったお弁当      龍可

……龍可、お前は奴の家で何をしているんだ？  
この手紙では随分楽しそうだが……

一気に気が削がれてしまった  
この空気……どうすればいいのだろうか？



## 5D・s 7話【空に浮かぶ世界】（後書き）

瑞貴は龍可に何をした！？

秘密。

どうやって龍可をダークシグナーに！

秘密。

社会の窓？

言うならば……股間のチャックです

何故、社会の窓と呼ばれるかは不明、作者は知りません。

まさかのアルカナフォース！

無限ループって屈辱になりそうだったので

ニンバスマンの圧倒的パワーにしようか悩みましたが……  
最終的にこっちにしました、いたぶれるので。

龍可って……

正気じゃないですよ？

瑞貴の指示です。

途中から龍可の罵声が止んだ？

悪口が思いつきませんでした

それにもうさっさと進めようかと……

最後に態々龍可の弁当を渡すなんて……

一生懸命頑張って作ったんです

無下にするのは可哀想でしょ？ 龍可が

なので仕方無く……本音は渡したく無かったです。

原作、アニメオリジナルカード

### 強化蘇生

自分の墓地に存在するレベル4以下のモンスター1体を特殊召喚し、このカードを装備する

装備モンスターは攻撃力、守備力が100ポイント上がり、レベルが1上がる

このカードがフィールド上を離れた時、装備モンスターを破壊する自分のスタンバイフェイズ毎にこのカードのコントローラーは1000ポイントのダメージを受ける

普通に使えるカードです

ダメージリットもすぐにリリースなりシンクロなりでどうにでもなりますし。

### シンクロ・バック

自分フィールド上のシンクロモンスター1体をエクストラデッキに戻す

この効果でエクストラデッキに戻ったシンクロモンスター1体を次の自分のターンのスタンバイフェイズに特殊召喚する

前書きにも書きましたが、蘇生条件が満たせなくなります使えるかもしれませんが、かなり一時凌ぎかもしれません作者にはちょっと分からないですね。

ツイッターでレインボー

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
虹の……なんてカードだっけ？

## 5D's 8話【怒りのシグナ―】（前書き）

「「な―につかな、な―につかな  
今日はこれ」」

「カオス・シールド？」

「遊星の動きを止めたカードね  
自分の場のモンスターの守備力を300ポイントアップさせるわ」

1人が可哀想だったので2人にしました  
という訳でまた……日常がもう思いつかない！

完全にネタ切れになりました

イベントも無いし、外にも出れないし、人間が限定されてるし  
もう作者のミクロ脳みそでは無理でした、マクロに転生してきます。

そしてサブタイトルも浮かばないという為体  
なのでかなりもう……アレなタイトルです  
発想力の無さに作者は泣く、心で嘆きます  
更に内容が短いのもっと泣きます。

次回はまだ……まだ大丈夫なはずで  
す  
何故なら決闘<sup>デュエル</sup>なので！

無理だったらかなり悲しい……

## 5D・s 8話【怒りのシグナー】

視点 遊星

龍可のみならずアキまで連れて行かれたか  
それも問題だが、どうやって龍可をダークシグナーにしたかだな  
アキまでダークシグナーにされたら……

「んむ、龍亞

龍可の料理ってなかなかだな」

「龍可が料理ができるって初耳だったけどね  
……うん、やっぱり美味しい

龍可と一緒に食べたかったなあ……」

「……………ふん」

とりあえず、龍可の弁当を食べている  
みんなの分と書かれていたのでアキの分も有るかと思えば  
有ったのはジャック、クロウ、龍亞の分だけ  
ご丁寧にあキの分は抜かれていた。

アキの分はどうなったんだ？  
奴が持って帰ったのだろうか？

クロウ、龍亞からは好評  
ジャックは前回の戦いで罵られたからか不機嫌  
しかし食べている所を見ると美味らしい。

俺は少しだけ分けて貰って食べた

……美味しいな、初心者にしては上出来だろう。

だが龍可よ、奴の家で何をしていたんだ？

料理の勉強……どうしてそうなった。

……

……

……

「次は確実に遊星を狙ってくるな

つうか、後は遊星と牛尾ぐらいしか残ってねえ

龍可は向こうに居るしよ」

「次はどんなデッキを使ってくるんだろう……」

「遊星、お前は奴の対策にどのような手段を考えている  
何か1つぐらいは有るんじゃないか？」

そう言われてもな

奴は俺達のアンチデッキや、機嫌を悪くするようなデッキを使う  
……待てよ？ それぞれに合ったデッキ？

「俺の嫌がるようなデッキを使う

俺の嫌うような事をするだろう

それを対策すれば……」

「だけどよお……遊星の嫌うのってなんだ？

仲間とかが傷付けられるとかなのは分かるけどよ

だったら今までもされてきてるし、決闘<sup>デュエル</sup>に影響はあまり無かったぜ」

「遊星はシンクロを中心とし、基本攻撃力が低い  
そこを突かれる可能性は高いが……」

奴に対抗する手段

俺ができる事はおそらくこれだけだろう  
ならば……

「ジャック、クロウ  
2人に頼みが有る」

不思議そうな顔をする2人に俺は……

視点 アキ

……ここは……また彼の家ね

あの死のマジック・ボックスに私は捕まったのよね？  
という事はまた眠り子に眠らされたみたい。

部屋を見ると、前回と同じ部屋か

そりゃあ、態々別の部屋を用意する必要は無いわね。

部屋から出てリビングに向かう

やはり彼は居た……またエプロンを着けて

ちなみに地縛神<sup>コカバク</sup>Capacitance<sup>アプ</sup>だった

今日は何を作ってるのかしら？

「ん？ 起きたかアキ

龍可はマナに起こしに行かせてる、暫くすれば来るだろう  
適当に座って待ってろ」

相変わらず、遊星の前以外では普通ね  
その気遣いをもっと遊星達にも……無理か。

「龍可ちゃんを起こしてきました」

「んん……おはよー……」

眠そうね龍可

でも、目は普通の色に戻ってる  
それにマーカーのような模様も無いわ  
どうなってるのかしら？

「おはよう龍可

朝飯だから適当に座って待ってろ」

「お手伝い……」

「寝起きだと危ないから却下だ」

「……はーい」

眠そうな顔をしながらも手伝おうとする龍可  
それを彼は断り、座らせる。

出される朝食はパンとスープの洋食

だったんだけど、私の前には別の……お弁当？

「それ、昨日私が作った……」

「アキは起きなかったからな  
昨日今日なら大丈夫だろ」

私には何の話かちょっと分からないわ  
どういう意味かしら？

「それは昨日、龍可が初めて作った弁当だ  
お前はこっちに連れてきたからな  
それは持って帰ってきた、お前の分だから食べ」

そう言われても……  
とりあえず弁当箱を開けてみる  
可愛らしく彩られたお弁当……美味しそうね。

「あの……私、昨日のお弁当ができた時から記憶が無いんだけど  
何があったのか教えてくれない？」

覚えてないの？  
ダークシグナー達は正気に戻った時も覚えていたはずだけど……  
ミステイの目が戻った時はそうだったわ  
どうなってるのかしら？

「安心しろ、寝ていただけだ  
意識だけな」

「意識だけ？」



それってどういう……」

意識……という事は体だけ起きていたという事？  
そんな事ができるのかしら？

「龍可、お前は過去に誰かから催眠暗示を掛けられたな？  
それか催眠術か……心当たりは無いか？」

「催眠……暗示や催眠術？  
そんなの私は……ああ！」

心当たりが有るの！？

「たしかデュエル・オブ・フォーチュンカップの時  
デュエル決闘カウンセラーとかの……えっと、フランクさん？  
デュエルその人と決闘している時、段々と意識が遠くなって……  
気がついたら精霊界に居たの」

「ああ、あいつか……」

「知ってるの！？」

「遊星を調べたと言っただろ？

あいつの仲間であるお前達を調べた時についてとしてな  
カウンセラーなら催眠暗示を使っても不思議じゃないな」

だけど、それとこれとどう関係が……

「つまりだ、龍可には下地ができていた  
過去に催眠暗示を掛けられた人間は催眠暗示に掛かりやすい

「ここまで言えば分かるだろう？」

「私に……催眠暗示を掛けた？」

「ご名答」

こいつ……まさか普段から龍可を操っていたんじゃない！

「もっとも、最初に会った時に掛かるか実験をした程度  
思った以上に効果が有って驚いたぞ

ゆっくりと解いていったんだが、今回だけ利用させてもらった  
今日中に暗示は完全に解くから安心しろ」

「そんな事、いつの間に……」

私にもされたのかしら？

だとしたら不安なんだけど……

「この家に連れてきた初日だ

とりあえず、完全に解くからもう大丈夫だ

また誰かに暗示を掛けられない限りな」

それでも龍可は不安そうね

自分を好きに操る事ができると言われて安心はできないか。

「なお、アキには全く掛けてない

もし下手にしてサイコパワーに影響が出たら拙いからな

暴走するとか、暴発するとか、コントロールができなくなるとか  
危なくてとてもじゃないができん」

そんな理由が有ったのね

確かに危険だけど……平気でしそうなイメージが強くて信じられないわ

どうしたものかしら？

「どうして、そんな知識を持ってるの？

何か悪さをするつもりなの？

それとも遊星に復讐する為に覚えたの？」

龍可の質問に彼の動きが止まる

それにしても……龍可のお弁当、美味しいわね

話の合間に食べてるけど、冷めてても普通に食べられるわ。

「……俺の妹が関係してるんだよ」

「妹？」

妹なんて居たんだ

でも、それと催眠暗示とどんな関係が？

「俺の妹は……まあ、色々と有ってそこら辺の事の知識が多いんだ  
相手の性格や感情を読み取る事にかなり特化していたんだ  
それで相手の口調を真似てしまう癖が出来、嫌われていた」

話し方を真似る……

鏡のように、自分の話し方が全て返ってくる

確かにそれは嫌ね、嫌われるかもしれない。

「俺はその能力を長所とし、心理学の道に進むように勧めたんだ  
暗示や催眠はその心理学を学ぶ面で役に立つ事も有るからな

妹に紹介するがてら、俺自身も少し勉強した」

それで覚えたのね

まさか妹が関係していたなんて……

「妹は掛ける事を中心に覚えていたからな、解く事もできるが俺は解く事を中心に覚えた、掛ける事もある程度勉強したがちなみにマナは妹の催眠暗示の犠牲者だ」

「「えええ!?!」」

催眠暗示の犠牲者って……精霊を!?!?  
精霊を暗示に掛けたの!?!?

「色々と有ってな、俺は指示とかを出したわけじゃないんだが……まあそれで暗示が解けた後もマナは何故か俺に憑いている完全解放されているんだからさっさと離れればいいのに……」

「嫌です」

いつの間に私達の近くに!?!?  
でも龍可は驚いてないし、もしかして見えただけで最初から居た?

「とまあ、本人がそう言ってるので好きにさせてる  
暗示は完全に解けているんだが……なんでかなあ?」

本当に困っているように見える  
どうして困ってるのかしら?

「そういう訳だ、俺が催眠暗示の知識を持っている理由はな

さっきも言ったが、俺は本来解くのが専門だからできれば龍可の暗示はさっさと解きたい  
遊星への嫌がらせ以外に、暗示を使うのはご免だね」

遊星……本当に嫌われているわね

当然といえば当然だけど……拷問だし

私としては体を傷付けないのが本当に不思議よ。

「そういえば……どうして遊星を肉体的に傷付けないの？  
精神的にする方が大変でしょうし……」

「やったら止まりそうに無いからな  
下手に手を出せば殺してしまいそうになる  
精神的ならばまだ加減がしやすいからだ  
殺さないようにじわじわと……な」

それで決闘デュエルを選んだのね  
遊星を殺さない為に……

「さて、この話はこれぐらいにしよう  
あんまり話してもあまり意味は無い  
食い終わったら龍可の暗示を完全に解く  
アキは気になるんだったら見てても良いぞ」

彼はそれで話しを終え、食べ終わる  
いつの間に……

私と龍可もさっさと食べ終える。

「美味しかったわよ龍可  
今度一緒に作ってみましようか？」

「ありがと

楽しみにしてるわ」

一緒に笑い会う

少しでも龍可の不安を紛らわす為に。

「……今夜にでも一緒に作れば？  
必要なら教えてやるぞ」

そういえば料理ができたのよね  
教えてもらうのも良いかしら？

「さて、始めるか

今回は完全に治療だからエンシエント・フェアリー・ドラゴンもレ  
グルスも黙ってるよ

もしマナが騒いでいると言ったら治さないからな」

……そういえば龍可には精霊が居るんだったわね  
彼は精霊が見えないからマナが言わないと分からない  
精霊を知っていても、見えないって不便なのね。

「そら」

彼が指を鳴らす

龍可の体が崩れ落ちた！？

「ちょ！ 何を！？」

「簡単な合図だ

少し黙っててくれ、解除は難しいんだ  
特に、知らない奴の暗示のはな  
やり方が分からないと苦戦を……ったく、面倒な」

何だかんだと言いつつも龍可に色々と言っている  
声が小さいからよく聞こえないわ。

そのまま静かにしていたんだけど、マナは何も言わない  
つまり、精霊は龍可の心配は要らないと思っている？

「マナ

龍可は本当に大丈夫なの？」

「うん、大丈夫

精霊達も全部見てるけど何も言わないし  
危険が無いって思ってるんだと思うよ  
私も心配してないし」

貴方は彼の精霊だからそうでしょうけど……  
まあ、龍可の精霊が何も言わないんだったら大丈夫かしらね？  
私には分からないけど。

彼が最後に指を鳴らす  
その音に反応し、龍可が起きた。

「あ……あ、あれ？

えっと……そっか、暗示を解除してたんだっけ」

「終わったぞ

内容が怖いんだったら精霊にでも訊け

問題無いと言うはずだ」

「そうなの？」

「……よかった、ちょっと不安だったんだ」

どう見ても独り言ね

でも、誰かと会話をしているようには見える。

「残り時間は好きに過ごせ

俺も何かをして時間を潰す」

「待って、龍可の目が黒くなったのは何故？

そしてマーカ―みたいな赤いラインは何だったの？」

「マーカ―ラインはシール、簡単だろ？

そして目が黒くなったのは……こいつだ」

見せられたモンスターは憑依するブラッド・ソウル

悪魔族モンスターを憑依させたのね

それで……でも、本当にそれだけかしら？

「アキさん、黒い目やマーカ―みたいな赤いラインって……」

「……ダークシングナーみたいな見た目だったのよ

意識が乗っ取られていたのは分かるけど……」

「そいっただけじゃ無理、他にも使った

色々と苦労したが……反応は楽しめたから良し

苦労した甲斐が有ったというものだ」



悪趣味ね

龍可も嫌そうな顔をしてるわ。

「……悪趣味で悪かったな

それだけ引かれれば考えてる事ぐらい分かる」

少し気まずいわね

どう反応すればいいのか……

「何か用が有ったら適当に部屋に來い」

そう言って彼はさっさと部屋へ戻っていく

私達は顔を見合わせ、どうしようかと話し合う事になった  
最終的に……お話ししようという事になったわ。

自分も混ぜて欲しいと言って來たマナも含めてだけど。

お昼ぐらいまで話し、時間を潰す

お昼ご飯の時間と言われ、呼ばれて食事  
軽く話しながら食べ、また暇を潰す……

つまり何が言いたいかと言えば……暇ね

する事が無いもの、仕方無いわ。

夜は料理を教えてもらう事になったんだけど

朝の件でちょっと空気が悪く……全くなっていないわね  
彼が普段通りだったせいだけど。

そして……約束の日になった。

## 視点 遊星

約束の日、巨人の塔へ向かう

俺とジャック、クロウはD・ホイールで  
牛尾と狭霧、龍亞は車で移動している。

今日で決着を着ける

堅守、俺の仲間は返してもらうぞ！

巨人の塔に着くが、堅守達は居ない  
何故誰も居ないんだ？

既に時間になっているんだが……

「ねえ遊星、ここって巨人の塔だよね？

俺達、来ている場所は間違っていないはずんだけど……」

「確かに、既に時間を過ぎている

……というか、俺達も遅刻だな

生憎、3分ほど過ぎてしまっている」

その程度で帰るか？

いや、しかし初日で龍可が5時間近く待ったと言っていたな  
今度は俺達を5時間近く待たせる気か？

「どうする遊星、少し探して見るか？」

「そう……だな、頼む牛尾

俺達も探して見る

10分ほど探し、何か有っても無くてもここに帰ろう」

全員と別れ、それぞれ探し回る

暫く探すも、やはり誰も居ない

一度戻り、みんなと話そう。

日にちを間違えた事は無いはずなんだが……

後で確認した方が良いか？

再び全員で集まったが……足りない

1人、1人だけなかなか戻ってこない。

「狭霧はどこだ？」

「深影さんは向こうを探しに行ったはずなんだが……

深影さー！ー！ーん！

みんな集まってますよー！ー！ーん！」

しかし、牛尾の声も虚しく響くだけ

5分ほど待つが、やはり帰ってこない。

「何か有ったか？」

「かもしれねえな

今度は2人で組んで探そう

同じく10分で戻ってこようぜ」

クロウの提案に乗り

俺はクロウと、ジャックは龍亞と、人数の関係上で牛尾は1人

俺達は別れて探し始めた。

.....

.....

.....

そして集合時間

今度は牛尾が帰ってこない

またか……

「なあ、これってやっぱり……」

「ああ、奴だろうな」

堅守、お前の仕業か！

今度は何を考えて居る！

「そうになったら別れるのは危険だ  
全員で一緒に行こう」

俺の提案で全員が一緒に行動する事になった  
しかし、暫く探している内に……

「む？

龍亞はどこへ行った？」

「龍亞？

……龍亞が居ない！？」

今度は龍亞が！

馬鹿な……俺達は全員一緒に居たはずだ！  
これだけ固まっている俺達に知られずにだど！？

こうなってしまうばもう動けない  
できるだけ全員が確認できるように移動する  
そして元の場所に戻ってきた。

「どうする遊星

あいつは来ないし、龍亞や牛尾、深影さんまで居なくなっちゃった」

「アキや龍可が居ない事も忘れるな  
既に5人が奴に捕らわれていると考えられるだろう」

いったい彼らはどこに……

「よう彗星、ジャンプ、クロノ  
遅かったな」

「遊星だ」「ジャックだ！」「クロウ様だ！」

相変わらず人の名前を間違えて呼ぶ奴だ  
何を考えてそんな事をしているんだ？  
挑発だろうが……

「お前らの探し人は……こいつらかな？」

堅守が持っていたカードを使う  
そのカードは……サイクロンだった。

ガラスの割れたような音が響く

これは……銀幕の鏡壁？  
ミラーウォール

鏡の中から現れたもの

それは……カオス・シールドに守られているみんな  
みんなを取り囲む獣戦士族モンスターが大量に展開されていた。

展開しているモンスターはミノタウルスが数体  
他にもサイクロプス、ブラッド・ヴォルスなど  
通常モンスターが何体もカオス・シールドを囲んでいる。

「お前……」

「安心しろ、手出しはさせん  
ただただ恐怖に怯えて貰うだけだ」

全員怯えているが、特にアキが酷い  
何故アキはあそこまで怯えているんだ？

「アキはサイコパワーを使われると困るからな  
この、能力吸収石を使ってサイコパワーを封じさせてもらった  
今のアキは……何の力も無い、普通の女の子だ  
力に頼って生きてきたあいつが能力無しで危険に出会った時  
何も出来ずに怯える事しか出来ない……それが力を持った者の定め  
もつとも、俺も例外じゃないだろうがな」

笑いながら説明する堅守

その姿に、俺達の怒りが更に募る！

「ま、あんまり怯えさせるのも可哀想だ  
俺がしたんだがな……それは置いという

全員を解放する手段は簡単だ、俺に勝てばいい  
簡単だろ？ 簡単だよな？」

「どうしても……みんなを巻き込むというのか」

「それがお前の苦しみになるからな  
が、今回はちよつと甘くしてやる」

堅守は獣戦士族モンスター達に近寄る  
モンスター達は堅守を襲おうとするも、ブラック・マジシャン・ガ  
ールが止める  
攻撃力が最高で1900のあいつらでは、攻撃力2000のブラッ  
ク・マジシャン・ガールは越えられない  
堅守はカオス・シールドに辿り着いた。

「アキと子供2人は出してやる  
ただし、セキュリティの2人は出さない  
今まで出してなかったが、お前らも復讐対象だからな」

「構いません、私達は良いので3人を早く出して！」

「……そう言われると出したくなるな  
残念、何も言わなければ出してやったのに……あーあ」

堅守はカオス・シールドから離れる  
あいつは……ここまで！

俺達が近づこうとした瞬間、電磁波みたいなのが目の前に発生した  
！？

これはいったい……

「お前らもまだ動くな

そいつは電磁シールド、触ると危険だぞ？」

電磁シールドを張っているのは雷族モンスター

電池メン・単三型が3体……守備体制になっている

たしかこいつらの効果は同名モンスターの数×1000ポイントの  
守備力になる効果

という事は守備力が3000……堅すぎる！

「待って！

お願い、子供達だけでも出してあげて！」

「俺からも頼む！

せめて……せめて子供だけでも！」

頭を下げる狭霧と牛尾

堅守はそんな2人に……

「い・や・だ・ね

もっと苦しめ、俺の気が済まん

くつくく……くはははははははははは！」

「堅守……………!!!!!!」

「そうそう、その顔が見たかったんだよ

怒りで一杯になって、俺を見るその顔が

いやぁ……気持ちいいねえ、気分がスツとしたよ  
でも止めない、もっと俺が楽しむ為にな」



これだけ俺達を怒らせて、まだ足りないのか！  
どこまで腐っているんだ……あいつはあ！

「ふん、いつまでもこのままでは芸が無いな  
やっぱり……これで決着を着けるべきだな！」

そう言って堅守は決闘盤を構える  
デュエルディスク

電磁シールドが止まる

見てみれば電池メン達が攻撃態勢を取っていた  
攻撃目標はジャックとクロウ……

「土星、お前が出てきたら再び電磁シールドを発生させる  
早く出てこないと電池メン達がショックとグリムを襲うぞ？」

「遊星だ」「ジャックだ！」「クロウ様だって言っただろ！」

俺は電磁シールドの範囲から脱出する  
その瞬間、再び電磁シールドを発生した  
これでこの場には俺と奴だけ……

「さあ、お楽しみの時間だ  
タップリと楽しもうじゃないか……中世」

「遊星だ」

楽しむつもりは無い  
俺はお前を……必ず倒す！」

同時に構え、デッキをセットする  
デュエルディスク  
そして決闘盤を起動させた。

「決闘！」  
デュエル

## 5D's 8話【怒りのシグナ―】（後書き）

遊星が2人に頼んだ事は？

次回で

ただし、かなり予想しやすいかと思います

あんまり予想を書かないでくれると助かります  
モチベーション的な意味で。

フランクって誰だよ……

詳しい説明は面倒なので

5D'sのキャラWikiをお願いします。

日常が短い！

ネタ切れ。

どうやってみんなを攫ったの？

ワーム・ホールでパクつと。

ツイッター……忘れてた

http://twitter.com/#!/ainkuria  
どうも忘れるなあ……

## 5D・s 9話【仲間との絆】（前書き）

「「なーにっかな、なーにっかな  
今日はこれ」」

「うわぁ……強そうだけど、弱いね」

「サイクロプスね、通常モンスターで……何を説明すれば良いのかしら？」

別に深い意味は有りません  
なんとなくサイクロプス。

また遅刻……長くなったのもう疲れました  
最初から最後までずっと決闘<sup>デュエル</sup>です  
ここまで長くなるとは……最後は酷いですけど。

原作オリジナルカード

そして原作効果満載です

後書きで何か足りなかったりした場合は教えてくれると助かります。

次話……明日はどうなるでしょうか？

色々とする事が有りますし、夕方まで帰れないし  
その他の問題でどうなるか不明です。

## 5D・s 9話【仲間との絆】

視点 遊星

「先攻は俺が貰う、ドロー

モンスターをセットし、カードを2枚伏せてターンエンドだ」

相変わらず、最初は動かない奴だ

どんな行動をするか分からなくて不気味だ。

「俺のターン、ドロー！」

スピード・ウォリアーを召喚

スピード・ウォリアーで守備モンスターに攻撃！

そして効果発動、スピード・ウォリアーを召喚したターンのバトルフェイズ

このモンスターの攻撃力は倍になる！」

破壊したのは緑の梟……梟？

守備力が思ったよりも低いたったの500

スピード・ウォリアーに簡単に粉碎される。

「幸運を告げるフクロウのリバース効果発動

デッキからフィールド魔法を選択し、デッキトップに置く

俺が選択するのは……フィールド魔法、コズミック・スペース」

知らないカードだ

どんな効果を持ったカードなんだ？

そしてまたフィールド魔法  
何か嫌な予感がする……

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー」

俺はフィールド魔法、コズミック・スペースを発動する」

奴のフィールド魔法により、辺りが宇宙のような空間に……  
ここはいったい何なんだ？

「この世界に住む者は星という名の命を削って戦わねばならない  
モンスターをセットし、ターンエンドだ」

コズミック・スペース……いったいどんな効果を持っているんだ？  
そう思っていると、突然スピード・ウォリアーのLVが1下がった  
だと！？

これはいったい……

「コズミック・スペースの効果  
お互いのターンのエンドフェイズ時、全てのモンスターのLVが1  
下がる

そしてこの効果でLV1のモンスターのLVが下がった時  
LV0のモンスターとなり、破壊される」

な！？ LV操作カードだと！？

そんなカードが実在していたのか！？

「お前のスピード・ウォリアーのLVは2  
俺のエンドフェイズでLVが1となる

次のお前のエンドフェイズ時にLVは0となり、破壊される事になるな」

「クッ、俺のターン、ドロー！」

奴のモンスターはセット状態

つまり、セット状態ならばモンスターのLVは下がらないという訳か  
しかしそうなると攻撃ができなくなる。

だからと言ってこのままも拙い

ここは一気に攻める！

「俺は手札を1枚捨て、クイック・シンクロンを特殊召喚！

更に場にはチューナーが存在している事により、墓地からボルト・ヘッジホッグを特殊召喚！」

これでモンスターの合計LVは8

スターダスト・ドラゴンをシンクロ召喚し、一気に叩く！

「おっと、悪いがスターダスト・ドラゴンにはさせない

永続罠、デビリアン・ソングを発動する

このカードが存在する限り、相手の全てのモンスターのLVは1下がる

これにより、クイック・シンクロンのLVは4、ボルト・ヘッジホッグのLVは1だ

お前はLV5かLV6のシンクロモンスターしかシンクロ召喚ができないんだよ」

またLV操作のカードだと！？

シンクロ召喚を中心に行っている俺を完全にアンチしてきたか

クロウがイエーガーと決闘した時は不協和音を使ったと言っていたそれに近いカードを使ってくるかと思えば……かなり鬱陶しい！

「こうなったら……クイック・シンクロンはシンクロンと名の付くモンスターチューナーの代わりにシンクロする事ができる！

俺はクイック・シンクロンをジャンク・シンクロンとして扱う！

L V 1ボルト・ヘッジホッグに、L V 4クイック・シンクロンをチューニング！

集いし星が新たな力を呼び起こす、光さす道となれ！ シンクロ召喚！ いでよ、ジャンク・ウォリアー！」

ジャンク・ウォリアーをシンクロ召喚するも、全く動じていないそれどころかつまらなそうに見ている……クソッ！

「ジャンク・ウォリアーの効果を発動！

このモンスターがシンクロ召喚に成功した時

自分の場に存在するL V 2以下のモンスターの攻撃力分アップする！

俺の場にはL V 1のスピード・ウォリアーが存在している

よって、ジャンク・ウォリアーの攻撃力は900上がり、攻撃力3200となる！」

「……低いな

俺はそのモンスターで攻撃力を10000以上にできるさ  
もっとも、俺はシンクロ召喚は嫌いだからしないけどな」

攻撃力を10000以上だと？

いや、そんな事はどうでも良い。

そしてシンクロ召喚が嫌いか

何故シンクロを嫌うんだ？



「スピード・ウォリアーで守備モンスターに攻撃！」

守備モンスターは機械でできた兎

あのモンスターは……確かメカウサーだったか？

スピード・ウォリアーはメカウサーを破壊する

しかし、破壊される直前にメカウサーの目が赤く光った

そして光線を出し、ジャンク・ウォリアーに打ち出した。

そしてメカウサーは完全に破壊される

いったい何が……

「メカウサーの効果発動

このモンスターがリバーズした時

場のカードを1枚選択し、そのコントローラーに500ポイントのダメージを与える

俺が選択したのはジャンク・ウォリアーだ」

さっきの光線はそういう意味だったのか

500ポイントのダメージ、大きくは無いがダメージには変わり無い！

「そしてメカウサーが戦闘で破壊された時

デッキからメカウサーを裏側守備表示で特殊召喚する

よって、俺は再びメカウサーをセット」

また壁モンスターが……完全に時間稼ぎだな

俺は早くみんなを助けたいのに！

「ダメージの罰ゲームは簡単

獣戦士族モンスター達がカオス・シールドに攻撃を開始するだけだ  
お前のライフが減る度に1体、また1体とな」

最初に攻撃したのは攻撃力600のマウンテン・ウォリアー  
攻撃力は低いものの、荒々しくカオス・シールドを殴りつける  
中のみんなが怯えているのが……よく分かる！

「さあ、お前のターンは続いているぞ

早く俺のライフを減らさないと拙いんじゃないか？」

「クッ、ジャンク・ウォリアーでセットされているメカウサーに攻  
撃！

スクラップ・フィスト！」

再びメカウサーの光線はジャンク・ウォリアーを撃つ

そしてまた現れてセットされるメカウサー

俺はダメージを受けたが、これで奴のメカウサーは最後だ！

「再び、獣戦士族モンスター達が吠える」

今度は攻撃力1050のソリュテードが動き出す

その持っている鎌を振り、カオス・シールドに攻撃する。

「……ターンエンドだ

そしてコズミック・スペースの効果により、スピード・ウォリアー  
のLVは0

スピード・ウォリアーは破壊される」

「そしてジャンク・ウォリアーのLVはデビリアン・ソングの効果

も受けて3となる

俺のターン、ドロー

セットされていたメカウサーを反転召喚し、効果を発動  
リバースした時、場のカードを選択してそのコントローラーに50  
0ポイントのダメージを与える

俺が選択するのはジャンク・ウォリアーだ」

またも光線がジャンク・ウォリアーを打ち抜く  
これでまた……

「ダメージ、よって罰だ」

攻撃力1100の魂を狩る者が剣でカオス・シールドを斬る  
嫌な音がカオス・シールドから鳴っているのが聞こえる  
すまないみんな、もう少しだけ我慢してくれ！

「メカウサーをリリースし、モンスターをセット」

リリースしてセットするだど？  
何をセットした……またリバース効果モンスターか？

「永続罫、血の代償を発動

ライフを500払い、俺は再び通常召喚ができるようになる

俺はライフを払い、モンスターをセット

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

コズミック・スペースの効果でジャンク・ウォリアーのLVは2に  
なる

LVの下降速度が思ったよりも早い  
デビルアン・ソングがかなり邪魔だ。

この時点で俺のライフは2500  
堅守のライフは3500か……1000ポイントの差だな。

「俺のターン、ドロー！」

どうする……俺のモンスターは大半が低LVモンスター  
下手にモンスターを召喚しても、次のターンにはLVが1とかにな  
ってしまう

このターンにシンクロ召喚をするにも、俺の手札と場のモンスター  
ではLVが合わない。

「おっと、悪いが先手を打っておくぞ  
罠カード、威嚇する咆哮を発動する

このターン、相手は攻撃宣言する事ができない」

攻撃を封じられたか

仕方無い、ここはこれぐらいしかできない。

「俺はモンスターをセットし、カードを1枚伏せる

これでターンエンドだ

コズミック・スペースの効果により、ジャンク・ウォリアーのLV  
が1となる」

「俺のターン、ドロー

セットしていたモンスターを反転召喚、デス・ラクーダを反転召喚  
デス・ラクーダの効果発動、反転召喚に成功した時、カードを1枚  
ドローする」

ドロー加速モンスター！？

早くあのモンスターを破壊しなければ！  
幸い、攻撃力はたったの500だから戦闘破壊は楽だ。

「さまようミイラを召喚

そしてデス・ラクーダの効果を発動

1ターンに1度、このモンスターをセット状態にできる」

何度も効果を使えるモンスターか！

尚更早く倒さなければ！

「さまようミイラの効果を発動

このモンスターも1ターンに1度、セット状態にできる

更にこの効果を使用した時、場のモンスターの位置をシャッフルする」

「場のモンスターをシャッフルだと？

どういう意味だ？」

「簡単だよ、デス・ラクーダやさまようミイラの位置が変わる

どこか1体はデス・ラクーダ、どこか1体はさまようミイラ

最後の1体はアドバンス召喚されたセットモンスターだ

俺もどこに何が居るか分かん」

クッ……これでは攻撃するのにも危険が出てくる

もし上級モンスターの守備力がかなり高かった場合、反射ダメージを受ける可能性も有る

だが攻撃しないとドローされ、また位置が変わる……厄介な！

「そしてエンドフェイズ時、コズミック・スペースの効果発動  
ジャンク・ウォリアーのLVが0となり、ジャンク・ウォリアーは

破壊される」

攻撃力3200のジャンク・ウォリアーが……安全に攻撃する為にも、攻撃力が高いモンスターでなければ攻撃力の低いモンスターでは勝てない！

「俺のターン、ドロー！」

モンスターを更にセット、ターンエンドだ！」

お互いに何もしない、できない

俺はモンスターを召喚してもLVが足りないので何もできない  
奴はモンスターでなかなか攻撃を仕掛けてこない  
どうすれば……

「俺のターン、ドロー」

デス・ラクーダを反転召喚し、この効果により更にドロー  
さまようミイラ、ジャイアントマミーを反転召喚  
そして八つ手サソリを召喚」

モンスターが……4体

しかし、最後のモンスターは何だ？

攻撃力300のモンスターを出してきて……

「八つ手サソリで新たに召喚されたモンスターに攻撃  
このモンスターは裏側守備表示モンスターと戦闘する時  
攻撃力が2400となる」

攻撃力が2400のLV2モンスターだと！？  
クッ、俺のシールド・ウォリアーの守備力は1600  
さすがにその攻撃力には勝てない！

「攻撃を続行

ジャイアントマミーでセットモンスターに攻撃」

「だが、俺のモンスターはシールド・ウイングだ！

このモンスターは1ターンに2度まで戦闘で破壊されない！」

そしてシールド・ウイングの守備力は900

デス・ラクーダを上回っているから破壊される事は無い。

「壁モンスターか……まあ良い

八つ手サソリ、デス・ラクーダ、ジャイアントマミー、さまようミイラをセット状態へ

さまようミイラの効果により、モンスターをシャッフルカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

デビリアン・ソングの効果でLVが1となっているシールド・ウイング

コズミック・スペースの効果でLVが0となり……破壊される。

拙い……相手モンスターの最大攻撃力は1700のジャイアントマミー

更にモンスターが多すぎて倒すのもかなり厳しい

ただでさえLVが低く、LV3以下のモンスターは自分のターンにはコズミック・スペースの効果で破壊されるのに！

「俺のターン……ドロー！」

来たか。

「俺はバイス・ドラゴンを特殊召喚！  
このモンスターは相手の場にしかモンスターが存在しない時、特殊召喚できる！」

これが俺の、堅守への対策  
ジャックとクロウのカードをデッキに入れた  
これにより、俺だけの対策では足りなくなるはずだ！

「へえ……チョップのカードだったな  
それは俺への対策かな？  
どうせみんなの力を合わせれば……とか考えてたんだろ」

「そうだ、仲間の力を合わせれば俺は必ず勝つ  
俺は更に、場の伏せカードを破壊してカード・ブレイカーを特殊召喚！

このモンスターは場のカードを破壊して特殊召喚されるモンスターだ  
そして俺が破壊したカードはリミッター・ブレイク  
このカードが墓地に送られた時、手札、デッキ、墓地からスピード・ウォリアーを特殊召喚する  
俺は墓地より、スピード・ウォリアーを特殊召喚！」

「が、チューナーが足りないな  
それにそいつらのLVはデビリアン・ソングで1下がっている  
バイス・ドラゴンはLV4、スピード・ウォリアーとカード・ブレイカーはLV1だ」

「まだ終わらないぞ！  
俺は更に魔法カード、調律を発動する  
デッキからチューナーモンスターを手札に加える  
俺が手札に加えるのは……BF疾風のゲイル！」



そして手札に加えたモンスターのLVだけ、デッキからカードを墓地に送る」

「コモンのBFまで入れてきたか  
ブラックフェザー

どれだけ混ぜてるんだよ……明らかにバランスが崩壊しないか？」

「仲間との絆が有れば、これぐらい当然だ！

罠カード、ブラック・バックを発動！  
ブラックフェザー

攻撃力2000以下のBFを特殊召喚できる！  
ブラックフェザー

俺は攻撃力1700、BF、黒槍のブラストを墓地より特殊召喚！」

ブラストは調律の効果で墓地に送られたモンスターだ  
見ている堅守、これが俺達の絆の力だ！

「ブラック・バックを発動したターン、通常召喚はできない

しかし、俺の場にはブラストが存在している  
ブラックフェザー

よって、手札からBF、疾風のゲイルを特殊召喚！」

「……お前な、1ターンで5体のモンスターを全て特殊召喚するか？  
普通は無理だぞ、何者だよお前……どう考えても巫山戯てるだろ」

「お前は俺達を甘く見ていた

だが、もうこれ以上そんな事はさせない！

LV4バイス・ドラゴンとLV1スピード・ウォリアー、LV1カード・ブレイカーに  
ブラックフェザー

LV2BF、疾風のゲイルをチューニング！

集いし願いが新たに輝く星となる、光差す道となれ！ シンクロ召

喚！ 飛翔せよ、スターダスト・ドラゴン！」

「うわーお……さすがにこれは驚いた

素直に賞賛しよう、本当に凄い」

「見たか、これが俺達3人の……仲間達の絆だ！

だが、俺達の力はまだまだこれからだ！

墓地の大扉のヴァーユの効果発動！

このモンスターと墓地のチューナー以外のモンスターを除外する事でシンクロ召喚が行える！

墓地ならばデビリアン・ソングの効果も受けない！

俺は墓地のLV5バイス・ドラゴンに

ブラックフェザー

同じく墓地のLV1BF、大扉のヴァーユをチューニング！

漆黒の力！ 大いなる翼に宿りて、神風を巻きおこせ！ シンクロ

召喚！ 吹きすさべ、BF、ブラックフェザーアームズ・ウィング！」

ジャックとクロウのカードが俺に力を貸してくれる

調律で墓地に送られたカードにヴァーユも含まれていた

バイス・ドラゴンも含め、2人の力が俺に力を貸してくれる！

「行くぞ堅守！

俺はアームズ・ウィングで一番左のモンスターに攻撃！

このモンスターは守備表示のモンスターと戦闘を行った時、攻撃力が500ポイントアップする！」

破壊したのは……ジャイアントマミー！

守備力が2000のモンスターだ！

「アームズ・ウィングの効果はまだ続いている！

このモンスターが守備表示モンスターに攻撃した時、貫通ダメージを与える！

アームズ・ウィングは自身の効果で攻撃力が500アップし、攻撃力2800

よってその差、800ポイントのダメージだ！」

「チッ……鬱陶しい奴だ」

「まだだ！」

スターダスト・ドラゴンで真ん中のモンスターに攻撃！  
シューティング・ソニック！」

破壊したのは八つ手サソリ  
今となっては殆ど無意味なモンスターだ。

「ブラストで右のモンスターに攻撃！  
ブラストもアームズ・ウィングと同じく貫通効果を持っている！」

破壊したのはさまようミイラ  
守備力は1600、与えられたダメージは100ポイントか……  
ドロー効果を持ったデス・ラクーダを倒せなかったのは痛い。

「俺はこれでターンエンドだ」

コズミック・スペースの効果でモンスター達のLVが下がる  
デブリアン・ソングの効果も含め、スターダスト・ドラゴンはLV6  
アームズ・ウィングはLV4、ブラストはLV2となっている。

これで奴のライフは2600  
俺のライフとは100ポイントの差まで縮まった！

「よくもまあ……ここまで荒らし回ってくれたな  
この礼はしっかりとさせてもらおう  
俺のターン、ドローしてデス・ラクーダを反転召喚して更にドロー

永続罨、リビングデッドの呼び声を発動

墓地より、さまようミイラを特殊召喚する

モンスターをセットし、デス・ラクーダを自身の効果で裏側守備表示に変更

更にさまようミイラも効果により裏側守備表示に、そして効果を発動  
セットモンスターの場所をシャッフルする」

これでまたデス・ラクーダの位置が……

しかし、俺の場のモンスターは3体、奴の場にもモンスターは3体  
これなら全てのモンスターを倒せる！

「魔法カード、マジック・プランターを発動

場に残っていたリビングデッドの呼び声を墓地へ送り、デッキから  
カードを2枚ドロウ

……ライフを500払い、血の代償の効果を発動  
俺はスピリットモンスター、月読命を召喚」

スピリットモンスター？

そんなモンスターが居るのか？

「そして月読命の効果を発動

召喚に成功した時、場のモンスター1体を裏側守備表示に変更する  
俺が裏側守備表示にするのは……BF<sup>ブラックフェザー</sup>アームズ・ウィングだ」

「何！？ 裏側守備表示だ！？」

アームズ・ウィングの守備力は1000

そして月読命の攻撃力は1100……つまり！

「月読命でアームズ・ウィングに攻撃」

クロウのアームズ・ウィングが……

だが攻撃表示の攻撃力1100、これなら次のターンで倒せる！」

「カードを1枚伏せ、エンドフェイズ

月読命はスピリットモンスター特有の効果により手札に戻る」

「手札に戻るだど!？」

そんな効果を……コズミック・スペースで破壊されない為か!」

「ご名答、このスピリットモンスターの効果とコズミック・スペースは相性が良いんでな

このデッキはサイクル・リバースモンスターと呼ばれるデス・ラク  
ーダのようなモンスター

そして手札に戻ってくるスピリットモンスターで組まれている  
コズミック・スペースを有効に活用する為にな」

俺だけ一方的に効果を受けるという訳か

デビリアン・ソングも有るから更に俺のモンスターが破壊される速  
度が上がる

この状況、どうやって脱すれば……

「俺のターン、ドロー! ジャンク・シンクロンを召喚!

そしてジャンク・シンクロンの効果発動!

墓地からLV2以下のモンスターを特殊召喚する!

俺は調律の効果で墓地に送られたLV1のモンスター、チューニン  
グ・サポーターを特殊召喚!

この効果で特殊召喚されたモンスターの効果は無効化される」

すまないクロウ、お前のモンスターを簡単に使ってしまう

だが、このままではただ破壊されるのを待つだけだ！

「デビリアン・ソングの効果で俺のモンスター達はLVが下がっている

ブラックフェザー

それでも俺は……LV1チューニング・サポーターとLV1BF<sup>1</sup>、黒槍のブラストに

LV2ジャンク・シンクロンをチューニング！

集いし怒りが、敵を打ち抜く力となる！ シンクロ召喚！ アームズ・エイド！」

「お前……ここまでLV操作されてよくそんなにシンクロ召喚ができるな」

「俺はお前と違って1人じゃない、みんなの力が俺の下に集まっている……だから俺は戦えるんだ！

チューニング・サポーターの効果発動！

このモンスターをシンクロ素材とした時、デッキからカードを1枚ドロウする！

この効果は墓地で発動する為、ジャンク・シンクロンの効果でも無効化されない！

そしてアームズ・エイドの効果を発動！

このモンスターは自分の場のモンスターの装備カード扱いとしてモンスターに装備させる事ができる！

アームズ・エイドをスターダスト・ドラゴンに装備する！」

アームズ・エイドはスターダスト・ドラゴンの腕に装着される

これで攻撃すれば堅守の守備モンスターが相手でもダメージを与えられる。

「アームズ・エイドを装備しているモンスターの攻撃力は1000

ポイントアップする！

スターダスト・ドラゴンで……右のモンスターに攻撃！  
パワーギア・フィスト！」

スターダスト・ドラゴンがアームズ・エイドを装備した腕でモンスターを殴る

破壊したモンスターは……扉のような体をしたモンスター  
さまようミイラでも、デス・ラクーダでもなかった。

「装備カードとなっているアームズ・エイドの効果発動  
戦闘で破壊したモンスターの攻撃力分だけ、相手にダメージを与える」

「番兵ゴーレムの攻撃力は800……  
よって俺は800ポイントのダメージか」

あのモンスターは番兵ゴーレムだったのか  
どんな効果だったんだ？

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

先ほど血の代償も使い、800ポイントのダメージ  
これで奴のライフは1300

俺はあれから減っていないので2500のままだ！

「俺のターン、ドロー」

お前のスターダスト・ドラゴンのLVは現在4  
早く潰す為にもっと動くべきだと、俺は思った  
故に、お前に更に頑張ってもらおうと思う」

……何をするつもりだ？

「永続罾を発動、デビリアン・ソング  
この効果により、相手の場のモンスターのLVは1下がる」

「な！ 2枚目のデビリアン・ソングだと！？」

これでスターダスト・ドラゴンのLVは3  
破壊される時間が短くなってしまった！

「そしてデス・ラクーダを反転召喚、カードを1枚ドロウする  
モンスターをセット、さまようミイラを反転召喚  
デス・ラクーダをセット状態に、さまようミイラもセット状態にする  
そしてシャッフル……」

また……あいつ、どうやって勝つ気なんだ？  
このまま守備を固めていても勝てないだろうに。

「カードを1枚セットする  
そして装備魔法、降格処分をスターダスト・ドラゴンに装備  
このカードを装備されたモンスターはLVが2下がる……この意味  
が分かるか？」

「スターダスト・ドラゴンのLVが2下がった？  
つまり……現在、スターダスト・ドラゴンのLVは1  
このターンのエンドフェイズにスターダスト・ドラゴンは破壊され  
る！」

「そうだ、この効果はルール効果に近い  
コズミック・スペースの効果を正確に説明すると



全てのモンスターにLVに等しいライフ・スターというカウンターが乗っていると言えれば分かりやすいか？

簡単に言えば、ライフ・スターが無くなったモンスターは自壊する、こんな感じだ

故にチェーンに乗る効果ではなく、スターダスト・ドラゴンの効果で無効化できない

これが単に嫌がらせの意味だけだと思ったか？

コズミック・スペースはスターダスト・ドラゴン封じという意味でも有るんだよ」

こんな方法でスターダスト・ドラゴンを封じてくるとは！

拙い、俺は何もできない！

「ターンエンドだ

コズミック・スペースの効果により、スターダスト・ドラゴンのLVが1下がる

よって現在、スターダスト・ドラゴンのLVは0、よって破壊される」

クッ……アームズ・エイドを装備したスターダスト・ドラゴンが！同時にスターダスト・ドラゴンに装備されていた降格処分も破壊されたが……

「俺のターン、ドロー！

永続罠、ウィキッド・リボーンを発動する！

ライフを800払い、墓地からシンクロモンスターを特殊召喚する！現れる、スターダスト・ドラゴン！」

すまない、スターダスト・ドラゴン

お前をシンクロ素材に……俺は使う！

「俺はチューナーモンスター、トップ・ランナーを召喚！  
このモンスターもデビリアン・ソングでLVが2下がって2となっている！

LV6スターダスト・ドラゴンにLV2トップ・ランナーをチューニング！

集いし想いが、仲間を繋ぐ力となる！ 光駆ける闇となれ！ シンクロ召喚！ 殲滅せよ、レッド・デーモンズ・ドラゴン！」

ジャック、お前の力を俺に貸してくれ！  
お前の力が、俺の力となる！

「レッド・デーモンズ・ドラゴンで真ん中のモンスターに攻撃！  
アブソリュート・パワーフォース！」

「さすがにそれは拙いからな  
悪いが止めさせてもらおう、カウンター罠、攻撃の無力化  
相手の攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる」

クッ……また逃げられた！  
こいつに勝つ気が有るのか？

「ターンエンドだ！」

これでレッド・デーモンズ・ドラゴンのLVは5に下がった  
早く何とかしなければ……

「ウィキッド・リボーンのライフ減少はコストだから罰ゲームは無しにしてやるよ  
俺のターン、ドロー

デス・ラクーダ2体を反転召喚し、2枚ドロ―」

さっきセットしたモンスターはまたデス・ラクーダだったのか  
これで堅守の手札は4枚、手札差で大きな差が有る  
俺の手札は0枚、なんとかしなければ……

「魔法カード、マジック・プランターを発動  
血の代償を墓地へ送り、デッキからカードを2枚ドロ―する」

またドロ―されたか  
奴の手札は5枚、何を仕掛けてくる？

「魔法カード、デュアル・サモン二重召喚を発動

俺はこのターン、2回通常召喚が行える  
2体目の八つ手サソリを召喚し、月読命を召喚  
月読命の効果により、レッド・デーモンズ・ドラゴンを裏側守備表  
示にする」

拙い！

レッド・デーモンズ・ドラゴンの守備力は2000  
八つ手サソリは裏側守備表示のモンスターに攻撃した時  
攻撃力が2400になる！

「更に、さまようミイラを反転召喚」

総攻撃を受けたら……俺のライフは！

「八つ手サソリで、セットされているレッド・デーモンズ・ドラゴ  
ンに攻撃」

「墓地のシールド・ウォリアーの効果発動！

このモンスターを除外する事で、俺のモンスターは戦闘で破壊されない！」

奴の残りのモンスターは全て攻撃力2000未満

これでレッド・デーモンズ・ドラゴンが倒される事は無い！

「チッ、守られたか

デス・ラクーダ2体、八つ手サソりを自身の効果により裏側守備表示に変更

更にさまようミイラも自身の効果で裏側守備表示に変更

そして効果、裏側守備表示モンスターの場所をシャッフルする

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ

エンドフェイズ時、月読命は手札に戻ってくる」

このターンで奴のモンスターを……

せめて八つ手サソりを倒さなければ俺の負けだ！

「俺のターン、ドロー！」

レッド・デーモンズ・ドラゴンを攻撃表示に変更！

レッド・デーモンズ・ドラゴンで左から2番目のモンスターに攻撃！  
アブソリュート・パワーフォース！」

「罠カード、くず鉄のかかしを発動  
攻撃を1度だけ無効にする」

な！ このタイミングで！？

「お前も使うからこの効果はよく知ってるだろ？

このカードは墓地へ送られず、再びセット状態に戻る」

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

レッド・デーモンズ・ドラゴンのLVは月読命で裏になったので6に戻っていた

これでLVは5に下がる

月読命は少し失敗だったんじゃないか？

「俺のターン、ドロー」

デス・ラクーダ2体を反転召喚し、2枚ドロー

月読命を召喚し、レッド・デーモンズ・ドラゴンを裏側守備表示に変更

八つ手サソリ、さまようミイラも反転召喚

バトルフェイズだ……八つ手サソリで裏側守備表示のレッド・デーモンズ・ドラゴンに攻撃」

すまないジャック、レッド・デーモンズ・ドラゴンを守りきれなかった！

元々の攻撃力300に破壊されるレッド・デーモンズ・ドラゴン……本当にすまない。

「デス・ラクーダ2体で直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「ぐっ！」

「罰ゲーム

2体の獣戦士族が暴れ始めるぞ」

暴れ出したのは攻撃力1200の黒い影の鬼王オーガ

そして同じく攻撃力1200のサイクロプス……クソッ！

「月読命、ダイレクトアタック直接攻撃」

「ぐあっ！」

「再び、獣戦士族達が歌い出す  
咆哮という名の歌をな」

今度攻撃し始めたのはルイーズ  
持っている剣でカオス・シールドを切り出した  
弾かれているが……

拙い……俺のライフは残り400  
だがまだ……まだ大丈夫だ！

「さまようミイラでダイレクトアタック直接攻撃」

「罨カード発動！ ガード・ブロック！  
戦闘ダメージを1度だけ0にし、カードを1枚ドロウする！」

「まだ足掻くか……ったく  
月読命以外のモンスターをセット状態に戻す  
さまようミイラを最後に戻し、シャッフル  
エンドフェイズ、月読命は手札に戻ってくる  
ターンエンドだ」

なんとかチャンスを繋いだ  
ここぞなんとか……

「俺のターン………ドロウ！」

俺がドロ―したカードは……

「魔法カード、星屑のきらめきを発動！

墓地のドラゴン族、シンクロモンスターを1体選択する

そのモンスターと同じLVになるように、墓地のモンスターを除外し、特殊召喚する！

俺はレッド・デーモンズ・ドラゴンを選択

墓地のジャンク・シンクロンとチューニング・サポーター、黒槍のブラストを除外

舞い戻れ、レッド・デーモンズ・ドラゴン！」

戻ってきたレッド・デーモンズ・ドラゴン

こいつの効果でモンスターを全滅させれば……

「更にレッド・デーモンズ・ドラゴンにジャンク・アタックを装備！

左のモンスターに攻撃！ アブソリュート・パワーフォース！」

「最後まで足掻く根性は良し

しかし……罠カード、シンクロ・イジェクションを発動

相手のシンクロモンスターを除外し、相手はカードを1枚ドロ―する」

「な……」

ここまで来て……ここまで来て！

消えていくレッド・デーモンズ・ドラゴン

俺はカードをドロ―するが……クッ！

「ターン……エンドだ」

「残念でした、俺のターン、ドロ―

デス・ラクーダを反転召喚し、更に2枚ドロ―

八つ手サソリ、さまようミイラも反転召喚

デス・ラクーダで直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>」

だが、まだ終わらない！

俺は最後まで諦めない！

「手札から速攻のかかしを捨てて効果発動！

<sup>ダイレクトアタック</sup>相手の直接攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる！」

「甘い！ 速攻魔法、エフェクト・シャットを発動！

相手モンスターの効果を無効にし、破壊する！」

「そんな馬鹿な！？」

このタイミングでそんなカードだと！？

そんな事を思っている内に、デス・ラクーダが俺に突撃してきていた。

「ぐ……く……俺の、負けか！」

すまないみんな……俺も、勝てなかった！



## 5D・s 9話【仲間との絆】（後書き）

クイック・シンクロンはシンクロンにしかないんじゃない……

初期ではそのような指定は無かったそうです

……それ以外に使用された事はないんですけど。

攻撃力10000のジャンク・ウォリアーって……

いつかのキメラッテック・オーバー・ドラゴンの時にそんな話がちらほらと

何人かの人がこれぐらいできると言っていたので。

遊星がまさかの混合デッキ！

前回の相談はこれでした

ジャックがレッド・デーモンズ・ドラゴンを渡すとは思えない？

スルーしてください。

カード・ブレイカーの効果が違う……

原作効果です

破壊となり、相手の場のカードも破壊できます

遊星は相手のカード破壊より、スターダスト・ドラゴンの召喚を優先しました

……ぶっちゃけ、OCG効果でも結果的に同じなんですけどね。

調律が……

原作効果です

チューナーを全て呼べました

そしてLVの数だけデッキから墓地に落とします

明らかに壊れカードです。

ヴァーユの効果が……

原作効果です

ブラックフェザー

除外はB Fに限定されていませんでした

しかもこれはシンクロ召喚扱いとなっています

効果無効化も無かったのでこんな感じに……凶悪ですね。

瑞貴が月読命とかリビングデッドの呼び声を……

他に使えるようなカードが浮かびませんでした

もう……かなり大変だったので見逃してください。

アームズ・エイドの口上って？

自分で考えました

遊星ならこんな感じかと思います。

何故スターダスト・ドラゴンでパワーギア・フィスト？

なんとなく……シューティング・フィストにしようか悩みましたけど。

レッド・デーモンズ・ドラゴンの口上って……

遊星っぽく考えたらこんな感じになりました

ジャックの口上を言わせる気になれなかったので。

所々、瑞貴の使うカードのタイミングが間違えてない？

ドロートしたカードが次に使うカードだったんです

血の代償を消した直後に二重召喚デュアル・サモンをドロートしたなど

そんな感じです。

最後にレッド・デーモンズ・ドラゴンって……

スターダスト・ドラゴンにしたかったんですけどね

残念ながら、状況がそうさせてくれませんでした。

原作、アニメオリジナルカード

コズミック・スペース

全てのモンスターにLVの数だけライフ・スターを乗せる  
お互いのエンドフェイズ時、ライフ・スターを1つ取り除く  
この効果でLVが0になったモンスターは破壊される  
……こんな感じですかね？

LV関係で遊ぼうと思った結果がこれです、ややこしい……  
スターダスト・ドラゴンの件については微妙、できるといいう事にしておいてください

作者の予想では多分できます、多分……

ツイッターってどうしてツイッターなの？

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
それはね、ツイッターだからだよ。

## 5D's 終話【敗者の末路】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「……何、これ？」

「というか4枚も有るし」

「これは謹賀新年という魔法カードね

デュエリスト

あの伝説の決闘者、海馬瀬人が使ったカードよ

一富士、二鷹、三茄子の3枚の魔法カードは初代決闘王、デュエルキング武藤遊戯  
が使用したカードね

どれも超レアカードよ、どれも1枚しか無くて2人しか持っていない  
らしいわ」

こんな感じで、あけましておめでとうございます  
新年早々、こんなタイトルはどうかと思いますが……  
というか、最初にいきなりネタはどうかと自分でも思いました。

それはさておき、今回はちょっと短め  
そしてネタバレとかの回です、一部隠したままですが  
時間が無かったので……これでも頑張った方なんですよ？  
これ以上は無理です、諦めてください。

なんだか次回も続きそうな最後ですが、次回からGXに戻ります  
また番外編でもした時にでも……と、考えておきます  
そうなるかとまたアニメを観ないとなあ……時間が足りるかな？

次話はどうでしょう？

今日よりはマシなので大丈夫だと思いますが……

## 5D's 終話【敗者の末路】

視点 遊星

デュエル  
決闘に勝った奴は俺の近くまで来る。

「お前さ、仲間の絆だの何だのと言ってたけど  
結局は負けたな  
実は絆なんて無かったんじゃないか？」

「そんな事は無い！」

絶対に、そんな事は絶対に無い！  
お前に俺達の何が分かる！？

「何でも良いけどね  
さて……敗者への罰ゲームを行おう」

堅守はモンスター達を消した  
獣戦士族モンスター達が消え、みんながホッとしているのが見て取れる。

「永続魔法、無視加護」

突然降ってきた籠が俺を捉える  
ジャックとクロウは相変わらず電磁シールドの中  
他のみんなはカオス・シールド……

堅守はカオス・シールドに近づいていく  
牛尾がみんなを守るように立ちはだかる  
だが、奴からすればそんな事は関係無かった。

「待てよ、これ以上は進ませねえぜ！」

「邪魔だ

永続罨、拷問車輪」

牛尾が拷問機械に捕らわれた！？  
拙い！ あの拷問機械では死ぬぞ！

「殺さない程度にはしてやる  
激痛は走るだろうが……な」

「チッ！

深影さん！ 3人を連れて早く！」

狭霧は少し躊躇うも、急いで3人を連れて逃げ出す  
だが、堅守がそんな事を許すはずが無かった。

「ワッパー・ドラゴン  
手錠龍を召喚

あの女を捉えろ」

ワッパー・ドラゴン  
手錠龍が狭霧を動きを封じ込める  
ただ、体がかなり大きな手錠龍では当然ながら体が余る  
なので嘴に当たる場所を地面に突き刺し、狭霧を突き倒す。

下半身の部分はアキ、龍亞、龍可を捉えていた  
これではみんな逃げられない！

堅守はアキ達に近づいていく  
嫌な予感がする……

「アームズ・エイドを召喚、装備……」

堅守はアームズ・エイドを自身の左腕に装着した  
何故……何故アームズ・エイドを装備した！  
お前、何をする気だ！？

「手に入らない手駒は……必要無い」

「や、止めるー！ー！ー！ー！ー！！！」

誰の声か分からない  
俺か、ジャックか、クロウか、それとも牛尾か  
もしかしたら全員だったかもしれない。

しかし、制止の声も虚しく……  
奴の腕は、アキの体を……貫いた……

「あ……アキ……」

アキはぐったりとしたまま動かない  
龍亞と龍可ワッパ・ドラゴンは手錠龍ワッパ・ドラゴンの時に気絶しているのか見ていなかった  
人が死ぬ瞬間を見なかった、それだけがこの2人の唯一の救いかも  
しれない……

奴はアキの体から腕を抜く  
アームズ・エイドからはアカイ何かが……



あれは……あれは……！

「そういえば……こいつも手に入れようと思ったんだっただが、どうもこちらに付く気配は無かったしどうせだ、一緒に……逝きな」

龍亞の体を、奴の腕が貫いた

すぐに引き抜き、龍可の体も……

あいつ……まだ子供の龍亞達まで！

「アキさんだけでなく、龍亞君に……龍可ちゃんが……私達セキュリティのせいで……私達の……」

狭霧が気絶する

現実には堪えきれなかったようだ。

「深影さん！

深影さん、しっかりしてください！」

「人の心配をしている余裕が有るのか？

お前はあいつより危険な拷問車輪に捕らわれているんだぞ拷問車輪よ、そいつの体を殺さない程度に……伸ばせ」

伸ばす？

そう思った時、牛尾の捕らわれている腕

そして同じく捕らわれている足がそれぞれ逆方向に伸ばされ始めた。

「いっ！ いでででででで！……！」

「それはゆっくり、ゆっくりと強く引かれるんだ

今はその程度の痛みで済んでいるが……  
まあ、体が2つにならない程度には調整しておくから大丈夫だ」

奴は新たにモンスターを召喚した  
威力調整用のモンスターらしいが……そのモンスターは処刑人、マ  
キュラ

どう考えても殺す気にしか思えない。

奴はそのまま狭霧に近づく

気絶している狭霧の前に立ち……腹を蹴った。

「ぐほっ！

ゴホッ、ゴホッ！」

「何寝てるんだ、お前は  
そう簡単に寝かせないぞ？」

奴は再び新たなモンスターを召喚する  
召喚したモンスターはハッピー・レディ  
あのモンスターに何を……

「装備カード、薔薇の鞭をハッピー・レディに装備」

薔薇の鞭……とは言うものの  
見た目は普通の鞭であり、棘は無い  
華麗だから薔薇とでも名付けられたのか？

そしてハッピー・レディは鞭を狭霧の目の前で鳴らす。

「ヒッ！」

狭霧の怯える顔、恐怖に歪む声  
それを楽しそうに聞いている堅守……

「ハーピー・レディ、殺さない程度に加減して鞭打処刑」  
ウィップパニッシュ

奴の声に反応し

ハーピー・レディは鞭で狭霧を打ち付ける！

「いっ……たあ！」

音からも、見た目からもかなり痛い  
とてもじゃないが……見てられない！

「目を背けるのは駄目ですよー？  
ちゃんとあの女の人を見てくださいねー」

俺の前に現れた奴の精霊  
どうやってこの無視加護の中に！？

顔を強引に狭霧の方に向けられる  
俺が見た時には、またも新しくモンスターが召喚されていた  
黒蠟、棘のミーネ……ハーピー・レディと一緒に鞭を鳴らしている。

態と擦るように叩きつけたり  
ホントに当てたり、ミーネは余裕ができればビンタまでしている  
狭霧の顔が涙で一杯になるも、堅守は止める気配が無い。

「女の喧嘩って怖いねえ  
ハーピー・レディ、ミーネ

その女は殺すなよ？

じわじわと屈辱を味合わせてやれ」

頷くハーピー・レディとミーネ

再び鳴り出す鞭の音が辺りを響かせる。

ある程度満足したのか、奴は再び移動を始める  
向かった先はジャックとクロウ……

「お前らは……どうしてくれようか？」

「お前に何をされたって、俺達は屈しないぞ！」

強気にも言い返すクロウ

だが、あいつもアキ達が殺された所を目の前で見ている  
その声には……怒りが多く含まれている。

「屈しないか……そうだな  
なら、こいつでどうだ？」

堅守が出したのは花……花だと？

しかし、かなり巨大だ……あの花はいったい何だ？

そう思っていると、強烈な悪臭が辺りに……

これはかなり……辛い！

狭霧を蹴っていたハーピー・レディやミーネの動きも止まる

狭霧は……安心と悪臭で再び気絶。

牛尾は痛みと臭いでかなり辛そうだ

痛みから声を上げ、その声で呼吸が乱れて多く息を吸う  
となると、当然ながら吸う量が増えるので悪臭が……  
煩いぐらいの悲鳴が……

堅守はある程度の時間、呼吸を止めていた  
自分の息が限界になった瞬間、モンスターを消す  
モンスターが消えたと同時に臭いも消えた。

一安心だが、二度とあの臭いは嗅ぎたくないな  
あの臭いはいい……

「クロウ・ホーガンでジャック・アトラスに攻撃」

「何？」

クロウが俺にだっぐはぁ！」

クロウがジャックを殴っただと！？

何故堅守の命令をクロウが聞いたんだ！

「残念ながら、さっきの幻惑のラフレシアの効果だ  
こいつの花粉は精神を少し狂わせる  
よってブロンは俺の声を誰かと勘違いしたか  
それともシャープが何か別の何かに見えたか……」

コントロール奪取効果のモンスターか！  
それでクロウは正気を失って！

「……飽きた  
なんだか虚しくなってきたし」

堅守が突然、全てのカード効果を消した  
そして消えた中にアキ、龍亞、龍可が……何故だ？

「さっきのアキ達は罠カード、クローン複製  
偽物でした、残念

まあ、俺は人殺しはしないと決めているからな  
……人殺しまではな」

クローン……クローンか

良かった、アキも龍亞も龍可も無事で  
本当に良かった。

「今回はこれで終わりにしよう

本物のアキ達は巨人の塔の中で眠っている

良かったな、死んでなくて

次はもっと、更なる絶望に叩き落としてやるよ  
覚悟しておくんだな」

堅守はそう言い残し、お馴染みとなったマジカル・シルクハットで  
消えていく

完全に自由になった俺は急いで塔の中に入る。

アキ達は！

どうやら……本当に眠っているだけだった

何も知らされずにいたんだろう、安らかそうな眠りだった。

龍亞も一緒なのは

おそらく、奴も子供にまで酷い事をする気になれなかったからだろう  
本当にそれが最大の救いだ。

もう、俺は奴に絶対に仲間を傷付けさせない！  
次は絶対に負けない！  
俺はみんなを守ってみせる！

待っている堅守！

俺は必ず、お前を倒す！

視点 瑞貴

さて、俺のする事は終わった  
仕事も終わったし、奴の下に行くか。

マジカル・シルクハットでは遠すぎる  
仕方無い、亜空間物質転送装置で移動するか  
あいつの居る場所はかなり遠い……

……………

……………

……

俺が到達した場所

それは家ではなく、真っ白な空間  
さて、奴はどこに居るかな？

『来たか、堅守瑞貴』

俺の前に現れるのは俺もよく分からない男

見た目が人間じゃないから声で男として判断できないな。

「お前の指示通りに動いてやったぞ  
さあ、約束通りに俺の全ての傷とマークーを消してもらおうか」

『……まだ無理だ』

「何？」

こいつ、俺の約束を破る気か？

「俺はお前の指示通りに動いた  
不動遊星の成長、仲間との絆も強固になったはずだ  
シンクロも考えさせるような行動も起こした  
ここまでしてやって何が不満なんだ」

『……お前にはまだ、して貰いたい事が有る』

まだ俺を扱き使う気か……  
こいつ、影丸以上の狸か！

「ふん、まあこの拷問痕が消えるんだったらまだ多少付き合ってやる  
だがそれが終われば、もう1つの頼みも必ず叶えて貰うぞ」

『分かっている』

お前を過去へ……元の時代へ帰そう』

嘘か本当か

こいつは未来から来たと言っている  
どうやって過去まで来たかは知らない



だが、時間を越えるのは本当らしい。

『1つ問いたい』

「なんだ？」

『お前は……不動遊星を怨んでいるのではないのか？  
何故私の依頼を受け、不動遊星の成長を手助けした？』

そんな事か  
くだらん。

「俺は奴とラリー・ドーソンが原因で拷問を受けたのは事実だがな、俺はそこまで理不尽に相手を怨むような事はしない俺が本当に憎いのは……俺を拷問したあのセキュリティの野郎だけだ！」

あの野郎には既に復讐し終えている  
キツチリと仕返した。

似たような拷問をカードを使ってしてやった  
精神寄生体を寄生させ、自分で自分を拷問させた。

ブレイン・ジャッカーを使って脳をクラッシュさせてやった  
これで奴の生命行動に必要な神経以外を停止し、模擬死させてやった  
今現在、あの野郎にできるのは考える事だけだ。

メモリー・クラッシュヤー

記憶破壊者で記憶を破壊してやった  
あいつの幸せな過去を破壊、残ったのは痛みと悲しみ、絶望などの  
負の記憶だけだ。

あいつに残った思考は記憶を再生し始める  
だが、記憶に有るのは負の記憶だけ……

奴は放っておいても完全に廃人になるだろう。

まあ……自力で蘇生するのは不可能じゃないけどな  
自分の全てを理解し、神経の全てを自分で動かせるようになれば……  
普通の人間には不可能だけどな。

少なくとも医療に携わり、自分を理解する程の思考力が無ければならないだろう

いったい何人の人間がそんな事ができるだろうか？  
俺にはとてもじゃないが不可能だ。

それに、これだって正解かどうか分からない  
肉体的には死んでいない、精神的に未来が無いがな……

これが俺の復讐、快晴にしたようなやり方はあまり好みじゃない  
悪趣味な決闘デュエルとかは好きだけどな。

「まあ……怨みが全く無いとは言わないがな  
多かれ少なかれ、奴らは俺が捕まる原因なんだ  
八つ当たりが含まれていたのは否定できん」

それぐらいしても許されると思っていたい  
セキュリティの2人にはもっとしっかりして貰わないと困る  
また捕まって拷問を受けるのは絶対にご免だ。

だからあいつらには本当に傷みを受けてもらった  
セキュリティ全体を怨むつもりは無いが、信用できないのは事実だ  
八つ当たりの一環だと思えばまだマシだろう？

『お前のような考えができる人間は少ない』

「知るか

俺は俺だ、他の奴なんぞ関係無い」

俺は興味が無い奴には興味が無いだけだ

自分にそこまで興味が無いから怨みも少ないんじゃないか？  
冷静に行動できる自分の精神が少し謎に思える。

そう考えれば……俺は精神異常者か？

今更か、俺の精神が異常なのは昔からの事だ  
変わり者だったからな……

「それで、俺への頼み事は何だ？」

『うむ、彼らの面倒を見て貰いたい』

また子守かよ……

ダークシグナー達もしたのに、お前の仲間にもか？

ダークシグナーに関しては奴らに話した通り

ゴドウィンに連れられてそうなった。

こいつは俺があの家から抜けだそうとした時に現れた

正確には、俺が亜空間物質転送装置で逃げた先に居たんだ。

こいつは俺に言った

お前の願いを叶えてやる

だから自分の指示に従えと……

かなり気に入らなかった

しかし、俺の願いを聞き入れると言った  
嫌がらせのつもりで俺は3つの願いを言った。

1つ、俺の体の傷跡とマーカーを全て消せ

2つ、俺を前に居た時代に戻せ

3つ、これは保留として先にとって置いている

この3つ……正確には2つの願いを言った。

奴は全ての願いを叶えると言った

本当か嘘か、俺には分からない

だが、少なくともこのマーカーと痣は消したかった。

俺はこいつの言う通りに動いてやった

ダークシグナー達の行動を制限しなかった

世話もし、介入もしなかった。

俺がダークシグナーにならなかったのは簡単

こいつとは実は関係無く、カードの力を咄嗟に使っただけ

乗っ取られると思った瞬間に拘束解放波を使った

体を奪うⅡ装備カード、こんな感じに解釈したのは正解だったらしい。

なんとか逃げ切ったからな

奴らは俺には乗っ取る事ができない体質みたいに解釈したようだ  
それで結果的に世話係に……

そして……俺は不動遊星とその仲間達を刺激した  
奴の言う、破滅への未来を変える為……

俺は自分が死んでいるであろう、そんな未来に興味は無い  
しかし、本当に変えられるのであれば……暇潰しにもなる  
そう思っ  
て俺は多少過激に動いた。

いやぁ……最後のは少しやり過ぎたかな？

少し楽しくなっちゃってしまっ  
てな

自分を止める為に強引な理由を言っ  
て止めたんだが

あの後、あいつらはどうな  
ったか……知ってるけどな。

デュエルディスク

アキと龍可の決闘盤には細工を施  
しておいている

盗聴器と発信器というな……

ちなみに改造したのはこいつか  
その仲間か、そこら辺は知らん。

アキ達が寝ている間に一時的に預  
けたただだからな

よくもまあ……あの短時間で改  
造できたもんだ

機械弄りができる九星に見つか  
らないようにしたらしい

どれだけ頑張ったんだ、こいつ  
は？

それはそうと、俺の前に3人の男  
が現れた

もっとも、1人は子供だし髪が長  
いから微妙だが……

『お前に世話をしてほしいのはこ  
の者達だ』

紹介された奴らはかなり不機嫌  
だ

どうやら嫌われているらしい

……どうでも良いな。

「俺の名は堅守瑞貴

呼び方は好きにするがいいさ」

「……ふん」

不機嫌にそっぽを向く青年の男。

「キツヒヤツヒヤ、お前なんてどうでも良いよ」

謎の笑いをするガキ。

「……………」

そして……なんか言えよ爺。

ガキは煩いし鬱陶しいし……

青年はなれ合う気が全く無いのが良く分かる。

「で、こいつらって何？」

人間みたいな見た目だが、人間じゃないだろ？

この感覚は……機械か？」

似非との件で精霊界にも行ったんだ

機械族モンスターとも出会っている

その時の機械族モンスターと会った感覚に似ている。

『よく分かったな

この者達はロボットだ』

「俺はメンテナンスとかできないぞ

そんな俺にこいつらを任せてどうするつもりだ？」

『簡単だ、世話をすればいい  
思ったよりも少々性格が過激でな  
教育係も兼任してもらいたい  
ストップパーにもな』

「俺にどれだけの仕事を課すつもりだよ  
俺はともかく、こいつらだって嫌がるだろ  
明らかに俺に向かって敵意を向けてるじゃないか」

奴らからの視線は敵意  
俺の何が気に入らないんだ？

「俺もお断りだ  
こんな人間なんぞに世話になるなんてな」

俺だってかなり厳しいんだぞ  
それぐらい分かれよ青年。

「ボクも嫌だねー  
キツヒヤツヒヤツヒヤ」

俺だって嫌だ、面倒だからな  
だが世話になる対象であるガキには言われたくない。

「私も……この件に関しては拒否させてもらおう  
人間は信用できん」

爺も何かを言えばそれかよ……そこまで人間が嫌い  
俺も人間はそこまで好かないから分かるけど。

「ちなみに人間を嫌う理由は？」

「簡単だ、人間は愚かな生き物……」

惨劇や愚行を繰り返し、反省をしない屑だ！」

青年が代表して答える

かなり辛口だが、ガキや爺は同感のようだ。

「納得した、その気持ちはよく分かる

あいつは未来から来たと言って滅ぶとか言っているが  
お前らも未来から来て滅びの未来を見てきたのか？」

「……納得だと？」

そうだ、俺達は未来を知っている

人間共は何も考えずにあんな未来を！」

なるほどなるほど、人間は殆ど滅んだらしいが

そこまで酷い未来だったのか

未来の人間は何を考えてそんな事をしたんだか……

「とりあえず、俺を嫌うのは止めてくれ

俺はここより更に過去の人間だ

モーメントも無かった、そんな過去のな」

「この時代より更に過去……だと？」

私達を騙すつもりか」

「違う、事実だ

原因とかは全く分からない

もしかしたらこいつが原因かもしれんが……」



可能性の1つとして、疑う価値は十分に有る  
無いと思うが……微妙だな。

『それは誓って私ではない

お前がこの時代に來た原因は未だに不明だ』

調べてくれているらしいが、どこまで本気か分からん

俺としては過去に戻って傷跡やマーカーが消えればどうでもいい  
拷問は……痛みに耐える為の経験だと思えば……納得できんか。

「だけどお前だって人間じゃんだ  
だったらボク達の敵だよ！」

「俺と人間という一括りにするな

俺は堅守瑞貴だ、人間とか以前に俺を否定するな

お前が言っている事は機械が嫌いな人間がお前を嫌うような事と同じだ

小さく、下らな過ぎるから少しは考えてから発言しろ」

「な、なんだってえ！」

掴み掛かってくるガキを掴んで止める爺  
どうやらこいつはまだ話が通じるらしい。

「爺、お前は俺の言う事は理解できるだろう？」

「ああ、理解できる

だがそれと私達の感情は別問題だ

人間である限り、私達はお前を受け入れる事は無い」

まだ話せると思ったらこれかよ  
こいつ、爺の癖に大人げないな。

「おい、かなり大変なんだが  
それでも俺に任せるつもりか？」

『そうだ、お前にしか頼めない  
この者達を……1年半の間頼む』

「「「1年半も!？」」「」」

俺を含め、こいつらも驚く  
って、お前ら知らなかったのかよ!?

「何故俺達が1年半もこいつの世話にならなくてはならないんだ!」

「そうだよ!」

ボク達はこんな奴にそんな長い時間も世話になりたくないよ!」

「……同感だ」

『お前達には悪いとは思う

だが、堅守瑞貴と共に過ごしてみるがいい

何か新しい事が分かるかもしれないぞ』

「「「……………」」」

俺はそんな大層な人間じゃないんだがな

まあ、かなり辛いだろうが傷跡とかが消えるならまだ……キツいか

どうしよう、こいつら？

「ならせめて俺のマーカーだけでもどうにかしてくれ  
この顔じゃ外を出歩くのも辛い  
いつまでも他の奴に外に行かせるのも気に入らない」

『……よからう

数日後になるが構わない？』

「構わん、それでも消えるだけマシだ」

奴は離れていく  
残ったのは俺とロボット達の4人  
正確には1人と3体だな。

「改めて自己紹介しておく  
俺は堅守瑞貴だ」

「俺はプラシド  
名は教えるが気安く呼ぶなよ」

青年の名前はプラシドか……気安く呼ぶなと言うが、どう呼べど？  
プランナーとでも呼べば良いか？

「ボクはルチアーノだよ  
お前の世話になる気なんて無いからね」

ガキはルチアーノか  
お前はどやって生活するんだ？

「……私はホセ」

もっと何か言えよ爺

ホセって言い辛いし……

面倒そうな奴らを押し付けてくれたな  
後でしっかりと借りは返させてもらうからな。

「さて、これからどうなるか分からんが  
あいつの……ZゾーンONEの目的の為に動くか  
手伝ってやるから喜べ貴様ら」

「偉そうにするな！  
人間風情が！」

「お前なんかさっさと死んじゃえ！」

「……………」

かなり辛口だな、お前ら  
そしてホセ、お前は逆に何か言え。

はぁ……これからどうなるんだ、俺？

胃薬、多めに必要だな

誰か抱き枕を手に入れよう、マナだけじゃ足りそうにない。

## 5D's 終話【敗者の末路】（後書き）

ぶっちゃけ、何を書けばいいのかわかりません  
ネタバレの回なので何を書けば……

ツイッターであけておめでとう  
<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
後で言います。

## 101話【ジェネックス大会開始】（前書き）

「今日の最強カードは……これ！」

サイバー・ダーク・エッジ、攻撃力、守備力共に800

墓地のLV4以下のドラゴン族モンスターを装備して、攻撃力アップ  
ダイレクトアタック  
攻撃力を半分にして、直接攻撃ができるよ！」

ちなみに原作効果です

レイ玲で続けて欲しいという声があったので

今日の最強カードという題名で、レイにしてもらいました

ただし、玲は口調の関係上登場できません

今後も続けるべき？ もう要らない？

ただし後書きには書きません、前書きに書きます。

今回から新章、ジェネックス大会編です

これは……長くなりそうです

どうなる事やら……

しかし、正月の元旦なのに回覧数が凄い……

みんな何をしてるんですかね？

ちなみに作者、24時間家に籠もっていました。

次回はそこそこ、ある程度考えは纏まっているので  
時間が有れば大丈夫でしょう。

## 101話【ジェネックス大会開始】

視点 瑞貴

明日香を追いつ出した翌日

当然と言えば当然だが、明日香が来た  
しかし、白い制服を着て……

「おはよう瑞貴」

「明日香さん……その制服は？」

どう見ても光の結社とかいう奴らの制服だな  
だが……

「明日香、遊んでないでさっさとその制服を脱げ  
止めないと今後、一切泊めないぞ」

「……分かったわよ」

こいつは単に制服を着ただけだ  
全く洗脳されてない、俺には分かる  
目が正気だったからな。

「え？」

明日香さんって洗脳されてたんじゃ……あれ？」

「レイ、私は正気よ」

昨日の事が悔しかったからちよつと瑞貴を騙そうと思ったんだけど……

どうして分かるのよ、せっかくもえから強引に借りてきたのに」

強引は借りるとは言わん、奪ったのかよ……後で返しておけよ？

あいつは一応、白になっているんだからな  
制服を着てなくて何か有ったらどうする？

「俺の妹は？」

その言葉で悟った2人

そりゃ分かるだろ。

「玲ちゃんね……」

瑞貴を相手にこういう騙しは通用しないか  
着替えるから少し部屋から出てくれない？」

「……ったく」

仕方無く俺は部屋から出る

何だかんだで制服も置いているからな……

部屋に私物を置く事を禁止した方が良いか？

その後、明日香は元のブルー制服を着て出てきた  
白よりそっちの制服の方が似合うぞ。

………

………

………



数日後、特に何も無かったが……メールが入っていた  
誰からかと思えば……なんだ、地獄か  
少々話がしたいね、時間は夜中か。

今は夕方だし、夜中だったらレイは寝てるか  
今日は少し早めに寝るように言えば良いかな？

問題が有るとすれば……

そう思った時、ノック音がする

来たか、問題の元凶。

「こんばんは瑞貴

今日も泊めてね」

明日香……結局最初の1日しかブルー寮で寝なかったな  
部屋である程度時間を潰したり、女子寮で食事は取っているみたい  
だが

寝る時になると必ずこの部屋に来る。

そんなに俺の部屋で寝たいのか？

レイやマナと寝るのがそんなに好きか？

まあ、邪魔してこないからいいけどさ……

明日香が居るとレイやマナも喜ぶから好きにさせるか  
もう住ませないけどな。

相変わらず適当に過ごして夜

毎回の如く、マナがレイとの勝負に負けている

マナの勝率は既にそれなりの回数をしているのに0%  
レイは抱き枕の権限を得ているが……俺から止めた。

拗ねられたが無視  
地獄と話さないといけないんでな  
さて……2人共寝たし、地獄に連絡するかな。

視点 明日香

瑞貴がレイの抱き枕を断る

それは何かをしようと企んでいるからでしょうね  
前もそうだったものの、可能性は高いわ。

また寝たふりをし、瑞貴が動き出すのを待つ  
今夜は何をするつもりなのかしら？

暫く待つと、誰かと通信をしているみたい  
誰が相手かしら？

「よう、何の用だ？」

『久しいな堅守』

聞き覚えの有る声が聞こえた  
下を見てみると……亮じゃない！

この2人に付き合いつてまだ続いていたの！？

『鮫島師範……いや、鮫島校長の企画を教えてやろうと思ってな』

「校長の企画？」

「というか、師範だと？」

今は確かどこかに行っているのよね、校長先生  
どこに行っているのやら……

それにしても、瑞貴と同じ事を思ったわ

鮫島校長が師範ってどういう意味かしら？

師範という事は何かの師匠とかだったの？

『鮫島校長は俺のサイバー流道場の師範だ

まあ、そんな事はどうでも良い

近い内に、その学園で世界大会が開かれるらしい』

「……世界大会だと？」

そんな事を考えていたのね……

でも、亮がどうしてそんな事を？

『ここ数ヶ月、世界を渡り歩いていたらしい

俺にその大会に出場してくれと、このメダルを渡された』

亮が画面に映したのはGXと描かれている銀のメダル

出場資格みたいな物かしら？

『決闘<sup>デュエル</sup>学校やプロ組織とかに行っていたらしい

デュエル・アカデミアに、強豪やプロが何人も行くだろうな』

「また面倒そうになる事を……

あの校長の道楽にも困ったものだ」

あんまり言わないの、その気持ちも分かるけど  
校長先生、何を考えてそんな事をするのかしら？

『さすがに目的までは分からない  
だが、俺は試したい事が有るのでな  
その大会に出場するつもりだ』

「試したい事？」

何を試すのかしら？  
誰かと決闘デュエルをしたいとか？

『俺は新しく、サイバー流裏デッキを手に入れた  
明らかに表より弱く思えるようなデッキだが、使ってみようと思っ  
てな

改造するにも、お前との意見交換もしてみたい  
その実験台に誰かと戦おうと思ったんだ』

……裏の方が表より弱いよね

瑞貴とのデッキ相談か……またあの喧嘩モロクロをするのかしら？

白黒兄さんと会わせないようにしないと  
またあの下らない喧嘩は見たく無いわ。

「意見交換は構わんが……裏デッキか  
それはサイバー・ダーク達か？」

知ってるの！？

『ほう……知っていたか、その通りだ

サイバー・ダーク・キール、サイバー・ダーク・エッジ、サイバー・ダーク・ホーン

この3体を中心としたデッキだ  
知っているのなら、こいつらと相性の良いカードも分かるだろう?』

「まあな

欲しいのなら売ってもいいぞ  
応相談だな」

『構わん、既にプロで30連勝中だ

金もそれなりに貯まってきたるのでな  
余程高くない限り、一括払いぐらいできる』

30連勝中……さすが亮ね

プロランクは既に15位まで上がっている  
あのエンド・フェニックスは現在は32連勝でトップ10位入り  
亮は一気に行きすぎてちよつとランキングが低いのよね……

それにしても、毎月何戦してるのよ?  
プロになってから1年も経たずでこの成績  
凄まじい速度と連勝記録でかなりの注目よ。

「詳しい事は会ってからだな

大会の報告に感謝する

いつから始めるか知っているか?」

『ああ、明日だ』

明日!? 早すぎない!?

亮の連絡も凄く遅いし!

「……遅すぎるだろ」

『仕方無かろう』

俺だって知ったのは今日なんだ  
早く知れただけマシだと思え』

「まあそうなんだが……」

色々考える事ができるだけ良いか  
知っているとは知らないではかなりの差だからな」

プロやアマが入り交じった大会か……楽しそうね  
どんな人達が出てくるのか気になるわ。

「そんな大会なんだ、数日規模でするんだろうな  
お前は何日ぐらいしたら来る予定だ？」

『初日は無理だ、その翌日に試合を組んでいるのでな  
開始して4、5日目辺りに行くつもりだ』

「分かった、待っているぞ」

瑞貴は亮との通信を切る

大会……どんな事になるのかしら？

「……つたく、あの道楽校長め

ただでさえ白板や白共の件で面倒になっているのに

これ以上厄介事を増やさなくてくれよな

サイバー流の師範という事は決闘デュエルもできるはず

1回叩きのめしてやろうか……」

瑞貴はやっぱり嫌よね……そういうのでも、校長先生に手を出すのは止めなさい  
退学になっても知らないわよ？

……あの校長先生なら絶対にしない気がするけど  
停学にもならないんじゃないかしら？  
どれだけ酷くても軽いお説教じゃ……

「出たくないな……どうやってサボるか  
それとも逃げるか？」

父親が危ないと言って……どこに居るかは知らんが」

いや、それは止めなさい

母子家庭という事ぐらい生徒資料とかに載ってるでしょ  
許しそうな校長先生だけど、騙すのは止めましょう。

「仕方無い、詳しい事はまた後で考えるか  
寝よう、馬鹿馬鹿しくて疲れた」

瑞貴がこちらに来そうだったので布団に潜る  
音を立てないようにして、静かに……

「ん？ 寝相か？」

明日香は時々寝相が悪いな  
本当は起きてたりして……無いか」

大正解！ だけど言わないわよ！  
もし言ったら何を言われるか！

「……今日はいいや  
今は寝たい」

瑞貴が布団に潜ったような気配がする  
大丈夫よね？　大丈夫よね？

……何も無さそうね  
少しだけ布団を上げて周りを見てみる。

「よう明日香、本当に起きてるとは思わなかったぞ」

そこには素敵な笑みを浮かべた瑞貴が居た  
だけど、顔だけの笑顔で雰囲気で怒っているのがよく分かるわ。

「ちょっと下に来い  
俺を騙すとは良い度胸だ」

これはちよつと……私、終わった？

視点　レイ

んう……なんか話し声が聞こえる  
誰の声え？

起きて部屋を見渡してみると……  
正座をして怒られている明日香さん  
そしてその前に椅子に座って怒っている瑞貴さんが居た。



明日香さん、何をしたの？

「あの……おはよう」

「起きたのねレイ、おはよう」

ボクに挨拶している余裕が有るの？

ほら、瑞貴さんが明日香さんの足を触ろうと……

「つつつつ!!!!」

なんとか声は抑えてたけど、痺れてるみたい  
大丈夫かな？ その辛さはよく分かるよ。

「よそ見をするとは余裕だな明日香  
おはようレイ、今は明日香をちよつと叱り中だ」

凄く良い笑顔を見せてくれる瑞貴さん  
だけど、その顔は全く笑っていない  
明日香さん、何をしたの？

「そうか……もう朝だな

さて、朝飯を食いにでも行くか

明日香、お前はさっさと着替えて出ろよ」

瑞貴さんはそう言って外に出て行った

足の痺れで呻いている明日香さんを無視して……

「わ、わかつ……って、居ない？」

「瑞貴さん、もう行ったよ？」

がっくりと落ち込む明日香さん  
力尽きたって感じ。

「私の……苦労は何だったの？」

本当、何をしたんだろう？  
大丈夫かな？

「明日香さん、着替えないともっと……」

「さっさと着替えるわよレイ  
早くしないとピイツ！」

そう言って立ち上がるけど、足の痺れを忘れていた  
鳥のような声を上げて転けてしまう  
……大丈夫かな？

「ふっふふふ……瑞貴、覚えておきなさいよ  
必ず仕返しをしてやるわ……」

「止めておいた方が良くと思うけど……  
絶対に何か更なる仕返しをされると思うし」

借金をしている立場の明日香さんは瑞貴さんに勝てるはずが無いし  
諦めた方が良く思うよ？  
ボクだったらすぐに諦める、だって何を言っても加減してくれない  
し。

それに、どうやって仕返しするの？  
瑞貴さんに説教なんて殆どできないよ  
立場的な問題で。

「……とりあえず着替えましょうか？」

「うん、それが良いと思う」

明日香さんはさっさと諦め、着替え始める  
ボクも着替える  
これ以上瑞貴さんを待たせたら悪いし。

………

………

……

朝、突然の朝礼の知らせが届いた  
何が有ったのかな？

「何か事件でも起こったのかな？」

「事件と言えば事件ね」

明日香さん、知ってるの？

「校長が帰ってきたんだよ  
それで突然の朝礼だ」

校長先生か……入学式ぐらいでしか記憶に無いなあ

どんな人だっけ？  
うーん……忘れた！

「しかも、かなりの面倒事を持って帰って来やがった俺、さっさと帰って寝ようかな……」

「駄目に決まってるでしょ  
瑞貴が出ないんだったら楽しみが減るじゃない  
せっかくなんだから楽しんだら？」

2人共知ってるんだ……ボクだけ仲間外れ  
何だか嫌だなあ。

「どうして2人だけ知ってるの？  
他の人達は何も知らないみたいだったのに」

「俺にはちょっとした情報源が有ってな  
明日香はそいつとの会話を盗み聞きしやがったんだ  
今朝のアレはそれが原因だ」

盗み聞きって……それは怒られるよ明日香さん  
朝までしてたって事は、大事な話だったのかな？  
説教をされないんだったら仲間外れでもいいや  
ちょっと寂しいけど……

「面倒事って何？」

「この学園で大会を開くんだとよ  
プロやアマチュア、他の学園の実力者達  
他にも色んな奴らが集められるらしい

俺も詳しくは知らないんだがな」

それって……凄く大きい大会なんじゃないかな？  
この学園でそんな事をするの？  
確かに広さから考えたらそれぐらいできそうだけど……

「出場者にはGXと描かれているメダルが渡されるらしい  
それが参加資格だろうな  
成績とかが影響するかどうかは知らん」

「でも、こういう大会だったら影響するんじゃないかしら？  
多少なりともね  
私はどっちでも良いわ、あまり関係無いし」

明日香さん、成績良いもんね  
ボクは微妙なんだけど……  
でも中の上にはなってるんだよ！

……一般成績は下の中だけど  
大丈夫、十代さんや丸藤先輩には勝ってるから！  
多分……でも、あの2人に成績で負けるのは嫌！  
学年が違うから成績は別だけど……

ちなみに明日香さんの成績は学年でも上の上  
瑞貴さんも同じく上の上らしい。

一般成績では明日香さんは上の上の中辺り  
瑞貴さんは上の上の上、明日香さんよりも上  
ただし、体育の成績は明日香さんの方が上  
瑞貴さん、運動嫌いだから……できるけど。

ついでに言うとか彰子さんは上の中

ゆまさんは中の下、雪乃さんは上の上

ゆまさんにしか勝てない……

でも、ボクに負けるゆまさんは問題だと思う。

一般成績では彰子さんが中の下

ゆまさんは下の上、雪乃さんは上の下

これはみんなの中でボクが最低

彰子さんが低いのはちょっと予想外だったかも。

ボクとしては勝ち残れる自信がそこそこな

だから成績に関係してくれると嬉しいかも

これで多少は……多少は良くなないと瑞貴さんに怒られる！

「まあ、詳しい話はこの後で話されるだろう

先に覚悟を決められるだけ、俺達はマシだ

他の奴らなんて突然言われて突然の開始だしな」

そう言われて見ればそうか

先に頑張ろうって思えるから良いね

うん、頑張ろうっと！

………

………

………

以下省略、校長先生の話は飛ばす

ジェネレーションネクストNO1を決める為の決闘<sup>デュエル</sup>  
名付けてジェネックス大会だって

ところで、ジェネレーションネクストって何？

「なんだか大変な事になったわね」

「分かっていた事だ

俺が戦おうとすると大抵逃げ出すだろ

そうになると俺は楽で助かる、1日1回の義務なんて無視してやるよ」

「開始早々、それは酷いんじゃない……」

でも、瑞貴さんだったら本当に無視しそう

この大会、やっぱり上位に入りたいなあ。

「1日1回、最初に挑まれた決闘は断れないらしいわ  
デュエル  
無いと思うけど、挑戦されたらどうするつもり？」

「聞かなかった事にして無視する

これは断りじゃない、無視だからな」

それは絶対に反則、相手が怒るよ？

……そっか、最初は瑞貴さんは断れないんだよね？  
だったら早速……」

「明日香、レイ」

っと、言う前に呼ばれちゃった

何だろう？

「「何？」」

「メダル獲得、ノルマ100枚  
達成したらご褒美進呈

失敗したら罰ゲームとして……ふふふふ」

言わなくて良かった！

もし瑞貴さんに挑んで負けてたらどうなっていたか！

明日香さんの顔も引き攣っていた  
ボクと同じ事も考えていたみたい。

「メダルを300枚集めたらご褒美追加  
最低でも50枚獲得で罰ゲーム回避にしてやる」

1日1回、メダルを全部賭ける  
毎日1回は戦っているという事は、それだけ数が倍になっている事  
だよな？

単純計算で、7日で64枚になって8日目には128枚か……

普通に戦っても簡単そうだけど  
でも、瑞貴さんみたいに戦いたがらない人も居るはずだし  
そうになったらこんな単純計算にはならないよねえ……

ここは自分から積極的に相手を倒していかないと駄目かな  
最低でも50枚は絶対だね  
頑張らないと！

「それでお前ら、俺に決闘を挑むか？」  
デュエル

「止めておくわ  
最低でもノルマ達成をしてからにしておく」



負けて罰ゲームなんて嫌だもの」

「ボクも同じく、明日香さんに同意するね  
怒られたくないもん」

「そうそう、それで良いんだ  
さて、俺は先に寮に帰るかな  
挑まれたら叩き潰してやろう」

なんだか怖い笑いをしながら帰って行く瑞貴さん  
……今の瑞貴さんに挑んだ人、ご愁傷様  
運が悪かったと思って諦めてね。

「ボクはちよつと適当に回って色んな人を狩ってみるね  
明日香さんはどうするの？」

「私？」

私は……そうね、私も適当に回って狩っていかうかしら  
私は学園内の決闘場を縄張りにしようかな」  
デュエルフィールド

「ならボクはイエロー寮辺りにでも行こうかな……  
あそこだったらレッド生徒やイエロー生徒が多そうだし」

お互いに自分の居る場所を教え合っておく  
これは何か有った時にお互いの場所に行ける為  
帰ろうと思ったら相手の場所に向かって帰るように言えればいいもん。

明日香さんは先に決闘場デュエルフィールドに向かって行った  
ボクも移動しようと思った時、正面に彰子さん達を見つけた。

「彰子さん、ゆまさん、雪乃さん  
みんなおはよう」

「レイちゃん、おはよう」

「おっはよーレイオン！」

「おはようレイ

私達はこれからどうしようか話していた所よ」

「そうなんだ

でもゆまさん、レイオンは止めて？」

レイオンってなんだか嫌

何回聞いても嫌、でも止めないゆまさんだから諦めてる。

「ボクはイエロー寮辺りに行こうと思ってるんだ  
みんなはどうするの？」

「私は……湖とかかな？」

「私は崖トかに行こうと思ってる！」

「そうね……なら私は橋辺りに行こうかしら？」

みんなバラバラの場所

でも、場所を知れたからいいか。

「あのね、瑞貴さんがノルマ100枚だって  
達成したらご褒美進呈、50枚以下で罰ゲーム

300枚以上で更にご褒美をくれるって言ったよ」

3人に当て嵌まるとは聞いてないけど  
後で瑞貴さんに言っておこうと  
みんな頑張るようにそう言ったって  
もし達成できたらご褒美をって……怒られないと良いなあ。

「堅守先輩が……私はあまり戦いたくないんだけど  
でも、50枚は最低でも……頑張らないと」

「300枚でご褒美増加かあ……うんっ！  
絶対に手に入れるぞぉー！」

「罰ゲーム……」

（受けたいような、受けたくないような  
受けたら確実にアウトな気がするわ  
受けないように注意しないと……目標はとりあえず100枚ね）」

みんな真剣な顔になった  
ライバルは増えたけど、頑張っしてほしいもん  
みんな負けないといいなあ。

視点 瑞貴

さて、どうするかな  
大会なんて俺は絶対に嫌だ  
受けるなんてとてもじゃないが……

とりあえず褒美の件はレイが雪兎達にも伝えただろう  
友達だしな、レイなら頑張ってくれたらとか思いそうだ  
それぐらい計算してる

どうせ後でみんなにもご褒美をとか言って来そうだ。

カミューラの部屋をノックする

この時間だと……

「はい、どなた……瑞貴か

この時間だと、まだ授業中ではないのか？」

美寿知は居る

美寿知はこの部屋にほぼずっと籠もっている

俺がそうするように言ったんだがな。

だが、美寿知自身もどうすれば良いかと悩んでいたらしい  
食事はカミューラが持ってきてくれるので問題無い

昼飯は俺かレイ、明日香が購買部から買って持ってきている。

……しまった、今日の分を買ってないぞ

仕方無い、明日香かレイにでも言言って買ってこさせるか。

「今日は色々と有って授業は潰れた

暫くの期間はそんな状態だろうな

とりあえず入って良いか？」

「構わないぞ

カミューラは寝ているがな」

美寿知に案内されて部屋に入る  
相変わらず悪趣味な部屋だ……俺は好きだが。

なお、美寿知とカミューラはそれなりに趣味が合うらしい  
美寿知はカミューラの古い道具に興味を示しているとか  
逆にカミューラは美寿知の力や特異性に興味を持っている。

美寿知は人外が居る事で俺の言うことを更に信じてくれた  
主に、自分の能力を気にしないという発言の事だ  
マナ……つまり精霊を見せたらもっと喜んだ  
自分も認められているとでも感じたんだろうか？

カミューラは人間が能力を持っている事が気になったらしい  
魔女狩り時代に生きていたからな、魔法などのオカルトが盛んだった  
この時代にも居るといいう事が美寿知を部屋に受け入れる気になった  
理由だ

占いなど、過去の道具にも興味を示すのも嬉しいそうだ。

「それで瑞貴、どのような用だ？」

「その前にマナ、お前も出てこい」

俺の言葉にマナが現れる

自分と呼んだ理由が分からないらしい。

「お前らに見せたいのはこのメダルだ」

俺が見せたのはジェネックス参加メダル

マナは知ってるだろうが、美寿知は知らないか  
かなり不思議そうな顔をして……ってマナ、お前もか？

「そのメダルは？」

「これは簡単に言えばこの学園で開かれる大会の出場資格だ  
この学園の生徒、後々来るであろうプロなどが混じった大会らしい  
俺の用はこの大会に……どちらか参加しないと訊きに来た」

「私達が！？」

案の定、驚く2人  
理由も有るんだぞ？

「美寿知を表に出す理由は簡単だ  
そろそろ出て、斎王琢磨にお前の存在を見せる為  
いつまでも隠し通せる事じゃないからな」

「そうか……いよいよ私も表に出るのか  
しかし、どちらかなのだろう？」

「ああ、マナはもっと簡単だ  
俺は出る気が無い、代わりに表に出て遊びたいだろ？  
羽目を外して好き勝手してきても構わない  
そんな訳だ、勿論着替えてもらうがな」

「本当ですか！  
やったー！ 外で思いっきり決闘デュエルできるんだー！」

嬉しそうにするマナ  
だが、問題が1つ。

「しかしメダルは1つ

更に言うと、俺の代わりに出るという事は……

お前らの成績が俺の成績となるという訳だ

負けられると少々困る、今まで1VS1で負け無しだからな

この記録を破られるのは……別に構わないが少し嫌だ」

プロとかが相手ならともかく、生徒にやられるのはちょっと……

それだけがネックかな。

「プロとか、外の連中に負けるのは構わない

だが生徒にだけは負けるのは許さない

これが大会を代わってやる条件だ」

真剣な顔になる2人

俺としては面倒事が回避できるんだったら黒星が付いても構わないんだよな

少し嫌なぐらいだし。

「そうだな、私は止めておこう

マナ、そなたに権利を譲る」

美寿知がマナに権利を譲った

俺はどっちでも良いんだがな。

「え？ 良いの？

美寿知さんは殆ど外に出てないんだし  
外に出る良い機会で切欠になるんじゃない……」

「私が表に出る機会など幾らでも有る  
しかし、そなたの場合は違うだろう？」

何故なら完全な部外者が現れるのだからな」

いや、お前も完全な部外者だぞ？

単純に白板の兄妹という以外は全部。

「……ありがとう美寿知さん

私、頑張って勝ち残るね！」

マナが出場か

さて、美寿知のお披露目はどうするかなつと  
また新しい機会を考えるか。

「瑞貴、私の事で悩んでるのではないか？」

「よく分かったな、大正解だ」

「……すまぬ、私を外に出す為でも有ったのだろう？

だが、マナが外に出られる数少ない機会だ  
だから……な」

申し訳なさそうにする美寿知

俺は気にしてないというのに……

「気にするな美寿知、俺はどちらでも良かった

でなければ2人に言わず、美寿知だけに言っていた  
確かに新しくお前を外に出す事を考えるが、それだけだ

これぐらい別に苦労にならない、良い機会をまた考えるさ」

「すまぬな」



「だから気にするなと……」

俺としては逆に、お前を外に出してやれなくて悪いと思ってる  
もっと自由にしたいだろうが……悪いが我慢してくれ」

「いや、そなたこそ気にするな

兄と止める為に動いてくれているのだ

私が外に出れない事ぐらい、安いものだ」

……健気だねえ、本当に兄が大事なんだな

利用じゃなく、同情から救いたくなりそうだ

俺も兄だからなあ……

「悪いな美寿知

必ず、早く外に出られるようにする」

「ああ、待っているぞ」

その後、少し雑談をしてカミューラの部屋から出る  
俺は部屋でのんびりとしておくか。

スパイのその2、表で動く明日香達の連絡

校長室の盗聴である程度の事態は把握できるし

みんな頑張れよ、俺は楽をしておくから。

さて……面倒事も押し付けられたし

昼寝でもしてのんびりとしよう

じゃ、お前ら全員頑張れよ

俺は高みの見物をしてるからさ。

## 101話【ジェネックス大会開始】（後書き）

明日香ってばお茶目さん

驚いた人、残念ながら騙されました

明日香は完全に正気です。

明日香……変わってないんだ

相変わらず泊まりに来てます

しかし住んでいないので約束は守っています  
それでもかなり微妙ですが……

マナ……相変わらず勝率が0なんだ

そのようです

負けすぎだろ……それともレイが強すぎる？

亮の裏への辛口が……

今の実力なら仕方無いでしょう

元々、サイバー・ダークはパワー不足ですし。

プロで30連勝中！？

一気に駆け上がっています

本当に15位まで上がれるかどうかは不明

作者としてはそれぐらいしても良いんじゃないかと

あの世界の基準が謎なのでなんとも言えませんが。

成績って……

作者の想像です、本気にしないでください

瑞貴は……頭はそれなりです

だから尚のこと嫌われるんですけど……

100枚とか300枚とかできるの？

アニメで途中経過を校長が観ているシーンがありました  
そこで万丈目が130数枚、明日香が100枚と……  
ならばそれぐらいできると思います。

代わりとかできるのかな？

不明、まあ良いんじゃないですか？

デュエルディスク  
瑞貴の決闘盤を使って瑞貴の決闘だと認識させるとか  
それでもできそうなあの世界が怖い……

マナが出るのか！

出ます、そして決闘をマナがします  
デュエル

暫くはマナが思いつき決闘をします  
デュエル

いったい何話ぶりなんでしょうね？

ツイッターでハリケーン

[http://twitter.com/#!/ain\\_kuria](http://twitter.com/#!/ain_kuria)  
意味不明ですね。

## 102話【1日目?】（前書き）

「今日の最強カードはこれ！」

ジュラシック・インパクト、罠カードだね

自分のライフが相手より少ない時、モンスターを全滅させるよ

破壊したモンスターの数×1000ポイントのダメージをコントローラーに与えるの

おまけにお互いに1ターンの間召喚、特殊召喚ができない、強いカードだね！」

使い分けが難しい……ちなみにマナです

アニメオリジナルカードのジュラシック・インパクトでした

これだけで登場キャラがよく分かる……

今回は超遅刻しました

後書きにこんなに時間が掛かるとは……

タイトルが単純？

考えるのが大変なんですよ

あの大会って何日ぐらいしてるんですかね？

半月ぐらいしてそうな勢いなんですけど……

ややこしいので、この作品では15日ぐらいという形を取ろうと思っています

可能性としては、今月はずっとこのジェネックス大会をしそうです。

ちなみに15日の根拠ですが

途中経過のシーンが有ったのですが、翔は積極的に戦わない人間  
そして戦闘数は9回、よって最低でも10日

白明日香と戦う時など、更に日数を考えれば1ヶ月ぐらい有りそうでも長いので15日ぐらいかな？

という感じです。

初詣、皆さん行きましたか？

作者は面倒になって行くのを止めました、面倒だったので。

今回はちょっと詰め込みました

正直、こんな事ぐらいしかできませんしね。

今回は補正入っていきそうです

しかし……性格を改変しているつもりは自分ではあまりありません  
こんな感じだという印象なんで……気を悪くしたならごめんなさい。

次回は何をしようかな……ちょっと悩みます

誰と誰を戦わせるとか、色々……

## 102話【1日目?】

視点 マナ

明日香さんから貰ったブルー女子の制服を着てつと  
うん、これで大丈夫！  
もつとばれないように髪を括ろつと  
お揃いでポニーテール、これで良し！

これだけすれば私がブラック・マジシャン・ガールだって気付かれ  
ない！

服装が違う、髪型が違う

うーん……伊達眼鏡もしよっかな？

後はニーソックスも穿いてつと……オツケー！

最後にデッキを、あの人から借りた決闘盤にセツト  
これで準備良し、いつでも出れる！

部屋から出て、最初に見た人と決闘！  
デュエル

誰が見えるかなつと、ん？

早速発見！ あの人と戦おうつと！

「その……えっと、水色の髪の人！  
私と決闘しましょう！」  
デュエル

「ええ！？ 僕と！？

うわぁ、ブルーの人だし最初だし……どうしよう  
ルールで断れないよ……」

あ、断れないんだ  
ラッキー、誰でも良かったんだけど幸先良いかも！  
絶対に負けないぞ！

「ならお願いね」

あ、名前どうしよう  
学園祭でマナって名乗ってるし  
うーんと……えっと……ごめんなさい、借ります！

「私はマハードよ  
貴方の名前は？」

「う……僕は丸藤翔」

そういえばどこかで見たような……どこだっけ？  
ま、どこでもいっつか！

「じゃ、お願いしまーす！」

「う……お願いします」

デュエル 「決闘！」 デュエル 「決闘……」

なんだか元気が無いなあ……どうしたのかな？  
デュエル 決闘は楽しくしないと！  
あまり楽しくないかもしれないけどね。

「先攻は私、ドロー！」

あ、良い手札かも！

これならどうにかなりそう。

「私は魔導獣<sup>マジックビースト</sup>ケルベロスを召喚！

更に魔法カード、テラ・フォーミングを発動！

デッキからフィールド魔法を手札に加えます

私はデッキからフィールド魔法……魔法族の里を手札に加えます！」

「いきなりフィールド魔法！？」

そんなに驚くような事かな？

これぐらい普通でしょ？

だってフィールド魔法って基本だもん。

「そしてケルベロスの効果を発動

このモンスターは魔法カードが発動される度に魔力カウンターを1つ乗せます

そして魔力カウンターの数×500ポイント攻撃力がアップ！

更にフィールド魔法、魔法族の里を発動ー！」

辺りが神聖なる木に覆われた里になる

やっぱりこの里って気持ちいいなあ……気分が安らぐって感じかな？  
自然って大切だと思う！

「魔法族の里の効果発動！

私の場に魔法使い族モンスターが存在している時  
相手は魔法カードを発動できません！」

「ええええええ！！！」



いきなり魔法カードを封じてきたあ!？」

「ただし、私の場に魔法使い族モンスターが存在しなかった場合  
逆に私だけが魔法カードと使えないの

魔法カードを使いたいんだったら魔法使い族モンスターを召喚するか  
私の魔法使い族モンスターを倒さないかね」

「僕のデッキには機械族モンスターしか無いのに……  
そんなの無理だよお……」

ええええええ!？」

自分のデッキを自分で全部言っちゃった!？  
この子何を考えてるの!？」

「えっと……魔法カードを発動したからケルベロスに魔力カウンタ  
ーが1つ乗るよ  
攻撃力が更に500ポイントアップ、カードを2枚伏せて、ターン  
エンドだよ」

機械族デッキかあ……どんなのを使うのかな？

「僕のターン、ドロ……」

元気が無いし、やる気も無い  
全然楽しくない、つまんない……  
早く終わらせて早く次の相手を探そつと。

「……よし、サブマリンロイドを召喚!  
このモンスターはダイレクトアタック直接攻撃ができる  
サブマリンロイドでダイレクトアタック直接攻撃!」

サブマリンロイドが地中に潜り、魚雷を飛ばしてくる  
ダメージは少ないけど、ダイレクトアタック直接攻撃は痛かったなあ  
あ、すまなそうにしないでいいよサブマリンロイド  
私はあまり気にしてないから。

「サブマリンロイドは攻撃終了後、守備表示となる！  
カードを2枚セットして、ターンエンドだ！」

もう、急に元気になっちゃって  
1回攻撃が通っただけだよ、分かってるの？

「私のターン、ドロー！  
クルセイダー・オブ・エンディミオンを召喚するよ」

「げえ！ サブマリンロイドの守備力1800を越える  
攻撃力1900のモンスター！？」

そ、そんなに驚くような事？  
魔法使い族モンスターは下級でも攻撃力が高いんだよ？  
戦士族モンスターよりも攻撃力が高いモンスターが多いんだから。

「クルセイダー・オブ・エンディミオンでサブマリンロイドに攻撃  
！」

「罨カード発動！ スーパーチャージ！  
機械族モンスターが攻撃対象になった時、デッキからカードを2枚  
ドローする！」

「させない、永続罨発動！ 王宮のお触れ！

このカード以外の罠カードの効果を無効にする！」

「えええ！　また封じるカード！？」

これで魔法と罠を封じたよ！

やっぱりあの人と一緒に作ったロックデッキは強いかな  
しかも……ねえ？

「これでドローはできない！

クルセイダー・オブ・エンディミオンの攻撃を続行！」

サブマリンロイドを撃破

いや、最後まで謝らなくていいって

私は本当に気にしてないんだから。

「そしてケルベロスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「うわあああああ！」

ケルベロスの出すブレスを浴びる……なんだっけ？

水色君でいいや、水色君は焦ってる。

私の出すモンスターって半分ぐらい実体化しちゃうんだよね  
やっぱり精霊の私が使ってるからかな？

ちょっと魔力を貸してあげたら実体化できそう。

だからちょっと本当に熱そうなんだね

あのブレス、光属性だから多かれ少なかれ熱を含んでるし  
そしてケルベロスの魔力カウンターは2個

攻撃力は2400だったから残りライフは1600だね。

こら、ケルベロス！

そんなに食べようとしのないの  
人間を食べたら私が怒られるでしょ！

「ぐるる……」

うん、落ち着いてくれてありがと  
あんまり酷い事をしたら駄目よ？  
威嚇したり吠えるのはいいけど。

「がぁう！」

よしよし、分かってくれてありがとね  
終わったら撫で撫でしてあげるね。

「ケルベロスの効果発動

このモンスターが攻撃をしたバトルフェイズ終了時  
自身に乗っている魔力カウンターは全て取り除かれる  
これでターンエンドよ」

なんだか覇気が無くなってる

もしかしてケルベロスに怯えたとかかな？

「ぼ、僕のターン、ドロー

……よし、スチームロイドを召喚！」

また元気になった

調子良いなあ……

「スチームロイドでケルベロスに攻撃！」

「あ、速攻魔法を発動するね、月の書を発動  
モンスター1体を裏側守備表示にする

私はスチームロイドの表示形式を変更するね  
魔法カードを使ったから魔力カウンターがケルベロスに乗り  
ケルベロスの攻撃力が500ポイントアップ」

「そ、そんな!？」

やっぱり言う通りだったなあ……

魔法や罫を封じたら残りはモンスター効果だけ  
月の書、エフェクト・シャットとかの速攻魔法がこんなに強いんだ  
凄いなあ……簡単に終わりそう。

「ぼ、僕はこれでターンエンド」

「うん、じゃあ私のターン、ドロー!  
クルセイダー・オブ・エンディミオンの効果発動!  
召喚権を使用し、このモンスターをもう1回召喚するよ!」

「召喚してるのにもう1回召喚!?  
どんな効果ツスカ!？」

あ、もしかしてデュアルモンスターを知らないのかな?  
みんな強いのに……勿体ないなあ。

「こういうモンスターはデュアルモンスターって言うの  
場と墓地では通常モンスターだけど、もう1回召喚して効果を持つ  
そしてこの子の効果はね、魔力カウンターを乗せられるカードに魔

力カウンターを1個乗せる

乗せた時、このモンスターの攻撃力が600ポイントアップする  
これでクルセイダー・オブ・エンディミオンの攻撃力は2500  
そして魔力カウンターを乗せたのはケルベロス、よって攻撃力が5  
00ポイントアップ  
ケルベロスの攻撃力は合計で2400になったね」

あ、そういえば相手を圧倒的に倒せるならオーバーキルをするように  
言われたっけ

この手札だと……うん、これが良いかな？

「魔法カード、デュアル・サモン二重召喚を発動！

このターン、もう1回だけ通常召喚ができる

私は手札から見習い魔術師を召喚し、効果を発動するね

見習い魔術師の召喚に成功した時

魔力カウンターを乗せられるモンスター1体に魔力カウンターを1  
個乗せるの

私はケルベロスに魔力カウンターを乗せるね」

デュアル・サモン二重召喚も含めて攻撃力が更に1000ポイントアップ

次で最後だからあんまり怯えないでね？

「魔法カード、魔力掌握を発動！

場の魔力カウンターを乗せられるモンスター1体に魔力カウンター  
を1個乗せる

私はケルベロスに魔力カウンターを1個乗せて、魔力掌握のもう1  
個の効果を発動

デッキから魔力掌握を手札に加える

でも、魔力掌握は1ターンに1回しか使えないから手札のままね」

ケルベロスの魔力カウンターは合計で6個  
攻撃力は3000アップして、攻撃力4400！  
これでオーバーキルができる！

「いっくよー！」

クルセイダー・オブ・エンディミオンで裏側守備表示のスチームロ  
イドに攻撃！」

簡単に破壊できた！

ダイレクトアタック

これで残るは直接攻撃だけ！

私の勝ちよ！

「見習い魔術師で直接攻撃！」

ダイレクトアタック

マジックビースト

そして、魔導獣ケルベロスで直接攻撃！」

「ちょ！ それ酷いつてうわあああああああ！！！」

今、最後に何か言った？

叫び声でちょっと分かんなかったかも。

えっと、残りライフが1600だったでしょ？

見習い魔術師の攻撃力は400で、ケルベロスが4400

見習い魔術師の攻撃で残りライフは1200

ケルベロスの攻撃で……3200のオーバーキルだね！

「私の勝ちだね、メダル頂戴？」

「クッ……あんなの卑怯だよ！」

え？ どこが卑怯なのかな？

私、普通に戦っただけだよね？

「何で？」

「だって、魔法や罫を封じられたら何もできないじゃん！  
自分だけ魔法カードを使い放題なんてずるいよ！」

そんな事を言われても……そういう風に構築したデッキだもん  
何が問題なのか、私には全く分からないわ。

「その為のデッキよ？」

相手の魔法と罫を封じて、行動を制限する  
そして戦闘で勝てるようにする

これの何が悪いの？」

「強いモンスターを出してたら勝てるのなんか当たり前じゃん！」

魔法使い族はコンボが基本なんだけど……

そのコンボでの攻撃力で文句を言われても……

モンスターだけじゃなくて魔法カードとも連携してるのに  
モンスターばかり見ないでほしいかな。

「ならどうすればいいの？」

私のデッキを何の特徴も無い魔法使い族デッキにすればいいの？  
それとも魔法や罫を封じるカードを全部抜けばいいの？  
どんな戦い方が卑怯じゃないの？」

「そ、それは……」

む、何も考えて無い



それって八つ当たりじゃない？

「もう……とにかく私の勝ちよ、メダルを早く頂戴  
私は勝って勝って、あの人に褒めてもらいたいの  
だから頂戴、メダル」

水色君は渋々私にメダルを渡す

これで2個かあ……まだまだ先は長いかな  
でも、この調子で頑張ろうっと！

「じゃ、ありがとね  
また決闘デュエルしようね」

「もうやだよ！」

怒られちゃった……どうしよう？  
無視して行こつと。

視点 レイ

イエロー寮に來たけど……誰か居ないかなあつと  
あ、あの人って確か十代さんとよく一緒に居る……海刀さんだっけ？  
うろうろと辺りを探してるし、戦おうかな？

「その人、ボクと決闘デュエルしない？」

「うん？」

お前は確か万丈目の部屋に何度か出入りしてる奴  
良いドン、最初の決闘だ<sup>デュエル</sup>から断れないし  
元々断る気なんて無いザウルス！」

血の気の多い人だなあ……

なんだかこの話し方で分かるな、デッキ  
この人は多分、彰子さんと同じ恐竜族デッキ  
頑張っ<sup>て</sup>倒してみようっ<sup>と</sup>！

「覚えているか分かんないから自己紹介  
ボクの名前は早乙女レイ  
確か……海刀さんだよね？」

「剣山ザウルス！ 俺の名はティラノ剣山！  
剣と刀、山と海を間違えるな！」

「あ、ごめんね  
中途半端に覚えてたみたい  
じゃ、始めよっか？」

海刀さん改め、剣山さんが構える  
ボクもデッキをセットし、構える。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

ごめんね、新しいデッキの調整役になって  
絶対に沢山奪ってみせるから！

「ボクの先攻、ドロー！  
惑星からの物体Aを攻撃表示で召喚！」

出てくるのは紫色の変な物

これって爬虫類族だけど……生きてるのかな？  
変なモンスター。

「な……なんだドン？」

その気持ち悪いモンスターは……しかも攻撃力が0  
俺を馬鹿にしてるザウルス！？」

「してないよ……なんでそうなるの？」

更に装備魔法、ミスト・ボディを装備させるよ  
これで惑星からの物体Aは戦闘で破壊されない  
ボクはカードを2枚伏せて、ターンエンドだよ」

まあ……馬鹿にしてると思われるのは仕方ないかな？  
だって攻撃力0を攻撃表示で出したんだもの  
ボクだってそう思う。

でも、攻撃力0を攻撃表示  
しかも伏せカードが2枚も有れば警戒して攻撃しないでしょ  
絶対に罠だって分かるもんね。

「俺のターン、ドロー！  
ブラック暗黒ステゴを召喚！」

攻撃された時、守備表示になるモンスター  
でもこの人、ボクの戦い方を知らないのかな？  
万丈目先輩の時とかに見ていたと思うんだけど……

「ブラック暗黒ステゴで惑星からの物体Aに攻撃！

倒せなくても、ダメージは与えられるドン！」

……何の戸惑いも無く、普通に攻撃してきた  
何を考えて居るんだか……

「永続罠、スピリットバリアを発動！  
自分の場にモンスターが存在している限り、ボクに戦闘ダメージは  
無い！」

惑星からの物体Aに薄い膜が張られて攻撃を止められる暗黒ステゴ  
攻撃された瞬間に少し体が千切れたのか、体の一部が暗黒ステゴに  
くつつく

アレがコントロールを奪う為の何かかな？

とにかく、ダメージが無いから問題無いっ！

「ちえ……防がれたザウルス  
しかも戦闘耐性も持ってるから倒せないドン」

「バトルフェイズ終了時、惑星からの物体Aの効果が発動  
攻撃表示のこのモンスターを攻撃したモンスターのコントロールを  
得るよ

ちなみに、永続的に」

「なにい！？

ああああああ！ 俺の恐竜さんが！」

暗黒ステゴがボクの場合に移動する  
ごめんね？ でもこれがボクの戦い方だから。

「くっそお……カードを2枚伏せて、ターンエンドン」

エンドン!? エンドンって何!?

何度も言ってるドンとエンドを合体させたの!?

それにしても、伏せカードが2枚かあ……どうしようかな?  
どうせ相手のモンスターだし……いつか!

「ボクのターン、ドロー!

モンスターをセット、ブラック暗黒ステゴでダイレクトアタック直接攻撃!」

「グッ……」

何もしないで普通に受けた?

どうしたんだろう……ブラフ?

何でもいいや、ダメージはダメージなんだし。

「ボクはこれでターンエンドだよ」

「俺のターン、ドロー!

始祖鳥アーキオーニスを召喚するドン!

更に魔法カード、超進化薬・改を発ドン!」

発ドン!? 今発ドンって言った!?

元々変わった口癖なのに、そんな言い方もするんだ  
へえ……ボクは真似したくないかも。

「自分の場に存在する鳥獣族モンスターを生け贄に  
手札から恐竜族モンスターを特殊召喚するザウルス!  
アルティメットティラノ  
出る! 究極恐獣!」

うわあ……攻撃力3000のモンスター  
戦闘ダメージは受けないけど、これはちょっと怖いかも……

「究極恐獣は相手のモンスター全てに攻撃するドン！  
奪われるかもしれないけど、いつまでも相手に奪われている暗黒ス  
テゴを返して貰うザウルス！  
究極恐獣で暗黒ステゴに攻撃！」

全体攻撃なんて受けてられないよ！  
こうなったら……これでどうだ！

「罠カード発動！ スーパージュニア対決！  
相手モンスターの攻撃宣言時に発動！

その戦闘を無効にし、自分の場の守備力が最も低いモンスター  
そして相手の場の最も攻撃力が高いモンスターと戦闘を行う！  
最後にバトル終了後、バトルフェイズを強制的に終了させる！」

ボクの場で最も守備力の低いモンスター  
それは守備力500の惑星からの物体A  
相手モンスターは1体、究極恐獣  
この2体が戦闘を行う！

「……へ、そういうカードが来るのを待っていたドン！」

「ふえ？」

待ってた？  
それってどういう……

「手札から速攻魔法！ ダイノスタンプを発ドン！

恐竜族モンスターが攻撃する時、相手の魔法、罠を1枚破壊できるドン！

俺が破壊するのは……スピリットバリア！」

「あああああああ！！！！」

惑星からの物体Aの攻撃力は0！

ダイレクトアタック  
それってつまり、直接攻撃されているのと同じ！？

「いっけえ！  
アルティメットテイルノ  
究極恐獣！」

食らいつけ！ アブソリュート・バイト！」

「ううあああ！」

ダメージ3000は大きすぎる！

ちょっと油断したかも！

「だけど、戦闘を行った事で惑星からの物体Aの効果発動！  
バトルフェイズ終了時、モンスターのコントロールを得る！  
そしてスーパージュニア対決！の効果、戦闘を行ったらすぐにバトルフェイズを終了となる！」

ダメージは大きかったけど、それでもコントロールは奪えた！  
これでなんとかなる！

「……ターンエンドン」

エンドンって聞き慣れないなあ……  
止めてとかって言い難いし、我慢しよつと。

「ボクのターン、ドロー！」

モンスターを反転召喚、ワーム・リンクス！

アルティメットティラダイレクトアタック  
バトル！ 究極恐獣で直接攻撃！」

「そうはさせないザウルス！」

永続罠、琥珀の落とし穴を発ドン！

攻撃モンスターの攻撃を無効にし、守備表示に変更！

更にこのカードが存在する限り、表示形式の変更を封じるザウルス  
！」

落とし穴なのに落とし穴じゃない……別に良いけど

アルティメットティラノ  
これじゃあ究極恐獣は役立たずだね

まあいつか、好きに扱えるんだし。

「なら、ブラック暗黒ステゴとワーム・リンクスでダイレクトアタック直接攻撃！」

「ぐっくう……だけど、俺のライフはまだまだ残ってるドン！」

残りライフが1300ってまだまだなのかな？

ボクは多くはないけど少なくともないって感じだけど。

「ボクはカードを2枚伏せて、ターンエンドだよ

そしてエンドフェイズ時、リバーしたワーム・リンクスの効果発動  
お互いのエンドフェイズ時にカードを1枚ドローする」

ボクが使うデッキって必ず手札が足りなくなるんだよね  
やっぱり色々と混ぜてるからかな？

「俺のターン、ドロー！」

……へへ、いくら俺の手札が0枚だからって



その惑星からの物体Aを守備表示にしなかったのはミスだったザウルス」

……異なんだけどね、できればそれぐらい分かってほしかったなあって、さすがに分かっていると思うけど  
攻撃的な人だから戸惑わないんだろうなあ……

「俺はハイパーハンマーヘッドを召喚！

ハイパーハンマーヘッドで惑星からの物体Aに攻撃するドン！」

「罠カード、立ちはだかる強敵を発動！

相手の攻撃宣言時、相手はボクが選択したモンスターしか攻撃できない！

ボクが選択するのは究極恐獣！  
アルティメットティラノ

そして究極恐獣の守備力は2200、究極恐獣で迎撃！」  
アルティメットティラノ

反射ダメージが700、残りライフは600になる

そしてハイパーハンマーヘッドの効果……

「そんなカードを使うぐらい、予想済みだドン！

ハイパーハンマーヘッドの効果、戦闘を行ったモンスターを手札に戻す！

俺の恐竜さんは返してもらおうドン！」

「そして究極恐獣が居なくなった事で、琥珀の落とし穴が破壊される  
もう攻撃できるモンスターも居ないし、手札には究極恐獣だけだよ」  
アルティメットティラノ

「構わないドン、俺のターンはこれでターンエンドン」

どうしようかなあ……

攻撃力は勝てないし、奪うにもライフが足りない  
どうやって勝とう？

「相手のエンドフェイズ、ワーム・リンクスの効果でドロー！  
そしてボクのドローフェイズ、ドロー！」

「……毎ターンの手札補充って羨ましいザウルス」

そんな事を言われても……ワーム・リンクスって弱いから守るのが  
大変なんだよ？

しかもリバースする必要も有るから大変だし。

うん、良いカードをドローできた

攻撃力不足も、これで解消できるもんね。

「ボクは惑星からの物体Aを生け贄に捧げ、レプティレス・メデュー  
ーサを召喚！」

……うん、見た目が怖い

女の子……子かな？ まあ、女性なんだけど

髪の毛は蛇だし、下半身も太い蛇だし

強いとは思っただけど……

「……あんたの使うカード  
どれも気持ち悪かったり怖かったりするモンスターばっかザウルス  
ね」

「ほっというてよ！

レプティレス・メデューサの効果発動！

手札を1枚捨て、相手モンスター1体を選択

そのモンスターの攻撃力は0となり、表示形式の変更ができなくなる！」

「攻撃力を0……って、なにいい！？」

これがこのデッキの真の姿、レプティレスデッキ！

爬虫類族を中心とした一部違うカードが混じっているデッキ！惑星からの物体Aも相性は悪くないから入れてるよ。

だって攻撃力を0にしたモンスターが相手の場に居る時

立ちはだかる強敵とか使って惑星からの物体Aを選択する

ダメージは受けない、攻撃力0同士じゃ破壊されない

モンスターを奪えたら守備表示にするなり、効果を使うなり生け贄にするのも有りだしね……

「<sup>ブラック</sup>暗黒ステゴで攻撃力0になった  
ハイパーハンマーヘッドに攻撃！」

これが通ればボクの勝ちだ！

「こうなったら……罨カード発ドン！  
ジュラシックス・インパクト！」

相手よりも自分のライフが少ない時に発動可能！

場のモンスターを全て破壊し、破壊したモンスター1体につき  
1000ポイントのダメージをコントローラーに与えるドン！」

「そんな！？」

という事はこれじゃあ！」

「そう……俺達のライフはお互いに1000以下

この決闘、引き分けザウルス！」

って、隕石が降ってきたぁ！？

しかも全モンスターが破壊され、ボクは3000のダメージ  
剣山さんは1000のダメージを受ける！

「きゃああああ！」 「ぐうおおおお！」

お互いのライフは0……引き分けか

あーあ、悔しいなあ、もう少しで勝てたのに！

「なあ、引き分けの場合はどうなるんだドン？」

「知らない！」

もう……メダル数の変化無しで良いんじゃない？」

「だドン」

何それ……だなんて言いたいのか？

「お前、戦い方は気に入らないけど強いザウルス  
また俺と決闘してくれよ

次は絶対に俺が勝つドン！」

あ、嫌だけどまた戦いたいんだ  
でも、負けたくない気持ちはボクだって同じだよ！

「うん、でも次に勝つのはボクだよ」

差し出された手と握手する

でも左手って……喧嘩を売ってるって意味なんだよ  
それを分かってて出してるのかな？

「んじゃ、俺は行くドン  
またなあ！」

剣山さんはどっかに行っちゃった  
はあ……引き分けかあ

もうちょつと調整した方が良いかな？  
うーん、悩むなあ……

次は対策とかしてきそうだし  
となると……瑞貴さんに相談しよつと  
引き分けだから怒られないはずだし！

## 102話【1日目?】（後書き）

マナの格好が……

誰か描いてください。

マナが翔を知らない!?

忘れています。

マハードかよ!?

DM過去編のマナとマナは無関係ですが……

まあ、作者に名前のセンスなんて無いので借りました。

マナのモンスターが半実体化!?

精霊が使っている、だから可能じゃね?

という感じです、番外編でマナがカードを使ってたのはそういう理由

ただし、決闘盤が必須という条件付き

番外編でも決闘盤デュエルディスクを使っていたかつて?

使っていませんが、それはかなり先のお楽しみかもしれないですね

後付設定? どうでしょうね。

実体化できるの?

できます。

何故サラを実体化させないの?

お互いに擦れ違っています

サラはマナが実体化させられるかと質問

しかし、マナは無理と言いました

マナは何も補助無しでできるかと問われたのかと勘違い

召喚の補助が有れば可能ですが、サラは無理と言われて粘らなかつ

たので

よってお互いに擦れ違い状態でした  
これをサラが知る事は有るんでしょうかね？

サブマリンロイドやケルベロスが……

ブラック・マジシャン・ガールで、更に高位のモンスターですから  
最上級魔術師の弟子、その立場は伊達じゃない！  
という感じです。

そういえばマナのデッキは？

魔法族の里十王宮のお触れ十魔力カウンター  
こんな感じです、入り交じっているのはお約束  
ただし、ブラック・マジシャン・ガールは瑞貴が抜きました。

翔が……

十代VS万丈目2戦目の時、VWの効果でクレイマンを攻撃表示に  
した時に卑怯と……

これで卑怯と言うならばこんな事をすればこんな感じかなと思いま  
した

悪く補正を掛けているように見えるかもしれませんが  
気を悪くした人はごめんなさい。

レイと剣山って面識はどうなの？

実はあまり会いません

同じ1年生の教室ですが、別にお互いに興味が無いので  
万丈目の部屋にもレイは風呂ぐらいにしか行きませんし。

レイのデッキは？

爬虫類族を中心に、レプティレスを混ぜた感じのデッキです  
レイはこの大会中、このデッキを使います

ずっと使うかは悩み中。

原作、アニメオリジナルカード

始祖鳥アーキオーニス

ダイレクトアタック

直接攻撃ができる

これだけですな。

超進化薬・改

自分フィールド上の鳥獣族モンスター1体を生け贄に捧げる

手札から恐竜族モンスター1体を特殊召喚する

超進化薬の鳥獣族モンスター版です

しかし……鳥から恐竜は退化なんですけどね。

ダイノスタンプ

恐竜族モンスターの攻撃時、相手の魔法、罠カードを1枚破壊する

恐竜族の攻撃時専用のサイクロンみたいな感じです。

琥珀の落とし穴

相手モンスターの攻撃時に発動可能

攻撃モンスター1体の攻撃を無効にし、守備表示にする

このカードがフィールド上に存在する限り、対象となったモンスター

1体は表示形式を変更できない

落とし穴じゃないですね、どう考えても

そこそこ使えるかは微妙……

ジュラシック・インパクト

自分のライフが相手のライフより少ない時のみ発動可能

フィールド上のモンスターを全て破壊する



この効果で破壊されたモンスター1体につき、そのモンスターのコントロールは1000ポイントのダメージを受ける

お互いのプレイヤーは、次のそれぞれの1ターン目が終了するまでモンスターを召喚、特殊召喚する事はできない

凶悪カードですね

TFシリーズにも入っています

制限カードになっていますが……

ツイッターでツインダー

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

意味不明、毎回のお馴染みです。

## 103話【1日目?】（前書き）

「今日の最強カードは死力のタッグ・チェンジだ  
戦闘ダメージを0にし、手札からLV4以下の戦士族モンスターを  
特殊召喚できる

だが、特殊召喚できない場合は戦闘ダメージを無効にできない  
そして自分のモンスターが攻撃表示でないとならない  
この2つに注意しろ」

誰がよく分かりますね……登場人物

今回のゲストは地獄さんこと、ヘルカイザー亮さんでした。

今回は前回と違って1戦だけです

何故か妙に続きました

よくもまあ……こんなになったものですね。

次回は誰にしようかなあ……

## 103話【1日目?】

視点 明日香

私の陣地として決闘場を選んだんだけど……誰も居ないわね  
やっぱり積極的にという人は少なそう  
仕方無い、適当に探して捕まえよう。

そう思っデュエルフィールドて決闘場から出た時  
どこかで見た事の有る女生徒が……

「ふっふふふふ……見つけましたわよ、天上院明日香!」

「……確か海野先輩でしたね」

気のせいか凄く睨まれているような……気のせいじゃないわね  
私、彼女に何かしたかしら?  
あの時に勝ったぐらいしか記憶に無いんだけど。

「天上院明日香、私と決闘デュエルなさい!  
あの時の借り、キツチリと返させていただきますわ!」

そういえば逆恨みされてたわね  
私はまだ決闘デュエルをしていない、つまり断れない。

「はあ……分かりました、海野先輩」

「潔くて助かりますわ」

今度こそ、貴女を叩きのめしてさしあげますわ！」

もうこの人は……疲れるわ

さっさと倒して次の相手を見つけてましょう。

既にそんな気力は削がれてるけど

まあ、なんとかするしか無いわね。

「そういえば貴女、複数のデッキを使うと……聞いた事が有りますわ  
だったら私と前回戦った、あの六武衆とかいう忌々しいデッキを使  
いなさい

必ずこてんぱんにしてみせますわ！」

忌々しいって……だったら自分から言わなければ良いんじゃない？  
そんなにあのデッキを使って欲しいのだったら使うけど……  
同じ目に遭っても知らないわよ？

デュエル  
「「決闘！」」

「今回は先攻を貰うわ、ドロー！」

ヒゲアンコウを守備表示で召喚するわ  
カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

相変わらず魚族モンスターなのね  
さっさと終わらせましょう。

「私のターン、ドロー！」

ヒゲアンコウの守備力は1600  
今、私の手札にそれを越えるモンスターはまだ無い

仕方無い、倒すのは諦めましょう。

「真六武衆、ミズホを召喚するわ  
カードを2枚伏せ、ターンエンドよ」

さて、何か仕掛けてくるんじゃないの？  
態々私と戦うと決めてきたんですものね。

「私のターン、ドロー！」

ヒゲアンコウは水属性モンスターの生け贄になる場合、2体分の生け贄にできる

私はヒゲアンコウを2体分の生け贄とし、超古深海王シーラカンスを召喚！

そしてシーラカンスの効果、手札を1枚捨ててLV4以下の魚族モンスターをデッキから可能な限り特殊召喚するわ！」

現れたのはヒゲアンコウが2体とスペースマンボウが2体

全て守備表示で守備力は1600と1000ね

別に大して強くないけど、ちょっと邪魔ね……

「この効果で特殊召喚したモンスターは攻撃と効果を封じられるわ  
さて、シーラカンスでミズホに攻撃！」

「永続罠カード発動！ 死力のタッグ・チェンジ！

戦闘ダメージを0にし、手札からLV4以下の戦士族モンスターを  
特殊召喚するわ！

私は六武衆、ニサシを特殊召喚！」

まさかこんなに早くシーラカンスが出てくるとは思わなかったわ  
面倒ね……何よりもモンスターが邪魔。

「ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

フィールド魔法、六武院を発動！

六武衆と名の付くモンスターが召喚、特殊召喚に成功する度に武士道カウンターを乗せる

相手の場のモンスターはこのカードに乗っている武士道カウンターの数×100ポイント攻撃力がダウンするわ！

そして私は六武衆、ヤリザを召喚、六武院に武士道カウンターが1つ乗るわ！」

これでヤリザは直接攻撃、ニサシは2回攻撃ができる  
シーラカンスには勝てないけど、それでもまだどうにかなるわ。

「ふふ……それを待っていたのよ！」

永続罠カード発動！ 狭小の地下道！

お互いに場に召喚できるモンスターは1体となるわ！

そして自分の場に2体以上モンスターが存在している時、1体になるように破壊しますわ！」

「な！？」

1体になるように破壊ですって！？」

そんな事をすれば自分のモンスターだって破壊される！  
なのにどうしてそんな事を！？

「私が破壊するのはシーラカンス以外のモンスター  
天上院明日香、貴女はどうするのかしら？」

なんて厄介な……

「私が破壊するのはヤリザよ」

私のモンスターは1体だけ

六武衆は数が揃わないと何もできない！

「ニサシを守備表示に変更するわ  
これでターンエンドよ」

シーラカンスの攻撃力は今だに2700と高い  
まだまだ手を出せる状態じゃないわね。

「私のターン、ドロー！」

シーラカンスの効果発動、手札を1枚捨てますわ

これにより、デッキから魚族モンスターを可能な限り特殊召喚！

狭小の地下牢はモンスターの数が増えるような召喚はできないけど、  
特殊召喚には対応していないの

私が特殊召喚するのはこの子達よ！」

現れたのはスペースマンボウ、グレート・ホワイトが3体  
だけど、それらのモンスターは全て……

「そして現れたモンスターは全て狭小の地下道によって破壊される  
私が残すのは当然、シーラカンスよ」

だけど、こんなにモンスターを墓地に送って……  
何か考えが有るのかしら？

例えば、墓地のモンスターの数に関係したり……有り得るわね。

「シーラカンスでニサシに攻撃！」

クッ……厄介なモンスターね  
早く倒しないと更に面倒になるわ。

「私はこれでターンエンドですわ  
貴女のターンよ、天上院明日香」

「私のターン、ドロー！」

永続魔法、六武衆の結束を発動！

このカードは六武衆が召喚、特殊召喚する度に武士道カウンターを  
1つ乗せるわ

そして六武衆、ヤイチを守備表示で召喚！

六武院と六武衆の結束に武士道カウンターが1つ乗るわ

これでターンエンドよ！」

完全に私を倒す為のデッキ

狭小の地下道なんてカード、いったいどこから……

「私のターン、ドロー！」

シーラカンスの効果、手札を1枚捨てて魚族モンスターをデッキか  
ら4体、特殊召喚しますわ！

そして……狭小の地下道の効果で今現れたモンスターを全て破壊」

プリンセス人魚、レインボー・フィッシュ、オイスターマイスター、  
オーシャンズ・オーパー

それぞれのモンスターが現れ、狭小の地下道の効果で破壊される  
オイスターマイスターの出すオイスタートークンも現れた瞬間に破  
壊される……



「これぐらい貯まれば良いかしら？  
私はシーラカンスを生け贄にしますわ」

攻撃力2600のシーラカンスを生け贄！？

最上級モンスターを生け贄にしてまで上級モンスターを出すの！？

「現れなさい、レイジ・オブ・デープシー深海の怒り！」

攻撃力0のモンスター！？

そんなモンスターを出していったい何を！？

「このレイジ・オブ・デープシー深海の怒りの効果

それは私の墓地に存在する魚族、水族、海竜族モンスターの数×500ポイントだけ攻撃力アップ！」

「墓地のモンスターの数だけ攻撃力が上がるですって！？

海野先輩が墓地に送ったモンスターは全部で14体

という事は攻撃力は……7000！？」

こんなモンスター、どうやって倒せば！？

「違いますわ

私が今までシーラカンスの効果で捨ててきた手札

それら全てが魚族モンスター、よって墓地の魚族モンスターは17体  
つまり攻撃力は8500！」

8500ですって！？

どうやって倒せと言うのよ！

ただでさえ六武衆達の動きが制限されているのに！

「でも、六武院の効果が残ってるわ  
武士道カウンターは現在2つ、よって攻撃力は200ポイントダウンよ！」

「高が200ポイントのダウンがどうしましたの！？  
レイジ・オブ・デーパーシー  
深海の怒りでヤイチに攻撃！」

クツ……確かにたった200ポイントのダウンでは焼け石に水ね  
あんな大型モンスター、どうやって倒せば！

「これでターンエンド」

「私のターン、ドロー！」

真六武衆・ミズホを守備表示で召喚！

六武院、六武衆の結束に武士道カウンターが1つ乗る！

そして六武衆の結束を墓地に送り、効果発動！

このカードに乗っている武士道カウンターの数だけドローするわ！

六武衆の結束に乗っている武士道カウンターは2つ、よって2枚ドロー！」

拙い、どうやっても勝てない！

魔法や罠カードの除去は六武衆頼り

モンスター破壊も殆どそれに頼っている

このデッキにこの状況を打破できるカードなんて……

いえ、有ったわ！

だけど、それはまだ手札に無い

早くドローしないと私の負けよ！

「永続魔法、六武の門を発動！

このカードは六武衆が召喚、特殊召喚される度に武士道カウンターを2つ乗せるわ！

私はこれでターンエンドよ！」

「召喚もできないのに何をしているのかしら……私のターン、ドロ！」

モンスターをセット、狭小の地下道はセットにも対応していないわだけど、モンスターが2体になったので破壊される！

そして破壊されたのは魚族モンスター、よって深海の怒りの攻撃力レイジ・オブ・デープシーがアップ！」

これで墓地の魚族モンスターは18体、六武院の効果で攻撃力は300ポイントダウン

それでも攻撃力は8700……高すぎるわ！

レイジ・オブ・デープシー  
「深海の怒りでミズホに攻撃！」

アッサリとやられる……

早く……早くあのカードを！

「為す術が無さそうですわね

貴女のモンスターが尽きた時、私の勝ちが決まる

貴女はどれだけ持ち堪えられるかしら？

ターンエンドよ」

確かにそうね

私の手札からモンスターが無くなった時

それが私の敗北……

「私のターン、ドロ！」

来ない！

でも、モンスターは来たわ！

「六武衆・イロウを守備表示で召喚！

これにより、六武院と六武の門にカウンターが乗るわ！

ターンエンドよ！」

「いつまで堪えきれるかしら？

私のターン、ドロー！ 魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

更に魔法カード、愚かな埋葬を発動し、デッキからモンスターカードを墓地に送りますわ

私が墓地へ送るのは魚族、マザー・ブレインですわ

これにより、レイジ・オブ・デイルプシー深海の怒りの攻撃力は更にアップ！

続いてモンスターをセットし、セットしたモンスターを破壊！

レイジ・オブ・デイルプシー再び深海の怒りの攻撃力アップ！」

墓地の魚族モンスターは20体にまで！

六武院の効果でなんとか10000にはなってないけど

それでも攻撃力は9600、高すぎるわ！

「イロウに攻撃！」

破壊されるけど、もう暫く堪えて！

早くなんとかするから！

「ターンエンドですわ

早くサレンダーをしたらどうなの？」

「誰が……私のターン、ドロー！  
私も引いたわ、強欲な壺……デッキから更に2枚ドロー！」

これだけドローしても欲しいカードが来ない！  
私にどうしろって言うのよ！？

「紫炎の足輕を守備表示で召喚！  
ターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー！  
……ふふふ、カードを1枚セットするわ」

何を伏せたか……緑でもないカードなのは確かね  
また面倒なカードを使つてないと良いんだけど……

レイジ・オブ・デーパーシー  
「深海の怒りで紫炎の足輕に攻撃！」

「紫炎の足輕の効果発動！  
戦闘で破壊された時、デッキからLV3以下の六武衆を特殊召喚するわ！」

私は六武衆の御霊代を守備表示で特殊召喚！  
この六武衆の特殊召喚により、六武院と六武の門に武士道カウンタ  
ーが乗るわ！」

「悪足掻きを……ターンエンドですわ」

「私のターン、ドロー！」

……来た！

「罠カードを発動しますわ！ デビル・コメディアン！」

デビル・コメディアンって……墓地除外と墓地肥やしカードじゃない！

「私はコイントスで裏表を当てますわ

当たった場合、相手の墓地のカードを全て除外

外した場合、相手の墓地の枚数だけ自分のデッキからカードを墓地へ送る

私はどちらが出ても損はありませんわ」

なんてタイミングの悪い！

どうしてこう……今回は運が悪いの！？

海野先輩が相手だから！？

海野先輩はコインを取り出す

裏表を私に確認させ、コイントスを行う。

「私は裏を選択

では……コイントス！」

コインが宙を舞い、そして落ちてくる

当てられた場合、私は更にピンチに……

「……結果、裏

私の予想は正解、よって貴女の墓地のカードを全て除外する！」

ああ……当たったのね

どうしようかしら……仕方無いか。

「私は何もせずにターンエンドよ」

無駄に手札を使うわけにもいかない  
早く墓地にモンスターを溜めないと！

「私のターン、ドロー！  
レイジ・オブ・デーパーシ  
深海の怒りで御霊代に攻撃！」

そう、攻撃して  
貴女はそうしなければ勝てないもの  
私だってそうしなければ勝てない！

「……カードを2枚伏せ、ターンエンドですわ」

「私のターン、ドロー！  
真六武衆・キザンを守備表示で召喚！  
六武院と六武の門に武士道カウンターを乗せる！  
ターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー！  
いつまでも守備表示なら安全だと思わない事ですわ  
装備魔法カード、メテオ・ストライクを深海の怒りに装備！  
レイジ・オブ・デーパーシ  
このカードを装備したモンスターは貫通能力を得る！」

攻撃力10000……六武院で下がって攻撃力9400の貫通攻撃  
ですって！？  
これを受けたら私のライフは0になる！

「その死力のタッグ・チェンジ……攻撃表示じゃないと効果を発動  
できないのよね？」

今は守備表示のキザンでは、この攻撃は防げませんわ！  
レイジ・オブ・デーパーシー  
深海の怒りでキザンに攻撃！  
これで私の勝ちですわ！」

「させない！ 速攻魔法、六武衆の理を発動！  
自分の場の六武衆を墓地へ送り、墓地から六武衆を特殊召喚するわ！  
私はキザンを墓地へ送り、御霊代を攻撃表示で特殊召喚！  
更に六武衆の特殊召喚に成功したので武士道カウンターを乗せる！」

私の手札には戦士族モンスターは入っている  
ここはなんとか凌げるけど……

「なら、レイジ・オブ・デーパーシー深海の怒りで御霊代に攻撃！」

「死力のタッグ・チェンジの効果を発動！  
戦闘ダメージを0にし、手札からLV4以下の戦士族モンスターを  
特殊召喚する！

六武衆の影武者を特殊召喚！」

これでなんとかなった  
墓地のモンスターも増えたし、まだ大丈夫  
勝てるとはいい切れないけど……

でも、必ず勝つわ！  
罰ゲームは絶対に……絶対に嫌なもの！

「また守られた……早く諦めなさいよ！  
ターンエンドですわ！」

「嫌に決まってるでしょ！」



私のターン、ドロー！」

これで準備は整った

後は動けばなんとかなるわ！

「墓地より六武衆と名の付くキザンと御霊代を除外！  
紫炎の老中エニシを特殊召喚！

そして特殊召喚により、狭小の地下道の効果が発動！  
私は影武者を破壊するわ！」

「攻撃力2200程度じゃ私の<sup>レイジ・オブ・ディープシー</sup>深海の怒りには勝てないわよ  
これからどうするつもり？」

「構わないわ、目的は戦闘じゃないもの  
エニシは1ターンに1度、戦闘を放棄する事で場のモンスターを破壊できるわ  
攻撃を捨て、<sup>レイジ・オブ・ディープシー</sup>深海の怒りを破壊する！」

「な、なんですって!？」

これがこのデッキの最後の希望よ！

モンスターが1体しか存在できず、攻撃力が2200のエニシ  
もしまた何か出てきても、また破壊すればいいもの。

後は今度はこちらから攻撃していけば良いわ

海野先輩のデッキには既にモンスターは殆ど居ないはず  
あれだけモンスターを墓地に送ったんだもの、そう簡単には……

「私は更に六武の門の効果を発動！  
武士道カウンターを4つ取り除く事でデッキか墓地より六武衆を手

札に加えられるわ

私は六武の門の武士道カウンターを4つ取り除き、デッキから六武衆・ザンジを手札に加える

最後にカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「ならエンドフェイズ時、リビングデッドの呼び声を発動！  
墓地の深海の怒りを特殊召喚するわ！」

蘇生カードを使ってきた……せっかく倒したと思ったのに！  
しかもエニシは六武の門、武士道カウンターを6つ取り除いての効果墓地に存在する紫炎と名の付くモンスターを蘇生させる効果に対応できない。

エニシは自身の効果でしか特殊召喚できないもの  
手札に戻す以外、再使用方法が無いわ！

「ふふ、残念でしたわね  
せっかく深海の怒りを倒せたのに

私のターン、ドロー！ 魔法カード、アームズ・ホールを発動！  
デッキのトップを墓地へ送り、デッキか墓地から装備魔法を手札に加える！

……墓地に送られたのは魚族モンスター、よって深海の怒りの攻撃力がアップ！  
更に私が手札に加えるのはメテオ・ストライクよ！」

またメテオ・ストライクを……私は守備表示でモンスターを出す事を封じられたわ  
攻撃表示でも、いつまでも逃げ切れるはずが無い  
どうすれば……

レイジ・オブ・デーパーシー  
「深海の怒りの攻撃力は10500

そして六武院の効果で攻撃力が700下がって9800  
更に攻撃力を上げて見せてあげる」

また何かデッキのカードを墓地に送るつもり？

「罨カード、デステニー・デストロイを発動！

デッキからカードを5枚選択し、墓地に送りますわ！

私が墓地へ送るのはマザー・ブレインが2体、サウザンド・アイズ・  
フィッシュ

ジェノサイドキングサーモン、超古深海王シーラカンスですわ

合計5体の魚族モンスターが墓地へ増えた

レイジ・オブ・デーパーシー  
深海の怒りの攻撃力は13000！ 六武院の効果を受けても12

300！

レイジ・オブ・デーパーシー

深海の怒りでエニシに攻撃！」

「死力のタッグ・チェンジの効果発動！

戦闘ダメージを0に、そして六武衆、ザンジを特殊召喚！

六武院、六武の門に武士道カウンターが乗るわ！」

「粘るのも止めた方が可愛らしいですわよ？

あんまりしつこいと……もてません事よ

カードを1枚伏せ、ターンエンドですわ」

余計なお世話よ！

別にもてたいなんて思って無いし！

「私のターン、ドロー！ 魔法カード、戦士の生還を発動！  
墓地から紫炎の老中エニシを手札に加える！」

「あらあら、そんなカードを手札に加えてどうするの？  
貴女の墓地には六武衆は影武者の1体だけ、特殊召喚は不可能ですわ」

「そんな事、言われるまでも無い！ 六武衆の師範を特殊召喚するわ！

このモンスターは自分の場に六武衆が存在している時、特殊召喚できる！

武士道カウンターを乗せ、狭小の地下道の効果でザンジを破壊！

そして影武者とザンジを除外し、エニシを特殊召喚！

狭小の地下道の効果で師範を破壊するわ！

師範は相手のカード効果で破壊された時、墓地から六武衆を手札に加える効果を持っている

だけど、私の墓地には六武衆は存在していないわ」

強制効果だけど、存在していないんだから仕方無いもの  
海野先輩が除外したりするから……私もエニシで除外したけど。

「またそのモンスター……という事は」

「そうよ、期待通りにしてあげるわ！

エニシの効果発動！ 1ターンに1度、場のモンスターを1体破壊する！

レイジ・オブ・デッド・フューリー  
「深海の怒りを破壊！」

だけど、また蘇生されるかもしれない  
今の内にダメージを与えないと！

「私は六武の門の武士道カウンターを4つ取り除くわ！  
この効果により、墓地から師範を手札に加える！

エニシを生け贄にし、師範を召喚！

このモンスターは通常召喚もできるから問題無いわ  
更にモンスターも1体以上になっていないから狭小の地下道の効果  
で破壊されない！

そして武士道カウンターを乗せる！」

「クッ……それでも私のライフはまだ4000！

私のライフはまだ残りますわ！」

「確かにそうね……だけど、六武の門にはまだ効果が有るわ！

武士道カウンターを2つ取り除く事で六武衆か紫炎と名の付くモン  
スター1体

その攻撃力をエンドフェイズまで500ポイントアップさせるわ！

私の場に有る武士道カウンターは全部で16個よ」

「それら全てを取り除いたら攻撃力は……6100!？」

いや、それはしないわよ

あの伏せカードが気になるもの……万が一の事も考えておかないと  
レイジ・オブ・デーパーシ  
深海の怒りの攻撃力がこの数値以下だったら考えたけどね。

「六武の門から4つ、六武院から4つの武士道カウンターを取り除  
く！」

そして師範の攻撃力を2000ポイントアップさせ、合計攻撃力を  
4100に！

師範で海野先輩に直接攻撃！  
ダイレクトアタック

これが決まれば私の勝ち！

何か使う……使うの？

「だけど、私の方が上でしたわね！」

永続罠、リミット・リバースを発動！

墓地の攻撃力1000以下のモンスターを特殊召喚しますわ！

この効果により、レイジ・オブ・デンプシー深海の怒りを特殊召喚！」

そんな！？ レイジ・オブ・デンプシー深海の怒りの攻撃力は……

元々の攻撃力が0！？

だからリミット・リバースで蘇生を！？

「クッ、攻撃を中断！」

六武院の武士道カウンターを4つ取り除き、デッキから六武衆の露払いを手札に加えるわ

これでターンエンドよ！」

手札にLV4以下のモンスターさえ居れば大丈夫  
死力のタッグ・チェンジで私は耐えられる！

「いい加減に……私のターン、ドロー！  
レイジ・オブ・デンプシー深海の怒りで師範に攻撃！」

「死力のタッグ・チェンジの効果でダメージを0に！

そして六武衆の露払いを特殊召喚！

そして武士道カウンターを乗せる！」

「あーーーーーせっかくあの展開力を防げると思ったのに！  
どうして倒せないんですの！？ ですよ！？ ですよ！？」

そんな事を言われても……

六武の門が来たから手札にモンスターが集まっている  
それが原因じゃないかしら？

「ターンエンドですわ！」

「私のターン、ドロー！」

六武の門の武士道カウンターを4つ取り除き、デッキから六武衆・ザンジを手札に！  
ターンエンド！」

何も出来ない……かなり辛いわ！

早く倒したいんだけど、どうやっても倒せない！  
段々苛々してきた……

「私のターン、ドロー！」

くううう……レイジ・オブ・デイブシー深海の怒りで露払いに攻撃ですわああ……！！」

海野先輩もかなり苛ついているみたいね

私の対策をしてきたのに勝てないんだから仕方無いかしら？  
私もどうすればいいのかと苛々してるけど。

「死力のタッグ・チェンジの効果でダメージを0に  
そして手札からザンジを特殊召喚！  
武士道カウンターを乗せる！」

「ターン、エンド、ですわ！  
早くやられちゃいなさいな！」

「嫌だって何度も言ってるでしょ！  
私のターン、ドロー！」

六武院の武士道カウンターを4つ取り除き、デッキから真六武衆・カゲキを手札に加えるわ！

ターンエンドよ！」

お互いに同じ事をしているんだけど動けないわね  
何をすればいいのやら……はあ。

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、大波小波を発動！

自分の場の水属性モンスターを全て破壊し、同じ数だけ手札から水属性モンスターを特殊召喚しますわ！

レイジ・オブ・デープシー  
私は深海の怒りを破壊し、レイジ・オブ・デープシー深海の怒りを特殊召喚！

レイジ・オブ・デープシー  
更に深海の怒りを生け贄に、レイジ・オブ・デープシー深海の怒りを召喚！」

レイジ・オブ・デープシー  
……確かに深海の怒りは魚族モンスターよ

攻撃力は確かに上がるわ

けど……1000ポイントだけなのよ？

レイジ・オブ・デープシー  
「これで深海の怒りの攻撃力は14000

六武院の武士道カウンターは現在0、よって攻撃力は14000のままですわ！

レイジ・オブ・デープシー  
深海の怒りでザンジに攻撃……！！」

「……お馴染み死力のタッグ・チェンジの効果を発動

ダメージを0に、そして手札から真六武衆、カゲキを特殊召喚！

六武院と六武の門に武士道カウンターを乗せるわ」

「もーーーーー嫌ですわ！

ターンエンド！」

怒りたいのは私も同じだって、何回言われるのかしら？

もう逃げたい……でも逃げたら瑞貴の罰ゲームが有る



逃げられない、もう……誰か助けて！

「私のターン、ドロー！」

何もせずにターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー！」

……ドロー？」

どうしたのかしら？

突然動きが止まったけど……

「……デッキ切れですわ」

「……………」

お互いに無言になる

あんまりと言えばあんまりの最後だもの、当然ね

私も何を言えればいいのか……

「……ふ、今回は私の負けにしておいてさしあげますわー！」

メダルを床に叩きつけ、逃げ出す海野先輩

勝ちも勝ちだし、素直に貰っておきましょう

なんだか釈然としないわ……

どうしましょう、もうやる気にならない

……今日は帰りましょう、疲れた。

瑞貴、後でマナカレイを貸して

抱き枕にして寝るから……

視点 瑞貴

「負けたんですわよ！ 負けたんですわよ！！！！  
貴方は勝てると言ったではありませんか！！！！」

「いや待て、俺は勝てるとは言っていない  
お前が大量展開をする相手を封じるカードが欲しいと言うから売ってやったんだろうが  
戦いの内容まで俺は知らん！」

海野先輩……もう海水でいいや  
この海水女、少し前に突然俺に会いに来やがった  
しかも会って最初の一言が……カードを売れ、だからなあ。

どうしても勝ちたい相手が居ると  
そしてそいつは大量展開を得意として、カード同士の関係で戦うと  
だからそれを封じる為のカードを売ってくれ  
そう説明された。

相手は知らんが、吹っ掛けて値段を言った結果は買うと……  
言ってしまった手前、諦めて売る事にしたのが狭小の地下道  
ちなみに億単位である、買うこいつの執念は……誰に勝ちたかった  
んだ？

他にも魚族強化をしたいと煩かったからな  
レイジ・オブ・ディープシー  
深海の怒りを3枚、売ってしまった

このヒステリーに近い声を聞いているのが嫌になったからだ  
まあ……4枚合計で10億単位になったから良いけど。

しかしこいつ金持ちだな

また戦いに行くとか言いそうだし

吹っ掛けて売ってやろうか？

搾り取れるだけ搾り取るか

あまり付き合いたいような人間じゃないが……

「あの女を倒す為のカードを！」

その為のカードを売ってくださいまし！」

「分かった、分かったから煩くするな！」

また探して考えておくから黙ってくれ！

そして出て行け！ 邪魔だ！」

「じゃ！？ 邪魔とは何ですの！？

私のような美人が部屋に居るのに！」

「美人だろうが何だろうが、邪魔な奴は邪魔なんだよ！

必ず売ってやるから素直に待ってろ！

そして、出て行けーーーー！！！」

「ひゃ！ わ、分かりましたわ

出て行けばいいのでしょう、出て行けば……

その代わり、必ずカードは売ってくださいね」

「分かった、売るからさっさと出て行け」

海水は洩々しながら部屋から出て行った  
もう……頼むから俺を休ませてくれよ。

そういえば海水が勝ちたいと言っている奴は誰だ？  
はて……海野先輩、誰かの話で聞いた気がするんだが思い出せん  
誰かと関係が有るはずなんだが、誰とだったかな？

まあ誰でも良いか

そいつは付きまとわれて不幸になるだけだし  
運が悪かったと思って諦めてくれ。

## 103話【1日目?】（後書き）

海野幸子のデッキはどうなってるの？

魚族モンスターを大量に増やしたデッキとなっています

通常モンスターが多いのはご愛敬……

通常モンスターのサポートカードはあまり入っていないのもご愛敬です。

デステニー・デストロイの効果が……

原作効果です

苦渋の選択の下位相関という感じですね

手札に加えられないという点ですけど

ただ、モンスターを増やすのであればこちらが上ですね。

なんという死力のタッグ・チェンジ無双……

本当に無双しています

何故こんなに強いのでしょうか……

作者の思った以上に相性が良かったみたいです。

また瑞貴が関わっていたのか！

そうですね

押し負けたようで……鬱陶しいのが悪いんでしょう

かなりの金にはなったので良かったですが

もし金にならないのであれば絶対に売らなかったでしょうね。

海野を忘れてるなんて……

興味が無かったんでしょう、明日香の以前の話が……

もし覚えていれば売らなかったでしょうが

しかし、それでも売っていた可能性も否定できませんね。

原作、アニメオリジナルカード

### 狭小の地下道

お互いのプレイヤーが自分フィールド上に召喚し存在できるモンスターは1体までになる

自分フィールド上にモンスターが2体以上存在する場合

1体になるようにモンスターを破壊する

特殊召喚などに対応するかは不明

召喚としか言われていなかったので

更にアニメで特殊召喚で2体以上にもなりませんでしたがなので独自解釈をしました。

ツイッター、ツイッター、ツイッター

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
ツイッター……何がしたいのやら。

## 104話【1日目?】（前書き）

「今日の最強カードは、う〜〜ん……これだ！

地霊術・「鉄」、罨カードだね

自分の場の地属性モンスターを生け贄に捧げ

墓地のLV4以下の地属性モンスターを特殊召喚できるよ」

吹雪さんでした

それはそうと、モンスターが最強カードにならないのは何故？

タイトルを出さない理由

それは考えるのが面倒というだけではなく

内容を教えないというのにも目的に含んでいます

誰が出るか分からない、それって楽しくないですか？

最近、PCのマウスの調子が悪いです

どうも効きが良くない……どうしたんでしょうか？

落としたりは……何度かしてますけど

買い換えるべきか、それともマウスパットが悪いのか……

次回はどうかなるか、それなりにはできそうですけど

誰にするか悩みますね

相手も考える必要がありますし。

## 104話【1日目?】

視点 吹雪

ジェネックス大会……成績が関係していると噂が有るね  
となると負ける事は許されない  
負けて成績が悪いと……明日香と堅守君に怒られる！

頑張って勉強して、成績を常に3年生トップに保っているんだ！  
授業だって真面目に受けてるし、復習だってしている  
くううう……早く自由になりたい！

それはともかく、勝って勝って、勝ち続けないと駄目だ  
できればメダルは100枚以上、それを目標にしよう  
貯まったらもっと上を目指す、頑張ろう！

っと、できればホワイトとは戦いたくないね  
やっぱり堅守君から禁止されてるし、洗脳されるのは遠慮したから  
ね。

「すみません、私と決闘<sup>デュエル</sup>してくださいませんか？」

後ろから誰かに話しかけられた  
まだ戦っていないからね、断れないか  
ま、断る気なんて無いけどね。

「良いだろう、この僕  
天上院吹雪が君のお相手を……」



「あら、吹雪様じゃないですか  
どうも、浜口ももえですわ

あまりお話はしていませんが……覚えています?」

おう……言った傍から白の人とか

どうしよう……仕方無い、ルールだし

受けるしかないな!

「まあ、覚えてるよ

確かにあまり話してないね

それはそうと決闘か<sup>デュエル</sup>」

「はい」

なんという笑顔、これは受けるしか無いな  
例えルールだろうが、光の結社だろうが!

「それにしても相変わらずの美形ですこと  
でもすみません、私には既に好きなお人が……」

別にそんな事は言っていないし訊いてないんだけど  
とうか美形好きで好きな人か……僕のファンかな?  
いやあ、もてる男は辛いなあ。

「ああレイ君……」

レイ君? この学園のレイは……女の子じゃなかったかい!?  
ええええ!?! この子ってそういうタイプの子だったのか!?!

「あの……浜口君？」

レイとはあの堅守君とよく一緒に居る？」

「はい、私は彼の事が好きなんですの  
もう一目惚れですわあ

って、何を言わせるんですの、吹雪様の馬鹿あ」

僕はレイ君か確認したただけだよ！？

僕が何をした！？ 何を訊いた！？

君、僕の話聞いてるかい！？

「えっと……する？」

僕は構える、すると彼女の顔付きが変わり彼女も構える

どうも調子が狂うなあ……

真剣にしてくれるみたいだから良いけどさ。

「美形の吹雪様でも、手加減はしませんことよ？」

「望むところだよ

僕の実力、しっかりと見ておいてくれ」

さて、始めようか

僕の意識を賭けた決闘を！  
デュエル

「「決闘！」」  
デュエル

「先攻は私ですわ、ドロー！

巨大ネズミを守備表示で召喚しますわ

更に永続魔法、レベル制限B地区を発動！

このカードが存在する限り、LV4以上のモンスターは全て守備表示になりますわ！

カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

リクルーターモンスターにロックカード  
何を狙っているのか……

ただ、どう考えても合っていないよね？  
戦闘破壊される必要が有るリクルーターモンスターとロック  
何を考えてそうなったのかな？

「僕のターン、ドロー！」

要はLV4以上が駄目なだけだろう？

……僕のデッキは大半がLV4以上だよ！

「ホルスの黒炎竜LV4を召喚！

更に魔法カード、レベルアップ！

このカードの効果により、LVと名の付くモンスターのLVをアップさせる！

僕はこの効果により、ホルスの黒炎竜LV4をLV6にレベルアップだ！」

デッキよりホルスの黒炎竜LV6を特殊召喚する

これである程度はどうかなるはず。

「しかし、LV6ではレベル制限B地区に引っかけますわよ？  
よって守備表示に……ならない！？」

「残念だけど、ホルスの黒炎竜LV6は魔法カードの効果を受けな

いんだ

よってレベル制限B地区の効果は受けない！

ホルスの黒炎竜LV6で巨大ネズミに攻撃！

ブラック・フレイム！」

簡単に破壊される巨大ネズミ

さて、レベルアップさせるか悩むな……

「巨大ネズミの効果発動ですわ！

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下の地属性モンスターを特殊召喚します！

私はデッキよりレスキューキャットを特殊召喚しますわ！

レスキューキャットはLV4なのでレベル制限B地区の効果で守備表示に変更！」

また面倒なモンスターを……

エンドフェイズに破壊されるとはいえ、モンスターを2体並べられる効果の発動はできるし、そうになると少々厄介かな？

「僕はカードを2枚伏せ、エンドフェイズ

ホルスの黒炎竜LV6の効果を発動するよ！

戦闘で相手モンスターを破壊した時

ホルスの黒炎竜LV6はLV8へレベルアップする！」

デッキよりホルスの黒炎竜LV8を特殊召喚する

だけどLV8はLV6とは違い、魔法カードの効果を受ける。

「しかし、魔法効果への耐性は無くなったみたいですよわね  
ホルスの黒炎竜LV8が防御の体勢になっていますわよ？」

「構わないさ

さ、君のターンだ」

「……私のターン、ドロー！」

「この瞬間、永続罠カード、リビングデッドの呼び声を発動！  
僕は墓地からホルスの黒炎竜LV6を特殊召喚する！」

これで攻撃力2300がまた出てきた

この攻撃力なら耐えるのは難しいだろう。

そしてLV8で魔法カードを封じる

伏せカードも有るし、きっと大丈夫だろう。

「それでレベルアップを……

確かLV8の効果は魔法カードを無効にする効果

私では手出しできませんわ……」

悪いけど、魔法は防がせてもらうよ

どうも君は嫌な予感がするからね。

彼女は自分の手札をジッと見ている……

どうやら使いたい魔法カードをドローしたらしい

ホルスの黒炎竜をレベルアップさせておいて良かった。

「私はレスキューキャットの効果を発動させますわ！

このモンスターを墓地へ送り、デッキからLV3以下の獣族モンスターを2体特殊召喚しますわ！

私はデッキより、みつこぶラクーダを2体特殊召喚しますわ！」

攻撃力が500、守備力が1500の獣族モンスター  
確か効果は3体揃わないと使えなかったはず  
そういえば、いつか堅守君が使っていたな……

「更に手札からみつこぶラクーダを召喚！

このモンスターが3体揃った時

その内2体を生け贄に捧げる事でデッキからカードを3枚ドロース  
ますわ！

私は先ほどレスキューキャットの効果で特殊召喚した2体を生け贄  
に、3枚ドロース！」

手札補充をしてきたか

魔法カードが使えないんだ、モンスターと罠カードでどうにかする  
必要が有る

彼女にどこまでできるか、楽しみだね。

「罠カード、地霊術、「鉄」を発動しますわ！

場の地属性モンスターを生け贄に捧げ、墓地から生け贄に捧げた以  
外の

L V 4 以下、地属性モンスターを特殊召喚しますわ！」

……うん、僕が伏せたのは王宮のお触れじゃないんだ  
まだ手札に無くてね……できれば早く欲しかった。

「私はみつこぶラクーダを生け贄に

墓地よりL V 4 のレスキューキャットを特殊召喚！

更にレスキューキャットの効果発動！

自身を墓地へ送り、デッキからL V 3 以下の獣族モンスターを2体  
特殊召喚！

私はまたたびキャットと逆ギレパンダを特殊召喚しますわ！」

あれ？　これって拙くないかい？

「またたびキャットの効果を発動！

1ターンに1度、相手モンスターの守備力を0にできますわ！  
この効果を、ホルスの黒炎竜LV8に発動！」

あああ！

しかも逆ギレパンダは貫通効果を持っていたはず！  
更に攻撃力は……

「逆ギレパンダは相手モンスターの数×500ポイント攻撃力を上げますわ

吹雪様の場にはモンスターが2体、よって攻撃力が1000ポイントアップ

よって攻撃力は1800、更に貫通効果を持っていますの」

あいたたたた……これは拙いかもしれないな  
返しのターンに倒せるとはいえ、このダメージは大きい。

「（ふう……せっかく手札に野性解放が来たのに

これが成功していれば攻撃力が1600アップ

攻撃力の合計が3400になっていたのに……惜しいですわ）

逆ギレパンダでホルスの黒炎竜LV8に攻撃！」

暴れて襲ってくるパンダに倒されるホルスの黒炎竜LV8

……パンダに負けるホルスというのも珍しいね。

それよりも1800のダメージというのが大きい  
まさかこんなコンボを使ってくるなんて

予想外だ、どうやって戦う？

といっても、逆ギレパンダはエンドフェイズに破壊される  
そこまで深く考える必要は無いかな。

「罠カード、キャトルミューテーションを発動しますわ！  
このカードの効果により、場の獣族モンスターを手札へ  
そして同じLVのモンスターを特殊召喚しますわ！」

それって……戻したモンスターを再び特殊召喚できるって事だよね？  
という事は逆ギレパンダを戻して再び逆ギレパンダ出せば破壊され  
ないという事かい！？

って、攻撃力はホルスの黒炎竜LV6の方が上だから守備表示かな。

「私はLV3、逆ギレパンダを手札に戻し  
同じくLV3、ハイエナを守備表示で特殊召喚しますわ！」

ハイエナって確か……リクルーターモンスター！？  
しかも逆ギレパンダが手札に残ったという事は  
つまり、僕が低守備力モンスターのLV4以上を出したら危険とい  
う事か！

「カードを1枚伏せ、永続魔法、黒蛇病を発動しますわ！  
私のスタンバイフェイズ毎にお互いに200ポイントのダメージを  
お互いに与えますの  
更に次の私のスタンバイフェイズ、ダメージは倍に、その次は更に  
倍になっていきますわ！」

拙い！ 彼女のデッキはロックバーンか！  
攻撃もしてくるから低LVの獣族で戦うのかと！



ホルスの黒炎竜LV8をあんな強引な手段で倒したのもその為か！

「私はこれでターンエンドですわ！

エンドフェイズ、レスキューキャットの効果で特殊召喚したまたたびキャットを破壊！」

ホルスの黒炎竜LV8は既に発動している魔法カードには対応できない

なんとかして黒蛇病を破壊しないと僕の負けだ！

「僕のターン、ドロー！」

ドレッド・ドラゴンを召喚！

このモンスターのLVは2、よってレベル制限B地区の効果を受けない！

更に魔法カード、火竜の火炎弾を発動！

自分の場にドラゴン族モンスターが存在する時に発動可能

相手に800ポイントのダメージを与えるか、守備力が800以下の相手モンスターを破壊する

僕は守備力が300のハイエナを破壊する！」

「でしたら罠カード、キャトルミューティレーションを発動！

ハイエナを手札に戻し、ハイエナを再び守備表示で特殊召喚しますわ！」

逃げられたか

だけど、キャトルミューティレーションで何かを狙っていたはずそれを潰せただけでもマシと思うう。

「ドレッド・ドラゴンでハイエナに攻撃！」

ハイエナを燃やし尽くすドレッド・ドラゴン  
だけどハイエナは効果により……

「ハイエナの効果を発動しますわ！」

このモンスターが戦闘で破壊された時、デッキよりハイエナを特殊  
召喚できますの！

私はデッキより2体のハイエナを守備表示で特殊召喚！」

壁モンスターが増えた

だけど破壊するのは楽だね。

「ホルスの黒炎竜LV6でハイエナに攻撃！」

こちらのハイエナも燃やし尽くす

そういえばこのデッキ、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜系以外は炎属性モンスターが  
多いな

火霊術、「紅」を入れるか考えようかな？

こんなロックバーンを相手にした時用に……

まあ、今現在をどうにかできないと拙いんだけどね

どうやってあの黒蛇病をどうにかするか……難しいなあ。

「僕はこれでターンエンドだよ」

「私のターン、ドロー！」

この瞬間、黒蛇病の効果により、お互いに2000ポイントのダメージ  
を受けますわ！」

拙いな、僕のライフは残り2000と半分になった  
まさかここまで苦戦するとは思わなかったよ

最初は洗脳されるかとも思いつつ、軽い気持ちだったんだけどね。

「私は再び逆ギレパンダを召喚しますわ！」

更に魔法カード、野性解放を発動！」

自分の場の獣族モンスター1体の攻撃力を守備力分アップさせますわ！」

ちょっと待ってくれ

逆ギレパンダの守備力は1600

という事は攻撃力が1600アップするという事かい？

それはつまり……拙い？

「逆ギレパンダの攻撃力は相手モンスターの数×500ポイントアップしますわ

現在の攻撃力は1800、更に野性解放の効果で攻撃力が1600アップ

よって攻撃力は……3400！」

……僕のライフは残り2000

ドレッド・ドラゴンの攻撃力は1100

そして攻撃力差は2300……僕の負けじゃないか！

「逆ギレパンダでドレッド・ドラゴンに攻撃！」

「速攻魔法、飛龍天舞を発動！」

デッキからドラゴン族モンスターを……4体墓地へ送る！

対象モンスターの攻撃力を墓地へ送ったモンスターの数×300ポイントアップさせる！」

これでドレッド・ドラゴンの攻撃力は1200アップし、2300！」

これで倒されるものの、ライフは残る！

それでも受けるダメージは1100と軽くない

黒蛇病も有るし、このままだと僕の負けは確定している！

「ドレッド・ドラゴンの効果を発動！

戦闘で破壊された時、デッキからLV3以下のドラゴン族モンスターを1体手札に加える！

僕が手札に加えるのはデコイドラゴン！」

「それって確か……墓地のLV7以上のドラゴン族モンスターを蘇生させ

代わりに攻撃させるって効果だったような……

さっきの飛龍天舞で墓地に高LVのドラゴン族モンスターを捨てましたわね？」

その通り、さすがにバレバレか

まあ、今のやり方なら当然かな。

「仕方ありませんわ

カードを1枚伏せ、ターンエンド

エンドフェイズ時、逆ギレパンダは野生解放の効果で破壊されますわ」

良かった……

もしキャトルミューティレーションとコンボをされていたらと思うと……

危なかった、なんとかなって良かったよ。

「僕のターン、ドロー！」

僕はラヴァ・ドラゴンを守備表示で召喚し、効果発動！

この自身を生け贄にする事で手札と墓地からLV3以下のドラゴン族モンスターを特殊召喚する！

僕は手札からデコイドラゴン、墓地からドレッド・ドラゴンを特殊召喚！」

よし、これでなんとかなりそうだ！

ライフは心許ないけど……

「ドレッド・ドラゴンで最後のハイエナに攻撃！」

これで壁モンスターは居なくなった！

後は総攻撃すれば！

「ホルスの黒炎竜LV6とデコイドラゴンで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「きゃああ！」

これで残りライフは1200

ライフ差を300まで縮めたぞ！

攻撃を維持できれば僕の勝ちだ！

「僕はカードを2枚伏せ、ターンエンド！」

「クッ、私のターン、ドロー！」

黒蛇病の効果により、お互いに400ポイントのダメージですわ！」

これで僕のライフは残り500

彼女のライフは800か……

もし攻撃力1600以上のLV3以下のモンスターが出てきたら危

ないな。

「2体目のレスキューキャットを召喚しますわ！

そして効果により墓地へ送り、デッキからLV3以下の獣族モンスターを2体特殊召喚しますわ！

私はデッキより、デス・ウォンバットと逆ギレパンダを特殊召喚！」

しまったあ！

そいつらがまだデッキに入っていたのか！

逆ギレパンダの攻撃力は僕の場のモンスターの数×500ポイントアップする

元々の攻撃力は800、僕の場合にはモンスターが3体

よって攻撃力は2300！？

「更に罠カード、地霊術」「鉄」を発動！

地属性のモンスターであるデス・ウォンバットを生け贄に捧げますわ墓地より、レスキューキャットを特殊召喚！

そして再びレスキューキャットを墓地へ送って効果を発動！

デッキからデス・ウォンバットとコアラッコを特殊召喚しますわ！」

……超拙くないかい？

「コアラッコの効果発動！

自身以外の獣族モンスターが存在する時、相手モンスター1体の攻撃力を0にしますわ！

私はホルスの黒炎竜LV6の攻撃力を0に！」

攻撃力0って、それは酷すぎないかい！？

僕にどうしろって言うんだ！

逆ギレパンダの攻撃力は2300なんだよ！

思いっきりオーバーキルをしてでも倒すって感じじゃないか！  
君、堅守君と知り合いなのかい！？  
影響を受けてるように思えるよ！  
だけど、そうなるぐらいだったら！

「罠カード、バーストブレスを発動！  
自分の場のドラゴン族モンスターを生け贄に捧げる！  
そしてその攻撃力以下の守備力を持つモンスターを全滅させる！  
僕は攻撃力2300のホルスの黒炎竜LV6を選択！」

「そんな！？」

「ホルスの黒炎竜LV6、バーストブレス！」  
ホルスの黒炎竜LV6の出すブレスにより、場のモンスターは全滅した  
さすがに守備力2300以上は居ないからね。

「……ターンエンドですわ」

よし、彼女の間にはモンスターは存在しない  
だけど……レベル制限B地区は残ってる  
僕のデッキには攻撃力800以上のLV3以下のモンスターはそう  
多くない。

このドローで引けるか……  
もしドローできなかった場合、僕の負けが決定する  
彼女の間には黒蛇病、次の彼女のターンでお互いに800ポイント

のダメージを受ける  
つまり、引き分けとなってしまう。

引き分けの場合はどうなるのかな？  
堅守君は負けたら白化って言ってたけど  
引き分けだと……分からないな。

気になるけど負けるつもりは無い！  
これで最後だ、いくぞ！

「僕のターン……ドロー！  
……僕の勝ちだ」

「え？」

「僕がドローしたのは黒竜の雛  
攻撃力が800の……LV1のモンスターだ」

「このタイミングで攻撃力800のモンスター！？  
そんな……という事は私の……」

君は強かった  
だけど僕にはレッドアイズ達が付いている  
この決闘<sup>デュエル</sup>、僕の勝ちだ！

「黒竜の雛を召喚！  
<sup>ダイレクトアタック</sup>  
黒竜の雛、浜口君に直接攻撃だ！」

「きゃあ！」



よし、なんとか勝てた！

何故彼女がここまで強かったか気になるけど勝てた！

というか……本当に危なかったよ

負けるかと何度思った事か

最後のレスキューキャットには驚かされてしまったな。

しかし……彼女、レスキューキャットの効果を4回ぐらい使ったな  
獣族、僕が思っていた以上に強いらしい  
今後は気をつけた方が良くかもしれないね。

「はー……吹雪様、お強いですわぁ」

「君も強かったよ浜口君  
どうやってあそこまでの実力を？」

僕は堅守君のおかげかな

まあ、僕自身でも頑張ってるけど。

「私は堅守さんと何度も決闘デュエルしてるので  
現在3戦0勝3敗ですわ」

なるほど、それで強くなったのか  
彼と戦うと心を折られる可能性が有るからね  
酷い負け方をしたんじゃないかな？

例えば黒蛇病を利用されたとか  
オーバーキルをされたとか  
勝ったと思った所を叩き落とされたとか。

堅守君ならどれもしそうで怖いな  
全部正解してたら、僕は彼女を尊敬できそうだ。

「次こそは勝つと思っているのですが、どうも負けてばかりで  
なので今回の大会は丁度良い訓練になるかと思ったのですわ  
初戦で負けてしまいましたけど……」

「すまない、僕も負ける訳にはいかなかったんだ  
訓練にならなくなってしまったね」

少しだけ悪い気がするな  
別に相手の事情なんてとは思うけど。

「構いませんわ  
あの吹雪様をあそこまで追い詰めたんですもの  
次こそは必ず勝ってみせますわ！」

「あはは、頑張ってね」

とは言うものの……どうなんだろうか？  
何か嫌がらせのようなデッキを使いそうだし  
僕としては、また大敗しないか心配だなあ。

更に言うと光の結社に入っている状態ではね  
多分、彼は君の相手をしないと思うよ？

しかも、彼のお気に入りのレイ君にアレだからね  
更に嫌がられると思うけど  
でも、言わないのが親切なんだろうなあ……

「あ、メダルを渡しておきますわ  
私の負けですもの」

メダルを渡されるんだけど……  
だけど僕は……そう、僕は天上院吹雪だ！

「それは受け取らないでおくよ」

「どうしてですか？  
遠慮なさらずとも良いですわよ？」

「ふ、僕は恋をしている君を応援しよう  
僕は恋をしている君の味方だ  
レイ君との仲、それを僕は応援しようではないか！」

「それはつまり？」

分からないのかい？  
こんな簡単な事を。

「そのメダルを持ってレイ君にアタックするんだよ！  
幸いこのジェネックス大会では初戦では断る事ができない  
君の一途な想い、それをレイ君に届けるんだ！」

「……はい！」

ありがとうございます、吹雪様！」

ふ、これが僕だ  
例えば彼女が敵だろうと、恋をするのなら応援する  
後で堅守君に怒られようとも、明日香に怒られようとも

それでも僕は、浜口君を応援するよ！

「だけど、僕としてはまだ挑戦しない方が良いと思うよ」

「どうしてですか？

だって今、レイ君に想いを届けると……」

「僕が予想するに、堅守君はレイ君に課題を出している

例えばメダルを一定数以上集める……とかね

ならば浜口君も沢山メダルを集めるんだ！

そして沢山集めてレイ君に挑戦をする」

「そうなればレイ君は私に勝とうと頑張る

例えば私が負けてもレイ君の糧となるならば……」

浜口君、顔が凄くにやけてるよ？

だらしなから気をつけた方が良い。

「私、頑張りますわ！

吹雪様、私を導いてくださいまし！」

「応とも！

ならば浜口君、僕とタッグを組もう！

2人を相手にすれば時間短縮になるはずだ！」

「はい！

お願いしますわ！」

こうして僕は浜口君とタッグを組んだ

打倒レイ君！ 頑張ろう！

……後で怒られる覚悟はできている！

例え何と言われようとも

僕は止まらない、止められない！

## 104話【1日目?】（後書き）

何故リクルーターとロックを同時に？

特に意味はありません

どうしてそんな事をしたんでしょうね？

ももえが強すぎる！

最後の会話の通り、瑞貴に負けまくったからです  
アニメではプロにお遊びと言われたももえですが  
ジュンコと共に勝つ為のデッキを組んでいます  
その結果がこれです……それでも強すぎますが。

ももえは2枚目のキャトルミューティレーションで何を狙っていたの？

手札のデス・ウォンバットの特殊召喚です

ハイエナを倒され、リクルートしたハイエナを手札

そしてデス・ウォンバットを特殊召喚して黒蛇病のダメージを防ごうと……

残念ながら無理でしたが。

何故ももえはオーバーキルをしようとしたの？

飛龍天舞の前例が有ったからです

また攻撃力を上げられる可能性が有ったのでそうしました。

最後に吹雪……

これが吹雪だと思います

シリアスっぽいのは似合いません。

ツイッター……そういえば完全に忘れてます  
http://twitter.com/#!/ainkuria  
さて、何か言ってこよう。

## 105話【1日目?】（前書き）

「今日の最強カードは混沌の黒魔術師だ  
攻撃力は2800、守備力は2600の最上級魔法使い族のモンスター」

召喚か特殊召喚に成功した時、墓地の魔法カードを手札に加える  
更に戦闘で相手モンスターを破壊した時、そのカードは除外される  
ちなみにリアルでは禁止カードなので注意  
この世界はこんな悪用カードが禁止されてないから楽で助かる」

瑞貴でした、主人公が5番目ってどうなんでしょう？  
本当、悪用法が多数過ぎて困りますね  
もう制限緩和はされないんでしょうか？

今回はかなり詰め込みました！  
まさかの3戦……1戦1戦は短いとはいえ、作者はもう疲れたよ  
もう3戦なんてしたくないですね。

ゆまの口調を完全統一しようと思います  
え行……つまりえ、け、せ、て、ね、へ、め、れ  
これらのイントネーションを高くし、カタカナとしようと思います  
見逃しが有れば教えてくださると助かります  
今回、これで更に時間が掛かったんですね……

次回はどうか……朝から夕方まで家に居ないので分かりません  
……まあまあできるかな？



## 105話【1日目】

視点 彰子

うーん……別に誰が相手でも良いんだけど  
やっぱりできれば楽な相手と戦いたいな。

でも、弱い者苛めをして勝ち続けたって……  
やっぱり楽をするなって怒られるかな？  
どうしよう……

あ……レッド生徒発見

見つけたんだし、早く戦っておこうっと  
もし強そうな人が出てきても断れるように。

「あの……私と決闘してくれませんか？」  
デュエル

「え？ うへえ……ブルーの生徒  
断れないし……仕方無い、いいよ！」

やっぱり嫌そう……ごめんね？

「私は1年生の宇佐美彰子です」

「俺は2年生、にしぐち よしお西口良夫！  
よろしくな」

ブルーが相手でも素直な感じの人だなあ

卑屈にならなくて良かった……  
時々そういう人が居るもの。

「<sup>デュエル</sup>決闘」

「先攻は俺が貰うぜ、ドロー！  
闇・道化師のペーテンを守備表示で召喚！  
カードを3枚伏せてターンエンド！」

確かあのモンスターは魔法使い族のリクルーターモンスター  
別に怖いモンスターじゃないけど、伏せカードが……

「私のターンです、ドロー  
ハイドロゲドンを召喚し、攻撃します」

何の抵抗も無く破壊されたけど……どうしてかな？  
伏せカードがあんなに有るのに……

「闇・道化師のペーテンの効果を発動！  
こいつが墓地へ送られた時、こいつを墓地から除外して  
手札かデッキから闇・道化師のペーテンを特殊召喚する！」

「その前にハイドロゲドンの効果が発動します  
ハイドロゲドンは戦闘で相手モンスターを破壊し、墓地へ送った時  
デッキからハイドロゲドンを特殊召喚します」

「俺もペーテンを特殊召喚するよ！  
守備表示だ！」

お互いに特殊召喚する効果

このままだと私のモンスターがどんどん増えるんだけど……  
分かっていてどうして特殊召喚するのかな？

「続けますね

ハイドロゲドンでペーテンに攻撃します」

「破壊され、墓地へ送られたのでまたペーテンを除外し、新たなペーテンを守備表示で特殊召喚！」

「私も次のハイドロゲドンを特殊召喚します」

同じ行動の焼き直し

どうして態々ハイドロゲドンを出させるのか……

「ハイドロゲドンで最後のペーテンに攻撃します  
カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

なんとか全滅させたけど

3体も出せたのにダメージを与えられなかった  
ダイレクトアタック  
できれば1回ぐらい直接攻撃を決めたかったかな？

「おっと、永続罠カード発動！ 悪夢の迷宮！

ターンプレイヤーのエンドフェイズ時

そのプレイヤーの場に存在する表側表示の全てのモンスターの表示  
形式を変更するよ」

守備表示に……

ハイドロゲドンは守備力が1000だから戦闘破壊されてしまう  
厄介だけど、3体居れば……

「更に罠カード、断頭台の惨劇を発動！  
相手モンスターが守備表示になった時  
相手の守備表示のモンスターを全て破壊する！」

「そんな!？」

私のモンスターが全滅!？

こんなコンボをしてくるなんて！  
このままだと直接攻撃が来る！  
ダイレクトアタック

「俺のターンだ、ドロー！」

せっかくのチャンスなのにー……  
闇・道化師のサギーを召喚！」

……攻撃力600の通常モンスター？  
もしかしてあのデッキって……道化師を使ったファンデッキ？

道化師だから表示形式を変更させたり  
断頭台の惨劇は……脱出マジックネタ？

「闇・道化師のサギーで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

なんだか笑いながらサギーが来る……って、消えた？

そう思ったら突然目の前に出てきた!？

しかも蹴ってきた!？ 攻撃力が低いからどうという事も無いけど  
……

先手を取られたかな……600のダメージ  
そしてエンドフェイズになると悪夢の迷宮で守備表示に変更される  
守備力は1500でそこそこ高いから倒せないかも……

「俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだよ！  
エンドフェイズ時、悪夢の迷宮の効果でサギーは守備表示になる！」

「私のターン、ドロー！」

あ、良いカードが来た

しかもこの手札だと……あれ？

通れば私の勝ち？

「えっと……俊足のギラザウルスを特殊召喚します

このモンスターは特殊召喚扱いとして召喚する事ができます  
その代わり、相手は墓地からモンスターを特殊召喚できます  
貴方の墓地にはペーテンだけですよね？」

「そうだね

なら俺は墓地からペーテンを守備表示で特殊召喚するよ」

モンスターは増えているけど

全く問題にならないからいいか。

「相手がモンスターの特殊召喚に成功した事により

罨カード、狩猟本能を発動します

相手がモンスターの特殊召喚に成功した時に発動可能

私は手札から恐竜族モンスターを特殊召喚します

私は手札から……エンシェント・ダイノ超古代恐獣を特殊召喚！」

「攻撃力2700の最上級モンスター！？」

この子は堅守先輩から1000ポイントと引き替えと交換したカード

事故率が上がる可能性が有るって言われたけど……

「更に魔法カード、テールスイングを発動します！

L V 5以上の恐竜族モンスター1体を選択して発動します！

相手の場に存在する裏側表示のモンスター

または選択した恐竜族モンスター以下のL Vのモンスターを2体まで選択します

私は闇・道化師のペーテンと闇・道化師のサギーを選択

選択されたモンスターは手札へ戻ります！」

「な、なんだってー！

（モンスターが墓地に行かないと道連れが発動できない！  
って、俺の負けじゃないか！）」

あの伏せカードが怖いけど……

重力解除とか、そういうカードが来そう

念の為、念の為……

「ハイパーハンマーヘッドを守備表示で召喚します

バトルです！ 俊足のギラザウルスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぬおう！」

何も発動しない？

次の攻撃が通れば私の勝ち！

エンシェント・ダイノ  
ダイレクトアタック  
「超古代恐獣で直接攻撃！」

「お、おお、おおおおおおお！」

踏みつぶされる西口先輩

私の勝ちだけど……道化師のファンデッキかあ。

勝つよりも好きなカードを使う

それってこの人に取っては大事な事なのかな？

使いにくさよりも好きだから……

私も恐竜は大好きだし

強いとか弱いよりも、やっぱり恐竜を使いたいかな

でも、私は勝ちも目指す！

その方が絶対に頑張れるもの！

「いやあ、俺の負けだよ

1戦で敗退、頑張ってね」

「はい、ありがとうございます」

そう言って渡されるメダル

これで2個……まだまだ先は長い

頑張ろうっと！

視点 ゆま

誰か居ないかなー……発見！

レッド生徒だけど、問題無し！

よーし、絶対に勝つぞー！

「その人ー！  
私と決闘<sup>デュエル</sup>してくださいー」

「おれかー？  
いいぞー、決闘<sup>デュエル</sup>しよー」

なんだか間延びした口調の人だなあ  
どんなデッキを使うんだろ、楽しみ！

「決闘<sup>デュエル</sup>！」「決闘<sup>デュエル</sup>ー」

っテ、かけ声まで間延びしてるんだ  
楽しい話し方だね！

「先攻は貰います、ドロー！  
手札を1枚捨てテ、T H Eトリッキーを特殊召喚しまーす！  
カードを1枚伏せて、ターンエンドデすう！」

捨てたのは勿論、ゼータ・レティキュラント！  
早く相手のモンスターを除外したいなあ。

「あ、そういエば自己紹介しませんでしたネ  
私、宮田ゆまデす！ 1年生の！」

「おれはー間礼<sup>はざまれいじ</sup>二だよー  
ちなみに同じく1年生ー、んじゃ続けるよー、ドロー  
機械軍曹を召喚ー」

攻撃力1600かあ……  
T H Eトリッキーに負けるのに攻撃表示



絶対に何かするよネ？

「カードを1枚伏せてーおれはターンエンドだよー」

「私のターン、ドロー！」

手札が事故状態かも

でも、その事故を利用できる！

そんな手札って……酷いかもお？

「魔法カード、愚かな埋葬を発動！

デッキのモンスターを選択し、墓地へ送る！

デッキからゼータ・レティキュラントを墓地へ送りますう！」

これで墓地にはゼータ・レティキュラントが2体

後は……

「そして魔法カード、ブラック・コアを発動！

手札を1枚捨テテ、場のモンスターを1体除外します！

機械軍曹を除外！」

「それは困るー

永続罠、レアメタル化・魔法反射装甲を発動するよー

場の機械族モンスターを選択してー攻撃力を500アップー

そして1回だけーモンスターを対象とする魔法効果を無効化ー

これでブラック・コアの除外を防ぐよー」

う……しかも攻撃力が2100に

THEトリッキーで倒せない

どうしよう……仕方無いかあ。

「THEトリッキーを守備表示に変更  
ターンエンドデすう」

「おれのターン、ドロー  
メカ・ハンターを召喚ー  
メカ・ハンターでTHEトリッキーに攻撃ー」

あちゃあ……守備力1200じゃ勝てないよお  
しかも攻撃力2100の機械軍曹が……

「機械軍曹で直接攻撃ー」  
ダイレクトアタック

「ひゃあ！」

なんかいきなり腕を銃にしちゃ撃つてきた！？  
ビックリしたあ！ 驚いたあ……

ううう……2100のダメージ。

「カードを1枚伏せてーターンエンドー」

「私のターン、ドロー！  
カードを1枚伏せて、ターンエンドデすう……」

モンスターを出さないデ！  
モンスターを出さないデ！

「おれのターン、ドローー」  
ダイレクトアタック  
「うー……機械軍曹で直接攻撃ー」

やったー！

モンスターを出さなかったー！

「罨カード、因果切断を発動！

手札を1枚捨テテ、相手モンスターを1体除外！

そしテ墓地に同名カードが有れば一緒に除外……できなかった  
とりあえず、機械軍曹を除外！」

ついでにレアメタル化・魔法反射装甲は破壊！

そしテコレデやつと除外できたあ！

「墓地のゼータ・レティキュラントの効果を発動！

このモンスターが墓地に存在しテいる時

相手の場に存在するモンスターが除外される度に攻撃力、守備力共に500のイーバトークンを特殊召喚する！

私の墓地には既にゼータ・レティキュラントが3体！

よっティーバトークン3体を守備表示デ特殊召喚！」

なんとか壁モンスターは出せた！

コレデ追撃ダメージは無い！

「……メカ・ハンターでイーバトークンに攻撃！」

イーバトークンは破壊されるけど

そレデもまだイーバトークンは2体残ッテる！

「カードを2枚伏せてターンエンドー」

「私のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動シテ、更に2枚ドロー！

……永続魔法、冥界の宝札を発動！  
そしてティーバトークン2体を生ケ贄に、混沌の黒魔術師を召喚しま  
すう！」

堅守先輩に凄く高く売ってもらった混沌の黒魔術師！  
でも相性が良いから無理し買って！  
1年ぐらいお小遣い前借りして！

「……それって凄いレアカードじゃなかったー？」

「うん、お小遣いが大ピンチ……」

それはそうと、混沌の黒魔術師の効果  
召喚、特殊召喚に成功した時、墓地から魔法カードを1枚手札に加  
える！

私は墓地からブラック・コアを手札に加えるネ  
そして冥界の宝札の効果、2体以上のモンスターを生ケ贄に捧げて  
召喚に成功した時

デッキからカードを2枚ドロー！」

最上級モンスターを多分に含んでの除外デッキ

異次元の戦士、異次元の女戦士、D・D・アサイラント以外の下級  
モンスターは殆ど抜いちゃった！

その代わり、イーバトークンを利用したデッキにしで、最上級モン  
スターを召喚

冥界の宝札ドローして、また相手を除外してトークン！

これ、凄く頭使ったよお……

堅守先輩、教える時って凄く厳しいんだもん  
頭痛かったなあ……

「んー……ブラック・コアを発動！  
手札を1枚捨テテ、メカ・ハンターを除外！」

何も無く、除外された  
もうレアメタル化は無かったみたい  
コレデ大ダメージ！

「相手モンスターが除外された  
よっテ墓地のゼータ・レティキュラントの効果を発動！  
イーバートークンを3体特殊召喚！」

今度は攻撃表示  
コレが通れば私の勝ち！

「永続罨、暴走闘君を発動！  
私の場に存在するトークンの攻撃力が1000ポイントアップしま  
す！

そして戦闘デは破壊されません！」

「うあー……攻撃力が1500かー」

「混沌の黒魔術師デ直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ただではやられんぞー  
永続罨、機械王・B・C・3000を発動ー！  
このカードは発動後ー攻撃力と守備力が1000のモンスターカー  
ドになるー」

罨モンスター！？  
デも、簡単に倒せる！

「攻撃を続行！」

混沌の黒魔術師デ機械王・B・C・3000に攻撃！」

「速攻魔法ーリミッター解除ー

機械族モンスターの攻撃力を2倍にするー

勝てないけどー……最後の最後までするぞー

（もう1枚は援護射撃だけどー……

メカ・ハンターを除外されたから使えなかったなー）」

機械王・B・C・3000の攻撃力が2000になる

だけど、混沌の黒魔術師の攻撃力は2800

これは勝てる！

機械王・B・C・3000を戦闘破壊し、撃破！

ダメージは800ポイント！

「混沌の黒魔術師は戦闘破壊したモンスターを除外します！

よって機械王・B・C・3000を除外！

ゼータ・レティキュラントの効果……と、言いたいけど

除外したのはモンスターじゃなくテ、罠カードだから無理デした」

でも、コレデなんとかなるはず！

残りの伏セカードは1枚

イーバトークン達ダイレクトアタックの直接攻撃が決まれば私の勝ち！

「イーバトークン達3体ダイレクトアタックデ直接攻撃！」

「うーわー

やーらーれーたー……」

勝っっっっつたー！

でも、もう少しデッキ調整をしたいかも

私にはこのデッキ、難易度が高くテ難しい……

「機械王……出せなかったー」

「機械王好きなのお？」

「おー、大好きだー」

この機械王・B・C・3000だって機械王だから手に入れたんだー

知らないカードだったけど、ネットで売ってたー

高かったけど………なんとか買えたんだー」

好きなカードかあ……

私の好きなカードって何かな？

ゼータ・レティキュラント？

うーん……分かんない！

強くなっテ、勝テたら良いかも？

次に戦う時はウサミンに絶対に勝つのだー！

「おれの負けだからメダルー

頑張ってねー」

「うん、ありがと！」

間君と別レテまた相手を探す

頑張っテメダルを集メテ、堅守先輩に良いカードを貰うぞー！

視点 雪乃

誰か居ないかと探してるけど……

どうもレッド生徒ばかり

橋の近くなんて止めておけば良かったかしら？

ここ、レッド寮の近くだからかしら？

巨大温泉はこの先だから誰か通ると思ったのに

殆どレッド生徒が寮に帰る時ぐらいしか居ないんだもの  
つまらないわ。

仕方無い、適当に捕まえて倒すか

誰にしようかな……って、今見えるのは1人だけなのよね

好みじゃないけど、選り好みをしててもメダルは集まらない……か。

「ちよつとそこの貴方

私と決闘デュエルなさい」

「ボク？ いいよ」

初めまして、ボクは久保勇二くぼ ゆうじです

2年生で、貴女のお名前は？」

語尾だけが伸びてる……変な人ね

レッド生徒は変わり者が多いのかしら？

「藤原雪乃、1年生よ

では久保先輩、お相手願います」



私が構えると久保先輩も構える  
さて……どれぐらいの實力かしら？

デュエル 「決闘！」  
デュエル 「決闘」

……調子が狂うわね  
この話し方、どうにかできないかしら？

「ボクのターン、ドロー  
暗黒の狂犬を召喚するよ」

永続魔法、凡骨の意地を発動して、ターンエンドだよ」

凡骨の意地……つまり通常モンスターを軸にしたデッキね  
どんな展開をしてくるのか……

「私のターン、ドロー！」

手札が悪い……事故ね  
なんとかするには……これしか無いか。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「おろ？ 事故？」

ボクのターン、ドロー

凡骨の意地の効果を発動」

ドローフェイズにドローしたカードが通常モンスターだった場合、  
更にドローできる」

ボクのカードはミノタウルス、よってもう1枚ドロー  
次はジェネティク・ワーウルフ、その次はグレート・アンガス

次は……うーん、もう無くなった」

手札が8枚じゃない

そんなに下級の通常モンスターを集めてどうするのよ？  
召喚できるのは1ターンに1体だけなのよ？

「よーし

手札のLV4のジェネティク・ワーウルフ、グレート・アングス、  
忍犬ワンダードッグを墓地へ送り

手札からモンスター・ドラゴンを特殊召喚」

そんな特殊召喚方法のモンスターが！？  
LV8の最上級モンスターなんて！

「このモンスターは手札のモンスターを3体捨てて特殊召喚するんだ」

攻撃力は墓地に送ったモンスターのLVの合計の、300倍だ  
ボクが墓地へ送ったのは全てLV4、合計LVは12で攻撃力は3  
600」

「攻撃力……3600ですって！？」

レッド生徒だからって甘く見過ぎてた！

手札も悪いし、こんなモンスターが出てくるなんて！

「このカードね、手札が無いと役立たずでしょ？」

しかもLVが低いと役立たずだし、珍しいカードとしてネットで売  
られてたんだ」

だけどボクは凡骨の意地で沢山ドローできるし、使えるかなと思っ  
て買ったんだ」

高かったけど、これで強くなれたと思う」

珍しいって……確かに全く見ないカードだけど！  
それでもこんな……

「んー……ついでに魔法カード、融合を発動」  
手札のミノタウルスとケンタウルスを融合して、ミノケンタウロス  
を融合召喚」

攻撃力3600、2000、1900が並んだですって！？  
これはかなり拙い！

「モンタージュ・ドラゴンで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「そうはさせない！  
永続罠、メタル・リフレクト・スライムを発動！  
このカードはモンスターとなり、守備表示で特殊召喚されるわ！」

守備力は3000  
だけど一時凌ぎにしかない！

「守備力3000だったらモンタージュ・ドラゴンで勝てるね」  
モンタージュ・ドラゴンでメタル・リフレクト・スライムに攻撃」

メタル・リフレクト・スライムは簡単に倒される  
ダイレクトアタック  
残りの2体で直接攻撃が来る！

「ミノケンタウロスと暗黒の狂犬で直接攻撃」  
マッドドッグダイレクトアタック

「ぎゃあああああ！」

な、なんとかライフは100残ったわ  
まさかレッド生徒にここまでされるなんて  
運が悪かったら今の攻撃で負けていたわ！

「ボクはこれでターンエンド」

レッド生徒だからって馬鹿にできないわね  
今後はもっと警戒して戦った方が良いわ。

負けたら……怒られるならまだしも  
呆れられるのは、絶対に嫌！

「私のターン、ドロー！」

これで逆転が……できるわ！

「魔法カード、名推理を発動！

相手はLVを宣言し、私はデッキからカードを捲っていく  
通常召喚が可能なモンスターが出てきた時  
そのモンスターのLVが宣言されていないLVだったら特殊召喚で  
きる！

さあ久保先輩、LVを宣言してください！」

「そうだね、ボクはLV6にしておくよ  
LV8にしようか悩むけどね」

宣言されたのはLV6

当てられた場合、それでもまだなんとかなるけど……  
できれば召喚したい！

「1枚目、魔法カードのハリケーン……モンスターでは無いので墓地へ送られるわ

2枚目、大嵐……3枚目、激流葬……4枚目、クリッター！

クリッターは通常召喚が可能なLV3のモンスター、よって特殊召喚可能！

名推理の効果でクリッターを特殊召喚！」

モンスターを出せた、つまり私の手札には……

モンスターゲートが入っている！

「更に魔法カード、モンスターゲートを発動！

自分の場のモンスターを生け贄げ、デッキのカードを捲る！

そして通常召喚が可能なモンスターが出た時、そのモンスターを特殊召喚する！

1枚目、ライトロード・ビースト ウォルフ……通常召喚できないモンスターなので墓地へ

2枚目、創世神……ザ・クリエーター通常召喚できるモンスターよ、よって特殊召喚！更にライトロード・ビースト ウォルフはデッキから墓地へ送られた時、特殊召喚される！

そしてクリッターの効果、場から墓地へ送られた時にデッキから攻撃力1500以下のモンスターを手札に加える！

私はデッキから黄泉ガエルを手札に加え、ザ・クリエーター創世神の効果を発動！

手札を1枚捨て、墓地からモンスターを特殊召喚するわ！

私はクリッターを墓地から特殊召喚し、再びモンスターゲートを発動！

クリッターを生け贄にし、デッキのカードを捲る！

1枚目、ブローバック・ドラゴン！ 通常召喚可能なモンスターなので特殊召喚！

そしてクリッターの効果でデッキからネフティスの導き手を手札に

加える！」

「……ちょっと頑張り過ぎたかしら？  
まさか自分でもここまでできるとは……  
さすがに予想外よ。」

「ブローバック・ドラゴンの効果を発動！  
コイントスを3回行い、2回以上表が出た場合  
相手の場のカードを1枚破壊できる！  
私が選択するのは当然、モンスター・ドラゴン！」

これを外せば、私の負け！  
この綱渡りのデッキがこのデッキの醍醐味なのよ  
さあ……コイントス！

「コイントス1回目、表！  
コイントス2回目、裏！  
コイントス3回目……表！  
表が2回出た事により、ブローバック・ドラゴンの効果が発動！  
モンスター・ドラゴンを破壊するわ！」

「お……おお……凄いなあ」  
このまままた召喚されたらボクの負けかも？」

それは分らないわ  
でも……あの状況から私が勝ったら楽しいと思わない？

「3枚目、モンスターゲートを発動！  
ライトロード・ビースト ウォルフを生け贄に捧げ、再びデッキを  
捲るわ！」

1枚目は強欲な壺、2枚目は早すぎた埋葬、3枚目は亜空間物質転送装置

4枚目は混沌の黒魔術師……通常召喚が可能なモンスターよ  
よって混沌の黒魔術師を特殊召喚！

更に混沌の黒魔術師の効果、召喚か特殊召喚に成功した時  
墓地から魔法カードを手札に加えるわ！

私は墓地より強欲な壺を手札に加え、発動！  
デッキからカードを2枚ドローする！」

ドローしたカード……これでまだまだ続けられるわ  
初手が悪かったものの、その後は最高みたいよ！

「魔法カード、名推理を発動！  
さっきも使ったわね、久保先輩、LV宣言をお願いします」

「いやあ……これを外したらボクの負けだね  
なら今度はLV8にするよ、どうなるかな」

簡単よ、当然外れるわ！

「1枚目はLV7の可変機獣ガンナードラゴン  
よってハズレ、ガンナードラゴンを特殊召喚！」

「ハズレかあ  
これはボクの負けだね  
合計攻撃力が9000を越えてるし」

「そうね……  
ブローバック・ドラゴンでミノケンタウロスに攻撃！」

ブローバック・ドラゴンの銃が火を噴くわ！  
ミノケンタウロスは体を打ち抜かれ、破壊される。

「ザ・クリエイター 続いて創世神で暗黒の狂犬に攻撃！」  
マッドドッグ

ザ・クリエイター  
創世神の降らせる雷により、破壊される  
一瞬、骨が見えたのは気のせいだと思うわ。

「これで終わりよ！」

可変機獣ガンナードラゴンと混沌の黒魔術師で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「うわああああ！」

勝った！ なんとか勝てた！  
もう絶対に相手を甘く見ないわ！

「負けたか」  
うん、君の勝ちだからメダルを渡しておくね  
これから頑張って勝ち抜いて行ってね」

「ええ、ありがとう久保先輩  
それでは」

「じゃあね」  
デュエル  
また決闘してね」

考えておくわ  
でも、次は必ずダメージを減らす！  
そしてまた勝つ！



それにしても、まだメダルは2枚  
100枚到達にはまだまだ先は長いわね……

## 105話【1日目?】（後書き）

今回の登場したレッド生徒って……

全員TFから参戦しました

勿論、ゲーム内でも全員レッド生徒です。

ゆまのデッキが色々と変わってる……

手札からカードを捨てるというカードが増えました

他にも色々……最上級モンスターも増えました

今回からはゼータ・レティキュラントを中心とした最上級モンスターデッキとなります

詳しくはWiki内の【レティキュラント】というデッキを参考にどうぞ。

ゆまの手札事故って？

手札に最初からゼータ・レティキュラントが2枚来ました

明らかに邪魔です

まあトークンさえ出せればとも思いますが……

機械王・B・C・3000だと!?

瑞貴のネットオークションにて売り出されたカードです

偶に未来のカードも売ります、かなり高くしてですが

ちなみに未来のカードはそんなに売りません。

モニタージュ・ドラゴン!?

機械王・B・C・3000と同じです

彼らは運良く見つけられたようです

かなりの金を使ったでしょうが……

雪乃が……

超展開でした

ちなみにライトロード・ビースト ウォルフはデッキに1枚だけです  
瑞貴がマイナスポイントからプラスになったので気紛れにプレゼント  
嬉しかったものの、更なる事故要因となり入れるか悩んだのかなん  
とか……

ツイッター……投稿が遅れたらよく忘れる

<https://twitter.com/#!ainkuria>  
編集とかでも忘れる。

## 106話【1日目?】（前書き）

「今日の最強カードは……無い!？」

私の出番なのにい!

酷い! 酷いデすう!」

見ての通り、ゆまでした

特に理由はありません、ちよつと可哀想だったかな?

今回は決闘は無しです  
デュエル

初日の結果発表という感じなだけの回

それとちよつと別の話も……

まあ、ぶっちゃけ文字稼ぎですね。

次回は2日目……ではありません

少し飛ばして3日目になります

毎日分を書いていたら切りがありません

よって、1日か2日飛ばしで書いていく予定です。

## 106話【1日目?】

視点 瑞貴

くぁ……よく寝た

今は夕方か、6時間ぐらい寝たかな?

久しぶりに馬鹿みたいに寝たな。

あー……気持ち悪い

昼寝をするとどうも気分が悪くなる

つまり機嫌も悪い、スツキリしないのは何故だ?

眠気は覚めたから良いんだが。

さて、どうしようかな?

散歩でもして気分を晴らすか。

そう決めた時、部屋に入って来る奴が……

誰かと思ったが、数える程しか居ないか

どいつだ?

「戻りました!

見てください、メダル12枚です!」

マナ……お前、これだけの時間で11人も狩ったのか?

ロック系だから多少時間が掛かると思ったんだが

よくそこまで狩れたな。

そしてブルー女子の制服を何故着ている

別に構わないが……それって確か長期休暇の時のじゃなかったか？  
明日香に貰ったとかだったはず。

「ちなみに相手はどんな奴らだった？  
狩った奴らの制服と人数ぐらい覚えてるだろ？」

「えっと……レッドの生徒は5人  
イエローの生徒は3人、ブルーの生徒が2人です  
ブルー生徒1人から2枚貰ったので11枚手に入れました！」

そんな褒めて褒めてと犬のような顔をされても困るんだがな  
今は機嫌が良くないし、嫌味を言ってしまうそうだが何も言わないのも……仕方無いな。

「明日、その3倍のメダルを手に入れてこい  
レイと比べて多かったら無条件で抱き枕  
賭け勝負はしなくていいぞ」

「本当ですか！？  
頑張ります！」

マナへ怒りを向けるのを回避成功  
八つ当たりはあまり好かないからな……  
早く気分転換しないと拙い。

そう思っていると部屋をノックする音が……  
今度是谁だ？

可能性としては1年生カルテットの誰かだろうが。

「マナ、少し消えてろ」

「はい……」

まだレイ以外には教えてないからな  
別に教えても構わないんだが……一応。

扉を開けてみると案の定

1年生カルテットの1人だった。

「こんばんは堅守先輩」

「お前か、雪兎」

「雪乃です」

それはさておき、レイから聞いたけど  
メダル50枚以下で罰ゲーム

100枚以上で褒美、300枚以上で追加で褒美」

やはり聞いていたか

聞いていなかったら来ないだろうし

いや、こいつなら来たか？

「確かにレイに言った

お前に当て嵌まるとまでは言っていないが……

参加したいか？」

「したいわ

そしてこの通り、現在メダルは15枚よ」

初日で14枚も手に入れたか

マナ以上だが……まあこいつの場合は割とすぐに終わる  
となるとマナより多いのは必然か。

「生徒の服は？」

「レッドが3人、イエローが6人、ブルーが3人よ  
イエローとブルーの生徒でメダルを2枚持っている人も居たの  
それで合計で14枚よ」

へえ……弱い者だけを狩ったわけじゃないらしいな  
これは高得点だ、100ポイント付けてやろう。

「堅守先輩、モンスタージュ・ドラゴンって知ってる？」

レッドの生徒がネットで買ったって言ってたの

そんなカード、私は知らなかったけど堅守先輩はどうかと思って」

モンスタージュ・ドラゴン？

ああ……確かにネットで売ったな、1回だけ  
それをここのレッド生徒が買ったのか。

勝ったみたいだが、顔が不機嫌だな

どうやら勝ちはしたが苦戦したらしい

レッドに苦戦したのが腹立たしいのか？

「まあ知ってるぞ

手札のモンスターを3枚捨て、その捨てたモンスターのLV合計の  
300倍の攻撃力となる

で、どれぐらいの攻撃力を見たんだ？」

「……LV4を3体、合計LVは12で攻撃力は3600だったわ



私のデッキは最高攻撃力が2800だもの  
しかも攻撃力上昇カードなんて殆ど無いデッキ  
凄く焦ったわ、もしブローバック・ドラゴンの効果が成功しなかつたら負けていたかもしれないもの」

攻撃力3600なんて低い方だがな  
あのモンスター、元の世界では攻撃力6000オーバーも割と出てくるし

俺としては寧ろ、その程度の攻撃力しか出せなかったのかと問いたい。

「だけど、それ以外の生徒には割と楽に勝てたわ  
モンタージュ・ドラゴンはどう見たく無い……」

「頑張ったんだな  
また明日も頑張れ」

「……はい！」

そんな嬉しそうな顔をされてもなあ  
半分近くは適当に激励したんだが  
こんなものでも嬉しいものなのか？

そう思っていたらまた戸を叩かれる  
次は誰だと思いいながら開ける。

「こんばんは堅守先輩！」

「羽鳶か

お前もレイから話は聞いてるんだろ？

参加するか？ 参加しないか？」

数秒、俺の言いたい事を理解できなかったらしく、首を傾げる  
しかしメダルの件だと気付いて何度も頷く。

「参加します！」

私、今日デ10枚になりました！」

ふむ、現在では最低枚数だな  
それでも10枚は多いんだが……

「どの生徒を狩った？」

「どの生徒？ 制服の事ですかあ？」

レッド生徒を5人、イエロー生徒を3人、ブルー生徒を1人です！  
全員から1枚ずつデ9人に勝ちましたあ！」

レッドを中心として狩ったか  
マナと殆ど変わり無いな  
それでもそこそこの成績か。

「あ、ユキノンはどうだった？」

「私は15枚よ

貴女よりも5枚多いわ」

「15枚！？」

凄いなあ……やっぱりユキノンは強いネ！」

強さじゃないんだがな

デッキの特性の問題でもある。

雪兎は速攻を中心としているデッキ  
羽鳶はゼータ・レティキュラントを墓地に送ってから動くスロース  
ターター

そうなれば……まあ、雪兎の方が早く終わるのは当然だな。

2人が談笑している時、部屋が開いた  
ノックもせずに入ってくる……どっちだ？

「こんばんは瑞貴  
メダル、そこそこ集まったわよ」

「よう明日香  
狩った生徒は？」

明日香にはこれだけで通じる  
俺の言いたい事ぐらい分かるだろう。

「レッド4、イエロー3、ブルー7  
獲得メダル枚数は19枚で元々持っていた1枚  
合計で20枚よ  
メダルを2枚や3枚持っているブルー生徒を見つけれられたのは幸運  
だったわ」

よくそんなに狩れたな  
どれだけ短期決戦をしたんだか  
ソリティア、何回したんだ？

「さすが明日香先輩ね

私は15枚が精一杯だったわ」

「私なんテ10枚……  
凄く負けた気分デすう」

マナは12枚だけどな  
本当、よくもまあ集めたものだ。

「どう瑞貴、この調子なら明日には50枚集まるわ  
罰ゲームは絶対に回避してみせる！」

それが目標か？

300枚を絶対に目指すとか言っても良いだろうに。

残りはレイと……兎角か  
モノクロ  
白黒は来るのか分からないからどっちでも良い  
誰が最下位かなっと。

そう思っているとノック後、扉が開いた  
来たのは噂をすれば影、レイと兎角だ。

「ただいまー」

「おじゃまします……  
こんばんは、堅守先輩」

「つて、もうみんな居る！？  
もしかしてボク達が最後？」

確かに最後かもしれないな

つか、男女比率がおかしくないか？

1…5、マナも含めれば1…6なんだが。

……まあどうでも良いか

別に女が何人居ようが違いは無いし

部屋が狭く感じるぐらいか。

「おかえりレイ、貴女達が最後よ

貴女達は何人ぐらい倒してきたの？」

「ボクはレッドの人を3人

イエローの人を2人、ブルーの人を3人

1回引き分けちゃったから9枚しか集まってないんだ  
あれに勝ってたら10枚だったのになあ……」

「私は……レッドの人を7人

イエローの人を6人、ブルーの人を3人です

1人が2枚メダルを持っていたので18枚でした」

レイはデッキ特性上、数が少ないのは分かるが

兎角は凄いな……質より量という感じだが

この中では2位か。

「ウサミン……2位だね

凄いなあ、私は10枚だもん」

「私は15枚よ

彰子は凄いわね、私よりも上だなんで……」

「ええ！？

私が2位!？」

まあ兎角の性格だと驚くか

兎角の性格を知っている奴なら全員驚くがな  
まさか撃破数がトップだとは……

「そういえば瑞貴は何枚なの？」

貴方の事だから最低1回だけしか戦って無さそうだけど」

「俺か？」

俺はメダルを誰かさんにプレゼントした  
故に俺は0枚だ」

部屋から音が消える

可能性が有るので耳を塞いでおく  
いや、ここは耳栓を……

「「「「0枚!？」「「「「」

ぐああ！ 間に合わなかったか！

こいつら声がでかい！ 煩いんだよ！

耳鳴りが……このキーンという音が頭に響く

こいつら、俺を怒らせたのか？

「お前ら煩いんだよ！」

「だ、だって瑞貴が0枚なのよ！  
誰にメダルを渡したの!？」

「誰でも良いだろうが！」

別に俺が自分のメダルをどうしようが構わんだろ  
面倒なんだし、毎日1戦なんてやってられるか！

「教えて堅守先輩！」

私とそのメダルを取り返してみせるわ！」

「別に奪われたわけじゃない！  
少し冷静になれ雪兎！」

こいつはこいつで何を考えての発言だ？  
欲しいのなら自分で奪ってみろ  
マナに渡したとは教えんがな。

「瑞貴さんがメダルを渡した相手……」

レイはレイで気付きそうだが  
だがレイ、お前がマナと戦った場合は相性が悪いぞ。

魔法族の里も王宮のお触れも  
白黒<sup>モククロ</sup>みたくモンスターを奪ってもどうしようも無い可能性が高い  
ホルスの黒炎竜とは違うんだからな。

「堅守先輩

その渡した人ってメダルを何枚集めたんですか？」

「12枚だ、ちなみにロック系デッキの使い手  
時間が掛かるデッキで12枚ならそれなりの実力だな」

兎角の質問に答えてやる  
数人が考える仕草を取る  
何を考えて居るのやら……

「誰と相性が良くて誰と相性が悪いんですか？」

「そこまで教えてやる義理は無いぞ兎角  
まあ戦っても頑張るんだな  
実力はそれなりだし、お前らと同等かな？」

しかしこいつら、俺の予想以上に動いたな  
この調子なら5日目には全員100枚突破をしそうなんだが  
奪えるメダルの枚数が増えていくんだし。

「この話はここまでだ  
他に話す事が無いんだったら出て行け」

別にする事は無いが  
……いや、散歩に行こうと思っていたんだったな  
しかしこいつらを部屋に置いていくのも……

いや、大丈夫か？

明日香やレイには俺の物には下手に触れないように言っているし  
何度も釘を刺してるし、カルテットが触ろうとしても止めるだろ。

更に言うと、誰も出て行こうとしない  
なら俺が出て行こう、まだ気分が悪いし。

「出て行かないんだったら俺が出るぞ  
少し散歩をしたい気分なんだ」



「出るの？」

ボクも行って良い？」

「いや、1人でぶらぶらとしたい

適当に時間を潰してろ

残るのは構わんが、あまり遅くまで残ってるなよ」

雪兎達ブルー女子達にそう言っで部屋から出る

どこに行こうか……森の湖にでも行くかな

あそこは落ち着く、自然って良いよなあ。

ああいう静かでのんびりとできる場所は貴重だ  
さて、ボーツとして気分が落ち着いたら戻るか  
いつになる事やら……

視点 明日香

「そういえば……私達女子が5人もこの部屋に居るけど  
堅守先輩って誰か好きな人って居ないのかな？」

ゆまの言葉に時が止まった……気がした  
そういえば瑞貴からそういう話は聞かないわね。

「言われて見ればそうかも……

同じ部屋に5人も女子が居るけど

堅守先輩、いつも同じだし

私達に興味が無いのかな？」

女の子って恋愛話とか好きなものね

私はそんなに好きじゃないけど

それにしても、レイが居る前でなんて話を……

「私、そういう話なら少しだけ聞いたことが有るわよ」

どうして知ってるのよ！？

瑞貴と何が有ってそんな話を！？

「さすがユキノン！

デ、どんな内容？」

「会ってから数時間しか経ってない人に告白されたらしいわ、堅守先輩

だけどたったその程度の時間、殆ど知らない相手と付き合うなんて

絶対にご免だって

なかなか美人の告白だったのに……勿体ない人よね」

どうしてそこまで知ってるのかしら？

まるで見ていたみたい……まさか覗き！？

それは駄目よ雪乃！

って、私は人の事を言えないわね

何度もしてるし……

十代とジュンコとか、十代とジュンコとか、十代とジュンコとかを。

ジュンコ、光の結社に入ってたってももえが言ってたけど

大丈夫かしら？

何回か顔は見ているけど話さないから分からないわ。

「なら

知り合っテそれなりに経っテいるユキノンだったら告白を受けるのかなぁ？」

雪乃の告白……か

瑞貴が受けるかしら？

あんまり女子に興味が無いみたいだけど。

「どうかしらね

今は止めておくわ、焦って行動したら逆に嫌われそうだし告白するにしてもどうにかして好感度を上げてからにするわ」

「雪乃さん……もしかして堅守先輩が好きなの？」

それは無いでしょ

瑞貴を好きになる人なんてマナやレイぐらいよ  
だって好きになる要素なんて殆ど無いじゃない。

自分でもそう思ってるでしょうし

瑞貴のどこが良いのかしら？

そこら辺、私は分からないわ。

「ふふ、どうかしらね？

そういう彰子はどうなの？」

「わ、私！？」

堅守先輩は別に好きじゃ……

物知りなお兄さんや先生って感じかな？

時々怖いけど、優しい事も有るし」

瑞貴は頭が良いものね

どうしてあんな知識を持ってるのか  
気になるけど、どうせ教えてくれないんでしょうね。

「それに私、長女で妹達が居るの  
兄や姉とか欲しいって思ったし  
そう思うと……ちょっと困るけど良いお兄さんかなって  
でも、兎角は止めてほしいかも」

ふ……彰子、兄が居ても辛いだけよ  
あんな兄……私には不要だったわ  
できれば記憶から消したいぐらいよ。

私は逆に妹や弟が欲しいわ  
でも妹はレイが居るから、少しだけ満足よ  
瑞貴、抱き枕変わってくれないかしら？

「ゆまちゃんはどうかのかな？  
私は言ったんだし、ゆまちゃんも教えて？」

「私？ うーん……分かんない！  
好きか嫌いかデ決メると好き？  
微妙かも、私の場合は先生かな？  
色々と教エテくれるから」

ゆまならそんな感じかしらね  
恋愛とか、興味は有るけど自分はって感じみたいだし。

「レイオンは？」

「だから……はあ

ボクは瑞貴さんの事が好きだよ」

レイは平然と言うけど、顔が赤いわよ？  
キスした時の事でも思い出した？

「わあ……レイちゃん、サラッと言ったね  
私はちよつと無理かも」

彰子の顔も赤い  
やっぱり恋愛話は好きなのかしら？  
レイの大胆さとかが原因？

「そういえば……明日香さんはどうなの？  
瑞貴さんの事、どう想ってるのかな？」

「わ、私!？」

どうして私に矛先を向けるのよ！  
私まで巻き込まないで！

1年生で親睦を深めるだけにして！

「明日香先輩、堅守先輩と同じ学年ですよね？  
だったら1年目に何か有ったのでは？」

「レイに雪乃、私まで巻き込まないで！  
私は瑞貴の事なんて……瑞貴の事は……」

どう想ってるのかしら？

嫌いじゃないわ、それは確實

でも好きかと問われれば……返事に困るわ。

好きになれる要素が殆ど無い瑞貴

うーん……私、瑞貴の事をどう想ってるの？

「(淒く悩んでる、そんなに悩む事かな？

毎日泊まりに来てるんだから好きだと思うけど

もしかして明日香さん、自覚してないの？)」

「(明日香先輩……堅守先輩の事を好きなんですか？

そう見えるんですけど、明日香先輩自身は微妙なのかな？

お互いに解り合っているように見える時が有るけど)」

「(そんなに悩む事かなあ？

明日香先輩は堅守先輩の事、好きじゃないのお？)」

「(レイ以外にもライバルが居た……と、言えるのかしら？

端から見る限り、堅守先輩の事を慕っているけど……好きだと思えるぐらいに

明日香先輩ってもしかして鈍感なのかしら？

それとも単に自覚していないだけ？

このまま自覚されなかったら楽なんだけど……

でも、ライバルが増えたら……それはそれで燃えるわね)」

やっぱり友達よね？

瑞貴は友達、最初から何度も言ってるし

私もそう思ってる、瑞貴もそう思ってくれている……はず！

「うん、そうね

私からすれば瑞貴は友達よ

好きとか嫌いとかじゃなくて友達

友達としてなら瑞貴は好きよ」

「「「（逃げた？）」「」」」

何を悩んでいたのかしら

恋愛の話だと思ってたけど違うじゃない  
瑞貴をどう想っているかというだけよ。

なら友達に間違い無いわ  
態々そんなに悩む必要なんて無かった。

「（そういえばそんな話を聞いた事が有るような気が……  
でも、その返事は卑怯だと思うよ明日香さん）」

「（堅守先輩がお友達……無理かも  
1回先生として見たからそんな立場にはちよつと……  
お兄ちゃんという感じにも見てるから尚更難しいかな）」

「（友達……そっか、堅守先輩が友達デもいいのか！  
さっきの質問、私の答エは年上のお友達！  
うん、これがなんだかシツクリ来るかも！）」

「（咄嗟の言い訳と取るか、それともそう自分を誤魔化していると  
取るか  
はたまた本気でそう思っていると取るか……最後かしら？  
でも、全部当て嵌まりそうなのよね）」

なんだか一部の子の視線が痛いんだけど……どうして？  
私の返事、何か変だったかしら？

視点 瑞貴

あー……楽になった  
さて、寮に戻るか。

そう思って歩いていると、モノクロ白黒を見つけた  
どうも上機嫌だな、どうしたんだ？

モノクロ「よう白黒」

「やあ堅守君  
こんな時間にどうしたんだい？」

「別に、ただの散歩だ  
そうそう、お前にも課題を出しておく」

「……課題？」

モノクロ白黒の顔が歪む  
嫌だとかでは無いな、気になるや興味が有るか？  
嫌がりそうだったんだが……何故だ？

「その課題、みんな受けてるのかい？  
レイ君や、明日香も」



「ああ、受けてるぞ」

気のせいか、一瞬だけ白黒モノクロの目が光ったような気が……  
良い事を聞いたという感じに思えた  
こいつ……何のつもりなんだ？

「手に入れたメダルが50以下だと罰ゲーム  
100枚でノルマ達成で褒美、300枚以上で褒美追加だ」

「ちょっと待ってくれ！  
50枚や100枚は良いでしょう！  
だけど300枚は難易度が高すぎるよ！」

「気にするな  
最低でも50枚で良いんだ  
頑張って溜めろよ」

それだけ言っただけ俺は部屋に向かう  
何を考えているかは知らんが……  
まあ、俺に害が無ければ良いか。

放っておいても大丈夫だろう  
さすがのあいつでもそんな馬鹿な真似はしない……はず  
断言できないのが残念だが。

「（良い事を聞いた……これは浜口君に教えねば！  
30枚以上で丁度良いぐらいだろう  
80枚以上集められたら確実にOKのはず！  
よし、明日になったら必ず教えよう！）」

嫌な予感がするような、しないような……なんだか微妙だな  
まあ大丈夫だろう。

部屋の前に来ると……どうも賑やかだな  
お前ら、何の話をしてるんだ？

「ただいま」

「あ、おかえりなさい瑞貴さん  
早速だけど質問して良い？」

……本当に早速だな  
しかも藪から棒に……何なんだ？

この質問を受けたらいけない気がするが  
だがこいつらの……特にレイと雪兎の目が謎に怖い  
どうしても気になるとか、そんな感じの目だ。

兎角は興味を示している程度  
羽鳶は楽しそうに見ているだけ  
明日香は……その複雑そうな顔は止めろ。

「な、なんだ？」

拙い！ 勢いに負けた！  
つい受けるような返事を！

「瑞貴さんって……どんな女性が好みだったあ！」

女性と聞こえた瞬間、嫌な予感がしたので拳骨  
好みと聞こえた瞬間には既に殴っていた  
こいつ……人前で何て事を訊くんのだ！

「で、こんな話になった切欠は何だ？  
原因の奴も拳骨してやるから名乗りを上げろ  
今ならシッペで済ませてやるぞ」

「はい！ ごめんなさい！  
私です、ごめんなさい！  
名乗り上げたのデ拳骨は勘弁してください！」

お前か、羽鳶！  
だから楽しそうに見ていたんだな！  
羽鳶の腕を取り……シッペ！

「つつううう……」

「さあお前ら出て行け  
今すぐ、今すぐに出て行け！  
いつまでも残っていると拳骨だ！」

「「は、はい！  
おじやました！」「」」

俺が相当怒っていると分かったらしい  
急いで逃げ出す兎角、羽鳶、雪兎の3人  
だが、当然のように居座る明日香……決定だな。

「いった！

何で私を殴るのよ!？」

「俺は出て行けと言ったはずだ！  
残っていれば拳骨ともな！  
泊まるつもりなら甘んじて受ける！」

明日香は拗ねるが無視  
そして出て行くような動きは全く無い  
つまり残るつもりだな……はあ。

「あの……瑞貴さんって、睨まないで！  
もう訊かないから！　だからそんなに怒らないでよ！」

思わずレイを睨む  
また訊いてくるのかと思ったが、そんなことは無かった  
ったく……色気づきやがって。

お前の年齢ではまだ早いつての  
いや、相手が俺だから何とも言えんが……  
本当にこいつは俺の何が良いんだ？  
どれだけ考えても全く分かん。

「瑞貴さんがメダルを渡した相手って……マナさんだね？」

「え？」

そうなの？」

殆ど確信してるという感じのレイ  
そして全く分かっていない明日香  
……さすがに分かれよ明日香。

「正解だ

俺がメダルを渡したのはマナ  
変装させて適当に出て、適当に勝ってこいと言っておいた  
だからマナは狩って勝ってを勝手にするだろうな」

「かってかってをかって？」

言葉だけだと漢字変換は難しいか  
イントネーションが大事だからな  
日本語と漢字は世界的にも難易度が高いらしいし。

外国人では……だが、それが良い！  
という人間が少なからず居るらしい  
故に無駄に難易度が高い日本語を謎に勉強する人も……

俺は日本人だからそこら辺はちよつと分らんな  
英語はできるがフィーリングまではちよつと……  
オーラルコミュニケーションの授業は少し苦手だ。

「動物や獲物を狩る、戦いや敵に勝つ、人が好き勝手に動く  
そういう意味の漢字を使ってるのよ  
瑞貴もややこしい言い方はしないであげなさいよ」

「レイは高校生扱いだ  
この程度は分かって貰わないと困る  
よって今夜は勉強会だな  
明日香、お前も手伝え」

「はいはい」

「えー……そんなぁ……」

レイは文句を言うが止めない  
数日に1日はこうやってレイを苛めている  
ただでさえジェネックス大会で授業が無いんだ  
勉強も教えないとこいつの成績が……

「ほらレイ、この漢字の意味はね……」

「うううう……だから難しいって  
もう少し手加減してよ明日香さん」

「これでもかなり手加減してるんだけど……  
瑞貴よりは十分優しくしているはずよ  
ほら、この漢字はこういう時に使って」

今回は明日香に任せるか

馬鹿な事は教えないだろうからまだ安心だし。

それにしてもジェネックス大会……

数日以内にはプロが上陸してくる

明日か、明後日か……それともまだ先か。

明日香はプロにも勝てる可能性は高い  
レイ、モククロ白黒もだ。

だが、兎角や羽鳶に雪兎はどうだろうか？  
まあお遊び感覚でプロをしている奴も居るから大丈夫だろう  
偶に酷いデッキ構築をしているプロも居るしな。

ま、俺は相変わらず高みの見物だな  
マナには頑張ってもらおう  
俺は……また寝るか。

## 106話【1日目?】（後書き）

みんな狩り過ぎだろ……

頑張ったんでしょ

しかし描写はしません、大変なので。

明日香が凄い、でも海野の時に疲れたって……

八つ当たりをしました

結果、1ターンキルやソリティアをしたようです。

彰子も凄い……

どんどん戦った結果ですね

勢いに乗ったようです。

雪乃が言った内容って……

自身の事ですね。

瑞貴が兄や先生……

そんな所でしょう

あんまり増やすのもアレですし。

吹雪が……

彼は彼です。

ツイッターがツイندر……

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
下らないギャグです。



## 107話【3日目?】（前書き）

「今日の最強カードは……マジシャンズ・クロスです  
自分の場に魔法使い族モンスターが2体以上存在している時に使えます

モンスターを1体選択して、そのモンスターの攻撃力を3000に  
でも、そのターンは選択した魔法使い族モンスターは攻撃できません  
速攻魔法だから相手のターンにも使える、魔法使い族が相手だと注  
意しないと……」

彰子でした

原作、アニメでは速攻魔法のマジシャンズ・クロスです  
速攻魔法だと凶悪過ぎて……だからOCGの時に通常魔法にしたん  
ですかね？

今回もTFキャラが相手です

誰だって？

まあ見てのお楽しみに  
ただし、ソリティアが有るので注意。

次回は誰にしようかなつと  
時系列的に登場しているカードで組むのって大変なんですよね  
どうしようかなあ……

## 107話【3日目】

視点 マナ

うううう……せっかく昨日だけで37枚もメダルを集めたのに、合計49枚も集まったのに、レイちゃんが合計50枚だなんて！  
どうやって1日で41枚も集めたの！？

くやしいなあ、今日は絶対に勝つ！  
という訳で見つけた人を適当に……

「その貴女、アタシと決闘デュエルしなさい！」

戦おうと思っていたら逆に狙われた  
デュエル・アカデミアの女生徒みたい  
誰が相手でも良いけど……

「きゃ！ 予想通り美人！  
声を掛けて大正解！」

……何、この人？

「えっと……決闘デュエルですか？」

「ええ、そうよ

アタシは貴女と……ふふ」

背筋がゾゾッてしたあ！

この人なに！？ 何者！？  
なんだか相手をしたらいけない気がする！

「いくわよ！」

でも初戦だから断れない！  
凄く嫌だけど、相手をしないと！

「アタシの名前は大庭おおばナオミ、3年生よ！  
見た事が無い生徒だけど……1年生かしら？」

あ……私、生徒じゃないから分からないんだ  
何て言えば良いんだろ……

「えっと……秘密  
私はま……マルナです！」

どんな名乗りでも駄目な気がする！  
だから適当に答えたけど……嫌な予感が！

「マルナ……ね  
覚えたわよ、必ず見つけ出してあげるんだから」

ヒーーーー！  
この人怖いーーーー！

デュエル 「決闘！」 デュエル 「決闘……」

ううう、相手したくないよお  
どんなカードを使うんだろ？

「先攻はアタシ、ドロー！」

魔法カード、光の援軍を発動！

デッキの上からカードを3枚墓地へ送り

デッキより、LV4以下のライトロードと名の付くモンスターを手札に加える！

アタシはデッキからライトロード・サモナー ルミナスを手札に加え、召喚！」

ライトロード……どこかで聞いたような気がする

うーん、思い出せない

私だって全部のカードを把握しているわけじゃないし。

「ライトロード・サモナー ルミナスの効果を発動！」

手札を1枚捨て、墓地のLV4以下のライトロードと名の付くモンスターを特殊召喚する！

アタシは今手札から捨てた、ライトロード・ウォリアー ガロスを特殊召喚！」

攻撃力1850……そこそこ高い

それにしても展開が速いようない……

「更に魔法カード、ソーラー・エクステンジを発動！」

手札のライトロードと名の付くモンスターを捨てる

アタシはライトロード・ビースト ウォルフを捨てるわ！

そしてデッキからカードを2枚ドローし、2枚墓地へ送る！」

またカードを墓地へ……どうしてそんなに？

デッキ切れになるんじゃないの？

「ふふ、デッキからライトロード・レイピアが墓地へ送られたわ  
このカードがデッキから墓地へ送られた時  
自分の場に存在するライトロードと名の付くモンスターに装備させ  
る事ができる

アタシはこのカードをルミナスに装備！

このカードを装備したモンスターの攻撃力は700ポイントアップ  
するわ！」

……展開が速すぎない？

私、まだ何もしてないよ？

しかも最初の1ターン目だし。

「更にライトロード・ビースト ウォルフがデッキから墓地へ送ら  
れたわ

ウォルフはデッキから墓地へ送られた時、特殊召喚される！」

あああ！ 思い出した！

ライトロード・ビーストって確かあの人が雪乃さんに渡したカード！  
ライトロードの効果は相変わらず思い出せないけど、そのシリーズ  
を中心にしたデッキなんだ！

「カードを2枚伏せ、ターンエンドよ！

そしてエンドフェイズ、ルミナスの効果が発動される

このカードが自分の場で表側表示で存在している時

デッキの上からカードを3枚墓地へ送られるわ」

またデッキを削る！？

どうしてそんな事を！？

確かにウォルフやレイピアには驚いたけど

そんなに墓地へ送ったらデッキ切れで負けるよ！

「……この瞬間、2枚目のレイピアが墓地へ送られたわ  
今度はガロスにレイピアを装備させ、攻撃力を700ポイントアッ  
プ！

更にガロスの効果、ライトロードと名の付くモンスターの効果でデ  
ッキからカードが墓地へ送られた時  
更にデッキからカードを2枚墓地へ送る！」

まだ送るの！？

このターンで何枚のカードが墓地へ！？

「ガロスの効果でライトロードと名の付くモンスターが墓地へ送ら  
れた時

その枚数だけデッキからカードをドローする！

この効果により、ライトロード・ビースト ウォルフとライトロー  
ド・プリースト ジェニスが墓地へ！

ライトロードと名の付くモンスターが2体墓地へ送られたので2枚  
ドロー！

更にウォルフがデッキから墓地へ送られたので特殊召喚！」

ええええええ！

もう同名カードが3枚全て揃ったの！？

1回手札コスト、そして2枚がデッキから墓地に！？

先攻を譲って良かったのか悪かったのか  
心が折れそう……

後攻だったら総攻撃されてたけど。

「私のターン、ドロー！」

テラ・フォーミングは手札に有るけど  
ルミナスは魔法使い族、魔法族の里の効果で魔法を止められない  
魔力カウンターを使おうにも……モンスターが多すぎる。

伏せカードも邪魔だし、どうやって倒そう？

問題なのは攻撃力が2550も有るガロス  
ちよっと高くて手出しできないかな？

まあ、防ぐだけなら簡単なんだけど  
多分大丈夫のはずだし。

「魔導騎士ディフェンダーを守備表示で召喚！  
このモンスターが召喚に成功した時、魔力カウンターを1つ乗せる！  
更に永続魔法、魔法族の結界を発動！  
カードを3枚伏せ、ターンエンド！」

これで守りは万全

なんとかなるはずだし、大丈夫！  
ライフはちよっと危ないと思うけど……

「この布陣はどうにもできないでしょ？

アタシのターン、ドロロー！

魔法カード、光の援軍を発動！

デッキからカードを3枚墓地へ送り、デッキからLV4以下のライ  
トロードを手札に加える！

アタシが手札に加えるのはライトロード・ウオリアー ガロス！

そして魔法カード、ソーラー・エクステンジを発動！

手札のガロスを墓地へ送り、カードを2枚ドロローし、デッキから2  
枚を墓地へ！」

だから速いって！

もうデッキが半分も無いじゃない！

私がデッキ破壊だったら勝ちだよ！

「ルミナスの効果を発動！

手札を1枚捨て、墓地からライトロードと名の付くLV4以下のモンスターを特殊召喚！

アタシは墓地より、ライトロード・マジシャン ライラを攻撃表示で特殊召喚して、効果を発動！

ライラは自身を守備表示に変更させ、相手の魔法か罠を1枚破壊する！

一番左の伏せカードを破壊！」

破壊されたのはブラフ用、テラ・フォーミング！

伏せカードが破壊されるかもしれないから伏せておいたけど、正解だった

危なかった……もし他のカードが破壊されていたら負けていたかも！

「テラ・フォーミング……ブラフかしら？

構わないわ、ライラを生け贄に、ライトロード・ドラゴン グラゴニスを召喚！」

攻撃力2000のドラゴン族モンスター

何か嫌な効果を持っているような気がする……

「グラゴニスは墓地に存在するライトロードと名の付くモンスター  
その種類の数×300ポイント攻撃力をアップさせるわ」

あんなに墓地へカードを送っていたのはこの為！？

どれだけの種類が墓地へ送られているか！



「アタシの墓地に存在するライトロード  
ハンター ライコウ、ウォリアー ガロス、プリースト ジェニス  
マジシャン ライラ、ビースト ウォルフ、エンジェル ケルビム  
これらの6種類、よって攻撃力は1800アップし、グラゴニスの  
攻撃力は3800!」

攻撃力が3800!?

ダイレクトアタック  
これで直接攻撃を受けたら殆ど負けじゃない!

「バトルよ!」

グラゴニスでディフェンダーに攻撃!」

グラゴニスが巨大な光のブレスを!?

その攻撃力だからかなり怖いんだけど!

「クッ、ディフェンダーの効果を発動!

魔法使い族モンスターが破壊される場合!

自分の場に存在する魔力カウンターを1つ取り除く事で破壊を免れる!」

ディフェンダーの持っていた盾が壊れる

だけど、これでディフェンダーは破壊されない!

いくら攻撃力が高くて、守備表示なら……

ちょっと待って

どうして守備力2000のディフェンダーを相手に3800のグラ

ゴニスで攻撃を?

ウォルフでも良かったはずよね?

「倒せない？ それでもあまり問題じゃないわ

グラゴニス貫通効果を持っているもの

攻撃力は3800、そしてディフェンダーの守備力は2000  
その差である1800のダメージを受けてもらうわ」

って、グラゴニスのブレスがこっちにまで来たあああ！

ちょっと熱い！ ちょっとだけ熱い！

でもグラゴニス、謝らなくてもいいからね！

誇り高いドラゴン族なのに優しいんだね、心配してくれてありがとう  
効果を忘れてた私こそごめんなさい。

ああ……ビックリした、貫通効果を持っていたのね  
それでそのモンスターから……

「次よ、ウォルフでディフェンダーに攻撃！」

「速攻魔法、ディメンション・マジックを発動！

自分の場に魔法使い族モンスターが存在している時

そのモンスターを生け贄にし、手札から魔法使い族モンスターを特  
殊召喚できる！

私はこの効果により、ディフェンダーを生け贄に捧げます！

そして手札から見習い魔術師を準備表示で特殊召喚します！

更に相手モンスターを1体破壊できる……私はこの効果でガロスを  
破壊！

最後に見習い魔術師の効果、召喚、特殊召喚、反転召喚に成功した時  
場の魔力カウンターを乗せられるカードに魔力カウンターを1つ乗  
せる！

この効果により、魔法族の結界に魔力カウンターを1つ乗せる！」

見習い魔術師の効果は強制効果

だからタイミングを逃がさずに発動可能！

それにこのモンスターはリクルーターモンスター

壁にするならこっちも十分に強力！

「壁モンスター……別にあまり問題じゃないわ！

ウォルフで攻撃を続行！ 見習い魔術師に攻撃！」

見習い魔術は破壊される

だけど、それでもまだ大丈夫！

「見習い魔術師が戦闘で破壊された時

デッキからLV2以下の魔法使い族モンスターを裏側守備表示で特殊召喚する！

私が特殊召喚するのは2枚目の見習い魔術師！

更に魔法使い族モンスターが破壊されたので魔法族の結界に魔力カウンスターを1つ乗せる！」

「続いてもう1体のウォルフで攻撃！」

「見習い魔術師が戦闘で破壊されたので効果発動！

デッキからLV2の見習い魔術師と裏側守備表示で特殊召喚！

更に魔法族の結界に魔力カウンスターを1つ乗せるわ！」

「ルミナスで攻撃！」

来た！ ルミナスの攻撃が！

この時を待っていたの！

「罨カード、マジシャンズ・サークルを発動！

魔法使い族モンスターが攻撃をした時  
お互いのプレイヤーはデッキから攻撃力2000以下の魔法使い族  
モンスターを特殊召喚する！  
ただし、攻撃表示でだけどね」

良かった……最後がルミナスで  
もしウォルフが最後だったら破壊されていたもの  
攻撃力2100って下級モンスターだと高いし。

「私が召喚するのは霊滅術師カイクウ！  
攻撃力は1800！」

「（ライラを召喚したいところだけど  
アタシのデッキにライラは2体、両方既に墓地へ……）  
アタシは攻撃力1000のルミナスを特殊召喚！  
レイピアを装備したルミナスで攻撃を続行！  
裏側守備表示の見習い魔術師に攻撃！」

「見習い魔術師の効果  
デッキよりお注射天使リリーの裏側守備表示で特殊召喚！  
そして魔法族の結界に魔力カウンターを1つ乗せる！」

「お注射天使リリーの守備力は1500……ルミナスでは勝てないわ  
でも、お注射天使リリーの効果を発動するにはライフを2000も  
払う必要が有るもの  
貴女の残りライフは2200、効果を使ってもアタシのターンの攻  
撃で終わりよ！」

確かにそう  
だけど、それに賭けないといけないの！

後は……魔法族の結界の効果でドロウできれば  
そしてドロウしたカードに強化系カードがあれば……

「カードを1枚伏せ、アタシはこれでエンドフェイズよ  
この瞬間、永続罫を2枚発動！ ライト・リサイレンス！

ライトロードと名の付いたモンスターの効果でデッキからカードが  
墓地へ送られた時

相手のデッキを上から1枚除外するわ！」

除外のカード！

相手の場にはルミナスが2体存在している

だから私のデッキは上から合計4枚除外されるみたい。

「ルミナスの効果、デッキからカードを3枚墓地へ

そしてライト・リサイレンスの効果で相手はデッキの上からカード  
を1枚除外

ライト・リサイレンスは2枚存在しているから2枚除外ね」

除外されたのはマジシャンズ・ヴァルキリアと魔導獣ケルベロス  
別にどうという事は無いけど……

「2枚目のルミナスの効果、デッキからカードを3枚墓地へ  
貴女にもカードを2枚除外してもらおうわ」

今度は2枚目の魔法族の里、執念深き老魔術師  
もう1枚の魔法族の里はデッキの下、残り1枚はどこらへんに有る  
のかな？

「グラゴニスの効果、デッキからカードを3枚墓地へ  
ライト・リサイレンスの効果が再び発動するわ」

その子も墓地へ送ったの？

除外されたのは収縮に月の書……ちょっと惜しかったかなでも……彼女、デッキが無くなったよ？

しかも丁度0枚になった、私の勝ちかな？

でも、それぐらい想定しているはずだし

墓地からカードをデッキに戻す場合、そう……転生の予言とか！

あの新しく伏せられたカードはその可能性も高いかも

だったらこのターンで……倒す！

「グラゴニスの効果

アタシの墓地にルミナス以外のライトロードが全て揃った

墓地のライトロードは全部で8種類

グラゴニスの攻撃力は4400よ！」

攻撃力4400！？

これ、どうやって倒せばいいの！？

「私のターン、ドロー！」

魔法族の結界の効果を発動！

自分の場に存在する魔法使い族モンスターと魔法族の結界を墓地へ送る

そして魔法族の結界に乗っていた魔力カウンターの数だけドローする！

私はお注射天使リリーを墓地へ、そして魔力カウンターの数である4枚ドロー！」

「一気に手札補充を……凄いわね

でも、せっかくの高攻撃力になるリリーを墓地へ送っても良かった

の？」

それほど問題じゃ無いわ

だってお注射天使リリーは地属性だもの  
高攻撃力モンスターを相手にする時以外はあまり使わないし。

「魔法カード、強欲な壺を発動！

カードを更に2枚ドロウする！」

……私の予想が正しければあの伏せカードは転生の予言

だとすれば伏せカードはその1枚

レイピアとライト・リサイレンスしか残っていない

これが通れば、私の勝ち！

「私は速攻魔法カード、ディメンション・マジックを発動！

カイクウを生け贄にし、見習い魔女を特殊召喚！

ただし、破壊効果は使わないわ！」

「破壊効果を使わない？

グラゴニス破壊できるチャンスじゃないの？」

だって使ったらタイミングを逃がすもの

このカードの発動の……

「更に速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動！

自分が攻撃力1500以下のモンスターの特殊召喚に成功した時

同名モンスターをデッキ、手札、墓地から特殊召喚する！

私はデッキから2体の見習い魔女を特殊召喚するよ！

貴女も自分の場のモンスターを1体選択し、特殊召喚できる

んだけど……モンスターゾーンが開いてないから特殊召喚できない

ね」

悔しそうな顔をされたけど無視

だって仕方無いもん

グラゴニスをもたまたま出されていたら危なかったかも……

あまり問題じゃないけど。

「見習い魔女の効果！

全ての闇属性モンスターの攻撃力が500ポイントアップし

光属性モンスターの攻撃力は500ポイントダウンする！

更にこの効果は重複し、3体居るから合計1500ポイントの能力修正を受ける！」

「そんな！？

ライトロードは全て光属性

つまり攻撃力が全員1500もダウンするの！？」

こっちのモンスターは全員攻撃力がアップするけどね

見習い魔女の元々の攻撃力は550

全員が1500ポイント攻撃力がアップして2050！

彼女のルミナスの攻撃力はレイピアを装備した200と装備無しの0

ウォルフは600が2体、グラゴニスは2900

グラゴニスの攻撃力はまだ高いなあ……

これで既に勝てるんだけど

でも、オーバークイルできる手札なんだよね

えっと……どうやって終わらせようかな？

「墓地の光属性、魔導騎士ディフェンダーと闇属性、見習い魔術師



を除外！

手札からカオス・ソーサラーを特殊召喚！

そしてカオス・ソーサラーの効果を発動！

攻撃権限を捨てる代わりに、相手のモンスター1体を除外します！

この効果により、グラゴニスゲームから除外！」

「グラゴニスが……クッ！」

カオス・ソーサラーの攻撃力は2300

見習い魔女達の効果で3800になってる

攻撃力4000にはちょっとだけ足りなかったかあ……  
惜しいけど、それでも十分かな？

「更に魔法カード、サウザンド・パニッシャーを発動！

自分の場のモンスターを1体選択し、そのモンスター以外のモンスターを生け贄にする

私は見習い魔女1体を選択し、カオス・ソーサラーを生け贄に捧げる！

この効果を受けたモンスターは攻撃力が1000になる！

そして生け贄に捧げたモンスターの攻撃力1000ポイントの倍数

……

つまりカオス・ソーサラーの攻撃力3800だから3倍

その倍数だけ攻撃する事ができる！」

「見習い魔女の元々の攻撃力は550から1000に……

見習い魔女達の効果も有るから攻撃力は2500で3回攻撃！？」

残りの見習い魔女達の攻撃回数も含めると5回攻撃

合計攻撃力は11600になるかな

それで相手モンスターを全滅させた場合は……

ウォルフが2体で攻撃力の合計が1200  
ルミナスが2体で攻撃力の合計が200  
合計で1400ダメージが軽減されて10200かぁ……  
でも、もっとダメージを与える方法があるんだよね！

「更に速攻魔法、マジシャンズ・クロスを発動！

私の場に存在する魔法使い族モンスターが2体以上存在する時  
その内から1体を選択するよ！

選択したモンスターの攻撃力はエンドフェイズまで3000となる！  
その代わり、その選択した以外の魔法使い族モンスターは攻撃できない！

私が選択するのは当然、さっきサウザンド・パニッシャーの効果を受けた見習い魔女！」

「ちよっ！　ちよっと待って！

攻撃力が3000で3回攻撃できて、しかも見習い魔女達の効果で  
攻撃力が1500アップする？

という事は攻撃力4500の3回攻撃で総攻撃力が……13500  
！？」

ちなみに当たるダメージはモンスターが居るから減るけど  
ルミナスの攻撃力200と0と攻撃力が600のウォルフ  
この3体を倒せば与えるダメージは800ダウンして、合計ダメージは12700だね。

「あの、ちよっと待ってくれない？  
1ターンで……って、駄目よね？」

「うん、駄目

見習い魔女でライトロード・ビースト ウォルフに攻撃！」

攻撃する見習い魔女を見習い魔女Aとして

見習い魔女Bが黒い闇の魔力玉を作り出す

そして見習い魔女Bは見習い魔女Aに軽く魔力玉を投げる。

見習い魔女Aはその魔力玉を持っている筈で……

野球……だったっけ？ みたいに思いつきり打った！

そしてその魔力玉はウォルフに直撃する。

「ちよっ！ お願っ！

待っっつきゃあああああああああ！」

あ、そっか

ウォルフの攻撃力は600だったっけ

見習い魔女の攻撃力は4500だから100余っちゃった。

「攻撃続行！

見習い魔女でライトロード・レイピアを装備している

ライトロード・サモナー ルミナスに攻撃！」

今度は見習い魔女Cが魔力玉を作り出す

そして見習い魔女Aがその魔力玉を勢いよく……打つ！

それはルミナスに向かって飛んでいく。

ルミナスは抵抗しようとレイピアを向けて止めようとしたけど  
そんなに甘い攻撃ではなく、呆気なく破壊された。

「アタシのライフは残り100……

それでこのオーバーキルなんて酷すぎなっつきゃああ！

ちょ、お願いだから待って！  
もう止めて！ アタシのライフはとっくに0よ！  
勝負は付いてるのよ！」

「待たない、最後の攻撃！  
見習い魔女で攻撃力が0のライトロード・サモナー ルミナスに攻撃！」

見習い魔女Aは最後の攻撃だからか、魔力玉は自分で作り  
少し高くまで上に放って……箒に魔力を溜めてパワーを上げる  
そして最後に強烈な一撃を魔力玉に……打ち込む！

ルミナスはもう逃げようとしてたけど無理だった  
逃げ切れず、魔力玉が直撃する。

「ひ、酷い……って、来ないでえええ！  
きゃあああああああああ！」

うーん……かなりの威力だったみたい  
半実体化しているからか、爆発も凄いかも  
大丈夫だと思うけど……本当に大丈夫かな？

あ、貴女達は気にしなくても良いよ？  
攻撃の指示を出したのは私だし  
ちょっと強かったかもしれないけどね  
でも、人間はこの程度じゃ死なないよ。

安心した見習い魔女達はホッと一息  
目付きはちょっと怖いけど、やっぱり見習いだものね  
まだ甘さが抜けてないんだと思う。

勿論、私だって甘い方だけどね  
でも必要だったら……って、それは関係無いか！

「うううん……」

気絶してるみたい……大丈夫？

ごめんね、オーバーキルは命令だから

私も頑張ったから許してね？

それにしても、怖い人だったな

背筋に悪寒が走るような……なんだか失礼だと思うけど  
それでもこの人はちよつと遠慮したいかも。

どうしよう？

無視して帰るべきかな？

でもメダルを貰わないと駄目だし  
仕方無い、起こそつと。

「あの、起きてください  
大丈夫ですか？」

「んん……あえ？

アタシは確か……負けたのよね？」

「はい、私の勝ちです  
だからメダルをください」

そして私は急いで逃げるから  
じゃないともう……ひいひいひい！

なんだか凄い目で見られてるうう！

「はい、どうぞ」

でも素直に渡してくれた

メダルがポケットやら色んな場所から出てきて……60枚！？  
私やレイちゃん以上の数かぁ……凄いなあ。

そういえば昨日はブルーの子達が来なかったんだよね

だからレイちゃんと明日香さんしか分からない

レイちゃんは50枚だったけど、明日香さんは78枚……

私の49枚なんて子供みたいで凄く負けた気分かも。

「あの……」

「はい？」

なんだか嫌な予感がする……

無視して今すぐ逃げるべきだと

私の本能がそう言ってる気がする。

「お姉様とお呼びしても……」

「いやあああああああ……！！！！！！」

私は逃げ出した

しかし、ナオミさんは私の腕を掴んで止めた

ナオミさんからは逃げられない！？

「あ、待ってお姉様！」

「いや！ 離して！

何で！？ どうしてお姉様！？

貴女3年生で最高学年でしょ！？」

「だってあの容赦の欠片も無い無慈悲な一撃  
そして圧倒的な攻撃、ああ……良いかも」

ひいひいひいひい！

だ、誰か助けてええええええええ！

この人が凄く怖いよおおおおおおお！

「だからアタシのお姉様に……」

「ごめんなさい！ 私には無理です！  
他に良い男の人を見つけてください！」

今の言葉を言った瞬間、ナオミさんの動きが止まった  
な……なんで？

「アタシ……男の人が大嫌いな  
だからそんなの、絶対に嫌よ！」

ああ、なるほど

つまりこの人……百合だとか言われる人かな？

あの人が現代の事を教えてくれた時の1つで教えてもらったなあ……  
確か同性愛というので、男同士が薔薇だとか女同士が百合だとか  
知る必要は無いと思うけど一応……

同性愛を否定するのは駄目だって言われたっけ？

その人は本気で同姓が好きになったかもしれないからって  
例え引いても気持ち悪いと思っても、その人の想いを否定するような  
そういう事を言うのは絶対に駄目って言われたけど……

「ああ……こんな場所で運命の人に出会えるなんて」

この人の場合、否定しても良いですよね？

私、否定しない自信が無いんです

否定するような事を思いつき言いたいんですけど  
今回ぐらいいは許してください、お願いします！

「ごめんなさい！ 私、そういう趣味は無いんです！  
というか、好きな人が居ますから無理です！」

あ、固まった

完全に止まっちゃった……どうしよう？

メダルは貰ったし、もう行ってもいいよね？

そーっと、そーっと抜け出して

ゆっくりと音を立てないで……気付かれないようにっと。

もう少しで完全に抜けられる

あとちよっと……手が離れた！

最後に離れていくだけ……

「はっ！」

目が覚めた！？  
に、逃げなきゃ！



「ま、待って！」

「ごめんなさい！  
嫌ですうううううう！！！」

思いつき走る！

追いかけれないぐらいの速度で急いで逃げる！  
って、追いかけてくる！？

それでも逃げる！

本当に怖い！

メダルを後回しにしてでも、本能に従って逃げてれば良かった！

こうなったら……

私は森に入り、精霊化！

誰にも見られてないから大丈夫！

ひいいい！

そこら辺を探して歩いてる！

もう飛んでも良いから逃げよう！

「なんとなくだけどこに居る気がする……」

そう思っていたのに目の前に何で来れるの！？  
なんとなくで分かるってどうなってるの！？

この人、普通の人間だよね！？

「……アタシの目の前に居る気がする」

大正解!?

精霊が見えるの!?

でも見えてるようには思えないんだけど!  
なのはどうして分かるの!?

「でも居ない……ガクッ」

落ち込んで去って行った

は、ははははは……もう二度と、この辺りに近づかない!  
次からはもっと離れた場所に行こう!

私の心の為、命の為に!

そしてナオミさんが卒業するまで頑張って逃げ続けよう!

幸い、私はマルナって名乗ったから大丈夫!

もう二度とこの名前を使わないと心に刻もうつと!

怖いよお、怖いよお……誰か助けてえ

また別の変装をしないと

でも今日はこのまま……

だって夕方になるまで帰ってくるなって言われてるもん  
大会時間は夕方までだから

それまでは頑張れって……ううう。

ふぁいとお~~~~お~~~~……無理  
うん、頑張ろうつと。

## 107話【3日目?】（後書き）

マナもレイもメダル数が凄い！

明日香はそれ以上です

ブルー1年生達に関しては後々という事で。

大庭ナオミって誰？

TF4からの参戦

ライトロードはTF3ではレイの使用カードだったので

故にTF4からゲストとして登場してもらいました

しかし……こんなキャラじゃないと思います

そこに関してはあまり突っ込まないでください。

なんというソリティアの応酬……

謎です。

ナオミの伏せカードは何だったの？

マナの予想通り、転生の予言です

それにしても丁度デッキが0枚になるとは思いませんでした。

地獄の暴走召喚ってできるの？

不明、調整中だそうです

とりあえずできるという事で。

どうして見習い魔女を？

闇属性と光属性の混合デッキですが、闇属性の方が多いからです  
比率で言うと8…2ぐらいです

ただ、3枚も入れるかに関してはちょっと……スルーしてください  
オーバーキルを考えていたら勝手にこうなりました

次からもそう何度も出てくるかは不明。

マジシャンズ・クロスって通常魔法じゃ……  
アニメでは速攻魔法です。

何故お姉様!?

TF4ではアキに対してそう呼んでいるようですが  
この時代にはアキは居ません  
なのでSM的な愛に目覚めていなかったという勝手な裏設定  
故にマナが犠牲者に……

瑞貴って同性愛とか否定してなかった？  
していません

ももえがレイに迫った時もこう言いました  
明日香やその1は構わん、だがレイは止める  
……と、とりあえず否定はしていません  
特定の相手には止めるように言っているだけなので。

原作、アニメオリジナルカード

サウザンド・パニッシャー

自分の場のモンスター1体を対象にして発動する  
対象モンスター以外の自分の場のモンスター1体を生け贄に捧げる  
このターン、対象モンスターの攻撃力は1000ポイントとなり  
生け贄に捧げたモンスターの攻撃力1000ポイントにつき1回攻  
撃する事ができる

明らかにデメリットと思えるようなカードです  
が、今回は色々と工夫して使ってみました  
これが現代の悪用方法か……そう思いました

なお、これは元々の攻撃力で計算するかは不明  
とりあえずバーストブレスと同じで場に存在する時の攻撃力を参照  
にしました。

ツイッターの……

[http://twitter.com/#!/ain\\_kuria](http://twitter.com/#!/ain_kuria)  
とうとうネタ切れ。

## 108話【3日目?】（前書き）

「今日の最強カードは……デコイロイドね  
攻撃力は300、守備力は500  
デコイロイド以外のモンスターに攻撃できなくなるわ  
……私の趣味には合わないわね」

そりゃ雪乃の趣味には合わない  
だって守り系のカードだし……

遅れました

する事が多かったのもう……  
3回は出かけました。

今回もTFキャラです

誰かは既に予想できると思いますが……

次話は……誰にしようかなあつと  
とりあえず悩む事が多くて困ります  
前書きに書くネタもなくなってきましたし。

## 108話【3日目】

視点 彰子

メダルは何とか62枚

これ以上は必要無いみたいだけど一応  
ご褒美って気になるし……

あれ？

あっちに見えるのって……大人だよね？  
なんだかおっとりした感じの人だけど……

あの人、プロかな？

それともアマチュアとか？

もしかしてまた別の単なる有名な実力者？

もう3日目だし、色んな人が上陸してるのかな？

船は特別に毎日運行してるみたいだし

それなら部外者が居るのも納得できるかも。

「あの、そこのお姉さん」

「……………」

あ……あれ？

もしかして、聞こえなかったかな？

「あ、私の事ですかあ？」

気付いてなかった!?

この女性、年齢は何歳なの!?

お姉さんで通じる年齢にしか見えないんだけど!

「なんでしょう?」

もしかして、私と決闘デュエルですかあ?

この大会は賑やかで楽しいですねえ

メダルなんてこんなに……」

見せられたメダルは20数枚

途中参加でこの枚数……もしかして見た目と違ってかなりの実力者?  
それとも実は言語とは別に動きが速い人?

「……お願いします

私はこの学園の生徒、1年生の宇佐美彰子です」

「はい、お願いします

私はとある社長秘書を務めさせております、マー・ミー・ムーです  
よろしくお願いしますねえ」

社長秘書!?

そんな偉い人まで大会に参加してるの!?

というか、出てきてもいいの!?

お仕事を放っておいていいの!?

それに名前が凄い!

マー・ミー・ムーって並んでるし!  
名付け親が凄い!



私が構えるとマー・ミー・ムーさんも構える……呼びにくい  
どう呼べばいいのかな？

「あの……どう呼べば良いんですか？」

「お任せしますう

マーでも、ミーでも、ムーでも

でもよくマー・ムーと呼ばれていますので

そう呼んでくださればあ」

「そ……そうですか

ではマー・ムーさんと」

「はい」

なんというか、見ていて癒される人かな  
ずっと笑顔のままだし

でもせっかちの人とは相性が悪そう

そういう人だったら見ていて苛々しそうだし。

なんだかのんびりと楽しめそうな決闘デュエルができそう  
やっぱりゆつくりとしたデッキなのかな？

「決闘デュエル」「決闘デュエルう」

「先攻は私が貰います、ドロー

奇跡のジュラシック・エッグを守備表示で召喚します

更に魔法カード、愚かな埋葬を発動します

このカードの効果により、デッキから墓地へモンスターを送ります  
私が墓地へ送るモンスターは超伝導恐獣スーパーコンダクターティラノです

そして奇跡のジュラシック・エッグの効果が発動されます

恐竜族モンスターが墓地へ送られる度にこのモンスターにカウンターを2つ乗せます

カードを2枚伏せ、ターンエンドです」

どんなデッキを使うのか……

除外デッキだと楽だけど、奇跡のジュラシック・エッグの効果が弱体化してしまう。

……あれ？ ドローしない？

どうしてかな？

「うーん……」

「な、何を考えてるんですか？」

「いえ、その伏せカードは何かなあと……  
考えてもやっぱり分かりませんねえ」

そんな簡単に分かれても困るんだけど  
さっきからよく分からない人。

「私のターン、ドロー

分からないカードなら調べちゃいましょうかあ」

調べる？

どういう意味かな？

「私はパトロイドを守備表示で召喚しますよお」

ロイドって……いつかの丸藤先輩が使っていたカード？  
あの時は私が勝ったけど  
そういえば丸藤先輩、どうなったのかな？

「パトロイドの効果を発動お  
1ターンに1度まで、相手の場にセットされているカードを確認で  
きまあす

えっと……右のカードを見せてくださいねえ」

確認されたのは化石発掘  
嫌なカードを見られた……これで私の狙っている事がばれた！

「化石発掘……手札を1枚捨てて発動  
墓地の恐竜族モンスターの効果を無効化して特殊召喚するカードで  
すかあ

確認できて良かったです  
これで対策が取れそうですし」

対策を考えられた！？  
しかも化石復活の効果を知っていたという事は  
つまり頭が良い人……かも？  
どうしよう？

「カードを2枚伏せて、ターンエンドですよお」

「私のターン、ドロー」

カードを2枚も伏せたという事は対策を取ったのは確実  
迂闊な事をしたら反射ダメージを受けるかもしれない  
どうしよう……

「私は……手札のキラザウルスの効果を発動します  
このモンスターを墓地へ捨て、デッキからジュラシックワールドを  
手札に加えます」

更に恐竜族モンスターが墓地へ送られた事により、奇跡のジュラシ  
ック・エッグにカウンターが2つ乗ります」

問題は攻撃するかしないか……

私の手札には魔法や罠カードの除去カードは無い  
攻撃をしようにも、あんなにあからさまに対策と言われたら……

「私はフィールド魔法、ジュラシックワールドを発動します  
この効果により、全ての恐竜族モンスターの攻撃力と守備力が30  
0ポイントアップ！」

動かない……どうしよう

あの自信の有りそうな顔を見たら……

こうなったら様子見をしてこの場は待とうと。

ブラック  
「暗黒ステゴを召喚します」

恐竜族なので攻撃力が300ポイントアップ、パトロイドに攻撃！」

「罠カード、スーパーチャージを発動よお

相手が機械族モンスターに攻撃して来た時、デッキから2枚ドロ」

ドロー系カード！？」

という事はさっきの対策って……嘘！？

そしてパトロイドは何もせずに破壊される

ここは化石発掘を使うべきかな？

でも、さっきの対策が本当で  
スーパーチャージはそう疑わせない為に油断させる手段だった？

クッ……ダイナスタンプが有れば！

でも無いんだから仕方無いか  
今はこれで終わろうっと。

「ターンエンドです」

「あらあらあ……化石発掘は使わないんですかあ？」

さっき自分で対策したって言いましたよね！？  
なのにその言葉は挑発ですか！？

「では私のターン、ドロー

手札から融合を発動しますねえ

手札のレスキューロイドと、キューキューロイドを融合  
レスキューキューロイドを融合召喚」

攻撃力2300のモンスター

だけど、それぐらいだったら暗黒<sup>ブラック</sup>ステゴでも……

「更に速攻魔法、リミッター解除を発動お

このターン、機械族モンスターの攻撃力が倍になります」

攻撃力が4600！？

奇跡のジュラシック・エッグや暗黒<sup>ブラック</sup>ステゴの守備力を上回った！

「レスキューキューロイドでえ」

「罠カード、威嚇する咆哮を発動します！」

このターン、相手は攻撃宣言ができません！」

これでリミッター解除は無駄に発動した事になる  
レスキューキュロイドは破壊されるけど……多分そう上手くいかない。

堅守先輩が丸藤先輩と戦う前夜の勉強で教えてくれた  
リミッター解除の効果はエンドフェイズに効果を受けたモンスター  
を全て破壊する  
だけど融合前に使った場合はメインフェイズ2に融合され、融合後  
に使った場合は……

「あらあ……攻撃できないんじゃ仕方無いわね  
仕方無いわあ、速攻魔法、融合解除を発動よお  
融合したモンスターを融合デッキに戻して、融合素材を墓地から特  
殊召喚するわあ  
レスキューロイド、キュウキュロイド、共に守備表示で特殊召喚  
よお」

そう、融合解除を狙っている可能性が高い  
利用方法は高攻撃力で強力な相手モンスターを破壊  
速攻魔法である融合解除を使用し、追撃をする  
これが機械族融合デッキの怖さ……丸藤先輩は使わなかったけど。

「私は最後にデコイロイドを守備表示で召喚しまあす  
これでターンエンドです」

デコイロイドの効果

デコイロイドが存在している限り、デコイロイド以外に攻撃できない  
それだけなら別に怖くないけど……

問題はそれ以外のレスキューロイドとキューキューロイド

レスキューロイドが存在している限り、ロイドが戦闘で破壊されて  
墓地へ送られた時

その破壊されたロイドを手札に加える。

そしてキューキューロイドが存在している限り

墓地からロイドが手札に加わった時、そのロイドを特殊召喚する  
つまり、無限ループが完成した事に……

絶対にさせるなって言われていた布陣

これが完成した時、効果破壊と貫通効果が無ければ確実に負けだと  
最後にサイバー・サモン・ブラスターが揃ったら……私は多分負け  
る！

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、デッキから2枚ドローします！」

だけど、あの伏せカードは化石発掘の対策用カードのはず

サイバー・サモン・ブラスターは無い可能性が高い

それに、サイバー・サモン・ブラスターだったら使っていると思う  
し。

「暗黒ステゴを生け贄に、エンシェント・ダイノ超古代恐獣を召喚！」

このモンスターは恐竜族モンスターを生け贄に捧げた時、生け贄が  
1体で召喚できます！

更に墓地へ恐竜族モンスターが送られた事により

奇跡のジュラシック・エッグにカウンターが2つ乗ります

奇跡のジュラシク・エッグに乗っているカウンターは6つ  
奇跡のジュラシク・エッグの効果を発動します

自身を生け贄に捧げる事で

奇跡のジュラシク・エッグに乗っているカウンターの数以下の恐  
竜族モンスターをデッキから特殊召喚

私はこの効果により、デッキから暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスを特殊召喚し  
ます！」

暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスは貫通効果を持っているモンスター  
このモンスターだったら勝てる！

「暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスでデコイロイドに攻撃！  
暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスは貫通効果を持っています！  
攻撃力と守備力の差だけダメージを受けてください」

そのまま破壊されるデコイロイド

デコイロイドの守備力は500

暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスの攻撃力は2400

だけどジュラシクワールドの効果を受けて2700になっている  
更に暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスは貫通効果を持っているから2200のダ  
メージ！

「くう……レスキューロイドの効果を発動お！

戦闘でロイドが破壊されて墓地へ送られた時、そのロイドを墓地か  
ら手札に戻します

更にキューキューロイドの効果、手札に加わったロイドを特殊召喚  
します

私はこの効果でデコイロイドを守備表示で特殊召喚よお」

貫通効果……暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスを持っておいてよかったあ



それに奇跡のジュラシック・エッグを守って正解だった  
もし守っていなかったらどうしようも無かったかもしれないし。

「カードを2枚伏せて、ターンエンドです」

「私のターン、ドロー」

魔法カード、天使の施しを発動するわあ

デッキからカードを3枚ドローしてえ、2枚を捨てるう」

何を手札に……

「うーん……本当はこの子、あまり使いたくないんだけどお  
このままだと負けちゃうから、お姉さん使っちゃうね

ダークジェロイドを召喚」

青い悪魔族モンスターが出てきたけど……なに、この不気味なモン  
スター？

負けない為に使うカードだと思うから厄介なモンスターだと思うけ  
ど……

どんな効果を持ってるのかな？

「ダークジェロイドの効果を発動お

このモンスターが召喚、特殊召喚、反転召喚に成功した時

表側表示モンスター1体の攻撃力を800ポイントダウンさせるのお

私が選ぶのは暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスよお」

暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスの攻撃力が2700から1900へ

ちょっと下がったけど、まだまだ使える攻撃力だから大丈夫  
そう簡単に負ける事は……

「レスキューロイドを攻撃表示に変更して  
ダークジェロイドで暗黒ドリケラトプスに攻撃よお」

「ええ!？」

自爆特攻!？」

攻撃力差は700と高いのに!

しかも攻撃力を下げる効果しか持っていないじゃ!

案の定、ダークジェロイドは破壊される

マー・ムーさんは700ポイントのダメージを受ける  
残りライフは1100、ちょっと危ないんじゃ……

「ロイドと名の付くモンスターが戦場で破壊されたわあ

レスキューロイドの効果、ロイドが戦場で破壊されたので手札へ  
そしてキューキューロイドの効果で手札に戻ったダークジェロイド  
を特殊召喚」

「そんな! どうしてダークジェロイドが……ジェロイド?  
もしかして、最後にロイドって名前が付いてるから効果を使えるん  
ですか?」

「そうよお、入れるか凄く悩んだんだから  
でも何であれ、ロイドはロイド、レスキューロイドやキューキュー  
ロイドの効果は受けるわあ

そしてダークジェロイドの効果が発動

超古代恐獣の攻撃力を800ポイントダウンさせます」

超古代恐獣エンシエント・ダイノの攻撃力はジュラシックワールドの効果を受けて3000  
そこから攻撃力が300ポイントダウンして、2200に……

この攻撃力ダウンを狙っての自爆特攻……だよな？

「そしてもう1回、ダークジェロイドで暗黒ドリケラトプスに攻撃  
よお」

また！？

そんな事したらまた700ポイントの自爆ダメージに！  
でも復活したらまた攻撃力を下げられる！

暗黒ドリケラトプスは近づいてくるダークジェロイドを鬱陶しそう  
に弾き飛ばす

破壊されるダークジェロイド……だけど、また復活してくる！

「レスキューロイドとキューキューロイドの効果

そしてダークジェロイドを特殊召喚し、して効果を発動お

暗黒ドリケラトプスの攻撃力を800ポイントダウンさせるわあ」

これで暗黒ドリケラトプスの攻撃力は1100

レスキューロイドどころか、ダークジェロイドにまで負ける攻撃力！  
自爆特攻をしてまで貫通効果モンスターを消してくるなんて！

「レスキューロイドで暗黒ドリケラトプスに攻撃よお」

レスキューロイドが爆走

暗黒ドリケラトプスは轢かれて弾かれる  
そして破壊……気のせいか凄く虚しい。

恐竜さんが車に轢かれる

凄くシュールな光景を見た気がするなあ。

「ターンエンドよお  
残りライフが400だけど  
まだまだ頑張れるから安心してえ」

何に安心すればいいの！？  
え？ 何を安心したらいいの！？  
分からないけど……とにかく私のターン。

「私のターン、ドロー」

このカードは……駄目  
違うカードじゃないと  
手札交換をするには……もう罫でも良い！

どうしようもできない！  
だったら罫でも……使う！

「スタンバイフェイズ時に永続罫、化石発掘を発動します！  
手札を1枚捨てて、墓地から恐竜族モンスターを特殊召喚します  
私が特殊召喚するのは超伝導恐獣です！  
スーパーコンダクターティラノ  
このカードで特殊召喚したモンスターの効果を無効にします」

さあ、罫カードを使うんだったら使って！  
私はどうしようもできないから！

……って、使わない？  
あれ？ あれえ？

「えっと……エンシェント・ダイノ超古代恐獣の効果を発動します  
墓地から恐竜族モンスターが特殊召喚された時

デッキからカードを1枚ドロースます」

あ、これで発動条件が揃った  
後はこのカードを使うだけなんだけど……  
あの伏せカード、なんだろう？

「速攻魔法、サイクロンを発動します  
このカードの効果により、化石発掘を破壊します」

「ええ？ 自分のカードをですかあ？」

こうしないと使えないんだもの  
効果破壊をするか、どっちかじゃないと……

「化石発掘が破壊された事により、スーパーコンダクターティラノ超伝導恐獣が破壊されます  
そして恐竜族モンスターが破壊されて墓地へ送られたので永続罫、  
大地震を発動します  
このカードが存在する限り、相手の魔法、罫ゾーンを3箇所使用不可能にします」

「そして3回目の自分のターンのスタンバイフェイズ時に破壊されてえ  
墓地から恐竜族モンスターを手札に加えるんでしょ？」

効果を知ってたんだ  
その通りだけど……

「はい、そうです  
そして今はまだスタンバイフェイズなので1回目のスタンバイフェイズです」

後2回ですね」

「確かにその効果で暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスを手札に加えて  
そして召喚して、デコイロイドに攻撃すれば貴女の勝ちよお  
でもね……」

何か間違いでも有ったかな？  
変な事でもした？

「知らないのかしらあ？

化石発掘の効果で特殊召喚した超伝導恐獣<sup>スーパークンダクターティラノ</sup>  
このモンスターって自分の場のモンスターを生け贄にして相手に1  
000ポイントのダメージを与えるでしょ？」

でもその効果は無効化されてるから使えない  
そんな事ぐらい分かってると思うけど……  
どうしたのかな？

「この効果ね、超伝導<sup>スーパークンダクターティラノ</sup>恐獣を生け贄にするとお……  
なんとお、相手にダメージを与える事ができるのでえす  
だからあ、この事を知っていたら貴女の勝ちだったのよお？」

「……嘘？」

そんなの知らない……え？ もしかして勉強不足！？  
あああ！ 堅守先輩に怒られるう！

自分のカードぐらい把握してろって怒られる！

「本当よお  
だって生け贄は効果発動の為のコストだものお

効果を無効化されてても発動できるし、場から居なくなれば効果は適用されるのお

それにい、確かに大地震の効果も良いけどお

この事は一応覚えておきましょうねえ、次からは気をつけましょう」

「はい……教えてくれてありがとうございます」

次からは本当に気をつけないと

二度とこんなミスはしないように！

「あの……マー・ムーさん

化石発掘を見た時、対策とか言っていましたよね？

それってその伏せカード……ですよね？

どうして使わなかったんですか？」

それがさっきからずっと気になってる

どうして使わなかったのかな？

「これえ？

ふふふ、秘密よお」

もしかして……口車に乗せられただけで騙された！？

この人、堅守先輩や雪乃さんみたいに口が巧い人だったの！？

よく考えたら社長秘書だっけ

だったらそういうのを見る機会也多そうだし

自分でも使うかもしれないし……

うううう……ヒントも貰ってたのに気付かないなんて

私のお馬鹿さん

対戦相手の情報を見逃すなんて勿体ない事をしちゃった。

「はぁ……ターンエンドです」

「私のターン、ドロー」

あらぁ……サブマリンロイドを召喚しますよお

このモンスター、なんと直接攻撃ダイレクトアタックができません

サブマリンロイドで直接攻撃ダイレクトアタックでえす」

このタイミングで直接攻撃ダイレクトアタックモンスター！？

私のライフはまだ3500残ってるけど

それでも何度も攻撃されたら！

って、そんな事を考えてる内に魚雷がこっちに！？

「きゃぁぁ！」

サブマリンロイドの攻撃力は800

だからこれで私のライフは残り2700

何とかしないと……だけどデコイロイドが邪魔で攻撃できない！

「サブマリンロイドは攻撃後、守備表示になります

レスキューロイドとダークジェロイドも守備表示にしてえ、ターン

エンドでえす」

守りを固められた

エンシエント・ダイノ  
超古代恐獣じゃどうしようもできない

どうやって勝てば……早く大地震の効果が発動して！

「私のターン、ドロー！」



状況はどうしようもできないけど  
それでも出すだけ出して良いかな？  
でも……止めておこうっと。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

次のターン

次のターンになれば大地震の効果で暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスを手札に加えられる！

「あらあ……私のターン、ドロー  
あ……どうでしょう？」

どうしたんだろう？  
困るようなカードでもドローした？

「この決闘<sup>デュエル</sup>、私の勝ちかしら？」

「え？」

勝ちって……勝利宣言？

ちょっと待ってください！

私の場には攻撃力2200の超古代恐獣<sup>エンシェント・ダイノ</sup>が居るんですよ！

「私はあ……キューキューロイドとダークジェロイドを生け贄にして  
アーマロイドガイデングーを召喚しまあす」

攻撃力2700の最上級モンスター！？  
この攻撃と総攻撃を受けたら私の負け！

「そしてアーマロイドガイデンゴの効果を発動しまあす  
このモンスターをロイドと名の付くモンスターを含めて生け贄にし  
て召喚した時  
場の全ての魔法、罠カードを除外しますよお」

「魔法や罠カードの除外!？」

罠カード発動! 生存本能!

墓地の恐竜族モンスターを任意の枚数除外して

除外した枚数×400ポイントライフを回復します!

私はこの効果で奇跡のジュラシク・エッグ、キラザウルス  
スーパーコンダクターティラノサウルス  
超伝導恐獣、暗黒ステゴ、暗黒ドリケラトプス

そして化石発掘の効果で捨てた暗黒プラックテラを除外します!

私が除外したのは6枚、よってライフを2400回復です!」

これで私のライフは5100

全モンスターで攻撃されても負けない!

私の場のカードは超古代恐獣エンシェント・ダイノを除いて全て除外された

私の伏せていた残りの1枚はさっき伏せた狩猟本能、今は全然使えない  
ブラフ用のカード

マー・ムーさんの伏せていたカードは……完全な嘘のカード

ワンダーガレージ……警戒して損した!

ワンダーガレージはセットされた状態で破壊されて墓地へ送られた時  
手札からLV4以下のロイドと名の付く機械族モンスターを1体特  
殊召喚する効果

私のダイナスタンプを待っているようなカードだったなんて……

思わずマー・ムーさんを睨んでしまう

でもマー・ムーさんは全く気にした様子が無い  
それどころか最初から続いている笑顔のまま。

「騙してごめんなさいねえ  
でもお……駆け引きって重要だと思わない？」

完全に負けた……

この人の性格にはきつと勝てないと思う  
なんだか凄く悔しい。

「じゃあ続けるわねえ

デコイロイド以外のモンスターを攻撃表示に変更お  
ジュラシツクワールドが無くなったから超古代恐獣エンシエント・ダイノの攻撃力は19  
00にダウン

じゃあアーマロイドガイデングーで超古代恐獣エンシエント・ダイノに攻撃い」

攻撃力差は800、ダメージはそこそこ  
残りライフは4300……でも直接攻撃ダイレクトアタックが残ってる！

「レスキューロイドで直接攻撃ダイレクトアタックう  
そしてサブマリンロイドでも直接攻撃よお」

トラックと魚雷が同時に飛んでくる！  
トラックの直撃、そして魚雷も……来る！

「つつう……」

攻撃力1600と800  
合計ダメージは2400  
残りライフは1900……まだ耐え切れた！

「サブマリンロイドは攻撃後に守備表示になるわぁ  
うーん……もう何もできないからぁ、ターンエンドよぉ」

助かった……

もしリミッター解除なんて持っていたら確実に負けていたもの  
耐え切れたぁ……この人、丸藤先輩よりもずっと強い！

「私のターン、ドロー」

大地震が無くなってるから効果は発動できない  
こんな事だったら猛進する剣角獣をデッキに入れていればよかった！  
そうすれば勝ってたのに！

そういえばドローしたカードって……あ  
まさかこのタイミングでこのカードを……  
うん、まだ可能性は有るかも！

「魔法カード、逆転の宝札を発動します！  
自分の場にカードが無く、手札がこのカード1枚の時だけ発動でき  
ます！

相手の場で表側表示になっているカードだけドローできます！  
マー・ムーさんの場には表側表示のカードが4枚  
よって、私はカードを4枚ドローします！」

堅守先輩やレイちゃんにも使いにくいから抜けて言われたカード  
だけど抜く気になれなかった……今この瞬間だけは最後のチャンスの  
カード！  
何をドローできるか……

「カードを4枚……ドロー！」

……来た

これで私の勝ち！

「私はベビケラサウスルを守備表示で召喚します！  
そして魔法カード、シールドクラッシュ！

守備表示で存在する、ベビケラサウスルを破壊します！」

「ベビケラサウスルは効果で破壊された時  
デッキからLV4以下の恐竜族モンスターを特殊召喚する効果でし  
たねえ」

「はい、私はこの効果により、ディノインフィニティを特殊召喚し  
ます！

このモンスターの攻撃力は除外されている恐竜族モンスターの数×  
1000ポイントです！

除外されている恐竜族モンスターは6体、よって攻撃力は6000  
！」

ちょっと低いけど……

それでも十分かな？

「でもお……私の中にはデコイロイドが居ますよお？

もう召喚していますし、どうやって突破するんですかあ？

何度も攻撃って方法もありますけどお

私の場にはレスキューロイドが残っていますよお

戦闘で破壊しても、手札に戻るので次のターンに召喚すればあ

また攻撃ができないのでえ……攻撃力が高くてあまり意味は無い  
ですよお？」

「確かにこのままでは勝てません  
だから勝つ為に頑張るんです！  
速攻魔法、月の書を発動します！  
このカードの効果により、モンスター1体を裏側守備表示に変更します

表示形式を変更するのは……当然、デコイロイド！」

「裏側守備表示だと効果を発動できない……  
そうですかぁ、私の負けですねえ」

「はい、私の勝ちです  
ディノインフィニティでアーマロイドガイデンゴーに攻撃！  
インフィニティ・フアング！」

ディノインフィニティがアーマロイドガイデンゴーに襲いかかり、  
噛みつく  
そして胴体の部分を噛み砕く！  
攻撃力差は3300、私の勝ち！

「……私の負けですねえ  
これメダルです、どうぞお」

渡されるメダルを受け取る  
渡された枚数は23枚、これで85枚になった  
頑張ってもっと増やして、ご褒美を貰おうと。

「ありがとうございました！」

「いえいえ、楽しい決闘デュエルでしたよお

あそこで負けるとは思いませんでしたけどお」

私もあの状況で逆転できるとは思わなかった  
逆転の宝札……使いにくいけど、本当に逆転できた  
これを今後、どうしよう？

今回は良かったけど、また次はと思うと……  
必要だと思った時にデッキに入れて、それ以外の時は抜こうかな？  
自分の直感を信じて……

「では私は負けたので帰りますねえ  
お仕事が有りますしい」

「あ、はい  
お気を付けて！」

「どうもお  
それではあ」

そう言って去って行くマー・ムーさん  
そういえばあの人、どこの会社の人だったのかな？

## 108話【3日目?】（後書き）

マー・ムーって誰？

TF4から登場する人です

翔の代わりにビークロイドデッキを使用します。

何故ダークジェロイド！？

使おうか悩みましたが、使いました

なお、TF4でのマー・ムーさんはこのカードは使いません

その代わり、マジカル・アンドロイドを使用します

代用として使ったと思ってください。

月の書が最後って……

作者はかなり嫌でした

が、他の手段が思いつかなかったので諦めました

後はエネミーコントローラーぐらいしか……はあ。

原作、アニメオリジナルカード

逆転の宝札

自分フィールド上にカードがなく、手札がこのカード1枚だけの時に発動可能

自分は相手フィールド上に表側表示で存在するカードの枚数だけデッキからカードをドロースする

チート級のカードといえそうですが……

発動条件が難し過ぎるのは先ず不可能です

ちなみに使った理由は同じ恐竜族使いの剣山が使用したから

……もっと良いカードが有ったんですが、思い出した時には時既に



遅し

という訳でそのカードは別の機会にでも使おうと思います。

ツイッターでツインブレイカー

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
連続攻撃には失敗しました。

## 109話【3日目?】（前書き）

「今日の最強カードは悪夢の鉄檻だよ  
お互いの攻撃を2ターンの間封じる……  
そう、これは愛の試練なんだ！  
待つ事も愛……これは愛のカードなんだよ！」

きつと吹雪ならこう言います  
そんな気がします。

やっぱり彼女の口調は面倒でした  
それはともかく、今回も色々としています。

どうでも良い話  
時間的に昨日、買い物をしました  
ゲームなどに18000円ほど使用……アホですね  
衝動買いをしてしまう作者です、はい馬鹿です  
ただでさえ時間があまり無いのに……

今日は成人式、今年で21歳の人が祝われる日ですね  
作者ですか？ 行きませんよ、面倒ですし  
成人式なんて面倒じゃないですか、別に会いたい人も居ないですしね  
正確に言えば、作者の子供時代の友達は今に1人も居ないだけです  
すけど。

次回はどうなるか……  
毎回毎回、相手を考えるのが大変です  
だけど、オリジナルキャラは出さない！

瑞貴と玲以外は！

## 109話【3日目】

視点 レイ

メダルが50枚だからお仕置きは逃れられた  
だけのご褒美……なんだろう？

でもそれは100枚集めるまで教えてくれないだろうなあ。

ボクはカードとかよりも……

って、それは高望みしすぎかな  
絶対にしてくれないだろうし。

だけでもし、300枚だったらどうかかな？  
それでもっと集めて500枚ぐらいだったら……  
もしかしたらしてくれるかも？

無いとは思うけど、希望を持つぐらい良いよね？  
言わなかったらばれないんだし。

あ……やば！

さすがにあの人を相手にするのは！

「ん？ そこに居るのは早乙女じゃないか  
ジェネックス大会で相手を探してるのか？」

うあ……見つかっちゃった

あんまり戦いたく無いんだけどなあ

仕方無いか、もし決闘を申し込まれたら受ける  
デュエル

それまでその話はできるだけ回避して……

「丁度良い、お前とは1回決闘デュエルをしてみたかったんだ  
11歳で学園に入ったんだからな  
何度か決闘デュエルは見てるが、実際に戦ってみるのも1つの勉強  
俺の挑戦、受けてくれるか早乙女？」

話を回避する以前の問題だった  
ボクは既に捕まっていたなんて……

「はい……お願いします、木葉先生」

この人の名前は木葉孝三先生きは こうぞう  
真面目な先生なんだけど、それ以外にあまり特徴の無い先生  
どんなカードを使うのかな？

なんとなく嫌な予感がする  
この先生を相手にレプティレスデッキは危険だって  
となると……こっちのデッキ！

「手加減はしないぞ！」

「ボクだって！」

「「決闘！」デュエル」

「先攻は俺だ、ドロー！  
俺はソニックバードを召喚して、効果を発動！  
こいつが召喚、反転召喚に成功した時  
デッキから儀式魔法カードを手札加える

俺はデッキより儀式魔法、エンド・オブ・ザ・ワールドを手札に加えるぜ」

儀式カード……エンド・オブ・ザ・ワールドで儀式召喚できるモンスター

そんなモンスター、知らない！

あまり儀式系のカードは勉強してないんだもん。

ボクの知識、偏ってるからなあ

だから成績が雪乃さんや彰子さんよりも低いんだけど  
やっぱりもっと勉強しないと駄目かな？

「お前、その顔……」

なるほど、エンド・オブ・ザ・ワールドの効果で儀式召喚できるモンスターを知らないんだな？」

「う……そうです」

「勉強不足だぞ、もっとしっかり勉強しておけ  
こいつで儀式召喚できるモンスターは後々だ  
さすがに態々教えてやる必要は無いし」

ご尤もです

ボクだって教えてもらえるなんて期待してなかったもん  
自分に関係無いカードも、やっぱり勉強しないと駄目だなあ。

「俺はこれでターンエンドだ

さあ早乙女、お前のターンだぞ」

伏せカードも無し？

攻撃力1400ってそんなに高くないんだよ？

「ボクのターン、ドロー！」

鳥獣族かあ……

というか、奪っても何もメリットが無いんだよね  
だって効果はもう使えないもん。

「メルキド四面獣を召喚！」

メルキド四面獣でソニックバードに攻撃！」

攻撃力は1500だから100のダメージ  
だけどあんまり油断できないかな？

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだよ」

儀式をしてるのは分かってるけど、それだけ  
何が出てくるのか……そしていつ出てくるのか怖いかも。

「俺のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！」

センジュ・ゴッドを召喚し、効果を発動する！

センジュ・ゴッドの召喚、反転召喚に成功した時

デッキから儀式モンスターを手札に加える！

俺が手札に加えるのは終焉の王デミスだ！」

儀式モンスターと儀式魔法が揃った！

という事は……来る！

「儀式魔法、エンド・オブ・ザ・ワールドを発動！」

手札、または場からLV合計が8となるようにモンスターを生け贄

に捧げる！

場のセンジュ・ゴッドと手札の賢者ケイローンを生け贄に現れよ！ 終焉の王デミス！」

出てきた、LV8の儀式モンスター……終焉の王デミス！

でも、攻撃力がたったの2400？

LVの割に低くない？

「俺はカードを2枚伏せ、デミスの効果を発動！

ライフを2000払い、自身以外の場に存在するカードを全て破壊する！

終焉の嘆き！」

「そんな！？

今伏せたカードも破壊されるんじゃない……って、そんな事を言ってる場合じゃない！

罠カード、デストラクト・ポーションを発動！

自分のモンスターを1体破壊し、その攻撃力分だけライフを回復する！

ボクはメルキド四面獣を破壊し、ライフを1500回復！」

そしてデミスが咆哮する

デミスから青白い炎のような物が現れ、浮き上がり……破裂  
辺りに青い炎のようなものが降り注ぐけど

ボクのモンスターは既に場から居ない！

残ったのは使い終わったデストラクト・ポーション

そして木葉先生の2枚の伏せカード

自分から破壊したという事は……



「回復され、しかも躲されたか  
だが、俺が伏せたのは黄金の邪神像！

このカードはセット状態になっている時に破壊された時  
俺の場に攻撃力、守備力が共に1000の邪神トークンを特殊召喚  
する！」

そして木葉先生が伏せていた黄金の邪神像は2枚  
よって2体の邪神トークンが現れる……

デミスも含め、総攻撃力攻撃力は4400

ボクのライフは回復して5500

まだ多少は余裕が有る！

「俺は更に儀式魔法、奈落との契約を発動する！

このカードは闇属性儀式モンスターを儀式召喚する時

そのモンスターに必要な儀式魔法の代わりとして使用できる！

ただし、生け贄にするLVは必ず儀式召喚するモンスターと同じで  
なければならない！」

この場面で更に儀式！？

でもそんなカードは……まさか！

「俺はLV4の邪神トークンを2体、生け贄にする

奈落との契約は闇の支配者との契約の代わりとして使用し  
そして現れる！ 闇の支配者、ゾーク！」

攻撃力2700！？

そんなの酷すぎる！

「デミスとゾークで、ダイレクトアタック直接攻撃！」

ゾークは手の中に闇の大玉を作り出し、打ち出す  
デミスは持っている斧を振りかぶって斬りつけてくる!?

「きゃあああああああ!」

これは……効いたあ

ライフを回復してなかったら負けていた  
あまり使う気になれなかったけど  
念の為に伏せておいて良かった。

「合計ダメージは5100

ライフが400残ってしまったな……仕方無いか

俺は速攻魔法、セベクの祝福を発動する

相手への直接攻撃に成功した時  
ダイレクトアタック

相手に与えたダメージだけ、俺のライフを回復させる

俺はこの効果をゾークに発動

俺はゾークの与えたダメージ、2700のライフを回復するぞ  
ターンエンドだ」

キツチリと払ったライフも回復された

木葉先生のライフは4700、ボクは400

10倍以上のライフ差……でも、まだ負けたわけじゃない!

「ボクのターン、ドロー!」

「まだやるか

ここまで決まれば、大抵の奴はサレンダーするんだけどな  
子供の割には根性が座ってるのか」

別にどう思われたって良いよ  
まだ負けたわけじゃないんだから！  
というか、ボクの勝ちなんだから！

「ボクは儀式魔法、高等儀式術を発動！  
デッキより通常モンスターを儀式召喚に必要なLVと同じ数だけ墓地へ送る！」

「お、お前も儀式モンスターを使うのか  
あんまり居ないから嬉しいぞ」

別に木葉先生を喜ばす為じゃないんだけど……  
それにしても、なんとかレシェフが来てくれて助かった  
もし間に合わなかったら……ふう。

「ボクはデッキから仮面呪術師カード・ギュラを2体墓地へ送る！  
仮面呪術師カード・ギュラのLV4、よって合計は8！  
出てこい、大邪神 レシェフ！」

うん、相変わらず大きいなあ  
別に良いんだけど。

「更に墓地の悪魔族モンスターを3体除外！  
ボクが除外するのは仮面呪術師カード・ギュラを2体とメルキド  
四面獣！  
そしてダーク・ネクロフィアを特殊召喚！」

これで後は……

「手札の魔法カード、戦線復活の代償を捨ててレシェフの効果を発

動！

エンドフェイズまで相手モンスター1体のコントロールを得る！  
ボクはこの効果で闇の支配者・ゾークのコントロールを貰うよ！  
更に手札から傀儡虫を捨てて効果を発動！

相手の場に存在する悪魔族かアンデット族モンスター1体のコントロールを得る！

ボクはこの効果でデミスのコントロールを得る！」

「ちょ！ ちょっと待ってくれ！

俺のモンスターをどっちも持っていくなんて止める！」

そんな事を言われても……これが基本のデッキなんだから仕方無いよ  
傀儡虫とかパペット・プラントって入れるのに悩むけどね  
でも運が良いと正解して奪えるし！

「俺のライフは残り4700

そいつらの総攻撃力は……9800！？

俺の負けじゃないか！」

「はい、ボクの勝ちです

全モンスターで木葉先生に直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「うおああああ！」

勝ったあ！

でも危なかったあ……

もうちょつとで負ける所だったし。

「あー……あの状況で逆転されるとは  
まいった、俺の負けだ」

ボクもあの状況で逆転できるとは……レシェフが来なかったらどうなってたのかな？

ダーク・ネクロフィアを出せなかったし、奪えなかったし  
傀儡虫でなんとかゾークを奪うぐらいしか無かったんじゃない……

「負けたし、メダルだ  
今後も頑張れよ」

「はい！」

で、渡されたメダルはたったの……5枚  
もしかして今まで積極的に戦わなかったの？

「不満そうだな  
5枚だったらそこその数だろ？」

「ボク……今50枚なんです」

「……………」

「……………」

お互いに沈黙

何を言えればいいのか……

「そりゃ……悪かった

教師という立場上、あまり積極的になるのは拙いんでな

ああ、まあ……頑張れ」

「……はい」

木葉先生と別れて次の相手を探す  
あんなにピンチになったのに5枚じゃ割に合わないよ  
はあ……次の相手を探そつと。

次の人は沢山メダルを持ってるといいなあ  
100枚ぐらい……は、無理か  
せめて10枚以上！

視点 ゆま

誰か居ないかなあ……居ないなあ  
探すのが面倒になつてきた。

デもまだメダルは46枚だし、罰を受けちゃう枚数  
早く集メないと間に合わない！

うーん……あ、イエローの生徒発見！  
あの人と戦おうつと！

「あの、私と決闘デュエルしてください！」

「おや、私と決闘デュエルかい？  
確かに私はまだ決闘デュエルをしていない  
ならば受けねばならないな」

一人称は私？

別に変じゃないけど、珍しいかなあ  
だっテ男だもん。

「私、1年生の宮田ゆまです！」

「私は3年生の清水<sup>しみず</sup>季<sup>としや</sup>也

挨拶はこれぐらいにして、始めようか」

清水先輩か

誰が相手デも、絶対に勝つ！

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は私、ドロー！」

終末の騎士を守備表示デ召喚し、効果を発動します！

召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時、デッキから闇属性モンスターを墓地へ送ります！

私はデッキより、闇属性デあるゼータ・レティキュラントを墓地へ  
！」

コレデゼータ・レティキュラントは墓地へ

幸先良いかも！

「カードを1枚伏セテ、ターンエンドです！」

「私のターン、ドロー」

マシンナーズ・ソルジャーを召喚し、効果を発動

自分の場にモンスターが存在しない時にこのモンスターの召喚に成功した時

手札からマシンナーズ・ソルジャー以外のマシンナーズと名の付く  
モンスターを特殊召喚できる

私は手札より、マシンナーズ・スナイパーを特殊召喚」

最初から攻撃力1800と1600！

これはちよつと……まだ大丈夫だけど。

「マシンナーズ・ソルジャーで終末の騎士に攻撃」

「罨カード、因果切断を発動！

手札を1枚捨て、相手モンスターを1体除外する！

もし墓地に同名カードがあれば一緒に除外するけど、墓地には無い  
から関係無い！

私はこの効果デマシンナーズ・スナイパーを除外！」

「む……除外か

いくらなんでもそれは無理だ」

攻撃ぐらい当然防ぎますよー

別に防がなくても良かったんだけど……

デも、手札のカードは良い方だから！

「更に墓地に存在するゼータ・レティキュラントの効果を発動！

相手モンスターが場から除外された時

自分の場にイーバトーンを1体特殊召喚します！

終末の騎士、そしてさっきの因果切断で捨てたのデ私の墓地にはゼ

ータ・レティキュラントが2体

よつてイーバトーンが2体特殊召喚されます！

イーバトーンを守備表示デ特殊召喚！」



これデ壁も生ケ贄も揃った！  
次のターンに動こうっと！

「なら、マシンナーズ・ソルジャーの攻撃を続行  
終末の騎士に攻撃」

終末の騎士は倒されるけど、大丈夫  
私の場には壁モンスターが2体居るもん。

「……生贄かな？」

魔法カード、悪夢の鉄檻を発動  
お互いのプレイヤーは2ターンの間、攻撃ができない」

攻撃を止メラれた！？

って、何デ私が鉄檻に閉じ込メラれないといケないの！？  
なんだか複雑な気分。

「カードを1枚伏せ、ターンエンド」

攻撃できないんじゃ仕方無いかあ

よし、だったら攻撃さレないようにしよっと！

「私のターン、ドロー！」

永続魔法、冥界の宝札を発動！

2体以上の生ケ贄をしテ生ケ贄召喚に成功した時  
デッキからカードを2枚ドローします！

私は2体のイーバートクンを生ケ贄に、可変機獣 ガンナードラゴ  
ンを召喚！

2体のモンスターを生ケ贄にしたのデ、デッキからカードを2枚ド  
ロー！」

あ……でも、今はいらないかな？  
だってもう召喚したから。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです！」

「私のターン、ドロー  
モンスターをセット、ターンエンド」

伏せたただけ！？  
もう少し何かしてこないのかなあ？

「私のターン、ドロー！」  
異次元の生還者を召喚して、永続魔法、異次元隔離マシンを発動！  
自分と相手のモンスターを1体ずつ選択して、ゲームから除外します！

このカードが破壊された時、戻ってきますけど  
私はこの効果デマシンナーズ・ソルジャーと異次元の生還者を除外します！  
そしてモンスターが除外されたのデীবationTokenを2体特殊召喚  
！」

異次元の生還者は戻ってくるけど  
でも、相手のモンスターは戻ってこられない。

セットしたモンスターを除外しても良かったんだけど  
裏側表示だと非公開情報だからモンスターって言えないんだよね  
本当はモンスターなのに……除外したらモンスターも魔法も罠も分  
からないから。

「私はコレデターンエンドデす！」

そしてエンドフェイズ時、除外されてる異次元の生還者の効果が発動します！

場から除外されたターンのエンドフェイズ時、このモンスターは場に戻ってきます！

そしてこの瞬間、悪夢の鉄檻の効果が切れて破壊される！」

攻撃力は1800

マシンナーズ・ソルジャーがまた出てきても大丈夫！

だから攻撃するならイーバトクンぐらいしかできないよ！  
次の私のターンに倒すけど！

「ふむ……厄介だな

私のターン、ドロロー、強欲な壺を発動して更に2枚ドロロー

マシンナーズ・スナイパーを召喚」

また出てきた

何を狙ってるのかな？

とりあえず……イーバトクンの破壊？

「更にセットされていたマシンナーズ・ディフェンダーを反転召喚  
そしてリバーズ効果を発動

デッキから督戦官<sup>とくせんかん</sup>コヴィントンを手札に加える」

確認の為に見せられたカードは攻撃力が1000のモンスター  
弱いけど、どんな効果を持つてるのかな？

「マシンナーズ・スナイパーでイーバトクンに攻撃」

イーバトクンは破壊された

やっぱり異次元の生還者には攻撃しないんだ……  
なんだかモンスターを集めたがっテいるように見えるし。

「更にマシンナーズ・ディフェンダーでイーバトークンに攻撃」

攻撃力が1200だったら勝テない  
イーバトークンは攻撃力も守備力も500だもん。

「魔法カード、悪夢の鉄檻を発動  
ターンエンド」

「また!？」

また攻撃を止めるカード!？」

なんだか鬱陶しいなあ  
何が目的なんだろう？

「私のターン、ドロー!  
魔法カード、ブラック・コアを発動!

手札を1枚捨テテ、場のモンスター1体を除外!

私はこの効果により、マシンナーズ・スナイパーを除外!

そしテ相手モンスターが除外されたのディーバトークンを2体特殊  
召喚!」

「また……」

凄く嫌そう

だケでこういうデッキだから許シテ

こうしないとイーバトークンを特殊召喚デきないし。

「イーバトークンを2体を生ケ贄に  
光神機・轟龍を召喚！  
冥界の宝札の効果デ2枚ドロー！」

攻撃力2900の貫通モンスターだぞお！  
どうだぁ！  
倒せるものなら倒しテみるおい！

「私はコレデターンエンドデす！」

「私のターン、ドロー  
督戦官コヴィントンを召喚し  
カードを1枚伏せてターンエンド」

うーん……監督みたいな感じ？  
それとも司令官？  
よく分かんない。

「私のターン、ドロー！  
異次元の女戦士を召喚しテ、ターンエンド  
コレデ悪夢の鉄檻の効果が切レテ破壊！」

はぁ、やっと攻撃デきる  
早く攻撃したいなぁ。

「私のターン、ドロー  
マシンナーズ・ソルジャーを召喚  
ターンエンド」

やっぱり攻撃しない？

異次元の女戦士の効果ぐらいいは知ってたかな？

「私のターン、ドロー！」

2枚目の冥界の宝札を発動し、2枚目の異次元隔離マシーンを発動！  
私の場の異次元の生還者とマシンナーズ・ディフェンダーを除外！  
そして相手モンスターが除外されたのディバトークンを2体特殊  
召喚！」

モンスターは4体居たけど、異次元の生還者が居なくなったから空  
きができた

コレ後はっと……モンスターゾーンを空けるだけ！

「ディバトークン2体と可変機獣 ガンナードラゴンの3体を生ケ  
贄に

ギルフォード・ザ・ライトニングを召喚！

そしてギルフォード・ザ・ライトニングの効果発動！

3体のモンスターを生ケ贄にしテ召喚に成功した時  
相手の場のモンスターを全テ破壊する！」

「なんだって！？  
全滅！？」

マシンナーズ・ソルジャーと督戦官コヴィントンの破壊に成功！  
後は総攻撃デ勝てる！

「冥界の宝札の効果が発動！ 2枚発動してるから4枚ドロー！  
異次元隔離マシーン2枚を墓地へ送って、オオアリクイクイアリを  
特殊召喚！

このモンスターは自分の魔法、罠カードを墓地へ送った時のみ特殊  
召喚できるモンスター！

そして異次元隔離マシンは破壊されないと帰還効果を発動できないから戻って来れない！」

色々とアドバイスを貰っておいよかったあ  
知らなかったらどっちも使わなかったかもしれないもん  
元々持ってたから助かったけど……お小遣いという意味デ。

「クッ、罠カード、威嚇する咆哮を発動！  
このターン、相手は攻撃宣言が行えない！」

また攻撃を止められた！？  
本当にさっきから何を狙ってるの！？

「むう……だったらオオアリクイクイアリの効果を発動します  
このターン、攻撃ができなくなる代わりに相手の魔法、罠カードを  
1枚破壊します  
その伏セカードを破壊！」

伏セカードは復活の墓穴  
そういえばまだ1回も戦闘してないような……  
私からはだけど。

「ターンエンドデす  
異次元の生還者は自分の効果で戻ってきます」

「私のターン、ドロ―  
カードを1枚伏せ、督戦官コヴィントンを召喚  
ターンエンド」

いよいよ手札が無くなった！

これならきつと、そろそろいい加減に勝てるかも！

「私のターン、ドロー！」

オオアリクイクイアリの効果を発動！

攻撃を捨て、その伏セカードを破壊します！」

「罠カード、和睦の使者

このターン、私のモンスターは戦闘で破壊されず  
更に戦闘ダメージも受けない」

また守りのカード！？

もう、何を考エてるのか分からない上  
守っテばかりデ楽しくない！

「もう

異次元の生還者と異次元の女戦士を生ケ贄にしテ、混沌の黒魔術師  
を召喚！

そしテ混沌の黒魔術師の効果、召喚、特殊召喚に成功した時  
墓地から魔法カードを手札に加えます

私はこの効果デブラック・コアを手札に加えます  
冥界の宝札の効果デ4枚ドロー！」

手札が8枚……こんなに要らない  
とりあエず使おうかな？

「手札を1枚捨て、ブラック・コアを発動！

督戦官コヴィントンを除外！

そしテ空いているモンスターゾーン1つにイーバトークンを守備表  
示デ特殊召喚！

カードを2枚伏セテ、ターンエンド！」



もう何をやってても無駄だった事を教エテあげないと！  
段々と苛々してきた、次のターンで終わらせる！

「私のターン、ドロー  
マシンナーズ・ソルジャーを守備表示で召喚」

「罠カード、奈落の落とし穴を発動！  
攻撃力1500以上のモンスターが召喚、特殊召喚された時  
そのモンスターを破壊して、更に除外する！」

「な！？」

うんうん、コレでもう何もできない  
だった手札が0枚だもん  
いい加減に疲れた……

「……ターンエンド」

「私のターン、ドロー！  
イーバトーンを生ケ贄に、ゼータ・レティキュラント召喚！  
ゼータ・レティキュラントはイーバトーン1体を生ケ贄にして特  
殊召喚できる！」

コレで私の場は揃った  
攻撃力2900の光神機「轟龍」  
攻撃力2800の混沌の黒魔術師とギルフォード・ザ・ライティング  
攻撃力2400のゼータ・レティキュラント  
攻撃力2000のオオアライクイアリアリ  
合計攻撃力は……12900！？

うわぁ……私ってこんな事ができたんだ  
さすが堅守先輩とレイオン

あのデッキをここまでのパワーデッキに進化させるなんて……

デモ、カオス・ソーサラーの出番が無かったなあ

セッかく手札に來たのに……あ

ゼータ・レティキュラントを召喚する時に特殊召喚を止メテ  
イーバトークンとオオアリクイクイアリを生ケ贄にしテたら……

セッかく特殊召喚できたのに、勿体ない

デモ勝ったからいいか！

「全モンスター<sup>ダイレクトアタック</sup>デ直接攻撃！」

「うわあああああああああああ」

決まった……私の勝ち！

やっと攻撃できテなんだかスツキリ！

「負けたか……君の勝ちだ

このメダルは君に渡そう」

「わーい！」

メダルを渡さレた

だケど渡さレた枚数は4枚……少なすぎない！？

もしかしテ1日に1回ぐらいしか戦ッテなかったの！？

「少ないかもしれないけど許してほしい

私はあまり積極的ではないんだ」

「う……はあ

エっと、ありがとうございました」

「それじゃ」

そのままどこかに行く清水先輩

あの人、結局何がしたかったのか分かんなかったなあ。

## 109話【3日目】（後書き）

レイの希望って？

ご想像にお任せします。

木葉孝三って誰？

TFに出てくる教師です

使用デッキは儀式、デミスにルイン、そしてゾークを使用します。

なんという1ターンキル合戦……

本当に……何故こうなった？

これだからデミスは……

清水季也って誰？

TFに登場する生徒です

守りつつ、マシンナーズ・フォースの召喚を狙います。

でも……それって無理っぽくない？

ゆまが全部除外していくので……哀れ

戦闘をしなくても除去カードが豊富なゆま

相性が悪かったようです。

ゆまのデッキって……

本格的にレティキュラント＋冥界軸最上級多用デッキです  
それなりに回ると思います。

……2人してオーバーキルだね

そうですね、何故かこうなりました。

ネタ切れツイッター  
http://twitter.com/  
#!/ainkuria  
もう何を言えと!?

## 110話【3日目?】（前書き）

「今日の最強カードはアームド・ドラゴンLV10  
攻撃力3000、守備力2000

手札を1枚捨てる事で相手の表側表示のモンスターを全て破壊できるわ

万丈目君が使ってるカードだけど……よくこんな損なモンスターを使うわよね

LV7で攻撃力が2800なのに、LV10になっても3000なんて……

強いのは分かるんだけど、やっぱり損に思えるわ」

それは仕方無いぞ明日香

何故なら……派手だからだ！

今回は……まあ、見てくれた方が早いでしょう  
謎の強さを発揮してくれました。

あまり話せる事は無いですね……

そういえば今日、雪が降りました

視界が鬱陶しかったです……久しぶりに見たなあ。

どうでも良い話

昨日は成人式、まあ作者は行きませんでした

というか、開始時間に寝ていました……起きる気さえ無かったようです。

次回は誰にしようかな……まあある程度決まってるんですけど

さて、相手を誰にしようかな……そっちの方が悩めます。

## 110話【3日目】

視点 吹雪

なかなかメダルが集まらないなあ  
浜口君も焦れてきてるみたいだし  
まだ僕達のメダルはそれぞれ27枚  
これでは全然足りない。

タッグを組んだのは良いけど  
デッキの相性が悪かったのが問題だな  
僕は闇属性と炎属性のドラゴン族を使用する  
浜口君は地属性の獣族を使用……

そんな僕達がタッグを組んでそう簡単に戦えるはずが無く  
ちぐはぐな戦いで時間が掛かる  
どう考えても別々に戦った方が早いし強い。

……普通ならそう思うだろうね  
でも、何故か妙に噛み合うんだよね……  
お互いにちよっとデッキを調整したしね。

まあ、相手は全員白い制服の生徒だから大丈夫だろう  
これなら堅守君に迷惑は掛けないし  
手を出すなどとは言われてるけど、負けなければ良いんだ  
勝ってる僕は……まあ注意を受けるぐらいで済むと思う。

白の制服としか戦ってないのは浜口君が不満そうだったが



それでもレイ君に迷惑が掛かると言ったら渋々と諦めてくれた  
もし説得できなかったらタッグを止めてたかねえ。

さて、今日は……見つけた

あそこ2人居るし、彼らに相手をしてもらおう。

「浜口君、彼らが相手でもいいかな？」

「構いませんわ

私達の餌になってもらいましょう」

君、時々言葉が悪くなるよね？

僕に向けられてないから気にしないけど。

「その君達、僕達とタッグ決闘デュエルをしないかい？」

「「私達ですか？」」

同時に！？

顔も似てるし、双子か！？

「あ、ああ……君達だ

僕は天上院吹雪、隣に居る彼女は浜口ももえ  
知ってるかもしれないけどね、君達は？」

「私は吉光俊輔よしみつゆんすけ」「私は吉光誠一郎よしみつせいいちろう」

「「私達は双子の3年生  
一応同学年なんだけど」」

ここまで同じ事を言えるって凄くないかい！？  
覚えてないのは悪いとは思うけど。

「いや、すまない

勉強に集中しててね、あまり同学年の生徒の事は知らないんだ」

全く知らないと言っても良いぐらいだけど

そういえば3年生の生徒の名前、1人も知らなかったな  
別にあまり問題は無いんだけど。

「まあ良いか、それはともかく」

「君達との決闘<sup>デュエル</sup>、受けよう」

本当に息ピッタリだね

そこまで一緒にになれる秘訣って何かな？

「吹雪様

私、1人だけ2年生で肩身が狭いんですけど……」

確かにそうかもね

今までの相手は適当に見つけた2人にタッグを組ませてた  
学年がバラバラだったからそうかもしれない。

だけどね、今回は僕も仲間外れなんだよ？

君は私<sup>わたくし</sup>、彼らの一人称は私<sup>わたし</sup>  
だけど僕だけ僕なんだよ？

「全てのプレイヤーは共通ライフで8000ポイント  
フィールドも共通して使う、何か質問は有るかい？」

「「無い」」

僕が構えると全員が構える  
さあ、タッグマッチだ！

「「<sup>デュエル</sup>決闘！」」」

「私のターン、ドロー！  
巨大ネズミを守備表示で召喚！  
カードを1枚伏せ、ターンエンドですわ！」

「私のターン、ドロー  
手札を1枚捨て、THE トリッキーを特殊召喚  
更にハンター・アウルを召喚」

風属性のデッキかな？  
魔法使い族と鳥獣族だし。

「ハンター・アウルの効果  
このモンスターは自分の場の風属性モンスターの数×500ポイント、攻撃力がアップする  
更に、自分の場に他に風属性が存在している限り  
このモンスターは攻撃対象にならない」

随分と厄介なモンスターだね  
彼の場には既にTHE トリッキーが存在している  
元々の攻撃力1000ポイントに自身も含む、2体の風属性で攻撃  
力が1000ポイントアップ  
よって攻撃力は2000……THE トリッキーと並んだか。

「更にフィールド魔法、デザートストームを発動場に存在する全ての風属性モンスターの攻撃力は500ポイントアップ

代わりに守備力が400ポイントダウンするが……」

という事は……最初のターンから攻撃力2500が2体！？  
ちょっと拙いんじゃないかな？

「THE トリックイーで巨大ネズミに攻撃」

巨大ネズミの守備力は1450  
その能力差は1050ポイント……当然ながら勝てない。

「巨大ネズミの効果を発動しますわ！  
このモンスターが戦闘で破壊された時  
デッキから攻撃力1500以下の地属性モンスターを特殊召喚できますの！

私はデッキより、ハイエナを特殊召喚！」

ハイエナは戦闘破壊された時、デッキからハイエナを特殊召喚する効果を持っている

だが、巨大ネズミで特殊召喚されたモンスターは全て攻撃表示  
攻撃力1000のハイエナではダメージは大きい！

「ハンター・アウルでハイエナに攻撃」

「きやあ！」

でも、ハイエナの効果を発動！  
戦闘で破壊された時、デッキからハイエナを任意の枚数特殊召喚し

ますわ！

私はデッキより、2体のハイエナを特殊召喚！」

ダメージは1500と大きく、残りライフは6500

それでも彼女は僕の為に動いてくれた

生け贄にする為の下級モンスターを……

「ターンエンドだ」

「僕のターン、ドロー！」

僕は2体のハイエナを生け贄に捧げ、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を召喚！

更に魔法カード、黒炎弾を発動！

このカードの効果により、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜は攻撃できなくなるが

その代わり、相手に真紅眼の黒竜の元々の攻撃力分のダメージを与える！」

「なに！？」

「放て、黒炎弾！」

「ぐうああ！」

これで2400のダメージ、残りライフは5600だ！  
僕達のライフの方が上になったよ。

だけど、驚きや悲鳴まで同じじゃなくても……

そんなに一緒にしなくても良いんじゃないかい？

レッドアイズ・ブラックドラゴン

「そして真紅眼の黒竜を生け贄に捧げ

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の闇竜を特殊召喚するよ！

このモンスターは自分の墓地に存在するドラゴン族の数×300ポイント攻撃力をアップする！

僕の墓地にはドラゴン族モンスターは1体、よって攻撃力は2700だ！」

これでT H E トリッキーは倒せる

ハンター・アウルを倒せないのは惜しいけど……

でも、また風属性モンスターが出てきたら拙いか？

問題はパートナーの使用するカードだ

もし風属性デッキだったらちよつと危ないかもしれないな  
それでも、とりあえず倒しておくか。

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

「真紅眼の闇竜でT H E トリッキーに攻撃！」

ダークネス・ギガ・フレイム！」

これで200のダメージだ

まだ5400もライフが残ってる

強力なモンスターが出てこないと良いんだけど……

「僕はカードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー

魔法カード、天使の施しを発動

デッキからカードを3枚ドローし、2枚を捨てる

更に魔法カード、レベル調整を発動

相手はカードを2枚ドローする

そして私は自分の墓地に存在するL Vと名の付くモンスターの召喚  
条件を無視して特殊召喚する

私は墓地より、アームド・ドラゴンL V5を特殊召喚

ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃できず、効果の発動もできない」

それでも攻撃力は2400  
更に風属性だからフィールド魔法、デザートストームの効果を受ける  
よって攻撃力は2900だ。

「更に魔法カード、レベルアップ！を発動

自分の場に存在するLVと名の付くモンスターを墓地へ送り  
手札かデッキより、そのカードに書かれているモンスターを  
召喚条件を無視して特殊召喚する

アームド・ドラゴンLV5を墓地へ送り、私はデッキからアームド・  
ドラゴンLV7を特殊召喚！」

拙い！

アームド・ドラゴンLV7の攻撃力は2800！

更に風属性だから、フィールド魔法のデザートストームの効果を受ける！

よって攻撃力は……3300！

しかもこれでレベル調整を受けたモンスターは消えた  
効果の使用が可能になってしまった！

もし彼の手札に攻撃力が2700以上のモンスターが存在していた

場合

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜は破壊されてしまう！

「更に場のアームド・ドラゴンLV7を生け贄に捧げ  
手札からアームド・ドラゴンLV10を特殊召喚する  
このモンスターはアームド・ドラゴンLV7を生け贄に捧げた時の  
み特殊召喚が可能」

馬鹿な！？ 更なるレベルアップだって！？  
これを僅か1ターンで成すとは……

「そしてアームド・ドラゴンLV10の効果を発動  
手札を1枚捨てる事で相手モンスターを全て破壊する」

クツ……僕の真紅眼の闇竜が破壊されてしまった！  
しかも相手の場には攻撃力3000のアームド・ドラゴンLV10！  
風属性だから攻撃力がアップし、3500となっている！

そしてハンター・アウルの攻撃力は2500  
この直接攻撃ダイレクトアタックを受けた時、受けるダメージは6000ポイント！  
ライフがたったの500しか残らない！

「更にドラゴンフライを召喚  
場に風属性モンスターが増えたのでハンター・アウルの攻撃力は更  
に500ポイントアップする  
そしてドラゴンフライもデザートストームの効果を受けて攻撃力が  
500ポイントアップだ」

つまり合計攻撃力は……7900！  
僕達に勝ち目は！

「アームド・ドラゴンLV10で直接攻撃ダイレクトアタック」

「そうはさせない！  
罠カード、レッドアイズ・スピリッツを発動！  
このターンに破壊されたレッドアイズと名の付くモンスターの召喚  
条件を無視して特殊召喚する！



甦れ、レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜！」

「それでもアームド・ドラゴンLV10の方が攻撃力が上  
レッドアイズ・ダークネスドラゴンアームド・ドラゴンLV10で真紅眼の闇竜に攻撃」

確かにこのままでは戦闘に負け

僕に大ダメージが約束されるだろう

だが、そう簡単に通すわけにはいかないな！

「速攻魔法、飛龍天舞を発動！

デッキからドラゴン族モンスターを4枚まで墓地へ送る！

そして指定したモンスターの攻撃力を、墓地へ送ったモンスターの  
数×300ポイント攻撃力をアップさせる！

僕はデッキより、ドラゴン族モンスターを4体墓地へ送る！

これにより、飛龍天舞の効果で攻撃力は1200アップだ！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜の攻撃力が1200アップし、攻撃力3900！

そして墓地にドラゴン族モンスターが増えた事により

レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜自身の効果で攻撃力が更に1200アップし、攻撃力  
5100！」

「なあ！？

攻撃力5100！？」

「アームド・ドラゴンLV10の攻撃は止まらない！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン迎撃だ、真紅眼の闇竜！

ダークネス・ギガ・フレイム！」

「ぐっくう……」

よし、これで1600のダメージだ！

残りライフは3800、半分を切ったぞ！  
このまま押し切れれば！

「……クッ！」

バトルフェイズを終了！

カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

「この瞬間、飛龍天舞の効果が切れる

よって真紅眼の闇竜の攻撃力は3900だ」  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

これで全員のターンが終わった

次は浜口君のターンだ！

「私のターン、ドロー！」

レスキューキャットを召喚し、効果を発動しますわ！

レスキューキャット自身を墓地へ送り、デッキよりLV3以下の獣族モンスターを2体まで特殊召喚！

私はデッキより、みつこぶラクーダを2体特殊召喚！」

ドロー効果を持つモンスターじゃないか

だけど、そいつは3体のモンスターが必要

既に通常召喚をしているし、どうするんだい？

「私は手札から装備魔法、早すぎた埋葬を発動！

ライフを800払い、墓地よりレスキューキャットを特殊召喚！

そしてレスキューキャットの効果を発動！

レスキューキャットを墓地へ送り、デッキより獣族モンスターを特

殊召喚！

3体目のみつこぶラクーダとコアラッコを特殊召喚しますわ！」

うわお……モンスターがなんと5体にまで増えた！  
しかもコアラッコの効果って確か……

「コアラッコの効果を発動しますわ  
1ターンに1度、自分の場に獣族モンスターが存在する時  
エンドフェイズ時まで相手モンスター1体の攻撃力を0にしますわ！  
私はこの効果により、ドラゴンフライの攻撃力を0に！」

この効果って殆ど抗えないんだよねえ  
後から攻撃力をアップさせても、ダウンさせても攻撃力が変わらない  
かなり恐ろしい効果だ。

「更に魔法カード、野性解放を発動しますわ！  
獣族モンスター1体の攻撃力を、守備力分だけアップさせます！  
私はみつこぶラクーダを選択、攻撃力を守備力分だけ……  
つまり、元々の攻撃力500に1500を追加し、攻撃力は200  
0！」

これでかなりのダメージを期待できるぞ！  
勝てる可能性もかなり上がった！

しかも、これでドラゴンフライの攻撃力1900を上回った！  
2体目のドラゴンフライが出てきても勝てる！

「いきますわよ！  
野性解放の効果を受けていないみつこぶラクーダでドラゴンフライ  
に攻撃！」

弱々しいみつこぶラクーダの突進  
だが、そんな攻撃でもドラゴンフライは破壊される。

「ドラゴンフライの効果発動

このモンスターが戦闘で破壊された時

デッキから攻撃力1500以下の風属性モンスターを攻撃表示で特殊召喚できる！

私はこの効果により、2体目のドラゴン・フライを特殊召喚！」

攻撃力は1400だが、デザートストームの効果で攻撃力がアップしている

よって攻撃力は1900

しかし、野性解放を受けたみつこぶラクーダは攻撃力が2000！  
戦闘で勝つ事ができる！

「野性解放の効果を受けたみつこぶラクーダで、ドラゴンフライに攻撃！」

みつこぶラクーダは元々、砂漠でかなり体力を失っているモンスター  
見た目からも疲れているのが、野性解放の効果を受けていないみつ  
こぶラクーダを見てもよく分かる

だが野性解放の効果を受けたみつこぶラクーダは鼻息荒く、凄まじ  
い勢いでドラゴン・フライに突進し、破壊した。

これが野性を解放した獣族モンスターの力か……

守備力が高いから更に強く見えるな

まあ元々の攻撃力が500だしね。

「ドラゴンフライの効果！」

デッキより、3体目のドラゴンフライを特殊召喚！」

「まだ終わりませんわ！」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜でドラゴンフライに攻撃！」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
浜口君は真紅眼の闇竜の攻撃名を言わない  
ちよつと訊いてきたら、僕のモンスターだからだそうだ  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
なんとなく、真紅眼の闇竜に悪い気はするとも言っていた  
ちよつと嬉しかったなあ……

「うつく……ドラゴンフライの効果

アームド・ドラゴンLV3を特殊召喚する！」

アームド・ドラゴンLV3の攻撃力は1200

デザートストームの効果を受け、1700となっている

これではもう勝てるモンスターは居ないね。

こちらの場に残っているのは元々の攻撃力500のままのみつこぶ  
ラクーダ

そして攻撃力100しか無い、コアラッコ

さすがに攻撃力1700には勝てないよ。

「みつこぶラクーダの効果を発動しますわ！

このモンスターが3体存在している時

その内2体を生け贄にする事でデッキからカードを3枚ドロロー！」

レスキューキャットで特殊召喚されたモンスターはエンドフェイズ  
に破壊される

だったら有効活用しようって事だろうね。

それに、野性解放の効果だって同じだ

野性解放の効果を受けたモンスターはエンドフェイズに破壊される  
どっちにしても破壊されるんだし、同じ事だね。

「更に罨カード、キャトルミューティレーションを発動！

場の獣族モンスターを1体手札に戻し、同じLVを持つ獣族モンスターを特殊召喚しますわ！

私は場のコアラッコを手札に戻し、手札から同じLV2の素早いモモンガを守備表示で特殊召喚！」

おお……これは良いぞ！

モンスターを破壊から守り、更にリクルート能力を持ったモンスターを出せたんだ！

これなら相手が何を出してきても、きっと大丈夫だろう！

「そしてエンドフェイズ、レスキューキャットの効果で召喚され更に野性解放の効果を受けたみつこぶラクーダは破壊されますわ」

このターンで相手のライフを2600ポイントも削れた

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜の攻撃で2000

みつこぶラクーダで500、野性解放の効果を受けたみつこぶラクーダで100のダメージだ

ここまですればきつと……

「ならエンドフェイズ時、伏せていた罨カードを発動、レベルの絆！このカードは罨カード版のレベル調整……相手はカードを2枚ドロし

私の墓地よりLVと名の付くモンスターを、召喚制限を無視して特殊召喚する！」

そんな！？

LVと名の付くモンスターを特殊召喚するだって！？

という事は出てくるのは……

「私は墓地より、アームド・ドラゴンLV10を特殊召喚！  
このターンは攻撃ができず、効果の発動もできないけど  
次の俊輔のターンでは発動できる！」

これはかなり拙いぞ！

アームド・ドラゴンLV10は手札を1枚捨てて事で相手モンスターを全滅させる！

今の俊輔の手札は2枚、次のターンでドロ―し、3枚となる！  
それだけ有れば必ず効果を発動してくるはずだ！

「クッ……ターンエンドですわ」

僕達のライフは先ほど早すぎた埋葬を使用したので800減っている  
故に、残りライフは4800！

彼らのライフである1200よりは大分多いが……攻撃を通したら  
僕達は負けるかもしれない！

「私のターン、ドロ―

手札を1枚捨て、アームド・ドラゴンLV10の効果を発動  
相手モンスターを全て破壊する」

これはさすがにどうしようもできない！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜と素早いモモンガは破壊されて……

「速攻魔法、月の書を発動しますわ！

この効果により、素早いモモンガを裏側守備表示に変更！

アームド・ドラゴンLV10の効果で破壊できるのは表側表示のモ  
ンスターだけ

よって、裏側守備表示となった素早いモモンガは破壊されません！」

よし！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

心情的には真紅眼の闇竜を守って欲しかったけど！

でも必ず戦闘で破壊されるんだ、だったら守りきれりリクルーター  
モンスターを守るのは当然

やっぱりちよつと悲しいんだけどね。

「……だったら墓地のTHE トリックイーをゲームから除外して  
風の精霊 ガルーダを特殊召喚し、更にバードマンを召喚」

拙いか……ガルーダの攻撃力は1600、バードマンは1800  
どちらもデザートストームの効果で攻撃力を500上げている。

しかもハンター・アウルは自分の場の風属性の数だけ攻撃力を50  
0ポイントアップさせる

彼らの場には風属性モンスターが全部で5体

よって攻撃力は2500ポイントアップし、デザートストームの効  
果も受けて更に500ポイントアップ

攻撃力が4000となっており、これはちよつと……いや、かなり  
拙いかもしれないな。

「アームド・ドラゴンLV3で裏側守備表示となっている素早いモ  
モンガに攻撃」

「しかし、素早いモモンガの効果が発動しますわ

このモンスターが戦闘で破壊された時、私のライフが10000ポイ  
ント回復

更にデッキより、同名モンスターを裏側守備表示で特殊召喚できま  
すの！

この効果により、デッキから素早いモモンガを2体、特殊召喚しま



すわ！」

これで守りは万全……かな？

確かにライフは3000回復できる

だけど相手の場には攻撃力4000と3500のモンスター

しかも数から考えて、防ぎきれるのは2回の攻撃まで

最後の2体から確実に直接攻撃を受ける！

「バードマンで裏側守備表示の素早いモモンガに攻撃  
そしてガルードも、攻撃」

ライフは合計3000ポイントも回復できた  
だけど……このままだとダメージを受ける！

僕の伏せているのはリビングデッドの呼び声

だから完全な直接攻撃はまだ受けない

それでもダメージは必至、復活できる最大攻撃力は2400の真紅  
ズ・ブラックドラゴン  
眼の黒竜。

アームド・ドラゴンLV10の攻撃力は3500

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜との攻撃力差は1100

そしてハンター・アウルダイレクトアタックの直接攻撃ダメージも合わせれば受けるダメージは5100

素早いモモンガでライフは回復してるけど、ちょっと拙いな。

「モンスターが戦闘で破壊されましたわ」

「……なに？」

どういう意味だい、浜口君

そんなの、見れば分かるだろう？

「この瞬間、墓地の獣族モンスターを2体除外しますわ

私は墓地からハイエナを2体除外し、手札から森の狩人イエロー・バブーンを守備表示で特殊召喚！」

な……なんだ、このモンスターは！？

こんなモンスター、僕は知らないぞ！

「イエロー・バブーンは獣族モンスターが戦闘で破壊された時墓地の獣族モンスターを2体除外する事で手札から特殊召喚できるの

誠一郎さんのレベルの絆の効果でドローできました、感謝しますわ」

なるほど、これで壁モンスターが出てきた！

それにしても……このモンスター、森の番人グリーン・バブーンに似てるなあ

絶対に何か関係が有ると思うんだけど、なんだか微妙に効果が違うし……

「更に罠カード、地霊術「鉄」を発動しますわ！

場の地属性モンスターを生け贄に、墓地のLV4以下の地属性モンスターを特殊召喚します！

私はイエロー・バブーンを生け贄に、墓地より巨大ネズミを守備表示で特殊召喚しますわ！」

おお！ これはリクルーターモンスター！

これでなんとか生け贄が確保できるぞ！

「クッ……アームド・ドラゴンLV10で巨大ネズミに攻撃」

「巨大ネズミの効果を発動しますわ！  
デッキより、攻撃力1500以下の地属性モンスターを攻撃表示で  
特殊召喚しますの！  
この効果により、2体目の巨大ネズミを特殊召喚しますわ！」

「なら、ハンター・アウルで巨大ネズミに攻撃！」

攻撃力差は2600  
受けるダメージは大きい！

「クッ……巨大ネズミの効果を発動！ 私はデッキより、逆ギレパ  
ンダを特殊召喚！」

このモンスターは相手モンスターの数×500ポイント、攻撃力を  
アップさせます！

貴方達の場合にはモンスターが5体、よって攻撃力が2500アップ  
し、攻撃力3300ですわ！」

「「攻撃力……3300!?!」」

……うん、どうやら僕は思い違いをしていたらしい  
生け贄ではなく、完全に勝つ為のモンスターだ。

彼らのライフは1200

逆ギレパンダの攻撃で攻撃力最低モンスターのアームド・ドラゴン  
LV3に攻撃した場合

相手に与えられる戦闘ダメージは1600……あれ？  
もしかしてこれで勝ちか？

「……ターンエンド」

次は僕のターンだ

このターンで終わりだし、派手にしてみようかな！

「僕のターン、ドロー！ 手札から魔法カード、死者転生を発動！  
手札を1枚捨て、自分の墓地に存在するモンスターを手札に加える  
僕は墓地より、レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜を手札に加える」

これで僕の手札は揃った

最後はこれでつと……

「永続罫、リビングデッドの呼び声を発動！

墓地のモンスターを特殊召喚する！

僕は墓地より、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を特殊召喚する！

更に、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を生け贄に、レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜を特殊召喚！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜は僕の墓地に有るドラゴン族モンスターの数だけ攻撃力を上げる

僕の墓地に存在するドラゴン族モンスターは、死者転生でも捨てたので6体

よって攻撃力は1800アップし、4200だ！」

「「攻撃力……4200だって！？」」

こんな時でも君達は息がピッタリなんだね……

さすが双子、僕も明日香とあんな感じになってみたいなあ。

「逆ギレパンダでバードマンに攻撃！」

攻撃力差は1000

これで残りライフは200……僕達の勝ちだ！

「これで終わりだ！」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜でアームド・ドラゴンLV10に攻撃！

ダークネス・ギガ・フレイム！」

「「うわあああああああ！！！」」

デザートストームの効果を受け、攻撃力が3500も有ったアームド・ドラゴンLV10

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

だけど、真紅眼の闇竜との攻撃力差は700

彼らのライフは0となり、僕らの勝ちだ！

「「私達の負けか……」

これは敗者は潔く去るのみ

メダルは渡しておく」

僕達に渡されたメダルはそれぞれ7枚

合計しても、まだまだたったの34枚かぁ……先は長い。

「「それではまた」」

うん、最後まで一緒だったね

君達ほど仲が良い双子はそんなに居ないんじゃないかな？

「さて、次の相手を見つかけましょう、吹雪様」

「うん、それは良いんだが……」

さっきのイエロー・バブーンというモンスター

アレはどこで手に入れたんだい？」

それがさっきから気になって気になって  
全く思い浮かばないんだよね……1人思いつくけど。

「このモンスターですか？ 去年ですが堅守さんから買いましたわ  
もしロックが壊され、壁モンスターが破壊された時  
手札から特殊召喚できるようにと、教えてもらいましたわ  
高い買い物でしたけど、今回勝てたので良しとしましょう」

うん、予想通りだったよ  
そしてやっぱり高かったのか……

理由を話し、さっさと次の相手を探しに行ってしまう浜口君  
僕は後を追いかけて、共に次の相手を探す。

今回の戦いで思った事  
彼女はやっぱり強かった……という事だね。

## 110話【3日目?】（後書き）

2人はどんなデッキ調整をしたの？

吹雪は王宮のお触れを抜き、レッドアイス・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を中心とした

上級モンスターや最上級モンスターを使ったパワーデッキにもえは一部のロックカードを抜きました

後は下級モンスターとリクルーターモンスターで生け贄確保

他にもレスキューキャットを何度も使って低LV獣族モンスターを使用

様々な効果で相手モンスターを消します。

吉光俊輔って誰？

TF3に登場するキャラです

風属性モンスターデッキを使いますが……

地味なキャラなので目立ちません

ライバルの他の風属性使いが強いのも更に目立たない原因に……

吉光誠一郎って誰？

TF4から出てくるキャラです

本来なら大人なのですが、双子設定にしたので俊輔と同年齢としました

使用デッキは風属性を中心とし、アームド・ドラゴンやアルティメット・インセクトを使用

ただし、今回はアームド・ドラゴンを中心としたデッキを使用しました。

この2人って別作品で出てるみたいだけど、本当に双子なの？  
違います

俊輔と誠一郎は同キャラという感じの扱いらしいです

しかし何故か名前が違った上、デッキが同じ風属性なので双子という設定を捏造して双子にしました  
どちらが兄、どちらが弟とは訊いてはいけません……考えてないので。

今回のタッグマッチのルールは？

TFのルールを採用しています

今後も、この2人が戦う場合はそうなります。

アームド・ドラゴンって確かかなり高価なはずじゃ……

その通りです

が、他のカードを考えるのが面倒なので止めました

……まあ、スルーしてください。

黒蛇病の空気感が……

全く持って空気ですね

しかし、デス・ウォンバットとマテリアルドラゴンがデッキに入っている……

使い時が早かったら……が、あまり意味が無いですね

抜きたいような、しかし抜いたらもえの特徴が……既に原型を留めていませんが。

イエロー・バブーンっていつ買ったの？

いつかの八つ当たり戦の後の事です

ジュンコはアイス・ブリザード・マスターでした

ようやく出せました……長かったですね。

ツイッターはツイスターを発動した！

<https://twitter.com/#!/ainkuria>



つまり……二度ネタ！

## 111話【3日目?】（前書き）

「今日の最強カードは落とし穴だ  
相手が攻撃力1000以上のモンスターを召喚、反転召喚した時  
そのモンスターを破壊する  
まあ、俺のサイバー・ダークには殆ど無意味なカードだがな」

サイバー・ダークの内容を知っている亮の登場  
そりゃ相性が悪すぎる……逆に有利にさせてしまいそうですしね。

……本格的に話す事が無いですね  
なのでもう終わり。

次回はどうしようか……

誰を出そうか、実は決まっていたりします

うーん……内容、どうしようかな？

## 111話【3日目】

視点 雪乃

ふう……現在のメダル枚数はまだ73枚  
ご褒美まで残り27枚必要……かあ

あまり生徒を見なくなってきたし、どうしようかしら？

うーん、今まで相手にしなかった人にも手を出すべき？  
あまり戦いたく無いのよね……ブルーの男子って  
どうしてもエリート意識が強くて、相手にすると面倒だし。

ブルー生徒を相手にしても、おとなしそうな人しか相手をしなかったもの

諦めて多少面倒な相手でも我慢するしかなさそうね。

……噂をすれば影ね

あそこに居るのって確か……見た事は有るけど名前は忘れたわ  
どこで見たのかしらね？

あまり相手をしたくないけど仕方無いか  
はあ……もっと気楽な相手と戦いたいわ  
吹雪先輩とか、堅守先輩……は、遠慮しておくけど  
負けたら終わり、だったらあまり戦いたく無いわ。

「そこのブルーの人、私と決闘デュエルしない？」

「俺かい？」

なんとなく嫌な予感がするが……まあ良いだろう  
受けてやる！」

やっぱりどこかで見た事が有るような……  
どこで見たのかしら？

思い出せないのが気持ち悪いわ。

「私は1年生の藤原雪乃よ」

「俺は3年生、瓶田武司だ  
いくぞ！」

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

どんなデッキを使うのか……  
3年生だし、お手並み拝見といきましょう。

「先攻は私、ドロー！」

なんだか手札が微妙ね……  
事故という程酷くないけど  
その代わり、ちよつと良いカードじゃないわ。

「黄泉ガエルを守備表示で召喚するわ  
これでターンエンドよ」

どうにかなるかしら？  
モンスターを大量展開されたら負けるわね。

「俺のターン、ドロー！」

儀式魔法、亀の誓いを発動するぜ！

手札か場からLV合計が8以上になるようにモンスターを生け贄に捧げる！

俺は手札からLV6の岩石カメッターと、LV3のタートル・狸を生け贄に捧げ

降臨せよ、クラブ・タートル！」

攻撃力2550の水属性水族モンスター

別に何か特徴が有るわけじゃないみたいだし  
モンスターもカメッターにタートル……亀？

思い出した！

以前、確か白の生徒と決闘デュエルしないようにと言いに行った時  
吹雪先輩と決闘デュエルしていたブルーの生徒じゃない！

実力は確か……そもそも亀のファンデッキだったわね  
うーん……黄泉ガエルだけで耐えられるかしら？

「更にタートル・タイガーを召喚！  
バトルだ、タートル・タイガーで黄泉ガエルに攻撃！」

守備表示だからダメージは無いけど  
次の攻撃までは防げない……来る！

「クラブ・タートルで直接攻撃だ！」  
ダイレクトアタック

……クラブ・タートル、貴方は亀の甲羅を背負ったような蟹のモンスターでしょ？  
だったら泡を吹いて攻撃してくるとか、水鉄砲でも飛ばしてくるとかなら分かるわ

突進してきたり、ハサミで殴るなりしてくるとかなら……

だけど、けどどうしてハサミが取り外し可能な上  
しかもミサイルみたいにくっちに飛んでくるのよ!?  
ちょ! こっちに来ないで!

「きゃああああ!」

クッ……残りライフは1450

このダメージはちよつと大きいわね。

でも、私としてはクラブ・タートルの攻撃方法が納得できないわ  
機械族じゃなくて水族でしょ?

なんでハサミを撃ち出してくるのよ!

「俺はカードを1枚伏せて、ターンエンドだ!」

「私のターン、ドロー!

この瞬間、黄泉ガエルの効果が発動されるわ

自分の場に魔法、罠カードが無い時

このモンスターは墓地から特殊召喚できる

黄泉ガエルを特殊召喚!」

さて、どうしようかしら?

今回は諦める方が良くかもしれないわね

戦闘破壊……されるのは困るけどどうしようも無いのよね。

「ネフティスの導き手を召喚するわ」

「(攻撃力が600か

落とし穴は発動できないな)」

攻撃力が足りないのが残念なのよね  
それでもこれぐらいしか出せるモンスターが居ないし。

「ネフティスの導き手の効果を発動するわ  
自身ともう1体のモンスターを生け贄にする事で  
デッキか手札からネフティスの鳳凰神を特殊召喚するの  
私は……手札からネフティスの鳳凰神を特殊召喚！」

一緒に手札に來られても困るのよね  
鳳凰神もデッキに居てくれたら良いのに……  
どうして手札に來たのかしら？

「（落とし穴は特殊召喚には対応してない  
残念ながら使えないな）」

「ネフティスの鳳凰神でタートル・タイガーに攻撃！」

1400ポイントのダメージ  
それでもまだ私のライフの方が少ない  
相手のライフは2600……ちよつと拙いかしら？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

もし……もしも攻撃力の高いモンスターを出されたら私の負けね  
私のライフは残り1450……

クラブ・タートルの攻撃を受けたら150のダメージ  
つまり、攻撃力1300以上のモンスターで攻撃されたら私の負け

ね。

「俺のターン、ドロー！」

何をドローした？

モンスター？ 魔法？ 罫？

攻撃力は1300未満？ それとも1300以上？

「魔法カード、強欲な壺を発動！」

このカードの効果により、デッキからカードを2枚ドローする！」

このタイミングで強欲な壺！？

更に負ける可能性が上がった！

「俺は魔法カード、古のルールを発動！」

手札からLV5以上の通常モンスターを特殊召喚する！

俺は手札よりLV5、3万年の白亀を特殊召喚！」

LV5のモンスター！

これは……負けたかしら？

と、そう思ったけどそんな事は無かったみたい

3万年の白亀の攻撃力は……1250

なんて……ギリギリになるのかしら？

それにしても……LV5で攻撃力1250？

せめて1800は欲しくない？

いくら古いカードだからってこれはちよつと……

こんな事故にしかないモンスターをよく入れるわね



ファンデッキでここまで生き残ってきたんだもの、関心するわ。

事故に関しては私は人の事を言えないけど  
今現在進行形で事故を起こしているものね……  
私自身、よく勝ち残ってると思うわ。

「クラブ・タートルでネフティスの鳳凰神に攻撃！」

「そうはさせないわ！」

罨カード、デストラクト・ポジションを発動！

自分のモンスター1体を破壊し、その攻撃力分だけライフを回復する！

私はネフティスの鳳凰神を破壊し、2400のライフを回復するわ  
！」

これは殆ど無意味な効果

だって私のライフは回復しても場はガラ空き

伏せカードの1枚も見えない何も無い場よ。

そしてライフを2400回復し、残りライフは3850

……さあ、きなさい！

「モンスターを守ったか

なら自分でモンスター達の攻撃を受けろ！」

3万年の白亀とクラブ・タートルで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「グックあああ！」

受けたダメージは3800

残ったライフは僅か50……これで勝てるかしら？

だけど、こうするぐらいしか無かった。

「ターンエンドだ

お前のライフは残り50

諦めるのも1つの手だぞ？」

諦め……確かに逆転できる可能性は高くない

だけどその状況が……ゾクゾクするんじゃない！

勝つか負けるか、この紙一重が……この瞬間が大好きなのよ！

「私は諦めずに続けるわ

私のターン、ドロー！ この瞬間、黄泉ガエルが復活！

更に効果により破壊されたネフティスの鳳凰神の効果が発動するわ！

このモンスターは効果で破壊された次の私のスタンバイフェイズ時  
墓地より特殊召喚され、場の魔法、罠カード全てを破壊する！」

相手の伏せカードが1枚だけだけど破壊される

破壊されたカードは落とし穴……私には殆ど影響しないカードね  
攻撃力1000以上で通常召喚なんて殆どしないもの。

「落とし穴が……

だが、ネフティスの鳳凰神の攻撃力は2400

俺のクラブ・タートルには敵わない！

更に俺のライフはまだ2600残っている

例えば3万年の白亀を倒されても、俺のライフは1150残る！」

確かにそうね

だけど、そんな単純な事になるはずが……無いわよ！

「手札から魔法カード、トレード・インを発動！

手札のLV8のモンスター、創世神<sup>ザ・クリエイター</sup>を墓地へ送り、2枚ドロー！  
更に魔法カード、打ち出の小槌を発動！

このカードを含み、手札のカードを任意の枚数デッキに戻してシャッフル

私は手札のカードを全てデッキへ戻し、シャッフルしてデッキに戻した枚数である4枚ドロー！」

手札事故防止の為の手段、手札交換カード

本当は入れてなかったんだけど、やっぱり保険は欲しい……  
と、言われてから入れてみたんだけど、今回は助かったみたい。

「魔法カード、名推理を発動！

相手はLVを宣言し、私はデッキのカードを上から捲っていくわ  
そして通常召喚が可能なモンスターが出てくるまで捲る

通常召喚が可能なモンスターを捲った時、そのモンスターのLVを  
確認

そして相手が宣言したLVと違う場合は特殊召喚でき、当たって  
いた場合は墓地へ送られる

モンスター以外が現れるまでの魔法、罠カードは全て墓地へ送られ  
るわ

さあ、モンスターのLVを宣言してちょうだい」

「名推理か……なら俺は直感でLV3を選ぶ！」

そんな！？

名推理を使われて、態々低LVのモンスターを選ぶですって！？  
どうしてそんな事を……

「俺は直感には自信が有るんだ  
さあ、デッキからカードを捲れ！」

「……1枚目、魔法カードの魔法石の採掘  
2枚目、罠カードのヒーロー見参、3枚目、モンスター……マシュ  
マロン!?  
マシュマロンは通常召喚可能なLV3のモンスター……よって墓地  
へ送られるわ」

「おっしやあ!  
さすが俺の直感!」

まさかLV3で当てるなんて……何者なのかしら?  
でもあまり問題無いんだけどね  
使えるカードはまだ手札に有るし……  
そう簡単に何度も当てられるはずが無いわ。

「私は手札より魔法カード、名推理を発動  
効果はさっき説明したわよね?」

「また名推理だと!?  
だったら俺はLV6を選択するぞ!」

今度は上級モンスターであるLV6  
相手の勘が当たるかどうか……

「1枚目、ライトロード・ビースト ウォルフ  
モンスターだけど通常召喚できないモンスターだから墓地へ送られ  
るわ  
2枚目、ブローバック・ドラゴン……通常召喚可能なLV6のモン  
スター

よって墓地へ送られる……2回連続で正解なんて凄いわね」

「はっはっは！  
もっと褒めてくれ！」

まさか本当にまた当てられるとは思わなかったわ  
ちよっと危ないかも……まだ大丈夫だと思いたいけど。

「ライトロード・ビースト ウォルフの効果を発動するわ  
このモンスターがデッキから墓地へ送られた時  
墓地よりこのモンスターを特殊召喚！」

「おお……こんなモンスターが居たのか  
だが、俺のモンスターの方が強い！」

確かにそうね  
さて……次はどうなるかしら？

「3枚目、名推理を発動するわね  
さあ、3回連続正解はできるかしら？」

「なあ！ 3枚目だと！？  
むむう……だったら俺はLV8を選ぶぞ！」

最後まで直感は危険だと思ったのかしら？  
考えてから答えを決めたわね。

私、そうやって途中で諦める人は嫌いよ  
1度決めたら、最後まで突き通さないと駄目じゃない  
その結果が……これよ！

「1枚目、モンスターカードである可変機獣　ガンナードラゴン  
通常召喚が可能なLV7のモンスター  
よって答えを間違えたので特殊召喚よ！」

「攻撃力が2800……クラブ・タートルを上回ってるだど!?!」

「これが自分の直感を最後まで信じなかった結果よ！」

バトル！　ガンナードラゴンでクラブ・タートルに攻撃！」

クラブ・タートルを撃破！

攻撃力差である250のダメージ！

「続いてウォルフで3万年の白亀に攻撃！」

ウォルフの攻撃力は2100なので850のダメージ

合計で1100のダメージを与え、残りライフは1500

私の場にはまだネフティスの鳳凰神と黄泉ガエルが残ってるわ！

「これで終わりよ！」

ネフティスの鳳凰神で直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「お、おお！」

うおおおおおおおおあああ！

……うおちゃああ！」

ネフティスの鳳凰神の吐き出す炎のブレスで燃え上がる瓶田先輩  
ノリが良い先輩ね……楽しそうで何よりよ。

「うあー……負けたあ

俺のメダルだ、持ってけ1年生」

倒れたままの亀田先輩からメダルを渡される  
スカートの中を見られないように少し離れて受け取る  
メダルの枚数は14枚か……合計メダル枚数は87枚ね  
残り13枚、もうすぐ目標達成ね。

瓶田先輩と別れ、次の相手を探しに行く  
さて、次はどんな人が相手かしらね……

「次は必ず俺が勝つぞ！」

ビックリした！

突然何を言い出すんだか……

危うくメダルを落とすところだったわ。

それにしても、珍しいブルーの生徒だったわね

熱血でエリート意識のあまり無い人だったわ

3年生だし、落ち着いたとかかしら？

でも、吹雪先輩と戦った時の方が暑苦しそうに見えたのよね

もしかして……吹雪先輩に負けて鎮火した？

だから更に少し落ち着いたとかかしら？

まあ……別にどうでも良いわね

だって私にはあまり関係無いんだし。

視点 明日香

「うわああああ！」

「はい、おしまい  
メダルを全部渡してちょうだいね」

「くっそお……ほらよ！」

今倒した生徒からメダルを投げ渡される  
その枚数はたったの6枚……少ないわね。

それでも一応メダルは増えたからいいわ  
現在のメダル枚数は98枚、残り2枚で瑞貴の言うご褒美  
さて……さすがにもう1枚だけしか持っていない人なんて居ないはず  
次の相手を倒せば確実に100枚になるでしょうね。

さて、次は……ん？

あそこに居る白衣の人物は……外の人よね？  
という事は外部からの実力者が来たのかしら？  
ちょっと相手になってもらいましょう。

……そろそろ生徒狩りにも飽きてきたし。

「その白衣の人、貴方もこのジュネックス大会に出場してるの？」

「ん？ まあそうだ

……うん、顔色は良いから大丈夫だろうな」

顔色？

白衣だし、医者か何かかしら？



「私は天上院明日香、貴方に決闘<sup>デュエル</sup>を申し込むわ」

「そうか、良いだろう」

俺の名前はスライダー瓶田、医者だ  
ちよっとした実験の為にこの大会に参加させてもらった  
さて、始めようか」

実験って何かしら？

もしかしてデッキの調整とか？

別に良いんだけど……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は俺だ、ドロー」

UFOタートルを守備表示で召喚  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

炎属性用のリクルーターモンスター  
炎属性を中心としたデッキかしら？  
そうじゃなければ使わないと思うけど。

「私のターン、ドロー！」

あ……デッキの交換を忘れてたわ  
生徒狩りで時間短縮の為にこのデッキを使ってたものね  
こういう人を相手にするにはもう1つのデッキを使いたかったわ。

「魔法カード、テラ・フォーミングを発動！  
このカードの効果により、デッキからフィールド魔法を手札に加え

るわ

私はデッキから六武院を手札に加え、発動！」

六武衆はこの大会で使いすぎて飽きてきた  
だって楽なんだもの……弱い人が多いし  
面倒になってもうこのデッキばかりよ。

「更に真六武衆、カゲキを召喚するわ！」

「（攻撃力は200……奈落の落とし穴は使えないか）」

「六武院の効果を発動

六武衆と名の付くモンスターが召喚、特殊召喚に成功する度に  
六武院に武士道カウンターを1つ乗せるわ

このカードに乗っている武士道カウンターの数×100ポイント  
相手モンスターの攻撃力をダウンさせる

更にカゲキの効果を発動！

このモンスターの召喚に成功した時

手札の六武衆と名の付くLV4以下のモンスターを特殊召喚できるわ  
私は手札からLV4の六武衆、ニサシを特殊召喚！」

「（攻撃力が1400……

また攻撃力が低い、奈落の落とし穴は発動できない……）」

「ニサシが特殊召喚された事により、六武院の効果で武士道カウン  
ターが乗るわ

そしてカゲキの効果は場に自身を除く六武衆が存在している時  
攻撃力を1500ポイントアップさせる！

更に永続魔法、強者の苦痛を発動するわ

このカードが存在している限り、相手モンスターの攻撃力は

そのモンスターのLVの数×100ポイントダウンする」

これでリクルートしてきたモンスターの攻撃力が下がる

UFOタートルの効果で特殊召喚されるモンスターは全て攻撃表示よ  
攻撃力は最高でも1500だし、楽に倒せそうかもしれないわね。

「ニサシでUFOタートルに攻撃！」

「チッ……UFOタートルの効果を発動

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下の炎属性モ  
ンスターを攻撃表示で特殊召喚する

俺はデッキから攻撃力1400、炎を食らう大亀を特殊召喚」

ちよつと待ちなさい

LV5で攻撃力1400の通常モンスター？

まさかあのデッキ……ファンデッキ！？

別に良いんだけど……本当に実力者かしら？

何か別の理由で呼ばれたとか？

「六武院と強者の苦痛の効果よ

武士道カウンターは2つ、よって攻撃力は200ポイントダウンし  
強者の苦痛の効果でLV×100ポイント、つまり500ポイント  
攻撃力がダウン

よって合計700ポイント攻撃力が下がり、攻撃力は700よ」

なんだかアッサリと終わりそうね……

本当に大丈夫かしら？

「ニサシの効果を発動

このモンスターは自身以外に六武衆が場に存在している時  
もう1回攻撃ができるわ

ニサシで炎を食らう大亀に攻撃！」

ニサシの攻撃力は1400、よって700ポイントのダメージね  
でも、まだ攻撃は残ってるわよ？

「カゲキで直接攻撃！  
ダイレクトアタック」

カゲキが持っている刀で……ええ！？

何でその義手で殴るの！？

貴方武士でしょ？　なのに何故義手で！？

「えっと……カードを1枚伏せてターンエンドよ」

もしかして無抵抗の相手に刀を振るわないとか

そんなポリシーでも持ってるのかしら？

武士って堅物そうだものね……

与えられたダメージは2400ね

残りライフは1600、難しくはないけど

他にどんなカードを使ってくるのかしら？

「俺のターン、ドロ……強欲な壺を発動し、デッキからカードを  
2枚ドロ

マンジュ・ゴッドを召喚し、効果を発動

デッキから儀式モンスター、または儀式魔法を手札に加える

俺はデッキより、儀式魔法である亀の誓いを手札に加える」

亀の誓い？

あのカードって確かクラブ・タートルに必要な儀式カードよね？  
でもあのモンスターって確か……

「儀式魔法、亀の誓いを発動する  
手札か場からLVの合計が8以上になるようにモンスターを生け贄  
にする

俺は手札からLV4のピラミッド・タートル、そして場のLV4の  
マンジュ・ゴッドを生け贄に捧げる  
降臨せよ、クラブ・タートル！」

甲羅を背負った蟹……

どこかで見たような気がするのよね  
うーん……どこだったかしら？

「六武院と強者の苦痛の効果よ  
六武院の効果で200ポイント、そして強者の苦痛の効果でLV分  
の800ポイント  
合計1000ポイント攻撃力を下げてもらおうわ」

これでクラブ・タートルの攻撃力は1550  
……全く怖くないわね。

「更に儀式魔法、高等儀式術を発動  
儀式に必要なモンスターのLV分、デッキから通常モンスターを墓  
地へ送る」

え？ また儀式魔法？  
という事はまさか……

「俺はデッキよりLV4、島亀とLV4、タートルタイガーを墓地

へ送る

出てこい……クラブ・タートル!」

2体目のクラブ・タートルですって!?

しかも1ターンで揃えるなんて……

って、拙い!

クラブ・タートルの攻撃力はニサシを上回ってる!

1体だけなら別に問題無かったけど、2体は拙いわ!

カゲキは自分の場に六武衆が存在しない時、攻撃力が元に戻る  
つまり……ニサシが倒された時、攻撃力が200へと下がってしま  
う!

「クラブ・タートルでニサシに攻撃」

クラブ・タートルがニサシをハサミで掴み……う!

切れないハサミなのか、ニサシの骨を砕くようなゴキッって音が!  
そしてそのまま破壊されるニサシ……これはちよつと見たく無い攻  
撃ね。

「六武衆が居なくなったからカゲキの攻撃力は下がる  
もう1体のクラブ・タートルでカゲキに攻撃」

ニサシと同じようにカゲキを掴むクラブ・タートル

また骨を折るのかと思えば……ええ!?

掴んでないハサミでカゲキを殴った!?

しかも破壊される!

攻撃が多才ね……クラブ・タートル

他にどんな攻撃ができるのかしら？  
まあ……さっさと倒すつもりだけど。

ともかく、受けたダメージは合計1500  
大きなダメージと言えるか微妙だけど……

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

罨カード、六武衆推参！を発動するわ  
墓地より、六武衆と名の付くモンスターを特殊召喚  
私は墓地からニサシを特殊召喚するわ  
更に六武衆の御霊代を召喚！」

「（攻撃力1400の特殊召喚じゃ奈落の落とし穴は……  
それに攻撃力500の通常召喚じゃ落とし穴も……）」

「六武衆が召喚、特殊召喚に成功したわ  
よって六武院に武士道カウンターが1つ……2体だから2つ乗るわ」

うーん……どうしようかしら？

やっぱりこのままの方が良いわよね？

ドローは欲しいけど、この場合は攻撃回数を増やすか  
そうすれば勝てるんだし。

「永続魔法、連合軍を発動するわ

自分の場に存在する戦士族、魔法使い族モンスターの数×200ポ  
イント

戦士族モンスターの攻撃力がアップするわ

私の場には戦士族モンスターが2体、よって攻撃力はそれぞれ20

0ポイントアップよ」

ニサシの攻撃力は1800

御霊代の攻撃力は900

一族の結束はドローできなかったけど

これでも勝つには十分ね。

伏せカードがちょっと怖いけど……大丈夫かしら？

なんだか相手は苦々しそうな顔をしてるし

もしかして何もできないとか？

「六武院には武士道カウンターをは4つ、よって相手モンスターは攻撃力が400ダウン

クラブ・タートルの攻撃力は強者の苦痛の効果も受けて攻撃力が1200ポイントダウン

よってクラブ・タートルの攻撃力は1350よ！ ニサシでクラブ・タートルに攻撃！」

さっきの仕返しなのか、ニサシはクラブ・タートルを滅多斬りにしている

そんなに怒らなくても……いえ、骨を碎かれれば誰でも怒るわね。

「ニサシは自分の場に自身以外の六武衆が存在している時、もう1回攻撃ができる！」

ニサシで2体目のクラブ・タートルに攻撃！」

さっきので怒りが多少は収まったのか、素直に数回斬って攻撃を終える

やっぱり怒ってたのかしら？



ニサシの攻撃力は1800

クラブ・タートルとの攻撃力差は450

それを2回だから合計ダメージは900

残りの相手ライフは700ね。

「六武衆の御霊代で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぐう……」

鎧が浮き、そのまま相手に向かって突進する  
御霊代の攻撃力は900、私の勝ちよ！

「私の勝ちよ

ジェネックスのメダルを渡してちょうだい」

「……そら」

投げられたメダルは……1個！？

まさかこの人、島に來た直後だったの！？

「初戦で負けるとは……くそ」

スライダー瓶田さんは悪態を吐きながら去って行った  
なんだか悪い事をした感じね……別に悪く無いはずなんだけど。

それにしても、これでメダルは99個

……本当に1個だけだなんて、運が悪いわね

次の相手に憂さ晴らしでもしようかしら？

となるとちょっとデッキを調整しないと

六武衆、攻撃力修正バージョンから速攻デッキへと  
えっと……特殊召喚がしやすい真六武衆を中心に  
更に罠カードを抜いて速攻魔法とかを増やして……

こんな感じかしら？

次の相手は多分……1ターンキルかしらね

さーって、誰か相手は居ないかしら

見つけた最初の相手に思いつきり憂さ晴らしをして気を晴らそう  
と。

## 111話【3日目?】（後書き）

クラブ・タートルの攻撃が……  
いや、ぶっちゃけネタです  
別に深い意味は有りません。

雪乃が運過ぎる……

本当に……まあ推理ゲートを使っている時点でそんな感じですが  
運が悪ければアッサリと負けていました。

2人共、落とし穴に嵌ってやれよ！  
何故かどっちも落ちませんでした  
うーん……なのに簡単に勝てるってどうなのでしょう？

明日香がなんだか黒い気が……  
狩りに飽きてきたんでしょう。

スライダー瓶田って誰？

TF4に登場する瓶田武司に位置するキャラです  
同一人物なのか、それとも兄弟とか従兄弟とかでしょうか？  
とりあえず、瓶田武司と同じように亀デッキを使用します。

ツイッター……を、釣ったー！

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
洒落にもなってない……

## 112話【3日目裏】（前書き）

「今日の最強カードは血の代償よ  
ライフを500ポイント払って、通常召喚をできるようになるわ  
自分のターンのメインフェイズ、相手ターンのバトルフェイズ中と  
いう条件が有るけどね  
私のデッキには微妙ね……入れても良いんだけど、そこまで必要無  
いし」

六武衆だと微妙だからね  
という訳で何の楽しみも無い明日香の解説でした。

今回はかなりアレな事をしました  
まさかのあのカードの登場です……それが2枚も  
この戦いはどうしようか迷ってたんですが、結局しました。

アニメ効果ってややこしいですね  
色々と……うーん、面倒！

次回はどうか……4日目ですかね  
デュエル  
だけど決闘は書きません  
毎日分を書いていたら切りが無いんで  
そしてネタが尽きます。

## 112話【3日目裏】

視点 瑞貴

校長室の盗聴器の感度は良好

校長の電話相手の声までは聞こえないが……それでも十分だし、しかしその内容がかなりアレだな。

既にこちらへ向かっている……か

そして、犠牲者が出る前にどうにかしたいらしい  
ふむ……俺も少しだけ、遊ばせてもらおうかな。

時間は夕方……ジュネックス大会の決闘時間デュエルが終わる辺りだ  
となるとカムミューラも起きてるだろう  
よし、使うか。

俺は部屋から出てカムミューラの部屋へ向かう  
どう話すかな……どうでも良いか。

「カムミューラ、それか美寿知  
部屋に居るか起きてるか？ 少し話が有るんだ」

ノックし、声を出して少し待つと美寿知が出てきた  
眠そうだな……カムミューラの生活に合わせてるのか？  
単に暇だっただけか……後で訊いておくか。

「瑞貴……何の用だ？  
カムミューラなら、ふぁ……まだ寝ているぞ」

欠伸をしながら出迎えてくれた美寿知  
まだ寝てるか……仕方無い、起こそう。

「悪いが少し入るぞ  
カミ्यूラに用が有るんだ」

「は……入るのか？  
ちょ、ちよつと待って！」

俺を少し押し出し、部屋に入れないようにドアを閉める  
……おい美寿知、お前は突然友達が遊びに来て、R指定本とかを隠  
す嵌めになる  
そんな片付けない、だらけた1人暮らしをしているような事をする  
な。

俺はそんな経験は無いがな  
俺は片付ける物はちゃんと片付けてるし  
見られて困るような物なんて置いて無かったし  
……今は困る物が多いけどな、カードとか、カードとか、カードと  
か。

少しドタバタと音が鳴るも、やがて静まる  
確かにお前らの部屋にはあまり来ないが  
それでも片付けぐらいはしておけよ。

「ま、待たせて悪かったな」

「部屋の片付けぐらいしておけ  
今度は突然部屋を漁るぞ

片付けていない物は全て捨てる」

「それは止めてくれ！」

だったら普段から片付けておけば良かったんだよ  
怠けるからそうなるんだ

部屋に入ると……まだ汚かった  
物で溢れてるな、かなりの量が  
しかし、なんとか部屋で座る程度の事はできそうだ。

何よりも邪魔なのはカミューラの棺桶なんだがな  
2段ベッドを改造したのか、下のベッドは破壊されてそこに棺桶が  
置いてある

上のベッドで寝てるのは美寿知なんだろうな。

カミューラは寝ているのか、棺桶は閉まったまま  
起こすのに楽な方法は日を当てる事だが  
さすがにそれはちょっと可哀想なので止めてやる。

という訳で、大きな音を立てる事にしよう  
例えるならば……棺桶をその辺に転がっていた髑髏で殴るとか  
は、髑髏が壊れそうだったから止めておいた  
そんな事したら勿体ないしな。

仕方無いので素直に棺桶を叩こう  
ちよっと痛いんだが、仕方無い。

数回殴って大きな音を立ててやると少し棺桶が動いた  
起きたか？

「何よ……煩いわねえ  
人が寝てるっていうのに」

「ようカミューラ

いくら女同士の部屋だからって、ネグリジェはどうかと思うぞ？」

カミューラが起きてきた瞬間

俺が確認できたか確認できていないか

そんなタイミングで美寿知が俺の目を塞いだ  
残念ながら間に合わず、見えてしまったがな。

「……あんたら、何をしてるの？」

「お前がそんな格好をしてるからだろう  
美寿知が俺に見せないようにと目を塞いだんだ  
残念ながら見えてしまったが不可抗力だ、許せ」

というか、今もまだ塞がれてて見えない  
邪魔だから早くどうにかしたいんだが……

「とりあえずカミューラ

俺はいつまでもこのままでは困る  
着替えるのならさっさとしてくれ  
俺が出て行っても良い」

「なら出て行って

美寿知、さっさと追い出してちょうだい」

美寿知に顔の向きを変えさせられる



手をどけられたが、後ろからドアまで押される  
特に逆らわずに素直にされるがままになっておく  
何かしてまた何か言われるのは遠慮したいからな。

完全に部屋から追い出され、ドアを閉められる  
別に覗く気なんて無いからどうでも良いんだがな。

それから暫く待ち、再びドアが開く  
美寿知が俺を部屋へ招き入れる。

俺はカミューラ達の部屋に入る  
カミューラはちゃんと地味な服を着てくれていた、ローブのような  
感じの服だ

が……カミューラの容姿や性格でそれでもかなり派手に見える謎  
カミューラは気高い感じがするしな……美人だし色気が有る。

別にどうでも良い事だがな

まだ露出が少ないだけかなりマシだ。

「で、何の用なの？」

「簡単に言おう

今この島に居る、生徒以外の人間を全て見張ってくれ  
少々厄介事が起こったらしいからな」

「「厄介事？」」

どう説明したものか……って、別に全部話しても問題無いよな？

こいつらは学園の生徒じゃないし

俺を止めようとする奴らじゃないしな。

「実はちょっと情報を得てな  
神のカードのコピーカードを持った人間がこちらに向かっているらしい」

「神のカード？」

カミューラは知らないのか？  
時期的に……そうか、まだ影丸に拾われる前か  
だとすれば知らなくても仕方無いな。

「神の……コピーカードだ！？」

「そうだ

I 2社で1枚だけ、研究用として保管されていたらしい  
オリジナルはもう存在しないらしいがな」

俺は持つてるけどな、オリジナルじゃないが  
使ってみた気持ちは有るんだが、やっぱりなあ……  
とりあえず目立つ、それだけでアウトだ  
対戦相手にも見られるしな。

「どうやらカードデザイナーの人間が……  
まあ、詳しい理由は知らんが盗み出したらしい  
そしてこの大きな大会で神の力を見せてやろうとも思ったのかな？  
とにかく、こっちへ向かっているという話だ」

「どこからそのような情報を……  
そなた、どこに耳が付いているのだ？」

壁に耳あり障子に目ありってな  
さすがに盗聴器とまでは分からないだろう。

「とにかく、そいつがラーの翼神竜のコピーカードを持っている  
別に俺達への影響は無いだろうが……

とにかく、見張りとか外から新しく来る船のチェックも頼む  
高確率でカードを眺めてるだろうからな」

自分が圧倒的な力を得たとかでも思ってるんじゃないか？  
確かに人を殺せるようなカードだ

……この世界はとことん謎だな、それが普通に思えるんだから  
ああ、1ターンキルが蔓延しているとはいえ、前の世界が恋しい……

元の世界に戻ったらもうカードは止めるだろうがな

この世界以上に楽しめる機会は無さそうだし  
どうせまた……そーですかーって言って終わる対戦しか無いだろうな  
1ターンキルだの、シンクロだので楽しめる要素が0だ。

っと、愚痴はもう止めよう  
このまま続けると気力が失せそうだ。

「ラーの翼神竜ってどんなカードなの？」

「そうだな……黄色いドラゴンのカードとでも思ってくれれば良  
いさどっちかと言えば鳥みたいな感じだが  
似ているカードで言えば……ネフティスの鳳凰神か？」

ネフティスの鳳凰神の元ネタはフェニックスだし……鳳凰とフェニ  
ックスは別だが

そしてラーの翼神竜にはフェニックスモードとかも有るしな

ライフを1000払って相手モンスター1体を破壊……割に合わねえ  
このライフ4000世界だとかかなり厳しいコストだ。

「うーん……この島に来ている人間を全員確認したけど  
どうもそんなカードを持っていそうなのは居ないわね  
となると島にまだ上陸していないのかしら？  
この島に向かっていている船も見えてみるわ」

やっぱりカミューラは便利だな  
色々と利用できるし、楽で助かる。

「……私も手伝おうか？」

美寿知が？  
どうやってだ？

「私の力は知っているだろう？  
予知の力も使えるし、占いだってできる  
ならば、ラーの翼神竜のカードを探すぐらい……」

「却下だ」

「何故だ!？」

まったく……何を考えているのやら  
自分の力をちょっと過大評価をしてるんじゃないか？

「相手はコピーカードとはいえ、神のカードだぞ？  
そんな事をして、神の怒りに触れたらどうする？  
コピーだからそんな力は無いかもしれんが

それでも、何か有ったらどうする」

カミューラは大丈夫だ、覗き見るだけだし  
しかし美寿知の場合、神のカードを対象にして力を使う  
干渉された神が何かを起こす可能性も有る。

「……分かった

（心配してくれてるのか？

しかし……それならばカミューラも危険なのは？  
なのに私にだけ……私にだけ……）」

おい美寿知、何か勘違いしてないか？

顔が赤くなってるが……まあいい、放っておこう  
藪をつついて蛇を出すような真似はしたくない。

暫くカミューラが何かを見つけるまで待つ

暇だ……マナも居ないし。

「……見つけた、黄色いドラゴンのカード  
そいつは現在、船に乗ってこっちに向かってるわ」

ほう？ 本当に見つけられるとは

実を言えばそこまで期待してなかった

海は広いから……

「どれぐらいで着く？」

「そうね……20分ぐらいかしら？

個人用の船に乗って単身で来ているみたいよ  
どうするの？ 校長に連絡する？」

どうするかだと？

決まっている……数少ないチャンスなんだからな。

「当然、俺が奴と遊んでくる」

「な！

瑞貴、コピーカードとはいえ神のカードと戦おうというのか！？」

「そうだ

数少ないチャンスなんだ

俺だって偶には遊びたい」

俺は使いたいカードが沢山有るんだ

こっちではあまり使えないようなカードだってな……

「遊ぶって……そのような軽い気持ちで！

相手は神のカード、半端な気持ちで戦いを挑むのか！」

軽い気持ち……ねえ？

そう思われても仕方無いかもしれないが

人間、遊び心を忘れたらいけないと思うんだ

……という言い訳を言うが、否定はできないな。

あ、そうか

どうりで美寿知が心配する訳だ

コミュニケーションなんて相手を哀れに思っているのになるほどなるほど……そういう事か。

「美寿知は俺の戦いを見た事が無かったな

だから心配してくれる……新鮮な反応を見れた気がする  
カミューラ、心配されるというのも偶には良い物だな」

「感動なんてしないの

心配されてるんだから素直に受け取りなさい

どうせすぐに気付くわよ、あんたを心配する必要性なんて  
全く、欠片も、僅かも、何が何でも不要だって事ぐらいね」

そこまで言わなくても良いんじゃないか？

お前、俺の事嫌いだったのか？

嫌われても仕方無いような事をしている自覚は有るが

……まあ良いか、命令には背けないんだし。

「瑞貴……そなたはカミューラに何をしたのだ？

そこまで言われるのは並大抵の事では無いぞ」

「気にするな

さて、時間があまり無いな

俺は奴と遊びに行く」

俺はそう言って部屋から出る

美寿知達は置いていく

どうせカミューラが見ているだろうしな

勝手に美寿知に解説でもするだろ。

………

………

………

港に来た

カミューラの言っていた時間は約20分だったな  
となると……あの小型ボートか？

あんなので良く来たな、燃料とか持つのが凄い。

俺から少し離れた場所に船が泊められる

さて、さっそく遊びに誘うかな。

「くっくくくく、ここがデュエル・アカデミアか」

なんというか……銀髪なのか灰色なのか微妙な髪色だな  
眼鏡を掛けて、見た目は完全に貧弱だな……俺も貧弱だが。

「おい」

「ん？」

「決闘<sup>デュエル</sup>しろよ」

面倒だから省略

こんな奴を相手に態々話してやる必要は無い  
タツプリ遊んでやるから喜べ！

「この私と決闘<sup>デュエル</sup>をしたいと言うのか？」

ふふふ、おもしろい、相手になってやろう！」

アツサリと乗る奴

もつとよく考えた方が良いんじゃないか？

着いて早々決闘<sup>デュエル</sup>を挑まれたんだぞ

自分を知っている可能性は否定できないだろうに……



「私の力、思い知らしてやろう  
ふっふふふふふふ……」

楽しそうだな……

それにしても、なんとも言えない奴だ  
神のカードにも弱点は存在するんだぞ？

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は俺が貰おう、ドロー」

うーん……終わったかな？

このカードが手札に来たんだし

もう奴はラーの翼神竜を召喚できないな。

「俺はモンスターをセット

そして永続魔法、カイザーコロシウムを発動」

辺りに巨大なコロシウムが現れる

んだが……邪魔だな

もう少し小さくなれないのか？

「カイザーコロシウムの効果

相手は俺の場に存在するモンスターと同じ数までしかモンスターを  
場に出せない」

「何？

つまり、私はモンスターを1体までしか出せないという事か？」

「その通り、俺の場にモンスターは1体だけ

故にもっとモンスターを出したければ俺が新しくモンスターを召喚するか  
それとも俺のモンスターを0にし、カイザーコロシアムの効果を消すか」

「（チッ、面倒なカードだ  
さっさとあの伏せているモンスターを消さないと  
その後は……）」

ニヤニヤとしてるなあ  
どう見ても何か企んでるな  
さっさとモンスターを消して  
早くラーを出したいという所か？

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！  
私はラーの使徒を召喚する！」

攻撃力1100のモンスター  
そして効果は確か……

「ラーの使徒の効果を発動！  
このモンスターの召喚に成功した時  
デッキより、ラーの使徒を2枚手札に加えられる  
私はデッキからラーの使徒を2枚、手札に加える！」

能力は更に貧弱になったが、ガジェットみたいな感じだな  
モンスターを手札に増やせる恐ろしさ……  
ああー！ もう！ 鬱陶しい！

除去ガジェやギアガジェはもう嫌だ！

「ラーの使徒で守備モンスターに攻撃！」

ラーの使徒は完全な人型のモンスター

だが手っ甲をしており、長い爪のような物が付いている  
つまり攻撃方法は……その爪を使った強襲！

が……それが通じるとでも思ってるのか？

「俺の守備モンスターは魂を削る死霊だ  
残念ながら戦闘では破壊されない」

「くそ！」

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

苛立ってるねえ

でも……悪いがそんなに優しくしてやるつもりは無いんだ。

「俺のターン、ドロー

ダブルコストンを召喚し、永続罫、血の代償を発動  
ライフを500払う事で更に通常召喚ができる

俺はライフを500払い、ダブルコストンと魂を削る死霊を生け贄  
に捧げる

ただし、ダブルコストンは闇属性モンスターの生け贄にする場合、  
2体分として数える」

「なに？

という事は3体分の生け贄だと？

そんなモンスター、神以外に殆ど居ないはずだ

更に神は神属性、闇属性ではない」

もうお前に勝ち目は無い

元々無かったんだ……絶望しろ！

「俺はモンスターを3体生け贄に捧げ……出でよ、邪神アバター！」

現れる暗黒の球体

このモンスターの絵を描くのは凄く簡単だろうな  
真っ黒の●を描くだけだし。

いや、意外と難しいか？

綺麗な○を描くのは難しいからな  
コンパスを使わないと無理だ。

となると俺には無理だな

コンパスも持ってないし、そもそも絵を描けん  
こんなに難しいモンスターだとは……

「な……なんだ、このモンスターは！？」

それにしても……何も無いな

万が一……何か有るかもしれないと思っていたんだが、何も無くて  
安心した

やはり、俺の持つカードは全て普通のカードという事か。

まあ、精霊の宿っていたハネクリボー

他にもネオスのカードをマナに見せても精霊は宿っていないと言っ  
てたしな

本当にただのカードであり、何一つ力が無いともな

やはり邪神もただのカードだな。

「邪神アバター……このモンスターの姿を見せるのはお前が初めてだ、喜べ

このモンスターはその名の通り邪神だ

神のカードを超える……邪悪なる神、それが邪神アバター」

「神のカードを超えるだど？」

巫山戯るな！ 神のカードを超えるカードなど存在しない！」

おーおー、やっぱり神のカードを手に入れたからの反応だな  
絶対に大きな反応をすると思ったよ！  
期待通りの反応をありがとう！

「それはともかくとして、邪神アバターの効果を発動  
このモンスターは場に存在する、最も攻撃力が高いモンスターの攻  
撃力を……1ポイントだけ上回る」

「1ポイントだけ上回る？」

そんな調子じゃ、いつまで掛かるか分からないな」

言ってる

その恐ろしさもすぐに分かる。

「アバターの効果だ

ラーの使徒の攻撃力1100に、1ポイント足した攻撃力  
1101ポイントの攻撃力だ」

アバターが姿を変える

その姿はまさに、どう見ても……

「馬鹿な……ラーの使徒になっただと？」

「邪神アバターでラーの使徒に攻撃」

アバターの攻撃でラーの使徒は破壊される

そしてラーの使徒が消えた事により、アバターは元の●に戻る  
与えたダメージはたったの1ポイントか……残りライフ3999。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

来たぞ、速攻魔法サイクロンを発動！

その鬱陶しいカイザーコロシウムを破壊する！」

あーあ、破壊されてしまったな

別に何も問題無いんだがな。

「更にラーの使徒を召喚し、私も血の代償を発動する！

ライフを500払い、更に通常召喚ができる

私はライフを500払い、ラーの使徒を召喚

装備魔法、早すぎた埋葬を発動！

ライフを800払い、墓地のラーの使徒を蘇生させる！」

ライフを1300払ったから残りライフは2699だな  
なんとも面倒な計算だ……

「私は更にライフを500払い……更に通常召喚を行う  
3体のラーの使徒を生け贄に捧げ

真に最強の神の姿を……貴様に見せてやろう

神を超えると豪語する愚か者に裁きを与えよ！  
その姿を見せ、奴に畏怖と恐怖を！  
現れよ……最強の神、ラーの翼神竜！」

……普通だな。

それはさておき、黄金と言うか黄色と言うか  
体の色がそんな感じの……鳥だな  
攻撃力だって高々3300と低め  
その程度で最強の神だって……笑うしかできないな。

「見よ、これが神の姿だ！  
ラーの攻撃力は生け贄に捧げたモンスターの攻撃力の合計となる  
よって、攻撃力は3300！」

だから低いってば  
元の世界でこの効果で出てきた場合  
そうだな……大抵は5000以上は出せるんじゃないか？  
10000超えを出せそうな奴も居そうだし。

「新たにモンスターが現れた事により、アバターの効果  
攻撃力を1ポイント上回る……よって攻撃力は3301だ  
そして……その姿を写し身へと変える」

アバターの姿がラーと同じ姿へ変わる  
ただし、色は黄金ではなく漆黒だがな。

「神の姿を真似るとは……なんとも恐れ多い！  
クソッ、更にフィールド魔法、神縛りの塚を発動！」

鎖が現れ、ラーを縛り付ける

あーあ……気のせいかな、ラーが怒ってるように見えるぞ  
哀れだな、お前もそんな奴に使われるなんて  
俺が使いたいと思うような事は無いがな。

「神は本来、普通の決闘者<sup>デュエリスト</sup>の命令に従わない

だが、このカードがあれば神は私の言う事を聞くのだ！

その忌々しい闇の具現化……私の前から消し去ってくれる！」

どうするのかな？

ライフを払ってでの効果を受けたら破壊されてしまうんだが……

「私は残りライフが1ポイントとなるようにライフを払う

そして、ラーの攻撃力を私の払ったライフ分だけアップさせる！」

そっちを使うのか？

何を考えてるんだか……

「その神の写し身、消し飛ばさなければ気が済まん！

この効果により、私はライフを2198ポイント払った！

よってラーの攻撃力は5498ポイントだ！

ラーの攻撃、ゴッド・ブレイズ・キャノン！」

駄目だこいつ

完全に頭に血が上ってる。

そもそも、そのカードはコピーカードだろ？

だったらそれも写し身のカードだし……

もっとよく場をよく見てから動けよな。



「アバターの効果を忘れてないか？」

アバターは場の全てのモンスターよりも攻撃力が1ポイント上回る  
攻撃力が上がれば、同じように攻撃力が上がる

この効果は元々の攻撃力を参照にしないんだよ！」

まあ……ラーの元々の攻撃力は0だがな

つまり生け贄に捧げたモンスターの攻撃力の合計を元々と言っただけだ

本当に元々の攻撃力と言ったのでは無い。

「何だと!？」

つまり……まさか！」

「そう、アバターの攻撃力は……5499

アバターの反撃、ダークネス・ゴッド・ブレイズ・キャノン！」

攻撃名が長いっての

アバターがラーの姿でゴッド・ブレイズ・キャノンを放つ  
しかし、その炎は漆黒に染まっている……

「馬鹿な! 馬鹿な馬鹿な馬鹿な!

うわあああ! 来るなああああ!」

来るなど言われても、攻撃は止まらない

アバターの攻撃が直撃し、ラーの翼神竜は破壊される

そしてライフが1となっていた奴のライフも……

1ポイントのダメージを受け、0となった。

なんとも呆気ない戦いだっただ

こんなの期待した俺が馬鹿みたいだ

もういいや、馬鹿馬鹿しくなってきた。

「そんな……私は最強のカードを手に入れたはずなのに何故、何故負けた？」

惚けてるなあ……どうしようか？

とりあえず惚けてる内にカードを回収してっと。

ふむ、これがラーの翼神竜か……何て書いてあるのか全く読めん  
ヒエラティック・テキスト  
これが古代神官文字か？

コピーカードでもそう書いてあるんだな。

しかしこの男、何故効果を知っていたんだ？

この読めないカードではどうしようも無いと思うんだが  
もしかして王様と顔芸戦を見て効果を確認したとか？

アレって確かテレビ中継されてたしなあ……そりゃ分かるか。

問題はこの男だな

ふむ……とりあえずカムイラに任せるか。

「カムイラ、どうせ見てるんだろ  
今すぐ来て、こいつを気絶させろ」

この男が正気に戻らないように小声で言う  
さて、聞こえたかな？

「私は……何故？」

何故だ、私は神の力を……」

うん、鬱陶しい

殴って気絶させたいが、俺にはそんな技術は無い  
そして力も無いからどうしようもできん。

っと、カミューラが飛んできたな

そして急降下、男の背中に……そのまま跳び蹴り!?

お前! ちょっとアクティブ過ぎるだろ!

まあ気絶したみたいだから良いか  
気絶させるように言っただし。

「気絶させたけど、こいつはどうするの?」

「縛って電池の部屋にでも放り込んでおいてくれ  
全く動けないように縛れよ

勝手に抜けだそうとしたり、暴れられたら困るからな」

「はあ……分かったわよ」

カミューラは男を抱え、飛んでいく  
さて、俺も部屋に帰ってレイとマナと……明日香の相手までしない  
とな

美寿知にも後で一言言っておいた方が良いかな?

心配掛けたのは事実だしな。

アバターの説明は……どうしようか?

名前が邪神と付いているからそんな言い回しをして挑発したとでも  
言っておこう

あいつだって闇の神、ダークゴッドなんて使ってるんだ  
邪神が居ても不思議じゃないだろ?

言い訳もこれで大丈夫

もしまた何か言ってきたら、それでゴリ押ししよう  
説明が面倒だし、色々と大変だからな。

コミュニケーションにもそれでいいや、面倒だし  
違う言い訳をする意味も無いしな。

あーあ……つまらない戦いだっ

明日は1戦だけ俺が大会に出て口直しでもしようかな？  
マシな相手だと助かるんだが……気分を決めるか。

## 112話【3日目裏】（後書き）

美寿知ってどんな生活してるの？

カミューラの生活にある程度合わせています  
なので昼間は寝ています……羨ましい！

瑞貴の元の世界での事って……

現在ののように、1ターンキルが蔓延しているような世界です  
それやシンクロで1ターンキルやシンクロを嫌います  
まあ……1ターンキルは時々しますけど。

カミューラって瑞貴の事が嫌い？

どちらかと言えば嫌いですが、ジュンコほど嫌っていません  
気に入らないから嫌いという感じで、心底嫌っているわけではありません

比較的自由にさせてもらっているのであまり嫌えないようです。

そういえば男の名前は？  
フランチです。

邪神アバターの効果が……

原作効果です

1ポイントしか上回りませんが、原作ラーと同等の耐性を持っています。

瑞貴、戦うの？

不明、とりあえず未定です。

原作、アニメオリジナルカード

ラーの使徒

このモンスターの召喚に成功した時

デッキからラーの使徒を2枚手札に加える事ができる

手札増強には使えるかもしれませんが、2枚と強制なのが厳しい  
もし手札に2枚来たら役立たずですね。

神縛りの塚

L V 1 0 以上のモンスターが戦闘で相手モンスターを破壊した時  
相手に400ポイントのダメージを与える

他にも効果が有りそうですが、これしか登場していないのでこれだけ  
どう考えても不要です、ポイズン・ファングにすら劣りそうなカード  
です

なお、邪神アバターもL V 1 0なので効果を受けていたりします  
ライフが0になったので関係有りませんが。

ツイッター……本当にネタ切れ

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
次から何を言おうかなあ……

## 113話【4日目】（前書き）

「今日の最強カードは亜空間物質転送装置です  
自分の場のモンスターをエンドフェイズまで除外します  
私はこれでディノインフィニティを強化したり  
大噴火からモンスターを逃がしたりしています」

彰子でした、簡単ですね

色々と解説されたからか、使っているようです。

今回はなんという……簡単な回だったんでしょう  
かなり楽でした、話がポンポンと浮かんで……遅れました  
けど

しかし遅刻は単に物理的に時間が足りなかったただけですね。

次回からは再び決闘祭<sup>デュエル</sup>

そして5日目を飛ばして6日目になります  
そろそろゲストの登場ですね……

## 113話【4日目】

視点 瑞貴

ラーの使用者と決闘をした翌日  
デュエル  
相変わらず校長室を盗聴していると、誰かが校長室に入ってきたらしい  
さて、誰だ？

『ハロー、ミスター鮫島』

『お久しぶりです、ペガサス会長』

片眼会長！？

I2社の……という事はラーを取り返しにきたのか  
どうしようか……やはり色んな意味で返却するべきだな。

片眼会長がどこかに行かない内になんとかしないと  
という訳で盗聴はさっさと終わらせる  
早く運ばないとな……面倒だし。

デュエルディスク  
決闘盤は当然持っていない  
というか持っていない、マナが持って行っているからな  
しかし問題は……成人男性を運ぶのが重そうで面倒だ。

が、素直に来るとは思えないので諦める  
仕方無い、引き摺ってでも持っていこう  
その方が明らかに楽だ……多分。



いや、まだ軽いか

あいつの血はカミューラが吸ったし

おかげさまでカミューラの肌が心なしに艶々していたような気がする  
死んでいないが、貧血状態で弱ってるだろうな。

電池の部屋に置いていたので、電池の部屋に入る

この部屋、いつも鍵が掛かってないが……良いのか？

まあどうせ電池の部屋だし、構わないか。

盗まれるような物は……有るだろうが

盗まれて困るのは電池だし、この部屋に帰らないあいつが悪い  
例えば白くなっている、戸締まりぐらいしっかりしておけ。

あの男は相変わらず気絶したまま

貧血で体力が無いんだろ

顔が少し青白いが……呼吸はしてるから大丈夫だろ。

ロープを巻いているし、暴れる事はできん

とりあえず足を自由にしてっ

次は動けなくしている場所を……これでよし。

さて、校長室に向かうか

当然だが、男は引き摺ったまま連れて行くがな。

外に出て学校に向かう

途中、何人か決闘デュエルをしていたが無視。

無視無視無視無視無視……お、レイじゃないか  
相手はレッドか。

「ボクのターン、ドロー！」

傀儡虫を手札から捨てて効果発動！

相手の場の悪魔族かアンデット族

そのどちらか1体のコントロールをエンドフェイズまで得る！

ボクがそっちの場に特殊召喚した悪魔族の溶岩魔神ラヴァ・ゴーレムのコントロールを得る！

これでそっちの場はガラ空き、ラヴァ・ゴーレムで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

ふむ、余裕そうだな

ダメージは無さそうだし

まあ相手がレッドなら当然か。

そんなレイを置いて俺はさっさと学校へ向かう

あいつに見られて、この男の事を訊かれても面倒なだけだ  
さっさと離れよう。

.....

.....

.....

この辺りを通れば誰も居ないだろう

と、思っていた時期が俺にも有った

今度はお前か.....

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、モンスターゲートを発動！

自分の場のモンスター.....クリッターを生け贄に捧げ

私はデッキの上からカードを捲っていく

そして通常召喚可能なモンスターが出てきた時

そのモンスターを特殊召喚するわ!」

相変わらず重いデッキで回しているな  
よくそんなデッキで勝ち進めるものだ。

「1枚目は魔法採掘、2枚目はメタル・リフレクト・スライム  
3枚目は強欲な壺、4枚目は名推理、5枚目はモイスチャー星人  
モイスチャー星人は通常召喚ができるモンスター、よって特殊召喚  
よ!」

相変わらずだな

さて、もう結果は見えた……さっさと次に向かおう。

それにしても……雪兎はライフが少なかったな  
名推理やモンスターゲートが手札に來なかったのか?

はあ、面倒だ

また少し遠回りだな。

………

………

………

次は誰かなって……って、誰にも見つからないのが良いんじゃないか  
さすがにここまで来れば誰も居ないだろう  
安心してさっさと……ん?

ここでも誰かが決闘<sup>デュエル</sup>してる

こんな場所でするなよ

誰が戦ってるんだ?

「ディノインフィニティを召喚！」

このモンスターは除外されている恐竜族モンスターの数×1000ポイント

攻撃力がアップします！

私の除外されている恐竜族モンスターは3体、よって攻撃力は3000です！」

兎角か……しかし攻撃力3000は低いだろ  
相手のライフは4000のままだし……何をしてるんだ？

アルティメットティラノ  
「究極恐獣の効果

バトルフェイズで攻撃する時、このモンスターで攻撃します

アルティメットティラノ  
その代わり、相手の全てのモンスターに攻撃を行う！

究極恐獣でビッグ・シールド・ガードナーに攻撃！

続いてミドル・シールド・ガードナーに攻撃！」

これで相手モンスターは全滅だな

しかしこれではちよつと勝てない

ディノインフィニティの攻撃力が恐竜族1体分足りない。

「これで壁モンスターは消えました

罾カード、亜空間物質転送装置を発動！

アルティメットティラノ  
私の場のモンスターをエンドフェイズまで除外します！

究極恐獣を除外し……除外されたモンスターが4体へ！

これにより、ディノインフィニティの攻撃力が1000ポイントアップし、4000になります！」

……終わったな、1ターンキルだ

それにしても1撃……相手が哀れだな

よく持った方とも言えるか？

次だ次、このまま見ても時間が……  
そしてこの男を見られるのも困る。

というか、この男もいつまで寝てるんだ？  
楽だし、静かで良いんだが……なあ？  
カミューラよ、本当に生きてるんだよな？  
呼吸は有るんだが……大丈夫だよな？

……………

……………

……

この通りだったら知り合いに会わないだろうな  
うん、きつと……だけどそう思っている時点でフラグだよなあ。

そう思っていたが、誰にも会わなかった  
よし、このまま学校内へ……って、入り口横で誰かが決闘デュエルしてる？  
誰かって……今度はお前か！

「私のターン、ドロー！」

ゼータ・レティキュラントの効果デ特殊召喚さした、イーバトク  
ンを生ケ贄に

手札からゼータ・レティキュラントを特殊召喚！

このモンスターはイーバトクンを生ケ贄に捧げた時、生ケ贄を1  
体デ特殊召喚できる！

そしテゼータ・レティキュラントとイーバトクン2体を生ケ贄に  
捧ゲ

ギルフォード・ザ・ライトニングを召喚！」

雪兎とは違う意味での超重量デッキだな

あの2人が戦った場合、有利なのは……まあ羽鳶だろうな  
即効性は無いが、展開力が高いし除去が豊富だからなあ……

「ギルフォード・ザ・ライトニングの効果発動！

このモンスターの召喚に生ケ贄を3体使用した場合

相手の場のモンスターを全テ破壊する！」

相手の場のモンスターは全滅だな

しかしこいつ……どんなプレイをしたらそうなったんだ？

「更に冥界の宝札の効果が発動！

モンスター2体以上を生ケ贄に生ケ贄召喚に成功した時

デッキからカードを2枚ドロー！

魔法カード、死者転生を発動！

手札を1枚捨て、墓地からゼータ・レティキュラントを手札に加えます！

そして場のイーバトクン1体を生ケ贄に、ゼータ・レティキュラントを特殊召喚！」

そう、前のターンにどうやってイーバトクンを4体も場に残したんだ？

相手の場にはモンスターが2体居たし……ギルフォード・ザ・ライトニングの効果で全滅したが

ゼータ・レティキュラントが2体墓地に居たのか？

まあ……羽鳶の勝ちだな

例えば相手のライフが4000のままだとしても

羽鳶の場には攻撃力2800のギルフォード・ザ・ライトニング

そして攻撃力2400のゼータ・レティキュラントが居る  
合計攻撃力は5200、勝ち決定だ。

さて、急いで学校に入ろう

見つかったら煩い羽鳶の相手をしなければならなしな  
しつこいからこの男の事も何度も訊かれそうだ。

.....

.....

.....

とりあえず学校内に入れたな

さっさと校長室に向かうか……はあ

いい加減、この男も起きないものかな？

騒がれるよりはマシだが、いくらなんでも……

ん？

今、その決闘場の部屋で音が……誰かが決闘デュエルをしているみたいだな  
ちよっただけ覗くか。

誰が戦ってるのかなあ……って、今度はお前かよ

どうも知り合いばかり見かけるな

積極的に戦ってるのがこいつぐらいだからかもしれないが。

「私のターン、ドロー」

永続魔法、六武衆の結束を発動

真六武衆、ミズホを召喚、六武の門と六武院と六武衆の結束に武士  
道カウンターを乗せるわ

そして六武の門の武士道カウンターを4つ取り除き、効果を発動  
デッキか墓地より六武衆と名の付くモンスターを手札に加えるわ

私はデッキから真六武衆・シナイを手札に加える

更にシナイは場にミズホが存在している時、特殊召喚が可能

この効果により、シナイを特殊召喚して六武の門と六武院と六武衆の結束に武士道カウンター乗せる

六武衆の結束の効果を発動

このカードを墓地へ送る事でこのカードに乗っていた武士道カウンターの数だけドローできるわ

六武衆の結束に乗っていた武士道カウンターは2つ、よってカードを2枚ドロー

私は2枚目の六武衆の結束を発動し、更にミズホの効果を発動

1ターンに1度、自身を除いた六武衆と名の付くモンスターを生け贄に捧げる事ができる

この効果で生け贄にモンスターを捧げた時、場のカードを1枚破壊するわ

私はシナイを生け贄に、貴方の場に存在するモンスター、キラートマトを破壊

更にシナイの効果、場に存在するこのモンスターが生け贄にされた時墓地に存在するシナイ以外の六武衆と名の付くモンスターを1体手札に加える

私はこの効果により、六武衆の師範を手札に加え、特殊召喚

師範は自分の場に六武衆が存在している時、特殊召喚ができるわ

そして六武の門と六武院と六武衆の結束に武士道カウンターが乗った六武院の武士道カウンターを4つ取り除き、デッキから真六武衆・キザンを手札に加えるわ

そしてキザンは師範と同じく、場に六武衆が存在している時、特殊召喚が可能

この効果により、キザンを特殊召喚して武士道カウンターを乗せる更にキザンは場に自身以外の六武衆が2体以上存在している時、攻撃力と守備力が300ポイントアップする

六武衆の結束の効果を発動し、六武衆の結束を墓地へ送って武士道



カウンターの数だけドロースるわ

乗っていた武士道カウンターは2つ、よって再び2枚ドロースるわ

もう1体、キザンを特殊召喚し、武士道カウンターを乗せるわ

続いて罠カード、六武衆推参！を発動するわ

墓地の六武衆1体を特殊召喚する、エンドフェイズに破壊されるけどね

この効果により、墓地から真六武衆・エニシを特殊召喚

そしてエニシの効果発動、自身以外の六武衆が場に存在している時1ターンに1度、墓地の六武衆を2体除外して相手の場のモンスターを1体手札に戻す

私はこの効果により、墓地の真六武衆・シナイと真六武衆・カゲキを除外するわ

そして貴方の場に存在するクリッターを手札に戻す

更にエニシは自身以外に六武衆が2体以上存在している時

攻撃力、守備力が500ポイントアップするわ

そして魔法カード、六武式三段衝を発動

自分の場に六武衆が3体以上存在している時、3つの効果から1つを選んで使用できるわ

相手の表側表示モンスターを全て破壊する

相手の表側表示の魔法、罠カードを全て破壊する

相手のセットされている魔法、罠カードを全て破壊する

私は最後の効果を選択し、貴方のセットされていた2枚のカードを破壊

六武の門のもう1つの効果を発動するわ

武士道カウンターを2つ取り除き、六武衆1体の攻撃力をエンドフェイズまで500ポイントアップさせる

私は六武の門に乗っていた武士道カウンターを8個、六武院に乗っていた武士道カウンターを12個

合計20個取り除き、六武衆達の攻撃力をそれぞれ1000ポイントアップさせるわ

そして最後に永続魔法、一族の結束と連合軍を発動するわ  
一族の結束は私の墓地の種族が1種族だけであり、私の場のモンス  
ターと同じ種族の場合

その種族のモンスターの攻撃力が800ポイントアップする  
連合軍は私の場の戦士族、魔法使い族の数×200ポイント、戦士  
族の攻撃力をアップさせるわ

私の場には戦士族が5体、よって攻撃力が1000ポイントアップ  
合計で攻撃力を1800ポイントアップよ」

……明日香、ちょっと頑張り過ぎだろ

何か嫌な事でもあったのか？

その六武衆のデッキは展開力を下げたはずじゃ……

というか、既に相手の場にカードは無いぞ

なのにその全てのモンスターで攻撃した場合のダメージは……

六武衆の師範、攻撃力2100+800+1000+1000+1000=4  
900

真六武衆・ミズホ、攻撃力1600+800+1000+1000  
=4400

真六武衆・キザン、攻撃力1800+300+800+1000+  
1000=4900

真六武衆・キザン、攻撃力1800+300+800+1000+  
1000=4900

真六武衆・エニシ、攻撃力1700+500+800+1000+  
1000=5000

合計攻撃力、24100だな。

しかし……明日香の手札はまだ4枚も残ってる  
これだけで済めば良いんだが……無理かな？

「六武衆の師範で直接攻撃」ダイレクトアタック

キザンで直接攻撃、2体目のキザンで直接攻撃ダイレクトアタック

ミズホで直接攻撃、エニシで直接攻撃ダイレクトアタック

そして速攻魔法、六武衆の理を発動

場の六武衆を墓地へ送り、墓地から六武衆を特殊召喚するわ

私はエニシを墓地へ、そして今墓地へ送ったエニシを特殊召喚ダイレクトアタック

エニシで直接攻撃

そして速攻魔法、六武衆の理を発動

この効果で再びエニシを墓地へ送り、再びエニシを特殊召喚ダイレクトアタック

そして再度エニシで直接攻撃

続いて速攻魔法、六武ノ書を発動

場の六武衆2体を生け贄に、デツキより大將軍 紫炎を特殊召喚するわ

私は場の師範とミズホを生け贄に捧げ、大將軍 紫炎を特殊召喚ダイレクトアタック

そのまま紫炎で直接攻撃

更に速攻魔法、六武ノ書を発動

キザン2体を生け贄に、2体目の紫炎を特殊召喚ダイレクトアタック  
2体目の紫炎で直接攻撃」

お前は悪魔か？ それとも魔王か？

オーバーキルなんてもんじゃないだろ……

しかも淡々とした態度だから余計に恐怖を煽る。

エニシは1度墓地に送られているから六武の門の効果が切れ、攻撃力4000

その追加攻撃を2回、合計8000のダメージ

紫炎を出し、紫炎の攻撃力は2500+800+800+800=4100

2体目の紫炎の攻撃力は2500+800+600=3900

よって紫炎2体の合計ダメージは9000となる。

さっきの24100に17000を足して……

総計ダメージは40100だな

相手ライフは100だったし……40000のオーバーキルか  
もしかしてその相手ライフ100は計算したんじゃないか？

相手も可哀想に……マジ泣きしてるぞ

相当怖かったんだろうな

今の明日香は確かにかなり怖かった……

俺、何かしたか？

いや、別に何もしないと断言できる

昨日の夜だって少々不機嫌な明日香だったが……まあ俺は何もして  
いない

マナを抱き枕にさせてくれと要求されて、許可したぐらいだ。

うーん……どうしたんだろうか？

見つからない内に逃げるか……しかし本当にどうしたんだ？

「(……気が晴れないわね

なんだかつまらない、もっと張り合いの有る相手が欲しいわ

最近、瑞貴があまり相手をしてくれないのよね……決闘デュエルの相手でも  
してくれないかしら？

勝っても負けても良いから相手をして欲しいわ、レイやマナばかり  
に構ってないで私にも構って

今度瑞貴の布団に潜り込んでやろうかしら？

それにしても、こんな調子が続くと……飽きて投げ出しそう

はあ……この相手のメダルも合わせて153枚だし、残り半分の辛  
抱ね)」

なんとなく悪寒が……何も起こらないよな？  
きっと大丈夫、大丈夫の……はずだ。

……

……

……

さて、ようやく来ました校長室

謎に長い時間を無駄に過ごした気分だが……まあ良いだろう  
とりあえず、さっさと校長室に入ろう。

「すみません、堅守です  
校長先生は居ますか？」

って、居るし……校長と片眼会長は構わん  
だが何故お前らが居るんだ？  
似非にでかいの。

「どうかしたのですか？  
今は大事な話の途中なのですが……」

「いえ、少し話が有りまして……  
似非、お前はちょっと出て行ってくれないか？  
でかいのは……どっちでもいいや」

「俺だけ！？」

何でだよ、別に良いじゃん」

どうしてこいつが居るんだよ……鬱陶しい  
何か相手をしろとか言い出しそうだから嫌なんだよ

さっさと出て行ってくれないかな？

「ミスター鯨島、彼は？」

「彼は堅守瑞貴君です  
なんと言いますか……変わった生徒です」

本人の目の前で変わった生徒は無いだろ  
否定はできないし、自覚はしているがな。

「ほう？

ユーが堅守瑞貴デスカ  
隼人ボーイから話は聞いていマース」

どんな話を聞いたんだか……  
しかし社長ほどの威圧感を感じ無いな  
隠しているだけなのか、それともこれが素なのか  
必要外は出していないだけなのか。

「どうも……似非、本当にちょっと出て行け  
俺も大事な話が有るんだ」

「ちえ……分かったよ  
後でどんな話だったか教えてくれよ」

そう言って似非は出て行った  
ちなみにラーの男は扉の横で寝かせておいたから……

「うお！  
誰だこれ！？」

部屋から出た似非が驚くのは当然の反応が、出て行けと言われたからには素直にどこかに行った  
そして扉が閉まる。

「それで堅守君、大事な話とは？  
我々も大事な話をしている最中なので  
できるだけ手短に……」

「いえ、簡単な話ですよ  
このカードを見せに来ました」

そう言って、俺は懷からカードを取り出す  
取り出したカードは当然、ラーの翼神竜のコピーカードだ。

「それは……ラーの翼神竜のカード！」

「何ですって！？」「何だって！？」

驚いてくれて嬉しいよ  
その為に態々勿体振ったんだからな。

そしてカードは片眼会長に渡す  
片眼会長は驚きの顔のままカードを受け取った  
少し唾然としているからか、間抜けな顔にしか見えんな。

「堅守君、それをどこで！？」

「昨晚、港をブラブラしていたんですが、船着き場に突然現れた男  
に喧嘩を売りました」

そしてこのカードを使ってきたのでどうも怪しいと思い、ちょっと拝借してきました

なお、その男は扉の前で気絶しています  
でかいの、ちょっと持ってきてくれ」

「分かったんだな

でも……できればまた、名前で呼んでほしいんだな」

「考えておく」

考えておくが、考えるだけで済ませそうだ

それにしても片眼会長、何故俺を睨む  
威圧感が増えてきてちょっと怖いぞ

……さっきの明日香ほどは怖くないが。

まあ、丸くなくても決闘者<sup>デュエリスト</sup>の王国編<sup>キングダム</sup>でラスボスだっただけの事は有る

確か愛の為にKC社を乗っ取ろうと……涙を誘う話だねえ

俺には興味が無いがね、愛とかよく分からないしな。

そして部屋の外からでかいのが男を運んできた

お前の体格だったら背負えるだろうな。

「ミスターフランツ！」

こいつ、フランツって名前だったのか  
名乗ってなかったから知らなかったな。

「顔色が悪い……

瑞貴ボーイ、彼に何をしたのデスカ!？」



「決闘<sup>デュエル</sup>で俺が勝った後

放心していたのでちよつと……

知り合いに頼んで貧血状態にさせてもらいました

決闘<sup>デュエル</sup>中も錯乱したような感じでしたしね

起きたら何をし出すのか不安だったのでこのような処置をしました  
悪いとは思いましたが、暴れられても困るので」

言い訳だけだな

本当は単に起きられると面倒なだけだし

まあ……半分ぐらいは事実だが。

「そう……デスカ

彼はどんな事を言っていましたか？」

「私は最強だの、神の力を得ただの……彼の頭は大丈夫なんですか？  
暴走していましたし、何をし出すか分からないぐらいだったんですけど

まあ、何かをし出す前に俺が狩ったので何も無かったですけどね」

本当にそう思う、何か有ってからでは遅いしな

マナやレイ、ついでに明日香に何か有ったら拙いし

兎角、羽鳶、雪兎でも……さすがにラーは厳しいだろう。

「もしかして放置した方が良かったですか？

I2社からの刺客だったとか？」

嫌味を言っておく、それぐらい許せ

楽しみの無かった戦いだっただんだしな。

「そんな事はありません

彼を止めてくれてとても助かりまして  
心から感謝していマス」

そうそう、変な感情を出さずに素直に感謝すれば良いんだよ  
別に感謝される為にした事じゃないがな。

「ただ、どうやって彼に勝ったのデスか？  
ユーの話では、神のカードは使用されたハズ  
どうやって神に勝ったのデスか？」

どうやってって……別に難しい事じゃないだろ  
ライフを削っただけだし。

「普通に倒しましたよ  
ラーの攻撃力を超えるモンスターを使って戦闘で  
そしてライフを0にしました  
何か変ですか？ 当たり前な事じゃないですか」

そう、本当に当たり前の事  
ラーが強力なのは分かるが、それでもなあ……  
攻撃力だって高々3300だったし  
やっぱり弱いだろ。

「ラーを戦闘で倒すとは……  
隼人ボーイの言っていた通りの人みたいデスね  
デュエル  
決闘で凄まじい実力を持っていると……」

「違います、相手が弱いんです  
ラーの力を殆ど発揮せず、最後に自爆しましたから  
もっと冷静だったらもう1ターンぐらいは生き残れたのに……」

やはり使い手が駄目だとカードが哀れですよ」

本当にそうだ

まあ、カードを売りまくっている俺が言える事か  
その辺りは少々微妙だがな。

「それは謙遜デスか？」

「事実です」

少し睨み合いが発生する  
しかしすぐに終わる  
校長が話しを切り出したからだ。

「まあ、決闘の経過はともかく  
デュエル  
生徒の誰にも被害が出なくて良かった  
堅守君、ありがとう」

「感謝なんていりません  
こっちはI2社の揉め事で迷惑を受けたんですから  
被害が有ったとすれば明らかに俺でしょう  
被害が無いと言われると少々腹が立ちますね  
この場合、どちらかと言えば謝罪でしょう？  
そして謝るのはペガサス会長です  
それぐらい分からないんですか？」

ちょっと言い過ぎたかな？  
校長がちょっと困った顔をしている  
まあ……俺も気が立っていたんだ、許せ。

「確かに、瑞貴ボーイの言う事も最もデース

この度は、我が社の揉め事に巻き込んでしまい、本当にすみませーん  
そして改めて、我が社の社員の暴走を止めてくれて感謝しマース」

うわ……本当に謝られた

これはどう反応すれば良いのか……

「いえ、俺も言い過ぎました

その彼が余りにも酷く、神の力を全く引き出せていなかったので欲  
求不満なんです

故にちよつと気が立っていました……こちらすみません」

相手は会長だし、謝るぐらいはな

感謝してるんだったらトウーンのカードの使用許可をくれ  
アレはあんた専用過ぎてどうしても使えないんだよ。

「では校長先生、俺の用は終わりました

ペガサス会長はどうするんですか？

もう用は終わったんでしよう？」

そうだな……フラグでも立てておくか

さつき似非が居たんだし

何とか言って似非と会話させるのも良いかもしれないな  
それだけできつと何かのフラグになるはずだし。

「何も無いんでしたらでか……その隼人と一緒に

さっきのえ……遊城十代と話してくるのはどうでしょう？

彼はデュエルモンスターズの精霊を見る事ができますし  
きつとペガサス会長の興味は引かれるかと……」

「オウ！ 精霊を見る事ができるのデスか!？」

それは確かに興味が有りマース

ミスターフ란ツの件で多少時間の余裕を持っていますし  
そうデスね、それも良い考えかもしれないませーん」

「え……遊城十代の部屋にはでか……隼人が案内してくれますよ

彼も元ルームメイト、話したい事は沢山有るでしょうしね

そのフ란ツという男はまだ目を覚まさないでしょうし

誰か……倫理委員会の人達にでも任せましょう

もし暴れられても彼らなら大丈夫だと思います

帰る時間になれば校長先生にでも連絡して

フ란ツを貴方方が乗ってきた……ヘリですかね？

倫理委員会にそこに連れて行かせてもらいましょう」

とりあえず厄介事や面倒事は全部他の奴に押し付ける

これだけすれば、俺に興味を持ったとしても大丈夫だろう

俺はあんたの何かに巻き込まれるのは遠慮したいんでな。

「勝手に決めましたけど……校長先生

倫理委員会の使用の許可を貰っていいでしょうか？」

「私は構いませんよ」

決まりだな

後で倫理委員会の奴らに連絡するか

知り合いだし、これぐらいなら動いてくれるだろ。

「何から何まですみませーん

気を使って貰い、助かりマース」

「いえ、気にしないでください  
では俺はこれで失礼しますね  
倫理委員会には俺から連絡しておきます」

これで面倒事が減った

はあ、なんで俺が動いたんだろう？  
他の奴らを危険に晒すよりはマシか。

「ええ、ありがとうございます堅守君」

「また会いましょう、瑞貴ボーイ」

「またなんだな」

「はい、それでは」

俺はさっさと校長室を出る  
倫理委員会に連絡してつと……

『堅守か、どうかしたのか？』

あの時の、いつかの倫理委員会の女性  
色々と有ったからな、個人的な通信回線をお互いに教え合った  
態度は硬いが、それでもマシになった方だ。

「学園の侵入者が居てな  
カミューラに捕獲させ、捕まえておいた  
校長室に縛って置いているから適当に捕まえておいてくれ  
起きた時、錯乱していたりする可能性は否定できない  
体は弱めておいているから大丈夫だろうが……」

一応、I2社の社員だからあまり傷付けないように頼む」

『I2社の？』

分かった、校長室に向かおう

連絡、感謝する』

これで通信が切れる

本当、必要外ではあまり話そうとしないな

初対面でからかい過ぎたか？

さて、これで面倒事は全部終わったと

帰って美寿知とカミューラに全部終わったと教えないとな

起きるのは夕方だろうし……俺も昼寝でもして時間を潰すか。

……そういえば道中でマナを見かけなかったな

変装しても分かるんだが……どうしたんだ？

単に会わなかっただけかな。

## 113話【4日目】（後書き）

レイ達みんな、頑張っているみたいだね  
そうですね

今はメダルが何枚なんでしょうか？  
それは次回からですね。

フ란ツ……最後まで起きなかったけど、本当に大丈夫なの？  
大丈夫です……多分  
とりあえず数日は動けないんじゃないでしょうか？  
致死量までは血を吸ってないので大丈夫でしょうが  
そこら辺の知識はちょっと少ないので微妙です。

明日香が……明日香が！  
相手が哀れです……

次は誰が犠牲者になるんでしょうかね？

ミスターとか、英字で書けよ……  
作者は英語が超駄目駄目駄目駄目駄目です  
英文、分からないんです  
調べたり翻訳とかも面倒ですし。

マナはどうしたの？  
そこら辺で戦っています  
が、瑞貴は見つけられませんでした  
まあ探していたわけじゃないので仕方無いんですけど……  
やはり彼女の運は悪いようです  
せっかく瑞貴に良い所を見せるチャンスだったのに、残念でしょう。



ツイッター……魚は？

http://twitter.com/#!/ainkuria  
釣れない……やっぱりルアーじゃ駄目か？

## 114話【6日目?】（前書き）

「今日の最強カードはハイドロゲドンだね  
攻撃力は1600、守備力は1000の水属性恐竜族モンスター  
相手モンスターを戦闘で破壊し、墓地へ送った時  
デッキからハイドロゲドンを特殊召喚できるよ  
彰子さんがよく使ってるモンスターだね  
他に誰か使ってる人は居るのかな?」

レイと三沢は面識が無いので知りません  
というか、三沢は既に白いですし……

そういう訳で今回は彼女が出てきます  
災難に遭いますが……強く生きろ!  
作者はそんな不幸な彼女が大好きです……多分。

今回から6日目  
誰かさんの登場は……残念ながらまだです  
いつ登場するかは謎です。

今回は久しぶりに効果ミスがあります  
詳しくは後書きにて……  
書き終えて投稿前にそういえばと思い出すという始末でした。

今回は微妙……ちょっと時間が有るかどうかわからないので  
そういえば何日連続更新なんでしょうか?  
このまま通してどれだけ更新できるか自分でも謎です。

## 114話【6日目】

視点 ゆま

うーん……最近、あまり相手を見ないなあ  
どうしよう？

このままだとメダルが足りないよお。

現在、メダルは89枚

まだ100枚にもなっテない

ご褒美があ……相手を探すのも大変だよお！

あや？ 和服を着た女の人だ

和服という事は……デュエリスト外の人かな？

という事は……決闘者！

「すみませーん！

そこの和服の人！

私と決闘しデュエルてください！」

無視さレ、そのままボーツと歩いテる  
聞こエなかったのかな？

仕方無いから正面に回り込む  
そしテ目の前デ一言。

「私と決闘デュエルしてください！」

「わたくしめとでしようか？」

のんびりした感じの人だなあ  
どんな人……デも良いか  
勝テば良いんだもん！

「はい！

貴女もジェネックス大会の出場者デすよネ？」

「ええ、そうです

じえねえつくす大会に参加させてもらっています  
つむぎかり  
細紫ともうします」

じえねえつくす大会じゃなくテジェネックス大会なんだけど……  
もしかして英語とか苦手なのかな？

「その決闘<sup>デュエル</sup>、お受けしましょう」

そう言ッテ紫さんは決闘盤<sup>デュエルディスク</sup>を構エる  
なんだか動きが拙いのは気のせいだと思いたい  
だけど……変な人かも。

私もデッキをセットし、構エる  
お互いに軽く睨み合い……

「決闘<sup>デュエル</sup>！」「決闘<sup>デュエル</sup>」

「わたくしめの番です、引きます」

っテ、エ？

ターンやドロージャ……あれえ？

「赤の齒車……レッド・ガジェットを召喚します  
そしてレッド・ガジェットの効果を発動

召喚、特殊召喚に成功した時、山札より黄の齒車……イエロー・ガ  
ジェットを手札に加えます」

赤の齒車に黄の齒車？

それにデッキじゃなくて山札？

呼び方が一々ややこしいなあ……

「札を2枚伏せ、あなた様の番です」

あ、あれえ？

札って、カードの事？

混乱しそうで頭痛いよお……

「私のターン、ドロー！

私は魔法カード、愚かな埋葬を発動します！

この効果により、デッキからモンスターを1体墓地へ送る

私はデッキからゼータ・レティキュラントを墓地へ！」

相変わらず最初のターンに落とせるのは楽デ助かる

デッキ、手札からカードを墓地へ落とすカードはそこそこ入ってる  
しネ

次はもう1体、墓地へ送ろうっと。

「終末の騎士を召喚します！

そして終末の騎士の効果を発動！

召喚、特殊召喚、反転召喚に成功した時、デッキから闇属性モンス

ターを墓地へ送ります

私はデッキから2体目のゼータ・レティキュラントを墓地へ！」

これデ2体目

続いテはっと……

「手札から魔法カード、ブラック・コアを発動！」

手札を1枚捨て、場のモンスターを1体除外します！

私は手札のゼータ・レティキュラントを捨て、レッド・ガジェットを除外！」

3体目のゼータ・レティキュラントも墓地へ行った

1ターンデここまデできるなんテ初メテかも？

「そして墓地のゼータ・レティキュラントの効果が発動

相手の場のモンスターが除外された時

自分の場に攻撃力、守備力が500ポイントのイーバトークンを1体特殊召喚します

私の墓地にはゼータ・レティキュラントが3体、よっテイーバトークンを3体特殊召喚！」

これデ合計攻撃力は2900

このまま一気にいく！

「……失敗しましたね」

「何をデすか？」

私、何かしたっけ？

「今回の回

もし手札のゼータ・レティキュラントを捨てずにいた場合

あなた様の場にはイーバトークンが2体残りました

ゼータ・レティキュラントの効果はイーバトークンを1体生け贄にする事で特殊召喚が可能

その場合、合計の攻撃力は4300となっていました

私の場にはモンスターは存在しません、直接攻撃が入っていればあなた様の勝ちでした」

あ……しまったあ！

ゼータ・レティキュラントを墓地に送る事ばかり考エ過ぎた！

もっと高い攻撃力を得られたのに……確かに失敗だったあ！

「既に遅い……さあ、続けなさいな

(もっとも、そんな事をしていた場合

私の伏せていた奈落の落とし穴の効果で除外されていましたけどね  
今回はその失敗に救われましたね)」

「う……終末の騎士デ直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「罠札を発動します、聖なるバリアーミラーフォースー！

相手の攻撃宣言時、相手の攻撃表示のモンスターを全て破壊します  
！」

ミラーフォースー！？

いきなりそんなカードを使うなんて！

うぐ……全滅しちゃったあ。

「焦りましたね

もっと冷静になっていれば良かったのに……」

「ううう……カードを1枚伏せて、ターンエンドデすう」

もつと落ち着かないと

冷静になっテ……調子が狂っちゃう。

「わたくしめの番です、引きます

黄の齒車、イエロー・ガジェットを召喚します

そしてイエロー・ガジェットの効果が発動

召喚、特殊召喚に成功した時、山札より緑の齒車、グリーン・ガジェット手札に加えます」

また手札に下級モンスターが……

手札の枚数が多いまま、しかも事故を起こさない  
なんテ厄介なデッキなんだろう。

「グリーン・ガジェットで直接攻撃をします」

「罠カード、次元幽閉を発動！

相手の攻撃宣言時、その攻撃してきたモンスターを除外します！  
よっテ、グリーン・ガジェットを除外！」

「また除外ですか……

そして、イーバトークンが特殊召喚されますね」

私は確かに頭は良くないけど

そレデもコレぐらいデきる！

頑張っテ作ったデッキなんだもん、当たり前だよ！

「墓地のゼータ・レティキュラントの効果発動！



相手の場のモンスターが除外されたので、自分の場にイーバトークンを3体特殊召喚デすう！」

「……札を2枚伏せ、終了します」

もういいや、呼び方に関しては何も言わない  
さっさと慣レよう。

「私のターン、ドロー！」

永続魔法、冥界の宝札を発動！

モンスターを2体生ケ贄にしテ生ケ贄召喚を行った場合

私はデッキからカードを2枚ドローします！

イーバトークンを2体を生ケ贄に、可変機獣 ガンナードラゴンを  
召喚！

そしテモンスターを2体生ケ贄にしたので冥界の宝札の効果発動、  
カードを2枚ドローします！」

「罨札、激流葬を発動します

モンスターが召喚された時、全てのモンスターを破壊します」

ああ！ また消さレた！

もお……邪魔しないデよ！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドデすう」

「わたくしめの番です、引きます

緑の歯車、グリーン・ガジェットを召喚します

そして効果、召喚や特殊召喚に成功した時

山札より赤の歯車、レッド・ガジェットを手札に加えます」

あ、あれ？

最初に戻ったのかな？

確かレッド・ガジェットはイエロー・ガジェットを  
イエロー・ガジェットはグリーン・ガジェットを  
グリーン・ガジェットはレッド・ガジェットを  
つまり……手札の下級モンスターは殆ど尽きない！？

「グリーン・ガジェットで直接攻撃をします」

「罠カード、因果切断を発動！

手札を1枚捨て、相手モンスターを1体除外します！

この効果で除外したモンスターと同名モンスターが相手の墓地に存在していた場合

そのモンスターも除外しますが……墓地にモンスターが居ないので関係無いデスネ

だけど、相手モンスターが除外されたのデীবートークンを3体特殊召喚！」

「ならば罠札、大落とし穴を発動します！

相手が2体以上モンスターを特殊召喚した時場のモンスターを全て破壊します！」

あああ！ また全部消された！

もう、さっきからモンスターを破壊しっぱっかり！  
どうしそんな事をするの！

「札を2枚伏せ、あなた様の番です」

「私のターン、ドロー！」

異次元の女戦士を召喚！」

「罨札、奈落の落とし穴を発動します  
攻撃力1500以上のモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚された時

そのモンスターを破壊し、除外します！」

また！？

あああ！ 異次元の女戦士が落とし穴に落ちちゃったあ！  
しかも除外さレテ……あうあう、どうしよう？

手札は0枚

場には冥界の宝札だけ

何もできない……

「ターンエンドデすう」

「わたくしめの番です、引きます  
赤の齒車、レッド・ガジェットを召喚し、効果を発動します  
山札より黄の齒車、イエロー・ガジェットを手札へ」

うわぁ……また手札が増えた  
手札が無いから羨ましいなあ  
なんだか凄く拙いかも？

「レッド・ガジェットで直接攻撃します」

レッド・ガジェットが突撃しテキパパンチさレた  
攻撃力は1300と低メだけど  
そレデも数を揃エらレたら負けるかも？

「このままわたくしめの番は終わります」

拙い、このままだと本当に負ける！

早くなんとかしないと！

「私のターン、ドロー！」

……駄目じゃん！

カオス・ソーサラーは墓地に光属性と闇属性が必要  
だけど、まだ墓地には闇属性しか居ない

光属性の異次元の女戦士はなんデ除外されてるんだか……奈落の落  
とし穴が原因だけど。

「ターンエンドです！」

もし……もし攻撃力1400以上のモンスターが出てきたら負ける！

今はまだグリーン・ガジェットは手札に無いと思うけど

もしドローしたら……

「わたくしめの番です、引きます」

何をドローした？

グリーン・ガジェット？

それともまた別のカード？

「黄の歯車、イエロー・ガジェットを召喚します

そしてイエロー・ガジェットの効果で緑の歯車、グリーン・ガジエ  
ットを手札に加えます」

良かった！

なんとか生き残れた！

「イエロー・ガジェットとレッド・ガジェットで直接攻撃です」

同時に攻撃しテこないデ！  
ちよっ！ こっちに來な！

「ひゃあああ！」

攻撃力1300と1200

合計ダメージは2500

さっきのダメージも含メテ合計3800  
残りライフが200っテ……

「終わりませんでしたか、残念です  
これでわたくしめの番は終わります」

このまま負けるのは……嫌！

私の手札はカオス・ソーサラーの1枚

このドローデ……覚悟は決メた、いざ！

「私のターン、ドロー！」

このカード……なんとか生き残れるかもしれない  
もう、このカードにしか賭ケられない！

「魔法カード、天よりの宝札を発動！

私の場と手札のカードを全テ除外します！

私の手札からカオス・ソーサラー、そしテ場からは冥界の宝札を除外

そして私の手札が2枚になるようにドロ―します!」

ドロ―したカードは……なんとなかなかな?

これは最後の賭ケかも?

勝テると良いなあ……いや、勝とう!

「カードを1枚伏せます

そして魔法カード、闇の誘惑を発動します!

デッキからカードを2枚ドロ―し、その後手札から闇属性モンスターを除外します!

ただし、この効果で闇属性を除外できなかった場合、手札を全テ墓地へ送ります」

「最後の賭けという訳ですか

どうぞ、札を引いてくださいな」

これデ何をドロ―するか

そレデ全テが決まる!

「ドロ―!」

引いたカードは……この2枚か!

「私は手札から闇属性モンスター、ネクロフェイスを除外します!

そしてネクロフェイスの効果、このモンスターが除外された時

お互いのデッキの上から5枚を除外します!」

「山札破壊……分かりました

上から5枚を除外します」

私のデッキの上のカード

混沌の黒魔術師、魂吸収、異次元の戦士、閃光の追放者、冥界の宝札  
閃光の追放者……早く欲しかったけど、残念。

「（レッド・ガジェット、血の代償、リミッター解除、イエロー・  
ガジェット、霊滅術師 カイクウ

必要な札ばかり除外されてしまいましたか

何よりも、歯車達が除外されたのが……クッ！）」

それよりも、私は賭けに勝った

私の賭けの結果、しっかり見テテネ！

「速攻魔法、異次元からの埋葬を発動します！

除外さレているモンスターを3枚まデ墓地に戻します

私は除外さレている混沌の黒魔術師とネクロフェイス、そして異次元の女戦士を墓地へ戻します！」

次は伏セテいたこのカード

本当に運が良かった！

「先ほど伏セた魔法カード、終わりの始まりを発動！

墓地の闇属性モンスターが7体以上存在しテいる時

その内5枚を除外し、デッキから3枚ドロします！」

私の墓地には闇属性モンスターが8体

ゼータ・レティキュラントが3枚、終末の騎士、ガンナードラゴン

因果切断の効果デ捨テた2枚目の終末の騎士

そして先ほど墓地へ戻した混沌の黒魔術師とネクロフェイス。

「私は墓地より、終末の騎士を2体

可変機獣 ガンナードラゴン、混沌の黒魔術師、ネクロフェイスを除外！

そしてデッキからカードを3枚ドロー！

更に、ネクロフェイスの効果が発動します

このカードが除外されたのデお互いにデッキの上から5枚を除外！」

「（また……

グリーン・ガジェット、砂塵の悪霊、奈落の落とし穴、次元幽閉、サイクロン

歯車が全て消えてしまった……このままでは！

いえ、彼女の場合にはモンスターアは居ない

このまま攻め切れれば！」

除外されたのは光神機<sup>ライトニングギア</sup>、轟龍、創世神

D・D・アサイラント、異次元の生還者、異次元からの帰還  
異次元からの帰還が……重要なカードが除外されてしまった。

でも手札は良い

これデ私は勝てるかもしれない？

「墓地の闇属性、ゼータ・レティキュラントと光属性、異次元の女戦士を除外

手札からカオス・ソーサラーを特殊召喚！

そしてカオス・ソーサラーの効果を発動！

攻撃を封じ、相手モンスターを1体除外します！

私はこの効果デレッド・ガジェットを除外！

そして相手モンスターが除外されたのデীবートークンを2体特殊召喚！」

後は……なんとかなるかな？



成功したら当然嬉しいんだけど  
本当に最後の賭けかもしれない！

「永続魔法、冥界の宝札を発動！

そしてカオス・ソーサラーとイーバトークンを生け贄に、ギルフォード・ザ・ライトニングを召喚！

モンスターを2体生け贄にしたので、冥界の宝札で2枚ドロー！」

やった……本当に最後の賭けに勝った！

3体の生け贄を止め、イーバトークンを残して良かった！  
これデ……これ私の勝ち！

「魔法カード、ブラック・コアを発動！

手札を1枚捨て、場のモンスターを1体除外します！

私は残ったイエロー・ガジェットを除外！」

「わたくしめの歯車が……全滅？

いえ、手札にグリーン・ガジェットはありますが……」

という事は……デッキのガジェットも全部消えたのかな？

ネクロフェイス2回だもんネ……

10枚も除外すれば当たり前かも？

「相手の場のモンスターが除外されました

よって、私の場にイーバトークンを2体特殊召喚します！」

「……わたくしめの場には伏せ札は有りません」

相手の場は0枚

イーバトークンが3体とギルフォード・ザ・ライトニング

攻撃力の合計は4300……私の勝ち！

「イーバトークン3体と、ギルフォード・ザ・ライトニングデ直接ダイレクトフラック攻撃！」

「ぐっくあああ！」

勝った……なんとか勝テた！

強かった！ 強すぎた！

勝テテよかったあああ！！！！

「やっつっつっつっつたあああ！」

勝った勝った！

本当に今回だけは諦メそうになったけど勝テた！

「わたくしめの……敗北ですね

この銀板は渡しておきますね」

銀板っテ……渡さレたメダルは10枚

……10枚？

という事は今のメダル枚数は……99枚！？

たった1枚だケ足りないの！？

「お強いのですね

またお相手願います

それでは……」

あ……行っちゃった

もうあまり戦いたくないなあ

運が良かったから勝てたけど  
下手すれば負けただもん。

それにしても、多分もう戦えないと思う  
だった私……自己紹介を忘れたし  
名前を知られてないから無理じゃないかな？

視点 彰子

メダルはやつと103枚

ご褒美を貰える枚数だし、止めても良いんですけど  
うーん……できればやっぱり、もっと凄いご褒美が欲しいかも。

誰か居ないか……居た！

学生服だけど、違う学園から来たのかな？  
制服が赤黄青のどれとも違うし。

あ、こっちを見た

しかもこっちに来る！？

という事はもしかして……

「君、おいらと決闘デュエルしないかい！」

なんだか子供みたいな人だなあ……  
別に良いんですけど。

「良いですよ、早速始めましょうか

私は1年生の宇佐美彰子です」

「おいらはデュエル・アカデミア分校の1年生だ  
なりたさんつかさ  
名前は成田山司！」

始めようか！」

成田山さんは……呼びにくい  
司さんでいいかな？

司さんが構えたので私も構える。

確かに校長先生は分校からも来るって……

という事はこの人、実力者？

「デュエル決闘！」

「先攻はおいらだ、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロー！

永続魔法、神の居城・ヴァルハラを発動！」

巨大な白い建物が現れる

あのカードの効果って……

「ヴァルハラの効果を発動！

自分の場にモンスターが存在しない時

1ターンに1度、天使族モンスターを特殊召喚できる！

おいらは手札からLV5のアイツを特殊召喚！」

……アイツって何？

そう思っていたら赤い人型の何かが出てきた

攻撃力100で……LV5の通常モンスター？

もしかして馬鹿にされてる？  
それとも何か訳が有るのかな？

「更に永続魔法、前線基地を発動！  
1ターンに1度、LV4以下のユニオンモンスターを特殊召喚できる！

おいらは手札からドイツを特殊召喚だ！」

また攻撃力が100のモンスター？  
そして見た目はまた人型だけど、今度は黄色  
どんな効果を持っているのか……

ユニオン？

まさかアイツに装備させる為のモンスター！？

「更に速攻魔法、光神化を発動！  
手札の天使族モンスターを攻撃力を半分にして特殊召喚する！  
ただし、エンドフェイズに破壊されてしまうが……  
おいらは手札よりLV10、コイツを特殊召喚だ！」

光神化の効果で攻撃力を半分にされた青い人型モンスター  
攻撃力が100……という事は元の攻撃力は200？  
それでLV10って、どんな効果を持ってるのかなあ？

「最後にソイツを通常召喚だ！」

緑の攻撃力0の人型

LV3だけど……何がなんだか  
そんな感じで何をしたいのか全く分からない。

「ふふん、どうせ弱っちいモンスターだって思ってるんだろでも、こいつらの底力を嘗めたら駄目だぞ！ユニオンモンスター、ドイツの効果を発動！1ターンに1度、ドイツをソイツの装備カードとして装備させるそれか装備を解除して特殊召喚できる！おいらはドイツをソイツに装備カードとして装備させる！」

装備させるって……

ソイツとドイツが何だかくつついて……

「ひい！」

あ……ああああ……

グチュって潰れて、くつついて、合体して……体が何でできているかと思ってたけど

まさかゼリーとかみたい潰れてぐちよぐちにいいい……！！

「ああ、ごめん

こいつらの合体シーンって気持ち悪いかもな女子に見せるようなカードじゃなかったか」

笑いながら言わないで！

本当に怖い！　そして気持ち悪い！

う……吐き気がしてきた。

とりあえず

最終的に黄色と緑が合わさって黄緑の人型になった元がぐちよぐちちゃんになってくつついたかと思うと……ううう。

「……いや、本当にごめん

ドイツの効果を発動、ドイツがソイツに装備された時  
ソイツの攻撃力を2500アップさせるんだ  
そしてソイツが破壊される時、代わりに破壊される」

攻撃力が2500アップ!?

LV3の通常モンスターがそんな攻撃力を!

う、気持ち悪い……あんまり見たく無い。

「そんな感じになってて悪いけど……まだ続きが有るんだ」

「つ、続きって?」

「コイツの効果を発動!

ドイツと同じように、アイツに装備させる事ができる!

そして装備された時の効果

それは攻撃力を3000アップさせ、貫通効果を得る!

「攻撃力が3000アップして、しかも貫通効果を得る!?

そんな効果って、いやあああああああああ!!!」

今度は赤と青がくつついてにゅちやぐちよになってるううう!!!!  
いやあああああああああ! もう見たくなああああああい!

「見たく無いんだったら暫く目を瞑っておいたらどうだ?」

その声が聞こえた瞬間に目を閉じる

ううう……嫌だよお、もう見たく無いよお。

「……終わったぞ」

目を開けてみる

するとそこには紫の人型が……うああ、もうやだああ。

「悪かったな

おいらのターンは終了だ

光神化の効果でコイツは破壊されるんだが  
残念ながら既に装備カードとなっている  
よってコイツは破壊されない」

こいつと言ってるのか、コイツを呼んでいるのか分からない  
どっちを言ってるのかな？

それにしても、2500のソイツ

攻撃力3100で、しかも貫通効果も持ったアイツ  
こんなモンスターが最初のターンに並ぶなんて……

「私のターン、ドロー！」

あ……あれ？

もしかして私……勝っちゃう？

こんなアッサリ勝てて良いのかな？

でも伏せカードなんて無いし……

「えっと……魔法カード、大嵐を発動します

この効果で全ての魔法、罠カードを破壊します」

「へ？」

「よって、装備カードとなっている



ドイツとコイツ、ついでにヴァルハラと前線基地が破壊されます」

「な……なんだってえ!？」

大嵐が全てのカードを破壊する

アイツの体が嵐でぶるぶると震えたかと思えば……ひゃああああ！  
何でジワジワと色が戻りながら2つに別れようとしてるのお!？

うねうねと動きながら少しずつアイツから出て行こうとしているコ  
イツ

でもアイツがコイツを掴んで頑張って引き離されないようにしている  
だけどコイツがアイツの手を払って、大嵐に呑み込まれる  
アイツが手を伸ばすけど、届かなかった……何？ この寸劇。

ドイツとソイツを見える

同じように引き離されそうになっているけど……抱き合ってる  
見た目が男だけに、そしてまだドイツの体の半分ぐらいがソイツに  
埋まっているまま

そんな状態で抱き合っているから気持ち悪くて仕方無い。

ボーツとそのまま見ていると、ドイツがソイツの頬を叩いた  
その時の反動でか、ドイツの体がソイツから離れる

アイツと同じように手を伸ばすソイツだけど、やっぱり届かない  
大嵐に呑み込まれたドイツを見ていたソイツが落ち込んだ……

えっと……モンスターですよ？

なんだか途中から気持ち悪いとか怖いとか  
そんなのよりもあのリアクションに関心して見ていました  
KC社のソリッドビジョン……恐ろしいですね。

残ったのは悲しんで落ち込んでもアイツとソイツ  
攻撃力が100と0……負けろと言われる方が難しいんじゃない？

「続けますね

魔法カード、化石調査を発動します

デッキより、LV6以下の恐竜族モンスターを手札へ  
私はハイドロゲドンを手札に加え、召喚します」

もう勝っちゃった

どうしよう……なんだか悪い気がします  
でも復活とか蘇生とかされても困るし……

「ハイドロゲドンでアイツに攻撃します  
ハイドロ・ブレス！」

泥水を吐き出すハイドロゲドン

アイツに直撃し、破壊される

そういえばアイツって炎属性だっけ？

「ハイドロゲドンの効果を発動します

戦闘で相手モンスターを破壊し、墓地へ送った時  
デッキよりハイドロゲドンを特殊召喚します」

「な、何だと!？」

「この効果により、2体目のハイドロゲドンを特殊召喚します  
そして2体目のハイドロゲドンでソイツに攻撃！

ハイドロ・ブレス！」

再び泥水で吹き飛ばされるソイツ……再びじゃなかった

さっきのはあいつじゃなくてアイツで、今攻撃したそいつはソイツで……あれ？

「は、ハイドロゲドンの効果を発動します

デッキより、3体目のハイドロゲドンを特殊召喚！

ダイレクトアタック  
ハイドロゲドンで直接攻撃！

ハイドロ・ブレス！」

「うわああああ！」

ライフが0に……合計ダメージは4700

だってアイツが攻撃力を100持ってたし……

それにしても、消費手札が3枚って……

しかも勝ったってどういう事なのかな？

私、ハイドロゲドンしかモンスターを出してないんだけど？

「くっそお、おいらの負けかあ！

こいつは持っていけ！」

投げられるメダルは3枚

少ないけど……来たのが遅かったから仕方無いかな？

というか、あのデッキで勝ったんだ……1回か2回は。

「アイツにソイツにコイツにドイツの強さを見せたかったのになあ」

うん、ややこしいからそのモンスター達の名前を呼ばないでほしいかな

何が何だか分からなくて混乱しますから。

「えっと……ビックリしました

だから今度の相手も頑張ってビックリさせてください  
そして名前関係で色々と言って混乱させてあげてください  
最悪、その相手が混乱と苛々で自滅します……多分」

「いや……そういうのを狙ってたんじゃないんだけど  
まあアレだ、気持ち悪いのを見せて悪かったな  
じゃあまたなあ！」

そう言って去って行く司さん

どうしよう……私、疲れちゃった

もうあの人に会いたく無い、もうあの気持ち悪いのは……嫌。

そしてアイツがコイツでソイツがドイツ……あれ？

アイツとソイツが合体してコイツとドイツ？

ドイツがアイツでコイツがアイツ？

……頭痛い、今日は休んだ方が良くいかなあ？

## 114話【6日目?】（後書き）

紬紫って誰？

TFに登場します、なお4ですね

使用デッキは除去ガジェ……なんて厄介な！

どうも英語を言うのを嫌っているようです

モンスターをモンスター、カードを札、トラップを罠わなと呼んでいます

今更ながら、この作品では魔法、罠とそのまま漢字で書いてますが  
読み方は場、魔法、罠ファイルやジックと読みますが……本当に今更ですね。

ゆまが……

かなりの苦戦です……お互い様みたいな感じですけど

お互いに除去のし合いでいつ手札が切れるかと思いましたが

最終的に尽き、あんな最後でしたけど。

大落とし穴って……まだ無いよね？

お約束、瑞貴が適当にネットで売りました

発動条件の難しさから値段は高いもののそこそこ

使用しうか迷いましたが、使用しましたが……本来は使用不可能です

何故ならイーバトークンは1体ずつ特殊召喚されるからです

モンスターを全滅させる方法が思いつかなかったんです……

他にどうやってイーバトークンを全滅させろかと思ひ、失敗しました  
という感じです、とりあえず使用不可能なので注意してください。

成田山司って誰？

TF4から登場します、本来なら子供です

が、さすがに子供は呼ばないだろうと思ったので別校からという事にしました

使用デッキはユニオン

最弱は今回の使用デッキですが、光神化は入っていません  
コイツはこうしなければ出せなかったので使いました  
他のデッキはVWXYZデッキを使用します。

合体シーンが……

想像の産物です、本気にしないでください

しかしあの見た目だから……本当にしそうで怖いです  
気になる人は調べるなり、確認してみてください。

分裂シーンが……

同上

しかしなんというシーン

これがKC社の実力か！

ツイッター……えふおーいーとのそうぐう、FOE！ FOE！

FOE！

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
世界樹の迷宮って難易度高いですよね。

## 115話【6日目?】（前書き）

「今日の最強カードはタイラント・ドラゴン

攻撃力は2900、守備力は2500の炎属性のドラゴン族だ

相手の場にモンスターが存在している時、このモンスターは更なる追加攻撃ができる

更に自身を対象とする罠カードの効果も無効にして破壊までできる強いモンスターだ

欠点は墓地から蘇生させる時に自分の場のドラゴン族を1体、生け贄に捧げなければならない

まあ、それは相手の死者蘇生から蘇生される危険性が下がるからメリットとも思えるかもな

ゴヨウ・ガーディアンにも殴り勝てるし、蘇生効果も欠点が長所になってる

重いモンスターだが、ドラゴン族じゃなくても使えるモンスターだ」

瑞貴でした

普通に使えるモンスターだと思います

……殆ど出番は無いですけどね。

作者は眠いです……朝に起きるのは大変

確か夕べは……4時寝の8時起きですね、普通です

やっぱり10時ぐらいまで寝ていたい……

次回は誰にしようか半分ぐらい決まっています

それで2戦詰め込むか、1戦だけか……ちよつと悩みます。

## 115話【6日目】

視点 雪乃

……眠い

時々楽しくなるけど、時々だけ  
それ以外は殆ど弱い相手ばかり  
つまらなくて眠いわ。

んー……メダルは113、まだまだ足りないわね  
そもそも、300枚なんてかなり無理が有るわ  
300枚も集める方法なんて……

まさか堅守先輩、それを狙ってる？

可能性は高いわね……あの人は自分の楽しみの為だったらそれぐら  
いしそうだし

となると……これ以上決闘デュエルをする必要は無いわね。

そうね……後150枚になったら終わっておきましょう  
となると、それまでは頑張りましょうか。

手始めにあそこに居る男性で良いかしら？

外部の人でしょうね

なんというか……弱そうだけど

一応、学園長が集めたんだし、そこそこの実力なんでしょうね。

「そこの貴方、私と決闘デュエルしてくれないかしら？」



「ん？ 俺かい？

まあ良いよ、俺はあんまり強く無いけど……」

自信が無さげね

まあ良いわ、勝つのは……私なんだから！

私が構えると彼も構える

開始前には一言言わないとね。

「私はこの学園の1年生、藤原雪乃よ」

「俺はアマチュアの人だよ

はまだやすのぶ  
濱田康暢、実力はあまり高くないけどね」

アマチュアの人……

実力は高くないとは言ってるけど  
言葉だけにしか思えないわね。

デュエル  
「「決闘！」」

「先攻は俺だ、ドロー！

俺はモンスターをセット、ターンエンドだ」

伏せカードも出さない？

という事は単なる壁モンスターか  
それとも罠か……どちらでも良いか。

「私のターン、ドロー

黄泉ガエルを召喚し、魔法カード、モンスターゲートを発動するわ  
自分の場のモンスターを生け贄に捧げ、デッキからカードを捲る

通常召喚可能なモンスターが出てくるまで捲り、それ以外のカードは全て墓地へ送られる  
そして通常召喚可能なモンスターが出た時、そのモンスターを特殊召喚するわ」

「いきなりか……」

ふふ、何が出るかなつと  
貫通効果を持っているモンスターが良いわね  
どの子が出てくるかしら？

「1枚目は罠カード、メタル・リフレクト・スライム  
2枚目は魔法カード、サイクロン……3枚目はモンスターカード、  
エンジェルナイト  
天空騎士パーシアス

パーシアスは通常召喚できるモンスター、よって特殊召喚するわ」

予想は大当たり、今回はそれなりに調子が良さそうね  
私の期待以上のカードが出てきたわ。

「パーシアスで守備モンスターに攻撃」

出てきたモンスターは……ボタン電池？

あのモンスターは確か電池メンだったかしら？

「電池メン、ボタン型のリバーズ効果が発動する  
自分のデッキから電池メンと名の付くLV4以下のモンスターを特殊召喚だ！

俺はデッキから電池メン、単一型を守備表示で特殊召喚する！  
更に、リバーズしたこのモンスターが戦闘で破壊された時、デッキからカードを1枚ドロロー！」

「だけど、パーシアスにも効果が有るわ  
相手モンスターの守備力よりも、パーシアスの攻撃力が上回って  
いた場合

その数値の差だけ相手に戦闘ダメージを与える、貫通効果を持つて  
いるわ

電池メン・ボタン型の守備力は……いくつだったかしら？」

知ってるけど、こう言っておく

挑発になるもの

こういう言い回し……やっぱり楽しいわ。

ピンチになると熱くなってしまう癖はどうにかした方が良いわね  
やっぱり普段から余裕を持っていないと……  
最近ちよつと熱くなりすぎたわね。

「電池メン・ボタン型の守備力は100……  
そして天空騎士<sup>エンジェルナイト</sup>パーシアスの攻撃力は1900  
その差1800のダメージを、俺は受ける」

「それだけじゃないわ

パーシアスが相手に戦闘ダメージを与えた時  
私はデッキからカードを1枚ドロースる」

お互いにドロースた

だけど、私の方が圧倒的に有利  
このまま押し潰してみせる。

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー！」

速攻魔法、手札断殺を発動！

お互いのプレイヤーは手札を4枚選んで捨てる  
そしてお互いに捨てた枚数だけドローする」

私の手札は4枚……全て墓地へ送られるわね

まあ、ウォルフが手札に有ったから手札交換は歓迎だけだね。

「……よし、俺はカードを2枚伏せ、手札抹殺を発動  
お互いに手札を全て捨て、捨てた枚数だけドローする」

また手札交換カード？

電池メンって、そんな事が必要なカードだったかしら？

あまり知らないんだけど……

「魔法カード、強欲な壺を発動し、デッキから更にカードを2枚ド  
ローする

更に速攻魔法、急速充電器クイックチャージャーを発動する

この効果により、墓地からLV4以下の電池メンを2枚手札に加える  
俺はこの効果により、墓地から電池メン・ボタン型を2枚手札に加  
える」

手札に電池メンを加えてきた？

だけど、それでもまだ所詮は電池メン・ボタン型  
リクルートとドローしかできない

攻守だったったの100、どうするのかしら？

「速攻魔法、手札断殺を発動

効果はさっき説明したよね？

お互いに手札を4枚捨て、捨てた枚数だけドロー」

また手札交換……まさかデッキ破壊を狙ってる？  
そう疑ってしまいそうんだけど

手札を墓地に送ってどうするつもりなのかしら？

「……俺は伏せていた魔法カード、バッテリーチャージャー充電器を発動

ライフを500払い、墓地から電池メンを特殊召喚する

俺は電池メン・単三型を特殊召喚する

更に速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動だ！

自分が攻撃力1500以下のモンスターの特殊召喚に成功した時

手札、墓地、デッキから同名モンスターを可能な限り特殊召喚する

俺は墓地より、2体の電池メン・単三型を特殊召喚だ！」

地獄の暴走召喚を待っていたのね

それで何度も手札交換を……

更に墓地へ電池メン・単三型を送る為でもあった

なるほど、この大量召喚が狙いだったのね。

「地獄の暴走召喚は相手のモンスターにも効果が及ぶ

相手モンスターがどれだけの攻撃力を持っていたても

それでも相手は場に存在するモンスターと同名モンスターを可能な  
限り特殊召喚する」

「私のデッキにはパースiasは1枚だけよ

よって特殊召喚はできない」

というか、私のデッキのモンスターは殆ど1枚しか入っていないわ  
何枚も同じカードが入っていたら名推理で当てられるもの。

「どっちもでいいさ

君が特殊召喚しようがしまいが関係無いんだからね」

関係無い？

それってどういう……

「電池メン・単三型が全て攻撃表示で存在している時

場に存在する電池メン・単三型の数×1000ポイント、攻撃力がアップする

俺の場には電池メン・単三型は3体、よって攻撃力は3000！」

攻撃力3000が3体ですって！？

そんな事が！

「俺は更に伏せていた魔法カードを発動、漏電！」  
ショートサーキット

自分の場に電池メンと名の付くモンスターが3体以上存在している時相手の場のカードを全て破壊する！」

相手の場を全て破壊するカード！？

そんなのを受けたら……確実に負けじゃない！

「罠カード、威嚇する咆哮を発動！

このターン、相手モンスターは全て攻撃宣言する事ができない！」

電池メン・単三型達から電撃が迸る

それは自分の力を超えたかなりの電流  
これが漏電……怖いわね。

「俺の必殺の1撃を躲すとは……

仕方無い、カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

さて、どうしようかしら？

相手の場には攻撃力3000の電池メン・単三型が3体  
これを倒すのはかなり大変ね……

「ちなみに、電池メン・単三型に攻撃はできない

俺の場には電池メン・単一型が存在している

こいつが俺の場に存在している間、相手は電池メン・単一型以外の  
雷族モンスターには攻撃できない

俺の電池メン・単三型を倒すには攻撃が2回必要だな」

2回の攻撃……厄介ね

しかもこれを通すのは危険かもしれないわね

ただでさえ、私のデッキは危険状態

残り枚数は20枚、つまり半分になっている……無理はできない。

「私のターン、ドロー！」

スタンバイフェイズ時、墓地の黄泉ガエルの効果を発動するわ

自分の場に魔法、罫カードが0枚の時、墓地より特殊召喚ができる

私は墓地より黄泉ガエルを守備表示で特殊召喚するわ！」

さっきの何度もした手札交換でカードを何枚も墓地に送れたもの  
これぐらい当たり前でしょ？

問題はまた漏電ショートサーキットを使われる事

確実に3枚入っているはず

あのカードが1枚だなんて信じられないわ。

私の手札には……だけど、数が足りない

これを成功させない限り、負けるかもしれない！

「私は魔法カード、名推理を発動！」

相手はLVを宣言し、私はデッキからカードを捲る

そして通常召喚が可能な宣言されたLV以外のモンスターが出た場合、特殊召喚する！

ただし、相手の宣言したLVのモンスターが出た場合は墓地へ送られる

当然だけど、モンスター以外のカードは全て墓地へ送られるわ」

「また賭けみたいなカードを……俺はLV8を選ぶよ、無難だし」

さて、何が出てくるか……

LV8だったら私は負けるかもしれない

私のデッキにも手札にも、名推理は残っていない

魔法カード回収カードも墓地へ送られている、混沌の黒魔術師も！  
モンスターゲートはデッキに1枚だけ残ってるけど……手札には無い！

「1枚目、モンスターゲート……魔法カードね」

いきなりモンスターゲートが落ちた！

私の特殊召喚はほぼ全て封じられたか！

「2枚目、スケープ・ドート……魔法カード

3枚目、ヒーロー見参……罠カード

4枚目、ブローバック・ドラゴン……LV6の通常召喚可能なモンスターよ

よって、ブローバック・ドラゴンを特殊召喚！」

それでも良いカードが落ちた事には代わりが無い

壁モンスター召喚カード、最上級モンスター展開用カード



どちらも痛いカードが墓地へ！

「ブローバック・ドラゴンの効果を発動！

コイントスを3回行い、その内2回以上が表だったら相手の場のカードを1枚破壊する！

私は左の伏せカードを選択し、コイントス！」

出てくるのは……

1回目、裏

2回目、表

3回目……裏！

「表の回数は1回……よって効果は失敗！

だけど……手札のカードを1枚捨て、THE トリッキーを特殊召喚！

更に場のモンスターを3体、生け贄に捧げるわ

出てきなさい、ギルフォード・ザ・ライティングを召喚！」

特殊召喚用だから初めて普通に生け贄召喚をしたわね  
だって私のデッキで3体の生け贄は難易度が高すぎるわ。

「ギルフォード・ザ・ライティングの効果を発動するわ

このモンスターを3体の生け贄で通常召喚をした時

相手の場のモンスターを全て破壊する！」

「なあ！？

モンスター全滅効果だど！？」

ギルフォード・ザ・ライティングの持つ剣から雷が降る  
雷に破壊される雷族の電池メン達……シュールね

電池に更なる電気が送られてオーバーヒートしたのかしら？  
そこら辺はよく分からないわ。

「バトルよ！」

ギルフォード・ザ・ライトニングで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「そうはさせない！」

永続罠、携帯型バッテリーを発動！

自分の墓地から電池メンを2体、攻撃表示で特殊召喚する！

俺は電池メン、単三型を特殊召喚！

場に電池メン、単三型が2体だから攻撃力はそれぞれ2000だ」

また出てきた

しかもかなり厄介ね

勝てるから良いけど。

「更に罠カード、雷の裁きを発動！

俺の場に雷族モンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚された時  
相手の場のカードを1枚破壊する！

俺が破壊するのは当然、ギルフォード・ザ・ライトニングだ！」

「そんな！？」

こんな事って……私の場にモンスターは0

伏せカードも無い……負けるかもしれない！

「クッ……ターンエンドよ」

これが最後の賭けよ

失敗したら……終わる！

「俺のターン、ドロー！」

よし、俺は電池メン・単三型を1体生け贄に捧げる  
これが俺のデッキの真の切り札、超電磁稼働ボルテック・ドラゴン  
を召喚！」

どう見ても機械の怪獣ね

……何？ 攻撃力2400の上級モンスターが切り札？  
切り札と言うにはちよつと弱い気が……

「超電磁稼働ボルテック・ドラゴンの効果

こいつは電池メン・単一型、電池メン・単二型、電池メン・単三型  
のどれかを生け贄にした場合

その生け贄にした電池メンによって得られる効果が変わる

電池メン・単三型を生け贄にした場合、攻撃力を1000ポイント  
アップさせる！」

という事は攻撃力が……3400!?

そんなモンスター、私のデッキでは勝てないわよ！

どうやって倒せば良いの!?

「ボルテック・ドラゴンで直接攻撃だ！」  
ダイレクトアタック

だけど、私は賭けに勝った！

最後の最後、電池メン・単三型を蘇生される事が私の敗北だった。

「墓地のネクロ・ガードナーの効果を発動！

このモンスターが墓地に存在している時

ネクロ・ガードナーを除外する事で相手モンスターの攻撃を1回だ  
け無効にする！」

そう、よって私は生き残る

電池メン・単三型が蘇生されていない限り

私の負けは無かった……はず！

「そんなカードが墓地に……」

ダイレクトアタック

電池メン・単三型で直接攻撃……いや、止めておこう

電池メン・単三型は攻撃させず、守備表示にする！」

攻撃をしないですって？

……そうか、私の墓地に黄泉ガエルが居る事を覚えていたのね

更に、私のデッキは最上級モンスターを沢山使用している

彼のライフは残り1700、攻撃力1000じゃ不安なんでしょうね。

でも、彼の場には攻撃力3400の超電磁稼働ボルテック・ドラゴンが居る

こいつを倒さない限り、私に勝ち目は……

「俺はこれでターンエンドだ」

いえ、それでも勝つしか無い

幸い、私の墓地には黄泉ガエルが2体居る

今はまだ、生け贄には困らない。

「私のターン、ドロー！」

墓地の黄泉ガエルの効果を発動！

私の場に魔法、罠カードが無いので特殊召喚できる

私は墓地の黄泉ガエルを特殊召喚するわ！」

生け贄は揃った

手札のモンスターだと……まあまあかしらね  
こうなったらゴリ押ししか無いわね。

「魔法カード、強欲な壺を発動！  
デッキから更に2枚ドロー！」

残りデッキ枚数は12枚

デッキ枚数は少し危ないかしら？

また手札交換系カードを使われたら少し危険ね。

ドローした手札は……ん？

そういえばまだこのカードは墓地へ送られて無かったわね  
という事は……まだチャンスは有る！

「装備魔法、早すぎた埋葬を発動するわ！

墓地より、ブローバック・ドラゴン等特殊召喚し、このカードを装  
備させる！

そしてブローバック・ドラゴンの効果を発動！

コイントスを3回行い、2回以上表だった場合、相手の場のカード  
を1枚破壊する！

私は超電磁稼働ボルテック・ドラゴンを選択するわ！」

これで当たれば楽なんだけど……どうなるかしら？

相変わらず、この賭けの時は楽しいわ！

「1回目、裏

2回目、裏……この時点で失敗だけど3回目、表ね」

失敗か……まああまり問題は無いんだけど

これから色々とするもの。

「私は黄泉ガエルとブローバック・ドラゴンを生け贄に、<sup>ザ・クリエーター</sup>創世神を  
守備表示で召喚するわ！」

そして<sup>ザ・クリエーター</sup>創世神の効果を発動！

手札を1枚捨て、墓地からモンスターを特殊召喚するわ

私は墓地から混沌の黒魔術師を特殊召喚！　そして混沌の黒魔術師  
の効果を発動！

墓地から魔法カードを1枚手札に加える……私は墓地の死者蘇生を  
手札に加えるわ

そしてそのまま死者蘇生を発動！　墓地のリボルバー・ドラゴンを  
特殊召喚！」

「……まさかそのデッキでそんな展開力を見られるとは思わなかつ  
たよ

しかも、リボルバー・ドラゴンとは……」

そう、私の賭けを見て楽しみなさい

私はもっと楽しんであげるから……勝利という形でね！

「リボルバー・ドラゴンの効果を発動するわ

コイントスを3回行い、表が2回以上出た場合、相手モンスターを  
1体破壊する

コイントス……いいえ、ロシアンルーレットよ！」

リボルバー・ドラゴンの3装リボルバーが装備されている

この内、弾が入っているのはそれぞれ6発中3発……つまり確立は  
1／2

コイントスじゃないけど、ソリッドビジョンに任せるのも乙な物よ？

「リボルバー・ドラゴンの効果用の弾は威力が低い  
だから2発相手に当てないと破壊できないの

リボルバー・ドラゴンの効果で狙うのは当然、超電磁稼働ボルテック・ドラゴン！

ロシアンルーレット……回転！」

リボルバー・ドラゴンの弾倉が回転を始める

1つ止まった……2つ止まった……3つ止まった

結果は……全弾、装填完了ね。

「結果は全てに弾が入っていたみたいね

つまり、結果は全て表……リボルバー・ドラゴンの効果！  
相手モンスターを破壊！ ガン・キャノン・ショット！」

1発目で胴体を破壊、2発目で頭を破壊

3発目は謎に威力が高く、大爆発……何故？

「そんな……俺の超電磁稼働ボルテック・ドラゴンが！」

「惚けている暇は無いんじゃない？

私の場には攻撃ができるモンスターが居るのよ？」

今更気付いたかのような顔になる康暢さん

さあ……終わりよ！

「混沌の黒魔術師で電池メン、単三型に攻撃！  
滅びの呪文！」

暗黒の魔力玉……かしら？

それに電池メン、単三型が呑み込まれる

相手モンスターを除外する時に使う魔法かしら？  
ちょっとだけ怖いわ。

「混沌の魔術師が戦闘で相手モンスターを破壊した時  
そのモンスターをゲームから除外するわ  
そして……リボルバー・ドラゴンで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぐううう……どわあ！」

リボルバー・ドラゴンの攻撃の爆風に吹き飛ばされる康暢さん  
ふう……勝てて良かったわ  
ショートサーキット  
漏電なんてカード使わないでよ、驚いたじゃない。

「俺の負けかあ……やっぱり俺は弱いな  
ここまで決まったのは初めてなのに、負けるんだし」

……本気で言ってるのかしら？  
この人が弱かったら苦戦した私は……

「そんな事言わないの、私はこれでもかなり強い自信が有るのよ？  
その私を苦戦させたんだからもっと自信を持ちなさいよ  
貴方は強かったわ、私が保証してあげる」

最後の時、蘇生されていたら負けていたもの  
確実に彼は強いわ。

「そうか……俺は強いのか  
うん、頑張ってみるよ！　ありがとうな！  
これは負けたからメダルだ」



渡されるメダルは19枚

それなりに手に入れてるじゃない……それで弱いって何？  
もしかして嫌味かしら？

「また会おうな、雪乃さん  
次は俺が勝つ！」

「ふふ、考えておいてあげるわ  
でも、次も私が勝つわ」

去って行く康暢さん

……やっぱりあまり好みじゃないわね  
普通って感じの人だったし。

それにしても……やっぱり最後は熱くなっちゃったわね  
もっと冷静なままになれるようになりたいわ  
それがあの……堅守先輩のスタイルなもの！

あの冷たい視線、淡々とした態度……  
またあの視線を受けたい、憧れるわ  
堅守先輩に挑戦して、また受けてみようかしら？  
そうすればきっと復習できると思うし……

うん、決めた  
メダル100枚の願いはそれにしましょう  
ご褒美として強請ればきつと受けてくれる……かしら？

堅守先輩、あんまり決闘をしないみたいだし  
積極的じゃないから……ちょっと難しいかしら？  
それでも言うだけ言ってみましょう

もし断られたらカードを……何が良いかしら？

視点 明日香

「紫炎で直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「きゃあああ！」

……眠い

ダメージも受けないし、攻撃もされない  
一方的な展開ばかり。

この大会が終わったたら六武衆は当分の間、封印しましょう  
そうでなければ疲れるもの。

「メダル」

「うう……」

ここの生徒だから……殆どルール無視をしていたみたいね  
メダルは2枚、1回しか戦わずに逃げ回ってたのね  
はあ……つまらない人ね。

メダルはまだ194枚

残り106枚か……絶対にそんなに居ないわよね？  
レイだってかなり狩ってるでしょうし。

校長先生が何人ぐらい外から呼んだかにも依るわね

私としては150人ぐらい呼んでくれたら助かるんだけど

うーん……瑞貴に怒られるかもしれないけど、白でも狩ろうかしら？

白といえばジュンコともえよね

彼女達はどうなってるのかしら？

勝ち残ってると思うんだけど……

モノクロ  
白黒兄さんはどうしたのかしら？

瑞貴の言ったルールを課せられてる？

多分、課せられてるんでしょうね。

モノクロ  
うーん……白黒兄さんを狩ろうかしら？

八つ当たりには最適そうな相手だし。

それにしても……瑞貴がメダルを渡したマナ、生き残ってるのよね？

もし見つけたら戦ってみたいんだけど……難しいかしらね？

どんなデッキを使ってるのかまでは教えてもらってないし。

使用デッキはロック系だっけ？

魔法使い族を使うと思うけど……意表を突いて別の種族とかも使いそう。

誰かに倒されている……かしら？

でも瑞貴と関係を持つマナが簡単に負けるはずが無いわ。

外から亮が来るという話も有るけど……そういえば見ないわね

必ず瑞貴の部屋に來ると思ったんだけど、全く來ない

遅くなってるのかしら？

一応、亮は4、5日目に来るって言っていたんだけど  
うーん……とりあえずその少し前に有った試合には余裕で勝ったみたいね

お馴染み、手札を3枚以上残しての勝利  
それに気付いている人は……居ないわ。

雑誌に亮の事が載っても、その件に関しては全く書かれてない  
ちよっと数試合確認するだけで良いのよ？  
なのにどうして誰も気付かないのかしら？

そういえば、どうして瑞貴は気付いたのかしら？  
また瑞貴の指示？ それとも猫被りの一環？  
今も試合では殆どオーバーキルをしていないものね。

基本的にサイバー・ドラゴンとリミッター解除だけ  
サイバー・ラーバアとサイバー・ヴァリー  
そしてサイバー・フェニックスぐらい……

この程度でも勝っている亮が恐ろしく感じるわ  
本当に手加減しているものね  
融合さえ使わないもの。

そうだ、亮に相手になってもらいましょう  
うん、それが良いわ  
きっとこれで私のストレスも発散できるはず。

そうと決まれば早速亮を探さないと  
って、どこに居るのかしら？  
まだ島に来ていないとか？

居ないんだったらどうしようも無いわね

亮、早く来て私と決闘してデュエル

欲求不満で疲れてるのよ……貴方もそうだと思うけど。

もう諦めて瑞貴に相手を願おうかしら？

でも嫌がつてるから断られるでしょうし

どんな事を要求されるか……それはそれで良い気もするけど。

……ん？

今、自分がかかなり大変な事を考えた気が……気のせいかしら？

別に何でも良いか、どうせ無茶な事を言われるに決まってるもの。

それに必ずアンチデツキを使ってくるでしょうね

海野先輩が使ってきたような狭小の地下道とか、必ず使うでしょうね  
使われた時の弱点……それは連続攻撃モンスターね。

タイラント・ドラゴンとかを使われたらどうしようも無いわ  
攻撃力で勝てない、罠の対象にならない、連続攻撃ができる  
貫通効果を持たせるメテオ・ストライクとかまで装備されたら勝ち  
目は無いわ。

タイラント・ドラゴンに勝つには紫炎を出して

更に六武院に武士道カウンターを5つ乗せる必要が有る

狭小の地下道の効果を受けていたら紫炎を出すだけでも大変なのに

……

他にも究極恐獣とかも駄目ね  
アルティメットテイル

全体攻撃をされるから、必ずモンスターが尽きるわ

そして最後は直接攻撃を受けて……ライフが無くなる  
ダイレクトアタック

こうなると彰子は苦手な相手になるわ……まさかの六武衆キラーが

居るなんて。

……はあ、もう良いわ

今日中に200枚は超えましょう

貯まったらもう決闘は止めて帰ろうと  
デュエル

そして休むわ。

眠いもの……つまらなくて

戦い過ぎて疲れてるのかしら？

休みたい気分だし、本当に休みましょう。

瑞貴が悪いのよ

帰ったらなんとか言ってやるんだから

また住み込みを始めるのも……駄目ね、怒られる

二度と泊めないなんて言われたくないし。

ふう……あ、鴨が葱を背負ってるわ

外の人でしょうね……私服だし

さっさと狩って、メダルを200枚にしましょう。

ふぁ……眠さでプレイミスをしないように気をつけよう

目がぼやけて見えて出すカードを間違えたらさすがに危ないかもしれないわ

負けるとは思わないけどね。

## 115話【6日目?】（後書き）

雪乃は何に気付いたの？  
秘密です。

濱田康暢って誰？

TF4から登場、使用デッキは電池メン

そして何故か最弱とパートナーデッキには漏電が1枚だけしか入っていません

これは2枚……3枚はちょっと重いですけど2枚は入れても良いでしょうに。

雪乃が落ち着いてる？

ちょっと最近、熱血にさせすぎました

なので少し元の性格を思い出し、こういう形になりました  
つまり、ピンチで燃えるタイプ……憧れは瑞貴の冷静な戦い方  
こんな感じ……何この雪乃、可愛いんだけど！

手札断殺って……

原作効果です。

ネクロ・ガードナーは入るかな？  
微妙……ですね。

リボルバー・ドラゴンのは？  
アルカナフォースであんな演出をしたんです  
だったらこの演出も有りでしょう？  
……多分！

明日香が……明日香が！

もう色んな意味で明日香が危険です

これはちよつと……大丈夫でしょうか？

ツイッター……久しぶりにRPGツールを機動させたい

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

まだ序盤までしか作成してないんですね……



## 116話【6日目?】（前書き）

「今日の最強カードはホルスの黒炎竜LV6よ  
攻撃力2300、守備力1600の炎属性ドラゴン族モンスターね  
魔法効果を受けないという効果

そして戦闘で相手モンスターを破壊した時  
デッキか手札からホルスの黒炎竜LV8を特殊召喚できるわ  
六武院に強者の苦痛が効かないから厄介ね……効果で倒すべきかし  
ら？」

魔法効果を受けないというのは実はかなり厄介  
攻撃力は少し低いですけどね……明日香でした。

大遅刻でした

時間が無くて……なんとか3時間で書き終えました  
本当に集中するとこんなに速くできるのかと、自分でも驚いていた  
り……

多少やつつけ感が出るのはご愛敬  
それでも約9000文字なんでもうこれ以上は……辛い。

とりあえず疲れ、眠いのでここまで  
寝不足だし……今夜は早めに寝よう。

次回はこんなに遅刻はしないでしょう  
まあ……何をするかにも依りますけど。

## 116話【6日目】

視点 吹雪

コンビを組んでいる相手を探すのも大変だな……

まだ現在メダルは58枚

堅守君の言うお仕置きは超えたから良いんだけどね。

今日の相手は誰かなあつと

彼女達にしようかな、白だし。

「浜口君、相手はあそこに居る彼女達で良いかな？」

「良いと思いますわ

でも、どこかで見た事が有るような……」

そりゃ同じ学校だし、仕方無いと思うよ？

さて、彼女達は……

「ちょっとその君達

僕らとタッグ決闘デュエルしないかい？」

「わたし達？

わたしは良いよ、お姉ちゃんは？」

ロングの髪の子が姉を呼ぶ

という事は彼女が妹なのか……

「アタシ達は構わないわよ、じゃあ決闘<sup>デュエル</sup>ね  
吹雪さんとは戦ってみたかったんだ」

姉と呼ばれた少し中途半端に長い髪の子が構える  
やっぱり僕って有名人なのかな？

「アタシの名前は石原<sup>いしはらの</sup>法子  
この子の双子の姉で3年生よ」

「わたしは石原<sup>いしはらの</sup>周子  
妹で同じく3年生、双子だから当たり前だけどね」

「私は2年生の浜口ももえですわ」

「僕は知ってるみたけど天上院吹雪だ  
じゃ、始めようか？」

僕の合図で全員が完全に構える  
準備はできた、最後にルール確認。

「ライフはお互いに共通で8000  
場は全て共有、では始めようか！」

「「「決闘<sup>デュエル</sup>！」「」」」

「最初は姉のアタシから、ドロー！  
魔法カード、デビルズ・サンクチュアリを発動  
アタシの場にメタルデビル・トークンを特殊召喚  
そしてメタルデビル・トークンを生け贄に、炎帝テストタロスを召喚  
！」

このモンスターは……なんだ？  
攻撃力は2400と少し高め  
どんな効果を持っているのか……

「炎帝テスタロスの効果を発動するわ  
このモンスターの生け贄召喚に成功した時  
相手の手札を1枚ランダムに捨てさせる  
そして捨てたカードがモンスターカードだった場合  
そのモンスターのLV×100ポイントのダメージを与える！」

次のターンは浜口君  
という事は今の手札対象は……僕か！？

「今の手札は吹雪さん  
うーん……真ん中のカードを捨てて！」

いきなり手札破壊か  
そして捨てられたカードは……

「僕の捨てたカードはモンスターカード、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜  
LVは7だから700ポイントのダメージだね」

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
困る事は困るけど、真紅眼の黒竜を墓地に送れたのは助かる  
これで色々とできるようになるしね  
ダメージはちよつと痛かったけど……

「アタシはもう何も……ターンエンドよ」

生け贄召喚に成功した時に効果を発動するモンスターか

どこかで見た事が有るような無いような……思い出せないな。

「私のターン、ドロー！」

モンスターをセットし、カードを1枚伏せてターンエンドですわ！」

さすがに攻撃力2400を相手に挑戦するのは難しいかな？

それにまだ伏せカードは無いんだし

彼女のデッキは地霊術、「鉄」やキャトルミューティレーションが必要だし。

「わたしのターン、ドロー！」

フィールド魔法、バーニングブラッドを発動！

このカードが存在している限り

炎属性モンスターの攻撃力が500アップし、守備力が400ダウンする

そしてホルスの黒炎竜LV4を召喚！」

ホルスの黒炎竜だって！？

という事は……まさか王宮のお触れとのコンボか！

「ホルスの黒炎竜LV4は炎属性

よってバーニングブラッドの効果で攻撃力が500アップ！

ホルスの黒炎竜LV4で守備モンスターに攻撃！」

攻撃力は2100……

浜口君のモンスターは？

「私のモンスターは巨大ネズミですわ！」

このモンスターが戦闘で破壊された時

デッキから攻撃力1500以下の地属性モンスターを攻撃表示で特

殊召喚しますわ

私はデッキより……ハイエナを特殊召喚！」

攻撃力は1000……ちょっと低い

テストロスも炎属性だから攻撃力が500アップしている  
攻撃力は2900か……

「炎帝テストロスでハイエナに攻撃！」

テストロスの炎でハイエナが燃やされる

そのまま破壊され、1900のダメージ……

少し大きいかな？

さっきの700のダメージも受けて、合計2600のダメージか  
残りライフは5400だ

だけど、浜口君は本当に助かるね。

「ハイエナの効果を発動します！」

戦闘で破壊された時、デッキからハイエナを特殊召喚できますわ！

私はデッキより、2体のハイエナを守備表示で特殊召喚！」

「生け贄要員……わたしはこれでターンエンドです

そしてエンドフェイズ時、ホルスの黒炎竜LV4の効果を発動します

戦闘で相手モンスターを破壊した時、ホルスの黒炎竜LV4を墓地  
へ送り

デッキか手札からホルスの黒炎竜LV6を特殊召喚できるわ

私はデッキよりホルスの黒炎竜LV6を特殊召喚！」

魔法効果を受けないホルスの黒炎竜LV6

バーニングブラッドの効果で攻撃力は上がらないけど

それでも厄介な事には変わり無いか。

敵に回して、ホルスの黒炎竜の厄介さがよく分かる  
もしLV8になったら……そんなに問題じゃない？

僕のデッキはパワーデッキだし。

「僕のターン、ドロー！」

魔法カード、思い出のブランコを発動、墓地から通常モンスターを  
特殊召喚する

僕はこの効果により、先ほどテストロスの効果で墓地へ送られた真  
紅眼の黒竜を特殊召喚

更に真紅眼の黒竜を生け贄に、真紅眼の闇竜を特殊召喚！

このモンスターは自分の墓地に存在するドラゴン族の数×300ポ  
イント攻撃力がアップする

僕の墓地にはドラゴン族は1体、よって攻撃力は300アップして  
2700だ」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
真紅眼の闇竜は闇属性

バーニングブラッドの効果は受けられない  
だけど、そんな事は些細な事だ！

「魔法カード、火竜の火炎弾を発動しよう

自分の場にドラゴン族モンスターが存在する時、2つの効果から1  
つを選んで発動できる

相手に800ポイントのダメージを与えるか、守備力800以下の  
モンスターを破壊するかだ

僕はバーニングブラッドの効果で守備力が600に下がっているテ  
スタロスを破壊する！」

「あ！ テスタロスが！」

よし、これでモンスターが減ったぞ  
これがバーニングブラッドの弱点、守備力が下がってしまう所だ  
まさかこのカードで破壊できるとは……

「そしてハイエナを2体を生け贄に捧げる  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
光と闇の竜を召喚！」

彼女達の場合には伏せカードは無い  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
そして、僕の場合には攻撃力2800の光と闇の竜  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
更に攻撃力2700の真紅眼の闇竜だ。

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
「光と闇の竜でホルスの黒炎竜LV6に攻撃！  
シャイニングブレス！」

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
体の半分が白い光と闇の竜  
攻撃方法は2つ有り、シャイニングブレスは光属性のブレス攻撃だ  
そのブレス攻撃により、ホルスの黒炎竜撃破！  
攻撃力差は500、だけどまだ終わらないよ！

レッドアイズ・ダークネスドラゴンダイレクトアタック  
「真紅眼の闇竜で直接攻撃！  
ダークネス・ギガ・フレイム！」

「きゃあああ！」  
これで2700のダメージだ！  
合計で3200、残りライフは4800  
かなり削ったぞ！

「僕はこれでターンエンドだ」



ライトアンドダークネス・ドラゴン

光と闇の竜が居るからかなり余裕が有る  
これだけすればきつと……

「厄介な……アタシのターン、ドロー！」

魔法カード、迷える子羊を発動！

子羊トークンを2体、守備表示で特殊召喚するわ！」

「そうはさせない！」

ライトアンドダークネス・ドラゴン

光と闇の竜の効果を発動！

攻撃力と守備力を500下げ、モンスター効果に魔法や罠カードの  
効果を無効にする！」

これで魔法カードの効果は使えない

子羊トークンは現れない。

「なんて厄介な……どうしよう？

モンスターをセットするわ

迷える子羊を発動したターン、召喚、反転召喚、特殊召喚はできない  
だけどセットなら可能よ

カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

セットモンスターか……厄介なモンスターじゃなければ良いんだけど

ライトアンドダークネス・ドラゴン

リバーズ効果だったら光と闇の竜は……拙いな。

「私のターン、ドロー！」

ライトアンドダークネス・ドラゴン

（光と闇の竜が居るから下手な事はしない方が良いですわね

吹雪様も少しは私の事を考えてほしいですわ

強力なのは分かりますが……まあ、破壊さえしなければ効果を発動  
せずに墓地へ行きますわね）」

ん？ 今、ちょっと睨まれたような……浜口君？  
僕が何かしたかい？

「（はあ……さて、どうしましょうか？

まだ効果は3回使用できますし……諦めますか

攻撃力はまだ2300とそれなりに高いですし）

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
光と闇の竜で守備モンスターに攻撃しますわ」

攻撃方法はシャイニングブレス

ダーク・バプティズムは体から闇を噴き出して攻撃するんだけど  
シャイニングブレスの方が派手だからあまり使わないんだよね。

破壊されたのは黄泉ガエル

リバーズ効果よりも厄介なモンスターが出てきた！

連続で、何度も効果を発動できるから光と闇の竜とは相性が悪い！  
ライトアンドダークネス・ドラゴン

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
「真紅眼の闇竜で直接攻撃ですわ！」

「きゃああああ！」

よし、これで2700のダメージだ！

残りライフは2100、このまま押し切れれば勝てる！

「私はこれでターンエンドですわ」

「わたしのターン、ドロー！」

黄泉ガエルが復活してくる！

「魔法カード、クロス・ソウルを発動！

このカードの効果で生け贄召喚をする時、相手モンスターを生け贄にできる

ただし、このターンバトルフェイズは行えない

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
「だけど、光と闇の竜の効果で無効化される」

あ、あれ？

黄泉ガエルが復活しない？

……あ、バーニングブラッドが残ってたか  
それで蘇生できなかったんだね。

「だけどこの攻撃力なら……プロミネンス・ドラゴンを召喚！  
バーニングブラッドの効果で攻撃力が500ポイントアップ！」

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
あ、光と闇の竜の攻撃力は1800

これじゃあ攻撃力が2000になったプロミネンス・ドラゴンに勝てないな

……これってちょっと拙い？

「プロミネンス・ドラゴンで光と闇の竜に攻撃！」  
ライトアンドダークネス・ドラゴン

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
あらら……光と闇の竜が燃やし尽くされちゃった

しかも効果が発動するから……うん、ちょっと拙い？

ライトアンドダークネス・ドラゴン  
「光と闇の竜が破壊された時、最後の効果を発動しますわ

墓地のモンスターを1体選択し、自分の場のカードを全て破壊

その後、私が選択したモンスターを特殊召喚しますの

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
私は墓地の真紅眼の黒竜を選択、自分の場のカードを全て破壊しますわ」

ライトアンドダークネス・ドラゴン

光と闇の竜が大爆発を起こし、僕達の場のカードを全て破壊する

レッドアイズ・ブラックドラゴン

煙が晴れた時、そこには真紅眼の黒竜が居た

レッドアイズ・ブラックドラゴン

僕の為に真紅眼の黒竜を選んでくれてありがとう！

ちなみに浜口君の伏せていたカードはキャトルミューティレーション  
……うん、これは素直に悪かったと思う。

「そんな効果を持っていたなんて……

カードを1枚伏せ、ターンエンド

エンドフェイズ、プロミネンス・ドラゴンの効果を発動よ  
相手に500ポイントのダメージを与える」

ダメージモンスターか、炎属性モンスターにはそういうのが多いしね  
プロミネンス・ドラゴンはこちらに来て……な、何かな？

そう思った時、炎を吐き出してきたあ！？

ソリッドビジョンだけど凄く熱く感じるのは何故！？

それにしても500ポイントのダメージか

僕達の残りライフは4900

まだ相手よりも倍以上有るから大丈夫だと思う。

「僕のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、デッキから更に2枚

ドロー！

レッドアイズ・ブラックドラゴン

更に真紅眼の黒竜を生け贄に捧げ、ホルスの黒炎竜LV6を召喚！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン

僕だっでできれば真紅眼の黒竜が良かったんだけどね

レッドアイズ・ブラックドラゴン

だけど真紅眼の黒竜単体だと勝てる可能性は下がる

だったらこうするしか……

「ホルスの黒炎竜LV6でプロミネンス・ドラゴンに攻撃！

ブラック・フレイム！」

「ぐう……噂には聞いてたけど

本当に吹雪さんもホルスの黒炎竜を使うんだ

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜だけでも重いのに……

そのデッキ、重くない？」

重いに決まってるだろう！

どれだけ考えてこのデッキを組んだと思ってるんだい！？

このデッキに何時間、何十時間、そして何日掛けたと思ってるんだ！  
学園祭でレイ君と戦った時は調整中だったし！

「……ごほん

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「この瞬間、お姉ちゃんの伏せていた速攻魔法、サイクロンを発動！  
わたしのバーニングブラッドを破壊するわ！」

このタイミングで！？

ライトアンドダークネス・ドラゴン

そうか、光と闇の竜が居たから発動できなかったのか

しかも今のタイミングじゃないと駄目なのは確かにそうだね。

ライトアンドダークネス・ドラゴン

光と闇の竜が居ない

炎属性モンスターが居ないから攻撃力を上げる必要が無い、実際に  
ダメージは減ったしね

更にホルスの黒炎竜LV8の効果がまだ使われていない……か。

「エンドフェイズ、ホルスの黒炎竜LV6の効果を発動！

戦闘で相手モンスターを破壊した時、ホルスの黒炎竜LV6を墓地  
へ送る

その後、デッキか手札からホルスの黒炎竜LV8を特殊召喚できる！  
僕はデッキからホルスの黒炎竜LV8を特殊召喚！」

「だったらこちらもエンドフェイズに罠カード、レベルの絆を発動！  
相手は2枚ドロし、墓地からLVと名の付くモンスターを召喚条件を無視して特殊召喚！」

わたしは墓地からホルスの黒炎竜LV6を特殊召喚する！」

ドロは素直に助かるけど……ホルスの黒炎竜LV6が出てきたか  
だけどバーニングブラッドの効果を受けられないから攻撃力は2300

僕のホルスの黒炎竜は周子君のバーニングブラッドの効果が切れて  
いるから攻撃力は元のまま  
それでも攻撃力は3000だし、大丈夫だろう。

「アタシのターン、ドロ！」

スタンバイフェイズ、黄泉ガエルの効果が発動するわ  
自分の場に魔法、罠カードが無い時に墓地から特殊召喚できる！  
蘇りなさい、黄泉ガエル！」

……ギャグかい？

それは僕の専売特許だよ！  
嘘だけどね。

「そして黄泉ガエルを生け贄に、雷帝ザボルグを召喚！  
ザボルグの生け贄召喚に成功した時

場のモンスターを1体破壊する！」

この効果でホルスの黒炎竜LV8を破壊！」

「そんな効果が！？」

ああ！ 僕のホルスの黒炎竜LV8が！」

こんなにアツサリを破壊されるなんて！

ちよつと悔しいぞ！

うーん……これは困った、どうしようか？

「これで魔法カードを安心して使える

魔法カード、強欲な壺を発動してデッキから2枚ドロロー！

ザボルグ、ダイレクトアタック直接攻撃よ！」

「それは許さない、罠カード、レベルの絆を発動！

相手はデッキからカードを2枚ドロローし

僕の墓地からLVと名の付くモンスターを召喚条件を無視して特殊召喚する！

僕はホルスの黒炎竜LV8を特殊召喚するよ！」

ふふん、ホルスの黒炎竜は僕だって使うんだ

だったらこれぐらい当然だろう？

ちよつとは悔しそうな顔を……していない！？

「だけどその効果で特殊召喚したモンスターはこのターン、攻撃ができず、更に効果が使えない

だったら攻撃は取り止め、魔法カード、デュアル・サモン二重召喚を発動するわ

このターン、もう1回通常召喚が可能となる

私はザボルグを生け贄に、光帝クライスを召喚するわ！」

おお……今度は光の光帝か

雷の帝、炎の帝、光の帝

各属性の帝が居るみたいだね

他のはどんなのなんだろうか？

「光帝クライスの効果を発動！」

このモンスターが召喚、特殊召喚に成功した時  
場のカードを2枚まで破壊できるわ

ただし、破壊したカードの持ち主はデッキから破壊された枚数をドローできる

私はホルスの黒炎竜LV8と吹雪さんの伏せカードを破壊！」

「また破壊された!？」

クツ……僕のカードが2枚破壊されたから2枚ドローだ!」

伏せていたカードは竜の逆鱗

ドラゴン族に貫通効果を与えられる効果のカードだったのに……

「クライスは召喚、特殊召喚されたターンは攻撃できないわ  
カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

うーん……厄介な相手だな

生け贄召喚で色々とカードを破壊してくる

そして魔法カードを封じるホルスの黒炎竜……

嫌なコンビが相手なんだな。

「私のターン、ドロー！」

レスキューキャットを召喚しますわ!」

出たか、浜口君お得意のレスキューキャット!

これでなんとかなるかもしれない!

「レスキューキャットの効果を発動！」

このモンスターを墓地へ送り、デッキよりLV3以下の獣族モンス



ターを2体特殊召喚しますわ！

私はデッキより、コアラッコとラッコアラを特殊召喚！」

コアラの顔をしたラッコと、ラッコの顔をしたコアラ  
ん？ どっちがどっちなんだ？

コアラの顔をしたラッコがラッコアラ？

いや、ラッコの顔をしたコアラがラッコアラか？

「コアラッコの効果を発動しますわ

自分の場に自身以外の獣族モンスターが存在している時  
相手モンスター1体の攻撃力を0にできますわ！

私はこの効果により、ホルスの黒炎竜LV6の攻撃力を0に！」

おお、これでホルスの黒炎竜LV6を倒せる！

それに彼女達のライフは残り1800

かなりの大ダメージのはずだ！

「更にラッコアラの効果を発動しますわ

自分の場に自身以外の獣族モンスターが存在している時

自分の場の獣族モンスターの攻撃力を1000ポイントアップさせ  
ますの

私はコアラッコの攻撃力を1000ポイントアップ！」

これでコアラッコの攻撃力は1100に……あれ？

それってあまり意味が無いんじゃない？……あれえ？

「更に魔法カード、野性解放を発動しますわ

自分の場の獣族モンスターの攻撃力を守備力分だけ上げますの

私はコアラッコを選択し、守備力分である1600ポイント、攻撃  
力をアップさせますわ」

これでコアラッコの攻撃力は2700  
ラッコアラの攻撃力は1200だね  
えっと……どうするつもりなんだ？

そんな事をしなくても、ラッコアラの攻撃力を上げてホルスの黒炎  
竜LV6を倒せば良かったはず  
なのに何故？

「（もしあの伏せカードがライフを回復させるカードだったら  
色々と考えられますけど、できれば全滅させておきたいですわ  
総攻撃をされたら困りますもの！）バトルですわ！」

って、浜口君！？

そんな事をしてクライスに攻撃しても駄目だよ！  
与えられるダメージは300

そしてホルスの黒炎竜LV6を倒しても1200のダメージだから  
300ポイントライフが残る！

「罠カード、威嚇する咆哮を発動  
このターン、相手は攻撃宣言できない」

しかも防がれた！？  
これ、どうするんだい！？

「クッ……（そっちのカードでしたか  
これじゃあ野性解放を使った意味が……）  
カードを1枚伏せ、ターンエンドですわ！  
そしてエンドフェイズ時、レスキューキャットで特殊召喚されたモ  
ンスターは破壊されます

更にコアラツコの効果も切れ、ホルスの黒炎竜LV6の攻撃力も戻りますわ」

これは拙い……僕達のライフは4900

両方の攻撃力の合計は4700、ギリギリだよ！

「わたしのターン、ドロー！」

モンスターを出すな、モンスターを出すな！

「スタンバイフェイズ、黄泉ガエルを蘇生させる！

そして黄泉ガエルを生け贄に、ホルスの黒炎竜LV6を召喚！」

まさかの2体目！？

これは僕達の負け……か！

「クライスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「そうはさせませんわ！

永続罠、リビングデッドの呼び声を発動！

自分の墓地……味方の墓地も自分の墓地として扱いますわ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
よって、墓地より真紅眼の黒竜を特殊召喚！」

おお！

やっぱり君は頼りになるな！

これは僕も負けてられないぞ！

「そんな！？

攻撃力は勝てない……1体目のホルスの黒炎竜LV6を守備表示へ変更！

これでターンエンドよ！」

うんうん、僕が必ず勝ってみせる！  
このドローで……行くぞ！

「僕のターン、ドロー！」

……よし、これで僕の勝ちだ！

「魔法カード、死者転生を発動！

手札を1枚捨て、墓地からモンスターを手札に加える

僕は墓地の真紅眼の闇竜を手札に加える

レッドアイズ・ブラックドラゴン

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

そして真紅眼の黒竜を生け贄に、真紅眼の闇竜を特殊召喚！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

真紅眼の闇竜は墓地のドラゴン族の数×300ポイント攻撃力をアップさせる

僕の墓地にはドラゴン族は4体、よって攻撃力は3600だ！」

だけど、これだけじゃないんだよ！

まだまだ、これからがお楽しみだ！

「永続魔法、未来融合、フューチャー・フュージョンを発動！

デッキから融合素材となるモンスターを墓地へ送り、2ターン後に特殊召喚する！

僕はデッキからドラゴン族モンスターを5体墓地へ送り、2ターン

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

後にF・G・Dを特殊召喚する！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

更に墓地へドラゴン族が増えた事で真紅眼の闇竜の攻撃力がアップ！  
攻撃力は1500アップし、5100だ！」

「「攻撃力……5100!?」」

彼女達の場合には伏せカードは無い

そして居るのは攻撃力2400のクライスと攻撃力2300のホルスの黒炎竜LV6

これで決まりだ！

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

「真紅眼の闇竜でホルスの黒炎竜LV6に攻撃！

ダークネス・ギガ・フレイム！」

「「きゃああああ！」」

よし、勝てた！

強かった……何故こんなに強いんだ！？

ホルスの黒炎竜LV8を出される前に倒せて良かったよ。

「わたし達の負けかあ……

はいメダル、これでいいでしょ？」

渡されたメダルは11枚

浜口君は姉から同じくメダルを11枚貰っていた  
あまり積極的に戦わなかったのかな？

「アタシ達の負けか……やっぱり吹雪さんは強かったなあ」

「いやあ、君達も強かったよ

最後の3体には負けを覚悟したぐらいだからね」

「（そういえば思い出しましたわ

この2人、学園で最強クラスの双子姉妹

その強さで目立つのを嫌い、あまり積極的に戦わないとか

1人でも強いらしいですけど、組んだらこんなに厄介だとは……）」

よく勝てたよ、僕達

浜口君は頼りになるなあ

僕ももっと精進しないと！

「じゃあ吹雪さん、それでは」

「また決闘<sup>デュエル</sup>してね」

姉、妹の順に分かれ言葉を言い、去って行った

彼女達はともかく、これで僕達のメダルは69枚  
これぐらい貯まればそろそろ良いかな？

よし、これからどうするか浜口君と相談しよう

レイ君に挑戦するのか、それとももう少し貯めるか  
どうなるのかな？

## 116話【6日目?】（後書き）

石原姉妹って誰？

TFキャラです、実際に姉妹

使用デッキは姉が帝デッキ

妹はお触れホルスです……お触れは出ませんでした。

帝って使って良いのかな？

ちょっと微妙ですけど……まあ良いんじゃないですか？

美寿知が氷丸、炎丸、氷丸、雷丸に与えたのは力を入れたカードらしいです

普通のカードだったらまだ……多分大丈夫でしょう。

微妙に……吹雪ともえが噛み合っていない？

調整しても、やはり調整程度です

合わせるように作られたわけではないのです。

ツイッター……グロランサー？や？をしたい

http://twitter.com/ainkuria  
？は買ってから2年以上経ってるけど今だ未プレイ……やれよ自分。

## 117話【6日目?】（前書き）

「今日の最強カードはコマンド・ナイト

攻撃力は1200、守備力は1900の炎属性の戦士族

自分の場の戦士族モンスターの攻撃力を400アップさせる

更に自分の場に他のモンスターが存在している場合、こいつは攻撃対象にならない

戦士族では強いけど、荒野の女戦士でリクルートできないのが惜しいな

これができるば全ての戦士族デッキで採用されただろうに……  
ガイアパワーの効果を受けれないのは本当に残念だ」

最強クラスになるから炎属性なんですかね？  
瑞貴でした。

どうでも良いですけど

丸1日、ほぼずっと布団に潜っていました  
寒いんですよ、今日はかなり冷えます。

ここ最近、戦闘描写に力を入れています  
モンスター達の動きを書くのが楽しい……  
多分、最初にマナが決闘デュエルをしたからでしょうね  
これがいつまで続くのやら……

次回はどんな事になるのか……  
そろそろいい加減に出すかな。



## 117話【6日目】

視点 レイ

順調に勝ってるけど、他の人達はどうなのかな？  
ボクはやっと100枚を超えて102枚だけど  
明日香さん、かなりのメダルを持ってたっけ。

マナさんはどうなのかな？

メダル数を教えてくれないし……あ  
あそこに居るのって……ヤバ、逃げようっと。

ゆっくり、ゆっくりと……

さすがにまた戦うなんてご免だよ  
だって前回の人は強かったし。

「お、お前は早乙女だったな  
まだ生き残ってたのか？」

あちゃあ……見つかっちゃった  
どうしてボクはこう……ねえ？

「どうも……まだ生き残ってます  
矢ヶ城先生はどうしてここに？」

矢ヶ城利之先生  
やがしろ としゆき

良い先生なんだけど……夢見がちなのが玉に瑕って噂  
頭は良いみたいなんだけど、実際はどうなのかな？

「先生も一応大会に参加しているからな  
どれ、せっかくの機会だし戦ってみようか」

やっぱり……また先生が相手かあ  
はあ、ボクって運が無いのかな？

でも、挑まれたんだし相手はするよ！  
絶対に勝つんだから！

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先生が先攻だ、ドロー  
ゴブリン突撃部隊を召喚する」

下級モンスターで攻撃力2300！  
でも、確か攻撃後は守備表示になるモンスターだったはず  
だったらそこまで怖くない……かも？

「これでターンエンドだ」

あの伏せカード……最終突撃命令じゃないよね？  
可能性は有るし、攻撃後も安心しないようにしないと。

「ボクのターン、ドロー！  
レプティレス・ナージャを召喚！」

上半身は普通の女の子  
だけど頭に蛇が……  
そして下半身は完全に蛇。

瑞貴さんが言っていたんだけど

こういう生物をラミアって呼ぶんだって

色々と蛇の伝承上の生物は多いらしいんだけど……

瑞貴さん、どうしてそんな事を知ってるのかな？

「攻撃力0を攻撃表示だと？

何を考えているんだ？」

色々とね……まあ後のお楽しみという事で

さて、次はっと……

「ボクはカードを2枚伏せ、ターンエンドだよ」

さあ、攻撃力0のモンスターだよ

確実に罠だって分かるはず

これからどうするかな？

「ふむ……先生のターン、ドロー

切り込み隊長を召喚し、効果を発動しよう

切り込み隊長が召喚に成功した時、手札のLV4以下のモンスターの特殊召喚する

先生は手札より、不意打ち又佐を特殊召喚しよう」

不意打ち又佐！？

瑞貴さんがボクのデッキの天敵になるカードって……

効果は確か2回攻撃に加え、コントロール奪取効果を受けない

つまり、ボクのデッキとかなり相性が悪い！

攻撃力は1200の切り込み隊長

そして1300の不意打ち又佐、2300のゴ布林突撃部隊  
合計攻撃力は4800だけ……  
不意打ち又佐の効果で2回攻撃だから、それを含めると6100に  
なる。

「切り込み隊長でレプティレス・ナージャに攻撃だ！」

ゴ布林突撃部隊じゃないんだ……残念  
まあ守備表示になる効果だし、仕方無いかな？

「永続罨、スピリットバリアを発動！」

ボクの場合にモンスターが存在している限り、戦闘ダメージを受けな  
い！

更に、レプティレス・ナージャは戦闘では破壊されない」

切り込み隊長だけに、斬りかかってくる切り込み隊長  
だけどナージャはその剣を躲す

そして……身軽な様子で切り込み隊長の背後に回る。

体に昇っていき、頭の蛇が首筋に噛みつく

切り込み隊長は苦悶の顔を見せるけど、すぐにナージャを振り払う  
払い落とされたナージャは痛そうな様子も無くケタケタと笑ってい  
る。

……ナージャって可愛くない？

ボクは可愛いと思うんだけど、先生の様子からそんな感じは無さそう  
苦そうな顔をしてるし。

「戦闘耐性にダメージを0にするか……  
どうりで平気で攻撃表示で晒す訳だ

バトルフェイズを終了させよう」

よし、これを楽しんでいた！

「バトルフェイズ終了時、レプティレス・ナージャの2つ目の効果が発動される

このモンスターと戦闘を行ったモンスターの攻撃力を……0にする」

「何！？ 攻撃力を0だと！」

「例えば相手が爬虫類族でも、男の人は可愛いモンスターには弱いみたいだね

正確には、ナージャの頭に居る蛇の毒だけど」

「毒……だと？」

「うん、ナージャの頭に乗ってるのはコブラっていう猛毒の蛇  
そんなのに噛まれて、平気なモンスターはそうそう居ないんじゃないかな  
いかな？」

切り込み隊長の攻撃力が0になる

膝を突き、かなり苦しそうにしている

だけど頑張ろうとしているから……

なんだろう、この罪悪感

戦士族にこういう攻撃力を0にするのは残酷だったかな？

戦う為の戦士なんだし……

「クッ……装備魔法、デーモンの斧を切り込み隊長に装備させる！  
これで切り込み隊長の攻撃力は1000ポイントアップだ！」

レプティレス・ナージャの効果は攻撃力の上書き効果  
後から攻撃力を変化されたらどうしようも無いか  
さすが先生、その程度の事は知ってるよね。

「これで先生のターンは終了だ」

先生のデッキは装備カードを使った戦士族デッキかな？  
となると……ちよつと面倒かもしれない  
また装備カードで強化されたら困るし。

「ボクのターン、ドロ―  
レプティレス・ゴルゴーンを召喚するよ！」

再び現れる下半身が蛇の女性  
ゴルゴーンってどこかの国の怪物だっけ？  
あの無駄に開いた口と青い肌さえどうにかなれば多分美人なのになあ  
ちよつと勿体ないかも？

それにしても……切り込み隊長が邪魔  
攻撃したくても攻撃できないんだもん  
切り込み隊長しか攻撃できないし……効果が使いにくくなっちゃう。

「更にフィールド魔法、ダーク・アリーナを発動するよ」

辺りが真っ暗な空間に包まれた  
これがダーク・アリーナの効果……楽しくなってきたかも？

「なんだ、このフィールド魔法は……」

「このカードが存在している限り、攻撃可能なモンスターは全て攻撃しなければならない」

しかも、バトルフェイズも強制されている

更に、攻撃する対象は相手プレイヤーが選択する事になっているんだ」

「攻撃強制に、攻撃対象は相手が選ぶだど？」

なんて厄介なフィールド魔法だ……」

サベージ・コロシウムか迷ったんだけどね

ボクのカードがコントロール奪取デッキだと気付かれた場合もしかしたら自分から自壊するように動かれるかもしれないもん。

ボクの狙いはコントロールの奪取

なのに自滅されたら意味無いよ

ライフ回復は欲しいけど、それはなんとかなるし。

それに、自分が攻撃対象を選べるのも便利なんだよね

ナージャを攻撃対象に選んだりできるもの

態々レアゴールド・アーマーや磁力の指輪を使わなくても良いから楽フィールド魔法だから魔法、罨ゾーンを圧迫しないし。

「そして装備魔法、モルティング・エスケープをレプティレス・ゴルゴーンに装備させる！

爬虫類族モンスターにのみ、装備可能な装備魔法

このカードを装備したモンスターは1ターンに1度、戦闘で破壊されない！

バトル、レプティレス・ナージャで攻撃！

さあ先生、ボクが攻撃するモンスターを選んでよ

この効果では攻撃するのはボクだけど、対象を選択するのは先生

だから切り込み隊長の効果で他の戦士族モンスターを攻撃できないって効果は無意味

他のモンスターにも攻撃をさせる事ができるよ」

どれに攻撃をさせても変わらないんだけどね  
何を選んでも、結果は同じなんだし。

「なら俺は切り込み隊長を選択する」

「分かった、バトル！」

レプティレス・ナージャ、切り込み隊長に攻撃！」

レプティレス・ナージャは再び切り込み隊長に噛みつく

再び噛みつかれた切り込み隊長は持っているデーモンの斧も持てないぐらい弱っている

攻撃力が再び0になった切り込み隊長……ごめんね？

「更にレプティレス・ゴルゴーンで攻撃する

先生はどのモンスターを選ぶの？」

「俺を選ぶのは……戦闘破壊されない、ゴブリン突撃部隊だ」

「ならレプティレス・ゴルゴーン、ゴブリン突撃部隊に攻撃！  
ポイズン・グランス！」

ゴルゴーンの中から光線が出ていく

その光線を受けながらも、ゴブリン達はゴルゴーンを殴りつける  
女性をそんなに殴るなんて酷い……半分はボクのせいだけだ。

「スピリットバリアの効果により、戦闘ダメージは受けない



更にモルティング・エスケープの効果により、1ターンに1度、戦闘で破壊されない  
でも、モルティング・エスケープにはもう1つ効果が有る  
戦闘で破壊されない効果を適用した場合、攻撃力を300ポイントアップさせる」

ゴルゴーンの攻撃力は1400  
攻撃力が300ポイントアップし、攻撃力は1700にアップした。

「面倒なモンスターだな……」

「それだけじゃないよ、攻撃した事によってレプティレス・ゴルゴーンの効果が発動される  
このモンスターが攻撃をした後、攻撃されたモンスターの攻撃力を0にする！」

「何だと!？」

また攻撃力が0になるのか!」

攻撃をした時って、ちょっと厄介だけどね  
だって攻撃って1回しかできないんだし。

「更に、表示形式の変更もできない  
次のターン、守備表示に変更とかはできないよ」

ゴブリン達が石になった  
これで身動きは取れない  
ゴルゴーンって凄いなあ……

「ボクはこれでターンエンド」

先生の場にはモンスターが3体  
だけど攻撃力0の切り込み隊長とゴブリン突撃部隊  
攻撃力は1300の不意打ち又佐。

「クッ、ドロー！」

先生はコマンド・ナイトを守備表示で召喚！

このモンスターが場に存在している限り

自分の場の全ての戦士族モンスターは攻撃力が400ポイントアッ  
プする！」

む……また邪魔された

攻撃力を0にしたいのに……厄介かも

永続効果で上書きされたから切り込み隊長やゴブリン達も攻撃力が  
400に上がった

はぁ……パワーアップを狙うデッキは厄介だなぁ。

「更に切り込み隊長と不意打ち又佐を守備表示に変更する」

それで少しはダメージを減らそうって考えだね

だけど……ボクはそんなに甘くないよ？

「永続罫、最終突撃命令を発動！」

場の全てのモンスターは攻撃表示になり、表示形式の変更ができな  
くなる！

守備表示なんて逃がさない……ダーク・アリーナの効果で強制攻撃  
だよ！」

「なん……だと？」

しかもお前の場には……レプティレス・ナージャが！」

そう、ボクの場合にはナージャが居る  
これがどういう事か……先生には分かるよね？

「もう何もできないんだったらバトルフェイズに入るよ  
どうするの先生？」

「……切り込み隊長で攻撃だ」

「対象はレプティレス・ゴルゴーン  
ゴルゴーンに攻撃して、切り込み隊長」

切り込み隊長は闇の中に突撃する  
そこに居たのは攻撃力1700のレプティレス・ゴルゴーン  
ゴルゴーンの反撃で目から光線を出し、破壊する  
ダメージは1300だね。

「ぐ……ゴ布林突撃部隊で攻撃だ」

「攻撃対象はレプティレス・ゴルゴーン  
ゴ布林は石になって動けないから、代わりに攻撃するね  
ポイズン・グランス！」

ゴルゴーンの攻撃で破壊される石像のゴ布林  
これで更に1300のダメージ、残りライフは1400  
まだ少し掛かるかな？

「クッ……不意打ち又佐で攻撃だ」

「攻撃対象はレプティレス・ナージャ」

「ただレプティレス・ナージャに攻撃したら……攻撃力が0になる」

まあバトルフェイズ終了時だからあんまり関係無いんだけどね  
とりあえずしておいただけだし。

不意打ち又佐がナージャに攻撃してくる

だけど、ナージャは相変わらず躲し、不意打ち又佐に噛みつく  
蹣跚めく不意打ち又佐だけど……あのモンスターは2回攻撃ができる。

「不意打ち又佐は2回攻撃ができるんでしょ？」

「だったら攻撃が可能だし、もう1回攻撃してね」

「不意打ち又佐で……攻撃だ」

「攻撃対象はレプティレス・ゴルゴーン  
迎撃して、ゴルゴーン

でも、ゴルゴーンと不意打ち又佐の攻撃力は同じ、本来なら相打ち  
だけど

ゴルゴーンはモルティング・エスケープの効果で1ターンに1度、  
戦闘破壊されない」

再び斬りかかってくる不意打ち又佐、だけど勢いが無い  
そしてゴルゴーンの光線で不意打ち又佐が破壊される。

「そして戦闘破壊を免れた事でモルティング・エスケープの効果が  
発動

ゴルゴーンの攻撃力を300ポイントアップさせる」

これでゴルゴーンの攻撃力は2000

攻撃力2000だったらそれなりでしょ？

「最後はコマンド・ナイトで攻撃だ」

「攻撃対象はレプティレス・ナージャ  
ナージャ、噛みついてやって！」

コマンド・ナイトが斬りかかってくるけど、相変わらず躲すナージャ  
背後に回り、噛みついてさっさと離れる  
またケタケタと楽しそうに笑うナージャ。

「全モンスターで攻撃が終わったし、バトルフェイズが終了  
ナージャの効果でコマンド・ナイトの攻撃力は0になる」

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

もうボクの勝ちかな？

ボクの場合には攻撃力が2000のレプティレス・ゴルゴーンが居る  
ナージャの攻撃力は0だけど、先生のライフは1400  
ボクの手札にはモンスターは無いけど、あまり問題無いかな？

「ボクのターン、ドロ―  
レプティレス・ゴルゴーンでコマンド・ナイトに攻撃！  
ポイズン・グランズ！」

「速攻魔法、収縮を発動！  
この効果により、レプティレス・ゴルゴーンの元々の攻撃力を半分  
にする！」

あ、そんなことをされたら……

レプティレス・ゴルゴーンの元々の攻撃力は1400  
その半分で700、そこにモルティング・エスケープの効果で60  
0足される

という事は攻撃力は……1300！ これじゃあ勝てない！

でも、これで先生のライフは100

先生のモンスターはもう居ないけど、ダーク・アリーナの効果が有る  
だから全モンスターで攻撃しないといけない。

「レプティレス・ナージャ、ダイレクトアタック直接攻撃！」

ナージャの頭の蛇が先生に噛みつく

コブラは猛毒だから先生は怯えてるけど……これ、ソリッドビジョンだよ？

何も怖い事は無いし、大丈夫だよ。

「ターンエンド」

これで先生のライフは100

ボクのライフは満タンだし、余裕は一杯

戦闘ダメージも受けないし、戦闘で破壊されないし  
これ、どうやって突破するのかな？

「クッ……先生のターン、ドロー！

魔法カード、大嵐を発動する！

場の魔法、罠カードを全て破壊！」

「あああ！ ボクのカードが！」

このタイミングでドローするなんて！

ちょっと拙いかも！

「更に、先生の場のモンスターは早乙女のモンスターよりも2体以上少ない

よって、魔導ギガサイバーを特殊召喚だ！」

うわ！

攻撃力2200が飛んできた！？

これはちよつと拙いかも！

「更に、異次元の戦士を召喚！

そして装備魔法、神剣・フェニックスブレードを発動！

このカードは戦士族モンスターにのみ、装備させる事ができる

魔導ギガサイバーに装備させ、攻撃力を300ポイントアップさせる！」

異次元の戦士！？

しかも魔導ギガサイバーの攻撃力が2500になった！

これは拙いかも！

「バトルだ！

異次元の戦士でレプティレス・ナージャに攻撃！」

異次元の戦士がナージャに斬りかかる

避けようとするナージャだけど、掴まれて消えていった……

「異次元の戦士は戦闘を行った時

相手モンスターと自分をゲームから除外する

そしてレプティレス・ナージャは攻撃表示

よって戦闘ダメージを受け、1200のダメージだ」

クッ……しかも、まだ魔導ギガサイバーの攻撃が残ってる  
このままだとちょっと拙い！

「魔導ギガサイバーでレプティレス・ゴルゴーンに攻撃！」

ギガサイバーのパンチでゴルゴーンが破壊された  
ゴルゴーンの攻撃力はモルティング・エスケープが無くなって  
元の攻撃力だから1400、攻撃力差は1100  
ボクは合計で2300のダメージか……危なかった。

もしナージャに攻撃されていた場合、残るライフは300  
出てきたのが異次元の女戦士だった場合、ライフが尽きていた！  
運が良かった、勝てそうだからって侮るんじゃない！

「これでターンエンドだ  
どうだ、先生だって強いんだぞ」

うん、確かに強い  
でも……ボクだってまだ負けたわけじゃない！

「ボクのターン、ドロー！」

……ボクの勝ちだね  
手札のカードだって良いし  
これなら……

「魔法カード、レプティレス・スポンを発動！  
自分の墓地に存在するレプティレスと名の付くモンスターを除外する  
そして自分の場に攻守0のレプティレストークンを2体、特殊召喚



する！

ボクは墓地のレプティレス・ゴルゴーンを除外して、トークンを2体特殊召喚！」

これは守りの為のモンスターじゃない  
次のモンスターで、終わらせる！

「更に、攻撃力が0のレプティレストークン2体を生け贄に  
レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！」

下半身が凄く長い蛇の尻尾

上半身は女性で美人なだけで、腕が4本

……やっぱりこのモンスター、怖い。

「レプティレス・ヴァースキは攻撃力0のモンスターを生け贄にした時のみ特殊召喚できる

そして、このモンスターはお互いの場に1体しか存在できないけど

……それはどうでもいいや

レプティレス・ヴァースキの効果を発動！

1ターンに1度、相手の場に存在する表側表示のモンスターを1体破壊できる！

ボクは魔導ギガサイバーを破壊する！」

「な、何だと！？」

ヴァースキは下半身の蛇の尻尾でギガサイバーを捕まえる

そして強く締め付け……破壊！

先生の残りライフは100

レプティレス・ヴァースキの攻撃力は2600

これでボクの勝ちだ！

「これで終わり！

レプティレス・ヴァースキで先生に直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぬわあああ！」

ヴァースキは尻尾を先生に突き刺す

これで先生のライフは0、ボクの勝ちだ！

……でも、モンスターは奪えなかったなあ。

「はぁ、先生の負けだな

うむ、これは勝ったご褒美のメダルだ

これから頑張れよ」

貰ったメダルは4枚

やっぱり少ないけど、無いよりは良いかな？

「ありがとうございます  
それじゃ！」

何か言われる前に逃げようっと

あの先生、真面目っぽいし。

視点 マナ

あーうー……怖いよお

大庭さんに会いたく無いからあまり戦えてないよお  
ううう……大庭さんとの戦いで沢山メダルは手に入ったけど  
それから殆ど増えて無くて113枚……4枚しか増えてない  
このままだと怒られる。

でも、時々見つけるから怖い  
何で私の居る場所が分かるのおお……！！

つと、さっき見たけど遠くまで来たし  
ここだったら誰も来ないよね？  
……って、それは相手も居ないって事だった！

あ、居た……人が居た！  
何故か上半身が裸だから嫌だけど……  
でも、相手になりそうな人を発見！

「あの、その人」

「うん？  
何だお前は？」

「私と決闘デュエルしてください」

「俺と決闘デュエル？

良いだろう、ドローの力を思い知らせてやろう！」

ドローの力？  
何が言いたいのかな？  
ドローに力も何も……ドローでしょ？

私が構えると半裸の男も構える  
……正面から直視したくないんだけど  
これってセクハラってやつかな？

「あの……服、着てくれませんか？」

「……すまん」

近くに置いてあったブルーの制服を……生徒だったの！？  
うわぁ……何してるんだろ、この人？

「どうも、マリって言います」

いつも通り偽名  
別に良いよね？

「俺は<sup>たいざんたいら</sup>大山平だ！

俺の修行相手になってもらおう！」

修行って……何の修行？

もしかして、それがドロー？

何をしてるんだらうこの人……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「俺の先攻、ドロー！

ドローバを守備表示で召喚する！」

守備力800の通常モンスター？  
それで何をするつもりなんだらう？

それにしても……見た目が悪いなあ  
水色でドロドロしてて、目みたいな赤いのが何個も……

ううう……あ、ごめんねドロバ!

そんなに落ち込まないで!

私が悪かったから、謝るから落ち込まないで!

「カードを5枚伏せ、ターンエンドだ」

いきなり5枚のカードを伏せる!?

何を考えてるのは知らないけど、私だって手加減しないよ!

「私のターン、ドロロー! 魔導戦士ブレイカーを召喚!

このモンスターの召喚に成功した時

魔力カウンターをこのモンスターに1つ乗せる

そして魔力カウンターが1個につき、攻撃力を300ポイントアップさせる

更に魔導戦士ブレイカーの効果

魔力カウンターを1つ取り除き、相手の場の魔法、罠カードを1枚破壊する!

ブレイカー、一番左のカードを破壊して! マナ・ブレイク!」

破壊されたのは奇跡のドロロー

アレってたしか……ドロローする前にカード名を宣言するカード  
それが正解した場合、相手に1000ポイントを与え

外した場合は自分に1000ポイントのダメージを受ける……

かなりの賭けに近いカードなんだけど

それでよく使う気になれたなあ……それがドロローへの情熱?

破壊してごめんね？

貴方のドローへの拘りを壊したみたいでなんだか……うん。

「バトル！」

魔導戦士ブレイカーでドローバに攻撃！」

ブレイカーの攻撃で切り倒されるドローバでもブレイカー、いくら見た目が気持ち悪いからって斬った剣でドローバの泥を振り払わなくても……気持ちは分かるけどどうしても落ちないからマントで拭ってる、でも嫌そう。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

「むう……まさか破壊されてしまうとはなだがこの瞬間、永続罠カード発動！ 破滅へのクイック・ドロー！ お互いのプレイヤーは自分の手札が0枚の時、更に1枚ドローする事ができる

そしてこのカードをもう1枚発動だ！」

うわぁ……これで一気に3枚ドローできるでも、これってデメリットを持つカードじゃ……

「だが、このカードには代償が有るエンドフェイズ時、ライフを700払わなくてはならないその上、場から離れると3000ものダメージを受けるだが……俺のドローを嘗めるなよ！」

凄い気迫……それだけ自信が有るのかな？  
本気でドローだけで勝つつもりだ……  
格好いいなあ……最初の印象が悪すぎたけど。

「俺のターン、ドロー！」

更に破壊へのクイック・ドローの効果で更にドローし、もう2枚目の効果で再びドロー！

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

伏せていた罠カード、無謀な欲張りを発動する

自分のドローフェイズを2回スキップする代わりに、更に2枚ドロー！このカードを、俺は2枚発動させる！

よって、合計4枚ドローだ！」

うわぁ……凄すぎる

手札が0枚から一気に8枚まで

この人、凄く凄いなぁ。

「俺はドローラーを召喚！」

このモンスターを召喚した時、任意の枚数の手札をデッキの下に戻すそしてデッキに戻した枚数×500ポイント攻撃力をアップさせる！

俺は手札を7枚、デッキに戻す！

よってドローラーの攻撃力は3500だ！」

凄い！ まさか手札を全部デッキに戻すなんて！

そんな戦い方をする人が居るんだ……

「ドローラーで魔導戦士ブレイカーに攻撃！」

ドローラーはブレイカーを破壊していった

破壊というか、押し潰しただけなんだけどね

ペラペラのブレイカー……格好悪いよ。

「更に、ドローラーは戦闘で相手モンスターを破壊した時

そのモンスターは墓地へ送られず、デッキの一番下へ戻る！」

デッキの下！？

これじゃあ墓地を利用したカードが使えない！

しかも下だから……もうブレイカーは手札に來ない！？

シャッフルとかしない限りだけど……

「ターンエンドだ

破滅へのクイック・ドローのライフコストとして

俺はライフを700ポイント支払おう

2枚だから1400のダメージだ」

私のライフはさっき1900のダメージを受けたから2100

大山さんは今、1400のダメージを受けたから2600

ライフでも、場でも負けている……あまり問題無いけどね。

それに攻撃力が3500

だったら、まだ勝ち目は有る！

「私のターン、ドロー！」

うん、私の勝ち

ただ攻撃力が高いただけだったら簡単に倒せるんだよ？

魔法使い族だったらね！

「お注射天使リリーを召喚！」

「お注射天使リリー

確かライフを2000払い、攻撃力を3000ポイントアップさせるモンスター



確かにお前のライフは2100、ライフは払える

だがドローラーの攻撃力は3500

攻撃力をアップさせたお注射天使リリーでも、攻撃力は3400！  
それで攻撃した場合、ライフコストと自爆ダメージで俺の勝ちだ！」

うん、それだけだったらね

でもそんなの、分かっても攻撃する！

「お注射天使リリーでドローラーに攻撃！

そしてこの瞬間、罠カード、マジシャンズ・サークルを発動！

魔法使い族モンスターが攻撃した時

お互いのプレイヤーはデッキから攻撃力2000以下の魔法使い族  
モンスターを攻撃表示で特殊召喚する！

私はデッキより、プリーステス・オームを特殊召喚！」

「俺のデッキには魔法使い族モンスターは入っていない！」

うん、どっちでも良いよ

だってこれで私の勝ちだもん。

「速攻魔法、マジシャンズ・クロスを発動！

自分の場に魔法使い族モンスターが2体以上存在している時

1体を選択し、それ以外の魔法使い族モンスターは攻撃できなくなる  
だけど、選択した1体のモンスターの攻撃力を3000にする！」

「なに！？ 攻撃力が3000だと！？

だが、ドローラーの方が攻撃力は上だ！」

「自分で言った事を忘れたの？

お注射天使リリーの攻撃力を3000とし、リリーの効果を発動！

ライフを2000払い、リリーの攻撃力を3000ポイントアップさせる！

よってリリーの攻撃力は……6000！」

リリーの持っている注射器が巨大になる

これってどうやって大きくなってるのかな？

これがリリーの使う魔法？

「攻撃力……6000だとお！」

これで……どうだあ！

「お注射天使リリーでドローラーに攻撃！  
検診のお時間だよ！」

リリーが巨大になった注射器に乗ってドローラーに突撃する  
ドローラーに注射器が刺さり、爆発

……あの注射器の中身、何なんだろう？

「ぐう……だが、俺のライフはまだ100残ってる！  
このターンは凌いだぞ！」

攻撃力3500のドローラー

そして攻撃力6000のリリー

攻撃力差は2500、100ポイント残っちゃった。

私のライフもリリーのコストで100になったし

これはお互いにピンチ……じゃないんだよね！

「うん、私の勝ちだよ！」

プリーステス・オームの効果を発動！

自分の場に存在する閻属性モンスターを1体生け贄に捧げれば相手に800ポイントのダメージを与える！

私はプリーステス・オーム自身を生け贄に捧げ、相手にダメージ！」

プリーステス・オームは自身を闇の塊とした

横に居たりリーが好奇心でつんと触ったけど

痛かったのか凄いい勢いで手を離した

少しだけ涙目になってる……

そして闇の塊は大山さんに直撃した

800ポイントのダメージ、私の勝ち！

「ぐおおおお……まさかドローが負けるとは！」

くそう、まだまだ修行不足だったか！

では俺は再び旅に出る、さらばだ！」

そう言って去って行く大山さん……あ、メダル！

メダルを置いて行って――！

……行っちゃった

もう見えないし、大声は私が危険

はあ……損した、勝ったけど大損した。

ううう……なんで私ばかりこんな目に？

それもこれも……大庭さんが悪いんだあああ！

うわあー！

## 117話【6日目?】（後書き）

レイがまた教師と……

運が悪いですね

しかもまた実力者です

本当にクロノスが実技最高指導者なんでしょうかね？

矢カ城利之って？

TFに登場する教師です

TF1では最初、女子寮で通せんぼをしています

それは鮎川先生にさせればいいのに何故男性教師が？

使用デッキは装備カードを入れた戦士族デッキ

それかロックバーンですので、戦士族デッキにしました。

マナの不幸度が……

スルーしてやってください。

まさかの大山が！

良いんです、ネタが無かったので！

正直、かなりのネタ切れ状態です！

どうしよう……

メダル……

忘れられています。

原作、アニメオリジナルカード

ダーク・アリーナ

お互いのモンスターの攻撃対象は相手が選択する

攻撃可能なモンスターが存在する場合は必ず攻撃を行わなければならない

怒れる類人猿バーサークゴリラ＋ノーブルノワール

そう考えてもらえれば良いと思います

切り込み隊長の効果が無効にできるかは不明……無理ですかね？  
何気に凶悪コンボかも……TFに入っているので試してみては？

ドローラー

このカードが戦闘で攻撃表示モンスターを破壊した場合  
そのモンスターは墓地には行かずデッキの一番下に戻る

このカードの攻撃力、守備力は召喚時に手札からデッキの一番下に  
戻したカードの枚数×500ポイントになる

デッキに戻す効果は強力ですが、攻撃力が……

手札を3枚デッキに戻しても攻撃力1500では割に合いませんね。

奇跡のドロー

自分のドローフェイズの前にカード名を1つ宣言する

ドローしたカードが宣言したカード名と一致した場合

相手に1000ポイントのダメージを与える

違った場合は自分が1000ポイントのダメージを受ける

普通に無理です

天変地異を使わない限り、誰も使いません

それ以外で使う人は……居ますかね？

ツイッター、そういえばスパロボOGsは最初で止まってるんだっけ  
<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
確かラトゥーニ無双をしていた気がする……だって強いんだし。

## 118話【6日目?】（前書き）

「今日の最強カードは……無い!?  
また私の時に無いの!?  
どうして私の時ばかり!?」

それがお前だからだゆま  
お前は最強カードが無い時にはきつと必ず出る。

今回は決闘<sup>デュエル</sup>は無しです  
その代わり、あの2人が出てきます  
誰かって? まあすぐに分かります。

最近眠い……作品内で長々と暇で寝ている瑞貴が羨ましい  
おかしいなあ……毎日6時間近くは寝ているはずなんだけど  
時々3、4時間だけど、寝てるんだけどなあ……

次回はかなり迷い中です  
内容に迷っています……相変わらずでしょうね。

## 118話【6日目】

視点 瑞貴

眠い……ふぁ

もう夕方か……最近、生活が狂ってるな  
やっぱり何もせずにのんびりしてるからか？  
夜も寝てるし……寝過ぎだな。

そろそろ大会の時間が終わるな  
となると暫くすればレイやマナも戻ってくるだろ  
明日香はどっちでもいいや。

っと、噂をすれば影ってか？  
噂はしてないがな  
ドアがノックされたし、出るかな。

「誰だ？」

「よう堅守」

「久しぶりだな」

……夢か、そう思ってドアを閉める  
地獄ならともかく、何故あいつが？

再びノックされたので再び開ける  
同じ光景だった……夢じゃなかったのか？

「何故閉める？」

「驚いただろう」

「いや……何故居る、玲？」

そう、何故居るんだ玲？

お前も招待されたのか？

それなら納得だが、子供が来るとは……

「亮ちゃんに誘われてだ

私も参加してみたらどうだ……とな

お兄ちゃんに会いたかったし、そのついでにな」

「鮫島校長にも参加させる事は既に言っている

俺が推薦する奴が1人居ると言っておいたからな

メダルも余分に1つ貰っていたんだ

玲は俺が推薦し、今回の大会に参加する」

おいおい……まあ、玲本人が納得しているなら良いか  
強引に参加させたわけじゃないようだし。

「ちなみにお前ら、成績はどうなってるんだ？  
何度か戦ってるんだろ？」

「現在、36戦23勝13敗  
これが俺の成績だ」

「私は13回しか勝ってない



最初の内は勝ってたんだけど……中盤から負けが多発しているんだ  
亮ちゃんは強い、私じゃそう簡単に勝てない」

なかなかの成績だな

最初は玲が3つのデッキでなんとかしていたんだろう

だが、中盤辺りから全てのデッキに対策や作戦でも考えたんだろう  
地獄は頭が良いからな。

「しかし、さっきから気になってたんだが  
玲、何故地獄を亮ちゃんと呼んでるんだ？」

「好きだから」

……聞き間違いか？

そうだな、きっと聞き間違いだろう  
もう1回訊くかな。

「玲、もう1回訊かせてくれ  
何故亮ちゃんと呼んでるんだ？」

「好きだから」

ふむ、なるほどなるほど……

OK OK、ターゲットを確保せよ。

「地獄、ちょっと裏に来いや  
玲は少し部屋で待ってろ」

「……………」 「分かった」

玲は部屋に入る  
そして俺は外から鍵を掛ける。

さて……お話しようか？

という訳で地獄と寮の裏に移動する。

「で？」

「俺が訊きたい

何故、玲は俺に好意を持ったんだ？」

「で？」

「分からん

好かれていると分かったのは玲の話し方について話した時か？」

「で？」

「うむ、見た目はともかくだが……自分が分裂したような気分にな  
ってな

そのまま俺を真似たまま、決闘デュエルの相手をしてくれと頼んだんだ」

「で？」

「かなり気分が乗ってな、とても楽しかった……負けたが  
またこれで相手をしてくれと言って、それからだろうか？

玲が俺に好意を向けて来たのは」

「で？」

「そうだな、さすがに受ける訳にはいかないだろう  
何度もそう言ってるんだが……なかなか諦めてくれないんだ」

「で？」

「いや、別に嫌いというわけじゃない  
俺としても玲の好意は色んな意味で嬉しい  
憧れや見た目ではないし、ファンとかでもない  
本当に純粋な好意を向けてくれている」

「で？」

「その通りだ、俺と玲の年齢差も大きな問題  
以前、お前に言われた事も有ってな  
真面目に考え、ちゃんと断ったんだ」

「で？」

「断ると分かっていた上で告白したらしい  
受けてくれるまで何度でも言ってくれている  
俺は告白を受けるとしても、高校卒業後と言ったんだがな……  
それでも、今も俺に好意を向けてくれているんだ」

「で？」

「まあ……それは否定できん  
玲と居ると楽しいのは事実だからな  
俺の素を出す前から素の真似をしてきたからな  
あの時は驚いたと同時に俺の事を分かってくれる  
そんな人物だと思って嬉しかったな……」

「で？」

「当たり前だ！」

俺だってここまで真剣に好意を向けられているんだ  
子供だからと思わずに、真面目に考えている！」

「で？」

「お前の言いたい事も分かるが……  
とりあえず、まだまだ未来の事だ  
断りはするが、好きにさせる」

「……よく俺の言いたい事が分かるな」

「態度で分かる

それに機嫌も悪いのも分かるからな  
声の発音でも分かりやすいぞ」

そんなに分かりやすい態度か？

声だってそんなに変えているつもりは無いんだ

顔に出しているつもりも無いし……どうなってるんだ？

ちなみに最初からに順番にどういう意味で言っているかという……

何故玲がお前に好意を持っているんだ？

いつから分かるか？

悪く言ったんじゃないんだろ？

どんな感じだったんだ？

お前はどうするつもりだ？

玲の事をどう思っているんだ？

玲はまだ子供だが？

どうなった？

満更でもなさそうだな？

まさかそれだけで受けるとは言わないだろうな？

だが玲は子供だ、お前はどうするつもりだ？

……よくこの意味を全て読み取れたな

お前、読心術が使えるのか？

「まあアレだ……兄としてはかなり気分は良くない

というか、悪い、凄まじくとてもなく腹が立つ

もうお前の顔を数百発殴りたいぐらいに苛々している」

「（そこまで俺が嫌いか？

それともそれだけ玲を大事に思っているのか？）」

別世界とはいえ、妹は妹だ

それはもう……はらわたが煮えくり返っている

なんというか……殺意さえ湧いてくるな。

「（悪寒！？ 堅守！

お前、今何を考えた！？）」

が、さすがに気持ちを変えろと言う訳にもいかないし

ここは……あ、胃が痛い……腹が立って胃が痛い

俺のストレスで胃がマッハの速度でレッドゾーンに突入した。

例えるならそう……

アニメDMで王様のラスト戦

三幻神が全て王様の場に現れた器の絶望感？

と、思ったギャラリーのような気分かな？

明らかに何か違うとは思うが

何が言いたいかと言えば、それだけ胃痛が絶望的に辛い  
やばい……立っているのも辛いぞ。

「堅守、大丈夫か？」

「大丈夫じゃない

苛立ちからストレスが溜まり、それで胃が痛い

お前、どうしてくれるんだ

おかげで立つのも辛い」

無理、座る

ぐうううう……腹が痛い！

これはかなり辛いぞ！

「いつつつつ……」

「……鮎川先生、呼ぶか？」

「すまん、それも良いが寝たい

悪いが運んでくれ……動けん」

地獄の肩を借り、なんとか運ばれる

歩く振動だけでもかなり痛いんだが！

本当に最大の救い

それは俺の部屋が……1階の1号室という点だ！

階段の隣の部屋だからかなり近い。

地獄が部屋をノックする

玲が出てきたんだが、俺の格好に驚く

まあ、当然だろうがな……

「どうしたお兄ちゃん  
大丈夫か？」

「大丈夫じゃないから……こんな格好なんだろうが  
とりあえず寝たい、だから少し退け」

「あ、ああ……」

地獄に運ばれ、ベッドで寝る

あー……頭では冷静だけど、かなり痛い  
こんな時でも冷静な自分を殴りたい  
偶には思いつきり痛いと言えよ自分……

「調子はどうだ？」

「治るか馬鹿、暫く俺は動けん  
とりあえず玲」

「何だ？」

「どう言うべきか……」

「こいつとの件  
お前の好きにしろ」

「本当か!？」

「ああ」

玲の人生だしな

こいつは嫌いだが、悪い奴じゃないし  
感情的には凄まじく嫌だが……

「堅守、良いのか？」

「良くない

主に俺の胃の為にも嫌だと言いたい  
が、玲の人生は玲の人生だ

俺は干渉しても、否定したり止めたりはせん」

クッ……言葉の上では冷静に言っではいるが

それでも胃の痛みが悪化していつている！

がぐぐ……玲、できれば今からでも嘘と言ってくれ！

「（せっかく堅守の為にこいつの特に大嫌いな物を持ってきたんだ  
が……

ここまでダメージを受けているんだ、止めておくか

今の状態の堅守に見せたら……本当に胃に穴が空くんじゃないか？  
態々最高級の物を買ってきたのに……残念だ）」

ぬう!？ 今、更なる痛みが襲ってきた!？

俺の勘が……俺の勘が逃げろと言っている！

気がするだけだが、なんとなく嫌な事が有る気がする！

「堅守、商談はどうする？



その体では無理だろう？」

「確かに難しいが……無理ではない  
話すだけなら可能だ、カードは渡せないがな」

冷静な判断が下せる自信も無いが  
もしかしたら論外と思える値段を吹っ掛けそうだが  
当然、そんな事はしないがな……冗談でなら言うが  
それを馬鹿正直に受け、本当に払った馬鹿も居るが。

「そう……か、分かった  
では話そうか  
裏サイバー流デッキ、その内容を言っていくぞ」

地獄がデッキ内容を熟々と言っていく  
ふむ……スタンダードなサイバー・ダークだな  
なんの捻りも無い……仕方無いと言えば仕方無いがな。

「そのデッキに入れるのに丁度良いカードが有るぞ」

「ほう？  
お前なら必ず持っていると思っていた  
どんなカードだ？」

興奮した様子で地獄が訊いてくる  
気持ちは分かるがそんなに興奮するな、鬱陶しいから。

そう思っていた時、部屋がノックされた  
さて、どっちが帰ってきたんだ？

「誰だ？」

「知らん

お前が出てこい」

「なら私が出よう

お兄ちゃん達は待ってな」

玲がドアに向かう

さて、誰だ？

マナだったら精霊の存在がバレるんだが……

まあこいつだったら問題無いだろ、外の奴だし。

「あ、マナさん」

「あれ？ 玲ちゃん？

どうしてここに……って、その男の人は誰？

どこかで見た事が有るような……」

「堅守、彼女は？」

「マナだ、居候だよ

マナ、こいつは丸藤亮

別名カイザー亮だ」

以前見た事が有る事を思いだそうとするマナだが思い出せないらしい  
俺が豆腐を地獄にした時の事か？

それとも何度か観ているプロ戦の事か？

「うーん……まあいいや

初めまして、マナです！」

「俺は丸藤亮、好きに呼んでくれ」

「ちなみに俺からは地獄

通り名はカイザー亮だからそっちでも良いぞ」

「なら……亮さんで

亮さんはどうしてここに？

玲ちゃんも」

まあ当然の質問だろうな

知らない奴が知り合いのように居るんだから

……だが、知らない事は無いと思うんだが？

「私は亮ちゃんに付いてきたの

お兄ちゃんにも会いたかったし、おまけかなあ？」

「俺は堅守に用が有ってな

そういう君はどうしてこの部屋へ？

堅守は居候と言っていたが……この部屋に住んでいるのか？」

「はい、住んです

ところでさっきから気になってたんですけど

どうして寝てるんですか？

お客さんが来てるんだから起きるべきだと思いますけど」

「腹が痛いんだよ

見た目は平気そうだろうがな

実際はかなり痛い……」

目立たないだろうが、脂汗も出てる  
見た目が平気そうに見えるだけ、全く痛そうに見えない  
俺の状態を当てられる奴は今まで見た事が無い……  
誰もが俺が自分から言わない限り分からない。

どうしてこんな謎の特技を持っているんだ？  
表情なんて自分で意図的に変えない限り殆ど動かないし  
素で持っているポーカーフュエイスの技術……謎だ。

「だ、大丈夫ですか！？  
すぐに私が……って、治癒術なんて持ってない！」

「要らん要らん  
これは物理的じゃなくて精神的な痛みだ  
だから何をしても変わらんさ」

本当、これはどうするべきだ？  
この痛みは耐えるのは辛いんだが……

そこへ誰かが鍵を開けて……レイだな  
鍵を持っているのは俺とレイだけだし  
さて、ややこしいから小娘で統一するか。

「ただいまー  
って、亮さん！？ それに玲ちゃんまで！  
どうしてこの部屋に居るの！？」

「やっほーレイちゃん  
久しぶりー、ちょっと来たよ」

「レイ……久しぶりだな

俺がここに居るのは私用でも有るし  
俺達も大会に参加する為でも有る」

「亮さんが大会に出るの！」

うわぁ……厄介で強力な人がライバルになるんだ  
でも、例え相手が亮さんでもボクが絶対に勝つよ！」

お前……いきなり地獄に喧嘩を売るのはか？

地獄は地獄でそれは楽しみだという顔をしてるし  
また波乱にならないと良いんだが……無理か。

「それで瑞貴さん

どうしてお客さんが居るのに寝てるの？  
そういう態度は失礼だって……」

「腹が痛いんだよ

そこに居る奴のせいだな」

「亮さんの？

って、大丈夫！？」

「大丈夫じゃないから寝てるんだろぅが

余裕が有れば起きて座ってる  
見た目は平気そうだが、実際はかなり辛い」

よくもまあ……ここまで分からないものだ  
俺の顔、どうなってるんだ？

話しが途切れた瞬間、またノック  
となると明日香しか居ないな。

「小娘」

「小娘に戻ってる!？」

まあ玲ちゃんが居るから仕方無いんだけど……  
分かった、出てくるね」

小娘が出て行くと、入って来たのは当然明日香  
なんだかつまらなそうな態度で入って来たな。

「あら、亮に玲ちゃんじゃない  
どうしてここに？」

亮は瑞貴との商談だと思うけど……」

「その通りだ

ちなみに玲……堅守の妹の玲は俺が連れてきた  
この大会に参加させる為にな」

ややこしいな……

レイ玲が2人同時に居るのがこんなに面倒だとは  
どうにかして呼び分けが必要だろう。

「ところで瑞貴、大丈夫？  
なんだか辛そうだけど」

「何？」

お前、分かるのか？」

「見れば分かるじゃない  
お腹でも痛いのか？」

何こいつ怖い

もしかして本当に読心術を使えるのか？  
地獄に続きこいつまで……羨ましい。

「……まあ、確かに腹は痛い  
しかしよく分かったな

今まで誰にも見ただけで気付かれた事は無かったんだが」

「だから見れば分かるわよ

逆にどうして分からないのか分からないわ

もしかしてレイもマナも気付かなかったの？

どう見ても苦しそうじゃない……大丈夫？」

小娘とマナの顔が少しだけ歪んだ

悔しそうというか……ショックという感じか？

もしかして明日香に負けたとか、そんな気分か？

「あまり大丈夫じゃない

ちなみに精神的の痛みだから薬とかはあまり意味が無いぞ」

「ならお粥でも作ろうか？

前はちよつと失敗したけど、さすがにお粥は失敗しないわよ？」

お粥ねえ……食欲が有るわけじゃないんだが

別に腹は……痛いが減ってるな

食いたいといえば食いたい。

「なら頼む

小娘はカミューラに晩飯を2人分追加して作れと言っておけ  
地獄と玲もここで食わせる

まあ、この後の事を決めているんだったら別の場所で食っても良い  
が」

「いや、ここで食おう

まだ話したい事は多いしな

堅守玲はどうする？」

どうやらこいつは区別としてフルネームで呼ぶことにしたらしい  
つまり小娘は早乙女レイと呼ぶのか？

「そうだな……私もここで食う

この後の事なんて考えていなかったしな」

なら決まりだな

目配せをすると明日香と小娘は部屋から出て行く  
その間に少しでも話しておくか。

明日香は料理

小娘はすぐに終わると思うが……終わるか？

カミューラの寝起きの悪さは筋金入りだからな……

「お前らはどこで寝るつもりだ？

一応、外から来た奴らには部屋を用意されている  
お前らもそっちに行くか？

それともこの寮になるが、こっちに泊まるか？」

「良いのか？」



「泊まるのはこの部屋じゃないけどな

玲はこの部屋でも構わん、小娘と一緒に寝させるからベッドは空く  
お前は2つ隣の電池の部屋に泊まって貰う

電池はちよつと別の場所で寝泊まりしているから空いているんだ」

「ふむ……ならそうさせてもらおう

だがこの部屋のベッドは2段ベッドだろう？

そこのマナという子はどうするんだ？

確か居候なのだろう？ 何故かは知らんが」

そういえば精霊とは言ってなかったな  
話しておいた方が良いか？

まあどっちでも良いだろうが……

「マナには色々と事情が有る

よってベッドは必要無い

気にしなくても構わん

それで玲はどうする？」

「私もそれで良い

レイちゃんとも話したかったしな

亮ちゃんと一緒に……」

「いくらなんでもそれは許さん」

「分かってるっての

いくら私でもそれぐらいは分かる

お兄ちゃんが許可を出すなんて思って無いよ」

だったら言うな

おかげで胃痛が悪化しただろうが  
あー……これはかなり辛いぞ。

「……堅守、大丈夫か？」

「うっさい、お前はさっさと死ね」

困った顔になる地獄

分かってる、俺だってどうしようも無い事ぐらいはな  
だから困ってるんだろうが……

玲、どうしてこいつなんだ？

おかげで俺のストレスがマッハで……さっきも言ったか  
頼むから、あまりさっき言ったような事は言うな。

「ところで堅守、商談はどうする？」

「今日はもう止めておこう

明日にでも他の奴らが大会に向かい、人が居なくなってからだ  
こういうのはあまり人が居ない方が良いだろ？

手の内を読まれる事になるしな」

実際、こいつの相手になる奴がこの部屋には4人

玲、マナ、小娘、明日香

大会に出るのだったら敵になる可能性が高い。

「それもそうか

まあ、玲には既に手の内の殆どを知られているがな」

「でも新しいカードをお兄ちゃんから買うんだろ？  
だったらもう手の内は読めない  
全く違う敵と思って相手になるぞ」

「ああ、戦う時は頼むぞ  
本気で向かってこい」

お前ら楽しそうだな  
勝ち越しているお前の方が立場が上なのは当然だが……  
玲を相手に上から視線は止める  
他の奴なら許すから、だから玲だけには止める。

「ただいまー  
カミューラさん、起きないから大変だったよ」

小娘が帰ってきたな  
ちなみに部屋はある程度整理させたからな  
小娘が怖がるような物は殆ど無かったはずだ。

「お邪魔するぞ  
腹痛と聞いてきたが……  
瑞貴よ、大丈夫か？」

美寿知か……お前も来たのか？  
さすがに俺も含めて部屋に6人は多いぞ  
明日香が帰ってきたら7人になるし。

「大丈夫じゃないが気にするな  
どうにかなるような腹痛じゃないんだ」

「そんな事を言われても……薬を持ってくるか？」

「要らん

それよりもこの2人に自己紹介でもしたらどうだ？  
お前らも自己紹介をしておけ、初対面だろうが」

ようやく玲達に気付く美寿知  
そんなお前ら居たの？  
って、そんな顔をしてやるな。

「すまぬな、気付かなんだ  
私の名前は斎王美寿知  
訳有って、この寮に住んでおる」

「俺は丸藤亮、プロの決闘者だ  
デュエリスト  
カイザー亮と呼ばれている  
この学園の卒業生でもあり、堅守とも知り合いだ」

「私の名前は堅守玲  
我が兄、堅守瑞貴の妹だ  
亮ちゃんに誘われてな、この学園で行われている大会に参加する為  
に来た  
本来の目的は兄であるお兄ちゃんに会う為だがな」

早速美寿知のコピーか  
さすが玲、初対面でもなかなかだ  
まだ少し言葉が硬いが……初対面だし、仕方無いか。

「私に似た話し方をするのだな  
それにしても、瑞貴に妹が居るとは知らなかった」

「お兄ちゃんは話してなかったのか？」

美寿知さんはこの学園の生徒ではなさそうだな  
制服ではなく、そんな巫女服を着ているのだから」

そうなんだよな……こいつ、巫女服以外はあまり着たがらないんだ  
何度か違う服を勧めているんだが、嫌がってな  
何がそんなに嫌なんだか……

「私は生徒ではない

ある目的の為にこの学園、瑞貴の下に居る  
その目的までは話せないが……すまない」

「気にするな、態々聞き出したりはしない」

しかし美寿知よ

俺の妹だからなのか、別にそんなに丁寧に接しなくても……  
玲はまだ子供なんだぞ？

ドアを叩く音が聞こえた  
いや、この勢いだと蹴った音か？

「小娘、明日香だから出てこい」

「はい」

お粥だしな、そんなに時間は掛からんか。

「瑞貴、具合はどう？」

なんだか悪化してるように見えるけど」

「悪化してるよ  
本当によく分かるな……」

他の奴らも同意してる

悪化したことに誰も気付いていなかったみたいだし  
数人が驚いた顔をしている。

「何度も言うけど、見れば分かるわよ  
ほら、食べるんだったら体を起こしなさい  
無理そうだったら亮にでも起こしてもらって」

「体を起こすぐらいできる  
それに自分で食えるから大丈夫だ」

腹が痛いのに変わりは無い  
だがさすがにこの状況では……

「はいはい  
熱いから気をつけてね」

そう言われて渡されるが……本当に熱そうだな  
俺はどちらかと言えば猫舌なんだが……  
まあ、冷ませば大丈夫か。

「亮達は大会に出るんでしょ？  
やっとなともに戦える人が出てきたわ  
もうここの相手が弱くてつまらなかったのよ」

そりゃあの六武衆を使っていればな

あれだけソリティアができるんだし  
展開力を上げてプレイしていたら当然だな。

「明日香さん、先生とか強いよ？」

凄くとまでは言わないけど、結構

それに強い人だって時々居るからそんな事は……」

「明日香、相手が居ないのか？」

「そうなのよ

殆ど1ターンや2ターンで終わるし

もう飽きて眠くなってくるぐらいよ」

どうも……随分天狗になってるみたいだな

もしかして戦いも淡々と作業をしているだけか？

あの時の調子でずっとしていると……そりゃ当然か。

ここは俺が叩き折るべきか？

しかし明日香は俺に勝った事が無い……似非とタッグを組んだ時は  
勝っているが

となれば俺に負けても仕方無いとか思いそうだな。

ふむ、俺ではどうしようもできん

仕方無い、誰かが明日香を倒す事を待つか

この部屋にはその明日香を倒せそうな奴が居るし

そいつに期待するのも有りだな、言い出したりはしないが。

「明日香、そんな話しはもういい

玲や地獄のやる気が無くなったらどうする」

「あ、ごめん」

微妙な雰囲気になる  
さて、どうするかな？  
考えるついでに少しお粥を食う。

「ぐ……ちょ、ま……」

「ど、どうしたの！？  
瑞貴さん、大丈夫！？」

これは……お前な！

「明日香、味見を忘れただろ」

「……あ」

案の定、やっぱりか！  
お前、1回殴らせろ！

「しょっぱすぎる！  
塩を入れすぎだ、どれだけ入れた！」

「その……ごめん」

このタイミングでミスしやがって！  
おかげで更に胃が……別の意味でも胃が痛い！

「ぐ……悪いがお前ら出てけ  
寝る時間になるまで入って来るな！



俺は寝る！　とにかく出て行け！」

「う、ごめんね！」

俺が怒っていると分かって明日香が真っ先に逃げ出す

お前、本当に自分に正直になったな

昔だったらもっと心配していたと思うんだが……別にして欲しいとは言わないが。

「瑞貴さん、大丈夫？」

「良いから、俺は良いから出てけ  
腹痛も有って八つ当たりをしたくなる」

これでもかなり苛ついているんだ  
明日香がそれを更に悪化させやがって……  
あんまり居ると、本当に八つ当たりするぞ！

「それはちよつと……分かった  
何か有ったら何か連絡してね  
ほら美寿知さん、玲ちゃんに亮さんも出て行こう  
マナさんはどうすれば良い？」

マナ？

あー……どうしようか？

「マナ、居るなら消えろ  
出て行くなら小娘と一緒に居ろ」

「えっと……なら居ます」

「だそうだ」

「うん、分かった」

小娘が地獄と美寿知を押し出す  
玲はこちらに来て……

「大丈夫？」

「じゃないと……」

「……頑張ってね？」

お前が原因なんだけどな  
だから頑張ってと言われるとかなり頭に来るぞ？  
お前には自覚は無いだろうがな……教えないが。

教えてあいつらの関係に何か有るといけないだろう  
俺はあいつらの関係は気に入らないが、積極的に壊したりはしない  
応援はしない……が、邪魔もしない  
それが兄つてもものだと思うからな。

玲も出て行き

部屋には俺とマナだけになった。

「マナ、俺は寝るぞ

お前も適当にしていろ」

「そうします」

そう言ってマナは消えた  
さて……寝るか。

あー腹痛い

頼むからこの痛みをどうかしてくれ！

## 118話【6日目?】（後書き）

成績が凄い事に……

どれぐらいの頻度で戦ったんでしょうね？

そして序盤は玲が勝ち続けていたようです

どんな内容だったんでしょうか？

玲が亮に……だと!？

どうしようか悩みましたが、こうしました

まあ……これは亮に玲と戦う事を勧めた時から考えていました  
こんな結果になりましたが……

2人の意思疎通が凄い事に……

この2人の謎です

もしかして仲が良いんですかね？

瑞貴のメンタルが弱過ぎる!？

それだけ玲が大事なんでしょう

身内に甘い瑞貴なのでダメージは凄まじい事に……

瑞貴の大嫌いな物って？

秘密です

本当なら使う気満々だったんですが

瑞貴がこんな状態になったのでできませんでした  
次はいつ登場する事やら……

というか、何で亮が瑞貴の嫌いな物を知ってるの？  
玲に聞きました

共通話題になる相手なので仕方無いでしょう。

マナって亮の事を……

素で忘れています。

瑞貴の謎の技術……ポーカーフェイス

完全では無いですけどね

意識してするとボロが出ます。

何故明日香は分かったの？

さあ？

ツイッター、ゲームをする時間が欲しいなあ

<https://twitter.com/#!/ainkuria>

まあ、こっちの方を優先したいんだけど。

## 119話【7日目?】（前書き）

「今日の最強カードは正統なる血統  
永続罫で、墓地の通常モンスターを攻撃表示で特殊召喚するわ  
特殊召喚したモンスターが場から離れるとこのカードが  
このカードが場から離れると特殊召喚したモンスターが破壊されるわ  
通常モンスターを多用しているなら使うかもしれないわね  
私は通常モンスターは使っていないけどね」

推理ゲートで通常モンスターは使わないわな  
雪乃でしたが……誰でも違いはあまり無いですね。

とうとう、終わりました

大遅刻也大遅刻、投稿時間が1時です  
もう嫌だ……遅れた理由は分かっています  
全く使わないカードを使うところなるという事でしようね  
ここまでの難易度を誇ると思いますでした……

次回は遅刻したくないですね……はあ  
あー……遅刻癖が付かないように気をつけないと。

## 119話【7日目】

視点 ゆま

んー……誰か居ないかなあ  
ちよつと戦い過ぎたかな？

昨日の紫さんと戦つてから誰とも戦つてないし  
だからメダルが99枚のまま……

誰デも良いから1人に勝テば100枚になるのに。

あ、発見！

制服を着テないから外の人かな？

「すみませーん！  
デュエル

私と決闘しテくださーい！」

「エ？ 私と？

良いよ、新米とはいエプロの実力を見セテあげる！」

あ、新米プロさんなんだ  
強いのかな？

「私はデュエル・アカデミア1年生の宮田ゆまデす！」

「……エ？

宮田ゆま？」

私の名前が何か？

別にそんなに珍しい名前でも無いと思うけど……

「私の名前も宮田ゆまだよ

同姓同名デ顔も似てるし、凄い！」

「エえ！？

同じ名前デ、同じって……エエえええ！！！」

そんな事って有るものなの！？

ど、どうなってるの！？

「世界って狭いんだネ

こんな所にこんな人と会うだなんて……」

「うーん……そうデすネえ

世の中狭いデすネ、よく出会エたと思います」

「あ、普通に話しテ良いよ

私は気にしないし、なんだか他人の気がしないしネ」

「そう？　じゃあそうするネ

私も同じ事考エテたんだ、他人の気がしないネ！」

本当に、世界って狭いなあ

もしかしてデツキも同じだったり似テたりするのかな？

「じゃ、始メる？」

「お願いします！」



お互いに構エ、準備する  
デッキをセットしテ……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は私が貰うよ、ドロー！」

私は……E・HERO アナザー・ネオスを召喚！」

エえ！？ E・HEROデッキ！？

しかもネオスッテ確か……十代先輩が使うエースモンスター！  
どうしテこの人が持つテるの！？

「あ、あの！」

そのカード、どこデ手に入れたの！」

「エ？ アナザー・ネオスの事？」

ネットデ10枚セットデ売ッテたんだ

といッテも、このカードだケじゃないんだケド

E・HERO ネオスを中心としたデッキデネ

すっつっつっつっつごく高かったんだよ、このカード達

たった10枚デ……はは、30年ローンを組ンデ買ッたんだ」

30年！？

どレだケ高かったの！？

「デも、このデッキッテ強くテネ

プロに入りたデだケド、コレデも3連勝中なんだよ

もちろん、プロの世界デだケドネ

この学園にネオスの使い手が居るッテ噂を聞いたから大会に参加し

ただケド……  
是非会って戦ってみたいなあ」

十代先輩……だよ？

ネオスの使い手って他に思いつかないし  
会わせた方が良くないかな？

「続けるネ？

カードを1枚伏せて、ターンエンドだよ」

何が何だか……後で誰かに相談した方が良くないかな？

私には解決できそうに無いし

それよりも今は勝つ事を考えよう！

多分、あの人は強い！

「私のターン、ドロー！

手札のLV7、ゼータ・レティキュラントを墓地へ送り

ダーク・グレファアを特殊召喚します！

このモンスターはネ手札のLV5以上の闇属性モンスターを捨てる  
事で特殊召喚が可能！

更に手札の闇属性モンスター、ゼータ・レティキュラントを墓地へ  
送り

デッキから闇属性モンスターであるゼータ・レティキュラントを墓  
地へ送ります！」

これデ全部のゼータ・レティキュラントが墓地へ行った

最初からゼータ・レティキュラントが手札に2枚も有るなんて

手札に来ると困るケド、それだケゼータ・レティキュラントに好か  
レてるのかなあ？

「あ、ゼータ・レティキュラントを使ったデッキなんだ  
私も元々はそれだったんだ  
ここまデ似テると運命を感じるネ」

という事はもしかして、手の内を読まレる！？  
どうしよう！ これ、もしかしてピンチ！？  
デも、私にはこれしかできない！

「更に魔法カード、ブラック・コアを発動！  
手札を1枚捨テ、場に存在するモンスターを1体除外する！  
私が除外するのはアナザー・ネオス！」

「そうはさせない！  
速攻魔法、デュアルスパーク！  
自分の場に存在するLV4のデュアルモンスターを生ケ贄に捧ゲる  
そして、場に存在するカードを1枚破壊、更にカードを1枚ドロ  
する！

私が破壊するのは当然、ダーク・グレフアー！」

躲さレた！？  
クツ……除外できなかった上に破壊まデさレるなんテ！  
これじゃあどうしようも……

ところデ、デュアルモンスターッテ何？  
聞いた事が無いんだケど……

「デュアルスパークの効果デドロ」

しかも手札が増エるなんテ！  
こんな事が……私の手札は既に1枚だけだし

いきなり大ピンチ!?

「カードを1枚伏せ、ターンエンド!」

「私のターン、ドロー!」

E・HERO プリズマーを召喚しプリズマーの効果を発動  
融合モンスターを相手に公開し、そのモンスターに記さレテいる融合素材をデッキから墓地へ送る

私は融合モンスター、E・HERO ネオス・ナイトを相手に公開するよ

そして、デッキから融合素材であるE・HERO ネオスを墓地へこれによりこのターンの間だけ、プリズマーの名前をネオスとして扱う」

エ? デモネオスってキーカードじゃないの?  
それを平気デ墓地に送るなんテ……どうしテ?

「更に魔法カード、O・オーバーソウルを発動!  
墓地に存在するE・HEROと名の付く通常モンスターを特殊召喚する

私は墓地より、ネオスを特殊召喚!」

E・HERO専用の蘇生カード!?

これは……拙い!

「貴方の場にモンスターは居ない  
これを通レば私の勝ち!  
ダイレクトアタック  
ネオス、プリズマーデ直接攻撃!」

「そうはさせない!

罨カード、次元幽閉を発動！

相手の攻撃宣言時に発動、攻撃してきたモンスターを除外する！  
私が除外するのは、当然ネオス！」

コレデネオスを中心としたデッキは崩壊！

ネオスさえ居なかったら全然怖くないはず！

アナザー・ネオスが気になるけど、ネオスじゃないし！

「更に、墓地のゼータ・レティキュラントの効果が発動！

このカードが墓地に存在している間、相手の場のカードが除外された時

自分の場に攻撃力、守備力が500のイーバトーンを特殊召喚する！

私の墓地にゼータ・レティキュラントは3体、よっティーバトーンは3体現れる！

イーバトーンを守備表示で3体特殊召喚！」

「ネオスが除外されるとは……

仕方無い、プリズマードイーバトーンに攻撃！」

プリズマードのパンチデイーバトーンは破壊される

でも、まだ私の場には2体のイーバトーンが居る！

これだったらまだ大丈夫のはず。

「私はコレデターンエンド」

私の手札は無い

このドローデ何がドローできるか……

「私のターン、ドロー！」

クッ、ターンエンド！」

まだ使えないカード

どうにかしてこの状況を脱出しないと！

「私のターン、ドロー

魔法カード、黙する死者を発動！

墓地の通常モンスターを守備表示で特殊召喚する

ただし、この効果で蘇生させたモンスターは攻撃できない」

通常モンスター？

でも墓地にはアナザー・ネオスしか存在しない  
だったらそんなカードは使えないはずじゃ……

「私は墓地のアナザー・ネオスを特殊召喚する！」

「なあ！ どうしてアナザー・ネオスが！？」

そのモンスターは効果モンスターのオレンジのカードだったはず！  
なのにどうして通常モンスター専用のカードを！？」

「そういえばデュアルモンスターを知らないのかな？」

アナザー・ネオスはデュアルモンスターっていうモンスターなんだ  
けど

このモンスターは場か墓地に存在している限り、通常モンスターと  
して扱うんだ」

そんなモンスターが存在していたなんて……

もしかしてコレ、勉強不足？

誰かに訊いたら……堅守先輩に怒られるかな？

「そして召喚権を使用し、再度召喚する事で効果モンスターとなつて効果を得る

私はアナザー・ネオスを再度召喚し、アナザー・ネオスは新たな効果を得る！

再度召喚されたアナザー・ネオスの効果、このカードはネオスとして扱う！」

ネオス！？

そんな効果を持つてるなんて……

でも、黙する死者の効果で攻撃できないはず！

……ん？

もしかして効果モンスターになったから攻撃できる？

だったら次のターンに攻撃されるかも！？

「ちなみに、効果モンスターになつても黙する死者の制約は無効にならない

だから次のターンになつても攻撃表示になつても攻撃はできない」

よかった……だったらまだ安心かも

だって攻撃されないんだし。

「だけど、攻撃できないのはアナザー・ネオスだけ

魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！

場や墓地から融合に必要なモンスターを除外し、融合召喚を行う！

ただし、この融合で融合召喚できるのはE・HEROだけという条件が有る

私は場のネオスとなつているアナザー・ネオスと戦士族、プリズマ1を融合！

現れる、E・HERO ネオス・ナイト！」

ネオスを融合素材にするモンスター！？  
こんなモンスター、十代先輩は使っテない！  
この人、十代先輩とは違う融合を使うの！？

確か、十代先輩が使うのはコンタクト融合  
だけどゆまさんが使うのは普通の融合

十代先輩はネオスを普通の融合素材には使った事が無かったはず  
やっぱり別の融合……どうなっテるんだろう？

……それにしテも、ゆまさんっテ呼びにくいなあ  
同じ名前だから仕方無いんだケド。

それはともかく  
現レたのは鎧を着たネオス  
手には上下に刀身が伸びテいる変わった剣  
逆の手には盾を持つテいる。

そして何故かオレンジの髪の毛が……  
ネオスっテ髪が有ったんだ  
普段はどうやっテ隠しテるのかな？

「ネオス・ナイトはネオスと戦士族のモンスターが融合した姿！  
更にネオス・ナイトの効果発動！  
融合に使用したネオス以外の戦士族モンスターの攻撃力の半分だけ  
攻撃力を上げる！

私が融合素材に使用したのはプリズマー、攻撃力1700  
よっテネオス・ナイトの攻撃力は850アップする！  
ネオス・ナイトの元々の攻撃力は2500、よっテ攻撃力は335  
0！」



攻撃力3350って高い！

私のデッキでこれ以上の攻撃力にできるモンスターなんて……  
一応居るけど、難しい！

「ネオス・ナイトにはまだ効果が残ってる！  
このモンスターは……2回の攻撃ができる！

ネオス・ナイトデイベートークンに攻撃！

ラス・オブ・ネオス・スラッシュ！ 第一打！」

右に居たデイベートークンが上段の刃で横に斬られる  
この攻撃力で2回攻撃はかなり厳しい！

「もう1度……ネオス・ナイトデイベートークンに攻撃！  
ラス・オブ・ネオス・スラッシュ！ 第二打！」

ネオス・ナイトが1体目のデイベートークンを斬った体勢のまま  
腕を逆方向に振り、下段の刃で逆に居たデイベートークンを斬る  
格好いいけど、相手をしてる私はかなり怖い！

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだよ」

これはちよつと……というかかなり危険  
どうやって勝とう？

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

カードを1枚伏せ、魔法カード、天よりの宝札を発動！

自分の手札と場のカードを全て除外し、手札が2枚になるようにドローする！

私の手札は1枚、場にも1枚だから効果の発動条件が揃っているこの2枚を除外し、私の手札は0枚なのデ2枚ドロ―！」

ドロ―したカードは……これでもマシか！

この状況だと……やっぱり難しいかも。

「終末の騎士を守備表示デ召喚

終末の騎士の効果デ召喚、反転召喚、特殊召喚した時

デッキより闇属性モンスターを墓地へ送る

私はデッキからネクロフェイスを墓地へ送る

これデターンエンド！」

なんとかこれデ耐エるしか！

デも、どうやっテ耐エレばいいの！？

「私のターン、ドロ―！」

私も魔法カード、強欲な壺を発動し、デッキからカードを2枚ドロ―！

速攻魔法、異次元からの埋葬を発動！

除外さレテいるモンスターを3枚まデ墓地に戻す

私は除外さレテいたネオス、アナザー・ネオス、プリズマーを墓地へ戻す！」

墓地へ戻った？

という事はまたO・オーバーソウルを使われるかもしれない他にも通常モンスター蘇生させるカードは多いし、厄介かも。

「永続罨、蘇りし魂を発動！

墓地の通常モンスターを守備表示デ特殊召喚する！

私はこの効果により、ネオスを特殊召喚！」

守備表示とはいエ、ネオスが出テきた  
守備表示だからあまり問題は無いけど……

「魔法カード、ラス・オブ・ネオスを発動！  
場に存在するネオスをデッキに戻し、場の全テのカードを破壊する  
！」

「そんな！？  
連続攻撃ができるネオス・ナイトに攻撃力2500のネオスを捨テ  
テまデ！？」

「ネオス・ナイトは相手に戦闘ダメージを与エテも、与エられるダ  
メージは0になる  
だから攻撃しテも意味が無いの」

そんなデメリツトが……  
ダイレクトアタック  
だケど、ネオスデ直接攻撃ができたはず！  
なのにどうしテネオスをデッキに戻すような事を！？

「ラス・オブ・ネオスの効果により  
場のカードを全テ破壊する！」

ネオスが飛び上がり  
かケ声と共に場の中心に飛び込む  
その瞬間、爆発……全テのモンスターは破壊された。

「場のネオスを融合素材としたモンスターが破壊された  
この瞬間、速攻魔法発動！ リバース・オブ・ネオス！  
自分の場に存在しテいたネオスを融合素材とする融合モンスターが

破壊された時

「デッキからネオスを攻撃表示デ特殊召喚！」

そんな！？  
こんな方法で出てくるだなんて！

墓地からデッキからと、どうしテたった1枚デ色んな所から出テくるの！？

除外しテも墓地に戻つテ出てくるし、嫌がらせなの！？

「リバー・オブ・ネオスの効果はまだ続く

この効果で特殊召喚されたネオスの攻撃力は1000ポイントアップする！」

「工工工 えええ えええ！」

攻撃力を10000ポイントもアップさせての蘇生！？

「そんなの、条件付きデモ反則！絶対反則！」

「デも、エンドフェイズには破壊さるから……」

「それが残念なんだよネえ」

いや、それでも十分に反則！

場の全体除去、その上デ攻撃力3500のモンスターが残る  
 それが反則じゃなくテ何が反則なの!?

「ネオスデ直接攻撃！」

ラス・オブ・ネオス！」

ちよ！  
こっ  
ちに来ないデ！

だ、だから……っテ、何デチョップなの!?

「きやああ！」

うつく……さすがに3500のダメージは辛い  
残りライフは500

この状況で勝つのは大変かな。

「カードを1枚伏せ、ターンエンド  
そしてエンドフェイズ時、ネオスは破壊される」

これ、どう考エテも厳しい  
相手のライフはまだ満タン  
なのにこっちは残り500だなんて。

ライフ差は圧倒的

この状況で逆転は不可能じゃないけど難しい  
なにより、あの伏せカード……かなり怖い！

「私のターン、ドロー！」

この瞬間、除外さレテいた異次元からの宝札の効果が発動する！  
スタンバイフェイズ時、除外さレテいるこのカードを手札に戻す  
この効果で異次元からの宝札が手札に戻った時  
お互いのプレイヤーはデッキからカードを2枚ドローする！」

このカード、堅守先輩はくれなかった

渡す理由は実験、私が使いこなせるかの……

もし使いこなせたら条件次第ではプレゼントしてくれるって  
除外ギミックを積んでいる私だけしか使えないから私に。

実験台デも良い

私はこのカードを、絶対に使いこなしてみせる！  
手札消費が激しいという理由デも、ドロー系カードは欲しかったし！

そしてこの手札だと……よし  
まだまだどうにかなりそう！

「永続魔法、魂吸収を発動！

除外されるカード1枚につき、ライフを500回復する！

そして魔法カード、打ち出の小槌を発動！

このカードと手札に任意の枚数をデッキに戻し、シャッフル！

そしてデッキに戻した枚数だけドロウする！

私は打ち出の小槌を含め、3枚のカードをデッキに戻し、シャッフル  
そして3枚ドロウ！」

よし、来た！

これデ更にドロウできる！

「更に魔法カード、終わりの始まりを発動！

自分の墓地に闇属性モンスターが7体以上存在する時

5体を除外し、デッキからカードを3枚ドロウする！

私は墓地のネクロフェイス、可変機獣 ガンナードラゴン

そして3枚のゼータ・レティキュラントを除外し、3枚ドロウ！

この瞬間、魂吸収の効果が発動！

5枚のカードが除外されたのドライブを2500回復する！

更にネクロフェイスが除外された事デ効果を発動！

お互いのデッキの上から5枚をゲームから除外する！」

これデまた異次元からの宝札が除外されたら……  
どうなるかな？

「（ヒーロー見参、ヒーロー・ブラスト、古のルール  
召喚師のスキル、異次元からの帰還が除外された……

モンスターが除外されなくテ良かった)」

除外されたカード

因果切断、オオアリクイアリ、異次元隔離マシン、異次元からの宝札、異次元の戦士

一部困るカードが除外されたけど、まだマシ  
それに異次元からの宝札も除外できたから良いか。

「除外されたカードは合計10枚  
よっテライフを5000回復する！」

これデ私のライフは8000！  
さすがにこれだケのライフはそう簡単に削れないはず！  
頑張っテどうにかしテ勝とう！

「魔法カード、奇跡の発掘を発動！

自分のモンスターが5枚以上除外されている時

その内3枚を墓地へ戻す！

私は終わりの始まりの効果デ除外した3枚のゼータ・レティキュラントを墓地へ戻す！

カードを1枚伏せ、ターンエンドデす！」

下級モンスターが手札に無いから召喚できない  
元々、このデッキは下級モンスターは少ないし。

デも、このターンさエ凌ゲれば……

相手のモンスターを除外しテ、イーバトクンを特殊召喚  
手札に有るギルフォード・ザ・ライトニングを召喚しテモンスター  
を全体除去

ダイレクトアタック  
直接攻撃を決メテ……きつと勝テる！

それに、私の伏せたカードは闇次元の解放  
このカードで除外した可変機獣 ガンナードラゴンを特殊召喚する  
手札に有るブラック・コアを発動しても良い  
手札コストは次に手札に来る異次元からの宝札を捨てればOK  
捨てるのにも役立つから異次元からの宝札は助かる。

頑張っテライフを保つぞ、オー！  
そしテ、絶対に勝つ！

「……私のターン、ドロー！  
魔法カード、O・オーバーソウルを発動！  
墓地からネオスを特殊召喚！  
更に装備魔法、ネオス・フォースを発動！  
このカードはネオスにのみ装備させる事ができる！  
ネオスの攻撃力を800ポイントアップさせる！  
更に装備魔法、アサルト・アーマーを発動！  
このカードは自分の場に戦士族モンスターが1体の時にのみ装備可能！  
攻撃力を300アップさせる！」

合計で攻撃力が1100アップ！？  
コレでネオスの攻撃力は3600  
ちょっと拙いかも……

デも、あまり問題無いネ！  
だっテ私の場には闇次元の解放が有るし  
守備表示で特殊召喚したら守りきれる！

「ネオスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック



「そうはさせない！」

永続罨、闇次元の解放を発動！

除外さレテいる闇属性モンスターを特殊召喚する！

私は可変機獣 ガンナードラゴンを守備表示デ特殊召喚！」

よし、コレデ耐エキレる！

次のターンには……

「構わないわ！」

ネオスデ可変機獣 ガンナードラゴンに攻撃！

フォース・オブ・ネオスペース！」

ネオスのチョップがガンナードラゴンに直撃し、破壊さレる

だけど、ガンナードラゴンは守備表示

そレに攻撃はコレデ終わりだし、私の勝ち！

「ネオス・フォースの効果発動！」

戦闘デ相手モンスターを破壊し、墓地へ送った時

そのモンスターの攻撃力分のダメージを相手に与エる！」

「そんな！？

可変機獣 ガンナードラゴンの攻撃力は2800！

という事は私にその攻撃力分だけのダメージが！」

だけど、まだまだライフは残る！

私の残りライフは5200

もう何もできないはず！

「永続罨、正統なる血統を発動！」

墓地に存在する通常モンスターを1体、攻撃表示で特殊召喚する！  
私が蘇生させるのはアナザー・ネオス！」

バトルフェイズ中の蘇生！

という事は攻撃ができる

私の場にはモンスターが存在してないから……来る！

「アナザー・ネオスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

アナザー・ネオスもネオスみたいにチョップしてくる

これダメージは1900……かなり効いたよ

だけど、まだ私のライフは残ってる！

「まだまだよ！」

私はまだ終わってない！

絶対に私は勝つんだ！」

「ごめんネ、私の勝ちだよ」

エ？ デももう何もできないはず

だって全テのモンスターは攻撃を終了してるし。

「アサルト・アーマーの効果を発動！

バトルフェイズ中、このカードを墓地に送る事で効果を発動！

装備していたモンスターは再び攻撃をする事ができる！」

そんな……だってネオスの攻撃力は3600

アサルト・アーマーが外れても攻撃力は3300

私の残りライフは……

「ゆまちゃん

貴女の残りライフは……3300

ネオスの攻撃力と同じだよ

ネオスデダイレクトアタック直接攻撃！

フォース・オブ・ネオスペース！」

こっちにネオスが向かって来る

私はまだ負けたくない……負けたくないのに！

「きゃあああああああ！」

負け……た

私のライフは0、私の負け……

しかも、1ポイントもダメージを与えてないなんて  
そんなの……そんなのって無いよ。

手札のカードは十分に良いカードだった

ギルフォード・ザ・ライトニング、ブラック・コア、冥界の宝札  
これだけそろっていたら、次のターンは絶対に勝つてた。

だけど……私のターンは来なくて負けた！

悔しい、悔しい！

「ふう、ゆまちゃんって強いんだネ

昔の私が使ってたゼータ・レティキュラントはそんなに強く無かったよ

なんだか昔の自分を乗り越えたみたい」

「私は……未来の自分に負けたのかな？」

「どうかな？」

デも貴女のデッキは昔の私とはかなり違う  
だから貴女の未来が私とは限らないデしょ？」

それはそうだけど

過去の自分や未来の自分っテ言われると……

「ネえゆまちゃん」

「何？」

「また私と戦っテくれる？」

貴女もプロになっテ、私に挑戦しない？」

私がプロに……そしテまたゆまさんに挑戦？

また……また戦エる？

「うん、また戦いたい

またゆまさんと決闘デュエルしたい！

このデッキを使っテ、もっと強くなっテ！」

「うん、待っテるよ！」

私だっテもっと強くなるんだから！」

「覚悟しテテよゆまさん！」

過去の私は更に強くなっテ、未来の私を超エテみせる！  
だからゆまさん、プロの世界デ待っテテネ！

私、絶対に追いつくから！」

「その意気だよ！ 頑張っテゆまちゃん！」

もしプロ世界に来たら最初に戦おうネ！」

「うん！」

次は絶対に勝つ！

ゆまさんに勝つ為、もっと強くなつてみせる！  
そして、絶対に見返しテやるんだから！

「あ、ゆまちゃん  
メダル頂戴？」

この大会っテメダルを集めるンデしょ？」

「あ……」

負けたんだった

という事は私のメダルっテ……ああ！

「エっと……はい」

「多くない！？

何枚有るの？」

「99枚……100枚デご褒美だったのに  
後たったの1枚だったのに……」

「ご、ごめんネゆまちゃん！

私だっテ態とじゃないんだよ？

それに負けテあげる事なんテデきなかったし！」

慰メラレテも困る！

後1枚デご褒美だったのに……ご褒美だったのに！

堅守先輩、９９枚じゃ駄目なんですかあ！？

……うん、絶対に駄目っテ言うに決まっテる

だっテ堅守先輩なんだもん

分かつテるけど、分かつテいるけど期待しちゃうもん！

うわーーーーー！

「ああああ……ゆまちゃん泣かないデーーーー！

エっと、私はどうすれば良いのおおお！」

どうしテゆまさんがこのタイミングで出テくるの！？

ご褒美がーーーーー！！！！

## 119話【7日目?】（後書き）

……何故2人目のゆま？

TF5のゆまです、なので未来のゆま

なお、当然ながら本当に未来のゆまではなく、同姓同名の別人です  
話し方は本来なら普通なのですが、つまりなので同じにしました  
使用デッキはネオスビートですが、殆ど面影がありません  
まさか使用モンスターがこんなに少ないとは……

ちなみにNは1枚も入っていません。

10枚セットのカードって何が入っていたの？

ネオス、アナザー・ネオス、プリズマー、ネオス・ナイト×3

ネオス・フォース、ラス・オブ・ネオス、リバーズ・オブ・ネオス、  
インスタント・ネオスペース

これらの10枚です、他はゆまが自力で集めました

かなりの高額ですが、何故ゆまが買ったかですね……気に入ったん  
じゃないですか？

あまり突っ込まないでください。

売ったのはやっぱり……

瑞貴です

理由は好奇心と実験という感じで

ちなみに買い手のゆまがプロに出てきているのは知っています

十代がいつ気付くかなど、かなり楽しみにしています

どんな反応をするかと……ちなみに売ったのは今回のゆまだけです  
なので今後、TF5ゆまが登場しない限りネオスは十代しか使用し  
ません

瑞貴が使わない限りという条件も付きますが……



アサルト・アーマーの効果……  
原作効果です。

ツイッター……

http://twitter.com/  
#!/ainkuria  
何かを言う気力は出ません。

## 120話【7日目?】（前書き）

「今日の最強カードはファイブ・ゴッド・ドラゴンF・G・D

攻撃力、守備力共に5000の闇属性のドラゴン族モンスターだ  
光属性以外とのモンスターとは戦闘で破壊される事はない

ダメージ計算は行うが……攻撃力5000だ、そうそう負けんだろ  
う」

亮はアニメで融合デッキに入っていたような……

でも、フュージョン・ガードで墓地に送られたのはサイバー・エン  
ド・ドラゴン……

どこまでサイバー・エンド・ドラゴンが好きなんだろうかね？

今回は彼と彼が戦います

原作ぶっ壊れに滑車が掛かっている……

まああまり問題無いでしょうね。

今回は間に合って安心

次回も間に合わせたいものです

ちなみに、7日目は今回で終わりです

次回は……9日目となります。

## 120話【7日目?】

視点 亮

さて、堅守に売って貰ったカードも揃った  
デッキは完成した、最後は調整だな  
誰か相手になってくれなければ困るが……

そんな事を考えていた時、突然部屋の扉が勢いよく開いた?  
ここは万丈目の部屋だが……これほど無遠慮に入って来るとはどう  
いう事だ?

十代や堅守なら可能性は高いが……

「何?」

何故お前がここに居る、カイザー!」

万丈目本人? 相変わらず黒い制服を着てるんだな  
しかし、奴は訳が有って別の場所に居ると……

「お前が別の場所に居ると聞いてな  
悪いが勝手に住ませてもらっている  
ちなみに昨日からだ」

「ここは俺の部屋だ!

悪いがさっさと出て行ってくれ」

ふむ……道理だな

しかし、俺はできればこの寮に居たい

堅守との話が山ほど有るし、玲も……

「なら万丈目、俺と決闘デュエルしないか？

丁度新しいデッキが完成した所だ

お前にはその調整相手になってもらいたい」

「俺が調整相手だと？

ふん、俺を相手によくそんな事が言えるな

良いだろう、調整になる前に叩き潰してやる！

表に出ろ、カイザー！」

そう言って先に出ていく万丈目

俺のサイバー流裏デッキの実験台として犠牲になってもらおう  
どうも、こいつも大会に参加しているようだしな。

………

………

……

寮の前に立ち、お互いに構える。

「行くぞ、カイザー！」

「待て、万丈目」

「って、何だ

出鼻を挫きやがって……」

勘違いは修正しておくべきだからな

俺の呼び名を、間違えて呼ばれるのは困る。

「万丈目、俺の呼び名はカイザーでは無い  
今のデッキを使う以上、俺は……ヘルカイザーだ」

「今のデッキにヘルカイザーだと？」

地獄の皇帝か、お前には似合わないだろ  
どうやら新しいデッキを使うらしいが……

ふふん、この万丈目サンダーがひねり潰してやる！」

ふん、そう言っていられるのも今の内だ  
俺の裏デッキの実力……とくと味わうが良い！

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は俺だ、ドロー！」

俺はアームド・ドラゴンLV3を召喚！

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

攻撃力1200のドラゴン族モンスター

伏せカードは気になるが……まあ、問題では無いか。

「俺のターン、ドロー」

俺は魔法カード、調和の宝札を発動

手札のチューナーモンスターの墓地に送り、デッキからカードを2  
枚ドローする

俺は手札より、ドラグニティ・コルセスカを墓地へ送り、カードを  
2枚ドロー」

「チューナー？」

偶に堅守が使うが……どういうカードなんだ？」

俺もよく分からん  
だが、チューナーはユニオンやスピリット、デュアルと似ていると  
言っていたな  
テキストには【ドラゴン族・チューナー】と書かれている  
何か意味が有るのか？

しかし、俺には関係の無い話だ  
さて、墓地にカードは送れた  
これだけでも大丈夫だろう。

「俺はサイバー・ダーク・キールを召喚  
このモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
自分か相手の墓地より、LV4以下のドラゴン族モンスターを装備  
カードとして装備する  
俺は先ほど調和の宝札で捨てたドラグニティ・コルセスカを装備カ  
ードとして装備！」

黒い翼と一角を持つ、オレンジの肌をしたドラゴンがサイバー・ダ  
ーク・キールに装備される  
攻撃力は貧弱だが……まあ、あまり問題じゃない。

ドラグニティ・コルセスカは装備カードとなれるドラゴン  
装備カードとなった時、姿を変える  
変わった姿は槍、中心が長くて横に付いている刃は短い2本となっ  
ている

まあ……サイバー・ダークは持てないんだがな。

「このサイバー・ダーク・キールの効果により、ドラゴン族モンス  
ターを装備している時

サイバー・ダーク・キールの攻撃力は装備したドラゴン族の攻撃力分だけアップする

ドラグニティ・コルセスカの攻撃力は800

よってサイバー・ダーク・キールの攻撃力は1600となる」

「ふん、態々墓地にカードを送ったと思ったら、攻撃力がたったの1600か」

「だが、お前のアームド・ドラゴンLV3を倒すには十分だ

サイバー・ダーク・キールで、アームド・ドラゴンLV3に攻撃

ダーク・ウィップ！」

サイバー・ダーク・キールは尾をアームド・ドラゴンLV3に突き刺す

アームド・ドラゴンLV3はそのまま破壊された

となると……あの伏せカードは次に繋ぐ為のカードか。

「サイバー・ダーク・キールの効果が発動

相手モンスターを戦闘で破壊した時

相手に300ポイントのダメージを与える」

「ふん、この程度

合計ダメージはたったの700だ」

その油断が命取りになるだろう

それを身をもって知るが良い。

「更に、装備されているドラグニティ・コルセスカの効果が発動このモンスターを装備しているモンスターが相手モンスターを戦闘で破壊した時

自分のデッキから装備モンスターと同じ属性であり、同じ種族のLV4以下のモンスターを手札に加える  
俺はデッキより、サイバー・ダーク・エッジを手札に加えよう」

これでサイバー・ダークが手札に来た  
次の行動は……

「俺はカードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「この瞬間、罠カード発動！ レベルの絆！  
相手はデッキからカードを2枚ドロウする  
そして、俺は墓地からLVと名の付くモンスターを召喚条件を無視して特殊召喚する！  
戻ってこい、アームド・ドラゴンLV3！」

ふん、相手にドロウをさせてまでの召喚か  
となると……狙いはレベルアップか  
さすがにLV5が相手では厄介か。

「ならば、俺はレベルの絆の効果でカードを2枚ドロウする」

「俺のターン、ドロウ！」

この瞬間、アームド・ドラゴンLV3の効果が発動される  
自分のスタンバイフェイズ時、アームド・ドラゴンLV3を墓地へ  
送り

デッキ、または手札からアームド・ドラゴンLV5を特殊召喚する！  
俺はデッキから、アームド・ドラゴンLV5を特殊召喚！」

攻撃力2400のモンスターか

厄介だが、勝つだけなら大した問題では無いな。



「更にアームド・ドラゴンLV5の効果を発動！

俺は手札の闇より出でし絶望を墓地へ送り

その攻撃力以下の相手モンスター1体を破壊する！

俺が選択するのは、当然サイバー・ダーク・キールだ！」

確かに、普通ならそうするだろう

しかしまだまだ甘いな。

「速攻魔法、リミッター解除を発動

俺の場の機械族モンスターの攻撃力を倍にする

よって、サイバー・ダーク・キールの攻撃力は3200だ

闇より出でし絶望の攻撃力2800より高い」

「チィ……そう来たか

だが、リミッター解除の効果を受けたモンスターはエンドフェイズに破壊される

俺はカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

お前の言う事は間違っていない

だが、それは効果を知らないからだ。

「リミッター解除の効果を受けたモンスターは確かに破壊される

しかし、サイバー・ダーク・キールの効果を発動

このカードが破壊される時、代わりに装備されているモンスターを破壊する

これにより、サイバー・ダーク・キールは破壊を免れる」

ドラグニティ・コルセスカがサイバー・ダーク・キールの代わりに破壊される

これでサイバー・ダーク・キールは無傷だ。

「俺のターン、ドロー」

永続魔法、未来融合、フューチャー・フュージョンを発動

デッキより、融合に必要なモンスターを墓地へ送る

そして2ターン後の俺のスタンバイフェイズ時、融合モンスターを特殊召喚する

俺はデッキよりドラゴン族モンスターを5体墓地へ送る

そして……2ターン後、ファイブ・ゴッド・ドラゴンF・G・Dを特殊召喚する」

ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
「F・G・Dだと!？」

クソッ、また厄介なモンスターを呼ぶつもりなんだな」

「更に永続魔法、竜躁術を発動

1ターンに1度、手札のドラグニティと名の付くモンスターを自分の場のモンスターに装備させる事ができる

俺はこの効果により、手札のドラグニティ、ブランディストックをサイバー・ダーク・キールに装備させる

ただし、これは竜躁術の効果で装備させられている

よって、サイバー・ダーク・キールは攻撃力を上げる効果を使用できない」

青い鎧のような物を纏ったドラゴンがサイバー・ダーク・キールに装備される

装備カードとなるドラグニティの効果により、ブランディストックは姿を変える

変わった姿はトライデント、要は槍だ。

「という事は攻撃力が800のまま？」

装備させる意味が有るんだか無いんだか……」

無意味にそんな事をするはずが無いだろう？  
意味が有るから装備させたんだ。

「ドラグニティ・ブランディストックの効果

このカードを装備しているモンスターは2回の攻撃が可能となる  
更に竜躁術の効果

ドラグニティを装備しているモンスターの攻撃力は500ポイント  
アップする」

「だが、それでも攻撃力はたったの1300

アームド・ドラゴンLV5にはとてもでは無いが届かない！」

「何、無理に超える必要は無い

俺はサイバー・ダーク・ホーンを召喚する

このモンスターも墓地に存在するLV4以下のドラゴン族モンスター  
を装備できる

俺は未来融合によって墓地へ送った、レアメタル・ドラゴンを装備  
させる」

墓地から現れたレアメタル・ドラゴンがサイバー・ダーク・ホーン  
に装着される

見た目はかなり重そうなレアメタル・ドラゴンだが、よく掴めるな。

「サイバー・ダーク・ホーンはサイバー・ダーク・キールと同じく  
装備モンスターの攻撃力だけサイバー・ダーク・ホーンの攻撃力を  
上げる

レアメタル・ドラゴンの攻撃力は2400、よって攻撃力は240  
0アップ

サイバー・ダーク・ホーンの攻撃力は3200だ」

「なあ！

攻撃力3200だと！？」

ドラグニティではないので竜躁術の効果を受けないがな  
それでも、勝つには十分だ！

「サイバー・ダーク・ホーン、アームド・ドラゴンLV5に攻撃しろ  
ダーク・スピア！」

4つの角のような場所から闇色の光を出す  
それを打ち出し、アームド・ドラゴンLV5を破壊する  
攻撃力差は800だ。

「罨カード発動、復活の墓穴！

自分のモンスターが戦闘で破壊された時

お互いのプレイヤーは墓地からモンスターを1体、守備表示で特殊  
召喚する！

ただし、この効果で蘇生されたモンスターは表示形式の変更ができ  
ない

俺は墓地より、アームド・ドラゴンLV5を特殊召喚！」

なるほど、俺のサイバー・ダーク・キールは攻撃力1300

アームド・ドラゴンLV5の守備力は1700、少々勝てないか  
だが、この特殊召喚が命取りにならない事を祈るんだな。

「俺は墓地より、マテリアルドラゴンを特殊召喚する

サイバー・ダーク・キールではアームド・ドラゴンLV5の守備力  
には敵わない

俺はこれでバトルフェイズを終了させる」

もし復活の墓穴が無かった場合  
サイバー・ダーク・キールの2回の直接攻撃ダイレクトアタックで万丈目のライフは0  
となっていた

合計ダメージが4100となるからな、運が良かったな万丈目  
だがこの状況……次のターンで終わりだな。

「ターンエンドだ」

万丈目よ

このターンでどれだけ足掻けるか  
少々楽しませてもらうか？

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、レベル・コピーを発動！  
自分の場に存在するLVと名の付くLV5以下のモンスター1体を選  
択する

そのモンスターと同名のモンスターを自分のデッキ、または手札か  
ら特殊召喚する！

俺はデッキより、アームド・ドラゴンLV5を特殊召喚！」

ほう？

これで攻撃力2400が2体か  
少々侮ったか？

「更に魔法カード、レベルアップ！

自分の場のLVと名の付くモンスターを墓地へ送り

デッキ、または手札からそのカードに書かれているモンスターを特  
殊召喚する！

俺は復活の墓穴で蘇生させたアームド・ドラゴンLV5を墓地へ送り

デッキより、アームド・ドラゴンLV7を特殊召喚する！」

これはなかなか……

だが、それでも攻撃力はサイバー・ダーク・ホーンの方が上だ  
それに俺の場にはマテリアルドラゴンが存在している。

マテリアルドラゴンが存在している限り

場のカードを破壊する効果は手札を1枚捨てる事で無効にし、破壊  
する

俺の手札は4枚、奴の手札は2枚……枚数的に、どうしても効果は  
使えない

そもそも破壊されるしな。

「更にアームド・ドラゴンLV7を生け贄に

アームド・ドラゴンLV10を特殊召喚！」

これはこれは……まさか一気にレベルアップをするとはな

しかもアームド・ドラゴンLVの効果はかなり厄介だ

このままではマテリアルドラゴンも破壊されてしまう。

「バトルだ！」

アームド・ドラゴンLV5でマテリアルドラゴンに攻撃！

アームド・バスター！」

腕を振り回し、そのままマテリアルドラゴンを強打し、破壊する

これでアームド・ドラゴン達の効果が解禁されてしまったか

そして、まだアームド・ドラゴンLV10の攻撃が残っている。

「アームド・ドラゴンLV10でサイバー・ダーク・キールに攻撃！  
アームド・ビッグ・バニッシャー！」

手に黒い弾を持ち、それを投げつけてくる  
その弾が直撃し、サイバー・ダーク・キールは……  
だが、それだけでは終わらない。

「サイバー・ダーク・キールの効果を発動  
破壊される時、装備カードとなっているモンスターを代わりに破壊  
する

俺はサイバー・ダーク・キールの装備カードとなっている  
ドラグニティ・ブランディストックを破壊」

「だが、ダメージ計算は行ってもらおう  
攻撃力差は2200だ」

「いや、そのダメージは無い  
罠カード、パワー・ウォールを発動  
戦闘ダメージを受けた時、デッキから任意の枚数墓地へ送る  
墓地へ送った枚数×100ポイント、ダメージを軽減する  
俺はこの効果により、デッキから22枚墓地へ送る！」

「何だと!?!  
そんなに墓地へカードを送ったら……お前のデッキは残り1枚にな  
るぞ!」

「構わんさ  
俺はパワー・ウォールの効果でダメージを2200軽減  
よって、俺の受けるダメージは0だ!」

くくく……これで俺の勝ちが決まった  
万丈目、お前にはもう勝ち目は無い。

「ダメージは与えられなかったが……まだ終わらん！  
アームド・ドラゴンLV10の効果を発動！

手札を1枚捨てる事で相手の場の表側表示モンスターを全て破壊する！

俺は手札のおジャマジックを墓地へ送り

ヘルカイザーのモンスターを全て破壊する！」

「しかし、サイバー・ダーク・ホーンにはレアメタル・ドラゴンが  
装備されている

装備カードとなっているモンスターを代わりに破壊する

これにより、サイバー・ダーク・ホーンは破壊から免れる」

しかし、サイバー・ダーク・キールが破壊されたか

あまり問題は無いが、それでも少々惜しいか？

だが万丈目の手札は0枚

これ以上アームド・ドラゴンLV10の効果は使用できない。

「ふん、そんな事は計算済みよ

俺が捨てたカードはおジャマジック、このカードが墓地へ送られた時  
デッキからおジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン、おジャマ・  
ブラックを手札に加える

俺は手札を1枚捨て、アームド・ドラゴンLV10の効果を再び発  
動！

手札のおジャマ・ブラックを墓地へ送り、相手の表側表示モンスター  
を全て破壊する！」

これで俺の場のモンスターは全滅か  
ふむ……なかなかやるな。



「俺はこれでターンエンドだ、そしてエンドフェイズ  
アームド・ドラゴンLV5の効果が発動する！」

戦闘で相手モンスターを破壊したターンのエンドフェイズ時

アームド・ドラゴンLV5墓地へ送り、デッキが手札よりアームド・ドラゴンLV7を特殊召喚する！

デッキより現れろ、アームド・ドラゴンLV7!」

アームド・ドラゴンLV5は進化し、アームド・ドラゴンLV7へ  
攻撃力3000と、攻撃力2800が並んだか……

「どうしたカイザー？ いや、ヘルカイザー！前よりも強くなったんだろう？」

しかし……このままでは俺が勝ってしまうぞ？

くくく、はっ は は は は は は は は は！」

「ふ、そんなに言われなくとも……すぐに見せてやる  
ヘルカイザーの実力をな」

さあ、いくぞ万丈目

お前の自信、俺が叩き折ってやる！

「俺のターン、ドロー！」

これで俺のデッキは0枚

このターンで決着を着けなければ俺の負けだが……何も問題は無い！

「俺は魔法カード、サイバーダーク・インパクト！を発動する自分の手札、場、墓地から決められたモンスターをデッキに戻す

この効果で戻されるモンスター……

サイバー・ダーク・ホーン、サイバー・ダーク・エッジ、サイバー・ダーク・キールの3体

手札よりサイバー・ダーク・エッジ、他を墓地からデッキに戻すこれにより、がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンを融合召喚！」

その姿、それは全てのサイバー・ダークが合体した姿

この姿を最初に拝める自分を幸運と思え、万丈目！

「な、なんだ！

この禍々しいモンスターは！？」

がいこくりゅう「鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンはサイバー・ダーク3体の融合体

そして融合元となったサイバー・ダーク達と同じ効果を持っているだが、こいつにはLV制限は存在していない

墓地のドラゴン族なら、何でも装備できる効果を持っている

が、俺がこの効果で装備させるのはドラグニティ、ブランディストックだ」

再び装備されるブランディストック

攻撃力はたったの600、よって上がる攻撃力も600だ。

がいこくりゅう「鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は装備しているドラゴン族の攻撃力だけ上がる

がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンの元々の攻撃力に、ブランディストックの攻撃力は600が足される

よって、がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は1600だ」

「は……はは、そこまでした割には弱いモンスターだな

俺のアームド・ドラゴンLV10どころか、アームド・ドラゴンLV7にさえ勝てない

いや、例えアームド・ドラゴンLV5だとしても勝てないな」

「慌てるな

がいこくりゅう 鎧黒竜「サイバー・ダーク・ドラゴンにはまだ効果が有る

自分の墓地に存在するカードの枚数だけ、攻撃力を上げるという効果がな……」

「な……にいい？

確か墓地にはパワー・ウォールの効果で……」

そう、俺の墓地には大量のカードが送られている

その枚数は……31枚！

「俺の墓地のカードは31枚

がいこくりゅう 鎧黒竜「サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は墓地のカードの枚数×100ポイントアップする

よって、攻撃力は3100アップし、4700

更に竜躁術の効果、ドラグニティを装備しているモンスターは攻撃力が500ポイントアップする

合計攻撃力は5200だ！」

「こ、攻撃力が5200だとお！？

そんな馬鹿な！」

だが万丈目よ、俺はまだまだ終わらない

これだけで終わっては……ヘルカイザーの名折れだ！

「魔法カード、ハリケーンを発動  
場に存在する魔法、罠カードを全て手札に戻す  
これにより、装備カードとなっているブレンディストックも手札に  
戻る」

「今度は何を考えてるんだ!？」  
確かそのブレンディストックを装備したモンスターは2回攻撃がで  
きたはず  
なのに何故そんな事を!？」

鎧黒竜<sup>がいこくりゅう</sup>、サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は下がった  
2回攻撃も無くなった  
それでも、俺は更なるダメージを与える為に動く!

「永続魔法、未来融合、フューチャー・フュージョンを再び発動!  
これにより、デッキからサイバー・ダーク3体を墓地へ送る  
2ターン後の未来、鎧黒竜<sup>がいこくりゅう</sup>、サイバー・ダーク・ドラゴンが融合召  
喚される」

「またそいつが出てくるのか……  
今、場に居るそいつの攻撃力は4500  
同じのがもう1体出てきたら勝ち目なんて無いぞ」

そう、お前に勝ち目なんて無い  
だがそれは……2ターン後ではなく、このターンでの話だ!

「更に魔法カード、オーバーロード・フュージョンを発動!  
場、または墓地から融合によって決められたモンスターを除外して  
融合を行う!

ただし、この効果によって融合できるモンスターは闇属性の機械族

のみ

俺は墓地のサイバー・ダーク3体をゲームから除外し、融合！  
現れよ、がいこくりゅう鎧黒竜・サイバー・ダーク・ドラゴン！」

「2、2体目のサイバー・ダーク・ドラゴンだと！？  
という事はまた墓地のドラゴン族モンスターを……」

「そうだがいこくりゅう鎧黒竜・サイバー・ダーク・ドラゴンの効果発動！  
墓地のドラゴン族モンスターを装備カードとしてこのモンスターに  
装備させる！」

俺は墓地より、Sin トウルス・ドラゴンをがいこくりゅう鎧黒竜・サイバー・  
ダーク・ドラゴンに装備させる！」

現れる金剛のような色をしたドラゴン

俺には召喚できないが、デッキに加えられる攻撃力5000のモン  
スター

こいつを使ってみたいと思っていた……こんなに早く装備できると  
は思わなかったがな。

「そのドラゴン……見た事が無いな  
しかもかなりでかい……」

「Sin トウルス・ドラゴンの攻撃力は5000  
よってがいこくりゅう鎧黒竜・サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力が5000ア  
ツプし、6000となる」

「元々の攻撃力が5000だと！？  
そんなデッキに加えられるモンスターでそんなモンスターが居たの  
か！？」

だが、まだ終わらないぞ万丈目  
俺は更にその上に行く！

「忘れていないだろうな、万丈目

鎧黒竜がいこくりゅう、サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は墓地のカードの枚数だけアップする

俺の墓地のカードは32枚、よって攻撃力は3200アップする！」

「攻撃力が9200だと！？

そんな事が……そんな事が！」

まだだ、まだ終わらないぞ万丈目！

このデッキの力はまだ、こんなものではない！

「更に永続魔法、竜躁術を発動！

1ターンに1度、ドラグニティと名の付くモンスターを手札から場のモンスターに装備させる事ができる

よって、俺は手札のドラグニティ、ブランドイストックを鎧黒竜がいこくりゅう、サイバー・ダーク・ドラゴンに装備！」

装備させるのは当然、攻撃力9200の鎧黒竜がいこくりゅう、サイバー・ダーク・ドラゴンだ

これで鎧黒竜がいこくりゅう、サイバー・ダーク・ドラゴンは2回の攻撃が可能となった。

「竜躁術の効果

ドラグニティを装備しているモンスターの攻撃力は500ポイントアップする

よって、鎧黒竜がいこくりゅう、サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は更に500ポイントアップ

攻撃力は9700!」

「攻撃力……9700だど？」

しかも2回攻撃ができるだなんて……元々の攻撃力が1000とは  
思えないな」

確かに思えない

だが……最後の仕上げが残っている。

「魔法カード、魔法再生を発動

墓地の魔法カードを1枚、手札に加える

俺が手札に加えるカードは当然……リミッター解除だ」

「……俺の負けか」

既に終わっていたがな

お前には伏せカードは無い

手札にはおジャマ・イエローとおジャマ・グリーン

もうお前には何もできない。

「速攻魔法、リミッター解除を発動

自分の場に存在する機械族モンスターの攻撃力を倍にする

よって、1体目の鎧黒竜がいこくりゅう、サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は

4200

それから倍になるので8400

2体目の鎧黒竜がいこくりゅう、サイバー・ダーク・ドラゴンは攻撃力9700

攻撃力が倍となり、攻撃力19400!

更に、リミッター解除は発動後に墓地へ送られる

よってそれぞれの攻撃力が100ポイントアップし、攻撃力8500と19500となる!」

終わりだ万丈目……調整に付き合ってくれて助かったぞ  
次は調整でないデッキで戦おう

その時は更なる力を求め、更なる攻撃をしてみせよう！

「1体目の<sup>がいこくりゅう</sup>鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンでアームド・ドラ  
ゴンLV7に攻撃！

フル・オーバー・ダークネス・バースト」

「ぐっぐあああああ！」

攻撃力差は5800

万丈目のライフは既に2500だった

だが……

「悪いな万丈目、俺はまだ満足していない

2体目の<sup>がいこくりゅう</sup>鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴン、アームド・ドラゴ

ンLV10に攻撃！

フル・オーバー・ダークネス・バースト！」

「ぐあああああああああああ！！！！」

攻撃力差は16500

次で終わりだ、耐えろよ万丈目。

「これで最後だ

<sup>がいこくりゅう</sup>鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンで<sup>ダイレクトアタック</sup>直接攻撃！

フル・オーバー・ダークネス・バースト！」

「がああああああああああ！！！！！！！！」



39300のオーバーキルダメージか  
まだまだ少ないが……まあ良いだろう  
これだけのオーバーキルならそれなりと言った所だ。

「ぐっはあ……はあ、はあ……」

確かに、あんたは変わった

お前はカイザーじゃない、ヘルカイザーだ」

今更分かったか

だが既に遅い……決着は着いている。

「ぐ……お前の勝ちだ

大会のメダルだ、持っていけ」

万丈目からメダルを渡される

その枚数、82枚か……一応、貰っておくか  
別に俺は勝利さえ有れば構わんがな。

「では万丈目

この大会の間、お前の部屋は借りさせてもらうぞ」

「チッ、好きにしろ

だが俺もその部屋に住むからな

お前は客室にでも入っていてくれ」

「それでも構わん」

万丈目に案内され、言われた部屋に入る  
ふむ……まあまあの部屋だな

さすが万丈目、悪く無い作りの部屋だ。

それよりも気になる事が有る

今まで、俺はサイバー・ダークを使用した時  
痛みが走る事が有った……だが、今回の戦いには無かった。

この痛みが無くなった理由が分からない

確かに、あの痛みは辛かった……それは否定できない  
体が蝕まれるような、そんな気持ちさえ湧いた。

だが……何故だ？

デッキを大きく改造したからか？

まあ、何にせよ痛みが無くなったのは事実だ  
体が楽になると思えばマシだろう。

この体なら、連戦も可能だな

もう少し、相手を探してみるか。

視点 瑞貴

地獄の野郎……また危険なカードを使いやがって

カードに触れた途端に痛みが走るなんて意味が分からんぞ  
あいつ、無理して使っていたんじゃないか？

ったく……もし玲が気付いたら心配するだろ

これからは俺の持っていた本当に普通のカードを使って決闘<sup>デュエル</sup>してろ  
俺の持つカードに、痛みが走るカードなんて存在しない。

問題はこの痛みの走るカード……

サイバー・ダーク・エッジ、サイバー・ダーク・キール、サイバー・ダーク・ホーン

そして鎧黒竜<sup>がいこくりゆう</sup>、サイバー・ダーク・ドラゴン……この4枚だ。

破るのも1つの手だが、どうなんだろうか？

うーん……下手に手を出しても危険だな

もし誰かが持って使い出したら洒落にならん。

こういうカードは……闇市か？

そうだ、地下決闘場<sup>デュエル</sup>に売ろう。

あそこはスリルと恐怖、苦しみを見る事を楽しみとしている場所だ  
例えば人が大怪我をしても、それは観客を楽しませる為の道具に過ぎ  
ない

なら、命を削りながら戦う者達……これは確実に売れるな。

……が、止めよう

売る事態は、俺は構わないと思っているが

さすがに危険だと分かっているカードを売るのは……遠慮したいな  
下手すれば危険物を売りに出したと言われて捕まる。

捨てるのは後が怖いし……本当にどうしようか？

うーん……そうだ！ 良い排除方法が有ったな！

確か地獄はこう言っていたな

校長からサイバー流裏デッキを受け取ったと……決まりだ  
校長に返そう、それが良い。

今、地獄が持っているカードは全く危険性の無いカードと説明してこの4枚を校長に渡し、危険が無い事を教えておく  
後は校長が勝手に処分するなり封印するなりしてくれるだろう。

怪しまれるのは当然だろうが、よく考えたら今更だ

今まで色んなカードを大量に使ってたんだ

だったら俺が裏サイバーを使っても、あまり違和感は無いだろう。

言い訳は……そうだな

触った時に傷みが走り、危険だと思った

だから地獄に隠れて普通のカードと入れ替えた

サイバー流裏デッキは校長から渡されたと聞いていた

故に、校長の下へ持ってきた……これで良いか。

よし、決まりだ！

後はこのカードを……今は無理だな

地獄は徘徊してるんだし、見つかって怪しまれて取り戻されたら困る。

別に困らないが、玲が心配しそうだから困る

何で玲があいつの事を……あ、また胃が痛くなってきた

ぐっくぐく……あの野郎があああ！

何で俺ばかりこんな事になるんだ！

あー腹が痛い！ 絶対に殴る、1発以上は確実に殴る！

上限は無いから、もしかしたらかなり殴るかもしれん！

だが、それでも俺は奴を殴る！ 殴らないと気が済まんだ！

………心が辛い

玲、今からでも良い、嘘と言ってくれないか？

絶対に言わないと思ってるが……

## 120話【7日目?】（後書き）

万丈目って正気に戻ってるの？  
戻っています、なので黒い制服です。

亮よ……最初の玲もとは何だ!？

好意を向けられて、断っても好意を……

無下にはできないでしょう。

亮のデッキは？

サイバー流裏デッキ+ドラグニティ+???

未登場なので最後は秘密ですが、まあ予想はできるでしょう

ちなみに表のカードはあまり入っていません……サイバー・ドラゴンも入っていません

ブラック・ボンバーは入っていますが……

調和の宝札の効果が……

原作効果です

チューナーに指定は有りません

今回はOCG効果でも当て嵌まっていますが。

サイバー・ダークの効果が……

原作効果です

召喚、反転召喚、特殊召喚でもドラゴン族装備効果が発動可能  
ホーン、エッジ、キールはLV4以下のドラゴン族を装備可能  
相手の墓地のドラゴン族もLV条件さえ満たせば装備可能

戦闘破壊だけでなく、効果破壊にも身代わり効果を使用可能  
がいこくりゅう

鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンは墓地のカードなら全て攻撃  
力上昇効果が適用

……どれもアニメからOCG化に伴い、かなり弱体化してますね。

Sin トウルース・ドラゴン！？

このデッキにはサイバー・エンド・ドラゴンは入っていません  
表のカードは殆ど無いので、高攻撃力のドラゴン族モンスターとして入れています

ちなみにこのデッキ、輪廻独断は入っていません

輪廻独断は墓地の種族を自分の宣言した種族に変えるカードですが……いつか登場するでしょう。

あまりヘルカイザーって感じがしないんだけど……

この作品ではオーバーキルが多発しているからだと思います  
何回したんでしょうかね？

万丈目のメダルアニメより少ない？

明日香や1年生カルレットが狩りまくっていますので  
なのでどうしても他の人の取り分が減ります

アニメよりも30枚から50枚ぐらい少なかったはず……細かくは  
覚えてません。

瑞貴がまた……

色々としています

本当、毎度毎度何をしてるんでしょうね？

これで亮の心臓停止は無くなりそうです……

あれ？ 翔の成長フラグ、元々かなり折ってたのに完全に無くなった？

原作、アニメオリジナルカード

レベル・コピー

ワールド上に表側表示で存在するLVを持つレベル1から5までのモンスター1体を選択する

対象にしたモンスターと同名のモンスター1体をデッキまたは手札から特殊召喚する事ができる

普通に強いですが、ホルスの黒炎竜LV6に使えないのが惜しいですね。

ツイッター……アニメGX、全部見終わった！

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
時間が無くてちよくちよく見てたけど……やっと終わった！

さて、巻き戻してジェネックス大会の回をまた見直さないと……



## 121話【8日目】（前書き）

「今日の最強カードはモノマネ幻想師

攻撃力、守備力共に0の光属性、魔法使い族

このモンスターの攻撃力は召喚時、相手の場のモンスターと同じになるよ

だけど元々の攻撃力だから相手モンスターの攻撃力が上がっていたら……負けるね

弱い事はないんだけど、相手の場にモンスターが必要だし  
シャイン・スパークとかが有れば強くなるんだけどね」

レイのデッキには入りません

こういう微妙に使えるか使えないのか分からない時が有るモンスターは作者が好きです。

前回の前書きで9日目と書きましたが、予定変更で8日目  
しかし今回の1話だけなので次回は9日目ですかね？

謎に長くなった今回

しかも多くのTFキャラが登場します

後書きで書きますが、今後登場する人達です

誰が相手になるかは秘密……

次回はどうか……

誰と誰を戦わせるか、ネタ切れ気味なので悩みます。

## 121話【8日目】

視点 雪乃

ふう……メダルは152枚か  
やつと半分、早く集めないとね  
あんまりのんびりしてたら参加者が居なくなりそうなもの。

「あ、その人！  
デュエル  
私と決闘して！」

「良いわ……って、子供？  
どうして子供がこの大会に……誰かの連れ子かしら？」

後ろから声を掛けられ、振り向いてみると……子供が居た  
レイ以外にも子供が居るなんて……やっぱり何か有るのかしら？  
大人も参加してるし、子連れが居ても不思議じゃなけど。

「私は推薦されて大会に参加しているわ  
誰かの子連れじゃなくて、ちゃんとした参加者よ  
推薦とは言うけど……私はプロ並の実力が有るわ」

「へえ……それはおもしろそうね  
良いわ、相手になってあげる」

子供がデッキをデュエルディスク決闘盤にセットする  
私も同じく、デッキをセット  
同時に構える。

「私は藤原雪乃、1年生よ  
貴女の事、教えてくれる？」

「私は堅守玲、10歳よ」

「堅守？」

貴女、堅守先輩……堅守瑞貴の関係者？」

「お兄ちゃんの事、知ってるの？」

知ってるも何も……ねえ？

それにしても堅守先輩の妹が相手  
子供だと侮ったら絶対負けるわね……油断はできない。

でも、名前が玲なのね

レイと同じ名前、凄い偶然ね

呼びにくいじゃない。

「堅守先輩を知らない人はこの学園には少ないと思うわ  
一応、私は堅守先輩と個人的に知り合いだけど  
でも妹の話なんて知らないわよ？」

「気にしないの

さあ、始めましょうか？」

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

それにしても……口調、私と似てるわね  
なんだか自分と話しているみたい

新鮮だけど、気味が悪いわ……

「先攻は私が貰うわ、ドロー  
魔法カード、名推理を発動！ 相手はLVを宣言し、私はデッキの  
上からカードを捲る

そして通常召喚が可能なモンスターが出た時、相手が宣言したLV  
と違う場合、特殊召喚できる  
もし宣言したLVだった場合、そのモンスターを墓地へ送る  
更に、モンスター以外のカードは全て墓地へ送られる……さあ、L  
Vを宣言して」

「……LV7を宣言するわ  
そんなデッキを使うんだもの、LVがばらけてるんでしょ？  
中途半端なLVの方が逆に当たるわ」

へえ……さすが堅守先輩の妹  
頭は良さそうね。

「デッキの上から捲るわ  
1枚目はモンスター、可変機獣 ガンナードラゴン  
このモンスターのLVは7、よって墓地へ送られるわ」

最初から当てられるなんて幸先が悪いわね  
でも、これぐらいでへこたれないわよ！

「黄泉ガエルを守備表示で召喚  
更に魔法カード、モンスターゲートを発動するわ  
場のモンスターを生け贄に捧げ、デッキからカードを捲る  
通常召喚が可能なモンスターが出た場合、そのモンスターを特殊召  
喚する

それ以外のカードは全て墓地へ送られるわ」

さて、今度は何が出てくるかしら？

良いモンスターが出てくると良いけど。

「1枚目、魔法カードの収縮……よって墓地送りね

ライトニングギア

2枚目、光神機・轟龍……通常召喚が可能なモンスター

よって轟龍を特殊召喚するわ」

攻撃力2900のモンスター

そう簡単に勝てないはずよ……

「私はこれでターンエンドよ」

さて、どんなデッキを使うのかしら？

堅守先輩の妹だから……守備型のデッキかしら？

「私のターン、ドロー

相手の場にモンスターが存在し、私の場にモンスターが存在していない時

このモンスターは特殊召喚できる……出てきなさい、サイバー・ドラゴン」

「サイバー・ドラゴン!？」

そのカードはカイザー亮のモンスターのはず!

なのに、どうして貴女が持ってるの!？」

そのカードは滅多に無いカードのはず  
どうしてそのカードを!

「私を推薦したのが……そのカイザー亮だからよ  
今の亮ちゃんはサイバー・ドラゴンを使わないデッキを使っている  
私はその調整相手として、何度もこのデッキを使ってるの  
だから今の私はサイバー流のカードを使うわ」

まさかそんな事が……拙いわね

楽しくなってきたじゃない、数少ないサイバー流との決闘<sup>デュエル</sup>

そんなチャンスを手に入れられたのよ、燃えてきたわ。

「だけど、このデッキは元々私のデッキ

そこにサイバー流のモンスターを入れ、使いやすいうにも改造されている

サイバー流とはとてもじゃないけど言えない……でもそれは許してね」

「それぐらい構わないわ

サイバー流と戦えるなんて……ドキドキするじゃない  
私を楽しませてちょうだい」

プロ世界で加減して使われているデッキ  
それをどう改造した上で使うのかも興味が有る  
どんな事をしてくるのかしら？

「そう言ってくれると助かるわ

更に、神獣王バルバロスを妥協召喚する  
このモンスターは生け贄無しで通常召喚する事が可能  
その場合、攻撃力は1900になるわ」

バルバロス……超高額のレアカード

堅守先輩の妹なら持っていて不思議じゃないわね

だけど、バルバロスの攻撃力では私のモンスターには敵わないわ。

「更に速攻魔法、トラップ・ブースターを発動

このカードは手札を1枚捨て、手札の罠カードを発動できる

手札を1枚捨て、ライフを1000払い、永続罠カードであるスキルドレインを発動

場に存在する全てのモンスターの効果を無効化する」

効果の無効化……という事はまさか！

「バルバロスの効果は妥協召喚した事によって攻撃力が1900となる

だけどその効果を無効にした場合、攻撃力は元の3000に戻る

更に速攻魔法、イーजीチューニングを発動するわ

墓地に存在するチューナーを除外し、その攻撃力分だけ場のモンスターの攻撃力をアップさせる

私はトラップ・ブースターの効果で捨てた墓地のチューナーモンスター、地獄からの使いを除外するわ

そして私の場のモンスター、バルバロスの攻撃力を地獄からの使いの攻撃力分だけアップさせる

地獄からの使いの攻撃力は2600……よってバルバロスの攻撃力は5600よ」

「攻撃力……5600ですって!?!」

そんな……そんな事って……

まさかこれって、私の……

「バルバロス、轟龍に攻撃  
トルネード・シェイパー！」

バルバロスの持つ槍が轟龍を突き刺し、破壊する  
これで私の場はガラ空き……しかも今の戦闘ダメージは2700  
私の残りライフは1300、そしてあの子の場には攻撃力2100  
のサイバー・ドラゴンが残ってる  
つまり、私はこんなにアッサリと……

「サイバー・ドラゴン、ダイレクトアタック直接攻撃よ  
エヴォリューション・バースト！」

「きゃあああああ！」

嘘……こんなに簡単に負けるなんて  
そんな事って……

「なんだかごめんなさい  
手札が良すぎたわ」

手札が良いからって……1ターンキルするかしら？  
しかも轟龍を相手にして、簡単にできるなんて  
さすが堅守先輩の妹と言うべきかしら？

ふう……8日目敗退か  
メダル、頑張って152枚も集めたのに  
なんだか悔しいわね。

「貴女の勝ちよ、このメダルは持って行きなさい」

「……多いわね  
よくこんなに集めて……貴女、強いのね」



まあ、あのデッキなら確かに強いかもしれないわ  
事故率が私のデッキと同程度に高そうだけど」

あれだけでよく分かるわね

それにこの子のデッキも……確かに事故率が高そう  
だつて最初から下級モンスターが無かつたみたいだもの。

地獄からの使いは分からないけど、攻撃力から上級か最上級モンスター

サイバー・ドラゴンはLV5、神獣王バルバロスはLV8  
あのデッキ、下級モンスターは入っているのかしら？

「それで、お兄ちゃんとどういう関係なの？  
さつき個人的に知り合いつて言つてたけど」

そういえば言つたわね  
妹だし、やっぱり気になるのかしら？

「色々と教えてもらつてるのよ  
勉強とか、戦術とか、戦い方とかね」

「お兄ちゃんが……そう  
ならお兄ちゃん、貴女の事が気に入ってるのね」

「そ、そうかしら？」

そう言つてもらえると嬉しいけど  
本当に気に入られているのか……

「じゃ、私は次の相手を探しに行くわ

またね」

そう言って去って行く……玲ちゃんの良いのかしら？

今度はまともに戦いたいわね

でも……お互いに一撃必殺のデッキだから無理かしら？

何をして、どっちもすぐに決まるわね。

はあ、これで失格か

……そういえばメダルの数って最後まで持っていたら良かったの？

それとも、そのメダル枚数になれば良かったの？

もし、最後までメダル数なら……お仕置き！？

……逃げて、助かるかしら？

視点 瑞貴

誰も居ないな？

既に殆ど出払ったか……よし

さっさと校長室に向かうか。

外に出てみたが……やっぱり人が見当たらないな

やっぱり明日香やマナ、1年生カルテットが狩りまくってるのか？

そろそろ誰かが脱落したかな？

同士討ちでも始める頃だろうし。

何せ、300枚なんて普通に集まるはずが無いしな  
これで大会は加速的に終わるだろう。

校長が何日ぐらいを目標で続ける予定かは知らんが  
大会の決着を早めてやれば良いんだ  
そうなれば早く元の生活に戻る。

っと、あそこに居るのは地獄か  
遠回りが必要だな……相手は誰だ？  
誰でも良いが、知らない奴みたいだ。

地獄の場にはがいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴン  
装備されているのは……どうやって墓地へ送った、ファイブ・ゴッド・ドラゴンF・G・D  
そして攻撃力は……10200か、パワー・ボンドにパワー・ウオ  
ールを使ったな。

ドラグニティは装備されているようには見えないしな  
竜躁術も使われてない、だったら俺の予想に間違いは無いだろう  
でなければ攻撃力の数値が変だ。

相手の場にはモノマネ幻想師？  
そして装備カードのミスト・ボディか  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
なるほど、それでF・G・Dを相打ちで戦闘破壊したのか  
戦闘で破壊されないミスト・ボディを装備させて……か。

だが、それでもモノマネ幻想師の攻撃力は5000  
伏せカードも無いし、手札も0  
地獄の勝ちが決まったな。

さて、さっさと消えるか  
見つけたら面倒になるし。

.....

.....

.....

んー……移動が楽だなあ

やっぱりプレイヤーが少なくなってるからだろう

あいつら、何人ぐらい狩ったんだ？

お、あれは……確かプロの宮田ゆま

ネオスセットを馬鹿みたいな値段で買った奴だったな

プロ世界で確か3戦3勝の3連勝中だったが……勝ち残ってるみたいだな。

「私のターン、ドロー！」

E・HERO プリズマーを召喚し、効果を発動

融合モンスターを相手に公開し、その融合素材モンスターをデッキから墓地へ送る

私はE・HERO ネオス・ナイトを相手に公開し、E・HERO  
ネオスを墓地へ送る

これにより、プリズマーはこのターンの間、ネオスとして扱う！

そして魔法カード、ラス・オブ・ネオスを発動！

ネオスをデッキに戻し、場のカードを全テ破壊する！

私はこの効果により、ネオスとなっテいるプリズマーをデッキに戻し、ラス・オブ・ネオスの効果発動！

プリズマー、場のカードを吹き飛ばしなさい！」

おお、理想的な使い方だな

墓地にネオスが落ち、更に場を荒らせた

相手の場に存在していたカードは全滅か。

「そして魔法カード、O・オーバーソウルを発動！

墓地よりE・HEROと名の付く通常モンスターを特殊召喚する

私が呼び出すのは当然、E・HERO ネオス！

更に装備魔法、ネオス・フォースを発動！

ネオスにのみ装備可能、装備モンスターの攻撃力を800ポイントアップさせる！

魔法カード、H・ヒートハートを発動！

このターンのエンドフェイズまで、場のモンスター1体の攻撃力を500ポイントアップさせる

更に装備魔法、神剣・フェニックスブレードを発動！

場の戦士族モンスターにのみ装備可能、装備モンスターの攻撃力を300ポイントアップ！」

おいおい……1ターンキルかよ

ネオスの攻撃力が4100だぞ

さすがネオスビート、半端ねえな。

ダイレクトアタック

「ネオス、直接攻撃だよ！

フォース・オブ・ネオスペース！」

終わりだな……ネオスをあそこまで使うとはな

既に誰か負けていたりして……例えば羽鳶とか？

同名対決か、是非見てみたいな

もし見つけたら喉けてみるか？

良い物を見れたし、さっさと行こう

俺としては似非と会って勝って欲しい所だ

ま、それは無いだろうがな。

……………

………

学校内に入ろうと思ったら、校門前で誰かが決闘デュエルしてるな  
ん？ あの女は確かプロの……

「私のターン、ドローよ

儀式魔法、高等儀式術を発動するわ

デッキより儀式モンスターと同じLVになるように通常モンスター  
を墓地へ送る

私はこの効果により、甲虫装甲騎士インセクトナイトを2体、墓地へ送るわ  
合計LVは8、私は手札の終焉の王デミスを儀式召喚」

おいおい、あのデッキって……

「更にデミスの効果を発動

ライフを2000払い、デミス以外のモンスターを全て破壊する  
全てを滅しなさい……終焉の嘆き」

あーあ……相手の場が全部吹っ飛んだな  
しかもあの女、自分の場には何も無かった  
アドバンテージが大きすぎるだろ。

「更に墓地の昆虫族モンスターを2体除外

そしてデビルドージャーを特殊召喚するわ

このモンスターは通常召喚ができず、墓地の昆虫族モンスターを2  
体除外しなければ特殊召喚できない

続いて装備魔法、巨大化を発動するわ

自分のライフが相手より少ない時、装備モンスターの元々の攻撃力  
を倍にする

私はこの効果により、デビルドーザーの攻撃力を倍にし、攻撃力5600にするわ」

やっぱりデミスドーザー……あの悪夢のデッキか  
デミスが全盛期の時、何回あのデッキに苦渋を覚えたか……  
デミスは見ただけで破り捨てたくなる。

これで与える戦闘ダメージは8000ジャスト  
この世界でのライフは4000だな。

しかし、この戦いはハンデ戦なのか相手のライフが8000だな  
そりゃそれでも勝てるデッキだからなあ……  
この条件で戦いを挑んだのか？

「態々ライフハンデをあげたのに情けないわね  
デビルドーザー、デミス、ダイレクトアタック直接攻撃よ」

1ターンキルが決まったな……  
あの女、名前は雪兎と同じく藤原雪乃。

プロの決闘者、デュエリスト新人とは思えない実力だったな  
プロ世界ではまだデビューしていないが、半月後に初戦を飾るらしいな

プロ試験で試験管にオーバーキルをしたと雑誌に載っていた期待の新人だとか  
使用するデッキがまさかデミスドーザーだとはな、当然の結果か。

今回の参加は実力試しかな？  
それともプロになる可能性の有る奴の実力を測りに来たのか  
何でも良いか、俺には関係無い。

.....  
.....  
.....

学園内に入ってつと

あそこ、誰か居るのか？

おお……爆音が聞こえた

ちよつと覗くかな。

戦ってるのはつと……おいおい、あんたかよ

デュエルフィールド

この決闘場はこの前明日香が戦っていた場所だし

六武衆に愛されている場所なのか？

「ボクのターン、ドロー！」

彼女の場にはモンスターは0

伏せカードが1枚、六武の門には武士道カウンターが2個

ついでに六武衆の結束が2枚発動されていて各武士道カウンターが1個づつか。

相手の場にはセットモンスターが1体

そして伏せカードが3枚か……

伏せカードが邪魔だな。

「ボクは六武衆、イロウを召喚！」

六武衆の召喚に成功した事により、六武の門には武士道カウンターが2個

そして六武衆の結束には武士道カウンターが1個乗るわ

武士道カウンターが2つ乗っている六武衆の結束を墓地へ送り、効



果を発動

六武衆の結束に乗っていた武士道カウンターの数だけドローするわ乗っていた武士道カウンターは2個、よって2枚ドロー！  
もう1枚の六武衆の結束も墓地へ送り、更に2枚ドローよ！」

この時代にはまだ真六武衆は無かったはず  
六武の門は一応売ったが……1枚だけだぞ？  
こいつが買っていたのか。

「更に場に六武衆が存在している事により、六武衆の師範を特殊召喚このモンスターは自分の場に六武衆が存在している時、特殊召喚できる

そして六武の門に武士道カウンターを2つ乗せる

更に六武の門の効果を発動するわ

武士道カウンターを6つ取り除き、墓地に存在する紫炎を特殊召喚できる

よって、ボクは墓地より大將軍 紫炎を特殊召喚！」

……どうやって墓地へ送ったんだ？

愚かな埋葬か？

今は何ターン目なんだか……

寧ろ、よく墓地へ送るような事が有ったな。

それにしても……相手は危険だな  
伏せカードに賭けるしか無いか。

「これで勝てるけど……念には念を込めて

永続罠、王宮のお触れを発動！

このカードが存在している限り、このカード以外の罠カードの効果は無効化される！」

終わったな……この状況で勝つのは難しい  
あの伏せカードに速攻魔法があればだろうかという程度か  
イロウが出ている時点で終わってるだろうがな。

「バトル！」

イロウでセットされている守備モンスターに攻撃！  
そしてイロウの効果、イロウ以外の六武衆が存在している時  
セットされている裏側守備表示モンスターと戦闘を行う場合  
そのモンスターを裏側守備表示のままダメージ計算を行わずに破壊  
する！」

セットされていたのは人食い虫か  
相手はもう終わりだな……リバーズ効果は発動できないし。

「師範、紫炎で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「速攻魔法、収縮を発動！  
場のモンスター1体の元々の攻撃力を半分にする！  
この効果により、紫炎の攻撃力を半分の1250に！」

へえ、これで耐えられるな  
合計攻撃力は3350、650残るな。

「ふふ、残念でした  
速攻魔法、六武衆の理を発動  
自分の場の六武衆を墓地へ送り、墓地の六武衆1体を特殊召喚する  
ボクはイロウを墓地へ送り、六武衆・ニサシを墓地から特殊召喚！」

あーあ……2回攻撃だよ

そうでなくても勝てたのに。

「ニサシの効果

ニサシ以外の六武衆が存在している時、2回の攻撃ができる！

ニサシ、ダイレクトアタック直接攻撃！」

終わったな

六武衆の使い手、ツアン・ディレ……名前が色んな意味で凄い女  
現在は5戦4勝1敗の成績を持つプロ決闘者<sup>デュエリスト</sup>。

初戦で不運にも地獄と当たり、フルボッコされての敗北だったな  
ちなみに、地獄はその時既に4連勝中だったが……  
地獄戦でトラウマになったらしいが、復帰できたらしい。

現在、六武の門を手に入れてから絶好調という噂だ

最後の5戦目で手に入れ、その試合ではオーバーキルをしたらしい  
合計ダメージは7000ぐらいだったか？

相手のライフが10000ぐらいだったからな、6000のオーバー  
キルだ。

次に行こう、次

こいつとは誰かが……明日香他カルテットと戦うだろうな  
校長も厄介な奴ばかり呼び寄せたものだ。

………

………

………

さて、校長室だが……話し声が聞こえるな  
だが俺は自重しない、さっさと入る。

「校長先生、ちょっと話が有るんですが」

校長室に入るとピンクのスーツを着た女性  
髪の色は茶色、切れ目で美人だが……誰だ？

「おや、堅守君

今は少々立て込んでいてな  
後にしてもらえると助かる」

「後でも良いんですが、ちょっと今の話が少し聞こえましてね  
レーザー衛生、ソーラ……ですか？」

「「……………」」

黙る2人

さて、どうするかな？

「それは確か、世界を破滅にできる破壊の衛星  
その話が……何故こんな場所で行ってくるのか、気になる所です  
制御装置か何かを奪われたとか……ですかね？」

「その通りよ

ソーラのコントロール装置は、斎王琢磨の手に有るわ」

へえ……白板が持っているのか  
これはちよつと拙いかもしれないな。

「リンド君……」

「ここまで知られているんです  
いっその事、味方に引き込みましょう」

頭が良い女だな

校長の言葉から、彼女の名前はリンドか  
麟堵<sup>りんど</sup>じゃ駄目かな？ 駄目だよな。

「詳しい事は分かりませんが、予想ぐらいならできます  
白板……じゃなくて、齋王がコントロール装置の持ち主を洗脳した  
のでは？」

「……洗脳ですって？」

お、知らなかったのか？

「齋王自身も正気じゃないんです  
あいつは相手を洗脳する力を持っています  
それにしてもソーラのコントロール装置とはまた厄介な  
どうやって奪い返すか……」

「堅守君、君はどこまで知っているのかね？」

「ある程度の事ならば……」

そういえば教えてなかったですね

俺の下には齋王の妹、齋王美寿知が居ます

彼女からも色々と情報を貰っていますし

他にも、気になる事が多かったので調べています」

本当は話す予定は無かったがな

さて、さすがにソーラを持っていると知ったからには悠長にはでき

んな

どうせ似非がどうにかするんだろうが……不安だ。

「君の知っている事、教えてくれるかね？」

「いくらで買いますか？」

「買う？」

「俺だってただで調べたわけじゃないんです  
多少は危ない橋だって渡っていますし、金だって使っています  
その情報を無料で得ようとは……虫が良すぎると思いませんか？」

過去を調べさせたりしてるんだ

探偵の人達にはかなりの金と危険を渡している

そうやってようやく得た情報、誰がただで渡すか。

「しかし、今はそんな事を言っている場合では……」

「先払いですか？ それとも後払いですか？」

それとも情報は不要でしょうか？」

困る校長だが、これは妥協しないぞ

こっちは社長にまで頼んだんだ

俺はストレスで胃が痛かったんだよ。

「なら、我が国でその情報を買おう

お金は……これぐらいで良いでしょうか？」

出された指は3本

ふむ……情報だから微妙だな。

「我がミズガルズ王国ではこれが精一杯です  
どうか妥協してもらえませんか？」

ミズガルズ王国……確か小国だったな  
しかし、それでも世界を破滅させる事ができる衛生ソーラを所持している

非難は相当らしいが……それはどうでも良い。

「指を2本減らしても良いですよ  
さすがに危険国ですからね……あんまり貰って狙われると困ります  
無いとは思いますが、一応」

「すみません……」

本当は3本欲しかったんだがな  
俺だってかなりの散財してるんだ、1本はかなりの妥協だぞ。

「では話しておきましょうか  
先に言っておきますが、これはまだ調査中です  
それに重要機密に近い事も多いので他言無用でお願いします」

俺は話す

破滅の光と斎王の事を  
はあ……疲れる。

……

……

……

話し終えた時、場は沈黙に包まれる  
当たり前と言えば当たり前だな  
破滅の光なんて特に面倒な事だし。

「うーむ……彼がそんな事になっていたとは」

「言っておきますけど、まだ完全に確定している情報じゃないですよ  
今はどれだけが事実なのか確認中です  
さすがにそう簡単に情報は集まらないようですけど」

KC社はもう動いてくれないしな  
社長は知らん顔、手伝ってくれん  
他にどこか強い味方が居れば良いんだが……無理か。

「……情報、感謝します」

そう言ってリンドさんは出て行った  
金の事、忘れるなよ？  
忘れてても良いけど……音声は全部記録してるし  
普段から録音機は持ち歩いてるし。

「そういえば堅守君、何故校長室に？  
他に何か用が有ったんじゃないのかい？」

「ああ、忘れてました  
このカードを渡しておこうと思ひまして」

俺が懐から取り出し、校長に封筒のまま渡す  
校長は封筒を開け、驚いた。



「これは……サイバー・ダーク  
何故君がこれらのカードを？」

「じご……丸藤亮とは個人的には知り合いなので、この島に来た時に少し話したんです  
デッキを少し見せて貰い、そのカードを触った時に傷みが走りました  
何か危険な物なのかと思い、俺の持っている普通のカードとすり替えました」

本当に痛かったからな  
どんな素材で作ったらこんな痛みが走るカードができるんだ？  
呪われてるんじゃないか？

「そう……ですか  
では、今の亮は普通のカードを？」

「はい  
それで校長先生、質問しても良いですか？」

「なんででしょう？」

「何故……そんな危険なカードを渡したんですか？  
校長先生がサイバー流の元師範だった事は知っています  
しかし、貴方の性格からあいつにそんな危険なカードを渡すとは思  
えません」

何か理由が有るのでは？」

そう、それが凄まじく気になる  
この校長がこんな危険物を渡すとは思えない。

「……実はある日、亮から手紙が来たのだ

サイバー流裏デッキを自分に預けてほしいと

私は断ったのですが……亮は話を聞いてくれなくて  
決闘<sup>デュエル</sup>で決着を着け、私は負けた」

そりゃあのデッキじゃなあ……

校長もサイバー流を使うんだろうな

だとすれば……サイバー・オーガでも使うのか？

サイバーだし、可能性は高いが。

「私に勝った亮は言った

自分は誰が相手でも、どんな相手でも勝つ事が目的だと

普通のサイバー流だけではなく、裏サイバー流でも勝つ

サイバー流ならば、自分は誰が相手でも必ず勝つと……」

玲には負けたみたいだけどな

まあ、最終的に勝ったから良いかな？

あいつ、勝つまで相手に食らいつきそうだし。

「私は危険性を亮に説明した

それでも亮は……自分はサイバー流後継者だと言い、裏デッキを持  
っていった」

なるほど……地獄の奴、勝利に飢えているのは変わらないが

それでもサイバー流の後継者だという事には誇りを持っているんだな  
だからサイバー流なら全て使いこなすと……

道理でデッキ作成中はやたら熱心な訳だ

本気で勝つ気だから、絶対に勝つ為にか……凄いねえ

そんな信念が羨ましいが、俺は嫌だな……疲れそうだし。

「ちなみにその丸藤亮ですが

既に裏デッキは大幅改造していますよ？

サイバー・ダークをメインとしているデッキですが」

「そうなのですか？」

というか、表サイバーから既に改造されてたしな

裏サイバー……殆ど改造しなかったら微妙だったしな

何というかやっぱり、パワーが足りない！

「とりあえず、その危険なカードは渡しておきますよ

その危険物、処分するなり封印するなりしてくれると助かります

丸藤亮に返したら駄目ですよ、本人の心配とは別に色々有りますから」

「分かっています

このカードはキチンと封印しておきましょう」

校長はカードを封筒に入れ、机の引き出しに片付ける

できれば本当に処分して欲しいんだけどね

しかし校長だし、絶対にしないな。

「では俺の用事はこれで終わりました

それでは失礼します」

「待ってください

堅守君、君は何故……斎王琢磨の件

他にも破滅の光に裏サイバー流の事まで知っているのですか？」

……俺の答えは決まっているな。

「俺だからです」

そう言っただけ俺は部屋から出る  
はあ……疲れた

またこんな空間をと言われたらお断りだ。

さて、さっさと帰るかな。

……

……

……

帰り道、また誰かが決闘デュエルをしていた  
思ったよりもプレイヤーは残ってるな。

って、あいつかよ

見つからないようにしないとな。

「私のターン、ドロー！」

手札からアトランティスの戦士を墓地へ送り

デッキからフィールド魔法、伝説の都 アトランティスを手札に加  
えるわ」

その1……か、白い制服を着ているが

相手はプロ、プロランク8位のソムリエ・パーカーという謎名前の  
プロ

ワインを持ってキザに決めているが……顔が引き攣っているな。

場を確認してみると……当然か

ソムリエ・パーカーの場には酒豪神 バッカスと伏せカードが1枚  
バッカスは自分のスタンバイフェイズ時に攻撃力を300ポイント  
アップさせるモンスター

現在の攻撃力は……1600、元の数値のままだ。

その1の場には守備表示のネオアクア・マドール  
そして手札は3枚か……あいつなら勝てるだろ。

今まで戦い、苦戦していたんだろうな

ソムリエ・パーカーのライフは2700

その1のライフは4000のままか……

「そしてそのままアトランティスを発動！  
リバイアドラゴン

ネオアクア・マドールを生け贄に捧げ、海竜<sup>リバイアドラゴン</sup>ダイダロスを召喚！  
このモンスターはLV7だけど、アトランティスの効果を受けてい  
るわ

アトランティスは自分の手札、そして場の水属性モンスターのLV  
を1下げる

よって手札に有ったダイダロスのLVは7から1下がり、LV6と  
なっていて生け贄は1体で済む」

何度も使っている事だな

俺との決闘<sup>デュエル</sup>でも何度も使っていたし。

「更にダイダロスの効果を発動！

場に存在する海のカードを墓地へ送り

ダイダロス以外のモンスターを全て破壊する！

アトランティスは海として扱う、よってアトランティスを墓地へ送る

そしてダイダロスの効果、全て消え去りなさい！」

ソムリエ・パーカーの伏せカードは神々の杯さかずきか

速攻魔法、自分の場に水属性モンスターが存在している時に発動可能  
自分の場に攻撃力、守備力共に1000のワイントークンを特殊召喚する

なるほどな、バツカスが破壊されそうになったら発動して壁にしよ  
うと……

だが、残念ながら全て吹き飛ばされた  
これでもう壁は無いが……

「クッ……しかし、私のライフは2700

ダイダロスの攻撃力は2600

よって、私のライフはまだ残る！」

そういう事だ

どうやってこの状況を超えるのかな？

既に通常召喚もしているし。

「私は墓地の水属性、ネオアクア・マドールをゲームから除外  
そして手札から水の精霊 アクエリアを特殊召喚！」

なるほど、そう来たか

これで合計攻撃力は4200、1ターンキルができるダメージだ  
今日は1ターンキルデーか？

全ての戦いで1ターンキルを見ているぞ。

「ダイダロスとアクエリアで直接攻撃！  
ダイレクトアタック」

さて、これ以上見ても無駄だな  
さっさと行こう。

最後の最後にソムリエ・パーカーの声が聞こえた。

「私の完敗だ

未知のワイナリーから生まれた極上ワインと言うべきか  
私の完敗に……乾杯だ」

く、下らない……

こんな捨て台詞を言うとは……

それはそうと、その1もプロに勝つとはな

これはあいつらもうかうかしてられないかもしれん  
さて、こいつは誰が倒すんだろうな？

……気になってみている場合じゃないな  
さっさと逃げよう

その1に絡まれたら面倒になりそうだ。

## 121話【8日目】（後書き）

雪乃の相手が玲か……

誰にしようかと悩んだ結果、こうなりました

実は最初は玲視点にしようかと思ったのですが……

まあアレですのでこうなりました

裏話になりますが、玲は7日目は美寿知と話して1日を過ごし  
今回が大会の初戦です。

玲がサイバー・ドラゴン!?

何度も亮の表サイバーデッキを使用し、亮の裏サイバーデッキと戦  
いました

なのでサイバー・ドラゴンを1枚だけ玲に貸しています

大会中はサイバー・ダークしか使わない予定なので大会中のみ  
の使  
用ですが。

雪乃の予想、どっちなの？

どっちでしょうね？

瑞貴が全員に課題を出したのって……

さっさと大会を終わらせる為です

自分がしたら疲れるので勝手に動くようにと……

まさかのプロゆま再び……

1ターンキルを決めています。

プロ雪乃!?

TF4の雪乃です、見た目も

使用デッキはデミスドーザーや儀式天魔神



なのでデミスドーザーを選びました  
今作の設定はプロにデビューする直前状態  
ちなみに既に学生雪乃は玲に負けているので同キャラ対決はありません。

ツァン・ディレって？

TF4から登場、使用デッキは六武衆

一人称はボクのツンデレ設定、ツンドラの大蠍は健在……だそうで  
今作の設定ではプロであり、初戦で亮に大敗して心を折られた人  
大会でリベンジできるかは……秘密  
そしてネットで六武の門を手に入れ、絶好調だそうです。

交渉で出てきた指の本数は？

動かす金です

単位に関してはご想像にお任せします。

裏サイバーデッキって継承したんじゃない……

半分以上は強引に持っていました

しかし、亮は自分の中では継承という感じデュエルです

決闘で勝ち、校長を言い負かしたのでそう思っています  
が、当然ながら半ば強引という自覚は有ったりします。

ソムリエ・パーカーって？

アニメで登場したプロ決闘者デュエリストです

アニメではジュンコ&ももえペアで負けそうになり、戦意喪失  
それから明日香が戦いを引き継ぎましたが  
この作品では勝ちました、自力の上に1人で。

原作、アニメオリジナルカード

トラップ・ブースター

手札を1枚捨て、手札の罠カードを発動できる  
単純明快、それだけです。

酒豪神 バッカス

自分のスタンバイフェイズ毎に

このカードの攻撃力は300ポイントアップする  
単純な効果です、もっと強いモンスターは多いので使う人は少な  
そうです

見た目もおっさん……

神々の杯みかづき

自分フィールド上に水属性モンスターが存在する時に発動可能

自分フィールド上にワイントークンを1体特殊召喚する

微妙……通常召喚後に発動する意味も薄いですし

壁にするにしても、瑞貴が解説した通りの形になりそうです。

ツイッター、マトリョシカって変わった曲ですね

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
PV絵が怖いのであまり見ませんが……

## 122話【9日目】（前書き）

「今日の最強カードはスピリットバリア

永続罠カードで戦闘ダメージを0にできるわ

ただし、自分の場にモンスターが居ないと効果を発揮できない  
そこだけには気をつけなさいよ？

私は……あまり好みのカードじゃないわね、攻める方が好きだし」

サディストだし、仕方無いですね

一部はマゾヒスト……雪乃でした。

今回は色々と衝撃的な回かも？

まあ……アレでアレで、アレな回です

何が言いたいかと言えば……まあアレです。

次回は……動きますかね

何がとかは訊かないように。

## 122話【9日目】

視点 瑞貴

くぁ……眠い、しかし早い内に動かないとな  
明日か……それぐらいに動くか。

って、メール？

誰から……校長？

内容は話が有るので至急校長室に来い？

何だって俺に……面倒だな

まあ呼び出したから仕方無い、行くか。

外には誰も居ないな

さっさと行くか、見つかると面倒だし。

……

……

……

今日は誰とも合わずに校長室に着いた  
ったく、何の用だよ？

「失礼します、呼び出されたので来ました……」

って、おい！

何であんたがここに居るんだよ！

「ハロー、瑞貴ボーイ」

話し方が鬱陶しい、片眼会長！

それで何故俺を呼び出すんだ！

あんたとは殆ど関係は無かったはずだ！

「どうも、か……ペガサス会長」

「今、何か私に対して不愉快な事を言おうとしませんかデシタか？」

チツ……千年眼が無くなっても

元々持っていた直感力は健在か

というか、この男の年齢はどれぐらいなんだ？

「何の事でしょう？」

それで、俺が呼ばれた理由は何ですか？」

「堅守君、君に訊きたい事が有ってね

君は……究極のDのカードを知っているかい？」

究極のD？

D……Dは、ディフォーマー無いな

となるとD－HEROかな？

そして究極のDか……どのカードだ？

ドラグーン  
Dragon ディエンド  
D－ENDか？

ここは惚けるのが正解だろうな。

「さて……知りませんね

「何故俺にそんな事を？」

「本当に何故？」

俺、D－HEROには全くの無干渉のはずだが？  
いや、赤鳥と呼んでるがそれは使用者にだし。

「君が昨日話してくれた破滅の光  
その事が関係しているのだよ」

……ジーザス、何故俺は巻き込まれた  
それもこれも……地獄が悪い！

あいつは俺をどこまで振り回せば気が済むんだ！

「実は我が社でも、その破滅の光に関して調べていマシた  
この事をミスター鯨島から聞いて、とても驚きマシた  
我が社以外でも、この事を調べている者が存在し  
更に自分で調べているのデスから」

オー……半分は自業自得か

俺は何もしないで存在するだけが正解なのか？  
そうしたら、俺は巻き込まれずに済むのか？

「知りませんね

俺は自分に危険が来ない為に動いただけですよ

斎王が危険だという事は分かりますし

斎王を調べた時、偶然にも破滅の光に辿り着いただけです  
貴方方が期待するような事は知りません」

「嘘デスね」

断言かよ!?

「私の勘ですが、ユーは必ず何か知っている  
私の直感を嘗めないでいただきたい  
瑞貴ボーイ、知っている事を教えてくだサーイ」

直感……やっぱり千年アイテムの所持者には何か有るのか？  
いや、元所持者だが……

「知らないと言ったら知りません  
例え知っていても、教える気は無いですね  
自分で調べた事を何も無く、相手に話すなんてしません」

買うって言うなら考えるが……やっぱり話さない  
面倒になるって分かってるし。

「なら、決闘<sup>デュエル</sup>で決めまショウ  
私とユー、勝った方が相手に何かを要求できるとはドウでしょう？」

「お断りします」

即答で切り捨て  
片眼会長も校長も啞然としている。

まあ当然だろうな  
何せ相手は巨大会社の会長  
その上、デュエルモンスターの生みの親  
普通なら感激して受けるだろうがな。

「か、堅守君

ペガサス会長との決闘<sup>デュエル</sup>なんて普通はできない  
滅多に無い機会なのに、何故断るのかね？」

「俺に何もメリットが無いので

そちらは勝ったら俺に何かを話させる

しかし、俺が勝ってもペガサス会長に要求したい事なんて無い  
なので損しか無いんです」

そうでなくとも戦いたくなんて無いね

始祖が相手だなんて嫌に決まってるだろうが

この世界の決闘<sup>デュエル</sup>で殆どが決まる事を忘れてた  
金で解決できないならこっちで来るんだったな。

勝つ事はできる、対ペガサス用のアンチデッキだって当然作っている  
しかし……実際に相手をするのは遠慮したい  
勝ったら問題になりそうだし、負けたら俺が損をする。

「どうしても話さない？」

「知らない事は話せないと思いませんか？」

何を期待しているかは知りませんが、俺は動きませんよ  
俺が動くのは自分に関係する事だけです

貴方達の調べ事は俺には無関係なので知りません」

究極のDねえ……可能性としてはやっぱり<sup>ドラグーン</sup>Dragoon D—E<sup>デュー</sup>  
ND<sup>エンド</sup>か？

それかD—HERO <sup>ブルーデュー</sup>ドグマガイ、D—HERO ドレッドガイ、  
D—HERO <sup>ブルーデュー</sup>Blower D  
これらの最上級モンスターのD—HEROの可能性が高いな。



「ほう？」

む、何だ片眼会長

その意味深な顔と何かを探るような目はあんだ、既に千年眼を持ってないんだろ？  
だったら俺の考えは読めないはずだ。

「私は大きな会社の会長をしていマース」

突然何を……

「大きな会社だと、当然ながら交渉も多いのデース  
立場も重役なので当然でしょう

それがどういう意味か……ユーには分かりマスか？」

なるほど……そういう事か。

「狸と狐の化かし合いでは自分の方が圧倒的に有利……ですか  
そりゃ勝てません、交渉の初心者俺が会長に勝てるはずが無いで  
すね」

「そういう事デース

ユーは確実に何かを知っており、更に何かを隠していマース  
私にはユーの考えがある程度読めるのデース」

チッ、経験値の差か

俺が勝てるはずが無いじゃないか  
千年眼が無いと思って油断し過ぎた  
もっと警戒するべきだったな。

「ここまで言えば分かるデシヨウ？  
ユーは私との決闘から<sup>デュエル</sup>は逃げられない  
必ず受けてもらいマース」

くそつたれ……本当に逃げられん  
例え逃げても、逃げ切れないだろう  
だとしたら受けるしか……無いか！

「分かりました、受けましょう  
ただし、条件が有ります

ペガサス会長と戦う為に別のデッキを使用して良いですか？  
まあ……対トウーン用のアンチデッキですが」

「オウ、トウーン用のアンチデッキ？  
良いでしょう、トウーンはパーフェクトな存在デース  
例えアンチデッキだとしても、それは事実だと教えてさしあげマシ  
ヨウ」

教えた理由は簡単  
少しでもプレッシャーになればと思ったんだが  
ったく、全く堪えてないだと？  
さすが会長、肝が据わってるな。

こうなると態々デッキを教えたデメリットが拭えん  
完全に失敗だったな  
拙い……トウーンのアンチデッキの使用は止めるか？

「どんなデッキが相手でも構いまセーン  
私が必ず勝つのデスから」

凄い自信なこと

こうなったら絶対に勝ってやる！

何が何でも、絶対に！

.....

.....

.....

部屋に戻り、デッキを取りに帰った

そして屋上……俺と片眼会長は向かい合う

嫌な相手だ、プレッシャーがヤバイ。

さすがDM王国編のラスボス

思考を読まれる事は無いが、それでも厄介なのは事実

トゥーンのダイレクトアタック直接攻撃が問題だな。

それよりも問題は俺が勝たなければならないという事だ

もし負けたら……どこまで話させられるか！

教えるとしても、カードや破滅の光までにしてくれよ？

「デュエル決闘！」

「先攻は私が貰いマース、ドロー

トゥーン・ゴブリン突撃部隊を召喚しマース

カードを1枚伏せ、ターンエンドデース」

ゴブリンのトゥーンモンスターか

攻撃力は元のゴブリンと同じ、2300

効果は殆ど同じだが……

「どうですか、私のトウーンは  
愛らしい姿でしょう？」

デフォルメされたゴブリン達がウィンクしてくるが……正直に言おう  
どこからどう見ても……気持ち悪い  
というか引く、それが4体も……いや、カードは1枚なんだがな。

「俺のターン、ドロー」

さて、どうするか……

まだトウーン・ワールドは来ていないのか  
それとも使う必要が無いと思っているのか……

トウーンの弱点

ダイレクトアタック

条件次第では直接攻撃までできる厄介なモンスター  
戦闘破壊しようにも、原作初期の効果は戦闘で破壊されない効果を  
持っている

今は原作初期効果なのか、それともOCG効果になっているのか……

それが分からない

ならば、どっちでも良い方法を取れば良い

そう、例えるならこんな手段だ。

「魔法カード、クロス・ソウルを発動

このターン、俺は相手モンスターを生け贄にする事ができる  
ただし、このカードを発動したターンはバトルフェイズを行う事が  
できない」

そう、生け贄にしまえば良い

戦闘で無敵だと言うのなら、他の方法で消すだけだ

無敵のトゥーン？ それは戦闘だけだよ。

「俺はトゥーン・ゴブリン突撃部隊を生け贄に捧げる  
そして俺は地帝グランマージを召喚！」

トゥーンの弱点の1つ、それは帝

トゥーン・ワールドが破壊されると自壊してしまうトゥーン  
そのトゥーン・ワールドを簡単に消す力を持つ帝。

他にも殆どのトゥーンの攻撃力を超える攻撃力

バウンス、除外などと色々とできる

他にもコントロール奪取して生け贄に捧げる

これでもトゥーンを除去できる。

「グランマージの効果

場にセットされているカードを1枚破壊する

その伏せカード、破壊してもらいましょうか？」

「速攻魔法、スケープ・ゴートを発動しマース

この効果により、羊トークンを4体

私の場に特殊召喚しマース」

うわぁ……これは困った

トゥーンモンスターは特殊召喚できるモンスターが居る

そいつが出てきたら……ちょっと困るな。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドです」

「私のターン、ドロー

アンチデッキと言っていました……帝を使ったデッキデスか

私はデッキの上からカードを5枚除外し  
永続魔法、トゥーン・キングダムを発動！」

アニメオリジナルカード……出てきたか

また面倒であり、困ったカードを選んでくれたものだ。

だが、これでハッキリとした

片眼会長が使うトゥーンはOCG効果のトゥーンだ。

トゥーン・キングダムはトゥーンが戦闘破壊される時

デッキトップを除外する事で戦闘破壊を免れる効果

これでトゥーンは戦闘で破壊できる事が分かった。

「トゥーン・キングダムはトゥーン・ワールドとして扱いマース

そして、羊トークンを生け贄に捧げ、トゥーン・デーモンを特殊召喚！」

出てきたか……トゥーン・デーモン、LV6のモンスター

攻撃力は2500と、デーモンの召喚と同じ

まあ、デーモンの召喚がトゥーン化した姿だしな。

「羊トークンは本来、生け贄召喚の生け贄には使えませーん

しかし、トゥーンモンスターは特殊召喚モンスター

よって羊トークンの制限には引っかかりませーん」

確かにそうだ

だが……そのトゥーンの特性

それはそのまま弱点となる。

「永続罨、王宮の弾圧を発動

ライフを800払い、モンスターの特殊召喚を無効にし、破壊する  
ただし、この効果は相手も使用できますが」

「オウ！」

まさか王宮の弾圧デスか!?!」

トゥーンの弱点の1つ、それは特殊召喚

全てのモンスターに刺さるわけじゃないがな

トゥーン・ブラック・マジシャン・ガール以外の上級トゥーン全て  
に刺さる

よって、高攻撃力モンスターは出せない。

この状況で帝を超える攻撃力を持つトゥーンは存在しない

ライフコストはこのライフ4000世界では少し痛い

それでも、攻撃力3000のブルーアイズ・トゥーン・ドラゴン  
は怖いからな。

「ふむ……厄介デスね

しかしこれぐらいならあまり問題ではありませんね

私はトゥーン・キャノン・ソルジャーを守備表示で通常召喚しま  
す」

チッ、普通に出せるモンスターも居たか

しかも厄介な事に、トゥーン・キャノン・ソルジャー

そして場には羊トークンか……

しかし、なんというコミカルモンスター

これが片眼会長が愛する漫画世界か……

って、俺も今は漫画、アニメ世界の登場人物か  
あまり考えたくない事を思い出させやがって。

「トゥーン・キャノン・ソルジャーの効果を発動しマース  
自分の場のモンスターを生け贄に捧げ、相手に500ポイントのダメージを与えマース

この生け贄は勿論、生け贄召喚の生け贄ではありません  
よって、羊トークンの制限には引かかる事はありません」

場に残っている羊トークンは残り3体

よって俺が受けるダメージは……1500ポイントか。

「私は羊トークンを生け贄に捧げ、トゥーン・キャノン・ソルジャーの効果

相手に500ポイントのダメージデース」

トゥーン・キャノン・ソルジャーは羊トークンを……食った!?

そして何故かパワーが充電されて……キャノンを撃ち出すのかよ!

って、おおお! どうなってるんだ!?

あらぬ方向へ撃った弾がこっちにうねりながらこっちに来るだど!?

「お、お、お……おお!」

俺の周りを回って直撃するな!

鬱陶しいな!

「更にもう1体、羊トークンを生け贄に捧げマース  
トゥーン・キャノン・ソルジャー、撃ちなさい!」

また……って、ん?

撃った弾が落ちた……そして地面に潜って  
という事はまさか!



うおあ！？

足元から出てきて目の前に飛び出てくるな！  
驚いただろうが！

「最後の羊トークンも生け贄に捧げマス」

今度はどんな方法で撃ってくるのかと思ったんだが……  
また羊トークンを食べたトゥーン・キャノン・ソルジャー  
そしてそれを……吐き出すな！

しかも普通に今までの弾丸と同じ弾だと！？

これは当たりたくない！

ソリッドビジョンでも、嫌なものは嫌だ！  
という訳で避ける！

まあ、避けてもダメージには変わり無いんだがな  
はあ……1500のダメージか  
これはちよっと困ったな。

王宮の弾圧のライフコストも払ってるし  
合計で2300、残りライフは1700か。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドデース」

さすが……と、言うべきかな？

さて、さっさとザボルグを召喚するか  
手札には無いがな。

「俺のターン、ドロー」

速攻魔法、エネミーコントローラーを発動する

自分の場のモンスターを生け贄に捧げ、相手モンスターのコントロールを得る

グランマードを生け贄に、トゥーン・キャノン・ソルジャーのコントロールを奪う」

「また……コントロール奪取カードデスカ」

トゥーンの殆どは召喚時に攻撃できない  
だったらそのタイムラグを利用して奪うだけだ。

「そしてトゥーン・キャノン・ソルジャーを生け贄に、炎帝テスト  
ロスを召喚

このモンスターの生け贄召喚に成功した時、相手の手札をランダム  
に選択し、墓地へ送る

そのカードがモンスターカードだった場合、そのモンスターのL V  
×100ポイントのダメージを与える

ペガサス会長の手札は2枚、左のカードを捨ててもらいましょうか  
？」

「ならばこの瞬間、罠カード発動しマース、トゥーンのかばん

自分の場にトゥーン・ワールドが発動されており、更に相手がモン  
スターを召喚して来た時に発動

その召喚したモンスターをデッキに戻しマース」

また厄介なカードを……しかも破壊でも無い  
また反則級のカードだな。

「しかし、それでも召喚には成功しています  
手札のカードを捨ててください」

ペガサス会長が捨てたカードは魔法カード、コピーキャットデッキの上から5枚のカードを除外して発動相手の墓地のカードを1枚、自分の手札に加える。これもかなりの反則カードだな。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドです」

さて、このままだと拙いか？

俺の場にモンスターは存在していない

相手の場にもモンスターは居ないが……

手札が1枚、そしてドロも有るから油断はできん。

「私のターン、ドロ」

魔法カード、トゥーンのもくじを発動

デッキより、トゥーンと名の付くカードを1枚手札に加えマース

私はデッキから、トゥーン・ブラック・マジシャン・ガールを手札に加えマース」

生け贄召喚ができないのに上級モンスター？

罨モンスターでも使うのかと思ったが、伏せカードは無いとなると……

「魔法カード、デビルズ・サンクチュアリを発動

私の場にメタルデビル・トークンを1体、特殊召喚しマース  
そしてメタルデビル・トークンを生け贄に捧げ

トゥーン・ブラック・マジシャン・ガールを召喚デース」

出た……元々鬱陶しかったマナが更に鬱陶しくなった姿  
可愛いと言えば可愛いんだが……こっちも抱き枕にしてみたいな

あの小ささ……抱き心地が良さそうだし。

「永続罨、メタル・リフレクト・スライムを発動  
自分の場に守備力3000のメタル・リフレクト・スライムを特殊  
召喚する」

「しカーシ、トゥーン・ブラック・マジシャン・ガールは相手がト  
ウーンをコントロールしていない時  
相手プレイヤーに直接攻撃ができマース  
ユーは頑張りましたが、ここまでのようデスね  
トゥーン・ブラック・マジシャン・ガールでプレイヤーに直接攻撃  
！」

俺がそんな事、予想していないはずが無いだろ！  
トゥーンの弱点、これもその1つ！

「永続罨、スピリットバリアを発動  
自分の場にモンスターが存在している限り  
俺への戦闘ダメージは0となる」

これがトゥーンの弱点  
正確には、直接攻撃モンスター全ての弱点  
それがこのカードだ。

「なるほど、確かに厄介なデッキデスね  
トゥーンの知識も持っているようデスし、これはなかなか……  
瑞貴ボーイ、ユーを少し侮っていたようデース」

そいつはどうも、見直してくれたかな？  
別に嬉しいとは思わないがね。

「仕方無い、ターンエンドデース」

お互いに手詰まり状態

俺は手札が無い、片眼会長は俺にダメージを与えられない  
さて……どっちが先に相手の場を荒らせるかな？

「俺のターン、ドロー」

魔法カード、天使の施しを発動

デッキからカードを3枚ドローし、2枚を捨てる」

運が良いとか何というか

とりあえず墓地肥やしができたから良しとしよう。

「俺は場のメタル・リフレクト・スライムのLVを1つ下げる  
これにより、墓地のレベル・ステイラーを特殊召喚する」

「ほう？ 私の知らないカードデスね

気になりますが、今は良いでしょう

LVを下げて特殊召喚するモンスター……ならば王宮の弾圧はの効  
果は使用しまセーン

LVを下げられるだけ何度も特殊召喚されそうデスからね」

さすが、よく分かってる

メタル・リフレクト・スライムのLVは10

よってLVは6回下げられる

毎回800ライフを払っていた場合、4800ものライフコストが  
必要だ

なら最初から諦める方が賢明だな。

「レベル・ステイラーを生け贄に捧げ、闇帝ディグルを召喚  
そして闇帝ディグルの効果を発動

このモンスターの召喚、特殊召喚に成功した時

相手の墓地のカードを2枚まで除外し、除外した枚数だけ相手のデ  
ツキの上から2枚墓地へ送る

俺はペガサス会長の墓地に存在するトゥーン・キャノン・ソルジャ  
ーとトゥーン・デーモンを除外

更にデツキの上から2枚を墓地へ送ってください」

まったく、このタイミングでディグルか

できれば攻撃したかったんだがな

他のカードが……まあ、帝がこれしか来なかったんだから仕方がな  
い。

トゥーンは墓地依存デツキじゃない

寧ろ、墓地に送られると困るカードの方が多い

だから入れたんだが……失敗したかな？

「また私の知らないモンスター……

帝は炎帝、氷帝、雷帝、風帝、地帝、邪帝の6体のはず

なのに新しい帝……闇帝デスか」

やっぱり気になるか？

仕方無いんだが……まあ気にするな

無理だとは思うがな。

「ディグルは召喚、特殊召喚したターンは攻撃できません  
俺はこのままターンエンドです」

さて、どうする？

攻撃力なら勝っているが……

「私のターン、ドロー」

魔法カード、強欲な壺を発動しマース、この効果によりデッキから更に2枚ドロー

ダメージを与えられないのなら攻撃しても仕方無いデスね

トゥーン・ブラック・マジシャン・ガールを守備表示に変更  
カードを1枚伏せ、ターンエンドデース」

これで時間を稼ぐ

だがこのままでは時間を稼ぐだけが精一杯

もしあのカードが来たら……俺の負けだ。

「俺のターン、ドロー」

ディグルのLV6から5に下げ、レベル・ステイラーを特殊召喚  
そしてレベル・ステイラーを生け贄に捧げ、邪帝ガイウスを召喚  
ガイウスの効果発動、召喚に成功した時、場のカードを1枚除外する  
そして除外したカードが闇属性モンスターだった場合、相手に1000ポイントのダメージを与える

俺が選択するのは当然、トゥーン・ブラック・マジシャン・ガール」

トゥーン・ブラック・マジシャン・ガールの属性は闇

これで1000ポイントのダメージ、更に直接攻撃で勝てる

問題はあの伏せカードだが……まあ大丈夫だろう。

ガイウスが手元に闇を作り出す

そして、そこにトゥーン・ブラック・マジシャン・ガールが悲鳴を  
上げながら吸い込まれた

……シニールだな。

そして闇属性モンスターを吸収したせいか、闇は爆発片眼会長に爆風が襲いかかり、1000ポイントのダメージを与える。

「クッ、私のトゥーン・ブラック・マジシャン・ガールが……」

これで壁モンスターは居ない  
俺の勝ちだ！

「ガイウス、ダイレクトアタックで直接攻撃！」

「それは許しません、カウンター罠、攻撃の無力化を発動  
相手モンスターの攻撃を無効にし、更にバトルフェイズを終了させ  
マース」

チッ、防がれたか

まあ次のターンになれば……多分勝てるはず。

「ターンエンド」

さて、どうするかな？

この状況だ、そう簡単には勝てないだろう

あのカードさえ来なければだが……

「私のターン、ドロー」

……瑞貴ボーイ、ユーは強かった

例えアンチデッキを使用したとしても、なかなか苦戦しました」

ガイウスの効果でしかダメージを与えてないけどな

くそったれ……どいつもこいつもタイミングの悪いカードばかり出



やがって

やっぱりディグルは抜いておくべきだったか？

「しかし、この決闘<sup>デュエル</sup>私の勝ちデース

魔法カード、シャドー・トゥーンを発動！」

……終わった、俺の負けだ

こればかりはどうにもできん

俺の運は……制作者には勝てなかったらしいな。

「自分の場でトゥーン・ワールドが発動している時にのみ、発動可能相手の場のモンスターを1体選択し、その攻撃力分だけ相手プレイヤーにダメージを与えマース

私が選ぶのはユーの邪帝ガイウス、その攻撃力は2400デース」

くそつたれ……トゥーン・キャノン・ソルジャーさえ居なかったら耐えきったのに

王宮の弾圧を使っていなければライフが100残ったのに

ここは……超古代生物の墓場を使うべきだったな。

ガイウスがこちらを向く

そして攻撃……その闇に当てられるって、普通の攻撃じゃないのか？まあこれは効果ダメージだからスピリットバリアで防げないんだが。

つと……終わりか

はあ、この世界に来て初めてかな？

1VS1で負けるのは……相手が相手だからまだ気分的にマシかこれが似非だったら立ち直れん。

「私の勝ちデース」

「そうですね、ペガサス会長の勝ちです  
はあ、これじゃあアンチデッキの名が泣きますね  
また別のアンチデッキを組み直すか……」

まあ、もう決闘はしな**デュエル**いと思うがな  
もう片眼会長が使うアニメオリジナル入りトゥーンとは戦いたくない。

「では話してもらいマスよ？  
ユーが知っている事を  
そして私が知らないカードの事も」

「お断りです  
斎王と破滅の光に関しては話しましょう  
その件での事は話しますが、カードの事は話しませんよ  
それは約束に入っていないからね」

「言いたくないのデスカ？  
それとも何か理由でも？」

「申し訳ありませんが話せません  
この件に関しては諦めてもらえると助かります」

片眼会長は黙る  
俺も黙るが……何か言えよ。

「カードを見せてもらえマスか？」  
これは妥協するしかないか

諦め、ディグルとレベル・ステイラーを渡す。

片眼会長は黙ってカードを色々と見ている  
何を調べているのか……特別な力なんて無いぞ？

「普通のカードデスね

わかりました、この件に関しては黙認しマシヨウ  
違法で作られたカードでは無さそうデスしね」

そう言ってくれると助かる  
良かった良かった。

「ところでそのカード、我が社で作成してもいいデシヨウか？  
是非作ってみたいのデスが」

あ、そう来るんだ  
さすが制作者、熱意が半端無いな。

「まあ……良いですけど  
情報代という事で少しはくださいよ？」

「それぐらいなら構いまセーン  
では校長室に行きマシヨウか？」

そう言われ、連行される俺  
どうやって誤魔化したものか……

結局、俺が話した事は当たり障り無い事  
俺の知り合いである明日香やカルテット達が狩りまくっている事を  
教える

そいつらにもし赤鳥以外にもD－HEROを使う奴が居たら知らせるようにと

これぐらいしかできそうに無いが、感謝されるとは……お人好しなのか？

それに、校長はともかく片眼会長

あんたは絶対俺がまだ隠し事をしている事に気付いていただろ時々鋭い目を向けやがって……怖かったぞ

社長とは別の意味で怖い……なんというか、考えを読まれる的な意味で

千年眼はもう無いから読めないはずなんだがな……となるとあの目は癖か？

俺からも多少は動く事を伝えておく

本当に早く動くべきだな

恩を売っておくぐらいにはなるだろう

その恩で色々と黙っていてももらえれば良しだ。

……それにしても、この世界で初めて1VS1で負けたのに殆ど気にしてないな

やっぱり元の世界みたいにローズやデミス、裁きで吹っ飛ばされて負けたわけじゃないからか？

ロックもできたし、相手も割と普通に戦ってくれたしなるほど……これが満足して負けたという感じなのか。

この感じ、元の世界でも味わいたかったな

お互いに決めたい事を決めて戦う、それが好きなのにな

どいつもこいつも……即勝つしか考えてないから楽しみなんで無い本当にこの世界は気楽だ……こんなに楽しい敗北は初めてだよ。

また負けるとしても、こんな負けが良いな  
もう負ける気は当然無いけどな。

## 122話【9日目】（後書き）

何故ペガサスが居るの！？

クロノス、ナポレオンの勘違いの回です

3人でトライアングル決闘デュエルをした後の話となります。

王宮の弾圧……

これ、できますかね？

作者は王宮の弾圧を使用した事が無いので更に微妙です。

瑞貴が負けた……

どうしようか悩みましたが、負けました

が、殆ど悔しく思っていない

理由は最後の通りです。

原作、アニメオリジナルカード

トゥーン・キングダム

デッキの上からカードを5枚除外する

このカードはトゥーン・ワールドとして扱う

トゥーンモンスターが戦闘で破壊される時

デッキからカードを1枚除外する事で戦闘破壊を無効にする

こんな感じですかね？ ダメージ計算は適用しますよ

除外と組み合わせれば有効なカードかもしれませんね

更にライフコストも不要ですし……こっちの方が素直に強い？

トゥーンのかばん

自分の場にトゥーン・ワールドが存在し、相手がモンスターを召喚

した時に発動可能

相手が召喚したモンスターをデッキに戻す

トップとかは不明、多分適当に戻してシャッフルでしょう  
マルファクシヨン  
ちなみにアニメでは誤作動の効果で無効にされていました。

コピーキャット

デッキからカードを5枚除外して発動する

相手の墓地のカードを1枚手札に加える

単純に凶悪なカードです……除外は少し重いですが

それでも相手の墓地のカードを何でも1枚使用できるので  
モンスター、魔法、罠……どれでも有りとか反則ですね。

シャドー・トゥーン

自分の場にトゥーン・ワールドは存在している時に発動可能

相手の場のモンスターを1体選択する

そのモンスターの攻撃力分、相手にダメージを与える

……かなり極悪なカードです

元々は不明ですが、現在の攻撃力ならば超極悪カードですね

例えばトゥーン・ワールドが必要でも、それでも条件が優しすぎます。

ツイッター……アニメオリジナルトゥーン系カード欲しい

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
トリッキーなのって楽しくないですか？

## 123話【10日目?】（前書き）

「今日の最強カードは針二千本ツースauザンド・ニードル

攻撃力2000、守備力1800の地属性獣族、そしてLVは5ですわ

守備表示のこのモンスターが攻撃された時

このモンスターの守備力が相手の攻撃モンスターの攻撃力を上回っていた場合

ダメージ計算後に攻撃してきたモンスターを破壊しますわ

だけど……この能力でLV5の上にこの効果ではちょっと難しいですわね

サウザンド・ニードル  
これならまだ針千本の方がマシですわ」

更に良いモンスターはデス・カンガルー

融合先が有る時点でこっちの方が上、ももえでした。

頭痛い……腹が痛い……ついでに喉が痛い

風邪ですかね？

それでもよく書いた自分が少しだけ凄いと思った今日この頃。

とうとうこの2人の対決です

誰かは見れば分かります

そして久しぶりの彼女の登場……何話振りですかね？

次回はどうぞでしょうかね？

風邪だとして、悪化しない事を祈ります。



## 123話【10日目?】

視点 マナ

ふぁ……精霊はあまり寝る必要は無いけど  
ずっと寝るような習慣を付けてきたから眠い  
夜は頑張ったし、あまり眠れなかったなあ。

眠いからついふらふらと……あた!  
誰かが居たみたいでぶつかっちゃった。

「つと、誰?」

「ん、ごめんなさい  
……明日香さん?」

「マナじゃない  
どうしたの? そんな眠そうな顔をして」

明日香さん、玲ちゃんが来てから自分の部屋で寝てるから知らない  
んだっけ  
寝る場所が無いからって追い出されて……当たり前だけど。

「夜中にちょっと……  
別に寝なくても良いんだけど、する事ができたから  
それで寝て無くて、ちょっと寝不足  
頑張ったから疲れてるし」

「（夜中にする事？

頑張った？ それに疲れる？

……まさか！）

マナ、まさか瑞貴の……」

あ、分かったの？

明日香さんって凄いなあ……

「うん、そう

頑張ったけど、上手くいったよ？」

あれ？ 明日香さんの顔が真っ赤に……

怒ってるような、別にも思えるしどうしたんだろう？

「マナ、決闘よ」  
デュエル

「ええ！？

いきなりどうして！？」

本当に何で！？

私、何かした！？

「細かい事は気にしないの！

良いから決闘よ！」  
デュエル

私に八つ当たりされなさい！」

八つ当たり宣言！？

本当にどうしたの！？

私は別に何も悪い事は……したけど  
でも怒られるような事じゃないはず！

「（あれ？ 何で私怒ってるのかしら？  
きつと瑞貴が悪い、そうに決まってるわ  
だからマナに八つ当たりするのは正統な事よ  
うん、そうに決まってる……はず！）」

な、なんで睨まれてるのお……  
サラあ……どうしてか教えてえ  
……目を背けられた！？

ううう……なんで私ばかり！

「さあマナ、構えなさい！」

「はあい……ううう」

デッキをセット、明日香さんの顔が怖いよお！  
どうしてこんなに怨まれてるのお！？

「決闘！！！！」  
デュエル「デュ、決闘……」  
デュエル

私は悪い事をしたけど、それでも明日香さんに怒られる事は無いよ  
お！

あの人の命令だし、した方が助かるって言ったのにい！  
心労も減ったし、気分が楽になったって言うてくれたのにい！

視点 サラ

……明日香、嫉妬は駄目だと思うわ  
マナも、そんなに自慢げに話したら駄目よ？

「先攻は私よ、ドロー！」

真六武衆・カゲキを守備表示で召喚し、効果を発動！  
このモンスターの召喚に成功した時、手札からLV4以下の六武衆を特殊召喚する！

私はこの効果により、六武衆の御霊代を特殊召喚！

更に御霊代の効果を発動し、御霊代を装備カードとしてカゲキに装備させる

御霊代は1ターンに1度、六武衆の装備カードとなって攻撃力、守備力を500ポイントアップさせるわ」

何度も見てるけど、相変わらず明日香は速いわね  
このデッキを使ってからつまらなそうな感じが多かったけど  
今回はマナに怒りが向かってるから感情が大きいわね。

「ターンエンドよ」

これでカゲキの守備力は2000から2500へ  
最初からこの守備力は高いわね

マナはどうやって戦うのかしら？

そもそも、マナがどんなデッキを使うのか分からないのよね  
魔法使い族デッキだとは思っただけど

あの瑞貴と一緒に居るんだし……予想外のデッキとか？

「私のターン、ドロー」

マジシャンズ・ヴァルキリアを守備表示で召喚します」

他に魔法使い族モンスターが存在している時、他の魔法使い族モンスターへの攻撃を封じるモンスター  
やっぱり魔法使い族のデッキみたい  
でも、1体だけだったら何の意味も無いわよ。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドです」

マナは様子見？

あまり動く気は無さそう  
どんなデッキなのか……

「私のターン、ドロ―！」

魔法カード、天使の施しを発動するわ

デッキからカードを3枚ドロ―し、そして2枚を捨てる」

……明日香が動く

もう何度も見たから行動が簡単に予想できるわ。

「真六武衆、ミズホを召喚するわ

そしてカゲキの効果、自身以外の六武衆が場に存在している時

攻撃力を1500ポイントアップする

更に場にミズホが存在している、よって真六武衆、シナイを特殊召喚！

そしてミズホの効果を発動するわ

1ターンに1度、自身以外の自分の場に存在する六武衆を生け贄に捧げる

それにより、場のカードを1枚破壊するわ

私はこの効果により、シナイを生け贄に捧げ、右の伏せカードを破壊！」

マナの伏せられていたカードはミズホが斬りかかり、破壊された  
どうやらフリーチェーンのカードじゃなかったみたいね。

でも、今の効果でマジシャンズ・ヴァルキリアを破壊しなかったのは何故？

伏せカードを警戒した方が良かった？

もしマジシャンズ・ヴァルキリアを破壊していたら明日香の勝ちだったのに……

「今のは……まあ良いわ、シナイの効果を発動

このモンスターが生け贄に捧げられた時

自分の墓地からシナイ以外の六武衆を手札に加える

私は天使の施しの効果で捨てた、真六武衆・キザンを手札に加えるわ  
更に自分の場に六武衆が存在する事により、キザンを特殊召喚！

キザンは自身以外の六武衆が2体以上存在している時  
攻撃力と守備力を300ポイントアップさせる」

これは……マナが拙い

総攻撃を受けたら大ダメージは必至

このままだと……

「カゲキを攻撃表示に変更し、バトルよ！

カゲキでマジシャンズ・ヴァルキリアに攻撃！」

カゲキが刀でマジシャンズ・ヴァルキリアに斬りかかる

防ごうとするけど、当然ながら守りきれなかった。

「御霊代の効果発動

このモンスターを装備しているモンスターが戦闘で相手モンスター

を破壊した時

デッキからカードを1枚ドロ―するわ

壁モンスターはもう居ない……キザン、マナに直接攻撃よ！」  
ダイレクトアタック

壁モンスターは存在しない

これでマナは2100のダメージ

更にミズホが、まだミズホの攻撃が残ってる！

「ミズホ、ダイレクトアタック直接攻撃！」

これでマナは1600のダメージ

残りライフは300……明日香の勝ちかしら？

でも、もし御霊代のユニオンを解除していたら明日香が既に勝っていた

なのにどうしてしなかったのか……伏せカードが気になってる？  
そう見てるんだけど……今まで殆ど気にしなかったじゃない。

もしかして瑞貴とマナの関係から余計に警戒している？  
可能性は高いけど……どうかしら？

「（変ね……何もしないなんて  
ダイレクトアタック  
これなら御霊代でも直接攻撃して良かったかしら？  
聖なるバリアーミラーフォースの可能性も高いと思ったんだけど  
……）」

永続魔法、連合軍を発動するわ

自分の場の戦士族、魔法使い族モンスターの数×200ポイント、  
戦士族モンスターの攻撃力をアップさせる

私の場には戦士族モンスターが3体、よって攻撃力が600ポイントアップするわ

これでターンエンドよ」

明日香は余裕そうだけど、やっぱり何かを考えてる  
いくら感情が湧き上がったとしても、今までの淡々とした態度から  
冷静になつてゐる。

「ねえマナ」

「なんですか？」

どうしたの明日香？

突然、決闘デュエルの最中に話しかけるなんて  
滅多にしないんじゃない？

「何か賭けない？」

「賭け……ですか？」

メダルを賭けてるじゃないですか」

「そういう意味じゃないわよ

そうね……貴女が勝ったらマナが来るまでの瑞貴の事を教えてあげ  
ましようか？

決闘デュエルの内容とか、有る意味伝説とか、凄い事とか」

マナは黙り、何かを想像し始める

暫く何を考えたのか、顔がにやけて……何を想像したの？

「つと、なら明日香さんが勝ったらどうするんですか？」

私は明日香さんに話せるような事って無さそうなんですけど」



「私が勝ったら……この大会が終わるまでマナは瑞貴との接触禁止」

「ええええええええええ！！！」

あ、明日香？

どうしたの、突然そんな事を……

やっぱり嫉妬してたの？

というか、明らかに卑怯じゃない？

そういうのは最初に言うべきでしょ？

もうライフを3700も削ってから言うものじゃないわよ。

「そ、そんなの嫌です！」

絶対に不公平！不公平です！

私の方がデメリツトが凄く大きい！」

「黙りなさい！　これは決定事項よ！」

「さあマナ、貴女のターンよ！」

それはちよつと強引過ぎるんじゃないや……

ほら、マナが涙目になってる

そこまで何を怒ってるの？

嫉妬だけじゃないわよね？

「ううう……（こうなったら意地でも絶対に負けられない!）」

エンドフェイズ、墓地に存在するモンスター効果を発動します！」

「モンスター効果ですって？」

貴女の墓地にはマジシャンズ・ヴァルキリアしか居ないはずでしょ？  
他に有る墓地のカードは伏せカードだけ

モンスター効果なんて使えないわ」

確かに

なのに何故？

「ううん、モンスター効果です  
トイ・マジシャンを特殊召喚！」

出てきたのは玩具みたいな魔法使いのモンスター  
何……このモンスター？

「このモンスターは魔法カードとして魔法、罨ゾーンにセットでき  
ます

そしてセットされているこのモンスターが相手のコントロールして  
いるカード効果で破壊された場合  
エンドフェイズに特殊召喚されます！」

「何よそのモンスター……」

まあ、黄金の邪神像みたいな効果って事ね」

なるほど、それなら納得できる  
しかしよくそんなモンスターをデッキに……

「私のターン、ドロー！」

トイ・マジシャンを生け贄に捧げ、ダークレッド・エンチャンター闇紅の魔導師を召喚！

そして効果を発動！

このモンスターの召喚に成功した時、魔力カウンターを2つこのモ  
ンスターに乗せる！

ダークレッド・エンチャンターそして闇紅の魔導師の攻撃力は乗っている魔力カウンターの数×3  
00ポイントアップする！

現在の魔力カウンターは2つ、よって攻撃力が600ポイントアップし、攻撃力2300!」

む、確か魔力カウンターを2つ取り除けば相手の手札を1枚捨てさせる効果だったか?

明日香を相手にモンスターを墓地へ送るのは拙いだろうけどそれでも手札を捨てさせるには十分かな?

「更に魔法カード、テラ・フォーミングを発動!

デッキより、フィールド魔法を手札に加える

私はデッキより魔法族の里を手札に加えます」

魔法族の里とはまた厄介な……明日香のデッキには殆ど天敵戦士族しか入っていないし、魔法使い族モンスターは居ないコントロール奪取系カードも無いし、これは拙いかな?

ダークレッド・エンチャンター

「そして闇紅の魔導師の効果が発動します

魔法カードが発動された時、このモンスターに魔力カウンターを1つ乗せます

ダークレッド・エンチャンター

この効果で闇紅の魔導師の魔力カウンターが3つになり、攻撃力が更に300ポイントアップ

フィールド魔法、魔法族の里を発動します!」

辺りが神秘的な森に変わる

なんだか落ち着く……魔法族の里だからか?

私も一応魔法使い族だし、当たり前か。

王家の眠る谷、ネクロバレーも好きだが、ここも良いなあそこは居るのが当たり前という感じの場所だがここは落ち着く事ができる……

「このフィールドカードが存在している限り  
私が魔法使い族モンスターをコントロールし、相手が魔法使い族モ  
ンスターをコントロールしていない場合  
相手は魔法カードは発動できません」

「な、なんですって!？」

魔法カード封じ……そのデッキ、ロック系デッキというわけね  
迂闊だった……瑞貴の精霊だという事が頭から抜け落ちてたわ  
すっかり忘れてた」

持ち精霊じゃないけどね

それに精霊というか、懐いている子供にしか見えない時が有るもの  
私も時々疑問に思うし、仕方無い気もするわ。

「……なんだか酷い事を言われました

だけどこのフィールド魔法には弱点があります

もし私の場に魔法使い族モンスターが居なくなった場合  
私だけが魔法カードを使えません」

リスクは有るけど、相手への拘束力は高い

それに魔法カードが発動できないという事

それはつまり六武院の発動を封じられたという事ね。

「更に魔法カードが発動された事で闇紅の魔導師に魔力カウンター  
が乗ります

これで魔力カウンターは4つ、よって攻撃力は2900です!  
まだ終わりません、魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロ  
ー!

再び闇紅の魔導師に魔力カウンターを乗せます!

バトルです、ダークレッド・エンチャンター闇紅の魔導師でミズホに攻撃！

そしてこの瞬間、罠カードを発動！マジシャンズ・サークル！

魔法使い族モンスターが攻撃宣言を行った時に発動可能

お互いのプレイヤーは自分のデッキから攻撃力2000以下の魔法使い族モンスターを攻撃表示で特殊召喚します！」

明日香のデッキに魔法使い族モンスターは存在しない

これは……明日香、大丈夫なの？

「私はデッキからミュータント・ハイブレインを特殊召喚します！  
LV6だけどこのモンスターの攻撃力は0、だから特殊召喚が可能です！」

「クッ……私のデッキに魔法使い族モンスターは存在しないわ」

攻撃力0を召喚しても意味が無いんじゃない？……  
どうしてそんなモンスターを？

「バトル続行！」

ダークレッド・エンチャンター

闇紅の魔導師でミズホに攻撃！

ダークレッド・シヨック・ウエイブ

闇紅衝撃波導！」

攻撃力差は1000、ダメージは大きい

だけど、まだ明日香のライフは2700も上

まだまだ負けそうに無い。

「ミュータント・ハイブレインでカゲキに攻撃します！」

そんな！

カゲキの攻撃力は自身の効果と御霊代の効果、連合軍で攻撃力27

00

自滅する気か!?

「この瞬間、ミュータント・ハイブレインの効果を発動!

相手の攻撃表示モンスター1体のコントロールをバトルフェイズ終了時まで得ます!

そしてミュータント・ハイブレインの代わりに戦闘を行います!

私はキザンのコントロールを得て、ミュータント・ハイブレインの代わりにカゲキに攻撃して!」

ミュータント・ハイブレインが手を伸ばし、何か……洗脳?

そんな感じの事をキザンに向かってする

キザンはふらふらとしながらマナの場に移動する。

そして刀をカゲキに……って、カゲキに!?

キザンは場に六武衆が2体以上居ないと攻撃力がアップしない!

連合軍の効果も切れ、今のキザンの攻撃力は1800。

明日香の場の戦士族が減り、連合軍の効果減少

それでもカゲキの攻撃力は2500、そしてキザンは1800

このままだと負けるわよマナ!

「この瞬間、私の場にも六武衆は存在していません

よって、キザンの効果は無くなって攻撃力が1800に戻ります

だけど、それと同時に明日香さんの場も私と同じく六武衆が場に存在しない

よってカゲキの効果は消え、攻撃力は200に下がります!

連合軍の効果と御霊代を装備しているので攻撃力は900ですが……」

六武衆、まさかの弱点!?

コントロールを奪われるとこんな事になるなんて！  
これはかなり予想外、明日香のピンチ！

「キザン、カゲキに攻撃して！」

キザンがカゲキに斬りかかった  
しかしキザンの攻撃を御霊代が防ぎ、破壊される。

「クッ……御霊代の効果発動！」

御霊代を装備しているモンスターが破壊される時  
御霊代を代わりに破壊する事で装備モンスターの破壊を免れる！」

それでも明日香は900のダメージを受ける  
残りライフは2100、明日香が危ないかもしれない！

「速攻魔法、ディメンション・マジックを発動します！」

魔法使い族モンスターが自分の場に存在している時  
自分の場のモンスターを生け贄に捧げる事で手札の魔法使い族モンスターを特殊召喚します！

私はキザンを生け贄に捧げ……」

「ちょ、ちよつと待ちなさいマナ！」

そのカードは魔法使い族モンスターを生け贄に捧げるんじゃない……」

「あ、勘違いしやすいですけど違いますよ  
発動条件に魔法使い族が必要なだけです  
生け贄に捧げるのは魔法使い族である必要があります  
よってキザンの生け贄は可能です」

もし、この特殊召喚で攻撃力2100以上のモンスターが出た場合その瞬間に明日香の負けが決まる！

「私は手札より、ライトロード・マジシャン ライラを特殊召喚！更にディメンション・マジックの効果

相手の場に存在するモンスター1体を破壊できます

よって、この効果でカゲキを破壊！

更に魔法カードが発動されたので闇紅の魔導師に魔力カウンターが乗ります！」

攻撃力は1700……なんとか生き残る

それでも……明日香のピンチに変わり無い！

「ライラで明日香さんに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

ライラの持つ杖から光の矢が放たれる

明日香に直撃し、残りライフは400へ……

このままだと明日香が負ける！

「クッ……」

（だけどmanaの場には攻撃力0のミュータント・ハイブレインが居るあのモンスターは自分が攻撃する時にしか効果を発動できない

私の手札にはモンスターカードが有る……だから私の勝ちよ！）

「ライラの効果を発動します

ライラが攻撃表示の時に発動可能

このモンスターを守備表示に変更し、相手の魔法、罠カードを1枚破壊します！

ただし、この効果を使った次の私のターンのエンドフェイズにならないと表示形式の変更ができません



ライラを守備表示にし、連合軍を破壊！」

これで六武衆のパワーが無くなる

六武衆の展開力なら3体ぐらい簡単に並ぶものね  
本当に連合軍とは相性が良いわ。

ダークレッド・エンチャンター

「そして闇紅の魔導師の効果を発動します！」

このモンスターに乗っている魔力カウンターを2つ取り除く事で効果発動

相手の手札を1枚ランダムに捨てさせます！

ダークレッド・エンチャンター

闇紅の魔導師に乗っている魔力カウンターは6つ

魔力カウンターを2つ取り除き、明日香さんは手札の真ん中のカードを捨ててください！」

「この……くっ！」

(紫炎の老中 エニシが……墓地に六武衆が貯まったから特殊召喚できたのに！

天使の施しで2枚の六武衆を捨てられたら勝っていたかもしれないのに……惜しいわ)」

「更に魔力カウンターを2つ取り除きます

手札の左のカードを捨ててください！」

「(大將軍 紫炎……今は不要だから別に構わないわ)」

「最後です、魔力カウンターを2つ取り除き

残り1枚の手札を捨ててください」

「(紫炎の計略が……手札に召喚できる六武衆が居なかったから伏せなかったけど

ダークレッド・エンチャンター  
闇紅の魔導師の魔力カウンターを取り除けたんだから良しとしまし  
よう）」

ああ……明日香の場にはカードが無い  
手札も0枚、この状況で明日香は勝てるのか？  
いや、モンスターをドロ―し、ミュータント・ハイブレインを攻撃  
したら勝つ！

「最後にミュータント・ハイブレインと闇紅の魔導師を生け贄に捧  
げます」

生け贄？ 生け贄って……変じゃない？  
だって既にモンスターは通常召喚しているのに……

マジックハイエロオブンザラック  
「黒の魔法神官を特殊召喚！」

な……な……このタイミングで黒の魔法神官を特殊召喚するのか！？  
マナ、貴女はどれだけ……いや、何も言うまい。

「攻撃力3200……ですって？

（しかもミュータント・ハイブレインが居なくなった  
他のモンスターもライラ……でも守備表示だからダメージを与えら  
れない！

守備力は200だけど、私のデッキには貫通モンスターも貫通付与  
カードも無い！」

マジックハイエロオブンザラック  
「黒の魔法神官はLV6以上の魔法使い族

それを2体生け贄に捧げた時のみ特殊召喚できます  
既にバトルフェイズは終了していますし、ターンエンドです」

「こんな事が……ドロー！  
カードを1枚伏せ、ターンエンドよ！」

明日香の最後の賭け  
マジックハイエロオブンザラック  
だけど黒の魔法神官の効果は……

「私のターンです、ドロー

これで終わります！  
マジックハイエロオブンザラック  
黒の魔法神官、明日香さんに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

これが通れば明日香の負け  
だけど……だけどこの攻撃は必ず！

「罨カード発動！ 究極・背水の陣を発動！  
自分のライフが100になるようにライフコストを払う！

そして、私の墓地に存在する六武衆を可能な限り特殊召喚するわ！  
同名カードは特殊召喚できず、場に同名モンスターが居る場合も無理だけどね

私は墓地よりカゲキ、キザン、御霊代、シナイ、ミズホを全て守備表示で特殊召喚するわ！」

このタイミングでそのカードをドローできたのは素直に凄いと思う  
だけど……明日香の負けね。

「……ごめんなさい明日香さん」

「え？」

マジックハイエロオブンザラック  
「黒の魔法神官の効果を発動します  
このモンスターが存在している限り、罨カードの発動を無効にして

……破壊する事ができます

私はこの効果により、究極・背水の陣の発動を無効  
ライフはコストなので払ったままなので、残りライフは100です」

そういう事……最後の賭けもこれで終わり

明日香の負けね。

「嘘……そのモンスター、ホルスの黒炎竜LV8の罠カード用とい  
う事？」

私の魔法カード、罠カードも封じられ……」

マジックハイエロオブンザラック  
「……黒の魔法神官の攻撃を続行します  
マジックハイエロオブンザラック  
ダイレクトアタック  
黒の魔法神官、明日香さんに直接攻撃！  
セレスティアル・ブラック・バーニング！」

「きゃあああああああああ！！！」

マジックハイエロオブンザラック  
黒の魔法神官の魔力弾が明日香に直撃  
明日香のライフは……0、マナの勝ち。

「私の……負け？」

「はい明日香さん、私の勝ちです」

良い勝負だったけど、最後は圧倒的だった  
マジックハイエロオブンザラック  
もし黒の魔法神官が居なかったら明日香が勝っていたと思う  
だからそんなに気を落とさないように……って、明日香？

「ぐ……くっ、こ、これで勝ったと思わないでよ！  
次は絶対に私が勝つから！」

そしてまた同じ条件で勝負よ！」

「え？ え？

ええー……それって私があの人と接触禁止ですか？」

「当然！」

明日香、それはちょっと……

負けたんだから素直に諦めたらどうなの？

「明日香さん、どうしてそんな意地悪をするんですか？

私は何をしたんですか？

なんだか……凄く悲しいです」

あ、マナが涙目に……

「う……ご、ごめんねマナ

別に意地悪とかじゃなくて……

その、アレよ、あの……えっと……」

明日香も混乱している

これはどうなるのかしら？

「あの、そう！

私は瑞貴の友達って前に言ったでしょ？

マナも友達だし、なんだか隠し事をされると仲間外れにされた感じになったのよ！

それで悔しくてつい……その、ごめんね？

もう瑞貴と接触禁止なんて言わないから許して」

今思いついたって感じじゃなかった？  
本当の部分も混じってると思うけど  
でもちよつと苦しい言い訳じゃ……

「……本当ですか？」

「ほ、本当よ！」

だからできれば昨夜何をしていたのか教えて？  
やっぱり仲間外れって嫌だから」

それが知りたかっただけじゃないの？  
空気を壊しそうだから何も言わないけど。

「ぐす……分かりました  
昨夜はですね……」

信じた！？ しかも話すの！？  
マナ、もう少し人を疑うという事を覚えなさい！  
いつか騙されて嫌な思いをするわよ！

視点 斎王

「鍵を……我らが導きの鍵をどこへやったのだ！？  
そして、コントロール装置をどこへ隠した！？」

『運命を司る者達に託した  
しかし、コントロール装置は知らない』

この……主人格め！  
まだ私に逆らうつもりか！

「馬鹿が！ アレは我が手に有るべき尊い物！  
我こそがあの力を持つ支配者なのだ！  
すぐに取り戻せ！」

しかし鏡の奴は平然とした顔  
貴様あ……！

『運命に抗ってはならない  
我らはただの立ち会い人にしか過ぎない  
この世界の運命は鍵を持つ者達にゆだねられたのだ』

「き、貴様あ……」

『ふふふ、しかし貴様も愚かだな  
コントロール装置を無くしてしまうとは  
鍵を持つ者だけではない、そのコントロール装置も必要となった  
お前の運命を変えようとする者が動いたのではないのか？』

そこまで言われ、鏡を殴りつける  
鏡は割れ、奴の存在は消える。

「愚か者め……」

内なる闇を砕いたのは良いとしよう  
しかし、奴の言う運命を司る者達はすぐに分かる。

それは遊城十代、そしてエド・フェニックス  
奴らから奪い返せば、それで鍵は揃う。

しかし……肝心のコントロール装置が行方不明  
奴が他の誰かに託したのか

それとも……何者かが奪ったのか。

……占ってみるか

未来を、コントロール装置の運命を。

……逆位置の節制

節制のカードは安定や節約、状況管理などを意味する

逆位置の意味は失敗、不安定、混沌、暴走、過信、傲慢、感情的、  
悲観的、節度をなくす、信用を失うなど

混乱した状況や問題を抱え、次第に立場や考えが曇っていく様子を  
表す意味も持つ。

そして更にもう1枚……正位置の死神のカードか

死神のカードは苦境や終末、解体を意味する

物事を辞める事、根本的な部分から考え直す必要性を表すカードだ  
崩壊、解体、損失、終末、結末、急変、変化、終止符、仕切りなお  
し、新たな始まり

苦しい状況に変化が訪れ、変化を起こす必要が有る

そして新しい方向に目を向ける、最初からもう一度やり直す苦労や  
努力が必要とという意味も持つ。

これはつまり……コントロール装置を手に入れる事が困難だという  
意味だろう

それどころか、諦めて新しい思考にしろという事になってしまっ  
いったい誰がコントロール装置を……何か、何か無いのか？



待て、節制に死神だと？

このカードは確か……まさか！

正逆は違うが、塔の傍に居た節制と死神か！？

視点 瑞貴

ふーん、これがソーラのコントロール装置か

鍵はここに無いが、コントロール装置があれば良いだろう

白板が鍵を持っていたても、コントロール装置が無ければ

宝の持ち腐れ、豚に真珠、猫に小判ってね

つまり持っていてても無駄って事だ。

夜中にマナとカミューラに協力して白板の部屋から奪い取ってもら

ったが

さて、これはどうするべきだ？

俺が預かるべきか、それともリンドさんに返すべきか……

しかしリンドさんは確かオージーン王子の秘書だったか？

となれば返した場合、再び奪い取られる可能性が高いか

やはり俺が持っておくかな、金庫の奥の奥の奥に隠せば良いだろう。

まったく、壊したい所だがそう簡単にもいかんな

なにせ壊した場合、鍵を無くして動き出す設定をされていたらどうするよ？

どれだけの人間が死ぬか……別にどうでも良いんだが、自分が殺すのは嫌だね

危険過ぎる……怖くて下手に触る事もできん。

とりあえず金庫の奥に片付けてっ

これでよし、誰かがこの部屋に入らない限りは大丈夫だろう  
更に金庫の鍵を開けたりしない限りな。

あー……これで俺は尚のこと部屋から出られんな

白板が元に戻るまでは動けない

仕方無い、解決は主人公である似非に頑張ってもらうか  
どうせ放っておいても解決される事だったんだしな。

しかし落ち着かないな

自分の部屋に核爆弾が置かれている気分だ

この部屋……例えレイ玲でも入れられんな  
別の場所に泊めさせるしか無いな。

玲は……クソッ！

レイは明日香に任せられるが玲は無理だ！

できれば逆が良いんだが……が、がつ！

レイを既に恋愛感情も持っていない相手の部屋に泊めさせるわけに  
はいかない！

玲は地獄に好意を持っているが……だがやっぱり！

ぐぐぐぐ……やっぱりそれしか無いじゃないかくそつたれ！

こんな時に自分や玲の女子友好関係の悪さと無さが問題になるとは！  
……自業自得だとは分かっているがな！

兎角、羽鳶、雪兎は当然無理！

知り合いにもなっていない奴と一緒に寝られるか！

その1、その2も駄目！ あいつらは白だ！ ついでに知り合いじ

やない！

だからと言って他の奴は……無理に決まってるだろうが！

地獄め、もし玲に何かしてみろ

殴るだけでは済まさんぞ……拷問決定だ

くくくくく、縛って動けなくして熱した鉄板を当ててやる。

……駄目だな、玲は自分は何をされても他人まで痛めつける事は嫌がる

しかも自分が好意を持つ相手なら尚更だ

もしそんな事したら泣くな、絶対に玲は泣く……手出しができません。

こう……なったら、地獄に何度も釘を刺して刺して刺して……

それはもう針二千本になるぐらい刺しまくってやる！  
ツーンサンザンド・ニードル

更に誓わせる、何もしないと100回は誓わせてやる！

これだけすれば奴も玲には何もしないと思いたいと思えるな。

マナも明日香に預けるか

レイもマナと一緒にならまだマシだろう

嫌がるだろうが……さすがにこれはな。

奪わせてアレだが、責任を負うのは俺だけで十分だ

何か有ったとしても責任は俺だけで済むしな

あいつらまで巻き込んだらいかんだろう……さすがに。

はあ……何で俺がこんな責任を

それもこれもどれもあれも……全部白板が悪い！

金も減ったし自由まで減った！

あいつは俺にどれだけ迷惑を掛ければ気が済むんだ！？

あいつは絶対に説教する、俺の気が済むまで説教だ！  
そして目の前で美寿知を泣かせて困らせてやる！

当然、殴ったりはしないがな

何せあいつは現在正気じゃない

破滅の光に取り憑かれているだけ

元の白板に責任を負わせても仕方無いだろ。

俺の憂さ晴らしは……誰にすれば良いんだ？

気が滅入ってきた、どうしよう？

はぁ……心が休まる時が欲しい。

## 123話【10日目?】（後書き）

明日香よ、何を想像した？  
何かです、何でしょうね？

連合軍を何故あのタイミングで？  
御霊代の効果でドローしました。

強欲な壺の発動タイミングが謎  
魔法族の里をドローしない為です  
テラ・フォーミングを先に使用しないと無駄なカードが手札に来る  
ので。

明日香、どうしてそんなに意地悪なの？  
ご想像にお任せします。

瑞貴が……瑞貴が！  
もう完全に悪役っぽい状態です  
元々悪役系ですけど……何故か斎王が正義側に見える不思議。

レイをカルテットの部屋に泊めるのは駄目なの？  
瑞貴は焦って気付いていません  
気付けば良いのに……それだけ混乱しているんでしょう。

ツイッター、犬は好きですか？  
<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
作者は苦手です……昔、大型犬に追いかけて回された記憶が有るので。

## 番外編 本気禁止制限決闘完結後に予定中（前書き）

本気禁止制限決闘の決闘<sup>デュエル</sup>を見たいと思っている人はスルーしてください

今回は遊戯王の小説ではありません。

小説を書く時間が無くなってしまいました

なので、この作品が完結後……いつになるかは分かりませんが書こうかと考えている作品のプロトタイプを載せようと思います  
まあ……久しぶりなので書き方を思いだそうとする為に書いたんですけど。

ちなみに書いたのは数日前、なら本気禁止制限決闘本編を書けという話ですね

そこはスルーしてくださると助かります。

まだまだ完結まで先の話ですが、こんな感じで書く予定……の予定の予定ぐらいです

他にも案が3つぐらい有り、どれも本気禁止制限決闘後の話にするつもりです

だから主人公はまた堅守瑞貴ですが、替えた方が良いですかね？

細かい事はまた完結か完結の少し前に考えられると思いますが

ちなみに他の案に関しては秘密という事で……別に公開しても良いんですけど。

ネタバレになるので原作は本編を読んで察してください

とりあえず遊戯王ではありません、GXでも5D'sでもありませんとだけは言っておきます

なお、時間的に番外編の5D's後の話が完全に終わった後となっ

ています

……早く現在発売されている場所までは買いたいなあ  
今持っているのは23巻までだし……漫画の話ですよ？

それと、詳しい解説はあまりしませんのでこの作品を知りたい方は  
自力で調べてください。

お知らせその1

近い内に長期で忙しくなります

なので今までのように毎日更新はちょっと難しいと思われ  
ます  
昼と夜に時間が無くなってしまおうので……朝か夜中しか時間が無い  
んです

その時間では今までのような長さではちょっと難しいかと思われ  
ます  
なので早くて2日に1話、遅い場合は4日に1話ぐらいになるか  
と思います

毎日更新だからと楽しみにしてくださる読者の方々には申し訳無  
い  
ですが……

作者の事情なのでそこは諦めてください、忙しいんです。

お知らせ2

作者のデッキ予想ですが、回答者34名と多くの方が参加してく  
ださいました

しかし、残念ながら正解者は居ませんでした、最も正解枚数が多  
かった人は14枚です

残念ながら20枚には到達した人は出ませんでした

……が、だからと言ってあそこまでして何もしないのは惜しい  
よってその14枚正解した人のデッキを使用する事にしました  
メッセージ送信時間はこの作品投稿後、1時間以内に送信しま  
す  
1時間経ってもメッセージが来なかった場合は諦めてください  
抗議を送られても無視します、最悪ブロックしますので注意

また似たような事をすると思いますので、その時にまた挑戦してください。

お知らせ3

次回は遊戯王の小説を書きます

投稿は早ければ明日、遅くても明後日には投稿する予定です。



## 番外編 本気禁止制限決闘完結後に予定中

視点 瑞貴

……ねーよ、どこだよここ？ 真っ暗だし夜中か？  
ゾーン  
ZONEの奴、時間転移に失敗したな  
平行世界か、それとも時空間移動までしたのか？  
ったく……あの野郎、次に会ったら絶対に殴ってやる。

デュエル・アカデミアじゃない可能性が高い、とりあえず森っばい  
そして問題は決闘盤デュエルディスクが無い事だ

遊戯王の世界なのに決闘盤デュエルディスクが無いのは不安だな

ついでに、年単位で腕に装着していたから違和感が凄い。

ポケットからカードを……ん？

カードはカードだが大きさが違うような……

カードを取り出してみると、女性が描かれているカードが有った  
誰だ、これ？ とりあえずデュエルモンスターのカードじゃない  
のは確かだ。

青と緑のオッドアイ……つまり両目の色が違う

鈴の髪飾りを使い、長い髪を2つに分けたツインテール

身の丈程も有るでかい大剣を持っているな

だけど傷だらけ……女の子なんだから体は大事にした方がいいぞ？

ど真ん中の文字は……ローマ字読みで良いのか？

文体がグニャグニャで読みにくいな

えっと……ASUNA？ アスナ？ 明日菜？

明日菜といえば確か……ネギま!だっけ。

……ねーよ、何でこの世界なんだよ  
というか、俺って何者?

遊戯王世界だってカードを全部持っていたのに  
ネギま!世界では何だっけ? 確か契約のカードだったか?  
それを持ってるなんて……これってやっぱり力を持ってるのかな?

あー……思い出せ俺、カードの使い方を

確かこのカードは合い言葉を言えば使えるはず  
だが本人しか使えなかったっけ?

まあどうでも良い、使えるか試すだけだ。

確か合い言葉は……そう!

アデアット  
「来れ」

……出たよ、馬鹿みたいに巨大な剣  
でも確かハリセンを使ってたような気がするんだけど  
試してみるか?

仕舞う時の合い言葉は確か……

アベアット  
「去れ」

消えたな

次はハリセンをイメージしてつと……

アデアット  
「来れ」

出たな、ハリセン

これってイメージ次第という事か？

他のカードはっと、って多いなおい

登場人物のカードは全部有るんじゃないか？

思い出したんだが、確かキスが契約じゃなかったか？

……少年誌の癖にキスし過ぎだろ、俺は心から本気で絶対に遠慮するが。

まあ、そんなのを無しにしても契約したカードが手に入っているのは嬉しい事だ

何せキスをしなくても良いんだしな

しかしカードを持つている事は教えないべきだよな？

キスしたと勘違いされるのは凄まじく嫌だ！

さて、色々と試してみるかな

誰が誰だったかは殆ど記憶に無いけど

……そりゃ4年とか5年ぐらい経てば当然か

割と好きだった漫画だったんだけど遊戯王世界には無かったからな。

次のカードはっと

使い手は女の子……って、大半がそうか

背は低く、青紫っぽい色の無駄に長い髪を2つに分けている

見た目第一印象、頭でっかちの生真面目優等生？

アダフット  
「来れ」

頭の中に使い方が浮かんできたが……ふむ

世界図絵……魔法百科事典といった感じかな？

なるほど、この世界の常識が足りてない状態だ、これは嬉しいし助

かる

使い手の名前は……よ、読めない！

なんだ、この謎の文体は！ J U E？ J U Eなのか！？

まあいい、どうせこいつの名前なんてどうでも良いんだし。

次のは制服の上に青いジャケットを着ており、なんというか不敵な笑みを浮かべている赤髪の女？

どっちかと言えば少女なんだろうが……確か中学が舞台だったけ周りには写真っぽいのが有り、機械のような物も浮かんでいる

C A Z U M I……カズミ、和美辺りかな？

「来れ」  
アデアット

渡鴉の人見……スパイ道具

6機のスパイ機械らしいんだが……魔法道具なのに機械って何だ？何でも良いか。

スパイ機械を飛ばしてつと

ここはどこか、近くに何があるかなどを調べてもらおうか  
後で映像で確認すれば多分大丈夫だろう。

しかし一々確認していくのも面倒だな、片っ端から出してみるか！

カードカードつと、ん？

カード以外にも色々が入ってるな

イヤホン？ 指輪？ 杖？ 魔法道具って奴かな？

しかし杖はいったいどうやって……深く考えるのは止めよう。

世界図絵世界図絵つと

この魔法道具の効果や名前が分からないとどうしようもできんな  
しかしこれ、自動的に翻訳してくれるらしいから助かるな

何語かも分からないし、普通に読めない。

.....

.....

.....

さて、それなりに調べ終えたな

この世界図絵……明らかに反則クラスだな  
何だ、この情報量は？

さてっと、渡鴉の人見も戻ってきたな  
ここら辺の情報も完全に得ないと。

その前に自分の状態を確認だな  
暫く自分を映して、そして確認。

この顔は……俺はまた若返ったのかよ  
まあ、前回みたく15歳にならなかったただけマシか  
この見た目だと……18ぐらいか？  
デュエル・アカデミアを卒業した時ぐらいの年齢だな。

しかし5D、S世界でも2年近く過ごしたんが……  
見た目18歳の実年齢25歳か、嫌だな  
どうせだったら元の見た目、25歳にしてほしかった。

18歳、なんとか就職はできる年齢だな  
しかし戸籍が無いとならないし  
だがそれを調べるにも……ん？

そういえば5D、S時代の時は取り出せたんだが、こっちでも出せ

るか？

世界が違うから無理だとは思いつつと……出たよ、万札が束で。

G X世界でカードを売りまくったからなあ  
幾らぐらい持つてるんだろうか？

兆の桁を超えるぐらいは稼いだんだけど  
ふむ……まあ現状100万は有れば事足りるな。

あ、何か忘れてると思ったら……居るのか？

世界が違うから無理居ないかもしれない  
一応呼んでみるか。

「マナ、マナ？

居るならさっさと出てこい」

……居ないか

5年近くを一緒に過ごしただけに少し寂しい  
居ないなら仕方無い、諦めるしか無いだろう。

さて、いい加減に色々整理するか

俺は遊戯王G Xの世界に何故か20歳から15歳ぐらいに若返って  
生きていた

就職を有利にする為、デュエルモンスターズをする

そしてデュエル・アカデミアに通い、色々有ったが卒業……した  
んだが。

卒業後、帰りの船で寝ている時

突然どこか知らない場所に俺は居た

俺の居た場所はG X世界の未来である遊戯王5D・sの世界  
色々有り、時間移動できる奴の力を借りてG X時代に戻ろうとし

た。

G Xの時代に戻る……はずだったんだが  
この状況だ、何故無関係のネギま！の世界に来たんだろうか？  
しかもまた若返り、18歳ぐらいになっていたとかなあ  
ああもう……悪夢にしか思えない。

渡鴉の人見で得た情報を整理しよう

新聞を見つけたらしいが、そこに書いてあった年月日  
2002年、8月20日……か、世間は夏休み中だな。

さて、主人公が来るのはいつだ？

もう来ているのかもしれないんだが、さすがに女子寮を覗くわけに  
は……ん！？

渡鴉の人見が1機破壊された？ いや、更にもう1機……

アベアット  
「去れ」

アーティファクトの謎のメリット

それは一度送還した道具は再召喚すれば……

アデアット  
「来れ」

1、2、3、4、5、6……全部元通りになっているって  
さて、破壊されたのは3番機と5番機だったな、最後の映像を確認  
せねば。

3番機を破壊したのは……女性の剣士か

夜中に警備か？ ご苦勞な事で

5番機は優男という感じだな、なんというか普通？

このネギま！世界から考えると魔法使いだとは思うんだがな。

この渡鴉の人見はあまり深くは入れないという制約が有るらしい  
学園の外でも怪しいから破壊してみたという感じだろう  
外から少し覗いただけが……まあ良いか。

情報収集はちよつと中止かな

この世界の事、もつと知る為にはここでは無理だ  
深夜も利用できるネットカフェを探さないと。

アデアット  
「来れ」

最速の靴つと、急いでここから離脱！  
つて速すぎる！ 木が邪魔で危ないっての！

アベアット  
「去れ！」

つととと……危うく木に激突する所だった  
仕方無い、諦めて歩くしか無さそうだ。

アデアット  
「来れ」

孤独な黒子、ぶっちゃけマスク  
しかし隠密性は保証できるっばいが……どこまで信用できるか  
なんたつて契約は契約でも仮契約らしいからな  
時々恐ろしいぐらいの能力を持つてるのも有るが、本当に仮の契約  
か？

アデアット  
「来れ」



オソウジダイスキ……この名前はどうかならないのか？

効果は魔法世界騎士団が使うような魔法使いの箒と同じらしいが……さて、俺はこれで飛べるのか？

世界図絵でオソウジダイスキと検索してみるも、飛行魔法ができないと不可能か

なら持つてても完全に無駄だな、諦めるか。

アベアット  
「去れ」

仕方無い、歩くか

渡鴉の人見でどこに移動すれば良いのかは分かっているとはいえやっぱりそれなりの距離が有る

ったく、もつとマシな場所に飛ばせよな

確かにここじゃないと色々と実験はできなかったが。

はぁ、この世界で世界移動は終わりだと嬉しいが……はぁ

期待するしかないな、だけどまた移動するとなるとやっぱり好き勝手したいし

最終的に死なない限り、犯罪で逮捕されても問題無いかもしれないんだよな。

いや、だがZONEの時はいづが弄ったんだったな

となると世界移動、または時間移動と一緒に乗らないと俺は移転できない？

だったらやっぱり犯罪行為は無理か、素直にその時期になるまで待つしか無さそうだ。

殆ど情報に乗ってなかったがこれさえ有ればなんとかなるかもしれない

ったく、何でできているんだ？ このカシオペアって懐中時計は

動かないし、動いてないし、動くまでがもう……どうしろと？

調べられた事は極僅か、時間移動の道具……なんという糞道具  
つまり平行世界量産機械じゃないか、1回使用するだけでいくつ平行世界ができる事やら

俺は世界移動をする時まで使わないと決めておくぞ。

そもそも時間はそう簡単に操って良い物では無くてだな

……時間移動をしようとしている俺が言っても説得力は無いか  
俺だっけしたくてした訳じゃないんだけど……はあ。

もしかして時間移動をしようとした罰がこの世界移動か？

つまり俺はGX時代に戻らなければ良かったのか？

ああもう……やっぱり俺が自分からする事の大半は裏目に出るのか！

……必要だと思ったら時間だろうが何だろうが弄るつもりは有るけどな

実際、時間を操るカシオペアだって必要ならば使うつもりだ  
あまり平行世界を増やしたくないんだけどな……仕方無いか  
カシオペアじゃなくても時間に関係する道具は有るみたいだし。

ふう、ネットカフェにさっさと行こう

無駄に時間を過ごしてもあまり良い事は無さそうだ。

……

……

……

料金を払い、ネットカフェに入る

別に孤独な黒子を使って無銭使用をしても良かったんだけどな

さすがにそれはない、一応素直に金を払って使用する。

さて、ここはインターネットがで使用可能な環境  
つまりこれが使えな。

「アデアット  
来れ」

小声で発言し、現れるのは力の王笏……魔法少女の杖にしか見えんな  
ま、さっさと情報収集をして自分だけでもできる事をしないと。

「広漠の無、それは零  
大なる霊、それは壺  
電子の霊よ、水面を漂え、我こそは電子の王」

小声で呪文を唱える  
さて、肉体は大丈夫だろう  
何せここは個室の部屋だしな。

しかも夜中、ネットカフェで寝る人間だって必ず居る  
この呪文を唱え、使おうと精神がネットの世界に入っているような状  
態になる  
つまり体が動かず、眠っているような状態となる。

だが眠っている状態のように見えるのなら何も問題は無い  
時間さえ気にしていれば大丈夫だろう。

ふむ……意識が落ち……

……  
……  
……

……

あー……ここが電子世界か？

何が何やらという感じだけど、電子の海という印象だな  
ここに電子精霊が居るはずだが……ん？

【初めまして瑞貴様、我々は電子精霊  
なんなりとご命令ください】

……電子精霊って鼠だったのか  
名前を入力してくだ……って、4文字制限！？

昔のゲームじゃないんだから5文字ぐらいにしろよ！  
いや、最近のゲームだって4文字制限は有るけど……

しかし……7体か  
面倒だな、一々考えるのも億劫だ。

「なら左から順番に言うぞ  
ヌル、アインス、ツヴァイ、ドライ、フィーア、フュンフ、ゼクス  
これで良いだろ？」

【……ドイツ語の0から6  
適当にしか思えませんが……】

適当だからな

ちなみに7の場合はズイーベンとなり、5文字になってしまう  
だから0のヌルを使用して6に抑えたんだけどな。

「世界の常識、情報を知りたい  
常識に関しての資料と様々な重要と思われる情報を漁ってきてくれ」

【それは良いんですけど、少し待って貰っても良いですか？】

「何故だ？」

電子精霊だったらそこまで時間は掛からないだろう？  
なのに何を待てと？

【実はオプション機能をインストールしている最中でして……  
瑞貴様、如何致しましょうか？】

……ああ、俺が新しく生み出したからか？

オプション機能なんて何に使うのやら……電子精霊の癖に  
もしかしてウィルスバスターとかファイアーウォールとかか？  
だったら重要だな、調べ物なんて別に後でも構わないんだし。

「だったらそっちを最優先

オプション機能等を全てインストール後に行動しろ  
それと瑞貴様は止めろ、鬱陶しい」

敬れるのはあまり好きじゃないんだよ

鬱陶しいし、堅苦しく感じるし、苛々するし。

【ならばなんと呼べば？】

「お前らで適当に考えろ！」

ったく、さて……インストールが終わるまであまり動けないな  
ここに入ってできる事は電子精霊の総統のようなもの  
最初だからとりあえず入ったが……あまり意味は無かったか？

【決まりました！】

なんとなく嫌な予感がするが……

【○ッ○ー様と！】

「却下だ馬鹿精霊共！

世界的著作権に喧嘩売ってるのか！」

【頑張って考えたのに！？】

ああもう……調子が狂うな

遊戯王世界ではシリアスが多かったからか？

ギャグ漫画に慣れてない俺が悪いのか？

「もう瑞貴様で構わない

で、オプション機能だしそろそろ終わったか？」

【はい、OKです！】 【大丈夫です！】 【どんと来いです！】 【バ  
ツチ来いです！】 【頑張ります】

「一斉に言うな！ 煩いんだよ！

情報を話す時は基本的にヌルが話せ

それ以外の奴らは補足をしたりにしろ」

【かしこまりました瑞貴様！】 【【【【【【……わかりました】】】】】  
【】】】

何故落ち込む、アインス以下6匹

本当に面倒な奴らだな！

「ほら、さっき言った資料を探してこい  
アインスとツヴァイは表世界の常識など  
ドライとフィーアは裏世界……つまり魔法世界の常識など  
フუნフとゼクスは表裏問わず、様々な事件などだ」

【【【【【はい！】】】】】

元氣よく返事はしたが、少し不満そうだな  
やっぱりここは飴が必要か……ったくややこしいな。

「最優秀者は次回の報告時にメインにしてやる  
メインの地位が欲しければ頑張って働け」

【【【【【サー、イエス、サー！】】】】】

うわ、本当にやる気になった  
まさかと思って試したただけなのに。

【瑞貴様、僕は今回だけでお役ご免ですか？】

「いや、そういう訳じゃないから  
次回はお前にも検索させるし、その時に最優秀だったらまたメイン  
にするから  
だからそんな泣きそうな落ち込んでいるような顔は止めてくれ、マ  
ジで」

小物電子精霊の癖に何でこんなに多芸なんだよ  
この世界の精霊ってのは何なんだ？

ああ……あの学生時代が懐かしい。

【【表世界の常識を調べ終わりました！】】

速いなおい！

まだ体感的に5分も経ってないと思うぞ！  
表世界だからそれぐらいなら可能かな？

「ご苦労、ヌルに情報を渡せ

引き続き一般的な事も含めて検索  
主にこの近くに有る学園の事的事件でだ」

【【はい！】】

「ヌル、情報の展開」

【【はい！】】

さて、情報を見せられて展開されたが……

表向きには俺の……本来の元の世界とそう大きな違いは無いな  
しかし所々で甘い、これは魔法使いの存在を大物が知っているから  
か？

例えば総理大臣とか、警察署の責任者とか……可能性は高い  
魔法使いとて、そういう立場の人間と組んだ方が動きやすいだろう  
し。

しかしどうやって手を組んだんだ？

魔法使いとして引き込んだか、それとも金を払って自分達が動きやすくなるようにしたか

まさかとは思うが、洗脳や記憶操作をしたんじゃない……脅迫の可能性



も否定できない  
何せ、一般人からすれば魔法使いなんて爆弾や銃を持っている存在に等しいしな。

【裏世界の常識を調べ終わりました！】

こっちも早いな、電子精霊の実力を見たという感じだ。

「ご苦労、ヌルに情報を

このまま続けて一般的な事を調べてくれ

麻帆良学園の事を徹底的にだ」

【かしこまりました！】

表の情報にも学園の事は多少載ってたからな  
しかしとんでもない学園だという事は分かった。

さて……はあ、やっぱり大した情報は無いか

当然と言えば当然だな、魔法使いは表では目立たないように動いているらしいし

検索が容易にできる普通のネット上ではあまり出てこない……か。

無いよりはマシ程度には分かるだけ良いか

魔法使い専用のネット回線……まほネットか

しかしこれは現実に戻って世界図絵を見た方が早い

一応、力の王笏の力でも回覧はできるが……

やっぱり制限がなあ……便利道具だからこれ以上言うのもアレだが。

【表裏問わず、大きな事件の検索が終わりました！】

「ご苦労、ヌルに情報を渡せ  
続けて麻帆良学園で起こった事件を徹底的に調べろ  
消された情報を再生したりとかは可能か？」

【それはちよつと無理です】

「なら分かる範囲で構わん  
可能な限り徹底的に調べ上げろ  
当然、時間は大小問わずに魔法関係を中心としてだ」

【【わかりました！】】

……はあ、量が膨大だな  
これを一々確認するのはかなり大変だ。

「ヌル、情報がある程度絞ってくれ  
魔法使いが関係している可能性が高い事件を中心にだ」

【了解です！】

これで魔法使いがどれぐらい動き、出しゃばってるのかが分かる  
ったく……一般人の世界に魔法を持ち込むなよな、面倒だから  
魔法使いなんだったら魔法使いらしく、魔法使いの世界で魔法を使  
ってろってんだ  
何が楽しくてあいつらはこの世界に来たんだか……旧世界だなんて  
見下しやがって。

さて、ヌルに渡された資料を見てみると……はあ  
なんだこれ？ 半数以上が未解決資料だと？  
しかも解決していても曖昧な情報しか残ってなかったり、犯人の刑

罰も甘すぎる

うーん……色々と資料を洗ってるが、魔法使いが関わったと思われる事件

犯人が受ける罰が軽いのが多いな、やっぱり魔法使い同士という理由で甘いのか？

それとも魔法使いなんだからこの程度でも更生してくれるとも思っているのか。

何にしても、明らかにバランスが悪い

隠れるぐらいだったら大っぴらに動け、かなり焦れたい

それに、記憶操作をするだけで本当にどうにかなるとでも思っているのか？

試してみるのも……一興か。

【【【【【瑞貴様、検索が全て終了しました！】】】】】

「ん、お疲れ

俺は回覧しているからお前らは少し休んでろ

また何かインストールが必要だったらそれもしておけよ」

……これは凄いな、良い意味でも悪い意味でも

隠し切れていないが、それでもよくもまあここまでできるものだ  
インターネット上では隠し切れていないが、仕方無い部分も有る  
可能性としては、インターネット系が得意な魔法使いが少ないかな？  
だからこんなにインターネット上は……お粗末な上に隙だらけ。

現在はまほネットにアクセスしていないんだがな

それでも魔法関係の事も出てきている

規制や隠蔽が緩く、甘い証拠だな

これだから魔法主義者共は……まだ魔法使いには会っていないけど。

しかし間違っていないだろうな

多分だが、魔法使い達は魔法が使えない者を甘く見ている

だからネットカフェなんて甘い場所からでも色々と調べられる

何を考えているのやら……もつと真面目に証拠隠滅をするべきだと思う。

良い意味での情報は真面目に事件を食い止めている事

悪い意味での情報は明らかに後手に回りすぎていてあまり動けていない事

事件は明らかに小さくなっているものの、被害はもつと抑えられたはずだ

態々魔法使いである事を隠しているからこうなるんだ。

ふーむ……まあこんな感じかな

相変わらず未解決事件が多いのは気になるが

それよりもそろそろまほネットにアクセスするか

どんな魔法道具が有るのか調べたいしな。

何故か魔法道具までもポケットに入っていたんだ、利用できる物は親でも使えってね

まあこの世界に親は居ないだろうが……

理由も原因も何も分からないが、使えるんだったら何だって使ってる

俺が生きる為にも、死なない為にもな！

……………

……………

……………

多いな、魔法道具

やっぱりこれは必要だよな……年齢詐称薬

これを使って俺の見た目を25歳に戻す必要が有る

しかし毎日使っていたら金が……妙に高いのが困るな。

赤い飴玉で大人に、青い飴玉で子供になる

容量はそれぞれ20個、合計40個

赤玉を毎日使用するとして、1年は365日

よって必要数は……35個も購入する必要有り!?

こりゃいかん……元が高いだけに消費が半端無い

もしこんな状態を何年も続けていたら……破産はしないがそんなに  
使いたいわけじゃない

しかも1日1個は無理だろうし、効果適用時間は約6時間だから……  
：無理だな

例え仕事時だけにしても6時間はさすがに短すぎる、毎日2個は必要か。

それにしても正体不明のアイテム……謎の銃弾

ばらばらと何百単位もの数が有るんだが……なんだったんだ?

誰かが自作で作ったのか? それともそうとう昔に……それは無いか  
銃が生まれたのはそこまで古い時代じゃないし、となるとやはり最近か?

実験用の道具だとすれば売られていないのも納得できるが。

落ちていた時にでも銃に詰めて撃って効果を試してみるか

弾丸を装填できる魔法銃も有るしな

取り出しが楽で助かる、こっちでは何もしていないから銃刀法違反になるし

まあ魔法道具じゃない物は取り出せないみたいだしな。

次は麻帆良学園在住教師の情報だな

どうせそこまで大っぴらに出ていないとは思うが……一応な

一般用のインターネットで麻帆良学園在住教師を調べ、まほネットで検索

その人物の情報をできるだけ詳しくだな。

「アインス、ツヴァイは麻帆良学園に居る教師を全員片っ端から調べろ

いや……生徒もだな、魔法に関係しているだろう生徒も全員だ

ドライ、フუნフ、フィアはアインスとツヴァイが調べた生徒の詳細をできるだけ詳しく

名前、年齢から経歴に性格まで調べられるだけ調べろ

規制されていけば無理に突破しなくても構わない、逆探知とかされるのも困るしな」

【【了解です！】】【【【分かりました！】】【【】】】

もっと高級で機能性が高くて処理が早いPCが使いたいな

部屋を購入したら急いで契約しよう、そしてできるだけ最高のPCを買う

どんな部屋にするか……家を買っても良いんだが、少し悩むな。

俺は俺で少し家でも探すかな

多少は時間が有るだろうし……

【【【終わりました！】】】

「速いなおい！？」

ならドライ達に……」

【【【こちらも終わりました！】】】

……どうやら俺は電子精霊という存在を嘗めていたらしい  
情けない見た目や駄目っぽい雰囲気、戦闘有りとはいえギャグ系漫  
画だから失念していた

この世界の魔法道具、アーティファクトの凶悪さを……

迂闊だった、世の中そんなに甘くないという事か

もし魔法使いの従者と敵対した場合、甘く見たら殺されるかもしれ  
ないな

なんでまた命賭けの戦いを……しかも今回は本気で体が危険だし  
戦いはできるだけ避けられるように努力しよう、無駄かもしれない  
けど

今までの巻き込まれ具合から考えると……やっぱり難しいか。

それよりも資料だ

麻帆良学園に魔法使いは……それなりに多いな

全学年に教师生徒問わずに最低1人は居るか、当然と言えば当然だな  
あれだけ大きな学校だ、居ない方が不思議だ。

しかし生徒の大半は修行中ね

初等部は当然として、中等部も微妙か？

高等部でようやく一人前になるかならないかか……こんなものか  
大学部は殆どが実力者、教師は言わずもがな、やはり強いらしい。

魔法世界ではなく、旧世界……この世界に居る魔法使いは全部で約  
6700万人

世界に散らばっているから当然だな、この学園だけでもそれなりに

大手みたいだな

しかし人間の総人口は約64億人、そう考えると1億に満たないから少ないのか？

難しい所だな……多いようにも思えるが、少なくとも思える……なんて中途半端なんだ。

色々考えたが、実際にどう動くべきだ？

麻帆良学園に行き、事件に巻き込まれる事を覚悟してでも動くかそれとも麻帆良から逃げ、遠くで普通の一般人を装うか……

当然後者だと言いたいんだが、あの学園に存在している世界樹……なんでも22年に1回、強力な魔力を放つとかカシオペアを使う為にはその魔力が俺には必要だ世界まで飛べるかは少々悩むが、何もしないよりはマシだ。

しかし魔力を発している時は当然ながら警戒が凄まじいはず一般人を装って動いたとしても、追いつかれるオチになるだろうな追いつかれなくても捕まり、尋問ぐらいはされるかもしれない記憶を覗かれたりしても危険だし……難しい所だ。

だからといって麻帆良学園に行くのも辛い主に、俺の精神と胃が……死ぬ

もうかなりうる覚えだがかなり騒がしい学園なのは覚えているそんな場所に行ったら俺は……うん、絶対に悪夢にしか感じ無いな。

それに潜り込む為にはある程度話す必要が有る俺が気付かない内に記憶を読まれる可能性だって否定できない眠っている間だって良いはずだ、夢を覗く魔法だって有るだろうし下手な事をして警戒されるのは下策だろう。



それに……緩い学園だから分かったんだが

あの学園には賞金600万ドルもの賞金首、エヴァンジェリン・ア  
タナシア・キティ・マグダウエルが居る

種族は真祖の吸血鬼……昼間にも外に出る事ができる高位の吸血鬼

の事か

ダーク・エヴァンジェルマガ・ノスフェラトゥ

ドールマスター

闇の副音、不死の魔法使い、人形使い、悪しき音信、禍音の使徒、  
童姿の闇の魔王

多いな、異名……まあ600万ドルもの賞金首なら当然かもしれないな。

現在は呪いと結界の効果で行動を制限されているか……哀れな  
助けてやるつもりは欠片も無いけどな、助けた瞬間に殺されては敵  
わん

そもそも助けられるなんて思い上がりなんかしていないし。

話が逸れたか、とにかく潜り込むにもかなり危険が伴う

どうにかして俺に手出しができないようにしないと……ん？

いや、待てよ……確かあの道具が有れば可能か？

それに含めてアレにアレとアレを使つて……不可能じゃないな。

それに巧くすれば俺は一切手出しをされず、学園でそれなりにマシ  
な生活ができるかもしれない

金は有る……そして世界樹の22年までは後、約2年

何も手を出さなくても勝手に過ぎていくだけの時間だ。

……正直に言うと、どちらかなり怖いな

もし学園に入ったとしても、失敗した場合はかなり危険を伴う

温い奴らだ、殺される事は無いだろうが学園には二度と入れないだ  
ろう。

だからといって無関係で居るのも相当……勇気が必要

俺は既に学園にアーティファクトを使用してスパイ行為を行っている隠れたとしても、見つかった場合はアウトになるのは当然

覚悟もできないままとなる可能性が有るとなると……こっちは精神が先に参りそうだな。

魔法使い達に見つかるかもしれないプレッシャー

2年……長いようで短いが隠れ住むには少々長いと思えるその毎日をそんな状態で過ごす……か

無理とは言わない、しかし想像したくないぐらい辛いだろう。

学園にさえ入れば精神的にはまだ多少はマシだろうが、それでも問題が山積み、多すぎるぐらいに多いあの馬鹿みたいにぶつとんでいる学園に住む……

これも精神的に辛そうだな……我慢よりはマシだろうが。

……仕方無い、学園に行こう

問題は山積みだが、何もしないよりはマシだろうそれに世界樹にも多少は近づけるようになるんだしな。

時間は掛かるだろうが、内側から動いた方が確実性は高い成功率もきつとそれなりに上がるだろうし、魔力はかなりの多さらしいからな

カシオペアでの時空間移動もきつとできる……はず

時間だけしか移動できなかったら困るが、それはそうってから考えるしか無い

分の悪い賭けは嫌いじゃない……なんて事は無くて、どちらかと言えば嫌だ。

つと、そろそろここから出るかな

いつまでもインターネット内に居てもあまり意味は無さそうだ  
探したい情報は大方探し終えたしな。

「じゃあ俺はそろそろ出る

また用が出来たら来るからそれまで待ってろよ」

【はい、瑞貴様！

お疲れ様でした！】

【【【【【お疲れ様でした！】】】】】

「あ、ちなみに次のメインはアインスな」

それだけ言って俺はさっさとインターネット内から抜け出す。

.....

.....

.....

あー……目の前にはPCか、つまり戻ってきたんだな  
もしかしたら電子精霊は現実にも干渉する力を持っているかもしれない

力の王笏をさっさと返すか。

アベアット

「去れ」

これで良しつと

さて、色々考える事ができたな

生きる為、死なない為、頑張って悪夢の学園生活を送ろう

………そういえば戸籍、どうしよう？

## 番外編 本気禁止制限決闘完結後に予定中（後書き）

瑞貴が行った先の原作は？

漫画版、魔法先生ネギま！です

何故この作品を選んだかというところ……

理由1、同じくカードを使った作品だから……なんだかアレな感じですけど

理由2、割と好きな作品だったから

理由3、ぶっちゃけ適当

こんな感じの理由です。

何故仮契約カードを何枚も？

不明、遊戯王GXの時もでしたがそこに関しては深く突っ込まないでください。

フリガナが少ないような……

ぶっちゃけ、カタカナでフリガナを振るのが面倒なんです

長いし、多いし、ややこしいし、面倒だし、ついでに読めないし

スペル……ラテン語を書くのも有りなんですけど、それはそれで更に時間が掛かる

なのでもう元の読み方ですし、スルーしてください。

瑞貴、稼ぎすぎだろ……

3年も数十万、数百万、数千万、高ければ数億ものカードを数多く売ったので……

まあ仕方無いというか、有る意味当然とも言える結果です  
しかしこの世界、金だけ持っても役に立つのか少々疑問が残ります。

マナはどうなったの？

デュエルモンスターズのカードが無い世界なので来れませんでした  
彼女がどうなったかは不明

元の世界に戻ったのか、それとも5D・S時代に取り残されたのか  
……不幸過ぎますね。

2002年、8月20日ってどういう時期なの？

ネギ・スプリングフィールドが麻帆良学園に来るのは2003年の  
2月上旬

なのでその半年ほど前の話になります

何故その時間かというところ……それは本当に書いた時のお楽しみですね  
いったいいつになる事やら……年単位かもしれないかもしれませんが気長にお待  
ちください。

渡鴉の人見を破壊したのは誰？

剣士は葛葉刀子、優男は瀬流彦……フルネーム不明

細かい事は書きません、面倒なので。

最速の靴って？

名称不明のアーティファクトなのでこんな表現に……

ちなみに使用者は春日美空。

平行世界とか何とか……どういう意味？

時間移動や平行世界に関しては色々な説に有るのでご自分で……  
説明するとなるとかなりの文量になりますし。

力の王笏って検索とかできるの？

不明、アレってどこまでできるんですかね？

色々よく分からないんですけど……

とりあえず、できると思った範囲で動かししました。

年齢詐称薬の数って？

適当です、鵜呑みにしないでください

時間に関しても制限が有ると思います、この6時間としました  
深い意味はありません。

## 124話【10日目?】（前書き）

「今日の最強カードは奇跡のジュラシック・エッグだよ

攻撃力は0だけど守備力は2000もある地属性の恐竜族モンスター  
恐竜族モンスターが墓地へ送られる度にカウンターが2つ貯まって  
このモンスターを生け贄に捧げる事でそのカウンター以下の恐竜族  
モンスターをデッキから特殊召喚できるの  
後、地味だけどこのモンスターは場から除外されないって効果を持  
ってるんだよ」

……レイでした

なんだか久しぶりな感じです。

どうも、復帰して再び小説を……そして今回こそ本当に遊戯王の小  
説です

細かい事は置いておきますが、これからは更新速度は落ちますとだ  
けもう1度。

久しぶりなので書き方を忘れています

……このキャラってこんな口調だっけ？

という感じでちょっと混乱中、早く元に戻らないと……

今回の対戦相手はTFからの登場

しかし、使用しているデッキはテーマは同じですが内容が全く違  
います

これはデッキ当の件でリクエストされたデッキです

自分のデッキよりも、リクエストがしたくなったらいいのでこうな  
りました

本当だったらTFの便利屋、茂野間ネオさんに登場してもらおうと思っただけですけどね。

ちなみに作者、本来はリクエストは受け付ける気は無いので感想でリクエストをされても困ります

時々される人が居るのですが、しないでくださると助かります。

次回もまだ10日目です

この日は色々とする事が有るので……まあお楽しみに？

今回の投稿はいつになるか……明日は微妙ですね。



## 124話【10日目?】

視点 瑞貴

はぁ……暫く外に出られなくなりそうなんだ  
少し散歩でもして気分を紛らわそう。

あまり外に出たいとは思わないが、自分から出ないのではなく  
理由が有って嫌でも外に出られないんだ  
留守番は……美寿知にでも頼むか。

そうと決まればさっさと部屋から出て美寿知とカミューラの部屋に  
向かう  
1分も掛からずに着くけどな。

部屋をノックし、来客を伝える  
……遅いな。

「誰だ?」

「堅守だ」

扉を開け、美寿知が出てくる  
少し寝癖が……不機嫌そうだし寝ていたのか?  
もう昼になるんだが、まあ俺は構わないんだけどよ。

「何の用だ?」

「俺の部屋で留守番をしてほしい  
少々危険物が有ってな、部屋を開けるのが少し……」

「出かけるのか？」

「ああ、その危険物のせいで外に出られそうにないからな  
元々外に出ないつもりだが、嫌でも出られそうにない  
だから気晴らしに散歩に出てくる  
眠いんだったら俺の部屋で寝ててもいいぞ？」

部屋に誰も居ない状況を避けたいだけだしな  
来客が有れば寝ていても起きるだろう。

「ふむ……わかった

来客が出た場合はどうすれば良い？」

「無視してくれて構わない」

さすがに強引には入って来ないだろう  
そんな事をするような奴は白板ぐらいだろうし  
白の奴らでもまだそこまで強引な手段は使わないはずだ。

「了解した

そなたの部屋で寝ていても構わないのだな？」

「好きにしてくれ」

夜更かしは良いが、あまりし過ぎるなよ？  
せっかく肌がそんなに白いんだから、荒れたらどうするんだ  
自業自得だと言うから言わないが。

美寿知を部屋に入れ、俺は散歩に出かける

もう参加者もかなり減ってきただろうし、大丈夫だろう

デュエルディスク  
決闘盤も持っていないんだから決闘を挑まれる事も無いだろうし  
例え挑まれても、デッキも今は持ち歩いていないから決闘はできない。

………

………

……

暫く歩いていると子供が……子供？

レイ玲以外にも子供がこの学園に来ていたのか  
オーバーオールを着た紫髪の女の子かな？

後ろ姿だから顔は見えないが。

……あ、兎角が正面から来たな

子供を見て、子供の登場に驚いているらしい。

「子供？

どうして子供がこの島に？」

「あ、初めまして

この学園の生徒さんですか？」

「うん、そうだけど……」

生徒か確認したという事は……彼女は学園外からの実力者か？

あんな子供が実力者として呼ばれているとはな

身長は低くて小学生高学年ぐらいの見た目だが、そんな実力者が居

たか？

「私は？良あゆみと申しますせら  
早速ですけど私と決闘デュエルしてもらえませんか？」

？良あゆみ……彼女なら出ていても納得できるな。

？良あゆみ、前回の全日本ジュニア大会の優勝者

使用デッキは確かワイトだが、金持ちなのか俺が売っていた高いカードを使っていたな

そういえば、彼女が勝利者インタビューで答えた言葉はかなり凄い事を言っていたような気が……

凄まじい事を言って周りの人間の大半が引いていたはず、何だったかな？

「私と決闘デュエルですか？

良いですよ」

思いつけないまま決闘デュエルが始まる

ある程度距離を取り、お互いに構える

おっと、始まる前に少し移動しておくかな

このままだと後ろからの観戦になってしまうし。

「「決闘デュエル！」」

気をつけろよ兎角、彼女は強敵だぞ？

別にお前が負けても勝ってもどっちでも構わないんだが  
そういえばお前、今メダルは何枚だ？

「私が先攻しますね、ドロー」

ワイト夫人を守備表示で召喚します」

改めて？良あゆみを観察してみる

やっぱりどう見ても子供、栄養不足なのか？

確か11歳ぐらいのはずなんだが、8歳ぐらいにしか見えんかなり幼く見えるのは何故だろうか？ 発育不足か？

そして彼女が召喚し、出てきたのは骸骨の……女性のはず

ドレスを着て優雅に椅子に座っているが……

頭は埃なのか蜘蛛の巣なのか、髪の毛じゃない事は確かだ

そんなのが大量に積もってまるで髪の毛のようになってる。

「守備力が2200!？」

しかもLV3なんて!」

そういえばワイトシリーズってマイナーなんだよな、この世界

墓地肥やしという概念があまり無い世界だから仕方無いんだけど

プロとかでも墓地にカードを送ってというのは滅多に見ないし。

「はい、お母さんのカードです」

……思い出した、周りをドン引きさせたコメント

お父さんやお母さん達と一緒に戦ってくれたから……だったな

家族が死んでいるのを知っているのか知らずに言ったのか……

簡単なプロフィールは大会に出ている以上、ある程度は公表されている

だから家族が全員死んでおり、1人暮らしだという事は表に出ている状態。

よってそのコメントの意味を深く問うのはかなり怖い状態だ  
家族が死んでいる事が分かっており、ワイト達が家族とでも言うつもりなのか  
家族が死んでいる事が分ならず、親から貰ったデッキと一緒にいう意味なのか  
他にも色々予想ができるが、インタビューをしたアナウンサーは深くは訊かずに黙った。

「お母さんって……」

「続けます、カードを3枚伏せ、ターンエンドです」

伏せカードが3枚か……ワイトデッキをどこまで弄っているんだ？  
カードを買ったのは知っているが、どんなカードを買ったかまでは覚えていないぞ  
どんなデッキになっている事やら……

「私のターン、ドロー」

（さすがに守備力2200はちょっと倒せないかな？  
伏せカードも怖いし、今は様子見にしておこう）

考えが読めるな

反応が怖いからとりあえず様子見か、小手調べかな？  
多分、モンスターを守備表示で出して、伏せカードを1枚だろう  
攻撃表示で出すとすれば……暗黒ステゴ辺りか？  
ブラック

「奇跡のジュラシック・エッグを守備表示で召喚します  
カードを1枚伏せ、ターンエンドです」

あんまりのんびりしていても危ないぞ？

彼女は思ったよりも高速で動くからなあ……下手すれば1ターンキルもできるはずだし  
ライフ4000世界だとワイトキングだと簡単に削れる世界だからな。

「私のターン、ドロー

魔法カード、ワン・フォー・ワンを発動します

手札を1枚捨て、デッキか手札からLV1のモンスターを特殊召喚します

私は手札のワイトキングを墓地へ送り、デッキからワイトを特殊召喚します」

「わ、ワイト？」

出たよ、危険なモンスター

しかも召喚されたという事は多分……

チェーン・デストラクション

「罠カード、連鎖破壊を発動！

攻撃力2000以下のモンスターが召喚、特殊召喚、反転召喚された時

そのモンスターを破壊し、コントローラーの手札とデッキの同名モンスターを全て破壊します！

私のデッキにはワイトが2枚、この2枚も破壊して墓地へ送ります」

お、原作効果か

OCG効果だと場のモンスターには効果が無いんだがな

原作効果だと場のモンスターも一緒に破壊する

これは強化なのか弱化なのか、かなり微妙な所だな。

相手のモンスターに使う場合、OCG効果になったのは弱化だろう、

本体を破壊できないんだし

しかし、自分のモンスターに使う場合は強化かな？

本体も破壊できると全部墓地に送る時には役に立つ……のか？  
壁が減るからやっぱり完全に弱体化かもしれないな。

「自分のモンスターを破壊するなんて……どうしてそんな事を？」

「すぐに分かります

デッキの確認をしたのでシャッフルをしますね」

既に？良の墓地にはワイトが3枚にワイトキングが墓地へ送られて  
いる

この状況でワイトキングが出てきた場合、攻撃力は4000か。

「もう1体、ワイト夫人を守備表示で召喚します  
ターンエンドです」

これは……厄介だな

ワイト夫人はワイト夫人を守る効果は持っていないとはいえ  
それでも守備力2200が2体は少しキツイかもしれない。

ま、兎角の場合はパワーデッキである恐竜族だからそこまで厳しく  
ないだろうがな

それでも手札に上級が居なければ少し困るかな？

「私のターン、ドロー！」

私は手札のキラザウルスの効果を発動します

このモンスターを墓地へ送り、デッキからフィールド魔法、ジユラ  
シックワールドを手札に加えます

更に、奇跡のジュラシック・エッグの効果が発動します



私の墓地に恐竜族モンスターが墓地へ送られた時、このモンスターにカウンターを2つ乗せます

そしてそのまま奇跡のジュラシック・エッグを生け贄に捧げ、効果を発動！

このモンスターに乗っているカウンターの数以下のLVのモンスターをデッキから1体特殊召喚する事ができます！

私はデッキより、ベビケラサウルスを特殊召喚！」

この状況で態々ベビケラサウルスカ

となると次の手も予想できるな、何せ態々ジュラシックワールドを手札に加えたんだし。

「フィールド魔法、ジュラシックワールドを発動します！

場の恐竜族モンスターの攻撃力、守備力が共に300ポイントアップします」

確かにその選択は良い判断かな？

何せ相手の場には守備力2200のワイト夫人が2体

更に伏せカードも2枚も有る、良い手が無い状態ならそうするだろう……それが大失敗だと、俺は思うがな。

「このままエンドフェイズに入ります

そしてこの瞬間、罠カード大噴火を発動！

自分の場にジュラシックワールドが存在している時にエンドフェイズに発動できます

場のカードを、全て破壊します！」

「ん、なら罠カードを2枚発動します」

この状況で？

どんなカードを売りに出していたかな……あまり覚えてない  
ワイトデッキと相性が良い罠カードはといえば……

「罠カード、針虫の巣窟

自分のデッキからカードを5枚墓地に送ります

私はこのカードを2枚発動し、デッキから合計カードを10枚墓地  
へ送ります」

「またカードを墓地へ……

(何を考えてるんだろう?)

もしかして墓地へ送って意味の有るカードが沢山有るのかな?

うう……アンデット族は嫌いだから殆ど勉強してなかったのが仇に  
……

嫌いだからって勉強しなかったのは失敗だったみたい)」

怖い怖い、何枚ワイト関係が墓地へ送られたのやら

しかし針虫の巣窟を買ったのは? 良かったのか

殆どデメリットだけのカードがどれぐらいの値段かと思つての実験  
だったんだがな

万単位で売れたから良し、しかも更に欲しいと言われたから更に2  
枚売ったんだっけ?

こつちが最初渋つたから2枚共倍額で買うつて言われたからすぐに  
売ったがな

十万単位になったし、少々惜しかったが損は無いな。

「ベビケラサウルスの効果を発動します

このモンスターがカードの効果で破壊された時

デッキからLV4以下の恐竜族モンスターを特殊召喚できます

私はこの効果により、デッキからハイパーハンマーヘッドを守備表

示で特殊召喚します！」

守備表示にしたのは墓地肥やしが怪しいと思ったんだろうな  
何をされるか分からないし、不気味にでも感じたか？

墓地にカードを送るメリットは理解しているはずだし……というか  
教え込んだし

警戒して当然のように教えたつもりだ。

「私のターンはこれで終了です」

さて、？良がどう動くか気になるな

？良の手札は1枚、持っている手札は何だ？

「私のターンです、ドロー」

魔法カード、強欲な壺を発動し更に2枚ドローします

続いて魔法カード、テイク・オーバー・5を発動します

デッキからカードを5枚墓地へ送ります」

うわぁ……これは1枚しか売ってないのにこのタイミングでか

針虫の巣窟に似たカードをと問われたから教えたら欲しいだったし  
なあ

明らかに針虫の巣窟より強いカードだから1枚しか売らなかつたけど  
それでも針虫の巣窟の総額よりも高く売れたんだよね……

「これだけ居れば……よし、ワイトキングを召喚します！」

現れたのは青い布を着た骸骨

しかしこいつ、ワイトとの違いが俺にはよく分からないな  
さっき少しだけ登場したワイトと違いが俺には見分けが付かない

……まあ、どっちがどっちでも良いんだけどさ。

「（攻撃力が？か……という事はもしかしてディノインフィニティみたいな効果を持ってるのかな？  
それは墓地にカードが有る事で効果を？）」

さて、何枚ワイトが墓地に送られているのかな？  
気になる所だが……さて。

「ワイトキングは墓地に存在するワイトキングとワイトの数×1000ポイントの攻撃力になります  
私の墓地には普通のワイトが3枚、ワイトキングが2枚  
墓地ではワイトとして扱うワイト夫人が3枚、同じく墓地ではワイトとして扱うワイトメアが2枚です  
よってワイトキングの攻撃力は10000となります」

「攻撃力10000！？」

（拙い……私の墓地にはまだ恐竜族は3枚だけ、生存本能を使ってもあまり意味が無い！  
そうでなくとも、攻撃力10000なんてそう簡単に……できなくは無いけど難しい！）」

へえ、かなり墓地に送られていたんだな  
そういえばこの世界には馬頭鬼はまだ無いんだったな  
？良のデッキにワイト系以外のモンスターは入っているのか？

ゴブリンゾンビとか、魂を削る死霊とか、ゾンビ・マスターは使えると思うんだが……拘りか？

終末の騎士とかダーク・グレファアも使ってないし、持ってないとは思えないんだがな

あれだけカードを高く買ったんだ、持っていてても不思議じゃないん

だが。

ちなみにワイトメアも売りに出していたんだが、これも？良が買った絶対に欲しいと何度もメールが来たからな……また思わず売ってしまった

これもかなりの値段で売れたし、あまり損は無かったかな？

「ワイトキングでハイパーハンマーヘッドに攻撃！」

攻撃方法は……頭を投げつけるのかよ！

しかも噛みついたし！　つうか顎に力なんて有るのか！？

いや、それを言ったらそもそも立てないか、骨だけなんだから。

「クッ……ハイパーハンマーヘッドの効果が発動します！」

このモンスターと戦闘を行い、相手モンスターが破壊されなかった時そのモンスターを持ち主の手札に戻します！」

「あ、お父さんのカードが……」

……なんだろう、この……凄く保護したくなるような表情はいや、できるんだけど？良の場合は難しいからなあ……

面倒事も多いから……本当に悪いが保護はできん、申し訳無い。

別に？良が聞いているわけじゃないんだけどな  
けどなんとなく謝らないといけない気がして……

「既に通常召喚しているのでこれでターンエンドです」

次のターンには再び攻撃力10000のワイトキングが現れる  
そいつを相手に兎角はどうするかな？

このままだと負けてしまうぞ？

「私のターン、ドロー！」

現在、兎角の墓地のモンスターは4体

キラザウルス、奇跡のジュラシック・エッグ、ハイパーハンマー  
ヘッド、ベビケラサウルス

ディノインフィニティを出すには数が全く足りないな。

「<sup>ブラック</sup>暗黒プテラを守備表示で召喚！

更にカードを2枚伏せ、ターンエンドです！」

巧くすればデッキ切れになるかもしれないから守りに徹するのも有りだな

既に？良のデッキは11枚、耐えきる事は不可能じゃない  
……蘇生カードが何枚も出てこない限りはだがな。

「私のターン、ドロー」

墓地のテイク・オーバー・5の効果を発動します

自分のスタンバイフェイズ時、このカードが墓地に存在している時  
墓地のテイク・オーバー・5を除外する事でデッキからカードを1  
枚ドローします」

これがテイク・オーバー・5の怖い所だ

墓地肥やし、デッキ圧縮、ドローと3つの働きができる

墓地依存のデッキにはこれほど心強いカードは無いだろう  
俺は少し自重していたが、そろそろ使ってもいいかな？

「うーん……ワイト達はみんな墓地に送られてるからなあ  
再びワイトキングを召喚して、バトルです」

ワイトキングで暗黒<sup>ブラック</sup>プテラに攻撃します」

今度は腕を取り外し、投げつけた  
スコーンという感じの良い音が鳴り、暗黒<sup>ブラック</sup>プテラは破壊される  
……軽い音なのに攻撃力が10000、そして破壊される恐竜はシ  
ュールだ。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

「私のターン、ドロー！」

永続罠、化石発掘を発動します！

手札を1枚捨て、墓地の恐竜族モンスターの効果を無効化して蘇生  
させます

私はこの効果により、墓地から暗黒<sup>ブラック</sup>プテラを特殊召喚！」

この状況で暗黒<sup>ブラック</sup>プテラを蘇生させるメリットは……有るのか？  
いや、この場合にする事はもしかして蘇生よりも回収？

「そして魔法カード、大進化薬を発動します！

自分の場の恐竜族モンスターを生け贄に捧げる事で効果を発揮します  
3ターンの間このカードは私の場に残り続け

このカードが有る限り、私はLV5以上の恐竜族モンスターを生け  
贄無しで通常召喚できます！

更に生け贄に捧げた暗黒<sup>ブラック</sup>プテラの効果も発動します  
戦闘以外の方法で場から墓地へ送られた時、このモンスターは手札  
に戻ってきます」

なるほど、時間稼ぎの手段の1つだな

もしLVの高いモンスターをドローしても手札事故に繋がるだけ  
だったら強引な手段を取ってでも事故の確率を下げたか。

しかも暗黒<sup>ブラック</sup>プテラが手札に戻ったから再び召喚可能  
また壁にもなるし、損はあまり無いという事かな？

「私は再び暗黒<sup>ブラック</sup>プテラを守備表示で召喚します  
これでターンエンドです」

兎角の手札は1枚……これは少し拙いかな？  
耐える必要が有るのに手札が圧倒的に足りないからな。

「私のターン、ドロー  
ワイトキングで暗黒<sup>ブラック</sup>プテラに攻撃！」

今度は足を……いや、それはどうなんだ？  
兎角が嫌そうな顔をしてるじゃないか、それは止めておけ。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

うーん……確かエンジェル・リフトも売ったんだっけ？  
もし使われたらかなり危険じゃないか？  
というか、そうなたら兎角に勝ち目は無いだろ。

「私のターン、ドロー！  
キラーザウルスを墓地に送り、デッキからジュラシックワールドを  
手札に加えます！  
そしてそのままジュラシックワールドを発動！」

ほう、2枚目か  
よくこのタイミングでドローできたな  
早くカードを墓地へ送り、ディノインフィニティを使わないと拙い



ぞ？

「大進化薬の効果を使い、竜脚獣ブラキオンを守備表示で召喚します！

これでターンエンドです！」

さて、守備力3000のブラキオンだが全く勝てない  
しかも手札が0、次のターンにモンスターをドローしないと完全に  
負けだな。

「私のターン、ドロー！」

ワイトキングでブラキオンに攻撃！

そしてこの瞬間、罠カードメテオレインを発動！

このターンの間、自分の場のモンスターは全て貫通効果を得る！」

「メテオレイン！？ 罠カード、生存本能を発動します！」

墓地の恐竜族モンスターを任意の枚数除外します！

そして除外したモンスターの数×400ポイントライフを回復！

私は墓地からキラザウルスを2枚、暗黒<sup>ブラック</sup>プテラ、奇跡のジュラシ  
ック・エッグ

ベビケラサウルス、ハイパーハンマーヘッド、化石発掘の効果で捨  
てた究極<sup>アルティメット</sup>恐獣の合計7枚を除外します！

これにより、私はライフを2800回復します！」

ワイトキングの攻撃力は10000

ジュラシックワールドの効果でブラキオンの守備力は3300にア  
ップし、その差は6700

生存本能の効果で兎角のライフは6800、ライフが100残ったか  
本当にギリギリの危ない所だったな。

「あ……勝てなかった」

「（まさかこんなに一気にライフを削られるなんて……私の見通しが悪かった、攻撃力が10000にもできるのに貫通効果付与カードが有るのは当たり前なのにそれを見逃すなんて馬鹿な事を……）」

さて、兎角に勝ち目は有るのかな？

頼みのディノインフィニティとて、この状況で召喚しても攻撃力は7000

よって攻撃力では勝てないからどうしようも無いな。

「うー……仕方無いですね

カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

「私のターン、ドロー！

魔法カード、強欲な壺を発動します！

この効果により、デッキからカードを2枚ドロー！」

お、この状況で強欲な壺か

まあなんともアニメ的な展開だな

そういえばこいつもアニメ内の奴だったな

だとすれば当然……なのか？

だからといって、逆転できるかと問われれば首を捻らざるを得ない一応、まだ大進化薬は残っているものの、最上級恐竜族ではどうしようもできないジュラックを持っていれば話は別だったんだろうが……1枚も渡してないからな。

「……魔法カード、大嵐を発動！」

お互いの場の魔法、罠カードを全て破壊します！」

おいおい……何をするつもりだ？

？良の伏せていたカードは闇の幻影、ツタン仮面か  
どちらも今は使えないカウンター罠だったな。

兎角の場にはジュラシックワールドと大進化薬だけだったからそれも破壊

残った手札は1枚、兎角はどうするのかな？

「魔法カード、逆転の宝札を発動します！」

自分の手札が0枚、場には逆転の宝札1枚の場合のみ発動可能！  
相手の場に存在するカードの枚数だけドローします！」

「私の場にはワイトキング……という事は1枚のドローですか？」

本当に最後の賭けだな、悪足掻きにも思えるが  
それでも負けたくないという気持ちは分かる、どこまで粘るかな？

「……ドロー！」

何を引いた？

「……………」

「ディノインフィニティを……守備表示で召喚します」

終わったか……それでも最後にディノインフィニティをドローできたのは凄い

多分、兎角の最後の意地と執念だったのかもしれないな  
大好きな恐竜で勝てるようなデッキを構築したいって言っていたし。

「ターン……エンドです」

現在除外されている恐竜族モンスターは7体

例え攻撃表示にしていたとしても、攻撃力は7000だから勝てなかった。

「私のターン、ドロー」

私はワイトメアを召喚します」

現れる紳士服を着たワイト……最後のワイトメアを召喚したか  
しかもドローしたカードじゃなかった、という事は前から手札に持  
っていた事になる

召喚しても攻撃力で勝てないから召喚しなかったのか、それともワ  
イトキングが除外された時の保険か

どちらにせよ、兎角の僅かなチャンスも完全に潰えた。

「ワイトメアでディノインフィニティに攻撃します」

ワイトメアはディノインフィニティに近づき、パンチをした  
骨の分際で恐竜にパンチをし、しかも破壊するという……またシュ  
ールだな  
守備力が0のディノインフィニティとはいえ、攻撃力は7000な  
んだぞ？

それを攻撃力3000のワイトメアが破壊するとは……

「終わりです

ダイレクトアタック  
ワイトキング、直接攻撃！」

「……………」

兎角は声も上げず、ワイトキングの攻撃を受ける  
なんというか、悟りきったという感じの表情だ  
全力を尽くしたとでも思っているのかな？

「…………えっと、私の勝ちです」

「はい、私の負けです  
ありがとうございました」

「え？ あ、えっと…………ありがとうございました」

その後、何を話したのかは知らない  
俺は決闘<sup>デュエル</sup>が終わった直後にはこの場を離れていたからだ。

兎角、お前はよく頑張った  
アレはなかなか良かった、メダルが300枚になってなくても300枚相当のご褒美をあげようかな  
良い物を見れたんだ、それぐらいしても損は無いと思う。

…………さて、次はどこに行こうかなつと  
学園の方にも行ってみるかな？

## 124話【10日目?】（後書き）

?良あゆみって?

TF4から登場する女の子です、今回はそのまま登場

勝手な設定として大会の優勝者に……子供だからこれぐらいはできないと来れないと思いました

なんだか所々色んな捏造設定が盛り沢山ですが、今回限りの設定です  
一部ゲーム内設定に準じていますが……詳しい事はスルーで  
なんだか色々浮かんできたからこうなりました  
やはり気に入ったキャラは濃くなってしまっうんでしょかね?

連鎖破壊の効果は……

瑞貴の言う通り、原作効果です。

?良あゆみのデッキにモンスターは何が入っているの?

瑞貴の予想通り、ワイト系しか入っていません

ワイトデッキという指定以外は作者に任せると言われたので……  
思い切って墓地肥やし+ワイトキングと、シンプルに纏めました  
シンプル過ぎてモンスターがワイト系だけなのですが。

メテオレインはダメージステップに発動すると……

スルーしてください、こうしないとライフが0になるので。

原作、アニメオリジナルカード

テイク・オーバー・5

デッキからカードを5枚墓地へ送る

自分のターンのスタンバイフェイズ時、このカードを除外する事で

カードを1枚ドロ―できる

普通に凶悪なカードです、魔法カードですし針虫の巣窟の上位相関でしょう。

ツイッター……もう完全に忘れてた

[http://twitter.com/#!/ain\\_kuria](http://twitter.com/#!/ain_kuria)  
今後も続けるか、もう面倒になってきたから放っておくか悩み中。

## 125話【10日目?】（前書き）

「今日の最強カードはトウルース・リインフォース  
通常罠カードで、デッキからLV2以下の戦士族モンスターを特殊  
召喚できるみたいです  
だけど、代わりにバトルフェイズを行えないみたいなので速攻には  
向きませんね  
相手のターンに発動できれば効果的なんでしょうけど」

彰子……そういえば前回の彼女の敗退で気付いた事  
1年生がもうレイしか残っていない……ブルー女子1年生全滅でし  
た。

今回で10日目は終了です  
今回は11日目、誰が出てくるやら……

それなりに難しかったです  
原作アニメオリジナルカードが多い……整理するのが面倒です  
後書きで説明しますけど。

次回も明日に投稿できるといいなあ……  
とりあえず頑張りますか。



## 125話【10日目?】

視点 瑞貴

やっぱり相当参加者が減ってるな  
それに白も居るだろうし、仕方無いか。

学校内に入り、少しブラブラとする  
何をしようか……別にする事なんて無いんだけど。

「あ、おーい瑞貴!」

……逃げようかな?

そう思ったのも本当に束の間だった  
既に肩を掴まれ、逃げられない状態に……

「よ、瑞貴」

「……何の用だ、似非」

本当にこいつは……どうして俺の行く先に現れるかな?  
ほら、水色や白亜も近づいて来たじゃないか  
面倒な事になりそうだ、やっぱり今からでも逃げるか?

「実は少し相談に乗って欲しくてさ  
頼むから話だけでも聞いてくれないか?」

「断る」

「まあ、そう言わずに……」

「断るって言ってるだろうが！

って、引っ張るな！ 服が伸びる！」

力で勝てないのは分かっているとはいえ、気分は良くない！

そして白亜！ お前も似非に感化されているのは分かっているけどだからといって、お前も後ろから押すのは止める！

「俺達も困っているザウルス、少しはアニキを手伝ってほしいドン」

「僕はこのつが役に立つとは思えないけどね」

……言うようになったな水色、いや……元々言っていたか？挑発なのか、本当に思っている事を言ったのか、どっちだ？どっちにしても腹が立ったのは事実だが。

……  
……  
……

結局、俺は似非と白亜に押されて階段まで連れてこられた  
ったく……俺に何をしろと？

「で？」

「いや、実はよ……」

似非の話を要約するところなる

昨夜、白板が何故か現れ、鍵と言われた棒を渡された……ソーラの鍵か？

それは赤鳥も同じく受け取っており、世界の命運を賭けたただのなんだのと……そりゃ世界の命運だな

なんだかんだでどうしようか考えている時、その1が登場……しかし目が座っていたとか

白板から命令され、鍵を返すように要求されたらしい……ならどうして渡したんだ？

決闘をし、似非が勝てば鍵はそのままだが負ければ白板の下へ……コントロール装置は俺が持っているんだが

その1は鍵を取り戻した場合、鍵の永遠の守護者になるとか……完全に洗脳されているな

どうしようも無いと思い、決闘を受けたので今夜、その1と決闘するらしい。

……ふむ、なるほどな。

「なあ瑞貴、ジュンコはどうなったんだ？」

そんな縫るような目で俺を見るな、鬱陶しい

というか俺に訊いてどうするんだ？

俺はその1の状態を見ていないから分からんぞ。

「実際に見ていないから予想しかできないが……」

とりあえずその1が洗脳されている事は分かるな？」

「そりゃあ……そうだけど」

「なら簡単だ、話を全く聞く気が無い状態だったとなれば洗脳を深く、強化されて頭の中が白板……斎王だけしか無

いんだろう

お前が負けたら、おそらくはその1は二度と元の状態に戻らないと思われる

断言はできないが……な」

「そんな……」

絶句するのは構わないが、予想だぞ？

真実味は有るかもしれないけどな。

「じゃあアニキが負けたらジュンコさんはあのままという事かな？」

「そんなの許されるはずが無いドン！」

あーあー……落ち込まれて鬱陶しい

熱くなられて暑苦しい！

お前ら、少しは落ち着け！

「別に問題無いだろ」

「なんだって！？」「酷いザウルス！」

何故怒る？

そして怒るとしても本来、似非の立場の奴がするものだ  
お前ら取り巻きがするような事じゃないだろ。

「勝てば良いんだろうが

負ける心配をしていたら、勝てる勝負も勝てなくなる

負けたいんだったら別に俺は何も言わんがな」

「……そうだな、そんな事を考える必要なんて無かったな！」

はあ、元の調子に戻ったか

うじうじされると鬱陶しいし、戻ってくれて助かった。

「サンキューな瑞貴、おかげで元気が出たぜ！」

「はいはい、分かったから叫ぶな

煩いし、耳が痛くなる

後はお前が勝つだけなんだから勝手にしてくれ

負けさえしなければ、お前らがどうなろうとどうでも良いよ」

本当、どうしてこいつはこんなに煩いんだ？

別に良いんだけどさ、俺を巻き込まないでくれよ。

「どうせだしさ、俺とジュンコデュエルの決闘も見ていってくれよ！

俺だって強くなっている所を見せたいんだしさ！

俺の新しいデッキ、瑞貴には見せてなかっただろ？」

こいつは……俺が会話を避けているのが分からないのか？

いや、例え分かっていると言っても言い寄ってくる奴だったな、こいつ。

「お断りだ、またアンチデッキを作るぞ

もう用は無いだろ？　じゃあな」

さっさと立ち上がって似非達から離れる

この散歩、失敗だったかな？

「相談に乗ってくれてありがとなー！

今度、俺とまた決闘デュエルしようぜー！」

……はあ、また相手をする必要が有るのかな？  
もう嫌だ……似非の相手をするのは。

また何かに巻き込まれる前にさっさと帰ろう  
普段しない事をしたからこうなったんだろうし  
はあ……慣れない事はするものじゃないな。

いや、最後に少しだけ動くかな  
似非に負けられても困るし。

視点 吹雪

「え？ 枕田君がかい？」

「そうなんですの、十代さんと決闘デュエルをするらしいですわ  
しかも、何か大事な物を賭けているとか」

ふむ……十代君と枕田君が決闘デュエルか  
これは見に行った方が良いかな？  
気になる事も有るし、堅守君にも相談するべきだろうか？

……いや、彼の事だ  
どうせ面倒だとか、既に知っているとかいそうだな  
態々教える必要も無いだろう、どうせ避けようとするだろうし。

「それで、見に行くのかい？」

「当然ですわ、だってジュンコさんの決闘デュエルですもの  
私が見に行かないで誰が見るんですの？」

いや、僕は君達の関係をよく知らないんだけど……  
よく一緒に居るのを見かけたから友達ぐらいだとは思っていない  
んだよ？

もしかして親友とも言える間柄なのかい？

「吹雪様もどうですか？  
気になっているとお見受けしますが」

そりゃあ、気になるに決まってるじゃないか  
どうして十代君と枕田君が賭け決闘デュエルをするのかも分からないし  
そもそも何を賭けるつもりなんだ？

「それで、彼らの決闘デュエルはいつ始まるんだい？」

「5分後ぐらいのだと思いますわ」

……え？

……  
……  
……

「はあ、はあ……ま、間に合った」

まさかそんなに時間が無かったなんてね  
思いつきり走って、なんとか間に合った

僕はなんとか立っていられたけど、浜口君は座り込んでいる。

「はぁ……はぁ……ふ、吹雪様

そんなに走らなくても、良かったのでは？

多分、始まる前に会話でもすると思いますし……疲れました」

そ、そうらしいね

しかも十代君、遅刻しているのか見当たらない

デューエルフィールド  
まだ決闘場に来ていないみたいだね。

それより、枕田君の目が気になる

なんというか、濁っているように思える無機質な目  
もしかして拙い状態なのかな？

感情もあまり見えないし、押さえつけられている？

それにしても、白制服の生徒が多いな

僕もかなり倒したはずなんだけど……

白制服達から少し離れた場所に僕達は座る

浜口君が何も言わないし、気遣ってくれているのかな？

少し待っていると十代君が現れた

……あれ？ 今、一瞬だけ枕田君の表情が変わったような気が……  
気のせいかな？

無機質な目に変わらない表情、やっぱり気のせいかな？

「鍵は持ってきているわね？」

「あぁ」



十代君は鍵を枕田君に見せつけるように手に持ってぶら下げる鍵をしっかりと確認し、枕田君は十代君を睨み付ける。

「私が勝てば、私はその鍵の守護者になる  
そして斎王様を助ける……」

「ジュンコ、絶対に元に戻してやるからな  
だから待ってろよ」

十代君の宣言に、枕田君の表情が少し変わった？  
正気を失っているように見えるけど、やっぱり完全に失ってないの  
かな  
頑張るんだよ、十代君！

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「そういえば浜口君

枕田君はどんなデッキを使うんだい？」

「ジュンコさんのデッキはアトランティスを中心とした水属性デッキですわ  
どちらかと言えばパワーデッキですの」

ふむ、アトランティスを使ったデッキか  
という事はギガ・ガガギゴとか使いそうだな  
アトランティスは手札と場の水属性モンスターのLVを1下げるからね。

「先攻は私よ、ドロー！  
シャインエンジェルを召喚するわ」

って、光属性のモンスター！？  
どうなってるんだ？

「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ」

これはもしかして……デッキも替えて戦っているのか？  
いったいどんなデッキなんだろうか……

「俺のターン、ドロー！」

E・HEROワイルドマンを召喚！

ワイルドマンでシャインエンジェルに攻撃だ！」

攻撃力差は100、ワイルドマンの勝ちだ  
だけど、シャインエンジェルの効果も発動してしまう。

「シャインエンジェルの効果を発動するわ

シャインエンジェルが戦闘で破壊された時

デッキから攻撃力1500以下の光属性モンスターを特殊召喚する  
私はデッキから攻撃力1100の雪の妖精を特殊召喚するわ」

現れたのは氷のような色の体をした少女

表情が無く、冷たい印象だな。

「雪の妖精には効果があるわ

このモンスターが表側表示で存在している限り

相手は自分のターンに手札から魔法カードの使用ができなくなる  
当然、セットしたターンにも使う事はできない」

「な、なんだって!？」

こ……これは拙いか？

十代君は魔法カードを中心とした速攻デッキ  
それを伏せたターンに使えないのは少々辛いだろう。

それにしても、雪の妖精なのに光属性なのか  
名前や見た目から、水属性にしか見えないんだけどな。

「うーん……仕方無いか

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

あんまり伏せると後が辛いんじゃないかな？  
大嵐とか使われたらどうするんだい？

「私のターン、ドロー

装備魔法、ダグラの剣を雪の妖精に装備させるわ

ダグラの剣は天使族モンスターにのみ装備可能なカード

攻撃力が500ポイントアップし、相手に戦闘ダメージを与えた時  
その数値分、私のライフが回復するわ」

これで雪の妖精の攻撃力は1600、ワイルドマンの攻撃力を上回  
った

大した強さじゃないとはいえ、少しでもライフを回復されるのは面  
倒だろう。

「更に永続魔法、白夜城―ホワイトナイツ・フォートを発動するわ」

枕田君の背後に巨大な氷柱が現れる

それは城と言われても、あんまりそうは見えないが城らしい  
なんというか、見ているだけで寒くなってくるなあ。

「このカードが存在している限り  
お互いのプレイヤーは相手のターンに罠カードを発動する事はできない

その伏せカードが罠カードだという事は分かっているわ  
神聖なる白夜の夜の今宵、私には全てが見通せるのよ」

これが白の力……という事かな？

それにしても、相手のターンに罠カードが使えないのは困るな  
僕が相手をして苦戦しそうだ。

「(……罠カードなのは確かなんだけど  
別に相手のターンに発動しなくても良いカードなんだよなあ)」

「更に魔法カード、生け贄の氷柱を発動するわ  
自分のモンスターゾーンを1箇所、永続的に使用不可能にする  
そして私の場に氷柱トークンを特殊召喚する」

氷の柱がモンスターゾーンに現れ、場を圧迫する  
そして似たような形をした氷柱がもう1本現れた  
どっちがトークンでどっちが圧迫の氷柱か分からないな。

「氷柱トークンを生け贄に捧げ、ホワイットナイトツクイーン白夜の女王を召喚」

また現れた、氷のような色をした女性のモンスター  
体の所々に氷を貼り付けているけど……うーん

確かに美人だとは思うけど、その冷たい表情はマイナスポイントだよ  
女性なんだからもっと可愛い顔をしないと、うんうん。

「あら？

ホワイต์ナイトクイーン  
確か白夜の女王はLV7じゃありませんでした？  
なのにどうして生け贄が1体で……」

「氷柱トークンを生け贄にする場合、1体で2体分の生け贄になるんだ

しかも、それは属性とか種族とかに決まりが無い  
モンスターゾーンが1箇所使えなくなるデメリットは大きいけど  
それでも最上級モンスターを1ターンで出す事ができるからかなり  
強力なカードさ」

僕のデッキに入れても良いんだけど、どうもイメージに合わないんだよね

勝ちたいのは当然だけど、やっぱりイメージって大事だろ？

僕の真紅眼の黒竜やホルスの黒炎竜は炎をイメージされている  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
だから氷柱はちよつとね……

いや、でも氷柱から飛び出て現れるドラゴンって格好いいな

封印から解き放たれたという感じで……良いかも

これは悩む、実用的にも良くて格好いい……使ってみたいぞ！  
だがしかし炎のイメージが……うううう、困ったなあ。

ホワイต์ナイトクイーン  
「白夜の女王の効果を発動するわ

1ターンに1度、場にセットされているカードを1枚破壊できる  
私は十代、貴方の場にセットされている右のカードを破壊するわ」

破壊されたのは魔法カード、融合

やっぱり融合を狙っていたんだろう

前のターンで使わなかったのは融合素材が手札に無かったからかな。

「バトルよ、雪の妖精でワイルドマンに攻撃」

雪の妖精が飛び上がり、指先から冷凍の光線を打ち出す

ワイルドマンは凍ってしまい、破壊された

ワイルドマンって殆ど裸体だし、よっぽど寒かったんだろうね。

「この瞬間、ダグラの剣の効果が発動するわ

相手に戦闘ダメージを与えた事で私のライフが回復する」

100ポイントだけだね

それでもシャインエンジェルが倒された時に減ったライフ分は回復したか

枕田君のライフはこれで4000に戻った。

ホワイトナイトクイーン  
「白夜の女王、十代に直接攻撃よ」

ホワイトナイトクイーン  
白夜の女王がマントを振るい、吹雪を起こす

十代君に2100のダメージか……合計ダメージは2200、残りライフは1800だね。

しかし、僕の名前も吹雪だからややこしいなあ

吹雪が吹雪を起こしたって言ったら更にややこしい

……どうでも良い話だったね。

「これでターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー！」

罨カード、トゥルース・リインフォースを発動！

デッキからLV2以下の戦士族モンスターを特殊召喚する！

俺はデッキより、ヒーロー・キッズを守備表示で特殊召喚する！

ただし、このターンはバトルフェイズを行う事ができない」

バトルフェイズをスキップする代わりに壁モンスターを出したかいや、確かヒーロー・キッズの効果は……

「更にヒーロー・キッズの効果発動！

このモンスターが特殊召喚に成功した時

デッキからヒーロー・キッズを任意の枚数、特殊召喚する！

俺は更に2体のヒーロー・キッズを特殊召喚だ！」

おお、壁モンスターが3体が増えた

これだけ居ればかなり余裕が有るなあ。

「更にダンディライオンを守備表示で召喚するぜ  
カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

壁モンスターを更に増やしたか

しかし、それでも伏せカードを出したのは危険じゃないかな？

そんな事をすれば白夜の女王に破壊されてしまうよ！

「私のターン、ドロー」

先ずは手始めに、ホワイトナイトツクイーン白夜の女王の効果を発動するわ

左のカードを破壊しなさい」

破壊されたカードはヒーロー・バリアか、完全にブラフカードだね  
少しだけ苦そうな顔をしたのは……気のせいかな？

「また……ブラフ

幻想の氷像を召喚するわ」

氷でできた巨人のような物が現れた

しかし、その巨人は姿を変え、ホワイトナイトクイーン白夜の女王と同じ姿に……  
いったいどういう事だ？

「幻想の氷像は召喚、特殊召喚された時  
自分の場のモンスターへと姿を変え、攻撃力と守備力も同じになる  
更に相手は攻撃する時、このモンスターしか攻撃する事ができない  
わ」

ホワイトナイトクイーン  
白夜の女王の能力をコピーしたのか  
つまり、攻撃力2100がもう1体現れた事になる  
これはちよっと厄介だぞ、頑張れ十代君！

「守備モンスターを破壊してもあまり意味は無いけど……  
雪の妖精でダンディライオンに攻撃」

雪の妖精の凍結光線により、ダンディライオンは凍って破壊される  
だが、場に綿毛が現れた？

「ダンディライオンの効果が発動したんだ  
ダンディライオンが墓地へ送られた時、2体の綿毛トークンを特殊  
召喚するんだ！」

おお、これで壁モンスターは5体、かなり楽になったじゃないか！  
これで暫くは持つぞ！

「攻守0……別に無視しても良さそうね  
ホワイトナイトクイーン  
白夜の女王、幻想の氷像でヒーロー・キッズに攻撃」

同時にマントを捲り、吹雪を起こす  
ヒーロー・キッズ達は凍り付き、破壊されてしまう。



「カードを1枚伏せ、ターンエンドよ  
無駄な足掻きは止めて、さっさと諦めたらどう？」

「何言ってるんだよ、これからが楽しいんじゃないか  
いくぜ、俺のターンだ、ドロー！  
……よし、綿毛トークン2体を生け贄に捧げ、E・HEROネオス  
を召喚！」

出たか、噂でしか知らなかったけど十代君の新しいE・HERO  
うーん……攻撃力2500、これなら幻想の氷像も楽に破壊できそ  
うだね。

「更に伏せていた永続魔法、魂の共有ーコモンソウルを発動！  
このカードは場のモンスター1体を対象にして発動する  
対象としたモンスターをコントロールしているプレイヤーの場にN  
を特殊召喚するんだ  
俺はヒーロー・キッズを対象として発動し、N・フレア・スカラベ  
を特殊召喚！」

出てきたのは黒い……カブトムシのような虫のようなモンスターだ  
った

これが十代君の新しい仲間、Nか。  
ネオスペーシアン

「そして対象となったモンスターの攻撃力は、この効果で特殊召喚  
したモンスターの攻撃力分だけアップする  
フレア・スカラベの攻撃力は500、よってヒーロー・キッズの攻  
撃力も500ポイントアップする！」

「ふん、攻撃力が500程度アップした所で何も問題無いわ」

確かに、攻撃力が500ポイントアップしてもヒーロー・キッズの攻撃力は僅か800  
素直にネオスを対象にすれば良かったんじゃないかな？

「いや、フレア・スカラベには効果が有る！  
相手の場に存在している魔法、罠カードの数×400ポイント攻撃力がアップするんだ！」

「私の場には……魔法、罠カードは全部で4枚」

「そう、よってフレア・スカラベの攻撃力は1600ポイントアップする！」

更に、コモンソウルの効果を受けているヒーロー・キッズの攻撃力も同じくアップする  
これでフレア・スカラベの攻撃力は2100、ヒーロー・キッズの攻撃力は2400だ！」

おお、それだけの攻撃力なら十分だ！  
勝てるぞ、十代君！

「白夜城の効果はジュンコ、お前も受ける！ よって罠カードは相手である俺のターンに発動できない！」

ヒーロー・キッズを攻撃表示に変更し、バトルだ！

ヒーロー・キッズで幻想の氷像に攻撃！」

ヒーロー・キッズの跳び蹴りがホワイットナイトクイーン白夜の女王となった幻想の氷像に炸裂！

まだ子供とはいえ、なかなかヒーローをしているじゃないか！  
格好いいよ、ヒーロー・キッズ！

「まだまだあ！」

フレア・スカラベで雪の妖精に攻撃！

フレイム・バレット！」

「クッ……」

いいぞ！ 十代君！

雪の妖精が破壊されたから装備カードだったダグラの剣が破壊され、魔法カードが減った

フレア・スカラベの攻撃力は1700に下がり、それに伴いヒーロ  
ー・キッズの攻撃力も2000にダウン  
だけどこれに残るはホワイトナイトクイーン白夜の女王だけだ！

「更にネオスでホワイトナイトクイーン白夜の女王に攻撃！

ラス・オブ・ネオス！」

「ぐうつきやあ！」

よし、それなりのダメージだ！

ヒーロー・キッズの攻撃で300、フレア・スカラベの攻撃で500  
更にネオスの攻撃で400のダメージ、合計1200のダメージを  
与えられたぞ！

残りライフは2800、十代君は1800だからまだ差は有るけど  
場は圧倒的に有利だ！

「俺はこれでターンエンドだ」

「……やるわね、十代」

「当然だぜ

（とは言うものの、トゥルース・リインフォースが無かったら危なかったな

使うかどうかは自由って瑞貴から何枚か渡されて選んだカードだけど、使って良かった

ヒーローアライブとか、レスポンスィビリティとか……選んだのはこれだけだ）」

気のせい……じゃないね

枕田君に表情が戻ってきたように思える  
これは良い傾向だね。

「私のターン、ドロ―

随分強力なモンスターを呼んできたじゃない

……だけど、今の私にその程度のモンスターは通用しない!」

仕掛けてくるか!

「先ずは永続罠、リビングデッドの呼び声を発動!

このカードの効果により、自分の墓地からモンスターを1体攻撃表示で特殊召喚するわ

雪の妖精を特殊召喚!」

また魔法カードを封じるモンスター

だけど、それだけだと何もできないよ?

「そして……できれば使いたくなかった

魔法カード、表裏一体を発動!」

表裏一体?

どんな効果なんだ？

「自分の場に存在する光属性か闇属性モンスターを1体生け贄に捧げる事で効果を発動

手札から生け贄に捧げなかった属性のモンスターを特殊召喚するわ雪の妖精は光属性、よって私は手札から闇属性のモンスターを特殊召喚できる」

なるほど、嫌がるわけだ

光の結社と名乗っているんだ、光属性を使いたいんだろうなのに闇属性モンスターを使わなければならない、嫌だろうなあ。

「私が特殊召喚するモンスターは、ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン青氷の白夜龍！」

……おいおい、氷でできたドラゴンかい？

しかも攻撃力が3000も有るし、これは拙いんじゃない？

って、あれ？

おかしいなあ、堅守君が前に見せてくれた時は水属性だったと思うんだけど

エラッタとかされたりされていなかったりするカードなのかな？

ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
「青氷の白夜龍、ネオスに攻撃しなさい！」

ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
青氷の白夜龍の出す氷のブレスで破壊されるネオス

これは噂のコンタクト融合というのを防ぐ為にしたのかな？

フレア・スカラベを倒した方がダメージが大きかったんだけどね  
もしかしてE・HERO用のカードとかを使われるのを嫌ったからかな？

「これでターンエンドよ」

「まだまだあ、俺のターンだ！

ドロロー！ フレア・スカラベとヒーロー・キッズを守備表示に変更！  
ネオスペースアン  
更に、N・グラン・モールを守備表示で召喚してターンエンドだ！」

壁モンスターは絶やさないか

だけどこのままでは十代君は不利になるばかり  
どうやって戦うつもりなんだい？

「私のターン、ドロロー！

装備魔法、白のヴェールを発動するわ  
ブルーアイズ・ホワイต์ナイツ・ドラゴン  
青氷の白夜龍に装備！」

ふむ……白のヴェールか、厄介なカードだな

白のヴェールを装備したモンスターが攻撃する時

相手の場に存在する全ての魔法、罠カードの効果を無効にして破壊  
する効果を持っている

攻撃する時に限定されているハーピィの羽箒という感じの効果だね  
もったも、効果も無効にされるから強化されているようにも思える  
けど。

それにしても、枕田君もかなり熱くなってきたね

何か切欠でも有ったのかな？

ブルーアイズ・ホワイต์ナイツ・ドラゴン  
「青氷の白夜龍でヒーロー・キッズに攻撃！」

ブルーアイズ・ホワイต์ナイツ・ドラゴン  
青氷の白夜龍が雄叫びを上げる

その瞬間、十代君のコモンソウルの効果が無効になり、破壊されて  
しまった

ブルーフェイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
青氷の白夜龍はそのままヒーロー・キッズに氷のブレスを吐き出し、破壊する。

「クッ……あ、あれ？」

コモンソウルは場から離れたら特殊召喚したNは手札に戻るんだけど……

もしかして効果を無効にされたから戻らないのか？」

……それって白のヴェールを装備した事が仇になってないかい？  
まあ次のターンにどっちにしても召喚できたんだろうけど。

「これで私のターンは終了よ

さあ十代、貴方のターンよ

もつとも……青氷の白夜龍が出た以上、貴方に勝ち目は無いけどね」  
ブルーフェイス・ホワイトナイト・ドラゴン

そうは言っているが、彼女の表情は得意気という感じじゃない  
どちらかと言うと……何かを楽しみにしているように見える  
十代君が何をするのか、それを見てみたいというよう……

「いいや、俺は必ず勝つ！

俺のターン、ドロー！

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！」

ドローしたカードを見た十代君の顔が……キーカードを引いたか？  
ここからどう逆転する、遊城十代君！

「魔法カード、ミラクル・コンタクトを発動！」

場、または墓地に存在するネオスとNをデッキに戻し、コンタクト  
融合させる！  
ネオスベーション

俺は墓地のネオス、そして場のフレア・スカラベとグラン・モール

をトリプルコンタクト融合！

現れる、E・HEROマグマ・ネオス！」

お、おお？ おおおお！

なんだか凄い事になっているぞ！

これが十代君のネオスデッキか！

「マグマ……ネオスですって？」

しかも、攻撃力が青氷の白夜龍と同じ3000！？」  
ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン

「そうだ

マグマ・ネオスはネオスとN2体による、合計3体のコンタクト融合だ！  
ネオスベーション

マグマ・ネオスの攻撃力は、場に存在する全てのカードの枚数×400ポイントアップする

場には全部で6枚のカード、よってマグマ・ネオスの攻撃力は2400アップし、5400だ！」

「攻撃力……5400ですって？ だ、けどまだよ！

私のライフは2800！ その攻撃が通ったとしても私のライフはまだ……あ

（白のヴェールを装備したモンスターが破壊された時

装備モンスターの攻撃力分のダメージを受けるんだ……という事は私の負け？）」

「慌てるなよジュンコ

ネオスが本領を発揮するにはこんな寒い場所じゃ駄目だろ？

だったら移動するべきだ

フィールド魔法、ネオスペースを発動！」



辺りの空間が緑の空間に虹色を混ぜたような謎の空間に変わった  
気のせいか、マグマ・ネオスが張り切っているように見える  
場にカードが増えたし、攻撃力がまた400ポイントアップしたし  
ね。

「ネオスペースが発動している時  
場に存在するネオス、そしてネオスを融合素材とするモンスターの  
攻撃力が500ポイントアップする

しかも場にカードが増えた事で、マグマ・ネオス自身の効果で更に  
攻撃力がアップ！

これでマグマ・ネオスの攻撃力は6300だ！」

「（私の伏せカードは光の召集、攻撃は防げない  
手札を全て捨て、捨てた枚数だけ光属性モンスターを手札に加える  
白のヴェールをドロしなかったら使って雪の妖精を手札に戻そう  
と思ったのに

斎王様への忠誠の証として白のヴェールを使ったのに……負ける？）

」

終わった、十代君の勝ちだ！

「いい加減に目を覚ませ！

そんな氷のカードなんか、俺の炎が溶かしてやる！

お前は氷の使い手じゃない、水属性の使い手だ！

行くぞ！ マグマ・ネオスで青氷の白夜龍に攻撃！

スーパーヒートメテオ！」

マグマ・ネオスは手を上げ巨大な炎を作り出す

かけ声と共に、巨大な炎を青氷の白夜龍に投げつけた  
ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
青氷の白夜龍は破壊され、枕田君のライフは0に……

枕田君はライフが尽きたと同時に倒れ込む

心配した浜口君が駆け寄ろうとしていたけど、僕が止めた今、枕田君と話すのは彼女ではなく十代君だと思ったから。

「おいジュンコー

ガチガチに凍った氷は溶けたか？」

「……………熱すぎるわよ、馬鹿  
蒸発したらどうするのよ」

十代君が枕田君に話しかけ、少し経ってから枕田君は起き上がる  
起き上がりながらも毒づけるんだ、どうやら大丈夫みたいだね。

「どうやら、光の結社の呪縛は解かれたみたいだね」

「そのようですわね、光の結社の一員としては悲しい事ですけど  
ジュンコさんが嬉しそうですので見なかった事にしますわ」

そうしてくれると助かるよ

もし動こうとしたなら僕が止めていたからね

お互いの手の内が読めているからあまり相手にしたくないんだよね  
……彼女。

「行こうか、浜口君

次の相手を探しに」

「ええ、そうですわね

……と言いたい所ですけど、既に大会時間は過ぎてますわよ？  
次の対戦は明日にしませんこと？」

……しまった、今は既に夜だ  
夜は大会時間を過ぎているから決闘<sup>デュエル</sup>しても無意味だった  
例え勝ったとしても、相手が自分からメダルを渡さない限り意味無いし。

この燃え上がった気持ち、どうすれば良いんだろう？  
今夜、寝られるかな？

## 125話【10日目?】（後書き）

ももえはどこからジュンコと十代が決闘する事を知ったの？  
不明、深く考えないでください。

雪の妖精は天使族なの？

不明、ホワイットナイトツクティーン白夜の女王が天使族なので天使族という事にしました  
まあ英語で天使族は妖精族という感じになっているので……多分良  
いんじゃないですかね？

何故十代はトゥルース・リインフォースを選んだの？

……都合上です、深く突っ込まないでください  
本当はミラクル・キッズを使う予定だったんですけどね  
使う必要がなくなったのでヒーロー・キッズを使う必要が薄れまし  
た。

ジュンコが言ったまたブラフって言葉は融合の事？

違います

前回、十代と決闘した時もブラフで負けたので  
今回もまたブラフで負ける……ジュンコは直感力が低いようです。

ブルーアイス・ホワイットナイト・ドラゴン  
青氷の白夜龍が闇属性？

アニメでは闇属性でした。

どうしてグラン・モールで攻撃しなかったの？

この時点ではグラン・モールの行う戦闘ではダメージ計算を行っています

なので自爆特攻をした場合、ライフが尽きてしまうので十代が負けます。

白のヴェールの効果で魂の共有ーコモンソウルの効果は無効になるの？

不明、禁じられた聖杯のような扱いにしたつもりです

禁じられた聖杯は場から離れて発動する効果も無効にできるそうなので

ライオウとか、ならず者の傭兵部隊とか……そんな感じと考えました。

ジュンコは元に戻ったの？

戻りました、十代の熱すぎる想いの結果です

なにこの十代、格好いいだと！？

……多分格好いいと思います、そう表現できていれば嬉しい……かも？

原作、アニメオリジナルカード

雪の妖精

このカードがフィールド上に存在する限り

相手は魔法カードを手札から発動する事ができず

セットしたターンに発動する事もできない

魔封じの芳香の効果を持っているモンスターという感じです

しかし相手にのみ効果が及ぶので強化されているでしょう

弱点は攻撃力が1100と微妙な所……守備力も700と低いので居座らせるのは難しいかも。

白夜城ーホワイトナイツ・フォート

お互いのプレイヤーは相手ターンに罠カードを発動する事ができない  
攻撃反応系罠カード封じのカード

このカード、欲しいような欲しくないような……作者は少し悩みます。

### 生け贄の氷柱

発動時に自分のモンスターカードゾーンから1カ所を指定する（この時モンスターカードが存在する場所は指定できない）

以後、指定したモンスターカードゾーンはこのデュエル中使用できない

自分フィールド上に氷柱トークン（水族・光属性・レベル1 攻0 守0）を1体特殊召喚する

モンスターを生け贄召喚する場合、このトークン1体で2体分の生け贄とする事ができる

生け贄が2体分となるデビルズ・サンクチュアリのようなカード

強化した代わりにモンスターゾーン封印というデメリットが付いた感じ

展開力を気にしないデッキなら強いカードでしょう

……というか普通に強いカードです。

### 幻想の氷像

このカードは召喚、反転召喚に成功した時

自分フィールド上のモンスター1体の元々の攻撃力、守備力になる

このカードがフィールド上に存在する限り、相手はこのカード以外のモンスターを攻撃する事はできない

このカードはフィールド上に1枚しか存在できない

モノマネ幻想師みたいな効果を持ったカードです

対象が自分のモンスター、攻撃制限効果が付いたので……

強化か弱体化か悩みます、デッキ次第という感じですかね？

### レスポンシビリティ

墓地にLV5以上のHEROが存在している時、攻撃モンスター1

体を破壊する

リアクティブアーマー

条件付きの炸裂装甲という感じのカード

漫画のカードなので条件がやや曖昧なのは仕様。

表裏一体

場の光属性モンスターを生贄にした場合、闇属性モンスターを闇属性モンスターを生贄にした場合、光属性モンスターを手札から特殊召喚する

下級モンスターで上級モンスターを出せるかは不明

同じく漫画版のカードなのでアニメオリジナルよりも更に曖昧な効果……

詳しくはWikiのライトエンド・ドラゴンのページをどうぞ。

白のヴェール

装備モンスターが攻撃する時

相手フィールド上に存在する全ての魔法、罠カードの効果が無効にし、破壊する

装備モンスターが破壊された時、自分は装備モンスターの攻撃力分のダメージを受ける

攻撃時にハーピーの羽箒のような効果を発動するカード

しかしデメリットも大きいので使い手次第かも？

破壊は戦闘に限らないので現環境で使うにはちよつと……

攻撃力が低いモンスターで自爆特攻でダメージを少しでも減らすなどの工夫をすれば？

ミラクル・コンタクト

自分の場、または墓地からE・HERO ネオスを融合素材とする融合モンスターカードによって決められたモンスターをデッキに戻しE・HERO ネオスを融合素材とするE・HEROと名の付く融合モンスター1体を召喚条件を無視して融合デッキから特殊召喚す

る（この特殊召喚は融合召喚扱いとする）

ミラクル・フュージョンのコンタクト融合版という感じのカード  
ただし、融合素材は除外ではなくデッキに戻る

このカードがOCG化すればコンタクト融合はかなり強化されると  
予想します。

ツイッター……そういえば先日、魔界戦記デイスガイア4が発売さ  
れたとか

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
欲しいけど金はともかく、プレイ時間が……



## 126話【11日目?】（前書き）

「今日の最強カードは絶対服従魔人

攻撃力は3500、守備力は3000の炎属性悪魔族

手札が0枚で自分の場には絶対服従魔人だけの時にのみ攻撃できる  
モンスター

玲ちゃん、よくこんな難しいモンスターを使うよね」

この時点で誰が出てくるか丸分かり……レイでした  
絶対服従魔人をメインで使っている人は何人ぐらい居るんでしょう  
ね？

最強カードの時点でネタバレですが、それはスルー  
誰が相手かは本文内にて……  
ただ、違和感が凄まじいかもしれません。

どうでも良い話  
なんだか舌が痛い……腫れてるのか？  
別に生活に支障は無いものの、食事速度が下がります。

どうでも良い話2  
妙に眠くなってしまい、1時間ぐらい昼寝を……  
それでなんとか間に合い、ギリギリです。

次回はちょっと不明  
暇な時間にどれぐらい書けるか……それで決まります  
間に合うかは五分五分ででしょうか？

## 126話【11日目?】

視点 亮

……どうしてこうなった？

「どうした亮ちゃん」

「いや、何でも無い  
それより対戦相手を探そう」

言っても無駄だろうから何も言わない  
願わくば、知り合いに……特に堅守に会わない事を祈る。

「??:?」

そんな不思議そうな顔で俺を見るな  
誰か助けてくれ……ん？

「……………」

「……………」

「……………」

「……………亮？」

腕に抱きついていた玲を少し強引に引き剥がす

そして俺は奴の肩に腕を置き……

「黙っている」

「え？」

いや、しかしだね……」

「黙っている、特に堅守には」

「黙ってろって、玲君が亮の腕に抱きついて……」

「言うな吹雪い！」

「いだだだだだだだだだだだだ！」

分かった！ 分かったから肩から手を離してくれえ！」

お互いに肩で息をしながらも、吹雪から手を離す

吹雪は腕を軽く動かし、顔を顰めているがどうでもいい。

「まったく、珍しい亮を見られたと思ったらこれかい？

だけど良いのかい亮？

彼女は堅守君の妹の上、歳だってまだ……」

「分かっているから言うな！」

俺だってどうすれば良いのか分からなくて困っているんだ！」

「だから分かったから肩を揺らさないでくれ！」

目が回る！ 目が回るうう！」

手を離すと上半身を揺らされていた吹雪の勢いは収まらず

そのまま勢いよく後ろに倒れ……

「あだぁ！」

後頭部を強くぶつけた……らしい

ぶつけた場所を抑えながら、痛がったままゴロゴロと転がっている  
吹雪、そんな事をすれば服が汚れるぞ？

ただでさえそのブルー制服は白が多いんだ、茶色は目立つから止めておけ。

「吹雪さん、大丈夫かい？」

「いたた……大丈夫だよ玲君、ありがとう

それにしても酷いじゃないか亮

いくら本当の事だからって……いだだだだだだだ！」

「お前、以前から何度か一言多いと言われた事は無いか？」

寝転んだままだったので背中を踏んで何度も捻る  
痛いらしいが……大した事は無いだろう？

「亮ちゃん、あんまり苛めるのは関心しないな」

それもそうだと思い、吹雪から足を退ける

しかし、吹雪の制服にはキツチリと俺の足跡が残っている  
……黙っていた方がおもしろい事になりそうだな。

「それなりに痛かったよ亮

できればもう少し手加減が欲しかったなあ……」

「気が向いたらな」

「それはともかく

亮、どうして玲君と一緒に居るんだい？

そもそも玲君は何故ここに？」

お前、知らなかったのか？

堅守から聞いていると思ったんだが。

「私は亮ちゃんに大会に参加しないかと誘われたんだから私はここに居る」

「君も参加しているのか……悪いけど、僕は君達との決闘は<sup>デュエル</sup>お断りだよ

勝てないとは言わないけど、知り合いとの潰し合いは好まないしね」

そうは言うが、絶対に負けないと目が言っているぞ？

俺がお前の立場でも同じような状態になると思うがな。

「あれ、吹雪先輩？

まだレッド寮の前に居たんザウルス？」

「おや、剣山君じゃないか

いやねえ、単に寝坊したただけなんだけど……

それに亮と話すのも久しぶりだしね」

イエローの制服を着て、バンダナを付けている男子生徒か

吹雪の言葉から、知り合いらしいが

吹雪の知り合いなら多少は強いのか？

「亮？ その顔……確か丸藤先輩の兄貴だったかドン？  
プロ決闘者のカイザー亮、知ってるザウルス！」

翔とも知り合いだったのか

先輩という言葉から、この男は1年生だな  
仲の良い後輩ができて良かったな翔。

「現在30連勝ぐらいしているプロ決闘者<sup>デュエリスト</sup>

このチャンスを逃がす手は無いザウルス！

カイザー亮、俺と決闘するドン！」

俺と決闘か……<sup>デュエル</sup>

受けても良いんだが、玲を吹雪と一緒に残すと何を吹き込まれるの  
か分からない

堅守が胃を痛めながらも俺に玲を預けたんだ、何か有ったら……大  
問題だ。

「玲、お前が彼と決闘してみないか？」<sup>デュエル</sup>

「私が？ でも挑まれたのは亮ちゃんだろ  
ルールでは最初に挑まれた決闘は断れないらしいし  
私が受けるのはルール違反になるのでは？」

「お前は誰ドン？」

会った事が無いのか？

まあ、俺達が来たのは5日前だから仕方無いか  
堅守と仲は悪くなりそうな気がする性格だしな。

「私の名前は堅守玲だドン

そういうお前の名前はなんなんザウルス？」

さすが玲だ、もう話し方を記憶したか  
ぎこちなさは感じられるが、それでも上手い。

しかもこういう性格の相手だと挑発にも繋がる  
玲本人にはその意志は無いんだがな。

「まねっこするなドン！」

俺は恐竜使いのティラノ剣山！

まねっこされても、本当は俺の話の方ザウルス！  
良いドン、この決闘<sup>デュエル</sup>受けてやるザウルス！」

「いやいや剣山君

挑んだのは君だし、玲君は受けるなんて一言も言っていないよ？  
ちなみに彼女は相手の口調を真似てしまうのは癖なんだ  
だからあまり怒らずに軽く流してあげてね」

「良いドン、受けてやるザウルス！  
私の实力を見て、泣いて許しを請うが良いドン！」

吹雪の顔がかなり引き攣っているな  
どうも、玲の今の言葉はかなり似ていたらしい  
剣山とかいう奴も少し怯んでいる。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は俺だドン、ドロー！  
(まさか、さすがにデッキまで同じなわけ無いザウルス？  
同じだったらさすがにショックだドン)」

気分が複雑そうだな

やはりそう簡単に割り切れないか

俺はあまり気にならなかったんだがな。

「俺はジャイアント・レックスを攻撃表示で召喚するドン！」

攻撃力2000の下級モンスターか……珍しいな  
しかしそれだけ、大して怖いモンスターではない。

「俺はこれでターンエンドン」

「私のターン、ドロー！」

……手札のLV8以上のモンスター、獣神機王バルバロスUrを墓地へ送り

ハードアームドラゴンを特殊召喚するドン！

更に手札を1枚捨て、THEトリッキーを特殊召喚！

続いて2体のモンスターを生け贄に捧げ、絶対服従魔人を召喚ザウルス！」

「こ、攻撃力が3500!?」

玲の声でドンだ、ザウルスだと言われると違和感が凄まじい

11歳の少女とは思えないな……しかも威圧感も出しているから余計に合わない。

しかも出てきたモンスターは絶対服従魔人

攻撃力3500のデメリットモンスターか……

「更に装備魔法、愚鈍の斧を絶対服従魔人に装備させるドン！」



これで絶対服従魔人の攻撃力は1000ポイントアップ！」

「攻撃力4500……こりゃ敵わないドン

だけど、確か絶対服従魔人は自分の場や手札にカードが有る場合は攻撃できないザウルス！」

どれだけ攻撃力が高くても、俺はちつとも怖いとは思わないザウルス！」

確かに、普通ならそう思うだろう

しかし玲はそんなに甘くない……このコンボに何度サイバー・エンド・ドラゴンが倒されたか

例えばパワー・ボンドでサイバー・エンド・ドラゴンを出しても巨大化を装備されて相打ちにされる

更にデーモンとの駆け引きを使われて……敗北、4回ぐらいこのコンボに負けたかな？

「確かに、絶対服従魔人はこのままだと攻撃できないザウルス

だけど愚鈍の斧の効果は攻撃力アップだけじゃないドン！」

愚鈍の斧を装備したモンスターの攻撃力は1000ポイントアップし更に、装備モンスターの効果が無効化されるザウルス！」

よって、攻撃できないデメリット効果は無くなるドン！」

「な、な……なあ!？」

「絶対服従魔人でジャイアント・レックスに攻撃！」

絶対服従魔人がその巨体から斧を振り下ろす

体に合わされてか、斧の大きさもかなりの大きさになっている

斧で断殺するというより、押し潰すという言葉が似合うような攻撃攻撃力2000程度のジャイアント・レックスでは相手にならない

な。

「私はこれでターンエンドン」

さすが玲、手札がもう無い

それでも圧倒的な攻撃力の前に、相手は守らざるをえない  
剣山といったか？ 玲を相手にどうやって戦うのかな？

「お、俺のターンだドン、ドロー！  
ブラック

暗黒ステゴを守備表示で召喚するドン  
カードを1枚伏せ、ターンエンドン！」

「私のターン、ドロー！」

愚鈍の斧の効果、自分のターンのスタンバイフェイズ時

装備モンスターのコントローラーに500ポイントのダメージが与  
えられるザウルス

絶対服従魔人は私のモンスター、よって私は500ポイントのダメ  
ージを受けるドン

絶対服従魔人、そのまま暗黒ステゴに攻撃ザウルス！」  
ブラック

当然、暗黒ステゴは破壊される  
ブラック

やはりこのコンボは凶悪だな……更に怖いのは巨大化がいつ出てく  
るか

想像するだけでも恐ろしい。

「私はこれでターンエンドン」

「俺のターン、ドロー！」

手札のキラーザウルスを墓地へ送り、効果を発ドンするザウルス！  
デッキより、フィールド魔法のジュラシックワールドを手札に加え

るドン！

そのままジュラシックワールドを発ドン！」

辺りがジュラシックワールド……ジュラ紀か？  
まるでジャングルだな。

「そしてベビケラサウルスを召喚し  
エンドフェイズ、罨カードの大噴火を発ドン！  
自分の場にジュラシックワールドが存在している時のエンドフェイズに発ドン可能！」

場の全てのカードを破壊するドン！」

「へえ……なかなか無茶するザウルス  
しかも自分はベビケラサウルスの効果でモンスターを特殊召喚できる  
なかなか厄介なコンボだドン」

確かに、ベビケラサウルスはカード効果で破壊された時に効果を発  
動する

デッキからLV4以下の恐竜族モンスターを特殊召喚する効果を持  
っている

だが、玲にその程度の戦術は通じない……

そんな事を考えている時、ジュラシックワールドの効果で現れた山  
が噴火した

溶岩が山に降り、モンスター達を呑み込んで破壊する  
当然、場に有る魔法カードも例外ではないので愚鈍の斧も一緒に破  
壊されてしまう。

「その通りだドン、ベビケラサウルスの効果が発ドンするザウルス！  
デッキからLV4以下の恐竜族モンスターを特殊召喚するドン！」

奇跡のジュラシック・エッグを守備表示で特殊召喚！」

確かに、お前の戦術は良かった  
だが玲の絶対服従魔人は……

「ん？ な、なんだと！？

どうして絶対服従魔人が破壊されていないザウルス！？」

そう、大噴火の溶岩で破壊されなかった唯一のカード、絶対服従魔人  
何故生き残ったのか、簡単な理由だ。

「絶対服従魔人の生け贄に使用したハードアームドラゴンの効果だ  
ドン

LV7以上のモンスターを召喚する時の生け贄に使用した場合  
召喚されたLV7以上のモンスターは効果によって破壊されないザ  
ウルス

愚鈍の斧が破壊され、攻撃できなくなったのは惜しいが……それで  
も攻撃力3500ザウルス！」

「が……くっそおー、ターンエンドン！」

「私のターン、ドロー！」

効果を無効にするのは、なにも愚鈍の斧だけじゃないザウルス  
速攻魔法、禁じられた聖杯を発ドン！

モンスター1体を対象とし、そのモンスターの効果をエンドフェイ  
ズまで無効

更に攻撃力を400ポイントアップさせるザウルス！

私は絶対服従魔人を選択し、絶対服従魔人の攻撃力は3900で攻  
撃できるようになったドン！

絶対服従魔人で奇跡のジュラシック・エッグに攻撃！」

斧を無くした絶対服従魔人

それでもその攻撃力は高く、力強い拳で奇跡のジュラシック・エッグを叩き潰した

攻撃力3500はそう簡単に超えられる数字じゃないな。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドン」

「俺の……ターン、ドロー！」

<sup>ブラック</sup>暗黒ヴェロキを守備表示で召喚するドン  
更にカードを2枚伏せ、ターンエンドン！」

守備力、たったの300か

剣山では玲の相手には役者不足だな。

「私のターン、ドロー！」

……墓地の獣戦士族、神機獣王バルバロスUrと機械族、可変機獣ガンナードラゴンをゲームから除外  
神機獣王バルバロスUrを特殊召喚するドン！」

「な……攻撃力が3800!？」

あんたのデッキはようになってるドン!？」

どうしてそんな攻撃力のモンスターが何体も入っているザウルス!？」

言いたい事は分かるがな

俺も初めて見た時は正気を疑った……

それでも、スライムで勝つ堅守の頭の方を更に疑ったがな  
どうして攻撃力500のスライムが……

「お兄ちゃんや亮ちゃんだったらここから簡単に逆転できるドン  
それで何回も負けてるし」

堅守以外には負けた事が無かったデッキらしいのだがな  
俺もこのデッキには勝っている、最初は本当に負け越していたが慣  
れた

対策だって思いつくし、どうにでもなる。

「バルバロスU rが攻撃する時、相手に与える戦闘ダメージは0に  
なるドン

だけど、そんなデメリットは消しまえば良いドン！

永続罫、スキルドレインを発ドン！

ライフを1000払い、全ての場のモンスター効果を無効にするド  
ン！」

「効果を無効にするカード！？」

玲の勝ちだな。

「バルバロスU rで暗黒<sup>ブラック</sup>ヴェロキに攻撃！」

「そうはさせないザウルス！ 永続罫、琥珀の落とし穴を発ドン！  
相手モンスターの攻撃時、その攻撃を無効にして守備表示に変更す  
るザウルス！」

更に、琥珀の落とし穴が存在している限り、表示形式の変更を封じ  
るドン！」

バルバロスU rの攻撃は封じられ、守備表示に変更される  
攻撃できなければどれだけ攻撃力が高くても無意味だな。

「チッ、絶対服従魔人で暗黒ヴェロキに攻撃！」

変わらず、相手モンスターを叩き潰す絶対服従魔人勝てなかったが、玲が有利なのに変わり無い。

「私はこれでターンエンドン」

「俺のターン、ドロー！」

ハイパーハンマーヘッドを召喚！

ハイパーハンマーヘッドで神機獣王バルバロスUrを攻撃だドン！」

バルバロスUrの守備力は1200……ハイパーハンマーヘッドの攻撃力1500には勝てない

だが、よく攻撃力1500を攻撃表示で残したな

お前のライフは残り1500、絶対服従魔人との攻撃力差は2000だぞ？

「私のバルバロスUrが……まあ良いドン  
それでもまだまだ、私の方が有利ザウルス」

「だからどうしたドン！」

俺はまだまだ諦めないザウルス！

カードを1枚伏せ、ターンエンドン！」

拙い……戦況が剣山の方に傾いている  
このままでは玲が危ないか？

「私のターン、ドロー！」

絶対服従魔人、ハイパーハンマーヘッドに攻撃！」

「罨カード、生存本能を発ドン！」

墓地の恐竜族モンスターを任意の枚数除外し

除外したモンスターの数×400ポイントライフを回復するドン！

俺はキラークザウルス、ベビケラサウルス、奇跡のジュラシックス・エッグ

ジャイアント・レックス、ブラック暗黒ステゴ、ブラック暗黒ヴェロキを除外！

合計7体のモンスターを除外してライフを2800回復するザウルス！」

絶対服従魔人がハイパーハンマーヘッドを殴りつける

しかしハイパーハンマーヘッドはその拳に攻撃し、破壊された。

ダメージは2000……よって剣山のライフは2300残る事になった

玲はライフコストで1500払っているので残りライフは2500だ。

「更に、ハイパーハンマーヘッドの効果が発ドンするザウルス！

このモンスターと戦闘を行い、バトルで破壊されなかったモンスター  
そいつを持ち主の手札に戻す事が出来るドン！

この効果は戦闘破壊された時、墓地で発ドンする効果だからスキル  
ドレインでも無効にされない！」

確かにそうだ

スキルドレインは手札や墓地で発動する効果には無力

しかし、玲としてその程度の事は分かっているはず

ならば何故攻撃したか……

「その構わないドン！ 速攻魔法、セベクの祝福を発ドン！

戦闘で相手プレイヤーにダメージを与えた時、その数値分だけライ



フを回復するザウルス！  
今与えたダメージは2000、よってライフを2000回復するドン！」

「げえ！　ライフ回復かドン！」

確かに場がガラ空きになるのは危険だろう  
だが、それでもライフは4500にまで増えた  
そう簡単に4500のライフは削れないはずだ。

「私はこれでターンエンドン  
お前のターンだドン！」

「クッソー……俺のターン、ドロー！  
永続罠、化石発掘を発ドン！  
手札を1枚捨て、墓地の恐竜族モンスターを1体特殊召喚するザウルス！」

俺は墓地のハイパーハンマーヘッドを特殊召喚するザウルス！  
化石発掘の効果で蘇生したモンスターの効果は無効化されるが、スキルドレインと変わらないドン！  
そのまま、ハイパーハンマーヘッドで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

ハイパーハンマーヘッドの突撃で玲は1500のダメージを受ける  
残りライフは3000、まだ多いが油断できなくなってきたな  
何せ玲の手札は絶対服従魔人1枚、しかも事故率が高いからな……

「俺はこれでターンエンドン」

「私のターン、ドロー！  
ライトニングギア  
光神機――桜火を召喚するドン！」

こいつはLV6だが、生け贄無しで通常召喚できるザウルス！  
ただし、エンドフェイズに墓地へ送られるが……スキルドレインの  
効果でそんな効果は無視だドン！

バトル！ 桜火でハイパーハンマーヘッドに攻撃！」

桜火がハイパーハンマーヘッドに飛びかかり、ハイパーハンマーヘ  
ッドに食らいつく

だが、破壊される直前にハイパーハンマーヘッドは振り向き、尻尾  
を桜火に叩きつける

ハイパーハンマーヘッドは破壊され、桜火は吹き飛んで消えていっ  
た……手札に戻ったな。

「へへっ、ダメージは受けたけどハイパーハンマーヘッドの効果で  
桜火は手札に戻ったドン

これでまたお前の場に壁モンスターは居なくなったザウルス」

受けたダメージは900、残りライフは1400か……

危険だが、このまま何もしないでも負ける事には変わり無いか。

「チッ、ターンエンドン」

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発ドンし、更に2枚ドロー！

始祖鳥アーキオーニスを召喚して、手札から魔法カード、超進化薬・  
改を発ドン！

自分の場に存在する鳥獣族モンスターを生け贄に捧げ、手札から恐  
竜族モンスターを特殊召喚するザウルス！

出てこい、暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプス！」

む、攻撃力2400だと？

桜火の攻撃力と同じ……例え召喚しても相打ちになるか。

「ティラノ剣山！ お前に1つ言いたい事が有るドン！」

「何だドン？」

どうしたんだ玲？

「超進化薬・改と言うが……逆だドン！」

恐竜が鳥に進化したんだドン！

つまり、そのカードの本来の名称は超退化薬なんだドン！」

……いや、確かにそうだが

そんな文句はI2社に言うべきだと、俺は思うぞ？

偶に謎の名前を持つカードが有るのは確かだが。

「お、俺だってずっと気になってるドン！」

だけど、こういうカード名<sup>ダイレクトアタック</sup>なんだから仕方無いザウルス！

暗黒ドリケラトプスで、直接攻撃だドン！」

「ぐわああ！」

恐竜が好きそうだからな、やはり気にはなっていたんだな  
そして玲……悲鳴まで真似なくても良いんじゃないか？  
そこまでコピーするのは素直に凄いと思うが。

しかし、これで玲のライフは残り600  
本当に危なくなってきたぞ！

「ターンエンドン！」

さあ、このまま逆転して俺が勝ってみせるザウルス！」

「調子に乗るんじゃないドン！」

私はまだまだ負けんザウルス！

私のターン、ドロー！

再び桜火を召喚し、暗黒<sup>ダーク</sup>ドリケラトプスに攻撃だドン！」

お互いのモンスターがそれぞれの体に噛みつき、破壊する  
攻撃力は互角、お互いの場のモンスターが消滅したか……

場に残っているのは玲のスキルドレインだけ

手札は玲が2枚、剣山は0枚

しかし玲のデッキは下級モンスターはもう無いので事故を招く

対して剣山のデッキは下級の恐竜族モンスターがそれなりに入って  
いそうだ

再び攻撃力の高いモンスターを出されれば……玲の負けだ。

「私はこれでターンエンドン！」

お前が攻撃力600以上のモンスターをドローできればお前の勝ち  
ザウルス！

さあ、掛かって来るドン！」

「おう！ 俺のターン、ドロー！」

……がああああああ！」

どうしたんだ、突然叫びだして……

「ぐうううう……本当だったら俺が勝ってたドン！」

ディノインフィニティを守備表示で召喚するザウルス！」

なるほど、ディノインフィニティは除外されている恐竜族の数×1000ポイントの攻撃力となる  
しかしスキルドレインの効果で無効化されている今、攻撃力は0  
つまり……スキルドレインが無ければ玲は負けていたという事だな。

「ターンエンドン！」

「私のターン、ドロー！」

……この決闘<sup>デュエル</sup>、私の勝ちだドン！

相手の場にモンスターが存在し、私の場にモンスターが存在しない時  
サイバー・ドラゴンを特殊召喚するザウルス！

更に手札を1枚捨て、トラップ・ブースターを発ドン！

手札の罠カードをそのまま発ドンできるザウルス！

この効果により、永続罠であるリビングデッドの呼び声を発ドン！

自分の墓地のモンスターを1体攻撃表示で特殊召喚するザウルス！

私はバルバロスUrを墓地から特殊召喚！」

攻撃力2100のサイバー・ドラゴン、攻撃力3800の神機獣王  
バルバロスUr

守備力0のディノインフィニティでは防ぎきれない

つまり……玲の勝ちが決まった。

「バトル！」

神機獣王バルバロスUrでディノインフィニティに攻撃！」

バルバロスUrは持っている赤いランスのような物を構え、ディノ  
インフィニティに突撃

そのまま勢いを付けてディノインフィニティを刺し貫き……破壊  
スキルドレインで効果を無効にされ、ダメージを与えられるが守備  
表示だから意味は無いな。

「これで終わりだドン！  
サイバー・ドラゴンでダイレクトアタック直接攻撃！  
エヴォリユーション・バースト！」

「ぐああああああ！」

既に見慣れた、サイバー・ドラゴンの吐き出す光線が剣山に直撃する  
俺が見ているからか、態々サイバー・ドラゴンで決めてくれるとはな  
嬉しいと思ってしまう俺は、やはりサイバー・ドラゴンが好きなの  
かもしれん。

表サイバー……この大会が終わったら裏と交互に使うか？  
どちらも俺のデッキ、そうするのも良いかもしれないな。

「あー……俺の負けだドン  
あんた強いザウルス、大会のメダルを受け取ってほしいドン」

玲に渡されたメダルは50枚ほど  
今まで生き残っていたにしては少ない  
それでもそれなりの数だな。

「あんたも強かったドン  
最後のディノインフィニティには冷や汗を掻いてしまったザウルス」

「ははは、俺は悔し涙で一杯だったザウルス  
また決闘デュエルしてくれるドン？」

「私で良ければまた相手になるドン」

2人は握手をし、別れる

剣山はレッド寮へ、玲は俺の下へ来た。

「それで、どうするんだ亮ちゃん」

もう俺の口調になったか、速いな

会話相手のとはいえ、まだ俺は口を開いてないんだが……

「移動し、相手を探そう」

今の決闘を見て俺の闘志が疼いてきた」  
デュエル

「ははは、亮は強い人を見ると戦いたがるからね  
それは前から変わっていないみたいだ」

……居たのか吹雪、忘れていたぞ

ずっと黙っているからもうどこかに行ったのかと思っていた  
玲も存在を忘れていたのか吹雪の方を見て呆気にとられている。

「……亮ちゃん、こいつはまだ居たのか？」

「って、僕の事忘れられていた!？」

「すまない吹雪、俺も忘れていた」

「亮まで!？」

……く、次は絶対に僕が目立ってやるからな!  
もう忘れないぐらいに目立ってみせる!」

そう言って吹雪はどこかに走り去った……

目立つのは構わないが、見ていて恥ずかしくないようにしろ

お前の目立つは派手で目立つが多いからな。

「……亮ちゃん、放っておいて良いのか？」

「放っておけ、その内勝手に戻ってくる  
行くぞ、玲」

「ああ、行こうか」

俺の対戦相手は誰かな？  
楽しませてくれよ……



## 126話【11日目?】（後書き）

亮は瑞貴や知り合いに何を知られるのが嫌だったの？

子供に恋人のように抱きつかれてそのまま歩いている所です

瑞貴に見られると……何をされるか分からないので嫌がっていました。

ならどうしてそのままにしていたの？

どうすれば良いのか分からなかったからです

嫌がって不安そうな顔をされるのも嫌だったり……

それを瑞貴に報告されて報復されるのは更に嫌だったからだとか。

玲が剣山の口調を……

違和感が凄くとも、玲ですの。

玲の年齢が11歳になってる？

現在玲は小学5年生、そして誕生日は既に過ぎています

誕生日がいつかって？ さあ……いつでしょうか？

セベクの祝福は直接攻撃時じゃ……  
ダイレクトアタック

原作効果です

戦闘ダメージを与えた時にライフを回復します  
ダイレクトアタック  
直接攻撃に限定されていません。

そういえば玲のデッキって……

瑞貴以外には負け無しと、学園祭で発言していましたが

【6日目?】で言っていたように亮相手には既に負け越しています  
当然、このデッキを使用しても負けているので瑞貴以外無敗伝説は  
終止符を打たれています。

気のせいか剣山が妙に強いような……

何故かこの作品では恐竜使いが優遇されているようです

別に恐竜族が好きという訳じゃないんですけどね

レイとは引き分け、玲は追い込む……何この剣山格好いい！

彰子もどうも強く思えるのですが、本当にどうしてでしょうか？

原作、アニメオリジナルカード

ジャイアント・レックス

効果不明、無いのかもしれませんが

攻撃力は2000としか……

使用者は竜崎、乃亜、剣山と3人も居るのに全て噛ませ犬の役割でした

攻撃……したんですかね？ 記憶に無いんですけど。

ツイッター……どうでも良いけど買ってから4年もプレイしていないゲームが有る

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
……売れよって話ですかね？

## 127話【11日目?】（前書き）

「今日の最強カードは豊穡のアルテミス  
攻撃力1600、守備力1700

カウンター罠カードが発動する度にカードを1枚ドロウする  
悪用方法が多そうだけど、そんなに多くないモンスターだな  
俺はカウンター罠とか好きだから使うけど」

瑞貴でした

実際に使っただけに説得力が有るような無いような……

……言う事が無い!?

という訳でさっさと本文へどうぞ。

## 127話【11日目?】

視点 亮

玲と共に適当に歩いているも、なかなか相手が見つからない  
そう思っていたんだが……あそこに居るのは確か以前に戦った奴だな  
実力は知っているし、無視しても構わないだろう。

「ああ！ 見つけた！

そこを動くな、カイザー亮！」

……見つけたか

やはり負けた事を根に持っているのか？

「はぁ……」

「亮ちゃん、知り合いなのか？」

「ああ、以前プロ戦で戦った  
負けた事を根に持っていると思う」

玲とそんな会話をしている間にも、俺を呼び止めた奴は近づいてくる  
もう1度溜め息を吐き、諦めてそいつの方を向く。

「久しぶりだな、ツアン・ディレ」

「そうね、久しぶり

貴方が出るって話を聞いて、態々来てやったわよ！

さあカイザー亮、ボクと決闘だ！」  
デュエル

既に勝った相手には興味は無いんだが……玲以外  
このまま無視してもまた何度も出てきそうだな  
一旦相手をし、さっさと別れた方が良さそうだ。

「良いだろう、受けて立つ」

ツァンは不敵な笑みを浮かべ、決闘盤を構える  
デュエルデイスク  
俺も決闘盤を構え、決闘の準備をする。

「「決闘！」」  
デュエル

「レディファーストだよ、ボクのターン、ドロー！  
六武衆の露払いを召喚！ 更に永續魔法、連合軍を発動！  
自分の場に存在する戦士族、魔法使い族の数×200ポイント戦士  
族の攻撃力をアップさせる！  
カードを1枚伏せ、ターンエンド！」

相変わらず六武衆のデッキか  
以前と何か変わったか？

「俺のターン、ドロー  
魔法カード、テイク・オーバー・5を発動  
デッキからカードを5枚墓地へ送る  
更に、サイバー・ダーク・キールを召喚」

「サイバー・ダーク？  
貴方の使うデッキはサイバー・ドラゴンじゃ……デッキが変わった  
？」

「ああ、最近手に入ってたな

サイバー・ダーク・キールの効果を発動

このモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
墓地に存在するLV4以下のドラゴン族モンスターを1体、装備カードとして装備する

俺が装備するのは先ほどテイク・オーバー・5の効果で墓地へ送られたモンスター

ドラグニティーピルムをサイバー・ダーク・キールに装備させる  
更に、この効果で装備されたモンスターの元々の攻撃力分だけ攻撃力がアップする

ピルムの攻撃力は1400、よって攻撃力は2200となる」

攻撃力2200ならそれなりだろう

ドラグニティーの中では最高クラスの攻撃力だ

他にもドラグニティーが有ると堅守から聞いているが……

下級のドラゴン族では最高クラスなのだろう。

「更に手札から永続魔法、竜操術を発動

ドラグニティーと名の付くモンスターを装備しているモンスターの攻撃力を500ポイントアップさせる

よってサイバー・ダーク・キールの攻撃力は2700」

「攻撃力……2700ですって？」

「更に竜操術にはもう1つ効果が有る

手札のドラゴン族のドラグニティーを装備カードとして場のモンスターに装備させる事が可能だ

手札のドラグニティーブランディストックをサイバー・ダーク・キールに装備させる」

まあこんな所だろう  
あまり苛めるのも趣味が悪い。

「サイバー・ダーク・キールで六武衆の露払いに攻撃  
ダーク・ウィップ！」

サイバー・ダーク・キールは尾で露払いを突き刺す  
体を貫かれ、破壊される露払い  
露払いは所詮、露払いという事なのか？

「サイバー・ダーク・キールの効果を発動  
戦闘で相手モンスターを破壊した時、相手に300ポイントのダメージを与える」

「合計で1200のダメージ？  
でも、それぐらいだったらまだまだ行ける！」

これで終わりだと思われても困るな  
俺のバトルフェイズはまだ終了していない。

「装備カードとなっているブランドイストックの効果  
このカードが装備カードとしてモンスターに装備されている時  
装備モンスターは2回の攻撃が可能となる」

「え……2回の攻撃！？」

「サイバー・ダーク・キール、ダイレクトアタック直接攻撃だ  
ダーク・ウィップ！」

「きゃああ！」

2700のダメージ……ライフが100残ったか  
まあ六武衆の最終手段、究極・背水の陣が使えなくなったのだから  
良しとしよう

ライフが100ではライフコストが払えないからな。

「俺はこれでターンエンドだ  
勇んで挑んできた割には……アツサリだな」

挑発しておく

また落ち込まれて自滅されてはつまらない  
前回は追い込んだら勝手に自滅したからな。

「クッ……まだまだ終わらないに決まってるでしょ！」

永続罫、神速の具足を発動！

ドローフェイズにドローしたカードが六武衆と名の付くモンスター  
だった場合

そのカードを相手に公開し、特殊召喚できる！」

ほう？ 動こうとするのは良い

しかし、そう簡単にドローできるかな？

「ボクのターン、ドロー！」

ボクがドローしたカードは六武衆の御霊代！

六武衆と名の付いたモンスターなので神速の具足の効果で特殊召喚！  
更に六武衆―カモンを守備表示で召喚！」

ほう……これでカモンの効果を発動するのか  
だがそう簡単にはいかないな。



「……そういえばそのドラグニティーブランドイストックってモンスター

装備カードとして存在している時に効果を発動するんだよね？」

「その通りだ」

「なら、ドラグニティーピルムの効果は何？」

気付いたか

大抵の奴は効果に気付かず、ただのサイバー・ダーク用の装備モンスターとして見ていたんだがな

ドラグニティーの特性を1回見ただけで気付くのは珍しい……いや、初めてだな。

「ドラグニティーピルムの効果

装備モンスターの攻撃力を半分にし、相手に直接攻撃を可能とする

ダイレクトアタック

よく気付いたな、もし気付かずにブランドイストックをカモンの効果で破壊していた場合

ダイレクトアタック

そのまま直接攻撃をして俺が勝っていた」

「(……き、気付いて良かった！

もし気にならなかったらそのままカイザー亮の言う通りにしていたわね)

カモンの効果、自分の場にカモン以外の六武衆が存在している時に発動可能

1ターンに1度、このターンの攻撃を放棄して表側表示の魔法、罠カードを1枚破壊する！

私はこの効果により、装備カードとなっているピルムを破壊！」

サイバー・ダークの効果で装備されているモンスターは装備魔法扱い  
しかも、サイバー・ダークの効果で装備されているから攻撃力が下  
がる

一応、ブランディストックを装備しているから竜操術の効果で攻撃  
力は1300有るがな。

「更に御霊代の効果を発動！

自分の場に存在する六武衆と名の付くモンスターの装備カードとな  
り、装備する事ができる！

そして御霊代を装備したモンスターの攻撃力と守備力は500ポイ  
ントアップする！」

攻撃表示だと御霊代と連合軍の効果で攻撃力は2200となったん  
だがな

先ほど俺が攻撃力2700を見せたから弱気になっているのか？  
守備力1500では少々厳しいかと思うがな、保険という所だろう。

「更に装備魔法、漆黒の名馬をカモンに装備！

漆黒の名馬を装備したモンスターの攻撃力は200ポイントアップし  
更に装備モンスターが破壊される時、代わりに漆黒の名馬を破壊す  
る事ができる！

ボクはこれでターンエンドだ！」

カモンが現れた漆黒の馬に乗りながらも防御態勢になる

御霊代の効果もあり、合計で3回まで攻撃を防ぐ事ができるか  
これは少し厄介だが……別に困る事でもないな。

「俺のターン、ドロー

墓地に存在するテイク・オーバー・5の効果を発動  
このカードをゲームから除外し、もう1枚ドロー

そして手札から魔法カード、融合を発動

手札のサイバー・ダーク・ホーン、サイバー・ダーク・エッジ、場のサイバー・ダーク・キールを融合

がいこくりゅう  
鎧黒竜「サイバー・ダーク・ドラゴンを融合召喚！」

「攻撃力……たったの1000？」

3体の融合なのに……まさかまた墓地のドラゴン族モンスターを！  
」

「察しが良いな、その通りだ

サイバー・ダーク・ドラゴンは墓地に存在するドラゴン族モンスター1体を装備できる

ただし、この効果は融合前と違ってLV制限は無い

俺はこの効果により、Sin トウルース・ドラゴンを装備させる  
！」

黄金の巨大なドラゴンがサイバー・ダーク・ドラゴンに装備される胴体となっているサイバー・ダーク・エッジの部分で抱きしめるような形だ

攻撃力は5000……素の能力では最強クラスのモンスターだな。

「こいつも装備モンスターの元々の攻撃力分だけ攻撃力をアップさせる

Sin トウルース・ドラゴンの攻撃力は5000、よって攻撃力は6000となる！

更に鎧黒竜<sup>がいこくりゅう</sup>「サイバー・ダーク・ドラゴンは墓地のカードの数×100ポイント攻撃力をアップさせる

俺の墓地に有るカードは現在9枚、よって攻撃力は合計、6900  
！」

「こ、攻撃力6900!？」

でも、いくら攻撃力が高くてもボクのモンスターは漆黒の名馬を装備している

更に御霊代の効果は装備モンスターが破壊される時、御霊代が代わりに破壊される効果も持っているんだ  
どれだけ攻撃力が高くても無意味!」

そう、普通は思うだろう  
だが事はそう簡単じゃない。

「がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンでカモンに攻撃!  
フル・ダークネス・バースト!」

サイバー・ダーク・ホーンの部分から巨大な闇の塊を撃ち出す  
カモンは馬から飛び降りて回避するも、馬は消し飛ぶ  
哀れなり馬、ただ破壊回避だけの為に現れたのだから……  
しかし、それと同時に御霊代も破壊された……何故だ?

「あ、あれ?

漆黒の名馬だけじゃなくて御霊代まで?」

「……同時破壊扱いなのではないのか?」

「ええ!?!」

知らなかったのか……

今まで試した事が無かったのだろう。

「次は……手札から速攻魔法、融合解除を発動する」

「え……融合解除？」

哑然とするツアン

しかし、そんなツアンを嘲笑うかのよう<sup>がいこくりゅう</sup>に鎧黒竜<sup>ガイコクリウ</sup>、サイバー・ダーク・ドラゴンは分解される

そして現れるサイバー・ダーク達。

「で、でもそいつらの攻撃力はたったの800！  
カモンの守備力1000には届かない！」

「サイバー・ダーク達の効果を忘れたか

こいつらは召喚、特殊召喚、反転召喚された時  
墓地からドラゴン族モンスターを1体、装備カードとして装備する  
事ができる

サイバー・ダーク・ホーンにはドラグニティーピルム

サイバー・ダーク・エッジにはドラグニティーブランディストック

サイバー・ダーク・エッジにはドラグニティーフアランクス

各モンスターを墓地から装備させ、竜操術の効果でドラグニティを  
装備しているので攻撃力がアップ」

サイバー・ダーク・ホーンの攻撃力は2700

サイバー・ダーク・エッジの攻撃力は1900

サイバー・ダーク・キールの攻撃力は1800

全てのモンスターがカモンの守備力を上回った。

「そんな……」

「サイバー・ダーク・エッジでカモンに攻撃  
カウンター・バーン！」

サイバー・ダーク・エッジが突風を起こし、カモンを吹き飛ばし破壊する

これで壁モンスターは居なくなった  
ダイレクトアタック  
貫通効果や直接攻撃効果は使わない、オーバーキルができないからな。

「か……カモンが倒された？」

これで守りは無くなった  
俺の勝ちだ……

「これで終わりだ、ツァン・デイレ  
ブランドイストックを装備しているサイバー・ダーク・エッジは2  
回の攻撃が可能

そしてサイバー・ダーク・ホーン、サイバー・ダーク・キールの攻  
撃も残っている

サイバー・ダーク・キール、サイバー・ダーク・ホーン、サイバー・  
ダーク・エッジで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

ダーク・ウィップ！　ダーク・スピア！　カウンター・バーン！」

「あああああ！」

サイバー・ダーク・キールの尾がプレイヤーを襲い

サイバー・ダーク・ホーンの頭の傍に有る角から光線を撃ち出す

終わったな……俺の勝ちだ。

オーバーキルダメージは6400か

大した事じゃないが、それなりだな

俺としては、がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンで終わらせたか  
った

オーバーキルができただけ良しとしよう。

「俺の勝ちだ、メダルを置いてさっさと去れ  
俺は次の相手を探しに行く」

「……持ってきなさいよ!」

メダルを投げ捨てるツァン  
枚数はそう多くないが、それでも構わない  
意味など無いからな。

「行くか?」

「ああ、行こう」

玲を連れ、次の相手を探しに向かう  
暫く歩いた時、後ろから声が聞こえた。

「次は……次は絶対に勝つ!」

どうやら、また追いかける事になりそうだ  
ツァンから挑戦されたら断ろう、何度相手をしても追いかけてきそ  
うだ。

視点 レイ

誰か居ないかなあ……誰も居ないなあ

……見つけたけど、また相手をするのは嫌だから逃げようっと。

そう思ったんだけど、足元の木の枝を踏んで……なに、このベタな展開？

おかげで気付かれた……逃げたい！

「お、お前は早乙女か

前から気になっていたんだ、相手をしてもらおうか？」

「もー！ー！ー！」

どうして先生達はボクの相手をしたがるの！？」

「どうしてって……目立つからじゃないか？」

そうなんだけど、分かってるけど！

はあ、もう嫌だ。

「分かりました、お相手しますよ沢中先生」

さわなかくにまよひ

沢中国正先生……ぶっちゃけると暑苦しくて疲れる先生

時々、気に掛けてくれるのは嬉しいんだけど、疲れる

でもボクが子供だから心配してくれているのは分かるから邪険にできないし……

「よし、お前とは決闘<sup>デュエル</sup>してみたかったんだよ

強いのは知っていたが、実際に戦ってみたくてな」

どうして先生達は殆どこんな理由で……

「「決闘<sup>デュエル</sup>！」」



「先攻は譲るぞ」

む、なんだか馬鹿にされた気分  
だけどくれるんだったら貰っておく。

「なら遠慮無く……ドロー！

モンスターをセットし、カードを2枚伏せてターンエンド！」

どんな事をしてくるのか分からない

教師は生徒よりも強いから油断もできない  
前はちよつと油断して痛手を負ったしね。

「なら俺のターン、ドロー！

豊穡のアルテミスを召喚！」

現れたのは白い天使……って、アルテミス？

そのモンスター効果は確かカウンター罠を使った時にドローする効  
果だっけ？

あああああああ！

確かあのモンスター、前に瑞貴さんが使ってた！

そう、終焉のカウントダウンのデッキの時に！

まさかあのデッキ、終焉のカウントダウンデッキ！？

「アルテミスで守備モンスターに攻撃！」

「罠カード、ドレインシールド！

相手モンスターの攻撃を無効にし、その攻撃力分だけライフを回復  
する！」

これでアルテミスの攻撃力分、1600回復  
ボクのモンスターは破壊させないよ！

「防がれたか……カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

やっぱり何枚もの伏せカード  
例え終焉のカウントダウンのデッキじゃなくても、厄介なのは変わり無い  
どうやって攻略しようか……

「ボクのターン、ドロロー！」

レプティレス・ゴルゴーンを召喚し  
更に装備魔法、モルティング・エスケープをレプティレス・ゴルゴーンに装備！

このカードは爬虫類族モンスターにのみ装備できる  
1ターンに1度、戦闘での破壊を無効にする効果を持っている  
更に、戦闘破壊されなかったダメージステップ終了時、攻撃力が300ポイントアップする！」

「なるほどな、このターンではアルテミスを倒せないから次のターンに倒そうと……」

勝手に勘違いしててよ

態々、ヒントを渡してあげる必要なんて無いしね。

「更にセットしていたワーム・リンクスを反転召喚！  
続いて魔法カード、テラ・フォーミングを発動！  
デッキからフィールド魔法を1枚、手札に加える  
ボクが手札に加えるのはダーク・アリーナ！」

そしてそのままダーク・アリーナを発動！」

辺りは闇に包まれる……真っ暗で、相手のモンスターもよく見えないまあ、相手モンスターの姿が見えなくてもあまり問題無いんだけどねモンスターの効果とかが分かれば良いんだし。

「変わったフィールド魔法だな……」

「バトル！」

レプティレス・ゴルゴーンでアルテミスに攻撃！  
ポイズン・グランス！」

レプティレス・ゴルゴーンは目から光線を打ち出す  
アルテミスに向かっていても沢中先生は何もしなかった。

「（態々自爆してくれるんだ

攻撃の無力化は次のターンでいいかな？

手札にレプティレス・ゴルゴーン以上の攻撃力を持つモンスターは  
居ないし）

しかしアルテミスの方が攻撃力は上だ

反撃しろ、アルテミス！」

アルテミスはレプティレス・ゴルゴーンの攻撃を受け止める

反撃し、手から光の弾を撃ち出して来た

だけどその光弾が破壊したのは……レプティレス・ゴルゴーンが脱  
皮した抜け殻

レプティレス・ゴルゴーン本体には何も影響が無い。

「モルティング・エスケープの効果発動

1ターンに1度、戦闘での破壊を無効にし、攻撃力を300ポイン

トアップさせる」

「だがその攻撃力差、200ポイントのダメージは受けてもらうぞ」  
さつきライフが回復したから現在のライフは5400  
まだ余裕は有るけど、甘く何て見ないよ。

「ダメージステップ終了時にレプティレス・ゴルゴーンの効果が発動！

戦闘した相手モンスターの攻撃力を0にする！  
更に表示形式の変更もできなくなる」

「なに！？ 攻撃力0だと！？

それで態々ダメージを受けてまで！

クソッ！ 永続罠、シンセティック・エンジェル人造天使を発動！

カウンター罠が発動される度に攻守0の人造天使トークンを特殊召喚する！」

アルテミスの体が石に変わり、動かなくなった

こういう状態ってまな板の上の鯉って言うんだっけ？

あれ？ 鯉だっけ？ 鯛だっけ？

効果を知らない方が悪いって瑞貴さんは言ってたけど

このカード、どこを探しても見つからないんだよね……

知らなくて当たり前なんだけど、これって誰が悪いのかな？

それにしてもシンセティック・エンジェル人造天使か……

やっぱりカウンター罠を多用してくるつもりなんだね

トークンが出てきてもそんなに困らないけど……邪魔なものは邪魔かな。

「ワーム・リンクスでアルテミスに攻撃！」

ワーム・リンクスは2つの頭を持っている赤い生物  
その頭の片方から気持ち悪い液体を吐き出してアルテミスに……  
これは受けたらショックだろうなあ。

「クッ、こんなに速くアルテミスを失うのも困る  
カウンター罠、攻撃の無力化を発動！」

相手モンスターの攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる！  
更にアルテミスの効果、カウンター罠を発動した時、カードを1枚  
ドロウする！

シンセティック・エンジェル  
更に人造天使の効果で人造天使トークンを守備表示で特殊召喚！」

人造天使トークン……球体に何か羽みたいなのが付いているアレ？  
変なの、もっと格好良くな可愛く作ればいいのに……人造でも天使  
なんだし。

「ボクはこれでターンエンドだよ  
そしてワーム・リンクスの効果が発動する

このモンスターがリバースし、場に存在している限り  
お互いのエンドフェイズ時にボクはカードを1枚ドロウする  
この効果でカードをドロウ、沢中先生のターンだよ」

「むう……俺のターン、ドロウ！  
もう1体、アルテミスを今度は守備表示で召喚！」

うーん……最終突撃命令が早く来ないかなあ  
アレが無いとダーク・アリーナの効果を發揮できないや。

「カードを2枚伏せ、ターンエンド」

「駄目だよ沢中先生」

ダーク・アリーナが存在している限り

強制的にバトルフェイズを行わなくてはならないんだ

更に攻撃対象は相手プレイヤーが選択する

エンド宣言の前にバトルフェイズに入ってください」

「嘘だろ……クッ、アルテミスで攻撃！」

「攻撃対象はレプティレス・ゴルゴーン

石になっているアルテミスの変わりに攻撃しますね

ポイズン・グランズ！」

破壊されるアルテミス

ボクが攻撃宣言をしたわけじゃないから例え攻撃の無力化が有っても無意味

このタイミングで発動できるカウンター罠って有るのかな？

「俺のターンはこれで終了だ」

「ならエンドフェイズ、ワーム・リンクスの効果でドロー

ボクのターンのドローフェイズで更にドロー

魔法カード、レプティレス・ポイズンを発動！

自分の場にレプティレスと名の付くモンスターが存在し

相手の場に存在している守備表示モンスターを攻撃表示に変更し、

攻撃力を0にする！

ボクは豊穣のアルテミスの表示形式の変更と攻撃力を0にする！」

「カウンター罠、マジック・ドレインを発動！」

相手の魔法カードの発動を無効にして破壊する！

ただし、相手は手札の魔法カードを墓地に送る事でこのカードの効果を無効にできる

さあ早乙女、手札の魔法カードを捨てるか？」

魔法カードを捨てて効果を無効化……

手札には捨てても問題無いカードは有るし、捨てよっと。

「ボクは手札のテラ・フォーミングを捨てる

そしてマジック・ドレインの効果を無効にする！

よってアルテミスは攻撃表示に、更に攻撃力が0になる！」

「だがカウンター罠の発動には成功した

よって俺はアルテミスの効果でドローし、人造天使トークンを守備表示で特殊召喚する」

別に召喚されたって問題無いんだよね

だって、ボクの目的は攻撃力0さえ作れば良いんだもん。

「レプティレス・バイパーを召喚！」

緑の蛇みたいなモンスターだけど、子供かな？ レプティレスの何

かの

だとしたら色からして……レプティレス・メデューサ？

……まだ可愛い方のこのモンスターがあんなに大きくなるのかな？  
ちよっと、進化と成長という言葉を調べたくなったかも。

「レプティレス・バイパーの効果を発動！

このモンスターが召喚に成功した時

相手の場に表側表示で存在する攻撃力0のモンスター1体のコント

ルールを得る！

ボクは攻撃力が0になっているアルテミスのコントロールを貰う！」

「出たか……噂に聞く、早乙女のコントロール奪取！

何人もの生徒が自分のモンスターを何体も奪われ、絶望したという……」

「そんな噂が流れてたの！？」

確かにモンスターは奪うけど……絶望までは無いんじゃない？」

ボク、周りからどう思われてるんだろう？

怖いからあまり知りたくないなあ……

「そんな事を言われてもな……

何度も何度も切りが無いぐらい奪ってるだろ？

どれだけ奪えば気が済むんだ？」

あ……それを言われたらこう言うしか無いじゃん。

「何回奪っても、気が済まない！

自分の場の攻撃力0のモンスター、レプティレス・バイパーとアルテミスの2体を生け贄に捧げ

レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！」

「おお……でかいな

お前の使うモンスター、なんでこんなに気味の悪いのが多いんだ？」

う……それはボクだって自覚してる

だけど、レプティレスはこういうモンスターなんだから仕方無いじゃないか！



ボクだってレプティレス・ナージャを召喚したいよ！  
ナージャぐらいしか可愛いモンスター居ないんだもん！  
バイパーは微妙だし……見た目完全に蛇だもん。

「れ、レプティレス・ヴァースキの効果を発動！

1ターンに1度、相手の場の表側表示モンスター1体を破壊する！  
ボクが破壊するのは当然、人造天使トークン！」

レプティレス・ヴァースキが人造天使トークンを……食べた！？  
いやいやいやいやいやいや、ヴァースキって女性型モンスター  
でしょ！

それに人造とはいえ天使を食べるのってどうなの！？  
せめて丸呑みじゃなくてもっと行儀良く食べようよ！

「えっと……とにかく！」

レプティレス・ゴルゴーンで人造天使トークンに攻撃！」

ワーム・リンクスだと攻撃力が足りない……

人造天使トークンの守備力は300だから引き分けになるし。

「もう一回だ、カウンター罠、攻撃の無力化を発動！

相手モンスターの攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる！  
そして人造天使の効果で人造天使トークンを守備表示で特殊召喚！」  
シンセティック・エンジェル

またか……でもアルテミスは居ないからドローはできない  
次のターンには勝ちたいなあ。

「だったらワーム・リンクスを守備表示に変更しターンエンド  
エンドフェイズ時にワーム・リンクスの効果でドロー！」

「俺のターン、ドロー！」

速攻魔法、サイクロンを発動！

場に存在する魔法、罠カードを1枚破壊する！

そしてそのサイクロンに対してカウンター罠、王家の呪いを発動！

場に存在する魔法、罠カードを破壊する効果を含む魔法、罠カードの発動を無効にして破壊する！」

自分のカードを自分で破壊！？

どうしてそんな事を！？

「カウンター罠の発動により、人造天使トークンが特殊召喚される！  
そしてカウンター罠の発動に成功した時  
場のモンスターを全て生け贄に捧げ、裁きを下す者―ボルテニスを  
特殊召喚！」

青紫色の体をし、体から離れて浮いている羽をした

そして杖と占いとかで使うような水晶玉を持った天使……

自分のカードを無効にしてまでどうしてこのモンスターを？

しかも、自分の場のモンスターを全て生け贄に捧げてまで……

「ボルテニスの効果発動！

自身の効果で特殊召喚した時に生け贄に捧げた中に天使族モンスターが存在していた場合

生け贄に捧げた天使族モンスターの数だけ相手の場のカードを破壊  
できる！」

なるほど、サイクロンでは破壊できるのは1枚だけ

だったらボルテニスを使って3枚のカードを破壊する事にしたのか！

「ボルテニスの効果を発動！

レプティレス・ゴルゴーン、レプティレス・ヴァースキ、ダーク・アリーナを破壊する！」

ボルテニスが杖を振り上げる

雷が降り注ぎ、レプティレス・ヴァースキとゴルゴーンが破壊されダーク・アリーナの闇も払われてしまった……さすが最上級天使族かな？

「ボクのモンスターと、ダーク・アリーナが……」

「これでお前を守るモンスターは存在しない！

ボルテニスでワーム・リンクスに攻撃！」

ボルテニスが杖をワーム・リンクスに向け、同じく雷を撃ち出したワーム・リンクスは破壊されてしまう……けど、引かなかったね？

「この瞬間罠カード、エーリアン・ブレインを発動！

爬虫類族モンスターが戦闘で破壊され、墓地へ送られた時

その爬虫類族モンスターを攻撃したモンスターのコントロールを得る！

更にそのモンスターは爬虫類族モンスターとして扱う！」

「な、なにい！？」

ふう、モンスターを召喚されなくて良かった

もし召喚されていたらそのモンスターを奪うだけであまり意味が無かったもん。

「うっく……ターンエンドだ」

よし、できればこのターンで勝つ！

沢中先生のライフは残り2200

ダイレクトアタック

直接攻撃が決まればボクの勝ちだ！

「ボクのターン、ドロロー！ 魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロロー！

魔法カード、レプティレス・スポーンを発動！

墓地に存在しているレプティレスと名の付くモンスターを除外しレプティレストークンを2体特殊召喚する！

ボクは墓地のレプティレス・バイパーを除外し、レプティレストークンを2体守備表示で特殊召喚！

魔法カード、死者転生を発動！

手札を1枚捨て、墓地からモンスターを1枚手札に加える！

ボクは墓地のレプティレス・ヴァースキを手札に加えて

攻撃力0のレプティレストークン2体を生け贄に、レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！」

「おいおい……」

呆れられてるけど無視！

これでボクの勝ちだ！

「レプティレス・ヴァースキ、ボルテニスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぐうおおおお！」

よし、2600+2800の合計5400のダメージ！

ついでに3200のオーバーキル達成！

あまり高くないけど、このデッキだったら高い方だね？

「あー……噂通りだわ  
この泥棒猫」

「泥棒猫!？」

ボクってそんな名前で呼ばれてたの!？

「知らなかったのか？」

お前、泥棒猫早乙女とか呼ばれてたりするぞ」

そんなあ……酷い、これがボクの戦い方なのに  
できればもっと良い名前が良いよ!

「ま、そんなに落ち込むな!

今度からは泥棒虎とかどうだ?

同じ猫科だから良いんじゃないか?

それとも泥棒蛇の方が良いか……」

「そんな事、真剣に悩まないで!」

うう……涙が出ちゃう

だって女の子だもん、猫はともかく虎や蛇は嫌!

「わ、悪かったよ

少ないけどメダル、持っただけ」

貰ったメダルはたったの12枚……やっぱり教師は少なかった  
どうしてボクばかりこんな教師と……はあ。

疲れた、帰りたいなあ

今は明日香さんの部屋だけど。

## 127話【11日目?】（後書き）

サイバー・ダークは原作効果？  
原作効果です。

プロの亮がプロのツアンと戦うのって良いの？  
どうでしょうか？

一応、生徒が頑張るようにとの目的での大会のはずなんですけど  
まあ良いんじゃないですか？

まさか亮とツアンはライバル関係になるんじゃない？……  
どうでしょうか？

そもそも、亮がそんなに登場するかと問われれば疑問が浮かびます  
3年目は異世界に行ったり何だったりなので。

沢中国正って？

TFに登場する教師  
使用デッキはエンジェル・パーミッション  
しかし……抜け道が多いデッキなので攻略は楽だったり難しかったり  
墓地依存デッキを使ったら割と楽に勝てそうな予感……作者だけで  
しょうか？

最後まで使わなかった沢中の伏せカードは？  
アヌビスの裁きです

しかしレイは魔法、罠カードを破壊するようなカードは未使用  
よって発動機会は有りませんでした。

泥棒猫って……  
モンスターを奪うレイですので仕方無いかもしれません

汚名にも思えますが、している事は本当にそうなので否定できず。

レイが明日香の部屋って？

瑞貴に諸々の理由で追い出されました

理由は教えられていないようです。

ツイッター……作者は犬か猫かと問われれば猫です

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
でも犬の方が触りやすいから犬も好き。



## 128話【12日目?】（前書き）

「今日の最強カードは契約の履行だね  
ライフを800払う事で墓地の儀式モンスターを特殊召喚できるよ  
だけど、一度ちゃんと儀式召喚してからじゃないと蘇生できないんだ  
どこかの世界の明日香さんみたいに儀式召喚しないで特殊召喚しない事！」  
これ、ボクとの約束だぞ?」

レイでした……どこかの世界の明日香に関してはWikiでも見てください  
アニメ内で儀式召喚せずに蘇生させていましたので。

間に合って良かった……かなりギリギリです  
夜中まで起きていた結果でもこれです。

明日は間に合うと思います  
結局更新速度が落ちてないって?  
間に合うんだから仕方無いでしょう。

## 128話【12日目?】

視点 吹雪

「ようやくこの時が来たよ、浜口君」

「ええ、来ましたわね吹雪様」

我々の持つメダル枚数はお互いに80枚  
これだけ有ればレイ君だって喜んでくれるだろう！

「という訳で浜口君、頑張ってくれたまえ！」

「はい！」

ありがとうございます吹雪様！

私頑張りますわ！」

さて、気になる所だけど見学は止めておくよ  
だってレイ君から堅守君に情報が伝わったら怖いじゃないか  
浜口君にも僕の事は黙っているように言ったからきつと大丈夫  
僕が浜口君を焚きつけた事はレイ君にはばれない！

という事で浜口君と別れたんだけど……どうしようかな？  
誰か僕と決闘デュエルしてくれるような人は……発見！

「そこの君、僕と決闘デュエルしないかい？」

振り向いたのは女性、薄紫色の髪をしてショートカットにしている

美人

おお、これは是非とも相手をしなくては！

「あら、私と決闘したいの？」

「良いわ、受けてあげる」

「君みたいな美しい女性と決闘できるなんて光栄だなあ  
 しかも僕に勝利という更なる栄光を与えてくれるんだ  
 君には感謝してもしたり無いだろう」

「ふふ、美しいだなんて……ありがとでも……勝利という栄光は私の物よ」

「ははははは」 「ふふふふ」

……負けられないな。

[illegible]

「僕が必ず勝つ！」

「ボウヤが、粹がるんじゃないわ！」

「（絶対に……勝つ！）決闘<sup>デュエル</sup>！」

どうしてだろう、初めて会ったのに他人の気がしないけど、絶対に彼女とは相容れない気がする。

「先攻は譲るよ、レディファーストだ」

「あらあら……ボウヤが言うじゃない  
なら遠慮無く貰うわ、それと私の名前は藤原雪乃よ」

「僕は天上院吹雪だ」

だけど藤原雪乃か……1年生でも居たね  
もしかして同姓同名かな？  
デッキも同じだったら拍手喝采なんだけど。

「私のターン、ドロー」

格の違いを見せてあげるわ、ボウヤ  
貴方にはハンデをあげない……叩き潰す

手始めに、センジュ・ゴッドを守備表示で召喚し、効果を発動  
センジュ・ゴッドの召喚、反転召喚に成功した時  
デッキから儀式モンスターを1枚手札に加えるわ  
私はデッキより儀式モンスター、終焉の王デミスを手札に加える」

デミス……なんて厄介なモンスターを！  
速攻で攻めてくるつもりだな、どうしようか？  
何にしても、先攻を譲って良かったよ  
もし後攻だったらアッサリと負けていたかもしれないからね。

「魔法カード、トレード・インを発動

手札のLV8のモンスターを墓地へ送り、デッキからカードを2枚  
ドローするわ

私が墓地へ送るのは先ほど手札に加えたデミス  
そしてカードを2枚ドロー」

なるほど、既にデミスが手札に有ったんだね

しかし、儀式魔法を手札に加えるソニックバードやマンジュ・ゴツドが手札に無かった  
それで手札交換としてトレード・インを使用し、儀式魔法を手札に加えようとしたか

どうやら彼女は思った以上に強敵のようだね。

「これでターンエンドよ」

ふう、終わってくれて助かった  
もしまた何かするんだったら少し困ったからね。

「僕のターン、ドロー」

永続魔法、未来融合―フューチャーフュージョンを発動！

この効果により、デッキから融合に必要なモンスターを墓地へ送り  
2ターン後に融合召喚を行う！

僕はデッキからドラゴン族モンスターを5体墓地へ送り、  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
Dを融合召喚する！」

「まさかいきなり融合を狙ってくるとは……なかなかやるわね」

「お褒めにあずかり光栄だよ

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ

そしてエンドフェイズ、墓地の真紅眼の飛竜の効果を発動

通常召喚をしていないターンのエンドフェイズ、墓地に存在してい  
る真紅眼の飛竜を除外し  
レッドアイズ・ワイバーン

同じく墓地に存在している真紅眼の黒竜を特殊召喚する！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
現れる、真紅眼の黒竜！」

早速だけど、真紅眼の黒竜を出させてもらったよ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

本当はこんな強引な手段は使わないんだけど……相手が相手だからね

これぐらいはしないと間に合わないのさ。

「美しいわね……私のターン、ドロ―

儀式魔法、エンド・オブ・ザ・ワールドを発動

手札、または場から合計LVが8になるようにモンスターを生け贄に捧げる

私は手札から甲虫装<sup>インセクトナイト</sup>甲騎士、場からセンジュ・ゴッドを生け贄に捧げるわ

何度終わりを見ただろう……終焉を司る死を呼ぶ悪魔の王、終焉の王デミスを儀式召喚！」

見事な姿だ、終焉の王デミス  
だけど悪いね、君の幕はすぐに落ちる。

「デミスの効果を発動するわ

ライフを2000支払い、デミス以外のカードを全て破壊する  
言うまでも無いと思うけど、未来融合も例外無く破壊よ

鳴けよ世界、震えよ悪夢、響け終わりの声！ 終焉の嘆き！」

デミスの起こした嘆きを表す青白い細かい光が凄まじい量で襲ってくる

だけど……真紅眼の黒竜もただではやられないよ<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>

悪いが、道連れだ！

「罨カード、バーストブレスを発動！

自分の場に存在するドラゴン族モンスターを生け贄に捧げる！

生け贄に捧げたモンスターの攻撃力以下の守備力を持つモンスター  
を全て破壊！

僕が生け贄に捧げるのは真紅眼の黒竜、<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>攻撃力2400だ！」

「な……デミスの守備力は2000、クッ！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜は大きく口を開け、白に黄色が少し混じったブレスを吐き出す

そのブレスはデミスに直撃し、破壊される

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
しかし、デミスの終焉の嘆きを思いっきり浴びた真紅眼の黒竜も破壊された……

が、生け贄に捧げたのに何故破壊されたんだろう？ 演出かな？

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
とにかくありがとう真紅眼の黒竜、君のおかげでこの場はどうかなりそうだ

さあ、仕切り直しをしようじゃないか、お姉様？

視点 レイ

だ、れ、か、い、な、い、か、なあ  
教師以外でだけど。

ん？ どこかで見た事が有るような後ろ姿  
だけど、私服だからやっぱり違う人だと思う  
気になるし、ちょっと話しかけみようかな。

「あの、すみません  
大会の参加者の人ですか？」

「ん？ 子供？」

まあ、そうだよ？」

やっぱり、どこかで見た事が有る顔  
どう見ても……

「ゆまさん……だよね？」

どうして制服じゃなくて私服なの？」

「あ、君も間違えるんだ」

間違えるってどういう意味かな？  
ボク、何か変なこと言っただけ？

「私は宮田ゆま、プロ決闘者だよ  
デュエリスト

ここの学生にも宮田ゆまが居るみたいだけど、私が勝ったから  
だから大会に参加してる宮田ゆまは私だけだよ」

えっと……

「つまり、貴女はボクが知っているゆまさんじゃなくて  
同姓同名で顔も似ている、そっくりさんの宮田ゆまさん  
しかもプロ決闘者デュエリストの上、学生のゆまさんを倒した  
という事で良いのかな？」

「うん、正解

どう？ 私と決闘デュエルしてみない？」

別人でも独特な話し方は同じなんだ……変な感じかも  
でも……ゆまさんを倒したって実力は気になるし  
勝てるか分からないけど、これも経験！



「うん、決闘<sup>デュエル</sup>しよ！」

ややこしいから宮田さんって呼ぶね」

「O K O K、それは理解してるから大丈夫！  
じゃあ始めようか？」

ボク達はお互いにデッキをセットし、構える  
少し離れて一言。

「決闘<sup>デュエル</sup>！」

「先攻後攻はどうする？  
私はどっちデも良いよ？」

「うーん……なら先攻を貰いますね」

自信の表れなのか、本当にどっちでも良いのか  
手札は悪く無い、今の内に動けるだけ動く！

「うん、だったら私が先攻を貰うネ」

「ならどうして訊いたの！？」

「冗談冗談、先攻は譲るよ」

なんだろう、この気の抜ける会話は……  
そういえばボク、ゆまさんと決闘<sup>デュエル</sup>した事が無かったっけ？  
ゆまさんも宮田さんみたいにこんな事を言うのかな？  
言うだろうなあ……絶対に言うだろうなあ……でも、言わないだろ  
うなあ……相手がボクだったただけ。

「ボクのターン、ドロ―！  
レプティレス・ガードナーを守備表示で召喚！  
カードを1枚伏せて、ターンエンド」

相手がどんなデッキか分からないからとりあえず様子見  
ゆまさんと似たようなデッキだったらちよつと困る……  
勝てないとは言わないけど、面倒だもん。

「私のターン、ドロ―！  
手札から魔法カード、愚かな埋葬を発動！  
デッキからモンスターを1体、墓地へ送る！  
私が墓地へ送るのはE・HEROネクロ・ダークマン！」

E・HEROデッキ！？  
十代先輩やエド・フェニックスみたいな事！？  
これは……また面倒かも  
例え攻撃力を0にしても融合されたら無意味だし。

「そしテネクロ・ダークマンの効果を発動するネ  
E・HEROと名の付くモンスターの召喚に必要な生ケ贄を1度だ  
け0にできる  
つまり、最上級モンスターでも生ケ贄無しで通常召喚で出るっテ事」

最上級LVのE・HERO……となると出てくるのはやっぱりエツ  
ジマン  
攻撃力2600の貫通効果持ちのモンスター、厄介かも  
どうやって倒そうか少し悩む。

「出てきて、MYフェイバリットモンスター！」

E・HEROネオス！」

「ね、ネオス！？」

出てきたのは白銀の体をし、所々に赤や青のラインが有るE・HERO

どこからどう見てもネオスです、本当にありがとうございました。

「つて、どうしてネオスを持ってるの！？」

「どうしテッテ……ネットデ買ったから

高かったけど、今デは本当にお気に入りモンスターだよ」

お気に入りとか、そういう事を言ってるんじゃないんだけど

それにしてもネオスをネットで買った……まさか瑞貴さんじゃないよね？

もしそうだとしたら……別に問題無いかな？

「とにかく続けるネ？ 魔法カード、ラス・オブ・ネオスを発動！  
自分の場に存在しテいるネオスをデッキに戻し、場のカードを全テ破壊する！」

態々召喚したネオスを！？

どうしてそんな事を！？

「行きなさいネオス！

ラス・オブ・ネオス！」

「そう簡単に……罠カード、和睦の使者を発動！

このターン、ボクのモンスターは戦闘では破壊されず、更に戦闘ダ

メージは0になる！

効果破壊からは逃れられないけど、戦闘ダメージは無いよ」

ネオスが飛び上がり、場の中心で爆発する

はあ……ちょっと怖かったかも。

「更にレプティレス・ガードナーの効果を発動！

レプティレス・ガードナーが破壊され、墓地へ送られた時

デッキからレプティレスと名の付くモンスター1体を手札に加える

ボクはデッキから2枚目のレプティレス・ガードナーを手札に加えるよ」

「うーん……なんだか利用さレたっテ気分

とりあえず、魔法カード、E―エマージェンシーコールを発動

デッキからE・HEROと名の付くモンスターを1体手札に加える

私が手札に加えるのは当然、ネオスだよ」

また手札にネオスが……行動が明らかに早い

十代先輩とE・HEROデッキの形が全く違う！

「魔法カード、古のルールを発動

手札のLV5以上の通常モンスターを特殊召喚するネ

私が選ぶのは当然ネオス、ネオスを特殊召喚！」

うええ……同じカードが2回も出てくるなんて

しかも同じターンだし、これってなかなか凄いかも

もし和睦の使者を使ってなかったら2500のダメージだったし。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド」

本当に厄介な人、攻撃力2500がポンポンと出てくる  
こんなのまともに相手なんかしてられないよ。

「ボクのターン、ドロー！」

再びレプティレス・ガードナーを守備表示で召喚！

カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

これで大丈夫のはず

何かしても、どうにかなる……と思う。

「私のターン、ドロー！ 強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！  
魔法カード、融合を発動！

ネオスと、手札の戦士族であるE・HEROプリズマーを融合！  
出テきて、E・HEROネオス・ナイト！」

なあ！ ネオスが普通の融合！？

しかもこんなモンスター、十代先輩は使っていない！

「ネオス・ナイトは融合素材にした、ネオス以外の戦士族の攻撃力  
の半分が足される

プリズマーの攻撃力は1700、よってその半分である850が足  
さレ、攻撃力3350！」

3350……困ったなあ

この人、やっぱり強いかも。

「確かに宮田さんは強い……だけど、ボクは勝つ！

罠カード、毒蛇の供物を発動！

自分の場に存在する爬虫類族モンスターを1体破壊し  
相手の場に存在するカードを2枚破壊する！

ボクが破壊するのは当然ネオス・ナイトと伏せカード！」

というか、この2枚しか無いしね。

「更に罠カード、スネーク・ホイッスルを発動！」

爬虫類族モンスターが破壊された時、デッキからLV4以下の爬虫類族モンスターを1体特殊召喚する！

ボクはこの効果により、レプティレス・ナージャを守備表示で特殊召喚！

そしてレプティレス・ガードナーの効果、破壊された時にデッキからレプティレスを手札に加える！

ボクが手札に加えるのはレプティレス・メデューサ！」

これだけすれば……どうだ！

もうそう簡単にネオスは出てこないでしょ！

「魔法カード、オーバーソウルを発動！」

墓地に存在するE・HEROと名の付く通常モンスターを特殊召喚する！

戻ってきて、E・HEROネオス！」

ええー……どうしてこれで出てこれるのかな？

これはボクが変なのかな？

もしかしてこれが基本動作なの？

「ネオスデ……可愛いけど敵、可愛いけど敵、可愛いけど敵」

葛藤したくなる気持ちは分かるけど、早くして

ナージャも早くネオスに噛みつきたいって我慢してるから

ほら、ナージャがうずうずとした顔になって……と思うし

後ろからは見えないから分からないけど。

「うう……なんとなく嫌な予感がする  
このままターンエンド」

直感かな？ 大正解だけど  
ちよっとだけナージャが落ち込んでるように見えるのは気のせいかな？

後宮田さん、もしかして嫌な予感っていうのは嘘で  
実はナージャに攻撃したくなかっただけ……なんて事は無いよね？  
だとしたらちよっとボクの事を馬鹿にし過ぎじゃないかな。

「ボクのターン、ドロー！」

でも、攻撃されなかったのは確かに困った  
別にどうにでもできるけど困った。

「魔法カード、レプティレス・スポンを発動！  
墓地に存在しているレプティレスと名の付くモンスターを1体除外  
墓地に存在するレプティレス・ガードナーを除外  
そしてボクの場合にレプティレストークンを2体、守備表示で特殊召  
喚する！」

どうでも良いけど、このトークン  
卵から孵ったばかりの子供のレプティレスみたいなんだけど……色が微妙  
どう言えばいいのか分からないや。

「そしてレプティレストークンを1体、生け贄に捧げ

レプティレス・メデューサを召喚！」

相変わらず大きいなあ……メタボリック体質？

……っ！ 今、背筋がゾクッってなった！

メデューサ、今ボクの事を睨まなかった！？

メデューサに睨まれると石になっちゃうから止めて！

「て、手札を1枚捨ててレプティレス・メデューサの効果を発動！  
相手の場に存在している表側表示のモンスター1体の攻撃力を0にする！」

ボクはこの効果でネオスの攻撃力を0にする！」

「攻撃力を0！？」

メデューサは口から白い……毒液を吐き出してネオスにぶっかける  
ネットトしてグチュグチュの毒液を掛けられたネオスが気持ち悪そうにしている

……宮田さん、どうして顔が赤いの？

「レプティレス・メデューサでネオスに攻撃！」

メデューサはネオスを掴んで……

「「きゃあああああ！」」

た、たたたたた食べた！

とかああ大きな体をしたネオスを丸呑みした！？  
ボクも宮田さんも驚いてつい悲鳴を！

「あ、ああああ……ネオスが食べられちゃったあ」



あ、宮田さんが泣きそう

この攻撃方法はちょっと駄目みたい

メデューサ、次はできるだけ穏便にお願いね？

そう思ったんだけど、なんとなく伝わらない気がした  
でも、ボクにはどうしようもできないから無視した

ボクは悪く無いはず……きつと悪く無いはず！

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！

そしてエンドフェイズ、ナージャの効果が発動

守備表示で存在しているナージャは攻撃表示に変わる！」

ナージャって強いけど、これが困るんだよね

だけど宮田さんの手札は0枚だから多分大丈夫  
怖いけど、そう思って無いとやってられないし。

「ネオスが……私のターン、ドロー！

E・HEROアナザー・ネオスを守備表示で召喚！

ターンエンド！」

なんだろう、宮田さんから鬼気迫る何かを感じる

多分……コノウラミハラサデオクベキカという感じ？

呪われそうだからこうだね、この怨み晴らさでおくべきか……かな？

どっちにしても怖い……ネオスを丸呑みしてごめんなさい、本当に  
悪かったと思ってるから睨まないで。

それにしても、またネオス？

なんだかネオスの子供の頃って感じだけど

見た目も似てるし、名前もネオスが入ってるし、何者？

「ボクのターン、ドロ―！」

……ちえ、レプティレス・メデューサでアナザー・ネオスに攻撃！」

再び丸呑みするメデューサ

覚悟はしていたから今度は悲鳴を上げない

宮田さんは本当に泣きそうな顔を……ごめんなさい

でもモンスターをドロ―できなかったから仕方無いの。

「ターンエンドです！」

「うっ……うう……私のターン、ドロ―」

本当に泣いてる……ごめんなさい

でもこれは決闘<sup>デュエル</sup>だから、でもごめんなさい。

「あ……魔法カード、ホープ・オブ・フィフスを発動

墓地に存在するE・HEROを5体デッキに戻し、シャッフル

その後、2枚ドロ―……だけど、発動時に手札と場にカードが無い

時は3枚ドロ―

私は今、手札は0枚デ場には発動してるホープ・オブ・フィフス  
だけ

3枚ドロ―する条件を満たしてるから3枚ドロ―できる！

私は墓地のネオス、アナザー・ネオス、ネオス・ナイト、プリズマ

ー、ネクロ・ダークマンをデッキへ

そしテシャッフルし、3枚ドロ―！」

何をドロ―したのかな？

しかも3枚のドロ―だし、怖いなあ……

「魔法カード、ヒーローアライブを発動！」

自分の場に表側表示モンスターが存在しない場合  
ライフを半分払い、デッキからLV4以下のE・HEROを特殊召喚する！

デッキから、アナザー・ネオスを特殊召喚！」

む……別に怖いモンスターじゃないけど

それでも攻撃表示という事は何をする気かな？

「魔法カード、ヒーロー・マスクを発動！」

デッキからE・HEROを選択し、墓地へ送る

自分の場のモンスター1体はこの効果で墓地へ送ったモンスターと同名モンスターとして扱う！

私はヒーロー・マスクの効果でデッキから、ネオスを墓地へ送る！

そして場に存在するアナザー・ネオスをネオスとして扱う！」

う、またネオス

どれだけネオスが好きなのかな？

「更に魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！」

場や墓地から融合素材モンスターを除外して融合を行う！

私は場のネオスとなっっているアナザー・ネオス、墓地の戦士族であるネオスを除外！

再び現れろ、E・HEROネオス・ナイト！」

ご、強引だああ！

ヒーローアライブでライフを半分に……900にしてまで！

というか、よくそんな事ができるカードをドローしたと思うけど！

「ネオス・ナイトの攻撃力は融合素材としたネオス以外のモンスター

1の攻撃力の半分を得る！

今回はアナザー・ネオスをネオスとして、ネオスと融合したからネオスの攻撃力の半分、1250が足さレテ攻撃力3750！」

うわあ、これはまた高いなあ

このデッキで攻撃力4000近く出すなんて不可能なんだけどちょっと危ないかも。

「バトル！」

ネオス・ナイトデレプティレス・メデューサに攻撃！

ラス・オブ・ネオス・スラッシュ！」

「永続罠、スピリット・バリアを発動！

自分の場にモンスターが存在している限り、ボクが受ける戦闘ダメージは0になる！」

メデューサが上段から真っ二つに……

しかも更に横薙ぎで4つ、斜めにも2回して8つ分解されて爆発やっぱり相当怨んでたんだね、食べられた事。

「ネオス・ナイトは元々相手に戦闘ダメージを与えられないから良いの

そしテネオス・ナイトは2回の攻撃ができる……」

元々って……じゃあスピリット・バリアを発動した意味が無い！

態々自分のカードを教えただけ、失敗したなあ

そして2回の攻撃……別に問題無いよね？

「ネオス・ナイトデレプティレス・ナー ज्याに攻撃！

ラス・オブ・ネオス・スラッシュ、第二打！」

ネオス・ナイトは剣を横に振り、ナージャを切ろうとする  
だけどナージャは受けた剣を掴んで横向きになっている剣の腹に乗る  
剣を振り切ったネオス・ナイトがナージャを見た瞬間、ナージャは  
ネオス・ナイトに飛びかかる  
首筋を頭のコブラが噛みつき……ネオス・ナイトに掴まれて投げ捨てられた。

「レプティレス・ナージャは戦闘では破壊されないよ」

「……ちえ

ならバトルフェイズは終了」

そう宮田さんが言った瞬間、ネオス・ナイトの攻撃力が0になった  
ナージャの効果が発動したから  
ネオス・ナイトは凄く怠そうにし、剣も重そうにして落とした。

「ネオス・ナイトの攻撃力が0に!？」

いったいどうして!」

「レプティレス・ナージャの効果が発動したんだ  
レプティレス・ナージャと戦闘を行ったモンスターは  
バトルフェイズ終了時に攻撃力が0になる  
この場合は攻撃するのはレプティレストークンだったかもね」

もつとも、どっちにしても次のターンのバトルフェイズに自爆特攻  
をしてたけどね

戦闘耐性を持つてるから自爆特攻と言えるかちよつと微妙だけど  
戦闘ダメージも受けないから本当に自爆特攻なのか疑問だけど。

「そんな……クッ、ターンエンド！」

「ボクのターン、ドロ―！」

レプティレス・バイパーを召喚し、効果発動！

レプティレス・バイパーの召喚に成功した時

相手の場に存在する攻撃力0のモンスターのコントロールを得る！

ネオス・ナイト、こっちに来なさい！」

「ネ、ネオス・ナイトー！ー！」

行かないデネオス・ナイト！」

歩くのも辛そうによろよるとこっちに来るネオス・ナイト  
弱ってるのは分かるけど、もう少しの辛抱だから我慢してね。

「攻撃力0のネオス・ナイト、レプティレストークンを生け贄に捧げ  
レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！

このモンスターは攻撃力0のモンスター2体を生け贄に捧げた時の  
み特殊召喚ができる」

相手の場のカードも破壊できるけど……破壊するカードが1枚も無  
いや

それにヴァースキしか攻撃力が有るモンスターが居ないんだよね

ナージャも、バイパーも、トークンも、ネオス・ナイトも攻撃力が  
0だったし

というか、攻撃力0のモンスターをよく4体も並べられたと我なが  
ら関心するよ。

「レプティレス・ヴァースキで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

ジワジワと宮田さんに躪り寄るヴァースキ

顔をもう、ギリギリまで宮田さんに近づける。

「ヒッ！」

きやあああああああああああ！」

そして……口を思いっきり開けて宮田さんに食らいつく  
ソリッドビジョンだから痛みとかは無いけど精神的には……辛い  
あんまり女の人を相手にこのデッキは使わないようにしようっと  
精神に傷を負わせそうだもん……というか、もう負ってるかな？

「うう……怖かったあ」

「えっと……ごめんなさい

ボクもあそこまでするとは思わなくて……」

そういえばメデューサとか、ラミアとか……

そういう蛇型のモンスターって神話上、醜い姿をしているんだっけ？  
確か一部の神話では美しい女性を見ると何とかかんとかって話が有  
ったような

瑞貴さんにちょっと教えてもらったただだからあまり覚えてないや。

まあ宮田さん、美人だもんね

間接的にゆまさんも美人って言ってるけど、ゆまさんはまだ可愛い  
だもん

少し大人っぽくなったたら美人で今は可愛いかな？

大人っぽくって言ったけど、そんなに性格が変わってない気もする  
けど。

ボクはなんというか、変な雰囲気になってきたから

宮田さんからメダルを受け取ってさっさと逃げ出した

だってどうすれば良いのか分からなかったんだもん  
悪いとは思ってるけど……本当に女の人を相手にレプティレスデッ  
キは止めておこうっと。

## 視点 吹雪

デミスをバーストブレスで破壊したが……  
彼女は動くかな？

「私は……電動刃虫を召喚  
ダイレクトアタック  
直接攻撃！」

クッ……僕の間にはカードが無いからね  
当然の結果か……2400、それなりに大きいダメージだ  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
下級モンスターで真紅眼の闇竜の攻撃力に並ぶとはね。

「電動刃虫が戦闘を行ったダメージステップ終了時  
チェーンソー・インセクト  
相手はカードを1枚ドロースする、私はこれでターンエンドよ」

あの攻撃力だったらこれぐらいのデメリットは当然だね  
よし、ダメージを受けたとはいえ流れは僕に向いているはず  
このまま一気に行くぞ！

「僕のターン、ドロース！  
魔法カード、思い出のブランコを発動！  
墓地より通常モンスターを特殊召喚する！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
僕が呼び出すのは当然、真紅眼の黒竜！」



うんうん、美しいよレッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜！

所で君、オスカい？ それともメスカい？

僕としてはメスを希望なんだけどね。

……気のせいかな睨まれた気がする  
もしかしてオスなのかい？

レッドアイズ・ブラックドラゴン「場の真紅眼の黒竜を生け贄に捧げ、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の闇竜を特殊召喚！

このモンスターは真紅眼の黒竜を生け贄に捧げた時のみ特殊召喚ができるんだ

そして墓地に存在するドラゴン族の数×300ポイント攻撃力をアップさせる

僕の墓地にドラゴン族モンスターは4体、よって攻撃力は1200ポイントアップ

レッドアイズ・ブラックドラゴンこれにより、真紅眼の闇竜の攻撃力は3600だ！」

うーん……足りないなあ

でも墓地にモンスターを送るカードは手札に無いから仕方無いか。

レッドアイズ・ブラックドラゴン「真紅眼の闇竜で電動刃虫に攻撃！

ダークネス・ギガ・フレイム！」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜の火炎弾によって焼き尽くされる電動ノコギリのような刃を持った虫

攻撃力差は1200、既にデミスの効果は使用してライフを2000払っているから残りライフは800

墓地にドラゴン族モンスターがあと3体居れば勝ってたのになあ。

チェーンソー・インセクト「電動刃虫の効果によりカードを1枚ドロ―

カードを2枚伏せ、ターンエンド」

割とお互いに余裕は無いな

僕はデミスを出されたら負ける可能性が高い  
だけど彼女だってこのままだと負けてしまう  
さあ……どうするかな？

……って、デミスを出してもライフコストを払えないじゃないか  
だったらもう僕の勝ちかな！

まあ……そんなに甘いとは思って無いけど。

「私のターン、ドロー！

罫髑顔 レディバグ 天道虫を召喚」

て…… Tentウムシ？

どうしてそんなモンスターを……効果はなんだったかな？

昆虫族は面倒なのとか変なのが多いから困るんだよね。

「速攻魔法、神秘の中華鍋を発動

自分の場のモンスターを生け贄に捧げ、その攻撃力か守備力を選択  
選択した数値分だけライフを回復するわ

私は守備力を選択し、ライフを1500回復する」

それでもライフは2300、デミスの効果を使うライフには届いたか  
だけどそう簡単にデミスはもう召喚できないはず。

「更に罫髑顔 レディバグ 天道虫の効果を発動

このモンスターが墓地へ送られた時、ライフを1000回復する  
あまり昆虫族モンスターを嘗めない方が良いわよ？」

う……ライフが3300、結構回復するなあ

昆虫族使いじゃない癖に……でもどうしてデミスに昆虫族を使ってるんだろう？

だってデミスは悪魔族なんだから悪魔族で統一すればいいのにさ。

「装備魔法、契約の履行を発動

ライフを800払い、墓地に存在する儀式モンスターを特殊召喚するわ

私が特殊召喚するのはもちろん……終焉の王デミスよ！」

な、なんだってえ！

だけど効果を使ったら自滅する……そんな事を言っている場合じゃなかった！

どっちにしても僕の場合が荒らされる事になり無くないか！

「デミスの効果を発動するわ

ライフを2000支払い、デミス以外のカードを全て破壊する！

全てを滅せよ、終焉の嘆き！」

自分の契約の履行を破壊してまでか！

そんな事をしたら契約の履行の効果から外れて自滅するぞ！

だったら、僕だってまだまだ終わらない！

「永続罫、リビングデッドの呼び声を発動！

自分の墓地からモンスターを1体特殊召喚する！」

「今更何を召喚しても無駄よ

全て消え去りなさい！」

場の全てのカードが全て吹き飛び、爆風が起こる

……だけどね。

「……え？」

そう、僕の場合にはこのモンスターが居る  
例え全てを破壊されても……ね。

「レッドアイズ・ブラックドラゴンとして真紅眼の黒竜が……」

「僕が蘇生させたモンスターは竜の尖兵  
こいつには2つの効果が有ってね

1つは手札のドラゴン族モンスターを捨てる事で攻撃力を300ポ  
イントアップさせる効果

もう1つはこのモンスターが相手のカード効果によって破壊された時  
自分か相手の墓地からドラゴン族通常モンスターを特殊召喚できる  
んだ

デミスの効果にリビングデッドの呼び声を発動して蘇生させた  
そして竜の尖兵の効果で自分の墓地から真紅眼の黒竜を蘇生させた  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
残念だったね、またデミスの効果は半分空振りさ  
しかも契約の履行も破壊されたからデミスは残らない……残念でし  
た」

本当はかなり危なかったんだけどね  
ただどこれで彼女のライフは残り500  
十分に勝てる！

ちなみに伏せていたもう1枚のカードはレベルの絆  
墓地のホルスの黒炎竜LV6を蘇生させようと思ったんだけどね…  
…残念。

「クッ……なら、墓地の昆虫族モンスター  
チェインソー・インセクト 電動刃虫と 饅頭顔 レディバグ 天道虫をゲームから除外！  
デビルド―ザーを特殊召喚！」

な、なるほど……これで昆虫族モンスターがそれなりに入っていたのか

納得できると同時に恐ろしいと思ったね  
レッドアイズ・ブラックドラゴン しかも攻撃力2800……真紅眼の黒竜では勝てない。

「このモンスターは墓地の昆虫族モンスターを2体除外する事でのみ特殊召喚ができるわ  
そして相手に戦闘ダメージを与えた時、相手のデッキトップを1枚墓地へ送る

デビルド―ザーで真紅眼の黒竜に攻撃！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

突撃してきたデビルド―ザーに押し潰される真紅眼の黒竜  
レッドアイズ・ブラックドラゴン 400ポイントのダメージ……残りライフは1200か  
ここに来て攻撃力2800はちよつと辛いな。

「ターンエンド  
これが私の最後の切り札よ  
さあ来なさい、天上院吹雪！」

ボウヤと呼ばない？  
という事は僕を認めたという事かな？  
でも僕……ダークネスになっていた時期は微妙だけでもうすぐ20歳になるんだよ？

「僕のターン、ドロー！  
フィールド魔法、竜の渓谷を発動！」

辺りが巨大な谷に変わる

遠くに飛んでいるのは鳥か竜か……悩む所だ。

「知らないフィールド魔法ね……」

良い場所じゃない、一度行ってみたいわ」

ロマンチストだねえ……でも同感だよ

ま、もし本当に行ったら襲われるだろうけど。

「更に相手の場にモンスターが存在し、自分の場にモンスターが存在しない時

バイス・ドラゴンを特殊召喚する！

この効果で特殊召喚したバイス・ドラゴンの攻撃力と守備力は半分になるけどね」

「へえ……でも、それでは私には勝てないわよ」

「当然まだまだ続かさ

更にデッキの真紅眼の黒竜をゲームから除外

出てこい、Sin 真紅眼の黒竜！」

頭に白い仮面のような物を被った真紅眼の黒竜

格好いいよ真紅眼の黒竜！ 美しいよ真紅眼の黒竜！

それでこそ僕の真紅眼の黒竜だ！

「それでも攻撃力は2400、デビルドザーには敵わない」

「それだけじゃないさ

Sin 真紅眼の黒竜はフィールド魔法が発動していないと特殊召

喚ができない

しかもSin レッドアイズ・ブラックドラゴン 真紅眼の黒竜以外は攻撃できないというデメリットを持っている」

「……………」

黙って聞いてくれてありがとう

でもちよつと寂しいよ。

「だけど僕はまだ通常召喚が残っている！

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
Sin 真紅眼の黒竜とバイス・ドラゴンを生け贄に捧げ  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
光と闇の竜を召喚！」

体の半分が真っ白、逆の半分は真っ黒のドラゴン  
やっぱりこの子も美人だよ、綺麗だ。

「攻撃力2800……まだ足りないわね

デビルドーザーとは相打ちになるわ

しかも手札は0、もう何もできないでしょ？」

「いやいや、僕を甘く見て貰っては困るなあ

バトルだ、ライトアンドダークネス・ドラゴン光と闇の竜でデビルドーザーに攻撃！  
ダークバプティズム！」

「デビルドーザー、振り返ちにしなさい」

漆黒の体を相手に向け、闇と言えるような真っ暗な閃光を放つ光と  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
闇の竜

しかしデビルドーザーはその閃光の中を突撃し、ライトアンドダークネス・ドラゴン光と闇の竜に突撃する

デビルドージャーは体当たりをした所で力尽き、破壊される。  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
そして光と闇の竜は場の全てを暗黒で包み……破壊される。

「最後の最後の足掻きが相打ち？  
見込み違いだったかしら？」

「いや……君の見込みは間違っていないさ  
ライトアンドダークネス・ドラゴン  
光と闇の竜の効果を発動！

このモンスターが破壊された時、自分の墓地のモンスターを1体選択して効果が発動する  
僕の場のカードを全て破壊し、選択したモンスターを特殊召喚する  
！」

破壊される谷……なんだかこんな事の為だけに発動して悪い気がするなあ

辺りが元に戻った時、僕の場合に召喚の光が現れる。

「特殊召喚って……まさか」

「そう  
僕が特殊召喚するのは当然、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜！」

召喚の光が消えた瞬間、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜が咆哮を上げる  
それは歓喜の咆哮か、それとも勝利の咆哮か……何でも良いか！

「まだ僕のバトルフェイズは終わっていない！  
レッドアイズ・ブラックドラゴンダイレクトアタック  
真紅眼の黒竜で直接攻撃！  
ダーク・メガ・フレア！」

「私の負け……か」



彼女が何かを呟いた瞬間、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜の攻撃が直撃する  
これで彼女のライフは0、僕の勝ちだ！

「強いよね、貴方  
メダルを渡しておくわ」

渡されたメダルの数は32枚  
あまり積極的に戦わなかったみたいだね。

「そういう貴女こそ強かった  
世の中自分が強くなったと思って油断できない相手は多いね」

「本当にね」

暫く沈黙が続く。

「貴方、この学園の生徒でしょ？  
卒業したらどうするつもり？」

「そうだね……プロになろうかと考えているよ  
色々と訳有りだね」

借金だとは言いたくないな……格好悪いし。

「……プロになったらまた私と決闘デュエルしなさい  
次は必ず私が勝つわ」

「君ほどの美人からのお誘いかあ……  
もちろん受けるよ、僕はお誘いは基本的に断らない主義だしね」

お互いに何も言わずに握手する

同時に離し、彼女は去って行く……が、途中で一度止まった。

「私の事、名前で呼んでも良いわよ」

「僕の事も名前で良いよ

また会おう、雪乃君」

「ええ、また会いましょう吹雪」

再び歩き出す雪乃君

また会うのが楽しみだ……

## 128話【12日目?】（後書き）

ついにももえが動くのか!?

動きますが……どうなる事やら。

どうして吹雪とプロ雪乃は出会いがアレなの?

なんというか……相性が悪く思えたからです  
直感的に、なんとなくですけど。

何故吹雪VSプロ雪乃の決闘を途中で分けたの?  
デュエル

切りが良く、偶にはこういうのも良いかなあ……と  
読みにくくなっただけですね、多分もうしません。

プロゆまの顔が赤くなった理由は?

察してください。

レプティレス達の攻撃が……

……トラウマになりそうですね。

プロ雪乃がどうしても電動刃虫とかを?  
チェンソー・インセクト

ライフ計算上の問題です

甲虫装甲騎士ではライフが足りなくなったので……  
インセクトナイト

髑髏顔 天道虫と神秘の中華鍋も同じ理由  
レディバグ

TF4ゲーム内では使用しません。

吹雪はプロになるの?

そう言っているだけなので不明

卒業とかも有るのでどうなる事やら……

吹雪とプロ雪乃って……

何故かこうなりました

理由は不明です、作者にも分かりません。

ツイッター……スコーンうめえ

http://twitter.com/#!/ainkuria  
チーズ味が好きだなあ。

## 129話【12日目?】（前書き）

「今日の最強カードはケルベクだ

攻撃力1500、守備力1800の光属性天使族

このモンスターを攻撃してきたモンスターを持ち主の手札に戻す効果を持つ

融合モンスターや儀式モンスターなど、召喚に条件があるモンスターで攻撃しないように

そんな事をすれば再び正規の召喚が必要になるぞ

そういう意味では、俺のサイバー流との相性は悪いな」

ちよつと意外な天敵、亮さんでした

作者は割と好きです、中途半端感が特に。

今回はある程度時間が余って、余裕を持って終わりました  
問題は明日……更新確率、自分での予想では2割から3割ぐらい  
間に合うかどうか……

言う事が無いので次へどうぞ。

## 129話【12日目?】

視点 レイ

プロの宮田さん……強かったなあ

でも悪い事をしたかも、また会ったら謝った方が良いかな?

うーん……今日はもう止めようかな?

参加者も少なくなってるし、探すのも大変だし

明日また探そうかな……

「見つけましたわ、レイ君!」

うん、さっさと帰ろうっと!

ボクにの耳には何も聞こえなかった、そうに決まってるし!

「レイ君?

レイくん!」

……脱兎! 離脱! 逃走!

急いで逃げる!

「うわあ!」

っ、捕まった!?

まだ少しは距離が有ったはずなのに!  
どうして捕まえられてるの!?

「うふふふふふふ……捕まえましたわレイ君  
逃げるだなんて酷いじゃありませんの」

「に、逃げてないよもえさん  
ボクはただ、部屋に帰ろうかなあ……って」

後ろから掴まれているからもえさんの顔は見えない  
だけど、後ろを振り向いたらいけない気がする  
振り向いちゃ駄目だ振り向いちゃ駄目だ振り向いちゃ駄目だ振り向  
いちゃ駄目だ……

「3時間近くもずつつつつつと探してたんですわよ？  
初日から今日までどれ程待った事か……もう逃がしませんわ」

うわーーーーーん！  
誰か、誰か助けてーーーーー！

誰も助けてくれないなんて分かってるけど誰か助けて！  
ていうか、周りに誰も居ないし！  
瑞貴さん明日香さん彰子さんゆまさん雪乃さん……もう吹雪さんで  
も良いから助けてーーーーー！

「離して欲しかったら私と決闘<sup>デュエル</sup>してくださいね？  
レイ君の為に頑張ってメダルを集めたんですもの」

そう言って後ろから手を出されてメダルを見せられる  
片手に掴んでいるだけだから10枚ぐらいだけど……もっと有るみ  
たい  
って、どうしてボクの為なの！？

「とある人から教えてもらいましたの

レイ君が堅守さんから課題を出されていると……  
メダル、沢山必要なんでしょう？

私に勝てば80枚ものメダルが手に入りますわよ」

80枚……確かに多い

ただとだけど……ももえさんだし

やっぱり相手をしたくなーーい！

？いても？いても全然逃げ出せられない！？

そんなに力なんて無さそうなのにどうして！？

「諦めて私と決闘デュエルしましょう」

ううう……仕方無い、受けるよ

もう受ければ良いんでしょ！

「受けるから離して

逃げたりしないし」

そう言って少し経つと解放された

この人に二度と背後を取られないようにしないと  
怖くて……うん、やっぱり怖い。

ももえさんの正面に立ち、ようやく顔を見る

目の焦点が合ってない？

どうしたんだろう……

「ふふふ……一緒に光の結社で頑張らしましょう？  
レイ君だったらきつと誰もが歓迎しますわ」



光の結社って……もしかして洗脳を強化されてる？

だとしてもどうしてボクの所に来るの？

光の結社はボクを狙ってる……なんて事は無いと思うけど。

「（頭が痛い……十代さんを倒さないと、斎王様からの命令を受けて……

でもこのチャンスを逃がしたら……レイ君と決闘はそう簡単にできない

だって堅守さんに絶対に邪魔されるに決まっていますもの

ふふふ、私の想いはそんな強制力には負けませんわよ……あ、頭痛が酷い事に）」

大丈夫かな……時々顔を顰めてるけど  
もしかして無理してない？

瑞貴さんは白の人とは戦うなって言ってたけど

これ……相手にしないと駄目みたい

本当は隙を見て逃げるつもりだったけどね。

ボクが構えるとももえさんも構える

嬉しそうな顔をするももえさんも構える

あまり相手にしたくないけど……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

確かももえさんのデッキは獣族のバーン系デッキ  
ロックも使うと思うし、速攻で決めないと！

「先攻は私が……ドロー！」

ケルベクを守備表示で召喚！」

な！ 天使族！？

どうして天使族を使ってるの！

しかもケルベクは確か攻撃された時、攻撃したモンスターを手札に戻す効果

迂闊な攻撃は自分の場を開ける事になるか……

「更に永続魔法、収縮回路を発動

モンスターが手札に戻った時、そのモンスターをゲームから除外しますわ」

こ、攻撃したらすぐに除外！？

更に攻撃できなくなった！

「カードを2枚伏せ、ターンエンド

（本当なら、本来のデッキを使いたかったですわ……

けどこれも斎王様からの命令、本来なら寄り道は許されないでもレイ君と戦う為に頑張ったんですもの、これぐらいの頭痛！

慣れないデッキだからって負けませんわよ！）」

デッキが全く違う

それでも負けるわけにはいかない！

「ボクのターン、ドロロー！」

とは言う物の……攻め手が無い

守備力が1800の時点でボクが使える手段が限られてくる

元々攻撃力不足だし、攻撃力が高いモンスターはレプティレス・メ

デューサぐらい

レプティレス・ヴァースキはまだ出せる状況じゃないし……

「とりあえずレプティレス・ガードナーを守備表示で召喚カードを1枚伏せ、ターンエンド!」

動きようが無い……倒したくても倒せないし

どうにかしたくても、手札に戻るだけじゃなくて除外までされる明らかに不利だ!

「そうですの……私のターン、ドロロー!

収縮回路の効果、自分のスタンバイフェイズにライフを500支払わなくてはなりません

あとレイ君、下手に守備力が高いモンスターを出すと……後悔しますわよ?」

どういう意味?

「ハイパーハンマーヘッドを召喚しますわ」

今度は恐竜族モンスター……しかも彰子さんが使うカード

戦闘を行ったモンスターを強制的に手札に戻す……って、手札に戻す!?

守備力が高いと後悔って、破壊じゃなくて除外されるって意味!?

「ケルベクを攻撃表示に変更しますわ

バトル! ハイパーハンマーヘッドでレプティレス・ガードナーに攻撃!」

ちょよ! ちょっと待って!

そんな事をしたら！

「ハイパーハンマーヘッドの効果

戦闘を行ったモンスターを手札に戻しますわ！

更に収縮回路の効果で手札に戻るモンスターはゲームから除外される！

500ポイント程度のダメージ、安すぎますわよ！」

こ、これは拙い！

のんびりしていたらモンスターを全部除外される上に問答無用で場を開けられる！

反射ダメージだって今回はたったの500、自爆してでも直接攻撃ダイレクトアタックを受けたら！

「ケルベクで直接攻撃ダイレクトアタックですわ！」

こ、こっちに突撃しないで！

大きい、大きいから！

「ひゃあああ！」

うう……1500のダメージかあ  
ちょっと拙いかも。

「私はこれでターンエンドですわ」

攻撃力1500のバウンスモンスターが2体  
しかも収縮回路の効果でゲームから除外される  
どうやっても簡単に勝てる相手じゃない！

「ボクのターン、ドロー！」

下手な事をしたら除外される

レプティレスの効果で攻撃力を0にしても生け贄にされたら無意味  
ボクのライフは残り2500、少しの失敗で負けてしまう！

「レプティレス・スキュラを召喚！」

レプティレス・スキュラでハイパーハンマーヘッドに攻撃！」

バウンスされる？

上等、そんな事を言っている余裕なんて無い！

スキュラの下半身に有る犬みたいな口がハイパーハンマーヘッドを  
丸呑みする

覚悟はできていたから大丈夫、ももさんは吐きそうな顔になって  
るけど……

これぐらいの仕返しは良いじゃないか！

「は、ハイパーハンマーヘッドの効果を発動しますわ

このモンスターと戦闘を行ったモンスターはダメージステップ終了  
時に手札に戻ります

レプティレス・スキュラを手札へ、そして収縮回路の効果で除外」

「カードを2枚伏せてターンエンド！」

ボクにはこれしか手段が無いんだ！

だったら少しでも……攻撃力1000以上のモンスターが出てきた  
ら拙いけどね

戦闘ダメージは300、少ないけど無いよりはマシだよ。

「私のターン、ドロー  
収縮回路の効果でライフを500支払いますわ  
そして幻影の壁を召喚！」

ほ、本当に攻撃力1000が出てきた！

ううう……もしかしてボクがそんな事を考えたから？

どっちにしても収縮回路の効果でもえさんのライフは残り2200  
支払いの500ポイントってかなり大きいみたいだね。

「ケルベクで直接攻撃ダイレクトアタックですわ！」

「罠カード、ドレインシールド！」

相手の攻撃を1度だけ無効にし、その攻撃力分だけライフを回復する！

ケルベクの攻撃を無効にし、ボクのライフを1500ポイント回復  
！」

これでボクのライフは4000に戻った  
でも……これが無かったら危なかった  
本当にどうにかなくて良かったよ。

「なら、幻影の壁で直接攻撃ダイレクトアタック！」

幻影の壁が体を思いつきり広げて……何？

って、やっぱり突撃！？

に、逃げられない！ いや、直接攻撃ダイレクトアタックだから元々逃げられないんだ  
けど

攻撃範囲が広すぎだって！

ううう……顔が迫ってくる感じで怖かった

1000ポイント、大きなダメージじゃないけど  
それでもこのままだと負けるかも。

「永続魔法、魂吸収を発動しますわ  
カードが除外された時、1枚につきライフを500ポイント回復し  
ますの

これでターンエンドですわ」

更にライフ回復だなんて……本当に厄介な人だね、ももえさん  
獣族のデッキじゃなくなってる理由は分からないけど  
それでも……うん、どうしよう？

「ボクのターン、ドロロー！ 魔法カード、強欲な壺を発動して更に  
2枚ドロロー！

永続罫、闇次元の解放を発動！

ゲームから除外されている闇属性モンスターを特殊召喚する！

ボクはこの効果により、レプティレス・スキュラを特殊召喚！

更にレプティレス・スキュラを生け贄に捧げ、レプティレス・メデ  
ューサを召喚！」

よし、これで勝てる！

ももえさんのライフは残り2200！

除外される前に戦闘ダメージでライフが0になる！

「レプティレス・メデューサの効果を発動！

手札を1枚捨てる事で相手モンスター1体の攻撃力を0にする！

ボクは手札を1枚捨て、ケルベクの攻撃力を0に！」

うーん……悩むなあ

これで勝てると思うけど、伏せカードが怖い

最初からずっと使わないんだもん、何を伏せているのか……

「更にもう1枚手札を捨て、幻影の壁の攻撃力も0にしておくバトル！ レプティレス・メデューサでケルベクに攻撃！」

「そう簡単に……罠カード、ライジング・エナジーを発動しますわ！手札を1枚捨てる事で選択したモンスター1体の攻撃力を1500ポイントアップさせますわ！

ケルベクの攻撃力を1500ポイントアップさせますわ！

（レイ君との決着に……こんな無粋なカードは不要ですわ白のヴェール……絶対に使いませんわよ！）」

ちょ、ちょっと待って！

それってつまり、ももえさんのライフは2200だけど与えられるダメージは700

しかもケルベクの効果で手札に戻されて除外って事！？

うわぁ……ももえさんのライフが1500だぁ

どうやって削ろう……念の為に幻影の壁の攻撃力を0にして良かったぁ。

「レプティレス・メデューサが除外された事で魂吸収の効果が発動しますわ

カードが除外されたのでライフを500ポイント回復ですの」

「……これでボクのターンは終了だよ」

与えたダメージが回復してライフが2000になった  
ちよっとじゃなく拙いかもしれない、このままだと負ける！



「私のターン、ドロー！」

収縮回路の効果でライフを500払い、番兵ゴーレムを召喚しますわ！

番兵ゴーレムで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

番兵ゴーレムは持っていた槍でボクに攻撃してきた  
攻撃力は800だけど、かなり辛い！

「番兵ゴーレムの効果を発動

1ターンに1度、裏側守備表示に変更する事ができますわ  
幻影の壁も守備表示に戻し、ターンエンドですわ」

番兵ゴーレムは反転召喚に成功した時、相手の場のモンスターを1  
体手札に戻す

ボクのライフは2200、何度も攻撃されたら堪らないよ！

「ボクのターン、ドロー！」

……あ、勝ったかも？

何もされなかったらだけど。

「永続罠、リビングデッドの呼び声を発動！

自分の墓地に存在するモンスターを1体、特殊召喚する！

ボクが呼び出すのはレプティレス・スキュラ！

更に魔法カード、レプティレス・ポイズンを発動！

自分の場にレプティレスと名の付くモンスターが存在している時に  
発動可能

相手の場に存在している守備表示モンスターを1体、攻撃表示に変  
更する！

ついでに攻撃力を0に変更する！

ボクが選択するのは当然、番兵ゴーレム！」

セットされていた番兵ゴーレムが現れ、攻撃態勢として槍を構えてきた

だけどその攻撃力は0、槍は怖いけど番兵ゴーレムは全く怖くないや。

「（レプティレス・スキュラの攻撃力は1800

私のライフは2000……なら大丈夫ですわ

伏せている永続罠、門前払いを発動

戦闘ダメージを与えたモンスターを手札に戻すのでレプティレス・スキュラを手札へ戻して収縮回路で除外

魂吸収の効果でライフが回復し、また暫く守り続ければ……）」

「更に、相手の場に存在する攻撃力0のモンスター2体を生け贄に捧げ

レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！」

現れる腕が4本で下半身が大蛇の上半身女性美人だけど……やっぱり何回見ても怖い。

「わ、私のモンスターを生け贄！？」

どうなっているんですの！？」

「レプティレス・ヴァースキは攻撃力0のモンスターを2体生け贄に捧げる事でのみ特殊召喚ができる

だけど、その生け贄は自分の場だけじゃない……相手の場のモンスターでも生け贄にできる

しかも召喚されるのは当然ボクの場合、相手の場じゃない！」

ドローできて良かった、レプティレス・ヴァースキ  
最初のターンからずっと待ってたんだよね、レプティレス・ポイズ  
ンを発動する機会

だけどこんなタイミングで使えるなんて……ももえさんが守らな  
かったおかげでどうにかなった！

「これでボクの勝ちだ！

レプティレス・ヴァースキ、ももえさんにダイレクトアタックに直接攻撃！」

「あ……きゃああああ！」

レプティレス・ヴァースキが思いっきり尾を振ってももえさんに直  
撃させた

吹っ飛ぶももえさん……でも、どうしてソリッドビジョンで吹っ飛  
ぶの？

体がつい反応したとかかな？

……あ、あれ？

ももえさん、起き上がってこないんだけど  
大丈夫かな？

近づいてみるけど……気絶してる？

いやいやいや、決闘でデュエル気絶ってどういう事？

何が何やらって感じなんだけど。

どうしよう……このまま無視するわけにもいかないし  
だからってボクはどうすれば良いの！？

と、とりあえず明日香さんにでも連絡しよう  
知り合いだったはずだし、手伝ってもらおうと。

学生手帳……手帳なのにどうして通信機能が付いているのかちよつとよく分からないや  
メールとかならまだ分かるんだけど、どうしてだろう？  
便利だから良いけどさ。

『どうしたのレイ』

大会中は緊急時以外は通信は禁止されているはずよ』

「そうなんだけど……」

あの、ももえさんが気絶しちゃったから  
どうすれば良いのかと思って」

『ももえって……』

まあ良いわ、すぐにそっちに行くから場所を教えて』

えっとここは……

「女子寮から少し離れた浜辺付近の森だよ」

『近いわね、すぐに行くわ』

通信が切れる

ももえさんと決闘した事、デュエル瑞貴さんに内緒にしないと  
明日香さんにも言わないようお願いして、怒られないようにしな  
いと。

暫く待ち、明日香さんが到着した  
ボクを見て、ももえさんを見て、またボクを見る  
……な、何？

「レイ、いくらもえに襲われそうになったからって不意打ちは駄目よ」

痕が残ったらどうするの？」

「ボク、暴力なんて振るってないよ！

ボクがしたのは決闘<sup>デュエル</sup>、ももえさんに勝っただけだよ！」

「……瑞貴に禁止されてなかった？」

怒られるわよ？」

う……そうはそうだけど。

「でも様子が変だったんだ

目の焦点が合ってなかったし、いつも通り怖かったしそれだけじゃなくてなんだか辛そうにしていたし

逃げようと思ったんだけど、そんな状態で無視するわけにもいかないでしょ？」

なのに強引に決闘<sup>デュエル</sup>って言うから……諦めてさ」

「洗脳を強化されていたのかしら？」

それとも本当に正気を失うぐらいレイに固執していた？」

怖い事言わないでよ！

1人で歩けなくなるでしょ！

襲われたらどうすれば良いのさ！

「まあとにかく無事で良かったわ、勝ったみたいだしじゃあももえを運ぶから起こすのを手伝ってくれない？」

「わかった」

ももえさんの決闘盤デュエルディスクを外し、体を起こす

明日香さんは体を肩の下に入れ、横に背負う形でももえさんを運ぶ  
ボクはももえさんの決闘盤デュエルディスクを持ったまま移動する。

……

……

……

女子寮の誰かの部屋の前に着いた

誰の部屋かと思って確認してみたら……ももえさんの部屋？  
同室は枕田ジュンコさん？ 知らない人だ。

明日香さんは部屋をノックする

中から返事が聞こえ、誰かが出てくる……  
って、枕田さんって人に決まってるか。

「はい……明日香さん？

って、ももえ！？」

と……そっちの子供は？」

ブルー女子制服を着た、赤茶色っぽい髪の女の人が出てきた  
なんだか気が強そう……

「後で紹介するわ

とりあえずももえを部屋に入れるわよ」

「あ、はいどうぞ

君も入って」

「おじゃまします」

部屋に入ったんだけど……ちよつと散らかった  
あまり片付けとかしてないのかな？

「ジュンコ、もう少し片付けたらどうなの？」

「あはは……片付けはももえに任せてたんで  
私は片付けは苦手だし、料理だったらできるんだけど……」

これで逆にももえさんは片付けはできるけど料理ができないだつた  
りして

凄い変な相性になるんじゃない？

仲が良さそうだからそれはそれで良いと思うけど。

明日香さんは軽く溜め息を吐き、ももえさんをベッドに寝かせる  
ボク達は適当な場所に座り、ちよつとお話。

「先ずはレイの紹介からね

この子は早乙女レイ、強引な手段を使ってデュエル・アカデミアに  
入学した11歳よ

ちなみに1年生、本来だったら小学6年生よ」

「11歳って……どおりで小さいと思った

でも全然女子寮で見ないんだけど……どうしてだろう？

あ、私は枕田ジュンコね、よろしく」

「早乙女レイ、よろしく

ボクを女子寮で見ないのは女子寮に住んでないからだよ

色々有って訳有りで……レッド寮に住んでるの」

「レッド寮に!？」

でもあそこって男子しか住んでないんじゃないか……」

カミューラさんの事、あまり知られてないのかな？

美寿知さんは表に出てないから仕方無いんだけど。

「一応、レイも含めて現在は4人の女子が住んでるわよ？」

ボク、カミューラさん、美寿知さん、玲ちゃんだね

明日香さんはもう住んでないし

でも玲ちゃんだって一時的なんだけどなあ

ところで今は明日香さんの部屋に住んでるけど、ボクってカウントされるの？

「4人って……」

「それはそうとレイ

ももえとの事、詳しく教えてちょうだい」

「うん、分かった」

急に話を振られても困るんだけど……

ちょっと待って、整理するから。

「えっと……誰か相手が居ないかちょっと探してた時んだけど  
後ろから突然声が聞こえてきて

誰の声か分かったから逃げようと思ったんだ」



「ちょっと待ちなさい  
誰かの声ってももえの声でしょ？  
どうして逃げるのよ？」

同室なのに話を聞いてないのかな？  
ボクの名前を聞いても反応が無かったって事は聞いてないんだろう  
けど。

「ももえは何故かレイに固執しているのよ  
レイはそれを嫌がってるんだけど、なかなか止めないのよね……」

「イケメン好きのももえが女の子を？  
どうしてそうなったんだか……」

「初対面の時、レイは男装してたのよ  
その時も強引な手段を使ってね  
だから初めて会った時、ももえはレイを男だと思っていたわけ  
しかも、一目惚れをしたとか言ってる……」

「……………ももえ」

なんだか凄く複雑そうな顔  
だけどボクはもっと複雑なんだよ？  
追いかけられる方の身にもなってよ。

「色々と省略するけど  
ももえはレイの事、今も男だと思っている所が有るのよ  
自分に言い聞かせているのか、それとも本当に勘違いしているのか  
は分からないけど  
とにかくレイが女だと、何回言っても聞いてくれないのよ」

「何をしているのやら……」

本当だよ、誰か助けてよ。

「話を折ってごめんね  
レイ、続けて」

「うん……とにかく逃げただけで捕まってさ  
振り解こうと思ったんだけど、どうしても抜けられなくて  
仕方無いから決闘デュエルを受けるって言ったんだ  
離されたらすぐに逃げようと思っていたんだけど……」

「そうでしょうね……逃げるわよね」

「どうして逃げるの？」

「怖いよ、ももえが  
そりゃあもう……ねえレイ？」

「うん……」

でもそんなに軽く言わないで  
軽く受け止められそうだもん  
ジュンコさんなんて怖いかなって首を捻ってるし。

「続けるね、ももえさんの顔を見たら目の焦点が合って無くて  
なんだかボーッとしていたって感じで……  
しかも辛そうな表情をしてさ、気になったんだ」

「辛そうって、どんな？」

「なんというか……痛みに耐えているって感じの顔だった  
ボクの事を見つけて嬉しいのか笑顔でもあったけど  
それでも隠し切れてなかった感じ、決闘中にもそんな顔を何回か  
してたし」

それがどうしても気になるんだよね  
何でそんな顔をするのか……

「明日香さん、分かる？」

「うーん……ちよつと分からないわね」

やっぱり顔を見てないからかな？  
何が有ったんだろう？

「私、なんとなくだけど分かった」

「え、分かったのジュンコ？」

どうして分かったんだろう？  
やっぱり同室の友達だからかな？

「ももえ、その時は光の結社の人だったんでしょ？」

「うん、そうだよ」

「だったら多分、斎王に何か命令されてたんじゃない？  
それを意地とか何かで強引にレイの所に来た

頭と心がぐちゃぐちゃになって頭痛とかの体調不良で現れたんじゃないかしら？」

それって……意地でもボクにとって事かな？

余計に怖くなったんだけど……

「なるほど……その根拠は？」

「洗脳されても一応意識は残ってるんです、記憶にはあまり残って無いんですけど

洗脳中の私がどうしても嫌な事をする時、意識が軽く表に出てくるんです

でも洗脳されている時の人格が本来の人格を押し潰そうとしてるから心と体が合わない

それで実際、私も何回か吐き気とか頭痛になった記憶が残ってるんですよ

体調不良の時は本来の意識も表に出ているから覚えていられるんです」

「なら、ももえは斎王に命令された何かよりもレイを優先したという事かしら？」

命令が余程嫌だったのか、命令に逆らってもレイと決闘デュエルをしたかったのか

どっちだったのかしらね？」

どっちにしてもボクは迷惑なんだけど……

女同士の恋愛に興味無いし、瑞貴さんの事が好きだし

何回か嫌って言うてるはずなのにどうして来るのか分からないや。

「ももえが起きたら訊いておきますね

レイが洗脳されていないという事は勝ったのよね？」

「うん、ボクが勝ったよ

今までとデッキが違っててちょっと焦ったけど」

「だったら命令に逆らい続けた頭痛とかと

敗北でのショック、洗脳が解けた瞬間の開放感かな？

それらが全部一氣に來たから氣絶したんだと思うわ

私も十代に負けた瞬間、ちよつと意識が飛んだし」

「ジュンコさんも白くなってたの？」

「ええ、忌々しい事にね

私は最初思いつきり抵抗していたから頭痛の痛みが辛かったのよ

途中から傷みに負けて殆ど流されていたけどね

最終的に十代に負けてスッキリしたわ、あの時の開放感って言った  
ら無いわよ

二度とあんな開放感なんて感じたくないけどね」

嫌な事に逆らい続けてたら開放感は凄いだろうなあ……ボクは1回

も味わいたくないけど

ももえさん……大丈夫かな？

「さて……後は私が見ておくんで帰ってもいいですよ

レイも帰ったら？ ももえは私が見ておくから安心なさい」

「じゃあジュンコ、後は頼むわよ」

明日香さんは立ち上がって帰ろうとする

ボクは……やっぱり心配だから氣になる

苦手な人だけど、ボクと決闘デュエルしてこうなったんだもん。

「ほらレイ、行くわよ？」

「でも……」

催促されたけど、やっぱり気になる  
気絶した人を任せるのも気が引けるし。

「ジュンコはももえと同室なのよ？」

大丈夫だから安心して任せなさい  
だってジュンコも洗脳されていた1人なんだから  
洗脳が解けてても解けて無くても対処はできるはずよ」

「……言いますね、明日香さん  
私だって好きで洗脳されていたわけじゃ……  
でも、そういう事よレイ  
気にせずに帰りなさい」

2人にそう言われたら……  
やっぱり気になるけど帰る  
明日また来よう、襲われそうになったら逃げるけど。

「ならまた明日来るね」

「はいはい、ももえが起きたらそう言っておくわ  
きつと喜ぶはずよ」

喜ばれるのも困るなあ。

視点 ジュンコ

……行っただわね。

「さっさと起きたらどう、ももえ」

寝ているももえの方を見ずに言う  
後ろでベッドが軋む音が少し聞こえた  
ベッドで寝ているのはももえしか居ない。

「あら、気付いていましたの？」

「私ら何年の付き合いよ？  
中部部から一緒に居るのよ？  
気付いて当然じゃない」

もう3年、4年ぐらいになるわね……  
それだけ同室で居たら当たり前よ。

「どうして起きなかったのよ？  
レイが心配していた事ぐらい分かってたでしょ？  
罪悪感とか感じてたら可哀想じゃない」

「どっちも分かってますわ  
でもちよっと……会わせる顔が無くて  
少し時間が欲しかったんですの」

ま、そりゃそうよね

私だって本当は正氣に戻った時に時間が欲しかったわよ  
なのに起きたら目の前に十代が……寝たふりなんて無理よ。

「明日までには気持ちの整理を付けておきなさいよ？  
絶対に明日、多分朝から来ると思うし」

「ええ、気持ちの整理は多分大丈夫ですわ  
それよりも頭が……慣れたと思っていましたけど  
やっぱり直接的な命令に逆らったりリスクは大きかったみたいですわ」

「どういう意味よ？」

ももえ、何をしていたのかしら？

「私、大会の最初に吹雪様と決闘デュエルをしたんですの  
内容とかまでは覚えていませんが負けたみたいですわ  
それからレイ君が堅守さんにメダルを集める課題を出されたと聞きました」

堅守瑞貴か……あいつ、何を考えてるのかしら？  
そういえば全く顔を見てないけど、どこに居るの？

「それからずっと頭痛ですわ  
光の結社としての意志は吹雪様を光の結社に引き込めと言い  
私自身は私の為に一緒に居てくださる吹雪様にそんな事はできない  
と逆らい

この10日以上、吹雪様と一緒に居る間は頭痛の毎日でしたわ」

「あんた……無茶するわね



私なんて5日でギブアップしたのに」

「ジュンコさんは多分、本気で抗っていたから辛かったのでは？  
私の場合、吹雪様は協力者ですので光の結社の意志があまり強く働  
かなかったみたいですしもの  
ある程度逆らっていたら少しは落ち着いたんですのよ  
多分その差だと思いますわ」

というか、吹雪様と一緒に居れたってのは羨ましいわ  
十代は……その、好きだけど……多分、そのはず……よ、うん  
格好いい吹雪様に憧れるのは私も一緒なのよ？

「で、今日の場合は十代さんを倒せと斎王さんに直接言われたんで  
すわ

しかし十代さんはお強いでしょう？  
負けたら大会の参加資格が無くなってしまいますわ  
だから強引にでもレイ君と決闘デュエルをしたんですの  
直接の命令を拒否していたのでなかなか凄まじい頭痛でしたわ」

なかなか凄まじいって……言葉がおかしくない？  
いや、かなり酷かったのは分かるわよ？  
よく耐えられたわね。

「で、負けた瞬間に意識が飛んでしまいましたして  
話し声が聞こえると思ったらこの部屋でしたわ  
レイ君が……私が辛そうな顔をしていたと、言っていましたの  
よく見ていてくれて嬉しかったのと、申し訳無いという気持ちで一  
杯でしたわ」

「ももえもよく耐えたわね……」

泣きそうだったんじゃない？」

「当たり前ですわ……」

だからジュンコさんも気付いたんでしょう？」

「まあ……ね」

レイにこの事は……言えないわよね  
この事は黙っておいた方が良いか。

「これからどうするの？」

「謝りますわ

そしてキッパリと諦めます」

「……そっか

ももえ、ちよつとジュースでも買ってくるわね」

ももえに一言断り、部屋から出る

ドアを閉めた瞬間、中から泣き声みたいな声が聞こえてきたけど……  
何も言わずに離れていく。

どこで時間を潰そうかなあ……

レッド寮は遠いし、ブルー寮はホワイト寮になってるし  
雑誌でも持って出ればよかったわ  
エントランスでジュースを飲んでのんびり待ってよつと。

## 129話【12日目?】（後書き）

ももえのデッキが……どうなってるの？

対十代用アンチデッキ、バウンス＋除外です

除外で光を表していたりとか？ とにかくアニメでは未使用です

しかしレイに使用……どっちにしてもあまり相手にしたくないですね  
作者は好きですけど。

レイ、結局レプティレスデッキなんだ

相手かももえなので無遠慮で良いかと……

そういえばレイとジュンコって初対面？

初対面です、今までももえとしか会っていなかったのです。

ジュンコの洗脳解説ってどうなの？

催眠術の話になりますが、条件を満たすと催眠術に掛けられても効果が無いそうです

望まない事、嫌な事など……主にそういう事です

なら洗脳はと問われれば……正直そこまで分かりません

なので催眠術との間と取り、こういう形にしました

アニメ内でも頭痛にというシーンは有った……はずですし

そういう事なのでこういう解説を入れました

本当にそうかと問われれば、やっぱりそこまで分かりません

専門的な知識は持っていないので。

ジュンコとももえが中等部からって？

捏造設定、しかし最初から明日香と一緒に居たので中等部編入なのはほぼ確実かと

そもそも同室かも分かりません

ブルーは1人1部屋の可能性もありますし、そこも不明です  
まあ……女子は女子で数が少なくても寮は1つですので可能性は有  
るかと。

ももえの根性が凄まじい……

執念でしようかね？

何故ももえがここまで強くなったかは作者は不明

何気にジュンコも強いし……ここまで取り上げられる作品は珍しい  
かも？

自分で言うのもアレですけど。

ももえの諦めるって何を？

察してあげてください……これも青春です、多分。

ツイッター、視力が落ちて先日調べたら右0.3の左0.5、両目  
で0.6でした

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
1年前は左右両方1.0は有ったんですけどね……

## 130話【13日目?】（前書き）

「今日の最強カードはねずみ取りよ  
罾カードで、攻撃力500以下のモンスターが召喚、反転召喚され  
た時

そのモンスターを破壊するんだけど……今時こんなカードを使う人  
なんて居るの?」

そりゃそうだ、普通は使わない  
ジュンコのデッキはパワーデッキだから殆ど無意味だろうとも思え  
るでしょう。

ネタバレになりますが、今回も彼女です  
連続で何度も……理由は簡単、相手がすぐに浮かぶから  
他のキャラではなかなか出てきません、ネタ切れ気味ですし……  
内容ではなく相手のですが。

小説を書く時間が夕方とかに足りないんだったら夜中に書けば良い  
じゃない  
かの○リーなんとかさんはそう言った……正確にはパンとケーキの  
話ですが  
その結果、間に合ったという謎、よくもまあ……

## 130話【13日目?】

視点 レイ

さっそくだけど……疲れた  
まったく、ももえさんったら……

心配して朝から行っただのになあ

最初はなんだか怪しい気配が無かったと思ったらいきなり抱きしめてくるんだもん  
怪しい感じがしなかったからおとなしくしてたけどさ。

それで何度も謝られてメダルを渡された

昨日渡されてなかったと思って素直に受け取っておいた

最初は正気じゃなかったからって遠慮してたんだけど、それでも負けは負けだからって

次は自分のデッキと決闘しようって言われた。  
デュエル

今までみたいに怪しい感じがしなかったから素直に受けると言っておいた

嬉しそうな顔だったけどちょっと寂しそうな顔でもあった  
どうしたんだろう？

何にしても、落ち着いてくれてよかった

まだ体は万全じゃないからって休んでいたけど

お大事にって言ったらまた抱きしめられた……なんで？

横でジュンコさんが呆れたような、しょうがないなあという感じの

顔をしていたのが謎かも

ボクに対してなのかもえさんに対してなのか分かんないや。

部屋から出たらジュンコさんに呼び止められて

またお見舞いに来てあげてくれて言われた

ボクが悪いんだし、そうじゃなくても友達(?) なんだから当然来るって言ったら安心したような顔をされた

ボク、変な事を言ったかなあ？

さて、今日も参加者捜し！

でももう殆ど参加者は居ない

後何人ぐらい残ってるんだろう？

「見つけたでアール、早乙女レイ！」

この特徴的は話し方は……

「な、なんですか？

ナポレオン教頭」

背が低くて太ってる……言っちゃ悪いけどおじさん

そういえばこの人って何歳なのかな？

「吾輩と決闘するでアールデュエル

何人もの教師が1人の生徒に負けているとなると、学園の教師が甘く見られるのでアール

それは由々しき事態、よって吾輩がお前を倒すのでアール！」

まさかこんな注目のされかた方をするなんて……

ボクは何も悪く無いのになあ

というか、先生達からボクの方に来るんだよ？  
仕方無いじゃないか！

「断ってもいいですか？」

「許さないのでアール  
これは教頭命令なのでアール」

そういうの、職権乱用って言うんだよ？ 多分  
知ってるかな？ 職権乱用って犯罪なんだよ？ 確か  
でも今回のってグレーゾーンっぽいけど、犯罪に入るのかな？

逃げられそうにないし、仕方無いか  
どっちにしても初戦だから断れないし。

「分かりました  
でも、手加減はしませんよ！」

「望むところでアール  
吾輩とて、学園の為に必ず勝ってみせるのでアール！」

別に学園はあまり関係無いような気がするんだけど？  
良いけどね、そう言うんだったら本当にそうかもしれないし  
でもなあ……酷い事を言われたりされたりしたから信用できないや。

デュエル  
「「決闘！」」

「先攻は吾輩が貰うのでアール、ドロー」

デュエルディスク  
あの変わった決闘盤……邪魔そう



普通に腕に装着するのにすれば良いのになあ  
だって大きいから邪魔じゃない？

「まだスタンバイフェイズ、速攻魔法を発動、速効召喚！

今この瞬間に、モンスターを通常召喚できるのでアール  
これは魔法効果での通常召喚なので通常の通常召喚は残っているの  
でアール

分かりやすく言えば、血の代償の効果を先に使い、その後効果を使  
わずに通常召喚するのと同じでアール」

……ややこしいけど分かった  
どうしてそんなややこしい事を？

「速効召喚の効果でトイ・ソルジャーを通常召喚するのでアール  
そしてトイ・ソルジャーの効果を発動  
自分のスタンバイフェイズ時にトイ・ソルジャーが表側表示で存在  
している時  
デッキからトイ・ソルジャーを1体を、攻撃表示で特殊召喚するの  
でアール」

なるほど……そんな手段が有ったんだ  
速攻魔法という点を生かしたんだ、さすが教頭。

「更に新しく特殊召喚したトイ・ソルジャーの効果を発動  
まだスタンバイフェイズ時なので効果の発動は可能でアール  
もう1体、トイ・ソルジャーを特殊召喚するのでアール」

凄い……手札を2枚しか使わずに3体のモンスターを並べるなんて  
普通はそう簡単にできる事じゃないよ！

「そしてメインフェイズ  
カードを3枚伏せ、ターンエンド」

こ……これは酷い

最初から伏せカードが3枚かぁ

先攻を譲って良かったのか悪かったのか悩むな。

「ボクのターン、ドロー！」

レプティレス・ゴルゴーンを召喚！」

「この瞬間罠カード、落とし穴を発動するのでアール  
攻撃力1000以上のモンスターが召喚、反転召喚された時  
そのモンスターを破壊するのでアール」

出てきたレプティレス・ゴルゴーンが落とし穴に……あーあ  
そんなに困る事じゃないけど、召喚が潰されたのが困るなぁ。

「魔法カード、レプティレス・スポーンを発動  
墓地のレプティレスと名の付くモンスターを除外し  
自分の場にレプティレストークンを2体特殊召喚する！  
ボクは墓地のレプティレス・ゴルゴーンを除外し、トークンを守備  
表示で2体特殊召喚！」

よし、これで……

「攻撃力0のモンスター2体を生け贄に捧げ  
レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！  
このモンスターは攻撃力0のモンスター2体を生け贄に捧げた時の  
み特殊召喚できる！」

「ふむ、しかし甘い……シロップを掛けたパンケーキよりも甘いのでアール

毘カード、奈落の落とし穴を発動

攻撃力1500以上のモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚された時

そのモンスターを破壊し、ゲームから除外するのでアール」

「へ？」

悲鳴を上げながら落とし穴に落ちていくヴァースキ

あの巨大な蛇の部分がまだ場に残ってるけど……あ、全部落ちた。

って、観察している場合じゃなかった！

せっかくヴァースキを出したのにアッサリ除外されるだなんて！

は、ははは……どうしよう！

「カードを2枚伏せて、ターンエンド！」

拙い……拙い拙い拙い！

このままだと負けてしまう！

「吾輩のターン、ドロー

魔法カード、強欲な壺を発動して2枚ドローするでアール

更に魔法カード、鼓笛隊を発動

このターン、自分の場に存在する攻撃力1000以下のモンスターの攻撃力を倍にするのでアール」

攻撃力が倍って……それってつまり攻撃力800の倍、1600って事？

つまり、トイ・ソルジャーが3体だから合計攻撃力は4800！？

「トイ・ソルジャー達よ、プレイヤーに直接攻撃でアール！」  
ダイレクトアタック

「クッ、永続罠カード、アポピスの化神を発動！  
相手の攻撃宣言時に発動可能！」

このカードの発動後、モンスターとなり自分の場に特殊召喚する！  
アポピスの化神を守備表示で特殊召喚！」

「手緩い、まだまだ詰めが甘いのでアール  
カウンター罠、マルファンクション誤作動を発動

ライフを500払い、相手が発動した罠カードの発動を無効にして  
セット状態に戻すのでアール」

「そんな!？」

これじゃあアポピスは出てこない！

って、トイ・ソルジャーが撃ち出してきた……コルク銃？

頭にコンッて当たっただけだけど……どっちにしてもダメージか。

「トイ・ソルジャーよ、第二射、うてえい！」

「もう伏せカードは無いから邪魔されない！

罠カード、ドレインシールドを発動！」

この効果により、相手モンスター1体の攻撃を無効にする！

そしてその攻撃力分だけ自分のライフを回復！」

「む……」

よし、これでさっき受けた分のダメージは回復した

最後の1回は普通に受けるけど、それでもダメージは1600

エンドフェイズまで耐えできれば攻撃力は800に戻る！

「最後のトイ・ソルジャーで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

そしてさっきの言葉、そっくりそのままお返しするのでアール  
速攻魔法、リミッター解除を発動

自分の場に存在する機械族の攻撃力を倍にするのでアール  
ただし、エンドフェイズには破壊されてしまうが……」

「うそお!？」

なんで今まで使わなかったの!？」

「決まっているのでアール  
お前さんが吾輩の攻撃を待っている事ぐらい、全部想定済みだから  
でアール

故に、態々今までリミッター解除の発動を待っていたのでアール  
ちなみにトイ・ソルジャーの種族は当然ながら、機械族でアール」

そんなあ……あたあ！

実際は痛くないけど、なんとなくそんな感じがした

トイ・ソルジャーを見てみると銃を構えてボクに撃ったみたい  
視界の端に弾が映ったからつい……

「確かに、3200のダメージは大きかった

けどリミッター解除の効果を受けたモンスターはエンドフェイズ  
に破壊される!」

「そんな事、分かっているのでアール

魔法カード、皇帝の戴冠式を発動

自分の場に存在するトイ・ソルジャー1体を生け贄に捧げ  
デッキか手札からトイ・エンペラーを特殊召喚するのでアール

吾輩はデッキより、トイ・エンペラーを特殊召喚!」

「そんな……どうしてトイ・エンペラーを先に出さなかったの?」

「これだから素人は……そんな事をすれば今回の場合

トイ・エンペラーの攻撃をドレインシールドで無効にされていたからに決まっているのでアール

しかもリミッター解除を使っていたらトイ・エンペラーまで破壊されて

吾輩の場はガラ空き、負けるとは思わないが危険なものには変わり無いのでアール

トイ・エンペラーは言わば保険、分かったでアルか?」

……教師みたいな事を言ってる

いや、確かに教師なんだけど……

なんというか、イメージと違う。

「吾輩はこれでターンエンド

リミッター解除の効果を受けたトイ・ソルジャー達は破壊されるのでアール」

つ……強い、これが教頭

前は瑞貴さんに簡単に倒されていたけど

実は強かったんだ。

「ボクのターン、ドロロー!

オシャレオンを守備表示で召喚!」

無駄に派手な色をしたカメレオン

本当に派手……でも悪趣味かも

おしやれと言えないと思うよ？

「ボクはこれでターンエンド！」

「吾輩のターン、ドロロー

ゆけい、トイ・エンペラーよ！

オシヤレオンに攻撃！」

玩具みたいな馬に乗った皇帝……皇帝？

派手な服を来ただけのトイ・ソルジャーにしか見えないけど

顔付きも少し違うけど……とにかく、トイ・エンペラーは突撃してくる

オシヤレオンに持っていたレイピアを突き刺し、破壊する。

「オシヤレオンの効果を発動！」

戦闘で破壊され、墓地へ送られた時

デッキから攻撃力500以下の爬虫類族モンスターを手札に加える！

ボクが手札に加えるのはレプティレス・ナージャ！」

「トイ・エンペラーの効果も発動

戦闘で相手モンスターを墓地へ送った時

自分のデッキから罠カードを1枚手札に加える

吾輩はデッキからトイ・キャノンを手札に加えるのでアール」

トイ・キャノン……確か相手モンスター1体を守備表示に変更するカード

しかも追加効果として相手に400ポイントのダメージを与える

今のボクには400ポイントのダメージでも致命的だ！

「吾輩はカードを2枚伏せ、ターンエンドでアール」

「ボクのターン、ドロ―！  
モンスターをセットし……」

「罨カード、硫酸の溜まった落とし穴を発動するのでアール  
相手の裏側守備表示モンスターを表側守備表示に変更し  
更にそのモンスターの守備力が2000以下だった場合は破壊する  
のでアール  
それ以外だったら元の状態に戻すのでアルがな」

また……

「ボクのセットしたモンスターはレプティレス・ナージャ  
守備力は0だから破壊されるよ  
カードを1枚伏せ、ターンエンド」

今のボクはモンスターを出されない事を祈るしかない  
伏せカードの1枚、アポピスの化神だって既に知られてるんだもん  
このままだと……本当に負ける！

「吾輩のターン、ドロ―  
ふうん……トイ・エンペラーで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「永続罨、アポピスの化神を発動！  
効果はさっき言ったから言わない！  
とにかく、アポピスの化神を守備表示で特殊召喚！」

「なら当然、そのまま攻撃でアール」

アポピスの化神もレイピアに貫かれた



こんな状況……今までだってそんなに無い！

「トイ・エンペラーの効果を発動するのでアール

この効果は相手モンスターを破壊さえすれば墓地に送らなくても問題無いのでアール

吾輩はデッキより、マルファンクション誤作動を手札に加え、カードを2枚セットしてターンエンド」

絶対にあの伏せカードはマルファンクション誤作動だ！

あんなあからさまに伏せられて分からないはずが無い！

というか手札無いし、手札全部伏せたんだから当たり前だし！

何気に絶体絶命かも

トイ・キャノンで攻撃表示にしたら守備表示にされて

だからって罠カードで対処しようにもマルファンクション誤作動を伏せられている最後の1枚だって何か分からないし……

「ボクのターン、ドロー！

レプティレス・ガードナーを守備表示で召喚！」

これでなんとか……なるかな？

「ふふん、吾輩は教師達からお前さんの事を聞いたと言ったであろう？

つまり……お前さんのデッキはある程度把握しているのでアール罠カード、ねずみ取りを発動！

攻撃力500以下のモンスターが召喚、反転召喚された時そのモンスター1体を破壊するのでアール！」

「ま、またそんなカード！？」

攻撃もできない、罠も使えない、召喚しても破壊される  
ボクに何をしろって言うんだよ！

「レプティレス・ガードナーの効果を発動！

このモンスターが破壊されて墓地へ送られた時  
自分のデッキからレプティレスと名の付くモンスターを手札に加える！

ボクはデッキからレプティレス・スキュラを手札に加える！」

だけど扱いは……ごめんスキュラ！

「魔法カード、闇の誘惑を発動！

デッキからカードを2枚ドロし、その後闇属性モンスターをゲームから除外する！

もし除外できなかった場合、手札を全て捨てる

ボクの手札にはさつき手札に加えたレプティレス・スキュラが有る  
このモンスターは闇属性、よって除外する！」

……よし、どうにかなる！

「カードを2枚伏せてターンエンド！」

「吾輩のターン、ドロー

もう何をしても無駄でアール！

トイ・エンペラーで直接攻撃！ダイレクトアタック」

「永続罠、リビングデッドの呼び声を発動！

自分の墓地に存在するモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！

ボクはこの効果でレプティレス・ナージャを特殊召喚！

もう1枚、永続罨、闇次元の解放を発動！

除外されている闇属性モンスター1体を特殊召喚する！

ボクが特殊召喚するのはさっき闇の誘惑で除外したレプティレス・スキュラ！」

「2枚を連続で発動したでアルか……しかしそんな小手先の技術など！

カウンター罨、マルファンクション誤作動を発動！

ライフを500支払い、相手の罨カードの発動を無効にしてセット状態に戻すのでアル

最後の手段もこれで終わりでアルな

闇次元の解放を無効にしてレプティレス・スキュラをセット状態に戻すのでアル」

分かっていたよ、そうする事ぐらいね

だからあえて、先に闇次元の解放を発動したんだから！

「トイ・エンペラーよ、その攻撃力0の小娘をなぎ払え！

これが通れば吾輩の勝ちでアル！」

「罨カード、和睦の使者を発動！

このターン、ボクのモンスターは戦闘で破壊されず、戦闘ダメージは受けない！」

和睦の使者である水色のローブを被った女性が3人現れる

透明な壁を張り、ナージャを守ってくれたけど……

ナージャが女性達の足元をスリスリと移動してトイ・エンペラーに……頭のコブラが噛みついた。

「ふん、生き延びたようでアルな」

「それだけじゃないよ  
バトルフェイズ終了時、レプティレス・ナージャと戦闘を行ったモンスターは  
その攻撃力を0にする!」

コブラの毒が回ったトイ・エンペラーは辛そうにしている  
馬を噛みついたはずんだけど……どうして本体も辛そうなのかな？  
もしかして一心同体って奴かな？ 運命共同体とか？

「うぬぬぬ……ふん  
しかし、それだけでは足りないでアール  
吾輩はトイ・エンペラーを生け贄に捧げ、トイ・エンペラーを召喚  
するのでアール!」

「えええ!？  
こ、皇帝の戴冠式は!？」

「そんなの使わなくても通常召喚は可能でアール」  
そんな……せっかく攻撃力を0にできたのに  
また同じモンスターが出てくるだなんて……

「吾輩のターンはこれで終わりでアール」  
だけど、伏せカードはもうトイ・キャノンだけ!  
ボクの邪魔をするのはその1枚のみ!

「ボクのターン、ドロー!  
カードを1枚伏せ、ターンエンド!」

これが最後の賭けかもしれない  
勝てるかどうかはちょっと分からないけど。

「吾輩のターン、ドロー！」

トイ・エンペラーで再びレプティレス・ナージャに攻撃！」

攻撃する為に突撃してくるトイ・エンペラー  
だけど……そう簡単にはいかないよ！

「罠カード、ディメンション・ウォールを発動！  
相手モンスターの攻撃宣言時、この戦闘で受ける戦闘ダメージは相  
手が受ける！」

これでどうか……

気付かれなかったら良いんだけど！

「甘すぎるのでアール！ 罠カード、トイ・キャノンを発動！  
相手モンスター1体を攻撃表示から守備表示に変更させ、更に40  
0ポイントのダメージを与える！

吾輩はこの効果でレプティレス・ナージャを守備表示に変更させる  
のでアール

これでディメンション・ウォールの効果で吾輩が受ける戦闘ダメージ  
は、0なのでアール」

気付かれたか！

確かに守備表示だったら戦闘ダメージは受けないけど  
攻撃抑制の為に伏せたカードを効果回避に使うのに気付くなんて  
やっぱり教頭は思った以上に強い……というか強すぎない？

トイ・ソルジャーが何故か出てきて、大砲に弾を詰める  
それを撃ち、その弾が軽く飛んできて……ナージャに当たる  
で、ナージャに当たって跳ねた弾がボクの所に転がってきて……爆  
発、でも小さい  
小さな煙を出して、ボクのライフが400ポイント減った。

「レプティレス・ナージャは戦闘では破壊されない！  
しかもレプティレス・ナージャと戦闘をした！  
バトルフェイズ終了時、ナージャの効果でトイ・エンペラーの攻撃  
力は0になる！」

「むう……カードを1枚伏せてターンエンドでアール」

ふう……とりあえず凌ぎきった  
どうにかなるかな？  
ならないと……ボクの負けだ！

「ボクのターン、ドロー！  
永続罠、闇次元の解放を発動！  
除外されている闇属性、レプティレス・スキュラを特殊召喚する！  
レプティレス・スキュラ、トイ・エンペラーに攻撃！」

スキュラは相変わらず相手を丸呑み……  
教頭の顔が引き攣っているけど、それももうお馴染み  
1800のダメージで、マルファンクション誤作動の効果を2回使ってるから残りライ  
フは1200！。

「更にレプティレス・スキュラの効果発動！  
攻撃力0のモンスターを戦闘で破壊した場合  
そのモンスターを墓地から自分の場に表側守備表示で特殊召喚する！

ただし、この効果で特殊召喚したモンスターの効果は無効化されるけどね」

スキュラの下半身の犬の部分がちよつとぶるぶるとして……吐き出したあ!?

なんだかトイ・エンペラーが凄く嫌そうな顔をしてるでも一応、守備体制にはなってくれた。

教頭が……こめかみに指を置いて呻いてる

酷い光景だとは思うけど、そんなになるほど?

……なるね、うん。

「これが早乙女レイのモンスター強奪でアルか噂に違わぬこの喪失感、なんとも言えないでアール」

どうとでも言ってよ、もう反論する気にもなれないけど……分かってるけどそんなに酷いのかな?

これも戦術なんだから悪いとは思わないけど。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド!そしてエンドフェイズ、レプティレス・ナージャは攻撃表示に変わる!」

ナージャは使いやすかったり使いにくかったり、困った子だよねところでナージャってもう大人? それとも子供?

大人になった姿がゴルゴンやヴァースキだったらちよつとシヨックなんだけど……

「吾輩のターン、ドロー

装備魔法、早すぎた埋葬を発動

ライフを800払い、墓地のモンスターを特殊召喚するのでアール  
吾輩は墓地よりトイ・エンペラーを特殊召喚！」

うわぁ……ここでそのカードを引く？

はぁ、教頭は強すぎるよ……

こんなに強いんだったらレッド寮潰しの時も最初から自分で決闘す  
れば良かったんじゃない？

しなかったから阻止できたのか、どっちにしても止められてたと思  
うけど。

「トイ・エンペラーよ、あの蛇の小娘に攻撃するのでアール！」

ボクのライフは残り800、その選択は当然だね  
だけど、そんなに甘くない！

「今までの台詞を返すよ！ そんなにボクは甘くない！

罨カード、毒蛇の供物を発動！

自分の場の爬虫類族モンスター1体を破壊

そして相手の場のカードを2枚破壊する！

ボクはレプティレス・ナージャを破壊し、伏せカードと早すぎた埋  
葬を破壊する！」

「罨カード、鎖付き爆弾<sup>ダイナマイト</sup>を発動！

このカードは発動後、装備カードとなり装備したモンスターの攻撃  
力を500ポイントアップさせる！

更に、装備カードとなったこのカードがカード効果で破壊された時  
場に存在するカード1枚を破壊するのでアール！

吾輩はこのカードをトイ・エンペラーに装備させ、毒蛇の供物の効  
果で破壊されるのでアール

よって、鎖付き爆弾<sup>ダイナマイト</sup>の効果が発動、お前さんに奪われたトイ・エン



ペラーを返してもらおうのでアール！」

トイ・エンペラーが爆弾を持ったかと思っただけに投げてつけられた

爆弾を投げた格好のまま、トイ・エンペラー自身は破壊された……投げられた爆弾はボクの中に居るトイ・エンペラーの傍に落ち、爆発ボクの中に居たトイ・エンペラーは破壊された……こんな取り返され方をされるなんて。

「皇帝は敵の言いなりになんてならないのでアール誇りを持ち、最後まで諦めないのが皇帝でアール」

言ってる事は格好いいけど、見た目がねえ……

ついでに負ける寸前に言ってもあまり格好が付かないんじゃない？でも、トイ・エンペラーが大好きだって事はよく分かった！

「吾輩のターンはこれで終了でアル

吾輩の場にカードは無い

それでも、降参はしないのでアール」

諦めが悪いとも言える

でも、最後まで戦うって気持ちは大事だよ

負けると分かっても、最後まで頑張るって気持ちいいかも

自分も相手も……さっさと降参しろって言う人も居ると思うけど。

「ボクのターン、ドロロー！」

レプティレス・スキュラ、ダイレクトアタック教頭に直接攻撃！」

スキュラは教頭の近くまで行き……睨み合う

暫く黙っていたんだけど、振り向いて尻尾で教頭を叩いた

……なんて締まらない終わりなんだろう。

まあどっちにしても勝って良かった

負けるかもしれないって何回も思ったし

教頭はやっぱ教頭だったんだって思った。

「はあ……吾輩も負けるとは

学園の教師も、吾輩も不甲斐ないのでアール」

なんだか落ち込まれた……ボクは悪く無いよね？

だって勝手に挑んできて、それで負けたんだし

ボクに責任は無いはず……教師には自分から挑んでないんだし  
どうしよう？

「ま、仕方無いのでアール

ほれ、メダルを持っていくのでアール」

渡されたメダルは20枚ぐらい

どうやって集めたんだろう？

正確には誰と戦ったんだろう？

生徒かな？ それとも実力者？

「こうなったら最後の手段なのでアール

クロノス平教員……！」

えええええええ！ まさかクロノス先生を呼ぶつもりなの！？

って、走ってどこかに行っちゃった……近くには居なかったんだ。

……よし、逃げよう

今の内に逃げて最後まで逃げてもう教師達と決闘デュエルしないようにしよう

教師を見つけたら何が何でも急いで逃げよう、それが良い。

ボクは悪く無いのに……なんで追われるんだろう？

理不尽だよ、決闘に勝っただけなのに

ううう……疲れるよお。

実技最高責任者のクロノス先生となんて嫌だ

教頭でもこんなに強かったんだもん、もっと強かったら勝てないかも  
クロノス先生と決闘する時、デッキを替えようかな？

## 130話【13日目?】（後書き）

ももえはレイを諦めたんじゃない……

単に愛でているだけです、あまり不自然に見えないようにも半分演技、半分未練という感じでしよう

何にせよ、レイが色んな意味で安心できそうです。

速攻召喚からのトイ・ソルジャーは可能なの？  
多分可能。

速攻召喚後に通常召喚は可能？  
血の代償でも可能のはずなので可能のはず……多分  
もしかしてできませんかね？

アポピスの化神が攻撃宣言時？  
原作効果。

マルファンクシオン  
誤作動後にどうしてまたアポピスを発動しなかったの？  
作者の勘違い、セット状態に戻すと思いそのターンは発動不可能かと……

よく見れば元に戻すだけでセット状態に戻すとは違ったという駄目さ。

な、ナポレオン教頭が強い！？

きつと強いんだと思います

でもプレイミスは有り、それが無ければ勝っていました。

まさか次のレイの相手はクロノスじゃ……

絶対とは言いませんが、可能性は高そうです。

原作、アニメオリジナルカード

### 皇帝の戴冠式

自分の場に存在するトイ・ソルジャーを1体生け贄に捧げて発動する  
自分のデッキ、または手札からトイ・エンペラーを特殊召喚する  
使い所は難しくも、そこそこのモンスターが釣れるので悪く無いかと  
トイ・エンペラーの効果は強力なのでこれをデッキに居れても十分  
良し……のはず？

ツイッター、みんな蕎麦を食おうぜ！

http://twitter.com/#!/ainkuria  
別に意味は無い、作者はうどんよりも蕎麦が好き……うどんも好き  
だけど。

## 131話【13日目?】（前書き）

「今日の最強カードはプリーステス・オームよ  
攻撃力1700、守備力1600、魔法使い族の闇属性  
自分の場に存在する闇属性モンスターを生け贄に捧げる  
それにより、相手に800ポイントのダメージを与えるわ  
私のデッキ、闇属性って思ったより少ないのよね」

意外と多くない、雪乃でした  
ゆまデッキなら使い易いモンスターかも？

車酔いです……頭が痛くて気分が悪い  
こんな状態で既に数時間……吐き気が酷い  
たった15分しかバスに乗ってなかったんですけどね  
どれだけ弱いんだよ自分。

おかげさまで少し遅刻  
あー……頭痛い

最後の方がそんな状態で書いたので変な場所が有るかもしれません  
有ったら教えてください、後で修正します……多分。

寝ます、今日は寝ます

頭痛いし寝不足なので寝ます……多分2時ぐらいまで起きてますが。

## 131話【13日目?】

視点 亮

「神獣王バルバロスで直接攻撃!」  
ダイレクトアタック

「がいこくりゅう 鎧黒竜! サイバー・ダーク・ドラゴンで直接攻撃!」  
ダイレクトアタック

適当に参加者を倒しているのだが……物足りないな  
というか、この白い制服の奴らは何だ?  
来た当初からずっと気になっていたんだが  
正気には見えないし、気になるな。

「玲、ずっと気になっていたんだが  
この白制服の奴らの事を知ってるか?」

「いや、知らないな  
しかし洗脳されているという事は分かる」

「洗脳?」

しかし何故洗脳?  
洗脳というのが分かるのも凄いが……  
その手の知識を持っていれば見ただけで分かるのか?

「目を見てみると焦点が合っていない  
断言はできないが、半分二重人格に近いだろうか?  
目の奥をよく見てみると一部を除いて正気の光も見えるからな

正氣に戻りたいが何かに押し潰されているという感じか？」

なるほど、分からん

以前の俺ならまだしも、今の俺は……

やはり難しいか、相手の事を思いやるのは方法を忘れてしまったからな。

「一応、私達が倒した奴らは正氣に戻ってるみたいだ  
私達のデッキはパワーデッキ、しかも殆どオーバーキルをしている  
攻撃した時のショックとかで目が覚めているみたいだ」

それ確か……コソコソと後ろから俺達を見ている奴らが居るのは  
制服が替わっていないから怨んでいるのかと思ったぞ。

「後ろの奴らは多分、礼でも言いたいんじゃないか？  
正氣に戻れたのは私達が動いていたからだし」

そうかもしれんが……さすがに倒しすぎたか  
30人近くもの人間に後ろから見られるのは気持ちいいものではないな

礼を言われても困る、俺は勝ちたいだけなのだからな。

「俺は無視しようと思うのだが？」

「同感、私も無視しようと思ってた  
あんな奴らを相手にしていたら日が暮れる  
そもそも面倒だ、疲れそうだしな」

最後の2つが本音だろ  
だが俺も同じ意見だ、面倒とは思えん。



ん？

「また出たな、白」

「そうだな

人数は4人か……どうする？」

「決まってる、全員倒す」

「やはりそうか

私も付き合おう」

俺達がデッキをセットし、決闘盤を構える  
目の前に現れた4人の白も構え始める。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

しかし……全員力不足なのだろうな  
期待はしない、どうせ全員雑魚だ。

視点 マナ

……変な人を発見。

「うーん……こっちか？  
いや、こっちか？  
うにゃあ、悩むニャー」

どっちに行こうかと迷っているのは分かるんだけど  
パツと見は挙動不審、よく見れば……馬鹿？

私服だから外の人なんだろうけど、アホの人？  
あまり相手にしたくないなあ……だけでもう参加者も少ないしなあ  
どうしよう？ やっぱり相手をする？

「うーん……お？  
おー？ おー……」

な、何？  
こっちを見たと思ったらその反応は？

「あんたさ……」

「は、はあ？」

「誰かに似てるとかとか言われないかに？  
例えばブラック・マジシャン・ガールとか」

本人です、はい  
というかいきなり何！？

「あの、どうしてそんな事を？」

「顔良し、声も良し、性格も良さそう」

何か評価されてるんだけど……何故？  
何が目的かも分からないし、何事？

「君さ」

「なんですか？」

「……コスプレに興味無いかニャー？」

コスプレ……って、前に学園祭でしていたような仮装だね？  
興味が有るか無いかと言われてもよく知らないんだけど。

「あの、コスプレって？」

「知らないっすか!？」

口調がうろうろして落ち着かない人だなあ  
統一した方が良いと思うけど。

「いや、あの……簡単な事なら知ってますけど詳しくは……  
そもそもどうしてコスプレなんて？」

「コスプレは簡単に説明すると仮装  
ゲームとかアニメとかカードのキャラに成りきったりする事！  
あんただったら絶対に上手くい！  
だから今度一緒に会場に行かない？」

この人、何？

「か、会場って？」

「コスプレ会場に決まってるでしょー  
もしかして何も知らないの？」

「何も何も……何を？」

「そんな……ガックシ」

落ち込んだ、しかも態々声に出して  
四つん這いになってガクッて感じに  
本当に何がしたいんだろう？

「妾の趣味、全否定された気分なのじゃあ」

「いや、別に否定はしてないんですけど  
というか妾？　なのじゃ？」

もう少し口調を安定させてくれませんか？  
調子が狂うというか、落ち着かないんですけど」

「妾は平気だから問題無いんだワン！」

ワンって……ニヤーとかも言ってたし  
変わっているというか、頭大丈夫なの？

「あ、自己紹介してなかったっけ  
妾の名は成田伸子<sup>なりたのぶこ</sup>！  
世界中を回ってる決闘者なり！<sup>デュエリスト</sup>」

世界中って、凄いなあ。

「……あの、信じないでね？」

本当に世界を回ってるわけじゃないから  
精々日本だけだしね？」

「ならどうして態々大袈裟に？」

「格好いいじゃん！」

頭痛くなってきた……

「私はマユです」

相変わらずの偽名

マナとあまり変わらなくなってきたかも。

「じゃ、決闘<sup>デュエル</sup>するっす！

妾が勝ったらコスプレして会場にGO！

当然、ブラック・マジシャン・ガールの衣装で！

しかもスカートは超ミニで下着が見えるか見えないか！」

「絶対に嫌です！」

会場というのはよく分からないけど

会場という名前上、大勢人が居るはず

そんな場所でそんな格好なんて……絶対に嫌！

「えー……仕方無いニャー

普通のブラマジガールので許してあげにゅー」

に、逃げたい！

思いつき走り走って逃げ出したい！

「お、お断りしても良いですか？」

「断ったらストーカーするっす」

いやあああああ！

どうして私の相手はこんなものばかりなの！？

「ううう……分かりました

私が勝つたらもう勧誘しないでください  
当然ストーカーも！」

「OK OK、約束は守るよん！」

なんだか信用できないなあ

でもデッキをセットして構える

伸子さんも構える。

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「妾の先攻、ドロー！」

クルーエルを守備表示で召喚っさ

カードを2枚伏せてターンエンド」

薙刀みたいな片刃の槍を持った翼を持つ悪魔

体の色がピンクだったり紫だったり……ちよつと気持ち悪い  
悪魔族って怖い見た目が多いよね。

クルーエルって……戦闘破壊された時に効果発動  
コイントスを行い、コイントスをして裏表を当てるんだっけ？  
そう簡単に当たらないだろうし、気にしなくてもいいや。

「私のターン、ドロー！」

熟練の黒魔術師を召喚！」

黒いローブを羽織った魔法使い

……正直に言う和不気味

お師匠様、どうしてこんなから特殊召喚されるんですか？

「熟練の黒魔術師でクルーエルに攻撃！」

熟練の黒魔術師は杖から黒魔法を撃ち出す

でも色は緑……黒魔法なのに緑ってどうなんだろう？

私はピンクだし、お師匠様も緑だからあまり言えないけど。

「永続罫、ラッキー・チャンス！を発動するでチュー」

チュー！？ 今度は鼠！？

って、ラッキー・チャンス！の効果っていったら！

そんな事を考えている内にクルーエルが破壊される

守備表示だから当然ダメージは0なんだけど。

「さあさあ、運試し運試し！」

クルーエルの効果を発動するっす！

戦闘で破壊され、墓地へ送られた時

表か裏を選択してコイントス、正解したら相手モンスターをはっか  
いー！」

でも確率は1／2、そこまで信憑性は無い！  
そう簡単に当てられて……

「ついでにラッキー・チャンス！の効果も発動だよん！

コイントスを1回行うモンスター効果が発動した時、表か裏を宣言  
もし宣言した方が出た場合、カードを1枚ドロースできるのニャー  
妾が選択するのは表、クルーエルの効果で宣言するのも当然表！」

つまり正解されたらモンスターが破壊される上にドロースされるって  
事？

こ、これは怖いかも。

場に巨大なコインが現れる

ソリッドビジョンの映像なのは分かるんだけど  
それでも大きすぎない？ 1Mぐらいはありそうなんだけど。

「では……コイントース！」

コインの表は青眼の白龍

ブルーアイズ・ホワイต์・ドラゴン

裏はブラック・マジシャン……制作者の悪意？

そして出てきた絵は……青眼の白龍

ブルーアイズ・ホワイต์・ドラゴン

つまり表……って、拙い！

「コイントスで表が出たからクルーエルの効果成功！

クルーエルの効果で熟練の黒魔術師を破壊！

ラッキー・チャンス！の効果も成功してドロースだワン！」

もしかしてあの人のデッキ……ギャンブルデッキ！？



しかもこの大会に参加できる程の実力を持っている  
という事は運が良い人なのかな？

「カードを2枚伏せ、ターンエンドです」

やっぱり熟練の黒魔術師が破壊されたのは困ったかも  
あまり多くないアタッカーが破壊された。

「妾のターン、ドロー！」

永続魔法、セカンド・チャンスを発動だニャー  
コイントスをした後、結果が気に入らなかったらやり直しできるの  
だー

正確にはコイントスを1ターンに1度無効にし、もう1回できるっ  
て事っす」

いい加減、口調を安定させてほしいなあ  
何人もの人と話してる気分になってくるし、混乱する。

「一撃必殺侍を召喚するっす！」

うわ！ また嫌らしいモンスターが出てきた！  
これって既にかなり危険状態じゃ！

「一撃必殺侍でマユちゃんにアタック！」

一撃必殺侍が持っている槍を構え、私に向かって来る  
でも背が低いから槍が向けられている場所って……足の脛なんだよね  
人間の体格だったら腹部に当たるはずなんだけど。

……なんか嫌、攻撃されるの！

一撃必殺侍の攻撃を避けて蹴っ飛ばした  
勿論、私がダメージを受けて一撃必殺侍は破壊されない  
でも……なんだかどうしても攻撃を当てられなかった！

「一撃必殺侍を蹴るなんて……酷い！  
でもダメージは受けてね？」

1200のダメージか……この調子だと危険かも  
どうにかしないと拙い。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドっすー」

「私のターン、ドロー！」

魔導戦士ブレイカーを召喚し、効果発動！

召喚に成功した時、魔力カウンターを1つ乗せる

魔導戦士ブレイカーは自身に乗っている魔力カウンターの数×30  
0ポイント攻撃力がアップします

そして魔力カウンターを1つ取り除く事で場に存在する魔法、罠カ  
ードを1枚破壊できます！

魔導戦士ブレイカーの魔力カウンターを1つ取り除き、セカンド・  
チャンスを破壊！」

「によあああ！」

妾のセカンド・チャンスがあ……許さんぜよ！」

だから……いい加減に口調を統一してっば！

「魔導戦士ブレイカーで一撃必殺侍に攻撃！」

そしてこの瞬間、罠カードマジシャンズ・サークルを発動！

魔法使い族モンスターの攻撃宣言時

お互いのプレイヤーはデッキから攻撃力2000以下の魔法使い族モンスターを1体、攻撃表示で特殊召喚できます  
私はデッキより、マジシャンズ・ヴァルキリアを特殊召喚！」

「ならば妾は……時の魔術師を特殊召喚するのだー！」

と、時の魔術師！？

それはまた……面倒で厄介なモンスターを持ってるんだね  
あと、やっぱり魔法使い族モンスターは持っていたんだ  
ギャンブル系カード、魔法使い族にも少し居るしね。

「バトル続行！」

魔導戦士ブレイカーで一撃必殺侍に攻撃！」

「おっと、そうはいかんぜ

永続罠、モンスターBOXを発動するのニャー！」

な……モンスターBOX！？

このコンボって……酷い！

「相手モンスターの攻撃時、コイントスの裏表を当てる

そして当たった場合、そのモンスターの攻撃力は0になるっす！

妾は裏を選択、さあさあさあさあ……コイントス！」

出たのは表……つまりモンスターBOXの効果は失敗  
だけど、まだ一撃必殺侍の効果が残ってる！

「失敗したけど、続いて一撃必殺侍の効果を発動！」

このモンスターが戦闘を行う場合、ダメージ計算前にコイントスの  
裏表を当てる

当たった場合は戦闘を行う相手モンスターを効果で破壊するのニャー！

今度は裏、ラッキー・チャンス！の効果でも裏を選ぶっす！」

コイントスが行われる

出てきたのは……裏、つまりどちらも正解！

「裏、よってラッキー・チャンス！の効果でドロー！

更に一撃必殺侍の効果で魔導戦士ブレイカーははっかい！」

一撃必殺侍に斬りかかろうとしていたブレイカーを一撃必殺侍が槍で貫く

そしてブレイカーは破壊……クッ！

「バトルフェイズを終了！

カードを1枚伏せてターンエンド！」

マジシャンズ・ヴァルキリアまで失うわけにはいかない！

時の魔術師に攻撃しても良かったけど、もしモンスターBOXの効果成功したら拙い！

私の場合はガラ空き、反射ダメージに加えて新しいモンスターが出たら負ける！

「妾のターン、ドロっす！

モンスターBOXの維持コストとしてライフを500払っちゃうよん再び永続魔法、セカンド・チャンスを発動だニャー！

1ターンに1度、コイントスをやり直す事ができるんだワン！」

……もう口調に関しては何も言いません  
言うだけ無駄だと思ってきたし。

「時の魔術師の効果を発動するっちゃ！」

コイントスを行い、裏表を当てる

もし当たったら相手の場のモンスターを全て破壊

外れたら妾の場のモンスターを全て破壊して

しかも破壊したモンスターの合計の攻撃力の半分のダメージを受けるでチュー」

外したら一撃必殺侍の攻撃力の半分、600

時の魔術師の攻撃力の半分、250のダメージを与えられるけど……

1回一撃必殺侍の直接攻撃ダイレクトアタックを受けてるから現在ライフは2800

もし成功して場が空いたら一撃必殺侍と時の魔術師の直接攻撃ダイレクトアタックを受けたら残りライフは……1100!?

あんな攻撃力の低いモンスターにボコボコにされるだなんて……しかも攻撃力1100以上

もしまた一撃必殺侍が出てきたら私の負け！

「さて、運命のコイントスターイム！

出てくるのは表か裏か……それは誰にも分からない！

妾は表が出てくると思うので表を選択、ラッキー・チャンス！も当然表！

妾の期待に correspond してくれよう？ コイントス！」

裏！ 裏が出て！

そうじゃないと……そうじゃないと！

「……裏なのニャー」

良かった、本当に良かった

これでまだどうにか……

「セカンド・チャンスの効果を発動でチュー！  
コイントスをやり直し、宣言は変更できないからそのまま！  
運命のコイントス、第二幕——！」

忘れてた！

また裏、また裏が出て！

「表、よって相手の場のモンスターは全滅っす！  
ラッキー・チャンス！の効果でドローしてっと  
そーれ、タイム・マジック！」

いやあああああ！

マジシャンズ・ヴァルキリアが時空の渦に呑み込まれて……行かないで————！

あうあうあう……私の場がガラ空き  
これは……本当に危なくなってきた！  
ギャンブルがここまで怖いものだなんて！

「追撃したい所で残念だけど、手札にモンスターが無いんだワン  
惜しいのニャー……有れば勝っていたんだチュー」

よく使い分けられますね？  
どうやってるんですか？  
もしかして……慣れ？

「時の魔術師、一撃必殺侍で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

時の魔術師は持っている杖で殴り掛かってきて

一撃必殺侍は……また蹴飛ばしておいた

別に嫌いなモンスターじゃないんだけど、なんだか生理的に受け付けないというか……

「また一撃必殺侍を！」

わ、悪気は無いんだよ？

ただ、受け付けられなかったからついでというだけで！

「うーうーうー……カードを1枚セット

ターンエンドなんだぜい」

また増えた？

もう、どれだけレパートリーが有るの？

「私のターン、ドロー！」

私のライフは残り1100

運が悪ければ即負ける！

「マジカル・コンダクターを守備表示で召喚！

そして手札から魔法カード、強欲な壺を発動！

デッキからカードを2枚ドローし、マジカル・コンダクターの効果  
を発動！

魔法カードが発動された時、このカードに魔力カウンターを2つ乗  
せます！

更に魔法カード、魔力掌握を発動！

魔力カウンターを乗せられるカードに魔力カウンターを1つ乗せます  
更に魔力掌握も魔法カード、マジカル・コンダクターに魔力カウン

ターは3つ乗ります！

そして魔力掌握の効果、デッキから魔力掌握を1枚手札に加えます！  
ただし、魔力掌握は1ターンの1度しか発動できません」

これでマジカル・コンダクターに乗っている魔力カウンターは5つ  
効果を使うだけの魔力カウンターは貯まった！

「マジカル・コンダクターの効果を発動します！

自身に乗っている魔力カウンターを任意の数だけ取り除き

取り除いた魔力カウンターの数と同じLVのモンスターを手札か墓地から特殊召喚します！

私は魔力カウンターを4つ取り除き、手札の召喚僧サモンプリーストを特殊召喚！

サモンプリーストは召喚、反転召喚、特殊召喚された時、守備表示に変わります！」

こうなったらとことん、できる所までしてやる！

負けるとか、そんなの考えてられないよ！

危なくても、これしか手段が無いんだし！

……まあ、これで相手を半分ぐらい完封できるんだけどね。

「更にサモンプリーストの効果を発動！

手札の魔法カードを1枚捨てる事で

デッキからLV4のモンスターを特殊召喚します！

私は手札の魔力掌握を捨て、デッキからライトロード・マジシャン

ライラを特殊召喚！

そしてライラの効果を発動！

このモンスターを攻撃表示から守備表示にする事で

相手の場に存在する魔法、罠カードを1枚破壊する！



ただし、次の私のターンのエンドフェイズ時まで表示形式の変更はできません

ライラを守備表示に変更し、セカンド・チャンスを破壊！」

「……マユちゃん、容赦無いニャー

もっと加減してほしいっす」

貴女が言う！？

それは絶対に私の台詞だよ！

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです！」

「妾のターン、ドロー！」

モンスターBOXの維持コスト、ライフを500払っておいてつと  
レジェンド・ギャンブラー  
伝説の賭博師を召喚だによー！」

カウボーイハットを被ったキザっぽい男が出てきた

また面倒なモンスター……

レジェンド・ギャンブラー  
「伝説の賭博師の効果を発動！

コイントスを3回行い、表の出た回数で効果が決まる

表が0回で妾のモンスターが全滅、1回で妾の場のカードを1枚破壊する

2回で相手の手札を1枚ランダムに捨てる、3回で相手のモンスターを全て破壊するんだぎゃー！」

どうやら時の魔術師の効果は使わないみたい  
リスクを受ける価値は無いと思ったのかな？

失敗したら私のモンスターが総攻撃を仕掛けるし。

「全部表が出たら私が勇者だ！  
レジェンド・ギャンブラー  
伝説の賭博師、レッツ、コイントス！」

出たのは……表！

2回目……表！？

最後に表が出たら私の負け！

……裏！

「むう……表が2回だから相手の手札をランダムに1枚捨てる  
でも手札が無いから無意味だったなあ  
うし、バトルなのだぁ！」

来る！

「とりあえず伝説レジェンド・ギャンブラーの賭博師でライトロード・マジシャン ライラに  
攻撃！」

レジェンド・ギャンブラー  
伝説の賭博師は持っていたコインを指で弾く

弾かれたコインはライラに向かい、軽く当たった……それで破壊さ  
れるって何？

やっぱり守備力200じゃ攻撃力500には勝てなかったみたい。

「一撃必殺侍で……マジカル・コンダクターに攻撃！

一撃必殺侍の効果をはつつどーん！

コイントスを当てるけど、裏！ ラッキー・チャンス！は表！  
コイントスの結果は……どうだ！」

場に有るコインが飛ぶ……裏  
つまり、一撃必殺侍の効果は発動！

「大当たりー！ー！」

一撃必殺侍の効果発動！

相手モンスターを効果で破壊するちゃー！」

もう……でも、まだ負けない！

「カードを1枚伏せてターンエンドなんだニャン  
妾の幸運にひれ伏すが良いぞえ？」

誰がひれ伏しますか！

絶対に諦めませんからね！

魔法カードさえ来れば……来れば！

「私のターン、ドロー！」

……私の勝ちだね！

「手札の魔法カード、魔法族の里を墓地へ送ってサモンプリースト  
の効果を発動！

デッキからLV4のプリーステス・オームを特殊召喚！」

念の為、保険も掛けておいた方が良いかな？

「永続罨、リビングデッドの呼び声を発動！

墓地からモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！」

「そうはさせないっちゃ！」

罨カード、デビル・コメディアンを発ドン！

コイントスの表か裏を宣言

当たった場合は相手の墓地を全て除外

外した場合は相手の墓地の枚数分だけ自分のデッキを上から墓地へ送るんや！

いくニャー、いくワン、いくでチュー……表でコイントス！」

保険だから当てられても大丈夫のはず

伏せカードが気になるけど……

そして出たのは……裏！

「うによらあ！？

う、裏だなんてえ！」

「私の墓地のカードは10枚です

デッキからカードを10枚、墓地へ送ってください」

「悔しいんだじえー……

しかもリビングデッドの呼び声を無効にできなかったでブー  
無念なんだメー」

口調が段々と酷くなってない？

この人、何度も思うけど頭は大丈夫なの？

「リビングデッドの呼び声の効果が続けます

この効果で墓地から熟練の黒魔術師を特殊召喚！」

よし、これで準備は整った！

熟練の黒魔術師が居なくても勝ってただろうけど  
伏せカードが気になったから一応……ね？

「勝負です！

プリーステス・オームで時の魔術師に攻撃！」

「おっと、モンスターBOXの事、忘れてない？  
効果を発動なんだじょー！

更に永続罠、旅人の試練を発つどーん！

相手の攻撃宣言時、相手は妾の手札をランダムに1枚選択  
そのカードがモンスター、魔法、罠のどれかを当てる  
もし当たったら攻撃の続行、外したら手札に帰るのニャー！」

「いいえ、発動しません！

永続罠、王宮のお触れ！

このカード以外の罠カードの効果を全て無効にします！」

「な、なんですとー！？

これは困った、どないしよーーー！」

プリーステス・オームは持っている鞭で時の魔術師を破壊する  
ちなみに破壊された時の魔術師は分解されたみたいにとらばらに……  
本当に魔法使い族？ 機械族じゃないの？

「ううう……1200のダメージや

妾の時の魔術師が破壊されてしまったんじゃ  
悔しくて涙が全く出てこないんだピョー」

誰かのまねかな？

もうそれは良いんだけど？

「熟練の黒魔術師、レジェンド・ギャンブラー伝説の賭博師に攻撃！」

「そうは問屋が卸さないのでアール！  
速攻魔法、収縮を発動！」

モンスター1体を選択し、そのモンスターの元々の攻撃力を半分に  
するノーね！

この効果で熟練の黒魔術師の攻撃力を半分の下げるのじゃ！」

だから……って、どこかで聞いた事の有るような口調じゃなかった？  
もしかして私の気のせい？

とにかく、熟練の黒魔術師の体が小さくなった  
攻撃の為に貯めていた魔力も小さく……だけど、レジエンド・ギャンブラー伝説の賭博師を倒  
すには十分！

レジエンド・ギャンブラー魔力球を伝説の賭博師に当て、破壊！

「ふっ、450のダメージ  
妾はまだ生き残っているっす！」

伸子さんのライフはライフコストが有ったから残り3000  
今のダメージは1200と450、合計で1650  
残りのライフは……1350だね。

「じゃあ私の勝ちだね

プリーステス・オームの効果を発動！

自分の場の闇属性モンスターを1体、生け贄に捧げる事で  
相手に800ポイントのダメージを与える！

熟練の黒魔術師を生け贄に捧げ、効果を発動！」

闇の弾になる熟練の黒魔術師

プリーステス・オームは闇の弾の後ろ……つまり伸子さんの方を向く  
そして鞭を闇の弾に当て、吹っ飛ばす！

「うによめいらあ！」

どこの言葉だろうか？

「これで終わりです！」

プリーステス・オーム自身を生き贄に捧げ、効果を発動！

相手に800ポイントのダメージを与えます！」

今度はサモンプリーストが闇の弾を持ち……ええええええ！

ボールみたいに地面に跳ねさせて右手で持ち、左手は添えるだけ

そのまま弾をポーンって感じに投げて……伸子さんの頭に当たった。

「によへん！」

今の……悲鳴なの？

何にせよ、これで私の勝ち！

良かった、負けなくて……会場って場所に連れて行かれる所だった。

「妾の負けなんじゃー……悔しいのお」

これはメダルなのニヤ」

渡されたメダルはたったの4枚……。どうしてこんなに少ないんだろ  
う？

ずっと逃げていた生徒でも居たのかな？

「ううう……ブラック・マジシャン・ガールに凄く似た少女のコスプレ

見たかったよおおおお、残念だよおおおお」

そ、そんなに残念なの？

コスプレ、あの人にでも訊いてみようかな？

その日の夜、コスプレは何かとあの人に訊いてみた  
誰に教わったって凄いい剣幕で訊かれて怖かった……  
コスプレ……悪い事なのかな？



## 131話【13日目?】（後書き）

瑞貴、亮や玲に白を教えてないの？

言い逃したまま、忘れています

玲の亮への想いの結果でしょう……ショックは大きかったようです。

玲&亮コンビの決闘<sup>デュエル</sup>は？

ありません

敵のネタ切れなので。

成田伸子って？

TF4より、オタクらしいです

口調が凄い事に……公式が病気の犠牲者（?）

声優に同情します

使用デッキは侍BOX、それを少し強化しました  
殆ど基本のままですが……何これ酷い。

でも所々ゲームと違う……

ネタ混じりですので

何がどのネタで誰の口調か、分かります？

ソリッドビジョンのコイン……

提供・KC社

社長から王様への地味すぎる嫌がらせ

この後書きを書いている時に思いました

<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>  
これ、真紅眼の黒竜にすれば良かった……と。

ツイッター……吐きそう

バスって揺れが激しいから嫌い。  
<http://twitter.com/#!/ainkuria>

## 132話【14日目?】（前書き）

「今日の最強カードは……無い!？」

何デ私の時は毎回最強カードが無いの!？」

それが最強カードのゆまだから

ゆまは絶対に最強カードが無い時担当。

今回は決闘はありませデュエルん

しかし内容が色々と……どうしてこうなった？

それにしても眠い……頭も痛いし

昨日の酔いがまだ残っている感じです

吐き気は収まったものの、頭痛が……はぁ。

次回は決闘は有デュエルります

誰かは……まぁ予想通りだと思います。

## 132話【14日目?】

視点 亮

どうしてこうなった……何故だ?

俺は堅守にどう謝れば良いのだろうか?

「お嬢、白の奴らを3人元に戻しました!」

「お嬢、俺は4人戻しました!」

「お、俺は5人!」

「……で、本当は何人だ?」

「「1人です! すみませんでした!」」

なんだ、この光景は?

昨日から続けて今日も白狩りを続けていたんだが

……昨夜の内に堅守に白の事を尋ねておいた

既に何人も元に戻していると言ったら驚かれたが……

俺達……特に玲には戦わせたくなかったらしい

しかし、玲が白を元に戻すと言い始めたので妥協した。

条件は誰かと共に行動すること、この誰かには俺が付く事になった  
絶対に負けない事……俺にはもし玲が負けたらどんな手段を使っても元に戻せと言われた

逆に俺が負けたとしても、玲が暴力に訴えてでも元に戻せと……暴力は止めさせてくれ。

とにかく、必ずどちらかは傍観者でいる事  
同時に決闘は絶対<sup>デュエル</sup>にしない事など……  
色々と注意を言いながらも受け入れられた  
堅守、少し過保護過ぎないか？

そして今日、突然元白の生徒だった奴が3人ほど現れた  
先ほど玲に報告した男子達が、俺達の前に出てきたので何事かと思  
っていたら……

「「「ありがとうございます！」」」

元に戻れて、それで感謝をという事らしい  
それだけなら良かったんだがな……

……  
……  
……

「俺、あんたの決闘<sup>デュエル</sup>を見て思ったんだ！  
圧倒的な力で相手をねじ伏せるその大胆さ！  
どうやってそんな強いデッキを作るのか教えてくれ！」

……アホかと思った  
そういう問題じゃないだろうとも  
自分に合ったデッキというのが有るだろうが  
俺も玲もパワーに特化しているが……基本的にはだがな。

「と、言われてもな……」

私はお兄ちゃんとデッキを組んで  
それから自分で色々と弄ってるだけだし  
人に教えられる程の知識は無いぞ」

お前の言う知識は一般を上回っているが？  
プロでもお前ほど知識を持つ者は少ない  
この学園では言わずもがな……ここの元生徒としては複雑だ。

「兄が居るのか  
ならその兄貴を紹介してくれ！」

堅守は絶対に嫌がるな  
何が何でも、逃げ出すんじゃないか？

「お兄ちゃんを知らないのか？  
この学園では有名だと聞いたが……堅守瑞貴だぞ」

名前を聞いた瞬間、3人の生徒が固まった  
それはもう、見事な凍結だろう  
蹴ったらそのまま仰向けに倒れるかな？

「あ……貴女様は堅守先輩のい、妹様で？」

先輩という事はこいつら、1年生か？  
ブルーだがそこまでプライドは高く無さそうだが  
となると穏健派か、ブルー男子では珍しいな。

「そうだけど、やっぱり知ってるじゃないか  
お兄ちゃんに紹介するのは構わないけど、確実に断られるぞ？

面倒事は自分から首を突っ込まない限りご免だと言っていたし」

その結果が天上院兄妹やレイか  
……俺は違うな、半分ぐらいは。

「それでも構わないなら紹介するぞ？」

黙る3人

だが、その内1人が顔を上げる。

「おっしや、どんと来い！」

堅守先輩の指導を受けられる可能性が有るなら十分だ！」

堅守、お前は1年生の間でどんな噂をされているんだ？

玲も呆れているぞ、兄は何をしたんだと……

「……お兄ちゃん、何をしたんだ？」

1人の男子に問う玲

すると色々と話してくれた。

子供の世話をしている、通い妻が居る、美人の飼い主、幽霊の女の子と同棲……幽霊？

1年生の中でも美人の女生徒を3人も囲っているなどなど

お前、この短期間に何をしてそうなったんだ？

そうでなくとも、月一テストでは毎回エクゾディアを揃える

ノーダメージ、時にはモンスターを1体も出さずに勝つ

学園の超有名人、遊城十代に勝った事も有るなどなどなど

女性関係だけでなく、決闘デュエルに関する事も凄まじい事になっている。

更に女生徒に人気の高い吹雪と居る事も多い

しかも立場が上のようなだからそれはもう反発も多いし大きい、特に2年3年生の女子達から

もう悪い話が殆どで良い話が殆ど無い、なのに色々と凄すぎる男それが、現在1年生で言われている堅守らしい。

2年3年生の生徒からどう思われているのかは詳しく知らないらしいが

1年生の間では堅守は人気が高く、同時にかなり怖がられているらしい

なんというか……憧れるらしい、女生徒を囲ったり実力的な意味でも。

が、堅守本人は学園内では仲間内でしか会話をせず

その他の生徒は殆ど無視しているらしい

自分の味方以外に興味が無いのか、返事はしても適当

憧れから話しかけようと思ってもどうしようも無い状態。

更に悪い事に、堅守にデッキを見て貰い、意見を貰おうとした生徒が居るらしいが

堅守が断つてもしつこく頼んだら不機嫌になったものの、見てくれただが、デッキの悪い点をこれでもかというぐらいに指摘され、ズタボロに言い負かされて半泣きになったとか

その生徒は悪い点を改善し、再び意見を貰おうと思ったらしいが完全に見捨てられたそう

故に、その手段で話しかける者は居なくなった……

なお、その生徒はそれからは実力を妙に上げたとかイエローで中の下の実力だったが今では上の中



強くなれたものの、代償として憧れと目標を失った……だそうだが頑張っているらしいが……おそらく報われる事は無いだろう、俺はそう思う。

それが男子だけならともかく、女子が相手でも容赦が無いそうだがデッキ診断を頼んでも許して貰った生徒も居るが、それは堅守と一緒に居る中に入れた女子が1人だけ

他の女子は男子と同じようになった者が数名居るとか。

堅守を最も不機嫌にした者にはコピーデッキを強化されてフルボッコにされるらしい

男女問わず、それで落ち込んで泣いた者も居るらしい

まあ、そのコピーデッキを参考にして強くなれたらしいが。

……おい堅守、結果的に全員強くなってないか？

結果的に全員に指導をしたような形なんだが、自覚は有るのか？

ともかく、堅守に強引に言うデメリットは恐怖と悲しみと失意らしい乗り越えられなかった者も実は居り、堅守を見ただけでも逃げ出すそう

そういう意味でも、堅守は1年生から恐怖の対象なのだろう。

割合で分けるならば1年生全体で考え

憧れが2割、恐怖が7割、その他1割という感じらしい

何故そこまで詳しく知っているのか尋ねたら1人は放送部だからだそう

様々な資料を読むので少しは詳しくなっているとかなんとか。

後、傷ついたりする事を分かっているても何人も意見を訊きたがるらしい

それだけ奴の実力と知識は為になるのだろう  
本人は本気で嫌がっているだろうがな、その姿が目には浮かぶ。

なお、この3人はその憧れの2割に入るとか  
だから玲にやたら低姿勢なんだな  
が、それを言ったら否定された。

「堅守先輩は年下の妹的な扱いと噂される早乙女レイも大事にしているんですよ？」

実の妹である玲さんを大事にしていないはずが無いじゃないですか」

揃えて頷く他2名

堅守、お前は本当に過保護なんだな  
レイをそこまで大事にしているとは……

「なら、その大事な妹を利用して堅守に近づく  
これがどれ程奴の機嫌を損ねるか分かっているか？」

「「「う……」」」

勢いで言っただけでそこまで考えていなかったらしい  
少し、落ち着いたらどうだ？

「まあ、紹介すると言った手前だし  
私からあまり酷い扱いをしないようには言ってやるよ  
……………保証はできないけどな」

最後、小さい声だったが聞こえたぞ  
俺も同じ意見だがな、保証は全くできない。

「あ、ありがとうございます妹様！」

「妹様！？

それは止めろ！」

嫌だろうな、年上から妹様とか言われるのは別の呼び方にしろ、というかそれは堅守からの印象を少しでも良くする為か？

「ならお嬢様とかで？」

「様は止めろ！

私はまだ11歳だぞ！

年下相手にプライドは無いのか！」

「堅守先輩に教えを請おうという時点で捨ててます！

プライドなんて簡単に踏みにじる人なので

いっそ捨てた方が絶対に気が楽になります！」

堅守……お前、どれだけの事をしてきたんだ？

そんな事をしているのに全く素振りさえ見せないとは

つまりお前に取って、1年生達の事は事件でも無い日常なのだろうか？

大変なんだな、お前は……自業自得だろうか。

「ならお嬢で！

俺は玲さんの事はお嬢って呼びます！」

「お嬢って……妹様とかお嬢様よりはマシだけどさ本当にプライド捨ててるんだな」

まっただ

俺だって最低限のプライドは残しているんだぞ  
自分の拘りは絶対に捨てないという、最低限のプライドはな  
……勝つ為だったら捨てる寸前程度の事ならするがな。

「後でお兄ちゃんに言うのは構わないけど  
今、私にはする事が有るんだ  
だから悪いけど、紹介は大会後ぐらいになる」

白潰しは玲が希望した事だからな  
最後までしないと気が済まないんだろう  
俺も中途半端では気が済まん。

「何をするんですか？」

既に敬語が基本なのか？

「ああ、白服の連中を元に戻しにな  
どうも圧倒的に倒せば強引に元に戻るらしい  
私と亮ちゃんて狩りまくってるんだ」

しかも、それを当たり前に受けて流す玲も玲だな  
もしかして慣れてるのか？

いや、11歳でそんな場面になる事は無いだろう。

「お嬢……なんとお優しい！  
俺達を助けただけじゃなく、更に他の奴らまで  
よし、俺達も白服達を狩るぞ！」

「おーーーーー!」

お、おい……行ってしまったな。

「玲、どうする?」

「いや、私に訊かれても困る

まあ……元に戻せるんだったら良いんじゃないか?」

……………

……………

……

ここまでの1時間ほど前の出来事

今、俺の目の前に有る光景はまた凄い。

今まで俺と玲が元に戻してきた生徒が集まって……50人以上居る  
だろうな

しかも半数以上……8割近くは玲が倒した人物で残りの2割は俺が  
倒した奴ら

何故か一団となって俺達の前で待っている。

「お前ら、この集団はどういう事だ?」

「俺達は丸藤先輩達に元に戻してもらった者達です!」

返事したのは現3年生の生徒、つまり去年は2年生  
俺を知っていると話は早いんだがな。

「集まった理由は?」

「1年生3人に聞いたんですけど、光の結社の生徒を元に戻そうと  
している……

なら俺達も手伝います！

というか、手伝わせてくださいカイザー！」

カイザーか……さて、どうするか

俺としては味方が増えるのは歓迎なんだがな

また負けて元に戻す手間を考えると……

最初の3人は止める間もなく行ったのでどうしようもなかったが  
今回、この元白だった奴らは俺達の言葉を待っている  
これを拒否にする事は……大変だな。

「どうする玲？」

このままだと俺達も動けないぞ」

「仕方無い、諦めて任せよう

最悪、お兄ちゃんに頼めばどうにかなる

例えば一喝してもらうとかな」

なるほど、1年生も少なく無いからな

恐怖の対象である堅守に頼むのも1つの手段か

こういうのは一部の勢いが収まれば止まりやすい。

……確実に怒鳴られるな

まあ半分は奴が悪い、怖がらさないようにすれば良かったんだ  
でなければ最後の手段にならずに済んだんだがな。

玲が1歩前に出て、元白だった生徒が玲に注目する



嫌な予感がする気がするような感覚が有ると思うかもしれない  
つまり、全く分からないという事だ。

校長が居ない今、動く絶好の機会だな  
何気に校長はやり手だし……変な方向に向いたり飛んだりするが  
白板がこの機会を逃すか？

注意した方が良いな……

問題は校長が居ないから盗聴ができない  
故に情報が少ない……どうする？

盗聴できない間、誰かが動き出しても俺は分からない  
何気に情報が多く集まる校長室だけに、この状況は痛い  
どうにかして情報を得なくてはな。

というか、大会とか白の連中とかはどうなってるんだ？  
今は玲と地獄が動いているから減っているとは思うが  
マナは変人<sup>デュエル</sup>としか決闘していないと嘆いていたけど……

レイを追い出したのは失敗だったかもしれない  
マナだけでは大会情報が少なすぎる、あいつは勝ち残ってるのか？  
明日香はマナに負けたらしいからどうでも良い、情報なんて無いだ  
ろうし。

いい加減、俺も大きく動いた方が良いかな？  
裏でこそこそと小さくしていたが、ちよつと派手に動くか  
マナが帰ってきたら……訊いてみるか。

レーザー衛星ソーラを破壊できるか否かを……って、無理か  
精霊が宇宙空間まで行けるか、無理と答えるだろう



そんな事ができるのはエーリアンとかワームとか、宇宙からの侵略者ぐらいか？

他にできそうなのは……ああ、なるほど

それでアニメでは解決できたのか。

アニメ内容は忘れているが、ネオスは宇宙で生まれたE・HEROだったな

だとしたらあいつは宇宙に出れるんだろう

もしかしたらソーラを破壊したのかもしれない。

だったら俺が動く必要は無いな……多分

問題は俺がソーラのコントロール装置を持っている事かもしれない  
拙い……俺のした事ってもしかして逆効果か？

分からんが、もしそうだったらと思うと……やっぱり動くか。

できれば使いたくないカードだったんだが、仕方無い

マナが帰ってきたらこれを使い、ソーラを破壊してきて貰おう

これを使えばマナも宇宙に出れる……かもしれない

確かDMで青眼の白龍が宇宙に出たはずだ……ソリッドビジョンだが  
ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン  
だとすればこれでマナも出られる……はず？

詳しい事はマナが帰ってきてからだな

動くのはそれからでも遅くは無いはずだろう。

そう思った時、ドアの鍵が開いた？

鍵が開いたという事が入って来るのは……

「戻りましたー！」

「早いな、おい！」

やっぱりマナか！

まだ4時で夕方にもなってないぞ！

「相手がどうしても見つからないので……

一応、もう目標の300枚は超えてますし

これ以上参加者を倒すのも可哀想じゃないですか」

別に良いけどさ……

お前、一応俺の代理だって事分かってるか？

「丁度良い、お前に頼みが有ったんだ

帰ってきてからにしようかと思ったんだがな」

「何ですか？」

「お前、宇宙空間に出られるか？」

「……………はい？」

なんだ、意味が分からないのか？

宇宙空間、言葉ぐらい知っているはずだが。

「いや、あの……何故宇宙空間？

とりあえず無理とだけ言わせてもらいますけど」

やっぱり魔術師の小娘には難しいか

そういえばDMキャラの誰かがそう呼んでいなかったか？  
どうでも良いけど。

「ならマナ、このカードを使えばどうだ？」

「宇宙空間なんてどんなカードを使っても……え？」

俺がカードを見せるとマナの動きが止まった  
当然の反応だな、だがよく知っていたな  
このカードを知っている事自体が珍しいのに。

「ど、どうしてそのカードを……」

それは普通の人が持てるカードじゃ！」

「そんな事はどうでも良い

可能か、不可能かを訊いているんだ」

俺だって知りたい、何故このカードも混じっていたのかを……  
こんな超チートカード、絶対に普通の決闘デュエルでは使わん！  
あいつらはよくこんなカードを使ったよな……

「断言できませんが……可能だと思います

私は……宇宙に出て何をすれば良いんですか？」

俺は黙ってP Cを操作する

検索、発見、開いて見つける。

マナに手招きをし、このページを見せる

そのページは当然……レーザー衛星ソーラのページ

どうでも良いが、こんな危険物の情報を少しとはいえ公開して良いのか？

まあ、ニュースでもソーラの話は出た事が有るから今更だけど。

「……まさか、これを破壊してこいと？」

「ご名答

この島にソーラを起動させたがっている奴が居る  
さすがにそれは絶対に許される事じゃないのは分かるな？  
なら動かされる前に壊してしまえば良い」

極論と言えば極論だ

ぶっちゃけると、やられる前にやれ  
使われる前に壊せという事だ。

……さすがに使われる前に使えと言う気は無いが  
ストレス発散の為に使ってみたい……使わないが  
さすがにそれで世界を破滅へと導く兵器なんぞ使えるか！

「あの、破壊は構わないんですが今はちょっと無理です」

「何故？」

都合でも悪いのか？

しかしお前は俺の用事以外に何か有ったか？

「その、今日はもう既に決闘デュエルをしたので……

私は精霊ですし、決闘では多少なりとも魔力を使います  
半ば無意識で私の魔力でモンスターが半実体化してしまうので  
できれば万全の状態でいたいんです、何か有ったら怖いですし」

ふむ……時間は惜しいが仕方無いか

俺としても、できるだけ万全で挑んでほしいからな  
危険に晒してしまうが、マナを消したいとは思っていない

生き残る可能性が高いんだったらそうするに決まっている  
……やっぱり時間は惜しいがな。

「となると大会は途中で棄権だな  
今回は仕方無いか……まあそれだけメダルが有れば十分だろう  
ちよっと何枚有るか教えてくれ」

「さあ……何枚でしょう？」

こいつ、途中で数えるのを放棄したな  
しかし出てくるメダルがジャラジャラと……

本当にこいつ、何枚集めたんだ？  
枚数報告は初日以外されてなかったから分からん。

暫く経ち、まだ数えているマナ  
……正直に言うともメダルが邪魔だ。

「数え終わりました！  
メダル枚数、583枚です！」

明日香を狩ったせいとか、妙に多いな  
あいつ、何枚持っていたんだ？

校長室で盗聴した時、メダルの総数は1500枚だと言っていた  
っけ？

数がおかしくないか？ 絶対にそんなに人間は居ないはずだし  
校長が呼んだ人間だって100人ぐらいだったはず、1000人も  
居ないだろう

学園の生徒を全員合わせても500人近くじゃないか？  
そう考えると、かなりメダル枚数が訳分からない事になるんだが……

となると……可能性としては  
負けた教師、外からのプロが再び戦えるように多めにメダルを渡し  
たとかか？

そこら辺、地獄から訊いておくべきだったな。

「そういえば300枚を超えたらご褒美上乘せて……」

ああ、言っただな……

「レイ次第だが……」

そうだな、1ヶ月抱き枕独占」

「OKです！」

いいのか！？ 安いな！

俺はどっちでも良いんだけどさ。

良かった、ご褒美上乘せだからって3ヶ月とか言わなくて  
そんな事をすればレイが煩そうだ

……レイはそれ以上独占していたんだがな  
マナがレイとの勝負に勝ったり負けたりしないから。

「それはともかく、このまま何もしないで終わるのもなあ……」

「なら美寿知さんに明日は代理を頼んだらどうですか？  
結局、顔出しとかもさせてませんし」

そうだな、それも良いかもしれん  
脅迫の材料に使おうと思っただんだが、無駄だろう

ソーラまで使おうとしているんだ、妹を使った脅迫程度では動かないな。

「そうするか

マナ、美寿知を呼んでくれ」

「はい」

マナは部屋から出て行く

美寿知を使う必要が無くなったんだ、全部話すか  
ここまで来たら何を言ってもどうしようもできん  
美寿知にできる事なんて、本当に何も無いからな。

少し待つとマナが戻ってきた

後ろには美寿知を連れて……

「瑞貴、呼んだか？」

呼んだ以外なんだ？

「ああ、話が有ってな

適当に座ってくれ」

俺はP C前の椅子に座っている

美寿知は少し部屋を見わたし、ベッドの縁に腰を掛ける

マナは飛び上がり、上のベッドに座った

俺の邪魔にならないようにか？ 頭が良い奴は楽で本当に助かる。

「俺は明日、しら……斎王琢磨の目的の物を潰す」

「兄上の目的の物？  
それはいったい……」

美寿知に手招きをし、P C画面を見せる  
見せたのは先ほどマナに見せたページと同じ場所。

「レーザー衛星ソーラ……なぜ、こんな物を見せた？」

「分からないか？」

奴はそれを使って世界を破滅させようとしているんだ」

「な……そ、そんな馬鹿な！

何故兄上がそんな事を！」

俺が知りたいわ！

何が悲しくてこんな世界の命運を賭けたような事に関係しなければ  
ならないんだ！

「が、そのコントロール装置、更に2本の鍵を所持していない  
遊城十代の話では、斎王琢磨本来の人格が鍵を遊城十代に託したら  
しい

もう1本の鍵を持っているのはエド・フェニックスだそうだ」

「あの2人が鍵を……それならば安心ではないのか？」

そう簡単に事が及ぶと思うか？

「奴らが負けたらアウトだぞ？ 安心できるはずが無いだろ  
だから俺は奴から、ソーラのコントロール装置を奪った

先日話した危険物、それはソーラのコントロール装置がこの部屋に



有るからだ」

奪ったのはそれを知る前だったがな。

「コントロール装置が……この部屋に？」

「金庫の中に嚴重に入れてある

これを取り出すには金庫を物理的に破壊するか  
それとも超複雑な鍵を解除するしか無い」

明日香やレイは当然とし、マナにも教えていないんだ

これを解ける奴なんて先ず居ないだろう

……白板が破滅の光に力を貰い、物理的に干渉されない限りはな  
そうなるまでこのまま嚴重にしていっても不安は有る。

「で、明日

マナにそのソーラ本体、つまり衛星を破壊してもらう

こいつは精霊だから強引な手段を使えば破壊できるはずだ」

美寿知は少し落ち着き、再びベッドに座る

マナは不安そうだが、お前にそんな顔をされると困る  
もし美寿知が見たら不安に思うだろうが。

「何故それを私に話した？」

「何も知らないままでは悪いと思ってな

協力してくれとは頼んだものの、カミューラの部屋に軟禁していた  
に等しい

どうせだから表に出てもらおうと思ってな」

「今更私が出て、何になる  
私にできる事なんて何も無いだろう？」

自覚は有るんだな、表情が暗いぞ  
俺も悪いんだけどな、本当に何もさせなかったし。

「いや、表に出てもらおう  
美寿知の役目は……囧だ」

「囧？」

「そう、囧

美寿知が斎王琢磨の妹だという事を光の結社は知っているはず  
俺とマナがソーラの破壊で動けなくなる可能性が高い  
その間、美寿知が表に出て光の結社から注目を得てもらおう  
こうする事で俺達の安全性が高まる  
相手は光の結社だし、美寿知に手出しはしないだろう」

断言はできないがな

要は、俺の安全の為に美寿知は危ない場所に行けと言っている  
という事だ

本当はあまりしたくないんだが、俺はカードを使わなくてはならない  
つまり、俺に何か有ればマナも危険になり、ソーラを破壊できなく  
なる可能性も出てくる。

「……………構わん、受けよう」

割と早く決まったな

自分が危険に巻き込まれるんだから多少は戸惑うかと思ったんだが。

「本当に良いのか？」

手出しはしないとは言ったが、断言はできない  
もし何かされても、俺もマナも助ける事はできない  
昼間だろうから当然カミューラも動けない」

「何を言う、乗っ取られているとはいえ我が兄の事  
そなたにはとても助けられている、今恩を返さずいつ返せと言うの  
だ？」

私はそなたに心を救われた、体も救われた、更に兄も救ってくれる  
のだ  
これぐらいしか、私には恩を返せる手段は無い」

「いや、俺が斎王琢磨を救うわけじゃないんだが……  
俺がするのはソーラを破壊し、奴の目的を潰すだけ  
斎王琢磨自身を助ける事はできん  
それに心や体を救われたと言われてもな……」

俺に付かせる為に言った戯れ言だぞ？  
当然殆ど事実だし本音とはいえ、救われるほどののか？  
そういう言い方をした自覚は有るが、それでも……危険なんだぞ？  
恩返し程度に危険を冒してでもというのはどうなんだ？

「何を言うか

我が兄……光の人格はソーラで世界を破滅させようとしているのだ  
ろう？

しかし使っているのは兄の体、兄上が大量虐殺犯になるのだぞ  
それを止めてくれる……これが救いではなく何だと言うのだ？」

あー……なるほど、そういう考えか  
大量虐殺犯、そりゃなるわな

正氣に戻ったら罪悪感で押し潰されるんじゃないか？  
別に本来の人格がどうなるうが知った事じゃないが。

「……そうか

なら、囚役……引き受けてくれるんだな？」

「ああ、受けよう」

今度は即答か

一応、最後の確認だけはしておくか。

「最後にもう1回だけ確認をさせてくれ

この囚役は危険を伴う、それでいて大事な事

だが、本音を言えばあまり危険な事はして欲しくない

お前自身、本当は思っているよりも危険かもしれないと思っている  
はずだ

……本当に囚役、引き受けるのか？」

「諄いぞ瑞貴、私を嘗めるな！

そなたから受けた大恩、こんな時しか返せぬ！

寧ろ私から志願して頼みたいぐらいだ！」

……拙い、美寿知は本気だ

本気で俺に恩を感じ、全力で返そうとしている

厄介だぞ、こういう奴は……お節介とかをされそうだ

そうになったら邪魔になるかもしれん……味方に引き込んだのは失敗  
だったか？

ま、今更そんな事を考えても無駄か

既に話は決まっている

こうなったら美寿知に危険が来ない事を祈るだけだ。

「なら美寿知、明日お前がする事を伝える」

「……………」

真面目に聞こうとする美寿知

あー……そんなに真面目にしなくても良いんだがな。

「明日、俺やマナの代わりに大会に参加する事

デッキは自分のデッキを使用して構わない

勝っても負けても、どちらでも構わない

……負けたら俺の成績に極僅かに影響が出るが、それはどうでも良い」

「なるほど、大会に参加して注目を集めれば良いのだな？

となると……学園の中心に行くのはどうだろう？

学校の前とか、そこなら注目を集めるのではないか？」

「そうだな……よし、そうしてくれ

格好も好きにしてくれて構わない

その服の方が良いだろうがな」

「承知した

ならば明日、朝から学園に向かおう」

マナが上のベッドから下り、美寿知に決闘盤を渡す

……前に、デッキが装着されっぱなしだった事に気付いて外す  
デューエルディスク  
そして改めて美寿知に決闘盤を渡した。

「決闘盤、確かに預かったデュエルディスク  
しかし瑞貴、そなたは決闘盤デュエルディスクが無くて良いのか？」

「コミュニケーションにでも言って奴の決闘盤デュエルディスクを借りるから構わん  
その決闘盤は俺のだからな、最初に言った通りだ  
俺の代わりに決闘デュエルしてもらったろう？」

「なるほど……了解した」

明日、出る前に一言言ってから学園に向かおう」

美寿知は部屋から出て行く

その歩みに、危険からの不安や恐怖は見えない  
既に覚悟を決めているのか……申し訳無くなってくるな。

「美寿知」

「なんだ？」

部屋を出る直前、美寿知を呼ぶ  
こちらを振り向く美寿知の顔にも、やはり不安や恐怖は見えない。

「明日は頼むぞ」

だからこう言う

下手に不安を煽るような事はもう言わない  
逆効果にしかないだろうから。

「ふ……任せておけ」

本当に出て行く美寿知

……今夜、カミューラの決闘盤を受け取りに部屋に行くんだが、  
なのに明日まで会わないという雰囲気になるのはどうなんだろう？

さて、明日に備えて今日は早く寝るか  
早朝から動けるなら動こう。

## 132話【14日目?】（後書き）

何故玲は白を元に戻したいと言いだしたの？

今までしていた事なので危険と言われてもパツとしなかったからです  
それに途中までしたのだから最後までという気持ちも有ります。

妙に腰が低い1年生だな……

瑞貴の知名度が致命的なんでしょう。

子供や通い妻とか……誰の事？

順番にレイ、明日香、カミューラ、マナ

1年生の3人は彰子、ゆま、雪乃です

マナは実体化したりしなかったりなのでそんな噂が立ちました。

瑞貴の事が……

描写していませんが、そんな事が有ったようです

……ツツコミ所満載の経歴です

瑞貴、いつの間にそんなに動いていたんだ？

1年生の割合に有ったその他って何？

彰子達のように講師のような存在、雪乃のように好意を向けている  
そのような生徒の事です。

玲、洗脳とかしてないよな？

していません

もしかしてカリスマが有ったのでは？

……無さそうですけど。

瑞貴はマナにどんなカードを見せたの？



秘密、予想は書かなくてくれると嬉しいです。

メダル枚数が何だか色んな意味で凄い事に……  
気にしないでください

そうじゃないと色々とおかしくなるんです  
考え無しだった作者が悪いんですけど。

ツイッター、冬は寒さとかよりも静電気の方が遙かに嫌だ！  
<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
背中が痒いし、苛々するのでどうしても慣れません。

### 133話【14日目?】（前書き）

「今日の最弱カードはスピリットバリア  
永続罠カード、自分の場にモンスターが居る場合  
自分が受ける戦闘ダメージは0になるぞ」

偶には主人公にもしてもらおうかと思って十代  
しかしよく見ると……

思わず昼寝をしてしまったのでちょっとギリギリ……というか少し  
遅れました

夢で卒業テストの再テストを受けさせられそうになる夢を観ました  
正直に言って血の気が引きましたね……既に卒業しています。

今回はとうとうこの2人です、お待たせしました！  
まあ誰と誰かかは丸分かりですね。

次回はまあ大丈夫でしょう  
何だかんだ言っても、何故か更新できる自分が謎です  
どうして更新できるんでしょうか？

## 133話【14日目?】

視点 レイ

誰も居ないよね……うん、居ない

ナポレオン教頭が言っただけにクロノス先生を呼ばれたら厄介だもん

実技担当最高責任者クロノス……フルネームってなんだっけ?

使用デツキは確か古代の機械アンティーク・ギアデツキ

機械族のモンスターで、攻撃の時に魔法や罠が発動できなくなるそんな面倒なモンスター、相手にしてられないよ!

しかも実技担当最高責任者、知識も有る……と思うし  
そういえばボク、クロノス先生の決闘デュエルって見た事無いんだよね  
使うカードは知ってるけど、どんな戦い方をするんだろう?

「見つけたのでアール、早乙女レイ!」

……デジャヴ?

前にも似たような事が有ったような……しかも昨日。

「な、何ですか?

ナポレオン教頭」

あれ? 似たような言葉を返した気がする

なんだろう、自分が単純な人間に思えてきて悲しい。

「今日こそ、教師の面子に賭けて  
お前さんに勝つのでアール！ クロノス平教員！」

あらら、何だかんだ言ってもルールは守るんだね  
もう教頭はメダルを持ってないし  
そして頼るのはクロノス先生なんだ。

「……………」

「……………来ませんね」

「く、クロノス平教員！  
クロノス平教員！？ どこに行ったのでアルか！？  
だから吾輩にちゃんと付いてこいと言ったのに！」

いや、子供じゃないんだから迷子は無いでしょ  
別の場所を探してるんじゃないかな？  
学園ってやっぱり広いし。

「うぐ、うぐ……ここはどこなノーね」

……どうやら子供が混じっていたみたい  
クロノス先生が子供みたいに泣きながら現れた  
いい大人がなんて情けない……でも何故か似合うのはどうしてだろ  
う？

「何を泣いているでアルか！  
さっさとあの早乙女レイを倒すのでアール！」

「そーんな事を言われテーも……」

教師の面子を気にするのは分かるケーど  
こんなやり方は、どうかと思うノーね」

あ、クロノス先生は教頭より落ち着いてるんだ  
というかすぐに泣き止んでるし……嘘泣き？　そうは見えなかった  
けど

でも、これなら回避できるかもしれない。

「まあしカーし……実力がどれ程なのか気になるノーね  
教師の面子とか、そういうノーは全一部無視シーて、私と決闘する  
ノーね！」

残念、魔王<sup>クロノス</sup>からは逃げられない

駄目だ、勝負の最中に相手に背中を向けられない

……とりあえず決闘回避<sup>デュエル</sup>はできないみたい。

ううう……教頭も見てるし、初戦だし

これは断ったら何を言われるか分かんないや  
仕方無い、受けるしか無さそう。

「分かりました

この決闘<sup>デュエル</sup>に勝っても負けても、教頭は付きまとうのを止めてください  
あんまりしつこいとストーカーとして訴えますよ」

「う……分かったのでアール」

自覚が有ったの呻きか、それともまだ付きまとう気だったのか……  
どっちだろう

どっちにしても止めてくれるって約束してくれたから良いけど。

ボクは決闘盤を構える

デュエルディスク

クロノス先生は教頭と同じ、大きな決闘盤を準備する

デュエルディスク

態々準備する必要があるんだったら普通の決闘盤を使えば良いのになあ。

「デュエル決闘！」

「先攻は譲るノーね

生徒にそうそう先攻を貰っては

それはそれで教師の名折れなノーね」

馬鹿にされている……わけじゃなさそう

生徒を尊重するって感じなのかな？

教頭とコンビを組んでる事が多かったから誤解してたかも  
もしかして……割と良い人？

「ならボクのターン、ドロー！

モンスターをセットして、カードを1枚伏せてターンエンド！」

守りはこれで良し

アンティーク・ギアゴーレム

最初のターンに古代の機械巨人は出ないだろうし  
これぐらいで大丈夫でしょ、多分。

「私のターン、ドロー！

（早乙女レイのデッキはコントロール奪取デッキ

先攻を貰ったらアツサリとモンスターを奪われるノーね

デッキが変わっているとかいう話だケーど

今までのデッキの特性を考えると確実にコントロールを奪うノーね  
それに手札、やっぱり先攻を譲って大正解だっターの」

ちょっと顔がにやけてる……何をドロートんだらう？  
怖いような、楽しみなような……

「私はフィールド魔法、ギア・タウン歯車街を発動するノーね」

場が歯車でできた街に移り変わる……

なに……このフィールド魔法、ボクは知らない！  
こんなカードが有ったなんて！

「このカードが存在している限り、アンティーク・ギア古代の機械と名の付くモンスター  
1の

生け贄に必要な数は1体減るノーね  
更に永続魔法、アンティーク・ギアキャッスル古代の機械城を発動するノーね！」

生け贄が1体減る効果！？

しかも今度はアンティーク・ギアキャッスル古代の機械城まで！  
確か、アンティーク・ギア古代の機械と名の付くモンスターの攻撃力を300ポイント  
アップさせる効果

アンティーク・ギアキャッスルモンスターを通常召喚する度にカウンターが乗り、アンティーク・ギア古代の機械城を  
生け贄に捧げて効果発動  
モンスターに必要な生け贄以上のカウンターが有れば代わりに生け  
贄にできる……だったかな？

アンティーク・ギアどっちも古代の機械の召喚を補助するカード  
アンティーク・ギアキャッスルしかも、古代の機械城は強化までする！  
最初からこんな事をしてくるだなんて……

ギア・タウン「歯車街の効果を利用し、生け贄無しでモンスターを召喚するノーね  
アンティーク・ギアピースト私は古代の機械獣を召喚するノーね！  
アンティーク・ギアキャッスル古代の機械城の効果で攻撃力が300ポイントアップするノーね」

げっ……これは拙い！

「アンティーク・ギアピースト古代の機械獣で守備モンスターに攻撃すルーの！」

セットされていたモンスターが表になる

ボクのセットしていたモンスターはスネークポット

リバーズ効果モンスターなんだけど……

「ふん、リバーズ効果モンスターなノーね？」

アンティーク・ギアピーストしカーし、古代の機械獣には効果が有るノーね

戦闘で破壊した相手モンスターの効果は、そのモンスターが墓地に居る間ずっと無効にできるノーね」

分かってるよ、まさか最初から古代の機械獣が出てくとは思わなかった

困ったなあ……アンティーク・ギアピースト古代の機械獣が相手だとオシャレオンやレプティレス・ガードナーの効果が使えない

攻撃時に魔法や罠カードの発動も無効にされるし、厄介なモンスターだね。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドなノーね」

「ボクのターン、ドロー！」

前から気になってたんだけどさ、瑞貴さん

どうしてこのカードは同じ名前のカードなのに効果が微妙に違うの？  
今は気にしてもしようがないけどさ……今回はこっちが来てくれたし。



「永続罫、アポピスの化神を発動！

このカードはメインフェイズにしか発動できない

発動後、モンスターカードとなって攻撃力1600、守備力1800のアポピスの化神を特殊召喚！」

黒い蛇のモンスター……神話ではエジプトに居た毒を強く含んだ悪魔だっけ？

えーっと……原初の混沌から生まれた闇の蛇だったかな

エジプトの神話では最大級の悪魔らしいのに、どうして攻撃力がたったの1600なのかな？

詳しくは覚えてないんだけど……どうでも良いけど瑞貴さん、どうしてこんな事に詳しいの？

デュエルモンスターズとは関係無いはずんだけど……やっぱり趣味？

「アポピスの化神を生け贄に捧げ、レプティレス・メデューサを召喚！」

アポピスの事なんてあまり関係無いんだけどね、生け贄要員だし効果を無効化してくる古代の機械獣なんてさっさと破壊しないと！

「レプティレス・メデューサの効果を発動！

手札を1枚捨てて、相手モンスター1体の攻撃力を0にする！  
アンティーク・ギアビーストこの効果により、古代の機械獣の攻撃力を0に！」

「マンマミーア！

攻撃力が0になってしまったノーね！」

「レプティレス・メデューサで古代の機械獣に攻撃！」  
アンティーク・ギアビースト

もう慣れたよ、メデューサの丸呑みは

けど……確かに犬だけど、機械を食べるのはどうなのかな？

もしかしてお腹の中で爆発していたりとか、胃液で溶けたりするのかな？

……機械って胃液で溶ける物だっけ？

「まさか攻撃力を0にされるとは、思わなかったノーね

しカーシ……永続罫、未完の時空タイムボックス機械筐を発動するノーね！

自分のモンスターを破壊した相手モンスターを、ゲームから除外するノーね！

ついでに、カードを1枚ドロースするノーね」

除外！？　って、何か変な筐が出てきた！？

中心に赤い珠が入ってて、それが光ったと思ったらメデューサが……消えちゃった。

……ど、どうしよう？

「魔法カード、レプティレス・スポンを発動！

自分の墓地に存在するレプティレスと名の付くモンスターを除外

ボクはさっき捨てたレプティレス・スキュラを除外する！

そして自分の場に攻撃力、守備力共に0のレプティレストークンを2体特殊召喚！

カードを1枚伏せて、ターンエンドです！」

やっぱり先生というだけで強敵！

アンティーク・ギアゴーレム

とりあえず、貫通効果を持っている古代の機械巨人はまだ出てこな

いはず

でも念の為……これで少しは凌げるはず！

「私のターン、ドローナノーね  
アンティーク・ギアキャッスル  
古代の機械城の効果を発動

このカードはモンスターが通常召喚される度にカウンターが1つ乗るノーね

そしてこのカードを生け贄に捧げる事で、アンティーク・ギア古代の機械と名の付くモンスターを通常召喚できるノーね」

アンティーク・ギアキャッスル  
あ、古代の機械城の事忘れてたあ！

しかもこのタイミングで使うって事は出てくるモンスターは当然……

アンティーク・ギアキャッスル  
「現在、古代の機械城に乗っているカウンターは2つ

このカウンターは相手が通常召喚した時でも乗るノーね  
アンティーク・ギアピースト

私の古代の機械獣、貴女のレプティレス・メデューサ

この2体の通常召喚でカウンターが2つ乗っているノーね  
アンティーク・ギアキャッスル

古代の機械城を生け贄に、アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人を召喚！」

ああ……これは酷い

守備力0のモンスターに攻撃力3000で貫通効果だなんて  
でも、簡単に受けるほどボクは甘くないよ！

「バトル！

アンティーク・ギアゴーレム  
古代の機械巨人で……」

「待った！ 攻撃前に罠カードを発動させる！

永続罠、スピリットバリア！

自分の場にモンスターが存在している限り

ボクは戦闘ダメージを受けない！」

貫通効果はこれで無意味になった！

これでボクは安全だ！

「ふふふのふーん、まだまだ実戦不足なノーね  
カウンター罠、魔宮の賄賂を発動させるノーね  
相手の魔法、罠カードの効果を無効にして破壊するノーね  
ただし、相手はカードを1枚ドロースルーの」

な、どうしてそんなカードを！？

「私は本来、このカードはデッキに入れてないノーね  
しカーし、古代の機械達アンティーク・ギアの弱点を私に教えた生徒が居るノーね  
戦闘時、相手の魔法や罠カードの発動を無効にする戦闘では無類の  
強さを誇る古代の機械達アンティーク・ギア

その弱点は戦闘前に何かしらカードを使われて対策をされる事  
つまり……それを封じれば私は更に負ける事が少なくなるノーね  
！」

だ、だ……誰がそんな余計な事を……！  
どうしてくれるんだ、ボクが負けたらどうしてくれるんだよ……  
ー！

「ちなみに、これを教えたのは貴女と同室の彼なノーね  
以前、色々と有って2人で会話する事が有ったーの  
その時に教えてくれたノーね」

み、瑞貴さー……ーん！

「魔宮の賄賂の効果によりスピリットバリアの発動を無効にして破  
壊！  
さあシニョーラレイ、ドロースルーするノーね」

クッ……まさかの予想外の出来事！  
どうすれば勝てる！？

「では改めて……アンティーク・ギアゴーレム古代の機械巨人でレプティレストークンに攻撃！  
アルティメット・パウンドー……！」

アンティーク・ギアゴーレム  
古代の機械巨人が腕を振りかぶり、殴り掛かる  
離れた場所に拳の影みたいなのが飛んでいき、レプティレストーク  
ンを破壊

その拳はボクまで届いて……

「ぐうああああ！」

ダメージ……3000ポイントも！  
残りライフは1000、一撃で負ける！

「私のターンはこれで終了なノーね」

「ボクのターン、ドロー！」

レプティレス・バイパーを召喚！

相手の場に存在する攻撃力0のモンスターのコントロールを得る効  
果を持っているけど

クロノス先生の場には攻撃力0のモンスターが居ないから効果は不  
発」

「ゾーんなモンスターを出されても怖くないノーね  
攻撃力0のモンスターなんてこのデッキには入っていないイーの  
それに、攻撃力を0にするレプティレス・メデューサは既に除外さ  
れているノーね」

確かにレプティレス・メデューサは除外されているよ  
だけど、攻撃力を0にするカードがそれだけのはずが無いじゃん  
まあ……今は関係無いんだけどさ。

「ボクの目的はそうじゃないよ

攻撃力0のレプティレストークン、そしてレプティレス・バイパー  
を生け贄に捧げ

レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！」

もうお馴染み、レプティレス・ヴァースキ

相変わらず美人だね、だけど腕と下半身が怖いよ。

「レプティレス・ヴァースキは攻撃力0のモンスターを2体生け贄  
に捧げる事で特殊召喚できるんだ」

「ふうん、だがしカーし古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムには勝てないノーね

そのモンスターの攻撃力は2600、攻撃力3000の古代の機械アンティーク・ギア

巨人の方が攻撃力が高いノーね

苦労して召喚したのは褒められますが、残念ながら1手足りない  
ノーね」

確かに攻撃力では古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムには勝てない

だけど攻撃力だけで勝負するのはボクの主義じゃないよ！

……コントロールを奪う事が一番だけどね。

「攻撃力で勝てないなら効果で勝つだけだよ！

レプティレス・ヴァースキの効果を発動！

1ターンに1度、相手の場に表側表示で存在するモンスターを1体  
破壊する！

ボクが選択するのは当然、古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレム！」

「ななな、なんですとー！ー！」

ヴァースキは4本の腕で古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムを持ち上げようとして……重かったみたいで失敗

仕方なさそうな顔をして……丸呑み、それって攻撃する時の動作だよね？

効果は攻撃じゃないから違う方法にしてくれないかな？ 紛らわしいし。

「あわわわわわわ、古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムが食べられちゃったノーね！」

「これでクロノス先生の場合にはモンスターは居ない！  
レプティレス・ヴァースキで先生に直接攻撃！ダイレクトアタック！」

「ペペロンチート！」

こんなの反則なノーね！」

今、地味にチートって言ったよね？

別にこれぐらい優しいでしょ？

瑞貴さんが使ったら絶対に更に酷い事をしそうだもん。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

「むむむ、私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロー

魔法カード、古代の整備場アンティーク・ギアガレージを発動！

墓地の古代の機械を手札に加えるノーねアンティーク・ギア

私は墓地の古代の機械獣アンティーク・ギアビーストを手札に加え

続いて永續魔法、2枚目の古代の機械城アンティーク・ギアキャッスルを発動するノーね！

ギア・タウン  
そして歯車街の効果で生け贄を1体減らして古代の機械獣召喚するの！」

また出た……だけどその攻撃力は2300！  
ヴァースキの攻撃力2600には及ばない！

「更に装備魔法、アンティーク・ギアタンク 古代の機械戦車を古代の機械獣に装備させるのーね！」

アンティーク・ギア  
このカードは古代の機械と名の付くモンスターのみ装備できるのーね  
装備モンスターの攻撃力が600ポイントアップするのーね」

「攻撃力2900!？」

しかも効果無効化の効果を持っている！  
倒す事も難しいんだけど！

……だけども、よくそんな犬の姿でそんなに乗れるよね  
どうやって操作してるんだろう？

アンティーク・ギアピースト  
「古代の機械獣で、レプティレス・ヴァースキに攻撃！  
プレシヤス・フアング！」

アンティーク・ギアピースト  
ヴァースキに噛みついて破壊する古代の機械獣  
でもヴァースキには毒が……って、機械だから平気か  
ダメージは300ポイント、これは更に厳しくなったなあ。

「私はこれでターンエンドなのーね」

強い……どうやって倒そう  
クロノス先生の残りライフは1400



ボクのライフは残り700……クロノス先生の半分か。

「ボクのターン、ドロー！」

魔法カード、大嵐を発動！

場の魔法、罠カードを全て破壊する！」

よし、これで未完の時空機械筐タイムボックスを破壊できる！

あれさえ破壊できればメデューサは戻って来られる！

大嵐が場の全ての魔法、罠カードを破壊する

ボクの場合に魔法、罠カードは0枚

対してクロノス先生の場合には古代の機械城、古代の機械戦車、アンティーク・ギアキャッスルアンティーク・ギアタンク齒車ギア・タウ街も有る

未完の時空機械筐タイムボックスも含めて4枚も破壊できる！

「しかり、古代の機械戦車の効果が発動すルーの！」

このカードが破壊された時、相手に600ポイントのダメージを与えるノーね！」

わ、忘れてたあー！

って、古代の機械獣が古代の機械戦車から降りた？  
アンティーク・ギアピースト アンティーク・ギアタンク

かと思っただけなんだか危険な様子……古代の機械戦車が煙を噴いてる！？  
アンティーク・ギアタンク

しかも古代の機械獣が古代の機械戦車に頭突きをしてこっちに飛ばしてきたあ！？  
アンティーク・ギアピースト アンティーク・ギアタンク

「ちよ、待ってって……きやああ！」

目の前で爆発……残りライフは100しか無いよお  
なんとか生き残ったけど、もう虫の息って感じかも。

「更に齒車街ギア・タウンが破壊された事で効果が発動するノーね」

え？

「このカードが破壊された時

自分のデッキから古代アンティーク・ギアの機械と名の付くモンスターを特殊召喚できる  
ルーの

自分で破壊できるカードを待っていたんでスーが、破壊してくれて  
助かったノーね」

「で、でも古代アンティーク・ギアゴレムの機械巨人や古代アンティーク・ギアピーストの機械獣は特殊召喚できない制約  
が有る！

だとしたら出せる古代アンティーク・ギアの機械は古代アンティーク・ギアエンジニアの機械工兵とか古代アンティーク・ギアソルジャーの機械兵士  
ぐらい！

この状況でそんなモンスターを特殊召喚してもあまり意味は無いん  
じゃ！？」

「甘いノーね、まだまだ甘いノーね  
私はデッキより、古代アンティーク・ギアガジェルドラゴンの機械巨竜を特殊召喚するノーね！」

現れたのは機械で……歯車で作られたドラゴン

でも、腕……それか前足が無いドラゴンって確かワイバーンって呼  
ぶんだよね？

だったらこのモンスターって古代アンティーク・ギアガジェルドラゴンの機械巨竜じゃなくて古代アンティーク・ギアガジェ  
ルワイバーンの機械巨竜なんじゃない？

いや、別にどっちでも良いんだけど。

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
というか、真紅眼の闇竜だってワイバーンだし

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンもワイバーンだし、でも

ドラゴンだし

他にも気になるドラゴンとワイバーンが居るけど……

「つて、攻撃力3000のモンスター!？」

アンティーク・ギアゴレム

古代の機械巨人と同じ攻撃力のモンスターがこんなに簡単に!？」

「このカードは例の……以下省略なノーね

アンティーク・ギア

ちなみに古代の機械の弱点もこの時に教えてもらったノーね」

瑞貴さはあーーーーーん!

どうしてこんなにボクの戦況が悪くなるような事をするのーーーーー!

ボクが負けたら瑞貴さんのせいだ! 絶対に文句を言ってやるう!

「あ、そうだ

タイムボックス

未完の時空機械筐の効果

そのカードが破壊された時、このカードの効果で除外されたモンスターを場に戻すよ

よってレプティレス・メデューサが戻ってくる!」

でも攻撃力3000の古代アンティーク・ギアガジェルドラゴンの機械巨竜なんて倒せないし

アンティーク・ギアピースト

だからって古代の機械獣のに攻撃しても意味は薄いし

ボクの手札のカードは毒蛇の供物……

自分の場の爬虫類族モンスターを破壊して相手のカードを2枚破壊する

これでメデューサを破壊してというのも手段の1つだけど……あれ?

そういえばボク、手札を1枚持ってるんだよね?

更に言うとなレプティレス・メデューサの効果は……あ。

「えっと……レプティレス・メデューサの効果を発動

手札を1枚捨てて、相手モンスター1体の攻撃力を0にします

アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
この効果で古代の機械巨竜の攻撃力を0に……」

「しまっターの！

あまりにも巧い事ギア・タウン歯車街が破壊されて

アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
簡単に古代の機械巨竜を特殊召喚できたから忘れてたノーね！」

うん、ボクも忘れてた

だって場の魔法、罠カードを破壊したら普通はそれで終わりなのに

アンティーク・ギアタンク  
古代の機械戦車の効果で600ダメージ

ギア・タウン アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
歯車街で古代の機械巨竜の特殊召喚

何度も驚いててつい忘れちゃったよ。

「レプティレス・メデューサ、アンティーク・ギアガジェルドラゴン古代の機械巨竜に攻撃だあ！」

さすがにあんなに大きなモンスターは食べないよね？

15Mから20Mぐらい有りそうなんだもん

いくら体が5Mから7Mぐらいのメデューサでも無理だよ……ね？  
アンティーク・ギアピースト  
古代の機械獣は3Mぐらいだったから食べられただけで……ね？

そう、思っていた時期がボクにもありました

アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
メデューサったら、尾を締め付けて古代の機械巨竜の翼を粉砕

翼が丸々落ちて、それを丸呑み。

次は胴体を玉砕

それで下半身や尻尾が壊されてまた丸呑み。

最後の上半身は一呑みで大喝采

蛇の丸呑み根性には呆れるしか無いと思った

もしかしてレプティレス・ナージャもこんな事するのか？  
今度攻撃力を上げて試してみよう。

「わ、私の古代アンティーク・ギアの機械巨竜が……  
く……悔しいノーね……」

あ、逃げた……って、メダル！  
ボクが勝ったんだからメダルは置いていけ……！

そんな事を心の中で叫んでいたらクロノス先生が止まって  
後ろ向きのまま走って戻ってきた……危ないんじゃないの？  
と思った瞬間、踵が何かに引っかかって後頭部から転けた……大丈  
夫かな？

やっぱり大丈夫じゃなさそうで凄く痛そうに後頭部を押さえて転が  
り回ってる  
少し転がっていたと思ったら立ち上がってこっちに来た  
今度はちゃんとボクの方を向いて前を向いて歩いている。

「これ、私に勝ったご褒美のメダルなノーね  
私を相手にギリギリとはいえ勝つとは素晴らしいノーね  
これからも頑張ルーの、だけどもまた戦う時は私が勝つノーね」

……なんだか嬉しいな  
クロノス先生からメダルを受け取る。

「はい、頑張ります！」

「それじゃあ教頭、もう行くノーね  
悔しい気持ちは分かるけど、諦めるノーね」

「ぐぬぬぬぬ……分かったのでアール  
早乙女レイ、次にまたこんな事が有ったら覚悟しておくのでアール  
次こそは絶対に我々教師達が勝つのでアール」

「は、ははは……お手柔らかにお願いします」

台無し……クロノス先生も後頭部にたんこぶなんて有るから余計に  
台無し

せっかく良い人だと思ったのに、なんだか微妙な感じになっちゃっ  
たなあ

ちよっと格好良かったのに……締まらないって残念かも。

渡されたメダルは教師だからか、やっぱり相変わらず少なくとも24枚  
ナポレオン教頭よりも2枚多かった  
昨日渡されたメダルを数えたら22枚だったし。

なんというか、教師と何人も決闘したなあデュエル

みんな強いのにメダルが少ないんだもん、達成感が小さいや  
でも満足感はあるかなあ……だって教師に勝ったんだし。

……けどもう遠慮したいかも  
なによりももう……疲れた。

精神的にも、体力的にも

時間はまだまだ早いけど、もう帰ろうっと  
これ以上決闘デュエルなんてやってられないや。

### 133話【14日目?】（後書き）

クロノスが情けない……

作者のイメージってこんな感じなんですよ

これを書く前にアニメの卒業決闘<sup>デュエル</sup>を観たからでしょうか？

先攻を譲るとは……実は策士のクロノスだったのか

何だかんだでそんな感じですよ

卑怯と言わなれ、これも戦術。

クロノスが強い……

と、作者は思います

レイのライフを100まで削りましたしね。

どこにでも出てくるな、瑞貴

弱点を教えたのはV S 瑞貴戦後の<sup>ギア・タウン</sup>歯車街とかを渡す時

頑張ってくれたクロノスなので……まあ描写が無かったというのを  
使いました

どこで何が利用できるか分かりませんね。

ネタが妙に多いような……

今回は所々にチラチラと。

何故大嵐？

他に使えそうなカードがありませんでした。

大きすぎてそうなの？

勘。

クロノスはやっぱりクロノスか……  
締まらないのがクロノスだと思います。

原作、アニメオリジナルカード

未完の時空機械筐タイムボックス

自分フィールド上のモンスターが戦闘で破壊された時に発動する事ができる

相手の攻撃モンスター1体をゲームから除外してカードを1枚ドロースする

このカードが破壊された時、このカードの効果でゲームから除外したモンスターをフィールド上に戻す

異次元隔離マシーンが永続罠になってドロォができるようになり

相手だけを除外して、更に発動条件が付いたようなカードです

しかも同じように破壊された時に場に戻すのでオオアリクイアリで

墓地に送れば帰還は無理

どちらが強いかわねたら……どっちでしょうね？

ツイッター、夢で親に怒鳴られて説教された

http://twitter.com/#!/ainkuria

……夢で親に怒られるって、どうしてそうなった？



### 134話【15日目?】（前書き）

「今日の最強カードはトロイボムだよ  
相手のカードにより、自分のモンスターのコントロールが相手に移った時

奪われたモンスターを破壊して相手にそのモンスターの攻撃力分のダメージを与えるの

ハッキリ言って、ボクの天敵のカード

洗脳解除とかに並ぶ、最悪のアンチカードだよ」

素でこのカードをデッキに入れているプレイヤーが相手のレイでした  
本当に使用してるんですね……レイアンチとかじゃなくて。

という訳で、読めば分かりますが今回もレイです  
しかも相手は……まあ、予想した人も居るのでは？

そして今回もミスです

どうしてよく効果を確認しないのか……

いい加減にミスは無くしたいです。

今日はまだ時間が有ったのにのんびりし過ぎました

おかげでギリギリ……間に合ったので良しとしましょう

前書き後書きは間に合いませんでしたが。

## 134話【15日目?】

視点 瑞貴

さて、朝か……動くか  
マナはまだ寝てるな……最初は精霊は寝なくてもあまり問題は無い  
と言っていたんだが  
寝るという癖を付けたのが原因か?  
それでも今回に限って、寝坊は許さん。

「起きろマナ

起きないと……お」

「起きます!

起きますから何もしないでください!」

起きた……寝たふりか?

そうでなければ即答はできないか

普段だったら許してやったんだが、今回はタイミングが悪い。

「……3日間、抱き枕禁止」

「えええ!?!」

自分でも悪ふざけが過ぎたと思ってるのか、素直に諦めた  
これだったら5日と言っても良かったか?  
別にどっちでも良いんだが。

「行くぞマナ

さすがに人に見つかると拙い裏の火山まで行くぞ」

「はい！」

疲れるんだよな……あそこまで行くの山登りは大変だ、足が痛くなる俺は体力もあまり無いし……はあ。

っと、その前に美寿知に会っておくか俺も動くから美寿知にも動いてもらわないと。

と、思った時にメール？ 誰からだ？

……校長か、しかし頭に包帯を巻いてるってどうしたんだ？

『今から午前10時より、生き残っている生徒は学園の正門前に集合してください』

既に人数は1桁になっているので、全員に集まってもらいますそこで、皆さんには正門前で決闘デュエルをしてもらおうと思います参加者でまだメダルを持っている方は全員、学園の正門前に集合してください』

ふむ、これは更にチャンスだな目立って欲しいという目的なのだから、これで更に目立つこうなれば俺が居ないぐらい、そうそう分らないだろう。

相変わらず校長室は音沙汰無し  
どういう状況か、詳しくは分からないがそれでも校長が頭に包帯を巻いている。

つまり、何かが起こったという事だ  
今の内に処理しておかないと後々響いても困る  
白に襲われたという事は無いと思うが……多分。

やっぱり美寿知に囹をさせるのは止めさせた方が良いか？  
しかしそうなる……それに本人もやる気だしなあ  
困った……危険な可能性が更に上がっただけに困った。

しかし、やはり美寿知に注目してもらわないと困る  
だが危険……ジレンマだな  
すっぱり決められれば良いんだが……はあ。

そんな事を考えても、やはり美寿知に頼む事は変わり無い  
いくら悩んだって自己満足だ  
美寿知がやる気を出している今、俺がどれだけ考えても無駄だ  
罪悪感とか、そんな事を考えている暇があれば先の事を考えよう。

「出るぞ、マナ」

マナを連れて美寿知とカミューラの部屋に向かう  
まあ、1分も掛からず着くんだが。

「美寿知、起きてるか？」

とりあえずノックして尋ねる  
朝からだと言ったから起きているはずなんだが……  
と、思ったら扉が開いた。

「……………おはよう瑞貴」

凄まじく眠そうだ、こんな時に夜更かしをしたのか？  
今は9時だ、もう起きてもおかしくない時間のはずだろ？

「おはよう美寿知、俺達はそろそろ動く  
10時に学園の生徒手帳を使い」

美寿知に生徒手帳に送られた学園長からのメールを見せる  
寝ぼけているものの、理解はしたらしい  
少しずつ意識が覚醒していくのが分かる。

「10時か……分かった、学園に向かおう  
私はそこで何と名乗れば良いのだ？」

「フルネームを名乗っても構わない  
囃は目立つのが仕事だからな  
一応、誰かの代理とだけは言ってくれ  
俺の名前は出すなよ？」

そんな事をすれば誰もが俺と戦ってない事に誰かが気付く  
もし俺はどこに居るといふ話になれば……  
しかも生徒が探し出したら更に問題だ  
このまま俺の事は忘れていてもらおう。

「了解した、気をつけてな」

「それは俺の台詞だろうが……  
お前も気をつけろよ」

美寿知と別れる

俺は準備していた物を持ち、火山に向かう  
大会で集まる場所を指定されたんだ  
そんな場所には誰も行かないだろう。

できれば10時までには終わらせたい  
体力が保つかどうか……はあ  
面倒だが頑張るか、嫌だなあ。

視点 レイ

校長先生からのメール……かあ。

「なんだかソワソワしてるけど……  
もう行くの？」

「うん、明日香さんはどうする？  
ボクは先に行ってのんびり待とうと思ってるけど」

着替え終わった明日香さんの質問に答える  
ここから正門前までそんなに時間も掛からないし  
のんびりブラブラして行こうっと。

「私は10時前に着くように出るわ  
この大会の優勝者も気になるしね」

「分かった  
じゃあまた後でね」

明日香さんの部屋から出てももえさんの部屋に向かう  
昨日はまだ頭が痛いって言ってたけどどうなんだろう？

ももえさんの部屋の前に着いてノック  
少し待つとドアが開いた……って、ももえさん？

「おはようございますわレイ君」

「おはようももえさん  
そろそろレイ君って止めてくれない？  
後、ジュンコさんはどうしたの？」

「良いじゃありませんの、レイ君でも  
ジュンコさんは夜中に十代さん達に呼ばれてからまだ戻ってませんわ  
……ジュンコさん、まさかお泊まり！？」

4214

え……まさか十代さん、ジュンコさんを抱き枕に？  
でも抱きにくいと思うんだけど  
だってジュンコさん、身長高いんだもん。

「それは置いといて、ももえさん  
体調はどうなの？  
頭痛とか吐き気とか」

「もうかなり治ってますわ  
10時には私も行くので頑張ってくださいませ」

「うん！」

ももえさんと別れ、フラフラと歩き回る  
特に目的も無いけどね。

「あ、玲ちゃんに亮さんだ」

歩いていたら玲ちゃんに亮さんを発見  
だけど……

「校長先生のメールを見たかみんな！  
今日でジェネックス大会も終わりだ！  
私達は時間になったら大会の最後に向かう  
だが、最後まで白狩りを行う！  
お前らも最後まで気を抜くな！」

「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」

……近づかない方が良さそう  
それにしても、玲ちゃんも亮さんも勝ち残ってるのかあ  
分かっている参加者はボク達3人は確定  
多分、マナさんも生き残ってると思うから4人か。

他に誰か居るのかな？

女子寮に住み始めた時に彰子さん達からは既に負けたって話は聞いてるけど

明日香さんも負けてるし、という事はボク達4人での争いかな？

あ、十代さんはどうなんだろう？  
夜中にジュンコさんと呼んだって事だから何か有ったのかな？  
生き残ってるかどうかは分からないけど。



そんな事を考えている内に正門前に着いた  
まだ1時間ぐらい時間が有るのにそれなりに人が居るなあ……

あ、校長先生だ

やっぱり怪我をしてるみたい……でも元気そう

トメさんが看病してるからかな？

なんだか噂では恋仲とかって話を聞くけど。

一応、生き残ってる生徒として報告しておこうかな

これだけ人が居たら誰が誰だか分からなくなるかもしれないもん。

「校長先生」

「ん？」

君は確か……特別入学の早乙女レイ君だったね

そういえばまだ負けていなかったか……よく頑張ってるね」

「はい、ありがとうございます  
でも校長先生、大丈夫ですか？」

褒められるのは素直に嬉しい  
だけど校長先生の体も心配。

「ああ、大丈夫だ

それよりも聞いたのだが……」

何を？

「君は我が学園の教師を何人も倒しているそうだね  
クロノス先生やナポレオン教頭からも話を聞いているよ

全ての教師を倒そうとするやる気は良い事だ」

え？ 何か誤解が有るみたいなんだけど……

ボク、別に全教師を倒そうとなんてしてないよ？

もしかして変な伝わり方をした！？

「しかし、このままでは学園の教師は弱いというイメージが作られてしまう

それは教師として、学園長としても色々と問題なのだよ」

そ、それで？

「そこでだ、私と決闘<sup>デュエル</sup>してもらえないだろうか？

例えば私が負けても校長の私の实力を見れば少しはマシになるかと思  
ってね

どうだろう、受けてくれないかね？」

え、えええー……なにこの謎展開？

もしかして受けないと何かペナルティが発生するとか？

というか負けろって言われてるの？

「勿論、全力で相手をしてくれれば良い

このまま負け続けでは学園としても、教師としても悔しいのでね」

もしかして……単に負けず嫌いなだけ？

だからってボクを相手にしなくても……

いや、ボクだから相手にするのかな？

「……分かりました、お相手します

でも、その怪我で大丈夫ですか？」

それが心配なんだよね  
だって怪我してるんだし。

「心配には及ばないよ  
私だってそれなりに鍛えているからね  
確かに体の節々は痛むが、決闘<sup>デュエル</sup>できない程ではない」

だったら良いんだけど……  
ボクと校長先生は道の真ん中を陣取り、少し離れる  
ざわめいていた観客も何が起こるのか理解し始めてきた。

「準備はよろしいですか？」

「はい、大丈夫です」

注目を浴びてるなあ……ちょっと恥ずかしい  
例え校長先生でも、手加減は絶対にしないよ！

「決闘<sup>デュエル</sup>！」

「先攻はボクが貰うよ、ドロー！」

………手札事故だあああああ……！！  
ど、どうしよう！  
こんな手札じゃ殆ど何もできない！

「レプティレス・バイパーを守備表示で召喚！  
更にカードを1枚伏せてターンエンド！」

この貴重で大事で大変で拙い時になんで！？  
なんとかしないと本当に拙い！

「私のターン、ドロー」

サイバー・エスパーを召喚」

確かドローカードを確認するモンスター

つまり、ボクの手の内を読まれるという事になる。

「サイバー・エスパーでレプティレス・バイパーに攻撃！」

ゆら〜……って感じにバイパーに近づいてくるサイバー・エスパー  
何をする気かと思ったらなんか光った！？

そう思ったらバイパーが吹っ飛ばされて破壊された  
もしかして光ったのが攻撃だったのかな？  
まあ、エスパーって名前が入ってるしね。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドです」

手札破壊系カードが使われたら厄介だなあ  
ボクの手札にはモンスターが居ないんだもん。

「ボクのターン、ドロー！」

「この瞬間、サイバー・エスパーの効果を発動  
サイバー・エスパーが表側攻撃表示で存在している限り  
相手がドローしたカードを私は確認する事ができる  
さあ、ドローしたカードを見せてください」

ボクが見せたのはオシヤレオン  
召喚できるモンスターだ。

「続けます  
オシヤレオンを召喚！」

出てくる無駄に派手なカメレオン  
こんなのだけど、攻撃力は1400も有るんだよ！

「オシヤレオンでサイバー・エスパーに攻撃！」

サイバー・エスパーを伸ばした舌で捕まえる  
そのまま舌を戻して……丸呑みした！？  
と、思ったんだけど咥えられたのは頭だけ  
体の大きさが違うんだから仕方無いでしょ？

サイバー・エスパーの大きさは大人の男の人ぐらい  
オシヤレオンは中型犬ぐらいの大きさなんだもん  
オシヤレオンはサイバー・エスパー吐き出し、舌で叩きつけた  
その攻撃でサイバー・エスパーは破壊された。

よし、これで200ポイントのダメージだ  
なんとかダメージは与えられたけど、僅かなダメージだけ  
正直、殆ど意味が無かったとは思えない！

「ふむ、サイバー・エスパーが倒されたか……  
しかし……罠カード、バイロード・サクリファイスを発動  
自分のモンスターが破壊された時  
手札よりサイバー・オーガを特殊召喚する」

出てきたのは鉄の体をした鬼……攻撃力は1900かあ  
別にそんなに高い攻撃力じゃないけど、それで上級モンスター？  
どうしてそんなモンスターを？

って、どっちにしてもオシヤレオンじゃ勝てないか  
ダメージが500程度で済むだけマシだけどさ。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

こうなったら次にする行動も決まってくる  
校長先生、どう動くのかな？

「私のターン、ドロー」

魔法カード、パワー・ボンドを発動！

場か手札から機械族モンスターを融合召喚する

私は手札のサイバー・オーガと場のサイバー・オーガを融合  
サイバー・オーガ・2を融合召喚！」

攻撃力2600……しかも確かパワー・ボンドの効果って！

「パワー・ボンドの効果で融合召喚されたモンスターは攻撃力が2  
倍になる

ただし、エンドフェイズに融合召喚したモンスターの元々の攻撃力  
分のダメージを受けるがね」

攻撃力5200……どう考えてもボクのモンスターじゃ超えられな  
いよ

こんな攻撃を受けたらボクのライフが一気に減っちゃうよ！

まあ、一応ライフは残るんだけどたった200ポイントだけだし。

「バトルだ、サイバー・オーガ・2でオシャレオンに攻撃  
そしてサイバー・オーガ・2の効果が発動する  
攻撃時、攻撃対象となったモンスターの攻撃力の半分を得る  
つまり、オシャレオンの攻撃力の半分、700ポイントが追加され  
る」

という事はサイバー・オーガ・2の攻撃力は……5900!?  
1ターンキルで決めるつもり!?

サイバー・オーガ・2の体が赤くなっていく  
多分、体温を上げてるんだと思う  
その体で……オシャレオンに攻撃してくるつもり!?

「いけ、サイバー・オーガ・2!」

サイバー・オーガ・2がオシャレオンに襲いかかってくる  
こんな攻撃を受けたらボクのライフは!

視点 瑞貴

はあ、はあ……山登りはさすがに辛い!  
しかし、本当に誰も居ないな  
というか誰1人擦れ違わなかったし。

ふう、ようやく頂上か  
少し休もう、疲労で判断ミスなんてしたくないしな。

「大丈夫ですか？」

「大丈夫じゃない

精霊は良いな、浮いて移動できるから

魔力は多少消費しても体力は減らないんだろ？」

羨ましい気もするが、魔力を使っても良いのか？

魔力が微妙に減ってるから昨日は止めたんだろ？

「体力は使わなくても少しは疲れますよ

水、飲みますか？」

水筒を渡されたので素直に受け取って飲む

火山という事で熱さを想定して多く持ってきたんだが  
思ったより熱くないな

これでは水筒の重みで疲れるだけだったか？

「さて、一休みしたら始めるぞ

あんまりのんびりしていられないしな」

「はい！」

これらのカード、使いたくなかったな

まあ使える物は基本的に使う主義だ

「あ！」

「どうしたマナ？」

突然声を上げて、何か見つけたのか？



「今、ブルーの男子寮で光が見えたんです  
もしかして……破滅の光が何かをしたのかも？」

……よく見えたな

ここからブルー寮はかなりの距離が有るはずだが  
精霊だから目が良いのか、俺には見えない光だったのか。

「……予想通りであり、予想外だな

何かする可能性は有ると思ったが、ここまで時間が無いとは  
こうなったら休んでられないな」

デュエルディスク  
カミューラの決闘盤を構える

それにしても鈍い黄金色か……良い趣味だ  
だけど俺はどちらかと言えば金より銀の方が好きだな。

「やるぞマナ、準備は良いな？

もつとも、お前に準備が必要は無いだろうが」

「必要ですよ、心の準備とか  
でも大丈夫です！」

ならばよし、さて……召喚、発動するかな。

視点 レイ

「これで私の勝ちだ」

普通ならそうだね、だけど！

「罨カード、毒蛇の供物を発動！

自分の場に存在する爬虫類族モンスターを破壊し

相手の場に存在するカードを2枚破壊する！

ボクはオシャレオンを破壊

そしてサイバー・オーガ・2と伏せカードを破壊する！」

これが決まれば大打撃のはずだ！

「速攻魔法、融合解除を発動！

場の融合モンスターを融合デッキに戻し

墓地より融合に使用したモンスターを特殊召喚する！

この効果により、サイバー・オーガ・2を融合デッキに戻し

墓地よりサイバー・オーガを2体特殊召喚する

更に罨カード、ピケルの魔法陣を発動

このカードの効果により、このターンに私が受ける効果ダメージは0になる」

か、完全回避された！？

パワー・ボンドの効果ダメージリスクを無効化にして

更に融合解除の効果で破壊を回避した上にモンスターを特殊召喚するだなんて！

「クッ……オシャレオンの効果は戦闘破壊されないと効果は発動しない」

効果が発動できれば攻撃力500以下の爬虫類族を手札に加えられるのに！

「まだ、私のバトルフェイズは終わっていません  
サイバー・オーガ2体で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

思いつきり腕を振りかぶってくる2体のサイバー・オーガ

ちよつと待って、同時に殴り掛かってくるのはかなり怖いんだけど

……

だから止めない？　ねえ止めない？　止めない……よね？

「きゃあああ！」

さすがに辛い！

攻撃力1900が2体、ダメージは3800だから残りライフは200！

本当に危なかった……負ける寸前だった！

「ふむ……これで決めるつもりだったのですが、まあ良いでしょう

私はこれでターンエンドです

パワー・ボンドの効果でエンドフェイズ時

融合召喚したモンスターの元々の攻撃力分のダメージを受けます

しかし、私はピケルの魔法陣の効果で効果ダメージを受けません」

受けてくれたら2600のダメージだったのに！

オシャレオンの攻撃も合わせて残りライフが1200まで減ったのに！

なのにどうしてライフが3800も有るの！？

「ボクのターン、ドロー！

ナーガを守備表示で召喚！

これでターンエンド！」

出てくる変な蛇のモンスター

……レプティレス達の親戚か何かかな？

それはともかく、サイバー・オーガの攻撃力は1900

ナーガの守備力は2000

これでなんとか耐えられるはず……

「私のターン、ドロー

サイバー・オーガの攻撃力よりも守備力が高いモンスター  
仕方無い、カードを1枚伏せてターンエンドだ」

カードを伏せただけ

でも……油断はできない！

「ボクのターン、ドロー！

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！」

この手札ならなんとか……これしか方法が無いか！

「レプティレス・スキュラを召喚！

更に装備魔法、モルティング・エスケープをレプティレス・スキュ  
ラに装備！

カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

攻撃はできない

今は少しでも時間を稼いでこの状況をどうにかしたい！

「攻撃力が劣るモンスターを攻撃表示……何を考えて居るか  
私のターン、ドロー

魔法カード、強欲な壺を発動し、更にカードを2枚ドロ  
サイバー・オーガ、レプティレス・スキュラに攻撃！」

スキュラに殴り掛かってくるサイバー・オーガ  
だけど……攻撃を受けたのはスキュラの皮  
スキュラ本体は生き残ってるよ！

「む、どういう事だ？」

「モルティング・エスケープの効果が発動しました  
このカードを装備したモンスターは1ターンに1度、戦闘では破壊  
されません

そして戦闘で破壊されなかったダメージステップ終了時  
装備モンスターの攻撃力を300ポイントアップさせます！」

「なるほど、それで破壊から免れたのですか  
しかも攻撃力は2100、サイバー・オーガでは敵わない  
だが、戦闘ダメージは受けてもらいますよ」

受けたダメージは100ポイント  
ボクの残りライフも100ポイント  
半分ものダメージを受けて……もう負けそう。

「これで私のターンは終了します」

「ボクのターン、ドロロー！  
レプティレス・スキュラでサイバー・オーガに攻撃！」

これが通れば融合が来てもまだ安全になる！

「手札より、サイバー・オーガを捨てる事で効果を発動  
自分の場に存在するサイバー・オーガが行う戦闘を1度だけ無効にし  
次のバトル終了時までこの戦闘を行った相手モンスターの攻撃力分  
だけ攻撃力をアップさせる！」

そんな……サイバー・オーガの攻撃力は2100アップして400  
0!?

スキュラには既に攻撃宣言をしてるから守備表示に変更もできない!

「か、カードを2枚伏せてターンエンド!」

「私のターン、ドロー」

魔法カード、死者転生を発動

手札を1枚捨て、墓地のモンスターを1体手札に加える」

モンスターを手札に加えるって……

誰がどう考えても手札に加えるカードは決まってるじゃん!

「私が手札に加えるのは当然、サイバー・オーガ!

攻撃力の高いサイバー・オーガでレプティレス・スキュラに攻撃!」

だけどこれは逆に好都合!

校長先生の手札はサイバー・オーガの1枚だけ!

「罠カード、闇霊術―「欲」を発動!

自分の場の闇属性モンスターを生け贄にして効果を発動!

デッキからカードを2枚ドローする!

けど、相手は魔法カード公開する事でこの効果を無効にできる  
でも、校長先生の手札はサイバー・オーガの1枚だけ

よって効果は無効にできない!」

「む……しまった、発動タイミングを誤ってしまったか？」

多分、普通は発動すると思う  
だってその方が相手に反撃を受けにくいだろうし。

「ボクは闇属性、レプティレス・スキュラを生け贄に捧げ  
闇霊術―「欲」の効果でカードを2枚ドロー！  
装備されていたモルティング・エスケープは破壊される」

「確かにそれでサイバー・オーガの攻撃を躲したと思いますが  
サイバー・オーガは2体居ます  
攻撃力の高いサイバー・オーガでそのまま、ナーガに攻撃！」

殴りかけれるナーガ  
胴体を拳で潰され、そのまま破壊される。

「罨カード、エーリアン・ブレインを発動！  
戦闘で破壊された爬虫類族モンスターが墓地へ送られた時  
そのモンスターを破壊したモンスターのコントロールを得る！  
ついでに、そのモンスターは爬虫類族として扱う！  
この効果により、校長先生のサイバー・オーガのコントロールを貰  
う！」

よし、これで迂闊に同じ攻撃力同士  
サイバー・オーガの効果を発動するとしても  
そうそう攻撃してくる事は……

「罨カード、トロイボムを発動します  
相手のカードの効果によって自分のモンスターのコントロールが相

手に移った時

コントロールを奪われたモンスターを破壊し  
その攻撃力分だけダメージを与える」

うそお!?

コントロール奪取デッキの第3の天敵カード!?

「罨カード、毒蛇の供物を発動!

自分の場の爬虫類族モンスターを破壊!

更に相手の場のカードを2枚破壊する!

ボクの場に居る、エーリアン・ブレインの効果で爬虫類族となっ  
ているサイバー・オーガを破壊!

そして校長先生の場に居るサイバー・オーガとトロイボムを破壊す  
る!」

場のモンスターが爆発し

更に魔法、罨カードは既に1枚だけ

残ったカードはボクの伏せカードだ。

「まさか回避されるとは……

私の手札にはサイバー・オーガのみ  
これでターンエンドです」

「エンドフェイズ、速攻魔法を発動! 終焉の焰!

自分の場に攻守0の黒焰トークンを2体、守備表示で特殊召喚する!

ただし、このトークンは闇属性モンスターの生け贄召喚にしか生け  
贄召喚の生け贄にできない!

更に、発動ターンは召喚、反転召喚、特殊召喚もできなくなる!」

「ほお……やりますね



速攻魔法で、更に相手のターンに発動すれば召喚や特殊召喚が可能となる

良い戦術です」

勝っている相手に言われてもあまり嬉しくない！

そういうのは観客に居る時に言ってほしい！

「ボクのターン、ドロー！

攻撃力0の黒焰トークン2体を生け贄に捧げ、レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！

レプティレス・ヴァースキは攻撃力0のモンスター2体を生け贄に捧げた時のみ特殊召喚できる！」

相変わらずこれが切り札！

校長先生の中にはモンスターが居ないから効果を発動できないけどそれでも攻撃力2600だから十分！

「攻撃力2600……」

ライフは削りきれないけど

それでもこれだけの攻撃力、そう簡単には倒されない！

「レプティレス・ヴァースキで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぬうううう！」

ヴァースキは尾の先端を軽く先生に当てた

これで校長先生のライフは残り1200

このまま押し切ってやる！

「これでターンエンドです！」

「私のターン、ドロー」

魔法カード、デュアル・ゲートを発動

このカードと、墓地に有る同名カードをゲームから除外  
そしてデッキからカードを2枚ドローする」

「ちょ、ちょっと待ってください！」

いつそんなカードを墓地に送ったんですか！？

今までそんなカード、一回も……」

そう、伏せカードとかも破壊していない

なのにどうやって墓地へ！？

「それは私が発動した魔法カード、死者転生の時に捨てました

これで発動条件は満たしています

よって、私はこの2枚を除外し、デッキからカードを2枚ドローする！」

あの時……まさかあんなタイミングで捨てていただなんて！

「更に魔法カード、融合を発動！」

手札、または場から融合に必要なモンスターを融合させる！」

「って、また待ってください！」

サイバー・オーガは手札に1枚だけ！

更に残りのサイバー・オーガは墓地に居るはず！」

「慌ててはいけませんよ

速攻魔法、サイバネティック・フュージョン・サポートを発動します

ライフを半分支払い、融合に必要なモンスターをこのカードで代用します

ただし、本来融合に必要なモンスターを場か墓地から除外しますがね  
私はこの効果により、墓地のサイバー・オーガ2体を除外  
再び現れる、サイバー・オーガ・2!」

……うそ?

という事はこれってボクの……負け?

「サイバー・オーガ・2、レプティレス・ヴァースキに攻撃!

この瞬間、サイバー・オーガ・2の効果発動!

サイバー・オーガ・2が攻撃する時、相手モンスターの攻撃力の半分だけアップする!

レプティレス・ヴァースキの攻撃力は2600、よって攻撃力は1300アップ!

サイバー・オーガ・2の攻撃力は……3900だ!」

真っ赤になってヴァースキに激突するサイバー・オーガ・2

そんなサイバー・オーガ・2に触れられ、燃え上がるヴァースキ  
燃え尽き……破壊される。

攻撃力差は1300、ボクのライフは100

ま、負けた……

「私の勝ちですな」

「そう……ですね  
ボクの負けです」

なんだか逆にスッキリした気分かも

今まで張り詰めていた気分が晴れたというか……  
もしかしてボク、先生達に勝ちすぎて天狗になってたのかな？

「いやはや、早乙女君は強いですね

ここまで勝ち残っている上、教師も何人も倒している  
更にこれほどの實力を見せてくれたのです

オーナーの意向とはいえ、レッドのままにしておくのは惜しい  
元々女の子ですし、ブルーに昇格する気はありませんか？」

「え？　ボクがブルーに？」

という事はブルーの制服を着るのかな？

でもレッドの制服しか持っていないんだけど……

それに頼むとしたらボク、まだ子供でしょ？

制服の大きさも合わないだろうし……レッド制服のままかな？

「私としては、それがよろしいかと」

どうしよう……ブルー女子寮に移動しないと駄目かな？

レッド寮に住めなくなるんだったら……あれ？

だったら瑞貴さんはどうしてレッド寮に住んでるんだろう？

もしかしてお願いしたらレッド寮のまま住めるのかな？

「あの、ブルーになってもレッド寮に住んでいいですか？」

「む……確か君の学園での保護者は堅守君でしたな

彼が許可をするならば良いでしょう、好きにきなさい

ではブルーになるという事でよろしいですね？」

「はい、お願いします！」

どっちにしてもブルーには成りたかったんだ！  
これで瑞貴さんや明日香さん達ともお揃い！

そんな事を考えていたら突然凄い拍手が聞こえてきた！？

そういえば決闘デュエルをしていたことって……正門前！

しかも学園長がメールで残ったジェネックス参加者を集合させた場所  
つまり……凄い人数の人が居たあ！？

あああああ！ 玲ちゃんに亮さん、吹雪さんに明日香さん！

ジュンコさんにもえさんに彰子さんにゆまさんに雪乃さん……万  
丈目先輩まで！？

他にも大会で戦った生徒や先生、しかも何故か美寿知さんまで居る  
！？

もしかしてこの決闘デュエル、殆ど全員に見られてた？

うわあああああああ、恥ずかしい！

なんだかよく分からないけど凄く恥ずかしい！

「って、あ！

ボク、負けたから最終戦の参加資格……無くなっちゃった」

「いえ、私との決闘デュエルはエキシビジョンマッチのようなつもりだった  
ので構いませんよ」

そう言ってくれるのは嬉しいんだけど……

でも、白くなった人達は正気じゃなかったんでしょ？

なのにもう参加資格は無いし……それって卑怯だよね？

「その……すみませんけど、辞退します

大会中に負けたのに最後まで参加していたらずるいですし」

視界の端で万丈目先輩が胸を押さえてた……どうしたんだろう？

「そうですか、なら仕方ありませんね

さて、今この場でメダルを持っているのは？」

前に出てきたのは4人

玲ちゃん、亮さん、吹雪さん、美寿知さん

……何で美寿知さんが居るの？

「君達4人か……

それでは自己紹介をしてもらおうか」

## 134話【15日目?】（後書き）

起きないと……お？ おって何だ!？

ご想像にお任せします

とりあえずマナが嫌がる事でしょう。

校長、どうしたの？

アニメでヘリが墜落しました……木の蔓に引かかったのでまだ軽傷  
時間的に、エドと斎王が決闘デュエルしています。

ジュンコはどうしたの？

夜中に十代に呼び出されました

そして十代がオージーン王子と決闘デュエルする時

色々デュエルと決闘装置の操作や電気など……

アニメで明日香がしていた事をジュンコが担当しました。

玲が……

もう諦めました

作者も悪乗りが過ぎたかもしれません。

まさかの校長が相手!？

しかも強い……アニメでは全敗だったんですけどね。

パワー・ボンド!？

いや、持っていても良いんじゃないかと思ったので。

マナが見た光って何？

エドVS斎王戦の内容ですが

斎王がアルカナフォーエクストラSEX|THEザ・LIGHTライトRULERルーラーを

召喚しました。

サイバー・オーガの効果が違う？

原作効果です

元々の攻撃力かどうかは不明、なので現在の攻撃力にしました。

毒蛇の供物は破壊できないと効果は発動できないんじゃない？……

今回のミスです

ゴッドバードアタックのような効果と勘違いしていました  
見逃してください、ごめんなさい。

トロイボム！？

アニメで実際に使用していたカードです

なのでアンチとして入れていたわけではありません。

何故ナーガ？

最初はレプティレス・ガードナーだったのですが

処理がおかしいという事となりましたので急遽変更しました  
デッキに合わないのは分かってはいるんですけどね……蛇なので合っ  
ているのか？

色々探したのですが、爬虫類族十守備力1900以上

バルーン・リザードも可能だったのですが、そうなると校長のライ  
フが0になるので無理

他にも探しましたが、ナーガしか居ませんでした……少々不満です。

レイがブルーか……

当然の処置だと思われます

教師を何人も倒し、校長をここまで追い詰めたのですから。

万丈目はどうして胸を押さえてたの？



アニメで十代に敗北

なのにそれでも大会に参加していたからです  
この作品ではその直後に亮に負けていますが。

原作、アニメオリジナルカード

デュアル・ゲート

このカードと墓地にある同名カード1枚をゲームから除外する

自分のデッキからカードを2枚ドロウする

単純なドロウカード、しかし単体では役に立ちません

墓地に直接魔法カードを送るカードも無いですね

手札から捨ててドロウを待つか、それとも無差別にデッキから落とすか

そういう手段しか無いと思います。

ツイッター、腰が痛いなあ

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
変な格好でもしてるのかな？

## 135話【15日目?】（前書き）

「今日の最強カードは和睦の使者

罨カードで1ターンの間、モンスターとの戦闘ダメージを0にくれるわ

ついでに、戦闘破壊からもモンスターを守ってくれる

防御系カードとしては最高クラスのカードよ

しかもいつでも発動できるのが心強いわ」

お前はデッキに入れた方が良いんじゃないか、雪乃？  
攻撃的だから不要かもしれないけど。

今回は時間系列がかなりややこしい事になっています  
後書きで順番を説明するので……まあそういう事です。

チートカード？ 何それ普通じゃん

というのが遊戯王世界での常識だと思います

色々と有り得ないカードですね、あのカード達は。

かなり自己理論が混じっています

どこまで本場でどこまでがアニメ内で使用されているかも分かりません

もうこうなったらとことん進むべきだと思い、全速前進DA！

時間が無いので明日はほぼ確実に更新は無理です

さすがにバトルロイヤルを時間が無い中で更新させる自信はちょっと……

## 135話【15日目?】

視点 瑞貴

……よし、覚悟は決まった  
諦めて使う!

「まず、ブラック・マジシャン・ガールを召喚  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
続いて、真紅眼の黒竜を召喚  
更に聖なるバリアーミラーフォース―をセット」

マナとは別に現れるブラック・マジシャン・ガール  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
続いて出てくる真紅眼の黒竜  
伏せられるミラーフォース  
必要な普通のカードはこの3枚……更に必要なはこの超チートカ  
ード。

「発動、ティマイオスの眼  
ヘルモスの爪、クリティウスの牙」

現れるエメラルドのような色の体をしたドラゴン……ティマイオス  
ルビーのように、燃えるような赤い体をしたドラゴン……ヘルモス  
黒曜石のように黒く、硬そうな体をしたドラゴン……クリティウス

「ティマイオスの眼の効果  
ブラック・マジシャン・ガールとの合体  
竜騎士ブラック・マジシャン・ガール……召喚」

ぶっちゃけ、騎士の鎧を着てティマイオスに乗っただけのブラック・マジシャン・ガール

どう見ても鎧を着ただけで乗っただけ、究極竜騎士と大差無いな

マスター・オブ・ドラゴンナイト

……まあ凛々しく見えるのは女性とはいえ騎士だから仕方無い

攻撃力は2600、守備力は1700の閥属性、ドラゴン族モンスター

攻撃を行う時、手札を1枚捨てる事で戦闘では破壊されず、戦闘ダメージも受けない

そして戦闘を行った相手モンスターを破壊する効果だったか。

「……………あの、これって有りですか？

本当に使ってますし、選ばれたんですか？」

「いや、選ばれてないだろう

持っているから使った、そして使えたんだから何でも良いんだよ  
ほら、一時的に融合するんだろ？」

「……………はい」

凄まじく気になっているであろうマナだが無視

精霊として、一時的にブラック・マジシャン・ガールと融合する

問題は竜騎士ブラック・マジシャン・ガールとなっているという事  
マナがティマイオスの力に耐えられるかどうか……か。

「だ、大丈夫みたいです

凄い力……これが伝説の竜の力

なんだか、何でもできそうな感じです」

「ならブラック・マジシャンに変身してみろ」

無理難題を言ってみる

何でもできそうと言うとつい……

「……無理です、言い直します

戦闘的な意味で何でもできそうな感じですよ」

マスター・オブ・ドラゴンナイト ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
「なら究極竜騎士とか、F・G・Dとかエクゾディアとか  
そいつらに勝てるか？」

無理難題その2

どう答えるかちよつと興味が有る。

「効果破壊ならまだ……でもエクゾディアにはどうやっても勝てません

攻撃力が∞とか反則ですよ……言い直します  
攻撃力2600、守備力1700、更に効果の及ぶ範囲でなら大抵  
の事ができそうな感じですよ」

謙虚ってのは大事だと思うぞ  
それが分かったなら良いんだ。

「マナ弄りはさておき……次、ヘルモスの爪の効果  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜と合体  
装備魔法、真紅眼の黒竜剣  
レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード  
これを竜騎士ブラック・マジシャン・ガールに装備」

漆黒の刀身をした変わった形の剣が現れ、マナの手のの中へ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード  
真紅眼の黒竜剣の効果

装備モンスターの攻撃力は1000ポイントアップ  
更に場に存在するドラゴン族の数×500ポイント攻撃力がアップ

する

現在、場にはドラゴン族は1体、よって攻撃力は4100だな。

「……これも凄い力を持ってる

レッドアイズ・ブラックドラゴン

元々、真紅眼の黒竜は私の攻撃力を超えてるし

それがヘルモスの力まで持って……なんだか怖いぐらい」

そりゃそうだろう

お前だけで伝説の竜の力を2体も扱ってるんだからな

……いや、確か伝説の名も無き竜だったか？

細かい事まで覚えてないからどっちでも良いけど。

「最後、クリティウスの牙の効果

罨カード、聖なるバリアーミラーフォースーとの合体

出てこい、ミラーフォース・ドラゴン」

クリティウスの体が虹色に変わる

変化は小さいが、それでも十分な強さだろう。

攻撃力は2800、守備力は1200の光属性、ドラゴン族

このモンスターが攻撃された時

攻撃してきたモンスターの攻撃力以下の相手モンスターを全て破壊する

更に回数制限は無く、戦闘では滅多に敗北は無い。

例外はそのモンスターの攻撃力を速攻魔法や罨カードで上げられる事

その瞬間、そのモンスターは攻撃力以下にならなくなる

ブラックフェザー

他にもBF、月影のカルート、オネストにも弱い

抜け道は割と多いという事だな。

そして、レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード真紅眼の黒竜剣の効果でマナの攻撃力が500ポイントアップ

これで攻撃力は4600、ブルーアイズ・アルティメットドラゴン青眼の究極竜の攻撃力を上回った。

「……あの、みんな私の言う事を聞いてくれますか？」

「知らん」

「そんな無責任な！」

仕方無いだろう、俺にどうしろと？

召喚したんだから言う事は聞いてくれると思うが……

「あー……伝説の名も無き竜よ  
俺の指示に従ってくれないか？」

……無視しやがった、この蜥蜴共！

まあ、俺程度の人間に従うようでは伝説も高が知れているか  
召喚はできたんだがな。

「あの、私の指示に……従ってくださいませんか？」

小さく声を上げる竜達

やっぱり精霊が好きなのかね？

人間を信用しているかも疑問だ。

「なら俺にはどうしようもできないな

今の内にサポートできるだけサポートしておくか」

空いているモンスターゾーンは3箇所

魔法、罨ゾーンは4箇所か。

「融合を発動

ロード・オブ・ドラゴンードラゴンの支配者―と、神竜ラグナロクを融合

竜魔人キングドラグーンを融合召喚」

これで効果に対しての耐性ができた

更に真紅眼の黒竜剣の効果で攻撃力アップ。  
レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード

「ホルスの黒炎竜LV8を召喚

ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン  
青氷の白夜龍を召喚」

これで魔法を無効化

更に攻撃された時に対象を入れ替える効果も付ける  
これだけすればマナも安全だろう……多分。

「……ちよつと豪華過ぎませんか？」

「そうか？ 危険度を下げるんだったらこれぐらい必要だろう  
幸い、竜達が居るのが原因か……半分ぐらい実体化してるし」

しかし、本当に竜達が原因か？ マナが精霊として干渉しているのか？

それともマナと竜が変な作用を起こしてこの現象を起こしてるのか？  
何にせよ、完全に実体化できないのは当然だろうけどな  
それでもこれだけの力と効果が有れば十分だろう。

ブルーアイズ・アルティメットドラゴン  
寧ろ、青眼の究極竜を出さなかっただけ良心だろう  
あいつは効果は無いが攻撃力4500だぞ？



今のマナの攻撃力は6100だが。

「罠カードを4枚伏せてっ」と

これだけ伏せればどうにかなるだろ

マナ、勝手に発動させても構わんぞ

ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン  
青氷の白夜龍の効果で墓地に送っても構わん」

「あの、何を伏せたんですか？」

「和睦の使者、和睦の使者、和睦の使者、和睦の使者の4枚だ」

守りも万全、これで一安心だろう。

「……………用心し過ぎじゃないですか？

もっと攻撃系のカードを伏せても……

というかデッキに同名カードは3枚までだからルール違反じゃ……」

「黙れ

お前が使ったら新しいのを伏せる

だから守りは気にするな」

「（いや、そういう意味じゃないんですけど

これだけ居て、破壊できない方がおかしいかな？）」

それだけ居て破壊できなかったらどれだけソーラは強いんだよ

守備力10000か？ モンスターじゃないけどよ。

「さて……マナ、そろそろ宇宙へ行け

そしてソーラを破壊してこい」

「はい！」

そう元気に返事をして飛び立つティマイオス  
ティマイオスに続くクリティウスやドラゴン達  
俺は伏せカードやモンスターが破壊されたらすぐに動くけるように  
しておく

手持ちには和睦の使者がまだ6枚も残ってる……デッキじゃないから良いんだよ！

一通りの防御系カードが有れば大丈夫だろうし。

そういえば……大会はどうなってるんだ？

ついでに白板や似非とかも……

……ん？

視点 明日香

ジェネックス大会で生き残っていたのは4人か  
私もあの場所に立ちたかったわ。

「まずは僕から自己紹介しようか  
僕は天上院吹雪、この学園の3年生だ  
メダルは……まあ、108枚だね」

知っているかしらモノクロ白黒兄さん

人間の煩惱の数は108有るのよ？

お正月にする除夜の鐘の鳴らす数と同じ

何でも、煩惱を払う為の儀式だとか……

モノクロ  
白黒兄さん、今度初詣に行きましょう

そして煩惱を全て払ってもらいなさい

きつとそれが学園やみんな……何より私の為になるわ

問題は既に3月だからとつくにお正月が終わっているのよね。

「知っていると思うが、丸藤亮……ここの卒業生だ

現在はプロの決闘者デュエリストをしている

メダル枚数は112枚」

遅れて来たのに凄い枚数ね

どうやって集めたのかしら？

「私は堅守玲、飛び入り参加の一般人

年齢は11歳だけど気にするな

メダル枚数は212枚」

212枚!?

どうやってそんな数のメダルを!?

「私は……斎王美寿知、この学園の生徒である斎王琢磨の妹だ

とある者の代理の代理として立たせてもらっている

代理の者が集めたメダル枚数だが、583枚だ」

斎王琢磨の名前が出た時、周りがざわめいた

あれだけ騒ぎを起こしている人物、当然でしょうね

でも美寿知、どうして今更出てきたの？

そして代理……やっぱり瑞貴の代理でしょうね

元々マナが集めていたんでしょうけど、どうやってそれだけの枚数を……

「ちなみにボクが集めたメダル枚数は311枚だよ」

「……いつの間にこっちに来たの？」

気付けばレイが私の横で立っていた  
それにしても311枚……凄いわね。

美寿知が出てきたという事は……瑞貴は最後まで出てくるつもりは無いという事ね

マナはどうしたのかしら？

瑞貴の我が儘とかにでも振り回されているとか？

それにしても、周りのざわめきが煩くなってきたわね  
斎王のとか、誰の代理だとか……

「静まりなさい！」

斎王……美寿知さんだったね

君は誰の代理なのかね？」

校長先生の一喝でギャラリーが落ち着く  
これで静かになるわ。

「申し訳無いがそれは言えない  
だが、その者に恥じない決闘デュエルをするつもりだ」

美寿知……本気ね

誰が優勝するのかしら？

「まあ、良いでしょう」

ではこれより、ジェネックス大会の最終戦を行う！  
2組に分かれ、それぞれで決闘<sup>デュエル</sup>を……」

「待ってください、鯨島校長」

校長先生の言葉が遮られた  
どうして止めたのかしら？

「なんだね、丸藤亮」

「このままではつまらないでしょう？

ならばここはバトルロイヤルというのはどうでしょう？  
全員敵同士の真剣勝負」

バトルロイヤル……おもしろそうね

尚のこと、ここに立てなかった事が悔しいわ。

「バトルロイヤル……か

他の参加者はどうかね？」

「僕は構いませんよ

集中攻撃されたって負ける気はありませんから」

「私も構いません

誰が相手でも、私のする事は変わりませんからね」

「私も構わない

偶にはこんな事も良かろう」

全員が賛成

これで決まったわね。

「よろしい

ではジェネックス大会最終戦、4人によるバトルロイヤルを行う！」

全員がデッキをセット

そして決闘盤を構える  
デュエルディスク

誰が勝つか、結構楽しみね。

「(全員乗ったか……

俺がこの戦いを選んだ理由はただ1つ……勝率を上げる為

吹雪のデッキはドラゴン族、サイバー・ダーク達は相手の墓地からもドラゴン族モンスターを引き摺り出せる

つまり……吹雪が強力なドラゴンを出せば出す程、俺が有利となるこの戦い、俺が勝つ！」

「(楽しみだなあ、こんな決闘は  
デュエル

亮とは久しぶりだし、玲君の決闘は見ただけだったな  
デュエル

美寿知という人物は気になるが……大丈夫だろう

だって勝つのは僕なんだからね)」

「(強敵は亮ちゃんのみ

残りの2人はある程度注意しながらさっさと潰そう  
最後は亮ちゃんと私の一騎打ちかな?)」

「(瑞貴の成績に影響するらしいし、負けられないな  
デュエル  
決闘も囃も私に任せ、お主はソーラを頼むぞ)」

全員が相手プレイヤー全員を睨む  
そして同時に動く。

「「「<sup>デュエル</sup>決闘！」「」」

視点 マナ

心配してくれるのは嬉しいけど……これは過剰戦力なんじゃ？  
確かに、これだけすれば失敗は無いだろうけど  
……まさか無機物に同情する日が来るとは思わなかったなあ。

しかも、本当に宇宙まで来られるとは……  
宇宙って綺麗だなあ……地球は本当に青いんだ  
なんだか感動かも。

竜達は言う事を聞いてくれているけど  
なんだか嫌そう……召喚師が悪かったのかな？  
仕方無いから諦めて。

うーんと……どこに有るのかな？

静止衛星軌道衛って言ってたし、そこまで遠くないと思うんだけど  
よし、地球1周の旅に出よう！

……………

……………

……

あ、発見！

1時間も掛からずに見つけられて良かった  
でもなんだか様子がおかしいような……あれ？

気のせいかな……白い光を纏っているような

ううん、絶対に纏ってる

もしかしてあの光、破滅の……って、撃ってきたあ！？

「罨カード、和睦の使者！

そしてミラーフォース・ドラゴン、あの撃ってきた光を止めて！」

これで破壊されないはず！

更に攻撃を跳ね返す！

だけど、光は跳ね返せず、逸らすのが精一杯だった……  
こ、これって凄く危険な状態なんじゃ？

それに、和睦の使者は3分しか効果が無いし。

1ターンのルールはやっぱ適用されるんだもんね  
最長3分というのがルールだもん……一応らしいけど。

ソーラの光はずっと打ち続けていてミラーフォース・ドラゴンは身  
動きが取れない

地球から逸れているのが唯一の救いだけど……あまり長く保たない  
と思うし

早くソーラをどうにかしないとミラーフォース・ドラゴンが！

それより、どうしてソーラが動いたんだろう？

コントロール装置は部屋に有ったはず

あんな嚴重なロックを解除するのは大変だし



こんな短い時間じゃ無理のはず。

……そんな事はどうでも良い

それよりもこの状況をどうにかしないと！

「ミラーフォース・ドラゴンはそのままソーラの攻撃を受け流しておいて！

竜魔人キングドラグーン、ブルーフェイス・ホワイトナイト・ドラゴン青氷の白夜龍、ホルスの黒炎竜！

全員でソーラに攻撃して！」

それぞれのドラゴンが出すブレス

闇のブレス、氷のブレス、炎のブレス

3色のブレスがソーラに当たる……寸前、弾かれた！？

破滅の光が……ソーラを守っている？

この攻撃力2400、3000のモンスター達でも通せないだなんて！

早くなんとかしないといけないのに！

いったいどうすれば……

視点 十代

「フィールド魔法、光の結界を発動！」

斎王がフィールド魔法を発動した瞬間

辺りが不思議な空間に……な、何が起こったんだ！？

「この結界の中では  
アルカナフォース以外の効果モンスターの効果は無効になる」

効果モンスターの効果を無効化！？  
いつだったか、瑞貴の妹が使っていたスキルドレインみたいなカードか！

ふとネオスを見てみると半透明になってる！？  
今までハッキリと見えていたのに！

「光の結界の力は決闘<sup>デュエル</sup>だけではない  
精霊達にも影響を及ぼすのだ」

精霊に影響だと！？

『十代、この結界の中では我々は力を発揮できない』

「ネオス！」

ネオスの姿がぶれている  
このままだとネオスが消えちまう！

「目覚めよ、オージーン！」

オージーン！？  
何故この状況でオージーンを！？

オージーンを見てみると表情が段々と能面になって……  
感情が消えた？

「はい、斎王様」

まさか、また洗脳されたのか！？

あんな言葉だけで洗脳ってできるのか！？

今度は斎王は手から光を出し、鍵に向けて撃ち出す

ネオスも迎撃しようとしたが、力が発揮できないのか……消えた  
斎王の撃ち出した光は鍵を掴み……どうやって掴んでるんだ？

「運命を司る2つの鍵を取れえ！」

斎王から伸びる光はオージーンの手の中に収まる  
オージーンはこの部屋から出て行こうとするが、リンドさんに止め  
られた。

「邪魔だ！」

「あ……ぐう」

斎王が叫んだ瞬間、リンドさんから力が抜けた  
オージーンはそのまま鍵を持ったまま逃げ出した  
そしてオージーンを追いかける剣山と回復したリンドさん。

頼んだぞ、剣山……

オージーンを止めてくれ！

「何をしている

まだ私のターンは途中だぞ」

「待てよ斎王

確か、コントロール装置を無くしたとか言っていたよな？  
そいつは見つかったのかよ」

この事は随分怒ってたからな  
どうせ取り戻してないんだろ。

「コントロール装置？

ふっひひひひ、そんな物

とつくに我が光の結社の手中に収まっている！」

「な、なんだと！？」

あれだけ必至に探して見つからなかったとか言っていたのに！  
いったいどうやって！

「何、塔とて所詮は人間だった  
という事だよ、十代……」

どういう意味だ？

「続けるぞ

アルカナフォース？―THE<sup>ザ・</sup>LOVERS<sup>ラバーズ</sup>の正位置の効果

アルカナフォースと名の付くモンスターを生け贄召喚する場合、1  
体で2体分の生け贄となる

THE<sup>ザ・</sup>LOVERS<sup>ラバーズ</sup>を生け贄にして、アルカナフォース？？？―  
THE<sup>ザ・</sup>WORLD<sup>ワールド</sup>を召喚！」

出てきた……エドを散々苦しめたモンスター！  
そして頭上に現れる正位置、逆位置を決めるカード。

「光の結界、第2の効果  
カードの正位置、逆位置は意のままに決める事ができる  
当然正位置だ」

くそ、そんな効果反則だ！

確か正位置の効果は自分のモンスター2体を生け贄に捧げて  
相手のターンをスキップする効果

今、斎王の場にモンスターは居ないけど、召喚を許したら拙い！

「THE<sup>ザ・</sup> WORLD<sup>ワールド</sup>でシャイニング・フレア・ウィングマンに攻  
撃！

オーバー・カタストロフ！」

シャイニング・フレア・ウィングマンの効果は光の結界の効果で無  
効になっている

つまり、今のシャイニング・フレア・ウィングマンの攻撃力は、元  
々の攻撃力である2500！

THE<sup>ザ・</sup> WORLD<sup>ワールド</sup>の体に有るオレンジの球体が光っていき  
目だと思うんだが、そこから強烈な光のビームを撃ってきた  
THE<sup>ザ・</sup> WORLD<sup>ワールド</sup>の攻撃力は3100、シャイニング・フレア・  
ウィングマンでは勝てない！

「光の結界、第3の効果発動  
戦闘で相手モンスターを破壊した時  
そのモンスターの元々の攻撃力分だけ  
自分のライフポイントを回復する」

そんな強力な効果に、更にライフ回復効果まで……

「更にカードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

光の結界の中では、俺のモンスターは力を発揮できない  
どうにかしてこの結界を破壊しないと！

視点 瑞貴

マナを送り出した直後  
白い制服を着た生徒がうじゃうじゃと  
闘作戦は失敗……か。

いや、それ以前の問題だろう  
元々俺を狙っての行動だな  
ずっと見ていたのかは分かんが……

まあ、見られていてもそこまで大きな問題じゃないな  
オレイカルコス事件が起こったのは何年も前の話、こいつらとてま  
だ小学生か中学生の頃  
インターネット上で名も無き竜達の情報は無かったし、探そうにも  
探せないだろう  
そもそも、魔法カードなのかモンスターカードなのかも分からない  
はず

分かった所で手に入れる方法は俺からぐらいしか無いだろうがな……

カミューラの寝ている棺桶を運んでいる白の生徒が数名  
どう見ても脅迫だな……生徒の内、3人が蓋に手を置いている。

カミューラは吸血鬼

日の光を浴びて、平気なはずが無い  
他にも色々と持ってるな……

流水が苦手故に、大量の水が入っているバケツが1人2つ持って3人、合計6つ

十字架、大蒜などの吸血鬼が苦手としている物を装備している生徒が5人

純銀のナイフ、木でできている杭……心臓に刺されたら吸血鬼でも死ぬぞ？

「ソーラのコントロール装置を渡せ」

確信しているって事か

白板の能力を甘く見過ぎたか？

そう簡単に気付かれないと思ったんだが……

何せ、盗んだのは精霊と吸血鬼だからな。

下手に誤魔化せばカミューラは確実に殺されるな

ったく……何でこのカード世界でリアルバトルをせにやなんのだ  
今日は厄日だ。

「今は持っていない」

「なら置いている場所に案内しろ」

チッ、話し合いをするつもりも無いって事か

なんだかんだで俺も囲まれてるし、下手に逆らったら俺まで刺され  
そうだ

カミューラだったら何だかんだで生き残るかもしれんが

俺は普通の人間、ちよつと無理だな。

反撃しようにも、人数が多すぎる

こっちも凶器を出した所で、この状況では高が知れてるな  
しかも、こんな状態では殺す可能性も出てくる

諦めた方が賢明か……白板の野郎め。

「……いいだろう

俺に手出しはするなよ？

カミューラにもだ」

頷く白の生徒

俺は遅い足取りで下山を始める

……が。

「何をトロトロ歩いてる

さっさと歩かねば、この棺桶を開くぞ」

そう脅迫されたらなあ……仕方無い

少し早足で歩き出す

これ以上は登りで足を痛めているから無理だ。

無言で付いてくる白の生徒達

頑張って棺桶を運んでいる生徒は大変そうだ

カミューラも起きているだろうが、昼間なのは分かっているだろう  
から出てこれない

マナは現在宇宙空間、孤立無援の上、大会で殆どの生徒が正門前  
本当にどうしようも無いな……絶体絶命かよ。

これは完全に失敗だったな



コントロール装置なんて奪わず、全部似非に任せれば良かった死んだら絶対に化けて怨んで呪い殺してやる……似非も白板も、ついでに赤鳥もだ！

どうするべきか……どうしようも無いな

カミューラは死のうが生きようが、どっちでも構わんが俺はまだ死にたくないのぞな

最悪、カミューラは見捨てて逃げるか……死にはしないだろう。

暫く歩き続けるとレッド寮に着く

あんまり深く入られると困るからそろそろ止めるか。

「おいお前ら、俺の部屋に入るのは構わん

だが、俺が金庫の鍵を解除する所は見るな

欲しいのはソーラのコントロール装置だけだろ？

それを渡せばカミューラの棺桶を置いてさっさと出て行け」

「……良いだろう

斎王様から命じられた事はコントロール装置を手に入れる事それ以外には特に指示を与えられていない」

チツ、この操り人形共め

しかも棺桶を持っている奴は外に居る

部屋の中に入ってきた奴を潰しても厭しいか。

「ほら、後ろでも向いてろ

こんな状況になってまで駄々を捏ねたり、無駄な事を起こしたりはしない

さっさと鍵を解除してコントロール装置は渡してやるから」

少し考える素振りを見せ、後ろを向く白生徒  
部屋の中は4人か……やっぱり無理か。

焦らないように、確実に鍵を外していく

勿論、少し遅くしているがな

もう俺にはこれぐらいしか時間稼ぎはできない。

………

………

……

まあ、それでも鍵を全部外すのに10分も掛からないんだけどな  
慣れてるから手が自然とテキパキと鍵を解除して……既に無  
意識の行動だな

そりゃ毎日のように鍵を掛け外していれば当然か  
初めての頃は1時間近く掛かっていたのが懐かしい……

コントロール装置を取り出し、再び鍵を元に戻す  
その時間、約5分……しまった、いつもの癖で速く戻しすぎた！

「ほら、ソーラのコントロール装置だ  
だが、これを渡す前にカミューラの棺桶を部屋に戻せ  
そうすればコントロール装置を渡してやる」

「言う通りにした瞬間、逃げ出すつもりだろうか？」

「無理を言うな

またカミューラを人質に取られたら意味が無いし

逃げてでも逃げ切れる自信も無い

更に言うならば下手に抵抗してもどうにかする手段も無い

俺にできる事は少しでも自分が有利になるように動くだけだ  
ま、嫌なら嫌でも構わないぞ？

そうなれば俺はこのコントロール装置を……」

隠し持っていた銃をコントロール装置に向ける  
本気で撃つつもりは無い、壊れたら逆に俺が困るからな  
壊せば逆ギレして襲われるかもしれないからな。

「撃ち抜いて破壊する  
嫌なら諦めてカミューラを置いていくんだな」

白生徒は暫く無言だったが、1人が外に出て行った  
俺も外に出て行き、カミューラが本当に部屋に戻されているのか確  
認する

当然、コントロール装置から銃は外さない。

カミューラの部屋に入ったのは4人  
暫く待ち、部屋から出てきたのは……4人だな  
これなら良し。

「そら、受け取れ」

近くに居た奴にコントロール装置を投げ渡す  
白生徒はコントロール装置を受け取り、走り出した  
他の白生徒も全員走り出す……疲れた。

マナはどうなっているんだ？

伏せられていたカードは……とりあえずまだ使われていないようだな  
今、宇宙ではどうなってるんだ？

大会も気になるが、白板も何をしているか……

……っと、急いで部屋に戻らないと

あんまりのんびりしていたら和睦の使者を全部使われる

どうせだったら戦闘耐性を持てるようになるミスト・ボディ……は、駄目だな

あれは霧になって攻撃を当てられないようにするカードだ  
攻撃を防いだり、止めたりはできない

もし何かのドラゴンが盾になったりしていたら逆効果だ。

あまり使いたくはなかったんだが……仕方無い

ソウル・シールド、アイアン・リゾルブを使おう

どちらも和睦の使者と同じ効果を持つが、ライフを半分払うコスト  
が有る

精霊が力を使っている状態でライフを払う……デメリットが怖いな。

唯一の救いはライフコストは半分という点か

どれだけライフを払っても0になる事は無い

戦闘ダメージも受けないんだしな。

各10枚……か、1枚の効果は3分ぐらいだろうし

となると20枚だから1時間分か

もし体力が削られたりするんだったら……俺の体力、保つか？

死ななければ良し、衰弱程度で済めば御の字という事にしておこう  
そうでなければやってられん！

まあ、それは和睦の使者を全て使われてから考えよう

今はまだ1枚も使われていな……くはないようだな

既に1枚発動されているか。

という事はソーラが起動したという訳だな

……これ、俺も同罪なのか？

俺も大量虐殺犯の一員に数えられるのだろうか？

よし、校長を脅そう、そうしよう

金は惜しまず、どんな手段を使ってでも事件をもみ消してやる！

何が何でも、何をしてでも絶対に最低限でも俺は無関係という立場にさせてやる！

全部白板に押し付けて……いや、同情は禁物、全部押し付ける！  
そうしないと俺が危険だからな！

逃げる準備もしておくべきか？

退学届を準備して、引っ越しの準備もしないと

家に帰ったら親や玲を連れて海外にでも逃げようかな……

しかしさすがに日常会話で英会話は無理だ、少し悩む。

国内でも逃げられる場所は有るだろうが、どこが有る？

沖縄の島を偽名で1つ丸々買うか？

広い北海道に雲隠れならぬ雪隠れも1つの手段だし

戸籍の改変もしないと……名前も変える必要が有るな

顔を変える為に整形手術も視野に入れるべきか……金がかなり飛ぶな。

マナが上手くしていれば良いんだが……

人的被害が無かったらそこまでする必要は……多分無くなるだろうし無理だとは思うが、万が一できたら褒め倒して可愛がってやろう

俺の人生が掛かってるんだ、多少の事は全部許してやろう。

……ま、何にしても逃げる準備だけでもしておくか  
私物を全部集めて、トランクに入れて、金庫からカードを全部出して

退学届を書いて、P Cのデータもすぐにフォーマットできる状態にしておくか。

よし、それだけしておけば大丈夫だろう

和睦の使者の効果時間に注意しておきながら急いで準備だ

死んだり人生が終わるぐらいだったら……絶対に逃げてやる！

## 135話【15日目?】（後書き）

どういう順番で時間が流れているの？

瑞貴1↓瑞貴2↓十代↓大会↓マナ↓瑞貴2（最後辺り）

こんな感じの順番だと考えておいてください  
ならその順番通りにしろ？

……まあ、その通りなんですけどね。

ちょっと待て瑞貴！ その3枚は色んな意味で駄目だろう！

作者もそう思います

……が、これはかなり前から考えていました  
予想外という声が聞けたら嬉しい事です。

どこにどう突っ込めば……

全部に突っ込んでください

作者は（多分）全部に答えます。

マナが扱えるLVのカードか？

……まあ多分大丈夫でしょう。

瑞貴の指示には従わないんだ……

ただの召喚師ですの

力が宿ったカードではなくても、やはり特別なカードなのでしょう。

ならどうしてマナの指示には従うの？

精霊なのでまあ良いかというイメージ

初登場時も精霊が出てきていましたし……アレって精霊でしたよね？

どうしてモンスター達が半分実体化してるの？

精霊のマナがモンスターとして存在して実体化しているから

故に、同じ決闘盤に居るモンスターにも干渉され

デュエルディスク

全てのドラゴンが半分実体化するという事に……

まあ、自己理論で暴論なのは理解していますがスルーで。

メダル枚数が1500枚に足りてないような……

十代、エド、斎王のメダルです。

今って3月なの？

アニメで明日香がレイVS万丈目戦を見て一言

小学校を卒業したばかりの子に……

普通の小学校は3月に卒業式ですし

そういう理由から現在、ジェネックス大会では3月という事に多分  
なります。

美寿知でも良いんだ、校長？

良いんじゃないですか？

だって道楽校長ですし。

バトルロイヤル……だと！？

これは休んでいた時より前から考えていました

問題は誰を残すか……作者は4人以上同時にする自信は無かったの  
でこんな形に

5人からは無理だと思ったのでレイは削られてもらいました  
よって、最終戦は亮、玲、美寿知、吹雪のバトルロイヤルです。

光の結界の効果が……

原作効果です

不確定ながらもライフコストを払わなくて済むスキルドレイン  
ライフ回復効果、アルカナフォースの正位置逆位置の自由



正直、かなり凶悪なカードです  
ちなみに、回復効果はアルカナフォースではなく、普通のモン  
スターでも発揮します。

瑞貴が……

これが瑞貴です、久しぶりに元の瑞貴に戻りました  
カミューラよりも身の安全、更に自己保身最優先なのでかなりアレ  
に……

守ったり、保護したりする存在が居ないだけで瑞貴はこうなります  
甘くなったという声も聞きますが、やっぱり瑞貴はこんな人間です  
なんだか久しぶりに瑞貴をした気がします……

原作、アニメオリジナルカード

竜騎士ブラック・マジシャン・ガール

ティマイオスの眼の効果でのみ特殊召喚可能(?)

攻撃した時、手札を1枚捨てて戦闘では破壊されず、戦闘ダメージ  
を0にする

そして戦闘を行った相手モンスターを1体破壊する  
多分こんな感じだと思います?

レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード

真紅眼の黒竜剣

ヘルモスの爪の効果でのみ発動可能(?)

装備モンスターの攻撃力を1000ポイントアップさせる

更に場のドラゴン族モンスター1体につき、攻撃力は500ポイン  
トアップする

DNA改造手術が大活躍するであろうカード

輪廻転生と改造手術も合わせてブラック・パライディンに装備させた  
ら凄まじい事に……

ミラーフォース・ドラゴン

クリティウスの牙の効果でのみ召喚可能(?)

このモンスターが攻撃された時

攻撃してきたモンスターの攻撃力以下の相手モンスターを全て破壊する

一部は弱体化したものの、戦闘では先ず破壊されないかと  
瑞貴が言ったような抜け道も有りますが……

シールド・ソウル      アイアン・リゾルブ

このカードを発動したターン、相手モンスターから受ける

全ての戦闘ダメージは0になる

このターン自分のモンスターは戦闘では破壊されない

その後、ライフを半分支払う

完全に和睦の使者の下位互換です。

ツイッター……チートカードは好きですか？

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
カウンター罠で全部封じてやるよ！

## 136話【15日目?】（前書き）

「今日の最強カードは鎧黒竜<sup>がいこくりゅう</sup>、サイバー・ダーク・ドラゴンだ  
攻撃力、守備力共に1000の闇属性機械族

特殊召喚に成功した時、墓地に存在するドラゴン族モンスターを装備カードとして装備する

その装備したモンスターの攻撃力分、サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力がアップ

更に自分の墓地に存在するカードの枚数×100ポイント攻撃力がアップだ

おまけに、自身の効果で装備しているモンスターを破壊する事でこのモンスターの破壊を免れる効果も持っている

これが俺の、裏サイバー流の切り札のモンスターだ!」

裏サイバー流の切り札……亮でした

裏（守備）サイバー流だなんて言わせない!

そういう訳で遅刻です

でも思ったよりも早く終わって安心

正直、今日では間に合わないかと思っていました。

今回はバトルロイヤルなんですが……

先に謝っておきます、すみません

自分でもあまり納得できていないというか……なんというか  
どうしようと悩んだ結果、こんな形です

多分微妙……自信が無いですね。

明日もまた時間が無い……

無理な自信ならありますが間に合わす自信は無いですね  
間に合うと良いなあ……頑張ろう。

## 136話【15日目?】

視点 レイ

この4人のバトルロイヤルだなんて……  
どうなるのか予想できないんだけど  
そういえば亮さんのデッキだけ知らないんだっけ?  
確か改造したとか変わったとか言ってたけど。

「最初は私が先攻を貰おう、ドロー」

美寿知さんからか……

あの鏡のデッキだね?

「銀の式神―左京を守備表示で召喚  
カードを2枚伏せ、ターンエンド」

美寿知さんの基本モンスター、銀の式神  
2体で1体という感じの片割れ  
守備力は800だけど、色々と厄介なんだっけ。

「次は僕だ、ドロー  
アックス・ドラゴニートを召喚し、ターンエンドだ  
バトルロイヤルルールでは全プレイヤーは最初のターンは攻撃でき  
ないからね」

鎧を着て斧を持った黒いドラゴン  
攻撃力は2000だけど、攻撃した後は守備表示になるんだっけ?

「私のターン、ドロー  
相手の場にモンスターが存在し、自分の場にモンスターが存在しない時  
サイバー・ドラゴンを特殊召喚する」

サイバー・ドラゴン！？  
どうして玲ちゃんがサイバー・ドラゴンを！？  
……そうか、玲ちゃんは亮さんから借りたのか  
出しやすい上級モンスターだし、借りたのかな？

「カードを1枚伏せて、ターンエンド」

「最後は俺だ、ドロー  
ドル・ドラを守備表示で召喚  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

破壊されて墓地に送られたターンのエンドフェイズ時  
墓地から攻撃力と守備力が1000になって蘇生するモンスター  
代わりに、1回の決闘で1回しか使う事ができないモンスターだった。  
デュエル

亮さんは機械族モンスターの使い手だったはずだけど  
ドラゴン族に変わったのかな？  
デッキが変わった事しか知らないからよく分からないけど。

これで全員のターンが1回終わった  
次のターンから攻撃ができるようになる  
だけど美寿知さんのモンスターは全モンスター中最弱  
攻撃できるのかな？

「このターンから攻撃が可能となるな  
私のターン、ドロ―

魔法カード、愚かな埋葬を発動

デッキより、モンスターを1体選択し、墓地へ送る

私はデッキより魔鏡の式神―那由多を墓地へ送ろう」

那由多を墓地へ送ったって事は……

次の行動は当然。

「銀の式神―左京を生け贄に捧げ

魔鏡の式神―阿僧祇を召喚し、効果を発動

このモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
墓地に存在する魔鏡の式神―那由多を1体特殊召喚できる

先ほど愚かな埋葬の効果で墓地へ送った那由多を特殊召喚！」

阿僧祇の攻撃力は1500、那由多の攻撃力は2600

2ターン目でこんなモンスターが出てくるなんて……

「（ほお……なかなかの動きだな

悪魔族なので奪う事はできんが……厄介な効果だ

片割れが蘇生すれば逆も出てくる

蘇生系カードを多用されると面倒な事になるな）」

「（上級モンスターを2体か

それを速攻で揃えてくるだなんてね

予想外の実力者か?）」

「（侮っていたか……

そういえば大会に来た日に会ったな

何故かお兄ちゃんが……という事はお兄ちゃんの代理？  
亮ちゃんだけを見ていたら足元を救われるかもしれない」

全員の表情が変わった

美寿知さんが予想外の強敵だと認識したんだと思う  
特に玲ちゃんの顔が大きく変わったし。

「更に魔法カード、デュアル・サモン二重召喚を発動する

このターン、通常召喚をもう1回行う事ができる

銀の式神―右京を通常召喚し、効果を発動

召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時

墓地に存在する銀の式神―左京を特殊召喚できる」

は、速い！

開始2ターン目でもうモンスターが4体も！

「（誰を狙うか……決めた）

魔鏡の式神―那由多でサイバー・ドラゴンに攻撃！」

狙いは玲ちゃん！

サイバー・ドラゴンの攻撃力じゃ那由多には敵わない！

狐の仮面を被った巫女のような格好をした那由多だし

もしかして呪術みたいな事をしてくるかと思ったんだけど

飛び上がって空中で一時停止、回転して跳び蹴りって……

狐の仮面だから納得できるけど、巫女服でする攻撃じゃないよ！

「阿僧祇、そのまま直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「そうはさせない！



永続罨、リビングデッドの呼び声！

この効果で墓地に存在するモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！  
サイバー・ドラゴンを復活！」

阿僧祇の攻撃力は1500、サイバー・ドラゴンには勝てない。

「チッ、阿僧祇でドル・ドラに攻撃！」

阿僧祇は代わりにドル・ドラに向かって行く

包帯みたいな布で顔を巻いているから顔は分からないけど  
それでも、あの体格からの体当たりは強烈だと思う……

と、思ったら近づいて一時停止、ヤクザキック！？

ドル・ドラは破壊されて亮さんの場合はガラ空き……

「右京、左京

ダイレクトアタック

丸藤亮に直接攻撃！」

包帯みたいなのを体中に巻き付け、青紫色っぽい服を着ている左京  
と右京

ただ、左腕に布を付けているのが左京、右腕に付けているのが右京、  
左右対称って奴だっけ？

で、左京と右京が消えてどこに行ったかと思ったんだけど  
亮さんの背後に現れ、布をドリルみたいに突き刺して同時に攻撃し  
た。

「チッ……まあこの程度のダメージなら構わん」

攻撃力は600と800だしね

合計ダメージは1400、残りライフは2600。

「私はこれでターンエンドだ」

美寿知さん……凄いなあ

攻撃力2600、1500、800、600のモンスターが並んでる  
弱いモンスターも居るけど……確実に誘いだよね。

「エンドフェイズ時、ドル・ドラの効果を発動

破壊されたターンのエンドフェイズ時

攻撃力、守備力を1000ポイントとして特殊召喚する  
ドル・ドラを守備表示で特殊召喚」

亮さんも守りを崩さない

壁モンスターを戻してきた。

「僕のターンだ、ドロー

魔法カード、融合を発動！

レッドアイズ・ブラックドラゴン

手札の真紅眼の黒竜と、メテオ・ドラゴンを融合！

メテオ・ブラック・ドラゴンを融合召喚！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜の融合！？

吹雪さん、そんなカードも使うんだ、しかも攻撃力は3500もある

ファイブ・ゴッド・ドラゴン

まあ、F・G・Dも使うから融合を持っても不思議じゃないけど。

レッドアイズ・ワイバーン

「更に真紅眼の飛竜を召喚、バトルだ！

メテオ・ブラック・ドラゴンで魔鏡の式神―那由多に攻撃！」

「罠カード、聖なる結界―ミラー・バインドを発動！

自分の場に銀の式神―右京と銀の式神―左京が存在している時に発

動できる

相手モンスターの攻撃時、そのモンスターを破壊  
更にそのモンスターの攻撃力以下の相手モンスターを1体破壊する  
天上院吹雪のメテオ・ブラック・ドラゴン、そして堅守玲のサイバ  
ー・ドラゴンを破壊！」

メテオ・ブラック・ドラゴンの周りに鏡が4枚浮かびだし  
メテオ・ブラック・ドラゴンを中心にして横に回り出す  
その鏡の中には右京と左京が……見分けがあまり付かないや  
と思ったら鏡の中にはメテオ・ブラック・ドラゴン？

鏡の中のメテオ・ブラック・ドラゴンが火炎玉を吐き出す  
そしてメテオ・ブラック・ドラゴンとサイバー・ドラゴンを破壊し  
た。

「クッ……アックス・ドラゴニユートで阿僧祇に攻撃！」

「罠カード、ミラー・トラップを発動！」

このターンに発動した通常罠カードを墓地から自分の場にセットする  
そして、このセットされた罠カードはこのターンに発動できる！」

「な、なんだって!？」

ひ、卑怯なカードだなあ

罠カードなのに罠カードになってないや  
でも、これも使いこなせないと意味が無いか。

「ミラー・トラップの効果で聖なる結界ーミラー・バインドをセット  
そしてそのまま聖なる結界ーミラー・バインドを発動！  
アックス・ドラゴニユートと真紅眼の飛竜<sup>レッドアイズ・ワイバーン</sup>を破壊する！」

吹雪さんのモンスターが……全滅  
しかも玲ちゃんの場合にもモンスターは居ない  
亮さんの場には攻撃力1000のドル・ドラが居るだけ  
美寿知さんが圧倒的に有利だ！

「魔法カード、死者蘇生を発動！ 墓地のモンスターを特殊召喚する！」

僕はこの効果により、メテオ・ブラック・ドラゴンを特殊召喚する！  
ターンエンドだ」

れ、レベルが高すぎない？  
破壊されても何が何でも復活してくるんだけど  
みんなどうなってるんだろう？

「私のターン、ドロー」

魔法カード、苦渋の決断を発動！

デッキからカードを2枚捲り、そして相手はその2枚の内から1枚  
を選択

選択したカードがモンスターだった場合、召喚条件を無視して特殊  
召喚

それ以外のカードだったら墓地へ送られる

選ばれなかったカードも墓地へ送られるけどね

2枚のカードを捲った、前のターンだった吹雪さん、選んでくれ」

玲ちゃんは両手に1枚ずつカードを持つ

どっちがどんなカードなのか……

「僕は……左のカードを選ぶ！」

「左のカード、それはモンスター、絶対服従魔人！絶対服従魔人を特殊召喚！」

出た……巨大な赤い魔人

だけど、このモンスターはまだ攻撃宣言できないこれじゃあ攻撃力が高いだけの木偶の坊だね。

「だが、絶対服従魔人は攻撃できない

そのモンスターは手札が0

更に自分の場のモンスターも絶対服従魔人だけにする必要が有る  
どうやら僕が選んだカードは正解だったようだね」

うん、普通はそう思う

だけど玲ちゃんだから全く信用できない

瑞貴さんの妹なんだから常識は通用しないと思う  
何か絶対に、確実に利用する手段が有るはず。

「いや、大失敗だね

私のもう1枚のカードTHEトリッキーだったし」

あ、どっちもモンスターだったらハズレは無いんだ

どっちもモンスター以外だったら確実に駄目なんだね  
かなり運に左右されるカードだけ……

「LV5って良いモンスターは少ないんだよね……

魔法カード、メタモルフォーゼ突然変異を発動するよ

自分の場のモンスターを生け贄に捧げる

そして融合デッキから同LVの融合モンスターを特殊召喚する！

私が生け贄に捧げるのは絶対服従魔人、LV10！

融合デッキから特殊召喚するのは……サイバー・エンド・ドラゴン

！」

サイバー・エンド・ドラゴン！？

まさかそのカードまで借りていたの！？

貰ったという事は無いと思うけど。

それにしても攻撃力が4000だなんて……

しかも、確か貫通効果も持っていたはず

これってかなり強い！

「まさかそんな手段を使ってくるだなんて……やるね」

「褒めても何も出ないよ

サイバー・エンド・ドラゴンで……守備力の下がっているドル・ドラに攻撃！」

「サイバー・エンド・ドラゴンは貫通効果を持っている……だが

罠カード発動、パワー・ウォール！

デッキからカードを1枚墓地へ送る度にダメージを100ポイント軽減する！

俺はデッキからカードを30枚墓地へ送り、戦闘ダメージを0にする！」

ちょ！ 30枚って多すぎ！

残りデッキが4枚になってるよ！

「やっぱりそうなるか……まあ構わん、ターンエンドだ

(……ど、どうする？

亮ちゃんを終わらせるつもりだったが回避されるとは……

強敵なので潰せる時に潰そうと思っていたが、その考えは失敗だった

たかもしれん」

玲ちゃん……分かっていてしたの？  
負け惜しみかもしれないけど。

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロー！」

ご、強欲な壺！？

残りデッキは3枚だったから……残りデッキ枚数は1枚！？  
バトルロイヤルだからそんなに掛からないかもしれないけど  
1VS1になったらすぐに終わっちゃうよ！

「ブラック・ボンバーを守備表示で召喚し、効果を発動」

出てきたのは黒い爆弾？

こんなモンスター、知らないんだけど……変なの。

「ブラック・ボンバーを召喚した時

自分の墓地に存在する闇属性の機械族、更にLV4の全ての条件を  
満たしているモンスターを守備表示で特殊召喚する

俺は墓地より、サイバー・ダーク・エッジを特殊召喚！」

出てくる機械の羽みたいなモンスター

これでどうするんだろう？

「この効果で特殊召喚したモンスターは効果が無効化される  
が、俺にはそんな事は関係無い！ 魔法カード、パワー・ボンドを  
発動！

このカードの効果で機械族モンスターを融合召喚する！

俺は手札のサイバー・ダーク・キール、サイバー・ダーク・ホーン、そして場のサイバー・ダーク・エッジを融合！  
出でよ、がいこくりゅう鎧黒竜！サイバー・ダーク・ドラゴン！」

全部のモンスターが合体したがいこくりゅう鎧黒竜！サイバー・ダーク・ドラゴン結構大きいなあ……レプティレス・メデューサぐらいかな？  
でも長さだったらレプティレス・メデューサの方が長いだろうけど。

「パワーボンドの効果は召喚した機械族モンスターの元々の攻撃力を倍にする！」

そしてがいこくりゅう鎧黒竜！サイバー・ダーク・ドラゴンの効果発動！

特殊召喚した時、墓地からドラゴン族モンスターを装備カードとして装備する！

俺はこの効果により、吹雪……お前の墓地に存在するレッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を装備する！

墓地よりレッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を引き摺り出せ、サイバー・ダーク・ドラゴン！」

「な、なんだと！？  
レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜を！？」

吹雪さんの象徴とも言えるレッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜が墓地から現れる  
そしてコードとか、色んな物がレッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜にくつつく  
しかもサイバー・ダーク・ドラゴンの体が抱え込むように掴んでい  
るから逃げられそうに無い。

「サイバー・ダーク・ドラゴンの攻撃力は装備したモンスターの攻撃力分だけアップする  
更に、自分の墓地に存在するカードの枚数×100ポイント、攻撃力がアップ！」



そんな……サイバー・ダーク・ドラゴンの元々の攻撃力は1000  
パワーボンドの効果で倍になって2000  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜の攻撃力は2400も足され  
しかも墓地の枚数は……36枚!?  
全部合わせた攻撃力は……8000!?

「続いて魔法カード、サイバーダーク・インパクトを発動!

手札、墓地、場からサイバー・ダーク・キール、サイバー・ダーク・  
ホーン、サイバー・ダーク・エッジ

この3体をデッキに戻し、がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンを  
融合召喚する!」

ええええええ! また出てくるの!?

2体目って、どうなってるのか誰か教えて!

「サイバー・ダーク・ドラゴンの効果により

墓地からSin トウルース・ドラゴンを俺の墓地より装備させる  
!」

こ、攻撃力5000のモンスター!?

墓地のカード枚数は今は33枚だから……9300!?

1体目のサイバー・ダーク・ドラゴンだって7700に下がってる  
けど強いよ!

というかでかつ! Sin トウルース・ドラゴン凄くでかくない  
!?

「魔法カード、オーバーロード・フュージョンを発動!

場か墓地より決められたモンスターを除外し、闇属性の機械族モン  
スターを融合召喚する!

俺は墓地からサイバー・ダーク・キール、サイバー・ダーク・エッジ、サイバー・ダーク・ホーンを除外  
出てこい、がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴン！」

これは酷すぎる！

3体融合を1ターンで3体も出すだなんてどうなってるの！？  
というか、さっきデッキに戻したモンスターじゃなかったの！？  
もしかしてそのモンスターは2枚か3枚ずつ入ってるの！？

「サイバー・ダーク・ドラゴンの効果  
墓地より、ドラグニティーブランドイストックを装備させる！」

攻撃力がたったの600だけ？

まあ、それでも墓地のカードは全部で30枚  
攻撃力は4600にもなっているし。

それぞれの攻撃力を言うと

がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴン レッドアイズ・ブラックドラゴン（真紅眼の黒竜）は7400

がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴン（Sin トウルース・ドラ

ゴン）は9000

がいこくりゅう鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴン（ドラグニティーブランドイ  
ストック）は4600

どれも凄く強いんだけど……これって1ターンで出せるモンスター？

「最初は……ブランドイストックを装備したサイバー・ダーク・ド  
ラゴンで

銀の式神―左京に攻撃！

フル・ダークネス・バースト！」

って、左京の攻撃力は600だから1撃！？

殆どどのモンスターで攻撃しても1撃だけど！

美寿知さん、悲鳴を上げる余裕も無く驚いて硬直してるよ！  
 なんていうか……啞然としている感じ。

「次だ、Sin トウルース・ドラゴンを装備したサイバー・ダーク・ドラゴン

サイバー・エンド・ドラゴンに攻撃！

フル・ダークネス・バースト!」

「相変わらず……クツ！」

玲ちゃんは呆れた感じで攻撃を受ける

サイバー・エンド・ドラゴンとの攻撃力差は50000

当然だけど1撃でライフが0に……

「最後だ吹雪！」

レッドアイズ・ブラッドドラゴン

真紅眼の黒竜を装備したサイバー・ダーク・ドラゴンで

メテオ・ブラック・ドラゴンに攻撃！

フル・ダークネス・バースト！」

「りよ、亮？」

せめて手加減という物をだねえええええええ！」

言い切る前に攻撃される吹雪さん

でも攻撃力差は3900、まだライフが1000残ってる

吹雪さんだったらここからでも逆転する何かをしてくる……と思う！

「は……はははは」

悪いけど亮、僕のライフはまだ1000ポイント残ってる！

「先ず無理だとは思うけど、最後の悪足掻きぐらいさせてもらおうよ！」

なんて後ろ向きな前向き発言なんだろう  
よくこの状況でそんな事を……

「悪いな吹雪、次のターンは無い」

「どういう意味だい？」

だって全モンスターで攻撃したよ？  
攻撃力が100のブラック・ボンバーは守備表示で召喚してるし  
もしそれが攻撃表示だったら吹雪さんが本当に終わってたけど  
……でもそれって凄く情けなくない？

「ドラグニティーブランディストックの効果  
このカードを装備しているモンスターは……1ターンに2回の攻撃  
が許される」

「……………え、それって反則じゃない？」

うん、同感。

「悪いがそういう効果だ  
がいこくりゅう  
鎧黒竜、サイバー・ダーク・ドラゴンで吹雪にダイレクトアタック直接攻撃！  
フル・ダークネス・バースト！」

「ちよ、それって無いよおおおおおお………」

声を長く伸ばしすぎて最終的に切れちゃった  
なんというか……亮さん、暴れすぎだよ。

「鮫島校長」

「う、うむ……ジエネックス大会の優勝者は丸藤亮こと、カイザー亮だ！」

辺りの人達の大きな歓声が上がる  
最後は凄まじかったもんね……

「優勝者は亮に決まったみたいね」

「そうだね

凄い攻撃……容赦無しだった  
瑞貴さんが地獄って言っている意味が理解できた」

うん、心から身に染みた感じ  
というか亮さん、絶対これを狙ってたでしょ？

だって他のみんな、伏せカードは全部使っちゃってたんだもん  
美寿知さんは吹雪さんの攻撃を防ぐのに  
玲ちゃんダイレクトアタックは直接攻撃を防ぐ為に  
吹雪さんは融合しちゃったから手札が1枚しか無くて伏せられなかつたみたいだけど。

亮さんはドル・ドラを出して守っていたぐらい  
1回は攻撃を防げるし、ダイレクトアタック直接攻撃もパワー・ウォールで回避  
しかもデッキからカードを墓地へ送る事もできる  
何気にかなり守りが堅かったんだよね……

「さて、優勝者の亮には私から私にできる範囲で何でもしよう  
何か願いは有るか？」

「ふむ……俺は強敵に勝って満足したからな  
今は特に無い、その権利はこの3人にでも渡しておいてくれ」

そう言って亮さんは去って行った

勝てればそれで満足なのかな？

本人が良いって言うてるんだから良いんだろうけど。

「行ってしまったか……」

では権利を譲られた君達、何か有るかな？」

「そんな事をいきなり言われてもねえ……」

そうだな、僕は卒業後にプロになれるように推薦してくれると嬉しいかな

あまり贅沢をしたら罰が当たりそうだしね」

瑞貴さんに借金を返す為だね、分かります  
明日香さんが悲しそうな顔をして見てるよ  
しかも凄く納得した顔になって……

「良いでしょう」

では堅守玲君、君はどうだね？」

「私は元々飛び入り参加なのだが……」

特に無いが、この学園に時々遊びに来たい  
その権利が欲しいですな」

あ、それ良いかも！

今度一緒に遊ぼう！

「まあ、それぐらいなら構いませんよ

事前に連絡さえしてくださればいつでも来てくださいます。しかし、学校を休んでまでというのはあまり関心しませんよ。」

「分かっていますよ

長い休みの時とかにでも来ます」

でもやっぱりちよくちよく来るのは無理なんだ

まあ、普通の時に来る船って週に1回ぐらいだもんねだからボクも初めて来た時に帰るのが遅くなったんだけど。

「では斎王美寿知さん、君はどうかね？」

「私は代理、褒美を貰う権利は無い

本来の参加者に権利を渡しておいてほしい」

それって瑞貴さん？

でも瑞貴さん、結局決闘デュエルしてないよね？  
ずっとマナさんが代理していたはずだし。

「そうか……君がそれで良いのならそうしましょう  
で、誰の代理なんだね？」

「瑞……言えんな」

言いかけたね。

「そうか、堅守君の代理か」

ちょー！ どうして言うの！？

ほら、辺りのみんなが凄く動揺してるよ！

でもどうしてだろう……聞こえてくる言葉が変じゃない？

あの覇王は斎王を取り込んだとか、もしかして黒幕は堅守だとか  
また新しい女性を囲ってるだとか、痺れる憧れるとか……これは何  
が言いたいんだろう？

美寿知さん、自分の大失敗に気付いてオロオロしてる  
動揺して何をしているのかって感じで動けなさそう。

「……レイ、どうすれば良いと思う？」

「明日香さんこそどうにかしてよ！  
ボクにどうにかできるはずが無いじゃん！」

ど、どうしよう！

「た、確かに堅守瑞貴の代理だが……」

あ、開き直った。

「私と兄の関係から、瑞貴を疑っている者が居るようだが違う！  
瑞貴は私と兄を助けてくれると言ってくれたのだ！」

今、瑞貴が居ないのはその件で動いているから、だから私が代わりに  
大会に……あ」

美寿知さん……話し過ぎじゃない？

というか瑞貴さんも、そんな約束してたんだ……

マナさんじゃなくて美寿知さんが代理な理由も分かった

今度は何をしているんだろう？



「（瑞貴……それで美寿知に好意を持たれていたのね  
そんな事を言われたら好意を持って当然だとは思うけど  
だからってこんな場所で言わなくても……まあ、色々謎が解けた  
わね

巻き込まれる事が嫌いな瑞貴が斎王を気にしていた理由とか  
美寿知を学園に連れてきた理由は……囧とか人質かしら？

それぐらいする人間なのは知ってるけど、もしかして好意も計算済み？

まさかレイの好意まで計算尽くだなんて事は無い……わよね？  
どこまで計算されていてどこまでが素なのか分からないわよ！」

「斎王を助けるとは……どういう意味かな？」

「その……実は兄は破滅の光という物にだな」

え、話して良いのそれ？

ボク達が聞いて良い話なの？

話す事を禁止されている事じゃないの？

「本来の意識ではなく……ソーラの鍵は……瑞貴がソーラを……」

そんな大変な事になっていたなんて……

少し離れた場所に居たジュンコさんともえさんの顔が青くなっ  
てるけど、どうかしたの？

ソーラの鍵とかの辺りから不安そうだったり顔が青くなったり……  
大丈夫かな？

「という事が有ってだな

だから私は瑞貴の世話になっていたんだが

今はどうなっているのか……」

美寿知さんが空を見上げる  
そしたらみんな、空を見る  
ソーラ……どうなってるんだろう？

### 136話【15日目?】（後書き）

吹雪がメテオ・ブラック・ドラゴン!?  
使いそうなので。

アニメオリジナルカードが多いな、美寿知  
以前登場した100話の後書き参照。

突然変異にサイバー・エンド・ドラゴン!?  
亮に貸してもらったカードです  
しかし、それを召喚したのが裏目に……

所で、玲の口調って誰の?  
前のターンだった吹雪です  
所々、攻撃する時などでその相手プレイヤーに変わっています。

ブラック・ボンバー!?  
普通に使えるカードと言えば……どうでしょう?

なんという亮無双  
サイバー流公式チートドロ  
勝利に飢えるサイバー流のチートドロは全てを破壊する。

サイバー・ダークってデッキにそれぞれ何枚入ってるの?  
少なくとも2枚以上ですね。

ちょっと待て美寿知!  
本当に待って美寿知、全部話す気か!?  
という事で精霊のマナの事以外はほぼ全て話しました

レイの言う通り、開き直りです。

……本当に全部話したんだ話しました

今後、美寿知がどうなるかは誰も知らない……でも予想はできそうです。

どうしてジュンコともえの顔が青くなったの？

十代から鍵を奪おうと行動していた事を覚えていたからです  
もし成功していたらと想像し……まあ当然ですね。

原作、アニメオリジナルカード

ミラー・トラップ

このターンに発動し、墓地へ送られた通常罠カード1枚を自分フィールド上にセットできる

この効果でセットされた通常罠カードはこのターンに発動できる  
しかもこのカード、相手の通常罠カードでも自分の場にセットできるという

かなりの反則カードです。

苦渋の決断

自分のデッキからカードを2枚めくり、相手はランダムにカードを1枚選択する

選んだカードがモンスターカードだった場合

そのモンスターは召喚条件を無視して特殊召喚する

残りのカードは墓地に捨てる

選んだカードが魔法、罠カードだった場合、どちらも墓地へ捨てる  
凶悪カード再び、使用者は城之内です

何故玲がと問われると、上級モンスター召喚サポートカードです  
玲のデッキも変わっていているという事です。

ツイッター、深爪しました

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
めっちゃ痛いです。

## 137話【15日目?】（前書き）

「今日の最強カードはアイアン・リゾルブ  
和睦の使者と同じ効果だけど、発動後にライフを半分支払うの  
完全下位互換なのに、どうしてこのカードが後に出たのかな？」

そりゃお前、ライフ計算の為だろうマナ  
和睦の使者なんて使いまくったらアニメ的に盛り上がらない的な意  
味で。

完全に遅刻だけど、もう諦め  
忙しいし、眠いし、なかなか書けなくてモヤモヤ苛々します。

活動報告にてアンケート実施中  
締め切りは大会の後日談を投稿した瞬間です。

アンケートの内容でもしかしたら勘違いしている人が居るかもしれ  
ないので一応言いますが  
短編はその後日談が終わった次の話に書きます  
もし今から書くと思っている人は勘違いなので注意  
ちゃんとジェネックス大会後と書いているので勘違いしている人は  
居ないと思いますがね。

もうとにかく時間が足りない  
最終投稿日から5日以内には更新するつもりなので、気長に待つて  
ください  
……5日程度ならこの作品では長くても、まだ短い方……ですよ  
ね？

## 137話【15日目?】

視点 マナ

何回攻撃しても、何故か破壊できない！  
というか攻撃が届かない！

ミラーフォース・ドラゴンもずっと攻撃を弾きっぱなしだし  
上下左右から攻撃してるのに、光に阻まれて……

ブルーフェイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
ホルスの黒炎竜も、青氷の白夜龍も、竜魔人キングドラグーンも  
ティマイオスもブレスで攻撃してるのに、全く届かないなんて！

……そういえば私自身では攻撃してなかった

でも持つてるのは真紅眼の黒竜剣、レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード普段使っている杖じゃない

この剣は攻撃力を上げる為に装備させてもらった物

私が見えるはずが無いし……

だからってこのまま何もしないで見ている事もできない

もうすぐ和睦の使者の効果が切れる

でも、和睦の使者のカードはもう少ししか無い。

伏せられている和睦の使者は残り2枚

使ったらすぐに補充されていたけど、新しいカードが来ない

つまり、既に8枚使っているから合計10枚持っていたという事  
この最後の2枚が切れたら……

私にできる事……それはもうこれしか無い！

「ティマイオス、私をソーラの近くまで連れて行って！」

ティマイオスに指示を出し、ソーラの近くまで移動してもらう  
ソーラの銃身が少しだけこちらを向いたけど、ミラーフォース・ドラゴンが盾になってくれている

守りきれないと思うけど、私に攻撃されたら青氷の白夜龍に代わってもらう。  
ブルーアイズ・ホワイトナイト・ドラゴン

これが私の……私自身の攻撃！

ティマイオスの背を足場にし、ソーラに突撃するように勢いよく飛ぶ  
宇宙空間だから重力に邪魔されず、最初の勢いの速度のまま飛ぶ  
剣を振りかぶり、思いっきり叩き切るもソーラを纏う光に邪魔……

されずにソーラの羽を1本、アッサリと斬る

……あれ？

視点 十代

「ヒーロー逆襲の効果でE・HEROネオスを特殊召喚！」

カードから現れるネオス

やっぱり精霊は召喚すると、最も力を発揮するのかな？

だって召喚していない時のネオスはあまり大きな力を発揮できてい  
なさそうだったし。

『急げ十代』



デュエル

決闘で破滅の光を封印するのだ

そうすれば、レーザー衛星ソーラは我々の力でなんとかできる』

ネオスの言葉に頷く

ソーラは宇宙に有るんだ

ネオスの力なら必ずなんとかしてくれる！

斎王の見せたソーラの映像では、瑞貴とよく一緒に居る精霊がなんとかしていた

5体ものドラゴンと一緒に居るのにソーラを破壊できない

ネオスはそれをなんとかするって言ってるんだ

精霊やモンスター達を助ける為にも、必ずどうにかしてやる！

「もう遅い！

お前達は何をしようが、破滅は避けられんだ！

あの精霊とて、時間の問題！」

「うるせえ！ お前の好きになんてさせるか！

俺のターン、ドロー！

ネオスペーシアン

N・グロー・モスを召喚！」

ネオスペーシアン

出てくる青白い体をしたN

ネオスペーシアン

攻撃力は低くても、Nの力をよーーーーーく見やがれ！

「いけえネオス、グロー・モス！

コンタクト融合！」

かけ声と共に飛び立つネオスとグロー・モス  
その姿を、斎王に見せつけてやれ！

「E・HEROグロー・ネオスを特殊召喚！」

ネオスの体にグロー・モスの青白い光を足したようなE・HERO頭のいくつも有るヒラヒラは髪の毛か？  
ま、どっちでも格好いいからいいか！

「グロー・ネオスは1ターンに1度  
相手の場の表側表示カード1枚を破壊し  
破壊したカードの種類に依って、更なる効果を得る！」

「なにいい!?」

「お前の、表側表示のカードは1枚  
砕け散れ、光の結界！」

シグナルバスター ブルー・ライトニング！」

グロー・ネオスの撃ち出した青い光弾は斎王に直撃  
これでフィールド魔法、光の結界の効果は無くなった。

「魔法カードを破壊して得られる効果は直接攻撃ダイレクトアタック  
尤も、お前を守るモンスターは端から居ないけどな  
いけ！ グロー・ネオス！」

グロー・ネオスの拳が斎王に直撃  
おっしゃあ！ これで2500ポイントのダメージ  
斎王のライフを3100まで削ったぜ！

「グロー・ネオスはエンドフェイズにデッキに戻る」

あ……グロー・ネオスの体がモンスターと別れて半透明になった？

『十代、決闘は任せた  
デユエル  
私はソーラを止める！』

「ああ、分かった

ソーラを攻撃しているあいつらを助けてやってくれ」

グロー・ネオスは飛び上がり、天井を無視して飛んでいった  
光の結界を破壊し、更に直接攻撃まで入れたんだ  
ダイレクトアタック  
多分、ソーラを守っている光も弱まっているはず。

視点 マナ

あれえ？ どうして壊せたんだろう？

今までドラゴン達が攻撃しても、何の効果も無かったのに  
もしかしてこの剣の力？

って、このままだと通り過ぎてどこかに行っちゃう！？

「ちょ、ま、え？

だ、誰か助けてえええええ！」

と思ったら誰かに鎧を掴まれた……誰？

「何をしているのだ、君は？」

「あ、ネオス……グロー・ネオス？」

殆ど実体化している状態のネオス……グロー・ネオスって呼ぶべきかな？

ネオスだけど、見た目や状態はグロー・ネオスだし。

「ネオスで構わない  
久しぶりだな」

「うん、久しぶり  
半月振りぐらいかな？

大会中は全く会わなかったもんね」

「十代と奴は1回会ったがな  
その時は君は居なかった」

あ、十代さんに会ってたんだ  
いつ会ったのかなあ？

それにしても、相変わらずネオスはその人の事が嫌いなんだね  
真面目というか……堅物のネオスにはあの人の性格は無理か  
でも、諦めると色々と楽になれるよ？

「そうだ、助けてくれてありがとう  
ソーラを破壊するんだけど、手伝ってくれる？」

「勿論だ、その為に私は来た」

そうじゃないとこんな場所まで来ないか  
……ネオスだったら暇潰しや散歩気分で来そうな気がするけど  
十代さんを連れてきたら駄目だよ？

人間だから死んじゃうし。

「状況を教えてくれ  
今、どういう状態なんだ？」

「えっとね……あ、拙い！  
罨カード、アイアン・リゾルブ！」

危ない危ない……もう少しで前のアイアン・リゾルブの効果が切れる所だった  
そうになったらミラーフォース・ドラゴンが危ないもんね  
とりあえず間に合って良かった。

「今はミラーフォース・ドラゴンがソーラのレーザーが地球に当たらないように逸らしてくれてる  
あのドラゴン達で攻撃してたんだけど、どのブレスも効果が無くってヤキモキしてる  
それでもう、ちょっと自棄になっちゃってこの剣で攻撃したら……」

「阻まれると予想していたが  
何故か通ってそのまま飛んでいきそうになったと……」

「あはははは……うん、そう」

まさか攻撃が通るとは思わなかったんだもん  
弾かれると予想した場所にティマイオスに待機してもらったし。

「それにしても、光が弱まってない？  
最初はもっと強かったし、更に強くなった時もあったし」

「おそらく、破滅の光のライフが減ったからだろう  
私がここへ来る直前、ダイレクトアタック直接攻撃を与えてきた……む？」

ネオスが地球を見ると、HEROの文字が……  
赤、黄色、緑、紫の色違いの文字、どこかで見た事が有るような？

「十代が呼んでいる」

「来たばかりなのにもう戻るの!？」

何しに来たのか分からないじゃない!

世間話をするんだったら教室でいくらでもできるでしょ!?  
授業中とか、私もサラも暇なんだから!

「いや、私の分身に行ってもらおう」

ネオスの体に重なるよう、普通のネオスが出てきた  
もしかしてネオスを召喚されそうなのかな?

「頼んだぞ我が分身よ  
デュエル決闘に決着を着けてきてくれ!」

グロー・ネオスに言われ、ネオスが地球に向かう  
なんだかややこしいなあ……呼びづらいし。

おっと、そんな事をしている場合じゃなかった  
ソーラを破壊しないと!

「マナよ、サラはどうした?」

「サラは私達と違って普通の精霊  
実体化ができないし、そこまでの力も持っていないよ  
できるんだったら手伝いを頼みたいわよ……」

でも、あの人ってサラの事知らないんだっけ  
なら手伝いを頼んでも意味が無かったかな？

「あれ？

また光が弱まってるような……また攻撃したの？」

「ああ、ヒーローフラッシュ！！の効果でネオスを墓地から特殊召喚  
ダイレクトアタック  
そして直接攻撃を破滅の光に当てた  
相手の残りライフは600、十代ならきつとすぐに勝てる」

このまま勝てたら楽なんだけどね  
とにかく、光が弱まっている今の内に！

「全員、ソーラに一斉攻撃！」

ドラゴン達のブレスがソーラに向かう  
今の私は接近戦しかできないから攻撃はできない  
ネオスだって遠距離より接近戦の方が得意だし。

これで破壊できるかも、そんな期待も淡かった  
ブレスが直撃する寸前、光がまた強く輝き始めた  
もう、どうしてこんなに不安定なの！？

「破滅の光の怒りが有頂天に達した  
力を大きく発し……拙い！」

「な、なに？」

どうしたの！？」

地球の方を見てみると、光の柱が立っていた  
赤、青、緑……三原色？

あの光はいつたい……

「ザ・ヘブズ・ロード、ザ・マテリアル・ロード、ザ・スピリチュアル・ロード

破壊の光がこれらのカードを使い、アルカナフォースエクストラSEX THE  
ライト・ルーラーLIGHTRULERを特殊召喚した！」

……何それ？

「このままでは我が分身が破壊されてしまう  
そうなれば私の力は激減し、動けなくなるだろう」

「本当に何をしに来たの！？  
ならもう1回突撃する、だからまた受け止めて！」

「分かった！」

ティマイオスの背に乗り、再び飛び出す体勢を取る  
そして思いっきり……飛ぶ！

勢いは止まらないまま、ソーラのレーザーを撃ち出している場所を  
叩き切る！

よし、これでレーザーは……止まらないでランダムに撃ち出してる  
！？



「ちょ、これは、どう、え!？」

み、ミラーフォース・ドラゴン! ソーラのレーザーを逸らして!  
そして罠カード、アイアン・リゾルブ!」

もしかして、あそこって一点集中する為の場所?

だとしたらそれが破壊されて、滅茶苦茶に撃ち出されていて  
つまり、危険だけど威力は凄く下がったって事だね!

ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
「青氷の白夜龍の効果!」

ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
魔法、罠カードを1枚墓地に送って攻撃対象を青氷の白夜龍に変更!  
ミラーフォース・ドラゴンと一緒に地球へ飛ぶレーザーを止めて!  
ホルスの黒炎竜LV8と竜魔人キングドラグリーンはレーザーをブレスで打ち落として!

ティマイオスは私と一緒にまたソーラに攻撃!」

全ドラゴンに指示を出した直後、ネオスに飛んだままの体を受け止められる

ちよつと遅い、このままだとどこかに飛んでいくかと思ったじゃない!

「ぐ……」

「こんな場所で苦しまないで!

ティマイオスが来るまで我慢して!」

こんな場所で置いておかれたら帰れない!

宇宙のE・HEROなんだからもう少しだけ頑張つて!

ティマイオスが近くに來た直後、ネオスが消えた

どこかに行きそうだった体をティマイオスが掴んでくれた

危なかった……このままだと宇宙を漂流する所だった。

よし、次の破壊対象は……ソーラの胴体！  
でも……近づく余裕なんて無いよお！

## 視点 十代

「フィールド魔法、ネオスペースを発動！」

発動するネオスペース

だが、いつもと場所が違う……

普段だったら虹色の空間に居るような感じなのに

今は本当の宇宙に居るみたいだ

これも、斎王の……破滅の光が見せている映像なのか？

そして宇宙空間には瑞貴の精霊

正確には、瑞貴とよく一緒に居る……殆ど常にくっついてる精霊  
瑞貴が見えないからって、やりたい放題だよな。

瑞貴の後ろから動こうとしないし

ネオスとかサラとか、ハネクリボーはN達ネオスペースアンにおジャマ達と話す時  
そういう時でも離れないで、逆に精霊達を呼ぶぐらいだし。

授業中とか、精霊は暇だからずっとみんなで話してるみたいだけど  
みんな何を話してるのか教えてくれないんだよね……  
仲間外れになった気分でちょっと残念。

つと、今は決闘だ決闘デュエル デュエル

……あれ？ 斎王が哑然としてる？

何を見ているかと思えば……ソーラだな、半壊してるけど。

「私の……私のソーラが破壊されているだど！？  
なんなんだ、あのドラゴンや精霊達は！」

瑞貴の精霊のブラック・マジシャン・ガールは分かるんだけど  
他のドラゴン達は精霊じゃないよな？  
でも、半分ぐらい実体化してないか？

つうか、どのドラゴン達も最上級モンスターじゃねえか！  
場に揃えるなんてかなり大変だぞ！

「へへ、どうやらお前の運命もここまでみたいだな  
魔法カード、黙する死者を発動

その効果でE・HEROネオスを墓地より召喚！」

黙する死者は墓地に存在する通常モンスターを守備表示で特殊召喚  
するカード

だが、制約としてそのモンスターが場に存在している限り、攻撃は  
できない

でも俺の手札のカードは……

「更に、ネオスベーションN・グラン・モールを召喚！  
いくぜ！ ネオスとグラン・モールをコンタクト融合！」

ネオスが飛び上がり、追いかけるようにグラン・モールも飛ぶ  
そしてコンタクト融合だ！

「E・HEROグラン・ネオスを召喚！」

フィールド魔法、ネオスピースの効果により

グラン・ネオスの攻撃力は500ポイントアップする！」

これでグラン・ネオスの攻撃力は3000

ま、アルカナフォースEXエクストラ THE LIGHT RULERザ・ライト・ルーラーの攻撃

力は4000だけだな。

「クッ、忌々しい精霊共め

だが……その程度ではLIGHT RULERは倒せん！」ライト・ルーラー

確かに、普通に戦っても勝てるはずが無い  
でも、こいつの効果は強力だぞ！

「グラン・ネオスは1ターンに1度  
相手モンスターを手札に戻す！」

「な……」

グラン・ネオスがドリルで穴を開ける

その穴は斎王の後ろ辺りに出現し、ブラック・ホールみたいに呑み  
込もうとする

これが決まれば、グラン・ネオスの直接攻撃で俺の勝ちだ！ダイレクトアタック

「ふうん、罠カード、逆転する運命を発動

フィールド上のアルカナフォースと名の付くモンスターの正位置、  
逆位置の効果を入れ替える」

LIGHT RULERライト・ルーラーの頭上に有る正位置か逆位置を表すカードの

上下が入れ替わった

ライト・ルーラー

という事はつまり、LIGHTRULERは逆位置の効果を得たという事か。

ライト・ルーラー

「LIGHTRULER逆位置の効果

ライト・ルーラー

LIGHTRULERが効果の対象になった時

攻撃力を1000下げる事で、対象とした効果を無効にし発動したカードを破壊する！」

そんな！？

ここまでして、こんな事になるなんて！

ライト・ルーラー

せっかくLIGHTRULERを消せると思っただのに！

「そして、相手はカードを1枚ドローする」

これが本当に最後の賭け

何をドローするか……

俺はカードを1枚ドローし、確認した。

「クリエイティブ・ディストラクト！」

ライト・ルーラー

LIGHTRULERの胸元に有る、紫の水晶みたいなのが光り

そして頭に有る目も光り、光線を打ち出す

だが、俺にそれを防ぐ手立ては無い！

呻き声を上げ、破壊されるグラン・ネオスだが……

「ふひやはははははははは、やはり運命には逆らえまいあの精霊達を見てみる」

斎王に指を指され、ブラック・マジシャン・ガール達を見つめるソーラの攻撃を必至になって地球に当たらないように逸らしてるだが、その顔に余裕も無ければ希望も無いそんな状況でも、いつ終わるか分からない攻撃を俺達の為に頑張っ  
て止めてくれている！

「破滅の光がこの星を、この世界を、この宇宙を破滅に導き、再び再生させる

それが定められた運命  
貴様ら如きに、この崇高なる営みを邪魔する事はできんだよ」

勝手な事ばかり言いやがって！

大体、邪魔ができないんだったらあのブラック・マジシャン・ガール……マナはなんなんだよ！

思いつき邪魔してる上、地球は全く攻撃されてないぜ！

「馬鹿にすんな！

俺は最後の最後まで諦めない！

あそこで頑張ってる精霊の為に、この世界の為に、生きる人々の為に！

何度倒されようとも不屈の闘志で立ち上がり、最後は必ず勝利する！  
それが、俺が子供の頃憧れていた真のヒーローの姿だ！」

その象徴がネオス、お前なんだ！

「速攻魔法、リバース・オブ・ネオスを発動！  
来い、ネオス！」

現れる俺のヒーロー、E・HEROネオス

こいつが居る限り、俺は負けない！

「俺には予知の力も無ければ、ましてや運命なんて分からないけど、俺と精霊達の意志は繋がっている！」

ネオスだけじゃない

ネオスベーション

ハネクリボー、N達、おジャマ3兄弟、マナに、サラだってそうだ今は俺と、精霊達が地球を守りたいって想ってるんだ！

「頼んだぞネオス！

先ずはソーラを破壊してくれ！」

『分かった！』

ネオスは頷き、ソーラに向かって飛んでいった  
マナを……モンスター達を守ってくれ、ネオス！

視点 マナ

「ホルス！」

アイアン・リゾルブも全て使い終わり

シールド・ソウルも使い始めている

だけど、疲労と緊張から判断を誤った。

シールド・ソウルの時間切れに気付かなかった

ミラーフォース・ドラゴンは攻撃を逸らしているだけだから破壊さ

れなかったけど

運悪く、ホルスにソーラの光線が直撃……

ホルスの体を貫き、破壊された。

「シールド・ソウルを発動！」

ホルスを撃ち抜いた光線を、キングドラグーンが止めて！」

キングドラグーンのブレスがなんとか間に合い、地球に直撃する位置から外れた

だけど、このままじゃ本当に拙い！

ティマイオスも含めて、5体のドラゴンでなんとか止めていたのに1体が破壊され、4体で動かないといけなくなった。

私のミスでみんなの負担が増した

犠牲になったホルスには謝っても謝り足りない

私が宇宙空間でも行動できたら少しはマシになったのに……

「マナ！」

「ネオス！？」

いきなり出てきて何！？

驚いて剣で思いつき真つ二つに叩き切る所だったじゃない！

しかも横切りじゃなくて縦斬りで！

「ソーラを破壊するぞ！」

今更！？

しかもさっき破壊されて消えていったのにどの口でそれを言うの！？  
というかネオスって話せるけど、口は有るの！？



「そんな余裕が有ったらずぐに破壊してるよ！  
あ！ ミラーフォース・ドラゴン、後方に見逃しが有るから止めて！  
本当に余裕が無いのは見て分かるでしょ！」

「分かっている

だからこのままソーラの攻撃を逸らし続けておいてくれ！

私がソーラを破壊する！」

そうか、ドラゴン達の体は大きいから近づく事が大変  
だけどネオスは体は人間より少し大きいぐらい  
近づくのは大変じゃないって事だね！

「分かった、だったらこの剣を持っていって！

装備カードの変更という訳じゃないから本来の力は発揮できないと  
思うけど

それだって伝説の竜の力を宿している剣

素手で破壊するより、少しは効果的だと思うから！」

持っていた剣、レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード真紅眼の黒竜剣をネオスに渡す

とても大きな力は少し大きな力に下がっちゃったけど  
それでも、ネオスの力は明らかに上がった！

「……必ず破壊する！」

ネオスはソーラに向かって飛び出した

私のする事、それはネオスをソーラまで辿り着かせる事！

「シールド・ソウルを発動！

みんな、痛いかもしれないけどネオスの盾になって！

ネオスに攻撃されないよう、そして地球にソーラの攻撃が届かないよう！

難しい事を言ってるのは分かってるけど、お願い！」

ネオスの前を飛び、壁になる青氷の白夜龍  
ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン

キングドラゴンとミラーフォース・ドラゴンはソーラの攻撃を逸らす

私とティマイオスもネオスと青氷の白夜龍の間を飛ぶ  
ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
ここで青氷の白夜龍が逸らし漏らした攻撃を逸らす！

私の方にも攻撃は飛んでくるけど

今、この身は騎士！

レッドアイズ・ブラックドラゴン・ソード  
真紅眼の黒竜剣じゃなくて普通の剣だけど  
逸らす程度の事はできる！

……逸らす事はできたけど、手が痺れた

思ったよりもずっと重い……みんなこんな攻撃を受けていたの？

駄目な指揮官でごめんね……コマンド・ナイトでも召喚してもらえば良かったかな？

そしたらもっと被害とかを減らせたかもしれないのに。

今そんな事を考えても後の祭り、後悔は後でしよう！

ソーラからネオスを守る、それが大事なんだから！

段々とソーラに近づいていく

………攻撃範囲に入れた！

ブルーアイス・ホワイトナイト・ドラゴン  
「青氷の白夜龍、ティマイオス、ソーラに同時攻撃！」

ソーラの攻撃を2体のドラゴンの攻撃で受け止める

威力は下がっていても、さすがは世界を破滅へと導くと言われた物相当の威力が有るのがよーーーーーく分かる！

「攻撃が止まっている今、行ってネオス！」

「ああ！」

ネオスが飛び、ソーラの胴体真下に着く

宇宙空間だから真下って言葉は当て嵌まらないんだけどねだってここ、3次元みたいだけど4次元みたいななんでもん上下左右前後とか、全く分かんない！

とにかく、ソーラの胴体突き破り、破壊を尽くした

穴を開けたり、剣で切り捨てたりでバラバラ

だけど……最後ぐらいこれぐらいはさせて！

「全ドラゴン、ソーラに一斉射撃！」

「待て！」

まだ私がここに！」

最後に何か聞こえた気がしたけど、気がしただけだと思う

ドラゴン達の一斉攻撃でソーラは完全に破壊された

ふう……スッキリした！

「……………死ぬかと思った」

「あ、ネオス居たの？」

「ずっと居ただろう！」

いや、私はそこに居たのという意味で言ったんだけど？

何を勘違いしたんだろう……

「では、私は十代の下へ戻る  
マナも早く奴の下へ戻るが良い」

そう言ってネオスは消えた

ネオスはあの人の事を嫌ってるもんね  
絶対に相容れない存在だって言うて。

気持ちが分からないなんて言わないけど  
せめて私の前では言わないで欲しいなあ……  
やっぱりちよつと悲しいし。

視点  
十代

…容赦無いな、マナ

最後なんてネオスを巻き込むつもりで攻撃しなかったか？

もしかしてネオスを忘れていたなんて事は無い…….と思いたい  
だって瑞貴の精霊だし…….

「見たか斎王……いや、破滅の光！」

俺はお前を倒す！」

「……ふひひひひひひひひひひひ！」

お前のヒーローの力では、我が光の盟主、THE LIGHT<sup>ザ・ライト</sup>・RUL<sup>ル</sup>

LERには届かぬ！」

それが、そうでも無いんだよなあ。

「ネオスピースの効果で攻撃力が500ポイントアップ！」

ネオスピースはネオス、またはネオスの融合体の攻撃力を500ポイントアップさせる効果を持つ  
しかも、コンタクト融合をしても何ターンでも場に残れるんだもんな！

「そして、リバーズ・オブ・ネオスの効果で特殊召喚されたネオスの攻撃力は  
更に1000ポイントアップする！」

「な、なにに！？」

ライト・ルーラー  
LIGHTRULERの攻撃力は3000、破滅の光のライフは600

そして攻撃力差は1000、俺の勝ちだ！

「いくぞネオス！  
ザ・ライト・ルーラー  
THE LIGHTRULERを攻撃！  
ラス・オブ・ネオス！」

「ぬあああああああああああああああ！！！」

ライト・ルーラー  
ネオスの攻撃で、LIGHTRULERは破壊される  
破滅の光のライフも0になり、俺が……俺が勝ったんだ！

斎王の体から白い光が現れる

そいつは暴れだし、そして消えた……

斎王に取り憑いていた破滅の光が消えたのか！

本来の斎王は倒れ、気絶しているみたいだ

……とりあえず、瑞貴の所にでも運ぶか？

マナが居たって事は瑞貴も何か知ってるはずだし。

## 137話【15日目?】（後書き）

ソーラの光が弱まった原因は？

斎王のライフと直結しているという事で

説明なんてできません、とにかくそういう事なんです。

召喚時に力を発揮できるって？

捏造設定……だと思われます

実際はどうなのかちょっと不明。

ネオスは瑞貴が嫌い？

嫌いというより、苦手です

性格がどうしても受け入れられないという意味で。

ザ・○○・ロードの効果って？

面倒なので書きません、アニメオリジナルという最後のにも書きません

そもそも効果を知りません。

マナ、もしかして交友範囲はそれなりに広い？

広いです

授業中とかは暇なのでサラ、ハネクリボー、ネオス、ネオスベージアンN、おジャマ達と話しています

しかしマナが瑞貴の背中から離れないのでいつも瑞貴の後ろなので十代は寝ている事が多いので置いておくとして

万丈目、明日香などの精霊の見える者からすれば鬱陶しい事この上無い状態

というより気になる、話の内容は当然として色んな存在が瑞貴の後ろに集まっているのは気になる

嫌でも気になるので授業に集中できません  
実はそれで2人の成績が落ちていたり……別に誰も悪く無いんです  
けどね。

どうしてアルカナフォーエクストラスEX THE ザ・LIGHTライト・ルーラーTRULERの  
効果でドローを？

アニメ効果ではそうなので  
OCG効果なら十代の負けでした。

十代、マナやサラの事を知ってるの？

ネオス達としょっちゅう話している十代ですので  
嫌でも精霊達の会話は耳に入ります  
なのでマナ達の事はある程度知っています、話した事は無いのです  
がね……

ネオスの空気化フラグ？  
どうでしょう？

なんだか終わりが中途半端な気が……  
これ以上すると終わりがかなり先になるので  
もう分けようかと思ってここで終わります。

ツイッター、そろそろ髪を切らねば……  
[http://twitter.com/#!/ain\\_kuria](http://twitter.com/#!/ain_kuria)  
最後に切ったのは……12月か1月だっけ？



## 138話【15日目?】（前書き）

「今日の最弱カードはドクターD

自分の墓地からD－HEROと名の付くモンスター<sup>セメタリー</sup>を1体、ゲームから除外する

その後、自分の墓地からレベル4以下のD－HEROと名の付くモンスター1体を選択して特殊召喚するんだ

D－HEROのサポートカードの中でも、かなり強力なカードだ  
ディスクガイを蘇生させれば更に効果的だしね」

初登場、今日の最弱カードにエドが出ました

……まさに最弱カード。

なんだかとても久しぶりに更新した気分です

ああ……執筆できなかった間、とてももどかしい気分でした  
もつと暇にならないと、更に遅くなる可能性が怖いです。

また大きなミスが……しかも修正できません

これを修正するには場の難易度が高すぎるので。

活動報告のアンケートは次回投稿時に締め切ります

もしまだ参加しておらず、参加したいという方はお早めに  
ただし、次回投稿はまだ不明ですけど。

次回は……微妙ですね

明日に投稿できる可能性はそこまで低くないんですけど  
とりあえず、3日以内には更新したいと思っています。

## 138話【15日目?】

視点 十代

瑞貴に会う事を嫌がっている翔

斎王が気になっているエドを連れて瑞貴の部屋に向かう  
ちなみに斎王は俺とエドで支えて運んでいる  
なかなか目を覚まさないから仕方無い。

そういえば剣山はどこに行ったんだ？

オージーンを追いかけたのは分かってるんだけど……お？

「お、アニキー！」

剣山がオージーンとリンドさんを連れて戻ってきた

まだブルー寮から出ていないから戻ってきたで合っているはず。

「斎王、気絶してるドン？」

「ああ、理由までは分からないけどな  
今から瑞貴の部屋に行くんだ」

「堅守先輩の部屋？」

どうしてそんな場所にエドや斎王を連れて行くんだドン？」

精霊の事を話すのは構わないんだけど

マナの事、あまり言わないでほしいって言われたしなあ……マナから  
そのせいで瑞貴が面倒事になったら自分が怒られるからって

どう説明するか……面倒だから言ってもいいかな？

「いえ、彼の部屋に向かいましょう」

おろ？

リンドさん、瑞貴の事知ってるのか？

気になったけど、俺達よりも先にオージーンが訊いた。

「リンド、何か有るのか？」

「……以前、彼から情報を貰ったのです」

情報を？

つうか、何で瑞貴から？

「斎王琢磨は破滅の光に体に乗っ取られていると……洗脳する力、斎王には妹が居るという話も聞きました  
斎王の状態も、何か分かるかもしれません」

……ちょっと待て瑞貴

どうしてお前が美寿知の事を知ってるんだ？

それに、殆ど斎王と関わって無さそうだったじゃんか  
俺には何が何だか……

「堅守瑞貴の話なら僕も少しは知っている、そういえば1回だけ会ったな

斎王がかなり警戒していて、僕は彼に近づくなと警告された  
堅守瑞貴はどれほど危険人物なんだ？」

ええー……瑞貴って斎王に警戒されてたのか？

しかもエドに近づくなとまで言うなんて  
瑞貴、斎王に何をしたんだよ？

「とにかく、瑞貴が何か知ってる事は分かったんだ  
どうにかして話を……してくれっかなあ？」

あいつ、嫌がりそうだし  
追い出されるオチな気がする。

「何故だ？  
会話ぐらいできるだろう？」

「瑞貴は気紛れで気分屋なんだよ  
機嫌が悪かったら俺達の事なんて平気で無視してくるしな  
機嫌が良かったら相談事に乗ってくれたり、カードをくれたりする  
けど」

「……また面倒な奴だな  
そんな奴をどうして斎王は警戒していたんだか」

だって瑞貴はセブンスターズになったり、三幻魔に乗っ取られたり  
他にもいつの間にか色んな事をしていたりするしな  
そう考えると警戒するのは当然……なのか？

今はもうセブンスターズとかじゃないし  
三幻魔の影響も無さそうだし  
裏で動く事を警戒していたのか？  
本当に裏で色々していたみたいだけだよ。

「……アニキ、やっぱり僕、あいつに会いたくないんだけど」

翔は瑞貴の事が嫌いなんだろうけど  
でもなあ……まあ、嫌なら別に良いか。

「まあ俺は別に良いけどよ……」

「丸藤先輩、毎回思うけどそこまで嫌いザウルス？  
俺もちよつと苦手だから分からなくも無いけど……」

けドンって初パターンじゃね？  
いや、別にどうでも良いんだけどよ。

「つうか、剣山も苦手なのか？  
慣れれば別に大変じゃないぞ」

機嫌が分かれば対処しやすいし  
まあ、避けられてるみたいだから困るけど  
でも何度も助けてくれるから俺は感謝してるんだけどなあ……  
やっぱり避けられてて嫌だけど。

「僕、ジェネックス大会の優勝者とか確認してくるね」

翔はそう言っ学校の方に行った  
嫌なら無理させる必要は無いか。

「ちょ、丸藤先輩？  
ったく……自分が誰も背負ってないからって」

剣山はオージーンに肩を貸してるしな  
そういえばオージーンはどうするんだ？

瑞貴に会うつもりなのか？

「そういえばよ

オージーンは瑞貴に会うのか？」

「会うつもりだ

何やら余の知らない所で金の話もしていたようだしな」

リンドさんが目を背けている

あんた、瑞貴と交渉したのか？

よくもまあ……よく断られなかったな。

………

………

……

何だかんだでレッド寮

なんだけど……瑞貴の部屋の前に騎士が立っていた。

西洋の鎧だよな？

確かに西洋系モンスターだとは思うけど

どうしてマナがあんな格好で？

「十代、彼女は誰だ？」

「えっと……言っっているのか？」

声が聞こえるぐらいは近づいているから訊いてみたが、返事は無い  
どうしたのかと思ってよく見てみたら……半分寝ていた  
立ったまま寝るとは……器用な奴だな。

「寝てるドン」

仕方無いので斎王をエドに預ける

マナの目の前に立ち、手を叩いて音を鳴らす。

「はえ？」

ね、寝てません！

寝てませんよ！」

いや、思いつきり寝てたから

精霊って寝る存在だっけ？

「あ、十代さんじゃないですか

生憎ですけど、この部屋へは立ち入り禁止です」

「立ち入り禁止？

瑞貴、どうかしたのか？」

マナはどう言ったものかと困っている

俺の後ろを気にしているって事は……エドや剣山達が邪魔なのか？  
でも追い返すわけにもいかないし、どうする？

『マナ、何故立ち入り禁止なのだ？』

お、ネオス。

『……私が宇宙に出たのは知ってるでしょ？

その時、どうしてドラゴン達が破壊されなかったと思う？』

マナも精霊にしか声が聞こえない謎の話し方をする  
俺、これできないんだよなあ……明日香はできるみたいだけど  
頑張れば俺も習得できるか？

それにしても、どうしてって破壊されなかったからだろ？

……ん？ 破壊耐性を持ってないモンスターだよな？  
ならどうして生き残ってたんだ？

『最初は和睦の使者を使ってたの  
だけど、使い切っちゃったからさ……アイアン・リゾルブにシールド・ソウルを使ったの』

アイアン・リゾルブとかシールド・ソウルの効果って何だろ？  
なんとなく、モンスターを破壊から守るカードってのは分かるけど。

『あ、アイアン・リゾルブとシールド・ソウルの効果だけど  
和睦の使者と同じ効果  
でも、その後にライフを半分支払わないといけないんだ』

……それって意味有るのか？  
普通、ライフを払わない和睦の使者を使うだろ。

『ちなみに、ライフを払うメリットが有る時もありますよ？  
まあ、それはさておき  
精霊の私、そして半実体化したドラゴン達を守る為に使わせてもら  
ったんですけど

まさかライフの支払いで体力を削られるとは思っていなかったみた  
いで……予想はしていたみたいなんですけど  
今は寝ていて、私宛に置き手紙があったんです』



『置き手紙だと?』

あ、ネオスも話に加わってたんだ  
最初に出てきてから話してなかったからな。

『うん

自分が起きるまで誰も部屋に入れるなんて  
どんな手段を使ってでも、剣で真っ二つにしてでも入れるなんて書  
いてあったの  
もし入れたらお仕置きって……だから絶対に入れられないよ』

剣でって……それって殺人じゃないのか?  
それって駄目だよな? 普通に駄目だよな?  
……あれ? 俺って殺される?

「……よし、俺と決闘だ!  
デュエル

俺が勝ったら瑞貴の部屋に入れさせてもらうぜ!」

「私の話、聞いてました!?  
貴方達を入れたら私が怒られるんですよ!  
というか決闘関係無いですし!  
デュエル  
って、私に勝つつもりですか!?!」

おお……4段ツツコミとは  
こいつ、強い!

「おい十代、僕達には話が見えないんだが……  
どうしてそうなったんだ?  
そもそもいつ話した?」

「まあ、アニキは時々ああいう時が有るドン  
諦めて見ていた方が楽ザウルス」

なんか酷くね？

「……私が勝ったら諦めてくれますか？  
その方が早く終わりそうなので構いませんが」

「おう、今は諦める  
後でまた来るけど」

「来ないでください！  
起きたら教えてあげますから！」

だったらいいか。

「誰が相手ですか？  
何だったら全員同時でも構いませんよ？  
貴方達のデッキで私に勝つ事はできませんから」

そんなに自信が有るのか？  
後ろでエド、剣山、オージーンが不機嫌そうな態度になってる  
気持ちは分かるけど……どうする？

「そんなに自信が有るなら僕と十代のタッグで相手をしてやっても  
良いんだぞ？  
尤も、そんな事をすれば弱い者苛めになるだろうけどね」

「……………弱い犬ほどよく吠える」

「なんだと？」

な、なんだか凄く危険な雰囲気……  
マナってこんなに口が悪かったわけ？

『十代、彼女は機嫌がかなり悪いらしい  
おそらく、奴にソーラの破壊に成功して褒めてもらいたかったのでは  
ないか？

しかし奴は寝ている上、誰かを部屋に入れたらお仕置きだ  
授業中の彼女の態度は知っているだろう？  
どんな手段を使ってでも勝つつもりだ、油断するな』

あー……なるほど、そりゃ仕方ないか

授業中、ネオスがマナを引き離そうとした事が有ったなあ

マナが絶対に嫌って、怒ってネオスに攻撃したわけ

理科の授業中で良かった……実験の失敗の爆発と同時に爆発したから  
怪しまれなかったけど

授業が終わった後にマナとネオスは明日香に怒られていたな。

「構いませんよ、その方が手っ取り早いですし

私に勝つ事は先ず、不可能とでも思っておいてください

十代さんに言っておきますけど、私は明日香さんにも勝ってるんです  
よ？」

「げ、マジ？」

俺、明日香にまだ勝ってないんだよなあ……

何度もタッグだって組んでるから強いって事はよく分かってるし。

「ん？」

って事は俺がお前に勝てば俺は明日香より強いって事か？」

「それはちよつと違うんじゃないですか？

相性とか、運とか、そういうのが有るでしょう？

私に勝ったからって、明日香さんより強いとは言えませんよ」

それもそうか

明日香に勝ってこそ、俺は明日香より強いって事だしな  
よし、今度明日香と決闘デュエルしよう！

「まあ、私が明日香さんに勝てたのは相性ですけど  
同じく相性の悪い貴方達が私に勝てるだけでも？」

「やってみなくちゃ分かんねえぜ？」

俺はデッキをセットし、決闘盤デュエルディスクを構える

剣山はオージーンをリンドさんに預け、エドは斎王を剣山に預ける

エドもデッキをセット、そして決闘盤デュエルディスクを構える

マナもデッキをセットし、構えてお互いの準備が整う。

「「決闘デュエル！」」

「最初は私から、ドロー！」

ジェスター・コンフィを特殊召喚します！」

太ったピエロ？

なんでこんなモンスターが……

「ジェスター・コンフィを生け贄に捧げ  
カオス・マジシャンを召喚します！」

おお……1ターン目から上級モンスターか  
攻撃力2400か、最初のターンにしては強いかな。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

「俺のターン、ドロー！」

バブルマンを召喚し、効果を発動！

バブルマンを召喚した時、自分の場に他のカードが無い場合  
デッキからカードを2枚ドローする！」

手札がこの状態で、ドローしたカードが……  
カオス・マジシャンの攻撃力は2400  
融合しても攻撃力が足りないな。

「魔法カード、融合を発動！」

手札のクレイマンと、場のバブルマンを融合

E・HEROマッドボールマンを守備表示で融合召喚！  
更にカードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

守備力3000のモンスターだ

そう簡単に超える事はできないだろう！

「僕のターン、ドロー！」

D-HEROダイヤモンドガイを守備表示で召喚し、エフエクト効果発動！

デッキの一番上のカードを確認し、そのカードが通常魔法カードだ  
った場合

そのカードを墓地へ送り、次の僕のメインフェイズに<sup>セメタリー</sup>効果を発動

僕のデッキの一番上はデスネー・ドロー、次のターンで<sup>エフエクト</sup>効果が確定！」

よし、これで次のターンにエドは2枚ドロ―できる  
つうか、ダイヤモンドガイの効果って必ず成功してないか？

……気のせいかな？

「更にカードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

さて、マナはどう動く？

そういえばマナのデッキって魔法使い族なんだよな？  
最初に会った学園祭でも魔法使い族デッキだったし。

「私のターン、ドロ―！

ガガガマジシャンを召喚！」

「「ガガガマジシャン！？」」

なんつー名前だよ……ブラック・マジシャンっぽい帽子をかぶって  
体に鎖でアクセサリー？

んでもって服は学生服ってか……カイザーみたいに服が伸びてるし  
随分変わったモンスターだな。

「更にガガガマジシャンの効果を発動！

1ターンに1度、メインフェイズ時にLVを1から8まで選択する  
このモンスターはエンドフェイズ時まで、宣言したLVとなる！

私が選択するLVは8！」

でもよ、そんな事をする意味が有るのか？

だってLVを選択するだけなんだし……

「2人は悩んでない？」

「LVを操作する必要が、どこに有るんだろうって」

考えていた事を当てられた!?

いやまあ……そうなんだけどよ。

「私の目的はこれ！」

自分の場に存在するLV6以上の魔法使い族モンスター2体を生け贄に捧げ

マジックハイエロオブンザブラック  
黒の魔法神官を特殊召喚！」

黒いブラック・マジシャンっぽいモンスター……って、攻撃力が3200!?

マッドボールマンの守備力を上回っただと!?

「このモンスターはLV6以上の魔法使い族モンスターを2体生け贄に捧げる事で特殊召喚できます

マジックハイエロオブンザブラック  
黒の魔法神官で……ダイヤモンドガイに攻撃!

セレスティアル・ブラック・バーニング!」

「罠カード、Dーカウンター発動!

相手がDーHEROに攻撃してきた時

その攻撃してきたモンスターを破壊する!」

よし、最上級モンスターをこれで破壊だ!

「甘いですよ……マジックハイエロオブンザブラック黒の魔法神官の効果を発動!

このモンスターが場に存在している限り、罠カードの効果が無効にして破壊できる!

よってDーカウンターの効果を無効にして破壊、マジックハイエロオブンザブラック黒の魔法神官の攻撃を続行!」

「なんだと!?!」

マジックハイエロオブンザラック  
黒の魔法神官の魔力弾がダイヤモンドガイに直撃する  
守備表示だったからダメージは無いけど……これは予想外だな。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

拙いな……攻撃力3200に罠封じだなんて  
そういえば翔の対戦相手って魔法使い族のロックデッキって言って  
たな

という事はまさか……マナが相手だったのか?

「なあ、もしかして翔と決闘しなかったか?」  
デュエル

「翔?」

……誰?」

知らないか、という事は違うのか。

「どこかで聞いた事が有るんだけど思い出せないなあ……うーん」

「水色の髪をした背の低い……」

「あ、したした

酷いんだよ、私があの子のカードを封じたら卑怯だって  
相手の行動を止める、その何が悪いんだろう?  
ずるなんてしてないのに」

なるほど、聞いた話では魔法も罠も封じられたみたいだけどな



そりゃ卑怯とか言いたくもなるんじゃないか？

俺は言わないけどな、だってそれが相手の全力だろ？

「どういう意味だ、十代」

「簡単だよ、こいつが大会で翔を倒した

使うデッキは魔法使い族のロックデッキ

魔法カード、罠カードを封じてくる超厄介な相手だ

しかも……強い！」

「なるほど、僕達は今それを体験しているという訳か

確かにかなり厄介な相手だ、罠カードを封じられてるんだからな」

「一応、弱点は有るんですけどね  
マジックハイエロオブンザラック

黒の魔法神官は通常罠、永続罠は封じられます

だけどカウンター罠を封じる事はできないんです」

弱点ってそれだけか？

それでも十分に厄介だぞ、さて……どうする？

まあ俺は融合さえ封じられなかったら大丈夫だけど

それにコンタクト融合も有るしな。

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、ヒーロー・マスクを発動！

デッキからE・HEROを選択し、墓地へ送る

自分の場のモンスターを選択して、そのモンスターを墓地へ送った  
モンスターとして扱う！

俺が墓地へ送るのはE・HEROネオス！

ヒーロー・マスクの効果により、マッドボールマンはネオスとして  
扱う！」

別に見た目は変わらないんだけどな  
代わりにマッドボールマンに金色の光が纏って見える。

「更に俺はN・エア・ハミングバードを召喚！  
ネオスベーション

エア・ハミングバードの効果発動！

相手の手札の数×500ポイントライフを回復する！

ハニー・サック！」

マナの手札から花が咲く

エア・ハミングバードはその花の蜜を吸う

マナの手札は1枚、よってライフが500回復だ！

「更に永續魔法カード、魂の共有ーコモンソウルを発動！  
ネオスベーション

マッドボールマンを対象に選択し、N・アクア・ドルフィン等特殊  
召喚！  
ネオスベーション

この効果で選択されたモンスターは特殊召喚したNと名の付くモン  
スターの攻撃力だけアップする！」

マッドボールマンの攻撃力が600ポイントアップ

だけど、俺の目的はそれじゃない！

「魔法カード、スベーション・ギフトを発動！  
ネオスベーション

自分の場に存在しているNと名の付くモンスターの数だけドローす  
る！

俺の場にNは2体、よって2枚ドロー！  
ネオスベーション

続いて魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロー！」

俺の場にはモンスターが3体

これだけすれば……大丈夫かな？

「アクア・ドルフィンの効果を発動！

手札を1枚捨て、相手の手札を確認する！」

マナの手札が公開される

手札のカードはモンスター、お注射天使リリー！

「手札のモンスターカードを1枚選択！

そしてそのモンスターの攻撃力が俺の場のモンスターの攻撃力より低かった場合！

選択した相手の手札を破壊し、相手に500ポイントのダメージを与える！

俺の場合にはコモンソウルの効果で攻撃力が600アップし、2500になっているマッドボールマンが居る！

更にお注射天使リリーの攻撃力は400、よって破壊して500ポイントのダメージだ！」

マナはお注射天使リリーを墓地へ送り、500ポイントのダメージを受ける

効果を使っておいて良かった……攻撃力3400なんて拙いもんな。

「まだまだあ、魔法カード、オーオーバーソウルを発動！

墓地からE・HEROと名の付く通常モンスターを特殊召喚する！

俺が選択するのは当然、E・HEROネオス！

いくぞ！ ネオス、そしてエア・ハミングバード、アクア・ドルフィンをトリプルコンタクト融合！

現れる、E・HEROストーム・ネオス！」

こいつがネオスとNの、トリプルコンタクト融合だ！

いくらマナでも、そう簡単にこいつに勝つ事はできないだろ！

「ストーム・ネオスの効果発動！

1ターンに1度、場に存在する魔法、罠カードを全て破壊する！  
吹っ飛ばせストーム・ネオス！ アルティメット・タイフーン！」

ストーム・ネオスの巻き起こす爆風で場が荒らされる

俺の場に有ったコモンソウル、そして伏せていたカードはヒーロー  
スピリッツ

罠カードはどうせ封じられてるからどうでもいいや！

「悪いけど十代さん

その選択は……悪手だよ？」

「なに？」

どういう意味だ？

マナの伏せカードを2枚、破壊したはずだ。

「破壊されたカードの1枚は呪われた棺

このカードが破壊された時に効果が発動するの

相手は以下の効果を1つ選択する

1つ目は自分の手札を1枚ランダムに捨てる

もう1つは自分の場のモンスターを1体破壊する

この効果を受けるのはこの私の相手、つまり十代さんだよ」

って事はつまり……俺の手札を捨てるか俺のモンスターを破壊する  
かか！？

なんつー厄介なカードだ！

俺の手札はこのカードだから捨てたらヤバイし……

「仕方無い、俺はマッドボールマンを破壊する！」

ごめんマッドボールマン！

まだストーム・ネオスを失うわけにはいかないんだ！

「もう1枚、伏せていたカードの効果を発動

この伏せていたカードの名前は、Zセット・ワン—ONEだよ

場に存在するこのカードが破壊され、墓地へ送られた時

自分の手札、墓地、デッキからカードを1枚選択し、除外する

墓地に存在するこのカードを選択したカードとして場に発動

そして、この発動したZ—ONEを破壊する事はできない」

「えっと……どういう意味だ？」

なんだかややこしくてよくわかんなかった

つまり、えっと……なんだ？

「はあ……つまりだ十代

あのカードは除外したカードの代わりになるって事だ

もしそのカードがモンスターだったら破壊されない究極の盾となり

永続魔法、永続罫だったら破壊できない余りにも厄介なカードとなる

もし僕達に不利なカードを使われたら拙いぞ」

うわぁ、そりゃ大変だ！

モンスターだったら戦闘で倒せないじゃん！

それはつまり……グラン・モールとかグラン・ネオスで手札に戻す  
しか無いな。

「全部ハズレ

私が選択するカードはフィールド魔法、魔法族の里だよ！

魔法族の里を除外して、Z－ONEを発動！

このカードは魔法族の里と同じ効果となり、私のフィールド魔法として発動する！」

辺りが綺麗な森に変わった

茸みたいな家が有ったり、でかい木……てか樹が有ったり  
これが魔法使い族の里なのか？

「魔法族の里の効果

このカードが存在している時

私の場にのみ、魔法使い族モンスターが存在している限り  
相手は魔法カードを発動する事ができない！」

「なんだと!？」 「なんだって!？」

って事は魔法カードも封じられたって事か!？

罨カード、魔法カード、どっちも封じてくる

これが翔の言っていたマナの戦術か！

「ただし、私の場に魔法使い族モンスターが存在しなくなった時

私は魔法カードが使えなくなり、相手は使えるようになる

そして自分の場にも、相手の場にも魔法使い族モンスターが存在している時

お互いに魔法カードを使用する事ができる

貴方達のデッキに、魔法使い族モンスターは入ってるかな？」

クツ……俺達のデッキは戦士族モンスターが中心

エドのデッキはE・HEROやD－HERO、どっちも全部戦士族だ！

一応、俺のデッキには戦士族以外のモンスターも入ってる。

だけど、俺のデッキに入っているのは  
岩石族、獣族、昆虫族、植物族、鳥獣族、機械族  
魔法使い族モンスターも入ってるけど  
カードエクスルーダーの1枚しか無い！

しかも、俺の手札はインスタント・ネオスペース  
魔法カードだから発動する事ができない！

「クソッ！ 俺はこれでターンエンドだ！  
エンドフェイズ、ストーム・ネオスは融合デッキに戻る！」

最悪に大失敗だ！

インスタント・ネオスペースが有るからって油断した  
翔からマナの事、もっと詳しく聞いておくんだった！

俺の場合はガラ空き、何もカードが無い！  
次のターン、直接攻撃が来る！

「なんて厄介な……僕のターン、ドロー！  
前のターンにダイヤモンドガイの効果で墓地へ送られたデステニー・  
ドロウの効果を発動  
デッキからカードを2枚ドローする！」

「さすがに効果だけだと魔法族の里でも防げないなあ……  
魔法カードの発動は防げるけど、魔法効果は防げないし」

……そうか、永続魔法は防げないって事か  
だけど俺達の場合にはカードが1枚も無いから関係無いか。

「確かに、魔法カードも罠カードも封じられるのは困る  
そしてとても厄介な相手だというのも理解できた」

今更か？

「だが、それは僕のD－HEROには通用しない！  
カモン！ D－HEROデビルガイ！」

なるほど！

デビルガイの効果で除外  
その間に罠カードを使うのか！

「デビルガイの効果発動！  
エフエクト  
相手モンスター1体を、ゲームから除外する！  
ディステイニー・ロード！」

デビルガイが腕を伸ばし、手を黒の魔法神官に向ける  
マジックハイエロオプンザラック  
黒の魔法神官は呻きながら消えていった  
よし、これでなんとかなる！

「黒の魔法神官が……  
マジックハイエロオプンザラック  
でも、無条件で相手モンスターを除外する下級モンスターなんてそ  
んなに居ないはず  
何か条件付きなんじゃないの？」

「ご名答、デビルガイの効果で除外されたモンスター  
エフエクト  
そいつは2ターン後の僕のメインフェイズに場に戻ってくる  
いっそ、そのまま消えていてくれると助かるんだけどね」

同感だぜ



魔法に罠封じなんて、やってらんねえよ  
しかもジュンコの時と違って完全封じなんだし  
俺達とはトコトン相性が悪い。

「デビルガイの効果を<sup>エフェクト</sup>発動したターン、バトルを行う事はできない  
カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

「貴方達、強いね  
私のターン、ドロー！」

「おっと、君の場に魔法使い族モンスターは存在していない  
よって魔法カードは使えないよ？」

そういえばそうだったな  
罠カードだけじゃなく、魔法カードも使えるようになるなんてな！  
凄いぞデビルガイ！

「分かってる、ドローしたカードは魔法カードじゃないし大丈夫だよ  
……そんなに除外したいんだったら除外してあげるね」

「何？」

「私の墓地に存在する光属性、カオス・マジシャン  
そして闇属性、ジュエスター・コンフィをゲームから除外」

光属性と闇属性を除外？  
って事はまさか！

「出てきなさい、混沌の使者、カオス・ソーサラー！」

あ、よかった……違ったか  
もしかしてカオス・ソルジャー―開闢の使者―かと思って焦ったぜ  
あいつは遊戯さんのデッキを使った神楽坂と戦った時に堪能したし  
もう懲り懲りだ。

「カオス・ソーサラーの効果を発動！  
1ターンに1度、相手モンスター1体を除外する！  
ただし、このターンはカオス・ソーサラーは攻撃できないけどね  
デビルガイを除外！」

カオス・ソーサラーの効果により、デビルガイは除外された  
また……何をしてもマナは厄介だな！  
瑞貴と戦っているみたいに関手にし難い！

「デビルガイが……チィ！」

「しかも魔法使い族モンスターが場に居るから魔法族の里の効果も  
戻ってる

攻撃できないのは惜しいけど……大丈夫でしょ？  
だって融合が無いとE・HEROデッキはともに動かないし  
そっちのD-HEROも攻撃力が低そうだしね  
攻撃力2300のカオス・ソーサラーはそう簡単に倒せないよ！」

確かに、魔法カードが封じられている今  
俺達のデッキでカオス・ソーサラーを倒せるカードは少ない  
というか、殆ど無いかもしれない！

「俺のターンだ、ドロ―！  
フ렌ドッグを守備表示で召喚してターンエンドだ！」

「僕のターン、ドロー！」

D－HERO ディスクガイを守備表示で召喚！  
ターンエンドだ！」

俺もエドも手詰まり

魔法カードが使えないのは……辛すぎる！

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドロー！  
魔導戦士ブレイカーを召喚！」

出た、魔導戦士ブレイカー！

魔力カウンターを1つ取り除く事で相手の魔法、罠カードを1枚破壊する！

エドの伏せカードが破壊されるって事か！

「魔導戦士ブレイカーは召喚した時、魔力カウンターが1つ乗る！  
魔力カウンターが乗っているブレイカーの攻撃力は300ポイント  
アップするけど

ブレイカーの魔力カウンターを1つ取り除いて効果発動！

相手の魔法、罠カードを1枚破壊する！

えっと……D－HEROの人の左のカードを破壊！」

破壊されたのはD－シールド

D－HEROを戦闘破壊から守る盾だったな。

「魔法カード、魔力掌握を発動！」

魔力カウンターを乗せられるモンスターに魔力カウンターを1つ乗せる！

魔導戦士ブレイカーに魔力カウンターを1つ乗せて

もう1つの効果、デッキから魔力掌握を手札に加える！  
ただし、魔力掌握は1ターンに1枚しか発動できないけどね  
もう1回……残ったカードを破壊！」

今度はデステニー・シグナルが！

戦闘破壊されないと意味は無いけど

それでも次のD－HEROを出す事ができなくなった！

「……カオス・ソーサラーの効果発動！

フレンドッグをゲームから除外！

そして魔導戦士ブレイカーで十代さんにダイレクトアタック直接攻撃！」

こっちを狙ってきたか！

俺の場には伏せカードもモンスターも居ない！

「ぐああ！」

クッ……思いつきり斬られた

攻撃力は1600、スパークマンと同じか！

俺のライフはエア・ハミングバードの効果で500回復していて4  
500

1600のダメージだから残りライフは2900か。

「これでターンエンドです」

「俺のターン、ドロー！」

カードガンナーを召喚して、効果発動！

デッキからカードを3枚まで墓地へ送り

1枚につき攻撃力を500ポイントアップさせる！

俺はデッキからカードを3枚墓地へ、カードガンナーの攻撃力は1500ポイントアップ

これでカードガンナーの攻撃力は1900!」

よし、魔導戦士ブレイカーを上回った!

カオス・ソーサラーには勝てないが……それでも十分だろ!

「カードガンナーで魔導戦士ブレイカーに攻撃!」

カードガンナーの腕から撃つ弾がブレイカーに直撃  
これでマナに300のダメージだ!

「俺はこれでターンエンド」

「僕のターン、ドロー!」

「この瞬間、デビルガイの効果で除外されていた黒の魔法神官が戻  
マジックハイエロオブンザラック  
ってきます

貴方達はこれで罠カードも使えませんか!」

戻ってくるのが早すぎるんだよ!

もっとゆっくり、のんびり待ってたら良いのに!

「D－HEROディフェンドガイを守備表示で召喚!

このモンスターが守備表示で存在している時

相手はドローフェイズにもう1枚ドローできる

ターンエンドだ……」

魔法、罠カードが封じられたらD－HEROでもお手上げか  
サポートカード、多いしな。

「私のターン、ドロ―！」

ディフェンドガイの効果でもう1枚ドロ―します！

マジカルコンダクターを召喚！」

緑の服を纏った女が出てくる

前に見た事が有る気がするんだよな……いつだったっけ？

「魔力掌握を発動！

マジカルコンダクターに魔力カウンターを1つ乗せ、デッキから魔力掌握を手札に！

そしてマジカルコンダクターは魔法カードを使用する事で魔力カウンターを2つ乗せます！

マジカルコンダクターの効果発動！

自身に乗っている魔力カウンターを任意の数だけ取り除く

取り除いた魔力カウンターと同じ数のLVの自分の手札、または墓地に存在する魔法使い族を特殊召喚する！

私は魔力カウンターを3つ取り除き、お注射天使リリーを墓地から特殊召喚！」

げ……これってかなり拙くないか？

マナの場合にはモンスターが4体

しかも除外、罫封じ、特殊召喚、攻撃力上昇

どれも厄介なモンスターしかいねえじゃねえか！

「……発動しておきますか

カオス・ソーサラーの効果を発動！

カードガンナーをゲームから除外します！」

カードガンナーが……さすがにもう、どうしようも無いな。

マジックハイエロファンザラック  
「黒の魔法神官で十代さんに直接攻撃！」

「墓地に存在しているネクロ・ガードナーの効果発動！  
このカードをゲームから除外して、相手の攻撃を1度だけ無効にする！」

俺の目の前にネクロ・ガードナーが現れて攻撃を止めてくれた  
これで一応助かったけど  
リリーの効果を使われたらもう防ぐ手段は無い！

「むう……マジカルコンダクターで十代さんに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

マジカルコンダクターは手を振り上げ、緑の魔力球を出す  
それを俺に向かって打ち出した！

「ぐうううう……」

1700のダメージ  
残りライフは1200か！

「お注射天使リリー、ディスクガイに攻撃！」

マナは効果を使わず、ディスクガイを破壊した  
ディスクガイの守備力はたったの300だしな。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

いい加減、カオス・ソーサラーは消したい  
このドローで……いや、俺は負けない！

「俺のターン、ドロー！」

……よし、これで！

「墓地に存在するE・HEROネクロダークマンの効果発動  
1度だけ、E・HEROと名の付くモンスターを生け贄無しで召喚  
できる

俺はこの効果を使い、ネオスを召喚！」

「この土壇場で……」

攻撃力2500のネオスだ！

これでカオス・ソーサラーを倒せる！

「ネオスでカオス・ソーサラーに攻撃！  
ラス・オブ・ネオス！」

「う……カオス・ソーサラーが……」

マナにも200のダメージ！

さっきのダメージ、んでもってアクア・ドルフィンの効果  
合計1000のダメージで残りライフは3000！

……どうやって削れば良いんだ？

「ターンエンドだ！」

「僕のターン、ドロー！」

E・HEROドゥームガイを守備表示で召喚！  
ターンエンドだ……」



確か戦闘で破壊された時  
次の自分のスタンバイフェイズに墓地のD－HEROを特殊召喚するんだっけ？

「私のターン、ドロー！  
ディフェンドガイの効果でもう1枚ドロー！  
黒魔導師クランを召喚！」

げ、攻撃力1200！  
しかもダメージを与える効果も持ってるし！

「魔法カード、魔力掌握を発動！  
これでマジカルコンダクターに魔力カウンターを1つ乗せる  
そして魔法カードの発動で更に2つ、魔力カウンターを乗せる！  
もうデッキに魔力掌握は無いから手札に加えられないね」

デッキに入れられる同名カードは3枚までだしな  
これで3回目、まさか全部使われるとは……

「いくよ！  
マジックハイエロオブンザラック  
まずは黒の魔法神官でネオスに攻撃！」

攻撃力差は700  
いくらネオスでもこれは……無理か！

俺の残りライフは500  
もうどうにもならない！

「クランで十代さんにダイレクトアタック直接攻撃！」

克蘭が小さな鞭を俺に打ってくる  
これで俺のライフが0とか……せめてもう少し派手にしてくれない  
か？

「マジカルコンダクターでドゥームガイに攻撃！」

マジカルコンダクターの攻撃でドゥームガイを破壊した

もしこれでカオス・ソーサラーが居たら……

ディフェンドガイを除外されて更に直接攻撃を受けていたかもな。  
ダイレクトアタック

「カードを1枚伏せて、ターンエンド」

「十代を倒したからって良い気になるなよ……僕のターン、ドロー！  
ドゥームガイの効果発動！  
エフエクト

このモンスターがバトルで破壊され、墓地に送られた次の僕のスタ  
ンバイフエイズ  
セメタリー

僕の墓地に存在するD－HEROを特殊召喚する！  
カモン、D－HEROダイヤモンドガイ！」

ダイヤモンドガイが出てくるけど……ん？  
ディスクガイだったら2枚ドローできなかったか？

「ダイヤモンドガイの効果発動！  
エフエクト

デッキの1番上を捲り、確認

それが通常魔法だった場合、墓地へ送る  
セメタリー

デッキの1番上は魔法カード、ドクターD

これで次のターン、効果が確定！  
エフエクト

確か墓地のD－HEROを特殊召喚するんだっけ？

代わりに他のD－HEROを除外するんだけど。

「更にD－HERO Dankガイを召喚！

そしてこの3体を生け贄に捧げ、D－HERO Bloodを特殊召喚！」

お、おおお！

出た、エドの切り札！

だけどこの状況を突破できるのか？

「Bloodの<sup>エフェクト</sup>効果発動！

相手の場のモンスター1体を吸収する事でそのモンスターを装備カード扱いとする！

更に、装備したモンスターの半分の攻撃力を得る！

僕が吸収するのは、当然黒の魔法神官！<sup>マジックハイエロオブンザラック</sup>」

そうか！

これでエドは罠カードが使えるようになる！

しかも攻撃力3200の半分、1600もアップ  
Bloodの攻撃力は3500にまでなるぞ！

「甘いですね」

「なに？」

甘いつて……まさか何か対策を！？

「速攻魔法、エフェクト・シャットを発動！

相手モンスターの効果の発動を無効にし、そのモンスターを破壊する！」

あ……D一フォースも無いから防げないな。

破壊されるB100-D

啞然とするエドだけど……うん、無理だな。

「ついでに、マジカルコンダクターに魔力カウンターを2つ乗せます」

「ぼ、僕はカードを1枚伏せてターンエンドだ」

魔法カードは使えない、罠カードは封じられている  
……どうすりゃ良いんだ？

「私のターン、ドロー！」

克蘭の効果が発動しますが、相手の場にモンスターが居なければ関係無いですね

全モンスターで総攻撃！」

これを受けたらエドの負けだ！

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動！」

相手の攻撃を無効にし、バトルを強制的に終了させる！」

やった！

これでこのターンは凌げる！

「それが甘いって言ってるんです！」

カウンター罠、カウンター・カウンターを発動！  
カウンター罠の発動を無効にして破壊します！」

「なんだって!？」

うわ、うわああああ!」

あちゃあ……こりや本当に終わったな

カウンター罠って弱点を教えておいたのはこの為か？

俺達にカウンター罠を使わせる為とか……

全モンスターがエドに攻撃を仕掛ける

マジックハイエロオレンザラック

黒の魔法神官の攻撃で3200

マジカルコンダクターの攻撃で1700

黒魔導師克蘭の攻撃で1200

地味にお注射天使リリーの効果を使って攻撃力30000アップ、3

400のダメージ

合計、9500のダメージで4500のオーバーキルかよ……さすが瑞貴の精霊。

ま、正確には違うみたいだけどな  
それでもこれはちよつと……

「はい、これで私の勝ちですね

あの人が起きたら連絡しますから、それまで待っていてください」

強引に入るなんて……やっぱ駄目だよな  
くそお、完敗かあ!

「まさかアニキ達が負けるだなんて……」

「余だけでなく、斎王にまで勝ったそなたが負けるとはな  
あの娘、強い……」

「王子、まだ体が回復してないんですよ  
彼女と決闘した<sup>デュエル</sup>いだなんて言わないでくださいね」

凶星だったのか、オージーンは少しだけ呻く  
リンドさん、溜め息吐いてるぜ？

「……僕が負けた？

クッ、今回は負けを認めておいてやる  
十代、斎王は僕が預かろう」

「いや、エドは船で生活してるんだろ？  
だったら俺の部屋で休ませる  
ベッドは一応空いてるしな」

「あ、アニキ！

俺の寝る場所はどうなるドン！？」

それは……

「悪い剣山、今日はイエローで寝てくれ  
斎王が回復してからならまた来て良いから……な？」

「むううう……仕方無いザウルス」

素直に折れてくれて助かるぜ。

「私と王子は部屋に戻ります  
もし彼女から連絡が有れば、私達も呼んでください  
彼とは話したい事が有るので」

「分かった

その時は必ず呼ぶ」

リンドさん、オージーンはそのまま帰って行った  
一応、まだこの島に居るんだろうな  
じゃなきゃ、呼べなんて言わないか。

「……僕も船に戻ろう

十代、斎王の事は頼んだぞ」

「おう、任せておけ！」

エドも自分の船に帰る

残ったのは俺と剣山、気絶してる斎王だけか。

「とりあえず剣山、斎王をベッドに寝かせるぞ」

「了解ザウルス」

俺達も部屋に戻る

そういえば翔……まだ戻らないのか？

視点 マナ

ふう……1回で諦めてくれて助かった  
もしまだ何か言うんだったら……はあ。

レイちゃんと明日香さんには来ないように連絡しておいたし  
玲ちゃんにも伝えておいてと言っておいたから大丈夫かな  
美寿知さんは……後でいいや。

厄介な人はもう帰ったから部屋に戻っても良いかな？  
いい加減、鎧が重くなってきたし。

という訳で部屋に戻ったんだけど……  
やっぱりまだ寝てるみたい。

アイアン・リゾルブを10枚  
シールド・ソウルを5枚使って合計15枚

ライフ回復カード、天使の生き血を使っていたみたいでカードが落ちていた  
使った枚数は5枚だけど……こういう順番でしたのか残りライフは1385になっていた。

ライフはまだそこそに残ってるけど  
それでも何度もライフが削られて、体力も何度も大きく削られたみたい

私が部屋に入った時には既に意識が朦朧としていて、いつ気絶してもって感じだった。

話しかけたんだけど、私に気付いた瞬間に気絶  
安心してくれて気絶したんだったら嬉しいけど……やっぱり違うかな  
私が帰ってきたから緊張の糸が途切れたただけだろうし。

ベッドに運び込んだのは良いんだけど……  
私はまだ竜騎士ブラック・マジシャン・ガールの状態



ティマイオスやドラゴン達は他の場所で待機してもらってる  
早くカードを決闘盤から外してくれないかな？  
デュエルディスク

私は使用者じゃないし、プレイヤーでもなかったから外せないし  
だからってこのまま放置していてもみんな困るし  
もしドラゴン達が見つかったら大騒ぎだよ。

今は海に潜ってもらってるけどね……

でも、勢いよく沈んだから津波とか起きてないかな？

もし起こってたら小さな船だったら沈んでるかも

一応、あの時間は客船は来ないはずだから大丈夫……だよね？

さて、頑張って看病しよっと！

私にできる事はこれしか無いんだもん！

早くソーラを破壊できなくてごめんなさい……

もし、また何か有ればもっと早くできるように頑張るから！

……寝てるし、悪戯しても良いかな？

## 138話【15日目?】（後書き）

翔はどうなったの？

最終戦を見に行きましたが、当然終わっています

美寿知も話し終え、解散し始めた所です

なので行ったものの、優勝者を知ったぐらいしかできていません  
兄が優勝した、それで翔はどう感じたか……成長フラグっぽいけど、  
成長するかは不明。

当然、通常魔法！

それがエド・フェニックスでしょう。

ガガガマジシャンって？

4月に発売されるパックだったかなんだったか……忘れまし  
とにかく、その時に発売されるそうです

まさかの遊戯王ZEXALのカードの登場です

……本当は半月以上前から使いたかったんですけどね  
マナの戦う機会が無かったのでようやく使えました。

マナ、翔を忘れてる？

忘れています、印象には残っていますけどね  
当然、悪い意味での印象ですが。

ヒーロー・マスクを使った意味は有るの？

最初はマッドボールマンとコンタクト融合して貰おうと思ったので  
すが

融合デッキに戻るのでコンタクト融合はできない事に気付きました  
しかし、ならばどうやってネオスを出すかと……

結局、ヒーロー・マスクからオーオーバーソウルとなりました。

前のマグマ・ネオスもだけど、トリプルコンタクトの登場が早くない？

……細かい事は気にしない！

Z-O-N-Eの効果が違う

アニメ効果です

……本当に反則クラスかもしれない効果ですね

破壊前提ですが、ダブル・サイクロンを使えば良いんですけどね。

E・HEROストーム・ネオスのデッキに戻る時の効果は？

忘れていました+修正できません

これを修正すると……マナが確実に負けますね。

魔法族の里が最強の里に……多分

ただでさえ、破壊し難い魔法族の里です

それが更なる耐性を持っている……魔法使い族が入っていないデッキには悪夢ですね。

十代のデッキ、もうカードエクスルーダーが入ってるんだ……

カードガンナー、カードブロッカーが入っているんです

だったらもう入っていても良いんじゃないかと思いました

初登場はユベル戦ですけど……しかも1回だけ。

カードガンナーの効果で何が墓地へ送られたの？

ネクロダークマン、ネクロ・ガードナー……後は考えていません  
十代だったらこれぐらい、楽に墓地へ送ってくれるでしょう。

マナがオーバーキル……

お注射天使リリーの効果を使わなかった場合、1500のオーバーキルですね

それを4500ものオーバーキルに……さすが瑞貴と一緒に居るだけの事は有りますね。

十代やエドが妙にアツサリしてるような……

……何を言えと？

という感じなのでこんなにアツサリと

できればもっと悔しがらせたかったんですけどね。

何故ディアン・ケトじゃなくて天使の生き血？

イラスト上の問題。

小船って……何か有るの？

DD戦で船は既に失っているので後に十代に事情を説明し、校長に会いに行きました

何故か船が沈んでいたのと説明、プロ達が使用していた休憩室を借りて寝ました

……作者がDD戦で船を失っている事を忘れていただけですが。

何故それを書かなかったの？

既にかんりの文字数なので止めました

次回に回す事も考えましたが、面倒になるので止めました

……エド視点が面倒だけなんですけどね。

マナ……瑞貴に悪戯は無謀じゃないか？

キツチリ悪戯しました

いつかのような事です、いつでしたかね？

原作、アニメオリジナルカード

ドクターD

自分の墓地からD－HEROと名の付くモンスター1体をゲームから除外する

その後、自分の墓地からレベル4以下のD－HEROと名の付くモンスター1体を選択して特殊召喚する

普通に強いカードですが、未OCGカード

TFにも登場していない、アニメ限定カードですね

さすが、経済的に金の掛かる贅沢なHERO……これに関してはWikiのD－HEROのページで。

ツイッター、久しぶりに東方星蓮船をしてみた

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
まさかノーマルの4面で残機を失うとは……

半年振りぐらいだから仕方無いんだけど、鈍ってるなあ。

## 139話【ジェネックス大会終了】（前書き）

「今日の最強カードは……また無い!?  
私も紹介したいのに! どうして無いの!?!」

それが君の役目だ、ゆま  
次は有る時にしようかと考える。

今回は決闘は無しです  
デューエル  
次回は有りますが。

ようやく、長かったジェネックス大会が終わりました  
39話と、凄まじく長く……本当に、やっと終わりました  
最後だけに、ご都合主義っぽいのが多いのですがスルーでお願いします

……ここまで後始末をした作品って有りますかね?

アンケートはこれで締め切ります

……が、また問題でも出そうかと思えます  
正解者のデッキを使用させていただきま  
詳しくは前回の問題と同じです、問題は違いますが……

次回から暫くまた何かします

ちなみに、アンケートの結果は?が最多でした  
なので一発ネタは残念ながら無しという事で……  
?が多かったのは休んでいたからですかね?

## 139話【ジェネックス大会終了】

視点 マナ

……起きてくれない  
もう夜中なのに起きてくれない。

カミューラさんのご飯、冷めちゃった  
迷惑を掛けたって少しは頑張ってくれたのに  
普段はやる気の欠片も無いカミューラさんが少しだけは頑張ったんだよ

カミューラさんが可哀想になるから食べてくれないかな？

……ノック音？

誰か来たのかな？

少し外を見てみると……太ったおじさん？  
でもどこかで……あ、校長先生だっけ？

どうしようかな？  
出なくても良いと思うけど、一応出ておこうかな？  
という訳でドアを開ける。

「えっと……何の御用でしょう？」

「おや？」

ここは堅守君の部屋ではないのですか？」

「いえ、合ってますよ

あの人に何か御用ですか？

今は話せる状態じゃないんですけど」

驚いた顔になる校長先生（？）

何で驚くんだろう？

「あー……実は斎王の妹さんから話を聞いてね  
彼に会わせてもらえないだろうか？」

美寿知さんが？

でも、私からの返事は同じ  
帰って貰わないと！

「だから、話せる状態じゃないんです  
現在、体力が無くなっていて意識も無いので  
起きたら私から連絡しますから、またにしてもらえませんか？」

「そうですか……分かりました  
では私はこれで」

校長先生（？）は少し気落ちしながら帰って行った  
もう来ないでほしいなあ……疲れそうだし。

そろそろ起きて欲しいなあ

いい加減、鎧が重いし

寂しいし……はあ。

………

………



……

あー……んう？

えっと、えっと……は！

ね、寝ちゃった！

起きようと思ったら体が軽くて驚いた

鎧が無い？ あれ？ ベッドにあの人が居ない！？

少し探して見ると……あ、PCを触ってる

………ん？

「って、起きて大丈夫なんですか！？」

「起きたか？」

とりあえず俺は無事だ

一晩寝たらそこそこ回復したしな」

そこそこなんだ……全快じゃないの？

まあ、体力を何度も削って回復とかしてたら当たり前かな

かなり強引だっただろうし、体力の浮き沈みが激しかったのかも

体が驚いちゃうんじゃない？

「何を調べてるんですか？」

というか、私の鎧が消えてるんですけど？

そういえばドラゴン達はどうしたんですか？

あと、十代さんと校長先生（？）が探してましたよ？」

「ソーラが地球を破壊していないか、ネット上で確認している

もし被害が出ていた場合、俺が原因にされる可能性も0じゃなからな

鎧は決闘盤からカードを外したからだ  
デュエルディスク

ドラゴン達のカードも外したから既に消えていると思うぞ  
似非は無視、校長には一応話しておくか……嫌だけど」

どれも丁寧に解説してくれた

ソーラのレーザーは地球に落ちてないはずだけど？

「……どうやらソーラのレーザーは落ちてないみたいだな  
ソーラが暴走したニュースは流れているが  
それでもレーザーが直撃したという事は一切流れてない  
ま、人工衛星が何個か破壊されたらしいがな」

う……さすがにそこまでの余裕は無かった  
そういえば何回かそこら辺に浮いている物を盾に使ったっけ？  
もしかしてアレが人工衛星？

「人工衛星が破壊されたのは逆にメリットだな  
おかげでどうしてソーラが破壊されたのか、暴走したのか  
その辺りがかなり曖昧になってるし、混乱している  
誰も言わなければ今後も大きな問題にはならないだろう……多分」

という事は……大成功？

もしかして私、凄く良かったのかな？

褒めてくれるかなあ……褒めてくれるかなあ……

「問題は……これかなあ？」

手にカードを持つ

だけど、そのカードは焼け焦げていて使い物にならない状態  
どうしてそんなカードが？

「……これ、元々ホルスの黒炎竜LV8なんだよな  
昨日、誰かさんが失敗してソーラに撃ち抜かれたんだと予想するが  
そのせいか、このカードが炎上して大変だったんだぞ」

「……もしかしてソーラを止めたのは大成功かもしれないけど  
私の立場的に、大失敗……だった？」

「まあ、ソーラの破壊をしたという功績が有るからな  
大目に見てやろう」

「あ、ありがとうございます」

良かった……怒られなくて  
でも、本音はちよつと怒ってるよね？  
そんな気配がするもん。

「そういえば似非が何か用事が有るんだったか？  
まだ体は上手く動かないし……呼ぶか」

学生手帳で通信をする  
便利だなあ……私も欲しい。

『瑞貴か！？  
大丈夫なのか！？』

「煩い、もう少し静かにしろ」

『わ、わりい……』

昨日、あれだけボッコボコにされたのに元気だね

もう1回潰しても元気で居られるのかな？

「体があまり動かん  
何か用が有るんだったら来い」

『分かった、少し待っててくれ』

十代さんとの通信が切れる

……十代さんだったら本当にすぐに来そう  
私が30数えている間とかに……

………29、28、27、26、25、24  
23、22、21、20、19、18、17  
16、15、14、13、12、11、10  
9、8、7、6、5、4、3、2、1、0

「瑞貴ー！ー来たぞー！ー！」

本当に来た！？

私って何者！？

そして十代さんも何者！？

「煩い奴だ……マナ、少し消えてろ  
出てくるから」

疲れている体を動かしてドアに向かう  
消えていって命令だからおとなしく消えて待つ  
でも……危ないんじゃないかな？

「似非、もう少し静かに……」

「瑞貴、大丈夫!？」 「瑞貴さん、大丈夫!？」 「お兄ちゃん!」

明日香さんにレイちゃんに玲ちゃん……

その後ろには美寿知さん、吹雪さん、亮さんも居る

十代さんはその人達の後ろで斎王さんと一緒に立ってる……意識、戻ったんだ

おまけに……エドさんだったっけ？ その人に恐竜好きの人も居る。

「……少し黙れお前らああ、あ、あ……あ？」

「ちょ、本当に大丈夫？」

あの人が倒れそうになったのを明日香さんが支えた  
すぐに吹雪さんがあの人に肩を貸し、ベッドに戻す。

「なんて情けない……まさか白黒<sup>モノクロ</sup>なんか世話になるとは」

「それだけ憎まれ口を言えるなら大丈夫そうだね」

黙って何も言わなくなる

返事代わりに溜め息を返す。

「というか、お前らどうしてこんなに早く来れたんだ？」

電池部屋で待機でもしていたのか？」

「電池部屋って……まあ、そうだよ

僕達は起きてから万丈目君の部屋に集まったんだ

全員が集まって話し合いをしている時に君から連絡が来たんだよ」

何を話したんだろう？  
私も参加したかったなあ。

『ちなみに、話した事って言っても単なる情報交換ぐらいよ？  
別に大した事は話してないわ』

『あ、サラ

5日ぐらいしか離れてなかったけど、なんだか久しぶり』

明日香さんを追い出してから会ってなかったもんね。

『おいら達も居るわよお』

『『久しぶりだなあ〜！』』

『おジャマ3兄弟？

半月振りぐらいだね、久しぶり

でも準さんは？』

おジャマ達は準さんといつも一緒に居るのに……

『それがよお、アニキったらカイザーの旦那が優勝した事を根に持  
ってるんだよなあ』

『だなあ

それで機嫌が悪くてさあ

カイザーなんかと一緒に居れるかあー！

って言って部屋でふて寝してるんだよ』

『アニキったらあ……

そんな事気にしなくても良いのにさあ』

『亮さんが優勝したんだ  
だったら素直におめでとうって言えば良いのにね  
どうして怒るんだろう？』

グリーン、ブラック、イエローの順番  
後で亮さんにおめでとうって言うておこうと！

『男としてのプライドという奴だろう  
彼には彼なりの、誇りが有るんだ  
敗者が勝者と同じ位置に立つ事を良しとしなかった  
私は、そう思うがな』

『僕も同じ考えだよ  
君達だって、何かプライドとか有るだろう？』

フレア・スカラベ、アクア・ドルフィンが言う  
女の私には分からない世界かも。

『女に男の心は、分からないぜ』

『……苔の私にはイマイチ分からない世界かな？  
そもそも性別が無いし……体は一応男性体だけど』

エア・ハミングバードにグロー・モス  
……グロー・モスって性別が無かったの？

今までそういう話は殆ど無かったから知らなかった。

『放っておけば元に戻るだろう』

『そうそう』

いつもみたいに十代と喧嘩でもすれば元気になるさ』

ブラック・パンサーにグラン・モール

いつもみたいってどういう事かな？

休み時間になるとあの人はすぐに教室を出る事が多いから分かんない。

『クリクリー』

『うむ』

ハネクリボーとネオス……何を話してるの？

私の分からない言語で会話してないでって何回も言ってるよね？  
せめて通訳とか、翻訳ぐらいはしてくれない？

『我が支配してやろうか？』

性格の更生ぐらいなら可能だぞ』

『止めなさい絶対服従魔人！』

まあまあ、そんなに怒らないのサラ

我炎だって本気で言っているんじゃないんだからね？

そんな感じに精霊達と話していたんだけど

気がつけばみんなが部屋から出ようとしていた

……どんな話をしていたのか聞いてなかったああああ！

って、置いて行かれる前に私達も出ないと！



視点 明日香

「どうか、お前らどうしてこんなに早く来れたんだ？  
電池部屋で待機でもしていたのか？」

「電池部屋って……まあ、そうだよ

僕達は起きてから万丈目君の部屋に集まったんだ  
全員が集まって話し合いをしている時に君から連絡が来たんだよ」

モノクロ  
白黒兄さん、何を話していたのか説明してないわよ？  
もつとちゃんと話しなさいよ。

「具体的に説明すると

斎王の身に起こった事、美寿知がここに居る理由  
他にも貴方がしてきた事とかを全員に話したのよ  
勿論、全員での情報交換だったわよ？  
だからその……私だけが説明したわけじゃないのよ？  
みんなが色々と話したんだから……ね？」

私だけじゃなく、レイも美寿知も玲ちゃんも  
モノクロ  
亮、白黒兄さん……というか全員同罪と言っておく  
これで少しは怒りが分散されると助かるんだけど……

「おい、まさかとは思うが……

美寿知、衛星の事は話してないだろうな？」

「ソーラの事か？」

それならこの殆どの学生が知っているはずだが」

瑞貴が硬直するように止まる

思いつきり暴露していたものね

しかも、ジェネックス大会優勝決定戦直後に。

「どう……説明した？」

「ありのままに……その、すまない

口が滑ってしまっとな、話さなくてはならなかったのだ」

でも楽しそうに話してたわよね？

本当に楽しそうに……戸惑いは最初だけじゃなかった？

「学園の……反応は？」

「どうやら好意的になったらしい

瑞貴の体調不良も、それが原因だと殆どの生徒が思っている  
実際にそうなのか、私は分からないが……」

「いや、そうなんだが……つまり何か？

俺は元々、色々な意味で注目されていたのに

更に注目を浴びるような状況になっていると？」

私を含め、ここに居る全員が頷く

瑞貴は四つん這いになって落ち込んだ……大丈夫かしら？

「何故俺がこんな目に……

こんな事になるんだったら白板の事なんて全て無視して部屋に居座  
っておけば良かった

コントロール装置を盗むだなんて馬鹿な事をしないで……俺の馬鹿」

「お、お兄ちゃん？」

目立つのは嫌かもしれないが、一応褒められるような事なんだろう？  
だったら素直に賞賛されたらどうだ？」

素直に賞賛されたら、それは既に瑞貴じゃないわ  
こうやって嫌がるからこそ、瑞貴なのよ  
玲ちゃんも分かっていると思うけど。

「最初は静かに学園生活を送りたかったのに  
何がそれを妨げる原因になったんだ……  
俺が悪いのか？　だが他にも何か原因が有るはずだ」

なんだかブツブツと何かを言っているんだけど……小さくて聞こえないわね  
何を言っているのかしら？

「……もういいか、明日香」

「何？」

というか、どうして私を？

「八つ当たり、お前が対象な」

……八つ当たり？

「そう、八つ当たりね……って、納得できるはずが無いでしょ！  
どうして突然私に八つ当たりをするなんて事になるのよ！？」

私が何かしたって言うの!？」

「冗談はさておき

何故ここに居る、白板……もとい、齋王琢磨」

「え？　ちょ！

もしかして私をからかったの？  
からかっただけだったの!？」

「明日香、煩いから静かにしろ」

これ以上騒ぐと追い出されかねないので黙る  
でも良かった……本当に八つ当たりされるんじゃないかと。

「実は……私も何故ここに居るのか分からないんだ  
十代に無理矢理連れてこさせられて……  
何故私を呼んだんだ、十代」

「いや、齋王が気絶していた時なんだけどさ  
齋王が気絶している原因とか、目を覚ます為の切欠とか  
瑞貴だったら何か知ってるかと思って……  
だけど美寿知が起こしたらアッサリ起きたから別に何も無いな」

齋王、気絶していたの？  
てっきり寝ていて、美寿知が起こしたのかと思ったんだけど  
まさか気絶していたなんて……

「まあ、そういう理由だったなら構わない  
それよりも堅守瑞貴……君に言いたい事が有る」

斎王は改まり、瑞貴を正面から見る  
美寿知はその隣に立ち、かしこまった態度を取る。

「なんだ？」

怨みや仕返し、復讐だったら受け付けるし相手になってやるが  
もし礼を言おうとしてるんだったら受け取らんぞ  
逆にストレスが溜まって苛々しそうになるからな」

瑞貴の言葉に斎王兄妹は困った顔になる

美寿知から話を聞いている斎王が瑞貴に感謝するのは当然でし  
うね。

コントロール装置を奪い、ソーラの起動を少しでも遅らせた

ソーラのレーザーから地球を守ってくれた、これで大量虐殺犯にな  
らなくて済んだ

美寿知の保護に、兄妹共々助けてもらったり

何だかんだで瑞貴は斎王兄妹を裏から何度も助けているのよね……

表向き……というか、斎王本人の意識を元に戻したのは十代だけど  
ソーラの破壊やレーザーからの守護は瑞貴が動いたからどうにかな  
った

これで感謝しない人はどれ程の恩知らずなのかしら？

「俺としては、感謝されるぐらいだったらさっさと後片付けをして  
ほしいね

まだ残っているかは知らんが、まだ白の生徒が居るかもしれないし  
世界ニュースでもソーラが破壊された事は流れている

それらをどうにかする事に意識を向けるべきだと、俺は思うがね」

確かにそうかもしれないけど、感謝するぐらいは許してあげなさいよ

でも瑞貴、いつの間にニュースなんて観たの？

「……………斎王琢磨」

「なんだい？」

どうしたのかしら？

瑞貴が真剣な顔になって斎王を見て……

「お前、何よりも先に病院に行った方が良いぞ  
元々顔色が青白いから分かり難いが……無理してないか？」

そう言われて見れば……分かり難いわよ！  
私には良い悪いの違いが分からないわ！

「分かる……か  
これでも隠していたつもりなんだけどね」

「お前だけだったら分からなかったがな  
美寿知が横で心配そうな顔をしていたら、嫌でも気付く  
鎮圧の前に病院、入院するかもしれないんが治してからにしろ  
入院費ぐらいは稼いでるだろ？ 占い師なんだし」

「いや、それが……あまり」

占い師ってそれなりに儲けられる仕事じゃないの？  
破滅の光の力で運命力が上がっているとか、言っただけじゃない  
だったらずいだって殆ど百発百中だと思っただけど  
なら売れて当然じゃない？

「その、破滅の光に操られている時にな……

金に糸目をつけないという状態で、殆ど使ってしまったんだ故に、今の私は殆ど無一文に近い

最悪の場合、光の結社の信者から奪えば良かったという考えも有ったらしいのでな」

それは最終手段じゃない

していなかったみたいだから良かったけど

絶対に駄目よ、絶対よ！

「はぁ……入院費とかも払えないって事か仕方無い、校長にでも頼んで払って貰うか俺が払っても良いんだけど……肩代わりしかするつもりは無いしいつ回復するかも分からない奴の入院費を出すのも嫌だしな」

理由がなんというか……生々しいわねもう少し何か無いの？

斎王がちよつと可哀想じゃない。

「斎王、こんな奴に払わせなくてもそれぐらい僕が出すよ君の為だったらこれぐらい構わないさ」

エド・フェニックスが提案を出すけど、その方が良いかもしれないわね

プロだし、それなりにお金も稼いでるはず入院費ぐらいは楽に出せるところわ。

だって亮がああ借金を返済したんですもの払えて当然よね……羨ましい。

「エド、気持ちは嬉しいんだが……その、な

私は光の結社の創造主であり、盟主とまで呼ばれた者なのだ  
好き勝手に資金を使った、言わば自業自得……例え操られていたと  
してもな

だから友人とはいえ、そう簡単に甘えるのは……」

真面目なのね……私だったら受けるわ、申し訳無いとは思うけど  
だって本当にお金が無いもの

まあ……条件付きでかしらね？

無償で貰うつもりも無いし、後で返すつもりだけど。

「そもそも、エドの船って沈んだんだろ？

大丈夫なのか？

金とか、貴重品とか、カードとか」

「……一応な

貴重品は身に付けているし

一時的に生活する物しか置いていなかった

船を無くしたのは惜しいが、そこまで困る事じゃないな」

自分用の船を持っているだけでも十分だと思うわよ？

私は自転車さえ買えないぐらい金欠なんですもの、別に使わないけ  
ど。

「……分かったよ、契約するか？

借金の契約、後でちゃんと占いで働くのかは知らんが返して貰うがな  
友人との軽い気持ちでの貸し借りや肩代わりよりは良いだろう  
何より、書類に残ってお互いに持つ、それならまだ安心だろう？」

私と白黒兄さんモノクロの場合も一応契約はしてるのよね……



命令を聞く事で返済するという形って決まってるし  
一応、現金での支払いも許可されてるけど、殆ど無理よ。

「それは助かるのだが……」

私は君に恩しか無い、君に返せる物が無いのだよ  
それなのに私ばかりが貰ってばかりでは……」

そこで斎王が横を見る

視線の先には美寿知……

まさか……ね？ ほら、斎王も頭を振って自分で否定してるわ  
自分でも嫌だと思ったんでしょね。

「瑞貴、少し構わないか？」

でも、斎王が自分から言う前に美寿知が先に動いた  
斎王は美寿知を止めようとするけど、美寿知の口の方が早い。

「兄さんが入院してしまうと、私の住む場所が無くなり  
他にも生活費なども少なくなってしまうのだ」

「……美寿知、何が言いたいんだ？」

瑞貴は予想ぐらいしている  
だけど、それを否定したがっている  
でも、多分合ってるんじゃないかしら？

「瑞貴、私を雇ってくれないか？」

炊事、洗濯、掃除などの家事ぐらいならできるぞ」

「やっぱりか……はあ

それで給料は少ない、または無しにする代わり  
兄の事を俺に頼みたい……という事か？」

「そうだ」

瑞貴と一緒に居たいだけなのか  
それとも純粹に兄の為なのか  
ちょっと分からないわ。

「で、どうする？」

言い方が悪いが、妹を売るか？

俺としては美寿知が居てくれると助かるんだが」

「あれ？」

美寿知さんが居て助かる事って何だろう？」

つい、レイが口を挟んだ

でもその言い方は悪いわ

まるで美寿知が役立たずみたいじゃない。

「カミューラは朝から夕方まで動けないからな

夜中の警備員としてそれだけの仕事をして貰うのも良い

となるとレッド寮の管理人みたいな仕事を美寿知に任せるとい  
うことになる

朝と夜に寮生達に食事の準備、寮の掃除とかが主な仕事かな？

カミューラの食事は栄養とか偏ってるから困ってたんだよねあ……

って、何故雇う前提で考えてるんだ、俺は？」

もう美寿知を雇う事しか考えて無いじゃない

美寿知の利用方法とかも考えてるし

瑞貴の事だし、もっと先の事まで考えてるんじゃないかしら？

「良いのか、美寿知？」

「ええ、大丈夫よ兄さん

このままだと1人でどこかに住む事になるし

だったら何人とも住める、ここに居たい

それに、知り合いや友人もできたし……」

そういえば美寿知、もし瑞貴が呼ばなかったらどうしてたのかしら？  
どこかに住むんでしようけど……どこに？

「妹を、お願いしても良いか？」

「面倒を任せるだけかもしれないがな  
契約書とかは後にしよう、人前で書く事じゃないし  
他にも細かい話も多いのでな」

話は纏まったみたいね

結局、美寿知はこの寮に住み続けるという事かしら？

「話の区切りが付いたところで堅守、鮫島校長が呼んでいたという  
事を忘れてないか？

勝手にして悪いとは思うが、既に鮫島校長に連絡をしておいた  
そろそろ出なくてはならないんじゃないか？」

こんなタイミングで言わなくても良いんじゃない？  
瑞貴と仲が悪い亮だから……確実にこのタイミングを狙ってたわね  
相変わらず仲良く喧嘩してるわね。

「……仕方無い、行くか

ほら、お前らもさっさと出て行け

とりあえず電池部屋にでも待機している

斎王と美寿知は俺と来い、校長にも話さないといけないしな」

瑞貴は体を少し蹠踉めかせながらも、全員を追い出す

あの……精霊達が置いてけぼりなんだけど？

良いのかしら……問題無いわね。

視点 瑞貴

時々蹠踉めいた時、何度か美寿知と白板に助けられながらも校長室へ  
学校がここまで遠く感じたのは初めてだ。

大会終了直後だから学校は休み  
この体調だと休んでいただろうけどな。

「鮫島校長先生、斎王琢磨です  
妹の美寿知、そして堅守瑞貴と共に来ました」

白板……もう斎王に戻すか

既に白じゃないんだし

また別の何かを考えるのも良いかな？

校長室に入るとオージン王子とリンドが居た

そういえば交渉事をしていたんだったな

もう売った情報だし、払わないという選択肢は無しにしてくれよ？

「こんにちは

堅守君、大丈夫ですか？」

「大丈夫です、疲れてるだけなので」

心配されても困るんだけどね  
半分ぐらいは自業自得なんだし。

「申し訳ありません、オージーン王子  
私が破滅の光に操られたばかりに……」

「良い、余はもう気にしてはおらぬ  
今回の事で、大切な事も分かったしな」

そう言ってリンドを見る王子  
気付いたリンドは微笑みを返す……これが桃色空間という奴か？  
なんというか、横入りを戸惑ってしまうな。

「さて、お前が堅守瑞貴だな？  
会うのは初めてだな、余はミズガルズ王国の王子、オージーン  
名前ぐらいは知っているだろう？」

「ええ、まあ……」

俺は会っても困るんだけどな  
ソーラを破壊するわ、情報料は払わなければならぬわ  
王子にとって、俺は疫病神なんじゃないか？  
……ソーラを弁償しろと言われたらどうしよう？

「まず、地球に被害を与えないようにしてくれた事に感謝する  
我が国のソーラをまさか奪われるとは思わなかったのな」

本来は使う気なんて無かっただろうし……多分  
前王が作ったのか？ ある程度調べたけど詳しくは調べてないんだ  
よな。

でもまあ、最初に言うのが感謝だとすると

この王子自身はソーラで世界を破滅に追いやる  
そんな事を考えたりしていなかっただろうな  
ソーラの破壊で逆ギレしてきたとかなら疑うが。

とにかく、何か言われる前に言っておくか  
先に何かを言われると困る

俺から言わないとズルズル引き摺られるかもしれないし。

「確かに人的にも、地球に被害が無かった事は幸いです  
しかし、ソーラを破壊してしまった事は申し訳ありません」

謝っておく事は重要

相手は小国でも王子だからな  
何をされるか分からん。

「よい、余は怒っておらん」

それは助かるが、油断はできん  
少しでも危険度を下げるには……

「しかしソーラが破壊された事で多くの問題も発生するのでは？」

黙る王子とリンド

そりゃ非難が多かったソーラが破壊されたらなあ……

最悪、攻め込まれても仕方無いんだし

もしかしたらミズガルズ王国は戦争に負けて滅びるかもな。

「……リンドさん

斎王の情報での代金ですが」

「え？

ああ、ちゃんと払いますよ

王子も納得していますし」

納得するものか？

後、俺の横に居る斎王

気まずい表情は止めろ。

「いえ、そういう事ではなくてですね

代金は要りません

寧ろ、ソーラを破壊してしまったお詫びにこちらから出させてください」

「ええ！？」

そりゃ驚くだろうな

校長も王子も、ついでに斎王に美寿知も驚いている。

「個人のお金なのでそこまで多くは出せませんが……」

「いえ、そうじゃなくてですね

貴方が責任を感じる必要は無いんですよ？

全て破滅の光が悪いのですから」

それは言うな、斎王が恐縮してるだろ

悲壮感とか、罪悪感が後ろから発せられていて鬱陶しい。

「そうだぞ

余が己の立場をもっと考えて行動すれば良かったのだ  
お前が責任を感じては、余はどうすれば良いのだ？」

あんまりクサイ台詞は言いたくないんだけどなあ……

しかし、こういう言葉が効果的だろうし

だからといって何もしないと暗殺とかされそうで怖いし  
あー……もう、面倒だな！

「部外者があまり言うことでは無いのですが……

ソーラの存在が、ミズガルズ王国を保たせていたのではないのですし  
ようか？

ソーラが破壊された今、他国がミズガルズ王国に何もしないとは思  
えません

破壊するように働きかけた俺が言うことでは無いのですが  
少しでもお金は残して置きたい現状なのではないでしょうか？」

再び沈黙する2人

俺の言っている事は間違っていないはず

実際、戦争になったらミズガルズ王国は敗北するだろうしな  
自国の現状を理解しているからこそ沈黙だ。

「校長先生、ペンか何か……書く物は有りませんか？」

「書く物ですか？」



万年筆で良ければ有りますが」

何故万年筆？

普通にボールペンで良くないか？

別に書ければ何でも良いけどさ

……普通の書道とかに使う筆は困るけど。

懷から小切手を取り出す

幾らぐらいが良いか……これぐらいで良いか  
金額を小切手に書き、リンドに渡す。

「これは……こんなに！？」

小国でも、王国と言うぐらいなんだから端金じゃないのか？  
もしかして小国だとこれは大金なのか？

横から小切手を覗いた王子も驚く  
って、あんたも驚くのか！？

「こんな大金、受け取れん！  
寧ろ、暴走したソーラを止めた功績から我らが払うべきだ！  
……ここまでの大金は払えんが」

どうやってソーラを造ったんだよ……  
これ以上の金は掛けたんじゃないのか？  
どこからソーラ製作の金を引っ張り出してきたんだよ  
……俺の全財産の1割にも満たない金しか渡してないけどな！  
いや本当、この世界のカードに対しての価値観が理解できん。

「良いから、受け取ってください！」

返されそうになったが強引に渡す

周りや本人達からは俺が恩を売っているように見えるが

俺からすれば後で怨まれたりしないよう、予防策

これだけ出しておけば怨まれる事は無いだろう

……………例え本当に戦争が起こって負けてもな、多分。

何にせよ、本当に困っている2人だが、俺は無視する

これ以上払う気は無いが、返されても俺が困る。

それにしても……痛い出費だ

自業自得でもあるから払うけど

全部破滅の光が悪くて、俺が何もしていなかったら払わなかったがな  
俺も手出した以上、これぐらいはしないと何をされるか分からん。

「……感謝する」

「ありがとうございます」

「いえ、頑張ってください」

偉そうに聞こえるかもしれないが、俺にはこれぐらいしか言えん  
第2のソーラを作り出す、とかはしないでくれると嬉しいがな。

「……悪いが余はそろそろ帰らねばならん

半月以上も国を留守にしていたのでな

ソーラも無くなったので仕事が山積みなのだ」

「今回の事件、私達も大変ご迷惑をお掛けてしまって申し訳ありませんでした

堅守さんには特に、謝っても謝りきれません

本当にありがとうございます、必ずこのご恩はお返しいたします」

何度も頭を下げられて礼を言われても……

それに恩は返さなくても良いから、逆恨みとかで殺そうとしたりするなよ？

俺はそれが目的で恩を売ったんだからな。

「改めてすみませんでした王子

これから大変でしょうが、頑張ってください」

「だからもう気にするなと……

そなたも大変かもしれんが頑張るのだぞ」

そう言って王子とリンドは校長室から出て行った

残ったのは俺と校長、斎王兄妹だな

どうでも良いが、美寿知の空気感が半端無い。

「校長先生、じ……丸藤亮から用があると聞いてきたんですけど」

「ええ、そうだったんですが……殆ど解決したようですね」

ソーラの件かよ………そういえば美寿知が話したんだったな。

「俺から少し話しが有ります

斎王琢磨の妹、斎王美寿知をレッド寮の寮長として働かせたいんですけど構いませんか？

カミューラには夜の警備に専念してもらおうと思います」

会えば必ずと言って良いほど眠いって言ってたしな

夜も仕事をしているらしいが、それでも半分寝ているらしい  
一応は仕事をしているという感じだそうだ。

「ふむ……どうしてそうなったのかね？」

「私の体調が優れなくて……病院に行こうと思っているんです  
破滅の光の影響も有るので、治療の為に入院するでしょう  
しかし、破滅の光が私の……その、お金を殆ど使い潰してしまいま  
して

入院費などが払えない状態なんです」

「だから私が瑞貴の下で働く事にしたのです  
私の給料を少なくする代わりに、兄の入院費を肩代わりする  
という話になりました」

「強制は一切していませんよ  
3人で話した結果ですし、お互いに納得しています」

考え込む校長、別に考えるような事でも無い気もするけどな  
……まあ、本来雇うのは学園の仕事だけど  
アムナエル……大徳寺先生の後釜を用意していない校長が悪いんだ  
が。

「私は構いませんよ  
しかし、学園からも雇わせてください  
本来は学園が雇わなくてはならない事ですので」

そう言って机から雇用契約書を取り出す校長  
美寿知は内容をよく読み、雇用契約書を書いていく  
住所はレッド寮となっているがスルー

年齢は……ちょっと待て美寿知！

「美寿知、お前16歳だったのか？」

「言っていなかったか？」

兄さんは18歳だが……」

そういえば斎王は3年生で転入してきたな  
という事はだ……美寿知は現在、1年生の歳か？

「美寿知、この学園に通ってみないか？」

「「え？」」

何故驚く斎王兄よ

お前だって通ったんだから良いじゃないか。

「し、しかし学費が……」

「校長先生、学費免除って有りましたよね？」

「それは確かに有りますが……条件を満たさないと」

そう言って机から書類を取り出す校長  
学費免除の項をよく読み、確認していく。

「確かお前ら、両親はもう居ないんだったな？  
殆ど占いの商売だけで生活してきたみたいだし」

「ああ、そうだ」

成績が良ければ良いと……実力も有れば尚のこと良し  
寮長として働く事も許可されるんだったらアルバイトとして……  
家庭問題の条件は大丈夫だろうし。

ある程度免除はされるが完全免除は無いか  
それでもかなり安くなるな  
これぐらいだったら大丈夫だろう。

「では校長先生、美寿知を来年度から編入してもらっても良いですか？」

保護者は斎王琢磨か、早乙女レイと同じく俺にしてもらってですけど  
学費はこちらから出しますので、免除できる所はできるだけ免除で  
お願いします

成績も編入できるぐらいは可能だと思いますし」

別に今年度から編入しても良いんだけどな  
既に3月だし、終業式は7月末だから4ヶ月か  
通っても良いかもしれんが、中途半端過ぎるだろう。

「瑞貴！」

何を勝手にそんな事を！？」

「殆ど学校に通ってないだろ？」

「う……」

調べたから知ってるんだぞ  
お前ら兄妹は苛められたりして、殆ど学校に通えていなかったとい  
う事ぐらいはな

不登校だったり、転校だったり……

「斎王琢磨を調べていたから2人が迫害されてきたのは知ってる  
金も住む家も無く、学校でどういう扱いだったのかも知ってる  
義務教育である小学中学もまともに過ごしていなかったんだ  
高校ぐらいは通っておけ、将来が少しは楽になるぞ」

履歴書とかにも書かないといけないんだし、就職とかにな  
実力だって有るんだし、この決闘が中心デュエルの学校だから大丈夫だろう  
色々和普通じゃない学校だし、苛めも無いだろうしな。

「しかし……」

「美寿知、少しは気を抜いたらどうだ？」

お、兄も援護するか  
気にしてたのか？

「私も、破滅の光に操られている状態とはいえ学校に通った  
まともとは言えないし、色々と有ったが……それでも悪い気分じゃ  
なかった

ここは彼の厚意に甘えさせてもらったらどうだい？」

考え込む美寿知

迷惑だとか、色々悩んでるんだろうな。

「そういえば堅守君  
美寿知さんをジュネックス大会の決勝戦、代理で出場させたみたい  
だね」

何故その話を今？  
まあ、良いけど。

「ソーラの件がありましたから」

「実は大会優勝者に、私にできる事ならしよと思っていたんだ  
だが優勝者は最終戦で戦った他の参加者にその権利を渡すように言  
ったのだよ

美寿知さんは自分は代理なので、君に権利を渡すと言った  
私にできる事なら手伝おう」

……あんたも美寿知が欲しかったのか  
最終戦を美寿知が参加して、実力を見たからだろうな  
それに最終戦に参加した実力者が学園に入る  
学園の活気、知名度、実力もアピールできる。

何気に狸だな、学園長  
表では人が良いというか……そんな人なのに  
している事はかなりアレだ  
だからこそ、学園長に相応しいのか？

「では、美寿知の編入を認めてください  
来年度から編入、学年は……2年生として」

「構いませんよ」

「あの……私は了承した覚えが無いのだが」

置いてけぼりだが、あまり気にしない  
校長も俺達の会話を聞いたからか、かなり協力的だ



俺の目的はそれなりに多いんだけどな。

「嫌なのか？」

「そんな事はない！」

大声で断言しやがった

学校に通えるのは嬉しいらしい

なら何を遠慮するんだか……遠慮するか、そりゃそうか。

「オージーン王子の時もだが、瑞貴は恩を与えすぎだ！

私もそなたに恩を全く返してない！

なのにもまた、私の為に自分の自由な願いを棒に振って……」

そこまで言われると罪悪感を感じるんだが……

純粹に美寿知の為という訳じゃないし

というか半分以上は俺の為なんだし。

それに、校長に言いたい願いも無いし

強いて言うなら……俺を巻き込むのかな？

校長だけの問題じゃないから言わないけど。

「ならこの学園に残っている間

俺の代わりにレイの面倒を頼みたい

まだ子供だからな、色々と問題が有るんだ」

あまり無いけど。

「それに、学校に通うと言っても寮長の仕事はしてもらって食事の用意、掃除、学校、レイの面倒、その他諸々

そう考えるとすることが多いから簡単に休めないだろうな  
他にも頼みたい事ができる可能性も高いし、学園に残った方が大変  
だぞ？」

つまり、色々と都合してやるから働けという事

これならお互いに問題が解消される

俺は美寿知に仕事を頼み、美寿知は恩を返す……返されても困るけど  
美寿知もこの程度、理解してくれただろう。

「……………」

「美寿知」

自分と呼ぶ声に、兄を見る美寿知  
お互い暫く見つめ合い……

「……世話になる」

美寿知は折れた  
これで俺も少しは楽になれる……

レイの送り迎えとか、面倒事の押し付けとか  
明日香の相手とか、カミューラの相手とか  
これで少しはのんびりできるようになるだろ。

「で、いつ編入する？」

すぐでも良いが、切りが良い来年度からにしても良いぞ  
今から編入すると1年生から、来年度……10月からなら2年生だ  
な今からだとすぐに通えるが、切りが微妙だから馴染めるか分からん  
大会直後、最終戦出場者という理由が有るからまだマシだろうが……

2年生から編入するなら切りが良いし、時間も有る準備や資料、編入試験の勉強時間も取れるな」

早からうが遅からうが、あまり変わらないんだがなその程度の違いだし

変わる事が有るとすれば……履歴書に書く時の編入日が少し変わる事かな？

……いや、これはそれなりに大きな変化か？

「なら、来年度からで構わないか？

いきなり仕事と学業を同時にするのも大変だし仕事に慣れてから、学校に通いたい」

急激に環境が変化するからな暫く慣れるようにしたいか。

「分かりました

では来年度、君の編入を楽しみにしておくよ」

「……はい！」

さすがに返事は、はいにするか

教師になる相手にああとか、分かったとかは言えないか。

俺達は校長室から出て行く

大会参加者の帰宅用船が来るのは……まだ時間は有るな。

「斎王

後でブルー寮に行って生徒達に謝っておけよ船の時間までまだそれなりに有るしな

迷惑を掛けたんだ、覚えている限りの生徒に謝れよ」

「そう……だな」

迷惑を掛けたのだから謝らなければならないな」

どうかしたのか？

謝る事ぐらい、別に何でも無いだろう？

「私が謝っただけで、彼らの怒りは収まるだろうか？」

「無理だろ」

期待するような、縋るような事を言われたので切り捨ててやった  
すると目に見えて落ち込む斎王

……こいつ、こんなに打たれ弱かったのか？

「別に謝らずに行っても良いんだぞ？

会にくいという気持ちは分からんでもないし

嫌なら嫌でも、俺は責めたりしない

嫌な物は嫌なんだしな」

責めはしない、理解するだけ

だが、そんな逃げをこいつがするとは思えんがな。

「……嫌なものか

操られていたとはいえ、私のした事に変わりは無い  
例え怒りを向けられようとも、怨まれようとも

私は彼らに謝らなければならないのだ」

よし、これで学生達の怒りは少しは収まるだろう

アニメではこれ、どうなったんだ？

美寿知とか、斎王とか……今の俺には関係無いけど。

「俺は先に寮に帰らせてもらおうぞ

俺の体もまだガタガタなんだ

さっさと帰って休みたい」

言っていないけど、結構辛いんだぞ？

こんな場所で座り込みたいと思うぐらい怠いし。

「私のせいで……すまない」

「謝罪は要らんとしなかったか？

後は頑張れよ」

それだけ言って斎王と別れる

のだが……

「美寿知、何故お前まで来る？」

「兄さんの謝罪に私が一緒に行っても意味は無いだろう？

ならば動く事も大変そうな瑞貴に付いていった方が良いと思ったのだ  
兄さんにもそう言って来たぞ」

……まあ、良いか

なら遠慮無く頼らせてもらおう

といっても、時々肩を借りるぐらいだな。

## 追記

帰りの船の見送りをした時、齋王の顔は割と良かった  
どうやら許してくれた生徒が多かったらしい  
美寿知が齋王の状態を説明したからだそうだ。

入院費とかはちゃんと払うからゆっくり体を治せよ  
ちゃんと状態の報告や入院費がどれぐらいかも知らせろよ？

## 追記2

玲とレイがまた会おうと約束をしていた

しかしその横で地獄と白黒モノクロが何やら取引をしていた  
お前ら、取引をするような物が有るのか？  
俺に被害が及ばなかったら何でも良いけど。

### 追記3

赤鳥の船が沈んでいたらしい  
原因は別の場所に放置して置いてきたからだそうだ  
斎王と一緒に船に乗って帰って行った  
もう永遠に来なくて良いぞ。

### 追記4

俺の体調は3日で完治した  
その後、レイが部屋に戻ってきた  
ついでに美寿知がよく昼間に遊びに来るようになった  
おまけの明日香は相変わらずなのが少々残念。

……そういえばメダル、何枚だったんだ？  
明日香、レイ、兎角、羽鳶、雪兎、白黒モノクロ  
こいつらのメダル枚数、確認しておかないとな。

### 139話【ジェネックス大会終了】（後書き）

マナ、校長の顔を覚えてないの？

覚えていません、なので後ろに（？）が有ります。

実際のカードに影響するの？

影響しました

半実体化していたので

そういう問題なのかと問われれば知りません。

精霊達が……

多すぎます

話し方が曖昧……特にN達。  
ネオスベーション

学園の生徒達は瑞貴をどう思っているの？

普段とした事が噛み合わないので混乱しています

しかし、割と良い方向へ向かったようです。

美寿知が起こしたら起きる斎王って……

気にしない。

明日香達が部屋から出て精霊達は怎么样了の？

一緒に出ました

そしてそれぞれの持ち主と一緒に居ます。

オージーンが……

性格がイマイチ分らない……

そもそもソーラの制作命令を出したのがオージーンかどうか分からないし



違うと思うけど、もう色々と設定が足りない！

瑞貴、王子に幾ら渡したの？

ご想像にお任せします。

美寿知の歳って16歳なの？

不明

斎王が（多分）3年生として転入してきたので  
ならば妹の美寿知はそれぐらいだと思います

……あの容姿に性格で中学生は無いと思いますし。

両親とか、学校状況とか……

捏造設定

あまり気にしないでください。

美寿知、来年度から学校に通うの？

通います

第三部、つまり3年生の時からレギュラー入り……かもしれません。

どうして美寿知を学校に通わせようと？

伏線は張っていましたがね、色々……

美寿知の役割だって有ります、先にも有ります。

瑞貴が妙にアフターフォローをしているなあ……

……なんだからしくないと作者も思います

しかし、今回は問題が大きすぎたので動きます

ソーラとか、破滅の光とか……どちらも厄介ですし。

亮と吹雪の取引って……

後々。

メダル、そういえば何枚だったの？

明日香 294枚（マナに奪われる）

レイ 311枚（校長に敗北）

彰子 142枚（？良あゆみに奪われる）

雪乃 161枚（玲に奪われる）

ゆま 99枚（プロゆまに奪われる）

吹雪 108枚（最終戦で敗北）

作者の脳内ではこんな感じです

何気にレイがトップ、最下位はゆまでした

本当のトップはマナであり、最終的に亮の優勝ですが。

ツイッター、ニコニコアプリのぷちっと★ロックシューターを始め  
てみた

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
……ヤバイ、おもしろい！

## 140話【VS瑞貴 エド編】（前書き）

「今日の最強カードは便乗だよ

相手がドローフェイズ以外でカードをドローした時に発動できる  
次の相手のドローフェイズ以外のドローから、自分は2枚ドローで  
きる

なんというか……ややこしい効果だね

ボクは相手にドローさせるより、ワーム・リンクスを守るけど」

その守るのが大変なんだけど……レイでした

便乗、作者は大好きなカードですよ？ 扱いが下手ですけど。

タイトルが全てを物語っています

メダルのご褒美？ そんなのは後です

やっとやりたい事ができるので暴走します、暴走です。

活動報告にて、問題2を実施中

正解者は正解者のデッキを使用させていただきます

多くの人が参加してくれる事を……お願いしたいです。

細かい事は気にしない

とりあえず原作効果多用中

OCGでは真似できない事が多いので注意。

ここ最近、更新が遅いせいか文字数が5000文字ぐらい増えています

今までの平均が約10000万文字だったのに15000文字ぐら  
いに……

次回はいつになるのかなあ……

## 140話【VS瑞貴 エド編】

視点 レイ

「お前ら、俺のリハビリに付き合え」

ジェネックス大会が終わって数日、突然瑞貴さんにこんな事を言われた

今……勉強中なんだけど？

しかも瑞貴さんに出された課題の……

「リハビリって……なんですか？」

彰子さん、訊くところはそこじゃないと思うんだけど？

「というか、私達は何をすれば良いんですか？」

それもう少し違うでしょ

何をするかとかじゃなくて、どうしてリハビリをとかじゃないの？

「あの……私達、勉強中なんですけど  
しかも堅守先輩が出した課題の」

うん、そうだよね雪乃さん  
それを質問するべきだよね。

「私は嫌な予感がするから断りたいんだけど……」

明日香さん、それはボクも同じだから安心してでも断ったら断ったらで何を言われるか……

「課題は後で構わん、作っていたデッキ達が完成したんだ俺は大会に参加していなかったし、偶には自分から決闘しようと思っデュエルてな

お前ら全員に相手をしてもらう」

それ……どういう意味？

ボク達の事、馬鹿にしてるの？

「私達全員……複数のデッキ……

瑞貴、まさかとは思うけど、三幻魔戦の再現をするつもり？」

三幻魔戦？

何が有ったの？

「正解、知ってる奴が居ると話が早くて助かる

要は勝ち抜き戦だ、俺は1人に対してお前ら5人で俺を倒す

形式は1VS2の変則マッチの勝ち抜き戦だ

全員持ちライフは4000、俺のライフも4000だ

場は全て持ち越し、ターン順は俺、お前ら？、お前ら？、俺という順番

戦闘ダメージはそのモンスターの持ち主が受ける

そして1人のライフが0になったら、その時点でそのプレイヤーは失格

次のプレイヤーが入り、そのまま場は一切変わらずに続行する俺はプレイヤーを1人撃破した時点でバトルフェイズを終了させるがな

そして俺のライフはずっと共通で、ライフを4000にリセットし

たりはしない

場もモンスターも魔法、罠も共通とし、お互い好きに使用する事が可能

パートナーのカードを勝手に使う事は有りだ、ライフ回復効果とかはそのカードの持ち主が受けるけどな

更にパートナーのモンスターで攻撃するのも有り、墓地と除外は引く次ぐことは不可能

俺は1人のライフを0にする事でデッキを変更する事にする  
ここまでで何か質問は？」

なんだか詳しく説明してくれた

誰も何も言わないから、ルールは理解できたんだと思う。

「順番はお前らの好きにしろ」

そう言って瑞貴さんは部屋から出て行く

話の内容は聞かないって事かな？

「……どうする？」

「逃げたら堅守先輩……怒りますよね？」

ど……どうしよう？

と、思ったら瑞貴さんが部屋に戻ってきた。

「勝ったらカードをプレゼントだ

頑張った奴には珍しいカード、レアカードを渡そう

なお、逃げたら……ふ」

それだけ言って、また部屋から出る瑞貴さん

逃げたら何？ 逃げたら何なの！？

「さて、順番を決めましょうか」

「何事も無かったかのように！？」

デも明日香先輩、どうやって堅守先輩に勝つんですか？」

「決まってるじゃない」

みんなが明日香さんの言葉を待つ  
何を言うのか……

「勝てば良いのよ」

……うん、そうだね  
期待した自分が馬鹿みたい。

「どんなデッキを使ってくるのか分からないわ  
対策なんてどうしようも無い  
だから私達のデッキで少しでも相性の良いように順番を決めましょ  
う」

やっぱりそれしか無いよね。

「そういえば明日香先輩  
以前も似たような事をしたみたいですけど  
その時はどっちが勝ったんですか？」

「良い質問ね雪乃  
勝者は私達よ」



あ、明日香さん達が勝ったんだ。

「瑞貴1人に対して

私、白黒兄さん<sup>モノクロ</sup>、十代、万丈目君、亮、翔君、三沢君、クロノス教諭

今は居ないけどもう1人の生徒、9人でようやくギリギリ……ね」

「「「「……………」」」」」

神はボク達を見放したか？

「前はとある人達のコピーデッキを使用してきたわけ  
しかも、自分で使い易く改造されている……ね

多分、今回も誰かのコピーデッキだと思う

誰のコピーデッキかは、分からないけどね」

まさかとは思うけど、ボク達のコピーデッキじゃないよね？  
だとしたらどんな恐ろしいデッキになっているか……

「さて、順番を決めましょうか？」

作戦会議が始まる

でも、あんまり長いと瑞貴さんを待たせるから程々にしようね？

……………

……………

……

「遅い」

怒られた

さすがに20分は話し過ぎたかな？  
ごめんなさい。

「行くぞ」

「ここじゃ駄目なの？」

別にここでも良いよね？

「駄目だ」

人目の少ない場所でしたい」

瑞貴さんは歩き出す

ボク達は顔を見合わせ、後を追う  
どうして人気の無い場所でする必要が？

「……瑞貴、どうやら普段は使わないカードを使う気ね  
例えばあまり表に出ていないカードとか」

表に出ていないカード……  
気になるけど怖いなあ。

そんな想いのまま、森の中を進む  
それなりに深い場所まで入って来たんだけど  
もう良いんじゃないかな？

「ここまで来れば良いかな？」

瑞貴さんは足を止め、ボク達の方を向く

思わず構えるボク達。

「さて、最初の相手は誰と誰だ？」

デッキをセットしながら尋ねる

ボク達の最初の2人は……

「私とゆまちゃんです」

彰子さんとゆまさん

お互いに除外を中心に行っているからだね

でも、この2人のデッキって合うのかな？

微妙に合わない気もするんだけど。

「良いだろう、では始めよう」

3人が構える

頑張って、彰子さんにゆまさん！

「「<sup>デュエル</sup>決闘！」」

視点 明日香

「先攻は俺だ、ドロー！」

幻影の魔術士を守備表示で召喚」

骨みtainな体をして、赤黒いローブを羽織ったモンスターが現れる

だけど顔にマスクをしてるし、杖も持ってる  
正体でも隠してるのかしら？　もしかして頭は頭蓋骨だけとか……  
想像するんじゃないかった、気持ち悪い。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

相変わらず伏せるわね……

それにしても、幻影の魔術士……どこかで見た事の有る名前ね  
どこで、いつだったかしら？

「私のターン、ドロー！」

次は彰子ね

……勝てるかしら？

「ジュラック・グアイバを召喚します！」

炎を纏った赤い体、そして青い顔と足をした無駄に無意味に不必要  
に派手な恐竜が現れる

……って、ちょっと待ちなさい！　派手過ぎるし燃えてるじゃない！  
それにそんな恐竜知らないわよ！

「早速使ってきたか」

「はい、頑張ってデッキを組んでみました  
使うのは初めてですけど……本当に派手ですね」

初めてなの！？

でも、彰子はそんなにお金を持っていなかったはずよね？  
瑞貴から買ったとは思うけど、どこからそんなお金を？

「でも良かったんですか？」

私、メダルを300どころか半分も集められてなかったのに……  
デッキが組めるぐらい、こんなに貰って」

メダルご褒美ね……みんな別々に渡されたみたいだから知らなかったわ

でも彰子を優遇？ どうしてかしら？

「良い物を見せてもらったからな  
運が良かったとも思っておけ」

彰子、何を見せたの？

私なんて6枚メダルが足りなくて300枚にならなかったのに  
羨ましい……

「ま、情けない負け方をした瞬間に没収しようかとは考えているが  
な」

「ええ！？」

「当たり前だろ？」

ご褒美とはいえ、無料でそれだけのカードを渡したんだ

お前が決闘する<sup>デュエル</sup>場合、月一試験とかも含めて必ず見ていてやるから  
派手に負けろ」

「あううう……」

つまり、このまま本当に手に入れたいのなら無様な敗北は許されな  
いという事ね

しかも必ず見られるというプレッシャーも感じる  
瑞貴の事だから相当厳しいでしょうね  
前言撤回、羨ましいという感情よりも哀れみを感じるわ。

「ううう……続けます

あの、もう攻撃しても良いんですか？

バトルロイヤルルールだと最初のターンには攻撃できませんけど」

「好きにしろ」

そう言われると困るんじゃないかしら？

大抵の場合は攻撃するわよね？

「なら攻撃します

バトル！ ジュラック・グアイバで幻影の魔術士に攻撃！」

ジュラック・グアイバが炎を纏った体で突進

幻影の魔術士に体当たりをし、燃えている炎が移る  
炎に焼かれた幻影の魔術士は燃えながら破壊された。

「ジュラック・グアイバの効果を発動します！

戦闘で相手モンスターを破壊した時

デッキから攻撃力1700以下のジュラックと名の付くモンスター  
を1体、特殊召喚できます

私はデッキから、ジュラック・ヴェローを特殊召喚します！

ただし、この効果で特殊召喚したモンスターはこのターン、攻撃す  
る事はできません」

首から上は赤、胴体と尻尾は黄、手先足先は青

また無駄に派手な恐竜ね……恐竜として良いのかしら？

恐竜の生きていた時代では保護色とかで緑とかの恐竜が多そうだけど……って、私はあまり恐竜に詳しくないから分らないのよね。

「幻影の魔術士の効果を発動

戦闘で破壊された時、デッキからHEROと名の付くモンスターを特殊召喚できる」

「「HERO?」」

HERO……つまり、E・HEROやD・HEROの事ね

確か他にもM・HERO、V・HEROが有った……思い出した！  
以前、瑞貴のPCを見た時のデッキレシピ

あの時、デッキに入っていたモンスターじゃない！

「デッキより、D・HEROディフェンドガイを守備表示で特殊召喚する」

石……というか灰色の煉瓦のような体をしたHERO  
使用デッキはD・HEROだったのね

という事は……今回はエド・フェニックスのコピーデッキね  
でも瑞貴、エドの決闘<sup>デュエル</sup>って見た事有るの？

「「守備力2700!」」

か、下級モンスターとしては破格の守備力ね  
何かデメリットでも有るんじゃないかしら？

そうじゃないとこの守備力の高さは……

……あら？

でも確かエド・フェニックスは自分だけの最強のD・HEROって

言ってたわよね？

どれも世界に1枚しか無い、父が創ったカードだって  
だけど、今は瑞貴が使ってる………どういう事なのかしら？

「D－HEROディフェンドガイの守備力は高い  
しかし、当然ながら弱点が存在する

このモンスターが守備表示で存在している限り  
相手はスタンバイフェイズにカードを1枚ドロースる」

相手にドロースせるって……デメリットの塊じゃない！  
確かに守備力は高く、それは魅力的かもしれないけど  
だけど相手に大きすぎるチャンスを与えるだなんて！

「……カードを1枚伏せて、ターンエンドです  
ゆまちゃん、急いであのモンスターをどうにかしないと」

「エ？ どうして？」

居るだケデ私達はドロースできるんだよ？」

「堅守先輩がそんな事、許してくれるはずが無いもの  
絶対、何かデメリットを利用したり、私達にデメリットを押し付け  
たり

カウンター罠を使ったりしてくるはず！」

……それもそうね、瑞貴の事分かってるじゃない  
驚いて思わず考える事を止めちゃったけど  
瑞貴なもの、それぐらい当然よね。

「納得、私のターン、ドロース！  
スタンバイフェイズ、ディフェンドガイの効果デ更にドロース！」



「この瞬間、永続罨、便乗を発動

相手がドローフェイズ以外にドローした時に発動できる

次のドローフェイズ以外のドローから、相手がドローフェイズ以外にドローした時

俺はデッキから2枚ドローする」

なるほど、これを狙って……

相手は2人、つまり2回の効果が発動される

次の彰子のターン、からその次の瑞貴のターンまで

最初のドローを含めて5枚ものカードが手札に来る

……毎ターン5枚のドローって、反則じゃない。

「ううー……ううー……」

何だか唸ってるわね

どうしたのかしら？

「うう……もう、使う！

魔法カード、暗黒界の取引を発動！

お互いのプレイヤーはカードを1枚ドローし

その後1枚捨てる！」

ああ、便乗でドローされるものね

できれば使いたくなかったんですけど

それでも、墓地へ送りたいカードが有ったのね。

「お互いにドロー！

私は手札からゼータ・レティキュラントを捨てます！」

「俺もドロー」

俺は手札からD－HEROディスクガイを捨てよう  
そして便乗の効果、デッキからカードを2枚ドローする」

瑞貴は1枚捨てて3枚ドロー……落差が激しいわね  
しかもゆまは暗黒界の取引を使ってるから手札が減っている  
瑞貴が便乗で逆に増える……酷いわ。

「D・D・アサイラントを召喚します！」

……一応、永続魔法、冥界の宝札を発動しテおきます！  
カードを2枚伏せて、ターンエンドです！」

除外用の魔法カードが無かったのかしら？

便乗をされるのは惜しいけど、ディフェンドガイを残してドローし  
たかった？

どっちにしても、瑞貴の大量ドローは殆ど確定したわね。

「俺のターン、ドロー」

魔法カード、デステニー・ドローを発動

手札のD－HEROを墓地へ送り、デッキからカードを2枚ドロー  
する

俺は手札のD－HEROディアボリックガイを墓地へ送り、2枚ド  
ロー」

手札交換カード……

それにしても、ドロー系カードが多くないかしら？

「フィールド魔法、幽獄の時計塔を発動する」

辺りが時計塔に変わる

なんというか……イギリスとかフランスに有るって感じね  
でも、確かこのカードの効果は……

「魔法カード、オーバー・デステニーを発動

墓地のD－HEROを1体選択

そのモンスターの半分以上のLVを持つD－HEROをデッキから  
特殊召喚する

俺が選択するのはさっき捨てたディアボリックガイ、LVは6だ  
よって半分のLV3までのモンスターをデッキから特殊召喚できる  
俺はこの効果により、D－HEROドレッドサーヴァントを特殊召  
喚」

杖を持った暗い男が出てくる

なんというか、D－HEROって暗いイメージよね

まあ、エドが言うにはダークヒーロー系って事みたいだけど。

「ドレッドサーヴァントの効果発動

このモンスターが召喚、特殊召喚に成功した時

幽獄の時計塔に時計カウンターを1つ乗せる

時計カウンターは時計塔の針を1つ進める……」

幽獄の時計塔の針が0時から回り出す

1時、2時、3時……拙いわね。

十代とエドの決闘を見ていた私とレイは効果が分かる  
デュエル

時計カウンターが4つ以上乗った時、発動プレイヤーは戦闘ダメー  
ジを受けなくなる

しかも破壊した時、手札かデッキからD－HEROドレッドガイを  
特殊召喚する効果

確か攻撃力と守備力は自分の場に存在するD－HEROの攻撃力の

合計に等しくなる。

だけど、あの2人はそれを知らない  
どういう意味が有るのか悩んでいるみたいね。

教えてあげたいんだけど……瑞貴が許さないわね、絶対に  
教えようとしたら睨まれそうだから言わない  
諦めて、頑張って推理しなさい、無理だと思うけど。

「墓地に存在するディアボリックガイの効果を発動  
墓地のディアボリックガイを除外し、デッキからディアボリックガ  
イを特殊召喚する」

墓地からの除外じゃゼータ・レティキュラントの効果は発動できない  
これじゃあいーバトークンは出てこないわね。

それにしても……ディアボリックガイって悪魔みたいな見た目よね  
なのに、アレで戦士族……どう見てもそうは見えないわ  
確かD－HEROは全部戦士族なのよね？ 悪魔みたいな見た目が  
多いのに。

「ディアボリックガイ、ドレッドサーヴァントを生け贄に捧げる  
D－HEROドレッドガイを守備表示で召喚」

出てくる仮面を着けた半裸の巨人  
確かあのモンスターの効果は……

「ドレッドガイの効果発動  
召喚、特殊召喚に成功した時  
墓地に存在するD－HEROを2体まで特殊召喚する

墓地より、ディスクガイとドレッドサーヴァントを守備表示で特殊召喚する」

円盤を何枚も装着しているディスクガイ

さっきも出てきた、杖を持っているドレッドサーヴァント

ついでにディフェンドガイ

それらの攻撃力の合計がドレッドガイの攻撃力と守備力になるんだけど……

「ディスクガイの効果発動

このモンスターが墓地からの特殊召喚に成功した時

デッキから2枚ドロースる」

またドロロー!?

どうしてこんなにドロースできるのよ!

それに墓地から特殊召喚しただけで2枚のドロースは多いわよ!

「ドレッドガイの攻撃力、守備力は自分の場に存在するD－HEROの攻撃力の合計となる

ディスクガイの攻撃力は300、ドレッドサーヴァントは400、

ディフェンドガイが100

その合計となり、攻撃力、守備力は800だな」

……凄まじく弱いわね

それで良いのかしら?

「……ドレッドガイ、ドレッドサーヴァント、ディスクガイの3体を生け贄に捧げる

究極のDと呼ばれたモンスター……D－HERO BLOODを特殊召喚」

究極のDって……でも攻撃力は1900ね  
そこまで高くない所か、下手すれば下級モンスターにも破壊される  
わよ？

「BlooーDの効果を発動  
相手モンスター1体を装備カードとしてこのモンスターに装備する  
そして装備したモンスターの半分の攻撃力を加算する  
まあ、お前らのモンスターは全部攻撃力1700だからどれでも変  
わらんがな  
俺が選択するモンスターはD・D・アサイラントだ  
奪えBlooーD、クラブティ・ブラッド」

D・D・アサイラントの体が霧のように消え、BlooーDの翼に  
吸収される  
そして攻撃力の半分、850ポイントが加算された。

「これでBlooーDの攻撃力は2750  
あまり高くないが、そこそこの攻撃力だな」

確かにそこそこね  
言う程高くないし。

「魔法カード、ドクターDを発動  
墓地のDーHEROを除外し、LV4以下のDーHEROを墓地か  
ら特殊召喚する  
ドレッドサーヴァントを除外、ディスクガイを守備表示で特殊召喚  
ディスクガイの効果で2枚ドロ」

あの……瑞貴？

そろそろ彰子達にターンを渡してあげない？  
いつまで貴方のターンを続けるつもりなの？

というか、どうしてこんなに色々としているのに  
手札が5枚も有るのよ！

ハッキリ言っておかしいわよ！

私達がどれだけ手札で悩んでいるか、分かってるの！？

「さて、バトルだ

B1000-Dでジュラック・グアイバに攻撃

血の雨を降らせな……ブラッディ・フィアーズ」

血のように赤い液体がジュラック・グアイバに降り注ぐ  
1050って、微妙なダメージよね……

「罠カード、次元幽閉を発動！

相手が攻撃しテ来た時、その攻撃しテきたモンスターを除外します！  
よって、B1000-Dを除外します！」

よし、これでB1000-Dは消える！

攻撃も中断されたから破壊もされない  
さすがに除外に耐性は無いでしょうし。

「永続罠、強制終了を発動

自分の場の強制終了以外のカードを1枚墓地へ送る

それにより、このターンのバトルフェイズを終了させる

俺は装備カードとなっているD・D・アサイラントを墓地へ送り、  
バトルフェイズを終了

よって攻撃が中断され、攻撃していないので次元幽閉は不発となる」

「エう？」

エっと、不発っテ事は……エエエエ！？」

これは……酷いわね

BlOODの相手モンスターを装備する効果を利用したコンボ  
だけど、相手のバトルフェイズじゃなくて自分のバトルフェイズを  
飛ばすなんて

それでも有効だった事に違いは無いわね。

「吸収効果は1ターンに1回しか使えないのでもう奪えないのは残念だ

強制終了の効果でバトルフェイズは終了  
カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

ここまで荒らしておいて……しかも伏せカードを3枚？  
便乗、強制終了も有るから5枚埋まってるじゃない！  
場にはBlOOD、デIFエンドガイ、デISKガイ  
これ、どうやって突破すれば良いのかしら？

「（次元幽閉、高すぎテ1枚しか持っテないのに！  
ただデさエ、ジェネックス大会デメダルを100枚集メラレなかったからカードを貰っテないのに  
ううう……次元幽閉、もう1枚欲しいよお）」

「私のターン、ドロー！  
スタンバイフェイズ、デIFエンドガイの効果でもう1枚ドローします！」

「便乗の効果により、俺は2枚ドローする」



お互いに手札であまり困らないけど  
まだ誰もライフは減ってないけど、瑞貴が明らかに有利ね  
頑張っ、せめて半分ぐらまで減らして！

「更に、時計塔の針が時を刻む  
現在の時刻は9時、もうすぐ0時だ」

ドレッドサーヴァントの効果を2回も使ったものね  
このままだと……危険よ、彰子。

「（幽獄の時計塔は気になるけど……今はどうしようも無いし）  
ジュラック・スタウリコを守備表示で召喚します」

緑の顔と手足の先、赤い腹、青い背中と背びれのような場所に炎を  
発する恐竜  
どうしてこう……ジュラックってモンスターは派手なのかしら？  
もう派手とか、そういう事は無視した方が良いかしら？

「ジュラック・グアイバでディスクガイに攻撃！」

強制終了の効果を使わない？  
ディスクガイはそのままジュラック・グアイバに潰されて破壊される  
そうなるとジュラック・グアイバの効果が発動するんじゃない……

「罠カード、デステニー・シグナルを発動  
自分のモンスターが戦闘で破壊された時

デッキか手札からLV4以下のD－HEROを1体、特殊召喚する  
D－HEROドゥームガイを守備表示で特殊召喚」

「ジュラック・グアイバの効果も発動します

戦闘で相手モンスターを破壊した事により

デッキから攻撃力1700以下のジュラックを特殊召喚します  
ジュラック・ガリムを守備表示で特殊召喚！」

駝鳥……かしら？ そんな感じの見た目だけど恐竜なのよね？

でもお腹に何か付いていて、そこから炎が出る

胴体はオレンジ、頭と足は青と随分変わった配色ね。

でも守備力が0？

本当に壁にしかないじゃない

厄介な効果を持つてるとは思うけど。

「ジュラック・ヴェローでドゥームガイに攻撃！」

ドゥームガイを両腕で掴み、噛み砕く

ドゥームガイの守備力は1000だから簡単に破壊されるわね。

「……カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

まだダメージはお互いに無い

ジュラックで攻撃したくても、ディフェンドガイが超えられない  
D－HEROの殆どは攻撃力が低いから攻撃がなかなか通らない  
ゆまの動きでどうなるか……ね。

「私のターン、ドロー！」

ディフェンドガイの効果でもう1枚ドローします！」

「俺も便乗の効果で2枚ドローする

更に幽獄の時計塔に時計カウンターが乗る

そして、針が進む事で0時となる」

瑞貴の手札は2枚だったのに既に6枚にまで……  
もしこの状態を残されたままだと……私達まで辛いわね。

そして時計塔の針が0時を指し、鐘の音が響く  
これで時計塔の効果が……

### 「幽獄の時計塔

このカードに時計カウンターが4つ以上乗っている時  
相手から受ける戦闘ダメージは0になる」

「戦闘ダメージが0!？」 「片方しか効果を受けられないなんて狡  
い!」

いや、時間が掛かるからそんなに狡くないわよ?  
相手が2人居るから効果の発動が早いけど  
でも、確かに有効なのよね……あの効果  
瑞貴が好きそうなカードだし、戦闘ダメージを防ぐもの。

「……ウサミン、あのフィールド魔法をどうにかする  
だからモンスター使っテ良い?」

生け贄かしら?  
でもどうやって?

「うん、良いよ  
頑張っテね」

……動くわね。

「ジュラック・スタウリコ、ジュラック・グアイバ、ジュラック・ガリムの3体を生ケ贄に  
モイスチャー星人を召喚！」

3体の生ケ贄で召喚するモンスター！？

バルバロスみたいな効果かしら？

でも、バルバロスは凄く高価だから持ってなかったと思うんだけど。

「冥界の宝札の効果デ2枚ドロ！」

デもその前に、モイスチャー星人の効果を発動！

3体のモンスターを生ケ贄に捧ゲテ召喚した場合  
相手の魔法、罠カードを全テ破壊する！」

よし、これで便乗と強制終了が破壊される！

伏せられていたカードだって破壊、ついでに幽獄の時計塔も……あれは破壊したら駄目よ！

「俺がその程度を予想していないとでも？

甘いんだよ……永続罠、宮廷のしきたりとD2シールドを発動

先ずはD2シールドの効果、自分の場に存在する守備表示のモンスター1体を選択

選択したモンスターの守備力が永続的に倍になる

俺が選択するモンスターは当然、ディフェンドガイだ」

ちょっと待ちなさいよ……ディフェンドガイの守備力は2700なのよ？

その倍、つまり守備力が5400にまで上がるって事！？

「更に宮廷のしきたりの効果

このカードが表側表示で存在している限り

宮廷のしきたり以外の永続罨カードは破壊されない

よって、破壊されるのは発動済みのD2シールド、宮廷のしきたり、幽獄の時計塔だ

強制終了と便乗が破壊される事は無い」

「そんな……ディフェンドガイの守備力が5400まで上がったとしても破壊しなかった2枚のカードを破壊できなかっただなんて……クッ、冥界の宝札の効果で2枚ドロー！」

本当に残念よ

あの2枚を破壊しないと意味が……寧ろ状況を悪化させたわね……まあ、ディフェンドガイに攻撃して、反射ダメージを受けるよりはマシよね？

「俺も、便乗の効果で2枚ドロー  
そして幽獄の時計塔の効果が発動される」

「「え？」」

そうだった！

幽獄の時計塔の効果がこれで発動してしまう！

「時計カウンターが4つ以上乗っている幽獄の時計塔が破壊された時デッキ、手札からD—HEROドレッドガイを特殊召喚する」

「デ、デももうドレッドガイは墓地に！」

「誰が……デッキにドレッドガイが1枚だと言った？  
デッキより、2体目のドレッドガイを特殊召喚！」

ドレッドガイ、B100-Dが揃った  
しかも、ドレッドガイの効果も……発動される！

「この効果で特殊召喚された場合  
自分の場に存在するD－HERO以外のモンスターは全て破壊され  
る……が

俺の場に、D－HERO以外のモンスターは存在しないから関係無  
いな

そしてドレッドガイが特殊召喚に成功した

この瞬間、墓地に存在するD－HEROを2体まで特殊召喚できる  
墓地よりディスクガイ、ディアボリックガイを共に守備表示で特殊  
召喚だ

更にディスクガイが墓地より特殊召喚された事により、デッキから  
2枚ドロー」

瑞貴の手札が10枚に……ドローのし過ぎじゃないかしら？

瑞貴、まだ強欲な壺も使っていないのよね……天よりの宝札や命削り  
の宝札も

どうしてこんなにドローできるのよ……反則よ、絶対。

「ドレッドガイの攻撃力は自分の場に存在するD－HEROの元々  
の攻撃力の合計となる

ディスクガイは300、ディアボリックガイは800、ディフェン  
ドガイは100、B100-Dは1900

その合計攻撃力は3100だ」

攻撃力が3100！？

元々の攻撃力が低いD－HEROでそんなに高い攻撃力を！

「ま、魔法カード、ブラック・コアを発動！

手札を1枚捨て、場のモンスター1体を除外します！  
ゼータ・レティキュラントを捨て、ドレッドガイを除外！」

ちょ、ちょっと待ちなさい！

除外するのはB100-Dよ！

またモンスターを吸収されるじゃない！

それにドレッドガイの攻撃力も下がるのよ！

でも、ドレッドガイの威圧感に耐えきれなかったのかしら？

攻撃力3100がいきなり出てきたら驚くでしょうし……はあ

仕方無いわね、私だって驚いたわよ……手札の数に。

「ゼータ・レティキュラントの効果発動！

このカードが墓地に存在している間に、相手の場に存在するモンスターが除外された時

自分の場に攻撃力、守備力共に500のイーバトーンを特殊召喚します！

イーバトーン2体を特殊召喚して、速攻魔法、速攻召喚を発動します！

このターン、もう1回通常召喚する事ができます！

イーバトーン2体を生ケ贄に捧げ、光神機―轟龍を召喚します！  
冥界の宝札の効果で、2枚ドロ！」

「便乗の効果で俺も2枚ドロ

……手札が12枚とか要らんっての」

多すぎる手札はどうかと思うわよ？

でも瑞貴、貴方のターン終了時の手札って2枚だったわよね？

よくもまあ……相手のターンに10枚もドロできたわね、信じられないわ。

「よし、速攻魔法サイクロンを発動！

この効果デ……エっと、強制終了を破壊します！」

貫通効果を持つてる轟龍を出したからかしらね？

確かに便乗は厄介だけど、攻撃できなかったら勝てないもの。

「バトルデす！

轟龍デディスクガイに攻撃します！

轟龍は攻撃力が相手の守備力を上回ってた場合、貫通効果を発動します

轟龍の攻撃力は2900、ディスクガイの守備力は300、その差2600のダメージを受けてください！」

轟龍は口を開き、光を溜めてディスクガイに撃ち出した

幽獄の時計塔の効果も消えているし、貫通ダメージで瑞貴のライフは半分を切ったわ。

そう……思っていたんだけど

轟龍の光で俟っていた煙が晴れると、そこには変わらない格好でいるディスクガイ

更に、ダメージを受けず、4000ポイントのライフのままの瑞貴伏せカードは無いし、どうなってるのかしら？

「そんな……どうしてディスクガイが破壊さレテいないの？」

「ドレッドガイの効果だ

ドレッドガイが特殊召喚されたターン

俺のD－HEROは破壊されず、戦闘ダメージも受けない

残念だったな、強制終了が無くて……何も問題は無かったという



事だ

ま、有って困る物じゃないけどな」

ゆまの顔に絶望の色が見える

やっと与えられると思った戦闘ダメージ

相手に大量のドロローをさせてでもと、頑張った結果がこれ殆どが裏目に出てしまった……か。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

「俺のターン、ドロロー」

お前らのせいでデッキが残り8枚しか無いじゃないか俺にこんなにドロローさせて、デッキ破壊でもするつもりか？」

2人の顔に、希望が見えた

このまま瑞貴にドロローさせれば、勝てるかもしれないという希望が

……

でも2人共、気をつけてね

瑞貴はそんな希望、簡単に打ち砕くような人間だから。

「スタンバイフェイズ、墓地のドゥームガイの効果を発動

このカードが戦闘で破壊された次の俺のターンのスタンバイフェイズ墓地に存在するドゥームガイ以外のD－HEROを特殊召喚する

俺はこの効果により、墓地に存在するドレッドガイを特殊召喚する

俺の場にモンスターは5体居るからな、蘇生効果は使えない

しかし、特殊召喚に成功した事で破壊やダメージは無くなる」

自爆特攻をしない限り、それは無いでしょうけどね

破壊もされないから荒野の女戦士みたいな効果からの特殊召喚もできないうけど。

「さて……場に存在するD－HEROと名の付くモンスターを含めて3体を生け贄に捧げる

俺が生け贄に捧げるのはドレッドガイ、ディスクガイ、ディアボリックガイ

この3体を生け贄に、D－HEROドグマガイを特殊召喚する」

また……厄介なモンスターを！

攻撃力3400ですって？

しかもドレッドガイを生け贄にしたという事は……

「墓地に存在するディアボリックガイの効果を発動

このカードを除外し、デッキからディアボリックガイを特殊召喚

魔法カード、オーバー・デステニーを発動

墓地に存在するD－HEROを選択、そのLVの半分以下のD－HEROをデッキから特殊召喚する

俺が選択するモンスターはドレッドガイ、LVは8

よってその半分以下、D－HEROダイヤモンドガイを特殊召喚する」

体がダイヤモンドみたいな、青い物が付いている男が出てきた

なんというか……渋いおじさんね、髭も生えてそう……生えてないけど

……どう見ても30代中盤から40代よね？

「ダイヤモンドガイの効果を発動

デッキトップを捲り、そのカードが通常魔法カードだった場合

そのカードを墓地へ送って次の自分のメインフェイズに効果を発動する事ができる

違うカードだった場合、デッキの1番下に戻る

デッキトップのカードは……終わりの始まり、通常魔法カードだによって次のターン、このカードの効果が発動する  
(このターンで終わらせるから無意味だがな……運試しでは大吉かもしれない)」

でも次のターンまで保つかしら？

あの2人のライフもだし、瑞貴のデッキも  
だってもうデッキが5枚なんだし。

それより、また瑞貴の場にモンスターが5体揃ったわ  
どうするのよ……これ？

「D－HEROを含む3体のモンスター

ダイヤモンドガイ、ディアボリックガイ、ディフェンドガイを生け  
贄に捧げる

2体目のD－HEROドグマガイを特殊召喚」

……え？　そこでドグマガイを出す？

しかも2体目って……絶対そのデッキは重いでしょ！

「魔法カード、ドクターDを発動

墓地のD－HEROを除外し、墓地のD－HEROを特殊召喚する

ディアボリックガイを除外、ディスクガイを特殊召喚

ディスクガイの蘇生により、2枚ドロ

魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロ」

瑞貴、デッキが1枚しか無いわよ

そんな事したら絶対に危険じゃない！

「D－HEROデビルガイを召喚」

ボロ布を羽織り、長いかぎ爪を持った白い仮面を着けている男  
というか、今更だけどガイって名前に入ってるんだから全員男に決  
まってるわね

ガイという名前の付いた女性型モンスターなんて居ないでしょうし。

「デビルガイの効果を発動

相手モンスター1体を……ゲームから除外する

ジュラック・ヴェローを除外だ」

デビルガイがジュラック・ヴェローに手を向ける  
するとジュラック・ヴェローは消えていった……

「ジュラック・ヴェローが……そんな」

「安心しろ、デビルガイの効果で除外されたモンスターは  
2ターン後の俺のスタンバイフェイズに場に戻ってくる

その時に場のモンスターが5体だった場合は戻って来れないがな」

それでも、この状況じゃ……

「そして、デビルガイが効果を発動したターン

戦闘を行う事ができない

つまりバトルフェイズに入っても、何もできないという事だ」

……意味無いじゃない！

どうして効果を使ったのよ！

デッキ不足で負けるわよ！

「速攻魔法、速攻召喚を発動

このターン、もう1度通常召喚する事ができる

デビルガイ、ディスクガイを生け贄に最後のドレッドガイを召喚  
召喚時の効果により、墓地からディフェンドガイを守備表示で特殊  
召喚

更にドレッドガイの攻撃力は場のD－HEROの元々の攻撃力の合  
計となる

俺の場には攻撃力3400のドグマガイが2体に1900のBlower  
D、100のディフェンドガイ  
合計攻撃力は……8800だ」

「「攻撃力8800!？」」

さすがにそれは……最初の攻撃力800が嘘みたいね  
その差は8000、なんと11倍もの能力アップ  
……瑞貴の鬼。

「更にBlowerDの効果を発動  
相手モンスター1体を装備カードとして装備する事ができる  
俺が装備するモンスターは轟龍だ」

BlowerDに吸収される轟龍  
これは……危険よ!

「轟龍の攻撃力は2900、その半分である1450がBlower  
Dの攻撃力に加算される  
よってその攻撃力は3350、ドグマガイに匹敵する攻撃力だな」

5体のモンスターが並んでるけど  
最低攻撃力がディフェンドガイの100、次がBlowerDの33  
50

続いて3400のドグマガイが2体に、最強が8800のドレッド  
ガイって……

攻撃力の落差が激しすぎるわよ！

「速攻魔法、サイクロンを発動

羽鳶の伏せカード……真ん中のカードを破壊だ」

破壊されたのはリビングデッドの呼び声

発動しても無意味だったからそのまま破壊された。

「続いて魔法カード、D二フォースを発動

発動後、このカードはデッキのトップに表側状態で置かれる」

そんな事をして一体何を……

「カードを2枚伏せて……まだ手札が5枚も残ってるか  
多すぎる手札の処理も大変だな

意味は薄いがフィールド魔法、ダーク・シティを発動

D－HEROが攻撃する時、攻撃対象のモンスターの攻撃力以下だ  
った場合

攻撃するD－HEROの攻撃力を1000ポイントアップする……が  
モイスチャー星人の攻撃力は2800、あまり意味は無いな」

ならどうして……次の為への繋ぎかしら？

もし攻撃力が下げられたりした時の為にとか？

可能性は有るわね……厄介よ、本当に。

でも、攻撃できないはずなのにどうして次への繋ぎを？

どうやってこのターン中に決着を着けるのかしら？

「魔法カード、時の女神の悪戯を発動

お互いのターンをスキップし、次の自分のバトルフェイズに移行するつまり、デビルガイの効果で戦闘を封じられていたのは前のターンこのターンは戦闘を封じる制約は無い」

「という事は……攻撃される!？」

瑞貴……いくらなんでもそれは酷いわ

そんな強引な手段を使ってくるだなんて……

「というわけでバトルだ

ドグマガイでモイスチャー星人に攻撃」

「クッ……罨カード、因果切断を発動します!

手札を1枚捨て、モンスターを1体除外!

更に墓地に同名モンスターが存在する場合は全て除外します!

この効果により、ドグマガイを除外デす!」

だけど、ドグマガイは消えずに残っている

どうなってるの? どうしてドグマガイは消えないの!?

しかもそのままモイスチャー星人は戦闘で破壊される

攻撃力差は600、ゆまは600のダメージを受ける。

「無駄だ、B1000-Dの効果

自分のデッキトップに表側状態のDーフォースが存在している時相手モンスターの効果は全て無効となり

更に自分の場のモンスターを対象にする魔法、罨カードの発動と効果を無効にし……破壊する」

破壊される因果切断

つまり、ゆまは手札を1枚捨てただけ  
状況は変わってない！

「ドグマガイ、兎角に直接攻撃  
デス・クロニクル」  
ダイレクトアタック

「きやあああ！」

ドグマガイの胸元に紫の光が集まっていき  
それを撃ち出され、彰子に直撃する  
彰子に3400もの大ダメージが……

「どちらを倒しても良いんだが……  
B l o o d、羽鳶に直接攻撃だ  
ブラッディ・フィアーズ」  
ダイレクトアタック

「堅守先輩酷いデすう！」

そりや……ねえ？

だってゆまのライフ、残り50よ？  
残りライフが50なんて滅多に有る事じゃないわ。

ゆまの残りライフは後僅か

という事はつまり、瑞貴が倒すのは彰子という事ね  
その方が、後が絶対に楽だから。

「ドレッドガイ  
羽鳶に直接攻撃だ  
プレデター・オブ・ドレッドノート」  
ダイレクトアタック



「エ？ 私！？ ちょっと、ま、エ、ど、エ？  
こっちにこ、こな、来ないデエエエエ！」

え？ ちょ、どうしてゆまに攻撃するの！？

残りライフが600の彰子よりも優先して、どうして！？

そんな事を考えている内に、ドレッドガイがゆまの前に立つ  
ゆまに向かって張り手……強いんでしょうけど見た目がショボイわよ  
それでも、攻撃力8800、当然ながらゆまのライフは0よ。

「あうあうあうあうあうあうあ……負けましたあ」

途中から入れ替わってない？

「お前の除外は残して置くと面倒になるんだよ  
それに、兎角がジュラックをどう使うかも、もう暫く見たかったし  
な」

その理由もどうなの？  
別に良いけど……

「次の相手は誰だ？」

「私よ、堅守先輩」

「……雪兔か

勝ったら名前で呼んでやるぞ」

「是非！」

雪乃のご褒美が決定した瞬間ね  
他を差し置いてでも名前を選びそうね。

瑞貴はデッキを変更し、雪乃は決闘<sup>デュエル</sup>の準備をする  
瑞貴の場は凄まじい事になってるわね……

モンスターは5体、フィールド魔法のダーク・シテイを発動中  
便乗、装備カード扱いの轟龍に伏せカードが2枚  
時の女神の悪戯を使ったから1つ空いてるけど、場が殆ど埋まって  
いる状態だなんて……酷いわね。

「さて、始めようか」

「お願いします」

「決闘<sup>デュエル</sup>！」

## 140話【VS瑞貴 エド編】（後書き）

以前の三幻魔戦と違いは有るの？  
対戦相手とデッキ数が違うぐらいです。

どうして美寿知、吹雪を入れなかったの？  
デッキが浮かびませんでした  
アニメのメインで浮かんできたデッキが4つだったので  
故に、今回の相手は5人娘となりました。

彰子がジュラック……  
TF4から使用しますので、どうせならと……  
使わせないつもりでしたが、ご褒美とまで言わせておいて変化無し  
それではちょっとどうかと思ったのでジュラックを使用しました  
……エクシーズのグレンザウルスを渡そうと思ったのは秘密。

ドレッドサーヴァントの効果は召喚時じゃ？  
原作効果です  
特殊召喚にも対応していました。

ドレッドガイの効果が……  
原作効果です  
通常召喚、普通の特異召喚でも効果を発動してました  
後半は辻褄合わせとして幽獄の時計塔からしか特異召喚されていま  
せんが。

Bloodの効果も……  
原作効果です  
元々はOCG効果にするつもりだったのですが

ジュラック・グアイバの効果を発動してしまったミス  
後でOCGにしようと思ったのですが、それに気付いて急遽原作効  
果に変更

効果無効化がDーフォースを使用しないと使えないので……

しかし、後の事を考えたら原作効果で良かったと思います

効果のコピー能力も持っているので現在貫通効果持ちモンスターで  
すが。

どうして瑞貴は幽獄の時計塔の効果を教えたの？

破壊させる為です

実はモイスチャー星人の登場に最も驚いていたのは瑞貴だったり……  
予想はしていても、さすがに本当に出てくるとはと思って驚いてい  
ました。

瑞貴のデッキにドレッドガイ、ドグマガイ、BlooーDは何枚入  
ってるの？

ご想像にお任せします。

ちなみにドグマガイは？

原作効果です

毎ターン、ライフ半分効果が発動します。

ダイヤモンドガイの効果って……

無意味です

魔法カードが墓地に存在しないと効果は発動できないので  
ちなみにダイヤモンドガイはOCG効果、コスト不要です。

そういえばDragon D-ENDは使わないの？

使おうかと、何度も考えましたが……逆に邪魔になりそうでした  
手札のカードや場の状況

そう考えると明らかに不要ですし、そのままの方が使いやすいので。

原作、アニメオリジナルカード

### 時の女神の悪戯

このターンをスキップし、次の自分のターンのバトルフェイズになるつまり、次の自分のターンまで全てスキップします  
当然ながら、次のターンになっているので通常召喚が可能。

### Dーフォース

このカードを表側表示でデッキの一番上に置く

このカードが表側表示でデッキの一番上に存在する時

自分はドローフェイズにドローできない

最後にちよつとだけ登場

本当は使う気は無かったんですが、因果切断を回避する為に使用

ディフェンドガイと便乗コンボであまり役に立たないんですけどね

……

それでも自分のターン限定で破壊効果を防ぐので十分です。

ツイッター、かなり久しぶりにニコニコの僕らのサーガを再開

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

なんだかかなり変わってる……レオー地方に居ますが、名前は阿音ではありません

使われていたそうなので、繰亜という名前です

物資支援をしてくれたら作者が喜びます、喜ぶだけです。

## 141話【VS瑞貴 オージン編】（前書き）

「今日の最強カードはジュラック・ティラヌスです

攻撃力2500、守備力は1400、炎属性の恐竜族モンスター

自分の場に存在する恐竜族モンスターを生け贄に捧げる事で攻撃力が500ポイントアップします

そして戦闘で相手モンスターを墓地へ送った時、攻撃力は更に300ポイントアップです

相手のモンスターの攻撃力が高い時は生け贄にしても攻撃力を上げないといけません

でも、頑張れば攻撃力は凄く上げられます！

この子であるモンスターだって……」

君ならできる、頑張れ彰子

……そう簡単に行けるかは別問題だけどな！

い、忙しい！

執筆する時間が……時間が無い！

もう暫くすれば一段落すると思うんですが  
それまではこんな調子でしょうね、多分。

今回の相手は少しは予想外ですかね？

アニメオリジナルカード多数

……まあ、そんなに多くは無いですけど。

今回、彼の再来

使用者は彼女ですけど……悲しすぎる！

前話でデビルガイの効果を間違えていました

なので修正し、そこその変化が起こっています

修正前に読み、修正後を読んでいない人は前話をもう1度読んでください

そうでなければ分からない箇所があります。

次回はどうかかなあ……どのデッキにしようか、それも考えなければ

活動報告での問題に答えてくれる人を大募集中

3人のデッキを使用する予定なので多くの人に参加してもらいたいです

自信が無いなどの理由だったら気にせずに参加してください。

## 141話【VS瑞貴 オージーン編】

視点 レイ

「相手を1人撃破したのでバトルフェイズは強制終了俺の場にモンスターは5体存在しているので動けない更に魔法、罨ゾーンにカードに4枚埋まっているよって、魔法の発動ぐらいしかできない……」

良かった……これ以上何かするのは酷いもん場が埋まりすぎてるし。

「というのは嘘だ」

「「え？」」

「伏せていた永続魔法、D一フォーメーションを発動する効果は……まあ、お楽しみという事だな更に伏せていた魔法カード、アドバンス・ドロウを発動する自分の場に存在しているLV8以上のモンスターを1体生け贄に捧げる

それにより、俺はカードを2枚ドロウする

俺はドレッドガイを生け贄に捧げ、2枚ドロウ」

「攻撃力8800を捨ててドロウ!?!?どうしてそんな事を!」

本当、どうしてそんな事を?」



確かにドローしたいかもしれないけど  
でも、攻撃力が8800なんだよ？

「決まってるだろ？」

お前ら2人のデッキではドグマガイやB1000Dはともかく  
攻撃力8800のドレッドガイを倒す手段は殆ど無い

兎角の場合、ディノインフィニティが入っていれば可能性は有るが  
……その程度

つまり、このままだと可哀想だから数を減らしてやったんだよ」

その言い方はちょっと……2人共不機嫌になってるじゃん  
ボクだって嫌だよ、その言い方。

「それに、ドグマガイ達は何らかの手段で消された場合  
ドレッドガイの攻撃力は一気に下がる

安定しないモンスターは苦手というのも理由の1つだ  
効果だってもう無いも同然のドレッドガイだし

使い道は攻撃力が変化する壁程度……もう用は無い  
場も空けたかったしな」

……理由は分かるけどね

それでも攻撃力8800は惜しいと思う  
場を空けるにしても、そこまで簡単に消しちゃうかな？

「ドレッドガイの役目は墓地からの特殊召喚だったしな  
さて、俺はサテライト・ベースを守備表示で召喚」

巨大な機械が……なんというか、衛星を仕舞うような物かな？

サテライト・ベースって名前なぐらいなんだし

……サテライトに衛星？ 最近その言葉が出てきたような気がする。

「更にカードを1枚伏せてターンエンドだ  
エンドフェイズ時、サテライト・ベースの効果が発動  
守備力が1000ポイントアップする  
ただし、自分の場に存在するモンスターが戦闘を行う時  
サテライト・ベースの守備力は0に戻る」

守備力がたったの1000じゃどうにもならないんじゃない？……でも。

「私のターン、ドロー！」

「おっと、ディフェンドガイが守備表示で場に存在している  
スタンバイフェイズ、もう1枚ドローしてもらおうか？」

「……ディフェンドガイの効果により、もう1枚ドローします！」

「便乗の効果が発動

相手がドローフェイズ以外でドローした時  
俺はカードを2枚ドローする」

ドロー加速コンボは変わっていない  
このままだと、また大量の手札を持たれる！

「更に、ドグマガイの効果が発動する  
相手のスタンバイフェイズ時にこのモンスターが存在している時  
相手のライフを……半分にする」

「ライフを半分って……しかも、2体も！？」

彰子さんのライフは600

それが半分になって300  
更にもう1回、これで残りライフは150にまで……

「この効果は毎ターン、相手のスタンバイフェイズ時に発動する  
つまり、このターン以内にドグマガイを倒さない場合  
雪兎のライフは半分の半分、 $1/4$ である1000から始まるという事だ」

ライフ1000からスタートって……  
すぐに倒したいだろうけど、ドグマガイの攻撃力は3400  
そう簡単に倒せるような相手じゃ無い。

「クッ……奇跡のジュラシック・エッグを守備表示で召喚！  
更に魔法カード、愚かな埋葬を発動します！」

このカードの効果により、デッキのモンスターを1体墓地へ送ります！

デッキより、ジュラック・アウロを墓地へ送ります！

奇跡のジュラシック・エッグの効果

墓地に恐竜族モンスターが送られた時、カウンターを2つ乗せます！  
更に魔法カード、ワン・フォー・ワンを発動！

手札のモンスターを墓地へ送る事で、デッキか手札のLV1のモンスターを特殊召喚できます！

手札のジュラック・アウロを墓地へ送り、デッキのジュラック・アウロを特殊召喚します！

墓地に恐竜族モンスターが送られたので、奇跡のジュラシック・エッグにカウンターを2つ乗せます！」

これで奇跡のジュラシック・エッグにカウンターが4つ乗った！  
でも……よく同じモンスターを3体も1ターンで揃えられるね  
2体は墓地へ送られて、もう1体は場に特殊召喚されるなんて……

「ジュラック・アウロの効果を発動します！

このカードを生け贄に捧げる事で

墓地のジュラック・アウロ以外の、LV4以下のジュラックと名の付くモンスターを特殊召喚できます！

ジュラック・アウロを生け贄に、ジュラック・スタウリコを守備表示で特殊召喚！

そして、墓地に恐竜族モンスターが送られたので奇跡のジュラック・エッグにカウンターが乗ります！」

これでカウンターは6個

上級モンスターを特殊召喚できるね！

「まだ終わりません……あんまり私達を嘗めないでください！

魔法カード、真炎の爆発を発動します！

墓地に存在する守備力が200の炎属性モンスターを可能な限り、特殊召喚します！

ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターはエンドフェイズに除外されます

真炎の爆発の効果により、守備力が200のジュラック・アウロを3体特殊召喚！」

しよ、彰子さんが怒ってる……

さっきの挑発、凄く効果的だったんだ

隣で見てる雪乃さんの顔も引き攣ってる。

瑞貴さんの顔も、よく見ると失敗したって顔になってる

挑発の用法、用量は計画的に。

「更にジュラック・アウロの効果を発動します！

ジュラック・アウロを生け贄に、ジュラック・ガリムを特殊召喚！  
墓地に恐竜族モンスターが送られた事により、奇跡のジュラシック・  
エッグにカウンターが乗ります！

そして奇跡のジュラシック・エッグのもう1つの効果を発動！

このモンスターを生け贄に捧げる事により

乗っているカウンター以下のLVを持つ恐竜族モンスターをデッキ  
から特殊召喚します！

奇跡のジュラシック・エッグに乗っているカウンターは8個

LV8以下……LV7のジュラック・ティラヌスを特殊召喚します  
！」

攻撃力が2500の、相変わらず派手過ぎる恐竜が出てきた  
ジュラックって、どうしてこんなに派手なんだろう？

以前、瑞貴さんと彰子さんが恐竜についての雑談をしていた時だけど  
恐竜の色って、まだ判明されてないんだっけ

羽毛を持っている説が有るとかで、確かにカラフルな可能性は有る  
らしいけど

でも、ここまで無駄に派手じゃないと思うんだけどなあ……イメー  
ジが変わりそう。

そして瑞貴さんが恐竜の知識も持っている事にイメージが変わりそう  
子供の頃とか、恐竜が好きだったのかなあ？

相変わらず謎に知識を持っている人だけ……どうして恐竜？

「あー……まさかそいつを出してくるとは  
しかも1ターンで出せるとは思わなかったぞ  
これは……拙いか？」

どうして拙いのかな？　だって攻撃力は2500なんだよ？

ドグマガイどころか、ディフェンドガイも倒せないよね  
でも、1ターンでモンスターを0体から5体並べたのは素直に凄い  
と思う。

「ジュラック・ティラヌスの効果を発動します

自分の場に存在する恐竜族モンスターを生け贄に捧げる事で、攻撃  
力が500ポイントアップします！

私は場に存在するジュラック・アウロ2体生け贄に捧げます！

これにより、ジュラック・ティラヌスの攻撃力は1000ポイント  
アップ！

攻撃力は3500、ドグマガイを上回りました！」

す、凄い！

モンスターが居ない状況から攻撃力3500のモンスターを！

しかも、真炎の爆発の効果で除外されるはずだったジュラック・ア  
ウロ

ジュラック・ティラヌスの効果で墓地に送られたから除外もされな  
い！

「バトルです！

ジュラック・ティラヌスでドグマガイに攻撃！」

「味方モンスターへの攻撃時

サテライト・ベースの守備力は0に戻る」

……守備力が0に戻って意味が有るの？

壁モンスターとして、場違いなんじゃ……

しかも今はドグマガイに攻撃しているから余計に場違い。

ジュラック・ティラヌスに掴まれて噛みつかれるドグマガイ

反撃しようとしたけど、頭から腰辺りまで丸呑みされる  
しかも、腕も入っちゃったから反撃もできない……

そのまま噛みついたのか、破壊されるドグマガイ

最近……ボクを見る攻撃って、大半が呑み込みな気がするのはどう  
してだろう？

「ドグマガイ、撃破です

ジュラック・ティラヌスのもう1つの効果

戦闘で相手モンスターを破壊し、墓地へ送った時

このモンスターの攻撃力は300ポイントアップします！」

「が、残念ながらそれは無理だ

ドグマガイは前のデッキのモンスター

墓地へは送られず、除外されても戻ってこられない

完全に消滅する」

だけど、瑞貴さんに100ポイントのダメージ！

やっとダメージを与えられたあ……

「更に、D－フォーメーションの効果が発動する

自分のD－HEROが戦闘で破壊された時、1体につき1つのDカ  
ウンターを乗せる」

D－HEROが破壊されて発動する効果だったらD－HEROに関  
係している効果だね？

なら殆ど無視しても大丈夫そう

でも……無駄な事をするとは思えないんだけどなあ……

「なら、ジュラック・ガリムでサテライト・ベースに攻撃します！」

お腹から出ている炎を飛ばしてサテライト・ベースを燃やす  
サテライト・ベースの守備力は0に下がったし  
攻撃力1200のジュラック・ガリムには勝てない！

……だと、思っていたんだけど  
どうしてか破壊されていないサテライト・ベース……どうして？

「サテライト・ベースの効果  
LV5以下のモンスターとは戦闘で破壊されない」

LV5以下って……  
つまり、LV6以上との戦闘じゃないと破壊されないって事？  
また面倒なモンスターが……

「……ターンエンドです」

残念そうだけど、満足そうな顔の彰子さん  
瑞貴さんにダメージを与えた上、ドグマガイも倒せたもんね  
いいなあ……ボクなんてカタパルト・タートルの効果でやっとダメージだったし  
あの時の終焉のカウントダウンは悔しかったなあ……戦闘ダメージ  
を与えられなかったもん。

「私のターン、ドロー！  
ディフェンドガイの効果により、もう1枚ドローよ！」

「便乗の効果が発動する  
俺は2枚ドローする」

またドロー……早くあのコンボをどうにかしたい



でも、破壊系カードがなかなか来ないのが問題だよね  
せめてディフェンドガイを破壊しないと……

「更にドグマガイの効果が発動  
残っているドグマガイの効果により  
雪兎のライフを半分にする」

「クッ……」

最初からライフを半分にするなんて……  
これで雪乃さんのライフは4000の半分、2000になる  
凄く大きなハンデだよ！

「魔法カード、名推理を発動！  
相手はLVを宣言し、私はデッキからカードを捲っていく  
通常召喚可能なモンスターが出た時、そのモンスターのLVが宣言  
されていない場合は特殊召喚  
宣言されたLVだった場合、墓地へ送られる  
そして通常召喚可能なモンスター以外のカードは全て墓地へ送られ  
る！

堅守先輩、LVを選んでください」

「なら、LV7を選択しよう」

なんでそんな中途半端なLVを？  
でも雪乃さんのデッキには色んな上級、最上級モンスターが居たっけ  
だったら丁度良い……のかな？

「1枚目、モンスターのクリッター  
クリッターのLVは3、よってクリッターを特殊召喚！

今度は魔法カード、モンスターゲートを発動！

自分の場に存在するモンスターを1体生け贄に捧げる

そして通常召喚可能なモンスターが出てくるまでデッキを捲る

通常召喚可能なモンスターが出てきた時、そのモンスターを特殊召喚する

他のカードは墓地へ送られるけど……クリッターを生け贄に捧げて効果を発動するわ」

クリッターだったら生け贄に丁度良いね

でも、よくここでクリッターなんて出せたね？

本当に生け贄に最適なモンスターだし。

「1枚目、ライトロード・ビースト ウォルフ

通常召喚できないモンスターだから墓地へ

2枚目、トレード・イン、魔法カードだから墓地

3枚目、名推理……墓地

4枚目、ヒーロー見参……罠カードなので墓地

5枚目、可変機獣ガンナードラゴン、通常召喚可能なモンスター

これにより、可変機獣ガンナードラゴンを特殊召喚！

更にクリッターの効果、このカードが場から墓地へ送られた時

デッキから攻撃力1500以下のモンスターを手札に加える！

私はデッキより、レベル・ステイラーを手札に加えるわ」

あれ？

あんなモンスター、雪乃さんのデッキに入ってたっけ？

L Vが1のモンスターは黄泉ガエルぐらいだったと思うんだけど……あれ？

「レベル・ステイラーか……お前に使いこなせるか？」

「使いこなすわ、絶対に」

せっかくのご褒美カードなんですもの

このカードでこのデッキの事故率が少しは下がるわ」

事故率が下がる効果なの？

どうして下がるんだろう……ドロー効果とか？

それとも墓地回収効果？

それにしても名前がなんだか違う感じだし……

「そしてライトロード・ビースト ウォルフの効果を発動

このモンスターがデッキから墓地へ送られた時

ウォルフを墓地から特殊召喚する」

真っ白な狼みたいなの……獣人？

随分変わった召喚方法だなあ……

でも、確か通常召喚できないんだよね？

それで攻撃力が2100はちょっと低い気がする。

「まだ私は通常召喚をしていないわ

ウォルフを生け贄に、光神機――轟龍を妥協召喚！

妥協召喚した轟龍は、エンドフェイズに墓地へ送られるわ」

玲ちゃんが何度も使っている轟龍

そういえばさっき、ゆまさんも使ってたっけ

轟龍、人気モンスターなのかな？

「更に魔法カード、突然変異メタモルフォーゼを発動するわ！

自分の場のモンスター1体を生け贄に捧げて効果を発動

生け贄に捧げたモンスターと同じLVの融合モンスターを特殊召喚する！

L V 8の轟龍を生け贄に捧げ、同じくL V 8のガトリング・ドラゴンを特殊召喚！」

なんだか銃弾を沢山積んでいるロボットが……  
このモンスターの効果ってなんだっけ？

「ガトリング・ドラゴンの効果を発動  
コイントスを3回行い、表の数だけ場に存在するモンスターを破壊  
これなら戦闘で破壊できないサテライト・ベースも破壊できる  
では……コイントス！」

場に現れるコイン

表はジャイアント・ウィルス、裏は黒

……分かり難いんじゃない？

これは突っ込む所だよね？ 多分。

「1回目、裏

2回目、裏

3回目、裏……全部裏だから効果は不発ね」

コイントスって、そんなに外れるものだったっけ？  
全部外すって、それはそれで凄いよね。

「グッ……クッ！ バトルよ！  
ジュラック・ティラヌスでドグマガイに攻撃！」

ドグマガイは前のドグマガイと同じよう破壊される  
これで瑞貴さんに更に100のダメージだ！  
でも……まだB l o o - Dが残ってる。

「D－HEROが破壊されたのでD－フォーメーションにDカウナーが乗る」

「LV5以下で倒せないならLV8で倒すまで  
ガトリング・ドラゴンでサテライト・ベースに攻撃！」

ガトリング・ドラゴンがガトリング銃を乱射する  
サテライト・ベースに直撃し、爆発して破壊される  
でも、瑞貴さんは平気そうな顔してるなあ……

「……堅守先輩、表情の1つくらい変えたらどうです？  
このターンは失敗しましたが、次の私達のターン  
ガトリング・ドラゴンの効果が2回も飛んでくるんですよ？  
それに、攻撃力3500のジュラック・ティラヌスも居ます」

「慌てるような事じゃないな、その程度」

本当に、平気そうに答える  
どこからそんな自信が？  
……瑞貴さんだし、仕方無いか  
本当、何をしてくるんだろう？

「（私達程度では相手にならない……そう言いたいのかしら？  
悔しい……絶対に勝つ！）  
ジュラック・ガリムを守備表示に変更して、カードを2枚伏せて  
ターンエンドです！」

凄い場かも……可変機獣ガンナードラゴン、ガトリング・ドラゴン  
ジュラック・ガリム、ジュラック・スタウリコ、ジュラック・ティ  
ラヌス

ゆまさんの冥界の宝札、彰子さんとゆまさんがどっちも伏せカードを2枚

場は完全に埋まってる状態だね。

「俺のターン、ドロー」

デビルガイの効果で除外されたモンスターは

2ターン後の俺のスタンバイフェイズに戻ってくる

時の女神の悪戯の効果により、既に1ターンスキップされている

よって、このターンが2ターン後となるのでジュラック・ヴェローは戻ってくる

……が、お前達の場合は埋まっているので戻って来る事はできない」

という事は、除外されたままって事？

モンスターで埋めたままだったの、失敗だったかも

こうなるぐらいだったらジュラック・ティラヌスの効果で生け贄にすれば良かったね

時の女神の悪戯の効果が分かり難かったから仕方無いんだろうけど……

「B l o o - Dを生け贄に捧げ、サテライト・キャノンを召喚」

って、B l o o - Dを生け贄！？

どうしてそんな事を！？

しかも攻撃力が0のモンスターだし！

というか、どこに居るんだろう？

見えないんだけど……

「サテライト・キャノンは宇宙に居る

あの巨体でこんな場所に居られても困るしな

そして、どうしてB I O OーDを生け贄にしたんだろうって顔をしてるな

モンスターを装備している、つまり装備カード扱い  
それで俺の場が圧迫されるから邪魔なんだよ」

そ、そんな理由で……

彰子さんと雪乃さん、倒せなくて悔しそうな顔をしてるし  
しかも、ちよつと怒ってそう。

「更にDーフォーメーションの効果が発動

自分のメインフェイズ時にDカウンターが2つ以上乗っている時に  
俺がモンスターを召喚、特殊召喚に成功した時

このカードを墓地へ送る事で召喚、特殊召喚したモンスターをデッキ、墓地より2枚まで手札に加える

俺が召喚したのはサテライト・キャノン、よってデッキから2枚の  
サテライト・キャノンを手札に加える」

それって……無条件で手札にカードを加えたような事？

でも、攻撃力0のモンスターを出してもあまり意味は無いんじゃない？……

「魔法カード、チャージを発動

この効果により、サテライト・キャノンの攻撃力を2000ポイントアップさせる」

サテライト・キャノンの攻撃力が2000アップした  
だけど、たったの2000じゃあまり意味は無いんじゃない？

倒せるのは下級のジュラックだけだよ。

「バトルだ

サテライト・キャノンでガトリング・ドラゴンに攻撃」

攻撃力が2000のサテライト・キャノンで攻撃力2600のガトリング・ドラゴンに攻撃!?

そんなの絶対に無謀だよ!

あ、でも機械族だからリミッター解除とか?

そんな事も考えたけど、何も無かった

ガトリング・ドラゴンにレーザーが直撃

多分、サテライト・キャノンの攻撃だと思うけど……

でも、ガトリング・ドラゴンは破壊されなかった

多分……宇宙でサテライト・キャノンが爆発してるんだろうけど

そして瑞貴さんに600ポイントのダメージ、どうして自爆特攻なんてしたんだろう?

「罠カード、デブリスレーションを発動

サテライト・キャノンが戦闘で破壊された時に発動する

自分の手札、場に存在するサテライト・キャノン2体を墓地へ送る  
この3体を融合させ、サテライト・レーザー X06S バルサム  
を融合召喚」

……と、言われても

見えないからどうしようも無いんだけど?

それにしても、この為にD-フォーメーションを使っただんだ  
速攻でサテライト・キャノンを集める為に……

「この効果で特殊召喚されたサテライト・レーザーは  
攻撃力を3000ポイントアップした状態で召喚される  
更に、サテライト・レーザーは貫通能力も持っている」



攻撃力3000で貫通能力!?

そんな攻撃を受けたら彰子さんのライフが0に!

「速攻魔法、リミッター解除を発動

この効果により、自分の場に存在している機械族モンスターの攻撃力を倍にする」

貫通能力を持った攻撃力6000のモンスター!?

見えないけど、それはそれでかなり怖い!

「現在はまだバトルフェイズ中、よって攻撃は可能だ

先ずは……邪魔なそいつからだな

サテライト・レーザー、ガトリング・ドラゴンを破壊せよ」

「クッ、罠カード、ライジング・エナジーを発動!

手札を1枚捨て、ガトリング・ドラゴンの攻撃力を1500ポイントアップさせるわ!

これでガトリング・ドラゴンの攻撃力は4100、受けるダメージは1900よ!」

雪乃さんのライフは2000だからなんとか1000残る!

あ、危なすぎる!

でも、瑞貴さんの攻撃宣言後、なかなか攻撃が来ない

どうしたのかと思った直後、光線がガトリング・ドラゴンに直撃して爆発

……今、いつ攻撃が来たの?

「サテライト・レーザーは衛生上に存在するモンスターだからな

攻撃到達まで少し時間が掛かる……  
そして攻撃方法はレーザー、その速さは凄まじい速さだ」

だからって……怖すぎるよ！

これじゃあまるでソーラみたいじゃ……ソーラ？

ソーラって事は……え？

「今ので気付いた奴は居るだろうな

このデッキはレーザー衛星、ソーラと同じような攻撃だ

そしてこのデッキの使用者は……ミズガルズ王国の王子、オージーンだ」

王子様のデッキ！？ ていうか強くない！？

下手すれば1ターンキルできるよ！

「オージーン王子は1ターンキルを好んで使用する人でな

こういう、一撃必殺は大得意というか……大好きらしい

俺はそこまで好きじゃないけどな」

でも1ターンキルとか、普通に平気でするんじゃない？

勝てるから仕方無いだろうとか言って。

「攻撃後、サテライト・レーザーの攻撃力は0になる

更に、リミッター解除の効果を受けたモンスターはエンドフェイズに破壊される

が……速攻魔法、融合解除を発動

サテライト・レーザーをサテライト・キャノン3体へと戻す

サテライト・キャノン3体を守備表示で特殊召喚」

守備力が0って……簡単に倒せるよ

攻撃力も0だし、レプティレス達の良い餌になりそうでも……機械だからお腹を壊すかな？

「貫通効果を持っている轟龍は既に消えている  
多数モンスター破壊効果を持つガトリング・ドラゴンも居ない  
これで次のターンぐらいまでだったら持つだろう」

なんだか、今までとは思えないぐらい消極的だね  
D－HEROの時は勢いで凄かったのに。

「装備魔法、ミスト・ボディをディフェンドガイに装備  
ミスト・ボディを装備したモンスターは戦闘で破壊される事は無い  
カードを3枚伏せ、ターンエンド  
エンドフェイズ時、サテライト・キャノンの効果が発動  
攻撃力を1000ポイントアップさせる」

戦闘耐性を持ったディフェンドガイ！？  
しかも3枚も伏せるだなんて……これって拙くない？  
でも、攻撃力がたった1000上がったって怖くないかな  
だって結局、守備力は0のままなんだし。

「私のターン、ドロー！  
ディフェンドガイが守備表示で居るので、もう1枚ドローします！」

「便乗の効果が発動  
俺はデッキからカードを2枚ドローする」

手札が2枚だったんだけどなあ……一気に4枚にまで  
これじゃあ強欲な壺を使いたくても使えないや  
ワーム・リンクスだなんて論外

毎ターン4枚もドローさせちゃう……怖すぎる！

「ううう……魔法カード、強欲な壺を発動します  
この効果で更にカードを2枚ドロー！」

「便乗の効果だ  
俺も2枚ドロー」

考えた直後に！？

ドローさせちゃうから使いたくないよね  
でも、使わないと困るし……難しい。

うん、前言撤回をするね

瑞貴さんは全く消極的じゃない  
ドローに関しては凄く積極的だ！

「（ドローされたのは困ったけど……）」

ジュラック・モノロフを召喚します！

このモンスターは全てのモンスターに攻撃することができます！」

よし！ これで全部のサテライト・キャノンを倒せる！

彰子さんお手柄だぁ！

「ジュラック・モノロフでサテライト・キャノンに攻撃！」

炎を吐き出して攻撃しようとするジュラック・モノロフだけ……  
さすがに衛星までは届かないみたい  
暫く吐き続けたけど、疲れて止めちゃった。

「無駄だ

サテライト・キャノンはLV7以下のモンスターとの戦闘では破壊されない

ジュラックで倒すには……お前に渡したカードで言えばジュラック・

タイタンぐらいか

アルティメットティラノ スーパーコンダクターティラノシエント・ダイナ

究極恐獣とか超電動恐獣、超古代恐獣をデッキに入れていれば話は別だがな」

「っ……ターンエンドです！」

入っていないんだ……仕方無いかな？

殆どジュラックでデッキを考えているみたいだし早くその、ジュラック・タイタンを召喚して！

「私のターン、ドロー！」

ディフェンドガイの効果でもう1枚ドロー！」

「そして、俺は便乗で2枚ドロー」

「毎ターン毎ターン……本当に困るカードね」

うんうん、だから早く破壊して

そうしたらボクが楽になれるから

でも……あのデッキに魔法カードとか破壊するカードが入ってるかな？

「あまり居ても意味は無さそうだし……」

魔法カード、モンスターゲートを発動するわ

ジュラック・モノロフを生け贄に捧げる

効果はさっき説明した通りよ」

彰子さんのモンスターを生け贄に捧げるんだ  
そりゃあ、全体攻撃ができて意味無いから当然かな。

「1枚目、リボルバー・ドラゴン  
通常召喚可能なモンスター、よって特殊召喚！」

でも、LVは7だから戦闘破壊はできない  
どうするつもりなんだろう？

あ、確かりボルバー・ドラゴンはコイントスモンスターだっけ？

「リボルバー・ドラゴンの効果を発動！  
コイントスを3回行い、2回以上表が出た場合  
選択した相手モンスターを1体破壊する！  
私が選ぶのは当然、ディフェンドガイ！」

出てくるコイン……絵が違う？  
表はキーメイス、裏がロックメイス  
色違いなだけでまた分かり難いよ！

「コイントス1回目、裏  
2回目、裏……3回目、裏  
……私、運が無いのかしら？」

……まあ、2回連続で全部裏だもんね  
瑞貴さんもちっと悲しそうな目で雪乃さんを見てる  
なんというか、哀れみとかの感情も込められてない？

「（ああ……そんな目で見られるとゾクゾクする  
状況的にあまり良い事じゃないけど、もっと蔑んで！）」

気のせいかな？

雪乃さんの様子がおかしい気がする

6回連続で裏だったらやっぱり悲しいかな？

「り、リボルバー・ドラゴンと可変機獣ガンナードラゴンを生け贄に捧げるわ

ネフティスの鳳凰神を召喚！」

よし、あのモンスターのLVは8！

これでサテライト・キャノンを倒せる！

「……ゆまさんの残した冥界の宝札の効果で2枚ドローよ」

「なら、俺も便乗の効果で2枚ドローしようか」

ゆまさー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！

確かにドロー効果は嬉しいけど、今回だけは逆効果だよー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！

また瑞貴さんの手札が10枚になっちゃったあー！ー！ー！ー！ー！ー！ー！

「バトルよ！」

ネフティスの鳳凰神でサテライト・キャノンに攻撃！」

空に飛び、消えるネフティスの鳳凰神

多分、サテライト・キャノンを破壊してるんだろぅなあ……

「罨カード、デブリステーションを発動

サテライト・キャノンが破壊された事により

手札、場のサテライト・キャノンを墓地へ送る

サテライト・レーザーを融合召喚する

そして、その攻撃力を3000ポイントアップ」

また出てきた！？

でも、攻撃力3000だったらジュラック・ティラヌスの方が上だよ！

「ジュラック・ティラヌスでサテライト・レーザーに攻撃！」

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動

攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる

悪いが、サテライト・レーザーを倒されるのは困るのでな」

攻撃力3000のモンスターが攻撃してくる

貫通効果も持つてるし、本当に拙いかも！

「仕方無いわね……ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー」

先ずは速攻魔法、サイクロンを発動

雪兎、お前の伏せカードを破壊する」

「破壊されるぐらいだったら……速攻魔法、神秘の中華鍋を発動！

自分のモンスター1体を生け贄にして、その攻撃力か守備力分のライフを回復する

ネフティスの鳳凰神を生け贄に、攻撃力分である2400のライフを回復するわ！」

これでライフは2500

ダイレクトアタック

直接攻撃はまだ受けられないと思うし

多分大丈夫……だよな？



「罨カード、転生の予言を発動  
墓地のカードを2枚選択し、持ち主のデッキに戻す  
俺は自分の墓地に存在するサテライト・キャノン2体をデッキに戻す」

どうしてそんな事を？  
デッキに戻して何か意味が有るのかな？

「魔法カード、死者蘇生を発動  
墓地に存在するモンスター1体を特殊召喚する  
この効果により、墓地に存在するサテライト・キャノンを特殊召喚更に魔法カード、機械複製術を発動  
自分の場に存在する攻撃力500以下の機械族モンスターを1体選択する  
同名モンスターをデッキから2体まで特殊召喚する  
転生の予言の効果でデッキに戻したサテライト・キャノン2体を守備表示で特殊召喚」

こんな手段で召喚してくるなんて！  
ああもう！

D－HEROの時も思ったけど、どうして上級モンスターが簡単に特殊召喚されるの！？  
羨ましいよ、羨ましいよ、羨ましいよ！ 大事な事だから3回言った！

あ、でもサテライト・キャノンの攻撃力って0だったかな。  
だったらあまり関係無いかな。

「魔法カード、チャージを発動

自分の場に存在するサテライト・キャノン全ての攻撃力を2000ポイントアップさせる」

全て！？ 全部のサテライト・キャノンの攻撃力が上がるの！？  
攻撃力2000が3体って……でも、どうして守備表示で特殊召喚したのかな？

1体だけは攻撃表示だけど、何か理由でも有るのかな？

「魔法カード、魔法再生を発動

墓地の魔法カードを1枚、手札に加える

チャージを手札に加えるが、発動はしない」

発動をしない？

ならどうして手札に戻したんだろう？

「サテライト・レーザーを守備表示に変更  
ディフェンドガイは攻撃表示に変更」

この動きって……まさかとは思うけど

表示形式入れ替えカードを使う気じゃないよね？

そうだったら勝ち目が更に無くなるんだけど！

「カードを2枚伏せて、バトルだ

ディフェンドガイでジュラック・ガリムに攻撃

殆ど目立たないし、意味は無いがダーク・シティの効果が発動

D－HEROが攻撃する時、相手モンスターの攻撃力の方が上の場合  
攻撃力が1000ポイントアップする、それでも攻撃力1100程度だがな」

攻撃力100のディフェンドガイだけど、ジュラック・ガリムの守

備力は0

そういえば守備力50のモンスターって居るのかな？

居ないんだったら攻撃力100で倒せる唯一のモンスターが守備力0なんだね

今は攻撃力1100だけど。

で、肝心のディフェンドガイの攻撃方法なんだけど

思いつきりジュラック・ガリムを殴り飛ばした

攻撃力100の攻撃方法じゃないよ！

……ダーク・シティで強化されててもね！

「ジュラック・ガリムの効果発動！

戦闘によってこのモンスターが破壊された時

このモンスターを破壊したモンスターを破壊します！

ただし、相手は手札を1枚捨てる事でこの効果を無効にできます」

「なら捨てよう

手札は無駄に余ってるのでな」

効果を無効にされたジュラック・ガリム

……どうするんだろう？

「サテライト・キャノン、ジュラック・スタウリコに攻撃」

でも、ジュラック・スタウリコは守備表示だから破壊……うきやあ！

ま、また光線が……光ったと思ったたらすぐに爆発するんだもん  
覚悟をしてないと危なすぎるよ！

「……ジュラック・スタウリコの効果を発動します

戦闘によってこのモンスターが破壊され、墓地へ送られた時

ジュラックトークンを2体、守備表示で特殊召喚します」

出てきた相変わらず無駄に派手な……卵？  
あの卵がジュラックトークンなのかな？

「ふむ、まあここまですれば分かるよな？

罾カード、重力解除を発動

場に存在する表側表示のモンスター、全ての表示形式を変更する  
今、特殊召喚されたジュラックトークンもな」

これが狙いで1体だけ攻撃表示にしてたんだ……

彰子さんのライフは150だから……絶対に無理だあ。

「攻撃したサテライト・キャノンの攻撃力は0に戻る  
これはサテライト・キャノン、サテライト・レーザー、サテライト・  
ベースに共通した効果だ」

攻撃力が0……

それでも、エンドフェイズには1000になる  
早く倒さないと……本当に厄介過ぎる！

「サテライト・キャノン、ジュラック・ティラヌスに攻撃」

ジュラック・ティラヌスの守備力は1400

サテライト・キャノンの攻撃力2000には敵わない

ジュラック・ティラヌスはサテライト・キャノンの光に貫かれ、破  
壊される。

「サテライト・キャノンの攻撃力が0に下がる  
これで終わりかな？

サテライト・キャノン、攻撃表示で居座っているジュラックトールクンに攻撃」

「まだ、まだ終わりません！」

罠カード、生存本能を発動します！

墓地に存在する恐竜族モンスターを任意の枚数除外

そして除外した恐竜族モンスターの数×400ポイントライフを回復します！

墓地の奇跡のジュラシックエッグ、3体のジュラック・アウロ

ジュラック・ティラノス、ジュラック・スタウリコ、ジュラック・モノロフ

ジュラック・グアイバ、ジュラック・ガリムをゲームから除外！

除外した恐竜族モンスターの数は9体、よってライフは3600回復します！」

よし、彰子さんのライフは150だったから、3750まで回復！サテライト・キャノンの攻撃を受けても、まだライフが1750残る！

さすがにこれ以上は防ぎきれないけど……

「サテライト・キャノンの攻撃力が0に戻る

ライフを回復し、壁モンスターを減らしてサテライト・キャノン達の攻撃力を下げる事を選んだか

確かに、サテライト・キャノン達の攻撃力の上がる速度が遅いのは大きな弱点だからな」

あ、それが目的だったんだ

単なる悪足掻きかと思ってた

よく考えたら、壁モンスターが残るのと

攻撃力が高いモンスターが残るの……どっちもどっちかな？

「その通りです

それに、ジュラックトークンはジュラックの生け贄召喚にしか使えませんし

普通に上級モンスターを召喚する事はできません  
だったら、私はサテライト・キャノンの攻撃力を下げる事を選択します」

ジュラックトークンにも欠点は有ったんだ  
確かに、それだとジュラック専用だもんね  
残っていても仕方無いかな。

「確かに厄介な事だ……

モンスターは兎角のだから雪兎を倒せないし、仕方無い  
サテライト・レーザー、ジュラックトークンを破壊しろ」

一瞬、光り、破壊

もうあっという間に消えていったジュラックトークン  
この状態で生き残って、ディノインフィニティを出していたら攻撃力は100000だったのになぁ  
残念、次は頑張ろう！

「サテライト・レーザーの攻撃力も0に下がる

やれやれ、兎角のせいでサテライトシリーズが全部攻撃力0だ  
サテライト・レーザーは残して置きたかったんだがな」

そう考えると、彰子さんは凄く頑張った！

絶対に状況は良くなってるはずだよ！

「……嘘だけだな」

「え？」

堅守先輩、それってどういう意味ですか？」

嘘って何？

今度は何を嘘吐いてたの！？」

「お前の伏せカードが生存本能だなんて、最初から分かってたんだよ最初に伏せてから使わないし、そう考えるともう1枚は大噴火か？生存本能はライフ、墓地の恐竜族が揃わないと使えない大噴火はジュラシックワールドが来たらすぐに使えるようにか？」

「……大噴火に関しては否定しませんが生存本能は負け惜しみにしか聞こえませんかよ」

彰子さん、また怒ってない？

自分の考えを読まれている気分で嫌なんだと思うけどでも……瑞貴さんだし、今更気にしても仕方無いよ？

「なら、どうして俺は最初からサテライト・レーザーでジュラック・ガリムに攻撃しなかったと思う？

貫通効果を持っているサテライト・レーザーで守備力0のジュラック・ガリムに攻撃

するとダメージは3000、まだ墓地に恐竜族は溜まっていない生存本能を使用しても、除外できるモンスターは6体、よって回復量は2400

どう足掻いても、即死を免れる事はできなかった」

確かに、そうした方が絶対に楽に終わったはずサテライト・レーザーの攻撃力は0になるけど

サテライト・キャノンの攻撃力は2000のまま  
エンドフェイズには攻撃力が3000にまで上がっていたのに。

「どうして、態々攻撃したんですか？  
すぐに終わらせた方がサテライト・キャノンの攻撃力が残っていたのに」

「簡単だ

次の明日香、またはレイの為だ」

ボク達の為？  
攻撃力が下がる、そのどころが？

「明日香のデッキは基本的に展開力に優れている  
融合を使ったり、六武衆だったら本当に簡単にモンスターが揃う  
レイのデッキはコントロール奪取デッキ  
モンスターゾーンに空気が無いと、奪っても破壊されるだけで使用  
できない」

つまり、ボク達を戦いやすくする為に態々全滅させたって事？  
ボク達の事、絶対に馬鹿にしてる！

「それに、そうしないとレイはともかく明日香が哀れだ  
明日香のデッキは基本的に低LVのデッキ  
LV7以下のモンスターと戦闘で破壊されないサテライト・キャ  
ノンは天敵だ  
攻撃力が下がり、戦闘ダメージを与えられるようにしないと勝ち目  
は薄い」

自覚しているのか、明日香さんは凄く悔しそうな顔をしている



数、やっぱり限られてくるもんね……LV8以上だとボクのデッキにも少ないけどね。

「逆に、レイの場合は余計な行動だったかもしれない何せ、コントロールを奪えば高攻撃力のサテライト・キャノンを使うことができるんだ

戦闘ダメージは相当な物になる、どっちが出てくるかは知らんが……明日香の場合、展開が容易で今なら戦闘ダメージを与えやすいレイの場合、今奪ってもあまり意味は無いかもしれないもつとも、俺は次のデッキに移ったらモンスターを大抵すぐに消すけどな」

これは……悩む

元々はボクが出て行くつもりだったんだけど確かにこの状況でボクが出て行ってもあまり意味は無いかもしれない奪っても攻撃力1000のサテライト・キャノンだけだしサテライト・キャノンのLVは5、サテライト・キャノンの相打ちはできない。

「明日香さん、どうする？」

「私が先に出るわ

あそこまで馬鹿にされて……後悔させてやる！」

あ、明日香さんが萌えて……もとい、燃えている

明日香さんは、実は機械や兵器に凄く燃える事が判明したきつと全力で破壊するんじゃないかな？

★粉碎★玉碎★大喝采★……って、感じに？

瑞貴さんはデッキを変更し、シャッフルしてセットする

明日香さんもデッキを選択、同じようにシャッフルしてセット  
お互いに構える……

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

瑞貴さんのデッキ、今度は誰のデッキだろう？

明日香さんもデッキを何個か持ってるみたいだけど、どれを使うの  
かな？

## 141話【VS瑞貴 オージン編】（後書き）

D一フォーメーションは墓地に送るのにできるの？

細かい事は気にしない

盛り上がる的に、こうした方がおもしろそうだし。

ドレッドガイを生け贄にした理由は本当に瑞貴の言う通りなの？

半分本当、不安定過ぎますし、他にD一HEROも居ませんので下手すれば攻撃力100を晒す事になりますし

……ハンデというのも否定はしません。

彰子が怒った？

怒りました

普段からの鬱憤も有ったのかと思います

他の相手と決闘した後に言われるならともかく  
デュエル

今、現在戦っている自分を馬鹿にされたので

怒りで何故か強くなるのはアニメ遊戯王では基本です。

真炎の爆発って……

事故の塊になる可能性が高いでしょう

が……怒りも爆発したので丁度良いかと思っただけつい

あまり細かい事は気にしない、実際に使える戦法ですし……事故率は有りそうです。

雪乃がパターン化してる……

自覚していますが、推理ゲートだと他にどうしようも無いので

召喚制限が無い＋攻撃力が高い＋効果が優秀Ⅱ種類が限られる

最初は事故ってもらおうかと思いましたが、そうなると余りにも哀れ今回は目を瞑り、次回からはどうにかしたいと思います。

コインが何だか……

KC社は良い仕事をしているようです

本当は邪神アバターのコインで裏が黒にしたかった  
そうすれば更に分かり難いのに。

ガトリング・ドラゴンにリボルバー・ドラゴン……

作者自らコイントスをしました

そして本当に6回連続で裏です……まるで三幻魔戦のとある誰かさ  
んのような

雪乃が残念過ぎるので良い想いもさせたいと思います。

彰子のジュラックに他のモンスターはどれぐらい入ってるの？

ディノインフィニティ、奇跡のジュラック・エッグぐらいです

他にも少しは入っていますが、瑞貴の言ったような最上級恐竜族は  
入っていません。

コインがまた……

KC社は相変わらず（以下省略）

本当に色が違うだけです。

雪乃……

偶にはこっちの雪乃も見なくなったので

なんだか久しぶりに登場、M雪乃

細かい事は（略）

神秘の中華鍋？ デストラクト・ポジションじゃないの？

神秘の中華鍋です

デストラクト・ポジションは本来有りませんし……時代的に。

ディフェンドガイの攻撃方法が……  
攻撃力が本来100でも気にしない。

瑞貴の生存本能に関しての言葉ってどうなの？  
負け惜しみではなく、本当にそう考えての事です  
ハンデというのも否定しません。

原作、アニメオリジナルカード

サテライト・ベース

このカードはレベル5以下のモンスターとの戦闘では破壊されない  
自分のエンドフェイズ毎に、このカードの守備力は1000ポイントアップする

このカードの守備力は自分の場のモンスターが戦闘を行う時0に戻る  
相手が下級モンスター多数ならば凶悪な壁モンスター  
このモンスター自身が下級なので更に厄介かも……しれません。

チャージ

自分の場に存在するサテライト・キャノンの攻撃力は2000ポイントアップする

自分の場なら全てのサテライト・キャノンの攻撃力が上がります  
凄まじい専用カード……だが、それが良い。

デブリスレーション

自分の場に存在するサテライト・キャノンが戦闘で破壊された時に  
発動する事ができる

自分の場か手札からサテライト・キャノンを2体墓地へ送り  
サテライト・レーザー X06S バルサムを1体、融合デッキから  
攻撃表示で特殊召喚する（この特殊召喚は融合召喚扱いとする）

この効果で特殊召喚した時、サテライト・レーザー X06S バルサムの攻撃力は3000ポイントアップする

奇襲性、即効性は高いかと

すぐに攻撃力が3000にもなっていますし。

サテライト・レーザー X06S バルサム

サテライト・キャノン+サテライト・キャノン+サテライト・キャノン

このモンスターは融合召喚でしか特殊召喚できない

自分のエンドフェイズ毎にこのカードの攻撃力は3000ポイントアップする

このカードの攻撃力は攻撃を行うと再び0に戻る

このカードが守備表示モンスターを攻撃した時

その守備力を攻撃力が超えていればその数値だけ相手に戦闘ダメージを与える

毎ターン、エンドフェイズ時に攻撃力が3000にアップ

待てば6000、9000、12000と怖い事に

しかも貫通効果持ち、攻撃力6000のリミッター解除で1ターンキルも可能

……もしOCG化したらどんな悪用方が出てくるのか少し気になります。

ツイッター、世界樹の迷宮？を久しぶりにしてみた……超楽しい！  
<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
カースメーカー可愛いよカースメーカー、薄紫の髪に青白い肌、可愛すぎるから超虜辱する

ブシドー可愛いよブシドー、着物とか似合ってるし、可愛すぎるから……超アタッカー

……この作品で言うならカースメーカーはレイだと思うんだ、ブシドーは彰子

奪って弱化カースメーカー↓レイ、高攻撃紙守備ブシドー↓彰子  
ついでに防御逃げパラディン↓瑞貴、戦士族ソードマン↓明日香○  
rサイバー・ガールバード↓明日香

巫術巫女ドクトルマグス↓美寿知、Mペット↓雪乃、異端万物アル  
ケミスト↓ゆま

……うん、調子に乗った（特に雪乃）、反省はするが後悔はしない  
こんな感じで小説を少し書こうかと頭に浮かんでいるけど……大丈  
夫、多分しない。

## 142話【VS瑞貴 美寿知＋α編】（前書き）

「今日の最強カードは血の代償だ

ライフを500払う事でモンスターを通常召喚できる

ただし、自分のメインフェイズか相手のバトルフェイズ中だけだ

悪用方法は色々有るんだよな……このカード

1ターンキルのギミックにもなるし」

悪用方法を思いつく、制作者もそこまで気付いていなかったに違い  
無い

瑞貴だったらアニメキャラよりも悪用方法を使って悪用してくれる  
でしょう。

やっと一息吐けます……色々と終わりました

終わってから急いで執筆、もう疲れたよ……眠いし

これからは忙しいだけ、する事は減ったからここまで遅くならない  
はずです。

なんというか……お待たせしました

かなり遅くなってすみません

前回の後書きから、ゲームをしていたと思っている人は居ると思い  
ますが

残念ながら違います、そんな余裕も殆どありませんでした  
とにかく忙しかったので無理でした。

アンケートは次話投稿時に打ち切ります

その時、また別のアンケートをしようかなあ……と

まあ、簡単な事なので参加してくださると助かります



勿論、今しているアンケートに参加してくださいとまた嬉しい事です。

次回は……さすがにここまで遅くならないはずで

3日以内には更新しようと思います、断言はしませんが。

## 142話【VS瑞貴 美寿知＋α編】

視点 レイ

「さて、プレイヤーが入れ替わった  
これにより、バトルフェイズが終了する  
もつとも、俺のモンスターは既に全員攻撃していたがな」

全滅させたのに白々しい……  
絶対に態と言ったんだ、挑発の為に。

「だが、俺はまだ通常召喚をしていない」

あ……そういえばしていない！  
死者蘇生でサテライト・キャノンを復活させたただけだ！

「俺は守備表示のサテライト・キャノンを生け贄に捧げる  
光帝クライスを召喚」

黄色くて、光ってる戦士が出てきたんだけど……光帝？  
確か前、ボクと決闘した時に邪帝を使っデュエルてなかったっけ？  
光帝、邪帝……共通点は帝？

「光帝クライスの効果を発動  
召喚、特殊召喚に成功した時、場に存在するカードを2枚まで破壊  
できる」

無差別に破壊！？

モンスターも、魔法、罠なんでも破壊できるの!？  
そんなの強すぎるよ!

「邪魔だろ？」

兎角の残した伏せカード、羽鳶が残した冥界の宝札を破壊」

彰子さんの残していたカードは案の定、大噴火

ゆまさんの残していた冥界の宝札まで破壊されちゃった

これで、明日香さんと雪乃さんの場にカードは無くなった……

「そして、破壊されたカードのコントローラーは

破壊されたカードの数だけデッキからドロースる事ができる

元々の持ち主は前の2人だが……冥界の宝札は雪兎の、大噴火は明日香のコントロール下に有る

更にこのドロースは任意だ、ドロースしたくなければドロースなくても構わん」

ドロース効果って……便乗の効果が発動しちゃう!

どうするのかな?

また瑞貴さんの手札が補充されちゃうよ!

「……雪乃、ドロースするわよ

ドロースの効果は同時に行うはず、だったら便乗でドロースできる枚数は2×2の4枚じゃない

同時だから効果の発動は1回、瑞貴がドロースする枚数は2枚だけよ  
だったら片方がドロースしないのは明らかに損」

「そうですね」

「ドロースするなら便乗の効果で俺もドロースするぞ

最も、明日香が言ったように俺がドローできる枚数は2枚だがな」

「「ドロー!」」「ドロー」

全員が同時にドローする

どうでもいいけど、今のやり取りの間で何回ドローって言ったんだろう？

5回ぐらいは言ってる気がする。

「クライスのデメリット

召喚、特殊召喚したターンは攻撃する事ができない  
既にバトルフェイズを終了させている俺には関係無いがな」

だからクライスを召喚したんだ……厄介な!

攻撃力は2400だし、まだ倒せる強さだけど  
効果が厄介、また召喚されたらドローされるし!

「戦闘前に伏せていた2枚のカードを発動  
2枚共魔法カード、チャージだ」

「チャージですって!?!」

そんな……この状況でチャージ!

やっぱりさっき言っていた事も嘘だったんだ!

明日香さんの為に攻撃力を下げたのなんて!

「チャージの効果

自分の場に存在している全てのサテライト・キャノンの攻撃力を2  
000ポイントアップさせる

2枚発動したからな、攻撃力は4000だ

重力解除も無くなり、場も空いたな……カードを3枚伏せてターンエンドだ

そしてエンドフェイズ、サテライト・キャノンの攻撃力は1000ポイントアップ

更にサテライト・レーザーの攻撃力はエンドフェイズ時、3000ポイントアップする」

伏せカードがまた3枚……嫌になりそう

前回戦った時に使われたストレートフラッシュが使いたくなるなあ扱いが難しそうだから普段は欲しいとは思わないけど。

しかもサテライト・レーザー達の攻撃力が凄い

サテライト・レーザーの攻撃力だって3000も有るけど

それよりもサテライト・キャノンの攻撃力が5000にまで上がってる

どうやって倒せば……

「私のターン、ドロー！」

ディフェンドガイの効果が発動

相手のドローフェイズ時にディフェンドガイが守備表示で存在している時

スタンバイフェイズに相手はドローする、よって私はもう1枚ドローするわ」

「相手がドローフェイズ時以外にドローした

この瞬間、便乗の効果が発動する

俺は2枚ドローだ」

このドロースト、いつまで続くんだろう？

手札が3枚から5枚に増えてるし

誰でもいいから、早くあの便乗を破壊して！

「六武衆の露払いを召喚

更に自分の場に六武衆が存在している時、六武衆の師範を特殊召喚するわ！」

うわ……攻撃力1600と2100が一気に出てきたでも、瑞貴さんのモンスターには敵わない……

「露払いの効果を発動するわ

自身以外の六武衆が自分の場に存在している時

自分の場の六武衆を生け贄にする事で場のモンスターを1体破壊する露払い自身を生け贄に、ディフェンドガイを破壊！」

ミスト・ボディの効果でも、これは防げない！

着物みたいな感じの服を着た女の人、六武衆の露払いが刀を振る

その剣閃が飛び、ディフェンドガイに直撃……

「カウンター罠、銀神の方違いを発動する

自分のモンスターが相手モンスターの効果の対象となった時

その効果が無効にし、相手の効果を発動したモンスターを除外する最も、露払いは既に墓地へ送られているから除外はできないがな」

直撃せず、消滅する剣閃……か

か、カウンター罠だったんだ……危なかったあ

もし師範を生け贄にしていたら危険だったかも

師範は墓地へ送られ、露払いは除外されていたんだし。

それより、使ったカードの名前が銀神の方違い？

確か、美寿知さんが使うカードの名前みたい

という事はあのデッキ……美寿知さんのコピーデッキ？

だけど、かなり違う感じ

もしかして似てるカードを使っただけで違うのかな？

「……いきなりカウンター罠を使うなんてね  
仕方無い、カードを2枚伏せてターンエンドよ」

後続までは続かなかったんだ  
とにかくディフェンドガイを破壊したかったんだろうけど  
相変わらずなかなか上手くない。

「私のターン、ドロー！  
ディフェンドガイの効果でもう1枚ドローよ！」

「便乗の効果、俺は2枚ドローだ」

雪乃さんの手札も結構変だよ  
前のターンの最後には手札が3枚だったんだけど  
今では既に6枚……ディフェンドガイの効果が強すぎるんだよ  
良い意味でも、悪い意味でも……

「明日香先輩、モンスターを借ります  
墓地に存在するレベル・ステイラーの効果を発動！  
自分の場に存在するLV5以上のモンスターのLVを1下げる事で  
墓地から特殊召喚！

六武衆の師範のLVを5から4へ下げ、レベル・ステイラー特殊  
召喚！」

さっき話に出ていたモンスター

自己蘇生の効果を持ってるんだ……

上級モンスター、最上級モンスターがよく出る雪乃さんには合うカード

ご褒美って言ってたし、良いカードみたいで良かったね。

「レベル・ステイラー、師範を生け贄に捧げ、タイラント・ドラゴンを召喚！」

攻撃力2900の赤い体をしたドラゴン……強そう、というか普通に強い

ドラゴン族って、強力なのに召喚条件が少ないモンスターが多いし……まあ、最大の問題は凄く値段が高いって事かな？

「タイラント・ドラゴンで光帝クライスに攻撃！」

「永続罫、血の代償を発動

ライフを500払い、通常召喚を行う

ライフコストとしてライフを500払い、血の代償の効果を発動する」

このタイミングで血の代償！？ どうしてそんな事を！？

ライフを500払ったから瑞貴さんのライフは2700まで減った4人を相手にして、どうしてまだ1300しか減ってないんだろう？ しかも600は自爆特攻、500はライフコストだし。

「クライスを生け贄に捧げ、雷帝ザボルグを召喚」

また帝の名前が付いたモンスター

帝をコントロールしていくデッキかな？

ガイウスは除外、クライスは破壊、ならザボルグの効果は？



「ザボルグの効果を発動

このモンスターが生け贄召喚に成功した時  
場に存在するモンスターを1体……破壊する」

「モンスター破壊効果ですって!？」

「破壊するモンスターは分かっているだろう？」

ザボルグの効果により、タイラント・ドラゴンを破壊する」

ザボルグの放った雷……というか電撃？

が、タイラント・ドラゴンに直撃、破壊される  
これが帝と名の付くモンスターの力……

「帝達の実力はどうか？」

このデッキには8帝が入っている

お前らは残り6帝を引っ張りだせるかな？」

8帝……ボクの知る限りの1体は邪帝

雷帝、光帝、邪帝……属性？

でも、属性だったら6帝のはずだし……あれ？

雷帝も光帝も光属性だから違う？

もう訳が解らないよ!

「クッ……なら魔法カード、デュアルサモン二重召喚を発動!

このターン、もう1度通常召喚を行う事ができる!

更に魔法カード、スター・ブラストを発動!

ライフを500の倍数払い、手札か場のモンスターを1体選択

その選択したモンスターのLVを払った倍数分、エンドフェイズま

でダウンさせる！

ライフを500支払い、手札の天空騎士<sup>エンジェルナイト</sup>パーシアスのLVを4に下げ、守備表示で召喚！」

スター・ブラスト……知らないカード

あれも、ご褒美のカードなのかな？

ライフコストはちょっと痛いけど、最上級モンスターも生け贄無しで召喚できる

上級、最上級モンスターが多い雪乃さんのデッキ事故が減りそうだね。

でも……後半に使ったり先に事故を起こしたら使えなさそうライフが少なかったら発動できないし。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

壁モンスターを出した雪乃さんだけど……

攻撃力5000のサテライト・キャノンが2体

攻撃力3000のサテライト・レーザー……しかも貫通効果持ち

こんなモンスター達が居て、守りきれるの！？

「俺のターン、ドロー

……サテライト・キャノン達はやり過ぎたかな？

しかも、パーシアスの守備力は1400か……

サテライト・レーザーの貫通攻撃をしても、与えられるダメージは1600

雪兎のライフは2000、サテライト・レーザーだけでは潰しきれないっ」と

あ、危なすぎる！

多分、サテライト・キャノンの攻撃力を下げる為なんだろうけどだからってそれは厳しいんじゃないの？

「まあ構わん

ザボルグを生け贄に、炎帝テスタロスを召喚

テスタロスの効果、相手の手札をランダムに1枚捨てる

そして捨てたカードがモンスターカードだった場合

捨てたモンスターのLV×100ポイントのダメージを相手に与える」

新しい帝モンスター！？

攻撃力は相変わらず2400だけど、効果が全員違う

そして今回は炎属性……火霊術「紅」とか使わないよね？

「俺が選択する相手は雪兎

もし……この手札破壊の効果で捨てさせたカードがモンスターであり

更にLVが4以上だった場合、400ポイントのダメージが確定

サテライト・レーザーでパシアスに攻撃し、貫通効果ダメージで1600のダメージ

残りライフが2000の雪兎では耐えきれない……よって、雪兎の

脱落が決定する

お前の手札は1枚、その1枚を捨ててもらおうか？」

モンスターじゃありませんように、モンスターじゃありませんように！

モンスターだったら多分、アウト

だって下級モンスターだったらスター・ブラストなんて使わないだろうし。

「……私が捨てたカードはモンスターカードよ」

モンスター！？

という事は雪乃さんのライフは……

「だけど、捨てたモンスターは魂を削る死霊

このモンスターのLVは3、よって受けるダメージは300よ！」

「チッ……生き長らえたという事か

しかも召喚するモンスターは半分正解かよ」

どうして半分なんだろう？

魂を削る死霊だったら戦闘破壊されないのに……あ

例え戦闘破壊されなくても貫通効果で大ダメージを受けるんだった  
もしその後も貫通効果を連続されていたら……ボクが危なかった！？

「仕方無い……今回は諦めか

バトルフェイズ、テストロスでパーシアスに攻撃」

テストロスは手から炎を発生させ、パーシアスに放つ

パーシアスは簡単に燃やされ、破壊される

明日香さんと雪乃さんの場にモンスターは居ない、これは……相当  
拙いかも！

「サテライト・キャノン、明日香に直接攻撃をしろ」  
ダイレクトアタック

「そうはさせない！

永続罠、メタル・リフレクト・スライムを発動！

このカードは発動後、モンスターカードとなって守備表示で特殊召  
喚される！」

やった！ 雪乃さんが壁モンスターの召喚に成功した！  
でも、守備力が3000なだけの壁モンスター……サテライト・キャノンには勝てない！

「……粘るな

サテライト・キャノン、メタル・リフレクト・スライムを撃ち抜け」

瑞貴さんの言葉が終わると同時に銀色の体を撃ち抜かれるメタル・リフレクト・スライム  
でも、これでサテライト・キャノンの攻撃力が下がる！

「攻撃後、サテライト・キャノンの攻撃力は0となる  
サテライト・キャノン2号機、明日香に直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「私だってまだまだ終わらないわ！  
罠カード、六武衆推参！を発動！  
自分の墓地に存在する六武衆を特殊召喚する！  
出てきなさい、師範！」

お爺さんが現れ、壁と……なっていない！？  
攻撃表示で出てきて、どうしてそんな事を！？

「……攻撃の続行  
サテライト・キャノンで師範に攻撃」

「まだまだ、罠カード、六武派二刀流を発動！  
自分の場に六武衆が1体だけしか存在せず、その六武衆が攻撃表示の時にのみ発動できる  
相手の場に存在するカードを2枚まで選択し、手札に戻す！  
私が選択するのはディフェンドガイ！ と、言いたいんだけど、そ

うすると負ける

だから、私が手札に戻すカードは今現在攻撃しているサテライト・キャノンとサテライト・レーザーよ！」

「サテライト・キャノンは前のデッキのモンスター

故に、今の俺の手札には入らない……サテライト・レーザーは元々融合モンスターだから手札には戻らない

ったく、何だかんだでキツチリと対策は立てているという事か」

あ、危なかった……

もし今の六武派二刀流が無かったら連続攻撃されて終わってたサテライト・レーザーとサテライト・キャノン……怖すぎる。

でも、残ってるのは攻撃力0のサテライト・キャノンだけ

エンドフェイズに攻撃力が1000上がったも、まだまだ弱い次の明日香さん達のターンで大ダメージだ！

「血の代償の効果を発動

ライフを500支払い、サテライト・キャノンを生け贄に捧げる闇帝ディグルを召喚」

新しい帝、ディグル

また召喚した時に効果が有るんだろうなあ……

「ディグルの効果を発動

召喚、特殊召喚に成功した時、相手の墓地のカードを2枚まで除外できる

そして除外した枚数分、相手のデッキからカードを墓地へ送る

明日香の墓地から六武衆の露払いを、雪兎の墓地からガトリング・ドラゴンを除外してもらおうか？

その後、デッキの上からカードをそれぞれ1枚墓地へ送れ」

2人は墓地からカードを取り出し、デッキからカードを墓地へ送る微妙に意味が無いような気もしないでも無いけど……

「（六武衆―ニサシ……）」 「（ギルフォード・ザ・ライトニング……まあ、まだマシね）」

明日香さんが落ち込んでる、どうしたんだろう？  
もしかして良いカードが墓地へ送られたのかな？

「ディグルは召喚、特殊召喚されたターンに攻撃できない  
既にバトルフェイズを終えているから関係無いがな  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

光帝もだけど、闇帝も攻撃できないんだ  
邪帝と雷帝は攻撃できたのに  
何が違うんだろう？

「私のターン、ドロー！  
ディフェンドガイの効果で、もう1枚ドロー！」

「便乗の効果、2枚ドロー」

もう何を言う気にもなれないや  
いい加減にしてって感じかも。

「場に、真六武衆―キザン以外の六武衆が存在している時  
真六武衆―キザンを特殊召喚できる！  
よって、手札のキザンを特殊召喚！」

黒髪で黒い鎧を着た男の人

相変わらず刀とか持って、強そうかも

……能力値は攻撃力1800だから強いのか分らないけど。

「更に六武衆―ヤリザを召喚！

キザンの効果、場に自身以外の六武衆が2体以上存在している時

キザンの攻撃力が300ポイントアップする！

そして場に六武衆が2体以上存在しているので、大將軍 紫炎を特殊召喚！」

うわぁ……モンスターが1体から4体まで増えた

六武衆って展開力が凄いなぁ

瑞貴さんもD－HEROで凄かったけど。

「魔法カード、六武式三段衝を発動！

場に六武衆が3体以上存在している時にのみ発動可能

相手の表側表示のモンスターを全て破壊する

相手の表側表示の魔法、罠カードを全て破壊する

相手の裏側表示の魔法、罠カードを全て破壊する

この3つのどれかを選択し、効果を発動できるわ！」

やった！ どれを選んでも凄く効果的だよ！

ディフェンドガイは邪魔だけど、それよりも更に便乗が邪魔だし！

これで瑞貴さんの連続ドロ―も防げる！

「私が選択するのは表側表示の魔法、罠カードを全て破壊する効果便乗、ミスト・ボディ、血の代償、ついでにダーク・シティを破壊するわ！」



「ふ……そう簡単に許すと思うか？

罨カード、偽物のわなを発動する

相手が自分の罨カードを破壊するモンスター効果、魔法、罨を発動した時

このカードが代わりに破壊され、罨カードは破壊されなくなる

ミスト・ボディとダーク・シティは破壊されるが、便乗と血の代償は破壊から免れる」

また使い所の難しいカードを……時々そういう微妙なカードを使うよね？

どうしてそんなカードを使うんだろう？

瑞貴さんは魔法、罨カードを主体にしてるから仕方無いのかな？

「また……いい加減に便乗を破壊させなさいよ！

仕方無いわね、バトルよ！

紫炎でディグルに攻撃！」

紫炎の持つ刀で真つ二つに切られるディグル

100ポイントのダメージだけど、まだ瑞貴さんのライフは2100も残ってる

これだけしてまだ半分もライフを削られていないなんて……やっぱり守りが固すぎるのかな？

「残りのモンスターではテストロスにも、当然ディフェンドガイにも勝てない

だけど、ヤリザの効果を発動するわ

ヤリザは自分の場に自身以外の六武衆が存在している時  
相手プレイヤーに直接攻撃ができる……ヤリザで直接攻撃！」

ヤリザが槍を構え、瑞貴さんに特攻する

攻撃は直撃、これで1000ポイントのダメージ！  
残りライフは1100まで減ったよ！

「チッ……鬱陶しい」

よし、次のターンで勝てるかもしれない！  
問題は残っている伏せカードが分からない事  
最後に余っている、あの1枚は何だろう？

「カードを2枚伏せて、ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

ディフェンドガイの効果で、もう1枚ドロー！」

「便乗の効果で、再び2枚ドローだ」

瑞貴さんの手札は7枚

また新しい帝が手札に来ていてもおかしくない  
もしかしたら拙い状況かも……

「……魔法カード、強欲な壺を発動  
デッキから更に2枚のカードをドローするわ」

「なら、便乗の効果も発動する  
2枚ドローだ」

手札が9枚……こ、怖すぎる！  
何をしてくるのか、凄く気になるし！

「大將軍 紫炎のLVを1下げ、墓地のレベル・ステイラーを特

殊召喚！

レベル・ステイラーを生け贄に、ブローバック・ドラゴンを召喚！  
そしてブローバック・ドラゴンの効果を発動！  
1ターンに1度、コイントスを行う事ができる  
3回コイントスを行い、2回以上表が出た場合、相手の場のカード  
を1枚破壊できる」

ま、またコイントス？  
成功するのかなあ……

「ブローバック・ドラゴンの効果対象は便乗！  
コイントス1回目……裏、2回目……裏  
既に失敗しているけど最後………裏」

全員が沈黙

雪乃さん、どうしてそんなに運が無いの？  
ボク、ちよつと信じられないんだけど。

「クッ……ば、バトルよ！  
紫炎でテストロスに攻撃！」

帝を再び叩き切る紫炎

これで瑞貴さんのライフは残り1000  
ダイレクトアタック  
ヤリザの直接攻撃で勝てる！

「速攻魔法、リベンジ・サクリファイスを発動  
自分のモンスターが戦闘で破壊された時  
その破壊したモンスターを生け贄に、LV5かLV6のモンスター  
を特殊召喚する

紫炎を生け贄に捧げ、もう1体……光帝クライスを特殊召喚」

そ、そんな召喚有り!?

相手のモンスターを直接生け贄にするだなんて……  
しかも光帝って事は効果は確か……って、拙いんじゃない!

「クライスの効果を発動

召喚、特殊召喚に成功した時

場のカードを2枚まで破壊し、破壊したカードのコントローラーは破壊されたカードの枚数分だけドロージても良い

ブローバック・ドラゴンとヤリザを破壊する

さあ明日香、雪兎、ドロージたければドロージろ」

「……私はドロージするわ、ドロージ!」 「なら私もドロージよ!」

「便乗の効果だ、俺も2枚ドロージ  
さて、クライスの攻撃力は2400、キザンや師範では勝てないぞ  
?」

キザンの攻撃力は自身以外の六武衆が2体以上居て、やっと攻撃力が2100

今、場に残っているのは師範だけ……だから攻撃力は1800だね。

「仕方無いわね

キザンと師範を守備表示に変更するわ

更に師範のLVを1下げ、墓地のレベル・ステイラーを守備表示で特殊召喚

カードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

瑞貴さんの手札は10枚

ライフは1000か……血の代償は1回しか使えないから大丈夫か

な？

「俺のターン、ドロー

魔法カード、死者転生を発動

手札を1枚捨て、墓地のディグルを手札に加える

更に今捨てた、グローアップ・バルブの効果を発動

デッキトップを墓地へ送り、このモンスターを墓地より特殊召喚する  
グローアップ・バルブを生け贄に、ディグルを召喚し、効果を発動  
召喚、特殊召喚に成功した時、相手の墓地のカードを2枚まで除外  
できる

明日香の墓地に存在している紫炎と、ヤリザを除外してもらおうか？  
そして、除外したカードの枚数だけ、相手のデッキを上から墓地へ  
送る」

「（六武の門に、紫炎の道場が！  
次のターンに2枚共手札に来たのに……）」

うわぁ……明日香さんの凄く悔しそうな顔  
そんなに良いカードが墓地に送られたのかな？

「速攻魔法、神秘の中華鍋を発動

自分のモンスターを1体生け贄に捧げる

そしてその攻撃力、または守備力分のライフを回復

ディグルを生け贄に、その攻撃力である2400のライフを回復」

今召喚したばかりなのに！？

しかもライフが3400にまで回復しちゃった！  
せっかく1000まで削ったのに……

「ディグルは召喚、特殊召喚されたターンは攻撃できないからな

ジェスター・コンフィを特殊召喚

このモンスターは特に条件も無く特殊召喚できるのでな  
血の代償の効果を発動、ライフを500払う

ジェスター・コンフィを生け贄に、氷帝メビウスを召喚

メビウスの効果、メビウスの生け贄召喚に成功した時

場に存在する魔法、罠カードを2枚まで破壊できる

明日香、お前の伏せている2枚のカードを破壊してもらおうか？」

「また私？」

（神速の具足に、紫炎の計略が……）」

明日香さん、狙われてるね

やっぱり六武衆ってモンスターが厄介なのかな？

「グローアップ・バルブの効果で墓地へ送られたレベル・ステイラーの効果を発動

自分の場に存在するLV5以上のモンスターのLVを1下げ、墓地から特殊召喚できる

メビウスのLVを1下げ、墓地のレベル・ステイラーを特殊召喚  
血の代償の効果、ライフを500払って発動

レベル・ステイラーを生け贄に、地帝グランマーグを召喚

グランマーグの効果、生け贄召喚に成功した時、セットされている  
カードを1枚破壊できる

雪兎の伏せているカードを破壊だ」

破壊されたのはリビングデッドの呼び声

リボルバー・ドラゴンでも蘇生させようとしたのかな？

それにしても、今度は氷帝と地帝

光帝、邪帝、闇帝、炎帝、雷帝、氷帝、地帝

この調子だと風帝とか居そうだけど……やっぱり出てくるのかな？

「メビウスのLVを1下げ、レベル・スティーラーを特殊召喚再びライフを500払い、血の代償の効果を使用する

レベル・スティーラー、メビウスを生け贄に捧げる

闇の神―ダークゴッドを召喚する」

ダークゴッド！？

確かそのモンスターは美寿知さんが使っていたモンスター！

という事はやっぱりそのデッキは美寿知さんの……あれ？

でも、美寿知さんって帝なんてモンスター使ってなかったよね？

じゃあ、あのデッキは誰のデッキなんだろう？

「瑞貴、そのモンスターは美寿知の使っていたモンスターよね？

さっきから気になっていたんだけど、そのデッキって誰のコピーデッキなの？」

ボクが訊く前に明日香さんが先に訊いた

美寿知さんだと思うんだけど、やっぱりかなり違うしなあ。

「美寿知のコピー……だったんだが

あいつはこいつら帝モンスターも持っていてな

そいつを加えた半コピーぐらいのデッキだ」

美寿知さんが持っていたカードだったんだ

それで合わせて……それにしても、上級モンスターが多すぎない？  
どうして事故を起こさないんだろう？

「続けるぞ？

魔法カード、テラ・フォーミングを発動

デッキからフィールド魔法を1枚、手札に加える

俺が手札に加えるカードは……明日香、予想ぐらいできるだろう？」

美寿知さんのコピーデッキ、そして闇の神―ダークゴッド

この組み合わせのカードといえはやっぱり……

「……無限の降魔鏡ね」

「正解、デッキよりフィールド魔法、無限の降魔鏡を手札に加える  
そしてそのまま、無限の降魔鏡を発動」

辺りが暗くなり、鏡を持った黒い影が四方に浮かんでいる  
この後に起こる事は確か……

「無限の降魔鏡の効果

自分の場に闇の神―ダークゴッドが存在し、自分のモンスターゾーンに空きが有る時

その空いているモンスターゾーンにダークゴッド・トークンを特殊  
召喚する」

出てくるダークゴッド・トークン

攻撃力は3000……なんて厄介なんだろう

明日香さんなんて、前に美寿知さんに負けたからかなり睨んでる  
なんというか……よっぽど悔しかったんだろうなあ。

「ダークゴッドの効果

このモンスターは相手プレイヤーに直接攻撃ができない

更に、ダークゴッド・トークンはダークゴッドと全く同じ能力と効果  
を持っている

つまり、ダークゴッド・トークンも直接攻撃ができない」



ダイレクトアタック  
「直接攻撃ができない攻撃力3000？  
あまり怖く感じないわね」

雪乃さん、それが甘いんだよ  
どうにかする方法なんて、いくらでも有るんだから  
例えば、メテオストライクを装備させて貫通効果を付与させるとかね。

「永続魔法、フィールドバリアを発動  
このカードが存在している限り、新たなフィールド魔法を発動する  
事はできない  
更に、フィールド魔法を破壊する事もできなくなる」

という事は……ダークゴッドをなんとか破壊しないと駄目って事かな  
フィールドバリアを破壊して、フィールド魔法を破壊する  
2回も破壊する上、それでもダークゴッドも残るんだし  
だったらダークゴッドを倒した方が早いよね。

「バトルフェイズ  
まずはダークゴッド・トークンで師範に攻撃」

ダークゴッド・トークンの目から黒いビームが撃たれる  
黒い光は師範に直撃し、爆発  
師範の表示形式は守備表示なんだけど……

「ダークゴッド、及びダークゴッド・トークンの効果  
相手モンスターを戦闘破壊した時、相手に700ポイントのダメージを与える」

「またこの効果を……」

明日香さんのライフは減ってなかったから3300まで減る  
もう1回効果を受けたら残りライフは2600  
帝の直接攻撃を、1度は耐えられる……ギリギリでだけど  
もしディフェンドガイで攻撃されていたら残りライフが100まで  
減っていたね。

「ダークゴッド、キザンに攻撃しろ  
グランマーズはレベル・ステイラーに攻撃」

黒い光を受けて破壊されるキザン  
グランマーズの拳に叩き潰されるレベル・ステイラー  
これで明日香さんと雪乃さんの場は何も無くなった……

あ、雪乃さんのライフは残り1700  
クライスの攻撃を受けたらライフが0になっちゃう！

「クライス、明日香に直接攻撃しろ」  
ダイレクトアタック

「私!？」

クライスは腕を振り上げ、明日香さんを殴る  
ソリッドビジョンだから実際に当たるわけじゃないけど……  
勢いが凄くて明日香さんが吹っ飛んだような気がした、吹っ飛んで  
ないけど。

これで明日香さんのライフは残り200  
なんとか生き残ってるけど……本当にギリギリ過ぎる！

「た、耐えきったわよ」

「お疲れだったな

速攻魔法、速攻召喚を発動

再び、モンスターを通常召喚できるようになる速攻魔法だ

クライスを生け贄に捧げ、炎帝テストタロス<sup>炎帝</sup>を召喚

テストタロスの効果、生け贄召喚に成功した時

相手の手札を1枚ランダムに捨てる

そのカードがモンスターだった場合、そのLV×100のダメージを与える

雪兎、お前の左のカードを捨ててもらおうか？」

「……モンスター、LV8の創世神<sup>ザ・クリエーター</sup>

よって、私は800ポイントのダメージを受けるわ」

す、凄い……手札11枚を全部使い切って0枚にした  
もう全部、本当に強引に使っちゃったよ。

「邪帝と風帝は出てこなかったな

8帝中、召喚できたのは6帝か……残念だ

テストタロス、明日香に直接攻撃だ<sup>ダイレクトアタック</sup>」

「また私!？」

ここは雪乃じゃないの!？」

ちょ、ちょっと待っきゃああ!」

テストタロスが手の中に炎を出して、明日香さんに撃ち出した

明日香さんに直撃、明日香さんのライフが0に……2200のオーバーキル

ライフ4000だったのに、1ターンで6200のダメージを与え

るなんて。

「お前が残ると後々面倒なんだよ  
何より、六武衆なんて疲れる相手を残すメリットは無いな  
雪兎は事故率が高いからまだ楽な相手だし」

また挑発？

雪乃さん、怒ってるよ？

自分は役者不足なのかって感じで。

明日香さん、落ち込んでるなあ

またダークゴッドの効果のせいで負けたんだし。

「やっと……」

明日香さん、今何か言った？

「やっと、六武衆でマシな戦いができたわ  
マナの時はロックされたし、他の相手は弱すぎるし  
まともに戦闘して、破壊されて、攻撃して攻撃されて  
そして普通にライフを0にされた……」

「あの、明日香さん？」

「ロックされたり、アンチされたり、一方的に勝てたり  
みんなみんな弱かったり、楽だったり、1ターンキルができたり  
本当に……ようやく普通に終わったわ」

今の決闘、<sup>デュエル</sup>普通だった？

明らかに普通じゃなかったような気がするんだけど

アレが普通って、今までそのデッキを使ってどんな戦いだっただの？

「……まあ、六武衆の展開力だったらそうかもなさて、次の相手は小娘、お前だったな」

「あ、うん」

前に出て行き、デッキをセットする

なんだか嬉しそうにしている明日香さんは無視  
そして彰子さんとゆまさんに全部押し付ける。

「レイちゃん！

あの明日香先輩を置いて行かないで！」

聞こえない聞こえない

彰子さんの助けを呼ぶ声なんて聞こえない  
大事な事なので3回言いました。

「……良いのか？」

「うん、良いの」

「そうか……始めるか？」

頷き、構える

瑞貴さんも新しいデッキを装着し、構える。

「「決闘<sup>デュエル</sup>！」」

「ちょ、私達を無視しないでーーーーー！」

聞こえないっしたら聞こえない。

## 142話【VS瑞貴 美寿知＋α編】（後書き）

瑞貴のデッキってどうなってるの？

殆ど帝コントロールという感じです

そこに一部、美寿知の使用したカードが入っています

ただし、右京や左京、名由多に阿僧祇は入っていません  
当然ながらそのサポートカードもです。

帝が全部入ってるの？

遊び心から全て入っています

雷帝、氷帝、炎帝、地帝、風帝、邪帝、光帝、闇帝

しかし、今回は邪帝と風帝が未登場

……風帝、今まで出てきましたっけ？

枚数に関しては想像にお任せします。

また雪乃のコイントスが……

作者の運が乗り移ったようです

再び実際に全て外しました

ここまで外すと作者のリアルラック数値が予想できそうです

ついでに、その後も10回ぐらいコイントスをしましたが、表の回数  
数は2回でした。

どうしてリベンジ・サクリファイスを明日香のターンで発動しな  
かったの？

紫炎が居たので

紫炎が存在している時、相手は1ターンに1度しか魔法、罠カード  
を使用できません

既に偽物のわなを発動しているので諦めました。

いつまでディフェンドガイや便乗が残ってるんだか……  
いつまででしょうね？

本当にしぶといカード達です。

原作、アニメオリジナルカード

リベンジ・サクリファイス

自分のモンスターが戦闘で破壊された時に発動

自分のモンスターを戦闘で破壊したモンスターを生け贄に捧げ

自分の手札からLV5以上のモンスター1体を表側表示で特殊召喚  
する

実際のアニメ効果ではLV5以上LV6以下という制限が有ったかは不明

しかし、相手モンスターを生け贄に捧げてLV7以上ができるのは  
反則過ぎると思います

そういう訳なので、LV5、LV6という制限にしておきました。

銀神の方違い

相手の効果モンスターが自分フィールド上のモンスター1体を対象  
にした効果を発動させた時に発動できる

その効果が無効にし、そのモンスターをゲームから除外する

対象効果を持つモンスター限定の、ノーコストの天罰+除外

少し条件が難しいのですが、除外なので強力な効果……ですかね？

ツイッター、頭が痛い……

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
車に弱くて酔っている作者です……吐きたい。



### 143話【VS瑞貴 斎王編】（前書き）

「今日の最弱カードはレプティレス・メデューサ

攻撃力は2200、守備力は800、閥属性の爬虫類族

手札を1枚捨てる事で、相手の場に存在するモンスターの攻撃力を0にするぞ

しかも、表示形式の変更もできないから凶悪な効果だ」

誤字に非ず、十代でした

今回は最弱……実際は強いんでしょうがね。

今回もアニメオリジナルカード多数です

効果は最後に書いているので、それを参考にどうぞ。

今回で連戦は終了です、更に問題も終了します

多くの方が参加してくださり、ありがとうございます

そして新しくアンケートを……参加してくださると嬉しいです。

えー……次回はまた時間が空きます

多分、次の投稿は水曜ぐらいになるかもしれませんが

少し……時間が取れないので。

## 143話【VS瑞貴 斎王編】

視点 明日香

っと、あんまり馬鹿な事をしてられないわね

残っているのはレイと雪乃

雪乃のライフは残り900、瑞貴のライフは残り1900

さて……この後はどうなるのかしら？

「バトルフェイズの終了

メインフェイズ2に移行して魔法カード、ペンタクル・オブ・エースを発動

コイントスを行い、正位置……つまり表ならば自分は1枚ドロし、ライフを500回復する

逆位置……つまり裏ならば相手は1枚ドロし、ライフを500回復する」

それってつまり、瑞貴は必ずドロできるという事ね

便乗の効果が有るから、ライフを与える事になっても2枚ドロ  
ダークゴッドや帝も居るし、裏が出た方が好都合かしら？

「ペンタクルのAのカード……タロットでのこのカードの意味

それは将来への可能性や物理面での成功を意味する

将来への可能性が大きく開け、成功につながっていく事

物理面での成功を表すカードと言えるだろうな

確実に成功への道を歩んでおり、成功が直に訪れるだろう

しかしこれもこれまでの努力の結果だ……正位置逆位置で今までの行動が分かるな」

そこまで言い、瑞貴はコイントスを行う  
またこんな事の意味まで知って……

しかもコイントスに正位置、逆位置という事は斎王のデッキかしら？

「コイントスの結果は表

これまで続けてきた努力が次第に実を結び始め、将来に繋がる安定した基盤を築いていく事を表している

意味は繁栄、成功、完成、成就、達成、満足、幸福、財産、安定した基盤、将来への可能性

俺はカードの発動に成功し、正位置への達成、ライフ回復という名の幸福にドローという財産を得る」

うわぁ……また妙に詳しいわね

占い師になってやっていけるんじゃない？

しかもライフが回復し、2400へ

血の代償1回分のライフを回復されたわね。

「更に速攻魔法、神秘の中華鍋を発動

自分の場のモンスターを生け贄に、そのモンスターの攻撃力か守備力分のライフを回復する

ダークゴッド・トークンを生け贄に、攻撃力分である3000ポイントのライフを回復」

3000もの回復ですって！？

これで瑞貴のライフが5400まで増えた！

「カードを2枚伏せて、ターンエンド

エンドフェイズ時、闇の神―ダークゴッドが自分の場に存在してい

る時

無限の降魔鏡の効果で空いているモンスターゾーンにダークゴッド・トークンが特殊召喚される」

ひ、酷いわね

そんな手段でライフを大幅回復するだなんて  
しかもまたトークンが出てきたし。

「ボクのターン、ドロー！」

ディフェンドガイの効果で、もう1枚ドロー！」

「便乗の効果だ

俺は2枚ドローする」

ディフェンドガイが守備表示で存在している限り、相手はスタンバイフェイズに1枚ドローする

そして、便乗は相手がドローフェイズ以外でドローした時、自分は2枚ドローする

最初からずっと使われているけど、いい加減にどうにかできないかしら？

それにしてもキついわね

瑞貴の場には攻撃力2400のグランマークとテストロス

攻撃力3000のダークゴッドにそのトークン

守備力2700のディフェンドガイ……場にカードが無い状態では辛いわ。

「魔法カード、スネーク・レインを発動！」

手札を1枚捨て、デッキから爬虫類族モンスターを4体墓地へ送る  
ボクが墓地へ送るのは毒蛇王ヴェノミノン、レプティレス・バイパー

レプティレス・ヴァースキ、レプティレス・メデューサの4枚を墓地へ送るよ!」

レプティレス?

初めて来た時は恋する乙女を使ったデッキ  
学園祭からはデス・ガーディウスとか大邪神レシェフを使っていたわね

今回は新しいレプティレスってモンスターのデッキみたいね。

「魔法カード、悪夢再びを発動!

自分の墓地に存在している守備力が0の闇属性モンスターを2体手札に加える

墓地からレプティレス・ヴァースキ、レプティレス・バイパーを手札に加えるよ!

次に魔法カード、ダーク・バーストを発動!

墓地に存在する攻撃力1500以下の闇属性モンスターを1枚手札に加える

この効果で攻撃力0の毒蛇王ヴェノミノンを手札に加える!」

手札の半分は公開された情報になったけど

それでも欲しいカードを大量に手札に加えられたわね  
一気にモンスターが増えたし……さすがに凄いわ。

「続いて魔法カード、レプティレス・スポーンを発動!

墓地に存在しているレプティレスと名の付くモンスターを除外  
そして自分の場にレプティレストークンを2体特殊召喚する!

ボクは墓地のレプティレス・メデューサを除外して、トークンを特殊召喚!」

暗い緑の爬虫類族モンスターが2体現れた

トークンが2体にレイの手札には多分、上級モンスター  
となるとやっぱり生け贄かしら？

「攻撃力0のレプティレストークンを2体を生け贄に、レプティレス・ヴァースキを特殊召喚！」

このモンスターは攻撃力0のモンスターを生け贄に捧げた時のみ特殊召喚できる

そしてレプティレス・ヴァースキの効果を発動！

1ターンに1度、相手の場に存在するモンスターを破壊できる！

確かダークゴッドは戦闘で破壊できなかったから……でもディフェンドガイも邪魔だし

うーん……攻撃力も高いし、ダークゴッドを破壊！」

素直に破壊されるダークゴッド

そしてダークゴッドが居なくなったからダークゴッド・トークンも破壊される

無限の降魔鏡……ライフを回復する以外に殆ど無意味だったわね。

「罨カード、エース・オブ・ワンドを発動

コイントスを1回行い、それが正位置か逆位置かにより効果を発動する

正位置の場合、戦闘以外の効果で破壊されたモンスターの攻撃力分だけコントローラーのライフを回復する

逆位置の場合、その攻撃力分だけコントローラーにダメージを与える

ダークゴッドの攻撃力は3000……回復にしてもダメージにしても大きい数字だな」

大きすぎるわよ！

何よ、その賭け事みたいなデッキは！

瑞貴らしくないわよ！

……コピー元のデッキ上仕方無い事だけど！

「ワンドのAのカード……タロットでこのカードの意味  
状況の始まりと芽生えを意味し、新しい良い状況の始まりや良い関  
係の誕生を表す

新たな感情の芽生えなどを意味していると言えるだろう  
始まりや第一歩は前向きな気持ちと期待を持って、積極的に踏み出  
せるかな？」

やっぱり知ってるし、解説もするのね

正位置と逆位置の意味はどんなのかしら？

そしてコイントス……結果は再び表ね。

「コイントスの結果は表

新しい状況の始まりを迎え、可能性や期待が広がり、気持ちも積極  
的に変化していく過程を表す

意味は出発、開始、誕生、創造、発見、躍進、第一歩、可能性、芽  
生え

破壊にて出発し、コイントスの開始、ライフの創造から躍進、勝利  
への可能性と芽生え

ダークゴッドの攻撃力分、俺のライフは回復する」

瑞貴のライフが8400にまで……元の倍以上になってるじゃない！  
こんなライフ、どうやって削るのよ！

「ぐぬぬ……レプティレス・ゴルゴーンを召喚！

装備魔法、モルティング・エスケープをゴルゴーンに装備！

モルティング・エスケープは爬虫類族モンスターにのみ装備可能

このカードを装備したモンスターは1ターンに1度、戦闘では破壊  
できない！

そして、戦闘破壊を免れたダメージステップ終了時、攻撃力を300ポイントアップさせるよ!」

だったらどうしてヴァースキに装備させなかったのかしら?

攻撃力が上がるんだし……って、戦闘破壊耐性を使わないと攻撃力が上がらないのね

それに、基本的に戦闘耐性は攻撃力の低いモンスターにする事だったわね

六武衆だと御霊代なんだけど……攻撃力を上げたりドロウ効果の為に装備させる事が多いのよね。

「ヴァースキでテストロスに攻撃!」

ヴァースキがテストロスを……食べた?

しかも丸呑み……さ、さすが蛇といった所かしら?

なかなか豪快な食べ方ね、テストロスは食べ物じゃないと思うけど。

何にせよ、瑞貴に200ポイントのダメージね

まだまだ瑞貴のライフは多いけど、少しでも削れたから良いかしら?

「更に、ゴルゴーンでグランマーズに攻撃!」

攻撃!?

グランマーズの攻撃力は2400、ゴルゴーンの攻撃力は1400  
どうやっても勝てないのよ!

グランマーズがゴルゴーンを殴り飛ばす

ゴルゴーンは殴られ、吹き飛ばされながらもグランマーズに目から光線を撃って反撃

全く効果が無さそうなんだけど……



「モルティング・エスケープの効果  
装備モンスターは1ターンに1度、戦闘では破壊されない  
そして、戦闘後に攻撃力を300ポイントアップさせる」

攻撃力を上げる為にしたの？

たった300の為にそれは危険よ

他の手段は無かったのかしら？

「そしてゴルゴンの効果

このモンスターが攻撃を行ったダメージ計算後

ゴルゴンと戦闘を行ったモンスターの攻撃力は0になる

しかも、表示形式の変更もできないよ」

なるほど、自分がダメージを受けてでも

少しでも多くの戦闘ダメージを与えようという事ね

瑞貴のライフは8200、少しぐらいリスクを冒さないと辛いライフ

量ね。

そしてグランマーグは石となった

ゴルゴン……もしかしてゴーゴンの事かしら？

あまり覚えてないけど、神話で石化の怪物が居たような……

「ボクはこれでターンエンドだよ

雪乃さん、できるだけ高い攻撃力のモンスターをお願い」

「もう私のデッキにそんなモンスターは少ないんだけど……

私のターン、ドロー！

ディフェンドガイが守備表示なので、もう1枚ドローよ！」

「便乗の効果だ、俺は2枚ドロ」

瑞貴の手札が6枚にまで……

もし便乗を最初に破壊しておけばここまで苦戦しなかったんじゃないかしら？

それぐらい手札の消費が激しいのだし。

「やった……堅守先輩、これを使わせてもらうわ

魔法カード、オーバーロード・フュージョンを発動！

自分の場、または墓地から決められたモンスターを除外し、融合させるわ

ただし、融合召喚できるのは闇属性の機械族モンスターのみという縛りは有るけど

墓地のリボルバー・ドラゴン、ブローバック・ドラゴンをゲームから除外

出てきなさい、ガトリング・ドラゴン！」

2枚目のガトリング・ドラゴンですって！？

よし、これで瑞貴の場のモンスターを一掃できる……かもしれない  
三沢君の時みたいにもンスターを減らされて、自滅しないと良いの  
だけど……

「ガトリング・ドラゴンの効果を発動！

コイントスを3回行い、表の数だけ場のモンスターを破壊する！」

「罠カード、法皇の錫杖を発動

相手は1枚ドロする」

は？

え、ドローだけ？

「……ドローですか？」

しろと言うのならしますけど……ドロー」

「便乗の効果で、俺は2枚ドローだ

法皇の錫杖の効果はこのターン、自分の場に存在しているカードは効果によって破壊されない」

それってつまり……ガトリング・ドラゴンの効果は確実に不発！？  
しかも瑞貴の場にモンスターは2体、表が3回出たら自滅もするの  
！？

雪乃、意地でも表は2回までに収めなさい！

「あ……う……こ、コイントス！」

1回目は表……2回目も表……さ、3回目も表

あの、私って何か悪い事とかしたかしら？」

誰もが沈黙、瑞貴も沈黙

私からは何も言えないわ……ここまで来ると喜劇ね。

「あー……破壊するのは3体だ

これは確定している、3体のモンスターを選べ」

「うう……先にレベル・ステイラーを蘇生させてから効果を使えばよかった

どうせまた外れるんだと思ってるからこんな事に……

ディフェンドガイ、グランマーズ、ガトリング・ドラゴンを選択するわ」

「だが、俺のモンスターは法皇の錫杖の効果で効果破壊されない

ガトリング・ドラゴンだけ破壊してもらおうか？」

自爆するガトリング・ドラゴン

雪乃の不運を表すような大爆発ね。

「……魔法カード、名推理を発動します

相手はLVを1つ宣言

私は通常召喚可能なモンスターが出てくるまでデッキの上からカードを捲る

そして通常召喚可能なモンスターが出てきた時、相手が宣言したLVではなかった場合、特殊召喚

もし宣言していたLVの場合、そのモンスターは墓地へ送られる

通常召喚可能なモンスター以外のカードは全て墓地へ……堅守先輩、LVは何にするのかしら？」

「5にしておこう」

また半端なLVね

LV5だったらどんなモンスターが居るかしら？

「1枚目、突進……魔法カードだから墓地

2枚目、激流葬……罨カードだからこれも墓地

3枚目、モンスターゲート……4枚目、クロス・ソウル

5枚目、死者蘇生……6枚目、早すぎた埋葬

7枚目、死者転生……8枚目、ネフティスの導き手

通常召喚可能なモンスターが出てきたからネフティスの導き手を特殊召喚するわ」

これは酷すぎるわね

7枚目の魔法、罨カードが墓地へ送られる

しかも出てきたのは下級モンスターだなんて……

「（ネフティスの鳳凰神はもう墓地に送られていてデッキに無いし、手札にも無い導き手が来ても何も意味が無いじゃない！）」

墓地のレベル・ステイラーの効果を発動するわ

レプティレス・ヴァースキのLVを1下げ、レベル・ステイラーを特殊召喚

導き手とレベル・ステイラーを生け贄に、ブレイン・クラッシュを召喚するわ」

確か効果は……戦闘で破壊したモンスターをエンドフェイズに奪うだったかしら？

最上級モンスターで攻撃力2400だからあまり強くないけどそれでもこの状況だったならそれなりね。

「相手がモンスターを召喚したこの瞬間

手札から運命の介在を捨てる事で効果を発動

手札の魔法カードを、この瞬間に手札から発動できる」

何よ、そのルールを壊すような反則効果

手札の消費は激しいけど、それ以上に凶悪過ぎるわよ！

「運命の介在の効果により、手札から魔法カード、スート・オブ・ソード？を発動

コイントスを行い、正位置か逆位置で効果が決まる

正位置の場合、相手の場のモンスターを全て破壊する

逆位置の場合、自分の場のモンスターを全て破壊する」

また凶悪なカードを……斎王、こんなカードを使っていたの？

誰がこれらのカードの犠牲になったのかしら？

「ソードの10のカード……タロットでこのカードの意味

関係の破局や状況の破滅を意味する

状況が困難や問題に行き詰まり、崩壊していく過程や破局につながる変化などを表すカードだ

あまり良いカードでは無いが、現状の方向性や考えに警告してくれるようにも受け取れる」

うわぁ……これはまた相当ね

どうしてここまで覚えていられるのかしら？

瑞貴の無駄知識の量には呆れるわ。

「コイントスの結果は裏

終わりを迎えそうだった苦しい状況が好転し、可能性や明るい未来が広がっていくことを表す

意味は逆転、好転、好意、感謝、成功、脱出、改善、有利、夜明け  
状況は逆転し、相手は事態の好転で喜び、状況が改善され有利になる  
逆位置の効果により、俺の場のモンスターは全て破壊される……はずだったんだが

法皇の錫杖の効果はまだ残っている、このターン、俺のモンスターは効果で破壊される事は無い」

失敗してくれた……危なかったわ

もし成功していたらと思うと……全滅ね

雪乃は既にモンスターを召喚しているし、辛い状況になっていたわ。

「こ、怖すぎるわよ堅守先輩

それに、さっきから気になっていたんだけど……

堅守先輩、占いとか好きなの？」

「割と好きだぞ

特にこういうタロット占いとかはな

星座占いとか血液型占いとかはあまり興味は無いが

手相占いの勉強もしたいとは思っているんだが……

これがなかなか難しいんだ」

なるほど、瑞貴の占いの好みが分かったわ

1日の運勢とかには興味が無く、人生で付き合うような占いが好きなのね

過去や未来、そんなのが好きみたい。

「……続けるわ

バトルフェイズ、ブレイン・クラッシュヤーでグランマーズに攻撃！」

「血の代償の効果を発動

ライフを500払い、通常召喚を行う

グランマーズを生け贄に、アルカナフォース？――THE HAN

GED MANを召喚」

負けると分かっている攻撃表示で？

って、何よ……あの水色の体をした吊されている男は

吊されている男？ HANGED MAN？

思い出した！

万丈目君が斎王に決闘で負けた時

カミューラが話した斎王のカードに写った万丈目君の状態

瑞貴がその解説で言っていた、HANGED MANじゃない！

「アルカナフォースは召喚、特殊召喚された時にコイントスを行う

それが正位置か、逆位置かに依って効果が変わる

HANGED MAN<sup>ハンゲドマン</sup>…別名、吊された男

吊られた男のカードは犠牲や献身、慈愛の精神を意味している  
自分よりも相手のことや身の回りのことを優先して考える献身的な  
姿勢を表すカードだ

慈愛の精神が強く、自己犠牲の念もある

時には不都合なことばかりかもしれないが、いつかは報われ大きな  
幸せが来る事を意味するカードだ」

話しながらも、瑞貴はコイントスを行う

表が出るか、裏が出るか……どんな効果なのかしら？

「結果は裏、HANGED MAN<sup>ハンゲドマン</sup>の逆位置の効果

1ターンに1度、相手の場のモンスターを破壊し、その攻撃力分の  
ダメージを与える

今までの努力や苦労が報われず、無駄になってしまったり

新しい方向に目を向け、これまでのことを放棄してしまうことを暗  
示している

犠牲、無駄、盲目、失敗、疲労、困難、片思い、骨折り損、遠い恋  
愛、狭い視野

相手モンスターを犠牲にして破壊、労力や困難は骨折り損という事  
かな」

最上級モンスターが破壊されたら確かに骨折り損ね

ヴァースキは条件付きモンスターだし、ゴルゴーンはダメージを受  
けてまで攻撃したし

ブレイン・クラッシャーは普通に生け贄召喚をしたし……破壊され  
るのは辛いわ。

「ならそのモンスター、私が使うわ



ブレイン・クラッシャーでHANGED MANに攻撃！」

ブレイン・クラッシャーの攻撃で破壊されるHANGED MAN  
ダメージは200、血の代償の効果でライフを払ったから瑞貴の残りライフは7500ね

8000は切ったけど、それでもまだまだ多いわ。

「ターンエンドよ

エンドフェイズ、ブレイン・クラッシャーの効果が発動  
戦闘で破壊したモンスターをエンドフェイズ時、自分の場に特殊召喚するわ

HANGED MANを私の場に特殊召喚！」

「なら、HANGED MANの効果でコイントスをしな  
効果もちやんと教えてやるから安心しろ」

また雪乃のコイントス……裏だったら強力な効果だったけど  
表の場合、どんな効果なのかしら？

裏の効果が強力なんだし、表もかなり強力なんでしょうね。

「コイントスの結果は表よ」

「HANGED MAN、正位置の効果

1ターンに1度、自分の場のモンスター1体を破壊し、その攻撃力  
分のダメージを受ける……強制効果だ

吊された男のカードの正位置は……今までの努力や苦労が報われ、  
それ相応の結果を手にする事ができること

人のために尽くそうと思う気持ちがい結果や状況を作り出すこと  
を表す

意味は犠牲、努力、忍耐、困難、障害、奉仕、慈愛、救済、成果、

良い結果、自己犠牲

味方を犠牲に困難へと続く障害、相手を救済する成果に良い結果が出る自己犠牲精神

HAN<sup>ハンド</sup>GED MAN<sup>マン</sup>は相手の場に移ってでも、俺の為に頑張ってくれるらしいな」

言葉を無くす雪乃……その気持ち、分かるわ

まさか正位置でデメリットを持っているとは……私も驚いた

更に良い効果ではなく、良い効果の逆は悪い効果だったという事みたいね。

「俺のターン、ドロー

魔法カード、トラップ・ブースターを発動

手札を1枚捨て、手札の罠カードを発動する事ができる

手札より罠カード、ギブ&テイクを発動

自分の墓地に存在するモンスターを相手の場に守備表示で特殊召喚する

更に、蘇生させたモンスターのLVだけ自分の場のモンスターのLVを上げる

俺は今捨てた、アルカナフォース？――STRENGTH<sup>ストレンクス</sup>を相手の場に守備表示で特殊召喚

そして俺の場に存在しているディフェンドガイのLVをSTRENGTH<sup>ストレンクス</sup>のLVである5上げる」

この状況で相手の場に蘇生？

レイ達の場にはこれで5体のモンスターよ

しかも、次のターンになればヴァースキの効果でディフェンドガイは破壊されると思うし

守備表示とはいえ、どうしてそんな事を……

「STRENGTHはお前らのモンスターだ

ストレンクス

どちらかコイントスをしな

ストレンクス

ちなみに、STRENGTHはタロットで言う力のカード

前向きな強い意志や熱くなる感情を意味している

目標に対しての強い意志と、問題や障害を乗り越えていく忍耐力を表すカードだ

前向きな意志と最後まで諦めない根気を意味する良いカードなんだが……

状況しだいでは周りが見えずに自分たちの世界に入り込んで失敗してしまう可能性も有る

熱くなりすぎると長続きさせると……大変になるかもしれないな」

ああ……何度も挑発してるものね

それに焦っている所も有るみたいだし

そういう意味だったら合っているかもしれないわね。

「どっちがコイントスする？」

「私は止めておくわ

また悪い結果を出したらと思うと怖いもの」

「ならボクが……コイントス！」

出た目は……裏

ハングド

HANGED MANでは良い効果だったけど

ストレンクス

STRENGTHではどうなのかしら？

ストレンクス

「STRENGTHの逆位置の効果

自身以外の自分のモンスターのコントロールを、全て相手に渡す」

それってつまり……えええ！

「全てって……STRENGTH<sup>ストレンクス</sup>以外のモンスター全部！？」

「（……またみんなに責められるのは嫌だし、止めておいて良かったわ）」

「そういう事だ

ブレイン・クラッシャー、レプティレス・ヴァースキ、レプティレス・ゴルゴーン

アルカナフォース？――THE<sup>ザ・</sup>HANGED<sup>ハングド</sup>MAN<sup>マン</sup>を俺のコントロール下に置く」

そんなの……反則よ！

絶対に反則よ！ 反則じゃなくても奪いすぎよ！

反則じゃなくて良いから、モンスターを返してあげなさい！

「力のカードの逆位置

自分に自信がなくなったり、目指しているものが無理だと思い込み悲観的になり、状況が改善されないことや、より混沌としてしまうことを表す

放棄、無謀、無理、過信、妥協、無気力、消極的、自信喪失、現実逃避、自意識過剰

モンスターのコントロールを放棄し、無理な状況へと、過信したコイントスのミス

己が負けそうとなる自信喪失からの現実逃避、レイがコイントスをしたのは自意識過剰だったのかね？」

言ってる事がかなり酷いわよ

分かるけど、もう少し優しくしてあげなさい

何にせよ、大ピンチな事に変わりは無いわね。

「しかし、このままだとHANGED MAN<sup>ハングド マン</sup>の効果を使わなくてはならない

そうなると自滅だが……HANGED MAN<sup>ハングド マン</sup>とブレイン・クラッシュヤーを生け贄に捧げる

アルカナフォース？――THE DEVIL<sup>ザ・デビル</sup>を召喚し、コイントス……表、正位置の効果を得る」

正位置の効果……でも悪魔なのよ？ 天使族だけど  
その悪魔が正位置で良い効果を得られるのかしら？

……天使族だけど。

「DEVIL<sup>デビル</sup>はタロットカードで言う、悪魔のカードだ  
欲望や嫉妬、妬みなどの邪な心を意味する

気持ちばかりが膨れ上がり、状況にまったく噛み合っていないことを表すカードだ

正位置でも逆位置でもあまり良い意味にはならない  
気持ちにゆとりがなくなっていたり、考えすぎていることを警告するカードと言われている

思いつめても状況は決して良くなることは無く、肩の力を抜いて考えて行動するが吉だ」

微妙に吉なんて和名で言わないで、イメージが崩れるから  
悪魔なのに吉って……天使族だけど。

「DEVIL<sup>デビル</sup>の正位置の効果

このモンスターが攻撃する時、場に存在するモンスターを1体選択して破壊する

そして破壊されたモンスターのコントローラーに500ポイントの

ダメージを与える

ただし、この効果を発動しない場合はDEVIデビルL自身を破壊する、ダメージは無いがな」

それって……攻撃する時に相手モンスターを減らせるって事!?

今、レイ達の場合にはSTRENGTHストレンクスしか居ない!

という事は効果を発動されたら……ガラ空きになって直接攻撃を受ける!?

「悪魔のカードの正位置

混沌とした状況の中、不安や欲望ばかりが膨れ上がり

状況が見えずに悲観的になったり、何をしても空回りになる

何もする気力が湧かないような状況を表している

意味は嫉妬、執着、欲望、墮落、誘惑、邪心、喪失、意地、悪意、暗転、盲目、過信、悪循環

敵を倒す為という俺の欲望に、STRENGTHストレンクスは相手の場へ墮落する

勝利という誘惑にDEVIデビルLという邪心を扱う……

相手は己の壁を喪失し、意地を張ってでも悪意を倒そうとしたい  
しかし先は暗転、己の過信により打倒される」

語りなの?

意味を殆ど使用してて上手いとは思うけど……

相手が聞く限り、相当頭にくるわよ?

「装備魔法、リバーズ・リボーンを発動

自分の墓地に存在するアルカナフォースを特殊召喚し、装備させる  
このカードが破壊された時、装備されているモンスターも破壊される  
ライフコストが無く、対象が限定された早すぎた埋葬だな

ただし、この効果で特殊召喚されたアルカナフォースは強制的に逆

位置の効果となる」

つまり、アルカナフォースを蘇生させたかったらデメリットを負え  
という事ね

使い所が難しそうなカードだけど、殆ど無条件で蘇生できるのは強  
いわ。

「俺が蘇生させるモンスターはアルカナフォース???――THE H  
ANGED MAN  
このモンスターを逆位置で蘇生させる」

HANGED MAN?  
HANGED MANという事は……逆位置がメリット効果じゃな  
い!

だから瑞貴はHANGED MANを生け贄にしたのね!

「HANGED MANの逆位置の効果

1ターンに1度、相手の場のモンスターを1体破壊し、その攻撃力  
分のダメージを与える

……が、この効果は使用しない  
使用したらDEVIILで破壊するモンスターを自分の場から選ばな  
ければならないからな」

良かった……ボロボロだけど、それで少しはマシね

もしDEVIILの効果を使われていたらこのダメージを受けた状態  
で最後のデッキだったもの。

「……嘘だけだな」

「「嘘?」」

「HANGED MANの効果を発動  
相手モンスター……つまり最後に残っているSTRENGTHを破壊する」

そしてこの効果ダメージを……雪兎、お前に与える」

STRENGTHの攻撃力は1800

雪乃のライフは900、その攻撃力分のダメージという事は……雪乃のライフが0に!?

「HANGED MAN、STRENGTHを破壊しろ」

「え、ま、待って堅守先輩!

もう少し手加減をして……きゃあああ!」

HANGED MANはSTRENGTHを伸びる腕で掴む  
そしてそのままSTRENGTHを投げ捨て、破壊する  
ちなみに投げられた先は雪乃の居る場所だったわ。

「雪兎脱落

本来ならデッキを変え、最後の1戦をするんだが無意味だな」

「む……どうして無意味なの?」

もう終わりだと言われた感じね  
確かに負けそうだけど、まだレイは負けてないのよ!  
なのに無意味ってどういう意味よ!

「ルールではこうだったな

1人の相手のライフが無くなった時、バトルフェイズを強制終了さ



せると……

だが俺はこのターン、まだバトルフェイズをしていない」

「あ……つまり、デッキが変わったとしても

そのままバトルフェイズに入れば……ボクのライフは0になる？」

「そういう事だ

ハンクド  
HANGED MANの攻撃力は2200、デビル  
DEVILの攻撃力は2500

レプティレス・ヴァースキの攻撃力は2600、レプティレス・ゴルゴーンの攻撃力は1700

おまけとしてディフェンドガイの攻撃力は100  
合計すると6900のダメージで3900のオーバーキルだな」

レイはゴルゴーンで自爆攻撃をしたものね

それでライフが1000減って……あら？

レイ……まだ1ターンしかしてないわよ！

2ターンの行動もしてないのにもう負けるの！？

「誰が相手だろうと、遊びや手加減はしても容赦はしない

ディフェンドガイを攻撃表示に変更

ディフェンドガイでレイに直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「ひゃあ！」

ディフェンドガイがレイに殴り掛かる

あの体格からの拳は……なかなか怖いわね。

デビル  
「DEVIL、レイに直接攻撃  
デビル  
DEVILの効果が発動

場のモンスターを1体破壊し、そのコントローラーに500ポイントのダメージを与える

今は俺の場にしかモンスターが居ない、ディフェンドガイを破壊し、自分に500ポイントのダメージ

そしてDEVIL、レイにそのまま直接攻撃しろ」  
デビル ダイレクトアタック

「やっとディフェンドガイが消えたのに！  
なのにボク、もう終わりなのーーーーー！」

伸びている4本の腕のような場所を伸ばすDEVIL  
デビル

その腕はレイに直撃、見た目は鎌みたいになってるからかなり怖い  
わよ？

「HANGED MAN、レイに直接攻撃」  
ハングド マン ダイレクトアタック

「もうやだああ！」

HANGED MANは伸びる腕を撓らせ、レイに当てる  
ハングド マン  
かなりの速度で打ってるから……見た目より相当痛いでしょうね  
実際に当たってるわけじゃないんだけど。

「偶にはこんな容赦無しの攻撃も楽しいな  
レプティレス・ゴルゴーン、直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「普段から容赦無しのくせにーーーーー！」

ご尤も、レイの言う通りよ  
ゴルゴーンの目から撃ち出される光線がレイに直撃  
グランマーグは石になってたけど、さすがにレイは石にならない。

「オーバーキルって、ストレス発散に良いと思わないか？  
レプティレス・ヴァースキ、ダイレクトアタック直接攻撃」

「ボクはストレス発散用サンドバッグじゃないよ！  
って、こっちに来ないでヴァースキーーーーー！  
いやーーーーー！食べようとしなくてーーーーー！」

普段は私に発散するんだけどね  
偶には私の代わりに受けてちょうだい  
可愛がられてるんだから、それぐらい良いでしょ？  
丸呑みするような状態になったのは可哀想だけど……

「さて、俺の勝ちだな  
今回、最も頑張ったのは兎角かな？」

「わ、私ですか！？  
私よりレイちゃんや明日香先輩の方が……」

あー……切れたものね  
レイも頑張ったかもしれないけど、1ターンだけで終わったし  
私もそれなりに頑張ったけど……アッサリと負けちゃったものね  
ゆまもあまり良い所は無かったし、雪乃は裏裏裏……当然駄目ね。

「1つぐらいなら頼み事を聞いてやってもいいぞ  
嫌な事は当然断るがな、勝ったのは俺だし」

当然といえば当然ね  
彰子もかなり悩んでいるみたい  
嬉しいは嬉しいけど、複雑でしょうね  
負けた事に変わりは無いんですもの。

「あの、私達の事を名前で呼んでくれませんか？  
ずっと兎角、羽鳶、雪兎って嫌なんです」

「……そんなので良いのか？  
カードが欲しいとか言うと思ったんだが」

「はい、それでお願ひします

（雪乃さんが可哀想だし

勿論、私自身も名前で呼ばれないのは嫌ですし）」

瑞貴が悩んでいる

かなり悩んでいる……名前を呼ぶか呼ばないかでそこまで悩まなく  
ても良いじゃない？

私は最初から名前を呼ばれていたからあまり気持ちは分からないけ  
ど。

心配そうな彰子

楽しみにしているゆま

期待一杯の顔の雪乃

ついでに名前で呼んであげてって顔のレイね。

「はぁ……言い出したのは俺だしな

宇佐美、宮田、藤原……これでいいな、文句は受け付けるが聞かな  
い」

名字なのね、名前じゃなくて

彰子とゆまは微妙そうだけど、不満はあまり無さそう  
雪乃が淒く落ち込んでるけど……

「ゆ、雪乃さんだけでも名前で呼んであげてくれませんか？  
落ち込んでますし……」

「断る」

即答で断言

こうなったら何を言っても無駄でしょうね  
雪乃、また頑張りなさい。

「まあ、なかなか楽しめた  
次は頑張って勝て、そう簡単に勝たせる気は無いがな」

またするつもり？

もう私は遠慮したいんだけど……やっぱりするのかしら？  
またするにしても、操られていない時にしてね？  
三幻魔再びなんて絶対に嫌よ。

「レイ、帰るぞ」

「あ、うん

じゃあまたね！」

そう言って帰り道を歩いて行く瑞貴とレイ  
私達は……私達も帰ろうかしら？

「彰子、ゆま、雪乃

私達も帰りましょうか？」

「そう……ですね

みんなで今回の反省会でもしますか？」

「賛成！」

次は堅守先輩に勝ちたいもん！」

「勝って、次こそ名前で……」

みんな頑張るわね

私も参加しようかしら？

瑞貴の事だし、部屋に帰ったらレイの反省会かしらね？

多分そうね、巻き込まれたくないから今夜は瑞貴の部屋に行くのは止めておきましょう

彰子達と話して、私も反省会に参加しておこうかしら？

## 143話【VS瑞貴 斎王編】（後書き）

瑞貴のタロット講習が……

趣味です、気にしないでください

これが遅くなった原因の1つですが……

今回もコイントスは作者がしたの？

作者がしました、そしてその結果の通りにしています

嘘偽りは有りません、実際にした通りの結果が今回です

瑞貴が妙に良い効果を引いていますが、本当にコイントスでそうになりました

……瑞貴の運に雪乃が嫉妬しているようです。

レイがヴェノミノン？

爬虫類族なので普通に入ります

今まで出なかったのはご褒美カードだからです

実はヴェノミナーガも入っていたりしますが……今回は未登場。

雪乃のデッキ、やばくない？

ライフが0になった時点でのデッキ枚数は2枚です

通常ドロ＋ディフェンドガイの効果ドロでデッキが0枚になっていました

もしペンタクル・オブ・エースの効果対象でドロしていた場合、デッキ切れです。

どうして瑞貴は法皇の錫杖をレイのターンに使わなかったの？

ディフェンドガイが対象に選ばなかったからです

それに、次のターンで雪乃がディフェンドガイを狙う可能性があったので

しかし雪乃はガトリング・ドラゴンの効果を使用したのもそのまま使いました。

瑞貴のデッキ、セカンド・チャンスとか光の結界は入ってるの？  
入っています

他にもコイントスに関係するカードはそれなりに……

瑞貴に好都合過ぎる……本当にコイントスしたの？

しました、本当にしたんです

なのにどうしてこうなったのか、作者でも分かりません

普通の100円玉でしたんですけどね……本当にどうしてでしょう？

彰子が良い子だ……

やっぱり、何故かこの作品では恐竜族使いが優遇されているようです  
どうしてそうなのか、作者にも分かりません

恐竜族モンスターが好きという訳でも無いんですけどね……

瑞貴……名前では呼ばないんだ

呼びません

いつか呼ぶ時が有るかもしれませんが。

反省会したの？

しました、瑞貴とレイもしましたが、それはカット……面倒なので。

原作、アニメオリジナルカード

ペンタクル・オブ・エース

コイントスを1回行う



表の場合は正位置の効果を、裏の場合は逆位置の効果をこのカードは得る

●正位置…自分はデッキからカードを1枚ドロし、500ポイントのライフを回復する

●逆位置…相手はデッキからカードを1枚ドロし、500ポイントのライフを回復する

微妙……ですかね？

逆位置だとかなり悪くなりますし、普通はそうそう使わないカードかと思います。

エース・オブ・ワンド

コイントスを1回行う

表の場合は正位置の効果を、裏の場合は逆位置の効果をこのカードは得る

●正位置…戦闘以外の効果で破壊されたモンスターの攻撃力分の数値だけ、そのモンスターのコントローラーはライフを回復する

●逆位置…戦闘以外の効果で破壊されたモンスターの攻撃力分のダメージを、そのモンスターのコントローラーに与える

ギャンブルにしては効果の発動条件が少しだけ面倒ですが

それでも自分なら正位置、相手なら逆位置効果が出れば良いカードです

相手の場合は効果でモンスターを破壊、しかもその攻撃力分のダメージですし。

法皇の錫杖

相手はカードを1枚ドロする

このターン、自分の場のカードは相手のカードの効果によって破壊されない

相手にドロさせるとはいえ、それなりに強力なカード……だと思えます

最近では効果破壊が多いですからね……素直に使えるカードかもしれません。

## 運命の介在

相手の場にモンスターが召喚された時

このカードを手札から墓地へ送る事で手札の通常魔法カード1枚を発動する事ができる

手札消費が激しいですが、効果そのものは強力  
通常魔法で惜しすぎる効果も発動できるのは強い  
ですが、モンスターが召喚された時限定なので扱い憎いでしょう。

スート・オブ・ソード？

コイントスを1回行う

表の場合は正位置の効果を、裏の場合は逆位置の効果はこのカードは得る

●正位置…相手の場のモンスターを全て破壊する

●逆位置…自分の場のモンスターを全て破壊する

運次第とはいえ、かなり凶悪なカードですね

サンダーボルト効果かサンダー・クラッシュ効果（ダメージ無し）  
どちらの効果も使える時は使えそうです。

アルカナフォース？？―THE <sup>ザ・</sup>HANGED <sup>ハングド</sup> MAN <sup>マン</sup>

召喚、特殊召喚に成功した時にコイントスを1回行う

表の場合は正位置の効果を、裏の場合は逆位置の効果はこのカードは得る

●正位置…1ターンに1度、自分の場のモンスター1体を破壊し、  
自分はその攻撃力分のダメージを受ける

●逆位置…1ターンに1度、相手の場のモンスター1体を破壊し、  
その攻撃力分のダメージを相手に与える

珍しい逆位置で強い効果を持つアルカナフォース

LVは6で攻撃力は2200と少し低め  
それでも効果が有るので十分に強いんですけどね。

アルカナフォース？―ストレンクスSTRENGTH

召喚、特殊召喚に成功した時にコイントスを1回行う

表の場合は正位置の効果を、裏の場合は逆位置の効果をこのカードは得る

●正位置…相手のモンスター1体のコントロールを得る。

●逆位置…相手はこのカードを除く自分のモンスター全てのコントロールを得る

正位置にしても逆位置にしてもかなり極悪効果です

デメリットが余りにも大きすぎる……なのに何故瑞貴や雪乃はこいつを……

アルカナフォース？―ザ・THE デビルDEVIL

召喚、特殊召喚に成功した時にコイントスを1回行う

表の場合は正位置の効果を、裏の場合は逆位置の効果をこのカードは得る。

●正位置…このカードが攻撃する時、場に存在するモンスター1体を選択して破壊する

破壊しない場合、このカードを破壊する

この効果で破壊されたモンスターのコントローラーは500ポイントのダメージを受ける

●逆位置…このカードが攻撃する時、場のモンスターを全て破壊する  
どちらにせよ凶悪な効果です

ただし、LVが7なので逆位置の効果は難しいかもしれませんが  
それにしても……悪魔の名前なのに天使族なんですよね、こいつ。

リバース・リボーン

自分の墓地からアルカナフォースと名のついたモンスター1体を選

択し

攻撃表示で自分の場に特殊召喚し、このカードを装備する

このカードが破壊された時、装備モンスターを破壊する

この効果で特殊召喚したアルカナフォースは逆位置の効果となる

使い方は様々、普通に強い効果です

1ターンに1度の効果や、永続効果ならば逆位置でもあまり怖くないですからね

生け贄に使ったりした場合ですけど……

普通に使う場合は逆転する運命を使ったりして工夫しないと難しいかもしれませんね。

ツイッター……また頭が痛い

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
酔い止め薬が欲しい……効果が有るかどうかは別にして。

## 144話【爆走学園祭 前編】（前書き）

「今日の最弱カードは異次元の偵察機

攻撃力は800、守備力は1200の闇属性機械族

除外されたターンのエンドフェイズ時、攻撃表示で特殊召喚される除外っていったら大徳寺先生だったなあ……」

アニメでじゃ除外使いは少ないから仕方無い

この作品では登場していないけど、大徳寺先生は今もファラオの胃で生きている

……生きていえるかかなり微妙な所だけど気にしない。

いや本当、お久しぶりです

忙しかったり、気が乗らなかったり、やる気が出なかったり

15話先ぐらいまでは頭に浮かんでいるんですけどね、どうも気が入りません

気分転換をしたり、他の事もしてみたりしていますが……効果は薄いようです。

仕方無いのでチマチマと書いていき、5日ぐらい使って書き終えました

この量で5日って……今までだったら5時間から8時間で書き終えていたんですけどね

やっぱり緊張感が途切れたのが最大の原因か……はあ。

今回から学園祭再びです

本当はする気は無かったんですが、気紛れみたいな感じです

ああ……第3期がどんどん先になっていく

いつになったら第3期に入れるんでしょうか？

ネギま！の小説をまた別に投稿しました

内容は……以前の番外編とあまり変わりません

気分転換用みたいな感じなので、こちらを優先させますけどね

本当は投稿するつもりは無かったのですが……気分紛れみたいな感じ  
です。

更新はまた暫く先でしょうね

今月中に更新するでしょうけど……不安だなあ

来週までに更新できると自分で嬉しいです。

## 144話【爆走学園祭 前編】

視点 レイ

「あの……どうしてこんな格好を？」

「文句は受け付ける  
受け付けるだけだがな」

うん、分かってたけどね  
絶対に聞き入れてくれるはずが無いって事ぐらい  
だけどこの格好は……

「でも……」

「気にするな、似合ってるから」

そう言ってくれるのは嬉しいんだよ？  
でもね、だけどね……

「どうして……闇霊使いダルクの格好なの？  
このカードって、男の子のモンスターでしょ？」

「男の娘の可能性も有るから大丈夫だ」

同じじゃん……

発音も同じだと思っただけと  
どう違うんだろう？

「お前なら問題無い、男装少女」

「う……もう言わないでよ」

怒られたの、ちゃんと反省してるんだから  
態々蒸し返さなくても……もうもえさんも言わなくなったんだから  
時々男装してくれて頼まれるけど。

「それとこれな」

渡されたのは風船

……D・ナポレオンの風船？

「あの……どこにこんなのが売ってるの？」

「気にするな、世の中には変わり者が沢山居るんだ

何故かD・ナポレオンのカードを数十枚集める物好きとかな」

それは物好き過ぎる

この目玉モンスターを数十枚だなんて……

もっと可愛いモンスターを集めたらしいのに。

「なお、製作はKC社だ

そのD・ナポレオン好きから依頼を受けて作成したらしい

……人気は微妙だそうだ」

ならどうして手に入れたんだか

ボクに渡す為？ 今回の為だけに？

否定できないのがちょっと悔しい。



「でも、なんでダルクなの？  
髪の長さとか、微妙に青いんだからエリアの方が良いと思うんだけど」

「レプティレスとか、色々と考えてみる  
お前の使うモンスターは思ったより闇属性が多いぞ」

そう言われて考えてみる

レプティレス……ほぼ全部闇属性

ダーク・ネクロフィア、仮面魔獣デス・ガーディウス、メルキド四面獣、仮面呪術師カースド・ギュラ  
傀儡虫にクリボー、ブレイン・ジャッカード、ミュータント・ハイブレイ

……確かに闇属性モンスターが多いかも。

「うう……なら、瑞貴さんはどんな格好をするの？

去年の学園祭ではF<sup>フル</sup>OOLの格好をしてたけど」

明日は学園祭

レッド寮で名物になっているらしい、コスプレ決闘<sup>デュエル</sup>の準備(?)  
それで衣装を決めている最中なんだけど……

「去年は天使族だったからな  
だから今年は……」

金庫から黒い鎧に赤いマント、黒い大剣を……大剣？  
って、大剣は拙いでしょ！

「ダーク・クルセイダーにする事にした」

「戦士族！？前置きの天使族は全く関係無いよ！

閼属性だからFOLLフルとも関係無いし！

しかも手札から閼属性を墓地に送って効果を発動するから関係性が皆無だよ！」

というか、どこからそんな鎧が！？

金庫からなのは分かってるけど、どうやって入ってたの！？

どこに売ってるのかも分からないし！

大剣なんて、どうやって入ってたのか全く分からないんだけど！

「大丈夫だ、鎧は柔らかい素材でできているし

大剣だって触ってみると柔らかいぞ

何かを切るだなんて不可能だ」

そう言われて大剣を渡される

……これ、ゴムでできてる？

いや、でも見た目が悪いでしょ。

「そういえば今更なんだけど……ボク達って参加していいのかな？

だってボクはもうブルーだし、瑞貴さんもブルー……

って、去年の時はイエローだったっけ？」

「レッド寮に住んでいるから構わんだろう

他の出し物に参加してはならない、だなんて規則も無いしな  
この辺りが学園の適当さを表しているとも言えるが」

その学園で学んでいるのに？

否定はしないけど。

「どっちにしろ、レッド寮の生徒は少ない  
その手伝いとも思えば良いだろう  
……露店の店員なんて嫌だし」

それが本音!?

今のが絶対に本音だったよね!?

「明日香さん達にも何か着せるの?」

「当然だ、その為の衣装も既に用意している  
金は有り余ってるんだ、使わないと損だろ?」

同意を求められても……ボクはお金持ちじゃないし  
無駄に使うのは損だと思うけど。

「無駄遣いに思えるだろうが、あまり気にするな  
金持ちの気紛れとでも考えておけ  
偶には思いつき使わないとならないしな」

凄く面倒そうに言うけど……ちよつと楽しそう  
普段から使わないからかな?

「ちなみに、明日香さん達の服は?」

「明日香はクイーンズ・ナイト

宮田は冥府の使者ゴーズ、藤原は冥府の使者カイエントークン  
宇佐美はできれば恐竜に關係させたかったんだが、残念ながら人型  
のモンスターは居なくてな

仕方無く、この前使っていたジュラックが炎属性という事で燃え盛  
るヒータだ」

明日香さんは戦士族、雪乃さんとゆまさんは最上級モンスターかな？  
みんな、それなりに関係が有る格好なんだね  
でも瑞貴さんのデッキは統一していないから違和感が凄いけど。

「他にも何人かに渡すが、細かい事はお楽しみだ  
ま、明日になれば分かる」

だから楽しみに待ってろって？

楽しみというか、できればダルクから違うモンスターに変えたいんだけど

やっぱり駄目かな？

「さて、俺の仕事はもう無いからな  
後は適当に時間でも潰してくるか」

瑞貴さんの仕事は衣装係

何人かの生徒の服を取り寄せたり……お金持ちだからできる事をしている

自分の自由に散財したいからって言って勝手に立候補して勝手にしてるんだけどね。

「あの……私も何か服を着るべきですか？」

そういえばマナさん、ブラック・マジシャン・ガールだったもんね  
既にコスプレ状態なんだけど……どうするんだろう？

「用意してるぞ」

「してるの!？」

「なんだろうー？  
可愛い服だと良いなあ」

うわ、凄く楽しそうな声！  
マナさん、コスプレって事分かってるのかな？  
コスプレって単語、1回も出してないけど。

「ほら、マジシャンズ・ヴァルキリアの服  
他にも杖に、帽子だろ？  
靴に緑の宝石に……」

「ちょっと待って！  
それって凄くお金掛かってない！？」

だって杖に宝石って……

「それなりにはな  
9桁だった……とだけ言っておく  
ちなみにお前の服でも6桁だぞ？  
ダルクは服がボロ布っぽいからな」

いや、それでも凄く高いから  
他の人達の服もついでに訊いてみたんだけど  
正直に言って、訊かなかったら良かったと後悔してる  
……とりあえず、合計したらマナさんの衣装からもう1桁上がった  
とだけ言っておく。

「明日は決闘だからな  
デューエル  
今の内にデッキを調整しておけよ」

俺もネタ用にデッキを調整するから」

「ネタ用！？　どんなネタなの！？  
　　というかネタデッキでみんなに勝てるの！？」

「……自重はしてくださいね？」

「断る

偶の祭ぐらいリミッターを外させろ  
お前らにもネタデッキを貸してやろうか？」

「ぼ、ボクは遠慮しておく」 「私もちょっと……楽しんでだけど」

マナさん、瑞貴さんのネタデッキなんて絶対に悪趣味だよ  
1ターンキルとか、デッキ破壊とか、ロックとか、特殊勝利とか  
そこら辺のデッキを使うに決まってるよ。

楽しそうなのは否定しないけど  
嵌ったらと思うと……怖くて使えないよ！

………

………

……

翌日、レッド寮名物であるコスプレ決闘<sup>デュエル</sup>が始まる

……マナさんが何度も瑞貴さんにコスプレは何かと訊いていたけど  
毎回毎回、頭を撫でられて誤魔化される  
マナさん……段々お馬鹿になってない？

「レイちゃん……どうして私がこんな格好を？」

「彰子さん、諦めた方が良いよ？  
……似合ってると思うし」

緑の上着を着、その上から黄土色のコートを羽織る

シャツの前が開けていて、胸は黒い布で隠すだけ

腰にベルトみたいなのは有るけど……ファッション以上の効果は無  
さそう

ピンクのオーバーニーソックスを穿いて、上半身ぐらい有る赤い杖  
を持ってる

燃え盛るヒータの格好……似合ってるのが凄い。

「似合っても、この格好は恥ずかしいよ  
そう言うレイちゃんは……嵌りすぎかな？」

ボクは霊使い共通のコート

前にチャックの有る黒い服、グレーの短パン

そしてボクの身長より少し短いぐらいの、先端に鳥の骸みたいなの  
が付いた悪趣味な杖

ダルクの格好……服のチャックはちゃんと閉めてるからね！

「ボクも恥ずかしいんだけどね……」

でも、雪乃さんやゆまさんよりはマシかな？」

「……うん、そうだね」

ゆまさんは黒い服に黒いアームガード、レッグガードを装着

腰辺りからオレンジの布が出てきていて、黒いサングラスみたいな  
のだけど……なんて言うんだろう？

とにかく変わったサングラスみたいなの……一部の先生が付けている

みたいなのを付けていた

ただし、服は元々男性用なのに改造されているのか、胸元に少し余裕の有る女性用になっていた。

しかも髪型もどうやって手入れをしたのか逆立ってる

ゆまさんは赤茶っぽい色の髪色をしているから、赤髪のゴーズに合ってる

ゆまさんの性格上、似合わない気がするけど凄く格好いい  
なんというか……珍しく凛々しい？

雪乃さん銀色の胸から腰辺りを覆う鎧、腕にはゴーズと似ているけど銀色のアームガード

真っ赤なロングスカートを着て、頭に帽子が有るはずなんだけど……  
付けにくかったのか、装飾が大変だったのか、とにかく雪乃さんの頭には何も無かった。

雪乃さんは凄く格好いい

頭に何も無いのはやっぱり違和感はあるけど、それでも凄い  
……何よりも強そうだし、凛々しいって感じで似合ってる。

そしてその瑞貴さん

……ダーク・クルセイダーの格好なんだけど  
とにかく嵌ってる……凄い悪役だ！

で、少し離れている場所に明日香さん

赤と紫を使ったカラフルな鎧、赤と黒のトランプマークを付けた盾  
少し短いけど、ちゃんとした剣……アレもゴムでできてるのかな？  
兜はやっぱり付けてなかったけど、十分にクイーンズ・ナイトだね。

そして隣に居るのは吹雪さん



黄金の鎧、星マークが入っている黄金の盾、少し無骨な剣  
同じく兜は無いけど、どう見てもキングス・ナイトです、本当にあ  
りがとうございました。

明日香さんがクイーン、吹雪さんがキング  
ならジャックス・ナイトは誰だろう？

暫く探して見たけど、見当たらなかった。

うーん……この格好で決闘<sup>デュエル</sup>するの？

ただでさえ恥ずかしい格好なのに、更に目立つのは……

そんな事を考えていたらレッド寮から男女が出てきた  
赤くてヒーローっぽいスーツを着た……十代さん！？

そしてその横に居る赤と白の、似たようなスーツを着てるのは……  
ジュンコさん？

十代さんは嬉しそうだけど、ジュンコさんは凄く恥ずかしそう。

「レイちゃん、あんなモンスター居た？」

「さあ……ボクは知らない

でも十代さんが嬉しそうって事はHERO系かな？

ボク達の知らないHEROも有ると思うし」

次に出てきたのは万丈目先輩

青と銀の鎧で上半身を覆い、青い腰布……腰辺りにも微妙に鎧が見  
える

金色の十字架が描かれている青と銀の盾を持って剣も……やっぱり  
ゴムかな？

兜も有ったはずだけど、やっぱり装着してなかった  
でも……どうしてジャックス・ナイトなんだろう？

他には誰か居ないかと見回すともえさんを発見  
マフラーみたいに白い布を巻き、肩から垂れ下がっていて  
赤いシャツの上に黒い胸当て、腰当ても黒い鎧みたいになっていた  
金色の盾と、同じく金色で、先が月みたいな三叉槍を持っていた  
アレって……女豹<sup>レディパンサー</sup>の傭兵？ 獣族で良いのが居なかったから獣戦士  
族なのかな？

昼間だから日傘を差しているカミューラさん  
青いローブを羽織っているだけなんだけど……下に何か着てるの？  
ちなみに、メデューサの亡霊らしい  
似合ってるような、似合っていないような……またヴァンパイア・レ  
ディにすれば良かったのに。

なんというか、みんな凄い格好  
全部瑞貴さんの指示なのかな？  
……影響力というか、強引さが凄い  
どうやってコスプレさせたのかな？

なんだかんだで、みんな似合ってるんだよね  
問題はそのまま決闘<sup>デュエル</sup>するのはどうかと思うってところかな？  
……大丈夫だよな？ 多分だけど。

視点 明日香

どうして私が……こんな格好を？  
しかも私がクイーンズ・ナイトで、<sup>モノクロ</sup>白黒兄さんがキングス・ナイト

そして何故か万丈目君がジャックス・ナイトで……どうして万丈目君？

瑞貴は悪役をしてるし、マナはブラック・マジシャン・ガールなのにマジシャンズ・ヴァルキリア

何が何だか……マナにコスプレさせる意味は何？

ちなみに翔君はコスプレ服を貰ってないみたいで変わらないのレッド制服

剣山君は私達の格好に引いてる……断ったのかしら？

どうやって瑞貴の指示に逆らったのか……元々渡されなかった？

私と白黒兄モノクロさんは借金での命令、カミューラは元々逆らえない  
ももえはノリでしょうね、ジュンコは……十代とのコンビで釣られたのかしら？

万丈目君は私と白黒兄モノクロさんとトリオになるからとか言われてそう  
1年生達は言わずもがな、瑞貴に逆らう事はできないでしょうね……  
……色々と有るし。

で、瑞貴

どうして貴方はマナと一緒に解説席に座ってるの？

貴方、何をするつもり？

『これより、超適當、台本無し、しかも突然の即興劇を始める

主役は遊城十代こと、E・HEROザ・ヒートと枕田ジュンコこと、

E・HEROレディ・オブ・ファイア

実況、進行はマジシャンズ・ヴァルキリア、解説はダーク・クルセイダー

その他詳しい事はその時に決めるので細かい事は気にするな』

……即興劇？ な、何の事！？

しかも周りの生徒は殆ど知っているみたいで盛り上がってる！？  
私は何も知らないわよ！

「白黒兄さん、この即興劇は教えられていた？」  
モノクロ

「いや、知らないな

学園祭のパンフレットを読み直してるけど、レッド寮はコスプレ決デュ  
闘エルとしか書いてない

しかし……観客達はパンフレットを読んで楽しみにしている  
という事は僕達のパンフレットだけこの即興劇の事が書かれていな  
い？」

教師もグル！？

私達にパンフレットを渡してくれたのは確か……鮎川先生  
……あ！凄く楽しそうに劇が始まるのを待ってる鮎川先生発見！  
しかもその近くでニヤニヤしているクロノス教諭まで！？

「どうやら俺達は堅守や教師に嵌められたみたいだ  
(天上院君のナイト役を特別に渡してくれると言われて浮かれてた  
か？

もっと裏が有るのかと考えておけば良かった……はあ」

「万丈目君の言うとおりだろうね  
堅守君、どうやって教師達を買収したんだろうか？」

鮎川先生には白黒兄さんモノクロの写真でも渡したんじゃないかしら？  
何故か白黒兄さんモノクロのファンらしいし……裏取引は絶対に有ったわね  
クロノス教諭は……どうしてかしら？

「しかし………主役の十代達はあまり驚いていなかったな

という事はあの2人は教えられていた？

同室の早乙女が驚いていたという事は、あいつも知らなかったのか」

レイにも教えてなかったの？

マナは知っていたみたいだけど……実況だから当然かしら？

問題は私達兄妹が座っている場所が……玉座なのよね  
簡単な作りだけど、よくもまあこんな物が作れたわね。

『面倒なので細かい事はカット

最初はE・HEROザ・ヒート&E・HEROレディ・オブ・ファ  
イアVS冥府の使者ゴーズ&冥府の使者カイエン

今ので分かると思うが、タッグ決闘だ<sup>デュエル</sup>』

『あの……カットし過ぎでは？

簡単なストーリーは悪の親玉に捕まった絵札の三剣士

あんなのでも一応王様とお姫様だから助ける為に立ち上がったE・

HERO

男女コンビでフェザーマンとバーストレディ以外を考えたらこの2  
人になって

燃える炎のE・HERO、ザ・ヒートとレディ・オブ・ファイアが  
動き出す

えっと……彼らの前に立ち塞がったのは冥府の使者達、ゴーズとカ  
イエン

彼ら……あの、彼らで良いんですか？ あ、そうですか？

彼らを倒し、E・HERO達は三剣士<sup>デュエル</sup>を助けられるのか  
というのが今から始まる決闘のストーリーです』

途中、マナは雪乃達が女だから彼らで良いのかと瑞貴に訊いていた  
けど

瑞貴は戸惑いも無く肯定、マナは彼らで通したわ

でも瑞貴、雪乃達が嫌そうな顔をしてたわよ？

『タッグ決闘デュエルのルール説明をします

チーム内のプレイヤーは交互にターンを進めていきます

ライフはチームで共通して4000ポイントです

最後の方になれば8000ポイントになりますが、序盤は4000ポイントです

理由は時間が掛かるからだけなので深い意味はありません

場と墓地、除外は全て共通しておきますが、手札とデッキは共通しません

手札に戻るカード、デッキに戻るカードは元々の持ち主の手札やデッキに戻ります

お互いの手札確認、助言は禁止ですが、少しぐらいの相談は許可します

例えば、パートナーの伏せカードを使用しても良いかを確認する程度です

相手の場に関する事での相談は禁止します』

詳しい説明ありがと、マナ

瑞貴ったら適当なんだから……はあ

面倒だったら最初からしなかったら良かったんじゃないの？

『じゃ、即興劇を始める

各人が即興で会話や内容を決めて、勝手に進めてくれない程度設定も考えて創ってくれると助かるな』

『それは……押し付けると言うのでは？』

『気にするな、では後は勝手に始めてくれ  
劇を台無しにしない程度に好き勝手にしろ』

好き勝手にしろと言われても……  
私達に何を期待しているのかしら？

「あー……大変だな、お前らも」

「遊城先輩ほどでは……主人公、頑張ってください  
でも、劇とはいえ本気で相手します  
私も負ける気は無いので」

「上等よ、こっちだって手加減なんてしないからね！」

「あはは……はあ

どうしテ私がこんなメに？

（怒られない程度に頑張ろう）」

みんな大変ね……私は座ってるだけで良さそうだけど  
だって私、一応女王だし

クイーンズ・ナイトで捕らわれてるんだったら何もする事が無いわ。

「ごほん……よ、よく来たなE・HEROよ！

ここから先はこの私……じゃなくテ、この俺ゴーズが通さん  
通ったケレば力尽くデ通るがいい！」

「……はあ（乗らないと逆に疲れそうね）

私の事も忘れないで

このカイエン、負けはしない」

半分ぐらい自棄になってない？

それに比べて、十代達は少しは余裕が有るみたい

先に知っていたからかしら？

「おう、俺だって絶対に負けないぜ！  
いくぜ、レディ・オブ・ファイア！」

「私も乗らないと駄目なの？

……こうなりや自棄よ！

絶対に勝つわよ、ザ・ヒート！」

ま、まあ頑張りなさいジュンコ

私は捕らわれている身だから何もできないけど  
頑張って私を助けてね。

「「「<sup>デュエル</sup>決闘！」」」

「先攻はわ……俺からだ、ドロー！

……永続魔法、冥界の宝札を発動

2体以上のモンスターを生ケ贄にし、生ケ贄召喚を行った時

デッキからカードを2枚ドローする

カードを3枚伏せ、魔法カード、闇の誘惑を発動！

カードを2枚ドローし、その後手札から闇属性モンスターを除外する  
ただし、除外できない場合は手札を全テ墓地へ送る」

『最初から冥界の宝札を使って、3枚も伏せる？

しかもいきなりドローカード……解説のダーク・クルセイダーさん  
もしかして手札事故ですか？』

『事故だろうな

あのデッキは冥界の宝札を使ったから分かると思うが、最上級モン  
スターが多い



魔法、罨カードの割合もな

だから初手で下級モンスターはなかなか来ない  
それでもドロークカードが来ただけマシだろうな

……ドロークしたカードに闇属性モンスターが居なければ意味は薄い  
がな』

瑞貴が真面目に解説をしている？

なんだか意外な一面を見た気がするわ

また面倒だとか言って嫌がると思ったのに。

「俺は手札の異次元の偵察機を除外する

永続魔法、漆黒のトバリを発動

ドローフュイズ時、ドロークしたカードが闇属性モンスターだった場合  
そのカードを墓地へ送り、再びドロークをする

エンドフェイズ、除外された異次元の偵察機の効果を発動

このモンスターが除外されてる時、エンドフェイズ時に自分の場  
に攻撃表示で特殊召喚される」

帰ってきた異次元の偵察機

攻撃力は800だけど……良いのかしら？

伏せカードが3枚も有るし、大丈夫よね。

……そういえば私、どっちを応援したら良いのかしら？

「次は私よ、ドローク！ 魔法カード、強欲なウツボを発動！

手札の水属性モンスターを2枚デッキに戻し、3枚ドロークする！

私は手札のスパイラルドラゴンとゴギガ・ガガゴギゴ……ご、ゴギ  
ガ・ガガゴゴをデッキに戻すわ！

シャッフルして……3枚ドローク！」

ジュンコ……自分のカードなんだから噛まないようにしなさい

確かにゴギガ・ガガギゴは言い難いけど

……ゴギガ・ガガギゴギガ・ガガギゴギガ・ガガゴゲ  
3回連続だなんて無理ね、難易度が高すぎるわ。

『あのカードは？』

強欲なウツボなんてカード、私は知らないんですけど』

『水属性専用の手札交換カードだ

天使の施しみたたく、墓地に送られれば俺としては嬉しかったんだがな  
手札交換カードとしては強力と言えば強力だろうな  
後半に出てきても使えるか微妙だが……手札枚数的な問題で』

それは……確かに難しいかもしれないわね

下手すれば手札事故を起こすかも……でも手札交換は欲しい  
でも私にはあまり関係は無いわね、下級モンスターが基本だし。

「そして通常魔法を発動したターン

このモンスター、ビッグ・ジョーズを特殊召喚できる！」

青い鯨が……鯨！？ しかもLV3で攻撃力が1800ですって！？

しかも強欲なウツボは3枚のドロ―

手札は6枚だったから無条件での特殊召喚みたいじゃない！

「更にこのビッグ・ジョーズを生け贄に捧げて  
ジョーズマンを召喚！」

うわぁ……頭、お腹、腕に太腿、手と足が鯨の口みたいになってる  
見た目がかなり怖いんだけど……ええー？

ジュンコってあんなモンスター持ってたかしら？

『な、なんだか怖いモンスターが出てきましたよ？  
さっきのビッグ・ジョーズですけど、また知らないモンスターで  
す』

『ビッグ・ジョーズはLV3で攻撃力がかなり高い1800のモン  
スターだ

伝説の都アトランティスの効果ではLVが2まで下がり、攻撃力が  
2000になる

弱者の意地を使えば攻撃力2000のモンスターで攻撃した上、ド  
ローでできる可能性が有る

LV2以下で攻撃力が2000のモンスターは滅多に居ないな

ジョーズマンは特殊召喚できない、生け贄は水属性のみというデメ  
リットを持っているが

LV6で最高クラスの攻撃力である2600を持っている

しかも自身以外の水属性モンスターが自分の場に居る場合

水属性モンスターの数×300ポイント攻撃力がアップする

アトランティスの効果こそあまり受けられないが、それでも自力で  
最高攻撃力3800だ

頑張れば相当強いモンスターになれる可能性が有る

DNA移植手術を使って水属性と言うのも有りだな、その場合はア  
トランティスが少し邪魔だが

……特殊召喚不可能と水属性限定生け贄はやっぱり面倒だがな』

2回言ったわね、大事な事だったのかしら？

それにしても……よくそんな利用法が思いつくわね

ジュンコが感心してるじゃない、持ち主なのに。

「……よし、ここは攻撃よ！

ジョーズマンで異次元の偵察機に攻撃！」

「そうはさせませ……させん！」

罨カード、ガード・ブロックを発動！

1度だけ戦闘ダメージを0にし、その後カードを1枚ドロースる！」

それでも、異次元の偵察機は戦闘破壊される

一応、ダメージを減らす手段は有ったという事ね

でもゆま、言葉遣いが大変ね……男性役だし。

「ならカードを2枚伏せて、ターンエンドよ」

「速攻魔法、終焉の焰を発動！

自分の場に黒焰トークンを2体、守備表示で特殊召喚する

ただし、このカードを発動したターンは召喚、反転召喚、特殊召喚はできない

更に、黒焰トークンは闇属性以外の生け贄召喚にできない」

生け贄に制限の有るトークンが2体……

これは厄介ね、雪乃は最上級モンスターを多く使っていた

しかも生け贄召喚にしか制限が無いからモンスターゲートで生け贄にできる

雪乃へのサポートカードとしても、壁召喚にしても十分ね。

「私のターン、ドロー

魔法カード、鳳凰神の羽を発動するわ

手札を1枚捨て、墓地のカードを1枚、デッキの一番上に置く」

『あれ？

でも自分の墓地にカードが無いはずじゃ……』

『今回のルールでは墓地も共通している

つまり、ゴーズの墓地にカードが有るので発動は可能だ  
ただし、ゴーズのカードをデッキに戻した場合はゴーズのデッキに  
戻るがな』

どうして解説は真面目にするのかしら？  
普段から真面目にすればいいのに……  
ちゃんと今回のストーリーも真面目に考えなさいよ。

「手札を1枚捨てて、今捨てたカードをデッキに戻すわ  
そして魔法カード、モンスターゲートを発動  
自分の場のモンスターを生け贄に捧げ、デッキのカードを上から捲る  
通常召喚可能なモンスターが出てくるまでデッキを捲る  
そして通常召喚可能なモンスターが出てきた時、そのモンスターを  
特殊召喚する

それ以外のカードは全て墓地へ送るわ  
私は黒焰トークンを生け贄に捧げる  
黒焰トークンは闇属性モンスター以外の生け贄召喚にはできないけ  
ど、効果での生け贄は可能よ」

早速使ってきたわね、黒焰トークン  
そしてデッキトップはさっきデッキに戻したあのカード……  
何をデッキに戻したのかしら？  
多分、ジョーズマンを倒せるモンスターよね。

「1枚目、メカニカル・ハウンド  
通常召喚が可能なモンスターなので特殊召喚よ」

攻撃力が2800……ジョーズマンの攻撃力2600を上回った  
これはジュンコが不利かしら？  
それでも伏せカードが2枚だから……ちょっと微妙ね。

「メカニカル・ハウンドでジョーズマンに攻撃！」

何も無く、呆気なくジョーズマンは破壊される

ジュンコ、何か無かったの？

「クッ……罠カード発動、ヒーロー・シグナル！」

自分のモンスターが戦闘で破壊された時

デッキか手札からE・HEROを特殊召喚する！

私はデッキより、E・HEROレディ・オブ・ファイアを特殊召喚  
！」

ジュンコがE・HEROに炎属性！？

どうして水属性を使ってるジュンコが炎属性のモンスターを！？

しかもあのE・HERO、ジュンコがコスプレしている姿よね？

どんな効果かしら……私は知らないわ。

「……水属性デッキじゃない？」

よく分からないけど、カードを1枚伏せてターンエンドよ」

『そういえばダーク・クルセイダーさん

E・HEROレディ・オブ・ファイアの効果って何ですか？』

『レディ・オブ・ファイアは自分のターンのエンドフェイズ時

自分の場に存在しているE・HEROの数×200ポイントのダメージを相手に与える

ま、攻撃力1300でエンドフェイズなんて迎えたら次の相手ターンに破壊されるだろうな』

確かにね

しかも種族も戦士族じゃなくて炎族  
随分変わったE・HEROね。

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、Eーエマージェンシーコールを発動！

デッキからE・HEROを手札に加える

俺はデッキからE・HEROザ・ヒートを手札に加える！」

十代もザ・ヒートを手札に？

あんなモンスター、十代は使ってなかったと思うんだけど  
どこで手に入れたのかしら？

「更に魔法カード、融合を発動！」

手札のザ・ヒートと場のレディ・オブ・ファイアを融合！

出てこい、E・HEROフレイム・ブラスト！」

た、タッグパートナーのモンスターと融合！？

また随分と面倒な……よくするわね

どうしてそんな難しい事をするのかしら？

というか、自分達がコスプレをしているモンスター同士の融合？

ジュンコの顔が真っ赤じゃない……あの顔は絶対にフレイム・ブラ  
ストの熱さじゃないわね

ソリッドビジョンだから元々熱くないでしょうけど

何を想像したのやら……青春してるわね、生々しい青春にならない  
と良いけど。

「攻撃力2300？」

その程度だったらメカニカル・ハウンドの攻撃力2800の方が上  
よ」

「まあな、だけど俺のターンはまだまだ続くぜ！

魔法カード、フェイク・ヒーローを発動！

手札のE・HEROを特殊召喚する

ただし、この効果で特殊召喚したE・HEROは攻撃できないし、エンドフェイズに手札に戻る

俺が特殊召喚するのはE・HEROネオスだ！」

あーあ……また出たわね、ネオス

でも、まだメカニカル・ハウンドには勝てないわよ？

十代の事だし、まだ通常召喚もできるからこの後は予想できるけど。

「更にNフレア・スカラベを召喚！  
ネオスベーション

ネオスとフレア・スカラベをコンタクト融合！

現れる、E・HEROフレア・ネオスを特殊召喚！」

ほら、やっぱり出てきた

でもこれ、1ターンでできる状況じゃないわよね？

ジュンコのレディ・オブ・ファイアが居なかったらどうなったのかしら？

良いコンビと言うべきか、ナイスカップルと言うべきか、どっちかしらね。

「最後に装備魔法、インスタント・ネオスペースをフレア・ネオスに装備させる

このカードはネオスを融合素材としたモンスターしか装備できない  
そしてこのカードを装備したモンスターはエンドフェイズ時にデッキに戻る効果が無くなるんだ

更に、フレア・ネオスの攻撃力は場に存在している魔法、罠カードの数×400ポイントアップする



場に存在している魔法、罠カードは全部で6枚  
よって攻撃力は2400アップし、攻撃力は4900だ!」

「攻撃力……4900!?」

これはまた……凄いわね

よくこんな攻撃力を当たり前に出せるわ

雪乃達の場合にカードが4枚も有るからかなり強力ね

私だったらどうやって倒せば良いかしら……

「バトルだ!

フレア・ネオスでメカニカル・ハウンドに攻撃!

バーン・ツー・アッシュ!」

「そんな攻撃、まともに受けられないわよ

罠カード、ライジング・エナジーを発動

手札を1枚捨て、選択したモンスターの攻撃力を1500アップさせるわ

私が選択するのは当然、メカニカル・ハウンド

攻撃力は4300だから勝てないけど、受けるダメージは大きく減らしたわよ」

雪乃が受けたダメージは600

ライジング・エナジーを発動しなかった場合、受けたダメージは2100

確かにかなりダメージを減らせたわね。

「ちえ……フレイム・ブラストで黒焰トークンに攻撃だ!」

胸元から打ち出される炎に焼き尽くされる黒焰トークン

黒い炎の黒焰トークンが普通の炎に爆殺される  
なんとなくシュールな光景ね……

「俺はこれでターンエンドだ」

「俺のターン、ドロー！」

漆黒のトバリの効果を発動する

ドローフェイズ時にドローしたカードが闇属性モンスターだった場合  
そのカードを墓地へ送り、更にもう1枚ドローできる

俺がドローしたカードは闇属性、ゼータ・レティキュラント

このカードを墓地へ送り、再びドロー

ドローしたカードは闇属性、ネクロフェイス

このカードも墓地へ送り、もう1枚ドロー」

墓地にカードを送って何を……しかもネクロフェイス？

あのカードは除外してこそ意味が有るカードよね？

なのにどうして墓地へ送ったのかしら？

除外する為のカードが無かったとか？

「手札のLV5以上の闇属性モンスター、ゼータ・レティキュラントを墓地へ送り

手札のダーク・グレファアを特殊召喚！

そして伏せていた永続魔法、異次元隔離マシンを発動！

お互いの場に存在しているモンスターを除外する！

俺の場に存在するダーク・グレファアと遊城先……ザ・ヒートの場合  
に存在するフレア・ネオスを除外！」

闇の誘惑で墓地に送られない為に伏せたカードね

最初だったから相手の場にモンスターは居ないし

ゼータ・レティキュラントも墓地に無かったから使う必要が無かつ

たのね。

「ゲッ……マジかよお

だけど、インスタント・ネオスペースの効果発動！

このカードを装備したモンスターが場から離れた時

自分の手札、デッキ、墓地からネオスを特殊召喚できる！

俺はこの効果でデッキより、ネオスを特殊召喚！」

ネオスの顔を見た瞬間、ゆまが凄く嫌そうな顔をした

何かネオスの件で嫌な事でも有ったのかしら？

ゆまってネオスを見るのは初めてだったと思うんだけど。

「ネオス……また出テきた！（何度も何度も……急いデ潰さないとい！）」

墓地に存在するゼータ・レティキュラントの効果も発動！

ゼータ・レティキュラントが墓地に存在している時

相手の場のモンスターが除外される度、自分の場にイーバトークン

を特殊召喚する

墓地には2体のゼータ・レティキュラント、よっテイーバトークン

を2体特殊召喚

更に2体のイーバトークンを生ケ贄に捧ゲ、光神機―轟龍を召喚！

冥界の宝札の効果が発動

2体以上のモンスターを生ケ贄に捧ゲテ生ケ贄召喚に成功した時、

2枚ドローする！」

な、なんだか随分と焦ってるわね

ネオスが出てきただけでどうしてそんなに焦るのかしら？

「そして墓地の闇属性モンスター、異次元の偵察機

ゆき……カイエンの墓地に存在している光属性モンスター、ギルフ

オード・ザ・ライトニングを除外  
カオス・ソーサラーを特殊召喚！」

なんだかやけに本気ね

そんなにネオスが怖いのかしら？

確かに十代のネオスは何度も出てくるけど……

『ギルフオード・ザ・ライトニング？

いつ墓地に送られたっけ？』

『ライジング・エナジーの時だろ

効果を発動するには3体の生け贄が必要だからな

しかも黒焰トークンは闇属性モンスター専用

光属性のギルフオード・ザ・ライトニングを手札に持っても意味が薄かったんだろ

効果を使わない場合、メカニカル・ハウンドの方が優先順位が高い  
メカニカル・ハウンドは手札が0枚の時、相手は魔法カードが使用  
できないからな

今のターンプレイヤーであるゴーズの手札が0枚になった場合も相手は魔法カードが使えなかったし

まあ、既に破壊されているから関係無い話だな』

「カオス・ソーサラーの効果を発動！

1ターンに1度、場に存在するモンスターを1体除外できる

ただし、この効果を使ったターンは攻撃できない

カオス・ソーサラーの効果により、ネオスを除外！」

「あああああああ！」

ネオスが除外されちゃったあ！」

カオス・ソーサラーの効果でネオスが除外された  
十代のネオスデッキの要のネオスが除外される……駄目じゃない！  
しかもこの状況だと……危険じゃない？

「相手の場に存在するモンスターが除外された事により、イーバト  
ーくん2体を守備表示で特殊召喚！  
轟龍、フレイム・ブラストに攻撃！」

轟龍の攻撃力は2900、攻撃力2300のフレイム・ブラストじ  
や勝てないわね  
せっかくのカップルモンスターを……まあ当然だけど  
態々一緒に出したモンスターなのに、残念だったわね。

「ふふ、先輩の忠告は覚えておくべきだと思うわよ？  
あいつが言っただって事は気に食わないけどね……先を読まれたみた  
いで

というか、自分が単純になったみたいだし」

ジュンコ？

「永続罠、DNA移植手術を発動！  
場のモンスターは全て、私が選択した属性となる！  
私が選択する属性は水、場のモンスターは全て水属性となるわ！」

「水属性になったぐらいデ何を……  
って、フレイム・ブラストの攻撃力が上がった！？」

ど、どうして攻撃力が？

上がった数値は1000ポイント、という事は攻撃力は……330  
0！

『フレイム・ブラストの攻撃力が……』

『フレイム・ブラストは水属性モンスターと戦闘を行う時、攻撃力を1000ポイントアップさせる

ジョーズマンの時に他の水属性がと言ったが、こっちでも使うのは当然だな

ゴーズは知らなかったとはいえ、少し不用心だったかな？

モンスターは違うとはいえ、せっかくヒントをやったのに……』

瑞貴、それで分かれというのは無謀だと思うわ

そしてジュンコ、貴女のデッキが更によく分からなくなったわ

水属性デッキなのに態々フレイム・ブラストを使ったり

しかもE・HEROを混ぜるだなんて……無謀じゃない？

「フレイム・ブラスト、反撃しなさい！

バーニング・ファイア！」

逆に破壊され、400ポイントのダメージ

これで雪乃達のライフは残り3000

そして、エンドフェイズ時に異次元の偵察機が攻撃表示で戻ってくる

異次元の偵察機の攻撃力は800、攻撃力3300に攻撃されたら残りライフは500になるわ。

常に攻撃力3300はちょっと邪魔ね

倒す手段も、攻撃力を下げる手段も有るけど

たった1枚の手札、ゆまはどうにかできるかしら？

「クッ……ターンエンド

エンドフェイズ時、異次元の偵察機が攻撃表示で特殊召喚さレま……

…さレる」

「ふふん、私のターン、ドロー！

どうせ私達の勝ちだし、最後に見せてあげるわ！

墓地に存在する水属性モンスター、ジョーズマンとビッグ・ジョーズ  
そして炎属性モンスター、E・HEROレディ・オブ・ファイアを  
除外！

フロストアンドフレイム・ツインドラゴン  
氷炎の双竜を特殊召喚！」

…何よ、このモンスター？

水竜と火竜が合わさったような…

フロストアンドフレイム・ツインドラゴン  
『氷炎の双竜ですか…珍しいですね』

『それは仕方無いだろ

水属性デッキに炎属性を混ぜる事自体、難易度が高いんだ

あの変則水属性デッキには炎属性としてE・HEROのフレイム・

ブラスト系を入れる

他にも水属性モンスターが増える事で効果を発揮できるジョーズマン

E・HERO自体、属性に関係する効果は少ないからザ・ヒートの

デッキと組みやすい

他にも相手のモンスターも水属性になるんだ、水霊使いエリアを入  
れても厄介だろうな

属性を統一する事に意味が有るモンスターも居るし、相手の属性系  
コンボも無力にできる

しかし墓地の属性は変わらないという点から氷炎の双竜も使える  
フロストアンドフレイム・ツインドラゴン

除外コストになる、効果で強化できるなどと利点は多い

使いこなせるかどうかは別だがな』

「うっさいわね解説！ ちゃんと使えてるんだから文句を言うな！

魔法カード、アクア・ジェットを発動！

エンドフェイズ時まで水属性モンスターの攻撃力を1000ポイントアップさせる！

フロストアンドフレイム・ツインドラゴン  
この効果で氷炎の双竜の攻撃力を1000ポイントアップよ！  
フロストアンドフレイム・ツインドラゴン  
氷炎の双竜で異次元の偵察機に攻撃！」

フロストアンドフレイム・ツインドラゴン  
氷炎の双竜の出す水流に吹き飛ばされる異次元の偵察機

炎の体でもあるのに攻撃は水なのね……このモンスター、水属性かしら？

除外するモンスターも水属性が多かったし、水の部分が多いという事？

そしてこの攻撃で1500のダメージだったけど、アクア・ジェットの効果で2500のダメージ残りライフは500……雪乃達の負けね。

「これで終わりよ！

フレイム・ブラストでカオス・ソーサラーに攻撃！  
バーニング・ファイア！」

フレイム・ブラストが胸元から撃ち出す炎に焼かれるカオス・ソーサラー

でも、今はフレイム・ブラストは水属性なのよ？

確かに炎族だけど、それでも水属性なのよ？

別に良いけど……胸元から水が出てきたらそれはそれで変だし。

「クッ……例エわ……じゃなくテ俺達が負けテも

第2第3の敵が現れるだろう、それまデ精々頑張るんだな！」

「貴女の異次元の偵察機が原因で負けたのに何を偉そうに



ゆま、貴女はもっと反省するべきだと思うわ」

「ぐはぁ！」

そう言って倒れるゆま

事実とはいえ、キつい事を言うわね雪乃  
ついでに演技、頑張ってるね。

「私達の負けよ

先に進んで良いわ……というか、決闘する場所はここだったわね

……次の相手が少ししたら来るわ

私達みたいに甘くないわよ、精々頑張るのね  
ほらゴーズ、行くわよ」

「ちょ、ゆき……じゃなくテカイエン！  
引っ張らないデ、引っ張らないデよ！」

ゆまを連れて行く雪乃

少し離れた場所で止まり、反省会

かなりアツサリ負けたものね、精進しなさい

私も頑張るべきなんでしょうけど……

『最後はアツサリという感じでしたけど、凄い決闘デュエルでしたね』

『……ノーコメントだ

さて、続けるぞ

次の相手だが……ま、頑張れHERO』

誰が相手なのかしら？

一応助けられる側の私からすれば楽な相手にしてあげてほしいわ。

## 144話【爆走学園祭 前編】（後書き）

D・ナポレオン……  
気にしない。

瑞貴がダーク・クルセイダー？

格好と見た目で決定

ただし、仮面を付けているので瑞貴には全く見えない  
細かい事は気にしない。

金の使い方が……というか使いすぎ！

偶には無駄に使うべきだと思います

それが金持ちの使命……というか義務ですし。

それぞれの格好の意味は？

レイの説明している通りです

レイは闇属性モンスターが多い、彰子はジュラックの炎属性繋がり  
雪乃、ゆまは髪色と最上級モンスターを多用し、更にコンビで使う為  
明日香は戦士族、吹雪はフブキングだから、万丈目は……役柄上、  
詳しくは秘密

十代はE・HEROだから、ジュンコはコンビとして同じくE・H  
ERO

ももえはジュンコとコンビにしようかと思いましたが、十代と組ん  
だので獣繋がりで獣戦士族

カミューラはアンデット族の女性型モンスター、更にヴァンパイア  
レディ以外では……

マナはもうアレです、見た目。

そういえば美寿知は？

イエロー、ブルーの祭を楽しんでいます

コスプレしているかどうかは不明

今回の学園祭で登場させる予定はありません。

即興劇にストーリーは有るの？

有りますが、瑞貴はその辺りはかなり適当にしています

ストーリーを簡単に書いた紙をマナに渡し、進行役としています。

教師まで関係者？

関係者です、ちなみに学園長から許可を貰ってでの劇です

なのでこれは正式なレッド寮（瑞貴だからブルー？）の出し物となっています

そしてパンフレットは2種類作成し、劇関係者には劇が書いていない物を渡しています

しかし主役である十代とジュンコにのみ、劇の事を教えています  
それでも、知っているのはレッド寮で劇をする事、主役である事のみです

ストーリーなどは何も知らない状態で、本当に即興で役をしています。

でも、明日香や1年生達が逃げたらどうするの？

衣装を渡した時、特定の時間に来るように指示していますので大丈夫です

もし来なかった場合、代わりに誰かが瑞貴のネタデッキを使用して決闘しますデュエル

が、そんな事をするつもりは無いので全員自分のデッキを使用します  
……吹雪と万丈目は戦士族デッキじゃないけど気にしない。

一部、ジュンコが未来のカードを使用しているような……  
ネットで買っています

既に瑞貴への借金返済は終了しているので面倒なのでそういう事にしてください。

ビッグ・ジョーズの効果が違う

原作効果です

自分が通常魔法を使用したターン、特殊召喚する事ができます  
除外効果は有りません。

ジョーズマンもだけど……ZEXALのカードが数枚出てる  
最新パックで出ますからね、16日発売でしたっけ？

ジュンコが何故レディ・オブ・ファイアを持つてるの？

今回の劇の裏話ですが、瑞貴は主役の2人にカードを少し渡しました  
何を何枚渡したかはご想像にお任せします

フロストアンドフレイム・ツインドラゴン  
なお、氷炎の双竜は渡したカードです。

瑞貴がそう簡単に渡すとは思えない

その通りです、条件付きで貸し出しただけです

もし最後まで勝ち残れた場合、劇の報酬として渡すという事になっています

なので2人共……特にジュンコはかなり必死です、十代とお揃いのカードになるのです。

ゆまが焦ってる……

ジェネックス大会のプロゆまに負けたので

あれだけ何度も出てくれば誰でも嫌になるでしょう  
焦るのも仕方無いと思います。

アクア・ジェットの効果が違う……

原作効果です

エンドフェイズ時まで水属性モンスターの攻撃力を1000ポイントアップします

突進を強化、代償として水属性限定となった感じです

破天荒な風の下位互換ですけどね……条件が無い上に次のスタンバイフェイズ時までですし。

ツイッター……はあ

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
案やネタが浮かんでも、書く気が起きなければ無意味ですね。

## 145話【爆走学園祭 中編】（前書き）

「今日の最悪カードは……はあ、古の森よ  
フィールド魔法で発動時に裏側守備表示のモンスターは攻撃表示に  
なるわ

リバース効果も発動しないしね  
で、モンスターで攻撃したら攻撃したモンスターがバトルフェイズ  
終了時に破壊されるのよ  
ったく……鬱陶しいったらありやしないわ」

攻撃型性格には鬱陶しい事この上無いカード、ジュンコでした  
彼女の担当は今日の最悪カード……誤字に非ず。

最近、やっと調子が戻ってきました  
なので今日もPCと向き合って執筆です  
あー……腰が痛い。

今更ながら、我ながらよく毎日のように座ってPCができたものです  
腰とか肩とか首とかがなかなか痛まないって……自分の体が謎です  
もしかして慣れていて痛みや歪みに気付いていない？  
……怖い想像になりそうだったので止めます、気にしないでください  
マッサージとか、したことも無いんですけどね、どうしてだろう？

今回は原作オリジナルカードが満載です  
というかなりの数です、多いです、半分ぐらいはそうかもしれま  
せん……多分

理由はやっと漫画を買ったから、少しだけですけど  
なので今後、漫画オリジナルカードがうろちよろ出てきます

効果とか複雑だし、色々と面倒ですが作者は自重しない……少しはしますけど

……そういえばどの作品が何巻まで出てるんですかね？

ネギま！の小説も始めたのですが、一応こっちを優先します

が……まだ始めたばかりなので最初の内はネギま！を優先

理由は短すぎて何も分からない、方向性も理解できないからです  
なのでそちらをある程度進めたらこちらを優先します

……そのままネギま！に移らないように注意しながら。

という訳なので次はネギま！投稿後ですね

なので早くて……多分明後日？

最近はアレだったので信用は無さそうですけど。

## 145話【爆走学園祭 中編】

視点 レイ

『えっと……次の対戦カードですが』

E・HEROザ・ヒート&E・HEROレディ・オブ・ファイアV  
レディバンサー  
S女豹の傭兵&メデューサの亡霊チームです  
どうしてこんなチームにしたんですか？』

『なんとなくだ』

いや、それは理由としてどうなんだろう？  
でもカミューラさんとももえさんのコンビかあ……  
あんまり戦いたくないなあ。

「お、カミューラが相手か  
デュエル  
そういえばお前とは決闘してなかったな  
デュエル  
楽しく決闘しようぜ！」

「……はあ、何で私がこんな事を  
私は役なんてしないわよ、普通にするわ」

「ももえ、絶対に私が勝つわ！」

「あら、私も負けるつもりは有りませんのよ？  
レディバンサー  
でも……女豹の傭兵はどんな性格がいいのでしょうか？」

ももえさん、そういう問題じゃないと思うんだけど



そしてカミユーラさん、頑張って役になって  
じゃないと気まづくなりそうだもん。

『えーつと……ストーリーとしては

悪の親玉は闇魔界に居て、その魔界への入り口を守る門番が女豹レディパンサーの  
傭兵

入り口付近で人を襲っていたりするのがメデューサの亡霊です

E・HERO達はメデューサの亡霊に絡まれたのですが、それを止  
めに来た女豹レディパンサーの傭兵

しかし魔界へ行こうとしている者なのでE・HEROを止めなけれ  
ばなりません

そこでタッグへなった……という感じです』

今更だけど、誰がストーリーを考えたんだろう？

よく有るようなお話だし……まさか瑞貴さん？

でも瑞貴さんだったらもっと嫌らしい……酷いストーリーな気がする。  
る。

「んー……ごほん

ここを通すなど、あの人からの命令よ！

通りたければ私を倒してから進みなさい！」

「(……よく乗れるわね)

ふう、私と遊んでもらうわよ

楽しませなさい」

カミユーラさんは日傘を差してるんだけど……大丈夫なのかな？

そう思った時、近くに居た剣山さんに手招きをして呼ぶ

傘を渡し、日が当たらないように持てと命令されて……嫌そうな顔  
をした。

『ティラノ剣山、メデューサの亡霊の傘を差しておけよ  
もし日光を当てたら死ぬかもしれんしな』

『カミューラさんはヴァンパイアですから  
日光とか駄目なんです  
気をつけて日傘をさしてあげてくださいね』

仕方なさそうな顔をして日傘を持つ剣山さん  
でもあの日傘……かなり大きいよね？  
ビーチパラソルより少し小さいぐらいだし、重そう  
というか重たいって剣山さんの顔が言ってる  
それを平気で持っていたカミューラさんの腕力って……

「あー……俺達はクイーンズ・ナイトを助けないといけないんだ！  
だからここは通らせてもらうぜ！」

「そういう事よ  
邪魔するなら、容赦はしないわ！」

あんまり台詞は言わなくても良いとはいえ、大変だね  
一応の形でも劇はしないと駄目だし。

「「「<sup>デュエル</sup>決闘！」「」」」

「最初は私のターン、ドロー！  
フィールド魔法、古の森を発動しま……する」

辺りが綺麗な森に変わった……古の森？  
どんな効果のカードだろう？

なんだか凄く綺麗な場所って感じ。

『古の森ですか？』

知らないカードなんですけど』

『効果はお楽しみ』

先に知ったらおもしろくないだろう？』

それ、解説の仕事を放棄してない？

一応解説なんだからちゃんと説明してよ。

「ダーク・クルセイダーさんがそう言うのなら、そうしておきますか  
モンスターをセット、カードを1枚伏せてターンエンドです……タ  
ーンエンドだ」

レディバンサー  
女豹の傭兵は凛々しいってキャラになったんだ  
口調の癖が大変そう……頑張って、ももえさん！

「俺のターン、ドロー！」

E・HEROバブルマンを召喚して、効果を発動！  
バブルマンが召喚された時、自分の場にカードが無い場合、2枚ド  
ローする！

そして手札から魔法カード、融合を発動！

手札のフェザーマンと、場のバブルマンを融合！

E・HEROセイラーマンを融合召喚！」

セイラーマン……確かカードを伏せている時、ダイレクトアタック直接攻撃ができるモ  
ンスター

攻撃力は1400と、そこまで高くないけど  
ダイレクトアタックそれでも、直接攻撃はかなり鬱陶しそう。

「セイラーマンは自分の場に伏せカードが存在している時、ダイレクトアタック直接攻撃ができる」

カードを1枚伏せて、セイラーマンでダイレクトアタック直接攻撃！」

「クッ」

簡単に受けるももえさん

1400のダメージなのに……何もしないの？

「ふ……ふふふ」

貴方はこの美しい森の恐ろしさを知らない  
神聖なる森で争う事、それは神罰に値する」

「どういう意味だ？」

「古の森の効果

モンスターが攻撃を行った場合、そのモンスターをバトルフェイズ  
終了時に破壊する

つまり、今攻撃したセイラーマンは……消える」

それってつまり……えええ！？

攻撃した瞬間にそのモンスターが破壊されるって事！？

そんな事したら攻撃なんてできないじゃん！

そう思った瞬間、セイラーマンが破壊された

十代さんの場合はガラ空き……ダイレクトアタック直接攻撃を受けたら危ないかな  
でも、もう通常召喚してるからモンスターは出せない。

「変なフィールドカードだな……ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー  
ゴブリンゾンビを召喚、ダイレクトアタック直接攻撃！」

カミューラさんのゴブリンゾンビは十代さんを攻撃  
十代さんは伏せカードを使わないまま、この攻撃を受けて1200  
のダメージ

あまり大きなダメージじゃないかもしれないけど……

「ゴブリンゾンビの効果発動

このモンスターが相手に戦闘ダメージを与えた時  
相手のデッキの1番上のカードを墓地へ送る」

「（グロー・モスか……）」

「そして、古の森の効果でゴブリンゾンビは破壊されるわ  
だけど、ゴブリンゾンビの効果発動

このモンスターが場から墓地へ送られた時  
守備力が1200以下のアンデット族モンスターを手札に加えられる  
デッキより、守備力800の牛頭鬼を手札に加えるわ」

牛頭鬼？

知らないカードだけど……どんなカードだろう？  
絶対に嫌なカードなのは分かってるけど。

「バトルフェイズ終了  
デュアルサモン魔法カード、二重召喚を発動

このターン、もう1度だけ通常召喚ができる  
私はさっき手札に加えた、牛頭鬼を召喚するわ」

頭が牛の、変なモンスターが出てきた

牛頭鬼……攻撃力は1700、守備力は800のアンデット族モンスター

どんな効果だろう？

「牛頭鬼の効果を発動するわ

1ターンに1度、デッキからアンデット族モンスターを墓地へ送る私が墓地へ送るモンスターは精気を吸う骨の塔ボーンタワーよ」

あのモンスターは確か……去年の学園祭の時、ボクと戦った時に使っていたカード

デッキ破壊……あの時は凄く危なかったなあ

なんとか精気を吸う骨の塔ボーンタワーを奪って逆にデッキ破壊できたけどもし失敗していたら絶対に負けていた。

「魔法カード、生者の書―禁断の呪術―を発動

自分の墓地に存在するアンデット族モンスターを特殊召喚し

その後、相手の墓地に存在するモンスターを除外する

私はさっき牛頭鬼の効果で墓地へ送った精気を吸う骨の塔ボーンタワーを守備表示で特殊召喚

そして、融合に使用されたバブルマンを除外するわ」

まさかまたデッキ破壊を狙ってる？

でもタッグ決闘デュエルだったら難しいはず

なのにどうしてあのデッキを？

「永続魔法、戦場の惨劇を発動

このカードが存在している時、攻撃宣言を行ったプレイヤーはそのバトルフェイズ終了時にデッキからカードを5枚墓地へ送る」

またデッキ破壊のカード！？  
しかもこれって……古の森とのコンボ！

古の森の効果でモンスターを増やさせず  
戦場の惨劇の効果でデッキを破壊していく  
攻撃速度は明らかに遅くなって、デッキは破壊し尽くされる  
即席コンビなのに、凄くデッキの相性が良い。

……そうだ、ももえさんの本来のデッキは確かロックバーン  
相手の行動を封じ、効果ダメージを与えていくデッキ  
カミューラさんはロックデッキ破壊  
お互いに使いたいカードが同じだから……厄介なコンビになったんだ。

「もう1枚永続魔法、奇奇怪怪を発動  
このカードが存在している限り、場に存在している全てのモンスターはアンデット族となる  
私はこれでターンエンドよ」

『なんだか知らないカードが大量に出てきたんですけど  
それぞれどんな効果で、何を狙ってるんですか？』

『メデューサの亡霊が狙っているのはデッキ破壊だな  
奇奇怪怪は場に存在するモンスターを全てアンデット族にする  
そうする事で、場に現れたモンスターは全てアンデット族となる  
精気を吸う骨の塔はアンデット族モンスターが特殊召喚された時  
相手のデッキから2枚、カードを墓地へ送る効果を持っている  
奇奇怪怪の効果で場に現れたモンスターは全てアンデット族になっているからな  
特殊召喚されたモンスターも全てアンデット族となっている』

つまり、どんなモンスターが出てきても精気を吸う骨の塔ボーンタワーの効果が発動する

更に戦場の惨劇の効果により、攻撃をしたターンのバトルフェイズ終了時にデッキ破壊をする

大量のモンスターで攻撃をすればそこまで怖くないんだが……古の森が邪魔だな

あのカードの効果により、攻撃したモンスターはバトルフェイズ終了時に破壊される

最上級モンスターを特殊召喚しても、攻撃してもデッキとモンスターが破壊される

そして精気を吸う骨の塔ボーンタワーを早く倒そうにも

自身以外のアンデット族モンスターが自分の場に存在している時、攻撃されない効果を持っている

つまり、精気を吸う骨の塔ボーンタワーを倒すには他のモンスターを全滅させる必要が有る

デッキが破壊し尽くされる前にあのコンビを倒せるか……微妙だな』

『……長々と解説ありがとうございます』

『俺としては半分適当に選んだコンビだったんだがな（残り半分は狙っていたが）

どっちのデッキも知っているが、ここまでマッチするとは思わなかった

まあ、運が悪かったと思って諦めろ』

解説は凄かったけど、最後のは余計じゃない？

十代さんは気合を入れてるし、ジュンコさんは怒ってるよ

やる気が出たんだったら良いかもしれないけど。

それにしても……あの壁をどうやって突破すれば良いんだろう？



ボクだったら精気を吸う骨の塔を奪えば済むけど  
他の人だったら難しいんじゃないかなあ？

「ぜ、絶対に負けてやらないんだから！

私のターン、ドロー！

永続魔法、ウォーターハザードを発動！

自分の場にモンスターが存在していない時

1ターンに1度、手札からLV4以下の水属性モンスターを特殊召喚できる！」

「あらあら……態々ダーク・クルセイダーが解説してくれたのに  
自分からデッキ破壊を受け入れるだなんてね

精気を吸う骨の塔の効果をもう1度言っておいてあげる

アンデット族モンスターが特殊召喚された時

相手のデッキからカードを2枚墓地へ送るのよ」

「グッ……手札からガガギゴを特殊召喚！」

水属性爬虫類族の通常モンスター

それでも、攻撃力は1850と高め

下級モンスターではちょっと厄介かも。

「でも、そのモンスターは奇奇怪怪の効果でアンデット族となる

そしてアンデット族モンスターが特殊召喚された事で精気を吸う骨  
の塔の効果発動

相手のデッキからカードを2枚墓地へ送る」

「これぐらいなら……更にスクリーチを召喚！」

う……相変わらず気持ち悪いモンスター

爬虫類族だから使おうかちよつとだけ考えたけど止めたっけ  
ボクのデッキは水属性モンスターが少ないし。

「バトルよ！」

ガガギゴで牛頭鬼に攻撃！」

「駄目よ、罨カード、マジックアーム・シールドを発動

相手の攻撃している以外のモンスターのコントロールをエンドフェイズまで得る

そして、そのモンスターが代わりに攻撃を受けるわ

ガガギゴで攻撃した……つまり、残りのモンスターであるスクリーチのコントロールを戴く

さあガガギゴ、スクリーチに攻撃しなさい」

牛頭鬼の腕に玩具みたいな盾が現れ、そこからマジックアームが出てきた

そしてそのマジックアームはスクリーチを掴んで、ガガギゴの前に差し出される

ガガギゴはそのままスクリーチを戦闘破壊する……

あの伏せカード、ももえさんのカードだよね？

って、タッグパートナーのカードを勝手に使うのって有りだったっけでも、一言ぐらい使うって言っても良かったんじゃないかな？

「クッ……でも、戦闘ダメージはそっちが受けるのよ」

でも、与えられたダメージはたったの350

あのデッキはライフなんてあまり気にしないから効果は薄い。

「そしてスクリーチの効果発動

このモンスターが戦闘で破壊された時

デッキから水属性モンスターを2体、墓地へ送る

スクリーチは元々私のモンスター、だから私が効果を発動するわ  
デッキより、黄泉ガエルとゴギガ・ガガギゴを墓地へ送るわ」

ただでさえデッキ破壊が狙われてるのに……

でも、スクリーチの効果は強制効果だから仕方無いか

使いたく無くても、使うしかないんだもん

……ならどうして召喚したんだろう？

「古の森の効果、そして戦場の惨劇の効果が発動するわ

攻撃を行ったモンスターは破壊、更に攻撃宣言をしたのでデッキからカードを5枚墓地へ送りなさい」

ジュンコさん、もう墓地にカードが11枚も……

しかも、またモンスターが場に居ないし

ウォーターハザードの効果も使えない

これって……かなり拙いんじゃない！

「カードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー」

セットしていたモンスター、素早いビッグハムスターを反転召喚

そしてリバーズ効果を発動

自分のデッキからLV3以下の獣族モンスターを裏側守備表示で特殊召喚する

私はデッキより、デスハムスターを裏側守備表示で特殊召喚」

デスハムスターって……確かリバーズ効果モンスター

そして、リバーズした時に自分のデッキからデスハムスターをセッ

トする効果だったはず

という事は……また新しい危険な壁モンスター！？

時間稼ぎにもなるし、モンスターも破壊できる

しかもデッキも無くなっていくから……どうすればいいの！？

「素早いビッグハムスターで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

素早いビッグハムスターの攻撃力は1100

牛頭鬼の攻撃力は1800

十代さん達のライフは残り2800だから……

もし牛頭鬼も直接攻撃したら十代さん達のライフは0！  
ダイレクトアタック

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動！

相手モンスターの攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させるわ  
！」

よし！

これで古の森の効果で素早いビッグハムスターは破壊される  
しかも戦場の惨劇で自分のデッキを破壊だ！

「古の森の効果は攻撃を無効にされた場合、発動しませ……しない  
よって素早いビッグハムスターは破壊されない  
戦場の惨劇の効果でデッキは破壊されるがな」

古の森にもちよつと抜け道が有ったんだ  
でもそれってあまり意味が無いんじゃない……  
寧ろ、自分のデッキを破壊しただけでしょ？

「カードを2枚伏せ、ターンエンド」

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動！ 更に2枚ドローする！

デッキ破壊なんて相手にしてるんだ

だったらさっさと決着を付けてやる！

魔法カード、フェイク・ヒーローを発動！

手札からE・HEROを特殊召喚する！

ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃はできない

そしてエンドフェイズ時に手札に戻る

俺は手札からE・HEROネオスを特殊召喚！」

短期決戦を目的として、特殊召喚を多用するつもりかな？

だとしても、それで間に合うかどうか……

ももえさん達の場合は壁モンスターばかりだよ！

「ふん、奇奇怪怪の効果でネオスはアンデット族モンスターとなるわ  
そして精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>の効果

アンデット族モンスターが特殊召喚された時、デッキを2枚墓地へ  
送りなさい」

十代さんのデッキからカードが2枚墓地へ送られる

でも……何かするつもりだね

絶対に何かするつもりだ！

「へへ、その効果は利用させてもらうぜ

魔法カード、ミラクル・コンタクトを発動！

場と墓地からネオスを融合素材とするネオスとN<sup>ネオスベーション</sup>をデッキに戻し、

コンタクト融合をする！

俺は場に存在するネオス、そしてN<sup>ネオスベーション</sup>・グロー・モス、N<sup>ネオスベーション</sup>・ブラック・  
パンサーをデッキに戻し

トリプルコンタクト融合！ 現れろ、E・HEROカオス・ネオス  
！」

大きな白い羽を生やし、黒と銀混じりの体  
なんだかヒーローはヒーローでも……悪役っぽい。

「また変なのが……でも、精気を吸う骨の塔<sup>ポインタワー</sup>の効果が発動するわ  
デッキからカードを2枚墓地へ送りなさい」

「いや、そうはいかないんだよなあ

カオス・ネオスが特殊召喚されたターン  
相手の場に存在するモンスター<sup>ポインタワー</sup>の効果は無効になる  
だから精気を吸う骨の塔の効果は発動しないぜ！」

なるほど……それなら精気を吸う骨の塔<sup>ポインタワー</sup>を狙う事ができる  
でも攻撃をしたら古の森で破壊されるんじゃない？

「バトルだ！

カオス・ネオスで牛頭鬼に攻撃！」

カオス・ネオスの攻撃で牛頭鬼が破壊される  
ももえさん達に1300のダメージ

これまでの合計ダメージを合わせて3050だから残りライフは9  
50

ダメージは大きいけど、ライフは残ってる  
しかも精気を吸う骨の塔<sup>ポインタワー</sup>も残ってるし……どうするんだろう？

「速攻魔法、コンタクト・アウト！

コンタクト融合したモンスターを融合デッキに戻す  
そしてコンタクト融合した素材モンスターをデッキから特殊召喚す

る！  
デッキよりネオス、グロー・モス、ブラック・パンサーを特殊召喚  
！」

うわぁ酷い

これでネオスが素早いビッグハムスターに攻撃したら十代さんの勝ちだ

ももえさん、あの伏せカード……使わないのかな？

「これで俺達の勝ちだ！  
ネオスで素早いビッグハムスターに攻撃！」

「これ以上は許さない！ 罠カード、地霊術―「鉄」を発動！  
自分の場に存在する地属性モンスターを生け贄に捧げ  
墓地から生け贄に捧げたモンスター以外のLV4以下の地属性モンスターを特殊召喚する！」

「そうはさせるか！  
レディ・オブ・ファイアの伏せていた永続罠、DNA移植手術を発動！

場に存在するモンスターの属性を、俺が選んだ属性に変更させる！  
俺が選ぶのは当然、水属性だ！」

「十代さ……ザ・ヒートにはあまり使いたくないけど  
カウンター罠、魔宮の賄賂を発動！  
相手の発動させた魔法、罠カードを無効にして破壊する！  
その後、相手は1枚ドロウする！」

えっと……色々と動き過ぎてよく分からないや  
何が起こったの？

『……解説のダーク・クルセイダーさん？』

『ネオスが攻撃してきた時、地霊術―「鉄」を発動させたこの効果で地属性モンスター、素早いビッグハムスターを生け贄にして』

戦場の惨劇の効果で墓地へ送られた地属性モンスターを特殊召喚しようとした

しかし、DNA移植手術の効果により水属性へ変更された効果の不適切により、地霊術―「鉄」は不発となるはずだったが魔宮の賄賂の効果でDNA移植手術を無効にして破壊したつまり、結果を言うなら地霊術―「鉄」の効果は成立  
レディバンサー  
女豹の傭兵の戦闘回避は成功という事だ』

『そうなんですか  
では何故、ザ・ヒートにドローさせたくないの？』

『ザ・ヒートのドローは謎に凄まじい  
1枚ドローさせたら不利にさせられるようなカードだって使いそうだからな  
だからあまりドローさせたくないかったんだろう  
しかしこのままでは負けてしまう  
なので仕方無く、ドローさせてしまおうが魔宮の賄賂を使ったんだ』

『あんなに早いのによく解説できますね』

『（寧ろ遅いぐらいだな  
元の世界ですと場が高速で回転しまくるし  
カウンター罠を使おうと思ったらどんどん進められてなあ……タイ  
ミングを逃す、文字通りに



シンクロとか、1ターンキルはそういうのばかりだから嫌なんだよ  
召喚して特殊召喚、即シンクロ

こっちが動く隙さえ与えないんだからな、嫌になる

そしてチェーンして発動とか言うて凄く嫌そうな顔をして、こいつ  
むかつく

みたいな顔をされるんだ……公共の場でなんて絶対に嫌だね、する  
なら友人とひっそりとだ

……もうどっちもできないが」

は……ははは、本当にマナさんの言う通り

あんなに動き回ってよく分かるね

しかもしっかりと解説もしてるし。

「続ける

地霊術―「鉄」の効果により、素早いビッグハムスターを生け贄に  
捧げる

そして墓地より地属性モンスター、素早いモモンガを守備表示で特  
殊召喚」

ま、またリクルーターモンスター……

しかもライフ回復効果も持ってるし

これは十代さん、相当拙いんじゃない？

「攻撃を続けるのならどうぞ

古の森で破壊されてしまうけど」

「……ネオスで攻撃を続行！

攻撃対象は精気を吸う骨の塔だ！  
ポインタワー  
ラス・オブ・ネオス！」

精気を吸う骨の塔がネオスのチョップで破壊された  
後に残っているのはももえさんのリクルーターモンスター  
破壊しても壁として残られちゃう。

「バトルフェイズはこれで終わっておく  
そしてバトルフェイズ終了時、ネオスは古の森の効果で破壊される」

ネオスは破壊されて墓地に送られた  
でもこの後はどうするんだろう？  
戦場の惨劇の効果も残ってるんだよ？

「この瞬間に罠カード、N・シグナルを発動！  
自分のモンスターが破壊された時  
デッキか手札から<sup>ネオスベーション</sup>Nを特殊召喚する！  
俺はデッキから<sup>ネオスベーション</sup>N・アクア・ドルフィンを特殊召喚！」

狼煙って言うんだっけ？  
それが上げられて、Nの文字で空に浮かんでる  
ヒーロー・シグナルだったらライトだったんだけど……こっちは煙  
なんだ。

そして出てきたのはイルカ……なのかな？  
例えばイルカだとしてもあの見た目はあんまり可愛くない……

「でも、戦場の惨劇の効果을忘れていないでしょうね？  
デッキからカードを5枚墓地へ送りなさい」

うわあ……色々してるから更にデッキが減っちゃうなあ  
あんなに墓地に送られて大丈夫かな？

「魔法カード、ネオスペーシアンエクステンNEXを発動！」

自分の場に存在するNと名の付くモンスターを1体選択して墓地へ送る

そして墓地へ送ったモンスターと同名扱いであるLV4のモンスターを特殊召喚する！

俺は場のアクア・ドルフィンネオスペーシアンを墓地へ送り、N・マリン・ドルフィンネオスペーシアンを特殊召喚！」

ちょっと見た目が変わったアクア・ドルフィン？

水色だったのが暗い青になったというか……なんだろう？

「更に魔法カード、スペーシア・ギフトを発動！

自分の場に存在するNネオスペーシアンの数だけドローする！

俺の場にはNネオスペーシアンは3体、だけどマリン・ドルフィンはアクア・ドルフィンとしても扱う

よって合計で4体分となり、4枚のドロー！」

4枚のドローって……ええ！？

どうしてそんなにドローできるの！？

さっき強欲な壺も使ったんだよ！

そんなにドローしたらデッキが無くなっちゃうよ！

「まだ終わらないぞ！

魔法カード、ホープ・オブ・フィフスを発動！

墓地のE・HEROと名の付くモンスターを5枚デッキに戻してシヤッフル

その後2枚ドローする

俺はフェザーマン、ネオス、エッジマン、ワイルドマン、セイラーマンをデッキに戻す

そして2枚ドロー！」

まだドロし足りないの？

いったい何枚ドロするつもりなんだろう？

「魔法カード、融合を発動！

手札のフェザーマンとバーストレディを融合！

来い！ E・HEROフレイム・ウィングマン！」

うわぁ……どんどん特殊召喚してる

どうやったらこんなになるんだろう？

もしかしてこれが十代さんの普通なのかな？

「魔法カード、ヒーロー・マスクを発動！

デッキからE・HEROを墓地へ送り、場のモンスターをそのモンスターと同名として扱う

俺が選択するのはネオス、ネオスを墓地へ送る！

そして場のブラック・パンサーをネオスとして扱う！

更にネオスとなっているブラック・パンサーとマリン・ドルフィン  
をコンタクト融合！

E・HEROマリン・ネオスを特殊召喚！」

……あれ？

コンタクト融合ってこんなに簡単にできるものだっけ？

うーん……ボクは使った事が無いからちょっと分からないかな。

『（……これが主人公補正か？

それともカップル補正なのか……さすが主人公、恐ろしいな）』

コンタクト融合って簡単なんだ

うん、きつとそうだよ

だってプロのゆまさんだって簡単にネオスを出しまくってたし  
ネオスなんて簡単に出せるからコンタクト融合も簡単なんだね。

……うん、そう言ってよ、お願いだから。

「マリン・ネオスの効果を発動！

1ターンに1度、相手の手札をランダムに1枚選択し、破壊する！」

今のターンプレイヤーはももえさん

だからももえさんの手札が1枚破壊される……

「（キャトルミューティレーション……

アンデット族になっているから関係無いですわね

奇奇怪怪が破壊されるのでしたら話は別ですが）」

「最後にカードを1枚伏せて、ターンエンドだ

エンドフェイズ時にコンタクト融合したモンスターはデッキに戻る  
けど

マリン・ネオスはデッキに戻る効果は無い

だからこのままだ」

数少ないネオス融合体の弱点が無い！？

しかも手札破壊までできるし……どうなってるの！？

「鬱陶しいモンスターばかり並べて……私のターン、ドロー！

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

魔法カード、幽合を発動！

場とデッキ、または墓地のモンスターを除外してアンデット族融合  
モンスターを特殊召喚する！」

アンデット族の融合モンスター!?

でも場と、デッキか墓地と融合でしょ!

場に居るのは素早いモモンガと裏側表示のデスハムスター  
どうやってもアンデット族の融合モンスターは出てこない!

「場のデスハムスターと、デッキのネクロフェイスを除外して融合!  
現れなさい、冥界龍ドラゴネクロ!」

巨大な龍?

……違う、もっと違う何か?

ゾンビになったドラゴンなの?

「で……でけえ」

「一応、精気を吸う骨の塔よりは小さそうよ」  
ポインタワー

アレと同じにしたら駄目だと思う

あのモンスターの大きさは王立魔法図書館並だと思うし。

「更に除外したネクロフェイスの効果発動!

このカードが除外された時、お互いのプレイヤーはデッキの上から  
5枚を除外する」

「げえ! 除外かよ!」

ネクロフェイスまで入ってるなんて……

本当にデッキ破壊ばかり考えられているデッキなんだ

あのデッキとはもう戦いたくないなあ。

「……除外された5枚の中にもう1枚ネクロフェイスが入っていたわ

よって、再び5枚のカードを除外よ」

再び、お互いにカードを5枚除外する

十代さんのデッキは残り8枚

削り切れても、次の十代さんのターンにならないと終わらない  
だとしても……もうすぐに終わっちゃうよ！

「速攻魔法、異次元からの埋葬を発動するわ  
除外されているモンスターを全て墓地へ戻す  
あんたのモンスターもよ」

除外したモンスターを墓地へ戻した……  
目的はネクロフェイスの再利用？

でもカミューラさんに手札は1枚しか無い  
例えそうだとしても、行動できる事は少ないはず。

「墓地に戻した馬頭鬼の効果を発動  
馬頭鬼を除外し、墓地からアンデット族モンスターを特殊召喚する  
精気を吸う骨の塔ボーンタワーを守備表示で特殊召喚」

また出てきた！？

アンデット族モンスターが居るから攻撃できないし  
そもそも、攻撃力3000の冥界龍ドラゴネクロが居る  
これを突破するのは……

「2体目の馬頭鬼の効果を発動

馬頭鬼を除外し、牛頭鬼を特殊召喚

更にアンデット族モンスターが特殊召喚された事で精気を吸う骨の  
塔ボーンタワーの効果発動

相手はデッキからカードを2枚墓地へ送る」

十代さんのデッキは残り6枚

このまま削りきられたら……負ける！

「3体目の馬頭鬼、効果発動

除外して、墓地よりゴブリンゾンビを特殊召喚

精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>の効果、デッキからカードを2枚墓地へ送りなさい」

残りは4枚……

一応、デッキが0枚になってもドローしなかったら生き残る

だけど……ジュンコさんが勝たないと十代さんのターンになってしまふ

そうなたら十代さんはドローできなくなり……敗北。

「牛頭鬼の効果、1ターンに1度、デッキからアンデット族モンスターを墓地へ送る

そして場のアンデット族モンスター……牛頭鬼とゴブリンゾンビの2体を生け贄に捧げるわ

墓地より黄泉帰りなさい、九尾の狐を特殊召喚！」

九尾の……狐？

綺麗な狐……でも尻尾が9本も有る

でも何だか怖い感じかな

というか、狐なのにアンデット族なの？

「特殊召喚に成功したわ

精気を吸う骨の塔<sup>ボーンタワー</sup>の効果でデッキからカードを墓地へ送りなさいな」

残りデッキ枚数は2枚



あと1回、カミューラさんが特殊召喚をしたら……

「ゴブリンゾンビの効果を発動

デッキから守備力1200以下のモンスターを手札に加える

私はデッキより、酒吞童子を手札に加えるわ

そしてこのターン、私はまだ通常召喚を行っていない」

そういえば……まさかこの状況で更にモンスターを召喚するつもりなの!?

でも、もうモンスターを通常召喚したら5体になる

特殊召喚はできなくなるし、精気を吸う骨の塔の塔の効果も使えないはず!

「さつきゴブリンゾンビの効果で手札に加えた酒吞童子を……一応  
守備表示で召喚!

そして酒吞童子の効果を発動

1ターンに1度、2つ有る効果から1つを選択して発動できる

1つは除外されているアンデット族モンスターをデッキの一番上に置く

もう1つは墓地のアンデット族モンスターを2枚除外してドローする効果よ

私はドロー効果を選択する

除外するモンスターは……ネクロフェイイスと牛頭鬼を除外してドロー

除外されたネクロフェイイスの効果を発動

お互いにデッキからカードを5枚……除外する」

「嘘……だろ?」

特殊召喚なんてしなくても良かったって事みたいだね  
まさかこんな使い方をして除外してくるだなんて……

いや、それよりも1ターンで合計21枚もデッキ破壊する方が凄い十代さんのデッキは18枚だったからオーバーキルっぽい状態だけだ。

なのに、なのにカミューラさんの手札は2枚

最初にドローしてから、1枚も減っていない状態

手札は入れ替わっているけど、それでも減ってないってどういう事なの？

「これであんたのデッキは0

次のあんたのターンで負けよ

でもどうせだから……攻撃してあげるわ！」

追い打ち！？

カミューラさん非道！

そこに痺れず懂れない！

今の十代さん達のライフは2800

もしこのまま攻撃されたらライフは無くなる！

「最初はそうね……九尾の狐でグロー・モスに攻撃！」

「グロー・モスの効果発動！

このモンスターが戦闘を行う時、相手はカードを1枚ドロウする

そのカードの種類により、効果が1つ発動する！

モンスターだったらバトルフェイズの終了

魔法だったらグロー・モスは直接攻撃ができるダイレクトアタック

罠だったらグロー・モスは守備表示になる

さあカミューラ、ドロウしろ！」

「ふん……罨カード、ツタン仮面よ」

罨カードという事は守備表示になるって事だよね

攻撃力2200の九尾の狐の攻撃が直撃していたら残りライフは900まで減ってたし

魔法カードだったら実際にそうになっていたし、危なかった……

「罨カード、よってグロー・モスは守備表示になる！」

「ふふふ、無駄よ

九尾の狐は自身の効果で特殊召喚された場合、貫通効果を得るわよって戦闘ダメージは受けるのよ！

九尾の狐の攻撃、九尾槍！」

九尾の狐が尾を伸ばし、グロー・モスを貫いた  
攻撃力と守備力の差は1300……これで残りライフは1500  
耐えきれなの？

「速攻魔法、神秘の中華鍋を発動しておくわ

自分の場のモンスターを1体生け贄に捧げ、そのモンスターの攻撃力か守備力分のライフを回復する

既に攻撃を行った九尾の狐を生け贄に捧げ、その攻撃力分である2200のライフを回復！」

このタイミングで使うの？

どっちにしても、これで十代さん達の勝機が更に遠のいた

カミューラさん達のライフはこれで3150

1ターンで削られるライフじゃ……ない！

「更に冥王龍ドラゴネクロで……フレイム・ウィングマンに攻撃す

るわ

ソウル・クランチ！」

900のダメージ……残りライフは600

こうなったら本当に危険過ぎる！

……あれ？

「ど、どうしてフレイム・ウィングマンが破壊されていないんだ？  
それにカミュ……じゃなくてメデューサの亡霊の場にフレイム・ウィングマンが居るだど？」

『さっきから色々と有りすぎて混乱中のマジシャンズ・ヴァルキリアです

ですがこれはもう……何がどうなってるんですか？

この状況を解説してください、ダーク・クルセイダーさん』

『冥界龍ドラゴネクロの効果だ

あのモンスターと戦闘したモンスターは戦闘では破壊されない

そして戦闘後のダメージ計算終了時、相手モンスターの攻撃力は0となる

更に表示形式の変更ができなくなり、戦闘破壊されなくなる効果を得る

そしてその後、ダークソウルトークン……つまり戦闘を行ったモンスターの魂を特殊召喚する

ダークソウルトークンの攻撃力は戦闘を行ったモンスターの元々の攻撃力となる

つまり……ドラゴネクロの攻撃に、攻撃力0の本体へのトークンの攻撃

そのダメージを合計すると3000……自分の場に空きが有り、攻

撃表示モンスターを攻撃した場合

3000ポイントの戦闘ダメージが約束される……防がれたりしない限りだけどな』

十代さんの残りライフは600

そしてフレイム・ウィングマンの姿をしたダークソウルトークンの攻撃力は2100

これを防ぐ事は……

「自らの影により、地に堕ちなさい！

フレイム・ウィングマン　ダークソウルでフレイム・ウィングマンに攻撃！

フレイム・ダーク・シュート！」

「罠カード、エレメンタル・チャージを発動！

自分の場に存在するE・HEROの数×1000ポイントのライフを回復する！

俺の場にE・HEROは2体、よって2000ポイント回復だ！」

た……耐えきったあ

見ているこっちがハラハラするよ！

「チッ……もしターンを渡した時の保険で酒吞童子を守備表示にしたけど、失敗だったわね

残りライフ400だったら精気を吸う骨の塔ポインタワーでも勝てたじゃない

バトルフェイズ終了時、古の森の効果で冥界龍ドラゴネクロ、フレイム・ウィングマン　ダークソウルは破壊

更に戦場の惨劇の効果でデッキからカードを5枚墓地へ送るわカードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

か、カミューラさんのデッキも4枚しか無い  
ちょっとデッキを破壊したら負けちゃうよ！

実際、前回はそれでボクが勝ったみたいなものだし。

「私のターン……ドロー！」

まだ負けたわけじゃないわよ……絶対に勝ってやるんだから！  
魔法カード、強欲な壺を発動し、2枚ドロー！

とりあえず、マリン・ネオスの効果発動！

相手の手札を1枚、ランダムに破壊する！」

カミューラさんの残っていた手札は破壊され、墓地へ送られた  
伏せられているカードはやっぱり……ツタン仮面なのかな？

「墓地に存在する水属性のスクリーチとガガギゴ、炎属性のバース  
トレディを除外

フロストアンドフレイム・ツインドラゴン

氷炎の双竜を特殊召喚！」

そういえば墓地は共通だっけ  
だから十代さんのバーストレディを除外できたんだ。

「魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！

場か墓地に存在するE・HEROを除外して融合をする！

ザ・ヒートの墓地に存在するザ・ヒートとレディ・オブ・ファイア  
を除外融合！

E・HEROフレイム・ブラストを融合召喚！」

あ、あれ？

ジュンコさんがミラクル・フュージョン？

そんなにフレイム・ブラストが出したいのかな？

さすがに普通の融合は使わないと思うけど……

それより十代さんのデッキにザ・ヒートとレディ・オブ・ファイアが入ってるんだ  
でも前回の決闘ではジュンコさんがレディ・オブ・ファイアを使ってたよね？

という事はどっちも融合素材をデッキに入れてるのかな？

「最後に……アームズ・シーハンターを召喚！

これが通らなかつたら私達の負けよ！

アームズ・シーハンターで素早いモモンガに攻撃！」

カミューラさんの伏せているカードはツタン仮面のはず

アンデット族モンスターを対象にする魔法、罠カードの効果を無効にして破壊する

……効果モンスターまで防げないんだから氷炎の双竜の効果を**フロストアンドフレイム・ツインドラゴン**使えばいいのに

もしかしてそれに気付いていないのかな？

「素早いモモンガの効果が発動するわ

戦闘で破壊された時、ライフを1000ポイント回復する

デッキから素早いモモンガを特殊召喚できるけど、私のデッキには入っていないわ」

入っていたとしても墓地に落ちてそうだけどね

どうやってもあのデッキに素早いモモンガは入らないし。

「無駄よ、アームズ・シーハンターの効果

それは自分以外に、自分の場に水属性モンスターが居る場合

ダメージ計算終了後、効果モンスターの効果を無効にする

つまり、戦闘で破壊されて発動する素早いモモンガの効果は発動し

ないのよ!」

それでもカミューラさん達のライフは3250  
回復しなくてもかなり大きなライフだよ。

フロストアンドフレイム・ツインドラゴン  
「氷炎の双竜で酒呑童子に攻撃!  
ボーンタワー  
残った精気を吸う骨の塔はフレイム・ブラストで攻撃!」

カミューラさんの壁モンスターが居なくなっていく  
だけど……ライフが最大の問題  
残りライフは3250なんだから……

「マリン・ネオス、メデューサの亡霊にダイレクトアタック直接攻撃よ!」

胸元からビームを出して攻撃するマリン・ネオス  
カミューラさんはその攻撃を受け、残りライフが450まで……だ  
けど。

「くっ……くふふふ、残念だったわね  
最後に残ったのは攻撃力0のフレイム・ウィングマン  
ダイレクトアタック  
例え直接攻撃をしても私へのダメージは無いわ」

「もう何も無いわよ……カードを伏せるぐらいね  
古の森の効果、攻撃をしたフレイム・ウィングマン以外のモンスター  
は破壊される  
戦場の惨劇の効果、デッキの上から5枚が墓地へ送られるわ  
1枚伏せて、ターンエンド」

ジュンコさんの負けかぁ……あとちょっとだったのに、惜しかったね  
この劇も、もう終わるなんて、ちよつと残念。



「私のターン、ドロー」

このまま何もせずにエンドフェイズを迎えると私達の勝ちですわでも、納得できないでしょう？

だから一思いに……終わらせますわ」

攻撃するんだ

ライフを0にして勝つて事だね

やっぱりその方が気分も良いし、ボクもそうする。

「デス・ウォンバットを召喚

バトル……フレイム・ウィングマンに攻撃！」

デス・ウォンバットがフレイム・ウィングマンに突進し、直撃するドラゴネクロの効果で破壊されないけど、戦闘ダメージを……あれ？

「……あら？」

ももえさんのライフが0になってる？

えっと……どうなってるのかな？

「ももえ……私は賭けに勝ったわ

罠カード、異次元トンネル―ミラーゲート―を発動したのよ

E・HEROが攻撃対象になった時、戦闘をするモンスターのコントロールを入れ替える

つまり、あんたの場に攻撃力0のフレイム・ウィングマンが居て、私の場にデス・ウォンバットが居るのよ！」

……うそ？

「本当に賭けだったわ

攻撃されなかったら負け、伏せカードを破壊されても負け、モンスターを召喚されなくても負け  
というか負け要素ばかりだったのよ」

よくもまあ……そんな事をしたね

普通は怖くてできないって……するけど

運要素が強すぎてとてもじゃないけど……

「事故になるって分かってたけど、一応入れてみたのよ、このカード  
元々私達はタッグって知ってたというのも有るけどね  
十代がE・HEROを使うし、私もE・HEROのサポートカード  
を入れようって

最後の最後に、運は私達の味方をしたみたいね」

本当だよ……ももえさんじゃなくてカミューラさんだったら絶対に  
攻撃しなかったし

他にも運が多すぎて数え切れないや。

……まあ、フロストアンドフレイム・ツインドラゴン元々氷炎の双竜の効果を使っていたら賭けなくても勝っ  
てただけどね

気付いてないみたいだし、言わないで置いてあげようっと。

『あー……一応言っておくがな

レディ・オブ・ファイア、そんな賭けをしなくてもお前がミスをし  
なかったら勝っていたぞ?』

「え?」

あ、言っちゃうんだ

瑞貴さんだから言うと思ったけど、本当に言うんだ  
嬉しそうだし、可哀想になるから言わないでおいで  
なんて言っても無駄だろうから何も言わない……逆らうと怖いもん。

『メデューサの亡霊が伏せていたツタン仮面の効果だがな

アレはアンデット族モンスターを対象にした魔法、罠カードの効果  
を無効にするカードだ

モンスター効果は無効にされなかったから、氷炎の双竜の効果を使  
えていた

異次元トンネル―ミラーゲート―を墓地へ送り、モンスターを1体  
破壊していたら普通に終わっていたぞ』

「……………」

全員が沈黙する

嬉しそうにしていたジュンコさんは固まってるし

十代さんはそうだったのかと感心してる……

って、ジュンコさんを慰めてあげたら？

『固まっているレディ・オブ・ファイアはさておきだ

次の決闘を始めようと思う

ちなみに次は火炎E・HEROカップルじゃないからな

お前らはさっさと決闘場から離れろ』

「俺達は別にカップルじゃないんだけどなあ……」

そう言いながら十代さんはジュンコさんを少し離れた場所へ運ぶ

……お姫様抱っこで

どの口でカップルじゃないなんて言うんだろう？

寧ろ、どう見てもバカップル。

「あんたのせいで負けたじゃない」

「うう……申し訳ないです

まさかあんなカードを伏せているとは思わなくて  
てつきりブラフだと思ったんですの」

「はあ」

なんというか……お疲れ様。

『じゃ、次の対戦カードを発表するぞ  
次の対戦は……』

ボクじゃないと良いなあ……

## 145話【爆走学園祭 中編】（後書き）

どうしてももえとカミューラを？

相性が良いと思ったからです

……予想以上で驚きましたけど。

ストーリーは誰が考えたの？

大筋だけ瑞貴、残りはマナです。

ももえのデッキはどうなってるの？

獣族を中心としたロックバーン……の予定だったんですけど随分と変わってしまい、ロックビートという感じですか？

まあ、ジエネックス大会もそんな感じでしたしいかなあと。

あれ？ 牛頭鬼って妖怪族じゃなかった？

漫画版のカードで妖怪族は全てアンデット族になっているそうなんですけどもう面倒になり、妖怪族は全てアンデット族で通します一部微妙なもの居ますが気にしない、気にしたら作者の苦労が水の泡です。

カミューラのデッキはどうなってるの？

アンデットデッキデス＋ネクロフェイスみたいな感じですよ

ただし、ネクロフェイスは半分おまけです

メインはネクロフェイスよりも精気を吸う骨の塔です。  
ボーンタワー

カオス・ネオスの効果が違う……

原作効果です

特殊召喚されたターン、相手モンスターの効果を無効にします  
コイントス？ なんですかそれは？

奇奇怪怪の効果で場のモンスターがアンデットなのにどうしてネオスは精気を吸う骨の塔に攻撃できたの？  
ミスです

正直に言っただけです。

十代のコンタクト融合が……というが強すぎる！  
そうしなければ勝てないので

……カミューラのカードは反則級ばかりなので仕方無いのです  
チートドローをしてもらわないとどうにもできません。

カミューラが怖い……  
そういうキャラですし。

酒吞童子の効果はOCG効果なんだ  
墓地蘇生で攻撃力1500が2000になる  
地味過ぎるそんな効果は要りません  
まあ……明らかにOCG効果の方が強いですしね。

ジュンコが強すぎる！  
……仕方無いんです、でも間抜け。

そういえばスクリーチの効果で墓地へ送られた黄泉ガエルは？  
忘れていました。

まさかの逆転勝利！？  
強引です、しかもアツサリし過ぎです  
……でももうこれしか無かったんです  
作者程度にはこれが精一杯でした……  
自分ではあまり満足していません

……インフェルニティって強いんですかね？ 満足だけに。

バカップルが……バカップルが……

今更氣にしても仕方無いのです

そしてジュンコは抱っこされている事に気付かなかったというオチ  
気付くのは……抱っこされている途中でしょね。

原作、アニメオリジナルカード

牛頭鬼

1ターンに1度、自分のデッキからアンデット族モンスターを墓地  
へ送る事ができる

原作では妖怪族、なのでアンデット族へ変更

普通に凶悪な墓地肥やしモンスターです

馬頭鬼を墓地へ、馬頭鬼除外、特殊召喚が簡単にできます  
ちなみにステータスは馬頭鬼と同じです。

戦場の惨劇

自分のターンに戦闘を行ったプレイヤーはデッキからカードを5枚  
墓地へ送る

デッキ破壊のお供にどうぞ

ニードルワームも一緒だと幸せになれるでしょう

その前に墓地肥やしをされて利用されたら終わりですけど。

奇奇怪怪

場のモンスターは全てアンデット族になる

DNA改造手術で事足ります

違いは永続魔法か永続罠か程度でしょう

普通にアンデット・ワールドを使えという話ですね

しかし今回は古の森が有ったのでこちらにしました。

N・シグナル

自分のモンスターが破壊された時、デッキか手札から<sup>ネオスペーシアン</sup>Nを1体特殊召喚する

ヒーロー・シグナルの<sup>ネオスペーシアン</sup>N版のようなカードです

効果破壊にも対応しているそうで……十分反則カードですね。

幽合

自分の場合と、デッキか墓地のモンスターを除外する事でアンデット族融合モンスターを融合デッキから特殊召喚する  
色々とぶっ飛んでいる融合カードです  
問題はアンデット族融合モンスターで有用なモンスターが少ない事ですかね？

冥界龍ドラゴネクロ

戦闘で相手モンスターは破壊されない

このカードが戦闘を行ったダメージ計算後

このカードと戦闘を行った相手モンスターは攻撃力が0になり

表示形式を変更する事ができなくなり、戦闘では破壊されなくなる

その後、自分の場にダークソウルトークン1体を特殊召喚する

このトークンの攻撃力はトークンが特殊召喚される前に行った、

このカードと戦闘を行ったモンスターの元々の攻撃力と同じになる

……効果が複雑なので適当です

更に融合素材はなんだかよく分からないのでアンデット族2体にしました

詳しくは遊戯王未OCG Wikiにて……作者はそちらを参考にしました

やっぱり漫画だけだとよく分かりません……でも使う。



## 九尾の狐

自分の場に存在するアンデット族モンスター2体を生け贄に捧げる事で

墓地から特殊召喚する事ができる

このカードの効果で墓地から特殊召喚された場合

相手モンスターの守備力を攻撃力が超えている時、相手に戦闘ダメージを与える

妖怪族ですが、面倒なのでアンデット族へと

破壊された後に狐トークンを特殊召喚するらしいのですが

漫画でそのトークンは未登場なので無視しました

ツイッター……そろそろ扇風機でも使うか

<https://twitter.com/#!/ainkuria>

起動させて止めての繰り返し……止めると暑いからだけど。

## 146話【爆走学園祭 後編】（前書き）

「今日の最強カードはマスクド・ドラゴン仮面竜だよ

攻撃力は1400、守備力は1100の炎属性ドラゴン族

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下のドラゴン族を特殊召喚できる

僕が使うようなドラゴン族デッキには必須とも言えるだろうね」

普通に戦闘でメインに使う事はできない

死に専門の悲しきモンスター……吹雪でした。

何故か長くなりました

そして間に合わず、今日です。

……前書きを書くのが面倒になりました

気力が……今回は疲れたのもう終わり。

次回はいつになる事やら……

まあ、1週間以内には投稿したいですね。

## 146話【爆走学園祭 後編】

視点 明日香

『次の対戦はキングス・ナイトVSジャックス・ナイト』

味方同士で決闘<sup>デュエル</sup>！？

どういう立場なのよ！？

『ストーリーというか……裏話ですね

ジャックス・ナイトは悪の親玉の誘惑に負け、寝返りました

もし王に決闘<sup>デュエル</sup>で勝てば、姫を譲ってやろうと

なので今回は悪に魂を売った騎士と王の決闘<sup>デュエル</sup>ですね』

「意義有り！

どうして俺が、天上院君や義兄さんと決闘<sup>デュエル</sup>しなければならないんだ  
！」

今、気のせいかな嫌な響きをしなかった？

変な事を考えたら怒るわよ？

『なお、裏設定ですが

ジャックス・ナイトはクイーンズ・ナイトに淡い恋心を感じている  
そうです

そして、この決闘<sup>デュエル</sup>に勝ったらクイーンズ・ナイトに告白する権利が  
与えられます』

「ちょっと待ちなさい！

なんでそうなるのよ!？」

『そういう事にしました

(なんだか可哀想ですし)』

どうして私が賭け試合の景品みたいな立場になってるのよ!？  
確かにこの劇ではお姫様だけど  
だからってそれはどうなの!？

「(勝てば天上院君に告白……勝てば天上院君に告白!)」

「いやあ……悩むねえ」

万丈目君はブツブツと言いながら決闘場<sup>デュエルフィールド</sup>へ向かう  
モノクロ  
白黒兄さんは何かを迷っているみたい  
迷ってないで勝ちなさい!

「ふっふふふ、こうなったら全力でいきますよ  
俺は勝つ!　いくぞ、キングス・ナイト!」

「ふ、クイーンズ・ナイトは渡さない  
悪に魂を売る事の愚かしさを知れ、ジャックス・ナイト!」

デュエル  
「「決闘!」」

ノリノリね……楽しそうじゃない  
私が絡まなかったら楽しく見れたんでしょうけど……  
どうして私まで巻き込むのかしら?

「先攻は僕だ、ドロー!

マスクド・ドラゴン  
仮面竜を召喚

カードを2枚伏せて、ターンエンドだ」

ドラゴン族用のリクルーターモンスター  
さて、何を召喚するつもりなのかしら？

「俺のターン、ドロー！」

マスクド・ドラゴン  
……仮面竜を召喚！

俺の仮面竜でキングス・ナイトの仮面竜に攻撃！」  
マスクド・ドラゴン

同じモンスターで相打ち？

万丈目君はどのモンスターを召喚するのかしら？  
モノクロ  
白黒兄さんはどうせ黒龍の雛辺りでしょうけど。

マスクド・ドラゴン  
「仮面竜の効果発動！」

戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下のドラゴン族  
モンスターを特殊召喚できる！  
マスクド・ドラゴン

俺はデッキから仮面竜を特殊召喚！」

マスクド・ドラゴン  
「僕も仮面竜の効果を発動するよ

だけどそれと同時に罠カード、竜の絆を発動

自分の場に存在するドラゴン族モンスターが破壊された時  
デッキからLV4以下のドラゴン族モンスターを特殊召喚する

竜の絆の効果でゴーレム・ドラゴンを守備表示で特殊召喚  
マスクド・ドラゴン  
仮面竜の効果でウィッシュ・ドラゴンを特殊召喚」

攻撃力700のモンスターを攻撃表示で！？  
マスクド・ドラゴン

仮面竜の効果は表示形式を決められるのに

どうして態々攻撃表示で……

「態々攻撃力の低いモンスターを攻撃表示で？  
マスクド・ドラゴン  
……仮面竜でウィッシュ・ドラゴンに攻撃！」

マスクド・ドラゴン  
仮面竜がウィッシュ・ドラゴンに……向かわずにゴーレム・ドラゴンに向かう！？

そのまま炎を吐き出し、ゴーレム・ドラゴンに直撃する

岩のような体で覆われているゴーレム・ドラゴンの守備力は2000  
マスクド・ドラゴン  
攻撃力1400の仮面竜じゃ勝てないわ。

「ゴーレム・ドラゴンの効果

このモンスターが表側表示で存在している時  
相手は僕の場に存在するドラゴン族モンスターを攻撃対象にする事はできない

つまり、ウィッシュ・ドラゴンへの攻撃はゴーレム・ドラゴンへ変更されたのさ」

だからウィッシュ・ドラゴンを攻撃表示で……

もし何かで破壊されたらどうするのよ？

ダメージが大きくなってたじゃない。

まあ、伏せカードが無いからそれは難しいかもしれないけどとにかく、万丈目君に600ポイントのダメージね。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだ！」

「僕のターン、ドロー！」

ウィッシュ・ドラゴンの効果を発動

このモンスターを生け贄に捧げる事で、2体のドラゴン・トークンを特殊召喚する」

小型のウィッシュ・ドラゴンという感じのドラゴン・トークンが現れた

このモンスターの役目は明らかに生け贄となると出てくるモンスターも決まってくるわね。

「僕は2体のドラゴン・トークンを生け贄に  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜を召喚！」

やっぱり出てきたわね、レッドアイズ・ブラックドラゴン  
ライトアンドダークネス・ドラゴン真紅眼の黒竜  
出てくるなら光と闇の竜のどちらかだと思ったわ。

「罠カード、不死の竜を発動  
墓地が除外されているドラゴン族モンスターを1体特殊召喚する  
マスクド・ドラゴン  
僕は墓地から仮面竜を特殊召喚するよ」

また相打ち狙いかしら？  
だとしたら万丈目君が不利ね  
マスクド・ドラゴン  
既に仮面竜を1体失っているし。

マスクド・ドラゴン  
「仮面竜で仮面竜に攻撃！」

また起こる相打ち  
そしてまた効果が発動  
それぞれ何を特殊召喚するのかしら？

マスクド・ドラゴン  
「仮面竜の効果を発動！」  
僕はランサー・ドラゴニユートを特殊召喚するよ」

マスクド・ドラゴン  
「俺も仮面竜の効果を発動する！」  
マスクド・ドラゴン  
俺は仮面竜を守備表示で特殊召喚する！」

緑の槍を持ったドラゴンね

攻撃力は1500、ギリギリのライン

対して万丈目君は最後の仮面竜ね。マスクド・ドラゴン

「ランサー・ドラゴニートで仮面竜に攻撃！」マスクド・ドラゴン

槍に貫かれ、破壊される仮面竜マスクド・ドラゴン

守備表示だからダメージは……受けてる？

という事は貫通効果を持っているのかしら？

「ランサー・ドラゴニートは貫通効果を持っているよ  
よって守備力1100の仮面竜では耐えきれない」マスクド・ドラゴン

「クッ……仮面竜の効果！」マスクド・ドラゴン

アームド・ドラゴンLV3を守備表示で特殊召喚！」

「追撃の真紅眼の黒竜、アームド・ドラゴンLV3に攻撃！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
ダーク・メガ・フレア！」

何を出しても破壊される

まあ、当然よね

進化されても困るもの。

「カードを2枚伏せて、ターンエンドだ」

「エンドフェイズ、罠カード、レベルの絆を発動！

相手は2枚カードをドローする

そして俺は墓地からLVを名の付くモンスターを召喚条件を無視して特殊召喚する！



ただし、特殊召喚したターンは攻撃と効果の発動ができない  
俺は墓地のアームド・ドラゴンLV3を特殊召喚！」

もうお約束のコンボね

何回も出てくるわね、アームド・ドラゴン

そして万丈目君のターン。

「俺のターン、ドロー！」

アームド・ドラゴンLV3の効果発動！

自分のターンのスタンバイフェイズ時に場に存在している時

このカードを墓地へ送る事でデッキか手札からLV5を特殊召喚で  
きる！

アームド・ドラゴンLV3を墓地へ送り、アームド・ドラゴンLV  
5を特殊召喚！」

攻撃力は2400

レッドアイズ・ブラックドラゴン

真紅眼の黒竜と同じ

でも、ゴーレム・ドラゴンの効果で攻撃する事はできないわ  
攻撃しても相打ちだし。

「ドル・ドラを召喚！ バトルだ！」

アームド・ドラゴンLV5でゴーレム・ドラゴンに攻撃！」

攻撃力2400の攻撃に守備力2000のゴーレム・ドラゴンは対  
処できない

殴り飛ばされ、破壊されてしまう

しかも、アームド・ドラゴンLV5からLV7への進化条件もクリ  
アしたわ。

「ドル・ドラでランサー・ドラゴニユートに攻撃！」

攻撃力は同じで相打ち  
だけど、ドル・ドラは墓地から蘇生する効果を持っている  
つまり、相打ちしてもモンスターは残る。

「ふふ、やるね、ジャックス・ナイト」

「俺は必ず勝つ！」

カードを1枚伏せてターンエンド！

そしてエンドフェイズ時、ドル・ドラの効果発動！

このモンスターが破壊され、場から墓地へ送られたターンのエンド  
フェイズ時

攻撃力と守備力を1000にして1度だけ、墓地から特殊召喚できる！

この効果を使い、墓地のドル・ドラを守備表示で特殊召喚！

更にアームド・ドラゴンLV5の効果発動！

戦闘で相手モンスターを破壊した時

このモンスターを墓地へ送る事でアームド・ドラゴンLV7をデッキか手札から特殊召喚できる！

俺はデッキからアームド・ドラゴンLV7を特殊召喚！」

攻撃力2800のアームド・ドラゴンLV7

そして墓地から戻ってきたドル・ドラね

更に伏せカードが1枚……か。

「強くなってくれていて嬉しいよ……僕のターン、ドロー！」

レッドアイズ・ブラックドラゴン

レッドアイズ・ダークネスドラゴン

僕は真紅眼の黒竜を生け贄に、真紅眼の闇竜を特殊召喚！

更に、罠カード、魔法反射装甲・メタルプラスを発動

このカードは発動後、装備カードとなる

そして装備されたモンスターは魔法カードの対象となった時

魔法カードの効果を無効にし、破壊する」

この状況……という事はやっぱり出すのね

万丈目君、大丈夫かしら？

私としては負けてくれた方が都合が良いけど。

「更に、魔法反射装甲・メタルプラスを装備した真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴンを生け贄に捧げる

現れる、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン！」

「それが真紅眼レッドアイズ・ブラックドラゴンの黒竜の最終進化形態……さすがです  
攻撃力2800……アームド・ドラゴンLV7と同じか  
でもそれだけなら相打ちになる！」

万丈目君、真紅眼レッドアイズ・ダークネスドラゴンの効果を忘れたの？  
知らないはずは無いと思うんだけど。

「確かに、元々の攻撃力では同じだね  
だけどレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンには真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
から引き継いだ効果が有る

僕の墓地に存在するドラゴン族モンスターの数×400ポイント、  
攻撃力がアップするんだ

今、僕の墓地にドラゴン族モンスターは6体  
よって攻撃力は2400アップし、5200だ！」

「攻撃力が5200!？」

「そしてホルスの黒炎竜LV4を召喚  
魔法カード、レベルアップ!を発動!

自分の場にLVと名の付くモンスターが居る時、そのモンスターを

墓地へ送る

墓地へ送ったモンスターの進化形態をデッキか手札から特殊召喚する僕はデッキより、ホルスの黒炎竜LV6を特殊召喚！

更に、墓地のドラゴン族モンスターが増えた

よってレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力は更に400ポイントアップ！」

攻撃力は5600

万丈目君の残りライフは3200なのよね

アームド・ドラゴンLV7に攻撃されたら2800のダメージ  
もしもう1体、墓地にドラゴン族が居たら負けていたわね。

「さあ、バトルだ！」

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンでアームド・ドラゴンLV7に攻撃！

ダークネス・メタル・フレア！」

「うっぐああああ！」

ダメージは大きいわ

残りライフは400、危険ね。

「更にホルスの黒炎竜LV6でドル・ドラに攻撃！」

攻撃力2300には勝てないわよ

でももし、蘇生効果を使っていなかったら負けていたわね。

「罨カード、復活の墓穴を発動！」

自分のモンスターが戦闘で破壊され、墓地へ送られた時

お互いのプレイヤーは自分の墓地からモンスター1体を守備表示で

特殊召喚する！

ただし、この効果で特殊召喚したモンスターは表示形式を変更できない！」

「甘いよ、永続罨、王宮のお触れを発動！

このカード以外の罨カードの効果は無効にする！

よって、復活の墓穴の効果は無効だ！」

万丈目君、終わったわね

このターンのエンドフェイズ時にはホルスの黒炎竜LV8が特殊召喚される

魔法カードの効果が無効にし、破壊する事ができるモンスター

万丈目君は魔法、罨のどちらも封じられた事になる。

「完全に読まれていたか……」

「ふふふ、これでターンエンドだよ

エンドフェイズ、ホルスの黒炎竜LV6の効果を発動

このモンスターが相手モンスターを戦闘で破壊した時

ホルスの黒炎竜LV6を墓地へ送り、デッキか手札からホルスの黒炎竜LV8を特殊召喚できる！

出てこい、ホルスの黒炎竜LV8！」

この状況を崩す手段は限り無く少ない

私だったら……どうしようかしら？

六武衆でなんとかなる程度ね。

「更に、ドラゴン族モンスターが再び墓地へ送られた

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの攻撃力は更に400ポイントアップ

合計攻撃力は6000だ!」

攻撃力6000、魔法無効化効果＋攻撃力上昇のレッドアイズ・ドラクネスメタルドラゴン  
攻撃力3000の魔法無効化効果のホルスの黒炎竜LV8  
罠を封じる王宮のお触れ……どうやって突破するのかしらね?

「俺のターン、ドロー!

魔法カード、強欲な壺を発動!  
デッキからカードを2枚ドローする!」

「それは駄目だよ、ジャックス・ナイト  
ホルスの黒炎竜LV8の効果を発動  
魔法カードの発動を無効にし、破壊する事ができる  
よって、強欲な壺の効果を無効!」

「そ、そんな……」

知ってたでしょ?  
もしかして忘れてたのかしら?  
だとしたらタイミングが悪かったわね。

「……おジャマ・イエローを守備表示で召喚  
ターンエンドだ」

終わったわね、白黒兄モノクロさんの勝ちよ  
やっぱりロックデッキは凶悪ね  
しかも白黒兄モノクロさんはパワーも有るから厄介よ。

「僕のターン、ドロー」

うーん……最後はこれかい？  
なかなか良い選択だ」

何をドロートしたのかしら？

……やっぱりオーバーキル用カード？

「魔法カード、思い出のブランコを発動

墓地に存在する通常モンスターを特殊召喚する

ただし、エンドフェイズ時に破壊されるけどね

僕が蘇生させるのは当然、真紅眼の黒竜！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

本当にオーバーキル用のカードだったのね

元々万丈目君は終わりだったのに……

最後のキメに使いたかったのかしら？

「バトルだ！

ホルスの黒炎竜LV8でおジャマ・イエローに攻撃！

ブラック・メガフレイルム！」

おジャマ・イエローは吹き飛ばされて破壊される

残ったのは攻撃力5600のレッドアイズ・ダークネスメタルドラ  
ゴン

攻撃力2400の真紅眼の黒竜  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

合計攻撃力は8000、元の倍ね。

「真紅眼の黒竜、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

ジャックス・ナイトに直接攻撃！  
ダイレクトアタック

ダーク・メガ・フレア！　ダークネス・メタル・フレア！」

「もうちょっと手加減してほしかったあーーーーー！」

……ガクッ」

万丈目君のライフは0

白黒兄モノクロさんの余裕で勝利ね

アッサリ終わってしまったわ。

『……解説とか必要が無かったですね』

『確かにな

説明するような内容でもなかったし』

それで良いの？ 実況に解説

確かに何かと言えるような事は何も無かったけど。

『うーん……仕方無いな』

そう言って瑞貴は紙に何かを書き出す

少し書いた後、マナに紙を渡す。

『えっと……え？

これ、良いんですか？』

『ラストチャンスだ』

ラストチャンス？

何を書いたんだか……

私が嫌な事がするわ。

『えー……このままではジャックス・ナイトが不憫なので特別試合をします



ジャックス・ナイトVSクイーンズ・ナイト』

やっぱり!?

私が嫌な事だったわ!

って、私って設定上捕らわれているのよね!?  
なのはどうして決闘<sup>デュエル</sup>するのよ!?

『そうですね……』

キングス・ナイトに敗れたジャックス・ナイト

逆恨みしてクイーンズ・ナイトに襲いかかりました

しかし捕らわれていてもそこはクイーン

条件を出し、勝ったらジャックス・ナイトの言う事を聞くという事で  
もし負けたら二度と自分の前に姿を現すなど言いました

ジャックス・ナイトはその条件を呑み、クイーンズ・ナイトと決闘<sup>デュエル</sup>  
をします』

その設定はどうなのよ!?

今考えたのよね!?

気のせいかな私にちよつと悪意が無い!?

「天上院君が俺の言いなり……」

ふ、この万丈目サンダー……いや、ジャック・スーパー・サンダー  
必ず勝つと約束しよう」

『前はオーバークイルされたくせに』

「ぬぐはあ!」

そういえばそうだったわね……

少しダメージは受けたけど、私の圧勝

どれぐらいオーバーキルしたかしら？

『サンダーって事は雷ですよ？

なら雷族でも使えばいいのに、ドラゴン族なんですか？

それってサンダーじゃなくてスカイとかだと思っんですけど』

『言ってるな、可哀想だろ

本人はあまり気付いていないらしいんだし

自らをサンダーと良いながら雷族を使わないんだ

きっとサンダーの意味が分かっていないんだろう』

『ならどうしてサンダーと？』

『奴の本名は万丈目でな

万丈目さんだと、さん付けで呼ぶようにしていたんだ

だから万丈目さんだ、万丈目さんだー、万丈目サンダーと変わったのだよ』

『単純ですね』

『言わないでやれ、哀れだから』

「煩いぞ、実況と解説！」

凶星なのかしら？

ちよつと言い過ぎだから少し落ち着きなさい。

「ふ、2度君に負けているが今回こそは勝つ！」

どうして諦めないのかしら？

……そういえば何回も十代と決闘<sup>デュエル</sup>してるわね  
諦めが悪いというか、根性というか、どっちかしら？

「まあ、頑張りなさい  
油断するつもりは無いわよ」

どのデッキを使おうかしら？  
……久しぶりに普通の戦士族デッキを使いますか  
最近は大武衆ばかりだったし。

「「決闘<sup>デュエル</sup>！」」

「先攻は俺が貰おう、ドロー！  
魔法カード、天使の施しを発動！

デッキからカードを3枚ドローし、2枚を捨てる  
そして今捨てたおジャマジックの効果を発動！

このカードが手札か場から墓地へ送られた時  
デッキからおジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン、おジャマ・  
ブラックを手札に加える」

いきなり手札が9枚まで……  
最初から飛ばしてるわね。

「そして魔法カード、融合を発動！  
おジャマ3兄弟を融合！  
おジャマ・キングを守備表示で融合召喚！」

相変わらず巨大ね……おジャマ・キングは  
しかも銀色の体をしているし、ちょっと気持ち悪いわ。

「おジャマ・キングの効果を発動！」

このモンスターが場に存在している限り

相手のモンスターゾーンは3箇所使用不可能となる」

いきなりモンスターゾーンを封じてくるだなんて……厄介ね  
六武衆だったら危なかったわ  
展開力を封じられてしまうもの。

「まだまだ、更に永続魔法、地盤沈下を発動！  
相手のモンスターゾーンを2箇所まで使用不可能とする」

え……ちょっと待ちなさい！  
それってつまりもしかして！

「クイーンズ・ナイト、君のモンスターゾーンは合計5箇所封じられた

もう、君はモンスターを召喚、特殊召喚、セットもできない」

私のモンスター召喚を……完全に封じてきた？  
……ど、どうすればいいのかしら？

「カードを3枚セットして、ターンエンドだ  
ふふふ、君はもう何もできない」

『なかなか酷いですね、ジャックス・ナイトさん』

『いや、なかなかの戦術だ

クイーンズ・ナイトのデッキは展開力が高い

つまり、モンスターの召喚速度が速いんだ

だからモンスターを封じれば、なかなか反撃できない

魔法、罨カードでこの状況を打破できるカードは有るかな？」

そういえば万丈目君と決闘したらオーバーキルしているわね  
デュエル  
モンスターもよく召喚するし、だから対策でもしたのかしら？  
でもこれは……どうすればいい？

「私のターン、ドロー」

「この瞬間、永続罨カード、魔封じの芳香を発動！  
お互いのプレイヤーは手札から魔法カードを発動できない  
更に伏せた魔法カードは次の自分のターンになるまで発動できない  
！」

「な、なんですって!？」

『なかなか外道ですね』

『いや、良い選択だ』

クイーンズ・ナイトはこれでカードを伏せる以外の行動ができない  
つまり、モンスター除去や魔法、罨カード破壊を受ける可能性は0  
次の自分のターンまでは確実に安全という訳だ』

瑞貴、貴方はどっちの味方なのよ！

解説としては正しいけど、少しぐらい私の心配をして！

「クッ……カードを3枚伏せてターンエンドよ！」

「永続罨、シン・ツェン・フリー心鎮壺を発動！

セットされているカードを2枚選択する

選択されたカードはこのカードが存在している限り発動できない！

左のカードと右のカードの発動を封じる！」

……嘘？

『うわぁ……これ、どうすれば突破できますか？』

『難しいな……普通は無理だ』

残ったカードがサイクロンとかの魔法、罨除去カードならば  
地盤沈下、魔封じの芳香、心鎮壺シン・ツェン・フーを消せるんだが  
クイーンズ・ナイトのあの顔を見る限り、違うだろうな』

ええ、その通りよ！

封じられたカードには大嵐が入ってるのよ！

そしてもう1枚は強欲な壺よ、どうしてこうなるのよ！

「俺のターン、ドロー」

カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

このまま何もしないままズルズルとターンを過ぎても勝てない  
それどころか、直接攻撃ダイレクトアタックをされたら負ける！

万丈目君が装備魔法とかでおジャマ・キングの攻撃力を上げてきた  
ら危険よ！

もし、おジャマンダラとおジャマツスルのコンボを決められたら……  
2回の直接攻撃ダイレクトアタックを受けて私の負け！  
どうにかしてこの状況を打破しないと！

「私のターン、ドロー！  
ターンエンド」

「俺のターン、ドロー」

さっき伏せた永続魔法を発動、波導キャノン！

自分のスタンバイフェイズ毎にターンカウントを進める

このカードをメインフェイズ時に墓地へ送る事で効果を発動

1ターンにつき、1000ポイントのダメージを相手に与える

つまり4ターン後、このカードの効果を発動したら俺の勝ちとなる」

「そ、そんな……」

酷いなんてものじゃないわ！

何よ、このえげつないコンボは！？

『あー……どう思いますか？』

『理想的だな

あの伏せカードの中にもう1枚シン・ツェン・フリー心鎮壺があればそう滅多に負けない  
だろう

俺も使おうとしていたんだが……先を越されたな』

『もっと酷い事になりそうなので使わないでくださいね？』

マナに同意するわ

更にジワジワと締め付けるような行動をするに決まってるもの。

「俺はこれで終了だ

さあてんじょ……クイーンズ・ナイト

この状況、どうやって破る？」

「私のターン、ドロー！」

今、伏せカードは出せない

もし瑞貴の言う通り、本当に心鎮壺シン・ツェン・フーだったらと思うと……  
伏せた瞬間、確実に使ってくる。

もし心鎮壺シン・ツェン・フーを使われた場合

私はカードを1枚しか伏せられなくなってしまう

その頃にはもう、波導キャノンの効果で負けてしまう

……やっぱり何もできない！

「ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー」

波導キャノンの効果でターンカウントが進む

現在、ターンカウントは1ターン

残り3ターン……ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー……」

緊張感で汗が流れる

まさか万丈目君を相手にここまで緊張するとは思わなかったわ  
きつと心のどこかで油断していた

今まで勝ってきたんだから、今回も勝てるって……

「ターンエンドよ」

観客達も緊張感で一杯になっている

今までのお祭り騒ぎで明るい雰囲気デュエルは無い

全員動きを止め、静かに私達の決闘デュエルを見ている。

「俺のターン、ドロー」



残り2ターン……ターンエンド」

「私のターン……ドロー」

……ふふ、運が良かったわ

まさかこのカードをドローできるだなんてね。

「エンドフェイズ、手札が7枚

手札制限を超えているから1枚を墓地へ送るわ」

ブラフ用のつもりだったんだけどね

ふふ、決闘<sup>デュエル</sup>は何が起こるか分からない……  
これもその1つかしら？

「俺のターン、ドロー

次のターンで俺の勝ちだ

波導キャノンのターンカウントは現在3つ

次のターンになればターンカウントは4つとなる

4つターンカウントが乗っている波導キャノンを墓地へ送れば40  
00ポイントのダメージ

そうなれば俺の勝ちだ！ ターンエンド！」

「私のターン、ドロー

これが最後の賭けよ、罠カード、ヒーロー・ブラストを発動！

墓地のE・HEROと名の付く通常モンスターを手札に加え  
そのモンスターの攻撃力以下の相手モンスターを破壊する！

私が手札に加えるのはE・HEROスパークマン

攻撃力1600以下、おジャマ・キングを破壊するわ！」

「な……そんな馬鹿な！？」

だ、だが……俺のライフはまだ4000有る  
それにこのターンで決めないと波導キャノンの餌食だ！」

「……E・HEROプリズマーを召喚  
効果発動、融合モンスターを相手に見せ、融合素材モンスターを墓地へ送る

その後、プリズマーはそのモンスターとして扱う  
私はE・HEROマッドボールマンを見せて、E・HEROバブルマンを墓地へ送るわ

このターンの間、プリズマーはバブルマンとして扱う  
プリズマーで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

万丈目君は何もせず、直接攻撃を受ける  
この程度がどうしたという感じね  
でも、最後に勝つのは私よ！

「カードを2枚伏せるわ  
ターンエン……」

「おっと、罠カード発動、心鎮壺！」  
シン・ツェン・フリー  
今伏せたカードの発動を封じさせてもらおう  
ふはははははは、これで君の行動は全て封じさせてもらった！  
この決闘、俺の勝ちだ！」  
デュエル

そうね……この状況ならそう思うかもしれないわ  
でも忘れたら駄目よ、万丈目君。

「エンドフェイズ前に発動したわね  
なら私はまだメインフェイズ中よ  
カードを1枚伏せて、ターンエンド」

「……あ」

『どういう事ですか？』

『ジャックス・ナイトはちょっと焦りすぎたな

相手が完全にエンド宣言をしていないのに罠カードを発動させた  
相手を騙すような言動は本来禁止なんだが……

クイーンズ・ナイトが言い切る前に先に言ってしまったジャックス・  
ナイトが悪い

クイーンズ・ナイトも言葉を遅らせてミスを誘うような言い方をし  
たがな

それに引っかかる方が間抜けだ

更に言うならばこれはさっき言った騙す言動には当て嵌まらない  
エンドフェイズと言い切り、やっぱり止めるという事は禁止だがな  
かなり微妙だが、一応セーフという事にしておこう』

良かった……最大の不安は瑞貴だったもの

もし今のが駄目って言われていたら負けていたわ  
ちょっと卑怯かもしれないけど……審判は許可したから許してね？

「クッ、だがたった1枚のカードでどうにかできるか！

俺のターン、ドロー！」

「罠カード、サンダー・ブレイクを発動！

手札を1枚捨て、場に存在するカードを1枚破壊する！  
私が破壊するのはさっき発動した心鎖壺よ！」  
シン・ツェン・フー

よし、これでさっき伏せた2枚が使える！

こうでもしないと勝てる自信は無い！

「しまった！

だが俺は……」

「罠カード、リビングデッドの呼び声を発動！

サンダー・ブレイクの効果で捨てたE・HEROエアーマンを特殊召喚するわ！

そしてエアーマンの効果を発動！

このモンスターが召喚、特殊召喚に成功した時

自分の場に存在する自身以外のHEROの数まで相手の魔法、罠カードを破壊できる！

私の場にエアーマン以外のHEROはプリズマーの1体よって波導キャノンを破壊するわ！」

「な、なんだとお！？」

これしか……これしか手段が無かったのよ！

魔法カードは使えない、罠カードは自分のターンに発動できないもう本当に最後の手段だったんだから！

『凄い脱出手段ですね

よくこんな方法が……』

『本当に苦し紛れだったんだろうな

クイーンズ・ナイトも必死なんだろうよくもまあ……保っているものだ』

煩いわね！

私の最後の手段だったんだから仕方無いでしょ！

他の方法なんて思いつかなかったのよ！

「まさか波導キャノンが破壊されるとは……

だが、まだまだこのデッキの力はこんなもんじゃない！

罠カード、補充要員を発動！

自分の墓地にモンスターが5体以上存在している時

その中から攻撃力1500以下の通常モンスターを3体まで手札に加える」

「ちょっと待ちなさい！

貴方の墓地に存在しているモンスターっておジャマ・キング

おジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン、おジャマ・ブラックだけのはずよ

いつ他のモンスターが墓地に送られたの！？」

「忘れていないか？

俺が最初のターン、何を発動したか」

発動……天使の施し！

まさかあの時にはもう墓地へ送られていたというの！？

「俺は墓地に存在するおジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン、おジャマ・ブラック

この3体を手札に加える」

またあのモンスター達が……

でも、今はモンスターが2体居るわ

また融合されても危険性は薄い。

そもそも、魔封じの芳香の効果で融合はできない  
だったら何も怖くないわ！

「君に、おジャマの更なる可能性を見せよう  
俺はおジャマ・レッドを召喚！」

おジャマ……レッド？

赤くて、黄色いスカーフを巻いていて  
手足が無かったら茸とかこけしみたいな感じね  
なんというか……新しいおジャマ？

「おジャマ・レッドの効果発動

このモンスターが召喚に成功した時  
手札に有るおジャマと名の付くモンスターを4体まで  
自分の場に攻撃表示で特殊召喚する事ができる」

という事は……まさか！

「おジャマ3兄弟を手札より特殊召喚！」

う……また出てきた

万丈目君、やっぱりおジャマ達が好きなんじゃないの？  
というか、絶対に好きよね？

「カードを3枚伏せて、更にフィールドカードも伏せる  
俺はこれでターンエンドだ」

フィールドカードを伏せた……

万丈目君がフィールド魔法ですって？

なんだか分からないけど、嫌な予感がするわ。

「私のターン、ドロー！」

コマンド・ナイトを召喚するわ！

コマンド・ナイトの効果、自分の場に存在する戦士族モンスターの攻撃力が400ポイントアップする！

プリズマーでおジャマ・イエローに攻撃！」

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動！

相手の攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる！」

フィールド魔法を使われる前に決めたかったけど、そんなに甘くないみたいね

どうしようかしら……

「プリズマーの効果を発動しておくわ

融合モンスター、E・HEROプラズマ・ヴァイスマンを見せるわそしてデッキからE・HEROエッジマンを墓地へ送る

カードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー

フィールド魔法、おジャマ・カントリーを発動！」

辺りが小さな村みたいになる……

ここは……おジャマの村？

「ここは見ての通り、おジャマ達の村だ

この村ではおジャマが最大の力を発揮できる

自分の場に、おジャマと名の付くモンスターが存在している限り

場に存在している全てのモンスターの元々の攻撃力と守備力を入れ替える

これがどういう意味か分かるかい？」

元々の攻撃力と守備力が入れ替わる……入れ替わる!?

という事は攻撃力0のおジャマの攻撃力は1000になって私のモンスター、プリズマーは攻撃力が1100、エアーマンは300、コマンド・ナイトは1900に!

元々の攻撃力だからコマンド・ナイトの効果は適用されるけどそれでも攻撃力は低い、特にエアーマンがたったの700逆にコマンド・ナイトは2300にまで上がるわね。

「更に伏せている魔法カード、融合を発動!

おジャマ3兄弟を融合させ、おジャマ・キングを融合召喚!」

2体目!? 2体目のおジャマ・キングなの!?

しかもおジャマ・キングの攻撃力は……3000!?

エアーマンに攻撃されたら2300ものダメージを受けてしまうじゃない!

「さあ、バトルだ!

先ずはおジャマ・キングでエアーマンに攻撃!」

「罠カード、アナザー・フュージョンを発動!

自分の場に融合素材のモンスターが存在している時

そのモンスターを融合させ、融合召喚ができる!

ただし、エンドフェイズ時に破壊されてしまうけどね

場のE・HEROであるプリズマー、風属性であるエアーマンを融合!

現れなさい、E・HERO Great TORNADOを融合召喚!」

「チィ、まさかそんな融合をしてくるとは……!」



エンドフェイズ時に破壊されるから使いやすいとは言えないんだけどね

それでも、効果は十分強いわよ！

「E・HERO Great TORNADOの効果発動！

融合召喚に成功した時

相手の場に存在するモンスターの攻撃力と守備力を半分にする！」

「攻撃力と守備力を半分だと！？

という事はおジャマ・キングの攻撃力は……1500か！」

そう、これでおジャマ・キングは戦闘で私のモンスターを倒せない！

私の場にはコマンド・ナイトが居るもの

コマンド・ナイトの効果でE・HERO Great TORNADOの攻撃力は2200から2600！

例え守備力の数値になっても十分に強いわ！

「まさかこんな事をしてくるとは……

おジャマ・レッドを守備表示に変更！

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」

「エンドフェイズ、E・HERO Great TORNADOは

破壊されるわ

私のターン、ドロー！

マッシュ・ウォリアーを召喚するわ！」

マッシュ・ウォリアーの守備力は1200、だから攻撃力は1200になる

そしてコマンド・ナイトの効果で攻撃力は更に400ポイントアップ

プして1600

この状況でこの攻撃力ならそれなりね。

「バトルよ！」

マッシュ・ウォリアーでおジャマ・レッドに攻撃！」

よし、これでおジャマを1体倒した！

後はおジャマ・キングを倒せばおジャマ・カントリーの効果は消える！

今の状況だと消えない方が攻撃力が高いけど

それでも、元の状態の方が楽よ！

「コマンド・ナイトでおジャマ・キングに攻撃！」

「ふ、罠カード、幻獣の角を発動！」

このカードは発動後、装備カードとなり獣族、獣戦士族にのみ装備できる

装備モンスターの攻撃力は800ポイントアップする！」

という事は攻撃力が2300！？

でも、まだコマンド・ナイトと同じよ！

「更に速攻魔法、百獣大行進を発動！」

自分の場に存在する獣族の数×200ポイント

自分の場の獣族の攻撃力がアップする！

俺の場に獣族は1体、よっておジャマ・キングの攻撃力は2500だ！」

「そんな！？」

まさかの反撃！？

コマンド・ナイトが負けた……

「更に、幻獣の角の効果発動

装備モンスターが戦闘で相手モンスターを破壊して墓地へ送った時  
デッキからカードを1枚ドロースる」

しかもドロース効果まで持っているのね……厄介な  
この状況、どうすれば良いのかしら？

「私はこのままターンエンドよ」

「俺のターン、ドロース！」

カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

マッシュ・ウォリアーの効果は知ってるのね

本当、今まで何度もお互いの決闘<sup>デュエル</sup>は見ているものね  
手の内は知られているという事か。

「私のターン、ドロース！」

サイバー・チュチュを召喚するわ！

サイバー・チュチュは相手の場のモンスターの攻撃力が自身より上  
の場合、直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>ができる！

サイバー・チュチュで直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>！

そして罠カード、追い剥ぎゴブリンを発動！

戦闘ダメージを与えた時、相手の手札を1枚墓地ランダムに墓地へ  
捨てる！」

「な、また直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>モンスターに手札破壊か！」

だけど、万丈目君は何もしないで直接攻撃を受けた

ダイレクトアタック

サイバー・チュチュの守備力は800

だから与えたダメージは800ね……まだただけど。

万丈目君の残りライフは1500

私はまだ3800だけど……どこまで削れるかしら？  
かなり大変なのよね……この状況。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

「俺のターン、ドロー！」

伏せていた魔法カード、貪欲な壺を発動！

墓地のモンスターを5体選択し、デッキに戻す

そしてデッキをシャッフルし、2枚ドローする

俺は墓地からおジャマ・キング、おジャマ・レッド

おジャマ・イエロー、おジャマ・グリーン、おジャマ・ブラックを

デッキに戻す

そしてシャッフル……2枚ドロー！」

拙い……万丈目君のデッキにおジャマが戻った

こうなると厄介な事になりそうね。

「おジャマ・ブルーを召喚！」

今度はブルー？

赤青黄緑黒……特撮戦隊物？

確かに5体だけ……

「おジャマ・キングでサイバー・チュチュに攻撃！」

おジャマ・キングに潰されて破壊されるサイバー・チュチュ  
攻撃力差は1500……ダメージは大きいわね  
残りライフは1800……少し危険かしら？  
さすがに守備力2300以上のモンスターは少ないし。

「カードを2枚伏せてターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

E・HEROスパークマンを召喚！

そして伏せている魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！  
場か墓地のE・HEROを除外し、融合する！

墓地に存在するE・HEROとしてプリズマーと、地属性としてエ  
ッジマンを除外融合！

E・HEROガイアを融合召喚！」

このモンスターだったら高い攻撃力になる！

スパークマンとエッジマンを融合させてプラズマ・ヴァイスマンに

E・HEROでエッジマン、光属性でプリズマー、E・HERO

The シャイニングにしようと思ったわ

だけど、今は守備力の高いこっちの方が使いやすいわ！

「ガイアの効果発動！

エンドフェイズ時まで相手モンスターの攻撃力を半分にし

その下げた攻撃力分だけガイアの攻撃力をアップさせる！

おジャマ・キングの攻撃力、2300を半分にするわ

そしてその分、1150の攻撃力をガイアに加える！」

「という事はおジャマ・キングの攻撃力は1150に下がる……ん？  
そ、それは大変危険という事じゃないか！」

い、今更？

万丈目君の伏せカードが魔法カードだと助かるわ！  
これで……勝てるか！

「バトルよ！

ガイアでおジャマ・キングに攻撃！  
コンティネンタルハンマー！」

両手を合わせ、おジャマ・キングを叩き潰すガイア  
ガイアの攻撃力は2600から1150を足し、3750  
あのゲート・ガーディアンと同じ攻撃力になったわ。

「う……うう……俺の負けかあ！

（伏せていたカードはおジャマ・ブルにドレスアップ……  
またドレスアップを使えなかったじゃないかあ！）」

ふう……勝てたわ

良かった、何を言われるか予想もできないもの  
本当に勝って良かったわ。

『クイーンズ・ナイトの勝ちですね

という訳でジャックス・ナイトは放浪する事になりました  
迷い、闇魔界を当てもなく彷徨う……BAD ENDです』

『せっかくチャンスをやったのにな  
残念でした、もう出番は無いぞ』

「ふ……ふふふふふふ

てんじよう……クイーンズ・ナイト、次は絶対に俺が勝つ！」

それだけ言って、万丈目君は逃げ出した  
目元に光る何かが見えたのはきつと気のせいね  
言ったら本当にそうなるかもしれないもの。

『裏話はこれで終わりです

次は再びE・HEROカップルの時間です』

「E・HEROカップルって言うなあ！」

「……（俺らってそんなにカップルに見えるのかな？）」

ああ、十代達ね

私はもう疲れたわ……後は頑張って。

「お疲れ様明日香」

「ええ……本当に

できれば使うデッキを変わってほしかったわ

私はアームド・ドラゴン、白黒兄さんはおジャマモンクロ

それだったらまだ少しは楽だったのに……」

「ははは、それは僕も同じだよ

寧ろ、ドラゴン族は守備力が低いモンスターが多いからね  
運が悪ければ僕だって負けていたかもしれないよ？」

本当にそうね……はあ

いつのまにあんなにおジャマで強くなったのかしら？

ふと、実況解説席を見ると万丈目君が瑞貴と話していた  
遠目で見ていても分かる、アレは絶対に商談だわ

なるほど、瑞貴からカードを買っていたのね  
お金持ちって羨ましい……私への当て付けなのかしら？

「明日香、そんなに睨んだら駄目だよ  
気持ちちは分かるけど、我慢しよう  
僕だって堅守君から借金をしている立場なんだ  
心から明日香の気持ちちが分かるよ」

借金……返済……泣きたいわ  
早く全額返済して自由になりたい！

『次の対戦を発表するぞ  
嫌でもしてもらうから逃げるなよ』

はぁ……さて、次は誰かしら？  
瑞貴の関係者でコスプレをしているのは……  
後は私と白黒兄さん、レイに彰子ね  
他はマナと瑞貴本人……瑞貴は出てこないわね。

という事はやっぱりレイと彰子かしら？  
どんな戦いになる事やら……  
無いと思うけど、私と白黒兄さんモノクロだったら逃げるわ  
もう逃げるなって釘を刺されているから逃げられないけど。



## 146話【爆走学園祭 後編】（後書き）

吹雪は最初、何を悩むって言ったの？

万丈目に勝たせたら楽しい事になりそうだと

しかし、態と負けるのは嫌

こんな事で悩んでいました。

マナは明日香に悪意は有るの？

ありません。

まさかの万丈目がロック！？

おジャマデッキで考えていたらこうなりました

ロック、バーン、ビートまでもが混じったデッキです。

吹雪戦と明日香戦、万丈目のデッキが違う？

違います

おジャマ専用のデッキですので

なのでおジャマ、VWXYZ、アームド・ドラゴン

この3つのデッキという感じです

……おジャマは全てのデッキに入れるようですが。

明日香のデッキにヒーロー・ブラストって入るの？

普通は入りません

が、他に脱出方法が無かったので仕方無いんです。

万丈目は天使の施しでおジャマジック以外に何を捨てたの？

獣族用サポートモンスターです

何かはご想像にお任せします、未登場ですし。

おジャマ・レッドにおジャマ・ブルーだと!?  
瑞貴から買いました。

明日香、まだ追い剥ぎゴブリンを入れてるの?

ダイレクトアタック

直接攻撃モンスターが多いので

……単に他のカードがイマイチ浮かばなかっただけでですけど  
最近は相当ネタ切れ状態です。

原作、アニメオリジナルカード

ウィッシュ・ドラゴン

このモンスターを生け贄に捧げ、ドラゴン・トークンを2体特殊召喚する

トークンは攻守不明です

漫画では登場してもすぐに生け贄にされていました  
なのでこちらもすぐに生け贄に……

不死の竜

墓地、または除外されているドラゴン族モンスターを1体特殊召喚する

この効果で通常罠というのが強力です、完全蘇生ですし  
条件も無いのでかなりチート効果でしょう。

アナザー・フュージョン

自分の場に存在するモンスターを融合する

この効果で特殊召喚したモンスターはエンドフェイズ時に破壊する  
罠カード、1ターン限定の融合です

今回のように奇襲や地雷に使う事ができます

……が、そのまま普通に融合した方が圧倒的に早いですけどね。

ツイッター

http://twitter.com/#!/ainkuria  
……ネタ切れ。

## 147話【爆走学園祭 上編】（前書き）

「今日の最強カードはサイレントアビス

攻撃力は2000、守備力は1500の水属性爬虫類族よ

戦闘で破壊された時、場に存在する表側表示の水属性以外のモンスターを全て破壊する

滅多に出てこないモンスターだと思うけど、出てきたら厄介でしょうね

でもLV7だから召喚するのが大変、それが最大の弱点かしら？」

推理ゲートには先ず入らない、雪乃でした

使うとしたら……レイジアースかダークネスソウルですかね？

なんでこの2人がタッグを組んだのか……謎です

別にデッキの相性が良いとは言えないんですけどね

どうしてこうなった……

この組み合わせはなかなか予想できないと思ってしてみました

後悔はしているが反省もしている

代わりに次回の組み合わせが凄く予想しやすくなってしまったので。

まあ……だからと言って更新が早くなるかと問われれば否なんですけどね

次回はいつになるかなあ……

## 147話【爆走学園祭 上編】

視点 明日香

『……お、来たか』

来た？

誰が来たのかと探して見ると……あら？

白いローブを羽織った……確か、墓守の巫女かしら？

それと青い服を着てサイドテールにしている炎の女暗殺者？

……って、美寿知に玲ちゃん！？

まさかこの2人も決闘するの！？  
デュエル

「瑞貴、呼ばれた時間になったから来たぞ

……本当にダーク・クルセイダーの格好なのだな」

「お兄ちゃん、私も決闘するのデュエルか？」

『その通りだ

今回はタッグ、パートナーはこちらで指定させてもらう  
対戦相手も決まっている』

2人は混乱してる

私達も含めてみんな混乱してるけど

どうしてこの2人が……

『簡単に説明すると現在即興劇の最中だ

お前達2人にも参加してもらおう』

「……どうせ拒否させるつもりは無いのだろう？  
分かった、誰と組めばいいのだ？」

「もう少し祭で遊びたかったが……まあいい  
私のパートナーは誰だ？」

『次はE・HEROザ・ヒート&E・HEROレディ・オブ・ファ  
イア

その相手は闇霊使いダルク&墓守の巫女』

レイと美寿知のコンビなのね

墓守……墓守のデッキを使うのかしら？

『えーっと……闇魔界にきたE・HERO達

ちよっとカットして悪の親玉の居る場所まで辿り着く

悪の親玉が放ってきた手下2人

この2人を倒さなければ先に進めない

なお、この決闘から先はライフを8000でします  
デュエル

ライフ4000と思って失敗しないように気をつけてください』

ライフが8000ね……

勘違いしなければいいんだけど

間違えてライフ4000感覚で戦うと危険かもしれないわね。

「私と組むのはそなたか」

「そうみたいだね、よろしく美寿知さん

あと、これは一応劇だから

少しでもいいから演技してね？」

「練習も何もしていないのだが……」

「それはボク達も同じだから  
思いつきでいいの、フォローするから」

レイも大変ね

何が何だか分かっていない美寿知のフォローだなんて。

「へへ、美寿知とはまたタツグ決闘<sup>デュエル</sup>か  
また負けないぜ！」

「遊城十代……そうだな  
今回は私が勝たせてもらおう」

「墓守の巫女さん  
今は劇中になるからザ・ヒートって呼んであげてね  
ボクの事はダルク、あの人はレディ・オブ・ファイアって」

「ややこしいな……」

「私達も時々混乱してるのよ  
アンタも頑張りなさい」

どっちが勝つのかしら？  
美寿知のデッキが凄く気になる……  
瑞貴との連続戦では帝というモンスターを多用してきた  
そっちのデッキじゃないわよね？

「「「<sup>デュエル</sup>決闘！」」」

「先攻は私からよ、ドロー！」

グリズリーマザーを召喚！ カードを2枚伏せて

更にフィールド魔法、伝説の都アトランティスを発動するわ！

このカードが存在している限り、手札と場の水属性モンスターのL  
Vは1下がる

更に水属性モンスターの攻撃力、守備力は200ポイントアップするわ！

これでターンエンドよ！」

水属性用のリクルーターモンスター

アトランティスを出して、伏せカードが2枚ね……

最初から随分飛ばしてるわね。

「ボクのターン、ドロー！」

モンスターをセット、カードを2枚伏せてターンエンド！」

レイはモンスターを伏せた

そして同じく伏せカードを2枚ね

レイはどのデッキかしら？

「俺のターン、ドロー！」

「罠カード、覇者の一喝を発動！」

このカードはスタンバイフェイズでしか発動できない

だけどこのターン、相手はバトルフェイズを行う事ができない！」

攻撃封じのカード……

という事はあのデッキは……どれかしら？



レイは似たようなカードが入っていたりするデッキなのよね。

「攻撃できないのか……」

仕方無いな、クレイマンを守備表示で召喚  
カードを1枚伏せてターンエンドだ」

「私のターン、ドロー……ふむ

モンスターを反転召喚、水霊使いエリア

そしてリバーズ効果を発動

このモンスターが存在している限り

相手の場に存在する水属性モンスター1体のコントロールを得る

私はグリズリーマザーのコントロールを貰おう」

「なあ!？」

水属性専用のコントロール奪取カードですって!？」

レイのデッキにあんなカードは入ってなかったはず

という事は……

「このカードね、明日……クイーンズ・ナイト達が決闘<sup>デュエル</sup>している間  
に入れたんだ

もしかしたらボクも呼ばれるかもしれないでしょ？

相手はザ・ヒートとレディ・オブ・ファイアの2人の可能性が高いし  
だから悪いとは思ったけど、アンチカードを入れさせてもらったよ  
!」

「そ、そんなのひきよ……」

「卑怯とか言わないでね？」

手の内を見られているんだからこれぐらい考えておくべきだと思う

よ？

何より……ボクよりアンチしてきそうな人が居るのにさ」

そう言っデュエルてレイは瑞貴を見る

瑞貴が決闘デュエルをするとは限らないけど……

もしするのならその可能性は高いわね。

『どう思いますか？』

『卑怯とは言えないな

相手を研究し、勝つ為の手段を考える

その何が悪いんだ？』

ご尤もね

だから瑞貴の対策はできないのよ……

デッキが変わるから。

「続けよう

エリアとグリズリーマザーを生け贄に捧げる

出でよ、闇の神―ダークゴッドを召喚！」

で、出てきたわね、ダークゴッド！

何度も私を倒すように動いたモンスター！

いつか必ず倒してみせるわ！

……その前に美寿知デュエルと決闘しないと駄目ね。

「ダークゴッドでクレイマンに攻撃！」

ダークゴッドの目から黒く光る光線が放たれた  
光はクレイマンを破壊する

これでダークゴッドの効果が発動する。

「ダークゴッドの効果発動

戦闘で相手モンスターを破壊した時

相手に700ポイントのダメージを与える」

最初のライフが8000

だから十代達のライフは7300まで減る

余裕は有るけど、どれだけ保つかしら？

「罠カード、ヒーロー・シグナルを発動！

自分のモンスターが戦闘で破壊された時

デッキか手札からLV4以下のE・HEROを特殊召喚する！

俺はデッキからE・HEROスパークマンを守備表示で特殊召喚！」

スパークマン……もしミラクル・フュージョンを使うのならサンダ

ー・ジャイアントになれるわね

本当にスパークマンはE・HEROで有用性が高いわ

融合先が強いモンスターが多いし。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

「たった2ターンで最上級モンスターを出してくるなんてね

でも、まだまだだよ！ 私のターン、ドロー！

……スパークマンを生け贄に、サイレントアビスを守備表示で召喚！

このモンスターはLV7だけど、アトランティスの効果でLVが6  
になってるわ

だから生け贄は1体で召喚できる、これでターンエンドよ」

サイレントアビス……知らないわね

でもLV7で攻撃力2000の守備力1500？  
アトランティスの効果を受けても攻撃力は2200程度  
妙に弱いわね……嫌な効果を持つてそう。

「ボクのターン、ドロー！」

嫌な予感がするんだけどなあ……どうしよう？

モンスターをセットして、魔法カード、太陽の書を発動！

場の裏側守備表示のモンスターを表側攻撃表示にする！

ボクは今セットした、ダミー・ゴーレムを攻撃表示に変更！

そしてダミー・ゴーレムのリバーズ効果を発動！

ダミー・ゴーレムと相手モンスター1体のコントロールを入れ替える！」

「コントロールの入れ替えですって！？」

これは……また酷いわね

攻撃力800を相手へ送り、自分は攻撃力2200のサイレントアビスを手に入れる

攻撃したら……なかなか厄介な事になるわね。

「ダミー・ゴーレムとサイレントアビスのコントロールを入れ替えるよ

サイレントアビスを攻撃表示に変更……って、何このカード！？

うわぁ……酷い効果、攻撃しなくて良かったぁ」

ど、どんな効果なのかしら？

そんなに嫌な効果なの？

『サイレントアビスって確か……』

『戦闘で破壊された時に効果を発動

場に存在する表側表示の水属性モンスター以外を全て破壊する  
同じ効果で対応属性が違うだけの光属性のシャインスピリッツ  
炎属性のヘルプロミネンス、風属性のデスサイクロン

地属性のレイジアース、闇属性のダークネスソウルが存在している  
DNA移植手術が来るまではそうとう厄介なモンスターだな

能力が低いから簡単に効果を発動できるし

大方、ダークゴッドに破壊してもらって消し去ろうとも思ってい  
たんだろうな

狙いは外れて思いつきりピンチに陥っているがな』

「う、煩いわよ！

まさかこんなに簡単に奪われるとは思わなかったんだから仕方無い  
でしょ！」

レイの真骨頂はコントロール奪取よ

こんな事で驚いていたら切りが無いわよ？

だって瑞貴が仕込んだんだからね。

「ダークゴッドでダミー・ゴーレムに攻撃！」

「罨カード、和睦の使者！

このターン、モンスターは戦闘で破壊されず、戦闘ダメージも0に  
なる！」

よく防いだわ、ジュンコ！

もし受けていたら2200のダメージに700の効果ダメージ

サイレントアビスの攻撃で2200のダメージも受けていた

合計ダメージは5100のダメージ、総計ダメージは5800にも  
なっていたわ。

今回はライフが8000の決闘<sup>デュエル</sup>だから生き残っていたけど  
凄く危なかったわよ。

「仕方無いなあ……ターンエンド」

それにしても、厄介なコンビが揃ったわね  
サイレントアビスを戦闘破壊したら場の水属性以外のモンスターが  
全て破壊される

そしてダークゴッドは戦闘で破壊できないモンスター  
つまり、どちらも効果で破壊しないとならないわ。

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、融合を発動！

手札のE・HEROワイルドマンとE・HEROネクロダークマン  
を融合！

E・HEROネクロイド・シャーマンを融合召喚！

そしてネクロイド・シャーマンの効果を発動！

融合召喚に成功した時、相手のモンスター1体を生け贄にする

そして相手の墓地からモンスターを1体、相手の場に特殊召喚する！

ダークゴッドを生け贄にして、墓地からエリアを特殊召喚する！

更に魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！

墓地のクレイマンとスパークマンを除外し、融合！

E・HEROサンダー・ジャイアントを融合召喚！

そしてサンダー・ジャイアントの効果を発動！

融合召喚に成功した時、元々の攻撃力がサンダー・ジャイアントより  
低いモンスターを1体破壊する！

元々の攻撃力が2000のサイレントアビスを破壊する！」

あんな厄介なモンスターをよくこの1ターンで……

しかも残ったモンスターはアトランティスの効果で強化されても攻撃力が700のエリアだけ  
これは……拙いんじゃない？

「バトルだ！」

ネクロイド・シャーマンでエリアに攻撃！」

「罠カード、マジックアーム・シールドを発動

自分の場にモンスターが存在している時

バトルフェイズ終了時まで相手モンスター1体のコントロールを奪う  
そして、そのモンスターが代わりに攻撃を受ける

私はサンダー・ジャイアントのコントロールを奪い、攻撃を受けさせる」

「な、なんだと!？」

十代は攻撃順を間違えたわね

伏せカードを警戒したんでしょうけど

ここは素直にサンダー・ジャイアントで攻撃するべきだったわ

サンダー・ジャイアントの攻撃力は2400、ネクロイド・シャーマンは1900

その差500、戦闘ダメージを十代達は受ける。

「やられちゃった……」

ダミー・ゴーレムでエリアに攻撃だ！」

「罠カード、反魂鏡を発動！」

自分の場のカードを1枚墓地へ送る

そして自分の墓地に存在するモンスターを1体、特殊召喚する！  
エリアを墓地へ送り、墓地からダークゴッドを特殊召喚！」

なんて……隙のないコンビなの!?

この2人って初タッグよね!?

なのにここまでのコンビネーションをするだなんて……

「マジかよ!?

ダミー・ゴーレムの攻撃は中断!

カードを1枚伏せて、ターンエンドだ!」

「エンドフェイズ時、サンダー・ジャイアントのコントロールが戻る私のターン、ドロ―!

……魔法カード、天の落とし物を発動する

お互いのプレイヤーはカードを3枚ドロ―する

そして手札から2枚を墓地へ送る」

十代にドロ―させるなんて……

でも美寿知のあのモンスター達は墓地で効果を発揮できる

という事は……危険ね。

「魔法カード、浅すぎた墓穴を発動

お互いのプレイヤーは墓地からモンスターを選択し、守備表示で特殊召喚する

私は墓地より、魔鏡の式神―阿僧祇を特殊召喚する!

更に阿僧祇の効果、召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時

墓地から魔鏡の式神―那由多を特殊召喚できる!

墓地より、那由多を特殊召喚!」

やっぱり!

しかも片方を普通に召喚すると思ったらどっちも墓地へ送っていただなんて!



攻撃力2600の那由多、守備力2500の阿僧祇  
更にダークゴッドまで居る……大丈夫なの？

「なら俺は墓地からヒーロー・キッズを特殊召喚するぜ！  
ヒーロー・キッズの効果を発動！

特殊召喚に成功した時デッキから任意のヒーロー・キッズを特殊召喚できる！

俺はデッキから2体のヒーロー・キッズを守備表示で特殊召喚だ！」

十代が墓地へ送ったカードの1枚はヒーロー・キッズだったのね  
これで十代達の間にはモンスターが5体になったわ

でも、肝心のダミー・ゴーレムが攻撃表示のまま……大丈夫かしら？

「クッ……壁を出されたか

まあいい、バトルだ

ダークゴッドでサンダー・ジャイアントに攻撃」

ダークゴッドの攻撃でサンダー・ジャイアントが破壊される  
攻撃力差は600、そしてダークゴッドの効果も発動する。

「ダークゴッドの効果を発動

相手モンスターを戦闘で破壊した時

相手に700ポイントのダメージを与える」

これで合計1300のダメージ

総計のダメージは2500

残りライフは5500ね。

「那由多でダミー・ゴーレムに攻撃！」

「罨カード、ヒーロースピリッツを発動！

自分のE・HEROが破壊されたターンのバトルフェイズ時に発動可能！

相手モンスターからの攻撃で受ける戦闘ダメージを1度だけ0にする！」

危ないわね……もし通っていたら1800のダメージよ

これで受けたダメージは0

まだライフは5500のままよ。

「耐えきられたか……銀の式神―左京を守備表示で召喚カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

左京の攻撃力は600、守備力は800

攻撃力600ではヒーロー・キッズも倒せないわ

ヒーロー・キッズの守備力は600だもの

もし右京だったら勝てただけだね。

「私のターン、ドロー！」

ヒーロー・キッズ1体を生け贄に、超古深海王シーラカンスを召喚！

このモンスターのLVも7だけど、アトランティスの効果でLVは6よって生け贄は1体減っているわ！

そしてシーラカンスの効果を発動！ 手札を1枚捨て、1ターンに1度

デッキからLV4以下の魚族モンスターを可能な限り特殊召喚できる！

ただし、攻撃する事も効果を発動する事もできないわ

私はデッキからオイスターマイスターと素早いマンボウをどちらも守備表示で特殊召喚するわ！」

シーラカンス……嫌な思い出しが無いわ  
あの時はデッキリ切れに救われたような形になったけど……  
そういえば海野先輩、どうしてるかしら？

「バトルよ！」

シーラカンスで那由多に攻撃！」

シーラカンスは那由多を丸呑み  
そして破壊……シーラカンスはアトランティスの効果で攻撃力が3  
000になっている

那由多の攻撃力は2600だから400のダメージね。

そして、ここまで来てやっと初ダメージ  
残りライフは7600と先が長いわ。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

「ボクのターン、ドロロー！」

銀の式神――左京を生け贄に、ミュータント・ハイブレインを召喚！  
更に阿僧祇を攻撃表示に変更！

ミュータント・ハイブレインでオイスターマイスターに攻撃！

そしてミュータント・ハイブレインの効果発動！

ミュータント・ハイブレインの攻撃宣言時

相手モンスター1体のコントロールをバトルフェイズ終了時まで得  
る！

そしてミュータント・ハイブレインの代わりに攻撃する！

シーラカンスのコントロールを奪い、シーラカンスでオイスターマ  
イスターに攻撃！」

「罨カード、フィッシャーチャージを発動！」

自分の場に存在している魚族モンスターを生け贄にする！  
相手の場のカードを1枚破壊し、カードを1枚ドロースる！  
オイスターマイスターを生け贄にして、ダークゴッドを破壊する！」

効果破壊には弱いものね、ダークゴッド  
しかもオイスターマイスターの効果は……

「フィッシュチャーージの効果でドロースしてオイスターマイスターの効果発動  
戦闘以外の方法で場から墓地へ送られた時  
自分の場にオイスタートークンを1体特殊召喚するわ  
オイスタートークンを守備表示で特殊召喚！」

「むう……ならシーラカンス  
素早いマンボウに攻撃！」

魚が魚を食べた……食物連鎖か、それとも弱肉強食か  
どっちにしても、シーラカンスの方が明かに強いわね。

「素早いマンボウの効果を発動！  
戦闘で破壊された時、デッキから魚族モンスターを1体墓地へ送る  
そしてデッキから素早いマンボウを1体特殊召喚できるわ！  
私はデッキからヒゲアンコウを墓地へ送り、デッキから素早いマンボウを守備表示で特殊召喚！」

「む、リクルーターモンスターだったんだ  
だったら阿僧祇でヒーロー・キッズに攻撃！」

阿僧祇の突進で吹き飛ばされるヒーロー・キッズ  
だけどレイ、このままだと攻撃力3000のシーラカンスがジュン

この場に戻るわよ  
なんとかしないと危ないんじゃない？

「速攻魔法、エネミーコントローラーを発動！

2つの効果から1つを選択し、発動する！

1つは相手モンスターの表示形式を変更する

もう1つは自分の場のモンスターを1体生け贄にして

相手の場のモンスター1体のコントロールをエンドフェイズ時まで  
得る！

ボクはシーラカンスを生け贄にして……なんでもいいや、素早いマ  
ンボウのコントロールを得る！」

そんな除去手段を使うなんて……

ジュンコが凄く悔しそうよ？

1ターンに2回も奪えばそうなるわよね。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！

そしてエンドフェイズ時にエネミーコントローラーで奪ったモンス  
ターのコントロールは元に戻る」

「俺のターン、ドロー！

魔法カード、強欲な壺を発動！ デッキからカードを2枚ドローす  
る！

魔法カード、融合回収を発動！  
フュージョン・リカバリー

融合に使用した融合の魔法カードと、ワイルドマンを手札に加える！  
そして融合を発動！

手札のE・HEROエッジマンとワイルドマンを融合！

E・HEROワイルドジャギーマンを融合召喚！」

この状況でワイルドジャギーマン……

ミュータント・ハイブレインを破壊したら大ダメージは必至ね。

「甘いよ……罠カード、ヘル・ポリマーを発動！」

相手が融合モンスターを融合召喚した時に発動する！

自分のモンスターを1体生け贄に捧げ、融合モンスターのコントロールを得る！

ボクはミュータント・ハイブレインを生け贄に、ワイルドジャギーマンを奪う！」

レイはあの状況で十代がドローしてくると予想していた！？

ドロー前は手札が1枚だったのに……よく予想したわね

しかも攻撃力0のミュータント・ハイブレインの処理もキチンとした。

「げえ！？

速攻魔法、融合解除を発動！

ワイルドジャギーマンの融合を解除！

ワイルドマンとエッジマンを特殊召喚する！」

「避けられた！？

……十代もなかなか凄いわね

よくあのドローでこのカードを手に入れられたものよ。

もし、レイがモンスターを奪わなかった場合

ワイルドジャギーマンの攻撃でミュータント・ハイブレインと阿僧

祇を破壊、合計ダメージは3700

融合解除からの直接攻撃で1500と2600、合計4100

合わせたら7800……しかも既に400のダメージを与えていたから勝っていた！？

お、恐ろしいわね十代

まだレイの伏せカードに美寿知の伏せカードも有るのに  
それでも決まっていたら勝っていただなんて……

「エッジマンで阿僧祇に攻撃！

パワー・エッジ・アタック！」

阿僧祇はエッジマンに殴り飛ばされ、破壊される  
ダメージは1100、残りライフは5500  
お互いのライフが5500で並んだわ。

だけど、十代はまだワイルドマンで攻撃できる！

これが通れば美寿知とレイのライフは残り4000になるわ！

「ワイルドマンで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「永続罠、リビングデッドの呼び声を発動！

自分の墓地に存在するモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！  
墓地の那由多を特殊召喚して、那由多の効果を発動！

那由多が召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
自分の墓地に存在する阿僧祇を特殊召喚できる！

この効果で墓地の阿僧祇を守備表示で特殊召喚！」

また蘇生用のカード！？

美寿知は蘇生用カードの使用率が高いわね  
攻撃力2600と守備力2500が何度も出てくる……  
片方が出てきただけでこうなるんだから相当鬱陶しいわね。

「防がれちゃった……ターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー」

銀の式神―右京を召喚、そして効果を発動  
右京が召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
自分の墓地に存在する左京を特殊召喚する」

出たわね、右京と左京のコンボ  
そして那由多と阿僧祇のコンボ  
もう嫌になるぐらい出てくるんでしょうね……

「阿僧祇を攻撃表示に変更  
先ずは右京でヒーロー・キッズに攻撃」

右京の攻撃力は800  
ヒーロー・キッズの守備力を超えている  
右腕に貫かれ、破壊されるヒーロー・キッズ  
美寿知……どんな動きをするのかしら？

「左京で素早いマンボウに攻撃」

左腕に貫かれ、破壊される素早いマンボウ  
でもその効果は……

「素早いマンボウは戦闘破壊された時に効果を発動する  
だが、俺のデッキに素早いマンボウは入っていない  
だから効果を発動できない」

十代のデッキに素早いマンボウは無い  
だから特殊召喚効果を使う事はできない。



「阿僧祇、ワイルドマンに攻撃」

攻撃力が同じなのに!?

まさか相打ちをするつもり!?

ワイルドマンは阿僧祇を斬りつけ

阿僧祇は斬られながらも突撃してワイルドマンを破壊……相打ちね。

「那由多、エッジマンに攻撃」

那由多がエッジマンの背後に回り、蹴りつける

けどエッジマンは背後の那由多に気付いていた

後ろへ裏拳を撃つけど、同時に直撃……また相打ちね。

「罨カード、奇跡の残照を発動

このターン、戦闘で破壊され、自分の墓地へ送られたモンスターを  
1体選択する

選択したモンスターを、墓地から特殊召喚する

墓地より那由多を特殊召喚し、効果を発動

墓地から阿僧祇を特殊召喚」

……美寿知のデッキがよく分かったわ

あのデッキは破壊と再生、そんな感じのデッキね

お互いに支え合う右京と左京、那由多と阿僧祇

この4体を蘇生したり召喚したり……モンスターを途切れさせない  
戦法ね。

なんというか……凄く鬱陶しいわ!

どうやって潰すか、凄く悩む!

蘇生系カードが多いから何度でも出てくるし

除外するぐらいしか方法が無いんじゃないかしら?

「阿僧祇でオイスタートークンに攻撃」

簡単に破壊されるオイスタートークン

もう、十代達の場合にモンスターは居ない！

「那由多、ダイレクトアタック直接攻撃！」

2600のダメージ

5500だったから残りライフは2900

もし4000ライフ開始だったら終わっていたわね。

「ターンエンドだ」

ずっと美寿知のモンスターが残ってる

どうやってこの状況を突破すればいいのかしら？

「私のターン、ドロー！ ギガ・ガガギゴを召喚！

このモンスターのLVは5だけど、アトランティスの効果でLVが1下がって4よ！

更に魔法カード、アクア・ジェットを発動！

水属性モンスターの攻撃力をエンドフェイズ時まで1000ポイントアップさせる！」

元々の攻撃力は2450のギガ・ガガギゴ

アトランティスの効果で攻撃力が2650

アクア・ジェットの効果も受け、攻撃力は3650ね。

「バトルよ！

ギガ・ガガギゴで右京に攻撃！」

叩き潰すように右京に攻撃するギガ・ガガギゴ  
攻撃力差は3050……大きいわね  
美寿知達の残りライフは2450……ね。

「ターンエンドよ

アクア・ジェットの効果は無くなって攻撃力が元に戻るわ」

それでも攻撃力は2650

これなら那由多でも攻撃力が足りないわ

「ボクのターン、ドロー！

……どうせだし、悪の手下らしいカードを使うってのもいいかな」

悪の手下らしいカード？

どんなカードかしら？

「那由多、阿僧祇の2体を生け贄に捧げる

闇世界の神よ、我が前に現れろ！

出てこい、地縛神 U<sup>ウル</sup>ru！」

現れた巨大な蜘蛛のモンスター……

な、何よ……この禍々しいモンスターは！？

『あ、あの……あのモンスターは？』

『地縛神という種類のモンスターだ

ナスカの地上絵というものを知っているか？

その地上絵には様々な生き物が描かれている

地縛神はその地上絵をモンスターとして復活した姿

そしてUr<sup>ウル</sup>という言葉はケチュア語で蜘蛛を表している』

また変な事には詳しくて……

どこでそんな情報を手に入れてくるのかしら？

『そして地縛神と名の付くモンスターに共通する効果

フィールド魔法が無ければ場で生きる事ができない

地縛神と名の付くモンスターは全ての場に1体しか存在できない

相手は地縛神を攻撃対象とする事ができない

そして……相手プレイヤーへ直接攻撃ができる』

こ、攻撃力3000のUr<sup>ウル</sup>が直接攻撃ですって！？

そんなモンスター、反則に決まってるじゃない！

『直接攻撃<sup>ダイレクトアタック</sup>って……反則効果ですね

攻撃力3000ですよ？』

『しかし制約が有るだろう？

フィールド魔法が無ければ自壊してしまうし、最上級モンスターだから召喚が面倒だし

フィールド魔法を使わないと召喚してもすぐに消えてしまうからな色々面倒なんだよ、こいつは』

それでも強力なのに代わりは無いじゃない！

攻撃力3000なのよ？

しかも攻撃対象に選択できないのよ！

「地縛神 Ur<sup>ウル</sup>の効果を発動！

1ターンに1度、自分の場のモンスター1体を生け贄に捧げる

そして、相手の場のモンスター1体のコントロールをエンドフェイ

ズ時まで得る！」

やっぱりモンスター奪取効果を持っているのね！

レイが召喚したモンスターなんだからそうじゃないかと思ったわよ！  
しかもジュンコの場にモンスターは……0じゃない！

「あんたねえ……どれだけ私達のモンスターを奪えば気が済むのよ！？」

いい加減にしなさい！」

「ボクの気が済むか？

ボクは相手のモンスターを何回奪っても、気が済まない！

これでボクの勝ちだ！

ウルダイレクトアタックで直接攻撃！

ヘル・スレッド！」

巨大な蜘蛛が口と思われる場所をジュンコに向け、糸を吐く

ジュンコ達のライフは残り2900、これを受けたら負けよ！

「罨カード、ゼウス・ブレスを発動！

相手モンスターの攻撃宣言時、相手モンスター1体の攻撃を無効にする！

そして自分の場に水属性モンスターが居れば相手に800ポイントのダメージを与えられたけど

残念ながら、今の私の場に水属性モンスターは居ないわ」

あ、危なかったわね

よく生き残ったわ……心臓に悪い。

「……そのカード、最初の方から伏せていたカードだね？」

どうして今まで使わなかったの？」

「決まってるじゃない

最後の最後まで使わない事で油断させる為よ

攻撃反応型罠カードだって、相手は気付かないわだからずっと待ってたのよ、最後の最後まで！」

まさか……あのジュンコがそんな高等技術を！？  
いつの間にそんな事ができるように……

『嘘だな、単に忘れていただけだろう

お前みたいな強気な性格の奴がそんな事ができる訳が無い』

「う……」

……私の感動を返して、ジュンコ  
驚いて損した……

「で、でも実際に防げたんだから良いのよ！」

「ギガ・ガガギゴで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「話してる途中じゃなつきやあ！」

レイが怒るのも無理は無いわよ

私でも怒るわ、あんな偉そうな事を言っていて  
実は単に忘れていました……じゃねえ？

そして残りライフは250

首の皮1枚繋がったという感じね

本当にギリギリじゃない。

「決められなかった……ターンエンド  
エンドフェイズ時、U<sup>ウル</sup>r uの効果が切れてギガ・ガガギゴのコント  
ロールが元に戻る」

次は……十代のターン  
このターンで決めないと直接攻撃を受けて負けるわよ！  
ダイレクトアタック

「俺のターン、ドロー！  
魔法カード、ホープ・オブ・フィフスを発動！  
墓地のE・HEROを5体、デッキに戻してシャッフル  
エッジマン、サンダー・ジャイアント、ネクロイド・シャーマン、  
バブルマン、ワイルドマンをデッキへ  
そしてカードを2枚ドローする！」

相変わらず……ね

これがラストチャンス、何をドローしたのかしら？

「よし、魔法カード、ヒーロー・マスクを発動！  
デッキからE・HEROを墓地へ送る  
その後、自分の場のモンスター1体を選択  
そのモンスターを墓地へ送ったモンスターと同名として扱う！  
俺はデッキからE・HEROネオスを墓地へ送る！  
ギガ・ガガギゴをネオスとして扱う！」

ネオスとして扱う……ですって？  
という事はやっぱりそうなのかしら？

ネオスベーション  
「N・グラン・モールを召喚！」

そしてネオスとなっているギガ・ガガギゴとグラン・モールをコンタクト融合！

現れる、E・HEROグラン・ネオス！」

岩石のような体をしたネオスが出てきた  
ただ、腕にドリルが……男のロマンという奴かしら？  
一部の男子生徒が目を輝かせているわ。

……白黒兄さん、貴方なもの？  
モノクロ  
瑞貴はマスクを着けているから分からないけど……

「グラン・ネオスの効果を発動！  
1ターンに1度まで、相手の場に存在するモンスター1体を持ち主の手札に戻せる！」

俺は地縛神 U<sup>ウル</sup>r<sup>ル</sup>を選択！  
手札に戻れ地縛神！ ネビュラスホール！」

グラン・ネオスがドリルで空間を破壊する  
U<sup>ウル</sup>r<sup>ル</sup>はその空間に呑み込まれ……消えた  
手札に戻す効果……厄介なモンスターね。

「ボクの……ボクのU<sup>ウル</sup>r<sup>ル</sup>が！」

「俺の勝ちだ！  
グラン・ネオスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「初召喚なのに……ん？  
ちょ！ うきやあああ！」

ドリルでレイに思いっきり攻撃



レイは暫く放心していたけど途中で気付く  
だけど少し遅かったみたいで……凄く驚いていたわ。

「ま……負けちゃった」

「（手札の死者蘇生……使い損ねたな

ダークゴッドを蘇生させても勝てないと分かっていたからな  
次の自分のターンに使用おうと思っていたのだが……その前に負けたか  
もし生き残っていたら那由多を蘇生させて阿僧祇を特殊召喚……いや、それも遅い

手札に持ったままじゃなく、伏せていたら……勝っていたか  
ふ……既に負けた身、考えても無駄か）」

「よつつつつつつつつっしゃあ！」

「勝ったー！ー！ー！」

大変な決闘デュエルだったものね

それだけに嬉しさもずっと凄いわ  
よく頑張ったわね、ジュンコに十代  
負けたけどお疲れ様、レイに美寿知。

「ぐっく……ぼ、ボスはボク達よりずっと強いからな！

今から楽しみにしておくがいいさ！

君達なんて負けちゃえ！」

最後に見事なやられ役の役目を果たすレイ

大変ね……悪役は。

「そういえば劇中だったな……」

私は墓守の巫女、貴様らを占ってやろう」

「「占い？」」

案外ノリが良いのね、美寿知  
でも占いかぁ……本当に占うわけじゃないわよね？

「……出たぞ

激しくも、美しい光には注意する事だな  
呑み込まれて……消えないようにするのだ」

「どういう意味だよ？」

「ふふふ、それは自分で考える事だ  
ではな、E・HERO」

そう言って美寿知もその場から離れる  
楽しそうね、美寿知  
よくやってくれたわ。

『墓守の巫女さん、見事に決めてくれましたね』

『そうだな、ではそのまま続けよう  
次の対戦相手は……まあ、分かってるだろうがな』

そうね

誰かかは……予想できる事  
あの2人が勝てるかしら？  
どっちも頑張ってね！

## 147話【爆走学園祭 上編】（後書き）

玲が何故居る！？

前日も来ていたので

今回は居ないのか、そんな疑問を持った人も居るのでは？

しかも今回はコスプレをしてくれました、炎の女暗殺者です  
理由は……次回を予想すれば簡単に分かりますね。

美寿知が墓守の巫女理由は？

元々巫女服だからです

あまり新鮮さは感じられそうに無いですが……  
しかも墓守と使用デッキのコンセプトの違和感が凄い。

素早いマンボウ？

日本未販売カードです

Wikiの素早いモモンガなどの素早いシリーズモンスターのペー  
ジに行けば分かります

英字で書かれているので、詳しくはそこをどうぞ  
ただ、素早いマンボウの名前で正しいかは不明です。

阿僧祇に那由多が……

何度も出てきます

実際にアニメで特殊召喚でも効果を発動していたとはいえ  
悪用すれば相当危険なモンスターですね……

あれ？ 特殊召喚したのは右京と左京だけだったけ？  
……まあ、どっちでもいいです。

レイが地縛神！？

地縛神です、使いたい使いたいと思っていたのですが機会を逃し……

とうとう使ってしまいました、負けましたけど  
GX時代でOCG効果とはいえ地縛神を使って負けるだなんて……  
なんなんでしょうね？

レイのデッキにフィールド魔法が入ってるの？  
ご想像にお任せします。

激しくも、美しい光って何？  
秘密、簡単ですけど。

原作、アニメオリジナルカード

天の落とし物

お互いのプレイヤーは3枚ドローし、手札を2枚捨てる  
お互いに作用する天使の施しです

が、相手は手札が1枚増えるのに自分の手札枚数は変わりません  
明かに損のカードです、OCG化したら禁止は分かりませんが制限  
は確実ですね。

ゼウス・ブレス

相手モンスターの攻撃宣言時に発動可能  
相手モンスター1体の攻撃を無効にする

その後、自分の場に水属性モンスターが居る場合  
相手に800ポイントのダメージを与える  
ポセイドン・ウェーブと殆ど同じです

違いは種族か属性か、ダメージが数×800ではなく800で固定  
かですね

固定ダメージとはいえ、水属性なので効果は広いカード  
種族は決められているとはいえ、数を揃えれば強力なバーン効果に

なるOCG効果

どちらが好きですか？ 作者はゼウス・ブレスを選びますが。

ツイッター、眠いです

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
どうでも良いんですけど今日は作者の誕生日です

まあ……どうでもいいんですけどね、何も無いですし。

## 148話【爆走学園祭 横編】（前書き）

「今日の最強カードはE・HEROテンペスターです  
攻撃力、守備力共に2800の風属性、戦士族  
自分の場のカードを1枚、墓地へ送る事でこのモンスターは  
このターン、エンドフェイズ時まで戦闘で破壊されなくなります  
……ミスト・ボディの方が強力ですね」

原作効果が凄まじく弱いですね  
彰子もそう思うようです。

本当は昨日に投稿するつもりだったんですが  
ちょっとミス、遅れてしまいました  
今回は予想できるコンビだったとは思いますが。

それにしても……とにかく眠いです  
投稿30分ぐらい前まで寝ていました  
おかげでギリギリです。

## 148話【爆走学園祭 横編】

視点 レイ

『次の対戦

E・HEROザ・ヒート&E・HEROレディ・オブ・ファイアチーム

対するは燃え盛るヒータ&炎の女暗殺者チームだ』

やっぱり……でも彰子さんと玲ちゃん

会った事も無いんじゃないかな？

なのに戦えるの？

「……お兄ちゃん

私の使うデッキって……」

『格好で分かるだろう？』

「やっぱり？

分かった、そのデッキを使う」

そのデッキ？

玲ちゃんのデッキは確かスキルドレインだね？

……あれ？ 何か忘れてる気がする。

「あの、初めまして

私、宇佐美彰子です……燃え盛るヒータですけど  
今は劇中なのでヒータと呼んでください」

「あ、初めまして

私は堅守玲、聞いていて分かると思いますが堅守瑞貴の妹です  
炎の女暗殺者なので……暗殺者とも呼んでください」

「……口調が違う？」

『炎の女暗殺者の口調については突っ込まないように  
後で説明してやるから、今は劇と決闘デュエルに集中しろ』

「わ、分かりました！」

玲ちゃんの口調、最初から気付くのは難しいよね  
混乱するのが普通だよ、その気持ちは分かるなあ……

「まあ、私が決闘デュエルをするのは好都合です

今回は……お前への借りを返したかったしな！  
遊城十代、去年の雪辱、今年は返してやる！」

「お、去年のリベンジか？

いいぜ、受けてやる！」

あー……去年、確か1ターンキルされたんだっけ？  
アレは酷かった……1ターンで3回融合もしてたし。

『ライフはさっきと同じで8000開始だ  
普段と間違えないように注意するように』

4000だったら勝ってたのになあ……なんだか複雑  
勝負に勝って試合に負けるってこんな感じかな？



「「「<sup>デュエル</sup>決闘！」」」」

「私の先攻、ドロー！」

魔法カード、化石調査を発動します

デッキからLV6以下の恐竜族モンスター1体を手札に加えます

私はデッキからLV6、ジュラック・ヘレラを手札に加えます

更にジュラック・ヴェローを召喚、カードを2枚伏せてターンエンドです」

彰子さんのデッキはジュラックの恐竜族モンスター

炎属性の無駄にど派手で……眩しいぐらいだね。

「お、なんだか新しいモンスターだな

俺のターン、ドロー！」

E・HEROザ・ヒートを召喚！」

あ、本人さん登場

そういえばどんな効果を持ってるんだろう？

融合しかされてなくて、まだ1回も出てきてないし。

「ザ・ヒートは自分の場に存在するE・HEROの数×200ポイント攻撃力がアップする

俺の場にはE・HEROはザ・ヒートのみ、それでも攻撃力は200ポイントアップ！

これで攻撃力は1800、ジュラック・ヴェローを上回ったぜ！」

攻撃力を上げる効果なんだ

でも、E・HEROで攻撃力1800ってかなり高いよね

他のE・HEROでも1500とか1600でも高いぐらいだし。

「バトルだ！」

ザ・ヒートでジュラック・ヴェローに攻撃！」

「永続罠、バック・ファイアを発動！」

自分の場の炎属性のモンスターが破壊されて墓地へ送られた時相手に500ポイントのダメージを与えます！」

バックファイア！？

彰子さん、こんなカードをデッキに入れてたの！

しかもリクルーター効果を持っているはずのジュラック・ヴェローだし！

ザ・ヒートがジュラック・ヴェローを殴る

ジュラック・ヴェローは大爆発を起こし、破壊された。

「バック・ファイアの効果が発動します

ザ・ヒートに500ポイントのダメージを与えます

更にジュラック・ヴェローの効果が発動

自分の場で攻撃表示で存在しているこのモンスターが戦闘で破壊された時

自分のデッキから攻撃力1700以下のジュラックと名の付くモンスターを特殊召喚できます

私はデッキより、ジュラック・スタウリコを守備表示で特殊召喚します！」

爆発が十代さんを襲い、500ポイントのダメージ

そして更に新しい燃え盛る恐竜が現れた

……だから燃え盛るヒータの格好なんだ  
体が凄く燃えてるからだよね？

激しく燃える……あ！

さっき美寿知さんが言っていたのってこの事！？

激しくも美しい光……光って炎の事だったんだ！

爆発もして、激しすぎるぐらいだし！

「くそお……カードを2枚伏せて、ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

……道理で私がこのデッキなわけだ

速攻魔法、ファイヤー・サイクロンを発動

手札の炎族モンスターを任意の枚数墓地へ送る

そして墓地へ送ったカードの枚数分だけ、相手の魔法、罠カードを破壊する

私は手札の炎族モンスターを2体墓地へ送り、伏せカード2枚を破壊！」

燃える風……熱風が十代さんの場を荒らす

伏せていたカードは2枚、その2枚が破壊される

これで十代さんは無防備だね。

「へへ、掛かったな？」

罠カード、ヒーロー・メダルだ

このカードは破壊された時、デッキに戻ってシャッフルされる

sonで、デッキからカードを1枚ドロウできるんだ

更にもう1枚は魔法カード、コーリング・マジックだったのさ

このカードが魔法、罠カードの効果で破壊された時

デッキから魔法カードを2枚選択して、場にセットする」

……え、なにこれ？

十代さん、なんでこんなピンポイントカードを伏せてるの!?  
伏せカードを消してくる事を完全に読んだの!?

『……読みと運が神懸かってますね』

『理不尽だ……』

うん、それは同感

玲ちゃんなんて怒りから震えてるよ?

「クッ……」

でも、ファイヤー・サイクロンで捨てたヴォルカニック・バックシ  
ョットの効果を発動

このカードが墓地へ送られた時、相手に500ポイントのダメージ  
を与える

燃やしてこい、ヴォルカニック・バックショット!」

「お、お、お?

うおおあー!」

十代さんの足元から爆発

そして玲ちゃんの使っているカードは炎属性、炎族

思い出した、玲ちゃんのデッキはスキルドレインだけじゃない

炎属性のデッキも有ったんだ!

「魔法カード、ファイヤー・バックを発動!

手札の炎属性モンスターを墓地へ送り、墓地から炎属性モンスター  
を特殊召喚する

手札の火乃伽具土を捨てて墓地より、プロミネンス・ドラゴンを守  
備表示で特殊召喚!

そしてきつね火を守備表示で召喚！」

尻尾が燃えている小さい狐が出てきた……可愛いかもでも……燃え盛るヒータのイラストに描いてるきつね火って怖いんだよね

どうしてあんなに凶暴化したんだろう？

「エンドフェイズ時、ファイヤー・サイクロンの効果が発動

墓地へ送ったカードの枚数分だけ、デッキからカードをドロースる私が墓地へ送ったカードは2枚、よって2枚ドロ

そしてプロミネンス・ドラゴンの効果が発動

エンドフェイズ時、このモンスターが場に存在している時相手に500ポイントのダメージを与える」

あ、危ない……玲ちゃん、手札が0枚だったもんね1ターンで全部使い切るだなんて……

そしてまた効果ダメージ

合計で1500、残りライフは6500だね。

「私のターン、ドロ！」

コアキメイル・アイスを召喚！」

水色の半透明な体をした、氷みたいなモンスターが出てきた手には槍みたいな形をした氷、盾みたいなものにも氷を使ってるそれにしても……コアキメイルって何？

「コアキメイル・アイスの効果を発動！

手札を1枚捨てる事で、特殊召喚されたモンスターを1体破壊する！手札を捨てて、特殊召喚されたプロミネンス・ドラゴンを破壊！」

コアキメイル・アイスが槍を投げ、プロミネンス・ドラゴンに直撃  
プロミネンス・ドラゴンの燃える体が蒸発して爆発  
……え、凍って蒸発して爆発って何？

『爆発しましたね……蒸発するみたいに』

『水蒸気爆発だろ

燃える体に水属性水族の氷なんてぶつけたからな  
現実で実験する場合、周囲に注意して実験する事  
小規模の実験なら怪我はしないだろうが凄まじい煙が立つ  
料理中に起こる可能性もあるので、油を使う時には注意するように』

『……化学の授業ですか？』

こんな時までそんな解説をしなくても……  
役に立つかもしれないけど、あまり意味無いんじゃない？  
そんな実験、気が向いても滅多にする事じゃないし。

「誰がそんな実験をするのよ……  
でも、これで効果ダメージは無くなったわ  
そして手札から捨てたりチュア・シエルフィッシュの効果を発動！  
このモンスターが効果で墓地へ送られた時  
デッキの上から3枚を確認して、好きな順番で上か下に戻すわ」

ジュンコさんはデッキを確認  
そしてそのカードの順番を入れ替えてデッキの下に戻した  
要らないカードだったのかな？

「バック・ファイアの効果が発動する  
炎属性モンスターが破壊された事により、相手に500ポイントの

ダメージを与えるわ！」

それも有ったから爆発したのかな？

これでまた500ポイントのダメージ……

もう合計2000ダメージだよ？

「手札をもう1枚捨てて、ジュラック・スタウリコを破壊！」

「再びバック・ファイアの効果

500ポイントのダメージを受けなさい！」

ジュラック・スタウリコが氷の槍に貫かれ、破壊される

当然、バック・ファイアの影響も有ってか爆発

これ……ダメージはそんなに高くないけど厄介だなあ

破壊するだけで戦闘でも効果でも関係無く500ダメージだもん。

「でも、これでモンスターは減ったわよ？

ザ・ヒートできつね火に攻撃！」

ザ・ヒートが燃える拳できつね火を殴り飛ばす

爆発して破壊されるきつね火……でも、確か嫌な効果を持っていた気がする

しかも、バック・ファイアの効果でまたダメージだし。

「コアキメイル・アイスで直接攻撃よ！」  
ダイレクトアタック

槍が投げられて、玲ちゃんに当てられる

攻撃力は1900、ザ・ヒートの攻撃ダメージも1000受けた  
だから合計ダメージは2000、残りライフは6000だね。

ジュンコさん達のチームは残りライフ5500  
効果ダメージよりも先に倒せれば勝てるんだけど……

「カードを1枚伏せて、エンドフェイズ  
コアキメイル・アイスの維持コストとして  
手札の永続魔法、ウォータールハザードを相手に見せるわ  
これでターンエンドよ！」

「エンドフェイズ時、きつね火の効果が発動するわ  
戦闘で破壊されたターンのエンドフェイズ時  
墓地からきつね火を特殊召喚する！  
きつね火を守備表示で特殊召喚！」

自己蘇生効果……これは厄介過ぎる！  
どうにかしないと毎ターン、戦闘破壊すれば戻ってくるし！  
でも次のターン、コアキメイル・アイスの効果を発動すれば効果破  
壊される

またダメージは受けるけど、1回だけで済むから大丈夫かな？

『しかし……少し厳しいか？』

『何がですか？』

何がだろう？

『燃え盛るヒータの使用デッキはジュラックという名の付く恐竜族  
デッキだ

だが、ジュラックの下級モンスターの攻撃力は基本的に1700以  
下となっている

つまり攻撃力1800、1900のモンスターが相手ではかなり厳



しい事になる

上級モンスターを召喚しようにも、きつね火は生け贄にできないという効果を持っている

どうやってコアキメイル・アイスを処理するのか、あいつが居るとかなり困るだろうしな

手段は何種類か有るが、それでも面倒な事に変わり無い』

そういえば……攻撃力1700以下って効果が何種類か有ったっけ？  
という事は殆どの下級ジュラックは効果範囲内なんだ  
でも、この状況じゃあまり関係無さそう。

「私のターン、ドロー！」

俊足のギラザウルスを守備表示で特殊召喚します！

そして俊足のギラザウルスの効果

この効果で特殊召喚した場合、相手は墓地からモンスターを特殊召喚できません

どうぞ、モンスターを出してください」

ええ！？

どうしてそんな事を！？

生け贄にするにしても、最上級モンスターを出せないし  
しかも蘇生を許すだなんて！

「何を考えてるか知らないけど……なら遠慮しないわ  
私はコアキメイル・アイスの効果で捨てた、ネオアクア・マドール  
を守備表示で特殊召喚よ」

守備力3000の壁モンスター！？

2回目の効果の時に捨てたんだ

これは……どうやって突破するんだろう？

「これで3体……ジュラック・プロトプスを召喚します！」

背中から尻尾までが燃えている、赤と青の恐竜  
相変わらずジュラックって派手だね

四つ足の恐竜で、体も大きいから凄く目立つ。

「ジュラック・プロトプスの効果です

このモンスターは相手の場に存在するモンスターの数×100ポイント攻撃力がアップします

ジュラック・プロトプスの元々の攻撃力は1700

そちらの場にはモンスターが3体、よって攻撃力は300ポイントアップ

合計で、攻撃力は2000です！」

あ、だから俊足のギラザウルの効果を使っただんだ！

コアキメイル・アイスを攻撃して、相打ちにならないように！

こんな方法で攻撃力を突破するなんて凄いなあ……

「ジュラック・プロトプスでコアキメイル・アイスに攻撃！」

炎を吹き、コアキメイル・アイスに直撃して破壊される

そして霧が……またさっき言ってた水蒸気爆発？

もう、こんな所まで再現しなくてもいいのに……邪魔で見えない！

「チッ……まあいいわ

罨カード、ヒーロー・シグナルを発動！

自分のモンスターが戦闘で破壊された時

デッキからE・HEROを特殊召喚する！

私はデッキからE・HEROレディ・オブ・ファイアを特殊召喚よ

！」

これは……拙い？

ザ・ヒートとレディ・オブ・ファイアが揃ったから融合できるし  
守備力3000のネオアクア・マドールも居る。

しかも彰子さんは俊足のギラザウルスを守備表示で特殊召喚したから  
追撃できない

もし攻撃表示だったらレディ・オブ・ファイアを倒せたのに……  
状況が良くないなあ……大丈夫？

「……ターンエンドです」

悔しそう……そりやそうだね

せっかく倒したのに態々融合素材を出されたんだし。

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、ヒーロー・マスクを発動！

自分の場のモンスター1体を選択し、デッキからE・HEROを墓地へ送る

そして選択したモンスターは墓地へ送ったモンスターと同名カードとして扱う！

俺はE・HEROネクロダークマンを墓地へ送って、ネオアクア・マドールをネクロダークマンとして扱う」

これは……やっぱり融合をする為に！

でもフレイム・ブラストに融合もできるんだけど

それはどうするんだろう？

「手札から魔法カード、融合を発動！

場のネクロダークマンとなっているネオアクア・マドールと、手札のスパークマンを融合！

E・HEROダーク・ブライトマンを融合召喚！」

うわ……確かあのモンスターって貫通効果を持てなかった？  
守備力200のきつね火、守備力400の俊足のギラザウルス  
どっちを狙われても危ないよ！

「そして墓地に存在する、ネクロダークマンの効果を発動

このモンスターが墓地に存在している時

1度だけ、E・HEROを生け贄無しで通常召喚する事ができる  
俺は手札からE・HEROエッジマンを召喚！」

あーあーあー……これは酷い

十代さん、どうしてこんなにできるんだろう？

コーリング・マジックの効果で伏せたカードもまだ使っていないし  
もし使ったら……何が起るんだろう？

「そしてコーリング・マジックの効果で伏せていた魔法カード、融<sup>フュー</sup>  
ジョン・リカバリ  
合回収を発動！」

融合に使用したモンスター1体と融合の魔法カードを手札に戻す  
俺はスパークマンと融合を手札に戻す

更に同じくコーリング・マジックの効果で伏せていた魔法カード、  
Eーエマージェンシーコールを発動！

デッキからE・HERO1体を手札に加える、俺はこの効果でバブ  
ルマンを手札に加え、融合を発動！

手札のスパークマンとフェザーマン、バブルマンを融合！

E・HEROテンペスターを融合召喚だ！」

え……ええー？

攻撃力2000と2600の貫通効果を持つダーク・ブライトマンとエッジマン

攻撃力1600だったけど、E・HEROの数だけ攻撃力を200ポイント上げて

5体のE・HEROの存在で現在の攻撃力は2600のザ・ヒート攻撃力2800で最高クラスのテンペスター

効果ダメージを与えるレディ・オブ・ファイア

……え、ライフ6000で耐えられるの？

うん、無理、2体の貫通攻撃で3900のダメージ

十代さん達の場合には5体のモンスターだからジュラック・プロトプスの攻撃力は2200

攻撃力2600のザ・ヒートでジュラック・プロトプスに攻撃して400

テンペスターとレディ・オブ・ファイアの直接攻撃で4100

合計で8600にレディ・オブ・ファイアの効果で1000ポイントのダメージ

総計ダメージは9600……どうやって耐えろって言うの!?

『鬼ですねー』

『余裕でオーバーキルだな』

瑞貴さんには言われたくないと思う

明日香さんから聞いてるよ、10000以上のオーバーキルをしたって

10000以上って……酷すぎない？

「バトルだ！ エッジマンできつね火に攻撃！

更にダーク・ブライトマンで俊足のギラザウルスに攻撃だ！

そしてこの2体は貫通効果を持っている  
攻撃力と守備力の差だけ、ダメージを与える！」

「で、でも炎属性のきつね火が破壊された事でバック・ファイアの  
効果を受けてもらいます！」

きつね火が爆発、十代さんに500のダメージ……  
でもまだ十代さん達のライフは4900も残ってる！  
それに対して彰子さん達のライフは2900  
もしこのままだと……負ける！

「ダーク・ブライトマンは攻撃をした後、守備表示に変更される  
テンペスターでジュラック・プロトプスに攻撃だ！  
カオス・テンペスト！」

テンペスターの腕から出す光線に破壊され、爆発するジュラック・  
プロトプス  
バック・ファイアの効果でまた500のダメージ  
でも攻撃力差は600、彰子さん達の残りライフは2300。

「これで終わりだ！  
ダイレクトアタック  
ザ・ヒートで直接攻撃！」

「そう簡単に……甘く見ないでください！  
罨カード、化石発掘を発動！  
手札を1枚捨て、墓地の恐竜族モンスターを特殊召喚します！  
ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターは効果を失いますが  
手札を1枚捨て、ジュラック・ヴェローを攻撃表示で特殊召喚しま  
す！」

ジュラック・ヴェローを……攻撃表示？

でも確かジュラック・スタウリコってトークンを特殊召喚しなかったっけ？

だったらそのモンスターを出した方が良かったんじゃない……

「ならザ・ヒートでジュラック・ヴェローに攻撃だ！」

殴られ、爆発

バック・ファイアの効果でまた十代さん達に500ポイントのダメージ

ザ・ヒートとジュラック・ヴェローの攻撃力差は900

彰子さん達のライフは残り2000……大丈夫なのかな？

「ジュラック・ヴェローの効果を発動します！」

攻撃表示で戦闘破壊され、墓地へ送られた時

デッキから攻撃力1700以下のジュラックと名の付くモンスターを特殊召喚します

この効果は墓地で発動する効果なので化石発掘の効果無効の範囲外です

私はこの効果により、ジュラック・ガリムを守備表示で特殊召喚します！」

「ちえ……決められなかったか

レディ・オブ・ファイアでジュラック・ガリムに攻撃だ！」

守備力が0のジュラック・ガリムは簡単に爆発し、破壊される

また500のダメージ……そろそろ結構ライフが減ってきているね

十代さん達の残りライフは3400

バック・ファイアの効果だけで4500のダメージも……

「ジュラック・ガリムの効果が発動します！」

このモンスターが戦闘で破壊された時、相手は手札を1枚捨てる事ができます

もし捨てない場合、ジュラック・ガリムを破壊したモンスターを破壊します！」

「げ、俺の手札は0……という事は防げない！」

爆発した炎に巻き込まれてレディ・オブ・ファイアが破壊された

これを狙って、態々ダメージを受けてまで……

でも、フレイム・ブラストへの融合を封じられたし

更にレディ・オブ・ファイアの効果ダメージも防げたから良しかな？

「そしてジュラック・ヘレラの効果を発動します

ジュラック・ヘレラ以外のジュラックと名の付くモンスターが

表側守備表示で戦闘破壊され、墓地へ送られた時

手札か墓地から特殊召喚する事ができます

化石発掘の時に墓地へ送ったので墓地からジュラック・ヘレラを特殊召喚！」

背中にバズーカみたいなのを背負った緑と黄色の痩せ形の恐竜が出てきた

ちゃんとアフターフォローも考えてるなんて……凄い

これを計算した上での化石発掘とジュラック・ガリムだったんだ。

「決められると思ったんだけどなあ……ターンエンドだ」

うん、さすがにこれは決まると思った

でも本来9600ものダメージを4000ダメージまで抑えた彰子さんが凄い



5600ものダメージを抑えるだなんてそう簡単な事じゃないのに。

「エンドフェイズ時、きつね火が特殊召喚される！

更に私のターン、ドロロー！

魔法カード、強欲な壺を発動！ 更に2枚ドロロー！

手札のフレムベル・ベビーを墓地へ送り、効果を発動！

自分の場に存在している炎属性モンスターの攻撃力を400ポイントアップさせる

私はジュラック・ヘレラの攻撃力を400ポイントアップ！」

これで攻撃力は2700

テンペスターには勝てないけど、エッジマンは倒せる  
でも、このままだと勝てない！

「魔法カード、手札断殺を発動！

お互いに手札を4枚まで捨て、捨てた枚数だけドロローする

もし手札が0枚の場合は1枚ドロローできる

ザ・ヒートの手札は0枚だから1枚ドロローだ」

十代さんに態々ドロローさせてまで手札交換？

何を狙ってるんだろう？

「魔法カード、真炎の爆発を発動！

墓地に存在する守備力200の炎属性モンスターを可能な限りと特殊召喚する！

ただし、エンドフェイズ時に全て除外されるが……」

真炎の爆発って確か……彰子さんが前にジュラック・アウロを大量展開したカード！

それを狙って手札断殺を！？

「フレムベル・アーチャー、フレムベル・グルニカを特殊召喚！  
更にフレムベル・ヘルドッグを召喚！」

燃える弓矢を持った男、青い体と燃える尾先を持つドラゴン、マゲ  
マみたいに燃えるような体をした犬

1700のモンスターが出てくるなんて……フレムベル・アーチャ  
ーは攻撃力1000だけど

そして通常召喚されたフレムベル・ヘルドッグは攻撃力が1900  
しかも、まだ何かしそうだし……何をするつもりなんだろう？

「フレムベル・アーチャーの効果を発動！

自分の場に存在する炎族モンスターを1体生け贄にして発動

フレムベルと名の付く全てのモンスターの攻撃力をエンドフェイズ  
時まで800ポイントアップさせる！

フレムベル・アーチャー自身を生け贄に、フレムベル・ヘルドッグ  
とフレムベル・グルニカの攻撃力を800アップ！」

フレムベル・ヘルドッグの攻撃力が2700、フレムベル・グルニ  
カの攻撃力が2500にまで……

凄い、1ターンでこんな事までできるんだ！

これが玲ちゃんの炎属性デッキ……前はアッサリ負けたからここま  
で見れなかった

それがこんなに強いなんて……ボク、勝てるかな？

「手札のフレムベル・ベビーを捨て、効果発動！

手札から捨てる事で自分の場に存在する炎属性モンスターの攻撃力  
を400ポイントアップさせる！

ジュラック・ヘレラの攻撃力を400ポイントアップだ！」

これでジュラック・ヘレラの攻撃力が3100までアップした  
テンペスターを倒せるまでの攻撃力に……本当に凄い。

「バトルだ！」

フレムベル・ヘルドッグでエッジマンに攻撃！」

フレムベル・ヘルドッグはエッジマンに噛みつき、破壊する  
攻撃力差は100だから100のダメージ  
十代さん達の残りライフは残り3300……

「フレムベル・ヘルドッグの効果発動！」

戦闘で相手モンスターを破壊し、墓地へ送った時  
デッキからフレムベル・ヘルドッグ以外の守備力200以下の炎属  
性モンスター1体を特殊召喚できる！」

この効果でデッキより、ラヴァル・ランスロッドを特殊召喚！」

攻撃力2100の、岩石のような体をして燃える槍を持つ男が出て  
きた

これは……何が何だかって感じなんだけど  
どうしてこんなに一気にモンスターが出てくるの！？

「ジュラック・ヘレラでテンペスターに攻撃！」

背中に有るバズーカをテンペスターへ向ける  
そして発射し、直撃！

「テンペスターの効果を発動！」  
自分の場のカードを1枚墓地へ送り、このターンだけ戦闘破壊され  
なくなる！

ザ・ヒートを墓地へ送り、テンペスターの破壊を免れる！」

「けど、ダメージ計算は行う  
だから300ポイントのダメージだ」

十代さん達のライフは残り3000  
追いついてきたかな……

「ならフレムベル・グルニカでダーク・ブライトマンに攻撃！」

フレムベル・グルニカの手から炎が燃え上がる  
その炎をダーク・ブライトマンに投げつけ、破壊する。

「フレムベル・グルニカの効果を発動！  
相手モンスターを戦闘で破壊した時

そのモンスターのLV×200ポイントのダメージを与える！  
ダーク・ブライトマンのLVは6、1200のダメージだ！」

「だが、ダーク・ブライトマンも効果を発動する！  
ダーク・ブライトマンが破壊された時、相手のモンスターを1体破  
壊する！

きつね火を破壊する！」

効果破壊だからきつね火はもう復活できない  
ダメージは受けたけど、それでも十分な効果だ！

「バック・ファイアの効果  
効果破壊でもちゃんとダメージは通るからな  
500ポイントのダメージ、ちゃんと受けてくれよ？」

玲ちゃんがそう言うと同時にきつね火が爆発

またダメージ……これは辛い！  
残りライフが1300まで減った！

「ラヴァル・ランスロッドで追撃したかったけど……勝てない  
仕方無いな、これでターンエンドだ

エンドフェイズ時、真炎の爆発の効果で特殊召喚されたフレムベル・  
グルニカは除外される

そしてフレムベル・アーチャーの効果も切れ、フレムベル・ヘルド  
ツグの攻撃力は1900に戻る」

バック・ファイアが強力過ぎる！

彰子さんも恐ろしい罠を仕掛けたものだね

ライフが8000と思って油断していると……こうなるんだ  
500ダメージって8000だったらそこまででも無いと思ってた  
けど。

もうバック・ファイアだけで5000のダメージ

戦闘ダメージはたったの500しか与えられてないなんて……  
残りはフレムベル・グルニカの効果での1200ダメージだし  
それはそれで凄いなあ。

「さすが堅守瑞貴の妹……やっぱり強い！

でも勝つのは絶対に私達よ！ 私のターン、ドロー！

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

そして魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！

場や墓地に存在するE・HEROを除外し、融合をする！

墓地のザ・ヒートとレディ・オブ・ファイアを除外融合！

出てきなさい、E・HEROフレイム・ブラスト！」

出た！ ジュンコさんの有る意味切り札！

でも攻撃力が足りない……ジュラック・ヘレラは倒せない！  
効果を使って攻撃力を上げるにも、DNA移植手術は永続罠カード  
伏せカードが1枚も無い状態じゃどうしようもできない！

「更に装備魔法、幻惑の巻物を発動！

このカードを装備したモンスターは私が指定した属性になるわ！  
幻惑の巻物をジュラック・ヘレラに装備、属性は当然水属性よ！」

そんな装備カードが……古いなあ  
滅多に見ないよ、そんなカード。

「フレイム・ブラストでジュラック・ヘレラに攻撃！

フレイム・ブラストは水属性との戦闘時、攻撃力が1000ポイン  
トアップするわ！

これでフレイム・ブラストの攻撃力は3300よ！」

「バック・ファイアは場と墓地、両方で炎属性じゃないと効果を発  
動できない……

しかも現時点で最大の戦力を奪われるのは辛いな」

残りライフは1800

でもまだテンペスターの攻撃が残ってる！

「まだまだよ！

テンペスターでラヴァル・ランスロッドに攻撃！」

テンペスターの攻撃でラヴァル・ランスロッドは爆発  
戦闘ダメージは……700、これで残りライフは1100！  
もういい加減に大ピンチかも？

「バック・ファイアの効果で500のダメージだ  
そしてラヴァル・ランスロッドの効果を発動！

このモンスターが場で破壊され、墓地へ送られた時  
ゲームから除外されている炎属性モンスターを1体選択して手札に  
加える事ができる

私は真炎の爆発の効果で除外されたフレムベル・グルニカを手札に  
加える！」

絶対に狙ってた……きつとテンペスターの効果も知ってたんだろう  
なあ

だから攻撃できないと半分予想していてラヴァル・ランスロッドを  
特殊召喚したんだろうけど  
このライフが少なくなってる状況でLV×200のダメージは辛く  
なりそう。

「アクア・マドールを守備表示で召喚してターンエンドよ」

あ、それでラヴァル・ランスロッドを破壊したんだ  
多分、テンペスターが破壊されそうになった時に墓地へ送るつもり  
なんだと思う  
ラヴァル・ランスロッドは攻撃力2100でアクア・マドールが負  
けるし。

『これって演出ですかね？』

『いや、素だろ  
完全にプレイミスだな』

え、何か失敗してた？  
ジュラック・ヘレラを倒したし、残ってるのはフレムベル・ヘルド

ツグただだよ？

「何よ、進行と解説

私が何か失敗したって言うの？」

『……素ですね』

『素だな』

「な、何よ……」

ボクも気付いていないけど、ジュンコさんも気付いていない  
何が失敗だったんだろう？

『このターン、レディ・オブ・ファイアさんが勝ってましたよ？』

『幻惑の巻物をフレムベル・ヘルドツグに装備させていたらな

そうなるとフレイム・ブラストで攻撃した時の攻撃力差は1400  
テンペスターでラヴァル・ランスロッドに攻撃して700のダメージ  
合計した戦闘ダメージは2100、残りライフ2000だったから  
勝ちだった』

……ああ！

別に最強モンスターを倒さなくてもライフを0にしたら勝ちなんだ  
った！

という事はこの行動は……完全にプレイミス！

「……………え、演出に決まってるでしょ？

私がそんなミスをするわけ無いじゃない」



空気が重い……強がりだって分かっているだけに

ジュンコさんの顔も引き攣っている

離れている場所で明日香さんやももえさんが呆れた顔になってるよ？

「えっと……私のターン、ドロー！」

実は私も使うんですよ……魔法カード、真炎の爆発を発動！

墓地に存在する守備力200以下の炎属性モンスターを可能限り特殊召喚します！

フレムベル・アーチャー、ラヴアル・ランスロッド、フレムベル・ベビーを2体特殊召喚！」

え、え……あれ？

これって……もしかして勝ったりしそう？

「フレムベル・アーチャーの効果を発動します！

自分の場に存在する炎族モンスターを生け贄にします

そしてフレムベルと名の付くモンスターの攻撃力を800ポイントアップします！

フレムベル・アーチャー自身を生け贄にして効果を発動！

フレムベル・ヘルドッグとフレムベル・ベビーの攻撃力を800ポイントアップ！」

これでフレムベル・ヘルドッグの攻撃力が2700

フレムベル・ベビーは攻撃力1600まで……LV1で攻撃力800は高すぎない？

『あれ？

フレムベル・ベビーを2体生け贄にしても良かったんじゃないですか？

そうしたら攻撃力が1600もアップしますし』

『自身を生け贄にしかしてないから言っていないみたいだが  
フレムベル・アーチャーの効果は1ターンに1度までしか使用できない制限が有る  
それに、燃え盛るヒータの狙いはフレムベル・アーチャーじゃない  
だろうしな』

それってどういう……

「やっぱり分かりますか？

なら遠慮無くします、フレムベル・ベビー2体を生け贄に、ジュラック・ティラヌスを召喚します！」

攻撃力は2500……テンペスターには勝てない

それでも十分な攻撃力は持つてる

でも……どうするつもりなんだろう？

「バトルです！

ジュラック・ティラヌスでアクア・マドールに攻撃！」

巨大な口に噛みつかれ、破壊されるアクア・マドール

これは……拙い！

「ジュラック・ティラヌスの効果を発動！

戦闘で相手モンスターを破壊した時、攻撃力を300ポイントアップします！

続いてフレムベル・ヘルドッグでフレイム・ブラストに攻撃！」

攻撃力差は400

これで十代さん達のライフは残り400！

もうバック・ファイアの効果を1回受けただけで負ける！

「フレムベル・ヘルドッグの効果を発動します！

戦闘で相手モンスターを破壊し、墓地へ送った時

デッキから守備力200以下の炎属性モンスターを1体特殊召喚できます！

私はデッキからジュラック・アウロを特殊召喚！」

ジュラック・アウロの効果って確か……自分を生け贄にするんだよね？

そして墓地からLV4以下のジュラックを特殊召喚する効果でも特殊召喚したいようなジュラックって居たっけ？

「バトルフェイズを終了します

そしてジュラック・ティラヌスの効果を発動！

自分の場に存在する恐竜族モンスターを生け贄にする事で攻撃力を500ポイントアップします！

ジュラック・アウロを生け贄に、攻撃力を500アップ！」

という事は攻撃力が……3300！？

次のターン、テンペスターを倒せば勝てちゃうよ！

思ったよりずっとパワーデッキだし、彰子さんも玲ちゃんも強い！

しかもバック・ファイアの効果も大きい……

どっちも効果ダメージを中心にするかと思ったら攻撃的過ぎるよ！

「ターンエンドです

真炎の爆発の効果で特殊召喚されたラヴァル・ランスロットは除外されます

そしてフレムベル・アーチャーの効果も切れてフレムベル・ヘルドッグの攻撃力も元に戻ります」

テンペスターの攻撃力は2800

フレムベル・ヘルドッグに攻撃したら900のダメージ

彰子さん達のライフは1100だから200ポイント足りない。

だけど、残り1回の攻撃で勝てなかったら……

バック・ファイアの効果でライフが0になる！

最後のチャンス……十代さんのターン！

「俺のターンだ……ドロロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロロー！」

これが本当に最後のドロローかな？

いくら十代さんでも、この状況はそうそう突破できないでしょ。

「よし、魔法カード、Rーライトジャスティスを発動！

場に存在するE・HEROの数だけ場の魔法、罠カードを破壊する！

俺の場にはテンペスターが居る、よって破壊するカードは1枚

この効果でバック・ファイアを破壊する！」

「バック・ファイアが……」

これでモンスターを破壊してもダメージは受けない！

だけど……このターンで決めないと次のターンで反撃される

どうやって勝つつもりなんだろう？

「E・HEROバーストレディを召喚！

そして魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！

場と墓地から融合素材となるモンスターを除外し、E・HEROを融合する！

場のバーストレディと墓地のフェザーマンを除外し、融合！  
Myフェイバリットモンスター、E・HEROフレイム・ウィング  
マンを融合召喚！」

黒い頭、右腕のドラゴンのような赤い腕、背中の白い羽  
更に右腕のドラゴンから続いているような赤い尻尾

緑の体をしたE・HERO……これが十代さんのお気に入りモンス  
ターなんだ。

でも、攻撃力が2100じゃどうしようも無いよ  
フレムベル・ヘルドッグを倒すのが精一杯だし。

「バトルだ！」

フレイム・ウィングマンでフレムベル・ヘルドッグに攻撃！  
フレイム・シュート！」

フレイム・ウィングマンのドラゴンの腕から放たれた炎が襲いかかる  
フレムベル・ヘルドッグ……マグマみたいな体をした犬なのに炎に  
破壊されるんだ……

絶対にフレムベル・ヘルドッグの方が熱そうなのに。

「フレイム・ウィングマンの効果発動！」

戦闘でモンスターを破壊し、墓地へ送った時  
相手にそのモンスターの攻撃力分のダメージを与える」

「そんな……じゃあ攻撃力1900のフレムベル・ヘルドッグのダ  
メージがそのまま？」

最後の最後でこんなモンスターを出すなんて……  
もういい加減、十代さんのドローをどうにかしたいなあ。

「これで俺の勝ちだ！」

「きゃあああああああ！」

フレイム・ウィングマンのドラゴンの口からまた炎が……  
その炎は彰子さんを巻き込んでライフを削る  
ライフは0……十代さん達の勝ちかあ。

「はあ……負けました  
やっぱり強いですね」

「いや、お前も強かった  
また決闘デュエルしような！」

「また負けた……」

「お、落ち込まないでよ  
私達が悪いみたいじゃない」

凄い決闘デュエルだったなあ……うん  
みんな強かった！

『おい、燃え盛るヒータ』

「……やっぱり分かりましたか？」

え、何が？

『当たり前だろうが』

さっきの決闘、お前が勝っていたはずだ  
演出の為に態と負けたな？」

「……………気付かなかったという事にしてくれませんか？」

『却下』

何？ 何が有ったの？

態と負けたって……………どういう事？

「どういう事よ？」

『言った通りだ』

勝てた試合に態と負けたんだよ、そいつは

ったく、演出もサービスもちょっと頑張りすぎじゃないか？」

「劇なんですから良いじゃないですか

それに、プレイミスが無ければもっと早く私達は負けていたんですよ？」

『プレイミスを見つけたんだったらそこに付け込めよ……………ったく

まあ、過ぎた事だし劇のお遊びだからもうあまり言わんが

次がまた有ればそんな事をしないようにしろよ？」

「はい、分かりました

私だってあまり怒られたくないですし」

彰子さんが何をしたのかは分からないけど

本当なら勝てただけで態と負けたって事は分かった。

「なあみず……ダーク・クルセイダー  
どうして俺達が負けてたんだ？」

『最後の燃え盛るヒータのターン  
もしラヴァル・ランスロッドでテンペスターに自爆特攻をしていた  
場合

受ける戦闘ダメージは700、残りライフ1100だったからライフ  
が400残る

そしてバック・ファイアの効果が発動、残りライフが400だった  
お前らは負けていたという事だ

分かっていて、態とバトルフェイズを終了し、ラヴァル・ランスロ  
ッドを除外した

その結果、返しのターンは……見ての通りだ』

あー……：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：～

自爆していたら勝っていたんだ……

『自爆特攻で勝つ事は確かに演出的に良くない

劇という点も含め、それで勝ってもあまり嬉しくないかもしれない  
今、俺が解説していて指摘しているから雰囲気も空気も良くないが  
確かに盛り上がった、そういう意味では確かに褒めるべき所だ』

ならどうして態々解説に指摘を？

盛り上がったんだからそれでいいんじゃない？

『だが、何も知らずに勝った事で浮かれているだけの奴を見るのが  
気に入らん

プレイミスをしたせいで見逃されたという事を覚えておけ  
本来の敗者はお前達だという事をな』



確かに……そうかも

ジュンコさんはただ純粹にプレイミスでも彰子さんは分かっていて、意図的に負けたつまり、誰がどう見ても見逃して貰ったって思われる。

「ダーク・クルセイダーさん  
あまり言わないでくれませんか？

私だってどうしようか迷ったんですから」

『ああ、もう気が済んだしな  
次が最後だ、これに勝てばE・HERO達の勝利で終わる  
悪の親玉を倒してってな、頑張れよ』

……あれ？

瑞貴さんが出てくるんじゃない？……  
なのに頑張れってどういう事？  
言い方が自分は戦わないって言ってるし。

まさか他に誰か出て来るとか？  
だ、誰が……誰が出てくるんだろう！？

## 148話【爆走学園祭 横編】（後書き）

前回に美寿知が言っていた占いの内容って……  
レイの予想した通りです。

十代の読みが……

ええ、何故かここまですなりました。

コーリング・マジックの効果が違う？

原作効果です

魔法カードに制限が無く、2枚呼び出せました。

玲のデッキがよく分からない……

バーン、ロックが混じっているパワーデッキです  
玲はやはり、パワーがよく似合います。

相変わらず十代のドロローが……

十代です。

ジュンコのミスが多いなあ……

安心と信頼のジュンコのミスです。

原作、アニメオリジナルカード

ファイヤー・サイクロン

手札の炎族モンスターを任意の枚数墓地へ送る

墓地へ送った炎族モンスターの数だけ、相手の魔法、罠カードを破

壊する

エンドフェイズ時、この効果で墓地へ送った炎族の数だけドロースする  
最終的に捨てた枚数だけドロースできる事になります  
なので、捨てる事さえできればハーピィの羽箒並になります。

ツイッター、ラムネでも食おう

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
だって眠いし……もう寝ようかな？

## 149話【爆走学園祭 下編】（前書き）

「今日の最強カードはダーク・クルセイダーだ

攻撃力は1600、守備力は200の闇属性戦士族

手札から闇属性モンスターを墓地へ送る事で攻撃力を400ポイントアップさせる

場から離れたり、裏側表示になったりしない限り永続的に効果は続く  
頑張れば下級モンスターで青眼の白龍も倒せるな」  
ブルーアイズ・ホワイト・ドラゴン

そうなるには手札から闇属性モンスターを4体墓地へ送る必要が有りますね

瑞貴ならできそうですね、多分。

今回、今までで最大の長さになりました

まさかここまで長くなるとは思いませんでした……

20000文字を超えたのは初めてです、多分自分でもかなり驚いています。

今回、最後に暴走してしまいました

主に作者が……どうしてこんな事をしたんだろう？

とりあえず疲れました

そういえば風邪で半月ほど休んでごめんなさい

また風邪にならないといいなあ……はあ。

次回はいつかな？

忙しかったりなので大変です

頭が痛いなあ……精神的に。

## 149話【爆走学園祭 下編】

視点 レイ

『実況はクイーンズ・ナイト  
解説はキングス・ナイトに任せようかな』

「「は？」」

それってまさか……

『最終戦は俺が出る  
行くぞ、マジシャンズ・ヴァルキリア』

『はーい』

瑞貴さんとマナさんが実況解説席から立ち上がる  
結局、瑞貴さんが出てくるんだね。

「わ、私が実況？」

「解説は僕がすればいいのかい？」

「そういう事だ  
適当でいいぞ」

瑞貴さんはそれだけ言って決闘場<sup>デュエルフィールド</sup>に向かう  
マナさんも同じように……

今回はどんなデッキを使うんだろう？

「瑞貴が相手か……楽しみだ！」

「言っておくが、今回ののは劇用のお遊びデッキだぞ？  
勝つ気は有るが、遊びやネタ重視だ  
本気デッキと戦いたいのならまた次の機会にするんだな」

あ、やっぱりお遊びデッキなんだ  
本気デッキを使うとは思って無かったけど  
……だったら同じようにお遊びデッキ、ボク達に貸してくれてもよ  
かったんじゃない？

「ところでマジシャンズ・ヴァルキリアって誰なの？  
私、そんな生徒見た事が無いんだけど」

「秘密です」

それに、私は生徒じゃないので当たり前ですよ  
楽しく決闘デュエルしましょう、レディ・オブ・ファイアさん」

確かにマナさんとは滅多に会えないかもね  
だって実体化している時間って部屋の中ばかりだもん。

『えっと……そろそろ始めてもらっていいかしら？』

「だ、そうだ」

さっさと始めるか」

瑞貴さんが構えると、残りの3人も構える  
ただ……ジュンコさんが凄く睨んでるよ？

そんなに嫌われるって、何をしたんだろう？

「「「決闘！<sup>デュエル</sup>」」」」

「先攻は私から、ドロ―  
永続魔法、凡骨の意地を発動します」

凡骨の意地って……凄く似合わないカードじゃないの？  
確かドロ―フェイズに通常モンスターをドロ―した時  
そのカードを相手に確認させる事で更にドロ―するカードだっけ？

「カードを4枚伏せ、ターンエンドです」

モンスターを出さないの？  
でも、それだけだと……

「モンスターを出さない？  
まあいいわ、私のターン、ドロ―！  
グリズリーマザーを召喚するわ！」

「カウンター罠、キックバックを発動します  
相手がモンスターを召喚した時  
そのモンスターを手札に戻します」

カウンター罠……嫌な思い出しか無いや  
という事は、マナさんはカウンター罠を使ったデッキ？  
魔法使いデッキだと思っていたんだけど……

「そしてカウンター罠の発動に成功したので  
手札から錠前龍<sup>ロック・ドラゴン</sup>を準備表示で特殊召喚します」

鼻……いや、おでこかな？

そこら辺に鍵みたいなのをした角みたいな物を付けたドラゴン体は随分小さいけど……変なモンスターだなあ。

「このモンスターは通常召喚できず、カウンター罠で相手のカードを無効にした時のみ特殊召喚できます

ロック・ドラゴン

錠前龍が表側守備表示で存在している限り、全てのプレイヤーは特殊召喚をする事ができません」

特殊召喚ができないって……

それって、十代さんの融合が封じられたって事！？

まさかカウンター罠のデッキじゃなくてロックデッキを使ってくるなんて！

「まさか特殊召喚を封じてくるだなんて

でも、そのモンスターの守備力は2000

戦闘破壊はそこまで難しくは無いわ

私はカードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

確かに、守備力が2000だけだったならそこまで倒すのは難しくないと思う

だけど、伏せカードがまだ3枚も残ってる

どうやってこの伏せカードを突破すればいいのか……それが問題かな？

「俺のターン、ドロー

凡骨の意地の効果を発動する

ドローフェイズ時にドローしたカードが通常モンスターだった場合そのカードを相手に見せる事でもう1枚ドローする事ができる



俺がドロ―したカードは異次元トレーラー、通常モンスターだ  
よって俺は更にもう1枚ドロ―

再び凡骨の意地の効果を発動し、暗黒界の番兵 レンジを見せよう  
そして再びドロ―し……封印されし者の左腕を相手に見せる」

「「え、エクゾディアパーツ!?」」

まさかそのデッキはエクゾディアデッキ!?

月一試験じゃないんだからこんな時まで使わなくても!

『変ね……』

みず……じゃなくてダーク・クルセイダーがそう簡単に戦術を相手に教えるかしら?』

『確かにそうだね』

という事はまた別の目的が有るのかもしれない  
もしかしたらエクゾディアはオマケの可能性も有る』

エクゾディアってオマケになれるような存在なのかな?  
どう考えてもデッキのメインパーツになると思うんだけど。

「チッ、余計な事を

凡骨の意地の効果でもう1枚ドロ―、怨念集合体  
更にドロ―、夢魔の亡霊、ドロ―、メルキド四面獣  
ドロ―、封印されし者の右足、ドロ―……終わりか」

一気に手札が13枚にまで増えた

しかも、エクゾディアパーツがもう2つ揃ってるし  
もし最初から手札に有ったら更に増えてるかもしれない  
この状況……かなり拙いんじゃないかな?

「罨カード、強欲な瓶を発動  
デッキからカードを1枚ドロースる」

それってマナさんのカードだよね？  
当たり前のように使ってるけどいいの？

「ドローフェイズ中のドローだから凡骨の意地の効果は続行  
そしてドローしたカードは通常モンスター、バーサーカー  
更にドロース、グレムリンを公開して更にドロース  
ガーゴイルを公開して更にドロース……終わりだな」

て、手札が17枚？  
これってかなり凄い事なんじゃ……

「さて、ダーク・クルセイダーを召喚する」

出てくる骸骨みたいな顔をして、黒い剣や鎧を装備した騎士っぽい  
モンスター  
確かダーク・クルセイダーの効果って……ま、拙いんじゃ！

「ダーク・クルセイダーの効果を発動する  
手札から闇属性モンスターを1体墓地に送る事で  
ダーク・クルセイダーの攻撃力は400ポイントアップする」

「でも、それって手札が一気に無くなるんじゃない？  
しかも闇属性限定とは随分面倒なモンスターね」

うん、それは否定しない  
だけど……

「凡骨の意地の効果でドロ―したカードを忘れたのか？」

手札から闇属性モンスター、異次元トレーラー、暗黒界の番兵  
レ  
ンジ

怨念集合体、夢魔の亡霊、メルキド四面獣、バーサーカー

グレムリン、ガーゴイル、封印されし者の右足、封印されし者の左腕  
闇道化師のサギー、封印されし者の右腕、キラー・ザ・クロ―、ダ  
ーク・ネクロフィアを墓地へ送る

俺が墓地へ送った闇属性モンスターは14体

よって攻撃力は5600アップし、7200だ」

「さ、最初から攻撃力7200のモンスターですって!？」

これは……酷い

まさかこれが狙いだっただなんて……

17枚の手札が既に2枚まで減ってるし。

『さすが……ネタデツキと言うだけの事は有るわね』

『LV4で攻撃力7200は滅多に出せないよ

G・コザツキーにリミッター解除を使っても攻撃力5000なのに  
……』

下級モンスターで元々の攻撃力が最高の2500だもんね  
それを簡単に上回るだなんて……酷い。

「ダーク・クルセイダーで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「か、カウンター罠、攻撃の無力化を発動！  
相手モンスターの攻撃を無効にしてバトルフェイズを終了させる！」

あ、危なかった！

もし攻撃を受けていたら残りライフが800にまで減ってた！  
なんて攻撃を……怖すぎるよ！

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

なんというか、怖くてゾクゾクする！

見ている方も凄い緊張感だよ、攻撃力7200だなんて！

しかも、錠前龍<sup>ロック・ドラゴン</sup>の効果で特殊召喚は封じられている

十代さんお得意の融合も、ネオスも、コンタクト融合もできない  
どうやってダーク・クルセイダーを倒せば……

「俺のターン……ドロー！

E・HEROバブルマンを守備表示で召喚し、効果を発動！

バブルマンが召喚された時、自分の場にバブルマン以外のカードが  
無い場合

デッキからカードを2枚ドローする！」

早速……バブルマン？

さすが十代さん、特殊召喚は封じられていてもちゃんとドローはするんだ。

「更に装備魔法、バブル・ショットをバブルマンに装備する！

このカードの効果でバブルマンの攻撃力は800ポイントアップだ！  
カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

どっちも伏せカードは1枚も使わなかった  
という事はカウンター罠とかじゃない？

「私のターン、ドロー」

魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロー」

マナさんが動く

何をしてくるのか……凄く気になる！

マナさんのデッキってどんなデッキなんだろう？

「豊穣のアルテミスを守備表示で召喚します」

……え？ この状況で、態々守備表示で召喚？

豊穣のアルテミスの攻撃力は1600

バブルマンの守備力は1200だから勝てるはずなのに……どうして？

「速攻魔法、エナジードレインを発動します

カードを1枚ドローし、モンスターの攻撃力を0にします

なお、この効果は永続的なので……ドローし、私はアルテミスの攻撃力を0にしますね」

どうしてアルテミスの攻撃力を0に？

この行動にどんな意味が有るんだろう？

「そしてこの瞬間、罠カード、遺言の札を発動します

自分の場に存在するモンスターの攻撃力が0になった時デッキからカードを5枚ドローします」

「な、5枚ドローだって!？」

そ、それで攻撃力を0にしたんだ

他にも攻撃力を0にするカードが有りそう

……欲しいなあ、レプティレスデッキに入れたい。

「フィールド魔法、ダーク・サンクチュアリを発動します」

辺りが紫と黒の空間に覆われる、ここは……ひい！

む、紫と黒の空間から……沢山の目が出てきた！

しかも目蓋付きで凄く気持ち悪くて不気味！

「な、何よこの気持ち悪いフィールド魔法は！？」

『……………帰ってもいいかしら？』

『我慢してくれ、僕も我慢するから』

みんな気味悪がってる

当然だよ、というか使ったマナさんも嫌そうな顔をしてるし

玲ちゃんだって引いてる……ボクだって引いてる。

少し離れた場所を見ると彰子さんが気絶していた

雪乃さんはダーク・サンクチュアリを嫌がりながら彰子さんを介抱してる

ゆまさんは腰が抜けたみたいに座って動かなくなってる

美寿知さんは興味深そうに辺りを見回している事に、ボクは美寿知さんにも引いた。

「すっげえ不気味な場所だな

それで、このフィールド魔法はどんな効果なんだ？」

……例外は必ず出てくるんだね

不気味の一言で済ませて良いような場所には思えないんだけど  
それよりも効果を気にしている十代さんは何者？

「簡単に言うと魔法、罠カードをモンスターゾーンにも置けるよう  
になります

つまり、本来伏せられるカードは5枚までですが

ダーク・サンクチュアリの効果で最大10枚まで伏せる事ができる  
ようになっています

カードを2枚伏せて、罠カード、死なばもろともを発動します  
お互いの手札が3枚以上有る時のみ、発動可能です

お互いの手札を全て捨て、私は自分が捨てた手札の枚数×100ポ  
イントのダメージを受けます

その後、お互いのプレイヤーは5枚カードをドローします」

す、凄いドローカードばかり

マナさんも何枚もドローしてるけど……大丈夫なのかな？

デッキ枚数が凄い勢いで減ってるよ。

「私が捨てた手札は3枚

よって私は300ポイントのダメージですね

では、お互いに5枚ドローしましょう」

「……………分かった」

十代さんも手札を捨ててドローする

十代さんの手札は最初から5枚だったから手札交換かな？

「ダーク・クルセイダーでバブルマンに攻撃します」

「バブルマンに装備されているバブル・ショットの効果発動！

装備モンスターが破壊される時、代わりにこのカードを破壊する  
これで装備モンスターは破壊されず、戦闘ダメージは0になる！」

「む……1枚を魔法、罠ゾーンに

2枚をモンスターゾーンにカードを伏せてターンエンドです」

うわぁ……モンスターが3体

伏せカードが6枚、凡骨の意地とダーク・サンクチュアリ  
これは……酷い。

「私のターン、ドロー！」

手札を1枚捨てて、コストダウンを発動！

手札のモンスター1体のLVを2下げるわ！

バブルマンを生け贄に捧げ、スパイラルドラゴンを召喚！」

攻撃力2900の最上級モンスター

海竜族モンスターでも最高の攻撃力を持ってるんだっけ？

それでも、ダーク・クルセイダーには遠く及ばないよ。

「スパイラルドラゴンで錠前龍ロック・ドラゴンに攻撃！」

そうか！

錠前龍ロック・ドラゴンさえ倒せば特殊召喚ができるようになる！

そうなれば十代さん達にもチャンスが来る……かも！

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動します

相手モンスターの攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させます

そしてカウンター罠カードの発動に成功しました

よって、豊穣のアルテミスの効果が発動します

カウンター罠が発動する度にデッキからカードを1枚ドロウします



この効果により、私はカードを1枚ドロー」

「クッ……カードを2枚伏せてターンエンドよ!」

せっかく倒せると思ったのに……残念

でもボク……どっちを応援してるんだろう?

瑞貴さんが負けれると思って無いからかな?

何故か十代さん達を応援したくなってくる。

「俺のターン、ドロー

凡骨の意地の効果を発動する

ドローしたカードは通常モンスター、深淵の冥王

ドロー、封印されし者の左足、ドロー、ゴーゴン・エッグ

ドロー、コザッキー、ドロー、魔界植物、ドロー……

罨カード、八咫鳥の骸を発動

デッキからカードを1枚ドローするか

相手の場にスピリットモンスターが居る場合は2枚ドローする

そちらの場にはスピリットモンスターは居ないので1枚ドロー

凡骨の意地の効果は継続、通常モンスターのなぞの手を公開

ドロー、ランプの魔人、ドロー、ロックメイス、ドロー、暗黒魔人

ナイトメア

ドロー……罨カード、凡人の施しを発動

デッキからカードを2枚ドローし、その後手札から通常モンスターを除外する

もし手札に通常モンスターが無い場合、手札を全て墓地へ送る

俺は2枚ドローし、手札の深淵の冥王を除外する」

……手札1枚から13枚まで増えちゃった

通常モンスター、何枚入ってるんだろう?

というか、マナさんのカードも何枚も使ってるし……あれ?

マナさんのデッキに通常モンスターって入ってるのかな？  
まだ1枚も出てきてない気がするんだけど……あれ？

「罨カード、補充要員を発動

自分の墓地のモンスターが5枚以上存在している時のみ発動可能  
攻撃力1500以下の効果モンスター以外のモンスターを3体まで  
手札に加える

俺は墓地に存在する封印されし者の左腕、右腕、右足を手札に加える」

な……それってもし封印されしエクゾディアが手札に有ったら勝ち  
って事じゃ！

でもこのコンボ……月一試験で何回か使ってたよね？

苦渋の選択から補充要員、何回も見たコンボだったなあ。

「そして魔法カード、闇の量産工場を発動

自分の墓地に存在する通常モンスター2体を手札に加える  
怨念集合体と夢魔の亡霊を手札に加える」

手札が……17枚？

手札1枚からここまで増やす瑞貴さんって怖い……

手札コストが必要なカードで凄い事ができそう。

「ダーク・クルセイダーの効果を発動する

ゴーゴン・エッグ、コザツキー、魔界植物、なぞの手、ランプの魔  
人、ダーク・ネクロフィア

ロックメイス、暗黒魔人ナイトメア、仮面呪術師カード・ギユラ、  
三ツ首のギドー、地獄の裁判

封印されし者の左足、封印されし者の右足、封印されし者の左腕、  
封印されし者の右腕を墓地へ送る

墓地へ送った闇属性モンスターは15体、よって攻撃力は6000アップする

よって、ダーク・クルセイダーの攻撃力は……13200だ」

「攻撃力13200って……」

「下級モンスターの攻撃力じゃないわよ  
ていうか、最上級モンスターだって無理よ！」

ライフだってそんな量にするのは難しいのに……

更に難しい攻撃力でここまでするだなんて

さすが瑞貴さん、ボク達の常識を軽く破壊してくれた。

……そっか、そういう事か

瑞貴さんの相手をする時は常識に捕らわれてはいけないんだね！

終わったら何かフルーツでも食べようかな、気晴らしにはなると思うし。

これを受けたら……例えば攻撃力2900のスパイラルドラゴンが居ても

攻撃力差10300じゃ1発で終わっちゃうよ！

「ダーク・クルセイダー、スパイラルドラゴンに攻撃せよ」

「ちょ、ま、わ、ト、罨カード、ゼウス・ブレスを発動！

相手モンスター1体の攻撃を無効にするわ！

そして自分の場に水属性モンスターが居る場合

相手に800ポイントのダメージを与える！」

……回避成功！

危なかった！　もし受けていたら負けていたもん！  
見ている方も心臓に悪すぎるよ！

『攻撃力に注目しているみたいだけど  
それよりもエクゾディアパーツを戸惑い無く捨てた所も見えてほしい  
わね』

『確かに、封印されしエクゾディアは手札に無かったみたいだけど  
それでも彼のデッキ枚数は残り10枚程度  
となれば最後のパーツをドロウする可能性も高い  
なのに、彼はそんな事をせずにダーク・クルセイダーの攻撃力を上  
げた』

『やっぱり、ネタデッキはネタデッキという事ね  
でもこの攻撃力はネタデッキで済ませていいのかしら？』

『難しいね……』

吹雪さんに同意！  
これは凄く悩むと思う。

「ふむ……仕方無いな  
カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

攻撃力13200を相手にどうやって勝てば……無理かな？  
ボクだったらコントロールを奪って突撃なんだけど  
それかレプティレスで攻撃力を0にするとか。

でも、十代さんのデッキにもジュンコさんのデッキにも  
そんなトリッキーなカードは入ってないし

そう考えると、自分がどれだけ変なデッキを使ってるのかよく分かるなあ。

「俺のターン、ドロー！」

E・HEROワイルドマンを召喚！

そして装備魔法、サイクロン・ブーメランを装備させる！

これはワイルドマン専用の装備カード

装備したワイルドマンの攻撃力を500ポイントアップさせる！」

これで攻撃力は2000！

でも、ワイルドマンでは錠前龍ロック・ドラゴンに勝てない！

スパイラルドラゴンで倒せるけど……ん？

どうしてワイルドマンは攻撃表示なんだろう？

もしかして、防ぐ事ができるのかな？

じゃなかったら攻撃表示になんてしないだろうし。

「バトルだ！」

スパイラルドラゴンで錠前龍ロック・ドラゴンに攻撃！」

マナさんは瑞貴さんに視線を向ける

今のカード発動権は瑞貴さんが持っているんだけど……動かない？  
伏せカードに何か防げるカードが有るんだと思うんだけど……使わないの？

瑞貴さんはそのまま何もせず、錠前龍ロック・ドラゴンは破壊された

どうして態々、防げるはずなのに防がなかったんだろう？

「よし、ワイルドマンで豊穣のアルテミスに攻撃だ！」

ワイルドマンの投げたブーメランがアルテミスに直撃し、破壊される  
また何もしなかったけど……大丈夫なの？

「俺はこれでターンエンドだ！」

だけど、これで十代さんは低攻撃力を晒す事になった  
攻撃力2000程度じゃダーク・クルセイダーは防げない！

「私のターン、ドロー

魔法カード、壺の中の魔術書を発動

お互いのプレイヤーはデッキから3枚カードをドローします」

ああ……また十代さんにカードをドローさせるだなんて

そんなにしていたら逆転劇が起こっちゃうよ！

観客としてはそれを楽しむべきだと思うけど。

「永続罨、リビングデッドの呼び声を発動します

自分の墓地より、モンスター1体を特殊召喚します

私は死なばもろとも効果で捨てた、精霊王ル克蘭バを特殊召喚  
します」

緑色の蜥蜴……変わったモンスターだけど

攻撃力はたったの1000だし、それで最上級モンスターなの？

「精霊王ル克蘭バの効果を発動します

このモンスターを生け贄にする事で

手札から攻撃力が合計2000以下になるようにモンスターを特殊  
召喚します

私は手札から2体目の精霊王ル克蘭バと、イピリア2体

そしてサイバー・ヴァリーをそれぞれ守備表示で特殊召喚します」

出てくる新しいルクランバ

そして水色の体に白い髭みたいなのを付けている蜥蜴みたいなモンスター

あのモンスターも爬虫類族みたいだけど……変なの

最後のは……サイバーモンスター？　なんか凄く異色なんだけど。

ルクランバの攻撃力は1000、イピリアは500

そしてサイバー・ヴァリーは0……合計攻撃力は2000

つまり、ルクランバの効果範囲内だから大丈夫って事だね。

「イピリアの効果を発動します

このモンスターが召喚、特殊召喚、反転召喚に成功した時デッキからカードを1枚ドロウします

2体の特殊召喚に成功したので2枚ドロウしますね」

またカードをドロウした

これで何回目なんだろう？

そして何枚効果でドロウしたんだろう？

「サイバー・ヴァリーの効果を発動します

このカードと自分の場のカードを除外する事でカードを2枚ドロウできます

私はサイバー・ヴァリーと対象を失っているリビングデッドの呼び声を除外

そしてカードを2枚ドロウします」

なんてドロコンボ！

ルクランバの効果で手札が6枚から2枚に減ったのに

また手札が6枚に戻ってる！

しかも、場にはイピリアが2体も増えていて……

「豊穡のアルテミスを守備表示で召喚します  
ダーク・クルセイダーでスパイラルドラゴンに攻撃」

「罨カード、ヒーロー・バリアを発動！  
自分の場にE・HEROが存在している時  
1度だけ、相手モンスターの攻撃を無効にする！」

毎回見ているだけで冷や汗が……

よくここまで防げるよね  
もう4回ぐらい防いでるんじゃないかな？

「なら、カードを2枚伏せてターンエンドです」

マナさんのエンドフェイズ時に魔法、罨ゾーンが埋まってない事って無いなあ

こんなに手札消費が激しいのに……凄い。

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！  
魔法カード、強欲なウツボを発動！

手札の水属性モンスター2体をデッキに戻してシャッフル  
その後、デッキから3枚ドローする」

手札交換カード

グリズリーマザーはデッキに戻ったんだろうけど  
何をドローしたのかな？

「アビス・ソルジャーを召喚して、効果を発動！



手札の水属性モンスターを墓地に送る

そして場のカードを1枚、持ち主の手札に戻すわ！

私は手札を1枚捨て、ダーク・クルセイダーを手札に戻す！」

やった！

これが成功したら一気にジュンコさん達が有利になる！

「カウンター罠、闇の幻影を発動します

闇属性モンスターが効果モンスターの効果、魔法、罠の効果対象となった時

その効果の発動を無効にして、破壊する

よって、アビス・ソルジャーは破壊されます」

「そ、そんな……」

「更に豊穡のアルテミスの効果が発動します

カウンター罠が発動したのでカードを1枚ドローします」

ここまでしても……ダーク・クルセイダーを除去できないだなんて！

なんて嫌なデッキを使うんだろう、マナさんは！

というか、デッキの形がよく分からないんだけどね……なんだろう？

「なら装備魔法、早すぎた埋葬を発動！

ライフを800支払い、自分の墓地に存在するモンスターを特殊召喚するわ！

そしてこのカードを装備させる、アビス・ソルジャーを特殊召喚！」

でも手札が無いから効果は使えない

十代さんが水属性モンスターを持っていたら効果は使えるんだけどどうなるんだろう？

「バトルよ！」

スパイラルドラゴンで豊穣のアルテミスに攻撃！」

「罨カード、アルケミー・サイクルを発動します

このターンのエンドフェイズ時まで、自分の全てのモンスターの元々の攻撃力を0にします

そして、戦闘で破壊された時、デッキからカードを1枚ドロースます」

という事は……倒せばまたドロースれるって事！？

大量展開をした後にそれは酷い！

「豊穣のアルテミスが破壊されたのでカードをドロースします」

ダーク・クルセイダーの攻撃力も下がったけど

現在の攻撃力はまだ11600

元々の攻撃力は1600だから仕方無いんだけどね。

「（倒すとドロースれる

でも、今の内に消しておかないと生け贄にされたりするかもしれない  
ドロースは怖いけど……今はやっぱり攻撃する時よ！）

ワイルドマンとアビス・ソルジャーでイピリアを攻撃！」

ワイルドマンの投げたブーメラン

そしてアビス・ソルジャーの持つ槍

ジュンコさん達のモンスターの攻撃はイピリア達に直撃し、破壊される。

「私のモンスターが破壊されたのでカードをドロースします

2体のモンスターですからね、2枚ドロです」

「これでターンエンドよ」

ジュンコさん……強引だね

でも、それぐらいしても勝つのは難しいかも  
だって相手は瑞貴さんなんだし。

『レディ・オブ・ファイア、プレイミスね』

『やっぱりそう思うかい？』

……またミスしたの？

ジュンコさん、毎試合プレイミスしてない？

「……私、また何かミスしました？」

『このターン、倒すのなら精霊王ル克蘭バにしておくべきだった  
わね

もしダーク・クルセイダーのターンで効果を使われたらどうするの  
よ？

確かに通常モンスターだし、攻撃力は低いわ  
だけど、また数を揃えられたら厄介でしょう？』

『それに、効果を使用して壁になっていたイピリアは無視していた  
方が良かったね

ダーク・サンクチュアリの効果でモンスターゾーンに魔法、罠カー  
ドを置けるんだし

態々伏せるカードの枚数を自分で制限してくれたんだ  
こちらから場を空けてやる義理は無いはずだよ』

やっぱり気付く人は気付くんだ  
ボクは気付かなかったなあ……違和感を感じたけど。

ジュンコさん、ショックで暗くなってる

でも次は瑞貴さんのターンだよ？

そんな調子で大丈夫なのかな？

「私って……」

「だ、大丈夫だってじゅん……レディ・オブ・ファイア！  
これから逆転していけばいいんだって！」

「……そうよね！」

立ち直り早っ！

明日香さんが呆れた顔になってるよ！

「話は終わったな？」

なら俺のターン、ドロー

凡骨の意地の効果を発動し、スカゴブリンを公開する

そしてドロー、D・ナポレオン、ドロー、デーモンズ・ミラー悪魔の鏡

ドロー、運命のろうそく、ドロー、マジンガン屋根裏の物の怪

ドロー、未熟な悪魔、ドロー、魔人銃、ドロー、ミッドナイト・デ

ビル

パイオドロー、B・プラント、ドロー、メギラス・ライト

ドロー、闇を司る影、ドロー、魔天老、ドロー、転職の魔鏡

ドロー……終わりだな」

また15枚って……あれ？

何か変……違和感を感じるんだけどどうしてだろう？

『ちよつとみず……：ダーク・クルセイダー！

デッキ枚数が40枚を超えてるわよ！

もう44枚目じゃない！ しかもデッキは残ってるし！』

あ、そうか！

デッキ枚数が40枚じゃないからか！

「悪いかな？」

ルール上、40枚固定にしなければならないというルールは無いはずだが？

故に、このデッキ枚数は40枚ではなく、50枚だ」

デッキが10枚多い……

という事は残りデッキ枚数は6枚って事だね？

よくここまで減らせたなあ……：凄い。

「さて、続けるぞ

ダーク・クルセイダーの効果を発動する

スカゴブリン、D・ナポレオン、デーモンズ・ミラー悪魔の鏡、運命のろうそく

屋根裏の物の怪、未熟な悪魔、マジンガン魔人銃、ミッドナイト・デビル

バイオB・プラント、メガラス・ライト、闇を司る影、魔天老、転職の魔鏡

以上13枚の闇属性モンスターを墓地へ送り、攻撃力は5200アップ

合計攻撃力は18400だ」

……もう少しで20000になるね

誰がこんな状況を予想しただろう？

下級モンスターが攻撃力20000になるかもしれないだなんて……

「魔法カード、貪欲な壺を発動する

自分の墓地のモンスターを5体、デッキに戻す  
そしてシャッフルし、カードを2枚ドロースる

俺は墓地から封印されし者の右腕、左腕、右足、左足、コザツキー  
でもデッキに戻すか

デッキをシャッフル、2枚ドロー」

瑞貴さんの手札が……手札がああ！

また攻撃力が上がっていく！

こんなの、どうやって倒せばいいんだあ！？

「魔法カード、強欲な壺を発動

このカードの効果でデッキから更に2枚ドロースる

魔法カード、闇の量産工場を発動

墓地から通常モンスターを2体、手札に加える

スカゴブリンと運命のろうそくの2体を手札に加えようかな

罨カード、補充要員を発動

自分の墓地にモンスターが5体以上存在している時

効果モンスター以外の攻撃力1500以下のモンスターを3枚まで

手札に加える

夢魔の亡霊、グレムリン、ガーゴイルを手札に加えよう」

あ、あれえ？

手札は確かダーク・クルセイダーの効果で捨てて2枚にまで減った  
はずなんだけどなあ

どうして手札が8枚にまで増えてるんだろう？

「さて、自分の墓地に存在する全てのモンスターをデッキに戻し  
究極封印神エクゾディオスを特殊召喚だ」

出てきたのは巨大な体をしたエクゾディアみたいなモンスター……エクゾディア？

な、なんでエクゾディアが召喚されてるの！？

というか、なんだか凄くともんでもない効果を言わなかった！？

「なんだよ……このエクゾディア」

「こいつは究極封印神エクゾディオスだ  
エクゾディアじゃないから注意しろよ？

このモンスターは自分の墓地に存在するモンスターを全てデッキに戻す事で特殊召喚される

ま、おかげでダーク・サンクチュアリは消えてしまっけどな」

瑞貴さんがそう言った直後、ダーク・サンクチュアリが消えて無くなる

元の青空だけど……どうして消えたんだろう？

「ダーク・サンクチュアリは自分の墓地にダーク・ネクロフィアが存在しないと効果を維持できないんでな

エクゾディオスの効果でダーク・ネクロフィアはデッキに戻った

だからダーク・サンクチュアリは維持できずに自己消滅したという訳だ」

ダーク・サンクチュアリにそんな条件が有っただなんて……

だからダーク・ネクロフィアがデッキに入っていたんだ

そしてちゃんと特殊召喚できるように、闇属性の悪魔族ばかりがデッキに入っていたんだね

ダーク・ネクロフィアとダーク・クルセイダーの両方の効果が使えるようにって。

「……ふん、そんな巨大な体をしているモンスターだけど  
攻撃力は0じゃない

そんなモンスター、全く怖くないわよ！」

うん、確かにエクゾディオスの攻撃力は現在0

だけど……絶対に何か有るに違い無い

そうじゃないと、態々攻撃表示で出している意味が無いし！

「まあ、そんなに慌てるなよ

まずはダーク・クルセイダーの効果を発動する

手札のスカゴブリン、運命のろうそく

グレムリン、夢魔の亡霊、ガーゴイルを墓地へ送る

5体の闇属性モンスターを墓地へ送ったので攻撃力は2000アップ  
合計攻撃力は20400だな」

……とうとう攻撃力が20000にまで上がっちゃった

これからどうなるんだろう？

「そしてエクゾディオスの効果

こいつは自分の墓地の通常モンスターの数×1000ポイントアッ  
プする

今、俺の墓地に通常モンスターは5体

よってエクゾディオスの攻撃力は……5000だ」

「また攻撃力の高いモンスターが！」

「あんた、どこまで攻撃的なデッキを使ってるのよ!？」

でも、本当だったら攻撃力5000は高いはずなんだけどね



LV10だし、凄く強いはずなんだけど……  
LV4のダーク・クルセイダーの攻撃力はその4倍以上なんだよね  
だから全然怖くないや。

「さて、バトルを始めようか？」

ダーク・クルセイダーでアビス・ソルジャーに攻撃」

「墓地に存在する、ネクロ・ガードナーの効果を発動！

このカードを除外する事で1度だけ、相手モンスターの効果を無効にするわ！」

あんなカードいつの間に……

死なばもろともで十代さんが捨てたのかな？

相変わらずの強運……凄いなあ。

「エクゾディオスでアビス・ソルジャーに攻撃

そしてエクゾディオスの効果が発動する

攻撃宣言時、手札かデッキからモンスターを1体、墓地へ送る

俺はダーク・ネクロフィアを墓地へ送ろう

エクゾディオスの攻撃力は変わらないが……ダーク・サンクチュアリが発動できるようになったな」

そんなフォローの仕方が有ったなんて！

もしかたマナさんがダーク・サンクチュアリを発動させたら

面倒な事になって……というか辺りが気持ち悪くて怖くなるから嫌だ！

なんて思っている内に、エクゾディオスが手から光る何かを撃ち出す  
エクゾディアに似ている攻撃だけど……何だかちよつと違う？

瑞貴さんが月一テストで何回も使ってるから見慣れて違いまで分か

っちゃうなあ

アビス・ソルジャーはその光に貫かれ、アッサリと破壊されちゃった。

「く……攻撃力5000だなんて」

アビス・ソルジャーとの攻撃力差は3200

初期ライフが8000でまだダメージは受けていなかったから……残りライフは4800だね。

瑞貴さん達は効果ダメージを2回受けてる

死なばもろともで300、ゼウス・ブレスで800

合計ダメージは1100だから残りライフは6900だね。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

瑞貴さんの場には攻撃力20400のダーク・クルセイダー

そして攻撃力5000のエクゾディオス

この2体にどう立ち向かえば……

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、ダブルフュージョン二重融合を発動！

ライフを500払い、このターン2回の融合を行う事ができる！

手札のフェザーマンと場のワイルドマンを融合！

E・HEROワイルド・ウィングマンを守備表示で融合召喚！」

フェザーマンの羽を付けただけって感じのワイルドマンが出てくる  
本当に普通に融合って感じ

なんというか……あまり変わってないし。

「この瞬間、ワイルドマンに装備されていたサイクロン・ブーメランの効果が発動！」

装備モンスターが墓地へ送られた時  
場の魔法、罠カードを全て破壊し、破壊したカードの枚数×500のダメージを相手に与える！」

「チッ、面倒な事をしてくれるな

罠カード、凡人の施しと和睦の使者を発動する

凡人の施しの効果により、デッキからカードを2枚ドロ

そして通常モンスターを除外する、除外できない場合は手札を全て捨てる

2枚ドロし……手札からエクゾディオスの効果でデッキに戻っていた闇道化師サギーを除外

更に和睦の使者の効果により

このターン、俺のモンスターは戦闘で破壊されず、戦闘ダメージも受けなくなる」

凡骨の施しに和睦の使者、そしてジュンコさんの伏せカードが破壊された

破壊されたカードは忘却の海底神殿ってカードなんだけど……知らないや

最後に最初からずっと発動されてた凡骨の意地も破壊！

3枚のカードを破壊して1500のダメージ、更にこれで瑞貴さんの大量ドロは無くなった！

「魔法カード、ミラクル・フュージョンを発動！

場か墓地からE・HEROを除外し、融合を行う！

墓地のフェザーマンとバーストレディを除外融合！

E・HEROフレイム・ウィングマンを融合召喚！」

バーストレディなんて……ああ、死なばもろともか  
分らないカードは後3枚、何が墓地に送られたんだろう？

ダブルフュージョン

「そして二重融合の効果を発動！

手札のスパークマンとフレイム・ウィングマンを融合！

E・HEROシャイニング・フレア・ウィングマンを融合召喚！」

名前、長いなあ

それにしても融合モンスターと融合する必要の有るモンスターかあ  
召喚は大変だけど、効果はやっぱり強力なんだよね。

「シャイニング・フレア・ウィングマンの攻撃力は

俺の墓地に存在するE・HEROの数×300ポイントアップする  
俺の墓地に、E・HEROは全部で7体

よって攻撃力は2100アップして、攻撃力4600だ！」

攻撃力4600……残念！

エクゾディオスを倒すには500ポイント攻撃力が足りない！

しかも、例え上回っても和睦の使者の効果で倒す事ができない！

「速攻魔法、異次元からの埋葬を発動！

除外されているモンスターを3体まで墓地へ戻す！

俺は除外されているフェザーマン、バーストレディ、ネクロ・ガー  
ドナーを墓地へ戻す！

これにより、墓地のE・HEROが2体増えた

シャイニング・フレア・ウィングマンの攻撃力はこれで5200だ  
！」

……さすが十代さん

アッサリとエクゾディオスの攻撃力を超えるだなんて

このターンは倒せないとはいえ、それでもこれは……

「E・HEROクレイマンを守備表示で召喚！  
スパイラルドラゴンを守備表示に変更する！  
カードを3枚伏せ、ターンエンドだ！」

やっぱり守るよね

この状況で攻撃表示で残す必要は無いんだし。

「私のターン、ドロー」

場の精霊王ル克蘭バの効果を発動します  
自身を生け贄に、攻撃力の合計が2000以下になるように手札からモンスターを特殊召喚します  
みつこぶラクーダを3体、特殊召喚して効果を発動  
みつこぶラクーダが3体自分の場に存在している時  
その内2体を生け贄に捧げる事でデッキから3枚カードをドローします」

ま、またドロー！？

いったいどれだけドローギミックをデッキに入れてるの！？  
エクゾディアが入っているって言ったら信用できるよ！

「みつこぶラクーダを生け贄に、ダーク・パーシアスを召喚します」

黒い……闇に堕ちたエンジェルナイト天空騎士パーシアス

確か元は貫通効果とドロー効果を持ってたっけ？  
こっちはどんな効果を持ってるんだろう？

「ダーク・パーシアスは自分の墓地に存在する闇属性モンスターの数×100ポイント攻撃力がアップします

現在、墓地に闇属性モンスターは7体、よって攻撃力は2600です  
ね」

7体かあ……そういえば精霊王ル克蘭バも闇属性だった  
デッキにカードを戻したから仕方無いんだけど  
もし戻ってなかったら攻撃力が4000以上になってたんじゃない  
かな？

「ダーク・クルセイダーでシャイニング・フレア・ウィングマンに  
攻撃」

「墓地のネクロ・ガードナーを除外して効果を発動！  
相手からの攻撃を1度だけ無効にする！」

さっき異次元からの埋葬で墓地に戻したんだっけ  
よく耐えられるなあ……大変だ、本当に。

「ダーク・パーシアスでクレイマンに攻撃」

ダーク・パーシアスの持つ剣がクレイマンを貫く  
クレイマンを貫いたままの剣を持ち上げ、投げ捨てる  
飛んでいったクレイマンは解説席前辺りに落下して破壊された。

『……パーシアスに怨まれるような事をした記憶は無いわよ？』

『右に同じ』

少し静かになる  
でも、マナさんは何も言わない  
パーシアスは当然話さない。

「ダーク・パーシアスの効果を発動します

戦闘で相手モンスターを破壊した時

自分の墓地から闇属性モンスターを除外する事ができます

除外した場合、デッキからカードを1枚ドロウします

ル克蘭バを除外し、カードを1枚ドロウ」

E・HEROが破壊されたからシャイニング・フレア・ウィングマ  
ンの攻撃力がアップ

墓地の闇属性モンスターが減ったからダーク・パーシアスの攻撃力  
がダウン

そんな事していいのかな？ ドロウする為だからって……

「エクゾディオスでスパイラルドラゴンに攻撃

エクゾディオスの効果が発動します

攻撃宣言時、デッキからモンスターを1体墓地へ送ります

私のデッキから、光帝クライスを墓地へ送ります」

エクゾディオスの撃ち出した光に消されるスパイラルドラゴン

それはもう、アッサリと……焼き魚になった？

海竜族って焼いたら食べられるのかな？

それにしても、墓地に送ったモンスターはクライス？

またドロウ系モンスター……凄い数

ドロウに関係していないカードの方が少ないんじゃないかな？

「フィールド魔法、ダーク・サンクチュアリを発動

説明はさっきしたから不要ですよね？

永続魔法、凡骨の意地を発動し、カードを5枚伏せてターンエンド  
です」

また凡骨の意地を発動した上、5枚も一気に伏せた!?

手札がどうなっていたのか凄く気になるんだけど!

残っている手札も1枚だけだし……

「ならエンドフェイズ時

罨カード、トゥルース・リインフォースを発動!

デッキからLV2以下の戦士族モンスターを1体特殊召喚する!

ただしこのターン、俺はバトルフェイズを行えない!

まあ、元々俺のターンじゃないからいいんだけどな

俺はデッキから、ヒーロー・キッズを守備表示で特殊召喚する!」

赤い服を着て透明なヘルメットを被った子供が出てくる

……ボクと髪色が似てるよね

一緒に並んだらどんな感じなんだろう?

「ヒーロー・キッズの効果発動!

このモンスターが特殊召喚に成功した時

デッキからヒーロー・キッズを任意の数だけ特殊召喚できる!

俺はデッキからヒーロー・キッズ2体を守備表示で特殊召喚!」

壁モンスターが増えた!

これで守りはある程度……安心できない!

ジュンコさんがどこまでできるか……かな?

「私のターン、ドロー!

シャイニング・フレア・ウィングマンでエクゾディオスに攻撃!」

「罨カード、くず鉄のかかしを発動

1度だけ、相手モンスターの攻撃を無効にする



発動したこのカードは墓地へ送られず、場にセットされます」

お互いに攻撃を防いでばっかり  
だからどうしても場が段々と凶悪になっていく  
でもこの状況は……危険過ぎる！

「カードを1枚伏せて、ターンエンドよ！」

ドローした手札1枚じゃ何もできないかな  
これからどうするんだろう？  
どっちも決めてが……有るか、どっちも。

「俺のターン、ドロー

凡骨の意地の効果を発動

ドローフュイズ時にドローしたカードが通常モンスターだった場合  
そのカードを相手に見せる事で再びドローする

ドローしたカードはキラ・ザ・クロ

ドロー、コザッキー、ドロー、屋根裏の物の怪、ドロー、なぞの手  
ドロー、ロックメイス、ドロー、魔界植物、ドロー、ランプの魔人  
ドロー、異次元トレーラー、ドロー、メルキド四面獣、ドロー、魔<sup>マ</sup>  
人銃<sup>ジンガン</sup>

ドロー、怨念集合体、ドロー、魔天老、ドロー、ミッドナイト・デ  
ビル

ドロー、未熟な悪魔、ドロー、闇を司る影、ドロー、暗黒魔人ナイ  
トメア

ドロー、地獄の裁判、ドロー……終わりだな」

18枚ドローって……手札が20枚にまでなってるよ！  
何枚ドローしたら気が済むの！？

2人共、方向性は違うけどドローをし過ぎ！

「罠カード、強欲な瓶を発動

デッキからカードを1枚ドロースる

そして凡骨の意地の効果を発動

ドロースたカードはB・プラント<sup>バイオ</sup>

ドロース、封印されし者の左腕、ドロース、D・ナポレオン、<sup>ダーク</sup>ドロース、

三ツ首のギドース

ドロース、仮面魔獣カースド・ギユラ、ドロース、<sup>デーモンズ・ミラー</sup>悪魔の鏡、ドロース、

メギラス・ライト

ドロース、暗黒界の番兵 レンジ、ドロース、封印されし者の右足、ドロース……終わりだ」

……手札が30枚になっちゃった

これを全部捨てたら……どうしようも無い!?

というか、デッキ枚数が50枚でももうデッキ枚数が3枚しか残ってないし!

残ったカードが何か予想できるようで予想できないよ!

「今ドロースしたモンスターをダーク・クルセイダーの効果で全て墓地へ送る

26体の闇属性モンスターを捨てる事で……10400の攻撃力アップだ

合計攻撃力は30800となる」

攻撃力……30800!?

そんなモンスター、どうやって倒せって言っの!?

普通に戦っても倒すのなんか無理だよ!

「そしてエクゾディオスの効果

墓地に存在する通常モンスターの数×1000ポイントアップする

現在墓地に存在する通常モンスターは31体

よってエクゾディオスの攻撃力は……31000だな」

攻撃力が……31000？

なんか、ダーク・クルセイダーの存在感を全部食っちゃったね  
せっかくメインがダーク・クルセイダーなのに……

『ダーク・クルセイダーがメインなのに……

これじゃあエクゾディオスがメインみたいじゃない  
どう考えても本末転倒ね』

『ははは、それでも強力なモンスターなのは事実さ

2回の攻撃を防ぐのはちよつと難しいだろうね

防ぎきれなかった場合、ザ・ヒート達の負けだね』

さすがに2回の攻撃を防ぐのはちよつと……難しいんじゃないかな？

攻撃力30000を超えているモンスターが2体だし。

「ついでに、ダーク・パーシアスの攻撃力もアップしている

攻撃力は5100だな、低いがこれでもそれなりだろう」

攻撃力は100ずつしかアップしていないのに攻撃力5100？

元の攻撃力は1900だから墓地には闇属性が32体？

「罠カード、無謀な欲張りを発動

2回ドロフェイズをスキップする代わりにデッキからカードを2  
枚ドロする

八咫鳥の骸を発動、相手の場にスピリットモンスターは居ないから  
1枚ドロする」

マナさんの伏せていたドロカードを……

しかもこれで瑞貴さんのデッキ枚数は0枚

ドローできなくなったら負けなのに大丈夫なのかな？

もし防がれたら負けが確定する！

「手札の封印されし者の右腕、封印されし者の左足、ダーク・ネクロフィア

究極封印神エクゾディオス、ダーク・クルセイダーを墓地へ送る

これにより、ダーク・クルセイダーの攻撃力を合計2000ポイントアップさせる

ダーク・クルセイダーの攻撃力は32800

究極封印神エクゾディオスの攻撃力は33000

ダーク・パーシアスの攻撃力は5600となる」

……例えば攻撃を2回防いだとしても

ダーク・パーシアスがシャイニング・フレア・ウィングマンの攻撃力を超えた

シャイニング・フレア・ウィングマンの攻撃力は今、5500だしさすがに3回は……無理だあ！

「魔法カード、拡散する波動を発動

ライフを1000払い、魔法使い族モンスターを1体選択する

その選択したモンスターは相手の全てのモンスターの攻撃する

俺が選択するモンスターは当然、究極封印神エクゾディオスだ」

「攻撃力33000で全体攻撃……ですって？」

「更に罠カード、メテオ・レインを発動

このターン、俺の場の全てのモンスターは貫通効果を得る」

……終わった、もう勝ち目が無いや  
十代さん達の残りライフは4800  
最も攻撃力の低いダーク・パーシアスの攻撃力は5600  
守備力600のヒーロー・キッズに攻撃された瞬間に負ける  
つまり……和睦の使者とか戦闘ダメージを受けないカードを使わな  
い限り敗北が決定する。

「(俺の伏せカードはキッズ・ガード  
ヒーロー・キッズを生け贄にする事で相手モンスターの攻撃を無効  
にできる

だけど止められる攻撃は1体だけ……残り2体の攻撃で負ける  
もう1枚の伏せカードはヒーロー・シグナル  
戦闘でモンスターが破壊された時、手札かデッキからLV4以下の  
E・HEROを特殊召喚する

壁モンスターを出せばまだ耐えられると思ったが……無理だな  
この状況、どう足掻いても防ぐ事は不可能かよ)」

「(私の伏せカードはポセイドン・ウェーブ  
相手モンスター1体の攻撃を無効にできる  
その後、自分の場の水族、魚族、海竜族の数×800のダメージを  
与える

私達の場合にそれらの種族は居ないけど、もし全部当て嵌まる種族な  
ら……

堅守瑞貴達のライフは効果ダメージとかも蓄積されていた  
拡散される波導のライフコストで残りライフは4400だったけど  
……もう無理か

この状況、どう足掻いても防ぐ事は不可能ね)」

「終わりだ

究極封印神エクゾディオスでシャイニング・フレア・ウィングマン

に攻撃

天上の雷火 エクゾード・ブラスト！」

エクゾディオスの手から放たれた光がシャイニング・フレア・ウィングマンを呑み込んだ

攻撃力差は27500……これは酷い！

「攻撃を続行

エクゾディオスでワイルド・ウィングマン

そしてヒーロー・キッズ3体に攻撃」

30700のダメージ

32400×3のダメージで97200のダメージ

5体のモンスターが破壊されて合計のダメージは……155400！？

「わ、態々全滅させるなんてひでえ……」

「ダーク・パーシアス、ダイレクトアタック直接攻撃」

「ちょ、もう止めなさいよ……って、きゃああああ！」

更に5600の追加ダメージ

合計161000のダメージって……何？

「ダーク・クルセイダー

ダイレクトアタックこれで決める、直接攻撃だ」

ダーク・クルセイダーは剣を高く振り上げたまま突進する  
十代さんの目の前に立つと止まる

そのまま少し動かない……と思ったら十代さんの後ろに回った？

十代さんの背後に移ったダーク・クルセイダーはそのまま再び大きく剣を掲げる

十代さんがダーク・クルセイダーを見つけた瞬間に剣を振り下ろした！

「うあああ！」

32800のダメージ……

これで合計、193800ポイントのダメージ

十代さん達のライフは4800だったから……

えっと、189000のオーバーキルだね……酷すぎる！

『……これだけのオーバーキルは初めてじゃないかな？

189000のオーバーキルなんて滅多に見れないよ』

うん、というか普通は無理

滅多によりも珍しいんじゃないかな？

『私、これ以上のオーバーキルを見た事が有るわよ？

総計ダメージ、2551200のダメージだったわ

残りライフが500の相手だったから2550700のオーバーキルね』

7桁って……何がどうなってそうだったんだろう？

余程嫌いな相手だったのかな？

「……お前、何してるんだよ？」

「運良く決められたんでな  
半分ぐらいしか狙ってなかった」

半分は狙って出せたんだ、その超オーバーキル  
今回はネタって言ってたから……殆ど狙ってこのオーバーキルなの  
かな？

なんというか、観客がみんな引いてるよ？  
拍手や歓声も無くなるぐらい怖かったんだと思うんだけど  
みんな、トラウマにならないといいなあ。

「うううう……通常モンスター怖い」

ああ、既にトラウマになってるジュンコさんが……  
まさか通常モンスターがここまで役に立つだなんて思って無かったね  
もしかしたらこの学園で通常モンスターが流行ったりするかも？  
多分無いと思うけど、そうなったらそれはそれで楽しそう。

『劇、どうすればいいのかしら？』

『僕に訊かれても……』

瑞貴さんとマナさんが実況席に向かう  
何を言うつもりなんだろう……

『すまん、調子に乗りすぎた』

調子に乗った結果！？

というか淡々と進めていたように見えていたんだけど  
あんな状態だったのに調子に乗ってたの！？



『負けるつもりだったんですけどね、本当は……それはさておき

E・HERO達は悪の親玉に敗北

クイーンズ・ナイト達を救出する事は叶わなかった

だがきつと彼らはまた立ち上がるだろう

次の祭、彼らの戦いは再び始まる』

うわ、来年もするって予告だ！

周りの人達がざわめいてる

デュエル

そりゃこれだけ凄い決闘が何度も行われたら当たり前か  
来年も見られるんだったら絶対に凄い事になるかな？

「ま、また私達が決闘するの！？」  
デュエル

『知らん、来年の気分で決める

今のはこいつが勝手に言った事だから断言はせん

まあ……要望が多かったら考えておく』

観客達の歓声が凄い事に……煩いぐらい！

これは来年もしないと暴動になるんじゃないって思うぐらいなんだけど。

『来年もしてほしいか？』

歓声が爆音みたいに響く

これは……凄い！

『なら、今回の決闘デュエルに参加した人間

E・HEROザ・ヒート 遊城十代

E・HEROレディ・オブ・ファイア 枕田ジュンコ

クイーンズ・ナイト 天上院明日香

キングス・ナイト 天上院吹雪  
ジャックス・ナイト 万丈目準  
冥府の使者ゴーズ 宮田ゆま  
冥府の使者カイエン 藤原雪乃  
燃え盛るヒータ 宇佐美彰子  
女豹の傭兵 レディバンサー 浜口ももえ  
メデューサの亡霊 カミューラ  
墓守の巫女 斎王美寿知  
闇霊使いダルク 早乙女レイ  
炎の暗殺者 堅守玲  
ダーク・クルセイダー 堅守瑞貴  
マジシャンズ・ヴァルキリア 特別参加なので名は教える事はできない』

みんなの名前を言って……どうするつもりなのかな？  
嫌な予感がするんだけど……

『以上の者達の内、誰でもいいから7人以上を倒す事だ  
誰が倒しても構わん、勝ったら俺に報告すれば良い  
本人に確認し、負けを認めたら記録を付けていく  
1回で構わない、何人でも構わない  
お前ら全員で協力し、参加者を7人以上倒すんだ  
そうすれば、来年も必ず学園祭で盛り上がる事をする約束しよう』

静寂が訪れる  
そしてざわざわと話し声が……  
勝てるはずが無いとか、不可能だとか。

『今回の弱点とかは分かっているはずなんだがな  
ロックとか、バーンとかを使っても全然構わない

要は勝てば良いんだよ、勝てばな

今回の決闘は様々な戦い方が見られたはずだ  
デューエル  
自分で相手に勝つ為の手段を、考える事だな』

誰もが黙る……これってもしかして授業？

ボク達1年生達は今みたいな事を教えられた事も有るし  
まさか瑞貴さん、この学園全体のLVを上げるつもり！？

『ルールは簡単だ

挑戦権はレッドは月曜、イエローは水曜、ブルーは金曜のみ  
そして1人1回まで、つまり全員週に1回しか挑戦できない  
時間は授業外が絶対条件だ、なお月一テストは挑戦に含んでやる』

ルールまで決め始めた

しかもみんな、凄く真剣に聞いているし  
何が何やら……

『そして今回の参加者、俺も含むが

俺達は最低でも1日に5回は挑戦を受けなければならない  
6回目以降は個人の自由だ、断っても構わない  
だが5回までは挑まれた場合、断る事はできない  
つまり、挑戦者達は早い者勝ちという事になる』

1日最低でも5回かあ……ちょっと大変かも  
ジエネックス大会では毎日何戦もしていたから大丈夫だろうけど  
まあ、最低でも週3回で合計15戦だからまだマシかな？

『強くなりた奴はどんどん参加者と決闘しろ  
デューエル

1回戦うだけでも勉強になり、次回の挑戦時には更に強くなる  
挑戦者各自は自分で様々な手段を考え、戦うがいい』

なんだか凄い事になってる気が……  
ボクも巻き込まれるんだから他人事じゃないかあ。

『参加者を倒した者には俺からカードをプレゼントしよう  
そして参加者が負けた場合は罰ゲームだ、当然俺も負けたら受ける』

罰ゲームって……何されるんだろう？  
怖いなあ……酷い事だったら逃げようかな？

『主催、堅守瑞貴

この決闘祭の名前は……ヴィクトリーロイヤル  
略してVR祭とも呼ぶか

期間は当然、次回の学園祭までの1年間

長期休暇の期間を除いてずっとだ

では諸君、VR祭は来週から始める、健闘を祈る』

今までで最大の歓声が沸く

さすがの瑞貴さんも煩いと思ったのか、耳を塞いでる  
これからどうなるんだろう、ボク達？

『(さて、これで全体的に学園の実力が上がるな

月一テストも雑魚が相手ばかりでつまらないと思っていた所だ

レイ達も強くなって少し天狗になってる所も見えるしな

特にレイは教師にも勝ってるから自分で思っている以上に余裕を持  
ってるだろう

雑な部分や適当になっていた所も何人か目に見えて分かるくらいだ  
これで少しは緊張感を持つんだな、俺も暇潰しにするし』

……負けないようにもっと勉強しようっと

そこら辺の生徒に負けるとは思っていないけど  
万が一負けたら怖いもん……頑張らないと！

## 149話【爆走学園祭 下編】（後書き）

マナのデッキがよく分らない

瑞貴のデッキをサポートする事ばかり考えられています

一応少しは攻撃手段が有りますが、基本はサポートのみ

サポートするには消費カードが多いのでドロー系カードが凄い事に

……

瑞貴のデッキって……

一部を除いて闇属性悪魔族通常モンスターで統一されています

例外はダーク・クルセイダー、エクゾディア系、ダーク・ネクロフ  
イアぐらいでしょうか？

通常モンスターは攻撃力1500以下で統一され、全てが補充要員  
対応

主役はダーク・クルセイダーなので召喚して攻撃させる気はありま  
せんし

闇道化師サギーが入っている理由は社長のカードだからなんとなく  
です。

マナがおとなしいような気が……

マジシャンズ・ヴァルキリアのクールっぽいイメージで  
そして悪っぽく、そんな感じにしました……多分。

サイクロン・ブーメランの効果が違う？

原作効果です

装備モンスターが墓地に送られれば効果が発動します  
与えるダメージも多く、明かにOCG効果より強力です。

デッキ枚数が50枚っていいのかな？

いいんです、アニメ内で必ずと決められていたという事も無いですし  
まあ、基本は40枚なんでしょうけどね。

異次元からの埋葬が原作効果だったりOCG効果だったり……  
都合に寄り、その時々で決めています  
あまり深く考えないでください。

拡散する波動の効果が違う？

原作効果です

効果無効化の効果が無くなっていますが  
他のモンスターの攻撃封印とLVの制限がありません。

エクゾディオスってデッキが無いのに攻撃できるの？

可能だそうです

一応書いておこうと思います、別に感想で訊かれたわけじゃないんですけどね。

VR祭って……

描写はしませんよ？ 面倒なので

しかし、これで学園の実力を上げます、ただそれだけ別に深い意味は有りません、作者のノリです。

今後、どんな影響が出てくるの？

誰かが苦勞します、必ず

アニメに登場したキャラの一部が原作以上に強くなっている可能性  
有り

誰かとは言いませんが……後々分かるでしょう、多分。

瑞貴の目的って？

暇潰しです、それ以上の考えは殆どありません

手応えが欲しいというのも有りますけど。

原作、アニメオリジナルカード

ロック・ドラゴン  
錠前龍

このモンスターは通常召喚できない

相手のカードをカウンター罠で無効にした時のみ特殊召喚できる

このモンスターが表側守備表示で存在している限り

モンスターを特殊召喚する事はできない

特殊召喚を全て封じます、かなり気持ち悪いモンスターです

パーミツションデッキで使われるかと言えばちよつと微妙？

それでもほぼ全てのデッキのメタになるでしょうね、今の環境だと。

エナジードレイン

カードを1枚ドロースする

モンスター1体の攻撃力を0にする

壊れカード、なお原作では効果を無効にされて使えなかったカード  
使用者は城之内、アニメでVS梶木で海と伝説のフィッシャーマン  
に防がれました。

遺言の札

自分の場に存在するモンスターの攻撃力が0になった時

デッキからカードを5枚ドロースする

壊れカード2、マリクが使用したカード

モンスターを破壊されていた時に発動していたけど無視  
どうして破壊されたら攻撃力が0になるのか……

ダーク・サンクチュアリ

1ターンに1度、相手モンスターの攻撃を無効にし



相手に攻撃を行ったモンスターの攻撃力の半分のダメージを与え  
その後、自分は相手に与えたダメージだけライフを回復する  
自分の場のモンスターゾーンに魔法、罠カードを発動、セットをす  
る事ができる

自分の墓地にダーク・ネクロフィアが存在しない場合、このカード  
は破壊する

壊れ以下略、バクラで有名なカード

最初の攻撃封じ効果を使わなかった理由は忘れていたからではあり  
ません

素直に効果を使っではつまらないからです、それ以上の理由はあり  
ません

それにもし使っていたら十代達に勝ち目が0なので……

死なばもとも

お互いに手札が3枚以上有る時のみ発動できる

お互いのプレイヤーは手札を全て捨てる

このカードを発動したプレイヤーは自分が捨てた手札×1000ポイ  
ントのダメージを受ける

その後、お互いのプレイヤーはデッキからカードを5枚ドロウする  
壊以下略のドローカー

ドローと墓地肥やしになりました

十代はE・HEROが数体墓地へ落ち、ネクロ・ガードナーも墓地へ  
ドローよりも十代の為に使ったカードですね。

精霊王ル克蘭バ

自分が1000ポイント以上のダメージを受けた時

このモンスターは手札から特殊召喚する事ができる

自身を生け贄に捧げ、効果を発動する

手札から攻撃力の合計が2000以下になるようにモンスターを特  
殊召喚する

攻撃力1000、守備力2000程度でLV8

効果は強いですし、半上級モンスターですが使いにくさは……

それでも効果は明かに凶悪です、攻撃力0なら手札限定でも5体も出せますし

欠点は手札限定での特殊召喚ですかね？

イピリア

このモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時デッキからカードを1枚ドロースする

ドロース系モンスターとして最強クラスの効果です

制限になるかは不明ですが可能性は有りそうです、でもなっても多分準制限？

禁止にはならないと思いますが。

ツイッター、言う事は無い！

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
ネタが無いから！

## 150話【卒業決闘 吹雪VS明日香】（前書き）

「今日の最強カードは連合軍よ

永続魔法カードで自分の場の戦士族、魔法使い族の数を数えるわ  
その数×200ポイント、自分の場の戦士族の攻撃力がアップする  
戦士族の攻撃力を底上げできるから強力ね

私はデッキは基本的に展開力に優れているから更に効果的よ」

地獄の暴走召喚とか使うしね……明日香でした

ちなみに作者がそれなりに好きなカード、昔は強かった……本当に。

遅くなった理由はただ1つ

吹雪を卒業させるかさせないか！

それだけです、本当にそれだけが最大の問題でした。

何故考える時間をという理由ですが……

作者は相変わらず原作破壊が好き、という事ですよ。

吹雪は真面目に授業を受け、本気で今年で卒業するつもりでした  
なので本来は卒業できる……と、この作品ではなっています

原作アニメではどうして卒業できなかったのか……よく分かりません  
もしかしてその時は2年生扱いだったとも考えましたけど

それにしても十代達と同じ教室に居ないし……等々

まあ、そんな理由から3年生だと思い、ここまでしてきました  
……本当にどうして2年目で卒業しなかったんですかね？

次回はいづかなあ……

決闘内容は楽に書けますから大して時間は掛からないんですけど

話の内容がなあ……思いついてるけど  
どう文章化していくのか、それを悩みますね。

## 150話【卒業決闘 吹雪VS明日香】

視点 明日香

「却下だ」

……そりゃそうよね

これを通すほど、瑞貴は優しくないわ

諦めるしか無いと思うけど……無理なのかしら？

「卒業を1年遅らせてくれ？」

既に1年留年しているのか？

さっさと卒業して、借金を返す為に働け」

モノクロ

お題は白黒兄さんが卒業を1年遅らせてほしいと言った所から  
瑞貴にそれを言ってるんだけど、そんな事が通るはずが無いわ。

「頼むよ堅守君」

「何の為に学年トップになったんだ？」

今年中に強引にでも卒業する為だろ？

なのに態々卒業を遅らせるのは何故だ？」

「それは……」

モノクロ

白黒兄さんは瑞貴の質問に答えない

何も言わない、黙っている理由も分からない

卒業を遅らせる理由も言わないのはどうしてかしら？

「少なくとも、理由を言わずに無理を通すわけが無い」

当たり前よね

理由を言っても瑞貴だったら切り捨てそうだけど。

「……思い出せないんだよ」

「「「思い出せない？」」「」」

ちなみにここは瑞貴の部屋

だからレイも居る

サラやマナも居るけど、どうせ私しか分からないわ。

それにしても……思い出せないってどういう意味かしら？

何を思い出せないのか分からないわ

更に言うなら、思い出せないのが残る理由？

「僕がこの学園に来た時、ダークネスで戻ってきた

だけど僕はダークネスになった原因が思い出せないんだ

何か……とても大切な事を忘れている気がする

それを思い出すまで、この学園に残っていたいんだ」

ダークネス……あの時の白黒兄さんね

よく兄妹で殺し合いなんてしたわね、あの時は

あの時の白黒兄モノクロさんは格好良かったんだけど……今は情けないわ。

「忘れたならそのまま忘れてろよ

別に態々思い出す必要は無いだろ

その内、ふと思いつくだろ」

「そうなんだろうけど……やっぱり気になるんだよ  
思い出さないといけない気がするんだ  
今は手掛かりが無いけど、どうにかしたいんだ」

珍しく真剣な表情の白黒兄さんモノクロ  
ここまで真剣な顔なのも珍しいわね。

「却下」

即答!?

こんなに真剣な顔をしているのに!?

「ぐ……どうしても駄目かい?」

「どうしても、学園に残りたいと?」

「ああ、僕は残らないといけない」

沈黙……どうするのかしら?  
瑞貴の事だから妥協案ぐらい出してくれると思うけど  
あまり期待はできないわね。

「卒業決闘デュエル、出られるか?」

「当たり前だよ、僕を誰だと思ってるんだい?  
必死で勉強したし、学年でほぼ全てトップだよ」

「なら明日香と決闘しろデュエル  
勝ったら学園に残っていいぞ

負けたら諦めてプロに行って荒稼ぎしてこいよ」

「私!？」

どうして私が巻き込まれるのよ!？」

私が決闘するメリットなんて無いわよ!

「分かった、明日香に勝てばいいんだね？」

それで僕は学園に残る、それで構わないんだね？」

「好きにしろ」

「ちょっと待ちなさい!

私が出る必要なんて無いじゃない!」

ただでさえ、瑞貴が出したVR大会で疲れてるのよ!

休みは有るけど、それでも毎日何人にも挑まれるんだから!

レッド生徒やイエロー生徒はまだいいわ

だけどブルー生徒を相手にするのは面倒なのよ!

ノーダメージでも勝てるぐらい弱い人が多いけど、態度が鬱陶しい!  
それに海野先輩も毎回挑んでくるから疲れるのよ……はあ。

「勝てたら10万」

「覚悟しなさい、白黒兄さん!」  
モノクロ

「……切り替え早いなあ」

黙りなさいレイ!



貴女に借金の辛さは分らないわ！

私がどれだけ苦労していると思ってるの！？

「ははは、僕もその気持ちは分かるよ明日香  
じゃあ明日香……僕は絶対に勝つからね」

「私だって負けないわよ」

ふふふ、絶対に負けない  
借金を返しきるまでは絶対に……

「燃えてるんだろうけど  
なんだかイマイチパツとしないなあ」

「金が掛かってるからな」

煩いわよ、自分でも分かってるし  
でも仕方無いじゃない、お金が無いんだから。

『吹雪さんが居なくなると私は……』

『私は吹雪さんが居なくなると楽しみが減るから負けてほしいなあ  
あの人、見ているだけでおもしろいし  
という訳で明日香さん、私とサラの為に頑張って負けてね！』

私には敵しか居ないの？

この2人なら仕方無い気もするけど  
でも少しぐらい私を応援してくれてもいいんじゃない？

私としてはさっさと居なくなっしてほしいわ

心労が減るし、疲れなくなるし  
やっぱり勝てるのなら勝ちたいわよね？  
10万は……やっぱり大きいわよ。

「明日香、勝ったらVR大会がまた大変になるな  
何せ、白黒モノクロの分の相手が増えるからな  
しかしそれでも10万と頭を痛めずに済むんだ  
どちらを選ぶかは……お前次第だな」

「……それもそうね  
いいわ、色々な意味でも全力で相手をしてあげる  
覚悟しなさい、白黒モノクロ兄さん！」

「あ……ははは、お手柔らかにお願いね」

そこまで言って白黒モノクロ兄さんは部屋から出て行く  
……対策、何か考えた方がいいかしら？

「レイ  
お前は白黒モノクロの方を手伝ってこい」

「え、手伝う？」

「どうして態々吹雪さんの有利になるような事を？」

瑞貴、貴方どっちの味方なの！？  
それに私に勝ってほしいのは貴方も同じでしょ！  
どうして私が不利になるような事を……

「不公平だからな、明日香は俺が手伝う  
味方を1人付けるぐらいは構わんだろう」

頑張って明日香を倒してみろ

もし白黒モノクロが勝てたら何かご褒美でもやるぞ？」

「絶対に無理って言ってるようなものだよね！？」

むう……今回は敵だからね、明日香さん！

絶対吹雪さんに勝たせてみせるから覚悟しておいてよ！」

それだけ言い、レイは部屋から出て行った

これは色んな意味で負けられないわ

負けたらレイにご褒美、白黒モノクロ兄さんは残る事になり

しかも私への10万分の借金帳消しが無くなる

デメリットが大きすぎるわよ！

……………

……………

……………

瑞貴と話し合い、どうするか決める

白黒モノクロ兄さんとはこれで……3回目ね

1回目はダークネスとして、2回目は私達のアイドル化の時

そして今回で3回目……卒業決闘デュエル、現在は1勝1敗ね。

問題は白黒モノクロ兄さんのパワー、ロックをどうするか

私のデッキではどう頑張っても攻撃力では勝てない

攻撃力が6000を超えるぐらい楽にできそうなデッキだもの。

更にロックまでしてくる、ホルスの黒炎竜に王宮のお触れ

自分のカードを無効にしてしまうから王宮のお触れは中盤から出て

くる可能性が高いとして

問題は魔法カードを封じてくるホルスの黒炎竜

一方的に魔法カードを封じてくるから凄まじく厄介ね……

更に光と闇の竜まで居る  
ライトアンドダークネス・ドラゴン

あのモンスターが出てくると効果モンスターまで封じられてしまう……つまり、圧倒的に私が不利という事ね。

「明日香

モノクロ 白黒対策のカードは必要か？」

「……売るつもり？」

「当然」

そりゃそうよね……瑞貴だし

さて、どうするか……私は白黒兄さんモノクロに勝てるかしら？

勝てないとは言わないけど、勝てるとも言えない

私のデッキには攻撃力が足りないし……もう！

「人の足元ばかり見て……」

「不要なら、俺は構わんがな」

「買うわ！

幾らよ、言ってみなさい！」

「5万」

「高いわよ！」

いえ、瑞貴からしたら安いのよね……

でも私からすれば5千でも高いのよ！  
その10倍よ、10倍！  
買えるはずが無いじゃない！

「……借金が6桁有るくせに？」

「う……」

い、言わないで」

確かに、今更5万ぐらいはと思うけど……  
それに勝てたら10万分、なら半分ぐらいはいいかしら？  
でももし負けたら15万分の損だし……頭が痛くなりそう！

「くっ……いいわ、買うわよ！」

「はいはい

カードを出すから少し待ってろ」

瑞貴は金庫を開け、カードを探す  
あれだけのカード、どこに何が有るのか把握しているのよね……  
これは瑞貴の整理能力が高いのか、記憶力が高いのか悩むわ。

「つと、これだな

ほら、使うかどうかはお前に任せる」

渡されるカード……ん？

これが白黒兄さんモクロ対策のカードね

……なるほど、封じられる可能性も有るけど、十分に使えるカード  
だわ。

「ありがたく受け取らせてもらうわ」

「後で返せよ」

そのカードは俺のお気に入りカードなんだ  
ちなみに金に関しては冗談だから気にするな」

「……あ、そう」

もう怒る気力も失せたわ……

瑞貴相手に何を言っても無駄ね

今日はもう帰ろうかしら？

………

………

……

卒業決闘<sup>デュエル</sup>当日

モノクロ

今日は白黒兄さんと決闘<sup>デュエル</sup>する日

これで負けたら……私にはデメリットしか無いわね。

10万の取り消し

モノクロ

来年も白黒兄さんの奇行に頭を痛めさせられる

……はあ、疲れそうで嫌だわ。

さて、気合とか入れないとね

気持ちで負けたらどうしようも無いもの

要は勝てばいいのよ、勝てば

前回は負けたけど、今回は勝たせてもらうわよ！

視点 瑞貴

去年は確か……地獄が俺のデッキを使って似非と決闘したんだっけ  
今年は明日香と白黒……どっちが勝つのやら。  
モノクロ

「うーん……どっちが勝つかなあ？」

「私は吹雪先輩と予想するわ  
パワーとロックで押しつぶせるところし」

「私は……明日香先輩です  
下級モンスターの扱いが得意ですし  
工夫が上手らしいですから」

「今の所、この学園での戦績は1勝1敗らしいよ？  
今回はどっちが勝つか……  
ボク個人としては少しでも手伝った吹雪さんに勝ってほしいけど  
瑞貴さんはどっちだと思う？」

「俺か？」

「……明日香が勝ってくれると楽だな、色々とし  
かし予想となると……微妙だな」

「」「微妙？」「」

お前ら、もう少し自分で予想したらどうだ？  
まあ、こういう時の解説は俺の役目みたいだが。

「藤原の言う通り、白黒モノクロのデッキはパワーとロックに優れている  
しかも、妙に速効性が高いからすぐに最上級モンスターを出す  
まあ、最上級モンスターである真紅眼レッドアイズ・ブラックドラゴンの黒竜がメインだから当然だ  
がな

ロックに関しては魔法と罠を封じるのは少々厄介な所だ  
明日香のデッキはモンスターが中心とはいえ、基本攻撃力は低い  
そうになると魔法や罠で補助ができなくなるのは相当辛いな」

自分の言葉を肯定されて嬉しそうな顔をする藤原  
レイも微妙に嬉しそうな顔だな  
逆に明日香と言った宇佐美が少し悔しそうだが……

「そして宇佐美の言う事も最もだ

明日香は下級モンスターの扱いが何故か巧い  
元々戦士族は下級モンスターが豊富というのも大きいな  
ドラゴン族は最上級モンスターが豊富だから逆の立場だ  
まあ、どちらも優遇されている種族だから種族だけを見れば互角か  
な？

どちらが巧く種族を使いこなすか、見物とも言える」

最初はE・HEROをメインに使ってダークネスに勝利した明日香  
2回目は手詰まりの状況から判断ミス、白黒モノクロの勝利  
今回は……どっちが勝つんだ？

実力は互角ぐらいだろうし、さすがに分からん。

明日香と白黒モノクロ デュエルフィールドが決闘場の中央に立つ  
お互いに顔を見合わせ……離れていく  
さて、始まるな……良い見せ物を見せてくれよ？

「決闘！」デュエル



「先攻は僕だ、ドロー！  
フィールド魔法、竜の溪谷を発動！」

辺りが谷に変わり、夕焼け空になる

本来ならドラグニティ用に近いカードなんだがな

しかし……初っぱなから竜の溪谷を使うか

これは楽しい事になりそうだ。

「そして竜の溪谷の効果を発動！

1ターンに1度、手札を1枚捨てる事でデッキからドラゴン族モンスターを1体墓地へ送る事ができる

僕は手札を1枚捨て、デッキから真紅眼の黒竜を墓地へ送る！

更に魔法カード、思い出のブランコを発動！ 墓地から通常モンスターを1体、特殊召喚する！

僕は墓地から真紅眼の黒竜を特殊召喚して魔法カード、黒炎弾を発

動！

自分の場に真紅眼の黒竜が存在している時、攻撃を封じる代わりに

相手に真紅眼の黒竜の元々の攻撃力分のダメージを与える！」

「ちょ、いきなりすぎない？

え、ちょ、ま、きゃあああ！」

おいおい……初っぱなから飛ばしてるな

いきなり2400のダメージを与えるとはな

これは危ないかな？

「更に場の真紅眼の黒竜を生け贄に捧げる

手札より、真紅眼の闇竜を特殊召喚！

このモンスターは真紅眼の黒竜を生け贄に捧げた時のみ特殊召喚可能

自分の墓地に存在するドラゴン族モンスターの数×300ポイント  
攻撃力がアップする  
僕の墓地にはドラゴン族モンスターは2体、よって攻撃力は600  
ポイントアップ！」

現在の攻撃力は3000か、最初のターンから攻撃力3000とは  
なかなか酷いな

……この前、学園祭では俺のターンになった途端に攻撃力8000  
近くを出したがな。

「カードを1枚伏せて、ターンエンドだよ」

最初から手札0か……頑張り過ぎだろ  
まったく、よくやる。

「凄い……吹雪先輩

いきなり2400のダメージと攻撃力3000のモンスターだなんて  
明日香先輩のライフは残り1600だけど……大丈夫かしら？」

「あんなに強かったんだ……知らなかったあ  
今度相手しテもらおうかなあ」

「私達は吹雪先輩の決闘デュエルを見たことが有るはずじゃ……  
でも、こんなに強いのはちょっと予想外です」

「さすが吹雪さん……強い」

1年生カルテットの評価が上がったらしい  
変な人だったり、あまり強くなさそうという意見だったらしいからな  
まあ……普段を見ていると当然だな。

実際は強いはずなんだが……あまり本気を見せないし態度から本気には見えないし弱いようにも見える思ったより楽しそうじゃないか。

「そしてエンドフェイズ時

レッドアイズ・ワイバーン  
墓地に存在する真紅眼の飛竜の効果を発動！

通常召喚していないターンのエンドフェイズ時

このモンスターを除外する事で墓地からレッドアイズと名の付くモンスターを特殊召喚できる！

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
出てこい、真紅眼の黒竜！」

ほう？

竜の渓谷の効果で手札から捨てたのはあのカードか

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
これで真紅眼の闇竜の攻撃力は2400に下がったがそれでも、攻撃力2400のモンスターが2体、十分だろう。

「最上級モンスターを2体も……」

「これ、1ターン目の場じゃないよお」

レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
「でもこれで真紅眼の闇竜の攻撃力は2400ですこれならまだどうにか……できると思います」

「1ターンで両方を超えるのは難しそうだけど……それに、多分吹雪さんは保険は用意していると思う」

レイは正解だろうな

あの伏せカード……何か有るな。

「さすが白黒兄さん……とでも言うべきかしら？」  
まさか1ターン目からここまでしてくるとは思わなかったわ  
でも……すぐに倒してあげる、私のターン、ドロー！」

ふむ……1ターンで倒すのか

無理とは思わんが、手札はどうなんだ？

お前のデッキでは攻撃力2400はそれなりに強敵だろ？

「切り込み隊長を召喚し、効果を発動するわ

手札からLV4以下のモンスターを1体、特殊召喚できる

私は手札より、共闘するランドスターの剣士を特殊召喚！」

チューナー……だがこの世界ではほぼ無意味な効果

しかし、それだけでは勝てんぞ？

この後の行動はある程度予想できるが。

「共闘するランドスターの剣士？

確かランドスターの剣士は……通常モンスターじゃなかったっけ？」

「効果を持って帰ってきたのよ

そして速攻魔法、地獄の暴走召喚を発動するわ

自分が攻撃力1500以下のモンスターの特殊召喚に成功した時

同名モンスターを自分の手札、デッキ、墓地から可能な限り特殊召喚するわ

私はデッキから共闘するランドスターの剣士を2体、特殊召喚！

これは相手もできるわ、好きなモンスターを選択して、特殊召喚しなさい」

「へえ……なら遠慮無く特殊召喚しようかな

僕はデッキから真紅眼の黒竜を2体特殊召喚する！」

攻撃力2400が4体か……これは少し怖いな  
突破するのは少々難易度が高いか？

「攻撃力2400が4体……」

「明日香先輩、どうするのかなぁ？」

「攻撃力500と1200じゃ……」

「瑞貴さん、共闘するランドスターの剣士の効果ってどんな効果なの？」

「見ればすぐに分かる」

レイの質問を切り捨て、場を見る

今回の明日香のデッキは……まあそういう事が  
渡したカードとの相性上、当然の結果だな。

「共闘するランドスターの剣士の効果

このモンスターが自分の場に存在している時

自分の場に存在する戦士族モンスターの攻撃力は400ポイントア  
ップするわ！

私の場に共闘するランドスターの剣士は3体、よって攻撃力は12  
00アップよ！」

「それでも、ランドスター達の攻撃力は1900

切り込み隊長でもやっと2400だ

レッドアイズ・ブラックドラゴン  
その程度では僕の真紅眼の黒竜達には勝てないよ！」

「その程度、分かってるわ！」

永続魔法、連合軍を発動するわ！

自分の場の戦士族、魔法使い族の数×200ポイント

自分の場の戦士族の攻撃力がアップする！

私の場に戦士族モンスターは4体、よって攻撃力は800ポイントアップよ！」

切り込み隊長は攻撃力3200

ランドスター達は攻撃力2500か

1ターン目の、しかもLV3のモンスターの攻撃力じゃないな。

「更に魔法カード、テラ・フォーミングを発動！

デッキからフィールド魔法を1枚手札に加えるわ

私はデッキからガイアパワーを手札に加えて、発動！」

竜の溪谷が破壊され、新しく出てきたのは巨大な大木  
さすがにこれは……凄いな。

「ガイアパワーが存在している限り

全ての地属性モンスターの攻撃力は500ポイントアップ

そして守備力が400ポイントダウンするわ

私のモンスターは全て地属性、よって攻撃力が500ポイントアップ！」

切り込み隊長の攻撃力はこれで3700

ランドスター達も3000……か

全モンスターが攻撃力2500上昇は酷いな

もう1体戦士族モンスターが出てきたら連合軍の効果が上がって総  
攻撃力が2700アップだぞ。

「バトル！」

切り込み隊長で真紅眼の闇竜に攻撃！」  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

切り込み隊長の攻撃で真つ二つに切られる真紅眼の闇竜  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン  
攻撃力差は1300……これは大きいな

問題は明日香がミスをしない事だが……それは期待かな？

「クッ……真紅眼の闇竜が！」  
レッドアイズ・ダークネスドラゴン

「これでバトルフェイズを終了するわ」

明日香のその言葉に、会場全体がざわめく  
当然だな、何せ有利な状況で攻撃を止めたんだから  
だがこの読みは……

「明日香先輩が攻撃を止めた？」

「有利なのに……どうして？」

「伏せカードを警戒した？」

でもだったら最初から攻撃しないはずじゃ……」

「吹雪さんのデッキのカードは……」

ああ！ そういう事か！」

レイは気付いたか

モノクロ  
この中では俺の次に白黒と会話をしているからな  
それにデッキも知っているはずだし。

「レイ、貴女分かるの？」

「予想だけどね

多分、あの伏せカードを警戒したんだと思う」

「警戒だったら攻撃しない方がいいんじゃないのかなあ？」

「……あ、そっか

だから警戒したんだ」

お、宇佐美も気付いたか

レイの次に教えているだけあるかな？

ビリのポイントはマイナスしてやろうかなあ……よし、そうしよう。

「ターンエンドよ！」

「くそ……罠カード、レッドアイズ・スピリッツを発動！

このターンに破壊されたレッドアイズと名の付くモンスターを1体、召喚条件を無視して特殊召喚する！」

僕はさっき戦闘で破壊された、レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜を特殊召喚するよ！」

予想は大正解、明日香の予想も大正解

顔が言ってるな、予想通りだって

レッドアイズ・ブラックドラゴンだから真紅眼の黒竜達を破壊しなかったんだろ？

レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜の攻撃力が上がるから。

まあ、もし自爆特攻をされたら危険だがな

レッドアイズ・ダークネスドラゴンしかし、真紅眼の闇竜と切り込み隊長の攻撃力差は1300

3体で自爆特攻をしてもまだ400の差が有る、どうにかしてラウンドスターを1体でも倒さないと勝てないぞ？



「僕のターン、ドロー！」

永続魔法、未来融合―フューチャー・フュージョンを発動！

デッキから融合に指定されているモンスターを墓地へ送り

2ターン後、僕のターンのスタンバイフェイズ時に融合モンスターを特殊召喚する！

僕はデッキからホルスの黒炎竜LV6、ブリザード・ドラゴン

ミンゲイドラゴン、レッドアイズ・ワイバーン真紅眼の飛竜2体を墓地へ送る

そして2ターン後、ファイブ・ゴッド・ドラゴンF・G・Dを融合召喚する！」

……おいおい、このタイミングでか？

まだ2ターン目なんだぞ、少し自重しろよお前ら

まあ、見ている方は楽しいからいいんだけどな。

「これで僕の墓地にドラゴン族モンスターは5体

レッドアイズ・ドラゴン真紅眼の闇竜は自分の墓地に存在するドラゴン族の数×3000ポイ

ント攻撃力を上げる

レッドアイズ・ドラゴンこれで真紅眼の闇竜の攻撃力は1500アップし、3900！

切り込み隊長の攻撃力を上回ったぞ！」

切り込み隊長の攻撃力は3700だからな

そしてランドスター達の攻撃力は3000

切り込み隊長が倒された場合、連合軍の効果が下がる

となるとランドスター達の攻撃力は2800か……残念。

「明日香、君の場に伏せカードは無い……バトルだ！

レッドアイズ・ドラゴン真紅眼の闇竜で切り込み隊長に攻撃！

ドラクネス・ギガ・フレイム！」

圧倒的暴力とも言える攻撃力……なんだよな、本来は

しかし俺はそれを何回も上回ったからなあ……なんとも言えん

明日香もダメージを受けたものの、割と余裕そうだし。

レッドアイズ・ブラックドラゴン

「真紅眼の黒竜達を守備表示に変更

僕はこれでターンエンドだよ」

攻撃力2400の通常モンスターではどうしようも無いか、当たり前だが

明日香の手札は1枚、何をドローするかな？

「攻撃力3700をアッサリと……

私達のデッキでは簡単にできないわね」

「私もユキノンも、強化はあまりしないもんネ  
ウサミンとレイオンはどうする？」

「私は……ディノインフィニティを出せばなんとか  
でも、除外する時間が無いから無理かな」

「ボクだったらモンスターを奪うか、攻撃力を0にする  
それでも巧くいくか微妙だけど……」

さすがに速攻で揃えられたらそうなるだろうな  
ダメージを最小限で抑えられたという点があるから……ふむ  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜達を全滅させないで正解だったか？  
これは少し意見が分かれそうだが。

問題は明日香の次の行動だな  
どこまで動けるか、見物だ。

「私のターン、ドロー！ コマンド・ナイトを召喚！

コマンド・ナイトが存在している時、自分の場の戦士族モンスターは攻撃力が400ポイントアップする！

更に戦士族が増えたから連合軍の効果で攻撃力が更に200アップ！

コマンド・ナイト、共闘するランドスターの剣士、連合軍

これらの効果を全て合わせると攻撃力は2400アップ！

更に共闘するランドスターの剣士は地属性、ガイアパワーの効果で更に攻撃力500アップ！

コマンド・ナイトの攻撃力は3600、共闘するランドスターの剣士の攻撃力は3400よ！」

「ふ、だがそれでも真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴンには届かない  
まだまだ甘いね、明日香」

「甘いのはどっちなしらね？ 永続魔法、一族の結束を発動！

墓地に存在するモンスターの種族が1種類の場合

その種族と同じ種族の自分の場のモンスターの攻撃力を800ポイントアップさせる！

私の墓地には戦士族の切り込み隊長、そして場のモンスターは全て戦士族

コマンド・ナイトの攻撃力は4400、共闘するランドスターの剣士は4200よ！」

これは……なかなか酷いな

4体のモンスターに強化カードばかり

守りきるのは少々難易度が高いか？

「バトルよ！」

コマンド・ナイトで真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴンに攻撃！」

コマンド・ナイトの剣で切り裂かれる真紅眼の闇竜レッドアイズ・ダークネスドラゴン

戦闘ダメージは500……合計ダメージは1800だな  
明日香の残りライフは1200、モノクロ白黒は2200か  
ライフ差は1000、この攻撃力で続けていれば1撃で終わるな。

「クッ……レッドアイズ・ダークネスドラゴン真紅眼の闇竜が！」

「まだまだ終わらないわよ！  
共闘するランドスターの剣士3体で、レッドアイズ・ブラックドラゴン真紅眼の黒竜3体に攻撃！」

もしこれが攻撃表示だった場合  
攻撃力差は1800、それが3回で5400のダメージだったな  
守備表示にしたのは当たり前だが、危なかったな。

「ターンエンドよ

モノクロさあ白黒兄さん、これからどうするのかしら？」

確かにピンチだ、だがそれがどうした？  
まだまだ終わると思わんな、俺は。

「ふふふ、確かに大ピンチだね  
だけど……僕だってまだまだ終わるつもりは無い！  
僕のターン、ドロー！」

スタンバイフェイズ時、墓地に存在するミンゲイドラゴンの効果を  
発動！

自分の墓地にドラゴン族モンスターしか存在せず、自分の場にモン  
スターが存在しない時  
このモンスターを自分の場に攻撃表示で特殊召喚できる！  
さあ出てこい、ミンゲイドラゴンを特殊召喚！」

さて、ダブルコストモンスターだが……どうにかなるか？

この状況を打破できる可能性の有る最上級モンスターなんてそう滅多には……

「魔法カード、強欲な壺を発動！

このカードの効果でデッキからカードを2枚ドロウする！

……よし、場のドラゴン族であるミンゲイドラゴンを除外する！

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンを守備表示で特殊召喚する！」

「な……レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンですって！？

今までのレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンと召喚方法が違うじゃない！」

出たか……元世界のドラゴン族モンスターの革命とも言えるモンスター

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン

まあ、この対戦の前に渡したんだけどな、明日香だけだと不公平だしもし負けたら没収、勝ったら買い取りで借金追加と言ってやったら泣いて喜んでたが。

「このモンスターは僕の本来使っているレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンと同名異効果モンスターだ

だけど……このモンスターはパワーと魔法耐性が無い代わりに凶悪だよ？

レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンの効果を発動！

1ターンに1度、自分のメインフェイズ時に発動できる

自分の手札、または墓地からドラゴン族モンスターを1体、特殊召喚できる！

僕はこの効果で墓地のブリザード・ドラゴンを守備表示で特殊召喚するよ！」

現れる水色のドラゴン

墓地蘇生を最初から考えて未来融合で墓地に送ったな？

ボマー・ドラゴンとも悩んだだろうが……どっちでもいいか。

「そしてブリザード・ドラゴンの効果を発動！

1ターンに1度、相手モンスター1体を選択する

そのモンスターの攻撃、表示形式の変更を封じる！

効果対象はコマンド・ナイト、凍り付け！」

ブリザード・ドラゴンの吐き出した氷のブレスで凍るコマンド・ナイト

そりゃ攻撃も表示形式の変更もできるはずが無いな。

「更に魔法カード、レベル調整を発動！

相手はカードを2枚ドロし、僕は自分の墓地からLVと名の付くモンスターを特殊召喚する

さあ明日香、デッキからカードを2枚ドロしたまえ！」

「なら遠慮無く……ドロー」

「では僕は墓地からホルスの黒炎竜LV6を守備表示で特殊召喚するよ！」

そしてエンドフェイズ時、墓地の真紅眼の飛竜<sup>レッドアイズ・ワイバーン</sup>の効果を発動！

通常召喚していないターンのエンドフェイズ時

このモンスターをゲームから除外し、レッドアイズと名の付くモンスターを1体特殊召喚できる！

<sup>レッドアイズ・ワイバーン</sup>僕は真紅眼の飛竜を1体除外し、<sup>レッドアイズ・ブラックドラゴン</sup>真紅眼の黒竜を守備表示で特殊召喚！

これでターンエンドだ！」

……よく最上級モンスターを2体、上級モンスター、下級モンスターを1ターンで並べられたな  
レッドアイズ・ワイバーン  
しかももう1体、真紅眼の飛竜を除外していたら5体のモンスターが並んでいた

そうしなかった理由は……保険かな？

「……嘘？」

「これが……吹雪先輩の本気？」

「自信を無くしそうです……」

「どうやって奪おう……」

1人だけ違うのが居るが、それでも白黒モノクロの実力に驚きを隠せないらしい

会場の殆どの奴が同じような状態だろうな  
だがレイよ、お前はそこまで奪いたいのか？  
そういう思考にさせた俺が言う事じゃないだろうが……

「……さすが、としか言えないわね

私のターン、ドロー！ ブースト・ウォリアーを召喚するわ！

このモンスターが自分の場に存在している限り、自分の場の戦士族モンスターは攻撃力が300ポイントアップする！

更に連合軍の効果も自分の場に戦士族が増えた事で効果が強化される！

合計で私の全モンスターの攻撃力が500ポイントアップするわ  
連合軍で1000、一族の結束で800、ランドスターで1200  
コマンド・ナイトで400、ブースト・ウォリアーで300

私のモンスターは合計で3700の攻撃力アップよ！  
更にガイアパワーで共闘するランドスターの剣士は更に500ポイント攻撃力が上がるわ！」

コマンド・ナイトの元々の攻撃力は1200、合計攻撃力は4900  
共闘するランドスターの剣士の元々の攻撃力は500、合計攻撃力は4700

ブースト・ウォリアーの元々の攻撃力は300、合計攻撃力は4000

総攻撃力は……23000か、なかなか頑張ったな。

「まだ終わらないわよ？」

2枚目の永続魔法、連合軍を発動！

これで私のモンスターは全て攻撃力が1000ポイントアップよ！」

これで総攻撃力は28000か

しかも最低攻撃力が5000のブースト・ウォリアーというもの……

「バトルよ！」

コマンド・ナイトは……ブリザード・ドラゴンの効果で攻撃できないから

ブースト・ウォリアー、レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴンに攻撃！

共闘するランドスターの剣士は真紅眼の黒竜

ブリザード・ドラゴン、ホルスの黒炎竜LV6に攻撃よ！」

当然だが、白黒のモンスターは全滅

さて……これは楽しくなってきたぞ

次の明日香のターン、どうやって白黒を倒すのか  
モノクロ  
というか、突破できるのか？



「カードを1枚伏せて、ターンエンド」

あの伏せカードは……悩むな  
もしそうだった場合、明日香の勝ちなんだが  
違うのなら……なんだ？

「LV1が攻撃力5000って……」

「LV3も攻撃力5700だね」

「LV4で攻撃力5900

堅守先輩のダーク・クルセイダーには勝てないけど  
それでも十分過ぎる攻撃力ですね」

「いや、アレはどう考えても例外じゃ……」

吹雪さんはこの状況をどうやって凌ぐのかな？」

否定はしない

だが攻撃力5900のLV4はそう簡単にはできないだろ  
モノクロ  
白黒は簡単に凌げるぞ、理由はすぐに分かるが。

「僕のターン、ドロー！」

未来融合の効果が発動する！

このターン、僕の場合はF・G・Dが特殊召喚される！  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン

F・G・Dを守備表示で特殊召喚！

知ってると思うけど、一応説明しておくよ  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン

F・G・Dは光属性以外のモンスターとは戦闘で破壊されない！

炎属性、地属性モンスターの明日香のモンスターでは手出しは無理  
だよ！」

「クッ……出てくる前に倒したかったのに！  
ブリザード・ドラゴンが居なかったら……いえ、それでも逃げ切れ  
ていたわね」

墓地にはもう1体、レッドアイズ・ワイバーン真紅眼の飛竜が居るからな  
その効果を使っていれば結果は同じだった。

「僕はカードを1枚伏せて、ターンを終了するよ」

またお互いに手詰まり状態か  
モノクロ白黒では明日香のモンスターを倒せない  
明日香も同じくモノクロ白黒のモンスターを倒せない  
これは暫くお互いに動かないな。

「私のターン、ドロー  
……ターンエンドよ」

「僕のターン、ドロー  
ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー  
ターンエンドよ」

しかし、明日香の伏せカードはあのカードじゃなかったのか  
となれば明日香はあのカード待ちかな？  
それをモノクロ白黒はどう対処するのか気になるが  
まあ、対処もできずに終わる可能性も有るか。

「僕のターン、ドロー」

……カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

何を伏せた？

王宮のお触れは……多分無いだろう

明日香は伏せカードが1枚有るが、他は永続魔法だ  
既にホルスの黒炎竜LV8では防げない状況になっている。

「私のターン、ドロー

カードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

「僕のターン、ドロー

……いくよ、明日香！」

動くか？

「罠カード、墓地からの命綱を発動！

墓地のモンスターを2体選択し、選択した2体の合計LV×100

ポイントのライフを払う

そうする事で、選択したモンスターを特殊召喚する！

僕はLV4のブリザード・ドラゴンと真紅眼の飛竜レッドアイズ・ワイバーンを選択

支払う合計ライフは800、ライフを800払い、2体のドラゴン  
を特殊召喚！」

2体のモンスターか……やはり生け贄か？

しかしこの状況を打破できるモンスターは……そういえば渡してるな  
それを使っている場合、可能性は有るか。

「ブリザード・ドラゴン、レッドアイズ・ワイバーン真紅眼の飛竜を生け贄に  
バーニング・ドラゴンを召喚！」

マグマのようなドラゴンが出てくる

LVは8だが攻撃力は低く、たったの2500  
だがこいつの効果は……

「バーニング・ドラゴンの効果を発動！

このモンスターが召喚、特殊召喚に成功した時  
場に存在する魔法、罠カードを全て破壊する！」

「な、全ての魔法、罠カードを破壊する効果ですって！？」

そう、大嵐効果だ

これで明日香の強化系カードは全滅だな  
伏せカードが気になる所だが……

「そんな事はさせない！

カウンター罠、神の宣告を発動！

ライフを半分支払い、相手の魔法、罠、モンスターの召喚、反転召  
喚、特殊召喚

その内のどれかを無効にし、破壊する！

私はモンスターの召喚を無効にし、バーニング・ドラゴンを破壊す  
るわ！」

王宮のお触れを発動された時

ホルスの黒炎竜を召喚された時対策のカードだな  
この前俺が渡したカードじゃないが……それでも十分だろう。

まあ、この世界では本当に滅多に見ない超レアカードだ

更にライフコストが半分というのも使用率の低さに滑車を掛けている  
強力だが、重すぎるという理由から使われないのがこの世界の謎だ  
元の世界だったら入れないデッキなんて滅多に無いカードなのだが

……

「ふ……甘いね、明日香  
カウンター罠、魔宮の賄賂を発動！  
相手の魔法、罠カードの発動を無効にし、破壊する！  
その後、相手はカードを1枚ドロウする……神の宣告を無効にする  
！」

「なんですって！？」

これは……魔法、罠封じの一環かな？  
しかし、弱点をカバーするという意味では天罰を入れるべきだと思うが  
うがな  
だがこれでも十分か、現に今、明日香が大ピンチに陥っているんだ  
し。

「これでバーニング・ドラゴンの効果は成立する  
さあ明日香、魔宮の賄賂の効果でカードを1枚ドロウするんだ」

「クッ……ドロウ！」

「バーニング・ドラゴンの効果発動！  
さあ、場を焼き尽くせ！」

荒れ狂うような炎を吐き出し  
場のカードを破壊し尽くすバーニング・ドラゴン  
炎のせいかな、ガイアパワーで現れた大木が焼け、倒れる。

明日香のもう1枚の伏せカードは……俺の渡したカードか  
しかも、伏せたのは最後のターン

もしその前のターンだったら……明日香が勝っていた。

ついでに、未来融合も破壊されたので  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
F・G・Dも破壊される  
この後どうするつもりなんだ？

「明日香先輩の破壊されたカードって……」

「私は知らないけど……知ってる？」

「うん、知らない  
レイちゃん？」

「ボクも知らないカード  
瑞貴さんは……当然知ってるよね？」

知っている事が前提か？

いや、確かに知っている所か、俺が渡したカードだが。

「あのカードはデモンズ・チェーン  
効果モンスターにのみ発動できる永続罠カードだ  
効果モンスター1体の効果を無効にし、攻撃を封じる  
ホルスの黒炎竜、レッドアイズ達対策のカードだったんだがな  
ファイブ・ゴッド・ドラゴン  
今回はF・G・Dに使用しようとして……間に合わなかった  
あのカードはさっき伏せたカードだから、どうしようもない」

まあ、他にも超古代生物の墓場とかも渡したんだがな  
特に超古代生物の墓場だったらホルスの黒炎竜、OCG効果のレッ  
ドアイズ・ダークネスメタルドラゴン  
どちらの効果も封じられただけに残念だ……

明日香のライフは神の宣告を使ったから残り600  
そして効果モンスター達の効果で強化されているものの……  
攻撃力の上昇は合計でたったの1900  
最高攻撃力はコマンド・ナイトの3100、最低はブースト・ウォ  
リアーの2200  
残りライフ600だが、どうやって削るつもりだ？

「最後に魔法カード、思い出のブランコを発動するよ  
このカードの効果で墓地の通常モンスターを1体、特殊召喚する  
ただし、エンドフェイズ時には破壊されるけどね  
さあ……戻ってこい、真紅眼の黒竜！」  
レッドアイズ・ブラックドラゴン

絞めはそいつがいいのか？

まあ、白黒が楽しそうだからいいか。  
モノクロ

「バトルだ！  
バーニング・ドラゴンで共闘するランドスターの剣士に攻撃！  
バーニング・ブレス！」

火炎の渦に巻き込まれ、破壊されるランドスター  
攻撃力差は100、明日香の残りライフは500  
そして共闘するランドスターの剣士の効果が無くなり、攻撃力が4  
00ダウンする。

「僕の勝ちだね、明日香……これで終わりだ！  
レッドアイズ・ブラックドラゴン  
真紅眼の黒竜でブースト・ウォリアーに攻撃！  
ダーク・メガ・フレア！」

「ぎゃあああ！」

ブースト・ウォリアーの攻撃力はさっきまで2200だった  
だが、共闘するランドスターの剣士の永続効果が消え、攻撃力が400ダウン

攻撃力は1800となり、  
真紅眼の黒竜の攻撃力は2400

その攻撃力差は……600、伏せカードが無い明日香に防ぐ手段は無い。

観客の大歓声

煩い……耳を塞いでも聞こえるぐらいだ  
もう少し静かにしてくれないか？

そんな事を考えていると

モノクロ  
白黒が天上に向かって指を指す

すると同時に会場が静かになるが……あいつ、まさか！

「僕の指先に何が見える？」

直後、会場の全てが応える  
そう……天と。

「ん  
〜  
〜  
〜  
〜  
〜  
〜  
ジョイン！」

「きやあああー」

やっぱりしやがった……ああもう、煩いんだよ！  
 というか女子共、アレのどこがいいんだ！？

有る意味、電池の方がマシだと思うぐらいだぞ！

…いや、五十歩百歩か？



「う、煩すぎるわ」

「耳があ……耳が痛いよお」

「……………」

「ああ！

彰子さんがあまりの煩さに気絶してる！」

いや、気絶するなよ宇佐美

もしかして何も構えていなかったのか？

それとも煩さじゃなくて驚いて気絶か？

どっちにしても、何故気絶するのか分からん。

そうしている間に、白黒モノクロは明日香に近づく

負けて落ち込んでいるっぽい明日香は四つん這い状態

だが、自分に近づく気配に気付いた明日香は上を見上げる

見上げた先に居るのは……まあ、兄である白黒モノクロだな。

「明日香、楽しい決闘デュエルだったよ」

そう言って手を差し出す白黒モノクロ

明日香はそれを暫く見て……

「……そうね、私も楽しかったわ」

手を握り、握手をする

それを見た会場は再び沸いた……頭が痛くなるぐらいの音で。

さて、俺はもう帰るかな

いつまでもここに居たら鼓膜が破れそうで怖い  
気絶した宇佐美は……面倒だから無視しておくか  
どうせ藤原とか宮田が運び出すだろ。

……………

……………

……

「さあ、堅守君

これで約束は果たした

僕が学園に残っても文句は無いね？」

夜、俺の部屋に煩くしながら入って来た<sup>モノクロ</sup>白黒  
もう少し静かにできないのか？ お前は。

「ああ、約束は守る

元々許可するつもりだったしな」

俺の言葉に固まる<sup>モノクロ</sup>白黒

相変わらず部屋に居る明日香も固まる

レイは……溜め息だと？

「そ、それはどういう……」

「焦っている姿は見物だったぞ

必死になって勝とうとしている所も見ていた楽しかった  
なかなか良い見せ物だったな、ご苦労さん」

「つ、つまり瑞貴は最初から……」

「どっちでも良かった

最終的に借金を返済してくれるんだったらな

俺や明日香もどうせ来年で卒業だし

明日香と同時に卒業してくれた方が楽そうだしな」

例えるなら卒業後、兄妹タッグプロとかな

そういうのなら最初から一緒の方が売れるし

見た目も実力も有るからな、問題は無いだろう

……デッキの相性はあまり良いとは言えんがな。

「……もう、寝るね」

「私も寝るわ……」

「そうか？」

お疲れ、さっさと部屋に帰って寝ろ」

氣力を失いながら部屋から出て行く天上院兄妹

明日香の場合、10万も手に入らなかったから余計に氣力が無いだろうな。

「……瑞貴さん、酷い」

「別にいいだろ？」

良い暇潰しにはなったんだし

さて、疲れたから今日は寝るかな」

「なんだかなあ……」

とかなんとか言いつつ、レイはアッサリと気持ちを切り替える

実はお前も楽しんでたんじゃないのか？  
どっちでもいいか、さっさと寝よう。

盛り上がった会場のせいで疲れたしな  
ふぁ……暫くしたら終業式か、どうでもいいか  
それが終わったら家に帰って……どうしようか？

## 150話【卒業決闘 吹雪VS明日香】（後書き）

ダークネスの記憶の件をもう出すの？

そうしなければならぬ、そんな気がしました。

明日香はどういうデッキなの？

下級モンスターを全体強化するデッキです

更にレベル制限B地区、グラヴィティバインド―超重力の網―なども入っています

ついでにアンチドラゴン族という訳でバスター・ブレイダーとかも入っていたり

上級封じ、ドラゴン対策をしていたのですが、使わずに終わりました。

OCG効果のレッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン！？

どうやって乗り切ろうかと考えたら……

他に殆ど手段が思い浮かばなかったのでもうしました

2、3種類ぐらい案は有ったんですけどね……面倒になりました。

またお互いに手詰まりか……

また手詰まりです、珍しい事に

どうしてこうなったのか謎です。

神の宣告か……珍しいね

他にどうにかする手段が無かったのでも

それも失敗しましたが……本当に明日香は吹雪対策をしていたという事です

でも負けましたが。

吹雪は結局どうなるの？

また生徒として学園に通います

卒業決闘<sup>デュエル</sup>までしたのに……それでも通います

最初は卒業させる予定だったんですけどね……割と本気で

しかし、ちょっとしたい事ができたので在校です

……ごめん吹雪、君の学歴に傷を付けて！

原作、アニメオリジナルカード

墓地からの命綱

自分の墓地のモンスターを2体選択し

そのLVの合計分×100ポイントライフを払う事で選択したモンスターを特殊召喚する

はい、反則カードです

LV8のモンスター2体でもたったの1600ライフを払うだけなんですよ？

明かに凶悪カードです、禁止直行でしょう、早すぎた埋葬が禁止カードなんですから。

バーニング・ドラゴン

このモンスターが召喚、特殊召喚に成功した時

場の魔法、罠カードを全て破壊する

大嵐効果を持った最上級ドラゴン族モンスターです

攻撃力は2500と、上級モンスター並ですがそれでも強力（？）ですね。

ツイッター、最近は作業用BGMを載せています

http://twitter.com/#!/ainkuria  
うーん……今日は何を聴こうか悩む！

## 151話【長期休暇トーナメント 1戦目】（前書き）

「今日の最悪カードは……やっぱり寄生虫パラサイドよね  
攻撃力は500、守備力は300の地属性昆虫族モンスターよ  
詳しい事は本編で……もう嫌よ、こんな気味の悪いモンスター！」

と、いう訳でジュンコでした

彼女は今日の最悪カード専門です、やっぱり嫌なカードは彼女です。

少し遅くなりました

書く事は決まっていたんですが、どうしても時間が……  
やはり3戦詰め込むところなるんですね。

タイトルから内容は予想できると思います

しかも、最悪カードで相手も……

まあ、大体は予想通りだと思うのが残念です。

次回は……更に時間が掛かると思います

ちよっとしたいことも有りますし……難しい

どんなに遅くても半月後には投稿したいですね

あーーーーー時間が無いのが嫌！ 苛々する！



## 151話【長期休暇トーナメント 1戦目】

視点 彰子

「「大会!?!」」

「そうだ、賞金も出るぞ

実力試しに丁度良いし、出てこい」

終業式後、私達は家に帰りました

当たり前だけど、堅守先輩からカードを買う為

何ヶ月もお小遣いを前借りした事で怒られましたけど……

そんなある日、突然堅守先輩から連絡が入る

明日来いだけ書いたメールと、地図

どうしようかと思って雪乃さんやゆまさんに連絡してみました  
そしたら2人共同じメールが来たって……

駅で2人と合流して

地図に描かれた場所に来てみると

そこには堅守という表札の家が……

まさかと思ってチャームを押してみる

出てきたのは案の定、堅守先輩

本当に堅守先輩の家だとは思いませんでした。

私達を部屋に入れ、言った言葉

近々大会が行われるから、出場しろ……です

そして最初の、私達の叫びに繋がります。

「し、しかし堅守先輩

私達みたいな学生が出て……

それに、3人も出たら潰し合いになってしまうのでは？」

「安心しろ藤原、潰し合いは無い

何故なら……その大会は3人の団体戦だからだ」

「「「団体戦!?!?!」」」

それで私達3人を……

でも、それなら私達じゃなくてもいいんじゃないですか？

「なんデ私達なんデすか？

明日香先輩、吹雪先輩、レイオンの3人デも……」

「ああ、別大会に出るからあいつらは居ない

レイはともかく、天上院兄妹にはさっさと借金返済をしてもらわないとならないしな

今頃は去年敗退した大会に向けてリベンジを考えてるだろ

まあ、前回みたいな超絶不思議チームはもう出ないだろうし」

「超絶不思議チーム？

去年の明日香先輩達は誰と戦ったんですか？

含みから考えて、負けたんだと思いますけど」

あの明日香先輩達が負けた……

どれだけ強い人達が相手だったのかしら？

「1回戦、迷宮兄妹……使用デッキはゲート・ガーディアン  
2回戦、リシド&イシズ・イシュタール……使用デッキは罫と現世  
と冥界の逆転

3回戦、獏良了&マリク・イシュタール……使用デッキはお互いに  
悪魔族

準決勝、城之内克也&孔雀舞……使用デッキは戦士族とハーピー・  
レディ

迷宮兄妹は過去、決闘者の王国で武藤遊戯と城之内克也のタッグと  
戦った

残りの6人はバトルシティ決勝トーナメント参加者だ」

「……ご、豪華過ぎませんか？」

「決闘者の王国デュエリストキングダムにバトルシティ

どっちも私達決闘者の憧デュエリストレじゃないですか！」

「しかも明日香先輩達、準決勝まで行ったんですか？  
よく勝てましたね……尊敬します」

どうやって勝ったのか、凄く気になります  
相手が弱いはずが無いですし……凄いです。

「それはさて置き

大会に出ろ、先輩命令、というか俺からの命令  
拒否は許すが……覚悟しておけよ？」

「で、出ます！」

私は出ますから何もしないでください！」

「ううう……強くなれたけど

どうしテこんな目に……」

「(……拒否してみようかしら？  
いえ、もう会ってやらないと言われたら泣きそうになるから止め  
ましょう)」

堅守先輩に何かされる  
そう考えたら凄く怖い！  
だって堅守先輩だもの！

「そうか、出てくれるのなら文句は無い  
念の為に言っておくが、勝ち進んだら賞金を貰える  
当たり前だがそれはお前達の賞金だから自分で受け取れよ？  
俺に渡す必要は無いから安心しろ  
お前達は別に、俺に対して借金は無いんだしな」

そんな事考えていませんでしたけど……  
もし渡せって言われたら素直に渡しそうですね、私達  
……だって逆らうと怖いんですから。

「まあ、とにかく頑張れ  
ちなみに大会は3日後だ  
それまでデッキ調整をするなりしておくんだな  
必要なカードが有れば有料レンタルを払うか買え」

これでその場は解散になった  
私は……どうしよう？

……  
……

……

大会当日、堅守先輩も見に来てる

レイちゃんは明日香先輩達の方を見に行ってるみたいです……普通は逆じゃないんですか？

そんな事を考えているのは……正直に言うとう現実逃避  
どうして私達がこんな目に？

『ではこれより、3人チーム制による勝ち抜き戦大会  
1回戦1試合目を始めます！』

私達がどうして最初……なんですか？  
しかも相手が……はあ。

『今回はあのデュエル・アカデミアから出場してくださいました！  
しかもなんと1年生、そして女子生徒の3人  
藤原雪乃、宮田ゆま、宇佐美彰子さんです！』

司会の説明で会場が沸いたけど  
は、恥ずかしい……目立つのは好きじゃないんですけど。

『対するは数年前  
全日本大会に出場、好成績を残しました！  
3位の梶木漁太、2位のダイナソー竜崎、1位のインセクター羽蛾  
です！』

何で全日本選手権の上位入賞者が相手なんですか！？  
イジメですか？ イジメですね！？  
堅守先輩の嫌がらせですね！！！！

「わしは出場する気は無かったんじゃが……」

「今更んな事言っとる場合かい！

つべこべ言わんと、勝つ事だけを考えい！」

「そうだぞ！

俺達はこれに勝って、かつての栄光を取り戻すんだ！」

うわぁ……小物っぽいです

噂では堕ちるところまで堕ちたって聞いた事がありますがですけど  
言い方は酷いですけど、まだ縋ってるんですか？

し、知りたくなかった事実です

全日本上位入賞者……昔は僅かながらでも憧れただけに  
過去の自分を汚された気分になります。

『では、今大会のルールを説明します

今大会は3人でチームを組み、団体戦を行ってもらいます

1VS1を3回してもらい、先に2勝したチームが先に進みます  
場や墓地などは引き継ぎません、場も全てリセットされます』

つまり……ただ単に1VS1で決闘するだけですね？  
デュエル

それを団体戦で、勝ち数が多かったら良い

先に2勝……要は勝てばいいんですね？

『先鋒の方は前に出てきてください』

「誰から出ますか？

私はダイナソー竜崎さんと戦いたいんですけど

同じ恐竜使いとして」

「そう言うと思っていたわ  
どうせなら派手にしましょう？」

「という事は……ユキノンが出るの？」

「そうよ、当たり前じゃない  
派手さと運、嫌でも私は派手だし目立つじゃない」

という事で最初は雪乃さんに決定  
向こうの最初は……梶木漁太さん  
やっぱり3位の人から順番に出るんでしょうか？

『先鋒は梶木漁太VS藤原雪乃！』

「女子供だからって、手加減せんぜよ！」

「望むところよ！」

「「決闘<sup>デュエル</sup>！」」

「わしの先攻じゃ、ドロー！」

深海のディーヴァを召喚し、効果発動！

デッキからLV3以下の海竜族モンスターを特殊召喚する！

俺が召喚するのはシー・アーチャーじゃ！」

下半身が魚の女性と、下半身が魚の女性……同じですね  
イメージカラーがピンクと青の違いはありますけど。

「シー・アーチャーの効果を発動！」

1ターンに1度、自分の場に存在するLV3以下のモンスター  
そいつを装備カード扱いで装備できるんじゃない！

そして、装備している間は攻撃力が800ポイントアップして  
更に戦闘破壊される時、身代わりとなるんじゃない！

この効果で深海のデューヴァを装備カードとする！」

シー・アーチャーの元々の攻撃力は1200

攻撃力がアップして2000ですね

1ターン目から攻撃力2000とは……さすが元全日本3位。

……でも、やっぱり見劣りしますよね

堅守先輩、明日香先輩、吹雪先輩、レイちゃん

雪乃さん、ゆまさん、玲ちゃん達

なんというか……今更？

「カードを2枚伏せて、ターンエンドじゃない！」

「私のターン、ドロー！」

手札から魔法カード、トレード・インを発動するわ

手札のLV8のモンスターを墓地へ送り、デッキからカードを2枚  
ドロウする

私は手札の光神機ライトニングギア―轟龍を墓地へ送り、2枚ドロウ」

手札交換……でも、トレード・インなんて使ったら

雪乃さんのデッキにLV8が多いと思われるんじゃない……

「相手の場にモンスターが存在し、自分の場にモンスターが存在し  
ない時

手札からバイス・ドラゴンを特殊召喚！」



そして魔法カード、モンスターゲートを発動！

自分の場のモンスターを1体生け贄にし、デッキからカードを捲っていく

捲ったカードが通常召喚可能なモンスターだった場合、そのまま特殊召喚

それ以外の場合は更に捲り、通常召喚が可能なモンスターが出るまでカードを捲るわ

私はバイス・ドラゴンを生け贄に捧げ、デッキからカードを捲る

1枚目、魔法カードのクロス・ソウル……2枚目、モンスターカードの百獣王ベヒーモス

このモンスターは通常召喚可能なモンスター、よって特殊召喚するわ！

紫とピンクの中間ぐらいの獣が出てきて……

は、迫力は凄いです。

「攻撃力……2700じゃと!？」

「モンスターゲートの効果で捲った通常召喚可能なモンスター以外のカードは墓地へ送られるわ

続いて魔法カード、名推理を発動！

相手はLVを1つ選択するわ

私は通常召喚可能なモンスターが出るまでデッキを捲る

そして通常召喚可能なモンスターを捲った時、相手が宣言したLV以外なら特殊召喚するわ！

さあ、LVを1つ選択しなさい！」

「クッ……ならLV8じゃ！」

そんなデッキ、大物を召喚したいに決まってるじゃけんの」

まあ……そんなデッキですしね  
でもそんなアツサリと……

「ならデッキを捲るわ  
1枚目、モンスターカードのパワー・インベーター……LVは5よ  
残念だったわね、これでパワー・インベーターの特殊召喚に成功よ  
！」

攻撃力は2200、それでも十分シー・アーチャーに勝てますね  
ライフは0にならなくても、半分ぐらい削れますし。

「バトルよ！」

パワー・インベーターでシー・アーチャーに攻撃！」

「甘いぜよ！」

永続罫、海竜神の加護を発動！

自分の場に存在するLV3以下の水属性モンスターは  
戦闘、カードの効果で破壊されなくなるぜよ！

シー・アーチャーのLVは3、よって効果範囲内じゃ！」

それって……半ば無敵の壁モンスター！？

戦闘ダメージが通っても、これは……

「更に、戦闘で破壊される時の身代わり効果  
これも海竜神の加護で破壊せずに済むんじゃ  
つまり……攻撃力は今だに2000のままじゃあ！」

「チッ、それでも戦闘ダメージは受けてもらうわ！」  
だけど与えるダメージはたったの200

この程度じゃ……

「更にベヒーモスでシー・アーチャーに攻撃よ！」

シー・アーチャーを踏みつけるベヒーモス  
だけど、シー・アーチャーの周りには水流の壁が現れて守られる  
これが海竜神の加護……困った効果ですね。

「クッ……カードを1枚伏せて、ターンエンドよ！」

合計戦闘ダメージは900

梶木さんのライフはまだ3100も残ってます。

「俺のターンじゃ、ドロロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロロー！  
へへ……フィールド魔法、伝説の都 アトランティスを発動じゃ！」

辺りが深海のように変わり、梶木さんの後ろには街が……  
やっぱり、使用デッキは水属性デッキ！

「このカードはフィールドカード、海として扱う  
そして手札、場の水属性モンスターのLVは1下げられ  
攻撃力、守備力が共に200ポイントアップするんじゃ！  
次はニードル・ギルマンを召喚、攻撃表示じゃ！」

青い半漁人……上半身は人の体をしているけど  
でも青い体をしていてあんまり人には見えないかな。

「こいつが存在している限り  
自分の場の水族、魚族、海竜族の攻撃力は400ポイントアップす

るんじゃ！

俺の場のモンスターはどっちも効果範囲内

よって、こいつらの攻撃力は400ポイント上昇！

ニードル・ギルマンはアトランティスの効果も含めて攻撃力1900

シー・アーチャー、も同じくアトランティスの効果も受けて攻撃力  
2600じゃい！」

「LV3……アトランティスの効果も受けてLV2で攻撃力2600  
ですって？

そんなに高いとは思えないけど……厄介ね」

うんうん、だって明日香先輩とかはもつと凄いもんね  
この前の吹雪先輩との決闘は……<sup>デュエル</sup>凄かったですもんねえ。

「まだまだ、永続魔法、強者の苦痛を発動じゃい！

このカードが存在している限り、相手モンスターの攻撃力は  
そのモンスターのLV×100ポイントダウンするぜよ！

貴様のモンスターのLVは5と7

よって攻撃力500ポイントと700ポイントダウンじゃい！」

「な、なんですって!？」

パワー・インベーターの攻撃力は2200

LVは5だから攻撃力1700にまでダウン

ベヒーモスの攻撃力は2700

LV7だから攻撃力2000まで……

上級モンスターを多用する雪乃さんとは相性が悪すぎる！

「さあ、バトルじゃ！

ニードル・ギルマンでパワー・インベーターに攻撃じゃい！

そしてシー・アーチャーでベヒーモスに攻撃！」

ニードル・ギルマンの銛がパワー・インベーターを貫き  
シー・アーチャーの放った矢もベヒーモスを貫通する  
合計ダメージは900、どちらも同じライフに……  
でも、圧倒的に雪乃さんが不利です。

「ターンエンドじゃ！」

「クッ……私のターン、ドロー！」

クリッターを召喚し、モンスターゲートを発動！

効果はさっき言ったから説明は不要よね？

1枚目、魔法カード大嵐……2枚目、罨カード邪神の大災害

3枚目、魔法カードサイクロン……4枚目、モンスターカードモイ  
スチャー星人

モイスチャー星人は通常召喚できるモンスター、よって特殊召喚！

そして……それ以外のカードは墓地へ……」

魔法、罨カードを破壊するカードばかり……

しかもモイスチャー星人だって魔法、罨カードを破壊する効果

つまり……雪乃さんのデッキにはもう殆ど魔法、罨カードを破壊す  
るカードが無い！

「そして墓地へ送られたクリッターの効果を発動するわ

このカードが場から墓地へ送られた時

デッキから攻撃力1500以下のモンスターを手札に加える

私がデッキから手札に加えるのは魂を削る死霊よ！」

戦闘耐性を持つモンスターですね

それならこの状況を耐える事はできますが……

既に通常召喚しているから今は無理ですよ。

「魔法カード、突然変異メタモルフォーゼを発動！」

自分の場のモンスターを生け贄に捧げ  
生け贄にしたモンスターと同じLVの融合モンスターを特殊召喚する！

私が生け贄に捧げるのはLV9、モイスチャー星人！  
特殊召喚するモンスターも同じくLV9……マスター・オブ・OG  
を特殊召喚！」

巨大なコアラ……ええ！？

攻撃力4200って……高すぎじゃないですか！？  
強者の苦痛で攻撃力が900下がっても3300って……

「これはまた……巨大なモンスターじゃのお？」

「暢気に構えている暇が有るのかしら？」

マスター・オブ・OGでニードル・ギルマンに攻撃！」

「……へ、所詮は子供じゃのお！」

永続罠、竜巻海流壁トルネードウォールを発動じゃ！

海のカードが存在している場合のみ発動可能！

相手からの攻撃で受ける戦闘ダメージは0になる！」

「な……そんな！」

「残念じゃったのう？」

どんだけでかいモンスターでも

ダメージを与えられん、倒せんじゃどうしようも無いぜよ」

悔しいけど、梶木さんの言う通り

海竜神の加護でLV3以下のモンスターは戦闘破壊、効果破壊がされない

アトランティスは海として扱い、攻守上昇にLVダウン効果

しかもトルネードウォール竜巻海流壁でダメージまで封じられたら……

「なんて厄介な……」

でも、マスター・オブ・OGの攻撃力は3300よ

そう簡単に倒せないわ、ターンエンドよ」

「はん！ そんなモンスター、全く怖くないぜよ

俺のターン、ドロー！

アビス・ソルジャーを召喚！

そしてアビス・ソルジャーの効果を発動じゃ！

手札の水属性モンスターを捨て、場のカードを1枚手札に戻す！

俺は手札のキラ・スネークを墓地へ送り、効果を発動！

貴様の場に存在する、マスター・オブ・OGを手札に戻してもらおうか！」

そんな……もう場のモンスターが！

雪乃さんの場にはもう伏せカードが1枚だけ

3体の攻撃なんて……

「これで終わりじゃい！

ニードル・ギルマン、アビス・ソルジャー、シー・アーチャーで直ダイレクトアタック  
接攻撃！」

「まだ終わらないわよ！

罨カード、ヒーロー見参を発動！

相手モンスターの攻撃時、相手は私の手札から1枚をランダムに選択

そのカードがモンスターだった場合、そのモンスターを特殊召喚する！

私の手札は2枚、その内1枚は魂を削る死霊よ  
さあ、どちらを選ぶか決めなさい！」

手札を前に持っていき、挑発する雪乃さん  
魂を削る死霊ならまだ暫く耐えられるけど……

「ふん、そういう賭けは嫌いじゃないぜよ  
博打勝負なんぞ、俺のパワーで今度こそ勝つ！  
俺は左のカードを選択するんじゃない！」

今度こそって……前に負けたんでしょうか？  
それともさっきの名推理の事？

「……左のカードでいいのね？」

「……構わん」

暫く睨み合い……

「クッ……黄泉ガエルよ  
守備表示で特殊召喚するわ」

雪乃さんの……負けですね  
守備力100の、1体だけでは守りきれませんし。

「俺の勝ちじゃな  
ニードル・ギルマン、黄泉ガエルに攻撃じゃ！」



銛が黄泉ガエルを貫き、破壊する  
雪乃さんの場に……カードは無い。

「アビス・ソルジャー、シー・アーチャー  
相手プレイヤーに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「きゃあああ！」

槍と矢が雪乃さんを襲い……ライフは0  
先鋒戦、元全日本チームの勝利ですね。

『決まったーーーーー！』

先取点を奪ったのは元全日本上位チーム！  
アカデミア女子生徒チームは後が無くなったぞー！』

次はおそらく……ダイナソー竜崎さん  
という事は私の出番ですね。

「ごめんなさいね、負けてしまったわ」

「いいんですよ

相手の人は強かったデすし  
後は私達に任せてください！」

「……そうね」

雪乃さん、ちょっと落ち込んでる  
やっぱり負けたのが悔しかったんですかね？

『次は中堅、2人目だ！』

さあ、誰が出てくる!?!」

「おっしや、次はワイや!」

「私の出番……行ってきますね」

「頑張ってね、彰子」

「絶対勝っテネ!」

応援してくれる2人の言葉を嬉しく思いながら前へ出る前から恐竜使いのこの人とは戦ってみたかった  
堕ちたとはいえ、元全日本2位の実力者  
興味が無いと言えは嘘になります。

「一応自己紹介や

ワイはダイナソー竜崎、元全日本大会2位やった男や」

「私は宇佐美彰子です

貴方とは……前から戦ってみたいと思っていました」

「嬉しい事言ってくれるやないか

でも、手加減はせいへんで!」

「手加減だなんて……

でも、そんな事を言っていると負けますよ?

これでも私、学園でもそれなりに強いんですから」

「は、ほざけ!」

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

……どうして挑発してしまったんでしょうか？  
別にそんなつもりは無かったんですけど……

「先攻はワイや、ドロー！」

俊足のギラザウルスを特殊召喚するで！

このモンスターは特殊召喚扱いにする事ができるんや  
ただし、その場合は相手は墓地からモンスターを特殊召喚できる  
が、お前の墓地にはモンスターは居らへんからな」

私も多用する戦い方

この人の戦術は多分、堅守先輩に会う前の私と殆ど同じはず  
自分がどれだけ進化したのか、試してみたい！

「更に俊足のギラザウルスを生け贄に魔法カード、大進化薬を発動  
や！

このカードは自分の場の恐竜族モンスターを生け贄にする事で発動  
できるカードや

3ターンの間、ワイはLV5以上の恐竜族モンスターの召喚に生け  
贄が不要になる

ワイは究極<sup>アルティメット</sup>恐獣を召喚するで！

これでターンエンドや！」

攻撃力3000、攻撃する場合は絶対に最初に攻撃しないと駄目な  
モンスター

そして全体攻撃……前は凄く頼もしく思えたモンスター  
でも今の私には……やっぱり普通のモンスターですね。

「私のターン、ドロー」

ジュラック・プティラを守備表示で召喚します」

翼から炎を出し、緑の体をしている翼竜

そしてこのモンスターの登場に会場がざわめきました

……まあ、当然ですよね。

「なんや、その燃える恐竜は？

しかもめっちゃ派手やないか

ていうか、ワイも知らんカードやないか」

「秘密です、私に勝てたら教えてあげますね」

「嘗めとんのか、われえ！」

あ、また……どうしてですかね？

別に挑発するつもりは無いんですけど。

「カードを2枚伏せて、ターンエンドです」

「巫山戯おって……ワイのターンや、ドロー！」

大進化薬の効果により、LV6のフロストザウルスを召喚するで！

更に手札から魔法カード、融合を発動や！

手札の俊足のギラザウルスとヘルカイドプテラを融合！

ヘルホーンド・ザウルスを融合召喚や！」

……これは少し危ない？

確かヘルホーンド・ザウルスの効果は特殊召喚に成功したターン

相手プレイヤーに直接攻撃カードダイレクトアタック

そしてその攻撃力は2000……危ないですね。

「モンスターの総攻撃でワイの勝ちや！」

バトルいくで！

アルティメットティラノ

究極恐獣でジュラック・プティラに攻撃や！」

「罨カード、和睦の使者を発動します

このターン、私のモンスターは戦闘では破壊されず  
私は戦闘ダメージも受けません」

アルティメットティラノ

究極恐獣の攻撃を凌いでつと

しかもこれでヘルホーンド・ザウルスのダイレクトアタック直接攻撃も防げました  
嬉しい誤算です、だって目的は……

「ジュラック・プティラの効果を発動します

このモンスターが攻撃された戦闘のダメージ計算後  
攻撃してきたモンスターを手札に戻します」

「な、なんやて!？」

「更に、手札に戻したモンスターのLV×100ポイント、守備力  
をアップさせます

アルティメットティラノ

究極恐獣のLVは8ですから800アップですね」

これでジュラック・プティラの守備力は2300

アルティメットティラノ

しかも究極恐獣が手札に戻る

アルティメットティラノ

次のターン、大進化薬の効果でまた召喚しても  
究極恐獣の効果で最初に攻撃しないといけません

つまり、また次のターンも手札に戻ってもらいますよ？

「クッ……ターンエンドや！」

「私のターン、ドロー  
ハイパーハンマーヘッドを守備表示で召喚します  
更にカードを1枚伏せ、ターンエンドです」

まだ動きませんか？

もう少し……貴方の戦いを見させてください。

「また面倒なモンスターを……ワイのターン、ドロー！  
大進化薬の効果でダーク・ティラノを生け贄無しで召喚するで！」

相手の場のモンスターが守備表示モンスターのみの場合  
相手プレイヤーに直接攻撃ダイレクトアタックできるモンスター  
そしてその攻撃力は2600と、ヘルホーンド・ザウルスより高い  
私の場には守備表示モンスターのみ……

「さあバトルや！  
とりあえず、ダーク・ティラノで直接攻撃ダイレクトアタックやで！」

「罠カード、立ちはだかる強敵を発動します  
相手モンスター攻撃時にのみ発動可能  
相手は私が選択したモンスターしか攻撃できません  
更に、相手の攻撃表示モンスターは全て選択したモンスターに攻撃  
する必要があります」

「んな馬鹿な！  
そんな事したって、ワイのダーク・ティラノの方が攻撃力は上や！  
選択したモンスターさえ倒せばその効果も無くなるわ！」

それが……甘いんですよ  
はぁ、堅守先輩に付いていって正解だったみたいです

もしかしたらもっと弱かったかもしれませんし。

「速攻魔法、収縮を発動します

モンスターを1体選択し、そのモンスターの元々の攻撃力を半分にします

私はダーク・ティラノを選択します」

「てことは……ダーク・ティラノの攻撃力は1300!?

あかん、止まれダーク・ティラノ!」

「無駄ですよ

立ちはだかる強敵の効果で攻撃は続行します

そして私が選択するモンスターはジュラック・プティラです

ダーク・ティラノ、ジュラック・プティラに攻撃してください」

ダーク・ティラノの突進を耐えるジュラック・プティラ

そしてその翼でダーク・ティラノを吹き飛ばし、手札に戻す。

「ジュラック・プティラの守備力は2300

反射ダメージとして1000ポイントのダメージを受けてください

更に、ジュラック・プティラの効果を発動します

戦闘後、このモンスターを攻撃したモンスターは手札に戻ります

そして手札に戻したモンスターのLV×100ポイント守備力をアップさせます

ダーク・ティラノのLVは7、よって守備力は700アップして3000です」

まさかここまで硬くなるなんて……驚きです

戦闘用のカードをそれなりに入れてますけど

守備の為に使って、ここまで巧くいくとは思いませんでした。

「守備力が3000……」

しかも、まだヘルホーンド・ザウルスとフロストザウルスが居る」

「はい、では攻撃してください  
どちらから攻撃しますか？」

どっちも同じLV6だから関係無いんですけど  
最終的には同じ反射ダメージなんですよね……

「クッ……ヘルホーンド・ザウルスで攻撃や！」

「ジュラック・プティラ、返してあげてください」

ジュラック・プティラの効果で手札に……あ。

「はん、残念やったな

ヘルホーンド・ザウルスは融合モンスター

せやから手札には戻らんで！」

これで守備力アップの効果も受けられんわ！」

忘れてました……融合モンスターだったんですね

これなら手札に戻りませんから守備力も上がりません  
手札に戻さないと効果を発動できませんからね……

「でも、反射ダメージで1000ポイントです  
最後のフロストザウルスも攻撃してください」

「踏みつぶしたれ、フロストザウルス！」



でも、踏みつぶそうとした足を翼で捌き  
吹き飛ばしてアッサリと手札に戻す。

「ジュラック・プティラの効果で手札に戻してください  
そして反射ダメージ、400ポイントです  
更に手札に戻ったので守備力が600ポイントアップします」

これで合計ダメージは2600  
残りライフは1400ですか……私の勝ちですね。

「もう召喚しとるし  
手札は全部モンスターやし……ターンエンドや！」

しかも、手札のカードは全部ジュラック・プティラで戻したカード  
なんですよ  
だから全部覚えていますよ？  
アルティメットティラノ  
ダーク・ティラノ、究極恐獣、フロストザウルスの3枚  
次のターンには大進化薬の効果も消えますし、どうするつもりだっ  
たんですか？

「私のターンです、ドロ―  
ハイパーハンマーヘッドを攻撃表示に変更します  
ダイレクトアタック  
ハイパーハンマーヘッドで直接攻撃！」

「ぬわあああああ！」

ふう……あまり手の内を見せずに終わりました  
大会の相手は確認できますし、これで良かったんですね？  
まあ、対戦相手はランダムで選ばれるみたいですけど。

『な、なんと！』

あの強力な恐竜軍団を相手に余裕の勝利！  
アカデミア女子生徒チームの圧勝だぁー！  
そしてこれでイーブン、勝負は大将戦に持ち込まれるぞ！』

「ふう……勝てました」

「余裕だったわね」

元とはいえ、全日本大会2位を相手に」

「あの人のデッキ、以前の私みたいなデッキだと思いましたから  
でも……ここまでの差が有るとは思いませんでしたけど」

「堅守先輩に鍛えられたもんネ」

堅守先輩、私はこんなに強くなりました  
しかも大好きな恐竜族で……  
好きなカードでも、頑張れば強くなれる  
そんな自信を持てそうです！

「最後はゆまね……大丈夫、絶対に勝てるわ！  
だって2位を相手に彰子は余裕だったんだもの」

「別に余裕とまでは……」

「う、うん……でもユキノ  
ンユキノンは3位の人に負けたよネ？」

「はう！」

「お、落ち込まないでください！  
ゆまさんも悪気が有った訳じゃないんですから！  
ほ、ほらゆまさん、謝って！」

「ご、ごめんねユキノン！  
謝るから機嫌直しテ！」

「ふ、ふふふふふ

どうせ私は負けたわ……彰子は圧勝だったのに  
私なんてライフを3000以上残させての敗北よ……」

あああああ……ど、どうすれば！？

『あのー……アカデミア女子生徒チーム  
そろそろ次の人は出てきてくれませんか？』

「あ、はい！」

「まってゆまさん！」

この状態の雪乃さんを置いて行かないで！」

「ご、ごめんネウサミン！」

私試合だから！」

に、逃げられた！  
はあ……ゆまさーん！

「ふふふ……つと  
いつまでも落ち込んでいたら怒られるわね」

「立ち直った!？」

「私だってもう何回も負けてるわよ  
今更1回負けてもそこまで落ち込まないわ」

絶対に本気で落ち込んでいたと思うんですけど……  
本人がそう言うんでしたら多分そうなんですよね？

ゆまさんの相手はインセクター羽蛾さん  
元全日本大会1位の昆虫デッキ使い。

「まったく、竜崎も情けないなあ  
こんな子供に負けるだなんて」

そういえば貴方ももう20代でしたっけ？  
でも背は低いんですね……最初からでしたっけ？

「む……子供とか関係無いと思います」

「なんでもいいさ  
さあ、始めようか!」

デュエル  
「「決闘!」」

「先攻は俺が貰うぞ、ドロー!  
ハウリング・インセクト  
共鳴虫を守備表示で召喚!  
カードを1枚伏せて、ターンエンドだ!」

「私のターン、ドロー!  
速攻魔法、手札断殺を発動!」

お互いのプレイヤーは手札を4枚まで捨て  
同じ枚数だけデッキからカードをドローする！」

早速手札入れ替えのカード  
さすがゆまさん、相変わらず。

「ダーク・クルセイダーを召喚します！  
そしてダーク・クルセイダーの効果を発動！  
手札から闇属性モンスターを墓地へ送る事で  
攻撃力を400ポイントアップさせます！」

だ、ダーク・クルセイダー！  
堅守先輩が使ったあの凶悪モンスター！  
ゆまさんのデッキは闇属性モンスターが多いから……  
それに、ゼータ・レティキュラントも闇属性でしたね。

「私は手札から闇属性、ゼータ・レティキュラントを墓地へ送る！  
コレダーク・クルセイダーの攻撃力は2000にアップ！  
バトルです、ダーク・クルセイダーで共鳴虫に攻撃！」  
ハウリング・インセクト

ダーク・クルセイダーの大剣で切られる共鳴虫  
ハウリング・インセクト  
でもあのモンスターの効果は確か……

「ありがとよ、共鳴虫の効果発動！」  
ハウリング・インセクト

このモンスターが戦闘で破壊された時  
デッキから攻撃力1500以下の昆虫族モンスターを特殊召喚する  
んだ

俺はデッキから寄生虫パラサイドを特殊召喚するぞ！」

「寄生虫パラサイド！？」

なんでそんなモンスターをデッキに……  
あのモンスターは自分の場のモンスターを昆虫族に変える効果だったはず

元々昆虫族デッキだから関係無いんじゃない？

「よく分からないですけど

カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

「俺のターン、ドロー！」

魔法カード、強制転移を発動！

お互いのプレイヤーは自分の場のモンスターを1体選択

そしてそのモンスターのコントロールを相手プレイヤーに移すんだ俺は当然、寄生虫パラサイドを選択する！」

強制転移……でも、それだけでどういう意味が？

昆虫族にするだけならDNA改造手術でも……

「……なら、私はダーク・クルセイダーを」

寄生虫パラサイドは攻撃表示

攻撃されたら大ダメージを……

「そうそう、そいつの効果を教えといてやるよ

そいつはちょー珍しい同名異効果モンスターで、同じ名前のモンスターがもう1種類居るんだよね

んで、そいつの効果は自分の場のモンスターが昆虫族になるだけじゃなく

昆虫族になったモンスターは生け贄にできないんだよ！」

「な……生ケ贄にできない!？」

そんな馬鹿な効果……まさか!

「嬉しいなあ、これで生ケ贄で消されずに済むんだから何だったら戦闘で破壊してあげようか?

ヒョーツヒョヒョヒョヒョ、んな事する訳無いだろ?

お前のモンスターはずっと昆虫族のままさ!」

な、なんて嫌味な人……

噂では聞いたこと有ったけど

酷い事ばかりしてるって、本当だったんですね。

「更に装備魔法、ミスト・ボディをパラサイドに装備!

これでそのモンスターは戦闘で破壊されない!」

「そんな……」

「更に、代打バッターを召喚!

代打バッターとダーク・クルセイダーでパラサイドに攻撃だ!」

この攻撃を通したら2000のダメージに!

ゆまさん、このままだと危ない!

「クッ……罨カード、次元幽閉を発動!

攻撃してきたモンスターを除外する!

ダーク・クルセイダーをこの効果で除外!

そして私の墓地に存在するゼータ・レティキュラントの効果を発動!  
相手の場に存在しているモンスターが除外された時

自分の場に攻撃力、守備力500のイーバトーンを特殊召喚する!

私の墓地にゼータ・レティキュラントは2体、よつて2体のトークンを守備表示で特殊召喚！」

「はん、高がトークンがどうかしたのさ！  
所詮は雑魚トークン、そいつらもパラサイドの餌食だ！  
更に、例えダーク・クルセイダーが消えても俺の場には代打バッターが残ってる！」

代打バッター、パラサイドに攻撃しろ！」

代打バッターの突進を受けるパラサイド  
でも、ミスト・ボディの効果で戦闘破壊されない……  
なんて厄介な！

「攻撃力1000だと少し心許ないが……  
まあいいか、これでターンエンドだ！」

実は十分脅威だったり……  
ゆまさんのデッキにはあまり下級モンスターが入っていないですからね  
そういう意味でも、割と天敵みたいです。

「私のターン、ドロー！」

終末の騎士を召喚し、効果を発動！

デッキから闇属性モンスターを墓地へ送る！

私が墓地へ送るのはゼータ・レティキュラント！」

これで墓地にゼータ・レティキュラントが3体  
でも、この状況じゃ……

「寄生虫パラサイドを守備表示に変更しテ



終末の騎士デ代打バッターに攻撃！」

「そいつを待ってたんだよ！」

罠カード、擬態を発動！

相手モンスターが昆虫族モンスターに攻撃してきた時

そのモンスターを手札に戻し、手札からLV4以下の昆虫族モンスターを特殊召喚する！」

代打バッターの破壊が目的じゃなかった！？

どうして態々手札に！

「代打バッターを手札に戻しパラサイト・キャタピラーを守備表示で特殊召喚！」

更に、相手はこの特殊召喚したモンスターに攻撃しなければならぬい！」

「でも、そのモンスターの守備力は700

終末の騎士デ簡単に倒せる！」

ゆまさんの言葉通り、簡単に切り刻まれるパラサイト・キャタピラー何か……嫌な予感がします。

「この瞬間、パラサイト・キャタピラーの効果発動！」

このカードは装備カードとなり、このモンスターを破壊したモンスターに装備される

そして、相手ターンで数えて3ターン後のスタンバイフェイズ時装備したモンスターを生け贄に捧げ、俺のデッキからポイズン・バタフライを相手の場に特殊召喚する！

更に、装備されたモンスターは攻撃、生け贄、表示形式の変更がでないからな」

終末の騎士がピンクの繭に……  
しかもポイズン・バタフライ？  
どんな効果のモンスターなんでしょう？

「ううう……ターンエンドデす」

「俺のターン、ドロー！」

手札からモスの幼生を墓地へ送り  
デッキからラーバモスと進化の繭を守備表示で特殊召喚する！」

ラーバモスに進化の繭！？

という事は……まさか狙いは究極完全態グレート・モス！

「そして進化の繭をラーバモスに装備！  
これでラーバモスの守備力は2000になった」

「デ、デも守備力2000ぐらいだったらまだ……」

「2000ぐらいだったら？」

無駄ピョー！ 永続魔法、虫除けバリアーを発動！

このカードが存在している限り、相手の昆虫族モンスターは攻撃でき  
ない！」

「こ、攻撃まデ！」

なんて酷い……

生け贄、攻撃が封じられるだなんて  
つまり、グレート・モスが出るまで待っているって事ですか？

でも、汚いとは言えません

堅守先輩は更に酷い事をしてきたりしますから  
ただどあの人の性格……堅守先輩とは比べものにならないぐらい嫌  
です！

……別に堅守先輩が嫌という訳じゃないんですけどね。

「ヒョーッヒョヒョヒョヒョ

精々頑張るんだなあ？ 俺はこれでターンエンドだ！」

早く倒さないと進化されちゃう！

ゆまさん、頑張って！

「私のターン……ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

……貴方は私を甘く見ています！

手札から魔法カード、ブラック・コアを発動！

手札を1枚捨て、モンスターを1体除外する！

私ガ除外するのは当然、寄生虫パラサイド！」

「げげっ！

俺のパラサイドが！」

あ、そうか

よく考えたら除外すればいいだけですね！

何も難しく考える必要は無かったみたいです。

「永続魔法、冥界の宝札を発動！

2体以上の生ケ贄をし、生ケ贄召喚に成功した時

デッキから2枚ドローする！

私はイーバトークン2体を生ケ贄に、ライトニングギア光神機―轟龍を召喚！

そして冥界の宝札の効果デカードを2枚ドロ―!

永続魔法、異次元隔離マシーンを発動!

自分と相手の場のモンスターを1体選択し、そのモンスターを除外する!

そしてこのカードが破壊された時、除外されたモンスターを場に戻す選択するモンスターは当然、ラーバモスと終末の騎士!

更にこの2体ガ除外された事デ装備カード扱いの進化の繭もパラサイト・キャタピラーも破壊される!」

「チツ……クソツ!」

「更に、相手モンスターガ除外されたのデゼータ・レティキュラントの効果が発動!

自分の場にイーバト―クンを特殊召喚、墓地に3体居るから3体を特殊召喚!

ラスト! 異次元隔離マシーンと冥界の宝札を墓地へ送り

オオアリクイクイアリを特殊召喚!

異次元隔離マシーンは破壊されていないからモンスターも戻らない!最後に永続罠、暴走闘君を発動!

自分の場に存在するト―クンの攻撃力が1000ポイントアップし更に戦闘デ破壊されなくなる!」

これは……酷いですね

攻撃力1500のイーバト―クンが3体

攻撃力2900の轟龍

攻撃力2000のオオアリクイクイアリ

合計攻撃力は9400ですね。

……あ、でも虫除けバリアーが有りましたっけ?

という事はオオアリクイクイアリは攻撃できませんね。

「散々馬鹿にしテ……本氣デ怒ったから！」

「ま、待て！」

これは罠だ、誰かが俺を嵌める為に……」

普段はあまり怒りませんしね、ゆまさん  
怒ったらやっぱり怖い……という事？

「問答無用！」

ダイレクトアタック  
全モンスター、直接攻撃！」

「ギョエエエエエエエ……グフウ！」

オオアリクイクイアリだけ虫除けバリアーに阻まれていたのがシュールでした

そして羽蛾さんの敗北に、会場全体が静まる  
うん、当たり前だと思います。

ロックを破った所か、1ターンキルのオーバーキル  
しかも相手は腐っても元全日本1位  
そんな人を相手にこれは……

『……は！』

しよ、勝者宮田ゆま！

激戦の1回戦を突破したチーム  
それはアカデミア女子生徒チームだあ！  
』

司会の人の声に会場が沸き上がる  
驚いたけど、やっぱり凄かったですしね。

「……切れちゃった」

「まあまあ、でもよく勝てましたね」

「私だったら名推理で……微妙ね  
最初から使うから……難しいわ」

そうですね、私達だったら勝てたかどうか……  
ゆまさんだから勝てたんだと思います！

「エヘヘ……ブイ！」

これで1回戦を突破  
次の2回戦……相手は誰ですかね？

## 151話【長期休暇トーナメント 1戦目】（後書き）

彰子の口調が何か違うような……

最近、口調がレイと同じようになってる気がしたので差別化元々丁寧口調だったのにいつの間にか……

そんな気がしたのでできるだけ丁寧語（？）を使用しました。

明日香達が出ている大会って……

前回の長期休暇のタッグトーナメントです

ただし描写は無し、面倒ですし時間が掛かるので。

何故団体戦を？

これはこの3人が登場した時からずっと考えていた事です

次は3人チーム戦にしよう！

……やっとできました、長かったです

考えてから実に、倍近くの話数になっていますしね。

瑞貴の嫌がらせてって彰子が言ってるけど？

冤罪です、瑞貴は何もしていません

……出場者の情報ぐらいいは知っていたいかもしれませんが。

この大会のルールって……

デッキが違うだけのマッチ戦みたいなものです

現実の大会に出た事の有る人なら分かりますよね？

実は5D'sでしていたような勝ち抜き戦にしようかと思ったんですが

1年生トリオはともかく、相手のデッキが……なので止めました  
本当はそうしたかったんですけどね。

梶木漁太のデッキが……

下級軸の水属性デッキです

既に水属性デッキはかなり登場し、ジュンコが馬鹿みたいに頑張っていますので

どう差別化したものかと考えた結果がこれです

海竜神の加護を使用し、モンスターを守りながらの強化弱化解デッキ多分、そんな感じ？

でも梶木漁太の持ってるカードが……

スルー推薦

強いて言うならば、ネット販売は偉大です。

さすが雪乃、運が無い！

大嵐に邪神の大災害など……

重要な魔法、罨カードを破壊するカードが全滅です

ちなみに邪神の大災害ですが

雪乃はあまり永続系のカードは使わないので入れました。

彰子が挑発……だと!？

自覚無しに強気になっているので

連続瑞貴戦の怒りで開花したようです

無意識に毒舌を放ったりしています。

でも彰子が挑発は似合わない

きつと苛々していたんでしょう

昔は憧れた恐竜使い

それが今では……八つ当たりに近いですが仕方無いのです。

ゆまがダーク・クルセイダーか……

瑞貴が使用していたので



しかも闇属性主体なので相性は良いんです  
……今まで使ったか使っていないのか忘れて後書きに書いてますけど  
どうでしたっけ？

寄生虫パラサイドの効果が……

原作漫画効果です

手札に来た時に強制特殊召喚効果

自分の場のモンスターを昆虫族に変える効果

種族を変えられたモンスターは生け贄は不可能

この3つの効果を持っています

ちなみにネットで買いました。

羽蛾のデッキが……

ロックをしたりするデッキです

かなり嫌らしいデッキですので……

ちなみに他の2人だったら多分負けます。

やっぱりグレート・モスが狙いか！

当然です、狙わない羽蛾は羽蛾じゃない！

と、なんとなく思ったり……

でも、出ないんだね

時間が掛かりますから面倒になって……

同じ理由でポイズン・バタフライも出ませんでした。

そういえば何故ラーバモス？

プチモスを使う羽蛾のイメージがイマイチ湧きませんでした

なのでラーバモスに……原作を尊重していると言ってください。

ゆまが……

切れました、しかも大逆転です  
やっとうまにもスポットライトが！  
瑞貴もこれでうまに何かしてあげる……と、いいですね。

次の相手は？

お楽しみ。

原作、アニメオリジナルカード

ヘルカイドプテラ

効果不明、ヘルホーンド・ザウルスの融合素材  
以上です。

ヘルホーンド・ザウルス

俊足のギラザウルス＋ヘルカイドプテラ

このモンスターが特殊召喚に成功したターン

相手プレイヤーに直接攻撃ができる

1回とはいえ、攻撃力2000の直接攻撃は強力です  
墓地蘇生でもできたら更に凶悪に……なるんですかね？

擬態

相手が自分の場の昆虫族モンスターを攻撃してきた時

攻撃対象となったモンスターを手札に戻し

手札からLV4以下の昆虫族モンスターを特殊召喚する

攻撃の強制効果が有ったかどうかは不明

しかし、攻撃を続行していたのでそういう効果という事で。

パラサイト・キャタピラー

このモンスターを攻撃したモンスターは

3ターン後の相手ターンのスタンバイフェイズ時

攻撃したモンスターを生け贄に、自分のデッキからポイズン・バタフライを相手の場に特殊召喚する

攻撃などができないかは不明、しかし繭になっているので無理だと思います

……まあ、そうでもしなければ使えないカードですけどね  
なので少々強化しました。

モスの幼生

手札から捨てる事でデッキからラーバモス、進化の繭を特殊召喚する  
ゲームオリジナルカードですが、効果は多分違います

調べた場所が悪いんです、多分……でも他に資料が無かったので諦めます

というか、絶対に違いますね

もうスルーしてください、半オリジナルカード状態

その事実には作者は半泣き状態です……もうこの回廃棄したい！

ツイッター、最近は無更新

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
何故なら同じ曲しか聴いてないから！

## 152話【長期休暇トーナメント 2戦目】（前書き）

「今日の最強カードは水霊術「葵」ね  
自分の場の水属性モンスターを生け贄に捧げ  
相手の手札を確認し、1枚を選択して捨てさせる  
私は水属性モンスターを使わないから関係無いわね  
……六武衆には入ってるけど」

明日香のデッキは基本的に地属性なので  
水属性の戦士族……六武衆以外に何か居ましたっけ？

今回はやっと……やっとできました  
いつかの問題、そしてデッキリクエスト  
ジェネックス大会開始前からずっと考えていたんですけどね  
やっと登場できました……長かったです。

キャラ名はリクエストしてくださった方をお願いしました  
なお、性格は好き勝手にさせていただきましたのでご了承ください……

久しぶりに修正不可のミス

……はあ。

次回は……次回は……いつでしょう？

## 152話【長期休暇トーナメント 2戦目】

視点 彰子

『トーナメント2回戦を始めるぞー！

1回戦で元全日本大会上位入賞者チームを破ったアカデミア女子生徒チーム！

今回も大番狂わせを見せてくれるのか！？』

別に狙ったわけじゃないんですけど……

というか、私の場合は淡々と事を進めただけですし。

『対するは派手さでは凄まじく、地味ながらも堅実爆★悪★霊チームです！』

どういうチーム名ですか……デッキが予想できるじゃないですか爆発と悪魔と……霊？

悪魔しか予想できませんでした……残念です。

元気が良い、私と同じぐらいの男の子

黒い執事服を着た20代半ば辺りの男性

マントを羽織ったレイちゃんより少し上ぐらいの女の子

……イマイチ関連性が浮かばないんですけど。

「どう思いますか？」

「難しいわね……敵チームの視察は禁止って堅守先輩から命令されてるし

どんなデッキを使うのか予想しかできないわ、チーム名でしか」

「爆デ炎属性、悪デ悪魔族と……霊？  
これしか思いつかない」

私もそんな感じです

敵チーム視察禁止は1回戦後に言われました

しかもこれから敵になるかもしれないチームを見ようと思った時に  
……

おかげで何も分からない状態です。

『では先鋒、前で出てください』

「最初は私が出るネ！」

ゆまさんが出て行き、相手の人は……男の子  
どんな3種類の内、どのデッキを使うんでしょう？

「お前が相手か

俺の名前は日野陽二、芸術家だ！」

どこですか！？

思いつきり元気少年って感じなんですけど！

貴方のどこに芸術家の要素が有るんですか！？

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「先攻は私、ドロー！」

魔法カード、ワン・フォー・ワンを発動します！

手札のモンスターを1体墓地へ送り

デッキからLV1のモンスターを特殊召喚します！

手札のゼータ・レティキュラントを墓地へ送り

デッキからマッド・リローダーを守備表示で特殊召喚します！

更に異次元の女戦士を守備表示で召喚しテターンエンドです！」

あんなモンスター使ってみましたっけ？

手札から捨てたカードは相変わらずですけど

というか、毎回毎回どうやってあんなに同じカードを？

きつと凄くカードに好かれてるんだと思います。

「俺のターンだ、ドロー！」

イエロー・ガジェットを召喚して、効果を発動！

こいつが召喚、特殊召喚された時

デッキからグリーン・ガジェットを手札に加える！」

黄色い歯車のモンスター……

なんだかゆまさんが嫌そうな顔をしました？

もしかして知ってるんですか？

「魔法カード、融合賢者を発動！

デッキから融合のカードを1枚、手札に加える！

そして魔法カード、融合を発動！

手札の炎族としてE・HERO ザ・ヒートと機械族としてグリー

ン・ガジェットを融合！

燃え盛る爆炎の支配者、その美しき翼を見るが良い！

融合召喚、焼き尽くせ！ 重爆撃禽ボム・フェネクス！」

炎族と機械族の融合！？

しかも融合素材に使ったのってE・HERO！？

ど、どういう事なんですか！？

「そんな融合モンスターが……」

「更に魔法カード、融合回収を發動！  
フュージョン・リカバリー

融合に使用した融合素材モンスターと融合のカードを手札に加える  
俺は融合とグリーン・ガジェットを手札に加えるぜ！

そしてカードを3枚伏せ、ボム・フェネクスの効果を發動！

1ターンに1度、場に存在するカードの枚数×300ポイントのダメージを相手に与える！

俺の場には5枚、お前の場には2枚、合計7枚で2100のダメージだ！

受け取れ、不死魔鳥大空襲！  
フェネクス・ビッグ・エアレイド

「2100のダメージ！？

って、きゃああああ！」

カードの枚数、7体の炎の鳥が現れてゆまさんを襲う  
爆発しながらダメージが……これは酷いです。

「まだまだあ、更にさっき伏せた融合を發動！

炎族としてボム・フェネクスと機械族としてグリーン・ガジェット  
を融合！

2体目のボム・フェネクスを融合召喚だ！」

そんな！

もしこれで効果ダメージを受けたら……

「ボム・フェネクスの効果を發動！

場のカードは合計6枚、よって1800のダメージだ！」



「そんな……きゃあああああああ！」

今度は1800のダメージ  
さっきのダメージと合計して3900……残りライフは100！

「ちえっ、残っちゃったか

ボム・フェネクスは効果を使ったターン、攻撃できない

仕方無い、イエロー・ガジェットでマッド・リローダーに攻撃だ！」

イエロー・ガジェットの拳で殴り飛ばされるマッド・リローダー

幸い守備表示だったからダメージは無かったんですけど

それでもピンチに変わりはありません。

「マッド・リローダーの効果を発動！

戦闘デ破壊さレ、墓地へ送らレた時

手札を2枚捨て、デッキからカードを2枚ドロウする！」

手札交換効果

もしかしてまた手札にはゼータ・レティキュラントが？

だとすればどれだけの確率で手札に加えてるんでしょう？

「俺はこれでターンエンドだ

次のターンで終わりだな」

もしこのターンでボム・フェネクスをどうにかしないと本当に負け  
です

ゆまさん、どうやって勝つつもりですか？

「私のターン、ドロウ！」

永続魔法、異次元隔離マシーンを発動します！

お互いの場のモンスターを1体選択し、そのモンスターを除外！  
そしてこのカードが破壊された時、そのモンスターは場に戻ります！  
私の場からは異次元の女戦士、貴方の場からはボム・フェネクスを除外します！」

場から消える2体のモンスター  
だけど、ゆまさんのデッキの場合は……

「そして墓地に存在するゼータ・レティキュラントの効果発動！  
相手の場のモンスターが除外された時

自分の場に攻守500のイーバトーンを特殊召喚する！

私の墓地にゼータ・レティキュラントは2体、よって2体のトークンを特殊召喚！

更に永続魔法、冥界の宝札を発動！

2体以上の生ケ贄に成功した時、デッキからカードを2枚ドロースます！」

もしさっきのターン、冥界の宝札を発動していた場合

ゆまさんのライフは0になって負けていました

本当に……負ける寸前だったんですね。

「そして2体のトークンを生ケ贄に捧ゲ

新切り札、ギャラクシーアイズ・フォトン・ドラゴン銀河眼の光子竜を召喚！」

青と白の入り交じった綺麗なドラゴン……

新しいゆまさんのモンスター……どんな効果を持ってるんでしょう？  
どうでもいいですけど、そこはかたくなく海馬社長のドラゴンに似ているような気がします。

「攻撃力……3000だど！？」

「冥界の宝札の効果で2枚ドローします！」

バトルデす！

ギヤラクシーアイズ・フォトン・ドラゴン

銀河眼の光子竜デイエロー・ガジェットに攻撃！」

ギヤラクシーアイズ・フォトン・ドラゴン

銀河眼の光子竜のブレスで消し飛ばされるイエロー・ガジェット

攻撃力差は1800、それなりに大きなダメージですけど

ゆまさんのライフは100、相手の人は2200なのでまだ大きな差です。

「カードを2枚伏せて、ターンエンドデす！」

ギヤラクシーアイズ・フォトン・ドラゴン

（銀河眼の光子竜はこのモンスターが戦闘した時

戦闘をする相手モンスターとこのモンスターをバトルフェイズ終了時まで除外する

トークン作成と攻撃封じが同時にできるなんτε心強いモンスターなんだよ！

惜しむ所は攻撃力が高すぎて攻撃されにくいんだけど……倒されにくいと思えばOK！）」

ギヤラクシーアイズ・フォトン・ドラゴン

ゆまさんの場には銀河眼の光子竜

冥界の宝札に異次元隔離マシーン、そして伏せカードが2枚相手の場には伏せカードが2枚……大丈夫ですか？

「さすがにやるね……俺のターン、ドロー！」

ドローし、相手の人が少し黙りました

勝てないと悟った？

そう思いたったんですけど……

「俺の勝ちだな

魔法カード、テラ・フォーミングを発動！

デッキからフィールド魔法を1枚手札に加える！

俺が手札に加えるのはフュージョン・ゲートだ！」

融合のカード無しに融合させるカード？

手札が1枚、伏せカードだけの状況で……どういう事ですか？

「意味が分からないって顔だな

とりあえずフィールド魔法、フュージョン・ゲートを発動！」

発動したのは分かります、でも勝つ手段なんて……

……ああ！ 思い出しました！

あのカードを使えば……この決闘<sup>デュエル</sup>、ゆまさんの負けに！

「これで俺の勝ちだ！

罠カード、チェーン・マテリアルを発動！

自分の手札、デッキ、場、墓地から融合素材のモンスターを除外して融合する事ができる！

融合召喚したモンスターは攻撃ができず、エンドフェイズ時に破壊される

ただし、融合するには融合のカードが必要だが……」

「フィールド魔法、フュージョン・ゲートの効果で融合が……できる！」

「そのとーりーり！

フュージョン・ゲートとチェーン・マテリアルの効果を発動！

デッキから炎族としてE・HERO レディ・オブ・ファイアと機械族としてレッド・ガジェットを融合！

出てこい、3体目の重爆撃禽ボム・フェネクスを融合召喚！」

この状況でボム・フェネクス!?

場のカードはボム・フェネクスも含めて8枚

その300倍のダメージですから……2400のダメージ!

「罠カード、因果切断を発動!

手札を1枚捨て、相手の場のモンスター1体を除外します!

そして相手の墓地に同名モンスターが存在していた場合

墓地に存在する同名モンスターも一緒に除外する!」

「げえ!

俺のボム・フェネクスが全部除外されちゃった!」

確かまだ墓地にボム・フェネクスが残っていましたよね?

その1体も除外されて全てのボム・フェネクスが除外されました  
これではどうにか復活してというのは無理ですね。

「更に速攻魔法、非常食を発動!

自分の魔法、罠カードを墓地に送り

送った枚数×1000ポイントライフを回復する!

私は異次元隔離マシーン、冥界の宝札、因果切断を墓地へ送り

3枚墓地へ送ったからライフを3000回復!

これレ私のライフは3100まで回復したよ!

更に相手モンスターを除外した事データーバトーンを守備表示デ2

体特殊召喚!」

ボム・フェネクスは全滅、ゆまさんの場には攻撃力3000の銀河  
ギャラクシ  
アイズ・フォトン・ドラゴン

眼の光子竜

ゆまさんの逆転勝利!

これで1勝を手に入れました!

しかも、非常食で墓地に送られた異次元隔離マシーン  
あのカードは破壊されないと場にモンスターは戻りません  
つまり、ボム・フェネクスも戻ってこない！

「あはははははははははは！  
確かにこうなったら普通は終わりって思うよな」

笑ってる？

しかも今の言葉……

「悪いな、まだ終わってないんだ！」  
機械族としてグリーン・ガジェットと炎族としてE・HEROザ・ヒートを融合！

全てを消し去る爆熱、破壊を生き様に敵を消滅させよ！  
融合召喚、粉碎せよ！ 起爆獣ヴァルカノン！」

尻尾が導火線みたいな、そしてその先は爆弾みたいな体  
あんなモンスターが爆発したら……

「ヴァルカノンの効果を発動！」

このモンスターが融合召喚に成功した時  
相手の場のモンスターを1体選択し、このモンスターと一緒に爆発  
させる！」

「なっ！？」

ば、爆発!？」

「更に、相手は選択されたモンスターの攻撃力分のダメージを受ける！」

俺が選択するモンスターは当然、銀河眼の光子竜だ！」  
ギャラクシーアイズ・フォトン・ドラゴン

ヴァルカノンは銀河眼の光子竜に抱きつく

そして尻尾の導火線が……胴体に到達

同時に、ヴァルカノンは大爆発を起こしました。

この効果ダメージで3000もの大ダメージ

さっき回復した分のライフを失いました

これでゆまさんのライフは再び100に……

「クッ……デも、チェーン・マテリアルの効果で融合召喚したモンスターは攻撃できない

さっきのヴァルカノンは墓地へモンスターを送らないとダメージを与えられなかったはず

トークンは墓地に送られないからダメージも無い……つまり、このターンで負ける事は無い！

私のターンになればまだ……」

「悪いが、そのチャンスも無い  
罠カード、ミス・リバイブを発動！

相手の墓地に存在するモンスターを相手の場に特殊召喚する！  
俺が選択するモンスターはゼータ・レティキュラントだ！」

墓地から現れるゼータ・レティキュラント……  
もしかしてあの人、まさかヴァルカノンも！

「デッキから機械族としてUFOタートル  
そして炎族としてE・HERO レディ・オブ・ファイアを融合！  
2体目、起爆獣ヴァルカノンを融合召喚！」

終わり……ですね。

「ヴァルカノンの効果を発動！  
融合召喚時に相手モンスターを巻き込んで自爆！  
そしてその攻撃力分のダメージを相手に与える！」

残りライフが100のゆまさんが耐える事は不可能  
伏せカードも無い状況ではどうしようも無いですね。

「爆発だヴァルカノン！」

爆発は……芸術だあああああああああ！！！！」

「それ普通逆じゃなああああ！」

ゆまさんが叫んでいる最中に大爆発  
普通は芸術は爆発なんじゃないですか？

……あ、それで最初に芸術家って言ったんですね。

『な、なんという爆発！

勝者は爆★悪★霊の日野陽二だ！』

凄い歓声……あれだけ派手なら当然ですか  
見ているもスッキリする感じでしたし  
全部が全部破壊されて……

というか、珍しいですね  
殆どの場合であんなバーン効果での勝利は盛り上がりたらないんですけど  
やっぱり爆発のインパクトが凄すぎたんでしょうか？

「あ、あはは……負けた」



「あれだけ派手にされたら仕方無いわ  
次は……私が出る」

デュエルフィールド  
そう言って決闘場に向かう雪乃さん  
という事は最後は私ですか……最後はあんまりしたくないんですけど。

『さあ、アカデミア女子生徒チームは後がないぞ！  
中堅は女子学生チームからは藤原雪乃選手！  
爆★悪★霊チームからはフェリ・ルベル選手だ！』

お嬢様っぽいのに全然お嬢様っぽい格好をしていない人  
少しボロい布をマントみたいになっている女の子  
なんとなく、嫌な予感がするんですが……

具体的に言うならレイちゃんになんとか似ている気がします  
気のせいだといいいんですけど……

「藤原雪乃よ、よろしく」

「初めまして、フェリ・ルベルと申します  
……ふう」

「溜め息？  
何か気に入らない事でもあるのかしら？」

雪乃さんを見て溜め息って……どうしてでしょう？  
何か問題でもあったんでしょうか？

「可愛くない

美人だけど、可愛くない」

2人の間から音が消えた

会場は沸き上がってますが、2人の間は冷たい  
あの子は突然何を……

「私としては恐竜使いさんの方が良かったわ  
あの人は可愛そうですし」

背筋に悪寒が！

な、何を言うんですか突然！

「否定はしないけど、腹が立つわね  
確かに私は可愛いより美人と言われる事が有るけど  
だからって可愛くないと言われたら気分が悪いわ」

怒りを少し顔に出し、構える雪乃さん  
でも言っている事って自慢ですか？  
そりゃあ……私だって可愛いと言われれば嬉しいですけど。

「事実じゃないですか

私は可愛い物が好きなんです  
だから私の眼に合わない貴女は可愛くないんですよ」

マントを思いっきりはだけ、同じように構えるフェリさん  
な、なんだか2人の間に強烈な炎が見えます……

それはそうとフェリさん

貴女の服……とあるモンスターに似ている気がするんですが気のせ

いですか？

先日も見たとような……誰かが似たような服を着ていましたけど。

「ふ、ふふふ……乙女のプライドを傷付けた罪は重いわよ？」

「あら、傷付けられる程の顔をお持ちで？」

「「……決闘<sup>デュエル</sup>！！！」」

ほ、本気ですね2人共  
ちょっと怖いんですけど……

「先攻は私が貰いますよ、ドロー！  
モンスターをセット、更にカードを3枚伏せてターンエンドです！」

セットという事は……リバーズ効果？  
しかもカードを3枚も伏せるだなんて……どんなデッキを使うんでしょう？

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、名推理を発動するわ！

相手はLVを1つ宣言し、私はデッキから通常召喚可能なモンスターが出るまでカードを捲る

通常召喚可能なモンスターが出た時、そのモンスターのLVが宣言と違う場合は特殊召喚

正解の場合は他のカードと一緒に墓地へ送られるわ！

さあ、LVを1つ宣言しなさい！」

「あらあら怖いわ  
ならLV7でも宣言しておこうかしら

そんなカードを使うんですもの、LVはバラバラなんでしょう？」

正解ですけど、あまり言わないでください

実際そんな単純なデッキなんですから

一応、雪乃さんだって頑張ってるんですよ？

賭け事っぽくて荒々しくて男らしいからって……そこまでは言ってもませんか。

「その通りよ、でも当たるかしら？」

1枚目、罠カードの攻撃の無力化

2枚目、魔法カードの名推理

3枚目、モンスターのバイترون……通常召喚可能なモンスターよ  
そしてバイترونのLVは6、私の勝ちね  
バイترونを名推理の効果で特殊召喚！」

体が無駄に長くて青紫色の体をした気味の悪い爬虫類族のモンスター  
！……

1つ目ですし、あまり見ていたいモンスターではないですね  
でも、攻撃力は2400の貫通効果を持っています

あのデッキに入れても十分なモンスターですね、見た目以外は。

「さあ、バトルよ！」

バイترونで守備モンスターに攻撃！」

攻撃されたモンスターは黒いローブを羽織り、黒い帽子をかぶった  
少女

先端に鏡みたいな物が付いた水色の杖を持っていますね

でも、バイترونに噛みつかれて破壊されました……可愛いのに。

「いたいけな少女をあんな化け物で襲うだなんて……人でなし！」

「私は悪く無いわよ！」

貴女が正解させたらこんな事にもならなかったわ

そしてバイトロンには貫通効果が有るわ

そのモンスター守備力は1800

バイトロンの攻撃力は2400だから600のダメージよ」

「クッ……リチュア・エリアルのリバース効果を発動！」

デッキからリチュアと名の付くモンスターを1体手札に加える！

私はイビリチュア・マインドオーガスを手札に加えるわ！」

リチュア……知らないシリーズです

もしかしてそのシリーズをメインにしたデッキでしょうか？

「黄泉ガエルを守備表示で出してターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動！ デッキから更に2枚ドローします！

モンスターをセットし、魔法カード、太陽の書を発動！

裏側守備表示のモンスターを表側攻撃表示に変更します！

私がセットしたモンスターは水霊使いエリア！

エリアのリバース効果を発動します！

エリアが存在する限り、相手の場に存在する水属性モンスター1体を私の場に移動させます！

確か貴女のバイトロン、水属性モンスターでしたね？

バイトロンのコントロールを貰います！」

「な……コントロール奪取モンスター！？」

今分かりました……

フェリさんとレイちゃんが似ていると思った理由  
あの眼……モンスターを奪う時にするレイちゃんの眼にそっくりで  
す。

そしてあの服、エリアの服ですね

似合っているのがなんだか……エリアが好きなんでしょうか？

「さあ、バトル！

バイトロンで黄泉ガエルに攻撃よ！」

持っている杖を振り、バイトロンに指示を出すエリア  
その指示に従い、バイトロンは黄泉ガエルを食い千切りました  
しかもバイトロンは貫通効果を持っていますから……

「バイトロンの貫通効果よ

攻撃力と守備力分の差、2300のダメージを受けなさい  
ダイレクトアタック  
更にエリアで直接攻撃！」

一緒に居るギゴバイトが雪乃さんを殴る

ギゴバイトの攻撃力は350なんですけど

エリアの攻撃力は500なので追加で500のダメージ  
合計で2800のダメージを受けて残りライフは1200です。

「チッ、さすがにやるわね」

「まだまだ終わらないですよ

続いて儀式魔法、リチュアの儀水鏡を発動！

手札、または場から合計LVが6になるようにモンスターを生け贄  
に捧げる！

私は貴女から戴いたバイトロンを生け贄に捧げ

邪悪なる儀水鏡より生まれし魔物、今この場に現れよ！  
儀式召喚、食らいつくせ！ イビリチュア・マインドオーガス！」

下半身は魚の化け物

上半身はさっきのリチュア・エリアルが少し成長したような女性  
これが邪悪なる儀式の効果……恐ろしいですね。

「す、凄まじい化け物ね……」

「な……あんな可愛い娘になんて事を言うんですか！  
下の魚は置いておいて、上の女の子は可愛いじゃない！」

下半身も一緒に考えてあげた方が……

確かに上の女性は可愛いか……いえ、美人？

ただ……リチュア・エリアルの方が可愛いですよ？

「もう、イビリチュア・マインドオーガスの効果を発動します！

このモンスターが儀式召喚に成功した時

お互いの墓地からカードを5枚まで選択し

そのカードを持ち主のデッキに戻します

貴女の墓地からバイトロン、黄泉ガエル

私の墓地からリチュア・エリアル、太陽の書、強欲な壺をデッキに  
戻します」

これは……黄泉ガエルを封じ、更にデッキに上級モンスターが増える  
でも相手は下級モンスター、リバース効果補助、ドローカード  
良いカードばかりデッキに……これは少し拙いのでは？

「私のターンはこれで終了です  
さあ、どうしますか？」

危険ですね……このお嬢様

弱そうに見えますけど強いです

まさか儀式の生け贄に使うとは……

「まだまだよ、私のターン、ドロー！

カードを2枚伏せて、ターンエンドよ！」

伏せるだけ！？

モンスターの召喚もしないんですか！？

……って、雪乃さんのデッキなら仕方無いですか。

「もう終わりがしら？」

私のターン、ドロー！

バトル！ イビリチュア・マインドオーガスで直接攻撃！ダイレクトアタック」

「甘いわ！」

罠カード、ヒーロー見参を発動！

相手モンスターの攻撃時、相手は私の手札からカードを1枚ランダムに選択

そして選んだカードがモンスターカードだった場合、そのモンスターを特殊召喚するわ！」

「甘いのはどちらかしら？」

罠カード、水霊術「葵」を発動！

自分の場に存在する水属性モンスターを生け贄に捧げ  
相手の手札を確認し、そのカードを1枚墓地へ捨てる  
エリアを生け贄に捧げ……さあ、手札を見せなさい」

完全に行動を読まれてます……



まさかこんな罠を仕掛けていたとは思いませんでした。

「クッ……好きにきなさい」

雪乃さんの手札は3枚

ライトニングギア

大將軍 紫炎、光神機――轟龍、ネフティスの鳳凰神

どれも最上級モンスター、そして厄介なモンスターばかりでもこの状況で選ぶとすれば……

「なんて厄介な手札なんでしょう  
その手札から轟龍を捨てなさい」

雪乃さんは手札から轟龍を捨て、手札を適当に混ぜる  
次はヒーロー見参の効果ですが……既に手札を知られています  
この状況でどうやって……

「なら、左のカードを選びます」

「左のカードは大將軍 紫炎よ  
このモンスターを攻撃表示で特殊召喚するわ！」

攻撃力は2500、イビリチュア・マインドオーガスと同じ  
相打ちになる事もできますけど……

「ふーん……なら攻撃は取り止めるわ  
態々危険を冒す必要も無いですしね  
モンスターをセットします、ターンエンドですよ」

「私のターン、ドロー！  
紫炎で守備モンスターに攻撃！」

「そうはさせません！」

罨カード、砂漠の光を発動！

自分の場のモンスターを全て表側守備表示に変更するわ！」

そんな事をして何の意味が……あ、セットモンスター！

という事はまたリバー効果のモンスターですか！

「私のセットしていたモンスターは火霊使いヒータです

このモンスターがリバーした時

ヒータが存在する限り、相手の場に存在する炎属性モンスターのコントロールを得ます

紫炎の属性は炎属性、よってコントロールを戴きます！」

そんな……これじゃあ雪乃さんのモンスターがまた！

しかも雪乃さんの場には伏せカードが1枚だけ……どうすれば！

「ターン……エンドよ」

「これで私達の勝利ね！

私のターン、ドロー！

イビリチュア・マインドオーガスを攻撃表示に変更！

さあ、その女に直接攻撃ダイレクトアタックしなさい！」

これを受けたら雪乃さんは……負け！

私達が負けるという事は堅守先輩に怒られるという事で  
つまり……わ、私は悪くないんです！

私は戦っていないんですから！

無駄だと思いますが言い訳ぐらいさせてください！

ダイレクトアタック  
「相手の直接攻撃宣言時

手札からバトルフェーダーを特殊召喚して効果を発動！  
このターンのバトルフェイズを終了させるわ！」

雪乃さんの場に現れる鐘を持ったモンスター  
見た目はかなり悪趣味ですよ？

「なんておぞましいモンスターを……  
仕方無いですね、モンスターをセットしてターンエンドよ」

「おぞましいって言わないで！  
まったく、堅守先輩みたいなカードを使って……  
私のターン、ドロー！」

ふふん、魔法カード、モンスターゲートを発動するわ！  
自分の場のモンスターを1体、生け贄に捧げ  
通常召喚可能なモンスターが出るまで自分のデッキのカードを捲る  
そして通常召喚可能なモンスターが出た時、そのモンスターを特殊  
召喚するわ！」

「またそんなカードを……運要素ばかりじゃないですか」

「何を言ってるの？ それが楽しいんじゃない！  
私はバトルフェーダーを生け贄に捧げるわ！」

ちなみにバトルフェーダーは自身の効果で特殊召喚した場合  
場から離れた時に除外される

さて1枚目は……モンスター、エンジェルブレイブ天空勇士ネオパーシアスよ！  
このモンスターは通常召喚可能なモンスター、よって特殊召喚！」

綺麗な天使族モンスター……どちらかと言えば格好いいですか？  
攻撃力は2300ですが、貫通効果を持っています

というか、雪乃さんのデッキって貫通効果モンスターが多くないですか？

「さあ、バトルよ！」

ヒータにネオパーシアスで攻撃！」

ヒータの守備力は1500

ネオパーシアスの攻撃力は2300なので800の差  
貫通効果で800のダメージですね。

「ネオパーシアスは貫通効果を持っているわ

攻撃力と守備力の差分である800のダメージを受けなさい  
更にネオパーシアスは相手に戦闘ダメージを与えた時

デッキからカードを1枚ドロウする効果を持っているの  
戦闘ダメージを与えたからドロウするわ

そしてヒータが存在しなくなった事により

私の紫炎が私の場に戻ってくる」

凄いです……まさに圧倒的状况

貫通効果にモンスターを取り返す

これを同時にするとは……

「更に紫炎、イビリチュア・マインドオーガスに攻撃しなさい！」

相打ち……いえ、これでいいんです

もし放置すれば貫通効果にドロウ効果を持つネオパーシアスは破壊  
されます

勿体ないですけど、少しでも危険性を下げる為ですね！

「クッ……まさか相打ち狙いだっただなんて」

「最後にクリッターを守備表示で召喚し、ターンエンドよ」

さっきネオパーシアスの効果でドローしたモンスターですね  
よくそんなにモンスターが……

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動して更に2枚ドロー！

馬鹿にして……モンスターを反転召喚、闇霊使いダルク！

リバース効果を発動！

相手の場に存在する闇属性モンスターのコントロールを得る！

貴女の場に存在するクリッター、戴くわ！」

またモンスターを！

何回奪えば気が済むんでしょうか！

「更に罠カード、闇霊術「欲」を発動！

自分の場に存在する闇属性モンスターを生け贄に捧げ

カードを2枚ドローします！

ただし、相手は手札から魔法カードを公開する事で防げます

が……貴女の手札はネフティスの鳳凰神のみ、公開する魔法カード  
はありません！

そして生け贄に捧げるのは貴女のクリッターです！

デッキからカードを2枚ドロー！」

モンスターを奪われ、利用され……

しかもドローまでされるだなんて……強い

やっぱりこの人は凄く強いみたいです！

「チッ、クリッターの効果発動！

このモンスターが場から墓地へ送られた時  
デッキから攻撃力1500以下のモンスターを1体手札に加えるわ！  
私はデッキから黄泉ガエルを手札に加える！」

「せっかくデッキに戻したのに……D・ナポレオンダークを守備表示で召喚  
カードを2枚伏せて、ターンエンドです！」

ああ……やっぱりファンデッキですか  
ダルクの使い魔というかパートナーと言えるモンスターですね  
ギゴバイトとか、きつね火とか、デーモン・ビーバーも入っている  
んでしょうか？

相手の場にはダルクとD・ナポレオンダーク  
そして伏せカードが2枚ですか……どうするんでしょう？

「私のターン、ドロー！  
魔法カード、トレード・インを発動！  
手札のLV8のモンスターを墓地へ送り、カードを2枚ドローする！  
私は手札のネフティスの鳳凰神を墓地へ送り、2枚ドロー！」

手札の入れ替えですね  
黄泉ガエルともう2枚……何をドローしたんでしょう？

「魔法カード、名推理を発動！  
効果はさっき説明したから省略するわ  
さあ、どのLVにする？」

「またそんなカードを……LV6よ！」

「1枚目、罠カードの和睦の使者

2枚目、魔法カードのスター・ブラスト  
3枚目、魔法カードのデビルズ・サンクチュアリ  
4枚目、モンスター……E・HEROエッジマン  
エッジマンは通常召喚可能なLV7のモンスター  
よって、エッジマンを特殊召喚するわ！」

また貫通効果を持った……あのデッキ  
もしかしたら貫通効果を持つモンスターばかりなんではようか？  
だとしたら……かなり怖いんですけど。

「バトルよ！」

ネオパーシアスでD・ナポレオンに攻撃！  
ネオパーシアスの貫通効果を受けなさい！」

剣に貫かれ、破壊されるD・ナポレオン  
守備力は400、貫通ダメージを受けたら1900のダメージです  
最初に600、次に800のダメージを受けてますから合計で3300  
残りライフは700になってしまいました。

「相手に戦闘ダメージを与えたのでドロー！  
これで終わりね、エッジマンでダルクに攻撃！  
エッジマンも貫通効果を持っているわ、受けなさい！」

「そう簡単に……罠カード、ガード・ブロックを発動！  
戦闘ダメージを1度だけ0にし、私は1枚ドローする！」

ネオパーシアスの攻撃に使えばドローされなかったんですけど……  
ドローよりもライフを優先させたんでしょうか？  
攻撃力差は2100ですし、こちらを防がなかったら残りライフは

500 になっていましたね。

「また……黄泉ガエルを守備表示で召喚  
これでターンエンドよ！」

「私のターン、ドロー！  
モンスターをセットし、魔法カード、太陽の書を発動！  
裏側守備表示モンスターを表側攻撃表示に変更する！  
地霊使いアウスのリバー効果、相手の場に存在する地属性モンス  
ターのコントロールを得る！  
さあ、エッジマンを私に寄こしなさい！」

エッジマンを奪わるという事は……ああ！  
雪乃さんの場には黄泉ガエルが残っています  
つまりエッジマンの貫通効果を受けた瞬間……負けが決まる！

「ふ……残念ながらそうはいかないわ！  
速攻魔法、速攻召喚を発動！  
今この瞬間、手札からモンスターを通常召喚するわ！  
黄泉ガエル、エッジマン、ネオパーシアスを生け贄に捧げ  
現れなさい、モイスチャー星人！」

モイスチャー星人の3体生け贄効果  
相手の場に存在する魔法、罠カードを全て破壊する！  
これでフェリさんの場にはアウスしか残っていません！

「モイスチャー星人の効果発動！  
3体を生け贄にして通常召喚された時  
相手の場に存在する魔法、罠カードを全て破壊する！  
伏せカード、破壊させてもらおうわ！」



「そんな……きゃあ！」

破壊されたのは風霊術「雅」

多分、次のターン辺りに出そうとしていたんじゃないでしょうか？  
モイスチャー星人は光属性ですけど。

「こんな事が……ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

私の場に魔法、罠カードは存在していない時  
墓地から黄泉ガエルを特殊召喚するわ！

まあ、もうあまり意味は無いと思うけど一応ね

黄泉ガエルを生け贄に、エンジェルナイト天空騎士パーシアスを召喚！」

一応と言ってますけど、倒す気満々ですね

ここまで苦戦させられたら仕方無いですけど。

「これで私の勝ちよ！」

パーシアスでアウスに攻撃！

そしてモイスチャー星人で直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「お、オーバーキルですよおおー！ー！ー！」

アウスとパーシアスの攻撃力差は1400

フェリさんのライフは700だったからもう終わっていました

最後の1撃は余分で、3500のオーバーキルですか……小さいです  
すね

堅守先輩のオーバーキルには霞みます、当たり前ですけど。

『モンスターを何度も奪われながらも  
アカデミア女子生徒チームが勝利した――！  
これで同点、最後の1戦に託されたぞお！』

「ふ、ネタデッキで負けるほど堕ちていないわ」

負けそうだったのに、よく言いますね  
最後の最後は本当にギリギリだったじゃないですか。

「最後はウサミンだネ」

「そうですね  
では、行ってきます」

『ラストを飾るのはアカデミア女子生徒チームは宇佐美彰子  
爆★悪★霊チームはセバスチャン・ミカエリスだ！  
……あの、これって本名なんですか？』

「本名ですが、何か？」

『いえ、なんでもないです……』

あのハイテンションの司会を黙らせるなんて……凄い人です  
でも、本当に本名なんですか？  
セバスチャンって……どんな名前なんですか。

「さて、お嬢様がお世話になったそうですね  
敵討ちはさせていただきます」

「文句は雪乃さんをお願いします」

私は何もしていませんし

どっちにしても、敵討ちは無理だと思いますよ?」

「言いますね……では、お願いします」

「お願いします」

お互い同時に構える

……最近、挑発ばかりしている気がします  
そんなつもりは無いんですけど……どうしてでしょう?

「<sup>デュエル</sup>決闘!」

「先攻は私から、ドロー

ジュラック・スタウリコを守備表示で召喚します  
カードを2枚伏せて、ターンエンドです」

「……君の1回戦の決闘<sup>デュエル</sup>は見せてもらった  
全く本気を出さずに勝ったようだけど

私にはあんな手段は通用しないと思ってください」

分かっていますよ、そんな事

この人は強い、だから速攻で終わらせる必要があります。

「私のターン、ドロー

手札から儀式魔法、闇の支配者との契約を発動します  
手札、または場から合計LVが8以上になるようにモンスターを生  
け贄に捧げます

私は手札からLV6の魔族召喚師、そしてLV4のヘルウェイ・パ  
トロールを生け贄に捧げ

漆黒の世界を統べし支配者、悪魔の名を知らしめよ！  
儀式召喚、支配せよ！ 闇の支配者―ゾーク！」

1ターン目から儀式召喚！？

しかも悪魔族でも強力なゾークを出してくるだなんて……

「ゾークの効果を発動

1ターンに1度、ダイスを振る

1、2の目が出た場合は相手の場のモンスター全てを

3、4、5の目が出た場合は相手モンスター1体を

6が出た場合は自分の場のモンスターを全て破壊する！

さあ、ダイスロール！」

なんて厄介な効果を！

6以外は私のジュラック・スタウリコが……

「……6ですね」

「……自滅か

ゾークは破壊される」

あ、危なかったですね……

もし効果を受けていたら大ダメージでした。

「仕方無い、魔法カード、黙する死者を発動

墓地に存在する通常モンスターを守備表示で特殊召喚します

ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターは攻撃する事はできない

私はこの効果により、デュアルモンスターである魔族召喚師を特殊召喚します」

デュアルモンスター……場と墓地では通常モンスターとして扱うモンスターでしたっけ？

堅守先輩に教えてもらいましたけど

実は知名度が致命的に低いようです、普通に売っているみたいです  
が……

やはり再度召喚というのが面倒なんでしょうか？

「デュアルモンスターは……知っているみたいです」

私はこのターン、まだ通常召喚していませんので、魔族召喚師を再度召喚します

魔族召喚師は再度召喚された事により、効果を得ます」

嫌な効果を持っていそうです

もう、名前から嫌な名前を感じます。

「魔族召喚師の効果

1ターンに1度、手札か墓地に存在する悪魔族モンスターを特殊召喚できます

ただし、この効果は魔族召喚師が場から離れた時

魔族召喚師の効果で特殊召喚されたモンスターは破壊されます

私は魔族召喚師の効果により、手札より冥界の魔王 ハ・デスを特殊召喚します」

厄介な！

ハ・デスが存在している限り、私の勝率が下がってしまいます！

「バトルです

ハ・デスでジュラック・スタウリコに攻撃」

「クッ……ジュラック・スタウリコは戦闘で破壊された時自分の場に2体のトークンを特殊召喚できるのですが……」

「ハ・デスが存在している時

私の場の悪魔族が戦闘で相手モンスターを破壊した場合破壊された効果モンスタールの効果は無効にされる」

「なら、永続罠、大地震を発動！

恐竜族モンスターが破壊され、墓地へ送られた時

相手の魔法、罠ゾーンを3箇所指定します

そしてこのカードが存在している限り、その場所は使用できません！」

「そして、3ターン後のスタンバイフェイズ時に破壊され

そのカードが自身の効果で破壊された時

自分の墓地から恐竜族モンスターを1体、手札に加える」

お互いに相手のカード解説

それは同時に、それだけ知識が有るという事だと思っています。

「……よく知っていますね」

「執事たるもの、知性は必須ですので……」

魔法、罠ゾーンを封じます

しかし、セバスチャンさんの手札は0枚

意味は薄いですが……

「では私のターンを終了します」

「私のターン、ドロー！」

私の手札に守備力2000の魔族召喚師を倒す手段は無い  
ならどうするか……どうにかするしか無いですよね  
それに、倒せないというわけでもないですし。

「魔法カード、ワン・フォー・ワンを発動します

手札のモンスターを捨て、デッキからLV1のモンスターを特殊召喚します

手札のジュラック・ヘレラを墓地へ送り

デッキからジュラック・アウロを特殊召喚します」

ジュラック・アウロ……さっきのターンに欲しかったです  
でも今ドローしたんですから仕方無いんですけどね。

「更に永続罫、化石発掘を発動します！」

手札を1枚捨て、効果を無効にし、墓地から恐竜族モンスターを特殊召喚します！

手札からジュラック・ガリムを捨て、墓地よりジュラック・スタウリコを特殊召喚！」

さて、後は……

「ジュラック・アウロ、ジュラック・スタウリコを生け贄に捧げ  
ジュラック・ティラヌスを召喚します！」

攻撃力は2500、ギリギリですがハ・デスより上です！

例え手札に倒す手段が無くても、デッキや場には可能性が沢山ですよ  
言い方が詐欺っぽい気がします……

「バトルです！」

ジュラック・ティラヌスで魔族召喚師に攻撃！」

ジュラック・ティラヌスは魔族召喚師に噛みつき、呑み込みます  
……なんとなくごめんなさい。

「ジュラック・ティラヌスの効果発動です！」

戦闘で相手モンスターを破壊した時

自身の攻撃力を300ポイントアップさせます！」

「魔族召喚師が場から離れた事により

冥界の魔王 ハ・デスは魔族召喚師の効果により破壊される

……1回戦では相当手加減していたみたいです」

意図したんじゃないんですけどね

結果的にそんな感じになっただけですし。

「私はこれでターンエンドです」

「私のターン、ドロー」

ジャイアント・ウィルスを守備表示で召喚します

これでターンエンドです」

また面倒な……リクルーターモンスターでしたね

戦闘で破壊された時、相手に500ポイントのダメージを与え

更にデッキから同名モンスターを任意の枚数特殊召喚できる……で  
したか？

「私のターン、ドロー！」

ジュラック・モノロフを召喚します！」



このモンスターは相手モンスター全てに攻撃する事ができます  
ジュラック・モノロフでジャイアント・ウィルスに攻撃！」

ジュラック・モノロフの頭突きで破壊されるジャイアント・ウィルス  
さあ、特殊召喚してください！

「ジャイアント・ウィルスは戦闘で破壊された時、相手に500ポ  
イントのダメージを与え  
デッキから同名モンスターを攻撃表示で特殊召喚できるが……  
私はこの効果を発動しない！」

「特殊召喚しないんですか!？」

「当たり前でしょう」

ジャイアント・ウィルスは攻撃表示で特殊召喚されるのです  
ジュラック・モノロフに全滅させられ、ライフを削られ  
更にジュラック・ティラヌスにまで攻撃されてはライフが僅かにな  
ってしまいます」

よく考えられています

しかも、ジュラック・ティラヌスの攻撃力もできましたが  
それも防がれました……残念です。

「なら、ジュラック・ティラヌスで直接攻撃します！」  
ダイレクトアタック

「ぬううう……やりますね」

これで2800のダメージ  
一応、私も500のダメージは受けましたが  
今の所問題はなさそうです。

「私のターンはこれで終了します」

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、天使の施しを発動します

デッキからカードを3枚ドローし、2枚を捨てる」

手札交換カード……嫌な予感がします

何故かレイちゃんが浮かんでくるのはどうしてでしょう？

「墓地に存在する冥界の魔王 ハ・デス、闇の支配者―ゾーク

そして今捨てた邪帝ガイウスの子の悪魔族モンスターを除外し  
出てこい、ダーク・ネクロフィアを特殊召喚！」

あのモンスターの効果は……なんでしょう？

嫌な予感しかしないのですが……見た目的にも。

ですが、攻撃力は2200

ジュラック・ティラヌスには勝てません！

こんな事になるんですしたらジュラック・モノロフは生け贄にしてお  
くべきでしたか？

そうなればジュラック・ティラヌスの攻撃力は3300まで上がっ  
ていましたのに……

「バトルです

ダーク・ネクロフィアでジュラック・モノロフに攻撃

念眼殺！」

目から強烈な光を放ち、ジュラック・モノロフを溶かす……溶かす  
！？

体が燃えていて炎属性のジュラックを溶かすだなんて……  
もしかして熱じゃなくて別の力？  
うーん……どんな原理で溶かしたんでしょう？

ダメージは700、さっきの効果ダメージも含めて1200ですか  
セバスチャンさんの残りライフは1200  
私のライフは2800……まだ大丈夫そうですね。

「これでターンエンドです」

「私のターン、ドロー！」

できればこのターンで終わらせたかったんですが……無理そうですね  
残念ですが、次のターンになれば勝てます、きっと。

「このままバトルです」

ジュラック・ティラヌスでダーク・ネクロフィアに攻撃！」

撃破、そして600のダメージを与えました  
次のターンでなんとか……

「ジュラック・ティラヌスの効果です  
相手モンスターを戦闘で破壊した時  
攻撃力を300ポイントアップさせます  
これで合計攻撃力は3100です  
カードを1枚伏せ、ターンエンドです」

「ならエンドフェイズ時、ダーク・ネクロフィアの効果を発動！  
このモンスターが相手によって破壊され、墓地へ送られたターンの  
エンドフェイズ時

自身を装備カードとし、相手モンスターに装備する  
そして装備されたモンスターのコントロールを得る！」

「そんな!？」

まさか態と破壊された!？

……態とも何も、あの状況なら破壊されて当然なんですけど。

「私が装備させるモンスターは当然、ジュラック・ティラヌス！  
そして私のターン、ドロー！

墓地に存在するヘルウェイ・パトロールの効果を発動  
自身を除外する事により、手札から攻撃力2000以下の悪魔族モ  
ンスターを特殊召喚する

攻撃力1500、レジェンド・デビルを特殊召喚！」

こんな事が……負けそうですね、これは  
でも、最後まで諦めませんよ！

「これで終わりです  
ジュラック・ティラヌスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「罠カード、生存本能を発動します！

自分の墓地に存在する恐竜族モンスターを任意の枚数除外  
除外した枚数×400ポイントライフを回復します！

ジュラック・モノロフ、ジュラック・ヘレラ、ジュラック・アウロ  
ジュラック・ガリム、ジュラック・スタウリコを除外し、ライフを  
2000回復です！」

墓地の恐竜族モンスターは全て除外  
ジュラック・ティラヌスの攻撃力は3100

私の残りライフは4800、この攻撃で残りライフは1700  
あ、危なかった……負けるかと思いました。

「逃げられましたか……仕方無いですね  
レジェンド・デビルで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

これで残りライフは200  
一気にここまで逆転されるだなんて……やっぱり強い！

「ターンエンドです」

「私のターン、ドロー！」

このスタンバイフェイズ時、大地震の効果が発動しますが  
残念ながら、私の墓地に恐竜族モンスターは存在しません  
よって大地震は破壊されるだけで効果は不発、何も起こりません」

私の手札は1枚

そしてドローしたカードは……ふふふ。

「ですが何も問題無さそうです

手札より魔法カード、化石調査を発動します

デッキよりLV6以下の恐竜族モンスターを手札に加えます

私が手札に加えるのはディノインフィニティ、LV4です

そしてディノインフィニティを召喚します」

現れる無駄にカラフルな恐竜

これで私の勝ちですね。

「ディノインフィニティの攻撃力は  
自分の除外されている恐竜族の数×1000ポイントです

私の除外されている恐竜族モンスターは5体  
よって攻撃力は5000です!」

「攻撃力5000……」

ふ、私の負けか」

「良い勝負でした

ディノインフィニティでジュラック・ティラヌスに攻撃!」

私の恐竜は返してもらいますよ!

あんまり攻撃したくないですけどね

でも、奪われたままなのは嫌なんです。

『き、決まったーーーーー!』

あの状況での、まさかの大逆転!

勝者、アカデミア女子生徒チームだーーーーー!』

ふう、疲れました

まさかこんなに強いとは……予想はしていましたが  
それでもここまでとは思いませんでした。

「良い勝負でしたね

楽しい時間をありがとう」

「……はい、こちらこそありがとうございます」

最後に握手をして別れる

良い気分ですが、次の相手はまだ分からない状態です  
堅守先輩、視察ぐらい許してくれませんか?

## 152話【長期休暇トーナメント 2戦目】（後書き）

爆★悪★霊チームって……

統一性が薄いのでこんな感じに……

それぞれのデッキを表してみました

作者のネーミングセンスの無さに脱帽。

日野陽二？

リクエストキャラの1人

元氣少年、十代系という感じですよ

芸術家は最後の爆発は芸術から……

本来の言葉なら「芸術は爆発だ！」ですけどね

爆発のバーンデッキみたいなのでこんな感じです。

使用デッキは？

見ての通り、ボム・フェネクスやヴァルカノンを使用したデッキです

M・HEROもと言われていたのですが……無理でした

入れる為のスペースが無かったのでカット

ちなみにE・HEROがそのままなのは普通にアタッカーやバーン

狙いです

他にもチヨロチヨロと変更していますが、こちらもご了承を……

なんか口上が……

作者のセンスの無さを知れ！

とりあえず、作者のセンスは無いみたいです

頑張ってもこの程度とは……

ギラクス・シーアイズ・フォトン・ドラゴン

銀河眼の光子竜って？

最新パックに登場するドラゴン族モンスターです

が、そんなの無視して普通に当たり前のように使いました  
……相性は良いんですよ、相性は  
攻撃力が高すぎて効果を使う必要が薄いという点以外。

フェリ・ルベルって？

リクエストキャラの1人

使用デッキは霊使い、ついでにリチュアも少々……エリアルのをだけに

性格はとにかく可愛い物が好きなお嬢様みたいな少女

みたいなであり、本当のお嬢様ではないという裏設定……無駄設定です。

よくそんなデッキで雪乃と……

寧ろ、危うく雪乃に勝ってしまいそうになって作者自身が焦りました  
どうやって戦えば……実はこの大会の6戦で最も悩んだ対戦です  
ウインを使えなかったのが悔しかったです……ライナもですが  
ちなみにリチュアは使用したりリチュア・エリアル3積みその他1枚です。

雪乃のデッキモンスターが……

みんなの最上級モンスターを突っ込んだデッキに近づいています  
きつともっと増えるでしょう

……ジュラックとか、ゼータ・レティキュラントは入らないと思いたいですが

そして貫通効果モンスターを多用する事にしました  
何せハズレが少ない効果ですからね

普通に攻撃できますし、便利なので今後も愛用していくと思います。

デーモン・ビーバーとかギゴバイトとか入ってるの？

入っています、霊使いの使い魔は全て入っています



が、今回は登場させる余裕はありませんでした

……補充要員や闇の量産工場とか考えていただけに残念です。

セバスチャン・ミカエリス？

リクエストキャラの1人

こういう名前でと言われましたが、本名にするべきか悩みました  
最終的には本名という事に……

裏設定、実は悪魔宗教の人というのを考えたり考えなかったり

黒執事みたいなどか言われたので想像してしまいました

なお、日野陽二やフェリ・ルベルとの関係ですが……こちらは考えていません

お嬢様っぽいフェリに付き従うとも考えたんですが

どうもそんなイメージが湧かなかったので違和感しか無いキャラに

……

なお、今回の話し方は素ではなく演技という無駄裏設定

執事も当然演技、どちらかの兄というのもおもしろそうですが

これ以上考えているとかなり長くなりそうなのでもう止めておきます。

使用デッキは？

見ての通り、悪魔族デッキです

使用して欲しいカードというのでリクエストを戴いたのですが

残念ながら全ては無理でした、主にE-HEROとか

最初に飛ばしすぎたのが原因でしょうか？

大地震はダメージステップでは使用できないんじゃない？

無理でした、そして修正できません

最終的に殆ど影響は無いんですが、話に影響が大きくなりますので  
今回は修正しないままこのままにさせていただきます。

彰子はダーク・ネクロフィアの効果を知らないの？

知っていたら困るので……

それに、レイも彰子の前では使用して……いなかったはずなので知らなかったという事で。

大地震、まさかの不発！

まさかの不発でした……作者もビックリ

こんなにギリギリになるとは思いませんでした

ジュラック・ティラヌスの攻撃力が上がらなければ……

結局、視察は許されたの？

当然ながら許されませんでした、残念。

ツイッター、眠い眠い

<http://twitter.com/#!/ainkuria>

あ、作業用BGM載せるの忘れてました。

### 153話【長期休暇トーナメント 準決勝】（前書き）

「今日の最弱カードはヒーロー見参だ  
相手の攻撃宣言時に発動する罠カード  
相手は自分の手札から1枚をランダムに選択する  
そのカードがモンスターカードだった場合、特殊召喚できるカードだ  
僕は使わないが、十代はよく使っていたな……」

最弱カード担当、エド・フェニックスさんです  
瑞貴曰く赤鳥、まあD－HEROに最上級モンスターは少ないです  
しね。

長期休暇トーナメント  
きつとこの対戦相手は予想済みでしょう  
今回のこのトーナメント、元全日本の3人とこの3人を出す為に企  
画したようなものですしね  
……まあ、それでも理由の半分近くですけど。

アニメオリジナルカード多数に注意  
かなりの数がありますが、詳しくは後書きで  
または自分で調べてください。

次回は日常をしたかったんですが  
最近の更新速度の低下から取り止めます  
次回はやっと3年目です……長かった！

## 153話【長期休暇トーナメント 準決勝】

視点 彰子

『さあ、いよいよ大会也大詰め！

残るは準決勝と決勝の合計3戦のみ！

では準決勝1回戦、アカデミア女子生徒チームVS三銃士チームだ  
—————！』

相手の人達は茶髪を逆立ててる青がイメージカラーっぽい人  
おかつぱみらいだけどちよつと違う、赤紫っぽい髪色の人  
金髪で腕力とかありそうな大きな人  
なんでしょう……凄く強そうな気がします。

「今までの試合見たぜ

お前ら強いな、腕が鳴るぜ」

「手加減はしない」

「……………」

なんだかちよつと怖いんですけど……

威圧感というか、それが凄いです。

『では先鋒、前どうぞ！』

「最初は、私が出ます」

「ウサミン？」

「珍しいわね、随分積極的じゃない」

あの人達は強い

絶対に……最初は1勝をもぎ取らないと！

ゆまさんや雪乃さんを信用していないわけじゃありません  
でも2人のデッキは博打要素が強いのが問題です  
安定性の高い、私が最初に勝たないと！

「ふーん……お願いするわ

私も分かる、あの人達は絶対に強い

最初はお願ひするわ」

雪乃さんも理解してくれました

最初は勝たないといけないという事を……  
だから安定性の高い私に任せてくれました。

「頑張っテネ！」

「はい！」

前に出て、対戦相手と向き合います

最初は茶髪の人……喧嘩とか強そうです。

『先鋒は宇佐美彰子選手VSヴァロン選手！

では試合……開始！』

「俺の名はヴァロン、三銃士の切り込み隊長だ

いくぜ、俺を燃えさせてくれよ！」

「宇佐美彰子です

燃えさせられるかは分かりませんが……燃やす事ならできると思います」

ジュラックの属性的な意味で

あと、体も燃えてますから。

デュエル  
「決闘！」

デュエルディスク  
あの人の決闘盤、市販のとはかなり違う

デュエルディスク  
市販の決闘盤は真ん中の部分が出っ張り、左右に広がるタイプ

デュエルディスク  
ですがあの人の決闘盤は端から伸びていました

デュエルディスク  
自作の決闘盤でしょうか？ 改造は難しいって聞いた事がありますけど。

「先攻は俺だ、ドロー！」

「アーモンスター、サイキック・アーモア・ヘッドを召喚！」

攻撃力0のモンスターを攻撃表示？

しかも出てきたのはヘルメットみたいなモンスター

どんな効果を……

「更に永続魔法、マシン・デベロッパーを発動！

場に存在する全ての機械族モンスターの攻撃力を200ポイントアップさせる」

攻撃力0が200に……ですがそれだけでしょうか？

他に何が目的が……分かりません。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

あの伏せカード……確実に狙っていますね  
そうでなければ攻撃力200のモンスターをそのままになんてしま  
せんし。

「私のターン、ドロー！」

攻撃するべきか、しないべきか……悩みます  
攻撃すれば大ダメージを与えられるのは確実  
ですが、それは態々自分から罠に嵌りに行くようなもの  
少し、様子を見ましょう。

「ジュラック・スタウリコを守備表示で召喚します  
カードを1枚伏せ、ターンエンドです」

「攻撃しないのか？」

「しません」

残念そうな顔をされました  
つまり、罠を仕掛けていると……

「そうか……だが、俺は手加減しない！  
俺のターン、ドローフェイズ時にサイキック・アーマー・ヘッドの  
効果を発動！」

ドローフェイズ時に効果の発動！？  
どんな効果を発動するのか……

「ドローフェイズにカードを1枚ドローする代わりに  
デッキからアーモンスター1体をデッキから手札に加える！  
俺が選択するのは、バスター・パイル・アーマー！」

アーモンスターは知りませんが

好きなカードを手札に加える効果は強力……厄介ですね  
やはり先に倒しておくべきでした。

「バスター・パイル・アーマーを攻撃表示で召喚！」

出てきたのは右腕のアーマー  
マシン・デベロッパの効果で攻撃力は200ポイントアップ  
それでも、元々の攻撃力は0ですからあまり変わりありません。

「ふん、さあ、バトルだ！」

バスター・パイルを装着！」

「装着！？」

バスター・パイル・アーマーがヴァロンさんの腕に……  
何がどうなって……私、喧嘩している訳じゃないんですけど？

「いくぞ！」

バスター・パイルでジュラック・スタウリコに攻撃！」

「そんな！」

攻撃力200で守備力400のジュラック・スタウリコに攻撃して  
も！」



「バスター・パイルのモンスター効果！」

このモンスターが攻撃する時、戦闘では破壊されず、自分が受ける戦闘ダメージは0となる！

そして戦闘終了後、戦闘を行った相手モンスターを破壊更に相手に500ポイントのダメージを与える！」

攻撃する時限定のダメージ無効化効果！？

しかも効果破壊に、ダメージまで与えるだなんて！

ヴァロンさんがジュラック・スタウリコに近づき、殴り飛ばす

って、本当に殴るんですか！？

ダイレクトアタック  
直接攻撃になった時が凄く怖いんですけど！

「さあ、バスター・パイルの効果だ

そのモンスターは破壊され、500ポイントのダメージを受けな」

クッ……ジュラック・スタウリコは戦闘で破壊された時

自分の場に2体のトークンを特殊召喚するモンスター

でも、バスター・パイルの攻撃じゃなく、効果で破壊されたから効果を発動できません！

「アーマーモンスターは自分のターンに1体しか攻撃できない

俺はこれでターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

ジュラック・グアイバを攻撃表示で召喚します！」

攻撃力は1700、攻撃力差は大きいですよ！

これを受けて、平気でいられますか？

「バトルです！」

ジュラック・グアイバでバスター・パイルに攻撃！」

「無駄だあ！ アーマーモンスターの効果発動！

アーマーモンスターが攻撃対象となった時

攻撃対象を他のアーマーモンスターに変更する事ができる！

俺が選択するアーマーモンスターは、サイキック・アーマー・ヘッド！

そして永続罨、スピリットバリアを発動！

モンスターが受ける戦闘ダメージを0にする！」

ダメージは0でも、サイキック・アーマー・ヘッドは撃破できませんでした！

これで好きなモンスターを手札に加える事はできません！

「ジュラック・グアイバの効果発動！

戦闘で相手モンスターを破壊した時

自分のデッキから攻撃力1700以下のジュラックと名の付くモンスターを特殊召喚します！

ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターは、このターン攻撃できません

私が召喚するモンスターは……攻撃力800のジュラック・プティラを守備表示で特殊召喚！」

ただ、バスター・パイルを倒せなかったのは痛いですが、戦闘破壊でこそ真価を発揮できるジュラックには天敵ですし。

「マシン・デベロッパーの効果発動！

場の機械族モンスターが破壊される度に、ジャンクカウンターを2つ乗せる！」

ジャンクカウンター？

ジャンク……蘇生効果とかも持っているんでしょうか？

そうなる厄介な事に……

「私はカードを1枚伏せ、ターンエンドです」

「俺のターン、ドロー！

スタンバイフェイズ時、サイキック・アーマー・ヘッドの効果発動！  
墓地にこのカードが存在している時、こいつを自分の場に攻撃表示で特殊召喚する！

戻ってこい、サイキック・アーマー・ヘッド！」

自己蘇生効果！？

だからこのモンスターに攻撃を移し、スピリットバリアを……  
これじゃあ戦闘ダメージをなかなか与えられない！

しかも、今度はサイキック・アーマー・ヘッドを頭に装着しました  
ヘルメットにガントレット……強そうです。

「トラップ・バスター・アーマーを召喚！」

今度は左腕……そしてまた元々の攻撃力が0ですか  
また嫌な効果を持っていそうですね。

「バスター・パイルで、ジュラック・グアイバに攻撃！」

再び殴り掛かってくるヴァロンさん

ですが、そう何度も攻撃を受けてあげる必要は無いんです！

「罠カード、炸裂装甲リアクティブアーマーを発動します！  
相手の攻撃宣言時、攻撃モンスターを破壊します！」

「舐めるなあ！ トラップ・バスターの効果発動！  
俺の場に存在するアーマーモンスターは罠カードの効果を受けない！  
よって、俺には炸裂装甲リアクティブアーマーの効果なんぞ、通用しない！」

「罠効果無効！？」

拳がジュラック・グアイバに突き刺さり、破壊される  
そして私には再び500ポイントのダメージが……強い！

「俺はこれでターンエンドだ  
さあ、どんどん掛かってこい！」

挑発ですか？

……いえ、本気で戦いたいという感じです  
私だって、手加減なんてしませんよ！

「私のターン、ドロー！  
ジュラック・モノロフを召喚します！」

「む……確かそいつは全体攻撃モンスター  
なるほど、それで俺のアーマーモンスターを全滅させようって事か」  
2回戦で見せてしまいましたからね  
ですが、効果を知っているのなら話は早い！

「ジュラック・プティラを攻撃表示に変更します！  
更に手札からキラザウルスを墓地へ送り、効果を発動！」

デッキからジュラシックワールドを手札に加えます！

そしてそのままフィールド魔法、ジュラシックワールドを発動！

このカードの効果により、恐竜族モンスターは攻撃力と守備力が300ポイントアップします！」

辺りはジャングルに

さあ、どうしますか？

「バトルです！

ジュラック・モノロフで全モンスターに攻撃！」

ジュラック・モノロフは尾でヴァロンさんを殴り飛ばします

それを右腕のバスター・パイルで受け止めるも、破壊されました

噛みつかれそうになった時、左腕のトラップ・バスターで受け止めます

最後の頭突きはサイキック・アーマー・ヘッドで受けました。

スピリットバリアの効果でダメージは0ですけど

厄介なアーマーモンスターは全滅です！

「ジュラック・プティラで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「ぐうっ！」

攻撃力は1100と低いですけど

それでもダメージに変わりはありません！

「マシン・デベロッパーの効果

機械族モンスターが破壊された事でジャンクカウンターを乗せる3体破壊されたことにより、6個のカウンターが乗った！」

また……何かしてくるのは確実ですが  
今の私にはどうしようもありません。

「私はこれで、ターンエンドです」

「俺のターン、ドロー！」

サイキック・アーマー・ヘッドの効果により、特殊召喚！

そして魔法カード、アーマード・グラビテーションを発動！

自分のデッキからアーマーモンスターを4体選択し、特殊召喚する！  
ただし、エンドフェイズ時に特殊召喚したモンスターは全て墓地へ  
送られるがな」

無条件で4体の特殊召喚！？

いくらエンドフェイズ時に消えて、攻撃も1体だけでも  
それは反則なんじゃ……

「ビックバン・ブロー・アーマー！」

アクティブ・ガード・アーマー！

オーバー・ブースト・アーマー！

ブラックホールシールド・アーマー！」

右腕、両足、体、左腕

それぞれのパーツと頭のサイキック・アーマー・ヘッド

揃って……どうなるんでしょう！

「ビックバン・ブローのモンスター効果、こいつが戦闘で破壊され  
た時

場に存在する全てのモンスターの総攻撃力分のダメージをお互いの  
プレイヤーへ与え

その後、場のモンスターを全て破壊する！

俺の場にはビックバン・ブローを除く、攻撃力200のアーマーモンスターが4体

お前の場には攻撃力1800と、1100のモンスター  
合計ダメージは3700ポイントだ！」

「そんな事したら貴方のライフも！」

「ふん……試してみるか？」

ビックバン・ブローでジュラック・モノロフに攻撃！」

このままでは良くて引き分け

ダメージを防がれたら……私の負け！

ですが、私だってそう簡単に負けるつもりはありません！

「速攻魔法、神秘の中華鍋を発動！

自分の場のモンスターを1体、生け贄に捧げ

そのモンスターの攻撃力か守備力分のライフを回復します！

私はジュラック・プティラを生け贄に、ライフを1800ポイント  
回復します！」

これで私のライフは1800回復し、4800！

更にビックバン・ブローの効果で受けるダメージも減ります！

「チィッ！」

ジュラック・モノロフは反撃として尾をビックバン・ブローに叩き  
つけます

ビックバン・ブローは破壊され、爆発しました。

「ビックバン・ブローの効果発動！

お互いに場のモンスターの攻撃力の合計ダメージを受ける！

俺のモンスターの攻撃力を合わせたら合計で800ポイント

お前の場合は1800、合計で2600のダメージを受けてもらおう」

「ですが、それは貴方も同じなのでは？」

私のライフは減り、残りは2200

ヴァロンさんのライフも……減らない！？

「アクティブ・ガードの効果だ

こいつが存在している限り、俺は効果ダメージを受けない

そして、ビックバン・ブローの効果で場のモンスターは全滅！」

なんて豪快な……そして強い！

そして厄介な効果を持つモンスターばかりです！

「ビックバン・ブローの破壊、そして効果でも破壊

効果での破壊は同時扱いだから1回分として数える

これにより、ジャンクカウンターを合計4つ乗せる！

まだまだ終わらないぞ！ 魔法カード、フルアーマー・グラビティ  
ションを発動！

デッキを10枚捲り、その中のアーマーモンスターを可能な限り攻  
撃表示で特殊召喚する！

そして、それ以外のカードは全て墓地へ送る！」

アーマーモンスター限定の速攻召喚カード！？

デッキを10枚捲ってモンスターを特殊召喚だなんて……

5体確率はそれなりに高そうです。



「俺が召喚するアーマーモンスターはこいつらだ！

サイキック・アーマー・ヘッド！

トラップ・バスター・アーマー！

バーニング・ナックル・アーマー！

ジェット・ガントレット・アーマー！

ダブル・クロス・アーマー！」

ダブル・クロス・アーマー以外はヴァロンさんに装着される  
残ったダブル・クロス・アーマーが……凄く気になります。

「モンスター以外のカード

または召喚しきれなかったモンスターは墓地へ送られる  
俺はこれでターンエンドだ！」

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドローします！

続いて魔法カード、死者蘇生を発動！

墓地からモンスターを1体選択し、特殊召喚します！

ジュラック・プティラを特殊召喚します

そして俊足のギラザウルスを特殊召喚扱いで召喚！

ただし、相手は墓地からモンスターを特殊召喚できますが、貴方の  
場は埋まっています！

2体のモンスターを生け贄に、ジュラック・タイタンを召喚します  
！」

攻撃力3000の、ジュラック最強モンスターです！

一時的でも攻撃力が4000にまでなるジュラック・タイタン  
しかもジュラシックワールドの効果で攻撃力は3300です  
そう簡単に倒せると思わないでください！

「ジュラック・タイタンで、サイキック・アーマー・ヘッドに攻撃  
！」

「サイキック・アーマー・ヘッドの効果発動！  
他のアーマーへ攻撃対象を変更する！

攻撃対象は、ダブル・クロス・アーマーだ！」

やっぱり何か効果が！

「ダブル・クロス・アーマーは自分から攻撃する事はできないが  
こいつが攻撃対象となった時  
自身と相手モンスターを破壊し、その攻撃力の半分のダメージを相  
手に与える！」

「やっぱり厄介な効果を持っていましたか……ですが無駄です！  
ジュラック・タイタンの効果はモンスター、罠の効果対象となりま  
せん！

つまり、私のモンスターは破壊されずにそのまま攻撃が続行されま  
す！」

「な、なんだと！？」

ダブル・クロス・アーマー、撃破です！

もしジュラック・タイタンじゃなかったらと思うと……危なかった  
負けるかと思いました。

「回避されたか

マシン・デベロッパーにジャンクカウンターを2つ乗せる！」

「カードを1枚伏せて、これでターンエンドです」

このままどうにかして勝つ！  
モンスターを召喚して、数さえ揃えれば……

「お前は確かに強い、だが……勝つのは俺だ！

俺のターン、サイキック・アーマー・ヘッドの効果発動！  
デッキからアーマーモンスターを選択し、手札に加える！  
俺が選択するモンスターは……ビックバン・ブローだ！」

このタイミングで……

「サイキック・アーマー・ヘッドも墓地から特殊召喚できるが  
今は不要だ、特殊召喚しない！

そして、ビックバン・ブローを召喚！  
これで終わりだぁ！ ビックバン・ブローでジュラック・タイタン  
に攻撃い！」

ジュラック・タイタンに殴り掛かり、粉碎されるビックバン・ブロー  
そして爆発……決まれば私の負けですけど、終わらない！

「罠カード、生存本能を発動します！

墓地に存在する恐竜族モンスターを任意の数除外

そして、除外した数×400ポイントライフを回復します！

ジュラック・モノロフ、ジュラック・グアイバ、ジュラック・プテ  
イラ

ジュラック・スタウリコ、俊足のギラザウルス、キラーザウルスの  
6体を除外します！

これにより、ライフを2400ポイント回復します！」

これで私のライフは4600！

負けません、負けませんよ！

「ビックバン・ブローが破壊された時

場のモンスターの攻撃力の合計ダメージをお互いに与える！

俺の場には攻撃力200が4体で800

お前の場には攻撃力330、合計で4100……足りないか！

ビックバン・ブローと効果破壊された俺の機械族

合計して4個のジャンクカウンターを乗せる！」

これで合計して18個

いったいどういう効果が……

「マシン・デベロッパーの効果を発動しよう

マシン・デベロッパーを墓地へ送る事で

こいつに乗っているジャンクカウンターの数以下のLVを持つ

機械族モンスターを自分の墓地から1体選択し、特殊召喚する！

俺が特殊召喚するのは……ダブル・クロス・アーマーだ！」

このタイミングで……ダブル・クロス・アーマーですか！

攻撃した瞬間、私の負けが確定しますね

私のライフは500で、攻撃したモンスターの攻撃力の半分のダメージを与える効果

攻撃力1000以上のモンスターで攻撃した時、私の負けです！

「さあ、これが俺の足掻きだ！

ターンエンド！」

「私のターン、ドロー！」

……ジュラック・アウロを召喚します！」

攻撃力は200、ジュラシックワールドの効果で500！

これならどうにかかります！

攻撃しても、私は負けません！

「ジュラック・アウロでダブル・クロス・アーマーに攻撃！」

小さいながらも燃える体で体当たりをするジュラック・アウロ

ダブル・クロス・アーマーに殴られ、破壊されましたけど

それでも、私は負けていません！

「ダブル・クロス・アーマーの効果！

攻撃対象となった時、相手モンスターを破壊！

そしてその攻撃力の半分のダメージを与える！

与えるダメージは250ポイントだな」

残りライフは250

まだまだ終わりません！

最後まで諦めませんよ、私は！

「ターンエンドです！」

「俺のターン、ドロー！」

スタンバイフェイズ時、サイキック・アーマー・ヘッドを特殊召喚！

そして……魔法カード、フェニックス・グラビテーションを発動！

自分の墓地に存在するアーマーモンスターを4体選択し……特殊召喚する！」

また大量召喚ですか！？

でも、攻撃力0のアーマーモンスターがいくら出てきても……

「アクティブ・ガード・アーマー！  
オーバー・ブースト・アーマー！  
バスター・ナツクル・アーマー！  
ブラックホールシールド・アーマー！」

装着されるアーモンスター達でも、どれも攻撃力は0

それでどう勝つつもりですか？

「バスター・ナックルの効果を教えてやろう  
自分の場に存在するアーマーモンスターの数×200ポイント  
攻撃力を……アップさせる効果だ！」

「攻撃力を……アップ？」

「俺の場にアーマーモンスターは5体  
よって、バスター・ナツクルの攻撃力は1000！  
これで終わりだ、受け取れええええええ！」

ちよ、待つて、待つてください！  
本当に殴り掛かってこないでええええええ！

思わず目を閉じ、衝撃に備えました  
けど、なかなか衝撃が来ない？

目を開けてみると、私の手前で止まっている拳が？という事は……殴られていないんですね？

「本気で殴ったりしないさ  
だが、俺の勝ちだな」

「……そう、ですね  
私の負けです」

『き、決まったーーーーー！  
強力な恐竜達を殴り飛ばし、勝利を収めたのはアーマーモンスター！  
ヴァロン選手の勝利ーーーーー！』

負けました……強い人でした  
できれば最初は勝ちたかったですけど  
やっぱり私達もまだまだ甘かったって事でしょうか？

「負けてしまいました  
あんな事を言ったのに……ごめんなさい」

「良いのよ、相手は強かったし  
私達が勝てばいいだけの話よ」

「うんうん  
次は私、頑張るネ！」

『中堅は宮田ゆま選手VSアメルダ選手！  
では、初めてください！』

「負けませんから！」

「ま、頑張りな」

「「決闘！」  
デュエル」

「先攻は僕だ、ドロー」

魔法カード、増援を発動

デッキからLV4以下の戦士族モンスターを手札に加える  
僕は科学特殊兵を手札に加え、そのまま守備表示で召喚」

こ、攻守800の通常モンスター？

なんでそんなモンスターを……駄目ですね

堅守先輩みたいに変な使い方とかされたと思うと油断できません。

「カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

通常モンスターを中心としたデッキ？

ですがそれでも攻撃力の低さが気になります。

「私のターン、ドロー！

D・D・アサイラントを召喚！」

「罠カード、隠れ兵を発動

相手がモンスターを召喚、反転召喚した時

手札からLV4以下の闇属性モンスターを特殊召喚する

僕が特殊召喚するのは魔界の機械兵だ、守備表示で特殊召喚」

また攻撃力の低い通常モンスター……

どういう意味が有るんでしょう？

「むう……D・D・アサイラントデ魔界の機械兵に」

「罠カード、威嚇する咆哮を発動

このターン、相手は攻撃宣言ができない」



態々守る？

何か必要な事があるんでしょか？

「攻撃できない……カードを1枚伏せて、ターンエンドです」

珍しいですね

ゆまさんが1枚もゼータ・レティキュラントを墓地へ送れないなんて大抵1ターンで1枚以上は墓地へ送る事が多いのに。

「僕のターン、ドロー」

サイファー・スカウターを守備表示で召喚」

サイファー・スカウター……ですか

確かあのモンスターの効果は戦士族との戦闘時

攻撃力、守備力が2000ポイントアップするカード。

ゆまさんは戦士族を多めに使うから注意するようにと言われたカードです

その本人であるゆまさんが覚えているかは分かりませんが……ですが、どうして守備表示で召喚したんでしょうか？

D・D・アサイラントは戦闘で破壊された時、相手モンスターを除外しますが

それでも大きなダメージを与える事ができるはずです

守備表示で出す意味は薄いような……

「罠カード、ソルジャー・リポルトを発動

自分の場に科学特殊兵、魔界の機械兵、サイファー・スカウターが存在している時

相手の場のカードを全て破壊し、手札も全て墓地へ送ってもらう」

「……へ？」

なんですかその大革命は！？

大革命と同じ効果って……それをこんなに簡単に揃えるだなんて！

「さあ、消えろ！」

「ひゃあああ！」

D・D・アサイラントが破壊され、伏せられていた次元幽閉も破壊  
4枚の手札も全部捨てさせられて……これは酷いですね  
総攻撃を受けたら1400、800、1350の合計、3550の  
ダメージです

でも、どうして守備表示のままなんでしょうか？

「ソルジャー・リボルトを発動したターンはバトルフェイズを行う  
ことができない

これでターンエンドだ」

だから守備表示にしたんですね

次のターンは攻撃可能……ゆまさん、モンスターをドローしてくだ  
さい！

「こんなに早く大ピンチ……私のターン、ドロー！  
カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

このタイミングでモンスターをドローできなかった……  
これは、負けでしょうか？

「モンスターをドローできなかったか、残念だったな  
僕のターン、ドロー、KC1クレイトンを召喚」

戦車のモンスター？

なんというか、変わったモンスターですね

ヴァロンさんのアーマーモンスターほどじゃないですけど。

「攻撃力は……1500ですか

ギリギリセーフで助かりましたあ」

「助かった？

合計攻撃力は5050だ

助かる手段なんて……」

「罠カード、奈落の落とし穴を発動！

相手が攻撃力1500以上のモンスターを召喚、反転召喚、特殊召喚した時

そのモンスターを破壊し、除外します！

KC1クレイトンを破壊、除外！」

「何だと!？」

あのドローでそのカードを!？」

ゆまさん、よくそのカードをドローしました！

もう駄目かと思いましたよ。

「更に墓地に存在するゼータ・レティキュラントの効果発動！

相手の場のモンスターが除外された時

私の場に攻守500のイーバトクンを1体、特殊召喚する！

私の墓地にはゼータ・レティキュラントが……3体！

よっティーバトークンを3体、守備表示デ特殊召喚！」

「3体だと!？」

まさか最初から手札に3体のゼータ・レティキュラントが！」

「はい、3枚ありました！」

どう考えても手札事故ですよね!？」

相手の人が凄く可哀想になるんですけど！

完全に利用されていますし！

悪運が凄いですね……ゆまさん。

「クッ……科学特殊兵、魔界の機械兵、サイファー・スカウターを  
攻撃表示に変更！」

イーバトークンに攻撃！」

驚いて焦ってますね

攻撃力の低い科学特殊兵まで攻撃表示ですし

伏せカードは気になりますけど……無視しても大丈夫そうですね。

「ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！

ロケット戦士を召喚し、更に装備魔法、ライトイレイザーをロケット  
戦士に装備！」

ロケット戦士!？」 どうしてそんなカードを……

装備されたカードはライトイレイザーですね、確か光属性戦士族に  
しか装備できないカード

効果は……戦闘を行ったモンスターをダメージステップ終了時に除外する効果

そしてロケット戦士の効果は……あ！

「バトル！

ロケット戦士デサイファー・スカウターに攻撃！」

「馬鹿め！ サイファー・スカウターの効果発動！

戦士族モンスターと戦闘する時、攻撃力と守備力を2000ポイントアップする！

ロケット戦士は返り討ちだ！」

「ロケット戦士の効果！

自分ターンのバトルフェイズ時、戦闘では破壊されず、戦闘ダメージも0になります！

更にライトイレイザーの効果、戦闘後、装備モンスターと戦闘を行ったモンスターを除外する！」

「な、なんだと！？」

あ、だからロケット戦士に装備したんですね

それに装備できるモンスターも何体か入っていますし

ギルフォード・ザ・ライトニング、異次元の女戦士、聖導騎士イシユザーク

他にも光属性戦士族は意外と強力なモンスターが多いですね。

ロケット戦士はロケット形態に変形せず

持っているライトイレイザーで攻撃

サイファー・スカウターは除外され、消えていきました。

「相手の場のモンスターが除外されたことデゼータ・レティキュラントの効果発動！」

イーバトークンを守備表示デ3体、特殊召喚！  
コレデターンエンド！」

「僕のターン、ドロー！」

2体目の科学特殊兵を召喚！

更に魔法カード、魔空合身を発動！

自分の場のモンスターを3体生け贄に捧げる

僕はサイファー・スカウター、魔界の機械兵、科学特殊兵を生け贄に捧げ

デッキより、魔空要塞ジグラートを特殊召喚する！」

巨大な要塞が空中に……なんですか、あれ？

「ジグラートは相手の魔法、罠カードの効果を受けないよってライトイレイザーの効果も受けないということだバトル！ ジグラートでロケット戦士に攻撃！」

ジグラートの砲身がロケット戦士に向き、放たれる

ジグラートの攻撃力は2500、攻撃力差は1000

ゆまさんに1000ポイントのダメージですね。

ゆまさんの場にトークンは3体残っていますけど

この状況は少し厳しいかもしれませんね。

「エンドフェイズ時、ジグラートの効果発動

自分ターンのエンドフェイズ時

自分の場に攻守0のティロボットトークンを1体、特殊召喚する

そしてティロボットトークンが存在する限り、相手はティロボット

トークン以外に攻撃できない  
トイロボットトークンを守備表示で特殊召喚し、僕のターンはこれで終了だ」

厄介なトークンですね

どちらもトークンを使用するデッキですか……  
それはそれで珍しい対決です、

「私のターン、ドロー！」

何もせず、ターンエンドです！」

「僕のターン、ドロー！」

ジグラーでイーバトークンに攻撃！」

アッサリと破壊されるイーバトークン  
ゆまさん、この後どうするんですか？

「エンドフェイズ時、トイロボットトークンを守備表示で特殊召喚  
ターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

何もせず、このままターンエンドです！」

「万策尽きたか？ 僕のターン、ドロー！」

ジグラーでイーバトークンに攻撃！

そしてエンドフェイズ時にトイロボットトークンを特殊召喚して  
ターンエンドだ」

一進一退の攻防だったんですが  
ゆまさんが段々と押されてきています

ゆまさん、頑張って！

「私のターン、ドロー！」

魔法カード、天よりの宝札を発動！

場と手札を全テ除外し、手札が2枚になるようにドローする！

手札の1枚と、イーバトークンを除外！

私の手札は0枚なのデ2枚ドロー！」

これで逆転のカードをドローできるといいんですけど……  
やはり難しいと思いますが、頑張ってください！

「よし、エレキジを召喚！」

攻撃力が1000の……電気を纏った鳥ですか？

鳥なのに雷族って、凄く珍しいですね  
どんな効果を持っているんでしょう？

「エレキジは相手にダイレクトアタック直接攻撃できる！

エレキジデ直接攻撃！」

「チッ……だが、まだ1000ポイントのダメージ  
僕の圧倒的有利に変わりは無い」

確かに、攻撃力1000では簡単に倒されてしまいます

ジグラーの攻撃で1500のダメージを受けます

残りライフが3000ですから、残りライフは1500でアメルダ  
さんの半分しか残りませんね

もしモンスターを召喚されたら高確率で負けが確定します。

「エレキジの効果発動！」



このモンスターが直接攻撃によって相手に戦闘ダメージを与えた時場のモンスターを1体選択し、そのモンスターをエンドフェイズ時まで除外する！

私が選択するのはジグラート、ジグラートをエンドフェイズ時まで除外！

そして相手の場のモンスターが除外された事デীবートークンを守備表示デ3体特殊召喚！」

凄い……まさかこんな手段でトークンを特殊召喚するだなんてあのモンスター、堅守先輩にポイントで貰ったんですか？最近あまり活躍していなかったから可能性は高そうです。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド  
ジグラートはこの瞬間、場に戻ってくる」

ですが、エレキジを攻撃表示で残すのは危険ですねやはりダメージは大きいですし。

「僕のターン、ドロー  
魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロー！  
2体目の魔界の機械兵を召喚！  
ジグラート、エレキジに攻撃だ！」

砲台からの攻撃で簡単に破壊されるエレキジ  
ダメージは1500と、大きいダメージですね。

「ついでに魔界の機械兵でীববটóóóóに攻撃！  
カードを1枚伏せ、僕はこれでターンエンドだ  
エンドフェイズ時、トイロボットトークンを守備表示で特殊召喚する！」

トイロボットトークンは3体ですね

この壁を突破するのは……かなり大変ですよ。

「私のターン、ドロー！」

罠カード、活路への希望を発動！

相手よりライフが1000ポイント以上少ない時、ライフを1000ポイント支払って発動！

相手とのライフ差1000ポイントにつき、カードを1枚ドローします！

私のライフはライフコストで残り500、貴方のライフは3000！  
ライフ差は2500なのデ2枚ドロー！」

最後の賭けですね

これでこの試合の勝敗が決まりそうです。

「永続魔法、異次元隔離マシーンを発動！

お互いの場のモンスターを除外します！

私の場のイーバトークン、貴方の場の魔界の機械兵を除外！

そして相手の場のモンスターが除外されたのデイーバトークンを3体、守備表示デ特殊召喚！

更に永続魔法、冥界の宝札を発動！

私ガモンスターを2体以上生ケ贄にしテ生ケ贄召喚をした時  
デッキからカードを2枚ドローする！」

ゆまさんの場には4体のイーバトークン  
これは……期待できるかもしれません！

「3体のイーバトークンを生ケ贄に捧ゲ  
ギルフォード・ザ・ライトニングを召喚！

ギルフォード・ザ・ライトニングの効果発動！

このモンスターを3体の生ケ贄デ召喚した時  
相手の場に存在するモンスターを全テ破壊する！」

「な、僕のモンスターが全滅！？」

ジグラートは魔法と罠だけ無効、モンスター効果は受けます！  
更に邪魔なトイロボットトークンも消せて一石二鳥  
いえ、更に冥界の宝札で2枚ドローできるので一石三鳥です！

「2体以上のモンスターを生ケ贄にしテ生ケ贄召喚に成功  
よッテ冥界の宝札の効果デ2枚ドロー！  
ギルフォード・ザ・ライトニングデ直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「クッ、速攻魔法、トイロボットBOXを発動！  
手札を1枚捨て、トイロボットトークンを3体特殊召喚する！  
僕は3体のトイロボットトークンを守備表示で特殊召喚！」

守られた！

やっぱりそう簡単には倒せないみたいですね。

「む……ならトイロボットトークンに攻撃！」

トイロボットトークンを破壊

ジグラートも居ませんし、これならそう簡単に負ける事は無いと思います。

「カードを1枚伏セテ、ターンエンド！」

「僕のターン、ドロー！」

サイファア・スカウターを召喚！」

あ、負けでしょうか？

ギルフォード・ザ・ライトニングの攻撃力は2800

サイファア・スカウターの上昇した後の攻撃力は3350

その攻撃力差は550……残りライフ500のゆまさんでは耐えきれません！

「よく頑張ったが……僕の勝ちだ！

サイファア・スカウターでギルフォード・ザ・ライトニングに攻撃  
！」

「罠カード、ガード・ブロックを発動！

1度だけ戦闘ダメージを0にし、デッキからカードを1枚ドロースる！」

た、耐えきりました！

ゆまさんも頑張っています！

「しつこい奴だ……ターンエンド！」

「私のターン、ドロー！」

墓地に存在する闇属性、ダーク・グレファアと光属性、ロケット戦士を除外！

カオス・ソーサラーを特殊召喚！

そしてカオス・ソーサラーの効果発動！

1ターンに1度、相手の場のモンスター1体を除外できる！

この効果でサイファア・スカウターを除外し、イーバトクンを特殊召喚！

ただし、この効果を使ったターン、カオス・ソーサラーは攻撃でき

ない！」

「さっきから除外ばかり……鬱陶しい奴だな」

そう言わないでください

ゆまさんだって頭を痛めて痛めて、頑張って作ったんですから  
ゆまさん……あまり頭が良くないですからね。

「そしてカオス・ソーサラーとイーバトーン1体を生ケ贄に  
アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
古代の機械巨竜を召喚！」

あ、古代の機械！？ クロノス先生のカードを……いつの間に  
最上級モンスターで、しかも厄介な効果を持っているからでしょう  
か？

だとすれば……堅守先輩、どれだけ要求したんですか？

「冥界の宝札の効果で2枚ドロ！」

私の勝ちです！

イーバトーン2体で、トイロボットトーン2体に攻撃！」

「な……そんな……」

「終わり！」

アンティーク・ギアガジェルドラゴダイレクトアタック  
古代の機械巨竜で直接攻撃！」

「うおおああ！」

か、勝った！

ゆまさんの勝ちです！

あの強い人を相手に勝ちました！

『な、なんと……アカデミア女子生徒チームが勝利した……！  
三銃士チーム、全試合2連勝ならず！ 恐るべき、アカデミア女子  
生徒チーム！』

さあ、大將戦を始めるぞ――！」

まさか……今までの試合、毎回2連勝していたんですか!?

そうなる**と最後のあの人は……怖い**です

きっと凄く強い人なんだと思います。

「勝った、勝ったあ！」

「最後、ユキノンお願い！」

「ええ、任されるわ」

私も勝って、決勝戦に行くわよ！」

「頑張ってください、雪乃さん！」

雪乃さんは気合を入れ、決闘場に向かう  
デュエルフィールド  
相手の人は既に決闘場で仁王立ちをしていました。

「貴方が私の相手ね」

私は藤原雪乃よ、よろしく」

「私はラフェール」

「この大会では初試合だ」

やっぱり……この人、どれほどの実力なのでしょう？

前の2人より強いとは思いますがけど。

「あら、それは怖いわ  
手加減はしてくださるのかしら？」

「悪いが勝負に手加減は失礼だと思っている  
残念ながら、期待に応える事は難しそうだ」

お互いの視線がぶつかり合う  
構え……始まりますね。

デュエル  
「「決闘！」」

「先攻は私だ、ドロー

永続魔法、守護神の宝札を発動

手札を5枚捨て、その後2枚ドローする

そして次のドローフェイズからカードを2枚ドローする」

ドロー強化カード……強いですね

最初に手札を5枚捨てるコストは辛いですが  
それを補って有り余る効果です。

「バック・アップ・ガードナーを守備表示で召喚  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

守備力が2200の下級モンスター

でも、雪乃さんのデッキではその程度の攻撃力……

「私のターン、ドロー！」

カードを3枚伏せ、ターンエンドよ」

ああ！ 手札事故！

雪乃さんのデッキなら当たり前ですけど  
何もこんな時に事故を起こさなくても！

「私のターン、守護神の宝札の効果で2枚ドロ  
装備魔法、蝶の短剣―エルマをバック・アップ・ガードナーに装備  
させる

蝶の短剣は装備モンスターの攻撃力を300ポイントアップさせる」  
守備表示のバック・アップ・ガードナーに装備カード？  
それに元々の攻撃力は500、300ポイントアップしてもたった  
の800

いったい何の意味が……

「そして蝶の短剣が存在している時のみ、このモンスターを召喚で  
きる

私はガーディアン・エルマを召喚する」

装備カードが無いと召喚できないモンスター？  
でも、その割には攻撃力は1300と低め  
厄介な効果でも持っているんでしょうか？

「ガーディアン・エルマが召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
自分の墓地より装備魔法を1枚選択し、ガーディアン・エルマに装  
備できる

私は墓地より、ガーディアン・シールドをガーディアン・エルマに  
装備させる

これにより、ガーディアン・エルマの守備力は300ポイントアッ  
プする

更にバック・アップ・ガードナーの効果を発動

このモンスターに装備されている装備魔法を、1ターンに1度だけ



別のモンスターに装備し直す事ができる

バック・アップ・ガードナーに装備されている蝶の短剣を、ガーディアン・エルマに装備」

エルマの攻撃力は1600

高いとは言えませんが……モンスターの居ない雪乃さんは大丈夫で  
しょうか？

「ガーディアン・エルマでプレイヤーに直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「速攻魔法、スケープ・ゴートを発動！

自分の場に攻守0の羊トークンを4体、守備表示で特殊召喚するわ！  
ただし、生け贄召喚の生け贄には使用できない！」

壁モンスターを4体特殊召喚ですね

ダイレクトアタック  
これで直接攻撃は防げます！

「ならば、ガーディアン・エルマで羊トークンに攻撃！」

エルマが短剣を投げ、羊トークンを破壊

トークンは残り3体ですが……壁としては十分ですね。

「私はこれでターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！」

ネフティスの導き手を召喚し、効果を発動！

このモンスターと自分の場に存在するモンスター1体を生け贄に捧げ  
デッキか手札より、ネフティスの鳳凰神を特殊召喚する！

導き手と羊トークンを生け贄に、デッキよりネフティスの鳳凰神を  
特殊召喚！」

攻撃力は2400、十分エルマを倒せます！  
エルマの攻撃力は1600、それともバック・アップ・ガードナーを倒すべきでしょうか？

「更に魔法カード、モンスターゲートを発動！

自分の場のモンスターを1体生け贄に捧げる

自分のデッキを上から順番に、通常召喚可能なモンスターが出るまで捲る

そしてそのモンスターを特殊召喚し、それ以外のカードは全て墓地へ送るわ

羊トークンを生け贄に、1枚目、モンスターゲートは魔法カード

2枚目はトレード・イン、魔法カードね

3枚目はメタル・リフレクト・スライム……罨カード

4枚目、エンジェルナイト天空騎士パーシアス……通常召喚可能なモンスターよ  
パーシアスを攻撃表示で特殊召喚！」

攻撃力は1900と低いですが、それでも強力なモンスターです！  
貫通効果にドロウ効果、これなら……

「バトルよ！

パーシアスでエルマに攻撃！」

「ガーディアン・シールドの効果発動

ガーディアンと名の付くモンスターが戦闘で破壊される時  
このカードを代わりに破壊し、モンスターの破壊を防ぐ」

「でも、ダメージ計算は行ってもらわ！

パーシアスの効果、戦闘で相手プレイヤーにダメージを与えた時  
デッキからカードを1枚ドロウする」

これで300のダメージですね

ですが、まだネフティスの鳳凰神の攻撃が残っていますよ！

「ネフティスの鳳凰神でエルマに攻撃！」

ネフティスの鳳凰神の放つ炎で燃え盛り、破壊されるエルマ  
これでダメージは800、合計で1100のダメージですね。

「速攻魔法、セルフサクリファイスを発動

モンスターが戦闘で破壊される時

ライフを1000払い、その破壊を無効にする」

「ライフを払ってまでモンスターを守った？」

攻撃力の低いモンスターを態々……

「私は、モンスターを墓地へ送らない

モンスターの為ならば、これぐらい安いものだ」

ハンデか、それとも信念か

どっちにしても、それを可能にする実力者なんだと思います  
この人は……凄く強い！

「本気なのね……いいわ

私はカードを1枚伏せて、ターンエンドよ」

ラフェールさんの残りライフは1900

ダイレクトアタック

パーシアスの直接攻撃で終わってしまうライフです

雪乃さん相手に、ライフを減らすのは危険ですよ？

「私のターン、守護神の宝札の効果で2枚ドロ  
魔法カード、強欲な壺を発動し、更に2枚ドロ  
私の墓地にモンスターが存在しない時、このモンスターを特殊召喚  
できる

私は手札より、ガーディアン・エアトスを特殊召喚！」

翼を持つ、美しい女性が姿を現しました……

墓地にモンスターが存在しない時に特殊召喚できるモンスター  
あの信念は、このモンスターを出す為でもあったんですね。

「更に装備魔法、重力の斧―グラールをバック・アップ・ガードナ  
ーに装備させる

そして重力の斧の力と、手札が1枚だけの時、ガーディアン・グラ  
ールを特殊召喚する」

一気に攻撃力2500のモンスターが……2体も！

この人の実力、私の予想以上みたいです。

「バック・アップ・ガードナーの効果により

重力の斧をガーディアン・グラールに装備させる」

「攻撃力が……3000」

私達の感覚からすれば大した攻撃力じゃありません  
ですが、それは感覚だけの話

実際に相手にすると、攻撃力3000はやはり強い！

「さあ、バトルだ

ガーディアン・グラールでネフティスの鳳凰神に攻撃」

グラールに体を真つ二つに斬られるネフティスの鳳凰神斧を持ったグラールの攻撃力で、雪乃さんは600ポイントのダメージです。

「更にガーディアン・エアトスでパーシアスに攻撃」

更に600ポイントのダメージ

高攻撃力の速効性なら、ラフェールさんも凄いまさかこんなにアツサリと出してくると思いますでした。

「ガーディアン・エルマ、羊トークンに攻撃」

これで雪乃さんの場に、モンスターは0  
どうするんですか？

「私はこれでターンを終了する」

「なら私はこの瞬間、速攻魔法、終焉の焰を発動するわ！  
自分の場に攻守0の黒焰トークンを2体、守備表示で特殊召喚する！  
ただし、闇属性モンスターの生け贄召喚以外の生け贄召喚には使用できない！」

またトークンですか？

もしかして2人共、私の知らない内に新しいカードを貰っていたとか？

堅守先輩、私には……って、私はもっと沢山貰っているんですね。

「私のターン、ドロー！」

2体の黒焰トークンを生け贄に捧げ

可変機獣ガンナードラゴンを召喚！」

攻撃力2800のガンナードラゴン！

妥協召喚していませんからこれは強いですよ！

……グラールには勝てませんけど。

「ガンナードラゴンでガーディアン・エアトスに攻撃！」

「まだまだ甘いな

墓地より速攻魔法、埋没神の救済を発動

墓地からこのカードを含む、5枚のカードをゲームから除外  
バトルを無効にし、バトルフェイズを終了させる」

「な……墓地から発動する速攻魔法ですって!？」

守護神の宝札の効果で捨てていたんですね

これは……厄介な相手です

もしもう1枚捨てていた場合、墓地にカードが2枚増えれば再び使  
えます

伏せカードが無くても、こんなに油断できない相手だなんて……

「クッ……ターンエンドよ！」

「私のターン、守護神の宝札の効果で2枚ドロ

そろそろ終わりにしよう……装備魔法、流星の弓―シールをバック・  
アップ・ガードナーに装備

流星の弓は装備モンスターの攻撃力を1000ポイントダウンさせる

だが、装備モンスターは直接攻撃できる力を得る

更に流星の弓の力により、ガーディアン・シールを召喚する」

また新しいガーディアンモンスター

攻撃力は1700ですか……

そして流星の弓……攻撃力の下降値は大きいですけど  
ダイレクトアタック  
直接攻撃ができる効果は厄介です。

「バック・アップ・ガードナーの効果により、流星の弓をガーディアン・シールに装備させる

そしてガーディアン・シールのモンスター効果

自身に装備されている自分の装備カードを墓地へ送り  
相手の場に存在するモンスターを1体破壊する」

「装備カードを犠牲に、私のモンスターを破壊するつもり？」

「その通りだ

ガンナードラゴンにはお帰り願おうか」

シールは流星の弓を構え、放つ

矢はガンナードラゴンに直撃し、破壊されました  
当然、流星の弓も一緒に……

「これで貴様を守るモンスターは存在しない  
ガーディアン・グラールで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「罠カード、ヒーロー見参を発動！

相手モンスターの攻撃宣言時、相手は私の手札からランダムに1枚  
選択する

そしてそのカードがモンスターだった場合、そのモンスターを特殊  
召喚する！

さあ、私の手札は2枚、選びなさい！」

これは最後の賭けですね

ラフェールさんの場には4体のモンスター

攻撃力は1600、1700、2500、3000

これらを防ぎきれないモンスターが手札に入っているんでしょうか？

「ならば左のカードを選択する」

「左のカード……チツ、モンスターのモイスチャー星人よ！

守備力は2900、守備表示で特殊召喚！」

せっかくモンスターだったのに舌打ち？

どうしてでしょうか？

「ガーディアン・グラール、モイスチャー星人を破壊せよ！」

モイスチャー星人は簡単に破壊されました

これで再び、雪乃さんの場にモンスターは居なくなりました。

「ガーディアン・エアトスで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「罠カード、ヒーロー見参を発動！」

効果はさっき説明した通り、でも私の手札は1枚だけよ！

そしてこのカードはモンスター、エンジェルブレイブ天空勇士ネオパーシアス！

よってこのまま守備表示で特殊召喚！」

2枚目のヒーロー見参！？

そしてネオパーシアスの守備力は2000……

だからさっき舌打ちをしたんですね

エアトスの攻撃を防ぐ事ができないから。



「順番が逆ならばこの勝負は分からなかった  
だが……結果が全てだ  
ガーディアン・エアトスでネオパーシアスに攻撃  
精霊のオペラ！」

エアトスの砲撃がネオパーシアスに直撃し、破壊される  
雪乃さんの手札、場にはカードが0枚  
そしてライフは2800……終わりました。

「君は強かった、だが相手が悪かったな  
ガーディアン・エルマとガーディアン・シールで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「クッ……私の負けよ」

合計ダメージは3300  
良い勝負でしたけど、結果が全てでしたね  
最終的に私達は負けたんですから。

『じゅ、準決勝を勝ち抜いたのは三銃士チームだー！ー！ー！  
アカデミア女子生徒チームも善戦したものの、三銃士の實力には適  
わなかった！  
それでも最後まで諦めずに戦った彼女達に、盛大な拍手を！』

最後まで諦めないのは当然だと思いますけどね  
ふう……最終結果は3位……4位でしょうか？  
どっちにしても負けた事に変わりはありませんね。

「なかなか苦戦していたじゃないか、ラフェール」  
「少々悔っていたらしい」

そういうヴァロンこそ、危なかったんじゃないか？」

「へ、冗談

と、言いたい所だが確かにやばかったかもな  
アメルダなんて負けちまったし」

「煩い！」

そんな話をしながら、彼らは去って行きました  
勝者が去って、敗者の私達が残っているのも変な話ですね。

「完敗よ」

「強かったですからね

あの人達、何者なんでしょう？」

「誰デもいいんじゃないかな？

良い勝負もデきた、楽しかった  
それだケデ十分じゃない？」

勝った貴女が言うのは反則ですよ

負けた私達が言うからこそ、意味が有るんですから。

「……でも、確かに楽しかったですね

もし機会があるのなら、また相手をしてほしいです」

「そうね……でも、とりあえず会場から出ましよう  
デュエルフィールド

敗者がいつまでも決闘場に居るのはみっともないわ」

雪乃さんの言葉を切欠に、私達は会場から出る

荷物を整え、観客席へ

優勝者が誰か、それが気になりました。

結局、優勝したのは三銃士チーム

また会えた時、お相手してくださいね？

………

………

……

「で？」

「ま、負けたわ」

「で？」

「その……許してほしいかなーって」

「で？」

「う、ごめんなさい」

優勝できなかったから堅守先輩に叱られ中です  
かなり不機嫌で……気まずい状況。

「私達は優勝したんだけど」

「今回はあんな強敵は居なかったからね」

明日香先輩、吹雪先輩

タッグトーナメントで優勝したそうです  
でも私達は負けて……

「まあいい

相手も強かったのは分かっているしな」

ゆ、許してくれたんでしょか？

「新学期が始まったら宣言しないとな

VR祭、藤原雪乃、宮田ゆま、宇佐美彰子

この3人と戦いたい者は授業外ならばいつでも可能と」

「そ、それは止めて！

ただでさえ今の状況でも大変なのよ！」

「いやー……！」

毎日ずっと決闘デュエルなんて嫌ー……！」

「ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい  
い！」

お願いですから私達に自由時間をください！

ずっと決闘デュエルでそれだけで過ごす1年間なんて嫌です！」

「冗談だ……多分」

「最後の声が聞こえたー……！」

い……や……！」

ゆまさんの叫び声を切欠に、私達で何度もお願いしました  
最終的に、なんとか取り止めてくれましたけど

条件として新しいデッキの実験台になれと言われました。

なお、それは私達が使うデッキだそうです  
当然ながらVR祭でも使用しろとの命令  
負ければ罰を与えられるのも当たり前  
慣れないデッキで頑張れだそうです……

もうこうなったら頑張るしか無いですよ

新学期が怖いですが、逃げたいけど……逃げたら剥かれそうで怖い  
主に、金銭的にもプライベートのにも……物理的にも  
堅守先輩だからそれぐらいしてきます、確実に！

私達3人の友情は、堅守先輩の力で強固になりました  
傷の舐め合いな気もありますが、きつと気のせいです

レイちゃん、明日香先輩、吹雪先輩の生暖かい視線なんて気付きません

ええ、気付いていませんとも！

## 153話【長期休暇トーナメント 準決勝】（後書き）

まさかのドーマの三銃士！

やつと出せました……実はずっと出したかったんです  
ただ、アニメオリジナルカードが多すぎて大変でした。

デュエルディスク  
決闘盤が違うの？

アニメのまま、ドーマ特注決闘盤です。  
デュエルディスク

ヴァロンがマシン・デベロッパ？

全体強化カードが欲しかったので

まあ、上昇値は小さいですがオレイカルコスの結果の代わりです  
3枚発動したかったんですが、手札が足りませんでした。

どうしてヴァロンにスピリットバリアを？

普通に攻撃力が低すぎるからです

そしてサイキック・アーマー・ヘッドの蘇生効果と攻撃対象変更効果  
果を利用する為です

あまり活躍はしませんでした、無ければ終わっていました。

ヴァロンが最後まで発動させなかった伏せカードは何？

マグネット・アーマーという罠カードです、以下は効果

墓地のアーマーモンスター1体を選択し表側攻撃表示で特殊召喚する  
発動ターンの終了時にそのモンスターは破壊される

地味に強いカードです、当然ながらアニメオリジナルカード  
ここで説明しているので最後の解説には書きません、使っています  
んね。

アメルダのデッキが……

兵器モンスターデッキですが、気にしない  
実は炎属性悪魔族デッキも考えたんですが……面倒になったので止  
めました

ちなみにそれはVS海馬1戦目ですね、兵器デッキは2戦目です。

ゼータ・レティキュラント……

ゆまは本当に好かれているようです。

活路への希望の効果が違う？

原作効果です

ライフ差が1000ポイントで1枚ドロでした

OCG効果は2000ポイントの差で1枚ドロですけど

ライフ4000で2000ポイント差は無謀ですね。

アンティーク・ギアガジェルドラゴン  
ゆまが古代の機械巨竜！？

瑞貴からですね

入手経緯はスルー推薦。

ガーディアン達の効果は？

全てOCG効果です

原作効果は面倒になったので止めました。

もし黒焰トークンを生け贄にしなかったら……

もしかしたら耐えられたかもしれませんね

しかし、プレイミスと言えるかどうかは微妙な所です

どちらにせよグルールに倒されていましたし

エアトスを倒すのは悪く無かった……本当に微妙だと思います。

今回は明日香達は勝ったんだ

前回のような化け物達は居ませんでしたから

普通の一般参加者だけでした  
描写は面倒なのでしません。

新しいデッキ……何をかわせるの？

お楽しみという事で……1人は予想できますけどね。

原作、アニメオリジナルカード

アーマーモンスター共通効果

アーマーモンスターは自分のバトルフェイズ中、1体のみしか攻撃  
宣言が行えない

アーマーモンスターが攻撃対象となった時、他のアーマーモンスター  
に攻撃対象を変更する事ができる

扱いの難し過ぎる効果ですね……本当に

ちなみにアーマーモンスターはほぼ全て攻撃力が0です  
守備力は0から1500ぐらいですね。

サイキック・アーマー・ヘッド

アーマーモンスター共通効果

このモンスターが表側表示で自分の場に存在している時

ドローフェイズにドロローをしない代わり、アーマーモンスターを1  
枚手札に加える事ができる

このモンスターが自分のスタンバイフェイズ時に墓地に存在してい  
る場合

自分の場に攻撃表示で特殊召喚する事ができる

無敗將軍<sup>ジェネラル</sup>フリードと黄泉ガエルを合成したようなモンスターです

が、攻撃力0を攻撃表示で召喚するのでかなり危険です

それでもその効果は超強力、禁止カードになってもおかしく無いと  
思います。



バスター・パイル・アーマー

アーマーモンスター共通効果

このカードが攻撃を行う場合、戦闘では破壊されず、自分が受ける戦闘ダメージは0になる

更にこのカードの攻撃を受けたモンスターをダメージステップ終了時に破壊する

その後、相手に500ポイントのダメージを与える

戦闘破壊耐性が有るかは不明、しかしアニメで破壊されていなかったので多分持っている？

地味に強力なモンスターです。

トラップ・バスター・アーマー

アーマーモンスター共通効果

このモンスターが表側表示で存在する限り、アーマーモンスターは罠カードの効果を受けない

と、思われます

ミラーフォースの壁を無視しと突撃してましたし、多分こんな効果だと思います。

アーマード・グラビテーション

自分のデッキからアーマーモンスターを4体選択し、特殊召喚するそのターンのエンドフェイズ時、このカードの効果で特殊召喚したモンスターを全て墓地へ送る

アーマーモンスター限定の壊れカードその1ですね。

ビックバン・ブロー・アーマー

アーマーモンスター共通効果

このモンスターが戦闘で破壊された時

場に存在する全てのモンスターの攻撃力を合計したダメージをお互

いのプレイヤーに与える

その後、場に存在している全てのモンスターを破壊する

アニメでは破壊した後に効果ダメージでしたが

そうなるとアクティブ・ガード・アーマーの効果を発動できません  
なので勝手ながら効果の順番を入れ替えました。

アクティブ・ガード・アーマー

アーマーモンスター共通効果

このモンスターが自分の場に存在している限り

自分は効果ダメージを受けない

ちよっと違うかもしれませんが、多分こんな効果です。

オーバー・ブレスト・アーマー

効果不明……説明が無いんだから仕方無いじゃないですか！

多分、アーマーモンスター共通効果は持っていると思います。

ブラックホールシールド・アーマー

アーマーモンスター共通効果

このカードを生け贄に捧げる事で自分が受ける戦闘ダメージを1度  
だけ0にする

地味に強い効果です

が、やはり1度だけなので上位互換カードはいくらでも……

フルアーマー・グラビテーション

デッキの上から10枚を捲り、その中のアーマーモンスターを可能な  
限り攻撃表示で特殊召喚する

アーマーモンスター以外のカード、または召喚できなかったカード  
は墓地へ送る

アーマーモンスター専用壊れカードその2ですね。

バーニング・ナツクル・アーマー

アーマーモンスター共通効果

フィールド上に表側表示で存在するアーマーモンスター1体につきこのカードの攻撃力は200ポイントアップする

このカードと戦闘を行ったモンスターの攻撃力はこのカードの攻撃力分ダウンする

この攻撃力上昇が地味に必須効果、元々の攻撃力は0ですからそして攻撃力分の攻撃力低下も地味に強い……かも？

ジェット・ガントレット・アーマー

アーマーモンスター共通効果

このモンスターが戦闘で破壊された時

戦闘を行った相手モンスターを破壊する

また中途半端に厄介なモンスターです。

ダブル・クロス・アーマー

このカードは自分のターンに攻撃宣言を行う事ができない

このカードが相手モンスターの攻撃対象になった時

相手の攻撃モンスターを破壊し、破壊した相手モンスターの攻撃力分だけ相手にダメージを与える

唯一のアーマーモンスター共通効果を持たないモンスター

効果だけを見るならばユベルの下位互換ですね。

フェニックス・グラビテーション

自分の墓地に存在するアーマーモンスターを4体選択し、特殊召喚する

アーマーモンスター専用壊れカードその3です。

バスター・ナツクル・アーマー

アーマーモンスター共通効果

フィールド上に表側表示で存在するアーマーモンスター1体につき、このカードの攻撃力は200ポイントアップする  
これが無ければまともにダメージも与えられません……戦闘ダメージですけど。

ソルジャー・リボルト

自分のメインフェイズに発動

自分のフィールド上に科学特殊兵、魔界の機械兵、サイファー・スカウターが表側表示で存在するときのみ発動可能  
相手の手札を全て墓地に送り、相手の場のカードを全て破壊する  
発動したターン、自分はバトルフェイズを行うことはできない  
使用モンスターが変わり、バトルフェイズを行えなくなった大革命です

どちらの方が楽かと問われれば……難しい所です。

KC1クレイトン

場のトークン1体につき、攻撃力を500ポイントアップする  
元々の攻撃力が1500なので寄生虫ダニーの上位互換ですね  
もしかしたら戦車トークンじゃないと攻撃力が上がらないかもしれないかもしれませんが……

歴戦の戦車部隊

自分の場に戦車トークンを守備表示で3体特殊召喚する

このトークンは生け贄召喚のため生け贄には出来ない

使用していませんが、KC1クレイトンの解説のついでに……

魔空合神

自分の場のモンスターを3体生け贄に捧げる

デッキより、魔空要塞ジグラートを特殊召喚する

それだけ、以上。

## 魔空要塞ジグラート

魔空合身の効果でのみ特殊召喚可能

このカードを対象にする魔法、罠カードの効果は無効にし、破壊する

このカードのコントローラーのエンドフェイズ時

自分の場にトイロボットトークンを1体特殊召喚する

相手はトイロボットトークンが自分の場に存在している限り

他のモンスターを攻撃対象にすることはできない

召喚手段が限られているだけに、厄介な効果を持っています

地味に強い、攻撃力が低いのが問題ですかね？

## トイロボットBOX

手札を1枚捨てて発動する

自分の場にトイロボットトークンを3体特殊召喚する

トイロボットトークンが存在している限り

相手プレイヤーは他のモンスターを攻撃対象にする事はできない

ジグラートのトークンを特殊召喚するカードです

生け贄などの制限が無いので超強力カードですね

制限か禁止になるんじゃないでしょうか？

## バック・アップ・ガードナー

このモンスターに装備された装備魔法を

1ターンに1度、他のモンスターに装備させる事ができる

ガーディアンぐらいにしか役に立たない効果ですね。

## 守護神の宝札

手札を5枚捨て、その後2枚ドローする

次のドローフェイズ以降、ドローフェイズ時にドローするカードは2枚になる

壊れカードですが、コストが大変ですね

最終戦争と良い勝負です、使い勝手はどっちもどっちですが。

ガーディアン・シールド

装備モンスターの守備力を300ポイントアップする

ガーディアンと名の付くモンスターが破壊される時

このカードを破壊する事でガーディアンと名の付くモンスターは破壊されない

ガーディアン専用の身代わりカードです。

セルフサクリファイス

自分のモンスターが戦闘で破壊される時

ライフを1000払い、その破壊を無効にする

戦闘限定、コスト減少の我が身を盾にでしょうか？

埋没神の救済

墓地からこのカードを含む、5枚のカードをゲームから除外する

戦闘を無効にし、バトルフェイズを終了する

攻撃の無力化に近い効果のカードです。

ツイッター、遊戯王音MADって楽しいよね！

<https://twitter.com/#!/ainkuria>  
バクラと社長のMADが好きです。

## 5D・s 新1話【新たな脅威と再来の2人】（前書き）

「「なーにつかななーにつかな  
今日はこれ！」」

「マジシャンズ・サークル？」

「魔法使い族用の召喚補助カードよ  
攻撃時、デッキから魔法使い族を特殊召喚するわ」

なんか久しぶりだなあ……龍可龍亞。

前話ラストで次話は3年目と言いましたが何故か5D・sです、ごめんなさい

本当は3年目のつもりでしたが、唐突に書きたくなったので書いてしまいました

アンケートをしてからにしようかと思いましたが、前話投稿から2日ぐらい経ち

さすがにそれからのアンケートではしてくれる人も多くなさそうですので

そういう訳で思いついたからしてみた！ という感じで投稿です  
……まあ、タイミングがこの時しか無かったというのも理由ですが。

えー……時間的に言うとうWRGP開始までですね

65話から95話までの間となります

一応、5話から10話ぐらいで終わらせる予定。

次回は2、3日中に投稿する予定です

番外編ですからね、2話連続でこちらを更新します。



## 5D・s 新1話【新たなる脅威と再来の2人】

視点 遊星

ダークシングナーとの戦いから半年

俺とジャック、クロウは1年後のWRGPに参加する為みんなで力を合わせ、D・ホイールの改良を行っている  
まあ、改良をしているのは俺だけで、2人は実験台だが。

そんな時、狭霧と牛尾が気になる話を持ってきた  
なんでもゴーストと呼ばれる奴が何人ものD・ホイーラーをクラッシュに追い込んでいると

しかし忙しい俺達の事を考え、クロウが牛尾を追い返した。

気になりはしたものの、自分達の事で精一杯

俺達は彼らと別れ、俺は再びエンジンの調整を始める  
だが、その夜……クロウから突然の連絡を受けた。

内容は、牛尾がライディングデュエルに負け、クラッシュした

俺達は病院に駆け込み、牛尾の様子を見に行った  
包帯だらけになり、手術まで必要な大怪我を……

俺達は牛尾の敵討ちの為、夜のサーキットを駆ける  
3人で別れ、ゴーストと戦う為のだ。

俺達は朝方まで走り、諦めかけたその時  
俺の後ろに謎のD・ホイールが現れた  
現れたなゴースト、この時を待っていた！

「スピード・ワールド2、セット！」

これでゴーストと決闘<sup>デュエル</sup>を始める

スピード・ワールド2の効果はお互いのスタンバイフェイズ時にスピードカウンターを1つ乗せる

以前のスピード・ワールドと違い、ライフが減る毎にスピードカウンターが減る効果が無くなった

そしてスピードカウンターを4つ取り除く事で、手札のSPと名の付くカード1枚につき、相手に800ポイントのダメージを与える  
スピードカウンターを7つ取り除く事でデッキからカードを1枚ドロウする

最後にスピードカウンターを10個取り除く事で場に存在する好きなカードを1枚破壊する

これらの効果がフィールドカードとして、最初から永続的に発動されたままとなる。

俺とゴーストはライディングデュエル専用道路に移動する  
さあ始めよう、牛尾の敵は必ずとらせてもらおうぞ！

「ライディングデュエル、アクセラレーション！」

「……………」

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

視点 ジャック

ゴーストと決闘デュエルをしている遊星の下へD・ホイールを走らせる

ゴーストはどんな決闘デュエルをするのか……ん？

Unknownが俺の後ろから来ただと？

ゴーストが複数という話は聞いていないのだが……まあいいだろう！

「誰かは知らんが、この俺に挑んだ事を後悔させてやろう！

スピード・ワールド2、セット！

ライディングデュエル、アクセラレーション！」

俺は既にライディングデュエル専用道路に居る

なのでこのまま決闘デュエルだ！

俺の横を走って来たのはD・ホイールに乗った、金髪の髪を靡かせた女

生憎とヘルメットで顔は見えないが……まあいいだろう

D・ホイールの色は白であり、俺と似たような色だな。

「決闘！」デュエル 「決闘……」デュエル

「先攻は俺が貰う、ドロー！

ランサー・デーモンを召喚！

更にカードを3枚伏せ、ターンエンドだ！」

「オートパイロットにして……私こういうの苦手なんだけどなあ  
相変わらず怖いなあ、なんでこんなのをみんなするんだろう？」

どうも様子がおかしい

こいつ、何を考えているんだ？

「そういえば名乗っていなかったな  
俺の名はジャック、ジャック・アトラスだ！  
貴様も名を名乗れ！」

「お断りします、名乗るなど命令されているので  
ううう……手を放すのが怖いなあ  
私のターン、ドロー！」

名乗る気は無い……か  
しかもあの動きの悪さ、ライディングデュエルの経験が少ない？  
どうやらかなり訳ありのようだな。

「相手の場にモンスターが存在し  
更に自分の場にモンスターが存在しない時  
太陽の神官を特殊召喚します！」

太陽の神官……ゴドウィンが使っていたな  
何故こいつがそのモンスターを？  
まさか、インティやクイラが出てくるのではないだろうか？

「更にチューナーモンスター、アーケイン・ファイロを召喚します  
！」

「ほお、チューナーか  
という事は貴様もシンクロ使いか！」

「私はシンクロはあまり得意じゃないんですけどね  
でも、使える物は使うように躰けられました！」

魔法使い族LV5太陽の神官に、LV2アーケイン・ファイロをチ  
ューニング！

魔導の力を極めし者、その魔力を解放せよ！  
シンクロ召喚！ 覇魔導の力、アーカナイト・マジシャン！」

ふん、LV7のシンクロモンスターか  
だがそれで攻撃力が僅か400だと？

「アーカナイト・マジシャンがシンクロ召喚に成功した時  
このモンスターに魔力カウンターを2つ乗せます！  
そしてアーカナイト・マジシャンは乗っている魔力カウンターの数  
×1000ポイント攻撃力を上昇させます！  
よってアーカナイト・マジシャンの攻撃力は現在2400！」

「攻撃力が2400だと！？」

まさかそんな効果を持っているとはな  
だが、それでも大した攻撃力ではない！

「更にアーケイン・ファイロの効果を発動します  
このモンスターがシンクロ素材として使用され、墓地へ送られた時  
自分のデッキからバスター・モードを1枚、手札に加えます！」

手札に罠カードを加える効果か  
だが、そんな事で臆する俺ではない！

「アーカナイト・マジシャンでランサー・デーモンに攻撃！」

チッ、ランサー・デーモンが破壊されたか  
だが受けたダメージは800、ダメージはまだまだ小さい。

「カードを3枚伏せて、ターンエンドです」

あの3枚の伏せカード……

おそらく、あの中には先程手札に加えたバスター・モードだろう  
どんな効果か、楽しみにしておいてやろう！

「俺のターン、ドロー！」

相手の場にモンスターが存在し、自分の場にモンスターが存在しない時

攻撃力と守備力を半分にし、バイス・ドラゴンを特殊召喚！  
更にダーク・リゾネーターを召喚！」

「馬鹿ですね、貴方」

「……なんだと？」

「貴方の今までの決闘は<sup>デュエル</sup>大抵知っています

どういう時、どういう行動をするか、性格やパターンもある程度把握しています

まあ、無理矢理教えられたんですけど……」

こいつ、何が言いたい？

「まさか本当にパターンに入るとは思いませんでした

永続罠、不協和音を発動します

お互いのプレイヤーはシンクロ召喚をする事ができません！」

馬鹿な！

同じくシンクロ召喚を使う奴が、何故シンクロ召喚を封じる！？  
そんな事をしては自分さえ不利になるのだぞ！

「言いたい事は分かりますよ？」

でも、私はアーカナイト・マジシャン以外のシンクロモンスターは持っていない

つまり、既にアーカナイト・マジシャンを召喚した私にシンクロ召喚なんて無用なんです」

チィ、この小娘……思ったより俺を研究しているようだな  
先程言っていたパターン、更に性格まで把握されている  
これは俺の想像以上に厄介な相手かもしれん！

「シンクロ召喚ができないのなら何もする事は無い  
俺はこれでターンエンドだ！」

まったく、遊星とゴーストの決闘もデュエル気になるし  
クロウからの連絡も来ない  
一体何がどうなっているのだ！？

視点 クロウ

さっきから俺の後ろを走っている奴……何者だ？  
ゴーストの可能性も考えたけど、遊星が今戦っているし  
もしかして遊星がゴーストを違う奴と勘違いした？

となると俺の後ろの奴がゴーストか？  
だが、その割にはなかなか仕掛けてこない。

どうしたものかと思っていると、後ろの奴が俺の横に来た

どんな奴かと思って顔を見てみれば……なに!?

「お、お前!」

「久しいな、ウミデ・ソーナン」

「クロウ・ホーガンだ!

俺は海で遭難なんてしたことねえよ!  
てめえ、堅守瑞貴だな!」?

「その通り、堅守瑞貴だ

お前と遊ぶ為に態々朝方になっても来てやったぞ」

こいつは以前、俺達を苦しめた決闘者

デュエリスト

どういう訳か、数十年前からタイムスリップしてきたらしい  
そんな昔の奴だが、実力は折り紙付き  
龍可以外は全員こいつに1回負けているんだ。

「お前がゴーストだったのか?」

「ゴースト?

ああ、もしかしてあの人形の事か?」

人形?

「残念ながら俺じゃない

俺の仕事はお前達の言うゴーストを守る事だ  
お前達みたいに複数人でD・ホイールを走らせていた場合  
俺がその中から一部を倒す事になっていてな  
ちなみに、今回が初仕事だ」



「仕事だと？」

「そんな事が仕事なのか？」

「今の俺はフリーの傭兵みたいなものだ  
ちなみにライディングデュエルの資格は正規で入手したからな？  
ま、思ったより楽に入手できて助かったよ」

傭兵……ねえ？

こいつが絡んでるって事はこの事件

多分裏で厄介な動きが起こってるんじゃないか？

ダークシグナーの時も、裏でこいつがダークシグナー達を世話して  
いたみたいだし

更にゴーストを人形って言ってたからな

絶対にこいつはこの事件の裏を知っている！

「どうもきな臭いな

お前、絶対に何か裏で動いてるだろ？」

「いや、残念ながら今回は俺が表だ

裏は別の奴が動いている、注意するんだな」

「……やけにアツサリと話すな」

「その内、嫌でも分かる

なら態と情報を漏らし、勝手に不安にでもなってもらう

その方がお前達も辛いだろう？

正体の判らない奴が何か恐ろしい事をしているかもしれないんだ  
不安だろう？ 怖いだろう？ 辛いだろう？ 気に入らないだろう？

そうやってプレッシャーに圧されるのは相当負担が掛かるんだ  
これも一種の心理戦、単純なお前達には効果が無いかもしれないが  
なあ？」

こいつ、やっぱ気に入らねえ！

そして相変わらず性格が最低の野郎だ！

「そうそう、お前に会いに来た目的を言わないとな」

「俺に会いに来た目的？」

「情報だけ教えてやる為に来るはずが無いだろう？」

情報は遊んでもらう為の前報酬、そしてお前は既に受け取っている  
何せ、質問してきたのはそっちだからな

俺はそれに答えた、つまり報酬は払っているんだ」

き、きたねえ！ インチキ商法だ！

お前、詐欺で訴えるぞ！

「で、遊びって何だよ？」

「ふ、知れた事

俺の初ライディングデュエルに付き合ってもらう

資格はつい先日手に入れたからな、まだ実戦は未経験なんだ

試験で決闘はしたものの、所詮は試験だしな」  
デュエル

つまり、俺は実験台かよ

本当に文字通り遊び相手って事か。

「ケッ、俺を相手に選んだ事を後悔させてやるよ」

「また敗北の味を味合わせてやる  
嬉しいだろう？ 前回以上に酷い戦いをしてやろう」

「言ってやがれ！」

遊星の事は心配だが、こいつも無視できねえ  
前回の怨み、キツチリと返させてもらうぜ！

「スピード・ワールド2、セット！  
ライディングデュエル、アクセラレーション！」

「……それって言わないと駄目なのか？」

「へ？」

いや、別に言わなくてもいいんじゃないか？  
掛け声みたいなもんだしよ」

「あ、そう  
なら言わん、さっさと始めよう」

相変わらず何を考えてるのかよく分からんなあ、こいつは  
だけど、初ライディングデュエルでもこいつは絶対に強い  
油断して勝てる相手じゃない、最初から全力を出す！

「あ、そうそう  
タップ・ギブギブの方にも俺みたいな傭兵が向かっているぞ  
そいつはシンクロ封じを使用するからなあ  
ま、負けない事を祈って頑張りな」

「タップ・ギブギブ？ ジャックの事か！  
シンクロ封じ……またアンチデッキか！？  
お前だけは絶対にぶっ潰してやる！」

「<sup>デュエル</sup>決闘！」

「悪いが先攻は貰う、俺のターン、ドロー  
<sup>スピードスベル</sup>Sp-オーバー・ブーストを発動する  
俺のスピードカウンターを4つ増やし、エンドフェイズ時に1にする」

最初からスピードカウンターを増やしてきた？  
スピード・ワールド2の効果で最初のターンはスピードカウンターは増えないからな  
あいつのスピードカウンターは現在4つか。

「Sp-エンジェル・バトンを発動  
自分のスピードカウンターが2つ以上有る時  
デッキからカードを2枚ドロース、その後1枚を捨てる」

今度は手札交換  
にしても、最初から随分Spを使うな  
相変わらず魔法カードとかが得意な奴だ。

「更にSp-サモン・スピダーを発動  
スピードカウンターが4つ以上有る時  
手札からLV4以下のモンスターを1体特殊召喚する  
俺が特殊召喚するモンスターは閃光の結界像、守備表示で特殊召喚」

光属性天使族のモンスターか

何を出してくるかと思えば大した事は無さそうだな  
まあ、油断したら負けるかもしれないけどよ。

「閃光の結界像が場に存在している限り

光属性モンスター以外のモンスターは特殊召喚する事ができない  
残念だが、お前お得意のBFもこいつの前では無力だ」  
ブラックフェザー

な……なんだと!?

くそっ！ こいつもアンチデッキの使い手だっけと忘れてたぜ！  
前は俺のモンスターのコントロールを奪ってきたりしてきやがった  
だが今回は属性を狙ってきやがったな！

「更にダーク・ヴァルキリアを守備表示で召喚

そしてS pーオーバー・スピードを発動する

自分のスピードカウンターが4つ以上存在する時

スピードカウンターを全て取り除き、自分の墓地に存在するLV3  
以下のモンスター

そして魔法か罠カードを1枚手札に加える

俺が手札に加えるカードはS pーオーバー・ブーストとハネワタだ  
最後にオーバー・スピードを発動後3ターンの間、俺のスピードカ  
ウンターは上昇しない」

なるほどな、例えスピードカウンターが増えなくてもオーバー・ブ  
ーストで強引に増やす

更に奴が手札に戻したカードはチューナーだったな

という事は次のターンになればシンクロ召喚も可能……って事か。

「俺のターンはこれで終了だ

そしてエンドフェイズ時、オーバー・ブーストの効果  
スピードカウンターを1にする」

「へっ、長い1ターンしやがって！  
俺のターン、ドロー！」

だが、お前にシンクロ召喚はさせねえ！  
そして高が1体のモンスターのロック程度で俺のスピードを止められると思うな！

俺がそのモンスター達を全滅させてやるぜ！

「BF、<sup>ブラックフェザー</sup>蒼炎のシュラを召喚するぜ！  
そのまま閃光の結界像に攻撃だ！」

よし、これで閃光の結界像の効果も消えた  
俺の闇属性モンスターであるBF<sup>ブラックフェザー</sup>達も特殊召喚できるぜ！

「シュラの効果を発動！  
戦闘で相手モンスターを破壊し、<sup>ブラックフェザー</sup>墓地へ送った時  
デッキから攻撃力1500以下のBF<sup>ブラックフェザー</sup>を1体、デッキから特殊召喚できる！」

ただし、この効果で特殊召喚されたモンスターの効果は無効となる  
もう閃光の結界像の効果は無い、俺が特殊召喚するモンスターは攻撃力1100のBF、<sup>ブラックフェザー</sup>そよ風のブリーズだ！  
そしてこのまま、ブリーズでダーク・ヴァルキリアに攻撃！」

よし、これで奴の場合はガラ空き  
しかも手札のカードは攻撃力の低いチューナーとオーバー・ブーストと謎の1枚  
それだけではどうしようも無いだろ！

だが、突然空から光が……

何事かと思った時、俺のBF達が破壊されただど!？  
何がどうなってるんだ!？

「相手のバトルフェイズ開始時、俺のモンスターが2体以上存在しており

更にそのモンスターが全て戦闘で破壊され、墓地へ送られる  
この瞬間、俺はこのモンスターを……テュアラティンを特殊召喚する」

あのカードは……残りの1枚か!

だが、何故BFが破壊されたんだ？

特殊召喚するだけじゃ……

「そしてこのモンスターがこの効果で特殊召喚された時

俺は1つの属性を選択し、宣言する

場に存在する、俺が選択した属性は全て破壊され

こいつが場に存在する限り、相手は俺が宣言した属性は召喚、特殊召喚できない」

「まさかお前が宣言した属性は……」

「そう、闇属性だ

お前の天敵、属性キラーモンスターだ

ブラックフェザー

BFの展開力が仇となったな

もしそれが無ければこいつも出てこなかっただろうに」

クツ……またBFの特性を利用されたって事か!

ブラックフェザー

つまり、俺がシュラを召喚する事さえ予想済み

もしシュラじゃなくても、他の手段を使う事だって予想されていたはず

まんまと踊らされたって事かよ！

「カードを3枚伏せて、ターンエンドだ！」

「壁モンスターぐらい出したらどうだ？」

まあ召喚は既に行っているし、例え出しても裏守備でしか出せないがな俺のターン、ドロー

どうせテュアラティンの効果で何もできないんだ

危険な橋を渡る必要も無い、カードを1枚伏せてターンエンドだ」

あ、遊んでやがる！

絶対にぶっ潰してやる！

「俺のターン、ドロー！」

Sp—エンジェル・バトンを発動！

スピードカウンターが2つ以上有る時

デッキからカードを2枚ドローし、その後1枚捨てる！」

後はなんとかこれで……

もしどうにかできなかったらやべえけど

奴は油断している、今の内に倒す！

「モンスターをセット！」

そして罠カード、ゴッド・バード・アタックを発動！

自分の場に存在する鳥獣族モンスターをリリースし

場に存在するカードを2枚破壊する！

ブラックフェザー

俺はさつきセットしたBF、大旆のヴァーユをリリース！

お前のテュアラティンと伏せカードを破壊するぜ！」

「愚かな……俺がその程度を読んでいないとでも？」



俺はBFブラックフェザーがかなり嫌いだね、だから簡単に対策が思いつくんだ  
ただでさえ、ライディングデュエルで普通の魔法カードが使えない  
だけにな」

「……何が言いたい？」

「つまり、ライディングデュエルのBFブラックフェザーを封じる手段  
それはモンスター効果で属性特殊召喚を封じる  
次にこの永続罨、王宮のお触れを発動する  
このカードが存在する限り、このカード以外の罨カードの効果を無  
効にする」

「な、なんだと？」

それはつまり……」

「そう、ゴッド・バード・アタックの効果は無効  
更にリリースされたヴァーユブラックフェザーも戻ってこない  
特殊召喚に罨の無いBFブラックフェザーなんぞ、怖いとは思わんな」

俺はまだ、こいつを見誤っていた

こいつはアンチデッキの使い手、前回は前回だけに俺は警戒してシ  
ロッコを出さなかった

だけどこいつはそんな俺の心理さえ利用し、先読みをしやがった。

違う……こいつは強いんじゃない、頭が良いんだ！

それを強いと勘違いしていた俺が勝てるはずが……無い！

俺にはもう……勝つ手段が！

「BFブラックフェザーにはリバーズ効果モンスターは存在しない  
そして戦闘破壊などをトリガーに相手モンスターを破壊するモンス

ターも存在しない

同じく魔法、罠カードを破壊する効果のモンスターやはり存在しない  
そして守備表示ならばBF・ブラックフェザー月影のカルートの効果も発動するだけ  
無駄

召喚と特殊召喚が封じられ、罠も封じられたBFブラックフェザーなんぞ、脅威なんて無いね」

ああ、俺はもう詰んでいる  
だが次のターンさえ凌げば可能性は……0じゃない！

「これでターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー

この瞬間、オーバー・スピードの効果が切れた  
よってこのスタンバイフェイズ時から俺のスピードカウンターも乗る  
まあ関係無いな、テュアラティンで直接攻撃ダイレクトアタック」

「ぐっあああ！」

クッ……残りライフは1200  
ダイレクトアタック  
次の直接攻撃を受けたら俺の負けだ！

「ターンエンドだ  
くくく、頑張れよ？」

「舐めやがって……俺のターン、ドロー！  
モンスターをセットし、ターンエンドだ！」

これでなんとか……  
次のターンにさえなれば！

「俺のターン、ドロ―…読める、読めるぞ？」

次のお前の狙いはそのモンスターを守る事

お前、手札にBFブラックフェザー、蒼天のジェットを持っているな？」

「…何の事だ？」

こいつ、俺の行動を完全に読んでやがる！

俺の手札のカードはシロッコと…奴の言う通りジェットの2枚  
あの野郎、完全に俺で遊んでやがる！

「お前の行動はするだけ無駄だ  
何故ならお前は次の攻撃で終わるからだ」

次で終わりだと？  
そう簡単に終わって溜まるか！

「しかし、随分と余裕だな  
手の内が読まれている割には……ん？  
ああ、なるほどな」

まさか…

「お前、確かエンジェル・バトンを発動したな？  
その時に手札から墓地へ送ったんだろう？  
BFブラックフェザー、尖鋭のボ―ラを……なあ？」

嘘だろ？

なんで手の内が全て読まれてるんだよ！？

「ボーラの効果は自身を除外し

自分の場のモンスターを1体選択

戦闘ダメージは0になり、戦闘では破壊されず、更に攻撃したモンスターを破壊する

もし俺がこのまま攻撃した場合、それをジェットで防ぐ

そして次のターン、そのモンスターでテュアラティンに攻撃をする  
お前は墓地のボーラを除外、そしてテュアラティンを破壊するつもりだった……違うか？」

「へ、へへへ……どうだろうな？」

例えそうだったとして、お前はどするんだ？

このままだと本当にそうなっちまうぜ？」

脂汗が出てくる

もし突破された場合、俺の負けが確定する！

「何、別に大した問題ではない

ジェットの効果は戦闘破壊を免れるだけの中途半端な効果だ

つまり……S pーディフェンス・バスターを発動する

スピードカウンターが2つ以上有る時

相手の場に存在する守備表示モンスターを攻撃表示に変更する  
さあ、お前のその守備モンスターを攻撃表示に変更しろ」

終わりだ……俺の場にBF疾風のゲイルが現れる

ジェットで防ぎ、ボーラの効果で倒せるかと思ったのに！

もし失敗しても、ゲイルの効果で攻撃力と守備力を下げられたのに！

「ゲイルか……鬱陶しい奴だ

だがこれでお前にもう、勝ち目は無い」

「へ……だがお前が自分で言ったんだぜ？  
もし俺が手札にカルートを持っていたらどうするんだ？  
テュアラティンには勝てないが、ライフは残るぜ」

俺の手札にカルートは無い  
だが、これで少しでも攻撃を戸惑ってくれれば！

「ふん……甘いな

S pーオーバー・ブーストを発動する、効果はさっき説明したな？  
俺のスピードカウンターを4つ増やし、エンドフェイズ時に1にする  
そしてS pースピード・エナジーを発動する  
スピードカウンターが2つ以上有る時

自分のスピードカウンターの数×200ポイント、自分のモンスター  
1体の攻撃力を上げる

俺のスピードカウンターはオーバー・ブーストの効果を含めて8つ  
テュアラティンの攻撃力は1600アップし、合計で4400となる」

完敗だ……キッチリとカルートの対策までされてやがる  
例え本当にカルートが手札にあり、効果を発動していたとしても  
ゲイルの攻撃力は1300、それに1400足されても2700  
俺のライフ1200じゃ耐えきれねえ……

「良い実験台になってくれたな、礼を言おう  
だがこの決闘<sup>デュエル</sup>、俺の勝ちだ  
テュアラティンでゲイルに攻撃だ」

テュアラティンの攻撃により、俺のライフは0になった  
アンチデッキを使われただなんて言い訳できねえ  
完全に、完膚無きまでに敗北した。

「今回も俺の勝ちらしいな  
遊んでくれた札に少しだけ教えてやるよ」

「……なんだよ」

「俺の仕事は今回で終わりだ

人形のお守りは終わり、また新しく仕事を探しに行く

つまり、今回で俺と人形の関係は切れる

だから俺をいくら調べても何も出てこない、時間の無駄だ  
更に言うならば俺は何も企んでいないからな？

どうしても気になるなら無駄にしかならんが勝手に調べるんだな」

つまり、どれだけ怪しくてもこいつの事を考えるだけ無意味か  
だけどやっぱ怪しい……調べた方がいいか？

「ま、後はお前らで頑張るんだな  
人形ならそろそろ負けるだろうし」

「ま、待て！

ゴーストが人形ってのはどういう意味だ！？」

「すぐに分かる」

それだけ言い、奴は去って行った

がああーーーーー！ 頭がこんがらがってきた！

あの野郎！ 事をややこしくしやがって！

ん？ 赤き竜の痣が……この波導は遊星か？

そういえば奴が言ったな、人形がそろそろ負けると

もしかしてどうかしてゴーストデュエルの決闘を見ていた？

気になる事ばかりだが、情報は僅かだが得た  
やっぱみんなに話すべきだよな？

ああ……めんどくせえ、堅守の奴もジャックの方に行けよな  
そうしたら俺も苦勞せずに済んだのによお。

さて、それよりも遊星だ！

どんな状況かは分からねえけど、勝てよ！

堅守の言い方からすれば勝ちが決まってるみたいだしよ！

視点 ジャック

「私のターン、ドロー！

アーカナイト・マジシヤンの効果を発動

自分の場に存在する魔力カウンターを1つ取り除き  
相手の場に存在するカードを1枚破壊します！」

魔力カウンターを破壊カードとするか

だが、アーカナイト・マジシヤンの魔力カウンターを2つ  
俺の場のカードは5枚、全て破壊される事は無い。

しかも、効果の後に残るのは低攻撃力のモンスター  
ふん、何も怖くはないな。

「アーカナイト・マジシヤンの魔力カウンターを1つ取り除き  
真ん中の伏せカードを破壊！」

ふん、どうせ今はレッド・デーモンズ・ドラゴンを出せんのだ  
クリムゾン・ヘルフレアが破壊された所で問題無い。

「もう1回、今度は左のカードを破壊します」

破壊されたカードはハーフ・ストレート

自分のモンスターの攻撃力を半分にし、その攻撃力が相手モンスター  
の最大攻撃力よりも低い場合

相手に直接攻撃できるんだが……破壊されたか。  
ダイレクトアタック

「永続罫、漆黒のパワーストーンを発動！

発動時、このカードに魔力カウンターを3つ乗せます

1ターンに1度、魔力カウンターを乗せられるモンスターに1つ魔  
力カウンターを移動させられます！」

「なんだと？」

つまり、もう1度効果を使えるという事か」

面倒なモンスターめ……

まあいいだろう、それでも俺のモンスターは残る！

「何か勘違いしていませんか？

アーカナイト・マジシャンの攻撃力は魔力カウンターの数だけ上昇  
しますが

破壊効果は好きな場所から魔力カウンターを取り除く事ができるん  
ですよ？」

「なんだと？」

まさか貴様、漆黒のパワーストーンの魔力カウンターを全て！」



「はい、そうです

漆黒のパワーストーンの魔力カウンターを全て取り除き  
伏せカード1枚と、バイス・ドラゴン、ダーク・リゾネーターを破壊！

そして魔力カウンターの無くなった漆黒のパワーストーンは破壊されます」

チィ、俺の場のカードが全て破壊されたか！

だが……

「いくら俺のモンスターを破壊した所で

アーカナイト・マジシャンの攻撃力は僅か400

その程度の攻撃力では俺には勝てんぞ！」

「……罠カード、バスター・モードを発動！

自分の場に存在するシンクロモンスターを1体リリース

そしてデッキより、同名の／バスターと名の付くモンスターを特殊召喚します！

私はアーカナイト・マジシャンをリリースし、デッキより……

進化せし魔導の申し子、新たな崩壊の力で全てを消し去れ！

バスター召喚！ 吹き荒らせ、アーカナイト・マジシャン／バスター！」

青と白から赤と黒へと姿を変えたアーカナイト・マジシャンかだが、それでも攻撃力は900程度だ！

「アーカナイト・マジシャン／バスターが特殊召喚に成功した時このモンスターに魔力カウンターを2つ乗せます

そして攻撃力は魔力カウンターの数×1000ポイントアップ」

「同じ効果だと!？」

という事は攻撃力は……2900!？」

さすがにこれを受けたら拙い!

俺の現在のライフは3200、残りライフが300にまで減る!

「アーカナイト・マジシャン／バスターで直接攻撃ですが

ダイレクトアタック

この瞬間、罠カード、マジシャンズ・サークルを発動します!

魔法使い族モンスターの攻撃宣言時に発動可能

お互いのプレイヤーは攻撃力2000以下の魔法使い族を特殊召喚しますが……」

「俺のデッキに魔法使い族モンスターは……」

「はい、知っています、入っていないんですよ?

なら召喚するのは私だけです!

私はマジシャンズ・サークルの効果で見習い魔術師を特殊召喚します  
そして見習い魔術師の効果、召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時  
魔力カウンターを乗せられるカード全てに魔力カウンターを1つ乗  
せます」

魔力カウンターを増やすだと?

貴様、まさか!

「お気づきですよね?

アーカナイト・マジシャン／バスターの魔力カウンターが1つ増え  
ました

よって攻撃力は1000ポイントアップし、攻撃力は3900です  
攻撃を続行、アーカナイト・マジシャン／バスターで直接攻撃!

ダイレクトアタック

!」

「ぬあああああ!!!!」

馬鹿な！ この俺がこんな小娘に負けるなど！  
しかもどう考えても最初の様子から初心者！  
なのに俺が……この俺が負けるだど!?!?

「（切り札も使わずに勝っちゃった……この人って思ったより弱い？）」

私の勝ちですね」

「クッ、貴様、何者だ！  
ゴーストの仲間か！」

「ゴースト……ああ、お人形さんですか  
確か不動遊星さんでしたっけ？ あの人の相手をしていますよ  
そして残念ですが、私はゴーストの仲間じゃありません  
ですが、私はゴーストを守るように雇われました」

雇われた……傭兵か？

しかし、ゴーストに雇われたとはどうも思えん  
更に言うならば、気になるのはお人形という言葉か。

「説明してもらおうか、貴様の目的を」

「駄目です、言うなと言われているので  
ですが……きつとすぐに分かりますよ？  
だってもう1人の方にも相手が居ますから」

クロウか……だが、奴とてそう簡単には負けん

まあ、俺が負けたからには奴も負けているかもしれんが。

「説明はそちらの方から教えてもらってください  
簡単に教えてもらっていると思いますし  
でもそんな事より、いいんですか？」

「何が……む！」

赤き竜の痣が……これは遊星か！？

「お仲間さん、戦っているんでしょう？」

私達のお仕事は貴方達の言うゴーストを守る為の時間稼ぎです  
別に倒してもいいそうなので勝たせてもらいました  
その程度の実力であるお人形さんに勝とうなんて……甘いですね  
まあ、私の方があのお人形さんより強いんですけど」

「貴様……言わせておけば！」

「負けた貴方が何を言っても、負け犬の遠吠えですね  
では私はそろそろ帰らせてもらいます  
どうせ、もうお人形さんは負けているでしょうし」

「待て！」

ゴーストが人形とはどういう意味だ！？」

「すぐに分かります、それでは」

言いながら奴が去って行った  
完全に遊ばれ、俺の手の内を読まれ、しかも時間稼ぎが目的だと？  
巫山戯るな！ あの女、必ず見つけ出して、この俺が叩きのめして

くれる！

## 視点 遊星

ゴーストを倒したが、奴は道から落下してしまった  
下に降り、調べてみたが……ゴーストはロボットだった  
セキュリティに引き渡し、調べてもらう事になった。

だが……

「なんだと!?!」

「堅守瑞貴が……現れた?」

クロウが凄まじい情報を持ってきた  
ダークシグナー事件後、姿を消していた堅守瑞貴が現れたらしい  
そしてクロウとライディングデュエルを……

「ああ、完膚無きまでに負けちゃったがな  
完敗も完敗、ライフを削る事もできなかったぜ」

「クロウがダメージを与えられなかったって  
あいつ、どんな卑怯な事をしたんだよ!」

「落ち着いてよ龍亞  
別に卑怯な事をしたって決まったわけじゃないでしょ」

「どうして彼が……」

集まっていた龍亞、龍可、アキも話に加わっている  
狭霧にはゴーストの事を調べてもらっているが  
それに加えて、牛尾も居れば奴と関わった者が揃う。

「分からねえ、だが奴の目的はゴーストを守る事だったらしい  
なんでも、それを仕事として雇われた傭兵みたいな事だそうだ」

「傭兵……つまり奴はゴーストとは関係していないのか？」

「どうも違うらしい

だが、全くの無関係って訳じゃなさそうだ  
奴は表で動くらしくて、裏では別の奴が動くとか言っていたし  
つまり、また厄介事が出てきたって事だ」

あいつ、今度の目的はなんだ？

今回は俺への復讐だと言っていたが……どうも腑に落ちない  
それならばゴーストはジャックかクロウの下へ行き  
堅守は俺の所へ来るはず……どういう事だ？

「傭兵か……俺の下にも敵が現れた

正体は不明だが、女の初心者ライディングデュエリストだった  
奴は自分の事を傭兵と名乗り、ゴーストの事も知っているようだった」

「今度は女の傭兵かよ……どうなってんだ？

しかもどう考えても堅守瑞貴の関係者じゃねえか」

「顔は見えないの？」

「ヘルメットでよく見えなかった  
だが、長い金色の髪だったのは分かった」

「髪色だけで判断するのは難しい……か」

女の傭兵で、堅守の知り合いか  
だが、初心者というのはどういう事だ？

「問題は、その女はゴーストを人形と言っていた  
つまり、ゴーストの正体を知っていたという訳だ」

「だろうな、堅守の奴もゴーストを人形って言ってたぜ  
堅守の野郎なんて、俺を初ライディングデュエルの遊び相手だなんて  
言いやがったんだぞ？」  
それなのにあの實力、やってらんねえぜ」

初めてでクロウを倒すとは……やはり奴は強いか。

「情報を整理しましょう  
ジャックの相手は金髪の女性の傭兵  
彼女はどんなデッキを使っていたの？」

「ああ、シンクロモンスターのアーカナイト・マジシャンを使って  
きた  
しかもライディングデュエルでは通常の魔法カードは使用できない  
というのに  
何を考えてか、魔力カウンターをメインに使ってきた」

魔力カウンター？

ライディングデュエルで魔力カウンターは自殺行為じゃないか？

「ねえねえ、魔力カウンターって何？」

「魔力カウンターはモンスターとかに乗せるカウンターの一種だ  
一部のモンスターは自分か相手が魔法カードを発動した時  
自身に魔力カウンターを1つ乗せる効果を持っている

他にも、召喚した時とかに勝手に乗るモンスターも居るけどな」

「だが、ジャックの言った通りでもある

魔力カウンターは魔法カードを中心としているカウンターだ  
そんなカードをライディングデュエルで使う奴はそう滅多に居ない  
だろう」

クロウと俺の解説に、分かったのか分かっていないのかの龍亞  
魔力カウンターは割とメジャーなカウンターなんだがな。

「少し気になったんだけど、金髪の女の人のよね？」

「ん？ そうだが？」

「そして堅守さんの知り合い……しかも魔法使い族  
もしかしてその人、精霊のmanaさんじゃないかしら？」

精霊がライディングデュエル……シニールだ  
なんだか想像できないな。

「精霊がライディングデュエル？  
なんだかシニールな光景だな」



「という事は……俺は人間じゃなくて精霊に負けたというのか!？」

「でも精霊だから仕方無いんじゃないかしら？」

だってデュエルモンスターズの精霊なんだし

つまり、私達よりもずっと深く知っているのよ？

人間より強くても不思議じゃないわ」

「それはそうかもしれんが……」

「落ち着けジャック

他に何か、気になる事は無かったのか？」

ジャックを落ち着け、話を促す

もし堅守の精霊ならば、何かしてきたはずだ。

「うむ、そういえば言っていたな

俺の行動パターンに性格を分析、そして行動を予想したと

しかもシンクロ召喚を封じる不協和音を使ってきたな」

「性格とかを分析って……なんか違うかい？」

にしても、やっぱシンクロ召喚を封じてきたか」

「そういうクロウはどうだったの？」

完敗って言ってたけど、想像できないんだけど」

確かに、クロウがダメージも与えられずに完敗とは

どんな手段を使ってクロウを倒したんだ？

「そうだな……思い出すのも嫌になりそうだが

最初は閃光の結界像ってモンスターを出してきやがった

そのモンスターは光属性以外の特殊召喚を封じるモンスターだったんだ

ブラックフェザー

俺のBFは闇属性で特殊召喚を中心としているだろ？

まさに天敵中の天敵モンスターって事だ、攻守が1000と低いのが救いだっただけがな」

やはりアンチデッキか

奴がそれ以外のデッキを使う想像ができないが。

「それでもう1体のモンスターを出された

シュラを召喚して、結界像を破壊してモンスターを特殊召喚

そしてもう1体を倒したんだが……悪夢が出た」

「悪夢だと？」

「ああ、テュアラティンで天使族モンスターだ

条件を満たした時に特殊召喚でき、属性を1つ選択

場のその属性のモンスターを全滅させる上

そいつが出ている限り、その属性のモンスターは召喚も特殊召喚も

封じられる

俺にはセッソしか許されなかったんだよ」

闇属性を選択されたのか

確かにクロウのデッキには致命傷だ。

「それだけだったら、いくらでも対策は取れた

だが奴は……ライディングデュエルの常識を破壊しやがった！

あの野郎、王宮のお触れで罨カードを全部無効にしやがったんだ！」

「罨カードを無効だと！？」

ライディングデュエルでそれは致命的だ！  
なのに奴はそれを無効にしたのか！？」

確かに、ライディングデュエルでは罠カードは重要なカードだなのにその罠カードを全て封じるだ？

「俺に残された手段なんて殆ど無かった  
なのにあいつはその残された手段を全て読み  
しかも対応し、俺を完封して完全に潰したんだ！」

クッ……やはりあいつは厄介だ！  
特殊召喚を封じられたらシンクロ召喚も封じられる！

「はあ、はあ……チッ！  
で、肝心のゴーストとの決闘はデュエルどうだったんだ？」

「あ、ああ

ゴーストが使ってきたモンスターは機皇帝というモンスターだ  
ワイズ・コアというモンスターが効果破壊された時、デッキから特  
殊召喚された  
5体からなる、随分と変わった巨大ロボットモンスターだった  
それぞれが厄介な効果を持っていて、恐ろしいモンスターだ」

「遊星を持っても、恐ろしいモンスターか……  
やはりゴーストの実力も高かったか」

「いや、正直に言うゴースト自身はそこまででもない  
だが問題はその機皇帝だ  
機皇帝は1ターンに1度、シンクロモンスターを装備カードとして  
装備する効果を持っている

凶悪なシンクロキラ、それが機皇帝だ」

「シンクロキラ……だと!？」

まさか遊星、お前のスターダスト・ドラゴンとかが!」

「……ああ、奪われた

なんとか取り返し、セイヴァー・スター・ドラゴンを出して勝ったが  
もしそれが無ければ負けていたかもしれない」

だが、新しく気になった事が出てきた  
気のせいかもしれないが……

「ねえみんな、私の気のせいかもしれないけど……」

「龍可、お前も気付いたか?」

「遊星も?

じゃあ気のせいじゃないのかな?」

龍可は気付いた、だが他のみんなは分かっていないらしい  
言うべきなんだが、言い難いな  
全員が使用する手段が……

「なんだよ、勿体振らずに言えって」

「その……3人の共通点を考えてたんだけど  
全員がシンクロ召喚を封じてきたんじゃないかしら?  
不協和音で直接的に、特殊召喚封じで間接的に  
そして機皇帝は戦略的に封じてきた」

そう、俺も同じ事を考えた

3人全員がシンクロ召喚を、手段は違えど封じてきた  
気のせいと思いたいが、嫌な共通点が出てきてしまった  
これは無視できる問題とは思えない。

「確かに、手段は違うがシンクロ召喚を封じられた  
まったく、厄介な奴らだ！」

「堅守や精霊かもしれない奴も気になるけどよ  
やっぱあのロボットだったゴーストも気になるぜ  
セキュリティから連絡が来るまではお預けかな？」

「その時にでも、彼の事を訊いてみましょう  
もし住所とかが分かれば直接彼の所に行く事も可能だし  
可能性は低いけど、何もしないよりマシよ」

「そう上手くいくかなあ？」

「アキさんの言う通り、何もしないより良いでしょ？  
ねえ遊星、どうするの？」

「そうだな……迷惑を掛けるが、言うだけ言ってみよう  
俺も奴が気になる  
目的も、何も分からないのは不安だからな」

何も起こらないといいが……無理か  
必ず目的を曝き、貴様の思い通りにはさせない！  
覚悟しておけ堅守、今度こそお前を倒す！

## 5D's 新1話【新たな脅威と再来の2人】（後書き）

今回は何話の事なの？

アニメ65話、66話ですね

ゴーストと機皇帝に初めて会った回です。

ジャックと決闘をしたのって……  
デュエル

マナです、どうしてこうなった？

人手が足りないから仕方無い、きつとそうだ！  
という事で。

マナはどんなD・ホイールに乗ってるの？

DSゲーム、遊戯王5D's スターダスト アクセラレーション  
WC2009

その作品に出てくる初期D・ホイールのカラーを白にただけです  
分らない人は適当に検索して探してみてください。

マナはD・ホイールに慣れてないの？

仕方無いでしょう、魔法使い族の精霊ですし

機械が得意といのも変な話しです。

マナが平気でシンクロ召喚をした！？

本人の言う通り、使える物は使うように躰けられたのです

躰けられた手段？ それは彼女だけの秘密。

アーカナイト・マジシャンの口上が……

多分、こんな感じでいいんじゃないかと思えます。

マナはこの状況でもロックデッキなの？

アーカナイト・マジシャンしか使わないので不協和音です  
さすがにライディングデュエルで罠カードを封じるのは怖かった  
そうです

だから王宮のお触れは入っておらず、除去アーカナイトデッキとい  
う感じのデッキです

そこに中途半端に魔力カウンターを入れたのがマナのデッキ。

瑞貴とマナはゴーストの正体を知ってるの？

知っています、当たり前ですが。

瑞貴とマナは誰に雇われているの？

某3人組です、どんな関係になっているかはまだ秘密です。

瑞貴もマナも、どうやってライディングデュエルの資格を？

正規手段です

さすがに知識とかだけにするには危険ですから。

瑞貴のD・ホイールの見た目は？

マナの色違いで黒なだけです

まだ手に入れたばかりなので改造などは何もしていません。

瑞貴のデッキって……

闇属性アンチデッキです

ただしかなり手加減しています

本気ならば聖なるあかりも使って……クロウに勝ち目無し！

瑞貴はBFが嫌い？

嫌いです、元の世界でBFが荒らし回っていたので

作者も嫌な思い出しありませんが……それは置いておきます

いつかBFにも光を与えないと……

バスター・モードで口上!?

何故かしたくなったのでしました

バスター召喚は他に良い召喚名が思い浮かばなかったからです。

ゴーストと遊星の決闘は?<sup>デュエル</sup>

アニメと同じなのでスルー

違いは2人の応援が無かったぐらいですね。

精霊がライディングデュエル……

シニールです

が、マナは人型なのでまだマシでしょう。

原作、アニメオリジナルカード

スピード・ワールド2

<sup>スピードスベル</sup>

S pと名のついた魔法カード以外の魔法カードをプレイした時

発動したプレイヤーは2000ポイントダメージを受ける

お互いのプレイヤーはお互いのスタンバイフェイズ時に1度

自分用スピードカウンターをこのカードの上に1つ置く(最大数は12個)

自分用スピードカウンターを取り除く事で、以下の効果を発動する

・4個 自分の手札のS pと名のついたカードの枚数×800ポイントダメージを相手に与える

・7個 自分のデッキからカードを1枚ドロースする

・10個 フィールド上に存在するカードを1枚破壊する

ライディングデュエルの基本カード

知っているとは思いますが、遊星も説明していますがおさらい。



S pーオーバー・ブースト

自分用スピードカウンターを4つ増やす

エンドフェイズに自分用スピードカウンターを1つにする

スピードカウンター補助カードですが、デメリットがそれなりに辛いかも？

S pーエンジェル・バトン

自分用スピードカウンターが2つ以上ある場合に発動可能

デッキからカードを2枚ドロース、その後到手札1枚を墓地へ送る天使の施しの下位互換のS p、以上！

S pーサモン・スピード

自分用スピードカウンターが4つ以上ある場合に発動可能

手札からLV4以下のモンスター1体を特殊召喚する

この効果で特殊召喚したモンスターはこのターン、攻撃できない切り込み隊長みたいな効果に攻撃不能が追加された感じ？

S pーオーバー・スピード

自分用スピードカウンターが4つ以上ある場合に発動可能

自分用スピードカウンターを全て取り除き

自分の墓地に存在するLV3以下のモンスター1体と魔法カードか罠カード1枚を手札に加える

このカードを発動したターン後の3ターンの間、自分用スピードカウンターは上昇しない

地味に凶悪カード、サルベージ効果が強すぎます。

S pーディフェンス・バスター

自分用のスピードカウンターが2つ以上ある場合に発動可能

相手の場に存在する守備表示モンスター1体を攻撃表示に変更するS p版の守備封じ、以上。

スペーススピード・エナジー

自分用スピードカウンターが2つ以上ある場合に発動可能

ターン終了時まで、自分の場に存在するモンスター1体の攻撃力は自分用スピードカウンターの数×200ポイントアップする

地味に強い強化カードです。

ハーフ・ストレート

自分の場に存在するモンスター1体を選択し

その攻撃力を次の自分のターンのスタンバイフェイズ時まで半分に  
する

選択したモンスター1体の半分にした攻撃力が

相手フィールド上に存在する最も攻撃力の高いモンスターの攻撃力

よりも低い場合

選択したモンスター1体は相手プレイヤーに直接攻撃する事ができる

強いのか弱いのかよく分からないカードです

ダイレクトアタック  
直接攻撃時に効果を発動するモンスターなら強力？

ツイッター、ゲーム買った！

http://twitter.com/#!/ainkuria  
でもまだしてない……時間無いし！

## 5D's 新2話【落ち溢れ生徒達】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな！  
今日はこれ！」」

アンティーク・ギアスタチュー  
「古代の機械石像？」

アンティーク・ギアゴーレム  
「古代の機械巨人専用のサポートモンスターよ  
アンティーク・ギアゴーレム  
召喚条件を無視して、古代の機械巨人を特殊召喚できるわ」

攻撃力3000を生け贄1体で特殊召喚できる  
しかも貫通効果付きの上に魔法、罠封じまで……

まさかの連日更新

この忙しい時なのによくできたものです。

次回は……もしかしたら明日も投稿できるかも？  
ちよっと気分が乗っている状態ですので今も次話を執筆中です  
明日も投稿できるといいなあ……

## 5D・s 新2話【落ち溢れ生徒達】

視点 遊星

今日はデュエル・アカデミアから、修理の依頼が入った  
なんでも、ハイトマンという物のネジを締め直してほしいとの事だ  
ハイトマンなんて機械は知らないんだが……依頼は依頼だ。

そしてデュエル・アカデミアに到着  
指定された教室に入ったんだが……なんだ、これは？

なにやら、アキが教師と揉めているようだ  
しかも、教室内には龍亞や龍可、他にも生徒が何人もだと？

「どうした、アキ」

「「「遊星……」」」

「貴方は、あのフォーチュンカップで優勝した不動遊星！」

どうやらあの教師は俺を知っているらしい  
そして優勝者が来た事に、子供達が興奮した声を上げる  
目立つのはあまり好きではないんだが……

「いったい、我がデュエル・アカデミアに何の用でありますか？」

「仕事をしに来ました」

「はあ？ 仕事お？」

「この教室に修理してほしい物が有ると、依頼を受けて来たんだが……」

どう見ても、修理が必要な物は無い  
どれがハイトマンなんだ？

机や電光黒板、他にも小さい機械は少なからず有るらしいが。

「はて……この教室で修理ができる物などありましたですかねえ？  
児童達の成績の修正すら不可能であるというのに」

「ちょっと、教頭先生！

そんな言い方は酷すぎます！」

アレが教頭？

……随分と個性的な教頭だな。

「成績だけで判断し、決闘を学ぼうという想いを斬り捨てるのは  
愚かな事だとは思わないのですか？」

「愚かはそつちです！

低レベルの落ち溢れがいくら決闘を学んだ所でなんの意味もありません！」

こいつ……

「大体、この子達のデッキには低LVの屑モンスターしか入っていません  
決闘者としての能力が低いから、低LVのモンスターしか使えない

のでありますよお？」

さっきからずけずけと……子供達を傷付けるような事ばかり！

「いや、それは違う

この世の中に不必要な物など1つも無い」

「なあにを偉そうに

部外者に口出しされるいわれは無いでありますよ！  
とつと帰ってほしいであります！」

こいつは気に入らないが、それはさて置き  
俺は仕事で来たんだぞ？ 勝手に帰れるはずがないだろう。

「いったい何を修理に来たでありますか！？」

「俺が修理しに来たのは、ハイトマンという物だ」

それが何かは、今も分かっていないがな。

「はぁ？ ハイトマン？」

「ああ、ちよつとネジを締め直せば直るらしいんだが……」

俺の言葉に、何やら慌てる教頭  
何か変な事を言っただろうか？

「ぬおおおおおお！」

それは私、ルドルフ・ハイトマンの事ですみますかあ！？」

「なに？」

ハイトマンというのは人間だったのか？  
だが、俺は人間の修理は取り扱っていないのだが  
そういう事は病院にでも……

「遊星助けて」

「俺達全員、退学させられちゃうんだよお……」

退学だと？

「私達からもお願い！」

「なんとかして、遊星！」

龍亞や龍可だけではなく、他の子供達まで……ん？  
まさかハイトマンのネジを締め直すというのは……

「なるほど、そういう事か……  
どうやら君達の願い、聞いてやれそうだ」

俺の仕事は機械の修理じゃない  
あの男の根性を叩き直す事だ！

「ハイトマン、俺と……」

「おい、邪魔だ」

なに？

後ろから声を掛けられ、押された  
倒れはしなかったが……誰だ？

「まったく、今日はこのデュエル・アカデミアを見学しに来ると言  
っただろう

なのに迎えも寄こさず、悪いと思ったが無断で入って誰か教師を捜  
していたら

なんだ、この馬鹿馬鹿しい三文芝居は！」

「この声は……堅守瑞貴！」

振り返り、顔を確認すれば確かに堅守瑞貴！  
だが、何故マークが無くなっているんだ？  
あの顔中に有った大量のマークが消えているとは……何故だ？

「こ、これは失礼！」

この私とした事が、こーんな落ち溢れ達に構っている暇はありません  
のであります！」

「落ち溢れ云々は知らんが、人を待たせるのは感心しないな」

どうしてこいつがデュエル・アカデミアに？  
なんの目的で……怪しい。

「おい、堅守

お前は何の目的でこの学園に来たんだ？」

「……ふん、感情的にならなかったただけマシか  
そこだけは褒めてやろうじゃないか  
俺を目の前にして、落ち着いていられるんだからな」



こいつ、相変わらず挑発をする奴だな！  
俺をそんなに怒らせたいのか！

「目的を言え」

「聞いていなかったのか？

この学園を見学しに来たんだよ、仕事でな  
なんでも、この学園に転校させたい奴が居るらしくてね  
だから俺の仕事はその学園の下見、目的は以上だ」

「お前の言う事なんて信用できるかあ！

今日はどんな悪さをしに来たんだ！」

「落ち着いて龍亞！

ごめんなさい、いきなり龍亞が怒鳴って……」

「龍可!?!」

俺も龍亞と同意だが、この場は拙い  
まだ大勢の子供達が居るし、奴は目的をハッキリと言った  
それを信用できないとか、悪さをとか言うのは……

だが、そんな龍亞を龍可が落ち着ける  
そして龍亞の代わりに堅守に謝った。

「はあ……龍可に免じて許してやる

また突っかかってきたらアンチデッキで潰すぞ  
前回みたいな緩いアンチじゃなく、本格的なアンチでな」

「う……クソッ！」

どうやら今回は見逃してくれるらしい  
さすがに、俺も何の準備もしないまま  
こいつと決闘デュエルをする気は無い……基本的にはだが。

「おい、俺の見学は今は置いておくが  
何の騒ぎだったのか訊くぐらいは構わないだろう？」

「あ、ああ……そうだな

実はこの子達の成績が悪かったらしくてな

それで強制的に退学させられそうになっているらしい  
俺はそれを止めようとして、奴に決闘デュエルを挑もうと思ったんだが……」

「俺が来たからお流れになったと」

何故……俺はこいつと普通に話してるんだ？

こいつは憎い敵であり、みんなを苦しめた奴なのに  
どうして俺は平然としていられる？

「ふーん……確か、ハイトマンだったか？」

「な、なんでありますか？

まさか貴方まで私を非難するつもりでありますか！？」

「別に非難するつもりは無い

学園の経営者として、名を守ろうとする姿勢は良いことだ  
成績の悪い者を切り捨てる、それも1つの手段だろう」

俺も含め、ハイトマンを除いた全員が啞然とする

こいつ……ハイトマンを支持するというのか!?

「だが、ちょっと軽率かもしれんな

俺は知っているぞ? 落ち溢れがエリートを超えた瞬間を

昔のデュエル・アカデミアは成績で格付けされていた

最底辺のオシリスレッド、真ん中のライイエロー、成績上位のオベリスクブルー」

そういえばこいつ、タイムスリップしてきたんだったな

更にデュエル・アカデミアの卒業生に違いは無い

ならばそれぐらい知っていても当たり前か。

「落ち溢れはなかなか愉快な事を起こす天才だ

入学の成績110番が成績1位に勝った時とか

中学高校共にトップレベルの奴を蹴落とした時とか

学園最強と呼ばれる奴に正面から挑まれた時とか

あいつは本当に学園の落ち溢れだったのか……謎だ」

そんな人が……ん?

む、生徒達が凄く楽しそうに堅守の話をしているだど?

しかもハイトマンも興味深そうに……何が起きているんだ?

「当時は俺もかなりやんちゃしたからなあ……

その落ち溢れが俺は大嫌いだな、性格的な意味で

気に入らないからアンチデッキを使って完膚無きまでに潰してやったっけ?

だがまあ、元気と気合とかで持ち直すという凄い奴だったなあ」

堅守が楽しそうに話しているが、自覚は無さそうだ

声が嫌そうだが、顔は楽しそうに……奴にもあんな顔ができたのか。

「っと、話過ぎたな

経験則から言うが、落ち溢れというだけで切り捨てるのは気が早いな俺の知る落ち溢れも何度も……何回も退学させられそうになったんだが

その試練を全て乗り越え、勝ち抜き、その教師も倒したしな更に言うならば、落ち溢れを優秀にできるかは教師の仕事だろう？生徒の成績が悪いのなら、教師も叱るべきだと俺は思うがな」

視線が担任である女性に向く

さすがにシヨックだったのか、落ち込みの顔色は隠し切れない当然だろう、生徒の成績が悪いのは自分が原因と言われたのだから。

「しかし、その教師に勉強の方針を押し付けているのは学園だろうな教師のやりたい、教えたい事を勉強させられているかも分からんもしかしたら上も悪いかもしれんな、ハイトマン教頭？」

「ぬ、ぐぐぐぐ……」

み、みんなのフォローも大変だな  
こいつもよくやる。

「そういえば少しだけ話を聞いていたんだがな  
低LVモンスターの使用者は決闘者<sup>デュエリスト</sup>レベルが低いとか  
他にも低LVモンスターは屑だとか聞こえたんだが、本当か龍可？」

「へ？」

う、うん、さっきそう言われたわ」

「変だな……俺はLV1だけのデッキでも勝った記憶が有るんだが

全てのモンスターがLV2以下のデッキも使った事は有るし  
はて、つまり俺の決闘者<sup>デュエリスト</sup>LVは凄まじく低いのか？」

「いや、俺に訊かれても……」

どう答えると？

「ふ、ふん！」

そんなのは相手が弱すぎたからであります！  
私ならば、そんなデッキ一捻りでありますよ！」

こいつに挑発をするのは危険じゃないか？

潰されても文句は言えないと思うぞ

特に堅守だと、怒りで何をしでかすか……

ああ、あの時の悪夢が甦ってくると同時に怒りが！

「なら俺と決闘<sup>デュエル</sup>するか？

何だったら全モンスターがLV2以下のデッキで

しかも、シンクロも融合も全く使用しない

これで負けたら凄まじい恥にしかないよなあ？

情けなくて哀れみさえ感じられると思うんだが？

まさか伝統あるデュエル・アカデミアの教頭先生様が

高々LV2以下のデッキに敗北するだなんて、ありえませんか？  
「？」

「きつききつききつきききききききき貴様あああああああ！  
こ、ここここ、この私に向かってそこまでの挑発をしたのです！  
もし負けたら土下座してこの私にあやまるでありますよお！」

「それは無いな、俺が貴様程度に負けるはずが無いだろう？」

俺が勝ったら、転校させる予定の奴に必要な金は全て貴様に払ってもらおう

更に、お前が落ち溢れという奴らの退学処分も取り消してもらおうかな？」

なに！？

堅守が人助けをするだ！？

し……信じられない！

「言っておくがな、勘違いするなよ？

これはお前を助ける為でも、生徒を助ける為でも、教師を助ける為でもない

俺は気に入らない奴は徹底的に叩き潰す方が好きでね

プライドを叩き折った方が楽しいし、落ち溢れが学園に居る方が奴のストレスにもなる

楽しみだよ、あいつの負けた姿を想像するだけでな」

前言撤回、こいつは人助けなんて絶対にしない

気分となくなくて物事を決める奴だ

そしてサディストか……疲れる。

「だが堅守

俺はハイトマンの修理の依頼を受けているんだ  
お前に戦ってもらったら勝つのは当然だろうが  
ここは俺にさせてもらえると助かる」

「おい、ここまでしておいて俺に引けと言うのか？」

「……そうなる」

「いいぞ」

「即答!？」 「嘘!？」 「ええ!？」

龍亞、龍可、アキ、それは俺の台詞だ  
まさか本当に代わるとは思わなかった……

「俺は本来、面倒事は嫌いなんだよ  
今回は売り言葉に買い言葉で喧嘩を売ったがな  
そもそも俺の仕事は学園の下見だし、これは仕事外  
だから別に態々相手をする必要も無いんだよ」

「わ、私を怒らせておいて!  
しかも挑戦までして、その態度はなんでありますか!？」

「何って、俺の態度だが?  
まあ今回は譲ってやるから楽しめ  
俺はさっさと見学に行きたいのでな」

そう言って、奴は去って行った  
場を荒らすだけ荒らして逃げられた気分だ。

「ハイトマン、改めて言おう  
お前に決闘を申し込む<sup>デュエル</sup>!

俺が勝ったらこの退学処分を全て撤回してもらう!」

「ふ、ふ、巫山戯た奴らめ!  
この私が完膚無きまでに、破壊しつくしてやります!」

……………

………

それからは特に話す事も無いな

子供達からカードを借り、ハイトマンを倒した

さすがに古代の機械巨人には驚いたが……  
アンティーク・ギア・ゴレム

「お、終わったのか」

「貴様……堅守」

今更何をしに来たんだ？

全てが終わり、もう解散するだけになっている

子供達にもカードは返した。

「あそこまで挑発したんだ、一応遊んでやろうと思ってな  
それともお前が相手をするか？

せっかくヒーロー状態なのに、態々無様な姿を晒すのも楽しそうだがな」

我慢するんだ、今は何もできない！

奴に逆らうと何をしてくるか分からないからだ

もし……この子達を人質に取られたらと思うと動けない！

「で、どうするかな？ ハイトマン教頭

俺はもう不要で、低LVモンスターの可能性は不要かな？」

「……いいでしょう、相手になってあげますよお！

貴方の言う、低LVモンスターの力を見せてみるがいいであります  
！」



一瞬だが見えた

堅守の口が、とても嫌らしく笑みを浮かべた事を……  
この決闘<sup>デュエル</sup>、必ず荒れる！

この場に居た者達、堅守とハイトマンを除く全員が2階の観客席に座る

さて、どんな決闘<sup>デュエル</sup>が見れるのか……

「先に宣言しておこう

<sup>デュエル</sup>

この決闘、俺が使うモンスターは全てLV1だ

LV2以上のモンスターは1体も使用しないと約束しよう」

「この私をLV1のモンスターだけで倒す……ですと!?!」

無茶だ！ 無理とは言わんが、それは難しいぞ！

なにより、どうやって古代の機械巨人<sup>アンティーク・ギアゴレム</sup>を倒すつもりなんだ!?!

「さあ、始めようか？

俺が勝ったら先程の約束通り、全額負担してもらうぞ」

「いいでしょう……私を甘く見たツケを払うとよいのであります！」

「決闘<sup>デュエル</sup>！」

「先攻は俺が貰う、ドロー

マスクド・チョッパーを召喚

カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

……攻撃力100のモンスターを攻撃表示だと？

しかも、本当にLV1のモンスターだ  
本気でLV1のモンスターしか使わないつもりか？

「まさか本当にLV1のモンスターを使うとは……

私のターン、ドロー！

アンティーク・ギアナイト  
古代の機械騎士を召喚するであります！」

攻撃力1800のデュアルモンスターか

今は効果を持っていないが、再度召喚する事で面倒になるな。

アンティーク・ギア  
「古代の機械だと？

面倒な……俺の大嫌いなモンスターじゃないか」

ほお？ 奴にも嫌いなモンスターが居るのか

それはやはり居ないはずは無いだろうが、少し意外だな

堅守ならばアンチデッキを組んだ上で試合を始めると思ったんだが。

「攻撃力100を攻撃表示とは、私を舐めているでありますな！

LV1のモンスターだけ、しかもそのプレイング！

いくら私でも、怒る時は本気で怒るのであります！  
アンティーク・ギアナイト

古代の機械騎士でマスクド・チョッパに攻撃！」

「罠カード発動、モンスターBOX

相手の攻撃宣言時、コイントスを1回行い、俺がその裏表を当てる

もし当たった場合、相手の攻撃モンスターの攻撃力は0になる

俺が宣言するのは裏だ、コイントス」

堅守のコイントスで出てきたのは……表

残念だがらハズレのようだな。

「残念でーした！」

さあ、攻撃を続行しますよお！」

「罠カード、確率変動を発動

コイントスやダイスをもう1度やり直す

ただし、1度出た目は出なくなる」

「あー？」

コイントスをもう1回して、もう出なくなるですと？

それはつまり……」

「そう、確率50%が確率100%に変わるという事だ  
2回目のコイントス、俺が宣言するのは裏

そしてコイントスをするが、出てくるのは当然ながら……裏だ」

「なななな！　なんですとお！？」

なんて強力なカードだ！

コイントスならば確実に当てられるカードじゃないか！

「よって反撃により、マスクド・チョッパーが勝つ」

「くう……しかし、所詮は攻撃力100のモンスター

そんなダメージ、痛くも痒くもないでありますよ！」

「このモンスターが戦闘で相手モンスターを破壊した時  
相手プレイヤーに2000ポイントのダメージを与える」

「2000ポイントのダメージですとお！？」

合計ダメージは2100  
これを狙っていたのか。

「ぬううう……カードを1枚伏せて、ターンエンドでありますよ  
！」

「俺のターン、ドロ  
モンスターBOXの維持コストを支払わず、モンスターBOXを破  
壊する  
魔法カード、カップ・オブ・エースを発動  
コイントスを行い、表なら自分が、裏なら相手がデッキからカード  
を2枚ドロースる」

確率は1／2か  
少々怖いが、それでもドロ効果は魅力か。

「表だ、よって俺はカードを2枚ドロースる  
更に魔法カード、ワン・フォー・ワンを発動  
手札のモンスターを1体墓地へ送り、デッキからLV1のモンス  
ターを特殊召喚する  
俺はワイトを墓地へ送り、サイバー・ヴァリーを特殊召喚する」

攻撃力も守備力も0のLV1のモンスター  
そして墓地へ送ったワイトもLV1……本気でLV1しか使わない  
つもりか？  
いくらなんでも、それは難しいと思うのだが。

「魔法カード、機械複製術を発動  
攻撃力500以下の機械族モンスターをデッキから2体まで特殊召  
喚する

俺はサイバー・ヴァリーを2体、デッキから特殊召喚」

「いくら数を揃えようとも

攻撃力0のモンスターが何体出てきても怖くないのでありますよお！」

確かに、攻撃力0のモンスターを何体出そうともシンクロもしないのならば相手にする必要も無いだが、奴の事だ……必ず何かしてくる。

「そしてワイトキングを召喚する

ワイトキングは墓地にワイトが存在する時

ワイトの数×1000ポイント攻撃力が上昇する

俺の墓地にはワン・フォー・ワンで捨てたワイトが1枚よって攻撃力は1000ポイントだ」

「それでも攻撃力は僅か1000！

私のライフは削り切れませんよ！」

ハイトマンのライフは残り1900

マスクド・チョッパーとワイトキングの攻撃力を合わせても1100サイバー・ヴァリーの攻撃力は0だからダメージは与えられない。

「俺の残り1枚の手札

このカードは装備魔法、団結の力

自分の場のモンスターの数×800ポイント

装備モンスターの攻撃力をアップさせるカードだ」

「そ、そんな装備カードがあ！？」

もしそれを装備されたら、攻撃力は4000ポイントアップですと

!？」

これで奴の勝ちだろう

ハイトマンの伏せカードは気になるがな。

「だが、このカードは使ってやらない  
蹴り殺しだ……ワイトキングで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「わ、私を馬鹿にしているのですかあ!？」

ハイトマンは伏せカードを使わずに攻撃を受ける

もし攻撃を止めるカードだった場合、団結の力を見せられればそうなるか

次のターンに装備されたら終わるからだ。

「更にマスクド・チョッパーで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「この……チマチマと!」

「ターンエンドだ」

だが、奴の場に伏せカードは無い

しかも、手札を知られているから攻撃を防ぐ手段も無い  
どうやって次の攻撃を防ぐつもりだ?

「私のターン、ドロー!」

アンティーク・ギアキャッスル  
永続魔法、古代の機械城を発動するであります!

アンティーク・ギア  
このカードが存在している時、古代の機械と名の付くモンスターの  
攻撃力は300ポイントアップ!

アンティーク・ギアスタチュ  
そして古代の機械石像を召喚するであります!

アンティーク・ギアキャッスル  
古代の機械城の効果発動！

モンスターが召喚された時、このカードにカウンターを1つ乗せる！  
アンティーク・ギアスタチュー

更に古代の機械石像をリリース！

アンティーク・ギアゴーレム  
手札から古代の機械巨人を召喚条件を無視して特殊召喚するであります！」

俺の時のように、機械複製術で3体にされないだけマシだが  
堅守のモンスターでは大ダメージは必至！

アンティーク・ギアタンク  
「更に装備魔法、古代の機械戦車を発動！

アンティーク・ギア  
古代の機械と名の付くモンスターにのみ装備可能！

装備モンスターの攻撃力を600ポイント、アップさせるであります！」

アンティーク・ギアゴーレム  
古代の機械巨人の攻撃力が……3900だと！？

もしこの攻撃を受ければ、堅守のライフは風前の灯火だ！

アンティーク・ギアゴーレム  
「古代の機械巨人でサイバー・ヴァリーに攻撃であります！」

これを受ければ……

「攻撃力0を攻撃してくると思ったさ

サイバー・ヴァリーの第1の効果を発動

このモンスターが攻撃対象に選択された時

自身を除外してデッキからカードを1枚ドロウする

更に、このバトルフェイズを終了させる」

「な、そんな効果が！」

それで守備表示ではなく、攻撃表示で出していたのか

狙われる為に……か。

「ターンエンドでありますよ！」

「俺のターン、ドロー

サイバー・ヴァリーの第3の効果を発動

自身と手札1枚を除外する事で、墓地のカードを1枚デッキトップに置く

サイバー・ヴァリーと手札の団結の力を除外し、ワン・フォー・ワンをデッキトップに置く

更にサイバー・ヴァリーの第2の効果を発動する

自身と場のモンスター1体を除外し、デッキからカードを2枚ドロースする

サイバー・ヴァリーとマスクド・チョッパーを除外し、2枚ドロー」

3つの効果を持つモンスターか……珍しいな

それにしても、奴はLV1のモンスターを有効活用しているLV1のモンスターの効果はかなりトリッキーな効果が多いその為、どんなデッキにも1枚は入っている可能性が高い。

しかし……それだけでデッキにするのは至難の業

それを可能にする堅守のデュエルタクティクス……

気に入らない奴であり、悔しいが参考になる。

「ふ、ふん！」

例えそんな事をしたとしても無駄であります！

確かに低LVモンスターの有用性は理解できるではありますがそれでも、団結の力を失ったそのデッキに勝ち目は無いのであります！」



「氷結界の番人ブリズドを召喚

更に魔法カード、死のマジック・ボックスを発動する

相手モンスターを1体破壊し、自分のモンスター1体のコントロールを相手に移す

アンティーク・ギアゴーレム

古代の機械巨人を破壊し、更にブリズドのコントロールを渡す」

「ななあ！ そんな手段で私の古代の機械巨人を！？」  
アンティーク・ギアタング

しかし！ 古代の機械戦車の効果発動！

このカードが破壊され、墓地へ送られた時

相手に600ポイントのダメージを与えるのでありますよ！」

「手札からハネワタを捨て、効果発動

このターン、俺が受ける効果ダメージは0となる」

L V 1のモンスターを使いこなしているな

効果をよく理解している証拠だ

しかも、コントロールを相手に移すのも効果的だ。

やはり何度見ても、奴は強い

アンチデッキでなくとも、それが十分に分かる

それだけに……腹が立つ！

「ワイトキングでブリズドを攻撃」

「クッ……まだ終わりませんよ！

私のライフは、まだ残っているですから！」

ハイトマンのライフは残り100

ギリギリ残ったな。

「ブリズドの効果を発動

このモンスターが戦闘で破壊され、墓地へ送られた時  
デッキからカードを1枚ドロウする

この効果は俺の墓地で発動する、よって俺がドロウだ」

なるほど、コントロールを相手に移したのにはそんな意味が有った  
のか

しかも相手のモンスターも破壊でき、一石二鳥という訳だな。

「魔法カード、ワン・フォー・ワンを発動

手札のモンスターを捨て、デッキからLV1のモンスターを特殊召  
喚する

手札のワイトキングを墓地へ送り、デッキからミスティック・パイ  
パーを特殊召喚」

また攻守0のモンスターか

やはりLV1のモンスターだからだろうか？

「そしてワイトキングを捨てた事で場のワイトキングの効果を発動  
ワイトキングは墓地のワイトキングが増えても攻撃力がアップする  
俺の墓地にはワイトとワイトキングが1枚ずつ  
よって、場のワイトキングの攻撃力は2000となる」

攻撃力2000のLV1モンスターか、珍しいな  
機皇帝は攻撃力2500になっていたが。

「ミスティック・パイパーの効果を発動

自身をリリースする事で、デッキからカードを1枚ドロウする  
ドロウしたカードはお互いに確認し、そのカードがLV1のモンス  
ターだった場合

「更にもう1枚、俺はドロースる」

なるほど、奴のデッキはLV1のモンスターしか入っていない  
ドロースたカードがモンスターならば、必然的にもう1枚ドロース  
きるのか。

「俺がドロースたカードはLV1モンスター、サイバー・ラーバアだ  
よって、ミスティック・パイパーの効果でもう1枚ドロース  
魔法カード、磁力の召喚円LV2を発動する

手札からLV2以下の機械族モンスターを特殊召喚する  
俺は手札より、LV1のサイバー・ラーバアを特殊召喚だ  
これでターンエンド」

また低攻撃力……当たり前だが  
それにしても、堅守はどうやってこれだけのモンスターを集めたん  
だ？

「私のターンですよ、ドロース！  
アンティーク・ギアキャッスル  
古代の機械城の効果を発動します

このカードは古代の機械をアドバンス召喚する場合  
アンティーク・ギア  
リリースに必要なモンスター以上のカウンターが乗っていれば、代  
わりにリリースできるのです  
アンティーク・ギアキャッスル

古代の機械城に乗っているカウンターは2つ  
アンティーク・ギアキャッスル  
よって私は古代の機械城をリリースし、古代の機械巨人を召喚！」

再び出てきたな、攻撃力3000の古代の機械巨人  
アンティーク・ギアゴーレム  
これもハイトマンの上级モンスター召喚術  
アンティーク・ギアスタチュー  
古代の機械石像だけではなかったか！

「さあ、バトルです！

古代の機械巨人でサイバー・ラーバアに攻撃！」

「サイバー・ラーバアの効果を発動する

このモンスターが攻撃対象に選択された時、このターンで俺が受ける戦闘ダメージは0となる」

「またそのようなモンスターですと!？」

どうりで平気で攻撃表示で出すわけだ

ハイトマンも、効果が分かるワイトキングを倒せばいいものをな。

「更に、サイバー・ラーバアが戦闘で破壊された時  
デッキからサイバー・ラーバアを1体、特殊召喚する」

どうやっても、堅守のモンスターは途切れない  
しかも、今だにライフが全く減っていないだど？  
どうして奴はそこまで強いんだ？

「ぐぬぬぬぬぬぬ……ターンエンドでありますよ!」

「俺のターン、ドロー

金華猫を召喚し、効果を発動する

このモンスターが召喚、リバースに成功した時

自分の墓地からLV1のモンスターを1体選択し、特殊召喚する  
俺が選択するモンスターはミスティック・パイパーだ」

再び現れるミスティック・パイパー

そしてこのモンスターを特殊召喚したという事は……

「ミスティック・パイパーの効果を発動

自身をリリースし、デッキからカードを1枚ドロ  
ドロカードをお互いに確認し、LV1モンスターならもう1枚ド  
ローする

俺がドロしたカードはLV1モンスター、サクリファイス  
よってもう1枚ドロ」

LV1の儀式モンスターだと？

何故そんなモンスターを……

「儀式魔法、高等儀式術を発動する

デッキから儀式モンスターと同じLVになるように通常モンスター  
を墓地へ送る

俺が墓地へ送る通常モンスターはLV1の千眼の邪教神だ

そしてLV1の儀式モンスターを儀式召喚する

全ての捕食者、奪い略奪し荒らし尽くせ！

儀式召喚！ 汝命捧げよ、サクリファイス！」

儀式召喚……か

だが、やはり攻撃力は0のモンスター

どうやってこの状況を突破するつもりだ？

「サクリファイスの効果を発動する

1ターンに1度、相手モンスターをこのモンスターに装備する

そして装備したモンスターの攻撃力と守備力を得る」

「そ、そんな！

そんな事すれば私の古代の機械巨人は！」  
アンティーク・ギアゴーレム

「その通り、残念だが俺の物となる

サクリファイスの効果により、古代の機械巨人を吸収」  
アンティーク・ギアゴーレム

アンティーク・ギアゴレム

古代の機械巨人はサクリファイスに吸い込まれる  
そしてサクリファイスの攻撃力は3000にまで……凄いな。

「残りライフは100、これで終わりだな  
攻撃力400の金華猫で直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「カウンター罠、攻撃の無力化を発動するであります！  
その攻撃を無効にし、バトルフェイズを終了させる！」

防がれたが、堅守が断然に有利だ  
次のターンには終わるだろうな。

「ならこれでターンエンドだ  
そして金華猫の効果を発動  
召喚、リバースしたターンのエンドフェイズ時  
金華猫は持ち主の手札に戻る」

「そ、そんな……」

おそらく、ハイトマンは最後に一矢報いる為にも  
金華猫を倒し、ダメージを与えたかったのだろう  
しかし金華猫は手札に戻り、残るはワイトキングにサイバー・ラー  
バア、そしてサクリファイス。

ワイトキングの攻撃力は2000  
サイバー・ラーバアはダメージ無効の効果を持っている  
そしてサクリファイスは攻撃力が3000にまで上がっている。

この状況でハイトマンに勝つ手段はほぼ無いだろう。

「私の……私のターン、ドロー！」

アンティーク・ギア  
古代の歯車を守備表示で召喚！

更に魔法カード、機械複製術を発動するのであります！

攻撃力500以下の機械族モンスターを2体までデッキから特殊召喚するのであります！

アンティーク・ギア  
私はデッキより、古代の歯車を2体、守備表示で特殊召喚！

これでターンエンドであります！」

これはもう、ハイトマンの意地だな

最後の最後まで諦めないその気持ち……ナイスだ  
子供達も僅かならが応援しているぞ。

「俺のターン、ドロー」

魔法カード、悪夢再びを発動する

墓地に存在する守備力0の闇属性モンスターを2体選択し、手札に加える

俺が選択するモンスターはワイトキングと千眼の邪教神だ」

終わったな

アンティーク・ギア

古代の歯車の守備力は800とLV1デッキからすれば高い  
堅守のモンスターではなかなか突破できない壁だろう

しかし、ワイトキングならば例え1体減っても攻撃力は1000残っている。

「ワイトキングを召喚する

俺の墓地にはワイトが1体、よって攻撃力は1000となる

アンティーク・ギア  
ワイトキング2体とサクリファイスで古代の歯車に攻撃」

これでハイトマンの場にはカードが1枚も存在しなくなった

そして堅守にはサイバー・ラーバアの攻撃がまだ残っている。

「サイバー・ラーバアで直接攻撃」  
ダイレクトアタック

「むわあああ！」

本当に……LV1だけのモンスターで勝った  
アンティーク・ギア  
あの古代の機械達を相手に……

「すげえ……教頭先生相手に本当にLV1のモンスターだけで勝っちゃった」

「やっぱりあの人は強いわ、アンチデッキを使わなくても……  
なのに、どうしてアンチデッキばかり使うのかしら？」

「それだけじゃないよ  
1度もダメージを受けてない」

「私も頑張れば低LVモンスターだけで勝てるかしら？」

「分からないけど  
でも、きつとできるよ！」

子供達には大好評だな……当たり前か  
特にハネワタを使われたのは嬉しいだろう  
実際に使っている子も居るのだし。

「では教頭  
もしこの学園に俺の関係者が転校する時  
必要な金は全て払ってもらいますよ」



「……約束でありますからね  
ちゃんと払わせてもらおうであります」

目的がこれじゃなかったら……はあ  
どうしてこいつは人に好かれようという努力をしないのか  
周りに敵ばかり増やして、疲れないのか？

「あ、あの！」

「ん？」

「……何か用か？」

あの子は……俺にハネワタを貸してくれた女の子か  
いつの間に奴の所に……

「私パティです！」

どうやったらそんなに強くなれるんですか！」

なるほど、あの子もハイトマンに落ち溢れと言われた子だったな  
だから俺以上に低LVモンスターでハイトマンに勝った奴の下へ行  
ったのか。

「……教えてやる義理は無いな  
だがまあ、1つだけなら教えてやろう」

「ドキドキ」

「知れ」

「知る？」

「カードの効果、特性、能力、組み合わせ、他にも様々な事が有るそれを知っているか知らないかで大きな差が出てくる

例えを出すならば先程の決闘デュエルでも有るな

教頭は俺のモンスター効果を知っていればダメージを与えられたもしかしたら俺も負けていたかもしれない

知るといのは、それだけ重要な事だ」

なるほど、効果を知り尽くしているという訳か  
そして自分の使うモンスターを知っている事で  
使用に最適なカードをデッキに入れられる  
それが奴の強さの秘密か。

「好きなモンスターは？」

「ハネワタ！」

「ならこの2枚のカードをプレゼントしてやろう  
使うか使わないかは自由だ  
知識を増やし、使いこなしてみるんだな」

堅守が2枚のカードを女の子……パティに渡した  
どんなカードを渡したのか……

「あ……ありがとう！」

「ま、頑張りな  
じゃあ俺は帰る、下見もあらかた終わってるしな」

「待て堅守！」

「チツ……あ、そうだ」

俺の言葉に舌打ちをしながらも振り返るが  
奴は何かを思いついたらしい。

「その内、お前の所に何か依頼をするかもしれん  
そうになった時は精々働いてくれよ？」

「傭兵のお前が依頼だと？  
そうでなくても、お前の依頼など！」

「報酬ならちゃんと払うさ、嘘は言わない  
それに、仕事をキチンとこなしてくれたら上乘せも考えておくよ  
精々精一杯働いて、沢山稼ぐ事だな」

堅守はそのまま去って行ってしまった  
やはり奴は何を考えているのか全く分からない！

「ねえねえパティ、どんなカードを貰ったの？」

「えっとね、この2枚！」

パティが見せたカードは永続魔法とシンクロモンスターだった  
永続魔法はコート・オブ・ジャスティス、シンクロモンスターはエ  
ンシェント・ホーリー・ワイバーン

天使族のサポートカードと天使族のシンクロモンスターだな。

「このコート・オブ・ジャスティスってね

場にLV1の天使族モンスターが居る時、手札の天使族モンスターを特殊召喚できるの！

私のハネワタを出して、LV6のモンスターを特殊召喚すればエンシェント・ホーリー・ワイバーンを出せるわ！」

なるほど、ハネワタと相性の良いカードを渡したのか

あの子があのだの2枚のカードを使うのなら、きっと天使族デッキになるだろう。

「いいなあパティ！」

「僕も話せばよかったなあ」

「ケッ……あの野郎」

「こら龍亞、怒っちゃ駄目

あの人は今回、元々は一応半分ぐらい善意で決闘デュエルしようとしてくれたんだから

それに、言っている事も間違っていないしね」

「そうね、知識が無ければデッキも組めないものだから龍亞ももっと勉強してみたら？」

「げげっ！

はっははは、俺なら大丈夫だよアキ姉ちゃん！」

「どーだか……まったく」

相変わらず、俺は奴が気に入らない、それは変わらないだが……子供達には優しいという事は分かった

奴にも、僅かには良い所が有ったらしいな。

後日、あのパティという子が俺を訪ねてきた  
目的は堅守らしく、デッキ診断してほしかったらしい  
だが生憎、俺は奴の居場所を知らない。

それを彼女に言ったら落ち込んで帰っていった  
龍可に訊いてみた所、あの子はかなり本気で勉強をしているらしい  
成績もグンと上がったとか……凄いな。

しかも実力も上がっているとすれば驚くしか無い  
龍亞と本気の決闘デュエルをし、勝ったという話も聞いた  
それを話していた時の龍亞はかなり不機嫌になっていたけどな。

どんなに辛い状況でも、必ずエンシェント・ホーリー・ワイバーン  
は出デュエルすらしい  
出さない決闘は出すなど言われている時のみだそうだ  
なんというか……そこまで強くなる決意には驚く事しかできない。

そしてまだまだ頑張っているらしい  
機会が有れば、俺も1回決闘デュエルしてみたいと思う  
将来が少し楽しみだ。

## 5D's 新2話【落ち溢れ生徒達】（後書き）

今回は何話なの？

アニメ67話です

デュエル・アカデミアなのでつい……

瑞貴！？ 何をしに来たんだ！？

本当に本人の言う通り、下見です。

どうして下見を？

ルチアーノが入学する時の為に……

具体的にはアニメ77話の為ですね。

瑞貴、楽しそうに話している自覚が無いの？

全くありません

本人は楽しんでいた自覚が無いようですので

しかも自覚するのはネギま！の方に移動してからという……鈍い奴です。

瑞貴がLV1だけとかLV2だけのデッキ？

その内GXの方で使います。

男のツンデレは誰特？

作者が楽しい、以上です。

遊星の決闘は？  
デュエル

アニメと同じなので省略。

ハイトマンの変化がちょっと大きくない？

低LVの有用性を遊星が見せたので。

瑞貴が相手の事を知らなかった？

興味が全く無かった相手なので

実は内心で少し焦っていました。

今回の瑞貴のデッキは？

LV1のモンスターを使っただけのデッキという感じですが

実はかなり即席デッキであり、遊び半分で作りました

なので変なカードが所々に入っていたり、中途半端だったりします。

どうして瑞貴がそんな中途半端なデッキを……

完全に遊んでいるからです

そんな瑞貴が本気デッキを組むはずがありません。

あれ？ 原作効果じゃないの？

今回は全てOCG効果でした

なので実際に作ろうと思えば確率変動以外は作れるデッキです

まあ……事故率が高いのは否定できませんが。

儀式の口上か……

うーん……こんな感じですかね？

多分、今後もE・HEROの融合以外は口上をしたいと思います

E・HEROでしないのは数が多くて面倒だからです。

パティって誰よ？

龍亞龍可の友達であり、肌黒金髪の女の子です

瑞貴がハネワタを使用し、しかもLV1だけで勝ったので嬉しかったようです。

どうして瑞貴は少しでも教えたの？

素直な子が好きだから、瑞貴が

生意気な子は嫌いです、瑞貴が

やっぱり子供は素直が一番という事でしよう

子供好きな瑞貴の設定ですが、やはり好き嫌いが有るという事です。

だからってどうしてプレゼントまで……

特に深い意味はありません

今後のフラグでもありません……多分

しかし、彼女も1回は決闘デュエルをするかも？

……モブキャラ好きだな作者、いやマジで。

瑞貴が遊星に依頼をするの？

します

内容は秘密。

龍可の口が悪いような……

瑞貴の口が悪いので移ったのでは？

パーティが強化されすぎてる！？

頑張ったみたいです

多分、瑞貴のLV1デッキに感動でもしたのでは？

もし希望が多ければ彼女の決闘デュエルをするかもしれません。

そこまでエンシェント・ホーリー・ワイバーンが気に入ったの？

という事にしておいてください

彼女も頑張っているんでしょう

瑞貴の印象は良くも悪くも強烈ですから。



原作、アニメオリジナルカード

### 確率変動

コイントス、ダイスを行った時  
それを無効にし、再び同じ事を行う  
ただし、1度出た目は出なくなる  
ギャンブルの超反則カードです、以上！

### アンティーク・ギアスタチュー 古代の機械石像

このカードをリリースし、手札から古代の機械巨人アンティーク・ギアゴーレムを召喚条件を無視して特殊召喚できる。

半壊れモンスターですね、ちなみに攻撃力は500  
しかも古代の機械の罠封じ効果は無いようです。  
アンティーク・ギア

ツイッター、いい加減にまたネタ切れ

<http://twitter.com/#!/ainkuria>  
何を言おうか、頭を悩ませています。

## 5D's 新3話【怨敵からの依頼】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「クリボンだ！」

「攻撃された時、戦闘ダメージを0にするわ  
そして相手が攻撃してきたモンスターの攻撃力分のライフを回復  
最後に手札に戻る、私の大事な精霊のカードよ！」

使い勝手が良いとは言えないのが悲しい現実

それでも偶には使う龍可デュエルは良い子、多分アイドルカード？  
まあ、そもそも龍可の決闘は少ないんですけどね。

連続更新は今日で終了

次回はネギま！の後なので……10日後ぐらいでしようか？  
うーん……予定はどうだったかな？

## 5D・s 新3話【怨敵からの依頼】

視点 遊星

今日も変わらず、D・ホイールの強化に勤しんでいた時  
牛尾と狭霧が俺達の下へ現れた。

「堅守瑞貴の居場所が分かっただ！」

「正確には、住んでいる場所だがな  
めっちゃくちゃ苦勞したぜ……予想外にも程がある」

「それで、どこに住んでいるんだ？」

奴とはどうしても話さなければならぬ  
今まで話せていないし、何よりも奴の行動が気になって仕方がない。

「シティのド真ん中、治安維持局のすぐ近くだ」

「治安維持局のすぐ近くだって!？」

「ええ、だからずっと見つからなかったの  
灯台もと暗しとは、よく言ったものよ」

「だけどよお、それでも普通すぐ見つかるだろ？  
寧ろ近い方が簡単に見つかると思うけどなあ」

確かに、調べるならば近い場所から調べるべきだ

それから拡大していく、その方が動きやすいはずだ。

「それがよお、そう簡単にいかなかったからこうなってるんだ  
ゴドウィン長官の事は覚えてるだろ？」

あの人の名義で買われている家だったんだよ  
そりゃ見つからないわ、元セキュリティの上層部だったんだからな  
簡単に調べていい場所じゃなかったってのも大きかった」

なるほど、それならばおいそれと調べるわけにもいかないか  
ゴドウィンの立場も強かったのだしな。

「ならどーして今回は調べられたんだよー」

「偶然だよ、偶然」

この前、ジャックが犯罪集団の補導を手伝ってくれただろ？  
あの時に偶々堅守を調べている捜査官が奴を見つけたんだ  
それから数日張って、やっと居場所を掴んだんだよ」

これは……運が良かったんだな  
予想より遅かったが、それでも十分だ。

「ならば今すぐ奴の居場所に向かうぞ！」

「そうだな、あいつには借りを返さねえとならねえ」

「俺がぶっとばしてやる！」

「私はどうしよう？」

怨みが無いというか……優しくしてもらってるし」

「私なんて勧誘されただけど……」

男性陣と女性陣の意見はかなり違うらしい  
やはり直接会い、少しでも一緒に過ごした違いだろうか？

「無理だ、直接向かう事はできねえ」

「どーしてだよ！」

「あれから更に調べただけどよ  
どうもあの野郎……治安維持局やセキュリティに寄付をしているらしい  
しかもかなりな、実際に助かっているようだ」

「あの堅守が寄付だと!？」

「セキュリティに怨みを持つてるあいつが？  
とてもじゃねえが信じられねえ」

まったくだ、何故奴が寄付なんてしているんだ？

「俺達セキュリティの特殊追跡デツキは制限解除がされているのは  
知っているな？」

「そういえば以前、俺と決闘デュエルをした時に言っていたな  
それがどうかしたのか？」

「奴は今では殆ど無いような、古い凶悪なカードを寄付していたんだ  
今では禁止カードとなっている処刑人―マキュラとか、八咫鳥とか  
そんな禁止カードは製造されないようになってる」

だから昔に禁止カードになったカードは今では凄まじく数が少ない」

「それをあの野郎は持っていたって事か

タイムスリップした人間だし、持っていないでも不思議じゃないけどよ  
ていうか、そんなカードがセキュリティのデッキに入ってるのか？」

「ええまあ……絶対数が少ないので超エリートとかだけですけど」

「俺も渡されているぜ

禁止カード、キラー・スネークにデビル・フランケンだ」

実際に見せられると……引くな

これが本当に禁止カードに指定されたカードか  
だけど、どうやってデビル・フランケンの効果を使うんだ？

「うわぁ……これってマジなの？」

「マジなんだよ……今、セキュリティでは禁止カードが大ブームだ  
滅多にも使えない禁止カードが使えるって噂が広がっていてな  
数少ない機会を得たい奴が滅茶苦茶張り切ってやがるんだ  
最近の犯罪者の取り締まり率は急上昇中だから止めろとも言えねえ  
しよ」

あいつ、変な場所で騒ぎを起こしているな  
何を考えてそんな事をしたのか……  
いや、多分何も考えて居ないと思う。

俺の予想では、己の身を守る為にコネを売る  
そしてそれが予想外の方向に向かっていったんだろう  
多分、そんな気がする。

「そういう訳でな

セキュリティとしては奴を敵に回せないんだよ

ま、大人の汚い裏事情って奴だ

悪いが、動くのなら俺達に分らないように頼む」

「実は上から彼への接触を禁じられているの

それにカードだけじゃなくてお金も寄付されているのよ

やっぱり多額で、敵に回して寄付を打ち切られたら困るの

私も納得できないけど……それが組織というものの、我慢して」

奴の情報が手に入ったのに……クソッ！

こちらから接触できないんじゃないでしょうか無い！

俺達が暗くなっている時

ドアから誰かが入って来た

誰だろうかと思ひ、見てみると……

「汚い場所だな……もっと掃除をしたらどうだ？」

「埃っぽいです」

あの2人は！

「堅守瑞貴に、俺と決闘デュエルをした女！」

「てめえら、何しに来やがった！」

「汚いって思うんだったらお前が掃除してみろ！」

「止めろクロウ！ 今さっき言っただろうが！  
せめて俺達の前で奴に手出しはするな！  
頼むから俺達の立場を考えてくれ！」

「申し訳ありませんアトラス様！  
彼に手を出さないでください！」

「そういう問題じゃないでしょ龍亞！  
馬鹿な事をしてないで落ち着いて！」

ジャックとクロウに龍亞が喧嘩腰で食って掛かったたが、狭霧と牛尾と龍可に止められる  
俺も動きたかったが……今は許されない。

「ハッ！ 短気な奴らだ  
手を出すか？ 別に構わんぞ  
そうなればセキュリティへの寄付は全て打ち切るがな！」

「きっさつまあああ！」

「アトラス様！ 落ち着いてください！  
お願いです、お気持ちは理解できますが止めてください！」

「殴る！ あの野郎は絶対に殴る！」

「落ち着けクロウ！  
頼むから落ち着いてくれ！  
お願いだから何もしないでくれ！」

「ぶっ飛ばす！」



俺があいつをぶっ飛ばしてやる！」

「止めて龍亞！」

そんな事したら絶対に駄目！」

混沌としてきた……どうする？

「まったく、煩い奴らだ

それよりも……依頼だ、富士の溶岩」

「……もしかしくなくても、それは俺の事か？

不動遊星だ　ふ　　う　　しか合っていないじゃないか」

「気にするな幼児乳性」

「頼む、ちゃんと名前で呼んでくれ

いくらなんでもそれは嫌だ」

「まだまだネタは有るのに……まあそれはともかく

お前に以前言ったのを覚えているか？

不動遊星に仕事の依頼をしに来た」

以前……デュエル・アカデミアの時か

確かに仕事を依頼するかもしれないと言っていたが……

そういえば、初めて奴に名前で呼ばれたな

少し嬉しく思えたのは何故だろうか？

「お前が遊星に仕事だと！

俺達は忙しいのだ、さっさと帰れ！」

「そーだそーだ！」

お前なんてどっか行っちゃえ！」

「お前達に訊いていない

俺はそいつに訊いているんだ

依頼を受けるかどうかはそいつが決める事  
お前達が返事していい事じゃない」

「貴様……」

「アトラス様あー！」

誰かアトラス様を止めるのを手伝って！」

「放せ！ 奴は俺が殴らなければならない！」

ジャックが牛尾と……クロウにまで取り押さえられている  
どうやらクロウは少し落ち着いたらしい。

「依頼内容は？」

内容に依っては受けないぞ」

「尤もだな、当然話すし、依頼を受けなくても構わない  
依頼内容は簡単だ

こいつをちょいと作ってほしいんだよ」

俺の近くまで奴は来て、物を渡してきた  
渡されたのはスケートボード？

「実はこいつ……マナなんだがな

D・ホイールのライセンスを取っておきながら、今だに怖いとか言うんだ

機械が苦手というのも理由の1つなんだがな  
それで、それを複製して欲しいという依頼だ」

こんなスケートボードを複製するだど？

少し足を固定する装置と……なんだこれは？

「それはデュエルボードとでも名付けるか？

簡単に言うと、ライディングデュエル用のスケートボードだ」

「ライディングデュエル用の……」

「スケートボードだって!？」

そんな物が……誰が作ったんだ？

「詳しい事は秘密だ

悪いが詳細は言うなと言われているのでな  
それに、俺も詳しい事は知らん」

「お前、ゴーストの時から思っていたんだが

一体何の目的で、何を考えて行動しているんだ？  
そして、誰の指示で動いている？」

「今は知る必要は無い

俺の依頼はデュエルボードの作成  
他に何が必要だ？」

確かに、奴の依頼はデュエルボードの作成

他の事を俺に教える必要は無い  
だからといって、納得できるはずが無い！

「依頼料はこれだけ払おう  
十分だろう？ 100万だ」

原型が有り、更にただの複製を作るだけ  
たったそれだけで100万……十分なんてものじゃない！  
逆に多すぎて断りたくなるぐらいだ！

「たったそれだけで100万？  
何か裏が有るんじゃないだろうな？」

「強いて言うならば、口止めだな  
このデュエルボードを広めなければいいんだ  
こいつを量産されると困るのでな」

「何故お前が困る？  
お前が困る理由が全く分からない」

「持ち主からの指示だよ  
変に広められると困るらしい  
だから俺から頼めるのは1機だけだ」

つまり、この依頼は口外禁止  
更に精霊に渡す以外の量産禁止  
制約がいくつも有るからこんな大金なのか。

正直に言うと、余ったパーツだけでも作れそうだ  
必要な金は半分どころか、10分の1以下でも足りそうだ

だが俺達には金が必要だ……

「いいだろう、約束は守る

1台だけ似たような物を作ればいいんだな？」

「「遊星!?!」」

「どれぐらいでできる？」

「そうだな……少し調べさせてもらって構わないか？」

「好きにしろ

ただし、それを調べても口外と量産禁止だ

それだけでも口止め料を払っておくがな」

そう言われ、渡される50万

口止めだけでこれだけの大金を……

「さすがにそれだけで受け取るわけには……」

「これは報酬の一部だ

100万の内の50万だ、問題は無い

何だったら前金とも思っておけ」

そう言われ、渡される大金

ど、どうすればいいんだ？

とりあえず適当な場所に金を置く

そしてデュエルボードを調べるが……原理は割と簡単だな  
これなら1日か2日でできそうだ。」

いや、見本まで有る

頑張れば半日で終わるだろうか？

「早くて半日、遅くても2日で完成できる」

「十分だ

マナは置いて行くから、必要な事はそいつにでも訊いてくれ  
3時間も有れば必要な事は調べ終わるだろう？  
足のサイズとか、その他必要な事とかな」

「まあ、それはそうだが……

どこで3時間も時間を潰すつもりだ？」

「知らん、適当にブラブラしてくる」

堅守は出て行こうとする

だがこのまま行かせてもいいのだろうか？

「あの、ちょっと待ってくれない？」

「何か用か龍可？」

暇潰しに付き合ってくれるなら助かるが」

「駄目だ！

お前なんかと龍可を一緒にできるか！」

「龍亞！」

「う……でもよお」

相変わらずだな、この2人は  
堅守を嫌っている龍亞と、堅守をあまり嫌っていない龍可  
奴の事になると必ず対立するな。

「私の用事なんだけど  
友達が貴方に会いたって言ってるの  
だからその子と一緒に居てくれないかしら？」

「俺に会いたい？  
……どんな物好きだよ、そいつ？」

堅守に会いたいか……思い浮かぶのはパティだな  
彼女が俺の下へ堅守の事を訊きに来た回数は1回や2回じゃない  
酷い時は毎日のように訊きに来られたぐらいだ。

「駄目かしら？」

「暇潰しになるからいいぞ  
正直に言うとな面倒だから嫌だが」

なら最初から許可しなければいいだろう  
それなのに言うとは、嫌味か？

「ならお願い！  
すぐに呼ぶから少し待ってて！」

「表でいいか？  
ここは埃っぽくてあまり長居したくないのでな」

堅守は出て行き、龍可はすぐに連絡をする  
龍可の連絡先はどう考えても……あの子だろうな。

「なあ龍可ー

やっぱパティに教えるのか？」

「当たり前じゃない？　だって警戒されている私達よりも  
パティと話した方が色々と教えてくれるかもしれないし」

……スパイか？

龍可、友達をスパイみたいに利用するのは良い事とは言えないぞ  
助かるのは事実だが……

「あの人、そう簡単に口を割りませんよ？」

「そうかもしれないけど

何もしないよりはマシでしょ？

マナさんが話してくれたら私も楽なんだけど」

「それは嫌です

だって話したらお仕置きされちゃいますよ……ブルブル」

精霊が怯えるお仕置きとは……どれだけ酷いのかろうか？

そして当たり前のように精霊と話しているな龍可

やはり、以前の時に仲良しになったのだろうか？

「なら、力尽くで話してもらおうか？」

「あの野郎に手出しは禁止でも  
精霊のお前にまでは禁止されねえだろ



覚悟してもらおうぜ!」

ジャックにクロウが精霊に手を出そうと……それも仕方無いだろう  
堅守への暴力は牛尾達に止められている  
だから2人共、かなり苛立っているな。

「私に力尽くなんて無理ですよ？」

これでもLV6、攻撃力2000の上級魔法使い族なんですから  
ちなみに殴り合いでも勝てる自信がありますよ？  
見た目では分からないと思いますけど、鍛えてますから」

確かに見た目では全く分からないな……メイド服だし  
そして何をどう鍛えているのか気になる所だ  
だが、さすがにジャック達も怯んだらしい  
精霊が相手というのも、戸惑わせる理由だろう。

「本当に何も話してくれないの？」

「仲良しなアキさんですけど駄目です  
私だってあんまり怒られたくないんですから  
代わりに怒られてくれるんですしたら話してもいいですけど」

「ほ、本当!？」

「はい！　ただし、あの人のお説教は凄く長いですよ？  
平気で何時間もお説教しますから  
ちなみに私が受けた最長お説教時間は8時間です」

「……………遠慮しておくわ」

「それが賢明です」

いや待て、8時間はおかしい  
どれだけ話す事が有るんだ？

「そういえばよ

お前、どうしてあの野郎と一緒に居るんだ？

確かあいつは精霊を見るには精霊が実体化しないと見えないんだろ  
？」

「うーん……これぐらいなら話していいんじゃないかな？」

私の話ですし、肝心な事に触れないでしょうし」

「あ、私聞きたい！」

「俺は別にどっちでもいいよーだ

あんな奴の昔の話を聞いたってつまんないし」

龍可は楽しみにしているらしいが、龍亞が拗ねている

少しでも情報が手に入るのなら手に入れておくべきだぞ。

「私達が出会ったのは昔のデュエル・アカデミアの学園祭です  
ねみんなが楽しそうに決闘デュエルをしていて、私もしたくなっただけです」

ジャックは壁に背を預け、クロウは床に座る

龍亞と龍可は試作型D・ホイールに座り、アキは机に腰を掛ける  
牛尾と狭霧は机の横に立ち、俺は試作型D・ホイールの横に立つ  
完全に彼女の話聞く体勢だな。

「それで挑んだんですけど、私も弱かったんですよ

ガチガチに縛られて動けなくなって  
自分で動く事もできず、ただただ力尽きるのを待っていました」

「（なんか……言い方が卑猥ね）」

「（自覚は無さそうだな）」

なるほど、辛いロックを受けたのだな  
しかもジワジワと効果ダメージを狙ったか  
なかなか酷い奴だ。

「話からすると負けたの？」

「はい、完敗です  
1回あの人のロックデッキを受けてみた方がいいですよ？  
きっと誰でも泣きたくなると思いますから」

俺も含め、全員が黙る  
思わず、何もできないまま蹴り殺しにされる未来を幻視してしまった  
きっとみんなもそうなのだろう。

「その後、あの人の妹さんに会ってね  
その……洗脳されちゃった」

「は？」 「洗脳？」

洗脳だと？

「ねえねえ、洗脳って何？」

「記憶や思考を弄り、相手の考えを自分の思い通りにする技術よ  
兄が兄なら妹も妹ね、まさか洗脳の使い手とは思わなかったわ  
それ以前に、彼に妹が居たという方が驚きよ」

まったくだ、奴と関わっていると俺達の常識が壊れそうだ  
精霊を洗脳する奴が居るというのも驚きだしな。

「なんだか、兄を嫌われるのが嫌だったみたい  
恐怖心とか依存心を刷り込まれちゃって……あはははは」

「笑い事じゃないだろ……まったくよお  
なんて兄妹だ、兄は最低の屑野郎で妹は精霊を洗脳する変人  
きつと嫌味な顔でもしてるんだろなあ」

「クロウ、それは言い過ぎよ  
確かに凄く気になるけど、知らない人に言う言葉じゃないわ」

「そうですよ、玲ちゃんは可愛いですよ？  
あの人に似ていなくて、兄妹と言われてもあまり信じられないぐら  
いには」

地味に奴の顔をあまりよくないと言ったな  
確かに、そこまで格好いいと評価されるような顔とは言えないが  
どちらかと言えば……普通？

「それからは離れるだけでも嫌になったなあ  
でも、暫くしたらあの人ちゃんと洗脳を解いてくれたよ」

「態々あの堅守がか？  
あまり信じられねえな」

確か龍可が言っていたな

以前、自分に掛けられた洗脳を利用されたとはいえ最終的には、ちゃんと龍可の洗脳を完全に除去したらしい。

そう考えると、実はあまり洗脳は好まない？

必要なら使うかもしれないが、それでも進んでしないだろう。

「なんで洗脳が解けたのに奴と共に居るのだ？」

「だって私、あの人から離れたく無いもの

一緒に居ると落ち着くんだから……だから離れたく無い！」

奴に愛情を感じている？

雰囲気的にはそうだが、何か違和感を感じる  
なんというか……何かずれている？

「うわぁ……告白だぁ！」

「え？ どこが？」

なるほど、無自覚か

それで俺は違和感を感じたんだな。

「自覚が……無いの？」

「はえ？」

「……なんでもないわ」

それはそうだ

変な事をする訳にもいけないからな

何より、中途半端に関わり合いたくない。

「それより、あまり女性に訊く事ではないのだが  
デュエルボードに乗る為に必要な事だ」

「なんででしょう？」

これは本当に訊きにくい  
今は普通に話しているが、敵であつた俺に言うだろうか？

「体重を……」

「「！？」」

アキ、龍可、狭霧が固まつた

そうなるだろうから言いたくなかつたんだ……

「39kgですよ？」

「「軽すぎる！」」

た、確かに……彼女の身長は目測だが155cmといった所だろうか？

155cmの平均体重は約50kg

そう考えると……無駄肉が全く無いのだろうか？

「そんなに軽いのか？」

「軽いわよ！」

私でも体重は……言わせるな馬鹿あ！」

「ぐはあ！」

な、何で俺が殴られないとならないんだよ！」

俺が言い出したのが悪いんだが……今はクロウ、お前が悪い  
いくらなんでもアキに訊くだなんて……そこはジャックや牛尾に訊  
くべきだ。

「ねえ！ どうやってその体重を維持してるの！？」

「精霊ですし

特に何も食べなくても生きていきますから  
何をそんなに驚いているんですか？」

なるほど、俺達人間とは感性が根本的に違うのだろう  
だがこれで俺は仕事に入れるな。

「次は足のサイズを測らせてもらう  
デュエルボード使用時に使う靴は有るか？」

「D・ホイールに乗らないのならこの格好で使えますけど？」

「……それは止めておいた方がいい」

「どうしてですか？」

駄目だ、彼女に俺の言葉は通じない  
精霊とコミュニケーションをとろうとした事自体が間違っているの

だろうか？

「危険なんだ」

「私は飛べますから大丈夫ですよ？」

「目立つし、騒ぎになるだろう」

「消えれば分かりませんよ？」

「……何かに引っかかって服がやぶれるかもしれないぞ」

「分かりました、乗る時は着替えます」

即答！？

彼女に取ってはそちらの方が重要なのか！？

それはさておき、必要なデータを記録していく  
身長は目測でも十分、体重は分かった、足のサイズは測った  
そこから計算されるパワーとバランス、他にも……

「あの、私は何をしていればいいんですか？」

「必要な事はある程度終わった

堅守が帰ってくるまで適当に過ごしておいてくれ」

「うーん……なら寝てます」

彼女は宙に浮き、上の階に有るソファーに向かう  
飛べるというのは便利だな



まさかとは思うが、デュエルボードに乗っている時まで飛ばないよな？

……ん？

外が少し騒がしいな

どうかしたのだろうか？

視点 瑞貴

暇だ……龍可の言った奴はいつ来るんだ？

せつかくの暇潰し相手なのに遅い！

さっさと俺の暇潰しになる為に来い！

「はあ、はあ……あ、あの！」

と、思ったら誰か来た

誰かと思えば……居たな、こんな奴。

「パティだったな」

「お、覚えていてくれたの！」

まあ、数少ないカードをプレゼントしてやった奴だからな

俺としてはどう扱おうが構わん

使わないのならば返してもらいたいがね。

「一応な」

「私、頑張ってるの！」

あれからすつごく勉強して、成績も上がってるんだよ！  
エンシエント・ホーリー・ワイバーンと一緒に強くなってるの！」

……また俺が切欠か？

確かに知識は必要と言ったが、本気で実行したのか？

「あとあと、あの時に貰ったカード！

使いこなす為にいっぱい覚えたの！」

だから……私と決闘して！」  
デュエル

「断る」

沈黙、当然だがな

って、泣きそうな顔をするな！

「ぐす……」

泣き虫は苦手だ……疲れるし面倒だから

まあ、頑張ったという実力でも見せてもらうかな？

「冗談だ

だが、1回だけだぞ？」

「え？ やったー！

思いつきりするからね！」

「子供が頑張るねえ……本気で来ないと瞬殺だぞ？  
手加減はしてやるから頑張るな」

「決闘！」<sup>デュエル</sup> 「決闘」<sup>デュエル</sup>

それにしても、会って早々決闘か？<sup>デュエル</sup>

相変わらずこの世界は決闘で全てが決まるな<sup>デュエル</sup>

なんなんだよ……この決闘脳野郎共は<sup>デュエル</sup>

……パティは女だから女郎か。

「私のターン、ドロー！」

永続魔法、神の居城―ヴァルハラを発動！

自分の場にモンスターが存在しない時

1ターンに1度、手札から天使族モンスターを特殊召喚できる！

聖なるあかりを手札から特殊召喚！」

闇属性のメタモンスターか……何故入っているんだ？

天使族デッキなのは分かるが、闇属性モンスターもそこそ居るはずだ

まあ、光属性天使族デッキもいくらでも有るか。

「永続魔法、コート・オブ・ジャスティスを発動！

自分の場にLV1のモンスターが存在している時

1ターンに1度、手札から天使族モンスターを特殊召喚できる！

聖なるあかりのLVは1、だから効果は発動できるわ！

コート・オブ・ジャスティスの効果で、手札からコーリング・ノヴァを特殊召喚！」

光属性天使族専用のリクルーターね

さて、ここからどうするんだ？

多分エンシェント・ホーリー・ワイバーンを狙っているんだろうが現在の合計LVは5、よってLVが2とチューナーが足りないな。

「更に手札から神秘の代行者 アースを召喚！

このモンスターが召喚に成功した時

デッキからアース以外の代行者を手札に加える！

私はデッキから裁きの代行者 サターンを手札に加える！」

へえ……代行者デッキか？

いや、さっきの会話から考えてエンシェント・ホーリー・ワイバーンを中心に行っているはず

となると代行者はおまけか打点、それともシンクロ素材かな？

そして手札に加えたモンスターはサターンか……

となるとパティのデッキは代行者が入っているライフ回復デッキかそれともサターンの効果も使った回復バーンデッキかな？

「LV4コーリング・ノヴァと、LV1聖なるあかりに

光属性LV2神秘の代行者 アースをチューニング！

聖なる力を得し崇高なる竜よ！ 神と共に歩んだ姿を見せよ！

シンクロ召喚！ 命の鼓動、エンシェント・ホーリー・ワイバーン  
！」

早速お出ましか……だが現在の攻撃力は僅か2100

その程度の能力で勝つつもりなら……いや、それは無いか。

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！

どーお！ 今では私を支えてくれる大切なパートナー！

エンシェント・ホーリー・ワイバーンよ！」

渡したのは俺だけだな

まあ、気に入ったんだったらいいか。

「気に入ってくれて良かったよ

まあ、使うデッキは予想できていたけど

俺のターン、ドロー」

既に予想されたデッキほど、楽な相手は居ないな

俺が切欠を与えたとはいえ、自分からデッキの顔を晒したんだ  
どんな事をされようが、文句は言えまい？

「俺はクリボンを召喚する」

「クリボン！？」

さあ、足掻くんだな

もしこれが決まったら……お前の負けだ。

「手札から魔法カード、天空の宝札を発動

手札の光属性天使族モンスターをゲームから除外し、デッキから2  
枚ドローする

ただし、このターンは特殊召喚とバトルフェイズを封じられる

俺は手札からオネストを除外し、カードを2枚ドロー

カードを3枚伏せ、ターンエンドだ」

「クリボンの効果は相手の攻撃時、戦闘ダメージを0するモンスター  
そして相手は攻撃したモンスターの攻撃力分のライフを回復、そし  
て手札に戻る

オネストは光属性モンスターが戦闘をする時、相手モンスターの攻  
撃力分だけ攻撃力を上げる

でも、どうしてオネストを態々除外？」

ほう？ よく知ってる……って、当然か

龍可のクラスメイトなんだ、クリボンの効果を知らないはずが無い。

オネストはこの時代では少なから普及されているカードだ  
OCG効果であり、光属性デッキには稀に入っているらしい、調べ  
たから分かった

パーティは知識を得る時に光属性天使族だから調べたのかな？

もしかしたら持っているかもしれないが……大した問題じゃないか。

「私のデッキを予想して、しかもクリボン

ならあの伏せカードは……シモツチの副作用！」

「さて、どうかな？」

残念ながらハズレだ

中途半端に知識を持っている時が最も危険、それを知りな。

「私のターン、ドロー！」

勝利の導き手 フレイヤを召喚！

このモンスターが存在している限り、自分の場の天使族モンスター  
全ては

攻撃力、守備力を400ポイントずつアップさせる！

そしてフレイヤのLVは1！ よってコート・オブ・ジャスティス  
の効果を発動

手札の裁きの代行者 サターンを特殊召喚！」

よくやるなあ……攻撃力を上昇させるフレイヤ

ライフで攻撃力が変わるエンシェント・ホーリー・ワイバーン  
天空の聖域が存在する時にバーン効果を使用できるサターンか  
こうなったらもうライフ操作デッキ以外無いだろう？

「フレイヤでクリボンに攻撃！」

「クリボンの効果を発動

戦闘ダメージを0にし、相手は攻撃したモンスターの攻撃力分のライフを回復する

そして、その後クリボンは手札に戻る」

「何もしないでクリボンを手札に戻した？

シモッチの副作用だと思ったんだけどなあ……違うのかな？」

それは教えてやらない

ま、お前は本気かもしれんが俺はお遊びだしな

これでパティのライフは4500となったか、頑張れよパティ？

「むう……サターンで直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「罠カード、ガード・ブロックを発動

俺が受ける戦闘ダメージを1度だけ0にし、デッキからカードを1枚ドロウする」

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は相手と自分のライフ差で決まるモンスターだ

相手よりライフが多ければ攻撃力は上昇し、少なければ攻撃力は減少する。

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの元々の攻撃力は2100  
そこにフレイヤの効果で上昇した攻撃力、400を足して2500  
更にクリボンの効果で500回復したから合計で3000の攻撃力  
だな

さて、何かライフを回復する伏せカードを使ってるんだろう？

「怖いけど……でもシモツチの副作用は無さそうだし！  
永続罠、女神の加護を発動！

ライフを3000回復する！ よって私のライフは7500！

ライフ差は私が3500ポイント上回った！

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は6000にまでア  
ツプ！

エンシエント・ホーリー・ワイバーンでダイレクトアタック直接攻撃！」

「速攻魔法、光神化を発動

手札の天使族モンスター1体を、攻撃力を半分にして特殊召喚する  
俺は手札のクリボンを特殊召喚」

「またクリボン！？

エンシエント・ホーリー・ワイバーンでそのまま攻撃！」

「クリボンの効果を発動

戦闘ダメージを0にし、エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻  
撃力分のライフを回復してもらおう

そしてクリボンは手札に戻る」

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は6000、つまり  
ライフは6000回復だな

これでパティのライフは13500、そして俺とのライフ差は95  
00となった

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は俺とのライフ差上  
昇して攻撃力は12000だな

普通に戦ったらとてもじゃないが倒せない相手だ。



「何を狙っているのか……分からなくて頭痛いよお！  
このままターンエンド！」

そりゃそうだ

このデッキの目的が分かったら凄いつての。

「俺のターン、ドロー

魔法カード、成金ゴブリンを発動

相手はライフを10000ポイント回復し、俺はデッキからカードを  
1枚ドローする」

「へ？ また私のライフが回復するの？」

「魔法カード、ソウルテイカーを発動

相手モンスター1体を破壊し、相手はライフを10000ポイント回  
復する

サターンを破壊し、ライフを10000回復しろ」

「また回復!？」

俺のライフは変わらずに4000のまま

対してパティのライフは15500となった

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力も14000にまで  
上昇している

俺とパティのライフ差は11500か……大きいな。

「さて、このカードは致命的だぞ？」

罠カード、ライフチェンジャーを発動する

効果は知っているかな？」

「し、知らない」

「ライフ過剰回復の危険性を、その身で知るんだな  
ライフチェンジャーはお互いのライフが8000ポイント以上の差  
が有る時

お互いのライフは3000となる」

「ら、ライフがどっちも3000になる罠カード！？  
それじゃあエンシエント・ホーリー・ワイバーンは！」

「そうだ、効果は無いに等しい  
フレイヤでなんとか攻撃力2500を保っているがな」

しかし、それでも弱い事には変わりはない  
更にパティは大きすぎる爆弾を抱えている

女神の加護はライフを3000も回復する永続罠カード  
だが、場から離れた瞬間に持ち主へ3000ポイントのダメージを  
与える

もしこのカードを除去されたら……その瞬間に負けが決定する。

「もし俺が手札にサイクロンとかの魔法、罠カード破壊カードをを  
持っていたら……」

「私の女神の加護が破壊されて……3000のダメージを受ける」

「よくできました

俺はジェルエンデュオを召喚する」

パティの場に伏せカードは無い  
終わったな……

「戦闘で破壊されないモンスター  
だけど、ダメージを受けた時に破壊される  
そして光属性の天使族モンスターをアドバンス召喚する時  
このモンスターだけで2体分の生け贄になる！」

態々解説してくれてありがとよ  
でも、その効果は全く意味が無いんだよ。

「魔法カード、救援光を発動する  
ライフを800払い、除外されている光属性モンスターを手札に加  
える

俺が手札に加えるモンスターは当然……オネストだ」

「この為にオネストを除外したの!？」

当たり前だろうが

もしオネストを警戒して攻撃して来なかった時の事を考えてな  
除外されたから安心して攻撃できただろう？

そして救援光のライフコストにより  
エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力が800アップ  
これで攻撃力は3300か。

「ジェルエンデュオでエンシエント・ホーリー・ワイバーンに攻撃  
この瞬間、手札よりオネストを捨てて効果を発動する  
エンドフェイズ時まで相手モンスターの攻撃力分、戦闘を行う俺の  
光属性モンスターの攻撃力をアップさせる  
エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力3300を足し、攻  
撃力は5000だ」

「この攻撃を受けたら1700のダメージを……」

俺がそんなに甘いと思うか？

態々オネストを別の場所に置いたのは油断を誘う為だけじゃない  
思考力を奪い、ドローで可能性を上げる為でもあったんだよ！

「手札よりもう1枚、オネストを捨てて効果を発動

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力3300

それをジェルエンデュオの攻撃力に加算する、よって攻撃力は8300だ」

「そんな……5000のダメージだなんて！」

ま、ライフチェンジャーを発動しなくても勝っていたがな  
だが精神的にダメージは大きかっただろう？

何せ、自分の回復を完全に逆手に取られたんだからな。

「ジェルエンデュオで攻撃を続行

エンシエント・ホーリー・ワイバーンに攻撃」

「きゃああああ！」

はい、ゲームセット、残念でした

俺のデッキはライフチェンジャーで遊ぶデッキだ

ライフをプレゼントしたり、シモツチの副作用も一応入っているが  
……おまけだな

相手の精神的ショックを狙った愉快なお遊びデッキという訳だ。

子供相手に少々大人げなかった気もするが、まあいいだろう

俺の言った通り、真面目に知識収集をしているみたいだしな  
これもその一環としておくといいさ。

「ま……負けた

学校ではもう殆ど負け無しなのに……」

「学校と俺と一緒にするな、色々な意味で」

俺は高等部卒業生、お前は初等部  
さすがに一緒にされるのは嫌だ。

「「パティ！」」

お、龍可龍亞か

見てみると全員が表に出ていた  
……お前らそんなに睨むなよ。

「お前……やり過ぎだぞ！  
あんな戦い方卑怯だよ！」

「どこが？ アレも戦略だ

1つは相手の戦意喪失を狙う

2つは相手の勢いを削る

3つは勝利の為への繋ぎ

俺がライフチェンジャーを使用した理由は以上だ  
さて、どこかに卑怯な所があったかな？」

「卑怯じゃないけど、酷いわ」

「この程度で酷いんだったら……ふう

俺の大好きで大得意なデッキになったらどうなるんだ？  
相手を何もできない状況まで追いやって殲り殺しにするのに  
そこまでされないだけ、マシだと思ってほしいぐらいだ」

強い視線で俺を睨んでくる龍亞

しかし、龍可は微妙そうな顔をしている

はて……この場合は龍亞みたいにするのがセオリーじゃないのか？

「それも分かってるけど……納得できないの

あの状況、態々ライフチェンジャーを使わなくても勝てたでしょ？  
なのにどうしてライフチェンジャーを使ったの？」

「さっき言わなかったか？

戦意喪失に勢いを削る、そして勝利への繋ぎだ」

「そんな建前はいいの

本当の目的を言っちゃうだい」

あらら……見破られてるか

龍亞は意味が分かっていないみたいだがな

それに、他の奴も説明しろという視線を向けてくる  
気付いても言わないでほしかったなあ。

「あの……教えて？」

お前もかパティ

こうなったら逃げられんか……疲れる

遊びデッキだからってサービスし過ぎたか？

「ライフを過剰回復するのは構わん

だが、あんなカードも有る事を知っておけと言いたかったんだよ  
他にも自爆スイッチとか、ライフ差で発動するカードは少なからず  
有る

知らないと今回みたいにされるかもしれん、頭や理屈じゃなく、体  
で理解しただろう？」

「うん……よく分かった

私もシモツチの副作用しか思いつかなかったし  
よし、もっと頑張って勉強しよう！」

純粹というか、素直だねえ

俺にはもう無くなったかもしれない物だ  
少しでも残っているなら……でも何も変わらんか。

「嘘ばかり

パティを苛めたかっただけに決まってるよ  
それを偶然使ったカードで偉そうに言ってるさあ」

「龍亞、勝手に決めつけないの！」

いや、半分はその通りなんだがな  
残り半分は狙ってしたし。

「だってそうとしか思えないじゃん！

早々都合良く、あんな事できるはず無いじゃん！」

「相手のデッキが分かっていたら対策はできるでしょ？

あの人パティにカードを渡したんだもの  
どんなデッキを組むのか予想して、あのデッキを使ったのよ」

大正解、100点をやろう  
ただし満点は200点だ  
残りの100点はお遊びが理由。

「これからも頑張るな  
頑張ったご褒美として光神化をやろう」

「あ……やったあ！  
これ欲しかったの！　ありがとう！」

天使族シンクロなら当然だな  
デメリットなんて無いに等しいんだし。

「で、見学をしていたという事は終わったのか？」

「ああ

最後に細かい調整は必要だが、もうあの精霊が居る必要は無い  
俺はこれから本体を作る作業に入ろうと思う」

さすが……と言うべきか？  
こいつ、決闘者デュエリストよりもメカニクになった方がいいんじゃないか？

「なら頼むぞ  
3日後ぐらいにでも来る  
報酬はその時に渡すさ」

「分かった」

さて、俺の仕事はこれで終了っと  
後は来週にデュエル・アカデミアに入るルチアーノにでも任せるか



口止めに量産禁止を言い渡したし、十分だろう？

ルチアーノから龍可にデュエルボードはプレゼントする予定らしいし龍亞が邪魔だが、俺との契約で遊星はデュエルボードを作れないルチアーノは思う存分、龍可と遊べるようになるって事だな。

まったく……ルチアーノは量産しても構わないらしいけど俺からすれば完全に反対だな

もしこれが蔓延したらかなり危険だ。

何せD・ホイールと違って体を守ってくれる部分が少ないD・ホイールは体を守るような構造になっている事が多いからなだがデュエルボードで体を支える場所は足のみ……危険度が高すぎる。

これを多くの子供がして、怪我人が出たらどうするんだかルチアーノが気にするはずが無いが、俺は少し気になる

だから規制する、周りの子供が真似できないようにもし作ったら契約違反として……スターダスト・ドラゴンを貰うとも言えるかな？

そうすれば嫌でも契約を守ってくれるだろう。

こればかりは記憶を消して作れなくする事はできないしな龍可がデュエルボードを手に入れなければならぬらしいしとなると知り合いの遊星がそれをチェックしたりするのは当然嫌でも構造が知られ、龍亞にもほぼ確実に量産される。

だからこうやって量産を止める、あの馬鹿共3人組の抑え役は疲れ  
るなあ

頼むからもっとよく考えて行動してくれ

ホセぐらいには言わんが……でもそれぐらいしてくれた方が助かるな。

さーってと、さっさと帰って報告するか

龍可との決闘<sup>デュエル</sup>を楽しみにしているルチアーノは歓<sup>デュエル</sup>ぶだろう

誰にも邪魔されず、龍亞も邪魔できない状態で決闘<sup>デュエル</sup>ができるんだからな。

「……………そういえばマナはどうした？」

「寝てるわよ？」

……………寝てるだど？

「誰か叩き起こして来い」

結局、龍可がマナを起こした

俺は奴らの家の前でマナを説教、ちなみに1時間  
暇なのは構わんが、そんなに時間が無いのに寝るな！

なお、それを見ていた奴らの反応はこうだった。

「早く帰ってくれ」

「頭から煙が出そうだ……」

「あの説教は絶対に聞きたくねえ！」

「……………疲れたわ」

「俺、あんまり口出ししないようにしよう」

「そうした方がいいと思うわ」

「あの人、怒ったら怖いんだ」

「早く帰りたいわ」

「そうっすね……」

誰が誰の言葉かは想像に任せる  
だが一言言わせてくれ

これでもあの説教は加減しているんだぞ？

そう言った瞬間に、全員が逃げ出した

面倒になったので俺はマナを連れてさっさと帰った

3日間、何してようかな？

## 5D・s 新3話【怨敵からの依頼】（後書き）

今は何話ぐらいなの？

76話後、77話前です

アキがライディングデュエルのライセンスを入手したり  
ジャックがデーモン・カオス・キングを使ったり……その後ですね。

瑞貴、まだあそこに住んでたの？

まだ住んでいました

ちなみに某3人組も偶に来るそうです。

瑞貴が寄付！？

また変な理由で捕まりたくないので

つまり裏取引に近い事をしています

なお、金の出所は本人ではなく某3人組に払わせています  
大きい人はと小さい人は構わないと思っっているそうですが（抜けられると少し困るから）

真ん中の人は気に入らないそうです、色々な意味で。

金が某3人組ならカードは？

瑞貴自身からの贈り物です。

禁止カードの内容はどうなってるの？

OCGにある程度沿っているという事になっています  
セーフラインは適当に決めています……

まあ、代用できる時はできるだけ代用するつもりです。

100万は誰の金？

瑞貴の金です

マナの事なので自分で払いました。

マナが受けた8時間もの説教……何をしたんだ!？  
さあ？ 何かしたんだと思います。

マナの昔話の話し方が……

無自覚です

なお、後の台詞は狭霧と牛尾です。

マナの体重が軽すぎるだろ！

全く無駄な肉が無いのでしょうか

女体の神秘……精霊の神秘でしょうか？

パーティが強すぎる！

努力の勝利……いや、負けましたけど。

代行者を使うの？

少しだけですが使います

ちなみに天空の聖域もデッキ内に有りますが未使用。

……ハネワタは？

今回は未登場

登場させようと思いましたが無理でした。

瑞貴のデッキが……

今回は精神的にダメージを与えるデッキです  
相性も良い相手ですしね

シモツチの副作用も入っていますよ？

やっぱり瑞貴の仕事って……



## 5D、s 新4話【転校生】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「おお、レグルスだ！」

「墓地のフィールド魔法を1枚、デッキに戻すわ  
でも……ライディングデュエルだったらあまり意味が無いのよね」

実は辛辣かもしれない……でも事実  
ライディングデュエルにレグルスは全くの不必要ですね。

どうも、お久しぶりです

今までお待たせしました、本当にごめんなさい  
遅くなってしまいました。

言い訳はしません

ただ遅れてすみませんとしか言えません  
ポケモン？ それは……まあ、気にしないでください。

今回は遊戯王5D、sアニメ77話、78話の内容となっています  
ああ……本当に面倒なカード達です  
そしてアニメオリジナルカードが多すぎて困ります。



## 5D、s 新4話【転校生】

視点 瑞貴

今、俺達は映像画面に映る不動遊星と十六夜アキの決闘デュエルを見ているのだが  
ライディングデュエルの訓練なんて所詮はお遊び……つまらん。

「チッ、つまんねーの  
シグナー同士の決闘デュエルなら絶対サーキットが起動すると思ったのにさ」

「まだまだ力不足という事か、だが焦る事は無い  
全てはWRGPが始まってからだ  
WRGPにより、全てのサーキットが完成した時こそ  
我らが求めし偉大なる力、この世を包み込む無限の力が解き放たれるのだ」

俺は無限の力なんて興味無いけどね  
俺が必要なのは元の世界に帰る事だけだ  
その為に必要なエネルギーだから協力しているがな。

「そう上手くいくかな？」

「うんん？」

またお前か……余計な口出しをするな  
お前が勝手な行動をすると俺達が困るんだよ。

「まさか忘れたわけではないだろうな？」

赤き竜の存在を……ゴドウィンの計画が失敗したのも、全ては赤き竜のせい

奴がいる限り、我々の計画も簡単に進むとは思えない」

「何が言いたいんだよ」「何が言いたいんだ？」

む、ルチアーノと被ったか

だからって睨むなルチアーノ

俺はお前の計画でも動いてやっているだろうが  
少しは感謝しやがれ。

「俺があいつを倒す

あいつを倒して、スターダスト・ドラゴンを奪う

スターダストさえ奪えば、計画が赤き竜に邪魔される事も……」

「ブラシドがあいつを倒すう？

できもしないくせに……きひひひひ」

「なに？」

ルチアーノに同意だな

既に敗者のお前がそれを言うのか？

別に言うのも頑張るのも自由だが

勝てるかどうかは別問題だな。

「……来た！」

映像画面を見てみると石版が落下してきて……って、おい！

そんな物が落ちてきたら明かに確実にどう見ても危険だろうが！

更に質量から考えて凄まじい被害が期待できるじゃないか！

「ボクの石版だぁ！ 待ってました！

やっぱりブラシドだけじゃ無理って事かぁ、きっひひひひ」

「嬉しそうだな、ルチアーノ」

「そりゃそうさ

これでやつとボクの計画を実行できるんだからね  
アンタにも動いてもらった甲斐が有ったよ」

例のデュエル・アカデミアへの潜入か  
龍可と……シグナーと遊びたいからの行動  
仕方無い、俺も別働隊として動くか。

ハッキリ言って、ルチアーノだけでは不安だ  
どうせホセは動かないだろうし  
ブラシドなんて逆に邪魔をしそうだ。

「どう動いてほしい？」

「そうだね……ボクの執事でもしてもらおうかな  
ずっとじゃなくて少しの間だけだから構わないよね？」

……面倒だから嫌だと言いたいんだがな  
金持ちの子供を演じるらしいし、執事の1人ぐらい必要か。

「いいだろう

だが条件として、俺も少し自由に動かさせてもらう  
なに、お前に不利になるような事はしないさ」

「……まあ、それぐらいなら許してやるよ」

「話は纏まったか？」

突然話すなホセ

お前は寡黙なのに話すと長いから困るんだよ  
この面倒で厄介で鬱陶しい年寄りの典型的パターンめ。

「ああ、俺は少し準備に出てくる

歴史は改変して編入の事実を消すつもりらしいが  
それでも書類は必要だからな、書類の整理とかをしてくる」

「お願いねー」

お前も後で少しは書類を書いてもらうからな  
まったく……面倒な事だ。

視点 龍可

突然だけど今日、転校生が現れたわ

名前はルチアーノ君

長い赤茶色の髪を1つに纏めて三つ編みにしている男の子  
可愛いというか、格好いいというか……中性的な顔かしら？

転校時、私の方を見て微笑んでくれたけど  
なんだろう……何か違和感を感じた。

先生の話では、彼はデュエル・アカデミアのイースト校出身らしい  
ジブナエルグランプリという大会が有るみたいで、出場するだけ  
でも難しい大会

ルチアーノ君はその大会で優勝した事もあるみたいなんだけど  
あまり誇っていないというか、興味が無さそう。

ただ、龍亞がなんか対抗意識を持つちゃったのが問題かしら  
態度が悪いし、顔を見るだけでも嫌そう

まあ……これに関してはどうせ嫉妬してるだけだからいいけど。

問題は授業で私の決闘を見た時のルチアーノ君の反応

私は授業とか、学校では基本的に本気を出さない

シグナーの力を見せるつもりが無いから当然だけど

それでも私の実力を見破ったのか、本気を出さない事を心配された。

……純粋な心配に見えなかったのはどうしてだろう？

心配してくれたのは嬉しいんだけど、やっぱり何か違和感を感じる  
彼の存在なのか、それともまた別の何かなのか……分からないわ。

まあでも、彼の実力が高いのは事実

それを遊星に話したら、私が褒めている事が珍しいのか少し驚かれた  
けど、それでまた龍亞の機嫌が悪くなっちゃった

やっぱり練習でも、決闘で負けたのが悔しかったのかな？

翌日、ルチアーノ君が私に見せたい物が有るって言って家に誘って  
きた

私は別に構わなかったんだけど、龍亞が邪魔をしてきた  
まったくもう、嫌ったりするなどは言わないけど露骨過ぎよ。

ちなみに、不機嫌でやる気の出なかった龍亞だけど  
そのせいでパーティに1ターンキルされた時は本気で泣きそうになっ  
ていた

まさか1ターンキルを見れるとは思わなかったルチアーノ君の驚き  
の顔はちよつと可愛かった  
でもまた龍亞が不機嫌になったけど、それは余談ね。

龍亞はマリア先生に用事があるから学校に残るように言われたらし  
く、私は1人で帰宅

その途中、凄い車に乗ったルチアーノ君が現れた  
送ってくれるって言うけど、少し迷ったけど

彼が朝に言っていた見せたい物も気になったから寄らせてもらう事  
にしたわ。

車で移動していて、入った家は凄い宮殿みたいな場所だった  
きっと凄いお金持ちなんだろうなあ……凄い！

そして家に入ったんだけど……

「おかえりルチアーノ」

「ただいま」

「……………え？」

執事服を着て現れたのは……堅守瑞貴さん！？  
どうしてこの人がここに居るの！？

「ようこそ龍可、久しぶり……という程でもないな  
ま、適当にゆっくりしていきな」

「どうして……貴方がここに？」

予想外過ぎる状況に、戸惑う私

それを見て笑う瑞貴さんとルチアーノ君

少し恥ずかしい……

「それは俺の台詞だ

ルチアーノ、昨日お前が連れてきたいと言ったのは龍可だったのか？」

「まあね

それより、知り合いかもしれないけどお客さんにお茶とお菓子をお願い」

「ふーん……まあいいか

適当に準備しておいてやるよ

龍可はルチアーノと一緒に行ってくれ」

「それは構わないんだけど……

でも、私の質問に答えてもらってないわ

どうして貴方がルチアーノ君の家に居るの？」

そう、それがとても気になる

必要なら遊星達を呼ぶぐらい考えておかないと！

「仕事だ

ルチアーノが学校に行くが決まったのでな

その時に依頼として、暫くの間留守を依頼された

まあ、侵入者を防いだりするのが仕事だな

まさか龍可に会えるとは思わなかったがな」

「そういえばモンスターとか実体化できるんだっけ？  
だからこんな仕事を……」

「それより、そろそろ行っておけ  
ルチアーノが待っているぞ」

「あ、うん」

瑞貴さんは気になったけど、ルチアーノ君を無視する訳にもいかな  
いし

「そう思い、素直に言う事を聞いて庭に出て行く  
ルチアーノ君はスケートボードを持ち出して……あら？」

「それって……デュエルボード？」

「あれ？ 知ってるんだ」

これは売られていないはずなんだけどね  
「そういえばあいつと知り合いなんだっけ？  
となると……もしかして複製の依頼、見ていたの？」

「うん、少しだけ  
でも誰にも話してないから安心して」

「そういえば誰にも言うなって依頼だもん  
ルチアーノ君は知ってたからいいけど、他の人には内緒にしないと  
……もしかしてルチアーノ君のご両親とかが開発者なのかな？」

「知ってるなら話は早いや」



ボクはこれが余っていてね

気に入った相手にあげようと思っていたんだ」

「え？ でも複製とかって駄目なんでしょ？

なのにそれを外部に態々出すなんて……」

「いいんだよ、そんな事を気にしなくても

そして乗れるようになったらボクと決闘デュエルしようよ

本気のライディングデュエルを……」

それが目的だったのね

学校で私が本気を出さないから、外のライディングデュエルをする  
それなら私が本気を出すと思って……よく考えているわ。

「うん、いいよ」

「ありがとう

それじゃあ乗り方を教えるよ」

それから暫く、ルチアーノ君にデュエルボードの乗り方を教えても  
らったわ

難しかったけど、それでもなんとか乗りこなせていると思う

途中、瑞貴さんが来て休憩にしたり、でも楽しく練習できたわ！

でも、1つだけ気になる発言が……

「ルチアーノ、侵入者は追い出しておいたぞ」

「へえ……どうやったんだい？」

「知り合いだったのにな

眠らせてご丁寧到家まで転送してやったよ  
今頃、家のベッドで鼾でも掻いてるだろう」

それ、知り合いだからってするものじゃないと思うわ  
だけどその知り合いって誰なのかしら？  
しかも侵入者で……まさか！

「あの、その侵入者って……龍亞？」

「正解だ

家の前まで来て、チャイムを鳴らしたならともかく  
それもせずに門をよじ登って侵入したんだ  
セキュリティに突き出されなかっただけマシと思え」

うん、ごめんね龍亞、弁護なんてできないわ  
それは明かに龍亞が悪い、私が心配だったかもしれないけど龍亞が  
悪い  
せめてちゃんとチャイムぐらい鳴らしなさいよ……

「うーん……ごめんなさい  
悪いと思うけど、そろそろ帰らせてもらいたいんだけど」

「……龍亞君が心配なのかい？」

「ごめんねルチアーノ君  
色々と教えてくれたのに、こんな中途半端になって」

「気にしないで龍可ちゃん  
でも、もう龍亞君にあんな事はしないように言っておいてね」

「……本当にごめんなさい」

ルチアーノ君に思いっきり頭を下げる  
龍亞、帰ったらお説教よ！

どうしてくれるのよ……もう！

「送ってやるよ」

明日はどうする？ また来るか？」

「え、いいの？」

「ボクは構わないよ」

本気になってくれた方がボクも嬉しいし」

……うん、明日も来ようっと！

幸い、明日は学校は休みだから思いっきり練習できるし！

「それである……龍亞も連れてきていいかしら？

前からライディングデュエルをしてみたいって言ってたし  
その、ちゃんと無断侵入した事は謝らせるから！」

「……どうする？」

俺としてはお断りなんだが」

「ふ、ボクは構わないよ」

ちゃんと謝ってもらえるのなら大歓迎さ」

「チッ」

う、そんなに嫌がらなくても……

確かに龍亞は瑞貴さんを嫌ってるし、さっきも面倒な事をさせたけどだからって……うん、嫌がるわね。

「話はもう終わりでいいな？」

ならそろそろ龍可を送るんだが」

「ああ、頼むよ」

「行くぞ龍可」

まあ、車を出すから少し待っている」

そう言って去って行く瑞貴さん

やっぱりお仕事はちゃんとするんだ……

というか、車の運転ができたんだね。

……

……

……

翌日、龍亞と一緒にルチアーノ君の家に向かおうとしている時

D・ホイールが私達の前に止まったわ

乗っていたのは瑞貴さん……迎えに来たのかしら？

「お前……なにしに来た！」

「仕事だ」

ほら、ルチアーノからのプレゼントだよ

ったく……俺の準備の邪魔をしやがって」

そう言って投げ渡されたのはデュエルボード

しかもそれは龍亞に渡された、どうして龍亞に？

「なんのつもりだ？」

「さっさとそいつに乗れ

ヘルメットぐらいなら用意している

俺の仕事はお前達を指導しながら屋敷に向かう事だ」

まさか、デュエルボードに乗ったまま移動するの！？

それって凄く危険なんじゃ……

「拒否するなら連れて行かないし、そいつも返してもらう  
ルチアーノからそう言われているのでな」

「ッ！ やってやるよ！

絶対にすぐに乗りこなしてやる！」

そうして、私達はデュエルボードに乗って移動していたんだけど……  
私はともかく、龍亞は何回も倒れたわ

少しだけ、特別に屋敷に向かう前にと言われて向かった先は建設途  
中の橋

なんでも、今は工事をしていないらしい場所なの  
人気も無いから、私達は思いつき練習したわ。

「ふむ……まあそれだけでできればライディングデュエルは一応でき  
るだろう

ほら、そろそろ向かうぞ」

瑞貴さんはD・ホイールを反転させ、走りだす  
私達もその後ろを追いかけるように走る。

「ん？」

ふと、後ろから龍亞の声が聞こえた

何事かと思つて振り返つてみると、建設中の橋の上に人が……誰かしら？

そんな事を考えていると、その人はどこからか現れたデュエルボードに乗って……飛び降りた！？

飛び降りて平気なのはともかく、なんでまたデュエルボード！？

ただ、飛び降りた先が龍亞のすぐ近く

それに驚いた龍亞が倒れてしまった！

「龍亞！」

「悪いな龍可、これも仕事なんだ」

「え？」

それってどういう……」

私に並んだ瑞貴さんが突然謝ってきた

これが仕事ってどういう意味なのかしら？

「依頼主からの依頼は龍可とのライディングデュエル

悪いがその場をセッティングさせてもらった

龍亞は邪魔だからな、悪いが連れて行かせてもらう」

そう言つて瑞貴さんは反転

龍亞を掴んでD・ホイールを走らせて……って、危ないじゃない！

「あいつの心配をしている場合かい？  
奴の言った通り、お前にはこのまま決闘デュエルをしてもらう！」

飛び降りてきた少年は緑色に輝く決闘盤デュエルディスクを出す  
そして何故か、私のデュエルボードが勝手に動き出した！？

「放せ！ 放せよ堅守瑞貴——！  
龍可————！！」

「龍亞————！！」

引き離される私達  
でも、今は龍亞に構っている暇は……

「邪魔者は居なくなった、さあ始めようか！  
フィールド魔法、スピード・ワールド2、セットオン！」

そんな……私はライディングデュエルなんてした事が無いのに！  
一応、ライディングデュエル用のデッキは作ってあるとはいえ  
それでも1人でこんな相手、厳し過ぎる！

そんな私を無視して、デュエルボードは勝手に動いたまま  
しかもそのままライディングデュエル用のサーキットに入ってしまった  
った

こうなったら覚悟を決めるしか無い！

龍亞が居なくて不安だし、瑞貴さんは仕事らしいけど完全に敵  
私にできる事は、あの少年に勝つことだけ！

「ライディングデュエル……」

「「アクセラレーション！」」

絶対に負けてやらないんだから！

「私のターン、ドロー！」

アーマード・ホワイトベアを召喚！

カードを2枚伏せ、ターンエンド！」

攻撃力は1800、これだけの攻撃力ならそう簡単に負けない！  
伏せカードだって……

「ボクのターン、ドロー！」

アブサード・ステイラーを召喚、効果発動！

こいつの召喚に成功した時、相手モンスターの攻撃力を0とし  
エンドフェイズ時までそのモンスターの守備力と同じ攻撃力となる  
アーマード・ホワイトベアの守備力は1400だから攻撃力も14  
00だ！」

「そうはさせない！」

罨カード、神事の獣葬を発動！

自分の場に存在する獣族モンスターを破壊し、墓地へ送る

そして自分はデッキからカードを2枚ドロー！

ただし、この効果でドローしたカードはこのターン使用できない！  
アーマード・ホワイトベアは獣族、アーマード・ホワイトベアを破  
壊する！」

「チィ、アブサード・ステイラーの対象が居なくなったか」

「更にアーマード・ホワイトベアのモンスター効果発動！」



このモンスターが効果で破壊された時  
デッキ、または墓地からレグルスを特殊召喚できる！  
私はこの効果により、デッキからレグルスを特殊召喚！」

私の呼びかけに応え、レグルスが場に現れる

ダイレクトアタック  
これで直接攻撃も、アブサード・ステイラーの効果も受けない！

「ふうん、やるじゃん  
ボクはカードを3枚伏せ、ターンエンド！」

「私のターン、ドロー！  
フェアリー・アーチャーを召喚、そして効果発動！  
自分の場に存在している光属性モンスターの数×400ポイントの  
ダメージを相手に与える！  
私の場には光属性モンスターは2体、よって800ポイントのダメージよ！」

フェアリー・アーチャーは矢を宛がい、弓を構える  
そして相手に向かって撃ち放ち、相手に直撃して爆発  
800ポイントのダメージ、これで相手のライフは3200……

「チィ……」

「そしてレグルスでアブサード・ステイラーに攻撃！」

「罠カード発動、エクサス・サモン！  
自分のモンスターが攻撃対象となった時  
そのモンスターを手札に戻し、より攻撃力の低いモンスターを攻撃  
表示で特殊召喚する！  
アブサード・ステイラーを手札に戻し、スカイ・コアを特殊召喚」

アブサード・ステイラーが手札に戻り  
新しく機械でできた卵みたいなモンスターが現れた  
あのモンスターはいいたい……って、攻撃力0!?

「更に罠カード発動、激流葬！  
場にモンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚された時  
場のモンスターを全て破壊する！」

態々特殊召喚したモンスターを破壊する!?  
いえ、それだけじゃない  
私がフェアリー・アーチャーを召喚した時に発動しなかったのも変  
アブサード・ステイラーを守る為とは思えないし……どういう事？

「なら私も罠カード、ソーラーレイを発動！  
自分の場に存在する光属性モンスターの数×600ポイントのダメージを与える！  
私の場には光属性モンスターが2体、よって1200ポイントのダメージよ！」

「ぐうううう……おまええええ！」

う……ちよつと怖い  
でも残りライフは半分の2000！  
これなら勝てるかも！

「よくもやったなあ！  
ボクの恐ろしさをよく味わうといいよ！  
スカイ・コアのモンスター効果発動！  
スカイ・コアが効果によって破壊された時、自分の場のモンスター

を全て破壊する

その後、デッキ、手札、墓地から

機皇帝スキエル∞、スキエルT、スキエルA、スキエルG、スキエルCを特殊召喚する！」

「そんな！」

1体のモンスター効果で5体ものモンスターを特殊召喚するだなんて！」

でも、それぞれの攻撃力は低い

全部合わせても2200……これならまだ大丈夫！

「機皇帝スキエル∞の効果発動！」

このモンスターの攻撃力は自分の場に存在するスキエルと名の付くモンスター攻撃力の合計となる

各パーツの攻撃力の合計は2200、よって機皇帝スキエル∞の攻撃力は2200！

なお、機皇帝スキエル∞が攻撃した場合、他のパーツは攻撃できない！」

いきなり攻撃力2200のモンスター……厄介な！

でも、それぞれのパーツはそこまで強くない

なんとか各パーツを破壊して機皇帝の攻撃力を下げれば！

「……カードを3枚伏せて、ターンエンド！」

これならどうにか……

「ボクの……ターン！」

Sp—エンジェル・バトンを発動！

スピードカウンターが2つ以上有る時

デッキからカードを2枚ドロし、1枚を捨てる！

そして手札のスキエルC3の効果発動！

自分の場に存在するスキエルCをリリースし、スキエルC3を特殊召喚！」

新しいパーツ！？

機皇帝の攻撃力が更に200ポイントアップしたですって！？

これで機皇帝の攻撃力は……2400！

「さあ、くらいなああ！ 機皇帝スキエル∞で直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

「きゃあああああああああ！」

い、痛い！

どうしてこんなに痛いの！？

「痛いだろう？ キーヒヤッヒヤッヒヤッヒヤ！」

気に入ったかい？ この決闘はライフダメージを<sup>デュエル</sup>実際に感じる事ができるのさ

つまり、ダメージが大きければ大きいほど、凄く痛くなるってことさあ！

キーヒヤッヒヤッヒヤッヒヤ！」

そんな……実際にダメージを体感できるだなんて！

どうしてこんな危険な事を！？

う、うううう……痛いよお。

「カードを2枚伏せて、ターンエンドだもっとボクを楽しませてくれよお！」

「私の……ターン、ドロー！」

Sp—エンジェル・バトンを発動！

スピードカウンターが2つ以上ある時

デッキからカードを2枚ドローし、1枚を捨てる！」

……ん、よし！

これならなんとかなるかな？

「ローズ・バードを召喚！ 更に罠カード、植物連鎖を発動！

このカードは発動後、植物族モンスター専用の装備カードとなる！

装備モンスターの攻撃力を500ポイントアップさせるわ！」

これでローズ・バードの攻撃力は2300

機皇帝スキエル∞の攻撃力を超えられた！

だけど攻撃するのはパーツ！

「ローズ・バードでスキエルAに攻撃！」

「チィ、スキエルGのモンスター効果を発動！

1ターンに1度、相手モンスターの攻撃を無効にする！」

そんな効果が……だけど、まだまだ！

「罠カード、妖精の風を発動！

場に存在する表側表示の魔法、罠カードを全て破壊し

お互いのプレイヤーは破壊した枚数×300ポイントのダメージを受ける！

私はこの効果で植物連鎖を破壊する！」

これでお互いに300ポイントのダメージ……  
問題はそのダメージを、私も実際に受ける！

「グッ！」「くうううう！」

ダメージは小さいけど辛い！

私の残りライフは1500、相手は1700  
ダイレクトアタック  
やっぱり直接攻撃のダメージが大きかったかしら？

「クッ、植物連鎖の効果発動！

このカードが効果で破壊された場合

墓地から植物族モンスターを1体、特殊召喚できる！  
墓地より妖精王オベロンを特殊召喚！」

「上級モンスター！？

そうか、さっきのエンジェル・バトン！」

そうよ、あの時に墓地へ送っておいたの！  
伏せていたカードが伏せたカードだからね！

「オベロンでスキエルGに攻撃！」

「スキエルC3のモンスター効果発動！

1ターンに1度、自分の場に存在するモンスターが攻撃対象に選択  
された時、攻撃を無効にできる！

この効果により、オベロンの攻撃を無効にする！」

また防がれた！

この人、かなり強い！

「カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

「ボクのターン、ドロー！」

Sp—サモンクローズを発動！

スピードカウンターが4つ以上有る時

このターン、相手モンスターの特殊召喚を封じる！」

特殊召喚を封じられた！？

私の狙いは完全に読まれている！

「お前の狙いなんてお見通しなんだよ

機皇帝スキエル∞でローズ・バードに攻撃！」

「きゃあああ！」

う……くっ！」

私の残りライフは900

しかもローズ・バードの効果が発動できなかった

ローズ・バードは戦闘で破壊された時

デッキから植物族チューナーを2体、デッキから守備表示で特殊召喚できる効果を持っている

だけどサモンクローズの効果でこのターン、私は特殊召喚できない！

「カードを2枚伏せて、ターンエンドだ

さあ、もっとだ……もっと苦しめ！」

苦しめだなんて……この人は何を考えているの！？

人を苦しめて喜ぶなんて酷すぎる！

「私のターン、ドロー！」

サニー・ピクシーを召喚！

LV6の妖精王オベロンに、LV1のサニー・ピクシーをチューニング！

聖なる守護の光、今交わりて永久の命となる！

シンクロ召喚！ 降誕せよ、エンシェント・フェアリー・ドラゴン！

シンクロ召喚したエンシェント・フェアリー・ドラゴンは守備表示攻撃力2100じゃちよつと勝てそうにないもの。

「シンクロモンスター……」

「更にシンクロ素材となったサニー・ピクシーの効果！

光属性シンクロモンスターのシンクロ素材となった時

私は1000ポイントのライフを回復する！」

これで私のライフは1700！

少しは余裕が出てきたかしら？

「エンシェント・フェアリー・ドラゴンの効果発動！

1ターンに1度、手札からLV4以下のモンスターを特殊召喚できる！

私はサンライト・ユニコーンを守備表示で特殊召喚！

更にサンライト・ユニコーンの効果を発動！

デッキの一番上を確認し、それが魔法カードなら手札に加える！  
ただし、違った場合はデッキの一番下に戻す

デッキの上のカードは……Spサイレント・バーン！

魔法カードだから手札に加えるわ！」

Spサイレント・バーンは攻撃しなかったモンスターの数×30



0ポイントのダメージを相手に与える

だけど相手のライフは1700だし、攻撃表示じゃないとダメージを与えられない

そして私のスピードカウンターは6つだから……決めた！

「私はスピード・ワールド2の効果を発動！

スピードカウンターを4つ取り除き、手札のSpの数×800ポイントのダメージを相手に与える！

私の手札に有るSpは2枚、よって1600ポイントのダメージを与える！」

「ぐうううううう！」

手札にはSp—サイレント・バーンとSp—スピード・フォース

どちらもスピードカウンターが4つ以上必要なカード

だけど次の私のターンにはスピードカウンターが4つになる

つまり、次のターンになれば私の勝ち！

「私はこれでターンエンドよ！」

これで相手のライフは残り100

このまま最後まで押し切れれば私の勝ち！

「よくも……よくもここまでしてくれたなあ！

こうなったらお前が泣くまでやり殺しにしてやるよお！

ボクのターン、ドロー！」

うわあ……凄く怒ってる

デューエル  
だけど、この決闘は私が勝つ！

「スピード・ワールド2の効果発動！  
スピードカウンターを7つ取り除き、デッキからカードを1枚ドロ  
ーする！

更に機皇帝スキエル∞の効果発動！

1ターンに1度、相手の場に存在しているシンクロモンスター1体を  
装備カードとして装備、つまり吸収する事ができる！」

「シンクロモンスターを吸収！？」

それって確か……ああ！

もしかして遊星が言っていたシンクロキラーモンスター！

私が気付いた時には、エンシェント・フェアリー・ドラゴンが触手  
に捕らわれて！

「エンシェント・フェアリー・ドラゴン！」

私の呼びかけも虚しく、エンシェント・フェアリー・ドラゴンは吸  
収されて……

そんな……エンシェント・フェアリー・ドラゴンが！

「キーヒャッヒャッヒャッヒャ！」

エンシェント・フェアリー・ドラゴンは確かに戴いた！

そして機皇帝スキエル∞は装備したシンクロモンスターの攻撃力分、  
攻撃力をアップさせる！

エンシェント・フェアリー・ドラゴンの攻撃力は2100、よって  
機皇帝スキエル∞の攻撃力は4500！」

「攻撃力……4500!？」

そんなモンスター、どうやって倒せば!？

私のデッキで攻撃力4500ものモンスターを倒す手段なんて……  
いいえ

例え倒せなくても、次の私のターンになれば！

「罠カード、スカイA3を発動！

自分の場に存在するスキエルAを墓地へ送り  
手札のスキエルA3を特殊召喚する！」

下腹部に装着されていたキャノンが違う物に変わった……  
もしかしてスキエルC3みたいに新しい効果が？

「更に、スキエルA3をリリースする事で手札のスキエルA5を特殊召喚する！」

また変わった！？

しかも攻撃力がまた上昇……スキエルA3の時は4700  
そしてスキエルA5となった今は……攻撃力4900！

「スキエルA5のモンスター効果！

スキエルA5が存在している限り、∞と名の付くモンスターは直接  
攻撃ができる！」

「そんな！？

攻撃力4900で直接攻撃だなんて！」

私の伏せているカードは罠カード、ティンクル・ウォール

相手モンスターの攻撃を無効にし、その攻撃力の半分のダメージを  
私は受ける

だけど、私のライフは1700……4900の半分である2450  
のダメージは耐えられない！

「更に罠カード、トラップ・スタンを発動！  
このターン、このカード以外の罠カードの効果が無効にする！」

完全に……負けた！

「これで終わりだぁあああああああああ！  
機皇帝スキエル∞、龍可に直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

さつき装着された砲身に光が集まる  
そして、機皇帝の攻撃が私に直撃する時、思わず顔を隠して衝撃に  
備え………あれ？

なかなか衝撃が来ず、不思議に思った  
気になったので顔を上げてみると、精霊達が私を守ってくれた？  
クリボン、プチテンシ、キーメイス、ワタポン、ジェリービーンズ  
マン

みんなが私を庇ってくれて……

っ！ 駄目！ もうみんな止めて！  
みんなの力じゃその攻撃は耐えきれない！

私の想いは虚しく、少しだけ耐えたけどみんな吹き飛ばされた  
そして私に機皇帝の攻撃が直撃………凄く痛いし辛い！  
だけど、みんなが守ってくれたんだもの、耐えてみせる！

体中が痛く、苦しいけど  
デュエルボードがフラフラとするけど、それでも耐えきった！  
倒れず、自然とデュエルボードが止まる。

「チィ……」

相手の方は舌打ちをし、去って行った  
それにしても疲れたなあ……帰ろう。

……そういえばここどこ？

そしてどうやって帰ればいいんだろう？

そんな事を考えていたら、どこからか見た事のあるD・ホイールが  
……

あれって……瑞貴さん！？

「よう龍可、負けたのか？」

「……なにしに來たんですか？」

「心外だな、手当をしに來てやったというのに  
ちなみに龍亞は今頃ボロ負けの大敗をしていると思うがな」

「龍亞に何をしたの！？」

大敗……でも待って、今頃？

という事は瑞貴さんは何もしていない？

「俺がしたのは龍亞の引き渡し、そしてシグナー共の足止めだ  
これも仕事の内、傭兵は仕事を選べないんだよ……あまりな」

つまり、ある程度は承知の上での仕事？  
やっぱり遊星達が嫌いなね……

「ほら、怪我してるんだろ？  
手当をしてやるからヘルメットを取れ、邪魔だ  
それにデュエルボードからも下りろ」

怪しいと思ったけど、素直に下りる  
私はあまり嫌われていないみたいだし  
酷い事はしないと思う……

「……思ったより軽いな  
これぐらいならすぐに治る」

少し安心した  
深い怪我は無いと言われたもの。

「念の為、後で病院には行っておけよ  
見た目では分からない、体内の怪我を負っているかもしれないからな  
骨とか、怪我をした直後では分からない怪我の可能性は十分考えら  
れる」

「はい……あの、遊星達に何をしたの？」

自分の怪我はもういいの  
だけど、遊星達に何をしたのか気になった。

「別に大した事はしていない  
マナ達と不動遊星、ジャック・アトラス、クロウ・ホーガン、十六  
夜アキを相手にしていただけだ  
さっきも言ったが龍亞は俺達とは別の奴が担当した  
ま、さっきも言ったが足止めだから適当に相手をしていたがな」

それでも勝ったの？ でも勝ったって言ってないから負けた？  
妙に疲れたって感じだし、本当にどうなったのかしら？

「さて、治療終了

案内してやるからさっさと帰るぞ」

そう言って瑞貴さんはD・ホイールを走らせる  
私もデュエルボードに乗り、後ろを追いかける

……結局、私が戦ったあの人は誰だったのかしら？

## 5D・s 新4話【転校生】（後書き）

ルチアーノ、瑞貴に甘くなってる？  
さすがに長期的に面倒を見ているので  
嫌でも少しは仲良くなるでしょう  
なにより、ルチアーノは子供です。

ルチアーノに対して、龍可の反応がアニメと違う？  
瑞貴の存在からです  
暗い姿や怨みの顔、実際に誘拐された経験からです  
なので少しだけ違和感を感じられるようになりました。

どうして龍亞にデュエルボードを？  
龍可が止める可能性が有ったからです  
本当に困った存在です……

龍可がバーンカードばかり……  
彼女って確かバーンカードが多数でしたよね？  
そう思い、バーン系カードと植物、天使、獣族の光属性を中心とし  
たデッキにしました  
龍可は使用カード数が少なすぎて困ります。

スキエルの効果ってやっぱり……  
アニメ効果です  
面倒過ぎて……はあ。

ローズ・バードの効果は？  
アニメ効果です  
戦闘破壊ならとにかくなんでも効果を発動できました。



サンライト・ユニコーンの効果が違う？

アニメでは魔法カードならなんでも手札に入りました  
ダイヤモンドガイやデーモンの宣告に似た効果ですね。

エンシエント・フェアリー・ドラゴンはどうなったの？

奪われたものの、やはり装備カードとなっただけです  
ちゃんと使用後は龍可のデッキに戻っています

細かい事は気にしない。

瑞貴、遊星達と何をしたの？

次話以降の話になりますので今回はフラグだけ  
勝ち負けに関しては秘密。

龍可、ルチアーノの事に気付いていないの？

気付いていません。

ゲーム、アニメオリジナルカード

アーマード・ホワイトベア

このカードが効果によって破壊された時

デッキか墓地からレグルスを1体、自分の場に特殊召喚する事がで  
きる

任意効果なのでタイミングを逃しそうですが無視  
できないかもしれませんが気にしない。

アブサード・ステイラー

このモンスターの召喚に成功した時

相手の場に存在するモンスター1体を選択して発動する

選択したモンスターの攻撃力を0にし

このターンのエンドフェイズ時までこのカードの攻撃力は選択したモンスターの守備力と同じ攻撃力となる

地味に超強力モンスターです、多分

あまり相手にしたくないですね……このモンスター。

### 神事の獣葬

自分の場に存在する獣族モンスター1体を破壊し、墓地へ送る

自分のデッキからカードを2枚ドロウする

この効果でドロウしたカードはこのターン使用できない

魔法カードでOCG化してもおかしくないと思います

罠カードだと使用できない制約の意味が薄いですし。

### エクサス・サモン

自分の場に存在するモンスター1体が攻撃対象になった時に発動する事ができる

攻撃対象になったモンスター1体を自分の手札に戻し

そのモンスターよりも攻撃力の低いモンスター1体を自分の場に攻撃表示で特殊召喚する

十二分に使えるカードだと、作者は思います

例えばユベルとか……そう考えると強力なカードでしょう。

スキエルT スキエルA スキエルA3 スキエルA5 スキエル

G スキエルC スキエルC3

機皇帝スキエル∞のパーツ達です

Gは1ターンの1度、攻撃を無効にできます

A3は自身をリリースしてA5を特殊召喚する効果

A5は直接攻撃付与効果

C3は1ターンの1度の攻撃の無効効果

こんな感じです、確か。

### Sp-サモンクローズ

自分用スピードカウンターが4つ以上有る時  
このターン、相手は特殊召喚ができない

地味に強力な効果です

ただ、アニメ内テキストでは長々としているのに効果がこれだけという謎。

### Sp-サイレント・バーン

自分用スピードカウンターが4つ以上ある時

このターン攻撃しなかった攻撃表示モンスターの数×300ポイントダメージを相手ライフに与える

地味な効果ですが……使えるのか微妙です

アニメ内バーン効果ではそれなりかもしれませんが。

### Sp-スピード・フォース

自分用スピードカウンターが4つ以上ある時

次の自分のエンドフェイズ時まで、自分の場に存在するカードは相手の魔法・罠カードの効果では破壊されない  
地味ですが……使える？ よく分かりません。

### スカイA3

自分の場に存在するスキエルAを墓地へ送り

手札からスキエルA3を特殊召喚する

それだけです、できればデッキからなら良かったんですけどね。

## 5D・s 新5話【彼女の最強神】（前書き）

「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ!」

ディフォーマー  
「D・ステープラン!  
ディフォーマー  
俺のDだぜ!」

「攻撃表示だと攻撃を集めて、守備表示だと戦闘破壊されない  
でも、弱点も分かりやすいのよね……」

「……龍可?」

「なに、龍亞?」

やっぱり辛辣な龍可

でもあまり気にしない作者……染まっているのはスルー。

最近は遅いです、ごめんなさい

途中まで書いていたまま放置されて……やっと再び書き出しました  
理由に関しては黙秘します、忙しかったのは事実ですが。

今回は計算がそこそこ多かったのですが、合っているか少し不明です  
多分合っているはずですが……どうでしょう?

間違っていた場合、教えていただけると助かります。

## 5D、s 新5話【彼女の最強神】

視点 瑞貴

「この、放せ！ 放せよ！」

煩いガキだ……仕方無い、場所もここら辺でいいかな？

そう思った俺は適当な場所で龍亞を放り投げる

バランスは崩しそうになりながらも、なんとか着地する龍亞

……お前、今日始めたばかりでよくデュエルボードを乗りこなせるな。

「おっととと……危ないだろ！」

いや、平然と着地したお前に言われたくない

俺はともかく、マナでもできるかどうか……いや、あいつはできるか。

「お前の相手は用意している

そいつを相手に勝てたら……龍可は助けてやろう」

龍亞は疑いながらも辺りを見回している

俺の言う相手が気になるらしいが……

「心配しなくてもすぐに来る

それまで少し待っているんだな」

俺はそれだけ言うと反転、龍亞から離れる

さて……俺は俺の相手をしに行くかな？

どうせ、赤き竜の繋がりみたいなので奴らが来るだろうしな。

後はあいつが頑張ってくれたらそれで十分

負けるとは思わんが、あいつはライディングデュエルは初めてらしいから……

ま、別に勝とうが負けようがどっちでもいいか。

視点 龍亞

あの野郎……俺を置いて行きやがった！

どうせだったらお前が相手をしろよな！

前回の借りを返してやるのに！

そう思った時、俺の近くにデュエルボードが……誰だ？

見てみると、俺と同じぐらいの女の子だった

赤いヘルメットをかぶって、肌が焼けて……って、おい！

「お前、パティだろ？」

「ギクッ……な、なんのこと？」

いや、今ギクッて言ったじゃん

いくらあいつにカードを貰ったからって俺の敵にならなくてもいいんじゃないか？

「……はあ、そうよ

私はあの人に龍亞の相手をしてくれって頼まれたの  
ライディングデュエルは私も初めてだけど……負けないわよ！」

「へっ、返り討ちにしてやらあ！」

龍可は気になるけど、挑まれた決闘デュエルを受けるのが決闘者だ！  
いくぜパティ、今回は練習じゃなくて本番！ 絶対に俺が勝つ！

お互いにデュエルボードを起動させ、走らせる  
スピードは俺のデュエルボードの方が上……かな？

「行くわよ！」

フィールド魔法、スピード・ワールド2、セットオン！」

俺とパティはライディングデュエル用のコースに入る  
そしてやっと言える……前から言いたかったんだ！

「ライディングデュエル……」

「「アクセラレーション！」」

くーー、格好いいぜ俺！

俺の初ライディングデュエル、絶対に勝たせてもらうぜ！

「先攻は俺が……」

「私のターン、ドロー！」

……ま、まあレディファーストって言うし？  
今の俺は気分がいいから今回だけは譲ってやるよ

はっはっは……はあ。

「チューナーモンスター、ブーテンを召喚！  
更に永続魔法、コート・オブ・ジャスティスを発動！  
自分の場にLV1の天使族モンスターが存在している時  
1ターンに1度、手札の天使族モンスターを1体、特殊召喚できる  
！」

「な、永続魔法だって！？

Spじゃないのかよ！ そんな事したら……」

「分かってる、フィールド魔法、スピード・ワールド2の効果  
Spじゃない魔法カードをプレイした場合、そのカードをプレイし  
たプレイヤーは2000ポイントのダメージを受ける  
でも、手札からハネワタを墓地へ送り、効果発動！  
私はこのターン、効果で受けるダメージは0になる！」

そういえばパティのお気に入りカードはハネワタだったわけ  
だから平気で普通に魔法カードを使ったのか……

「私はコート・オブ・ジャスティスの効果を発動！  
手札からアテナを特殊召喚！

更に手札から速攻魔法、光神化を発動！  
手札の天使族モンスターの攻撃力を半分にし、特殊召喚する！  
ただし、エンドフェイズ時に破壊されるわ！」

また普通の魔法カード……でもハネワタの効果でダメージは受けな  
いか

あのデッキ、ちゃんとSpが入っているのか？



「スピード・ワールド2の効果で私は2000ポイントのダメージを受けるけど

このターン、ハネワタの効果で効果ダメージは0になってるわ  
光神化の効果により、手札から光神機ライトニングギア―桜火を特殊召喚!」

攻撃力2400の上級モンスター

でも、光神化の効果で攻撃力は1200まで下がってるし  
それにエンドフェイズに破壊されるなら怖くないぜ!

「アテナの効果を発動よ!

天使族モンスターが召喚、反転召喚、特殊召喚された時  
相手に600ポイントのダメージを与えるわ!」

「へ?」

アテナが槍みたいなたて持ってる手を俺に向けて……ちょ、ビームか  
よお!?

「くううう……ま、まだまだあ!」

たったの600程度のダメージだ!

俺はまだまだピンピンしてるぜ!

「アテナの第2の効果を発動!

自分の場の天使族モンスターを墓地へ送り、アテナ以外の天使族モ  
ンスターを特殊召喚する!

私は場のブーテンを墓地へ送り、ハネワタを特殊召喚!

そして天使族モンスターが特殊召喚されてアテナの効果、相手に6  
00ポイントのダメージよ!」

ちょ、それは反則だろ！

効果ダメージを与えて、しかも自分の効果でまたダメージって！

「LV6光神機―桜火に、LV1光属性ハネワタをチューニング！  
聖なる力を得し崇高なる竜よ！ 神と共に歩んだ姿を見せよ！  
シンクロ召喚！ 命の鼓動、エンシェント・ホーリー・ワイバーン  
！」

出たな、今じゃパーティの代名詞、エンシェント・ホーリー・ワイバーン！

ライフ差だけ攻撃力がアップするめんどくさい効果だ！  
というか、やっぱり1ターンで出てくるんだな、こいつ。

「天使族モンスター、エンシェント・ホーリー・ワイバーンが特殊  
召喚されたわ  
アテナの効果を発動、またダメージを受けなさい龍亞！」

「げ、また……ぬおわあ！」

うううう、合計で1800のダメージかあ  
1ターン目で残りライフが2200、ちょっときついなあ？

「エンシェント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は相手と自分のラ  
イフ差だけ変わる  
相手よりライフが上の時は攻撃力がアップし、下の時は攻撃力がダ  
ウンする

私のライフは4000、龍亞のライフは2200、その差は180  
0よ

つまり、エンシェント・ホーリー・ワイバーンの元々の攻撃力21  
00に1800が足され、攻撃力3900！」

「攻撃力3900だって!？」

しかもアテナの攻撃力は2600!

1ターン目からなんて場だよ……

「私はこれでターンエンドよ!」

くそお……この状況をどうやって耐えればいいんだよ  
でも、俺はパティに勝つんだ!

正直ちよっと忘れてたけど、龍可の為にも絶対に!

「俺のターン、ドロー!

デIFOオーマー

D・ステープランを守備表示で召喚!」

こいつでなんとか……大丈夫のはずだ!

「更にカードを3枚伏せて、ターンエンドだ!」

ふふふふ、これだけ伏せてたらいくらなんでも攻撃しないだろう  
それにステープランの効果もあるし、大丈夫!

「私のターン、ドロー!

私はコーリング・ノヴァを召喚するわ!

天使族モンスターの召喚でアテナの効果が発動!

相手に600ポイントのダメージを与えるわ!」

げ、またダメージかよ!

これで俺のライフは1600、エンシェント・ホーリー・ワイバー  
ンの攻撃力が4500まで上がった!

「アテナの効果で天使族モンスター、コーリング・ノヴァを墓地へ送り

そしてそのまま再びコーリング・ノヴァを特殊召喚！

アテナの効果が再び発動して、また600ポイントのダメージよ！」

「またかよお！

うひゃああ！」

俺のライフが残り1000まで……

これはちよっとヤバイかもしれない！

「これでライフ差は3000！

よってエンシェント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は5100よ  
！」

「攻撃力5100だってえ！？」

そんな攻撃力有りかよ！？

って、これはダメージを受けた俺が悪いのか？

「バトルよ！ アテナでステープランに攻撃！」

「ステープランの効果！

このステープランは守備表示の時、戦闘では破壊されない！

更にダメージ計算終了後、相手の場に存在する攻撃表示モンスター  
1体を選択

選択したモンスターを守備表示に変更し、ステープランは攻撃表示  
になる！

俺はエンシェント・ホーリー・ワイバーンを守備表示に変更する！」

「ああ！ エンシェント・ホーリー・ワイバーンが！  
うー……龍亞、なんて事をするのよ！」

いや、それは俺の台詞だから！  
パーティが滅茶苦茶するからこうなったんだろう！

「へへ、ついでにステープランの攻撃表示での効果  
それは相手はステープランにしか攻撃できない！」

「鬱陶しいなあ……もお！」

コーリング・ノヴァでステープランに攻撃！  
攻撃力は互角だから同時に破壊よ！」

「罠カード、ディフォーマーを発動！

相手がDを攻撃対象に選択した時、相手モンスターの攻撃を1度だ  
け無効にする！

更に、攻撃対象になったDの表示形式を変更する！」  
ディフォーマー

へへ、そう簡単に攻撃は通さないぜ！

学校の実習と違って、本番で俺に勝とうだなんて甘い甘い。

「……もおー、エンシェント・ホーリー・ワイバーンを攻撃表示に  
戻すわ

これで私はターンエンドよ」

「ふう、俺のターン、ドロー！

Sp—ハーフ・シーズを発動！

スピードカウンターが3つ以上ある時に発動できる！

相手のモンスター1体を選択し、その攻撃力を半分にダウンさせる！

更に、ダウンさせた攻撃力分、俺のライフを回復させる！  
俺が選択するモンスターは当然、エンシェント・ホーリー・ワイバーンだ！」

「そんな！」

エンシェント・ホーリー・ワイバーンを選択するのは駄目え！」

と、言われても既に効果は処理されてる

エンシェント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は5100

攻撃力が半分の2550になって、俺のライフも2550回復！

俺のライフが3550に回復だぜ！

しかも、ついでにライフがパーティを越えた！

エンシェント・ホーリー・ワイバーンの効果で攻撃力はライフ差だけ変わる！

エンシェント・ホーリー・ワイバーンの元々の攻撃力は2100、

ライフ差の450アップするんだよな？

って事は攻撃力は……2550だ！

と、思ったんだけど……攻撃力が0？

うーん……どうしてこうなったんだ？

まあ細かい事はいいや！ これで随分楽になったぜ！

よし、まだまだいくぞお！

ディフォーマー

「D・モバホンを召喚して、モバホンの効果発動！

1ターンに1度、モバホンの1から6のダイヤルが光り、そして止まった数字の数だけデッキを上から確認する！

ディフォーマー

もし捲った中にDが存在していた時、その中から1体を召喚条件を無視して特殊召喚する！

いくぜパーティ、ダイヤル・オン！」

モバホンの体に付いてる数字がランダムに光り出す  
そして止まった数字は……4！

「出た数字は4、よってデッキの上から4枚を確認！  
えーっと……よし、ディフォーマーD・ラジオンをモバホンの効果で特殊召喚！  
そして捲ったカードはデッキに加えてシャッフルされる！」

よし、これで俺の場のモンスターは3体だ！  
運に賭けて良かったぜ！

「ラジオンの効果！  
自分の場に存在するディフォーマーDと名の付くモンスターの攻撃力を800ポイントアップさせる！  
これでラジオン自身の攻撃力は1800、モバホンは900、そしてステープランは2200だ！」

「攻撃力が2200ですって！？」

「ステープランを攻撃表示に変更してっと  
いくぜ、バトルだ！  
ステープランでエンシェント・ホーリー・ワイバーンに攻撃！」

「あああああああああ！  
私のエンシェント・ホーリー・ワイバーンがあああああああ！」

うわ……すっげえショックを受けてる  
そこまで嫌だったのかな？  
……まあ、俺の敵になったからそうだったんだぜ！

パーティは俯いたままブツブツと何か言ってる？  
でもちよつと聞こえないな……何を言ってるんだ？

「……………許さない」

「へ？」

「エンシエント・ホーリー・ワイバーンを倒すだなんて絶対に許さないんだから！

エンシエント・ホーリー・ワイバーンの効果発動！

戦闘で破壊され、墓地へ送られた時！ ライフを1000ポイント支払い、特殊召喚する！

守備表示でだけど戻って来て、エンシエント・ホーリー・ワイバーン！」

「そ、蘇生効果だってえ！？」

そんな効果が有ったのか！

今まで破壊された事が無かったから初めて知ったぞ！

「へ、でもライフが1000も減ったって事は攻撃力もダウンしてるんだろ？

て事は攻撃力は0じゃん！」

「守備表示だから攻撃力は関係無いし、勘違いしないで！

アテナの効果を発動！ 天使族モンスター、エンシエント・ホーリー・ワイバーンが特殊召喚されたわ！

これにより、相手に600ポイントのダメージを与える！」

げっ！ 忘れてた！ つまり……俺のライフは2950になるって



ことか

パーティのライフは800、ライフ差は2150かあ  
エンシェント・ホーリー・ワイバーンの元々の攻撃力は2100で  
差はそれ以上  
つまり、エンシェント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は0になる  
か。

でも守備表示か……守備力は2000、さすがに勝てないな  
ラジオンの元々の攻撃力があと300高かったらなあ……さすがに  
それは我が儘か。

「なら、ラジオンでコーリング・ノヴァに攻撃だあ！」

攻撃力差で400のダメージ！  
パーティのライフは残り400、このまま押し切ってやるぜ！

「コーリング・ノヴァの効果発動！  
戦闘で破壊された時、デッキから攻撃力1500以下の光属性、天  
使族モンスターを特殊召喚するわ！  
私はデッキから英知の代行者 マーキュリーを守備表示で特殊召喚  
するわ！

そしてアテナの効果で600ポイントのダメージ！」

守備力1700のモンスターかあ……さすがに倒せないや  
でも、俺の方が圧倒的に有利なんだ！

このまま押して押して、押しまくってやるぜ！

俺のライフは2350にまで減っちゃったな  
パーティとのライフ差が1950にまで縮んじまった  
でもやっぱり攻撃力が150と低いままのエンシェント・ホーリー・

ワイバーン

うんうん、俺はやっぱり強い！

「俺はこのままターンエンドだ！

へへ、諦めるパティ！ もうエンシェント・ホーリー・ワイバーンは怖くないよーだ！」

強がってみたものの、やっぱり危ないよなあ

もし何度もアテナの効果を使われたらライフ差も縮まってくるしライフ回復カードとか使われたらさすがに困る……

でも、俺の伏せカードできっとどうにかなる！

「エンシェント・ホーリー・ワイバーンを馬鹿にしないで！

英知の代行者 マーキュリーの効果を発動！

相手のエンドフェイズ時、自分の手札が0枚の時、次の私のスタンバイフェイズ時にカードを1枚ドロウする！

私のターン、ドロウ！ そしてマーキュリーの効果でもう1枚ドロウ！」

2枚ドロウか……へへ、でもこの状況から逆転なんて無理さ！

「シャインエンジェルを召喚して、アテナの効果でダメージを与える！

更にアテナの効果でシャインエンジェルを墓地へ送り、コーリング・ノヴァを特殊召喚！

これで合計1200のダメージを与えるわ！」

う、俺のライフが1150まで……

パティのライフは400だからライフ差は750

つまりエンシェント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は……135

0!

って、まだ低めかな。

「墓地に存在するブーテンの効果を発動!

ブーテンを除外し、場に存在する光属性天使族モンスターを1体選択  
そのモンスターが場に存在する限り、チューナーとして扱う!

私はこの効果でマーカーをチューナーとして扱うわ!」

チューナーって、そんな事してどうするんだ?

だってパティのシンクロモンスターはエンシェント・ホーリー・ワ  
イバーンだけじゃ……

「LV4光属性シャインエンジェルに、LV4英知の代行者 マー  
キュリーをチューニング!

復讐鬼へ堕ちた神聖騎士、神々の正義を証明せよ!

シンクロ召喚! 天空の神剣、神聖騎士<sup>ホーリーナイト</sup>パーシアス!」

シンクロモンスターだって!?

パティの奴、いつの間にあんなモンスターを!

「更にアテナの効果、天使族モンスターが特殊召喚されたから60  
0ポイントのダメージよ!」

「いい加減にこれ以上はやバイって!

罨カード、ダメージ・イレイザーを発動!

効果によるダメージを無効にし、その分ライフを回復させる!」

これで俺のライフは1750まで回復!

ライフ差は1350だし、エンシェント・ホーリー・ワイバーンの  
攻撃力も下がった

エンシェント・ホーリー・ワイバーンの攻撃力は……なんと750程度だ！

「そんなカードまで……なら、パーシアスの効果を発動！

1ターンに1度、相手の場に存在するモンスター1体の表示形式を変更できる！

ラジオンを守備表示に変更してもらおうかしら？」

守備表示かよ……チッ！

ディフオーマー

ラジオンの効果は守備表示だとDの守備力を1000ポイントアップする効果になる

つまり、攻撃力は全員元に戻っちゃったってことだ

モバホンは100、ステープランは1400にまで下がっちゃった。

「バトルよ！

アテナでステープランに攻撃！」

「罠カード、砂漠の光を発動！

自分の場に存在するモンスターを全て守備表示に変更する！

これでステープランは守備表示になり、効果を発動するぜ！

ステープランは戦闘で破壊されず、攻撃表示の相手モンスターを守備表示に変更させる！

その後、ステープランは攻撃表示に戻る！

ステープランの効果でパーシアスを守備表示に変更だ！」

これで俺のモンスターは破壊されず、ダメージも0だぜ！

残念だったなパティ！

「仕方無いわね……カードを1枚伏せて、ターンエンド！」

伏せカードが1枚だけか……よし、絶対に勝ってやる！  
このターンで俺は勝つ！

「俺のターン、ドロー！  
最初にモバホンを攻撃表示に変更して、モバホンの効果を発動！  
ダイヤル・オン！」

どんな数字が出てくるかなつと……

「出てきた数字は5！  
デッキの上から5枚を確認し、その中から<sup>デIFOオーマー</sup>D1体を特殊召喚する！  
俺はこの効果でチューナーモンスター、<sup>デIFOオーマー</sup>D・ライトンを特殊召喚！  
更に<sup>デIFOオーマー</sup>D・マグネンIを召喚！」

「……チューナーモンスター」

「いくぜパティ！  
<sup>デIFOオーマー</sup>L V1D・モバホン、<sup>デIFOオーマー</sup>L V1D・マグネンI、<sup>デIFOオーマー</sup>L V4D・ラジオンに  
<sup>デIFOオーマー</sup>L V1D・ライトンをチューニング！  
世界の平和を守るため、勇気と力をドッキング！  
シンクロ召喚！ 愛と正義の使者、パワー・ツール・ドラゴン！」

くうう……格好いいぜパワー・ツール・ドラゴン！  
俺のエースの登場だ！ 驚けパティ！

「攻撃力2300……」

「バトルだ！  
パワー・ツール・ドラゴンでエンシェント・ホーリー・ワイバーン  
に攻撃！」

「エンシェント・ホーリー・ワイバーン……クッ！」

よっしゃあ！ パティ最強モンスター、エンシェント・ホーリー・ワイバーン撃破！

しかもライフが400しか無いから蘇生効果も使えない！  
へへへ、俺は絶対に勝つ！

「ステープランを守備表示に変更して、更にカードを1枚伏せる  
俺はこれでターンエンドだ！」

「私の……私のエンシェント・ホーリー・ワイバーン  
龍亞、絶対に許さない！ 私のターン、ドロー！」

Sp-エンジェル・バトンを発動！

スピードカウンターが2つ以上ある時、デッキからカードを2枚ドローして、1枚を捨てる！

更にSp-シフト・ダウンを発動！

スピードカウンターを6つ減らし、デッキからカードを2枚ドロースる！」

げ……そういえばこのターンでスピードカウンターが6つになったのか

でも、この状況はどうにもできないはずだ！

「墓地に存在する代行者と名の付くマーキュリーを除外し、マスター・ヒュペリオンを特殊召喚！

アテナの効果で天使族モンスターが特殊召喚されたので相手に600ポイントのダメージを与える！

更にマスター・ヒュペリオンの効果を発動！

1ターンに1度、墓地の光属性、天使族モンスターを除外して、場

に存在するカード1枚を破壊する！

私は墓地のシャインエンジェルを除外して、ステープランを破壊する！」

「げえ！」

ダメージの上、更にステープランの破壊！？

これじゃあ……やばすぎる！

しかも効果ダメージで俺の残りライフが1150になっちゃった！

「更にアテナの効果でマスター・ヒュペリオンを墓地へ送り、マスター・ヒュペリオンを特殊召喚！

アテナの効果で600ポイントのダメージ、そしてマスター・ヒュペリオンの効果を発動！

1回墓地に送られたから1ターンに1度の効果はもう1回使うことができるわ！

墓地のエンシェント・ホーリー・ワイバーンを除外し、パワー・ツール・ドラゴンを破壊する！」

「んな馬鹿なあ！」

俺の場合は伏せカードだけ！ しかも伏せているのはブロック・ロック相手の攻撃をDに変更する効果だからもう無意味！

しかも俺の残りライフは550しか無い！

「見せてあげるわ龍亞、私の……真の切り札を！

私の場に存在する天使族モンスター3体をリリース！

戦争と死を司るオーディンの子よ、神々を率いる最強の軍神の姿を見せよ！

アドバンス召喚！ 勝利を導け、軍神テュール！」

黄金と赤の鎧や手っ甲を装着している

背中には透明だけど黄金に光る翼、右手にも黄金に光る剣を持っている

そんな巨大な天使族の男が天より降りてきた……

「攻撃力……3000？」

嘘だろ？

は、ははは……こいつがパティの真の切り札か

攻撃力の上だったエンシェント・ホーリー・ワイバーンには勝てないけど

それでも元々の攻撃力が3000だって？

「永続畏、奇跡の光臨を発動！

除外されている天使族モンスターを特殊召喚するわ！

私はこの効果により、エンシェント・ホーリー・ワイバーンを特殊召喚！」

って、やっぱり出てくるのかよ！

真の切り札を出しても、やっぱりパティはエンシェント・ホーリー・ワイバーンが大好きなんだな

……暢気なこと言ってる場合じゃなかったあああああ！

「終わりよ、龍亞

エンシェント・ホーリー・ワイバーンを2度も倒した……その報いを受けなさい！

軍神テュールで龍亞に直接攻撃！」  
ダイレクトアタック

テュールの巨大な剣が俺に向かって振り下ろされる……これ、どう



しろと？

呆気にとられている間に、剣が俺の真横に振り下ろされた！？

「ぐっあああああ！」

俺のライフが0に……

「エンシエント・ホーリー・ワイバーン！  
ダイレクトアタック  
龍亞に直接攻撃！」

「ちょ、俺のライフはもう0になって！」

俺の言葉は無視されて、エンシエント・ホーリー・ワイバーンのブレスが直撃！？  
いくらなんでも酷すぎるだろ！

「あううう……」

「……ちょっとやり過ぎちゃったかしら？  
でも、エンシエント・ホーリー・ワイバーンを倒したんだから仕方無いわよね  
じゃあね龍亞、また本気で決闘デュエルしましょ！」

パティはそのままどこかに行っちゃった  
パティには負けるし、龍可はどうなったか分からないし！  
くそお……くそお！ くそおおおお！

「俺はもつと強くなる！  
誰にも負けないぐらい、遊星にも勝てるぐらい強くなってやるからなーーーーー！」

ちなみにこの後、帰り道に迷って2時間ぐらいうろろとしていた家に帰る頃には夜遅くなっていたりして龍可に怒られたけど、龍可が無事で安心した……でも傷を負っていたから訊きだした知らない奴が原因だそうだからどうしようもできない……くそつたれ！

その次の日、パティがデュエルボードを持っている事を訊きだそうとしてルチアーノを探したけど  
どうしてだか学校にルチアーノが来ていなかった  
その後、ルチアーノの家にも行ったけど家がなくて、遊星達にも手伝ってもらって探したけど見つからない。

しかも更にその次の日にはルチアーノはどうなったのか何人かに訊いたんだけど  
みんな知らないって……パティも知らなかった  
ならあのデュエルボードはどうしたのかと訊いてみたら、堅守の奴から貰ったって言う。

なにがどうなっているのか、訳分らないや  
遊星達は何か起こるかもしれないって言ってるけど、何が起こるんだろう？

でも、何が起きても、今度こそ、絶対に龍可は守り抜くんだ！

## 5D・s 新5話【彼女の最強神】（後書き）

スピード・ワールド2の効果違反!?

最初にしたのは瑞貴ではなく、パーティでした

やはりコート・オブ・ジャスティスが使いたかったのでしょうか。

S p－ハーフ・シーズの効果でどうなったの？

攻撃力半減↓2550 原理を元々ではなく現攻撃力の収縮と同じように計算

2550後、永続効果で攻撃力が低下する

龍亞のライフが1000の時点で元々の攻撃力が2550と同じような計算となる

パーティライフ4000⇨龍亞ライフ1000という現象

その後、ライフが2550回復し、永続効果で攻撃力低下が適用される

龍亞のライフが2550回復するので、その分だけ攻撃力がダウン結果は0となる……んだと思うんですけど、どうなのでしょう？

説明が下手なのでこれで勘弁してください

誰かもっと解りやすい計算方法を……心からお願いします！

パーティが<sup>ホーリーナイト</sup>神聖騎士パーシアス!?

天使族シンクロモンスターはエンシェント・ホーリー・ワイバーンとこのカードぐらいですし

どうせなので使用させてみました

ついでに口上も……口上の内容理由はW i k iを読んでください。

パーティが……

エンシェント・ホーリー・ワイバーンを破壊されて切れたようですよ。やはり大事なんでしょうね。

どうしてパーシアスを召喚したターンにアテナで先に攻撃したの？  
ステープランは攻撃表示の時、攻撃される効果があるからです  
パーシアスは守備表示のラジオンを倒す予定でした。

龍亞が砂漠の光って……

ディフォームにしたかったのですが、同じカードを2回使う気にな  
れず

だからといって他に表示形式変更カードが少なかったのでこうなり  
ました

似合わないという自覚はありますが、今回は諦めました。

パーティのデッキがカオス！

コート・オブ・ジャステイス、代行者、シンクロ、パーシアス、マ  
ツチキル

なんというか……我ながらかなりカオスです

唯一統一しているのは光属性天使族という点のみ

いや、それを統一させたからこうなった？

まあ楽しいからどうでもいいか……瑞貴VSカムイラみたいなガ  
チロックじゃないですしね。

というか、マツチキルモンスター！？

瑞貴に使わせたかったんですが、何故かパーティが先取り

どうしてこうなった……別にパーティがお気に入りという訳でもない  
んですけどね

謎です、本当に謎です。

原作、アニメオリジナルカード

## Sp-ハーフ・シーズ

自分用スピードカウンターが3つ以上ある場合に発動する事ができる相手の場に表側表示で存在するモンスター1体の攻撃力を半分にしダウンした攻撃力の数値だけ自分のライフポイントを回復する  
今回の有る意味キーカード、それにしても効果が反則ですね……  
原作効果のフォースに近い効果でしょうか？

## Sp-シフト・ダウン

自分用スピードカウンターを6つ減らして発動する  
自分のデッキからカードを2枚ドロースする  
スピードカウンター版の強欲な壺みたいなカードです  
それにしても、スピードカウンター6つとは……条件が緩すぎますね。

## ブロック・ロック

相手モンスター1体が攻撃して来た時  
攻撃対象を自分の場に存在するDと名のつくモンスター1体に変更する

ライフオーマ  
D専用の地縛霊の誘いでしょうか？

完全下位互換でしょうね、使い道がほぼありません。

## 5D・s 新6話【懐かしの同胞】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「花の顔？」

「ボタニカル・ライオね

自分の植物族の数だけ攻撃力がアップするわ」

これで既に誰が戦うのか分かります  
対戦相手に関しては……

今回は割と早く更新

これがいつまで続くか我ながら見物です。

ちゃんとした既存キャラですが、殆ど原型を留めていません

デッキにしろ、設定にしろ、性格にしろ……いや、性格はまだマシ？

少なくとも、デッキと設定は破壊しました

でもスルーしてください、気にしないでください、今更ですけど…

…

## 5D・s 新6話【懐かしの同胞】

視点 瑞貴

龍亞を放り出し、俺はとある奴に連絡をする

内容は勿論、ルチアーノと龍可デュエルの決闘に割り込んできそうな奴の足止め

例えるならば超能力者とか、鴉とか、過去の栄光とか、宇宙から落ちてくるような奴とか

誰に誰を当てるかな……ま、全員の相手は決まっているんだけどな。

「聞こえるか？」

お前らがそれぞれ相手をする奴の位置は……このポイントだ」

『ふん、やっと私の出番ですの？』

この私の相手は？』

『それよりも俺の相手は？』

「簡単なプロフィールを送る

デッキ内容は秘密だ、つまらないだろう？

知っているとは思うがな」

『……まあいいですわ

私の相手はあの人ね、やっと……ふふふ』

『へへへ、やっと決闘デュエルできるのか  
アリがてえ、感謝するぜ！』

通信が切れる

こいつらがあいつに勝つのは無理じゃないが、勝率は微妙だな  
負けるとは思わないが、相性も微妙か？

少しは強化させたんだ、無様に負けたら許さん  
精々本気を出して勝つんだな

負けたら渡したカードを全て返してもらう。

視点 アキ

赤き竜の痣からの鼓動を感じ、D・ホイールを走らせる  
あの感覚は龍可だったわ、きっと何か起こったはず！

鼓動から居場所をある程度把握し、急いでその場へと向かう  
それにしても、いったい誰が龍可に……  
きっと危険な状況になっているはず、急がないと！

そう思い、かなりの速度を出してD・ホイールを走らせる  
けど、その隣にD・ホイールに乗った誰かが……なんですって！？

「あなた……どうしてここに！？」

「なんでもいいじゃない

でも、勝ち逃げなんて許しませんわよ！」

私の隣を走っている女性、年齢は私と同じ



そして私と同期、どこでの同期かと言えば……

「本当に久しぶりね

以前は貴女に1回も勝てなかったわ、アルカディアムーブメントでは！

でもこの私、小早川ランは生まれ変わったのですわ！

貴女に勝つ為に、全てを捨てて！」

そう、彼女の名は小早川ラン

私とほぼ同時にアルカディアムーブメントに入って来たサイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>だけど私よりかなり弱く、サイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>としても実

力は低かった

生まれの良さとプライドだけの女だった彼女が何故私の前に？

「久しぶりね

でも、私は今、貴女に構っている暇は無いの  
お願いだから邪魔しないでちょうだい」

「うふふ、それはできませんわ

さっき言ったでしょう？ 勝ち逃げは許さないと

私は今まで長い鍛錬をしてきたのですよ

アルカディアムーブメントが消えたあの日からずっと……」

どうやら、今までのランと違っていたらいけなさそうね

油断しては勝てないとは言わないけど、負けるかもしれない。

「十六夜アキ、私とライディングデュエルですわ！

もし逃げると言うのなら……このカードを具現化してあげますわよ？」

「そのカード！」

どうして貴女がそのカードを持っているの!？」

ランが取り出したのは地縛神のカード

ミスティの使っていた蜥蜴、地縛神 コカライア C c a r a y h u a !  
どこをどうしたらランがあのかカードを!

「分かっているのラン！」

もしそんなカードを解放したらどうなるのか!」

「無論、知っていますわ

デュエリストいくら私のサイコ決闘者としての能力が低くとも  
この町のビルデュエルの何本かを破壊することぐらい訳無いぐらい  
それが嫌ならこの決闘を受けてもらいますわよ!」

クツ……どうやら本気みたいね

逃げるのはおそらく不可能、デュエル暴れられても困るわ  
仕方無い、ここはおとなしく決闘を受けるしか無い。

「分かったわラン、決闘デュエルを受けてあげる

だからそのモンスターは召喚しないで」

「最初からそう言えばいいんですわ

私も、態々脅迫なんてしなくて済むんですもの」

ランはカードを懐にしまう

確か彼女が使っていたデッキは昆虫族モンスターが中心だったはず  
実力は低かったけど、この威圧感……相当鍛えたみたいね  
ならば、私も本気で相手をする!

「いきますわよ！」

スピード・ワールド2、セットオン！」

道路が遮断され、ライディングデュエル用のコースに移動する  
負けないわよラン！　そして早く龍可の下へ！

「ライディングデュエル……」

「「アクセラレーション！」」

さて、ランはどれほど実力を上げているのかしら？

先攻は……様子見ということで譲ってあげるわ。

「あら、先攻を譲ってくださいるのかしら？

なら遠慮無く……私のターン、ドロー！

インゼクター

甲虫装機　センチピードを召喚しますわ！」

鎧を着込んだ……虫？

随分と趣味が変わったというか、変わったモンスターを使うわね  
どんな効果を持ってるのかしら？

「甲虫装機インゼクター　センチピードの効果を発動よ！

1ターンに1度、手札か墓地から甲虫装機インゼクターと名の付くモンスターを  
装備カード扱いとして装備できる！」

私は手札の甲虫装機インゼクター　アーマイゼを装備カード扱いとして装備！

なお、装備カード扱いとなっているモンスターは装備魔法カード扱  
いとなっているけど

これはモンスター効果での装備で魔法カードをプレイしてでの装備  
じゃない

よってスピード・ワールド2の効果、魔法カードをプレイしたプレ

イヤーはポイントの2000ダメージは受ける  
その効果による効果ダメージは発生しないわ!」

なるほど、モンスター効果だから魔法じゃない  
魔法扱いでもモンスターだから……なかなか盲点を突いてるわね  
だけど、それだけかしら?

「そして装備カードとなっている甲虫装機 インゼクター アーマイゼの効果  
このカードが装備カード扱いで装備されている時  
LVが3上がり、装備モンスターの攻撃力、守備力はこのモンスター  
の攻撃力、守備力分アップする!」

LV3の甲虫装機 インゼクター センチピードがLV6に  
攻撃力が1600から1800、守備力が1200から1800に  
アップね  
でも、その程度じゃ私には勝てないわよ?

「カードを3枚伏せて、ターンエンドよ!」

「私のターン、ドロー!  
ボタニカル・ライオを召喚し、効果が発動するわ  
このモンスターは自分の場に存在する植物族モンスターの数×30  
0ポイント攻撃力がアップする  
ボタニカル・ライオ自身が植物族、よって攻撃力は1900よ!」

さあ、どうするのかしら?  
……何もしない、もしかして何も無い?

「ボタニカル・ライオで甲虫装機 インゼクター センチピードに攻撃!」

「インゼクター甲虫装機 センチピードに装備されているインゼクター甲虫装機 アーマイゼの効果を発動！」

このカードを装備しているモンスターが破壊される時、代わりにインゼクター甲虫装機 アーマイゼを破壊する！」

「でも、戦闘ダメージは受けてもらうわ」

たったの100とはいえ、これで差はできた

今回も勝たせてもらうわよ、ラン！

「ふふふ、甘いわねアキ

インゼクター甲虫装機 センチピードの効果を発動するわ！」

このカードに装備されていた装備カードが自分の墓地へ送られた時  
インゼクターデッキからインゼクター甲虫装機と名の付くカードを1枚、デッキから手札に加えられるの

私はデッキから、インゼクター甲虫装機の宝珠を手札に加えるわ」  
オーブ

名の付くカードだからモンスターではなく、罠カードを手札にも加えられるのね

どんなカードか気になるけど、まだ気にするほどでも無いわね。

「カードを2枚伏せて、ターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！」

インゼクター甲虫装機 ホーネットを召喚するわ！」

更に永続罠、ヴァリユアブル・フォームを発動！」

蜂の戦士に、永続罠カードね

でも、インゼクター甲虫装機 ホーネットの攻撃力は僅かに500  
怖い攻撃力でもないわね。

「ヴァリユアブル・フォームの効果を発動しますわ

1ターンに1度、2つの効果から1つを選択して発動できる

1つは自分の場に存在する2体の甲虫装機インゼクターを選択

その内1体を、もう1体に装備できる効果

インゼクターもう1つは装備カードとなっている甲虫装機を自分の場に攻撃表示で特殊召喚できる効果よ

私は1つ目の効果を選択し、甲虫装機インゼクター ホーネットを甲虫装機インゼクター センチピードに装備させる！」

甲虫装機インゼクター センチピードの攻撃力が2100、守備力が1400に上がった？

ということは、甲虫装機インゼクター ホーネットも甲虫装機インゼクター アーマイゼと同じように

装備されたモンスターに自身の能力を与える効果を持っているのねこれじゃあ、ボタニカル・ライオが戦闘で破壊されてしまう！

「甲虫装機インゼクター ホーネットが装備カードとなっている時の効果を発動するわ！  
甲虫装機インゼクター

甲虫装機インゼクター ホーネット自身を墓地へ送り、場のカードを1枚破壊する！

アキ、貴女の左側の伏せカードを破壊するわ！」

クッ、ブロッサム・ボンバーが破壊されてしまったわでも今は問題無い、少し困るぐらいよ。

「そして甲虫装機インゼクター センチピードの効果が発動するわ装備されているカードが墓地へ送られたことで、デッキから甲虫装機インゼクターを手札に加える

私はデッキより、甲虫装機インゼクター ギガマンティスを手札に加える！」

破壊とデッキサーチを同時にするですって!？  
そんな馬鹿なことが……

「まだまだ終わらないわよ!

インゼクター

甲虫装機 センチピードの効果、1ターンに1度、手札か墓地から

インゼクター

甲虫装機を装備できる!

インゼクター

墓地に送られた甲虫装機 ホーネットを装備カードとして装備し、

インゼクター

再び甲虫装機 ホーネットの効果を発動!

インゼクター

もう1枚の伏せカードを破壊し、更に甲虫装機 センチピードの効

インゼクター

果でデッキから甲虫装機 ホーネットを手札に加える!」

「永続罠、アイヴィ・シャックルを発動!

このカードが存在する限り、相手のモンスターは私のターンの間のみ、植物族となる!

更に表側表示のこのカードが相手によって破壊された時、デッキからカードを1枚ドロウするわ!」

インゼクター

甲虫装機 ホーネットの効果で破壊されるアイヴィ・シャックルを

発動し、破壊される

これでドロウするけど……状況は私が明かに不利!

確かに、攻撃力はボタニカル・ライオの方が高いわ

インゼクター

甲虫装機 センチピードの攻撃力は現在1600、攻撃力1900

のボタニカル・ライオには勝てない

でも、私の場に伏せカードは1枚も存在していない……

インゼクター

しかも、ランがさつき手札に加えたカードには甲虫装機 ホーネッ

トが入っている

つまり次のターンも全く同じコンボを使えて、私の場のカードを2

枚破壊できる！

とてもじゃないけど、この状況で余裕なんて無い！

完全に甘く見ていた……強くなったとしても所詮はランだと高を括  
つていたわ

デュエル  
決闘前も油断はできないなんて思っていたながら、見下していた  
情けない……それでこの様よ、龍可の下へ急がないといけないのに。

でも、もう二度と油断しない

私の本気、見せてあげるわ！

「魔法、罨、効果モンスターによってデッキから手札に加わったこ  
とにより

手札から薔薇の妖精を特殊召喚！ 守備表示よ！」

「……やっと本気になったようすわね

でも、まだ私のターンは終わりませんことよ！

手札の<sup>インゼクター</sup>甲虫装機 ギガマンティスの効果を発動するわ！

このカードは手札から場の<sup>インゼクター</sup>甲虫装機に装備できる！

そして装備モンスターの元々の攻撃力は2400となる！

私は<sup>インゼクター</sup>甲虫装機 センチピードに<sup>インゼクター</sup>甲虫装機 ギガマンティスを装備さ  
せ、攻撃力を2400にしますわ！」

「攻撃力を2400にするですって！？」

そんな効果が……なんて厄介な！

「<sup>インゼクター</sup>甲虫装機 センチピード、ボタニカル・ライオに攻撃！」

500ポイントのダメージ……ダメージ自体はそう大きくないけど



この状況、不利なんてものじゃないわ！

「カードを1枚伏せ、私のターンはこれで終了よ  
どうしたの十六夜アキ、貴女はこんなに弱かったのかしら？」

挑発だと分かっている、頭にくる！

本当に、いつの間にこんなに強くなったのかしら？

「私のターン、ドロー！」

チューナーモンスター、コピー・プラントを召喚し、効果を発動するわ

1ターンに1度、エンドフェイズ時まで場に存在する植物族モンスターと同じLVとなる！

私が選択するのは薔薇の妖精、LV3よ！」

コピー・プラントの姿が薔薇の妖精のようになる

そしてコピー・プラントのLV3になり、薔薇の妖精のLVも3よ！

「LV3薔薇の妖精に、LV3コピー・プラントをチューニング！  
聖なる森に潜みし華麗なる棘の狩人よ、戒めの鞭を持ちて今こそ姿を現せ！

シンクロ召喚！ 現れろ、スプレンデイド・ローズ！」

できればブラック・ローズ・ドラゴンを召喚したかったけど、無理だったわ

それでもスプレンデイド・ローズは強い、十分よ！

「なら罠カード、インゼクター 甲虫装機オーブの宝珠を発動！

このカードは発動後、インゼクター 装備カードとなって甲虫装機に装備されるわ！  
装備されたモンスターの攻撃力が500ポイントアップする！」

このタイミングで強化カード？

変ね、攻撃力は2900までアップするけど、それだけじゃない  
どういう意味があつて今、あのカードを発動したの？

「スプレンディッド・ローズの効果を発動するわ

1ターンに1度、墓地の植物族モンスターを除外し、エンドフェイ  
ズまで相手のモンスター1体の攻撃力を半分にする！

私は墓地の薔薇の妖精を除外し、甲虫装機インゼクター センチピードの攻撃力  
を半分にする！」

「無駄よ、甲虫装機インゼクターの宝珠オーブの効果を発動するわ！

このカードを装備されているモンスターがカード効果の対象となっ  
た時

装備されているこのカードを墓地へ送り、その効果を無効にする！」

そんな！ ランは私の行動を読んでそのカードを使ったというの！？  
駄目、いつの間にランがここまでの実力を！？ 信じられない！

「更に甲虫装機インゼクター センチピードの効果よ

装備されたカードが墓地へ送られたことで、デッキから甲虫装機インゼクター  
手札に加える

私はデッキより、甲虫装機インゼクターの宝珠オーブを手札に加えるわ」

またそのカードを！

あの永久機関を止めるには、甲虫装機インゼクター センチピードを倒さないと  
いけないのに！

その甲虫装機インゼクター センチピードの攻撃力は2400、スプレンディッ  
ド・ローズでは勝てない！

だけど、まだ手はある  
十分とは言わないけど、勝てるカードが！

「S pースピード・エナジーを発動するわ！

自分のモンスター1体の攻撃力をエンドフェイズ時まで  
スピードカウンターの数×200ポイントアップさせる！

私はスプレندیッド・ローズを選択するわ

私のスピードカウンターは3つ、よって攻撃力は600アップよ！」

これで攻撃力は2800！

伏せカードは気になるけど、十分勝てるわ！

「バトルよ！

スプレندیッド・ローズで甲虫装機インゼクター センチピードに攻撃！」

「迂闊で甘すぎるわよ、十六夜アキ！

罠カード、鎖付き爆弾ダイナマイトを発動！

発動後、このカードは装備カードとなり、自分の場のモンスターに  
装備されるわ

そして装備したモンスターの攻撃力は500ポイントアップする！  
装備させるのは当然、甲虫装機インゼクター センチピードよ！」

「攻撃力上昇カードですって！？」

これで甲虫装機インゼクター センチピードの攻撃力は2900！  
スプレندیッド・ローズの攻撃力が負けている！

「反撃よ、甲虫装機インゼクター センチピード！  
スプレندیッド・ローズを破壊しないさい！」

そんな……あのランにここまでされるだなんて  
私の残りライフは3400とまだ多い  
だけど、次のランのターンには……クッ！

「カードを2枚伏せて、ターンエンドよ！」

「ふふふ、私のターン、ドロー！  
罫カード、武装解除を発動するわ！  
場に存在する全ての装備カードを破壊する！」

自分の装備カードを全て破壊するですって？  
何を考えてそんなことを……意味が分からないわ。

「武装解除の効果で甲虫装機インゼクター ギガマンティスと鎖付き爆弾ダイナマイトが破壊  
されたわ

甲虫装機インゼクター ギガマンティスの効果、装備カードとなっているこのカ  
ードが墓地へ送られた時インゼクター  
自分の墓地から甲虫装機インゼクター ギガマンティス以外の甲虫装機インゼクターを1体、  
特殊召喚できるわ  
この効果で私は墓地から甲虫装機インゼクター ホーネットを特殊召喚よ！」

甲虫装機インゼクター ホーネットは装備カードの時、墓地に送ることで効果が  
発動するモンスター  
特殊召喚しても意味は殆ど無いはず  
ならどうして特殊召喚を？

「そして鎖付き爆弾ダイナマイトの効果よ  
このカードが効果によって破壊された時、場のカードを1枚破壊す  
る！

左の伏せカードを破壊しなさい！」

ウィキッド・リボーンが……でも、破壊されたら何も意味が無いわ  
発動する必要も無いどころか、ライフを損するだけだもの。

「まだよ！ インゼクター 甲虫装機 センチピードの効果が残っているわ

装備カードが墓地へ送られた時、デッキから インゼクター 甲虫装機を手札に加える効果

2枚のカードが墓地へ送られたからデッキから2枚の インゼクター 甲虫装機を手札に加える インゼクター

インゼクター 甲虫装機 ギガマンティスを2枚、デッキから手札に加えるわ」

手札が全く尽きないどころか、6枚も手札が有るわね  
何がどうなっただけなのかっていうのか……凄まじいわね。

「貴女には私の切り札を見せるまでも無い！ インゼクター

インゼクター 甲虫装機 ダンセルを召喚し、効果を発動！

手札が墓地から インゼクター 甲虫装機を装備カードとして装備できる！

インゼクター 墓地の甲虫装機 ギガマンティスを インゼクター 甲虫装機 ダンセルに装備させるわ！」

インゼクター これで甲虫装機 ダンセルというモンスターの攻撃力は2400になっただけ インゼクター

しかも手札に インゼクター 甲虫装機 ギガマンティスが2枚残っている……

「続いて手札の インゼクター 甲虫装機 ギガマンティスの効果、装備カード扱い インゼクター

インゼクター で場の甲虫装機に装備できる！

インゼクター 甲虫装機 センチピードは インゼクター 甲虫装機 ギガマンティスの効果で元々の攻撃力を2400になる！

インゼクター 更にヴァリアブル・フォームの効果で1ターンに1度、装備されている インゼクター 甲虫装機を特殊召喚できる！

インゼクター  
甲虫装機 ダンセルに装備されている甲虫装機 ギガマンティスを  
特殊召喚するわ！」

……なにがしたいのかしら？

インゼクター  
「甲虫装機 センチピードの効果で、手札の甲虫装機 ホーネット  
を装備させるわ！」

インゼクター  
そして甲虫装機 ホーネットの効果で甲虫装機 ホーネットを墓地  
へ送り、もう1枚の伏せカードを破壊！」

オーバー・デッド・ライン……ウィキッド・リボーンが破壊された  
今は無意味なカード

私の場合はガラ空き、手札も0枚、完全にお手上げ状態ね。

インゼクター  
「甲虫装機 センチピードの効果で甲虫装機 ギガウィービルを手  
札に加えるわ！」

インゼクター  
そして手札の甲虫装機 ギガマンティスを甲虫装機 ホーネットに  
装備させ、元々の攻撃力を2400に！」

インゼクター  
ついでに手札の甲虫装機 ギガウィービルの効果も発動するわ！  
このカードは手札から装備カードとして場の甲虫装機に装備させら  
れるわ

インゼクター  
そして装備したモンスターの元々の守備力は2600になる！  
インゼクター  
甲虫装機 ギガマンティスに甲虫装機 ギガウィービルを装備させ  
る！」

インゼクター  
凄いわね……圧巻だわ  
インゼクター  
攻撃力1600の甲虫装機 センチピード、元々の攻撃力が240  
0になった甲虫装機 ダンセルと甲虫

インゼクター  
装機 ホーネット

そして元から攻撃力2400の甲虫装機インゼクター ギガマンティス、オマケとして守備力が2600になってるわ  
4体の合計攻撃力は8800……オーバーキルね。

「ああ……あの十六夜アキに圧勝できるだなんて！  
これで終わりよ！ 甲虫装機インゼクター ギガマンティス、甲虫装機インゼクター ダンセル、甲虫装機インゼクター ホーネット、甲虫装機インゼクター センチピードで直接攻撃！」

「きゃあああ！」

余程私が気に入らなかったんでしょうね、さすがにきついわ  
本当、嘘みたいに強くなったのね……ラン。

D・ホイールは動きを止め、停止する  
私のすぐ近くにランも止まる。

「私の勝ちですわ、十六夜アキ  
これまでの敗北の借り、キツチり返しましたわよ？」

「……そうね、今回は完全に私の負けよ」

赤き竜の痣の疼きも収まっている  
龍可デュエルの決闘も終わったんでしょね、間に合わなかった……  
龍可は無事なのかしら？

「もう少しぐらい、悔しそうな顔をしてはどうですか？  
貴女は私に、圧倒的に敗北したんですのよ？」

確かに私はランに完全なる敗北をした  
だけど、私の心に悔しいという感情は無い。

「悔しがる必要は無いわ

だって今まで私に全敗し、才能が無いとまで言われた貴方がアルカディアムーブメント最強と言われた私に勝ったのよ？誇り、尊敬はしてもそんな無粋な感情が出てくるはずが無い」

心からの本心をランに言う

咄然としながらも、ランは照れくさそうにそっぽを向いた私に認められたのが嬉しいのかしら？

「ふん、さっきも言った通り、借りは返しましたのよでもこれだけで終わるとは思わないことですわね」

どういう意味かしら？

「これから、私は貴女の前に立ち塞がる、これは決定事項ですわその時も私に完敗するようなままだと……許しませんことよ？」

それはつまり……また決闘しようというお誘いかしら？  
デュエル

できれば今回みたいにタイミングが悪い時じゃなく、平時の時にしてくれたら助かるわ

だけど、きつと重要な時に出てくる気がする……困ったわね。

「ええ、次は私が勝つわラン

ところで、どうやってそこまでの実力を？

以前のランからは想像できないわ」

私の質問が一瞬理解できなかったみたいだけど

少ししたら顔を青くしてガタガタと震え……ええ！？



「ど、どうしたのラン！」

「ごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさいごめんなさい  
いごめんなさい  
もうしませんから許してくださいもうしませんから許してください  
もうしませんから許してください  
すみませんでしたすみませんでしたすみませんでしたすみませんでした  
したすみませんでした  
お願いしますお願いしますお願いしますお願いしますお願いします  
お願いしますお願いします」

……どうやら訊いてはいけないことだったみたい  
なにがどうなれば、あのランをあそこまでの恐怖状態に？

「ラン、ラン！」

「は！ ごほん、みつともない姿を見せたわね  
お願いだから訊かないでちょうだい  
どうしても知りたいのなら教えてあげるけど」

「お断りよ」

即答で返す、いくらなんでもあんな状態になってまで強くなりたくないわよ

素直に自力で努力するわ……怖いし。

「ラン、誰からあのカードを受け取ったの？」

予想はしてるけど、一応訊いておく  
答えてくれるとは……

「堅守瑞貴さんですわ」

答えて……くれたわね。

「そんなにアツサリとばらしていいの？」

「構いません、どうせその内知るでしょうし  
特に口止めもされていませんわ、なら構わないはずですわ」

それならいいんだけど、もし怒られても私に八つ当たりしないでね？  
今の貴女の実力を受けきる自信は無いわ。

また出てきた彼の名前

あの弱かったランをここまで強くするだなんて、どうやったのかしら？

相当なスパルタ教育だったんだと思うわ

ランがあそこまで怯えていたんだし。

「どうやって彼と知り合ったの？」

「……私が、貴女に負の感情を持っていたからですわ

どうやって調べたのか、アルカディアムーブメントを無くして彷徨  
っていた私は彼に拾われた

私の事情を全て話させられ、十六夜アキへ怨みを晴らしたいのなら  
着いてこいと……

貴女の話が無ければ適当に流され、放置させられていたでしょうね  
私以外、誰か1人でもアルカディアムーブメント関係の人は居ませ  
んでしたもの」

私に怨みを……か

彼に嫌われるようなことをした記憶は無いんだけど  
サイコ決闘<sup>デュエル</sup>は望まれてしたのだし。

「それは、いつぐらいの話なの？」

「半年ぐらい前かしら？」

本当にアルカディアムーブメントが潰れた直後でしたわ」

もしかしてデイヴァインを知っている？

そういえば、ミステイの地縛神 Cc<sup>コカライア</sup>arayhuaの話も出ていたような気がする

デイヴァインが食われたという話を……

まあいいわ、既に過ぎた話だもの

ランが無事だったのなら、それでもいい。

「あ、でもサイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>は結構な人数を保護していたみたいですよ？

行く場所が無い者を中心に

私が選ばれたのは貴女への意識が強かったからでしょうね」

「サイコ決闘者<sup>デュエリスト</sup>の保護？

何が目的なのかしら？」

「さあ？ でも軍事利用とかに使うつもりは無さそうでしたわよ？  
聞いた話では一般的な学校に通っている人もいるそうですわ  
制御訓練以外は殆ど自由にしているそうですし、私は特別ですよ  
？」

一般的な学校に、制御訓練以外では自由？  
本当に何が目的なのか……

「話はこれぐらいにしますわ  
それではアキ、また会いましょう！」

話を強引に断ち切り、ランはD・ホイールを走らせて去って行く  
龍可も気になるし、どうしようかしら？  
きっと龍可も移動するでしょうし、とりあえず遊星達の家に行きま  
しょう。

## 5D's 新6話【懐かしの同胞】（後書き）

瑞貴の通信相手、1人はランだとしてもう1人は誰？  
秘密です、予想できると思いますが秘密です  
言葉に巨大なヒントがありますし……でも秘密。

小早川ランって誰？

漫画版5D'sに登場するキャラです

この作品ではアルカディアムーブメントでの同期としました  
漫画ではデュエル・アカデミア・クイーンの名を賭けて決闘デュエルをして  
いました

……それでもほんの2ターン3ターン程度でしたが  
しかし、使っていた昆虫族をメインとし、激強化しました  
それがどうしてここまで強くなったのか……謎です。

どういう設定になってるの？

アルカディアムーブメントでの同期、サイコ決闘者デュエリスト、アキをライバ  
ル視してる

デュエル・アカデミアの同級生にするのは出会う可能性上却下  
なので無才能のサイコ決闘者デュエリストとし、アキに嫉妬している性格に  
ここまでくると既にオリキャラですが、気にしない。

どうして地縛神 Ccarrayhuaを？  
コカライア

瑞貴から借りました

なお、彼女自身は地縛神 Ccarrayhuaコカライアの影響力をあまり知  
りません

一応、アルカディアムーブメント壊滅の間接的な原因なのは知って  
います。

確かアルカディアムーブメントのキャラは地縛神の生け贄になったんじゃない……

きつと解放されたんです、マーサとかみたい……多分あまり気にしないでください

別に殆どが生け贄になったままでも、ビルに居なかったから生き残ったでもいいんですし。

インゼクター  
甲虫装機？

11月19日に発売する新パックに登場する新カテゴリです  
ちなみに投稿時は10月25日……作品に登場させるには先取りし過ぎですかね？

……待て、ランが強すぎる！

作者も思いました、何故こんなに強いのか心から謎です

これ、調整されるんですかね？ WikiにまだQ&Aが  
出ていないので微妙ですが

所々できない場所があるかもしれませんが

それはまだ出ていなかったという理由で勘弁してください。

インゼクター  
この甲虫装機って強いのか？

多分普通じゃないですか？

個人的には強いというよりも、変わっているという感じです

少なくとも、インフェルニティみたいに爆発はしないと予想します  
今後のカード次第ですが、個人的な予想では多分カラクリぐらい？  
いえ、別にカラクリが弱いと言っているわけじゃなくて使用率的な意味で。

武装解除って……

古いとか言ってやらないでください

装備罫カードを自ら破壊できるカードはこれぐらいなんですから

少しはこのカードも利用価値があるようにお願い……別にどっちでもいいんですけどね。

ランの切り札って？

また先に再登場させる予定ですのでそれまでお預け

ちなみに、甲虫装機インゼクター エクサビートルではありません  
エクシーズモンスターですしね。

ランにどんな訓練をしたんだ瑞貴！

ご想像にお任せします。

何故瑞貴はサイコ決闘者デュエリストの保護をしたの？

強力な者を引き入れる為でしたが、弱いばかりなので半分捨てています

ランはアキに対抗心を持っているので例外として育てました  
ちなみに、これでアキがこちらに少しでも靡けばと思っています……  
……しませんよ？

アキに関しては諦めているので。

## 5D・s 新7話【アリえる可能性】（前書き）

「「なーにつかな、なーにつかな  
今日はこれ！」」

「シンクロン・エクスプローラー！  
遊星のモンスターだ！」

「墓地のシンクロンを特殊召喚するわ  
今回の過労死モンスターよ」

過労死はネオス、スピード・ウォリアーの特権だぞ龍可  
最近、前書きの龍可が壊れてきている気がします。

どうも、先にこっちを投稿します

理由は……何故か、急にこちらを書きたくなったからです。

今回はちょっと本編オリジナルカードなどが多めです  
それと原作効果も……詳しくは後書きを参照。

TF6が欲しいです……多分積みゲー化しますが  
早く積んでる20ゲーム近くを消化したいものです  
そんなことをしたら投稿が凄まじく遅くなるので無理ですが  
……時間が欲しいなあ。



## 5D・s 新7話【アリえる可能性】

視点 遊星

赤き竜の痣が疼き、飛び出してきたのはいいんだが……後ろを追いかけられているな

目的はおそらく俺だろう……どうする？

相手をしている時間は無い、だが無視しておくのはおそらく無理だろう。

痣の疼きの元は龍可だ

十中八九、危険な状態になっていると予想できる

だがそれでも……相手は俺達の都合を考慮しないだろうな。

ん？ 後ろの奴がスピードを上げてきた？

隣に並んだのは……誰だ？

「へへへ、初めましてだな

オレは伊集院セクト、ちょっとしたD・ホイーラーだぜ」

「……俺に何か用か？」

「そうだぜ、だけどその前に質問だ

オレが後ろに居るのは知っていたはず

なのにどうしてオレをムシしやがった？

自分が狙いなのは気付いていたはずだぜ？」

確かに気付いていた

例え偶然後ろに居たとしても、決闘者特有の闘氣を感じた  
つまり、こいつの狙いが俺ということぐらい、すぐに予想できた。

「俺は急いでいる

お前の相手をしている暇は無い」

「オレはアンタとのハチ合わせに感謝してるけどな

だけど、さすがにムシされるのはアリえねえと思うんだ

お前、オレと決闘しろ！」  
デュエル

「今言っただろう？

俺は急いでいるんだ」

「悪いけど、そうでなくても命令されてるんだ

不動遊星の動きを止めろってな

残念だけど、嫌でもチョウっと相手をしてもらうぜ！」

どうやら問答無用らしい

龍可が心配だが、逃がしてくれるとは思えない。

「断るなんてアリえないよな？

クモ隠れなんて絶対に許さねえ！

嫌でも相手をしてもらうぜ！

フィールド魔法強制発動、スピード・ワールド2、セットオン！」

「スピード・ワールド2の強制発動だど！？」

以前、牛尾が同じことをしてきたが、それはセキュリティだからだ！  
セキュリティでもないこいつが、何故強制発動できる！？

「気になるか？ どうしてオレがスピード・ワールド2を強制発動できるか

オレの知り合いにちよつとすげえ奴がいてよ

そいつはセキュリティや治安維持局と裏で繋がっているらしいんだ  
ちよつと裏取引をしたらしくてな、オレ達のD・ホイールは少し裏  
改造されてるんだよ！」

裏改造……違法ということか

セクトの言う、裏で繋がっている奴はかなりの権力者を味方にして  
いるらしいな

誰なのかなんとなく予想できるのが、少々嫌だ。

「その凄い奴とは、堅守瑞貴のことか？」

「へへ、大正解だぜ

オレはあいつの使いっ走りになる代わりに、アンタと本気の決闘<sup>デュエル</sup>を  
望んだ

サテライトの英雄、最強のサテイクフアクションチームの不動遊星

……昔から憧れてたんだ

それがやつと、やつとこのオレが決闘<sup>デュエル</sup>するんだ！

ムシなんてさせやしねえ、絶対に相手をしてもらう！」

どうやら、チーム・サテイクフアクション時代から俺を知っている  
らしい

気になることは多いが、俺との本気の決闘<sup>デュエル</sup>を望んでいるようだ。

「知ってるぜ？

アンタは誰かの為に戦う時が最も強くなるんだってな？

オレは本当に、本気の本気のアンタと決闘<sup>デュエル</sup>したい……だから今なん  
だ！」

なるほどな……そこまで俺と決闘<sup>デュエル</sup>したいか！

「いいだろう、相手になってやる！」

龍可は心配だが、既にスピード・ワールド2は強制発動されているどちらにせよ、逃げる手段は無い。

「いくぜえ！」

ライディングデュエル」

「「アクセラレーション！」」

「先攻はオレだ、ドロー！」

さて、どんなデッキを使ってくるのか……

「ドラゴンフライを守備表示で召喚！」

昆虫族モンスターか

確かあのモンスターは戦闘で破壊された時、デッキから風属性モンスターを特殊召喚する効果だったな

昆虫族は風属性が多い、あまり倒したくないが……

「カードを2枚伏せて、ターンエンドだ！」

伏せカードが1枚

今の所はまだ余裕があるな。

「俺のターン、ドロー」

「オレはこの瞬間、手札から増殖するGを墓地へ送り、効果を発動！このターン、相手が特殊召喚する度にオレはカードを1枚ドロースる！」

なに？

それは俺が特殊召喚を多用することを知っての行動か？

……だとしても、俺の行動は変わらない！

「俺は手札のモンスターを1枚捨て、チューナーモンスター、クイック・シンクロンを特殊召喚する

更にシンクロン・エクスペローラーを召喚し、召喚に成功したことで効果を発動

墓地に存在するシンクロンと名の付くモンスターを、効果を無効にして特殊召喚できる

俺はクイック・シンクロンの効果で墓地へ送ったチューナーモンスター、チェンジ・シンクロンを特殊召喚」

「……早いな

モンスターが2体特殊召喚された、よってオレはカードを2枚ドロース！」

「クイック・シンクロンをシンクロ素材とする場合、シンクロンと名の付くモンスターの代わりとなる

俺はクイック・シンクロンを、ジャンク・シンクロンとして扱う

L V 2シンクロン・エクスペローラーに、L V 5クイック・シンクロンをチューニング

集いし叫びが木霊の矢となり空を裂く！ 光さす道となれ！

シンクロ召喚！ いでよ、ジャンク・アーチャー！」

さあ、どうする？

このままだとダメージを受けるぞ？

「ツチ、増殖するGの効果でもう1枚ドロー！」

「ジャンク・アーチャーの効果を発動する

1ターンに1度、相手モンスター1体をゲームから除外する

そして除外したターンのエンドフェイズ、そのモンスターは表示形式がそのまま場に戻る

ジャンク・アーチャーの効果でドラゴンフライをゲームから除外する！」

何も動かないか……ここで止めておくべきか？

いや、このまま行かせてもらおう！

「LV7ジャンク・アーチャーに、LV1チェンジ・シンクロンをチューニング！

集いし願いが新たに輝く星となる、光さす道となれ！

シンクロ召喚！ 飛翔せよ、スターダスト・ドラゴン！」

「スターダスト・ドラゴン……こいつが不動遊星のエースモンスターか！

こんなに速く出てくるだなんてアリえねえよ……

だが、シンクロ召喚も特殊召喚、よって増殖するGの効果で更にドロー！」

ドローしたければ好きなだけドローしろ！

だが、俺の攻撃は止まらないぞ！

「スターダスト・ドラゴンでセクトに直接攻撃！  
ダイレクトアタック

シューティング・ソニック！」

「罠カード、スパイダー・エッグを発動！  
ダイレクトアタック  
相手が直接攻撃してきた時、その攻撃を無効にする  
更に、自分の場にスパイダートークンを3体、守備表示で特殊召喚  
する！」

攻撃を止められたか……

さすがにあれだけドローされて、更に守られては少々不利だな。

「カードを2枚伏せ、ターンエンドだ  
そしてこの瞬間、ジャンク・アーチャーの効果で除外されたドラゴ  
ンフライは場に戻ってくる」

少し失敗したか？

いや、スターダスト・ドラゴンを召喚できたのは大きい  
できれば押し切りたいところだ。

「オレのターン、ドロロー！」

チューナーモンスター、デス・メイフライを召喚！」

チューナーモンスターだと！？

まさか……シンクロ召喚するつもりか！

「LV1スパイダートークン3体と、LV4ドラゴンフライに、L  
V1デス・メイフライをチューニング！

魔神を束ねし蠅の王よ、ムシズの走るこの世界に陰りを！

シンクロ召喚！ 食い荒らせ、魔王龍 ベエルゼ！」

頭に漆黒の女性を乗せ、蠅のようなおぞましい顔

両肩からは龍の頭、だが両腕は存在している  
下半身は蛇のような体をしているドラゴン……か。

「更にS pーカウント・アップを発動！

スピードカウンターが2つ以上ある時

手札を任意の枚数捨て、その数×2つスピードカウンターを増やす！  
オレは手札を3枚捨て、スピードカウンターを6つ上昇！」

手札を3枚も捨ててだと？

何が目的なんだ？

「更に永続罫、リビングデットの呼び声を発動！

墓地よりモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！

オレが召喚するのは、カウント・アップで捨てたポセイドン・オオカブトだ！」

攻撃力2500の最上級モンスターか！

スターダスト・ドラゴンと同じ攻撃力……拙いか？

「S pースピード・エナジーを発動！

スピードカウンターが2つ以上有る時

スピードカウンターの数×200ポイント、指定したモンスターの  
攻撃力をエンドフェイズまでアップさせる！

オレが選択するのはポセイドン・オオカブトだ！」

セクトのスピードカウンターは8個

つまり、攻撃力が1600もアップするのか！

これでポセイドン・オオカブトの攻撃力は4100！

「バトルだ！



ポセイドン・オオカブトでスターダスト・ドラゴンに攻撃！」

「罨カード、くず鉄のかかしを発動  
相手からの攻撃を、1度だけ無効にする  
更に、このカードは再び場にセットされる」

これで攻撃力差、1600ものダメージを受けずに済む  
これを受ければかなり危険だからな。

「はん！ そんなの蜂蜜よりも甘いぜ！  
ポセイドン・オオカブトは攻撃表示のモンスターに3回攻撃できる  
んだ！」

攻撃表示モンスターに3回もの攻撃だと！？  
つまり、くず鉄のかかしで攻撃を防いでも、更に2回攻撃できるの  
か！

「ポセイドン・オオカブトで再攻撃！」

クツ……スターダスト・ドラゴンが！  
しかも、1600もの大ダメージを受けた！

「思ったより弱かったな  
ダイレクトアタック  
魔王龍 ベエルゼで直接攻撃！」

「罨カード、ガード・ブロックを発動！  
1度だけ戦闘ダメージを0にし、カードを1枚ドロウする！」

「さすがにそこまで楽じゃないか  
オレはこれでターンエンドだ！」

さすがに辛いか……だが、負けるつもりは無い！

「俺のターン、ドロー！」

Sp—エンジェル・バトンを発動！

スピードカウンターが2つ以上有る時に発動できる  
デッキからカードを2枚ドローし、1枚墓地へ送る」

このカードか……ならば！

「相手の場にモンスターが存在し、自分の場に存在しない時  
手札からチューナーモンスター、アンノウン・シンクロンを特殊召喚する

更にアンノウン・シンクロンをリリースし、サルベージ・ウォリアーをアドバンス召喚

そしてサルベージ・ウォリアーの効果を発動

サルベージ・ウォリアーのアドバンス召喚に成功した時

手札、または墓地のチューナーを1体、特殊召喚できる

俺は墓地に存在するチューナーモンスター、ニトロ・シンクロンを特殊召喚する」

「またか……」

「LV5サルベージ・ウォリアーに、LV2ニトロ・シンクロンをチューニング！

集いし思いがここに新たな力となる、光さす道となれ！

シンクロ召喚！ 燃え上がれ、ニトロ・ウォリアー！」

現れるは緑の体をした戦士

攻撃力2800は……ベエルゼには適わないものの、強力だぞ！

「ニトロ・シンクロンの効果を発動！

ニトロと名の付くモンスターのシンクロ召喚の素材となった時  
デッキからカードを1枚ドロウする」

「モンスター0からすぐにここまでできるだなんてアリえねえ……」

できているだろう？

そういうお前も、かなりの腕だぞ。

「バトルだ！

ニトロ・ウォリアーでポセイドン・オオカブトに攻撃！  
ダイナマイト・ナツクル！」

ニトロ・ウォリアーの拳がポセイドン・オオカブトを貫く  
戦闘ダメージはたったの300……か。

「へへ、魔王龍 ベエルゼの効果発動だ

自分がダメージを受けた時、その数値分だけベエルゼの攻撃力がア  
ップする！

オレが受けたダメージ、300ポイントだけベエルゼの攻撃力がア  
ップだ！」

そんな効果を持っていたのか

これでベエルゼの攻撃力は3300か、厄介だな。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「オレのターン、ドロウ！

アーマード・ビーを召喚して、効果を発動するぜ！

1ターンに1度、相手の場に存在するモンスターの攻撃力をエンドフェイズまで半分にする!」

攻撃力を半分だと!?

それではニトロ・ウォリアーの攻撃力は……

「ニトロ・ウォリアーの攻撃力は2800、だから半分の1400だ!

ハチの巣にしてやれ! ポイズン・ニードル!」

アーマード・ビーの針が撃ち出され、ニトロ・ウォリアーに刺さるニトロ・ウォリアーの体に毒が回り、攻撃力が下がる。

「バトルだ!

アーマード・ビーでニトロ・ウォリアーに攻撃!」

これは防げない!

次にベエルゼで攻撃されたら……俺は負ける!ならばくず鉄のかかしを使うことはできない!だが、俺とてやられっぱなしじゃない。

「罨カード、クラッシュ・スターを発動

自分のシンクロモンスターが破壊された時

手札、及び墓地から攻撃力1000以下のモンスターをそれぞれ1体ずつ守備表示で特殊召喚する

俺は手札のチューニング・サポーターと、墓地のクイック・シンクロンを特殊召喚する」

「……ケツ、カードを1枚伏せて、ターンエンドだ」

だが、何故スピード・ワールド2の効果を使わなかったんだ？  
スピードカウンターを10個取り除けばくず鉄のかかしを破壊でき  
たはずだ

セクトのスピードカウンターは現在10個……あの伏せカードか？

「俺のターン、ドロー

クイック・シンクロンをシンクロ素材とする場合、シンクロンの代  
わりとなる

俺はクイック・シンクロンをターボ・シンクロンの代わりとする！  
LV1チューニング・サポーターに、LV5クイック・シンクロン  
をチューニング！

集いし絆が更なる力を紡ぎだす、光さす道となれ！

シンクロ召喚！ 轟け、ターボ・ウォリアー！」

「ならこの瞬間、墓地の黒光りするGの効果を発動するぜ！  
シンクロモンスターが特殊召喚された時、黒光りするGを除外  
そしてその特殊召喚されたシンクロモンスターを破壊する！」

対シンクロモンスターか！

だが、残念だったな。

「……アリ？

ターボ・ウォリアーが破壊されない？」

「残念だが、ターボ・ウォリアーはLV6以下のモンスター効果の  
対象にならない

黒光りするGのLVは1、よってその破壊効果は受けない！

そしてシンクロ素材に使用したチューニング・サポーターの効果  
を発動！

シンクロ召喚に使用され、墓地へ送られた時、デッキからカードを

1枚ドロ―する!」

もし前のターンに発動されていたら……危なかった  
おそらく、前の俺のターンにはアーマード・ビーが手札にあったん  
だろう

だからニトロ・ウォリアーを破壊せず、アーマード・ビーで攻撃し  
たと思われる。

「そ、そんなのアリかよ!」

「バトルだ! ターボ・ウォリアーで魔王龍 ベエルゼに攻撃!  
更にこの瞬間、ターボ・ウォリアーの効果発動  
ターボ・ウォリアーがLV6以上のシンクロモンスターに攻撃する時  
そのモンスターの攻撃力を、このバトル中のみ半分にする!」

「魔王龍 ベエルゼの攻撃力は3300  
その半分だから……1650!」

ターボ・ウォリアーの攻撃がベエルゼに直撃  
攻撃力差は850、ダメージとしてはそう大きくはない  
だが、これでベエルゼは……破壊されていないだど?

「チッ……だが残念だったな

魔王龍 ベエルゼは破壊されない効果を持つ不死のモンスターだ  
更にオレが受けたダメージ分、攻撃力がアップする!」

攻撃力が2500まで上がり、しかも半分になった攻撃力も元に戻る  
つまり、攻撃力は……4150だど!

「クッ……厄介なモンスターだな

俺はこれでターンエンドだ！」

「オレのターン、ドロ―！」

Sp―アクセル・ドロ―を発動するぜ！

自分のスピードカウンターが12あり、相手のスピードカウンターが12じゃない場合に発動可能

デッキからカードを2枚ドロ―する！

更にスピード・ワールド2の効果を発動！

スピードカウンターを7つ取り除き、デッキからカードを1枚ドロ―！」

やはりスピードカウンターが12個も有ると効果を使うか

だがこれで、スピードカウンターを10個取り除いて破壊効果が使用できなくなった

何を考えている？

「バトル、魔王龍 ベエルゼでターボ・ウォリアーに攻撃！」

「罠カード、くず鉄のかかしを発動

相手の攻撃を1度だけ無効にする」

分かっていたはずだ、なのに何故攻撃をしたんだ？

「カウンター罠、魔宮の賄賂を発動だぜ！

相手が発動した魔法、罠カードを無効にし、破壊する！

そして相手はカードを1枚ドロ―する……アンタの戦略なんてお見通しなんだよ！」

どうやら俺のデッキはある程度把握されているらしい  
やはり昔から俺を知っているからだろう……厄介だな。

「よって魔王龍　ベエルゼの攻撃は続行！  
ベエルズ・カーニバル  
魔王の赦肉祭！」

「ぐううう……！」

ベエルゼに食い殺されるターボ・ウォリアー……

受けたダメージは1650、俺の残りライフは550！

そして奴の場には……まだ攻撃していないアーマード・ビー！

「これで終わりだ！」

アーマード・ビーで直接攻撃！  
ダイレクトアタック

「手札から速攻のかかしを墓地へ送り、効果を発動！  
ダイレクトアタック

相手の直接攻撃時、その攻撃を無効にしてバトルフェイズを終了させる！」

これでこのターンは凌げた

次のターンでどうにかしなければ……負ける！

「粘るな……その生命力、ゴキブリ並だぜ  
ハウリング・インセクト  
共鳴虫を守備表示で召喚！」

オレはこれでターンエンドだ！」

「俺のターン、ドロー！」

スピード・ワールド2の効果を発動！

スピードカウンターを7つ取り除き、デッキからカードを1枚ドロ  
ーする！

そしてシールド・ウィングを守備表示で召喚！  
カードを1枚伏せ、ターンエンドだ！」



これでなんとか耐えられる  
だが、このままでは勝てない！

「オレのターン、ドロロー！」

再びスピード・ワールド2の効果を発動だ！

スピードカウンターを7つ取り除き、カードを1枚ドロロー！

オレは共鳴虫とアーマード・ビーをリリース！  
ハウリング・インセクト

ブレイン・クラッシャーをアドバンス召喚！

更に、墓地の昆虫族であるドラゴンフライを除外し、ジャイアント・  
ワームを特殊召喚！」

攻撃力4150の魔王龍 ベエルゼ

攻撃力2400のブレイン・クラッシャーに、攻撃力1900のジ

ヤイアント・ワーム

さすがにこの状況は厳しい！

「シールド・ウィングは確か、戦闘で2回破壊されなかったな？  
ベエルゼ、ジャイアント・ワーム、ブレイン・クラッシャーの順に  
攻撃！」

このターンを凌ぐのが精一杯か！

だが、それでもなんとか耐えられる！

「これでターンエンドだが、エンドフェイズ時にブレイン・クラッ  
シャーの効果を発動！

ブレイン・クラッシャーが戦闘で破壊したモンスターをオレの場に  
特殊召喚する！

シールド・ウィングを守備表示で特殊召喚だ！」

ゴヨウ・ガーディアンのような効果か

バトルフェイズ中に奪われないだけマシだろう

だが、効果の使用は可能だから3回の攻撃が必要か……

「俺のターン、ドロー！」

Sp—エンジェル・バトンを発動！

スピードカウンターが2つ以上有る時、デッキからカードを2枚ドロし、1枚を捨てる

チューナーモンスター、ジャンク・シンクロンを召喚し、効果を発動  
このモンスターの召喚に成功した時、自分の墓地からLV2以下の  
モンスターの効果を無効にし、守備表示で特殊召喚できる  
俺は墓地のシンクロン・エクスプローラーを特殊召喚する」

「……またシンクロ召喚かよ」

「罠カード、シンクロ・マテリアルを発動

相手の場に存在するモンスター1体を選択し、そのモンスターをシンクロ素材として使用できる

俺が選択するのはシールド・ウィングだ！」

「ゲッ！」

オレのモンスターを使うなんてアリえねえ！」

元々は俺のモンスターだ！

「LV2シンクロン・エクスプローラー、LV2シールド・ウィングに、LV3ジャンク・シンクロンをチューニング！  
集いし怒りが忘我の戦士に鬼神を宿す、光さす道となれ！  
シンクロ召喚！ 吠えろ、ジャンク・バーサーカー！」

「それでも攻撃力は2500のモンスターだ  
オレのベエルゼには勝てないぜ！」

「分かっている、ジャンク・バーサーカーの効果を発動  
墓地のジャンクと名の付くモンスターを除外する  
相手モンスター1体の攻撃力を除外したモンスターの攻撃力分ダウ  
ンさせる！」

俺は墓地のジャンク・アーチャーを除外し、その攻撃力である23  
00分、ベエルゼの攻撃力をダウンさせる！  
更にジャンク・シンクロンも除外し、ベエルゼの攻撃力を更に13  
00ポイントダウンさせる！」

「ベエルゼの攻撃力は4150……  
合計3600ダウンしたら550か」

ベエルゼに攻撃したいが、そうすると攻撃力を上げられる  
他のモンスターに攻撃したいが……いや、その方が安全か。

「バトルだ！  
ジャンク・バーサーカーでジャイアント・ワームに攻撃！」

ジャイアント・ワームを撃破、ダメージは600  
そしてベエルゼの攻撃力は600アップし、1150  
ジャンク・バーサーカーとの差は1350ポイント……か。

セクトのライフは残り1450  
本来ならさっきの攻撃をベエルゼにし、ライフを0にしたかったん  
だが  
残念ながら、ライフが100残り、ジャンク・バーサーカーの攻撃  
力と互角になってしまう。

そうなった場合、相打ちした上でブレイン・クラッシャーダイレクトアタックで直接攻撃を受けてしまう

だからベエルゼではなく、ジャイアント・ワームに攻撃した。

「カードを1枚伏せ、ターンエンドだ」

「オレのターン、ドロー！」

ニードル・ハニー・ビィを召喚！」

蜂蜜の壺を持った蜂？

だが、攻撃力1500程度ではどうにもならないぞ？

「バトルだぜ！」

ニードル・ハニー・ビィでジャンク・バーサーカーに攻撃！」

「なに？ 攻撃力はジャンク・バーサーカーの方が上だぞ！」

「ニードル・ハニー・ビィの効果だ

このモンスターが戦闘し、自分が戦闘ダメージを受けた時

相手の場に存在するモンスターの攻撃力は、オレが受けたダメージ分ダウンする」

受けたダメージを攻撃力低下効果に変える能力か！

セクトのライフは1450、かなり捨て身の戦法だな。

「ジャンク・バーサーカーとニードル・ハニー・ビィの攻撃力差は1000ポイント

ニードル・ハニー・ビィは破壊されちまうが、ジャンク・バーサーカーの攻撃力は1500にダウン！」

更にオレが戦闘ダメージを受けたことで、魔王龍 ベエルゼの攻撃力が1000ポイントアップだ!」

「攻撃力、2150だと!」

「これで終わりだ!

魔王龍 ベエルゼでジャンク・バーサーカーに攻撃!」

「罠カード、シンクロ・バリアーを発動!

自分の場に存在するシンクロモンスターをリリースして発動  
次のターンのエンドフェイズまで、俺が受ける全てのダメージは0になる

俺はジャンク・バーサーカーをリリースする!」

これで俺はダメージを受けない!

だが、セクトの場には攻撃力2150のベエルゼと2400のブレイン・クラッシャー

そしてセクトのライフは450だが……少々厳しいか!

「クソッ!

オレはこれでターンエンドだ!」

なんとかしなければ俺の負けだが、負けるつもりは……無い!

「俺のターン、ドロー!

チューナーモンスター、デブリ・ドラゴンを召喚し、効果を発動  
召喚に成功した時、墓地から攻撃力500以下のモンスター1体を、  
効果を無効にして特殊召喚できる

俺は墓地からシンクロン・エクスプローラーを特殊召喚する

更に墓地に存在するボルト・ヘッジホッグの効果を発動する  
自分の場にチューナーが存在する時、墓地からこのモンスターを特殊召喚できる

ただし、この効果を使ったボルト・ヘッジホッグが場から離れた時、除外される」

「だけど、デブリ・ドラゴンはドラゴン族のシンクロモンスターしか出せない

スターダスト・ドラゴンは既に墓地、だったら何も怖く無いぜ!」

「……カードを2枚伏せ、ターンエンドだ」

だが、これでセクトのスピードカウンターは4つになる

もし手札にSpが来た場合……スピード・ワールド2の効果を発動できる

スピードカウンターを4つ取り除き、手札のSpの枚数×800ポイントのダメージを与える効果だからな

俺のライフは550、もしこの効果ダメージを受けたら負ける!

更にもし1枚でも、場のカードが破壊されたら俺の負け

分の悪い賭けだが……俺はこれに賭ける!

「オレのターン、ドロー!

魔王龍 ベエルゼでデブリ・ドラゴンに攻撃!」

「罠カード、レイジ・リシンクロを発動!

自分の墓地に存在するシンクロモンスターを1体選択する

そして、その召喚条件に合うように自分の場のモンスターを墓地へ送る

その後、選択したモンスターの攻撃力を500ポイントアップさせ、

特殊召喚する！

ただし、この効果で特殊召喚したモンスターは次のターンのエンドフェイズ時に破壊される

LV2ボルト・ヘッジホッグ、LV2シンクロン・エクスプローラーに、LV4デブリ・ドラゴンをチューニング！

集いし願いが新たに輝く星となる、光さす道となれ！

再シンクロ！ 飛翔せよ、スターダスト・ドラゴン！」

「アリエねえ！

このタイミングでスターダスト・ドラゴンだとお！？」

そうだ、こいつが俺のエース、スターダスト・ドラゴン！

スターダスト・ドラゴンの攻撃で、俺の勝ちだ！

「が……ぐうう！ ベエルゼの攻撃をキャンセル！

ブレイン・クラッシャーを守備表示にして、カードを1枚伏せてターンエンドだ！」

ベエルゼの攻撃力は2150

スターダスト・ドラゴンとの攻撃力差は950、勝てる！

「俺のターン、ドロー！」

スターダスト・ドラゴンで魔王龍 ベエルゼに攻撃！

シューティング・ソニック！」

「オレは負けねえ！

罨カード、破壊指輪<sup>リング</sup>を発動する！

自分の場のモンスター1体を破壊し、お互いに1000ポイントのダメージを受ける！

オレはブレイン・クラッシャーを破壊する！」

このまま放置していても引き分けか！  
少々危険だが、ここは……

「スターダスト・ドラゴンの効果を発動！  
場のカードを破壊する魔法、罠、モンスター効果が発動した時  
自身をリリースし、その発動を無効にし、破壊する！  
ヴィクティム・サンクチュアリ！」

しかも、スターダスト・ドラゴンはこのターンのエンドフェイズに  
戻ってくる  
攻撃力は元に戻るが、レイジ・リシンクロの効果での破壊はなくなる！

「へ、へへへ……それを待ってたぜ！  
これが最後の、オレの足掻きだ！ カウンター罠、威風堂々を発動！  
バトルフェイズ中に発動したモンスター効果を無効にし、破壊する！  
このカードの効果により、スターダスト・ドラゴンの効果は無効になる！

そして、破壊指輪<sup>リング</sup>の効果が適用される！」

「馬鹿な！？」

スターダスト・ドラゴンの効果を無効にしただと！？

「破壊指輪<sup>リング</sup>の効果だ！  
ブレイン・クラッシャーを破壊し、お互いに1000ポイントのダメージを受ける！

今日のオレはチョウ絶頂！ アリエねえぐらいのラストだあ！」



ブレイン・クラッシャーが破壊され、俺達は爆発に巻き込まれる  
俺のライフは150、セクトのライフは450  
同時にライフが0になり、この決闘……引き分けか！

そして痣の疼きも消えている……龍可の危険も終わったらしい  
間に合わなかったが、大丈夫だろうか？

「は、ははは……オレがあのだ動遊星と引き分け？  
ありえねえが、あれだけ鍛えられた甲斐があったぜ」

鍛えられた……か

堅守瑞貴、何故奴はセクトを鍛えたんだ？  
俺と戦わせる為なのか、それとも何か別の目的が？

「強いな、セクト」

「んー……これでもかなり努力したからな

あ、ちなみにアンタの仲間は無事に保護されたいぜ  
決闘が終わった直後に連絡がきた」

「そうか、助かる」

龍可は無事らしい

心配だが、堅守のすることだ

おそらく大きな危害は加えていないだろう  
精々、怖い思いをしたぐらいか？

「今回は楽しかったぜ  
また相手をしてくれよ？」

「ああ、また決闘デュエルしよう

だがその時は、今回みたいに人質紛いの真似はしないでくれ」

「今回は特別、オレだっけしたくてしたんじゃない  
命令されたんだから諦めてくれ  
人質だなんてもうアリえねえよ」

セクトはそう思うだろうがな  
だが堅守のことだ、きつとまたしてくるだろう  
そして再びセクトは利用される……か。

「じゃ、オレは行くぜ！  
次は必ず勝つ！　じゃあな！」

アリーっと、エコーが出るような声を出しながら去っていくセクト  
その、アリというのは口癖なのか？  
昆虫族モンスターを使うからアリなのだろうか？

さて、誰が龍可を保護したのか知らないが、どこに向かうのだろう  
か？

仕方無い、ジャックやクロウ達と協力して何カ所かで待つか  
クロウは龍可の家、ジャックは俺達の家、俺はデュエル・アカデミ  
アか？

俺はこの後の行動を決め、D・ホイールを走らせる  
堅守、お前は何を考えているんだ？

奴は再び俺と相まみえるだろう……だが、必ず勝ってみせる！

## 5D・S 新7話【アリえる可能性】（後書き）

伊集院セクトって誰？

漫画版5D・Sに登場するメインキャラです

前話の小早川ランのようなサブキャラではありません……多分？

使用デッキは昆虫族、ポセイドン・オオカブトが切り札

口癖はアリとか、虫の名前を出したりすることでしょうか？

スピード・ワールドの強制発動！？

実際に牛尾がしていました

アニメでは……3話と11話でしたっけ？

セキュリティ特権ということだったと思うのでこんな理由付けです。

セクトが……強すぎない？

はい、強化させ過ぎました

どうしてこうなった……本当に。

スパイダー・エッグの効果が違う？

原作効果です

相手の直接攻撃時にトークンを出します。  
ダイレクトアタック

ポセイドン・オオカブトの効果が違う？

原作効果です

攻撃表示モンスターが相手ならば、なんでも3回攻撃ができました。

ターボ・ウォリアーと魔王龍 ベエルゼの攻撃力計算は合ってるの？

……さあ？

前話で似たようなことをして後悔したのにすぐにする作者は馬鹿です  
とりあえず、これでセーフということにしておいてください。

ジャンク・バーサーカーの攻撃力が低い？

原作効果です

攻撃力が2700ではなく2500であり

守備表示モンスターを攻撃した時、ダメージ計算を行わない効果もありませんでした。

遊星とセクトが引き分け！？

セクトを強くし過ぎましたが、しかし遊星を負けさせる気にはなれずだからといってセクトを負けさせたくなかった結果、引き分けにしました

引き分けの手段にかなり悩みました……ヘル・ブラストを使いたくても使えない状況だったので

強引に破壊指輪リングを使わせて、でもスターダスト・ドラゴンが……こうなったら威風堂々を！　こんな感じラストは地味に苦労しました。

そういえば、どうして瑞貴はセクトを鍛えたの？

遊星への執念を感じたからです

良い意味でも、悪い意味でも……

ついでに使いつ走りのようなことになっています。

漫画のセクトとこのセクトの違いは？

遊星の弟分↓遊星へ憧れているだけ（？）

遊星のライバルへ↓遊星との戦いへの執念を燃やす

遊星の特訓相手↓執念では我慢できなくなったので瑞貴の下で使いつ走りと鍛錬

闇へ取り憑かれる↓まともな白セクトと性格悪化の黒セクトが同時存在に……何故？

こんな感じ？

なにか違う気がしますがこんな流れで遊星と決闘デュエルしました。

漫画、アニメオリジナルカード

デス・メイフライ

昆虫族LV1のチューナー……他に言う事が無いですね  
もし出てくるのなら闇属性で出てほしいものです

地底のアラクネー、漆黒のズムウォルトの為に……

まあ、シンクロを使用しない作者には関係の無い話ですが。

魔王龍 ベエルゼ

このモンスターは破壊されない

プレイヤーがダメージを受けた時、その数値分攻撃力がアップする  
攻撃力3000でこれは反則です……絶対

しかも今回は序盤に出てきたので扱いに困った困った

そういえば、こいつってドラゴン族？ 昆虫族？

Sp-カウント・アップ

自分用スピードカウンターが2つ以上ある場合に発動する事ができる  
自分の手札を任意の枚数墓地に送る

この効果で墓地に送ったカード1枚につき、自分用スピードカウン  
ターは2つ増える

作者には殆どデイスアドバンテージの塊にしか見えないカードです  
が気にしない

まあ、一応墓地肥やしもできるので……OK？

Sp-アクセル・ドロー

自分用スピードカウンターが12個あり、相手用スピードカウンタ  
ーが12個でない場合に発動する事ができる

デッキからカードを2枚ドロウする  
条件付き強欲な壺です、でも条件を満たすのは地味に難しい……腐  
る可能性が高そうです。

クラッシュ・スター

自分の場に存在するシンクロモンスターが破壊された時に発動する  
事ができる

自分の手札、及び墓地から攻撃力1000以下のモンスターをそれ  
ぞれ1体ずつ守備表示で特殊召喚する

割と凶悪なカードです、OCG化してほしくないですね……

ニードル・ハニー・ビー

このカードの戦闘で自分がダメージを受けた時

相手の場に存在するモンスターの攻撃力、守備力は受けたダメージ  
分ダウンする

耐性を持たせ、ライフの回復をすれば怖いモンスターになります

しかもこの効果は相手モンスター全体に作用するので……地味に凶  
悪？

レイジ・リシンクロ

自分の墓地に存在するシンクロモンスター1体を選択して発動する  
選択したモンスターのシンクロ召喚の条件を満たすように自分の場  
に存在するモンスターを墓地へ送り

選択したシンクロモンスター1体を墓地からの場に攻撃力を500  
ポイントアップして特殊召喚する事ができる

この効果で特殊召喚したモンスターは次のターンのエンドフェイズ  
時に破壊される

処理とか、裁定がどうなるかとても気になるカードです

例えば種族や属性、名前縛りのモンスターを蘇生させる場合はどう  
なるのかとか

他にも色々……

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5045n/>

---

本気禁止制限決闘

2011年11月9日08時29分発行